

Hitachi Command Suite Software

メッセージガイド

3020-3-W05-C0

対象製品

Hitachi Device Manager 7.6.1

Hitachi Replication Manager 7.6.1

Hitachi Tiered Storage Manager 7.6.1

Hitachi Replication Manager および Hitachi Tiered Storage Manager は、経済産業省が 2003 年度から 3 年間実施した「ビジネスグリッドコンピューティングプロジェクト」の技術開発の成果を含みます。

輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

商標類

Active Directory は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

AIX は、米国およびその他の国における International Business Machines Corporation の商標です。

Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corp. の商品名称です。

FlashCopy は、米国およびその他の国における International Business Machines Corporation の商標です。

HP および StorageWorks は、Hewlett-Packard Development Company, L.P. の商標です。

HP-UX は、Hewlett-Packard Development Company, L.P. のオペレーティングシステムの名称です。

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Kerberos は、マサチューセッツ工科大学 (MIT : Massachusetts Institute of Technology) で開発されたネットワーク認証のプロトコルの名称です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

LTO, Linear Tape-Open, および Ultrium は、Hewlett-Packard Development Company, L.P., 米国 Quantum Corporation, および米国 International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft Exchange Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft および JScript は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft および SQL Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Netscape は、AOL Inc. の登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

This product includes software developed by IAIK of Graz University of Technology.

Red Hat は、米国およびその他の国で Red Hat, Inc. の登録商標もしくは商標です。

RSA および BSAFE は、米国 EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

S/390 は、米国およびその他の国における International Business Machines Corporation の商標です。

SOAP (Simple Object Access Protocol) は、分散ネットワーク環境において XML ベースの情報を交換するための通信プロトコルの名称です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標がついた製品は、米国 Sun Microsystems, Inc. が開発したアーキテクチャに基づくものです。

SUSE は日本における Novell, Inc. の商標です。

Symantec, および Backup Exec は、Symantec Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

VERITAS Backup Exec は、Symantec Corporation の米国およびその他の国における商品名称です。

VERITAS および NetBackup は、Symantec Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Veritas および Veritas Storage Foundation は、Symantec Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。

VMware, vCenter Server は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。

VMware, VMware vSphere は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。

VMware, VMware vSphere ESX は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。
VMware, VMware vSphere ESXi は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。
Win32 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
z/OS は、米国およびその他の国における International Business Machines Corporation の商標です。
その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。
Hitachi Device Manager, Hitachi Replication Manager, および Hitachi Tiered Storage Manager には、Oracle Corporation またはその子会社、関連会社が著作権を有している部分が含まれています。
Hitachi Device Manager, Hitachi Replication Manager, および Hitachi Tiered Storage Manager には、UNIX System Laboratories, Inc.が著作権を有している部分が含まれています。
Hitachi Device Manager, Hitachi Replication Manager, および Hitachi Tiered Storage Manager は、米国 EMC コーポレーションの RSA BSAFE® ソフトウェアを搭載しています。
This product includes software developed by Ben Laurie for use in the Apache-SSL HTTP server project.
Portions of this software were developed at the National Center for Supercomputing Applications (NCSA) at the University of Illinois at Urbana-Champaign.
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
This software contains code derived from the RSA Data Security Inc. MD5 Message-Digest Algorithm, including various modifications by Spyglass Inc., Carnegie Mellon University, and Bell Communications Research, Inc (Bellcore).
Regular expression support is provided by the PCRE library package, which is open source software, written by Philip Hazel, and copyright by the University of Cambridge, England. The original software is available from <ftp://ftp.csx.cam.ac.uk/pub/software/programming/pcre/>.
This product includes software developed by Ralf S. Engelschall <rse@engelschall.com> for use in the mod_ssl project (<http://www.modssl.org/>).
This product includes software developed by Daisuke Okajima and Kohsuke Kawaguchi (<http://relaxngcc.sf.net/>).
This product includes software developed by the Java Apache Project for use in the Apache JServ servlet engine project (<http://java.apache.org/>).
This product includes software developed by Andy Clark.



発行

2014年1月 3020-3-W05-C0

著作権

All Rights Reserved. Copyright © 2010, 2014, Hitachi, Ltd.

目次

はじめに.....	11
対象読者.....	12
マニュアルの構成.....	12
マイクロソフト製品の表記について.....	13
このマニュアルで使用している記号.....	14
1. メッセージの概要.....	15
1.1 メッセージの構成.....	16
1.2 メッセージ ID の形式と種類.....	16
1.3 このマニュアルで使用している用語について.....	18
2. DRM で始まるメッセージ.....	19
2.1 DRM-10000~DRM-19999.....	20
3. KAIB で始まるメッセージ.....	107
3.1 KAIB00000~KAIB09999.....	108
3.2 KAIB10000~KAIB19999.....	111
3.3 KAIB20000~KAIB29999.....	120
3.4 KAIB30000~KAIB39999.....	132
3.5 KAIB40000~KAIB49999.....	133
3.6 KAIB50000~KAIB59999.....	135
4. KAIC で始まるメッセージ.....	141
4.1 KAIC00000~KAIC09999.....	142
4.2 KAIC10000~KAIC19999.....	313
4.3 KAIC20000~KAIC29999.....	525
4.4 KAIC30000~KAIC39999.....	540
4.5 KAIC40000~KAIC49999.....	541
4.6 KAIC60000~KAIC69999.....	545
4.7 KAIC70000~KAIC79999.....	548
4.8 KAIC90000~KAIC99999.....	552

5. KAIE で始まるメッセージ.....	571
5.1 KAIE10000～KAIE19999.....	572
5.2 KAIE20000～KAIE29999.....	573
5.3 KAIE30000～KAIE39999.....	578
5.4 KAIE60000～KAIE69999.....	579
6. KAIG で始まるメッセージ.....	583
6.1 KAIG00000～KAIG09999.....	584
7. KAPM で始まるメッセージ.....	591
7.1 KAPM00000～KAPM09999.....	592
7.2 KAPM10000～KAPM19999.....	770
7.3 KAPM40000～KAPM49999.....	825
8. KAQx で始まるメッセージ.....	827
8.1 KAQx メッセージの詳細.....	828
9. KATS で始まるメッセージ.....	829
9.1 KATS10000～KATS19999.....	830
9.2 KATS20000～KATS29999.....	848
9.3 KATS30000～KATS39999.....	864
9.4 KATS40000～KATS49999.....	866
9.5 KATS50000～KATS59999.....	887
9.6 KATS60000～KATS69999.....	997
9.7 KATS90000～KATS99999.....	1023
10. KAVN で始まるメッセージ.....	1025
10.1 KAVN00000～KAVN09999.....	1026
10.2 KAVN10000～KAVN19999.....	1106
11. KAVX で始まるメッセージ.....	1115
11.1 KAVX00000～KAVX99999.....	1116
11.2 特定のメッセージの対処.....	1283
11.2.1 KAVX5105-W の対処.....	1283
11.2.2 KAVX5137-E または KAVX0006-E/DRM-10041 の対処.....	1285
(1) 発生要因.....	1285
(2) 回復手順（バックアップサーバでの操作）.....	1285
(3) 回復手順（ファイルサーバまたはデータベースサーバでの操作）.....	1287
(4) 回避方法.....	1289
12. KDJE で始まるメッセージ.....	1291
12.1 KDJE40000～KDJE49999.....	1292
13. KFPx で始まるメッセージ.....	1295
13.1 KFPx メッセージの詳細.....	1296

14. RPM で始まるメッセージ	1305
14.1 RPM-00000~RPM-09999.....	1306
14.2 RPM-10000~RPM-19999.....	1437
14.3 RPM-20000~RPM-29999.....	1473
15. Device Manager が出力するアラート.....	1513
15.1 KAID00001~KAID01999.....	1514
15.2 KAID10001~KAID11028.....	1549
16. ストレージシステムのメッセージ.....	1553
16.1 HUS100, Hitachi AMS2000/AMS/WMS/SMS および SANRISE9500V のメッセージ.....	1554
16.2 Hitachi USP のメッセージ.....	1715
16.3 SANRISE9900V のメッセージ.....	1812
16.4 Universal Storage Platform V/VM のメッセージ.....	1823
16.5 Virtual Storage Platform のメッセージ.....	1826
付録 A このマニュアルの参考情報.....	1829
A.1 関連マニュアル.....	1830
A.2 このマニュアルでの表記.....	1830
A.3 このマニュアルで使用している略語.....	1834
A.4 KB (キロバイト) などの単位表記について.....	1838

表目次

表 1-1 プレフィックスとメッセージ ID の種類.....	16
表 1-2 このマニュアルで使用している用語の対応関係.....	18
表 2-1 DRM-10000~DRM-19999 : Replication Manager Application Agent のメッセージ.....	20
表 3-1 KAIB00000~KAIB09999 : Hitachi Command Suite 製品のインストーラーのメッセージ.....	108
表 3-2 KAIB10000~KAIB19999 : Hitachi Command Suite 製品のインストーラーのメッセージ.....	111
表 3-3 KAIB20000~KAIB29999 : Hitachi Command Suite 製品のインストーラーのメッセージ.....	120
表 3-4 KAIB30000~KAIB39999 : Hitachi Command Suite 製品のインストーラーのメッセージ.....	132
表 3-5 KAIB40000~KAIB49999 : Hitachi Command Suite 製品のインストーラーのメッセージ.....	133
表 3-6 KAIB50000~KAIB59999 : Hitachi Command Suite 製品のインストーラーのメッセージ.....	135
表 4-1 KAIC00000~KAIC09999 : Device Manager サーバのメッセージ.....	142
表 4-2 KAIC10000~KAIC19999 : Device Manager GUI のメッセージ.....	313
表 4-3 KAIC20000~KAIC29999 : Device Manager エージェントのメッセージ.....	525
表 4-4 KAIC30000~KAIC39999 : Device Manager に関するトレースメッセージ.....	540
表 4-5 KAIC40000~KAIC49999 : Device Manager CLIEX のメッセージ.....	541
表 4-6 KAIC60000~KAIC69999 : Device Manager に関するトレースメッセージ.....	545
表 4-7 KAIC70000~KAIC79999 : Device Manager GUI のメッセージ.....	548
表 4-8 KAIC90000~KAIC99999 : Device Manager CLI のメッセージ.....	553
表 5-1 KAIE10000~KAIE19999 : Device Manager エージェントのメッセージ.....	572
表 5-2 KAIE20000~KAIE29999 : Device Manager エージェントのメッセージ.....	573
表 5-3 KAIE30000~KAIE39999 : Device Manager エージェントのメッセージ.....	578
表 5-4 KAIE60000~KAIE69999 : Device Manager エージェントのメッセージ.....	579
表 6-1 KAIG00000~KAIG09999 : Host Data Collector のメッセージ.....	584
表 7-1 KAPM00000~KAPM09999 : Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのメッセージ.....	592
表 7-2 KAPM10000~KAPM19999 : Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのメッセージ.....	770
表 7-3 KAPM40000~KAPM49999 : Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのメッセージ.....	825
表 9-1 KATS10000~KATS19999 : Tiered Storage Manager CLI のメッセージ.....	830
表 9-2 KATS20000~KATS29999 : Tiered Storage Manager GUI のメッセージ.....	848
表 9-3 KATS30000~KATS39999 : Tiered Storage Manager GUI のメッセージ.....	864
表 9-4 KATS40000~KATS49999 : Tiered Storage Manager サーバのメッセージ.....	866
表 9-5 KATS50000~KATS59999 : Tiered Storage Manager サーバのメッセージ.....	887
表 9-6 KATS60000~KATS69999 : Tiered Storage Manager サーバのメッセージ.....	997
表 9-7 KATS90000~KATS99999 : Tiered Storage Manager サーバのメッセージ.....	1023
表 10-1 KAVN00000~KAVN09999 : Replication Manager のメッセージ.....	1026
表 10-2 KAVN10000~KAVN19999 : Replication Manager のメッセージ.....	1106
表 11-1 KAVX0000~KAVX9999 : Replication Manager Application Agent のメッセージ.....	1116
表 12-1 KDJE40000~KDJE49999 : Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのメッセージ.....	1292
表 13-1 HiRDB のエラーメッセージの説明と表の対応.....	1296

表 13-2 HiRDB のメッセージ (KFPH)	1297
表 13-3 HiRDB のメッセージ (KFPO)	1298
表 13-4 HiRDB のメッセージ (KFPR)	1299
表 13-5 HiRDB のメッセージ (KFPS)	1299
表 13-6 HiRDB のメッセージ (対処不要)	1299
表 13-7 HiRDB のメッセージ (保守情報を取得し, 問い合わせ窓口に連絡)	1300
表 13-8 HiRDB のメッセージ (再実行)	1302
表 13-9 HiRDB のメッセージ (データベース回復)	1303
表 13-10 HiRDB のメッセージ (再起動後に再実行)	1303
表 14-1 RPM-00000~RPM-09999 : Replication Manager のメッセージ.....	1306
表 14-2 RPM-10000~RPM-19999 : Replication Manager Application Agent のメッセージ.....	1438
表 14-3 RPM-20000~RPM-29999 : Replication Manager Application Agent のメッセージ.....	1474
表 15-1 KAID00001~KAID00893 : ストレージシステムが出力するトラップ情報 (SANRISE9900V)	1514
表 15-2 KAID00901~KAID00978 : ストレージシステムが出力するトラップ情報 (Hitachi USP)	1524
表 15-3 KAID01001~KAID01178 : ストレージシステムが出力するトラップ情報 (Universal Storage Platform V/VM)	1526
表 15-4 KAID01300~KAID01632 : ストレージシステムが出力するトラップ情報 (Virtual Storage Platform)	1532
表 15-5 KAID01800~KAID01999 : ストレージシステムが出力するトラップ情報 (HUS VM)	1542
表 15-6 KAID10001~KAID10312 : ストレージシステムの部位を示すアラート (Virtual Storage Platform・Universal Storage Platform V/VM・Hitachi USP・SANRISE9900V・HUS VM)	1549
表 15-7 KAID11001~KAID11028 : ストレージシステムの部位を示すアラート (HUS100・Hitachi AMS2000/AMS/WMS/SMS・SANRISE9500V)	1550
表 16-1 HUS100, Hitachi AMS2000/AMS/WMS/SMS および SANRISE9500V のメッセージ.....	1554
表 16-2 Hitachi USP のメッセージ.....	1716
表 16-3 SANRISE9900V のメッセージ.....	1812
表 16-4 Universal Storage Platform V/VM のメッセージ.....	1823



はじめに

このマニュアルでは、Hitachi Device Manager、Hitachi Replication Manager、および Hitachi Tiered Storage Manager が出力するメッセージについて説明します。また、エラー状態を解消するために推奨する対処を説明します。

以降、このマニュアルでは、Hitachi Device Manager を Device Manager、Hitachi Replication Manager を Replication Manager、Hitachi Tiered Storage Manager を Tiered Storage Manager と略します。

- 対象読者
- マニュアルの構成
- マイクロソフト製品の表記について
- このマニュアルで使用している記号

対象読者

このマニュアルは、Hitachi Command Suite を使ってストレージシステムを使用したシステムを運用管理される方を対象としています。また、対象読者には次のような知識があることを前提としています。

- SAN (Storage Area Network) に関する基本的な知識
- 前提オペレーティングシステム、および Web ブラウザーの基本的な操作方法
- Hitachi Command Suite を使った、システムの運用管理に必要な知識

マニュアルの構成

このマニュアルは、次に示す章から構成されています。

第 1 章 メッセージの概要

メッセージの形式と種類について説明しています。

第 2 章 DRM で始まるメッセージ

Replication Manager Application Agent に関するメッセージについて説明しています。

第 3 章 KAIB で始まるメッセージ

Hitachi Command Suite 製品のインストーラーに関するメッセージについて説明しています。

第 4 章 KAIC で始まるメッセージ

Device Manager に関するメッセージについて説明しています。

第 5 章 KAIE で始まるメッセージ

Device Manager エージェントに関するメッセージについて説明しています。

第 6 章 KAIG で始まるメッセージ

Host Data Collector に関するメッセージについて説明しています。

第 7 章 KAPM で始まるメッセージ

Hitachi Command Suite 共通コンポーネントに関するメッセージについて説明しています。

第 8 章 KAQx で始まるメッセージ

ファイルサーバに関するメッセージについて説明しています。

第 9 章 KATS で始まるメッセージ

Tiered Storage Manager に関するメッセージについて説明しています。

第 10 章 KAVN で始まるメッセージ

Replication Manager に関するメッセージについて説明しています。

第 11 章 KAVX で始まるメッセージ

Replication Manager Application Agent に関するメッセージについて説明しています。

第 12 章 KDJE で始まるメッセージ

Hitachi Command Suite 共通コンポーネントに関するメッセージについて説明しています。

第 13 章 KFPx で始まるメッセージ

HiRDB に関するメッセージについて説明しています。

第 14 章 RPM で始まるメッセージ

Replication Manager に関するメッセージについて説明しています。

第 15 章 Device Manager が出力するアラート

Device Manager が出力するアラートについて説明しています。

第 16 章 ストレージシステムのメッセージ

ストレージシステムが出力するメッセージについて説明しています。

付録 A このマニュアルの参考情報

このマニュアルを読むに当たっての参考情報について説明しています。

マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは、マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

表記	製品名
Active Directory	Microsoft® Active Directory
Exchange Server	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 <ul style="list-style-type: none">Exchange Server 2003Exchange Server 2007Exchange Server 2010
Exchange Server 2003	Microsoft® Exchange Server 2003
Exchange Server 2007	Microsoft® Exchange Server 2007
Exchange Server 2010	Microsoft® Exchange Server 2010
Internet Explorer	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 <ul style="list-style-type: none">Microsoft® Internet Explorer®Windows® Internet Explorer®
JScript	Microsoft® JScript®
MSCS	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 <ul style="list-style-type: none">Microsoft® Cluster ServiceMicrosoft® Failover Cluster
MSFC	Microsoft® Failover Cluster
SQL Server	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 <ul style="list-style-type: none">Microsoft® SQL Server 2005Microsoft® SQL Server 2008Microsoft® SQL Server 2008 R2Microsoft® SQL Server 2012
Win32	Win32®
Windows	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 <ul style="list-style-type: none">Microsoft® Windows® 7Microsoft® Windows® 8Microsoft® Windows Server® 2003Microsoft® Windows Server® 2003 R2Microsoft® Windows Server® 2008Microsoft® Windows Server® 2008 R2Microsoft® Windows Server® 2012Microsoft® Windows Vista®Microsoft® Windows® XP
Windows 7	Microsoft® Windows® 7

表記	製品名
Windows 8	Microsoft® Windows® 8
Windows Server 2003	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 <ul style="list-style-type: none"> • Microsoft® Windows Server® 2003 • Microsoft® Windows Server® 2003 R2
Windows Server 2008	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 <ul style="list-style-type: none"> • Microsoft® Windows Server® 2008 • Microsoft® Windows Server® 2008 R2
Windows Server 2012	Microsoft® Windows Server® 2012
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista®
Windows XP	Microsoft® Windows® XP

このマニュアルで使用している記号

このマニュアルでは、次に示す記号を用いて特記事項を説明します。

記号	意味
参考	製品を正しく使用していただく際のご参考です。
	複数の項目に対して項目間の区切りを示し、「または」の意味を示します。 (例) 「A B C」は、「A, B, または C」を示します。
[]	メニュータイトル、メニュー項目、およびボタンの名称を示します。メニュー項目を連続して選択する場合は、[] を「-」（ハイフン）でつないで説明しています。
< >	可変値であることを示します。
{ }	この記号で囲まれている複数の項目の中から、必ず一組の項目を選択します。項目と項目の区切りは「 」で示します。 (例) 「{A B C}」は、「A, B, または C のどれかを必ず指定する」ことを示します。

メッセージの概要

この章では、メッセージの形式と種類について説明します。

- 1.1 メッセージの構成
- 1.2 メッセージ ID の形式と種類
- 1.3 このマニュアルで使用している用語について

1.1 メッセージの構成

Device Manager, Tiered Storage Manager, および Replication Manager のメッセージは, GUI, CLI, およびログファイルなどに出力されます。出力されるメッセージは, メッセージ ID とメッセージテキストから構成されます。

メッセージを出力するコンポーネントによっては, 日付, 時刻, プログラム名などが出力される場合もあります。

1.2 メッセージ ID の形式と種類

メッセージ ID の形式を次に示します。

プレフィックス *nnnnn-Z*

メッセージ ID は次の要素から構成されます。

プレフィックス

メッセージの出力元コンポーネントを示します。プレフィックスとコンポーネントの関係は, 「表 1-1 プレフィックスとメッセージ ID の種類」を参照してください。

nnnnn

メッセージの通し番号を示します。

Z

メッセージの種類を示します。プレフィックスが DRM-, KAID, および RPM-から始まるメッセージは種類を出力しません。メッセージの種類と意味を次に示します。

I (Information) ユーザーに情報を通知するメッセージです。

Q (Question) ユーザーに応答を促すメッセージです。

W (Warning) 処理は続行されますが, 制限があることをユーザーに通知するメッセージです。

E (Error) 処理が続行できないエラーをユーザーに通知するメッセージです。

表 1-1 プレフィックスとメッセージ ID の種類

プレフィックス	メッセージ ID の説明
DRM-	Replication Manager Application Agent に関するメッセージです。
KAIB	Hitachi Command Suite 製品のインストーラーに関するメッセージです。
KAIC	Device Manager に関するメッセージです。 メッセージの番号と対応する機能は次のとおりです。 KAIC00000~KAIC09999 : サーバ機能に関するメッセージ KAIC10000~KAIC19999 : GUI に関するメッセージ KAIC20000~KAIC29999 : Device Manager エージェントに関するメッセージ KAIC30000~KAIC39999 : トレースメッセージ KAIC40000~KAIC49999 : CLIEX に関するメッセージ KAIC60000~KAIC69999 : トレースメッセージ KAIC70000~KAIC79999 : GUI に関するメッセージ KAIC90000~KAIC99999 : CLI に関するメッセージ
KAID	Device Manager が出力するアラートです。
KAIE	Device Manager エージェントに関するメッセージです。
KAIG	Host Data Collector に関するメッセージです。
KAPM	Hitachi Command Suite 共通コンポーネントに関するメッセージです。
KAQB	ファイルサーバに関するメッセージです。

プレフィックス	メッセージ ID の説明
KAQG	これらのメッセージについては、ファイルサーバのメッセージマニュアルを参照してください。
KAQK	
KAQM	
KAQR	
KAQS	
KAQV	
KATS	Tiered Storage Manager に関するメッセージです。 メッセージの番号と対応する機能は次のとおりです。 KATS10000~KATS19999：CLI に関するメッセージ KATS20000~KATS39999：GUI に関するメッセージ KATS40000~KATS99999：サーバ機能に関するメッセージ
KAVN	Replication Manager に関するメッセージです。 メッセージの番号と対応する機能は次のとおりです。 KAVN00000~KAVN00199：共通のメッセージ KAVN00200~KAVN00399：GUI に関するメッセージ KAVN00400~KAVN00799：サーバ機能に関するメッセージ KAVN01800~KAVN01899：Device Manager エージェントに関するメッセージ KAVN02300~KAVN02499：共通のメッセージ KAVN02500~KAVN02999：サーバ機能に関するメッセージ KAVN03000~KAVN03399：Replication Manager Application Agent に関するメッセージ KAVN10000~KAVN19999：監査ログに関するメッセージ
KAVX	Replication Manager Application Agent に関するメッセージです。
KDJE	Hitachi Command Suite 共通コンポーネントに関するメッセージです。
KFPA	HiRDB に関するメッセージです。
KFPC	
KFPD	
KFPH	
KFPI	
KFPK	
KFPL	
KFPO	
KFPR	
KFPS	
KFPU	
KFPX	
RPM-	Replication Manager に関するメッセージです。 メッセージの番号と対応する機能は次のとおりです。 RPM-00000~RPM-00199：共通のメッセージ RPM-00200~RPM-00399：GUI に関するメッセージ RPM-00400~RPM-00599：サーバ機能に関するメッセージ RPM-00600~RPM-00799：監視機能に関するメッセージ RPM-00800~RPM-00999：データベース機能に関するメッセージ RPM-01000~RPM-01199：Device Manager に関するメッセージ RPM-01400~RPM-01599：Business Continuity Manager および Mainframe Agent に関するメッセージ RPM-01600~RPM-01799, RPM-03300~RPM-03499：Device Manager エージェントに関するメッセージ RPM-03700~RPM-04099：Replication Manager Application Agent に関するメッセージ

プレフィックス	メッセージIDの説明
	RPM-04500～RPM-04999：サーバ機能に関するメッセージ RPM-10000～RPM-29999：Replication Manager Application Agent に関するメッセージ

推奨する対処を2章以降で説明します。対処に「顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。」と記載されているメッセージが出力された場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。マニュアル「*Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド*」またはマニュアル「*Hitachi Command Suite Replication Manager Software システム構成ガイド*」を参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。

1.3 このマニュアルで使用している用語について

このマニュアルでは、次に示す用語を適宜読み替えてください。

表 1-2 このマニュアルで使用している用語の対応関係

このマニュアルでの表記	Hitachi Command Suite 製品およびほかのマニュアルでの表記
PDEV	ドライブ
アレイグループ	パリティグループ
アレイファミリー	<ul style="list-style-type: none"> ストレージシステムのファミリー ストレージシステムファミリー
アレイ名	ストレージシステム名
サブシステム	ストレージシステム
ストレージサブシステム	ストレージシステム
ディスク	ドライブ
バックアップ	レプリカ
ホストストレージドメイン	ホストグループ

このマニュアルでは、Dynamic Provisioning 機能に関する構成要素を次のとおり表記します。

- Hitachi Dynamic Tiering (HDT) の DP プールを示す場合、HDT プールと表記します。
- Hitachi Dynamic Provisioning (HDP) の DP プールボリュームを示す場合、HDP プールボリュームと表記します。
- Hitachi Dynamic Tiering (HDT) の DP ボリュームを示す場合、HDT ボリュームと表記します。

DRM で始まるメッセージ

この章では、Replication Manager Application Agent に関するメッセージについて説明します。

DRM で始まるメッセージは、Replication Manager を使用している環境によってメッセージが出力された要因、および対処が異なる場合があります。Replication Manager を GUI で使用している場合は、「説明」欄の「(GUI の場合)」を参照してください。Replication Manager を CLI で使用している場合は、「説明」欄の「(CLI の場合)」を参照してください。

□ 2.1 DRM-10000～DRM-19999

2.1 DRM-10000～DRM-19999

Replication Manager Application Agent に関するメッセージ (DRM-10000～DRM-19999) を次の表に示します。

表 2-1 DRM-10000～DRM-19999 : Replication Manager Application Agent のメッセージ

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
DRM-10000	排他の処理に失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 処理の実行時に別の処理が実行中だったため排他処理を行いましたが発生しました。</p> <p>対処 しばらく待ってから再度操作を実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 コマンド実行時に別のコマンドが実行されていたため、排他処理をしましたが、エラーが発生しました。</p> <p>対処 しばらく待ってから、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10001	指定されたファイルは使用中です。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 リストア対象が使用中のため処理を続行できませんでした。</p> <p>対処 しばらく待ってから再度操作を実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 リストア対象のファイルが使用中のため、リストア処理を続行できません。</p> <p>対処 しばらく待ってから、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10002	内部エラーが発生しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 ディクショナリマップファイルやレプリカカタログの情報が不整合になったり、壊れたりしたため、未知の内部エラーが発生しました。または、OS システムコール実行中に未知の内部エラーが発生しました。</p> <p>対処 次の順序で Application Agent の動作環境を確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Application Agent の設定で指定した RAID Manager インスタンスの通信相手となる RAID Manager インスタンスが起動済みかどうか。 2. Application Agent の設定で指定したインスタンス番号が適切かどうか。 3. RAID Manager の構成定義ファイル (horcmn.conf) が適切かどうか。 <p>Application Agent の動作環境に問題がない場合は、製品マニュアルのトラブルシューティングの項目に記載された内容を確認し、資料を採取した</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>後、問い合わせ窓口に連絡してください。回復するためには製品のアンインストール後、再度インストールを行う必要があります。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ディクショナリマップファイルやバックアップカタログの情報が不整合になったり、壊れたりしたため、未知の内部エラーが発生しました。または、OS システムコール実行中に未知の内部エラーが発生しました。</p> <p>対処 次の順序で Replication Manager Application Agent の動作環境を確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の HORCMINST パラメーターで指定した RAID Manager インスタンスの通信相手となる RAID Manager インスタンスが起動済みかどうか。 2. RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の HORCMINST パラメーターで指定したインスタンス番号が適切かどうか。 3. RAID Manager の構成定義ファイル (horcmn.conf) が適切かどうか。 <p>Replication Manager Application Agent の動作環境に問題がない場合は、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のトラブルシューティングの説明を参照して、資料を採取したあとで、問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
DRM-10003	バックアップ ID の取得に失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent のデータが破損しているためレプリカ情報を取得できませんでした。</p> <p>対処 製品マニュアルのトラブルシューティングの項目に記載された内容を確認し、資料を採取したあと、問い合わせ窓口ご連絡してください。回復するためには製品のアンインストール後、再度インストールを行う必要があります。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ディクショナリマップファイルやバックアップカタログの情報が不整合になったり、壊れたりしたため、バックアップ ID を取得できませんでした。</p> <p>対処 マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のトラブルシューティングの説明を参照して、資料を採取したあとで、問い合わせ窓口ご連絡してください。回復するためには Replication Manager Application Agent をアンインストールして、再インストールする必要があります。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
DRM-10004	指定されたバックアップ ID に関連するバックアップ情報は存在しません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 指定されたレプリカの詳細情報がありません。</p> <p>対処 ホスト情報の更新を行ってから再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 リストアを実行したり、バックアップ情報を表示したりするときに、コマンドで指定したバックアップ ID に対応するバックアップ情報が存在していませんでした。</p> <p>対処 正しいバックアップ ID を指定してから、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10008	コピーグループのペアステータスが不正です。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 コピーグループのペア状態が不正なため、コマンドが実行できません。 次の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Replication Manager 以外のプログラムからペアボリュームの状態が変更された。 2. ユーザーが不正なオペレーションを実行した。 3. ストレージサブシステムに障害が発生した。 <p>対処 要因に応じて次の対処を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Replication Manager 以外のプログラムからペアボリュームの状態が変更された場合、RAID Manager の pairsplit コマンドを使用してコピーグループのペア状態を PSUS に変更してから、コマンドを再度実行してください。 2. ユーザーが不正なオペレーションを実行した場合は、テープからバックアップデータをリストアするか、正ボリュームからバックアップを取り直すかして、副ボリュームのデータを正しいものにしてください。 3. ストレージサブシステムに障害が発生した場合は、システムログを参照し、対象のボリュームに関して異常を表すメッセージが出力されていないかどうか確認して、障害を取り除いてください。 <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 コピーグループのペア状態が不正なため、コマンドが実行できません。 次の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Replication Manager Application Agent 以外のプログラムからペアボリュームの状態が変更された。 2. ユーザーが不正なオペレーションを実行した。 3. ストレージシステムに障害が発生した。 <p>対処 現象によって次の対処をしてください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>1. Replication Manager Application Agent 以外のプログラムからペアボリュームの状態が変更された場合は、RAID Manager の pairsplit コマンドを使用してコピーグループのペア状態を PSUS に変更してから、コマンドを再度実行してください。</p> <p>2. ユーザーが不正なオペレーションを実行した場合は、テープからバックアップデータをリストアするか、正ボリュームからバックアップを取り直すかして、副ボリュームのデータを正しいものにしてください。バックアップを取り直す場合は次の対処をしてください。</p> <p>次の三つの条件をすべて満たしているときは、RAID Manager の paircreate コマンドを使用して、コピーグループのペア状態を PAIR または PSUS に変更してから、コマンドを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KAVX5106-E と KAVX5118-E が同時に表示された ・KAVX5118-E で表示されたペア状態が PAIR または PSUS ・KAVX5106-E で出力されたコピーグループのペア状態が SMPL <p>次の三つの条件をすべて満たしているときは、RAID Manager の pairsplit コマンドを使用して、コピーグループのペア状態を PSUS または SMPL に変更してから、コマンドを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KAVX5107-E と KAVX5118-E が同時に表示された ・KAVX5118-E で表示されたペア状態が PSUS または SMPL ・KAVX5106-E で出力されたコピーグループのペア状態が PAIR <p>3. ストレージシステムに障害が発生した場合は、システムログを参照し、対象のボリュームに関して異常を表すメッセージが出力されていないかどうか確認して、障害を取り除いてください。</p>
DRM-10009	コピーグループの再同期に失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 バックアップやリストア処理の実行時に、コピーグループの再同期処理に失敗しました。</p> <p>対処 Replication Manager のマニュアルを参照して Replication Manager Application Agent が正しく構成されていることを確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップやリストア処理の実行時に、コピーグループの再同期処理に失敗しました。</p> <p>対処 RAID Manager のログ情報を参照して、RAID Manager のコマンドが失敗した要因を RAID Manager のマニュアルに従って取り除いてください。そのあとに Replication Manager</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>Application Agent のコマンドを再度実行してください。</p> <p>失敗した要因は、Replication Manager Application Agent を実行する構成または設定にある場合があります。マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」の次の事項を参照して、構成および設定を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Application Agent を使用する場合のシステム構成と注意事項 • Application Agent が適用できるボリューム構成 • RAID Manager の設定 • Application Agent の動作の設定 • RAID Manager と連携するための Application Agent の設定
DRM-10010	RAID 構成情報を取得できませんでした。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 RAID Manager のコマンドが RAID 構成情報を取得できませんでした。</p> <p>対処 RAID Manager のコマンドが失敗した要因を RAID Manager のマニュアルに従って取り除いてください。そのあとに再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 RAID Manager のコマンドが RAID 構成情報を取得できませんでした。</p> <p>対処 RAID Manager のログ情報を参照して、RAID Manager のコマンドが失敗した要因を RAID Manager のマニュアルに従って取り除いてください。そのあとに Replication Manager Application Agent のコマンドを再度実行してください。</p> <p>失敗した要因は、Replication Manager Application Agent を実行する構成または設定にある場合があります。マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」の次の事項を参照して、構成および設定を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Application Agent を使用する場合のシステム構成と注意事項 • Application Agent が適用できるボリューム構成 • RAID Manager の設定 • Application Agent の動作の設定 • RAID Manager と連携するための Application Agent の設定
DRM-10011	タイムアウトが発生しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 コピーグループの再同期処理でタイムアウトが発生しました。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 ストレージ装置に過度の負荷が掛かっていないことを確認してから再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップやリストア処理の実行時に、コピーグループのペア状態の確認に時間が掛かり、タイムアウトが発生しました。KAVX5106-E が表示されている場合は、表示結果からエラー対象のコピーグループ名と現時点のペア状態を取得できます。</p> <p>対処 マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のペア状態を確認するためのリトライ回数とリトライ間隔の設定の説明を参照して、リトライ回数とリトライ間隔を再設定してください。KAVX5119-E が表示されている場合は、表示されたパラメータを見て、そのパラメータの値を再設定してください。</p>
DRM-10012	対象のファイルシステムはロックできません。	<p>要因 オンラインバックアップ処理を実行するときに、Solaris の VxFS のファイルシステムに対するロック処理で異常が発生しました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent が提供するトレースログファイルとシステムログを参照し、ファイルシステムについて異常を示すメッセージが出力されていないかを確認してください。</p>
DRM-10013	インストールパス情報の取得に失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Windows システムにおいて、正しく製品がインストールされていないため、製品のインストールパス情報の取得に失敗しました。</p> <p>対処 一旦製品をアンインストールしたあと、製品を再度インストールしてください。再度インストールしても同じ異常が発生する場合、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 Windows システムで、Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていないため、Replication Manager Application Agent のインストールパス情報を取得できませんでした。</p> <p>対処 いったん Replication Manager Application Agent をアンインストールしたあと、Replication Manager Application Agent をインストールし直してください。</p>
DRM-10014	指定されたコピーグループは存在しません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>リストア処理の実行時に、バックアップ情報として登録されたコピーグループが現在の構成に存在していませんでした。</p> <p>対処 コピーグループが正しく定義されているか確認してください。コピーグループが現在の構成に存在しなかった場合は、RAID Manager 構成定義ファイルを確認し、RAID Manager の構成定義が正しく設定されているかを確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 リストア処理の実行時に、バックアップ情報として登録されたコピーグループが現在の構成に存在していませんでした。 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ KAVX5120-E が表示されている場合は、表示結果のコピーグループが現在の構成に定義されていない。 ・ KAVX5121-E が表示されている場合は、対象のコピーグループが一つも現在の構成に定義されていない。 <p>対処 次の順序でコピーグループが正しく定義されているか確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. バックアップ情報として登録されたコピーグループを次のコマンドを使用して確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfscat コマンド ・バックアップ対象が SQL Server データベースの場合 drmsqlcat コマンド ・バックアップ対象が Exchange データベースの場合 drmexgcat コマンド 2. 現在の構成を、次のコマンドを使用して確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfssdisplay コマンド ・バックアップ対象が SQL Server データベースの場合 drmsqldisplay コマンド ・バックアップ対象が Exchange データベースの場合 drmexgdisplay コマンド 3. コピーグループが現在の構成に存在しなかった場合は、RAID Manager 構成定義ファイルを確認し、RAID Manager の構成定義が正しく設定されているかを確認してください。
DRM-10015	RAID 情報の取得に失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent が使用している設定ファイルの更新時に RAID 構成情</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>報を取得できませんでした。または、バックアップサーバでその設定ファイルを更新しようとしてしました。</p> <p>対処</p> <p>バックアップサーバで設定ファイルを更新する必要はありません。データベースサーバで出力された場合には、次のことを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. RAID Manager のログ情報を参照して、RAID Manager のコマンドが失敗していないか確認してください。RAID Manager のコマンドが失敗している場合は、RAID Manager のマニュアルに従って、RAID Manager の構成定義ファイル (<code>horcmn.conf</code>) の修正などを実施し、要因を取り除いてください。そのあとで操作を再度実行してください。 2. マニュアルを参照して Replication Manager Application Agent が正しく構成されていることを確認してください。 <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p> <p>ディクショナリマップファイルの更新時に RAID 構成情報を取得できませんでした。または、バックアップサーバでディクショナリマップファイルを更新しようとしてしました。KAVX0272-E と同時に出力された場合は、バックアップコマンドで <code>-svol_check</code> オプションを指定して実行した結果、バックアップサーバ側での構成情報の取得に失敗しました。</p> <p>対処</p> <p>バックアップサーバでディクショナリマップファイルを更新する必要はありません。データベースサーバで出力された場合には、次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • RAID Manager のログ情報を参照して、RAID Manager のコマンドが失敗していないか確認してください。RAID Manager のコマンドが失敗している場合は、RAID Manager のマニュアルに従って、RAID Manager の構成定義ファイル (<code>horcmn.conf</code>) の修正などを実施し、要因を取り除いてください。そのあとで Replication Manager Application Agent のコマンドを再度実行してください。 • Replication Manager Application Agent を実行する構成および設定が正しいか確認してください。構成および設定については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」の次の事項を参照してください。 Application Agent を使用する場合のシステム構成と注意事項 Application Agent が適用できるボリューム構成 RAID Manager の設定 Application Agent の動作の設定

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>RAID Manager と連携するための Application Agent の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> Hi-Copy または Cross-system Copy を含む環境構成の場合、Hi-Copy または Cross-system Copy のペアボリュームをオンライン状態のまま誤ってペア生成していないかを確認してください。RAID Manager のマニュアルを参照して、操作手順を確認してください。 KAVX0272-E と同時に出力され、バックアップコマンドに <code>-svol_check</code> オプションを指定して実行した場合、バックアップサーバのイベントログに異常を示すメッセージが出力されていないか確認し、要因を取り除いてから再度コマンドを実行してください。
DRM-10016	マウントに失敗しました。	<p>要因</p> <p>バックアップやリストア処理の実行時に、マウントポイントディレクトリが存在しない、またはドライブがすでにマウントされていたなどの理由で、ドライブのマウント操作に失敗しました。KAVX5122-E が表示されている場合は、表示結果がエラー対象の論理ボリュームです。</p> <p>対処</p> <p>次の順序で Replication Manager Application Agent の動作環境を確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の HORCMINST パラメーターで指定した RAID Manager インスタンスの通信相手となる RAID Manager インスタンスが起動済みかどうか。 RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の HORCMINST パラメーターで指定したインスタンス番号が適切かどうか。 RAID Manager の構成定義ファイル (horcmn.conf) が適切かどうか。 <p>Replication Manager Application Agent の動作環境に問題がない場合は、次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 正ボリュームのバックアップ・リストア処理中に、副ボリュームのマウント操作やテープバックアップ・テープリストア操作を実行していないか。 正ボリュームに対して、<code>drmmount</code> コマンドを誤って実行していないか。 マウントポイントディレクトリの指定が正しいか。 <p>マウントポイントディレクトリの指定が正しい場合は、システムログを参照し、OS に異常がないかを確認してください。マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のマウント時の注意事項の説明を確認してください。</p>
DRM-10017	指定されたパスはすでにマウントされています。	<p>要因</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>バックアップやリストア処理の実行時に、マウント操作の対象となるドライブがすでにマウントされていたため、処理が続行できませんでした。</p> <p>対処 マウント状態のドライブをいったんアンマウントしてから、コマンドを再度実行してください。それでも同じエラーが発生する場合は、システムログを参照し、OS に異常がないかを確認してください。</p>
DRM-10018	指定されたパスが無効です。	<p>(GUI の場合) 要因 Replication Manager Server と Replication Manager Application Agent の間で一部の情報に不一致が発生しています。 対処 ホスト情報の更新を行ってから再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 -target オプションや-f オプションでバックアップ対象として指定したパス名が不正です。 対処 正しいパス名を指定して、再度コマンドを実行してください。</p>
DRM-10019	アンマウントに失敗しました。	<p>要因 バックアップやリストア処理の実行時に、ドライブのアンマウントに失敗しました。KAVX5122-E または KAVX5123-E が表示されている場合は、表示結果がエラー対象の論理ボリュームです。</p> <p>対処 次の順序で Replication Manager Application Agent の動作環境を確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の HORCMINST パラメーターで指定した RAID Manager インスタンスの通信相手となる RAID Manager インスタンスが起動済みか。 2. RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の HORCMINST パラメーターで指定したインスタンス番号が適切か。 3. RAID Manager の構成定義ファイル (horcmn.conf) が適切か。 4. 正ボリュームへのバックアップまたはリストア時に表示され、クラスタソフトウェアに Veritas Cluster Server for Windows を使用しているとき、drmclusinit コマンドで登録したクラスタ情報が正しく設定されているか。 <p>Replication Manager Application Agent の動作環境に問題がない場合は、次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正ボリュームのバックアップ・リストア処理中に、副ボリュームのマウント操作やテープバックアップ・テープリストア操作を実行していないか。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> アンマウント対象のドライブが使用されていないか。 コマンドを実行するワークディレクトリがアンマウントの対象となるドライブ上にないか。 <p>アンマウントするドライブ上にワークディレクトリがある場合、アンマウントできません。アンマウントの指定が正しい場合は、システムログを参照し、OS に異常がないかを確認してください。マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のマウント時の注意事項の説明を確認してください。</p>
DRM-10020	コピーグループのペア生成に失敗しました。	<p>(GUI の場合) 要因 バックアップやリストア処理の実行時に、コピーグループのペア生成に失敗しました。 対処 RAID Manager のログ情報を参照して、RAID Manager のコマンドが失敗した要因を RAID Manager のマニュアルに従って取り除いてください。そのあとに操作を再度実行してください。再度このエラーが発生する場合は、Replication Manager のマニュアルを参照して Replication Manager Application Agent が正しく構成されていることを確認してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 バックアップやリストア処理の実行時に、コピーグループのペア生成に失敗しました。 KAVX5120-E が表示されている場合は、表示結果がエラー対象のコピーグループです。 対処 RAID Manager のログ情報を参照して、RAID Manager のコマンドが失敗した要因を RAID Manager のマニュアルに従って取り除いてください。そのあとに Replication Manager Application Agent のコマンドを再度実行してください。 失敗した要因は、Replication Manager Application Agent を実行する構成または設定にある場合があります。マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」の次の事項を参照して、構成および設定を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> Application Agent を使用する場合のシステム構成と注意事項 Application Agent が適用できるボリューム構成 RAID Manager の設定 Application Agent の動作の設定 RAID Manager と連携するための Application Agent の設定
DRM-10021	コピーグループの再同期に失敗しました。	<p>(GUI の場合) 要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>バックアップやリストア処理の実行時に、コピーグループの再同期に失敗しました。</p> <p>対処</p> <p>RAID Manager のログ情報を参照して、RAID Manager のコマンドが失敗した要因を RAID Manager のマニュアルに従って取り除いてください。そのあとに操作を再度実行してください。再度このエラーが発生する場合は、Replication Manager のマニュアルを参照して Replication Manager Application Agent が正しく構成されていることを確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p> <p>バックアップやリストア処理の実行時に、コピーグループの再同期に失敗しました。KAVX5120-E が表示されている場合は、表示結果がエラー対象のコピーグループです。</p> <p>対処</p> <p>RAID Manager のログ情報を参照して、RAID Manager のコマンドが失敗した要因を RAID Manager のマニュアルに従って取り除いてください。そのあとに Replication Manager Application Agent のコマンドを再度実行してください。</p> <p>失敗した要因は、Replication Manager Application Agent を実行する構成または設定にある場合があります。マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」の次の事項を参照して、構成および設定を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Application Agent を使用する場合のシステム構成と注意事項 • Application Agent が適用できるボリューム構成 • RAID Manager の設定 • Application Agent の動作の設定 • RAID Manager と連携するための Application Agent の設定
DRM-10022	コピーグループのペア分割に失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p> <p>バックアップやリストア処理の実行時に、コピーグループのペア分割に失敗しました。</p> <p>対処</p> <p>RAID Manager のログ情報を参照して、RAID Manager のコマンドが失敗した要因を RAID Manager のマニュアルに従って取り除いてください。そのあとに操作を再度実行してください。再度このエラーが発生する場合は、Replication Manager のマニュアルを参照して Replication Manager Application Agent が正しく構成されていることを確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p> <p>バックアップやリストア処理の実行時に、コピーグループのペア分割に失敗しました。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>KAVX5120-E が表示されている場合は、表示結果がエラー対象のコピーグループです。</p> <p>対処</p> <p>RAID Manager のログ情報を参照して、RAID Manager のコマンドが失敗した要因を RAID Manager のマニュアルに従って取り除いてください。そのあとに Replication Manager Application Agent のコマンドを再度実行してください。</p> <p>失敗した要因は、Replication Manager Application Agent を実行する構成または設定にある場合があります。マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」の次の事項を参照して、構成および設定を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Application Agent を使用する場合のシステム構成と注意事項 • Application Agent が適用できるボリューム構成 • RAID Manager の設定 • Application Agent の動作の設定 • RAID Manager と連携するための Application Agent の設定
DRM-10023	ドライブ管理情報の再構成に失敗しました。	<p>要因</p> <p>バックアップやリストア処理の実行時に、論理ボリュームマネージャーのドライブ管理情報を再構成する処理で異常が発生しました。</p> <p>対処</p> <p>副ボリュームのマウント・アンマウントやテープバックアップ・テープリストアの処理中にメッセージが表示された場合は、使用する副ボリュームまたは副ボリュームを含むディスクグループを使用しているプロセスがないかどうかを確認してください。</p> <p>ボリューム間のバックアップ・リストアの処理中にメッセージが表示された場合は、次の順序で Replication Manager Application Agent の動作環境を確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. バックアップやリストア処理で使用した物理ドライブボリュームが rootdg ディスクグループに所属していないか。 2. 論理ボリュームマネージャーのトレースログに、論理ボリュームマネージャーのエラー情報が出力されているか。 <p>物理ドライブが rootdg ディスクグループに所属していた場合は、rootdg ディスクグループから、バックアップやリストアの対象となる物理ドライブを削除してください。</p>
DRM-10026	コピーグループのステータスを取得できませんでした。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p> <p>バックアップやリストア処理の実行時に、コピーグループのペア状態が確認できませんでした。</p> <p>対処</p> <p>バックアップ対象のインスタンスが停止している場合は、インスタンスを起動してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>Replication Manager のマニュアルを参照して Replication Manager Application Agent が正しく構成されていることを確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p> <p>バックアップやリストア処理の実行時に、コピーグループのペア状態が確認できませんでした。KAVX5120-E が表示されている場合は、表示結果がエラー対象のコピーグループです。コピーグループのペア状態は、次の場合に取得できなくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> バックアップ対象のインスタンスが停止している場合 バックアップ対象のオブジェクトを含むコピーグループが、複数インスタンスに管理されている場合 <p>対処</p> <p>次の順序で Replication Manager Application Agent の動作環境を確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の HORCMINST パラメーターで指定した RAID Manager インスタンスの通信相手となる RAID Manager インスタンスが起動済みかどうか。 RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の HORCMINST パラメーターで指定したインスタンス番号が適切か。 RAID Manager の構成定義ファイル (horcmn.conf) が適切か。 <p>Replication Manager Application Agent の動作環境に問題がない場合は、RAID Manager の設定、または一括定義ファイルが正しいか確認してください。設定が正しい場合は、RAID Manager のログ情報を参照し、問題がないかを確認してください。</p> <p>また、コピーグループのペア状態が取得できなかった要因に応じて、それぞれ次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> バックアップ対象のインスタンスが停止している場合は、インスタンスを起動してください。 バックアップ対象が複数インスタンスに管理されている場合は、一括定義ファイルの内容を修正してください。
DRM-10027	一つの物理ドライブ上に複数の論理ドライブが存在します。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p> <p>バックアップ対象のマウントポイントディレクトリに対応する論理ドライブが所属する物理ドライブに、別の論理ドライブが含まれているため、バックアップを実行できません。</p> <p>対処</p> <p>論理ボリュームマネージャーを使用して、ボリュームの構成を変更してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p> <p>バックアップ対象のマウントポイントディレクトリに対応する論理ドライブが所属する物理ド</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>ライブに、別の論理ドライブが含まれているため、バックアップを実行できません。</p> <p>対処 論理ボリュームマネージャーを使用して、ボリュームの構成を変更してください。</p>
DRM-10028	指定されたファイルまたはディレクトリは RAID 装置上に存在しません。	<p>(GUI の場合) 要因 バックアップ対象として指定したファイルまたはディレクトリのパス名が、RAID 装置上のディスクにありませんでした。 対処 RAID 装置上のパス名を指定して、コマンドを再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 -target オプションや-f オプションでバックアップ対象として指定したファイルまたはディレクトリのパス名が、RAID 装置上のドライブにありませんでした。 対処 RAID 装置上のパス名を指定して、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10031	同じコピーグループに複数のマウントポイントが存在します。	<p>(GUI の場合) 要因 バックアップ対象のマウントポイントディレクトリに対応する論理ドライブが所属する物理ドライブに、別の論理ドライブが含まれているため、バックアップを実行できません。 対処 論理ボリュームマネージャーを使用して、ボリュームの構成をバックアップできる構成に変更してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 バックアップ対象のマウントポイントディレクトリに対応する論理ドライブが所属する物理ドライブに、別の論理ドライブが含まれているため、バックアップを実行できません。 対処 論理ボリュームマネージャーを使用して、ボリュームの構成をバックアップが可能な構成に変更してください。</p>
DRM-10032	指定されたファイルまたはディレクトリはバックアップされていません。	<p>(GUI の場合) 要因 指定したファイルまたはディレクトリはバックアップされていません。 対処 バックアップしたファイルまたはディレクトリを確認し、正しいパス名を指定したあと、リストア操作を再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 リストアコマンドの実行時に、-target オプションや-f オプションで指定したファイルまたはディレクトリはバックアップされていません。 対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		バックアップしたファイルまたはディレクトリを確認し、正しいパス名を指定したあと、リストアコマンドを再度実行してください。
DRM-10033	指定されたファイルまたはディレクトリのパス名が無効です。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 指定したファイルまたはディレクトリのパス名が不正でした。</p> <p>対処 バックアップを実行したファイルまたはディレクトリを確認し、正しいパス名を指定して、リストア操作を再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 リストアコマンドの実行時に、-target オプションや-f オプションで指定したファイルまたはディレクトリのパス名が不正でした。</p> <p>対処 バックアップを実行したファイルまたはディレクトリを確認し、正しいパス名を指定して、リストアコマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10034	指定されたインスタンスに関連するファイルシステムがマウントされていません。	<p>要因 バックアップやリストア時に、指定されたインスタンスに関連するファイルシステムがマウントされていませんでした。</p> <p>対処 バックアップやリストア対象のファイルシステムをマウントしてから、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10035	一つの論理ディスクグループ中に正ボリュームと副ボリュームが混在しています。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 一つの論理ディスクグループ中に、コピーグループの正ボリュームと副ボリュームが混在しています。このボリューム構成では、バックアップやリストアを実行できません。</p> <p>対処 正ボリュームと副ボリュームを別のディスクグループに分けてから、操作を再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 一つの論理ディスクグループ中に、コピーグループの正ボリュームと副ボリュームが混在しています。このボリューム構成では、Replication Manager Application Agent でバックアップやリストアを実行できません。</p> <p>対処 正ボリュームと副ボリュームを別のディスクグループに分けてから、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10036	指定されたバックアップ対象オブジェクトは、バックアップ先の副ボリュームを特定できません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 バックアップ実行時にコピーグループを特定できませんでした。</p> <p>対処</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>RAID Manager を使用して、コピーグループを正しく定義してから、操作を再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p> <p>バックアップ実行時に、次のどれかの理由によってコピーグループを決定できなかった場合に表示されるメッセージです。</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • KAVX5124-E の要因が DRM-10082 の場合 現在の構成で、バックアップ対象として指定したボリュームにコピーグループが定義されていない。 • KAVX5124-E の要因が DRM-10099 の場合 コピーグループがロックされているため、利用できるコピーグループが存在しない。 • KAVX5124-E の要因が DRM-10300 の場合 選択可能なコピーグループが一つも定義されていない。または、サポート対象外のコピー種別のコピーグループだけが定義されている。 • KAVX5124-E の要因が DRM-10301 の場合 ディスクグループ内のコピーグループの数が各物理ドライブで異なっている。 <p>対処</p> <p>要因に応じて、それぞれ次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • KAVX5124-E の要因が DRM-10082 の場合 RAID Manager を使用して、コピーグループを定義してから、コマンドを再度実行してください。 • KAVX5124-E の要因が DRM-10099 の場合 バックアップ対象として指定したボリュームのコピーグループを次のコマンドで確認し、<code>drmcgctl</code> コマンドでロックを解除してからコマンドを再度実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・バックアップ対象がファイルシステムの場合 <code>drmfssdisplay -cf</code> ・バックアップ対象が SQL Server データベースの場合 <code>drmsqldisplay -cf</code> ・バックアップ対象が Exchange データベースの場合 <code>drmexgdisplay -cf</code> • KAVX5124-E の要因が DRM-10300 の場合 RAID Manager を使用して、コピーグループを定義してから、コマンドを再度実行してください。 または次のコマンドを実行して、Replication Manager Application Agent でサポートしているコピー種別であることを確認してからコマンドを再度実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・バックアップ対象がファイルシステムの場合 <code>drmfssdisplay -cf</code>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> バックアップ対象が SQL Server データベースの場合 drmsqldisplay -cf バックアップ対象が Exchange データベースの場合 drmexgdisplay -cf <p>・ KAVX5124-E の要因が DRM-10301 の場合 RAID Manager を使用して、コピーグループを正しく定義してから、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10037	マウントポイントが長過ぎます。	<p>(GUI の場合) 要因 指定したマウントポイントディレクトリ名が 255 文字を超えています。 対処 マウントポイントディレクトリ名には、255 文字以下の文字列を指定してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 指定したマウントポイントディレクトリ名が 255 文字を超えています。 対処 マウントポイントディレクトリ名には、255 文字以下の文字列を指定してください。</p>
DRM-10038	ディスクグループ名称が長過ぎます。	<p>(GUI の場合) 要因 指定したディスクグループ名が 28 文字を超えています。 対処 ディスクグループ名には、28 文字以下の文字列を指定してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 ディスクグループ名が最大長を超えています。 対処 ディスクグループ名には最大文字列長以下の文字列を指定してください。 ディスクグループ名の最大文字列長は 28 文字です。</p>
DRM-10039	操作対象の副ボリュームがすでにマウントされています。	<p>(GUI の場合) 要因 Replication Manager Server と Replication Manager Application Agent の間で一部の情報に不一致が発生しています。 対処 ホスト情報の更新を行ってから再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 バックアップまたはリストアしようとしたが、すでに副ボリュームがマウントされています。 対処 バックアップまたはリストア対象の副ボリュームをアンマウントしてください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
DRM-10040	クラスタリソースをオフラインにできませんでした。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 クラスタ環境で、クラスタリソースをオフライン状態にできませんでした。</p> <p>対処 クラスタ製品に問題が発生していないかどうか確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 クラスタ環境で、クラスタリソースをオフライン状態にできませんでした。</p> <p>対処 次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> クラスタソフトウェアが Veritas Cluster Server for Windows の場合 drmclusinit コマンドで登録したクラスタ情報が正しく設定されているか。 OS が Windows Server 2003 のとき、 Windows Management Instrumentation サービスのスタートアップの種類が無効になっていないか。 スタートアップの種類が無効になっているときは、スタートアップの種類を手動または自動に変更してください。 すべてのクラスタソフトウェア共通 クラスタソフトウェアに問題が発生していないか。 <p>問題がなければ、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のトラブルシューティングの説明を参照して、資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
DRM-10041	クラスタリソースをオンラインにできませんでした。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 クラスタ環境で、クラスタリソースをオンライン状態にできませんでした。</p> <p>対処 クラスタ製品に問題が発生していないかどうか確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 クラスタ環境で、クラスタリソースをオンライン状態にできませんでした。</p> <p>対処 次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> KAVX5137-E と同時に出力された場合 「KAVX5137-E」のエラー要因と対処方法を参照してください。 クラスタソフトウェアが Veritas Cluster Server for Windows の場合 drmclusinit コマンドで登録したクラスタ情報が正しく設定されているか。 すべてのクラスタソフトウェア共通 クラスタソフトウェアに問題が発生していないか。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		問題がなければ、マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i> 」のトラブルシューティングの説明を参照して、資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-10042	正ボリュームのチェックディスクに失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 クラスタ環境で、正ボリュームの <code>chkdsk</code> コマンドの実行でエラーが発生しました。</p> <p>対処 システムログを参照し、問題が発生していないかどうか確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 クラスタ環境で、正ボリュームの <code>chkdsk</code> コマンドの実行でエラーが発生しました。</p> <p>対処 システムログを参照し、問題が発生していないかどうか確認してください。 問題がなければ、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のトラブルシューティングの説明を参照して、資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
DRM-10043	クラスタ情報の取得に失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 指定したマウントポイントがクラスタサーバに存在するかどうかの調査に失敗しました。</p> <p>対処 クラスタ製品に問題が発生していないかどうか確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 指定したマウントポイントがクラスタサーバに存在するかどうかの調査に失敗しました。</p> <p>対処 クラスタソフトウェアに問題が発生していないかどうか確認してください。 問題がなければ、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のトラブルシューティングの説明を参照して、資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
DRM-10045	一つの論理ディスクグループ中にクラスタ管理下のボリュームと管理外のボリュームが混在しています。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 一つの論理ディスクグループ中に、クラスタサーバ管理下のボリュームと管理外のボリュームが混在しています。この構成では、再同期でリストアできません。</p> <p>対処 同一の論理ディスクグループに存在するボリュームについては、クラスタサーバで管理する</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>かどうかを統一したあとで、操作を実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 一つの論理ディスクグループ中に、クラスタサーバ管理下のボリュームと管理外のボリュームが混在しています。この構成では、再同期でリストアできません。</p> <p>対処 同一の論理ディスクグループに存在するボリュームについては、クラスタサーバで管理するかどうかを統一したあとで、コマンドを実行してください。</p>
DRM-10047	再同期によるリストアに失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 リストア対象のファイルが不足しています。</p> <p>対処 すべてのファイルがリストア対象になるようにリストア対象を追加してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 リストア対象のファイルを指定するときに、バックアップしたファイルの一部が指定されていませんでした。</p> <p>対処 KAVX5125-E が表示されている場合は、表示結果に指定されていないファイル名とそのディスクグループ名が表示されます。ディスクグループ名は論理ボリュームマネージャー導入環境の場合に表示されます。ベーシックディスク構成の場合は、ディスクグループ名に「-」が表示されます。リストア対象のファイルを指定するときに、バックアップしたすべてのファイルを指定し、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10049	ファイルシステムの同期に失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 次の要因が考えられます。 DRM-10302 が同時に表示されている場合、マウントポイント名を基にボリューム名を取得する処理に失敗しました。 DRM-10303 が同時に表示されている場合、ファイルシステムの間中バッファのフラッシュに失敗しました。 DRM-10304 が同時に表示されている場合、フラッシュを行う論理ボリュームのオープンに失敗しました。</p> <p>対処 システムログを参照し、対象のファイルシステムに関する異常なメッセージが出力されていないかどうか確認してください。問題が解決しない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 次の要因が考えられます。 ・ KAVX5126-E の要因が DRM-10302 の場合</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>マウントポイント名を基にボリューム名を取得する処理に失敗しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • KAVX5126-E の要因が DRM-10303 の場合ファイルシステムの間中バッファのフラッシュに失敗しました。 • KAVX5126-E の要因が DRM-10304 の場合ファイルシステムの間中バッファのフラッシュに失敗しました。 <p>対処 システムログを参照し、対象のファイルシステムに関して異常を表すメッセージが出力されていないかを確認して、要因を取り除いてください。</p>
DRM-10050	指定されたマウントポイントは、すでにマウントされています。	<p>(GUI の場合) 要因 クラスタ環境下で、手動でマウントが行われているディレクトリに対して、リシンクまたはリストアを行っています。 対処 リストア対象マウントポイントをアンマウントしてください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 クラスタソフトウェアによってクラスタリソースとして管理されているファイルシステムが、すでにマウントされているため、再同期によってリストアできません。 対処 クラスタ環境で再同期によってリストアするためには、リストア対象のファイルシステムを一度アンマウントしたあと、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10052	RAID Manager の起動に失敗しました。	<p>(GUI の場合) 要因 RAID Manager の起動処理に失敗しました。 対処 RAID 管理ソフトウェアの設定を見直してください。見直したあと正しければ、RAID 管理ソフトウェアのログ情報を参照し、問題がないかどうかを確認してください。問題が判明しない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 RAID Manager インスタンスの起動に失敗しました。 KAVX5127-E が表示されている場合、表示結果が起動に失敗したインスタンス番号です。表示されているインスタンス番号が「-」の場合は、RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の HORCMINST パラメーターで指定したインスタンス番号がエラー対象です。 対処 次の順序で Replication Manager Application Agent の動作環境を確認してください。 1. RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の HORCMINST パラメー</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>ターで指定した RAID Manager インスタンスの通信相手となる RAID Manager インスタンスが起動済みかどうか。</p> <p>2. RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の HORCMINST, または HORCMINST_AUX パラメーターで指定したインスタンス番号が適切かどうか。</p> <p>3. 環境変数 DRM_HORCMINST, または DRM_HORCMINST_AUX を定義している場合は, 環境変数に指定したインスタンス番号が RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の HORCMINST または HORCMINST_AUX の各パラメーターに設定されているかどうか。</p> <p>4. RAID Manager の構成定義ファイル (horcmn.conf) が適切かどうか。</p> <p>Replication Manager Application Agent の動作環境に問題がない場合は, RAID Manager のトレースログと RAID Manager 構成定義ファイルを確認し, RAID Manager の構成定義が正しく設定されているかを確認してください。</p>
DRM-10053	RAID Manager の停止に失敗しました。	<p>(GUI の場合) 要因 RAID Manager の停止処理に失敗しました。 対処 RAID 管理ソフトウェアの設定を見直してください。見直したあと正しければ, RAID 管理ソフトウェアのログ情報を参照し, 問題がないかどうかを確認してください。問題が判明しない場合, 問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 RAID Manager インスタンスの停止に失敗しました。 対処 KAVX5127-E が表示されている場合, 表示結果が停止に失敗したインスタンス番号です。RAID Manager のトレースログを確認し, 異常がないかを確認してください。</p>
DRM-10054	正ボリュームと副ボリュームのパス構成が不正です。	<p>(GUI の場合) 要因 マルチパス構成において正ボリュームに対する副ボリュームの物理パスが多く設定されています。 対処 副ボリュームの物理パス設定は正ボリュームの物理パスと同じかそれ以下の数で設定してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 論理ボリュームマネージャーのマルチパス構成で正ボリュームに対する副ボリュームの物理パスが多く設定されている場合に出力されるメッセージです。 対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		副ボリュームの物理パス設定は、正ボリュームの物理パスと同じかそれ以下の数で設定してください。
DRM-10055	ボリュームグループ情報の復元に失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 ボリュームグループ情報の復元に失敗しました。</p> <p>対処 バックアップサーバ上でボリュームグループ情報を登録し直してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 論理ボリュームマネージャーのボリュームグループ情報の復元に失敗した場合に出力されるメッセージです。論理ボリュームマネージャーのボリュームグループの管理情報が書き換わってしまったため、バックアップサーバからボリュームグループが認識できない状態になっています。</p> <p>対処 バックアップサーバで論理ボリュームマネージャーを使用して、ボリュームグループの管理情報を登録し直してください。</p>
DRM-10058	コピーグループの重複を検出しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 異なるインスタンスで RAID Manager の構成定義ファイルに同じコピーグループが記述されています。</p> <p>対処 RAIDManager のコピーグループ名が重複していないかどうか確認してください。重複がある場合は、コピーグループ名が重複しないように RAID Manager の設定を変更したあとに再起動してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 異なったインスタンスで RAID Manager の構成定義ファイルに同じコピーグループ名を記述した場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 RAID Manager のコピーグループ名が重複していないかどうかを確認してください。重複している場合は、コピーグループ名が重複しないように RAID Manager の設定を変更したあと、RAID Manager のインスタンスを再起動してください。</p>
DRM-10059	RAID 管理ソフトウェアと連携するための定義ファイル(DEFAULT.dat)に対する処理でエラーが発生しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Windows システムにおいて、正しく製品がインストールされていないため、Replication Manager Application Agent が使用する RAID Manager 関連のファイルがない、またはファイルの記述内容が誤っています。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent が使用する RAID Manager 関連のファイルがあるかどうかを確認してください。ファイルがない場合</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>は Replication Manager Application Agent をアンインストールしたあと、再度インストールしてください。ファイルがある場合は記述内容を確認し、再実行してください。問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 正しく製品がインストールされていないで、RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) が存在しない場合、または RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の記述内容が誤っている場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) が存在するかどうかを確認し、存在しない場合は、同じディレクトリ内に存在する DEFAULT.dat.model ファイルを DEFAULT.dat ファイルとしてコピーし、内容を修正してください。DEFAULT.dat.model ファイルも存在しない場合は、Replication Manager Application Agent をアンインストールしたあと、再度インストールしてください。存在する場合は RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の記述内容を確認し、再度実行してください。同じ異常が発生する場合、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
DRM-10061	対象のコピーグループが異なる RAID Manager インスタンスで管理されています。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 対象のコピーグループが異なるインスタンスで管理されています。</p> <p>対処 対象のコピーグループは、一つの RAID Manager インスタンスで管理されている必要があります。 RAID Manager の設定が正しいか確認し、正しいインスタンスに設定したあと、コマンドを再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップやリストア対象のコピーグループは、一つの RAID Manager インスタンスで管理されている必要があります。</p> <p>対処 RAID Manager の構成定義ファイルの内容が正しいか確認し、正しいインスタンスを設定したあと、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10062	対象のマウントポイント配下に複数の論理ドライブが存在します。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 対象のマウントポイント配下のディレクトリに別の論理ドライブに対応しているマウントポイントが含まれています。</p> <p>対処 処理対象のマウントポイント配下のディレクトリに別の論理ドライブに対応しているマウント</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>ポイントが含まれているため、処理を続行できません。ボリュームの構成を確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 マウントポイントディレクトリに別の論理ドライブに対応しているマウントポイントが含まれています。</p> <p>対処 ボリュームの構成を確認してください。 KAVX5132-E が表示されている場合は表示されているマウントポイントが、エラー対象となった最上位のマウントポイントです。 例えば次のような場合にエラーとなります。 E: と E:\mnt の二つのマウントポイントが存在するとき、E: を指定することはできません。バックアップ対象のボリューム構成を変更してください。</p>
DRM-10063	副ボリュームが正ボリュームと同じホストで管理されています。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 コピーグループの正ボリュームと副ボリュームの両方が、コマンド実行ホストのボリュームとして管理されています。</p> <p>対処 コピーグループの正ボリュームと副ボリュームの両方が、コマンド実行ホストのボリュームとして管理されているため、処理を続行できません。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 コピーグループの正ボリュームと副ボリュームが、コマンド実行ホストのボリュームとして管理されています。</p> <p>対処 正ボリュームと副ボリュームを別のコマンド実行ホストのボリュームに分けてから、コマンドを実行してください。</p>
DRM-10064	一つのボリュームに複数のマウントポイントが存在します。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 対象のマウントポイントにマウントされた物理ドライブがほかのマウントポイントにマウントされています。</p> <p>対処 処理対象のマウントポイントにマウントされたボリュームにほかのマウントポイントが存在するため、処理を続行できません。ボリュームの構成を確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 マウントポイントドライブがほかのマウントポイントにマウントされています。</p> <p>対処 ボリュームの構成を確認してください。</p>
DRM-10065	バックアップ情報として登録された処理対象ボリュームの LDEV 番号または SERIAL 番号が現在の構成と一致しません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 バックアップ情報として登録された処理対象ボリュームの LDEV 番号または SERIAL 番号が現在の構成と不整合です。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 バックアップ情報として登録された処理対象ボリュームの LDEV 番号または SERIAL 番号が現在の構成と不整合であるため、処理を続行できません。バックアップ時のボリューム構成に変更がないことを確認してください。バックアップ時のボリューム構成を確認後、RAID Manager コマンドなどを使用し、現在のボリューム構成を確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 現在の構成はバックアップ情報の処理対象ボリュームの LDEV 番号または SERIAL 番号ではありません。KAVX5128-E が表示されている場合、表示結果がバックアップカタログに登録されていた処理対象ボリュームの LDEV 番号、SERIAL 番号です。論理ボリュームマネージャ導入環境の場合、ディスクグループ名が表示されます。ベーシックディスク構成の場合は、ディスクグループ名に「-」が表示されます。</p> <p>対処 次の順序で、バックアップ時のボリューム構成に変更がないことを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 次のコマンドに -1 オプションを指定して実行し、バックアップ時のボリューム構成を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfscat コマンド ・バックアップ対象が SQL Server データベースの場合 drmsqlcat コマンド ・バックアップ対象が Exchange データベースの場合 drmexgcat コマンド 2. RAID Manager コマンドなどを使用し、現在のボリューム構成を確認してください。 ボリュームを入れ替えて LDEV 番号が変わった場合など、強制的にリストアするときは、-force オプションを指定してコマンドを実行してください。
DRM-10066	処理対象であるマウントポイントの文字列が最大長を超えています。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 処理対象であるマウントポイントディレクトリの文字列が最大長を超えています。</p> <p>対処 処理対象であるマウントポイントディレクトリ名の文字列が最大長を超えているため、処理を続行することができません。マウントポイントディレクトリ名の文字列長を確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 処理対象であるマウントポイントディレクトリの文字列が最大長を超えているため、処理を続行できません。</p> <p>対処</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		マウントポイントディレクトリ名の文字列長を確認してください。
DRM-10067	処理対象の論理ボリューム名が長過ぎます。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 処理対象の論理ボリューム名が長過ぎます。</p> <p>対処 処理対象である論理ボリューム名の文字列が最大長を超えているため、処理を続行することができません。論理ボリューム名の文字列長を確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 処理対象である論理ボリューム名の文字列が最大長を超えているため、処理を続行できません。</p> <p>対処 論理ボリューム名の文字列長を確認してください。 論理ボリューム名の最大文字列長は OS で指定できる最大文字数です。</p>
DRM-10069	コピーグループ情報の取得に失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 RAID 管理ソフトウェアのコマンドにより、コピーグループ情報の取得に失敗しました。</p> <p>対処 RAID 管理ソフトウェアの設定を見直してください。見直したあと、正しければ RAID 管理ソフトウェアのログ情報を参照し、問題がないかどうかを確認してください。問題が判明しない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 RAID Manager のコマンドによって、コピーグループ情報の取得に失敗した場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 RAID Manager のログ情報を参照して、RAID Manager のコマンドが失敗した要因を RAID Manager のマニュアルに従って取り除いてください。そのあとに Replication Manager Application Agent のコマンドを再度実行してください。 失敗した要因は、Replication Manager Application Agent を実行する構成または設定にある場合があります。マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」の次の事項を参照して、構成および設定を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Application Agent を使用する場合のシステム構成と注意事項 • Application Agent が適用できるボリューム構成 • RAID Manager の設定 • Application Agent の動作の設定 • RAID Manager と連携するための Application Agent の設定

メッセージID	メッセージテキスト	説明
DRM-10070	ディクショナリマップファイル更新時にペア生成されていないコピーグループが指定されました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent が使用するファイルの更新時にペア状態が Simplex だったコピーグループをバックアップ・リシンクしました。</p> <p>対処 対象となるコピーグループをペア生成したあと、ホスト情報更新を実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ディクショナリマップファイル更新時に、コピーグループのペア状態が SMPL だったコピーグループをバックアップまたは再同期した場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 RAID Manager の pairresync コマンドを使用して、コピーグループのペア状態を PAIR にして、ディクショナリマップファイルを更新してください。</p>
DRM-10071	ペアステータスが SMPL モードに変更されています。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent が使用するファイルに適切なパラメーターを指定しないで、ペア状態が Simplex のコピーグループをバックアップ、またはリストアしました。</p> <p>対処 RAID Manager の構成定義ファイルと Replication Manager Application Agent が使用するファイルから対象のペア論理ボリュームの定義を削除するか、または、構成定義ファイルと Replication Manager Application Agent が使用するファイルに PAIR_CREATE=ENABLE のパラメーターを指定してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) に PAIR_CREATE=ENABLE パラメーターを指定しないで、コピーグループのペア状態が SMPL のコピーグループをバックアップまたは再同期した場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 次のどれかの方法で対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> RAID Manager 構成定義ファイル (horcmn.conf) から対象のペア論理ボリュームの定義を削除する。 RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) に PAIR_CREATE=ENABLE パラメーターを指定し、ディクショナリマップファイルを更新する。 次の操作でコピーグループをロックして操作対象から外す。 drmcgctl -copy_group <コピーグループ名> -mode lock

メッセージID	メッセージテキスト	説明
DRM-10073	指定されたコピーグループのボリューム複製機能はサポート対象外です。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 サポート対象外であるコピー種別のペアボリューム(コピーグループ)をコマンドの入力として指定しています。</p> <p>対処 コピーグループは、サポート外のボリューム複製機能を利用しています。コピー種別が Hi-Copy / Cross-system copy のペアボリュームをコマンドの処理対象にはすることはできません。コピーグループのコピー種別を確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 コピーグループは、Replication Manager Application Agent がサポートしないボリューム複製機能を利用しています。コピー種別が Hi-Copy / Cross-system copy のペアボリュームを、コマンドの処理対象にはすることはできません。</p> <p>対処 コピーグループのコピー種別を確認してください。 KAVX5120-E が表示されている場合は、表示結果がエラー対象のコピーグループです。</p>
DRM-10074	処理対象のボリュームにデータ保護が設定されています。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 対象のボリュームにデータ保護が設定された状態で、コマンドを実行しています。</p> <p>対処 RAID 管理ソフトウェアでボリュームのアクセス属性を確認し、アクセス制限を解除したあとに再度コマンドを実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 対象のボリュームにデータ保護が設定された状態で、コマンドを実行した場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 RAID Manager でボリュームのアクセス属性を確認し、アクセス制限を解除したあとに再度コマンドを実行してください。</p>
DRM-10075	処理対象となるコピーグループが見つかりません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 処理対象となるコピーグループが、現在の構成に存在していません。</p> <p>対処</p> <ul style="list-style-type: none"> • VSS を使用している場合、システム環境変数 VSHTCHORCMINST_REMOTE に設定されているインスタンス番号を確認してください。 • 処理対象のコピーグループが RAID Manager の構成定義ファイル (horcmn.conf) に定義されているか確認してください。 • RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の HORCMINST パラメーターに処理対象のコピーグループを記述し

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>た RAID Manager の構成定義ファイル (horcmn.conf) のインスタンス番号が定義されているか確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 処理対象となるコピーグループが、現在の構成に存在しない場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 次のどれかの方法で対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • VSS 連携機能を使用している場合、システム環境変数 VSHTCHORCMINST_REMOTE に設定されているインスタンス番号を確認してください。 • 処理対象のコピーグループが RAID Manager に定義されているか確認してください。 • RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の HORCMINST パラメータに、処理対象のコピーグループを記述した RAID Manager の構成定義ファイル (horcmn.conf) のインスタンス番号が定義されているか確認してください。
DRM-10076	RAID 管理ソフトウェアのコマンドの実行でエラーが発生しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 RAID Manager のコマンドの実行時に、エラーが発生しています。</p> <p>対処 RAID 管理ソフトウェアの設定を見直してください。設定が正しい場合は、RAID 管理ソフトウェアのログ情報を参照し、問題がないかどうかを確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 RAID Manager のコマンドの実行時に、エラーが発生した場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 RAID Manager のログ情報を参照し、問題がないかどうかを確認してください。</p>
DRM-10077	RAID 管理ソフトウェアが起動されていません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 処理対象である RAID Manager のインスタンスが停止しています。</p> <p>対処 RAID 管理ソフトウェアの設定を見直してください。設定が正しい場合は、RAID 管理ソフトウェアのログ情報を参照し、問題がないか確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 処理対象の RAID Manager のインスタンスが停止している場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 次のどちらかの方法で対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 処理対象の RAID Manager のインスタンスが停止している場合は、インスタンスを起動してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> DB サーバ側の RAID Manager のインスタンスが停止している場合は、インスタンスを起動してください。 RAID Manager のインスタンスが起動できない場合は、RAID Manager のログ情報を参照し、問題がないか確認してください。
DRM-10080	正ボリュームとして処理しようとしたボリュームが副ボリュームになっています。	(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent が使用するファイルの更新後に処理対象のコピーグループのローカルボリュームが副ボリュームに変更されています。 対処 ローカルボリュームを正ボリュームに変更してください。 (CLI の場合) 要因 ディクショナリマップファイル更新後に処理対象のコピーグループのローカルボリュームが副ボリュームに変更されている場合に表示されるメッセージです。 対処 マニュアル「Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド」を参照して、処理対象のボリュームを正ボリュームにしてください。
DRM-10081	異なるボリューム複製機能を利用したコピーグループを同時に指定することは出来ません。	要因 ストレージシステム内のボリューム複製機能を利用したコピーグループとストレージシステム間のボリューム複製機能を利用したコピーグループを同時に指定した場合に表示されるメッセージです。 対処 コピーグループ一括定義ファイルに記述したコピーグループのコピー種別が混在しないように変更して、再度コマンドを実行してください。コピー種別は、次のコマンドで確認できます。 <ul style="list-style-type: none"> リシンク対象がファイルシステムの場合 drmfdisplay -cf リシンク対象が SQL Server データベースの場合 drmsqldisplay -cf リシンク対象が Exchange データベースの場合 drmexgdisplay -cf
DRM-10082	指定された世代識別名が不正です。	(GUI の場合) 要因 指定された対象世代名(世代識別名)を持つコピーグループがありません。 対処 対象世代名(世代識別名)を確認して再実行してください。 (CLI の場合) 要因

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>指定された世代識別名を持つコピーグループが存在しません。</p> <p>対処 次のコマンドで世代識別名を確認し、コマンドを再度実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfssdisplay -cf • バックアップ対象が SQL Server データベースの場合 drmsqldisplay -cf • バックアップ対象が Exchange データベースの場合 drmemxgdisplay -cf
DRM-10083	RAID 管理ソフトウェアとの連携に必要な準備でエラーが発生しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent が使用するファイルの読み込み処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処 次のどちらかの対処を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. このメッセージが KAVX5100-E と同時に出力された場合、Replication Manager Application Agent が使用するファイルが不足していないか確認してください。 2. このメッセージが KAVX5102-E と同時に出力された場合、Replication Manager Application Agent が使用するファイルのうち関連するファイルの記述内容を確認し、出力されたパラメーターを記述してから、再度コマンドを実行してください。 <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 RAID Manager 用連携定義ファイルまたはコピーパラメーター定義ファイルの読み込み処理でエラーが発生しました。 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • KAVX5100-E と同時に出力された場合 -pf オプションに指定したコピーパラメーター定義ファイルのファイル名が誤っている、または存在していない。 • KAVX5102-E と同時に出力された場合 RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) に出力されたパラメーターが記述されていない。 <p>対処 要因に応じて、次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • KAVX5100-E と同時に出力された場合 -pf オプションに指定したコピーパラメーター定義ファイルが存在するかどうか確認し、正しいコピーパラメーター定義ファイル名を指定して、コマンドを再度実行してください。 • KAVX5102-E と同時に出力された場合 RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の記述内容を確認し、出力

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		されたパラメーターを記述してから、コマンドを再度実行してください。
DRM-10084	コピーグループの選択でエラーが発生しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 バックアップ時のコピーグループ選択でエラーが発生しました。</p> <p>対処 直前に出力されたメッセージの対処方法を参考にしてエラーの発生要因を解決し、コマンドを再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップを実行したときのコピーグループの選択でエラーが発生しました。</p> <p>対処 直前に出力されたメッセージの対処方法を参考にしてエラー発生時の要因を解決し、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10085	レジストリ情報定義ファイルの処理で内部エラーが発生しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent が使用するファイルの読み込みに失敗、またはそのファイルが不正に破壊、改ざんされています。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent を再インストールしてください。回復しない場合は、製品マニュアルのトラブルシューティングの項目に記載された内容を確認し、資料を採取したあと、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 内部ファイル（レジストリ情報定義ファイル）の読み込みに失敗した。 内部ファイル（レジストリ情報定義ファイル）が不正に破壊・改ざんされた。 <p>対処 Replication Manager Application Agent を再インストールしてください。回復しない場合は、マニュアル「Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して、資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
DRM-10086	連携するソフトウェア情報を取得するためのレジストリ読み込みに失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 連携するソフトウェア情報を取得するためのレジストリの読み込みに失敗しました。</p> <p>対処 連携するソフトウェア製品が正しくインストールされているか確認してください。レジストリに異常が見られる場合は OS を再インストールしてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>連携するソフトウェア情報を取得するためのレジストリの読み込みに失敗しました。</p> <p>対処</p> <p>Replication Manager Application Agent と連携するソフトウェア製品が正しくインストールされているかどうか確認してください。</p> <p>レジストリに異常が見られる場合は OS を再インストールしてください。</p>
DRM-10087	連携するソフトウェアのインストールパスが複数検知されました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p> <p>連携するソフトウェアで、バージョンの違うインストールパスが二つ以上見つかりました。</p> <p>対処</p> <p>連携するソフトウェアで、異なるバージョンの製品がインストールされている可能性があります。現在インストールされている製品を確認し、複数のバージョンがある場合は使用していないバージョンをアンインストールしてください。レジストリに異常が見られる場合は、OS を再インストールしてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p> <p>Replication Manager Application Agent に連携するソフトウェアで、バージョンの異なるインストールパスが二つ以上見つかりました。</p> <p>Replication Manager Application Agent と連携するソフトウェア製品で、異なるバージョンの製品がインストールされている可能性があります。</p> <p>対処</p> <p>現在インストールされている製品のバージョンを確認し、複数のバージョンが存在する場合は使用していないバージョンをアンインストールしてください。</p> <p>レジストリに異常が見られる場合は OS を再インストールしてください。</p>
DRM-10088	ディスクグループのデポートに失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p> <p>論理ボリュームマネージャーにより作成されたディスクグループのデポート操作に失敗しました。</p> <p>対処</p> <p>論理ボリュームマネージャーを使用して、ディスクグループの状態を確認してください。ディスクグループの状態が正常であることを確認できない場合は、ディスクグループを再作成してください。ディスクグループの不具合を解消したあと、論理ボリュームマネージャーを使用してディスクグループをインポートし、論理ボリュームを再マウントしてください。</p> <p>バックアップおよびリストア時に表示され、クラスタ製品に VERITAS Cluster Server for Windows を使用している場合は、登録したクラスタ情報に誤りがないか確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>VxVM のディスクグループのデポット操作に失敗した場合に表示されるメッセージです。 KAVX5131-E が表示されているときは、表示結果がエラー対象のディスクグループです。</p> <p>対処 論理ボリュームマネージャーを使用してディスクグループの状態を確認してください。 ディスクグループの状態が正常であることを確認できない場合は、ディスクグループを再度作成してください。 ディスクグループの不具合を解消したら、論理ボリュームマネージャーを使用してディスクグループをインポートし、論理ボリュームを再マウントしてください。 バックアップまたはリストア時に表示され、クラスタソフトウェアに Veritas Cluster Server for Windows を使用している場合は、drmcclusinit で登録したクラスタ情報に誤りがないか確認してください。</p>
DRM-10089	ディスクグループのインポートに失敗しました。	<p>(GUI の場合) 要因 論理ボリュームマネージャーにより作成されたディスクグループのインポート操作に失敗しました。 対処 論理ボリュームマネージャーを使用してディスクグループの状態を確認してください。 ディスクグループが正常なことを確認できない場合は、ディスクグループを再作成してください。 ディスクグループの不具合を解消したあと、論理ボリュームマネージャーを使用してディスクグループをインポートし、論理ボリュームを再マウントしてください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 VxVM のディスクグループのインポート操作に失敗した場合に表示されるメッセージです。 KAVX5131-E が表示されている場合は、表示結果がエラー対象のディスクグループです。 対処 論理ボリュームマネージャーを使用してディスクグループの状態を確認してください。 ディスクグループの状態が正常であることを確認できない場合は、ディスクグループを再度作成してください。 ディスクグループの不具合を解消したら、論理ボリュームマネージャーを使用してディスクグループをインポートし、論理ボリュームを再マウントしてください。</p>
DRM-10090	物理ドライブからの論理ボリュームに関する情報の取得に失敗しました。	<p>(GUI の場合) 要因 論理ボリューム情報を取得する処理に失敗しました。 対処</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>論理ボリュームマネージャーを使用して、物理ドライブに正しく論理ボリュームが定義されているかを確認してください。</p> <p>論理ボリュームが正常なことを確認できない場合は、論理ボリュームをいったん削除し再作成したあと、マウントしてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 物理ドライブから OS の API を使用して取得しようとした論理ボリューム情報が取得できませんでした。</p> <p>KAVX5130-E が表示されている場合は、表示結果がエラー対象の物理ドライブです。</p> <p>対処 論理ボリュームマネージャーを使用して、物理ドライブに正しく論理ボリュームが定義されているかを確認してください。</p> <p>論理ボリュームが正常なことを確認できない場合は、論理ボリュームをいったん削除してから再度作成し、マウントしてください。</p>
DRM-10091	物理ドライブの再走査に失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 物理ドライブ情報の再走査処理に失敗しました。</p> <p>対処 Veritas Volume Manager または、Logical Device Manager が正常に動作しているか確認してください。</p> <p>正常に動作していることが確認できない場合は、Veritas Volume Manager または、Windows OS を再インストールしてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 物理ドライブ情報の再走査処理に失敗した場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 VxVM が正常に動作しているか確認してください。</p> <p>正常に動作していることが確認できない場合は、VxVM を再インストールしてください。</p>
DRM-10097	diskpart に失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 diskpart コマンドが失敗しました。</p> <p>対処 システムログの内容を確認し、diskpart コマンドが失敗した原因を取り除いたあと、再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 diskpart コマンドが失敗した場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 システムログの内容を確認し、diskpart コマンドが失敗した原因を取り除いたあと、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10098	現在の構成に、指定されたコピーグループが一つも存在しません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>リストア時に、レプリカ作成時のコピーグループが存在しません。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された詳細メッセージを確認し、対処してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 リストア実行時に、バックアップカタログに存在するコピーグループが、現在の構成に存在しない場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>
DRM-10099	選択可能な世代を特定できません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 コピーグループがロックされているため、利用可能なコピーグループが存在しません。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された詳細メッセージを確認し、対処してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 コピーグループがロックされているため、利用できるコピーグループが存在しない場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>
DRM-10100	OS が同時にオープンできるファイルの上限値を超えています。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 システムでオープンできる最大ファイル数の制限を超えました。</p> <p>対処 OS カーネルパラメーターを再定義し、システムがオープンできるファイル数を大きくしてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 システムでオープンできるファイル数の制限を超えて、ファイルをオープンしようとしていました。</p> <p>対処 OS のカーネルパラメーターを定義し直して、システムがオープンできるファイル数を増やしてください。</p>
DRM-10101	ディクショナリマップファイルの内容が壊れています。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent で使用されているファイルが壊れています。</p> <p>対処 ホスト情報更新を行ったあと、再実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ディクショナリマップファイルが壊れています。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処</p> <p>drmdbsetup ユーティリティを使用して、ディクショナリマップファイルを作成し直してください。</p>
DRM-10102	該当レコードはロックされています。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p> <p>データベースを更新しようとしたとき、更新対象のレコードがロックされていて、更新できませんでした。</p> <p>対処</p> <p>しばらく待ってから再度実行してください。再度実行した場合、エラーが発生するときは、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p> <p>ディクショナリマップファイルの更新時に、更新対象のレコードがロックされていたため、更新できませんでした。</p> <p>対処</p> <p>しばらく待ってからコマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10103	該当ファイルはロックされています。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p> <p>ディクショナリマップファイルを更新しようとしたとき、更新対象のファイルがロックされていて、更新できませんでした。</p> <p>対処</p> <p>しばらく待ってから再度実行してください。再度実行した場合、エラーが発生するときは、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p> <p>ディクショナリマップファイルの更新時に、更新対象のファイルがロックされていたため、更新できませんでした。</p> <p>対処</p> <p>しばらく待ってからコマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10104	該当レコードがありません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p> <p>参照対象のレコードが存在しないため、参照できませんでした。</p> <p>対処</p> <p>Application Agent の設定で正しい値を指定しているかどうかを確認してください。情報が正しい場合、ホスト情報更新を行ってください。再度実行した場合、エラーが発生するときは、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p> <p>ディクショナリマップファイルの参照時に、参照対象のレコードが存在しなかったため、参照できませんでした。</p> <p>対処</p> <p>次のコマンドを使用し、ディクショナリマップファイルの内容を更新してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>次のように実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfscat -refresh バックアップ対象が SQL Server データベースの場合 drmsqlcat -refresh バックアップ対象が Exchange データベースの場合 drmemxcat -refresh
DRM-10105	メモリー不足が発生しました。	<p>(GUI の場合) 要因 操作を実行したときにメモリー不足が発生しました。 対処 メモリーを増設したあと、コマンドを再実行してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 コマンドの実行時に、メモリーが不足しています。 対処 メモリーを増設してから、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10106	内部エラーが発生しました。	<p>(GUI の場合) 要因 内部処理を実行中にシステムコールを利用したとき、未知の内部エラーが発生しました。 対処 製品マニュアルのトラブルシューティングの項目に記載された内容を確認し、資料を採取したあと、問い合わせ窓口に連絡してください。回復するためには製品のアンインストール後、再度インストールが必要になります。</p> <p>(CLI の場合) 要因 内部処理の実行中、システムコールを利用したときに未知の内部エラーが発生しました。 対処 マニュアル「Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して、資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。 また、バックアップコマンドの実行中に、drmfscat コマンド、drmsqlcat コマンド、drmemxcat コマンド、drmoracat コマンド、または drmappcat コマンドを実行するとこのメッセージが出力されることがあります。 この場合、バックアップコマンドが終了したことを確認したあとで、上記のコマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10107	ディクショナリマップファイルはすでに存在します。	<p>(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent で使用されているファイルはすでにあります。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 ホスト情報更新を行ってください。再度実行した場合、エラーが発生するときは、問い合わせ窓口ご連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 drmdbsetup ユーティリティを使用して、指定のディレクトリにディクショナリマップファイルを作成した場合に、以前のインストール時にすでに作成されたディクショナリマップファイルが存在するときに出力されるメッセージです。</p> <p>対処 指定のディレクトリのディクショナリマップファイルを一度削除してから、drmdbsetup ユーティリティを使用して再度作成してください。</p>
DRM-10108	ディクショナリマップファイルが見つかりません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent で使用されているファイルがありません。</p> <p>対処 Application Agent の設定で正しい値を指定しているかどうかを確認して、設定を完了してください。</p> <p>Application Agent の追加の際にこのエラーが発生した際は、この後、Application Agent の設定を行ってください。</p> <p>再度実行したあとエラーが発生する場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 何らかの理由で、ディクショナリマップファイルが削除されているか、ディクショナリマップファイル格納ディレクトリがない場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 環境変数 (DRM_HOSTNAME) および構成定義ファイル (init.conf) の内容を確認してください。そのあとに、ディクショナリマップファイル格納ディレクトリを作成し、drmdbsetup ユーティリティを使用して、ディクショナリマップファイルを作成してください。</p>
DRM-10109	ドライブ容量が足りません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 操作を実行する際にドライブ容量が不足しています。</p> <p>対処 ドライブ容量を確保したあと、再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 コマンドの実行時に、ドライブ容量が不足しています。</p> <p>対処 ドライブ容量を確保してから、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10110	アクセス権がありません。	<p>(GUI の場合)</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>要因 一般ユーザーなど、操作を実行するための権限がないユーザーで操作が行われました。</p> <p>対処 権限を見直したあと、再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 コマンドを実行する権限がないユーザーでコマンドを実行しようとした。</p> <p>対処 システム管理者権限でコマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10111	指定したコピーグループはすでにロックされています。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 コピーグループをロックしようとしたときに、指定したコピーグループはすでにロックされていました。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 コピーグループをロックしようとしたが、指定したコピーグループはすでにロックされていました。</p> <p>対処 drmmount コマンド実行時にこのメッセージが表示される場合は、次のことを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 同じバックアップ ID で drmmount コマンドが実行済みでないか。 2. 実行済みの drmmount コマンドが、エラーを出力した drmmount コマンドで指定したバックアップ ID に含まれるコピーグループを含んでいないか。 <p>要因に応じて、それぞれ次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. このエラーを出力したバックアップ ID で drmmount コマンドを実行後、再度 drmmount コマンドを実行してください。 2. 実行済みの drmmount コマンドから、エラーを出力した drmmount コマンドで指定したバックアップ ID に含まれるコピーグループを含んでいるものを探します。該当するバックアップ ID を指定して drmmount コマンドを実行後、再度 drmmount コマンドを実行してください。
DRM-10112	指定したコピーグループはロックされていません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 コピーグループをアンロックしようとしたときに、指定したコピーグループはロックされていませんでした。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>コピーグループのロックを解除しようとしたが、指定したコピーグループはロックされていませんでした。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p>
DRM-10113	利用可能なコピーグループが存在しません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 バックアップを実行したときに、すべてのコピーグループがロックされていて、利用できるコピーグループが存在しませんでした。</p> <p>対処 コピーグループのロックを解除したあと、再度バックアップコマンドを実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップの実行時に、すべてのコピーグループがロックされていたため、利用できるコピーグループが存在しませんでした。</p> <p>対処 コピーグループのロックを解除してから、バックアップコマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10114	一時ファイルの操作で、システムエラーが発生しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 コマンドによって実行された一時ファイルの操作において、システムエラーが発生しました。</p> <p>対処 メモリーやドライブ容量が十分かどうかを確認してください。十分な場合、システムログを参照し、OS に異常がないかどうか確認してください。異常が見受けられない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 コマンド対象の一時ファイルの操作で、システムエラーが発生しました。</p> <p>対処 メモリーやドライブに十分な空き容量があるかどうか確認してください。メモリーやドライブの容量に問題がない場合は、システムログを参照し、OS に異常がないかを確認してください。また、バックアップコマンドの実行中に、drmfscat コマンド、drmsqlcat コマンド、drmxgcat コマンド、drmoracat コマンド、またはdrmappcat コマンドを実行するとこのメッセージが出力されることがあります。この場合、バックアップコマンドが終了したことを確認したあとで、上記のコマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10115	指定したバックアップデータはすでにロックされています。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 ロック中のコピーグループに対して、レプリカ作成またはレプリカ情報取得を実行しようとした。</p> <p>対処</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		レプリカ作成またはレプリカ情報取得を実行する前に、レプリカ対象のコピーグループをアンロックしてください。 (CLI の場合) 要因 ロックされたコピーグループに対して、コマンドを実行しようとしていました。 対処 コマンドを実行する前に、対象のコピーグループのロックを解除してください。
DRM-10116	ディクショナリマップファイルに不正がありました。修復する権限がありません。	(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent で使用しているファイルが何らかの理由により破壊されたあと、修復しようとしていましたが、一般ユーザー権限により操作が実行されたため修復できません。 対処 Replication Manager Application Agent サービスの実行ユーザーにシステム管理者権限を与え、再度操作を実行してください。 (CLI の場合) 要因 破損したディクショナリマップファイルを修復するコマンドを、一般ユーザー権限で実行しようとしていました。 対処 システム管理者権限で、ディクショナリマップファイルの更新コマンドを再度実行してください。
DRM-10117	テープにバックアップしたバックアップ ID は指定できません。	要因 drmtapecat コマンドで表示されるバックアップ ID に対して、drmcgctl コマンドでコピーグループをロックしようとした場合に出力されるメッセージです。 対処 drmcgctl コマンドに指定するバックアップ ID は、次のコマンドで表示されるバックアップ ID を指定してください。 <ul style="list-style-type: none"> • バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfscat コマンド • バックアップ対象が SQL Server データベースの場合 drmsqlcat コマンド • バックアップ対象が Exchange データベースの場合 drmexgcat コマンド
DRM-10118	ディクショナリマップファイルのバージョンが異なります。	(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent をバージョンアップした際に Replication Manager Application Agent で使用されているファイルのバージョンが異なります。 対処 Application Agent の設定を行ってください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>(CLI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent をバージョンアップしたときに、以前のバージョンのディクショナリマップファイルがデフォルトの格納ディレクトリ、または init.conf で指定されたディレクトリにすでに存在しているため、本バージョンとデータフォーマットが異なっています。</p> <p>対処 drmdbconvert コマンドを使用して、ディクショナリマップファイルのデータ変換を行ってください。 ディクショナリマップファイルのデフォルトの格納ディレクトリは、次のとおりです。 < Replication Manager Application Agent のインストール先 >¥DRM¥db</p>
DRM-10119	構成定義ファイル (init.conf) の仮想サーバ名が不正です。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 仮想サーバ名が不正です。</p> <p>対処 構成を確認し、必要があれば Application Agent の編集ダイアログから仮想サーバ名を変更してください。解決できない場合は、問い合わせ窓口ご連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 構成定義ファイル (init.conf) の DRM_DB_PATH パラメーターに定義した仮想サーバ名と、DRM_HOSTNAME 環境変数で定義した仮想サーバ名が一致していません。</p> <p>対処 構成定義ファイル (init.conf) の DRM_DB_PATH パラメーターに定義した仮想サーバ名と、DRM_HOSTNAME 環境変数に定義した仮想サーバ名を確認してください。</p>
DRM-10120	DRM_HOSTNAME 環境変数または構成定義ファイル (init.conf) の仮想サーバ名が長過ぎます。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 仮想サーバ名が長過ぎます。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent は 63 文字までの仮想サーバ名をサポートしています。使用している仮想サーバ名を 63 文字以下にしてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 構成定義ファイル (init.conf) の DRM_DB_PATH パラメーターに定義した仮想サーバ名、または DRM_HOSTNAME 環境変数で定義した仮想サーバ名が長過ぎます。</p> <p>対処 構成定義ファイル (init.conf) の DRM_DB_PATH パラメーターに定義されている仮想サーバ名と、DRM_HOSTNAME 環境変数に定義した仮想サーバ名を確認してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
DRM-10121	指定したディクショナリマップファイルのディレクトリ名が不正です。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent が使用するファイルのディレクトリ名が不正です。</p> <p>対処 問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 構成定義ファイル (init.conf) の DRM_DB_PATH パラメーターに定義したディクショナリマップファイルのディレクトリ名が長過ぎる。 構成定義ファイル (init.conf) の DRM_DB_PATH パラメーターに定義したディクショナリマップファイルのディレクトリ名が絶対パスで指定されていない。 <p>対処 構成定義ファイル (init.conf) の DRM_DB_PATH パラメーターに定義されているディクショナリマップファイルのディレクトリ名を確認してください。</p>
DRM-10122	指定したコピーグループはリモートコピーであり処理対象外です。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 指定したコピーグループはリモートコピーであり処理対象外です。</p> <p>対処 問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 リモートコピーのコピーグループを指定して、drmtapebackup または drmtaperestore コマンドを実行した場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 drmtapebackup または drmtaperestore で指定したバックアップカタログでバックアップされたコピーグループのコピー種別を確認してください。drmtapebackup および drmtaperestore コマンドはストレージシステム内のボリューム複製機能だけを処理対象としています。 リモートコピーを利用したコピーグループに対して、テープへのバックアップやテープからのリストアを行う場合は、EX_DRM_TAPE_BACKUP コマンドおよび EX_DRM_TAPE_RESTORE コマンドを使用してください。</p>
DRM-10123	ディクショナリマップファイルは最新版なので、データ変換をする必要はありません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 ディクショナリマップファイルは最新版なので、データ変換をする必要はありません。</p> <p>対処 問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>最新のデータ構造であるディクショナリマップに対して drmdbconvert コマンドを実行した場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 drmdbconvert コマンドによってデータを変換しなくても、通常のバックアップ運用ができます。</p>
DRM-10124	ディクショナリマップファイルに矛盾を検出しました。	<p>(GUI の場合) 要因 ディクショナリマップファイルの内部が不正であるため、ディクショナリマップファイルに対する操作に失敗しました。 対処 問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 ディクショナリマップファイルの内部に矛盾があるため、ディクショナリマップファイルに対する操作が失敗した場合に表示されるメッセージです。 対処 マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のディクショナリマップファイル障害の対処の説明を参照して、ディクショナリマップファイルの回復手順を実行してください。回復手順を行ってもエラーが発生する場合は、同時に出力されたテーブル名、処理およびエラーコードを確認し、資料を採取したあと、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
DRM-10125	ディクショナリマップファイルに対する処理で、予期しないエラーが発生しました。	<p>(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent で使用されるファイルに対する処理で、予期しないエラーが発生しました。 対処 問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 予期しない致命的なエラーが発生したため、ディクショナリマップファイルに対する操作が失敗した場合に表示されるメッセージです。 対処 マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のトラブルシューティングの説明を参照し、資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
DRM-10126	ディクショナリマップに対する処理で、システムエラーが発生しました。	<p>(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent で使用されるファイルに対する処理で、システムエラーが発生しました。 対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>出力された OS のエラーコードを基に、システムエラーの原因を取り除いたあと、再度実行してください。</p> <p>システムエラーの内容、発生原因および対処法については、各 OS のマニュアルを参照してください。</p> <p>解決できない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 OS のシステムエラーが原因で、ディクショナリマップファイルに対する操作が失敗した場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 出力された OS のエラーコードを基に、システムエラーの原因を取り除いたあと、再度実行してください。</p> <p>システムエラーの内容、発生原因および対処方法については、各 OS のマニュアルを参照してください。</p>
DRM-10300	選択可能なコピーグループが定義されていません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 選択したストレージグループに属するボリュームにコピーグループが定義されていません。または、サポート対象外のコピー種別のコピーグループだけが定義されています。</p> <p>対処 コピーグループを定義して再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップ対象として指定したボリュームにコピーグループが定義されていない場合、またはサポート対象外のコピー種別のコピーグループだけが定義されている場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>
DRM-10301	バックアップ先の世代数が異なります。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 レプリカの世代数が異なります。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ディスクグループ内のコピーグループの数が、物理ドライブごとで異なる場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
DRM-10302	ボリューム名の取得に失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 ボリューム名の取得に失敗しました。</p> <p>対処 KAVX0272-E が出力されている場合バックアップサーバのイベントログに異常を示すメッセージが出力されていないか確認し、要因を取り除いて再度コマンドを実行してください。 KAVX0272-E が出力されていない場合このメッセージ以降に出力された KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ボリューム名の取得に失敗した場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 KAVX0272-E が出力されていない場合は、このメッセージ以降に出力された KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。 KAVX0272-E が出力されている場合は、バックアップサーバのイベントログに異常を示すメッセージが出力されていないか確認し、要因を取り除いてから再度コマンドを実行してください。</p>
DRM-10303	ファイルシステムの間中バッファのフラッシュに失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 ファイルシステムの間中バッファのフラッシュに失敗しました。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ファイルシステムの間中バッファのフラッシュに失敗した場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>
DRM-10304	ファイルのオープンに失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 ファイルのオープンに失敗しました。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ファイルのオープンに失敗した場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
DRM-10305	マウントポイントが異なります。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 マウントポイントが異なります。情報が最新でない可能性があります。</p> <p>対処 ホスト情報更新を行ってください。解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップカタログの情報と現在の構成で、リストア対象の論理ボリュームについて一つ以上マウントポイントが異なる論理ボリュームが存在している場合に表示されるメッセージです。 KAVX5129-E が表示されている場合は、表示結果がエラー対象のディスクグループです。</p> <p>対処 次の順序でバックアップ時のボリューム構成に変更がないことを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 次のコマンドに <code>-1</code> オプションを指定して実行し、バックアップ時のボリューム構成を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfscat コマンド バックアップ対象が SQL Server データベースの場合 drmsqlcat コマンド バックアップ対象が Exchange データベースの場合 drmexgcat コマンド RAID Manager コマンドなどを使用して現在のボリューム構成を確認してください。
DRM-10306	物理ドライブ数が異なります。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 レプリカカタログの情報と現在の構成で、リストア対象の物理ドライブ数が異なります。情報が最新でないおそれがあります。</p> <p>対処 ホストの情報を更新してください。解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップカタログの情報と現在の構成で、リストア対象の物理ドライブ数が異なっている場合に表示されるメッセージです。 KAVX5129-E が表示されている場合は、表示結果がエラー対象のディスクグループです。</p> <p>対処 次の順序で、バックアップ時のボリューム構成に変更がないことを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 次のコマンドに <code>-1</code> オプションを指定して実行し、バックアップ時のボリューム構成を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfscat コマンド

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> バックアップ対象が SQL Server データベースの場合 drmsqlcat コマンド バックアップ対象が Exchange データベースの場合 drmexgcat コマンド <p>2. RAID Manager コマンドなどを使用して現在のボリューム構成を確認してください。</p>
DRM-10307	ボリューム数が異なります。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 ボリューム数が異なります。情報が最新でない可能性があります。</p> <p>対処 ホスト情報更新を行ってください。解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップカタログの情報と現在の構成で、リストア対象のボリューム数が異なっている場合に表示されるメッセージです。 KAVX5129-E が表示されている場合は、表示結果がエラー対象のディスクグループです。</p> <p>対処 次の順序で、バックアップ時のボリューム構成に変更がないことを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 次のコマンドに -1 オプションを指定して実行し、バックアップ時のボリューム構成を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfscat コマンド バックアップ対象が SQL Server データベースの場合 drmsqlcat コマンド バックアップ対象が Exchange データベースの場合 drmexgcat コマンド RAID Manager コマンドなどを使用し、現在のボリューム構成を確認してください。
DRM-10308	拡張メンテナンスモードに関する操作でエラーが発生しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 拡張メンテナンスモードに関する操作でエラーが発生しました。</p> <p>対処 次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> MSCS の拡張メンテナンスモードを使用するためのパッチがインストールされていること。 対象のディスクリソースがオンライン状態であること。 ホストノードが対象ディスクリソースを所有していること。 <p>問題がない場合は、同時に出力されたテーブル名、処理およびエラーコードを確認し、資料を採取したあと、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>(CLI の場合)</p> <p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ディスクリソースのメンテナンスモードの状態を取得できなかった。 ・ 操作対象のディスクリソースを拡張メンテナンスモードに変更できなかった。 <p>対処 次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ MSCS の拡張メンテナンスモードを使用するためのパッチがインストールされているか。 ・ 対象のディスクリソースがオンライン状態であるか。 ・ ホストノードが対象ディスクリソースを所有しているか。 <p>問題がない場合は、同時に出力されたテーブル名、処理およびエラーコードを確認し、資料を採取したあと、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
DRM-10309	対象ディスクリソースがオンラインではありません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 対象ディスクリソースがオンラインではありません。</p> <p>対処 操作対象のディスクリソースが、オンライン状態であることを確認してください。ディスクリソースがオンライン状態ではない場合は、ディスクリソースをオンライン状態に変更したあと、再度実行してください。</p> <p>対象のリソースがオンライン状態であるにもかかわらずエラーが発生する場合は、同時に出力されたテーブル名、処理およびエラーコードを確認し、資料を採取したあと、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 操作対象のディスクリソースがオンライン状態ではないため、ディスクリソースの状態が変更できません。</p> <p>対処 操作対象のディスクリソースがオンライン状態であることを確認してください。</p> <p>ディスクリソースがオンライン状態ではない場合は、ディスクリソースをオンライン状態に変更したあとで、再度実行してください。</p> <p>対象のリソースがオンライン状態であるにもかかわらずエラーが発生する場合は、同時に出力されたテーブル名、処理およびエラーコードを確認し、資料を採取したあと、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
DRM-10310	対象ディスクリソースの状態遷移待ちで、タイムアウトが発生しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 対象ディスクリソースの状態遷移待ちで、タイムアウトが発生しました。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ディスクリソースのメンテナンスモードの状態が、待機時間内に指定されたものに遷移しません。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent の構成定義ファイル (init.conf) の CLU_RETRY_TIME および CLU_RETRY_WAIT を現在の設定よりも大きな値に変更して、再度実行してください。</p>
DRM-10311	このバージョンの Windows では、オンライン状態におけるクラスタリソースの部分リストアはサポートされていません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 サーバの OS が、サポート外のバージョンです。</p> <p>対処 オンライン状態におけるクラスタリソースの部分リストアを行うには、Windows Server 2003 または Windows Server 2008 が必要です。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 サーバの OS が Windows Server 2003 または Windows Server 2008 ではありません。オンライン状態でのクラスタリソースの部分リストアを行うには、Windows Server 2003 または Windows Server 2008 が必要です。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent の構成定義ファイル (init.conf) に CLU_MSCS_RESTORE=OFFLINE を指定して、再度実行してください。</p>
DRM-10312	OS のバージョン情報の取得に失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 OS のバージョン情報を取得できませんでした。</p> <p>対処 しばらく待ってから、ホスト情報更新を実行し、再度操作を行ってください。それでも発生する場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 OS のバージョン情報の取得に失敗しました。</p> <p>対処 製品のトレースログに出力されたエラーコードを基に、バージョンの取得に失敗した原因を取り除いたあと、再度実行してください。</p>
DRM-10313	「Signature とボリュームレイアウト情報」を物理ドライブに再設定するのに失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 「Signature とボリュームレイアウト情報」を物理ドライブに再設定する処理に失敗しました。</p> <p>対処 物理ドライブが Replication Manager Application Agent がサポートするドライブであることを確認してください。 Replication Manager Application Agent がサポートするドライブでない場合は、システムログを参照し、物理ドライブに関して異常を表すメッ</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>セージが出力されていないかを確認し、要因を取り除いてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 「Signature とボリュームレイアウト情報」を物理ドライブに再設定する処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処 ソフトウェア添付資料を参照して、対象のボリュームが Replication Manager Application Agent でサポートしているドライブかどうかを確認してください。サポート対象の場合には、システムログを参照して、対象のボリュームに関して異常を表すメッセージが出力されていないかどうかを確認し、要因を取り除いてください。</p>
DRM-10314	物理ドライブから「Signature とボリュームレイアウト情報」の取得に失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 物理ドライブから「Signature とボリュームレイアウト情報」を取得できませんでした。</p> <p>対処 物理ドライブが Replication Manager Application Agent がサポートするドライブであることを確認してください。 Replication Manager Application Agent がサポートするドライブでない場合は、システムログを参照し、対象のボリュームに関して異常を表すメッセージが出力されていないかを確認し、要因を取り除いてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 物理ドライブからの「Signature とボリュームレイアウト情報」の取得に失敗しました。</p> <p>対処 ソフトウェア添付資料を参照して、対象のボリュームが Replication Manager Application Agent でサポートしているドライブかどうかを確認してください。サポート対象の場合には、システムログを参照して、対象のボリュームに関して異常を表すメッセージが出力されていないかどうかを確認し、要因を取り除いてください。</p>
DRM-10315	副ボリュームの状態が不正です。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 副ボリュームの状態を確認した結果、次のどれかの異常を検知しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. KAVX5146-E が同時に表示された場合 対象の副ボリュームがバックアップサーバでマウントされています。 2. KAVX5147-E が同時に表示された場合 副ボリュームが隠べいされていません。 3. KAVX5151-E が同時に表示された場合 ペアステータスが不正です。表示されたペアの副ボリュームが、別のペアの正ボリュームになっています。 <p>対処 それぞれ、同時に表示されたメッセージによって対象方法が変わります。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>1. KAVX5146-E が同時に表示された場合 当該ボリュームを、バックアップサーバでアンマウントし、操作を再実行してください。</p> <p>2. KAVX5147-E が同時に表示された場合 当該ボリュームがバックアップサーバでマウントされているときには、アンマウントを行ってください。 その後、Application Agent の設定のレプリカオプションでボリューム隠べいを実行してください。 これによりバックアップサーバのボリュームが隠べいされます。その後、操作を再実行してください。</p> <p>3. KAVX5151-E が同時に表示された場合 表示された MU 番号から、副ボリュームのペアを特定しペア分割を実行してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 副ボリュームの状態を確認した結果、次のどれかの異常を検知しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • KAVX5146-E が同時に出力された場合 対象の副ボリュームがバックアップサーバでマウントされています。 • KAVX5147-E が同時に出力された場合 副ボリュームが隠べいされていません。 • KAVX5151-E が同時に出力された場合 ペア状態が不正です。出力されたコピーグループの副ボリュームが、別のコピーグループの正ボリュームになっています。 <p>対処 同時に出力されたメッセージに応じて、それぞれの次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • KAVX5146-E が同時に出力された場合 出力されたマウントポイントをバックアップサーバでアンマウントしてから、コマンドを再実行してください。drmmount コマンドによってマウントしたボリュームのアンマウントには、drmmount コマンドを使用してください。 • KAVX5147-E が同時に出力された場合 出力されたボリュームがバックアップサーバでマウントされている場合には、アンマウントしてください。その後、RAID Manager 用連携定義ファイルの HORCMINST と DEVICE_DETACH=ENABLE を記述し、drmdevctl -detach コマンドを実行してください。これによって、バックアップサーバのボリュームが隠べいされます。そのあとで、コマンドを再実行してください。 • KAVX5151-E が同時に出力された場合 出力された MU 番号から副ボリュームのコピーグループを特定し、ペア分割を実行してください。
DRM-10316	論理ボリュームから物理ドライブに関する情報を取得することができませんでした。	(GUI の場合) 要因

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>論理ボリュームが配置されている物理ドライブの情報を OS の API を使用して取得できませんでした。</p> <p>対処 システムログを参照し、対象の物理ドライブに関して異常を表すメッセージが出力されていないかどうかを確認し、要因を取り除いてください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 OS の API を使用して、論理ボリュームが配置されている物理ドライブの情報を取得しようとしたが、失敗しました。</p> <p>対処 システムログを参照し、対象の物理ドライブに関する異常を示すメッセージが出力されていないかどうかを確認してから、エラーの要因を取り除いてください。</p>
DRM-10317	Protection Manager サービス上でエラーが発生しました。	<p>(GUI の場合) 要因 バックアップサーバでの処理中に Replication Manager Application Agent サービスのエラーが発生しました。</p> <p>対処 同時に出力されたエラーメッセージの対処方法に従って問題を解決したあと、再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 バックアップサーバでの処理中に、Protection Manager サービスでエラーが発生しました。</p> <p>対処 同時に出力されたエラーメッセージ (KAVX5024-E) の対処方法に従って問題を解決してから、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10318	Protection Manager サービスへの接続に失敗しました。	<p>(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent サービスの通信処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処 同時に出力されたエラーメッセージの対処方法に従って問題を解決したあと、再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 Protection Manager サービスの通信処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処 同時に出力されたエラーメッセージ (KAVX0258-E または KAVX0269-E) の対処方法に従って問題を解決してから、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10319	環境変数の設定に失敗しました。	<p>(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent で環境変数の設定を行う処理に失敗しました。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>メモリーやドライブ容量が十分かどうか確認してください。十分な場合、システムログを参照し、OSに異常がないかどうか確認してください。異常がない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 環境変数の設定処理でエラーが発生しました。 対処 メモリーやドライブ容量が十分かどうか確認してください。メモリーやドライブの容量に問題がない場合は、システムログを参照し、OSに異常がないか確認してください。異常が見られない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
DRM-10320	バックアップサーバのマウントコマンドがエラー終了しました。	<p>(GUI の場合) 要因 バックアップサーバのマウント操作がエラー終了しました。 対処 マウントのパス名を正しく指定しているかどうか確認してください。正しいパス名を指定している場合、バックアップサーバ上で、システムログを参照し、異常がないかどうか確認してください。異常がない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 バックアップサーバ上のマウントコマンドがエラー終了しました。 対処 マウントのパス名を正しく指定しているかどうか確認してください。正しいパス名を指定している場合は、バックアップサーバ上で製品のトレースログファイルやシステムログを参照し、異常がないか確認してください。異常が見られない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
DRM-10321	バックアップサーバのバックアップ ID がロックされているため、コマンドを実行できませんでした。	<p>(GUI の場合) 要因 バックアップサーバのレプリカがすでにロックされていたため、レプリカ履歴の自動インポートに失敗しました。 対処 次のことを確認し、確認結果に応じて対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> バックアップサーバで、ほかの操作が実行されていないか。 ほかの操作が実行中である場合は、しばらく待ってから再度操作を実行してください。 バックアップサーバのレプリカがロックされていないか。 ロックされているレプリカがある場合は、ロックを解除してから再度操作を実行してください。 <p>(CLI の場合) 要因</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>バックアップサーバのバックアップ ID がすでにロックされていたため、バックアップカタログの自動インポートに失敗しました。</p> <p>対処 次のことを確認し、確認結果に応じて対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> バックアップサーバで、ほかのコマンドが実行されていないか。 ほかのコマンドが実行中である場合は、現在実行中のコマンドが終了するのを待ってから、再度コマンドを実行してください。 バックアップサーバのバックアップ ID がロックされていないか。 ロックされているバックアップ ID がある場合は、ロックを解除してから再度コマンドを実行してください。
DRM-10322	バックアップ対象のドライブがカスケード構成情報定義ファイルに定義されたコピーグループと関連していません。	<p>要因 カスケード構成のバックアップを実行するときに、バックアップ対象のドライブとカスケード構成情報定義ファイルに定義されたリモートコピーのコピーグループが、同じボリュームを使用していません。</p> <p>対処 カスケード構成が正しい構成になっているかどうかを確認し、エラーの要因を取り除いてから、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10323	リモートサイトでバックアップ前処理の実行に失敗しました。	<p>要因 カスケード構成のバックアップで、リモートサイトでの前処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処 KAVX5402-E の前に出力されたメッセージを確認し、リモートサイトでエラーの要因を取り除いてから、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10324	リモートサイトでコピーグループの再同期実行に失敗しました。	<p>要因 カスケード構成のバックアップで、リモートサイトでのコピーグループの再同期処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処 KAVX5402-E の前に出力されたメッセージを確認し、リモートサイトでエラーの要因を取り除いてから、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10325	リモートサイトでバックアップ後処理の実行に失敗しました。	<p>要因 カスケード構成のバックアップで、リモートサイトでの後処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処 KAVX5402-E の前に出力されたメッセージを確認し、リモートサイトでエラーの要因を取り除いてから、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10326	リモートサイトの処理を強制終了しました。	<p>要因 カスケード構成のバックアップの実行中に、リモートサイトでの処理でタイムアウトが発生しました。そのため、プロセスを強制終了しました。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>カスケード構成情報定義ファイルに指定しているタイムアウト時間を、予想される所要時間よりも長くしてから、コマンドを再度実行してください。</p> <p>カスケード構成情報定義ファイルの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」を参照してください。</p>
DRM-10327	リモートサイトの処理を強制終了できませんでした。	<p>要因 カスケード構成のバックアップの実行中に、リモートサイトでの処理でタイムアウトが発生しました。そのため、プロセスを強制終了しようとしたのですが、失敗しました。</p> <p>対処 強制終了が失敗する要因を取り除いてください。そのあとで、カスケード構成情報定義ファイルに指定しているタイムアウト時間を、予想される所要時間よりも長くしてから、コマンドを再度実行してください。</p> <p>カスケード構成情報定義ファイルの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」を参照してください。</p>
DRM-10328	コピーグループから物理ドライブに関する情報を取得することができませんでした。	<p>(GUI の場合) 要因 コピーグループから物理ドライブ名を取得する処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処 RAID Manager の設定を見直してください。設定が正しい場合は、RAID Manager のログ情報を参照し、問題がないか確認してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 コピーグループから物理ドライブ名を取得する処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処 RAID 管理ソフトウェアの設定を見直してください。設定が正しい場合は、RAID 管理ソフトウェアのログ情報を参照し、問題がないか確認してください。</p>
DRM-10329	物理ドライブをオフラインにできませんでした。	<p>(GUI の場合) 要因 物理ドライブをオフラインにする処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処 システムログを参照し、対象の物理ドライブに関して異常を表すメッセージが出力されていないかどうか確認し、要因を取り除いてください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 物理ドライブをオフラインにできなかった場合に表示されます。</p> <p>対処</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		システムログを参照し、対象の物理ドライブに関して異常を表すメッセージが出力されていないかを確認し、要因を取り除いてください。
DRM-10330	物理ドライブをオンラインにできませんでした。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 物理ドライブをオンラインにする処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処 システムログを参照し、対象の物理ドライブに関して異常を表すメッセージが出力されていないかどうかを確認し、要因を取り除いてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 物理ドライブをオンラインにできなかった場合に表示されます。</p> <p>対処 システムログを参照し、対象の物理ドライブに関して異常を表すメッセージが出力されていないかを確認し、要因を取り除いてください。</p>
DRM-10337	物理ドライブのパーティションスタイルが異なります。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 バックアップ時とリストア先のディスクのパーティションスタイルが異なります。</p> <p>対処 バックアップ時とドライブのパーティションスタイルを一致させてから、リストアを実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 リストア先のドライブのパーティションスタイルがバックアップ時と異なります。</p> <p>対処 ドライブのパーティションスタイルをバックアップ時と一致させてから、リストアコマンドを実行してください。</p>
DRM-10339	ユーザーが RAID Manager に認証されていません。	<p>要因 以下の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コマンドを実行したユーザーは RAID Manager にログインしていません。 2. Replication Manager Application Agent がユーザー認証機能をサポートしていないバージョンの RAID Manager を使用しています。 <p>対処 要因に応じてそれぞれ以下の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. RAID Manager にログインしてから、コマンドを実行してください。 2. Replication Manager Application Agent がユーザー認証機能をサポートしている RAID Manager にバージョンアップしてください。Replication Manager Application Agent がサポートする RAID Manager バージョンについては、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザー</i>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ズガイド」を参照してください。RAID Manager のバージョンの確認方法およびバージョンアップの手順は、RAID Manager のマニュアルを参照してください。
DRM-10340	RAID Manager のユーザー認証機能が正しく実行されませんでした。	<p>要因 RAID Manager のユーザー認証機能が正しく実行されませんでした。</p> <p>対処 RAID Manager のマニュアルを参照して、RAID Manager の設定を見直してください。設定が正しい場合は、RAID Manager のログ情報を参照し、問題がないか確認してください。</p>
DRM-10405	ファイル名が長過ぎます。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 バックアップ対象として指定したパス名が、半角 1024 文字を超えています。</p> <p>対処 1024 文字より長いパス名は指定できないので、1024 文字以内の正しいファイル名を指定してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 -target オプションや-f オプションでバックアップ対象として指定したパス名が、1,024 バイトを超えています。</p> <p>対処 1,024 バイトを超える長さのパス名は指定できません。1,024 バイト以内の正しいファイル名を指定してください。</p>
DRM-10406	プロセスがオープンできるファイルの最大数に達しています。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 一つのプロセスでオープンできる最大ファイル数の制限を超えています。</p> <p>対処 カーネルパラメーターを再定義し、プロセスがオープンできるファイル数を大きくしてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 一つのプロセスでオープンできるファイル数の最大値に達しました。</p> <p>対処 カーネルパラメーターを定義し直して、プロセスがオープンできるファイル数を増やしてください。</p>
DRM-10407	システム全体でオープンできるファイルの合計数の制限に達しています。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 システムでオープンできる最大ファイル数の制限を超えています。</p> <p>対処 カーネルパラメーターを再定義し、システムがオープンできるファイル数を大きくしてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>システムでオープンできるファイル数の最大値に達しました。</p> <p>対処 カーネルパラメーターを定義し直して、システムがオープンできるファイル数を増やしてください。</p>
DRM-10408	ファイルのアクセスに失敗しました。	<p>(GUI の場合) 要因 バックアップやリストア処理を実行するときに、誤ったファイルやディレクトリ名を指定し、対象パス名にアクセスできませんでした。</p> <p>対処 バックアップ、または、リストア対象のパス名を正しく指定しているかどうか確認してください。正しいパス名を指定している場合、Replication Manager Application Agent のトレースログファイルやシステムログを参照し、異常がないかどうか確認してください。問題が解決されない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 バックアップやリストア処理の実行時に、誤ったファイル名またはディレクトリ名を指定したため、対象パスへのアクセスに失敗しました。</p> <p>対処 バックアップやリストアの対象とするパス名を正しく指定しているかを確認してください。パス名が正しい場合は、Replication Manager Application Agent のトレースログファイルとシステムログを参照し、異常がないかを確認してください。</p>
DRM-10409	プロセスの生成に失敗しました。	<p>(GUI の場合) 要因 Replication Manger Application Agent の機能を実行する場合に、内部プロセスを生成する処理に失敗したとき</p> <p>対処 メモリーやドライブ容量が十分かどうか確認してください。十分な場合、システムログを参照し、OS に異常がないかどうか確認してください。問題が解決されない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 コマンドの実行時に、内部プロセスを生成する処理に失敗しました。</p> <p>対処 メモリーやドライブに十分な空き容量があるかを確認してください。メモリーやドライブの容量に問題がない場合は、システムログを参照し、OS に異常がないかを確認してください。</p>
DRM-10410	ホスト名を取得できませんでした。	<p>要因 テープへのバックアップコマンドを実行するときに、コマンドを実行するホスト名が取得できませんでした。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		コマンドを実行するホスト名を正しく取得できるように、システムを設定してからコマンドを再度実行してください。
DRM-10411	有効期限を設定できませんでした。	<p>要因 drmtapebackup コマンドを実行するときに、あらかじめ drmtapeinit コマンドで指定したバックアップデータの保存日数を基に、有効期限を設定できませんでした。</p> <p>対処 drmtapeinit コマンドを再度実行して、バックアップデータの保存日数を設定し直してから、drmtapebackup コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-10418	必須の項目 <項目名 > が指定されていません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 エージェントユーザースクリプト内で必須項目が指定されていません。</p> <p>対処 エージェントユーザースクリプト内の必須項目を指定してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ユーザースクリプト内で必須項目が指定されていない場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 ユーザースクリプトファイル内の必須項目を指定してください。</p>
DRM-10419	行番号 < <行番号>>: コマンド定義セクション内に必須の項目 <項目名 > の指定がありません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 エージェントユーザースクリプト内のコマンド定義セクション内で必須項目が指定されていません。</p> <p>対処 エージェントユーザースクリプト内の必須項目を指定してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ユーザースクリプトのコマンド定義セクション内に、必須項目が指定されていない場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 ユーザースクリプトファイル内の必須項目を指定してください。</p>
DRM-10420	行番号 < <行番号>>: 項目 <項目名 > の値が指定されていません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 エージェントユーザースクリプト内で項目の値が指定されていません。</p> <p>対処 エージェントユーザースクリプトファイルの該当行の値を設定してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ユーザースクリプト内で、項目の値が指定されていない場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ユーザースクリプトファイルの該当行の値を設定してください。
DRM-10421	行番号 <行番号>: 指定された値は項目 <項目名> に対して使用できません。	<p>(GUI の場合) 要因 エージェントユーザースクリプト内の項目値として使用できないキーワードが使われています。 対処 マニュアルで使用可能な値を確認の上、エージェントユーザースクリプトファイルの該当行の値を修正してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 ユーザースクリプト内の項目値に対して、使用できないキーワードが使われている場合に出力されるメッセージです。 対処 マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」を参照し、項目値に使用できる値を確認した上で、ユーザースクリプトファイルの該当行の値を修正してください。</p>
DRM-10422	行番号 <行番号>: 指定された値の長さが、項目 <項目名> の字数制限を超えています (最大 <最大文字数> 文字)。	<p>(GUI の場合) 要因 エージェントユーザースクリプトファイル内の項目値が長過ぎます。 対処 エージェントユーザースクリプトファイルの内容を編集して、該当行の値の字数を最大数以下にしてください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 ユーザースクリプトファイル内の項目値が長過ぎる場合に出力されるメッセージです。 対処 ユーザースクリプトファイルの内容を編集して、該当行の値の字数が最大数以下になるように修正してください。</p>
DRM-10423	行番号 <行番号>: 指定された値は、整数でないか範囲外です (範囲は <最小値> ~ <最大値>)。	<p>(GUI の場合) 要因 エージェントユーザースクリプトファイル内の項目値が規定範囲外です。 対処 エージェントユーザースクリプトファイルの内容を編集して、該当行の値を表示された範囲の整数にしてください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 ユーザースクリプトファイル内の項目値が規定範囲外の場合に出力されるメッセージです。 対処 ユーザースクリプトファイルの内容を編集して、該当行の値が表示された範囲内の整数になるように修正してください。</p>
DRM-10424	行番号 <行番号>: 指定された項目 <項目名> は同一ファイル内で複数指定できません。	<p>(GUI の場合) 要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>エージェントユーザースクリプトファイル内で、重複指定できない項目が重複して指定されています。</p> <p>対処 エージェントユーザースクリプトファイルの内容を編集して、該当行の項目が重複しないようにしてください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 ユーザースクリプトファイル内で、重複指定できない項目が重複指定されている場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 ユーザースクリプトファイルの内容を編集して、該当行の項目が重複しないように修正してください。</p>
DRM-10425	行番号 <行番号>: 指定された項目 <項目名> は同一コマンド定義セクション内で複数指定できません。	<p>(GUI の場合) 要因 エージェントユーザースクリプト内で、重複指定できない項目が重複して指定されています。</p> <p>対処 エージェントユーザースクリプトの内容を編集して、該当行の項目が重複しないようにしてください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 ユーザースクリプトファイル内で重複指定できない項目が重複指定されている場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 ユーザースクリプトファイルの内容を編集して、該当行の項目が重複しないようにしてください。</p>
DRM-10426	行番号 <行番号>: 項目名またはセクション名が不正です。	<p>(GUI の場合) 要因 エージェントユーザースクリプト内で指定されている項目名またはセクション名が不正です。</p> <p>対処 マニュアルで指定可能な項目名を確認の上、エージェントユーザースクリプトの該当行を修正してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 ユーザースクリプトファイル内で指定されている項目名またはセクション名が不正な場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」を参照し、項目値に指定できる項目名を確認の上、ユーザースクリプトファイルの該当行を修正してください。</p>
DRM-10427	行番号 <行番号>: 指定された項目 <項目名> はユーザー処理セクションの外で指定できません。	<p>(GUI の場合) 要因 エージェントユーザースクリプト内で、ユーザー処理セクションの前に指定できない項目がユーザー処理セクションの前で指定されています。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 該当行をユーザー処理セクション内に移すようエージェントユーザースクリプトの内容を修正してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ユーザースクリプトファイル内で、ユーザー処理セクションの前に指定できない項目がユーザー処理セクションの前に指定されている場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 ユーザースクリプトファイル中の該当行を移動し、ユーザー処理セクション内に記述されるよう修正してください。</p>
DRM-10428	行番号 <行番号>: 指定された項目 <項目名> はコマンド定義セクションの外で指定できません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 エージェントユーザースクリプト内で、コマンド定義セクションの外で指定できない項目がコマンド定義セクション外で指定されています。</p> <p>対処 該当行をコマンド定義セクション内に移すようエージェントユーザースクリプトの内容を修正してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ユーザースクリプトファイル内で、コマンド定義セクション外に指定できない項目がコマンド定義セクション外で指定されている場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 ユーザースクリプトファイル中の該当行を移動し、コマンド定義セクション内に記述されるよう修正してください。</p>
DRM-10429	行番号 <行番号>: 指定された項目 <項目名> はユーザー処理セクションの中で指定できません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 エージェントユーザースクリプト内で、ユーザー処理セクション内で指定できない項目がユーザー処理セクション内で指定されています。</p> <p>対処 該当行をユーザー処理セクション外に移すようエージェントユーザースクリプトの内容を修正してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ユーザースクリプトファイル内で、ユーザー処理セクション内に指定できない項目がユーザー処理セクション内に指定されている場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 ユーザースクリプトファイル中の該当行を移動し、ユーザー処理セクション外に記述されるよう修正してください。</p>
DRM-10430	行番号 <行番号>: 一行のサイズ制限を超えています (最大 <最大バイト数> バイト)。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 エージェントユーザースクリプト内で、一行の最大バイト数を超えている行が存在します。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 該当行を最大バイト数以内に抑えるようエージェントユーザースクリプトの内容を修正してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ユーザースクリプトファイル内で、1行の最大バイト数を超過している行が存在する場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 ユーザースクリプトファイル中の該当行を修正し、1行の最大バイト数以内になるよう修正してください。</p>
DRM-10431	ユーザースクリプトのサイズが大きすぎます。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 エージェントユーザースクリプトが大き過ぎて処理できません。</p> <p>対処 エージェントユーザースクリプトの内容を削減してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ユーザースクリプトが大き過ぎて処理できない場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 ユーザースクリプトファイルの内容を削減してください。</p>
DRM-10432	行番号 <行番号>、カラム <カラム番号>: 不正な文字が含まれています。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 エージェントユーザースクリプト内に不正な文字コード (0x20 未満かつ改行コードでもタブコードでもない文字) が含まれています。</p> <p>対処 エージェントユーザースクリプトの内容を編集し、不正な文字を取り除いてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ユーザースクリプトファイル内に不正な文字コード (0x20 未満、かつ改行コードでもタブコードでもない文字) が含まれている場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 ユーザースクリプトファイルの内容を編集し、不正な文字を取り除いてください。</p>
DRM-10433	ユーザースクリプト処理に関する内部エラーが発生しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 エージェントユーザースクリプトの処理に関する内部エラーが発生しました。</p> <p>対処 問い合わせ窓口ご連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ユーザースクリプトの処理に関する内部エラーが発生した場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
DRM-10434	VSS でエラーが発生しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 VSS でエラーが発生しました。</p> <p>対処 Volume Shadow Copy サービスのスタートアップの種類が無効になっていないか確認してください。 スタートアップの種類が無効になっている場合は、スタートアップの種類を手動に戻して再度実行してください。 スタートアップの種類が手動になっている場合は、資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 VSS でエラーが発生した場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 Volume Shadow Copy サービスのスタートアップの種類が無効になっていないかどうか確認してください。 スタートアップの種類が無効になっている場合は、スタートアップの種類を手動に戻して、コマンドを再度実行してください。 スタートアップの種類が手動になっているのにこのメッセージが表示された場合は、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のトラブルシューティングの説明を参照して、資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。 また、クラスタ構成で、リストア対象のクラスタディスクリソースと Microsoft Exchange Information Store リソースとの依存関係が次の条件を満たさないと、このメッセージが出力されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Exchange Server 2003 の場合 リストア対象のクラスタディスクリソースと Microsoft Exchange System Attendant リソースとの依存関係を除いて、リストア対象のクラスタディスクリソースがオフラインになった場合に Microsoft Exchange Information Store リソースがオフラインになるような依存関係を設定しないでください。 • Exchange Server 2007 の場合 リストア対象のクラスタディスクリソースがオフラインになった場合に Microsoft Exchange Information Store リソースがオフラインになるような依存関係を設定しないでください。
DRM-10435	Virtual Disk Service でエラーが発生しました。	<p>要因 Virtual Disk Service でエラーが発生しました。</p> <p>対処 Virtual Disk Service サービスのスタートアップの種類が無効になっていないかどうか確認してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>Virtual Disk Service サービスのスタートアップの種類が無効になっている場合は、スタートアップの種類を手動に戻して、コマンドを再度実行してください。</p> <p>また、Virtual Disk Service サービスを再起動してコマンドを再度実行してください。</p> <p>再度実行したあとでエラーが発生する場合は、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のトラブルシューティングの説明を参照して、資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
DRM-10436	行番号 <行番号>: 値の形式が不正です。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 値の形式が不正です。以下の原因が考えられます。</p> <p>設定項目 ENV の値の指定形式が不正（半角イコールが含まれていない、または環境変数名が指定されていない）。</p> <p>対処 該当行の値が正しい形式になるよう修正してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 値の形式が不正な場合に出力されるメッセージです。</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定項目 ENV の値の指定形式が不正である（半角イコールが含まれていない、または環境変数名が指定されていない）。 <p>対処 該当行の値が正しい形式になるように修正してください。</p>
DRM-10450	FTP クライアントへのファイル転送に失敗しました。	<p>要因 FTP クライアントへのファイル転送に失敗しました。</p> <p>対処 次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> FTP サーバで FTP サービスが正常に起動しているかどうか。 指定したユーザー ID およびパスワードで FTP サーバに正常に接続できるかどうか。 FTP サーバに接続できる場合は、FTP サーバ上の拡張コマンド用一時ディレクトリと転送対象のバックアップカタログファイルがあるかどうか。
DRM-10451	FTP サーバへのファイル転送に失敗しました。	<p>要因 FTP サーバへのファイル転送に失敗しました。</p> <p>対処 次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> FTP サーバで FTP サービスが正常に起動しているかどうか。 指定したユーザー ID およびパスワードで FTP サーバに正常に接続できるかどうか。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> FTP サーバに接続できる場合は、FTP サーバ上の拡張コマンド用一時ディレクトリがあり、ファイルが作成できるかどうか。
DRM-10452	オペレーション ID として指定された文字列が最大文字数を超過しています。	<p>要因 コマンド実行時に指定されたオペレーション ID が、最大文字列長を超過しています。</p> <p>対処 オペレーション ID の文字列長を確認してください。</p>
DRM-10453	指定されたファイルが存在しません。	<p>要因 実行した拡張コマンドが必要とするファイルがありません。</p> <p>対処 指定されたファイルがあるか確認してください。</p>
DRM-10454	指定されたファイルのアクセスに失敗しました。	<p>要因 拡張コマンドの処理中に、ファイルにアクセスできませんでした。</p> <p>対処 対象のファイルにアクセス権限があるかどうか、またメモリーやドライブに十分な空き容量があるか確認してください。メモリーやドライブの容量に問題がない場合は、システムログを参照し、OS に異常がないか確認してください。</p>
DRM-10455	指定されたファイルの読み込みに失敗しました。	<p>要因 拡張コマンドの処理中にファイルを読み込めませんでした。</p> <p>対処 テキストエディタなどを使用し、指定された定義ファイルが開けるか確認してください。</p>
DRM-10456	指定されたファイルのコピーに失敗しました。	<p>要因 ファイルのコピー処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処 ファイルシステムに十分な空き容量があるか確認してください。容量に問題がない場合は、システムログを参照し、対象のファイルシステムに対して、異常を示すメッセージが出力されていないか確認してください。ファイルシステムに異常がない場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。</p>
DRM-10457	指定されたファイルの内容が無効です。	<p>要因 指定されたファイルの内容が正しくありません。</p> <p>対処 ファイルの内容が正しいかどうか確認してください。</p>
DRM-10458	プロセスの生成に失敗しました。	<p>要因 コマンド実行時に、内部プロセスを生成する処理に失敗しました。</p> <p>対処 メモリーやドライブに十分な空き容量があるか確認してください。メモリーやドライブの容量に問題がない場合は、システムログを参照し、OS に異常がないか確認してください。</p>
DRM-10459	インストールパス情報の取得に失敗しました。	<p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Windows システムで、Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていないため、Replication Manager Application Agent のインストールパス情報を取得できませんでした。 対処 いったん Replication Manager Application Agent をアンインストールしたあと、Replication Manager Application Agent をインストールし直してください。
DRM-10460	FTP サーバへの接続に失敗しました。	要因 FTP サーバに接続できませんでした。 対処 FTP サーバ側で、FTP サービスが正常に起動しているか確認してください。また、指定したユーザー ID、およびパスワードで FTP サーバに正常に接続できるか確認してください。
DRM-10461	データベースサーバへの接続に失敗しました。	要因 データベースサーバに接続できませんでした。 対処 データベースサーバ側で、サービスが正常に起動しているか確認してください。また、ログインしているユーザー名、およびパスワードを使用してデータベースサーバに接続できるか確認してください。
DRM-10462	内部エラーが発生しました。	要因 未知の内部エラーが発生しました。 対処 マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i> 」のトラブルシューティングの説明を参照して資料を採取した上で、問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-10463	操作の対象となるバックアップカタログファイルが存在しません。	要因 実行した拡張コマンドで操作の対象となるバックアップカタログファイルが見つかりませんでした。 対処 バックアップカタログファイルを生成、またはコピーしてから拡張コマンドを実行してください。
DRM-10464	データベースサーバに対する処理でエラーが発生しました。	要因 データベースサーバに対する処理の結果、エラーになった場合に表示されるメッセージです。 対処 データベースサーバで、サービスが正常に起動しているか確認してください。また、ログインしているユーザー名、およびパスワードを使用してデータベースサーバに接続できるか確認してください。
DRM-10465	指定されたディレクトリが存在しません。	要因 指定されたディレクトリが該当するホスト上に存在しない場合に出力されるメッセージです。 対処 実在するディレクトリ名を設定していることを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
DRM-10466	指定されたディレクトリ名は絶対パスではありません。	<p>要因 指定されたディレクトリ名が絶対パスでない場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 絶対パスでディレクトリ名を指定してください。</p>
DRM-10467	操作の対象となるファイルが存在しません。	<p>要因 拡張コマンドで操作の対象となるファイルが見つかりませんでした。</p> <p>対処 次の拡張コマンドを使用して、操作の対象となるファイルを作成してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • EX_DRM_BACKUPID_SET • EX_DRM_SQL_BACKUP (バックアップ対象が SQL Server データベースの場合) • EX_DRM_TAPE_RESTORE • EX_DRM_DB_IMPORT
DRM-10469	内部ファイルの更新に失敗しました。	<p>要因 拡張コマンドの処理中にファイルに書き込めませんでした。</p> <p>対処 このメッセージと一緒に出力されるファイル名を確認し、そのファイルが書き込みできるかどうか、およびほかのプログラムがそのファイルにアクセスしていないかどうかを確認してください。</p>
DRM-10470	操作の対象となる SQL Server のメタファイルが存在しません。	<p>要因 実行した拡張コマンドで操作の対象となる SQL Server のメタファイルが見つかりませんでした。</p> <p>対処 SQL Server メタファイルを生成、またはコピーしてから、拡張コマンドを実行してください。</p>
DRM-10471	必要なパラメーター登録コマンドが実行されていません。	<p>要因 拡張コマンドを実行する前に必要なパラメーター登録コマンド (drmsqlinit コマンド) が実行されていないか、またはパラメーター登録コマンド実行時に生成された情報が壊れています。</p> <p>対処 このメッセージと一緒に出力されるパラメーター登録コマンドを実行してから、拡張コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-11010	内部エラーが発生しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 内部エラーが発生しました。</p> <p>対処 SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認してください。OS や SQL Server に異常が見られない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 コマンドの実行中に、予期しない内部エラーが発生しました。</p> <p>対処</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		メッセージと一緒に表示されるエラーコードと詳細を基に、SQL Server のマニュアルを参照してエラーの要因を取り除いてください。必要に応じて、SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認します。OS や SQL Server に異常が見られない場合は、問い合わせ窓口ご連絡してください。
DRM-11011	SQL ステートメントの実行中にエラーを検知しました。	<p>(GUI の場合) 要因 SQL ステートメントの実行中に、SQL Server からメッセージが返されました。 対処 SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認してください。OS や SQL Server に異常が見られない場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 SQL ステートメントの実行中に、SQL Server からメッセージが返されました。 対処 メッセージと一緒に表示されるエラーコードと詳細を基に、SQL Server のマニュアルを参照してエラーの要因を取り除いてください。必要に応じて、SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認します。OS や SQL Server に異常が見られない場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。</p>
DRM-11012	SQL Server へのログオン処理中にエラーを検知しました。	<p>(GUI の場合) 要因 SQL Server へのログオン処理中に、予期しないエラーが発生しました。 対処 SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認してください。OS や SQL Server に異常が見られない場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 コマンドの実行中に、予期しない内部エラーが発生しました。 対処 SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認します。OS や SQL Server に異常が見られない場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。</p>
DRM-11013	SQL Server へのログオン処理	<p>要因 SQL Server へのログオン処理中に、SQL Server からメッセージが返されました。 対処 メッセージと一緒に表示されるエラーコードと詳細を基に、SQL Server のマニュアルを参照し</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		てエラーの要因を取り除いてください。必要に応じて、SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認します。OS や SQL Server に異常が見られない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-11014	SQL Server からのログオフ処理中にエラーを検知しました。	<p>(GUI の場合) 要因 SQL Server からのログオフ処理中に、予期しないエラーが発生しました。 対処 SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認してください。OS や SQL Server に異常が見られない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 SQL Server からのログオフ処理中に、予期しないエラーが発生しました。 対処 SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認します。OS や SQL Server に異常が見られない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
DRM-11015	SQL Server へのログオフ処理	<p>要因 SQL Server からのログオフ処理中に、SQL Server からメッセージが返されました。 対処 メッセージと一緒に表示されるエラーコードと詳細を基に、SQL Server のマニュアルを参照してエラーの要因を取り除いてください。必要に応じて、SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認します。OS や SQL Server に異常が見られない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
DRM-11016	メタファイルのオープンに失敗しました。	<p>(GUI の場合) 要因 VDI メタファイルをオープンできませんでした。 対処 VDI メタファイルへのアクセス権限があるか確認してください。 (CLI の場合) 要因 SQL Server データベースのバックアップまたはリストアの実行中に、メタファイルがオープンできませんでした。 対処 メタファイルに対して、読み取り権限および書き込み権限があることを確認してください。メタファイルの場所は、バックアップ時は drmsqlinit コマンドで、リストア時は drmsqlcat コマンドで確認できます。</p>
DRM-11017	タイムアウトが発生しました。	<p>(GUI の場合) 要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>タイムアウトが発生しました。</p> <p>対処 SQL Server の状態を確認してから、再度実行してください。同じメッセージが繰り返し表示される場合は、Application Agent の設定で VDI メタファイルの生成タイムアウト時間の設定を見直してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 drmsqlbackup コマンドでの VDI メタファイルの生成時、または drmsqlrestore コマンドでの VDI メタファイルの適用時に時間が掛かったため、タイムアウトが発生しました。 drmsqlbackup コマンドの実行中に、Replication Manager Application Agent 以外のアプリケーションでトランザクションログのバックアップを実行している可能性があります。</p> <p>対処 SQL Server の状態を確認してから、コマンドを再度実行してください。同じメッセージが繰り返し表示される場合は、drmsqlinit コマンドでタイムアウト値の設定を見直してください。</p>
DRM-11018	SQL ステートメントを実行する権限がありません。	<p>(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent の実行ユーザーに、SQL ステートメントを実行する権限がありません。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent の実行ユーザーに SQL ステートメントを実行する権限を与えてください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 コマンドを実行したユーザーには、SQL ステートメントを実行する権限がありません。</p> <p>対処 SQL ステートメントを実行する権限が与えられているユーザーでコマンドを再度実行してください。</p>
DRM-11019	SQL Server の起動に失敗しました。	<p>(GUI の場合) 要因 SQL Server の起動に失敗しました。</p> <p>対処 Windows イベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software</i> システム構成ガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して資料を採取したあとで、問い合わせ窓口にご連絡してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 SQL Server の起動に失敗した場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Windows イベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は、マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i> 」のトラブルシューティングの説明を参照して資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-11020	仮想デバイスの操作に失敗しました。	<p>(GUI の場合) 要因 仮想デバイスの操作に失敗しました。 対処 Windows イベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software システム構成ガイド</i>」のトラブルシューティングの説明を参照して資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 仮想デバイスの操作に失敗した場合に表示されるメッセージです。 対処 Windows イベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のトラブルシューティングの説明を参照して資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
DRM-11021	SQL Server からの情報収集処理。	<p>(GUI の場合) 要因 SQL Server の情報収集に失敗しました。 対処 SQL ステートメントの実行中に、SQL Server からメッセージが返されました。SQL Server のマニュアルを参照してエラーの要因を取り除いてください。必要に応じて、SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認してください。OS や SQL Server に異常が見られない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 SQL Server の情報収集に失敗した場合に表示されるメッセージです。 対処 SQL ステートメントの実行中に、SQL Server からメッセージが返されました。メッセージと一緒に表示されるエラーコードと詳細を基に、SQL Server のマニュアルを参照してエラーの要因を取り除いてください。必要に応じて、SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認してください。OS や SQL Server に異常が見られない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
DRM-11022	オブジェクトの割り当てと構造的整合性のチェック処理。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 SQL Server のオブジェクトの割り当てと構造的整合性のチェックに失敗しました。</p> <p>対処 SQL ステートメントの実行中に、SQL Server からメッセージが返されました。SQL Server のマニュアルを参照してエラーの要因を取り除いてください。必要に応じて、SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認してください。OS や SQL Server に異常が見られない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 オブジェクトの割り当てと構造的整合性のチェックに失敗したときに表示されるメッセージです。</p> <p>対処 SQL ステートメントの実行中に、SQL Server からメッセージが返されました。メッセージと一緒に表示されるエラーコードと詳細を基に、SQL Server のマニュアルを参照してエラーの要因を取り除いてください。必要に応じて、SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認してください。OS や SQL Server に異常が見られない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
DRM-11100	指定されたデータベースはオフラインです。	<p>要因 データベースがオフラインのため、バックアップできません。</p> <p>対処 データベースをオンライン状態にしてください。または、エラーが発生したデータベースをコマンドの対象から外してください。</p>
DRM-11101	指定されたデータベースはリストア中です。	<p>要因 データベースをリストアしたあと、リカバリしていません。</p> <p>対処 drmsqlbackup コマンドまたは drmsqllogbackup コマンドの場合、対象データベースをリカバリしたあと、コマンドを再度実行してください。drmsqlrestore コマンドの場合、対象データベースをリカバリまたは削除したあと、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-11102	指定されたデータベースはリカバリ中です。	<p>要因 データベースはリカバリ中で、まだクエリーで使用できません。</p> <p>対処 しばらく待ってからコマンドを再度実行してください。</p>
DRM-11103	指定されたデータベースは未確認状態です。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 SQL データベースはリカバリできない状態です。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対象の SQL データベースの状態を確認してから、再度実行してください。 (CLI の場合) 要因 データベースはリカバリできない状態です。 対処 対象データベースの状態を確認して、コマンドを再度実行してください。 データベースの状態を次に示す状態に戻せない場合は、リストアから実施してください。 ・ バックアップ時またはトランザクションログバックアップ時：オンライン ・ リカバリ時：読み込み中または読み取り専用
DRM-11104	指定されたデータベースのファイル名を取得できませんでした。	要因 何らかの理由でデータベースのファイル名が取得できませんでした。 例えば、データベースの所有者が不明の状態のまま、バックアップを実行した可能性があります。 対処 データベースの状態を確かめてください。
DRM-11105	指定されたデータベース属性は読み取り専用です。	要因 - 対処 対象データベースの状態を確認して、コマンドを再度実行してください。
DRM-11107	指定されたデータベースの情報が取得できません。	要因 操作対象のデータベースの情報が取得できないときに出力されるメッセージです。 対処 SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認したあと、問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-11109	指定されたデータベースはスタンバイモードです。	要因 指定されたデータベースの状態がスタンバイモードのときに出力されるメッセージです。 対処 drmsqlrecover コマンドで-undo オプションを指定しないで実行し、データベースをリカバリしてください。
DRM-11112	自動復旧が完了しませんでした。	要因 自動復旧が時間内に終了しない場合に出力されるメッセージです。 対処 init.conf の SVC_RETRY_TIME および SVC_RETRY_WAIT の値を変更してから、コマンドを再度実行してください。
DRM-11113	DATABASEPROPERTY 関数で不正なリターンコードを検出しました。	(GUI の場合) 要因 SQL データベースの状態取得時に不正な値を検出しました。 対処 SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認してください。OS や SQL Server に異常が見ら

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>れない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 データベースの状態取得時に不正な値を検出したときに出力されるメッセージです。</p> <p>対処 SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
DRM-11500	Exchange Server の情報を取得できませんでした。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 取得した Exchange Server の設定情報が不正です。</p> <p>対処 Exchange Server の起動に必要なサービスが停止していないか、Exchange Server の設定を再確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 コマンドを実行したときに、Exchange Server の情報が取得できませんでした。</p> <p>対処 Exchange Server の設定を確認してください。Exchange Server の設定が不正な場合は、Exchange Server を起動するのに必要なサービスが停止していないか確認してください。</p>
DRM-11501	リストアコマンド実行前の状態	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 リストア処理に失敗したため操作実行前の状態に戻りました。</p> <p>対処 エラーの要因を取り除いて再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 リストアに失敗したため、次のファイルのコマンドを実行する前の状態に戻りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • データファイル (*.stm および*.edb) • トランザクションログファイル (*.log) • チェックポイントファイル (*.chk) <p>対処 エラーの要因を取り除いて、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-11502	データベースに不整合がありマウントできない状態	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 リストア処理に失敗したためデータベースに不整合があります。</p> <p>対処 エラーの要因を取り除いて再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 リストアに失敗したため、データベースに不整合があります。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処</p> <p>エラーの要因を取り除いて、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-11503	ESEUTIL コマンドの実行に失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p> <p>データベースの整合性チェックの実行時にエラーが発生しました。</p> <p>対処</p> <p>エラーの要因を取り除いて再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p> <p>データベースの整合性チェックを実行したときに、エラーが発生しました。</p> <p>対処</p> <p>エラーの要因を取り除いて、コマンドを再度実行してください。</p>
DRM-11504	内部エラーが発生しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p> <p>内部処理を実行中に未知の内部エラーが発生しました。</p> <p>対処</p> <p>本メッセージと一緒にコードと詳細メッセージが表示されたら、Exchange Server のマニュアルを参照して発生要因を取り除いてください。必要ならば Windows イベントログを採取して、OS や Exchange Server の状態を確認します。問題が解決しない場合は、製品マニュアルのトラブルシューティングの項目に記載された内容を確認し、資料を採取した後、問い合わせ窓口ご連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p> <p>内部処理を実行中に未知の内部エラーが発生しました。</p> <p>対処</p> <p>メッセージと一緒に表示されるエラーコードと詳細メッセージを基に、Exchange Server のマニュアルを参照してエラーの要因を取り除いてください。必要に応じて、Windows イベントログを採取して、OS や Exchange Server の状態を確認します。OS や Exchange Server に異常が見られない場合は、問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
DRM-11505	インフォメーションストアサービスに対するエラーが発生しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インフォメーションストアサービスが正常に動作していません。 2. インフォメーションストアサービスの状態遷移中にタイムアウトが発生しました。 3. コマンド実行時に外部からインフォメーションストアサービスに対する操作が行われ、予期しない状態へ変更されました。 4. クラスタ環境下でインフォメーションストアアクラスタリソースがオンラインにもかかわらず

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>ならず、インフォメーションストアサービスが開始していません。</p> <p>対処 Exchange Server のマニュアルを参照して、Microsoft Exchange Information Store サービスが正常に動作しているかを確認してください。 (CLI の場合) 要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インフォメーションストアサービスが正常に動作していない。 ・ インフォメーションストアサービスの状態遷移中にタイムアウトが発生した。 ・ コマンド実行時に外部からインフォメーションストアサービスに対する操作が行われ、予期しない状態へ変更された。 ・ クラスタ環境でクラスタリソースのインフォメーションストアがオンラインであるのに、インフォメーションストアサービスが開始されていない。 <p>対処 Exchange Server のマニュアルを参照して、インフォメーションストアサービスが正常に動作しているかを確認してください。 要因として DRM-11508 が出力された場合は、init.conf ファイルの SVC_RETRY_TIME または SVC_RETRY_WAIT の値を見直してください。それ以外の要因が指定された場合はその要因を確認してください。</p>
DRM-11506	インフォメーションストアサービスの起動に失敗しました。	<p>(GUI の場合) 要因 インフォメーションストアサービスの起動に失敗しました。 対処 Exchange Server のマニュアルを参照して、インフォメーションストアサービスが正常に動作しているかを確認してください。 (CLI の場合) 要因 インフォメーションストアサービスの起動に失敗したときに出力されるメッセージです。 対処 インフォメーションストアサービスが正常に起動するかを確認してください。 要因として DRM-11508 が出力された場合は、init.conf ファイルの SVC_RETRY_TIME または SVC_RETRY_WAIT の値を見直してください。それ以外の要因が指定された場合はその要因を確認してください。</p>
DRM-11507	インフォメーションストアサービスが予期せぬ状態になりました。	<p>(GUI の場合) 要因 インフォメーションストアに関連した操作を実行中にインフォメーションストアに対して操作が行われ、状態が変更されました。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>または、クラスタ環境下でクラスタリソースがオンラインであるにもかかわらず Microsoft Exchange Information Store サービスが開始していません。</p> <p>対処 インフォメーションストアに関連した操作を実行中にインフォメーションストアに対する操作を行わないでください。 クラスタ環境の場合は、インフォメーションストアクラスタリソースがオンラインのとき、Microsoft Exchange Information Store サービスが開始していることを確認してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コマンド実行時に外部からインフォメーションストアサービスに対する操作が行われ、予期しない状態へ変更された。 • クラスタ環境でインフォメーションストアクラスタリソースがオンラインであるのに、インフォメーションストアサービスが開始していない。 <p>対処 コマンド実行中は、外部からインフォメーションストアサービスに対する操作を行わないようにしてください。また、クラスタ環境の場合でクラスタリソースのインフォメーションストアがオンラインのときは、インフォメーションストアサービスが開始していることを確認してください。</p>
DRM-11508	タイムアウトが発生しました。	<p>(GUI の場合) 要因 タイムアウトが発生しました。</p> <p>対処 同時に表示されるほかのメッセージを確認してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 タイムアウトが発生したときに出力されるメッセージです。</p> <p>対処 同時に表示されるほかのメッセージを確認して対処してください。</p>
DRM-11509	ESEUTIL コマンドがエラーを返しました。	<p>(GUI の場合) 要因 データベースの整合性チェックの実行中にエラーが発生しました。</p> <p>対処 エラーの要因を取り除いて再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 データベースの整合性チェックを実行したときに、エラーが発生しました。</p> <p>対処</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		エラーの要因を取り除いて、コマンドを再度実行してください。
DRM-11602	内部エラーが発生しました。	要因 未知の内部エラーが発生しました。 対処 マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i> 」のトラブルシューティングの説明を参照して資料を採取した上で、問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-11603	オブジェクトの生成に失敗しました。	要因 オブジェクトの生成に失敗しました。 対処 システムログを参照し、OS に異常がないかどうか確認してください。
DRM-12500	リモートディレクトリへのアクセスに失敗しました。	要因 FTP サーバ上のリモートディレクトリへのアクセスに失敗しました。 対処 このメッセージとともに表示されるメッセージを参照して、次のことを確認してください。 ・ ユーザー ID、パスワードが正しいか。 ・ FTP サービスが起動しているか。 ・ 対象とするディレクトリがあるか。 ・ 対象とするディレクトリ、またはファイルの書き込み権限があるか。
DRM-12501	ファイルに実行権限がありません。	要因 コマンドに実行権限がないためコマンドの実行に失敗しました。 対処 対象のファイルが実行できるか、またはコマンドを実行したユーザーに対象ファイルの実行権限があるかを確認してください。
DRM-12502	操作の対象となるバックアップカタログファイルが FTP サーバ上に存在しません。	要因 操作の対象となるバックアップカタログファイルが FTP サーバ上の対象ディレクトリに見つかりませんでした。 対処 対象となるバックアップカタログファイルが FTP サーバ上にあるかどうかを確認してください。対象となるバックアップカタログファイルがない場合、バックアップカタログファイルの生成またはコピーをして、コマンドを再度実行してください。
DRM-12503	操作の対象となるディレクトリが存在しません。	要因 拡張コマンド用一時ディレクトリが見つかりませんでした。 対処 オペレーション定義ファイルチェックツールを実行後、コマンドを再実行してください。
DRM-12504	Active Directory に対する処理でエラーが発生しました。	要因 ドメインコントローラに接続できませんでした。 対処 ログインしているユーザー名およびパスワードを使用して、ドメインコントローラに接続できる

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		か確認してください。また、ドメインコントローラ、DNS サービスおよびネットワークが正常に動作しているか確認してください。必要に応じてこのプログラムを実行しているサーバ、ドメインコントローラおよび DNS サービスのイベントログを採取し、OS の状態を確認してください。
DRM-14000	サービスの起動に失敗しました。	<p>要因 サービスの起動に失敗した場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 メッセージと一緒に表示される OS のエラーコードと Windows イベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のトラブルシューティングの説明を参照して、資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
DRM-14001	サービスの停止に失敗しました。	<p>要因 サービスの停止に失敗した場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 メッセージと一緒に表示される OS のエラーコードと Windows イベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のトラブルシューティングの説明を参照して、資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
DRM-14002	サービス制御マネージャーが開けませんでした。	<p>要因 サービス制御マネージャーのオープンに失敗した場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 メッセージと一緒に表示される OS のエラーコードと Windows イベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のトラブルシューティングの説明を参照して、資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
DRM-14003	サービスの情報取得に失敗しました。	<p>要因 サービスの情報取得に失敗した場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 メッセージと一緒に表示される OS のエラーコードと Windows イベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のトラブルシューティングの説明を参照して、資料を</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-14004	スレッドの生成に失敗しました。	<p>要因 スレッドの生成に失敗した場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 メッセージと一緒に表示される OS のエラーコードと Windows イベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のトラブルシューティングの説明を参照して、資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
DRM-14005	バックアップサーバのユーザースクリプトを実行する場合は-s オプションの指定が必要です。	<p>要因 リモートサイトでユーザースクリプトを実行するときに、-s オプションが指定されていませんでした。</p> <p>対処 リモートサイトでユーザースクリプトを実行する場合は、-s オプションでホスト名を指定してください。</p>
DRM-14006	サイト名セクションの指定方法が不正です。	<p>要因 カスケード構成情報定義ファイルのサイト名セクションの指定方法が不正です。</p> <p>対処 カスケード構成情報定義ファイルを正しく修正してから、コマンドを再度実行してください。カスケード構成情報定義ファイルの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」を参照してください。</p>
DRM-14007	指定できないパラメーターが指定されました。	<p>要因 カスケード構成情報定義ファイルに指定できないパラメーターが指定されました。</p> <p>対処 カスケード構成情報定義ファイルを正しく修正してから、コマンドを再度実行してください。カスケード構成情報定義ファイルの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」を参照してください。</p>
DRM-14008	指定できる最大長を超えています。	<p>要因 カスケード構成情報定義ファイルに指定できる最大長を超えているパラメーターがあります。</p> <p>対処 カスケード構成情報定義ファイルを正しく修正してから、コマンドを再度実行してください。カスケード構成情報定義ファイルの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application</i></p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<i>Agent CLI ユーザーズガイド</i> を参照してください。
DRM-14009	指定した文字列が不正です。	<p>要因 カスケード構成情報定義ファイルに文字列が不正なパラメーターがあります。</p> <p>対処 カスケード構成情報定義ファイルを正しく修正してから、コマンドを再度実行してください。カスケード構成情報定義ファイルの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」を参照してください。</p>
DRM-14010	指定した数値が不正です。	<p>要因 カスケード構成情報定義ファイルに数値が不正なパラメーターがあります。</p> <p>対処 カスケード構成情報定義ファイルを正しく修正してから、コマンドを再度実行してください。カスケード構成情報定義ファイルの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」を参照してください。</p>
DRM-14011	指定されたパラメーターは、複数記述できません。	<p>要因 カスケード構成情報定義ファイルに複数の記述ができないパラメーターに複数の記述があります。</p> <p>対処 カスケード構成情報定義ファイルを正しく修正してから、コマンドを再度実行してください。カスケード構成情報定義ファイルの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」を参照してください。</p>
DRM-14012	指定されたパラメーターの並び順が正しくありません。	<p>要因 カスケード構成情報定義ファイルのパラメーターの並び順が正しくありません。</p> <p>対処 カスケード構成情報定義ファイルを正しく修正してから、コマンドを再度実行してください。カスケード構成情報定義ファイルの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」を参照してください。</p>
DRM-14013	ベリファイ処理がログの異常を検出しました。	<p>要因 ベリファイ処理でトランザクションログに異常を検出しました。</p> <p>対処 バックアップサーバのイベントログ、または、データベースサーバで ESEUTIL コマンドを /ml オプションで実行した結果、検出されたトランザ</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>クシヨソログの異常内容を確認し、トランザクシヨソログの異常を解消してバックアップコマンドを再実行してください。</p> <p>なお ESEUTIL コマンドの /ml オプションに指定するベース名はバックアップサーバの標準ログ (drm_output.log) に出力された KAVX0282-E メッセージで確認することができます。</p> <p>ESEUTIL コマンドの使用方法及び対象方法については、Exchange Server のマニュアルを参照してください。</p>

KAIB で始まるメッセージ

この章では、Hitachi Command Suite 製品のインストーラーに関するメッセージについて説明します。

- 3.1 KAIB00000～KAIB09999
- 3.2 KAIB10000～KAIB19999
- 3.3 KAIB20000～KAIB29999
- 3.4 KAIB30000～KAIB39999
- 3.5 KAIB40000～KAIB49999
- 3.6 KAIB50000～KAIB59999

3.1 KAIB00000～KAIB09999

Hitachi Command Suite 製品のインストーラーに関するメッセージ（KAIB00000～KAIB09999）を次の表に示します。

表 3-1 KAIB00000～KAIB09999 : Hitachi Command Suite 製品のインストーラーのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB00100-I	インストール対象のサーバマシンで、Hitachi Command Suite 製品のサービスが起動しています。 インストールを継続すると Hitachi Command Suite 製品のサービスがすべて停止されます。問題がない場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。	要因 インストール対象のサーバマシンで、Hitachi Command Suite 製品のサービスが起動しています。 対処 Hitachi Command Suite 製品のサービスが停止されても問題ない場合は、[OK] ボタンをクリックしてインストールを続行してください。
KAIB00101-I	管理サーバで、Hitachi Command Suite 製品のサービスが起動しています。 アンインストールを継続すると Hitachi Command Suite 製品のサービスがすべて停止されます。問題がない場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。	要因 管理サーバで、Hitachi Command Suite 製品のサービスが起動しています。 対処 Hitachi Command Suite 製品のサービスが停止されても問題ない場合は、[OK] ボタンをクリックしてアンインストールを続行してください。
KAIB00200-I	(Windows の場合) インストールに必要なファイルがメディア上にそろっていません。 (UNIX の場合) The files required for installation are on the media.	要因 - 対処 -
KAIB00225-I	(Windows の場合) 現在の仮想メモリの空き容量は <空き容量> MB です。 Hitachi Command Suite 製品が動作するには、<必要な容量> MB 以上の仮想メモリが必要です。 (UNIX の場合) There is <空き容量> MB of free virtual memory for the management server. Hitachi Command Suite requires <必要な容量> MB of virtual memory.	要因 - 対処 -
KAIB00226-I	(Windows の場合) インストール先のディスクには、十分な空き容量があります。 ディスク: <ディスク>, 必要な容量: <必要な容量> MB, 空き容量: <空き容量> MB インストール時にバックアップを取得する場合は、さらにディスク容量が必要です。 (UNIX の場合) The specified location has enough free capacity for installation. Disk: <ディスク>, Required: <必要な容量> MB, Available: <空き容量> MB	要因 - 対処 -

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	Additional disk capacity may be needed if you back up the database at installation.	
KAIB00227-I	<p>(Windows の場合) このシステムの OS バージョン: <OS バージョン></p> <p>(UNIX の場合) OS version: <OS バージョン></p>	要因 - 対処 -
KAIB00250-I	HiRDB/ClusterService_HD0 サービスは停止しています。	要因 - 対処 -
KAIB00251-I	HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 サービスは稼働中です。	要因 - 対処 -
KAIB00252-I	<p>(Windows の場合) 現在インストールされている Hitachi Command Suite は、アップグレードインストールできるバージョンです。</p> <p>(UNIX の場合) The installed Hitachi Command Suite version can be updated.</p>	要因 - 対処 -
KAIB00253-I	<p>(Windows の場合) ほかのサーバマシンからデータベースにアクセスしているプログラムはありません。</p> <p>(UNIX の場合) No program is accessing the database from another machine.</p>	要因 - 対処 -
KAIB00254-I	<p>(Windows の場合) Hitachi Command Suite 共通コンポーネントはインストールされていません。</p> <p>(UNIX の場合) Hitachi Command Suite Common Component is not installed.</p>	要因 - 対処 -
KAIB00255-I	<p>(Windows の場合) Hitachi Command Suite 共通コンポーネントがインストールされています。 インストール先: <インストール先></p> <p>(UNIX の場合) Hitachi Command Suite Common Component is installed. Location: <インストール先></p>	要因 - 対処 -
KAIB00256-I	<p>(Windows の場合) Device Manager はインストールされていません。</p> <p>(UNIX の場合) Device Manager is not installed.</p>	要因 - 対処 -
KAIB00257-I	(Windows の場合)	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	Device Manager がインストールされています。 インストール先: <インストール先> (UNIX の場合) Device Manager is installed. Location: <インストール先>	対処 -
KAIB00258-I	(Windows の場合) Tiered Storage Manager はインストールされていません。 (UNIX の場合) Tiered Storage Manager is not installed.	要因 - 対処 -
KAIB00259-I	(Windows の場合) Tiered Storage Manager がインストールされています。 インストール先: <インストール先> (UNIX の場合) Tiered Storage Manager is installed. Location: <インストール先>	要因 - 対処 -
KAIB00260-I	(Windows の場合) Replication Manager はインストールされていません。 (UNIX の場合) Replication Manager is not installed.	要因 - 対処 -
KAIB00261-I	(Windows の場合) Replication Manager がインストールされています。 インストール先: <インストール先> (UNIX の場合) Replication Manager is installed. Location: <インストール先>	要因 - 対処 -
KAIB00262-I	(Windows の場合) Tuning Manager はインストールされていません。 (UNIX の場合) Tuning Manager is not installed.	要因 - 対処 -
KAIB00263-I	(Windows の場合) Tuning Manager がインストールされています。 インストール先: <インストール先> (UNIX の場合) Tuning Manager is installed. Location: <インストール先>	要因 - 対処 -
KAIB00275-I	(Windows の場合) <ホスト名(IP アドレス)>は起動しています。 (UNIX の場合) <ホスト名(IP アドレス)> is running.	要因 - 対処 -
KAIB00276-I	(Windows の場合) Device Manager で使用される UDP ポート(162)は現在使用されていません。 (UNIX の場合) UDP port (162) is not being used.	要因 - 対処 -

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIB00277-I	Application Experience サービスが有効になっています。	要因 - 対処 -
KAIB09000-I	The Hitachi Command Suite services started successfully. To verify service status, select [Status] from the Start menu.	要因 - 対処 -
KAIB09001-I	The Hitachi Command Suite services stopped successfully. To verify service status, select [Status] from the Start menu.	要因 - 対処 -

3.2 KAIB10000～KAIB19999

Hitachi Command Suite 製品のインストーラーに関するメッセージ (KAIB10000～KAIB19999) を次の表に示します。

表 3-2 KAIB10000～KAIB19999 : Hitachi Command Suite 製品のインストーラーのメッセージ

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIB10000-W	<p>(Windows の場合) Tuning Manager と連携する場合は、インストールしたあとに htmsetup コマンドを実行し、Tuning Manager と連携するための設定をしてください。</p> <p>(UNIX の場合) To access Tuning Manager you must run the htmsetup command after the installation.</p>	<p>要因 Tuning Manager と連携するために必要な情報の取得に失敗しました。</p> <p>対処 Tuning Manager と連携する場合は、インストールしたあとに htmsetup コマンドを実行し、Tuning Manager と連携するための設定をしてください。</p>
KAIB10002-W	<p>(Windows の場合) インストール先のディスク容量が足りません。必要な容量を確保するか、インストール先を変更してください。 ディスク：<ディスク>，必要な容量：<必要な容量> MB，空き容量：<空き容量> MB</p> <p>(UNIX の場合) This location does not have enough space for the installation. Add more space or change the location. Disk: <ディスク>，Required: <必要な容量> MB，Available: <空き容量> MB</p>	<p>要因 インストール先のディスク容量が足りません。</p> <p>対処 容量を確保するか、十分な空き容量があるほかのディスクにインストールしてください。</p>
KAIB10003-W	<p>(Windows の場合) インストール先のディスク容量が足りません。必要な容量を確保してください。 ディスク：<ディスク>，必要な容量：<必要な容量> MB，空き容量：<空き容量> MB</p> <p>(UNIX の場合)</p>	<p>要因 インストール先のディスク容量が足りません。</p> <p>対処 容量を確保してください。確保できない場合は、いったんアンインストールしたあと、別の場所に再度インストールし直してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>This location does not have enough space for the installation. Add more space.</p> <p>Disk: <ディスク>, Required: <必要な容量> MB, Available: <空き容量> MB</p>	
KAIB10004-W	<p>(Windows の場合) アンインストールを実行すると、アンインストール確認画面の「ターゲットフォルダ」下のファイル、フォルダがすべて削除されます。よろしいですか？</p> <p>(UNIX の場合) If you continue the removal, all files and folders under the target folder in the confirmation screen will be removed. Do you want to continue?</p>	<p>要因 Hitachi Command Suite のアンインストールに対する事前確認です。</p> <p>対処 アンインストール確認画面の「ターゲットフォルダ」下のファイル、フォルダがすべて削除されても問題ない場合は、アンインストールを続行してください。</p>
KAIB10005-W	<p>インストール対象のサーバマシンに設定されているホスト名が、Hitachi Command Suite に設定できるホスト名の文字数の上限を超えています。インストール設定画面の「IP アドレス(ホスト名)項目」で IP アドレスを指定する、またはホスト名を 32 バイト以内に変更してください。</p>	<p>要因 インストール対象のサーバマシンに設定されているホスト名が、Hitachi Command Suite に設定するホスト名の文字数を超過しています。</p> <p>対処 サーバマシンのホスト名を 32 バイト以内に変更してください。またはインストール設定画面の「IP アドレス(ホスト名)項目」で IP アドレスを指定してください。</p>
KAIB10006-W	<p>バックアップファイルの格納先として指定したフォルダはすでに存在するため、次のフォルダは一度削除されます。よろしいですか？</p> <p><バックアップ先フォルダ> ほかのフォルダを指定する場合は、バックアップファイルの格納先を指定し直してください。継続する場合は[OK]ボタンをクリックしてください。</p>	<p>要因 バックアップファイルの格納先として指定したフォルダは、すでに存在します。</p> <p>対処 存在するフォルダを一度削除してください。またはほかのフォルダを指定してください。</p>
KAIB10007-W	<p>(Windows の場合) 仮想メモリーの容量が不足しています。現在の仮想メモリーの空き容量は<空き容量> MB です。Hitachi Command Suite 製品が動作するには、少なくとも<必要な容量> MB の仮想メモリーが必要です。仮想メモリーの設定を見直して、必要な容量を確保してください。</p> <p>仮想メモリーが不足していると、プログラムが起動できなったり、動作が不安定になったりするおそれがあります。</p> <p>(UNIX の場合) Virtual memory free space for the management server is <空き容量> MB. Hitachi Command Suite requires <必要な容量> MB of virtual memory, so you must add more. Lack of free space may lead to unstable system and unable to run program.</p>	<p>要因 仮想メモリーの容量が不足しています。</p> <p>対処 仮想メモリーの設定を見直して、必要な容量を確保してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB10008-W	<p>Virtual memory free space for the management server is <空き容量> MB.</p> <p>Hitachi Command Suite requires <必要な容量> MB of virtual memory, so you must add more.</p> <p>Lack of free space may lead to unstable system and unable to run program.</p> <p>Note that Hitachi Command Suite services are running and some virtual memory is being consumed.</p>	<p>要因 仮想メモリーの容量が不足しているおそれがあります。</p> <p>対処 仮想メモリーの設定を見直して、必要であれば仮想メモリーを増やしてください。 なお、現在の仮想メモリーの空き容量は、稼働中の Hitachi Command Suite 製品のサービスによって消費された状態の容量を表示しています。Hitachi Command Suite 製品のサービスを停止して、再度、要件チェッカーを実行すれば、仮想メモリーの空き容量をより正確に求めることができます。</p>
KAIB10009-W	<p>(Windows の場合) ローカルホストへの通信状態を確認しましたが、応答がありませんでした。 Hitachi Command Suite 製品は、ローカルループバックアドレス(localhost および 127.0.0.1)やホスト名をあて先として通信します。その際、通信エラーとなるおそれがあります。 ローカルループバックアドレスや、ホスト名の設定を確認してください。 ローカルループバックアドレスや、ホスト名が正しく設定されている場合でも、ネットワーク設定によってはこのメッセージが出力される場合があります。その場合は、このメッセージを無視して、インストールを続行してください。</p> <p>(UNIX の場合) A connectivity check was performed for the local host, but there was no response. A communication error may have occurred because Hitachi Command Suite products perform communications using the local loopback address (localhost and 127.0.0.1) or the host name as the destination. Verify the local loopback address and the host name settings. Depending on network settings, this message may appear even if the local loopback address and the host name are set correctly. If this is the case, ignore this message and continue the installation.</p>	<p>要因 ローカルホストへの通信状態を確認しましたが、応答がありませんでした。</p> <p>対処 ローカルループバックアドレスや、ホスト名の設定を確認してください。</p>
KAIB10010-W	<p>(Windows の場合) <ホスト名または、IP アドレス>に対して、通信状態を確認しましたが、応答がありませんでした。 Hitachi Command Suite 製品は、<ホスト名または、IP アドレス>をあて先として通信します。その際に通信エラーとなるおそれがあります。</p>	<p>要因 指定した値に対して、通信状態を確認しましたが、応答がありませんでした。</p> <p>対処 指定したホスト名または IP アドレスに誤りがないか確認してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>指定した値を確認してください。 指定した値に問題がない場合でも、ネットワーク設定によってはこのメッセージが出力される場合があります。その場合は、このメッセージを無視して、インストールを続行してください。</p> <p>(UNIX の場合) A connectivity check was performed for <ホスト名または、IP アドレス>, but there was no response. A communication error may have occurred because Hitachi Command Suite products perform communications using <ホスト名または、IP アドレス> as the destination. Verify the value. Depending on network settings, this message may appear even if there is no problem with the specified value. If this is the case, ignore this message and continue the installation.</p>	
KAIB10011-W	<p>(Windows の場合) Device Manager の SNMP Trap 機能に使用する UDP ポート(162)は、別のアプリケーションで使用されています。</p> <p>(UNIX の場合) Device Manager UDP port(162) for receiving SNMP Traps is in use by another application.</p>	<p>要因 Device Manager の SNMP Trap 機能に使用する UDP ポート(162)は、別のアプリケーションで使用されています。</p> <p>対処 Device Manager の SNMP Trap 機能を有効にする場合、別アプリケーションのポートを変更してください。</p>
KAIB10012-W	<p>(Windows の場合) Hitachi Command Suite はこの OS をサポートしていません。 Hitachi Command Suite がサポートする OS を確認してください。</p> <p>(UNIX の場合) Hitachi Command Suite is not supported on this OS. Verify which OSs are supported for the Hitachi Command Suite.</p>	<p>要因 Hitachi Command Suite はこの OS をサポートしていません。</p> <p>対処 Hitachi Command Suite がサポートする OS を確認してください。</p>
KAIB10013-W	<p>(Windows の場合) リモート接続情報の取得に失敗しました。 Tuning Manager とリモート接続していなければ問題ありません。</p> <p>(UNIX の場合) Remote connection information cannot be obtained. This is not a problem if Tuning Manager is not connected remotely.</p>	<p>要因 リモート接続情報の取得に失敗しました。</p> <p>対処 Tuning Manager とリモート接続していなければ問題ありません。</p>
KAIB10200-W	<p>Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止に失敗しました。サービスの停止が遅延しているおそれがあります。 [再試行] ボタンをクリックして、Hitachi Command Suite 製品のサービスを停止してください。</p>	<p>要因 Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止に失敗しました。 管理サーバが稼働中のため、サービスの停止が遅延しているおそれがあります。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	サービスが停止できない場合の原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	[再試行] ボタンをクリックして、Hitachi Command Suite 製品のサービスを停止してください。 サービスが停止できない場合の原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIB10201-W	(Windows の場合) SLP サービスの起動に失敗しましたが、インストールを続行します。インストールしたあと、SLP サービスを起動してください。 (UNIX の場合) Unable to start the SLP service, but the installation will continue. After the installation, start the SLP service.	要因 SLP サービスの起動に失敗しました。 対処 インストールしたあと、SLP サービスを起動してください。
KAIB10202-W	(Windows の場合) SLP サービスの解除に失敗しましたが、アンインストールを続行します。アンインストールしたあと、SLP サービスを解除してください。 (UNIX の場合) Unable to release the SLP service, but the removal will continue. After the removal, release the SLP service.	要因 SLP サービスの解除に失敗しました。 対処 アンインストールしたあと、SLP サービスを解除してください。
KAIB10203-W	(Windows の場合) SMI-S のセットアップに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 (UNIX の場合) Unable to set up SMI-S. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.	要因 SMI-S のセットアップに失敗しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIB10204-W	(Windows の場合) Tuning Manager と連携するための設定に失敗しましたが、インストールを続行します。Tuning Manager と連携する場合は、インストールしたあとに htmsetup コマンドを実行し、Tuning Manager と連携するための設定をしてください。 (UNIX の場合) Unable to access Tuning Manager, but the installation will continue. After the installation, run the htmsetup command to configure Tuning Manager access.	要因 Tuning Manager と連携するための設定に失敗しました。 対処 Tuning Manager と連携する場合は、インストールしたあとに htmsetup コマンドを実行し、Tuning Manager と連携するための設定をしてください。
KAIB10205-W	(Windows の場合)	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止に失敗しましたが、インストールは正常に完了しました。サービスの停止が遅延しているおそれがあります。しばらく待ってからサービスを停止してください。</p> <p>サービスが停止できない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p> <p>(UNIX の場合)</p> <p>The Hitachi Command Suite services cannot be stopped, but the installation completed successfully. Stopping these services may be delayed. Please wait for a while, and then manually stop the services. If you cannot stop the services, to determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required.</p> <p>Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.</p>	<p>Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止に失敗しました。</p> <p>管理サーバが稼働中のため、サービスの停止が遅延しているおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>再度 Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止を実行してください。</p> <p>サービスが停止できない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>
KAIB10206-W	<p>(Windows の場合)</p> <p>アンインストールが不完全な状態で終了しました。</p> <p>Hitachi Command Suite 製品のプログラムが実行中であるおそれがあります。再度インストールする場合、Hitachi Command Suite 製品のプログラムが実行中でないかを確認してからインストールし直してください。それでも解決しない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p> <p>Hitachi Command Suite 共通コンポーネントを使用する製品をインストールしない場合は問題ありません。</p> <p>(UNIX の場合)</p> <p>The program was not completely removed.</p> <p>A Hitachi Command Suite program may be running.</p> <p>To re-install, ensure there are no Hitachi Command Suite programs running. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.</p> <p>If you do not want to install Hitachi Command Suite Common Component, there is no problem.</p>	<p>要因</p> <p>Hitachi Command Suite 製品のプログラムが実行中であるおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>再度インストールする場合、Hitachi Command Suite 製品のプログラムが実行中でないかを確認してからインストールし直してください。それでも解決しない場合、原因の究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>
KAIB10207-W	<p>(Windows の場合)</p>	<p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>アンインストールが不完全な状態で終了しました。</p> <p>Hitachi Command Suite 製品のプログラムが実行中であるおそれがあります。再度インストールする場合、Hitachi Command Suite 製品のプログラムが実行中でないかを確認してからインストールし直してください。それでも解決しない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p> <p>Hitachi Command Suite 製品をインストールしない場合は問題ありません。</p> <p>(UNIX の場合)</p> <p>The program was not completely removed.</p> <p>A Hitachi Command Suite program may be running.</p> <p>To re-install, ensure there are no Hitachi Command Suite programs running. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information. If you do not want to install Hitachi Command Suite products, there is no problem.</p>	<p>Hitachi Command Suite 製品のプログラムが実行中であるおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>再度インストールする場合、Hitachi Command Suite 製品のプログラムが実行中でないかを確認してからインストールし直してください。それでも解決しない場合、原因の究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>
KAIB10208-W	<p>(Windows の場合)</p> <p>Host Data Collector のポート番号がすでに使用されているため、ファイアウォールに例外を登録していません。インストール完了後、Host Data Collector のポート番号を変更し、ファイアウォールに例外を登録してください。</p> <p>(UNIX の場合)</p> <p>The Host Data Collector port number was not registered as a firewall exception because the port is currently in use.</p> <p>After the installation is complete, change the Host Data Collector port number, and then register it as a firewall exception.</p>	<p>要因</p> <p>Host Data Collector のポート番号がすでに例外に登録されています。</p> <p>対処</p> <p>インストール完了後、Host Data Collector のポート番号を変更し、ファイアウォールに例外を登録してください。ポート番号の変更と、ファイアウォールへの例外の登録については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。</p>
KAIB10209-W	<p>(Windows の場合)</p> <p>インストール完了後、Host Data Collector のポート番号をファイアウォールの例外に登録してください。</p> <p>(UNIX の場合)</p> <p>After the installation is complete, register the Host Data Collector port number as a firewall exception.</p>	<p>要因</p> <p>Host Data Collector のポート番号をファイアウォールの例外に登録できませんでした。</p> <p>対処</p> <p>インストール完了後、Host Data Collector のポート番号をファイアウォールの例外に登録してください。ファイアウォールへの例外の登録については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB10210-W	<p>(Windows の場合) アンインストール完了後、Host Data Collector Base の例外をファイアウォールから削除してください。</p> <p>(UNIX の場合) After Host Data Collector is removed, delete the Host Data Collector Base exception from the list of firewall exceptions.</p>	<p>要因 ファイアウォールに登録されている Host Data Collector の例外を削除できませんでした。</p> <p>対処 アンインストール完了後、Host Data Collector Base の例外をファイアウォールから削除してください。</p>
KAIB10211-W	<p>(Windows の場合) Host Data Collector のインストールに失敗しました。 Host Data Collector をインストールしたい場合、Host Data Collector のインストーラーを使用してインストールしてください。 それでも解決しない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p> <p>(UNIX の場合) Installation of Host Data Collector failed. To install Host Data Collector, use the Host Data Collector installer. If you cannot resolve this problem, to determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.</p>	<p>要因 Host Data Collector のインストールに失敗しました。</p> <p>対処 Host Data Collector をインストールしたい場合、Host Data Collector のインストーラーを使用してインストールしてください。 それでも解決しない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>
KAIB10212-W	<p>Host Data Collector が使用するポート番号の形式が正しくありません。 インストールが完了したあと、hdcbase.properties ファイルに指定されている Host Data Collector のポート番号を見直し、Host Data Collector Base Service サービスを起動してください。</p>	<p>要因 Host Data Collector が使用するポート番号の形式が正しくありません。</p> <p>対処 インストールが完了したあと、hdcbase.properties ファイルに記載されている Host Data Collector のポート番号を見直し、Host Data Collector Base Service サービスを起動してください。 Host Data Collector のポート番号の見直しについては、マニュアル「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。</p>
KAIB10213-W	<p>Host Data Collector が使用するポート番号をほかのプログラムが使用しています。 インストールが完了したあと、hdcbase.properties ファイルに指定されている Host Data Collector のポート番号を変更し、Host Data Collector Base Service サービスを起動してください。</p>	<p>要因 Host Data Collector が使用するポート番号をほかのプログラムが使用しています。</p> <p>対処 インストールが完了したあと、hdcbase.properties ファイルに記載されている Host Data Collector のポート番号を変更し、Host Data Collector Base Service サービスを起動してください。 Host Data Collector のポート番号の変更については、マニュアル「Hitachi Command Suite</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Software システム構成ガイド」を参照してください。
KAIB10214-W	Hitachi Command Suite 製品が使用中の JDK は、アップグレード後にサポートしていないバージョンとなるため、Hitachi Command Suite 製品に同梱されている JDK に切り替えます。 Hitachi Command Suite 製品に同梱されていない JDK を使用する場合は、JDK を別途インストールしたあと、 <code>hcmdschgjdk</code> コマンドを実行してください。	要因 Hitachi Command Suite 製品が使用中の JDK は、アップグレード後にサポートしていないバージョンとなるため、Hitachi Command Suite 製品に同梱されている JDK に切り替えます。 対処 Hitachi Command Suite 製品に同梱されていない JDK を使用する場合は、JDK を別途インストールしたあと、 <code>hcmdschgjdk</code> コマンドを実行してください。
KAIB10215-W	Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止に失敗しましたが、インストールは正常に完了しました。 サービスを停止する場合、数分待ってから再度停止してください。 サービスを停止できない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。	要因 Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止に失敗しました。 管理サーバが稼働中のため、サービスの停止が遅延しているおそれがあります。 対処 サービスを停止する場合、数分待ってから再度停止してください。 サービスを停止できない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIB10216-W	(Windows の場合) Host Data Collector Base Service サービスが起動できません。 Host Data Collector が管理サーバとの通信で使用する IP アドレスの形式に誤りがあるか、または通信できる IP アドレスではありません。 インストールが完了したあと、 <code>hdcbase.properties</code> ファイルに指定されている <code>hdc.service.rmi.registryIPAddress</code> の値を見直してから、Host Data Collector Base Service サービスを起動してください。 (UNIX の場合) Host Data Collector Base Service could not be started. The format of the IP address that Host Data Collector uses for communicating with the management server is wrong, or the IP address cannot be used for communication. After installation is complete, revise the value of <code>hdc.service.rmi.registryIPAddress</code> in the <code>hdcbase.properties</code> file, and then start Host Data Collector Base Service.	要因 Host Data Collector が管理サーバとの通信で使用する IP アドレスの形式に誤りがあるか、または通信できる IP アドレスではありません。 対処 インストールが完了したあと、 <code>hdcbase.properties</code> ファイルに指定されている <code>hdc.service.rmi.registryIPAddress</code> の値を見直してから、Host Data Collector Base Service サービスを起動してください。 <code>hdc.service.rmi.registryIPAddress</code> の値の変更については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。
KAIB10301-W	(Windows の場合) <サーバ名>サーバは起動途中です。 数分待ってから、Hitachi Command Suite を使用してください。	要因 管理サーバは起動中のため、Hitachi Command Suite は現在使用できません。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>使用できない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p> <p>(UNIX の場合) <サーバ名> Server is starting. Wait a few minutes before using the Hitachi Command Suite. If you cannot use the Hitachi Command Suite, to determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.</p>	<p>数分待ってから、Hitachi Command Suite を使用してください。使用できない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p>
KAIB10302-W	<p>(Windows の場合) <サーバ名>サーバが処理中のため、Hitachi Command Suite 製品のサービスを停止できません。 数分待ってから、再度サービスを停止してください。 サービスが停止できない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p> <p>(UNIX の場合) <サーバ名> Server is processing and the service cannot be stopped. Wait a few minutes before manually stopping the services. If you cannot stop the services, to determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.</p>	<p>要因 管理サーバが処理中のため、Hitachi Command Suite 製品のサービスを停止できません。</p> <p>対処 数分待ってから、再度サービスを停止してください。サービスが停止できない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p>

3.3 KAIB20000～KAIB29999

Hitachi Command Suite 製品のインストーラーに関するメッセージ（KAIB20000～KAIB29999）を次の表に示します。

表 3-3 KAIB20000～KAIB29999 : Hitachi Command Suite 製品のインストーラーのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB20001-E	<p><グループ名>グループのユーザーでインストールしてください。インストールを中止します。</p>	<p>要因 管理者権限を持たないユーザーはインストールできません。</p> <p>対処 管理者権限を持つユーザーがインストールしてください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB20002-E	<グループ名>グループのユーザーでアンインストールしてください。アンインストールを中止します。	要因 管理者権限を持たないユーザーはアンインストールできません。 対処 管理者権限を持つユーザーがアンインストールしてください。
KAIB20003-E	(Windows の場合) この OS には、Hitachi Command Suite をインストールできません。Hitachi Command Suite がサポートする OS を確認してください。 (UNIX の場合) Hitachi Command Suite cannot be installed in this OS version. Verify the supported OS versions for the Hitachi Command Suite.	要因 インストールを実行した OS は未サポートであり、インストールできません。 対処 Hitachi Command Suite がサポートする OS を確認してください。
KAIB20004-E	Server Core 環境には、Hitachi Command Suite 製品をインストールできません。インストールを中止します。	要因 インストールを実行した Server Core 環境は未サポートであり、インストールできません。 対処 Hitachi Command Suite 製品のサポート環境を確認してください。
KAIB20005-E	(Windows の場合) 新しいバージョンの Hitachi Command Suite がインストールされているため、ダウングレードできません。インストールを中止します。 (UNIX の場合) You cannot downgrade. A more recent version of Hitachi Command Suite is installed. The downgrade will stop.	要因 ダウングレードインストールはできません。 対処 インストールする Hitachi Command Suite のバージョンを確認してください。
KAIB20006-E	(Windows の場合) 現在インストールされている<製品名>のバージョンから、アップグレードインストールできません。インストールを中止します。 (UNIX の場合) You cannot upgrade your <製品名> version. The upgrade will stop.	要因 現在インストールされている Hitachi Command Suite 製品のバージョンからのアップグレードインストールはできません。 対処 リリースノートを参照し、アップグレードインストールの対象となっているバージョンを確認してください。
KAIB20007-E	(Windows の場合) 異なるベンダーの Hitachi Command Suite がインストールされているため、インストールできません。インストールを中止します。顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。 (UNIX の場合) You cannot perform the installation. An Hitachi Command Suite from a different vendor is installed. The installation will stop. Contact Support.	要因 異なるベンダーの Hitachi Command Suite がインストールされています。 対処 顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIB20008-E	HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 のサービスが起動していないため、インス	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>ツールできません。インストールを中止します。</p> <p>HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 サービスを起動してから再度インストールしてください。</p>	<p>HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 のサービスが起動していません。</p> <p>対処</p> <p>HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 のサービスを起動してからインストールしてください。</p>
KAIB20009-E	<p>(Windows の場合)</p> <p>旧バージョンの Tuning Manager が大規模構成でインストールされているため、Hitachi Command Suite をインストールできません。インストールを中止します。</p> <p>Hitachi Command Suite をインストールするには、Tuning Manager を 7.0.0 以降のバージョンにアップグレードしてください。または、Hitachi Command Suite をほかのサーバマシンにインストールしてください。</p> <p>(UNIX の場合)</p> <p>You cannot perform the installation. An older version of Tuning Manager is installed. The installation will stop. To install Hitachi Command Suite, upgrade Tuning Manager to 7.0.0 or later. You can also install Hitachi Command Suite in a different server.</p>	<p>要因</p> <p>旧バージョンの Tuning Manager が大規模構成でインストールされています。</p> <p>対処</p> <p>Tuning Manager を v7.0.0 以降のバージョンにアップグレードしてください。または、Hitachi Command Suite をほかのサーバマシンにインストールしてください。</p>
KAIB20010-E	<p>(Windows の場合)</p> <p>インストール対象のサーバマシンで Hitachi Command Suite 製品のサービスが起動しています。このサーバマシンにインストールされている Hitachi Command Suite 製品は、クラスタ環境でセットアップされており、クラスタ環境でのセットアップ手順に従ってインストールしてください。</p> <p>(UNIX の場合)</p> <p>Hitachi Command Suite services are running on the management server. Hitachi Command Suite products installed on this server are set up in a cluster environment. You must stop the services and manually set up the cluster environment.</p>	<p>要因</p> <p>すでにインストールされている Hitachi Command Suite 製品が、クラスタ環境でセットアップされています。</p> <p>対処</p> <p>マニュアルを参照し、クラスタ環境でのセットアップ手順に従ってインストールしてください。</p>
KAIB20012-E	<p>(Windows の場合)</p> <p>内部エラーが発生しました。インストールを中止します。</p> <p>原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p> <p>(UNIX の場合)</p> <p>An internal error occurred. The installation will stop. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required.</p>	<p>要因</p> <p>内部エラーが発生しました。</p> <p>対処</p> <p>原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.	
KAIB20013-E	<p>(Windows の場合) Device Manager を前提とする製品がインストールされているため、アンインストールできません。次の製品をアンインストールしたあと、Hitachi Command Suite をアンインストールしてください。 <製品名></p> <p>(UNIX の場合) You cannot perform the removal. Products that depend on the Hitachi Command Suite are installed. Remove the following products, and then remove the Hitachi Command Suite. <製品名></p>	<p>要因 Device Manager を前提とする製品が、インストールされています。</p> <p>対処 Device Manager を前提とする製品をアンインストールしたあと、アンインストールしてください。</p>
KAIB20014-E	<p>(Windows の場合) このサーバマシンにインストールされている Hitachi Command Suite 製品は、クラスタ環境でセットアップされているため、サービスを停止できません。マニュアルを参照し、クラスタ環境でのアンインストール手順に従ってアンインストールしてください。</p> <p>(UNIX の場合) Hitachi Command Suite products on this server are set up in a cluster environment. You must remove them following the cluster environment removal procedure.</p>	<p>要因 Hitachi Command Suite 製品は、クラスタ環境でセットアップされてこのサーバマシンにインストールされているため、サービスを停止できません。</p> <p>対処 マニュアルを参照し、クラスタ環境でのアンインストール手順に従ってアンインストールしてください。</p>
KAIB20015-E	<p>(Windows の場合) 異なるベンダーの Hitachi Command Suite がインストールされているため、インストールできません。インストールを中止します。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(UNIX の場合) You cannot perform the installation. An Hitachi Command Suite from a different vendor is installed. The installation will stop. Contact Support.</p>	<p>要因 異なるベンダーの Hitachi Command Suite がインストールされています。</p> <p>対処 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAIB20016-E	<p>HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 のサービスが起動していないため、アンインストールできません。アンインストールを中止します。</p> <p>HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 サービスを起動してから再度アンインストールしてください。</p>	<p>要因 HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 のサービスが起動していません。</p> <p>対処 HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 サービスを起動してから再度アンインストールしてください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB20017-E	HiRDB/ClusterService_HD0のサービスが起動しているため、インストールできません。インストールを中止します。HiRDB/ClusterService_HD0サービスを停止してから再度インストールしてください。	要因 HiRDB/ClusterService_HD0のサービスが起動しています。 対処 HiRDB/ClusterService_HD0サービスを停止してから再度インストールしてください。
KAIB20018-E	HiRDB/ClusterService_HD0のサービスが起動しているため、アンインストールできません。アンインストールを中止します。HiRDB/ClusterService_HD0サービスを停止してから再度アンインストールしてください。	要因 HiRDB/ClusterService_HD0のサービスが起動しています。 対処 HiRDB/ClusterService_HD0サービスを停止してから再度アンインストールしてください。
KAIB20019-E	(Windows の場合) Hitachi Command Suite 製品が使用する JDK が見つかりません。 hcmdschgjdk コマンドを実行して、JDK を設定してください。 Hitachi Command Suite 製品に同梱されていない JDK を使用する場合は、JDK を別途インストールしたあと、hcmdschgjdk コマンドを実行してください。 (UNIX の場合) The JDK was not found. Use the hcmdschgjdk command to set the JDK. If you do not use the JDK that comes with the Hitachi Command Suite, you must install it separately.	要因 Hitachi Command Suite 製品が使用する JDK の設定が壊れています。 対処 hcmdschgjdk コマンドを実行して、JDK を設定してください。 Hitachi Command Suite 製品に同梱されていない JDK を使用する場合は、JDK を別途インストールしたあと、hcmdschgjdk コマンドを実行してください。
KAIB20020-E	You must run setup.exe to install Hitachi Command Suite.	要因 setup.exe 以外のファイルからインストーラーが起動されました。 対処 setup.exe を実行してください。
KAIB20021-E	インストールに必要なファイル(<ファイル名>)を読み込めません。 次の原因が考えられます。 ・統合インストールメディアから Windows 上のドライブへのコピーが失敗した。 ・コピーしたファイルが Windows 上のドライブから削除された。 ・コピー先のフォルダ名に半角英数字以外の文字が使用されている。 上記に該当する場合、その問題を解決してください。 それでも解決しない場合、原因の究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 インストールに必要なファイルを読み込めません。 次の原因が考えられます。 ・統合インストールメディアから Windows 上のドライブへのコピーが失敗した。 ・コピーしたファイルが Windows 上のドライブから削除された。 ・コピー先のフォルダ名に半角英数字以外が使用されている。 対処 要因に応じて、問題を解決してください。 それでも解決しない場合、原因の究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIB20022-E	(Windows の場合) ファイル(<ファイル名>)の読み込みに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。	要因 内部エラーのため、ファイルの読み込みに失敗しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p> <p>(UNIX の場合)</p> <p>Unable to read file "<ファイル名>". To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.</p>	<p>原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。</p> <p>障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KAIB20024-E	<p>(Windows の場合)</p> <p><IP アドレス>で稼働しているプログラムが、管理サーバのデータベースに接続しています。</p> <p>Tuning Manager サーバが管理サーバのデータベースにアクセスしている可能性があります。<IP アドレス>上の Tuning Manager サーバのサービスを停止してください。</p> <p>(UNIX の場合)</p> <p>A program on <IP アドレス> is connected to the management server database. Stop Tuning Manager server services on <IP アドレス>. The Tuning Manager server is probably accessing the database.</p>	<p>要因</p> <p>リモート接続先のプログラムが、管理サーバのデータベースに接続しています。</p> <p>対処</p> <p>リモート接続先の Tuning Manager サーバのサービスを停止してください。</p>
KAIB20025-E	<p>インストールされている Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのパスが長い場合、Hitachi Command Suite をインストールできません。インストールを中止します。</p>	<p>要因</p> <p>インストールされている Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのパスが長い場合、Hitachi Command Suite をインストールできません。</p> <p>対処</p> <p>次の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> すべての Hitachi Command Suite 製品のデータを、hcmdsdbtrans コマンドを使用してエクスポートします。 hcmdsdbtrans コマンドについては、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Software</i> システム構成ガイド」を参照してください。 すべての Hitachi Command Suite 製品をいったんアンインストールしたあと、インストールし直します。 インストール時に指定する Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのインストールパスは、「¥Base」を含めて 72 バイト以内で指定してください。 手順 1 でエクスポートしたデータを、hcmdsdbtrans コマンドでインポートします。 再度 Hitachi Command Suite 製品をインストールします。
KAIB20026-E	<p>最小サーバインターフェース環境には、Hitachi Command Suite 製品をインストールできません。</p>	<p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	インストールを中止します。	インストールを実行した最小サーバインターフェース環境は未サポートであり、インストールできません。 対処 Hitachi Command Suite 製品のサポート環境を確認してください。
KAIB20027-E	Application Experience サービスが無効になっているためインストールできません。インストールを中止します。 Application Experience サービスのスタートアップの種類を自動にし、サーバを再起動してからインストールし直してください。	要因 Application Experience サービスが無効になっているためインストールできません。 対処 Application Experience サービスのスタートアップの種類を自動にし、サーバを再起動してからインストールし直してください。
KAIB20101-E	インストール先として指定したパスに、使用できない文字が含まれています。インストール先のパスは、次の文字で指定してください。 A～Z a～z 0～9 . _ () 半角スペース	要因 インストール先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。 対処 インストール先のパスは、次の文字で指定してください。 A～Z a～z 0～9 . _ () 半角スペース
KAIB20102-E	64 ビットアプリケーション用のフォルダ(<フォルダ名>)にはインストールできません。ほかのフォルダを指定してください。アップグレードインストールの場合は、いったん Hitachi Command Suite をアンインストールしたあと、別の場所に再度インストールし直してください。	要因 64 ビットアプリケーション用のフォルダは、インストール先に指定できません。 対処 64 ビットアプリケーション用のフォルダ以外のフォルダを指定してください。 アップグレードインストールの場合は、Hitachi Command Suite をいったんアンインストールしたあと、別の場所に再度インストールし直してください。
KAIB20103-E	(Windows の場合) インストール先として指定するパスは、64 バイト以内で指定してください。 (UNIX の場合) Specify up to 64 bytes for the installation path.	要因 インストール先として指定したパスが長過ぎます。 対処 インストール先として指定するパスは、64 バイト以内で指定してください。
KAIB20104-E	データベースファイルの格納先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。ファイルの格納先のパスは、次の文字で指定してください。 A～Z a～z 0～9 . _ () 半角スペース	要因 データベースの格納先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。 対処 データベースファイルの格納先として指定するパスは、次の文字で指定してください。 A～Z a～z 0～9 . _ () 半角スペース
KAIB20105-E	64 ビットアプリケーション用のフォルダ(<フォルダ名>)はデータベースの格納先として指定できません。ほかのフォルダを指定してください。	要因 64 ビットアプリケーション用のフォルダは、データベースの格納先に指定できません。 対処 64 ビットアプリケーション用のフォルダ以外のフォルダを指定してください。
KAIB20106-E	(Windows の場合) データベースファイルの格納先として指定するパスは、90 バイト以内で指定してください。 (UNIX の場合)	要因 データベースファイルの格納先として指定したパスが長過ぎます。 対処 データベースファイルの格納先として指定するパスは、90 バイト以内で指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	Specify up to 90 bytes for the database file path.	
KAIB20109-E	<p>(Windows の場合) 指定した IPv4 アドレスまたはホスト名が長過ぎます。IPv4 アドレスまたはホスト名は、32 バイト以内で指定してください。</p> <p>(UNIX の場合) The IPv4 address or host name is too long. Specify up to 32 bytes for the IPv4 address or host name.</p>	<p>要因 指定した IPv4 アドレスまたはホスト名が長過ぎます。</p> <p>対処 IPv4 アドレスまたはホスト名は、32 バイト以内で指定してください。</p>
KAIB20110-E	<p>(Windows の場合) 指定した IPv6 アドレスに使用できない文字が含まれています。使用できる文字は次のとおりです。 A~F a~f 0~9 . :</p> <p>(UNIX の場合) An invalid character is included in the IPv6 address. Valid characters are: A-F a-f 0-9 . :</p>	<p>要因 指定した IPv6 アドレスが不正です。</p> <p>対処 IPv6 アドレスは、次の文字で指定してください。 A-F a-f 0-9 . :</p>
KAIB20111-E	<p>(Windows の場合) 指定した IPv6 アドレスが長過ぎます。IPv6 アドレスは、47 バイト以内で指定してください。</p> <p>(UNIX の場合) The IPv6 address is too long. Specify up to 47 bytes for the IPv6 address.</p>	<p>要因 指定した IPv6 アドレスが長過ぎます。</p> <p>対処 IPv6 アドレスは、47 バイト以内で指定してください。</p>
KAIB20113-E	<p>(Windows の場合) バックアップファイルの格納先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。ファイルの格納先のパスは、次の文字で指定してください。 A~Z a~z 0~9 . _ () 半角スペース</p> <p>(UNIX の場合) An invalid character is included in the backup file path. Valid characters are: A-Z a-z 0-9 . _ () and the space character.</p>	<p>要因 バックアップファイルの格納先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。</p> <p>対処 ファイルの格納先のパスは、次の文字で指定してください。 A~Z a~z 0~9 . _ () 半角スペース</p>
KAIB20114-E	<p>(Windows の場合) バックアップファイルの格納先として指定するパスは、150 バイト以内で指定してください。</p> <p>(UNIX の場合) Specify up to 150 bytes for the backup file path.</p>	<p>要因 バックアップファイルの格納先として指定したパスが長過ぎます。</p> <p>対処 バックアップファイルの格納先として指定するパスは、150 バイト以内で指定してください。</p>
KAIB20115-E	<p>(Windows の場合) 予期しないエラーが発生しました。Hitachi Command Suite のインストールを中止します。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p> <p>(UNIX の場合)</p>	<p>要因 予期しないエラーが発生しました。</p> <p>対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	An error occurred. Hitachi Command Suite installation will stop. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.	
KAIB20116-E	(Windows の場合) プロパティ (<プロパティ名>) は省略できません。HINST_DBDIR または HINST_IPADDRESS プロパティを指定してください。 (UNIX の場合) The property (<プロパティ名>) cannot be omitted. Specify the HINST_DBDIR or HINST_IPADDRESS property.	要因 クラスタ環境でインストールする場合は、HINST_DBDIR または HINST_IPADDRESS プロパティは省略できません。 対処 HINST_DBDIR または HINST_IPADDRESS プロパティを指定してください。
KAIB20117-E	(Windows の場合) プロパティ (<プロパティ名>) の値が不正です。TRUE または FALSE を指定してください。 (UNIX の場合) The property(<プロパティ名>) is invalid. Specify TRUE or FALSE.	要因 TRUE または FALSE 以外の値が指定されました。 対処 TRUE または FALSE を指定してください。
KAIB20118-E	(Windows の場合) プロパティ (<プロパティ名>) の値が不正です。SMALL, MEDIUM または LARGE を指定してください。 (UNIX の場合) The property(<プロパティ名>) is invalid. Specify SMALL, MEDIUM, or LARGE.	要因 SMALL, MEDIUM または LARGE 以外の値が指定されました。 対処 SMALL, MEDIUM または LARGE を指定してください。
KAIB20119-E	(Windows の場合) プロパティ (<プロパティ名>) の値が不正です。SMALL または MEDIUM を指定してください。 (UNIX の場合) The property(<プロパティ名>) is invalid. Specify SMALL or MEDIUM.	要因 SMALL または MEDIUM 以外の値が指定されました。 対処 SMALL または MEDIUM を指定してください。
KAIB20120-E	(Windows の場合) プロパティ (<プロパティ名>) の値が不正です。指定したフォルダは使用できません。 (UNIX の場合) The property(<プロパティ名>) is invalid. The specified folder cannot be used.	要因 HINST_INSTDIR, HINST_DBDIR, または HINST_DBBACKUPDIR プロパティの値が不正です。指定したドライブにアクセスできない、またはドライブが存在しません。 対処 有効なドライブのパスを指定してください。
KAIB20121-E	インストール先にネットワークドライブは指定できません。 ローカルディスクを指定してください。	要因 インストール先にネットワークドライブを指定しています。 対処 インストール先にはローカルディスクを指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB20122-E	データベースファイルの格納先にネットワークドライブは指定できません。ローカルディスクを指定してください。	要因 データベースファイルの格納先にネットワークドライブを指定しています。 対処 データベースファイルの格納先にはローカルディスクを指定してください。
KAIB20123-E	データベースのバックアップファイル格納先にネットワークドライブは指定できません。ローカルディスクを指定してください。	要因 データベースのバックアップファイル格納先にネットワークドライブを指定しています。 対処 データベースのバックアップファイル格納先にはローカルディスクを指定してください。
KAIB20200-E	(Windows の場合) Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。 (UNIX の場合) An error for Hitachi Command Suite Common Components occurred. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.	要因 Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのエラーが発生しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIB20201-E	Hitachi Command Suite 共通コンポーネントでエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。アンインストール終了後、障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。	要因 アンインストール時に共通コンポーネントのエラーが発生しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIB20204-E	(Windows の場合) データベースのバックアップ取得に失敗しました(<要因>)。インストールを中止します。 バックアップ先のフォルダの容量が不足しているおそれがあります。バックアップ先のフォルダの容量を確保するか、別のフォルダを指定して再度インストールしてください。 同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。 (UNIX の場合) Unable to backup the database(<要因>). The installation will stop. Add space to the backup location and try again. If this error happens again, to determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required.	要因 バックアップ先のフォルダの容量が不足しているおそれがあります。 対処 バックアップ先のフォルダの容量を追加し、再度インストールしてください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.	
KAIB20205-E	データベースのバックアップ取得に失敗しました。インストールを中止します。サービスの停止が遅延しているおそれがあります。時間をおいてから再度インストールしてください。 同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。	要因 データベースのバックアップまたはエクスポート処理中に HiRDB のサービス起動または停止に失敗しました。 次の要因が考えられます。 ・ 管理サーバが稼働中であり、サービスの起動または停止が遅延している。 対処 時間をおいてから再度インストールしてください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIB20206-E	(Windows の場合) アンインストールが不完全な状態で終了しました。インストールされている Hitachi Command Suite 共通コンポーネントを使用する製品に影響が出るおそれがあります。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。 (UNIX の場合) Unable to remove completely. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.	要因 アンインストールが不完全な状態で終了しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIB20207-E	Device Manager の JDK の設定が失敗しました。hcmdschgjdk コマンドを実行して、再度 JDK を設定してください。	要因 Device Manager の JDK の設定が失敗しました。 対処 hcmdschgjdk コマンドを実行して、再度 JDK を設定してください。
KAIB20208-E	(Windows の場合) ファイルの展開に失敗しました。 次の要因が考えられます。 ・ Hitachi Command Suite 製品のプログラムが実行中である。 ・ インストール先のディスク容量が不足している。 ・ インストールメディアに異常がある。 上記に該当する場合、その問題を解決してから再度インストールし直してください。 それでも解決しない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。 (UNIX の場合) Unable to extract files. Causes:	要因 次の要因が考えられます。 ・ Hitachi Command Suite 製品のプログラムが実行中である。 ・ インストール先のディスク容量が不足している。 ・ インストールメディアに異常がある。 対処 要因に応じて、問題を解決してから再度インストールし直してください。 それでも解決しない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	<p>- A Hitachi Command Suite program is running.</p> <p>- The install location does not have enough space.</p> <p>- There is a problem with the installation media.</p> <p>If any of the above apply, resolve the problem and re-install the product.</p> <p>To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.</p>	
KAIB20301-E	<p>(Windows の場合) <サーバ名>サーバの初期化に失敗しました。 次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Hitachi Command Suite 製品で使用するポート番号がほかのプログラムで使用されていないか。 • 仮想メモリーの容量が十分確保されているか。 • hcmdschgurl <コマンドオプション>(Windows の場合: /print, Unix の場合: -print)コマンドを実行すると、URL に<ホスト名 (IP アドレス) のタイプ>(非クラスタ運用の場合:管理サーバのホスト名 (IP アドレス) ,クラスタ運用の場合:論理ホスト名)が表示されるか。 • 管理サーバ上でホスト名が名前解決できるか。 <p>(UNIX の場合) Unable to initialize <サーバ名> server. Verify that:</p> <ul style="list-style-type: none"> - The Hitachi Command Suite port is not used by management server programs. - There is sufficient virtual memory. - The URL displayed by the "hcmdschgurl コマンドオプション" command corresponds to ホスト名 (IP アドレス) のタイプ. - The host name of the management server can be resolved correctly. 	<p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Hitachi Command Suite 製品で使用するポート番号が、管理サーバ上のほかのプログラムで使用されている。 • 管理サーバの仮想メモリーの容量が不足している。 • Hitachi Command Suite 製品の URL の設定が誤っている。 • 管理サーバの名前解決の設定に問題がある。 <p>対処 要因に応じて、次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Hitachi Command Suite 製品で使用するポート番号がほかのプログラムで使用されている場合 ポート番号が重複しているプログラムを同時に使用しないでください。または、ポート番号を変更してください。 ポート番号によっては、Hitachi Command Suite 製品の設定を変更することで解決できます。Hitachi Command Suite 製品が使用するポート番号については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Software</i> システム構成ガイド」を参照してください。 • 仮想メモリーの容量が不足している場合 仮想メモリーの容量を確保してください。 • URL の設定が誤っている場合 hcmdschgurl コマンドに print オプションを指定すると表示される URL に、管理サーバのホスト名 (IP アドレス) が設定されていることを確認してください。 設定されていない場合は、hcmdschgurl コマンドに change オプションを指定して、URL を変更してください。hcmdschgurl コマンドについては、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Software</i> システム構成ガイド」を参照してください。 • 名前解決の設定に問題がある場合 管理サーバのホストとローカルホストが、管理サーバ上で正しく名前解決できることを確認してください。クラスタ運用している場合は、論理ホスト名についても確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB29000-E	The Hitachi Command Suite services cannot be started.	要因 Hitachi Command Suite 製品のサービスの起動中に予期しないエラーが発生しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIB29001-E	The Hitachi Command Suite services cannot be stopped.	要因 Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止中に予期しないエラーが発生しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIB29002-E	Only <グループ名> group users can re-execute the command.	要因 管理者権限を持たないユーザーは実行できません。 対処 管理者権限を持つユーザーがこのコマンドを実行してください。
KAIB29003-E	Unable to find file <ファイル名>.	要因 この操作に必要なファイルが見つかりません。 対処 Hitachi Command Suite を上書きインストールしたあと、再度実行してください。 それでも解決しない場合、原因の究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIB29004-E	An error occurred. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.	要因 予期しないエラーが発生しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

3.4 KAIB30000～KAIB39999

Hitachi Command Suite 製品のインストーラーに関するメッセージ（KAIB30000～KAIB39999）を次の表に示します。

表 3-4 KAIB30000～KAIB39999 : Hitachi Command Suite 製品のインストーラーのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB30200-I	You can run the program on the installation media.	要因 - 対処 -
KAIB30225-I	The SUNWj5rt package is installed.	要因 - 対処 -
KAIB30226-I	All required libraries are installed.	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<ライブラリ情報>	- 対処 -
KAIB30227-I	The Perl language package is installed.	要因 - 対処 -
KAIB30228-I	The kernel parameters are set.	要因 - 対処 -
KAIB31011-I	Run the Kill command.	要因 - 対処 -

3.5 KAIB40000～KAIB49999

Hitachi Command Suite 製品のインストーラーに関するメッセージ (KAIB40000～KAIB49999) を次の表に示します。

表 3-5 KAIB40000～KAIB49999 : Hitachi Command Suite 製品のインストーラーのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB40001-W	The Hitachi Command Suite services cannot be stopped. Stopping these services may be delayed. Type y to retry. If you cannot stop the services, to determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information. Do you want to retry? (y/n)	要因 Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止に失敗しました。 システムが稼働中のため、サービスの停止が遅延しているおそれがあります。 対処 Hitachi Command Suite 製品のサービスを停止する場合は「y」、中止する場合は「n」を入力してください。 サービスが停止できない場合、原因の究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIB40002-W	If you continue the installation, some code will be downgraded. Do you want to continue? (y/n)	要因 インストールを継続した場合、幾つかの製品がダウングレードされます。 対処 ダウングレードして問題ない場合、y を入力してインストールを継続してください。中止する場合、n を入力してインストールを中止してください。
KAIB40004-W	Before installing the Hitachi Command Suite, set the kernel parameter. If the kernel parameter is set for another application, add the Hitachi Command Suite value to an existing setting. After setting the kernel parameter, input y and continue. Do you want to continue? (y/n)	要因 Hitachi Command Suite のインストールに関する事前確認です。 対処 カーネルパラメーターを設定済みの場合は y を入力し、インストールを続行してください。カーネルパラメーターを設定していない場合は、n を入力してインストールを中止し、カーネルパラメーターを設定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB40007-W	The management server host name cannot be more than 32 characters. Modify the host name or specify an IP address in the installation window.	要因 インストール対象のサーバマシンに設定されているホスト名が、Hitachi Command Suite に設定するホスト名の文字数を超過しています。 対処 設定情報確認画面で e を入力し、「IP アドレス(ホスト名)項目」に IP アドレスを指定する、またはホスト名を 32 バイト以内に変更してください。
KAIB40008-W	SNMP Trap conflict: The Hitachi Command Suite UDP port(162) for receiving SNMP Traps is in use by another application. If you continue with the installation, the Hitachi Command Suite SNMP Trap will be disabled. Do you want to continue? (y/n)	要因 Device Manager の SNMP Trap 機能に使用する UDP ポート(162)は、別のアプリケーションで使用されています。 対処 Device Manager の SNMP Trap 機能を有効にする場合、n を入力してインストールを中止し、別アプリケーションのポートを変更してください。Device Manager の SNMP Trap 機能を無効にして問題ない場合、y を入力してインストールを継続してください。
KAIB40009-W	The installer cannot start because there is insufficient disk space. Disk: <ディスク>, Available: <空き容量> MB	要因 起動に必要な一時使用領域が不足しています。 対処 Device Manager, Tiered Storage Manager, Replication Manager のソフトウェア添付資料を参照して、必要な容量を確保してください。
KAIB40010-W	The removal function cannot start because there is insufficient disk space. Disk: <ディスク>, Required: <必要な容量> MB, Available: <空き容量> MB	要因 起動に必要な一時使用領域が不足しています。 対処 必要な容量を確保してください。
KAIB40200-W	Installation of Host Data Collector failed, because the required Java product for Host Data Collector is not installed. Install the Java product, and then try to install Host Data Collector again.	要因 Host Data Collector が前提とする Java 製品がインストールされていません。 対処 前提となる Java 製品をインストールしたあと、Host Data Collector をインストールしてください。前提となる Java 製品については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。
KAIB40201-W	Host Data Collector installation failed. The JRE (Java Runtime Environment) specified for javapathlocation in the javaconfig.properties file cannot be used. Check whether the JRE path specified for javapathlocation in the javaconfig.properties file is correct, and then retry the installation.	要因 javaconfig.properties ファイルの javapathlocation に指定した Java が使用できません。 対処 javaconfig.properties ファイルの javapathlocation に、Java 実行環境へのパスが正しく指定されているか確認し、再度インストールしてください。javapathlocation の詳細については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。
KAIB40202-W	Host Data Collector removal failed. The JRE (Java Runtime Environment) specified for	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	javapathlocation in the javaconfig.properties file cannot be used. Check whether the JRE path specified for javapathlocation in the javaconfig.properties file is correct, and then retry the removal.	javaconfig.properties ファイルの javapathlocation に指定した Java が使用できません。 対処 javaconfig.properties ファイルの javapathlocation に、Java 実行環境へのパスが正しく指定されているか確認し、再度アンインストールしてください。javapathlocation の詳細については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。

3.6 KAIB50000～KAIB59999

Hitachi Command Suite 製品のインストーラーに関するメッセージ (KAIB50000～KAIB59999) を次の表に示します。

表 3-6 KAIB50000～KAIB59999 : Hitachi Command Suite 製品のインストーラーのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB50006-E	The installation path contains an invalid character. Valid characters are: A-Z a-z 0-9 _ / Note that these directories cannot be specified: - /usr - /usr/local - /var - The root directory (/)	要因 インストール先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。 対処 インストール先として指定するパスは、次の文字で指定してください。 A～Z a～z 0～9 _ /
KAIB50008-E	An invalid character is included in the database file path. Valid characters are: A-Z a-z 0-9 . _ /	要因 データベースの格納先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。 対処 データベースファイルの格納先として指定するパスは、次の文字で指定してください。 A～Z a～z 0～9 . _ /
KAIB50018-E	The property(<指定したプロパティ>) is invalid.	要因 指定したプロパティ値は無効です。 対処 シンタックスと有効なプロパティを確認してください。
KAIB50019-E	Syntax error. Usage: install.sh [-s [property=value] ...] -s silent mode Possible properties (see manual for more details): HINST_INSTDIR Installation directory [/opt/HiCommand] HINST_DBDIR Database directory [/var/opt/HiCommand/database] HINST_IPADDRESS Host name or IP address ['hostname']	要因 シンタックスが誤っています。 対処 シンタックスと有効なプロパティを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	HINST_DBBACKUP (TRUE FALSE) [TRUE] HINST_DBBACKUPDIR Database backup directory [/var/opt/HiCommand/backup] HINST_COMMONHEAP (SMALL MEDIUM LARGE) [LARGE] HINST_HDVMHEAP (SMALL MEDIUM LARGE) [LARGE] HINST_RUNSERVICE (TRUE FALSE) [TRUE] HINST_IGNORE_CAPACITY_CHECK (TRUE FALSE) [FALSE] HINST_IGNORE_NETWORKING_CHECK (TRUE FALSE) [FALSE] HINST_IGNORE_VIRTUAL_MEMORY_CHECK (TRUE FALSE) [FALSE] Example: install.sh -s HINST_INSTDIR=/opt/HiCommand	
KAIB50020-E	The specified property value(<指定したプロパティ値>) is not in a valid format for the property(<プロパティ名>).	要因 指定したプロパティ値は無効です。 対処 シンタックスと有効なプロパティを確認してください。
KAIB50021-E	The specified property value(<指定したプロパティ値>) is too long for the property(<プロパティ名>).	要因 指定したプロパティ値が、長過ぎます。 対処 マニュアルを参照し、指定できるプロパティの長さを確認してください。
KAIB50023-E	An invalid character is included in the backup file path. Valid characters are: A-Z a-z 0-9 _ /	要因 バックアップファイルの格納先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。 対処 バックアップファイルの格納先として指定するパスは、次の文字で指定してください。 A-Z a-z 0-9 _ /
KAIB50024-E	The following kernel parameters are smaller than the minimum value. <設定情報> <対処方法>	要因 カーネルパラメーターが、下限値より小さいです。 対処 マニュアルを参照し、カーネルパラメーターを設定し直してください。
KAIB50025-E	The following shell limits are smaller than the minimum value. <設定情報> <対処方法>	要因 シェル制限が、下限値より小さいです。 対処 マニュアルを参照し、シェル制限を設定し直してください。
KAIB50026-E	The mount path contains an invalid character. Valid characters are: A-Z a-z 0-9 _ /	要因 マウントパスに使用できない文字が含まれています。 対処 マウントパスは、次の文字で指定してください。 A~Z a~z 0~9 _ /

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB51001-E	The installer must be run by a root user. The installation will stop.	要因 root 以外のユーザーはインストールできません。 対処 root でログインし直してから、インストールしてください。
KAIB51002-E	Only root user can perform a removal. The removal will stop.	要因 root 以外のユーザーはアンインストールできません。 対処 root でログインし直してから、アンインストールしてください。
KAIB51003-E	Hitachi Command Suite cannot be installed in this OS version. Verify the supported OS versions for the Hitachi Command Suite.	要因 インストールを実行した OS のバージョンは未サポートであり、インストールできません。 対処 Hitachi Command Suite がサポートする OS のバージョンを確認してください。
KAIB51004-E	This installer is version < OS またはアーキテクチャ >. Verify the installation media or installer.	要因 実行されたインストーラは、インストール先の OS またはアーキテクチャに対応していません。 対処 インストールメディアまたは実行するインストーラと、サーバマシンとの対応を確認してください。
KAIB51005-E	Hitachi Command Suite cannot be installed in zones that are not global.	要因 非グローバル環境ではインストールできません。 対処 グローバル環境でインストールしてください。
KAIB51006-E	You must install the JDK.	要因 Hitachi Command Suite が前提とする JDK がインストールされていません。 対処 JDK をインストールしてください。
KAIB51007-E	The installation media file cannot run. Verify the mount options with the mount command. If the "noexec" option is used, re-mount the installation media without the "noexec" option. If you cannot resolve the problem, to determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.	要因 インストールメディアをマウントしたときに、mount コマンドの noexec オプションが指定されたおそれがあります。 対処 mount コマンドを実行して、インストールメディアのマウントオプションを確認してください。noexec オプションが指定されている場合は、noexec オプションを指定しないで再度マウントしてください。 それでも実行できない場合は、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KAIB51008-E	Unable to run a file on the installation media. The installation media may be damaged. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required.	要因 インストールメディアが壊れているおそれがあります。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.	
KAIB51009-E	File "<ファイル名>", required for installation, cannot be read. Causes include: - The files on the installation media are insufficient, or you do not have execution permission. - The name of the mount point includes a character other than one-byte alphanumeric characters or "_". If you cannot resolve this problem, to determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.	要因 インストールに必要なファイルを読み込めません。 次の要因が考えられます。 • メディア上のファイルが不足している、または実行権限がない。 • マウントポイントに半角英数字および"_"以外の文字が使用されている。 対処 要因に応じて、問題を解決してください。それでも解決しない場合、原因の究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIB51010-E	Some required libraries are not installed. Install any missing libraries. <ライブラリ情報> Note: 32-bit libraries are required.	要因 前提ライブラリがインストールされていません。 対処 不足しているライブラリパッケージをインストールしてください。
KAIB51011-E	/usr/bin/perl does not exist. You must install the Perl 5 package.	要因 /usr/bin/perl がありません。 対処 Perl5 のパッケージをインストールしてください。
KAIB51013-E	The removal has been canceled because you cannot use this directory. Specify another directory and try again.	要因 カレントディレクトリが削除対象のため、アンインストールを中止します。 対処 別のディレクトリに移動して再実行してください。
KAIB51014-E	Device Manager is installed in directory <インストール先>. If Device Manager is installed in these directories, it cannot be upgraded: - /usr - /usr/local - /var Remove Device Manager and install Hitachi Command Suite in another location.	要因 Device Manager が次の場所にインストールされている場合、アップグレードインストールできません。 • /usr • /usr/local • /var 対処 Device Manager をアンインストールしてから、Hitachi Command Suite を別の場所にインストールしてください。
KAIB53007-E	The Hitachi Command Suite services cannot be stopped. Please wait for a while, and then try again. If this error happens again, to determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required.	要因 Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止に失敗しました。 システムが稼働中のため、サービスの停止が遅延しているおそれがあります。 対処 しばらく待ってから再度実行してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.	には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

KAIC で始まるメッセージ

この章では、Device Manager に関するメッセージについて説明します。

- 4.1 KAIC00000～KAIC09999
- 4.2 KAIC10000～KAIC19999
- 4.3 KAIC20000～KAIC29999
- 4.4 KAIC30000～KAIC39999
- 4.5 KAIC40000～KAIC49999
- 4.6 KAIC60000～KAIC69999
- 4.7 KAIC70000～KAIC79999
- 4.8 KAIC90000～KAIC99999

4.1 KAIC00000~KAIC09999

Device Manager サーバに関するメッセージ (KAIC00000~KAIC09999) を次の表に示します。特に書き分けをしていない場合、「サーバ」は「Hitachi Command Suite の管理サーバ」を指します。メッセージテキストまたは説明に「サーバ管理者に連絡してください。」と記載されているメッセージが出力された場合は、Hitachi Command Suite を使用するストレージ管理者に連絡してください。

表 4-1 KAIC00000~KAIC09999 : Device Manager サーバのメッセージ

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC00000-E	特定不能なエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00001-E	特定不能なサーバエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00002-E	Device Manager サーバの初期化エラーです。	詳細は、"error.log"を参照してください。
KAIC00003-E	サブレットがありません。	Device Manager がサポートしていないサブレットを参照しました。
KAIC00004-E	リクエストの記述形式に誤りがあります。	リクエストの記述を見直してください。
KAIC00100-E	Device Manager サーバの初期化に失敗しました。: 不正な HTTP port 番号 "<ポート番号>" が指定されました。	Device Manager サーバのマニュアルを参照し、"server.properties"の値を確認した後、Device Manager サーバを再起動してください。
KAIC00101-E	Device Manager サーバの初期化に失敗しました。: 不正な HTTPS port 番号 "<ポート番号>" が指定されました。	Device Manager サーバのマニュアルを参照し、"server.properties"の値を確認した後、Device Manager サーバを再起動してください。
KAIC00102-E	Device Manager サーバの初期化に失敗しました。: 不正な document root directory "<ディレクトリ名>" が指定されました。	Device Manager サーバのマニュアルを参照し、"server.properties"の値を確認した後、Device Manager サーバを再起動してください。
KAIC00103-E	Device Manager サーバの初期化に失敗しました。: 不正な bind address "<バインドアドレス>" が指定されました。	Device Manager サーバのマニュアルを参照し、"server.properties"の値を確認した後、Device Manager サーバを再起動してください。
KAIC00104-E	Device Manager サーバの初期化に失敗しました。: サポート外の JRE バージョン "<JRE バージョン>" です。	使用している JRE のバージョンを確認し、Device Manager サーバを再起動してください。
KAIC00105-E	Device Manager サーバの初期化に失敗しました。: Servlet v2.2 クラスファイルの読み込みに失敗しました。	Servlet (JSDK v2.2+) が使用できることを確認し、Device Manager サーバを再起動してください。
KAIC00106-E	Device Manager サーバの初期化に失敗しました。: SNMP クラスファイルの読み込みに失敗しました。	Sun SNMP (JDMK) classes が使用できることを確認し、Device Manager サーバを再起動してください。
KAIC00107-E	Device Manager サーバの初期化に失敗しました。: サービスモジュールの読み込みに失敗しました。	本エラーは直前に発生しているエラーが直接の要因です。直前のエラーの対処方法に従ってください。対処後も繰り返しエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00108-E	Device Manager サーバの初期化に失敗しました。: Device Manager Server KeyStore エントリ "<エントリ	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	リ名>" の読み込み中にエラーが発生しました。	
KAIC00110-E	Device Manager サーバの起動に失敗しました。:データベースのチェック中に重大なエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00112-E	スレッド数の最大値"<maxThreads の指定値>"を超えました。	Device Manager サーバのマニュアルを参照し、"server.properties"の値を確認した後、Device Manager サーバを再起動してください。
KAIC00113-E	ServiceConnection の確立に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00114-E	HTTP サーバをポート番号"<ポート番号>"で起動できませんでした。	"server.properties"の"server.http.port"を見直してください。
KAIC00115-E	HTTPS サーバをポート番号"<ポート番号>"で起動できませんでした。	"server.properties"の"server.https.port"を見直してください。
KAIC00116-E	Device Manager サーバの初期化に失敗しました。:localhost の IP アドレスが解決できません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00120-E	コンフィグレーションファイル "server.properties" の読み込みに失敗しました。	コンフィグレーションファイル "server.properties"を確認し、Device Manager サーバを再起動してください。
KAIC00121-E	サーブレットのコンフィグレーションファイル "servlet.properties" の読み込みに失敗しました。	コンフィグレーションファイル "servlet.properties"を確認し、Device Manager サーバを再起動してください。
KAIC00123-E	MIME タイプファイルの読み込みに失敗しました。	コンフィグレーションファイル "mime.properties"を確認し、Device Manager サーバを再起動してください。
KAIC00124-E	Unix ユーザー、グループ、または root ディレクトリの変更で以下のエラーが発生しました。"<エラーメッセージ>"。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00125-E	コンフィグレーションファイル "product.properties" の読み込みに失敗しました。	コンフィグレーションファイル "product.properties"を確認し、Device Manager サーバを再起動してください。
KAIC00126-E	プロパティファイル"<ファイル名>" の読み込みに失敗しました。エラーの詳細: "<エラーの詳細>"	エラーの原因を取り除き、Device Manager サーバを再起動してください。対処後も繰り返しエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00150-E	Device Manager Server KeyStore にエントリ名 "<エントリ名>" を見つけられません。	Device Manager サーバをセキュアモードで使用するには Device Manager Server KeyStore にエントリーが必要です。
KAIC00180-E	共通コンポーネントがインストールされていません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00181-E	共通コンポーネントのインストール先設定に失敗しました。	"server.properties"の"server.base.home"を確認の上、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00182-E	共通コンポーネント位置情報取得に失敗しました。"<メソッド名>"	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00183-E	Provisioning Manager 起動処理でエラーが発生しました。"<メソッド名>"	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC00184-E	ストレージシステムを管理するのに必要なディレクトリがありません。 Device Manager の環境が不正です。 (ディレクトリ名:"<ディレクトリ名>")	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00200-E	Device Manager サーバの初期化に失敗しました。:不正な RMI port 番号 "<ポート番号>" が指定されました。	Device Manager サーバのマニュアルを参照し, "server.properties"の値を確認した後, Device Manager サーバを再起動してください。
KAIC00300-E	SNMP Trap 受け付け用のポート "<ポート番号>" を確保できませんでした。そのポートはすでにほかのソフトウェアが使用しています。	そのポートを使用しているソフトウェアを終了させる か, "dispatcher.properties"の"server.dispatcher.daemon.receiveTrap"に false を設定し, Device Manager サーバを再起動してください。
KAIC00405-E	E メール通知機能で, 予期しないエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00407-E	メール送信処理でエラーが発生しました。(未送信メール:(<code>あて先メールアドレス:"<あて先メールアドレス>"</code>), <code>アラート:(messageID:"<アラート ID >"</code> , <code>number:"<番号>"</code> , <code>type:"<タイプ>"</code> , <code>source:"<発生元>"</code> , <code>severity:"<重要度>"</code> , <code>component:"<コンポーネント>"</code> , <code>description:"<説明>"</code> , <code>actionToTake:"<対処方法>"</code> , <code>data:"<データ>"</code> , <code>timeOfAlert:"<発生時刻>"</code>))	以下の環境と設定を見直してください。 <ul style="list-style-type: none"> SMTP サーバの起動状態と設定 ネットワークの状態
KAIC00408-E	SMTP サーバとの接続に失敗しました。(SMTP サーバ:(<code>host:"<ホスト名または IP アドレス>"</code> , <code>port:"<ポート番号>"</code>), 未送信メール:(<code>あて先メールアドレス:"<あて先メールアドレス>"</code>), <code>アラート:(messageID:"<アラート ID >"</code> , <code>number:"<番号>"</code> , <code>type:"<タイプ>"</code> , <code>source:"<発生元>"</code> , <code>severity:"<重要度>"</code> , <code>component:"<コンポーネント>"</code> , <code>description:"<説明>"</code> , <code>actionToTake:"<対処方法>"</code> , <code>data:"<データ>"</code> , <code>timeOfAlert:"<発生時刻>"</code>))	以下のメール送信に関する設定と環境を見直してください。 <ul style="list-style-type: none"> メール送信用のプロパティの設定値 SMTP サーバの起動状態と設定 ネットワークの状態
KAIC00409-E	認証に失敗したため, SMTP サーバに接続できませんでした。(SMTP サーバ:(<code>host:"<ホスト名または IP アドレス>"</code> , <code>port:"<ポート番号>"</code>), 未送信メール:(<code>あて先メールアドレス:"<あて先メールアドレス>"</code>), <code>アラート:(messageID:"<アラート ID >"</code> , <code>number:"<番号>"</code> , <code>type:"<タイプ>"</code> , <code>source:"<発生元>"</code> , <code>severity:"<重要度>"</code> , <code>component:"<コンポーネント>"</code> ,	SMTP サーバ側の設定で, 該当するユーザーを認証できるようにしてください。また, SMTP 認証ユーザー情報設定コマンドを使って, SMTP 認証ユーザー情報(ユーザー ID およびパスワード)を再設定してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	description : "<説明>", actionToTake : "<対処方法>", data : "<データ>", timeOfAlert : "<発生時刻>")	
KAIC00410-E	プロパティに指定された値が不正です。デフォルト値で動作します。(ファイル名 : "<ファイル名>", プロパティ名 : "<プロパティ名>", 指定した値 : "<指定した値>", デフォルト値 : "<デフォルト値>")	デフォルト値の動作で問題なければ、対処の必要はありません。デフォルト値から変更する場合は、プロパティを正しく設定し、Device Manager サーバを再起動してください。
KAIC00411-E	SMTP サーバに接続するための認証情報が設定されていません。SMTP 認証をしないで、E メールを送信します。	SMTP 認証ユーザー情報設定コマンド (hdvmmmodmailuser) を使って、SMTP 認証ユーザー情報 (ユーザー ID およびパスワード) を設定してください。SMTP 認証をしない場合は、対処の必要はありません。
KAIC00412-E	あて先メールアドレスが不正です。(ユーザー ID : "<ユーザー ID >", あて先メールアドレス : "<あて先メールアドレス>") このユーザー ID に対して、E メールを送信しません。	ユーザー管理機能のプロファイルの編集ダイアログで、正しいアドレスを指定してください。
KAIC00413-E	テンプレートファイルがありません。(テンプレートファイルパス名 : "<テンプレートファイルパス名>") デフォルトのテンプレートファイルを使用して、E メールを送信します。	表示されたテンプレートファイルがあるかどうか確認してください。デフォルトのテンプレートファイルを使用する場合は、対処の必要はありません。
KAIC00414-E	テンプレートファイルの読み込みでエラーが発生しました。(テンプレートファイルパス名 : "<テンプレートファイルパス名>", 詳細情報 : "<詳細情報>") デフォルトのテンプレートファイルを使用して、E メールを送信します。	詳細情報を参照して、エラーの原因を取り除いてください。デフォルトのテンプレートファイルを使用する場合は、対処の必要はありません。
KAIC00415-E	テンプレートファイルのサイズが大きすぎます。(テンプレートファイル名 : "<テンプレートファイル名>", テンプレートファイルのサイズ (バイト数) : "<テンプレートファイルのサイズ (バイト数) >", ファイルサイズの上限 (バイト数) : "<ファイルサイズの上限 (バイト数) >") デフォルトのテンプレートファイルを使用して、E メールを送信します。	テンプレートファイルの内容を見直して、サイズを小さくしてください。デフォルトのテンプレートファイルを使用する場合は、対処の必要はありません。
KAIC00416-E	無効なヘッダーがあります。(テンプレートファイル名 : "<テンプレートファイル名>", 行番号 : "<行番号>", ヘッダー名 : "<ヘッダー名>") デフォルトのテンプレートファイルを使用して、E メールを送信します。	テンプレートファイル内に指定しているヘッダー名の文字列を見直してください。デフォルトのテンプレートファイルを使用する場合は、対処の必要はありません。
KAIC00417-E	指定されていないヘッダーがあります。(テンプレートファイル名 : "<テンプレートファイル名>", ヘッダー名 : "<ヘッダー名>") デフォルトのテンプレートファイルを使用して、E メールを送信します。	テンプレートファイル内に指定しているヘッダーを見直してください。デフォルトのテンプレートファイルを使用する場合は、対処の必要はありません。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC00418-E	同一のヘッダー名が複数回指定されています。(テンプレートファイル名:"<テンプレートファイル名>", 行番号:"<行番号>", ヘッダー名:"<ヘッダー名>") デフォルトのテンプレートファイルを使用して, Eメールを送信します。	テンプレートファイル内に指定しているヘッダーを見直してください。デフォルトのテンプレートファイルを使用する場合は, 対処の必要はありません。
KAIC00419-E	テンプレートファイルのヘッダー部分に無効な行があります。ヘッダー名とヘッダー内容は":"で区切ってください。(テンプレートファイル名:"<テンプレートファイル名>", 行番号:"<行番号>") デフォルトのテンプレートファイルを使用して, Eメールを送信します。	テンプレートファイル中のエラーが発生した行に, 区切り文字":"が含まれているか確認してください。デフォルトのテンプレートファイルを使用する場合は, 対処の必要はありません。
KAIC00420-E	テンプレートファイルの 1 行の長さが長過ぎます。(テンプレートファイル名:"<テンプレートファイル名>", 行番号:"<行番号>", 検出された長さ(バイト数):"<検出された長さ(バイト数)>", 長さの上限(バイト数):"<長さの上限(バイト数)>") デフォルトのテンプレートファイルを使用して, Eメールを送信します。	表示されたテンプレートファイルの内容を見直して, 1 行の長さを短くしてください。デフォルトのテンプレートファイルを使用する場合は, 対処の必要はありません。
KAIC00422-E	入力した SMTP 認証ユーザー ID が不正です。	1 ~ 64 バイトの範囲内で, SMTP 認証ユーザー ID を正しく入力してください。SMTP 認証ユーザー ID に使用できるのは, 次の文字です。 A ~ Z, a ~ z, 0 ~ 9, - (ハイフン), _ (アンダーバー), . (ピリオド), , (コンマ), @, !, #, \$, %, &, ', (,), *, +, =, ?, ^,
KAIC00423-E	入力した SMTP 認証パスワードが不正です。	0 ~ 64 バイトの範囲内で, SMTP 認証パスワードを正しく入力してください。SMTP 認証パスワードに使用できるのは, 次の文字です。 A ~ Z, a ~ z, 0 ~ 9, - (ハイフン), _ (アンダーバー), . (ピリオド), , (コンマ), @, !, #, \$, %, &, ', (,), *, +, =, ?, ^, パスワードは省略できます。
KAIC00424-E	Device Manager のユーザー ID またはパスワードが不正です。	正しいユーザー ID とパスワードを指定してください。
KAIC00425-E	入力した Device Manager のユーザーは, コマンドを実行する権限がありません。	Device Manager の Admin 権限を持つユーザーでコマンドを実行してください。
KAIC00426-E	内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00427-E	コマンドの書式が不正です。	コマンドの書式を見直してください。
KAIC00428-E	テンプレートファイルにはヘッダー部分の終わりを示す空行がありません。(テンプレートファイル名:"<テンプレートファイル名>") デフォルトのテンプレートファイルを使用して, Eメールを送信します。	ヘッダー部分の末尾に空行を追加してください。デフォルトのテンプレートファイルを使用する場合は, 対処の必要はありません。
KAIC00500-E	リクエスト中に不正なフォーマットのデータが含まれています。	リクエストを修正し, 再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC00501-E	Device Manager サーバは指定されたストレージシステムをサポートしていません。説明="＜デバイス＞"	リクエスト中の IP アドレスを確認してください。IP アドレスに間違いがなければストレージシステムの構成エラーのおそれがあります。
KAIC00504-E	"＜名前＞"は予約語です。最上位の論理グループ名として使えません。	CLI またはほかのクライアントが予約語（例：Unallocated）を使用しようとした。最上位の論理グループに"Unallocated"あるいは"LUN Scan"という名前は使用できません。
KAIC00505-E	Device Manager サーバは指定したアレイファミリーをサポートしていません。	アレイファミリーを確認してください。
KAIC00506-E	ストレージシステムに対し、重複して LUN Scan しようとした。	指定したストレージシステムは LUN Scan 中ですので処理が終わるまでお待ちください。
KAIC00507-E	実行されたコマンド"＜コマンド名＞"は当 API バージョンではサポートしていません。	API サポートバージョンを確認してください。
KAIC00508-E	実行されたコマンド"＜コマンド名＞"は当 API バージョンのアレイファミリー"＜アレイファミリー名＞"ではサポートしていません。	API サポートバージョンを確認してください。
KAIC00509-E	この Device Manager サーバは API バージョン"＜バージョン＞"をサポートしていません。	API サポートバージョンを確認してください。
KAIC00510-E	対象のストレージシステムは"＜ストレージシステムファミリー＞"というファミリーではありません。	指定が正しいかどうかを確認してください。
KAIC00511-E	ストレージシステム名称"＜ストレージシステム名＞"は正しく定義されていません。	設定ファイルのストレージシステム名称の対応が正しいかどうかを確認してください。
KAIC00512-E	指定したストレージシステムは LUN Security モードです。Device Manager ではサポートしていません。	ストレージシステム上で有償オプションの構成が変更されている可能性があります。ストレージシステムを確認してください。
KAIC00513-E	リクエストで参照されているサブレット名"＜XML サブレット名＞"が、指定されたサブレット"＜指定サブレット名＞"と一致しません。	サブレット名を確認してください。
KAIC00514-E	実行されたコマンド"＜指定 API 名＞"は Device Manager サーバでサポートしていません。	API 名を確認してください。
KAIC00515-E	実行したコマンド"＜コマンド名＞"はこの API バージョンでは指定したアレイファミリーをサポートしていません。	API サポートバージョンを確認してください。
KAIC00516-E	Device Manager サーバは指定したアレイタイプをサポートしていません。	アレイタイプを確認してください。
KAIC00530-E	この Device Manager サーバはこのストレージシステムに対する API バージョン"＜バージョン＞"での操作をサポートしていません。	API サポートバージョンを確認してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC00600-E	内部エラーが発生しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00601-E	不正なパラメータを持つオブジェクトがあります。	オブジェクトを確認してください。
KAIC00604-E	共通コンポーネント ログイングサービスの初期化に失敗しました。	共通コンポーネントがインストールされていることを確認してください。
KAIC00700-E	内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00800-E	内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00801-E	内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00802-E	Dynamic Link Manager 起動中に内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00805-E	NAS Manager 起動中に内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00806-E	NAS Manager 起動に失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00807-E	起動に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00809-E	ホストエージェントとの通信失敗によって、指定されたプログラムが起動できません。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00810-E	指定されたプログラムを起動するのに必要なパラメータ "<パラメータ名>"がありません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00811-E	共通コンポーネントエラーによって、Device Manager が起動できません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00812-E	ファイルアクセスエラーによって、Device Manager が起動できません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00813-E	IP アドレス"<IP アドレス>"の装置への接続に失敗しました。NAS Manager が起動できません。	ネットワークの状態と装置の状態を確認してください。
KAIC00814-E	装置に対する正しい IP アドレスが見つからないため、NAS Manager が起動できません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00815-E	入出力エラーが発生したため、ライセンスの更新に失敗しました。	操作環境を確認してください。確認後もエラーが繰り返し発生する場合には顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00816-E	入出力エラー発生によって、Device Manager が起動できません。	操作環境を確認してください。確認後もエラーが繰り返し発生する場合には顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00817-E	入出力エラーが発生したため、起動できません。	操作環境を確認してください。確認後もエラーが繰り返し発生する場合には顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00818-E	入出力エラー発生によって、NAS Manager が起動できません。	操作環境を確認してください。確認後もエラーが繰り返し発生する場合には顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00819-E	"<実行しようとした機能>"の起動方法が正しくありません。	Device Manager Web Client で"<実行しようとした機能>"を起動してください。
KAIC00820-E	"<連携プログラム名(Disk Array Management Program または Storage Navigator Modular)>"と連	Device Manager サーバのマニュアルを参照し、"<連携プログラム名(Disk Array Management Program または Storage Navigator Modular)>"と連携するための設定内

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	携するための設定が正しくありません。	容を見直してください。確認後もエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00821-E	Disk Array Management Program 起動中に内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00822-E	Disk Array Management Program の起動に失敗しました。Disk Array Management Program のサービスが正常に起動していない、または launchapp.properties ファイルおよび Disk Array Management Program のネットワークに関する設定が正しくないおそれがあります。	launchapp.properties ファイルおよび Disk Array Management Program のネットワークに関する設定内容を見直してください。また、Disk Array Management Program のサービスが停止している場合は、起動してください。Storage Navigator Modular のサービスが起動している場合は、停止してください。その後もエラーが繰り返し発生する場合、またはこれらの対処がエラーの対処として適当でない場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00823-E	入出力エラー発生によって、Disk Array Management Program が起動できません。	操作環境を確認してください。確認後もエラーが繰り返し発生する場合には顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00824-E	Disk Array Management Program 登録装置の削除に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00825-E	ラウンチに必要なパラメータが不正です。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00826-E	Disk Array Management Program サーバでエラーが発生しました。(エラーコード=< DAMP サーバのエラーコード >, エラーメッセージ=< DAMP サーバのエラーコードに対応したエラーメッセージ >)	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00827-E	"Disk Array Management Program" を使用するための設定がされていない、または正しくないおそれがあります。: 対象ストレージシステムが Disk Array Management Program に登録されていない、または正しく登録されていません。"Disk Array Management Program"を使用するためには Disk Array Management Program と連携するための設定が必要です。対象ストレージシステムが Disk Array Management Program に正しく登録されているか確認してください。	Device Manager サーバのマニュアルを参照し、Disk Array Management Program と連携するための設定を見直してください。確認後もエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00828-E	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行していないため、起動できません。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。
KAIC00829-E	Storage Navigator Modular の起動中に内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00830-E	Storage Navigator Modular の起動中に予期しないエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC00831-E	Storage Navigator Modular でエラーが発生しました。(エラーコード = "<Storage Navigator Modular のエラーコード>", エラーメッセージ = "<Storage Navigator Modular のエラーコードに対応したエラーメッセージ>")	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00832-E	"<機能名(Physical View または Storage Navigator Modular)>"を使用するための設定がされていない、または正しくないおそれがあります。: 対象ストレージシステムが Storage Navigator Modular に登録されていない、または正しく登録されていません。"<機能名(Physical View または Storage Navigator Modular)>"を使用するためには Storage Navigator Modular と連携するための設定が必要です。対象ストレージシステムが Storage Navigator Modular に正しく登録されているか確認してください。	Device Manager サーバのマニュアルを参照し、Storage Navigator Modular と連携するための設定を見直してください。確認後もエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00833-E	Storage Navigator Modular の起動に失敗しました。Storage Navigator Modular のサービスが正常に起動していない、または launchapp.properties ファイルおよび Storage Navigator Modular のネットワークに関する設定が正しくないおそれがあります。	launchapp.properties ファイルおよび Storage Navigator Modular のネットワークに関する設定内容を見直してください。また、Storage Navigator Modular のサービスが停止している場合は、起動してください。Disk Array Management Program のサービスが起動している場合は、停止してください。その後もエラーが繰り返し発生する場合、またはこれらの対処がエラーの対処として適当でない場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00834-E	"<機能名(Physical View または Storage Navigator Modular)>"を使用するための設定がされていない、または正しくないおそれがあります。: Storage Navigator Modular にアクセスできません。(URL = "<アクセス URL >")"<機能名(Physical View または Storage Navigator Modular)>"を使用するためには Storage Navigator Modular と連携するための設定が必要です。Storage Navigator Modular へアクセスするための URL、およびエイリアスの設定を見直してください。URL を設定する場合は、launchapp.properties ファイルの launchapp.damp.url プロパティを変更してください。エイリアスを設定する場合は、エイリアス情報設定コマンド (HWSAlias) を実行してください。設定を有効にするためには、共通コンポーネントおよび Device Manager サーバを再起動してください。	Device Manager サーバのマニュアルを参照し、Storage Navigator Modular と連携するための設定を見直してください。確認後もエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC00835-E	対象のストレージシステムはラウンチをサポートしていません。(マイクロコードバージョン=" <code><マイクロコードバージョン></code> ")	ストレージシステムのマイクロコードバージョンを確認してください。
KAIC00836-E	連携機能の登録に失敗しました(原因=" <code><原因></code> "). 少し時間をおいてから再度操作を行ってください。	<ul style="list-style-type: none"> ストレージシステムへのアクセスが競合している可能性があります。少し時間をおいてから再度操作を行ってください。再度操作を行ってもエラーが発生する場合は、"server.properties" ファイルの"server.http.host" に設定されている値が不正の可能性があります。Device Manager サーバのマニュアルを参照し、"server.http.host" の設定内容を見直してください。設定を変更した場合は Device Manager サーバを再起動してください。 ストレージシステムと Device Manager サーバの間にファイアウォールを構築している場合は設定を確認してください。 これらの対処を行ってもエラーが発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00837-E	ラウンチに失敗しました。指定したストレージシステムはすでに最大数のユーザーが登録されているので、ラウンチ専用ユーザーを登録できません。	ストレージシステムから不要なユーザーを削除したあと、再実行してください。
KAIC00838-E	ラウンチに失敗しました。ラウンチ専用ユーザーと同じユーザー ID がすでにストレージシステムに登録されています。	ストレージシステムから該当するユーザーを削除したあと、再実行してください。
KAIC00839-E	Storage Navigator の起動中に内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00840-E	ラウンチに失敗しました。ストレージシステム上で有償オプションの構成が変更されている可能性があります。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行したあと、再実行してください。
KAIC00841-E	ラウンチに失敗しました。連携設定されている Storage Navigator Modular (for Web) は、対象のストレージシステムをサポートしていません。	Storage Navigator Modular (for Web) のバージョンを確認してください。
KAIC00843-E	ラウンチに失敗しました。現在の Device Manager サーバの設定では指定したストレージシステムに対するラウンチを実行できません。	指定したストレージシステムを IPv6 の IP アドレスで管理している場合、server.properties ファイルの server.http.host プロパティに IPv6 の IP アドレス、またはホスト名を指定してください。
KAIC00850-E	An attempt to read a file has failed. The file does not exist or you do not have read permission for it. (file path = <code><file path ></code>)	Make sure that the file exists and that you have read permission for it, and then execute the setup tool again.
KAIC00851-E	An attempt to create a temporary file has failed. You do not have write permission or disk space is	Make sure that you have write permission and that disk space is sufficient, and then execute the setup tool again.

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	insufficient. (file path = < <i>file path</i> >)	
KAIC00852-E	Configuration of the remote connection settings for the DBMS has failed. Disk space is insufficient.	Make sure disk space is sufficient, and then execute the setup tool again.
KAIC00853-E	Configuration of the remote connection settings for the DBMS has failed. An internal error occurred.	Contact the Support Center.
KAIC00854-E	Configuration of the remote connection settings for the DBMS has failed. Execution of an internal command failed. (executed command = < <i>executed command</i> >)	Contact the Support Center.
KAIC00855-E	An error occurred while a value was being entered from standard input.	Execute the setup tool again.
KAIC00856-E	An internal error occurred while executing the Tuning Manager connection setup tool.	Contact the Support Center.
KAIC00857-E	ほかの製品との連携用データベースユーザーの設定処理中に、内部エラーが発生しました。	問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00858-E	Configuration of the remote connection settings for the DBMS has failed. Execution of an internal command failed. (executed command = < <i>executed command</i> >, exit code = < <i>exit code</i> >, command message = < <i>command message</i> >)	Contact the Support Center.
KAIC00859-E	Configuration of the remote connection settings for the DBMS has failed. The Common Component service is running.	Stop the Common Component service, and then execute the setup tool again.
KAIC00860-E	指定されたストレージシステムは Device Manager データベースにありません。	ストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC00861-E	ストレージシステムとの通信に失敗しました。	保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00862-E	セッションが無効です。ログインからやり直してください。	ログインからやり直してください。
KAIC00870-E	The number of parameters is invalid. Check the specified parameters.	Check the specified parameters.
KAIC00871-E	The write permission for the config file "< <i>file-name</i> >" is not given to the user. Make sure that the write permission to the file is granted to the user.	Make sure that the write permission to the file is granted to the user.

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC00872-E	The user authentication for VMware ESX or VMware vCenter Server (< <i>specified-ipAddress-or-hostname</i> >) has failed. Make sure the specified parameters are correct and that the administrator permission is granted to the user.	Make sure the specified parameters are correct and that the administrator permission is granted to the user.
KAIC00873-E	The access to VMware ESX or VMware vCenter Server (< <i>specified-ipAddress-or-hostname</i> >) is failed. Make sure the specified parameters are correct and VMware ESX or VMware vCenter Server version is 4.0 or later, and then retry the operation. If this problem persists, contact the Support Center.	Make sure the specified parameters are correct and VMware ESX or VMware vCenter Server version is 4.0 or later, and then retry the operation. If this problem persists, contact the Support Center.
KAIC00874-E	The command "< <i>command-name</i> >" execution has failed because another process is executing the command. The command cannot be executed more than once at the same time. Wait until the command execution is finished, and then try again.	Wait until the command execution is finished, and then try again.
KAIC00875-E	An unexpected error occurred. Contact the Support Center.	Contact the Support Center.
KAIC00876-E	The command "< <i>command-name</i> >" execution is failed. Retry the operation. If this problem persists, contact the Support Center.	Retry the operation. If this problem persists, contact the Support Center.
KAIC00880-E	The command execution is failed because an I/O error occurred. (error details = "< <i>error-details</i> >")	Verify the operating environment. If this problem continues, contact Support.
KAIC01000-E	特定不能な XML エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC01001-E	XML エラー：文法エラー<"< XML パーサのエラーメッセージ>">です。	リクエスト記述を確認してください。
KAIC01003-E	XML エラー：送信されたエンティティは XML ではありません。	リクエスト記述を確認してください。
KAIC01011-E	"<属性名>"パラメータの値"<属性の値の値>"が無効です。"<属性のデータ型>"タイプを入力してください。	"<属性のデータ型>"タイプの値を入力してください。
KAIC01012-E	XML エラー：内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC01013-E	XML リクエスト中に不正なエレメント"<エレメント名>"が指定されています。	リクエスト記述を確認してください。
KAIC01014-E	XML リクエスト中のエレメント"<エレメント名>"に不正なパラメータ"<パラメータ名>"が指定されています。	リクエスト記述を確認してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC01015-E	XML リクエスト中のエレメント"<エレメント名>"のパラメータ"<パラメータ名>"に不正な値が指定されています。	リクエスト記述を確認してください。
KAIC01016-E	XML リクエスト中のエレメント"<親エレメント名>"に不正な子エレメント"<子エレメント名>"が指定されています。	リクエスト記述を確認してください。
KAIC01017-E	リクエストの実行に失敗しました。現在のライセンスでは、リクエストしたユーザーからのコマンドを実行できません。	このコマンドは Core License で許可されているユーザーから実行してください。
KAIC01018-E	リクエストの実行に失敗しました。現在のライセンスでは、このコマンドを実行できません。	このコマンドは Full License でなければ実行できません。
KAIC01019-E	ライセンスが不正です。	Full License または Core License を設定してください。
KAIC01021-E	コマンドオプション 2 の形式が不正です。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC01022-E	コマンドオプション 2 に名前 "<オプション名>" が複数指定されています。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC01023-E	XML リクエストに失敗しました。ネットワークに障害が発生しているか、一時的にサーバの負荷が高くなっているおそれがあります。しばらくしてから、再度操作を実行してください。	しばらくしてから、再度操作を実行してください。同じエラーが何度も発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC01024-E	内部エラーが発生しました。"<クラス名>"クラスのインスタンスの生成、または起動に失敗しました。	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC02001-E	重複したユーザーグループ名は認められません。	ユーザーグループ名を変更してください。
KAIC02002-E	指定されたユーザーグループは Device Manager データベース内に見つかりません。	ユーザーグループ名を確認してください。
KAIC02004-E	指定された ACL ルールは Device Manager データベース内に見つかりません。	ACL ルール ID を確認してください。
KAIC02006-E	ユーザー ID またはユーザーパスワードが間違っています。	ユーザー ID またはユーザーパスワードを確認してください。
KAIC02007-E	重複したユーザー ID は認められません。	Device Manager ACL データベースには重複したユーザー ID を登録できません。ユーザー ID を変更してください。
KAIC02009-E	Device Manager データベース内に該当するレコードが見つかりません。	対処の必要はありません。
KAIC02010-E	重複したレコードは認められません。	対処の必要はありません。
KAIC02011-E	ユーザー"<ユーザー ID >"には実行中のリクエストがあります。ユーザーを削除できません。	実行中のリクエストが終了してから削除してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC02012-E	指定されたユーザーグループをこのAPIバージョンで追加することはできません。	API サポートバージョンを確認してください。
KAIC02013-E	このAPIバージョンでは指定されたユーザーグループにユーザーを追加することはできません。	API サポートバージョンを確認してください。
KAIC02014-E	アクセス権限エラーです。	ユーザーのアクセス権限を確認してください。
KAIC02015-E	アクセス権限情報取得時に内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC02016-E	指定された論理グループはすでに別のユーザーグループで使用されています。	ユーザーグループが未使用の論理グループを指定してください。
KAIC02017-E	指定されたユーザーグループにはすでに論理グループが関連づけられています。	既存の関連を削除し、再度論理グループとの関連づけを行ってください。
KAIC02018-E	指定されたユーザーグループにはユーザーが登録されています。	ユーザーグループからすべてのユーザーを削除し、再度コマンドを実行してください。
KAIC02019-E	指定された論理グループ下にユーザーグループが登録されています。	論理グループ下のすべてのユーザーグループを削除し、再度コマンドを実行してください。
KAIC02020-E	指定された論理グループにはユーザーグループが登録されています。	新たに論理グループを作成し、そこにパスを登録してください。
KAIC02021-E	ログインユーザーに権限のない ObjectID "<オブジェクト ID >"が指定されました。	ログインユーザーの ACL ルールを確認してください。
KAIC02022-E	ログインユーザーは指定されたホスト"<ホスト名 >"の権限を持っていません。	ログインユーザーの ACL ルールを確認してください。
KAIC02023-E	ログインユーザーは権限外の LDEV を含む LUSE を削除できません。	ログインユーザーの ACL ルールを確認してください。
KAIC02024-E	権限外の LDEV にパスを追加することはできません。	ログインユーザーの ACL ルールを確認してください。
KAIC02025-E	権限外の LDEV に設定されたパスを削除することはできません。	ログインユーザーの ACL ルールを確認してください。
KAIC02026-E	ログインユーザーの権限ではストレージシステムを新規登録できません。	ストレージシステムの新規登録は Global Admin ユーザーまたは Global Storage Admin ユーザーで行ってください。
KAIC02027-E	ログインユーザーの権限ではストレージシステムを削除できません。	ストレージシステムの削除は Global Admin ユーザーまたは Global Storage Admin ユーザーで行ってください。
KAIC02028-E	ログインユーザーに権限のないオブジェクトが指定されました。	ログインユーザーの ACL ルールを確認してください。
KAIC02030-E	ユーザー"<ユーザー ID >"には、このAPIに対する実行権限がありません。	ログインユーザーの ACL ルールを確認してください。
KAIC02032-E	ログインユーザーは、自分のロールを変更できません。	ログインユーザーの権限を確認してください。
KAIC02033-E	権限外の LDEV を用いたレプリケーションを操作することはできません。	ログインユーザーの ACL ルールを確認してください。
KAIC02034-E	ユーザーグループ名は無効です。25 バイト以下にする必要があります。	ユーザーグループ名は 25 バイト以下で入力してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC02035-E	指定された ACL ルールは Device Manager データベース内にすでに存在します。	ルールの指定を見直した後、再実行してください。
KAIC02036-E	削除対象の LDEV に関連するパスが論理グループ"<論理グループ名>"に登録されています。	削除対象の LDEV に関連するパスを論理グループから削除してください。
KAIC02037-E	指定されたユーザー ID は Device Manager で予約されているため、本操作を実行することはできません。	ユーザーの指定を見直してください。
KAIC02038-E	Storage port "<ホスト名>"には権限を設定できません。	指定を見直してください。
KAIC02040-E	ビルトインユーザーグループは削除できません。	ユーザーグループの指定を見直してください。
KAIC02041-E	自分が属しているユーザーグループを削除できません。	ユーザーグループの指定を見直してください。
KAIC02042-E	ビルトインユーザーグループは変更できません。	ユーザーグループの指定を見直してください。
KAIC02043-E	自分が属しているユーザーグループを変更できません。	ユーザーグループの指定を見直してください。
KAIC02044-E	自分は削除できません。	ユーザーの指定を見直してください。
KAIC02045-E	共通ユーザー情報としてほかの製品でも使用されているユーザーは削除できません。	ユーザーの指定を見直してください。
KAIC02046-E	指定したユーザーに対しては要求された操作を実行できません。	ユーザーの指定を見直してください。
KAIC02047-E	指定した ACL ルール ID は無効です。削除できません。	ACL ルールの指定を見直してください。
KAIC02048-E	指定したユーザーグループ名は予約されているので使用できません。	ユーザーグループの指定を見直してください。
KAIC02100-E	ログインユーザーは Device Manager の機能を使用する権限がありません。	Device Manager の機能を使用できるユーザーで再実行してください。
KAIC02101-E	ログインユーザーはユーザーグループに属していないので、Device Manager の機能を使用できません。	Device Manager の機能を使用できるユーザーで再実行してください。
KAIC02150-E	権限のないジャーナルグループは使用できません。	リクエストを見直してから再実行してください。ジャーナルグループを使用するには、ジャーナルグループを構成するすべてのボリュームに対する権限が必要です。
KAIC02250-E	権限のない LDEV に関係する<PP 名 (VolumeMigration)>の移動プランは指定できません。	ログインユーザーの ACL ルールを確認してください。
KAIC02251-E	権限のない LDEV をソースボリュームに指定することはできません。	ログインユーザーの ACL ルールを確認してください。
KAIC02252-E	権限のない LDEV をターゲットボリュームに指定することはできません。	ログインユーザーの ACL ルールを確認してください。
KAIC02253-E	権限のない LDEV に対して、<PP 名 (VolumeMigration)>の予約ボ	ログインユーザーの ACL ルールを確認してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	リユームの設定および解除はできません。	
KAIC02500-E	共通ユーザー情報の操作時に特定不能なエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC02501-E	共通ユーザー管理機能でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC02502-E	ユーザーグループの情報に共通ユーザー情報と異なる部分を発見しました。	共通ユーザー情報が最新の情報を保持していないおそれがあります。Device Manager サーバを再起動してください。
KAIC02503-E	指定したユーザーは共通ユーザー情報に登録されていません。	ユーザーの指定を見直してください。
KAIC02504-E	指定したユーザーは共通ユーザー情報にすでに登録されています。	ユーザーの指定を見直してください。
KAIC02505-E	指定したユーザーグループは共通ユーザー情報に登録されていません。	ユーザーグループの指定を見直してください。
KAIC02506-E	指定したユーザーグループは共通ユーザー情報にすでに登録されています。	ユーザーグループの指定を見直してください。
KAIC02507-E	共通ユーザー管理機能を利用できません。	共通コンポーネントのサービスが起動しているかどうかを確認してください。
KAIC02508-E	この操作は不正です。実行できません。	操作を見直してください。
KAIC02509-E	外部認証サーバとの通信に失敗しました。	次の対処をしてください。 外部認証サーバが LDAP の場合： 1. exauth.properties に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmsldapuser コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. StartTLS で通信するときは、SSL の設定を確認してください。 4. 問題が解決しないときは、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。 外部認証サーバが RADIUS の場合： 1. exauth.properties に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmsradiussecret コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. 問題が解決しないときは、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC02510-E	<リソース種別>に対し、必要な権限がありません。以下のいずれかのロールが必要です。(＜ロール＞)	<リソース種別>に対し、以下のいずれかのロールが割り当てられていることを確認してください。(＜ロール＞)
KAIC02511-E	必要な権限がありません。以下のいずれかのロールが必要です。(＜ロール＞)	以下のいずれかのロールが割り当てられていることを確認してください。(＜ロール＞)
KAIC03000-E	特定不能なデータベースエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03001-E	指定したオブジェクトが Device Manager のデータベース内に見つかりません。	指定したオブジェクトを確認してください。
KAIC03002-E	指定したオブジェクト名の変更はサポートされていません。	名前を変更するには対象となるオブジェクトを削除してから再登録してください。
KAIC03003-E	Device Manager データベースへのアクセスができません。	内部エラーが発生しました。エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03004-E	データベースマネージャの操作は無効です。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03005-E	データベースのクエリ中にエラーが発生しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03006-E	データベースの挿入時にエラーが発生しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03007-E	データベースのアップデート中にエラーが発生しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03008-E	データベースの削除中にエラーが発生しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03009-E	データベースの"<カラム名>"カラムが結果の中に見当たりません。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03010-E	"<カラム名>"カラムのフォーマットの結果、データベースエラーが発生しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03011-E	データベースとの接続に失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03012-E	データベース接続の切断に失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03013-E	データベーストランザクションのコミットに失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03014-E	データベーストランザクションのロールバックに失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03015-E	データベーストランザクションのコミットまたはロールバックに失敗しました。実行中の処理は中断されました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03016-E	項目のけた数が最大値を超えています。入力項目を確認してください。	入力した値を見直してください。
KAIC03017-E	データベースロックの競合によって、要求された更新処理のすべてまたは一部が失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC03018-E	データベースのマイグレーション処理に失敗しました。(リターンコード="<リターンコード>")	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03019-E	文字コードの変換処理が失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03020-E	空きページ解放コマンドの実行に失敗しました。(対象="<解放対象>")	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03021-E	データベースの更新コマンドの追加に失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03022-E	Device Manager のサーバが使用する DB が閉塞しました。閉塞した部位は、共通コンポーネントです。サーバ管理者に連絡してください。	サーバ管理者に連絡してください。
KAIC03023-E	Device Manager のサーバが使用する DB が閉塞しました。閉塞した部位は、Device Manager のデータベースです。サーバ管理者に連絡してください。	サーバ管理者に連絡してください。
KAIC03050-E	テーブル"<テーブル>"の ID が上限を超えました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03051-E	データベースのアクセス時に"<型名>"型のマッピングを解決できません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03052-E	テーブル"<テーブル名>"("<キー>")の初期化を重複して行おうとしました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03100-E	Device Manager データベースへの接続エラーです。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03140-E	内部エラーが発生しました。ストレージシステムの使用容量を算出できません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03141-E	内部エラーが発生しました。ホストエージェントの URL を取得できませんでした。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03143-E	内部エラーが発生しました。データベースからレプリケーション情報を取得できませんでした。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03144-E	内部エラーが発生しました。データベースからライセンスキー情報を取得できませんでした。(要因:"<要因>")	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03145-E	内部エラーが発生しました。データベースからストレージシステムに関するレコードを削除できませんでした。(要因:"<要因>")	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03146-E	内部エラーが発生しました。データベースから SMI-S Enabled ストレージシステム情報の取得に失敗しました。(テーブル名:"<テーブル名>")	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC03147-E	内部エラーが発生しました。"<テーブル名>"テーブルの状態を管理する情報の取得に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03148-E	内部エラーが発生しました。"<テーブル名>"テーブルに設定する情報の取得に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03149-E	内部エラーが発生しました。データベースから仮想化サーバの情報の取得に失敗しました。(テーブル名:"<テーブル名>")	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03150-E	内部エラーが発生しました。<テーブル名>テーブルに番号"<番号>"がありません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03402-E	共通コンポーネントへのログイン時に、通信エラーが発生しました。	共通コンポーネントの起動を確認後、再び実行してください。
KAIC03403-E	共通コンポーネントへのログインに失敗しました。アプリケーション "<ApplicationName >" はログインできません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03404-E	共通コンポーネントへのログイン時、認証に失敗しました。 "<UserID >"	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03405-E	共通コンポーネントへのログイン時に、共通コンポーネントでエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03406-E	共通コンポーネントデータベースへの接続時にエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03410-E	共通コンポーネントのデータベース操作時にエラーが発生しました。 CIMError:"<エラーコード>"	共通コンポーネントデータベースと Device Manager データベースの間に不整合が発生したおそれがあります。"server.properties"ファイルの"server.base.initialsynchro"プロパティに"true"を設定し、Device Manager Server を再起動してから本操作を実行してください。それでも発生する場合は顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03411-E	共通コンポーネントと同期するための Device Manager の情報取得に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03412-E	共通コンポーネントのデータベース更新時に内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03414-E	Provisioning Manager 共通コンポーネント連携機能で例外が発生しました。	"server.properties"ファイルの"server.base.initialsynchro"プロパティに"true"を設定して Device Manager Server を再起動してください。エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03415-E	Provisioning Manager 共通コンポーネントデータベース更新時に例外が発生しました。共通コンポーネントデータベースと Device Manager の	"server.properties"ファイルの"server.base.initialsynchro"プロパティに"true"を設定して Device Manager Server を再起動してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	データベースの間に不整合がありました。	
KAIC03416-E	共通コンポーネントデータベース更新後に Device Manager データベースのロールバックを実行しました。そのため共通コンポーネントデータベースと Device Manager のデータベースの間に不整合が発生しました。	server.properties ファイルの server.base.initialsynchro プロパティに true を設定して Device Manager を再起動してください。
KAIC03420-E	共通コンポーネントデータベースへの初期データ登録に失敗しました。	共通コンポーネントのサービスが起動しているかどうかを確認してください。
KAIC03421-E	共通コンポーネントとの同期に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03422-E	共通コンポーネントとの同期判定に失敗しました。"<StartingState >"	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03423-E	一覧表示用情報との同期に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03440-E	データベースへのアクセスユーザーID とパスワードの取得に失敗しました。	共通コンポーネントが起動していることを確認してから、Device Manager サーバを再起動してください。エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03441-E	データベースの移行に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03500-E	ストレージシステムの追加またはリフレッシュ中にデータベースエラーが発生しました。再実行してください。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03999-E	Device Manager データベース機能の初期化エラーです。	サービスが起動しているかどうか、データベースファイルがあるかどうかを確認してください。確認後もエラーが繰り返し発生する場合には顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC04000-E	"<データベースの種類>"データベースへのアクセスに失敗しました。	"<データベースの種類>"データベースに問題がないか確認してください。エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC04001-E	指定した IP アドレス (ホスト名) "<IP アドレス (ホスト名) >"を解決できませんでした。	IP アドレス (ホスト名) の指定を見直してください。
KAIC04002-E	指定した"<IP アドレス>"は正しい<プロトコル>アドレスの形式ではありません。	指定を見直してください。
KAIC04100-E	内部エラーが発生しました。不正な形式の IP アドレス "<IP アドレス >"を検知しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC04211-E	Storage Navigator Modular の呼び出し中に例外が発生しました。(例外="<スタックトレース>")	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC04212-E	Storage Navigator Modular のイベント履歴情報を取得中に例外が発生しました。(例外="<スタックトレース>")	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC04213-E	Storage Navigator Modular でエラーが発生しました。(エラーコード="<Storage Navigator Modular の	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	エラーコード">", エラーメッセージ="< Storage Navigator Modular のエラーコードに対応したエラーメッセージ>")	
KAIC05000-E	特定不能なエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05001-E	ストレージシステムでは"<操作>"操作をサポートしていません。	Device Manager サーバは指定されたストレージシステムへのリクエストをサポートしていません。
KAIC05002-E	内部エラーが発生しました。ストレージシステムとの通信プロトコルが不正です。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05003-E	ストレージシステムは"<利用者名>"によってロックされています。	ストレージシステムはほかの管理アプリケーション利用者によってロックされています。ネットワーク上のほかの管理アプリケーションがストレージシステムにアクセスしていないかどうかを確認してください。確認後も繰り返しエラーが発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05004-E	ストレージシステムのロックの取得に失敗しました。	ネットワーク上のほかの管理アプリケーションがストレージシステムにアクセスしていないかどうかを確認してください。確認後も繰り返しエラーが発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05005-E	"<試行回数>"回試行しましたが、SNMP ロックの解除に失敗しました。	ネットワーク上のほかの管理アプリケーションがストレージシステムにアクセスしていないかどうかを確認してください。確認後も繰り返しエラーが発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05008-E	ストレージシステムでの内部リフレッシュで SNMP エラーが発生しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05009-E	SNMP による情報取得に失敗しました。	繰り返しエラーが発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05010-E	指定した外部ボリューム"<外部ボリュームの識別情報>"は使用できません。	外部ボリュームの状態を確認してください。
KAIC05011-E	内部エラーが発生しました。DeviceIdentificationService が見つかりません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05012-E	アレイファミリー"<アレイファミリー>"は登録されていません。	トランスポート層に無効な構成が見つかりました。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05013-E	IP アドレス"<IP アドレス>"のストレージシステムからの認証情報取得中にエラーが発生しました。	デバイス構成情報のポーリング中にエラーが発生しました。エラーが繰り返し起こるならばストレージシステムに問題があるおそれがあります。
KAIC05014-E	Device Manager はストレージシステムに対する操作"<操作>"をサポートしていません。実行するにはマイクロコードのバージョンが"<マイクロコードバージョン>"以上である必要があります。	この操作を実行するにはマイクロコードをバージョンアップしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC05015-E	指定したアレイグループ"<アレイグループ>"は指定範囲外です。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。
KAIC05016-E	指定したアレイグループ"<アレイグループ>"はすでにあります。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。
KAIC05018-E	指定した PDEV"<PDEV-ID >"はすでに使用済みです。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。
KAIC05019-E	指定した LDEV"<デバイス番号>"は指定範囲外です。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。
KAIC05020-E	指定した LDEV"<デバイス番号>"はすでにあります。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。
KAIC05022-E	指定したホストモードはストレージシステムで使用できないものです。ストレージシステムの種別の設定が実際と異なります。	正しい機種を指定してストレージシステムを追加し直す必要があります。影響が大きい場合、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC05023-E	ストレージシステムに適用できないホストモードが指定されました。	ストレージシステムでサポートされているホストモードか確認してください。
KAIC05024-E	ストレージシステムの機能 "<機能>"がありません。	ストレージシステムの機能を確認してください。
KAIC05026-E	Device Manager は指定したストレージシステムをサポートしていないか、ストレージシステムの構成エラーのおそれがあります。	ストレージシステムの指定を見直してください。指定に間違いがなければ顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC05027-E	現在の構成では指定された LU を作成するために必要な数の devNum がありません。	不要な LU を削除したあと、再実行してください。
KAIC05028-E	<PP 名(Dynamic Provisioning)> で使用するアレイグループが指定されました。Device Manager では、<PP 名(Dynamic Provisioning)> で使用するボリュームの作成はできません。	アレイグループの指定を見直してください。
KAIC05029-E	現在の構成では、指定されたホストグループまたは iSCSI ターゲットを作成するために必要な ID の数が足りません。	不要なホストグループまたは iSCSI ターゲットを削除したあと、再実行してください。
KAIC05030-E	現在の構成では指定したエミュレーションタイプの LDEV を作成できません。	不要な LU を削除したあと、再実行してください。
KAIC05031-E	指定したエミュレーションタイプはそのアレイグループに指定できません。	アレイグループまたはエミュレーションタイプの指定を見直してください。
KAIC05032-E	エミュレーションタイプ"<エミュレーションタイプ>"のアレイグループには LDEV を作成できません。	エミュレーションタイプの指定を見直してください。
KAIC05034-E	ストレージシステムの種別が正しくありません。	ストレージシステムの種別の指定を見直してください。
KAIC05035-E	指定したデバイス番号 (devNum="<デバイス番号>") にエミュレーションタイプ"<エミュレーションタイプ>"の LDEV を作成できません。	devNum またはエミュレーションタイプの指定を見直してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC05036-E	指定したデバイス番号 (devNum="<デバイス番号>") は使用できません。	devNum の指定を見直してください。
KAIC05037-E	Device Manager サーバが保持するストレージシステムの情報にストレージシステム側と異なる部分があります。ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。ローカルユーザーの場合はシステム管理者に連絡してください。同じエラーが発生する場合、指定したデバイス番号 (devNum="<デバイス番号>") の LDEV がストレージシステム側で無効化されているおそれがあります。devNum の指定を見直して再実行してください。	Device Manager サーバが最新のストレージシステムの情報を保持していないおそれがあります。リフレッシュを実行したあと、再度実行してください。同じエラーが発生する場合、指定した LDEV がストレージシステム側で無効化されているおそれがあります。無効化を解除したあとリフレッシュを実行するか、devNum の指定を見直して再度実行してください。
KAIC05040-E	このストレージシステムのマイクロコードバージョンではコマンドデバイスセキュリティの設定および解除をすることはできません。	コマンドデバイスセキュリティの設定および解除するにはマイクロコードのバージョンアップが必要です。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05041-E	指定した SMI-S Enabled ストレージシステムが見つかりません。	SMI-S Enabled ストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC05042-E	SMI-S Enabled ストレージシステムが見つかりません。指定した SMI-S プロバイダーは、Device Manager がサポートしている SMI-S Enabled ストレージシステムを管理していません。	SMI-S プロバイダーの指定を見直してください。
KAIC05043-E	指定した仮想化サーバ管理プログラムまたは仮想化サーバが見つかりません。	仮想化サーバ管理プログラム、または仮想化サーバの指定を見直してください。
KAIC05044-E	仮想化サーバが見つかりません。指定した仮想化サーバ管理プログラムは、Device Manager がサポートしている仮想化サーバを管理していません。	仮想化サーバ管理プログラムの指定を見直してください。
KAIC05045-E	指定した仮想化サーバから取得した情報と、Device Manager データベースの情報とが一致していません。	Device Manager サーバから仮想化サーバを削除してから、仮想化サーバの情報を再登録してください。
KAIC05050-E	CLPR 番号の設定に失敗しました。ほかのプロセスで CLPR 番号を設定中です。しばらく時間をおいたあと、操作を再実行してください。	しばらく時間をおいたあと、操作を再実行してください。同じエラーが発生する場合は、Element Manager または Storage Navigator を使用して CLPR の設定を確認してください。
KAIC05051-E	CLPR 番号の設定が完了しませんでした。しばらく時間をおいたあと、Element Manager または Storage Navigator を使用して CLPR の設定を確認してください。	しばらく時間をおいたあと、Element Manager または Storage Navigator を使用して CLPR の設定を確認してください。
KAIC05054-E	ストレージシステムに接続するパラメーター (IP アドレスまたは通信プロトコル) が Storage Navigator Modular 2 で変更されています。IP アドレスと通信プロトコルを確認し	ストレージシステムへ接続する際の IP アドレスと通信プロトコルは、Storage Navigator Modular 2 で設定した値と同じ値を使用する必要があります。ネットワーク接続環境や、ストレージシステムへ接続する際の通信プロトコルを確認してください。IP アドレスまたは通信プロトコルを指定してストレージシステムのリフ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	たあとに、ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。	レッシュを実行し、最新の構成情報を確認してください。
KAIC05056-E	ストレージシステムへの接続が失敗しました。指定したストレージシステムのタイプ、IPアドレス、マイクロプログラムバージョン、接続用ポートの設定、およびネットワークの状態を確認してください。	ストレージシステムの設定について、次の内容を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> タイプ IPアドレス マイクロプログラムバージョン 使用するポート (Device Manager サーバ側とストレージシステム側の両方) ネットワークの状態 設定に誤りがなければ、ネットワークまたはストレージシステムの故障です。
KAIC05057-E	ストレージシステムへの接続が失敗しました。指定したストレージシステムのタイプ、IPアドレス、通信プロトコル、マイクロプログラムバージョン、接続用ポートの設定、およびネットワークの状態を確認してください。	ストレージシステムの設定について、次の内容を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> タイプ IPアドレス 通信プロトコル マイクロプログラムバージョン 使用するポート (Device Manager サーバ側とストレージシステム側の両方) ネットワークの状態 設定に誤りがなければ、ネットワークまたはストレージシステムの故障です。
KAIC05060-E	ホストエージェントは"<操作>"操作をサポートしていません。	ホストの指定を見直してください。
KAIC05090-E	このストレージシステムのマイクロコードでは、指定された操作はできません。	指定された操作をするためにはマイクロコードのバージョンアップが必要です。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05100-E	内部エラーが発生しました。パラメータ"<パラメータ>"が見つからないためにトランスポートサービスの実行に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05101-E	内部エラーが発生しました。トランスポート接続の初期化に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05102-E	同じストレージシステムまたは同じSMI-S プロバイダーに対するほかの処理を実行中です。しばらくしてから再実行してください。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05103-E	指定した仮想化サーバ管理プログラムまたは仮想化サーバに対して、ほかの処理を実行中です。しばらくしてから再実行してください。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05110-E	ファイルサーバ管理ソフトウェアでの処理実行中にエラーが発生しました。詳細情報を基に、ファイルサーバ管理ソフトウェアについて書かれたマニュアルを参照して、対処方法に従ってファイルサーバ管理ソフトウェアから対処してください。詳細情報:(メッセージID:"<メッセージID>", メッセージ:"<詳細メッセージ>", 原因:"<原因>", 対処方法:"<対処方法>")	ファイルサーバ管理ソフトウェアについて書かれたマニュアルを参照して、対処方法に従ってファイルサーバ管理ソフトウェアから対処してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC05111-E	ファイルサーバ管理ソフトウェアでの処理実行中に通信エラーが発生しました。詳細情報を基に、ファイルサーバ管理ソフトウェアについて書かれたマニュアルを参照して、対処方法に従ってファイルサーバ管理ソフトウェアから対処してください。 詳細情報：(メッセージ ID : "<メッセージ ID >", メッセージ : "<詳細メッセージ>", 原因 : "<原因>", 対処方法 : "<対処方法 >")	ファイルサーバ管理ソフトウェアについて書かれたマニュアルを参照して、対処方法に従ってファイルサーバ管理ソフトウェアから対処してください。
KAIC05112-E	ファイルサーバ管理ソフトウェアでの処理実行中に予期しないエラーが発生しました。	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05113-E	ファイルサーバ管理ソフトウェアとの通信でタイムアウトが発生しました。	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05114-E	WSDL ファイルが見つかりません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。(保守情報 = "<パス情報 >")	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05115-E	接続先のファイルサーバは、指定したファイルサーバと異なります。接続先のファイルサーバの IP アドレスが正しいことを確認したあと、再実行してください。	接続先のファイルサーバの IP アドレスが正しいことを確認したあと、再実行してください。
KAIC05116-E	指定したファイルサーバはこの操作をサポートしていません。ファイルサーバのファームウェアバージョンを確認してください。	ファイルサーバのファームウェアバージョンを確認してください。
KAIC05117-E	ファイルサーバとの通信でタイムアウトが発生しました。ファイルサーバの IP アドレスが正しいことを確認してください。(エラーの詳細 = "<HNAS サーバから取得したエラー情報 >")	ファイルサーバの IP アドレスが正しいことを確認してください。IP アドレスが正しい場合、ファイルサーバでの処理に時間が掛かっているおそれがあります。しばらくしてから再実行してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05118-E	ファイルサーバでの認証に失敗しました。ユーザー ID およびパスワードを確認したあと、再実行してください。(エラーの詳細 = "<HNAS サーバから取得したエラー情報 >")	ユーザー ID およびパスワードを確認したあと、再実行してください。
KAIC05119-E	ファイルサーバとの通信でエラーが発生しました。IP アドレスが誤っているか、認証情報が正しくないおそれがあります。ファイルサーバの IP アドレスおよび認証情報を見直したあと、再実行してください。IP アドレスと認証情報が正しい場合、ファイルサーバへのアクセスが集中しているおそれがあります。しばらくしてから再実行してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	ファイルサーバの IP アドレスおよび認証情報を見直したあと、再実行してください。IP アドレスと認証情報が正しい場合、ファイルサーバへのアクセスが集中しているおそれがあります。しばらくしてから再実行してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	ら再実行してください。(エラーの詳細 = "< HNAS サーバから取得したエラー情報 >")	
KAIC05120-E	ファイルサーバでの処理実行中にエラーが発生しました。エラーの詳細は次のとおりです。"< HNAS サーバから取得したメッセージ >" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。(保守情報: エラーコード = "< HNAS サーバから取得したエラーコード >", リターンコード = "< HNAS サーバから取得したリターンコード >")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で対処してください。
KAIC05121-E	ファイルサーバでの処理実行中に特定不能なエラーが発生したため、詳細情報を取得できませんでした。SMU でイベントログを確認してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。	SMU でイベントログを確認してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC05122-E	ファイルサーバでの処理実行中にエラーが発生しました。エラーの詳細は次のとおりです。"< ファイルサーバから取得したメッセージ >" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。
KAIC05123-E	ファイルサーバとの SSL 接続処理の初期化中にエラーが発生しました。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。(詳細情報: "< エラー詳細情報 >")	同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC05124-E	ファイルサーバでの処理実行中に特定不能なエラーが発生しました。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。	同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC05125-E	ファイルサーバでのファイルシステムの作成に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"< HNAS サーバから取得したメッセージ >" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから SMU で対処してください。(保守情報: エラーコード = "< HNAS サーバから取得したエラーコード >", リ	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから SMU で対処してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	ターンコード="< HNAS サーバから取得したリターンコード>")	
KAIC05126-E	ファイルサーバでのファイルシステム作成処理実行中にエラーが発生しました。ファイルシステム (<ファイルシステム名>) の作成は完了しましたが、ファイルシステムのフォーマットに失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"< HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で該当するファイルシステムの状態を確認し、フォーマット、マウントおよびオンデマンド容量割り当ての設定を実行してください。(保守情報: エラーコード="< HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード="< HNAS サーバから取得したリターンコード>")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で該当するファイルシステムの状態を確認し、フォーマット、マウントおよびオンデマンド容量割り当ての設定を実行してください。
KAIC05127-E	ファイルサーバでのファイルシステム作成処理実行中にエラーが発生しました。ファイルシステム (<ファイルシステム名>) の作成およびフォーマットは完了しましたが、ファイルシステムのマウントに失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"< HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で該当するファイルシステムの状態を確認し、マウントおよびオンデマンド容量割り当ての設定を実行してください。(保守情報: エラーコード="< HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード="< HNAS サーバから取得したリターンコード>")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で該当するファイルシステムの状態を確認し、マウントおよびオンデマンド容量割り当ての設定を実行してください。
KAIC05128-E	ファイルサーバでのファイルシステム作成処理実行中にエラーが発生しました。ファイルシステム (<ファイルシステム名>) の作成、フォーマットおよびマウントは完了しましたが、ファイルシステムのオンデマンド容量割り当ての設定に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"< HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU でファイルシステムの状態を確認し、オンデマンド容量割り当ての設定を実行してください。(保守情報: エラーコード="< HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード="< HNAS サーバから取得したリターンコード>")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU でファイルシステムの状態を確認し、オンデマンド容量割り当ての設定を実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC05129-E	ファイルサーバでのファイルシステム情報の取得に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"< HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。(保守情報：エラーコード="< HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード="< HNAS サーバから取得したリターンコード>")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。
KAIC05130-E	ファイルサーバでのストレージプール情報の取得に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"< HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。(保守情報：エラーコード="< HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード="< HNAS サーバから取得したリターンコード>")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。
KAIC05131-E	ファイルサーバでの CIFS 共有作成処理実行中に CIFS 共有の作成に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"< HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで対処してください。(保守情報：エラーコード="< HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード="< HNAS サーバから取得したリターンコード>")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで対処してください。
KAIC05132-E	ファイルサーバでの NFS 共有作成処理実行中に NFS 共有の作成に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"< HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで対処してください。(保守情報：エラーコード="< HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード="< HNAS サーバから取得したリターンコード>")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで対処してください。
KAIC05133-E	ファイルサーバの構成情報取得に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"< HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで対処してください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで対処してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	ださい。(保守情報:処理="<取得しようとした情報>", エラーコード="<HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード="<HNAS サーバから取得したリターンコード>")	
KAIC05134-E	ファイルサーバで CIFS 共有作成処理実行中に CIFS 共有 (<CIFS 共有名>) のパス作成に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で該当する CIFS 共有の状態を確認し、パスを設定してください。(保守情報:エラーコード="<HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード="<HNAS サーバから取得したリターンコード>")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で該当する CIFS 共有の状態を確認し、パスを設定してください。
KAIC05135-E	ファイルサーバで NFS 共有作成処理実行中に NFS 共有 (<NFS 共有名>) のパス作成に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で該当する NFS 共有の状態を確認し、パスを設定してください。(保守情報:エラーコード="<HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード="<HNAS サーバから取得したリターンコード>")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で該当する NFS 共有の状態を確認し、パスを設定してください。
KAIC05136-E	ファイルサーバでのファイルシステム作成処理実行中にエラーが発生しました。ファイルシステムの作成、フォーマットは完了しましたが、ファイルシステム情報の取得に失敗したためマウントの完了を確認できませんでした。エラーの詳細は次のとおりです。"<HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で該当するファイルシステムの状態を確認し、対処してください。(保守情報:エラーコード="<HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード="<HNAS サーバから取得したリターンコード>")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で該当するファイルシステムの状態を確認し、対処してください。
KAIC05137-E	ファイルサーバでのファイルシステム作成処理実行中にエラーが発生しました。ファイルシステムの作成、フォーマットは完了しましたが、マウントが完了しませんでした。詳細情報	詳細情報を基に SMU で該当するファイルシステムの状態を確認し、対処してください。同じエラーが発生する場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	報を基にSMUで該当するファイルシステムの状態を確認し、対処してください。(詳細情報: ファイルシステムのステータス="<HNASサーバから取得したファイルシステムのステータス>")	
KAIC05138-E	ファイルサーバでの処理実行中にエラーが発生しました。エラーの詳細は次のとおりです。"＜エラーの詳細＞" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで同期操作を実行して、Device Managerサーバと情報を同期してください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで同期操作を実行して、Device Managerサーバと情報を同期してください。
KAIC05139-E	ファイルサーバでの処理実行中に特定不能なエラーが発生しました。エラーの詳細情報を取得できませんでした。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。	同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAIC05140-E	ファイルサーバでのファイルシステムの作成に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"＜エラーの詳細＞" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで同期操作を実行して、Device Managerサーバと情報を同期してください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで同期操作を実行して、Device Managerサーバと情報を同期してください。
KAIC05141-E	ファイルサーバでのファイルシステムの作成に失敗しました。エラーの詳細情報を取得できませんでした。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。	同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAIC05142-E	ファイルサーバでのファイルシステム作成処理実行中にエラーが発生しました。ファイルシステム(＜ファイルシステム名＞)の作成は完了しましたが、ファイルシステムのフォーマットに失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"＜エラーの詳細＞" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで該当するファイルシステムの状態を確認し、フォーマット、マウントおよびオンデマンド容量割り当ての設定を実行してください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで該当するファイルシステムの状態を確認し、フォーマット、マウントおよびオンデマンド容量割り当ての設定を実行してください。
KAIC05143-E	ファイルサーバでのファイルシステム作成処理実行中にエラーが発生しました。ファイルシステムの作成は完了しましたが、ファイルシステムのフォーマットに失敗しました。また、エラーの詳細情報を取得できません	SMUで該当するファイルシステムの状態を確認し、フォーマット、マウントおよびオンデマンド容量割り当ての設定を実行してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	でした。SMU で該当するファイルシステムの状態を確認し、フォーマット、マウントおよびオンデマンド容量割り当ての設定を実行してください。 (詳細情報: ファイルシステム名 = "<ファイルシステム名>")	
KAIC05144-E	ファイルサーバでのファイルシステム作成処理実行中にエラーが発生しました。ファイルシステム (<ファイルシステム名>) の作成、フォーマットは完了しましたが、ファイルシステムのマウントに失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で該当するファイルシステムの状態を確認し、マウントおよびオンデマンド容量割り当ての設定を実行してください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で該当するファイルシステムの状態を確認し、マウントおよびオンデマンド容量割り当ての設定を実行してください。
KAIC05145-E	ファイルサーバでのファイルシステム作成処理実行中にエラーが発生しました。ファイルシステム (<ファイルシステム名>) の作成、フォーマットは完了しましたが、ファイルシステムのマウントに失敗しました。また、エラーの詳細情報を取得できませんでした。SMU で該当するファイルシステムの状態を確認し、マウントおよびオンデマンド容量割り当ての設定を実行してください。	SMU で該当するファイルシステムの状態を確認し、マウントおよびオンデマンド容量割り当ての設定を実行してください。
KAIC05146-E	ファイルサーバでのファイルシステム作成処理実行中にエラーが発生しました。ファイルシステム (<ファイルシステム名>) の作成、フォーマット、マウントは完了しましたが、ファイルシステムのオンデマンド容量割り当ての設定に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU でファイルシステムの状態を確認し、オンデマンド容量割り当ての設定を実行してください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU でファイルシステムの状態を確認し、オンデマンド容量割り当ての設定を実行してください。
KAIC05147-E	ファイルサーバでのファイルシステム作成処理実行中にエラーが発生しました。ファイルシステム (<ファイルシステム名>) の作成、フォーマット、マウントは完了しましたが、ファイルシステムのオンデマンド容量割り当ての設定に失敗しました。また、エラーの詳細情報を取得できませんでした。SMU でファイルシステムの状態を確認し、オンデマンド容量割り当ての設定を実行してください。	SMU でファイルシステムの状態を確認し、オンデマンド容量割り当ての設定を実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC05148-E	ファイルサーバでのファイルシステム情報の取得に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。また、SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。また、SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。
KAIC05149-E	ファイルサーバでのファイルシステム情報の取得に失敗しました。また、エラーの詳細情報を取得できませんでした。SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。	Device Manager サーバは最新のファイルサーバの情報を保持していないおそれがあります。SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAIC05150-E	ファイルサーバでのストレージプール情報の取得に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。また、SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。また、SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。
KAIC05151-E	ファイルサーバでのストレージプール情報の取得に失敗しました。また、エラーの詳細情報を取得できませんでした。SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。	Device Manager サーバは最新のファイルサーバの情報を保持していないおそれがあります。SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAIC05152-E	ファイルサーバでの CIFS 共有作成処理に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。
KAIC05153-E	ファイルサーバでの CIFS 共有作成処理に失敗しました。エラーの詳細情報を取得できませんでした。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。	同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAIC05154-E	ファイルサーバでの NFS 共有作成処理に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。
KAIC05155-E	ファイルサーバでの NFS 共有作成処理に失敗しました。エラーの詳細情報を取得できませんでした。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。	同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC05156-E	ファイルサーバの構成情報取得に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。(保守情報: 処理 = "<取得しようとした情報>")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。
KAIC05157-E	ファイルサーバの構成情報取得に失敗しました。エラーの詳細情報を取得できませんでした。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。(詳細情報: 処理 = "<取得しようとした情報>")	同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05158-E	ファイルサーバでの CIFS 共有編集処理に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。
KAIC05159-E	ファイルサーバでの CIFS 共有削除処理に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。
KAIC05160-E	ファイルサーバでの CIFS 共有編集処理に失敗しました。エラーの詳細情報を取得できませんでした。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05161-E	ファイルサーバでの CIFS 共有削除処理に失敗しました。エラーの詳細情報を取得できませんでした。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05162-E	ファイルサーバでの CIFS 共有編集処理の実行中に、CIFS 共有 (< CIFS 共有名 >) のパス作成に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"< HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で該当する CIFS 共有の状態を確認し、パスを設定してください。(保守情報: エラーコード = "< HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード = "< HNAS サーバから取得したリターンコード>")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で該当する CIFS 共有の状態を確認し、パスを設定してください。
KAIC05163-E	ファイルサーバでの CIFS 共有編集処理の実行中に、CIFS 共有の編集に失敗しました。エラーの詳細は次の	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、詳細情報を基に SMU で対処してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	とおります。"<HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、詳細情報を基に SMU で対処してください。(保守情報: エラーコード = "<HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード = "<HNAS サーバから取得したリターンコード>")	
KAIC05164-E	ファイルサーバでの CIFS 共有削除処理の実行中に、CIFS 共有の削除に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で対処してください。(保守情報: エラーコード = "<HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード = "<HNAS サーバから取得したリターンコード>")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で対処してください。
KAIC05165-E	ファイルサーバでの NFS 共有編集処理に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。
KAIC05166-E	ファイルサーバでの NFS 共有削除処理に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。
KAIC05167-E	ファイルサーバでの NFS 共有編集処理に失敗しました。エラーの詳細情報を取得できませんでした。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05168-E	ファイルサーバでの NFS 共有削除処理に失敗しました。エラーの詳細情報を取得できませんでした。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05169-E	ファイルサーバでの NFS 共有編集処理の実行中に、NFS 共有 (<NFS 共有名>) のパス作成に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で該当する NFS 共有の状態を確認し、パスを設定してください。(保守情報: エラーコード = "<	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で該当する NFS 共有の状態を確認し、パスを設定してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	<i>HNAS</i> サーバから取得したエラーコード>", リターンコード="< <i>HNAS</i> サーバから取得したリターンコード>")	
KAIC05170-E	ファイルサーバでの NFS 共有編集処理の実行中に、NFS 共有の編集に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"< <i>HNAS</i> サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。(保守情報: エラーコード="< <i>HNAS</i> サーバから取得したエラーコード>", リターンコード="< <i>HNAS</i> サーバから取得したリターンコード>")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。
KAIC05171-E	ファイルサーバでの NFS 共有削除処理の実行中に、NFS 共有の削除に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"< <i>HNAS</i> サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。(保守情報: エラーコード="< <i>HNAS</i> サーバから取得したエラーコード>", リターンコード="< <i>HNAS</i> サーバから取得したリターンコード>")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。
KAIC05172-E	ファイルサーバでの CIFS 共有の権限設定処理に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。
KAIC05173-E	ファイルサーバでの CIFS 共有の権限設定処理に失敗しました。エラーの詳細情報を取得できませんでした。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05174-E	ファイルサーバでの CIFS 共有 (< <i>CIFS</i> 共有名 >) の権限設定処理に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"< <i>HNAS</i> サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。(保守情報: エラーコード="< <i>HNAS</i> サーバから取得したエラーコード>", リターンコード="< <i>HNAS</i> サーバから取得したリターンコード>")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。
KAIC05175-E	ファイルサーバでの CIFS 共有情報の取得に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作を実行して、	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作を実行して、 Device Manager サーバと情報を同期してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	Device Manager サーバと情報を同期してください。	
KAIC05176-E	ファイルサーバでの CIFS 共有情報の取得に失敗しました。また、エラーの詳細情報を取得できませんでした。SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。	Device Manager サーバは最新のファイルサーバの情報を保持していないおそれがあります。SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05177-E	ファイルサーバでの CIFS 共有情報の取得に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。(保守情報: エラーコード = "<HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード = "<HNAS サーバから取得したリターンコード>")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。
KAIC05178-E	ファイルサーバでの NFS 共有情報の取得に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。
KAIC05179-E	ファイルサーバでの NFS 共有情報の取得に失敗しました。また、エラーの詳細情報を取得できませんでした。SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。	Device Manager サーバは最新のファイルサーバの情報を保持していないおそれがあります。SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05180-E	ファイルサーバでの NFS 共有情報の取得に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。(保守情報: エラーコード = "<HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード = "<HNAS サーバから取得したリターンコード>")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。
KAIC05187-E	NFS 共有("<NFS 共有名>")が割り当てられたファイルシステムが変更され、データベースにある情報と異なるため、操作できません。SMU で同期操作を実行して Device Manager	SMU で同期操作を実行して Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。	
KAIC05188-E	CIFS 共有("< CIFS 共有名 >")が割り当てられたファイルシステムが変更され、データベースにある情報と異なるため、操作できません。SMU で同期操作を実行して Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。	SMU で同期操作を実行して Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。
KAIC05189-E	ファイルサーバでの CIFS 共有の権限情報の取得に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。
KAIC05190-E	ファイルサーバでの CIFS 共有の権限情報の取得に失敗しました。また、エラーの詳細情報を取得できませんでした。SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。	Device Manager サーバは最新のファイルサーバの情報を保持していないおそれがあります。SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05191-E	ファイルサーバでの CIFS 共有の権限情報の取得に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"< HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。(保守情報：エラーコード = "< HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード = "< HNAS サーバから取得したリターンコード>")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。
KAIC05192-E	ファイルサーバでの CIFS 共有の権限処理中に、実行結果の取得に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。
KAIC05193-E	ファイルサーバでの CIFS 共有の権限処理中に、実行結果の取得に失敗しました。SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。	Device Manager サーバは最新のファイルサーバの情報を保持していないおそれがあります。SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05194-E	ファイルサーバでの CIFS 共有 (< CIFS 共有名 >) の権限処理中に、実行結果の取得に失敗しました。エ	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作を実行し

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	ラーの詳細は次のとおりです。"< HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。(保守情報：エラーコード = "< HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード = "< HNAS サーバから取得したリターンコード>")	て、Device Manager サーバと情報を同期してください。
KAIC05195-E	ファイルサーバでの CIFS 共有の作成処理中に、権限情報の取得に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。
KAIC05196-E	ファイルサーバでの CIFS 共有の作成処理中に、権限情報の取得に失敗しました。SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。	Device Manager サーバは最新のファイルサーバの情報を保持していないおそれがあります。SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAIC05197-E	ファイルサーバでの CIFS 共有 (< CIFS 共有名 >) の作成処理中に、権限情報の取得に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"< HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。(保守情報：エラーコード = "< HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード = "< HNAS サーバから取得したリターンコード>")	Device Manager サーバは最新のファイルサーバの情報を保持していないおそれがあります。SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。
KAIC05198-E	ファイルサーバ操作の実行結果が取得できませんでした。しばらくしてから再実行してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。(詳細情報：操作対象 = "<操作対象>")	しばらくしてから再実行してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAIC05199-E	ファイルサーバでのパス情報が取得できませんでした。エラーの詳細は次のとおりです。"< HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。(保守情報：エラーコー	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	ド="<HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード="<HNAS サーバから取得したリターンコード>")	
KAIC05200-E	IP アドレス"<IP アドレス>"での SNMP 接続の初期化に失敗しました。指定されたストレージシステムのタイプと IP アドレスが正しいか確認し、ネットワークの接続を確認してください。	指定された IP アドレスでの SNMP の初期化でエラーが発生しました。ネットワーク接続エラー、またはストレージシステム上の SNMP 構成エラーのおそれがあります。
KAIC05201-E	パラメーターが正しくありません。:<パラメーター>"	パラメーターを見直してから再実行してください。
KAIC05202-E	ファイルサーバでのファイルシステム削除処理中にエラーが発生しました。ファイルシステム(<ファイルシステム名>)上の CIFS 共有削除中に CIFS 共有情報が取得できませんでした。エラーの詳細は次のとおりです。"<HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作をして、Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。(保守情報: エラーコード="<HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード="<HNAS サーバから取得したリターンコード>")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作をして、Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。
KAIC05203-E	ファイルサーバでのファイルシステム削除処理中にエラーが発生しました。ファイルシステム(<ファイルシステム名>)上の CIFS 共有削除中に CIFS 共有情報が取得できませんでした。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作をして、Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作をして、Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。
KAIC05204-E	ファイルサーバでのファイルシステム削除処理中にエラーが発生しました。ファイルシステム(<ファイルシステム名>)上の CIFS 共有削除中に CIFS 共有情報が取得できませんでした。また、エラーの詳細情報を取得できませんでした。SMU で該当するファイルシステムの状態を確認し、エラーの原因を取り除いたあと、再度実行してください。	SMU で該当するファイルシステムの状態を確認し、エラーの原因を取り除いたあと、再度実行してください。
KAIC05205-E	ファイルサーバでのファイルシステム削除処理中にエラーが発生しました。ファイルシステム上の CIFS 共有(<CIFS 共有名>)の削除ができませんでした。エラーの詳細は次の	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作をして、Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	とおります。"<HNASサーバから取得したメッセージ>"エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで同期操作をして、Device Managerサーバと情報を同期したあと、再度実行してください。(保守情報:エラーコード=<HNASサーバから取得したエラーコード>",リターンコード=<HNASサーバから取得したリターンコード>")	
KAIC05206-E	ファイルサーバでのファイルシステム削除処理中にエラーが発生しました。ファイルシステム上のCIFS共有(<CIFS共有名,>)の削除ができませんでした。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>"エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで同期操作をして、Device Managerサーバと情報を同期したあと、再度実行してください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで同期操作をして、Device Managerサーバと情報を同期したあと、再度実行してください。
KAIC05207-E	ファイルサーバでのファイルシステム削除処理中にエラーが発生しました。ファイルシステム上のCIFS共有(<CIFS共有名>)の削除ができませんでした。また、エラーの詳細情報を取得できませんでした。SMUで該当するファイルシステムの状態を確認し、エラーの原因を取り除いたあと、再度実行してください。	SMUで該当するファイルシステムの状態を確認し、エラーの原因を取り除いたあと、再度実行してください。
KAIC05208-E	ファイルサーバでのファイルシステム削除処理中にエラーが発生しました。ファイルシステム(<ファイルシステム名>)上のNFS共有削除中にNFS共有情報が取得できませんでした。エラーの詳細は次のとおりです。"<HNASサーバから取得したメッセージ>"エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで同期操作をして、Device Managerサーバと情報を同期したあと、再度実行してください。(保守情報:エラーコード=<HNASサーバから取得したエラーコード>",リターンコード=<HNASサーバから取得したリターンコード>")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで同期操作をして、Device Managerサーバと情報を同期したあと、再度実行してください。
KAIC05209-E	ファイルサーバでのファイルシステム削除処理中にエラーが発生しました。ファイルシステム(<ファイルシステム名>)上のNFS共有削除中にNFS共有情報が取得できませんでした。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>"エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで同期操	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで同期操作をして、Device Managerサーバと情報を同期したあと、再度実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	作をして、Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。	
KAIC05210-E	ファイルサーバでのファイルシステム削除処理実行中にエラーが発生しました。ファイルシステム (<ファイルシステム名>) 上に存在する NFS 共有削除実行中に NFS 共有情報の取得に失敗しました。また、エラーの詳細情報を取得できませんでした。SMU で該当するファイルシステムの状態を確認し、エラーの原因を取り除いたあと、再度実行してください。	SMU で該当するファイルシステムの状態を確認し、エラーの原因を取り除いたあと、再度実行してください。
KAIC05211-E	ファイルサーバでのファイルシステム削除処理中にエラーが発生しました。ファイルシステム上の NFS 共有 (<NFS 共有名>) の削除ができませんでした。エラーの詳細は次のとおりです。"<HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作をして、Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。(保守情報: エラーコード="<HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード="<HNAS サーバから取得したリターンコード>")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作をして、Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。
KAIC05212-E	ファイルサーバでのファイルシステム削除処理中にエラーが発生しました。ファイルシステム上の NFS 共有 (<NFS 共有名>) の削除ができませんでした。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作をして、Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作をして、Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。
KAIC05213-E	ファイルサーバでのファイルシステム削除処理中にエラーが発生しました。ファイルシステム上の NFS 共有 (<NFS 共有名>) の削除ができませんでした。また、エラーの詳細情報を取得できませんでした。SMU で該当するファイルシステムの状態を確認し、エラーの原因を取り除いたあと、再度実行してください。	SMU で該当するファイルシステムの状態を確認し、エラーの原因を取り除いたあと、再度実行してください。
KAIC05214-E	ファイルサーバでのファイルシステム削除処理中にエラーが発生しました。ファイルシステム (<ファイルシステム名>) 上の CIFS/NFS 共有削除は完了しましたが、ファイルシステム	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作をして、Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>ムのアンマウントができませんでした。エラーの詳細は次のとおりです。"<HNAS サーバから取得したメッセージ>"エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで同期操作をして、Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。(保守情報: エラーコード="<HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード="<HNAS サーバから取得したリターンコード>")</p>	
KAIC05215-E	<p>ファイルサーバでのファイルシステム削除処理実行中にエラーが発生しました。ファイルシステム(<ファイルシステム名>)上に存在するCIFS/NFS共有削除は完了しましたが、ファイルシステムのアンマウントに失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>"エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで同期操作をして、Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。</p>	<p>エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで同期操作をして、Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。</p>
KAIC05216-E	<p>ファイルサーバでのファイルシステム削除処理中にエラーが発生しました。ファイルシステム(<ファイルシステム名>)上のCIFS/NFS共有削除は完了しましたが、ファイルシステムのアンマウントができませんでした。また、エラーの詳細情報を取得できませんでした。SMUで該当するファイルシステムの状態を確認し、エラーの原因を取り除いたあと、再度実行してください。</p>	<p>SMUで該当するファイルシステムの状態を確認し、エラーの原因を取り除いたあと、再度実行してください。</p>
KAIC05217-E	<p>ファイルサーバでのファイルシステム削除処理中にエラーが発生しました。ファイルシステム(<ファイルシステム名>)上のCIFS/NFS共有削除およびアンマウントは完了しましたが、ファイルシステムが削除できませんでした。エラーの詳細は次のとおりです。"<HNAS サーバから取得したメッセージ>"エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで同期操作をして、Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。(保守情報: エラーコード="<HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード="<HNAS サーバから取得したリターンコード>")</p>	<p>エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで同期操作をして、Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。</p>
KAIC05218-E	<p>ファイルサーバでのファイルシステム削除処理中にエラーが発生しまし</p>	<p>エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUで同期操作をして、</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	た。ファイルシステム (<ファイルシステム名>) 上の CIFS/NFS 共有削除およびアンマウントは完了しましたが、ファイルシステムが削除できませんでした。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作をして、Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。	Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。
KAIC05219-E	ファイルサーバでのファイルシステム削除処理中にエラーが発生しました。ファイルシステム (<ファイルシステム名>) 上の CIFS/NFS 共有削除およびアンマウントは完了しましたが、ファイルシステムが削除できませんでした。また、エラーの詳細情報を取得できませんでした。SMU で該当するファイルシステムの状態を確認し、エラーの原因を取り除いたあと、再度実行してください。	SMU で該当するファイルシステムの状態を確認し、エラーの原因を取り除いたあと、再度実行してください。
KAIC05220-E	ファイルサーバでのファイルシステム (<ファイルシステム名>) のオンデマンド容量割り当て設定ができませんでした。エラーの詳細は次のとおりです。"<HNAS サーバから取得したメッセージ>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作をして、Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。(保守情報: エラーコード="<HNAS サーバから取得したエラーコード>", リターンコード="<HNAS サーバから取得したリターンコード>")	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作をして、Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。
KAIC05221-E	ファイルサーバでのファイルシステム (<ファイルシステム名>) のオンデマンド容量割り当て設定ができませんでした。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作をして、Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で同期操作をして、Device Manager サーバと情報を同期したあと、再度実行してください。
KAIC05222-E	ファイルサーバでのファイルシステム (<ファイルシステム名>) のオンデマンド容量割り当て設定ができませんでした。また、エラーの詳細情報を取得できませんでした。SMU で該当するファイルシステムの状態を確認し、エラーの原因を取り除いたあと、再度実行してください。	SMU で該当するファイルシステムの状態を確認し、エラーの原因を取り除いたあと、再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC05223-E	ストレージプール(<ストレージプール名>)がサーバまたはクラスタにありません。SMUでDevice Managerサーバとファイルサーバの情報を同期したあと、<ストレージプール名>の情報を確認してください。(詳細情報:エラーコード="<HNASサーバから取得したエラーコード>", httpステータスコード="<HNASサーバから取得したhttpステータスコード>")	SMUでDevice Managerサーバとファイルサーバの情報を同期したあと、<ストレージプール名>の情報を確認してください。
KAIC05224-E	サーバまたはクラスタでの処理実行中にエラーが発生しました。また、エラーの詳細情報を取得できませんでした。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。	同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAIC05225-E	サーバまたはクラスタでのストレージプール(<変更前のストレージプール名>)の編集に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>"エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUでDevice Managerサーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。(詳細情報:<詳細情報>)	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUでDevice Managerサーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。
KAIC05226-E	サーバまたはクラスタでのストレージプール(<ストレージプール名>)の削除に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>"エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUでDevice Managerサーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。(詳細情報:<保守情報>)	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUでDevice Managerサーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。
KAIC05227-E	サーバまたはクラスタでのストレージプールの削除処理中にエラーが発生しました。ストレージプール(<ストレージプール名>)の削除は完了しましたが、システムドライブ(ID=<システムドライブID>)のアクセス設定を"Denied"の状態にできませんでした。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>"エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUでシステムドライブのアクセス設定を"Denied"の状態にしたあと、SMUでDevice Managerサーバとファイルサーバの情報を同期させてください。(保守情報:<保守情報>)	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMUでシステムドライブのアクセス設定を"Denied"の状態にしたあと、SMUでDevice Managerサーバとファイルサーバの情報を同期させてください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC05228-E	サーバまたはクラスタでのストレージプール(<ストレージプール名>)の Denied に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU でストレージプールを Denied したあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてください。(保守情報 : <保守情報>)	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU でストレージプールを Denied したあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてください。
KAIC05229-E	サーバまたはクラスタでのシステムドライブ (ID=<システムドライブの ID >) の認識解除 (forget) に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU でシステムドライブを forget してから、Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてください。(保守情報 : <保守情報>)	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU でシステムドライブを forget してから、Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてください
KAIC05230-E	サーバまたはクラスタでのストレージプール(<ストレージプール名>)の作成に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。(詳細情報 : <詳細情報>)	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。
KAIC05231-E	サーバまたはクラスタでのストレージプール(<ストレージプール名>)の拡張に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。(詳細情報 : <詳細情報>)	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。
KAIC05232-E	サーバまたはクラスタでのストレージプール(<ストレージプール名>)に関連する情報の取得に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。(詳細情報 : <詳細情報>)	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。
KAIC05233-E	サーバまたはクラスタでのストレージプール (<ストレージプール名>)	SMU でシステムドライブが認識されていることを確認してください。システムドライブが認識されていない場合は、ファイルサーバとスト

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	の作成に失敗しました。サーバまたはクラスタがストレージプールの作成に使用するシステムドライブ((ストレージシステム, ボリューム) = <ストレージシステム名とボリューム>)を認識できません。SMU でシステムドライブが認識されていることを確認してください。システムドライブが認識されていない場合は、ファイルサーバとストレージシステム間の構成および設定を見直してください。	レージシステム間の構成および設定を見直してください。
KAIC05234-E	サーバまたはクラスタでのストレージプール (<ストレージプール名>)の拡張に失敗しました。サーバまたはクラスタがストレージプールの拡張に使用するシステムドライブ((ストレージシステム, ボリューム) = <ストレージシステム名とボリューム>)を認識できません。SMU でシステムドライブが認識されていることを確認してください。システムドライブが認識されていない場合は、ファイルサーバとストレージシステム間の構成および設定を見直してください。	SMU でシステムドライブが認識されていることを確認してください。システムドライブが認識されていない場合は、ファイルサーバとストレージシステム間の構成および設定を見直してください。
KAIC05235-E	サーバまたはクラスタでのシステムドライブ (ID:<システムドライブのID >) の認識解除 (forget) ができません。対象のシステムドライブがすでに認識解除されているおそれがあります。SMU を確認し、システムドライブがある場合は forget してください。	SMU を確認し、システムドライブがある場合は forget してください。
KAIC05236-E	サーバまたはクラスタでのストレージプール (<ストレージプール名>)の作成に失敗しました。ストレージプールの作成に使用するシステムドライブ (ID=<システムドライブのID のリスト>) が使用できない状態です。該当するシステムドライブを SMU で確認し、OK 状態であることを確認したあと、再操作してください。	該当するシステムドライブを SMU で確認し、OK 状態であることを確認したあと、再操作してください。
KAIC05237-E	サーバまたはクラスタでのストレージプール(<ストレージプール名>)の拡張に失敗しました。ストレージプールの拡張に使用するシステムドライブ(ID=<システムドライブのID のリスト>)が使用できない状態です。該当するシステムドライブを SMU で確認し、OK 状態であることを確認したあと、再操作してください。	該当するシステムドライブを SMU で確認し、OK 状態であることを確認したあと、再操作してください。
KAIC05238-E	サーバまたはクラスタでのシステムドライブ (ID:<システムドライブの	SMU で、該当するシステムドライブの状態が "Not Present"であることを確認したあと、forget してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	<i>ID</i> >) の認識解除 (forget) に失敗しました。対象のシステムドライブは forget できない状態です。SMU で、該当するシステムドライブの状態が "Not Present"であることを確認したあと、forget してください。	
KAIC05239-E	サーバまたはクラスタでのストレージプール(<ストレージプール名>)の作成処理の実行中に、システムドライブ(ID=<システムドライブの ID >)の<superflush または、 allowed >の設定に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。(保守情報 : <保守情報>)	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。
KAIC05240-E	サーバまたはクラスタでのストレージプール(<ストレージプール名>)の拡張処理の実行中に、システムドライブ(ID=<システムドライブの ID >)の<superflush または、 allowed >の設定に失敗しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。(保守情報 : <保守情報>)	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。
KAIC05241-E	システムドライブ(<システムドライブ名>)はサーバまたはクラスタに存在しません。SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期したあと、<システムドライブ名>の情報を確認してください。(詳細情報 : エラーコード="<HNAS サーバから取得したエラーコード>", http ステータスコード="<HNAS サーバから取得した http ステータスコード>")	SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期したあと、<システムドライブ名>の情報を確認してください。
KAIC05242-E	ファイルサーバ(<ファイルサーバ名>)の情報が取得できません。SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期したあと、<ファイルサーバ名>の情報を確認してください。(詳細情報 : エラーコード="<HNAS サーバから取得したエラーコード>", http ステータスコード="<HNAS サーバから取得した http ステータスコード>")	SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期したあと、<ファイルサーバ名>の情報を確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC05243-E	サーバまたはクラスタでのストレージプール (<ストレージプール名>) の作成処理中にエラーが発生しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" SMU で、ストレージプールが作成されているか確認してください。作成されていない場合は、システムドライブの自動グループの設定に失敗しているおそれがあります。ファイルサーバのオンラインヘルプを参照して、システムドライブの自動グループに必要な構成を確認してください。必要な構成の条件を満たしていない場合、ファイルサーバの CLI を使用してシステムドライブグループの構成を変更したあと、再実行してください。(保守情報:<保守情報>)	SMU で、ストレージプールが作成されているか確認してください。作成されていない場合は、システムドライブの自動グループの設定に失敗しているおそれがあります。ファイルサーバのオンラインヘルプを参照して、システムドライブの自動グループに必要な構成を確認してください。必要な構成の条件を満たしていない場合、ファイルサーバの CLI を使用してシステムドライブグループの構成を変更したあと、再実行してください。
KAIC05244-E	サーバまたはクラスタでのストレージプール (<ストレージプール名>) の拡張処理中にエラーが発生しました。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" SMU で、ストレージプールが拡張されているか確認してください。拡張されていない場合は、システムドライブの自動グループの設定に失敗しているおそれがあります。ファイルサーバのオンラインヘルプを参照して、システムドライブの自動グループに必要な構成を確認してください。必要な構成の条件を満たしていない場合、ファイルサーバの CLI を使用してシステムドライブグループの構成を変更したあと、再実行してください。(保守情報:<保守情報>)	SMU で、ストレージプールが拡張されているか確認してください。拡張されていない場合は、システムドライブの自動グループの設定に失敗しているおそれがあります。ファイルサーバのオンラインヘルプを参照して、システムドライブの自動グループに必要な構成を確認してください。必要な構成の条件を満たしていない場合、ファイルサーバの CLI を使用してシステムドライブグループの構成を変更したあと、再実行してください。
KAIC05245-E	チャンクサイズを取得できません。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再実行してください。(保守情報:<保守情報>)	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再実行してください。
KAIC05246-E	サーバまたはクラスタでのストレージプール (<ストレージプール名>) の作成に失敗しました。サーバまたはクラスタがストレージプールの作成に使用するシステムドライブの情報を取得できません。ポートの初期化に時間が掛かっているおそれがあります。しばらく待ったあと、再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報	しばらく待ったあと、再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	
KAIC05247-E	サーバまたはクラスタでのストレージプール (<ストレージプール名>) の拡張に失敗しました。サーバまたはクラスタがストレージプールの拡張に使用するシステムドライブの情報を取得できません。ポートの初期化に時間が掛かっているおそれがあります。しばらく待ったあと、再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	しばらく待ったあと、再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05251-E	指定されたボリュームは、すでにほかの <PP 名 (VolumeMigration)> の移動プランで使用されています。	ボリュームの指定を見直してください。
KAIC05252-E	指定された <PP 名 (VolumeMigration)> の移動プランはストレージシステムにありません。	指定を見直してください。
KAIC05254-E	指定された <PP 名 (VolumeMigration)> の移動プランは、移動が終了していないので削除できません。	指定を見直してください。
KAIC05255-E	指定された <PP 名 (VolumeMigration)> のマイグレーションプランは、移動中でないためキャンセルできません。	指定を見直してください。
KAIC05256-E	ファイルサーバでのパス情報が取得できませんでした。エラーの詳細は次のとおりです。"<エラーの詳細>" エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。	エラーの詳細を基に、エラーの原因を取り除いてください。
KAIC05257-E	ファイルサーバでのパス情報が取得できませんでした。エラーの詳細情報を取得できませんでした。しばらくしてから再実行してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	しばらくしてから再実行してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05300-E	特定不能なエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05302-E	ストレージシステムとの通信に使用するライブラリ読み込みに失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05303-E	ストレージシステムへのログインに失敗しました。指定されたユーザー ID/ユーザーパスワードが正しいか確認してください。また、ストレージシステムに登録されているアカウントが有効であるかを確認してください。	ユーザー ID とユーザーパスワードが有効なものかどうかを確認し、再実行してください。 Hitachi AMS および Hitachi SMS の場合は、アドバンスドセキュリティモードを変更するとストレージシステムに登録されていたアカウントが初期化されます。この場合は、Hitachi Storage Navigator Modular 2 でアカウントを作成し、再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC05304-E	ストレージシステムを管理するために必要な権限が割り当てられていません。	ストレージシステムを管理するために必要な権限が割り当てられていることを確認してください。確認後も繰り返しエラーが発生する場合には、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC05305-E	ネットワーク上のほかの管理アプリケーションがストレージシステムの構成を変更しています。	ネットワーク上のほかの管理アプリケーションがストレージシステムの構成を変更していないことを確認してください。確認後も繰り返しエラーが発生する場合には、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC05306-E	指定した PDEV は連続していません。	連続した PDEV を指定してください。
KAIC05307-E	PDEV 数"<PDEV 数>"が"<RAID タイプ>"のタイプに合っていない。	RAID タイプに適した PDEV 数を指定してください。
KAIC05308-E	LDEV を削除できません。最後に作成された LDEV しか削除できません。最後に作成された LDEV は"<デバイス番号>"です。	最後に作成された LDEV しか削除できません。最後に作成された LDEV は"<デバイス番号>"です。
KAIC05310-E	ストレージシステムへの接続が失敗しました。指定されたストレージシステムのタイプと IP アドレスが正しいか確認し、ネットワークの接続を確認してください。	ストレージシステムのタイプと IP アドレスおよびストレージシステム接続ポート番号が正しいか確認してください。指定に誤りがなければ、ネットワークまたはストレージシステムの故障です。
KAIC05311-E	これ以上ストレージシステムにスペアドライブを追加できません。	ほかのスペアドライブを解除してから再実行してください。
KAIC05312-E	指定されたストレージシステムへこれ以上はコマンドデバイスを追加できません。	指定できるコマンドデバイスの最大数は二つです。不要なコマンドデバイスを削除した後、再実行してください。
KAIC05313-E	ストレージシステムのマイクロコードが実行した API をサポートしていません。	ストレージシステムのマイクロバージョンを確認してください。
KAIC05314-E	指定された RAID タイプが不正です。	設定内容を見直してください。
KAIC05315-E	Device Manager サーバは指定したストレージシステムをサポートしていません。	指定したストレージシステムが Device Manager でサポートされているか確認してください。
KAIC05350-E	指定した IP アドレス (<IP アドレス>) で検出された仮想化サーバの名称 (<ホスト名>) が、Device Manager に登録されている別のホストの名称と重複しています。	ホスト名を見直し、必要に応じてホスト名を変更してから、再実行してください。
KAIC05381-E	この Device Manager は LUN Management オプションをサポートしていません。	このストレージシステムのオプションリストを確認してください。
KAIC05390-E	ポート"<Port 名>"はストレージシステム上にありません。	ポートを確認してください。
KAIC05391-E	コントローラ"<コントローラ番号>"はストレージシステム上にありません。	コントローラ番号を確認してください。
KAIC05392-E	ホストストレージドメイン"<ホストグループ番号>"はストレージシステム上にありません。	ホストストレージドメインを確認してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC05393-E	このストレージシステムのマイクロコードバージョンでは指定されたポートオプション"<ポートオプション名>"を設定することはできません。	指定されたポートオプションを設定するにはマイクロコードのバージョンアップが必要です。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05394-E	ストレージシステムのログインに失敗しました。すでにほかのユーザーがログインしています。しばらくしてから再実行してください。 Physical View, Storage Navigator Modular for web または Storage Navigator Modular 2 を開いている場合は、画面を閉じて再実行してください。	しばらくしてから再実行してください。 Physical View, Storage Navigator Modular for web または Storage Navigator Modular 2 を開いている場合は、画面を閉じてから再実行してください。
KAIC05395-E	ユーザーの登録に失敗しました。すでに最大数のユーザーが登録されています。	ストレージシステムから不要なユーザーを削除したあと、再実行してください。
KAIC05396-E	ユーザーの登録に失敗しました。指定したユーザー ID はすでに登録されています。	指定したユーザー ID またはパスワードを見直してから再実行してください。
KAIC05400-E	IP アドレス"<IP アドレス>"のストレージシステムへの接続に失敗しました。指定されたストレージシステムのタイプと IP アドレス、およびユーザー ID/ユーザーパスワードが正しいかどうかを確認し、ネットワークの接続を確認してください。	HTTP 接続に失敗しました。指定されたストレージシステムのタイプと IP アドレス、およびユーザー ID/ユーザーパスワードが正しいか確認し、ネットワークの接続を確認してください。
KAIC05401-E	指定したストレージシステムからのデータ取得に失敗しました。指定されたユーザー ID/ユーザーパスワードが正しいか確認し、ネットワークの接続を確認してください。	ネットワーク接続状態やストレージシステムへ接続する際のユーザー ID/ユーザーパスワードを確認してください。また、そのストレージシステムに対してリフレッシュを実行して最新の構成情報を確認してください。
KAIC05402-E	指定したストレージシステムの操作に失敗しました。	HTTP POST コマンドの実行に失敗しました。ネットワーク接続状態やストレージシステムへ接続する際のユーザー ID/ユーザーパスワードを確認してください。また、そのストレージシステムに対してリフレッシュを実行して最新の構成情報を確認してください。
KAIC05409-E	リクエストで参照しているシャージは指定したストレージシステムでは無効です。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。
KAIC05410-E	暗号化鍵が不足しているため、処理できません。Element Manager または Storage Navigator Modular 2 を使用して、暗号化鍵を作成してから再実行してください。	Element Manager または Storage Navigator Modular 2 を使用して、暗号化鍵を作成してから再実行してください。
KAIC05420-E	内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05421-E	割り当てできる外部アレイグループがストレージシステムにありません。	不要な外部アレイグループを削除してから再実行してください。
KAIC05422-E	指定した外部アレイグループ"<外部アレイグループ>"を作成できません。	外部アレイグループの指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC05423-E	割り当てできるパスグループがストレージシステムにありません。	不要なパスグループを削除してから再実行してください。
KAIC05424-E	作成する LU の総容量が外部ボリュームの容量を超えているため、LU を作成できません。	LU の指定を見直してください。
KAIC05425-E	内部エラーが発生しました。パラメーターの値が不正なため、トランスポートサービスの実行に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05500-E	IP アドレス"<IP アドレス>"のストレージシステムからのレスポンスがありません。	ストレージシステムの IP アドレスが正しいのであれば、ネットワーク接続エラーまたはストレージシステムの SNMP 構成エラーです。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05501-E	Host Data Collector は対象ホストをサポートしていません。(Host Data Collector 情報: ホスト名または IP アドレス = <Host Data Collector のホスト名または IP アドレス>, RMI レジストリポート番号 = <Host Data Collector の RMI レジストリポート番号>, RMI サーバポート番号 = <Host Data Collector の RMI サーバポート番号>, クラスローダーポート番号 = <Host Data Collector のクラスローダーポート番号>)	対象ホストの OS を、Host Data Collector がサポートしているか確認してください。
KAIC05502-E	対象ホストとの通信に失敗しました。システム構成を確認して、再度実行してください。(Host Data Collector 情報: ホスト名または IP アドレス = <Host Data Collector のホスト名または IP アドレス>, RMI レジストリポート番号 = <Host Data Collector の RMI レジストリポート番号>, RMI サーバポート番号 = <Host Data Collector の RMI サーバポート番号>, クラスローダーポート番号 = <Host Data Collector のクラスローダーポート番号>)	複数の Device Manager で対象ホストを管理対象にしている場合は、1 つの Device Manager だけでホストを管理するように設定を変更してください。 同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05503-E	対象ホストの管理共有フォルダまたは/tmp ディレクトリのアクセスに失敗しました。アクセス権を確認して再度実行してください。(Host Data Collector 情報: ホスト名または IP アドレス = <Host Data Collector のホスト名または IP アドレス>, RMI レジストリポート番号 = <Host Data Collector の RMI レジストリポート番号>, RMI サーバポート番号 = <Host Data Collector の RMI サーバポート番号>, クラスローダーポート番号 = <Host Data Collector のクラスローダーポート番号>)	次のフォルダまたはディレクトリのアクセス権を確認して再度実行してください。 Windows の場合 管理共有フォルダ UNIX の場合 /tmp ディレクトリ 問題が解決されない場合には、障害情報を収集し、障害対策窓口に連絡してください。
KAIC05504-E	対象ホストの管理共有が無効になっていたため、接続できませんでした。対象ホストの管理共有を有効にして、	対象ホストの管理共有設定を有効にして、再度実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	再度実行してください。(Host Data Collector 情報: ホスト名または IP アドレス = < Host Data Collector のホスト名または IP アドレス >, RMI レジストリポート番号 = < Host Data Collector の RMI レジストリポート番号 >, RMI サーバポート番号 = < Host Data Collector の RMI サーバポート番号 >, クラスローダーポート番号 = < Host Data Collector のクラスローダーポート番号 >)	
KAIC05505-E	対象ホストの OS が指定した OS と異なります。対象ホストの OS を確認して、再度実行してください。(Host Data Collector 情報: ホスト名または IP アドレス = < Host Data Collector のホスト名または IP アドレス >, RMI レジストリポート番号 = < Host Data Collector の RMI レジストリポート番号 >, RMI サーバポート番号 = < Host Data Collector の RMI サーバポート番号 >, クラスローダーポート番号 = < Host Data Collector のクラスローダーポート番号 >)	対象ホストの OS 種別を確認して、正しい OS 種別を指定してください。
KAIC05506-E	Host Data Collector でホストの情報収集に失敗しました。(Host Data Collector 情報: ホスト名または IP アドレス = < Host Data Collector のホスト名または IP アドレス >, RMI レジストリポート番号 = < Host Data Collector の RMI レジストリポート番号 >, RMI サーバポート番号 = < Host Data Collector の RMI サーバポート番号 >, クラスローダーポート番号 = < Host Data Collector のクラスローダーポート番号 >)	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> 指定したログインユーザーが sudo コマンドの実行権限を持つホストであること。 対象ホストの sudoers ファイルが正しく設定されていること。 また、「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照し、対象ホストの環境が正しく設定されているかを、確認してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC05507-E	対象ホストを追加または更新中のため、ホストの構成情報が取得できませんでした。(Host Data Collector 情報: ホスト名または IP アドレス = < Host Data Collector のホスト名または IP アドレス >, RMI レジストリポート番号 = < Host Data Collector の RMI レジストリポート番号 >, RMI サーバポート番号 = < Host Data Collector の RMI サーバポート番号 >, クラスローダーポート番号 = < Host Data Collector のクラスローダーポート番号 >)	しばらく時間をおいたあと、操作を再実行してください。同じエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC05510-E	Host Data Collector から取得したデータが不正のためホスト追加に失敗しました。対象ホストの条件と設定を見直してください。(ホスト名/IP アドレス = < 対象ホストのホスト名または IP アドレス >, Host	対象ホストの OS が、Host Data Collector の適用 OS に含まれているか確認してください。もし適用 OS に含まれている場合は、対象ホストが正しく起動されていることを確認し、操作を再実行してください。同じエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	Data Collector の IP アドレスとポート番号 = < Host Data Collector の IP アドレスとポート番号 >	
KAIC05511-E	Host Data Collector でホストの情報収集に失敗しました。sudo コマンドの設定および認証情報を見直してください。(Host Data Collector 情報: ホスト名または IP アドレス = < Host Data Collector のホスト名または IP アドレス >, RMI レジストリポート番号 = < Host Data Collector の RMI レジストリポート番号 >, RMI サーバポート番号 = < Host Data Collector の RMI サーバポート番号 >, クラスローダーポート番号 = < Host Data Collector のクラスローダーポート番号 >)	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> 指定したログインユーザーが sudo コマンドの実行権限を持つホストであること。 対象ホストの sudoers ファイルが正しく設定されていること。
KAIC05512-E	Host Data Collector の処理中に特定できないエラーが発生しました。	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05513-E	Host Data Collector の負荷が高いため構成情報を取得できませんでした。(Host Data Collector 情報: ホスト名または IP アドレス = < Host Data Collector のホスト名または IP アドレス >, RMI レジストリポート番号 = < Host Data Collector の RMI レジストリポート番号 >, RMI サーバポート番号 = < Host Data Collector の RMI サーバポート番号 >, クラスローダーポート番号 = < Host Data Collector のクラスローダーポート番号 >)	しばらく待った後、操作を再実行してください。
KAIC05514-E	通信先の Host Data Collector のバージョンが古い場合、構成情報の取得に失敗しました。(Host Data Collector 情報: ホスト名または IP アドレス = < Host Data Collector のホスト名または IP アドレス >, RMI レジストリポート番号 = < Host Data Collector の RMI レジストリポート番号 >, RMI サーバポート番号 = < Host Data Collector の RMI サーバポート番号 >, クラスローダーポート番号 = < Host Data Collector のクラスローダーポート番号 >)	Host Data Collector を最新のバージョンに入れ替えてください。
KAIC05515-E	Host Data Collector でホストの情報収集に失敗しました。(Host Data Collector 情報: ホスト名または IP アドレス = < Host Data Collector のホスト名または IP アドレス >, RMI レジストリポート番号 = < Host Data Collector の RMI レジストリポート番号 >, RMI サーバポート番号 = < Host Data Collector の RMI サーバポート番号 >, クラスローダーポート番号 = < Host Data Collector のクラスローダーポート番号 >)	しばらく待った後、操作を再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	号 = < <i>Host Data Collector</i> の RMI サーバポート番号 >, クラスローダーポート番号 = < <i>Host Data Collector</i> のクラスローダーポート番号 >)	
KAIC05516-E	Host Data Collector を複数使用している場合は、使用するすべての Host Data Collector のバージョンを新しいバージョンにそろえる必要があります。バージョンをそろえたあと、Device Manager サーバを再起動してください。すでにバージョンがそろっている場合、または使用する Host Data Collector が 1 つの場合は、Device Manager サーバの再起動だけを実行してください。(Host Data Collector 情報: ホスト名または IP アドレス = < <i>Host Data Collector</i> のホスト名または IP アドレス >, RMI レジストリポート番号 = < <i>Host Data Collector</i> の RMI レジストリポート番号 >, RMI サーバポート番号 = < <i>Host Data Collector</i> の RMI サーバポート番号 >, クラスローダーポート番号 = < <i>Host Data Collector</i> のクラスローダーポート番号 >)	メッセージに従って対処してください。
KAIC05517-E	対象の仮想化サーバは、指定した仮想化サーバ管理プログラムで管理されていないため、情報取得に失敗しました。(対象ホストのホスト名または IP アドレス = < 対象ホストのホスト名または IP アドレス >, Host Data Collector 情報: ホスト名または IP アドレス = < <i>Host Data Collector</i> のホスト名または IP アドレス >, RMI レジストリポート番号 = < <i>Host Data Collector</i> の RMI レジストリポート番号 >, RMI サーバポート番号 = < <i>Host Data Collector</i> の RMI サーバポート番号 >, クラスローダーポート番号 = < <i>Host Data Collector</i> のクラスローダーポート番号 >)	仮想化サーバの管理構成を見直してください。
KAIC05518-E	対象ホストの情報収集に失敗しました。(対象ホストのホスト名または IP アドレス = < 対象ホストのホスト名または IP アドレス >, Host Data Collector 情報: ホスト名または IP アドレス = < <i>Host Data Collector</i> のホスト名または IP アドレス >, RMI レジストリポート番号 = < <i>Host Data Collector</i> の RMI レジストリポート番号 >, RMI サーバポート番号 = < <i>Host Data Collector</i> の RMI サーバポート番号 >, クラスローダーポート番号 = < <i>Host Data Collector</i> のクラスローダーポート番号 >)	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象ホストの IP アドレスが正しいこと。 認証情報またはユーザの権限が正しいこと。 Host Data Collector と対象ホストが通信できるようにファイアウォールが設定されていること。 指定したプロトコルで対象ホストにアクセスできること。 対象ホストが起動していること 対象ホストの OS がサポートされていること。 <p>また、「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照し、対象ホストの環境が正しく設定されているかを、確認してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC05519-E	Host Data Collector でホストの情報収集に失敗しました。(Host Data Collector 情報: ホスト名または IP アドレス = < Host Data Collector のホスト名または IP アドレス >, RMI レジストリポート番号 = < Host Data Collector の RMI レジストリポート番号 >, RMI サーバポート番号 = < Host Data Collector の RMI サーバポート番号 >, クラスローダーポート番号 = < Host Data Collector のクラスローダーポート番号 >)	Host Data Collector を再起動してください。再起動しても解決しない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC05520-E	指定した iSCSI ネーム "< iSCSI ネーム >" はありません。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してから、リクエストを確認してください。
KAIC05521-E	指定した iSCSI ネーム "< iSCSI ネーム >" がすでにあります。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してから、リクエストを確認してください。
KAIC05522-E	リクエストの実行に失敗しました。構成変更の一部しかストレージシステムに適用されていないおそれがあります。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行し、指定した iSCSI ポート用パラメーターを見直して再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC05523-E	リクエストが一定時間内に完了しませんでした。構成変更の一部しかストレージシステムに適用されていないおそれがあります。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行し、設定変更の結果を確認してください。設定が変更されていない箇所は、パラメーターを指定し再実行してください。繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC05527-E	指定したポート"<ポート名>"と指定した外部ストレージシステムのポート (WWN = "< WWN >") の組み合わせが正しくない、またはファイバチャネル接続の状態が正しくないため、この操作を実行できません。ポートの組み合わせとファイバチャネル接続の状態を見直して、再実行してください。	組み合わせや接続の状態を見直してもエラーが繰り返し発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC05528-E	指定したポート"<ポート名>"と指定した外部ストレージシステムのボリューム (LUN = "< LUN >") の組み合わせが不正なので、この操作を実行できません。	ポートと外部ストレージシステムのボリュームの指定を見直してください。
KAIC05530-E	対象ホストとの通信に失敗しました。(対象ホストのホスト名または IP アドレス = < 対象ホストのホスト名または IP アドレス >, Host Data Collector 情報: ホスト名または IP アドレス = < Host Data Collector のホスト名または IP アドレス >, RMI レジストリポート番号 = < Host Data Collector の RMI レジストリポート番号 >, RMI サーバポート番号 = < Host Data Collector の RMI サーバポート番号 >)	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> 対象ホストの IP アドレスが正しいこと。 認証情報またはユーザの権限が正しいこと。 Host Data Collector と対象ホストが通信できるようにファイアウォールが設定されていること。 指定したプロトコルで対象ホストにアクセスできること。 対象ホストが起動していること。 対象ホストの OS がサポートされていること。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	号 = < Host Data Collector の RMI サーバポート番号 >, クラスローダーポート番号 = < Host Data Collector のクラスローダーポート番号 >	<ul style="list-style-type: none"> 仮想化サーバと Host Data Collector 間のセキュリティ設定が正しいこと。 対象ホストの OS が Windows の場合は, SMB1.0 が無効に設定されていないこと。 また、「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照し, 対象ホストの環境が正しく設定されているかを, 確認してください。同じエラーが発生する場合は, 原因究明と問題の解決には, 詳細な調査が必要です。障害情報を収集し, 障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05531-E	対象ホストでの認証に失敗しました。(対象ホストのホスト名または IP アドレス = < 対象ホストのホスト名または IP アドレス >, Host Data Collector 情報: ホスト名または IP アドレス = < Host Data Collector のホスト名または IP アドレス >, RMI レジストリポート番号 = < Host Data Collector の RMI レジストリポート番号 >, RMI サーバポート番号 = < Host Data Collector の RMI サーバポート番号 >, クラスローダーポート番号 = < Host Data Collector のクラスローダーポート番号 >)	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> 認証情報が正しいこと。 ロックダウンモードが有効になっていないこと。 指定したログインユーザーが sudo コマンドの実行権限を持つホストであること。 対象ホストの sudoers ファイルが正しく設定されていること。
KAIC05532-E	NPIV WWN が割り当てられている仮想マシンについて, NPIV WWN のマッピング情報を生成するために必要な情報が取得できませんでした。(仮想マシン名 = < 仮想マシン名 >)	仮想マシンへ NPIV WWN が割り当てられている場合は, 仮想マシン上での VMware Tools の稼働状態を確認してください。
KAIC05533-E	対象ホストの情報収集でタイムアウトが発生しました。(対象ホストのホスト名または IP アドレス = < 対象ホストのホスト名または IP アドレス >, Host Data Collector 情報: ホスト名または IP アドレス = < Host Data Collector のホスト名または IP アドレス >, RMI レジストリポート番号 = < Host Data Collector の RMI レジストリポート番号 >, RMI サーバポート番号 = < Host Data Collector の RMI サーバポート番号 >, クラスローダーポート番号 = < Host Data Collector のクラスローダーポート番号 >)	しばらく待ってから, 操作を再実行してください。同じエラーが発生する場合は, Device Manager のタイムアウト値を大きくしてください。
KAIC05534-E	Host Data Collector との SSL 通信でエラーが発生しました。	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> 証明書の有効期限が切れていないこと。 証明書が正しくインポートされていること。 証明書のインポート先ファイルのパスが正しいこと。
KAIC05535-E	Host Data Collector との通信に失敗しました。IP アドレスとポート番号, ファイアウォールの設定, および Host Data Collector の状態を確認してください。(Host Data Collector	次のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> Host Data Collector の IP アドレスとポート番号が正しいこと Host Data Collector マシン上のホスト名が正しく名前解決できること

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	情報：ホスト名または IP アドレス = < Host Data Collector のホスト名または IP アドレス >, RMI レジストリポート番号 = < Host Data Collector の RMI レジストリポート番号 >, RMI サーバポート番号 = < Host Data Collector の RMI サーバポート番号 >, クラスローダーポート番号 = < Host Data Collector のクラスローダーポート番号 >	<ul style="list-style-type: none"> Host Data Collector と Device Manager が通信できるようにファイアウォールが設定されていること Host Data Collector が起動していること Host Data Collector がサポートしている OS に Host Data Collector がインストールされていること Host Data Collector のバージョンが Device Manager のバージョンと同じか Device Manager のバージョンより新しいこと Host Data Collector マシンが複数の IP アドレスを保持している場合、通信に使用する IP アドレスを hdc.common.rmi.registryIPAddress プロパティに設定していること
KAIC05536-E	指定した接続先で管理されている仮想化サーバの情報は、すでに Host Data Collector で収集されています。(接続先 IP アドレス = < 接続先 IP アドレス >, 仮想化サーバ名 = < 仮想化サーバ名 >) 情報を更新する場合は、Host Data Collector を指定して再実行してください。	情報を更新する場合は、Host Data Collector を指定して再実行してください。
KAIC05537-E	仮想マシンの構成情報を取得できませんでした。(仮想マシン名 = < 仮想マシン名 >) 仮想マシンが作成中または構成変更中か、仮想マシンファイルを格納するディスクにアクセスできません。仮想マシンを作成または構成変更をしている場合は、完了したあとに再度構成情報を取得してください。仮想マシンファイルを格納するディスクにアクセスできない場合は修復してください。	仮想マシンを作成または構成変更をしている場合は、完了したあとに再度構成情報を取得してください。仮想マシンファイルを格納するディスクにアクセスできない場合は修復してください。
KAIC05600-E	特定不能なエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05601-E	"< IP アドレス >"で RMI の接続が失敗しました。指定したストレージシステムのタイプと IP アドレスが正しいか確認し、ネットワークの接続を確認してください。	ストレージシステムのタイプと IP アドレスの指定が正しいか確認してください。また、Device Manager とストレージシステムとの通信で使用するポートの設定を確認してください。ストレージシステムのマイクロコードの交換後に Device Manager サーバを再起動していない場合は、Device Manager サーバを再起動してください。指定および設定に誤りがなく、Device Manager サーバを再起動しても問題が解決しない場合は、ネットワークまたはストレージシステムの故障です。
KAIC05607-E	"< IP アドレス >"のストレージシステムはほかの人が使用中か内部で構成変更しています。	ほかの管理アプリケーションから使用されていないかどうかを確認してください。
KAIC05609-E	"< IP アドレス >"のストレージシステムとの RMI セッション中に問題が発生しました。	ネットワークかストレージシステムに問題があります。
KAIC05670-E	指定したリソースは、Device Manager がサポートしていない機能によって使用されているため、操作を	メッセージに表示された機能の設定を解除するか、リソースの指定を見直したあと、再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	実行できません。メッセージに表示された機能の設定を解除するか、リソースの指定を見直したあと、再実行してください。(機能:"<機能>", リソース種別:"<リソース種別>", リソース ID:"<リソース ID >")	
KAIC05671-E	指定したリソースは、仮想 ID を用いたデータ移行に使用しているリソースグループに所属しているため、操作できません。(リソース種別:"<リソース種別>", リソース ID:"<リソース ID >")	リソースの指定を見直すか、リソースグループからリソースを除いたあと、再実行してください。
KAIC05672-E	指定したリソースは、仮想 ID を用いたデータ移行に使用しているリソースグループに所属していて、かつそのリソースグループは仮想 ID を用いたデータ移行中のボリュームを含むため、操作できません。(リソース種別:"<リソース種別>", リソース ID:"<リソース ID >")	リソースの指定を見直すか、データ移行を終了したあと、再実行してください。
KAIC05673-E	指定したボリューム"<デバイス番号>"は、仮想 ID を用いたデータ移行中のボリュームのため、操作できません。	ボリュームの指定を見直すか、データ移行を終了したあと、再実行してください。
KAIC05674-E	指定したパリティグループ"<パリティグループ番号>"は、仮想 ID を用いたデータ移行用にマッピングされているため、操作できません。	パリティグループの指定を見直したあと、再実行してください。
KAIC05675-E	指定したプールは、仮想 ID を用いたデータ移行に使用しているリソースグループに所属するボリューム"<デバイス番号>"をプールボリュームとして使用しているため、操作できません。	プールの指定を見直すか、リソースグループからプールボリュームを除いたあと、再実行してください。
KAIC05676-E	指定したジャーナルグループは、仮想 ID を用いたデータ移行に使用しているリソースグループに所属するボリューム"<デバイス番号>"をジャーナルボリュームとして使用しているため、操作できません。	ジャーナルグループの指定を見直すか、リソースグループからジャーナルボリュームを除いたあと、再実行してください。
KAIC05677-E	仮想 ID を用いたデータ移行に使用しているリソースグループ (<リソースグループ ID >) は、データ移行中のボリュームを含むため、操作できません。	指定したリソースを見直すか、仮想 ID を用いたデータ移行が終了したあと、再実行してください。
KAIC05700-E	十分な空領域がありません。	空き領域内の容量で指定してください。
KAIC05701-E	内部エラーが発生しました。 HostStorageDomainID が不正です。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05702-E	指定したポートにはすでに LUN の最大数が設定されているか、またはこの処理をすると LUN の最大数を超えるおそれがあります。	設定内容を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC05703-E	指定した HostStorageDomain にはすでに LUN の最大数が設定されているか、またはこの処理をすると LUN の最大数を超えるおそれがあります。	設定内容を見直してください。
KAIC05704-E	指定した LDEV は <PP 名 (VolumeMigration)> の予約ボリュームです。LUSE ボリュームには使用できません。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行し、リクエストを確認してください。
KAIC05705-E	指定した LDEV は OnDemand デバイスです。LUN に使用できません。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行し、リクエストを確認してください。
KAIC05706-E	指定した LDEV はありません。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行し、リクエストを確認してください。
KAIC05707-E	指定した WWN はありません。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行し、リクエストを確認してください。
KAIC05708-E	指定されたポートにはすでに WWN の最大数が設定されているか、またはこの処理をすると設定できる WWN の最大数を超えるおそれがあります。	設定内容を見直してください。
KAIC05709-E	指定された HostStorageDomain にはすでに WWN の最大数が設定されているか、またはこの処理をすると WWN の最大数を超えるおそれがあります。	設定内容を見直してください。
KAIC05710-E	指定した WWN がすでにあります。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行し、リクエストを確認してください。
KAIC05711-E	指定した devNum は使用できません。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行し、リクエストを確認してください。
KAIC05712-E	SSID が設定されていないため、LDEV を作成できません。	SVP から適切な SSID を設定する必要があります。ストレージシステムの管理者に連絡するか、保守員を呼んでください。
KAIC05713-E	指定された容量は無効です。	有効な容量を指定してください。
KAIC05714-E	ストレージシステムのセキュリティオプションが変わりました。ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。あなたがローカルユーザーであればシステム管理者に連絡してください。	Device Manager サーバは最新のストレージシステムの情報を保持していないおそれがあります。リフレッシュを実行してください。リフレッシュは GUI のリフレッシュ機能を使用するか API の AddStorageArray で実行できます。
KAIC05715-E	この API バージョンはストレージシステムの LUN Management オプションに対応していません。	API サポートバージョンとストレージシステムのオプションリストを確認してください。
KAIC05716-E	指定したポートは、ファイバチャネルポートおよび FCoE ポートのどちらでもないため、リクエストを実行できません。	ファイバチャネルポートまたは FCoE ポートを指定し、再実行してください。
KAIC05717-E	指定されたポートのセキュリティスイッチが OFF のため、リクエストを処理できません。	指定ポートのセキュリティスイッチを ON にした後、再実行してください。
KAIC05718-E	指定したホストストレージドメインは、ファイバチャネルポートおよび FCoE ポートのどちらにも属して	ファイバチャネルポートまたは FCoE ポートに属するホストストレージドメインを指定し、再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	ないため、リクエストを実行できません。	
KAIC05719-E	指定されたホストストレージドメインが属するポートのセキュリティスイッチが OFF のため、リクエストを処理できません。	指定ホストストレージドメインが属しているポートのセキュリティスイッチを ON にした後、再実行してください。
KAIC05720-E	指定されたホストストレージドメイン "<ホストストレージドメイン>" はポート "<ポート番号>" ですで使用されています。	指定したホストストレージドメインとポート番号の組み合わせを確認してください。
KAIC05721-E	ストレージシステムの情報に実機と異なる部分を発見しました。ストレージシステムの情報を更新してください。実行権限がない場合はストレージシステム管理者に連絡してください。	Device Manager サーバは最新のストレージシステムの情報を保持していないおそれがあります。ストレージシステムの情報を更新したあと、再実行してください。
KAIC05722-E	ストレージシステムへの構成変更失敗しました。構成変更の一部しかストレージシステムに適用されていないおそれがあります。ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。あなたがローカルユーザーの場合はシステム管理者に連絡してください。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。繰り返し発生する場合は顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05723-E	LUN "<パスの LUN >" はストレージシステム上にありません。	LUN を確認してください。
KAIC05724-E	SCSI ID "<パスの SCSI ID >" はストレージシステム上にありません。	SCSI ID を確認してください。
KAIC05725-E	LUN "<パスの LUN >" はすでにストレージシステム上で使用されています。	LUN を確認してください。
KAIC05726-E	ポート "<ポートを特定するもの>" はストレージシステム上にありません。	ポートを確認してください。
KAIC05727-E	ホストストレージドメイン "<ホストストレージドメインを特定するもの>" はポート "<ポートを特定するもの>" 上にありません。	ホストストレージドメインを確認してください。
KAIC05728-E	PDEV "<PDEV ID >" はスペアドライブではありません。	PDEV を見直してください。
KAIC05729-E	指定されたニックネーム "<ニックネーム>" は不正です。ニックネームの最大長は "<ニックネームの最大長>" バイトです。	ニックネームの指定を見直した後、再実行してください。
KAIC05730-E	ストレージシステムへのログインに失敗しました。パスワード認証が必要です。ユーザー ID/ユーザーパスワードを指定してから再実行してください。	有効なユーザー ID/ユーザーパスワードを指定して、再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05731-E	エミュレーションタイプ"<エミュレーションタイプ>"、容量"<指定サイズ> KB"で devNum を指定した場合、LUSE ボリューム構成はサポート	指定した容量とエミュレーションタイプについて、容量がそのエミュレーションタイプで有効な値かどうか確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	していません。作成容量を"< 1Ldev 下限サイズ> KB"-"< 1Ldev 上限サイズ> KB"の範囲になるように指定し直してください。	
KAIC05732-E	portRole の変更失敗しました。	ポートの状態を確認してから、再実行してください。
KAIC05735-E	"<情報の種類>"の情報に実機と異なる部分を発見しました。ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。あなたがローカルユーザーの場合、システム管理者に連絡してください。	Device Manager サーバは最新のストレージシステムの情報を保持していないおそれがあります。リフレッシュを実行してから再実行してください。
KAIC05736-E	LogicalUnit を作成できません。指定したパラメータで作成できる LogicalUnit 数は< LogicalUnit 数 >です。	作成する LogicalUnit の容量、数、または作成先の空き容量の指定を見直してください。詳細は該当するストレージシステムのマニュアルを参照してください。
KAIC05737-E	LogicalUnit の削除処理中にエラーが発生しました。(削除に成功しているデバイス番号:< "デバイス番号リスト">)	devNum の値 (デバイス番号) を見直してから再実行してください。
KAIC05740-E	ストレージシステムに対してリフレッシュしていないため、この操作は実行できません。	操作対象のストレージシステムをリフレッシュしてください。ストレージシステムがリフレッシュ済みの場合は、ストレージシステムのマイクロコードをアップグレードしてから、再度リフレッシュしてください。対処したあとも繰り返しエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05741-E	指定したドライブ種別"<ドライブ種別>"と、フォームファクタ"<フォームファクタ>"の組み合わせは無効です。	ドライブ種別とフォームファクタの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC05750-E	指定した devNum は使用できません。	devNum の値 (デバイス番号) を見直したあと、再実行してください。
KAIC05751-E	指定したディスク容量"<ディスク容量>"の PDEV をサポートしていないため、操作できません。	ディスク容量の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC05752-E	指定したドライブ種別"<ドライブ種別>"は無効です。	ドライブ種別の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC05760-E	指定された CLPR "< CLPR 番号>"はストレージシステムにありません。	CLPR の指定を見直してください。
KAIC05761-E	指定された容量は有効な値ではありません。	LU または LDEV の容量の指定を見直してください。
KAIC05762-E	指定されたデバイス番号"<デバイス番号>"は使用することができません。	デバイス番号の指定を見直してください。
KAIC05763-E	作成するボリュームに割り当て可能な SSID がありません。	"server.properties"の設定を見直してから、サービスを再起動してください。
KAIC05764-E	作成する LU の総容量がアレイグループの空き領域を超えているため、LU を作成できません。	作成する LU の総容量を減らしてから、再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC05765-E	分割ストレージ管理者によって管理されたストレージシステムでは実行できません。	ストレージシステムの設定を見直してください。
KAIC05766-E	割り当て可能な <PP 名(Dynamic Provisioning)> ボリュームグループがありません。	作成する LU を減らして、再実行してください。
KAIC05767-E	割り当て可能な CU がありません。	既存の CU にボリュームを作成してください。
KAIC05768-E	指定したしきい値 "<しきい値>" が プール使用率 "<プール使用率>" 以下であるため、プールのしきい値を変更できません。	しきい値をプールの使用率より大きい値に指定して、再実行してください。
KAIC05769-E	プール (機能=<PP 名(Dynamic Provisioning)> " プール ID=<プール ID >") のステータスが"正常"ではないため、閾値を変更できません。	プールのステータスを確認し、再実行してください。
KAIC05770-E	保護期間は短くできません。	保護期間の設定を見直したあと、再実行してください。
KAIC05771-E	指定された LDEV は保護期間中 değildir。保護期間中の LDEV には指定された保護属性は設定できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC05772-E	プール (機能=<PP 名(Dynamic Provisioning)> " プール ID=<プール ID >") の使用率が 95%以上であるため、閾値の変更はできません。	プールの使用率を確認してください。
KAIC05773-E	ストレージシステムに"<PP 名(Quick Shadow)>"または"<PP 名(Dynamic Provisioning)>"のプールが最大数まで作成されているため、プールを作成できません。	不要なプールを削除してから、再実行してください。
KAIC05774-E	ストレージシステム内の"<PP 名(Dynamic Provisioning)>"、"<PP 名(Quick Shadow)>"、"<PP 名(Universal Volume Manager)>"の アレイグループ数が最大数に達するため、アレイグループを追加できません。	<PP 名(Dynamic Provisioning)>、<PP 名(Quick Shadow)>または<PP 名(Universal Volume Manager)>の不要なアレイグループを削除してから、再実行してください。
KAIC05775-E	リクエストの実行に失敗しました。"<PP 名(Shadow Image)>"の場合、ペアのステータスが Simplex または Split でなければなりません。最新のペアのステータスを確認し、再実行してください。	最新のペアのステータスを確認し、再実行してください。
KAIC05776-E	リクエストの実行に失敗しました。"<PP 名(Shadow Image)>"の場合、Split コピーが完了している必要があります。Split が完了していることを確認し、再実行してください。	Split が完了していることを確認し、再実行してください。
KAIC05779-E	リクエストの実行に失敗しました。ソースボリュームとターゲットボリュームのアレイグループが、Device Manager データベースと実機との間で異なります。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してから、リクエストを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC05780-E	指定されたストレージシステムはホストモード"<ホストモード名>"をサポートしていません。	ストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC05781-E	このストレージシステムのマイクロコードバージョンでは指定されたホストモード"<ホストモード名>"を設定できません。	ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを確認してください。
KAIC05782-E	指定されたポートはチャンネルスピード"<チャンネルスピード>"をサポートしていません。	ストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC05783-E	指定されたストレージシステムはホストモード2"<ホストモード2名>"をサポートしていません。	ストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC05784-E	このストレージシステムのマイクロコードバージョンでは指定されたホストモード2"<ホストモード2名>"を設定できません。	ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを確認してください。
KAIC05785-E	指定されたストレージシステムはポートオプション"<ポートオプション名>"をサポートしていません。	ストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC05786-E	このストレージシステムのマイクロコードバージョンでは指定されたポートオプション"<ポートオプション名>"を設定できません。	ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを確認してください。
KAIC05787-E	実機と異なるストレージシステム情報が Storage Navigator Modular 2 に登録されています。Storage Navigator Modular 2 を使用して、次のストレージシステム情報を削除してから再実行してください。(アレイ名="<Storage Navigator Modular 2 に登録されているアレイ名>")	Storage Navigator Modular 2 を使用して、ストレージシステム情報を削除してから再実行してください。
KAIC05788-E	<PP名>機能がストレージシステム上で有効になっていません。	<PP名>機能を有効にしてください。
KAIC05789-E	プールの使用率 (プール ID="<プールID>", 使用率="<プール使用率>") がしきい値 (<属性名>="<属性値>") 以上であるため、この操作はできません。	プール使用率が<属性名>の値を下回るように構成を見直してから、再実行してください。
KAIC05790-E	ストレージシステムに"<PP名 (Universal Replicator)>"のプール/ジャーナルグループが最大数まで作成されているのでプール/ジャーナルグループを作成できません。	不要なプール/ジャーナルグループを削除してから再実行してください。
KAIC05791-E	ジャーナルグループの状態が Initial または Stop のどちらでもないのでジャーナルグループを縮小できません。	ジャーナルグループを使用しているペアのステータスを変更してから再実行してください。
KAIC05792-E	ジャーナルグループの状態が "Initial", "Active", "Stop" のどれでもないのでジャーナルグループの拡張はできません。	ジャーナルグループを使用しているペアのステータスを変更してから再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC05793-E	指定したプールの使用容量が OGB ではないのでプールを削除できません。	指定したプールを使用するすべてのペアを削除し、再実行してください。
KAIC05794-E	指定したプールを使用しているペアの状態はすべて"Simplex"でなければなりません。	プールを使用しているペアの状態を"Simplex"にしてから再実行してください。
KAIC05795-E	ストレージシステムの機能 SnapShot または TrueCopy Extended Distance が有効化されていない必要があります。	ストレージシステムの機能を確認してください。
KAIC05796-E	LU "<デバイス番号>" は VMA が設定されています。プールボリューム/ジャーナルボリュームには使用できません。	LU の指定を見直してから再実行してください。
KAIC05798-E	指定したジャーナルグループは初期状態ではないため、削除できません。	ジャーナルグループを初期状態にして、再実行してください。
KAIC05799-E	内部エラーが発生しました。パラメーター"<パラメータ>"またはパラメーター"<パラメータ>"が見つからないためにトランスポートサービスの実行に失敗しました。	問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05800-E	CIM 機能の実行中に内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05850-E	ポート"<ポート名>"上のホストストレージドメイン"<ホストストレージドメイン名>"と iSCSI イニシエータ"<iSCSI イニシエータ名>"には、セキュリティが設定されていません。	指定を見直してください。
KAIC05851-E	ポート"<ポート名>"上のホストストレージドメイン"<ホストストレージドメイン名>"と iSCSI イニシエータ"<iSCSI イニシエータ名>"には、すでにセキュリティが設定されています。	指定を見直してください。
KAIC05852-E	指定されたポート"<ポート名>"にはすでに iSCSI ネームの最大数"<ポートの iSCSI イニシエータ最大数>"が設定されているか、またはこの処理をすることで iSCSI ネームの最大数を超えるおそれがあります。	指定を見直してください。
KAIC05853-E	指定されたニックネーム"<ニックネーム>"は、同一ポート"<ポート名>"上のほかの iSCSI ネームが使用しているため、使用できません。	同一ポート上のほかの iSCSI ネームと重複しないニックネームを指定してから、再実行してください。
KAIC05854-E	指定された iSCSI ネーム"<iSCSI ネーム>"は、同一ポート"<ポート名>"上のほかのホストストレージドメインが使用しているため、使用できません。	同一ポート上のほかのホストストレージドメインと重複しない iSCSI ネームを指定してから、再実行してください。
KAIC05855-E	指定されたニックネーム"<ニックネーム>"は、同一ポート"<ポート名>"上のほかのホストストレージドメインが使用しているため、使用できません。	同一ポート上のほかのホストストレージドメインと重複しないニックネームを指定してから、再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC05856-E	設定できる最大数"<ポートの <i>iSCSI</i> ターゲット最大数>"を超えるホストストレージドメインは、ポート"<ポート名>"に設定できません。	有効範囲内の値を指定してください。
KAIC05857-E	指定された <i>iSCSI</i> ネーム"< <i>iSCSI</i> ネーム >"は最大長を超えています。 <i>iSCSI</i> ネームの最大長は"< <i>iSCSI</i> ネームの最大長 >"バイトです。	<i>iSCSI</i> ネームの指定を見直したあと、再実行してください。
KAIC05858-E	指定された <i>iSCSI</i> ネーム "< <i>iSCSI</i> ネーム >"の形式が不正です。 <i>iSCSI</i> ネームは <i>iqn</i> 形式または <i>eui</i> 形式で指定してください。	<i>iSCSI</i> ネームの指定を見直したあと、再実行してください。
KAIC05859-E	同一ポート"<ポート名 >"上の <i>iSCSI</i> ネーム"< <i>iSCSI</i> ネーム >"に異なるニックネーム"< <i>iSCSI</i> ニックネーム 1 >"と"< <i>iSCSI</i> ニックネーム 2 >"が指定されています。	<i>iSCSI</i> ニックネームの指定を見直したあと、再実行してください。
KAIC05860-E	SMI-S Enabled ストレージシステムへのアクセス中にエラーが発生しました。指定したパラメーター、または SMI-S プロバイダー/SMI-S Enabled ストレージシステムの状態が正しくないおそれがあります。(WBEM エラーコード=< <i>WBEM</i> エラーコード >, WBEM メソッド名=< <i>WBEM</i> メソッド名 >, CIM クラス名=< 対象 <i>CIM</i> クラス名 >, 詳細情報=< 詳細情報 >)	指定したパラメーター、および SMI-S プロバイダー/SMI-S Enabled ストレージシステムの状態を見直してから、再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には、SMI-S プロバイダーの管理者に連絡してください。
KAIC05861-E	SMI-S プロバイダーへのアクセスに失敗しました。指定した SMI-S プロバイダーの IP アドレス、ポート番号、プロトコル、ユーザー ID、およびパスワードが正しいか確認してください。(WBEM エラーコード=< <i>WBEM</i> エラーコード >, WBEM メソッド名=< <i>WBEM</i> メソッド名 >, CIM クラス名=< 対象 <i>CIM</i> クラス名 >, 詳細情報=< 詳細情報 >)	指定した SMI-S プロバイダーの IP アドレス、ポート番号、プロトコル、ユーザー ID、およびパスワードが正しいか確認してから再実行してください。
KAIC05862-E	SMI-S Enabled ストレージシステムのための環境が不正です。(WBEM エラーコード=< <i>WBEM</i> エラーコード >, WBEM メソッド名=< <i>WBEM</i> メソッド名 >, CIM クラス名=< 対象 <i>CIM</i> クラス名 >, 詳細情報=< 詳細情報 >)	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05863-E	SMI-S Enabled ストレージシステムへのアクセス中に内部エラーが発生しました。(WBEM エラーコード=< <i>WBEM</i> エラーコード >, WBEM メソッド名=< <i>WBEM</i> メソッド名 >, CIM クラス名=< 対象 <i>CIM</i> クラス名 >, 詳細情報=< 詳細情報 >)	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC05864-E	SMI-S Enabled ストレージシステムへのアクセス中に予期しないエラーが発生しました。(WBEM エラーコード="< WBEM エラーコード>", WBEM メソッド名="< WBEM メソッド名>", CIM クラス名="<対象 CIM クラス名>", 詳細情報="<詳細情報>")	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05865-E	SMI-S Enabled ストレージシステムへのアクセス中に内部エラーが発生しました。(CIM メソッド名="< CIM メソッド名>", 戻り値="< CIM メソッドからの戻り値>")	SMI-S プロバイダーの管理者に連絡してください。
KAIC05866-E	SMI-S Enabled ストレージシステムへのアクセス中に予期しないエラーが発生しました。(CIM メソッド名="< CIM メソッド名>", 戻り値="< CIM メソッドからの戻り値>")	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05867-E	SMI-S プロバイダーと SMI-S Enabled ストレージシステムとの間で通信タイムアウトエラーが発生しました。(CIM メソッド名="< CIM メソッド名>", 戻り値="< CIM メソッドからの戻り値>")	SMI-S プロバイダーの管理者に連絡してください。
KAIC05868-E	SMI-S Enabled ストレージシステムへのアクセスメソッドの実行に失敗しました。(CIM メソッド名="< CIM メソッド名>", 戻り値="< CIM メソッドからの戻り値>")	SMI-S プロバイダーの管理者に連絡してください。
KAIC05869-E	SMI-S Enabled ストレージシステムへのアクセスに必要なパラメーターが誤っています。(CIM メソッド名="< CIM メソッド名>")	指定を見直してから再実行してください。
KAIC05870-E	SMI-S プロバイダーから不正な値が返りました。(CIM メソッド名="< CIM メソッド名>", 戻り値="< CIM メソッドからの戻り値>")	SMI-S プロバイダーの管理者に連絡してください。
KAIC05871-E	指定したボリュームサイズが正しくありません。(CIM メソッド名="< CIM メソッド名>")	ボリュームサイズを見直してから再実行してください。
KAIC05872-E	指定した LU の ID(LUN)が誤っています。(CIM メソッド名="< CIM メソッド名>")	LU の ID(LUN)を見直してから再実行してください。
KAIC05873-E	指定した Initiator ポートの ID(WWN)が誤っています。(CIM メソッド名="< CIM メソッド名>")	Initiator ポートの ID(WWN)を見直してから再実行してください。
KAIC05874-E	指定した Target Port の ID(WWN)が誤っています。(CIM メソッド名="< CIM メソッド名>")	Target Port の ID(WWN)を見直してから再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC05875-E	指定したパーミッションが誤っています。(CIM メソッド名="< CIM メソッド名 >")	パーミッションを見直してから再実行してください。
KAIC05876-E	指定した Initiator ポートと Target Port の組み合わせはすでに存在します。(CIM メソッド名="< CIM メソッド名 >")	Initiator ポートと Target Port の組み合わせを見直してから再実行してください。
KAIC05877-E	指定した LUN はすでに使用されています。(CIM メソッド名="< CIM メソッド名 >")	LUN を見直してから再実行してください。
KAIC05878-E	SMI-S Enabled ストレージシステムで内部エラーが発生しました。(CIM メソッド名="< CIM メソッド名 >", 戻り値="< CIM メソッドからの戻り値 >")	SMI-S プロバイダーの管理者に連絡してください。
KAIC05879-E	SMI-S Enabled ストレージシステムへのアクセス中にエラーが発生しました。指定したパラメーター、または SMI-S プロバイダー/SMI-S Enabled ストレージシステムの状態が正しくないおそれがあります。(WBEM エラーコード="< WBEM エラーコード >", WBEM メソッド名="< WBEM メソッド名 >", 詳細情報="< 詳細情報 >")	指定したパラメーター、および SMI-S プロバイダー/SMI-S Enabled ストレージシステムの状態を見直してから、再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には、SMI-S プロバイダーの管理者に連絡してください。
KAIC05880-E	SMI-S プロバイダーへのアクセスに失敗しました。指定した SMI-S プロバイダーの IP アドレス、ポート番号、ユーザー ID、およびパスワードが正しいか確認してください。(WBEM エラーコード="< WBEM エラーコード >", WBEM メソッド名="< WBEM メソッド名 >", 詳細情報="< 詳細情報 >")	指定した SMI-S プロバイダーの IP アドレス、ポート番号、ユーザー ID、およびパスワードが正しいか確認してから再実行してください。
KAIC05881-E	SMI-S Enabled ストレージシステムのための環境が不正です。(WBEM エラーコード="< WBEM エラーコード >", WBEM メソッド名="< WBEM メソッド名 >", 詳細情報="< 詳細情報 >")	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC05882-E	SMI-S Enabled ストレージシステムへのアクセス中に内部エラーが発生しました。(WBEM エラーコード="< WBEM エラーコード >", WBEM メソッド名="< WBEM メソッド名 >", 詳細情報="< 詳細情報 >")	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC05883-E	SMI-S Enabled ストレージシステムへのアクセス中に予期しないエラーが発生しました。(WBEM エラーコード="< WBEM エラーコード >", WBEM メソッド名="< WBEM メソッド名 >", 詳細情報="< 詳細情報 >")	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC05884-E	SMI-S Enabled ストレージシステム のジョブが失敗しました。(ジョブス テータス=<ジョブステータス>", 詳細コード=<詳細コード>", 詳細 情報=<詳細情報>")	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05885-E	SMI-S Enabled ストレージシステム へのアクセス中にエラーが発生しま した。指定したパラメーター、または SMI-S プロバイダー/SMI-S Enabled ストレージシステムの状態 が正しくないおそれがあります。 (WBEM メソッド名=<WBEM メ ソッド名>", CIM クラス名=<対象 CIM クラス名>")	指定したパラメーター、および SMI-S プロバイ ダー/SMI-S Enabled ストレージシステムの状態 を見直してから、再実行してください。エラー が繰り返し発生する場合には、SMI-S プロバイ ダーの管理者に連絡してください。
KAIC05886-E	指定した SMI-S プロバイダーが管理 している SMI-S Enabled ストレージ システムは、すでに別の SMI-S プロ バイダーが管理しています。	複数の SMI-S プロバイダーが、同一の SMI-S Enabled ストレージシステムを管理しないよう に設定してください。
KAIC05887-E	SMI-S Enabled ストレージシステム へのアクセス中にエラーが発生しま した。指定したパラメーター、または SMI-S プロバイダー/SMI-S Enabled ストレージシステムの状態 が正しくないおそれがあります。 (WBEM エラーコード=<WBEM エラーコード>", WBEM メソッド名 =<WBEM メソッド名>", CIM ク ラス名=<対象 CIM クラス名>", 詳 細情報=<詳細情報>", ストレージ システム名=<ストレージシステム 名>")	指定したパラメーター、および SMI-S プロバイ ダー/SMI-S Enabled ストレージシステムの状態 を見直してから、再実行してください。エラー が繰り返し発生する場合には、SMI-S プロバイ ダーの管理者に連絡してください。
KAIC05888-E	SMI-S プロバイダーへのアクセスに 失敗しました。指定した SMI-S プロ バイダーの IP アドレス、ポート番号、 ユーザー ID、およびパスワードが正 しいか確認してください。(WBEM エラーコード=<WBEM エラー コード>", WBEM メソッド名=< WBEM メソッド名>", CIM クラス 名=<対象 CIM クラス名>", 詳細情 報=<詳細情報>", ストレージシス テム名=<ストレージシステム名>)	指定した SMI-S プロバイダーの IP アドレス、 ポート番号、ユーザー ID、およびパスワードが 正しいか確認してから再実行してください。
KAIC05889-E	SMI-S Enabled ストレージシステム のための環境が不正です。(WBEM エラーコード=<WBEM エラー コード>", WBEM メソッド名=< WBEM メソッド名>", CIM クラス 名=<対象 CIM クラス名>", 詳細情 報=<詳細情報>", ストレージシス テム名=<ストレージシステム名>)	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05890-E	SMI-S Enabled ストレージシステム へのアクセス中に内部エラーが発生 しまし	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	た。(WBEM エラーコード="< WBEM エラーコード>", WBEM メソッド名="< WBEM メソッド名>", CIM クラス名="<対象 CIM クラス名>", 詳細情報="<詳細情報>", ストレージシステム名="<ストレージシステム名>")	
KAIC05891-E	SMI-S Enabled ストレージシステムへのアクセス中に予期しないエラーが発生しました。(WBEM エラーコード="< WBEM エラーコード>", WBEM メソッド名="< WBEM メソッド名>", CIM クラス名="<対象 CIM クラス名>", 詳細情報="<詳細情報>", ストレージシステム名="<ストレージシステム名>")	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05900-E	指定したジャーナルグループのオプションは変更できません。	パラメーターを見直してから再実行してください。
KAIC05902-E	指定したジャーナルグループは正ジャーナルグループでかつ"<状態>"状態のミラーを含むため、流入制限を設定できません。	ジャーナルグループの種別とミラーの状態を確認してください。
KAIC05903-E	指定したジャーナルグループは副ジャーナルグループのため、流入制限を設定できません。	ジャーナルグループの種別を確認してください。
KAIC05904-E	機能 = "< PP 名(QuickShadow)>" プール ID = "<プール ID >" であるプールのステータスが、使用率 100% による閉塞以外の閉塞状態のため、プールボリュームを追加できません。	プールの閉塞状態を回復させてから、再実行してください。
KAIC05905-E	指定したジャーナルグループは正ジャーナルグループでかつ"<状態>"状態のミラーを含むため、データあふれ監視時間を設定できません。	ジャーナルグループの種別とミラーの状態を確認してください。
KAIC05906-E	指定したジャーナルグループは副ジャーナルグループでかつ"<状態>"状態のミラーを含むため、データあふれ監視時間を設定できません。	ジャーナルグループの種別とミラーの状態を確認してください。
KAIC05907-E	指定したジャーナルグループは正ジャーナルグループでかつ"<状態>"状態のミラーを含むため、パス監視時間を設定できません。	ジャーナルグループの種別とミラーの状態を確認してください。
KAIC05908-E	指定したジャーナルグループは副ジャーナルグループでかつ"<状態>"状態のミラーを含むため、パス監視時間を設定できません。	ジャーナルグループの種別とミラーの状態を確認してください。
KAIC05909-E	指定したジャーナルグループは副ジャーナルグループのため、パス監視時間を設定できません。	ジャーナルグループの種別を確認してください。
KAIC05910-E	指定したジャーナルグループは正ジャーナルグループでかつ"<状態>"状態のミラーを含むため、パス監視時間の転送を設定できません。	ジャーナルグループの種別とミラーの状態を確認してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC05911-E	指定したジャーナルグループは副ジャーナルグループのため、パス監視時間の転送を設定できません。	ジャーナルグループの種別を確認してください。
KAIC05912-E	指定したジャーナルグループは正ジャーナルグループでかつ<状態>"状態のミラーを含むため、キャッシュの使用を設定できません。	ジャーナルグループの種別とミラーの状態を確認してください。
KAIC05913-E	指定したジャーナルグループは副ジャーナルグループでかつ<状態>"状態のミラーを含むため、キャッシュの使用を設定できません。	ジャーナルグループの種別とミラーの状態を確認してください。
KAIC05914-E	指定したジャーナルグループは正ジャーナルグループでかつ<状態>"状態のミラーを含むため、回線速度を設定できません。	ジャーナルグループの種別とミラーの状態を確認してください。
KAIC05915-E	指定したジャーナルグループは副ジャーナルグループでかつ<状態>"状態のミラーを含むため、回線速度を設定できません。	ジャーナルグループの種別とミラーの状態を確認してください。
KAIC05916-E	指定したジャーナルグループは正ジャーナルグループでかつ<状態>"状態のミラーを含むため、デルタリシンク失敗を設定できません。	ジャーナルグループの種別とミラーの状態を確認してください。
KAIC05917-E	指定したジャーナルグループは副ジャーナルグループのため、デルタリシンク失敗を設定できません。	ジャーナルグループの種別を確認してください。
KAIC05918-E	機能 = "<PP 名(Dynamic Provisioning)>" プール ID = "<プール ID >" であるプールのステータスが閉塞であるため、プールボリュームを追加できません。	プールの閉塞状態を回復させてから、再実行してください。
KAIC05919-E	"<PP 名(Quick Shadow)>"の仮想ボリュームの数が最大値に達するので、"<PP 名(Quick Shadow)>"の仮想ボリュームを作成できません。	設定内容を見直してください。
KAIC05920-E	ストレージシステムで内部処理を実行中のため、指定した仮想ボリュームに対して削除およびプールとの関連付け解除を実行できません。しばらく待ってから削除または関連付け解除を実行してください。(対象="<デバイス番号のリスト>")	しばらく待ってから削除または関連付け解除を実行してください。
KAIC05921-E	指定した DM-LU が属するプール (プール ID="<プール ID >") の仮想化超過率が仮想化超過限界しきい値を超えるため、処理できません。プールの容量を拡張してから再実行してください。	プールの容量を拡張してください。
KAIC05922-E	指定した DM-LU が属するプール (プール ID="<プール ID >") の容量が不足しているため、処理できません。プールの容量を拡張してから再実行してください。	プールの容量を拡張してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC05923-E	指定したプール名"<プール名>"は、ストレージシステム上のほかのプール(プールID:<プールID>)で使用されています。Element Managerを使用してストレージシステム上のプール名を確認し、別のプール名を指定してから再実行してください。必要に応じて、プール名を更新してください。	Element Managerを使用してストレージシステム上のプール名を確認し、別のプール名を指定してから再実行してください。必要に応じて、プール名を更新してください。
KAIC05924-E	ラベルをストレージシステムに反映できませんでした。再度実行してください。同じエラーが発生する場合は、原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。	再度実行してください。同じエラーが発生する場合は、原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC05925-E	プール名をストレージシステムに反映できませんでした。再度実行してください。同じエラーが発生する場合は、原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。	再度実行してください。同じエラーが発生する場合は、原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC05926-E	ニックネーム情報の取得に失敗しました。(詳細情報=<詳細情報>)	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。同じエラーが発生する場合は、原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC05941-E	Tuning Manager から収集する情報の中に、サポートしていない情報が含まれています。Tuning Manager エージェントのデータモデルバージョンを確認してください(エージェント名:<Tuning Manager エージェント名>, データモデルバージョン:<Tuning Manager エージェントのデータモデルバージョン>)	Tuning Manager エージェントを最新のバージョンに入れ替えてください。
KAIC05942-E	Tuning Manager からの構成情報の収集が実施されていないため、性能情報の収集ができません。ストレージシステムの情報を更新したあと、再実行してください。(モデル名:<ストレージシステムのモデル名>, シリアル番号:<ストレージシステムのシリアル番号>)	レプリケーション監視に必要な最新のストレージシステムの情報を保持していないおそれがあります。ストレージシステムの情報を更新したあと、再実行してください。
KAIC05943-E	Replication Manager からの情報取得処理が初期化できません。内部エラーが発生しました。設定ファイル名:<初期化に利用した設定ファイル名>	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC05944-E	Replication Manager からの情報収集時に通信エラーが発生しました。ポート番号:<通信先 Replication Manager のポート番号>	Replication Manager の base.properties ファイルの base.rmi.enabled プロパティが true になっているか確認してください。プロパティが true になっている場合は Replication

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		Manager の状態およびネットワーク設定を確認してください。
KAIC05945-E	Replication Manager からの情報収集時に予期しないエラーが発生しました。ポート番号:"<通信先 Replication Manager のポート番号 >"	Replication Manager の状態および Replication Manager のログを確認してください。
KAIC05946-E	Tuning Manager からの構成情報の収集が実施されていないため、性能情報の収集ができません。コピーグループの構成情報を更新したあと、再実行してください。(モデル名:"<ストレージシステムのモデル名>", シリアル番号:"<ストレージシステムのシリアル番号>")	レプリケーション監視に必要な最新のコピーグループの情報を保持していないおそれがあります。コピーグループの構成情報を更新したあと、再実行してください。
KAIC05947-E	Replication Manager で管理している構成情報が最新になっていないおそれがあります。性能情報更新を実行する前に Replication Manager で管理している構成情報を最新にしてください。	Replication Manager で構成の更新を実行してください。その後、レプリケーションタブの[性能情報の更新]を、[コピーグループ構成情報も更新する]にチェックを入れて再度実行してください。
KAIC05990-E	内部エラーが発生しました。(詳細情報="<詳細情報>")	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05991-E	ボリュームの作成に失敗しました。SMI-S Enabled ストレージシステムがライセンスの要件を満たしているか、またはハードウェア障害が発生していないかを確認してください。	確認後もエラーが発生する場合、SMI-S プロバイダーの管理者に連絡してください。
KAIC05992-E	リクエストが一定時間内に完了しませんでした。構成変更の一部しか SMI-S Enabled ストレージシステムに適用されていないおそれがあります。	SMI-S Enabled ストレージシステムに対してリフレッシュを実行し、設定変更の結果を確認してください。繰り返し発生する場合、SMI-S プロバイダーの管理者に連絡してください。
KAIC05993-E	接続先 (<IP アドレス>) からの応答がありません。一時的に接続先との通信ができない状態となっているおそれがあります。しばらく待ってから再実行してください。同じエラーが発生する場合は、原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	一時的に接続先との通信ができない状態となっているおそれがあります。しばらく待ってから再実行してください。同じエラーが発生する場合は、原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05994-E	仮想化サーバ管理プログラムまたは仮想化サーバへのアクセス中にエラーが発生しました。指定したパラメーターが誤っているか、仮想化サーバ管理プログラムまたは仮想化サーバの状態が正常でないおそれがあります。	パラメーターの指定、仮想化サーバ管理プログラムおよび仮想化サーバの状態を見直してから、再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05995-E	仮想化サーバ管理プログラムまたは仮想化サーバへのアクセスに失敗しました。接続先の IP アドレス、ユーザー ID、およびパスワードが正しいか確認してください。	接続先の IP アドレス、ユーザー ID、およびパスワードが正しいか確認してから再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC05996-E	仮想化サーバのための環境が不正です。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC05997-E	仮想化サーバ管理プログラムまたは仮想化サーバへのアクセス中に内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC05998-E	仮想化サーバ管理プログラムまたは仮想化サーバへのアクセス中に予期しないエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC05999-E	指定した接続先で管理されている仮想化サーバは、すでにほかの仮想化サーバ管理プログラムに管理されています。仮想化サーバの管理構成が変更されているおそれがあります。	仮想化サーバの管理構成を見直してください。
KAIC06000-E	特定不能なストレージシステムエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC06002-E	SNMP コマンド実行中に特定不能なエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC06003-E	SNMP ライブラリのエラーが発生しました。"<IP アドレスまたはホスト名>"	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC06004-E	SNMP ライブラリのエラーが発生しました。"<オブジェクト ID >"	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC06005-E	SNMP はオブジェクト ID "<オブジェクト ID >" の獲得に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC06006-E	指定したストレージシステムへのアクセス中にエラーが発生しました。	SNMP によるストレージシステムへのアクセス中に発生したエラーです。ネットワークの状態とストレージシステムの状態を確認してください。確認後も繰り返しエラーが発生する場合には顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC06007-E	Device Manager の"<コマンド>"の実行完了を待機中の SNMP エラー：ステータス"<ステータス>"です。	SNMP によるストレージシステムへのアクセス中に発生したエラーです。ネットワークの状態とストレージシステムの状態を確認してください。確認後も繰り返しエラーが発生する場合には顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC06008-E	ストレージシステムからの応答待ち時間切れです。ネットワーク接続を確認してください。	SNMP によるストレージシステムへのアクセス中に発生したエラーです。ネットワークの状態とストレージシステムの状態を確認してください。確認後も繰り返しエラーが発生する場合には顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC06009-E	コマンド"<コマンド>"の実行中に SNMP のリクエストに失敗しました。エラーステータス="<ステータス>", インデックス="<インデックス>"	SNMP によるストレージシステムへのアクセス中に発生したエラーです。ネットワークの状態とストレージシステムの状態を確認してください。確認後も繰り返しエラーが発生する場合には顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC06010-E	不正なコマンドステータストラップを検知しました。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC06011-E	IP アドレス"<IP アドレス>"のストレージシステムで SNMP 認証に失敗しました。	Device Manager サーバはストレージシステムの取り扱いに read/write 権が必要です。SNMP community の read/write 権認証を確認してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC06012-E	ストレージシステムにアクセスできません。SVP で実行中の処理があります。	SVP が Modify モードであるためストレージシステムへのアクセスに失敗しました。ストレージシステムを操作するには Device Manager サーバに実行権が必要です。SVP は View モードでなければなりません。
KAIC06013-E	IP アドレス"<IP アドレス>"のストレージシステムは指定された機種 のストレージシステムとして認識できません。	IP アドレスと SNMP エージェントへの接続を確認してください。
KAIC06100-E	SNMP コマンドの処理に失敗しました。コマンドステータス="<コマンドステータス>", 意味="<意味>" 構成変更の一部しか適用されていないおそれがあります。ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。あなたがローカルユーザーの場合はシステム管理者に連絡してください。	このマニュアルから、該当するストレージシステムのエラーメッセージおよび対処を参照し、それに従ってください。
KAIC06101-E	SNMP コマンドの実行に失敗しました。詳細情報は有効ではありません。リフレッシュを実行してください。あなたがローカルユーザーであればシステム管理者に連絡してください。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行した後、再実行してください。
KAIC06200-E	ストレージシステムのシリアル番号が不正です。	顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KAIC06299-E	ストレージシステムでの処理でエラーが発生しました。 DampErrorCode="<DampErrorCode >" TransErrorCode="<TransErrorCode >" message="<エラーメッセージ>" 構成変更をしていた場合にはストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。あなたがローカルユーザーの場合はシステム管理者に連絡してください。	このマニュアルから、該当するストレージシステムのエラーメッセージおよび対処を参照し、それに従ってください。
KAIC06300-E	ストレージシステムのコマンド実行中に特定不能なエラーが発生しました。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行した後、再実行してください。
KAIC06301-E	対象のコントローラは Target ID のモードが「M-TID, M-LUN (マッピングモード)」ではありません。	Device Manager がサポートしている Target ID のモードは「M-TID, M-LUN (マッピングモード)」だけです。Target ID モードについては、Disk Array Management Program のマニュアルまたは Storage Navigator Modular のマニュアルを参照してください。
KAIC06302-E	コントローラ"<コントローラ ID >"のポート情報一覧の取得に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KAIC06303-E	ポート"<ポート名>"のポート情報の取得に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC06305-E	指定されたストレージシステムは LUN セキュリティ機能をサポートしていません。	ストレージシステムの構成を確認してください。この機能を実行するには、ストレージシステムに LUN セキュリティオプションがインストールされていなければなりません。
KAIC06306-E	LUN セキュリティ機能がストレージシステム上で無効にされています。	ストレージシステムの構成を確認してください。LUN セキュリティが有効であるかどうかを確認してください。
KAIC06307-E	指定されたポートは HP 接続モードのため、LUN セキュリティを変更できませんでした。	LUN セキュリティを変更するには、ポートの HP 接続モードが無効である必要があります。
KAIC06309-E	ポート"<ポート名>"の LUN"<LUN>"は存在しない LDEV"<デバイス番号>"にすでに割り当てられています。	Device Manager では指定された LUN への操作をサポートしていません。必要であれば、Disk Array Management Program または Storage Navigator Modular を使用して LUN の割り当てを解除してください。
KAIC06311-E	LU 統合機能がストレージシステム上で無効にされています。	ストレージシステムの構成を確認してください。LU 統合機能が有効であるかどうかを確認してください。
KAIC06312-E	指定されたストレージシステムは LU 統合機能をサポートしていません。	ストレージシステムの構成を確認してください。この機能を実行するには、ストレージシステムに LU 統合オプションがインストールされていなければなりません。
KAIC06313-E	コントローラ"<コントローラ ID>"のポート情報一覧の取得に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC06314-E	ポート"<ポート名>"のポート情報の取得に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC06315-E	指定されたポートはホストモード 2"<ホストモード 2 名>"をサポートしていません。	指定を見直してください。
KAIC06316-E	指定されたポートはホストモード 2"<ホストモード 2 名>"をサポートしていません。	指定を見直してください。
KAIC06317-E	指定されたポートはポートオプション"<ポートオプション>"をサポートしていません。	指定を見直してください。
KAIC06318-E	指定されたポートはポートオプション"<ポートオプション>"をサポートしていません。	指定を見直してください。
KAIC06320-E	指定されたストレージシステムはホストモード 2"<ホストモード 2 名>"をサポートしていません。	ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを確認してください。
KAIC06321-E	対象のストレージシステムはマッピングモードではありません。	Device Manager を使用してストレージシステムを操作するためには、マッピングモードが有効でなければなりません。マッピングモードについては、該当するストレージシステムマニュアルを参照してください。
KAIC06322-E	ストレージシステムに対して指定された要求を実行できません。ストレージシステムの管理に必要な権限をほかのユーザーに獲得された可能性があります。	ほかのアプリケーションがビルトインアカウントを使用してストレージシステムにアクセスしていないか確認してください。アクセスしていなければ、ストレージシステムに対してリフレッシュを実行したあと、再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC06323-E	ストレージシステムに対して指定された要求を実行できません。ストレージシステムとのログインセッションが破棄されています。	強制ログアウトやアカウントの無効化などの操作により、強制的にログアウトさせられた可能性があります。ほかのユーザーがストレージシステムに対して該当する操作を実行していないかを確認してください。該当する操作を実行していなければ、ストレージシステムに対してリフレッシュを実行したあと、再実行してください。
KAIC06330-E	指定したストレージシステム "<アレイファミリ>" は SCSI モデルです。Device Manager ではサポートしていません。	ストレージシステムを確認してください。
KAIC06400-E	ストレージシステムでの処理でエラーが発生しました。エラーコード 1="<エラーコード 1 >", エラーコード 2="<エラーコード 2 >", 意味="<意味 >" 構成変更をしていた場合はストレージシステムの情報を更新してください。実行権限がない場合はストレージシステム管理者に連絡してください。	このマニュアルから、該当するストレージシステムのエラーメッセージおよび対処を参照し、それに従ってください。
KAIC06401-E	ストレージシステムでのフォーマット処理でエラーが発生しました (エラーコード="<エラーコード >")。原因を取り除いたあと、ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。	原因を取り除いたあと、ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。
KAIC06402-E	ストレージシステムでの処理が完了しません。原因を取り除いたあと、ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。	原因を取り除いたあと、ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。
KAIC06403-E	LDEV (devNum="<デバイス番号 >") はフォーマットできる状態ではありません。	リフレッシュしてから LDEV の状態を見直してください。
KAIC06450-E	ストレージシステムでの処理でエラーが発生しました。エラーコード 1="<エラーコード 1 >", エラーコード 2="<エラーコード 2 >", 意味="<意味 >" 構成変更をしていた場合、ストレージシステムおよび外部ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。あなたがローカルユーザーの場合はシステム管理者に連絡してください。	このマニュアルから、該当するストレージシステムのエラーメッセージおよび対処を参照し、それに従ってください。
KAIC06999-E	失敗が繰り返されたため SNMP コマンド実行を中止しました。	顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KAIC07000-E	特定不能なエージェントエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KAIC07001-E	ストレージシステムでは"<操作 >"操作をサポートしていません。	Device Manager サーバは指定されたストレージシステムへのリクエストをサポートしていません。
KAIC07002-E	操作に必要なライセンスキーがインストールされていません。	必要なライセンスキーをインストールしてください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07003-E	操作に必要なライセンスキーが無効になっています。	必要なライセンスキーを有効にしてください。
KAIC07004-E	"LU"は無効です。整数を指定してください。	整数を指定してください。
KAIC07005-E	パラメータが指定されていません： storage system "objectID"	storage system のオブジェクト ID を指定してください。
KAIC07006-E	パラメータが指定されていません： Port "objectID"	Port のオブジェクト ID を指定してください。
KAIC07007-E	パラメータが指定されていません： Path "objectID"	Path のオブジェクト ID を指定してください。
KAIC07008-E	パラメータが指定されていません： WWN "WWN"	WWN を指定してください。
KAIC07009-E	"SCSI ID"が不適切です。	SCSI ID を見直してください。
KAIC07010-E	指定された WWN "< WWN >"は無効な値です。	00.00.00.00.00.00.00.00 から FF.FF.FF.FF.FF.FF.FF.FF までの範囲で指定してください。
KAIC07011-E	パラメータが指定されていません： WWNGroup "objectID"	WWNGroup のオブジェクト ID を指定してください。
KAIC07012-E	パラメータが指定されていません： LUN Group "objectID"	LUNGroup のオブジェクト ID を指定してください。
KAIC07013-E	リクエストで指定されたオブジェクト ID にはオブジェクトタイプに誤りがあります。	オブジェクトの種類を確認してください。
KAIC07014-E	パラメータが指定されていません： Logical Group "objectID"	Logical Group のオブジェクト ID を指定してください。
KAIC07015-E	パラメータが指定されていません： Host "objectID"	Host のオブジェクト ID を指定してください。
KAIC07016-E	パラメータが指定されていません： Logical Group Element "objectID"	LogicalGroup エlementとしてその論理グループに登録するオブジェクトのオブジェクト ID を指定してください。
KAIC07017-E	パラメータが指定されていません： "objectID"	オブジェクト ID を指定してください。
KAIC07018-E	指定した論理グループは Device Manager データベース内に見つかりません。論理グループパスが正しく指定されていません。論理グループパス："<論理グループパス>"	正しい論理グループパス、またはオブジェクト ID を指定してください。
KAIC07019-E	パラメータが指定されていません： Host "name"	Host 名を指定してください。
KAIC07020-E	リクエスト中のエレメントが不足しています。"<エレメント>"	リクエスト中のエレメントの指定を見直してください。
KAIC07021-E	指定した論理グループは複数あります。オブジェクト ID を指定してください。論理グループ："<論理グループパス>"	指定を見直してください。
KAIC07022-E	パラメータが正しくありません： Host Info "<未指定パラメータ>"	Host Info に指定されていないパラメータを指定してください。
KAIC07023-E	親階層の論理グループが正しく指定されていません。変更する論理グ	変更する論理グループ以外の論理グループを親グループとして指定してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	ループを親階層の論理グループとして指定することはできません。	
KAIC07024-E	親階層の論理グループが無効です。実行されたリクエストには親階層の論理グループと子階層の論理グループが反対に指定されています。	親階層の論理グループと子階層の論理グループの関係に矛盾があります。指定を見直してください。
KAIC07025-E	親階層の論理グループが Device Manager データベースにありません。	親階層の論理グループの指定を見直してください。
KAIC07026-E	指定された論理グループは Device Manager データベースにありません。	論理グループの指定を見直してください。
KAIC07027-E	指定されたストレージシステムは Device Manager データベースにありません。	ストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC07028-E	指定した LDEV (devNum="＜デバイス番号＞") が Device Manager データベース内に見つかりません。	指定した LDEV を確認してください。
KAIC07029-E	指定したパス (portID="＜ポート ID＞", domainID="＜ドメイン ID＞", devNum="＜デバイス番号＞") は Device Manager データベースにありません。	パスの指定を見直してください。
KAIC07030-E	指定された host は Device Manager データベースにありません。	host の指定を見直してください。
KAIC07031-E	host info が Device Manager データベースにありません。	host info の指定を見直してください。
KAIC07032-E	パラメータ"＜パラメータ名＞"と"＜パラメータ名＞"の両方を指定することはできません。	指定を見直してください。
KAIC07033-E	リクエスト中のエレメント数が不正です。(エレメント名="＜エレメント名＞")	リクエスト中のエレメント数を見直してから、再実行してください。
KAIC07034-E	パラメータが指定されていません：User "loginID"	User の loginID を指定してください。
KAIC07035-E	登録できる RCU または SSID が最大数まで作成されているので、この操作を実行できません。	不要な RCU または SSID を削除してから、再実行してください。
KAIC07036-E	パラメータが指定されていません：Rule "ruleID"	Rule の ruleID を指定してください。
KAIC07037-E	論理パスが登録できる最大数を超えるので、この操作を実行できません。	不要な論理パスを削除してから、再実行してください。
KAIC07038-E	パラメータが正しくありません：UserGroup "name"	ユーザーグループ名を指定してください。
KAIC07039-E	指定されたユーザーグループは Device Manager データベースには見つかりません。	ユーザーグループを見直してください。
KAIC07040-E	パラメータが指定されていません：User "password"	ユーザーパスワードを指定してください。
KAIC07041-E	パラメータが指定されていません：User "groupName"	ユーザーのグループ名を指定してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07042-E	ユーザーグループ名が不正です。次の文字を用いて 25 文字以下で指定してください。a~z A~Z 0~9 - = ¥ ` , . _	入力したユーザーグループ名を見直してください。
KAIC07043-E	ユーザー ID が不正です。次の規則に従って指定してください。入力規則："<ユーザー ID の入力規則>"	入力したユーザー ID を見直してください。
KAIC07044-E	パスワードが不正です。次の規則に従って指定してください。入力規則："<パスワードの入力規則>"	入力したパスワードを見直してください。
KAIC07045-E	指定された子階層のグループ"<指定した論理グループ名>"はすでにグループ"<対象の親論理グループ名>"の下にあるため使用できません。	子階層のグループ名を変更してください。
KAIC07046-E	指定された名前の最上位グループ"<指定した論理グループ名>"はすでにあるため使用できません。	グループ名を変更してください。
KAIC07047-E	"name"の値が不正です。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07048-E	"<ファイル名>"というファイルはありません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07049-E	"<ファイル名>"というファイルは読めません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07050-E	指定したストレージシステムとの間に、MCU-RCU またはリモートパスは作成できません。	ストレージシステムの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07051-E	パラメータが指定されていません： Debug level "value"	Debug level 値を指定してください。
KAIC07052-E	指定した MCU ポートが Initiator ではありません。	論理パスの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07053-E	Debug level 値"< Debug level 値 >"が無効です。	Debug level は 0 (すべてのメッセージ)、1 (インフォメーション)、2 (ワーニング)、3 (エラー)、4 (致命的エラーだけ) のどれかを指定してください。
KAIC07054-E	Subscriber"< Subscriber ID >"の削除に失敗しました。	指定された Subscriber"topic"はありません。指定を見直してください。
KAIC07055-E	パラメータが指定されていません： Subscriber "topic"	Subscriber の topic を指定してください。
KAIC07056-E	Subscriber"< Subscriber ID >"の登録に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07057-E	パラメータが指定されていません： Network resource "IP Address"	Network resource の IP アドレスを指定してください。
KAIC07058-E	指定したストレージシステムとの間の MCU-RCU、またはリモートパスはすでに作成されているので、この操作を実行できません。	MCU-RCU、またはリモートパスの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07059-E	パラメータ"count"が無効です。一つしか指定できません。	"count"を見直してください。
KAIC07060-E	指定したポートは、変更できる組み合わせのポートでないので、この操作を実行できません。	ポートの指定を見直してから、再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07061-E	パラメータ"start"が無効です。一つしか指定できません。	"start"を見直してください。
KAIC07062-E	パラメータが指定されていません： Object "name"	オブジェクト名を指定してください。
KAIC07063-E	パラメータが指定されていません： Alert "number"または"source"	Alert "number"と"source"の両方の指定が必要です。
KAIC07064-E	親階層のストレージシステムが見つかりません。	ストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC07065-E	パラメータが指定されていません： storage system "arrayFamily"	ストレージシステムのアレイファミリーの指定を見直してください。
KAIC07066-E	指定した論理パスは、すでに RCU に登録されているので、この操作を実行できません。	論理パスの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07067-E	パラメータが指定されていません： storage system "searchCommunity"	ストレージシステムのパラメータ "searchCommunity"を指定してください。
KAIC07068-E	"objectID" が正しくありません。	オブジェクト ID の記述を見直してください。
KAIC07069-E	一つのストレージシステムのオブジェクトから論理グループを構成してください。	論理グループにオブジェクトを追加しようとしたが、一つの論理グループには一つのストレージシステムのオブジェクトしか追加できません。
KAIC07070-E	メッセージ"Topic"が無効です。	"Topic"を見直してください。
KAIC07071-E	パラメータ"name"が最大文字列長を超えました。	指定範囲を確認してください。
KAIC07072-E	指定した論理パスは設定されていません。	論理パスの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07073-E	リクエスト中に無効なパラメータがあります："<期待しているクラス名>"を期待していますが"<指定されたクラス名>"が指定されています。	顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KAIC07074-E	パラメータが指定されていません： PortController "ID"	ポートコントローラー ID を指定してください。
KAIC07075-E	パラメータが指定されていません： PortController "Mode"	ポートコントローラーのモードを指定してください。
KAIC07076-E	ポートコントローラのモードとしては無効な値です。	有効なポートコントローラーの値を指定してください。
KAIC07077-E	要求されたモードをファイバーポートでないポートコントローラで設定できません。	このリクエストはファイバーポートにだけ実行できます。
KAIC07078-E	要求されたポートコントローラにポートが見つかりません。	顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KAIC07079-E	ハイスピードモードに設定できません。ポート"<ポート 1ID >"およびポート"<ポート 2ID >"のホストモードが異なります。	ハイスピードモードを設定するにはポート"<ポート 1ID >"とポート"<ポート 2ID >"のホストモードを統一してください。
KAIC07080-E	ハイスピードモードに設定できません。ポート"<ポート 1ID >"およびポート"<ポート 2ID >"のトポロジを統一してください。	ハイスピードモードを設定するにはポート"<ポート 1ID >"とポート"<ポート 2ID >"のトポロジを統一してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07081-E	ハイスピードモードに設定できません。ポート"<ポート 1ID >" およびポート"<ポート 2ID >" のファイバーアドレスが同じです。	ハイスピードモードを設定するにはポート"<ポート 1ID >"とポート"<ポート 2ID >"のファイバーアドレスを異なる値にしてください。
KAIC07082-E	ハイスピードモードに設定できません。ポート"<ポート ID >" のトポロジは Point-To-Point です。	ハイスピードモードを設定するにはポート"<ポート ID >"のトポロジを FC-AL に変更してください。
KAIC07083-E	ハイスピードモードに設定できません。LDEV "<デバイス番号>" は、ポート"<ポート 1ID >" およびポート"<ポート 2ID >" の両ポートに割り当てられています。	ハイスピードモードを設定するには両ポートのどちらかの LDEV を解放してから再実行してください。
KAIC07084-E	要求されたポートには WWN はありません。	ポートの WWN の指定を見直してください。
KAIC07085-E	指定した PDEV 数はアレイグループの作成には不適切です。	一つアレイグループを作成するのに少なくとも二つの PDEV が必要です。
KAIC07086-E	指定されたホストモードはこのストレージシステムでは無効です。	ホストモードまたはストレージシステムを見直してください。
KAIC07087-E	パラメータが指定されていません： Rule "operation"	Rule のオペレーションを指定してください。
KAIC07088-E	パラメータが指定されていません： Rule "ruleType"	Rule の ruleType を指定してください。
KAIC07089-E	パラメータが指定されていません： Rule "target"	Rule の target を指定してください。
KAIC07090-E	パラメータが指定されていません： "groupName" を指定してください。	グループ名を見直してください。
KAIC07091-E	パラメータが指定されていません： User "role"	ユーザーの role を指定してください。
KAIC07092-E	role の値が不正です。	ユーザーの role を見直してください。
KAIC07093-E	無効なポートコントローラ番号が指定されました。	ポートコントローラ番号を見直してください。
KAIC07094-E	指定されたポートコントローラでハイスピードモードは利用できません。	指定されたポートコントローラでハイスピードモードはサポートされていません。
KAIC07095-E	ポートコントローラに無効なカード番号が指定されました。	カード番号として正しい値を指定してください。
KAIC07096-E	ポートに無効なトポロジが指定されました。	トポロジとして正しい値を指定してください。
KAIC07097-E	ポートに無効なファイバーアドレスが指定されました。	ファイバーアドレスとして正しい値を指定してください。
KAIC07098-E	MU 番号が登録できる最大数を超過しているため、この操作を実行できません。	不要なペアを削除してから、再実行してください。
KAIC07099-E	ポートに無効なチャネルスピードが指定されました。	チャネルスピードとして正しい値を指定してください。
KAIC07100-E	"portID"が指定できる範囲外です。指定範囲は"<Port ID 最小値>"-"<Port ID 最大値>"です。	有効範囲内で指定してください。
KAIC07101-E	"LDEV"が指定できる範囲外です。指定範囲は"<LDEV 最小値>"-"<LDEV 最大値>"です。	有効範囲内で指定してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07102-E	"LUN"が指定できる範囲外です。指定範囲は"<LUN 最小値(16進)> (<LUN 最小値>) "-"<LUN 最大値(16進)> (<LUN 最大値>)"です。	有効範囲内で指定してください。
KAIC07103-E	ポートがストレージシステム内に見つかりません。	ポートまたはストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC07104-E	LDEV "<デバイス番号>"がストレージシステム内に見つかりません。	LDEV またはストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC07105-E	LUN "<LUN >"がストレージシステム内に見つかりません。	LUN またはストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC07106-E	LDEV "<デバイス番号>"は Port "<Port 名>"がすでに使用しています。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07107-E	LUN "<LUN >"はすでに Port "<Port 名>"が使用しています。	LUN の指定を見直してください。
KAIC07108-E	指定された LDEV "<デバイス番号>"は OnDemand デバイスのため LUN に使用することはできません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07109-E	Path エlementの"devNum"アトリビュートおよび LDEV エlementがどちらも指定されていないためリクエストを処理できません。	リクエストを見直してください。
KAIC07110-E	指定された LUN にはホストのセキュリティが設定されているため削除できません。LUN を削除する前にその LUN に設定されている WWN セキュリティをすべて解除する必要があります。	セキュリティ設定を解除した後、再実行してください。
KAIC07111-E	WWN "<WWN >"を削除できません。ポートに指定された WWN はありません。	WWN と LUN が正しく指定されているかどうかを確認してください。
KAIC07112-E	ポート (portID="<ポート ID >") がストレージシステム内に見つかりません。	ポートまたはストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC07113-E	論理パスを最小パス数以下にすることはできません。	論理パスの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07114-E	LUN セキュリティの変更はできません。指定された LUN は LUN グループ"<LUN グループのニックネーム>"に属する LUN の一つです。	LUN グループを削除した後、再実行してください。
KAIC07115-E	LUN を解除することはできません。指定された LUN は LUN グループ"<LUN グループのニックネーム>"に属する LUN の一つです。	LUN グループを削除した後、再実行してください。
KAIC07116-E	指定したリモートパスが不正です。コントローラ 0 のポートを一つ、かつコントローラ 1 のポートを一つ指定する必要があります。	リモートパスの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07117-E	指定した WWN グループがポート "<ポート名>"上にないので、コマンドを実行できません。	正しい WWN グループとポートが指定されているかどうかを確認したあと、再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07118-E	指定した LUN グループがポート "<ポート名>" 上にないので、コマンドを実行できません。	正しい LUN グループとポートが指定されているかどうかを確認してください。
KAIC07119-E	HostInfo が参照している LUN はストレージシステム内に見つかりません。	LUN を見直してください。
KAIC07120-E	指定したホスト"<ホスト名またはオブジェクト ID >"はありません。	指定を見直してください。
KAIC07121-E	論理グループの要素を削除できません。指定された要素は論理グループに属していません。	オブジェクト ID を見直してください。
KAIC07122-E	指定のホスト"<ホスト名>" は既存のホストに使用されています。	ホスト名を変更して指定してください。
KAIC07123-E	指定された HostInfo はすでに Device Manager データベースに登録されています。	HostInfo の指定を見直してください。
KAIC07124-E	シリアル番号"<シリアル番号>" のストレージシステムは Device Manager データベースには見つかりません。	ストレージシステムのオブジェクト ID を見直してください。
KAIC07125-E	ホスト"<ホスト名>" を削除できません。指定されたホストは LUN に使用されている WWN を含んでいます。	ホストを削除する前に LUN セキュリティを解除してください。
KAIC07126-E	LDEV"<デバイス番号>"は<PP名 (VolumeMigration)>の予約ボリュームです。LUN には使用できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07127-E	パラメータが無効です： Filter"Condition VolumeKind"	Condition VolumeKind を見直してください。 有効な Condition VolumeKind は"MAINFRAME", "INTERMEDIATE", "OPEN"およびこれらを組み合わせたものです。
KAIC07128-E	LDEV"<デバイス番号>" はコマンドデバイスです。指定された LUN は削除できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07129-E	指定された WWN "00.00.00.00.00.00.00" は無効です。LUN にセキュリティを設定できません。	WWN の指定を見直してください。
KAIC07130-E	ポートタイプ"<ポートタイプ>" に対して LUN を追加できません。	ポートの指定を見直してください。
KAIC07131-E	指定された SCSI ID "<SCSI ID >" はストレージシステム内に見つかりません。	指定した SCSI ID を確認してください。
KAIC07132-E	ポートタイプ"<ポートタイプ>" のポートに対して本操作を実行することはできません。	ポートの指定を見直してください。
KAIC07133-E	指定できる WWN の最大数"<指定できる WWN の最大数>"を超えての指定はできません。	指定されたポートへこれ以上 WWN を追加できません。不要な WWN を削除した後、再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07134-E	指定された WWN"< WWN >" はホスト"<ホスト名>" ですすでに使用されています。	WWN の指定を見直してください。
KAIC07135-E	指定された PDEV"< PDEV-ID >" はすでに使用されています (role="< role >")。	PDEV の pdevID の指定を見直してください。
KAIC07136-E	PDEV"< PDEV-ID >" とアレイグループのシャーシが一致していません。	指定したアレイグループのシャーシと同じシャーシの PDEV を指定してください。
KAIC07137-E	LDEV は LUN が定義されているので削除できません。	LDEV を削除する前に LUN が削除されなければなりません。
KAIC07138-E	LUN が定義されているアレイグループは削除できません。	LDEV を削除する前に LUN が削除されなければなりません。
KAIC07139-E	パラメータ"chassis"は指定範囲外です。有効範囲は"<最小 chassis 数>"-"<最大 chassis 数>"です。	有効範囲は"0"-<最大 chassis 数>"です。
KAIC07140-E	指定されたポートコントローラは Device Manager データベースに見つかりません。	ポートコントローラーの指定を見直してください。
KAIC07141-E	アレイグループに設定できる個数は、"<最大 LDEV 数>"を超えることはできません。	LDEV を作成するには、不要な LDEV を削除するか、別のアレイグループを指定してください。
KAIC07142-E	スペアドライブの解除に失敗しました。PDEV "< PDEV ID >" はスペアドライブではないか、または使用中のスペアドライブです。	PDEV の指定を見直してください。
KAIC07143-E	この操作でスペアドライブ "<スペアドライブ ID >" を削除することはできません。	このスペアドライブを削除するにはアレイグループを削除してください。
KAIC07144-E	指定されたエミュレーションタイプは無効です。	サポートされていないエミュレーションタイプが指定されています。Device Manager サーバは OPEN エミュレーションを使用した LDEV だけを作れます。
KAIC07145-E	エミュレーションタイプに反する無効な容量が指定されました。	指定したエミュレーションタイプの有効範囲内の容量が指定されているかどうかを確認してください。
KAIC07146-E	指定されたアレイグループには十分な空領域がありません。	空き領域内の容量で指定してください。詳細は該当するストレージシステムのマニュアルを参照してください。
KAIC07147-E	シャーシに指定できるアレイグループの最大数"<アレイグループの最大数>"を超えています。	シャーシを見直してください。
KAIC07148-E	パラメータ"defaultPortController"は指定範囲外です。有効範囲は"<パラメーター最小値>"から"<パラメーター最大値>"です。	有効範囲は"<パラメーター最小値>"から"<パラメーター最大値>"です。
KAIC07149-E	Device Manager は指定されたポートコントローラ"<ポートコントローラ ID >" を認識できません。	ポートコントローラーの指定を見直してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07150-E	Device Manager は指定されたポート"<ポート名>"を認識できません。	ポートの指定を見直してください。
KAIC07151-E	指定されたストレージシステムが見つかりません。	ストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC07152-E	パラメータ"domainID"の値は指定範囲外です。有効な範囲は "<domainID 最小値>" から "<domainID 最大値>" です。	DomainID の指定を見直してください。
KAIC07153-E	DomainID "< DomainID >" はポート"<ポート ID >" にすでに使用されています。	DomainID の指定を変更してください。
KAIC07154-E	設定できる最大数"<ホストストレージドメイン最大数>"を超えるホストストレージドメインをポート"<ポート名>"に設定することはできません。	有効範囲内で指定してください。
KAIC07155-E	指定されたホストストレージドメイン (portID="<ポート ID >", domainID="<ドメイン ID >") は Device Manager データベース内に見つかりません。	ホストストレージドメインの指定を見直してください。
KAIC07156-E	パラメータが指定されていません : HostStorageDomain "objectID"	ホストストレージドメインのオブジェクト ID を指定してください。
KAIC07157-E	ModifyPort のリクエスト内に "HostMode" パラメータが指定されていません。	ホストストレージドメインのホストモードを指定してください。
KAIC07158-E	指定されたオブジェクトの"name"は削除できません。	objectID の指定を見直してください。
KAIC07159-E	このストレージシステムを管理している分割ストレージ管理者は、SLPR : "< SLPR 番号 >"に属するポート (portID="<ポート ID >") に対して構成を変更できません。	ポートの指定を見直してください。
KAIC07160-E	LUN セキュリティの変更はできません。指定された WWN は WWN グループ"< WWN グループ >"に属する WWN の一つです。	WWN グループを削除した後、再実行してください。
KAIC07161-E	パラメータが無効です : Filter"Condition type"	Condition type を見直してください。有効な Condition type は"ALL", "FREE", "ASSIGNED", "UNASSIGNED", "RESERVED"です。
KAIC07162-E	パラメータが指定されていません : "Port"	Port を指定してください。
KAIC07163-E	指定されたポートオプションは無効です。	サポートされていないポートオプションが指定されています。
KAIC07164-E	指定されたホストモード 2 は無効です。	サポートされていないホストモード 2 が指定されています。
KAIC07165-E	同一ポート下に異なる組み合わせのホストモードが指定されています。	指定されたストレージシステムは同一ポート下の異なる組み合わせのホストモードをサポートしていません。指定を見直してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07166-E	同一ポート下に異なる組み合わせのホストモード 2 が指定されています。	指定されたストレージシステムは同一ポート下の異なる組み合わせのホストモード 2 をサポートしていません。指定を見直してください。
KAIC07167-E	API Version が取得できませんでした。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07168-E	指定された WWN は対象"< target element >"にありません。	WWN の指定を見直した後、再実行してください。
KAIC07169-E	NAS のポートコントローラに対し、本操作は実行できません。	NAS のポートコントローラに対する操作はサポートしていません。
KAIC07170-E	指定されたユーザー ID は無効です。	有効なユーザー ID を指定してください。
KAIC07171-E	指定した LU は< PP 名(HRC)>/< PP 名(HMRCF)>で使用されているので削除できません。	LU の指定を見直してください。
KAIC07172-E	指定されたストレージシステムへこれ以上はコマンドデバイスを追加できません。	指定できるコマンドデバイスの最大数は二つです。不要なコマンドデバイスを削除した後、再実行してください。
KAIC07173-E	NAS のシステムボリューム (devNum="<デバイス番号>") に対し、本操作は実行できません。	NAS のシステムボリュームに対する操作をサポートしていません。
KAIC07174-E	指定されたエミュレーションタイプ"<エミュレーションタイプ>"で、指定されたサイズ"<指定サイズ> KB"より自動算出された作成容量は"<作成サイズ> KB"です。作成容量が"<下限サイズ> KB"-"<上限サイズ> KB"の範囲になるように指定し直してください。	指定したエミュレーションタイプの有効範囲内の容量が指定されているかどうかを確認してください。
KAIC07175-E	指定されたアレイグループには十分な空領域がありません。空き領域内の容量で指定してください。自動算出された作成容量は"<作成サイズ> KB"です。	空き領域内の容量で指定してください。
KAIC07176-E	パスが未設定の LU に対し、コマンドデバイスを設定できません。	パスの設定後、再び本操作を実行してください。
KAIC07177-E	コマンドデバイスが設定されている LU (devNum="<デバイス番号>") の最後のパスは解除できません。	コマンドデバイスを解除してから、パスを解除してください。
KAIC07178-E	指定されたコマンドオプションは無効です。	無効なコマンドオプションが指定されています。
KAIC07179-E	パラメータが正しくありません。domainID と WWN は同時に指定できません。	パラメーターを確認してください。
KAIC07180-E	LUSE 作成で、LDEV "<デバイス番号>" が重複して指定されています。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07181-E	パラメータが指定されていません：LogicalUnit "commandDevice"	LU のコマンドデバイスを指定してください。
KAIC07182-E	LU "<デバイス番号>" は< PP 名 (VolumeMigration)>の予約ボリュームです。コマンドデバイスには使用できません。	LU の指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07183-E	LU "<デバイス番号>" は LUSE が設定されています。コマンドデバイスには使用できません。	LU の指定を見直してください。
KAIC07184-E	指定した LU "<デバイス番号>" は <PP 名(HRC)>/<PP 名(HMRCF)> で使用されています。コマンドデバイスには使用できません。	LU の指定を見直してください。
KAIC07185-E	<PP 名(HRC)>/<PP 名(HMRCF)> で使用されている LU (devNum="<デバイス番号>") の最後のパスは解除できません。	パスの指定を見直してください。
KAIC07186-E	指定した LDEV のサイズが小さいためコマンドデバイスを作成できません。"<コマンドデバイスを作成できる LDEV の最小サイズ>"KB 以上の LDEV を指定してください。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07187-E	設定されているパスが LUSE を構成している代表以外の LDEV の場合、そのパスは削除できません。	次に示す手順を実行してください。 1. Disk Array Management Program または Storage Navigator Modular を使用して LUSE を構成している代表以外の LDEV に設定されているパスを削除してください。 2. Device Manager を使用してストレージシステムのリフレッシュを実行してください。
KAIC07188-E	<PP 名(HRC)>/<PP 名(HMRCF)> で使用されている LU のパスは解除できません。	パスの指定を見直してください。
KAIC07189-E	指定された LDEV に対する操作 "<操作>" をサポートしていません。	当操作はオープンボリュームにだけ実行できません。LDEV の指定を見直してください。
KAIC07190-E	指定された LU はすでにコマンドデバイスとして設定されているためコマンドを実行できません。	LU の指定を見直してください。
KAIC07191-E	指定された LU はコマンドデバイスではないためコマンドを実行できません。	LU の指定を見直してください。
KAIC07192-E	"<エレメント名>" のパラメータが不足しています。少なくとも "<アトリビュート名 1 >" と "<アトリビュート名 2 >" のどちらか一方を指定しなければいけません。	パラメーターの指定を見直してください。
KAIC07193-E	指定された LU にはすでにコマンドデバイスセキュリティが設定されているため、コマンドを実行できません。	LU の指定を見直してください。
KAIC07194-E	指定された LU にはコマンドデバイスセキュリティが設定されていないため、コマンドを実行できません。	LU の指定を見直してください。
KAIC07195-E	エミュレーションタイプが OPEN 以外の LU をコマンドデバイスにすることはできません。	LU の指定を見直してください。
KAIC07196-E	指定された LU "<デバイス番号>" はすでに "<PP 名(QuickShadow)>" "<QuickShadow のボリューム	LU の指定を見直してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	タイプ>"に設定されているためコマンドを実行できません。	
KAIC07197-E	アレイグループはドライブ種別が異なる PDEV では作成できません。	PDEV の指定を見直してください。
KAIC07198-E	指定された PDEV のドライブ種別では、RAID0 のアレイグループを作成できません。	PDEV の指定を見直してください。
KAIC07199-E	指定したオブジェクトはすでに論理グループ "<論理グループ名>" にあります。	オブジェクトの指定を見直してください。
KAIC07200-E	リクエストの実行に失敗しました。リクエスト中に空のメッセージ ID が含まれています。	GetRequestStatus は有効なメッセージ ID アトリビュートを要求しています。有効なメッセージ ID アトリビュートをリクエストに加えてから再実行してください。
KAIC07201-E	指定した外部ストレージシステムは同じ筐体なのでこの操作を実行できません。	指定を見直してください。
KAIC07202-E	リクエストの実行に失敗しました。メッセージ ID "<メッセージ ID >" が見つかりません。	メッセージ ID にはデータが格納されていません。データの受け取りは完了していると思われる。データの受け取りは完了していると思われる。Device Manager データベースを（例えば AddStorageArray など）アップデートしてみてください。
KAIC07203-E	指定された LU (devNum="<デバイス番号>"と devNum="<デバイス番号>") は通常のボリュームと"<PP名(QuickShadow)>"の V-VOL が混在しているため、コマンドを実行できません。	LU の指定を見直してください。
KAIC07204-E	指定したエミュレーションタイプをサポートしていません。	OPEN-V を指定してください。
KAIC07205-E	異なる組み合わせのパスグループ ID が指定されています。	指定を見直してください。
KAIC07206-E	リモートコマンドデバイスの場合、numOfLUs のパラメーターに"<LU 数>"は指定できません。	指定を見直してください。
KAIC07207-E	指定したポート"<ポート名>"と指定した外部ストレージシステムのポート (WWN = "<ポート WWN >") の組み合わせが不正なので、この操作を実行できません。	ポートと外部ストレージシステムのポートの指定を見直してください。
KAIC07208-E	指定したポート"<ポート名>"と指定した外部ストレージシステムのボリューム (LUN = "<LUN >") の組み合わせが不正なので、この操作を実行できません。	ポートと外部ストレージシステムのボリュームの指定を見直してください。
KAIC07209-E	交替パス同士で外部ボリュームが異なります。	交替パスの指定を見直してください。
KAIC07210-E	指定された ReplicationGroup はすでに Device Manager データベースに登録されています。	ReplicationGroup の指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07211-E	リクエストの実行に失敗しました。 リクエスト中の ReplicationGroup に objectID が指定されていません。	"<API名>"には ReplicationGroup の objectID アトリビュートが必要です。objectID をリクエストに追加してから再実行してください。
KAIC07212-E	リクエストの実行に失敗しました。 指定した ReplicationGroup オブジェクトがデータベースに存在しないか、または同じ IP アドレスを持つホストが複数登録されています。	リクエストを見直してから再実行してください。 指定した ReplicationGroup オブジェクトがデータベースに存在していてもリクエストの実行に失敗する場合、同じ IP アドレスを持つホストが複数登録されているおそれがあります。次の手順で対処してください。 1 不要なホストを削除します。 2 操作対象のストレージシステムの情報を更新します。 3 リクエストを再実行します。
KAIC07213-E	リクエストの実行に失敗しました。 リクエスト中の ReplicationInfo に objectID が指定されていません。	"<API名>"には ReplicationInfo の objectID アトリビュートが必要です。objectID をリクエストに追加してから再実行してください。
KAIC07214-E	リクエストの実行に失敗しました。 ReplicationInfo に指定されたオブジェクトはデータベースから見つかりませんでした。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07215-E	リクエストの実行に失敗しました。 指定された ReplicationGroup は Device Manager から扱えません。 ストレージシステムに対してリフレッシュを実行したあと、再実行してください。同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	対応するホストエージェントのプロパティファイルを確認してください。
KAIC07216-E	リクエストの実行に失敗しました。 指定された ReplicationInfo は指定された ReplicationGroup に含まれていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07217-E	指定されたコマンドオプションは無効です。"<オプションの数>"個指定されましたが最低"<必要とされるオプションの数>"個必要です。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07218-E	指定されたコマンドオプションは無効です。"<指定されたオプションの数>"個指定されましたが最大"<指定できるオプション数>"個しか受け付けません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07219-E	リクエストの実行に失敗しました。 指定された copyTrackSize "<指定されたコピー速度>"は無効な値です。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07220-E	指定されたレプリケーションコントローラペアは Device Manager データベースにありません。	レプリケーションコントローラペアの指定を見直してください。
KAIC07221-E	指定された LU (機種="<LUの機種>", 製造番号="<LUの製造番号>", デバイス番号="<LUのデバイス番号>") は、ホスト I/O 抑止モー	LU の指定を見直してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	ドが有効になっているため、ペアに使用することはできません。	
KAIC07222-E	指定した LU"<デバイス番号>"は<PP名(HRC)> <PP名(HMRCF)>で使用されています。LUSE ボリュームには使用できません。	LU の指定を見直してください。
KAIC07223-E	指定した LU"<デバイス番号>"は<PP名(HRC)> <PP名(HMRCF)>で使用されているので、LUSE ボリュームを削除できません。	LU の指定を見直してください。
KAIC07224-E	指定されたホストモードオプションは無効です。	ホストモードオプションの指定を見直してください。
KAIC07225-E	Host の objectID が指定されていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07226-E	指定した Host の objectID が不正です。	ペアを一括管理している host の objectID を指定してください。
KAIC07227-E	"<エレメント名>"の objectID は指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07228-E	指定した replicationOwnerHost は Device Manager データベースにありません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07229-E	"<エレメント名>"エレメントが指定されていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07230-E	指定された LDEV "<デバイス番号>"は保護されているため、コマンドを実行できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07231-E	指定された LDEV "<デバイス番号>"はパスが設定されているため、コマンドを実行できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07232-E	指定された LDEV "<デバイス番号>"は<PP名(VolumeMigration)>の予約ボリュームに設定されているため、コマンドを実行できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07233-E	指定された LDEV "<デバイス番号>"は LUSE ボリュームを構成している代表以外の LDEV であるため、コマンドを実行できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07234-E	指定された LDEV "<デバイス番号>"はペアを構成しているため、コマンドを実行できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07235-E	LDEV "<デバイス番号>"が重複して指定されています。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07236-E	パラメータが無効です： Filter"Condition host"	Condition host を見直してください。有効な Condition host は"ASSIGNED", "UNASSIGNED"です。
KAIC07237-E	LogicalUnit "<デバイス番号>" が重複して指定されています。	LogicalUnit の指定を見直してください。
KAIC07238-E	指定したストレージシステムでは、LogicalUnit をフォーマットしないで作成することはできません。	ストレージシステムの指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07239-E	クイックフォーマットの実行に必要な System Disk 領域がないためクイックフォーマットを実行できません。	System Disk 領域を作成してから、再実行してください。
KAIC07240-E	指定された LU は、他のストレージシステムからリモートコマンドデバイスとして利用されているため、コマンドを実行できません。	LU の指定を見直してください。
KAIC07241-E	指定された LDEV "<デバイス番号>"は<PP名(Dynamic Provisioning)>で使用されているため、コマンドを実行できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07242-E	LDEV "<デバイス番号>" はコマンドデバイスです。指定された LDEV は削除できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07243-E	LU "<デバイス番号>"は外部ボリューム、Pool ボリュームまたは Journal ボリュームのため、フォーマットを実行できません。	LU の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07244-E	オプションに<オプション名>と<オプション名>の両方を指定することはできません。	リクエストを見直してから、再実行してください。
KAIC07245-E	指定した外部ボリュームはコマンドデバイスです。LU の容量を指定する場合、外部ボリュームと同じ容量を指定する必要があります。	LU の指定を見直してください。
KAIC07246-E	ポート"<ポート名>"と外部ストレージシステムのポート (WWN = "<ポート WWN >") の組み合わせを二つ以上指定しているため、この操作を実行できません。	ポートと外部ストレージシステムのポートの指定を見直してください。
KAIC07247-E	ポートロール"<ポートロール>"のポートに対しては、この操作を実行できません。	ポートの指定を見直してください。
KAIC07248-E	指定した外部ボリュームはコマンドデバイスです。内部ボリュームへのマッピングが必要です。	指定を見直してください。
KAIC07249-E	リモートコマンドデバイスの場合、キャッシュモードを設定することはできません。	指定を見直してください。
KAIC07250-E	指定された<PP名 (VolumeMigration)>の移動プランに関する LDEV が、Device Manager データベースにありません。	指定を見直してください。
KAIC07251-E	指定した"<パラメータ名>"は、Device Manager のデータベース内にありません。名称が変更されたか、または Device Manager の管理対象から削除されたおそれがあります。指定した値を見直してから再実行してください。	指定した値を見直してから再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07252-E	指定された LDEV は LUSE が設定されています。 <PP 名 (VolumeMigration)> の予約ボリュームには使用できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07253-E	指定された VolumeMigration エレメントの objectID が不正です。	objectID の指定を見直してください。
KAIC07254-E	指定された LDEV にパスが設定されています。 <PP 名 (VolumeMigration)> の予約ボリュームには使用できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07255-E	指定された LDEV はコマンドデバイスです。 <PP 名 (VolumeMigration)> の予約ボリュームには使用できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07256-E	指定された LDEV は、すでに <PP 名 (VolumeMigration)> の予約ボリュームに設定されています。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07257-E	指定された LDEV は、 <PP 名 (VolumeMigration)> の予約ボリュームではありません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07258-E	リクエストの実行に失敗しました。 <PP 名 (VolumeMigration)> の予約ボリュームの設定および解除は同時に指定できません。	予約ボリュームの指定を統一してください。
KAIC07259-E	指定された <PP 名 (VolumeMigration)> の移動プランは、ストレージシステム ("<ストレージシステム機種>", "<シリアル番号>") にありません。	指定を見直してください。
KAIC07260-E	リクエストの実行に失敗しました。すべての VolumeMigration エレメントには同じ ownerID を指定する必要があります。	ownerID の指定を見直したあと、再実行してください。
KAIC07261-E	パラメータが不正です。リクエスト中の二つ以上の VolumeMigration エレメントで、同じ sourceDevNum "<sourceDevNum >" が指定されています。	VolumeMigration エレメントの sourceDevNum の指定を見直したあと、再実行してください。
KAIC07262-E	パラメータが不正です。リクエスト中の二つ以上の VolumeMigration エレメントで、同じ targetDevNum "<targetDevNum >" が指定されています。	VolumeMigration エレメントの targetDevNum の指定を見直したあと、再実行してください。
KAIC07263-E	リクエストで指定したオーナー ID が、ターゲットボリュームが持つオーナー ID と一致しません。	オーナー ID の指定を見直してください。
KAIC07264-E	リクエストの実行に失敗しました。VolumeMigration エレメントに ownerID を指定する必要があります。	VolumeMigration エレメントの ownerID には関係するターゲットボリュームのオーナー ID と同じ値を指定してください。
KAIC07265-E	リクエストの実行に失敗しました。指定されたソースボリュームとターゲット	ソースボリュームとターゲットボリュームは、エミュレーションタイプが同じのボリュームを指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ゲットボリュームのエミュレーションタイプが一致していません。	
KAIC07266-E	リクエストの実行に失敗しました。指定されたソースボリュームとターゲットボリュームのサイズが一致していません。	ソースボリュームとターゲットボリュームは、サイズが同じのボリュームを指定してください。
KAIC07267-E	リクエストの実行に失敗しました。指定されたボリュームは、通常ボリュームと CVS ボリュームの組み合わせです。	ソースボリュームとターゲットボリュームは、通常ボリューム同士または CVS ボリューム同士を指定してください。
KAIC07268-E	リクエストの実行に失敗しました。すべての LDEV で同じ hihsmOwnerID を指定する必要があります。	hihsmOwnerID の指定を見直したあと、再実行してください。
KAIC07269-E	指定された LDEV は保護されています。<PP名(<i>VolumeMigration</i>)>の予約ボリュームには使用できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07270-E	リクエストの実行に失敗しました。ペアを構成しているため<PP名(<i>VolumeMigration</i>)>の予約ボリュームには使用できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07271-E	リクエストの実行に失敗しました。パラメータ"<属性名>"に範囲外の値が指定されました。指定範囲は"<パラメータ指定最小値>"-<パラメータ指定最大値>"です。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07272-E	指定された LDEV はすでに CacheResidency に設定されているため使用できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07273-E	パラメータが正しくありません。: Filter "Condition hostType"	指定を見直してから再実行してください。
KAIC07274-E	ホストのオブジェクト ID またはホスト名と、ホストを選択するためのフィルターは、同時に指定できません。	指定を見直してから再実行してください。
KAIC07275-E	指定された LDEV は<PP名(<i>Dynamic Provisioning</i>)>で使用されているため、<PP名(<i>VolumeMigration</i>)>には使用できません。	ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを確認してください。
KAIC07276-E	指定された LDEV "<デバイス番号>" は<PP名(<i>Dynamic Provisioning</i>)>のプールに使用されているため、パスを設定することはできません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07277-E	Device Manager では、<PP名(<i>Dynamic Provisioning</i>)>で使用するボリュームの削除はできません。	LU の指定を見直してください。
KAIC07278-E	パラメーターが指定されていません。:<パラメーター>"	指定を見直してから再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07279-E	指定したユーザー ID, またはパスワードが長過ぎます。Device Manager からは, このユーザー ID/ユーザーパスワードで SMI-S プロバイダーへのアクセスはできません。ユーザー ID/ユーザーパスワードの長さを「1024」バイト以下で指定してから再実行してください。	ユーザー ID/ユーザーパスワードの指定を見直してから, 再実行してください。
KAIC07280-E	論理 DKC が異なる LDEV を指定しました。LUSE(devNum="<デバイス番号>")を作成できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07281-E	パラメータが正しくありません。: Filter "Condition portType"	指定を見直してから再実行してください。
KAIC07282-E	P-VOL と S-VOL の poolID が同一ではありません。	poolID の指定を見直してください。
KAIC07283-E	指定されたペア, または構成定義ファイルを作成するために必要なプールのストレージシステムに存在しません。(シリアル番号="<シリアル番号>", プール ID="<プール ID >")	コピーペアの作成に使用するプールの要件を確認したあと, 次のどちらかの対処をして再実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> • メッセージに表示された内容のプールを作成する。 • ストレージシステムにあるプールを指定し直す。
KAIC07284-E	リクエストの実行に失敗しました。同じレプリケーショングループ内のペアは, すべて同じプールを使用しなければなりません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07285-E	パラメーターが正しくありません。: "<パラメーター>"	パラメーターを見直してから再実行してください。
KAIC07286-E	コマンドデバイスが設定されていないので, この操作を実行できません。	コマンドデバイスを設定してから, 再実行してください。
KAIC07287-E	指定したスナップショットグループ ID は Device Manager のデータベースにありません。	スナップショットグループ ID の指定を見直してください。
KAIC07288-E	指定したポートはファイバチャネルポートでないので, この操作を実行できません。	ポートの指定を見直してから, 再実行してください。
KAIC07289-E	指定したポートが SLPR:0 のポートでないので, この操作を実行できません。	ポートの指定を見直してから, 再実行してください。
KAIC07290-E	指定された LDEV "<デバイス番号>"は"<PP 名(Dynamic Provisioning)>"のプールに使用されているため, コマンドを実行できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07291-E	指定したストレージシステムへこれ以上は DM-LU を追加できません。	不要な DM-LU を削除してから, 再実行してください。
KAIC07292-E	指定した LU の容量が"<LU のサイズ>"GB 未満なので, この操作を実行できません。	LU の指定を見直してから, 再実行してください。
KAIC07293-E	指定した LU は DM-LU として設定されていないので, この操作を実行できません。	LU の指定を見直してから, 再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07294-E	指定した LU は Device Manager データベースにありません。	LU の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07295-E	指定したリモートパスはファイバチャネル接続ではないので、この操作を実行できません。	リモートパスの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07296-E	実行したコマンドでは、指定したボリューム"<デバイス番号>"は使用できません。	Device Manager は、High Availability Manager または External Storage Availability Manager 機能で使用しているボリュームに対する操作をサポートしていません。指定したボリュームの High Availability Manager または External Storage Availability Manager 機能の構成を解除するか、指定を見直してから再実行してください。
KAIC07297-E	指定したペアは Device Manager から操作できません。	Device Manager は、High Availability Manager または External Storage Availability Manager 機能のペアの操作をサポートしていません。指定したペアの High Availability Manager または External Storage Availability Manager 機能の構成を解除するか、指定を見直してから再実行してください。
KAIC07298-E	指定した LU はすでに DM-LU として設定されているので、この操作を実行できません。	LU の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07299-E	指定したストレージシステム(IP アドレス="<IP アドレス>")のシリアル番号が、Device Manager に登録されているシリアル番号と異なります。保守作業などによって、シリアル番号が変更された可能性があります。(変更前シリアル番号="<変更前シリアル番号>", 変更後シリアル番号="<変更後シリアル番号>")	Device Manager から対象となっているストレージシステム情報を一旦削除したあと、ストレージシステム情報を再登録してください。
KAIC07300-E	timeToWait アトリビュートメッセージに負の数が設定されています。	有効範囲内で指定してください。
KAIC07301-E	Subscriber が登録されていません。	XML-API の AddSubscriber で Subscriber の登録をしてください。
KAIC07302-E	パラメータが指定されていません : URLLink request	URLLink の指定を見直してください。
KAIC07303-E	リクエストに書かれている URLLink はありません。	オプションおよび objectID の指定を見直してください。
KAIC07304-E	リクエストに objectID と linkedID の両方のパラメータが指定されました。	objectID または linkedID のどちらかを指定してください。
KAIC07305-E	URLLink リクエスト中の objectID は有効なストレージシステムを参照していません。	ストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC07306-E	SMI-S Enabled ストレージシステムから取得した URLLink は削除できません。	URLLink の指定を見直してください。
KAIC07307-E	<パラメーター名>に指定されたオブジェクトが見つかりません。	URLLink の指定を見直してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07308-E	Device Manager は、指定した Device Manager オブジェクトに対する URLLink の操作をサポートしていません。	URLLink の指定を見直してください。
KAIC07309-E	リクエストの実行に失敗しました。"groupName"に"All Resources"以外が指定されています。	ユーザーグループの指定を見直してください。
KAIC07310-E	Performance データの取得に使用するホストが指定されていません。	server.properties ファイルの server.cim.agent プロパティにホストを設定し、Device Manager サーバを再起動してから、再実行してください。
KAIC07311-E	Device Manager は指定されたホスト"<ホスト名>"を認識できません。	指定したホストを追加して再実行してください。
KAIC07312-E	パラメータには Port と LogicalUnit を同時に指定できません。	パラメーターを見直して再実行してください。
KAIC07313-E	パラメータに Port と LogicalUnit のどちらも指定されていません。	パラメーターを見直して再実行してください。
KAIC07314-E	指定されたストレージシステムは Performance データの取得をサポートしていないか、必要なマイクロバージョンを満たしていません。	パラメーターを見直して再実行してください。
KAIC07315-E	LogicalUnit 範囲 ("<LU 範囲下限>"~"<LU 範囲上限>") の指定方法に誤りがあります。	パラメーターを見直して再実行してください。
KAIC07316-E	指定したストレージシステムには<エレメント名>エレメントを複数指定できません。	リクエスト中のエレメントの指定を見直したあと、コマンドを再実行してください。
KAIC07317-E	<パラメーター名>パラメーターと同時に、複数の<エレメント名>エレメントを指定できません。	リクエスト中のエレメントの指定を見直したあと、コマンドを再実行してください。
KAIC07318-E	指定したユーザーは複数のユーザーグループに属するため、この操作を実行できません。	複数のユーザーグループに属するユーザーに対しては操作できません。
KAIC07319-E	指定したユーザーは Built-in user group に属していないため、この操作を実行できません。	Built-in user group に属していないユーザーに対しては操作できません。
KAIC07320-E	指定されたストレージシステムは DF シリーズの Performance データの取得をサポートしていません。	パラメーターを見直して再実行してください。
KAIC07321-E	指定したラベル"<ラベル>"は不正です。ラベルは<ラベルの最大長>バイト以下で指定してください。	指定したラベルを見直してから再実行してください。
KAIC07322-E	指定したラベル"<ラベル>"は不正です。空文字は指定できません。	指定したラベルを見直してから再実行してください。
KAIC07323-E	指定したラベル"<ラベル>"は不正です。使用できない文字が含まれています。	指定したラベルを見直してから再実行してください。ラベルに使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, '!', '~', '^', '!', '@', '#', '\$', '%', '&', '(', ')', '_', '+', '-', '=', '{', '}', '[', ']', '!', '!'。
KAIC07324-E	同じ LDEV が指定されたエレメントが複数あります。	LDEV の指定を見直してから再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07325-E	指定した LDEV にはすでにラベルが与えられています。	LDEV の指定を見直してから再実行してください。
KAIC07326-E	パラメータが指定されていません： ObjectLabel "targetID"	ObjectLabel の targetID を指定してから再実行してください。
KAIC07327-E	パラメータが指定されていません： ObjectLabel "label"	ObjectLabel のラベルを指定してから再実行してください。
KAIC07328-E	指定した LDEV は単一のストレージシステムのものではありません。	LDEV の指定を見直してから再実行してください。
KAIC07329-E	ユーザーの権限の変更に失敗しました。指定したユーザーの権限が不正な状態になったおそれがあります。該当するユーザーをいったん削除したあと、登録し直してください。	該当するユーザーをいったん削除したあと、登録し直してください。
KAIC07330-E	パラメータが不正です。User エレメントの"groupName"は指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07331-E	指定したホストストレージドメイン (portID="<ポート ID >", domainNickname="<ドメインニックネーム >") は Device Manager データベース内に見つかりません。	ホストストレージドメインの指定を見直してください。
KAIC07332-E	パラメーターが正しくありません。domainID と domainNickname は同時に指定できません。	パラメーターを確認してください。
KAIC07333-E	パラメーターが正しくありません。domainNickname と WWN は同時に指定できません。	パラメーターを確認してください。
KAIC07334-E	パラメーターが正しくありません。"<パラメーター 1 >"と"<パラメーター 2 >"は同時に指定できません。エレメント："<エレメント >"	リクエストを確認してください。
KAIC07335-E	パラメーターが指定されていません。エレメント："<エレメント >", パラメーター："<パラメーター >"	リクエストを確認してください。
KAIC07336-E	パラメーターが正しくありません。"<エレメント >"エレメントの"<パラメーター >"属性と"<エレメント >"エレメントは同時に指定できません。	リクエストを確認してください。
KAIC07337-E	hostType が"<ホストタイプ >"であるホストに対して、コマンドオプション"<オプション名 >"は指定できません。	指定するホストを見直してください。
KAIC07338-E	指定したペアはコンシステンシーグループに属するため、この操作を実行できません。	ペアを追加する場合は、別のスナップショットグループを選択してください。それ以外の場合は、指定したペアを追加した時に使用した管理ツールからペア操作をしてください。
KAIC07339-E	指定したプールのプール ID が不正です。	<PP 名 >用プールのプール ID を指定してください。
KAIC07340-E	指定した LDEV "<デバイス番号 >"は LUSE を構成しているため、コマンドを実行できません。	LDEV の指定を見直してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07341-E	Device Manager では、<PP名 (Dynamic Provisioning)>で使用するボリューム (devNum="<デバイス番号>") のサイズを変更できません。	LU の指定を見直してください。
KAIC07342-E	LU "<デバイス番号>" に指定した容量が不正です。現在の容量より小さな値を指定してください。	容量を指定し直してから、再実行してください。
KAIC07343-E	DM-LU を拡張できません。指定した拡張先パリティグループのドライブ種別"<ドライブ種別>"が DM-LU の属するパリティグループのドライブ種別"<ドライブ種別>"と異なります。ドライブ種別が同じになるように指定してください。	ドライブ種別が 1 種類以内になるように指定を見直してから、再度実行してください。
KAIC07344-E	DM-LU を拡張できません。指定した拡張先パリティグループのフォームファクタ"<フォームファクタ>"が DM-LU の属するパリティグループのフォームファクタ"<フォームファクタ>"と異なります。フォームファクタが同じになるように指定してください。	指定を見直してから、再度実行してください。
KAIC07345-E	DM-LU の拡張回数が最大数に達するため、DM-LU を拡張できません。	指定を見直してから、再度実行してください。
KAIC07346-E	DM-LU を拡張できません。指定した拡張先パリティグループの回転数"<回転数>"が DM-LU の属するパリティグループの回転数"<回転数>"と異なります。回転数が同じになるように指定してください。	指定を見直してから、再度実行してください。
KAIC07347-E	DM-LU を拡張できません。指定した拡張先パリティグループの暗号化状態が DM-LU の属するパリティグループの暗号化状態と異なります。暗号化状態が同じになるように指定してください。	指定を見直してから再実行してください。
KAIC07348-E	指定したペア (P-VOL :<P-VOL デバイス番号>, S-VOL :<S-VOL デバイス番号>) はスナップショットグループに属していないため、この操作を実行できません。	スナップショットグループを指定してください。
KAIC07349-E	指定した LU はすでにコマンドデバイスのユーザー認証モードが有効になっているため、コマンドを実行できません。	LU の指定を見直してください。
KAIC07350-E	このストレージシステムでは LUSE 機能はサポートされていません。	このストレージシステムでは LUSE は未サポートです。指定を見直してください。
KAIC07351-E	LUSE 作成にはそれぞれの LDEV が同じ "<アトリビュート名>" でなければなりません。要求された LDEV の "<アトリビュート名>" は "<値 1 >" (devNum="<デバイス番号>")	LUSE を構成する LDEV の "type" は同じものを指定してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	と "<値 2 >" (devNum="<デバイス番号>") です。	
KAIC07352-E	この API バージョンでは、LUSE 作成で、LUSE を構成する LDEV を指定することはできません。	API サポートバージョンを確認してください。
KAIC07353-E	指定した LDEV "<LDEV ID (devNum) >" は <PP 名 (VolumeMigration)> の予約ボリュームです。LUSE には使用できません。	LUSE を構成する LDEV の指定を見直したあと、再実行してください。
KAIC07354-E	LDEV "<LDEV ID (devNum) >" は LUN なので、LUSE には使用できません。	LUSE を構成する LDEV の指定を見直してください。
KAIC07355-E	指定した LU はコマンドデバイスのユーザー認証モードが無効になっているため、コマンドを実行できません。	LU の指定を見直してください。
KAIC07356-E	LUSE (devNum="<デバイス番号>") に含まれる LDEV 数は "<最小 LDEV 数>" - "<最大 LDEV 数>" の範囲内であればなりません。	LUSE を構成する LDEV の指定を見直してください。
KAIC07357-E	トランスポート層からのレスポンスデータが見つかりません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07358-E	指定した LDEV "<LDEV ID (devNum) >" は RAID0 です。RAID0 の LDEV では LUSE を作成できません。	LUSE を構成する LDEV の指定を見直してください。
KAIC07359-E	Device Manager はこのストレージシステムのマイクロコード"<マイクロコードバージョン>"での LUSE 操作をサポートしていません。	ストレージシステムに含まれるソフトウェアのバージョンを確認してください。
KAIC07360-E	指定した LDEV (devNum="<デバイス番号>" と devNum="<デバイス番号>") はデフォルトコントローラーが異なるため、LUSE を作成できません。	LUSE を構成する LDEV の指定を見直してください。
KAIC07361-E	Device Manager では、このストレージシステムのマイクロコード"<マイクロコードバージョン>"で LUSE を操作する場合、LDEV "<LDEV の devNum >"を代表 LDEV にする必要があります。	LUSE を構成する LDEV の指定を見直してください。
KAIC07362-E	LUSE 作成では、LUSE (devNum="<デバイス番号>") のサイズを"<LUSE サイズの最大値> TB"未満にしなければなりません。指定されたサイズは"<LUSE のサイズ> KB"です。	LUSE を構成する LDEV の指定を見直してください。
KAIC07363-E	LDEV は LUSE が定義されているので削除できません。	LDEV を削除する前に LUSE が削除されなければなりません。
KAIC07364-E	指定した LDEV (devNum="<デバイス番号>") のエミュレーションタイ	指定を見直してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	ブが OPEN 以外なので LUSE を作成することはできません。	
KAIC07365-E	ペアの削除に失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07366-E	指定した LDEV (devNum="＜デバイス番号＞"と devNum="＜デバイス番号＞") はドライブ種別が異なるので、LUSE は作成できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07367-E	指定した LDEV "＜デバイス番号＞"は＜ <i>Dynamic Provisioning</i> ＞で使用されているため、LUSE には使用できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07368-E	LUSE を作成できません。指定した LDEV (devNum="＜デバイス番号＞"および devNum="＜デバイス番号＞") が属するパリティグループのフォームファクタが異なります。パリティグループのフォームファクタが同じ LDEV で、LUSE を作成してください。	組み合わせる LDEV が属するパリティグループのフォームファクタが同じになるように、LDEV を指定し直してください。
KAIC07369-E	指定したスナップショットグループ名は Device Manager データベースにありません。	スナップショットグループ名の指定を見直してください。
KAIC07370-E	ストレージシステム ("＜ストレージシステム機種＞", "＜シリアル番号 (非公開) ＞") は Device Manager の管理対象外です。	対処の必要はありません。
KAIC07371-E	指定したプール名 "＜プール名＞" は不正です。プール名は <プール名の最大長> バイト以下で指定してください。	指定したプール名を見直してから再実行してください。
KAIC07372-E	指定したプール名 "＜プール名＞" は不正です。使用できない文字が含まれています。	指定したプール名を見直してから再実行してください。
KAIC07373-E	指定したプール名は不正です。プール名には 1 バイト以上、<プール名の最大長> バイト以下で文字列を指定してください。	指定したプール名を見直してから再実行してください。
KAIC07374-E	指定したプール名 "＜プール名＞" は、ほかのプール (プール ID : <プール ID >) で使用されています。別のプール名を指定してから再実行してください。	別のプール名を指定してから再実行してください。
KAIC07375-E	指定した LDEV が属するストレージシステムに対して、コマンドオプション 2"＜コマンドオプション名＞"は指定できません。指定した LDEV が属するストレージシステムと、コマンドオプションを見直してから再実行してください。	指定した LDEV の属するストレージシステムと、コマンドオプションを見直してから再実行してください。
KAIC07376-E	指定したプールが属するストレージシステムに対して、コマンドオプション 2"＜コマンドオプション名＞"は指	指定したプールが属するストレージシステムと、コマンドオプションを見直してから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	定できません。指定したプールが属するストレージシステムと、コマンドオプションを見直してから再実行してください。	
KAIC07377-E	ストレージシステムから取得した LDEV のラベルに、使用できない文字が含まれていたため、対象の LDEV (DevNum : < DevNum >) のラベルを更新しませんでした。Element Manager を使用して対象の LDEV のラベルを確認してください。必要に応じて、ラベルを変更してください。	Element Manager を使用して対象の LDEV のラベルを確認してください。必要に応じて、ラベルを変更してください。ラベルに使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, '!', '~', '^', '@', '#', '\$', '%', '&', '(', ')', '_', '+', '-', '=', '{', '}', '[', ']', '!', '.',
KAIC07378-E	ストレージシステムから取得した プール名に、使用できない文字が含まれていたため、対象のプール (プール ID : < プール ID >) のプール名を更新しませんでした。Element Manager を使用して対象のプール名を確認してください。必要に応じて、プール名を変更してください。	Element Manager を使用して対象のプール名を確認してください。必要に応じて、プール名を変更してください。プール名に使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, '!', '~', '^', '@', '#', '\$', '%', '&', '(', ')', '_', '+', '-', '=', '{', '}', '[', ']', '!', '.',
KAIC07379-E	指定したストレージシステムに対して、コマンドオプション"<コマンドオプション名>"は指定できません。コマンドオプションを見直してから再実行してください。	指定したコマンドオプションを見直してから再実行してください。
KAIC07380-E	パラメータが正しくありません: "<エレメント>", "<不正パラメータ>"	エレメント中のパラメーター指定を見直してください。
KAIC07381-E	ConfigurationChange エレメントの type 属性に不正な値 "< type 属性 >" が指定されました。	type 属性の値を確認してください。
KAIC07382-E	対象の LDEV(DevNum : < DevNum >) のラベルをストレージシステムに反映できません。ラベルに使用できない文字が含まれています。ラベルを変更してください。	ラベルを変更してください。ラベルに使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, '!', '~', '^', '@', '#', '\$', '%', '&', '(', ')', '_', '+', '-', '=', '{', '}', '[', ']', '!', '.',
KAIC07383-E	対象の LDEV(DevNum : < DevNum >) のラベルをストレージシステムに反映できません。ラベルが長過ぎます。ラベルの長さが < ラベルの最大長 > バイト以下になるように変更してください。	ラベルを変更してください。
KAIC07384-E	対象のプール(プール ID : < プール ID >) のプール名をストレージシステムに反映できません。プール名に使用できない文字が含まれています。プール名を変更してください。	プール名を変更してください。プール名に使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, '!', '~', '^', '@', '#', '\$', '%', '&', '(', ')', '_', '+', '-', '=', '{', '}', '[', ']', '!', '.',
KAIC07385-E	対象プール(プール ID:<プール ID >) のプール名をストレージシステムに反映できません。プール名が長過ぎます。プール名の長さが < プール名の最大長 > バイト以下になるように変更してください。	プール名を変更してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07386-E	指定した LDEV (<LDEV ID(devNum)>) は Device Manager データベースにないため、操作できません。	指定を見直したあと、再実行してください。
KAIC07387-E	指定した LDEV (<LDEV ID(devNum)>) にはすでに仮想 LDEV ID が設定されているため、操作できません。	指定を見直したあと、再実行してください。
KAIC07388-E	ボリューム (<LDEV ID(devNum)>) はプールボリュームのため、指定した操作はできません。	ボリュームの指定を見直したあと、再実行してください。
KAIC07389-E	指定したペアの作成に必要なプールがストレージシステムにありません。(シリアル番号=<シリアル番号>, プール ID=<プール ID >)	コピーペアの作成に使用するプールの要件を確認したあと、次のどちらかの対処をしてから再実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> メッセージに表示されたシリアル番号とプール ID のプールを作成する。 ストレージシステムにあるプールを指定し直す。
KAIC07390-E	指定したストレージシステムはセキユア通信をサポートしていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07391-E	リクエストの実行に失敗しました。指定した通信プロトコルの内容が不正です。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07392-E	ボリューム (<LDEV ID(devNum)>) はジャーナルボリュームのため、指定した操作はできません。	ボリュームの指定を見直したあと、再実行してください。
KAIC07393-E	ボリューム (<LDEV ID(devNum)>) は LUSE を構成しているため、指定した操作はできません。	ボリュームの指定を見直したあと、再実行してください。
KAIC07394-E	ボリューム (<LDEV ID(devNum)>) は LU パスが設定されているため、指定した操作はできません。	ボリュームの指定を見直したあと、再実行してください。
KAIC07395-E	ボリューム (<LDEV ID(devNum)>) はコマンドデバイスのため、指定した操作はできません。	ボリュームの指定を見直したあと、再実行してください。
KAIC07396-E	ボリューム (<LDEV ID(devNum)>) はオープンボリュームでないため、指定した操作はできません。	ボリュームの指定を見直したあと、再実行してください。
KAIC07397-E	ボリューム (<LDEV ID(devNum)>) はエミュレーションタイプが<エミュレーションタイプ>でないため、指定した操作はできません。	ボリュームの指定を見直したあと、再実行してください。
KAIC07398-E	ボリューム (<LDEV ID(devNum)>) は仮想 ID を用いたデータ移行中のボリュームのため、指定した操作はできません。	ボリュームの指定を見直すか、仮想 ID を用いたデータ移行を終了したあと、再実行してください。
KAIC07399-E	ボリューム (<LDEV ID(devNum)>) はストレージシステム内のリソースグループ (<リソースグループ ID >) に所属しているため、指定した操作はできません。	ストレージシステム内のリソースグループ (ID: 0) のボリュームを指定するか、Element Manager でリソースグループから指定したボリュームを除いてください。そのあと、ストレージシステムの情報を更新し、再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07400-E	Device Manager と連携しているソフトウェアから取得した情報を更新しているときに、エラーが発生しました。Device Manager と連携しているソフトウェアの環境に問題があるおそれがあります。詳細情報：“<詳細情報>”	Device Manager と連携しているソフトウェアの環境を見直し、再度実行してください。
KAIC07401-E	ホストの IP アドレスが解決できませんでした。	ホストエージェントの設定、およびホストの環境を見直ししてください。エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07402-E	ボリューム (<LDEV ID(devNum)>) は指定したリソースグループ (<リソースグループ ID >) に所属していないため、指定した操作はできません。	ボリュームの指定を見直したあと、再実行してください。
KAIC07403-E	ボリューム (<LDEV ID(devNum)>) はストレージシステム内のリソースグループ (<リソースグループ ID >) と登録対象リソースグループ (<リソースグループ ID >) のどちらにも所属していないため、指定した操作はできません。	ボリュームの指定を見直したあと、再実行してください。
KAIC07404-E	指定した仮想 LDEV (<仮想 LDEV ID(vdevNum)>) は、仮想 ID を用いたデータ移行に使用しているリソースグループ内ですでに割り当てられているため、指定した操作はできません。	仮想 LDEV の指定を見直したあと、再実行してください。
KAIC07405-E	指定したストレージシステムは暗号化プールの作成をサポートしていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07406-E	指定したストレージシステムは暗号化パリティグループの作成をサポートしていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07407-E	指定した PDEV (<PDEV ID >) は暗号化されています。リクエストを見直して再実行してください。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07408-E	指定した LDEV (devNum="<LDEV ID(devNum)>"と devNum="<LDEV ID(devNum)>") は暗号化状態が異なるため、LUSE を作成できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07409-E	スナップショットグループ名が誤っています。次の文字を用いて 32 文字以下で指定してください。0-9 a-z A-Z, . / : @ ¥ _	入力したスナップショットグループ名を見直ししてください。
KAIC07410-E	すでにホスト情報の更新処理中のため、ホスト情報の更新に失敗しました。	ホスト情報の更新を再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07411-E	ホストへの設定処理中のため、ホスト情報の更新に失敗しました。	ホスト情報の更新を再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC07412-E	ほかの処理がホスト情報にアクセス中のため、ホスト情報の更新に失敗しました。	ホスト情報の更新を再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC07413-E	ホスト情報の更新が中断されました。	Device Manager サーバがシャットダウン中のおそれがあります。Device Manager サーバの状態を確認したあと、再度実行してください。
KAIC07414-E	指定されたホスト"<ホスト名>"の Host type が External ポートであるため、削除できません。	ホストの指定を見直してください。
KAIC07415-E	指定されたホスト"<ホスト名>"の Host type が External ポートであるため、WWN の変更はできません。	ホストの指定を見直してください。
KAIC07416-E	hostType が"<ホストタイプ>"であるホストに対して、AddHostRefresh を実行できません。	指定するホストを見直してください。
KAIC07417-E	ファイルサーバに対して、"<変更しようとした情報>"の変更はできません。	指定するホストを見直してください。
KAIC07418-E	指定したホスト"<ホスト名>"が仮想化サーバであるため、iSCSIName の設定はできません。	指定したホストを変更するか、または iSCSIName を設定しないで再実行してください。
KAIC07419-E	指定したホスト"<ホスト名>"が仮想化サーバであるため、OS 名の設定はできません。	指定したホストを変更するか、または OS 名を設定しないで再実行してください。
KAIC07420-E	メインフレームホストには、WWN を追加できません。	指定するホストを見直してください。
KAIC07421-E	指定したホストタイプ"<ホストタイプ>"は不正です。	ホストタイプの指定を見直してください。
KAIC07422-E	この API では、指定したホスト"<ホスト名>"の情報を変更できません。	指定するホストを見直してください。
KAIC07423-E	指定したホスト"<ホスト名>"は、ホストタイプが<ホストタイプ>、データ取得元種別が<データ取得種別>であるため、ホストを移行できません。	指定ホストをサポート対象のホストに変更してから、再実行してください。
KAIC07424-E	指定したホスト"<ホスト名>"には WWN と iSCSI ネームのどちらも存在しません。	ホストの指定を見直してください。
KAIC07425-E	ホスト"<ホスト名またはオブジェクト ID >"が重複して指定されています。	ホストの指定を見直してください。
KAIC07426-E	移行先ホストと移行元ホストに同じホストが指定されています。	ホストの指定を見直してください。
KAIC07427-E	すでにクラスタ情報の更新処理中のため、クラスタ情報の更新に失敗しました。	クラスタ情報の更新を再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC07428-E	クラスタへの設定処理中のため、クラスタ情報の更新に失敗しました。	クラスタ情報の更新を再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC07429-E	ほかの処理がクラスタ情報にアクセス中のため、クラスタ情報の更新に失敗しました。	クラスタ情報の更新を再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC07430-E	クラスタ情報の更新が中断されました。	Device Manager サーバがシャットダウン中のおそれがあります。Device Manager サーバの状態を確認したあと、再度実行してください。
KAIC07431-E	指定した WWN"<WWN >"はホスト"<ホスト名 >"ですすでに使用されています。指定したホストでこの WWN を利用する場合は、takeOverWWN オプションを指定してから、再実行してください。	WWN の指定を見直すか、または takeOverWWN オプションを指定してから、再実行してください。
KAIC07432-E	指定したホスト"<ホスト名 >"を仮想化サーバに変更する場合、現在設定されている iSCSI ネームを破棄する必要があります。iSCSINameDiscard オプションを指定してから、再実行してください。	ホストの指定を見直すか、または iSCSINameDiscard オプションを指定してから、再実行してください。
KAIC07433-E	指定した IP アドレス(<IP アドレス >) で検出されたホストは、仮想化サーバではありません。	ホストの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07434-E	この API バージョンでは仮想化サーバに対して、AddHostRefresh コマンドを実行できません。	API サポートバージョンを確認してください。
KAIC07435-E	指定した仮想化サーバの情報が不整合になっています。仮想化サーバをリフレッシュしてから再実行してください。	仮想化サーバをリフレッシュしてから再実行してください。
KAIC07436-E	指定した仮想化サーバを更新中です。しばらく待ってから実行してください。	しばらく待ってから実行してください。
KAIC07437-E	ホストの更新機能は、手動で追加した仮想化サーバへの操作をサポートしていません。(ホスト名 = "<ホスト名 >")	対象ホストが更新操作をサポートしていないため、対処の必要はありません。
KAIC07438-E	仮想化サーバは iSCSI をサポートしていないため、統合先ホストに仮想化サーバを指定する場合は、統合元ホストに設定されている iSCSI ネームを削除する必要があります。iSCSINameDiscard オプションを指定してから、再実行してください。	iSCSINameDiscard オプションを指定してから、再実行してください。
KAIC07439-E	指定したホスト"<ホスト名 >"には WWN がありません。	指定したホストに WWN を設定してから、再実行してください。
KAIC07440-E	内部エラーが発生しました。ホストエージェントから得た情報からレブ	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	リケーションの情報を作成できませんでした。	
KAIC07441-E	内部エラーが発生しました。ホストエージェントが指定する LogicalUnit がデータベースに見つかりませんでした。	ストレージシステム ("<ストレージシステム機種>", "<シリアル番号>") のリフレッシュを行ってください。またはホストエージェントの状態を確認してください。
KAIC07442-E	指定した CLPR 番号"< CLPR 番号 >"は、すでに該当するボリュームに設定されているため、指定できません。	CLPR 番号の指定を見直してください。
KAIC07443-E	指定した CLPR 番号"< CLPR 番号 >"はストレージシステムにありません。	CLPR 番号の指定を見直してください。
KAIC07444-E	Device Manager では、割り当て済みボリューム (DevNum = < DevNum >) に対して CLPR 番号を設定できません。Element Manager または Storage Navigator を使用してください。	Element Manager または Storage Navigator を使用して、CLPR 番号を設定し直してください。
KAIC07445-E	パラメーターが正しくありません。CLPR 番号とほかのパラメーターは同時に指定できません。	パラメーターを指定し直したあと、再実行してください。
KAIC07446-E	パラメーターが不足しています。次のどれかのアトリビュートを指定してください。:<アトリビュート名 1 >"	パラメーターを指定し直したあと、再実行してください。
KAIC07447-E	指定したストレージシステム ("<モデル名>", "<シリアル番号>") のコマンドデバイスのユーザー認証が実施されていないため、操作に失敗しました。	Device Manager エージェント上で認証したあと、再実行してください。
KAIC07448-E	指定したストレージシステム ("<モデル名>", "<シリアル番号>") のコマンドデバイスのユーザー認証モードが設定されていないため、操作に失敗しました。	コマンドデバイスのユーザー認証モードを有効にして、Device Manager エージェント上で認証したあと、再実行してください。
KAIC07449-E	ベアの操作に失敗しました。エラーの詳細:<エラーの詳細>"	エラーが繰り返し発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC07450-E	内部エラーが発生しました。P-VOL または S-VOL である LogicalUnit 情報の取得に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KAIC07452-E	内部エラーが発生しました。ホストエージェントにアクセスするための情報を取得できませんでした。	顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KAIC07453-E	アクセスするホストエージェントを探している最中に内部エラーが発生しました。ポート"<ポート番号>"がありません。	顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KAIC07454-E	内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07456-E	ホストエージェントサーバ"<ホストエージェントの URL >"の"<open または close >"操作に失敗しました。次の応答が返されました。"<ホストエージェントからのレスポンス内容 >"。	ホストエージェントの状態を確認してください。ホストエージェントに異常がない場合、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC07457-E	ホストエージェント"<ホストエージェントの URL >"と通信している最中に障害が発生しました。	ネットワーク接続、およびホストエージェントの状態を確認してください。エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC07458-E	内部エラーが発生しました。ホストエージェントへのリクエストの作成に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC07459-E	ホストエージェントサーバの IP アドレスを解決できませんでした。	ホストエージェントサーバの IP アドレスが有効であるかどうか確認してください。
KAIC07460-E	アクセス先ホスト"<ホスト名 >"は、Device Manager に登録されているホスト"<ホスト名 >"とは異なります。	Device Manager に登録しているホスト名、およびホストエージェントの IP アドレスが正しいことを確認してください。
KAIC07461-E	ホストエージェントへのリクエストの実行に失敗しました。エラーの詳細："<エラーメッセージ >"。	ネットワーク接続、およびホストエージェントの状態を確認してください。エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC07462-E	ホスト"<ホスト名 >"にインストールされているホストエージェントのバージョンは、"<ホストエージェントのバージョン >"です。本機能の実行には、バージョン"<必要なバージョン >"以上のホストエージェントが必要です。	ホストの環境を見直してください。
KAIC07463-E	ボリューム(DevNum = < DevNum >)の構成が変更されているため、指定した階層プロファイルの操作が実行できません。階層プロファイルを更新してください。	階層プロファイルを更新してください。
KAIC07464-E	階層プロファイル(<階層プロファイルの名前 >)は、指定した操作を実行できない状態です。階層プロファイルの状態を見直してください。	階層プロファイルの状態を見直してください。
KAIC07465-E	階層プロファイル(<階層プロファイルの名前 >)を用いた操作が実行中です。実行中の操作が完了してから実行してください。	実行中の操作が完了してから実行してください。
KAIC07466-E	階層プロファイルの操作を実行中に予期しないエラーが発生しました。	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC07467-E	指定したボリュームの属するストレージシステム (<ストレージシステム名 >) は、階層プロファイルの操作をサポートしていません。ストレージシステムの種別、およびマイクロコードのバージョンを確認してください。	ストレージシステムの種別、およびマイクロコードのバージョンを確認してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07470-E	リクエストの実行に失敗しました。再実行してください。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07471-E	一覧表示用情報の更新に失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07472-E	ストレージシステム情報 ("<ストレージシステム名>") が不整合になっています。ストレージシステムをリフレッシュしてから再度実行してください。	ストレージシステムをリフレッシュしてから再度実行してください。
KAIC07473-E	ストレージシステム情報 ("<ストレージシステム名>") を更新中です。しばらく待ってから実行してください。	しばらく待ってから実行してください。
KAIC07474-E	パラメータ"<属性名>"の値は有効範囲外です。有効範囲は"<最小値>"から"<最大値>"です。	有効な値を指定してください。
KAIC07475-E	(startElementNum + numOfElements)の合計値は有効範囲外です。有効範囲は"<最小値>"から"<最大値>"です。	有効な値を指定してください。
KAIC07476-E	リクエスト中の"<エレメント名>"エレメントにパラメータ"<属性名>"が不足しています。	リクエスト中のエレメントに必要なパラメーターがあるかどうか確認してください。不足しているパラメーターを指定し、再実行してください。
KAIC07477-E	この操作の実行中に、Device Manager サーバでメモリー不足が発生しました。	コマンドが Add, Modify, Delete のどれかである場合、以下の対処をしてください。 (1) 以下の手順で、操作の状況を確認してください。 1. Device Manager サーバのメモリーヒープサイズを増やしてください。 2. 操作対象がストレージシステムまたはホストの場合、その操作対象の情報をリフレッシュしてください。 3. 操作の状況を確認してください。 (2) 再操作が必要な場合、再操作してください。 コマンドが Get の場合、以下の対処をしてください。 (1) 以下の手順で、再操作してください。 1. Device Manager サーバを再起動してください。 2. 以下のどちらかの対処をしてください。 - Device Manager サーバのメモリーヒープサイズを増やして、再操作する。 - 取得する情報量を減らして、再操作する。
KAIC07478-E	ストレージシステムに対する一時ユーザーの登録中に内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07479-E	仮想化超過率警告通知の値は有効範囲外です。有効範囲は"<最小値>"から"<最大値>"です。	有効な値を指定してください。
KAIC07480-E	メインフレームホストには iSCSI ネームを追加できません。	指定するホストを見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07481-E	指定された iSCSI ネーム "<iSCSI ネーム>"は不正です。iSCSI ネーム の最大長は "<iSCSI ネームの最大 長 (バイト数) >"バイトです。	iSCSI ネームの指定を見直した後、再実行してく ださい。
KAIC07482-E	指定された iSCSI ネーム "<iSCSI ネーム>"は不正です。禁則文字が含ま れています。	iSCSI ネームの指定を見直した後、再実行してく ださい。
KAIC07483-E	リクエストに portWWN と portISCSIName の両方のパラメー タが指定されました。	portWWN または portISCSIName のどちらか を指定してください。
KAIC07484-E	このホストストレージドメインは ファイバチャネルポートまたは FCoE ポートに属しているため iSCSI ネームを指定できません。	iSCSI ポートに属するホストストレージドメイ ンを指定してから再実行してください。
KAIC07485-E	不正な iSCSI ネームが指定されまし た。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07486-E	このホストストレージドメインは iSCSI ポートに属しているため WWN を指定できません。	ファイバチャネルポートまたは FCoE ポートに 属するホストストレージドメインを指定し、再実 行してください。
KAIC07487-E	指定したドメインタイプ"<ドメイン タイプ>"は不正です。	ドメインタイプの指定を見直してください。
KAIC07488-E	iSCSI ネームはこのストレージシス テムでは無効です。	ストレージシステムを見直してください。
KAIC07489-E	パラメータが指定されていません： ISCSIName "iSCSIName"	iSCSI ネームを指定してください。
KAIC07490-E	指定された iSCSI ネーム"<iSCSI ネーム>"は Device Manager データ ベースにありません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07491-E	指定された iSCSI ネーム "<iSCSI ネーム>"は同一ドメイン上のほかの iSCSI ネームがすでに使用している ため使用できません。	同一ドメイン上のほかの iSCSI ネームと重複し ない iSCSI ネームを指定してから再実行してく ださい。
KAIC07492-E	ファイバチャネルポートと iSCSI ポートの両方の属性を同時に指定で きません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07493-E	iSCSI ポート用の属性をファイバ チャネルポートまたは FCoE ポート に指定できません。	ファイバチャネルポート用の属性または FCoE ポート用の属性を指定し、再実行してください。
KAIC07494-E	ファイバチャネルポートの属性を iSCSI ポートに指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07496-E	指定されたホスト"<ホスト名>"の Host type が External ポートである ため、ISCSIName の変更はできませ ん。	ホストの指定を見直してください。
KAIC07497-E	指定されたニックネーム "<ニック ネーム>" は指定された iSCSI ネー ム "<iSCSI ネーム>" のニックネー ムではありません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07498-E	指定された ISCSIName "<iSCSI ネーム>" はホスト"<ホスト名>" ですすでに使用されています。	ISCSIName の指定を見直してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07499-E	ホスト"<ホスト名>"を削除できません。指定されたホストは LUN に使用されている ISCSIName を含んでいます。	ホストを削除する前に LUN セキュリティを解除してください。
KAIC07501-E	ファブリック情報の取得中にエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07502-E	ファブリック情報の更新中にエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07503-E	このコマンドは同時に実行できません。	しばらくしてから実行してください。
KAIC07504-E	指定したストレージシステムの LUN Management オプションが有効になっていません。	ストレージシステムのオプションリストを確認してください。
KAIC07505-E	Device Manager データベースのホスト情報が更新されています。Host Scan 実行中にほかの更新処理が実行されたおそれがあります。	ほかの更新処理が実行中でないことを確認してから、Host Scan を再実行してください。繰り返しエラーが発生する場合、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07506-E	Host Scan の対象となるストレージシステムが見つかりません。Host Scan を実行できません。	対処の必要はありません。
KAIC07507-E	Device Manager データベースのホスト情報が更新されています。ホストの移行中に、ほかの更新処理が実行されたおそれがあります。	ほかの更新処理が実行中でないことを確認してから、ホストを移行してください。繰り返しエラーが発生する場合、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07508-E	リクエストを実行できません。"<PP名>"では、同一の P-VOL に対する複数ペアは、すべて同じプールを使用しなければなりません。	リクエストを見直してから再実行してください。P-VOL が同一の場合、同じ poolID を指定する必要があります。
KAIC07510-E	ストレージシステム上で有償オプションの構成が変更されているおそれがあります。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してから、再実行してください。
KAIC07511-E	指定したストレージシステムはすでに最大数のユーザーが登録されているので、ユーザーを登録できません。	ストレージシステムから不要なユーザーを削除してから、再実行してください。
KAIC07512-E	一時ユーザーと同じユーザー ID がすでにストレージシステムに登録されています。	ストレージシステムから該当するユーザーを削除してから、再実行してください。
KAIC07513-E	<構成要素名> (<属性名>=<属性値>) が重複して指定されています。	<構成要素名>の指定を見直してください。
KAIC07514-E	指定したプール ID"<プール ID>"はすでにストレージシステムで使用されています。	プール ID の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07515-E	指定した<構成要素名> (<属性名>=<属性値>) は Device Manager データベースにありません。	<構成要素名>の指定を見直してください。
KAIC07516-E	<属性名>の値"<属性値>"が<属性名>の値"<属性値>"以上であるため、操作できません。	<属性名>、<属性名>の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07517-E	<構成要素名>の指定が不正です。一つのプールを構成するすべての<	<構成要素名>の指定を見直してから、再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	構成要素名は、ドライブ種別が同じでなければなりません。	
KAIC07518-E	<構成要素名> (<属性名>="<属性値>") の状態が"<状態>"であるため、操作を実行できません。	<構成要素名>の状態を回復してから、再実行してください。
KAIC07519-E	指定した容量"<容量>"は不正です。"<最小値>"から"<最大値>"の範囲内で指定してください。	容量の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07520-E	<PP名>のプールを構成するアレイグループに対し、この操作はできません。	アレイグループの指定を見直してください。
KAIC07521-E	この操作では、RAID レベル"<RAIDレベル>"を指定できません。	RAID レベルの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07522-E	RAID レベルと PDEV 数の組み合わせが不正です。	RAID レベルと PDEV の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07523-E	プール (機能="<PP名>", プール ID="<プール ID>") のコンビネーションと PDEV 数が一致していません。	PDEV の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07524-E	コマンドオプション"<オプション名>"が指定されていません。	コマンドオプション"<オプション名>"を指定してください。
KAIC07525-E	指定したコマンドオプション"<オプション名>"は無効です。	コマンドオプションの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07526-E	<構成要素名> (<属性名>="<属性値>") に指定した容量が不正です。現在の容量より大きな値を指定してください。	容量の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07527-E	プール (プール ID="<プール ID>") が閉塞しているため、操作できません。	プールの閉塞状態を回復してから、再実行してください。
KAIC07528-E	コマンドオプション 2"<オプション名 2>"が指定されていません。	コマンドオプション 2"<オプション名 2>"を指定してください。
KAIC07529-E	プール (プール ID="<プール ID>") のステータスが"正常"ではないため、操作できません。	プールの状態を回復してから、再実行してください。
KAIC07530-E	仮想化超過警告しきい値が有効範囲外です。有効範囲は"<最小値>"から"<最大値>"です。	仮想化超過警告しきい値の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07531-E	仮想化超過限界しきい値が有効範囲外です。有効範囲は"<最小値>"から"<最大値>"です。	仮想化超過限界しきい値の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07532-E	指定したプール"<プール ID>"の仮想化超過率が、仮想化超過限界しきい値をすでに超えています。	プールの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07533-E	このコマンドを実行すると、指定したプール"<プール ID>"の仮想化超過率が仮想化超過限界しきい値を超えます。	作成または変更する仮想ボリュームの容量および個数を見直してから、再実行してください。
KAIC07534-E	仮想化超過警告しきい値"<属性値>"が仮想化超過限界しきい値"<属性値>"以上なので、操作できません。	仮想化超過警告しきい値および仮想化超過限界しきい値の指定を見直してから、再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07535-E	コマンドオプションに "<オプション名>" は指定できません。	指定したコマンドオプションを見直したあと、コマンドを再実行してください。
KAIC07536-E	ストレージシステムに対してリフレッシュしていないため、この操作は実行できません。	操作対象のストレージシステムをリフレッシュしてください。ストレージシステムがリフレッシュ済みの場合は、ストレージシステムのマイクロコードをアップグレードしてから、再度リフレッシュしてください。対処したあとも繰り返しエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07537-E	指定した PDEV が正しくありません。一つのプールを構成するすべての PDEV は、ドライブ種別とフォームファクタが同じでなければなりません。	ドライブ種別とフォームファクタが同じになるように PDEV の指定を見直してから、再度実行してください。API バージョンは Device Manager サーバのバージョンに合わせてください。対処したあとも繰り返しエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07538-E	指定したドライブ種別"<ドライブ種別>"と、フォームファクタ"<フォームファクタ>"の組み合わせは無効です。	ドライブ種別とフォームファクタの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07539-E	指定した PDEV が正しくありません。一つのアレイグループを構成するすべての PDEV は、ドライブ種別とフォームファクタが同じでなければなりません。	ドライブ種別とフォームファクタが同じになるように PDEV の指定を見直してから、再実行してください。API バージョンは、 Device Manager サーバのバージョンに合わせてください。対処したあとも同じエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07540-E	指定した IP アドレス"<指定した IP アドレス>"を持つホストは、すでに登録されています。	指定した IP アドレスを見直したあと、操作を再実行してください。
KAIC07541-E	指定した Host Data Collector は登録されていません。	Host Data Collector の指定を見直したあと、操作を再実行してください。
KAIC07542-E	指定した IP アドレス"<指定した IP アドレス>"を持つ Host Data Collector は、すでに登録されています。	指定した IP アドレスを見直したあと、操作を再実行してください。
KAIC07543-E	Host Data Collector が登録されていません。	Host Data Collector を登録したあと、操作を再実行してください。
KAIC07544-E	同じホスト名"<ホスト名>"を持つホストが、すでに登録されています。	ホスト名を見直し、必要に応じてホスト名を変更してから、再実行してください。
KAIC07545-E	ほかの製品から通知されたホスト同期のパラメーターはサポートされていません。ホストの追加、更新に必要なパラメーターを見直してホストを更新してください。	ホストの追加、更新に必要なパラメーターを見直してホストを更新してください。
KAIC07546-E	指定したドライブ (<ドライブ番号>) は使用できません。(role="<role>")	ドライブの指定を見直してください。
KAIC07547-E	レプリケーション枯渇警告しきい値が有効範囲外です。有効範囲は"<最小値>"から"<最大値>"です。	レプリケーション枯渇警告しきい値の指定を見直してから、再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07548-E	レプリケーションデータ解放しきい値が有効範囲外です。有効範囲は"<最小値>"から"<最大値>"です。	レプリケーションデータ解放しきい値の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07549-E	レプリケーション枯渇警告しきい値"<属性値>"がレプリケーションデータ解放しきい値"<属性値>"以上なので、操作できません。	レプリケーション枯渇警告しきい値とレプリケーションデータ解放しきい値の差が6%以上である必要があります。また、レプリケーションデータ解放しきい値は、レプリケーション枯渇警告しきい値より大きい値を指定する必要があります。指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07550-E	指定された IP アドレス "<IP アドレス>"はほかのポートがすでに使用しているため使用できません。	ほかのポートと重複しない IP アドレスを指定してから再実行してください。
KAIC07551-E	ポートに不正な形式の IP アドレス "<IP アドレス>"が指定されました。	IP アドレスとして正しい値を指定してください。
KAIC07552-E	ポートに不正な形式のサブネットマスク "<サブネットマスク>"が指定されました。	サブネットマスクとして正しい値を指定してください。
KAIC07553-E	ポートに不正な形式のデフォルトゲートウェイ "<デフォルトゲートウェイ>"が指定されました。	デフォルトゲートウェイとして正しい値を指定してください。
KAIC07554-E	ポートに無効な PortNumber が指定されました。	PortNumber として正しい値を指定してください。
KAIC07555-E	ポートに無効な keepAliveTime が指定されました。	keepAliveTime として正しい値を指定してください。
KAIC07556-E	指定された iSCSI ネーム"<iSCSI ネーム>"は同一ポート上のほかのホストストレージドメインがすでに使用しているため使用できません。	同一ポート上のほかのホストストレージドメインと重複しない iSCSI ネームを指定してから再実行してください。
KAIC07557-E	指定できる ISCSIName の最大数"<iSCSI ネームの最大数>"を超えての指定はできません。	指定されたポートへこれ以上 ISCSIName を追加できません。不要な ISCSIName を削除した後、再実行してください。
KAIC07558-E	指定されたニックネーム "<ニックネーム>" は同一ポート上のほかの ISCSIName がすでに使用しているため使用できません。	同一ポート上のほかの ISCSIName と重複しないニックネームを指定してから再実行してください。
KAIC07559-E	Device Manager はストレージシステムに対する操作をサポートしていません。操作を実行するには、マイクロコードのバージョンが"<マイクロコードバージョン>"以上でなければなりません。	この操作を実行するにはマイクロコードをバージョンアップしてください。
KAIC07560-E	iSCSI の属性をファイバチャネルの HostInfo に指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07561-E	ファイバチャネルの属性を iSCSI の HostInfo に指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07562-E	このストレージシステムのマイクロコードのバージョンでは、レプリケーション枯渇警告しきい値およびレプリケーションデータ解放しきい値を設定できません。	ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを確認してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07563-E	"pvolPoolID"と "pvolMngAreaPoolID"に異なる値が 指定されています。	指定を見直して再実行してください。
KAIC07564-E	指定された LogicalUnit はすでに プール(poolID="<プール ID >")が 関連づけられています。	pvolPoolID の指定を見直してください。
KAIC07565-E	リクエストの実行に失敗しました。 指定したストレージシステムにプー ルがありません。	プールを作成したあと再実行してください。
KAIC07566-E	"svolPoolID"と "svolMngAreaPoolID"に異なる値が 指定されています。	指定を見直して再実行してください。
KAIC07567-E	プールの使用率 (プール ID="<プー ル ID >", 使用率="<プール使用率 >") がしきい値 (<属性名>="<属 性値>") 以上であるため、この操作 はできません。	プール使用率が<属性名>の値を下回るように 構成を見直してから、再実行してください。
KAIC07569-E	指定したプールは、Device Manager がサポートしていない設定や構成に なっているため、操作を実行できませ ん。	次のことを確認してください。どれにも該当し ない場合、ストレージシステムの情報が不完全な 状態になっているおそれがあります。ストレ ージシステムをリフレッシュしてから再度実行し てください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 枯渴しきい値を設定している場合、しきい値 を変更できません。 ・ ドライブタイプやドライブ回転数などが異 なるプールボリュームで構成されている場 合、プールを削除、拡張、および縮小できま せん。 ・ RAID レベルまたは HDU コンビネーショ ンが混在しているプールの拡張はできませ ん。
KAIC07570-E	LU "<デバイス番号>" は OnDemand デバイスです。プールボ リューム/ジャーナルボリュームに は使用できません。	LU の指定を見直してから再実行してください。
KAIC07571-E	指定したプールを構成するすべての LU は、ドライブ種別が同じでなけれ ばなりません。	LU の指定を見直してから再実行してください。
KAIC07572-E	仮想ボリュームがあるのでプールを 削除できません。	指定したプールに割り当てられている仮想ボ リュームをすべて削除してから再実行してくだ さい。
KAIC07573-E	指定したプールのプールボリューム を削除できません。	ストレージシステムの機能を確認してください。
KAIC07574-E	指定したジャーナルグループは、 Universal Replicator for Mainframe で使用されているので設定の変更お よび削除ができません。	Universal Replicator for Mainframe で使用さ れていないジャーナルグループを指定してから 再実行してください。
KAIC07575-E	指定した LU は、指定したジャーナル グループのボリュームではありません。	LU の指定を見直してから再実行してください。
KAIC07576-E	LU"<デバイス番号>"は外部ボ リュームのため、"<PP名(Dynamic	ほかの LU を指定して、操作を再実行してくだ さい。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	<i>Tiering</i>)>"のプールボリュームに指定できません。	
KAIC07577-E	"流入制限"の値が"いいえ"の場合, "データあふれ監視時間"を指定できません。	ジャーナルグループオプションの指定内容を見直してから再実行してください。
KAIC07578-E	指定した"パス監視時間"と"パス監視時間の単位"の組み合わせが不正です。	"パス監視時間の単位"と"パス監視時間"の指定を見直してから再実行してください。
KAIC07579-E	正ジャーナルグループのデルタが"Hold"のときは, ジャーナルボリュームを削除できません。	ジャーナルグループを使用しているペアのステータスを変更して, ジャーナルグループを変更してください。
KAIC07580-E	指定したプールは, ドライブ種別やディスク回転数が異なるプールボリュームで構成されているため, Tier管理の設定を変更できません。	プールを構成するプールボリュームのドライブ種別やディスク回転数を, すべて同じに設定してください。そのあと, 操作を再実行してください。
KAIC07581-E	LU "<デバイス番号>"は I/O 抑止モードが有効になっています。プールボリューム/ジャーナルボリュームには利用できません。	LU の指定を見直してから再実行してください。
KAIC07582-E	LU "<デバイス番号>"はシステムボリュームです。プールボリューム/ジャーナルボリュームには利用できません。	LU の指定を見直してから再実行してください。
KAIC07583-E	ジャーナルボリュームの削除では, ジャーナルボリュームを空にすることはできません。	LU の指定を見直してから再実行してください。
KAIC07584-E	指定したジャーナルグループ ID "<ジャーナルグループ ID >" はストレージシステムですでに"<PP名 (Universal Replicator)>"に使用されています。	ジャーナルグループ ID の指定を見直してから再実行してください。
KAIC07585-E	指定したジャーナルグループは, ボリュームが割り当てられていないので操作できません。	ジャーナルグループ ID の指定を見直してから再実行してください。
KAIC07586-E	指定したプール ID "<プール ID >" は有効な値ではありません。プール ID は"<値 1 >"または"<値 2 >"でなければなりません。	プール ID の指定を見直してから再実行してください。
KAIC07587-E	指定したプールは外部ボリュームのプールボリュームを含むため, Tier管理の設定を変更できません。	指定したプールを, 外部ボリュームのプールボリュームを含まない構成に変更してください。そのあと, 操作を再実行してください。
KAIC07588-E	ジャーナルグループを変更する場合, ジャーナルグループのオプション, ミラーのオプション, および変更する LU のうち, どれかを指定する必要があります。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07589-E	この API バージョンでは指定したプール/ジャーナルグループを追加できません。	指定した API のバージョンでサポートされている操作であることを確認してください。
KAIC07590-E	この API バージョンでは指定したプール/ジャーナルグループを削除できません。	指定した API のバージョンでサポートされている操作であることを確認してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07591-E	この API バージョンでは指定したプール/ジャーナルグループを変更できません。	指定した API のバージョンでサポートされている操作であることを確認してください。
KAIC07592-E	パラメーターが不正です。"バス監視時間"または"バス監視時間の単位"を指定する場合、両方同時に指定しなければなりません。	"バス監視時間"と"バス監視時間の単位"を両方指定してください。
KAIC07593-E	指定したプールは無効です。	プール ID の指定を見直してから再実行してください。
KAIC07594-E	プール拡張用の LU もプールの属性も指定されなかったため、プールの拡張もプールの属性変更も行えませんでした。	プール拡張用の LU またはプールの属性を指定し、操作を再実行してください。
KAIC07595-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したボリュームのエミュレーションタイプが"<エミュレーションタイプ 1 >"と"<エミュレーションタイプ 2 >"の組み合わせです。	ソースボリュームとターゲットボリュームは、同じエミュレーションタイプを指定してください。
KAIC07596-E	ストレージシステムの情報 ("<ストレージシステム名 >") が不完全な状態になっています。ストレージシステムをリフレッシュしてから再度実行してください。	ストレージシステムをリフレッシュしてから再実行してください。
KAIC07597-E	指定した LU のドライブ種別およびディスク回転数は同じですが、RAID レベルが異なるため、プールを構成できません。	ドライブ種別およびディスク回転数が同じ LU を組み合わせてプールを構成する場合は、それぞれの LU の RAID レベルをすべて同じにしてください。
KAIC07598-E	プールボリュームに指定した LU のドライブ種別およびディスク回転数の組み合わせが、3 種類を超えています。	プールボリュームとして使用する LU のドライブ種別およびディスク回転数の組み合わせを、3 種類までにしてください。そのあと、操作を再実行してください。
KAIC07599-E	LU "<デバイス番号 >"のドライブ種別またはディスク回転数は、プールボリュームとして使用できない値です。	LU のドライブ種別またはディスク回転数を確認して、要件に合う LU を指定してください。そのあと、操作を再実行してください。
KAIC07600-E	このストレージシステムのマイクロコードバージョン "<マイクロコードバージョン >"では、"<PP 名 (Dynamic Provisioning) >"の設定操作はできません。	ストレージシステムのマイクロコードバージョンを確認してください。
KAIC07601-E	Device Manager は、"<PP 名 (Dynamic Provisioning) >"機能以外では"<操作 >"の操作をサポートしていません。	機能のタイプの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07602-E	LU "<デバイス番号 >"の容量が有効範囲外です。プールボリュームには利用できません。プールボリュームの容量は "<最小値(KB) > KB (<最小値(LBA) > LBA)" 以上でなければなりません。	LU の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07603-E	LU "<デバイス番号 >"は LUSE を構成しています。プールボリューム/ジャーナルボリュームには使用できません。	LU の指定を見直してから、再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07604-E	LU "<デバイス番号>"にはパスが設定されています。プールボリューム/ジャーナルボリュームには使用できません。	LUの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07605-E	LU "<デバイス番号>"は"<PP名 (Volume Migration)>"の予約ボリュームです。プールボリューム/ジャーナルボリュームには使用できません。	LUの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07606-E	LU "<デバイス番号>"は"<PP名>"の"<ボリューム属性>"です。プールボリューム/ジャーナルボリュームには使用できません。	LUの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07607-E	LDEV "<デバイス番号>"のステータスが"正常"ではないため、プールボリューム/ジャーナルボリュームには使用できません。	LDEVの状態を確認してから、再実行してください。
KAIC07608-E	LDEV "<デバイス番号>"は保護されています。プールボリューム/ジャーナルボリュームには使用できません。	LUの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07609-E	"<PP名 (Dynamic Provisioning)>"の一つのプール/ジャーナルグループを構成するすべてのLDEVは、同じCLPRでなければなりません。	LUの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07610-E	エミュレーションタイプが"<エミュレーションタイプ>"のLU "<デバイス番号>"を"<PP名 (Dynamic Provisioning)>"のプールボリューム/ジャーナルボリュームには使用できません。	LUの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07611-E	LU "<デバイス番号>"はコマンドデバイスです。プールボリューム/ジャーナルボリュームには使用できません。	LUの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07612-E	LU "<デバイス番号>"は"<PP名 (Cache Residency)>"に設定されています。プールボリューム/ジャーナルボリュームには使用できません。	LUの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07613-E	"<PP名 (Dynamic Provisioning)>"の一つのプール/ジャーナルグループを構成する最大LU数を超えるため、プールボリューム/ジャーナルボリュームを追加できません。	指定するLU数を減らしてから、再実行してください。
KAIC07614-E	指定された閾値"<閾値>"は有効な値ではありません。	有効な値を指定してから、再実行してください。
KAIC07615-E	指定されたプールID "<プールID>"はストレージシステムで既に"<PP名 (Quick Shadow)>"または"<PP名 (Dynamic Provisioning)>"に使用されています。	プールIDの指定を見直してから、再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07616-E	指定されたプール ID/ジャーナルグループ ID "<プール ID/ジャーナルグループ ID >" は有効な値ではありません。プール ID/ジャーナルグループ ID は"<最小値>"から"<最大値>"の範囲内でなければなりません。	プール ID/ジャーナルグループ ID の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07617-E	指定したプールを構成する LU の RAID レベルが異なるため、プールを構成できませんでした。	プールを構成する LU の RAID レベルをすべて同じに設定したあと、操作を再実行してください。
KAIC07618-E	指定されたプールに関連づけられている LU が存在するため、プールを削除できません。	プールに関連づけられているすべての LU のプールとの関連を解除してから、再実行してください。
KAIC07619-E	指定したプールを構成する LU のディスク回転数が異なるため、プールを構成できませんでした。	プールを構成する LU のディスク回転数をすべて同じに設定したあと、操作を再実行してください。
KAIC07620-E	LU "<デバイス番号>" はすでにプールと関連づけられています。	LU の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07621-E	"<ボリューム属性>"とプールは同じ CLPR でなければなりません。	ボリュームとプールの組み合わせを見直してから、再実行してください。
KAIC07622-E	リクエストの実行に失敗しました。LU "<デバイス番号>" がプールと関連づいていません。	LU の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07623-E	LU "<デバイス番号>" にパスが設定されているため、関連づけを削除できません。	LU のパスを解除してから、再実行してください。
KAIC07624-E	LU "<デバイス番号>" は LUSE を構成しているため、関連づけを削除できません。	LUSE を解除してから、再実行してください。
KAIC07625-E	アレイグループ (シャージ="<シャージ>" アレイグループ番号="<アレイグループ番号>") は、すでにストレージシステムにあります。	リクエストを見直してから、再実行してください。
KAIC07626-E	指定されたデバイス番号 "<デバイス番号>" はすでに使用されています。	デバイス番号の指定を見直してください。
KAIC07627-E	アレイグループ内の LDEV 数が最大数を超えるため、LDEV を作成できません。	指定するボリューム数を減らしてから、再実行してください。
KAIC07628-E	モニタ開始時刻"<モニタ開始時刻>"とモニタ終了時刻"<モニタ終了時刻>"の指定に次の誤りがあるため、プールの作成または設定の変更ができませんでした。(1)モニタ開始時刻とモニタ終了時刻の間隔が 1 時間未満です。(2)モニタ開始時刻がモニタ終了時刻以降の時刻です。日付をまたぐ開始時刻と終了時刻は指定できません。	次の条件をすべて満たしたあと、操作を再実行してください。 (1)モニタ開始時刻とモニタ終了時刻の間隔を、1 時間以上空けてください。 (2)モニタ開始時刻は、モニタ終了時刻より 1 時間以上早く指定してください。
KAIC07629-E	"<PP 名 (Dynamic Provisioning)>"では、エミュレーションタイプが"<エミュレーションタイプ>"の LU を作成できません。	エミュレーションタイプの指定を見直し、再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07630-E	指定されたアレイグループはデータベースにありません。	アレイグループの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07631-E	指定されたアレイグループ (シャージ = "<シャージ>" アレイグループ番号 = "<アレイグループ番号>") には、プールと関連づけられた LDEV が含まれているため、削除できません。	"force" オプションを指定してから、再実行してください。
KAIC07632-E	指定されたアレイグループ (シャージ = "<シャージ>" アレイグループ番号 = "<アレイグループ番号>") にはパスが設定された LU が含まれているため、削除できません。	LU に設定されているパスを解除してから、再実行してください。
KAIC07633-E	指定されたアレイグループ (シャージ = "<シャージ>" アレイグループ番号 = "<アレイグループ番号>") には LUSE を構成している LDEV が含まれているため、削除できません。	LUSE を解除してから、再実行してください。
KAIC07634-E	指定されたアレイグループ (シャージ = "<シャージ>" アレイグループ番号 = "<アレイグループ番号>") には保護されている LDEV が含まれているため、削除できません。	アレイグループの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07635-E	指定されたデバイス番号 "<デバイス番号>" は有効な値ではありません。	デバイス番号の指定を見直してください。
KAIC07636-E	LU "<デバイス番号>" がプールと関連づけられているため、削除できません。	"force" オプションを指定してから、再実行してください。
KAIC07637-E	LU "<デバイス番号>" にパスが設定されているため、削除できません。	LU に設定されているパスを解除してから、再実行してください。
KAIC07638-E	LU "<デバイス番号>" は LUSE を構成しているため、削除できません。	LUSE を解除してから、再実行してください。
KAIC07639-E	LU "<デバイス番号>" は保護されているため、削除できません。	LU の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07640-E	パラメーターが指定されていません： LU "emulation"	LU のエミュレーションタイプを指定してください。
KAIC07641-E	パラメーターが指定されていません： LU "dpPoolID"	LU のプール ID を指定してください。
KAIC07642-E	パラメーターが指定されていません： LU "threshold"	LU の閾値を指定してください。
KAIC07643-E	"<PP名(Dynamic Provisioning)>" の一つのプールを構成するすべての LU は、ボリュームの区分 (内部または外部) が同じでなければなりません。	LU の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07644-E	"<PP名(Dynamic Provisioning)>" の一つのプールを構成するすべての LDEV は、キャッシュモードが同じでなければなりません。	LU の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07645-E	指定した LU "<デバイス番号>" に対応する LDEV の状態が、正常またはクイックフォーマット中ではあり	LDEV の状態が正常またはクイックフォーマット中の LU を指定し直したあと、再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	ません。プールの作成および拡張はできません。	
KAIC07647-E	アレイグループのオブジェクト ID が指定されていません。"exist"オプションを指定する場合は、アレイグループのオブジェクト ID 指定が必要です。	アレイグループのオブジェクト ID を指定してください。
KAIC07648-E	指定されたアレイグループ (chassis="<シャーシ>" number="<アレイグループ番号>") は"<PP名(Dynamic Provisioning)>"用ではありません。	"<PP名(Dynamic Provisioning)>"用のアレイグループを指定してください。
KAIC07649-E	指定された LU (devNum="<デバイス番号>") は"<PP名>"の"<ボリューム属性>"ではありません。	<PP名>の<ボリューム属性>を指定してください。
KAIC07650-E	Provisioning Manager Server でエラーが発生しました。(メッセージ ID:<メッセージ ID>)	Provisioning Manager Server のログを参照してください。
KAIC07651-E	Provisioning Manager Server の呼び出しでエラーが発生しました。	Provisioning Manager Server のログを参照してください。
KAIC07652-E	指定した論理グループまたはそれ以下の論理グループに、操作できない論理グループがあります。	GUI から論理グループを操作してください。
KAIC07653-E	指定した論理グループは子グループを持っているため、オブジェクトを追加できません。	子グループを持たない論理グループを指定してください。
KAIC07654-E	指定した新規割り当て用空き領域率 (階層<階層>) が有効範囲外です。有効範囲は"<最小値>"から"<最大値>"です。	新規割り当て用空き領域率の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07655-E	指定した再配置用バッファ領域率 (階層<階層>) が有効範囲外です。有効範囲は"<最小値>"から"<最大値>"です。	再配置用バッファ領域率の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07656-E	指定した新規割り当て用空き領域率の数がプールの階層数と一致していません。	新規割り当て用空き領域率の指定またはプールの階層数を見直してから、再実行してください。
KAIC07657-E	指定した再配置用バッファ領域率の数がプールの階層数と一致していません。	再配置用バッファ領域率の指定またはプールの階層数を見直してから、再実行してください。
KAIC07658-E	指定した階層 (階層<階層>) はありません。	指定したプールの階層数を見直してから、再実行してください。
KAIC07659-E	作成される階層数を超えるため、階層<階層>は指定できません。	指定したプールの階層数を見直してから、再実行してください。
KAIC07660-E	ストレージの追加に失敗しました。指定したパラメーター、またはストレージシステムの状態が正しくありません。(エラーコード="<Device Manager エラーコード>", 詳細情報="<詳細情報>")	指定したパラメーター、およびストレージシステムの状態を見直してから、再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、Device Manager を使用するストレージ管理者に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07661-E	ストレージの追加に失敗しました。指定したパラメーター、または VMware ESX サーバおよび VMware vCenter Server の状態が正しくないおそれがあります。 (VMware vSphere API 名=" < VMware vSphere API 名 > ", VMware vSphere API エラー詳細情報=" < VMware vSphere API エラー詳細情報 > ")	指定したパラメーター、VMware ESX サーバおよび VMware vCenter Server の状態を見直してください。 また、管理サーバから VMware ESX サーバおよび VMware vCenter Server を名前解決できることを確認してください。 エラーが繰り返し発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC07662-E	VMware vSphere API の実行中にエラーが発生しました。(VMware vSphere API 名=" < VMware vSphere API 名 > ", VMware vSphere API エラー詳細情報=" < VMware vSphere API エラー詳細情報 > ")	VMware ESX サーバおよび VMware vCenter Server の状態を見直してから、再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC07663-E	ストレージシステムに対する設定には成功しましたが、VMware ESX サーバ(ホスト名=" < ホスト名 > ")がボリュームを認識できませんでした。	ストレージシステムとホストの接続およびゾーニングの設定を見直したあと、VMware ESX サーバに接続している HBA を再スキャンしてください。エラーが繰り返し発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC07665-E	指定した Host Data Collector は、対象ホストをサポートしていません。(ホスト名または IP アドレス = < ホスト名または IP アドレス > , Host Data Collector のホスト名または IP アドレス = < Host Data Collector のホスト名または IP アドレス >)	Host Data Collector を指定し直して、操作を再実行してください。
KAIC07666-E	Host Data Collector は、バージョン < ホストのバージョン > のホストをサポートしていません。(ホスト名または IP アドレス = < ホスト名または IP アドレス > , Host Data Collector のホスト名または IP アドレス = < Host Data Collector のホスト名または IP アドレス >)	対象ホストへの操作には、Host Data Collector を利用しないでください。
KAIC07667-E	仮想化サーバの UUID が Device Manager に登録されている仮想化サーバの UUID と異なるか、または Host Data Collector から取得したデータが不正のため、ホストの追加または更新ができませんでした。ホストの更新ができない場合はホスト追加を実行し直してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。(ホスト名または IP アドレス = < 対象ホストのホスト名または IP アドレス > , Host Data Collector = (ホスト名または IP アド	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> 対象ホストの OS バージョン※。 対象ホストの IP アドレスが正しいこと。 認証情報またはユーザの権限が正しいこと。 Host Data Collector と対象ホストが通信できるようにファイアウォールが設定されていること。 指定したプロトコルで対象ホストにアクセスできること。 対象ホストが起動していること。 対象ホストの OS がサポートされていること。 注※ 仮想化サーバのバージョンによっては、取得した UUID が不正になることがあります。仮想化サーバをアップグレードしたあとこのメッセー

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	レス = < Host Data Collector のホスト名または IP アドレス >, RMI レジストリポート番号 = < Host Data Collector の RMI レジストリポート番号 >, RMI サーバポート番号 = < Host Data Collector の RMI サーバポート番号 >, クラスローダーポート番号 = < Host Data Collector のクラスローダーポート番号 >))	ジが表示されるようになった場合、Device Manager からホストを削除してから登録し直してください。 また、「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照し、対象ホストの環境が正しく設定されているかを確認してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC07668-E	<構成要素名> ("<属性名>") が重複して指定されています。	<構成要素名> の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07669-E	新規割り当て用空き領域率、または再配置用バッファ領域率の設定時に内部エラーが発生しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC07670-E	ストレージの削除に失敗しました。指定したパラメーター、またはストレージシステムの状態が正しくありません。 (エラーコード="< Device Manager エラーコード>", 詳細情報="< 詳細情報 >")	指定したパラメーター、およびストレージシステムの状態を見直してから、再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、Device Manager を使用するストレージ管理者にご連絡してください。
KAIC07671-E	ストレージの削除に失敗しました。指定したデータストアを構成するすべてのボリュームが指定されていません。	対象のデータストアを構成するボリュームをすべて選択していることを確認してから、再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC07672-E	対象のボリュームは、仮想マシン(仮想マシン名="< 仮想マシン名 >")で利用されているため、削除できません。	次のことを確認したあと、再実行してください。 ・ パラメーターが正しく指定されていること ・ 指定したボリュームが、仮想マシンで利用されていないこと エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC07673-E	データストアの削除には成功しましたが、ストレージシステムに対する設定に失敗しました。 (エラーコード="< Device Manager エラーコード>", 詳細情報="< 詳細情報 >")	指定したパラメーター、およびストレージシステムの状態を見直してから、再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、Device Manager を使用するストレージ管理者にご連絡してください。
KAIC07674-E	ストレージシステムに対する設定には成功しましたが、VMware ESX サーバ(ホスト名="< ホスト名 >")がデータストアを認識できませんでした。	VMware ESX サーバおよび VMware vCenter Server の状態を見直してから、VMware ESX サーバの VMFS の Rescan を実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC07675-E	ストレージの削除に失敗しました。指定したパラメーター、または VMware ESX サーバおよび VMware vCenter Server の状態が正しくありません。 (VMware vSphere API 名="< VMware vSphere API 名 >")	指定したパラメーター、VMware ESX サーバおよび VMware vCenter Server の状態を見直してから、再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	",VMware vSphere API エラー詳細情報=< VMware vSphere API エラー詳細情報 >")	
KAIC07676-E	ホストグループまたは iSCSI ターゲットを削除できません。ホストグループまたは iSCSI ターゲット("<ホストグループ名または iSCSI ターゲット名 >")にパスが残っています。	ホストグループまたは iSCSI ターゲットに割り当てられたボリュームを確認したあと、必要に応じて再度割り当てを解除してください。
KAIC07677-E	指定されたホスト(ホスト名=<ホスト名 >)の情報を取得できません。	VMware ESX サーバおよび VMware vCenter Server の状態を見直してください。エラーが繰り返し発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC07678-E	VMware vCenter Server への接続に失敗しました。	次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> VMware ESX サーバおよび VMware vCenter Server のサービスが起動していることを確認してください。 VMware vSphere Client を再起動してください。 エラーが繰り返し発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC07679-E	ストレージの削除に失敗しました。指定したボリュームはデータストアに利用されているため、削除できません。(データストア名=<データストア名 >")	次のことを確認したあと、再実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> パラメーターが正しく指定されていること 指定したボリュームが、データストアで利用されていないこと エラーが繰り返し発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC07680-E	ストレージの追加に失敗しました。VMware ESX サーバが認識していないストレージシステムのポートが指定されました。	VMware ESX サーバが認識しているストレージシステムのポートを指定してから再実行してください。VMware ESX Server が認識しているストレージシステムのポートが不明な場合は、ストレージ管理者に問い合わせてください。
KAIC07681-E	指定したポート"<ポート情報 >"の IPv6SettingMode が有効になっていません。	ポートの IPv6 を有効にしてから再実行してください。
KAIC07682-E	指定したポート"<ポート情報 >"の VLAN が有効になっていません。	ポートの VLAN を有効にしてから再実行してください。
KAIC07683-E	ポート"<ポート情報 >"に無効な"<パラメータ名 >"が指定されました。	"<パラメータ名 >"として正しい値を指定してください。
KAIC07684-E	指定したポート"<ポート情報 >"の"<パラメータ名 >"は自動設定のため、"<パラメータ名 >"を指定できません。	ポートの"<ポート情報 >"を手動設定にしてから再実行してください。
KAIC07685-E	ポートに不正な形式の"<パラメータ名 >"が指定されました。	IPv6 アドレスとして正しい値を指定してください。
KAIC07686-E	指定したストレージシステムでは、"<機能の種類(IPv6) >"のパラメーターを指定できません。	ストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC07687-E	vlanSettingMode を有効にする場合は、vlanID を指定してください。	vlanID を指定してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07690-E	クラスタ情報が Device Manager データベースにありません。	ファイルサーバ管理ソフトウェアで、対象ファイルサーバをリフレッシュしてください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAIC07691-E	ファイルサーバ名の形式が誤っています。	ファイルサーバ管理ソフトウェアに登録されているノードのホスト名と IP アドレスが、Device Manager にファイルサーバ名として次の形式で登録されているか確認してください。 ファイルサーバ名の形式： <ノードのホスト名>@<ノードの IP アドレス>
KAIC07692-E	入力したファイルシステム名（<ファイルシステム名>）と同じ名前のファイルシステムまたはストレージプールがすでにあります。異なるファイルシステム名を指定して、再実行してください。	異なるファイルシステム名を指定して、再実行してください。
KAIC07693-E	指定したディレクトリ（<ディレクトリ名>）はすでに存在します。別のディレクトリを指定してください。	別のディレクトリを指定してください。
KAIC07694-E	指定した CIFS 共有名（<CIFS 共有名>）はすでに存在します。別の CIFS 共有名を指定してください。	別の CIFS 共有名を指定してください。
KAIC07695-E	ファイルサーバ情報の更新中に予期しないエラーが発生しました。	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC07696-E	指定したボリュームが見つかりません。	ボリュームが削除されたおそれがあります。ボリュームの存在を確認したあと、再実行してください。
KAIC07697-E	指定したファイルシステムが見つかりません。	ファイルシステムが削除されたおそれがあります。ファイルシステムの存在を確認したあと、再実行してください。
KAIC07698-E	指定したボリューム"<devNum>"は使用できません。	ストレージシステムの構成が変更されたおそれがあります。ボリュームの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07700-E	"<操作>"操作ではアレイグループと LU を同時に指定できません。	アレイグループまたは LU のどちらかを指定してから、再実行してください。
KAIC07701-E	コマンドオプション 2 に "<オプション名>" は指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07702-E	コマンドオプション 2 の "<オプション名>" に指定された値が不正です。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07703-E	アレイグループ（シャージ="<シャージ>" アレイグループ番号="<アレイグループ番号>"）が重複して指定されています。	アレイグループの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07704-E	指定されたプール（機能="<PP 名 (Dynamic Provisioning)>"、プール ID="<プール ID >"）はデータベースにありません。	プールの指定を見直してから、再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07705-E	パラメーターが指定されていません： ArrayGroup "chassis"または "number"	ArrayGroup の"chassis"および"number"の両方を指定してください。
KAIC07706-E	指定されたリクエストでは、 ArrayGroup エlementの"chassis", "number"は指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07707-E	指定されたリクエストでは、 ArrayGroup エlementは一つでなければなりません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07708-E	LogicalUnit エlementの属性 "dpPoolID"にはすべて同じ値を指定してください。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07709-E	リクエスト中のElement数が不正です。指定されたリクエストでは、 "<親Element名>"Elementに子Element"<子Element名>"が一つ指定されなければなりません。	リクエスト中のElement数を見直してから、再実行してください。
KAIC07710-E	リクエスト中のElementが不足しています。 "<Element名>"または "<Element名>"	リクエスト中のElementの指定を見直してください。
KAIC07711-E	アレイグループ (シャーシ="<シャーシ>" アレイグループ番号="<アレイグループ番号>") がストレージシステム内に見つかりません。	アレイグループまたはストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC07712-E	デバイス番号 "<デバイス番号>" が重複して指定されています。	デバイス番号の指定を見直してください。
KAIC07713-E	"<PP名(Dynamic Provisioning)>"の一つのプールを構成するすべての LDEV は、ドライブ種別が同じでなければなりません。	LU の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07714-E	リクエスト中のElementまたは属性が不足しています。 "<Element名>"Elementまたは"<属性名>"属性	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07715-E	リクエストには、 LogicalUnit の capacityInKB と LDEV の lba の両方のパラメータを同時に指定することはできません。	LogicalUnit の capacityInKB または LDEV の lba のどちらかを指定してください。
KAIC07716-E	リクエストの実行に失敗しました。 オプションに"<オプション名>"を指定した場合、 <Element名>Elementは指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07717-E	リクエストの実行に失敗しました。 オプションに"<オプション名>"を指定した場合、 <Element名>Elementの<属性名>は指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07718-E	指定した検索条件の名前(<検索条件名>)は、すでに使用されています。	別の検索条件名を指定してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07719-E	指定した論理グループ(<論理グループ名>)は、すでに同じ親を持つ論理グループで登録されています。	指定した論理グループ名を見直したあと、操作を再実行してください。
KAIC07720-E	TrueCopy ペアの作成に失敗しました。LDEV"<LUSE >"は、LUSE に設定されています。LUSE 内の LDEV の数は、"<LUSE を構成する LDEV の最大数>"個以下でなければなりません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07721-E	TrueCopy ペアの作成に失敗しました。LDEV"<LUSE >"は、LUSE に設定されています。LUSE 内のすべての LDEV の RAID レベルとデータディスク数は同一でなければなりません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07722-E	TrueCopy ペアの作成に失敗しました。QuickShadow ペアの V-VOL を使って TrueCopy ペアを作成するためには、あらかじめ QuickShadow ペアが作成されていなければなりません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07723-E	"<ペア名>"ペアの作成に失敗しました。LDEV"<LUSE >"は、LUSE に設定されています。LUSE 内の LDEV の数は、"<LUSE を構成する LDEV の最大数>"個以下でなければなりません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07724-E	LUSE を構成している LDEV のサイズが 1GB より小さいため、TrueCopy Async ペアの作成に失敗しました。	LUSE を構成している LDEV のサイズを見直してください。
KAIC07725-E	この API バージョンでは、指定したストレージシステムの TrueCopy Async ペア操作をサポートしていません。	このストレージシステムでの API サポートバージョンを確認してください。
KAIC07726-E	指定したストレージシステムのデータプールが、ペアを作成する LU と同じデフォルトコントローラにありません。	データプールを作成したあと、再実行してください。
KAIC07727-E	S-VOL に定義しようとしている LU のデフォルトコントローラとカレントコントローラが同じでないため、TrueCopy Async ペアの作成に失敗しました。	LU のデフォルトコントローラとカレントコントローラを確認してください。
KAIC07728-E	XML を解析している最中にエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07729-E	メッセージを復号化している最中にエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07730-E	Disk Array Management Program または Storage Navigator Modular を使用して、LUN が割り当てられた二つ以上のボリュームから統合 LU を作成した場合、その統合 LU は削除できません。	次に示す手順を実行してください。 1. Disk Array Management Program または Storage Navigator Modular を使用して、使用されなくなった LUN を削除してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		2 Device Manager を使用してストレージシステムのリフレッシュを実行してください。
KAIC07731-E	指定されたアレイグループでの LDEV 作成はサポートしていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07732-E	<機能の種類(Tier, Saved Search または論理グループ)>の種類を変更できません。	リクエストの内容を見直したあと、操作を再実行してください。
KAIC07733-E	パラメーターが指定されていません: Host "objectID"または"name"	Host の"objectID"または"name"のどちらかを指定してください。
KAIC07734-E	ホストエージェントから送られてきた情報が不正です。ペアの相手のボリュームを管理しているストレージシステムのシリアル番号が指定されていません。	XML の記述を見直してください。または顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07735-E	ホスト"<ホスト名>"上のペア構成情報の取得に失敗しました。エラーの詳細: "<エラーの詳細>"	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07736-E	インスタンス番号"<インスタンス番号>"で指定された構成定義ファイルはすでにホスト"<ホスト名>"上にあります。	異なるインスタンス番号を指定したあと、再びこの操作を実行してください。
KAIC07737-E	ホスト"<ホスト名>"上のインスタンス番号"<インスタンス番号>"の構成定義ファイルは Device Manager が管理しているものではありません。	異なるインスタンス番号を指定したあと、再びこの操作を実行してください。
KAIC07738-E	インスタンス番号"<インスタンス番号>"で指定された構成定義ファイルはホスト"<ホスト名>"上にありません。	異なるインスタンス番号を指定したあと、再びこの操作を実行してください。
KAIC07739-E	指定されたグループ"<グループ名>"は構成定義ファイル (インスタンス番号"<インスタンス番号>", ホスト"<ホスト名>") 内に存在しません。	異なるグループ名を指定したあと、再びこの操作を実行してください。
KAIC07740-E	この API バージョンはストレージシステムの LUN Management オプションに対応していません。	API サポートバージョンとストレージシステムのオプションリストを確認してください。
KAIC07741-E	すべての ExternalPathInfo エLEMENT の priority 属性に、値が指定されていません。	すべての priority 属性に値を指定するか、またはすべての priority 属性の値を省略してください。
KAIC07742-E	複数の ExternalPathInfo エLEMENT の priority 属性に同じ値が指定されています。	複数の ExternalPathInfo エLEMENT の priority 属性には、それぞれ異なる値を設定してください。
KAIC07743-E	ExternalPathInfo エLEMENT の priority 属性に指定した値が、指定したパスグループに設定されている値と異なります。	priority 属性には、指定したパスグループに設定された priority 属性と同じ値を指定してください。
KAIC07744-E	指定したスナップショットグループ"<スナップショットグループ名>"はストレージ装置 (モデル名"<モデル名>", シリアル番号"<シリアル番号>") にありません。	異なるスナップショットグループ名を指定したあと、再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07745-E	指定した階層の配下に子グループを作成できません。親階層はフォルダの論理グループを指定してください。	フォルダの論理グループを親階層に指定してください。
KAIC07746-E	指定した階層の名前(<階層の名前>)は、すでに同一ストレージシステムで使用されています。	階層に指定した名前を見直したあと、操作を再実行してください。
KAIC07747-E	指定したペア (P-VOL : <P-VOL デバイス番号>, S-VOL : <S-VOL デバイス番号>) はスナップショットグループ<スナップショットグループ名>にありません。	異なるペアを指定したあと、再実行してください。
KAIC07748-E	パラメーターが指定されていません: storage system "arrayType"または"serialNumber"	storage system の"arrayType"および"serialNumber"の両方を指定してください。
KAIC07749-E	パラメーターが指定されていません: SnapshotGroup "groupID"または"groupName"	SnapshotGroup の"groupID"または"groupName"のどちらかを指定してください。
KAIC07750-E	指定されたデバイス"<デバイス名>"は構成定義ファイル (インスタンス番号"<インスタンス番号>", ホスト"<ホスト名>") に存在します。	異なるデバイス名を指定したあと、再びこの操作を実行してください。
KAIC07751-E	指定されたグループ"<グループ名>"は構成定義ファイル (インスタンス番号"<インスタンス番号>", ホスト"<ホスト名>") に存在しません。	異なるグループ名を指定したあと、再びこの操作を実行してください。
KAIC07752-E	ホストエージェント (URL "<ホストエージェントの URL >") は、"<機能名>"の機能をサポートしていません。	バージョンが"<必要なバージョン>"以降のホストエージェントを使用してください。
KAIC07753-E	ペアの操作に失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07754-E	構成定義ファイル (インスタンス番号"<インスタンス番号>", ホスト"<ホスト名>"とインスタンス番号"<インスタンス番号>", ホスト"<ホスト名>") 内のペア構成情報の削除に失敗しました。エラーの詳細、ホスト"<インスタンス番号>": "<エラーの詳細>"	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07755-E	ペアの作成に失敗しました。指定されたペア構成情報が、構成定義ファイル (インスタンス番号"<インスタンス番号>", ホスト"<ホスト名>") と構成定義ファイル (インスタンス番号"<インスタンス番号>", ホスト"<ホスト名>") に残っているおそれがあります。エラーの詳細: "<エラーの詳細>"	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07756-E	ホストエージェントでサービスを実行中にエラーが発生しました。ホストエージェントのエラーメッセージ: "<ホストエージェントのエラー>"	ペア操作をしていた場合は、次のことが適切かどうか見直してください。 <ul style="list-style-type: none"> • ペアの状態 • ペアのカスケード構成 • P-VOL に対する S-VOL の個数

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	メッセージ>", コマンドのエラー メッセージ:"<コマンドのエラー メッセージ>"	<ul style="list-style-type: none"> • P-VOL の要件 • S-VOL の要件 • データテーブルを使用するペアの場合、データ テーブルの状態 <p>上記を見直したあとエラーが繰り返し発生する場合は、Device Manager サーバが最新のストレージシステムの情報を保持していないおそれがあります。リフレッシュを実行したあと、再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p> <p>ペア操作以外でエラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>
KAIC07757-E	ホストエージェントでエラーを検知 しました。詳細:"<エラーの詳細>"	<p>ペア操作をしていた場合は、次のことが適切かどうか見直してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ペアの状態 • ペアのカスケード構成 • P-VOL に対する S-VOL の個数 • P-VOL の要件 • S-VOL の要件 • データテーブルを使用するペアの場合、データ テーブルの状態 <p>上記を見直したあとエラーが繰り返し発生する場合は、Device Manager サーバが最新のストレージシステムの情報を保持していないおそれがあります。リフレッシュを実行したあと、再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p> <p>ペア操作以外でエラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>
KAIC07758-E	ホスト"<ホスト名>"にはインスタ ンス番号"<インスタンス番号>"の 構成定義ファイルは存在しません。	ホスト"<ホスト名>"上に構成定義ファイルがあることを確認した後、再実行してください。
KAIC07759-E	指定された構成定義ファイル (イン スタンス番号 "<インスタンス番号>", ホスト "<ホスト名>") は有効ではあ りません。構成定義ファイルが改変 されているか、コマンドデバイスの指 定が無効になっているおそれがあり ます。	構成定義ファイル (インスタンス番号"<インスタンス番号>", ホスト"<ホスト名>") を調べ、修正してください。
KAIC07760-E	指定された構成定義ファイル (イン スタンス番号 "<インスタンス番号>") の内容は、ホスト"<ホスト名>"上の ものと同一ではありません。	リフレッシュを実行してください。
KAIC07761-E	指定されたデバイス名は、構成定義 ファイル (インスタンス番号 "<イン スタンス番号>", ホスト"<ホスト名 >") 内に存在しません。	リフレッシュを実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07762-E	ペアの削除に失敗しました。エラーの詳細、ホスト"<ホスト名>": "<エラーの詳細>"	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07763-E	Device Manager Server によってタイムアウトしました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07764-E	内部エラーが発生しました。パラメータ"<パラメータ>"が指定されていません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07765-E	ペアの作成に失敗しました。指定されたペア構成情報が、構成定義ファイル (インスタンス番号 "<インスタンス番号>", ホスト"<ホスト名>") と構成定義ファイル (インスタンス番号 "<インスタンス番号>", ホスト"<ホスト名>") に残っているおそれがあります。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07766-E	ホスト"<ホスト名>"上の HORCM インスタンス"<インスタンス番号>"の起動に失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07767-E	ペアの削除に失敗したおそれがあります。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07768-E	HORCM インスタンス (インスタンス番号"<インスタンス番号>", ホスト"<ホスト名>") の再起動に失敗しました。エラーの詳細: "<エラーの詳細>"	ホストの管理者に連絡し、HORCM インスタンスを再起動してください。
KAIC07769-E	内部エラーが発生しました。ホストエージェントへのサービスの実行に失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07770-E	HORCM インスタンス (インスタンス番号"<インスタンス番号>", ホスト"<ホスト名>") の停止に失敗しました。エラーの詳細: "<エラーの詳細>"	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07771-E	"<操作>"の結果の取得に失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07772-E	内部エラーが発生しました。ホストエージェントへのリクエストの生成に失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07773-E	ペアの作成に失敗しました。ホスト"<ホスト名 1 >"側のエラーの詳細: "<エラーの詳細>", ホスト"<ホスト名 2 >"側のエラーの詳細: "<エラーの詳細>"	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07774-E	ペアの作成に失敗しました。ホスト"<ホスト名>"のエラー詳細: "<エラーの詳細>"	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07775-E	ペアの作成に失敗しました。構成定義ファイル (インスタンス番号"<インスタンス番号>", ホスト"<ホスト名 1 >"とインスタンス番号"<インスタンス番号>", ホスト"<ホスト名 2 >") にペア構成情報が残っている	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	おそれがあります。エラーの詳細、ホスト"<ホスト名 1 >"側:"<エラーの詳細>", ホスト"<ホスト名 2 >"側:"<エラーの詳細>"	
KAIC07776-E	ペアの作成に失敗しました。構成定義ファイル (インスタンス番号"<インスタンス番号>", ホスト"<ホスト名 >") にペア構成情報が残っているおそれがあります。エラーの詳細、ホスト"<ホスト名 >"側:"<エラーの詳細>"	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07777-E	ペアの作成に失敗しました。構成定義ファイル (インスタンス番号"<インスタンス番号>", ホスト"<ホスト名 1 >") にペア構成情報が残っているおそれがあります。エラーの詳細、ホスト"<ホスト名 1 >"側:"<エラーの詳細>", ホスト"<ホスト名 2 >"側:"<エラーの詳細>"	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07778-E	リクエストの実行に失敗しました。ホストエージェントからのレスポンスが不正です。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07779-E	構成定義ファイル (インスタンス番号"<インスタンス番号>", ホスト"<ホスト名 >") の削除に失敗しました。エラーの詳細"<エラーの詳細>"	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07780-E	ペアの削除に失敗しました。エラーの詳細、ホスト"<ホスト名 1 >"側:"<エラーの詳細>", ホスト"<ホスト名 2 >"側:"<エラーの詳細>"	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07781-E	構成定義ファイル (インスタンス番号"<インスタンス番号>", ホスト"<ホスト名 1 >"とインスタンス番号"<インスタンス番号>", ホスト"<ホスト名 2 >") 内のペア構成情報の削除に失敗しました。エラーの詳細、ホスト"<ホスト名 1 >"側:"<エラーの詳細>", ホスト"<ホスト名 2 >"側:"<エラーの詳細>"	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07782-E	構成定義ファイル (インスタンス番号"<インスタンス番号>", ホスト"<ホスト名 >") 内のペア構成情報の削除に失敗しました。エラーの詳細"<エラーの詳細>"	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07783-E	ペアの変更に失敗しました。エラーの詳細、ホスト"<ホスト名 >":"<エラーの詳細>"	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07784-E	ペアの変更に失敗しました。エラーの詳細、ホスト"<ホスト名 1 >":"<エラーの詳細>", ホスト"<ホスト名 2 >":"<エラーの詳細>"	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07785-E	ホスト"<ホスト名>"上の HORCM インスタンス"<インスタンス番号>"の再起動に失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07786-E	ホストエージェント ("<エージェント URL >") で内部エラーが発生しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07787-E	ホストエージェント (ホスト名: "<ホスト名>") は, "<ホストエージェントに関するサービス名>"の機能をサポートできません。このホストの"<ホストの PP の名称>"のバージョンが"<必要なバージョン>"以降のホストエージェントを使用してください。	このホストの環境を確認してください。
KAIC07788-E	Device Manager サーバはホストエージェントの"<ホストエージェントに関するサービス名>"機能を操作できません。	このホストの環境を確認してください。
KAIC07789-E	ホストエージェントでサービスを実行中にエラーが発生しました。ホストエージェントのエラーメッセージ: "<ホストエージェントのエラーメッセージ>"	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07790-E	ホスト"<ホスト名>"上のボリューム情報取得に失敗しました。エラーの詳細: "<エラーの詳細>"	ホストエージェントの状態を確認してください。エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07791-E	ホスト"<ホスト名>"上のソフトウェア情報取得に失敗しました。エラーの詳細: "<エラーの詳細>"	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07792-E	ホスト"<ホスト名>"上のペアボリューム情報取得に失敗しました。エラーの詳細: "<エラーの詳細>"	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07793-E	リクエストの実行に失敗しました。指定された LU "<デバイス番号>"は< PP 名 (UniversalReplicator) >で使用されています。	LU の指定を見直し、再実行してください。
KAIC07794-E	UniversalReplicator ペアまたは Continuous Access XP Journal ペアの作成, 変更, 削除をサポートしていません。	リクエストを見直して再実行ください。
KAIC07795-E	< PP 名 (UniversalReplicator) >で使用されている LU (devNum="<デバイス番号>") の最後のパスは解除できません。	指定を見直してください。
KAIC07796-E	リクエストの実行に失敗しました。指定された LU "<デバイス番号>"はジャーナルボリュームとして使用されています。	LU の指定を見直し、再実行してください。
KAIC07797-E	デバイス番号"<デバイス番号>"が、指定した LUSE の LDEV 番号と範囲が重なっているため、LUSE の対象にできません。	すでに構成されている LUSE を基に LUSE を作成する場合は、LDEV 番号の範囲が重ならないようにしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07798-E	このストレージシステムのマイクロコード"<マイクロコードバージョン>"はパスが設定されている LUSE の操作をサポートしていません。	ストレージシステムに含まれるソフトウェアのバージョンを確認してください。
KAIC07799-E	リクエストの実行に失敗しました。指定された LU "<デバイス番号>" はシステムディスクとして使用されています。	LU の指定を見直し、再実行してください。
KAIC07800-E	リクエスト中のエレメント数が不正です。"<エレメント名>"エレメントの指定できる最大数は"<指定できる最大エレメント数>"です。	リクエスト中の指定エレメント数を見直した後、再実行してください。
KAIC07801-E	リクエスト中のエレメントが不足しています。"<エレメント名>"エレメントを指定してください。	リクエスト中のエレメントの指定を見直した後、再実行してください。
KAIC07802-E	リクエスト中のエレメントが不足しています。このコマンドを実行するには"<エレメント名>"エレメントを"<指定できる最小エレメント数>"以上指定する必要があります。	リクエスト中の指定エレメント数を見直した後、再実行してください。
KAIC07803-E	パラメータが指定されていません："<エレメント名>" "<アトリビュート名>"	リクエスト中のエレメントに正しくパラメータが指定されているか見直した後、再実行してください。
KAIC07804-E	パラメータが不正です。リクエスト中の二つ以上の Path エレメントで同一オブジェクトが指定されています。	Path エレメントのオブジェクトの指定を見直した後、再実行してください。
KAIC07805-E	パラメータが不正です。リクエスト中の二つ以上の "WorldWideName"エレメントで同一 WWN "< WWN >"が指定されています。	WorldWideName エレメントの WWN 指定を見直した後、再実行してください。
KAIC07806-E	指定したポート"<ポート名>"はセキュリティスイッチが OFF になっているので、コマンドを実行できません。このコマンドを実行するにはポートのセキュリティスイッチが ON になっている必要があります。	指定したポートのセキュリティスイッチを ON にしたあと、再実行してください。
KAIC07807-E	指定したポート"<ポート名>"上にパスがないので、LUN グループを作成できません。LUN グループを作成するには作成先のポート上に少なくとも一つのパスがなければなりません。	指定したポート上にパスを一つ以上作成したあと、再実行してください。
KAIC07808-E	このコマンドによって、指定したポート"<ポート名>"上の LUN グループ数が同一ポート上に作成できる最大 LUN グループ数"<同一ポート上に作成できる LUN グループの最大数>"を超えてしまうので実行できません。	最大数を超えないようにポートまたは LUN グループの指定を見直したあと、再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07809-E	このコマンドによって、指定したポート "<ポート名>"上の WWN グループ数が同一ポート上に作成できる最大 WWN グループ数 "<同一ポート上に作成できる WWN グループの最大数>"を超えてしまうので実行できません。	最大数を超えないようにポートまたは WWN グループの指定を見直したあと、再実行してください。
KAIC07810-E	指定されたニックネーム "<ニックネーム>"は不正です。ニックネームの最大長は "<ニックネームの最大長(バイト数)>"バイトです。	ニックネームの指定を見直した後、再実行してください。
KAIC07811-E	指定されたニックネーム "<ニックネーム>"は不正です。禁則文字が含まれています。	ニックネームの指定を見直した後、再実行してください。
KAIC07812-E	指定されたニックネーム "<ニックネーム>"は同一ポート上のほかの LUN グループがすでに使用しているため使用できません。	同一ポート上のほかの LUN グループと重複しないニックネームを指定してから再実行してください。
KAIC07813-E	指定されたニックネーム "<ニックネーム>"は同一ポート上のほかの WWN/WWN グループがすでに使用しているため使用できません。	同一ポート上のほかの WWN/WWN グループと重複しないニックネームを指定してから再実行してください。
KAIC07814-E	指定したパスは同一ポート上のほかの LUN グループに属しているため、使用できません。	同一ポート上のほかの LUN グループに属していないパスを指定してから再実行してください。
KAIC07815-E	指定された WWN "<WWN>"は同一ポート上のほかの WWN グループに属しているため使用できません。	同一ポート上のほかの WWN グループに属していない WWN を指定してから再実行してください。
KAIC07816-E	異なるセキュリティを持つパスを同じ LUN グループに入れることはできません。同一セキュリティを持つパスを指定するか、セキュリティを持たないパスを指定する必要があります。	パスの指定を見直した後、再実行してください。
KAIC07817-E	異なるパスに使用されている WWN を同じ WWN グループに入れることはできません。同じパスに使用されている WWN を指定するか、どのパスからも使用されていない WWN を指定する必要があります。	WWN の指定を見直した後、再実行してください。
KAIC07818-E	指定したパスはポート "<ポート名>"上のパスではありません。指定したポート上のパスを指定する必要があります。	指定するポートとパスの関係を見直したあと、再実行してください。
KAIC07819-E	指定された WWN は WWNGroup の一部です。WWNGroup 単位でセキュリティを設定/解除するには、WWNGroup を構成する WWN をすべて指定する必要があります。	WWNGroup の要素でない WWN を指定するか、WWNGroup の構成要素すべてを指定してください。
KAIC07820-E	指定されたホストストレージドメインは LUN グループに属するパスを含んでいます。このコマンドは LUN	指定するホストストレージドメインに、LUN グループに属するパスがないことを確認してから再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	グループに属するパスに対してのセキュリティ設定/解除をサポートしていません。	
KAIC07821-E	指定されたバージョンの API では WWNGroup を構成している WWN に対する本操作をサポートしていません。	API サポートバージョンを確認してください。
KAIC07822-E	指定された WWN "< WWN >"は同一ポート上のホストストレージドメイン"< HostStorageDomain >"で使われているため使用できません。	同一ポート上のほかのホストストレージドメインで使われていない WWN を指定してから再実行してください。
KAIC07823-E	LUSE を構成している代表以外の LDEV (devNum="<デバイス番号>") が指定されました。代表以外の LDEV を指定して LUSE を作成することはできません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07824-E	LUSE を構成している代表以外の LDEV (devNum="<デバイス番号>") が指定されました。代表以外の LDEV にパスを設定することはできません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07825-E	指定されたニックネーム "<ニックネーム>"は同一ポート上のほかの WWN/ホストストレージドメインがすでに使用しているため使用できません。	同一ポート上のほかの WWN/ホストストレージドメインと重複しないニックネームを指定してから再実行してください。
KAIC07826-E	指定されたニックネーム "<ニックネーム>"は同一ポート上のほかのホストストレージドメインがすでに使用しているため使用できません。	同一ポート上のほかのホストストレージドメインと重複しないニックネームを指定してから再実行してください。
KAIC07827-E	指定されたニックネーム "<ニックネーム>"は同一ポート上のほかの WWN がすでに使用しているため使用できません。	同一ポート上のほかの WWN と重複しないニックネームを指定してから再実行してください。
KAIC07828-E	指定したホストストレージドメイン (nickname="< HSD のニックネーム>", portID="<ポート ID >")はありません。	指定を見直してください。
KAIC07829-E	指定した WWN(nickname="< WorldWideName のニックネーム>")はホストストレージドメイン (portID="<ポート ID >", domainID="<ドメイン ID >")はありません。	指定を見直してください。
KAIC07830-E	< PP 名(QuickShadow)>が設定されている LU (devNum="<デバイス番号>") の最後のパスは解除できません。	設定を解除してから、パスを解除してください。
KAIC07831-E	この API バージョンでは、指定されたストレージシステムの "< PP 名 >" ペアの作成、変更、削除はサポートしていません。	リクエストを見直してから再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07832-E	指定された ISCSIName(nickname="<ISCSIName のニックネーム>") はホストストレージドメイン (portID="<ポート ID >", domainID="<ドメイン ID >") にありません。	指定を見直してください。
KAIC07833-E	指定されたホストストレージドメインは Device Manager データベース内にありません。	ホストストレージドメインの指定を見直してください。
KAIC07834-E	ホスト"<ホスト名>"とホスト"<ホスト名>"は互いに通信できる通信プロトコルがありません。	ホストの設定を見直してください。
KAIC07835-E	ホスト"<ホスト名>"には指定した操作を実行するのに必要な IP アドレスが登録されていません。	ホストエージェント、RAID Manager のバージョン、およびホストの設定を見直してください。
KAIC07836-E	ポートロール"<ポートロール>"のポート (portID="<ポート ID >") に対して、この操作を実行できません。	ポートの指定を見直してください。
KAIC07840-E	指定したポートにはすでに LUN の最大数が設定されているか、またはこの処理をすると LUN の最大数を超えるおそれがあります。	設定内容を見直してください。
KAIC07841-E	指定した HostStorageDomain にはすでに LUN の最大数が設定されているか、またはこの処理をすると LUN の最大数を超えるおそれがあります。	設定内容を見直してください。
KAIC07842-E	LUSE でない LDEV (devNum="<デバイス番号>") を指定しました。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07843-E	LUN が設定されている LUSE (devNum="<デバイス番号>") を指定しました。DeleteLUSE で LUN が設定されている LUSE の削除はできません。	LUSE の指定を見直してください。
KAIC07844-E	パラメータが不正です。リクエスト中の二つ以上の "Rule" エレメントで同一 ruleID "<ruleID >" が指定されています。	Rule エレメントの ruleID 指定を見直した後、再実行してください。
KAIC07845-E	同じポート/グループ/LUN の組 (portID="<ポート ID >"/domainID="<ドメイン ID >"/lun="<LUN >") に対して、複数のボリュームを設定しようとしています。	指定を見直してください。
KAIC07846-E	LUSE を構成しようとしている LDEV (devNum="<デバイス番号>") はコマンドデバイスです。	指定を見直してください。
KAIC07847-E	同じポート/グループ/LUN の組 (portID="<ポート ID >"/lun="<LUN >") に対して、複数のボリュームを設定しようとしています。	指定を見直してください。
KAIC07848-E	先頭に指定する LDEV (devNum="<デバイス番号>") は指定する LDEV	指定を見直してから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	のなかで最も小さい番号である必要があります。	
KAIC07849-E	指定したリクエストは、ArrayGroup エlementに type="<アレイグループタイプ>"を指定した場合、LogicalUnit Elementの「dpPoolID」または「threshold」は指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07850-E	指定したリクエストは、複数の ArrayGroup の「type」が異なります。「type」は同一である必要があります。	ArrayGroup の「type」を見直してから再実行してください。
KAIC07851-E	この ArrayGroup の指定は、「force」オプションを指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07852-E	指定したアレイグループ (シャーシ="<シャーシ>" アレイグループ番号="<アレイグループ番号>") はペアが構成されている LU "<デバイス番号>"があるので、削除できません。	アレイグループの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07853-E	指定した LU "<デバイス番号>"はペアが構成されているので、削除できません。	LU の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07854-E	この"<API または CLI >"バージョンは、"<PP 名 (QuickShadow)>"の仮想ボリュームを削除する機能をサポートしていません。	サポートバージョンを確認してください。
KAIC07855-E	この"<API または CLI >"バージョンは、"<PP 名 (QuickShadow)>"の仮想ボリュームを作成する機能をサポートしていません。	サポートバージョンを確認してください。
KAIC07856-E	このリクエストは、シャーシ="<シャーシ>"を持つ ArrayGroup を指定できません。	ArrayGroup の指定を見直してください。
KAIC07857-E	このリクエストは、シャーシ="<シャーシ>"を持つ LogicalUnit を指定できません。	LogicalUnit の指定を見直してください。
KAIC07858-E	指定したリクエストは、複数の LogicalUnit の仮想ボリュームの「type」が異なります。仮想ボリュームの「type」は同一である必要があります。	LogicalUnit の指定を見直してください。
KAIC07859-E	指定したストレージ装置にはすでにスナップショットグループの最大数が設定されているか、またはこの処理をするとスナップショットグループの最大数を超えるおそれがあります。	設定内容を見直してください。
KAIC07860-E	Data Retention の"<パラメータ名のリスト>"パラメータが不足しています。保護属性を変更するには、パラメータを一つ以上指定する必要があります。	パラメータの指定を見直したあと、再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07861-E	パラメータ"<パラメータ名>"に無効な値が指定されました。	有効な値を指定してください。
KAIC07862-E	指定された LDEV はオープンボリュームではありません。オープンボリュームではない LDEV には保護属性は設定できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07863-E	LUSE を構成している代表 LDEV 以外の LDEV が指定されました。代表以外の LDEV には保護属性は設定できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07864-E	オンデマンドデバイスが指定されました。オンデマンドデバイスには保護属性は設定できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07865-E	指定したスナップショットグループにはすでにペアの最大数が設定されているか、またはこの処理をするとペアの最大数を超えるおそれがあります。	設定内容を見直してください。
KAIC07866-E	<PP 名 (Volume Migration)> の予約ボリュームが指定されました。<PP 名 (Volume Migration)> の予約ボリュームには保護属性を設定できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07867-E	指定された LDEV はコマンドデバイスです。コマンドデバイスには保護属性を設定できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07869-E	指定された LDEV は保護されていません。保護されていない LDEV には指定された保護期間は設定できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07870-E	データプールボリュームが指定されました。データプールボリュームには保護属性は設定できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07871-E	ioAccess の値を Read/Write 以外に変更する場合は、replication の設定ができません。	ioAccess と replication の指定を見直してください。
KAIC07872-E	ioAccess の値が Read/Write 以外のため replication の設定ができません。	ioAccess と replication の指定を見直してください。
KAIC07873-E	指定したストレージシステムのマイクロコードのバージョンでは、新規割り当て用空き領域率および再配置用バッファ領域率の設定はできません。	ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを確認してから、再実行してください。
KAIC07874-E	新規割り当て用空き領域率または再配置用バッファ領域率の設定は、プールの拡張と同時に実行できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07875-E	新規割り当て用空き領域率または再配置用バッファ領域率の設定は、プールの縮小と同時に実行できません。	リクエストを見直してから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07876-E	新規割り当て用空き領域率または再配置用バッファ領域率の設定は、外部ボリューム階層ランクの設定と同時に実行できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07877-E	指定したプールは"<PP名 (Dynamic Provisioning)>"のため、新規割り当て用空き領域率および再配置用バッファ領域率の設定はできません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07878-E	プールは作成できましたが、新規割り当て用空き領域率または再配置用バッファ領域率の変更はできません。作成されたプール ("<プール ID >") の状態を確認してから新規割り当て用空き領域率または再配置用バッファ領域率を変更してください。(詳細情報: "<エラーの詳細>")	ストレージシステムの状態を確認してから再実行してください。
KAIC07879-E	指定したストレージシステムでは、新規割り当て用空き領域率および再配置用バッファ領域率の設定はできません。	ストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC07880-E	指定した LDEV (devNum="<デバイス番号>"と devNum="<デバイス番号>") は CLPR が異なるので、LUSE を作成できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07881-E	リクエストの実行に失敗しました。指定した LU は、デルタリシンク用のペアには使用できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07882-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したジャーナルグループは、デルタリシンク用のペアには使用できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07883-E	リクエストの実行に失敗しました。3DC を構成する一部のストレージシステムがデータベースに登録されていません。	3DC を構成するすべてのストレージシステムを追加してから再実行してください。
KAIC07884-E	リクエストの実行に失敗しました。3DC を構成する一部のストレージシステムがデルタリシンク用のペア作成をサポートしていません。	3DC を構成するすべてのストレージシステムのマイクロコードバージョンを確認してください。
KAIC07885-E	リクエストの実行に失敗しました。デルタリシンク用のペアに対して、指定した操作をサポートしていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07886-E	リクエストの実行に失敗しました。デルタリシンク用のペアがあるので、指定したペアを削除できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07887-E	階層プロパティ情報が取得できません。ほかのプロセスが階層プロパティ情報を取得中です。しばらく時間をおいたあと、再実行してください。	しばらくしてから、操作し直してください。同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07888-E	指定した<構成要素名>は Device Manager データベースにありません。	指定を見直してください。
KAIC07889-E	Device Manager は"<PP名 (Dynamic Tiering)>"機能以外では指定した操作をサポートしていません。	機能のタイプの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC07890-E	指定された LU "<デバイス番号>" は保護されています。削除できません。	LU の指定を見直してください。
KAIC07891-E	指定された LDEV "<デバイス番号>" は保護されています。LUSE には使用できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07892-E	指定された LUSE ボリューム "<デバイス番号>" は保護されています。LUSE の解除はできません。	LU の指定を見直してください。
KAIC07893-E	指定された LU "<デバイス番号>" は保護されています。コマンドデバイスには使用できません。	LU の指定を見直してください。
KAIC07894-E	指定された LU "<デバイス番号>" は保護されています。S-VOL に使用することはできません。	LU の指定を見直してください。
KAIC07895-E	指定されたペアの P-VOL "<デバイス番号>" は保護されています。逆再同期をすることはできません。	ペアの指定を見直してください。
KAIC07896-E	指定されたペアの S-VOL "<devNum >" は保護されています。再同期を行うことはできません。	ペアの指定を見直してください。
KAIC07897-E	指定されたアレイグループには保護されている LDEV が含まれていません。削除できません。	アレイグループの指定を見直してください。
KAIC07898-E	指定されたペアの S-VOL"<デバイス番号>"は保護されています。逆再同期はできません。	ペアの指定を見直してください。
KAIC07899-E	内部エラーが発生しました。"<クラス名>"クラスに適切なメソッドが見つからないので、エージェントサービスの実行に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07900-E	ホストの更新に必要な情報が登録されていません。対象ホストが更新操作をサポートしていない場合は、対処の必要はありません。更新操作をサポートしている場合は、Device Manager エージェントが正しく動作していないおそれがあります。対象ホストの Device Manager エージェントの設定を確認し、Device Manager エージェントを再起動してください。	対象ホストが更新操作をサポートしていない場合は、対処の必要はありません。更新操作をサポートしている場合は、対象ホストの Device Manager エージェントの設定を確認し、Device Manager エージェントを再起動してください。
KAIC07901-E	リクエストの実行に失敗しました。アトリビュート"<属性名>"が指定されていません。	objectID を指定しない場合"<属性名>"が必要です。"<属性名>"をリクエストに追加してから再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07902-E	リクエストの実行に失敗しました。指定されたホスト (名前="<ホスト名>", ホスト ID="<ホスト ID >") ではレプリケーションを扱えません。	有効なホストを選択してから再実行してください。
KAIC07903-E	リクエストの実行に失敗しました。指定されたホスト ID "<指定されたホスト ID >"はデータベースから見付かりませんでした。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07904-E	リクエストの実行に失敗しました。ReplicationInfo が指定されていません。	AddReplication は少なくとも 1 個の ReplicationInfo が必要です。ReplicationInfo の指定を追加してから再実行してください。
KAIC07905-E	リクエストの実行に失敗しました。"<属性名>"に対する不正な値が指定されました。	1 文字以上 31 文字以下でかつ空白文字 (' ') を含んではなりません。リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07906-E	リクエストの実行に失敗しました。"<属性名>"に対する不正な値が指定されました。	0 以上 4094 以下でなければなりません。リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07907-E	リクエストの実行に失敗しました。"<属性名>"が指定されていません。	新規構成定義ファイルを作成する場合はネットワークポート番号が必要です。リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07908-E	リクエストの実行に失敗しました。"<属性名>"に対する不正な値が指定されました。	0 以上 65535 以下でなければなりません。リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07909-E	リクエストの実行に失敗しました。"replicationFunction"に対する不正な値が指定されました。	指定したペアの操作をサポートしていません。ペアの指定を見直してください。
KAIC07910-E	リクエストの実行に失敗しました。fenceLevel に対する不正な値が指定されました。	Never か Data か Status でなければなりません。リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07911-E	リクエストの実行に失敗しました。"<属性名>"が指定されていません。	AddReplication は機種情報が必要です。リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07912-E	リクエストの実行に失敗しました。"<属性名>"が指定されていません。	AddReplication は製造番号が必要です。リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07913-E	リクエストの実行に失敗しました。"<属性名>"が指定されていません。	AddReplication はデバイス番号が必要です。リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07914-E	リクエストの実行に失敗しました。指定した LU (製造番号="<製番>", デバイス番号="<デバイス番号>") はデータベースに見つかりません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07915-E	リクエストの実行に失敗しました。指定した LU (製造番号="<製番>", デバイス番号="<デバイス番号>") は"<原因>"なのでレプリケーションに使用できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07916-E	リクエストの実行に失敗しました。指定した LU (製造番号="<製番>", デバイス番号="<デバイス番号>") はホストに対するセキュリティが設定されていません。	ホストに対してセキュリティを設定し、リフレッシュを実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07917-E	リクエストの実行に失敗しました。 muNumber に対する不正な値が指定されました。	muNumber の指定を見直してください。
KAIC07918-E	リクエストの実行に失敗しました。 指定したストレージシステム (製造番号="<製番>") はデータベースに見つかりません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07919-E	リクエストの実行に失敗しました。 指定したホスト"<ホスト名>"にホストエージェントが見つかりませんでした。	ホスト"<ホスト名>"にホストエージェントがインストールされていることを確認し、ホストエージェントを再起動してください。メインフレームホストの場合は、URLLink が正しく登録されていることを確認してください。
KAIC07920-E	これ以上レプリケーショングループを作成できません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07921-E	これ以上構成定義ファイルを作成できません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07922-E	リクエストの実行に失敗しました。 フェンスレベル'Status'は指定されたストレージシステムには使用できません。	パラメータを見直してから再実行してください。
KAIC07923-E	"<ライセンス名>"のライセンスキーがインストールされていません。	ライセンスキーをインストールしてください。
KAIC07924-E	"<ライセンス名>"のライセンスキーが無効になっています。	ライセンスキーを有効にしてください。
KAIC07925-E	リクエストの実行に失敗しました。 重複したペア名"<ペア名>"が指定されました。	HORCM インスタンス内ではペア名が一意になるようにしてください。
KAIC07926-E	リクエストの実行に失敗しました。 指定されたペア名"<ペア名>"はすでに使用されています。	HORCM インスタンス内ではペア名が一意になるようにしてください。
KAIC07927-E	これ以上レプリケーションを作成できません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07928-E	指定されたストレージシステムはシングルコントローラ構成です。	デュアルコントローラ構成である必要があります。
KAIC07929-E	リクエストの実行に失敗しました。 ローカルのストレージシステムとリモートのストレージシステムの間、リモートパスまたは MCU-RCU パスが正しく設定されていません。	リモートパスまたは MCU-RCU パスを見直してください。
KAIC07930-E	リクエストの実行に失敗しました。 ホスト"<ホスト名>"は指定した LU (製造番号="<製番>", デバイス番号="<デバイス番号>") を認識していません。	ホストが LU を認識していることを確認し、ホストエージェントの"HiScan"コマンドを実行してください。
KAIC07931-E	リクエストの実行に失敗しました。 指定された LU の組み合わせは不正です。サイズが異なります。	P-VOL, S-VOL にはサイズが同一の LU を指定してください。
KAIC07932-E	リクエストの実行に失敗しました。 指定された LU の組み合わせで指定されたレプリケーション機能は使用できません。	リクエストを見直してから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07933-E	リクエストの実行に失敗しました。指定された LU の組み合わせは不正です。エミュレーションタイプが異なります。	P-VOL, S-VOL にはエミュレーションタイプが同一である LU を指定してください。
KAIC07934-E	リクエストの実行に失敗しました。指定された LU の組み合わせは不正です。デフォルトポートコントローラが異なります。	P-VOL, S-VOL にはデフォルトポートコントローラが同一である LU を指定してください。
KAIC07935-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したアレイグループ (製造番号=" <製番>", シャーシ=" <シャーシ>", 番号=" <アレイグループ番号>") はデータベースに見つかりません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07936-E	リクエストの実行に失敗しました。指定された LU の組み合わせは不正です。RAID タイプが条件を満たしていません。	P-VOL, S-VOL にはデータディスク数が同一の LU を指定してください。また、ペアが TrueCopy である場合、RAID タイプは"RAID5" である必要があります。
KAIC07937-E	リクエストの実行に失敗しました。指定された LU は LUSE です。	P-VOL, S-VOL には LUSE ではない LU を指定してください。
KAIC07938-E	リクエストの実行に失敗しました。指定されたポート番号" <ポート番号>"はすでにほかの構成定義ファイルに使用されています。	" <ポート番号>" 以外のポート番号を指定してください。
KAIC07939-E	リクエストの実行に失敗しました。同一レプリケーショングループ内のペアはすべて同じレプリケーション機能でなければなりません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07940-E	リクエストの実行に失敗しました。同一レプリケーショングループ内のペアはすべて同じフェンスレベルでなければなりません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07941-E	リクエストの実行に失敗しました。同一レプリケーショングループ内のストレージシステムはすべて RAID かすべて DF でなければなりません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07942-E	リクエストの実行に失敗しました。指定されたレプリケーショングループはグループ単位で操作できません。構成定義ファイルに不明な定義が存在します。	ペア単位で操作してください。
KAIC07943-E	ホストエージェントトランスポートから予期せぬレスポンスが返りました。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC07944-E	" <API名>" のリクエストのうち幾つかが失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC07945-E	不正な GetHost のリクエストです。" <エレメント名>" に objectID が指定されていません。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC07946-E	一つのリクエストの中に同一のオブジェクトを含んでいます。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07947-E	指定されたストレージシステムは TrueCopyAsync をサポートしていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07948-E	指定されたペアに対して逆再同期はできません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07949-E	不正なレプリケーションの構成が指定されました。	レプリケーションの構成を確認してください。
KAIC07950-E	リクエストの実行に失敗しました。指定された MU 番号はすでに使用されています。	異なる MU 番号を指定してください。
KAIC07951-E	リクエストの実行に失敗しました。ストレージシステム"<ストレージシステム名>"が持てる"<レプリケーション機能>"ペアは、最大で"<ペア最大数>"個です。	既存のペアを削除してください。
KAIC07952-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したストレージシステム (シーケンス番号="<シーケンス番号>") はデータベースに見つかりません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07953-E	リクエストの実行に失敗しました。指定された LU の組み合わせは不正です。構成 LDEV 数が異なります。	P-VOL, S-VOL には構成 LDEV 数が同一である LU を指定してください。
KAIC07954-E	リクエストの実行に失敗しました。指定されたホスト (ホスト名="<ホスト名>", ホスト ID="<ホスト ID>") ではレプリケーションを扱えません。"<Agent または RAIDManager >"がインストールされていません。	"<Agent または RAIDManager >"をインストールしてください。
KAIC07955-E	リクエストの実行に失敗しました。指定されたホスト (ホスト名="<ホスト名>", ホスト ID="<ホスト ID>") ではレプリケーションを扱えません。ホストはセキュリティの設定されている LU を認識していません。	ホスト"<ホスト名>"が LU を認識していることを確認し、ホストエージェントの"HiScan"コマンドを実行してください。
KAIC07956-E	リクエストの実行に失敗しました。指定されたホスト (ホスト名="<ホスト名>", ホスト ID="<ホスト ID>") ではレプリケーションを扱えません。ホストはセキュリティの設定されているコマンドデバイスを認識していません。	ホストがコマンドデバイスを認識していることを確認し、ホストエージェントの"HiScan"コマンドを実行してください。
KAIC07957-E	リクエストの実行に失敗しました。オープンボリュームでない LU が指定されました。	P-VOL, S-VOL にはオープンボリュームである LU を指定してください。
KAIC07958-E	リクエストの実行に失敗しました。グループを構成するペアの組み合わせが間違っています。	リクエストを見直してから再実行してください。または、別のグループを指定し、再実行してください。
KAIC07959-E	リクエストの実行に失敗しました。QuickShadow の場合、ReplicationInfo のステータスが Simplex でなければなりません。	LU の指定を見直してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC07960-E	リクエストの実行に失敗しました。 QuickShadow の場合、S-VOL は QuickShadow V-VOL に指定済みでなければなりません。	LU の指定を見直してください。
KAIC07961-E	リクエストの実行に失敗しました。 指定された P-VOL は、指定された V-VOL を作成するときに関連づけられたボリュームではありません。	LU の指定を見直してください。
KAIC07962-E	リクエストの実行に失敗しました。 指定されたストレージシステムでは QuickShadow 機能をサポートしていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07963-E	リクエストの実行に失敗しました。 指定されたポート"<ポート ID >"がありません。	ポートの指定を見直してください。
KAIC07964-E	リクエストの実行に失敗しました。 指定したポート"<ポート ID >"上にある LU (製造番号="<製番>", デバイス番号="<デバイス番号>") はホストに対するセキュリティが設定されていません。	ホストに対してセキュリティを設定し、リフレッシュを実行してください。
KAIC07965-E	リクエストの実行に失敗しました。 ホスト"<ホスト名 >"は指定したポート"<ポート ID >"上にある LU (製造番号="<製番>", デバイス番号="<デバイス番号>") を認識していません。	ホストが LU を認識していることを確認し、ホストエージェントの"HiScan"コマンドを実行してください。
KAIC07966-E	リクエストの実行に失敗しました。 指定したポート"<ポート ID >"上にある LU (製造番号="<製番>", デバイス番号="<デバイス番号>") のパスがありません。	LU に対して指定したポート上にパスを設定してください。
KAIC07967-E	リクエストの実行に失敗しました。 指定した LU (製造番号="<製番>", デバイス番号="<デバイス番号>") のパスがありません。	LU に対してパスを設定してください。
KAIC07968-E	リクエストの実行に失敗しました。 ポートがありません。	ポートの状態を確認ください。
KAIC07969-E	この API バージョンでは、QuickShadow 機能をサポートしていません。	API サポートバージョンを確認してください。
KAIC07970-E	指定された icon "<icon >" は無効な値です。	指定した icon file を確認してください。
KAIC07971-E	リクエストの実行に失敗しました。 QuickShadow では、同一 P-VOL に対する複数ペアを同時にリストアはできません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07972-E	リクエストの実行に失敗しました。 指定されたインスタンス番号"<インスタンス番号 >"はすでに使用されています。	"<インスタンス番号 >"以外のインスタンス番号を指定してください。
KAIC07973-E	指定された LDEV (devNum="<デバイス番号 >"と devNum="<デバイス番号 >")	LUSE を構成するすべての LDEV が以下の条件を満たすことを確認してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	番号>") のタイプ, または, 属性が同一ではないため, LUSE を作成できません。	1. ボリュームの区分 (内部または外部) が同一である。 2. ディスクのタイプが同一である。 3. ホスト I/O 抑止モードが同一である。 4. キャッシュモードが同一である。
KAIC07974-E	External ポート"<ポート名>"に対し, パスを作成することはできません。	ポートの指定を見直してください。
KAIC07975-E	外部 LU の作成および削除はサポートしていません。	LDEV か ArrayGroup の指定を見直してください。
KAIC07976-E	指定した devNum "<デバイス番号>" は Device Manager サーバのデータベースにすでにあります。	LogicalUnit エLEMENTの"devNum"の指定を見直したあと, 再実行してください。
KAIC07977-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したストレージシステムに DM-LU がありません。	DM-LU を作成したあと再実行してください。
KAIC07978-E	パラメータが不正です。 WritingPattern エLEMENTの pattern 属性に指定可能な値は, "<パラメータ最小値>"バイトから"<パラメータ最大値>"バイトの 16 進数です。	リクエストを見直した後, 再実行してください。
KAIC07979-E	最後の WritingPattern エLEMENTのパラメータが不正です。	リクエストを見直した後, 再実行してください。
KAIC07980-E	パラメータが不正です。 "<ELEMENT名>" "<アトリビュート名>": "<アトリビュート値>"	リクエスト中のELEMENTのパラメーターが正しく指定されているか見直したあと, 再実行してください。
KAIC07981-E	ストライプサイズが異なる LDEV を指定しました。 LUSE(devNum="<デバイス番号>") を作成できません。	LDEV の指定を見直してください。
KAIC07982-E	リクエストを実行できませんでした。ストライプサイズの値が不正です。	ストライプサイズの指定を見直してください。
KAIC07983-E	リクエストの実行に失敗しました。このストレージシステムでは指定したレプリケーション機能はサポートされていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07984-E	リクエストの実行に失敗しました。このストレージシステムに対する指定したレプリケーション操作はサポートしていません。	ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを確認してください。
KAIC07985-E	リクエストの実行に失敗しました。このボリュームのエミュレーションタイプでは, 指定したレプリケーション操作を実行できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07986-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したジャーナルグループがありません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07987-E	リクエストの実行に失敗しました。ジャーナルボリュームが登録されていないジャーナルグループは使用できません。	リクエストを見直してから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07988-E	リクエストの実行に失敗しました。 指定したジャーナルグループは、メインフレーム用の機能で使用されています。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07989-E	リクエストの実行に失敗しました。 指定したジャーナルグループは、すでに正ジャーナルグループまたは副ジャーナルグループとして使用されているので使用できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07990-E	リクエストの実行に失敗しました。 指定した MU 番号は使用できません。	指定を見直してから再実行してください。
KAIC07991-E	リクエストの実行に失敗しました。 ジャーナルグループの組み合わせが不正です。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07992-E	リクエストの実行に失敗しました。 ペアボリュームとジャーナルグループを構成するジャーナルボリュームの CLPR が異なります。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07993-E	リクエストの実行に失敗しました。 ジャーナルグループとレプリケーショングループの組み合わせが不正です。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07994-E	リクエストの実行に失敗しました。 同じレプリケーショングループ内のペアは、すべて同じジャーナルグループを使用しなければなりません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07995-E	リクエストの実行に失敗しました。 指定された LU は <PP 名(Dynamic Provisioning)> のプールに使用されているため、P-VOL、S-VOL として使用できません。	LU の指定を見直してください。
KAIC07996-E	リクエストの実行に失敗しました。 <PP 名(Dynamic Provisioning)> のボリュームは次のレプリケーション機能で P-VOL、S-VOL として使用できません。レプリケーション機能：<PP 名(TrueCopy, TrueCopyAsync, QuickShadow, UniversalReplicator)>	LU の指定を見直してください。 注意 VSP および、USP V/VM(マイクロコードバージョンが 60-02-48-XX/XX 以降)は、DP ボリュームを QuickShadow の P-VOL に使用できます。
KAIC07997-E	リクエストの実行に失敗しました。 <PP 名(ShadowImage)> で S-VOL に <PP 名(Dynamic Provisioning)> のボリュームを使用する場合、P-VOL にも <PP 名(Dynamic Provisioning)> のボリュームを使用してください。	LU の指定を見直してください。
KAIC07998-E	リクエストの実行に失敗しました。 指定したペアボリュームとそのジャーナルグループに属するペアボリュームの CLPR が異なります。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07999-E	予期しないエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC08000-E	ストレージシステムの情報に実機と異なる部分を発見しました。ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。あなたがローカルユーザーであればシステム管理者に連絡してください。	Device Manager サーバは最新のストレージシステムの情報を保持していないおそれがあります。リフレッシュを実行してください。リフレッシュは GUI のリフレッシュ機能を使用するか API の <code>AddStorageArray</code> で実行できます。
KAIC08001-E	ストレージシステムの情報に実機と異なる部分を発見しました。ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。あなたがローカルユーザーであればシステム管理者に連絡してください。 <code>Error="<エラー>"</code>	Device Manager サーバは最新のストレージシステムの情報を保持していないおそれがあります。リフレッシュを実行してください。リフレッシュは GUI のリフレッシュ機能を使用するか API の <code>AddStorageArray</code> で実行できます。
KAIC08002-E	"FreeSpace"は指定できません。 "bulk", "dividebycap", "dividebynum"オプションを指定してから再実行してください。	オプションの指定を見直してください。
KAIC08003-E	この API バージョンでは、 LogicalUnit 一括機能をサポートしていません。	API サポートバージョンを確認してください。
KAIC08004-E	リクエストの実行に失敗しました。 オプション指定 (" <code><オプション名></code> " " <code><オプション名></code> ")の組み合わせが不正です。	オプションの指定を見直してください。
KAIC08005-E	LogicalUnit を削除できる個数は、" <code><最大 LogicalUnit 数></code> "を超えることはできません。	有効範囲内で削除する個数を指定してください。
KAIC08006-E	エミュレーションタイプが OPEN-V 以外の LogicalUnit を一括削除することはできません。(devNum=" <code><デバイス番号></code> ")	LogicalUnit の指定を見直してください。
KAIC08007-E	LDEV (devNum=" <code><デバイス番号></code> ")はパスが定義されているので削除できません。	LDEV を削除する前にパスを削除してください。
KAIC08008-E	LDEV (devNum=" <code><デバイス番号></code> ")は LUSE が定義されているので削除できません。	LDEV を削除する前に LUSE を削除してください。
KAIC08009-E	指定したアレイグループは Device Manager データベース内にありません。	アレイグループの指定を見直してください。
KAIC08010-E	指定したアレイグループ内に空き容量はありません。	アレイグループの指定を見直してください。
KAIC08011-E	指定した空き容量は Device Manager データベース内にありません。	空き容量の指定を見直してください。
KAIC08012-E	Device Manager では、 <code><PP 名 (Dynamic Provisioning)></code> で使用するボリューム (devNum=" <code><デバイス番号></code> ")を削除できません。	LogicalUnit の指定を見直してください。
KAIC08013-E	リクエストの実行に失敗しました。 オプションに" <code><オプション名></code> "を	リクエストを見直してから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	指定した時は"<オプション名>"を指定してください。	
KAIC08014-E	このストレージシステムでは、 LogicalUnit 一括機能をサポートしていません。	ストレージシステムを確認してください。
KAIC08015-E	エミュレーションタイプが OPEN-V 以外の LogicalUnit を一括作成できません。	エミュレーションタイプの指定を見直してください。
KAIC08016-E	リクエストの記述形式が誤っています。"<エレメント名>"エレメントに"<アトリビュート名>"アトリビュートが指定されていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08017-E	リクエストの記述形式が誤っています。"<エレメント名>"エレメントに"<アトリビュート名>"アトリビュートの値"<アトリビュート値>"が重複しています。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08018-E	リクエストの記述形式が誤っています。Param エレメント(name="<エレメント名>")に"<アトリビュート名>"アトリビュートが指定されていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08019-E	リクエストの実行に失敗しました。"<パラメーター名>"パラメーターに指定した「Type」の値"<アトリビュート値>"が不正です。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08020-E	リクエストの実行に失敗しました。"<パラメーター名>"パラメーターに指定した「value」の値"<アトリビュート値>"が不正です。値は"<有効値>"を指定してください。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08021-E	リクエストの実行に失敗しました。"<パラメーター名>"パラメーターに指定した「value」の値"<アトリビュート値>"が不正です。値は"<最大文字列長>"文字以下を指定してください。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08022-E	リクエストの実行に失敗しました。"<エレメント名>"エレメントに"<アトリビュート名>"アトリビュートの値"<アトリビュート値>"が不正です。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08023-E	リクエストの実行に失敗しました。"<パラメーター名>"パラメーターを指定した場合、"<パラメーター名>"パラメーターを指定する必要があります。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08024-E	リクエストの実行に失敗しました。"<パラメーター名>"パラメーターに指定した「value」の値"<アトリビュート値>"が不正です。指定した「InPool」の空き領域内の容量で指定してください。	リクエストを見直してから再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC08025-E	リクエストの記述形式が誤っています。"<パラメーター名>"エレメントに不正なアトリビュート"<アトリビュート名>"が指定されています。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08026-E	リクエストの記述形式が誤っています。"<パラメーター名>"パラメーターに子エレメント「ArrayValue」を指定する必要があります。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08027-E	リクエストの実行に失敗しました。"<パラメーター名>"パラメーターの子エレメント「ArrayValue」の「value」アトリビュートの値"<アトリビュート値>"は不正です。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08028-E	リクエストの実行に失敗しました。"<パラメーター名>"と"<パラメーター名>"の子エレメント数が一致していません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08029-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したストレージシステムでは<PP名>機能をサポートしていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08030-E	指定されたメソッド("<メソッド名>")は、実行できません。しばらく待ってから実行してください。(オブジェクトパス=<オブジェクトパス>")	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC08031-E	指定した EVS は利用できない状態です。EVS を利用できる状態にしたあと、再実行してください。	EVS を利用できる状態にしたあと、再実行してください。
KAIC08032-E	ストレージプールの空き領域が不足しているため、ファイルシステムを作成できません。作成するファイルシステムの容量を見直したあと、再実行してください。	作成するファイルシステムの容量を見直したあと、再実行してください。
KAIC08033-E	指定したストレージプール(<ストレージプール名>)の状態が(<ストレージプールの状態>)であるため、この操作はできません。ストレージプールの状態を見直して、設定できる状態であることを確認してください。	ストレージプールの状態を見直して、設定できる状態であることを確認してください。
KAIC08034-E	指定した NFS 共有名(<NFS 共有名>)はすでに使用されています。ほかの NFS 共有名を指定してください。	別の NFS 共有名を指定してください。
KAIC08035-E	Admin Services の設定が正しくありません。Admin Services の設定を確認してください。	Admin Services の設定を確認してください。
KAIC08036-E	Admin Services が設定されていません。Admin Services を設定してください。	Admin Services を設定してください。
KAIC08037-E	サーバクラスタ内に、この機能でサポートしていないファームウェアバージョンのファイルサーバが含まれています。この機能をサポートし	この機能をサポートしているファームウェアバージョンにアップデートしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ているファームウェアバージョンにアップデートしてください。	
KAIC08038-E	サーバクラスタ内に、ファームウェアバージョンが異なるファイルサーバが含まれています。ファイルサーバのファームウェアバージョンを同じにしてください。	サーバクラスタ内のファイルサーバのファームウェアバージョンを同じにしてください。
KAIC08039-E	サーバクラスタ内に、SMU よりも新しいファームウェアバージョンのファイルサーバが含まれています。SMU のバージョンを、ファイルサーバのファームウェアバージョン以上にアップデートしてください。	SMU のバージョンを、ファイルサーバのファームウェアバージョン以上にアップデートしてください。
KAIC08040-E	CIFS 共有の設定に必要なライセンスがありません。有効なライセンスをインストールしたあと、SMU で同期操作を実行して Device Manager サーバと情報を同期してください。	有効なライセンスをインストールしたあと、SMU で同期操作を実行して Device Manager サーバと情報を同期してください。
KAIC08041-E	CIFS 共有の設定に必要なライセンスが登録されていないか、または期限が満了しました。有効なライセンスを登録したあと、SMU で同期操作を実行して Device Manager サーバと情報を同期してください。	有効なライセンスを登録したあと、SMU で同期操作を実行して Device Manager サーバと情報を同期してください。
KAIC08042-E	NFS 共有の設定に必要なライセンスがありません。有効なライセンスをインストールしたあと、SMU で同期操作を実行して Device Manager サーバと情報を同期してください。	有効なライセンスをインストールしたあと、SMU で同期操作を実行して Device Manager サーバと情報を同期してください。
KAIC08043-E	NFS 共有の設定に必要なライセンスが登録されていないか、または期限が満了しました。有効なライセンスを登録したあと、SMU で同期操作を実行して Device Manager サーバと情報を同期してください。	有効なライセンスを登録したあと、SMU で同期操作を実行して Device Manager サーバと情報を同期してください。
KAIC08044-E	ファイルサーバのファームウェアバージョンおよび SMU のバージョン情報が取得できません。しばらくしてから再実行してください。同じエラーが発生する場合、SMU で同期操作を実行して Device Manager サーバと情報を同期してから再実行してください。	しばらくしてから再実行してください。同じエラーが発生する場合、SMU で同期操作を実行して Device Manager サーバと情報を同期してから再実行してください。
KAIC08045-E	ファイルシステムのオンデマンド容量割り当ての設定を有効にしようとしたが、無効になっているおそれがあります。そのため、対応するファイルシステムの容量がすべて確保されている場合があります。ファイルシステムの状態を確認してください。オンデマンド容量割り当てをしたい場合は、指定した値より大きな値を指定してください。	ファイルシステムの状態を確認してください。オンデマンド容量割り当てをしたい場合は、指定した値より大きな値を指定してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC08046-E	このストレージシステムのマイクロコードのバージョン"<マイクロコードのバージョン>"では指定したボリュームをプールボリュームに使用できません。(ボリューム種別="<ボリューム種別(LUSE/Dynamic Provisioning)>")	この操作を実行するにはマイクロコードを更新してください。
KAIC08047-E	この API バージョンでは、指定したストレージシステムの"<PP 名>"の仮想ボリューム操作をサポートしていません。	このストレージシステムでの API サポートバージョンを確認してください。
KAIC08048-E	このストレージシステムのマイクロコードのバージョンでは、"仮想化超過時 VOL 操作強制実行"の設定はできません。	ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを確認してください。
KAIC08049-E	選択したファイルシステム ("<ファイルシステム名>") に関連する共有 ("<共有名>") はすでに予約されています。この操作を実行しても問題がないか確認してください。問題がない場合は、共有に対するタスクをキャンセルしたあと、再実行してください。	この操作を実行しても問題がないか確認してください。問題がない場合は、共有に対するタスクをキャンセルしたあと、再実行してください。
KAIC08050-E	レプリケーション監視機能が初期化できません。レプリケーション監視を無効にして Device Manager を起動します。	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08051-E	レプリケーション監視に必要な構成情報の収集中にエラーが発生しました。(詳細情報: "<詳細情報>")	直前に発生しているエラーが直接の要因です。直前のエラーの対処方法に従ってください。対処後も繰り返しエラーが発生する場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08052-E	レプリケーション監視に必要な性能情報の収集中にエラーが発生しました。(詳細情報: "<詳細情報>")	直前に発生しているエラーが直接の要因です。直前のエラーの対処方法に従ってください。対処後も繰り返しエラーが発生する場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08100-E	ほかのストレージシステム"<ストレージシステム名>"を占有しています。2つのストレージシステムを同時に占有することは出来ません。	ほかのストレージシステムの占有を解除してから操作してください。
KAIC08101-E	ストレージシステムはユーザー"<ユーザー名>"に占有されています。	ストレージシステムの占有が解除されてから操作してください。
KAIC08102-E	占有されているストレージシステムは削除できません。	ストレージシステムの占有を解除してから操作してください。
KAIC08103-E	占有しているストレージシステムのプロパティは、接続の名称だけ変更できません。	ストレージシステムの占有を解除してから操作してください。
KAIC08104-E	指定したストレージシステムはほかのアプリケーションによってすでに	占有をしているアプリケーションから実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	占有されています。占有をしているアプリケーション以外では操作できません。	
KAIC08105-E	ストレージシステムは占有されていません。または、制限時間を過ぎたため、すでに解除されています。	再度占有を行ってください。
KAIC08106-E	占有状態で使用できないコマンドです。	占有を解除してから実行してください。
KAIC08107-E	占有状態が変更されています。	再実行してください。
KAIC08108-E	このストレージシステムのマイクロコードバージョン"<マイクロコードバージョン>"では、指定したコマンドの実行はできません。	ストレージシステムのマイクロコードバージョンを確認してください。
KAIC08109-E	このAPIバージョンでは、<PP名>機能をサポートしていません。	API サポートバージョンを確認してください。
KAIC08110-E	指定されたコマンドは実行できません。このストレージシステムのレイグループに追加できる"<PP名 (Dynamic Provisioning)>"のボリュームは一つだけです。	指定を見直してから再実行してください。
KAIC08111-E	指定されたコマンドは実行できません。このストレージシステムではレイグループを指定する必要があります。	指定を見直してから再実行してください。
KAIC08112-E	指定された外部レイグループ"<外部レイグループ名>"は、外部ボリュームのマッピング情報にないため、削除することができません。	外部レイグループのマッピング情報を見直してください。
KAIC08113-E	指定された外部レイグループ"<外部レイグループ名>"は、エミュレーションタイプがOPEN-Vではないため、削除することができません。	外部レイグループのエミュレーションタイプの情報を見直してください。
KAIC08114-E	"<PP名 (Dynamic Provisioning)>"の一つのプールを構成するすべてのパリティグループは、ドライブ種別が<最大ドライブ種別数>種類以内でなければなりません。	ドライブ種別が<最大ドライブ種別数>種類以内になるようにプールボリュームの指定を見直してから、再度実行してください。
KAIC08115-E	外部ボリュームのキャッシュモードはすべて有効でなければなりません。	外部ボリュームのキャッシュモードを有効にしてから、再度実行してください。
KAIC08116-E	リクエストの実行に失敗しました。<PP名>の場合、S-VOLは<PP名> V-VOLに指定済みでなければなりません。	LUの指定を見直してください。
KAIC08117-E	このコマンドは"<PP名>"のプールに対して実行できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08118-E	このコマンドは"<PP名>"の仮想ボリュームに対して実行できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08119-E	<属性名>の値"<属性値>"が<属性名>の値"<属性値>"より大きいため、操作できません。	各属性の指定を見直してから再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC08120-E	指定したストレージシステムに対して、<権限名>権限がありません。	指定したストレージシステムに対して操作に必要な権限があることを確認したあと、再実行してください。
KAIC08121-E	<リソース名>に対して、<権限名>権限がありません。	リソースに対して必要な権限を持つユーザーが実行してください。
KAIC08122-E	モニター開始時刻"<モニター開始時刻>"とモニター終了時刻"<モニター終了時刻>"の間隔が 1 時間未満です。	モニター開始からモニター終了の時間が 1 時間以上になるように時刻を設定し直したあと、再実行してください。
KAIC08123-E	指定した LDEV はエミュレーションタイプが"<エミュレーションタイプ>"のため、予約ボリュームに設定できません。	リクエストを見直したあと、操作し直してください。
KAIC08124-E	指定した LDEV はエミュレーションタイプが"<エミュレーションタイプ>"のため、ソースボリュームまたはターゲットボリュームに設定できません。	リクエストを見直したあと、操作し直してください。
KAIC08125-E	<構成対象>を構成する<デバイス種別>は同じリソースグループにしてください。	<デバイス種別>の指定を見直してから再度実行してください。
KAIC08126-E	指定した"<対象>"は DeviceManager に登録されていません。	DeviceManager に登録されている"<対象>"を指定してください。
KAIC08127-E	指定した"<対象>"は、すでに割り当てられています。	オブジェクトの割り当ての状態を確認し、割り当てられていないオブジェクトを指定してください。
KAIC08128-E	指定した"<対象>"は、すでに割り当てが解除されています。	オブジェクトの割り当ての状態を確認し、割り当てられたオブジェクトを指定してください。
KAIC08129-E	指定した"<対象>"は、すでに DeviceManager に登録されています。	DeviceManager に登録されていない"<対象>"を指定してください。
KAIC08130-E	パラメータが無効です。:"<対象>"	パラメータを見直してください。
KAIC08131-E	階層ポリシー"<階層ポリシー>"は指定できません。階層ポリシーは"<最小値>"から"<最大値>"の範囲で指定してください。	階層ポリシーを指定し直したあと、再実行してください。
KAIC08132-E	指定したストレージシステムのマイクロコードのバージョンでは、階層ポリシーを設定できません。	ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを確認してください。
KAIC08133-E	パラメーターが不足しています。"<エレメント名 1>"エレメントの"<アトリビュート名 1>"アトリビュート、または"<エレメント名 2>"エレメントの"<アトリビュート名 2>"アトリビュートのどちらかを指定してください。	パラメーターを指定し直したあと、再実行してください。
KAIC08134-E	指定したボリューム(<DevNum >)は階層プロファイルが適用されているため、ソースボリュームまたはターゲットボリュームに設定できません。	階層プロファイルの適用を解除したあと、再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08135-E	複数の操作は実行できません。	複数のプールを一括して操作する場合、すべてのプールに対して同じ操作オプションを指定してください。
KAIC08136-E	異なるストレージに属するプールは指定できません。	複数のプールを指定する場合、同じストレージシステムに属するプールを選択してください。
KAIC08137-E	次のプールに対する操作が失敗しました。プールID:(<失敗したプールID一覧>)	メッセージに表示されたプールの状態を確認してください。
KAIC08138-E	プール(<失敗したプールID>)は階層化機能が有効でないため、この操作は実行できません。	階層化機能が有効なプールのみを指定してください。
KAIC08139-E	128個以上のプールが指定されているため、この操作は実行できません。	プールは127個以下で指定してください。
KAIC08140-E	階層管理の設定が手動ではないプール(<プールID>)に対して、この操作を実行できません。	プールの階層管理の設定を手動にしてください。
KAIC08141-E	パラメーターが不足しています。次のどれかのアトリビュートを指定してください。:"<アトリビュート名1>", "<アトリビュート名2>", "<アトリビュート名3>"	パラメーターを指定し直したあと、再実行してください。
KAIC08142-E	階層再配置実行"<階層再配置実行>"は指定できません。階層再配置実行は"<0>"または"<1>"のどちらかを指定してください。	階層再配置実行を指定し直したあと、再実行してください。
KAIC08143-E	指定したホスト"<ホスト名>"はすでに使用されています。	overwrite オプションを指定するか、またはホスト名の指定を見直してから再実行してください。
KAIC08144-E	指定したホスト"<ホスト名>"は手動で追加したホストではないため、変更できません。	ホストの指定を見直してから再実行してください。
KAIC08145-E	指定したホスト"<ホスト名>"のosType"<osType>"は指定できません。	osType の指定を見直してから再実行してください。
KAIC08146-E	指定したホストの件数が多過ぎます。	ホストは"<件数>"件以内で指定してください。
KAIC08147-E	"<エレメント名>"エレメントを複数指定する場合は、"<エレメント名>"エレメントの"<アトリビュート名>"アトリビュートを指定する必要があります。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08148-E	子エレメント"<エレメント名>"の指定が同じになっていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08149-E	"<エレメント名>"エレメントを指定する場合は、"<エレメント名>"エレメントの"<アトリビュート名>"アトリビュートを指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08150-E	"<エレメント名>"エレメントの子エレメントとして"<エレメント名>"エレメントは複数指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC08151-E	"<エレメント名>"エレメントを複数指定する場合は、"<アトリビュート名>"と"<アトリビュート名>"は混在して指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08152-E	"<エレメント名>"エレメントを指定する場合は、"<エレメント名>"エレメントの"<アトリビュート名>"アトリビュートを指定する必要があります。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08153-E	"<エレメント名>"エレメントを複数指定する場合は、"<エレメント名>"エレメントは指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08154-E	"<エレメント名>"エレメントを一意に指定する場合は、親エレメントも一意に指定する必要があります。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08155-E	"<エレメント名>"エレメントを複数指定する場合は、"<エレメント名>"エレメントの"<アトリビュート名>"アトリビュートを指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08156-E	返却対象リソース（論理グループ、Host, LogicalUnit）の合計が 4096 を超えているため、レスポンスを返却できません（論理グループ："<論理グループ数>", Host："<ホスト数>", LogicalUnit："<LU数>"）。リソースの集約情報（numOfHosts や numOfLUs）の値を参照して、返却対象リソース数が 4096 以内になるようにリクエストを分割してから、再実行してください。	リソースの集約情報（numOfHosts や numOfLUs）の値を参照して、返却対象リソース数が 4096 以内になるようにリクエストを分割してから、再実行してください。
KAIC08157-E	返却対象リソース（論理グループ、Host, LogicalUnit）の合計が 4096 を超えているため、レスポンスを返却できませんリソースの集約情報（numOfHosts や numOfLUs）の値を参照して、返却対象リソース数が 4096 以内になるようにリクエストを分割してから、再実行してください。	リソースの集約情報（numOfHosts や numOfLUs）の値を参照して、返却対象リソース数が 4096 以内になるようにリクエストを分割してから、再実行してください。
KAIC08158-E	性能情報取得中にデータベースエラーが発生しました。（リソース名："<リソース名>"）	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08159-E	Tuning Manager からの情報取得に失敗しました。（リソース名："<リソース名>", ホスト名："<ホスト名>", プロトコル："<プロトコル>", ポート番号："<ポート番号>", エージェント名："<エージェント名>"）	Tuning Manager がエージェントと通信できることを確認してください。Tuning Manager サーバが起動していることを確認してください。同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08160-E	外部ボリューム階層ランク"<指定した外部ボリューム階層ランクの値>"は指定できません。"<2>"(高), "<1>"(中), または"<0>"(低)のいずれかを指定してください。	外部ボリューム階層ランクを指定し直したあと、再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08161-E	指定したストレージシステムは外部ボリューム階層ランクをサポートしていません。(マイクロコードのバージョン="<指定したストレージシステムのマイクロコードのバージョン>")	ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを確認してください。
KAIC08162-E	外部ボリューム階層ランクの設定とプールの縮小は同時に実行できません。	コマンドオプションの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC08163-E	指定したボリューム ("<デバイス番号>") はプール ("<プール ID >") のプールボリュームではありません。	プール ("<プール ID >") のボリュームを指定してください。
KAIC08164-E	指定したボリューム ("<デバイス番号>") は外部ボリュームでないため外部ボリューム階層ランクを設定できません。	階層ランクには、外部ボリュームを指定してください。
KAIC08165-E	エージェントおよびエージェントのデータモデルバージョンをサポートしていません。(リソース名:"<リソース名>", ホスト名:"<ホスト名>", プロトコル:"<プロトコル>", ポート番号:"<ポート番号>", エージェント名:"<エージェント名>")	Tuning Manager のマニュアルを参照し、Device Manager が情報の取得対象とするエージェントおよびエージェントのデータモデルバージョンを確認してください。
KAIC08166-E	指定したストレージシステムは階層ポリシーの編集をサポートしていません。(マイクロコードのバージョン="<指定したストレージシステムのマイクロコードのバージョン>")	ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを確認してください。
KAIC08167-E	"<エレメント名>"エレメントのパラメーターが不足しています。次のどれかのアトリビュートを指定してください。:"<アトリビュート名 1 >", "<アトリビュート名 2 >", "<アトリビュート名 3 >", "<アトリビュート名 4 >"	パラメーターを指定し直したあと、再実行してください。
KAIC08168-E	指定した階層ポリシーは Device Manager のデータベース内にありません。	階層ポリシーを指定し直したあと、再実行してください。
KAIC08169-E	階層ポリシーの割り当てしきい値の指定に誤りがあります。しきい値は"<最小値>"から"<最大値>"の範囲で"<間隔>"間隔で指定してください。	階層ポリシーの割り当てしきい値を指定し直したあと、再実行してください。
KAIC08170-E	階層ポリシーの割り当てしきい値の上限値または下限値の指定に誤りがあります。上限値が下限値以上になるように指定してください。	階層ポリシーの割り当てしきい値の上限値または下限値を指定し直したあと、再実行してください。
KAIC08171-E	階層ポリシーの割り当てしきい値の下限値の指定に誤りがあります。階層 1 と階層 3 の下限値が合計"<最大値>"以下になるように指定してください。	階層ポリシーの割り当てしきい値の下限値を指定し直したあと、再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC08172-E	リクエストの実行に失敗しました。 <PP名>では、同一 P-VOL に対する複数ペアを同時にリストアできません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08173-E	リクエストが実行できません。指定した"snapshotgrpsubinfo"に誤りがあります。	snapshotgrpsubinfo の指定を見直してください。
KAIC08174-E	リクエストの実行に失敗しました。"<属性名>"に対する不正な値が指定されました。	1 文字以上 32 文字以下でかつ空白文字 (' ') を含んではなりません。リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08175-E	リクエストを実行できません。 Device Manager では、名前に空白文字 (' ') が含まれているスナップショットグループは操作できません。	ペアを追加する場合は、別のスナップショットグループを選択してください。それ以外の場合は、指定したスナップショットグループを追加した時に使用した管理ツールからペア操作をしてください。
KAIC08176-E	リクエストを実行できません。指定したスナップショットグループの名前に使用できない文字が含まれております。Device Manager では、名前に次の文字以外が含まれているスナップショットグループを操作できません。0-9 a-z A-Z, -, ., /, : @ ¥ _	ペアを追加する場合は、別のスナップショットグループを選択してください。それ以外の場合は、指定したスナップショットグループを追加した時に使用した管理ツールからペア操作をしてください。
KAIC08180-E	Device Manager では、指定したストレージシステムで、LDEV エLEMENT の lba 属性を指定した場合のリクエストをサポートしていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08181-E	パラメーターが不足しています。次のどれかのアトリビュートを指定してください。:"<アトリビュート名 1 >", "<アトリビュート名 2 >", "<アトリビュート名 3 >", "<アトリビュート名 4 >"	パラメーターを指定し直したあと、再実行してください。
KAIC08182-E	指定したプラットフォーム"<プラットフォーム名>"およびミドルウェア"<ミドルウェア名>"の組み合わせはできません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08183-E	指定したプラットフォーム"<プラットフォーム名>", 交替パス"<交替パス名>"およびフェイルオーバー"<フェイルオーバー名>"の組み合わせはできません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08184-E	指定したストレージシステムに対して、指定できない値 (パラメーター="<パラメータ名>", 値="<値>") が含まれています。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08185-E	このストレージシステムのマイクロコードバージョン"<マイクロコードバージョン>"では、ホストモードおよびホストモード 2 の自動選択オプションは設定できません。	ストレージシステムのマイクロコードバージョンを確認してください。
KAIC08186-E	複数のスナップショットグループを指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08187-E	パラメーターが指定されていません： SnapshotGroup "objectID"または"groupName"	SnapshotGroup の"objectID"および"groupName"のどちらか一方を指定してください。
KAIC08188-E	指定したグループはコンシステンシーグループであるため、操作できません。	コンシステンシーグループにペアを追加できません。コンシステンシーグループではないスナップショットグループを指定してください。
KAIC08189-E	コマンドを実行できません。指定したホスト (ホスト名="<ホスト名>", ホストID="<ホストID>") が認識しているすべてのコマンドデバイスをユーザー認証モードに設定する必要があります。	ホストが認識しているすべてのコマンドデバイスをユーザー認証モードに設定していることを確認し、ホストエージェントの"HiScan"コマンドを実行してください。
KAIC08200-E	Host Data Collector から取得したデータが不正のため、ホストを追加できませんでした。対象ホストの条件および設定を見直してください。(取得に失敗したデータ=<取得に失敗したデータ>, ホスト名またはIPアドレス=<対象ホストのホスト名またはIPアドレス>, Host Data Collector 情報: ホスト名またはIPアドレス=<Host Data Collector のIPアドレス>, RMI レジストリポート番号=<Host Data Collector のRMI レジストリポート番号>, RMI サーバポート番号=<Host Data Collector のRMI サーバポート番号>, クラスローダーポート番号=<Host Data Collector のクラスローダーポート番号>)	対象ホストの OS が、Host Data Collector の適用 OS に含まれているか確認してください。もし適用 OS に含まれている場合は、対象ホストが正しく起動されていることを確認し、操作を再実行してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08201-E	リクエストの実行に失敗しました。Device Manager は指定されたストレージシステムに対する指定されたレプリケーション機能をサポートしていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08202-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したストレージシステムに対する<PP名>機能は、Device Manager ではサポートされていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08203-E	指定したファイルシステム ("<ファイルシステム名>") の状態が"<ファイルシステムの状態>"であるため、CIFS 共有を設定できません。ファイルシステムの状態を見直して、設定できる状態であることを確認してください。	ファイルシステムの状態を見直して、設定できる状態であることを確認してください。
KAIC08204-E	指定したファイルシステム ("<ファイルシステム名>") の状態が"<ファイルシステムの状態>"であるため、NFS 共有を設定することができません。ファイルシステムの状態を見直して、設定可能な状態であることを確認してください。	ファイルシステムの状態を見直して、設定可能な状態であることを確認してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC08205-E	<パラメータ名>には<文字数>文字以上<文字数>文字以下の文字列を入力してください。	入力内容を見直して再実行してください。
KAIC08206-E	<パラメータ名>に使用できない文字が含まれています。<パラメータ名>を変更してください。	入力内容を見直して再実行してください。
KAIC08207-E	Device Manager サーバは最新のファイルサーバの情報を保持していないため、この機能を実行できません。SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。	SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバと情報を同期してください。
KAIC08208-E	指定したファイルシステム ("<ファイルシステム名>") の状態が"<ファイルシステムの状態>"であるため、ファイルシステムに対する設定ができません。ファイルシステムの状態を見直して、設定できる状態であることを確認してください。	ファイルシステムの状態を見直して、設定できる状態であることを確認してください。
KAIC08209-E	選択したファイルシステム ("<ファイルシステム名>") に関連するストレージプール ("<ストレージプール名>") が、"全容量割り当て済み"のみ認める設定のため、"オンデマンド容量割り当て"を選択することができません。"全容量割り当て済み"のまま容量を拡張したい場合は、SMU から実施してください。"オンデマンド容量割り当て"を選択したい場合は、SMU でストレージプールの設定を変更してから、Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させて、再度操作してください。	"全容量割り当て済み"のまま容量を拡張したい場合は、SMU から実施してください。"オンデマンド容量割り当て"を選択したい場合は、SMU でストレージプールの設定を変更してから、Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させて、再度操作してください。
KAIC08210-E	Device Manager サーバが認識していないオプションを指定したため実行できません。	次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> 指定したオプションがストレージシステムでサポートされているか確認してください。 最新の情報を取得するため、ストレージシステムを更新してください。 同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08211-E	指定したストレージシステムは External ポートの属性の変更をサポートしていません。	ストレージシステムおよび指定したポートを確認してください。
KAIC08212-E	Device Manager は External ポートの属性の変更をサポートしていません。操作を実行するには、マイクロコードのバージョンが"<マイクロコードバージョン>"以上でなければなりません。	この操作を実行するにはマイクロコードをバージョンアップしてください。
KAIC08213-E	指定された WWN "<WWN >"は同一ポート上のホストグループがすでに使用しているため使用できません。	同一ポート上のホストグループと重複しない WWN を指定してから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08214-E	指定したストレージシステムはボリューム予約機能をサポートしていません。(マイクロコードのバージョン=<マイクロコードバージョン>")	指定したストレージシステムがボリューム予約機能をサポートしているか確認してください。
KAIC08215-E	指定した予約情報は既に存在しています。	リクエストを見直してから、再実行してください。
KAIC08216-E	予約の分類コードの指定に誤りがあります。	リクエストを見直してから、再実行してください。
KAIC08217-E	予約 ID の指定に誤りがあります。	リクエストを見直してから、再実行してください。
KAIC08218-E	指定したボリューム"<デバイス番号>"は予約済みです。	リクエストを見直してから、再実行してください。
KAIC08219-E	指定したボリューム"<デバイス番号>"は指定した予約情報の予約ボリュームではありません。	リクエストを見直してから、再実行してください。
KAIC08220-E	指定した予約情報の全ての予約ボリュームは削除できません。	少なくとも1つの予約ボリュームをのこすか、もしくは指定した予約情報を削除してください。
KAIC08221-E	指定した予約情報は Device Manager データベース内にありません。	リクエストを見直してから、再実行してください。
KAIC08222-E	指定したストレージシステムはデータ移行機能をサポートしていません。(マイクロコードのバージョン=<マイクロコードバージョン>")	指定したストレージシステムがデータ移行機能をサポートしているか確認してください。
KAIC08223-E	指定した移行元アレイグループは Device Manager データベース内にありません。	リクエストを見直してから、再実行してください。
KAIC08224-E	指定した移行先ボリュームは Device Manager データベース内にありません。	リクエストを見直してから、再実行してください。
KAIC08225-E	指定した移行元アレイグループは既に存在しています。	リクエストを見直してから、再実行してください。
KAIC08226-E	指定した移行先ボリュームは既に存在しています。	リクエストを見直してから、再実行してください。
KAIC08227-E	指定したデータ移行情報は Device Manager データベース内にありません。	リクエストを見直してから、再実行してください。
KAIC08228-E	入力したストレージプール名 (<ストレージプール名>) と同じ名前のファイルシステムまたはストレージプールがすでにあります。異なるストレージプール名を指定して、再実行してください。	異なるストレージプール名を指定して、再度実行してください。
KAIC08229-E	選択したバリエティグループ (<バリエティグループ>) に関連するシステムドライブ (ID=<システムドライブの ID >) は、すでにほかのストレージプール (<ストレージプール名>) で使用されています。再実行してください。	再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC08230-E	Device Manager では、階層化ストレージプール (<ストレージプール名>) に対するこの操作はできません。SMU で操作してください。	SMU で操作してください。
KAIC08231-E	選択したストレージプール (<ストレージプール名>) に 1 件以上のファイルシステムが関連しています。ストレージプールに関連するファイルシステムをすべて削除したあとに操作し直してください。	ストレージプールに関連するファイルシステムをすべて削除したあとに操作し直してください。
KAIC08232-E	対象のストレージプールに関連するストレージシステム (<ストレージ名>) およびサーバクラスタ (<サーバクラスタ名>) の情報が最新ではありません。対象のストレージシステムの情報を更新してください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。	対象のストレージシステムの情報を更新してください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。
KAIC08233-E	サーバクラスタ (<サーバまたはクラスタ名>) がない (<パラメータ名>) を指定しました。指定した値を見直してから再実行してください。	指定した値を見直してから再実行してください。
KAIC08234-E	選択したストレージプール (<ストレージプール名>) の状態が "Not Healthy" であるため、この操作はできません。ストレージプールを構成するシステムドライブが正しくない状態であるおそれがあります。ストレージプールを利用できる状態にしてください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。	ストレージプールを利用できる状態にしてください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。
KAIC08235-E	"<サーバクラスタ名>" によって管理されているストレージプール (<ストレージプール名>) であるため、この操作はできません。"<サーバクラスタ名>" のストレージプールを選択して、再操作してください。	"<サーバクラスタ名>" のストレージプールを選択して、再操作してください。
KAIC08236-E	選択したストレージプール (<ストレージプール名>) の状態が "Pool belongs to another cluster" であるため、この操作はできません。Device Manager で管理していないサーバまたはクラスタで管理されているストレージプールです。SMU から操作してください。	SMU から操作してください。
KAIC08237-E	サーバまたはクラスタが管理できる容量を超過します。有効な TB ライセンスのライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	有効な TB ライセンスのライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08238-E	ストレージプールを作成または拡張できません。サーバまたはクラスタで allowed 状態のシステムドライブの数が上限値(< 512(1 サーバ/クラスタで allowed にできる SD 数)>)に達しています。不要なシステムドライブを削除してください。	不要なシステムドライブを削除してください。
KAIC08239-E	指定した IP アドレス (ipAddress=< IP アドレス (ホスト名) >"と ipAddress2=< IP アドレス (ホスト名) >") の入力形式が IP アドレスまたはホスト名で統一されていないため、実行できません。	IP アドレスの入力形式を IP アドレスまたはホスト名に統一して、再実行してください。
KAIC08240-E	指定したホスト名"<ホスト名>"が誤っています。ホスト名に入力できる文字は、次のとおりです。"<入力できる文字>"	指定したホスト名を見直してから再実行してください。
KAIC08241-E	ホスト名"<ホスト名>"の最初と最後に記号は指定できません。	指定したホスト名を見直してから再実行してください。
KAIC08243-E	自動生成された論理グループのため、指定した操作はできません。論理グループパス:<論理グループパス>	論理グループを見直したあと、再実行してください。
KAIC08244-E	指定した IP アドレス(<接続先 IP アドレス>) で検出された仮想化サーバの UUID が、Device Manager に登録されている仮想化サーバの UUID と異なります。次の仮想化サーバを Device Manager から削除したあと、再実行してください。(仮想化サーバ名 = <仮想化サーバ名>)	仮想化サーバのバージョンによっては、仮想化サーバが応答する UUID が不正になることがあります。仮想化サーバをアップグレードしたあとこのメッセージが表示されるようになった場合、追加に失敗したホストを Device Manager から削除してから登録し直してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08245-E	Device Manager では、階層化ファイルシステム(<ファイルシステム名>) に対するこの操作はできません。SMU で操作してください。	SMU で操作してください。
KAIC08246-E	指定した IP アドレス(<接続先 IP アドレス>) で検出された仮想化サーバの UUID が Device Manager に登録されている仮想化サーバ (仮想化サーバ名 = <仮想化サーバ名>) の UUID と重複しています。仮想化サーバを Device Manager から削除したあと、追加できなかった仮想化サーバと削除した仮想化サーバの OS バージョンを同一にしてから再実行してください。	仮想化サーバのバージョンによっては、仮想化サーバが応答する UUID が不正になることがあります。仮想化サーバをアップグレードしたあと、このメッセージが表示されるようになった場合、追加できなかったホストを Device Manager から削除し、追加できなかった仮想化サーバと削除した仮想化サーバの OS バージョンを同一にしてから登録し直してください。また、削除したホストは必要に応じて、登録し直してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08800-E	性能情報の初期化に内部エラーが発生しました。	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08801-E	性能情報の初期化に失敗しました。設定ファイル"<設定ファイル名>"が不正である、または読み込めません。	以下を確認し、再実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> 設定ファイルの存在を確認してください。 設定ファイルのアクセス権限を確認してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> 設定ファイルの内容を確認してください。 同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08802-E	性能情報の初期化に予期しないエラーが発生しました。	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08803-E	Tuning Manager への接続に失敗しました。ホスト名:"<接続先のホスト名>", プロトコル:"<プロトコル>", ポート番号:"<接続先のポート番号>"	次のことを確認したあと、再実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> Tuning Manager および Tuning Manager のサービスが起動していること。 Device Manager, Tuning Manager と Agent の時間差が 5 分以内であること。 ストレージシステムまたは Tuning Manager の構成変更を行ったあと、ストレージシステムをリフレッシュしていない。 htnm.server.n.host でアクセス先の Tuning Manager サーバのホスト名を指定したが、名前解決が正しくできていないおそれがある。 htnm.server.n.protocol で設定したプロトコルが未サポートであるおそれがある。 htnm.server.n.port で設定したポート番号に誤りがあるおそれがある。 ファイアウォール環境で運用するためのポート設定に誤りがあるおそれがある。 Device Manager のマニュアルを参照して、性能情報を表示するために必要な設定を見直してください。 同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08804-E	Tuning Manager の管理サーバの IP アドレスとして指定した値"<IP アドレス>"が正しいアドレス形式ではありません。IPv4 アドレスを指定してください。	Tuning Manager の管理サーバの IP アドレスは、IPv4 アドレスを指定してください。
KAIC08805-E	Tuning Manager への接続で予期しないエラーが発生しました。ホスト名:"<接続先のホスト名>", プロトコル:"<プロトコル>", ポート番号:"<接続先のポート番号>"	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08806-E	Tuning Manager から Tuning Manager 側のエージェントへの接続で、認証に失敗しました。ホスト名:"<接続先のホスト名>", プロトコル:"<プロトコル>", ポート番号:"<接続先のポート番号>"	ユーザーを追加したりパスワードを変更したりした場合は、Tuning Manager で jpcprauth コマンドを実行して、認証キーを作成してください。jpcprauth コマンドについては、Tuning Manager のマニュアルを参照してください。同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08807-E	Tuning Manager への接続に失敗しました。Device Manager または接続先の Tuning Manager が機能をサポートしていません。ホスト名:"<接続先のホスト名>"	Device Manager のマニュアルを参照して、Tuning Manager および Device Manager のサポートバージョンを確認してください。
KAIC08808-E	性能情報の取得に失敗しました。Tuning Manager にエージェントが登録されていないか、エージェントおよびエージェントのデータモデル	次のことを確認したあと、再実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> Tuning Manager にエージェントが登録されていることを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	バージョンをサポートしていません。 ホスト名:"<接続先のホスト名>"	<ul style="list-style-type: none"> • Tuning Manager のマニュアルを参照し、Device Manager が性能情報の取得対象とするエージェントおよびエージェントのデータモデルバージョンを確認してください。
KAIC08809-E	性能情報の取得中に予期しないエラーが発生しました。ホスト名:"<接続先のホスト名>", プロトコル:"<プロトコル>", ポート番号:"<接続先のポート番号>"	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08810-E	性能情報を取得できません。 Device Manager のデータベースにアクセスできません。	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08811-E	Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視していないか、指定した期間"<指定した期間>"の性能情報がありません。ホスト名:"<接続先のホスト名>", エージェント名:"<接続先のエージェント名>"	<p>次の対処をしたあと、再実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認してください。 • 性能情報が取得された期間を Tuning Manager から確認し、期間を指定し直す。
KAIC08812-E	性能情報を取得できません。 Tuning Manager からエージェントに接続できません。ホスト名:"<接続先のホスト名>", エージェント名:"<接続先のエージェント名>"	<p>次の対処をしたあと、再実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Tuning Manager とエージェント間のネットワークの設定または状態を見直してください。 • エージェントの環境を見直してください。 <p>必要に応じて、Tuning Manager のマニュアルを参照してください。同じエラーが発生する場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KAIC08813-E	性能情報の取得中に Tuning Manager でメモリー不足が発生しました。ホスト名:"<接続先のホスト名>"	<p>Tuning Manager で次の対処をしたあと、再実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 使用していないアプリケーションおよびウィンドウを閉じて、メモリーを確保する。 • 性能情報の取得間隔を短くする。 • 同時に取得する性能情報の数を減らす。 • 設定ファイル (config.xml) の <code>blockTransferMode</code> に <code>true</code> が指定されていることを確認する。 <p>必要に応じて、Tuning Manager のマニュアルを参照してください。</p> <p>同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KAIC08814-E	性能情報の取得に失敗しました。 Device Manager は、バージョン <バージョン> の Performance Advisor をサポートしていません。	Performance Advisor と連携して性能情報を取得する場合は、バージョン 5.0.0 以上の Performance Advisor を使用してください。
KAIC08815-E	性能情報の取得に失敗しました。 Performance Advisor サーバとの接続に失敗しました。	Performance Advisor CLUI と Performance Advisor サーバ間の接続状態を確認してください。
KAIC08816-E	性能情報の取得に失敗しました。 Performance Advisor CLUI のコマンドを実行できません。	<p>次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Performance Advisor CLUI が正しくインストールされていること。 • <code>hppa.properties</code> プロパティの <code>hppa.CLIClientPath</code> に指定した

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Performance Advisor CLUI のインストール先のパスが正しいこと。
KAIC08817-E	性能情報の取得に失敗しました。Performance Advisor でエラーが発生しました。Performance Advisor サーバが正しく動作していないおそれがあります。	次のことを確認し、再実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> • Performance Advisor サーバが正しく動作していること。 • Performance Advisor CLUI を使ってコマンドが正しく実行できること。 問題が発生している場合は、Performance Advisor のマニュアルを参照して、対処してください。同じエラーが発生する場合は、原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08818-E	性能情報の取得中に内部エラーが発生しました。	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08819-E	性能情報を取得するための設定に誤りがあります。	tuningmanager.properties ファイルの htnm.servers プロパティに指定した値が正しいか確認したあと、再度実行してください。
KAIC08820-E	Performance Advisor からの応答がありません。Performance Advisor サーバが正しく動作していないおそれがあります。	次のことを確認し、再実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> • Performance Advisor サーバが正しく動作していること。 • Performance Advisor CLUI を使ってコマンドが正しく実行できること。 問題が発生している場合は、Performance Advisor のマニュアルを参照して、対処してください。同じエラーが発生する場合は、原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08821-E	Tuning Manager との通信でタイムアウトが発生しました。ネットワークに障害が発生しているか、一時的に Tuning Manager のサーバの負荷が高くなっているおそれがあります。しばらくしてから、再度操作を実行してください。ホスト名："<接続先のホスト名>"	次の対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> • Tuning Manager および Tuning Manager のサービスが起動していることを確認してください。 • 必要に応じて Tuning Manager および Tuning Manager のサービスを再起動してください。 • config.xml ファイルに ownHost パラメータを設定している場合、IPv4 のアドレスもしくは名前解決ができるホスト名が設定されていることを確認してください。 • しばらくしてから、再度操作を実行してください。 同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08822-E	指定したストレージシステムを、Tuning Manager が監視していません。	指定したストレージシステムを、Tuning Manager が監視しているか確認したあと、再実行してください。
KAIC08823-E	性能情報の取得に失敗しました。他のプロセスが性能情報を取得中です。しばらく時間をおいたあと、操作を再実行してください。	しばらくしてから、再度操作を実行してください。同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08824-E	性能情報の取得に失敗しました。 Performance Advisor でエラーが発生しました。一時的に Performance Advisor との通信ができない状態となっているおそれがあります。しばらく待ってから再実行してください。同じエラーが発生する場合は、原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	一時的に Performance Advisor との通信ができない状態となっているおそれがあります。しばらく待ってから再実行してください。同じエラーが発生する場合は、原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08825-E	Tuning Manager から情報を取得できません。	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08826-E	性能情報を取得できません。Tuning Manager とエージェントの通信中に予期しないエラーが発生しました。ホスト名:"<接続先のホスト名>", エージェント名:"<接続先のエージェント名>"	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08827-E	Tuning Manager から情報を取得できません。設定ファイル"<設定ファイル名>"が不正である、または読み込めません。	以下を確認し、再実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> 設定ファイルの存在を確認してください。 設定ファイルのアクセス権限を確認してください。 設定ファイルの内容を確認してください。 同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08828-E	Tuning Manager から情報を取得できません。Tuning Manager とエージェントの通信中に予期しないエラーが発生しました。ホスト名:"<接続先のホスト名>", エージェント名:"<接続先のエージェント名>"	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08829-E	Tuning Manager から情報を取得できません。他のプロセスが情報を取得中です。しばらく時間をおいたあと、操作を再実行してください。	しばらくしてから、再度操作を実行してください。同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08830-E	Tuning Manager から情報を取得できません。Tuning Manager にエージェントが接続されていないか、エージェントおよびエージェントのデータモデルバージョンをサポートしていません。ホスト名:"<接続先のホスト名>"	次のことを確認したあと、再実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> Tuning Manager にエージェントが登録されていることを確認してください。 Tuning Manager のマニュアルを参照し、Device Manager が情報の取得対象とするエージェントおよびエージェントのデータモデルバージョンを確認してください。
KAIC08831-E	Tuning Manager から情報を取得できません。ホスト名:"<接続先のホスト名>", プロトコル:"<プロトコル>", ポート番号:"<接続先のポート番号>"	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08832-E	Tuning Manager から情報を取得できません。Tuning Manager からエージェントに接続できません。ホスト名:"<接続先のホスト名>", エージェント名:"<接続先のエージェント名>"	次の対処をしたあと、再実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> Tuning Manager とエージェント間のネットワークの設定または状態を見直してください。 エージェントの環境を見直してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		必要に応じて、 Tuning Manager のマニュアルを参照してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08833-E	Tuning Manager からの情報取得中に Tuning Manager でメモリー不足が発生しました。ホスト名:"<接続先のホスト名>"	Tuning Manager で次の対処をしたあと、再実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> 設定ファイル (config.xml) の blockTransferMode に true が指定されていることを確認する。 必要に応じて、 Tuning Manager のマニュアルを参照してください。 同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08834-E	Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視していないか、エージェントに情報がありません。ホスト名:"<接続先のホスト名>", エージェント名:"<接続先のエージェント名>"	Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認した後、再実行してください。
KAIC08835-E	Tuning Manager が対象ストレージシステム (<ストレージシステム名>) を監視していないか、エージェントに情報がありません。	Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認した後、再実行してください。
KAIC08836-E	Tuning Manager から情報を取得できません。ホスト名:"<接続先のホスト名>", エージェント名:"<接続先のエージェント名>", レコード名"<取得できなかったレコード名一覧>"	Tuning Manager のエージェントの状態を確認してください。
KAIC08837-E	Tuning Manager から情報を取得できませんでした。 Tuning Manager エージェントがビジー状態です。ホスト名:"<接続先のホスト名>", エージェント名"<接続先のエージェント名>"	Tuning Manager エージェントの状態を確認し、ビジーでないタイミングで再度実行してください。
KAIC08838-E	ホストの同期に成功しましたが、ホストの構成情報は取得していません。ホストの構成情報を取得するには、手動でホストを更新してください。(ホスト名=<ホスト名>)	-
KAIC08839-E	指定したストレージシステムを、 Performance Advisor が監視していません。	指定したストレージシステムを、 Performance Advisor が監視しているか確認したあと、再実行してください。
KAIC08840-E	Device Manager サーバが停止されたため、処理を実行できません。	Device Manager サーバを再起動してください。
KAIC09000-E	特定不能なエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC09001-E	"< CIM クラス名 >" クラスに対する "<メソッド名 >" メソッドはサポートされていません。	ほかのオペレーションを使用してください。サポートしているはずのオペレーションを使用された場合は顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC09002-E	内部エラーが発生しました。"<クラス名 >" クラスが見つかりません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC09003-E	内部エラーが発生しました。"<スタックトレース>"	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC09004-E	内部エラーが発生しました。アクセスコントロールリストのユーザーテーブルが空です。	サーバの ACL users を確認してください。
KAIC09005-E	内部エラーが発生しました。アクセスコントロールリストの規則テーブルが空です。	サーバの ACL rules を確認してください。
KAIC09006-E	CIM-WBEM Service 認証できませんでした。ユーザー:"<ユーザー名>"	ユーザー名とパスワードを確認して再び実行してください。
KAIC09007-E	CIM-WBEM Service で操作を拒否しました。ユーザー:"<ユーザー名>", write 要求:"<書き込み権限を必要とするリクエストであったか否か>"	ユーザー名とパスワード, ユーザー権限を確認して再び実行してください。
KAIC09008-E	CIM-WBEM Service でユーザー認証できませんでした。ユーザー:"<ユーザー名>", write 要求:"<書き込み権限を必要とするリクエストであったか否か>"	ユーザー名とパスワード, ユーザー権限を確認して再び実行してください。
KAIC09009-E	CIM-WBEM Service でオペレーション"<オペレーション名>"に失敗しました。	直前の関連するメッセージに従ってください。関連するメッセージが見つからない場合は顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC09011-E	インスタンス生成に失敗しました。Class:"< CIM クラス名 >", Key:"< キープロパティ (複数) >", "<スタックトレース>"	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC09012-E	オブジェクトパス生成に失敗しました。Class:"< CIM クラス名 >", Key:"< キープロパティ (複数) >", "<スタックトレース>"	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC09013-E	不正な WQL です。Property:"<プロパティ名 >", Operator:"<オペレータ (数値) >", Value:"<値 >"	指定した WQL, またはオブジェクトパスを確認後, 再び実行してください。
KAIC09014-E	サポートしていない WQL です。Property:"<プロパティ名 >", Operator:"<オペレータ (数値) >", Value:"<値 >"	指定した WQL, またはオブジェクトパスを確認後, 再び実行してください。
KAIC09015-E	当アソシエーションで関係づけられていません。Source (Class:"< Source CIM クラス名 >", Role:"< Source role >") と Result (Class:"< Result CIM クラス名 >", Role:"< Result role >")	対処の必要はありません。
KAIC09016-E	当アソシエーションの結果クラスとしてサポートされていません。"<クラス名 >"	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC09017-E	オブジェクトパスのキープロパティが不正です。"<キープロパティ名 >"	指定したオブジェクトパスを確認後, 再び実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC09018-E	クラス名が特定できませんでした。 ObjectPath:"< ObjectPath >"	指定したオブジェクトパスを確認後、再び実行してください。
KAIC09019-E	不正な WQL です。wql:"< WQL >"	指定した WQL, またはオブジェクトパスを確認後、再び実行してください。
KAIC09020-E	不正なクラスです。class:"<クラス名>"	指定したオブジェクトパスを確認後、再び実行してください。
KAIC09021-E	不正なプロパティです。Property:"<プロパティ名>" value:"<値>"	指定した WQL, またはオブジェクトパスを確認後、再び実行してください。
KAIC09022-E	パラメータの Role が不正です。"< Role >"	指定した Role を確認後、再び実行してください。
KAIC09023-E	パラメータが不正です。ResultClass を指定しない場合、PropertyList は指定できません。	ResultClass を指定するか、PropertyList の指定をなくしてください。
KAIC09024-E	不正な引数の型です。"<引数の型>"	引数の型を確認後、再び実行してください。
KAIC09025-E	内部エラーが発生しました。"<オブジェクト名>" が null です。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC09026-E	存在しないインスタンスです。 ObjectPath:"< ObjectPath >"	指定したオブジェクトパスを確認後、再び実行してください。
KAIC09027-E	CIM-WBEM Service オペレーション "<オペレーション名>" において、ストレージシステムからのデータ取得に失敗しました。	直前の関連するメッセージに従ってください。関連するメッセージが見つからない場合は顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC09028-E	リクエストが失敗しました。リクエストを見直してから再実行してください。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC09029-E	リクエストが失敗しました。操作環境を見直してリクエストを再実行してください。	操作環境を確認してください。確認後もエラーが繰り返し発生する場合には顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC09100-E	CIM-WBEM Service の初期化に失敗しました。:不正な HTTP port 番号 "<ポート番号>" が指定されました。	"server.properties"の値を確認した後、サービスを再起動してください。
KAIC09101-E	CIM-WBEM Service の初期化に失敗しました。:不正な HTTPS port 番号 "<ポート番号>" が指定されました。	"server.properties"の値を確認した後、サービスを再起動してください。
KAIC09114-E	CIM-WBEM Service をポート番号 "<ポート番号>" で起動できませんでした。	CIM-WBEM Service が使用するポート番号と同一のポートを使用するサービスを停止した後、Device Manager サーバを再起動してください。
KAIC09501-E	SLP API 処理中にエラーが発生しました。SLP エラー番号:"< SLP エラー番号>", エラー詳細:"<エラー詳細>"	SLP デーモンが動作中かどうか確認してください。動作中でなければ SLP デーモンを起動し、Device Manager サーバを再起動してください。すでに動作中にもかかわらずこのエラーが発生するようであれば顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC09700-E	Plug-in for Virtualization Server Provisioning はすでに登録されています。	-
KAIC09701-E	Plug-in for Virtualization Server Provisioning は登録されていません。	-

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC09702-E	VMware vCenter Server への接続に失敗しました。VMware vCenter Server にアクセスできることを確認してください。	VMware vCenter Server にアクセスできることを確認してください。
KAIC09703-E	VMware vCenter Server でのユーザー認証に失敗しました。VMware vCenter Server の Administrator の権限を持った、ユーザー名とパスワードを入力してください。	VMware vCenter Server の Administrator の権限を持った、ユーザー名とパスワードを入力してください。
KAIC09704-E	指定した Device Manager の管理サーバが見つかりませんでした。正しいホスト名または IP アドレスを指定してください。また、ネーミングサービスの設定を確認し、自マシンから Device Manager の管理サーバの名前解決ができるようにしてください。	Device Manager の管理サーバの正しいホスト名または IP アドレスを入力してください。また、ネーミングサービスの設定を確認し、自マシンから Device Manager の管理サーバの名前解決ができるようにしてください。
KAIC09705-E	指定した VMware vCenter Server が見つかりませんでした。正しいホスト名または IP アドレスを指定してください。また、ネーミングサービスの設定を確認し、自マシンから VMware vCenter Server の名前解決ができるようにしてください。	VMware vCenter Server の正しいホスト名または IP アドレスを入力してください。また、ネーミングサービスの設定を確認し、自マシンから VMware vCenter Server の名前解決ができるようにしてください。
KAIC09706-E	Device Manager のポート番号が誤っています。Device Manager の HBase Storage Mgmt Web Service のポート番号を入力してください。	Device Manager の HBase Storage Mgmt Web Service の正しいポート番号を入力してください。
KAIC09707-E	VMware vCenter Server のポート番号が誤っています。正しいポート番号を入力してください。	正しいポート番号を入力してください。

4.2 KAIC10000～KAIC19999

Device Manager GUI に関するメッセージ (KAIC10000～KAIC19999) を示します。特に書き分けをしていない場合、「サーバ」は「Hitachi Command Suite の管理サーバ」を指します。メッセージテキストまたは説明に「サーバ管理者に連絡してください。」と記載されているメッセージが出力された場合は、Hitachi Command Suite を使用するストレージ管理者に連絡してください。

表 4-2 KAIC10000～KAIC19999 : Device Manager GUI のメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10001-W	現在、サブシステム "<サブシステム名 >" に対して、ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10002-W	異なるサブシステムの論理グループにはストレージを移動できません。	同じストレージサブシステムの論理グループを移動先に指定してください。
KAIC10003-W	現在、サブシステム "<サブシステム名 >" に対して、ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10004-W	現在、論理グループ "<論理グループ名 >" に対して、ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10005-W	現在、サブシステム "<サブシステム名>" に対して、ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10006-W	現在、サブシステム "<サブシステム名>" に対して、ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10010-W	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	ストレージの追加に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10011-W	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	ホストの更新に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10012-W	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	ホストの削除に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10013-W	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	ストレージの移動に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10015-W	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	セキュリティの解除に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10016-W	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	ポートの削除に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10017-W	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	論理グループの削除に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10018-W	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	ストレージの削除に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10019-W	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	ストレージサブシステムの削除に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10024-W	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	LUN Scan の実行に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10025-W	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	複数の論理グループからのストレージの削除に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10026-W	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	LDEV の作成に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10027-W	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	LDEV の削除に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10028-W	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	アレイグループの作成に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10029-W	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	スペアドライブの設定に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC10030-W	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	アレイグループの削除に失敗しました。実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10031-W	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	ポートコントローラーの設定に失敗しました。実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10032-W	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	ホストストレージドメインの作成に失敗しました。実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10033-E	Device Manager サーバは以前の処理で使用されたメッセージ ID を返しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10034-W	アラートを削除中です。処理が完了してから、再度実行してください。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10035-E	Device Manager サーバと接続できません。	ネットワークの状態を確認するとともに、Device Manager サーバが正しく起動しているかを確認してください。 ネットワークに問題がある場合は、ネットワークの障害を取り除いてください。 Device Manager サーバが停止している場合は、Device Manager サーバを起動してください。 Device Manager サーバが起動できない場合、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 正しく起動している場合、Device Manager サーバが前回停止したときの状態によっては、Device Manager サーバの起動に時間がかっているためにこのメッセージが出力される場合があります。この場合はしばらくしてから再実行してください。
KAIC10036-E	Device Manager Web Client 内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10037-E	Device Manager サーバからのダウンロード・インストール中にエラーが発生しました。サーバとの Secure Socket を使った接続ができません。システム管理者に連絡してください。	システム管理者に連絡し、サーバマシン上に Keystore ファイルが正しく作成されていることを確認してください。
KAIC10038-E	Secure Socket 接続に必要なファイルのダウンロードができません。[OK] ボタンをクリックしてシステムを終了してください。	ネットワークの設定を確認してください。
KAIC10039-E	Device Manager Web Client 内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10040-E	Device Manager Web Client 内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10041-E	Device Manager Web Client 内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10042-E	Device Manager Web Client 内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10043-E	Device Manager Web Client 内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10068-E	Device Manager Web Client 内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10069-E	Device Manager Web Client 内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10070-E	Device Manager Web Client 内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10071-E	Device Manager Web Client 内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10072-E	Device Manager Web Client 内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10073-E	Peer グループのユーザーでログインすることはできません。	Peer グループ以外のユーザーでログインしてください。
KAIC10074-E	JRE のバージョンが古い場合、Web Client を起動できません。現在動作している JRE のバージョンは <JRE バージョン> です。	ご使用の JRE が、Web Client がサポートしている JRE のバージョンであることを確認してください。
KAIC10075-E	選択された論理グループはありません。	いったんほかの画面を表示し、元の画面に戻ってから再度操作してください。エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10078-E	容量の計算に失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10079-W	ストレージが選択されていません。	ストレージを選択してから操作してください。
KAIC10080-E	リンク先が見つかりません。	ネットワークの設定を確認してください。StorageNavigator、パス管理のラUNCH機能の場合は、リンク先が正しく動作しているか確認してください。
KAIC10081-W	論理グループが選択されていません。	論理グループを選択してから操作してください。
KAIC10082-W	子グループがリソースグループにすでに割り当てられているため、論理グループを削除できません。まず、リソースグループを削除してください。	リソースグループを削除してから再度操作してください。
KAIC10083-W	論理グループが選択されていません。	論理グループを選択してから操作してください。
KAIC10084-W	リソースグループ "<リソースグループ名>" が割り当てられている論理グループにはストレージを移動できません。	リソースグループが割り当てられていない論理グループに移動先を指定してください。
KAIC10085-W	論理グループが選択されていません。	論理グループを選択してから操作してください。
KAIC10086-E	Device Manager Web Client 内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10087-W	このホストでセキュリティ設定されたサブシステムは、現在ほかの処理を実行中です。しばらくしてから再実行してください。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10088-W	このホストでセキュリティ設定されたサブシステムは、現在ほかの処理を実行中です。しばらくしてから再実行してください。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10089-E	Device Manager Web Client 内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10091-W	アレイグループ内のすべてのディスクは同じ UNIT でなければなりません。	同じ UNIT 内のディスクを指定してください。
KAIC10092-W	アレイグループを構成するためには二つ以上のディスクが必要です。	二つ以上のディスクを指定してください。
KAIC10093-W	アレイグループ内のすべてのディスクは連続していなければなりません。	連続したディスクを指定してください。
KAIC10094-W	現在ログイン中のユーザーは削除できません。	ほかの System Administrator または Local System Administrator ユーザーでログインしてから削除してください。
KAIC10095-W	最後の "<リソースグループ名>" ユーザーを削除しようとしています。Device Manager の作業のため、このタイプのユーザーは少なくとも 1 人はなければなりません。	ほかのユーザーを作成してから削除してください。
KAIC10096-E	Device Manager Web Client 内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10097-E	Device Manager Web Client 内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10098-E	Device Manager Web Client 内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10099-W	ストレージが選択されていません。	ストレージを選択してから再度操作してください。
KAIC10100-W	サブシステムが選択されていません。	ストレージサブシステムを選択してから再度操作してください。
KAIC10101-W	このリソースグループ名はすでに使用されています。	重複しないリソースグループ名を指定してください。
KAIC10102-W	ユーザー名はすでに使用されています。	重複しないユーザー名を指定してください。
KAIC10103-W	現在ログインしているユーザーには、この機能を実行する権限がありません。	権限のあるユーザーでログインしてください。
KAIC10104-E	Device Manager サーバとのネットワーク接続が切断されました。ネットワーク上の問題か、サーバのダウンと考えられます。WebClient は終了します。ネットワーク接続を確認した後、再度実行してください。	ネットワークの状態を確認するとともに、Device Manager サーバが正しく起動しているかを確認してください。また、一度に操作する対象の LDEV 数が限界値を超えていないことを確認してください。限界値の目安は LDEV にボリュームパスが 1 本ある場合は 200 個、2 本ある場合は 100 個となります。
KAIC10105-E	Device Manager エージェントとのネットワーク接続が切断されました。ネットワーク上の問題か、エージェントのダウンと考えられます。	ネットワークの状態を確認するとともに、Device Manager エージェントが正しく起動しているかを確認してください。
KAIC10106-E	Device Manager サーバの使用期限が切れました。システム管理者に連絡してください。	システム管理者に連絡してください。
KAIC10108-E	この処理は本バージョンの Device Manager サーバではサポートしていません。	Web Client のバージョンとサーバのバージョンが一致しているかを、メニューの [ヘルプ] - [バージョン情報] で確認してください。
KAIC10109-E	Device Manager Web Client 内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10110-E	Device Manager サーバ内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10111-E	Device Manager サーバが不正なリクエストを受け取りました。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC10112-E	設定されている最大サイズよりも大きなリクエストを Device Manager サーバが受け取りました。	システム管理者にご連絡し、Device Manager サーバが受け取ることのできるリクエストの最大サイズを再設定してください。
KAIC10113-E	Device Manager サーバがシャットダウン中のため、通信ができません。	システム管理者にご連絡してください。
KAIC10114-E	ダウンロードしようとしたファイルが Device Manager サーバ上に見つかりません。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC10123-E	追加したホストが見つかりませんでした。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC10124-E	追加したホスト情報が見つかりませんでした。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC10125-E	親グループ "<論理グループ名>" は以前の処理で削除されました。	ほかの論理グループを親グループに指定してください。
KAIC10126-E	指定した親グループにはすでにストレージが割当てられています。	ほかの論理グループを親グループに指定してください。
KAIC10127-E	論理グループ名はすでに使用されています。	ほかの論理グループ名を指定してください。
KAIC10128-E	論理グループ名 "<論理グループ名>" は予約されています。	ほかの論理グループ名を指定してください。
KAIC10129-E	親グループでほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10130-E	Device Manager サーバへのログイン処理でエラーが発生しました。ネットワーク障害の可能性があるため、Web Client は終了します。ネットワーク接続を確認した後、ログインしてください。	ネットワークの状態を確認するとともに、Device Manager サーバが正しく起動しているかを確認してください。
KAIC10131-E	Device Manager サーバからのメッセージ取得でエラーが発生しました。ネットワーク障害の可能性があるため、Web Client は終了します。ネットワーク接続を確認した後、再度実行してください。	ネットワークの状態を確認するとともに、Device Manager サーバが正しく起動しているかを確認してください。
KAIC10132-E	Device Manager サーバからのメッセージ取得でエラーが発生しました。ネットワーク障害の可能性があるため、Web Client は終了します。ネットワーク接続を確認した後、再度実行してください。	ネットワークの状態を確認するとともに、Device Manager サーバが正しく起動しているかを確認してください。
KAIC10133-E	Device Manager サーバからの処理結果の取得でエラーが発生しました。ネットワーク障害の可能性があるため、Web Client は終了します。ネットワーク接続を確認した後、再度実行してください。	ネットワークの状態を確認するとともに、Device Manager サーバが正しく起動しているかを確認してください。
KAIC10134-W	入力したパスワードは間違っています。	パスワードを確認してください。
KAIC10135-W	設定できるスペアディスクは <個数> 個までです。	<個数> 以下のスペアディスクを設定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10136-W	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10137-W	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10139-E	Device Manager Web Client 内部でエラーが発生したため、"<プログラム名>"の起動に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10140-E	<プログラム名> は起動できない状態にあります。	システム管理者に連絡してください。
KAIC10141-W	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10142-W	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10143-W	WWN グループ < WWN グループ名 > に WWN が 1 個以下しか登録されていません。WWN グループには 2 個以上の WWN を登録してください。	該当 WWN グループに WWN を 2 個以上登録してください。
KAIC10144-W	LUN グループ < LUN グループ名 > に LUN が登録されていません。LUN グループには 1 個以上の LUN を登録してください。	該当 LUN グループに LUN を 1 個以上登録してください。
KAIC10145-W	すでに同じ名前の WWN グループがドロップダウンリストにあります。もしくはサブシステム上にあります。	同じポート下の WWN グループにない名称を設定してください。
KAIC10146-W	すでに同じ名前の LUN グループがドロップダウンリストにあります。もしくはサブシステム上にあります。	同じポート下の LUN グループにない名称を設定してください。
KAIC10147-W	現在、サブシステムに対してほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10148-E	指定された WWN は異なる LUN/LUN グループで使用されています。	該当する WWN を使用している LUN のセキュリティを変更するか、WWN を未割り当てにしてください。
KAIC10149-W	名前の長さに誤りがあります。名前には 1 文字以上 8 文字以下の文字列を指定してください。	名前を変更してください。
KAIC10150-W	名前の長さに誤りがあります。名前には 1 文字以上 8 文字以下の文字列を指定してください。	名前を変更してください。
KAIC10151-W	WWN グループ名には以下の文字以外は使用できません。 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ YZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 0123456789 _+.=@!#\$%&'^~[]0}	名前を変更してください。
KAIC10152-W	LUN グループ名には以下の文字以外は使用できません。 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ YZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 0123456789 _+.=@!#\$%&'^~[]0}	名前を変更してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10153-E	Device Manager Web Client 内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10154-E	LDEV/LU "< DevNum >" をコマンドデバイスに設定することはできません。容量が不足しています。	LDEV/LU の容量を確認して LDEV/LU を選び直してください。
KAIC10155-E	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10156-E	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10157-E	現在、サブシステムに対して、ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10158-W	重複したニックネームが指定されています。	変更するホストストレージドメインのニックネームに重複がないように指定してから再度操作してください。
KAIC10159-W	指定されたニックネーム "<ニックネーム>" は同一ポート上のほかのホストストレージドメインがすでに使用しているため使用できません。	同じポート下のホストストレージドメインに存在しない名称を設定してください。
KAIC10160-W	指定されたニックネーム "<ニックネーム>" は同一ポート上のほかの WWN/ホストストレージドメインがすでに使用しているため使用できません。	同じポート下のホストストレージドメインと WWN に存在しない名称を設定してください。
KAIC10161-W	LUN セキュリティが無効な為、WWN グループの登録ができません。LUN セキュリティを有効にしてください。	ポートの LUN セキュリティを有効にしてください。
KAIC10162-W	LUN セキュリティが無効な為、LUN グループの登録ができません。LUN セキュリティを有効にしてください。	ポートの LUN セキュリティを有効にしてください。
KAIC10163-W	コピーグループ <コピーグループ> (ホスト:<ホスト名> HORCM:<インスタンス番号>) にカスケードしている ShadowImage / BusinessCopy のコピーペアを指定しています。カスケードしているコピーペアを同じコピーグループに指定することはできません。別のコピーグループを選択してください。	ほかのコピーグループを選択するか、新たにコピーグループを作成してください。
KAIC10164-W	コピーペア名 <コピーペア名> はホスト:<ホスト名> HORCM:<インスタンス番号> にすでに存在します。別の名前を入力してください。	別のコピーペア名を指定してください。
KAIC10165-W	コピーペア名 <コピーペア名> をホスト:<ホスト名> HORCM:<インスタンス番号> で重複して指定していません。別の名前を入力してください。	別のコピーペア名を指定してください。
KAIC10166-W	コピーグループ <コピーグループ名> (ホスト:<ホスト名> HORCM:<インスタンス番号>) に指定したコピーペアに使用しているサブシステムの組み合わせは制限されています。	ほかのコピーグループを選択するか、新たにコピーグループを作成してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10167-W	フェンスレベルが異なるため、コピーグループ <コピーグループ名> (ホスト:<ホスト名> HORCM:<インスタンス番号>) にコピーペアを追加できません。	ほかのコピーグループを選択するか、新たにコピーグループを作成してください。
KAIC10168-W	コピーグループ <コピーグループ名> (ホスト:<ホスト名> HORCM:<インスタンス番号>) に P-VOL と S-VOL のサブシステムの組み合わせが他のコピーペアと異なるコピーペアが存在します。	同一コピーグループに設定できるコピーペアのストレージサブシステムの組み合わせは一種類だけです。 ほかのコピーグループを選択するか、新たにコピーグループを作成してください。
KAIC10170-E	削除するストレージを選択してください。	削除するストレージを選択してください。
KAIC10171-E	移動するストレージを選択してください。	移動するストレージを選択してください。
KAIC10172-E	セキュリティを変更するストレージを選択してください。	セキュリティを変更するストレージを選択してください。
KAIC10173-E	LUSE を作成するストレージを 2 つ以上選択してください。	LUSE を作成するストレージを 2 つ以上選択してください。
KAIC10174-E	LUSE を削除するストレージを選択してください。	LUSE を削除するストレージを選択してください。
KAIC10175-E	割当てるストレージを選択してください。	割当てるストレージを選択してください。
KAIC10176-E	割当てを解除するストレージを選択してください。	割当てを解除するストレージを選択してください。
KAIC10177-E	コピーペア作成するストレージを選択してください。	コピーペア作成するストレージを選択してください。
KAIC10178-E	1 つのサブシステムのストレージを選択してください。	一つのストレージサブシステムのストレージを選択してください。
KAIC10179-E	論理グループ名が指定されていません。	論理グループ名を指定してください。
KAIC10180-E	論理グループ名 "<論理グループ名>" は、予約されているため使用できません。	ほかの論理グループ名を指定してください。
KAIC10181-E	ホスト名が指定されていません。	ホスト名を指定してください。
KAIC10182-E	指定した World Wide Name のフォーマットが不正です。	World Wide Name を正しく入力してください。
KAIC10183-E	この World Wide Name はすでに使用されています。	ほかの World Wide Name を指定してください。
KAIC10184-E	IP アドレスまたはホスト名が指定されていません。	IP アドレスまたはホスト名を入力してください。
KAIC10185-E	ユーザー ID が指定されていません。	ユーザー ID を指定してください。
KAIC10186-E	SNMP コミュニティ名が指定されていません。	SNMP コミュニティ名を指定してください。
KAIC10187-E	パスワードが間違っています。	パスワードを入力し直してください。
KAIC10188-E	LDEV の入力形式が不正です。	正しい形式で LDEV を入力してください。
KAIC10189-E	総容量の入力形式が不正です。整数値を入力してください。	総容量を入力し直してください。 入力できる値は $2^{31}-1$ 以下の数値です。
KAIC10190-E	ストレージの数の入力形式が不正です。整数値を入力してください。	ストレージの数を入力し直してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC10191-E	検索オプションが不正です。	正しい検索オプションの組み合わせを入力してください。
KAIC10192-E	LDEV を入力してください。	LDEV を入力してください。
KAIC10193-E	総容量を入力してください。	総容量を入力してください。
KAIC10194-E	ストレージの数を入力してください。	ストレージの数を入力してください。
KAIC10195-E	LDEV 番号 <LDEV 番号> で指定されるデバイスが存在しません。	ほかの LDEV 番号を指定してください。
KAIC10196-E	検索条件に一致する LDEV が見つかりません。	ほかの検索条件を指定してください。
KAIC10197-E	ポートが選択されていません。	ポートを選択してください。
KAIC10198-E	ポート・ホスト:WWN/iSCSI Name が選択されていません。	ポート・ホスト:WWN を選択してください。
KAIC10199-E	LU が選択されていません。	LU を選択してください。
KAIC10201-E	LU・ポート・ホスト:WWN/iSCSI Name 接続が選択されていません。	LU・ポート・ホスト:WWN 接続を選択してください。
KAIC10204-E	バスが設定されている LDEV を LUSE に指定することはできません。	バスが設定されていない LDEV を指定してください。
KAIC10205-E	Migration 用予約 LDEV では LUSE を作成できません。	Volume Migration 用 (Hitachi USP), CruiseControl 用 (SANRISE9900V), または HIHSM 用 (SANRISE2000) で予約されていない LDEV を選択してください。
KAIC10206-E	1 つの LUSE 内に CVS の LDEV と通常の LDEV を混在して指定することはできません。	すべての LDEV を CVS の LDEV または通常の LDEV にしてください。
KAIC10207-E	LUSE 内のすべての LDEV は同じ CU 内のものでなければなりません。	すべての LDEV を同じ CU 内から割当ててください。
KAIC10208-E	LUSE 内のすべての LDEV は同じエミュレーションタイプでなければなりません。	すべての LDEV のエミュレーションが同一になるようにしてください。
KAIC10209-E	LUSE 内のすべての LDEV は同じ RAID レベルでなければなりません。	すべての LDEV の RAID レベルが同一になるようにしてください。
KAIC10210-E	1 つの LUSE 内に異なるサイズの LDEV を指定することはできません。	すべての LDEV のサイズが同一になるようにしてください。
KAIC10211-E	LU の大きさの合計は 2TB より小さくなければいけません。	LU の大きさの合計が 2TB より小さくなるようにしてください。
KAIC10212-E	LUSE 内に RAID レベル 0 の LDEV を含むことはできません。	RAID レベル 0 以外の LDEV を指定してください。
KAIC10213-E	LUSE 内の LU が属するデフォルトコントローラーはすべて同じでなければなりません。	LU のデフォルトコントローラーが同一になるようにしてください。
KAIC10214-E	LUSE を構成できる LDEV の数は最大 36 個です。	LDEV の数を 36 個以下にしてください。
KAIC10215-E	選択された論理グループにストレージを割当てることができません。	ほかの論理グループを選択してください。
KAIC10216-E	ストレージ割当て可能なサブシステムが一つも登録されていません。	ストレージサブシステムを登録してから操作を行ってください。
KAIC10218-E	選択されたポートに割り当て済みの WWN が選択されています。利用可能	利用可能な WWN とポートの組み合わせを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	な WWN とポートの組合せを確認してください。	
KAIC10219-E	LUSE ボリュームではないストレージが選択されています。	LUSE ボリュームを選択してください。
KAIC10220-E	ユーザー ID を入力してください。	ユーザー ID を入力してください。
KAIC10221-E	パスワードを入力してください。	パスワードを入力してください。
KAIC10222-E	ユーザー ID またはパスワードが正しくありません。	正しいユーザー ID とパスワードを入力してください。
KAIC10224-E	Single Sign On Service でエラーが発生しました。	<p>外部認証サーバが LDAP の場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. <code>hcmdsldapuser</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. StartTLS で通信するときは、SSL の設定を確認してください。 4. 問題が解決しないときは、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。 <p>外部認証サーバが RADIUS の場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. <code>hcmdsradiussecret</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. 問題が解決しないときは、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。 <p>外部認証サーバが Kerberos の場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているホストおよびポートを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. 問題が解決しないときは、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。 <p>上記以外の場合： 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAIC10225-E	セッションタイムアウトです。再ログインしてください。	再ログインしてください。
KAIC10226-E	一時ライセンスの有効期間が満了しています。正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを入力してください。	ライセンスを購入してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC10227-E	非常ライセンスの有効期間が満了しています。正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを入力してください。	ライセンスを購入してください。
KAIC10228-E	ライセンスキーを入力してください。	ライセンスキーを入力してください。
KAIC10229-E	ライセンス情報の取得に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10231-E	ライセンスキーが不正か、すでに登録されているライセンスキーを登録しようとした可能性があります。	正しいライセンスキーを入力してください。
KAIC10232-E	Device Manager のログインに失敗しました。ユーザー ID/パスワードを入力してください。	再ログインしてください。
KAIC10236-E	ホスト <ホスト名> にはコピーペアの情報はありません。	コピーペアの情報を持つホストを選択してください。
KAIC10237-W	正ボリュームへの I/O 処理中にこの処理を行なうと副ボリュームのデータが不完全な状態になる場合があります。正ボリュームへの I/O 処理を行なっていないことを確認してください。	正ボリューム(P-VOL)に指定したボリュームに対して、ホストからの I/O 処理が停止していることを確認してから操作を続行してください。
KAIC10238-W	コピーベースに推奨値以外の値が選択されています。変更内容を十分確認してください。	AMS/WMS, SANRISE9500V, SANRISE1000 の ShadowImage, TrueCopy および QuickShadow / COW Snapshot では, Faster または 15 を指定してください。
KAIC10239-W	この操作によって、副ボリュームとして指定されたボリュームのデータが消失します。変更内容を十分確認してください。	この操作を続行すると、副ボリュームのデータが削除されます。必要に応じてバックアップを取ってから、操作を続行してください。
KAIC10240-E	World Wide Name か iSCSI Name のどちらかが指定されていません。	World Wide Name か iSCSI Name のどちらかを指定してください。
KAIC10241-E	サブシステム名が指定されていません。	ストレージサブシステム名を指定してください。
KAIC10242-E	WWN/iSCSI Name または WWN グループが選択されていません。	WWN/iSCSI Name または WWN グループを選択してください。
KAIC10243-E	指定した親グループが不正です。	親グループには、更新する論理グループとその子グループ以外を指定してください。
KAIC10244-E	このホスト名はすでに使用されています。	ほかのホスト名を指定してください。
KAIC10245-E	指定された World Wide Name/iSCSI Name < World-Wide-Name / iSCSI Name > は、ホスト <ホスト名> すでに使用されています。	他の World Wide Name/iSCSI Name を指定してください。
KAIC10246-E	<ホスト名> の HORCM <インスタンス番号> は操作対象外のため指定できません。	ほかのインスタンス番号を指定してください。
KAIC10247-E	<ホスト名> の HORCM <インスタンス番号> に指定したポート番号は登録済みのポート番号と一致していません。HORCM インスタンスとポート番号の組み合わせを変更することはできません。	ほかの組み合わせを選択するか、新たに組み合わせを作成してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10248-E	指定したコピーグループ名はホスト <ホスト名> HORCM <インスタンス番号> ですすでに使用されています。	ほかのコピーグループ名を指定してください。
KAIC10249-E	<ホスト名> に指定したポート番号 <ポート番号> はすでに利用されています。	ほかのポート番号を指定してください。
KAIC10250-E	P-VOL と S-VOL に同じ HORCM は指定できません。	ほかの HORCM を指定してください。
KAIC10251-E	P-VOL と S-VOL に同じ HORCM 通信ポートは指定できません。	ほかの HORCM 通信ポートを指定してください。
KAIC10252-E	LU <DevNum> はコマンドデバイスに設定されているため削除できません。	コマンドデバイスの設定を解除してください。
KAIC10253-E	LU <DevNum> はコピーペアに設定されているため削除できません。	コピーペアを削除してください。
KAIC10254-E	LU <DevNum> は Device Manager からは削除できません。	ストレージサブシステムに付属のアプリケーションから削除してください。
KAIC10255-E	LU <DevNum> は論理グループの移動はできません。	ディスクアレイ管理プログラム 2 を用いて、すでに LUN が割り当てられた二つ以上のボリュームから統合 LU を作成する、もしくは統合 LU 作成後に MainLU 以外に LUN を割り当てると、Device Manager 上では MainLU 以外の LU に割り当てられた LUN が表示されたままになります。このような LUN は、Device Manager では操作ができません。
KAIC10256-E	論理グループ <論理グループ名> には他のサブシステムのストレージが割り当てられています。	ほかの論理グループを選択してください。
KAIC10257-E	選択した全ての LDEV に同じセキュリティを設定することはできません。	個別にセキュリティ設定を行ってください。
KAIC10258-E	LU <DevNum> は Device Manager でセキュリティの設定はできません。	ストレージサブシステムに付属のアプリケーションからセキュリティの設定を行ってください。
KAIC10260-E	リクエストを受け付けられません。ダイアログを閉じて、もう一度、操作をやりなおしてください。それでもうまくいかない場合は、もう一度、ログインしなおした後にやりなおしてください。	画面を閉じてから、やり直してください。 [Close] ボタンがダイアログにない場合は、画面右上の [×] ボタンより画面を閉じてください。 問題が残る場合はログアウト後もう一度ログインしてやり直してください。
KAIC10263-E	HORCM インスタンス番号には数字を使用してください。	正しいインスタンス番号を指定してください。
KAIC10264-E	HORCM 通信ポート番号には数字を使用してください。	正しいポート番号を指定してください。
KAIC10265-E	コピーペア名およびコピーグループ名には英数字と記号以外は使用できません。また名前の先頭に「-」を使用できません。	正しい文字列を指定してください。
KAIC10266-W	選択された LDEV とポートの組合せのうち、以下のものはすでに LUN が割り当て済みですので、LUN の割り当て、およびこの論理グループへの追加は行ないません。よろしいですか？	LUN の割り当て、およびこの論理グループへの追加が行われない LDEV を確認してから処理を続行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC10267-E	選択されたポートと WWN グループの組合せが不正です。利用可能なホスト:WWN とポートの組合せを確認してください。	利用可能なホスト:WWN とポートの組み合わせを確認し、利用可能な組み合わせを選択してください。
KAIC10268-E	選択された LU は既に選択されたポートに割当てられています。利用可能な LU とポート:ホスト WWN の組合せを確認してください。	利用可能な LU とポート:ホスト WWN の組み合わせを確認し、利用可能な組み合わせを選択してください。
KAIC10269-E	選択された LU は既に選択されたポート/HSD (iSCSI Target) に割当てられています。利用可能な LU とポート:ホスト WWN/iSCSI Name の組合せを確認してください。	利用可能な LU とポート:ホスト WWN/iSCSI の組み合わせを確認し、利用可能な組み合わせを選択してください。
KAIC10270-W	この操作の対象となるボリュームのデータが消失します。十分確認してください。	この操作の対象となるボリュームのデータが消失します。十分確認してください。必要に応じてバックアップを取り、操作を続行してください。
KAIC10271-W	この操作の対象となるポート下の全 LUN に対して、ホストおよび External ポートから I/O 処理を行っていないことを確認してください。I/O 処理を行なった状態で実行すると、I/O が異常終了する場合があります。	この操作の対象となるポート下の全 LUN に対して、ホストおよび External ポートから I/O 処理を行っていないことを確認してください。I/O 処理を行なった状態で実行すると、I/O が異常終了する場合があります。
KAIC10272-W	この操作の対象となるホストストレージドメイン/iSCSI Target 下の全 LUN に対して、ホストおよび External ポートから I/O 処理を行っていないことを確認してください。I/O 処理を行なった状態で実行すると、I/O が異常終了する場合があります。	この操作の対象となるホストストレージドメインまたは iSCSI ターゲット下の全 LUN に対して、ホストおよび External ポートから I/O 処理を行っていないことを確認してください。I/O 処理を行なった状態で実行すると、I/O が異常終了する場合があります。
KAIC10273-W	この操作の対象となる LUN に対して、ホストおよび External ポートから I/O 処理を行っていないことを確認してください。I/O 処理を行なった状態で実行すると、I/O が異常終了する場合があります。	この操作の対象となる LUN に対して、ホストおよび External ポートから I/O 処理を行っていないことを確認してください。I/O 処理を行なった状態で実行すると、I/O が異常終了する場合があります。
KAIC10274-W	この操作の対象となるポートの LUN セキュリティが有効になります。その結果、現在アクセスしているホストおよび External ポートがストレージにアクセスできなくなる可能性があります。変更内容を十分確認してください。	この操作の対象となるポートの LUN セキュリティが有効になります。その結果、現在アクセスしているホストおよび External ポートがストレージにアクセスできなくなる可能性があります。LUN セキュリティが有効になると、サーバや HBA から、今まで認識していたポート上の LUN を参照できなくなる場合があります。この場合は、LUN に対して LUN セキュリティの設定が必要です。
KAIC10275-W	コピーペアボリューム、またはコマンドデバイスへの LUN を解放すると、コピーペア設定ができなくなる場合があります。変更内容を十分確認してください。	コピーペアボリューム、またはコマンドデバイスへの LUN を解放することにより、コピーペア設定の条件を満たさなくなる場合、コピーペア設定ができなくなります。変更内容を確認してから操作してください。
KAIC10276-E	ホスト <ホスト名> は、コピーペアの操作が可能なホストではありません。	次の項目を確認してください。 1. ホストにインストールされている RAID Manager のバージョン

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		2. ホストにインストールされているホストエージェントのバージョン 3. ホストにコマンドデバイスが割り当てられているかどうか
KAIC10277-E	選択された LDEV は、コピーペアの必要条件を満たしません。次の理由によるエラーのおそれがあるため、「コピーペアの要件」を参照し、コピーペアの作成に必要な要件を満たしているか確認してください。 1. コピーペアの作成に必要な条件を満たしていない。 2. コピーペアの作成に必要な条件を満たす LDEV が選択されていない。	コピーペアの作成に必要な条件を満たす LDEV を選択して再実行してください。
KAIC10278-E	コピーグループ名を指定してください。	正しい文字を入力してください。
KAIC10279-E	<P-VOL もしくは S-VOL >の<項目名>を指定してください。	数字を入力してください。
KAIC10281-E	<名前>に数字以外の文字を指定しています。	数字を入力してください。
KAIC10282-E	<名前>は<数値>から<数値>の範囲で指定してください。	ほかの番号を指定してください。
KAIC10284-E	すべてのポートに割当て済みのデバイスが含まれています。	割り当て可能なデバイスを選択してください。
KAIC10285-E	WWN グループとその WWN グループに登録されている WWN を同時に選択することはできません。	WWN グループに登録されていない WWN を選択してください。
KAIC10286-E	選択されたポートと WWN の組合せが不正です。利用可能なホスト:WWN とポートの組合せを確認してください。	利用可能なホスト:WWN とポートの組み合わせを確認し、利用可能な組み合わせを選択してください。
KAIC10287-W	無効な LDEV が選択されているか、LDEV が複数選択されていますので、LDEV が特定できません。Dynamic Link Manager の初期画面を表示します。	LDEV を選択し直すか、Dynamic Link Manager 上で LDEV を選択してください。
KAIC10288-E	サブシステムを追加してください。	レポート画面を表示する前にストレージサブシステムを追加してください。
KAIC10289-E	警告の内容を確認してください。	警告の内容を確認し、チェックボックスをチェックしてください。
KAIC10290-E	指定された論理グループにはリソースグループが登録されています。	新たに論理グループを作成し、そこにパスを登録してください。
KAIC10291-E	ホストが登録されていないため、操作を続行することができません。	ホストを登録してください。
KAIC10292-E	認証に失敗しました。	システム管理者に連絡してください。
KAIC10293-E	起動に失敗しました。	ご使用の JRE が、Web Client がサポートしている JRE のバージョンであることを確認してください。再発するときはシステム管理者に連絡してください。
KAIC10294-E	パスが選択されていません。	パスを選択してください。
KAIC10295-E	プールを構成している LDEV にパスを設定することはできません。	割り当て可能なデバイスを選択してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10296-E	指定した LDEV <LDEV 番号>はプールを構成しているデバイスです。	割り当て可能なデバイスの LDEV 番号を指定してください。
KAIC10298-E	通信障害が発生しました。'タスク'メニューを開いて、処理が完了したかどうかを確認してください。	[タスク]メニューを開いて、処理が完了したかどうかを確認してください。このエラー画面が頻発する場合、システム管理者に連絡してください。
KAIC10299-E	ユーザー操作により不正な画面遷移が行なわれました。	再度操作を実行してください。
KAIC10300-E	セッションが切れました。ログインからやり直してください。	ログインからやり直してください。
KAIC10301-E	セッションが無効です。ログインからやり直してください。	ログインからやり直してください。
KAIC10302-E	指定された全てのパスがすでに存在します。他の LDEV もしくはポートを指定してください。	選択したものとは別の LDEV もしくはポートを選択してください。
KAIC10303-E	QuickShadow / COW Snapshot の場合、P-VOL が同一のコピーペアに対して一度に Restore 操作を実行することはできません。	P-VOL が同一のコピーペアに対しては、Restore 操作を行うコピーペアを一つだけ選択してください。
KAIC10304-E	削除するアラートを選択してください。	削除するアラートを選択してください。
KAIC10305-E	論理グループが一つも登録されていません。論理グループを作成してから操作を行なってください。	操作の前に論理グループを作成してください。
KAIC10306-W	サブシステム"<サブシステム名>"には2つのコントローラーがありますが、IP アドレスが1つしか設定されていません。サブシステム管理画面のプロパティ変更で、もう1つの IP アドレスを設定することを推奨します。	ストレージサブシステム管理画面のプロパティ変更で、IP アドレスを設定してください。
KAIC10307-E	入力可能な文字は以下の通りです。<文字列> 入力可能な文字数は、<数値>文字以下です。	使用可能な文字を入力してください。また、文字数を制限以下で入力してください。
KAIC10309-W	Java Script のバージョンをアップデートしてください。	Internet Explorer 6.0 SP1 以降を上書きインストールしてください。もしくは、下記のサイトより最新の JScript をダウンロードしてインストールしてください。 http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=c717d943-7e4b-4622-86eb-95a22b832caa
KAIC10310-E	World Wide Name を指定してください。	削除する World Wide Name を指定してください。
KAIC10311-E	選択したストレージは削除されていません。	ほかのストレージを選択してください。
KAIC10312-E	"LUN SCAN"は予約されている論理グループ名です。この操作を行うには、論理グループ名を変更してください。	"Modify Properties" (プロパティ変更) を使用し、論理グループ名を変更してください。
KAIC10313-E	<PP 名>により割り当てられたボリュームと内部ボリュームが混在する LUSE を作成することはできません。	Universal Volume Manager/External Storage により割り当てられたボリュームだけ、または内部ボリュームだけを選択してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10314-E	LUSE 内の LDEV は同じホスト I/O 抑止モードでなければなりません。	ホスト I/O 抑止モードが同一である LDEV を選択してください。
KAIC10315-E	LUSE 内の LDEV は同じ I/O キャッシュモードでなければなりません。	I/O キャッシュモードが同一である LDEV を選択してください。
KAIC10316-W	サブシステムの External ポートであるホストを削除することはできません。	ストレージサブシステムの External ポートであるホストは、システム上削除できないホストです。
KAIC10317-W	<PP名> により割り当てられたボリュームが無効になる可能性があります。変更内容を十分確認してください。	Universal Volume Manager/External Storage により割り当てられたボリュームが無効になる可能性があります。変更内容を十分確認してください。
KAIC10318-W	外部サブシステムが異なるか、外部サブシステムが不明な LUSE (<LDEV番号>) を作成しようとしています。	複数の外部サブシステムが混在する LUSE は推奨されません。外部サブシステムが同一である LDEV を選択してください。
KAIC10319-E	Provisioning Manager は Device Manager の呼び出しに失敗しました。(詳細情報:<詳細情報>)	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10320-E	Provisioning Manager から不正なリクエストが送信されました。(詳細情報:<詳細情報>)	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10321-E	入力されたライセンスキーファイルが不正です。	正しいライセンスキーファイルを指定して、再実行してください。
KAIC10322-E	ライセンスキーファイルを入力してください。	ライセンスキーファイルを入力してください。
KAIC10323-E	ファイル削除に失敗しました。	対処の必要はありません。
KAIC10324-E	システム環境が不正です。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10325-E	ライセンスキーファイルの最大サイズを超えています。	顧客問合せ窓口に連絡してください。
KAIC10326-E	ライセンスキーファイルが不正か、すでに登録されているライセンスキーファイルを登録しようとした可能性があります。	正しいライセンスキーファイルを指定して、再実行してください。
KAIC10327-E	LUSE ボリューム内の LDEV のタイプはすべて同じでなければなりません。	LDEV のタイプが同じになるようにしてください。
KAIC10328-W	LUN スキャンを実行する前に、対象となるストレージサブシステムの LDEV の一覧で表示されるすべての WWN/iSCSI Name がホストとして登録されていることを確認してください。LUN スキャン実行後にホストに Device Manager エージェントをインストールすると、エージェントホストに該当する WWN/iSCSI Name について新しいホストが登録されます。このとき、LUN スキャンによって登録されたホストは WWN/iSCSI Name を持たない状態で残ることがあります。操作を続行してもよろしいですか？	ホスト一覧に登録されているホストを確認してから操作を続行してください。
KAIC10329-E	Device Manager Web Client 内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10331-E	LDEV 属性の条件値に指定した形式が一致していません。	LDEV 属性の条件値には同じ形式で指定してください。
KAIC10332-E	≥には≤に指定した値以下の値を指定してください。	>=には<=に指定した値以下の値を指定してください。
KAIC10333-W	異なる SLPR に属するストレージリソースの関連づけを行うと、分割ストレージ管理者は、ストレージリソースの管理ができなくなります。	分割ストレージ管理者は、ストレージ管理ができなくなる可能性があります。設定内容を十分確認してください。
KAIC10334-W	異なる CLPR に属するボリュームから LUSE ボリュームを作成すると、キャッシュ分割の効果が減少する可能性があります。	キャッシュ分割の効果が減少する可能性があります。設定内容を十分確認してください。
KAIC10335-W	異なる CLPR に属するボリュームで構成されている LUSE ボリュームが選択されています。キャッシュ分割の効果が減少する可能性があります。	キャッシュ分割の効果が減少する可能性があります。設定内容を十分確認してください。
KAIC10336-E	Device Manager は Web ブラウザーの起動に失敗しました。 Web ブラウザーが正常に動作するか確認してください。	Web ブラウザーへのリンクが正しく設定されていることを確認してください。
KAIC10337-E	Device Manager は Web ブラウザーの起動に失敗しました。 Web ブラウザーが正常に動作するか確認してください。	Internet Explorer へのパスが正しく設定されていることを確認してください。
KAIC10338-W	サブシステムの更新中に操作が実行されました。 表示内容は最新の情報ではないおそれがあります。	更新処理中にストレージサブシステムに対して操作を実行すると、操作が失敗するおそれがあります。 実行中の更新処理が完了してから、再度操作してください。
KAIC10339-E	現在、サブシステムの更新中です。実行中の更新処理が完了してから、再度操作してください。	実行中の更新処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10340-E	ライセンス管理の実行に失敗しました。	Device Manager が稼働しているシステムでライセンス管理の実行に必要なメモリーが不足している可能性があります。 システムでメモリーが不足していないか確認してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10341-E	LUSE ボリューム内の LDEV は、すべて同じ CLPR に属している必要があります。	すべての LDEV が同じ CLPR に属していることを確認してください。
KAIC10342-E	DM-LU を構成している LDEV にパスを設定することはできません。	割り当て可能なデバイスを選択してください。
KAIC10343-E	指定した LDEV <LDEV 番号> は DM-LU を構成しているデバイスです。	割り当て可能なデバイスの LDEV 番号を指定してください。
KAIC10344-E	LUSE を構成できる LDEV の数は最大 128 個です。	LDEV の数を 128 個以下にしてください。
KAIC10361-E	ホストストレージドメイン名が入力されていません。ホストストレージドメイン名を入力してください。	ホストストレージドメイン名を入力してください。
KAIC10362-E	指定されたホストストレージドメイン名 "<ホストストレージドメイン名>"	同じポート上に存在しないホストストレージドメイン名を設定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	は、同じポート上にすでに存在していません。同じポート上に存在しないホストストレージドメイン名を指定してください。	
KAIC10363-E	ホストストレージドメイン情報の画面が開いている、または終了処理中のため、操作できません。ホストストレージドメイン情報の画面を閉じて、画面が更新されてから操作してください。	ホストストレージドメイン情報の画面を閉じて、画面が更新されてから操作してください。
KAIC10364-E	PhysicalView を起動するには Storage Navigator Modular との連携の設定が必要です。 マニュアルを参照して設定を行なってください。	マニュアルを参照し、Storage Navigator Modular と連携するための設定をしてください。
KAIC10365-E	1つのLUSE内にV-VOLのLDEVとその他のLDEVを混在して指定することはできません。	すべてのLDEVをV-VOLのLDEVまたは通常のLDEVにしてください。
KAIC10366-E	共通コンポーネントの認証に失敗しました。ログインからやり直してください。	ログインからやり直してください。
KAIC10367-E	Device Manager Web Client 内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10368-E	サブシステムに対応するライセンスが登録されていません。	Device Manager バージョン情報画面よりライセンスを登録してください。
KAIC10369-W	この操作の対象となるアレイグループ<アレイグループ番号>のデータが消失します。操作内容を十分に確認してください。	この操作の対象となるアレイグループのデータが消失します。操作内容を十分に確認してください。必要に応じてバックアップを取り、操作を続行してください。
KAIC10370-W	このポート設定の変更によって、現在アクセスしているホストおよび External ポートがサブシステムにアクセスできなくなるおそれがあります。変更内容を十分に確認してください。	変更内容を十分に確認してください。
KAIC10371-W	設定を有効にするためにサブシステムを再起動します。このときホストからの I/O を受け付けなくなります。外部サブシステムとして使用している場合は、Storage Navigator を使用して Disconnect subsystem を必ず実行してください。	設定を有効にするためにサブシステムを再起動します。このときホストからの I/O を受け付けなくなります。外部サブシステムとして使用している場合は、Storage Navigator を使用して Disconnect subsystem を必ず実行してください。
KAIC10372-W	この操作の対象となるポートを使用している LUN に対して、ホストおよび External ポートから I/O 処理をしていないことを確認してください。I/O 処理をした状態で実行するとファイルシステムが破壊されるおそれがあります。この操作の結果、ホストストレージドメイン<ホストストレージドメイン ID の名前>に設定しているホストおよび External ポートだけがアクセスできるようになります。	ホストおよび External ポートから I/O 処理をしていないことを確認してください。
KAIC10373-I	ライセンスキーを登録してください。	ライセンスキーを登録してください。
KAIC10374-I	ライセンスの登録が完了しました。	対処の必要はありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10375-I	一時ライセンスの有効期間は、< n > 日間です。 < date > に満了します。	期限が切れる前にライセンスを登録してください。
KAIC10376-I	非常ライセンスの有効期間は、< n > 日間です。 < date > に満了します。	期限が切れる前にライセンスを登録してください。
KAIC10377-E	Device Manager のログインに失敗しました。ユーザーにリソースグループと Peer 以外の Device Manager の権限、または User Management 権限を割り当ててから再度ログインしてください。	ユーザーにリソースグループと Peer 以外の Device Manager の権限、または User Management 権限を割り当ててから再度ログインしてください。
KAIC10379-E	LUSE 内のすべての LDEV は同じストライプサイズでなければなりません。	すべての LDEV を同じストライプサイズにしてください。
KAIC10380-E	Java Script を有効にしてください。	Java Script を有効にしてください。
KAIC10381-E	一時ライセンスの有効期間が満了しています。	ライセンスを購入してください。
KAIC10382-E	非常ライセンスの有効期間が満了しています。	ライセンスを購入してください。
KAIC10383-E	フィルター条件の組み合わせが不正です。	AND 条件でフィルタリングを実行する場合、LDEV 属性の条件は二つまで指定できます。条件にはそれぞれ異なる演算子を指定してください。LDEV 属性以外の属性は、二つ以上の条件を指定できません。
KAIC10385-E	重複したリソースグループ名は認められません。	リソースグループ名を変更してください。
KAIC10386-E	指定されたリソースグループは Device Manager データベース内に見つかりません。	リソースグループ名を確認してください。
KAIC10387-E	指定されたリソースグループをこの API バージョンで追加することはできません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10388-E	この API バージョンでは指定されたリソースグループにユーザを追加することはできません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10389-E	指定された論理グループはすでに別のリソースグループで使用されています。	リソースグループが未使用の論理グループを指定してください。
KAIC10390-E	指定されたリソースグループにはすでに論理グループが関連づけられています。	既存の関連を削除し、再度論理グループとの関連づけを行ってください。
KAIC10391-E	指定されたリソースグループにはユーザが登録されています。	リソースグループからすべてのユーザを削除し、再度コマンドを実行してください。
KAIC10392-E	指定された論理グループ下にリソースグループが登録されています。	論理グループ下のすべてのリソースグループを削除し、再度コマンドを実行してください。
KAIC10393-E	指定された論理グループにはリソースグループが登録されています。	新たに論理グループを作成し、そこにパスを登録してください。
KAIC10394-E	ログオンユーザは、自分のリソースグループ、ロールを変更できません。	ログオンユーザの権限を確認してください。
KAIC10395-E	リソースグループ名は無効です。25 バイト以下にする必要があります。	リソースグループ名は 25 バイト以下で入力してください。
KAIC10396-E	ビルトインリソースグループは削除できません。	リソースグループの指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10397-E	自分が属しているリソースグループを削除できません。	リソースグループの指定を見直してください。
KAIC10398-E	ビルトインリソースグループは変更できません。	リソースグループの指定を見直してください。
KAIC10399-E	自分が属しているリソースグループを変更できません。	リソースグループの指定を見直してください。
KAIC10400-E	指定されたリソースグループ名は予約されているため使用できません。	リソースグループの指定を見直してください。
KAIC10401-E	ログオンユーザはリソースグループに属していないため Device Manager の機能を使用できません。	Device Manager の機能を使用できるユーザで再実行してください。
KAIC10402-E	リソースグループの情報に共通ユーザ情報と異なる部分を見ました。	共通ユーザ情報が最新の情報を保持していないおそれがあります。Device Manager サーバを再起動してください。
KAIC10403-E	指定されたリソースグループは共通ユーザ情報に登録されていません。	リソースグループの指定を見直してください。
KAIC10404-E	指定されたリソースグループは共通ユーザ情報にすでに登録されています。	リソースグループの指定を見直してください。
KAIC10405-E	パラメータが正しくありません： Resource Group < name >	リソースグループ名を指定して再度操作してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10406-E	指定されたリソースグループは Device Manager データベースには見つかりません。	リソースグループを見直してください。
KAIC10407-E	リソースグループ名が不正です。次の文字を用いて 25 文字以下で指定してください。a-z, A-Z, 0-9, '-', '=', '@', '!', ',', ';', ':', '_', '.', ' ', '", '', '$', '%', '&', ''', '*', '+', ',', '-', '.', '/', '0', '1', '2', '3', '4', '5', '6', '7', '8', '9', ':', ';', '<', '=', '>', '?', '@', 'A', 'B', 'C', 'D', 'E', 'F', 'G', 'H', 'I', 'J', 'K', 'L', 'M', 'N', 'O', 'P', 'Q', 'R', 'S', 'T', 'U', 'V', 'W', 'X', 'Y', 'Z', '[', '\', ']', '^', '_', '`', 'a', 'b', 'c', 'd', 'e', 'f', 'g', 'h', 'i', 'j', 'k', 'l', 'm', 'n', 'o', 'p', 'q', 'r', 's', 't', 'u', 'v', 'w', 'x', 'y', 'z', '{', '|', '}', '~', '', '€', '', '‚', 'ƒ', '„', '…', '†', '‡', 'ˆ', '‰', 'Š', '‹', 'Œ', '', 'Ž', '', '', '‘', '’', '“', '”', '•', '–', '—', '˜', '™', 'š', '›', 'œ', '', 'ž', 'Ÿ', ' ', '¡', '¢', '£', '¤', '¥', '¦', '§', '¨', '©', 'ª', '«', '¬', '­', '®', '¯', '°', '±', '²', '³', '´', 'µ', '¶', '·', '¸', '¹', 'º', '»', '¼', '½', '¾', '¿', 'À', 'Á', 'Â', 'Ã', 'Ä', 'Å', 'Æ', 'Ç', 'È', 'É', 'Ê', 'Ë', 'Ì', 'Í', 'Î', 'Ï', 'Ð', 'Ñ', 'Ò', 'Ó', 'Ô', 'Õ', 'Ö', '×', 'Ø', 'Ù', 'Ú', 'Û', 'Ü', 'Ý', 'Þ', 'ß', 'à', 'á', 'â', 'ã', 'ä', 'å', 'æ', 'ç', 'è', 'é', 'ê', 'ë', 'ì', 'í', 'î', 'ï', 'ð', 'ñ', 'ò', 'ó', 'ô', 'õ', 'ö', '÷', 'ø', 'ù', 'ú', 'û', 'ü', 'ý', 'þ', 'ÿ'	入力したリソースグループ名を見直してください。
KAIC10408-E	入力するライセンスキーがライセンスキーファイル内にありません。他製品のライセンスキーファイルを登録しようとした可能性があります。	正しいライセンスキーファイルを指定して、再実行してください。
KAIC10410-E	WWN/iSCSI Name 選択の画面が開いているか、または終了処理中のため、操作できません。WWN/iSCSI Name 選択の画面が開いている場合は閉じてください。そのあとで、WWN/iSCSI Name 選択の画面の起動元となった画面が更新されてから操作してください。	WWN/iSCSI Name 選択の画面を閉じて、画面が更新されてから操作してください。
KAIC10411-E	LDEV 番号< LDEV 番号 >の LDEV は OnDemand 用予約 LDEV です。	LDEV の選択を見直してください。
KAIC10412-E	LDEV 番号< LDEV 番号 >の LDEV は Migration 用予約 LDEV です。	LDEV の選択を見直してください。
KAIC10413-E	OnDemand 用予約 LDEV にパスを設定できません。	LDEV の選択を見直してください。
KAIC10414-E	Migration 用予約 LDEV にパスを設定できません。	LDEV の選択を見直してください。
KAIC10415-E	OnDemand 用予約 LDEV では LUSE を作成できません。	LDEV の選択を見直してください。
KAIC10416-E	このホスト名はすでに Mainframe ホストで使用されています。	ホスト名には、まだ登録されていない名称を使用してください。登録されている Mainframe ホス

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		トの名称は CLI を使用して確認してください。 CLI の使用方法については、CLI のマニュアルを参照してください。
KAIC10417-E	選択されているすべての LDEV のパスが、同一の論理グループに属していません。同一の論理グループに属している LDEV のパスを選択してください。	選択されているすべての LDEV のパスが、同一の論理グループに属するように、幾つかの LDEV のパスを、ストレージの移動機能で論理グループに移動させるか、選択解除してから、再実行してください。
KAIC10418-E	選択されている幾つかの LDEV のパスが、論理グループに属していません。同一の論理グループに属している LDEV のパスを選択してください。	選択されているすべての LDEV のパスが、同一の論理グループに属するように、幾つかの LDEV のパスを、ストレージの移動機能で論理グループに移動させるか、選択解除してから、再実行してください。
KAIC10419-E	<選択した LDEV のパス数>個の LDEV のパスが選択されています。類似ストレージ追加機能で選択できる LDEV のパス数は最大<LDEV のパスの最大数>個です。	選択できる最大の LDEV のパス数を超えないように選択してから、再実行してください。
KAIC10420-E	<選択したホスト数>個のホストが選択されています。削除できるホスト数は最大<最大ホスト数>個です。	削除できる最大ホスト数を超えないように選択してから、再実行してください。
KAIC10421-W	一時ライセンスの有効期間は、<n>日間です。<date>に満了します。正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを入力してください。	期限が切れる前にライセンスを登録してください。
KAIC10422-W	非常ライセンスの有効期間は、<n>日間です。<date>に満了します。正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを入力してください。	期限が切れる前にライセンスを登録してください。
KAIC10423-W	この装置では、同じ P-VOL を使用した複数のコピーペアのコピー状態を "Pair" にできないため、コピーペアを作成できません。	コピーペアを作成する場合、「ペアの選択」画面に戻り、同じ P-VOL を使用しないようにコピーペアを設定し直すか、既存のコピーペアのコピー状態を "Split" または "Simplex" に変更してください。
KAIC10424-E	<サブシステム名> では、同じ P-VOL を使用した複数のコピーペアのコピー状態を "Pair" にできないため、二つ以上のコピーペアの操作に Restore または Resync を指定することはできません。	同じ P-VOL を使用した複数のコピーペアに対して操作を変更する場合、Restore または Resync を指定するコピーペアは一つだけにしてください。
KAIC10425-W	client.properties ファイルの読み込みに失敗したため、table.ldev.rowsperpage プロパティの値を取得できませんでした。この場合、ソータブルテーブルの表示行数の選択肢はデフォルト値 (25, 300) で動作します。	client.properties ファイルが存在すること、ファイルの読み取り権限があること、ファイルが壊れていないことを確認し、client.properties ファイルをアプリケーションプログラムから読み取れるようにしてください。client.properties ファイルの table.ldev.rowsperpage プロパティの詳細は、「システム構成ガイド」を参照してください。
KAIC10426-W	client.properties ファイルの table.ldev.rowsperpage プロパティに指定した値 (<設定値>) は不正です。この場合、ソータブルテーブルの表示行数の選択肢はデフォルト値 (25, 300) で動作します。	client.properties ファイルの table.ldev.rowsperpage プロパティに正しい値を設定してください。client.properties ファイルの table.ldev.rowsperpage プロパティの詳細は、「システム構成ガイド」を参照してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10427-I	client.properties ファイルの table.ldev.rowsperpage プロパティに (<設定値>) が指定されました。ソータブルテーブルの表示行数の選択肢は、<設定値>になります。	対処の必要はありません。
KAIC10428-W	client.properties ファイルに table.ldev.rowsperpage プロパティが指定されていません。この場合、ソータブルテーブルの表示行数の選択肢はデフォルト値 (25, 300) で動作します。	client.properties ファイルの table.ldev.rowsperpage プロパティに正しい値を設定してください。 client.properties ファイルの table.ldev.rowsperpage プロパティの詳細は、「システム構成ガイド」を参照してください。
KAIC10430-E	ユーザー ID またはユーザーパスワードが間違っています。	ユーザー ID とユーザーパスワードを確認してください。
KAIC10439-E	ライセンスキーが不正か、ほかの製品のライセンスキーを登録しようとした可能性があります。	正しいライセンスキーを入力してください。
KAIC10440-E	コピーペアボリュームの LU の最後のパスは解除できません。	コピーペアボリュームを解除し、ストレージの削除をしてください。V-VOL の場合、PhysicalView から削除してください。
KAIC10441-W	容量の入力形式が不正です。	正しい形式で容量を入力してください。
KAIC10442-W	容量に指定した値の長さに誤りがあります。容量には 1 文字以上 9 文字以下の文字列を指定してください。	正しい形式で容量を入力してください。
KAIC10446-E	ジャーナルグループ選択画面が開いているか、終了処理中のため、操作できません。ジャーナルグループ選択画面を閉じて、画面が更新されてから操作してください。	ジャーナルグループ選択画面を閉じて、画面が更新されてから操作してください。
KAIC10447-E	自動割り当てに使用できる LUN が不足しています。ポート (HSD) : <ポート (HSD) 名>	指定した開始 LUN 以降に、割り当て可能な LUN が不足しています。開始 LUN を小さな番号に変更してから再実行してください。
KAIC10448-E	LDEV 番号<LDEV 番号>の LDEV は<ボリューム属性>の LDEV です。	割り当て可能なデバイスの LDEV 番号を指定してください。
KAIC10449-E	ボリューム属性が<ボリューム属性>の LDEV にパスを設定することはできません。	割り当て可能なデバイスを選択してください。
KAIC10450-W	LDEV の数が、一度に処理できる数 (<LDEV 数>個) を超えているため、[ストレージの検出] で指定された検索条件が有効にならないおそれがあります。[LDEV の指定] または [LDEV の参照] を使用して、ストレージを選択してください。	[LDEV の指定] または [LDEV の参照] を使用して、ストレージを選択してください。
KAIC10451-E	指定した LDEV の数が、一度に指定できる上限値 (<LDEV 数>) を超えています。上限値を超える LDEV を操作したい場合は、数回に分けて操作してください。	上限値を超える LDEV を操作したい場合は、数回に分けて操作してください。
KAIC10452-W	検索データが上限値 2048 個に達しました。必要なデータが表示されていない場合、数回に分けて操作してください。	数回に分けて操作してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10453-E	ストレージサブシステム情報が最新になっていないおそれがあります。ストレージサブシステムのリフレッシュを実行してから、再実行してください。サブシステム名:<サブシステム名>	ストレージサブシステムのリフレッシュを実行してから、再実行してください。 ストレージサブシステムのリフレッシュを実行しない場合、ストレージサブシステムの操作ができなくなる場合があります。
KAIC10454-E	ストレージサブシステム情報が最新になっていないおそれがあります。 Device Manager サーバを再起動してから、再実行してください。	Device Manager サーバを再起動してから、再実行してください。 Device Manager サーバを再起動しない場合、ソータブルテーブルに表示されている内容が不正になる場合があります。
KAIC10455-E	消費済み容量の入力形式が不正です。	正しい形式で消費済み容量を入力してください。
KAIC10456-E	消費済み容量に指定した値の長さに誤りがあります。消費済み容量には1文字以上9文字以下の文字列を指定してください。	正しい形式で消費済み容量を入力してください。
KAIC10457-W	Device Manager でサポートしていないストレージサブシステムに対して、指定された操作はできません。	サポートしていないストレージサブシステムに対して実施できる操作は、サブシステムの削除だけです。
KAIC10460-E	<コマンド名>の起動コマンドの実行に失敗しました。	手動で Device Manager サーバを起動してください。
KAIC10461-E	<コマンド名>の停止コマンドの実行に失敗しました。	手動で Device Manager サーバを停止してください。
KAIC10462-W	検索した LDEV の数が、一度に処理できる数 (<LDEV 数個>) を超えています。他の LDEV を操作したい場合は、検索オプションを変更して再実行するか、[LDEV の指定] または [LDEV の参照] を使用して、ストレージを選択してください。	ほかの LDEV を操作したい場合は、検索オプションを変更して再実行するか、[LDEV の指定] または [LDEV の参照] を使用して、ストレージを選択してください。
KAIC10463-E	iSCSI Target 情報の画面が開いている、または終了処理中のため、操作できません。iSCSI Target 情報の画面を閉じて、画面が更新されてから操作してください。	iSCSI Target 情報の画面を閉じて、画面が更新されてから操作してください。
KAIC10465-E	アレイグループに指定した値の長さに誤りがあります。アレイグループには1文字以上20文字以下の文字列を指定してください。	正しい形式でアレイグループを入力してください。
KAIC10466-I	Core License の登録が完了しました。	対処の必要はありません。
KAIC10467-E	iSCSI Target が入力されていません。iSCSI Target を入力してください。	iSCSI Target を入力してください。
KAIC10468-E	指定された iSCSI Target "<iSCSI Target >" は、同じポート上にすでに存在しています。同じポート上に存在しない iSCSI Target を指定してください。	同じポート上に存在しない iSCSI Target を設定してください。
KAIC10469-E	iSCSI Name を指定してください。	削除する iSCSI Name を指定してください。
KAIC10470-E	指定した iSCSI Name のフォーマットが不正です。	iSCSI Name を正しく入力してください。
KAIC10471-E	この iSCSI Name はすでに使用されています。	他の iSCSI Name を指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10472-E	Web Client のライセンス登録処理は終了しましたが、Device Manager サーバがライセンス情報の取得に失敗したおそれがあります。	再ログインしてください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10473-E	Device Manager サーバがライセンス情報の取得に失敗したおそれがあります。	再ログインしてください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10474-E	タスクの実行中にエラーが発生しました。詳細は下記のエラーコードおよびメッセージを参照してください。パラメータが誤っている場合は、戻るボタンをクリックしてパラメータを修正したあと、再実行してください。	エラーの詳細は下記のエラーコードおよびメッセージを参照してください。パラメータが誤っている場合は、戻るボタンをクリックしてパラメータを修正したあと、再実行してください。
KAIC10475-W	ホストストレージドメイン/iSCSI Target に含まれるセキュリティと一致しないセキュリティの LUN があります。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10476-E	異なる種類のホスト: WWN/iSCSI Name とポートが選択されています。利用できる WWN/iSCSI Name とポートの組み合わせを確認してください。	利用できる WWN とポートの組み合わせを確認してください。
KAIC10477-E	異なる種類のポートに設定されたパスが選択されています。同じ種類のポートに設定されたパスを選択してください。	同じ種類のポートに設定されたパスを選択してください。
KAIC10478-W	すでにホストに設定されている WWN/iSCSI Name と種類の異なる WWN/iSCSI Name が入力されたため、パスを追加できません。パスを追加する場合は、ストレージの追加からパスの追加を実施してください。	パスを追加する場合は、ストレージの追加からパスの追加を実施してください。
KAIC10479-E	内部エラーが発生しました。	保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10480-E	Storage Navigator Modular 2 でエラーが発生しました。 (エラーコード="<エラーコード>")	保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10481-E	使用できる POOL が設定されていません。	POOL を設定してください。
KAIC10482-E	ホストに指定した値の長さに誤りがあります。ホストには 50 文字以下の文字列を指定してください。	正しい形式でホストを入力してください。
KAIC10483-E	ホストの入力形式が不正です。	正しい形式でホストを入力してください。
KAIC10484-E	アレイグループの入力形式が不正です。	正しい形式でアレイグループを入力してください。
KAIC10485-E	マッピングパスが選択されていません。	マッピングパスを選択してください。
KAIC10486-E	LDEV 番号が入力されていません。 LDEV 番号を入力してください。	LDEV 番号を入力してください。
KAIC10487-E	LDEV 番号の入力形式が誤っています。 使用できる値は"Auto"または LDEV 番号です。	正しい形式で LDEV 番号を入力してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10488-E	アレイグループが入力されていません。アレイグループを入力してください。	アレイグループを入力してください。
KAIC10489-E	アレイグループの入力形式が誤っています。使用できる値は"Auto"または1から16384までの数値です。	正しい形式でアレイグループを入力してください。
KAIC10490-E	CLPRが入力されていません。CLPRを入力してください。	CLPRを入力してください。
KAIC10491-E	CLPRの入力形式が誤っています。使用できる値は0から2147483647までの数値です。	正しい形式でCLPRを入力してください。
KAIC10494-E	LDEVが重複しています。ユニークなLDEV番号を設定してください。	ユニークなLDEV番号を設定してください。
KAIC10495-E	指定したLDEV数が、100を超えています。上限値を超えるLDEVを操作したい場合、数回に分けて操作してください。	上限値を超えるLDEV数を操作したい場合、数回に分けて操作してください。
KAIC10496-E	選択できるマッピングパスの件数が上限を超えています。選択できる最大数は8件です。	選択するマッピングパスの件数を8件以内に変更してください。
KAIC10497-W	External Array Nodeとポートは1件から8件まで組み合わせることができます。該当するLDEV番号をクリックして、組み合わせ件数を変更してください。	該当するLDEV番号をクリックして、組み合わせ件数を変更してください。
KAIC10498-E	このストレージサブシステムではExternal Storageの設定ができません。マイクロコードバージョン(<Version番号>)	設定できるストレージサブシステムを選択してください。
KAIC10500-E	データベースとの接続に失敗しました。データベースが起動しているか確認してください。	データベースが起動していない場合、データベースを起動してから再度操作してください。データベースが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10501-E	データベースからデータを取得できませんでした。データベースが起動しているか確認してください。SQL文:<SQL文>	データベースが起動していない場合、データベースを起動してから再度操作してください。データベースが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10502-E	ファイルを開けません。パス名、ファイルおよびディレクトリのアクセス権が正しいことを確認してください。ファイルシステムの空き容量を確認してください。ファイル名:<ファイル名>	パス名、ファイルおよびディレクトリのアクセス権を確認し、実行ユーザーがファイルを開けるようにアクセス権を設定してから再度操作してください。ファイルシステムの空き容量が足りない場合は、不要なファイルを削除するなどして、空き容量を増やしてから再度操作してください。
KAIC10503-E	ファイルの書き込みに失敗しました。ファイルおよびディレクトリのアクセス権が正しいことを確認してください。ファイルシステムの空き容量を確認してください。ファイル名:<ファイル名>	ファイルおよびディレクトリのアクセス権を確認し、実行ユーザーがファイルに書き込めるようにアクセス権を設定してから再度操作してください。ファイルシステムの空き容量が足りない場合は、不要なファイルを削除するなどして、空き容量を増やしてから再度操作してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10504-E	ファイルの読み取りに失敗しました。ファイルおよびディレクトリのアクセス権が正しいことを確認してください。ファイル名:<ファイル名>	ファイルおよびディレクトリのアクセス権を確認し、実行ユーザーがファイルを読み取れるようにアクセス権を設定してから再度操作してください。
KAIC10505-E	ファイルを削除できませんでした。ファイルおよびディレクトリのアクセス権が正しいことを確認してください。ファイル名:<ファイル名>	ファイルおよびディレクトリのアクセス権を確認し、実行ユーザーがファイルを削除できるようにアクセス権を設定してから再度操作してください。
KAIC10506-E	Detailed Array Report のサイズが 2G バイトを超えました。選択するストレージサブシステムの数を減らして、再度操作してください。	選択するストレージサブシステムの数を減らして、再度操作してください。
KAIC10507-E	キャンセルできませんでした。Detailed Array Report の状態が error または incompleted になっているか、Detailed Array Report が削除されています。	キャンセルは、Detailed Array Report の状態が processing のときだけ実行できます。その他の状態ではキャンセルできないので、閉じるボタンを押して画面を閉じてください。
KAIC10508-W	別の Create Detailed Array Report の要求が実行されています。しばらくお待ちください。	Detailed Array Report の状態が processing からほかの状態になるまで待ち、再度操作してください。
KAIC10509-W	LDEV 数が多過ぎるため、表示できないおそれがあります。表示できない場合は、Detailed Array Report を使用してください。	LDEV 数が多過ぎると HTML を出力できない場合があります。その場合は、レポート一覧の Detailed Array Reports を使用してください。
KAIC10510-W	ダウンロードが完了したら、サーバ上の不要な Detailed Array Report を削除してください。	Detailed Array Report は、ダウンロードしたあともサーバ上に残ります。ダウンロード済みの Detailed Array Report は、速やかに削除することをお勧めします。
KAIC10511-E	Detailed Array Report の状態が incompleted になりました。ファイル名:<ファイル名>	内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10512-E	Detailed Array Report が削除されました。ファイル名:<ファイル名>	Detailed Array Report が必要な場合は、再度操作してください。
KAIC10513-E	内部エラーが発生しました。	[ツリー更新] ボタンをクリックし、ナビゲーションエリアを再表示してください。
KAIC10514-E	Storage Navigator Modular のツリー情報の取得に失敗しました。	保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10515-E	使用できる LDEV がありません。	プールに登録できる LDEV を用意してください。
KAIC10516-E	指定されたプールに関連づけられている仮想ボリュームがあるので、プールを削除できません。	プールに関連づいている仮想ボリュームを削除してから、再実行してください。
KAIC10517-E	<PP 名称>の仮想ボリューム(LDEV 番号: <LDEV 番号>)にパスが設定されているため、その仮想ボリュームを削除できません。	仮想ボリュームを確認してから、再実行してください。
KAIC10520-E	ストレージサブシステムに<PP 名称>のライセンスが登録されていません。	ストレージサブシステムに<PP 名称>のライセンスをインストールしてください。
KAIC10521-E	使用できる Pool ID がありません。	不要なプールを削除してから、再実行してください。
KAIC10522-E	<選択されたプールの個数>個のプールを削除しようとしています。一度の	上限値を超えるプールを削除する場合は、数回に分けて操作してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	操作で削除できるプールの数の上限値は<設定された上限値>です。上限値を超えるプールを削除する場合は、数回に分けて操作してください。	
KAIC10525-E	<選択された仮想ボリュームの数>個の<PP名称>の仮想ボリュームを削除しようとしています。一度の操作で削除できる仮想ボリュームの上限値は<設定された上限値>です。上限値を超える仮想ボリュームを削除する場合は、数回に分けて操作してください。	上限値を超える仮想ボリュームを削除する場合は、数回に分けて操作してください。
KAIC10526-E	編集画面が開いているか、または終了処理中のため、操作できません。画面を閉じて、画面が更新されてから操作してください。	編集画面を閉じて、画面が更新されてから操作してください。
KAIC10527-E	複数の仮想ボリュームが選択されています。単一の仮想ボリュームだけを選択してください。	単一の仮想ボリュームだけを選択してください。
KAIC10528-E	プールに登録するすべてのLDEVは、同じCLPRでなければなりません。	LDEVの指定を見直してから、再実行してください。
KAIC10551-E	分割ストレージ管理者によって管理されたストレージサブシステムでは実行できません。	ストレージサブシステムの設定内容を見直してください。
KAIC10560-E	二つ以上のLDEVが選択されました。一つのLDEVだけを選択してください。	二つ以上のLDEVが選択されました。一つのLDEVだけを選択してください。
KAIC10561-E	LUSEを作成するLDEVを一つ選択してください。	LUSEを作成するLDEVを一つ選択してください。
KAIC10562-E	LUの大きさの合計は60TBより小さくなければなりません。	LUの大きさの合計が60TBより小さくなるようにしてください。
KAIC10563-E	コマンドデバイス用LDEVではLUSEを作成できません。	コマンドデバイスではないLDEVを選択してください。
KAIC10564-E	アクセス属性がガードされているLDEVではLUSEを作成できません。	アクセス属性がガードではないLDEVを選択してください。
KAIC10565-E	プールボリュームではLUSEを作成できません。	プールボリュームではないLDEVを選択してください。
KAIC10566-E	ジャーナルボリュームではLUSEを作成できません。	ジャーナルボリュームではないLDEVを選択してください。
KAIC10567-E	<PP名称>の仮想ボリュームではLUSEを作成できません。	仮想ボリュームではないLDEVを選択してください。
KAIC10568-E	ベアボリュームではLUSEを作成できません。	ベアボリュームではないLDEVを選択してください。
KAIC10569-E	ホストモードが"VMware"のLDEVは、LUSEを作成できません。	ホストモードが"VMware"ではないLDEVを選択してください。
KAIC10570-E	ホストモードが"Windows"のLDEVは、LUSEを作成できません。	ホストモードが"Windows"ではないLDEVを選択してください。
KAIC10571-E	LUSEを作成できるLDEVがありません。	LUSEを作成するLDEVの選択を見直してください。
KAIC10572-E	選択されているすべてのLDEVのパスが、同一のストレージサブシステムに属していません。同一のストレージサブ	同一のストレージサブシステムに属しているLDEVのパスを選択してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	システムに属している LDEV のパスを選択してください。	
KAIC10573-W	操作対象となるボリュームのうち、パスが設定されていないボリューム (詳細一覧で*マークが付いているボリューム) のデータが消失します。十分確認してください。	この操作の対象となるボリュームのデータが消失します。十分確認してください。必要に応じてバックアップを取り、操作を続行してください。
KAIC10574-E	選択されている LDEV の幾つかのパスが、同じポート、同じ HSD/iSCSI Target, および同じホストに割り当てられています。選択されている LDEV のパスのポート、HSD/iSCSI Target, およびホストを確認してください。	選択されている LDEV のパスのポート、HSD/iSCSI Target, およびホストを確認してください。
KAIC10575-E	このストレージサブシステムのマイクロコードは、パスが設定されている LDEV に対する LUSE の操作をサポートしていません。	ストレージサブシステムに含まれるソフトウェアのバージョンを確認してください。
KAIC10576-E	選択されている LDEV の幾つかのパスが、同じポート、同じ WWN, および同じホストに割り当てられています。選択されている LDEV のパスのポート、WWN, およびホストを確認してください。	選択されている LDEV のパスのポート、WWN, およびホストを確認してください。
KAIC10577-W	操作対象となるパスのホストとホストストレージドメインの設定内容を見直してください。この操作によりボリュームが拡張されたことをホストが認識できないおそれがあります。	この操作では、操作対象となるパスのホストの OS, およびホストのストレージドメインに制限があります。詳細は該当するストレージサブシステムの LUN Expansion のマニュアルを参照してください。
KAIC10601-E	指定した LDEV 数が、一度に指定できる上限値(<LDEV 数>)を超えています。上限値を超える LDEV を操作したい場合、数回に分けて操作してください。	上限値を超える LDEV 数を操作したい場合、数回に分けて操作してください。
KAIC10602-E	ラベルに使用できる文字は以下のとおりです。<文字列>	使用できる文字を入力してください。
KAIC10603-E	ラベルに使用できる文字数は、<数値>文字以下です。	文字数を制限以下で入力してください。
KAIC10604-E	LDEV に該当しないフィルター条件が復元されました。"Not applicable"が表示されている個所を、リストボックスの中から選択し、有効な値に変更してください。	正しい値をリストボックスの中から選択してください。
KAIC10607-W	選択されたボリュームにラベルを追加してよろしいですか？	選択されたボリュームにラベルの追加を許可するかどうかを確認してから処理を続行してください。
KAIC10608-W	選択されたボリュームのラベルを変更してよろしいですか？	選択されたボリュームのラベルの変更を許可するかどうかを確認してから処理を続行してください。
KAIC10609-W	選択されたボリュームのラベルを削除してよろしいですか？	選択されたボリュームのラベルの削除を許可するかどうかを確認してから処理を続行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10610-E	選択された LDEV が見つかりません。 このダイアログを閉じ、再度操作してください。	このダイアログを閉じ、再度操作してください。
KAIC10611-E	Tiered Storage Manager は Device Manager の呼び出しに失敗しました。 (詳細情報:<詳細情報>)	問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10612-E	Tiered Storage Manager から誤っているリクエストが送信されました。(詳細情報:<詳細情報>)	問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10613-E	Device Manager から Tiered Storage Manager の呼び出しに失敗しました。 (詳細情報:<詳細情報>)	問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10614-E	ラベルに指定した値の長さに誤りがあります。ラベルには 64 文字以下の文字列を指定してください。	正しい形式でラベルを入力してください。
KAIC10615-E	HSD/iSCSI Target に指定した値の長さに誤りがあります。HSD/iSCSI Target には 32 文字以下の文字列を指定してください。	正しい形式で HSD/iSCSI ターゲットを入力してください。
KAIC10616-W	ストレージサブシステムの構成情報が更新されているおそれがあります。ストレージサブシステムのリフレッシュを実行してください。	ストレージサブシステムのリフレッシュを実行してください。 ストレージサブシステムのリフレッシュを実行しない場合、ストレージサブシステムの操作ができなくなる場合があります。
KAIC10617-W	ストレージサブシステムの構成情報が最新になっていないおそれがあります。ストレージサブシステムの状態を確認してください。	ストレージサブシステムの状態を確認してください。
KAIC10618-E	Device Manager サーバが使用する DB が閉塞しました。閉塞した部位は、<データベース名>です。サーバ管理者に連絡してください。	サーバ管理者に連絡してください。
KAIC10619-E	選択できるストレージシステムがありません。	ホストを検出できるストレージシステムを登録してから操作してください。
KAIC10620-E	SMI-S プロバイダーで管理するソフトウェアの登録が不正であるおそれがあります。	SMI-S プロバイダーの CIM_RemoteServiceAccessPoint の設定内容を見直して、ストレージサブシステムのリフレッシュを実行したあとで、再度操作してください。
KAIC10621-E	ポート番号が指定されていません。	ポート番号を指定してください。
KAIC10622-E	パスワードが指定されていません。	パスワードを指定してください。
KAIC10626-E	現在、ほかのユーザーが、選択したサブシステムのストレージを追加するため、ウィザードを起動しています。サブシステムのストレージを追加するためには、ほかのユーザーによる処理の完了、または中止を待ってください。	ほかのユーザーによる処理の完了、または中止を待ってください。
KAIC10627-E	プールに登録するすべての LDEV は、同じタイプでなければなりません。	LDEV の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC10628-E	ポート番号が不正です。1~65535 を指定してください。	1~65535 を指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10629-E	プールに登録するすべての LDEV は、ボリュームの区分（内部または外部）が同じでなければなりません。	LDEV の指定を見直してから、再実行してください。
KAIC10630-E	ストレージサブシステム情報の取得に失敗しました。	[ツリー更新] ボタンをクリックし、画面を再表示してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10631-E	選択されたポート-ホストからは、HSD/iSCSI Target が削除されたおそれがあります。利用できるポート-ホスト WWN/iSCSI Name を選択してください。	利用できるポート-ホスト WWN/iSCSI Name を選択してください。
KAIC10633-E	サブシステムに対応するライセンスが登録されていません。	Device Manager のライセンス情報のダイアログよりライセンスを登録してください。
KAIC10634-E	Device Manager に有効な Full License が登録されていません。	Device Manager に有効な Full License を登録してください。
KAIC10635-E	不正な URL を検出しました。URL の指定を確認してください。	URL の指定を確認してください。
KAIC10637-E	<選択されたホスト数>個のホストが選択されています。選択できるホスト数は最大<設定された上限値>個です。	ホストの数を 100 個以下にしてください。
KAIC10639-E	<選択された WWN/iSCSI Name >個の WWN/iSCSI Name が選択されています。選択できる WWN/iSCSI Name 数は最大<設定された上限値>個です。	WWN/iSCSI Name の数を 100 個以下にしてください。
KAIC10640-E	統合できるホストがありません。	統合できるホストを登録してから実行してください。
KAIC10641-W	client.properties ファイルに client.ldev.rowsperpage.retain.enabled プロパティを指定していません。デフォルト値 (true) で動作します。	client.properties ファイルの client.ldev.rowsperpage.retain.enabled プロパティに正しい値を設定してください。client.properties ファイルの client.ldev.rowsperpage.retain.enabled プロパティの詳細は、「システム構成ガイド」を参照してください。
KAIC10642-W	client.properties ファイルの client.ldev.rowsperpage.retain.enabled プロパティに指定した値 (<設定値>) は不正です。デフォルト値 (true) で動作します。	client.properties ファイルの client.ldev.rowsperpage.retain.enabled プロパティに正しい値を設定してください。client.properties ファイルの client.ldev.rowsperpage.retain.enabled プロパティの詳細は、「システム構成ガイド」を参照してください。
KAIC10643-I	client.properties ファイルの<プロパティキー>プロパティに<設定値>が指定されました。	対処の必要はありません。
KAIC10647-I	現在、ライセンスの許容範囲内です。	対処の必要はありません。
KAIC10650-W	ライセンスの許容範囲を超えました。	対処の必要はありません。
KAIC10651-E	<プロパティファイル>ファイルのプロパティの読み込みに失敗しました。<プロパティキー>プロパティはデフォルト値 (<デフォルト値>) で動作します。	ファイルがあること、ファイルの読み取り権限があること、およびファイルが壊れていないことを確認し、ファイルをアプリケーションプログラムから読み取れるようにしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10652-W	<プロパティファイル>ファイルのプロパティの読み込みに失敗しました。<プロパティキー>プロパティはデフォルト値 (<デフォルト値>) で動作します。	ファイルがあること、ファイルの読み取り権限があること、およびファイルが壊れていないことを確認し、ファイルをアプリケーションプログラムから読み取れるようにしてください。
KAIC10657-E	指定したストレージサブシステムに接続するパラメーター (IP アドレスまたは通信プロトコル) が、Storage Navigator Modular 2 で変更されています。Storage Navigator Modular 2 を使用して IP アドレスと通信プロトコルを確認してから、サブシステムを追加してください。	Storage Navigator Modular 2 を使用して対象ストレージサブシステムの IP アドレスと通信プロトコルを確認します。そのあとに、同じ IP アドレスと通信プロトコルの値を Device Manager のサブシステムの追加画面で指定し、サブシステムを追加してください。
KAIC10659-W	ストレージサブシステムがサポートしているホストモードのオプションを取得できませんでした。	ストレージサブシステムのリフレッシュを実行してください。
KAIC10660-W	ホストの更新中に操作が実行されました。表示内容が最新の情報ではないおそれがあります。	更新処理中にホストに対して操作を実行すると、操作が失敗するおそれがあります。実行中の更新処理が完了してから、操作してください。
KAIC10661-E	ホストの情報が最新になっていないおそれがあります。ホストの状態を確認してください。	ホストのリフレッシュを実行してから、再実行してください。 ホストのリフレッシュを実行しない場合、ホストの操作ができなくなる場合があります。
KAIC10662-E	タスクの実行中にエラーが発生しました。詳細は下記のエラーコードおよびメッセージを参照してください。画面を閉じて、再度処理を実行してください。	エラーの詳細は下記のエラーコードおよびメッセージを参照してください。画面を閉じて、再度処理を実行してください。
KAIC10663-E	仮想化サーバまたは仮想化サーバ管理プログラムを検出できませんでした。指定した IP アドレスおよびプロトコルが誤っているか、仮想化サーバまたは仮想化サーバ管理プログラムの状態が正常でないおそれがあります。	次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> IP アドレスおよびプロトコルの指定を見直してください。 仮想化サーバまたは仮想化サーバ管理プログラムの設定を見直してください。
KAIC10664-E	IP アドレスの入力形式が不正です。次のどちらかの形式で指定してください。 - xxx.xxx.xxx.xxx 形式 (xxx:0~255 の 10 進数) - yyyy:yyyy:yyyy:yyyy:yyyy:yyyy:yyyy:yyy yy 形式 (yyyy:0~ffff の 16 進数)	IP アドレスを次のどちらかの形式で入力し直してください。 -xxx.xxx.xxx.xxx 形式 (xxx:0~255 の 10 進数) - YYYY:YYYY:YYYY:YYYY:YYYY:YYYY:YYYY:YYYY 形式 (yyyy:0~ffff の 16 進数)
KAIC10665-E	LU の大きさの合計は 128TB より小さくなければいけません。	LU の大きさの合計が 128TB より小さくなるようにしてください。
KAIC10666-W	仮想マシンの情報を取得できないため、仮想マシン名を表示できません。仮想マシンの状態を確認してください。	仮想マシンの情報を取得できないため、仮想マシン名を表示できません。仮想マシンの状態を確認してください。
KAIC10667-E	Storage Navigator Modular 2 とのセッションの処理でエラーが発生しました。(処理状態コード "<処理状態コード 0 >" から "<処理状態コード 1 >")	再度操作してください。 問題が解決しないときは、保守情報を取得し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10668-E	プール(Pool ID: <プール番号>)の状態が Normal でない可能性があります。プールの状態が Normal の場合のみ、しきい値 1 を変更できます。ストレージサブシステムのリフレッシュを実行してから、プールの状態を確認してください。	ストレージサブシステムのリフレッシュを実行してから、プールの状態を確認してください。
KAIC10670-W	仮想化サーバの場合は、iSCSI はサポートしていません。統合元ホストの iSCSI ネームは削除されます。	統合先ホストまたは統合元ホストを見直してください。
KAIC10671-E	仮想化サーバの場合は、iSCSI はサポートしていません。統合元ホストには WWN がないホストが含まれるため統合できません。	統合先ホストまたは統合元ホストを見直してください。
KAIC11999-E	メモリ不足またはネットワーク障害の可能性あります。 (詳細情報: <詳細情報>)	詳細情報またはログに Out Of Memory という文字列がある場合、メモリ不足が発生しています。HBase Storage Mgmt Web Service のメモリーヒープサイズを設定してください。 Connection という文字列がある場合、ネットワーク障害が発生しているおそれがあります。ネットワークの状態を確認してください。 GUI でこのメッセージが表示された場合、再度 GUI を表示してください。 上記以外の問題の場合は、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KAIC15000-E	予期しないエラーが発生しました。顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。 (保守情報=<保守情報>)	要因 - 対処 顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。(保守情報=<保守情報>)
KAIC15001-E	特定できないエラーが発生しました。内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	要因 内部エラーのおそれがあります。 対処 顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC15002-E	ボリュームを取り出せません。条件に合うボリュームの数は<ボリューム数>個です。条件の指定を見直してください。または LDEV ID をリソースグループに登録してください。	要因 条件に合うボリュームの数は<ボリューム数>個です。 対処 条件の指定を見直してください。または LDEV ID をリソースグループに登録してください。
KAIC15005-E	データベースからデータを取得できませんでした。データベースが正常に動作していません。データベースを再起動してから再度操作してください。(保守情報=<例外>)	要因 データベースが正常に動作していません。 対処 データベースを再起動してから再度操作してください。(保守情報=<例外>)
KAIC15006-W	設定内容を保存できませんでした。顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。 (保守情報=<例外>)	要因 - 対処 顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。(保守情報=<例外>)
KAIC15007-W	ストレージシステム"<ストレージシステム名>"では推奨するパスを提示できません。ストレージリソースの割り当てに適切なストレージポートがありません。	要因 ストレージリソースの割り当てに適切なストレージポートがありません。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	せん。ストレージポートを手動で指定してください。ストレージポートが Target に設定されているか確認してください。LUNセキュリティが ON になっていることを確認してください。またはストレージポート、ホストグループ番号をリソースグループに登録してください。	ストレージポートを手動で指定してください。ストレージポートが Target に設定されているか確認してください。LUNセキュリティが ON になっていることを確認してください。またはストレージポート、ホストグループ番号をリソースグループに登録してください。
KAIC15008-W	ホスト "<ホスト名>" では推奨するパスを提示できません。ボリュームの割り当てに適切なホストポートがありません。ホストポートを手動で指定してください。ホストを更新してください。または、ホストに WWN を追加してください。	要因 ボリュームの割り当てに適切なホストポートがありません。 対処 ホストポートを手動で指定してください。ホストを更新してください。または、ホストに WWN を追加してください。
KAIC15009-W	推奨するプールやパリティグループがありません。指定した条件を満たすボリュームを用意できるプールやパリティグループがありません。条件を見直すか、手動で指定してください。	要因 指定した条件を満たすボリュームを用意できるプールやパリティグループがありません。 対処 条件を見直すか、手動で指定してください。
KAIC15010-E	ストレージシステムが見つかりません。ストレージシステムが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。	要因 ストレージシステムが削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。
KAIC15011-E	ホストが見つかりません。ホストが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。	要因 ホストが削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。
KAIC15012-E	ポートが見つかりません。ポートが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。	要因 ポートが削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。
KAIC15013-E	<ポート表示名>のポートには、同じ WWN を持つホストグループがすでに予約されています。ほかのポートまたは WWN を選択してください。	要因 - 対処 ほかのポートまたは WWN を選択してください。
KAIC15014-E	選択したボリューム"<ボリュームIDを","で連結した文字列">は、この操作では使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15015-E	指定されたホストグループ名(<ホストグループ名>)は、設定予定のポートがあるため使用できません。別のホストグループ名を指定してください。	要因 - 対処 別のホストグループ名を指定してください。
KAIC15016-E	指定されたホストグループ名(<ホストグループ名>)は、設定済みのポートがあるため使用できません。別のホストグループ名を指定してください。	要因 - 対処 別のホストグループ名を指定してください。
KAIC15017-E	ボリュームが見つかりません。ボリュームが削除されたおそれがあります。	要因 ボリュームが削除されたおそれがあります。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	す。いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。	対処 いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。
KAIC15018-E	パリティグループが見つかりません。パリティグループが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。	要因 パリティグループが削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。
KAIC15019-E	プールが見つかりません。プールが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。	要因 プールが削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。
KAIC15020-E	タスクが見つかりません。タスクが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了し、もう一度操作をやりなおしてください。	要因 タスクが削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了し、もう一度操作をやりなおしてください。
KAIC15021-E	タスク(<タスク名>)に対応するプランが見つかりません。削除されたおそれがあります。いったん操作を終了し、もう一度操作をやりなおしてください。	要因 削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了し、もう一度操作をやりなおしてください。
KAIC15022-W	推奨するプールがありません。指定した条件を満たすボリュームを用意できるプールがありません。条件を見直すか、手動で指定してください。	要因 指定した条件を満たすボリュームを用意できるプールがありません。 対処 条件を見直すか、手動で指定してください。
KAIC15023-W	推奨するパリティグループがありません。指定した条件を満たすボリュームを用意できるパリティグループがありません。条件を見直すか、手動で指定してください。	要因 指定した条件を満たすボリュームを用意できるパリティグループがありません。 対処 条件を見直すか、手動で指定してください。
KAIC15024-E	ライセンスを確認できませんでした。ストレージシステム(<ストレージシステム名>)は更新中のため、ライセンスの確認ができません。更新処理が完了してから、再操作してください。	要因 ストレージシステム(<ストレージシステム名>)は更新中のため、ライセンスの確認ができません。 対処 更新処理が完了してから、再操作してください。
KAIC15025-E	ストレージシステム(<ストレージシステム名>)のライセンス情報を取得できませんでした。ストレージシステムの更新を実行してから、再度操作してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 ストレージシステムの更新を実行してから、再度操作してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15026-E	操作に必要なライセンス(<ライセンス名>)が、ストレージシステム(<ストレージシステム名>)に登録されていません。ストレージシステム(<ストレージシステム名>)に、ライセンス(<ライセンス名>)を登録してください。	要因 - 対処 ストレージシステム(<ストレージシステム名>)に、ライセンス(<ライセンス名>)を登録してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15027-E	操作できません。ストレージシステム(<ストレージシステム名>)のマイクロコードのバージョンが<マイクロコードのバージョン>未満のため、この操作を実行できません。マイクロコードのバージョンを<マイクロコードのバージョン>以上にアップデートしてください。	要因 ストレージシステム(<ストレージシステム名>)のマイクロコードのバージョンが<マイクロコードのバージョン>未満のため、この操作を実行できません。 対処 マイクロコードのバージョンを<マイクロコードのバージョン>以上にアップデートしてください。
KAIC15028-E	操作できません。ストレージシステム(<ストレージシステム名>)は、ファームウェアのバージョンが<ファームウェアのバージョン>未満のため、この操作を実行できません。ファームウェアのバージョンを<ファームウェアのバージョン>以上にアップデートしてください。	要因 ストレージシステム(<ストレージシステム名>)は、ファームウェアのバージョンが<ファームウェアのバージョン>未満のため、この操作を実行できません。 対処 ファームウェアのバージョンを<ファームウェアのバージョン>以上にアップデートしてください。
KAIC15029-E	操作できません。ストレージ分割機能を使用しているストレージシステムのため、この操作は実行できません。	要因 ストレージ分割機能を使用しているストレージシステムのため、この操作は実行できません。 対処 -
KAIC15030-E	PDEVが見つかりません。削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。	要因 削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。
KAIC15031-E	ライセンス期限が満了しています。(<製品名>)有効なライセンスキーを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーを登録してください。
KAIC15032-I	ライセンスキーを登録してください。(<製品名>)	要因 - 対処 -
KAIC15033-E	選択したボリューム(< devNum >)はすでに予約されています。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15034-E	選択したパリティグループ(<パリティグループ名>)は予約されています。ほかのパリティグループを選択してください。または、いったん操作を終了し、タスクを終了またはキャンセルしたあとに、再度操作してください。	要因 - 対処 ほかのパリティグループを選択してください。または、いったん操作を終了し、タスクを終了またはキャンセルしたあとに、再度操作してください。
KAIC15035-E	ライセンス情報を取得できませんでした。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15036-E	ライセンスキーが無効か、すでに登録されているライセンスキーを登録しよう	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	としたおそれがあります。有効なライセンスキーを登録してください。	対処 有効なライセンスキーを登録してください。
KAIC15037-E	ライセンスキーが無効か、インストールされていない、または前提バージョンでない製品のライセンスを登録しようとしたおそれがあります。有効なライセンスキーを登録してください。または前提環境を確認してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーを登録してください。または前提環境を確認してください。
KAIC15038-E	指定したライセンスキーファイルは無効です。有効なライセンスキーファイルを指定して、再度操作してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーファイルを指定して、再度操作してください。
KAIC15039-E	指定したライセンスキーがライセンスキーファイル内にありません。ほかの製品、または前提バージョンでない製品のライセンスキーファイルを登録しようとしたおそれがあります。有効なライセンスキーファイルを指定して、再度操作してください。または前提環境を確認してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーファイルを指定して、再度操作してください。または前提環境を確認してください。
KAIC15040-E	ライセンスキーファイルが大きすぎます。顧客問合せ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 顧客問合せ窓口に連絡してください。
KAIC15041-I	ライセンスキーを登録してください。	要因 - 対処 -
KAIC15042-I	<PP名>のライセンスの登録が完了しました。対処の必要はありません。	要因 - 対処 対処の必要はありません。
KAIC15043-I	<PP名>のライセンスの登録が完了しました。非常ライセンスの有効期間は、あと<日>日間です。<日時>に満了します。期限が切れる前にライセンスを登録してください。	要因 - 対処 期限が切れる前にライセンスを登録してください。
KAIC15044-I	<PP名>のライセンスの登録が完了しました。一時ライセンスの有効期間は、あと<日>日間です。<日時>に満了します。期限が切れる前にライセンスを登録してください。	要因 - 対処 期限が切れる前にライセンスを登録してください。
KAIC15045-I	<PP名>のライセンスの登録が完了しました。期間ライセンスの有効期間は、あと<日>日間です。<日時>に満了します。期限が切れる前にライセンスを登録してください。	要因 - 対処 期限が切れる前にライセンスを登録してください。
KAIC15046-I	<PP名>の Core License の登録が完了しました。対処の必要はありません。	要因 - 対処 対処の必要はありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15047-W	非常ライセンスの有効期間は、あと<日>日間です。<日時>に満了します。正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。期限が切れる前にライセンスを登録してください。	要因 - 対処 期限が切れる前にライセンスを登録してください。
KAIC15048-W	一時ライセンスの有効期間は、あと<日>日間です。<日時>に満了します。正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。期限が切れる前にライセンスを登録してください。	要因 - 対処 期限が切れる前にライセンスを登録してください。
KAIC15049-W	期間ライセンスの有効期間は、あと<日>日間です。<日時>に満了します。正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。期限が切れる前にライセンスを登録してください。	要因 - 対処 期限が切れる前にライセンスを登録してください。
KAIC15050-E	システム環境が不正です。顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。	要因 仮想メモリーが不足しているおそれがあります。 対処 システムが仮想メモリーの要件を満たしているか確認してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KAIC15051-E	サーバが起動していません。サーバの状態を確認してください。(保守情報:<保守情報>)	要因 - 対処 サーバの状態を確認してください。
KAIC15052-E	ライセンスキーファイルからライセンス情報を認識できませんでした。有効なライセンスが登録されているかを確認してください。	要因 - 対処 有効なライセンスが登録されているかを確認してください。
KAIC15053-E	異なるストレージシステムを選択することはできません。同じストレージシステムにあるパリティグループを選択してください。	要因 - 対処 同じストレージシステムにあるパリティグループを選択してください。
KAIC15054-W	ストレージシステムの更新中に操作が実行されました。表示された情報は最新ではないおそれがあります。	要因 - 対処 実行中の更新処理が完了してから、再度操作してください。
KAIC15055-E	ストレージシステムの情報が最新ではないおそれがあります。ストレージシステムの情報を更新してから、再度実行してください。	要因 - 対処 ストレージシステムの情報を更新してから、再度実行してください。
KAIC15056-W	ストレージシステムの情報が最新ではないおそれがあります。ストレージシステムの情報を更新してください。	要因 - 対処 ストレージシステムの情報を更新してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15057-W	ホスト(<ホスト名>)の更新中に操作が実行されました。表示された情報は最新ではないおそれがあります。	要因 - 対処 実行中の更新処理が完了してから、再度操作してください。
KAIC15058-E	ホスト(<ホスト名>)の情報が最新ではないおそれがあります。ホストの情報を更新してから、再度実行してください。	要因 - 対処 ホストの情報を更新してから、再度実行してください。
KAIC15059-W	ストレージシステムの情報が最新ではないおそれがあります。ストレージシステムの情報を更新してください。(ストレージシステム: <ストレージシステム名>)	要因 - 対処 ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC15060-E	WWNが見つかりません。WWNが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。	要因 WWNが削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。
KAIC15061-E	永久ライセンスキーが登録されていません。永久ライセンスキーを登録してから再度操作を実行してください。	要因 - 対処 永久ライセンスキーを登録してから再度操作を実行してください。
KAIC15062-E	ライセンス登録処理が失敗しました。しばらくしてから、再度操作を実行してください。	要因 - 対処 しばらくしてから、再度操作を実行してください。
KAIC15063-W	インストールされている製品のバージョン情報を取得できませんでした。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15064-E	ボリューム(<LDEV ID >)は指定できません。ボリュームが見つかりません。指定を見直してください。	要因 ボリュームが見つかりません。 対処 指定を見直してください。
KAIC15065-E	ホストグループが見つかりません。ホストグループが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。	要因 ホストグループが削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。
KAIC15066-W	バージョンを<バージョン>以上にアップデートしてください。	要因 - 対処 -
KAIC15067-W	古いバージョンの<製品名>にライセンスを登録しようとしたおそれがあります。<製品名>のバージョンをアップデートしてください。	要因 - 対処 <製品名>のバージョンをアップデートしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15068-I	論理グループの情報を更新中です。しばらくしてから、画面を再表示してください。	要因 - 対処 しばらくしてから、画面を再表示してください。
KAIC15069-E	ホスト名を解決できません。DNS サーバ等を確認するか、IP アドレスを指定してください。	要因 - 対処 DNS サーバ等を確認するか、IP アドレスを指定してください。
KAIC15070-E	ストレージシステム (<ストレージシステム>) に、LUN セキュリティが無効で、ポートタイプが FC のストレージポートがありません。ストレージポートの LUN セキュリティを無効に設定してから、再度実行してください。	要因 - 対処 ストレージポートの LUN セキュリティを無効に設定してから、再度実行してください。
KAIC15071-E	状態が「<タスクの状態>」のタスクは中止できません。	要因 - 対処 -
KAIC15072-E	タイプが「<タスクタイプ>」のタスクは中止できません。	要因 - 対処 -
KAIC15073-E	タスクを中止できません。	要因 - 対処 -
KAIC15074-E	タスクを中止できませんでした。(<タスク名>) 状態が「<タスクの状態>」のタスクは中止できません。	要因 状態が「<タスクの状態>」のタスクは中止できません。 対処 -
KAIC15075-E	タスクを中止できませんでした。(<タスク名>)	要因 - 対処 -
KAIC15076-W	性能使用率を表示できません。次の原因が考えられます：(1) この HDT プールに対して一度もモニタリングを実行していない。(2) 稼働率の取得に失敗した。この HDT プールに対して一度もモニタリングを実行していない場合は、モニタリングを実行した後ストレージシステムの情報を更新してください。モニタリングを一度でも実行している場合は、ストレージシステムの情報を更新してください。	要因 次の原因が考えられます： 1. この HDT プールに対して一度もモニタリングを実行していない。 2. 稼働率の取得に失敗した。 対処 この HDT プールに対して一度もモニタリングを実行していない場合は、モニタリングを実行した後ストレージシステムの情報を更新してください。モニタリングを一度でも実行している場合は、ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC15080-W	ストレージシステムの性能情報が最新でないおそれがあります。ストレージシステムのリフレッシュを実行し、再度性能情報を取得してください。	要因 - 対処 ストレージシステムのリフレッシュを実行し、再度性能情報を取得してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15081-E	論理グループの情報更新に失敗しました。サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 - 対処 サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC15082-W	推奨するプールがありません。指定した条件を満たすボリュームを用意できるプールがありません。条件を見直してください。	要因 指定した条件を満たすボリュームを用意できるプールがありません。 対処 条件を見直してください。
KAIC15083-W	推奨するパリティグループがありません。指定した条件を満たすボリュームを用意できるパリティグループがありません。条件を見直してください。	要因 指定した条件を満たすボリュームを用意できるパリティグループがありません。 対処 条件を見直してください。
KAIC15084-W	推奨するプールやパリティグループがありません。指定した条件を満たすボリュームを用意できるプールやパリティグループがありません。条件を見直してください。	要因 指定した条件を満たすボリュームを用意できるプールやパリティグループがありません。 対処 条件を見直してください。
KAIC15085-E	指定した iSCSI ターゲット(<iSCSI ターゲット>)は、割り当てが予約されているポートがあるため、使用できません。別の iSCSI ターゲットを指定してください。	要因 - 対処 別の iSCSI ターゲットを指定してください。
KAIC15086-E	指定した iSCSI ターゲット(<iSCSI ターゲット>)は、すでにポートが割り当てられているため使用できません。別の iSCSI ターゲットを指定してください。	要因 - 対処 別の iSCSI ターゲットを指定してください。
KAIC15087-E	iSCSI ターゲットが見つかりません。iSCSI ターゲットが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと、リソースを確認してください。	要因 iSCSI ターゲットが削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了したあと、リソースを確認してください。
KAIC15088-W	ホスト "<ホスト名>" では推奨するパスを提示できません。ボリュームの割り当てに適切なホストポートがありません。ホストポートを手動で指定してください。ホストを更新してください。または、ホストに iSCSI ネームを追加してください。	要因 ボリュームの割り当てに適切なホストポートがありません。 対処 ホストポートを手動で指定してください。ホストを更新してください。または、ホストに iSCSI ネームを追加してください。
KAIC15089-W	<プロパティファイル名>内で定義している<プロパティ名>の値が不正です。<プロパティ名>は無効として処理を継続します。(値=<プロパティ値>)原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 - 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15090-W	プロパティファイルの読み込みに失敗しました。プロパティファイルを適用しないで処理を続けます。(プロパティファイル=<プロパティファイルのファイルパス>, 保守情報=<保守情報>)原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 - 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC15091-I	プロパティファイルが見つかりません。プロパティファイルを適用しないで処理を続けます。(プロパティファイル=<プロパティファイルのファイルパス>)	要因 - 対処 -
KAIC15092-I	プロパティファイルを読み込みました。(プロパティファイル=<プロパティファイル名>)	要因 - 対処 -
KAIC15093-E	iSCSI ネームが見つかりません。iSCSI ネームが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと、リソースを確認してください。	要因 iSCSI ネームが削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了したあと、リソースを確認してください。
KAIC15094-E	Device Manager サーバとの通信に失敗しました。以下の要因が考えられます。(1)Device Manager サーバのサービスが初期起動中である。(2)DeviceManager サーバのサービスが停止しているか、または再起動した。次の対処をしてください。Device Manager サーバのサービスが初期起動中の場合は、時間を空けて再度操作してください。Device Manager サーバのサービスが停止または Device Manager サーバのサービスだけを再起動した場合は、共通コンポーネントおよび関連するサービスを再起動したあと、再度操作してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 - 対処 次の対処をしてください。Device Manager サーバのサービスが初期起動中の場合は、時間を空けて再度操作してください。Device Manager サーバのサービスが停止または Device Manager サーバのサービスだけを再起動した場合は、共通コンポーネントおよび関連するサービスを再起動したあと、再度操作してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC15095-E	サーバ/クラスタが見つかりません。サーバ/クラスタに属するファイルサーバがすべて削除されたおそれがあります。サーバ/クラスター一覧を再表示して、対象のサーバ/クラスタがあるか確認してください。	要因 サーバ/クラスタに属するファイルサーバがすべて削除されたおそれがあります。 対処 サーバ/クラスター一覧を再表示して、対象のサーバ/クラスタがあるか確認してください。
KAIC15096-E	選択した共有(<共有名>)はすでに予約されています。ほかの共有を選択してください。または、いったん操作を終了し、タスクを終了またはキャンセルしたあとに、再度操作してください。	要因 - 対処 ほかの共有を選択してください。または、いったん操作を終了し、タスクを終了またはキャンセルしたあとに、再度操作してください。
KAIC15097-E	選択した共有が見つかりません。削除されたおそれがあります。いったん操	要因 削除されたおそれがあります。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	作を終了し、共有一覧を再表示して、対象の共有があるか確認してください。	対処 いったん操作を終了し、共有一覧を再表示して、対象の共有があるか確認してください。
KAIC15098-E	選択したファイルシステム (<ファイルシステム名>) はすでに予約されています。ほかのファイルシステムを選択してください。または、いったん操作を終了し、タスクを終了もしくはキャンセルしたあとに、操作し直してください。	要因 - 対処 ほかのファイルシステムを選択してください。または、いったん操作を終了し、タスクを終了もしくはキャンセルしたあとに、操作し直してください。
KAIC15100-E	異なるストレージシステムにあるボリュームでは、プールを作成できません。同じストレージシステムにあるボリュームを選択してください。	要因 - 対処 同じストレージシステムにあるボリュームを選択してください。
KAIC15101-E	ストレージシステム (<ストレージシステム名>) のボリュームを使ったプールは作成できません。ほかのストレージシステムにあるボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのストレージシステムにあるボリュームを選択してください。
KAIC15102-E	タスクを登録できませんでした。(タスク名=<タスク名>)	要因 - 対処 -
KAIC15103-E	指定したボリューム (<LDEV ID >) はホストグループ (<ホストグループ名>) が異なるため、同時に操作できません。同じホストグループにあるボリュームを選択してください。	要因 - 対処 同じホストグループにあるボリュームを選択してください。
KAIC15104-E	選択したボリュームに、パスがありません。ボリュームが割り当てられているホストグループ (<ホストグループ名>) に属しているホストが一つもありません。ホストに割り当てられたボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ホストに割り当てられたボリュームを選択してください。
KAIC15105-W	このポートの LUN セキュリティを、オフからオンに変更します。現在使用しているホストとの接続は切断され、LUN セキュリティをオフに設定するまでホストは使用できません。	要因 - 対処 -
KAIC15106-W	ホストグループに、ホストが特定できない WWN (<WWN >) が割り当てられています。ボリュームの割り当てを変更すると、この WWN にも影響します。	要因 - 対処 -
KAIC15107-I	操作対象外のボリュームの割り当てに使用されています。それらのボリュームは追加するホストポートからもアクセス可能になります。	要因 - 対処 -
KAIC15108-E	タスクの操作に必要な権限がありません。権限のあるユーザーでログインしてください。	要因 - 対処 権限のあるユーザーでログインしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15110-E	同じストレージシステムのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 -
KAIC15113-E	<指定できるボリュームの個数>個以上のボリュームを同時に指定できません。指定を見直してください。	要因 - 対処 指定を見直してください。
KAIC15114-E	指定したタスク名はすでに使用されているため、タスクを登録できません。タスク名を変更してください。	要因 - 対処 タスク名を変更してください。
KAIC15115-E	コマンドデバイスやリモートコマンドデバイス(<LDEV ID >)を指定に含めないで下さい。コマンドデバイス・リモートコマンドデバイスを操作するには、それらだけ指定してください。	要因 - 対処 コマンドデバイス・リモートコマンドデバイスを操作するには、それらだけ指定してください。
KAIC15122-E	リソースグループの割り当てに失敗しました。(ユーザー ID=<ユーザー ID >)ログインしたユーザーまたは選択したユーザの情報を変更されています。ほかのユーザーで実行するか、システム管理者に問い合わせるユーザ情報を見直してください。	要因 - 対処 ログインしたユーザーまたは選択したユーザの情報を変更されています。ほかのユーザーで実行するか、システム管理者に問い合わせるユーザ情報を見直してください。
KAIC15123-E	サーバAPIを実行できません。いったん操作を終了し、サーバの状態を確認してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了し、サーバの状態を確認してください。
KAIC15125-E	サーバのサービスにアクセスできません。いったん操作を終了し、サーバの状態を確認してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了し、サーバの状態を確認してください。
KAIC15127-E	リソースグループの割り当て解除に失敗しました。(ユーザー ID=<ユーザー ID >)ログインしたユーザーまたは選択したユーザの情報を変更されています。ほかのユーザーで実行するか、システム管理者に問い合わせるユーザ情報を見直してください。	要因 - 対処 ログインしたユーザーまたは選択したユーザの情報を変更されています。ほかのユーザーで実行するか、システム管理者に問い合わせるユーザ情報を見直してください。
KAIC15128-E	認証サービスにアクセスできません。いったん操作を終了し、サーバの状態を確認してください。(保守情報=<例外 >)	要因 - 対処 いったん操作を終了し、サーバの状態を確認してください。(保守情報=<例外 >)
KAIC15129-E	指定したプロパティを読み込めません。(プロパティ名=<プロパティ名 >)顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15130-E	指定したテーブルを読み込めません。(テーブル名=<テーブル名 >)顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15131-E	データベースにアクセス中にエラーが発生しました。サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=<例外>)	要因 - 対処 サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=<例外>)
KAIC15132-E	指定したユーザーを認証できません。ユーザーが存在しないか、またはパスワードが間違っています。(ユーザーID=<ユーザーID>)ユーザーIDおよびパスワードを確認してください。	要因 ユーザーが存在しないか、またはパスワードが間違っています。(ユーザーID=<ユーザーID>) 対処 ユーザーIDおよびパスワードを確認してください。
KAIC15134-E	ユーザーの設定情報を削除できませんでした。(ユーザーID=<ユーザーIDセット>)サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15141-E	ユーザー(<ユーザーID>)には<権限名>権限がありません。ほかのユーザーで実行するか、システム管理者に問い合わせで権限を見直してください。	要因 - 対処 ほかのユーザーで実行するか、システム管理者に問い合わせで権限を見直してください。
KAIC15144-E	ユーザーの情報を取得できませんでした。(ユーザーID=<ユーザーID>)サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15149-E	リソースグループが見つかりません。すでに削除されています。いったん操作を終了し、リソースグループを確認してください。	要因 すでに削除されています。 対処 いったん操作を終了し、リソースグループを確認してください。
KAIC15151-E	ユーザーの情報が見つかりません。(ユーザーID=<ユーザーID>)ユーザーはすでに削除されています。いったん操作を終了し、ユーザーを確認してください。	要因 ユーザーはすでに削除されています。 対処 いったん操作を終了し、ユーザーを確認してください。
KAIC15153-E	選択したホストには複数のOS種別が混在しているため、ホストの情報を編集できません。複数のホストの情報を編集する場合は、同じOS種別のホストだけを選択してください。	要因 - 対処 複数のホストの情報を編集する場合は、同じOS種別のホストだけを選択してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15154-E	選択したホストには複数の管理方式が混在しているため、ホストの情報を編集できません。複数のホストの情報を編集する場合は、同じ管理方式のホストだけを選択してください。	要因 - 対処 複数のホストの情報を編集する場合は、同じ管理方式のホストだけを選択してください。
KAIC15155-E	選択したホストの中に、すでに削除されたホストが含まれています。ホスト一覧を更新したあと、再度実行してください。	要因 - 対処 ホスト一覧を更新したあと、再度実行してください。
KAIC15156-E	論理グループを作成できませんでした。(パラメータ=<パラメータ>)といったん操作を終了し、サーバの状態を確認してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了し、サーバの状態を確認してください。
KAIC15157-E	論理グループを削除できませんでした。(unique key=<論理グループ UK >)といったん操作を終了し、論理グループを確認してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了し、論理グループを確認してください。
KAIC15158-E	論理グループが見つかりません。(unique key=<論理グループ UK >)といったん操作を終了し、論理グループを確認してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了し、論理グループを確認してください。
KAIC15159-E	指定した条件を満たすホストが見つかりません。(条件=<検索条件>)サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15160-E	指定した条件を満たすボリュームが見つかりません。(条件=<検索条件>)サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15161-E	指定した論理グループ名はすでに作成されています。(論理グループ名=<グループ名>)異なる論理グループ名を指定してください。	要因 - 対処 異なる論理グループ名を指定してください。
KAIC15162-E	論理グループを変更できませんでした。(パラメータ=<パラメータ>)といったん操作を終了し、論理グループを確認してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了し、論理グループを確認してください。
KAIC15165-E	適切な操作対象がありません。条件の指定を見直してください。	要因 - 対処 条件の指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15166-E	ホストを追加できませんでした。指定されたホストが存在しないおそれがあります。条件の指定を見直してください。	要因 指定されたホストが存在しないおそれがあります。 対処 条件の指定を見直してください。
KAIC15167-E	未使用 LUN が足りません。ポート(<LUN を設定するポートの表示名>)のホストグループ(<LUN を設定するホストグループのニックネーム>)では指定範囲のうち未使用 LUN の数は<未使用 LUN の個数>個です。開始 LUN(16 進)を見直すか、別のポートを指定してください。	要因 ポート(<LUN を設定するポートの表示名>)のホストグループ(<LUN を設定するホストグループのニックネーム>)では指定範囲のうち未使用 LUN の数は<未使用 LUN の個数>個です。 対処 開始 LUN(16 進)を見直すか、別のポートを指定してください。
KAIC15168-E	<新規に設定する LUN の個数>個の LUN をポート(<LUN を設定するポートの表示名>)に設定しようとしています。このポートに設定済みの LUN は<すでに設定済みの LUN の個数>個です。一つのポートに設定できる LUN の最大数は<設定できる LUN の最大個数>個です。別のポートを指定してください。	要因 このポートに設定済みの LUN は<すでに設定済みの LUN の個数>個です。一つのポートに設定できる LUN の最大数は<設定できる LUN の最大個数>個です。 対処 別のポートを指定してください。
KAIC15169-E	ライセンスを登録できませんでした。(Mode=<ライセンスキー登録 or ファイル登録>, 保守情報=<詳細情報>)エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15170-E	指定した階層名はすでに使用されています。ほかの階層名を指定してください。	要因 - 対処 ほかの階層名を指定してください。
KAIC15171-E	ユーザー(<ユーザー ID >)は存在しません。	要因 - 対処 -
KAIC15172-E	ログインできませんでした。ユーザー ID, パスワードが正しいことと、権限、およびリソースグループが正しく設定されていることを確認してください。	要因 - 対処 ユーザー ID, パスワードが正しいことと、権限、およびリソースグループが正しく設定されていることを確認してください。
KAIC15173-E	サーバと接続できませんでした。しばらくしてから、再度操作を実行してください。(保守情報: <保守情報>)	要因 - 対処 -
KAIC15174-E	外部ストレージシステムとして使用できるストレージシステムがありません。	要因 - 対処 -
KAIC15175-E	選択したストレージシステム(<ストレージシステム名>)は、外部ストレージシステムとして使用できません。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15176-E	Universal Volume Manager/External Storage を使用しているストレージシステムがありません。	要因 - 対処 -
KAIC15177-E	ボリュームの割り当てを解除できるホストがありません。ホストとストレージシステムが登録されていること、ホストにボリュームが割り当てられていること、およびホストグループに対して Modify 権限があることを確認してください。	要因 - 対処 ホストとストレージシステムが登録されていること、ホストにボリュームが割り当てられていること、およびホストグループに対して Modify 権限があることを確認してください。
KAIC15178-W	選択したホストの一部は、ストレージの割り当てを解除できるボリュームがないため、ホスト一覧から除外されました。(除外されたホスト:<ホスト名>)	要因 - 対処 -
KAIC15179-E	割り当てを解除できるボリュームがありません。選択したボリュームはほかのタスク使用中か、すでに割り当てを解除されたおそれがあります。または、ホストグループに Modify 権限がないおそれがあります。ダイアログを閉じて、リソース画面でボリュームの状態を確認してください。	要因 選択したボリュームはほかのタスク使用中か、すでに割り当てを解除されたおそれがあります。または、ホストグループに Modify 権限がないおそれがあります。 対処 ダイアログを閉じて、リソース画面でボリュームの状態を確認してください。
KAIC15180-W	選択したボリュームの一部は、ストレージの割り当てを解除できないため、ボリューム一覧から除外されました。(除外されたボリューム:<dev num >)	要因 - 対処 -
KAIC15181-E	Element Manager を起動できません。指定したストレージシステムがデータベース上にありません。指定したストレージシステムが登録されているか、確認してください。	要因 指定したストレージシステムがデータベース上にありません。 対処 指定したストレージシステムが登録されているか、確認してください。
KAIC15182-E	Element Manager を起動できません。Element Manager を起動するには、ユーザーに「All Resources」が割り当てられている必要があります。ユーザーに割り当てられたリソースグループを確認してください。	要因 Element Manager を起動するには、ユーザーに「All Resources」が割り当てられている必要があります。 対処 ユーザーに割り当てられたリソースグループを確認してください。
KAIC15183-E	指定したプール名(<プール名>)は、すでにストレージシステム(<ストレージシステム名>)で使用されている、または使用される予定です。ほかのプール名を指定してください。	要因 - 対処 ほかのプール名を指定してください。
KAIC15184-E	プールを作成できるストレージシステムがありません。いったん操作を終了したあと、ストレージシステムの管理者に連絡してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了したあと、ストレージシステムの管理者に連絡してください。
KAIC15185-E	プールを作成できません。ストレージシステム(<ストレージシステム名>)には、プールを作成できるパリティグループがありません。いったん操作を終了	要因 ストレージシステム(<ストレージシステム名>)には、プールを作成できるパリティグループがありません。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	したあと、ストレージシステムの管理者に連絡してください。	対処 いったん操作を終了したあと、ストレージシステムの管理者に連絡してください。
KAIC15186-E	プールを作成できません。内部パリティグループ(<内部 ArrayGroup 名 >)と外部パリティグループ(<外部 ArrayGroup 名 >)を同じプールに混在できません。内部パリティグループ、または外部パリティグループのどちらかだけを選択してください。	要因 内部パリティグループ(<内部 ArrayGroup 名 >)と外部パリティグループ(<外部 ArrayGroup 名 >)を同じプールに混在できません。 対処 内部パリティグループ、または外部パリティグループのどちらかだけを選択してください。
KAIC15187-E	プールを作成できません。キャッシュモードが有効な外部パリティグループと、キャッシュモードが無効な外部パリティグループを同じプールに混在できません。同じキャッシュモードの外部パリティグループを選択してください。	要因 キャッシュモードが有効な外部パリティグループと、キャッシュモードが無効な外部パリティグループを同じプールに混在できません。 対処 同じキャッシュモードの外部パリティグループを選択してください。
KAIC15188-E	プールを作成できません。異なるドライブタイプのパリティグループを同じプールに混在できません。同じドライブタイプのパリティグループを選択してください。	要因 異なるドライブタイプのパリティグループを同じプールに混在できません。 対処 同じドライブタイプのパリティグループを選択してください。
KAIC15189-E	プールを作成できません。ボリュームの数(<プールに登録するボリューム数 >)が、プールに登録できるボリュームの最大数(<プール 1 個あたりの最大プール VOL 数 >)を超えます。プールに登録するボリュームの数を減らしてください。	要因 ボリュームの数(<プールに登録するボリューム数 >)が、プールに登録できるボリュームの最大数(<プール 1 個あたりの最大プール VOL 数 >)を超えます。 対処 プールに登録するボリュームの数を減らしてください。
KAIC15190-E	プールを作成できません。プールの総容量(<プールの総容量 >)が、ストレージシステムの上限值(<ストレージシステム内のプールの合計容量の上限值 >)を超えます。プールに登録するボリューム数を減らしてください。	要因 プールの総容量(<プールの総容量 >)が、ストレージシステムの上限值(<ストレージシステム内のプールの合計容量の上限值 >)を超えます。 対処 プールに登録するボリューム数を減らしてください。
KAIC15191-E	プールを作成できません。ストレージシステム(<ストレージシステム名 >)を使ってプールを作成できません。いったん操作を終了し、ほかのストレージシステムを選択してください。	要因 ストレージシステム(<ストレージシステム名 >)を使ってプールを作成できません。 対処 いったん操作を終了し、ほかのストレージシステムを選択してください。
KAIC15192-E	プールを作成できません。CLPR が異なるパリティグループを同じプールに混在できません。同じ CLPR に属するパリティグループを選択してください。	要因 CLPR が異なるパリティグループを同じプールに混在できません。 対処 同じ CLPR に属するパリティグループを選択してください。
KAIC15193-E	選択したボリューム(<LDEVID >)は LUSE ボリュームのため、プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15194-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)は ShadowImage Software で使用しているため、プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15195-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)は TrueCopy Software で使用しているため、プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15196-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)は Universal Replicator Software で使用しているため、プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15197-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)は Cache Residency Manager によってモードが設定されているため、プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15198-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)は Copy-on-Write Snapshot または Thin Image で使用されているため、プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15199-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)は Data Retention Utility で Protect 属性または ReadOnly 属性が設定されているため、プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15200-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)は Data Retention Utility で副VOL拒否を設定しているため、プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15201-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)は コマンドデバイスとして使用されているため、プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15202-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)は システムディスクとして使用されているため、プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15203-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)は Quorum Disk として使用されているため、プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15204-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)は エミュレーションタイプが OPEN-V でないため、プールボリュームに使用でき	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ません。ほかのボリュームを選択してください。	ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15205-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)は容量が 8GB 未満のため、プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15206-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)は未割り当てのボリュームでないため、プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15207-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)はプールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15208-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)はほかのタスクに予約されているため、プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15209-E	プールの拡張できません。プールに必要なドライブがありません。ドライブを追加してください。	要因 プールに必要なドライブがありません。 対処 ドライブを追加してください。
KAIC15210-E	プールを作成できません。ストレージシステム(<ストレージシステム名 >)に作成できるプールの上限値(<作成できるプールの最大個数 >)を超えます。不要なプールを削除するか、ほかのストレージシステムを選択してください。	要因 ストレージシステム(<ストレージシステム名 >)に作成できるプールの上限値(<作成できるプールの最大個数 >)を超えます。 対処 不要なプールを削除するか、ほかのストレージシステムを選択してください。
KAIC15211-E	プールボリュームに使用できません。CLPR が異なるボリュームを一つのプールに混在できません。CLPR が同じボリュームだけを選択してください。	要因 CLPR が異なるボリュームを一つのプールに混在できません。 対処 CLPR が同じボリュームだけを選択してください。
KAIC15212-E	選択したボリュームは、プールボリュームに使用できません。キャッシュモードが有効なボリュームと、キャッシュモードが無効なボリュームを同じプールに混在できません。同じキャッシュモードのボリュームを選択してください。	要因 キャッシュモードが有効なボリュームと、キャッシュモードが無効なボリュームを同じプールに混在できません。 対処 同じキャッシュモードのボリュームを選択してください。
KAIC15213-E	選択したボリュームは、プールボリュームに使用できません。内部ボリュームと外部ボリュームを同じプールに混在できません。選択するボリュームの種類は、内部ボリュームまたは外部ボリュームのどちらか一つにしてください。	要因 内部ボリュームと外部ボリュームを同じプールに混在できません。 対処 選択するボリュームの種類は、内部ボリュームまたは外部ボリュームのどちらか一つにしてください。
KAIC15214-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)は、プールボリュームに使用できません。これらのボリュームは、Dynamic Provisioning Software で使用されています。	要因 これらのボリュームは、Dynamic Provisioning Software で使用されています。 対処 ほかのボリュームを選択してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	ます。ほかのボリュームを選択してください。	
KAIC15215-E	ドライブタイプが異なるボリュームを同じプールに混在できないため、プールボリュームに使用できません。ドライブタイプが同じボリュームだけを選択してください。	要因 - 対処 ドライブタイプが同じボリュームだけを選択してください。
KAIC15216-E	選択したストレージシステムの中に、削除されたストレージシステムが含まれています。画面を更新してください。	要因 - 対処 画面を更新してください。
KAIC15217-W	このホストに関連するタスクが実行中です。このホストに関連するすべてのタスクが完了したあと、再度実行してください。	要因 - 対処 このホストに関連するすべてのタスクが完了したあと、再度実行してください。
KAIC15218-E	このストレージシステムに関連するタスクが実行中です。このストレージシステムに関連するすべてのタスクが完了したあと、再度実行してください。	要因 - 対処 このストレージシステムに関連するすべてのタスクが完了したあと、再度実行してください。
KAIC15219-E	論理グループを作成できません。32 階層以上の論理グループは作成できません。(グループ名=<グループ名>)ほかの論理グループを選択してください。	要因 32 階層以上の論理グループは作成できません。(グループ名=<グループ名>) 対処 ほかの論理グループを選択してください。
KAIC15220-E	プールを拡張できません。プールを拡張できるストレージシステムがありません。いったん操作を終了したあと、ストレージシステムの管理者に連絡してください。	要因 プールを拡張できるストレージシステムがありません。 対処 いったん操作を終了したあと、ストレージシステムの管理者に連絡してください。
KAIC15221-E	プールを拡張できません。プールが使用率 100%による閉塞以外の閉塞状態です。プールを閉塞状態から解除させたあと、ストレージシステムを更新し、再度実行してください。	要因 プールが使用率 100%による閉塞以外の閉塞状態です。 対処 プールを閉塞状態から解除させたあと、ストレージシステムを更新し、再度実行してください。
KAIC15222-E	プールを拡張できません。プールが閉塞状態です。プールを閉塞状態から解除させたあと、ストレージシステムを更新し、再度実行してください。	要因 プールが閉塞状態です。 対処 プールを閉塞状態から解除させたあと、ストレージシステムを更新し、再度実行してください。
KAIC15223-E	ボリュームにパスが設定されているため、プール(<プール ID >)を削除できません。ボリュームを確認してから、プールの削除を再度実行してください。	要因 - 対処 ボリュームを確認してから、プールの削除を再度実行してください。
KAIC15224-E	選択したプール(<プール ID >)に属するボリュームはほかのタスクに使用されています。ほかのタスクが終了してから、プールの削除を再度実行してください。	要因 - 対処 ほかのタスクが終了してから、プールの削除を再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15225-E	ストレージシステム(<ストレージシステム名>)のプールは削除できません。ほかのストレージシステムのプールを指定してください。	要因 - 対処 ほかのストレージシステムのプールを指定してください。
KAIC15226-E	異なるストレージシステムにあるプールは同時に削除できません。(<ストレージシステム名>) 同ストレージシステムに属するプールを選択してください。	要因 - 対処 同ストレージシステムに属するプールを選択してください。
KAIC15227-E	ボリュームがペアを構成しているため、プール(<プール ID >)を削除できません。ボリュームを確認してから、プールの削除を再度実行してください。	要因 - 対処 ボリュームを確認してから、プールの削除を再度実行してください。
KAIC15228-E	ボリュームのエミュレーションタイプが OPEN-V ではないため、プール(<プール ID >)を削除できません。ボリュームを確認してから、プールの削除を再度実行してください。	要因 - 対処 ボリュームを確認してから、プールの削除を再度実行してください。
KAIC15229-E	ボリュームに Protect 属性または ReadOnly 属性が設定されているため、プール(<プール ID >)を削除できません。ボリュームを確認してから、プールの削除を再度実行してください。	要因 - 対処 ボリュームを確認してから、プールの削除を再度実行してください。
KAIC15230-E	階層の作成先に指定したストレージシステムがありません。ストレージシステムを確認してから、再度実行してください。	要因 - 対処 ストレージシステムを確認してから、再度実行してください。
KAIC15231-E	階層を作成できませんでした。階層を確認してから、再度実行してください。	要因 - 対処 階層を確認してから、再度実行してください。
KAIC15232-E	選択したストレージシステムには HDT プールを作成できるパリティグループがありません。(<ストレージシステム名>) ほかのストレージシステムを選択してください。	要因 - 対処 ほかのストレージシステムを選択してください。
KAIC15233-E	RAID レベルが異なるパリティグループを同一の階層に混在できないため、プールボリュームに使用できません。ほかのパリティグループを選択してください。	要因 - 対処 ほかのパリティグループを選択してください。
KAIC15234-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)は、状態が正常ではないため、プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15235-E	選択したパリティグループは、RAID レベルが異なるため、プールボリュームに使用できません。同じ RAID レベルのパリティグループを選択してください。	要因 - 対処 同じ RAID レベルのパリティグループを選択してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15236-E	選択したボリュームは、ドライブ回転数が異なるため、プールボリュームに使用できません。同じドライブ回転数のボリュームを選択してください。	要因 - 対処 同じドライブ回転数のボリュームを選択してください。
KAIC15237-E	ボリュームを作成できません。プールがない、または、プールに十分な空き容量がありません。いったん操作を終了したあと、ストレージシステムを確認してください。	要因 プールがない、または、プールに十分な空き容量がありません。 対処 いったん操作を終了したあと、ストレージシステムを確認してください。
KAIC15238-E	ボリュームを作成できません。ストレージにパリティグループが存在しない、パリティグループに十分な容量がない、またはパリティグループが予約されているおそれがあります。いったん操作を終了したあと、ストレージシステムを確認してください。	要因 ストレージにパリティグループが存在しない、パリティグループに十分な容量がない、またはパリティグループが予約されているおそれがあります。 対処 いったん操作を終了したあと、ストレージシステムを確認してください。
KAIC15239-E	階層を編集できませんでした。階層を確認してから、再度実行してください。	要因 - 対処 階層を確認してから、再度実行してください。
KAIC15240-E	プールを拡張できるストレージシステムがありません。いったん操作を終了したあと、ストレージシステムの管理者に連絡してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了したあと、ストレージシステムの管理者に連絡してください。
KAIC15242-E	利用できるドライブ数が足りないため、プールを作成できません。ドライブを追加してください。	要因 - 対処 ドライブを追加してください。
KAIC15243-E	指定したドライブが予約されているため、プールを作成できません。PDEVを確認したあと、再度実行してください。	要因 - 対処 PDEVを確認したあと、再度実行してください。
KAIC15244-E	指定したドライブが使用されているため、プールを作成できません。PDEVを確認したあと、再度実行してください。	要因 - 対処 PDEVを確認したあと、再度実行してください。
KAIC15245-E	ホストを一括で編集できません。選択したホストの中に、手動または Device Manager エージェントで追加したホストが含まれています。手動または Device Manager エージェントで追加したホストは、一つずつ編集してください。	要因 - 対処 手動または Device Manager エージェントで追加したホストは、一つずつ編集してください。
KAIC15246-E	同じ名前の検索条件がすでにあります。ほかの名前を指定してください。	要因 - 対処 ほかの名前を指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15247-E	データベース上のボリューム(<LDEV ID >)の情報が正しくありません。ストレージシステムを更新してください。	要因 - 対処 ストレージシステムを更新してください。
KAIC15248-E	ボリューム(<LDEV ID >)は指定できません。メインフレームボリュームをオープンホストに割り当てることはできません。指定を見直してください。	要因 メインフレームボリュームをオープンホストに割り当てることはできません。 対処 指定を見直してください。
KAIC15249-E	ボリューム(<LDEV ID >)は指定できません。オンデマンドボリュームをホストに割り当てることはできません。指定を見直してください。	要因 オンデマンドボリュームをホストに割り当てることはできません。 対処 指定を見直してください。
KAIC15250-E	ボリューム(<LDEV ID >)は指定できません。システムボリュームをホストや外部ポートに割り当てることはできません。指定を見直してください。	要因 システムボリュームをホストや外部ポートに割り当てることはできません。 対処 指定を見直してください。
KAIC15251-E	ボリューム(<LDEV ID >)は指定できません。システムディスクをホストや外部ポートに割り当てることはできません。指定を見直してください。	要因 システムディスクをホストや外部ポートに割り当てることはできません。 対処 指定を見直してください。
KAIC15252-E	ボリューム(<LDEV ID >)は指定できません。Differential Management LUをホストや外部ポートに割り当てることはできません。指定を見直してください。	要因 Differential Management LUをホストや外部ポートに割り当てることはできません。 対処 指定を見直してください。
KAIC15253-E	ボリューム(<LDEV ID >)は指定できません。ホストや外部ポートにHDP/HDT プールを割り当てることはできません。指定を見直してください。	要因 ホストや外部ポートにHDP/HDT プールを割り当てることはできません。 対処 指定を見直してください。
KAIC15254-E	ボリューム(<LDEV ID >)は指定できません。プールやジャーナルをホストや外部ポートに割り当てることはできません。指定を見直してください。	要因 プールやジャーナルをホストや外部ポートに割り当てることはできません。 対処 指定を見直してください。
KAIC15255-E	ボリューム(<LDEV ID >)は指定できません。Volume Migration/Auto LUNのリザーブボリュームをホストや外部ポートに割り当てることはできません。指定を見直してください。	要因 Volume Migration/Auto LUNのリザーブボリュームをホストや外部ポートに割り当てることはできません。 対処 指定を見直してください。
KAIC15257-E	ボリューム(<LDEV ID >)は指定できません。Data Retention Utilityで、Reservedの属性を持つボリュームは割り当てを変更できません。または、マッピングガードが設定されているボリュームは割り当てを変更できません。Storage Navigator, Storage Navigator Modular 2でボリュームを見直してください。	要因 Data Retention Utilityで、Reservedの属性を持つボリュームは割り当てを変更できません。または、マッピングガードが設定されているボリュームは割り当てを変更できません。 対処 Storage Navigator, Storage Navigator Modular 2でボリュームを見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15258-E	ボリューム(<LDEV ID >)は指定できません。High Availability Manager の Quorum ディスクをホストに割り当てることはできません。Storage Navigator または Remote Web Console で操作してください。	要因 High Availability Manager の Quorum ディスクをホストに割り当てることはできません。 対処 Storage Navigator または Remote Web Console で操作してください。
KAIC15259-E	ボリューム(<LDEV ID >)は指定できません。拡張された LDEV, または LUSE に属する LDEV をホストや外部ポートに割り当てることはできません。指定を見直してください。	要因 拡張された LDEV, または LUSE に属する LDEV をホストや外部ポートに割り当てることはできません。 対処 指定を見直してください。
KAIC15260-E	非常ライセンスのライセンス期限が満了しました。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15261-E	一時ライセンスのライセンス期限が満了しました。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15262-I	すべてのストレージシステムのライセンス期限が満了しています。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15263-W	ライセンス期限が満了しているストレージシステム, ライセンス容量を超過しているストレージシステム, および一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15264-W	ライセンス期限が満了に近づいているストレージシステム, ライセンス容量を超過しているストレージシステム, および一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15265-W	ライセンス容量を超過しているストレージシステムと, 一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15266-W	ライセンス期限が満了しているストレージシステムと, 一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15267-W	ライセンス期限が満了に近づいているストレージシステムと、一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15268-W	一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15269-W	ライセンス期限が満了しているストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15270-W	一部のストレージシステムで、ライセンス期限が満了に近づいています。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15271-W	ライセンス期限が満了しているストレージシステムと、ライセンス容量を超過しているストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15272-W	ライセンス期限が満了に近づいているストレージシステムと、ライセンス容量を超過しているストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15273-W	一部ストレージシステムの容量がライセンス容量を超過しています。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15274-I	ライセンスが登録されていません。正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15275-I	ライセンスは有効です。	要因 - 対処 -
KAIC15276-E	入力したライセンスキーはライセンス期限が満了しています。有効なライセンスキーを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーを登録してください。
KAIC15277-E	非常ライセンスのライセンス期限が満了しました。有効なライセンスキーま	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	たはライセンスキーファイルを登録してください。	有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15278-W	非常ライセンスのライセンス期限が満了に近づいています。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15279-E	一時ランセンスのライセンス期限が満了しました。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15280-W	一時ライセンスのライセンス期限が満了に近づいています。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15281-W	ライセンス期限が満了しているストレージシステム、ライセンス容量を超過しているストレージシステム、および一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15282-W	ライセンス期限が満了に近づいているストレージシステム、ライセンス容量を超過しているストレージシステム、および一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15283-W	ライセンス容量を超過しているストレージシステムと、一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15284-W	ライセンス期限が満了しているストレージシステムと、一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15285-W	ライセンス期限が満了に近づいているストレージシステムと、一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15286-W	一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15287-W	ライセンス期限が満了しているストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15288-W	一部のストレージシステムで、ライセンス期限が満了に近づいています。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15289-W	ライセンス期限が満了しているストレージシステムと、ライセンス容量を超過しているストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15290-W	ライセンス期限が満了に近づいているストレージシステムと、ライセンス容量を超過しているストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15291-W	一部ストレージシステムの容量がライセンス容量を超過しています。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15292-I	ライセンスが登録されていません。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15294-E	指定した容量の値が範囲外です。<最小容量(単位付き)>から<最大容量(単位付き)>の範囲で指定し直してください。	要因 - 対処 <最小容量(単位付き)>から<最大容量(単位付き)>の範囲で指定し直してください。
KAIC15295-E	ライセンス期限が満了しています。有効なライセンスキーを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーを登録してください。
KAIC15296-E	この操作より前に実行した操作で Host Data Collector に接続できなかったため、この操作は実行されませんでした。この操作より前に実行した操作のメッセージを参照して、Host Data Collector に接続できなかった問題を解決してください。そのあと、この操作を再度実行してください。	要因 - 対処 この操作より前に実行した操作のメッセージを参照して、Host Data Collector に接続できなかった問題を解決してください。そのあと、この操作を再度実行してください。
KAIC15297-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)はほかのタスクに使用されています。ほかのタスクが終了してから、再度操作してください。	要因 - 対処 ほかのタスクが終了してから、再度操作してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15298-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)は、DP ボリュームではないため、拡張できません。DP ボリュームを選択してください。	要因 - 対処 DP ボリュームを選択してください。
KAIC15299-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)の状態が正常ではないため、拡張を実行できません。正常な状態の DP ボリュームを選択してください。	要因 - 対処 正常な状態の DP ボリュームを選択してください。
KAIC15300-E	選択したボリュームの属するプールの状態が正常でないため、拡張できません。プールの状態を確認し、必要に応じて正常な状態に戻してください。	要因 - 対処 プールの状態を確認し、必要に応じて正常な状態に戻してください。
KAIC15301-E	予約率が最大予約率を超えているため、DP ボリューム拡張を実行できません。プールを拡張するか、最大予約率を変更してください。	要因 - 対処 プールを拡張するか、最大予約率を変更してください。
KAIC15302-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)は、DP ボリュームでないため、DP ボリューム編集を実行できません。DP ボリュームを選択してください。	要因 - 対処 DP ボリュームを選択してください。
KAIC15303-E	現在の容量が拡張可能な容量を超えているボリューム(<LDEV ID >)が選択されているため、DP ボリューム拡張を実行できません。ほかのボリュームを選択してください。または、プールを拡張するか、最大予約率を変更してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。または、プールを拡張するか、最大予約率を変更してください。
KAIC15304-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)の容量は、拡張できる最大容量を超えているため、DP ボリューム拡張を実行できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15305-E	<パスの数>パスの候補を作成できませんでした。パスを手動で設定してください。	要因 - 対処 パスを手動で設定してください。
KAIC15306-E	使用できる LDEV ID が不足しています。不要なボリュームを<ボリューム数>個削除するか、リソースグループに LDEV ID を登録してください。	要因 - 対処 不要なボリュームを<ボリューム数>個削除するか、リソースグループに LDEV ID を登録してください。
KAIC15307-E	ボリュームを作成できません。ボリュームの数(<作成するボリューム数>)が、ストレージシステムに作成できるボリュームの最大数(<作成可能な最大ボリューム数>)を超えます。ストレージシステムに作成するボリュームの数を減らしてください。	要因 ボリュームの数(<作成するボリューム数>)が、ストレージシステムに作成できるボリュームの最大数(<作成可能な最大ボリューム数>)を超えます。 対処 ストレージシステムに作成するボリュームの数を減らしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15308-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)に、パスがありません。選択したボリュームは、ホストグループに割り当てられていません。ホストに割り当てられたボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ホストに割り当てられたボリュームを選択してください。
KAIC15309-E	外部認証サーバとの接続に失敗しましたため、ユーザーを認証できません。外部認証サーバと通信できることを確認してください。	要因 - 対処 外部認証サーバと通信できることを確認してください。
KAIC15310-E	Device Manager サーバが使用する DB が閉塞しました。閉塞した部位は、<DB 名 > です。サーバ管理者に連絡してください。サーバ管理者に連絡してください。	要因 - 対処 サーバ管理者に連絡してください。
KAIC15311-I	非常ライセンスの有効期間は、あと<日 >日間です。<日時 >に満了します。	要因 - 対処 -
KAIC15312-I	一時ライセンスの有効期間は、あと<日 >日間です。<日時 >に満了します。	要因 - 対処 -
KAIC15313-E	検索条件(<検索条件名 >)は、削除されています。保存されている検索条件を更新してください。	要因 - 対処 保存されている検索条件を更新してください。
KAIC15314-I	ライセンスの登録が完了しました。詳細は、ライセンス情報を確認してください。	要因 - 対処 詳細は、ライセンス情報を確認してください。
KAIC15315-E	階層が見つかりません。階層が削除されたおそれがあります。いったん操作を終了し、画面を更新してください。必要に応じて、もう一度操作をやりなおしてください。	要因 階層が削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了し、画面を更新してください。必要に応じて、もう一度操作をやりなおしてください。
KAIC15316-E	タスクを登録できませんでした。(タスク名=<タスク名 >, 原因=<原因 >)	要因 - 対処 -
KAIC15317-W	プールの使用率(<使用率 >)が使用率しきい値 1(<使用率しきい値 1 >)を超えています。	要因 - 対処 -
KAIC15318-E	プールの使用率(<使用率 >)が使用率しきい値 2(<使用率しきい値 2 >)を超えているため、ボリュームを作成できません。次のどれかの方法で対処してください。ほかのプールを選択する。プールを拡張する。使用率しきい値 2 を変更する。	要因 - 対処 次のどれかの方法で対処してください。 ・ ほかのプールを選択する。 ・ プールを拡張する。 ・ 使用率しきい値 2 を変更する。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC15319-W	プールの予約率(<予約率>)が警告予約率(<警告予約率>)を超えています。	要因 - 対処 -
KAIC15320-E	プールの予約率(<予約率>)が最大予約率(<限界予約率>)を超えるため、ボリュームを作成できません。次のどれかの方法で対処してください。ほかのプールを選択する。プールを拡張する。最大予約率を変更する。	要因 - 対処 次のどれかの方法で対処してください。 ・ ほかのプールを選択する。 ・ プールを拡張する。 ・ 最大予約率を変更する。
KAIC15321-E	プールの総容量(<プールの総容量>)がストレージシステムの上限值(<ストレージシステム内のプールの合計容量の上限值>)を超えるため、プールを拡張できません。	要因 - 対処 -
KAIC15322-E	DP ボリュームの総容量(<DP ボリュームの総容量>)が、ストレージシステムの上限值(<ストレージシステム内の DP ボリュームの合計容量の上限值>)を超えるため、DP ボリュームを作成できません。	要因 - 対処 -
KAIC15323-E	DP ボリュームの総容量(<DP ボリュームの総容量>)が、ストレージシステムの上限值(<ストレージシステム内の DP ボリュームの合計容量の上限值>)を超えるため、DP ボリュームを拡張できません。	要因 - 対処 -
KAIC15324-W	ストレージシステム "<外部ストレージシステム名>" と "<内部ストレージシステム名>" の間では、推奨するパスを提示できません。ストレージシステム "<外部ストレージシステム名>" に、適切なストレージポートがありません。ポートを手動で指定してください。または、LUN セキュリティが ON になっているストレージポートを Target に設定してください。	要因 ストレージシステム "<外部ストレージシステム名>" に、適切なストレージポートがありません。 対処 ポートを手動で指定してください。または、LUN セキュリティが ON になっているストレージポートを Target に設定してください。
KAIC15325-E	ボリューム"<LDEV ID >"は割り当てることができません。プールに割り当てられていない DP ボリュームは、ホストや外部ポートに割り当てることができません。プールに割り当てられたボリュームを指定してください。	要因 プールに割り当てられていない DP ボリュームは、ホストや外部ポートに割り当てることができません。 対処 プールに割り当てられたボリュームを指定してください。
KAIC15326-E	フォーマットタイプが指定されていません。フォーマットタイプを指定してください。	要因 - 対処 フォーマットタイプを指定してください。
KAIC15327-E	選択したボリューム(<LDEV IDs >)は、DP ボリュームではないため、ゼロページを破棄できません。DP ボリュームを選択してください。	要因 - 対処 DP ボリュームを選択してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15328-E	選択したボリューム(<LDEVIDs>)は、状態が正常ではないため、ゼロページを破棄できません。詳細情報画面でボリュームの状態を確認し、状態が正常なボリュームを選択してください。	要因 - 対処 詳細情報画面でボリュームの状態を確認し、状態が正常なボリュームを選択してください。
KAIC15329-E	選択したボリュームの属するプールが閉塞しているため、ゼロページを破棄できません。プールを閉塞状態から解除させたあと、ストレージシステムを更新し、再度実行してください。	要因 - 対処 プールを閉塞状態から解除させたあと、ストレージシステムを更新し、再度実行してください。
KAIC15330-E	選択したボリューム(<LDEVIDs>)は、ペアを構成しているため、ゼロページを破棄できません。ゼロページを破棄できるボリュームを選択してから、再度実行してください。	要因 - 対処 ゼロページを破棄できるボリュームを選択してから、再度実行してください。
KAIC15331-E	選択したボリューム(<LDEVIDs>)は、すでにゼロページの破棄が実行中か実行待ちのため、操作が受け付けられません。実行中のゼロページの破棄が完了したあと、再度実行してください。	要因 - 対処 実行中のゼロページの破棄が完了したあと、再度実行してください。
KAIC15332-I	この階層はプールから構成されているため、条件は表示されません。	要因 - 対処 -
KAIC15333-I	この階層は手動で選択したボリュームによって構成されているため、条件は表示されません。	要因 - 対処 -
KAIC15334-I	この階層は「すべてに合致」条件で構成されていないため、条件は表示されません。	要因 - 対処 -
KAIC15335-I	この階層の条件は、表示されている以外の条件が含まれています。	要因 - 対処 -
KAIC15336-E	選択したLU番号(<DEVNUMIDs>)は、すでに使用されています。ほかのユーザーが指定したLU番号を選択したおそれがあります。LU番号を選択し直してください。	要因 ほかのユーザーが指定したLU番号を選択したおそれがあります。 対処 LU番号を選択し直してください。
KAIC15337-E	選択したホストには、割り当てを解除できるボリュームがありません。ボリュームの割り当てが解除されているか、割り当てられているボリュームが予約されています。または、ホストグループにModify権限がないおそれがあります。いったん操作を終了したあと、ホストにボリュームが割り当てられていることと、割り当てられているボリュームが予約されていないこと、およびホストグループに対してModify権限があることを確認してください。	要因 ボリュームの割り当てが解除されているか、割り当てられているボリュームが予約されています。または、ホストグループにModify権限がないおそれがあります。 対処 いったん操作を終了したあと、ホストにボリュームが割り当てられていることと、割り当てられているボリュームが予約されていないこと、およびホストグループに対してModify権限があることを確認してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC15338-E	ホストグループ(<ホストグループ名カンマ区切り>)間でホストモード(<ホストモードカンマ区切り>)が異なります。ホストモードとオプションがすべて同じになるようポートを選択してください。	要因 - 対処 ホストモードとオプションがすべて同じになるようポートを選択してください。
KAIC15339-E	ホストグループ(< Host Group Names >)間でホストモードオプション(<ホストモードオプションカンマ区切り>)が異なります。ホストモードとオプションがすべて同じになるようポートを選択してください。	要因 - 対処 ホストモードとオプションがすべて同じになるようポートを選択してください。
KAIC15340-E	指定したホストグループの情報がほかのユーザーによって変更されたおそれがあります。いったん操作を中断し、再度操作を実行してください。	要因 - 対処 いったん操作を中断し、再度操作を実行してください。
KAIC15341-E	選択したボリュームに属するプールが縮小中のため、ゼロページを破棄できません。プールの縮小が完了したあと、再度実行してください。	要因 - 対処 プールの縮小が完了したあと、再度実行してください。
KAIC15342-E	プールを削除できません。ドライブタイプまたは回転数が異なるパリティグループが同じプールに混在しています。Element Manager で操作してください。	要因 ドライブタイプまたは回転数が異なるパリティグループが同じプールに混在しています。 対処 Element Manager で操作してください。
KAIC15343-E	プールを拡張できません。ドライブタイプまたは回転数が異なるパリティグループが同じプールに混在しています。Element Manager で操作してください。	要因 ドライブタイプまたは回転数が異なるパリティグループが同じプールに混在しています。 対処 Element Manager で操作してください。
KAIC15344-E	プールを縮小できません。ドライブタイプまたは回転数が異なるパリティグループが同じプールに混在しています。Element Manager で操作してください。	要因 ドライブタイプまたは回転数が異なるパリティグループが同じプールに混在しています。 対処 Element Manager で操作してください。
KAIC15345-E	選択したボリューム(< LDEV Ids >)は、状態が正常ではないため、プールを縮小できません。ボリュームを移動できない主な理由は次のとおりです。(1) 最初にプールに追加したプールボリュームである。(2) プールボリュームを移動するとプールのしきい値を超える。(3) 指定したボリュームはすでに移動中である。(4) 指定したボリュームはすでにプールボリュームではない。 [リソース] タブのツリービューから DP プール名を再度選択し、[DP プール Vol] タブの [移動可能] 列から移動できる状態のボリュームを選択してください。	要因 ボリュームを移動できない主な理由は次のとおりです。(1) 最初にプールに追加したプールボリュームである。(2) プールボリュームを移動するとプールのしきい値を超える。(3) 指定したボリュームはすでに移動中である。(4) 指定したボリュームはすでにプールボリュームではない。 対処 [リソース] タブのツリービューから DP プール名を再度選択し、[DP プール Vol] タブの [移動可能] 列から移動できる状態のボリュームを選択してください。
KAIC15346-W	プールを縮小すると、使用率が使用率しきい値 1 を超えます。	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 -
KAIC15347-E	プールの使用率が使用率しきい値 2 を超えるため、プールを縮小できません。ほかのプールボリュームを選択して、プールから取り除くプールボリュームの容量を減らしてください。	要因 - 対処 ほかのプールボリュームを選択して、プールから取り除くプールボリュームの容量を減らしてください。
KAIC15348-W	プールを縮小すると、予約率が警告予約率を超えます。	要因 - 対処 -
KAIC15349-E	プールの予約率が最大予約率を超えるため、プールを縮小できません。縮小するボリューム容量を減らすか、最大予約率を変更してください。	要因 - 対処 縮小するボリューム容量を減らすか、最大予約率を変更してください。
KAIC15350-E	ボリューム(<LDEV ID >)は指定できません。Data Retention Utility で、Protect の属性を持つボリュームは割り当てを変更できません。指定を見直してください。	要因 Data Retention Utility で、Protect の属性を持つボリュームは割り当てを変更できません。 対処 指定を見直してください。
KAIC15351-E	ボリューム(<LDEV IDs >)は指定できません。パスが設定されているボリュームは削除できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 パスが設定されているボリュームは削除できません。 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15352-E	ボリューム(<LDEV IDs >)は指定できません。コピーペアを構成しているボリュームは削除できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 コピーペアを構成しているボリュームは削除できません。 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15353-E	ボリューム(<LDEV IDs >)は指定できません。LUSE を構成しているボリュームは削除できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 LUSE を構成しているボリュームは削除できません。 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15354-E	ボリューム(<LDEV IDs >)は指定できません。ボリュームマイグレーションの予約ボリュームは削除できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 ボリュームマイグレーションの予約ボリュームは削除できません。 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15355-E	ボリューム(<LDEV IDs >)は指定できません。Data Retention Utility で Protect 属性または ReadOnly 属性が設定されているボリュームは削除できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 Data Retention Utility で Protect 属性または ReadOnly 属性が設定されているボリュームは削除できません。 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15356-E	ボリューム(<LDEV IDs >)は指定できません。コマンドデバイスに設定されているボリュームは削除できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 コマンドデバイスに設定されているボリュームは削除できません。 対処 ほかのボリュームを指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15357-E	ボリューム(<LDEVIDs>)は指定できません。Quorum ディスクに設定されているボリュームは削除できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 Quorum ディスクに設定されているボリュームは削除できません。 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15358-E	ボリューム(<LDEVIDs>)は指定できません。Inquiry 制御が設定されているボリュームは削除できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 Inquiry 制御が設定されているボリュームは削除できません。 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15359-E	ボリューム(<LDEVIDs>)は指定できません。Replication 制御が設定されているボリュームは削除できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 Replication 制御が設定されているボリュームは削除できません。 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15360-E	ボリューム(<LDEVIDs>)は指定できません。DM-LU に設定されているボリュームは削除できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 DM-LU に設定されているボリュームは削除できません。 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15361-E	ボリューム(<LDEVIDs>)は指定できません。外部ボリュームは削除できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 外部ボリュームは削除できません。 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15362-W	指定した仮想ボリュームと同じパーティグループ上に次の仮想ボリュームがあります。(<LDEVIDs>)これらの仮想ボリュームも同時に削除されません。	要因 - 対処 -
KAIC15363-E	ボリューム(<LDEVIDs>)は指定できません。プールボリュームは削除できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 プールボリュームは削除できません。 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15364-E	指定したストレージシステムの構成は、すでにあります。ホスト、ポート、およびボリュームの組み合わせを確認してください。	要因 - 対処 ホスト、ポート、およびボリュームの組み合わせを確認してください。
KAIC15365-E	ホストグループ名に同じ名前(<ホストグループ名カンマ区切り>)が指定されています。異なるホストグループ名を指定してください。	要因 - 対処 異なるホストグループ名を指定してください。
KAIC15366-E	ホストグループまたは iSCSI ターゲットを削除できません。割り当てを解除したあとのホストグループまたは iSCSI ターゲット(<ホストグループまたは iSCSI ターゲットカンマ区切り>)にパスが残っています。タスクを開始する前に、ホストグループまたは iSCSI ターゲットにボリュームが割り当てられたおそれがあります。ホストグループまたは iSCSI ターゲットに割り当てられたボリュームを確認したあと、必要に応じて再度割り当てを解除してください。	要因 割り当てを解除したあとのホストグループまたは iSCSI ターゲット(<ホストグループまたは iSCSI ターゲットカンマ区切り>)にパスが残っています。タスクを開始する前に、ホストグループまたは iSCSI ターゲットにボリュームが割り当てられたおそれがあります。 対処 ホストグループまたは iSCSI ターゲットに割り当てられたボリュームを確認したあと、必要に応じて再度割り当てを解除してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	に応じて再度割り当てを解除してください。	
KAIC15367-E	指定したユーザグループ名はすでに使用されています。	要因 - 対処 -
KAIC15368-E	ファイルサーバ管理画面を起動するための URL 情報を取得できませんでした。ファイルサーバ管理画面を起動し直し、ファイルサーバを更新してください。	要因 - 対処 ファイルサーバ管理画面を起動し直し、ファイルサーバを更新してください。
KAIC15369-E	リソースグループの作成に失敗しました。いったん操作を終了して、サーバの状態を確認してください。(保守情報=<保守情報>)	要因 - 対処 いったん操作を終了して、サーバの状態を確認してください。(保守情報=<保守情報>)
KAIC15370-E	リソースグループの作成に失敗しました。対象のストレージシステムに登録できるリソースがありません。いったん操作を終了して、対象のストレージシステムに登録できるリソースが存在するか確認してください。	要因 対象のストレージシステムに登録できるリソースがありません。 対処 いったん操作を終了して、対象のストレージシステムに登録できるリソースが存在するか確認してください。
KAIC15371-W	LUSE ボリュームが選択されています。選択した LUSE ボリュームを構成するすべてのボリュームが同時に登録されます。	要因 - 対処 -
KAIC15372-W	プールボリュームが選択されています。同じプールを構成するすべてのボリュームも登録されます。	要因 - 対処 -
KAIC15373-E	ビルトインリソースグループはこの操作を実行できません。ビルトインリソースグループ以外のリソースグループを選択してください。	要因 - 対処 ビルトインリソースグループ以外のリソースグループを選択してください。
KAIC15375-E	指定した<リソース種別>(リソース名)に対して、この操作を実行する権限がありません。指定内容が正しいか確認してください。	要因 - 対処 指定内容が正しいか確認してください。
KAIC15376-E	使用できる LDEV ID が不足しています。リソースグループに LDEV ID を登録してください。	要因 - 対処 リソースグループに LDEV ID を登録してください。
KAIC15377-E	ポート(<ポート名>)に使用できるホストグループ番号がありません。リソースグループにホストグループ番号を登録してください。	要因 - 対処 リソースグループにホストグループ番号を登録してください。
KAIC15378-E	ポート(<ポート名>)を使用できません。権限のないホストグループ番号(<	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ホストグループ番号>)を使用して WWN(< WWN >)にボリュームが割り当てられています。ホストグループ番号(<ホストグループ番号>)をリソースグループに登録するか、別のポートを使用してください。	権限のないホストグループ番号(<ホストグループ番号>)を使用して WWN(< WWN >)にボリュームが割り当てられています。 対処 ホストグループ番号(<ホストグループ番号>)をリソースグループに登録するか、別のポートを使用してください。
KAIC15379-E	選択したタスク(<操作権限のないタスクの名前(カンマ区切り)>)に対して、操作に必要な権限がありません。タスクに登録したユーザー、または All Resources に Modify 権限があるユーザーで操作してください。	要因 - 対処 タスクに登録したユーザー、または All Resources に Modify 権限があるユーザーで操作してください。
KAIC15380-E	選択したタスク(<操作権限のないタスクの名前(カンマ区切り)>)に対して、詳細情報の参照に必要な権限がありません。タスクに登録したユーザー、または All Resources に Modify 権限があるユーザーで操作してください。	要因 - 対処 タスクに登録したユーザー、または All Resources に Modify 権限があるユーザーで操作してください。
KAIC15381-E	ストレージシステム(<アラート削除権限のないストレージの名前(カンマ区切り)>)のアラートの削除に必要な権限がありません。ストレージシステムの属するリソースグループに Modify 権限があるユーザー、または All Resources に Modify 権限があるユーザーで操作してください。	要因 - 対処 ストレージシステムの属するリソースグループに Modify 権限があるユーザー、または All Resources に Modify 権限があるユーザーで操作してください。
KAIC15382-E	アラートが見つかりません。アラートが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了し、画面を更新してください。必要に応じて、もう一度操作をやりなおしてください。	要因 アラートが削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了し、画面を更新してください。必要に応じて、もう一度操作をやりなおしてください。
KAIC15383-E	プールを拡張できません。ドライブタイプが異なるパリティグループを同じプールに混在できません。ドライブタイプが同じパリティグループを選択してください。	要因 ドライブタイプが異なるパリティグループを同じプールに混在できません。 対処 ドライブタイプが同じパリティグループを選択してください。
KAIC15384-E	プールを拡張できません。内部パリティグループと外部パリティグループを同じプールに混在できません。選択したプールを構成するパリティグループと同じ構成のパリティグループを選択してください。	要因 内部パリティグループと外部パリティグループを同じプールに混在できません。 対処 選択したプールを構成するパリティグループと同じ構成のパリティグループを選択してください。
KAIC15385-E	プールを拡張できません。混在可否が不可のプールに、内部パリティグループと外部パリティグループを混在できません。選択したプールを構成するパリティグループと同じ構成のパリティグループを選択してください。	要因 混在可否が不可のプールに、内部パリティグループと外部パリティグループを混在できません。 対処 選択したプールを構成するパリティグループと同じ構成のパリティグループを選択してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15386-E	プールの拡張できません。キャッシュモードが有効な外部パリティグループと無効な外部パリティグループを同じプールに混在できません。選択したプールの外部パリティグループと同じキャッシュモードの外部パリティグループを選択してください。	要因 キャッシュモードが有効な外部パリティグループと無効な外部パリティグループを同じプールに混在できません。 対処 選択したプールの外部パリティグループと同じキャッシュモードの外部パリティグループを選択してください。
KAIC15387-E	プールを作成できません。内部パリティグループと、キャッシュモードが無効な外部パリティグループを同じプールに混在できません。選択するパリティグループを見直してください。	要因 内部パリティグループと、キャッシュモードが無効な外部パリティグループを同じプールに混在できません。 対処 選択するパリティグループを見直してください。
KAIC15388-E	プールの拡張できません。内部パリティグループと、キャッシュモードが無効な外部パリティグループを同じプールに混在できません。選択するパリティグループを見直してください。	要因 内部パリティグループと、キャッシュモードが無効な外部パリティグループを同じプールに混在できません。 対処 選択するパリティグループを見直してください。
KAIC15389-E	プールを作成できません。内部ボリュームと、キャッシュモードが無効な外部ボリュームを同じプールに混在できません。選択するボリュームを見直してください。	要因 内部ボリュームと、キャッシュモードが無効な外部ボリュームを同じプールに混在できません。 対処 選択するボリュームを見直してください。
KAIC15390-E	RAID1 のパリティグループと RAID1 以外のパリティグループを同じプールに混在できません。プールを構成するパリティグループの RAID レベルは、RAID1 で統一するか、RAID1 以外で構成するかのどちらかにしてください。	要因 - 対処 プールを構成するパリティグループの RAID レベルは、RAID1 で統一するか、RAID1 以外で構成するかのどちらかにしてください。
KAIC15391-E	ドライブタイプと回転数が同じで、RAID レベルだけが異なるパリティグループを同じプールに混在できません。選択するパリティグループを見直してください。	要因 - 対処 選択するパリティグループを見直してください。
KAIC15392-W	プールを構成するパリティグループに、ドライブタイプ、回転数、RAID レベル、または内部および外部パリティグループの組み合わせのうち、3 種類が混在しています。	要因 - 対処 -
KAIC15393-E	プールを構成するパリティグループに、ドライブタイプ、回転数、RAID レベル、または内部および外部パリティグループの組み合わせのうち、4 種類以上を混在できません。プールを構成するパリティグループの組み合わせが 3 種類以下になるように、選択するパリティグループを見直してください。	要因 - 対処 プールを構成するパリティグループの組み合わせが 3 種類以下になるように、選択するパリティグループを見直してください。
KAIC15394-W	ドライブタイプ、回転数、RAID レベル、または内部および外部パリティグループの組み合わせが混在しているプールが選択されています。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15395-E	MF-HDP プール(<プールID >)は指定できません。MF-HDP プールに対して、この操作は実行できません。指定を見直してください。	要因 MF-HDP プールに対して、この操作は実行できません。 対処 指定を見直してください。
KAIC15396-E	選択したストレージシステム(<ストレージシステム名 >)に対して、操作に必要な権限(<権限 >)がありません。ほかのストレージシステムを指定してください。	要因 - 対処 ほかのストレージシステムを指定してください。
KAIC15397-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)に対して、操作に必要な権限(<権限 >)がありません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15398-E	選択したプール(<プールID >)に対して、操作に必要な権限(<権限 >)がありません。ほかのプールを指定してください。	要因 - 対処 ほかのプールを指定してください。
KAIC15399-E	選択したボリュームは、プールボリュームに使用できません。異なるリソースグループのボリュームを同じプールに混在できません。同じリソースグループのボリュームを選択してください。	要因 異なるリソースグループのボリュームを同じプールに混在できません。 対処 同じリソースグループのボリュームを選択してください。
KAIC15400-E	プールを作成できません。ストレージシステム(<ストレージシステム名 >)には、プールボリュームに使用できるボリュームがありません。いったん操作を終了したあと、ストレージシステムの管理者に連絡してください。	要因 ストレージシステム(<ストレージシステム名 >)には、プールボリュームに使用できるボリュームがありません。 対処 いったん操作を終了したあと、ストレージシステムの管理者に連絡してください。
KAIC15401-E	選択したプール(<プールID >)に属するボリューム(<LDEV ID >)に対して、操作に必要な権限(<権限 >)がありません。ほかのプールを指定してください。	要因 - 対処 ほかのプールを指定してください。
KAIC15402-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)が属するプール(<プールID >)に対して、操作に必要な権限(<権限 >)がありません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15403-E	ストレージシステム(<ストレージシステム名 >)の更新に必要な権限がありません。ストレージシステムの属するリソースグループに Modify 権限があるユーザー、または All Resources に Modify 権限があるユーザーでストレージシステムの更新タスクを実行してください。	要因 - 対処 ストレージシステムの属するリソースグループに Modify 権限があるユーザー、または All Resources に Modify 権限があるユーザーでストレージシステムの更新タスクを実行してください。
KAIC15404-E	ストレージシステムの編集に必要な権限がありません。All Resources に Modify 権限があるユーザーでストレージシステムの編集タスクを実行してください。	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		All Resources に Modify 権限があるユーザーでストレージシステムの編集タスクを実行してください。
KAIC15405-E	RAID1 のパリティグループと RAID1 以外のパリティグループを混在可否が不可のプールに混在できません。選択するパリティグループを見直してください。	要因 - 対処 選択するパリティグループを見直してください。
KAIC15406-E	使用できるポートがありません。リソースグループにポートおよびホストグループ番号を登録してください。	要因 - 対処 リソースグループにポートおよびホストグループ番号を登録してください。
KAIC15407-E	選択したプールの情報が最新ではないおそれがあります。ストレージシステムの情報を更新してください。(ストレージシステム: <ストレージシステム名 >)	要因 - 対処 ストレージシステムの情報を更新してください。(ストレージシステム: <ストレージシステム名 >)
KAIC15408-E	ユーザーの情報を取得できませんでした。サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15410-E	ユーザーの情報を取得できませんでした。(ユーザー ID=<ユーザー ID >)サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15411-E	ユーザーグループの情報を取得できませんでした。(ユーザーグループ ID=<ユーザーグループ ID >)サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15412-E	ユーザーグループとリソースグループとロールの関連について、情報を取得できませんでした。サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15413-E	アプリケーションの情報を取得できませんでした。(アプリケーション=<アプリケーション名>)サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15414-E	ロールの情報を取得できませんでした。(アプリケーション=<アプリケーション名>)サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15416-E	ユーザーグループが見つかりません。ユーザーグループが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと、ユーザーグループを確認してください。	要因 ユーザーグループが削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了したあと、ユーザーグループを確認してください。
KAIC15418-E	ユーザーをユーザーグループに割り当てられません。ビルトインユーザーグループに属しているユーザーが選択されています。該当するユーザーをビルトインユーザーグループから削除したあと、ユーザーグループに割り当て直してください。	要因 ビルトインユーザーグループに属しているユーザーが選択されています。 対処 該当するユーザーをビルトインユーザーグループから削除したあと、ユーザーグループに割り当て直してください。
KAIC15420-W	同じストレージシステムから作成された複数のリソースグループに対して異なるロールが選択されています。選択したロールの中で最上位のロールがすべてのリソースグループに適用されません。	要因 - 対処 -
KAIC15421-E	ユーザーグループの作成に失敗しました。(ユーザーグループ名=<ユーザーグループ名>)いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと、ユーザーグループを作成し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=<サーバメッセージ>)	要因 - 対処 いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと、ユーザーグループを作成し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=<サーバメッセージ>)
KAIC15422-E	ユーザーグループへのユーザー割り当てに失敗しました。(ユーザーグループ名=<ユーザーグループ名>)いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと、ユーザーグループ編集ダイアログでユーザーグループにユーザーを割り当て直してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客	要因 - 対処 いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと、ユーザーグループ編集ダイアログでユーザーグループにユーザーを割り当て直してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=<サーバメッセージ>)

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	問い合わせ窓口に連絡してください。 (保守情報=<サーバメッセージ>)	
KAIC15423-E	ユーザーグループへのリソースグループとロールの割り当てに失敗しました。いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと、ユーザーグループにリソースグループとロールを割り当て直してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=<サーバメッセージ>)	要因 - 対処 いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと、ユーザーグループにリソースグループとロールを割り当て直してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=<サーバメッセージ>)
KAIC15424-E	ユーザーグループ名または説明の編集に失敗しました。(ユーザーグループ名=<ユーザーグループ名>)いったん操作を終了してサーバの状態を確認してから、ユーザーグループを編集し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=<サーバメッセージ>)	要因 - 対処 いったん操作を終了してサーバの状態を確認してから、ユーザーグループを編集し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=<サーバメッセージ>)
KAIC15430-E	ユーザーグループの削除に失敗しました。(ユーザーグループ名=<ユーザーグループ名>)いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと、ユーザーグループを削除し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと、ユーザーグループを削除し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15434-E	ユーザーグループの割り当てができませんでした。(ユーザーID=<ユーザーID>)いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと、ユーザーグループにユーザーを登録し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=<サーバメッセージ>)	要因 - 対処 いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと、ユーザーグループにユーザーを登録し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=<サーバメッセージ>)
KAIC15435-E	リソースグループを編集できませんでした。いったん操作を終了し、登録するリソースの状態を確認してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了し、登録するリソースの状態を確認してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15436-E	リソースグループを削除できませんでした。いったん操作を終了し、削除するリソースグループの状態を確認してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了し、削除するリソースグループの状態を確認してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15437-E	選択したリソースが見つかりません。選択したリソースはすでに削除されたか、ほかのリソースグループに登録されているおそれがあります。いったん操	要因 選択したリソースはすでに削除されたか、ほかのリソースグループに登録されているおそれがあります。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	作を終了し、リソースの状態を確認してください。	対処 いったん操作を終了し、リソースの状態を確認してください。
KAIC15438-E	選択したリソースは操作できません。選択したリソースはすでに登録が解除されたおそれがあります。いったん操作を終了し、リソースの登録状態を確認してください。	要因 選択したリソースはすでに登録が解除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了し、リソースの登録状態を確認してください。
KAIC15439-E	<リソースグループ名>の削除に失敗しました。いったん操作を終了し、削除するリソースグループの状態を確認してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了し、削除するリソースグループの状態を確認してください。
KAIC15440-E	リソースグループをユーザーグループに割り当てられません。All Resourcesとユーザー定義のリソースグループが混在しているか、または同じストレージシステムのデフォルトリソースグループとユーザー定義のリソースグループが混在しています。リソースグループを選択し直してください。	要因 All Resourcesとユーザー定義のリソースグループが混在しているか、または同じストレージシステムのデフォルトリソースグループとユーザー定義のリソースグループが混在しています。 対処 リソースグループを選択し直してください。
KAIC15441-E	使用可能なポートがありません。ポート、ホストグループ番号に対する権限がありません。ポート、ホストグループ番号をリソースグループに登録してください。	要因 ポート、ホストグループ番号に対する権限がありません。 対処 ポート、ホストグループ番号をリソースグループに登録してください。
KAIC15442-E	ストレージポート(<ポート名>)に新しいホストグループを作成できません。ストレージポートに対する権限がありません。ストレージポートをリソースグループに登録してください。	要因 ストレージポートに対する権限がありません。 対処 ストレージポートをリソースグループに登録してください。
KAIC15443-E	選択したタスク(<操作権限のないタスクの名前(コンマ区切り)>)に対して、操作に必要な権限がありません。タスクを登録したユーザー、またはAll ResourcesにAdmin権限があるユーザーで操作してください。	要因 - 対処 タスクを登録したユーザー、またはAll ResourcesにAdmin権限があるユーザーで操作してください。
KAIC15444-E	選択したタスク(<操作権限のないタスクの名前>)に対して、詳細情報の参照に必要な権限がありません。タスクを登録したユーザー、またはAll ResourcesにAdmin権限があるユーザーで操作してください。	要因 - 対処 タスクを登録したユーザー、またはAll ResourcesにAdmin権限があるユーザーで操作してください。
KAIC15445-E	選択したボリューム(<LDEV ID>)が属するパリティグループ(<パリティグループ名>)に対して、操作に必要な権限(<権限>)がありません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15446-E	選択したユーザーに、別のユーザーグループに属しているユーザーがいます。別のユーザーグループからユーザーを	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	削除して、再度ユーザーグループを割り当ててください。	別のユーザーグループからユーザーを削除して、再度ユーザーグループを割り当ててください。
KAIC15447-E	選択したパスを削除できません。ホストグループ番号(<ホストグループ番号>)に対する権限がありません。ホストグループ番号(<ホストグループ番号>)をリソースグループに登録してください。	要因 ホストグループ番号(<ホストグループ番号>)に対する権限がありません。 対処 ホストグループ番号(<ホストグループ番号>)をリソースグループに登録してください。
KAIC15448-E	ホストグループを作成できません。ストレージポート(<ストレージポート名>)に割り当てられるホストグループ番号が不足しています。ホストグループ番号をリソースグループに登録してください。	要因 ストレージポート(<ストレージポート名>)に割り当てられるホストグループ番号が不足しています。 対処 ホストグループ番号をリソースグループに登録してください。
KAIC15449-E	ユーザーグループにユーザーを追加できません。ビルトインユーザーグループを複数選択している、またはビルトインユーザーグループとユーザー定義のユーザーグループが混在しています。ユーザーグループを選択し直してください。	要因 ビルトインユーザーグループを複数選択している、またはビルトインユーザーグループとユーザー定義のユーザーグループが混在しています。 対処 ユーザーグループを選択し直してください。
KAIC15450-E	選択したパリティグループ(<パリティグループ名>)、または選択したパリティグループ(<パリティグループ名>)に属するボリュームに対して、操作に必要な権限(<権限>)がありません。ほかのパリティグループを指定してください。	要因 - 対処 ほかのパリティグループを指定してください。
KAIC15451-E	選択したプール(<プールID>)、または選択したプール(<プールID>)に属するボリュームに対して、操作に必要な権限(<権限>)がありません。ほかのプールを指定してください。	要因 - 対処 ほかのプールを指定してください。
KAIC15453-E	この論理グループには<表示できる最大ボリューム数>個以上のボリュームが含まれているため表示できません。ほかの論理グループを選択してください。	要因 - 対処 ほかの論理グループを選択してください。
KAIC15454-E	この論理グループは単一のプールに属するHDTボリューム以外を含むため表示できません。ほかの論理グループを選択するか、単一のプールに属するHDTボリュームのみを含むように論理グループの内容を変更してください。	要因 - 対処 ほかの論理グループを選択するか、単一のプールに属するHDTボリュームのみを含むように論理グループの内容を変更してください。
KAIC15455-E	ハードウェア階層の使用状況レポートの設定情報がデータベースにありません。ログインし直してください。(保守情報=<見つからなかったエンティティ名>)	要因 - 対処 ログインし直してください。(保守情報=<見つからなかったエンティティ名>)
KAIC15456-I	ホスト(<ホスト名>)が関連づけられたホストグループ(<ホストグループ番号>)には、ホスト名が不明なWWN(<WWN>)が含まれています。この操作	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	を実行すると、ホスト名が不明な WWN からボリュームの割り当てが解除されます。	
KAIC15457-E	選択したボリュームは、ホストグループに割り当てられたボリュームの一部のため、割り当てを解除できません。操作対象のホスト (<ホスト>) がホストグループ (<ホストグループ>) に関連づいています。ボリュームの割り当てを解除するホストだけでなく、同じホストグループに関連づいたホストをすべて選択してください。または、ホストグループ (<ホストグループ>) を経由して割り当てられたすべてのボリュームの割り当てを解除してください。ボリューム (<LDEV ID >) に対して割り当てを解除する権限がない場合は、システム管理者にお問い合わせください。	要因 操作対象のホスト (<ホスト>) がホストグループ (<ホストグループ>) に関連づいています。 対処 ボリュームの割り当てを解除するホストだけでなく、同じホストグループに関連づいたホストをすべて選択してください。または、ホストグループ (<ホストグループ>) を経由して割り当てられたすべてのボリュームの割り当てを解除してください。ボリューム (<LDEV ID >) に対して割り当てを解除する権限がない場合は、システム管理者にお問い合わせください。
KAIC15458-E	選択したタスク (<操作権限のないタスクの名前>) に対して、詳細情報の参照に必要な権限がありません。タスクを登録したユーザー、またはストレージシステムの属するリソースグループか All Resources に Modify 権限があるユーザーで操作してください。	要因 - 対処 タスクを登録したユーザー、またはストレージシステムの属するリソースグループか All Resources に Modify 権限があるユーザーで操作してください。
KAIC15459-E	選択したパリティグループ (<パリティグループ名>) に対して、操作に必要な権限 (<権限>) がありません。ほかのパリティグループを指定してください。	要因 - 対処 ほかのパリティグループを指定してください。
KAIC15460-E	選択したストレージシステム (<ストレージシステム名>) のパリティグループに対して、操作に必要な権限 (<権限>) がありません。ほかのストレージシステムを指定してください。	要因 - 対処 ほかのストレージシステムを指定してください。
KAIC15461-E	選択したストレージシステム (<ストレージシステム名>) のプールに対して、操作に必要な権限 (<権限>) がありません。ほかのストレージシステムを指定してください。	要因 - 対処 ほかのストレージシステムを指定してください。
KAIC15462-E	選択したストレージシステム (<ストレージシステム名>) のパリティグループおよびプールに対して、操作に必要な権限 (<権限>) がありません。ほかのストレージシステムを指定してください。	要因 - 対処 ほかのストレージシステムを指定してください。
KAIC15463-E	<オブジェクト名> の情報を取得できませんでした。<オブジェクト名> が削除されたおそれがあります。いったん操作を終了して、<オブジェクト名> を確認してください。	要因 <オブジェクト名> が削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了して、<オブジェクト名> を確認してください。
KAIC15464-E	指定したユーザーグループ名はすでに作成されています。(ユーザーグループ名=<ユーザーグループ名>) 異なる	要因 - 対処 異なるユーザーグループ名を指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ユーザーグループ名を指定してください。	
KAIC15465-E	ユーザーグループへのユーザー割り当てに失敗しました。(ユーザーグループ名=<ユーザーグループ名>)ユーザーグループ,またはユーザーが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと,ユーザーグループとユーザーを確認してください。	要因 ユーザーグループ,またはユーザーが削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了したあと,ユーザーグループとユーザーを確認してください。
KAIC15466-E	ユーザーグループへのリソースグループとロールの割り当てに失敗しました。(ユーザーグループ名=<ユーザーグループ名>)ユーザーグループ,またはリソースグループが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと,ユーザーグループとリソースグループを確認してください。	要因 ユーザーグループ,またはリソースグループが削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了したあと,ユーザーグループとリソースグループを確認してください。
KAIC15467-E	ユーザーグループへのユーザー割り当て,または削除に失敗しました。(ユーザーグループ名=<ユーザーグループ名>)ユーザーグループ,またはユーザーが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと,ユーザーグループとユーザーを確認してください。(保守情報=<サーバメッセージ>)	要因 ユーザーグループ,またはユーザーが削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了したあと,ユーザーグループとユーザーを確認してください。(保守情報=<サーバメッセージ>)
KAIC15469-E	ユーザーグループへのリソースグループとロールの割り当て,または削除に失敗しました。(ユーザーグループ名=<ユーザーグループ名>)ユーザーグループ,またはリソースグループが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと,ユーザーグループとリソースグループを確認してください。	要因 ユーザーグループ,またはリソースグループが削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了したあと,ユーザーグループとリソースグループを確認してください。
KAIC15470-E	ユーザーグループへのリソースグループとロールの割り当て,または削除に失敗しました。(ユーザーグループ名=<ユーザーグループ名>)いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと,ユーザーグループ編集ダイアログでユーザーグループにリソースグループを設定し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は,顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。(保守情報=<サーバメッセージ>)	要因 - 対処 いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと,ユーザーグループ編集ダイアログでユーザーグループにリソースグループを設定し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は,顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。(保守情報=<サーバメッセージ>)
KAIC15471-E	ユーザーグループの編集に失敗しました。(ユーザーグループ名=<ユーザーグループ名>)いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと,ユーザーグループを編集し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は,顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。(保守情報=<サーバメッセージ>)	要因 - 対処 いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと,ユーザーグループを編集し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は,顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。(保守情報=<サーバメッセージ>)
KAIC15472-E	ユーザーグループの割り当てができませんでした。(ユーザーID=<ユーザーID>)	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>ID >)ユーザーグループ、またはユーザーが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと、ユーザーグループとユーザーを確認してください。</p>	<p>ユーザーグループ、またはユーザーが削除されたおそれがあります。</p> <p>対処 いったん操作を終了したあと、ユーザーグループとユーザーを確認してください。</p>
KAIC15473-E	<p>ユーザーグループの情報を取得できませんでした。サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>	<p>要因 -</p> <p>対処 サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAIC15474-E	<p>指定したパスをポート(<ポート名>)に設定できません。ホストグループ番号(<ホストグループ番号>)に対する権限がありません。ホストグループ番号(<ホストグループ番号>)をリソースグループに登録してください。</p>	<p>要因 ホストグループ番号(<ホストグループ番号>)に対する権限がありません。</p> <p>対処 ホストグループ番号(<ホストグループ番号>)をリソースグループに登録してください。</p>
KAIC15475-E	<p>リソースグループの作成に失敗しました。いったん操作を終了して、サーバの状態を確認してください。(完了=<成功>, 失敗=<失敗>, 未実行=<未実行>, 保守情報=<サーバメッセージ>)</p>	<p>要因 -</p> <p>対処 いったん操作を終了して、サーバの状態を確認してください。(完了=<成功>, 失敗=<失敗>, 未実行=<未実行>, 保守情報=<サーバメッセージ>)</p>
KAIC15476-E	<p>リソースグループを編集できませんでした。いったん操作を終了して、サーバの状態を確認してください。(完了=<成功>, 失敗=<失敗>, 未実行=<未実行>, 保守情報=<サーバメッセージ>)</p>	<p>要因 -</p> <p>対処 いったん操作を終了して、サーバの状態を確認してください。(完了=<成功>, 失敗=<失敗>, 未実行=<未実行>, 保守情報=<サーバメッセージ>)</p>
KAIC15477-E	<p>プールを作成できません。ドライブタイプ、ドライブ回転数、またはチップタイプが異なるパリティグループを同じプールに混在させることはできません。チップタイプが識別できる装置の場合は、パリティグループ一覧にチップタイプ列が表示されます。識別できない場合は、チップタイプ列が表示されません。ドライブタイプ、ドライブ回転数、およびチップタイプが同じパリティグループを選択してください。</p>	<p>要因 ドライブタイプ、ドライブ回転数、またはチップタイプが異なるパリティグループを同じプールに混在させることはできません。チップタイプが識別できる装置の場合は、パリティグループ一覧にチップタイプ列が表示されます。識別できない場合は、チップタイプ列が表示されません。</p> <p>対処 ドライブタイプ、ドライブ回転数、およびチップタイプが同じパリティグループを選択してください。</p>
KAIC15478-E	<p>プールを拡張できません。ドライブタイプ、ドライブ回転数、またはチップタイプが異なるパリティグループを同じプールに混在させることはできません。チップタイプが識別できる装置の場合は、パリティグループ一覧にチップタイプ列が表示されます。識別できない場合は、チップタイプ列が表示されません。ドライブタイプ、ドライブ回転数、およびチップタイプが同じパリティグループを選択してください。</p>	<p>要因 ドライブタイプ、ドライブ回転数、またはチップタイプが異なるパリティグループを同じプールに混在させることはできません。チップタイプが識別できる装置の場合は、パリティグループ一覧にチップタイプ列が表示されます。識別できない場合は、チップタイプ列が表示されません。</p> <p>対処 ドライブタイプ、ドライブ回転数、およびチップタイプが同じパリティグループを選択してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15479-I	Device Manager がサポートしていないドライブが含まれています。Device Manager がサポートしていないドライブは、プールの作成に使用できません。Device Manager がサポートしているドライブタイプについては、顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。	要因 Device Manager がサポートしていないドライブは、プールの作成に使用できません。 対処 Device Manager がサポートしているドライブタイプについては、顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。
KAIC15480-I	Device Manager がサポートしていないドライブが含まれています。Device Manager がサポートしていないドライブは、プールの拡張に使用できません。Device Manager がサポートしているドライブタイプについては、顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。	要因 Device Manager がサポートしていないドライブは、プールの拡張に使用できません。 対処 Device Manager がサポートしているドライブタイプについては、顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。
KAIC15481-E	階層ポリシーを編集するには、次のリソースに Admin または Modify 権限が必要です。リソースに対する権限を確認してください。:<デバイス番号およびプールID のリスト>	要因 - 対処 リソースに対する権限を確認してください。
KAIC15482-E	ストレージシステムが階層ポリシー機能をサポートしていません。ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを最新にしてください。	要因 - 対処 ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを最新にしてください。
KAIC15483-E	HDT プールにハードウェア階層が一つしかないため、階層ポリシーの編集は不要です。	要因 - 対処 -
KAIC15484-E	DP ボリュームに複数のストレージシステムのボリュームが混在しているため、階層ポリシーを編集できません。選択したボリュームを確認してください。	要因 - 対処 選択したボリュームを確認してください。
KAIC15485-E	DP ボリュームはハードウェア階層数が異なる HDT プールから作成されているため、階層ポリシーを編集できません。選択したボリュームを確認してください。	要因 - 対処 選択したボリュームを確認してください。
KAIC15486-E	HDT プールから作成された DP ボリュームではないため、階層ポリシーを編集できません。選択したボリュームを確認してください。	要因 - 対処 選択したボリュームを確認してください。
KAIC15487-E	論理グループに階層ポリシー機能をサポートしているストレージシステムのボリュームが含まれていません。選択した論理グループを確認してください。	要因 - 対処 選択した論理グループを確認してください。
KAIC15488-E	ボリューム(< DevNums >)の階層ポリシーの編集に失敗しました。選択したボリュームはほかのタスクで使用中か、削除されたおそれがあります。ダイアログを閉じて、[リソース]タブからボリュームの状態を確認してください。	要因 選択したボリュームはほかのタスクで使用中か、削除されたおそれがあります。 対処 ダイアログを閉じて、[リソース]タブからボリュームの状態を確認してください。
KAIC15490-E	ボリューム(< DevNums >)の階層ポリシーの編集に失敗しました。ハード	要因 ハードウェア階層の構成が変更されています。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ウェア階層の構成が変更されています。 階層ポリシーを編集し直してください。	階層ポリシーを編集し直してください。
KAIC15491-W	HDT プールのハードウェア階層数を変更すると、DP ボリュームの階層ポリシーの設定が自動的に変更されます。タスクが完了したあと、DP ボリュームの階層ポリシーの設定を確認してください。	要因 - 対処 タスクが完了したあと、DP ボリュームの階層ポリシーの設定を確認してください。
KAIC15492-E	履歴レポートダイアログを起動できません。選択したリソースはラUNCH先で管理されていません。	要因 - 対処 選択したリソースはラUNCH先で管理されていません。
KAIC15493-I	指定した LUN バス数が、ホスト<ホスト名>またはストレージシステムの推奨可能なポート数を超過しています。 [LUN バス] テーブルには、ホストまたはストレージシステムの推奨可能なポート数と同じ数のバスを表示しています。必要に応じて手動でバスを編集してください。	要因 - 対処 必要に応じて手動でバスを編集してください。
KAIC15494-E	論理グループ(<論理グループ名>)はフォルダです。ボリュームまたはホストの論理グループを選んでください。	要因 - 対処 ボリュームまたはホストの論理グループを選んでください。
KAIC15495-E	モニタリングスケジュール用のテンプレート名(<テンプレート名>)は既に利用されています。名前を変更し、再実行してください。	要因 - 対処 名前を変更し、再実行してください。
KAIC15496-E	モニタリングスケジュールテンプレートの適用に失敗しました(<テンプレート名>)。Device Manager サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動したあとに再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 Device Manager サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動したあとに再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15497-E	複数のストレージシステムに属するプールに対して、この操作を実行できません。同じストレージシステムのプールを選択してください。	要因 - 対処 同じストレージシステムのプールを選択してください。
KAIC15499-E	ストレージシステム(<ストレージシステム名>)のマイクロコードのバージョンが 70-02-00-00/00 未満のため、この操作を実行できません。マイクロコードのバージョンを 70-02-00-00/00 以上にアップデートしてください。	要因 - 対処 マイクロコードのバージョンを 70-02-00-00/00 以上にアップデートしてください。
KAIC15500-E	プール(<プール ID >)は HDT プールではないため、この操作を実行できません。HDT プールを選択してください。	要因 - 対処 HDT プールを選択してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15501-E	階層管理の設定が手動ではない HDT プール(<プール ID >)に対して、この操作を実行できません。HDT プールの階層管理の設定を手動にしてください。	要因 - 対処 HDT プールの階層管理の設定を手動にしてください。
KAIC15502-E	ハードウェア階層が一つのプール(<プール ID >)に対して、この操作を実行できません。ハードウェア階層が二つ以上あるプールを選択してください。	要因 - 対処 ハードウェア階層が二つ以上あるプールを選択してください。
KAIC15503-E	プール(<プール ID >)に対して、この操作を実行できませんでした。タスクの詳細情報を確認してください。	要因 - 対処 タスクの詳細情報を確認してください。
KAIC15504-E	選択した複数の DP ボリュームに、複数の HDT プールのボリュームが混在しているため、階層ポリシーを編集できません。選択したボリュームを確認したあと、再度階層ポリシー編集を行ってください。	要因 - 対処 選択したボリュームを確認したあと、再度階層ポリシー編集を行ってください。
KAIC15505-E	論理グループに HDT プールの DP ボリュームが含まれていないため、階層ポリシーを編集できません。選択した論理グループを確認してください。	要因 - 対処 選択した論理グループを確認してください。
KAIC15506-E	指定した容量の値が範囲外です。容量は<最大容量>以内で指定してください。	要因 - 対処 容量は<最大容量>以内で指定してください。
KAIC15507-E	次の理由でタスクの実行に失敗しました。(＜メッセージ＞)階層ポリシーの編集タスクを再度実行してください。	要因 - 対処 階層ポリシーの編集タスクを再度実行してください。
KAIC15508-E	LUN セキュリティが無効なポート(<ポート >)に対するパス編集はできません。ボリュームを選択しなおしてください。	要因 - 対処 ボリュームを選択しなおしてください。
KAIC15509-E	指定したモニタリングスケジュールのテンプレートはすでに削除されています。	要因 - 対処 -
KAIC15510-E	指定したテンプレート名はすでに使用されています。重複しないテンプレート名に変更してください。	要因 - 対処 重複しないテンプレート名に変更してください。
KAIC15511-E	ボリュームを作成できません。指定した容量でボリュームを作成すると、プールの予約率が最大予約率を超えます。作成するボリュームの容量を減らすか、最大予約率を変更してください。	要因 指定した容量でボリュームを作成すると、プールの予約率が最大予約率を超えます。 対処 作成するボリュームの容量を減らすか、最大予約率を変更してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15512-E	モニタリングまたは再配置を停止できませんでした。モニタリングスケジュールのテンプレート(<テンプレート名>)を再度削除してください。(保守情報=<保守情報>)	要因 - 対処 モニタリングスケジュールのテンプレート(<テンプレート名>)を再度削除してください。
KAIC15513-E	モニタリングまたは再配置を停止できませんでした。DP プール一覧で階層管理カラムを確認し、<テンプレート名>のプールのモニタリングまたは再配置を停止してください。(保守情報=<保守情報>)	要因 - 対処 DP プール一覧で階層管理カラムを確認し、<テンプレート名>のプールのモニタリングまたは再配置を停止してください。(保守情報=<保守情報>)
KAIC15514-E	指定した条件に合うボリュームが多過ぎます。(件数: <件数>, 上限値: <上限値>)指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように、条件を指定し直してください。	要因 - 対処 指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように、条件を指定し直してください。
KAIC15515-I	指定した期間の性能情報はありません。(ホスト名=<ホスト名>)	要因 - 対処 -
KAIC15516-E	指定したストレージシステムを、<プロダクト名>が監視していません。指定したストレージシステムを、<プロダクト名>が監視しているか確認したあと、再実行してください。	要因 - 対処 指定したストレージシステムを、<プロダクト名>が監視しているか確認したあと、再実行してください。
KAIC15517-I	指定した期間の性能情報がありません。	要因 - 対処 -
KAIC15518-E	ファイルサーバが見つかりません。ファイルサーバが削除されたおそれがあります。ファイルサーバ一覧を再表示して、対象のファイルサーバがあるか確認してください。	要因 ファイルサーバが削除されたおそれがあります。 対処 ファイルサーバ一覧を再表示して、対象のファイルサーバがあるか確認してください。
KAIC15519-E	ファイルシステムが見つかりません。ファイルシステムが削除されたおそれがあります。ファイルシステム一覧を再表示して、対象のファイルシステムがあるか確認してください。	要因 ファイルシステムが削除されたおそれがあります。 対処 ファイルシステム一覧を再表示して、対象のファイルシステムがあるか確認してください。
KAIC15520-E	共有が見つかりません。共有が削除されたおそれがあります。共有一覧を再表示して、対象の共有があるか確認してください。	要因 共有が削除されたおそれがあります。 対処 共有一覧を再表示して、対象の共有があるか確認してください。
KAIC15521-E	LUSE を構成できるボリュームの数は最大<ボリューム最大個数>個です。ボリュームの数を<ボリューム最大個数>個以下に減らしてください。	要因 - 対処 ボリュームの数を<ボリューム最大個数>個以下に減らしてください。
KAIC15522-E	LUSE のサイズは<ボリューム最大個数>以下にする必要があります。	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	LUSEのサイズが<ボリューム最大個数>以下になるようにボリュームの数を減らしてください。	対処 LUSEのサイズが<ボリューム最大個数>以下になるようにボリュームの数を減らしてください。
KAIC15523-E	ファイルサーバ管理画面を起動できません。ファイルサーバ管理ソフトウェアのURLの設定が誤っているおそれがあります。Hitachi Command Suiteの管理サーバと同じIPアドレス（ホスト名）が、URLに設定されていることを確認してください。	要因 ファイルサーバ管理ソフトウェアのURLの設定が誤っているおそれがあります。 対処 Hitachi Command Suiteの管理サーバと同じIPアドレス（ホスト名）が、URLに設定されていることを確認してください。
KAIC15524-E	Device Managerからの起動をサポートしていないバージョンのファイルサーバ管理ソフトウェアです。ファイルサーバ管理ソフトウェアのバージョンを確認してください。	要因 - 対処 ファイルサーバ管理ソフトウェアのバージョンを確認してください。
KAIC15525-E	ファイルサーバ管理画面を起動する権限がありません。ファイルサーバ管理ソフトウェアのModify権限を持つユーザーで起動してください。	要因 - 対処 ファイルサーバ管理ソフトウェアのModify権限を持つユーザーで起動してください。
KAIC15526-E	指定したパリティグループ番号(パリティグループ番号=<パリティグループ番号>)はすでに使用されています。ほかのパリティグループ番号を指定してください。	要因 - 対処 ほかのパリティグループ番号を指定してください。
KAIC15527-E	パリティグループを作成できません。パリティグループを作成できるストレージシステムがありません。	要因 パリティグループを作成できるストレージシステムがありません。 対処 -
KAIC15528-E	パリティグループを作成できません。パリティグループの数が上限値(上限値=<パリティグループの最大数>)に達しています。	要因 パリティグループの数が上限値(上限値=<パリティグループの最大数>)に達しています。 対処 -
KAIC15529-E	パリティグループを作成できません。パリティグループ作成に必要な数のドライブがありません。ドライブタイプ、回転数、フォームファクタ、および容量の同じドライブが2つ以上になるように、ドライブを追加してください。	要因 パリティグループ作成に必要な数のドライブがありません。 対処 ドライブタイプ、回転数、フォームファクタ、および容量の同じドライブが2つ以上になるように、ドライブを追加してください。
KAIC15530-E	指定されたパリティグループ番号の数が足りません。<パリティグループ数>個のパリティグループ番号を指定してください。	要因 - 対処 <パリティグループ数>個のパリティグループ番号を指定してください。
KAIC15531-E	パリティグループを作成できるドライブの組み合わせがありません。ドライブを追加してください。	要因 - 対処 ドライブを追加してください。
KAIC15532-E	パリティグループの作成に失敗しました(パリティグループ=<パリティグ	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ループ番号>)。各パリティグループのタスクの詳細を確認してください。	対処 各パリティグループのタスクの詳細を確認してください。
KAIC15533-E	パリティグループを削除できません。選択したパリティグループ(<パリティグループ>)がありません。ストレージシステムの情報を更新してください。	要因 選択したパリティグループ(<パリティグループ>)がありません。 対処 ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC15534-E	ストレージシステム(<ストレージシステム名>)のパリティグループは削除できません。	要因 - 対処 -
KAIC15535-E	パリティグループを削除できません。異なるストレージシステムに属するパリティグループは一度に削除できません。(指定したストレージシステム=<ストレージシステム名>)同じストレージシステムに属するパリティグループを指定してください。	要因 異なるストレージシステムに属するパリティグループは一度に削除できません。(指定したストレージシステム=<ストレージシステム名>) 対処 同じストレージシステムに属するパリティグループを指定してください。
KAIC15536-E	パリティグループを削除できません。割り当て済みボリュームを含むパリティグループは削除できません。(パリティグループ=<パリティグループ>)。ボリュームの割り当てを解除してください。	要因 割り当て済みボリュームを含むパリティグループは削除できません。(パリティグループ=<パリティグループ>)。 対処 ボリュームの割り当てを解除してください。
KAIC15537-E	パリティグループを削除できません。DP ブールを構成するパリティグループは削除できません。(パリティグループ=<パリティグループ>)ブールを削除または縮小してください。	要因 DP ブールを構成するパリティグループは削除できません。(パリティグループ=<パリティグループ>) 対処 ブールを削除または縮小してください。
KAIC15538-E	パリティグループを削除できません。パリティグループ(<パリティグループ>)を削除する権限がありません。All Resources またはストレージシステムが属するリソースグループに、Modify 権限があるユーザーが操作してください。	要因 パリティグループ(<パリティグループ>)を削除する権限がありません。 対処 All Resources またはストレージシステムが属するリソースグループに、Modify 権限があるユーザーが操作してください。
KAIC15539-E	パリティグループ(<パリティグループ>)はほかのタスクで使用されています。ほかのタスクが終了してから再度操作してください。	要因 - 対処 ほかのタスクが終了してから再度操作してください。
KAIC15540-W	選択したパリティグループ(<パリティグループ>)にボリュームがあります。パリティグループを削除すると、ボリューム内のデータはすべて削除され、復元できなくなります。	要因 - 対処 -
KAIC15541-E	パリティグループを削除できません。選択したパリティグループ(<パリティグループ>)にコマンドデバイスが含まれています。	要因 選択したパリティグループ(<パリティグループ>)にコマンドデバイスが含まれています。 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15542-E	パリティグループを削除できません。選択したパリティグループ(<パリティグループ>)には DMLU が含まれます。ほかのパリティグループを選択してください。	要因 選択したパリティグループ(<パリティグループ>)には DMLU が含まれます。 対処 ほかのパリティグループを選択してください。
KAIC15543-E	パリティグループを削除できません。選択したパリティグループ(<パリティグループ>)に、ペアが構成された LU が含まれます。(ペア項目=<LU ペア名>)ボリュームを確認してください。	要因 選択したパリティグループ(<パリティグループ>)に、ペアが構成された LU が含まれます。(ペア項目=<LU ペア名>) 対処 ボリュームを確認してください。
KAIC15544-E	パリティグループの削除に失敗しました(パリティグループ=<パリティグループ番号>)。各パリティグループのタスクの詳細を確認してください。	要因 - 対処 各パリティグループのタスクの詳細を確認してください。
KAIC15545-E	ファイルサーバ管理画面を起動できません。選択したファイルサーバが、この操作をサポートしていないおそれがあります。この操作をサポートしているモデルか確認してください。	要因 選択したファイルサーバが、この操作をサポートしていないおそれがあります。 対処 この操作をサポートしているモデルか確認してください。
KAIC15546-E	パスが設定されていないボリュームは拡張できません。ボリュームを割り当てたあと、再度実行してください。	要因 - 対処 ボリュームを割り当てたあと、再度実行してください。
KAIC15547-E	このストレージシステムのマイクロコードは、パスが設定されているボリュームに対して、LUSE の操作をサポートしていません。ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを最新にしてください。	要因 - 対処 ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを最新にしてください。
KAIC15548-E	コマンドデバイスに設定されているボリュームでは LUSE を作成できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15549-E	ペアボリュームでは LUSE を作成できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15550-E	プールボリュームまたは DP ボリュームでは LUSE を作成できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15551-E	ボリューム属性が「GUARD」のボリュームでは LUSE を作成できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15552-E	ボリューム属性が「POOL」のボリュームでは LUSE を作成できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15553-E	アクセス属性が Read/Write 以外のボリュームでは LUSE を作成できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15554-E	マイグレーション用に予約されているボリュームでは LUSE を作成できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15555-E	システムディスクに設定されているボリュームでは LUSE を作成できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15556-E	オンデマンドデバイスボリュームでは LUSE を作成できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15557-E	ジャーナルボリュームでは LUSE を作成できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15558-E	Quorum ディスクに設定されているボリュームでは LUSE を作成できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15559-E	RAID0 のボリュームでは LUSE を作成できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15560-E	フォーマットされていない状態のボリュームでは LUSE を作成できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15561-E	ホストモードが"VMware"のボリュームは、LUSE を作成できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15562-E	ホストモードが"Windows"のボリュームは、LUSE を作成できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15563-E	Windows 2000, Windows Server 2003, Windows Server 2008(ホストモード 2C), VMWare(ホストモード 21), AIX5.2, および AIX5.3 以外に割り当てられているボリュームは拡張できません。パスのホストモードが(<ホストモード>)に設定されています。ほかのボリュームを指定してください。または、Windows 2000, Windows Server 2003, および Windows Server 2008 の場合はパスのホストモードを 2C(Windows Extension)に設定し、VMware の場合はパスのホストモード	要因 パスのホストモードが(<ホストモード>)に設定されています。 対処 ほかのボリュームを指定してください。または、Windows 2000, Windows Server 2003, および Windows Server 2008 の場合はパスのホストモードを 2C(Windows Extension)に設定し、VMware の場合はパスのホストモードを 21(VMware Extension)に設定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	を 21(VMware Extension)に設定してください。	
KAIC15564-E	Windows 2000, Windows Server 2003(ホストモード 2C), および AIX5.2 以外に割り当てられているボリュームは拡張できません。パスのホストモードが(<ホストモード>)に設定されています。ほかのボリュームを指定してください。または、Windows 2000, および Windows Server 2003 の場合はパスのホストモードを 2C(Windows Extension)に設定してください。	要因 パスのホストモードが(<ホストモード>)に設定されています。 対処 ほかのボリュームを指定してください。または、Windows 2000, および Windows Server 2003 の場合はパスのホストモードを 2C(Windows Extension)に設定してください。
KAIC15565-E	Windows 2000(ホストモード 2C), および AIX5.3 以外に割り当てられているボリュームは拡張できません。パスのホストモードが(<ホストモード>)に設定されています。ほかのボリュームを指定してください。または、Windows 2000 の場合はパスのホストモードを 2C(Windows Extension)に設定してください。	要因 パスのホストモードが(<ホストモード>)に設定されています。 対処 ほかのボリュームを指定してください。または、Windows 2000 の場合はパスのホストモードを 2C(Windows Extension)に設定してください。
KAIC15566-E	アクセス属性が Read/Write 以外の LUSE は解除できません。アクセス属性を変更したあと、再度実行してください。	要因 - 対処 アクセス属性を変更したあと、再度実行してください。
KAIC15567-E	パスが設定されている LUSE は解除できません。LUSE の割り当てを解除したあと、再度実行してください。	要因 - 対処 LUSE の割り当てを解除したあと、再度実行してください。
KAIC15568-W	外部ストレージシステムが異なる、または外部ストレージシステムが不明な LUSE を作成しようとしています。複数の外部ストレージシステムが混在する LUSE は推奨しません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15569-E	パリティグループを作成できません。パリティグループ番号の上限値は<上限値>です。<上限値>以下の開始番号を指定してください。	要因 パリティグループ番号の上限値は<上限値>です。 対処 <上限値>以下の開始番号を指定してください。
KAIC15570-E	パリティグループ(<パリティグループ>)に含まれるボリュームは、ほかのタスクで使用されています。ほかのタスクが終了してから再度操作してください。	要因 - 対処 ほかのタスクが終了してから再度操作してください。
KAIC15571-E	LUSE ボリュームではないボリューム (<LDEV ID >)が選択されています。LUSE ボリュームを選択してください。	要因 - 対処 LUSE ボリュームを選択してください。
KAIC15572-E	Element Manager を起動できませんでした。Device Manager CLI の AddURLLink コマンドを使用して、	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	Element Manager の URL を設定してください。	Device Manager CLI の AddURLLink コマンドを使用して、Element Manager の URL を設定してください。
KAIC15573-E	パリティグループを削除できません。選択したパリティグループ(<パリティグループ>)に、<LU プール名>のプールボリュームが含まれます。ボリュームを確認してください。	要因 選択したパリティグループ(<パリティグループ>)に、<LU プール名>のプールボリュームが含まれます。 対処 ボリュームを確認してください。
KAIC15574-E	パリティグループを削除できません。選択したパリティグループ(<パリティグループ>)に、ほかのパリティグループのボリュームと LUSE を構成するボリュームが含まれています。ボリュームを確認してください。	要因 選択したパリティグループ(<パリティグループ>)に、ほかのパリティグループのボリュームと LUSE を構成するボリュームが含まれています。 対処 ボリュームを確認してください。
KAIC15575-E	パリティグループを作成できません。ストレージシステムに含まれるドライブの情報が最新ではありません。ストレージシステムの情報を更新してください。	要因 ストレージシステムに含まれるドライブの情報が最新ではありません。 対処 ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC15576-E	選択したボリュームは、iSCSI ターゲットに割り当てられたボリュームの一部のため、割り当てを解除できません。操作対象のホスト (<ホスト>) が iSCSI ターゲット (<iSCSI ターゲット>) に関連づいています。ボリュームの割り当てを解除するホストだけでなく、同じ iSCSI ターゲットに関連づいたホストをすべて選択してください。または、iSCSI ターゲット (<iSCSI ターゲット>) を経由して割り当てられたすべてのボリュームの割り当てを解除してください。ボリューム (<LDEV ID >) に対して割り当てを解除する権限がない場合は、システム管理者に問い合わせてください。	要因 操作対象のホスト (<ホスト>) が iSCSI ターゲット (<iSCSI ターゲット>) に関連づいています。 対処 ボリュームの割り当てを解除するホストだけでなく、同じ iSCSI ターゲットに関連づいたホストをすべて選択してください。または、iSCSI ターゲット (<iSCSI ターゲット>) を経由して割り当てられたすべてのボリュームの割り当てを解除してください。ボリューム (<LDEV ID >) に対して割り当てを解除する権限がない場合は、システム管理者に問い合わせてください。
KAIC15577-E	選択したボリュームは、ホストグループまたは iSCSI ターゲットに割り当てられたボリュームの一部のため、割り当てを解除できません。操作対象のホスト (<ホスト>) がホストグループ (<ホストグループ>) または iSCSI ターゲット (<iSCSI ターゲット>) に関連づいています。ボリュームの割り当てを解除するホストだけでなく、同じホストグループに関連づいたホストをすべて選択してください。または、ホストグループ (<ホストグループ>) または iSCSI ターゲット (<iSCSI ターゲット>) を経由して割り当てられたすべてのボリュームの割り当てを解除してください。ボリューム (<LDEV ID >) に対して割り当てを解除する権限がない場合は、システム管理者に問い合わせてください。	要因 操作対象のホスト (<ホスト>) がホストグループ (<ホストグループ>) または iSCSI ターゲット (<iSCSI ターゲット>) に関連づいています。 対処 ボリュームの割り当てを解除するホストだけでなく、同じホストグループに関連づいたホストをすべて選択してください。または、ホストグループ (<ホストグループ>) または iSCSI ターゲット (<iSCSI ターゲット>) を経由して割り当てられたすべてのボリュームの割り当てを解除してください。ボリューム (<LDEV ID >) に対して割り当てを解除する権限がない場合は、システム管理者に問い合わせてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15586-I	ホスト(<ホスト名>)が関連づけられた iSCSI ターゲット(<iSCSI ターゲット>)には、ホスト名が不明なホストポート(<ホストポート>)が含まれています。この操作を実行すると、ホスト名が不明なホストポートからもボリュームの割り当てが解除されます。	要因 - 対処 -
KAIC15587-I	ホスト(<ホスト名>)が関連づけられたホストグループ(<ホストグループ>)にホスト名が不明なホストポート(<ホストグループのホストポート>)含まれているか、ホスト(<ホスト名>)が関連づけられた iSCSI ターゲット(<iSCSI ターゲット>)にホスト名が不明なホストポート(<iSCSI ターゲットのホストポート>)が含まれています。この操作を実行すると、ホスト名が不明なホストポートからもボリュームの割り当てが解除されます。	要因 - 対処 -
KAIC15588-E	プールボリュームをフォーマットできませんでした。(LDEV ID:<LDEV ID>) ボリュームが削除されたおそれがあります。対象のストレージシステムの情報を更新して、リソースを確認してください。	要因 ボリュームが削除されたおそれがあります。 対処 対象のストレージシステムの情報を更新して、リソースを確認してください。
KAIC15589-E	プールボリュームをフォーマットできませんでした。(LDEV ID:<LDEV ID>) フォーマットできなかった、またはボリュームの状態が変更されたおそれがあります。対象のストレージシステムの情報を更新して、リソースを確認してください。	要因 フォーマットできなかった、またはボリュームの状態が変更されたおそれがあります。 対処 対象のストレージシステムの情報を更新して、リソースを確認してください。
KAIC15590-E	メインフレームボリュームでは LUSE を作成できません。ほかのボリュームを指定してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15591-E	参考ボリューム(<LDEV ID>)は LUN セキュリティが有効なストレージポートと、LUN セキュリティが無効なストレージポートに同時に割り当てられているため、類似ボリューム割り当てを実行できません。同じ LUN セキュリティのストレージポートに割り当てられているボリュームを選択してください。	要因 - 対処 同じ LUN セキュリティのストレージポートに割り当てられているボリュームを選択してください。
KAIC15592-E	参考ボリューム(<LDEV ID>)はホストに割り当てられていないため類似ボリューム割り当てを実行できません。ホストに割り当てられているボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ホストに割り当てられているボリュームを選択してください。
KAIC15594-W	iSCSI ターゲットに、ホストが特定できない iSCSI ネーム (<iSCSI ネーム>) が割り当てられています。ボリューム	要因 - 対処 -

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	の割り当てを変更すると、この iSCSI ネームにも影響します。	
KAIC15595-I	操作対象外のボリュームの割り当てに 使用されています。操作対象外のボ リュームは、追加するホストポートから もアクセスできるようになります。	要因 - 対処 -
KAIC15596-E	Device Manager 管理下でないホスト に割り当てられているボリューム(< <i>LDEV ID</i> >)からは類似ボリューム割 り当てを実行できません。対象のホス トを Device Manager に登録してから、 再実行してください。	要因 - 対処 対象のホストを Device Manager に登録してか ら、再実行してください。
KAIC15597-W	ボリュームの割り当て先に、クラスタを 構成するファイルサーバの一部だけが 選択されています。クラスタを構成す るほかのファイルサーバがないか確認 し、必要であれば割り当て先に追加し てください。	要因 - 対処 クラスタを構成するほかのファイルサーバがな いか確認し、必要であれば割り当て先に追加し てください。
KAIC15598-W	ボリュームの割り当て先に、ファイル サーバとファイルサーバ以外のホスト が同時に選択されています。割り当て 先を確認し、必要であれば変更してく ださい。	要因 - 対処 割り当て先を確認し、必要であれば変更してく ださい。
KAIC15599-W	ボリュームの割り当て先に、異なるクラ スタに属するファイルサーバが同時に 選択されているおそれがあります。割 り当て先を確認し、必要であれば変更し てください。	要因 - 対処 割り当て先を確認し、必要であれば変更してく ださい。
KAIC15600-E	Tuning Manager が対象ストレージシ ステムを監視していないか、ストレージ システムの構成情報が最新でないおそ れがあります。Tuning Manager が対 象ストレージシステムを監視してい るか確認したあと、ストレージシステム のリフレッシュを実行してください。	要因 - 対処 Tuning Manager が対象ストレージシステムを 監視しているか確認したあと、ストレージシステ ムのリフレッシュを実行してください。
KAIC15601-W	Tuning Manager からの情報取得が実 施されていません。Tuning Manager がストレージシステムを監視してい るか確認したあと、ストレージシステム のリフレッシュを実行してください。	要因 - 対処 Tuning Manager がストレージシステムを監視 しているか確認したあと、ストレージシステム のリフレッシュを実行してください。
KAIC15602-E	Tuning Manager から情報を取得でき ません。Tuning Manager がストレ ージシステムを監視しているか確認し たあと、ストレージシステムのリフレ ッシュを実行してください。	要因 - 対処 Tuning Manager がストレージシステムを監視 しているか確認したあと、ストレージシステム のリフレッシュを実行してください。
KAIC15603-E	ストレージシステムの情報が最新では ないおそれがあります。Tuning Manager がストレージシステムを監視 しているか確認したあと、ストレージ システムのリフレッシュを実行してく ださい。	要因 - 対処 Tuning Manager がストレージシステムを監視 しているか確認したあと、ストレージシステム のリフレッシュを実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15604-W	選択されたリソースが属するストレージシステムに対して、Tuning Managerからの情報取得が実施されていません。Tuning Managerが対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムのリフレッシュを実行してください。	要因 - 対処 Tuning Managerが対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムのリフレッシュを実行してください。
KAIC15605-E	選択されたリソースが属するストレージシステムに対して、Tuning Managerからの情報取得が失敗しています。Tuning Managerが対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムのリフレッシュを実行してください。	要因 - 対処 Tuning Managerが対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムのリフレッシュを実行してください。
KAIC15606-E	選択されたリソースが属するストレージシステムの情報が最新ではないおそれがあります。Tuning Managerが対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムのリフレッシュを実行してください。	要因 - 対処 Tuning Managerが対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムのリフレッシュを実行してください。
KAIC15607-W	選択されたリソースが属するストレージシステムの情報が最新ではないおそれがあります。Tuning Managerが対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムのリフレッシュを実行してください。	要因 - 対処 Tuning Managerが対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムのリフレッシュを実行してください。
KAIC15608-W	選択されたリソースが属するストレージシステムをTuning Managerが監視していないおそれがあります。Tuning Managerが対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムのリフレッシュを実行してください。	要因 - 対処 Tuning Managerが対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムのリフレッシュを実行してください。
KAIC15609-W	選択されたリソースが属する一部のストレージシステムの情報が最新ではないおそれがあります。Tuning Managerが対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムのリフレッシュを実行してください。	要因 - 対処 Tuning Managerが対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムのリフレッシュを実行してください。
KAIC15610-E	未使用のLUNが足りません。ポート(<LUNを設定するポートの表示名>)のiSCSIターゲット(<LUNを設定するiSCSIターゲット>)では指定範囲のうち、未使用のLUNの数は<未使用のLUNの個数>個です。開始LUN(16進)を見直すか、別のポートを指定してください。	要因 - 対処 開始LUN(16進)を見直すか、別のポートを指定してください。
KAIC15611-E	iSCSI経由でLUNセキュリティ無効のポートに割り当てられているボリュームを起点に類似ボリューム割り当てを行うことはできません。類似ボリューム割り当ては、ホストに割り当てられているボリュームもしくはFC経由でLUNセキュリティ無効のポート	要因 - 対処 類似ボリューム割り当ては、ホストに割り当てられているボリュームもしくはFC経由でLUNセキュリティ無効のポートに割り当てられているボリュームを選択して実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	に割り当てられているボリュームを選択して実行してください。	
KAIC15612-E	指定したボリューム(<LDEV ID >)はホストグループ/iSCSI ターゲット(<ホストグループ/iSCSI ターゲット名 >)が異なるため、同時に操作できません。同じホストグループ/iSCSI ターゲットにあるボリュームを選択してください。	要因 - 対処 同じホストグループ/iSCSI ターゲットにあるボリュームを選択してください。
KAIC15613-E	選択したボリュームに、パスがありません。ボリュームが割り当てられているホストグループ/iSCSI ターゲット(<ホストグループ/iSCSI ターゲット名 >)に属しているホストが一つもありません。ホストに割り当てられたボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ホストに割り当てられたボリュームを選択してください。
KAIC15614-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)に、パスがありません。選択したボリュームは、ホストグループ/iSCSI ターゲットに割り当てられていません。ホストに割り当てられたボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ホストに割り当てられたボリュームを選択してください。
KAIC15615-E	Tuning Manager からの情報取得中に予期しないエラーが発生しました。(ホスト名:<ホスト名>, プロトコル:<プロトコル>, ポート番号:<ポート番号>)原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 - 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC15616-W	Tuning Manager のエージェントに情報が存在しませんでした。(リソース名:<リソース名>, メトリック名:<メトリック名>, エージェント名:<エージェント名>)Tuning Manager のエージェントの状態を確認してください。	要因 - 対処 Tuning Manager のエージェントの状態を確認してください。
KAIC15617-E	エージェントおよびエージェントのデータモデルバージョンをサポートしていません。(リソース名:<リソース名>, メトリック名:<メトリック名>, エージェント名:<エージェント名>)Tuning Manager のマニュアルを参照し、Device Manager が情報の取得対象とするエージェントおよびエージェントのデータモデルバージョンを確認してください。	要因 - 対処 Tuning Manager のマニュアルを参照し、Device Manager が情報の取得対象とするエージェントおよびエージェントのデータモデルバージョンを確認してください。
KAIC15618-E	Tuning Manager からの情報取得に失敗しました。(リソース名:<リソース名>, メトリック名:<メトリック名>, エージェント名:<エージェント名>)Tuning Manager がエージェントと通信できることを確認してください。Tuning Manager サーバが起動していることを確認してください。同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 - 対処 Tuning Manager がエージェントと通信できることを確認してください。Tuning Manager サーバが起動していることを確認してください。同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15619-E	Tuning Manager からの情報取得に失敗しました。(設定ファイル名:<設定ファイル名>)設定ファイルの存在を確認してください。設定ファイルのアクセス権限を確認してください。設定ファイルの内容を確認してください。同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 - 対処 設定ファイルの存在を確認してください。設定ファイルのアクセス権限を確認してください。設定ファイルの内容を確認してください。同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC15620-E	Tuning Manager からの情報取得に失敗しました。他のプロセスが情報を取得中です。しばらくしてから、再度操作を実行してください。同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 - 対処 しばらくしてから、再度操作を実行してください。同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC15621-E	Tuning Manager からの情報取得に失敗しました。Tuning Manager サーバからエージェントに接続できません。(ホスト名:<ホスト名>, エージェント名:<エージェント名>)Tuning Manager サーバがエージェントと通信できることを確認してください。Tuning Manager サーバが起動していることを確認してください。同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 - 対処 Tuning Manager サーバがエージェントと通信できることを確認してください。Tuning Manager サーバが起動していることを確認してください。同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC15622-E	Tuning Manager からの情報取得中に Tuning Manager でメモリ不足が発生しました。(ホスト名:<ホスト名>)設定ファイル (configforclient.xml) の blockTransferMode に true が指定されていることを確認してください。必要に応じて、Tuning Manager のマニュアルを参照してください。同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 - 対処 設定ファイル (configforclient.xml) の blockTransferMode に true が指定されていることを確認してください。必要に応じて、Tuning Manager のマニュアルを参照してください。同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC15623-E	分析可能なボリュームがありません。分析をサポートしていないストレージシステム上のボリュームが選択されました。ダイアログを閉じて別のボリュームを選択してください。	要因 分析をサポートしていないストレージシステム上のボリュームが選択されました。 対処 ダイアログを閉じて別のボリュームを選択してください。
KAIC15624-W	<無視されるボリューム数>個のボリュームが分析をサポートしていないストレージシステムから選択されています。これらは無視します。	要因 - 対処 -
KAIC15625-E	選択されたリソースにボリュームが含まれていません。ボリュームを含むリソースを選択して、再度実行してください。	要因 - 対処 ボリュームを含むリソースを選択して、再度実行してください。
KAIC15626-E	データ取得がキャンセルされました。しばらくしてから、再度操作を実行してください。同じエラーが発生する場合	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	は、障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。	しばらくしてから、再度操作を実行してください。同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC15627-W	Windows 2000, Windows Server 2003, Windows Server 2008(ホストモード 2C), VMWare(ホストモード 21), AIX5.2, および AIX5.3 以外に割り当てられているボリュームに対してこの操作を行なうと、LUSE の構成ボリュームのデータが消失する恐れがあります。パスのホストモードが(<ホストモード>)に設定されています。ほかのボリュームを指定してください。または、Windows 2000, Windows Server 2003, および Windows Server 2008 の場合はパスのホストモードを 2C(Windows Extension)に設定し、VMware の場合はパスのホストモードを 21(VMware Extension)に設定してください。そのほかの OS の場合はバックアップを作成してください。	要因 パスのホストモードが(<ホストモード>)に設定されています。 対処 ほかのボリュームを指定してください。または、Windows 2000, Windows Server 2003, および Windows Server 2008 の場合はパスのホストモードを 2C(Windows Extension)に設定し、VMware の場合はパスのホストモードを 21(VMware Extension)に設定してください。そのほかの OS の場合はバックアップを作成してください。
KAIC15628-W	Windows 2000, Windows Server 2003(ホストモード 2C), および AIX5.2 以外に割り当てられているボリュームに対してこの操作を行なうと、LUSE の構成ボリュームのデータが消失する恐れがあります。パスのホストモードが(<ホストモード>)に設定されています。ほかのボリュームを指定してください。または、Windows 2000, および Windows Server 2003 の場合はパスのホストモードを 2C(Windows Extension)に設定してください。そのほかの OS の場合はバックアップを作成してください。	要因 パスのホストモードが(<ホストモード>)に設定されています。 対処 ほかのボリュームを指定してください。または、Windows 2000, および Windows Server 2003 の場合はパスのホストモードを 2C(Windows Extension)に設定してください。そのほかの OS の場合はバックアップを作成してください。
KAIC15629-W	Windows 2000(ホストモード 21), および AIX5.2 以外に割り当てられているボリュームに対してこの操作を行なうと、LUSE の構成ボリュームのデータが消失する恐れがあります。パスのホストモードが(<ホストモード>)に設定されています。ほかのボリュームを指定してください。または、Windows 2000 の場合はパスのホストモードを 2C(Windows Extension)に設定してください。そのほかの OS の場合はバックアップを作成してください。	要因 パスのホストモードが(<ホストモード>)に設定されています。 対処 ほかのボリュームを指定してください。または、Windows 2000 の場合はパスのホストモードを 2C(Windows Extension)に設定してください。そのほかの OS の場合はバックアップを作成してください。
KAIC15630-E	Tuning Manager からの情報取得に失敗しました。(リソース名:<リソース名>, メトリック名:<メトリック名>, ホスト名:<ホスト名>)原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。	要因 - 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15631-W	LUSE に CLPR が異なるボリュームが混在する場合、この LUSE をペアボリュームとして使用できません。	要因 - 対処 -
KAIC15632-W	ファイルサーバ、外部ポート、およびメインフレームホストに割り当てられているボリュームに対してこの操作を行うと、LUSE の構成ボリュームのデータが消失する恐れがあります。バックアップを作成してください。	要因 - 対処 バックアップを作成してください。
KAIC15633-E	Tuning Manager からの情報取得に失敗しました。(リソース名:<リソース名>, メトリック名:<メトリック名>, 原因:<原因>)エラー発生原因のメッセージを参照してください。	要因 - 対処 エラー発生原因のメッセージを参照してください。
KAIC15634-E	参考ボリューム(<LDEV ID >)は LUN セキュリティが無効のポートに対して、LUN セキュリティが有効なホストグループ経由で割り当てられています。LUN セキュリティが無効なポートに対して割り当てられているボリュームを選択して起動する場合、LUN セキュリティが無効なホストグループ経由で割り当てられていることを確認してください。	要因 - 対処 LUN セキュリティが無効なポートに対して割り当てられているボリュームを選択して起動する場合、LUN セキュリティが無効なホストグループ経由で割り当てられていることを確認してください。
KAIC15635-E	参考ボリューム(<LDEV ID >)はホストに対して、LUN セキュリティが無効なホストグループ経由で割り当てられています。ホストに対して割り当てられているボリュームを選択して起動する場合、LUN セキュリティが有効なホストグループ経由で割り当てられていることを確認してください。	要因 - 対処 ホストに対して割り当てられているボリュームを選択して起動する場合、LUN セキュリティが有効なホストグループ経由で割り当てられていることを確認してください。
KAIC15636-W	この操作を行うと、LUSE の構成ボリュームのデータが消失するおそれがあります。バックアップを作成してください。	要因 - 対処 バックアップを作成してください。
KAIC15637-E	再配置を実行できません。(プール ID=<プール ID >)プールのモニタリング情報がありません。	要因 プールのモニタリング情報がありません。 対処 -
KAIC15638-E	再配置を実行できません。(プール ID=<プール ID >)モニタリング情報の計算が完了しませんでした。原因究明と問題の解決には詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 モニタリング情報の計算が完了しませんでした。 対処 原因究明と問題の解決には詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC15639-E	プールからすべてのプールボリュームを削除することはできません。プールを縮小後にプールボリュームの数が 1 以上になるように指定してください。	要因 - 対処 プールを縮小後にプールボリュームの数が 1 以上になるように指定してください。
KAIC15640-E	再配置を実行できません。原因究明と問題の解決には詳細な調査が必要です。	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	対処 原因究明と問題の解決には詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC15641-E	選択したリソースに含まれるボリュームの数が多すぎます。ボリューム数が<選択可能なボリュームの最大数>を超えるリソースは分析対象にできません。ボリュームの数が<選択可能なボリュームの最大数>個以下となる論理グループを新たに作成して選択するか、<選択可能なボリュームの最大数>個以下のボリュームを直接選択して、再度起動してください。	要因 ボリューム数が<選択可能なボリュームの最大数>を超えるリソースは分析対象にできません。 対処 ボリュームの数が<選択可能なボリュームの最大数>個以下となる論理グループを新たに作成して選択するか、<選択可能なボリュームの最大数>個以下のボリュームを直接選択して、再度起動してください。
KAIC15642-W	選択したリソースに含まれるボリュームが多いため、システムの応答が遅くなるおそれがあります。	要因 - 対処 -
KAIC15643-E	ハードウェア階層が一つのプール(プールID=<プールID>)に対して、再配置を実行できません。	要因 - 対処 -
KAIC15644-W	ホストの同期に成功しました。ホストの構成情報を取得するには、手動でホストを更新してください。	要因 - 対処 -
KAIC15645-E	マイグレーションに失敗しました。ストレージシステムによってマイグレーションが中止されました。ストレージシステムに対するホストからのアクセス負荷が大きくなっていないか、ソースボリュームおよびターゲットボリュームの構成を変更していないかを確認して、再度実行してください。また、マイグレーションに成功したペアに対しても、必要に応じてデータ消去やゼロページの破棄を再度実行してください。	要因 ストレージシステムによってマイグレーションが中止されました。 対処 ストレージシステムに対するホストからのアクセス負荷が大きくなっていないか、ソースボリュームおよびターゲットボリュームの構成を変更していないかを確認して、再度実行してください。また、マイグレーションに成功したペアに対しても、必要に応じてデータ消去やゼロページの破棄を再度実行してください。
KAIC15646-E	マイグレーションの進捗情報をストレージシステムから取得できませんでした。マイグレーションペアが解除されたおそれがあります。タスクが終了したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。そのあと、ボリューム情報を確認して、再度実行してください。また、マイグレーションに成功したペアに対しても、必要に応じてデータ消去やゼロページの破棄を再度実行してください。	要因 マイグレーションペアが解除されたおそれがあります。 対処 タスクが終了したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。そのあと、ボリューム情報を確認して、再度実行してください。また、マイグレーションに成功したペアに対しても、必要に応じてデータ消去やゼロページの破棄を再度実行してください。
KAIC15647-E	マイグレーションに失敗しました。予期しないステータスを検知しました。(保守情報:サブタスクID:<サブタスクID>,ステータス:<ステータス>)タスクが終了したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。そのあと、ボリューム情報を確認して、再度	要因 予期しないステータスを検知しました。(保守情報:サブタスクID:<サブタスクID>,ステータス:<ステータス>) 対処 タスクが終了したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。そのあと、ボリューム情

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	実行してください。また、マイグレーションに成功したペアに対しても、必要に応じてデータ消去やゼロページの破棄を再度実行してください。	報を確認して、再度実行してください。また、マイグレーションに成功したペアに対しても、必要に応じてデータ消去やゼロページの破棄を再度実行してください。
KAIC15648-E	ファイルサーバ管理ソフトウェアとの通信に失敗しました。(保守情報: <メッセージ>)保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決し、ファイルサーバ管理ソフトウェアでファイルサーバを更新してください。そのあと、ファイルサーバビューのボリューム一覧から割り当てが完了したボリュームを選択し、ファイルシステムを再度作成してください。	要因 - 対処 保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決し、ファイルサーバ管理ソフトウェアでファイルサーバを更新してください。そのあと、ファイルサーバビューのボリューム一覧から割り当てが完了したボリュームを選択し、ファイルシステムを再度作成してください。
KAIC15649-E	ファイルシステムの作成に失敗しました。(保守情報: <メッセージ>)保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決し、ファイルサーバ管理ソフトウェアでファイルサーバを更新してください。そのあと、ファイルサーバビューのボリューム一覧から割り当てが完了したボリュームを選択し、ファイルシステムを再度作成してください。	要因 - 対処 保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決し、ファイルサーバ管理ソフトウェアでファイルサーバを更新してください。そのあと、ファイルサーバビューのボリューム一覧から割り当てが完了したボリュームを選択し、ファイルシステムを再度作成してください。
KAIC15650-E	共有の追加に失敗しました。(共有ディレクトリ=<共有名>)各共有ディレクトリのタスクの詳細を確認してください。	要因 - 対処 各共有ディレクトリのタスクの詳細を確認してください。
KAIC15651-E	共有の追加に失敗しました。(保守情報: <メッセージ>)各共有ディレクトリのタスクの詳細情報を基に問題を解決し、ファイルサーバ管理ソフトウェアでファイルサーバを更新してください。そのあと、共有の追加に失敗したファイルシステムを選択し、共有を再度追加してください。必要な場合は、ファイルサーバ管理ソフトウェアで File snapshots を設定してください。	要因 - 対処 各共有ディレクトリのタスクの詳細情報を基に問題を解決し、ファイルサーバ管理ソフトウェアでファイルサーバを更新してください。そのあと、共有の追加に失敗したファイルシステムを選択し、共有を再度追加してください。必要な場合は、ファイルサーバ管理ソフトウェアで File snapshots を設定してください。
KAIC15652-E	スナップショットの設定に失敗しました。(保守情報: <メッセージ>)保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決し、ファイルサーバ管理ソフトウェアでファイルサーバを更新してください。そのあと、ファイルサーバ管理ソフトウェアで対象のファイルシステムを選択し、File snapshots を設定してください。	要因 - 対処 保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決し、ファイルサーバ管理ソフトウェアでファイルサーバを更新してください。そのあと、ファイルサーバ管理ソフトウェアで対象のファイルシステムを選択し、File snapshots を設定してください。
KAIC15653-E	自動コミットの時間を入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC15654-E	NFS 共有ホスト名に使用できない文字を入力しています。使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, '-', '_', '!', '/', '*', '@' なお、NFS 共有ホス	要因 - 対処 NFS 共有ホスト名を入力し直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ト名の指定には、次の制限があります。 (1) 先頭に '-' (ハイフン) は使用できません。(2) '*' (アスタリスク) は複数指定したり、ほかの文字と組み合わせたりして使用できません。(3) '@' (アットマーク) はネットグループ名を指定する場合だけ使用できます。NFS 共有ホスト名を入力し直してください。	
KAIC15655-E	ファイルシステム容量は<容量> 以内の値を入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC15656-E	ファイルシステム容量は<容量> 以上の値を入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC15657-E	0以上の値を入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC15658-E	指定したファイルシステム名は、同一クラスタ内ですでに使用されています。重複しないファイルシステム名を指定してください。	要因 - 対処 重複しないファイルシステム名を指定してください。
KAIC15659-E	自動コミットの時間を入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC15660-E	CIFS 共有名に使用できない文字を入力しています。使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, '!', '#', '\$', '%', '&', '"', '(', ')', '+', ',', '-', '.', ':', ';', '=', '@', '[', ']', '^', '_', '>', '<指定可能文字列1 >', '<指定可能文字列2 >', '~', ' ', 全角文字 なお, CIFS 共有名の指定には、次の制限があります。 (1) '\$'(ドル記号)または'.'(ピリオド)だけを指定することはできません。(2) 文字列の末尾に','(ピリオド)または'\$'は使用できません。(3) 次の予約語は指定できません。: global, homes, printers, admin\$, c\$, global\$, homes\$, ipc\$, printers\$CIFS 共有名を入力し直してください。	要因 - 対処 CIFS 共有名を入力し直してください。
KAIC15661-E	NFS 共有ホスト名に使用できない文字を入力しているか、または IPv6 アドレスの構文が誤っています。NFS 共有ホスト名に使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, '-', '.', ':', '/', '*', '@' なお, NFS 共有ホストの指定には、次の制限があります。(1) 先頭に '-' (ハイフン) は使用できません。(2) '*' (アスタリスク) は複数指定したり、ほかの文字と組み合わせたりして使用で	要因 - 対処 NFS 共有ホストを入力し直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	きません。(3) '@' (アットマーク) はネットグループ名を指定する場合だけ使用できます。(4) ':' (コロン) はIPv6アドレスを指定する場合だけ使用できます。(5) ホストを複数指定する場合はコンマ区切りで指定してください。NFS 共有ホストを入力し直してください。	
KAIC15662-E	入力した値が範囲外です。<入力できる最小値>から<入力できる最大値>までの範囲で、かつ整数値を入力してください。	要因 - 対処 <入力できる最小値>から<入力できる最大値>までの範囲で、かつ整数値を入力してください。
KAIC15663-E	<最小文字長>文字以上<最大文字長>文字以内で入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC15664-E	ディレクトリに使用できない文字を入力しています。使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, '-', '.', '/', '!'. ディレクトリ名を入力し直してください。	要因 - 対処 ディレクトリ名を入力し直してください。
KAIC15665-E	識別子に使用できない文字を入力しています。使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, '!'. 識別子を入力し直してください。	要因 - 対処 識別子を入力し直してください。
KAIC15666-E	入力した値が範囲外です。<入力できる最小値>分から<入力できる最大値>日までの範囲で、かつ整数値を入力してください。	要因 - 対処 <入力できる最小値>分から<入力できる最大値>日までの範囲で、かつ整数値を入力してください。
KAIC15667-E	ファイルシステム名に使用できない文字を入力しています。使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, '!'. ファイルシステム名を入力し直してください。	要因 - 対処 ファイルシステム名を入力し直してください。
KAIC15668-E	クラスタ内のもう一方のファイルサーバが見つかりません。もう一方のファイルサーバが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。	要因 もう一方のファイルサーバが削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。
KAIC15669-I	WORM 設定が有効です。	要因 - 対処 -
KAIC15670-E	選択したボリュームには、交替パスが設定されていません。交替パスが設定されているボリュームを選択して、再度実行してください。	要因 - 対処 交替パスが設定されているボリュームを選択して、再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15671-E	選択したボリューム"<LDEV ID >"には、すでにファイルシステムまたは File snapshots が作成されています。ファイルシステムまたは File snapshots が作成されていないボリュームを選択して、再度実行してください。	要因 - 対処 ファイルシステムまたは File snapshots が作成されていないボリュームを選択して、再度実行してください。
KAIC15672-E	選択したボリューム"<LDEV ID >"には、ファイルシステムを作成できません。(要因=<メッセージ>) ファイルシステムの作成に失敗した原因を取り除いたあと、再度実行してください。	要因 - 対処 ファイルシステムの作成に失敗した原因を取り除いたあと、再度実行してください。
KAIC15673-E	選択したボリューム"<LDEV ID >"のパスに、異なるホストグループが割り当てられています。ファイルシステムを作成するボリュームの交替パスに同じホストグループを割り当てたあと、再度実行してください。	要因 - 対処 ファイルシステムを作成するボリュームの交替パスに同じホストグループを割り当てたあと、再度実行してください。
KAIC15674-E	選択したボリューム"<LDEV ID >"に対する View ロールがありません。選択したボリュームに View ロールを割り当てたあと、再度実行してください。	要因 - 対処 選択したボリュームに View ロールを割り当てたあと、再度実行してください。
KAIC15675-E	必須入力です。	要因 - 対処 -
KAIC15676-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)はコマンドデバイスとして使用されているため、ファイルシステム作成に使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15677-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)は状態が正常ではないため、ファイルシステム作成に使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15678-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)は Protect 属性または ReadOnly 属性が設定されているため、ファイルシステム作成に使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15679-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)はボリューム容量が<最小容量>未満のため、ファイルシステム作成に使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15680-E	異なるストレージシステムに属するボリュームを選択しています。複数のボリュームを選択する場合、同じストレージシステムに属しているボリュームを選択してください。	要因 - 対処 複数のボリュームを選択する場合、同じストレージシステムに属しているボリュームを選択してください。
KAIC15681-E	コピーペアを構成しているボリューム(<LDEV ID >)はファイルシステム作	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	成に使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15682-E	データマイグレーションの予約ボリューム(<LDEV ID >)はファイルシステム作成に使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15683-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)はすでにファイルシステムに使用されているため、ファイルシステム作成に使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15684-E	選択したボリュームは、すでにほかの用途で使用されているため、ファイルシステム作成に使用できません。(用途:<用途>)ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15686-E	ファイルシステムに使用するボリュームの合計容量は<最小合計容量>以上、<最大合計容量>以下にしてください。ほかのボリュームを指定してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15687-E	スナップショットに使用するボリュームの合計容量は<最小合計容量>以上、<最大合計容量>以下にしてください。または、スナップショットに使用するボリュームの個数を 128 個以下にしてください。ボリュームを選択し直してください。	要因 - 対処 ボリュームを選択し直してください。
KAIC15688-E	他のクラスタを構成するファイルサーバまたは、ホストで使用されているボリュームが選択されています。対象のクラスタを構成するファイルサーバにのみパスが設定されているボリュームを選択してください。	要因 - 対処 対象のクラスタを構成するファイルサーバにのみパスが設定されているボリュームを選択してください。
KAIC15689-E	クラスタ内のもう一方のファイルサーバにパスが設定されていません。選択したボリュームが、もう一方のファイルサーバにパスが設定されていないおそれがあります。もう一方のファイルサーバにパスを設定してください。	要因 選択したボリュームが、もう一方のファイルサーバにパスが設定されていないおそれがあります。 対処 もう一方のファイルサーバにパスを設定してください。
KAIC15690-E	削除しきい値が、警告しきい値より小さくなっています。削除しきい値は、警告しきい値より大きい値を指定してください。	要因 - 対処 削除しきい値は、警告しきい値より大きい値を指定してください。
KAIC15691-E	共有ディレクトリに同じ名前(<共有名>)が指定されています。異なる共有ディレクトリ名を指定してください。	要因 - 対処 異なる共有ディレクトリ名を指定してください。
KAIC15692-E	CIFS 共有名に同じ名前(<CIFS 共有名>)が指定されています。異なる CIFS 共有名を指定してください。	要因 - 対処 異なる CIFS 共有名を指定してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC15693-E	選択したボリュームには、ファイルシステム作成に必要な容量がありません。容量が<最小容量>以上のボリュームを選択してください。	要因 - 対処 容量が<最小容量>以上のボリュームを選択してください。
KAIC15694-E	選択された LU 番号(<LU 番号>)は使用できません。ファイルサーバのモデルが HDI または HVFP のとき、<最大 LU 番号>を超える LU 番号は使用できません。LU 番号の設定を見直すか、別のポートを指定してください。	要因 ファイルサーバのモデルが HDI または HVFP のとき、<最大 LU 番号>を超える LU 番号は使用できません。 対処 LU 番号の設定を見直すか、別のポートを指定してください。
KAIC15695-E	共有容量は<最小容量>以上、<最大容量>以下にしてください。	要因 - 対処 -
KAIC15696-E	ディレクトリに使用できない文字を入力しています。使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, !, #, \$, %, &, ", (,), +, !, ', !, /, ;, =, @, [,], ^, _ , ` , <指定可能文字列 1 >, '<指定可能文字列 2 >', '~', ' ', 全角文字。ディレクトリ名を入力し直してください。	要因 - 対処 ディレクトリ名を入力し直してください。
KAIC15697-E	選択した論理グループに含まれるボリュームに対して再配置の設定はできません。HDT プールに属するボリュームが存在しないか、またはボリュームに対する更新権限がありません。論理グループの指定を見直してください。	要因 HDT プールに属するボリュームが存在しないか、またはボリュームに対する更新権限がありません。 対処 論理グループの指定を見直してください。
KAIC15698-E	選択したホストに割り当てられているボリュームに対して再配置の設定はできません。HDT プールに属するボリュームが選択したホストに割り当てられていないか、またはボリュームに対する更新権限がありません。ホストの指定を見直してください。	要因 HDT プールに属するボリュームが選択したホストに割り当てられていないか、またはボリュームに対する更新権限がありません。 対処 ホストの指定を見直してください。
KAIC15699-E	選択した HDT プールに対してボリューム再配置の設定はできません。選択した HDT プールに属するボリュームが存在しないか、またはボリュームに対する更新権限がありません。HDT プールの指定を見直してください。	要因 選択した HDT プールに属するボリュームが存在しないか、またはボリュームに対する更新権限がありません。 対処 HDT プールの指定を見直してください。
KAIC15700-E	選択したボリュームに対して再配置の設定はできません。選択したボリュームが HDT プールに属していないか、または DP ボリュームに対する更新権限がありません。DP ボリュームの指定を見直してください。	要因 選択したボリュームが HDT プールに属していないか、または DP ボリュームに対する更新権限がありません。 対処 DP ボリュームの指定を見直してください。
KAIC15701-E	ボリューム再配置設定のタスクの実行に失敗しました。ストレージシステムの情報を更新して、対象ボリュームの設	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	定が変更されているかどうかを確認してください。対象ボリュームの設定が変更されていない場合は、ストレージシステムのメッセージを参照し、問題を解決してからこの操作を再度実行してください。	ストレージシステムの情報を更新して、対象ボリュームの設定が変更されているかどうかを確認してください。対象ボリュームの設定が変更されていない場合は、ストレージシステムのメッセージを参照し、問題を解決してからこの操作を再度実行してください。
KAIC15702-E	選択したボリュームの数が上限を超えています。ボリュームの数が<ボリューム数上限>個以内となるように選択して、再度実行してください。	要因 - 対処 ボリュームの数が<ボリューム数上限>個以内となるように選択して、再度実行してください。
KAIC15703-E	入力されたプロファイル名(<スナップショット名>)は使用できません。同一論理グループを対象としているプロファイルの名前は一意でなければいけません。別のプロファイル名を入力してください。	要因 同一論理グループを対象としているプロファイルの名前は一意でなければいけません。 対処 別のプロファイル名を入力してください。
KAIC15704-E	論理グループ(<論理グループ名>)のプロファイルを作成できません。選択した論理グループには、この操作をサポートしているストレージシステムのHDTプールに属し、Modify以上の権限を持つDPボリュームが含まれていません。論理グループの内容を見直してください。	要因 選択した論理グループには、この操作をサポートしているストレージシステムのHDTプールに属し、Modify以上の権限を持つDPボリュームが含まれていません。 対処 論理グループの内容を見直してください。
KAIC15705-E	ストレージプールが見つかりません。ストレージプールが削除されたおそれがあります。ストレージプール一覧を再表示して、対象のストレージプールがあるか確認してください。	要因 ストレージプールが削除されたおそれがあります。 対処 ストレージプール一覧を再表示して、対象のストレージプールがあるか確認してください。
KAIC15706-E	システムドライブが見つかりません。システムドライブが削除されたか、システムドライブの情報が最新ではないおそれがあります。システムドライブ一覧を再表示して、対象のシステムドライブがあるか確認してください。システムドライブがある場合、SMUで対象のシステムドライブがあるか確認し、Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてください。	要因 システムドライブが削除されたか、システムドライブの情報が最新ではないおそれがあります。 対処 システムドライブ一覧を再表示して、対象のシステムドライブがあるか確認してください。システムドライブがある場合、SMUで対象のシステムドライブがあるか確認し、Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてください。
KAIC15707-W	対象のホストは、ファイルサーバです。クラスタを構成するほかのファイルサーバがないかを確認し、必要であれば、ほかのファイルサーバからも該当するボリュームの、割り当てを解除してください。	要因 - 対処 クラスタを構成するほかのファイルサーバがないかを確認し、必要であれば、ほかのファイルサーバからも該当するボリュームの、割り当てを解除してください。
KAIC15708-W	選択されたボリューム割り当て解除先に、ファイルサーバが含まれています。クラスタを構成するほかのファイルサーバがないかを確認し、必要であれば変更してください。	要因 - 対処 クラスタを構成するほかのファイルサーバがないかを確認し、必要であれば変更してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15709-E	NFS 共有ホスト名は、入力したホスト名の文字列長と1ホストあたり5バイト分の固定文字列長の和の合計が、<最大バイト>バイト以内になるように入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC15710-E	NFS 共有ホスト名は、1ホスト当たり<入力できる最小値>文字以上<入力できる最大値>文字以内で入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC15711-E	重複した値が指定されています。値が重複しないように指定し直してください。	要因 - 対処 値が重複しないように指定し直してください。
KAIC15712-E	選択したプロファイルが見つかりません。プロファイルが削除されたおそれがあります。プロファイルの状態を確認してください。	要因 プロファイルが削除されたおそれがあります。 対処 プロファイルの状態を確認してください。
KAIC15713-E	この操作を実行できません。プロファイルに含まれる DP ボリュームが変更されています。ダイアログを閉じて、再度操作を実行してください。	要因 プロファイルに含まれる DP ボリュームが変更されています。 対処 ダイアログを閉じて、再度操作を実行してください。
KAIC15714-E	プロファイルに対する操作を実行できません。プロファイルに含まれる DP ボリュームが削除されているか、または DP ボリュームに更新権限がありません。プロファイルに含まれる DP ボリュームを見直してください。	要因 プロファイルに含まれる DP ボリュームが削除されているか、または DP ボリュームに更新権限がありません。 対処 プロファイルに含まれる DP ボリュームを見直してください。
KAIC15715-E	選択したプロファイルは更新が失敗しているため使用できません。作成または更新が完了した階層プロファイルを選択してください。	要因 - 対処 作成または更新が完了した階層プロファイルを選択してください。
KAIC15716-E	プロファイルに対する操作を実行できませんでした。ストレージシステムの情報を更新して、対象ボリュームの設定が変更されているかどうかを確認してください。対象ボリュームの設定が変更されていない場合は、ストレージシステムのメッセージを参照し、問題を解決してから再度操作を実行してください。	要因 - 対処 ストレージシステムの情報を更新して、対象ボリュームの設定が変更されているかどうかを確認してください。対象ボリュームの設定が変更されていない場合は、ストレージシステムのメッセージを参照し、問題を解決してから再度操作を実行してください。
KAIC15717-E	ファイルサーバの情報が最新ではないおそれがあります。ファイルサーバ管理ソフトウェアでファイルサーバを更新してから、再度実行してください。	要因 - 対処 ファイルサーバ管理ソフトウェアでファイルサーバを更新してから、再度実行してください。
KAIC15718-W	レポートを生成する際に、一部リソースの性能情報が Tuning Manager から取得できませんでした。(ストレージシステム名 = <ストレージシステム名>) Tuning Manager がストレージシ	要因 - 対処 Tuning Manager がストレージシステムを監視しているか確認した後、ストレージシステムのリ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	テムを監視しているか確認した後、ストレージシステムのリフレッシュを実行し、情報を取得してください。その後で、再度ヘルスチェックを実行してください。	フレッシュを実行し、情報を取得してください。その後で、再度ヘルスチェックを実行してください。
KAIC15719-E	ファイルシステム作成を実行できません。このバージョンのファイルサーバ管理ソフトウェアをサポートしていません。ファイルサーバ管理ソフトウェアのバージョンを確認してください。	要因 このバージョンのファイルサーバ管理ソフトウェアをサポートしていません。 対処 ファイルサーバ管理ソフトウェアのバージョンを確認してください。
KAIC15720-E	ファイルシステム作成を実行できません。ファイルシステム作成を実行するために必要なファイルサーバ管理ソフトウェアの権限がありません。ファイルサーバ管理ソフトウェアの権限を確認してください。割り当て済みボリュームを利用する場合は、ボリュームを指定してからファイルシステム作成を実行してください。	要因 ファイルシステム作成を実行するために必要なファイルサーバ管理ソフトウェアの権限がありません。 対処 ファイルサーバ管理ソフトウェアの権限を確認してください。割り当て済みボリュームを利用する場合は、ボリュームを指定してからファイルシステム作成を実行してください。
KAIC15721-E	ファイルシステム作成を実行できません。ファイルシステム作成を実行するために必要な Device Manager の権限がありません。Device Manager の権限を確認してください。	要因 ファイルシステム作成を実行するために必要な Device Manager の権限がありません。 対処 Device Manager の権限を確認してください。
KAIC15722-E	/mnt/を除いたディレクトリ名は<最小文字長>文字以上<最大文字長>文字以下で入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC15723-E	指定した名称(<名称>)はすでに使用されています。プロファイルの名称は、論理グループごとに一意である必要があります。ほかの名称を指定してください。	要因 プロファイルの名称は、論理グループごとに一意である必要があります。 対処 ほかの名称を指定してください。
KAIC15724-E	プロファイルを削除できません。プロファイルに関連するタスクが登録されているか、または実行中です。タスクの内容を見直すか、またはタスクが完了してから再度操作を実行してください。	要因 プロファイルに関連するタスクが登録されているか、または実行中です。 対処 タスクの内容を見直すか、またはタスクが完了してから再度操作を実行してください。
KAIC15725-E	プロファイルを削除できませんでした。保守情報を基に対処してください。(保守情報=<保守情報>)	要因 - 対処 保守情報を基に対処してください。(保守情報=<保守情報>)
KAIC15726-E	プロファイルを編集できませんでした。保守情報を基に対処してください。(保守情報=<保守情報>)	要因 - 対処 保守情報を基に対処してください。(保守情報=<保守情報>)
KAIC15727-E	プロファイルを作成できません。ストレージシステム(<ストレージシステムの名称>)のマイクロコードのバージョンが<マイクロコードのバージョン>	要因 ストレージシステム(<ストレージシステムの名称>)のマイクロコードのバージョンが<マイクロコードのバージョン>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	未満のボリュームを含んでいます。ストレージシステム(<ストレージシステムの名称>)のボリュームをプロファイルの対象から除外し、再度作成してください。	ロコードのバージョン>未満のボリュームを含んでいます。 対処 ストレージシステム(<ストレージシステムの名称>)のボリュームをプロファイルの対象から除外し、再度作成してください。
KAIC15728-E	[階層プロファイル適用解除]タスクの登録に失敗しました。適用解除が必要な場合は、再度適用解除を実行してください。	要因 - 対処 適用解除が必要な場合は、再度適用解除を実行してください。
KAIC15729-E	レポートを生成する際に、性能情報が Tuning Manager から取得できませんでした。(ストレージシステム名=<ストレージシステム名>)Tuning Manager がストレージシステムを監視しているか確認した後、ストレージシステムのリフレッシュを実行し、情報を取得してください。その後で、再度ヘルスチェックを実行してください。	要因 - 対処 Tuning Manager がストレージシステムを監視しているか確認した後、ストレージシステムのリフレッシュを実行し、情報を取得してください。その後で、再度ヘルスチェックを実行してください。
KAIC15730-W	過去のヘルスチェックレポートの保存件数が上限値に達しました。このため、ヘルスチェック実行時に、レポート生成日時が最も古いレポートが削除されます。(上限値=<上限値>, 既存レポート数=<既存レポート数>)これ以上レポートを保存することができません。不要なレポートを削除してください。	要因 - 対処 これ以上レポートを保存することができません。不要なレポートを削除してください。
KAIC15731-W	過去のヘルスチェックレポートの保存件数が多くなっています。レポートの保存件数が多くなると、一部機能の動作が遅くなる場合があります。不要なレポートを削除してください。	要因 - 対処 不要なレポートを削除してください。
KAIC15732-E	プロファイルに対する操作を実行できません。プロファイルに関連するタスクが実行中です。タスクが完了してから再度操作を実行してください。	要因 プロファイルに関連するタスクが実行中です。 対処 タスクが完了してから再度操作を実行してください。
KAIC15733-E	対象のプールはメディアが混在する階層が含まれるため、操作を実行できません。	要因 - 対処 -
KAIC15734-E	対象のストレージシステムは外部 LDEV 階層ランク編集をサポートしていないため、操作を実行できません。ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを最新にしてください。	要因 - 対処 ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを最新にしてください。
KAIC15735-E	選択したボリューム(< devNum >)は外部ボリュームではないため、操作を実行できません。	要因 - 対処 -
KAIC15736-E	選択した外部 LDEV 階層ランクに変更すると、階層内にメディアが混在するた	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	め、操作を実行できません。外部 LDEV 階層ランクを選択し直してください。	外部 LDEV 階層ランクを選択し直してください。
KAIC15737-I	ヘルスチェックをキャンセルしました。(ストレージシステム名=<ストレージシステム名>)	要因 - 対処 -
KAIC15738-E	プロファイルを作成できませんでした。ストレージシステムのメッセージを参照し、問題を解決してから再度操作を実行してください。	要因 - 対処 ストレージシステムのメッセージを参照し、問題を解決してから再度操作を実行してください。
KAIC15739-E	プロファイルに対する操作を実行できません。プロファイルに含まれるすべての DP ボリュームが削除されているか、または論理グループから削除されています。プロファイルに含まれる DP ボリュームを見直してください。	要因 プロファイルに含まれるすべての DP ボリュームが削除されているか、または論理グループから削除されています。 対処 プロファイルに含まれる DP ボリュームを見直してください。
KAIC15740-E	Performance Advisor に性能情報が存在しませんでした。Performance Advisor の状態を確認してください。	要因 - 対処 Performance Advisor の状態を確認してください。
KAIC15741-E	Performance Advisor から性能情報を取得できませんでした。再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 - 対処 再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC15742-E	Performance Advisor から性能情報を取得できませんでした。Performance Advisor と通信できることを確認してください。Performance Advisor サーバが起動していることを確認してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 - 対処 Performance Advisor と通信できることを確認してください。Performance Advisor サーバが起動していることを確認してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC15743-E	Performance Advisor から性能情報を取得できませんでした。(原因:<原因>)エラー発生原因のメッセージを参照してください。	要因 - 対処 エラー発生原因のメッセージを参照してください。
KAIC15744-E	プロファイルを削除できません。削除対象に適用済みのプロファイルが含まれています。プロファイルの状態を確認し、プロファイルを解除してください。	要因 削除対象に適用済みのプロファイルが含まれています。 対処 プロファイルの状態を確認し、プロファイルを解除してください。
KAIC15745-E	論理グループを削除できません。削除対象の論理グループに適用済みの階層プロファイルが含まれています。プロファイルの状態を確認して適用済みの	要因 削除対象の論理グループに適用済みの階層プロファイルが含まれています。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	プロファイルを解除し、再度操作を実行してください。	プロファイルの状態を確認して適用済みのプロファイルを解除し、再度操作を実行してください。
KAIC15746-E	論理グループを削除できません。論理グループに含まれる階層プロファイルが削除されたおそれがあります。階層プロファイルの状態を確認してください。	要因 論理グループに含まれる階層プロファイルが削除されたおそれがあります。 対処 階層プロファイルの状態を確認してください。
KAIC15747-E	論理グループを削除できません。階層プロファイルに含まれる HDT ボリュームが削除されているか、または HDT ボリュームに更新権限がありません。階層プロファイルに含まれる HDT ボリュームを見直してください。	要因 階層プロファイルに含まれる HDT ボリュームが削除されているか、または HDT ボリュームに更新権限がありません。 対処 階層プロファイルに含まれる HDT ボリュームを見直してください。
KAIC15748-E	論理グループを削除できません。論理グループに含まれる階層プロファイルに関連するタスクが登録されているか、または実行中です。タスクの内容を見直すか、またはタスクが完了してから再度操作を実行してください。	要因 論理グループに含まれる階層プロファイルに関連するタスクが登録されているか、または実行中です。 対処 タスクの内容を見直すか、またはタスクが完了してから再度操作を実行してください。
KAIC15749-W	Device Manager とストレージシステムの間で適用状態が一致していない階層プロファイルがあります。[階層プロファイル管理]ダイアログを確認してください。	要因 - 対処 [階層プロファイル管理]ダイアログを確認してください。
KAIC15750-E	ヘルスチェックをキャンセルしました。(ストレージシステム名 = <ストレージシステム名>, 原因 = <原因>)エラー発生原因のメッセージを参照してください。	要因 - 対処 エラー発生原因のメッセージを参照してください。
KAIC15751-E	プールタイプを変更すると、階層内にメディアが混在するため操作を実行できません。プールタイプの変更を戻してください。	要因 - 対処 プールタイプの変更を戻してください。
KAIC15752-E	選択した論理グループ(<論理グループ名>)の情報を表示できません。論理グループに含まれるボリュームが削除されているか、またはボリュームに参照権限がありません。論理グループの内容を見直してください。	要因 論理グループに含まれるボリュームが削除されているか、またはボリュームに参照権限がありません。 対処 論理グループの内容を見直してください。
KAIC15753-E	プロファイルに対する操作を実行できません。プロファイルに含まれるすべての DP ボリュームが削除されています。プロファイルに含まれる DP ボリュームを見直してください。	要因 プロファイルに含まれるすべての DP ボリュームが削除されています。 対処 プロファイルに含まれる DP ボリュームを見直してください。
KAIC15754-W	分析タブで使用する情報が更新できませんでした。詳細: "<詳細>"分析タブを使用する場合は、詳細メッセージを確認し、そのメッセージの対処に従ってください。	要因 - 対処 分析タブを使用する場合は、詳細メッセージを確認し、そのメッセージの対処に従ってください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15755-E	ストレージシステム<ストレージシステム名>の性能情報を取得できませんでした。(保守情報: <保守情報>)保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決したあと、再実行してください。または、[ボリュームを選択]ダイアログでストレージシステム<ストレージシステム名>のボリュームを除いたあと、再実行してください。	要因 - 対処 保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決したあと、再実行してください。または、[ボリュームを選択]ダイアログでストレージシステム<ストレージシステム名>のボリュームを除いたあと、再実行してください。
KAIC15756-E	プロファイルの使用容量が上限を超えています。使用していないプロファイルを削除し、再度実行してください。	要因 - 対処 使用していないプロファイルを削除し、再度実行してください。
KAIC15757-I	変更された項目がないため、タスクは登録されませんでした。	要因 - 対処 -
KAIC15759-W	ファイルサーバの情報が最新ではないおそれがあります。ファイルサーバ管理ソフトウェアで、ファイルサーバを更新してください。	要因 - 対処 ファイルサーバ管理ソフトウェアで、ファイルサーバを更新してください。
KAIC15760-W	Admin Services の情報が登録されていません。ファイルサーバ編集画面で、Admin Services の情報を登録してください。	要因 - 対処 ファイルサーバ編集画面で、Admin Services の情報を登録してください。
KAIC15761-E	ファイルサーバの情報が最新ではないおそれがあります。ファイルサーバ管理ソフトウェアで、ファイルサーバを更新してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 - 対処 ファイルサーバ管理ソフトウェアで、ファイルサーバを更新してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC15762-W	Admin Services との通信で認証エラーが発生しました。ファイルサーバ編集画面で、Admin Services の正しいユーザー ID およびパスワードを登録してください。	要因 - 対処 ファイルサーバ編集画面で、Admin Services の正しいユーザー ID およびパスワードを登録してください。
KAIC15763-E	Admin Services との接続に失敗しました。環境を見直してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 - 対処 環境を見直してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC15764-E	ユーザー ID またはパスワードが長過ぎます。ユーザ ID またはパスワードを見直してください。	要因 - 対処 ユーザ ID またはパスワードを見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15765-E	ファイルシステムを作成できるファイルサーバまたはクラスタがありません。いったん操作を終了したあと、ファイルサーバの環境を見直してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了したあと、ファイルサーバの環境を見直してください。
KAIC15766-E	ファイルサーバに関連するバージョン情報を取得できませんでした。SMUでDevice Managerサーバとファイルサーバの情報を同期させてから、再操作してください。	要因 - 対処 SMUでDevice Managerサーバとファイルサーバの情報を同期させてから、再操作してください。
KAIC15767-E	ファイルサーバのAdmin Servicesとの通信で認証エラーが発生しました。ファイルサーバ編集画面でAdmin Servicesの設定を見直してから、再操作してください。	要因 - 対処 ファイルサーバ編集画面でAdmin Servicesの設定を見直してから、再操作してください。
KAIC15768-E	ファイルサーバのAdmin Servicesとの通信で接続エラーが発生しました。ファイルサーバ編集画面でAdmin Servicesの設定を見直してから、再操作してください。	要因 - 対処 ファイルサーバ編集画面でAdmin Servicesの設定を見直してから、再操作してください。
KAIC15769-E	選択したクラスタ内のファイルサーバのファームウェアのバージョンが混在しているため、この操作は実行できません。クラスタ内のファイルサーバのファームウェアのバージョンを同じにしてから再操作してください。	要因 - 対処 クラスタ内のファイルサーバのファームウェアのバージョンを同じにしてから再操作してください。
KAIC15770-E	選択したファイルサーバまたはクラスタ内のファイルサーバのファームウェアのバージョンが、SMUのバージョンよりも新しいバージョンです。SMUのバージョンと同じか、またはSMUのバージョンの方が新しいバージョンでないと、この操作は実行できません。SMUのバージョンと同じにするか、またはSMUのバージョンの方が新しくなるように環境を見直してください。	要因 - 対処 SMUのバージョンと同じにするか、またはSMUのバージョンの方が新しくなるように環境を見直してください。
KAIC15771-E	選択した<ファイルサーバ名またはクラスタ名>には、ファイルシステムを作成できるEVSがありません。EVSを作成し、SMUでDevice Managerサーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作するか、または別のファイルサーバもしくはクラスタを選択してください。	要因 - 対処 EVSを作成し、SMUでDevice Managerサーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作するか、または別のファイルサーバもしくはクラスタを選択してください。
KAIC15772-E	選択したEVSは使用できません。EVSを利用できる状態にし、SMUでDevice Managerサーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作するか、または別のEVSを選択してください。	要因 - 対処 EVSを利用できる状態にし、SMUでDevice Managerサーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作するか、または別のEVSを選択してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15773-E	ファイルサーバの情報を取得できませんでした。SMUでDevice Managerサーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。	要因 - 対処 SMUでDevice Managerサーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。
KAIC15774-E	選択した<ファイルサーバ名またはクラスタ名>には、ファイルシステムを作成できるストレージプールがありません。利用できるストレージプールを作成し、SMUでDevice Managerサーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。または別のファイルサーバもしくはクラスタを選択してください。	要因 - 対処 利用できるストレージプールを作成し、SMUでDevice Managerサーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。または別のファイルサーバもしくはクラスタを選択してください。
KAIC15775-E	EVSが見つかりません。EVSが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと、リソースを確認してください。	要因 - 対処 EVSが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと、リソースを確認してください。
KAIC15776-E	入力したファイルシステム名(<ファイルシステム名>)は、すでに<ファイルサーバ名またはクラスタ名>で使用されているため、使用できません。別のファイルシステム名を入力してください。	要因 - 対処 別のファイルシステム名を入力してください。
KAIC15777-E	入力したファイルシステム名(<ファイルシステム名>)は、すでに<ファイルサーバ名またはクラスタ名>に対して予約されているため、使用できません。別のファイルシステム名を入力してください。	要因 - 対処 別のファイルシステム名を入力してください。
KAIC15778-E	入力したCIFS共有名(<CIFS共有名>)は、すでに<EVS名>で使用されているため、使用できません。別のCIFS共有名を入力してください。	要因 - 対処 別のCIFS共有名を入力してください。
KAIC15779-E	入力したCIFS共有名(<CIFS共有名>)は、すでに<EVS名>に対して予約されているため、使用できません。別のCIFS共有名を入力してください。	要因 - 対処 別のCIFS共有名を入力してください。
KAIC15780-E	入力したNFS共有名(<NFS共有名>)は、すでに<EVS名>で使用されているため、使用できません。別のNFS共有名を入力してください。	要因 - 対処 別のNFS共有名を入力してください。
KAIC15781-E	入力したNFS共有名(<NFS共有名>)は、すでに<EVS名>に対して予約されているため、使用できません。別のNFS共有名を入力してください。	要因 - 対処 別のNFS共有名を入力してください。
KAIC15782-E	このファイルサーバに関連するタスクが実行中です。このファイルサーバに関連するすべてのタスクが完了したあと、再度実行してください。	要因 - 対処 このファイルサーバに関連するすべてのタスクが完了したあと、再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15783-W	ボリュームの割り当て先に、クラスタを構成するファイルサーバの一部だけが選択されています。クラスタを構成するほかのファイルサーバがないか確認し、必要であればクラスタを構成する全てのファイルサーバを選択し、ボリューム割り当てを実行してください。	要因 - 対処 クラスタを構成するほかのファイルサーバがないか確認し、必要であればクラスタを構成する全てのファイルサーバを選択し、ボリューム割り当てを実行してください。
KAIC15784-E	タスクを登録できませんでした。しばらくしてから、再度操作を実行してください。(保守情報：<保守情報>)	要因 - 対処 しばらくしてから、再度操作を実行してください。(保守情報：<保守情報>)
KAIC15785-E	ラベルの更新に必要な権限がありません。ストレージシステムのデフォルトリソースグループに Modify 権限があるユーザー、または All Resources に Modify 権限があるユーザーで操作してください。	要因 - 対処 ストレージシステムのデフォルトリソースグループに Modify 権限があるユーザー、または All Resources に Modify 権限があるユーザーで操作してください。
KAIC15786-E	この操作は、対象のストレージシステムモデル(<ストレージシステムの Model 名を","で連結した文字列>)に対して実行できません。Device Manager では、これらのストレージシステムモデルのラベルの更新をサポートしていません。設定画面を閉じ、ラベルを更新できるストレージシステムだけを選択したあと、再実行してください。	要因 Device Manager では、これらのストレージシステムモデルのラベルの更新をサポートしていません。 対処 設定画面を閉じ、ラベルを更新できるストレージシステムだけを選択したあと、再実行してください。
KAIC15787-E	選択したストレージシステムに対してラベルを更新できません。ストレージシステムにボリュームとプールがありません。ストレージシステムを選択し直してください。	要因 ストレージシステムにボリュームとプールがありません。 対処 ストレージシステムを選択し直してください。
KAIC15788-E	ラベル更新タスクの実行に失敗しました。対象ボリュームのラベルまたはプール名が変更されているかどうかを確認してください。変更されていない場合は、ストレージシステムのメッセージを参照し、問題を解決してからこの操作を再度実行してください。	要因 - 対処 対象ボリュームのラベルまたはプール名が変更されているかどうかを確認してください。変更されていない場合は、ストレージシステムのメッセージを参照し、問題を解決してからこの操作を再度実行してください。
KAIC15789-E	選択したボリュームはすでに予約されているか、Modify 権限がありません。ボリュームを選択し直してください。	要因 - 対処 ボリュームを選択し直してください。
KAIC15790-E	ラベル編集タスクの実行に失敗しました。対象ボリュームのラベルが変更されているかどうかを確認してください。ラベルが変更されていない場合は、ストレージシステムのメッセージを参照し、問題を解決してからこの操作を再度実行してください。	要因 - 対処 対象ボリュームのラベルが変更されているかどうかを確認してください。ラベルが変更されていない場合は、ストレージシステムのメッセージを参照し、問題を解決してからこの操作を再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15791-E	選択したサーバクラスタに割り当てられているボリュームに対して、再配置の設定はできません。選択したサーバクラスタには HDT プールに属するボリュームが割り当てられていないか、またはボリュームに対する更新権限がありません。サーバクラスタの指定を見直してください。	要因 選択したサーバクラスタには HDT プールに属するボリュームが割り当てられていないか、またはボリュームに対する更新権限がありません。 対処 サーバクラスタの指定を見直してください。
KAIC15792-E	選択したストレージプールは使用できません。ストレージプールを利用できる状態にし、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。または別のストレージプールを選択してください。	要因 - 対処 ストレージプールを利用できる状態にし、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。または別のストレージプールを選択してください。
KAIC15793-E	選択したストレージプールに空き容量がありません。十分な空き容量があるストレージプールを選択してください。	要因 - 対処 十分な空き容量があるストレージプールを選択してください。
KAIC15794-E	HVFP のクラスタを選択した状態では、ファイルサーバ管理画面を起動できません。クラスタを構成するファイルサーバを選択したあと、ファイルサーバ管理画面を起動してください。	要因 - 対処 クラスタを構成するファイルサーバを選択したあと、ファイルサーバ管理画面を起動してください。
KAIC15795-I	選択した HDT ボリュームの一部は、Device Manager がこの操作をサポートしていないため、対象ボリュームから除外されました。	要因 - 対処 -
KAIC15796-I	選択したプールに割り当てられている HDT ボリュームの一部は、Device Manager がこの操作をサポートしていないため、対象ボリュームから除外されました。	要因 - 対処 -
KAIC15797-I	選択したホストに割り当てられている HDT ボリュームの一部は、Device Manager がこの操作をサポートしていないため、対象ボリュームから除外されました。	要因 - 対処 -
KAIC15798-I	選択したサーバクラスタに割り当てられている HDT ボリュームの一部は、Device Manager がこの操作をサポートしていないため、対象ボリュームから除外されました。	要因 - 対処 -
KAIC15799-I	選択した論理グループに割り当てられている HDT ボリュームの一部は、Device Manager がこの操作をサポートしていないため、対象ボリュームから除外されました。	要因 - 対処 -
KAIC15800-E	選択した階層ポリシーはすでに予約されています。選択した階層ポリシーが関連するタスクが完了したあとに、再度実行してください。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		選択した階層ポリシーに関連するタスクが完了したあとに、再度実行してください。
KAIC15801-E	未サポートの階層ポリシーを指定しているため、操作を実行できません。	要因 - 対処 -
KAIC15802-E	次の理由で階層ポリシーの設定に失敗しました。(＜メッセージ＞) ボリュームの割り当ては完了しています。対象のボリュームを選択して、階層ポリシーの編集を実行し、ファイルシステムの作成を再度実行してください。	要因 - 対処 ボリュームの割り当ては完了しています。対象のボリュームを選択して、階層ポリシーの編集を実行し、ファイルシステムの作成を再度実行してください。
KAIC15803-W	ボリュームの割り当て先に、複数のスタンドアロン構成のファイルサーバが選択されています。割り当て先を確認し、必要であれば変更してください。	要因 - 対処 割り当て先を確認し、必要であれば変更してください。
KAIC15804-E	ほかのユーザーがレポートをエクスポートしているため、エクスポートを実行できません。しばらくしてから、エクスポートを再実行してください。	要因 - 対処 しばらくしてから、エクスポートを再実行してください。
KAIC15805-E	エクスポート対象のレポートがありません。レポートが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと、レポートを確認してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了したあと、レポートを確認してください。
KAIC15806-W	エクスポート対象の一部のレポートがありません。レポートが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと、レポートを確認してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了したあと、レポートを確認してください。
KAIC15807-E	エクスポート処理中にエラーが発生しました。ネットワークの状態に問題がないこと、Device Manager Web Service が正しく起動していること、エクスポート先ドライブの空き容量が十分にあること、指定したフォルダがエクスポート先にあることを確認してください。	要因 - 対処 ネットワークの状態に問題がないこと、Device Manager Web Service が正しく起動していること、エクスポート先ドライブの空き容量が十分にあること、指定したフォルダがエクスポート先にあることを確認してください。
KAIC15808-W	分析対象としてスケジュールに登録されているストレージシステムに、Tuning Manager で監視していないおそれがあるストレージシステムが含まれています。(ストレージシステム名:＜ストレージシステム名＞) Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。	要因 - 対処 Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC15809-W	分析対象としてスケジュールに登録されているストレージシステムに、Device Manager で監視していないおそれがあるストレージシステムが含まれていま	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	す。(ストレージシステム名:<ストレージシステム名>) Device Manager および Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。または、スケジュールに登録している分析対象ストレージシステムを見直してください。	Device Manager および Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。または、スケジュールに登録している分析対象ストレージシステムを見直してください。
KAIC15810-W	分析対象としてスケジュールに登録されているストレージシステムに、Tuning Manager からの情報取得が実施されていないストレージシステムが含まれています。(ストレージシステム名:<ストレージシステム名>) Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。または、スケジュールに登録している分析対象ストレージシステムを見直してください。	要因 - 対処 Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。または、スケジュールに登録している分析対象ストレージシステムを見直してください。
KAIC15811-W	分析対象としてスケジュールに登録されているストレージシステムに、Tuning Manager からの情報を取得できていないストレージシステムが含まれています。(ストレージシステム名:<ストレージシステム名>) 対象ストレージシステムについて、ヘルスチェックをスケジュール実行するためには、Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。	要因 - 対処 対象ストレージシステムについて、ヘルスチェックをスケジュール実行するためには、Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC15812-W	分析対象としてスケジュールに登録されているストレージシステムに、情報が最新ではないおそれがあるストレージシステムが含まれています。(ストレージシステム名:<ストレージシステム名>) 対象ストレージシステムについて、ヘルスチェックをスケジュール実行するためには、Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。	要因 - 対処 対象ストレージシステムについて、ヘルスチェックをスケジュール実行するためには、Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC15813-E	スケジュールされていたヘルスチェックの実行中に、予期しないエラーが発生しました。障害対応窓口にご連絡してください。(保守情報=<保守情報>)原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。	要因 - 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC15814-W	スケジュールされていたヘルスチェックは、Device Manager が停止していたため、実行されませんでした。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15815-E	指定したスケジュール名はすでに使用されているため、スケジュールを登録できません。スケジュール名を変更してください。	要因 - 対処 スケジュール名を変更してください。
KAIC15816-E	スケジュールを登録できませんでした。(スケジュール名=<スケジュール名>, 原因=<原因>) エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15817-E	スケジュールを登録できませんでした。(スケジュール名=<スケジュール名>) エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15818-E	スケジュールを更新できませんでした。(スケジュール名=<スケジュール名>, 原因=<原因>) エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15819-E	スケジュールを更新できませんでした。(スケジュール名=<スケジュール名>) エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15820-E	スケジュールの情報に不整合が発生しました。(スケジュール名=<スケジュール名>) スケジュールを編集し、再度登録してください。	要因 - 対処 スケジュールを編集し、再度登録してください。
KAIC15821-E	スケジュールを削除できませんでした。(スケジュール名=<スケジュール名>, 原因=<原因>) エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15822-E	スケジュールを削除できませんでした。(スケジュール名=<スケジュール名>) エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15823-E	エクスポート処理中に予期しない内部エラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 - 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC15824-I	エクスポートがキャンセルされました。	要因 - 対処 -
KAIC15825-W	データ保持期間を適切に設定していない Tuning Manager エージェントがあります。データ保持期間を適切な値に変更してください。(ストレージシステム名:<ストレージシステム名>) デー	要因 - 対処 データ保持期間を適切な値に変更してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	タ保持期間を適切な値に変更してください。	
KAIC15826-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)は、仮想 ID を用いたデータ移行に使用しているリソースグループに所属しているため、プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15827-E	選択したボリューム(<LDEV ID >)は、仮想 ID が設定されているため、プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15828-E	一度に割り当てられないボリュームを複数選択しています。仮想モードがオンのボリュームを選択する場合は、同じ仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されているボリュームを選択してください(仮想モードがオンのボリューム=<LDEV ID >)。	要因 - 対処 仮想モードがオンのボリュームを選択する場合は、同じ仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されているボリュームを選択してください(仮想モードがオンのボリューム=<LDEV ID >)。
KAIC15829-E	ボリューム割り当てができないボリュームとホストグループの組み合わせが含まれています。次のどちらかの方法で対処してください。 (1)ホストグループの仮想モードがオンの場合、ホストグループと同じ仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されているボリュームを選択してください。 (2)ホストグループの仮想モードがオフまたは仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されていない場合、仮想モードがオフであるボリューム、または仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されていないボリュームを選択してください。	要因 - 対処 次のどちらかの方法で対処してください。 1. ホストグループの仮想モードがオンの場合、ホストグループと同じ仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されているボリュームを選択してください。 2. ホストグループの仮想モードがオフまたは仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されていない場合、仮想モードがオフであるボリューム、または仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されていないボリュームを選択してください。
KAIC15830-E	操作に必要なファイルサーバのライセンス(<ライセンス名 >)が、登録されていないか、または期限が満了しました。SMU でライセンスを登録し、Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。	要因 - 対処 SMU でライセンスを登録し、Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。
KAIC15831-E	選択した共有(<共有名 >)の状態が正常でないため、この操作を実行できません。共有の状態を確認し、正常な状態にしてください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。	要因 - 対処 共有の状態を確認し、正常な状態にしてください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。
KAIC15832-E	対象のサーバ/クラスタのファームウェアバージョンでは、この操作をサポートしていません。対象のサーバ/クラスタのすべてのノードのファームウェアのバージョンを最新にして、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。	要因 - 対処 対象のサーバ/クラスタのすべてのノードのファームウェアのバージョンを最新にして、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC15833-W	ファイルシステム(<ファイルシステム名>)の状態(<状態>)が正常でないため、操作に失敗するおそれがあります。問題がある場合は、ほかのファイルシステムを選択して再度操作してください。または、ファイルシステムの状態を確認し、正常な状態に戻し、SMUでDevice Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。	要因 - 対処 問題がある場合は、ほかのファイルシステムを選択して再度操作してください。または、ファイルシステムの状態を確認し、正常な状態に戻し、SMUでDevice Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。
KAIC15834-E	ファイルシステム(<ファイルシステム名>)の状態(<状態>)が正常でないため、この操作を実行できません。ほかのファイルシステムを選択して再度操作してください。または、ファイルシステムの状態を確認し、正常な状態に戻し、SMUでDevice Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。ただし、ファイルシステムの状態によってはこの操作を実行できないことがあります。	要因 - 対処 ほかのファイルシステムを選択して再度操作してください。または、ファイルシステムの状態を確認し、正常な状態に戻し、SMUでDevice Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。ただし、ファイルシステムの状態によってはこの操作を実行できないことがあります。
KAIC15835-E	ファイルシステム(<ファイルシステム名>)の状態(<状態>)が正常でないため、この操作を実行できません。ファイルシステムの状態を確認し、正常な状態にしてください。そのあと、SMUでDevice Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。ただし、ファイルシステムの状態によってはこの操作を実行できないことがあります。	要因 - 対処 ファイルシステムの状態を確認し、正常な状態にしてください。そのあと、SMUでDevice Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。ただし、ファイルシステムの状態によってはこの操作を実行できないことがあります。
KAIC15836-W	ファイルシステム(<ファイルシステム名>)の状態(<状態>)が正常でないため、操作に失敗するおそれがあります。問題がある場合は、ファイルシステムの状態を確認し、正常な状態にしてください。そのあと、SMUでDevice Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。	要因 - 対処 問題がある場合は、ファイルシステムの状態を確認し、正常な状態にしてください。そのあと、SMUでDevice Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。
KAIC15837-E	選択したファイルシステムには、関連するEVSがないため、この操作を実行できません。ほかのファイルシステムを選択してください。または、ファイルシステムにEVSを関連づけてから、再度操作してください。	要因 - 対処 ほかのファイルシステムを選択してください。または、ファイルシステムにEVSを関連づけてから、再度操作してください。
KAIC15838-E	EVS(<EVS名>)の状態(<状態>)が正常でないため、この操作を実行できません。ほかのEVSを選択して再度操作してください。または、EVSの状態を確認し、正常な状態にしたあと、SMUでDevice Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。	要因 - 対処 ほかのEVSを選択して再度操作してください。または、EVSの状態を確認し、正常な状態にしたあと、SMUでDevice Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15839-E	選択した EVS(<EVS名>)に、共有を追加できる状態のファイルシステムがありません。ほかの EVS を選択して再度操作してください。または、選択した EVS に、共有を追加できる状態のファイルシステムを作成してから、再度操作してください。	要因 - 対処 ほかの EVS を選択して再度操作してください。または、選択した EVS に、共有を追加できる状態のファイルシステムを作成してから、再度操作してください。
KAIC15840-E	共有の詳細情報を取得できませんでした。サーバクラスタの状態を確認したあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。	要因 - 対処 サーバクラスタの状態を確認したあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。
KAIC15841-E	パスの情報を取得できませんでした。サーバクラスタの状態を確認したあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。	要因 - 対処 サーバクラスタの状態を確認したあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。
KAIC15842-E	タスクの実行に失敗しました。失敗したタスクの [メッセージ] 欄を確認し、メッセージの対処に従ってください。	要因 - 対処 失敗したタスクの [メッセージ] 欄を確認し、メッセージの対処に従ってください。
KAIC15843-W	ファイルサーバの情報が最新ではありません。ファイルサーバ管理ソフトウェアで Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。	要因 - 対処 ファイルサーバ管理ソフトウェアで Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。
KAIC15844-E	CIFS 共有を追加できませんでした。(保守情報:<保守情報>) 保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決し、再度操作してください。	要因 - 対処 保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決し、再度操作してください。
KAIC15845-E	NFS 共有を追加できませんでした。(保守情報:<保守情報>) 保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決し、再度操作してください。	要因 - 対処 保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決し、再度操作してください。
KAIC15846-E	CIFS 共有を編集できませんでした。(保守情報:<保守情報>) 保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決し、再度操作してください。	要因 - 対処 保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決し、再度操作してください。
KAIC15847-E	NFS 共有を編集できませんでした。(保守情報:<保守情報>) 保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決し、再度操作してください。	要因 - 対処 保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決し、再度操作してください。
KAIC15848-E	CIFS 共有の権限を設定できませんでした。(保守情報:<保守情報>) 保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決してください。そのあと権限の	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	一覧で設定できなかった権限を確認し、[CIFS 共有編集] ダイアログで再度設定してください。	保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決してください。そのあと権限の一覧で設定できなかった権限を確認し、[CIFS 共有編集] ダイアログで再度設定してください。
KAIC15849-E	CIFS 共有のアクセス設定ができませんでした。(保守情報:<保守情報>) 保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決し、[CIFS 共有編集] ダイアログで再度設定してください。	要因 - 対処 保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決し、[CIFS 共有編集] ダイアログで再度設定してください。
KAIC15850-E	ルートノードの情報を取得できませんでした。(ノード名=<ノード名>)環境が正しくありません。Device Manager サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動したあとに再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 環境が正しくありません。 対処 Device Manager サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動したあとに再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15851-E	子ノードの情報を取得できませんでした。(ノード名=<ノード名>)環境が正しくありません。Device Manager サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動したあとに再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 環境が正しくありません。 対処 Device Manager サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動したあとに再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15852-E	データを取得できませんでした。(レポート=<レポート名>)環境が正しくありません。Device Manager サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動したあとに再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 環境が正しくありません。 対処 Device Manager サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動したあとに再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15853-E	データ構造を取得できませんでした。(レポート=<レポート名>)環境が正しくありません。サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合、サーバを起動したあとに再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 環境が正しくありません。 対処 サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合、サーバを起動したあとに再度操作してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15854-E	ユーザー情報を保存しました。(ユーザー名=<レポート名>, レポート=<ユーザ名>)環境が正しくありません。Device Manager サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動したあとに再度操作を実行してください。	要因 環境が正しくありません。 対処 Device Manager サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動したあとに再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は、内部エ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	ラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15855-E	グローバルモニタリングエリアのデータを取得できませんでした。環境が正しくありません。Device Managerサーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動したあとに再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 環境が正しくありません。 対処 Device Managerサーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動したあとに再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15856-E	Tiered Storage Manager のデータベースにアクセスできませんでした。 Tiered Storage Manager サーバを一度起動させてください。	要因 - 対処 Tiered Storage Manager サーバを一度起動させてください。
KAIC15857-W	指定した条件に合うボリュームが多過ぎるため、一覧を表示できません。(件数: <件数>, 上限値: <上限値>, 保守情報: <レポート名>)一覧表示できる上限値<上限値>を超えました。指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように、条件を指定し直してください。	要因 一覧表示できる上限値<上限値>を超えました。 対処 指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように、条件を指定し直してください。
KAIC15858-W	指定した列の組み合わせではソートできません。(列名: <列名>)別の列を指定してください。	要因 - 対処 別の列を指定してください。
KAIC15859-W	フィルタリングおよび列の表示条件を保存できません。指定したソート条件が多過ぎます。ソート条件を見直してください。	要因 指定したソート条件が多過ぎます。 対処 ソート条件を見直してください。
KAIC15860-W	フィルタリングおよび列の表示条件を保存できません。指定したフィルター条件が多過ぎる、またはフィルター条件が長過ぎます。フィルター条件を見直してください。	要因 指定したフィルター条件が多過ぎる、またはフィルター条件が長過ぎます。 対処 フィルター条件を見直してください。
KAIC15861-E	指定した iSCSI ターゲットの情報がほかのユーザーによって変更されたおそれがあります。いったん操作を中断し、再度操作を実行してください。	要因 - 対処 いったん操作を中断し、再度操作を実行してください。
KAIC15862-E	iSCSI ターゲット名に同じ名前(<iSCSI ターゲット名>)が指定されています。異なる iSCSI ターゲット名を指定してください。	要因 - 対処 異なる iSCSI ターゲット名を指定してください。
KAIC15863-E	パリティグループを削除できません。Data Retention Utility でアクセス属性を設定しているボリュームが含まれています。(パリティグループ=<パリティグループ>)ボリューム一覧で、ボリューム属性が「GUARD」のボリューム	要因 Data Retention Utility でアクセス属性を設定しているボリュームが含まれています。(パリティグループ=<パリティグループ>) 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ムを確認し、アクセス属性の設定を解除してください。	ボリューム一覧で、ボリューム属性が「GUARD」のボリュームを確認し、アクセス属性の設定を解除してください。
KAIC15864-I	Device Manager がサポートしていないドライブが含まれています。Device Manager がサポートしていないドライブは画面に表示されず、パリティグループの作成に使用できません。Device Manager がサポートしているドライブについては、顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。	要因 Device Manager がサポートしていないドライブは画面に表示されず、パリティグループの作成に使用できません。 対処 Device Manager がサポートしているドライブについては、顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。
KAIC15865-W	再同期することのできるホストが一台もありません。	要因 - 対処 -
KAIC15866-W	プロファイルスケジュール設定で登録されたタスクはキャンセルできません。(タスク名=<タスク名>)プロファイルスケジュール設定で操作してください。	要因 - 対処 プロファイルスケジュール設定で操作してください。
KAIC15867-E	ストレージシステム(<ストレージシステム名>)に対して、Device Manager がこの操作をサポートしていないため、実行できません。この操作をサポートしているモデルか確認してください。	要因 - 対処 この操作をサポートしているモデルか確認してください。
KAIC15868-E	ストレージシステム上の HDT プールに対して、Device Manager がこの操作をサポートしていないため、実行できません。	要因 - 対処 -
KAIC15869-W	この論理グループにはサポートしていないストレージシステム上の HDT ボリュームを含むため表示できません。ほかの論理グループを選択するか、サポートしているストレージシステム上の HDT ボリュームだけを含まないように論理グループの内容を変更してください。	要因 - 対処 ほかの論理グループを選択するか、サポートしているストレージシステム上の HDT ボリュームだけを含まないように論理グループの内容を変更してください。
KAIC15870-I	この論理グループにはサポートしていないストレージシステム上の HDT ボリュームが含まれています。[モビリティ] タブでは、サポートしていないストレージシステム上の HDT ボリュームは表示されません。選択した論理グループの情報を [リソース] タブで確認してください。	要因 - 対処 選択した論理グループの情報を [リソース] タブで確認してください。
KAIC15871-I	[モビリティ] タブでは、このストレージシステム上の HDT プールは表示されません。Device Manager では、このストレージシステム上の HDT プールの表示をサポートしていません。HDT プールの情報は [リソース] タブで確認してください。	要因 Device Manager では、このストレージシステム上の HDT プールの表示をサポートしていません。 対処 HDT プールの情報は [リソース] タブで確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15900-E	セッションの有効期限が切れました。ログインし直してください。(保守情報=<保守情報>)	要因 - 対処 ログインし直してください。(保守情報=<保守情報>)
KAIC15901-E	セッションが無効です。ログインし直してください。(保守情報=<保守情報>)	要因 - 対処 ログインし直してください。(保守情報=<保守情報>)
KAIC15902-E	サーバと通信できません。再度同じ操作を実行してください。(保守情報=<保守情報>)	要因 - 対処 再度同じ操作を実行してください。(保守情報=<保守情報>)
KAIC15903-E	サーバと通信できません。再度同じ操作を実行してください。(保守情報=<保守情報>)	要因 - 対処 再度同じ操作を実行してください。(保守情報=<保守情報>)
KAIC15904-E	外部 API <機能名> に特定できないエラーが発生しました。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15905-E	不明なメッセージが検出されました。(メッセージID=<メッセージID>, パラメータ=<メッセージのパラメータ>)顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15906-E	製品のインストールファイル"<ファイル名>"が見つかりません。インストールディレクトリが不整合になっているおそれがあります。上書きインストールを実行してください。	要因 インストールディレクトリが不整合になっているおそれがあります。 対処 上書きインストールを実行してください。
KAIC15907-E	製品の内部ファイル"<ファイル名>"へのアクセスで、I/O エラーが発生しました(操作名"<操作名>")。インストールディレクトリが不整合になっているか、または管理サーバプロセスが正しい権限で起動されていないことが考えられます。プロセスの実行権限を確認してください。製品の内部ファイルが存在しない、または壊れていると思われる場合は、製品を上書きインストールしてください。	要因 インストールディレクトリが不整合になっているか、または管理サーバプロセスが正しい権限で起動されていないことが考えられます。 対処 プロセスの実行権限を確認してください。製品の内部ファイルが存在しない、または壊れていると思われる場合は、製品を上書きインストールしてください。
KAIC15908-E	内部エラーが発生しました。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=<要因>)	要因 - 対処 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=<要因>)
KAIC15950-I	アプリケーションの起動を実施しています。(保守情報:<保守情報>)	要因 - 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		-
KAIC15951-I	アプリケーションの起動に成功しました。(保守情報: <保守情報>)	要因 - 対処 -
KAIC15952-E	アプリケーションの起動に失敗しました。(保守情報: <保守情報>)	要因 - 対処 -
KAIC15953-I	アプリケーションの終了を開始しました。	要因 - 対処 -
KAIC15954-I	アプリケーションの終了に成功しました。	要因 - 対処 -
KAIC15955-E	アプリケーションの終了に失敗しました。	要因 - 対処 -
KAIC15956-I	サーバとの接続状態をテストします。 (試行した回数: <試行した回数>, 試行する最大回数: <試行する最大回数>, 接続名: <接続名>)	要因 - 対処 -
KAIC15957-I	サーバとの接続テストに成功しました。 (接続名: <接続名>)	要因 - 対処 -
KAIC15958-E	サーバとの接続テストに失敗しました。 (接続名: <接続名>)各種サービスの稼働状態を確認してください。	要因 - 対処 各種サービスの稼働状態を確認してください。
KAIC16000-I	ログインセッションは切断されます。	要因 - 対処 -
KAIC16001-E	ユーザー ID およびパスワードが入力されていません。ユーザー ID およびパスワードを入力してください。	要因 - 対処 ユーザー ID およびパスワードを入力してください。
KAIC16002-E	サーバと通信できません。ネットワークの状態に問題がないこと、および Device Manager Web Service が正しく起動していることを確認してください。	要因 - 対処 ネットワークの状態に問題がないこと、および Device Manager Web Service が正しく起動していることを確認してください。
KAIC16003-E	警告バナーを取得できません。現在、サーバの起動中か、起動できなかったおそれがあります。しばらくしてから再実行してください。同じエラーが発生	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	する場合は、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。	しばらくしてから再実行してください。同じエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KAIC16008-E	ログインに必要なパラメータが不足しています。(保守情報=<パラメータ名>)同じエラーが発生する場合には、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。	要因 - 対処 同じエラーが発生する場合には、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KAIC16009-E	予期しないエラーが発生しました。アプリケーションを終了します。(保守情報=<保守情報>)しばらくしてから再実行してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。	要因 - 対処 アプリケーションを終了します。しばらくしてから再実行してください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAIC16010-E	タスク名を入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC16011-E	タスク名が長過ぎます。	要因 - 対処 -
KAIC16012-E	時刻の形式が正しくありません。時刻を HH:MM 形式 (H は時間, M は分) で入力してください。	要因 - 対処 時刻を HH:MM 形式 (H は時間, M は分) で入力してください。
KAIC16013-I	ライセンスキーを登録してください。	要因 - 対処 -
KAIC16014-I	ライセンスの登録が完了しました。	要因 - 対処 -
KAIC16015-E	タスクの説明が長過ぎます。タスクの説明を 500 バイト以内で入力してください。	要因 - 対処 タスクの説明を 500 バイト以内で入力してください。
KAIC16016-E	入力したライセンスキーはライセンス期限が満了しています。有効なライセンスキーを登録してください。	要因 - 対処 有効なライセンスキーを登録してください。
KAIC16017-E	選択した WWN はすでに追加されています。(WWN=< WWV >)	要因 - 対処 -
KAIC16018-W	サーバとの通信が中断されました。	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		-
KAIC16019-I	データ収集タスクを登録しました。	要因 - 対処 -
KAIC16020-E	手動で追加したホストは、更新できません。自動的に探索して登録したホストを選択してください。	要因 - 対処 自動的に探索して登録したホストを選択してください。
KAIC16021-W	選択したホストに手動で追加したホストが<更新できないホストの数>個含まれています。これらのホストは更新されません。	要因 - 対処 これらのホストは更新されません。
KAIC16022-I	ホストを追加しました。	要因 - 対処 -
KAIC16023-I	ホストを編集しました。	要因 - 対処 -
KAIC16024-E	完了していないタスクは、削除できません。完了しているタスクを選択してください。	要因 - 対処 完了しているタスクを選択してください。
KAIC16025-W	選択したタスクに、完了していないタスクが<削除できないタスクの数>個含まれています。これらのタスクは削除されません。	要因 - 対処 これらのタスクは削除されません。
KAIC16026-E	正しい WWN が選択または入力されていません。正しい WWN を選択または入力してください。	要因 - 対処 正しい WWN を選択または入力してください。
KAIC16027-E	Host Data Collector が登録されていません。Host Data Collector を登録してください。	要因 - 対処 Host Data Collector を登録してください。
KAIC16028-I	サーバは起動途中です。しばらくお待ちください。(保守情報: <コンポーネント名>)	要因 - 対処 しばらくお待ちください。(保守情報: <コンポーネント名>)
KAIC16029-E	サーバを起動できませんでした。(保守情報: <コンポーネント名> 初期化エラー)Device Manager サーバを再起動してから、ログイン画面を更新してください。同じエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 Device Manager サーバを再起動してから、ログイン画面を更新してください。同じエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC16030-I	リソースグループを作成しました。	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		-
KAIC16031-E	リソースグループを作成できませんでした。(パラメータ=<パラメータ>) いったん操作を終了して、登録するリソースの状態を確認してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了して、登録するリソースの状態を確認してください。
KAIC16032-I	指定したライセンスファイルが不正です。(保守情報: ファイル名: <ファイル名>, ファイルサイズ: <ファイルサイズ>)	要因 - 対処 -
KAIC16033-E	インストールされている製品のバージョン情報を取得できませんでした。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC16034-I	複数のリソースグループが使用されています。設定内容が正しいか確認してください。	要因 - 対処 設定内容が正しいか確認してください。
KAIC16035-W	選択したブールは、内部または外部、ドライブタイプ、回転数、チップタイプ、RAID レベルなどの特性が異なるパーティグループが混在しています。	要因 - 対処 -
KAIC16036-E	使用できる LDEV ID が不足しています。不要なボリュームを<ボリューム数>個削除してください。またはリソースグループに LDEV ID を登録してください。	要因 - 対処 不要なボリュームを<ボリューム数>個削除してください。またはリソースグループに LDEV ID を登録してください。
KAIC16037-E	メールアドレスが長過ぎます。	要因 - 対処 -
KAIC16038-E	メールアドレスの形式が正しくありません。	要因 - 対処 -
KAIC16039-E	選択した iSCSI ネームはすでに追加されています。(iSCSI ネーム=< iSCSI Name >)	要因 - 対処 -
KAIC16040-E	<製品名>レポートを起動できません。Hitachi Command Suite または<製品名>の設定に誤りがあるおそれがあります。Hitachi Command Suite および<製品名>の設定を見直し、再度ログインしてください。エラーが繰り返し発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 Hitachi Command Suite または<製品名>の設定に誤りがあるおそれがあります。 対処 Hitachi Command Suite および<製品名>の設定を見直し、再度ログインしてください。エラーが繰り返し発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC16041-E	この画面を表示するためのコンポーネントを<製品名>から読み込めません。<製品名>で環境不正の可能性がありますが、<製品名>の環境を見直し再度	要因 <製品名>で環境不正の可能性がありますが。 対処 <製品名>の環境を見直し再度ログインし直してください。エラーが繰り返し発生する場合は、

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ログインし直してください。エラーが繰り返し発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC16042-E	この画面を表示するためのコンポーネントを<製品名>から読み込めません。ネットワーク障害または<製品名>が起動していないおそれがあります。<製品名>の環境を見直し再度ログインし直してください。エラーが繰り返し発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 ネットワーク障害または<製品名>が起動していないおそれがあります。 対処 <製品名>の環境を見直し再度ログインし直してください。エラーが繰り返し発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC16043-E	画面の初期化に失敗しました。再度ログインしてください。	要因 - 対処 再度ログインしてください。
KAIC16044-E	画面の初期化に失敗しました。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 - 対処 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC16045-E	正しい iSCSI ネームが選択または入力されていません。正しい iSCSI ネームを選択または入力してください。	要因 - 対処 正しい iSCSI ネームを選択または入力してください。
KAIC16046-E	<開始時刻フィールド名> より前の時刻が<終了時刻フィールド名>として指定されました。<終了時刻フィールド名>の時刻は、<開始時刻フィールド名>より後に指定してください。	要因 - 対処 <終了時刻フィールド名>の時刻は、<開始時刻フィールド名>より後に指定してください。
KAIC16050-W	RAID レベルまたは RAID 構成が同一階層に混在しているプールが選択されています。	要因 - 対処 -
KAIC16051-E	ドライブタイプと回転数が同じで、RAID レベルまたは RAID 構成だけが異なるパリティグループがプール内に混在しているため、この操作を実行できません。Device Manager CLI, Storage Navigator または Remote Web Console で操作してください。	要因 - 対処 Device Manager CLI, Storage Navigator または Remote Web Console で操作してください。
KAIC16052-E	ドロップダウンリストの項目に値が指定されていません。適切な値を選択してください。	要因 - 対処 -
KAIC16053-E	ラジオボタンの項目が選択されていません。適切なラジオボタンを選択してください。	要因 - 対処 -
KAIC16105-E	この作成の方法はサポートしていません。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16106-E	ボリュームを作成できるストレージシステムがありません。ストレージシステムを登録してください。またはリソースグループに LDEV ID を登録してください。	要因 - 対処 ストレージシステムを登録してください。またはリソースグループに LDEV ID を登録してください。
KAIC16107-E	内部エラーが発生しました。同じエラーが発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=<保守情報>)	要因 - 対処 同じエラーが発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=<保守情報>)
KAIC16108-E	ボリュームを作成できるプールがありません。プールを作成してください。	要因 - 対処 プールを作成してください。
KAIC16109-E	ボリュームを作成できるパリティグループがありません。パリティグループを作成してください。	要因 - 対処 パリティグループを作成してください。
KAIC16110-I	前回実行したときの条件を適用できません。	要因 - 対処 -
KAIC16111-E	論理グループ名を入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC16112-E	プールが選択されていません。プールを選択してください。	要因 - 対処 プールを選択してください。
KAIC16113-E	パリティグループが選択されていません。パリティグループを選択してください。	要因 - 対処 パリティグループを選択してください。
KAIC16114-E	前回実行したときの条件を適用できません。	要因 - 対処 -
KAIC16115-E	このストレージシステムに関連するタスクが実行中です。このストレージシステムに関連するタスクがすべて完了したあと、再度実行してください。	要因 - 対処 このストレージシステムに関連するタスクがすべて完了したあと、再度実行してください。
KAIC16116-E	ライセンス情報を取得できません。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC16117-E	開始アドレスより後のアドレスを指定してください。	要因 - 対処 -

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		-
KAIC16118-E	ホストグループ名を<最小文字長>文字以上<最大文字長>文字以内で入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC16119-E	文字<使えない文字>は使えません。	要因 - 対処 -
KAIC16120-E	入力値は 16 進数で指定してください。	要因 - 対処 -
KAIC16121-E	指定できる範囲(<最小 Lun 番号>~<最大 Lun 番号>)を超えます。	要因 - 対処 -
KAIC16122-E	ユーザー名が長すぎます。ユーザー名は 255 文字以内で入力してください。	要因 - 対処 ユーザー名は 255 文字以内で入力してください。
KAIC16123-E	パスワードが長すぎます。パスワードは 255 文字以内で入力してください。	要因 - 対処 パスワードは 255 文字以内で入力してください。
KAIC16124-E	半角英数字で指定してください。	要因 - 対処 -
KAIC16125-E	グループ名を入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC16126-E	不正なグループ名が入力されています。	要因 - 対処 -
KAIC16127-E	フルネームに使用できない文字が含まれています。	要因 - 対処 -
KAIC16128-E	半角英数字で指定してください。	要因 - 対処 -
KAIC16129-E	E メールアドレスは<最大文字数>文字以内で入力してください。入力した E メールアドレスに誤りがないか確認してください。または、文字数に収まる E メールアドレスを入力してください。	要因 - 対処 入力した E メールアドレスに誤りがないか確認してください。または、文字数に収まる E メールアドレスを入力してください。
KAIC16130-E	グループ名に使用できない文字を入力しています。使用できる文字は次のと	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	おりです。:A-Z, a-z, 0-9, '=', '!', '!', '!', '!', '!'グループ名に使用できる文字を入力してください。	対処 グループ名に使用できる文字を入力してください。
KAIC16131-E	ライセンスキーファイルをアップロードできませんでした。(保守情報=<保守情報>)	要因 - 対処 -
KAIC16132-E	外部パリティグループ番号は<最小外部 ArrayGroup 番号>以上<最大外部 ArrayGroup 番号>以下の値を入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC16133-E	名前を入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC16134-E	名前が長過ぎます。名前を 75 バイト以内で入力してください。	要因 - 対処 名前を 75 バイト以内で入力してください。
KAIC16135-E	説明が長過ぎます。説明を 500 バイト以内で入力してください。	要因 - 対処 説明を 500 バイト以内で入力してください。
KAIC16136-E	指定したストレージシステムが見つかりませんでした。階層を作成するストレージシステムを指定してください。ストレージが削除されています。別のストレージを選択してください。	要因 ストレージが削除されています。 対処 別のストレージを選択してください。
KAIC16137-E	条件またはリソースを指定していません。少なくとも一つ以上の条件またはリソースを指定してください。	要因 - 対処 少なくとも一つ以上の条件またはリソースを指定してください。
KAIC16138-E	階層名に使用できない文字を入力しています。使用できる文字は次のとおりです。:A-Z, a-z, 0-9, '=', '!', '!', '!', '!', '@', 全角文字 階層名に使用できる文字を入力してください。	要因 - 対処 階層名に使用できる文字を入力してください。
KAIC16139-E	容量の値が範囲外です。<最小容量(単位付き)>から<最大容量(単位付き)>の間に設定してください。	要因 - 対処 <最小容量(単位付き)>から<最大容量(単位付き)>の間に設定してください。
KAIC16140-E	割り当てられるホストがありません。ホストを追加してください。	要因 - 対処 ホストを追加してください。
KAIC16141-E	選択したホストに割り当てられるストレージシステムがありません。選択したホストと接続できるストレージシステムを追加するか、またはホストを選択し直してください。	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		選択したホストと接続できるストレージシステムを追加するか、またはホストを選択し直してください。
KAIC16142-E	ホスト名に使用できない文字が含まれています。	要因 - 対処 -
KAIC16143-E	過去の日付でスケジューリングされています。	要因 - 対処 -
KAIC16144-E	タスク名に制御文字が含まれています。タスク名を変更してください。	要因 - 対処 タスク名を変更してください。
KAIC16145-E	タスク名が長すぎます。タスク名は 32 バイト以内で入力してください。	要因 - 対処 タスク名は 32 バイト以内で入力してください。
KAIC16146-E	選択したタスクは操作できません。タスクを選択し直してください。	要因 - 対処 タスクを選択し直してください。
KAIC16147-W	操作できない状態のタスクを対象外にしました。(タスク名=<タスク名>)	要因 - 対処 -
KAIC16148-E	グループ名は<最大バイト数>バイト以内で入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC16149-E	説明は<最大バイト数>文字以内で入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC16150-W	異なる特徴を持つパリティグループが混在しています。	要因 - 対処 -
KAIC16151-E	予期しないエラーが発生しました。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。 <スタックトレース>	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。 <スタックトレース>
KAIC16152-W	使用率の現在値が使用率しきい値 1 を超えています。使用率しきい値 1 は現在値より大きい値を設定してください。	要因 - 対処 使用率しきい値 1 は現在値より大きい値を設定してください。
KAIC16153-W	使用率の現在値が使用率しきい値 2 を超えています。使用率しきい値 2 は現在値より大きい値を設定してください。	要因 - 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC16164-W	予約率が最大予約率を超えています。プール容量を拡張してください。	要因 - 対処 プール容量を拡張してください。
KAIC16165-E	条件またはリソースが指定されていません。一つ以上の条件またはリソースを指定してください。	要因 - 対処 一つ以上の条件またはリソースを指定してください。
KAIC16166-E	論理グループ名に使用できない文字を入力しています。使用できる文字は次のとおりです。:A-Z, a-z, 0-9, ' ', '!', ' ', '!', '@', 全角文字 論理グループ名を入力し直してください。	要因 - 対処 論理グループ名を入力し直してください。
KAIC16167-E	検索条件のデバイス番号に不正な文字が含まれています。デバイス番号を見直してください。	要因 - 対処 デバイス番号を見直してください。
KAIC16168-E	検索条件に指定されたデバイス番号の指定数が多すぎます。デバイス番号は100個以内で指定してください。	要因 - 対処 デバイス番号は100個以内で指定してください。
KAIC16169-E	検索条件に指定したデバイス番号の形式が正しくありません。デバイス番号を正しい形式で指定してください。	要因 - 対処 デバイス番号を正しい形式で指定してください。
KAIC16170-E	すべてのホストは削除できません。削除するホストを再度選択してください。	要因 - 対処 削除するホストを再度選択してください。
KAIC16171-E	すべてのボリュームは削除できません。削除するボリュームを再度選択してください。	要因 - 対処 削除するボリュームを再度選択してください。
KAIC16172-E	開始時刻(<モニタリング開始時刻>)は、終了時刻(<モニタリング終了時刻>)より早くなければいけません。開始時刻と終了時刻の設定を見直してください。	要因 - 対処 開始時刻と終了時刻の設定を見直してください。
KAIC16173-E	開始時刻(<モニタリング開始時刻>)と終了時刻(<モニタリング終了時刻>)の間が、1時間未満です。開始時刻と終了時刻の間を1時間以上空けてください。	要因 - 対処 開始時刻と終了時刻の間を1時間以上空けてください。
KAIC16174-E	ボリューム作成のためのプールやパリティグループがありません。プールやパリティグループを作成してください。	要因 - 対処 プールやパリティグループを作成してください。
KAIC16175-E	検索条件に指定したプール ID の数が、101 個を超えています。プール ID は100 個以内で指定してください。	要因 - 対処 プール ID は100 個以内で指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16176-E	検索条件に指定したプールIDの形式が正しくありません。プールIDの形式は「< PoolIDPrefix > 123」などです。複数指定する場合はコンマ区切りで指定してください。	要因 - 対処 プールIDの形式は「< PoolIDPrefix > 123」などです。複数指定する場合はコンマ区切りで指定してください。
KAIC16177-E	0より大きい値を入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC16178-E	タスク集計期間を入力されていません。タスク集計期間を入力してください。	要因 - 対処 タスク集計期間を入力してください。
KAIC16179-E	検索条件に指定したパリティグループの形式が正しくありません。パリティグループやその形式を確認し、再度検索を実行してください。	要因 - 対処 パリティグループやその形式を確認し、再度検索を実行してください。
KAIC16180-E	入力した値が範囲外です。<入力できる最小値>から<入力できる最大値>までの範囲で、かつ整数値を入力してください。	要因 - 対処 <入力できる最小値>から<入力できる最大値>までの範囲で、かつ整数値を入力してください。
KAIC16181-E	複数の値を入力する場合はコンマで区切ってください。	要因 - 対処 -
KAIC16182-E	値の範囲を指定する場合は "-" で区切ってください。値の範囲は一組だけ指定できます。	要因 - 対処 -
KAIC16183-E	この演算子では、値を一つだけ入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC16184-E	LDEV ID の形式は「123」、「00:12」、「00:12:34」などです。複数の形式を混在させることはできません。	要因 - 対処 -
KAIC16185-E	プールIDの形式は「<プールIDのプレフィクス> 123」などです。	要因 - 対処 -
KAIC16186-I	異なるストレージシステムに属するボリュームが選択されています。複数のボリュームを指定する場合、すべてのボリュームが同じストレージシステムに属していることを確認してください。	要因 - 対処 複数のボリュームを指定する場合、すべてのボリュームが同じストレージシステムに属していることを確認してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC16187-E	現在の容量以下の値は入力できません。 <現在の容量>より大きい値を入力してください。	要因 - 対処 <現在の容量>より大きい値を入力してください。
KAIC16188-E	プールの最大予約率を超えるボリュームの拡張はできません。<拡張できる容量>以下の値を設定してください。	要因 - 対処 <拡張できる容量>以下の値を設定してください。
KAIC16189-W	ボリュームを拡張すると、プールの警告予約率を超えます。ボリュームを拡張したあと、プールを拡張してください。	要因 - 対処 ボリュームを拡張したあと、プールを拡張してください。
KAIC16190-E	ホストが見つかりません。ホストが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。	要因 ホストが削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。
KAIC16191-E	ユーザー ID が入力されていません。ユーザー ID を入力してください。	要因 - 対処 ユーザー ID を入力してください。
KAIC16192-E	パスワードが入力されていません。パスワードを入力してください。	要因 - 対処 パスワードを入力してください。
KAIC16193-W	タイムアウトしました。絞込条件を追加して再実行してください。	要因 - 対処 絞込条件を追加して再実行してください。
KAIC16194-E	DP ボリュームの総容量(<DP ボリュームの総容量>)が、ストレージシステムの上限值(<ストレージシステム内の DP ボリュームの合計容量の上限值>)を超えるため、DP ボリュームを拡張できません。	要因 - 対処 -
KAIC16195-W	サーバ初期化が完了していないため、Device Manager および Tiered Storage Manager のライセンス情報しか表示できません。ほかの製品の情報を表示するには、しばらくしてからダイアログを開き直してください。	要因 - 対処 ほかの製品の情報を表示するには、しばらくしてからダイアログを開き直してください。
KAIC16196-W	ログインしようとした製品のライセンスが登録されていません。サーバの初期化が完了していないため、詳細な情報を表示できません。しばらくしてから画面を更新してください。	要因 - 対処 しばらくしてから画面を更新してください。
KAIC16197-E	ファイルサーバ名に使用できない文字が含まれています。ファイルサーバ名には次の文字を使用してください：A-Z, a-z, 0-9, !, #, \$, %, &, ', (,);	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	'+', '-', '!', '=', '@', '[', ']', '^', '_', '{', '}', ' ', ':', ';', '~',	ファイルサーバ名には次の文字を使用してください: A-Z, a-z, 0-9, '!', '#', '\$', '%', '&', ' ', '(', ')', '+', '-', '!', '=', '@', '[', ']', '^', '_', '{', '}', ' ', ':', ';', '~',
KAIC16198-E	ファイルサーバ名が長すぎます。50 文字以下で入力してください。	要因 - 対処 50 文字以下で入力してください。
KAIC16199-E	ホスト名に使用できない文字が含まれています。ホスト名には次の文字を使用してください: A-Z, a-z, 0-9, '!', '#', '\$', '%', '&', ' ', '(', ')', '+', '-', '!', '=', '@', '[', ']', '^', '_', '{', '}', ' ', ':', ';', '~',	要因 - 対処 ホスト名には次の文字を使用してください: A-Z, a-z, 0-9, '!', '#', '\$', '%', '&', ' ', '(', ')', '+', '-', '!', '=', '@', '[', ']', '^', '_', '{', '}', ' ', ':', ';', '~',
KAIC16200-E	ホスト名が長すぎます。50 文字以下で入力してください。	要因 - 対処 50 文字以下で入力してください。
KAIC16201-I	ファイルサーバを編集しました。	要因 - 対処 -
KAIC16202-E	手動設定で指定できる LU 番号の候補がありません。使用するストレージポートを変更するか LU 番号を自動設定にしてください。	要因 - 対処 使用するストレージポートを変更するか LU 番号を自動設定にしてください。
KAIC16203-E	指定した LU 番号が重複しています。ボリューム(<重複するボリューム群>), LU 番号(<重複する LUN 群>)。ボリュームごとに一意の LU 番号を指定してください。	要因 - 対処 ボリュームごとに一意の LU 番号を指定してください。
KAIC16204-E	LU 番号を設定していない、または LU 番号に関連するボリューム割り当て情報が変更されました。[ホストグループ, LU 番号 設定] から [LU 番号 選択] ダイアログを表示させて、LU 番号を選択してください。	要因 - 対処 [ホストグループ, LU 番号 設定] から [LU 番号 選択] ダイアログを表示させて、LU 番号を選択してください。
KAIC16205-E	ラベルは<開始番号のラベル>と合わせて、<ラベル最大文字数(64)>文字以内で入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC16206-E	<開始番号のラベル>は、<開始番号のけた数(9)>けた以内で入力してください。ラベルは<開始番号のラベル>と合わせて、<ラベル最大文字数(64)>文字以内で入力してください。<ボリューム数のラベル>を変更した場合は、<開始番号のラベル>を見直してください。	要因 - 対処 -
KAIC16207-E	ラベルは<ラベル最大文字数(64)>文字以内で入力してください。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16208-E	統合先ホストは複数選択できません。統合先ホストには、ホストを一つだけ選択してください。	要因 - 対処 統合先ホストには、ホストを一つだけ選択してください。
KAIC16209-W	枯渇しきい値を設定しているため、使用率しきい値1を変更できません。	要因 - 対処 -
KAIC16210-E	通常ホスト以外のホスト、または手動で追加した仮想化サーバ以外のホストが選択されています。統合先ホストには、通常ホストまたは手動で追加した仮想化サーバを選択してください。	要因 - 対処 統合先ホストには、通常ホストまたは手動で追加した仮想化サーバを選択してください。
KAIC16211-E	リソースグループ名を入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC16212-E	リソースグループが見つかりません。リソースグループが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了して、リソースグループを確認してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了して、リソースグループを確認してください。
KAIC16213-E	リソースグループ名に使用できない文字を入力しています。次の文字は使用できません。:¥¥, /, :, !, ', ', *, '?', '"', '<', '>', ' ', 全角文字 リソースグループ名を入力し直してください。	要因 - 対処 リソースグループ名を入力し直してください。
KAIC16214-E	選択できるリソースがありません。対象のストレージシステムに登録できるリソースがあるか確認してください。	要因 - 対処 対象のストレージシステムに登録できるリソースがあるか確認してください。
KAIC16215-E	指定した条件に合うボリュームが多過ぎるため、画面に表示できません。指定した条件に合うボリュームの数が上限値を超えています。指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように、条件を指定し直してください。	要因 指定した条件に合うボリュームの数が上限値を超えています。 対処 指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように、条件を指定し直してください。
KAIC16217-E	選択できるユーザーがいません。ユーザーを追加してください。	要因 - 対処 ユーザーを追加してください。
KAIC16218-E	選択できるリソースグループがありません。リソースグループを追加してください。	要因 - 対処 リソースグループを追加してください。
KAIC16219-W	ストレージポート(ポート名=<ポート名>)にFCoEポートが選択されています。ホストポートがFCoEポートであることを確認してください。	要因 - 対処 ホストポートがFCoEポートであることを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16220-E	FCoE ポート(ポート名=<ポート名>)は選択できません。FC ポートを選択してください。	要因 - 対処 FC ポートを選択してください。
KAIC16221-W	LUSE ボリュームが選択されています。選択した LUSE ボリュームを構成するすべてのボリュームが同時に登録されます。	要因 - 対処 -
KAIC16222-W	プールボリュームが選択されています。同じプールを構成するすべてのボリュームも登録されます。	要因 - 対処 -
KAIC16223-I	リソースグループを編集しました。	要因 - 対処 -
KAIC16224-I	リソースグループを削除しました。	要因 - 対処 -
KAIC16225-I	ユーザーグループを作成しました。(ユーザーグループ名=<ユーザーグループ名>)	要因 - 対処 -
KAIC16226-I	ユーザーグループを編集しました。(ユーザーグループ名=<ユーザーグループ名>)	要因 - 対処 -
KAIC16227-E	ユーザーグループ名に使用できない文字を入力しています。使用できない文字は次のとおりです。:'''', '*', '!', '/', ':', ';', '<', '>', '?', '¥', ' ', 全角文字 ユーザーグループ名を入力し直してください。	要因 - 対処 ユーザーグループ名を入力し直してください。
KAIC16228-E	ユーザーグループ名が長過ぎます。ユーザーグループ名は 64 文字以内で入力してください。	要因 - 対処 ユーザーグループ名は 64 文字以内で入力してください。
KAIC16229-E	指定したユーザーグループ名はすでに使用されています。(ユーザーグループ名=<ユーザーグループ名>)異なるユーザーグループ名を指定してください。	要因 - 対処 異なるユーザーグループ名を指定してください。
KAIC16230-E	ユーザーグループ名を入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC16231-E	説明は<最大文字数>文字以内で入力してください。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16232-W	選択できるストレージシステムがありません。リソースグループの作成および変更が可能なストレージシステムは <i>VSP</i> および <i>HUS VM</i> です。リソースグループの作成および変更が可能なストレージシステムが登録されていません。	要因 リソースグループの作成および変更が可能なストレージシステムが登録されていません。 対処 -
KAIC16233-E	リソースグループからリソースを削除できません。リソースグループには一つ以上のリソースが登録されている必要があります。削除するリソースを選択し直すか、リソースグループ自体を削除してください。	要因 リソースグループには一つ以上のリソースが登録されている必要があります。 対処 削除するリソースを選択し直すか、リソースグループ自体を削除してください。
KAIC16234-I	リソースグループからリソースを削除しました。	要因 - 対処 -
KAIC16235-I	リソースグループにリソースを追加しました。	要因 - 対処 -
KAIC16236-I	ユーザーグループからユーザーを削除しました。	要因 - 対処 -
KAIC16237-I	ユーザーグループにユーザーを追加しました。	要因 - 対処 -
KAIC16238-I	ユーザーグループからリソースグループを削除しました。	要因 - 対処 -
KAIC16239-I	ユーザーグループにリソースグループを追加しました。	要因 - 対処 -
KAIC16240-I	リソースグループのロールを変更しました。	要因 - 対処 -
KAIC16241-I	同一ポート内で作成されるホストグループは、同一リソースグループに設定されます。	要因 - 対処 -
KAIC16242-E	選択されたパスを削除できません。ホストグループ番号(<ホストグループ番号>)に対する権限がありません。ホストグループ(<ホストグループ番号>)をリソースグループに登録したあと、パスを削除してください。	要因 ホストグループ番号(<ホストグループ番号>)に対する権限がありません。 対処 ホストグループ(<ホストグループ番号>)をリソースグループに登録したあと、パスを削除してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16243-W	LUSE ボリュームが選択されています。選択した LUSE ボリュームを構成するすべてのボリュームが同時に削除されます。	要因 - 対処 -
KAIC16244-W	プールボリュームが選択されています。選択したプールボリュームを構成するすべてのボリュームが同時に削除されます。	要因 - 対処 -
KAIC16245-E	Host Data Collector は IPv6 アドレスに対応していません。IPv4 アドレスを指定してください。	要因 - 対処 IPv4 アドレスを指定してください。
KAIC16246-E	ユーザーグループにユーザーを追加できません。ビルトインユーザーグループを複数選択している、またはビルトインユーザーグループとユーザー定義のユーザーグループが混在しています。ユーザーグループを選択し直してください。	要因 ビルトインユーザーグループを複数選択している、またはビルトインユーザーグループとユーザー定義のユーザーグループが混在しています。 対処 ユーザーグループを選択し直してください。
KAIC16247-I	ユーザーグループの割り当てが完了しました。(ユーザー ID=<ユーザーグループ名>)	要因 - 対処 -
KAIC16248-I	ユーザーグループを削除しました。	要因 - 対処 -
KAIC16249-E	MF-HDP プール(<プール ID >)は指定できません。MF-HDP プールに対して、この操作は実行できません。指定を見直してください。	要因 MF-HDP プールに対して、この操作は実行できません。 対処 指定を見直してください。
KAIC16250-E	同じストレージシステムの<リソース種別>を選択してください。	要因 - 対処 -
KAIC16251-E	対象のストレージシステムの履歴レポートダイアログを起動できません。対象のストレージシステムは、履歴レポートダイアログのラウンチをサポートしていません。	要因 対象のストレージシステムは、履歴レポートダイアログのラウンチをサポートしていません。 対処 -
KAIC16252-E	モニタリングの時間が不正です。終了時間は開始時間よりあとでなければなりません。モニタリング時間を変更してください。	要因 終了時間は開始時間よりあとでなければなりません。 対処 モニタリング時間を変更してください。
KAIC16253-E	モニタリング期間の時間帯の設定が重複しています。赤い四角で囲まれた時間帯が重複しています。時間帯が重複しないように設定を変更してください。	要因 赤い四角で囲まれた時間帯が重複しています。 対処 時間帯が重複しないように設定を変更してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16254-E	モニタリングを設定する曜日が選択されていません。曜日を選択してください。	要因 - 対処 曜日を選択してください。
KAIC16255-E	指定したプールのモニタリングスケジュールのテンプレートが削除されています。画面を再読み込みしてください。	要因 - 対処 画面を再読み込みしてください。
KAIC16256-E	データストア名はASCII文字で指定してください。	要因 - 対処 -
KAIC16257-E	データストア名は<最小文字数>文字以上<最大文字数>文字以下で入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC16258-E	データストア名の先頭および末尾にはスペースを指定できません。	要因 - 対処 -
KAIC16259-W	指定した容量でボリュームを作成すると、プールの予約率が警告予約率を超えます。	要因 - 対処 -
KAIC16261-W	幾つかのタスクは中止できません。実行中または中止中でないタスクは中止できません。実行中または中止中のタスクを中止してください。	要因 実行中または中止中でないタスクは中止できません。 対処 実行中または中止中のタスクを中止してください。
KAIC16262-E	選択したタスクは中止できません。実行中もしくは中止中のタスクがないか、または中止できるタスクタイプではありません。	要因 実行中もしくは中止中のタスクがないか、または中止できるタスクタイプではありません。 対処 -
KAIC16263-I	階層管理の設定を変更すると、このプールに対して実行中のモニタリングおよび再配置をすべて停止します。	要因 - 対処 -
KAIC16264-E	テンプレート名が入力されていません。	要因 - 対処 -
KAIC16265-E	テンプレート名に使用できない文字を入力しています。使用できる文字は次のとおりです。A-Z, a-z, 0-9, '-', '.', ':', ';', '@', 全角文字 テンプレート名を入力し直してください。	要因 - 対処 テンプレート名を入力し直してください。
KAIC16266-I	テンプレートを編集すると、このテンプレートを適用したプールに対して実行中のモニタリングおよび再配置をすべて停止します。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16267-I	テンプレートを削除すると、このテンプレートを適用したプールに対して実行中のモニタリングおよび再配置をすべて停止します。	要因 - 対処 -
KAIC16268-W	このモニタリングスケジュールテンプレートに関連するタスクも削除されます。	要因 - 対処 -
KAIC16269-E	移動先ボリュームが選択されていません。	要因 - 対処 -
KAIC16270-E	選択されたドライブの数が足りません。 <ドライブ数>個のドライブを選択してください。	要因 - 対処 <ドライブ数>個のドライブを選択してください。
KAIC16271-E	選択されたパリティグループ番号が重複しています。別のパリティグループ番号を選択してください。	要因 - 対処 別のパリティグループ番号を選択してください。
KAIC16272-E	ポート番号は整数で指定してください。	要因 - 対処 -
KAIC16273-E	ポート番号は 0～65535 の整数で指定してください。	要因 - 対処 -
KAIC16275-E	指定されたフィルター条件では LUSE を構成できるボリュームがありません。適切なボリュームが存在しない場合は、次の条件を満たすように、ボリュームを作成してください。 (1) LUSE ボリュームに追加する場合、追加するボリュームの LDEV ID が、選択した LUSE ボリュームの最大 LDEV ID よりも大きいこと (2) 基本ボリュームを選択して LUSE にする場合、追加するボリュームの LDEV ID が、選択した基本ボリュームの LDEV ID よりも大きいこと (3) コントロールユニットが同じ LDEV ID を使用していること (4) ドライブタイプが同じであること (5) RAID レベルが同じボリュームであること (6) 容量が同じボリュームであること (7) 固定ボリュームと可変ボリュームが混在していないこと	要因 - 対処 適切なボリュームが存在しない場合は、次の条件を満たすように、ボリュームを作成してください。 1. LUSE ボリュームに追加する場合、追加するボリュームの LDEV ID が、選択した LUSE ボリュームの最大 LDEV ID よりも大きいこと 2. 基本ボリュームを選択して LUSE にする場合、追加するボリュームの LDEV ID が、選択した基本ボリュームの LDEV ID よりも大きいこと 3. コントロールユニットが同じ LDEV ID を使用していること 4. ドライブタイプが同じであること 5. RAID レベルが同じボリュームであること 6. 容量が同じボリュームであること 7. 固定ボリュームと可変ボリュームが混在していないこと
KAIC16276-E	指定されたフィルター条件では LUSE を構成できるボリュームがありません。	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>適当なボリュームが存在しない場合は、次の条件を満たすようにボリュームを作成してください。</p> <p>(1) 拡張するボリュームが LUSE ボリュームである場合、構成するボリュームの最大の LDEV ID より大きい LDEV ID を使用すること</p> <p>(2) 拡張するボリュームが通常ボリュームである場合、このボリュームより大きい LDEV ID を使用すること</p> <p>(3) ドライブタイプが同じであること</p> <p>(4) RAID レベルが同じであること</p> <p>(5) 内部ボリュームと外部ボリュームが混在しないこと</p> <p>(6) 外部ボリュームの場合、外部ボリューム属性 (IO 抑止モードとキャッシュモード) が同じであること</p> <p>(7) 外部ボリュームの場合、すべてのボリュームが同じ外部ストレージシステム内にあること (推奨)</p>	<p>適当なボリュームが存在しない場合は、次の条件を満たすようにボリュームを作成してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 拡張するボリュームが LUSE ボリュームである場合、構成するボリュームの最大の LDEV ID より大きい LDEV ID を使用すること 2. 拡張するボリュームが通常ボリュームである場合、このボリュームより大きい LDEV ID を使用すること 3. ドライブタイプが同じであること 4. RAID レベルが同じであること 5. 内部ボリュームと外部ボリュームが混在しないこと 6. 外部ボリュームの場合、外部ボリューム属性 (IO 抑止モードとキャッシュモード) が同じであること 7. 外部ボリュームの場合、すべてのボリュームが同じ外部ストレージシステム内にあること (推奨)
KAIC16277-E	<p>指定されたフィルター条件では LUSE を構成できるボリュームがありません。適当なボリュームが存在しない場合は、次の条件を満たすように、ボリュームを作成してください。</p> <p>(1) LUSE ボリュームに追加する場合、追加するボリュームの LDEV ID が、選択した LUSE ボリュームの最大 LDEV ID よりも大きいこと</p> <p>(2) 基本ボリュームを選択して LUSE にする場合、追加するボリュームの LDEV ID が、選択した基本ボリュームの LDEV ID よりも大きいこと</p> <p>(3) DP ボリュームでないこと</p> <p>(4) ドライブタイプが同じであること</p> <p>(5) RAID レベルが同じでボリュームであること</p> <p>(6) 内部ボリュームと外部ボリュームが混在していないこと</p> <p>(7) 外部ボリュームの場合、キャッシュモードが同じであること</p> <p>(8) 外部ボリュームの場合、すべてのボリュームが同じ外部ストレージシステム内にあること (推奨)</p>	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>適当なボリュームが存在しない場合は、次の条件を満たすように、ボリュームを作成してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. LUSE ボリュームに追加する場合、追加するボリュームの LDEV ID が、選択した LUSE ボリュームの最大 LDEV ID よりも大きいこと 2. 基本ボリュームを選択して LUSE にする場合、追加するボリュームの LDEV ID が、選択した基本ボリュームの LDEV ID よりも大きいこと 3. DP ボリュームでないこと 4. ドライブタイプが同じであること 5. RAID レベルが同じでボリュームであること 6. 内部ボリュームと外部ボリュームが混在していないこと 7. 外部ボリュームの場合、キャッシュモードが同じであること 8. 外部ボリュームの場合、すべてのボリュームが同じ外部ストレージシステム内にあること (推奨)
KAIC16278-E	<p>指定されたフィルター条件では LUSE を構成できるボリュームがありません。適当なボリュームが存在しない場合は、次の条件を満たすように、ボリュームを作成してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. LUSE ボリュームに追加する場合、追加するボリュームの LDEV ID が、選択した LUSE ボリュームの最大 LDEV ID よりも大きいこと 2. 基本ボリュームを選択して LUSE にする場合、追加するボリュームの LDEV ID が、選択した基本ボリュームの LDEV ID よりも大きいこと 	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>適当なボリュームが存在しない場合は、次の条件を満たすように、ボリュームを作成してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. LUSE ボリュームに追加する場合、追加するボリュームの LDEV ID が、選択した LUSE ボリュームの最大 LDEV ID よりも大きいこと 2. 基本ボリュームを選択して LUSE にする場合、追加するボリュームの LDEV ID が、選択した基本ボリュームの LDEV ID よりも大きいこと

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>ID が、選択した基本ボリュームの LDEV ID よりも大きいこと</p> <p>3. DP ボリュームでないこと</p> <p>4. ドライブタイプが同じであること。ただし、1つの LUSE ボリュームに FMD と SSD は混在できません。</p> <p>5. RAID レベルが同じボリュームであること</p> <p>6. 内部ボリュームと外部ボリュームが混在していないこと</p> <p>7. 外部ボリュームの場合、キャッシュモードが同じであること</p> <p>8. 同じリソースグループのボリュームであること</p> <p>9. オンラインでのデータ移行用のリソースグループに所属していないこと</p> <p>10. NDM 属性ボリュームではないこと</p> <p>11. 外部ボリュームの場合、すべてのボリュームが同じ外部ストレージシステム内にあること（推奨）</p>	<p>択した基本ボリュームの LDEV ID よりも大きいこと</p> <p>3. DP ボリュームでないこと</p> <p>4. ドライブタイプが同じであること。ただし、1つの LUSE ボリュームに FMD と SSD は混在できません。</p> <p>5. RAID レベルが同じボリュームであること</p> <p>6. 内部ボリュームと外部ボリュームが混在していないこと</p> <p>7. 外部ボリュームの場合、キャッシュモードが同じであること</p> <p>8. 同じリソースグループのボリュームであること</p> <p>9. オンラインでのデータ移行用のリソースグループに所属していないこと</p> <p>10. NDM 属性ボリュームではないこと</p> <p>11. 外部ボリュームの場合、すべてのボリュームが同じ外部ストレージシステム内にあること（推奨）</p>
KAIC16279-E	<p>指定されたフィルター条件では LUSE を構成できるボリュームがありません。適当なボリュームが存在しない場合は、次の条件を満たすように、ボリュームを作成してください。</p> <p>(1) ドライブタイプが同じであること</p> <p>(2) RAID レベルが RAID0 でないこと</p>	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>適当なボリュームが存在しない場合は、次の条件を満たすように、ボリュームを作成してください。</p> <p>1. ドライブタイプが同じであること</p> <p>2. RAID レベルが RAID0 でないこと</p>
KAIC16280-E	<p>指定されたフィルター条件では LUSE を構成できるボリュームがありません。適当なボリュームが存在しない場合は、次の条件を満たすように、ボリュームを作成してください。</p> <p>(1) ドライブタイプが同じであること</p> <p>(2) RAID レベルが RAID0 でないこと</p> <p>(3) CLPR が同じボリュームであること</p> <p>(4) ストライプサイズが同じボリュームであること</p>	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>適当なボリュームが存在しない場合は、次の条件を満たすように、ボリュームを作成してください。</p> <p>1. ドライブタイプが同じであること</p> <p>2. RAID レベルが RAID0 でないこと</p> <p>3. CLPR が同じボリュームであること</p> <p>4. ストライプサイズが同じボリュームであること</p>
KAIC16281-E	<p>指定されたフィルター条件では LUSE を構成できるボリュームがありません。適当なボリュームが存在しない場合は、次の条件を満たすように、ボリュームを作成してください。</p> <p>(1) DP ボリュームでないこと</p> <p>(2) ドライブタイプが同じであること</p> <p>(3) RAID レベルが RAID0 でないこと</p> <p>(4) ストライプサイズが同じボリュームであること</p>	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>適当なボリュームが存在しない場合は、次の条件を満たすように、ボリュームを作成してください。</p> <p>1. DP ボリュームでないこと</p> <p>2. ドライブタイプが同じであること</p> <p>3. RAID レベルが RAID0 でないこと</p> <p>4. ストライプサイズが同じボリュームであること</p>
KAIC16282-E	<p>指定されたフィルター条件では LUSE を構成できるボリュームがありません。適当なボリュームが存在しない場合は、次の条件を満たすようにボリュームを作成してください。</p> <p>(1) DP ボリュームでないこと</p>	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>適当なボリュームが存在しない場合は、次の条件を満たすようにボリュームを作成してください。</p> <p>1. DP ボリュームでないこと</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	(2) ドライブタイプが同じであること (3) RAID レベルが RAID0 でないこと (4) ストライプサイズが同じであること	2. ドライブタイプが同じであること 3. RAID レベルが RAID0 でないこと 4. ストライプサイズが同じであること
KAIC16283-E	再配置開始時間の設定が重複しています。赤い四角で囲まれた時間帯が重複しています。時間帯が重複しないように設定を変更してください。	要因 赤い四角で囲まれた時間帯が重複しています。 対処 時間帯が重複しないように設定を変更してください。
KAIC16284-E	選択されたドライブの数が多過ぎます。＜ドライブ数＞個のドライブを選択してください。	要因 - 対処 ＜ドライブ数＞個のドライブを選択してください。
KAIC16285-W	参考ボリュームの LDEV ID が所属するリソースグループ(＜参考リソースグループ＞)には空き LDEV ID が無いため、作成される類似ボリュームにはリソースグループ(＜自動選択されたリソースグループ＞)の LDEV ID が割り当てられます。	要因 - 対処 -
KAIC16286-W	参考ボリューム(＜参考リソースグループ＞)の LDEV ID が属するリソースグループに類似ボリュームの LDEV ID を追加できません。リソースグループに LDEV ID を追加するか、別のリソースグループを選択してください。	要因 - 対処 リソースグループに LDEV ID を追加するか、別のリソースグループを選択してください。
KAIC16287-W	参考ボリュームは、＜混在したドライブ属性＞が混在した DP プールから作成された DP ボリュームです。＜混在したドライブ属性＞の項目には"いずれか"が設定されます。	要因 - 対処 -
KAIC16288-W	参考ボリュームの属するプールには割り当て条件に合致する DP ボリュームが無く、当該プールから新規に作成することもできません。推奨プールが自動的に選択されます。	要因 - 対処 推奨プールが自動的に選択されます。
KAIC16289-I	外部ボリュームで構成されるプールが削除対象に含まれるため、タスクの実行に時間が掛かるおそれがあります。(プール ID:＜プール ID ＞)	要因 - 対処 -
KAIC16290-E	パリティグループ番号の開始番号を入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC16291-W	リソースグループに所属していない未割当 LDEV ID が無いため、作成される類似ボリュームにはリソースグループ(＜自動選択されたリソースグループ＞)の LDEV ID が割り当てられます。	要因 - 対処 -
KAIC16292-W	リソースグループに所属していない未割当 LDEV ID が無いため、ボリュームを作成できません。リソースグループに LDEV ID を追加するか、別のリソースグループを選択してください。	要因 - 対処 リソースグループに LDEV ID を追加するか、別のリソースグループを選択してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16293-W	パスおよびホストグループの設定が自動的に変更されました。ユーザー(<ユーザー名>)は参考ボリュームのパス設定で使用されているホストグループに対して設定を変更する権限がありません。パス及びホストグループの設定を確認してください。	要因 ユーザー(<ユーザー名>)は参考ボリュームのパス設定で使用されているホストグループに対して設定を変更する権限がありません。 対処 パス及びホストグループの設定を確認してください。
KAIC16294-W	再同期することのできるホストが一台もありません。	要因 - 対処 -
KAIC16295-E	開始時刻が不正です。時間のフォーマットを確認してください。	要因 - 対処 時間のフォーマットを確認してください。
KAIC16296-E	終了時刻が不正です。時間のフォーマットを確認してください。	要因 - 対処 時間のフォーマットを確認してください。
KAIC16297-E	終了時刻は開始時刻のあとでなければなりません。時刻の指定を見直してください。	要因 - 対処 時刻の指定を見直してください。
KAIC16298-E	<指定可能な最も前の時刻> より前の時刻が開始時刻として指定されました。現在から 30 日より前の時間は指定できません。時刻の指定を見直してください。	要因 現在から 30 日より前の時間は指定できません。 対処 時刻の指定を見直してください。
KAIC16299-E	現在時刻 <指定可能な最も後の時刻> より後の時刻が終了時刻として指定されました。現在より後の時刻は指定できません。時刻の指定を見直してください。	要因 現在より後の時刻は指定できません。 対処 時刻の指定を見直してください。
KAIC16300-E	現在時刻 <指定可能な最も後の時刻> より後の時刻が開始時刻として指定されました。現在より後の時刻は指定できません。時刻の指定を見直してください。	要因 現在より後の時刻は指定できません。 対処 時刻の指定を見直してください。
KAIC16301-E	<指定可能な最も前の時刻> より前の時刻が終了時刻として指定されました。現在から 30 日より前の時間は指定できません。時刻の指定を見直してください。	要因 現在から 30 日より前の時間は指定できません。 対処 時刻の指定を見直してください。
KAIC16302-E	分析可能なボリュームがありません。分析をサポートしていないストレージシステム上のボリュームが選択されました。ダイアログを閉じて別のボリュームを選択してください。	要因 分析をサポートしていないストレージシステム上のボリュームが選択されました。 対処 ダイアログを閉じて別のボリュームを選択してください。
KAIC16303-W	<無視されるボリューム数> 個のボリュームが分析をサポートしていないストレージシステムから選択されています。これらは無視します。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16304-E	選択されたボリュームの数が多すぎます。一度に分析可能なボリューム数は<選択可能なボリュームの最大数>までです。手動選択でボリュームの数を絞ってください。	要因 一度に分析可能なボリューム数は<選択可能なボリュームの最大数>までです。 対処 手動選択でボリュームの数を絞ってください。
KAIC16305-E	選択されたリソースにボリュームが含まれていません。ボリュームを含むリソースを選択して、再度実行してください。	要因 - 対処 ボリュームを含むリソースを選択して、再度実行してください。
KAIC16306-W	iSCSI ターゲット(<iSCSI ターゲット>)間でホストモード(<ホストモード>)が異なります。ホストモードおよびホストモードオプションがすべて同じになるように iSCSI ターゲットを選択してください。	要因 - 対処 ホストモードおよびホストモードオプションがすべて同じになるように iSCSI ターゲットを選択してください。
KAIC16307-W	iSCSI ターゲット(<iSCSI ターゲット>)間でホストモードオプション(<ホストモードオプション>)が異なります。ホストモードおよびホストモードオプションがすべて同じになるように iSCSI ターゲットを選択してください。	要因 - 対処 ホストモードおよびホストモードオプションがすべて同じになるように iSCSI ターゲットを選択してください。
KAIC16308-E	割り当てを解除できるボリュームがありません。選択したボリュームはほかのタスク使用中か、すでに割り当てを解除されたおそれがあります。または、ホストグループに Modify 権限がないおそれがあります。ダイアログを閉じて、リソース画面でボリュームの状態を確認してください。	要因 選択したボリュームはほかのタスク使用中か、すでに割り当てを解除されたおそれがあります。または、ホストグループに Modify 権限がないおそれがあります。 対処 ダイアログを閉じて、リソース画面でボリュームの状態を確認してください。
KAIC16309-E	参考ボリュームの割り当て状態を再現できません。LUN セキュリティが無効のポートの数が足りません。LUN セキュリティが無効のポートを手動で追加してください。	要因 - 対処 LUN セキュリティが無効のポートを手動で追加してください。
KAIC16310-W	参考ボリュームの属するリソースグループとは別のリソースグループに属するボリュームが、類似ボリュームとして選択されています。	要因 - 対処 -
KAIC16311-W	複数ホストに対して iSCSI 経由で割り当てられたボリュームが参考ボリュームとして選択されている場合、iSCSI ターゲットには"全ホスト共通"が初期値として選択されています。必要に応じて変更してください。	要因 - 対処 必要に応じて変更してください。
KAIC16312-E	Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視していないか、指定した期間"<分析対象期間>"の性能情報がありません。ホスト名:"<ホスト名>", エージェント名:"<エージェント ID >" Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認するか、または性能情報が取得された期間を Tuning Manager から確認し、期間を指定してから、再実行してください	要因 - 対処 Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認するか、または性能情報が取得された期間を Tuning Manager から確認し、期間を指定してから、再実行してください

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	Tuning Manager から確認し、期間を指定してから、再実行してください	
KAIC16313-W	Tuning Manager が一部のリソースを監視していないか、指定した期間<分析対象期間>の性能情報がありません。ホスト名:<ホスト名>, エージェント名:<エージェント ID >, リソース種別:<リソース種別>。以後のページにおいて、該当のリソースに関する情報は正確でない可能性があります。Tuning Manager が対象リソースを監視しているか確認するか、または性能情報が取得された期間を Tuning Manager から確認し、期間を指定してから、再実行してください	要因 - 対処 Tuning Manager が対象リソースを監視しているか確認するか、または性能情報が取得された期間を Tuning Manager から確認し、期間を指定してから、再実行してください
KAIC16314-E	性能に問題のあるリソースの検出中に問題が発生しました。リソース種別:<リソース種別>'ダイアログを閉じるか、前のページに戻って再度操作を実行してください。繰り返し問題が起きる場合は、障害対応窓口に連絡してください。	要因 - 対処 ダイアログを閉じるか、前のページに戻って再度操作を実行してください。繰り返し問題が起きる場合は、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC16315-W	性能に問題のあるリソースの検出中に、一部のリソースで問題が発生しました。リソース種別:<リソース種別>'。以後のページにおいて、該当のリソースに関する情報は正確でない可能性があります。ダイアログを閉じるか、前のページに戻って再度操作を実行してください。繰り返し問題が起きる場合は、障害対応窓口に連絡してください。	要因 - 対処 ダイアログを閉じるか、前のページに戻って再度操作を実行してください。繰り返し問題が起きる場合は、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC16316-E	LU 番号を設定していないボリューム、または LU 番号に関連するボリュームの割り当て情報が変更されました。[iSCSI ターゲット, LU 番号 設定] から [LU 番号選択] ダイアログを表示させて、LU 番号を選択してください。	要因 - 対処 [iSCSI ターゲット, LU 番号 設定] から [LU 番号選択] ダイアログを表示させて、LU 番号を選択してください。
KAIC16317-E	257 個以上のボリュームを一度に選択できません。ボリュームが<選択数>個選択されています。選択するボリュームの数を 256 個以下に減らしてください。	要因 ボリュームが<選択数>個選択されています。 対処 選択するボリュームの数を 256 個以下に減らしてください。
KAIC16318-E	レプリケーション枯渇警告のしきい値 (<レプリケーション枯渇警告しきい値>%) とレプリケーションデータ解放のしきい値 (<レプリケーションデータ解放しきい値>%) の差が 5%以内か、または、レプリケーション枯渇警告のしきい値 (<レプリケーション枯渇警告しきい値>%) がレプリケーションデータ解放のしきい値 (<レプリケーションデータ解放しきい値>%) 以上です。レプリケーション枯渇警告のしきい値 (<レプリケーション枯渇警告しきい値>%) とレプリケーションデータ解放のしきい	要因 - 対処 レプリケーション枯渇警告のしきい値 (<レプリケーション枯渇警告しきい値>%) とレプリケーションデータ解放のしきい値 (<レプリケーションデータ解放しきい値>%) の差が 5%より大きい値になるように設定してください。また、レプリケーションデータ解放のしきい値は、レプリケーション枯渇警告のしきい値よりも大きい値を指定する必要があります。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	値 (<レプリケーションデータ解放しきい値>%) の差が 5%より大きい値になるように設定してください。また、レプリケーションデータ解放のしきい値は、レプリケーション枯渇警告のしきい値よりも大きい値を指定する必要があります。	
KAIC16319-W	使用率の現在値 (<現在使用率>%) がレプリケーション枯渇警告のしきい値 (<レプリケーション枯渇警告しきい値>%) 以上です。レプリケーション枯渇警告のしきい値は現在値より大きい値を設定してください。	要因 - 対処 レプリケーション枯渇警告のしきい値は現在値より大きい値を設定してください。
KAIC16320-W	使用率の現在値 (<現在使用率>%) がレプリケーションデータ解放のしきい値 (<レプリケーションデータ解放しきい値>%) 以上です。レプリケーションの差分データと管理領域で使用されている容量を解放します。レプリケーションデータ解放のしきい値は現在値より大きい値を設定してください。	要因 - 対処 レプリケーションデータ解放のしきい値は現在値より大きい値を設定してください。
KAIC16322-E	交替パスのないファイルサーバがあります。クラスタを構成している各ファイルサーバに交替パスが含まれるように、パスを編集してください。	要因 - 対処 クラスタを構成している各ファイルサーバに交替パスが含まれるように、パスを編集してください。
KAIC16323-E	ファイルシステム用のボリュームが選択されていません。ファイルシステム用のボリュームを選択してください。	要因 - 対処 ファイルシステム用のボリュームを選択してください。
KAIC16324-W	次のポートは操作対象外のボリュームの割り当てに使用されています。それらのボリュームは追加するホストポートからもアクセス可能になります。 (ポート名:<ポート名>)	要因 - 対処 -
KAIC16325-I	WORM 設定が有効です。	要因 - 対処 -
KAIC16326-W	過去のヘルスチェックレポートの保存件数が上限値に達しました。このため、ヘルスチェック実行時に、レポート生成日時が最も古いレポートが削除されます。(上限値 = <上限値>, 既存レポート数 = <既存レポート数>)これ以上レポートを保存することができません。不要なレポートを削除してください。	要因 - 対処 これ以上レポートを保存することができません。不要なレポートを削除してください。
KAIC16327-E	プロファイル名を入力してください。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16328-E	プロファイル名は<最大バイト数>文字以内で入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC16329-E	説明は<最大バイト数>文字以内で入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC16330-E	プロファイル名に使用できない文字を入力しています。使用できる文字は次のとおりです。:A-Z, a-z, 0-9, ' ', '!', ' ', '!', '@', 全角文字 プロファイル名を入力し直してください。	要因 - 対処 プロファイル名を入力し直してください。
KAIC16331-W	対象のホストは、ファイルサーバです。クラスタを構成するほかのファイルサーバがないかを確認し、必要であれば、ほかのファイルサーバからも該当するボリュームの、割り当てを解除してください。	要因 - 対処 クラスタを構成するほかのファイルサーバがないかを確認し、必要であれば、ほかのファイルサーバからも該当するボリュームの、割り当てを解除してください。
KAIC16332-E	<I:フィールド名>に入力した日時が不正です。日付および時間の両方を入力するか、または入力をクリアしてください。	要因 - 対処 日付および時間の両方を入力するか、または入力をクリアしてください。
KAIC16333-E	<開始日時フィールド名>より前の日時が<終了日時フィールド名>として指定されました。<終了日時フィールド名>の日は、<開始日時フィールド名>よりあとに指定してください。	要因 - 対処 <終了日時フィールド名>の日は、<開始日時フィールド名>よりあとに指定してください。
KAIC16334-E	ボリューム数が<最大ボリューム数>を超えています。[ボリュームを選択]で、<最大ボリューム数>以下になるようボリュームを選択してください。	要因 - 対処 [ボリュームを選択]で、<最大ボリューム数>以下になるようボリュームを選択してください。
KAIC16335-W	ボリューム数が<ボリューム数>を超えています。チャートの表示に時間が掛かる場合があります。時間が掛かる場合は、[ボリュームを選択]からボリュームを選択してください。	要因 - 対処 時間が掛かる場合は、[ボリュームを選択]からボリュームを選択してください。
KAIC16336-E	チャートの表示中に Tuning Manager との通信がタイムアウトしました。Tuning Manager が接続しているネットワークに障害が発生しているか、または一時的に Tuning Manager のサーバの負荷が高くなっているおそれがあります。Tuning Manager のネットワークの設定または状態、および環境を見直してから、再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。	要因 Tuning Manager が接続しているネットワークに障害が発生しているか、または一時的に Tuning Manager のサーバの負荷が高くなっているおそれがあります。 対処 Tuning Manager のネットワークの設定または状態、および環境を見直してから、再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16337-E	スケジュールが変更されていません。スケジュールを変更するか、ダイアログを閉じてください。	要因 - 対処 スケジュールを変更するか、ダイアログを閉じてください。
KAIC16338-W	同じボリュームに対して、複数のプロファイルが同じ時間にスケジュールされています。(プロファイル名:<Data Placement Profile 名>) スケジュールを見直してください。	要因 - 対処 スケジュールを見直してください。
KAIC16339-W	プロファイルで定義する階層とは別の階層に、ボリュームの階層ポリシーが設定されています。(プロファイル:<Data Placement Profile 名>, ボリューム:<ボリューム名>) ボリュームの階層ポリシーを見直してください。そのままスケジュールを定義した場合、データが適切なハードウェア階層に再配置されないためボリュームの性能が発揮できないことがあります。	要因 - 対処 ボリュームの階層ポリシーを見直してください。そのままスケジュールを定義した場合、データが適切なハードウェア階層に再配置されないためボリュームの性能が発揮できないことがあります。
KAIC16341-I	この見積り時間はおおよその操作実行時間であり、ボリューム対象にプロファイルが適用されていないこと、典型的な負荷環境下でストレージシステムが運用されていることを前提としています。	要因 - 対処 -
KAIC16342-I	この見積り時間はおおよその操作実行時間であり、プロファイルが全ての対象ボリュームに適用されていること、典型的な負荷環境下でストレージシステムが運用されていることを前提としています。	要因 - 対処 -
KAIC16343-I	この見積り時間はおおよその操作実行時間であり、典型的な負荷環境下でストレージシステムが運用されていることを前提としています。	要因 - 対処 -
KAIC16344-W	過去のヘルスチェックレポートの保存件数が多くなっています。レポートの保存件数が多くなると、一部機能の動作が遅くなる場合があります。不要なレポートを削除してください。	要因 - 対処 不要なレポートを削除してください。
KAIC16345-E	ヘルスチェックが実行できないストレージシステムが含まれています。ストレージシステムを選択した画面にて、ストレージシステムの状態を確認してください。	要因 - 対処 ストレージシステムを選択した画面にて、ストレージシステムの状態を確認してください。
KAIC16346-E	権限がないため、レポートを削除できません。削除権限のあるレポートを選択してください。	要因 - 対処 削除権限のあるレポートを選択してください。
KAIC16347-W	削除対象に適用済みの階層プロファイルが含まれています。削除を実行しても、階層プロファイルに対する適用解除は実行されません。階層プロファイルの削除後に適用解除を実行したい場合	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	は、[Repair Inconsistency]を実行してください。	階層プロファイルの削除後に適用解除を実行したい場合は、[Repair Inconsistency]を実行してください。
KAIC16348-E	選択したボリュームの数が上限を超えています。ボリュームの数が<ボリューム数>個以内となるように選択してください。	要因 - 対処 ボリュームの数が<ボリューム数>個以内となるように選択してください。
KAIC16349-E	選択した論理グループには、HDT プールに属し、Modify 以上の権限を持つ DP ボリュームが含まれていません。論理グループの内容を見直してください。	要因 - 対処 論理グループの内容を見直してください。
KAIC16350-E	選択したストレージシステムのヘルスチェックを実行できません。(ストレージシステム名=<ストレージシステム名>)ストレージシステムを選択した画面を更新して、ヘルスチェック実行可否を確認してください。	要因 - 対処 ストレージシステムを選択した画面を更新して、ヘルスチェック実行可否を確認してください。
KAIC16351-I	Device Manager とストレージシステムの間で階層プロファイルの適用状態は一致しています。	要因 - 対処 -
KAIC16352-W	Device Manager とストレージシステムの間で適用状態が一致していない階層プロファイルがあります(<不整合解除ダイアログへのリンク>)。	要因 - 対処 -
KAIC16353-E	プロファイルのスケジュールを設定できません。スケジュール設定する前にプロファイルを作成してください。	要因 - 対処 スケジュール設定する前にプロファイルを作成してください。
KAIC16354-W	プロファイルのスケジュールを設定できません。操作に必要な権限がありません。プロファイルに含まれるすべてのボリュームに対して Modify 以上の権限があるか確認してください。	要因 操作に必要な権限がありません。 対処 プロファイルに含まれるすべてのボリュームに対して Modify 以上の権限があるか確認してください。
KAIC16355-E	<フィールド名>が不正です。時間および日数の両方を入力するか、または入力クリアしてください。	要因 - 対処 時間および日数の両方を入力するか、または入力クリアしてください。
KAIC16356-E	選択したタスクは操作できません。選択したタスクの状態を確認してください。[階層プロファイルスケジュール設定]ダイアログで登録されたタスクについては、[階層プロファイルスケジュール設定]ダイアログで操作してください。	要因 - 対処 選択したタスクの状態を確認してください。[階層プロファイルスケジュール設定]ダイアログで登録されたタスクについては、[階層プロファイルスケジュール設定]ダイアログで操作してください。
KAIC16357-W	ボリュームを含まない階層プロファイルがスケジュールされています(階層プロファイル: <Data Placement Profile	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	名>)プロファイルのスケジュールを削除してください	プロファイルのスケジュールを削除してください
KAIC16358-W	[階層プロファイルスケジュール設定]ダイアログで登録されたタスクを対象外にしました。(タスク名=<タスク名>) [階層プロファイルスケジュール設定]ダイアログで操作してください。	要因 - 対処 [階層プロファイルスケジュール設定]ダイアログで操作してください。
KAIC16359-W	クラスタを構成するファイルサーバを更新中か、またはクラスタ内にファームウェアのバージョンが異なるファイルサーバが含まれるため、Admin Services を設定できません。Admin Services を設定する場合は、クラスタを構成するすべてのファイルサーバの更新の完了を待つか、クラスタを構成するファイルサーバのファームウェアのバージョンを同じにしてください。	要因 - 対処 Admin Services を設定する場合は、クラスタを構成するすべてのファイルサーバの更新の完了を待つか、クラスタを構成するファイルサーバのファームウェアのバージョンを同じにしてください。
KAIC16360-W	ファイルサーバのファームウェアのバージョンがSMUのバージョンより新しいため、Admin Services の設定はできません。Admin Services を設定する場合は、SMU とファイルサーバのファームウェアのバージョンを見直してください。	要因 - 対処 Admin Services を設定する場合は、SMU とファイルサーバのファームウェアのバージョンを見直してください。
KAIC16361-W	ボリュームタイプに Dynamic Tiering または Dynamic Provisioning が選択されています。Hitachi NAS Platform に DP ボリュームを割り当てる場合、十分な容量が確保されているボリュームを手動で選択してください。DP プールの容量が不足するとファイルシステムが壊れるおそれがあります。	要因 - 対処 Hitachi NAS Platform に DP ボリュームを割り当てる場合、十分な容量が確保されているボリュームを手動で選択してください。DP プールの容量が不足するとファイルシステムが壊れるおそれがあります。
KAIC16362-W	Hitachi NAS Platform に DP ボリュームを割り当てる場合、DP プールに十分な容量が確保されているボリュームを選択してください。容量が不足するとファイルシステムが壊れるおそれがあります。	要因 - 対処 -
KAIC16363-E	ファイルシステム名に使用できない文字が含まれています。次の文字は使用できません。:<使用不可の文字>, 全角文字	要因 - 対処 -
KAIC16364-E	ファイルシステム名が長過ぎます。<文字列長>以下で入力してください。	要因 - 対処 <文字列長>以下で入力してください。
KAIC16365-E	入力したファイルシステム名(<ファイルシステム名>)は、すでに<ファイルサーバ名またはクラスタ名>で使用されているため、使用できません。別のファイルシステム名を入力してください。	要因 - 対処 別のファイルシステム名を入力してください。
KAIC16366-E	入力したファイルシステム名(<ファイルシステム名>)は、すでに<ファイル	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	サーバ名またはクラスタ名>に対して予約されているため、使用できません。別のファイルシステム名を入力してください。	対処 別のファイルシステム名を入力してください。
KAIC16367-E	パスに使用できない文字が含まれています。次の文字は使用できません。:<使用不可の文字>	要因 - 対処 -
KAIC16368-E	パスが長過ぎます。<文字列長>以下で入力してください。	要因 - 対処 <文字列長>以下で入力してください。
KAIC16369-E	パスの形式が正しくありません。セパレーターから開始してください。使用できるセパレーターは<使用できるセパレータ>です。セパレーターは連続して使用できません。	要因 - 対処 セパレーターから開始してください。使用できるセパレーターは<使用できるセパレータ>です。セパレーターは連続して使用できません。
KAIC16370-E	CIFS 共有名に使用できない文字が含まれています。次の文字は使用できません。:<使用不可の文字>	要因 - 対処 -
KAIC16371-E	CIFS 共有名が長過ぎます。<文字列長>以下で入力してください。	要因 - 対処 <文字列長>以下で入力してください。
KAIC16372-E	入力した CIFS 共有名(< CIFS 共有名 >)は、すでに< EVS 名 >で使用されているため、使用できません。別の CIFS 共有名を入力してください。	要因 - 対処 別の CIFS 共有名を入力してください。
KAIC16373-E	入力した CIFS 共有名(< CIFS 共有名 >)は、すでに< EVS 名 >に対して予約されているため、使用できません。別の CIFS 共有名を入力してください。	要因 - 対処 別の CIFS 共有名を入力してください。
KAIC16374-E	NFS 共有名に使用できない文字が含まれています。次の文字は使用できません。:<使用不可の文字>	要因 - 対処 -
KAIC16375-E	NFS 共有名が長過ぎます。<文字列長>以下で入力してください。	要因 - 対処 <文字列長>以下で入力してください。
KAIC16376-E	入力した NFS 共有名(< NFS 共有名 >)は、すでに< EVS 名 >で使用されているため、使用できません。別の NFS 共有名を入力してください。	要因 - 対処 別の NFS 共有名を入力してください。
KAIC16377-E	入力した NFS 共有名(< NFS 共有名 >)は、すでに< EVS 名 >に対して予約されているため、使用できません。別の NFS 共有名を入力してください。	要因 - 対処 別の NFS 共有名を入力してください。
KAIC16378-E	CIFS 共有コメントが長過ぎます。<文字列長>以下で入力してください。	要因 - 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<文字列長>以下で入力してください。
KAIC16379-W	指定したファイルシステムの容量が、選択したストレージプールの空き容量を超えています。作成されるファイルシステムの容量は、指定した容量より小さくなるおそれがあります。指定した容量でファイルシステムを作成したい場合は、十分な空き容量があるストレージプールを選択し直すか、またはストレージプールを拡張してから再度実行してください。	要因 - 対処 指定した容量でファイルシステムを作成したい場合は、十分な空き容量があるストレージプールを選択し直すか、またはストレージプールを拡張してから再度実行してください。
KAIC16380-E	選択した<ファイルサーバ名またはクラスタ名>には、ファイルシステムを作成できる EVS がありません。EVS を作成し、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作するか、または別のファイルサーバもしくはクラスタを選択してください。	要因 - 対処 EVS を作成し、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作するか、または別のファイルサーバもしくはクラスタを選択してください。
KAIC16381-E	選択した<ファイルサーバ名またはクラスタ名>には、ファイルシステムを作成できるストレージプールがありません。利用できるストレージプールを作成し、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。または別のファイルサーバもしくはクラスタを選択してください。	要因 - 対処 利用できるストレージプールを作成し、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。または別のファイルサーバもしくはクラスタを選択してください。
KAIC16382-E	ファイルシステムを作成できるファイルサーバまたはクラスタがありません。いったん操作を終了したあと、ファイルサーバの環境を見直してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了したあと、ファイルサーバの環境を見直してください。
KAIC16383-E	指定されたフィルター条件では LUSE を構成できるボリュームがありません。適当なボリュームが存在しない場合は、次の条件を満たすように、ボリュームを作成してください。 1. LUSE ボリュームに追加する場合、追加するボリュームの LDEV ID が、選択した LUSE ボリュームの最大 LDEV ID よりも大きいこと 2. 基本ボリュームを選択して LUSE にする場合、追加するボリュームの LDEV ID が、選択した基本ボリュームの LDEV ID よりも大きいこと 3. DP ボリュームでないこと 4. ドライブタイプが同じであること。ただし、1つの LUSE ボリュームに FMD と SSD は混在できます。 5. RAID レベルが同じボリュームであること 6. 内部ボリュームと外部ボリュームが混在していないこと	要因 - 対処 適当なボリュームが存在しない場合は、次の条件を満たすように、ボリュームを作成してください。 1. LUSE ボリュームに追加する場合、追加するボリュームの LDEV ID が、選択した LUSE ボリュームの最大 LDEV ID よりも大きいこと 2. 基本ボリュームを選択して LUSE にする場合、追加するボリュームの LDEV ID が、選択した基本ボリュームの LDEV ID よりも大きいこと 3. DP ボリュームでないこと 4. ドライブタイプが同じであること。ただし、1つの LUSE ボリュームに FMD と SSD は混在できます。 5. RAID レベルが同じボリュームであること 6. 内部ボリュームと外部ボリュームが混在していないこと

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC16391-W	選択したボリュームの一部にラベルを反映できません。一部のボリュームは、Device Manager がラベルを反映できないストレージシステムに属しています。	要因 一部のボリュームは、Device Manager がラベルを反映できないストレージシステムに属しています。 対処 -
KAIC16392-W	対象ブールのハードウェア階層数が <ハードウェア階層数> のため、選択した階層ポリシーの割り当てしきい値について、一部の設定 (<割り当てしきい値>) は無視されます。	要因 - 対処 -
KAIC16393-E	指定した割り当てしきい値が不正です。指定した最小値が、指定した最大値を超えています。最小値が最大値以下になるように指定してください。	要因 指定した最小値が、指定した最大値を超えています。 対処 最小値が最大値以下になるように指定してください。
KAIC16394-E	指定した割り当てしきい値が不正です。階層 1 の最小値と階層 3 の最小値の合計が 100% を超えています。100% 以下になるように指定してください。	要因 階層 1 の最小値と階層 3 の最小値の合計が 100% を超えています。 対処 100% 以下になるように指定してください。
KAIC16395-W	選択した階層ポリシーがすでに適用されているボリュームがあります。階層ポリシーをカスタマイズすると、すでに適用されているボリュームすべてに変更が適用されます。	要因 - 対処 -
KAIC16396-E	HVFP のクラスタを選択した状態では、ファイルサーバ管理画面を起動できません。対象のクラスタ名のリンクをクリックし、[物理ビュー] タブでクラスタを構成するファイルサーバを選択したあと、ファイルサーバ管理画面を起動してください。	要因 - 対処 対象のクラスタ名のリンクをクリックし、[物理ビュー] タブでクラスタを構成するファイルサーバを選択したあと、ファイルサーバ管理画面を起動してください。
KAIC16397-I	指定したファイルシステムは、異なるファイルサーバに属しています。複数のファイルシステムを削除する場合は、同じファイルサーバに属しているファイルシステムを指定してください。	要因 - 対処 複数のファイルシステムを削除する場合は、同じファイルサーバに属しているファイルシステムを指定してください。
KAIC16398-E	選択した項目には、エクスポート対象のレポートがありません。エクスポート対象のレポートがある項目を選択し直してください。	要因 - 対処 エクスポート対象のレポートがある項目を選択し直してください。
KAIC16399-W	選択した項目には、レポートがない項目が含まれています。レポートがある項目だけエクスポートします。	要因 - 対処 -
KAIC16400-E	ほかのユーザーがレポートをエクスポートしているため、エクスポートを実行できません。しばらくしてから、エクスポートを再実行してください。	要因 - 対処 しばらくしてから、エクスポートを再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16401-E	エラーが発生しました。サーバとの通信が中断されました。ネットワークの状態に問題がないこと、および Device Manager Web Service が正しく起動していることを確認してください。	要因 - 対処 ネットワークの状態に問題がないこと、および Device Manager Web Service が正しく起動していることを確認してください。
KAIC16402-E	エクスポート対象のレポートがありません。レポートが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと、レポートを確認してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了したあと、レポートを確認してください。
KAIC16403-W	エクスポート対象の一部のレポートがありません。レポートが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと、レポートを確認してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了したあと、レポートを確認してください。
KAIC16404-E	エクスポート処理中にエラーが発生しました。ネットワークの状態に問題がないこと、Device Manager Web Service が正しく起動していること、エクスポート先ドライブの空き容量が十分にあること、指定したフォルダがエクスポート先にあることを確認してください。	要因 - 対処 ネットワークの状態に問題がないこと、Device Manager Web Service が正しく起動していること、エクスポート先ドライブの空き容量が十分にあること、指定したフォルダがエクスポート先にあることを確認してください。
KAIC16405-E	スケジュール名を入力してください。	要因 - 対処 -
KAIC16406-E	スケジュール名に使用できない文字が含まれています。スケジュール名を変更してください。	要因 - 対処 スケジュール名を変更してください。
KAIC16407-E	スケジュール名が長過ぎます。スケジュール名は 64 バイト以内で入力してください。	要因 - 対処 スケジュール名は 64 バイト以内で入力してください。
KAIC16408-E	スケジュールの説明が長過ぎます。スケジュールの説明を 500 バイト以内で入力してください。	要因 - 対処 スケジュールの説明を 500 バイト以内で入力してください。
KAIC16409-E	指定できるメールアドレスは最大 10 個です。メールアドレスを 10 個以下で指定してください。	要因 - 対処 メールアドレスを 10 個以下で指定してください。
KAIC16410-E	分析可能なストレージシステムがありません。すべてのストレージシステムについて、分析をサポートしていないか、または Tuning Manager で監視していないおそれがあります。	要因 - 対処 ダイアログを閉じて、Tuning Manager がストレージシステムを監視しているか確認してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	ダイアログを閉じて、Tuning Manager がストレージシステムを監視しているか確認してください。	
KAIC16411-W	ヘルスチェックをサポートしていないストレージシステムが含まれています。これらを見捨てます。(ストレージシステム名:<ストレージシステム名>)	要因 - 対処 -
KAIC16412-W	Tuning Manager で監視していないおそれがあるストレージシステムが含まれています。これらを見捨てます。(ストレージシステム名:<ストレージシステム名>) 対象ストレージシステムを分析対象としてスケジュールに追加するためには、Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。	要因 - 対処 対象ストレージシステムを分析対象としてスケジュールに追加するためには、Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC16413-W	Tuning Manager で監視していないおそれがあるストレージシステムが含まれています。これらを分析対象から外します。(ストレージシステム名:<ストレージシステム名>) 対象ストレージシステムを分析対象としてスケジュールに追加するためには、Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。	要因 - 対処 対象ストレージシステムを分析対象としてスケジュールに追加するためには、Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC16414-W	Device Manager に登録されていないおそれがあるストレージシステムが含まれています。これらを分析対象から外します。(ストレージシステム名:<ストレージシステム名>) 対象ストレージシステムを分析対象としてスケジュールに追加するためには、Device Manager および Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。	要因 - 対処 対象ストレージシステムを分析対象としてスケジュールに追加するためには、Device Manager および Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC16415-W	Tuning Manager からの情報取得が実施されていないストレージシステムが含まれています。(ストレージシステム名:<ストレージシステム名>) 対象ストレージシステムに対して、ヘルスチェックのスケジュール実行をするためには、Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。	要因 - 対処 対象ストレージシステムに対して、ヘルスチェックのスケジュール実行をするためには、Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC16416-W	Tuning Manager から情報を取得できないストレージシステムが含まれています。(ストレージシステム名:<ストレージシステム名>) 対象ストレージシステムに対して、ヘルスチェックのスケジュール実行をするためには、Tuning Manager が対象ストレージシ	要因 - 対処 対象ストレージシステムに対して、ヘルスチェックのスケジュール実行をするためには、Tuning Manager が対象ストレージシ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	システムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。	いるか確認したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC16417-W	ストレージシステムの情報が最新ではないおそれがあるストレージシステムが含まれています。(ストレージシステム名:<ストレージシステム名>) 対象ストレージシステムについて、ヘルスチェックをスケジュール実行するためには、 Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。	要因 - 対処 対象ストレージシステムについて、ヘルスチェックをスケジュール実行するためには、 Tuning Manager が対象ストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC16418-E	SMTP サーバのホスト名または IP アドレスの設定に誤りがあるため、ヘルスチェックのスケジュール実行結果をメールで通知できないおそれがあります。ヘルスチェックのスケジュール実行の結果をメールで通知するためには、SMTP サーバのホスト名または IP アドレスを正しく設定してください。	要因 - 対処 ヘルスチェックのスケジュール実行の結果をメールで通知するためには、SMTP サーバのホスト名または IP アドレスを正しく設定してください。
KAIC16419-W	SMTP サーバのポート番号の設定に誤りがあるため、ヘルスチェックのスケジュール実行結果をメールで通知できないおそれがあります。ヘルスチェックのスケジュール実行の結果をメールで通知するためには、SMTP サーバのポート番号を正しく設定してください。	要因 - 対処 ヘルスチェックのスケジュール実行の結果をメールで通知するためには、SMTP サーバのポート番号を正しく設定してください。
KAIC16420-W	メール通知が無効に設定されているため、[通知設定] の [実行結果を E-mail で通知する] を選択しても、メールは送信されません。	要因 - 対処 -
KAIC16421-W	サマータイムに切り替わる時間帯に実行時刻が指定されています。<スキップ対象となる実行日時>でのヘルスチェックは実行されません。分析期間または実行時刻の指定を見直してください。	要因 - 対処 分析期間または実行時刻の指定を見直してください。
KAIC16422-W	参考ボリュームの割り当て設定を再現できません。ストレージシステムが変更されたため、参考ボリュームの割り当て設定が再現できなくなりました。割り当て設定を再現するためにはこのダイアログを閉じ、再度操作してください。	要因 ストレージシステムが変更されたため、参考ボリュームの割り当て設定が再現できなくなりました。 対処 割り当て設定を再現するためにはこのダイアログを閉じ、再度操作してください。
KAIC16423-E	エクスポート画面表示中に予期しないエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 - 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC16424-E	エクスポート処理中に予期しない内部エラーが発生しました。原因究明と問	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC16425-W	Device Manager のボリュームラベルおよびプール名は、ストレージシステムのボリュームラベルおよびプール名ですべて上書きされます。	要因 - 対処 -
KAIC16426-W	ストレージシステムのボリュームラベルを上書きします。	要因 - 対処 -
KAIC16427-W	ストレージシステムのボリュームラベルを、現在の Device Manager のボリュームラベルで上書きします。	要因 - 対処 -
KAIC16428-W	ストレージシステムのプール名を上書きします。	要因 - 対処 -
KAIC16429-W	最大予約率または警告予約率を片方だけ設定することはできません。設定されていない予約率しきい値にデフォルト値を設定しました。	要因 - 対処 -
KAIC16430-E	入力したユーザー/グループ名はすでに使用されているため、使用できません。別のユーザー/グループ名を入力してください。	要因 - 対処 別のユーザー/グループ名を入力してください。
KAIC16431-E	ユーザー/グループ名が長過ぎます。＜文字列長＞以下で入力してください。	要因 - 対処 ＜文字列長＞以下で入力してください。
KAIC16432-E	アクセス設定に入力した文字列が長過ぎます。＜文字列長＞以下で入力してください。	要因 - 対処 ＜文字列長＞以下で入力してください。
KAIC16433-W	選択した共有には、ファイルシステムが関連づけられていません。そのため、操作に失敗するおそれがあります。問題がある場合は、共有を編集できる状態のファイルシステムを EVS に作成し、この共有と関連づけてください。そのあと、再度操作してください。	要因 - 対処 問題がある場合は、共有を編集できる状態のファイルシステムを EVS に作成し、この共有と関連づけてください。そのあと、再度操作してください。
KAIC16434-W	選択した共有には、ファイルシステムが関連づけられていません。そのため、操作に失敗するおそれがあります。問題がある場合は、ファイルシステムを選択してください。	要因 - 対処 問題がある場合は、ファイルシステムを選択してください。
KAIC16435-E	入力した値が範囲外です。＜最小値＞から＜最大値＞までの整数値を入力してください。	要因 - 対処 ＜最小値＞から＜最大値＞までの整数値を入力してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16436-E	パスの形式が正しくありません。使用できるセパレーターは<使用できるセパレータ>です。セパレーターは連続して使用できません。	要因 - 対処 使用できるセパレーターは<使用できるセパレータ>です。セパレーターは連続して使用できません。
KAIC16437-E	性能情報がないため、グラフを表示できません。この HDT プールに対してモニタリングを実行したあと、再度操作を実行してください。	要因 - 対処 この HDT プールに対してモニタリングを実行したあと、再度操作を実行してください。
KAIC16438-W	最新の性能グラフを作成中です。性能グラフを表示できません。詳細メッセージに従って対処したあと、[表示更新] ボタンをクリックするか、または画面を再表示してください。(詳細: <メッセージ>)	要因 - 対処 詳細メッセージに従って対処したあと、[表示更新] ボタンをクリックするか、または画面を再表示してください。(詳細: <メッセージ>)
KAIC16439-W	最新の性能グラフを作成中です。表示されている情報は最新ではないおそれがあります。しばらくしてから、[表示更新] ボタンをクリックするか、または画面を再表示してください。	要因 - 対処 しばらくしてから、[表示更新] ボタンをクリックするか、または画面を再表示してください。
KAIC16440-W	指定したパスはありません。[パスが存在しない場合にパスを作成する]チェックボックスを選択していないため、この操作に失敗するおそれがあります。問題がある場合は、[パスが存在しない場合にパスを作成する]チェックボックスを選択してください。	要因 [パスが存在しない場合にパスを作成する]チェックボックスを選択していないため、この操作に失敗するおそれがあります。 対処 問題がある場合は、[パスが存在しない場合にパスを作成する]チェックボックスを選択してください。
KAIC16441-I	CIFS 共有のアクセス設定の処理に失敗した場合、すべてのクライアントがアクセスできる状態で CIFS 共有が作成されます。	要因 - 対処 -
KAIC16442-I	NFS 共有のアクセス設定の処理に失敗した場合、すべてのクライアントがアクセスできる状態で NFS 共有が作成されます。	要因 - 対処 -
KAIC16443-I	CIFS 共有を作成してから、Everyone ユーザーの権限を指定した内容で更新します。そのため、権限の設定処理に失敗した場合、Everyone ユーザーにフルコントロールを許可した状態で CIFS 共有が作成されます。	要因 - 対処 -
KAIC16444-W	この共有に対して変更がありません。	要因 - 対処 -
KAIC16445-W	DP プールの予約率が最大予約率を超えても、DP ボリュームを作成および拡張できます。	要因 - 対処 -
KAIC16446-W	超過時 VOL 操作強制実行オプションが有効であるため、操作を続行すると DP	要因 -

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	プールの予約率 (<予約率>%) が最大予約率 (<最大予約率>%) を超えません。	対処 -
KAIC16447-W	超過時 VOL 操作強制実行オプションが有効であるため、DP プールの予約率 (<予約率>%) がすでに最大予約率 (<最大予約率>%) を超えています。	要因 - 対処 -
KAIC16448-W	ファイルシステムの割り当て容量の上限に、ストレージプールの容量より大きい値が指定されています。そのため、割り当て容量の上限が正しく設定されないおそれがあります。指定した割り当て容量の上限の値を確認してください。問題がなければ、ファイルシステムを拡張してください。	要因 - 対処 指定した割り当て容量の上限の値を確認してください。問題がなければ、ファイルシステムを拡張してください。
KAIC16449-W	選択したファイルシステムの容量が不明のため、正しい情報を表示できません。正しい情報を表示したい場合は、ファイルシステムの状態を確認し、正常な状態に戻し、SMU で同期操作を実行して Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから操作し直してください。	要因 - 対処 正しい情報を表示したい場合は、ファイルシステムの状態を確認し、正常な状態に戻し、SMU で同期操作を実行して Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから操作し直してください。
KAIC16450-E	現在のファイルシステムの容量より小さい値は入力できません。<現在の容量>以上の値を入力してください。	要因 - 対処 <現在の容量>以上の値を入力してください。
KAIC16451-E	ストレージプール名が長過ぎます。<文字列長>以下で入力してください。	要因 - 対処 <文字列長>以下で入力してください。
KAIC16452-E	ストレージプール名に使用できない文字が含まれています。次の文字は使用できません。:<使用不可の文字>, 全角文字	要因 - 対処 -
KAIC16453-W	ホストグループに選択したボリューム以外のボリュームが割り当てられています。それらのボリュームは追加するホストポートからもアクセス可能になります。	要因 - 対処 -
KAIC16454-E	本操作で割り当てられるホストがありません。いったん操作を終了し、ホストを確認してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了し、ホストを確認してください。
KAIC16455-E	選択したストレージシステムでは、ブロック数に奇数を指定できません。容量をブロック以外の単位で指定するか、ブロック数を偶数で指定してください。または、奇数のブロック数をサポートしているストレージシステムを選択してください。	要因 - 対処 容量をブロック以外の単位で指定するか、ブロック数を偶数で指定してください。または、奇数のブロック数をサポートしているストレージシステムを選択してください。
KAIC16456-E	[IP アドレス/ホスト名]に入力した("<コントローラ 0 >", "<コントローラ 1	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	>)は、入力形式が統一されていません。入力形式をIPアドレスまたはホスト名のどちらかに統一してください。	対処 入力形式をIPアドレスまたはホスト名のどちらかに統一してください。
KAIC16457-I	指定した WWN (< WWN >) は、すでに[WWN ペア]に設定されています。WWN (< WWN >) を設定したペアを確認してください。	要因 - 対処 WWN (< WWN >) を設定したペアを確認してください。
KAIC16458-W	選択したホスト (<ホスト名>) の情報は編集されません。操作を実行すると、LUN パス情報の操作と WWN ニックネーム設定の操作は実施されますが、ホストの情報は変更されません。操作後にホストの情報を更新してください。	要因 - 対処 操作後にホストの情報を更新してください。
KAIC16459-W	選択したホスト (<ホスト名>) には iSCSI ターゲットが含まれています。iSCSI ターゲットは表示されません。	要因 - 対処 -
KAIC16460-W	選択した WWN (< wwn >) が割り当てられているホストグループに、割り当てられているボリュームがありません。ほかの WWN を選択するか、リソースの状態を確認し、問題がなければ操作を継続してください。	要因 - 対処 ほかの WWN を選択するか、リソースの状態を確認し、問題がなければ操作を継続してください。
KAIC16461-W	選択した WWN ペアはすでに追加されています。(新規 WWN=<新規 WWN > 既存 WWN=<既存 WWN >)ほかの WWN ペアを選択してください。	要因 - 対処 ほかの WWN ペアを選択してください。
KAIC16462-W	選択した WWN ペアはすでに追加されています。(新規 WWN=<新規 WWN > 既存 WWN=<既存 WWN >)ほかの WWN ペアを選択してください。	要因 - 対処 ほかの WWN ペアを選択してください。
KAIC16463-E	ニックネームに使用できない文字が含まれています。ニックネームに使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, !, #, \$, %, &, ", (,), +, ', !, !, !, !, @, [,], ^, _ , {, }, ~, '。	要因 - 対処 ニックネームに使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, !, #, \$, %, &, ' , (,) , +, ', !, !, !, !, @, [,], ^, _ , {, }, ~, '。
KAIC16464-E	ニックネームに使用できない文字が含まれています。ニックネームに使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, !, #, \$, %, &, ", (,), +, ', !, !, !, !, @, [,], ^, _ , {, }, ~, '。	要因 - 対処 ニックネームに使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, !, #, \$, %, &, ' , (,) , +, ', !, !, !, !, @, [,], ^, _ , {, }, ~, '。
KAIC16465-E	ニックネームが長過ぎます。 <文字列長>文字以下で入力してください。	要因 - 対処 <文字列長>文字以下で入力してください。
KAIC16466-I	下記の WWN にはホストグループごとに異なるニックネームが設定されています。この操作を続行すると、ホストグループごとに設定されているすべてのニックネームが下記のとおり変更され	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ます。操作を続行しますか？<WWNと変更するニックネーム>	
KAIC16467-W	WWN ニックネームが不正です。ニックネームの文字数が長過ぎるか、ニックネームに使用できない文字が設定されています。ニックネームを見直してください。または、ホストグループごとにWWN ニックネームを編集してください。	要因 - 対処 ニックネームを見直してください。または、ホストグループごとに WWN ニックネームを編集してください。
KAIC16468-E	SMTP サーバのホスト名または IP アドレスの設定に誤りがあるため、ヘルスチェックのタスクの実行結果をメールで通知できないおそれがあります。ヘルスチェックのタスクの実行結果をメールで通知するためには、SMTP サーバのホスト名または IP アドレスを正しく設定してください。	要因 - 対処 ヘルスチェックのタスクの実行結果をメールで通知するためには、SMTP サーバのホスト名または IP アドレスを正しく設定してください。
KAIC16469-W	SMTP サーバのポート番号の設定に誤りがあるため、ヘルスチェックのタスクの実行結果をメールで通知できないおそれがあります。ヘルスチェックのタスクの実行結果をメールで通知するためには、SMTP サーバのポート番号を正しく設定してください。	要因 - 対処 ヘルスチェックのタスクの実行結果をメールで通知するためには、SMTP サーバのポート番号を正しく設定してください。
KAIC16470-I	暗号化するドライブが<暗号化対象ドライブ数>台あります。暗号化してもよいドライブであることを確認してください。	要因 - 対処 暗号化してもよいドライブであることを確認してください。
KAIC16471-I	選択したホストが多いため、削除に時間が掛かるおそれがあります。一度に削除するホスト数は<ホスト数上限値>台以下を推奨します。	要因 - 対処 -
KAIC16472-W	指定したホストに割り当てられたボリュームの数が<ボリューム数上限値>を超えています。一部のボリュームを解除して、再実行してください。	要因 - 対処 一部のボリュームを解除して、再実行してください。
KAIC16473-I	選択したタスクはすでに再開始されているため、最後に再開始されたタスクの内容を表示しています。	要因 - 対処 -
KAIC16474-E	指定した WWN ペアは同じ値 (WWN:<wwn >) が指定されています。ほかの WWN ペアを選択してください。	要因 - 対処 ほかの WWN ペアを選択してください。
KAIC16476-W	HNAS に割り当てるボリュームのパス数が 17 本以上のため、HNAS が予期しない動作をするおそれがあります。パス数が 16 本以下になるように、手動でパスを編集し、再実行してください。	要因 - 対処 パス数が 16 本以下になるように、手動でパスを編集し、再実行してください。
KAIC16477-E	同じ WWN は追加できません。(WWN=<wwn >)ほかの WWN ペアを選択してください。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ほかの WWN ペアを選択してください。
KAIC16478-E	指定された WWN(<追加する WWN >)はホスト(<ホスト名 >)ですで使用されています。	要因 - 対処 -
KAIC16479-W	削除対象のホストグループには、ホストに登録されていない WWN が含まれています。この操作を続行すると、ホストグループは削除されます。 (ホストに登録されていない WWN:< WWN >) (該当するホストグループ:<ホストグループ >)	要因 - 対処 -
KAIC16480-W	選択したホスト (<ホスト名 >) の情報は編集されません。操作を実行すると、LUN パス情報の操作は実施されますが、ホストの情報は変更されません。操作実行後にホストの情報を更新してください。	要因 - 対処 操作実行後にホストの情報を更新してください。
KAIC16481-E	ホストグループにホストポートの WWN が設定されているストレージシステムが見つかりません。または、ポートやホストグループに対して操作に必要な権限がありません。ホストポートの WWN が設定されているホストグループを持つストレージシステムを追加してください。または、対象のポートとホストグループをリソースグループに登録し、そのリソースグループに Modify 権限があるユーザーで操作するか、All Resources に Modify 権限があるユーザーで操作してください。	要因 - 対処 ホストポートの WWN が設定されているホストグループを持つストレージシステムを追加してください。または、対象のポートとホストグループをリソースグループに登録し、そのリソースグループに Modify 権限があるユーザーで操作するか、All Resources に Modify 権限があるユーザーで操作してください。
KAIC16482-I	追加する WWN がすでに既存のホストグループに存在する場合、[関連する LUN パス情報]は表示されません。	要因 - 対処 -
KAIC16483-I	このストレージシステムはデータのシュレディングをサポートしていないため、シュレディングではなくフォーマットが実行されます。	要因 - 対処 -
KAIC16484-I	選択したボリュームの一部は、データのシュレディングおよびフォーマットができないため、それらのボリュームに対する処理はスキップされます。必要に応じて選択したボリュームの設定を見直してください。	要因 - 対処 必要に応じて選択したボリュームの設定を見直してください。
KAIC16485-E	選択したボリュームはどれもデータのシュレディングおよびフォーマットできません。選択したボリュームの設定を見直してください。	要因 - 対処 選択したボリュームの設定を見直してください。
KAIC16486-E	仮想化に使用できるボリュームがありません。	要因 - 対処 -

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC16487-E	選択したボリュームの数が上限を超えています。選択するボリュームの数を 500 個以下に減らしてください。	要因 - 対処 選択するボリュームの数を 500 個以下に減らしてください。
KAIC16488-E	仮想化サーバの場合は、iSCSI はサポートしていません。iSCSI ネームを削除するか、別の OS タイプを選択してください。	要因 - 対処 iSCSI ネームを削除するか、別の OS タイプを選択してください。
KAIC16489-W	選択した WWN は、すでにほかのホストに設定されています。既存のホストから WWN を削除して登録中のホストに設定します。 (ホスト:< <i>hostData</i> >)	要因 - 対処 -
KAIC16490-I	指定した外部ストレージシステムは、 Device Manager に登録されたストレージシステムではないため、ボリュームの割り当ては解除されません。	要因 - 対処 -
KAIC16491-W	選択したパリティグループに属している内部ボリュームは削除されます。	要因 - 対処 -
KAIC16492-W	仮想化を解除できないパリティグループがあります。仮想化を解除できるパリティグループだけが次の一覧に追加されています。仮想化できないパリティグループを確認するには、パリティグループ選択をクリックしてください。	要因 - 対処 -
KAIC16494-E	仮想化を解除できるパリティグループがありません。仮想化を解除できないパリティグループを確認するには、パリティグループ選択をクリックしてください。	要因 - 対処 仮想化を解除できないパリティグループを確認するには、パリティグループ選択をクリックしてください。
KAIC16495-W	仮想化を解除できないパリティグループがあります。次の一覧を確認してください。	要因 - 対処 -
KAIC16496-E	仮想化を解除できるパリティグループがありません。	要因 - 対処 -
KAIC16498-W	未割り当ての DP ボリュームに対して、指定した CLPR が設定されます。割り当て済みの DP ボリュームの CLPR は変更されません。	要因 - 対処 -
KAIC16499-W	未割り当ての DP ボリュームに対して、指定した CLPR が設定されます。割り当て済みの DP ボリュームの CLPR は変更されません。プラン詳細のボリューム情報を確認してください。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16500-I	内部ストレージシステムに Universal Volume Manager がインストールされていません。Universal Volume Manager がインストールされていない場合は、リモートコマンドデバイスだけが作成できます。	要因 - 対処 -
KAIC16501-E	内部ストレージシステムに利用可能なポートが見つかりません。ポートの設定確認をお勧めします。	要因 - 対処 -
KAIC16502-I	指定したプール (< <i>selected pool ID</i> >) の、次の性能情報がありません。: < <i>legend labels of metrics that has no data</i> >。指定した期間に、< <i>"Performance Advisor" or Tuning Manager</i> >がプール (< <i>selected pool ID</i> >) を監視しているか確認したあと、再実行してください。指定したプールが監視されているか確認してください。	要因 - 対処 指定したプールが監視されているか確認してください。
KAIC16503-I	指定した IOPS の値域の上限より大きな読み込み/書き込み IOPS があるため、IOPS の値域を拡張しました。表示されている IOPS より大きな値を指定してください。	要因 - 対処 表示されている IOPS より大きな値を指定してください。
KAIC16504-W	仮想化を解除できないパリティグループがあります。プラン詳細を確認してください。	要因 - 対処 -
KAIC16505-W	削除できないホストグループがあります。プラン詳細を確認してください。	要因 - 対処 -
KAIC16506-W	LUSE を解除できない外部ボリュームがあります。プラン詳細を確認してください。	要因 - 対処 -
KAIC16507-W	削除または LUSE を解除できない外部ボリュームがあります。プラン詳細を確認してください。	要因 - 対処 -
KAIC16508-E	仮想化を解除できるパリティグループがありません。プラン詳細を確認してください。	要因 - 対処 -
KAIC16509-W	この外部ストレージシステムからはシリアル番号を取得できません。このモデルのストレージシステムが複数接続されている場合は、1 台の外部ストレージシステムに属するパスだけが正しく選択されるように設定してください。	要因 - 対処 -
KAIC16510-E	利用できるパスがどのポートにも見つかりません。ポート、パス、外部ストレージシステムを確認してください。	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		-
KAIC16511-W	次のポートには利用できるパスが見つかりません:<portsWithoutPaths>。ポート、パス、外部ストレージシステムを確認してください。	要因 - 対処 -
KAIC16512-W	削除できない外部ボリュームがあります。プラン詳細を確認してください。	要因 - 対処 -
KAIC16513-W	このモデルのストレージシステムは、1台ごとに識別できません。このモデルのストレージシステムが複数接続されている場合は、外部ストレージポートWWNで外部ストレージシステムを特定してください。外部ストレージポートWWNが表示されていないときは、[列の表示・非表示] ダイアログで設定してください。	要因 - 対処 -
KAIC16514-W	利用できないボリュームが見つかりました。検出された外部ボリュームの仮想化可否を確認してください。	要因 - 対処 -
KAIC16515-E	利用できるボリュームが見つかりません。外部パスを再度選択してボリュームを探索してください。	要因 - 対処 -
KAIC16516-E	パリティグループが見つかりません。別のストレージシステムを選択してください。	要因 - 対処 別のストレージシステムを選択してください。
KAIC16517-I	異なる外部LDEV階層ランクのプールボリュームが階層3に混在しています。	要因 - 対処 -
KAIC16850-E	選択した対象の情報が表示できません。[モビリティ] タブでストレージシステムを選択した場合は、選択したストレージシステムの情報を[リソース] タブで確認してください。[モビリティ] タブでHUS100シリーズのHDT プールを選択した場合、または対象に"-" (ハイフン) が表示されている場合は、表示する情報はありません。それ以外の場合は、ツリーの表示を更新してください。(保守情報=<ノード名>)	要因 - 対処 [モビリティ] タブでストレージシステムを選択した場合は、選択したストレージシステムの情報を[リソース] タブで確認してください。[モビリティ] タブでHUS100シリーズのHDT プールを選択した場合、または対象に"-" (ハイフン) が表示されている場合は、表示する情報はありません。それ以外の場合は、ツリーの表示を更新してください。(保守情報=<ノード名>)
KAIC16851-E	選択したレポートを閲覧する権限がありません。システム管理者に問い合わせさせて権限を見直してください。(保守情報=<レポート名>)	要因 - 対処 システム管理者に問い合わせさせて権限を見直してください。(保守情報=<レポート名>)
KAIC16900-E	予期しないエラーが発生しました。システム管理者に問い合わせてください。(保守情報:<保守情報>)	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		システム管理者に問い合わせてください。(保守情報: <保守情報>)
KAIC16901-E	サーバとの接続に失敗しました。次の理由が考えられます: (1) ネットワークに障害が発生している, (2) 一時的にサーバの負荷が高くなっている, (3) サーバが停止しているしばらくしてから, 再度操作を実行してください。同じエラーが何度も発生する場合, サーバが起動しているか確認してください。(保守情報: <保守情報>)	要因 - 対処 しばらくしてから, 再度操作を実行してください。同じエラーが何度も発生する場合, サーバが起動しているか確認してください。(保守情報: <保守情報>)
KAIC16902-E	サーバとの接続がタイムアウトしました。ネットワークに障害が発生しているか, 一時的にサーバの負荷が高くなっているおそれがあります。しばらくしてから, 再度操作を実行してください。ボリュームの検索でエラーが繰り返し発生する場合は, 指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように, 条件を指定し直してください。(保守情報: <保守情報>)	要因 - 対処 しばらくしてから, 再度操作を実行してください。ボリュームの検索でエラーが繰り返し発生する場合は, 指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように, 条件を指定し直してください。(保守情報: <保守情報>)
KAIC16993-E	予期しないエラーが発生しました。再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には, 原因究明と問題の解決には, 詳細な調査が必要です。障害情報を収集し, 障害対応窓口ご連絡してください。(保守情報: <保守情報>)	要因 - 対処 再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には, 原因究明と問題の解決には, 詳細な調査が必要です。障害情報を収集し, 障害対応窓口ご連絡してください。
KAIC17001-E	データベースの処理中にエラーが発生しました。データベースの処理中にエラーが発生しました。再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には, 原因究明と問題の解決には, 詳細な調査が必要です。障害情報を収集し, 障害対応窓口ご連絡してください。	要因 データベースの処理中にエラーが発生しました。 対処 再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には, 原因究明と問題の解決には, 詳細な調査が必要です。障害情報を収集し, 障害対応窓口ご連絡してください。
KAIC17002-E	データベースの処理中に予期しないエラーが発生しました。データベースの処理中に内部エラーが発生しました。原因究明と問題の解決には, 詳細な調査が必要です。障害情報を収集し, 障害対応窓口ご連絡してください。	要因 データベースの処理中に内部エラーが発生しました。 対処 原因究明と問題の解決には, 詳細な調査が必要です。障害情報を収集し, 障害対応窓口ご連絡してください。
KAIC17006-E	プロパティの値が不正です。プロパティファイルの読み込みを中止します。プロパティファイル名:<プロパティファイル名>, プロパティ:<プロパティ名>指定したプロパティの値が不正です。正しいプロパティを指定し直してください。	要因 指定したプロパティの値が不正です。 対処 正しいプロパティを指定し直してください。
KAIC17007-E	必要なプロパティを指定していません。プロパティファイルの読み込みを中止します。プロパティファイル名:<プロパティファイル名>, プロパティ:<プロパティ名>	要因 必要なプロパティを指定していません。 対処 必要なプロパティを指定し直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	必要なプロパティを指定していません。 必要なプロパティを指定し直してください。	
KAIC17009-E	パラメタ <パラメーター名> が null です。クラス=<クラス名>, メソッド=<メソッド名>原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 - 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC17010-I	前回のマイグレーション時に解放できなかったリソースを解放します。(ストレージシステム名:<ストレージシステム名>)	要因 - 対処 -
KAIC17011-I	前回のマイグレーション時に解放できなかったリソースを解放しました。(ストレージシステム名:<ストレージシステム名>)	要因 - 対処 -
KAIC17012-E	前回のマイグレーション時に解放できなかったリソースを解放しました。解放できないリソースがあるため、次回リフレッシュ時にもう一度解放処理をします。(ストレージシステム名:<ストレージシステム名>)ストレージシステム内で意図しないマイグレーションを実行していたため、マイグレーションリソースを解放できませんでした。しばらくしてから、ストレージシステムの情報を更新してください。	要因 ストレージシステム内で意図しないマイグレーションを実行していたため、マイグレーションリソースを解放できませんでした。 対処 しばらくしてから、ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC17013-E	前回のマイグレーション時に解放できなかったリソースを解放する際に、エラーが発生しました。(ストレージシステム名:<ストレージシステム名>)ストレージシステムの操作でエラーが発生したため、マイグレーションリソースを解放できませんでした。対処は次のとおりです。 メッセージログに表示されている場合： 直前に出力されている同じ ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再実行してください。それでも解決しない場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合： このメッセージの前後にメッセージが出力されている場合は、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていない場合は、再実行してください。それでも解決しない場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 ストレージシステムの操作でエラーが発生したため、マイグレーションリソースを解放できませんでした。 対処 対処は次のとおりです。 メッセージログに表示されている場合： 直前に出力されている同じ ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再実行してください。それでも解決しない場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合： このメッセージの前後にメッセージが出力されている場合は、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていない場合は、再実行してください。それでも解決しない場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ない場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	
KAIC17014-E	ストレージシステムの処理でエラーが発生しました。(ストレージシステム名:<ストレージシステム名>, エラーコード 1=<ストレージシステムのエラーコード 1>, エラーコード 2=<ストレージシステムのエラーコード 2>, 保守情報=<保守情報>) ストレージシステムでの処理でエラーが発生しました。Storage Navigator のマニュアルを参照して対処したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。 "ストレージシステムのエラーコード 1" は部位コード, "ストレージシステムのエラーコード 2" はエラーコードに対応します。	要因 ストレージシステムでの処理でエラーが発生しました。 対処 Storage Navigator のマニュアルを参照して対処したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。 "ストレージシステムのエラーコード 1" は部位コード, "ストレージシステムのエラーコード 2" はエラーコードに対応します。
KAIC17015-E	ストレージシステムでの処理でエラーが発生しました。(ストレージシステム名:<ストレージシステム名>, エラーコード 1=<ストレージシステムのエラーコード 1>, エラーコード 2=<ストレージシステムのエラーコード 2>) ストレージシステムでの処理でエラーが発生しました。エラーコード 1 を特定できない場合は, "-1" が表示されます。Storage Navigator のマニュアルを参照して対処したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。 "ストレージシステムのエラーコード 1" は部位コード, "ストレージシステムのエラーコード 2" はエラーコードに対応します。	要因 ストレージシステムでの処理でエラーが発生しました。エラーコード 1 を特定できない場合は, "-1" が表示されます。 対処 Storage Navigator のマニュアルを参照して対処したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。 "ストレージシステムのエラーコード 1" は部位コード, "ストレージシステムのエラーコード 2" はエラーコードに対応します。
KAIC17016-E	マイグレーション対象のストレージシステムにプログラムプロダクト(<プログラムプロダクト名>)がインストールされていません。(ストレージシステム名:<ストレージシステム名>) ストレージシステムにプログラムプロダクトがインストールされていないか、またはライセンスが登録されていません。ストレージシステムにプログラムプロダクトをインストールしてください。または、Storage Navigator からライセンスを登録してください。そのあと、ストレージシステムの情報を更新してください。	要因 ストレージシステムにプログラムプロダクトがインストールされていないか、またはライセンスが登録されていません。 対処 ストレージシステムにプログラムプロダクトをインストールしてください。または、Storage Navigator からライセンスを登録してください。そのあと、ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC17017-E	ストレージシステムの制限によって、次のボリュームをマイグレーションできません。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名>", マイグレーションできない理由:"<マイグレーションできない理由>", コントローラー論理デ	要因 メッセージに表示されたストレージシステムの制限のため、マイグレーションできないボリュームがあります。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>バイス番号:<コントローラ論理デバイス番号>メッセージに表示されたストレージシステムの制限のため、マイグレーションできないボリュームがあります。マイグレーションに関する制限事項に該当しないように、ストレージシステムの設定を変更したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。</p> <p>または、マイグレーションに関する制限事項に該当するLUを構成するすべてのLDEVに対して、移動先ボリュームを移動元ボリューム自身に設定してください。</p>	<p>マイグレーションに関する制限事項に該当しないように、ストレージシステムの設定を変更したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。</p> <p>または、マイグレーションに関する制限事項に該当するLUを構成するすべてのLDEVに対して、移動先ボリュームを移動元ボリューム自身に設定してください。</p>
KAIC17018-E	<p>ストレージシステムの制限によって、次のボリュームを移動先ボリュームとして使用できません。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名>",マイグレーションできない理由:"<マイグレーションできない理由>",コントローラ論理デバイス番号:<コントローラ論理デバイス番号>メッセージに表示されたストレージシステムの制限のため、マイグレーションできないボリュームがあります。マイグレーションに関する制限事項に該当しないように、ストレージシステムの設定を変更したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。</p> <p>または、移動先にできるほかのボリュームを指定してください。</p>	<p>要因 メッセージに表示されたストレージシステムの制限のため、マイグレーションできないボリュームがあります。</p> <p>対処 マイグレーションに関する制限事項に該当しないように、ストレージシステムの設定を変更したあと、ストレージシステムの情報を更新してください。</p> <p>または、移動先にできるほかのボリュームを指定してください。</p>
KAIC17019-E	<p>マイグレーションできるボリュームが含まれていません。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名>"指定したボリュームに、マイグレーションできるボリュームが一つも含まれていません。マイグレーションできるボリュームを追加してください。</p>	<p>要因 指定したボリュームに、マイグレーションできるボリュームが一つも含まれていません。</p> <p>対処 マイグレーションできるボリュームを追加してください。</p>
KAIC17020-E	<p>マイグレーションの際にボリュームを作成できません。指定したストレージシステムは、仮想ボリュームグループ数が上限に達しています。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名>"指定したストレージシステムは、仮想ボリュームグループ数が上限に達しているため、ボリュームを作成できません。不要な仮想ボリュームグループを削除してください。ストレージシステムの情報を更新したあと、マイグレーションタスクを作成し直してください。</p>	<p>要因 指定したストレージシステムは、仮想ボリュームグループ数が上限に達しているため、ボリュームを作成できません。</p> <p>対処 不要な仮想ボリュームグループを削除してください。ストレージシステムの情報を更新したあと、マイグレーションタスクを作成し直してください。</p>
KAIC17021-E	<p>指定した移動元ボリュームと移動先ボリュームの組み合わせでは、マイグレーションプランを作成できません。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名>",マイグレーションできない理由</p>	<p>要因 指定したプールへマイグレーションできるボリュームが、一つも含まれていません。</p> <p>対処 マイグレーションできない理由が Emulation の場合</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>由:"< I:マイグレーションできない理由 >"</p> <p>指定したプールへマイグレーションできるボリュームが、一つも含まれていません。マイグレーションできない理由が Emulation の場合： 移動元ボリュームと同じエミュレーションタイプのボリュームを含む移動先を指定してください。 または、マイグレーションできるボリュームを移動元に追加してください。 マイグレーションできない理由が LUSE の場合： ボリューム検索条件を指定して作成した移動先を指定してください。 または、マイグレーションできるボリュームを移動元に追加してください。 マイグレーションできない理由が SamePool の場合： 移動元ボリュームが含まれるプールと異なるプールを指定してください。 または、移動先にボリュームの検索条件を指定してください。</p>	<p>移動元ボリュームと同じエミュレーションタイプのボリュームを含む移動先を指定してください。</p> <p>または、マイグレーションできるボリュームを移動元に追加してください。</p> <p>マイグレーションできない理由が LUSE の場合： ボリューム検索条件を指定して作成した移動先を指定してください。または、マイグレーションできるボリュームを移動元に追加してください。</p> <p>マイグレーションできない理由が SamePool の場合： 移動元ボリュームが含まれるプールと異なるプールを指定してください。または、移動先にボリュームの検索条件を指定してください。</p>
KAIC17022-E	<p>マイグレーションできるプールが、指定したプールに含まれていません。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名 >"指定したプールに、マイグレーションできるプールが一つも含まれていません。マイグレーションできるプールを、移動先に追加してください。</p>	<p>要因 指定したプールに、マイグレーションできるプールが一つも含まれていません。</p> <p>対処 マイグレーションできるプールを、移動先に追加してください。</p>
KAIC17023-E	<p>ストレージシステムの情報が最新ではありません。Device Manager が保有しているストレージシステムの情報が最新ではないため、処理を実行できません。</p> <p>システム管理者は WebServiceMessage ログファイルを参照し、メッセージに応じて対処してください。</p> <p>KAIC17012-E または KAIC17013-E が出力されている場合: メッセージに応じて対処してください。</p> <p>KAIC17010-I が出力されていない場合: ストレージシステムの情報を更新したあと、WebServiceMessage ログファイルで KAIC17011-I を確認してから再実行してください。</p> <p>KAIC17010-I が出力されている場合: WebServiceMessage ログファイルで KAIC17011-I を確認してから再実行してください。</p> <p>KAIC17011-I が出力されている場合: 再実行してください。</p>	<p>要因 Device Manager が保有しているストレージシステムの情報が最新ではないため、処理を実行できません。</p> <p>対処 システム管理者は WebServiceMessage ログファイルを参照し、メッセージに応じて対処してください。</p> <p>KAIC17012-E または KAIC17013-E が出力されている場合: メッセージに応じて対処してください。</p> <p>KAIC17010-I が出力されていない場合: ストレージシステムの情報を更新したあと、WebServiceMessage ログファイルで KAIC17011-I を確認してから再実行してください。</p> <p>KAIC17010-I が出力されている場合: WebServiceMessage ログファイルで KAIC17011-I を確認してから再実行してください。</p> <p>KAIC17011-I が出力されている場合: 再実行してください。</p>
KAIC17025-E	<p>LUSE の移動先ボリュームが矛盾しています。移動先のボリュームは、内部ボリュームまたは外部ボリュームで統一してください。また、移動先ボリューム</p>	<p>要因 -</p> <p>対処 -</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	の I/O 抑止モード、キャッシュモードおよび CLPR がすべて同じであることを確認してください。(LUSE=<LUSE構成のボリュームのデバイス番号>)	
KAIC17026-E	マイグレーションプランを作成できません。作成したマイグレーションプランに、マイグレーションできるボリュームがありません。	要因 - 対処 -
KAIC17027-W	マイグレーションしないボリュームが含まれています。マイグレーションしないボリュームを確認したあと、マイグレーションタスクを実行してください。	要因 - 対処 -
KAIC17028-W	指定したメインフレームボリュームに対して、マイグレーションをしてもよいか確認してください。移動先のボリュームのデータは、マイグレーションによってすべて上書きされます。(LDEV=<メインフレームボリュームのデバイス番号>)	要因 - 対処 -
KAIC17029-E	すべてのボリュームに対して、移動元ボリュームと移動先ボリュームのペアを自動的に作成できませんでした。	要因 - 対処 -
KAIC17030-E	すべてのボリュームに対して、移動元ボリュームと移動先ボリューム（または DP プール）のペアを自動的に作成できませんでした。継続する場合は、ペアを編集してください。	要因 - 対処 -
KAIC17031-I	移動元ボリュームよりも容量が大きいボリュームが、移動先ボリュームとして選択されているマイグレーションペアがあります。移動元ボリュームよりも容量が大きい移動先ボリュームは、移動元ボリュームと同じ容量に再生成され、残りの容量は再利用できるようになります。	要因 - 対処 -
KAIC17032-W	移動元ボリュームと移動先ボリュームのリソースグループが異なります。確認して問題なければ、マイグレーションタスクを作成してください。	要因 - 対処 -
KAIC17033-E	マイグレーションタスクを実行すると仮想ボリューム数の上限を超えます。仮想ボリューム数の上限を超えないようにマイグレーションプランを編集してください。(Pool=<プール番号>)	要因 - 対処 -
KAIC17034-E	マイグレーションタスクを実行すると最大予約率を超えます。最大予約率を超えないようにマイグレーションプランを編集してください。(Pool=<プール番号>)	要因 - 対処 -
KAIC17035-W	マイグレーションタスクを実行すると警告予約率を超えます。確認して問題なければ、マイグレーションタスクを生	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	成してください。(Pool=<プール番号>)	
KAIC17036-E	マイグレーションタスクを実行すると使用率しきい値を超えます。使用率しきい値を超えないようにマイグレーションプランを編集し直してください。(Pool=<プール番号>)	要因 - 対処 -
KAIC17037-E	ストレージシステムにプログラムプロダクト (<PP名>) がインストールされていないので、仮想ボリュームだけを単体で削除することはできません。	要因 - 対処 -
KAIC17038-I	タスクの進ちょく状況の更新中に、エラーが発生しました。タスクの進ちょく状況の更新は自動的に再実行されず、長時間エラーが発生している場合は、エラーメッセージの内容に従って、エラーの要因を取り除いてください。発生しているエラー:<エラー詳細>発生時刻:<エラー時刻>	要因 - 対処 -
KAIC17039-E	移動先候補があるマイグレーションペアが一つもないためマイグレーションできません。移動先の条件を見直して、プランを編集してください。	要因 - 対処 -
KAIC17040-W	マイグレーションできないボリュームが含まれています。マイグレーションの条件を満たさないボリュームが含まれる場合、そのボリュームは移動対象外となり、条件を満たすボリュームのデータだけが移動されます。(<LDEV ID >)	要因 - 対処 -
KAIC17041-W	移動元ボリュームに複数のリソースグループが含まれています。必要に応じてリソースグループを絞り込んでください。	要因 - 対処 必要に応じてリソースグループを絞り込んでください。
KAIC17042-W	移動元ボリュームにコピーペアを構成しているボリュームが含まれています。(<LDEV ID >)マイグレーションペアウィザードからボリュームの詳細情報を確認してください、ペアは必要に応じて変更してください。	要因 - 対処 マイグレーションペアウィザードからボリュームの詳細情報を確認してください、ペアは必要に応じて変更してください。
KAIC17043-E	移動元ボリュームに複数のストレージが含まれるため、マイグレーションできません。絞り込み条件にストレージシステムを指定し、一つのストレージシステムから移動元ボリュームを選択してください。	要因 - 対処 絞り込み条件にストレージシステムを指定し、一つのストレージシステムから移動元ボリュームを選択してください。
KAIC17044-W	移動元ボリュームに LUSE を構成しているボリュームが含まれています。(<LDEV ID >)マイグレーションペアウィザードからボリュームの詳細情報を確認してください、ペアは必要に応じて変更してください。	要因 - 対処 マイグレーションペアウィザードからボリュームの詳細情報を確認してください、ペアは必要に応じて変更してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC17045-E	移動元ボリュームにマイグレーションできないボリュームが含まれています。移動元ボリューム選択ウィザードで再度絞り込みを実行し、移動元ボリュームがマイグレーションできない理由を確認してください。絞り込み条件は、必要に応じて変更してください。	要因 - 対処 移動元ボリューム選択ウィザードで再度絞り込みを実行し、移動元ボリュームがマイグレーションできない理由を確認してください。絞り込み条件は、必要に応じて変更してください。
KAIC17046-E	マイグレーションできないペアが含まれています。マイグレーションペアウィザードからペアを変更してください。	要因 - 対処 マイグレーションペアウィザードからペアを変更してください。
KAIC17047-E	マイグレーションできる移動元ボリュームがありません。移動元ボリュームがマイグレーションできない理由を確認し、再度実行してください。	要因 - 対処 移動元ボリュームがマイグレーションできない理由を確認し、再度実行してください。マイグレーションできない理由は、[マイグレーション不可理由] 列に表示されます。[マイグレーション不可理由] 列はデフォルトでは、表示されません。表示するには、[列の表示・非表示] ボタンをクリックして表示されるダイアログから指定してください。
KAIC17048-E	Eメールのテンプレートファイル（<ファイル名>）に、ヘッダー部分の終わりを示す空行がありません。ヘッダー部分と本文の間に空行を入れてください。	要因 - 対処 ヘッダー部分と本文の間に空行を入れてください。
KAIC17049-E	Eメールのテンプレートファイル（<ファイル名>）がありません。	要因 - 対処 -
KAIC17050-E	Eメールのテンプレートファイル（<ファイル名>）のサイズが大きすぎます。（テンプレートファイルのファイルサイズ:<ファイルサイズ>、使用できる最大のファイルサイズ:<ファイルの最大サイズ>）テンプレートファイルの内容を見直し、ファイルサイズを小さくしてください。	要因 - 対処 テンプレートファイルの内容を見直し、ファイルサイズを小さくしてください。
KAIC17051-E	Eメールのテンプレートファイル（<ファイル名>）の<行番号>行目の記述が長すぎます。（検出された長さ(バイト数):<行の長さ>、指定できる最大の長さ(バイト数):<行の最大長>）テンプレートファイルの内容を見直し、1行の長さを短くしてください。	要因 - 対処 テンプレートファイルの内容を見直し、1行の長さを短くしてください。
KAIC17052-E	Eメールのテンプレートファイル（<ファイル名>）のヘッダー部分に無効な行（行番号:<行番号>）があります。「Subject」とメールの件名は":"で区切る必要があります。エラーが発生した行	要因 - 対処 エラーが発生した行に、区切り文字":"が含まれているか確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	に、区切り文字":"が含まれているか確認してください。	
KAIC17053-E	ヘッダーが複数指定されています。(テンプレートファイル名:<ファイル名>, ヘッダー名:<ヘッダ名>)ヘッダー部分を見直してください。	要因 - 対処 ヘッダー部分を見直してください。
KAIC17054-W	指定した条件に合うボリュームが多過ぎるため、画面に表示できません。指定した条件に合うボリュームの数が上限値を超えています。(上限値=<表示できるボリューム数>)指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように、条件を指定し直してください。	要因 指定した条件に合うボリュームの数が上限値を超えています。(上限値=<表示できるボリューム数>) 対処 指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように、条件を指定し直してください。
KAIC17055-E	操作対象のボリュームがありません。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名>"指定されたボリュームがない、又は、別ユーザーがボリュームを削除した、ボリュームにアクセス権限がありません。正しいコントローラー論理デバイス番号を指定して、再度操作を実行してください。	要因 指定されたボリュームがない、又は、別ユーザーがボリュームを削除した、ボリュームにアクセス権限がありません。 対処 正しいコントローラー論理デバイス番号を指定して、再度操作を実行してください。
KAIC17056-E	移動先に指定されたプールがありません。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名>", ソースコントローラー論理デバイス番号:<"コントローラー論理デバイス番号1", "コントローラー論理デバイス番号2", ..."コントローラー論理デバイス番号n">移動先に指定されたプールがありません。ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。	要因 移動先に指定されたプールがありません。 対処 ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。
KAIC17057-E	移動先に指定されたプールの状態が正常でないため、マイグレーションを実行できません。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名>", プールID:<プールID>, プールの状態:"<プール状態>"移動先に指定されたプールの状態が正常でないためです。ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。 または、移動先に指定されたプールの状態を正常に戻した後に、再度タスクを作成してください。	要因 移動先に指定されたプールの状態が正常でないためです。 対処 ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。 または、移動先に指定されたプールの状態を正常に戻した後に、再度タスクを作成してください。
KAIC17058-E	移動先に指定されたプールの空き容量が不足しているため、ボリュームを作成してのマイグレーションを実行できません。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名>", プールID:<プールID>移動先に指定されたプールに、ソースボリュームと同サイズのボリュームを作成するだけの空き容量がありません。ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。	要因 移動先に指定されたプールに、ソースボリュームと同サイズのボリュームを作成するだけの空き容量がありません。 対処 ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。 または、移動先に指定されたプールの容量を確保した後に、再度タスクを作成してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	または、移動先に指定されたプールの容量を確保した後に、再度タスクを作成してください。	
KAIC17059-E	移動先に指定されたプールにボリュームを作成した場合、プールのしきい値を超えるため、ボリュームを作成してのマイグレーションを実行できません。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名>", プールID:<プールID>移動先に指定されたプールに、ソースボリュームと同サイズのボリュームを作成した場合、プールのしきい値を超えるため、ボリュームを作成することができません。ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。または、移動先に指定されたプールの容量を確保した後に、再度タスクを作成してください。	<p>要因 移動先に指定されたプールに、ソースボリュームと同サイズのボリュームを作成した場合、プールのしきい値を超えるため、ボリュームを作成することができません。</p> <p>対処 ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。 または、移動先に指定されたプールの容量を確保した後に、再度タスクを作成してください。</p>
KAIC17060-E	ターゲットボリュームの組み合わせが、LUSE ボリュームの条件を満たしていません。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名>", LUSE ボリュームのコントローラ論理デバイス番号、ソースボリュームとターゲットボリュームのコントローラ論理デバイス番号の組、および満たされていないマイグレーションの条件:<["LUSE コントローラ論理デバイス番号 1"](["マイグレーションソースコントローラ論理デバイス番号 1", "マイグレーションターゲットコントローラ論理デバイス番号 1"), ..., ("マイグレーションソースコントローラ論理デバイス番号 n", "マイグレーションターゲットコントローラ論理デバイス番号 n")][条件 1, ..., j], ...> LUSE ボリュームをマイグレーションする時の条件に適合していません LUSE ボリュームのターゲットボリュームが次の条件を満たすようにしてください: 1. 内部ボリュームと外部ボリュームが混在しないこと 2. 外部ボリュームの場合、外部ボリューム属性 (エミュレーションタイプ、IO 抑止モードとキャッシュモード、CLPR) が等しいこと 3. DP-VOL でないこと	<p>要因 LUSE ボリュームをマイグレーションする時の条件に適合していません</p> <p>対処 LUSE ボリュームのターゲットボリュームが次の条件を満たすようにしてください: 1. 内部ボリュームと外部ボリュームが混在しないこと 2. 外部ボリュームの場合、外部ボリューム属性 (エミュレーションタイプ、IO 抑止モードとキャッシュモード、CLPR) が等しいこと 3. DP-VOL でないこと</p>
KAIC17061-E	ストレージシステムの制限によって、プールにボリュームを作成してのマイグレーションはできません。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名>", マイグレーションできない理由:"<マイグレーション不可理由文字列>", ソースボリュームのコントローラ論理デバイス番号とターゲットプールIDの組:<以下のキーワードが入ります。	<p>要因 ストレージシステムの制限によりマイグレーションできないボリュームがありました。</p> <p>対処 マイグレーションできない理由が Emulation の場合: マイグレーションに関する制限事項に該当しない別のプールを、ターゲットプールに指定してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>>ストレージシステムの制限によりマイグレーションできないボリュームがありました。マイグレーションできない理由が Emulation の場合： マイグレーションに関する制限事項に該当しない別のプールを、ターゲットプールに指定してください。 マイグレーションできない理由が LUSE の場合： マイグレーション先に当該ボリュームのプールを指定しないでください。</p>	<p>マイグレーションできない理由が LUSE の場合： マイグレーション先に当該ボリュームのプールを指定しないでください。</p>
KAIC17062-E	<p>ストレージシステムの制限によって、同一プール間でのマイグレーションはできません。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名>", ソースボリュームのコントローラ論理デバイス番号とターゲットボリュームのコントローラ論理デバイス番号の組:<["ソースコントローラ論理デバイス番号 1", "ターゲットコントローラ論理デバイス番号 1"], ["ソースコントローラ論理デバイス番号 2", "ターゲットコントローラ論理デバイス番号 2"]... , ["ソースコントローラ論理デバイス番号 n", "ターゲットコントローラ論理デバイス番号 n"]>同一プール間でのボリュームのマイグレーションが指定されています。ソースボリュームと異なるプールに関連付けされているボリュームを、ターゲットボリュームに指定してください。</p>	<p>要因 同一プール間でのボリュームのマイグレーションが指定されています。 対処 ソースボリュームと異なるプールに関連付けされているボリュームを、ターゲットボリュームに指定してください。</p>
KAIC17063-E	<p>ストレージシステムの制限によって、同一プール間でのマイグレーションはできません。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名>", ソースボリュームのコントローラ論理デバイス番号とターゲットプール ID の組:<["マイグレーションソースコントローラ論理デバイス番号 1", "マイグレーションターゲットプール ID1"], ["マイグレーションソースコントローラ論理デバイス番号 2", "マイグレーションターゲットプール ID2"]... , ["マイグレーションソースコントローラ論理デバイス番号 n", "マイグレーションターゲットプール IDn"]>同一プール間でのボリュームのマイグレーションが指定されています。ソースボリュームと異なるプールを、ターゲットプールに指定してください。</p>	<p>要因 同一プール間でのボリュームのマイグレーションが指定されています。 対処 ソースボリュームと異なるプールを、ターゲットプールに指定してください。</p>
KAIC17064-E	<p>移動先に指定されたプールの予約率が最大予約率を超えているため、ボリュームを作成してのマイグレーションを実行できません。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名>", プールID:"<プール ID >"移動先に指定され</p>	<p>要因 移動先に指定されたプールの予約率が最大予約率を超えているため、ボリュームを作成できません。 対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	たプールの予約率が最大予約率を超えているため、ボリュームを作成できません。ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。 または、移動先に指定されたプールの容量を確保した後に、再度タスクを作成してください。	ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。 または、移動先に指定されたプールの容量を確保した後に、再度タスクを作成してください。
KAIC17065-E	移動先に指定されたプールにボリュームを作成した場合、プールの予約率が最大予約率を超えるため、ボリュームを作成してのマイグレーションを実行できません。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名>", プール ID:"<プール ID >"移動先に指定されたプールにソースボリュームと同じサイズのボリュームを作成すると、予約率が最大予約率を超えるため、ボリュームを作成できません。ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。 または、移動先に指定されたプールの容量を確保した後に、再度タスクを作成してください。	要因 移動先に指定されたプールにソースボリュームと同じサイズのボリュームを作成すると、予約率が最大予約率を超えるため、ボリュームを作成できません。 対処 ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。 または、移動先に指定されたプールの容量を確保した後に、再度タスクを作成してください。
KAIC17066-E	移動先に指定されたプールは、ボリューム作成数が上限に達しているため、ボリュームを作成してのマイグレーションを実行できません。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名>", プール ID:"<プール ID >"移動先に指定されたプールは、ボリューム作成数が上限に達しているため、ボリュームを作成できません。ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。	要因 移動先に指定されたプールは、ボリューム作成数が上限に達しているため、ボリュームを作成できません。 対処 ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。
KAIC17067-E	移動先に指定されたプールにボリュームを作成した場合、プールのボリューム数が上限を超えるため、ボリュームを作成してのマイグレーションを実行できません。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名>", プール ID:"<プール ID >"移動先に指定されたプールにボリュームを作成すると、プールに作成できるボリューム数が上限を超えるため、ボリュームを作成できません。ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。	要因 移動先に指定されたプールにボリュームを作成すると、プールに作成できるボリューム数が上限を超えるため、ボリュームを作成できません。 対処 ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。
KAIC17068-E	指定されたストレージシステムにボリュームを作成した場合、仮想ボリュームグループ数が上限を超えるため、ボリュームを作成してのマイグレーションを実行できません。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名>"指定されたストレージシステムにボリュームを作成すると、仮想ボリュームグループ数を超えるため、ボリュームを作成できません。不要な仮想ボリューム	要因 指定されたストレージシステムにボリュームを作成すると、仮想ボリュームグループ数を超えるため、ボリュームを作成できません。 対処 不要な仮想ボリュームグループがある場合、不要な仮想ボリュームグループを削除した後に、再度タスクを作成してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ムグループがある場合、不要な仮想ボリュームグループを削除した後に、再度タスクを作成してください。	
KAIC17069-E	移動先に指定されたプールの予約率が警告予約率を超えているため、ボリュームを作成してのマイグレーションを実行できません。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名>", プールID:"<プールID>"移動先に指定されたプールの予約率が警告予約率を超えているため、ボリュームを作成できません。ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。または、移動先に指定されたプールの容量を確保した後に、再度タスクを作成してください。	要因 移動先に指定されたプールの予約率が警告予約率を超えているため、ボリュームを作成できません。 対処 ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。 または、移動先に指定されたプールの容量を確保した後に、再度タスクを作成してください。
KAIC17070-E	移動先に指定されたプールにボリュームを作成した場合、プールの予約率が警告予約率を超えるため、ボリュームを作成してのマイグレーションを実行できません。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名>", プールID:"<プールID>"移動先に指定されたプールにソースボリュームと同じサイズのボリュームを作成すると、予約率が警告予約率を超えるため、ボリュームを作成できません。ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。または、移動先に指定されたプールの容量を確保した後に、再度タスクを作成してください。	要因 移動先に指定されたプールにソースボリュームと同じサイズのボリュームを作成すると、予約率が警告予約率を超えるため、ボリュームを作成できません。 対処 ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。 または、移動先に指定されたプールの容量を確保した後に、再度タスクを作成してください。
KAIC17071-E	リフレッシュが異常終了しているため、この処理はできません。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名>"ストレージシステムの情報が最新ではないため、処理を実行できません。メッセージに表示されたストレージシステムをリフレッシュしたあと、再実行してください。	要因 ストレージシステムの情報が最新ではないため、処理を実行できません。 対処 メッセージに表示されたストレージシステムをリフレッシュしたあと、再実行してください。
KAIC17072-E	リフレッシュ中のため、この処理はできません。ストレージシステム名:"<ストレージシステム名>"ストレージシステムがリフレッシュ処理中です。リフレッシュが完了したあと、再実行してください。	要因 ストレージシステムがリフレッシュ処理中です。 対処 リフレッシュが完了したあと、再実行してください。
KAIC17073-I	メインフレームボリュームに対しては、シュレディング後の削除はしません。メインフレームボリュームを削除する場合は、タスクが正常終了したあと、Element Manager で実行してください。	要因 - 対処 メインフレームボリュームを削除する場合は、タスクが正常終了したあと、Element Manager で実行してください。
KAIC17074-I	メインフレームボリュームに対しては、ゼロページ破棄のオプションは無効です。メインフレームボリュームをゼロ	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ページ破棄する場合は、タスクが正常終了したあと、Element Manager で実行してください。	メインフレームボリュームをゼロページ破棄する場合は、タスクが正常終了したあと、Element Manager で実行してください。
KAIC17075-I	移動元 DP ボリュームの削除およびプールとの関連づけ解除が実行できるようになるまで、待機しています。(保守情報=<保守情報>) ボリュームの削除およびプールとの関連づけ解除は、自動的に開始されます。	要因 - 対処 ボリュームの削除およびプールとの関連づけ解除は、自動的に開始されます。
KAIC17076-W	以下のボリュームをシュレディングしてもよいかを確認してください。ボリュームのデータはシュレディングによって消去されます。(シュレディングするボリュームのデバイス番号:<デバイス番号 1, デバイス番号 2, …, デバイス番号 n >)	要因 - 対処 -
KAIC17077-W	以下のボリュームを削除してもよいかを確認してください。タスクを再実行すると、ボリュームは削除されます。(削除するボリュームのデバイス番号:<デバイス番号 1, デバイス番号 2, …, デバイス番号 n >)	要因 - 対処 -
KAIC17078-W	以下のメインフレームボリュームに対して、マイグレーションをしてもよいかを確認してください。移動先のボリュームのデータは、マイグレーションによってすべて上書きされます。(移動先ボリュームのデバイス番号:<デバイス番号 1, デバイス番号 2, …, デバイス番号 n >)	要因 - 対処 -
KAIC17079-W	移動元ボリュームと移動先ボリュームのリソースグループが異なります。確認して問題なければ、タスクを再実行してください。(移動先ボリュームのデバイス番号:<デバイス番号 1, デバイス番号 2, …, デバイス番号 n >)	要因 - 対処 -
KAIC17080-E	移動元ボリュームがすでにないため、タスクを再実行できません。(移動元ボリュームのデバイス番号:<デバイス番号 1, デバイス番号 2, …, デバイス番号 n >)	要因 - 対処 -
KAIC17081-E	移動先ボリュームがすでにないため、タスクを再実行できません。(移動先ボリュームのデバイス番号:<デバイス番号 1, デバイス番号 2, …, デバイス番号 n >)	要因 - 対処 -
KAIC17082-E	移動元ボリュームが LUSE ボリュームに変わっているため、タスクを再実行できません。(移動元ボリュームのデバイス番号:<デバイス番号 1, デバイス番号 2, …, デバイス番号 n >)	要因 - 対処 -
KAIC17083-E	移動先ボリュームが LUSE ボリュームに変わっているため、タスクを再実行できません。(移動先ボリュームのデバイ	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ス番号：<デバイス番号 1, デバイス番号 2, ..., デバイス番号 n >	-
KAIC17084-E	移動元ボリュームの LUSE 設定が解除されているため、タスクを再実行できません。(移動元ボリュームのデバイス番号：<デバイス番号 1, デバイス番号 2, ..., デバイス番号 n >)	要因 - 対処 -
KAIC17085-E	マイグレーション実行前に移動元ボリュームがすでに別の場所に移動しているため、タスクを再実行できません。(移動元ボリュームのデバイス番号：<デバイス番号 1, デバイス番号 2, ..., デバイス番号 n >)	要因 - 対処 -
KAIC17086-E	マイグレーション実行前に移動先ボリュームがすでに別の場所に移動しているため、タスクを再実行できません。(移動先ボリュームのデバイス番号：<デバイス番号 1, デバイス番号 2, ..., デバイス番号 n >)	要因 - 対処 -
KAIC17087-E	マイグレーション実行後に移動元ボリュームがすでに別の場所に移動しているため、タスクを再実行できません。(移動元ボリュームのデバイス番号：<デバイス番号 1, デバイス番号 2, ..., デバイス番号 n >)	要因 - 対処 -
KAIC17088-E	マイグレーション実行後に移動先ボリュームがすでに別の場所に移動しているため、タスクを再実行できません。(移動先ボリュームのデバイス番号：<デバイス番号 1, デバイス番号 2, ..., デバイス番号 n >)	要因 - 対処 -
KAIC17089-E	マイグレーションを実行する前の状態か、マイグレーションを実行したあとの状態かが不明なマイグレーションペアがあるため、タスクを再実行できません。(移動元ボリュームのデバイス番号：<デバイス番号 1, デバイス番号 2, ..., デバイス番号 n >)	要因 - 対処 -
KAIC17090-E	移動元ボリュームとして使用できないボリュームがあります。表示されたマイグレーションできない理由に従って対処してください。(移動元ボリュームのデバイス番号, "マイグレーションできない理由"]：<[デバイス番号 1, "マイグレーションできない理由 1"], [デバイス番号 2, "マイグレーションできない理由 2"], ..., [デバイス番号 n, "マイグレーションできない理由 n"]>)	要因 - 対処 表示されたマイグレーションできない理由に従って対処してください。(移動元ボリュームのデバイス番号, "マイグレーションできない理由"]：<[デバイス番号 1, "マイグレーションできない理由 1"], [デバイス番号 2, "マイグレーションできない理由 2"], ..., [デバイス番号 n, "マイグレーションできない理由 n"]>)
KAIC17091-E	移動先ボリュームとして使用できないボリュームがあります。表示されたマイグレーションできない理由に従って対処してください。(移動先ボリュームのデバイス番号, "マイグレーションで	要因 - 対処 表示されたマイグレーションできない理由に従って対処してください。(移動先ボリュームのデバイス番号, "マイグレーションで

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	きない理由"] : <[デバイス番号 1, "マイグレーションできない理由 1"], [デバイス番号 2, "マイグレーションできない理由 2"], ..., [デバイス番号 n, "マイグレーションできない理由 n"]>	"] : <[デバイス番号 1, "マイグレーションできない理由 1"], [デバイス番号 2, "マイグレーションできない理由 2"], ..., [デバイス番号 n, "マイグレーションできない理由 n"]>
KAIC17092-E	マイグレーションできない組み合わせのマイグレーションペアがあります。表示されたマイグレーションできない理由に従って対処してください。([移動元ボリュームのデバイス番号, "マイグレーションできない理由"] : <[デバイス番号 1, "マイグレーションできない理由 1"], [デバイス番号 2, "マイグレーションできない理由 2"], ..., [デバイス番号 n, "マイグレーションできない理由 n"]>)	要因 - 対処 表示されたマイグレーションできない理由に従って対処してください。([移動元ボリュームのデバイス番号, "マイグレーションできない理由"] : <[デバイス番号 1, "マイグレーションできない理由 1"], [デバイス番号 2, "マイグレーションできない理由 2"], ..., [デバイス番号 n, "マイグレーションできない理由 n"]>)
KAIC17093-E	マイグレーションできない組み合わせのマイグレーションペアがあります。表示されたマイグレーションできない理由に従って対処してください。([移動元ボリュームのデバイス番号, "マイグレーションできない理由"] : <[デバイス番号 1, "マイグレーションできない理由 1"], [デバイス番号 2, "マイグレーションできない理由 2"], ..., [デバイス番号 n, "マイグレーションできない理由 n"]>)	要因 - 対処 表示されたマイグレーションできない理由に従って対処してください。([移動元ボリュームのデバイス番号, "マイグレーションできない理由"] : <[デバイス番号 1, "マイグレーションできない理由 1"], [デバイス番号 2, "マイグレーションできない理由 2"], ..., [デバイス番号 n, "マイグレーションできない理由 n"]>)
KAIC17094-E	DP ボリュームを作成すると、仮想ボリュームグループ数が上限を超えます。不要な DP ボリュームを削除してください。(現在の仮想ボリュームグループ数 : <現在の仮想ボリュームグループ数>, 作成するボリューム数 : <作成するボリューム数>)	要因 - 対処 不要な DP ボリュームを削除してください。(現在の仮想ボリュームグループ数 : <現在の仮想ボリュームグループ数>, 作成するボリューム数 : <作成するボリューム数>)
KAIC17095-E	移動先プールがすでにないため、タスクを再実行できません。(移動先プール : <プール ID1, プール ID2, ..., プール IDn >)	要因 - 対処 -
KAIC17096-E	移動先に指定したプールに、状態が正常でないプールがあります。プールの状態を確認し、必要に応じて正常な状態に戻してください。([移動先プール, プールの状態] : <[プール ID1, Status1], [プール ID2, Status2], ..., [プール IDn, Statusn]>)	要因 - 対処 プールの状態を確認し、必要に応じて正常な状態に戻してください。([移動先プール, プールの状態] : <[プール ID1, Status1], [プール ID2, Status2], ..., [プール IDn, Statusn]>)
KAIC17097-E	移動先に指定したプールに、空き容量が不足しているプールがあります。プールを拡張してください。([移動先プール, 現在の空き容量, 必要な容量] : <[プール ID1, 現在の空き容量 1, 必要な容量 1], [プール ID2, 現在の空き容量 2, 必要な容量 2], ..., [プール IDn, 現在の空き容量 n, 必要な容量 n]>)	要因 - 対処 プールを拡張してください。([移動先プール, 現在の空き容量, 必要な容量] : <[プール ID1, 現在の空き容量 1, 必要な容量 1], [プール ID2, 現在の空き容量 2, 必要な容量 2], ..., [プール IDn, 現在の空き容量 n, 必要な容量 n]>)
KAIC17098-E	移動先に指定したプールにボリュームを作成した場合は、容量がしきい値を超	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	えるプールがあります。プールを拡張するか、しきい値を変更してください。 ([移動先プール, 現在のしきい値, 必要な容量]: <[プール ID1, 現在のしきい値 1, 必要な容量 1], [プール ID2, 現在のしきい値 2, 必要な容量 2], ..., [プール Idn, 現在のしきい値 n, 必要な容量 n]>)	対処 プールを拡張するか、しきい値を変更してください。 ([移動先プール, 現在のしきい値, 必要な容量]: <[プール ID1, 現在のしきい値 1, 必要な容量 1], [プール ID2, 現在のしきい値 2, 必要な容量 2], ..., [プール Idn, 現在のしきい値 n, 必要な容量 n]>)
KAIC17099-E	移動先に指定したプールにボリュームを作成すると、ボリューム数の上限を超えるプールがあります。プール内の不要なボリュームを削除してください。 ([移動先プール, 現在のボリューム数, 必要なボリューム数]: <[プール ID1, 現在のボリューム数 1, 必要なボリューム数 1], [プール ID2, 現在のボリューム数 2, 必要なボリューム数 2], ..., [プール Idn, 現在のボリューム数 n, 必要なボリューム数 n]>)	要因 - 対処 プール内の不要なボリュームを削除してください。 ([移動先プール, 現在のボリューム数, 必要なボリューム数]: <[プール ID1, 現在のボリューム数 1, 必要なボリューム数 1], [プール ID2, 現在のボリューム数 2, 必要なボリューム数 2], ..., [プール Idn, 現在のボリューム数 n, 必要なボリューム数 n]>)
KAIC17100-E	移動先に指定したプールにボリュームを作成すると、最大予約率を超えるプールがあります。プールを拡張するか、最大予約率を変更してください。 ([移動先プール, 現在の予約率, 必要な予約容量]: <[プール ID1, 現在の予約率 1, 必要な予約容量 1], [プール ID2, 現在の予約率 2, 必要な予約容量 2], ..., [プール Idn, 現在の予約率 n, 必要な予約容量 n]>)	要因 - 対処 プールを拡張するか、最大予約率を変更してください。 ([移動先プール, 現在の予約率, 必要な予約容量]: <[プール ID1, 現在の予約率 1, 必要な予約容量 1], [プール ID2, 現在の予約率 2, 必要な予約容量 2], ..., [プール Idn, 現在の予約率 n, 必要な予約容量 n]>)
KAIC17101-E	移動先に指定したプールにボリュームを作成すると、警告予約率を超えるプールがあります。プールを拡張するか、警告予約率を変更してください。 ([移動先プール, 現在の予約率, 必要な予約容量]: <[プール ID1, 現在の予約率 1, 必要な予約容量 1], [プール ID2, 現在の予約率 2, 必要な予約容量 2], ..., [プール Idn, 現在の予約率 n, 必要な予約容量 n]>)	要因 - 対処 プールを拡張するか、警告予約率を変更してください。 ([移動先プール, 現在の予約率, 必要な予約容量]: <[プール ID1, 現在の予約率 1, 必要な予約容量 1], [プール ID2, 現在の予約率 2, 必要な予約容量 2], ..., [プール Idn, 現在の予約率 n, 必要な予約容量 n]>)
KAIC17102-E	シュレディングできないボリュームがあります。表示されたシュレディングできない理由に従って対処してください。 ([移動先ボリュームのデバイス番号, "シュレディングできない理由"]: <[デバイス番号 1, "シュレディングできない理由 1"], [デバイス番号 2, "シュレディングできない理由 2"], ..., [デバイス番号 n, "シュレディングできない理由 n"]>)	要因 - 対処 表示されたシュレディングできない理由に従って対処してください。 ([移動先ボリュームのデバイス番号, "シュレディングできない理由"]: <[デバイス番号 1, "シュレディングできない理由 1"], [デバイス番号 2, "シュレディングできない理由 2"], ..., [デバイス番号 n, "シュレディングできない理由 n"]>)
KAIC17103-E	削除できないボリュームがあります。表示された削除できない理由に従って対処してください。 ([移動先ボリュームのデバイス番号, "削除できない理由"]: <[デバイス番号 1, "削除できない理由 1"], [デバイス番号 2, "削除できない理由 2"], ..., [デバイス番号 n, "削除できない理由 n"]>)	要因 - 対処 表示された削除できない理由に従って対処してください。 ([移動先ボリュームのデバイス番号, "削除できない理由"]: <[デバイス番号 1, "削除できない理由 1"], [デバイス番号 2, "削除できない理由 2"], ..., [デバイス番号 n, "削除できない理由 n"]>)

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	い理由 1"], [デバイス番号 2, "削除できない理由 2"], …, [デバイス番号 n, "削除できない理由 n"] >)	"削除できない理由 1"], [デバイス番号 2, "削除できない理由 2"], …, [デバイス番号 n, "削除できない理由 n"] >)
KAIC17104-E	ゼロページを破棄できないボリュームがあります。表示されたゼロページを破棄できない理由に従って対処してください。([移動元ボリュームのデバイス番号, "ゼロページを破棄できない理由"] : < [デバイス番号 1, "ゼロページを破棄できない理由 1"], [デバイス番号 2, "ゼロページを破棄できない理由 2"], …, [デバイス番号 n, "ゼロページを破棄できない理由 n"] >)	要因 - 対処 表示されたゼロページを破棄できない理由に従って対処してください。([移動元ボリュームのデバイス番号, "ゼロページを破棄できない理由"] : < [デバイス番号 1, "ゼロページを破棄できない理由 1"], [デバイス番号 2, "ゼロページを破棄できない理由 2"], …, [デバイス番号 n, "ゼロページを破棄できない理由 n"] >)
KAIC17105-I	選択したタスクの処理はすべて完了しているため、再実行は不要です。	要因 - 対処 -
KAIC17106-E	選択したタスクを再実行できません。新しいタスクを作成して実行してください。	要因 - 対処 新しいタスクを作成して実行してください。
KAIC17107-E	選択したタスクを再実行できません。次のメッセージに従って対処したあとに、タスクを再実行してください。対処できない場合は、新しいタスクを作成して実行してください。	要因 - 対処 次のメッセージに従って対処したあとに、タスクを再実行してください。対処できない場合は、新しいタスクを作成して実行してください。
KAIC17400-W	ほかの移動元ボリュームの移動先として設定されているボリュームを選択してよろしいですか？	要因 - 対処 -
KAIC17401-W	異なる SLPR に属するボリュームを選択してよろしいですか？	要因 - 対処 -
KAIC17402-W	指定した条件に合うボリュームが多過ぎるため、画面に表示できません。指定した条件に合うボリュームの数が上限値を超えています。(上限値=<ボリューム数のラベル>)指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように、条件を指定し直してください。	要因 指定した条件に合うボリュームの数が上限値を超えています。(上限値=<ボリューム数のラベル>) 対処 指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように、条件を指定し直してください。
KAIC17403-W	ボリューム条件を指定する場合は、絞り込み条件を一つ以上指定してください。	要因 - 対処 -
KAIC17404-W	LUSE ボリュームは仮想ボリュームにマイグレートすることはできません。移動元ボリュームが LUSE ボリュームの場合は移動先ボリュームに仮想ボリューム以外を指定してください。	要因 - 対処 移動元ボリュームが LUSE ボリュームの場合は移動先ボリュームに仮想ボリューム以外を指定してください。
KAIC17405-W	選択したマイグレーションペアの初期設定の移動先が、ほかのマイグレーション	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ンペアの移動先として設定されていません。移動先を初期設定に戻してよろしいですか？この操作によって、ほかの幾つかのマイグレーションペアの状態は"移動させない"に変わります。(該当するマイグレーションペアの移動元ボリューム:<"移動させない"に変わる対象の移動元ボリューム>)該当するマイグレーションペアの対象の移動元ボリュームを確認してから処理を続行してください。	対処 該当するマイグレーションペアの対象の移動元ボリュームを確認してから処理を続行してください。
KAIC18000-E	NFS 共有のアクセス設定ができませんでした。(保守情報:<保守情報>) 保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決し、[NFS 共有編集] ダイアログで再度設定してください。	要因 - 対処 保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決し、[NFS 共有編集] ダイアログで再度設定してください。
KAIC18001-W	入力したパス (<パス>) がありません。入力したパスが誤っているおそれがあります。既存のパスを指定する場合は、ツリーからパスを選択してください。新しくパスを作成する場合は、パスを手動で入力し、[パスが存在しない場合にパスを作成する] チェックボックスを選択してください。	要因 入力したパスが誤っているおそれがあります。 対処 既存のパスを指定する場合は、ツリーからパスを選択してください。新しくパスを作成する場合は、パスを手動で入力し、[パスが存在しない場合にパスを作成する] チェックボックスを選択してください。
KAIC18002-E	ファイルサーバの情報が最新ではありません。SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。	要因 - 対処 SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。
KAIC18003-E	EVS (<EVS>) に共有を割り当てられるファイルシステムがありません。EVS に共有を割り当てられるファイルシステムを作成したあとに、再度操作してください。	要因 - 対処 EVS に共有を割り当てられるファイルシステムを作成したあとに、再度操作してください。
KAIC18004-E	一度に割り当てることのできないボリュームを複数選択しています。仮想モードがオンのボリュームを選択する場合は、同じ仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されているボリューム、またはストレージシステムリソースグループ ID が 0 のボリュームを選択してください (仮想モードがオンのボリューム=<LDEV ID>)。	要因 - 対処 仮想モードがオンのボリュームを選択する場合は、同じ仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されているボリューム、またはストレージシステムリソースグループ ID が 0 のボリュームを選択してください (仮想モードがオンのボリューム=<LDEV ID>)。
KAIC18005-E	仮想 ID 情報の設定とボリューム割り当てができないボリュームとホストグループの組み合わせが含まれています。次のどちらかの方法で対処してください。 (1)ホストグループの仮想モードがオンの場合、ホストグループと同じ仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されているボリューム、またはストレージシステムリソースグループ ID が 0 であるボリュームを選択してください。	要因 - 対処 次のどちらかの方法で対処してください。 1. ホストグループの仮想モードがオンの場合、ホストグループと同じ仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されているボリューム、またはストレージシステムリソースグループ ID が 0 であるボリュームを選択してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	(2)ホストグループの仮想モードがオフまたは仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されていない場合、仮想モードがオフであるボリューム、または仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されていないボリュームを選択してください。	2. ホストグループの仮想モードがオフまたは仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されていない場合、仮想モードがオフであるボリューム、または仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されていないボリュームを選択してください。
KAIC18006-E	仮想 ID 情報を設定できません。次のどちらかの方法で対処してください。 (1)ホストグループの仮想モードがオンの場合、次のどちらかの条件を満たすボリュームを選択してください。 (a)仮想 ID 情報を設定できる次のすべての条件を満たしていること。 -ストレージシステムリソースグループ ID が 0 のボリュームである。 -LUSE ボリュームでない。 -パスが設定されていない。 -コマンドデバイスに設定されていないボリュームである。 -仮想 ID を用いたデータ移行中のボリュームでない。 (b)仮想モデルと仮想シリアル番号がホストグループと同じであること。 (2)ホストグループの仮想モードがオフまたは仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されていない場合、仮想モードがオフであるボリューム、または仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されていないボリュームを選択してください。	要因 - 対処 次のどちらかの方法で対処してください。 1. ホストグループの仮想モードがオンの場合、次のどちらかの条件を満たすボリュームを選択してください。 (a)仮想 ID 情報を設定できる次のすべての条件を満たしていること。 -ストレージシステムリソースグループ ID が 0 のボリュームである。 -LUSE ボリュームでない。 -パスが設定されていない。 -コマンドデバイスに設定されていないボリュームである。 -仮想 ID を用いたデータ移行中のボリュームでない。 (b)仮想モデルと仮想シリアル番号がホストグループと同じであること。 2. ホストグループの仮想モードがオフまたは仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されていない場合、仮想モードがオフであるボリューム、または仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されていないボリュームを選択してください。
KAIC18007-W	指定したパス (<パス>) がありません。既存のパスを指定する場合は、ツリーからパスを選択してください。新しくパスを作成する場合は、パスを手動で入力してください。	要因 - 対処 既存のパスを指定する場合は、ツリーからパスを選択してください。新しくパスを作成する場合は、パスを手動で入力してください。
KAIC18008-E	使用できる LDEV ID が不足しています。ID が 0 のストレージシステムリソースグループに使用できる LDEV ID を <LDEV ID 数> 個増やしてください。	要因 - 対処 ID が 0 のストレージシステムリソースグループに使用できる LDEV ID を <LDEV ID 数> 個増やしてください。
KAIC18009-E	使用できる仮想 LDEV ID が不足しています。開始仮想 LDEV ID を変更するか、仮想 LDEV ID の空きを確保するために、ホストグループと同じ仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されたボリュームの中から、不要なものを <仮想 LDEV ID 数> 個削除してください。	要因 - 対処 開始仮想 LDEV ID を変更するか、仮想 LDEV ID の空きを確保するために、ホストグループと同じ仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されたボリュームの中から、不要なものを <仮想 LDEV ID 数> 個削除してください。
KAIC18010-E	仮想 ID 情報が設定できなかったため、ボリュームの割り当てに失敗しました。(保守情報: <保守情報>) ストレージ	要因 ストレージシステムの構成情報が変更されています。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	システムの構成情報が変更されています。再度実行してください。	再度実行してください。
KAIC18011-E	仮想 ID 情報の削除に失敗しました。(保守情報: <保守情報>) ストレージシステムの構成情報が変更されています。ボリューム一覧で、選択したボリュームの状態を確認したあと、必要に応じて再度操作を実行してください。	要因 ストレージシステムの構成情報が変更されています。 対処 ボリューム一覧で、選択したボリュームの状態を確認したあと、必要に応じて再度操作を実行してください。
KAIC18012-W	超過時 VOL 操作強制実行オプションが有効であるため、操作を続行すると DP プールの予約率 (<予約率>%) が最大予約率 (<最大予約率>%) を超えます。	要因 - 対処 -
KAIC18013-W	超過時 VOL 操作強制実行オプションが有効であるため、DP プールの予約率 (<予約率>%) がすでに最大予約率 (<最大予約率>%) を超えています。	要因 - 対処 -
KAIC18014-W	ShadowImage のボリューム (<LDEV IDs >) が選択されています。ペアの状態が PSUS でない場合は、タスクを実行できないおそれがあります。ペアの状態が PSUS であることを確認してください。	要因 - 対処 -
KAIC18015-E	階層プロパティ情報を表示できません。Device Manager では、ストレージシステム (<ストレージシステム名>) のマイクロコードのバージョンが 70-02-50-00/00 未満の性能グラフは表示できません。マイクロコードのバージョンを 70-02-50-00/00 以上にアップデートしてください。	要因 Device Manager では、ストレージシステム (<ストレージシステム名>) のマイクロコードのバージョンが 70-02-50-00/00 未満の性能グラフは表示できません。 対処 マイクロコードのバージョンを 70-02-50-00/00 以上にアップデートしてください。
KAIC18016-E	ストレージプール (<ストレージプール名>) の状態 (<状態>) が正常でないため、この操作はできません。ストレージプールの状態を確認し、正常な状態にしてください。そのあと、SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから操作し直してください。	要因 - 対処 ストレージプールの状態を確認し、正常な状態にしてください。そのあと、SMU で同期操作を実行して、Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから操作し直してください。
KAIC18017-E	割り当て容量の上限を拡張できません。選択したファイルシステムに関連するストレージプールが、[オンデマンド容量割り当て] を許可しない設定になっています。[全容量割り当て] のままで容量を拡張する場合は、SMU でファイルシステムを拡張してください。[オンデマンド容量割り当て] で容量の上限を拡張する場合は、SMU でストレージプールの設定を変更してから、同期操作を実行して Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させて、操作し直してください。	要因 選択したファイルシステムに関連するストレージプールが、[オンデマンド容量割り当て] を許可しない設定になっています。 対処 [全容量割り当て] のままで容量を拡張する場合は、SMU でファイルシステムを拡張してください。[オンデマンド容量割り当て] で容量の上限を拡張する場合は、SMU でストレージプールの設定を変更してから、同期操作を実行して Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させて、操作し直してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC18018-E	選択したファイルシステムに関連する共有 (<共有名>) はすでにほかのタスクで予約されています。ほかのファイルシステムを選択してください。または、いったん操作を終了し、タスクを終了もしくはキャンセルしたあとに、操作し直してください。	要因 - 対処 ほかのファイルシステムを選択してください。または、いったん操作を終了し、タスクを終了もしくはキャンセルしたあとに、操作し直してください。
KAIC18019-W	ファイルシステム (<ファイルシステム名>) は、状態が"<状態>"のため、関連する共有の情報を取得できません。そのため、関連する共有がある場合、それらを削除できません。問題がある場合は、ファイルシステムの状態を正常な状態にしてください。そのあと、SMU で同期操作を実行して Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから操作し直してください。	要因 - 対処 問題がある場合は、ファイルシステムの状態を正常な状態にしてください。そのあと、SMU で同期操作を実行して Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから操作し直してください。
KAIC18020-W	ファイルシステムに関連する共有を削除するために必要なファイルサーバのライセンス (<ライセンス名>) が、登録されていないか、または期限が満了しました。そのため、関連する共有を削除できません。問題がある場合は、SMU でライセンスを登録したあと、同期操作を実行して Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから操作し直してください。	要因 - 対処 問題がある場合は、SMU でライセンスを登録したあと、同期操作を実行して Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから操作し直してください。
KAIC18021-E	RAID レベルまたはドライブ構成が混在しているプールに対して操作を実行できません。Device Manager では、RAID レベルまたはドライブ構成が混在しているプールに対してこの操作をサポートしていません。Storage Navigator Modular 2 で操作してください。	要因 Device Manager では、RAID レベルまたはドライブ構成が混在しているプールに対してこの操作をサポートしていません。 対処 Storage Navigator Modular 2 で操作してください。
KAIC18022-E	Tuning Manager からの情報取得が実施されていません。Tuning Manager がストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムのリフレッシュを実行してください。	要因 - 対処 Tuning Manager がストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムのリフレッシュを実行してください。
KAIC18023-W	Tuning Manager からの情報取得が失敗しています。Tuning Manager がストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムのリフレッシュを実行してください。	要因 - 対処 Tuning Manager がストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムのリフレッシュを実行してください。
KAIC18024-E	Tuning Manager がストレージシステムを監視していないか、ストレージシステムの構成情報が最新でないおそれがあります。Tuning Manager がストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムのリフレッシュを実行してください。	要因 - 対処 Tuning Manager がストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムのリフレッシュを実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC18025-E	性能レポートを表示できません。 Tuning Manager からの情報取得が実施されていません。Tuning Manager がストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムのリフレッシュを実行してください。	要因 Tuning Manager からの情報取得が実施されていません。 対処 Tuning Manager がストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムのリフレッシュを実行してください。
KAIC18026-E	性能レポートを表示できません。 Tuning Manager がストレージシステムを監視していないか、ストレージシステムの構成情報が最新でないおそれがあります。Tuning Manager がストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムのリフレッシュを実行してください。	要因 Tuning Manager がストレージシステムを監視していないか、ストレージシステムの構成情報が最新でないおそれがあります。 対処 Tuning Manager がストレージシステムを監視しているか確認したあと、ストレージシステムのリフレッシュを実行してください。
KAIC18027-W	ストレージシステムの情報が最新ではないおそれがあります (構成情報の更新状態: <構成情報の更新状態>, データベース整合/不整合の状態: <データベース整合/不整合の状態>)。	要因 - 対処 -
KAIC18028-E	入力したストレージプール名 (<ストレージプール名>) は、すでに<ファイルサーバ名またはクラスタ名>で使用されているため、使用できません。別のストレージプール名を入力してください。	要因 - 対処 別のストレージプール名を入力してください。
KAIC18029-E	入力したストレージプール名 (<ストレージプール名>) は、すでに<ファイルサーバ名またはクラスタ名>に対して予約されているため、使用できません。別のストレージプール名を入力してください。	要因 - 対処 別のストレージプール名を入力してください。
KAIC18030-E	入力したストレージプール名 (<ストレージプール名>) は、すでに<ファイルサーバ名またはクラスタ名>のファイルシステムで使用されているため、使用できません。別のストレージプール名を入力してください。	要因 - 対処 別のストレージプール名を入力してください。
KAIC18031-E	入力したストレージプール名 (<ストレージプール名>) は、すでに<ファイルサーバ名またはクラスタ名>のファイルシステムに対して予約されているため、使用できません。別のストレージプール名を入力してください。	要因 - 対処 別のストレージプール名を入力してください。
KAIC18032-E	異なるストレージシステムに属するボリュームを選択しています。複数のボリュームを選択する場合、同じストレージシステムに属しているボリュームを選択してください。	要因 - 対処 複数のボリュームを選択する場合、同じストレージシステムに属しているボリュームを選択してください。
KAIC18033-E	操作できるホストグループが見つかりません。ホストに割り当てられているボリュームが存在しない、または予約さ	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	れていて操作可能なボリュームがありません。 いったん操作を終了し、ホストグループまたはボリュームを確認してください。	ホストに割り当てられているボリュームが存在しない、または予約されていて操作可能なボリュームがありません。 いったん操作を終了し、ホストグループまたはボリュームを確認してください。
KAIC18034-E	操作できるホストが見つかりません。 いったん操作を終了し、ホストを確認してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了し、ホストを確認してください。
KAIC18035-E	選択したストレージプール(<ストレージプール名>)は、すでにほかのタスクで予約されています。ほかのストレージプールを選択してください。または、いったん操作を終了し、タスクを終了もしくはキャンセルしたあとに、操作し直してください。	要因 - 対処 ほかのストレージプールを選択してください。 または、いったん操作を終了し、タスクを終了もしくはキャンセルしたあとに、操作し直してください。
KAIC18036-E	選択したストレージプール(<0: ストレージプール名>)は、関連するファイルシステム作成タスク(<1: ファイルシステム作成タスク名>)があるため削除できません。いったん操作を終了し、タスクを終了またはキャンセルしたあとに操作し直してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了し、タスクを終了またはキャンセルしたあとに操作し直してください。
KAIC18037-E	選択したストレージプール(<ストレージプール名>)上には、ファイルシステムがあります。ストレージプールにあるファイルシステムをすべて削除したあとに、操作し直してください。	要因 - 対処 ストレージプールにあるファイルシステムをすべて削除したあとに、操作し直してください。
KAIC18038-E	ストレージプールを作成できません。 ストレージプールの数が、サーバまたはクラスタに作成できる上限値(<作成可能なストレージプール最大数>)に達しています。不要なストレージプールを削除してください。	要因 ストレージプールの数が、サーバまたはクラスタに作成できる上限値(<作成可能なストレージプール最大数>)に達しています。 対処 不要なストレージプールを削除してください。
KAIC18039-E	ストレージプールを拡張できません。 ストレージプールの容量が拡張できる上限値(<上限値>)に達しています。	要因 ストレージプールの容量が拡張できる上限値(<上限値>)に達しています。 対処 -
KAIC18040-E	ストレージプールを拡張できません。 ストレージプールを構成するボリューム(システムドライブ)数が上限値(<上限値>)に達しています。	要因 ストレージプールを構成するボリューム(システムドライブ)数が上限値(<上限値>)に達しています。 対処 -
KAIC18041-E	選択したストレージシステムにパーティグループがありません。いったん操作を終了し、パーティグループを作成したあとに、操作し直してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了し、パーティグループを作成したあとに、操作し直してください。
KAIC18042-E	ストレージプールに使用するパーティグループには、内部または外部、ドライブタイプ、ドライブ回転数、チップタイ	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ブ、および RAID レベルの組み合わせが同じものを使用してください。混在させたい場合は、[選択可能パリティグループ]テーブル下部のチェックボックスを選択してください。ただし、混在を許可すると、ストレージプールの性能と信頼性が低下するおそれがあります。	-
KAIC18043-W	選択したストレージプールを構成するボリューム（システムドライブ（<システムドライブ ID >））に関連するパスの割り当て解除、およびボリュームの削除ができません。Device Manager で管理していないストレージシステムのボリュームがストレージプールに使われています。タスクが完了したあとに、手動でシステムドライブに関連するパスの割り当て解除、およびボリュームの削除をしてください。	要因 Device Manager で管理していないストレージシステムのボリュームがストレージプールに使われています。 対処 タスクが完了したあとに、手動でシステムドライブに関連するパスの割り当て解除、およびボリュームの削除をしてください。
KAIC18044-E	選択したストレージプール（<ストレージプール名 >）を構成するボリューム（<2: ボリューム ID >）（システムドライブ（<システムドライブ ID >））は、すでにほかのタスクで予約されています。いったん操作を終了し、タスクを終了またはキャンセルしたあとに、操作し直してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了し、タスクを終了またはキャンセルしたあとに、操作し直してください。
KAIC18045-W	選択したストレージプールには、削除できないボリュームが含まれています。そのため、ストレージプールの削除、またはストレージプールを構成するボリュームの割り当て解除ができないおそれがあります。削除できないボリュームの詳細は、プラン詳細を確認してください。	要因 - 対処 削除できないボリュームの詳細は、プラン詳細を確認してください。
KAIC18046-W	このボリュームはシュレディング機能をサポートしていません。そのため、シュレディングしないでボリュームの削除だけを実行します。	要因 - 対処 -
KAIC18047-W	このボリュームは Data Retention Utility で Protect 属性または ReadOnly 属性が設定されているため、削除できません。	要因 - 対処 -
KAIC18048-W	このボリュームはコピーペアを構成しているため、削除できません。	要因 - 対処 -
KAIC18049-W	このボリュームはコマンドデバイスに設定されているため、削除できません。	要因 - 対処 -
KAIC18050-W	選択したパリティグループは、使用できるボリュームの容量が均一でないため、ストレージプールに割り当てられる容	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	量のうち<容量> (<xx%>) が使用されません。[選択可能パリティグループ] テーブルの [システムドライブ最大容量] 列の値が同一になるようにパリティグループを選択すると、容量を効率的に使用できます。	[選択可能パリティグループ] テーブルの [システムドライブ最大容量] 列の値が同一になるようにパリティグループを選択すると、容量を効率的に使用できます。
KAIC18051-W	この操作で選択したパリティグループが 1 個だけのため、ストレージプールの性能が低下するおそれがあります。性能を確保するために、2 個以上のパリティグループを選択してください。	要因 - 対処 性能を確保するために、2 個以上のパリティグループを選択してください。
KAIC18052-W	選択したパリティグループのうち、パリティグループ (<パリティグループ名>) は使用されません。使用しないパリティグループを選択し、[パリティグループ追加解除] をクリックしてください。	要因 - 対処 使用しないパリティグループを選択し、[パリティグループ追加解除] をクリックしてください。
KAIC18053-E	選択したパリティグループ (<パリティグループ名>) は使用できません。選択したパリティグループから作成済みのボリュームが、すでにほかのホストまたはファイルサーバに割り当てられています。ほかのパリティグループを選択してください。	要因 選択したパリティグループから作成済みのボリュームが、すでにほかのホストまたはファイルサーバに割り当てられています。 対処 ほかのパリティグループを選択してください。
KAIC18054-W	選択したパリティグループには、内部または外部、ドライブタイプ、ドライブ回転数、チップタイプ、または RAID レベルなどの特性が異なるものが混在しています。ストレージプールの性能と信頼性を確保するために、特性が同じパリティグループを選択することをおすすめします。	要因 - 対処 ストレージプールの性能と信頼性を確保するために、特性が同じパリティグループを選択することをおすすめします。
KAIC18055-E	選択したパリティグループからストレージプールに使用しようとしているボリューム (<ボリューム>) は、すでに予約されています。設定画面に戻り再度 [プラン確認] ボタンを選択するか、またはパリティグループを選択し直してください。	要因 - 対処 設定画面に戻り再度 [プラン確認] ボタンを選択するか、またはパリティグループを選択し直してください。
KAIC18056-E	Device Manager では、階層化ストレージプールに対するこの操作はできません。SMU で操作してください。	要因 - 対処 SMU で操作してください。
KAIC18057-E	Device Manager では、階層化ファイルシステムに対するこの操作はできません。SMU で操作してください。	要因 - 対処 SMU で操作してください。
KAIC18058-E	ストレージプールを作成または拡張できません。サーバまたはクラスタで使用できるシステムドライブの数が上限値 (<1 サーバ/クラスタへ割り当てられる SD 数>) に達しています。不要なシステムドライブを削除してください。	要因 サーバまたはクラスタで使用できるシステムドライブの数が上限値 (<1 サーバ/クラスタへ割り当てられる SD 数>) に達しています。 対処 不要なシステムドライブを削除してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC18059-E	HNAS がサポートするストレージシステムがありません。HNAS がサポートするストレージシステムを追加してください。サポートするストレージシステムについては、Hitachi NAS Platform documentation を参照してください。	要因 - 対処 HNAS がサポートするストレージシステムを追加してください。サポートするストレージシステムについては、Hitachi NAS Platform documentation を参照してください。
KAIC18060-W	ファイルサーバまたはクラスタのノードに、すべてのポートが無効化されているノードがあるため、推奨するパスを表示できません。手動でパスを選択してください。	要因 - 対処 手動でパスを選択してください。
KAIC18061-W	有効化されているポートに対して、パスがないノードがあるため、HNAS サーバでのボリュームの認識ができないおそれがあります。有効化されているポートに対して、手動でパスを入力してください。	要因 - 対処 有効化されているポートに対して、手動でパスを入力してください。
KAIC18062-W	割り当てるボリュームのパスが冗長化されていません。冗長化されるようパスを手動で入力してください。	要因 - 対処 冗長化されるようパスを手動で入力してください。
KAIC18063-W	HNAS に割り当てるボリュームのパス数が 17 本以上のため、HNAS が予期しない動作をするおそれがあります。パス数が 16 本以下になるように、手動でパスを編集してください。	要因 - 対処 パス数が 16 本以下になるように、手動でパスを編集してください。
KAIC18064-E	ストレージプールの合計容量が、このサーバまたはクラスタが管理できる容量 (<上限値>) を超えます。有効な TB ライセンスのライセンスキー、またはライセンスキーファイルを登録してください。または、必要な容量のボリュームだけをサーバまたはクラスタに割り当ててから、SMU でストレージプールの作成または拡張をしてください。	要因 - 対処 有効な TB ライセンスのライセンスキー、またはライセンスキーファイルを登録してください。または、必要な容量のボリュームだけをサーバまたはクラスタに割り当ててから、SMU でストレージプールの作成または拡張をしてください。
KAIC18066-W	操作対象のストレージプールは、Device Manager が管理していないストレージシステムのシステムドライブから構成されています。ストレージプールの容量情報やシステムドライブ情報に誤りがあるため、容量やシステムドライブ数などの上限のチェックが適切に実行できなく、操作できないおそれがあります。	要因 - 対処 -
KAIC18067-E	選択したパリティグループ (<パリティグループ名>) は、ストレージプールの作成または拡張に使用できません。次のどれかの原因が考えられます。 (1) 操作対象のパリティグループに 5GB 以上のボリュームがありません。不要なボリュームを削除し、5GB 以上のボリュームを作成してください。	要因 - 対処 次のどれかの原因が考えられます。 1. 操作対象のパリティグループに 5GB 以上のボリュームがありません。不要なボリュームを削除し、5GB 以上のボリュームを作成してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>(2) 操作対象のパーティグループに 5GB 以上の断片化されていない空き領域がありません。不要なボリュームを削除してください。</p> <p>(3) 操作対象のパーティグループのボリュームがすべて使用済みです。</p> <p>(4) 操作対象のパーティグループから作成済みのボリュームが、操作対象外のホストまたはファイルサーバに割り当てられています。</p> <p>(5) 操作対象のサーバまたはクラスタへ割り当てられているボリューム（システムドライブ）の数が上限値（＜システムドライブ数＞）に達しています。不要なシステムドライブを削除してください。</p> <p>(6) 操作対象のストレージシステムに使用できる LDEV ID が枯渇しているためボリュームが作成できません。</p>	<p>2. 操作対象のパーティグループに 5GB 以上の断片化されていない空き領域がありません。不要なボリュームを削除してください。</p> <p>3. 操作対象のパーティグループのボリュームがすべて使用済みです。</p> <p>4. 操作対象のパーティグループから作成済みのボリュームが、操作対象外のホストまたはファイルサーバに割り当てられています。</p> <p>5. 操作対象のサーバまたはクラスタへ割り当てられているボリューム（システムドライブ）の数が上限値（＜システムドライブ数＞）に達しています。不要なシステムドライブを削除してください。</p> <p>6. 操作対象のストレージシステムに使用できる LDEV ID が枯渇しているためボリュームが作成できません。</p>
KAIC18068-E	入力したファイルシステム名（＜ファイルシステム名＞）は、すでに＜ファイルサーバ名またはクラスタ名＞のストレージプールで使用されているため、使用できません。別のファイルシステム名を入力してください。	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>別のファイルシステム名を入力してください。</p>
KAIC18069-E	入力したファイルシステム名（＜ファイルシステム名＞）は、すでに＜ファイルサーバ名またはクラスタ名＞のストレージプールに対して予約されているため、使用できません。別のファイルシステム名を入力してください。	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>別のファイルシステム名を入力してください。</p>
KAIC18070-E	選択したストレージプールは、ストレージプールの削除タスクで予約されているため、ファイルシステムを作成できません。ほかのストレージプールを選択してください。または、いったん操作を終了し、タスクを終了もしくはキャンセルしたあとに、操作し直してください。	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>ほかのストレージプールを選択してください。または、いったん操作を終了し、タスクを終了もしくはキャンセルしたあとに、操作し直してください。</p>
KAIC18071-W	選択したストレージプールとボリュームを共有しているほかのファイルサーバ（＜ファイルサーバ名＞）の情報が最新ではありません。操作を続行すると、このファイルサーバにストレージプールやシステムドライブの情報が残ります。同時に削除する場合は、いったん操作を終了し、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させたあと、操作し直してください。	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>同時に削除する場合は、いったん操作を終了し、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させたあと、操作し直してください。</p>
KAIC18072-W	選択したストレージプールとボリュームを共有しているファイルサーバ（＜ファイルサーバ名またはクラスタ名＞）には、ほかのタスクで予約されているストレージプール（＜ストレージプール名＞）があります。操作を続行すると、＜ファイルサーバ名またはクラスタ名＞	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>同時に削除する場合は、いったん操作を終了し、タスクを終了またはキャンセルしてから操作し直してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	にストレージプールやシステムドライブの情報が残ります。同時に削除する場合は、いったん操作を終了し、タスクを終了またはキャンセルしてから操作し直してください。	
KAIC18074-W	選択したストレージプール（<ストレージプール名>）は、ほかのサーバクラスター（<ファイルサーバ名またはクラスター名>）とボリューム（<ボリュームID>）（システムドライブ（<システムドライブID>））を共有しています。このタスクでは、選択したストレージプールと、共有先のサーバクラスターにあるストレージプールおよび共有されたボリューム（システムドライブ）も削除対象となります。	要因 - 対処 -
KAIC18075-W	選択したストレージプールとボリュームを共有しているほかのファイルサーバ（<ファイルサーバ名>）の Admin Services との通信で、認証エラーが発生しています。操作を続行すると、このファイルサーバにストレージプールやシステムドライブの情報が残ります。同時に削除する場合は、ファイルサーバ編集画面で Admin Services に設定されたユーザー ID およびパスワードを見直したあと、操作し直してください。	要因 - 対処 同時に削除する場合は、ファイルサーバ編集画面で Admin Services に設定されたユーザー ID およびパスワードを見直したあと、操作し直してください。
KAIC18076-W	選択したストレージプールとボリュームを共有しているほかのファイルサーバ（<ファイルサーバ名>）の Admin Services との通信で、接続エラーが発生しています。操作を続行すると、このファイルサーバにストレージプールやシステムドライブの情報が残ります。同時に削除する場合は、ファイルサーバ編集画面で Admin Services の設定を見直したあと、操作し直してください。	要因 - 対処 同時に削除する場合は、ファイルサーバ編集画面で Admin Services の設定を見直したあと、操作し直してください。
KAIC18077-W	選択したストレージプールとボリュームを共有しているほかのファイルサーバ（<ファイルサーバ名>）の情報を取得できませんでした。操作を続行すると、このファイルサーバにストレージプールやシステムドライブの情報が残ります。同時に削除する場合は、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させたあと、操作し直してください。	要因 - 対処 同時に削除する場合は、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させたあと、操作し直してください。
KAIC18078-W	選択したストレージプールとボリュームを共有しているほかのファイルサーバ（<ファイルサーバ名>）に関連するバージョン情報を取得できませんでした。操作を続行すると、このファイルサーバにストレージプールやシステムドライブの情報が残ります。同時に削	要因 - 対処 同時に削除する場合は、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させたあと、操作し直してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	除する場合は、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させたあと、操作し直してください。	
KAIC18079-W	SMU のバージョンが、選択したストレージプールとボリュームを共有しているほかのファイルサーバ (<ファイルサーバ名>) のファームウェアのバージョンよりも古いです。操作を続行すると、このファイルサーバにストレージプールやシステムドライブの情報が残ります。同時に削除する場合は、SMU のバージョンを、ファイルサーバのファームウェアのバージョンと同じにするか、または SMU のバージョンの方が新しくなるように設定したあと、操作し直してください。	要因 - 対処 同時に削除する場合は、SMU のバージョンを、ファイルサーバのファームウェアのバージョンと同じにするか、または SMU のバージョンの方が新しくなるように設定したあと、操作し直してください。
KAIC18080-W	選択したストレージプールとボリュームを共有しているほかのクラスタ (<クラスタ名>) 内で、ファイルサーバのファームウェアのバージョンが混在しています。操作を続行すると、このクラスタにストレージプールやシステムドライブの情報が残ります。同時に削除する場合は、クラスタ内のファイルサーバのファームウェアのバージョンを同じにしたあと、操作し直してください。	要因 - 対処 同時に削除する場合は、クラスタ内のファイルサーバのファームウェアのバージョンを同じにしたあと、操作し直してください。
KAIC18081-W	選択したストレージプールとボリュームを共有しているサーバクラスタ (<ファイルサーバ名またはクラスタ名>) のファームウェアバージョンでは、この操作をサポートしていません。操作を続行すると、このサーバクラスタにストレージプールやシステムドライブの情報が残ります。同時に削除する場合は、対象のサーバクラスタのすべてのノードのファームウェアのバージョンを最新にして、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させたあと、操作し直してください。	要因 - 対処 同時に削除する場合は、対象のサーバクラスタのすべてのノードのファームウェアのバージョンを最新にして、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させたあと、操作し直してください。
KAIC18082-E	ストレージプールの削除は成功しましたが、このストレージプールを構成するリソースの一部が削除できていません。タスク詳細を開きエラー内容を確認してください。このタスクで削除できなかったリソースを削除したい場合は、SMU または Device Manager で手動で削除してください。	要因 - 対処 タスク詳細を開きエラー内容を確認してください。このタスクで削除できなかったリソースを削除したい場合は、SMU または Device Manager で手動で削除してください。
KAIC18083-E	ストレージプール (<ストレージプール名>) の状態が "Not Healthy" であるため、操作できません。ストレージプールを構成するシステムドライブの状態が正しくないおそれがあります。スト	要因 ストレージプールを構成するシステムドライブの状態が正しくないおそれがあります。 対処 ストレージプールを利用できる状態にしてください。そのあと、SMU で Device Manager サー

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	レージプールを利用できる状態にしてください。そのあと、SMUでDevice Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。	バとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。
KAIC18084-E	ストレージプール（<ストレージプール名>）の状態が"Pool belongs to another cluster"であるため、この操作はできません。<対処>	要因 - 対処 <対処>
KAIC18085-E	ストレージプール（<ストレージプール名>）の状態が"Not Healthy"であるため、この操作はできません。ストレージプールを構成するシステムドライブが正しくない状態であるおそれがあります。また、ストレージプール（<ストレージプール名>）の状態が"Pool belongs to another cluster"であるため、この操作はできません。"Not Healthy"なストレージプールは、利用できる状態にしてください。そのあと、SMUでDevice Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。"Pool belongs to another cluster"なストレージプールは、以下の対処に従ってください。<対処>	要因 - 対処 "Not Healthy"なストレージプールは、利用できる状態にしてください。そのあと、SMUでDevice Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再操作してください。"Pool belongs to another cluster"なストレージプールは、以下の対処に従ってください。<対処>
KAIC18086-W	ストレージプールを削除できませんでした。タスク要約テーブルのメッセージを基に問題を解決したあと、ストレージプールを削除し直してください。	要因 - 対処 タスク要約テーブルのメッセージを基に問題を解決したあと、ストレージプールを削除し直してください。
KAIC18087-W	ストレージプールを構成していたシステムドライブの状態を"Denied"にできませんでした。以下に表示されたテーブルを参照し、エラー内容を確認してください。ボリュームの割り当てを解除する場合、またはボリュームを削除する場合は、手動で実行してください。システムドライブを認識解除 (forget) する場合は、SMUで実行してください。	要因 - 対処 以下に表示されたテーブルを参照し、エラー内容を確認してください。ボリュームの割り当てを解除する場合、またはボリュームを削除する場合は、手動で実行してください。システムドライブを認識解除 (forget) する場合は、SMUで実行してください。
KAIC18088-W	ストレージプールを削除できませんでした。SMUで操作してください。	要因 - 対処 SMUで操作してください。
KAIC18089-W	ボリュームの割り当てを解除できませんでした。以下に表示されたテーブルを参照し、エラー内容を確認してください。ボリュームの割り当てを解除する場合、またはボリュームを削除する場合は、手動で実行してください。システムドライブを認識解除 (forget) する場合は、SMUで実行してください。	要因 - 対処 以下に表示されたテーブルを参照し、エラー内容を確認してください。ボリュームの割り当てを解除する場合、またはボリュームを削除する場合は、手動で実行してください。システムドライブを認識解除 (forget) する場合は、SMUで実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC18090-W	ホストグループを削除できませんでした。詳細は、ホストグループ情報テーブルを参照してください。ホストグループを削除する場合は、Element Manager で操作してください。	要因 - 対処 詳細は、ホストグループ情報テーブルを参照してください。ホストグループを削除する場合は、Element Manager で操作してください。
KAIC18091-W	ボリュームを削除できませんでした。詳細は、ボリューム情報テーブルを参照してください。ボリュームを削除する場合は、Device Manager でボリューム削除の操作を行ってください。	要因 - 対処 詳細は、ボリューム情報テーブルを参照してください。ボリュームを削除する場合は、Device Manager でボリューム削除の操作を行ってください。
KAIC18092-W	ファイルサーバでのシステムドライブを認識解除 (forget) できませんでした。詳細は、システムドライブ情報テーブルを参照してください。システムドライブを認識解除 (forget) する場合は、SMU で実行してください。	要因 - 対処 詳細は、システムドライブ情報テーブルを参照してください。システムドライブを認識解除 (forget) する場合は、SMU で実行してください。
KAIC18093-I	ファイルサーバのシステムドライブは認識解除 (forget) されていません。SMU で操作してください。	要因 - 対処 SMU で操作してください。
KAIC18094-E	サーバまたはクラスタを構成するノード (<ノード名>) に、ホストポートがありません。ノードにホストポートを追加してください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。	要因 - 対処 ノードにホストポートを追加してください。そのあと、SMU で Device Manager サーバとファイルサーバの情報を同期させてから再度操作してください。
KAIC18095-I	ストレージプールは削除されていません。ストレージプールを削除し直してください。	要因 - 対処 ストレージプールを削除し直してください。
KAIC18096-E	選択したパリティグループからストレージプールに使用しようとしていたボリューム (<ボリューム>) が見つかりません。設定画面に戻り、パリティグループを選択し直してください。	要因 - 対処 設定画面に戻り、パリティグループを選択し直してください。
KAIC18097-E	選択したサーバクラスタは、HNAS のサーバクラスタでないため、この操作はできません。HNAS のサーバクラスタを選択してから再度操作してください。	要因 - 対処 HNAS のサーバクラスタを選択してから再度操作してください。
KAIC18098-W	前回実行したときの LUN パスを適用できません。	要因 - 対処 -
KAIC18099-E	選択したパリティグループ (<パリティグループ>) は使用できません。選択したパリティグループにプールボリュームが作成されています。ほかのパリティグループを選択してください。	要因 選択したパリティグループにプールボリュームが作成されています。 対処 ほかのパリティグループを選択してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC18100-E	操作できるストレージシステムが見つかりません。いったん操作を終了し、ストレージシステムを確認してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了し、ストレージシステムを確認してください。
KAIC18101-E	選択したストレージプール(<ストレージプール名>)を構成するボリューム(<ボリューム>)は、コピーペアが設定されています。コピーペア設定を解除したあとに、操作し直してください。	要因 - 対処 コピーペア設定を解除したあとに、操作し直してください。
KAIC18102-E	選択した WWN(< WWN >)が割り当てられているホストグループがありません。ほかの WWN を選択するか、ストレージシステムの情報を更新して、リソースを確認してください。	要因 - 対処 ほかの WWN を選択するか、ストレージシステムの情報を更新して、リソースを確認してください。
KAIC18103-E	ホスト (<ホスト名>)に、ホストポートがありません。ホストにホストポートが追加されていることを確認し、ホスト編集ダイアログで対象のホスト(<ホスト名>)に WWN を追加してください。	要因 - 対処 ホストにホストポートが追加されていることを確認し、ホスト編集ダイアログで対象のホスト(<ホスト名>)に WWN を追加してください。
KAIC18104-E	ホスト (<ホスト名>)に、LUN セキュリティが有効なホストグループ経由でボリュームが割り当てられていないため、WWN ニックネームは編集できません。	要因 - 対処 -
KAIC18105-E	ホストグループにホストポートの WWN が設定されているストレージシステムが見つかりません。または、ポートやホストグループに対して操作に必要な権限がありません。ホストポートの WWN が設定されているホストグループを持つストレージシステムを追加してください。または、対象のポートとホストグループをリソースグループに登録し、そのリソースグループに Modify 権限があるユーザーで操作するか、All Resources に Modify 権限があるユーザーで操作してください。	要因 - 対処 ホストポートの WWN が設定されているホストグループを持つストレージシステムを追加してください。または、対象のポートとホストグループをリソースグループに登録し、そのリソースグループに Modify 権限があるユーザーで操作するか、All Resources に Modify 権限があるユーザーで操作してください。
KAIC18106-I	ストレージシステム(<ストレージシステム(コンマスペース区切り)>)に一部権限のないホストグループがあります。そのため、一括編集では権限のないホストグループへの WWN ニックネームの変更が適用されません。	要因 - 対処 -
KAIC18108-E	同一ポート内 (<Port 名称>)で同じニックネーム (<重複した Nickname >)は使用できません。同一ポート内で重複しないニックネームを設定してください。	要因 - 対処 同一ポート内で重複しないニックネームを設定してください。
KAIC18109-E	このタスクで使用しようとしているホストグループ/iSCSI ターゲットがほか	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	の操作によって削除されたおそれがあります。操作し直してください。	操作し直してください。
KAIC18110-W	Device Manager が停止したため、ヘルスチェックレポートのメール送信を中止しました。	要因 - 対処 -
KAIC18111-E	ヘルスチェックレポートのメール送信処理中に、データベースへのアクセスエラーが発生しました。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC18112-E	ヘルスチェックタスクの情報が見つからないため、ヘルスチェックレポートのメール送信を中止しました。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC18113-E	ヘルスチェックレポートのメール送信処理中に予期しない内部エラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。	要因 - 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC18114-W	選択したパリティグループには、拡張対象のストレージプールを構成するパリティグループと、内部または外部、ドライブタイプ、ドライブ回転数、チップタイプ、または RAID レベルなどの特性が異なるものが含まれています。ストレージプールの性能と信頼性を確保するために、特性が同じパリティグループを選択することをおすすめします。	要因 - 対処 ストレージプールの性能と信頼性を確保するために、特性が同じパリティグループを選択することをおすすめします。
KAIC18115-E	再実行できない状態のタスクを選択しているか、すでに再実行されています。対象のタスクを確認してタスクを選択し直すか、タスクの完了を待ってから、必要であれば再実行してください。	要因 - 対処 対象のタスクを確認してタスクを選択し直すか、タスクの完了を待ってから、必要であれば再実行してください。
KAIC18116-E	最後に再実行されたタスクがすでに削除されているため、再実行できません。必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。	要因 - 対処 必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。
KAIC18117-E	このタスクは再実行できません。上位の権限を持つユーザによって再実行されたため、再実行に必要な権限が変更されました。管理者にご連絡するか、必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。	要因 上位の権限を持つユーザによって再実行されたため、再実行に必要な権限が変更されました。 対処 管理者にご連絡するか、必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。
KAIC18118-E	このタスクは再実行できません。必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。	要因 - 対処 必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC18119-I	以下のタスクを最初から実行し直します。	要因 - 対処 -
KAIC18120-I	以下のタスクを未実行の処理から再開します。	要因 - 対処 -
KAIC18121-W	この操作はストレージシステムの構成・設定を変更します。再実行するタスクのプラン内容、操作対象リソースの現在の構成および状態を確認してから実行してください。操作対象リソースが存在しない場合、タスクを再実行できません。必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。	要因 - 対処 -
KAIC18122-E	タスクを再実行できません。サーバが起動しているか確認し、サーバが起動していなければサーバを起動してから操作し直してください。サーバが起動していても同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。(保守情報: <メッセージ>)	要因 - 対処 サーバが起動しているか確認し、サーバが起動していなければサーバを起動してから操作し直してください。サーバが起動していても同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。(保守情報: <メッセージ>)
KAIC18123-W	この操作はHDTプールのモニタリングまたは再配置の設定を変更します。再実行するプランの内容、操作対象となるHDTプールの現在の状態、および操作スケジュールを確認してから実行してください。操作対象リソースが存在しない場合、タスクを再実行できません。必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。	要因 - 対処 -
KAIC18124-W	この操作はプロファイルの状態を変更します。再実行するタスクのプランの内容、操作対象となるプロファイルの現在の適用状態、および操作スケジュールを確認してから実行してください。操作対象リソースが存在しない場合、タスクを再実行できません。必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。	要因 - 対処 -
KAIC18125-W	この操作はファイルサーバの構成および設定を変更します。再実行するタスクのプランの内容、操作対象リソースの現在の構成および状態を確認してから実行してください。操作対象リソースが存在しない場合、タスクを再実行できません。必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC18126-E	選択したタスクはすでに再実行して完了しているため、再実行は不要です。	要因 - 対処 -
KAIC18127-E	ホストを削除できませんでした。（原因:<メッセージ>）エラー発生原因のメッセージを参照してください。	要因 - 対処 エラー発生原因のメッセージを参照してください。
KAIC18128-E	Modify 権限のないホストグループ（<ホストグループ>）が割り当てられているため、ホスト（<ホスト名>）を削除できません。システム管理者に問い合わせで権限を見直してください。	要因 - 対処 システム管理者に問い合わせで権限を見直してください。
KAIC18129-E	Modify 権限のない iSCSI ターゲット（<iSCSI ターゲット>）が割り当てられているため、ホスト（<ホスト名>）を削除できません。システム管理者に問い合わせで権限を見直してください。	要因 - 対処 システム管理者に問い合わせで権限を見直してください。
KAIC18130-E	Modify 権限のないホストグループや iSCSI ターゲット（<ホストグループまたは iSCSI ターゲット>）が割り当てられているため、ホスト（<ホスト名>）を削除できません。システム管理者に問い合わせで権限を見直してください。	要因 - 対処 システム管理者に問い合わせで権限を見直してください。
KAIC18131-E	Modify 権限のない LDEV（<LDEV>）が割り当てられているため、ホスト（<ホスト名>）を削除できません。システム管理者に問い合わせで権限を見直してください。	要因 - 対処 システム管理者に問い合わせで権限を見直してください。
KAIC18132-E	指定したホストに割り当てられたボリュームの数が<上限値>を超えています（ボリューム数=<ボリューム数>）。ホストの指定数を減らすか、または一部のボリュームを解除したあと、再実行してください。	要因 - 対処 ホストの指定数を減らすか、または一部のボリュームを解除したあと、再実行してください。
KAIC18133-E	ボリューム（<ボリューム>）のデータのシュレディングの完了を検知できませんでした。データがシュレディングされないでボリュームが削除されたおそれがあります。対象のストレージシステムを更新して、リソースを確認してください。	要因 - 対処 対象のストレージシステムを更新して、リソースを確認してください。
KAIC18134-E	ボリューム（<ボリューム>）のデータのシュレディングの完了を検知できませんでした。ボリュームのデータのシュレディングまたはフォーマットが実行されなかったおそれがあります。対象のストレージシステムを更新して、Storage Navigator または Remote Web Console でボリュームのデータのシュレディングまたはフォーマットを実行してください。	要因 - 対処 対象のストレージシステムを更新して、Storage Navigator または Remote Web Console でボリュームのデータのシュレディングまたはフォーマットを実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC18136-E	選択した WWN が割り当てられているホストグループに対して、操作に必要な権限がありません。ほかの WWN ペアを選択するか、システム管理者に問い合わせる権限を見直してください。	要因 - 対処 ほかの WWN ペアを選択するか、システム管理者に問い合わせる権限を見直してください。
KAIC18137-E	選択した WWN が設定されているホストグループに属するボリュームに対して、操作に必要な権限がありません。ほかの WWN ペアを選択するか、システム管理者に問い合わせる権限を見直してください。	要因 - 対処 ほかの WWN ペアを選択するか、システム管理者に問い合わせる権限を見直してください。
KAIC18138-E	選択したストレージシステムでは、ブロック数に奇数を指定できません。容量をブロック以外の単位で指定するか、ブロック数を偶数で指定してください。または、奇数のブロック数をサポートしているストレージシステムを選択してください。	要因 - 対処 容量をブロック以外の単位で指定するか、ブロック数を偶数で指定してください。または、奇数のブロック数をサポートしているストレージシステムを選択してください。
KAIC18139-E	指定されたボリュームは Device Manager 管理下のホストに割り当てられていません。いったん操作を終了し、ボリュームが割り当てられているホストが、Device Manager に登録されているか、LUN セキュリティが無効なホストグループ経由で割り当てられていないか確認してください。	要因 - 対処 いったん操作を終了し、ボリュームが割り当てられているホストが、Device Manager に登録されているか、LUN セキュリティが無効なホストグループ経由で割り当てられていないか確認してください。
KAIC18140-E	このタスクを再実行できません。ホストグループ (<ホストグループ>) を使用してボリュームが割り当てられたため、この操作を実行すると、これらのボリュームの割り当てが解除されるおそれがあります。必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。	要因 ホストグループ (<ホストグループ>) を使用してボリュームが割り当てられたため、この操作を実行すると、これらのボリュームの割り当てが解除されるおそれがあります。 対処 必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。
KAIC18141-E	このタスクは再実行できません。Device Manager をバージョンアップした場合、バージョンアップ前に登録したタスクを再実行できないことがあります。必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。	要因 Device Manager をバージョンアップした場合、バージョンアップ前に登録したタスクを再実行できないことがあります。 対処 必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。
KAIC18142-E	操作できるボリュームが見つかりません。ボリュームがホストに割り当てられていることを確認してください。	要因 - 対処 ボリュームがホストに割り当てられていることを確認してください。
KAIC18143-E	ほかの操作によって LDEV (<LDEV>) が予約されているため、ホスト (<ホスト名>) を削除できません。すべてのタスクが完了したあと、再実行してください。	要因 - 対処 すべてのタスクが完了したあと、再実行してください。
KAIC18144-E	複数の交換元 WWN を一つの交換先 WWN に指定しているため、この操作を	要因 交換元 WWN が複数のホストグループに関連づいています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	実行できません。交換元 WWN が複数のホストグループに関連づいています。交換先 WWN を一つに指定してください。	対処 交換先 WWN を一つに指定してください。
KAIC18145-E	選択したタスクはすでに完了しているため、再実行は不要です。	要因 - 対処 -
KAIC18146-W	再実行するプランの内容、および操作スケジュールを確認してから実行してください。操作対象リソースが存在しない場合、タスクを再実行できません。必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。	要因 - 対処 -
KAIC18147-W	この操作は HDT プールのモニタリングまたは再配置の設定を変更します。再実行するプランの内容、操作対象となる HDT プールの現在の状態、および操作スケジュールを確認してから実行してください。操作対象リソースが存在しない場合、タスクを再実行できません。必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。このタスクは失敗したときのみタスク一覧に表示されます。	要因 - 対処 -
KAIC18148-E	ホストグループが見つかりません。ホストグループが削除されたか、LUN セキュリティが無効なホストグループ経由で割り当てられています。いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。	要因 ホストグループが削除されたか、LUN セキュリティが無効なホストグループ経由で割り当てられています。 対処 いったん操作を終了したあと、リソースで確認してください。
KAIC18149-E	ボリューム (<ボリューム>) の割り当てが解除できません。コピーペアが設定されたボリューム (<ボリューム>) の最後のパスを解除しようとしています。コピーペアを解除したあと、再実行してください。	要因 コピーペアが設定されたボリューム (<ボリューム>) の最後のパスを解除しようとしています。 対処 コピーペアを解除したあと、再実行してください。
KAIC18150-E	ボリューム (<ボリューム>) の割り当てが解除できません。Data Retention Utility で、Reserved の属性を持つボリュームは割り当てを変更できません。または、マッピングガードが設定されているボリュームは割り当てを変更できません。Storage Navigator, Storage Navigator Modular 2 でボリュームを見直してください。	要因 Data Retention Utility で、Reserved の属性を持つボリュームは割り当てを変更できません。または、マッピングガードが設定されているボリュームは割り当てを変更できません。 対処 Storage Navigator, Storage Navigator Modular 2 でボリュームを見直してください。
KAIC18151-E	指定したホストに設定された LUN パスの数が<上限値>を超えています (LUN パス数=<LUN パス数>)。ホストの指定数を減らすか、または一部の LUN パスを解除したあと、再実行してください。	要因 - 対処 ホストの指定数を減らすか、または一部の LUN パスを解除したあと、再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC18152-E	Device Manager をバージョンアップした場合、バージョンアップ前に登録したタスクを再実行できません。必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。	要因 - 対処 必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。
KAIC18153-E	ボリュームに割り当てられているホストグループ (<ホストグループID(ポート)...>) に Modify 権限がないため、パスを編集できません。システム管理者に問い合わせさせて権限を見直してください。	要因 - 対処 システム管理者に問い合わせさせて権限を見直してください。
KAIC18154-W	ホストグループの設定 (<項目名>) が一致していないため、ホストグループの設定は変更できません。	要因 - 対処 -
KAIC18155-E	新たなホストグループが作成できないため、指定した操作はできません。既存のホストグループの設定 (<項目名>) が一致していません。Device Manager CLI または Storage Navigator, Storage Navigator Modular 2 を使用して操作してください。	要因 既存のホストグループの設定 (<項目名>) が一致していません。 対処 Device Manager CLI または Storage Navigator, Storage Navigator Modular 2 を使用して操作してください。
KAIC18156-E	ホストにボリュームを割り当てられません。操作に必要な LUN Manager ライセンスが、ストレージシステム (<ストレージシステム名>) に登録されていません。ストレージシステム (<ストレージシステム名>) に、LUN Manager ライセンスを登録してください。ストレージシステムの更新を実行してから、再度操作してください。	要因 操作に必要な LUN Manager ライセンスが、ストレージシステム (<ストレージシステム名>) に登録されていません。 対処 ストレージシステム (<ストレージシステム名>) に、LUN Manager ライセンスを登録してください。ストレージシステムの更新を実行してから、再度操作してください。
KAIC18157-I	ボリュームに対する modify 権限がないため、データのシュレディングができません。	要因 - 対処 -
KAIC18158-I	ボリュームがホストから利用されているため、データのシュレディングができません。	要因 - 対処 -
KAIC18159-I	ガードモードが設定されているため、データを書き込めません。	要因 - 対処 -
KAIC18160-I	ペアボリュームには、データを書き込めません。	要因 - 対処 -
KAIC18161-I	コマンドデバイスには、データを書き込めません。	要因 - 対処 -
KAIC18162-I	システムディスクには、データを書き込めません。	要因 - 対処 -

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		-
KAIC18163-I	Quorum disk には、データを書き込みません。	要因 - 対処 -
KAIC18164-I	予約ボリュームには、データを書き込みません。	要因 - 対処 -
KAIC18165-I	仮想 ID を削除できない仮想ボリュームには、データを書き込みません。	要因 - 対処 -
KAIC18166-I	ボリュームマイグレーションの予約ボリュームには、データを書き込みません。	要因 - 対処 -
KAIC18167-E	ボリュームのデータのシュレディングおよびフォーマットができませんでした。(原因 = <メッセージ>) エラー発生原因のメッセージを参照してください。	要因 - 対処 エラー発生原因のメッセージを参照してください。
KAIC18168-E	内部ストレージシステムがビジー状態です。数分後に再実行してください。	要因 - 対処 -
KAIC18175-E	ポートスキャン機能をサポートしている内部ストレージシステムがありません。	要因 - 対処 -
KAIC18176-I	ストレージシステムがデータのシュレディングおよびフォーマットをサポートしていないため、処理は適用されません。	要因 - 対処 -
KAIC18178-E	仮想化されているストレージシステムがありません。	要因 - 対処 -
KAIC18179-I	プールボリュームには、データのシュレディングができません。	要因 - 対処 -
KAIC18180-I	Universal Volume Manager がインストールされている内部ストレージシステムがありません。リモートコマンドデバイスだけ作成できます。リモートコマンドデバイスを作成するには、外部ストレージシステムとして [外部接続先のボリュームを検索] を選択してください。	要因 - 対処 -
KAIC18181-E	チップタイプが異なるボリュームを同じプールに混在させることができないため、プールボリュームに使用できません。	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ん。チップタイプが同じボリュームだけを選択してください。	チップタイプが同じボリュームだけを選択してください。
KAIC18182-E	<p>仮想解除タスクは失敗しました。次の手順を実施してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 仮想解除タスクを再実行する。 2. 再実行に失敗した場合は、ストレージ装置の情報を更新する。 3. 内部ストレージシステムのパリティグループの有無を確認し、必要に応じて仮想化を解除する。 4. 外部ストレージシステムのボリュームの状態を確認し、必要に応じてボリュームの割り当て解除やボリュームの削除を実行する。 <p>[エラー情報] ---- < <i>Error Message</i> > ----</p>	<p>要因 -</p> <p>対処</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 仮想解除タスクを再実行する。 2. 再実行に失敗した場合は、ストレージ装置の情報を更新する。 3. 内部ストレージシステムのパリティグループの有無を確認し、必要に応じて仮想化を解除する。 4. 外部ストレージシステムのボリュームの状態を確認し、必要に応じてボリュームの割り当て解除やボリュームの削除を実行する。 <p>[エラー情報] ---- < <i>Error Message</i> > ----</p>
KAIC18183-E	<p>仮想解除タスクは失敗しました。次の手順を実施してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 仮想解除タスクを再実行する。 2. 再実行に失敗した場合は、ストレージ装置の情報を更新する。 3. 内部ストレージシステムのパリティグループの有無を確認し、必要に応じて仮想化を解除する。 <p>[エラー情報] ---- < <i>Error Message</i> > ----</p>	<p>要因 -</p> <p>対処</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 仮想解除タスクを再実行する。 2. 再実行に失敗した場合は、ストレージ装置の情報を更新する。 3. 内部ストレージシステムのパリティグループの有無を確認し、必要に応じて仮想化を解除する。 <p>[エラー情報] ---- < <i>Error Message</i> > ----</p>
KAIC18184-E	<p>対象の外部ボリュームは、ほかのホストまたはストレージシステムで使用しているため、割り当てを解除できません。外部ストレージシステムのホストグループ (< <i>Host Group</i> >) の状態を確認して、次のどれかの方法で対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 同じホストグループに割り当てられているすべての外部ボリュームの仮想化を解除する場合は、それらすべての外部ボリュームを選択して実行してください。 • 対象となっている外部ボリュームがほかのホストに割り当てられている場合は、割り当てを解除してからボリュームの仮想化を解除してください。 • CLI コマンドの <code>DeleteExternalArrayGroup</code> を使用してボリュームの仮想化を解除したあと、必要に応じて外部ボリュームの割り当てを解除してください。 	<p>要因 -</p> <p>対処</p> <p>外部ストレージシステムのホストグループ (< <i>Host Group</i> >) の状態を確認して、次のどれかの方法で対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 同じホストグループに割り当てられているすべての外部ボリュームの仮想化を解除する場合は、それらすべての外部ボリュームを選択して実行してください。 • 対象となっている外部ボリュームがほかのホストに割り当てられている場合は、割り当てを解除してからボリュームの仮想化を解除してください。 • CLI コマンドの <code>DeleteExternalArrayGroup</code> を使用してボリュームの仮想化を解除したあと、必要に応じて外部ボリュームの割り当てを解除してください。

4.3 KAIC20000～KAIC29999

Device Manager エージェントに関するメッセージ (KAIC20000～KAIC29999) を示します。特に書き分けをしていない場合、「サーバ」は「Hitachi Command Suite の管理サーバ」を指します。

表 4-3 KAIC20000～KAIC29999 : Device Manager エージェントのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC22001-E	使用法が間違っています。＜説明＞＜正しい使い方＞	要因 不正な引数で起動しようとしてしました。 対処 正しい引数でコマンドを実行してください。
KAIC22002-E	DoScan: < DoScan_Message >	要因 コマンド実行中にエラーが発生しました。 対処 DoScan:以降のメッセージに従ってください。
KAIC22003-E	DoScan: このホストにディスクドライブがありません。	要因 コマンド実行中にエラーが発生しました。 対処 日立および Sun のストレージがすべてオンラインであることを確認してください。
KAIC22004-E	DoEmit: < DoEmit_Message >	要因 コマンド実行中にエラーが発生しました。 対処 DoEmit:以降のメッセージに従ってください。
KAIC22005-E	出力ファイル <ファイル名> のオープンエラー: エラー -1(＜例外情報＞)	要因 -t パラメーターで指定したファイルの作成に失敗しました。 対処 -t パラメーターで指定されているパスが存在し、ファイル名がその OS で有効であることを確認してください。また、ディスク上に十分な空きがあることを確認してください。
KAIC22006-E	アドレス [<IP アドレス>] を解決することができませんでした。:エラー -1	要因 -s パラメーターに指定した Device Manager サーバのホスト名を IP アドレスに解決できませんでした。 対処 -s パラメーターに指定した Device Manager サーバのホスト名を見直してください。
KAIC22007-E	ソケットオープンエラー:エラー -1(＜例外情報＞)	要因 Device Manager サーバとの通信に失敗しました。 対処 TCP/IP 通信経路が確立されていることを確認してください。
KAIC22008-E	ソケット接続回数失敗: エラー -1	要因 Device Manager サーバとの通信に失敗しました。 対処 -s パラメーターで指定された Device Manager サーバのアドレスとポート番号が正しいこと、Device Manager サーバが起動していることを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC22009-E	ソケット送信回数失敗: エラー -1 (<例外情報>,Content-Length=<送信情報の長さ>)	<p>要因 DeviceManager サーバとの通信に失敗しました。</p> <p>対処 TCP/IP 通信経路が確立されていること、または Device Manager サーバの server.properties ファイルにある server.http.entity.maxLength プロパティの値が Content-Length に示す値より大きいことを確認してください。</p>
KAIC22010-E	ソケット受信回数失敗: エラー -1 (<例外情報>,Content-Length=<送信情報の長さ>)	<p>要因 DeviceManager サーバからの応答がありません。DeviceManager サーバが正常に動作していないおそれがあります。</p> <p>対処 -s パラメーターで指定された Device Manager サーバが正常に動作していること、ネットワークが正常であること、または Device Manager サーバの server.properties ファイルにある server.http.entity.maxLength プロパティの値が Content-Length に示す値より大きいことを確認してください。</p>
KAIC22011-E	-s <IP アドレス> で指定された Device Manager サーバに接続しましたが応答がありませんでした。(<例外情報>,Content-Length=<送信情報の長さ>)	<p>要因 DeviceManager サーバからの応答がありません。DeviceManager サーバが正常に動作していないおそれがあります。</p> <p>対処 -s パラメーターで指定された Device Manager サーバが正常に動作していること、ネットワークが正常であること、または Device Manager サーバの server.properties ファイルにある server.http.entity.maxLength プロパティの値が Content-Length に示す値より大きいことを確認してください。</p>
KAIC22012-E	期待するレスポンスヘッダ: HTTP/1.0。受信された内容: (<受信内容>)	<p>要因 DeviceManager サーバが正常に動作していないおそれがあります。</p> <p>対処 次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> -s パラメーター、または Device Manager エージェントの server.server.serverIPAddress プロパティに指定した Device Manager サーバの IP アドレスが正しいこと。 -s パラメーター、または Device Manager エージェントの server.server.serverPort プロパティに指定した Device Manager サーバのポートが、Device Manager サーバの server.http.port プロパティと一致していること。 Device Manager サーバが正常に動作していること。 Device Manager サーバと通信できる状態であること。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC22013-E	HTTP 失敗レスポンスを受取りました (<レスポンス内容>)	要因 Device Manager サーバとの通信に失敗しました。 対処 メッセージに続くテキストの内容に関する障害が発生しています。-u, -p パラメーターおよび Device Manager サーバ情報の設定を見直してください。
KAIC22014-E	接続タイムアウトのために Device Manager サーバに接続することができませんでした。	要因 DeviceManager サーバとの通信が、DeviceManager エージェントのタイムアウト監視によって終了しました。 対処 Device Manager エージェントの server.properties ファイルにある server.http.server.timeOut の値を見直してください。 または、Device Manager サーバの server.properties ファイルにある server.http.entity.maxLength プロパティの値が Content-Length の値より大きいことを確認してください。
KAIC22018-E	インストールされた plugin に関する情報を得られませんでした。(＜例外情報＞)	要因 インストール状態が不正です。 対処 Dynamic Link Manager, または Device Manager エージェントのインストールに失敗しているおそれがあります。
KAIC22019-E	hldutil の実行待ちタイムアウトが発生しました。	要因 hldutil コマンド実行中に異常が発生しているか、ホストに接続されている LU 数が多いため、hldutil コマンドがタイムアウトしているおそれがあります。 対処 ホストにストレージが正しく認識されているか確認してください。また、Device Manager エージェントの server.properties ファイルにある server.util.processTimeOut の値を適切な値に変更してください。
KAIC22020-E	hldutil の実行に失敗しました。(＜例外情報＞)	要因 hldutil コマンドが実行できませんでした。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC22047-E	ユーザー ID とパスワードの認証に失敗しました。:< status code >	要因 設定されているユーザー ID とパスワードが不正です。 対処 hdvmagt_setting を実行し、正しいユーザー ID とパスワードを入力してください。
KAIC22048-E	リクエストデータが大き過ぎるため拒否されました。:< status code >	要因 リクエストデータが大き過ぎるため、Device Manager サーバが処理できるデータ量を超えました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処</p> <p>Device Manager サーバの server.properties ファイルにある server.http.entity.maxLength プロパティの値が Content-Length の値より大きいことを確認してください。</p>
KAIC22049-E	指定されたオプションの引数は無効な値です。:<オプション>	<p>要因</p> <p>オプションの引数に使用できない文字を指定しています。</p> <p>対処</p> <p>オプションの引数に使用できる文字列を指定してください。</p>
KAIC22050-E	サイトローカルアドレスおよびリンクローカルアドレスは指定できません。(<アドレス>)	<p>要因</p> <p>オプションの引数に、サイトローカルアドレス、またはリンクローカルアドレスが指定されています。</p> <p>対処</p> <p>IPv6 アドレスを使用する場合は、グローバルアドレスを指定してください。</p>
KAIC22051-E	ホストのホスト名を IP アドレスに解決することができませんでした。	<p>要因</p> <p>Device Manager エージェントの server.properties ファイルにある server.http.socket.agentAddress に設定した値が誤っているか、ホストの環境が不正であるおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>Device Manager エージェントの server.properties ファイルにある server.http.socket.agentAddress に設定した値を見直してください。</p>
KAIC22401-W	管理者権限を持つユーザーでコマンドプロンプトが起動されていません。処理は正しく実行されますが、起動されたコマンドプロンプトは処理終了後に閉じられます。	<p>要因</p> <p>管理者権限のないユーザーがコマンドを実行しようとした。</p> <p>対処</p> <p>コマンドを管理者として実行してください。</p>
KAIC25111-W	管理サーバからの要求を実行中のため、Device Manager エージェントのインストールを中止します。少し時間を置いてから再実行してください。インストールを中止する場合はキャンセルをクリック (または N (o) を入力) してください。	<p>要因</p> <p>Device Manager エージェントは外部からアクセスされているため、インストール処理を中断しました。</p> <p>対処</p> <p>少し時間を置いてから、インストールを再実行してください。Device Manager エージェントを緊急に停止させたい場合は、Device Manager エージェントのマニュアルに記載されている hbsasrv コマンドの説明を参照してください。</p>
KAIC25112-W	以下のどれかのコマンドが実行中のため、Device Manager エージェントのインストールを中止します。(hbsasrv, hdvmagt_setting, TIC, hldutil) 少し時間を置いてから再実行してください。インストールを中止する場合はキャンセルをクリック (または N (o) を入力) してください。	<p>要因</p> <p>Device Manager エージェントのコマンドが動作中のため、インストール処理を中断しました。</p> <p>対処</p> <p>少し時間を置いてから、インストールを再実行してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC25113-W	HiScan コマンドが実行中のため、Device Manager エージェントのインストールを中止します。 少し時間を置いてから再実行してください。インストールを中止する場合はキャンセルをクリック（またはN (o) を入力）してください。	要因 HiScan コマンドが動作中のため、インストール処理を中断しました。 対処 少し時間を置いてから、インストールを再実行してください。
KAIC25115-W	管理サーバからの要求を実行中のため、Device Manager エージェントのアンインストールを中止します。 少し時間を置いてから再実行してください。アンインストールを中止する場合はキャンセルをクリック（またはN (o) を入力）してください。	要因 Device Manager エージェントは外部からアクセスされているため、アンインストール処理を中断しました。 対処 少し時間を置いてから、アンインストールを再実行してください。Device Manager エージェントを緊急に停止させたい場合は、Device Manager エージェントのマニュアルに記載されている hbsasrv コマンドの説明を参照してください。
KAIC25116-W	以下のどれかのコマンドが実行中のため、Device Manager エージェントのアンインストールを中止します。 (hbsasrv, hdvmagt_setting, TIC, hldutil) 少し時間を置いてから再実行してください。アンインストールを中止する場合はキャンセルをクリック（またはN (o) を入力）してください。	要因 Device Manager エージェントのコマンドが動作中のため、アンインストール処理を中断しました。 対処 少し時間を置いてから、アンインストールを再実行してください。
KAIC25117-W	HiScan コマンドが実行中のため、Device Manager エージェントのアンインストールを中止します。 少し時間を置いてから再実行してください。アンインストールを中止する場合はキャンセルをクリック（またはN (o) を入力）してください。	要因 HiScan コマンドが動作中のため、アンインストール処理を中断しました。 対処 少し時間を置いてから、アンインストールを再実行してください。
KAIC25120-W	アカウントの認証に失敗しました。アカウント情報を見直してください。	要因 次の要因が考えられます。 ・ 指定されたアカウント（ユーザー）が存在しない。 ・ アカウントのパスワードに誤りがある。 対処 次のことを確認したあとに、「エージェントサービスのアカウント設定」で、[次へ]ボタンを再度押下してください。 ・ アカウント（ユーザー）が存在する。 ・ アカウントのパスワードが正しい。
KAIC25121-W	指定されたアカウントは管理者権限を持っていません。アカウント情報を見直してください。	要因 指定されたアカウント（ユーザー）は管理者権限を持っていません。 対処 管理者権限を持つアカウント（ユーザー）で実行してください。 または、次のことを確認したあとに、「エージェントサービスのアカウント設定」で、[次へ]ボタンを再度押下してください。 ・ アカウント（ユーザー）が管理者権限を持っていることを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> 管理者権限を持っていない場合には、アカウント（ユーザー）に管理者権限を設定してください。
KAIC25122-W	指定されたアカウントはサービスの起動に関するユーザ権限を持っていません。ユーザ権限情報を見直してください。	<p>要因 指定されたアカウント（ユーザー）はサービス起動に関するユーザ権限を持っていません。</p> <p>対処 サービス起動に関するユーザ権限を持つアカウント（ユーザー）で実行してください。または、次のことを確認したあとに、「エージェントサービスのアカウント設定」で、[次へ]ボタンを再度押下してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> アカウント（ユーザー）が「サービスとしてログオン」のユーザ権限を持っていることを確認してください。 「サービスとしてログオン」のユーザ権限を持っていない場合には、アカウント（ユーザー）に「サービスとしてログオン」のユーザ権限を設定してください。
KAIC25123-W	サービスのアカウント設定処理でエラーが発生しました。	<p>要因 アカウントの認証処理で予期しないエラーが発生しました。</p> <p>対処 「エージェントサービスのアカウント設定」で、[次へ]ボタンを再度押下してください。問題が解決しない場合、「エージェントサービスのアカウント設定」で、アカウント情報を指定せずに（「いいえ」を選択）[次へ]ボタンを再度押下してください。インストール終了後に、管理ツールからサービスウィンドウを開き、HBsA Service のアカウント情報を変更してください。</p>
KAIC25126-W	Device Manager エージェントのインストールは正常に完了しましたが、RAID Manager の設定に失敗しました。RAID Manager または P9000 RAID Manager のインストール状況を確認し、hdvmagt_setting コマンドを使用して RAID Manager の設定をしてください。	<p>要因 RAIDManager の設定に失敗しました。</p> <p>対処 hdvmagt_setting コマンドを使用して RAIDManager の設定を行ってください。</p>
KAIC25156-E	setup.exe を実行してください。インストールを中止します。	<p>要因 インストールが失敗しました。</p> <p>対処 setup.exe を実行し、Device Manager エージェントをインストールしてください。</p>
KAIC25157-E	インストールに必要なディスク空き容量がありません。システムドライブおよびインストールドライブに十分な空き容量を確保してください。インストールを中止します。	<p>要因 インストールに必要なディスクの空き容量がありません。</p> <p>システムドライブおよびインストールドライブに十分な空き容量を確保してください。</p> <p>対処 空き容量を確保したあと、再度インストールを実施してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC25163-E	すでに新しいバージョンの Device Manager エージェントがインストールされています。Device Manager エージェントをダウングレードすることはできません。	要因 新しいバージョンの Device Manager エージェントがインストールされている環境で、古いバージョンの Device Manager エージェントをインストールしようとしたため。 対処 対処の必要はありません。
KAIC25172-E	JVM でエラーが発生したためインストール または アンインストールを中断しました。	要因 前提パッチが適用されていないおそれがあります。 UNIX の場合、Device Manager エージェントが使用するプロパティファイルに設定している Java の情報が正しくないおそれがあります。 対処 <ul style="list-style-type: none"> 前提パッチが適用されているかどうかを確認してください。前提パッチについては、Device Manager エージェントのマニュアルを参照してください。 UNIX の場合、プロパティファイルに設定している Java の情報が正しいかどうか確認してください。 設定している Java の情報が正しくないときは、Device Manager エージェントが使用する Java をプロパティファイルに正しく設定したあと、Device Manager エージェントを再インストールしてください。 プロパティファイルについては Device Manager エージェントのマニュアルを参照してください。
KAIC25173-E	インストールまたはアンインストールを中止します。時間を置いて再度実行してください。	要因 Device Manager エージェントの動作中にインストールまたはアンインストールが実行されました。 対処 時間を置いて再度実行してください。
KAIC25174-E	This environment is a non-global zone. Installation in a non-global zone is not supported.	要因 グローバル・ゾーン以外でインストールを実行しようとしたため。 対処 グローバル・ゾーンでインストールを実行してください。
KAIC25176-E	Device Manager エージェントのセットアップ処理の実行時に、予期しないエラーが発生しました。	要因 セットアッププログラムを実行できませんでした。 対処 保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC25177-E	不正なオプションを指定しています。 <指定オプション>	要因 インストールコマンドまたはアンインストールコマンドに不正なオプションを指定しています。 対処 構文を見直し、オプションを正しく指定し直してから、再度インストールコマンドまたはアンインストールコマンドを実行してください。
KAIC25178-E	引数の数が誤っています。<指定数>	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>インストールコマンドまたはアンインストールコマンドの引数の数が誤っています。</p> <p>対処 構文を見直し、引数を正しく指定し直してから、再度インストールコマンドまたはアンインストールコマンドを実行してください。</p>
KAIC25179-E	Device Manager エージェントのインストールパスを取得できません。	<p>要因 Device Manager エージェントのインストールパスを取得できませんでした。</p> <p>対処 保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAIC25181-E	Protection Manager のインストールに失敗しました。	<p>要因 Protection Manager のファイルコピーでエラーが発生しました。</p> <p>対処 hptmguinst.exe または hptmguinst.sh を実行し、出力されたエラーメッセージの内容に基づき対策を行ってください。</p>
KAIC25183-E	The user is not the root user.	<p>要因 インストールを実行したユーザーが root ユーザーではありません。</p> <p>対処 root ユーザーでインストールを実行してください。</p>
KAIC25184-E	Device Manager エージェントのインストールに必要なファイルが不足しています。	<p>要因 インストールの実行に必要なファイルが足りません。</p> <p>対処 インストールメディアが壊れているおそれがあります。再度インストールメディアを入手し、インストールを実行してください。</p>
KAIC25185-E	No usable JDK or JRE exists. Install a JDK or JRE, and then retry the operation.	<p>要因 前提となる Java がシステムにインストールされていません。</p> <p>対処 前提となる Java をインストールしたあとに、再実行してください。</p>
KAIC25186-E	ユーザーグループ権限が管理者権限ではありません。	<p>要因 ユーザーグループの権限が管理者権限ではありません。</p> <p>対処 管理者権限を持つユーザーで実行してください。</p>
KAIC25188-E	Device Manager エージェントのインストール処理で継続できないエラーが発生しました。インストールを中止します。	<p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Device Manager エージェントのインストールファイルが作業ディレクトリにコピーできない。 • Device Manager エージェントのインストールファイルが作業ディレクトリから削除できない。 <p>対処 保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC25189-E	Device Manager エージェントのインストールは完了しませんでした。	<p>要因</p> <p>Device Manager エージェントのインストールに失敗しました。</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去の Device Manager エージェントまたは Dynamic Link Manager のインストール情報が残っている。 指定したインストール先の容量が不足している。 ユーザーグループの権限が管理者権限ではない。 サポートされない OS へインストールしようとしたためインストール処理を中止しました。 <p>対処</p> <p>次のことを確認したあとにインストールを再実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> Device Manager エージェントまたは Dynamic Link Manager がインストールされているマシンの[プログラムの追加と削除]に[HBase Agent]が二つ表示されていること。または、Device Manager エージェントと Dynamic Link Manager の両方をアンインストールしたマシンの[プログラムの追加と削除]に[HBase Agent]が表示されていること。 <p>これらの場合は、hbsa_util コマンドを実行して、Device Manager エージェントのレジストリーとファイルを削除してください。hbsa_util コマンドの詳細は、「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> インストール先に指定するディスク上に十分な空き容量があること。 実行するユーザーに管理者権限があること。 サポート OS のバージョンと CPU (詳細はソフトウェア添付資料を参照)。
KAIC25190-E	Device Manager エージェントのインストールは完了しましたが、Device Manager エージェントまたは一部の関連プログラムの設定が正常に完了しませんでした。 設定が正常に完了しなかった関連プログラムを使用する場合は、Device Manager エージェントのインストールを再実行してください。 設定が正常に完了しなかった関連プログラムを使用しない場合は、対処の必要はありません。	<p>要因</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> Device Manager エージェント機能のセットアップに失敗した。 Protection Manager 連携機能のセットアップに失敗した。 Dynamic Link Manager 連携機能のセットアップに失敗した。 Device Manager エージェントのサービス (HBsA Service) のアカウント設定に失敗した。 Global Link Manager エージェントのインストールに失敗した。 <p>対処</p> <p>設定が正常に完了しなかった関連プログラムを使用する場合は、Device Manager エージェントのインストールを再実行してください。 設定が正常に完了しなかった関連プログラムを使用しない場合は、対処の必要はありません。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC25193-E	The execute permission for the installation files could not be changed.	要因 インストーラーファイルの実行権限を変更できませんでした。 対処 インストーラーファイルを書き込みできる場所に配置してください。
KAIC25194-E	An attempt to open the '< HDVMAgent_conf file name >' file has FAILED.	要因 HDVMAgent.conf のオープンに失敗しました。 対処 インストーラーのディレクトリに HDVMAgent.conf が見つかりません。ファイルの存在を確認し、再度インストールしてください。
KAIC25197-E	The format of line %d in the '< HDVMAgent_conf file name >' is invalid.	要因 HDVMAgent.conf のフォーマットが不正です。 対処 HDVMAgent.conf が壊れているおそれがあります。ファイルの状態を確認し、再度インストールしてください。
KAIC25198-E	A property in the '< HDVMAgent_conf file name >' has been incorrectly specified(line %d).	要因 HDVMAgent.conf のプロパティの指定に誤りがあります。 対処 HDVMAgent.conf が壊れているおそれがあります。ファイルの状態を確認し、再度インストールしてください。
KAIC25208-E	Setup of the Device Manager agent has FAILED.	要因 セットアッププログラムを実行できませんでした。 対処 後続のメッセージ (KAIC25029-I, KAIC25033-I) に従ってください。
KAIC25211-E	Device Manager エージェントが実行中のためインストールまたはアンインストールを中断します。 少し時間を置いてから再度実行してください。	要因 サービスの停止に失敗しました。 対処 少し時間を置いてから再度実行してください。
KAIC25401-E	バージョン情報の取得に失敗しました。	要因 要因は、次のどれかです。 ・ インストールパスの取得に失敗した。 ・ < Device Manager エージェントインストールディレクトリ >%mod%hdvm %alet.xml が存在しない。 ・ < Device Manager エージェントインストールディレクトリ >%mod%hdvm %alet.xml の記載内容が不正。 対処 Device Manager エージェントを再インストールしてください。
KAIC28201-W	指定されたホスト名から IP アドレスを解決できませんでした。	要因 ホスト名から IP アドレスが解決できませんでした。 対処 ・ 入力値が誤っていないか確認してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> hosts ファイルにホスト名が定義されているか確認してください。 IPv6 アドレスを指定する場合は <code>server.agent.JRE.location</code> を設定する必要があります。設定されていることを確認してください。
KAIC28202-W	サーバとの接続に失敗しました。(詳細 = "ネットワーク状態および Device Manager サーバが起動していることを確認してください")	<p>要因</p> <p>サーバに接続できませんでした。次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> IP アドレスまたはホスト名が誤っている。 ファイアウォールによって接続が妨げられている。 Device Manager サーバが起動していない。 Device Manager サーバがインストールされていない。 IPv6 を使用する場合の設定をしていない。 <p>対処</p> <ul style="list-style-type: none"> 入力値が誤っていないか確認してください。 ホスト側およびサーバ側それぞれのマシンについてファイアウォール設定を確認してください。 ホストとサーバの間にファイアウォールを構築している場合は設定を確認してください。 あとから Device Manager サーバをインストールする場合は、確認画面で[いいえ]を選択して設定を続行してください。 IPv6 アドレスを指定する場合は <code>server.agent.JRE.location</code> を設定する必要があります。設定されていることを確認してください。
KAIC28203-W	サーバとの接続に失敗しました。(詳細 = "ユーザ ID またはパスワードが認証されませんでした")	<p>要因</p> <p>ユーザ ID またはパスワードがサーバに認証されませんでした。</p> <p>対処</p> <p>入力値が誤っていないか確認してください。</p>
KAIC28204-W	サーバとの接続に失敗しました。(詳細 = "Device Manager サーバから正常なレスポンスを受信できませんでした")	<p>要因</p> <p>サーバに接続できませんでした。次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> IP アドレスまたはホスト名が誤っている。 IPv6 を使用する場合の設定をしていない。 Device Manager サーバが起動途中である。 <p>対処</p> <ul style="list-style-type: none"> 入力値が誤っていないか確認してください。 IPv6 アドレスを指定する場合は <code>server.agent.JRE.location</code> を設定する必要があります。設定されていることを確認してください。 Device Manager サーバの起動状態を確認してください。起動途中である場合は、少し時間を置いてから再実行してください。
KAIC28205-W	<p>(Windows)</p> <p>指定ドライブに RAID Manager がインストールされていません。</p> <p>(UNIX)</p>	<p>要因</p> <p>(Windows)</p> <p>指定されたドライブの直下に RAID Manager がインストールされていません。(指定ドライブ: ¥HORCM)</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	指定ディレクトリに RAID Manager がインストールされていません。	<p>(UNIX) 指定されたディレクトリに RAID Manager がインストールされていません。 対処 あとから RAID Manager をインストールする場合は、確認画面で[いいえ]を選択して設定を続行してください。</p> <p>(Windows) 指定ドライブに RAID Manager がインストールされているか確認してください。</p> <p>(UNIX) RAID Manager のインストール先ディレクトリを確認してください。</p>
KAIC28305-E	指定された IP アドレスまたはホスト名の値が不正です。	<p>要因 入力内容に誤りがあります。 対処 正しい値を再入力してください。</p>
KAIC28306-E	指定されたポート番号の値が不正です。	<p>要因 入力内容に誤りがあります。 対処 正しい値を再入力してください。</p>
KAIC28307-E	指定されたユーザ ID の値が不正です。	<p>要因 入力内容に誤りがあります。 対処 正しい値を再入力してください。</p>
KAIC28308-E	指定されたパスワードの値が不正です。	<p>要因 入力内容に誤りがあります。 対処 正しい値を再入力してください。</p>
KAIC28309-E	IP アドレスまたはホスト名に使用できない文字が含まれています。 正しい値を再入力してください。使用できる文字については Device Manager エージェントのマニュアルを参照してください。	<p>要因 使用できない文字が入力されました。 対処 正しい値を再入力してください。</p>
KAIC28310-E	ユーザ ID に使用できない文字が含まれています。 正しい値を再入力してください。使用できる文字については Device Manager エージェントのマニュアルを参照してください。	<p>要因 使用できない文字が入力されました。 対処 正しい値を再入力してください。</p>
KAIC28311-E	パスワードには使用できない文字が含まれています。 正しい値を再入力してください。使用できる文字については Device Manager エージェントのマニュアルを参照してください。	<p>要因 使用できない文字が入力されました。 対処 正しい値を再入力してください。</p>
KAIC28312-E	サーバ情報の設定中に予期しないエラーが発生しました。 サーバ情報を設定できません。	<p>要因 サーバ情報を設定できませんでした。次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インストールに失敗した。 ・ 子プロセス（サーバ情報設定）の生成に失敗した。 <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC28313-E	サーバ情報の設定中に I/O エラーが発生しました。 サーバ情報を設定できません。	<p>要因 サーバ情報を設定できませんでした。次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> server.properties ファイルがない。 server.properties ファイルが書き込み不可である。 ディスク上に十分な空き容量がない。 <p>対処</p> <ul style="list-style-type: none"> server.properties ファイルがあることを確認し、書き込む権限があるかどうかを確認してください。 ディスク上に十分な空き容量があることを確認してください。
KAIC28314-E	HiScan コマンドの実行周期の設定中に予期しないエラーが発生しました。 HiScan コマンドの実行周期を設定できません。	<p>要因 HiScan コマンドの実行周期を設定できませんでした。次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> インストールに失敗した。 子プロセス (HiScan コマンドの実行周期設定) の生成に失敗した。 <p>対処 保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAIC28315-E	HiScan コマンドの実行周期の設定中に I/O エラーが発生しました。 HiScan コマンドの実行周期を設定できません。	<p>要因 HiScan コマンドの実行周期を設定できませんでした。次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 下記に示すディレクトリにファイルがない。 下記に示すディレクトリのファイルが書き込み不可である。 ディスク上に十分な空き容量がない。 crontab ファイルへの書き込みに失敗している。 <p>(Windows) < Device Manager エージェントインストールディレクトリ > %mod%\hdvm\config</p> <p>(AIX 以外の UNIX) /opt/HDVM/HBaseAgent/mod/hdvm/config</p> <p>(AIX) /usr/HDVM/HBaseAgent/mod/hdvm/config</p> <p>対処</p> <ul style="list-style-type: none"> 次に示すフォルダまたはディレクトリにファイルがあることと、書き込み権限があることを確認してください。 <p>(Windows) < Device Manager エージェントインストールフォルダ > %mod%\hdvm\config</p> <p>(AIX 以外の UNIX) /opt/HDVM/HBaseAgent/mod/hdvm/config</p> <p>(AIX) /usr/HDVM/HBaseAgent/mod/hdvm/config</p> <ul style="list-style-type: none"> ディスク上に十分な空き容量があることを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> UNIX の場合は crontab コマンド、Windows の場合は schtasks コマンド (Windows Server 2008 以前の場合は at コマンド)が使用できることを確認してください。
KAIC28316-E	RAID Manager 情報の設定中に予期しないエラーが発生しました。 RAID Manager 情報を設定できません。	要因 RAID Manager 情報を設定できませんでした。次の要因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> インストールに失敗した。 子プロセス (RAID Manager 情報設定) の生成に失敗した。 対処 保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC28317-E	RAID Manager 情報の設定中に I/O エラーが発生しました。 RAID Manager 情報を設定できません。	要因 RAID Manager 情報を設定できませんでした。次の要因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> server.properties ファイルがない。 server.properties ファイルが書き込み不可である。 ディスク上に十分な空き容量がない。 対処 <ul style="list-style-type: none"> server.properties ファイルがあることを確認し、書き込む権限があるかどうかを確認してください。 ディスク上に十分な空き容量があることを確認してください。
KAIC28318-E	Device Manager エージェントのセットアップ処理で継続できないエラーが発生しました。 セットアップ処理を中止します。	要因 次のどちらかの要因によって、環境不正エラーが発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> Device Manager エージェントがインストールされていない。 Device Manage エージェントのインストールディレクトリの取得に失敗した。 対処 保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC28319-E	IP アドレスにサイトローカルアドレス、またはリンクローカルアドレスが指定されています。 IPv6 アドレスを使用する場合は、グローバルアドレスを指定してください。	要因 IP アドレスにサイトローカルアドレス、またはリンクローカルアドレスが指定されています。 対処 グローバルアドレスを指定してください。
KAIC28353-E	アドオンモジュールが動作中のため、処理を中止します。	要因 アドオンモジュールが処理実行中のため、HBsA サービスを停止できませんでした。 対処 アドオンモジュールの処理が完了してから再度実行してください。
KAIC28615-W	定義されている以下のコマンドデバイスはホストで認識されていません。	要因 perf_cmddev.properties ファイルに定義されているコマンドデバイスは、ホストで認識されていません。 対処 <ul style="list-style-type: none"> コマンドデバイスの記述が誤っていないか確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> ストレージ装置との接続状態を確認してください。
KAIC28616-W	ホストで認識されている以下のコマンドデバイスが、コマンドデバイス情報に定義されていません。	<p>要因 ホストで認識されているコマンドデバイスの情報が、perf_cmddev.properties ファイルに定義されていません。</p> <p>対処</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コマンドデバイスの記述を追加してください。 ・ perf_findcmddev write コマンドを使用して、perf_cmddev.properties ファイルを更新してください。
KAIC28615-W	定義されている以下のコマンドデバイスはホストで認識されていません。	<p>要因 perf_cmddev.properties ファイルに定義されているコマンドデバイスは、ホストで認識されていません。</p> <p>対処</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コマンドデバイスの記述が誤っていないか確認してください。 ・ ストレージ装置との接続状態を確認してください。
KAIC28616-W	ホストで認識されている以下のコマンドデバイスが、コマンドデバイス情報に定義されていません。	<p>要因 ホストで認識されているコマンドデバイスの情報が、perf_cmddev.properties ファイルに定義されていません。</p> <p>対処</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コマンドデバイスの記述を追加してください。 ・ perf_findcmddev write コマンドを使用して、perf_cmddev.properties ファイルを更新してください。
KAIC28804-E	設定ファイルにコマンドデバイスが一つも定義されていません。	<p>要因 設定ファイルにコマンドデバイスが一つも定義されていません。</p> <p>対処 perf_findcmddev コマンドを利用してコマンドデバイスを定義してください。</p>
KAIC28805-E	設定ファイル読み込み中に I/O エラーが発生しました。	<p>要因 perf_cmddev.properties ファイルの読み込み中に I/O エラーが発生しました。</p> <p>対処 次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルが存在すること。 ・ ファイルに対して読み取りアクセスができること。 <p>ファイルが存在しない場合は perf_findcmddev コマンドを利用して perf_cmddev.properties ファイルを作成してください。</p>
KAIC28807-E	RMLIB から Handle が取得できないため処理を中断しました。	<p>要因 処理中に RMLIB API が利用できなくなりました。</p> <p>対処 しばらくしてから再実行してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		頻繁に発生する場合は障害情報を取得し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC28809-E	perf_cmddev.properties ファイルがありません。	要因 perf_cmddev.properties ファイルが見つかりません。 対処 perf_cmddev.properties ファイルが存在し、正常であることを確認してください。
KAIC28810-E	I/O エラーが発生しました。<ファイル名> errno[<エラーコード>] msg[<エラーメッセージ>]	要因 ファイル I/O エラーが発生しました。エラーメッセージの内容を確認してください。また以下の要因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> perf_cmddev.properties ファイルが書き込み不可である。 ディスク上に十分な空き容量がない。 書き込み指定したファイルのディレクトリが存在しない。 対処 <ul style="list-style-type: none"> perf_cmddev.properties ファイルがあることを確認し、書き込む権限があるかどうかを確認してください。 ディスク上に十分な空き容量があることを確認してください。 書き込み指定したファイルのディレクトリが存在することを確認してください。

4.4 KAIC30000～KAIC39999

Device Manager に関するトレースメッセージ (KAIC30000～KAIC39999) を次の表に示します。

表 4-4 KAIC30000～KAIC39999 : Device Manager に関するトレースメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC30004-I	Device Manager Server を開始しました。	対処の必要はありません。
KAIC30005-I	Device Manager Server を停止しました。	対処の必要はありません。
KAIC30017-I	Device Manager Server をセキュアモードで開始しました。(Cipher Suites="< Cipher Suites >")	対処の必要はありません。
KAIC32006-I	Device Manager HiKeyTool を開始しました。	対処の必要はありません。
KAIC32007-I	Device Manager HiKeyTool を停止しました。	対処の必要はありません。
KAIC32101-I	Device Manager <クライアント名> を開始しました。	対処の必要はありません。
KAIC32102-I	Device Manager <クライアント名> を終了しました。	対処の必要はありません。
KAIC33020-W	データベース情報から不整合が検出されました。データベースは初期化されます。	対処の必要はありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC33025-W	データベース情報から不整合が検出されました。データベースをバックアップから復元してください。	対処の必要はありません。
KAIC33026-I	データベースを初期化します。	対処の必要はありません。
KAIC35435-I	"<ライブラリ名>"のバージョンは"<バージョン>(追加情報)"です。	対処の必要はありません。
KAIC35436-W	"<ライブラリ名>"のバージョンの取得に失敗しました (エラーコード"<エラーコード>")。	対処の必要はありません。
KAIC39004-I	CIM-WBEM Service を開始しました。	対処の必要はありません。
KAIC39005-I	CIM-WBEM Service を停止しました。	対処の必要はありません。

4.5 KAIC40000～KAIC49999

Device Manager CLIEX に関するメッセージ (KAIC40000～KAIC49999) を次の表に示します。

表 4-5 KAIC40000～KAIC49999 : Device Manager CLIEX のメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC40001-E	An unknown failure occurred in the target storage array.	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC40002-E	The command device has failed. <command device error message >	RAID Manager のマニュアルを参照してください。
KAIC40003-E ～KAIC40699-E	RAID Manager error message	Device Manager CLIEX の障害対策と RAID Manager のマニュアルを参照してください。
KAIC41000-E	An internal error occurred. (file = "<file name >", line = "<line number >").	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC41001-E	Memory allocation error. Out of memory.	Device Manager CLIEX の実行に必要なメモリーが不足しているおそれがあります。システムでメモリーが不足していないか確認してください。エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC41002-E	This command has not been supported for the target storage array.	ストレージサブシステムの指定を見直してください。
KAIC41003-E	An attempt to load the command device has failed.	ホストがコマンドデバイスを正しく認識していることを確認してください。
KAIC41004-E	An attempt to acquire the device information has failed. (device special file: "<device file name >") Check the status of the device associated with the device special file.	デバイススペシャルファイルと関連づいた装置の状態を確認してください。エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC42000-E	The storage-array parameter must be one of the following: "-c", "--cmddev", "-a", or "--array"	ストレージサブシステムの指定を見直してください。
KAIC42001-E	The storage-array parameter must be one of the following: "-c", "--cmddev", "-a", or "--array"	ストレージサブシステムの指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC42002-E	The specified storage array name "< <i>alias name</i> >" is invalid. Check the property file.	プロパティファイルの記述を確認し、ストレージサブシステム名を見直してください。
KAIC42003-E	A command argument is missing or invalid.	コマンドの指定を見直してください。
KAIC42004-E	The command must contain only one of the following: < <i>command list</i> >	コマンドの指定を見直してください。
KAIC42005-E	The value "< <i>parameter value</i> >" for the parameter "< <i>parameter name</i> >" is invalid.	パラメーターの指定を見直してください。
KAIC42006-E	The value for the parameter "< <i>parameter name</i> >" must be between < <i>minimum value</i> > and < <i>maximum value</i> >.	パラメーターの指定を見直してください。
KAIC42007-E	The parameter "< <i>parameter name</i> >" is required.	パラメーターの指定を見直してください。
KAIC42008-E	The parameter "< <i>parameter identifier or parameter name</i> >" is invalid.	パラメーターの指定を見直してください。
KAIC42009-E	The parameter must be either "< <i>parameter name</i> >" or "< <i>parameter name</i> >".	パラメーターの指定を見直してください。
KAIC42010-E	The LUN "< <i>path LUN</i> >" has already been assigned to a LUN group or is not assigned to this port.	ストレージサブシステムの情報を取得し、パラメーターの指定を確認してください。
KAIC42011-E	The specified LDEV "< <i>device number</i> >" is invalid.	ストレージサブシステムの情報を取得し、パラメーターの指定を確認してください。
KAIC42012-E	The specified LDEV "< <i>device number</i> >" is part of the LU joined by the LUSE.	パラメーターの指定を見直してください。
KAIC42013-E	The LU "< <i>device number</i> >" is not assigned to the port "< <i>port number</i> >".	ストレージサブシステムの情報を取得し、パラメーターの指定を確認してください。
KAIC42014-E	The LUN "< <i>path LUN</i> >" is already being used.	LUN の指定を見直してください。
KAIC42015-E	To perform this operation, "LUNSecurity=On" must be set for the port.	指定ポートのセキュリティスイッチを ON にしてから再実行してください。
KAIC42016-E	The LU "< <i>device number</i> >" is already assigned to this port.	ストレージサブシステムの情報を取得し、パラメーターの指定を確認してください。
KAIC42017-E	The LU "< <i>device number</i> >" is not assigned to "< <i>port-number</i> > - < <i>host storage domain ID</i> >" (port - HostStorageDomain).	ストレージサブシステムの情報を取得し、パラメーターの指定を確認してください。
KAIC42018-E	The LUN "< <i>path LUN</i> >" is not assigned to the LUN group "< <i>LUN group ID</i> >".	ストレージサブシステムの情報を取得し、パラメーターの指定を確認してください。
KAIC42019-E	The host storage domain "< <i>host storage domain ID</i> >" already exists on this port.	ストレージサブシステムの情報を取得し、パラメーターの指定を確認してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC42020-E	The WWN "< WWN >" has not been registered in "< LUNGroup or HSDOMAIN >": "< LUN group ID or host storage domain ID >".	ストレージサブシステムの情報を取得し、パラメーターの指定を確認してください。
KAIC42021-E	The WWN "< WWN >" has already been defined in the host storage domain "< host storage domain ID >".	ストレージサブシステムの情報を取得し、パラメーターの指定を確認してください。
KAIC42022-E	The maximum LUN number ("< maximum value >") on the port has been reached.	パラメーターの指定を見直してください。
KAIC42023-E	The host storage domain "< host storage domain ID >" has not been defined for the port "< port number >".	ホストストレージドメインを確認してください。
KAIC42024-E	The LU "< path LUN >" has already been assigned to a port.	ストレージサブシステムの情報を取得し、パラメーターの指定を確認してください。
KAIC42025-E	< target volume > is not available for this operation.	ボリュームの指定を見直してください。
KAIC42026-E	The usual volume and the V-VOL can not be specified together.	ボリュームの指定を見直してください。
KAIC42027-E	At least one LUN is necessary for the pair volume.	LUN の指定を見直してください。
KAIC42028-E	Duplicated value "< parameter value >" for < parameter name > is specified.	パラメーターの指定を見直してください。
KAIC42029-E	The LU "< device number >" is already assigned to this host storage domain.	ストレージサブシステムの情報を取得し、パラメーターの指定を確認してください。
KAIC42030-E	ARRAY: "< array name >" is not attached this host or doesn't have valid CMDDEV.	ホストがコマンドデバイスを正しく認識していることを確認してください。
KAIC42031-E	The Command Device (devNum="< device number >", devFile="< device file name >") is not attached this host. Or, the storage array that has the Command Device is not supported. Revise devFile or devNum in the property file.	ホストがコマンドデバイスを正しく認識していることを確認してください。 またコマンドデバイスが、Device Manager CLIEX がサポートするストレージサブシステムのコマンドデバイスであることを確認してください。
KAIC42100-E	Permission denied with the Virtual Partition Manager, "< parameter name >": "< parameter value >".	パラメーターの指定を見直してください。
KAIC42996-E	Device Manager CLIEX cannot be started because the installation directory in the registry is invalid. Re-install Device Manager CLIEX. If this problem cannot be solved, contact the Support Center.	この問題を解決できないときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC42997-E	Device Manager CLIEX cannot be started because a registry entry is invalid. Re-install Device Manager	この問題を解決できないときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	CLIEX. If this problem cannot be solved, contact the Support Center.	
KAIC42998-E	Device Manager CLIEX cannot be started because the registry key is invalid. Re-install Device Manager CLIEX. If this problem cannot be solved, contact the Support Center.	この問題を解決できないときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC42999-E	The specified value "< <i>specified value</i> >" does not exist on the target "< <i>target element</i> >".	パラメーターの指定を見直してください。
KAIC43300-E	An attempt to load "< <i>file name</i> >" has failed.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC43301-E	The filename cannot contain any directories.	プロパティファイルの指定を見直してください。
KAIC43302-E	The file "< <i>file name</i> >" cannot be loaded.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC43303-E	The file cannot be opened. ("< <i>file name</i> >")	プロパティファイルの指定を見直してください。エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC43500-E	There are too many or too few elements in the message file. (file = "< <i>file name</i> >", line = "< <i>line number</i> >", string = "< <i>line string</i> >")	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC43502-E	The log level in the message file is invalid. (file = "< <i>file name</i> >", line = "< <i>line number</i> >", string = "< <i>line string</i> >")	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC43503-E	The message ID in the message file is invalid. (file = "< <i>file name</i> >", line = "< <i>line number</i> >", string = "< <i>line string</i> >")	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC43504-E	A definition is duplicated in the message file. (file = "< <i>file name</i> >", line = "< <i>line number</i> >", string = "< <i>line string</i> >")	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC43505-E	The number of sections in the message file is invalid. (file = "< <i>file name</i> >", line = "< <i>line number</i> >", string = "< <i>line string</i> >")	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC43506-E	The message file "< <i>file name</i> >" is missing the message "< <i>message ID</i> >".	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC43550-E	The file cannot be opened. ("< <i>file name</i> >")	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC43551-E	The file cannot be written to. ("< <i>file name</i> >")	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC43552-E	An attempt to open the event log has failed. Check the event log settings or change the Device Manager CLIEX settings so that event logs are not output to the event log.	イベントログの設定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC43553-E	An attempt to output to the event log has failed. Check the event log settings or change the Device Manager CLIEX settings so that event logs are not output to the event log.	イベントログの設定を見直してください。
KAIC43554-E	An attempt to close the event log has failed. Check the event log settings or change the Device Manager CLIEX settings so that event logs are not output to the event log.	イベントログの設定を見直してください。
KAIC44300-E	The XML is invalid. (file = "<file name >", line = "<line number >", column = "<column number >", "<message >")	プロパティファイルの記述を確認してください。
KAIC44301-E	The XML is not well formed. (file = "<file name >", line = "<line number >", column = "<column number >", "<message >")	プロパティファイルの記述を確認してください。
KAIC44302-E	An error occurred during XML parser initialization. (file = "<file name >")	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC44303-E	An error occurred during parsing. ("<error message >")	プロパティファイルの記述を確認してください。
KAIC44304-E	A DOM error occurred during parsing. ("<error message >")	プロパティファイルの記述を確認してください。
KAIC44305-E	An error occurred during parsing. ("<error message >")	プロパティファイルの記述を確認してください。
KAIC44306-E	An error occurred during XML processing. ("<error message >")	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC44400-E	An error occurred while parsing "<file name >". This file does not conform to the DTD.	プロパティファイルの記述を確認してください。

4.6 KAIC60000～KAIC69999

Device Manager に関するトレースメッセージ (KAIC60000～KAIC69999) を次の表に示します。

表 4-6 KAIC60000～KAIC69999 : Device Manager に関するトレースメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC60000-E	内部エラーが発生しました。指定した<パラメータ名>はデータベースから削除されています。	指定したリソース種別を見直したあと、再度操作してください。
KAIC60001-E	内部エラーが発生しました。	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC60002-E	Device Manager サーバとの通信に失敗しました。以下の要因が考えられます。(1)Device Manager サーバのサービスが初期起動中である。(2)Device	次の対処をしてください。 Device Manager サーバのサービスが初期起動中の場合： 時間を空けて再度操作してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	Manager サーバのサービスが停止しているか、または再起動した。	Device Manager サーバのサービスが停止または Device Manager サーバのサービスだけを再起動した場合： 共通コンポーネントおよび関連するサービスを再起動したあと、再度操作してください。 同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC60012-E	このストレージシステムでは<機能名>の操作をサポートしていません。	ストレージシステムの指定を見直したあと、再度実行してください。
KAIC60013-E	予期しないエラーが発生しました。(保守情報:<保守情報>)	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC60014-E	"<名称>"は無効です。"<最大文字列長>"以下にする必要があります。	"<名称>"は"<最大文字列長>"以下で入力してください。
KAIC60015-E	"<名称>"が不正です。次の文字を用いて指定してください。"<入力可能文字>"	"<名称>"は"<入力可能文字>"を用いて入力してください。
KAIC61000-E	データベースへのアクセス中に予期しないエラーが発生しました。(保守情報:<保守情報>)	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC61001-E	一時的な競合が発生しているため、データベースの更新に失敗しました。(保守情報:<保守情報>)	しばらくしてから、再度操作を実行してください。同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC61002-E	データベースが閉塞しました。	サーバ管理者にご連絡してください。
KAIC61501-E	一時的な競合が発生しているため、データベースの更新に失敗しました。(保守情報:<保守情報>)	しばらくしてから、再度操作を実行してください。同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC62001-E	一時的な競合が発生しているため、データベースの更新に失敗しました。(保守情報:<保守情報>)	しばらくしてから、再度操作を実行してください。同じエラーが発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAIC63500-W	一部のストレージシステムのデータ収集を省略しました。(収集済みの数:<データ収集済みのストレージシステム数>, 省略した数:<データ収集を省略したストレージシステムの数>)	各ストレージシステムに関する詳細メッセージを参照してください。
KAIC63501-E	ストレージシステムのデータ収集に失敗しました。(収集済みの数:<データ収集済みのストレージシステム数>, 失敗した数:<データ収集に失敗したストレージシステム数>, 省略した数:<データ収集を省略したストレージシステム数>)	各ストレージシステムに関する詳細メッセージを参照してください。
KAIC63502-W	一部のホストのデータ収集を省略しました。(収集済みの数:<データ収集済みのホスト数>, 省略した数:<データ収集を省略したホスト数>)	各ホストに関する詳細メッセージを参照してください。
KAIC63503-E	ホストのデータ収集に失敗しました。(収集済みの数:<データ収集済みのホスト数>, 失敗した数:<データ収集に失敗したホスト数>, 省略した数:<データ収集を省略したホスト数>)	各ホストに関する詳細メッセージを参照してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC63504-E	タスクの操作に失敗しました。指定したタスクの状態ではこの操作を実行できません。(タスク名=<タスク名>)	タスクの状態を見直したあと、再度操作してください
KAIC63513-E	データベースでエラーが発生しました。タスクを停止できません。(タスク名:<タスク名>)	サーバ管理者にデータベースの回復を依頼したあと、Device Manager サービスを再起動してください。エラーが繰り返し発生する場合は、障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC63514-E	予期しないエラーが発生しました。タスクを停止できません。(タスク名:<タスク名>)	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIC63515-E	Device Manager サービスが停止されたため、実行中のタスクを停止しました。(タスク名:<タスク名>)タスクの実行結果を確認してください。	タスクの実行結果を確認してください。タスクが正常に完了していない場合は、タスクを再実行してください。
KAIC63516-E	データベースがリストアされたため、処理中および処理予定のタスクを停止しました。ストレージシステムの情報を更新したあと、ストレージシステムの構成を確認してください。	ストレージシステムの情報を更新したあと、ストレージシステムの構成を確認してください。
KAIC63517-E	Device Manager サービスが停止されたため、処理中のタスクを停止しました。対象リソースの情報を更新したあと、対象リソースの構成を確認してください。	ストレージシステムの情報を更新したあと、ストレージシステムの構成を確認してください。
KAIC64001-W	指定した IP アドレス"<IP アドレス>"はすでに使用されているため、登録できませんでした。	IP アドレスの指定を見直してください。
KAIC64002-W	ホスト"<ホスト名>"の IP アドレス"<IP アドレス>"を削除しました。	-
KAIC64003-W	指定した WWN"<WWN >"はすでに使用されているため、登録できませんでした。	WWN の指定を見直してください。
KAIC64004-W	ホスト"<ホスト名>"の WWN"<WWN >"を削除しました。	-
KAIC64005-W	指定した iSCSIName"<iSCSIName >"はすでに使用されているため、登録できませんでした。	iSCSIName の指定を見直してください。
KAIC64006-W	ホスト"<ホスト名>"の iSCSIName"<iSCSIName >"を削除しました。	-
KAIC64501-W	ストレージシステムからメッセージが出力されました。(エラーコード 1=<エラーコード 1 >, エラーコード 2=<エラーコード 2 >, メッセージ=<メッセージ>)	このマニュアルから、該当するストレージシステムのエラーメッセージおよび対処を参照し、それに従ってください。
KAIC65000-E	指定した<リソース種別>はすでに使用されているか、または予約されています。	使用していないリソース、または予約されていないリソースを指定したあと、再度操作してください。
KAIC65001-E	指定した<リソース名>のリソース名またはリソース番号(<リソース識別子	指定したリソース名またはリソース番号を見直したあと、再度操作してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	の値>)はすでに使用されているか、または予約されています。	
KAIC65002-E	指定した WWN "< WWN >"は同一ポート(port ID = "<ポート ID >", port name = "<ポート名 >")の中ですでに使用されているか、または予約されています。	使用していない WWN, または予約されていない WWN を指定して、再度操作してください。
KAIC65003-E	予約したリソースに対する操作が完了していないため、予約の解除に失敗しました。	予約したリソースは、ほかの操作による処理が実行中です。この処理が終了してから再度操作してください。
KAIC65505-E	セッションが無効です。ログインし直してください。	ログインし直してください。
KAIC69010-E	例外が発生しました。(メッセージ: <メッセージ>, スタックトレース: <スタックトレース>)	-

4.7 KAIC70000~KAIC79999

Device Manager GUI に関するメッセージ (KAIC70000~KAIC79999) を次の表に示します。

表 4-7 KAIC70000~KAIC79999 : Device Manager GUI のメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC70000-E	性能情報を更新できませんでした。(保守情報: <メッセージ>)保守情報を基に問題を解決したあと、性能情報の更新を再度実行してください。	要因 - 対処 保守情報を基に問題を解決したあと、性能情報の更新を再度実行してください。
KAIC70001-E	選択したコピーグループがありません。コピーグループが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと、コピーグループ一覧を再度表示し、コピーグループを選択し直してください。	要因 コピーグループが削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了したあと、コピーグループ一覧を再度表示し、コピーグループを選択し直してください。
KAIC70002-E	<指定できるコピーグループの個数>個より多くのコピーグループを同時に指定できません。コピーグループは<指定できるコピーグループの個数>個以下にしてください。	要因 - 対処 コピーグループは<指定できるコピーグループの個数>個以下にしてください。
KAIC70003-E	操作に必要な権限がありません。All Resources に Modify 権限があるユーザーで操作してください。	要因 - 対処 All Resources に Modify 権限があるユーザーで操作してください。
KAIC70004-E	選択したコピーグループにコピーペアがありません。コピーペアを作成後、性能情報の更新を[コピーグループ構成情報も更新する]にチェックを入れて実行したあと、再度実行してください。	要因 - 対処 コピーペアを作成後、性能情報の更新を[コピーグループ構成情報も更新する]にチェックを入れて実行したあと、再度実行してください。
KAIC70005-E	C/T デルタ値が取得できていないため分析できません。Replication	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	Manager のリフレッシュ設定を見直し、Device Manager エージェントからの情報を収集しているか確認してください。Replication Manager との通信設定を確認の上、性能情報を更新してください。	対処 Replication Manager のリフレッシュ設定を見直し、Device Manager エージェントからの情報を収集しているか確認してください。 Replication Manager との通信設定を確認の上、性能情報を更新してください。
KAIC70006-E	選択したコピーグループのコピータイプが UR ではありません。コピーペアの状態を確認してください。コピーペアが Simplex 状態の場合、コピーペアを作成後、性能情報の更新を[コピーグループ構成情報も更新する]にチェックを入れて実行したあと、再度実行してください。	要因 - 対処 コピーペアの状態を確認してください。コピーペアが Simplex 状態の場合、コピーペアを作成後、性能情報の更新を[コピーグループ構成情報も更新する]にチェックを入れて実行したあと、再度実行してください。
KAIC70007-W	性能情報を更新できませんでした。(保守情報: <メッセージ>)保守情報を基に問題を解決したあと、性能情報の更新を再度実行してください。	要因 - 対処 保守情報を基に問題を解決したあと、性能情報の更新を再度実行してください。
KAIC70008-W	レプリケーションタブで使用する情報が更新できませんでした。詳細: "< 詳細>"レプリケーションタブを使用する場合は、詳細メッセージを確認し、そのメッセージの対処に従ってください。	要因 - 対処 レプリケーションタブを使用する場合は、詳細メッセージを確認し、そのメッセージの対処に従ってください。
KAIC70009-W	分析タブおよびレプリケーションタブで使用する情報が更新できませんでした。詳細: "< 詳細>"分析タブまたはレプリケーションタブを使用する場合は、詳細メッセージを確認し、そのメッセージの対処に従ってください。	要因 - 対処 分析タブまたはレプリケーションタブを使用する場合は、詳細メッセージを確認し、そのメッセージの対処に従ってください。
KAIC70010-W	Tuning Manager から情報が取得されていません。Tuning Manager がストレージシステムを監視しているか確認したあと、性能情報の更新を実行してください。	要因 - 対処 Tuning Manager がストレージシステムを監視しているか確認したあと、性能情報の更新を実行してください。
KAIC70011-E	Tuning Manager からの情報を取得できませんでした。Tuning Manager の情報の取得に必要な設定を確認したあと、性能情報の更新を実行してください。	要因 - 対処 Tuning Manager の情報の取得に必要な設定を確認したあと、性能情報の更新を実行してください。
KAIC70012-E	Replication Manager からの情報を取得できませんでした。Replication Manager との連携設定を確認したあと、性能情報の更新を実行してください。	要因 - 対処 Replication Manager との連携設定を確認したあと、性能情報の更新を実行してください。
KAIC70013-W	これ以上メモを作成できません。メモの最大数は、分析対象ごとにくメモ作成最大数>枚です。メモを作成する場合は、不要なメモを削除してください。現在表示していないメトリックや期間を	要因 - 対処 メモを作成する場合は、不要なメモを削除してください。現在表示していないメトリックや期間

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	指定したグラフにメモを作成しているおそれがあります。	を指定したグラフにメモを作成しているおそれがあります。
KAIC71000-E	終了時刻に、開始時刻より前の時刻が指定されました。時刻の指定を見直してください。終了時刻は開始時刻よりあとの時刻を指定してください。	要因 - 対処 時刻の指定を見直してください。終了時刻は開始時刻よりあとの時刻を指定してください。
KAIC71001-E	<指定可能な最も前の時刻>より前の時刻が開始時刻として指定されました。現在から 30 日より前の時刻は指定できません。時刻の指定を見直してください。	要因 現在から 30 日より前の時刻は指定できません。 対処 時刻の指定を見直してください。
KAIC71002-E	<指定可能な最も後の時刻>よりあとの時刻が終了時刻として指定されました。現在よりあとの時刻は指定できません。時刻の指定を見直してください。終了時刻は開始時刻よりあとの時刻を指定してください。	要因 現在よりあとの時刻は指定できません。 対処 時刻の指定を見直してください。終了時刻は開始時刻よりあとの時刻を指定してください。
KAIC71003-E	<指定可能な最も後の時刻>より後の時刻が開始時刻として指定されました。現在よりあとの時刻は指定できません。時刻の指定を見直してください。	要因 現在よりあとの時刻は指定できません。 対処 時刻の指定を見直してください。
KAIC71004-E	<指定可能な最も前の時刻>より前の時刻が終了時刻として指定されました。現在から 30 日より前の時刻は指定できません。時刻の指定を見直してください。	要因 現在から 30 日より前の時刻は指定できません。 対処 時刻の指定を見直してください。
KAIC71005-I	設定できるチャートの最大数は<設定可能なチャートの数>です。新しいチャートを追加する場合は既存のチャートを削除してください。	要因 - 対処 新しいチャートを追加する場合は既存のチャートを削除してください。
KAIC71006-W	ネットワーク帯域が設定されていないパスグループがあります。ネットワーク帯域を設定すると、グラフ上にしきい値として表示されて、問題があるかどうかを確認しやすくなります。	要因 - 対処 ネットワーク帯域を設定すると、グラフ上にしきい値として表示されて、問題があるかどうかを確認しやすくなります。
KAIC71007-E	分析できる性能情報がありません。HTnM との接続設定を確認の上、性能情報が定期更新され最新の状態になるのを待つか、手動で性能情報を更新してください。	要因 - 対処 HTnM との接続設定を確認の上、性能情報が定期更新され最新の状態になるのを待つか、手動で性能情報を更新してください。
KAIC71008-E	指定された期間の性能情報がありません。性能情報が定期更新され最新の状態になるのを待つか、手動で性能情報を更新してください。	要因 - 対処 性能情報が定期更新され最新の状態になるのを待つか、手動で性能情報を更新してください。
KAIC71009-W	ネットワーク帯域が設定されていません。ネットワーク帯域の設定をすることで性能分析の精度が上がります。	要因 - 対処 ネットワーク帯域の設定をすることで性能分析の精度が上がります。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC71010-W	ネットワーク帯域が設定されていません。ネットワーク帯域の設定をすることで性能分析の精度が上がります。権限のあるユーザーにネットワーク帯域の設定を依頼してください。	要因 - 対処 ネットワーク帯域の設定をすることで性能分析の精度が上がります。権限のあるユーザーにネットワーク帯域の設定を依頼してください。
KAIC71011-E	選択したコピーグループがありません。コピーグループが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと、コピーグループ一覧を再度表示し、コピーグループを選択し直してください。	要因 コピーグループが削除されたおそれがあります。 対処 いったん操作を終了したあと、コピーグループ一覧を再度表示し、コピーグループを選択し直してください。
KAIC71012-W	グラフのウィンドウサイズがメモ作成サイズより小さいため、メモを作成できません。メモを作成する場合は、ウィンドウサイズを大きくしてください。	要因 - 対処 メモを作成する場合は、ウィンドウサイズを大きくしてください。
KAIC71013-W	これ以上メモを作成できません。メモの最大数は、分析対象ごとく<メモ作成最大数>枚です。メモを作成する場合は、不要なメモを削除してください。現在表示していないメトリックや期間を指定したグラフにメモを作成しているおそれがあります。	要因 - 対処 メモを作成する場合は、不要なメモを削除してください。現在表示していないメトリックや期間を指定したグラフにメモを作成しているおそれがあります。
KAIC71014-W	文字数が上限値に達しています。入力最大文字数は<入力可能文字数>文字です。	要因 - 対処 入力最大文字数は<入力可能文字数>文字です。
KAIC71017-E	メモを保存できませんでした。データベースが起動しているか確認してください。データベースが起動していない場合、データベースを起動してから再度操作してください。データベースが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。	要因 データベースが起動しているか確認してください。 対処 データベースが起動していない場合、データベースを起動してから再度操作してください。データベースが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KAIC71018-E	メモを読み込めませんでした。データベースが起動しているか確認してください。データベースが起動していない場合、データベースを起動してから再度操作してください。データベースが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。	要因 データベースが起動しているか確認してください。 対処 データベースが起動していない場合、データベースを起動してから再度操作してください。データベースが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KAIC71019-W	グラフに表示されていないメモがあります。メモを表示する場合は、期間を変更してください。	要因 - 対処 メモを表示する場合は、期間を変更してください。
KAIC71020-I	ユーザーがメトリックをカスタマイズしたグラフにメモを作成しても、エクス	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ポートしたレポート（PDF）には反映されません。	-
KAIC71021-I	メモを削除しますか？	要因 - 対処 -
KAIC71022-W	グラフキャプチャーを取得できません。グラフキャプチャーの最大数は、パネルごとにく取得可能なグラフキャプチャーの数>枚です。不要なグラフキャプチャーを削除してから、グラフキャプチャーを取得してください。	要因 - 対処 -
KAIC71023-E	グラフキャプチャーを保存できませんでした。データベースが起動しているか確認してください。データベースが起動していない場合、データベースを起動してから再度操作してください。データベースが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 データベースが起動しているか確認してください。 対処 データベースが起動していない場合、データベースを起動してから再度操作してください。データベースが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC71024-E	グラフキャプチャーリストを読み込めませんでした。データベースが起動しているか確認してください。データベースが起動していない場合、データベースを起動してから再度操作してください。データベースが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	要因 データベースが起動しているか確認してください。 対処 データベースが起動していない場合、データベースを起動してから再度操作してください。データベースが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC71025-I	キャプチャーしたグラフを表示しています。（レポート名：<レポート名>、開始時刻<開始時刻>、終了時刻<終了時刻>）。表示を戻す場合は [分析グラフに戻る] ボタンを押してください。	要因 - 対処 -
KAIC71026-W	[OK]ボタンをクリックすると、これまでに作成して保存したメモは、ほかのコピーグループのメモも含め、すべて削除されます。操作を続行しますか？性能分析レポートとしてメモを残したい場合は、[グラフ設定]をキャンセルし、性能分析レポートをエクスポートしてください。	要因 - 対処 -

4.8 KAIC90000～KAIC99999

Device Manager CLI に関するメッセージ (KAIC90000～KAIC99999) を次の表に示します。特に書き分けをしていない場合、「サーバ」は「Hitachi Command Suite の管理サーバ」を指します。

表 4-8 KAIC90000~KAIC99999 : Device Manager CLI のメッセージ

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC90000-E	An internal error occurred in CLI.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90001-E	Malformed key/value pair: < <i>specified-key-value</i> > (must be in the form key=value)	指定を見直してください。
KAIC90002-E	Malformed parameter key: < <i>specified-key-value</i> > (must be in the form key=value)	指定を見直してください。
KAIC90003-E	Malformed parameter value: < <i>specified-key-value</i> > (must be in the form key=value)	指定を見直してください。
KAIC90004-E	An argument is required for the option < <i>specified-option</i> >.	指定を見直してください。
KAIC90005-E	The option "< <i>specified-option</i> >" is not valid.	指定を見直してください。
KAIC90006-E	Value of < <i>key-name</i> > must be an integer; could not parse < <i>specified-value</i> >	指定を見直してください。
KAIC90007-E	An invalid value "< <i>parameter-value</i> >" has been specified for parameter "< <i>parameter-name</i> >".	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90008-E	An invalid value "< <i>parameter-value</i> >" has been specified for parameter "< <i>parameter-name</i> >".	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90009-E	"LogicalUnit" must be specified in parameter "< <i>error-parameter-name</i> >" before using parameter "< <i>related-parameter-name</i> >".	指定を見直してください。
KAIC90010-E	An invalid value "< <i>parameter-value</i> >" has been specified for parameter "< <i>parameter-name</i> >".	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90011-E	Value of channelspeed must be an integer. You entered "< <i>specified-value</i> >".	指定を見直してください。
KAIC90012-E	Cannot query Logical Group for contained elements of type "< <i>element-type</i> >".	指定を見直してください。
KAIC90013-E	Model = < <i>model-name</i> > not supported.	指定を見直してください。
KAIC90014-E	Parameter "wwn" must have at least two WWNs.	指定を見直してください。
KAIC90015-E	The list element < <i>element-name</i> > could not be added to the Host as a WWN.	指定を見直してください。
KAIC90016-E	If either serial number or model is specified for an array, both must be specified.	指定を見直してください。
KAIC90017-E	Value of devnums must be a positive integer. You entered "< <i>specified-devnums-value</i> >".	指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC90018-E	Value of devnum must be a positive integer. You entered "< <i>specified-devnum-value</i> >".	指定を見直してください。
KAIC90019-E	Could not translate to a WWN from < <i>wwn-string</i> >: < <i>detail-message</i> >	指定を見直してください。
KAIC90020-E	There is no way to make a WWN for "< <i>management-object</i> >".	指定を見直してください。
KAIC90021-E	The object type cannot be determined.	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90022-E	The specified object is not a path.	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90023-E	An invalid value "< <i>parameter-value</i> >" has been specified for parameter "< <i>parameter-name</i> >".	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90024-E	"< <i>parameter-name</i> >" must be specified in parameter "< <i>relation-paramater-name(1)</i> >" before using parameter "< <i>relation-paramater-name(2)</i> >".	指定を見直してください。
KAIC90025-E	Cannot query < <i>parameter-name</i> > without < <i>relation-paramater-name(1)</i> > in < <i>relation-paramater-name(2)</i> >.	指定を見直してください。
KAIC90026-E	"< <i>model-name</i> >" is not a model name recognized by Device Manager CLI.	指定を見直してください。
KAIC90027-E	The model does not support the command "< <i>specified-command</i> >".	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90028-E	Modifying Option Definitions while parsing is illegal.	エラーが繰り返し発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90029-E	Option already defined using character "< <i>define-option-character</i> >" - < <i>existing-option-name</i> >; cannot define option < <i>define-option-name</i> >	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90030-E	Option already defined long option "< <i>define-option-name</i> >" - < <i>existing-option-character</i> >; cannot define < <i>define-option-character</i> >	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90031-E	Could not correctly parse xml to determine service.	XML ファイルの記述を見直してください。
KAIC90032-E	Bad URL.	URL の指定を見直してください。
KAIC90033-E	Invalid response received.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90034-E	Could not correctly parse response xml.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90035-E	An error occurred while receiving a response. Make sure the URL is correct, and the server is usable. Cause: < <i>URL</i> >	オプションおよび URL の指定とサーバの設定を見直してください。URL のホスト名とサーバに設定したホスト名が同一か確認してください。それでもまだエラーが発生するときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90036-E	Unexpected error.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC90037-E	Invalid Virtual List String - String is null or length is zero.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90038-E	Invalid Virtual List String - length must be even.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90039-E	Invalid Virtual List String - string not in hex format.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90040-E	Failed to add the WWN : < error- WWN >	指定を見直してください。
KAIC90041-E	The same WWN "< WWN >" has existed in the same parameter.	指定を見直してください。
KAIC90042-E	Invalid parameter value: < specified- parameter-value >	指定を見直してください。
KAIC90045-E	Program Error: < detail-message >	指定を見直してください。
KAIC90046-E	Invalid WWN : < specified- WWN >, WWN should be "*.*.*.*.*" format. "*" is one or two hexadecimal numbers.	指定を見直してください。
KAIC90047-E	The Alerts element cannot contain that element.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90048-E	The value: < long-value > of attribute < attribute-name > could not be read as a long value.	指定を見直してください。
KAIC90049-E	Illegal value for < attribute-name > : < specified-date >; must be in the form: < required-date-format >	指定を見直してください。
KAIC90050-E	The method for reading the XML data cannot be initialized.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90051-E	An unexpected type or value was detected in the XML response.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90052-E	CommParameters elements cannot contain < element-name > elements.	指定を見直してください。
KAIC90053-E	Parameters elements must have a "name" and a "value" attribute.	指定を見直してください。
KAIC90054-E	An unexpected element was detected in the XML response.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90055-E	Program Error: Could not read file contents.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90056-E	An unexpected element was detected in the XML response.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90057-E	The object cannot be created.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90058-E	An unexpected object has been specified.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90059-E	An unexpected type or value was detected in the XML response.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90060-E	The HTTP request XML is invalid.	-i オプションで指定した XML-API リクエストファイルが XML 形式ではありません。ファイルの記載内容を見直してください。正しい形式のファイルを指定しても解決しない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC90061-E	Device Manager does not recognize the <i>root-element-name</i> root element	次のどちらかの対処をしてください。 -i オプションを指定している場合： -i オプションで指定した XML-API リクエストファイルのフォーマットが XML-API の形式に従っていません。ファイルの記載内容を見直してください。 -i オプションを指定していない場合： 指定した URL が間違っています。指定した URL が Device Manager サーバの URL か確認してください。上記の対策で解決しない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90062-E	All Device Manager messages must have an <APIInfo> element.	次のどちらかの対処をしてください。 -i オプションを指定している場合： -i オプションで指定した XML-API リクエストファイルのフォーマットが XML-API の形式に従っていません。ファイルの記載内容を見直してください。 -i オプションを指定していない場合： 指定した URL が間違っています。指定した URL が Device Manager サーバの URL か確認してください。上記の対策で解決しない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90063-E	All Device Manager Requests must be in <Request> elements.	次のどちらかの対処をしてください。 -i オプションを指定している場合： -i オプションで指定した XML-API リクエストファイルのフォーマットが XML-API の形式に従っていません。ファイルの記載内容を見直してください。 -i オプションを指定していない場合： 指定した URL が間違っています。指定した URL が Device Manager サーバの URL か確認してください。上記の対策で解決しない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90064-E	All Device Manager Requests elements must contain a Module Element.	次のどちらかの対処をしてください。 -i オプションを指定している場合： -i オプションで指定した XML-API リクエストファイルのフォーマットが XML-API の形式に従っていません。ファイルの記載内容を見直してください。 -i オプションを指定していない場合： 指定した URL が間違っています。指定した URL が Device Manager サーバの URL か確認してください。上記の対策で解決しない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90065-E	Device Manager module element must contain a command element.	次のどちらかの対処をしてください。 -i オプションを指定している場合： -i オプションで指定した XML-API リクエストファイルのフォーマットが XML-API の形式に従っていません。ファイルの記載内容を見直してください。 -i オプションを指定していない場合： 指定した URL が間違っています。指定した URL が Device Manager サーバの URL か確認してください。上記の対策で解決しない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC90066-E	Command element must contain a target attribute.	次のどちらかの対処をしてください。 -i オプションを指定している場合： -i オプションで指定した XML-API リクエストファイルのフォーマットが XML-API の形式に従っていません。ファイルの記載内容を見直してください。 -i オプションを指定していない場合： 指定した URL が間違っています。指定した URL が Device Manager サーバの URL か確認してください。上記の対策で解決しない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90067-E	All Device Manager Responses must be in <Response> elements.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90068-E	All Device Manager Responses elements must contain an EchoCommand Element.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90069-E	Status value of: < status-value > is not one of the allowed values (FAILED PROCESSING COMPLETED).	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90070-E	Service Module must be specified before writing XML.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90071-E	Command must be specified before writing XML.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90072-E	Command target must be specified before writing XML.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90073-E	Attribute <i>attribute-name</i> of Element < element-name > has value= < attribute-value >; integer value is required.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90074-E	The HTTP response XML is invalid.	指定した URL が間違っています。指定した URL が Device Manager サーバの URL か確認してください。正しい URL を指定しても解決しない場合は顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90075-E	All Device Manager Responses must be in <Response> elements.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90076-E	XML Conversion Unavailable: missing class file.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90077-E	Cannot interpret the element < element-name >.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90078-E	The object cannot be converted to XML.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90079-E	Requires concurrence on date format.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90080-E	The value has an unexpected type.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90081-E	The value: < attribute-value > of attribute < attribute-name > could not be read as a value of type < type-name >.	指定を見直してください。
KAIC90082-E	Device Manager Exception, code= < result-code >, level= < error-level >.	指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	source= < <i>error-source</i> >, description=< <i>error-description</i> >	
KAIC90083-E	Device Manager Server Exception: error code= < <i>result-code</i> > error level= < <i>error-level</i> > error source= < <i>error-source</i> > description=< <i>error-description</i> >	error code に出力されている値を参考にして、このマニュアルからエラーコードを検索し、該当する対処を実施してください。
KAIC90084-E	Server returned the following HTTP Response: "< <i>response</i> >"; no additional information available.	CLI のマニュアルの障害対策を参照してください。
KAIC90085-E	No Response Returned from the Device Manager Server.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90086-E	For < <i>any-command</i> > the < <i>option</i> > option must be specified.	指定を見直してください。
KAIC90087-E	For the < <i>command-name</i> > command, the < <i>option</i> > option must be specified.	指定を見直してください。
KAIC90088-E	Could not open the file < <i>trace-file-name</i> > for writing the message trace.	指定を見直してください。
KAIC90089-E	Could not open the file < <i>input-redirect-file-name</i> > for reading the input.	指定を見直してください。
KAIC90090-E	Could not open file < <i>log-file-name</i> > for Logging; will log to console.	指定を見直してください。
KAIC90091-E	Must supply a URL from the command line or in the properties file.	指定を見直してください。
KAIC90092-E	Could not read password from file < <i>password-file-name</i> >.	パスワードファイルの記述を見直してください。
KAIC90093-E	Could not find the password file < <i>password-file-name</i> >.	パスワードファイルの指定を見直してください。
KAIC90094-E	Error reading the password file < <i>password-file-name</i> >: < <i>cause</i> >	パスワードファイルの状態を確認してください。
KAIC90095-E	Certificate from Server shows a hostname of < <i>cert-host-name</i> >, but the response is actually from < <i>url-host-name</i> >.	指定を見直してください。
KAIC90096-E	Could not open the file < <i>output-redirect-file-name</i> > for writing the output.	指定したファイルに書き込み権限があるかどうかを確認してください。
KAIC90097-E	An attempt to read the property file "< <i>property-file-name</i> >" has failed.	ファイルの指定を見直してから再実行してください。
KAIC90099-E	Error reading < <i>property-file-name</i> > from executing directory.	指定しているファイルのパスの設定値およびファイルの状態を見直したあと、ファイルにアクセスできることを確認してください。
KAIC90100-E	An attempt to read the property file "< <i>property-file-name</i> >" has failed.	ファイルの指定を見直してから再実行してください。
KAIC90101-E	Executing with no < <i>property-file-name</i> > Property File.	指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC90102-E	Unrecognized command: < <i>command-name</i> >	指定を見直してください。
KAIC90103-E	For the < <i>command-name</i> > command, the < <i>key</i> > value must be specified.	指定を見直してください。
KAIC90104-E	For the < <i>command-name</i> > command, the < <i>item-option-name(1)</i> > or the < <i>item-option-name(2)</i> > must be specified.	指定を見直してください。
KAIC90105-E	For the < <i>command-name</i> > command, both the < <i>item-option-name(1)</i> > and the < <i>item-option-name(2)</i> > can not be specified together.	指定を見直してください。
KAIC90106-E	Specified parameters not appropriate for the command:	指定を見直してください。
KAIC90107-E	Family = < <i>model-name</i> > not recognized:	指定を見直してください。
KAIC90108-E	Subtarget < <i>specified-subtarget</i> > not recognized; currently supporting: < <i>storage-array-subtarget-names</i> >	指定を見直してください。
KAIC90109-E	PDEV devnum from the < <i>key-name</i> > was not an integer: < <i>specified-pdevnums</i> >	指定を見直してください。
KAIC90110-E	HDvM does not support iSCSIName in a virtualization server. If the iSCSIName is set, this registers it as a normal host. (HostName= <i>hostName</i> , function= <i>function</i>)	function=check の場合対象ホストを仮想化サーバとして登録する場合は、ホスト情報ファイルより iSCSIName を削除してください。通常ホストとして登録する場合は、特に対処は必要ありません。function=import の場合対象ホストは、通常ホストとして登録しました。仮想化サーバへ変更する場合は、ホスト編集機能を用いて仮想化サーバへ変更してください。
KAIC90111-E	You cannot specify both hostType and osType at the same time. Please specify one or the other.	hostType か osType どちらか一方のみ指定し再実行してください。
KAIC90112-E	In the < <i>command-name</i> > command, when specifying < <i>specified-operand</i> >, you have to specify < <i>not-specified-operand</i> >.	指定を見直してください。
KAIC90113-E	The "< <i>attribute-name(channel-speed)</i> >" command is not supported on this subsystem.	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90114-E	Value of < <i>key</i> > must be either true or false; the value < <i>specified-value</i> > is neither.	指定を見直してください。
KAIC90115-E	The object type cannot be determined.	groupelements の指定を見直してから再実行してください。
KAIC90116-E	Parameters wwn and domain cannot both be specified.	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90117-E	Either devnum or lusedevnums must be specified.	指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC90118-E	Parameter <i>< option-name(1) ></i> ignored, using <i>< option-name(2) ></i> for LUSE definition.	指定を見直してください。
KAIC90119-E	" <i>< option-name(1) ></i> " and " <i>< option-name(2) ></i> " can not be specified together.	指定を見直してください。
KAIC90120-E	When " <i>< option-name(1) ></i> ", " <i>< option-name(2) ></i> ", " <i>< option-name(3) ></i> "(or " <i>< option-name(4) ></i> ") and " <i>< option-name(5) ></i> " are specified, they must be specified together.	指定を見直してください。
KAIC90121-E	When " <i>< option-name(1) ></i> ", " <i>< option-name(2) ></i> ", " <i>< option-name(3) ></i> " and " <i>< option-name(4) ></i> " are specified, they must be specified together.	指定を見直してください。
KAIC90122-E	The objectid is required when either " <i>< option-name(1) ></i> " or " <i>< option-name(1) ></i> " is specified with " <i>< option-name(2) ></i> ".	指定を見直してください。
KAIC90123-E	Date-Time entered (<i>< specified-value ></i>) not in the required format: YYYY/MM/DD HH:MM:SS	指定を見直してください。
KAIC90124-E	Duplicate execution is not allowed: RefreshStorageArrays	実行中のコマンドが終了してから再実行してください。
KAIC90125-E	The value specified for osType is invalid. (osType= <i>osType</i>)	指定内容を見直し再実行してください。
KAIC90126-E	The value specified for hostType is invalid. (hostType= <i>hostType</i>)	指定内容を見直し再実行してください。
KAIC90127-E	Unrecognized option " <i>< option-name ></i> ".	指定を見直してください。
KAIC90128-E	Option <i>< option-name ></i> requires an argument.	指定を見直してください。
KAIC90129-E	<i>< option-name ></i> is in the longOptionMap. But not in the charOptionMap under <i>< option-character ></i> .	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90130-E	<i>< option-name ></i> is in the charOptionMap. But not in the longOptionMap.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90131-E	Problem accessing the Device Manager datatype.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90132-E	Value of <i>< key-name ></i> must be a long; could not parse <i>< specified-value ></i>	指定を見直してください。
KAIC90133-E	The CLI initialization information is invalid.	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90134-E	Invalid character was detected in the specified userid or password.	指定を見直してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIC90135-E	The number of values of "< <i>parameter-name</i> >" and "< <i>parameter-name</i> >" must be same.	指定を見直してください。
KAIC90136-E	The certificate file ("< <i>specified certificate file path</i> >") does not exist in the specified path, or the certificate file is invalid.	証明書が指定のディレクトリにあり、かつ有効であることを確認してください。問題が解決しない場合は、証明書を再度ダウンロードしてください。
KAIC90137-E	The certificate file ("< <i>default certificate file path</i> >") does not exist in the default path, or the certificate file is invalid.	証明書が所定のディレクトリにあり、かつ有効であることを確認してください。問題が解決しない場合は、証明書を再度ダウンロードしてください。
KAIC90138-E	When the -s option is used, URLs must start with https.	オプションおよび URL を確認してください。
KAIC90139-E	A connection cannot be established. (reason = "< <i>reason why the connection cannot be established</i> >")	メッセージに出力されている原因を基に対処するとともに、Device Manager サーバが正しく起動しているかを確認してください。コマンドの実行途中で一時的なネットワーク障害により本メッセージが出力された場合、コマンドの実行要求が Device Manager サーバで既に処理されている可能性があるため、しばらく時間をおいてから、構成情報を確認してください。
KAIC90140-E	The specified objectID "< <i>specified objectID</i> >" is invalid.	CLI で表示されるオブジェクト ID を確認してください。
KAIC90141-E	The API version "< <i>specified-API-version</i> >" specified in the XML request is invalid.	API バージョンの指定を見直してください。
KAIC90142-E	An internal error occurred. The CLI API version "< <i>CLI-API-version</i> >" is invalid.	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KAIC90143-E	The API version "< <i>specified-API-version</i> >" specified in the XML request exceeds the highest usable version "< <i>highest-usable-version</i> >".	API バージョンの指定を見直してください。
KAIC90144-E	Both "< <i>Parameter name (1)</i> >" and "< <i>Parameter name (2)</i> >" must be specified.	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90145-E	The model of the subsystem must be specified when the parameter "< <i>Parameter name</i> >" is specified.	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90146-E	An invalid value "< <i>parameter-value</i> >" has been specified for parameter < <i>parameter-name</i> >.	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90147-E	An invalid value "< <i>parameter-value</i> >" has been specified for parameter < <i>parameter-name</i> >. Specify the value by using an integer, CU:LDEV syntax or LDKC:CU:LDEV syntax.	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90148-E	An invalid value "< <i>parameter-value</i> >" has been specified for parameter < <i>parameter-name</i> >. Specify the	指定を見直してから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	value by using an integer (decimal or hexadecimal).	
KAIC90149-E	Specify either "arraygroupname" or "chassis" and "groupnum".	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90150-E	"arraygroup" cannot be specified together with "chassis" and "groupnum".	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90151-E	Specify either "< Parameter name (1) >" or "< Parameter name (2) >".	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90152-E	Information in the message was omitted because the message is too long. The original message is as follows:	対処の必要はありません。
KAIC90153-E	The object ID of the host or the host name cannot be specified at the same time as the filter used for selecting the host.	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90154-E	An invalid value "< parameter-value >" has been specified for parameter < parameter-name >.	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90155-E	When "< parameter-value >" is specified for "< parameter-name >", you must specify the value for "< parameter-name >".	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90156-E	When "< parameter-value >" is specified for "< parameter-name >", you cannot specify the value for "< parameter-name >".	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90157-E	For this model, < parameter-value > cannot be specified for < parameter-name >.	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90158-E	If "< parameter-name >" is omitted, "< parameter-name >" cannot be used.	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90159-E	The user ID or password is not specified. Specify a user ID and password to discover the specified subsystem.	指定を見直してください。
KAIC90160-E	The parameter param0 cannot be specified for this model.	指定を見直してください。
KAIC90161-E	The parameter param0 must be specified for this model.	指定を見直してください。
KAIC90162-E	If the parameter param0 is omitted, the parameter param1 must be specified.	指定を見直してください。
KAIC90163-E	Specify one of the following: < parameter-name >, < parameter-name >, < parameter-name >, < parameter-name >, < parameter-name >, < parameter-name >, < parameter-name >, or < parameter-name >.	指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC90164-E	The "< <i>command-name</i> >" command is not supported on this model.	指定を見直してください。
KAIC90165-E	Specify one of the following: < <i>parameter-name</i> >, < <i>parameter-name</i> >, < <i>parameter-name</i> >, or < <i>parameter-name</i> >.	指定を見直してください。
KAIC90167-E	"< <i>hostname</i> >" is not recognized as a virtualization server.	指定したホストを見直してください。
KAIC90168-E	This command is not supported on virtualization server.	仮想化サーバをリフレッシュするには、 RefreshVirtualizationServer を使用してください。
KAIC90169-E	No virtualization server or the management software managing the virtualization servers could be detected.	パラメータ指定と仮想化ソフトウェアの設定を見直してください。
KAIC90170-E	The parameter "< <i>parameter-name</i> >" cannot be specified for this Host.	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90171-E	The "< <i>specified-command</i> >" command is not supported on this Host.	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90180-E	The length of the "< <i>parameter-name</i> >" parameter is outside the valid range from "< <i>minimum-value</i> >" to "< <i>maximum-value</i> >".	有効な値を指定してください。
KAIC90181-E	When "< <i>option-name(1)</i> >","< <i>option-name(2)</i> >" and "< <i>option-name(3)</i> >" are specified, they must be specified together.	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90182-E	The specified parameter "< <i>Parameter-Name</i> >" is not appropriate.	指定を見直してください。
KAIC90183-E	The "< <i>Parameter-Name</i> >" parameter cannot be specified for this microcode version. The minimum required microcode version is "< <i>Microcode-Version</i> >".	指定を見直してください。
KAIC90184-E	Specify one of the following: "< <i>parameter-name</i> >","< <i>parameter-name</i> >"," or "< <i>parameter-name</i> >".	指定を見直してください。
KAIC90185-E	Processing to delete the pool and format volumes completed successfully, but one or more volumes are blocked.	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行後、閉塞しているボリュームを再フォーマットしてください。
KAIC90186-E	Processing to delete the pool and format volumes completed successfully, but one or more volumes were changed by another operation.	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。
KAIC90187-E	Specify at least one of the following: "< <i>parameter-name-1</i> >","< <i>parameter-name-2</i> >","< <i>parameter-name-3</i> >"," and "< <i>parameter-name-4</i> >".	パラメータを指定し直したあと、再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC90188-E	Specify one of the following: "< <i>parameters</i> >".	指定を見直してください。
KAIC90189-E	Invalid parameters: CLPR-number and other modify parameters cannot be specified at the same time.	指定を見直してください。
KAIC90200-E	The number of "iscsiname" values must match the number of "iscsinickname" values.	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90201-E	The string "< <i>element-name</i> >" could not be added to the host as an iSCSIName.	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90202-E	An attempt to add the iSCSIName "< <i>error-iSCSIName</i> >" has failed.	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90203-E	The same iSCSIName "< <i>iSCSIName</i> >" is already specified in the parameter.	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90204-E	The iSCSIName cannot be specified for the instance "< <i>management-object</i> >".	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90500-E	Options "-b" and "-i" cannot be specified at the same time.	指定を見直してください。
KAIC90501-E	A command or parameter cannot be specified when option "-b" is specified.	指定を見直してください。
KAIC90503-E	Both "< <i>Command name</i> >" and "< <i>Command name</i> >" are included in the command specifications in the specified batch file. Only one of these commands can be included in the batch file.	バッチファイルの記述を見直してください。
KAIC90504-E	The number of commands that can be included in the batch file is "< <i>Number</i> >".	バッチファイルの記述を見直してください。
KAIC90505-E	A command "< <i>Command-Name</i> >" that cannot be executed by batch execution has been coded in the batch file.	バッチファイルの記述を見直してください。
KAIC90506-E	The specified batch file cannot be found.	バッチファイルの指定を見直してください。
KAIC90507-E	An attempt to read the specified batch file has failed. Remove the cause of the problem, and then re-execute the batch file. Cause: "< <i>Message</i> >"	メッセージに出力されている原因を基に対処してから、再実行してください。
KAIC90508-E	No command has been coded in the batch file.	バッチファイルの記述を見直してください。
KAIC90509-E	The commands coded in the batch file must be for a single subsystem.	バッチファイルの記述を見直してください。
KAIC90510-E	The batch file contains invalid coding in line < <i>Line-Number</i> >.	バッチファイルの記述を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC90511-E	An error occurred while reading the batch file. Revise the coding in the batch file, and then re-execute the batch file. Line: < <i>Line-Number</i> > Cause: < <i>Message</i> >	バッチファイルの記述を見直してから再実行してください。
KAIC90512-E	The specified parameter "< <i>Parameter-Name</i> >" is not appropriate for the command "< <i>Command-Name</i> >".	指定を見直してください。
KAIC90513-E	The specification of parameter "< <i>Parameter-Name</i> >" is duplicated in the command.	指定を見直してください。
KAIC90550-E	There is an error in the syntax of the batch file coding.	バッチファイルの記述を見直してください。
KAIC90551-E	The coding that follows the endbatch line is invalid.	バッチファイルの記述を見直してください。
KAIC90552-E	The beginbatch line is not coded.	バッチファイルの記述を見直してください。
KAIC90553-E	A command or endbatch line is not specified.	バッチファイルの記述を見直してください。
KAIC90556-E	The coding in the beginbatch line is invalid.	バッチファイルの記述を見直してください。
KAIC90557-E	The coding in the endbatch line is invalid.	バッチファイルの記述を見直してください。
KAIC90559-E	A space character is required before the command name.	バッチファイルの記述を見直してください。
KAIC90560-E	Characters other than alphanumeric characters cannot be used in a command name.	バッチファイルの記述を見直してください。
KAIC90562-E	The batch file contains invalid coding.	バッチファイルの記述を見直してください。
KAIC90563-E	Characters other than alphanumeric characters cannot be used in a parameter name.	バッチファイルの記述を見直してください。
KAIC90564-E	The parameter specification is invalid. The parameter name is incorrect or the parameter has not been specified using the "parameter-name=value" syntax.	バッチファイルの記述を見直してください。
KAIC90565-E	An invalid character is being used in the parameter value. Only ASCII characters can be used. Escaping by "-" is required for spaces and symbols, except for: " ", "-", ".", "/", ":", "=", "_", ";".	バッチファイルの記述を見直してください。
KAIC90566-E	Characters other than symbol characters cannot be escaped. The characters that can be escaped are: " ", "!", "!", "#", "\$", "%", "&", "(", ")", "*", "+", "<", ">", "?", "@", "[", "\", "]", "\^", "\", "{", " ", "}", "~".	バッチファイルの記述を見直してください。
KAIC90569-E	A new line is required at the end of a statement.	バッチファイルの記述を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC90570-E	The maximum number of characters that can be specified for a name, such as a parameter name, is " <i>< Length ></i> ".	バッチファイルの記述を見直してください。
KAIC90571-E	This is an invalid line. A line feed is required after a carriage return.	バッチファイルの記述を見直してください。
KAIC90572-E	If you specify " <i>< parameter-key-name ></i> ", you must also specify " <i>< parameter-key-name ></i> ". If you specify " <i>< parameter-key-name ></i> ", you must also specify " <i>< parameter-key-name ></i> ".	コマンドパラメータを見直してから、再度実行してください。
KAIC90573-E	If you specify " <i>< parameter-key-name ></i> " and " <i>< parameter-key-name ></i> ", you must also specify " <i>< parameter-key-name ></i> " and " <i>< parameter-key-name ></i> ".	コマンドパラメータを見直してから、再度実行してください。
KAIC90574-E	The memory for the CLI became insufficient while this operation was being performed.	以下のどれかの方法で対処してください。 <ul style="list-style-type: none"> CLI のメモリーヒープサイズを増やして、再操作する。 取得する情報量を減らして、再操作する。
KAIC90575-E	The value of the " <i>< parameter-key-name ></i> " parameter is outside the valid range from " <i>< minimum-value ></i> " to " <i>< maximum-value ></i> ".	有効な値を指定してください。
KAIC90576-E	The sum of startElementNumFilter and numOfElementsFilter is outside the valid range from " <i>< minimum-value ></i> " to " <i>< maximum-value ></i> ".	有効な値を指定してください。
KAIC90577-E	The " <i>< parameter-name-list ></i> " and " <i>< parameter-name-list ></i> " parameters cannot be specified at the same time.	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90600-E	An invalid value " <i>< specified-value ></i> " has been specified for the option " <i>< specified-option ></i> ".	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90601-E	The options " <i>< specified-option ></i> " and " <i>< specified-option ></i> " cannot be specified at the same time.	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90602-E	The option " <i>< specified-option ></i> " and the command " <i>< specified-command ></i> " cannot be specified at the same time.	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90603-E	The option " <i>< specified-opti ></i> on" and the parameter " <i>< specified-parameter ></i> " cannot be specified at the same time.	指定を見直してから再実行してください。
KAIC90701-E	The user ID specified for the option <i>-u</i> does not match the user ID in the property file <i>< property-file-name ></i> .	コマンドラインに正しいユーザー名を指定してください。
KAIC90702-E	The password specified for [Old password] does not match the	コマンドラインに正しいパスワードを指定してください。プロパティファイルに指定されている正しいパスワードをどうしてもコマンドライ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	password in the property file < <i>property-file-name</i> >.	ンに指定できない場合には、プロパティファイルに指定しているパスワードを削除して再度実行してください。
KAIC90703-E	The passwords specified for [New password] and [Re-enter new password] are not the same.	コマンドラインに正しいパスワードを指定してください。
KAIC90704-E	An attempt to encode the password has failed.	実行環境を見直したあと、再度実行してください。対処できない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90705-E	An attempt to decode the password has failed.	password2 に設定されているパスワードに対応する正しいユーザー名を指定してください。それでも問題が解決しない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90706-E	An attempt to decode the password failed because the current environment is different from the environment in which the password was encoded.	プロパティファイルに指定しているパスワードを削除して再度実行してください。
KAIC90707-E	Command execution failed because the environment does not support the specific encoding algorithm.	実行環境を見直したあと、再度実行してください。対処できない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90708-E	I/O processing for a file failed or was interrupted. (cause = < <i>Message</i> >)	メッセージに表示されたエラー情報の内容を参照し、エラー原因を取り除いて再度実行してください。
KAIC90709-E	An invalid password was specified.	パスワードに指定できる文字および文字数を確認し、正しいパスワードを指定してください。
KAIC90710-E	An attempt to encode or decode the password failed because the execution environment was invalid.	CLI を実行する際に必要なファイルを読み込む権限がありません。OS のログインユーザーアカウントの権限を確認してください。解決しない場合は顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90711-E	An attempt to encode or decode the password failed because the execution environment was invalid.	環境設定を見直したあと、再度実行してください。対処できない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC90712-E	The password file password-file-name could not be written to.	パスワードファイルが存在する場合は、ファイルに書き込みができるようにアクセス権を設定してください。パスワードファイルが存在しない場合は、パスワードファイルが書き出せるようにアクセス権を設定してください。
KAIC90800-E	No value is specified for < <i>property-key-name</i> > in "< <i>mapping-definition-file-name</i> >".	マッピング定義ファイルの設定を見直してから再実行してください。
KAIC90801-E	The value specified for < <i>property-key-name</i> > in "< <i>mapping-definition-file-name</i> >" is invalid.	プロパティキーの値を見直してから再実行してください。
KAIC90802-E	The values of import.host.column.wwn and import.host.column.iscsiname in "< <i>mapping-definition-file-name</i> >" are -1.	import.host.column.wwn プロパティまたは import.host.column.iscsiname プロパティのどちらかに 1 以上を指定してください。
KAIC90803-E	The file "< <i>input-file-name</i> >" does not contain records that can be	入力ファイルのレコード数とマッピング定義ファイルのプロパティキーの値を見直してから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	processed, or the value for < <i>property-key-name</i> > in "< <i>mapping-definition-file-name</i> >" is too large	
KAIC90804-E	An attempt to read file "< <i>input-file-name</i> >" failed before the records to be processed were read from the file.	入力ファイルの状態を確認してください。
KAIC90805-E	Records up to < <i>last-record-number</i> > in the file "< <i>input-file-name</i> >" were processed, but processing stopped because the number of records exceeded < <i>limit-of-the-record-number</i> >.	メッセージ中に表示されたレコードの次以降のレコードに対する処理が必要な場合は、マッピング定義ファイルの読み込み開始レコード番号を修正して再実行してください。
KAIC90806-E	Records up to < <i>last-record-number</i> > in the file "< <i>input-file-name</i> >" were processed, but processing stopped because an attempt to read from the file failed.	入力ファイルの状態を確認してください。メッセージ中に表示されたレコードの次以降のレコードに対する処理が必要な場合は、マッピングファイルの読み込み開始レコード番号を修正してから再実行してください。
KAIC90821-E	The record format in the input file is invalid.	入力ファイルのレコードの形式を見直してください。
KAIC90822-E	"< <i>item-name</i> >" is not specified in the input file record.	メッセージに表示された項目が入力ファイルのレコードに指定してあるか見直してください。
KAIC90823-E	The value "< <i>specified-value</i> >" specified for "< <i>item-name</i> >" in the input file record is invalid.	指定した値を見直してください。
KAIC90824-E	"< <i>item-name</i> >" is already specified in another record of the input file.	メッセージに表示された項目の値が重複していないか見直してください。
KAIC90825-W	The host will be registered with no WWN or iSCSI name set, because neither is specified in the input file record.	<ul style="list-style-type: none"> コマンドの引数に <code>function=check</code> を指定した場合 入力ファイルの記述を見直し、必要であれば入力ファイルを修正してください。 コマンドの引数に <code>function=import</code> を指定した場合 必要であれば GUI を使用してホストを編集し、WWN や iSCSI ネームを設定してください。
KAIC90826-W	The OS type will be registered as "OTHERS" because the OS type specified in the input file record is not defined.	<ul style="list-style-type: none"> コマンドの引数に <code>function=check</code> を指定した場合 入力ファイルの記述を見直し、必要であれば入力ファイルを修正してください。 コマンドの引数に <code>function=import</code> を指定した場合 必要であれば GUI を使用してホストを編集し、OS タイプを変更してください。
KAIC90827-E	Multiple IP addresses in IPv4 format are specified for the IP address field in the input file record.	入力ファイルのレコードの IP アドレスのフィールドには、1 つの IPv4 形式の IP アドレスを指定してください。
KAIC90828-E	Multiple IP addresses in IPv6 format are specified for the IP address field in the input file record.	入力ファイルのレコードの IP アドレスのフィールドには、1 つの IPv6 形式の IP アドレスを指定してください。
KAIC90829-E	The input file record contain an IP address field for which three or more IP addresses have been specified.	入力ファイルのレコードの IP アドレスのフィールドには、1 つずつの IPv4 形式の IP アドレスと IPv6 形式の IP アドレスを指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC90830-E	The value "< <i>specified-value</i> >" specified for "< <i>item-name(1)</i> >" or "< <i>item-name(2)</i> >" in the input file record is not valid.	指定した値を見直してください。
KAIC90831-E	The storage system information cannot be displayed. You do not need to retry this command because the parameter was successfully changed. @(<i>error code</i> =< <i>error-code</i> >)	<i>error code</i> に出力されている値を参考にして、メッセージマニュアルからエラーコードを検索し、該当する対処を実施した後、GetStorageArray コマンドを実行して、ストレージ名が変更されていることを確認してください。
KAIC90832-E	If "< <i>Parameter name (3)</i> >" is specified, both "< <i>Parameter name (1)</i> >" and "< <i>Parameter name (2)</i> >" must also be specified.	指定を見直してください。
KAIC90833-E	If "< <i>Parameter name (3)</i> >" is specified for a virtual DKC, both "< <i>Parameter name (1)</i> >" and "< <i>Parameter name (2)</i> >" must also be specified.	指定を見直してください。
KAIC90834-E	If "< <i>Parameter name (1)</i> >" is specified, "< <i>Parameter name (2)</i> >", "< <i>Parameter name (3)</i> >", and "< <i>Parameter name (4)</i> >" must also be specified.	指定を見直してください。
KAIC90835-E	If "< <i>Parameter name (1)</i> >" and "< <i>Parameter name (2)</i> >" are specified, "< <i>Parameter name (3)</i> >", "< <i>Parameter name (4)</i> >", "< <i>Parameter name (5)</i> >", and "< <i>Parameter name (6)</i> >" ("< <i>Parameter value (1)</i> >") must also be specified.	指定を見直してください。
KAIC90836-E	The value ("< <i>Parameter value (1)</i> >") specified for the vfamily parameter is not registered in the system.	指定を見直してください。
KAIC90837-E	If "< <i>Parameter name (1)</i> >" is specified, "< <i>Parameter name (2)</i> >", "< <i>Parameter name (3)</i> >", and "< <i>Parameter name (4)</i> >" ("< <i>Parameter value (1)</i> >") must also be specified.	指定を見直してください。
KAIC90838-E	If "< <i>Parameter name (1)</i> >" is specified, "< <i>Parameter name (2)</i> >", "< <i>Parameter name (3)</i> >", "< <i>Parameter name (4)</i> >", and "< <i>Parameter name (5)</i> >" ("< <i>Parameter value (1)</i> >") must also be specified.	指定を見直してください。
KAIC90839-E	If "< <i>Parameter name (1)</i> >" is specified, "< <i>Parameter name (2)</i> >", "< <i>Parameter name (3)</i> >", "< <i>Parameter name (4)</i> >", "< <i>Parameter name (5)</i> >", and "< <i>Parameter name (6)</i> >" ("<	指定を見直してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	<i>Parameter value (1) ></i> " must also be specified.	
KAIC90840-E	Specify one of the following: "< <i>Parameter name (1) ></i> " or "< <i>Parameter name (2) ></i> ".	指定を見直してください。
KAIC90841-E	Specify " <i>Parameter name (1)</i> ".	指定を見直してください。

KAIE で始まるメッセージ

この章では、Device Manager エージェントに関するメッセージについて説明します。

- [5.1 KAIE10000～KAIE19999](#)
- [5.2 KAIE20000～KAIE29999](#)
- [5.3 KAIE30000～KAIE39999](#)
- [5.4 KAIE60000～KAIE69999](#)

5.1 KAIE10000～KAIE19999

Device Manager エージェントに関するメッセージ (KAIE10000～KAIE19999) を次の表に示します。

表 5-1 KAIE10000～KAIE19999 : Device Manager エージェントのメッセージ

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIE10401-E	アドオンモジュールの呼び出し中に予期しない例外が発生しました。(コールバック名 = <コールバック名>, オブジェクト ID = <オブジェクト識別子>)	<p>要因 次の過程で深刻なエラーを検出しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> インストールまたはアンインストール時 アドオンモジュールのロード時 リクエストの受け付け時 <p>メモリ不足, 内部エラーなどのおそれがあります。</p> <p>対処 メモリ不足でないかを確認し, サービスを再起動してください。改善されない場合は保守情報を取得し, 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAIE10403-E	アドオンモジュール <モジュール名> のロード中に回復できないエラーが発生しました。	<p>要因 モジュールのロード時にエラーが発生しました。メモリ不足, 内部エラーなどのおそれがあります。</p> <p>対処 メモリ不足でないかを確認し, サービスを再起動してください。改善されない場合は保守情報を取得し, 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAIE10404-E	アドオンモジュールの状態の操作に失敗しました。処理を続行します。	<p>要因 入出力エラーが発生しました。以下のファイルへのアクセスに失敗しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> < Device Manager エージェントのインストールディレクトリ > /agent/mod/* < Device Manager エージェントのインストールディレクトリ > /agent/mod/* /var <p>これらのディレクトリ, またはファイルへのアクセス権限がないおそれがあります。</p> <p>対処 サービスの実行ユーザーが, これらのディレクトリ, またはファイルへのアクセス権限を持っているかを確認してください。もしなければ, 実行ユーザーにアクセス権限を与えるか, 実行ユーザーをアクセス権限のあるユーザーに変更してください。</p>
KAIE10502-E	インストレーション ID の取得に失敗しました。	<p>要因 環境不正です。製品情報ファイル (< Device Manager エージェントのインストールディレクトリ > /etc/amc_iid) の読み込みに失敗しました。インストールが正しく完了していないおそれがあります。</p> <p>対処 再インストールしてください。改善されない場合は保守情報を取得し, 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAIE10602-E	環境が正しくありません。	<p>要因 環境不正です。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 直前に詳細な原因を表すメッセージが出力されます。その対処方法を参照してください。
KAIE10606-E	インストール ID の書き込みに失敗しました。	要因 入出力エラーが発生しました。製品情報ファイル (<Device Manager エージェントのインストールディレクトリ>/etc/amc_iid) の作成に失敗しました。インストールが正しく完了していないおそれがあります。 対処 再インストールしてください。改善されない場合は保守情報を取得し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIE10610-E	モジュールが使用中です。あとで再実行してください。	要因 アンインストールに失敗しました。モジュールが使用中です。 対処 しばらく間をあけてからアンインストールしてください。
KAIE16002-I	例外情報: <エラー発生時の詳細情報>	要因 エラーの詳細情報を出力します。 対処 直後にエラーメッセージが出力されます。その対処方法を参照してください。
KAIE16605-I	アドオンモジュールが一つも見つかりませんでした。	要因 アドオンモジュールが一つも登録されていない、または登録されているが使用可能なアドオンモジュールが一つもありません。 対処 対処の必要はありません。
KAIE16606-I	指定されたアドオンモジュールは見つかりませんでした。	要因 指定されたアドオンモジュールが登録されていない、または登録されているが使用可能な状態ではありません。 対処 指定されたアドオンモジュールを使用する場合は、該当するアドオンモジュールがインストールされているか、あるいはこのプラットフォームにおいてサポートされているかを確認してください。

5.2 KAIE20000～KAIE29999

Device Manager エージェントに関するメッセージ (KAIE20000～KAIE29999) を次の表に示します。

表 5-2 KAIE20000～KAIE29999 : Device Manager エージェントのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIE20001-E	アドオンモジュールの呼び出し中に予期しない例外が発生しました。(コールバック名 = <コールバック名>, オブ	要因 次の過程で深刻なエラーを検出しました。 <ul style="list-style-type: none"> アドオンモジュールのロード時 リクエストの受け付け時

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	ジェクト ID = <オブジェクト識別子 >)	メモリ不足, 内部エラーなどのおそれがあります。 対処 メモリ不足でないかを確認し, サービスを再起動してください。改善されない場合は保守情報を取得し, 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIE20002-E	リクエストに対する処理を実行中に予期しない例外が発生しました。(メッセージ ID = <メッセージ ID >)	要因 サービス実行中に深刻なエラーを検出しました。メモリ不足, 内部エラーなどのおそれがあります。 対処 メモリ不足でないかを確認し, サービスを再起動してください。改善されない場合は保守情報を取得し, 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIE20101-E	サービス要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。(メッセージ ID = <メッセージ ID >)	要因 サービスリクエストの処理中に予期しないエラーを検出しました。メモリ不足, 内部エラーなどのおそれがあります。 対処 メモリ不足でないかを確認し, サービスを再起動してください。改善されない場合は保守情報を取得し, 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIE20102-E	アドオンモジュールの呼び出し中に予期しない例外が発生しました。(コールバック名 = <コールバック名 >, オブジェクト ID = <オブジェクト識別子 >)	要因 サービスの実行中に深刻なエラーを検出しました。メモリ不足, 内部エラーなどのおそれがあります。 対処 メモリ不足でないかを確認し, サービスを再起動してください。改善されない場合は保守情報を取得し, 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIE20303-E	クライアントからの接続受け付け中にエラーが発生しました。接続を切断します。(クライアント情報 = <クライアント情報 >)	要因 サービスの実行中に予期しないエラーが発生しました。ネットワーク障害やメモリ不足のおそれがあります。 対処 ネットワーク障害, メモリ不足などが無いことを確認してから, サービスを再起動してください。改善されない場合は保守情報を取得し, 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIE20402-E	HTTP サービス中に予期しないエラーが発生しました。	要因 HTTP 通信処理中に予期しないエラーが発生しました。ネットワーク障害, メモリ不足などのおそれがあります。 対処 ネットワーク障害, メモリ不足などが無いことを確認してから, サービスを再起動してください。改善されない場合は保守情報を取得し, 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIE20403-E	HTTP サービス中に I/O エラーが発生しました。	要因 リモートホストとの通信中に入出力エラーが発生しました。リモートホストが接続を切断した

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		か、ネットワーク障害またはメモリ不足などのエラーのおそれがあります。 対処 リモートホストによる通常の切断でない場合は、ネットワーク障害、メモリ不足などがないことを確認してから、サービスを再起動してください。改善されない場合は保守情報を取得し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIE20601-E	アドオンモジュールの呼び出し中に予期しない例外が発生しました。(コールバック名 = <コールバック名>, オブジェクト ID = <オブジェクト識別子>)	要因 サービスリクエストの処理中に予期しないエラーを検出しました。メモリ不足、内部エラーなどのおそれがあります。 対処 メモリ不足でないかを確認し、サービスを再起動してください。改善されない場合は保守情報を取得し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIE20701-E	ログ出力先ディレクトリ <ディレクトリ名> が作成できません。	要因 ログ出力先ディレクトリの作成中にエラーが発生しました。下記のディレクトリへの書き込み権限がないおそれがあります。 ・ < <i>Device Manager</i> エージェントのインストールディレクトリ > /agent 対処 サービスの実行ユーザーが、これらのディレクトリ、またはファイルへのアクセス権限を持っているかを確認してください。もしなければ、実行ユーザーにアクセス権限を与えるか、実行ユーザーをアクセス権限のあるユーザーに変更してください。
KAIE20702-E	ログ出力先 <ディレクトリ名> はディレクトリではありません。	要因 ログ出力先ディレクトリの作成中にエラーが発生しました。ディレクトリと同名のファイル (< <i>Device Manager</i> エージェントのインストールディレクトリ > /agent/logs) がすでに存在しています。 対処 ディレクトリと同名のファイルを削除してください。
KAIE20703-E	ログ出力先ディレクトリ <ディレクトリ名> は書き込み可能ではありません。	要因 ログ出力先ディレクトリ (< <i>Device Manager</i> エージェントのインストールディレクトリ > /agent/logs) が読み取り専用です。 対処 ログ出力先ディレクトリを書き込み可能にしてください。
KAIE20704-E	ログ設定処理中に I/O エラーが発生しました。	要因 ログプロパティファイル (< <i>Device Manager</i> エージェントのインストールディレクトリ > /agent/config/logger.properties) へのアクセスに失敗しました。次のおそれがあります。 ・ ファイルが存在しない ・ ユーザーがファイルを開いている ・ アクセス権限がない ・ 設定内容が不正

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処</p> <ul style="list-style-type: none"> • logger.properties ファイルの存在を確認してください。 • logger.properties ファイルを開いている場合は閉じてください。 • logger.properties ファイルに対するアクセス権限を与えるか、またはアクセス権限のあるユーザーに切り替えてからサービスを再起動してください。 • logger.properties ファイルの設定内容を確認し、誤っていたら修正してください。
KAIE20705-E	ログ出力ファイルと同名のディレクトリが存在しています。(ファイルパス = <ファイルパス>)	<p>要因</p> <p>下記のログ出力ファイルを作成できません。ログ出力先ディレクトリに、ログ出力ファイルと同じ名称のディレクトリが存在しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • < <i>Device Manager</i> エージェントのインストールディレクトリ > /agent/logs/trace.log • < <i>Device Manager</i> エージェントのインストールディレクトリ > /agent/logs/access.log • < <i>Device Manager</i> エージェントのインストールディレクトリ > /agent/logs/error.log • < <i>Device Manager</i> エージェントのインストールディレクトリ > /agent/logs/service.log <p>対処</p> <p>ログ出力ファイルと同名のディレクトリを削除してください。</p>
KAIE20706-E	ファイルが書き込み可能ではありません。(ファイルパス = <ファイルパス>)	<p>要因</p> <p>下記のログ出力ファイルのどれかが書き込みできません。サービスの実行ユーザーに書き込み権限がないためです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • < <i>Device Manager</i> エージェントのインストールディレクトリ > /agent/logs/trace.log • < <i>Device Manager</i> エージェントのインストールディレクトリ > /agent/logs/access.log • < <i>Device Manager</i> エージェントのインストールディレクトリ > /agent/logs/error.log • < <i>Device Manager</i> エージェントのインストールディレクトリ > /agent/logs/service.log <p>対処</p> <p>ログ出力ファイルに対する書き込み権限を与えるか、または書き込み権限のあるユーザーに切り替えてから、サービスを再起動してください。</p>
KAIE20707-E	プロパティファイルに不正が見つかりました。	<p>要因</p> <p>プロパティファイル (server.properties) の設定内容に誤りがあります。</p> <p>対処</p> <p>server.properties のプロパティの各値を確認し、修正してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIE20901-E	サービス実行プロセスを異常終了します。	<p>要因 サービスの実行プロセスで回復できないエラーが発生しました。メモリ不足、内部エラーなどのおそれがあります。</p> <p>対処</p> <ul style="list-style-type: none"> プロパティファイルに次のプロパティを指定している場合は、値を見直してください。 server.http.socket.agentAddress server.http.socket.bindAddress メモリ不足でないかを確認し、サービスを再起動してください。改善されない場合は保守情報を取得し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIE20902-E	サーバ実行中に I/O エラーが発生しました。	<p>要因 接続を待ち受け中にネットワークエラーが発生しました。ネットワーク障害、メモリ不足などのおそれがあります。</p> <p>対処 ネットワーク障害、メモリ不足などが発生していないかを確認してください。頻繁に発生するようであれば保守情報を取得し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAIE20903-E	サーバ実行中に予期しないエラーが発生しました。	<p>要因 サービス実行プロセスで予期しないエラーが発生しました。メモリ不足、内部エラーなどのおそれがあります。</p> <p>対処 ネットワーク障害、メモリ不足などが無いことを確認してから、サービスを再起動してください。改善されない場合は保守情報を取得し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAIE20904-E	サーバソケットを閉じている時に通信エラーが発生しました。(ポート番号=<ポート番号>)	<p>要因 サービス実行プロセスのシャットダウン時にエラーが発生しました。</p> <p>対処 ネットワーク障害、メモリ不足などが発生していないかを確認してください。改善されない場合は保守情報を取得し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAIE21701-W	ログ設定ファイルでのバックアップ数の指定 "<値>" に形式誤りがあります。デフォルト値を使用します。	<p>要因 logger.properties ファイルの logger.MaxBackupIndex の値が 1~20 の範囲を超えているか、数値ではありません。</p> <p>対処 logger.MaxBackupIndex の値を修正し、サービスを再起動してください。</p>
KAIE21702-W	ログ設定ファイルにおける最大ファイルサイズの指定 "<値>" に形式誤りがあります。デフォルト値を使用します。	<p>要因 logger.properties ファイルの logger.MaxFileSize の値が 512KB~32MB の範囲を超えているか、数値ではありません。</p> <p>対処 logger.MaxFileSize の値を修正し、サービスの再起動してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIE21703-W	プロパティファイルでのプロパティ " <code><プロパティ名></code> " の値が不正です。デフォルト値を使用します。	要因 プロパティファイル (server.properties) の設定内容に誤りがあります。 対処 server.properties のプロパティの各値を確認し、修正してください。

5.3 KAIE30000～KAIE39999

Device Manager エージェントに関するメッセージ (KAIE30000～KAIE39999) を次の表に示します。

表 5-3 KAIE30000～KAIE39999 : Device Manager エージェントのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIE30101-E	アドオンモジュールの呼び出し中に予期しない例外が発生しました。(コールバック名 = <code><コールバック名></code> , オブジェクト ID = <code><オブジェクト識別子></code>)	要因 サービスの実行中に深刻なエラーを検出しました。メモリ不足、内部エラーなどのおそれがあります。 対処 メモリ不足でないかを確認し、サービスを再起動してください。改善されない場合は保守情報を取得し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIE30201-E	アドオンモジュールの呼び出し中に予期しない例外が発生しました。(コールバック名 = <code><コールバック名></code> , オブジェクト ID = <code><オブジェクト識別子></code>)	要因 サービスの実行中に深刻なエラーを検出しました。メモリ不足、内部エラーなどのおそれがあります。 対処 メモリ不足でないかを確認し、サービスを再起動してください。改善されない場合は保守情報を取得し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIE30504-E	内部エラーです。StopCLI の引数が不正です。	要因 サービス制御プロセス停止コマンドの実行中に予期しないエラーが発生しました。メモリ不足、内部エラーなどのおそれがあります。 対処 メモリ不足でないかを確認し、サービスの強制終了を再試行してください。改善されない場合は保守情報を取得し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIE30505-E	サービス実行プロセスの開始処理中にエラーが発生しました。	要因 環境不正です。サービス実行プロセスを開始できませんでした。 対処 直前に詳細な原因を表すメッセージが出力されます。その対処方法を参照してください。
KAIE30506-E	サービス実行プロセスがキャッチされない例外をスローしました。	要因 サービス実行プロセスが予期しないエラーを検出しました。メモリ不足、内部エラーなどのおそれがあります。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		メモリ不足でないかを確認し、サービスを再起動してください。改善されない場合は保守情報を取得し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIE30507-E	サービス制御プロセスへの停止コマンド送信中にエラーが発生しました。	<p>要因 "nbsasrv stop"の実行時に通信エラーが発生しました。次のおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> システム資源の欠乏などで、サービス制御プロセスがコマンドを受け付けられない サービス制御プロセスが正常に稼働していない <p>対処 "nbsasrv stop"を再実行してください。それでも効果がなければ、保守情報を取得し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>

5.4 KAIE60000～KAIE69999

Device Manager エージェントに関するメッセージ (KAIE60000～KAIE69999) を次の表に示します。

表 5-4 KAIE60000～KAIE69999 : Device Manager エージェントのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIE62001-I	HBsA サービスはすでに起動しています。	<p>要因 HBsA サービスを二つ以上起動しようとした。</p> <p>対処 HBsA サービスは一つのシステムで一つしか起動できません。</p>
KAIE62601-E	HBsA サービスの実行権限がありません。	<p>要因 管理者権限のないユーザーが HBsA サービスを起動しようとした。</p> <p>対処 管理者権限のあるユーザーでログインし、再度起動してください。</p>
KAIE62602-E	インストールディレクトリの構造が不正です。	<p>要因 HiCommand Suite 共通エージェントコンポーネントが正しくインストールされていません。</p> <p>対処 Device Manager エージェントのインストールが正しく完了しているか確認してください。</p>
KAIE62604-E	アドオンモジュールが動作中なので、HBsA サービスを停止できません。	<p>要因 アドオンモジュールが処理実行中のため、HBsA サービスを停止できませんでした。</p> <p>対処 アドオンモジュールの処理が完了してから再度実行してください。サービスの停止方法の詳細については、nbsasrv コマンドの説明を参照してください。</p>
KAIE62605-E	HBsA サービスの接続エラーが発生しました。	<p>要因 HBsA サービスとの通信処理中にエラーが発生しました。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 ホスト上で TCP/IP 環境が正常に使用できるのかどうか、OS 標準のネットワーク監視コマンド (netstat, ping など) を使用して確認してください。 問題がない場合は、システムを再起動したあと、再インストールしてください。問題が解決しない場合は、保守情報を取得し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAIE62606-E	HBsA サービスの開始中にエラーが発生しました。	<p>要因 Windows サービスに登録された HBsA サービスのアクセスに失敗しました。</p> <p>対処 再インストールしてください。問題が解決しない場合は、保守情報を取得し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAIE62607-E	HBsA サービスが正常に起動できません。	<p>要因 HBsA サービスの起動で JVM の異常を検出しました。</p> <p>対処 前提パッチが適用されていることを確認してください。 適用後、再インストールしてください。</p>
KAIE62608-E	Java のパスが不正です。 [< path >]	<p>要因 server.properties の server.agent.JRE.location に設定したパスに誤りがあります。</p> <p>対処 server.properties の server.agent.JRE.location に設定した値を見直してから、再実行してください。</p>
KAIE62638-E	The value specified for server.agent.maxMemorySize in the server.properties file is not numeric.	<p>要因 server.properties ファイルの server.agent.maxMemorySize の値が数値ではありません。</p> <p>対処 server.agent.maxMemorySize の値を修正してから、HBsA サービスを再起動してください。</p>
KAIE62639-E	The value specified for server.agent.maxMemorySize in the server.properties file is outside the valid range.	<p>要因 server.properties ファイルの server.agent.maxMemorySize の値が 32～4,096 の範囲外です。</p> <p>対処 server.agent.maxMemorySize の値を修正してから、HBsA サービスを再起動してください。</p>
KAIE65601-E	コマンドが管理者以外のユーザ権限で実行されました。このコマンドは管理者として実行してください。	<p>要因 コマンドが管理者以外のユーザー権限で実行されました。</p> <p>対処 コマンドを管理者として実行してください。</p>
KAIE66007-I	Java のパス [< path >] を server.properties に設定しました。	<p>要因 -</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		-
KAIE66010-I	コマンドが正常に終了しました。	要因 - 対処 -
KAIE66011-I	使用可能な Java は[<パス>]です。 -set オプションを使用して server.properties に設定してください。	要因 - 対処 -
KAIE66601-E	引数不正 [<引数>]	要因 引数が不正です。 対処 正しい引数を指定して再度実行してください。
KAIE66604-E	製品で使用するポート番号が別のプログラムで使用されています。 製品で使用するポート番号を変更して 再度 firewall_setup.bat を実行してください。	要因 製品で使用するポート番号が別のプログラムで使用されています。 対処 以下の 1-3 の手順を実行してください。 1. プロパティファイル "server.properties"の以下の値を確認してください。 "server.agent.port" "server.http.port" "server.http.localPort" 2. ファイアウォールの例外登録を確認してください。 3. 重複しているポート番号を変更し、 firewall_setup を実行してください。
KAIE66605-E	ファイアウォールの設定に失敗しました。 [<プロパティキー>]	要因 ファイアウォール例外登録に失敗した。 対処 手動でファイアウォールの例外登録を行ってください。
KAIE66606-E	インストールパスの取得に失敗しました。	要因 インストールパスの取得に失敗した。 対処 Device Manager エージェントを再インストールしてください。
KAIE66607-E	内部エラーが発生しました。	要因 内部エラーが発生しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIE66608-E	非対象 OS でコマンドが実行されました。	要因 非対象 OS でコマンドが実行されました。 対処 マニュアルを参照して、サポートする OS を確認してください。
KAIE66609-E	Java パス[<パス>]が不正です。	要因 指定されたパスが不正です。 対処 パスが正しいか確認後、再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIE66610-E	プロパティファイルへの書き込みに失敗しました。	<p>要因 server.properties ファイルへの書き込みに失敗しました。</p> <p>対処 server.properties ファイルが破損していないか、または書き込み権限が設定されているか確認してください。</p>
KAIE66611-E	ファイル[<ファイル名>]が見つかりません。	<p>要因 ファイル[<ファイル名>]が見つかりません。</p> <p>対処 メッセージに出力されたファイルが存在するか確認してください。必要に応じて Device Manager エージェントを再インストールしてください。</p>

KAIG で始まるメッセージ

この章では、Host Data Collector に関するメッセージについて説明します。

□ 6.1 KAIG00000～KAIG09999

6.1 KAIG00000～KAIG09999

Host Data Collector に関するメッセージ (KAIG00000～KAIG09999) を次の表に示します。

表 6-1 KAIG00000～KAIG09999 : Host Data Collector のメッセージ

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAIG04003-E	インストール先のドライブに必要なディスク空き容量がありません。システムドライブおよびインストールドライブに十分な空き容量を確保してください。	要因 インストールに必要なディスクの空き容量がありません。 対処 システムドライブおよびインストールドライブに十分な空き容量を確保してください。
KAIG04004-E	このシステムには異なるベンダーの Host Data Collector がインストールされています。インストール済みのベンダーと同一のベンダーのインストーラを使用してインストールしてください。	要因 すでに異なるベンダーの Host Data Collector がインストールされています。 対処 インストール済みのベンダーと同一のベンダーのインストーラを使用してインストールしてください。
KAIG04007-E	既に新しいバージョンがインストールされています。ダウングレードすることは出来ません。	要因 新しいバージョンの Host Data Collector がインストールされている環境で、古いバージョンの Host Data Collector をインストールしようとした。 対処 対処の必要はありません。
KAIG04008-E	サポートしていない OS です。	要因 サポートしていない OS へインストールしようとしたためインストール処理を中止しました。 対処 マニュアルを参照し、サポート OS のバージョンを確認してください。
KAIG04009-E	現在のユーザーに管理者権限がありません。管理者権限を持つユーザーで実行してください。	要因 ユーザーグループの権限が管理者権限ではありません。 対処 管理者権限を持つユーザーで実行してください。
KAIG04017-E	Host Data Collector Base Service サービスの停止に失敗しました。	要因 サービスの停止に失敗しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIG04039-E	既にインストーラまたはアンインストーラが起動しているため、インストールまたはアンインストールを中止します。現在起動しているインストーラまたはアンインストーラを全て終了してから再度実行してください。	要因 インストーラまたはアンインストーラが既に起動しています。 対処 現在起動している Host Data Collector のインストーラ/アンインストーラを全て終了してから再度実行してください。
KAIG04040-E	インストール先として指定するパスが指定されていません。	要因 インストールパスの指定が行われていません。 対処 インストールパスの指定を行ってください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIG04041-E	インストール先として指定するパスは、64 バイト以内で指定してください。	要因 指定されたインストールパスの文字列長が 65 バイト以上だった。 対処 インストールパスは 64 バイト以内で指定してください。
KAIG04042-E	インストール先として指定するパスは、ドライブ直下を指定することはできません。	要因 指定されたインストールパスがドライブ直下です。 対処 インストールパスはドライブ直下以外を指定してください。
KAIG04043-E	(Windows の場合) インストール先として指定したパスに、使用できない文字が含まれています。インストール先のパスは、次の文字で指定してください。 A~Z a~z 0~9 . _ () 半角スペース (UNIX の場合) インストール先として指定したパスに、使用できない文字が含まれています。インストール先のパスは、次の文字で指定してください。 A~Z a~z 0~9 _ /	要因 指定されたインストールパスの文字列に使用できない文字が含まれている。 対処 正しいインストールパスを指定してください。
KAIG04045-E	ポート番号が指定されていません。	要因 ポート番号の指定が行われていません。 対処 ポート番号の指定を行ってください。
KAIG04046-E	ポート番号の指定が間違っています。1 ~65535 の数値で指定してください。	要因 ポート番号の指定が不正です。 対処 正しいポート番号を指定してください。
KAIG04047-E	Host Data Collector のインストール処理で継続できないエラーが発生しました。 インストールを中止します。	要因 インストールに失敗しました。 対処 Host Data Collector を再インストールしてください。 現象が解決されない場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIG04048-E	Host Data Collector のアンインストール処理で継続できないエラーが発生しました。 アンインストールを中止します。	要因 アンインストールに失敗しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIG04049-E	インストール先パスの指定が間違っています。	要因 以下の原因が考えられます。 ・ インストールパスに連続したスペースが含まれています。 ・ インストールパスの区切り文字の前後にスペースが含まれています。 ・ ドライブレターに誤りがあります。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		正しいインストールパスを指定してください。
KAIG04053-E	インストール先として指定するパスは、root ディレクトリを指定することはできません。	要因 指定されたインストールパスは root ディレクトリです。 対処 インストールパスは root ディレクトリ以外を指定してください。
KAIG04054-E	インストール先として指定するパスは、相対パスを指定することはできません。	要因 指定されたインストールパスが相対パスです。 対処 インストールパスは絶対パスを指定してください。
KAIG04058-E	この環境は非グローバルゾーンです。非グローバルゾーンへのインストールはサポートしていません。	要因 グローバル・ゾーン以外でインストールを実行しようとした。 対処 グローバル・ゾーンでインストールを実行してください。
KAIG06002-E	An internal error occurred.	要因 内部処理で予期しないエラーが発生しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIG06004-E	A command that cannot be executed in parallel is currently executing. Wait for the command to end, and then retry the operation.	要因 同時実行不可能なコマンドが実行中です。 対処 現在実行中の同時実行不可コマンドの終了を待ってください。
KAIG06005-E	The <コマンド名> command cannot be executed because the account does not have administrator permissions.	要因 現在のアカウント(ユーザー)に管理者権限がありません。 対処 管理者権限をもつアカウント(ユーザー)でログインし直してください。
KAIG06007-E	A syntax error occurred with an argument. (<入力引数>)	要因 引数の指定方法に誤りがあります。(<入力引数>) 対処 使用方法に従ってください。
KAIG06009-E	The state of the service Host Data Collector Base Service could not be acquired.	要因 内部処理で予期しないエラーが発生しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIG06010-E	The startup type of the service Host Data Collector Base Service is "disabled".	要因 Host Data Collector Base Service サービスのスタートアップの種類が無効となっています。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Host Data Collector Base Service サービスのスタートアップの種類は"自動"を設定してください。
KAIG06011-E	Startup of the service Host Data Collector Base Service failed.	要因 Host Data Collector のサービス起動は失敗しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIG06012-E	Stopping the service Host Data Collector Base Service failed.	要因 Host Data Collector Base Service サービスの停止は失敗しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAIG06015-E	The Host Data Collector environment is invalid. hdcbase.properties does not exist.	要因 hdcbase.properties が存在しません。 対処 Host Data Collector の再インストールを行ってください。
KAIG06016-E	The port number is invalid. Specify a port number in the range from 1 to 65535.	要因 指定したポート番号が範囲外でした。 対処 1 から 65535 の範囲でその後で再度コマンドを実行してください。使用されていないポート番号をプロパティファイルに記載してください。
KAIG06017-E	The port number attempting to be registered is already in use.(<登録対象のポート番号>) Specify a different port number.	要因 対象のポート番号が既に使用済みです。 対処 使用されていないポート番号をプロパティファイルに指定して、再度コマンドを実行してください。 そのあと、Host Data Collector Base Service サービスを再起動してください。
KAIG06018-E	Registration of the firewall exception failed. Manually register the exception.	要因 Windows ファイアウォールの例外登録に失敗しました。 対処 手動で Windows ファイアウォールの例外登録を行ってください。 その際の例外登録名は"Host Data Collector Base"にしてください。 そのあと、Host Data Collector Base サービスを再起動してください。
KAIG06020-E	Acquisition of version information has failed.	要因 バージョン情報の取得に失敗しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIG06021-E	Java cannot be used.	<p>要因 javaconfig.properties の javapathlocation に指定された Java が使用できません。</p> <p>対処 javaconfig.properties の javapathlocation の指定内容を見直した後、再度コマンドを実行してください。</p>
KAIG06024-E	The Host Data Collector Base Service status is invalid.	<p>要因 Host Data Collector Base Service サービスの状態が不正です。</p> <p>対処 controlservice stop コマンドを実行して Host Data Collector Base Service サービスを停止させた後、再度コマンドを実行してください。</p>
KAIG06025-E	The port number format is invalid.	<p>要因 ポート番号の指定形式が不正です。</p> <p>対処 hdcbase.properties ファイルを見直して、Host Data Collector Base Service サービスを起動してください。</p>
KAIG06026-E	The port number used by Host Data Collector is in use by another program.	<p>要因 Host Data Collector が使用するポート番号が重複しています。</p> <p>対処 hdcbase.properties ファイルを見直して、Host Data Collector Base Service サービスを起動してください。</p>
KAIG06027-E	Not enough port numbers were specified to handle the number of Adapter processes to be started.	<p>要因 Adapter プロセスの起動数に対して指定されたポート数が不足しています。</p> <p>対処 hdcbase.properties ファイルの hdc.adapter.adapterProcessNum および hdc.adapter.localport の値を見直して、Host Data Collector Base Service サービスを起動してください。</p>
KAIG06028-E	The value specified for the IP address to be used for communication with the management server is not in the form of an IP address.	<p>要因 管理サーバとの通信で使用する IP アドレスが IP アドレスの形式に沿っていません。</p> <p>対処 hdcbase.properties ファイルの hdc.service.rmi.registryIPAddress の値を見直して、Host Data Collector Base Service サービスを起動してください。</p>
KAIG06029-E	The IP address to be used for communication with the management server is not a usable IP address.	<p>要因 管理サーバとの通信で使用する IP アドレスが通信可能な IP アドレスではありません。</p> <p>対処 hdcbase.properties ファイルの hdc.service.rmi.registryIPAddress の値を見直して、Host Data Collector Base Service サービスを起動してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIG07025-I	Windows Firewall is not installed on the active OS.	要因 実行している OS に Windows ファイアウォールが存在していません。 対処 Windows ファイアウォールが存在しないため、対処は不要です。 別途ファイアウォール製品をインストールしている場合は、手動でファイアウォールの例外登録を行ってください。
KAIG08001-E	No value is specified for the key <キー名>.	要因 キーに対する値が指定されていません。 対処 適切な値を指定してください。
KAIG08002-E	Creation of a keystore failed.	要因 キーストア作成中に予期しないエラーが発生しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAIG08003-E	Creation of a self-signed certificate failed.	要因 自己署名証明書作成中に予期しないエラーが発生しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAIG08004-E	Creation of a CSR failed.	要因 CSR 作成中に予期しないエラーが発生しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAIG08005-E	Specify six or more characters for the value of the key <キー名>.	要因 キーに指定した値が 5 文字以下になっています。 対処 適切な値を指定してください。
KAIG08006-E	Specify all required options.	要因 指定されていない必須オプションがあります。 対処 必須オプションを全て指定してください。
KAIG08007-E	A fatal error occurred.	要因 内部処理で予期しないエラーが発生しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAIG08008-E	Specify a number greater than or equal to 1 for the validity key.	要因 以下の原因が考えられます。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> 指定した値が数値ではない場合。 1未満の値が指定された場合。 対処 適切な値を指定してください。
KAIG08009-E	A keystore already exists.	要因 key オプションに指定した値と同じ名前のキーストアが既に存在します。 対処 別の値を key オプションに指定してください。
KAIG08010-E	For the storepass option and the keypass option, specify the same password.	要因 keypass オプションと storepass オプションに指定したパスワードが異なります。 対処 storepass オプションと keypass オプションには、同じパスワードを指定してください。
KAIG08804-I	The hdc_ssltool command finished successfully.	要因 - 対処 -

KAPM で始まるメッセージ

この章では、Hitachi Command Suite 共通コンポーネントに関するメッセージについて説明します。

- [7.1 KAPM00000～KAPM09999](#)
- [7.2 KAPM10000～KAPM19999](#)
- [7.3 KAPM40000～KAPM49999](#)

7.1 KAPM00000～KAPM09999

Hitachi Command Suite 共通コンポーネントに関するメッセージ (KAPM00000～KAPM09999) を次の表に示します。

表 7-1 KAPM00000～KAPM09999 : Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM00001-E	ID= <i>aa...aa</i> ,LogTraceLibrary error.Trace START failed. <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : ログを使用するプログラムの ID <i>bb...bb</i> : トレースの開始に失敗したとき にログトレースライブラリーが出すエ ラーメッセージ	固有ログトレースの開始に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要で す。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡して ください。
KAPM00002-E	ID= <i>aa...aa</i> ,LogtraceLibrary error.Trace STOP failed. <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : ログを使用するプログラムの ID <i>bb...bb</i> : トレースの開始の失敗時にログ トレースライブラリーの出すエラー メッセージ	固有ログトレースの停止に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要で す。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡して ください。
KAPM00003-W	ID= <i>aa...aa</i> ,Trace output error. <i>aa...aa</i> : ログを使用するプログラムの ID	固有ログトレースの出力に失敗しました。 固有ログファイルが読み込み専用になっていな いか確認してください。
KAPM00004-W	ID= <i>aa...aa</i> ,Integrated trace output error. <i>aa...aa</i> : ログを使用するプログラムの ID	統合ログトレースの出力に失敗しました。 Hitachi Network Objectplaza Trace Monitor 2 のサービスが動いているか確認してください。
KAPM00005-E	File I/O failed.(filename= <i>aa...aa</i>). <i>aa...aa</i> : バージョンファイルの名前	バージョンファイルの作成に失敗しました。 <i>aa...aa</i> で示されるバージョンファイルが書き込 み可能 (パーミッション、権限など) か確認して ください。
KAPM00006-E	ID= <i>aa...aa</i> ,Invalid eventlog source.Eventlog's config not found in the registry(source name="HiCommand Log") <i>aa...aa</i> : ログを使用するプログラムの ID	Eventlog を出力するためのレジストリー情報が 見つかりませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要で す。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡して ください。
KAPM00011-E	ID= <i>aa...aa</i> ,Versionfile name is null. <i>aa...aa</i> : ログを使用するプログラムの ID	バージョンファイル名が指定されませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要で す。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡して ください。
KAPM00012-E	ID= <i>aa...aa</i> ,PP version is null. <i>aa...aa</i> : ログを使用するプログラムの ID	各 PP のバージョンが指定されませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要で す。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡して ください。
KAPM00013-E	ID= <i>aa...aa</i> ,Trace log file name is null. <i>aa...aa</i> : ログを使用するプログラムの ID	固有ログトレースファイルの名前が指定されま せませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要で す。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡して ください。
KAPM00014-E	ID= <i>aa...aa</i> ,Class name is null. <i>aa...aa</i> : ログを使用するプログラムの ID	ログを出力しようとするプログラムのクラス名 が指定されませんでした。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00015-E	ID= <i>aa...aa</i> ,Kind of Event is null. <i>aa...aa</i> : ログを使用するプログラムのID	出力するメッセージイベントの種類を示す値が指定されませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00016-E	ID= <i>aa...aa</i> ,Message-ID is null. <i>aa...aa</i> : ログを使用するプログラムのID	出力しようとしたメッセージのメッセージIDが指定されませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00017-E	<i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : NullPointerException のメッセージ	LogTraceManager の中で NullPointerException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00018-E	<i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : Exception のメッセージ	LogTraceManager で想定外の Exception が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00019-E	ID= <i>aa...aa</i> ,SyslogID size error:idEnt= <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : ログを使用するプログラムのID <i>bb...bb</i> : Eventlog のID	Eventlog に付加するID (<i>bb...bb</i>) の長さが長過ぎます。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00020-E	ID= <i>aa...aa</i> ,Invalid version length:version= <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : ログを使用するプログラムのID <i>bb...bb</i> : バージョンの文字列	バージョン文字列の長さが長過ぎます。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00021-E	ID= <i>aa...aa</i> ,Invalid log file number:logNum= <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : ログを使用するプログラムのID <i>bb...bb</i> : 固有ログトレースのファイルの数	固有ログトレースのファイルの数が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00022-E	ID= <i>aa...aa</i> ,Invalid log file size:logSize= <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : ログを使用するプログラムのID <i>bb...bb</i> : 固有ログトレースのファイルサイズ	固有ログトレースのファイルサイズが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00023-E	ID= <i>aa...aa</i> ,Invalid message type:kind= <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : ログを使用するプログラムのID <i>bb...bb</i> : メッセージの種類	メッセージの種類を示す値が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00024-E	ID= <i>aa...aa</i> ,Invalid output level:level= <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : ログを使用するプログラムのID	コード中のログの出力レベルが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>bb...bb</i> : 出力レベル	
KAPM00025-E	The value of the encoding setting <i>bb...bb</i> of the unique log output of <i>aa...aa</i> is invalid. <i>aa...aa</i> : ログ出力を要求したプログラム名 <i>bb...bb</i> : エンコーディング	<i>aa...aa</i> の固有ログ出力のエンコーディング指定値 <i>bb...bb</i> は不正な値です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00090-I	The SSO server started successfully.	SSO サーバの起動に成功しました。
KAPM00091-E	An attempt to start the SSO server has failed.	SSO サーバの起動に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00092-I	The SSO server was stopped successfully.	SSO サーバの停止に成功しました。
KAPM00101-E	An authentication error occurred.	認証障害が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00102-E	An error occurred during DBMS access processing.	DBMS へのアクセス中に障害が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00103-E	The DBMS is not running.	DBMS が起動していません。 DBMS が起動しているか確認してください。
KAPM00104-E	The product name is not specified.	製品名が指定されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00105-E	An unexpected value was returned from the integrated authentication server. (<i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 予期しない戻り値	統合認証サーバから予期しない値が返りました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00106-E	An attempt to update the authentication data has failed.	認証データの更新に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00107-E	An attempt to delete the authentication data has failed.	認証データの削除に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00108-E	An attempt to print the authentication data has failed.	認証データの表示に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00110-E	The HSSOContext value is invalid.	HSSO コンテキストの値が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00111-I	The authentication data was successfully updated.	認証データの更新に成功しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM00112-I	The authentication data was successfully deleted. (aa...aa) aa...aa : 製品名	認証データの削除に成功しました。
KAPM00113-I	The authentication data is already deleted. (aa...aa) aa...aa : 製品名	認証データはすでに削除されています。
KAPM00114-I	The authentication data was successfully displayed.	認証データの表示に成功しました。
KAPM00115-E	An attempt to communicate with the SSO server has failed.	SSO サーバとの通信に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM00116-E	An attempt to update authentication data has failed.	認証データの更新に失敗した場合に表示します。 Single Sign On server を再起動してください。
KAPM00117-E	The RD area of HBase is blocked.	Hitachi Command Suite 共通コンポーネントの RD エリアが閉塞しています。 HiRDB が閉塞した原因を取り除いてから再実行してください。
KAPM00119-E	Deletion of the license event data has failed.	ライセンスイベントデータの削除に失敗しました。 DBMS が起動していることを確認してから再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM00130-E	There is no value in the request.	リクエストに値がありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM00131-E	A required token is not specified.	トークンが設定されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM00132-E	The event name is invalid.	イベント名が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM00133-E	The DBMS is not running.	DBMS が起動していません。 DBMS が起動しているか確認してください。
KAPM00134-E	An error occurred during a DBMS access.	DBMS へのアクセス中に障害が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM00137-E	An authentication error occurred.	認証障害が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM00138-E	Authentication data for delete processing is invalid.	削除時の認証データが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM00139-I	Deletion of authentication data for all products will now start.	すべての製品の認証データを削除します。
KAPM00140-I	Deletion of authentication data will now start. Application name: <i>aa...aa</i> Service name: <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : アプリケーション名 <i>bb...bb</i> : サービス名	認証データを削除します。
KAPM00141-E	An attempt to lock the table has failed.	テーブルロックに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00145-E	The RD area of HBase is blocked.	Hitachi Command Suite 共通コンポーネントの RD エリアが閉塞しています。 HiRDB が閉塞した原因を取り除いてから再実行してください。
KAPM00162-E	There is an error in the protocol. (element = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 要素	プロトコルに誤りがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00163-E	There is an error in the protocol. (element = <i>aa...aa</i> , attribute = <i>bb...bb</i> , value = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : 要素 <i>bb...bb</i> : 属性 <i>cc...cc</i> : 値	プロトコルに誤りがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00192-E	An exception was detected.	例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00199-E	<i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 例外オブジェクト名と発生した原因, または例外オブジェクトのバックトレース	KAPMxxxxx-E の詳細情報です。発生した例外オブジェクトとそのバックトレースを表します。直前のメッセージ KAPMxxxxx-E を参照してください。
KAPM00203-E	The DBMS is not running.	DBMS が起動していません。 DBMS が起動しているか確認してください。
KAPM00204-E	The RD area of HBase is blocked.	Hitachi Command Suite 共通コンポーネントの RD エリアが閉塞しています。 HiRDB が閉塞した原因を取り除いてから再実行してください。
KAPM00205-E	An error occurred during access to the DBMS.	DBMS へのアクセス中に障害が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00206-E	The specified event data has already been registered. (application type = <i>aa...aa</i> , event type = <i>bb...bb</i> , event code = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : アプリケーション種別 <i>bb...bb</i> : イベント種別 <i>cc...cc</i> : イベントコード	すでにイベントデータが登録されています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00207-E	Event data cannot be updated because no event data exists.	イベントデータがないので更新できません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	(application type = <i>aa...aa</i> , event type = <i>bb...bb</i> , event code = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : アプリケーション種別 <i>bb...bb</i> : イベント種別 <i>cc...cc</i> : イベントコード	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00208-E	Communication with the SSO server has failed.	SSO サーバとの通信に失敗しました。 HBase Storage Mgmt Common Service もしくは HBase Storage Mgmt Web Service, またはデータベースが起動していることを確認してください。
KAPM00209-E	Authentication has failed.	認証に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00210-E	A program type specified for TNB_SoftwareFeature is not registered. (application type = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : アプリケーション種別	TNB_SoftwareFeature に指定されたプログラム種別が登録されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00211-E	Associated data does not exist. (application type = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : アプリケーション種別	関連データがありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00212-E	An event management object cannot be deleted because the specified parameter is invalid. (application type = <i>aa...aa</i> , event type = <i>bb...bb</i> , event code = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : アプリケーション種別 <i>bb...bb</i> : イベント種別 <i>cc...cc</i> : イベントコード	指定されたパラメーターが不正なので、イベント管理オブジェクトを削除できません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00213-E	The value registered in the database is invalid. (application type = <i>aa...aa</i> , event type = <i>bb...bb</i> , event code = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : アプリケーション種別 <i>bb...bb</i> : イベント種別 <i>cc...cc</i> : イベントコード	データベースに登録されている値が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00214-E	The same information is already registered in the database. (application type = <i>aa...aa</i> , event type = <i>bb...bb</i> , event code = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : アプリケーション種別 <i>bb...bb</i> : イベント種別 <i>cc...cc</i> : イベントコード	データベースに同じ情報が登録されています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00215-E	An attribute value is invalid. (attribute = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 属性	属性の値が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00216-W	The attribute length exceeds the maximum limit. (attribute = <i>aa...aa</i> , value = <i>bb...bb</i> , maximum limit = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : 属性	属性の長さが制限値を超えています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>bb...bb</i> : 値 <i>cc...cc</i> : 制限値	
KAPM00217-E	An invalid parameter is specified.	パラメーターが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00218-W	The relation between the license warning window and the version window is not registered. (application type = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : アプリケーション種別	ライセンス警告画面とバージョン画面の関連が登録されていません。 ライセンス警告画面とバージョン画面の関係を 見直してください。
KAPM00252-E	The license information file does not exist. (license information file = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ライセンス情報ファイル	ライセンス情報ファイルがありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00253-E	The license information file might be corrupted. (license information file = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ライセンス情報ファイル	ライセンス情報ファイルが壊れているおそれがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00254-E	An attempt to read the license information file has failed. (license information file = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ライセンス情報ファイル	ライセンス情報ファイルの読み込みに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00255-E	The license information file cannot be accessed. (license information file = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ライセンス情報ファイル	ライセンス情報ファイルにアクセスできません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00256-E	The license information file contains invalid information. (line number = <i>aa...aa</i> , value = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 行番号 <i>bb...bb</i> : 値	ライセンス情報ファイルの内容に誤りがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00257-E	The format ID of the license information in the license information file is invalid. (format ID = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : フォーマット ID	ライセンス情報ファイルに記述されたライセンス情報のフォーマット ID に誤りがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00258-E	The length of the license information in the license information file is invalid. (format ID = <i>aa...aa</i> , number of characters = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : フォーマット ID <i>bb...bb</i> : 文字数	ライセンス情報ファイルに記述されたライセンス情報の文字数に誤りがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00259-E	Valid license information does not exist.	有効なライセンス情報がありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00260-E	The PPID in the license information file contains non-hexadecimal characters. (PPID = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : PPID	ライセンス情報ファイルに記述された PPID に、16 進数以外の文字が含まれています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00261-E	The device number in the license information file contains non-alphanumeric characters. (device number = aa...aa) aa...aa : DKC 製番	ライセンス情報ファイルに記述された DKC 製番に、英数字以外の文字が含まれています。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00262-E	The license type in the license information file is invalid. (license type = aa...aa) aa...aa : ライセンスキー種別	ライセンス情報ファイルに記述されたライセンスキー種別に誤りがあります。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00263-E	The license capacity in the license information file contains non-alphanumeric characters. (license capacity = aa...aa) aa...aa : ライセンス容量	ライセンス情報ファイルに記述されたライセンス容量に、英数字以外の文字が含まれています。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00264-E	The expiration date in the license information file contains non-numerical characters. (expiration date = aa...aa) aa...aa : 満了日付	ライセンス情報ファイルに記述されたライセンス満了日付に、数字以外の文字が含まれています。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00265-E	The serial number in the license information file contains non-alphanumeric characters. (serial number = aa...aa) aa...aa : シリアル番号	ライセンス情報ファイルに記述されたシリアル番号に、英数字以外の文字が含まれています。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00266-E	The subscription license capacity in the license information file contains non-alphanumeric characters. (capacity of subscription license = aa...aa) aa...aa : Subscription ライセンスの容量	ライセンス情報ファイルに記述された Subscription ライセンスの容量に、英数字以外の文字が含まれています。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00267-E	The device type in the license information file contains non-alphanumeric characters. (device type = aa...aa) aa...aa : 装置種別	ライセンス情報ファイルに記述された装置種別に、英数字以外の文字が含まれています。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00269-E	The specified argument is invalid.	指定した引数が正しくありません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00270-E	The used capacity of the specified storage system is invalid. (used capacity = aa...aa) aa...aa : 使用容量	指定したストレージシステムの使用容量が正しくありません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00271-E	The license is in emergency status.	ライセンス状態が非常です。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM00272-E	The meter-based term license capacity cannot be reduced because a meter-based term license cannot be applied to the target storage system.	Meter-based Term ライセンスを適用できるストレージシステムではないため、Meter-based Term ライセンス容量を減算できません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00273-E	The capacity after reduction falls below the minimum of -99,999,999 TB.	減算後の容量が最小値の-99,999,999TBを下回っています。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00274-E	The specified license information is invalid. (attribute = aa...aa) aa...aa : 属性	指定したライセンス情報が正しくありません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00275-W	The current storage system's used capacity is within the range of the usable capacity under a permanent license. (usable capacity under permanent license = aa...aa, usable capacity under meter-based term license = bb...bb) aa...aa : 永久ライセンスで使用できる容量 bb...bb : Meter-based Term ライセンスで使用できる容量	現在のストレージシステムの使用容量は、永久ライセンスで使用できる容量の範囲内です。
KAPM00276-E	The usable capacity under the meter-based term license is less than 0. (usable capacity under meter-based term license = aa...aa) aa...aa : Meter-based Term ライセンスで使用できる容量	Meter-based Term ライセンスで使用できる容量が0を下回っています。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00277-W	An attempt to write to the license history has failed.	ライセンス履歴の書き込みに失敗しました。
KAPM00278-W	An attempt to modify the file attribute failed. (file name = aa...aa) aa...aa : ファイル名	ファイルの属性変更に失敗しました。
KAPM00279-E	Exclusive control has failed.	排他制御に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00280-E	A time out occurred during exclusive control.	排他制御でタイムアウトが発生しました。再度実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00281-E	The meter-based term licensed capacity cannot be reduced because aa...aa day(s) passed since the usable license capacity became negative. aa...aa : ライセンスの容量がマイナスになった日からの日数	Meter-based Term ライセンスで使用できる容量がマイナスになってから aa...aa 日経過しているため、ライセンスの容量を減算できません。Meter-based Term ライセンスの内容を確認して、必要に応じてライセンスキーを追加してください。
KAPM00282-W	The license information file does not exist. (application type = aa...aa)	メッセージに出力されたアプリケーションに対して、ライセンス情報ファイルがありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : アプリケーション種別	ライセンスが入力されていない場合、通常時でもメッセージが出力されることがあります。
KAPM00283-E	The license information file might be corrupted. (application type = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : アプリケーション種別	ライセンス情報ファイルが壊れているおそれがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00284-E	An attempt to read the license information file failed. (application type = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : アプリケーション種別	ライセンス情報ファイルの読み込みに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00285-E	The license information file cannot be accessed. (application type = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : アプリケーション種別	ライセンス情報ファイルにアクセスできません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00286-E	The number of servers after the subtraction operation fell below the minimum value -99,999,999.	減算後のサーバ台数が最小値の-99,999,999 台を下回っています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00287-E	Information related to the exclusion control failure will be output. (function name = <i>aa...aa</i> , detailed error code = <i>bb...bb</i> , processing time = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : 関数名 <i>bb...bb</i> : 詳細なエラーコード <i>cc...cc</i> : 処理時間	排他制御の失敗に関する情報を出力します。 直前のメッセージに従って対処してください。
KAPM00288-E	An attempt to release the lock failed.	排他の解除に失敗しました 再度実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00900-I	The SSO server started successfully.	SSO サーバの起動に成功しました。
KAPM00901-E	An attempt to start the SSO server has failed.	SSO サーバの起動に失敗しました。
KAPM00902-I	The SSO server was stopped successfully.	SSO サーバの停止に成功しました。
KAPM01001-I	Initializing HssoServer configuration.	サブプレットの初期化を開始します。
KAPM01002-E	The system property indicated by hcmds.home could not be found.	システムプロパティから hcmds.home が見つかりません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01003-E	HssoServerRes1_0.dtd was not found. path= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : HssoServerRes1_0.dtd が置いてあるフォルダのパス	レスポンスに使用する DTD ファイルが指定されたパスに存在しません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01004-E	Can't read DTD files.	DTD ファイルの読み込みに失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01005-W	Failed to close FileStream.	FileStream のクローズに失敗しました。
KAPM01008-I	HTTP:POST from aa...aa aa...aa : IP アドレス	リクエストしてきたクライアントの IP アドレスです。
KAPM01010-E	Can't get InputStream from Request.	リクエストから InputStream の取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01013-E	Unsupported command was requested.	リクエストされたコマンド名が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01017-E	Unsupported method was requested.	リクエストされたメソッド名が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01019-E	Unsupported method was requested.	リクエストされたメソッド名が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01024-I	Request Information: Version = aa...aa, Command = bb...bb, ID = cc...cc aa...aa : HSSO のプロトコルバージョン bb...bb : HSSO のコマンド名 cc...cc : ユーザー ID またはセッション ID	リクエストの情報を表示します。
KAPM01025-E	A fatal error occurred.	致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01026-E	An attempt to initialize the HSSO Server configuration has failed.	HSSO サーバの初期化に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01028-E	The file "aa...aa" could not be read. Path = bb...bb aa...aa : ファイル名 bb...bb : ファイルの絶対パス	"aa...aa" ファイルを読むことができませんでした。 aa...aa で指定されるファイルが bb...bb で指定されるパスに存在するか、または、読み込むことができるか確認してください。
KAPM01034-E	Can't get the required information from request. Request is invalid.	リクエストのフォーマットが不正です (解析には成功している状態)。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01036-E	Request XML can't parse to DOM. - aa...aa aa...aa : Exception のメッセージ	リクエストのフォーマットが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM01040-E	XML version <i>aa...aa</i> for HssoClient is not supported. <i>aa...aa</i> : リクエストのバージョン	指定されたバージョンのリクエストをサポートしていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01042-E	An attempt to parse the request has failed.	リクエストの解析に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01046-E	The format of the request was invalid. Cause = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 原因となった場所	リクエストのフォーマットが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01051-E	The creation of HSSOContext for authentication has failed. <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : Exception のメッセージ	HSSO コンテキストの作成に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01052-I	<i>aa...aa</i> accessed. <i>aa...aa</i> : ユーザー ID	アクセスしてきたユーザーの ID です。
KAPM01053-E	Authentication Failed.	クライアントの認証に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01055-E	The system property specified in hcmds.home cannot be found.	hcmds.home で指定したシステムプロパティが見つかりません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01056-E	HDVM.user not found at hcmds.home.	HDVM.user の値が設定されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01057-E	HDVM.password not found at hcmds.home.	HDVM.password の値が設定されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01059-E	The specified HSSO session is invalid, or does not exist. Session ID = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : リクエストで指定されたセッション ID	指定された HSSO セッションは無効または存在しません。 再ログインしてください。
KAPM01061-E	An invalid value is set in the configuration file. Parameter = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : パラメーター名	設定ファイルに無効な値が設定されています。 次に示すファイルの <i>aa...aa</i> で指定されるパラメーターが正常な値であることを確認してください。 Windows 版: < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ > \¥conf ¥user.conf Solaris SPARC 版: /opt/HiCommand/Base/conf/user.conf Solaris10(x64)版または Linux 版: < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ > /Base/conf/user.conf

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM01062-E	A parameter is not set in the configuration file. Parameter = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : パラメーター名	設定ファイルにパラメーターが設定されていません。 次に示すファイルに <i>aa...aa</i> で指定されるパラメーターが設定されていることを確認してください。 Windows 版 : < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ > \¥conf¥user.conf Solaris SPARC 版 : /opt/HiCommand/Base/conf/user.conf Solaris10(x64)版または Linux 版 : < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ > /Base/conf/user.conf
KAPM01063-I	HSSO configuration: Virtual Host Name = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : バーチャルホスト名	設定されているバーチャルホスト名を表示します。
KAPM01065-E	Can't create DOM tree. - <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : Exception のメッセージ	クライアントのリクエストを DOM ツリーに解析できませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM01066-E	A CIM Repository exception occurred.	CIM リポジトリで例外が発生しました。 HiCommand V3.x シリーズの場合は、InterBase または InterClient が起動しているかどうか確認してください。 HiCommand V4.x シリーズ以降の場合は、HiRDB が起動しているかどうか確認してください。 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM01067-E	The status of the response from Device Manager was FAILED.	Device Manager から返されたレスポンスのステータスが FAILED です。原因は後続のメッセージ KAPM01068-E を参照してください。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM01068-E	<i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : Device Manager のレスポンスに含まれるエラー情報	<i>aa...aa</i> : Device Manager のレスポンスに含まれるエラー情報 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM01069-E	The protocol version <i>aa...aa</i> for HSSO Client is not supported. <i>aa...aa</i> : プロトコルバージョン	HSSO クライアントで使用されているプロトコルバージョン <i>aa...aa</i> はサポート対象外です。 セカンダリーサーバが要求した HSSO の操作にエラーが発生しているおそれがあります。セカンダリーサーバが出力するログを参照し、HSSO のエラーが発生していないか確認してください。 エラーが発生している場合、プライマリーサーバにインストールされている Suite 製品をアップグレードしてください。
KAPM01073-E	The format of the response from Device Manager was invalid.	Device Manager から返されたレスポンスのフォーマットが不正です。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01081-E	Authentication has failed. User ID = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 認証したユーザーのユーザーID	認証に失敗しました。 正しいユーザーIDとパスワードでログインしてください。
KAPM01084-I	The HSSO session has started. Session ID = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : セッションID	HSSOセッションを開始します。
KAPM01088-E	An attempt to load the class failed. Class = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : クラス名	クラスのロードに失敗しました。 <i>aa...aa</i> で指定されるクラスが、次に示すファイルの HSSO.classpath で指定されたクラスパスにあることを確認してください。 Windows 版: < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ > \¥conf \¥user.conf Solaris SPARC 版: /opt/HiCommand/Base/conf/user.conf Solaris10(x64)版または Linux 版: < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ > /Base/conf/user.conf
KAPM01089-E	An attempt to create the instance of the class for authentication failed. Class = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : クラス名	認証クラスのインスタンス取得に失敗しました。 次に示すファイルの HSSO.authentication.module の値が com.hitachi.truenorth.HiCommand.Base.Hsso.HSSOAuthenticationModule の実装クラスであることを確認してください。 Windows 版: < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ > \¥conf \¥user.conf Solaris SPARC 版: /opt/HiCommand/Base/conf/user.conf Solaris10(x64)版または Linux 版: < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ > /Base/conf/user.conf
KAPM01090-E	An attempt to create the instance of the class for authorization failed. Class = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : クラス名	承認クラスのインスタンス取得に失敗しました。 次に示すファイルの HSSO.authorization.module の値が com.hitachi.truenorth.HiCommand.Base.Hsso.HSSOAuthorizationModule の実装クラスであることを確認してください。 Windows 版: < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ > \¥conf \¥user.conf Solaris SPARC 版: /opt/HiCommand/Base/conf/user.conf Solaris10(x64)版または Linux 版: < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ > /Base/conf/user.conf
KAPM01091-E	An attempt to initialize the authentication class failed. Class = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 認証クラス	認証クラスの初期化に失敗しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM01092-E	An attempt to initialize the authorization class failed. Class = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 承認クラス	承認クラスの初期化に失敗しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM01093-I	HSSO configuration: Authentication class = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 認証クラス	HSSO が使用する認証クラスを表示します。
KAPM01094-I	HSSO configuration: Authorization class = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 承認クラス	HSSO が使用する承認クラスを表示します。
KAPM01095-E	The authenticated user does not have permission. User ID = <i>aa...aa</i> , Application = <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : ユーザー ID <i>bb...bb</i> : アプリケーション名	認証されたユーザーは指定されたアプリケーションの権限を持ちません。 権限を持つユーザーでログインしてください。
KAPM01096-E	An attempt to authenticate the internal user has failed.	内部ユーザーの認証に失敗しました。 次に示すファイルの HDVM.user に指定されているユーザー名と HDVM.password に指定されているパスワードを持つアカウントが Device Manager に登録されていることを確認してください。 Windows 版: <Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ>\%conf\%user.conf Solaris 版または Linux 版: /opt/HiCommand/Base/conf/user.conf
KAPM01097-E	An exception occurred during internal authentication module processing.	内部認証の処理中に障害が発生しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM01098-E	An exception occurred during authentication module processing.	認証処理中に障害が発生しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM01099-E	An exception occurred during authorization module processing.	承認処理中に障害が発生しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM01103-I	HSSO configuration: Device Manager Server URL = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : Device Manager サーバの URL	HSSO が使用する Device Manager サーバの URL を表示します。
KAPM01104-I	HSSO configuration: Device Manager Server Connection Timeout = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : タイムアウト時間	HSSO が使用する Device Manager サーバとの通信タイムアウト時間を表示します。
KAPM01105-E	The JP1 token is invalid.	JP1 トークンは無効です。 再ログインしてください。
KAPM01106-E	An attempt to communicate with JP1/Base has failed.	JP1/Base との通信に失敗しました。 JP1/Base が起動していることを確認してください。
KAPM01107-E	An error occurred due to a virtual host name. Function Code = <i>aa...aa</i> , Result Code = <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : 関数コード <i>bb...bb</i> : 関数の返り値	バーチャルホスト名が原因でエラーが発生しました。 次に示すファイルの hbase.virtualhost の値を確認してください。 Windows 版: <Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ>\%conf\%user.conf

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Solaris 版または Linux 版 : /opt/HiCommand/ Base/conf/user.conf
KAPM01108-E	An attempt to load the library associated with JP1/Base has failed.	JP1/Base に関連するライブラリーのロードに失 敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要で す。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡して ください。
KAPM01109-E	An exception occurred during JP1 token authentication processing. Function Code = <i>aa...aa</i> , Result Code = <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : 関数コード <i>bb...bb</i> : 関数の返り値	JP1 トークンの認証処理中に障害が発生しまし た。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要で す。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡して ください。
KAPM01114-E	An attempt to acquire the link and launch information failed.	リンク&ラUNCH情報の取得に失敗しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM01115-E	Exception in DeviceManager. DeviceManager returns FAILED. - <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : Device Manager から取得した エラーメッセージ	Device Manager のレスポンス Status が FAILED です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要で す。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡して ください。
KAPM01116-E	No user was returned from DeviceManager.	GetUser のレスポンスにユーザー情報が含まれ ていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要で す。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡して ください。
KAPM01119-E	No user information is set in the HSSO session.	HSSO セッションにユーザー情報が設定されて いません。 再ログインしてください。
KAPM01123-I	HSSO configuration: HSSO Session Timeout = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : タイムアウト時間	HSSO セッションのタイムアウト時間を表示し ます。単位は秒です。
KAPM01124-I	The login process has completed properly.	ログインが正常に終了したことを示す監査ログ です。
KAPM01125-E	The login process has failed.	ログインに失敗したことを示す監査ログです。
KAPM01152-E	Can't get the application name from request. Request is invalid.	リクエストにアプリケーション名が指定されて いません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要で す。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡して ください。
KAPM01154-W	<i>aa...aa</i> is not registered. <i>aa...aa</i> : アプリケーション名	applicationName で指定されるアプリケーショ ンがリポジトリに登録されていません。
KAPM01156-E	Exception in Repository. - <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : リポジトリアクセスの障害内 容	リポジトリへのアクセス中にエラーが発生し ました。 hcndsRepository[n].log の KAPM02xxx-E のメッセージを参照してください (n は最も新し いファイルの番号です)。
KAPM01167-I	The database has stopped.	データベースが停止しました。
KAPM01168-E	The RD area of HBase is blocked.	Hitachi Command Suite 共通コンポーネントの RD エリアが閉塞しています。 HiRDB が閉塞した原因を取り除いてから再実行 してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM01169-E	Authentication of the JP1 token failed.	JP1 トークンの認証に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM01170-I	The JP1 token will now be authenticated.	JP1 トークンで認証を行います。
KAPM01171-I	The JP1 token was successfully authenticated.	JP1 トークンの認証に成功しました。
KAPM01172-E	An error occurred while linking to the external authentication server.	外部認証サーバ連携でエラーが発生しました。 次の対処をしてください。 LDAP の場合： <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. <code>hcmsldapuser</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. StartTLS で通信するときは、SSL の設定を確認してください。 4. OCSP が有効な場合、証明書が有効であるか確認してください。 5. 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。 RADIUS の場合： <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているホスト、ポート、およびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. <code>hcmsradiussecret</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。 Kerberos の場合： <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているレム名と KDC が正しいか確認してください。 2. ネットワークが正しく接続されているか確認してください。 3. 外部認証サーバが Kerberos V5 プロトコルに対応（準拠）しているか確認してください。 4. 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。 JP1/Base の場合：

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ol style="list-style-type: none"> プライマリーサーバと同一ホスト上の JP1/Base が、正しく運用できることを確認してください。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM01178-E	An attempt to load init.conf failed.	init.conf の読み込みに失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM01179-E	The list of library files could not be retrieved properly.	ライブラリファイルの一覧を正しく取得できませんでした。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM01205-E	No instance of Service associated with ServiceAccessPoint.	ServiceAccessPoint に関連した Service が取得できません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM01206-E	No instance of SoftwareFeature associated with Service.	Service に関連した SoftwareFeature が取得できません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM01208-E	Exception in Repository. - aa...aa aa...aa : リポジトリアクセスの障害内容	<p>リポジトリへのアクセス中にエラーが発生しました。</p> <p>hcmtsRepository[n].log の KAPM02xxx-E のメッセージを参照してください (n は最も新しいファイルの番号です)。</p>
KAPM01209-W	ServiceAccessPoint is not registered.	ラウンチ情報が 1 件もリポジトリに登録されていません。
KAPM01220-E	Communication with the external authentication server has failed.	<p>外部認証サーバとの通信に失敗しました。次の対処をしてください。</p> <p>LDAP の場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> exauth.properties に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 hcmtsldapuser コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 StartTLS で通信するときは、SSL の設定を確認してください。 OCSP が有効な場合、証明書が有効であるか確認してください。 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。 <p>RADIUS の場合：</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. <code>hcmdsradiussecret</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 <p>Kerberos の場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているレム名と KDC が正しいか確認してください。 2. ネットワークが正しく接続されているか確認してください。 3. 外部認証サーバが Kerberos V5 プロトコルに対応（準拠）しているか確認してください。 4. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01255-E	Exception in DeviceManager. DeviceManager returns FAILED. - <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : Device Manager から取得したエラーメッセージ	Device Manager のレスポンス Status が FAILED です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01302-E	Can't get the host name or port number of DeviceManager from configuration.	Device Manager のホスト名またはポート番号がコンフィグファイルから取得できません。 HDVM.host および HDVM.port の値が <code>init.conf</code> に設定されていることを確認してください。
KAPM01308-E	An attempt to communicate with Device Manager failed. URL = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : Device Manager サーバの URL	Device Manager との通信に失敗しました。 Device Manager が起動しているか確認してください。または、次に示すファイルの HDVM.protocol, HDVM.host, および HDVM.port の値が適切であることを確認してください。 Windows 版 : <Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ>\¥conf ¥user.conf Solaris 版または Linux 版 : /opt/HiCommand/Base/conf/user.conf
KAPM01309-E	The Device Manager Server XML API version <i>aa...aa</i> is not supported. <i>aa...aa</i> : バージョン	Device Manager サーバ XML API のバージョン <i>aa...aa</i> はサポートしていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01312-E	DeviceManager Server version <i>aa...aa</i> is not supported.	アクセス先の Device Manager のバージョンはサポートしていません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : Device Manager のバージョン	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01314-E	The connection to Device Manager timed out.	Device Manager とのコネクションがタイムアウトしました。 Device Manager が起動していることを確認してください。
KAPM01331-I	Connecting to DeviceManager Server specified by <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : Device Manager の URL	<i>aa...aa</i> で指定される Device Manager に接続を開始します。
KAPM01336-E	URL <i>aa...aa</i> is invalid to DeviceManager Server. <i>aa...aa</i> : Device Manager の URL	Device Manager の URL の形式が不正です。 init.conf の HDVM.host または HDVM.port が正しく設定されているか確認してください。
KAPM01337-E	Authentication Failed in DeviceManager.	Device Manager で認証エラーが発生しました。 指定したユーザーが Device Manager に登録されているか確認してください。
KAPM01338-E	I/O Error regarding connection to DeviceManager.	Device Manager への通信時に障害が発生しました。 Device Manager が起動していることを確認してください。
KAPM01353-E	Can not map <i>aa...aa</i> . <i>aa...aa</i> : ユーザー権限	ユーザー権限のマッピングができません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01401-I	Creating CIMClient.	CIMClient の作成を開始します。
KAPM01402-E	Can't create CIMClient. - <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : Exception のメッセージ	CIMClient の作成に失敗しました。 hcndsRepository[n].log の KAPM02xxx-E のメッセージを参照してください (n は最も新しいファイルの番号です)。
KAPM02001-E	Can not be found database.	データベースが見つかりません。 次に示すファイルの DATABASE.path の値を確認してください。 Windows 版 : < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ > ¥conf ¥user.conf Solaris 版または Linux 版 : /opt/HiCommand/Base/conf/user.conf
KAPM02001-W	Some of connection updated the same instance together. So didn't update the instance.	ほかのコネクションが同時に同じインスタンスを更新したため、更新できませんでした。 更新対象が更新されているかを確認してください。更新されていない場合は、再度実行してください。
KAPM02002-E	Your user name and password are not defined.	データベースにアクセスするユーザー名、またはパスワードが不正です。 次に示すファイルの DATABASE.user または DATABASE.password の値を確認してください。 Windows 版 : < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ > ¥conf ¥user.conf Solaris 版または Linux 版 : /opt/HiCommand/Base/conf/user.conf

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM02003-E	An unknown host exception occurred while trying to open a socket connection to server.	アクセスするデータベースのホスト名が不正です。 次に示すファイルの DATABASE.hostname の値を確認してください。 Windows 版: <Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ>\¥conf\¥user.conf Solaris 版または Linux 版: /opt/HiCommand/Base/conf/user.conf
KAPM02004-E	No suitable driver.	データベースにアクセスするドライバ名が不正です。 次に示すファイルの DATABASE.type の値を確認してください。 Windows 版: <Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ>\¥conf\¥user.conf Solaris 版または Linux 版: /opt/HiCommand/Base/conf/user.conf
KAPM02005-E	A socket exception occurred while trying to establish a socket connection to server.	InterClient との通信でエラーが発生しました。InterClient が起動しているかを確認してください。
KAPM02006-E	InterServer is unable to locate the InterBase application or service.	InterBase と通信ができませんでした。InterBase のサービスが起動しているかを確認してください。
KAPM02007-E	aa...aa aa...aa : Exception のメッセージ	SQLException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02008-E	aa...aa aa...aa : Exception のメッセージ	その他の例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02009-E	Failed to unlock a table when inserting a record or records.	insert 時のコネクションの設定である Table-unlock 処理に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02010-E	Update data doesn't exist.	データが見つかりません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02011-E	Delete data doesn't exist.	データが見つかりません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02012-E	Search data doesn't exist.	データが見つかりません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02013-E	Exception happened when some CIM class was used.	CIM にセットされた値の読み出し、または使用する際にエラーが発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02014-E	An attempt to load the definition for a class has failed. Class name = <i>aa...aa aa...aa</i> : 対象となったクラス名	リポジトリからクラス情報を取得できません。あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02015-E	A class definition could not be found. Class name = <i>aa...aa aa...aa</i> : 対象となったクラス名	データベースのクラス情報定義テーブルからクラス情報を取得できません。 Single Sign On Service を再起動してください。
KAPM02016-E	A RepositoryException occurred.	データベースの接続で例外が発生しました。あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02017-E	The parameter is null.	パラメーターが null です。 本メッセージは、補足情報です。同一時間帯に出力されている他のメッセージを確認し、そのメッセージの対処にしてください。
KAPM02018-E	The parameter is invalid.	パラメーターが不正です。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02019-E	The CIMElement already exists.	CIMElement が重複しています。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02020-E	Duplicate data exists.	データが重複しています。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02021-E	The CIMElement could not be found.	CIMElement が存在しません。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02023-E	The CIMObjectPath is incorrect. A key is required.	CIMObjectPath が不正です。KEY プロパティが設定されていません。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02025-E	The CIMObjectPath contains an invalid property.	CIMObjectPath が不正なプロパティを含んでいます。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02027-E	The key property could not be changed.	KEY プロパティを変更しようとした。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02029-E	The initialize parameter is invalid.	init.conf のパラメーターが不正です。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02030-E	An unsupported data type was used.	未サポートのデータタイプが使用されました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02031-E	The CIMClass is invalid. A KEY property is required.	CIMClass が不正です。KEY プロパティが設定されていません。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02032-E	The CIMClass could not be deleted, because it contains instances.	CIMClass がインスタンスを持っているため、削除できません。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02033-E	The CIMClass could not be deleted, because it contains subclasses.	CIMClass がサブクラスを持っているため、削除できません。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02034-E	A ClassNotFoundException occurred.	Java の Class が見つかりません。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02035-E	A CIMInConnectionPoolException occurred.	データベースの接続の取得に失敗しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02036-E	A connection to the database could not be established.	コネクションプールからデータベースの接続の取得に失敗しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM02038-W	A DeadLockException occurred. Description = aa...aa aa...aa : 対象となったクラス名	データベースでデッドロックが発生しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02039-W	A CIMInDeadLockException occurred.	リポジトリでデッドロックが発生しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02040-E	The CIMInstance is invalid.	CIMInstance が不正です。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02041-E	The CIMObjectPath is invalid.	CIMObjectPath が不正です。 本メッセージは、補足情報です。同一時間帯に出力されている他のメッセージを確認し、そのメッセージの対処にしてください。
KAPM02042-E	The name of property is invalid.	プロパティ名が不正です。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02044-E	A DBNotFoundException occurred.	データベースが見つかりません。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02045-E	The CIMClass is invalid.	CIMClass が不正です。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02046-E	The CIMProperty is invalid. The KEY property must be set.	CIMProperty が不正です。KEY プロパティが設定されていません。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02047-E	The type of class is invalid.	Vector に設定されている値が不正です。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02048-E	Failed to get membership groups.	メンバーグループの取得に失敗しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02049-E	Not authorized object. ObjectName = aa...aa aa...aa : オブジェクト名	許可されないオブジェクトです。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02050-E	Host name is invalid.	ホスト名が間違っています。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02051-E	Cannot connect to InterClient.	InterClient へ接続できません。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02052-E	Cannot connect to InterBase.	InterBase へ接続できません。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02053-E	SQLException occurred. Description = aa...aa aa...aa : 例外の詳細メッセージ	SQLException が発生しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02054-E	Exception occurred. Description = aa...aa aa...aa : 例外の詳細メッセージ	Exception が発生しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02055-E	CIMException occurred. Description = aa...aa aa...aa : 例外の詳細メッセージ	CIMException が発生しました。 本メッセージは、補足情報です。同一時間帯に出力されている他のメッセージを確認し、そのメッセージの対処にしてください。
KAPM02056-E	A CIMClassNotFoundException occurred.	CIMClassNotFoundException が発生しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02057-E	IOException occurred. Description = aa...aa aa...aa : 例外の詳細メッセージ	IOException が発生しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02058-E	InterruptedException occurred. Description = aa...aa	InterruptedException が発生しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : 例外の詳細メッセージ	
KAPM02059-E	The time limit for establishing a connection is over.	コネクション作成タイムオーバーが発生しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02060-E	An attempt to establish a connection has failed.	コネクション作成に失敗しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02061-E	<i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 例外オブジェクト名と発生した原因, または例外オブジェクトのバックトレース	KAPMxxxxx-E の詳細情報です。発生した例外オブジェクトとそのバックトレースを表します。直前のメッセージ KAPMxxxxx-E を参照してください。
KAPM02062-I	The get method changed the state to the standby state.	get メソッドで待機状態になりました。
KAPM02063-I	The createConnection method changed the state to the standby state.	createConnection メソッドで待機状態になりました。
KAPM02069-E	A time-over error occurred when connecting to the repository.	コネクション取得時にタイムオーバーが発生しました。 ログイン時の場合は、もう一度ログインしてください。すでにログインをしている場合は、操作をもう一度繰り返してください。
KAPM02070-E	A CIMUnavailableDatabaseException occurred. Detailed message of exception = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 例外の詳細メッセージ	CIMUnavailableDatabaseException が発生しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02071-E	HiRDB is not running.	HiRDB が起動していません。 HiRDB を起動してください。
KAPM02072-E	The password of a user connected to HiRDB is invalid. (user name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー名	HiRDB に接続するユーザーのパスワードが不正です。 user.conf ファイルの HiRDB.password の値を確認してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM02073-E	The user name of a user connected to HiRDB is invalid. (user name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー名	HiRDB に接続するユーザー名が不正です。 user.conf ファイルの HiRDB.user の値を確認してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM02074-W	The table name registered into DBMS is changed. Before= <i>aa...aa</i> After = <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : 変更前 <i>bb...bb</i> : 変更後	DBMS に登録するテーブル名を変更します。
KAPM02075-E	An attempt to set a connection to the factory has failed.	Factory にコネクションを設定できませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM02076-I	Processing to initialize the connection pool was executed.	コネクションプールを初期化しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : Initial value, <i>bb...bb</i> : Increment value, <i>cc...cc</i> : Maximum value, <i>dd...dd</i> : Keep-alive period, <i>ee...ee</i> : Timeout period, <i>ff...ff</i> : Number of retries, <i>gg...gg</i> : Retry interval <i>aa...aa</i> : 初期値 <i>bb...bb</i> : 増加値 <i>cc...cc</i> : 最大値 <i>dd...dd</i> : 生存時間 <i>ee...ee</i> : タイムアウト時間 <i>ff...ff</i> : リトライ回数 <i>gg...gg</i> : リトライ間隔	
KAPM02077-E	An attempt to release the connection of the connection pool has failed.	コネクションプールのコネクションの解放に失敗した場合には表示します。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02078-E	A RepositoryException occurred. (details = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 例外の詳細メッセージ	RepositoryException が発生した場合には表示します。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02079-E	An attempt to release the JDBC connection has failed.	JDBC 接続の解放に失敗した場合には表示します。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02080-E	A CIMHeldRepositoryException has occurred. Exception message = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 例外の詳細メッセージ	CIMHeldRepositoryException が発生しました。 HiRDB が閉塞した原因を取り除いてから、再実行してください。
KAPM02081-E	A hcmdsDBUserManagementException has occurred. (exception message = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 例外のメッセージ	hcmdsDBUserManagementException が発生しました。 HiRDB の設定と状態を確認してください。
KAPM02201-I	The method was invoked.	メソッドが呼ばれました。
KAPM02202-I	The following arguments were specified: <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : パラメーター	パラメーター <i>aa...aa</i> がメソッドの引数に指定されました。
KAPM02203-I	External module processing has started. (module = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : モジュール名	外部モジュールの処理を開始しました。
KAPM02204-I	External module processing has terminated. (module = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : モジュール名	外部モジュールの処理を終了しました。
KAPM02210-E	The specified argument is null.	指定された引数は null です。
KAPM02211-E	The password is not set.	パスワードが設定されていません。
KAPM02212-E	Authentication has failed.	認証に失敗しました。
KAPM02213-E	An attempt to read the password file has failed.	パスワードファイルの読み取りに失敗しました。 次に示すファイルの読み取り権限があることを確認してください。 Windows 版: <Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ>\¥conf ¥.hbaspass

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Solaris 版または Linux 版 : /opt/HiCommand/ Base/conf/.hbaspass ファイルの読み取り権限がある場合は、原因究明 と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障 害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してくださ い。
KAPM02214-E	An attempt to write to the password file has failed.	パスワードファイルの書き込みに失敗しました。 次に示すファイルの書き込み権限があることを 確認してください。 Windows 版 : < Hitachi Command Suite 共通コ ンポーネントインストールフォルダ > ¥conf ¥.hbaspass Solaris 版または Linux 版 : /opt/HiCommand/ Base/conf/.hbaspass ファイルの書き込み権限がある場合は、原因究明 と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障 害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してくださ い。
KAPM02215-E	The authenticated user does not have permission to execute the method.	認証されたユーザーはメソッドの実行権限を 持っていません。
KAPM02216-E	The specified user was not found.	指定されたユーザーが見つかりませんでした。
KAPM02217-E	The specified group was not found.	指定されたグループが見つかりませんでした。
KAPM02218-E	The specified user already exists.	指定されたユーザーはすでに存在します。
KAPM02219-E	The specified group already exists.	指定されたグループはすでに存在します。
KAPM02220-E	The specified user is already registered in the group.	指定されたユーザーがすでにグループに登録さ れています。
KAPM02221-E	hadmin cannot be registered in the group.	hadmin はグループに登録できません。
KAPM02222-E	An error occurred during user database access.	ユーザーデータベースへのアクセス中にエラー が発生しました。 DBMS, HBase Storage Mgmt Web Service, HBase Storage Mgmt Common Service が起動 していることを確認してください。起動してい る場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な 調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓 口に連絡してください。
KAPM02223-E	The specified mode is unsupported.	指定されたモードはサポートされていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要で す。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡して ください。
KAPM02224-E	A fatal error occurred.	致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要で す。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡して ください。
KAPM02225-E	The specified user cannot be deleted.	指定したユーザーは削除できません。
KAPM02226-E	The specified group cannot be deleted.	指定したグループは削除できません。
KAPM02227-E	The common repository is stopping.	共通リポジトリが停止しています。 DBMS が起動しているか確認してください。
KAPM02228-E	The user ID is not set.	ユーザー ID が設定されていません。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02229-E	The specified user ID is invalid.	指定されたユーザー ID は不正です。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02230-E	The specified password is invalid.	指定されたパスワードは不正です。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02231-E	The application type is not set.	アプリケーションタイプが設定されていません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02232-E	The resource group ID is not set.	リソースグループ ID が設定されていません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02233-E	The specified application is not registered.	指定されたアプリケーションは登録されていません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02234-I	The permissions for <i>aa...aa</i> will now be changed. (User ID = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID	<i>aa...aa</i> のパーミッションを変更します。
KAPM02235-I	The permissions for <i>aa...aa</i> were changed. (User ID = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID	<i>aa...aa</i> のパーミッションを変更しました。
KAPM02236-I	A user account will now be created. (User ID = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID	ユーザーアカウントを作成します。
KAPM02237-I	The user account was created successfully. (User ID = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID	ユーザーアカウントを作成しました。
KAPM02238-I	The user-account properties will now be changed. (<i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 変更前のプロパティ一覧	ユーザーアカウントのプロパティを変更します。
KAPM02239-I	The user-account properties were changed. (<i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 変更後のプロパティ一覧	ユーザーアカウントのプロパティを変更しました。
KAPM02240-I	The resource-group properties will now be changed. (<i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 変更前のプロパティ一覧	リソースグループのプロパティを変更します。
KAPM02241-I	The resource-group properties were changed. (<i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 変更後のプロパティ一覧	リソースグループのプロパティを変更しました。
KAPM02242-I	The allocation status of the resource group will now be changed. (<i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 変更前の割り当て状態	リソースグループの割り当て状態を変更します。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAPM02243-I	The allocation status of the resource group was changed. (<i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 変更後の割り当て状態	リソースグループの割り当て状態を変更しました。
KAPM02244-I	The password will now be changed. (User ID = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID	パスワードを変更します。
KAPM02245-I	The password was changed. (User ID = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID	パスワードを変更しました。
KAPM02246-I	The user account will now be deleted. (User ID = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID	ユーザーアカウントを削除します。
KAPM02247-I	The user account was deleted. (User ID = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID	ユーザーアカウントを削除しました。
KAPM02248-I	The resource group will now be deleted. (resource group ID = <i>aa...aa</i> , resource group name = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : リソースグループ ID <i>bb...bb</i> : リソースグループ名	リソースグループを削除します。
KAPM02249-I	The resource group was deleted. (resource group ID = <i>aa...aa</i> , resource group name = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : リソースグループ ID <i>bb...bb</i> : リソースグループ名	リソースグループを削除しました。
KAPM02250-E	A resource group with the same name has already been registered. (resource group name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : リソースグループ名	同じ名前のリソースグループが登録されています。
KAPM02251-E	A user account with the same user ID has already been registered. (User ID = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID	同じユーザー ID のユーザーアカウントが登録されています。
KAPM02252-E	A resource group with the same ID has already been registered. (group ID = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : グループ ID	同じ ID のリソースグループが登録されています。
KAPM02254-I	Request information: (API version = <i>aa...aa</i> , Command name = <i>bb...bb</i> , User ID or session ID = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : バージョン <i>bb...bb</i> : コマンド名 <i>cc...cc</i> : ID	リクエストの情報を示します。
KAPM02255-E	The specified version is not supported. (version = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : バージョン	指定したバージョンはサポートされていません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02256-E	The specified command is not supported. (command = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : コマンド名	指定したコマンドはサポートされていません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02257-E	Authentication has failed. (user ID = <i>aa...aa</i>)	認証に失敗しました。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : ユーザー ID	ユーザー ID とパスワードが正しいことを確認してください。
KAPM02258-I	Response information: (API version = <i>aa...aa</i> , Command name = <i>bb...bb</i> , Response status = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : バージョン <i>bb...bb</i> : コマンド名 <i>cc...cc</i> : レスポンスの状態	レスポンスの情報を示します。
KAPM02259-I	Response information when an error occurs: (Error code = <i>aa...aa</i> , Description = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : エラーコード <i>bb...bb</i> : エラーの説明	エラー時のレスポンスの情報を示します。
KAPM02260-E	An attempt to communicate with a server has failed. (URL = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : サーバの URL	サーバとの通信に失敗しました。 URL で指定するサーバの HBase Storage Mgmt Common Service または HBase Storage Mgmt Web Service が起動していることを確認してください。
KAPM02261-E	An attempt to parse the response has failed.	レスポンスの解析に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02262-E	The request parameter is invalid.	リクエストのパラメーターが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02263-E	This user does not have execution permissions. (ID = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : セッション ID	このユーザーには実行権限がありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02269-E	指定されたユーザーが見つかりません。	指定されたユーザーが見つかりません。 ほかのユーザーによって、指定したユーザーが削除されたおそれがあります。表示を更新して選択したユーザーの登録状態を確認してください。
KAPM02270-E	The same user ID already exists.	同じユーザー ID がすでにあります。 ほかのユーザー ID を指定してください。
KAPM02271-E	An attempt to communicate with a database has failed.	データベースとの通信に失敗しました。 HiRDB が起動していることを確認してください。
KAPM02272-E	An error occurred within the server.	サーバエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02273-I	The user will now be added. (ID = <i>aa...aa</i> , user ID = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : セッション ID <i>bb...bb</i> : 追加対象のユーザー ID	ユーザーを追加します。
KAPM02274-I	The user was added successfully. (ID = <i>aa...aa</i> , user ID = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : セッション ID <i>bb...bb</i> : 追加対象のユーザー ID	ユーザーを追加しました。
KAPM02275-I	The password will now be changed. (ID = <i>aa...aa</i> , user ID = <i>bb...bb</i>)	パスワードを変更します。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : セッション ID <i>bb...bb</i> : 変更対象のユーザー ID	
KAPM02276-I	The password was changed successfully. (ID = <i>aa...aa</i> , user ID = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : セッション ID <i>bb...bb</i> : 変更対象のユーザー ID	パスワードを変更しました。
KAPM02277-I	The user profile will now be changed. (ID = <i>aa...aa</i> , user ID = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : セッション ID <i>bb...bb</i> : 変更対象のユーザー ID	プロフィールを変更します。
KAPM02278-I	The user profile was changed successfully. (ID = <i>aa...aa</i> , user ID = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : セッション ID <i>bb...bb</i> : 変更対象のユーザー ID	プロフィールを変更しました。
KAPM02279-I	The permissions will now be changed. (ID = <i>aa...aa</i> , user ID = <i>bb...bb</i> , permissions = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : セッション ID <i>bb...bb</i> : 変更対象のユーザー ID <i>cc...cc</i> : 変更後の権限	権限を変更します。
KAPM02280-I	The permissions were changed successfully. (ID = <i>aa...aa</i> , user ID = <i>bb...bb</i> , permissions = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : セッション ID <i>bb...bb</i> : 変更対象のユーザー ID <i>cc...cc</i> : 変更後の権限	権限を変更しました。
KAPM02281-I	The user will now be deleted. (ID = <i>aa...aa</i> , user ID = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : セッション ID <i>bb...bb</i> : 削除対象のユーザー ID	ユーザーを削除します。
KAPM02282-I	The user was deleted successfully. (ID = <i>aa...aa</i> , user ID = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : セッション ID <i>bb...bb</i> : 削除対象のユーザー ID	ユーザーを削除しました。
KAPM02283-E	The old password is incorrect. (ID = <i>aa...aa</i> , user ID = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : セッション ID <i>bb...bb</i> : 変更対象のユーザー ID	古いパスワードが正しくありません。
KAPM02284-I	The user will now be locked. (ID = <i>aa...aa</i> , user ID = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : セッション ID <i>bb...bb</i> : ユーザー ID	ユーザーをロックします。
KAPM02285-I	The user was locked successfully. (ID = <i>aa...aa</i> , user ID = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : セッション ID <i>bb...bb</i> : ユーザー ID	ユーザーをロックしました。
KAPM02286-E	ユーザーのロックに失敗しました。 <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 詳細情報	ユーザーのロックに失敗しました。 次に続くメッセージを参照してください。
KAPM02287-I	The user will now be unlocked. (ID = <i>aa...aa</i> , user ID = <i>bb...bb</i>)	ユーザーのロックを解除します。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : セッション ID <i>bb...bb</i> : ユーザー ID	
KAPM02288-I	The user was unlocked successfully. (ID = <i>aa...aa</i> , user ID = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : セッション ID <i>bb...bb</i> : ユーザー ID	ユーザーのロックを解除しました。
KAPM02289-E	ユーザーのロック解除に失敗しました。 <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 詳細情報	ユーザーのロック解除に失敗しました。 次に続くメッセージを参照してください。
KAPM02290-I	Authentication was successful. (user ID = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID	認証に成功しました。
KAPM02291-W	Authentication has failed. <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 詳細情報	認証に失敗しました。
KAPM02292-W	Authentication has failed for <i>aa...aa</i> times in a row, so the user (<i>bb...bb</i>) was locked. <i>aa...aa</i> : 失敗した回数 <i>bb...bb</i> : ユーザー ID	<i>aa...aa</i> 回連続で認証に失敗したので、ユーザー" <i>bb...bb</i> "をロックしました。
KAPM02294-E	The RD area of HBase is blocked.	Hitachi Command Suite 共通コンポーネントの RD エリアが閉塞しています。 HiRDB が閉塞した原因を取り除いてから再実行してください。
KAPM02295-E	A distinguished name has not been set.	識別名が設定されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02296-E	A domain name has not been set.	ドメイン名が設定されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02297-E	The specified distinguished name already exists. (distinguished name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 識別名	指定された識別名はすでに存在します。 ほかの Distinguished Name を指定してください。
KAPM02298-E	The specified distinguished name could not be found. (distinguished name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 識別名	指定された識別名が見つかりません。 ほかのユーザーによって、指定した認可グループが削除されたおそれがあります。表示を更新したあとに、指定した認可グループの登録状態を確認してください。
KAPM02301-E	hcmds.home is not set in the Java system properties.	Java のシステムプロパティに hcmds.home が設定されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02302-E	An error occurred during loading of a library.	ライブラリーのロードエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02303-E	An attempt to acquire user information about a HiRDB-connected user has failed. error code = <i>aa...aa</i>	HiRDB に接続するユーザーの情報取得に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : エラーコード	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02304-E	An attempt to set a system environment variable has failed. error code = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : エラーコード	システム環境変数の設定に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02305-E	Attempts to set the system environment variables PDDIR and PATH have failed. error code = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : エラーコード	システム環境変数の PDDIR, PATH の設定に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02306-E	An attempt to clear an HiRDB system environment variable has failed. error code = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : エラーコード	HiRDB のシステム環境変数のクリアに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02307-E	The application type is required, but is not set.	アプリケーションタイプが設定されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02401-E	An attempt to read the file failed. (path = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : パス	ファイルの読み込みに失敗しました。 指定のフォルダにファイルが存在することを確認してください。
KAPM02409-E	A communication error occurred in an external authentication server. (error code = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : エラーコード	外部認証サーバの通信障害が発生しました。 次の対処をしてください。 LDAP の場合 : <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. <code>hcmdsldapuser</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. <code>StartTLS</code> で通信するときは、<code>SSL</code> の設定を確認してください。 4. <code>OCSP</code> が有効な場合、証明書が有効であるか確認してください。 5. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 RADIUS の場合 : <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. <code>hcmdsradiussecret</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>名の情報が登録されていることを確認してください。</p> <p>3. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KAPM02410-W	<p>Authentication with an external authentication server has failed. (user ID = <i>aa...aa</i>, host = <i>bb...bb</i>, port = <i>cc...cc</i>, protocol = <i>dd...dd</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザ ID <i>bb...bb</i> : ホスト名 <i>cc...cc</i> : ポート番号 <i>dd...dd</i> : プロトコル</p>	<p>ログインユーザーが外部認証サーバでの認証に失敗しました。 正しいユーザー ID とパスワードでログインしてください。</p>
KAPM02411-W	<p>Authentication with an external authentication server has failed. The specified user was not found in the external authentication server. (user ID = <i>aa...aa</i>, host = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザ ID <i>bb...bb</i> : ホスト名</p>	<p>ログインユーザーが外部認証サーバに見つかりません。 正しいユーザー ID とパスワードでログインしてください。</p>
KAPM02412-E	<p>A naming exception occurred. (host = <i>aa...aa</i>, port = <i>bb...bb</i>, protocol = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ホスト名 <i>bb...bb</i> : ポート番号 <i>cc...cc</i> : プロトコル</p>	<p>ネーミング例外が発生しました。 次の対処をしてください。 LDAP の場合 :</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. <code>hcmdslldapuser</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. <code>StartTLS</code> で通信するときは、SSL の設定を確認してください。 4. <code>OCSP</code> が有効な場合、証明書が有効であるか確認してください。 5. 問題が解決しないときは、保守情報を取得し、問い合わせ窓口ご連絡してください。 <p>RADIUS の場合 :</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. <code>hcmdsradiussecret</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. 問題が解決しないときは、保守情報を取得し、問い合わせ窓口ご連絡してください。
KAPM02413-E	<p>The negotiation for a TLS session has failed. (host = <i>aa...aa</i>, port = <i>bb...bb</i>, protocol = <i>cc...cc</i>)</p>	<p>TLS セッションのネゴシエーションに失敗しました。 次の対処をしてください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	<p><i>aa...aa</i> : ホスト名 <i>bb...bb</i> : ポート番号 <i>cc...cc</i> : プロトコル</p>	<p>LDAP の場合 :</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. <code>hcmsldapuser</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. <code>StartTLS</code> で通信するときは、<code>SSL</code> の設定を確認してください。 4. <code>OCSP</code> が有効な場合、証明書が有効であるか確認してください。 5. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 <p>RADIUS の場合 :</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. <code>hcmsradiussecret</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02414-I	<p>Authentication with an external authentication server was successful. (user ID = <i>aa...aa</i>, host = <i>bb...bb</i>, port = <i>cc...cc</i>, protocol = <i>dd...dd</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID <i>bb...bb</i> : ホスト名 <i>cc...cc</i> : ポート番号 <i>dd...dd</i> : プロトコル</p>	<p>ログインユーザーが外部認証サーバの認証に成功しました。</p>
KAPM02416-E	<p>A communication error occurred in an external authentication server.</p>	<p>外部認証サーバの通信障害が発生しました。次の対処をしてください。</p> <p>LDAP の場合 :</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. <code>hcmsldapuser</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>3. StartTLS で通信するときは、SSL の設定を確認してください。</p> <p>4. OCSP が有効な場合、次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・証明書が有効であるか確認してください。 <p>5. 問題が解決しないときは、保守情報を取得し、問い合わせ窓口ご連絡してください。</p> <p>RADIUS の場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. exauth.properties に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmsradiussecret コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. 問題が解決しないときは、保守情報を取得し、問い合わせ窓口ご連絡してください。
KAPM02417-E	<p>Communication with an external authentication server has failed. (host = aa...aa, port = bb...bb, protocol = cc...cc)</p> <p>aa...aa : ホスト名 bb...bb : ポート番号 cc...cc : プロトコル</p>	<p>LDAP サーバとの通信に失敗しました。</p> <p>次の対処をしてください。</p> <p>LDAP の場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. exauth.properties に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmsldapuser コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. StartTLS で通信するときは、SSL の設定を確認してください。 4. OCSP が有効な場合、証明書が有効であるか確認してください。 5. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。 <p>RADIUS の場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. exauth.properties に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmsradiussecret コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM02418-E	The LDAP service cannot be used. (host = <i>aa...aa</i> , port = <i>bb...bb</i> , protocol = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ホスト名 <i>bb...bb</i> : ポート番号 <i>cc...cc</i> : プロトコル	LDAP のサービスが利用できません。 次の対処をしてください。 LDAP の場合 : 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. <code>hcmdsldapuser</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. StartTLS で通信するときは、 SSL の設定を確認してください。 4. OCSF が有効な場合、証明書が有効であるか確認してください。 5. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 RADIUS の場合 : 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. <code>hcmdsradiussecret</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02419-W	Only local operation is available because the attempt to read the configuration file for the external authentication server has failed.	<code>exauth.properties</code> ファイルの読み込みに失敗したため local で動作します。 <code>exauth.properties</code> ファイルの設定内容を見直してください。
KAPM02422-W	A parameter in the <code>exauth.properties</code> file contains an invalid value (<i>aa...aa</i> = <i>bb...bb</i>). The default value (<i>cc...cc</i>) will be used. <i>aa...aa</i> : パラメーター名称 <i>bb...bb</i> : パラメーターの値 <i>cc...cc</i> : デフォルト値	<code>exauth.properties</code> ファイルのパラメーターに指定した値が不正です。 <code>exauth.properties</code> ファイルの設定内容を見直してください。
KAPM02423-E	Authentication of the search user has failed. (host = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ホスト名	LDAP サーバで検索ユーザーの認証に失敗しました。 <code>hcmdsldapuser</code> コマンドで外部認証サーバのアクセスユーザーを登録してください。登録済みの場合は登録されているユーザーの設定内容を見直してください。
KAPM02424-E	An error occurred in the external authentication server.	LDAP サーバでエラーが発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02425-E	A parameter was not specified. (parameter = aa...aa) aa...aa : パラメーター名称	exauth.properties ファイルに、パラメーターが指定されていません。 exauth.properties ファイルの設定内容を見直してください。
KAPM02426-E	Authentication stopped because a setting in the configuration file for the external authentication server was invalid.	exauth.properties ファイルの設定が不正のため、認証を中断します。 exauth.properties ファイルの設定内容を見直してください。
KAPM02427-E	An invalid character was specified in the URL for a host name or a port number. (host = aa...aa, port = bb...bb) aa...aa : ホスト名 bb...bb : ポート番号	exauth.properties ファイルに指定したホスト名、またはポート番号に URL で指定できない文字が含まれています。 exauth.properties ファイルの設定内容を見直してください。
KAPM02429-I	A RADIUS packet has been received. (packet information = aa...aa) aa...aa : パケットの情報	RADIUS パケットを受信しました。
KAPM02430-E	Verification of a RADIUS packet has failed. (host = aa...aa, port = bb...bb, protocol = cc...cc, cause = dd...dd) aa...aa : ホスト bb...bb : ポート cc...cc : プロトコル dd...dd : 失敗の原因	RADIUS パケットの検証に失敗しました。
KAPM02431-E	The connection to an external authentication server has timed out. (host = aa...aa, port = bb...bb, protocol = cc...cc) aa...aa : ホスト名 bb...bb : ポート番号 cc...cc : プロトコル	外部認証サーバとの接続がタイムアウトしました。 次の対処をしてください。 LDAP の場合 : 1. exauth.properties に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmsldapuser コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. StartTLS で通信するときは、SSL の設定を確認してください。 4. OCSP が有効な場合、証明書が有効であるか確認してください。 5. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 RADIUS の場合 : 1. exauth.properties に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>2. hcmdsradiussecret コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。</p> <p>3. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KAPM02432-E	<p>SSL-encrypted communication with the external authentication server has failed. (host = aa...aa, port = bb...bb, protocol = cc...cc)</p> <p>aa...aa : ホスト名 bb...bb : ポート番号 cc...cc : プロトコル</p>	<p>外部認証サーバとの SSL 暗号化通信に失敗しました。 次の対処をしてください。</p> <p>LDAP の場合 :</p> <ol style="list-style-type: none"> exauth.properties に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 hcmdsldapuser コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 StartTLS で通信するときは、SSL の設定を確認してください。 OCSP が有効な場合、証明書が有効であるか確認してください。 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 <p>RADIUS の場合 :</p> <ol style="list-style-type: none"> exauth.properties に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 hcmdsradiussecret コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02434-W	The lock processing was interrupted.	<p>ロック処理が中断されました。 User Management 権限を持つユーザーを少なくとも一人はいるように選択してください。</p>
KAPM02435-W	If the selected user accounts are locked, no more users will have the User Management permission.	<p>選択されたユーザーをロックした場合、User Management 権限を持つユーザーがいなくなります。 User Management 権限を持つユーザーを少なくとも一人はいるように選択してください。</p>
KAPM02436-E	Determination of whether lock processing was performed has failed.	<p>ロック処理実行判定が失敗しました。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02450-I	Authentication by an external authentication server was successful. (server type = <i>aa...aa</i> , host = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : サーバ種別 <i>bb...bb</i> : ホスト名	ログインが正常に終了したことを示す監査ログです。
KAPM02451-W	Authentication by an external authentication server has failed. (server type = <i>aa...aa</i> , host = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : サーバ種別 <i>bb...bb</i> : ホスト名	ログインに失敗したことを示す監査ログです。
KAPM02452-I	A user's authentication method has been successfully changed. (authentication method = <i>aa...aa</i> , user ID = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 認証方式 <i>bb...bb</i> : ユーザー ID	認証方式の変更が正常に終了したことを示す監査ログです。
KAPM02453-E	An attempt to change a user's authentication method has failed. (authentication method = <i>aa...aa</i> , user ID = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 認証方式 <i>bb...bb</i> : ユーザー ID	認証方式の変更に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM02454-E	Acquisition of SRV records failed. (domain name = <i>aa...aa</i> , protocol = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : ドメイン名 <i>bb...bb</i> : プロトコル	SRV レコードの取得に失敗しました。 DNS サーバに SRV レコードが定義されているか確認してください。
KAPM02455-E	A domain has been removed from the domain list because the acquisition of SRV records failed. (domain name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ドメイン名	SRV レコードの取得に失敗したため、ドメイン一覧から除外しました。 DNS サーバに SRV レコードが定義されているか確認してください。
KAPM02456-E	A function cannot be used because group mapping is disabled. (function name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 機能名	外部認証グループ連携が無効のため、その機能は使用することができません。 外部認証サーバ連携用の <code>exauth.properties</code> ファイルの設定内容を見直してください。
KAPM02457-E	Acquisition of the password file failed.	パスワードファイルの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02458-E	A setting in the configuration file for the external authentication server (exauth.properties) is invalid.	外部認証サーバ連携用の <code>exauth.properties</code> ファイルの内容が不正です。 外部認証サーバ連携用の <code>exauth.properties</code> ファイルの設定内容を見直してください。
KAPM02459-E	The domain cannot be linked to. (domain name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ドメイン名	連携することができないドメインです。 連携できるドメインを使用してください。
KAPM02460-E	The specified instance is invalid.	指定したインスタンスが不正です。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02461-E	No device type has been specified.	装置種別が指定されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02462-E	The specified device type is too long. (device type = aa...aa) aa...aa : 装置種別	装置種別に指定した文字列が長過ぎます。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02463-E	The specified device type includes non-alphanumeric characters. (device type = aa...aa) aa...aa : 装置種別	装置種別に指定した文字列に英数字以外の文字が含まれています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02464-E	No device number has been specified.	装置製番が指定されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02465-E	The specified device number is too long. (device number = aa...aa) aa...aa : 装置製番	装置製番に指定した文字列が長過ぎます。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02466-E	The specified device number includes non-alphanumeric characters. (device number = aa...aa) aa...aa : 装置製番	装置製番に指定した文字列に英数字以外の文字が含まれています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02467-E	The specified description is too long. (description = aa...aa) aa...aa : 説明	説明に指定した文字列が制限値を超えています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02468-E	The specified ID is too long. (ID = aa...aa) aa...aa : ID	IDに指定した文字列が長過ぎます。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02469-E	The specified display name is too long. (display name = aa...aa) aa...aa : 表示名	表示名に指定した文字列が長過ぎます。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02470-E	No application has been specified.	アプリケーションが指定されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02471-E	No authorization information is specified for the user group.	認可情報にユーザーグループが指定されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02472-E	A resource group has been specified for the authorization information.	認可情報にリソースグループが指定されていません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02473-E	A role has been specified for the authorization information.	認可情報にロールが指定されています。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02474-E	No display name has been specified.	表示名が指定されていません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02475-E	The specified resource group was not found. (resource group ID = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : リソースグループ ID <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	指定したリソースグループが見つかりませんでした。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02476-E	The specified user group was not found. (user group ID = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザーグループ ID <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	指定したユーザーグループが見つかりませんでした。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02477-E	A user group with the same ID is already registered. (user group ID = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザーグループ ID <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	同じ ID のユーザーグループが登録されています。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02478-E	No ID has been specified.	ID が指定されていません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02479-E	An empty string has been specified for the ID.	ID に指定された文字列が空文字です。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02480-W	The specified application is not registered. (application type = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : アプリケーション種別	指定したアプリケーションは登録されていません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02481-E	An application not compatible with the function was specified. (application type = <i>aa...aa</i> , function name = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : アプリケーション種別 <i>bb...bb</i> : 機能名	機能に対応していないアプリケーションが指定されました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02482-E	The method cannot be used. (class name = <i>aa...aa</i> , method name = <i>bb...bb</i>)	使用できないメソッドです。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : クラス名 <i>bb...bb</i> : メソッド名	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02483-W	Invalid authentication information has been registered. (application type = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : アプリケーション種別	不正な認証情報が登録されています。 hcmdsintg コマンドを使用して、不正な認証データを削除してください。
KAPM02484-E	The specified user account is not registered. (user ID = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID	指定したユーザーアカウントは登録されていません。 ユーザーアカウントが登録されているか確認してください。
KAPM02485-E	The specified role was not found. (role ID = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ロール ID <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	指定したロールが見つかりませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02486-E	A role with the same ID has already been registered. (role ID = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ロール ID <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	同じ ID のロールが登録されています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02487-E	The same role name has already been registered. (role name = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ロール名 <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	同じロール名が登録されています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02488-E	The specified permission was not found. (permission = <i>aa...aa</i> , application type = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : パーミッション名 <i>bb...bb</i> : アプリケーション種別	指定したパーミッションが見つかりませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02489-E	Encoding failed. (character string = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 文字列	エンコードに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02490-E	An attempt to read the BuiltInUserGroup.properties file failed.	BuiltInUserGroup.properties ファイルの読み込みに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02491-E	A user group with the same name is already registered. (user group name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザーグループ名	同じ名前のユーザーグループが登録されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02492-E	The specified user group was not found. (user group name = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>)	指定したユーザーグループが見つかりませんでした。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p><i>aa...aa</i> : ユーザーグループ名 <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番</p>	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02493-E	<p>Multiple resource groups contain the same data. (class = <i>aa...aa</i>, data = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : クラス <i>bb...bb</i> : データ</p>	<p>マルチリソースグループのデータが重複しています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KAPM02494-E	<p>The specified resource group was not found. (resource group name = <i>aa...aa</i>, device type = <i>bb...bb</i>, device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : リソースグループ名 <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番</p>	<p>指定したリソースグループが見つかりませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KAPM02502-E	<p>次の条件を満たすパスワードを入力してください。 大文字が <i>aa...aa</i> 文字以上であること。 小文字が <i>bb...bb</i> 文字以上であること。 数字が <i>cc...cc</i> 文字以上であること。 記号が <i>dd...dd</i> 文字以上であること。 ユーザー ID と異なる値であること。 <i>aa...aa</i> : 最小文字数 <i>bb...bb</i> : 最小文字数 <i>cc...cc</i> : 最小文字数 <i>dd...dd</i> : 最小文字数</p>	<p>次の条件を満たすパスワードを入力してください。 大文字が <i>aa...aa</i> 文字以上であること。 小文字が <i>bb...bb</i> 文字以上であること。 数字が <i>cc...cc</i> 文字以上であること。 記号が <i>dd...dd</i> 文字以上であること。 ユーザー ID と異なる値であること。 エラーメッセージに従って適切な値を入力してください。</p>
KAPM02503-E	<p>大文字が <i>aa...aa</i> 文字以上であること。 <i>aa...aa</i> : 最小文字数</p>	<p>大文字が <i>aa...aa</i> 文字以上である必要があります。 エラーメッセージに従って適切な値を入力してください。</p>
KAPM02504-E	<p>小文字が <i>aa...aa</i> 文字以上であること。 <i>aa...aa</i> : 最小文字数</p>	<p>小文字が <i>aa...aa</i> 文字以上である必要があります。 エラーメッセージに従って適切な値を入力してください。</p>
KAPM02505-E	<p>数字が <i>aa...aa</i> 文字以上であること。 <i>aa...aa</i> : 最小文字数</p>	<p>数字が <i>aa...aa</i> 文字以上である必要があります。 エラーメッセージに従って適切な値を入力してください。</p>
KAPM02506-E	<p>記号が <i>aa...aa</i> 文字以上であること。 <i>aa...aa</i> : 最小文字数</p>	<p>記号が <i>aa...aa</i> 文字以上である必要があります。 エラーメッセージに従って適切な値を入力してください。</p>
KAPM02507-E	<p>ユーザー ID と異なる値であること。</p>	<p>ユーザー ID と異なる値である必要があります。 エラーメッセージに従って適切な値を入力してください。</p>
KAPM02508-E	<p><i>aa...aa</i> 文字で入力してください。 <i>aa...aa</i> : 最大文字数</p>	<p><i>aa...aa</i> 文字で入力してください。 エラーメッセージに従って適切な値を入力してください。</p>
KAPM02509-E	<p>ユーザー ID には次の文字を使用してください。 A~Z a~z 0~9 # + . @ _</p>	<p>ユーザー ID には次の文字を使用してください。 A~Za~z0~9#+. @ _ エラーメッセージに従って適切な値を入力してください。</p>
KAPM02510-I	<p>Authentication by using a KDC was successful. (Kerberos principal = <i>aa...aa</i>, KDC = <i>bb...bb</i>)</p>	<p>KDC での認証に成功しました。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : Kerberos プリンシパル名 <i>bb...bb</i> : KDC のリスト	
KAPM02511-E	Communication with KDC failed. (KDC = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : KDC のリスト	KDC との通信に失敗しました。 指定した KDC が誤っていないか確認してください。
KAPM02512-E	Resolution of the KDC host name failed. (KDC = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : KDC のリスト	KDC のホスト名の名前解決に失敗しました。 次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> 指定した KDC が誤っていないか確認してください。 KDC に設定されているホスト名が DNS サーバに登録されているか確認してください。
KAPM02513-W	Authentication by using a KDC failed. (Kerberos principal = <i>aa...aa</i> , KDC = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : Kerberos プリンシパル名 <i>bb...bb</i> : KDC のリスト	Kerberos 認証時に KDC での認証に失敗しました。
KAPM02514-I	The krb5.conf file, used for internal processing, was successfully deleted. (file name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ファイル名	内部処理用の krb5.conf ファイルの削除に成功しました。
KAPM02515-W	Deletion of the krb5.conf file, used for internal processing, failed. (file name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ファイル名	内部処理用の krb5.conf ファイルの削除に失敗しました。
KAPM02516-I	The krb5.conf file, used for internal processing, was successfully created. (file name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ファイル名	内部処理用の krb5.conf ファイルを作成しました。
KAPM02517-E	Creation of the krb5.conf file, used for internal processing, failed. (file name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ファイル名	内部処理用の krb5.conf ファイルの作成に失敗しました。 指定したパスに対してファイルの作成権限があるかどうか確認してください。
KAPM02518-I	A request to acquire SRV records was sent. (record key = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : SRV レコードのキー	SRV レコードの要求メッセージを送信しました。
KAPM02519-E	Communication with the DNS server failed.	DNS サーバとの通信に失敗しました。 OS に設定されている DNS サーバの設定内容が正しいか、または DNS サーバとのネットワークの状態が正常か確認してください。
KAPM02520-E	The Kerberos authentication settings are invalid.	Kerberos 認証の設定が不正です。 exauth.properties ファイルの Kerberos 認証に関する定義または検索用ユーザーの設定を見直してください。
KAPM02521-E	The Kerberos realm or KDC definition is invalid. (realm name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : レalm名	Kerberos レalmまたは KDC の定義が不正です。 exauth.properties ファイルのレalmまたは KDC の定義を見直してください。
KAPM02522-W	The SRV records are undefined. (record key = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : SRV レコードのキー	SRV レコードが定義されていません。
KAPM02523-I	Acquisition of the SRV records was successful. (SRV record = <i>aa...aa</i>)	SRV レコードの取得に成功しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : SRV レコード	
KAPM02524-E	Acquisition of the SRV records failed. (record key = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : SRV レコードのキー	SRV レコードの取得に失敗しました。 DNS サーバに SRV レコードが定義されている か確認してください。
KAPM02525-E	An error occurred on the DNS server.	DNS サーバでエラーが発生しました。 DNS サーバの稼働状態を確認してください。
KAPM02526-I	Processing to identify the user account will now start. (user ID = <i>aa...aa</i> , server type = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID <i>bb...bb</i> : 認証サーバのタイプ	ユーザーアカウントを特定する処理を開始しま す。
KAPM02527-I	The user account was found. (user ID = <i>aa...aa</i> , internal = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID <i>bb...bb</i> : 外部認証サーバを使用するかど うかを示すブール値	ユーザーアカウントが見つかりました。
KAPM02528-I	The user account was not found. (user ID = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID	ユーザーアカウントが見つかりませんでした。
KAPM02529-I	The user account was identified. (user ID = <i>aa...aa</i> , external = <i>bb...bb</i> , Kerberos user = <i>cc...cc</i> , Kerberos realm = <i>dd...dd</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID <i>bb...bb</i> : 外部認証サーバを使用するかど うかを示すブール値 <i>cc...cc</i> : Kerberos ユーザー名 <i>dd...dd</i> : Kerberos レalm名	ユーザーアカウントを特定しました。
KAPM02551-E	The following characters can be used for the value: <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 値	ユーザー ID には次の文字を使用してください。 エラーメッセージに従って適切な値を入力して ください。
KAPM02552-W	An invalid permission is registered. (application type = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : アプリケーション種別	不正な権限が登録されています。 hcmdsintg コマンドを使用して、不正な認証 データを削除してください。
KAPM02603-E	The resource group already exists. (resource group name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : リソースグループ名	<i>aa...aa</i> というリソースグループは、すでにあり ます。 リソースグループ名称を確認し、ほかのリソース グループと名称が重ならないように変更して ください。
KAPM02604-E	An HcmdsInvalidOperationException occurred.	ユーザー追加操作の設定が間違っています。 ユーザー追加の操作で設定が間違っていないか どうか確認してください。
KAPM02605-E	An HcmdsAuthorizationException occurred.	ユーザーを追加できる権限がありません。 ユーザーを追加できる権限のあるアカウントで 実行してください。
KAPM02606-E	An HcmdsUserManagementException occurred.	ユーザー追加操作で問題が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要で す。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡して ください。
KAPM02607-E	追加できるユーザーかどうかを確認し てください。	追加できるユーザーかどうかを確認してくださ い。
KAPM02615-E	An HSSOException occurred.	HSSOException が発生しました。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		リポジトリが正常に起動しているか確認してください。確認できない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02616-E	An IOException occurred.	IOException が発生しました。 ファイルの入出力が正しいか確認してください。確認できない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02617-E	A CIMException occurred.	CIMException が発生しました。 リポジトリへのアクセス方法が正しいか確認してください。確認できない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02618-E	A CIMUnavailableDatabaseException occurred.	CIMUnavailableDatabaseException が発生しました。 リポジトリへの接続が正しいか確認してください。確認できない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02620-E	The resource group was not found.	リソースグループが見つかりません。
KAPM02625-E	The specified software definition <i>aa...aa</i> was not found. <i>aa...aa</i> : アプリケーション名	指定したソフトウェア定義 <i>aa...aa</i> が見つかりません。
KAPM02630-I	A resource group has been created. (login ID = <i>aa...aa</i> , resource group name = <i>bb...bb</i> , module name = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ログイン ID <i>bb...bb</i> : リソースグループ名 <i>cc...cc</i> : モジュール名	リソースグループが作成されました。(ログイン ID = <i>aa...aa</i> , リソースグループ名 = <i>bb...bb</i> , モジュール名 = <i>cc...cc</i>)
KAPM02631-I	A resource group has been deleted. (login ID = <i>aa...aa</i> , resource group ID = <i>bb...bb</i> , module name = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ログイン ID <i>bb...bb</i> : リソースグループ ID <i>cc...cc</i> : モジュール名	リソースグループが削除されました。(ログイン ID = <i>aa...aa</i> , リソースグループ ID = <i>bb...bb</i> , モジュール名 = <i>cc...cc</i>)
KAPM02632-I	A resource has been added. (login ID = <i>aa...aa</i> , resource group ID = <i>bb...bb</i> , module name = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ログイン ID <i>bb...bb</i> : リソースグループ ID <i>cc...cc</i> : モジュール名	リソースが追加されました。(ログイン ID = <i>aa...aa</i> , リソースグループ ID = <i>bb...bb</i> , モジュール名 = <i>cc...cc</i>)
KAPM02633-I	A resource has been removed. (login ID = <i>aa...aa</i> , resource group ID = <i>bb...bb</i> , module name = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ログイン ID <i>bb...bb</i> : リソースグループ ID <i>cc...cc</i> : モジュール名	リソースが解除されました。(ログイン ID = <i>aa...aa</i> , リソースグループ ID = <i>bb...bb</i> , モジュール名 = <i>cc...cc</i>)
KAPM02634-I	A resource group property has been edited. (login ID = <i>aa...aa</i> , resource group ID = <i>bb...bb</i> , module name = <i>cc...cc</i>)	リソースグループプロパティが編集されました。(ログイン ID = <i>aa...aa</i> , リソースグループ ID = <i>bb...bb</i> , モジュール名 = <i>cc...cc</i>)

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p><i>aa...aa</i> : ログイン ID <i>bb...bb</i> : リソースグループ ID <i>cc...cc</i> : モジュール名</p>	
KAPM02635-E	<p>Creation of a resource group has failed. (login ID = <i>aa...aa</i>, resource group name = <i>bb...bb</i>, module name = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ログイン ID <i>bb...bb</i> : リソースグループ名 <i>cc...cc</i> : モジュール名</p>	リソースグループの作成に失敗しました。(ログイン ID = <i>aa...aa</i> , リソースグループ ID = <i>bb...bb</i> , モジュール名 = <i>cc...cc</i>)
KAPM02636-E	<p>Deletion of a resource group has failed. (login ID = <i>aa...aa</i>, resource group ID = <i>bb...bb</i>, module name = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ログイン ID <i>bb...bb</i> : リソースグループ ID <i>cc...cc</i> : モジュール名</p>	リソースグループの削除に失敗しました。(ログイン ID = <i>aa...aa</i> , リソースグループ ID = <i>bb...bb</i> , モジュール名 = <i>cc...cc</i>)
KAPM02637-E	<p>Addition of a resource has failed. (login ID = <i>aa...aa</i>, resource group ID = <i>bb...bb</i>, module name = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ログイン ID <i>bb...bb</i> : リソースグループ ID <i>cc...cc</i> : モジュール名</p>	リソースの追加に失敗しました。(ログイン ID = <i>aa...aa</i> , リソースグループ ID = <i>bb...bb</i> , モジュール名 = <i>cc...cc</i>)
KAPM02638-E	<p>Removal of a resource has failed. (login ID = <i>aa...aa</i>, resource group ID = <i>bb...bb</i>, module name = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ログイン ID <i>bb...bb</i> : リソースグループ ID <i>cc...cc</i> : モジュール名</p>	リソースの解除に失敗しました。(ログイン ID = <i>aa...aa</i> , リソースグループ ID = <i>bb...bb</i> , モジュール名 = <i>cc...cc</i>)
KAPM02639-E	<p>An attempt to edit a resource group property has failed. (login ID = <i>aa...aa</i>, resource group ID = <i>bb...bb</i>, module name = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ログイン ID <i>bb...bb</i> : リソースグループ ID <i>cc...cc</i> : モジュール名</p>	リソースグループプロパティの編集に失敗しました。(ログイン ID = <i>aa...aa</i> , リソースグループ ID = <i>bb...bb</i> , モジュール名 = <i>cc...cc</i>)
KAPM02650-I	<p>A parameter has been sent. (HSSO token = <i>aa...aa</i>, application name = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : HSSO トークン <i>bb...bb</i> : アプリケーション名</p>	パラメーターが送付されました。(HSSO トークン = <i>aa...aa</i> , アプリケーション名 = <i>bb...bb</i>)
KAPM02651-I	<p>The software definition <i>aa...aa</i> does not exist. <i>aa...aa</i> : アプリケーション名</p>	リポジトリ内に指定されたソフトウェア定義 <i>aa...aa</i> がありません。
KAPM02652-I	<p><i>aa...aa</i> is not associated with a resource bundle. <i>aa...aa</i> : アプリケーション名</p>	<i>aa...aa</i> はリソースバンドルと関連を持っていません。
KAPM02654-E	<p>A ResourceTabHandleException occurred.</p>	ResourceTabHandleException が発生しました。ソフトウェア定義、またはリソースバンドルを正しく登録しているか見直してください。
KAPM02656-I	<p>A parameter has been sent. (HSSO token = <i>aa...aa</i>, application name = <i>bb...bb</i>, resource group ID = <i>cc...cc</i>, resource group name = <i>dd...dd</i>)</p>	パラメーターが送付されました。(HSSO トークン = <i>aa...aa</i> , アプリケーション名 = <i>bb...bb</i> , リソースグループ ID = <i>cc...cc</i> , リソースグループ名 = <i>dd...dd</i>)

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : HSSO トークン <i>bb...bb</i> : アプリケーション名 <i>cc...cc</i> : リソースグループ ID <i>dd...dd</i> : リソースグループ名	
KAPM02659-I	No users that can be added exist.	追加できるユーザーがいません。
KAPM02660-I	A user has been added successfully. (resource group name = <i>aa...aa</i> , user name = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : リソースグループ名 <i>bb...bb</i> : ユーザー名	ユーザーの追加に成功しました。(リソースグループ名 = <i>aa...aa</i> , ユーザー名 = <i>bb...bb</i>)
KAPM02661-I	A user has been removed successfully. (resource group name = <i>aa...aa</i> , user name = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : リソースグループ名 <i>bb...bb</i> : ユーザー名	ユーザー解除に成功しました。(リソースグループ名 = <i>aa...aa</i> , ユーザー名 = <i>bb...bb</i>)
KAPM02670-I	A resource group has been created.	リソースグループが作成されました。
KAPM02671-I	A resource group has been deleted.	リソースグループが削除されました。
KAPM02672-I	A resource has been added.	リソースが追加されました。
KAPM02674-I	A resource group property has been edited.	リソースグループプロパティが編集されました。
KAPM02675-E	Creation of a resource group has failed.	リソースグループの作成に失敗しました。
KAPM02676-E	Deletion of a resource group has failed.	リソースグループの削除に失敗しました。
KAPM02677-E	Addition of a resource has failed.	リソースの追加に失敗しました。
KAPM02679-E	An attempt to edit a resource group property has failed.	リソースグループプロパティの編集に失敗しました。
KAPM02704-W	An invalid RUAccessPoint object was created. Addition to the launch list is not performed. Name= <i>aa...aa</i> , URL= <i>bb...bb</i> , TokenVersion= <i>cc...cc</i> , IconUrl= <i>dd...dd</i> , IconMsg= <i>ee...ee</i> <i>aa...aa</i> : 表示名 <i>bb...bb</i> : ラUNCH URL <i>cc...cc</i> : トークンバージョン <i>dd...dd</i> : アイコン URL <i>ee...ee</i> : アイコンメッセージ	不正な RUAccessPoint オブジェクトが作成されました。ラUNCHリストへは追加しません。
KAPM02705-E	CIMException occurred. The processing that acquires RUAccessPoint will now be interrupted.	CIMException が発生しました。RUAccessPoint の取得が中断されます。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02706-E	The URL format is failed. URL= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : URL	URL の形式が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02801-I	[SQL]: <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 実行した SQL ステートメント	実行した SQL ステートメントです。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02802-E	A HcmdsExecException occurred. Message= <i>aa...aa</i> , Reason= <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : 例外のメッセージ <i>bb...bb</i> : 例外の詳細メッセージ	HcmdsExecException が発生しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM02803-E	Option is invalid.	コマンドのオプションが不正です。 オプションを確認してください。
KAPM02804-E	A Exception occurred. Message= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 例外の詳細メッセージ	例外が発生しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02805-E	[Stack Trace] <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 例外のスタックトレース	スタックトレースを出力します。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02806-E	A FileNotFoundException occurred.	FileNotFoundException が発生しました。 指定のフォルダにファイルが存在することを確認してください。
KAPM02807-E	A IOException occurred.	IOException が発生しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02809-E	A SQLException occurred. Message= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 例外の詳細メッセージ	SQLException が発生しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02810-E	An EXECUPDATE statement failed. Execution SQL statement = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 実行した SQL ステートメント	EXECUPDATE ステートメントが失敗しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02811-E	A ClassNotFoundException occurred.	ClassNotFoundException が発生しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02812-E	A SQL statement failed. Message= <i>aa...aa</i> , Reason= <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : エラーメッセージ <i>bb...bb</i> : 理由	SQL ステートメントが失敗しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02813-E	An EXECQUERY statement failed. Execution SQL statement = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 実行した SQL ステートメント	EXECQUERY ステートメントが失敗しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02814-E	A SQLException occurred.	SQLException が発生しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM02815-E	File is not found. file-name = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : ファイル名	ファイルが見つかりません。 指定のフォルダにファイルが存在することを確認してください。
KAPM02816-I	Record No.: <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : レコード番号	レコード番号を表示します。
KAPM02817-I	Column count: <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : カラムの数	カラムの数を表示します。
KAPM02818-I	<i>aa...aa</i> : <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : カラム名 <i>bb...bb</i> : 値	カラム名と値の組を表示します。
KAPM02891-E	DB is not found.	データベースが見つかりません。 次に示すファイルの DATABASE.path の値を確認してください。 Windows 版: <Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ>%conf %user.conf Solaris 版または Linux 版: /opt/HiCommand/ Base/conf/user.conf
KAPM02892-E	User name or password is invalid.	ユーザー名とパスワードが不正です。 次に示すファイルの DATABASE.user または DATABASE.password の値を確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Windows 版:< <i>Hitachi Command Suite</i> 共通コンポーネントインストールフォルダ>%conf %user.conf Solaris 版または Linux 版: /opt/HiCommand/Base/conf/user.conf
KAPM02893-E	The host name is invalid.	ホスト名が不正です。 次に示すファイルの DATABASE.hostname の値を確認してください。 Windows 版:< <i>Hitachi Command Suite</i> 共通コンポーネントインストールフォルダ>%conf %user.conf Solaris 版または Linux 版: /opt/HiCommand/Base/conf/user.conf
KAPM02894-E	No suitable driver exists.	適当なドライバではありません。 次に示すファイルの DATABASE.type の値を確認してください。 Windows 版:< <i>Hitachi Command Suite</i> 共通コンポーネントインストールフォルダ>%conf %user.conf Solaris 版または Linux 版: /opt/HiCommand/Base/conf/user.conf
KAPM02895-E	A connection to InterClient could not be established.	InterClient への接続が確立できません。 InterClient が起動しているかを確認してください。
KAPM02896-E	A connection to InterBase could not be established.	InterBase への接続が確立できません。 InterBase のサービスが起動しているかを確認してください。
KAPM02899-E	Fatal error.	処理を続行できません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM02901-I	[Trace]: aa...aa aa...aa : トレースメッセージ	トレースメッセージです。 次に示すメッセージが出力されます。 <ul style="list-style-type: none"> • Read legacy record. • Order of hcmdsID change from x to 0. • Change legacy record. • Update CIMClient From 01-00 to 01-01. • Already update. • Update DB Version. • Create TNB_Classes. • Create TNB_ClassAttribute. • Drop TNB_SERVICEACCESSBYSAP. • Drop TNB_SOFTWAREFEATURESERVICEIMPL. • Drop CIMClasses. • Succeed in update DataBase.
KAPM02902-E	A ClassNotFoundException occurred.	Java の Class が見つかりません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM02903-E	A HcmdsUpdateException occurred. Message = aa...aa, Reason = bb...bb	HcmdsUpdateException が発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : 例外の詳細メッセージ <i>bb...bb</i> : 例外発生理由	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM02904-E	An option is invalid.	コマンドのオプションが不正です。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM02905-E	An exception occurred. Message = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 例外の詳細メッセージ	例外が発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM02906-E	[Stack Trace]: <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 例外のスタックトレース	スタックトレースです。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM02907-E	A SQLException occurred. Message = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 例外の詳細メッセージ	SQLException が発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM02910-E	A SELECT statement failed. Table name = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 操作テーブル名	SELECT ステートメントに失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM02911-E	An ALTER statement failed. Table name = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 操作テーブル名	ALTER ステートメントに失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM02912-E	A DROP statement failed. Table name = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 操作テーブル名	DROP ステートメントに失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM02913-E	An UPDATE statement failed. Table name = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 操作テーブル名	UPDATE ステートメントに失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM02914-E	An EXECUPDATE statement failed. Execution SQL statement = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 実行した SQL ステートメント	EXECUPDATE ステートメントに失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM02980-I	Update CIMClient from 01-00 to 01-01.	データベースの更新を開始します。
KAPM02981-I	The database has already been updated.	すでにデータベースが更新されています。
KAPM02982-I	The database was successfully updated.	データベースの更新に成功しました。
KAPM02991-E	DB is not found.	データベースが見つかりません。次に示すファイルの DATABASE.path が正しく設定されているか確認してください。 Windows 版: <Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ>\%conf \user.conf

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Solaris 版または Linux 版 : /opt/HiCommand/ Base/conf/user.conf
KAPM02992-E	User name or password is invalid.	データベースにアクセスするユーザー名、または パスワードが不正です。 次に示すファイルの DATABASE.user および DATABASE.password が正しく設定されてい るか確認してください。 Windows 版 : < Hitachi Command Suite 共通コ ンポーネントインストールフォルダ > ¥conf ¥user.conf Solaris 版または Linux 版 : /opt/HiCommand/ Base/conf/user.conf
KAPM02993-E	The host name is invalid.	アクセスするデータベースのホスト名が不正で す。 次に示すファイルの DATABASE.hostname が正 しく設定されているか確認してください。 Windows 版 : < Hitachi Command Suite 共通コ ンポーネントインストールフォルダ > ¥conf ¥user.conf Solaris 版または Linux 版 : /opt/HiCommand/ Base/conf/user.conf
KAPM02994-E	No suitable driver exists.	データベースにアクセスするドライバー名が不 正です。 次に示すファイルの DATABASE.type が正しく 設定されているか確認してください。 Windows 版 : < Hitachi Command Suite 共通コ ンポーネントインストールフォルダ > ¥conf ¥user.conf Solaris 版または Linux 版 : /opt/HiCommand/ Base/conf/user.conf
KAPM02995-E	A connection to InterClient could not be established.	InterClient との通信でエラーが発生しました。 InterClient が起動しているかを確認してくださ い。
KAPM02996-E	A connection to InterBase could not be established.	InterBase と通信ができませんでした。 InterBase のサービスが起動しているかを確認 してください。
KAPM02999-E	Fatal error.	例外エラーが発生しました。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM03001-E	Illegal parameters have been specified to create HSSO Context.	HSSO コンテキスト生成時のパラメーターに誤 りがあります。 正しいユーザー ID、パスワードを指定してくだ さい。
KAPM03004-E	HSSO サーバでエラーが発生しまし た。	HSSO サーバでエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要で す。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡して ください。
KAPM03005-E	CIM クライアント生成時にエラーが発 生しました。	CIM クライアント生成時にエラーが発生しまし た。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要で す。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡して ください。
KAPM03006-E	An unexpected error occurred.	予期しないエラーが発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM03007-E	ブラウザがフレームに対応していません。	ブラウザがフレームに対応していません。ブラウザは Internet Explorer 5.5 以降または Netscape 6 以降を使用してください。
KAPM03026-E	A CIMException was generated during Console screen display processing.	コンソール画面の表示処理中に CIMException が発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM03050-E	JP1/IM-View から送信されてくるパラメータが不正です。	JP1/IM-View から送信されてくるパラメータが不正です。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM03051-E	The Launchurl is invalid.	Launchurl が正しくありません。
KAPM03052-E	The JP1user ID is invalid.	JP1 ユーザー ID が正しくありません。
KAPM03053-E	The JP1token is invalid.	JP1 トークンが正しくありません。
KAPM03054-E	An acquisition failure occurred in RequestDispatcher.	リクエストディスパッチャーが取得できませんでした。
KAPM03055-E	JavaScript が有効になっていません。	JavaScript が有効になっていません。JavaScript を使用できるブラウザを使用してください。また、スクリプトを拒否する設定になっている場合は、JavaScript が使用できるよう、ブラウザの設定を変更してください。
KAPM03080-E	HSSOIllegalArgumentException: Illegal parameters have been specified to create HSSO Context.	不正なパラメーターのため HSSO コンテキストを作成できません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM03081-E	HSSONotRegisteredException: The application is not registered.	指定されたアプリケーション名が存在しません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM03082-E	HSSOAuthenticationException: Authentication failed.	認証に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM03083-E	HSSOServerErrorException: An error occurred in HSSO Server.	HSSO サーバでエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM03084-E	IOException: HSSO SERVER Connection Error.	HSSO サーバへの接続でエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM03085-E	HSSOIllegalArgumentException: "createToken()" was used before authentication.	認証成功前に "createToken()" が使用されました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM03086-E	HSSOIllegalStateException: An unsupported version is specified.	サポートしていないバージョンが指定されました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM03087-E	An error occurred while accessing the DBMS.	DBMS へのアクセス中にエラーが発生しました。 DBMS, HBase Storage Mgmt Web Service, および HBase Storage Mgmt Common Service が起動していることを確認してください。起動している場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM03105-E	A CIMException was generated during menu bar display processing.	メニューバーの表示処理中に CIMException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM03106-E	A CIMException was generated during subwindow display processing.	サブウィンドウの表示処理中に CIMException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM03107-E	A CIMRepositoryException was generated during menu bar display processing.	メニューバーの表示処理中に CIMRepositoryException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM03108-E	A CIMRepositoryException was generated during subwindow display processing.	サブウィンドウの表示処理中に CIMRepositoryException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM03109-E	A CIMProviderException was generated during menu bar display processing.	メニューバーの表示処理中に CIMProviderException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM03110-E	A CIMProviderException was generated during subwindow display processing.	サブウィンドウの表示処理中に CIMProviderException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM03111-E	An exception was generated during menu bar display processing.	メニューバーの表示処理中に予期しないエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM03112-E	An exception was generated during subwindow display processing.	サブウィンドウの表示処理中に予期しないエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM03113-E	A NoSuchElementException was generated during menu bar display processing.	メニューバーの表示処理中に NoSuchElementException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03114-E	A NoSuchElementException was generated during subwindow display processing.	サブウィンドウの表示処理中に NoSuchElementException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03119-I	ログアウトしますか？	ログアウトしますか？
KAPM03120-I	アプリケーションを終了しますか？	アプリケーションを終了しますか？
KAPM03122-E	The request parameter for a launch is invalid.	ラウンチに必要なリクエストパラメーターが不正です。 再度実行してください。表示できない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03123-E	Could not acquire the required parameter. ParmName= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : パラメーター名	必須パラメーターが取得できません。 再度実行してください。表示できない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03124-E	Failed to changing of token version. Token= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : トークン名	トークンのバージョン変換に失敗しました。 再度実行してください。表示できない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03125-E	Failed to getting of service information. Description= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 詳細	サービス情報の取得に失敗しました。 再度実行してください。表示できない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03304-E	パス文字列の取得に失敗しました。	パス文字列の取得に失敗しました。 再度ログインしてください。
KAPM03354-W	A value is not set because an argument is invalid.	引数が不正であるため、値はセットされません。
KAPM03355-W	A value is not acquired because an argument is invalid.	引数が不正であるため、値は取得されません。
KAPM03356-W	A default is set because an argument is invalid. default = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : デフォルト	引数が不正であるため、デフォルトがセットされます。
KAPM03357-E	A parameter of request is invalid. paramName = <i>aa...aa</i> , value = <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : パラメーター名 <i>bb...bb</i> : 値	リクエストのパラメーターが不正です。 再度ログインしてください。
KAPM03358-E	The tree element is invalid. treeElement = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : ツリーエレメント	ツリーエレメントが不正に作成されました。 再度ログインしてください。
KAPM03361-E	An attempt to get the root element data has failed.	ルート要素の情報取得に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03362-E	An attempt to get the common repository has failed.	リポジトリの取得に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03363-E	An attempt to get the common resource has failed.	共通リソースの取得に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03364-E	The registered data in the common repository is invalid.	リポジトリに登録されているデータが不正です。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03366-E	An attempt to get the name of default view is invalid. application name = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : アプリケーション名	デフォルトビュー名の取得に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03368-W	An invalid association definition exists in the repository. instance = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : インスタンス	不正なアソシエーション定義がリポジトリに存在します。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03370-W	A tree element relation (TNB_AssocNavigationDef) is invalid. name= <i>aa...aa</i> , associationClass= <i>bb...bb</i> , fromName= <i>cc...cc</i> , toClassName= <i>dd...dd</i> , fromRole= <i>ee...ee</i> , toRole= <i>ff...ff</i> <i>aa...aa</i> : 関連名 <i>bb...bb</i> : 関連クラス <i>cc...cc</i> : 関連元クラス名 <i>dd...dd</i> : 関連先クラス名 <i>ee...ee</i> : 関連元属性 <i>ff...ff</i> : 関連先属性	不正なツリー要素関連 (TNB_AssocNavigationDef) が存在します。
KAPM03371-W	A tree element relation (TNB_AllInstanceNavigationDef) is invalid. name= <i>aa...aa</i> , fromName= <i>bb...bb</i> , toClassName= <i>cc...cc</i> <i>aa...aa</i> : 関連名 <i>bb...bb</i> : 関連元クラス名 <i>cc...cc</i> : 関連先クラス名	不正なツリー要素関連 (TNB_AllInstanceNavigationDef) が存在します。
KAPM03375-W	An attempt to get the tree element data has failed. element = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : エレメント	ツリー要素の取得に失敗しました。
KAPM03377-W	A tree has not been created in the state where the specification object was opened. objectName = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : オブジェクト名	指定オブジェクトをオープンした状態で、ツリーを作成できませんでした。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM03378-W	The specified object does not exist or is not shown in the tree. pathName = aa...aa, objectName = bb...bb aa...aa : パス名 bb...bb : オブジェクト名	指定されたオブジェクトは存在しないか、ツリーに表示されていません。
KAPM03379-E	An attempt to create a tree from a request has failed.	リクエストからのツリーの作成に失敗しました。再度ログインしてください。
KAPM03380-W	An active object was not found. By default, the root object will be set.	アクティブオブジェクトが見つかりませんでした。デフォルトでルートオブジェクトがセットされます。
KAPM03381-E	内部エラーが発生しました。"再表示"ボタンを押すと初期のオブジェクトツリーを表示します。表示できない場合は再度ログインから始めてください。	内部エラーが発生しました。 [再表示] ボタンを押して初期のオブジェクトツリーを表示してください。表示できない場合は、再度ログインしてください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM03382-E	内部エラーが発生しました。"再表示"ボタンを押すと初期のオブジェクトツリーを表示します。表示できない場合は保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。	内部エラーが発生しました。 [再表示] ボタンを押して初期のオブジェクトツリーを表示してください。表示できない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM03383-E	内部エラーが発生しました。操作をし直してください。それでも問題が解決されない場合、再度ログインから始めてください。	内部エラーが発生しました。操作をし直してください。それでも問題が解決されない場合は、再度ログインから始めてください。 次の対処をしてください。 1. 直前の操作をし直す。 2. 再度ログインしてみる。 3. 問題が解決しない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡する。
KAPM03384-E	内部エラーが発生しました。操作をし直してください。それでも問題が解決されない場合、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。	内部エラーが発生しました。 直前の操作をし直してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM03501-E	選択されたオブジェクトから CIM オブジェクト名が得られません。	選択されたオブジェクトから CIM オブジェクト名が得られません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM03502-W	There is no default method.	デフォルトメソッドが存在しません。
KAPM03503-W	The repository data is invalid, so the localization object acquisition failed.	リポジトリデータが不正なため地域化オブジェクト取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM03504-W	A resource is not found, so the localization object acquisition failed.	リソースが見つからないため地域化オブジェクト取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM03505-W	選択されたオブジェクトはすでに削除されています。	選択されたオブジェクトはすでに削除されています。 統合コンソール画面の NavigationFrame の [更新] リンクを押してください。
KAPM03702-E	A HSSOIllegalStateException occurred during launch.	Launch 実行中に HSSOIllegalStateException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03703-E	An attempt to get to the URL encoding of a token failed. token = aa...aa aa...aa : トークン	トークンの URL エンコードに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03708-E	A HSSOAuthenticationException was generated during user profile display processing.	ユーザープロフィール表示時に HSSOAuthenticationException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03709-E	A HSSOIllegalArgumentException was generated during user profile display processing.	ユーザープロフィール表示時に HSSOIllegalArgumentException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03710-E	A HSSOServerErrorException was generated during user profile display processing.	ユーザープロフィール表示時に HSSOServerErrorException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03712-E	An attempt to get membership groups failed.	所属グループの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03716-E	The format of the URL bb...bb for the object aa...aa is invalid. aa...aa : オブジェクト名 bb...bb : URL	オブジェクト aa...aa の URL bb...bb の形式が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03717-W	The resource bb...bb for object aa...aa cannot be accessed. aa...aa : オブジェクト名 bb...bb : リソース名	オブジェクト aa...aa のリソース bb...bb にアクセスできません。
KAPM03718-E	The data format of the resource bb...bb for the object aa...aa is invalid. aa...aa : オブジェクト名 bb...bb : リソース名	オブジェクト aa...aa のリソース bb...bb は不正なデータ形式です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03721-E	The attribute bb...bb for object aa...aa is missing. aa...aa : オブジェクト名 bb...bb : 関連先属性値	オブジェクト aa...aa に属性 bb...bb がありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM03722-E	The resource information of <i>bb...bb</i> for object <i>aa...aa</i> is missing. <i>aa...aa</i> : オブジェクト名 <i>bb...bb</i> : 関連名	オブジェクト <i>aa...aa</i> の関連 <i>bb...bb</i> にリソースの情報がありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03723-E	Property <i>cc...cc</i> of <i>bb...bb</i> for object <i>aa...aa</i> is missing. <i>aa...aa</i> : オブジェクト名 <i>bb...bb</i> : 関連名 <i>cc...cc</i> : 関連先属性値	オブジェクト <i>aa...aa</i> の関連 <i>bb...bb</i> に属性 <i>cc...cc</i> がありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03931-W	セッションが無効です。ログインからやり直してください。	セッションが無効です。ログインし直してください。 画面を閉じて、ログインページから再びログインしてください。
KAPM03951-E	内部エラーが発生しました。	内部エラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03952-E	An attempt to get the Session has failed.	セッションの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03954-E	An attempt to get the HSSOSubject has failed.	HSSOSubject の取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03956-E	正常にログインされていません。	正常にログインされていません。 正しいユーザー ID、パスワードを指定し、ログインし直してください。
KAPM03957-E	リポジトリアクセス時にエラーが発生しました。	リポジトリアクセス時にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03958-E	リクエストの種類が不正です。	リクエストの種類が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03960-E	An attempt to get the string from the ResourceBundle failed.	リソースバンドルからの文字列の取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03961-E	" <i>aa...aa</i> " のリクエストディスパッチャー取得に失敗しました。 <i>aa...aa</i> : 予期していないオペレーション名	" <i>aa...aa</i> " のリクエストディスパッチャーの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03962-E	An attempt to get the application name has failed.	アプリケーション名の取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03963-E	認証に失敗しました。	認証に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ログインし直してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM03964-E	Single Sign On Server でエラーが発生しました。	<p>Single Sign On Server でエラーが発生しました。</p> <p>次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. HiCommand V3.x シリーズを使用している場合は、InterBase が起動していることを確認する。HiCommand V4.x シリーズ以降を使用している場合は、HiRDB が起動していることを確認する。 2. Device Manager を使用している場合は、起動していることを確認する。 3. Device Manager の Web サーバ機能が使用するポートが正しいか確認する。 4. hcmdssup コマンドでリポジトリの場所を変更している場合は、変更したポートが正しいか確認する。 5. 問題が解決しない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口ご連絡する。
KAPM03965-E	Single Sign On Server でエラーが発生しました。	<p>Single Sign On Server でエラーが発生しました。</p> <p>次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. HiCommand V3.x シリーズを使用している場合は、InterBase が起動していることを確認する。起動していない場合は、InterBase を起動させてから再度ログインする。起動している場合は、Single Sign On Server を再起動してから再度ログインする。 HiCommand V4.x シリーズ以降を使用している場合は、HiRDB が起動していることを確認する。起動していない場合は、HiRDB を起動させてから再度ログインする。起動している場合は、Single Sign On Server を再起動してから、再度ログインする。 2. Device Manager を使用している場合は、起動していることを確認する。 3. Device Manager の Web サーバ機能が使用するポートに誤りがないことを確認する。 4. hcmdssup コマンドでリポジトリの場所を変更している場合は、変更したポートに誤りがないことを確認する。 5. 問題が解決しない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口ご連絡する。
KAPM03966-E	Single Sign On Server の通信に失敗しました。	<p>Single Sign On Server の通信に失敗しました。接続先の Web サーバまたはプロキシサーバで障害が発生しています。次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Single Sign On Server が起動していることを確認する。 2. Device Manager の Web サーバ機能が使用するポートが正しいか確認する。 3. hcmdssup コマンドでリポジトリの場所を変更している場合は、変更したポートが正しいか確認する。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM03967-E	Single Sign On Server の通信に失敗しました。	Single Sign On Server の通信に失敗しました。 接続先の Web サーバまたはプロキシサーバで障害が発生しています。次の対処をしてください。 1. Common Web Service が起動していることを確認する。 2. Device Manager の Web サーバ機能が使用するポートが正しいか確認する。 3. hcmdssup コマンドでリポジトリの場所を変更している場合は、変更したポートが正しいか確認する。
KAPM03968-E	The token is invalid. token= <i>aa...aa</i> . <i>aa...aa</i> : トークン	トークンが無効です。 ログインし直してください。
KAPM03969-E	The request is invalid.token= <i>aa...aa</i> . The name of application= <i>bb...bb</i> . <i>aa...aa</i> : トークン <i>bb...bb</i> : アプリケーション名	要求が不正です。 ログインし直してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03970-E	The request is invalid.token= <i>aa...aa</i> . The name of application= <i>bb...bb</i> . <i>aa...aa</i> : トークン <i>bb...bb</i> : アプリケーション名	要求が不正です。 ログインからやり直してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03971-E	The application is not registered. The name of application= <i>aa...aa</i> . <i>aa...aa</i> : アプリケーション名	アプリケーションが登録されていません。 ログインし直してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04001-I	usage start.	コマンドの usage 出力メソッドを開始するときに表示します。
KAPM04002-I	usage is finished.	コマンドの usage 出力メソッドを終了するときに表示します。
KAPM04003-I	hcmdssup start.	hcmdssup コマンドを開始しました。
KAPM04004-I	hcmdssup is finished.	hcmdssup コマンドが終了しました。
KAPM04006-W	Log initialization has failed.	hcmdssup 中のログを出力するための処理が失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04007-E	File is not found. file-name= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : ファイル名	ファイルが見つかりません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04008-E	The error has occurred in file access. file-name= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : ファイル名	hssso.conf にアクセス時にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04009-E	<i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : NumberFormatException のメッセージ	hcmdssup の処理中に NumberFormatException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM04010-E	<i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : <code>IllegalArgumentException</code> のメッセージ	hcmdssup の処理中に <code>IllegalArgumentException</code> が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM04011-E	<i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : <code>NullPointerException</code> のメッセージ	File オブジェクトの生成などで <code>NullPointerException</code> が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM04012-E	<i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : <code>IndexOutOfBoundsException</code> のメッセージ	hcmdssup 中の処理で <code>IndexOutOfBoundsException</code> が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM04013-E	<i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : <code>SecurityException</code> のメッセージ	システムプロパティにアクセスしようとしたときに <code>SecurityException</code> が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM04014-E	<i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : <code>Exception</code> のメッセージ	予想外の例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM04022-E	Hostname is too long.	ホスト名が長過ぎます。 ホスト名は 64 バイト以下にしてください。
KAPM04023-E	Portnumber is invalid.	ポート番号が不正です。 ポート番号は 1 から 65535 の間の値にしてください。
KAPM04024-E	Portnumber is invalid.	ポート番号が不正です。 ポート番号が int 型の範囲外と考えられます。 引数をご確認ください。
KAPM04025-I	hcmdssup has succeeded.	hcmdssup コマンドが成功しました。
KAPM04026-E	hcmdssup has failed.	hcmdssup コマンドが失敗しました。 直前のメッセージに従って対処してください。
KAPM04027-E	The SSL port number is invalid.	ポート番号が不正です。 ポート番号は 1 から 65535 までの値を設定してください。
KAPM04028-E	The SSL port number is invalid.	ポート番号が不正です。 ポート番号が整数型ではありません。引数をご確認ください。
KAPM04034-E	An attempt to read the file hssso.conf has failed.	hssso.conf ファイルの読み込みに失敗しました。 次のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • hssso.conf ファイルがあるか • hssso.conf ファイルのアクセス権限があるか • hssso.conf ファイルが使用中でないか
KAPM04035-E	An attempt to write to the file hssso.conf has failed.	hssso.conf ファイルの書き込みに失敗しました。 次のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • hssso.conf ファイルがあるか

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> • hssso.conf ファイルのアクセス権限があるか • hssso.conf ファイルが使用中でないか
KAPM04036-E	The specified command line input is invalid. (input data = aa...aa) aa...aa : 入力値	指定したコマンドラインが不正です。 正しいオプションを指定してからコマンドを再実行してください。
KAPM04038-E	The specified host name is invalid.	指定したホスト名が不正です。 正しいオプションを指定してからコマンドを再実行してください。
KAPM04040-E	The specified port number is invalid.	指定したポート番号が不正です。 正しいオプションを指定してからコマンドを再実行してください。
KAPM04042-E	The specified SSL port number is invalid.	指定した SSL ポート番号が不正です。 正しいオプションを指定してからコマンドを再実行してください。
KAPM04050-I	The command hcmdsprmset ended successfully.	コマンドが終了しました。
KAPM04051-E	The command hcmdsprmset has failed.	コマンドが失敗しました。 正しいオプションを指定してからコマンドを再実行してください。
KAPM04052-E	An option is invalid.	指定したコマンドラインが不正です。 コマンド形式を確認してください。
KAPM04059-E	The specified host name is too long.	指定したホスト名が長過ぎます。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04061-E	The value specified for an option is invalid.	オプションに指定した値が不正です。 オプションに指定した値を見直し、正しい値を入力してください。
KAPM04101-E	Container server name is invalid. Server=aa...aa aa...aa : コンテナサーバ名	コンテナサーバ名が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04102-E	Archive file is not found. file=aa...aa aa...aa : アrchiveファイル名	アーカイブファイルが見つかりません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04103-E	Program type is invalid. type=aa...aa aa...aa : プログラム種別	プログラム種別が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04104-I	Starting web application registration...	アプリケーションの登録を開始します。
KAPM04105-E	Privilege is invalid.	コマンドを実行する権限がありません。 Administrator 権限を持っているユーザーでコマンドを実行してください。
KAPM04106-E	Cannot get tmpjavavm.properties file name.	tmpjavavm.properties ファイル名の取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM04107-E	Failed to get service registration status. service= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービス名	サービス登録ステータスの取得に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04108-E	Cannot get javavm.properties file name.	javavm.properties ファイル名の取得に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04109-E	Cannot set JavaVM option.	JavaVM オプション定義の設定に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04110-E	Cannot set Java options.	Java オプションの設定に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04111-E	An attempt to check whether a program type exists in the hcmdswebpp.ini file has failed.	プログラム種別が hcmdswebpp.ini ファイルに存在するかどうかのチェックに失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04112-E	Cannot write hcmdswebpp.ini file.	サービス登録状態の hcmdswebpp.ini ファイルへの書き込みが失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04113-E	Service registration has failed. service= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービス名	サービスの登録に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04114-E	Failed to get service registration status. service= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービス名	サービス登録ステータスの取得に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04115-E	Service registration has failed. service= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービス名	サービスの登録に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04116-I	hcmdsweb registration has succeeded.	登録処理が成功しました。
KAPM04117-I	Starting web application deletion...	アプリケーションの削除を開始します。
KAPM04118-E	Program type is not registered. type= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : プログラム種別	プログラム種別は登録されていません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04119-E	Cannot delete service and folder.	サービスとフォルダを削除できません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04120-E	Cannot delete hcmdswebpp.ini file.	hcmdswebpp.ini ファイルからサービス登録状態を削除できません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM04121-I	hcmdsweb deletion has succeeded.	削除処理が成功しました。
KAPM04122-E	Cannot get only a war file name.	war ファイル名だけ取得できません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM04123-E	Cannot get hcmdswebpp.ini file name.	hcmdswebpp.ini ファイル名の取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM04124-E	Cannot get tmp hcmdswebpp.ini file name.	一時 hcmdswebpp.ini ファイル名の取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM04125-E	Log initialization has failed.	ログを出力するための処理が失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM04126-E	Cannot insert new line character.	改行文字の挿入に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM04127-E	An attempt to exchange hcmdswebpp.ini with tmp hcmdswebpp.ini has failed.	hcmdswebpp.ini ファイルと一時 hcmdswebpp.ini ファイルの交換に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM04128-E	hcmdsweb registration has failed.	登録処理が失敗しました。 直前のメッセージに従って対処してください。
KAPM04129-E	hcmdsweb deletion has failed.	削除処理が失敗しました。 直前のメッセージに従って対処してください。
KAPM04130-E	Cannot read hcmdswebpp.ini file.	hcmdswebpp.ini ファイルの読み込みに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM04131-E	OpenSCManager command error.	OpenSCManager コマンドの実行時にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM04132-E	Access is denied.	アクセスが拒否されました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM04133-E	The parameter is incorrect.	パラメーターが間違っています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04134-E	The database specified does not exist.	指定されたデータベースは存在しません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04135-E	An unexpected error occurred. Error code = aa...aa aa...aa : 終了コード	想定外のエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04136-E	RegOpenKeyEx command error.ErrorCode(aa...aa) aa...aa : 終了コード	RegOpenKeyEx コマンドの実行時にエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04137-E	A duplicate name exists on the network.	ネットワーク上に同じ名前があります。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04138-E	The filename, directory name, or volume label syntax is incorrect.	ファイル名、ディレクトリ名、またはボリュームラベルの構文が間違っています。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04139-E	The account name is invalid or does not exist.	アカウント名が無効であるか、または存在しません。あるいは、指定したアカウント名のパスワードが無効です。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04140-E	Circular service dependency was specified.	循環するサービス依存関係が指定されました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04141-E	Service already exists. service=aa...aa aa...aa : サービス名	指定されたサービスはすでに登録されています。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04142-E	The handle is invalid.	ハンドルが無効です。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04143-E	The specified service has been marked for deletion.	指定されたサービスは削除の対象としてマークされています。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04144-E	CreateService command error. code=aa...aa aa...aa : エラーコード	CreateService コマンドの実行時にエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM04145-E	DeleteService command error. code= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : エラーコード	DeleteService コマンドの実行時にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04146-E	OpenService command error. code= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : エラーコード	OpenService コマンドの実行時にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04147-E	The specified service does not exist as an installed service.	指定されたサービスは、インストールされたサービスとして存在しません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04148-E	RegQueryValueEx command error. code= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : エラーコード	RegQueryValueEx コマンドの実行時にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04149-E	The error has occurred in <i>aa...aa</i> command. code= <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : コマンド <i>bb...bb</i> : エラーコード	<i>aa...aa</i> コマンドの実行時にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04150-E	The directory cannot be removed. directory= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : ディレクトリ名	ディレクトリを削除できません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04151-E	The directory is not empty. directory= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : ディレクトリ名	ディレクトリが空ではありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04152-E	The directory name is invalid. directory= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : ディレクトリ名	ディレクトリ名が無効です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04153-E	QueryServiceStatus command error. code= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : エラーコード	QueryServiceStatus コマンドの実行時にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04154-E	Failed to get installation directory.	インストールディレクトリ名の取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04155-E	Failed to get Service name. service= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービス名	サービス名の取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04156-E	Service is running. service= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービス名	サービスが起動中です。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		サービスを停止してからコマンドを再度実行してください。
KAPM04157-E	Failed to get service status. service= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービス名	サービス状態の取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04158-E	File is not found. file= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : ファイル名	ファイルが見つかりません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04159-E	Failed to delete specified file. file= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : ファイル名	ファイルの削除に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04160-E	Failed to rename <i>aa...aa</i> to <i>bb...bb</i> . <i>aa...aa</i> : 変更前ファイル名 <i>bb...bb</i> : 変更後ファイル名	ファイル名の変更に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04161-E	Privilege is invalid to access <i>aa...aa</i> file. <i>aa...aa</i> : ファイル名	ファイルのアクセス権限がありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04162-E	Failed to copy from <i>aa...aa</i> to <i>bb...bb</i> . <i>aa...aa</i> : コピー元ファイル名 <i>bb...bb</i> : コピー先ファイル名	ファイルのコピーに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04163-E	Failed to delete service. service= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービス名	サービスの削除に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04164-W	Failed to delete the war file. file= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : war ファイル名	war ファイルの削除に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04165-W	Failed to delete the folder. folder= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : フォルダ名	フォルダの削除に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04166-E	Failed to delete service. service= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービス名	サービスの削除に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04167-E	Failed to get service folder. service- folder= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービスフォルダ名	サービスフォルダの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04168-W	Failed to delete service folder. service-folder= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービスフォルダ名	サービスフォルダの削除に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04169-E	File is not found. file= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : ファイル名	ファイルが見つかりません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04172-E	Failed to write usrconf.properties to installation information.	usrconf.properties へのインストール情報の書き込みに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04173-E	Failed to read usrconf.properties file.	usrconf.properties ファイルの読み込みに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04174-E	Failed to exchange usrconf.properties to tmpusrconf.properties.	usrconf.properties と tmpusrconf.properties の交換に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04175-E	Failed to create directory. directory= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : ディレクトリ名	ディレクトリ作成に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04176-E	Failed to get the war file name. file= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : ファイル名	展開する war ファイル名の取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04177-E	Failed to read javavm.properties file.	javavm.properties ファイルの読み込みに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04178-E	An attempt to exchange javavm.properties with tmpjavavm.properties has failed.	javavm.properties と tmpjavavm.properties の交換に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04197-I	Service registration has succeeded. service= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービス名	サービスの登録が成功しました。
KAPM04198-I	Service registration has succeeded. service= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービス名	サービスの登録が成功しました。
KAPM04202-I	Service deletion has succeeded. service= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービス名	サービスの削除が成功しました。
KAPM04205-E	Memory alloc error. code= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : エラーコード	メモリー確保エラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04206-E	The system cannot find the file specified.	指定したファイルが見つかりません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM04207-E	The system cannot find the path specified.	指定されたパスが見つかりません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM04208-E	The system cannot open the file.	ファイルを開くことができません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM04209-E	The process cannot access the file because it is being used by another process.	プロセスはファイルにアクセスできません。別のプロセスが使用中です。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM04211-E	Failed to get tmpusrconf.properties file name.	tmpusrconf.properties ファイル名の取得に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM04212-E	Failed to get usrconf.properties file name.	usrconf.properties ファイル名の取得に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM04213-E	ExtractionWarFolderPath function error.	ExtractionWarFolderPath 関数でエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM04214-E	Failed to get web-users.xml file name.	web-users.xml ファイル名の取得に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM04215-E	Failed to get template usrconf.properties file name.	テンプレート usrconf.properties ファイル名の取得に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM04216-E	Failed to get template web-users.xml file name.	テンプレート web-users.xml ファイル名の取得に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM04217-E	Failed to get template javavm.properties file name.	テンプレート javavm.properties ファイル名の取得に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM04218-E	Failed to get Display name.	ディスプレイ名の取得に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM04219-E	Failed to load hnr2t.dll. code= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : エラーコード	hnr2t.dll のダイナミックロードに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM04220-E	The file option is invalid.	file オプションが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM04221-E	The type option is invalid.	type オプションが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM04222-E	The server option is invalid.	server オプションが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM04223-E	The classpath option is invalid.	classpath オプションが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM04224-E	The librarypath option is invalid.	librarypath オプションが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM04225-E	The javaoption option is invalid.	javaoption オプションが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM04226-E	The Xms option is invalid.	Xms オプションが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM04227-E	The Xmx option is invalid.	Xmx オプションが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM04228-E	RegCreateKeyEx command error. code= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : エラーコード	RegCreateKeyEx コマンドの実行時にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM04229-E	RegSetValueEx command error. code= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : エラーコード	RegSetValueEx コマンドの実行時にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM04230-I	Service deletion has succeeded. service= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービス名	サービスの削除が成功しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM04231-E	Failed to read usrconf.properties file.	usrconf.properties ファイルの読み込みに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04232-E	An attempt to register the program type in the registry failed. program type = aa...aa aa...aa : プログラム種別	レジストリーにプログラム種別を登録することに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04233-E	An attempt to delete the program type in the registry failed. program type = aa...aa aa...aa : プログラム種別	レジストリーからプログラム種別を削除することに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04234-E	Failed to remake service.	サービス情報の作成し直しに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04235-E	The minimum heap size has exceeded the maximum heap size.	最小ヒープサイズが最大ヒープサイズを上回っています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04236-E	The minimum heap size has exceeded the already set up maximum heap size.	最小ヒープサイズがすでに設定されている最大ヒープサイズを上回っています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04237-E	The service name exceeds 256 characters.	サービス名が 256 文字を超えています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04238-E	The service registration is not possible because the service name exceeds 256 characters.	サービス名が 256 文字を超えているため、サービスを登録できません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04239-E	An attempt to get the service control manager execution file path failed.	サービス制御マネージャーの実行ファイルパスの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04240-E	An error occurred when the environment settings folder was created.	環境設定フォルダの作成時にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04241-E	An error occurred when the environment settings file was set.	環境設定ファイルの設定時にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM04242-E	An error occurred when the web application archive file was expanded.	Web アプリケーションアーカイブファイルの展開時にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04243-E	An error occurred when a directory expanded with the web application archive file was deleted.	Web アプリケーションアーカイブファイルを展開したディレクトリの削除時にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04244-E	An error occurred when registering and updating the web server.	Web サーバ登録および更新時にエラーが発生しました。 プラットフォームが Windows の場合は、サービスウィンドウを閉じてから、再度実行してください。それ以外の場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04245-E	An error occurred when registering and updating Tomcat.	Tomcat の登録および更新時にエラーが発生しました。 プラットフォームが Windows の場合は、サービスウィンドウを閉じてから、再度実行してください。プラットフォームが Windows 以外の場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04246-E	An error occurred when the usrconf.properties file was merged.	usrconf.properties ファイルのマージ処理時にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04247-E	An attempt to acquire the number of file lines has failed.	ファイル行数の取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04248-E	An attempt to create Map information has failed.	Map 情報の作成に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04249-E	An attempt to read data from a file has failed.	ファイルからのデータ読み取りに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04250-E	An attempt to set the javaVM debug option has failed.	JavaVM のデバッグオプションの設定に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04251-E	The jvmoption option is invalid.	jvmoption オプションが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04252-E	An error occurred in an internal function. (call function = aa...aa, use	内部関数でエラーが発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	function = <i>bb...bb</i> , note = <i>cc...cc</i> , error code = <i>dd...dd</i> <i>aa...aa</i> : 呼び出し関数 <i>bb...bb</i> : 使用関数 <i>cc...cc</i> : 備考 <i>dd...dd</i> : エラーコード	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04253-E	A memory allocation error occurred. (call function = <i>aa...aa</i> , use function = <i>bb...bb</i> , note = <i>cc...cc</i> , error code = <i>dd...dd</i>) <i>aa...aa</i> : 呼び出し関数 <i>bb...bb</i> : 使用関数 <i>cc...cc</i> : 備考 <i>dd...dd</i> : エラーコード	メモリー確保エラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04254-E	An attempt to acquire the daemon shell name has failed.	デーモンシェル名の取得に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04255-E	An attempt to write service registration information to the version file has failed.	サービス登録情報をバージョンファイルに書き込むことに失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04256-E	An attempt to delete service registration information from the version file has failed.	サービス登録情報をバージョンファイルから削除することに失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04257-E	An attempt to start the <code>hcmdssrv</code> command has failed.	<code>hcmdssrv</code> コマンドの起動に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04258-E	An error occurred during execution of the <code>hcmdssrv</code> command.	<code>hcmdssrv</code> コマンドでエラーが発生しました。 <code>hcmdssrv</code> コマンドのログを参照してください。
KAPM04259-E	An attempt to create the boot shell has failed.	起動停止シェル作成に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04260-E	The startup mode of the service is invalid. (start mode = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 起動モード	サービスの起動モードが不正です。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04261-E	The starttype option is invalid.	<code>starttype</code> オプションが不正です。 <code>starttype</code> オプションの指定を確認してください。
KAPM04262-E	An attempt to create the <code>usrconf.cfg</code> file has failed.	<code>usrconf.cfg</code> ファイルの作成に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04263-E	An attempt to deploy the compiled JSP file has failed.	コンパイル済み JSP ファイルの配備に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04264-E	A path was not found for the Web application folder. (folder path = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : フォルダのパス	Web アプリケーションフォルダのパスが見つかりません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04265-E	A path was not found for the compiled JSP storage folder. (folder path = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : フォルダのパス	コンパイル済み JSP ファイルを格納しているフォルダのパスが見つかりません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04266-E	The contents of the directory are invalid. (Directory path = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ディレクトリのパス	ディレクトリの内容が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04267-W	An attempt to delete the hwc directory has failed. (Directory path = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ディレクトリのパス	hwc ディレクトリの削除に失敗しました。
KAPM04271-E	An attempt to update the web application version has failed.	Web アプリケーションのバージョンアップに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04272-E	Failed to delete specified directory. Directory= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : ディレクトリ	ディレクトリの削除に失敗しました。 直前のメッセージ KAPMxxxxx-W を参照してください。
KAPM04273-W	An attempt to execute the <i>aa...aa</i> function has failed. (error code = <i>bb...bb</i> , description = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : 関数名 <i>bb...bb</i> : エラーコード <i>cc...cc</i> : エラーの説明	サービスの説明追加に失敗した場合に表示します。 サービスの説明は追加されませんでした。次回 hcmdsweb コマンドが実行されたときに追加されます。
KAPM04274-E	An attempt to load the DLL has failed.	DLL のロードに失敗した場合に表示します。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04275-E	An attempt to acquire the function address in the DLL has failed.	DLL 中の関数のアドレス取得に失敗した場合に表示します。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04276-E	The file does not exist. (file name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ファイル名	ファイルがない場合に表示します。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04279-E	An attempt to add a service description has failed.	サービスの説明の追加に失敗した場合に表示します。 直前のメッセージに従って対処してください。
KAPM04280-E	A memory allocation error occurred.	メモリー確保エラーが発生した場合に表示します。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		次に続くメッセージを参照してください。
KAPM04281-E	The specified service is not registered.	説明を追加しようとしたサービスが登録されていない場合に表示します。 次に続くメッセージを参照してください。
KAPM04282-E	An attempt to acquire the installation directory has failed.	Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダのパスの取得に失敗した場合に表示します。 次に続くメッセージを参照してください。
KAPM04283-E	The name of the specified service is invalid.	説明を追加しようとしたサービス名が不正な場合に表示します。 次に続くメッセージを参照してください。
KAPM04284-E	An attempt to access the service explanation definition file has failed.	サービス説明定義ファイルにアクセスできない場合に表示します。 次に続くメッセージを参照してください。
KAPM04285-E	The service explanation definition file is invalid.	サービス説明定義ファイルの内容が不正な場合に表示します。 次に続くメッセージを参照してください。
KAPM04286-E	An attempt to change a service configuration parameter has failed.	サービスの構成パラメーターの変更に失敗した場合に表示します。 次に続くメッセージを参照してください。
KAPM04287-E	An attempt to connect the service control manager has failed.	サービス制御マネージャーとの接続に失敗した場合に表示します。 次に続くメッセージを参照してください。
KAPM04288-E	An attempt to open the service handle has failed.	サービスのハンドルオープンに失敗した場合に表示します。 次に続くメッセージを参照してください。
KAPM04289-E	An attempt to access the service explanation definition file has failed.	サービス説明定義ファイルにアクセスできない場合に表示します。 次に続くメッセージを参照してください。
KAPM04290-E	The service name was not specified.	サービス名が指定されていない場合に表示します。 次に続くメッセージを参照してください。
KAPM04291-I	Registration of the <i>aa...aa</i> Web application will now start. <i>aa...aa</i> : 製品名	Web アプリケーションの登録を開始します。
KAPM04292-I	Deletion of the <i>aa...aa</i> Web application will now start. <i>aa...aa</i> : 製品名	Web アプリケーションの削除を開始します。
KAPM04293-E	An attempt to delete the JSP servlet class file has failed.	JSP サーブレットクラスファイルの削除に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04294-I	The JSP servlet class file was deleted successfully.	JSP サーブレットクラスファイルの削除に成功しました。
KAPM04295-I	Deletion of the JSP servlet class file will now start.	JSP サーブレットクラスファイルの削除処理を開始します。
KAPM04296-I	Deletion of the JSP servlet class file will now end.	JSP サーブレットクラスファイルの削除処理を終了します。
KAPM04300-I	Uninstallation of <i>aa...aa</i> has started. <i>aa...aa</i> : 製品名	" <i>aa...aa</i> "のアンインストールを開始しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM04301-I	[All processing has finished.]	すべての処理が終了しました。
KAPM04302-I	Uninstallation was successful.	アンインストールが成功しました。
KAPM04303-I	All of the services for <i>aa...aa</i> have been deleted. <i>aa...aa</i> : 製品名	" <i>aa...aa</i> "のすべてのサービスが削除されました。
KAPM04304-I	Restart the machine, and then execute the program again.	マシンを再起動してから、プログラムを再度実行してください。
KAPM04305-E	Uninstallation has failed.	アンインストールが失敗しました。 手動で削除してください。
KAPM04306-I	Uninstallation was successful. Restart the machine.	アンインストールが成功しました。マシンを再起動してください。
KAPM04307-E	" <i>aa...aa</i> " has not stopped. Stop the service, and then try again. <i>aa...aa</i> : サービス名	" <i>aa...aa</i> "が停止していません。 サービスを停止してから、再度実行してください。
KAPM04311-E	An attempt to acquire an installation path for <i>aa...aa</i> has failed. Manually delete the installation directory. <i>aa...aa</i> : 製品名	" <i>aa...aa</i> "のインストールパスを取得できませんでした。 インストール先のディレクトリを手動で削除してください。
KAPM04312-E	An attempt to acquire registry information has failed.	レジストリー情報の取得に失敗しました。
KAPM04313-E	An attempt to acquire the registry information has failed. Manually delete the registry information.	レジストリー情報の取得に失敗しました。レジストリー情報を手動で削除してください。
KAPM04314-E	Some files remained. Manually delete them.	いくつかのファイルが残りました。残りのファイルは手動で削除してください。
KAPM04315-W	All the files for <i>aa...aa</i> will now be deleted. Is this OK? <i>aa...aa</i> : 製品名	削除を実行するか確認のメッセージが表示されます。
KAPM04316-W	Are you sure you want to delete all of the files?	本当によろしいですか？
KAPM04317-I	Uninstallation was interrupted.	アンインストールが中断されました。
KAPM04318-I	The OS setting information was successfully deleted.	OS 設定情報を削除しました。
KAPM04319-E	An attempt to delete the OS setting information has failed.	OS 設定情報を削除できませんでした。 手動で OS 設定情報を削除してください。
KAPM04320-W	The resident process " <i>aa...aa</i> " has not stopped. <i>aa...aa</i> : プロセス名	常駐プロセス" <i>aa...aa</i> "が停止していません。
KAPM04321-I	The OS settings information will now be deleted to stop the resident process.	常駐プロセス停止のため、OS 設定情報を削除します。
KAPM04378-E	DOMException: <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : Exception のメッセージ	DOMException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04379-E	RuntimeException occurred. <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : Exception のメッセージ	RuntimeException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM04380-E	MalformedURLException occurred. aa...aa aa...aa : Exception のメッセージ	MalformedURLException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04381-E	IllegalDataException occurred.	オプションで指定されたデータに不正があるか、またはコマンドの実行に必要なデータが不足しています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04382-E	IllegalOptionException occurred.	オプションの指定に誤りがあります。 メッセージに従い、正しいオプションを指定してコマンドを実行してください。
KAPM04383-E	IOException occurred. aa...aa aa...aa : Exception のメッセージ	IOException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04384-E	SAXException occurred. aa...aa aa...aa : Exception のメッセージ	SAXException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04385-E	HttpProtocolException occurred. aa...aa aa...aa : Exception のメッセージ	HttpProtocolException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04386-E	ServerNotStartException occurred.	コマンドの実行に必要なサービスが起動していません。 Device Manager, HiCommand Suite Common Web Service, HiCommand Suite Single Sign On Service が起動しているか、これらのサービスが使用するポート番号が正しいか確認してください。
KAPM04389-E	Exception occurred. aa...aa aa...aa : Exception のメッセージ	Exception が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04401-I	Initializing servlet.	サーブレットの初期化を開始します。
KAPM04405-E	Can't read DTD file.	DTD ファイルの読み込みに失敗しました。 Windows 版: < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ > %sample %conf の hcndsrepClient.dtd と hcndsrepServer.dtd を、 < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ > %conf にコピーしてください。 Solaris 版または Linux 版: /opt/HiCommand/Base/sample/conf の hcndsrepClient.dtd と hcndsrepServer.dtd を、 /opt/HiCommand/Base/conf にコピーしてください。
KAPM04411-I	HTTP:POST from aa...aa aa...aa : IP アドレス	リクエストしてきたクライアントの IP アドレスです。
KAPM04421-E	The error has occurred in Repository process.	リポジトリへのアクセス時に障害が発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		HiCommand V3.x シリーズを使用している場合は、InterBase または InterClient が起動しているかどうか確認してください。 HiCommand V4.x シリーズ以降を使用している場合は、HiRDB が起動しているかどうか確認してください。 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM04422-E	The illegal data has detected in Server process.	サブレットの処理中に不正なデータを検出しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM04423-E	The error has occurred in Server process.	サブレットの処理中に障害が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM04426-E	The version is incorrect. Version <i>aa...aa</i> is required. <i>aa...aa</i> : サーバがサポート可能なバージョン	クライアントのバージョンが 1.0 以外です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM04429-E	An error occurred during server processing.	サブレットの処理中に障害が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM04440-E	Token has timed out.	利用可能な期限を過ぎたトークンが使用されました。 hcndsrep コマンドを再実行してください。
KAPM04446-I	Starting information registration...	リポジトリへの登録を開始します。
KAPM04455-W	<i>aa...aa</i> has already registered in Repository. <i>aa...aa</i> : type オプションと displayname オプションで指定した値	add オプションで指定した type オプションと displayname オプションの組み合わせがすでにリポジトリに登録されています。 異なる type オプションと displayname オプションの組み合わせでコマンドを実行してください。
KAPM04463-W	<i>aa...aa</i> is not found in Repository. <i>aa...aa</i> : type オプションと displayname オプションで指定した値	削除しようとした情報がリポジトリに登録されていません。 登録されている情報を指定し、コマンドを実行してください。
KAPM04464-E	<i>aa...aa</i> is associated with more than one ServiceAccessPoint Instances. <i>aa...aa</i> : type オプションと displayname オプションで指定した値	削除しようとした製品に対して複数のラUNCH情報が登録されています。 データベースが壊れているおそれがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM04465-I	Starting information deletion...	リポジトリから製品情報の削除を開始します。
KAPM04468-W	<i>aa...aa</i> is not found in Repository. <i>aa...aa</i> : type オプションと displayname オプションで指定した値	リポジトリに type オプションで指定されたプログラム種別が登録されていません。 正しいプログラム種別を指定して、コマンドを実行してください。
KAPM04472-I	Starting information display...	リポジトリから表示情報の取得を開始します。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM04475-W	No results were found in Repository.	リポジトリに指定した製品の情報が1件も登録されていません。
KAPM04480-E	Type name is too Long.	リポジトリに登録されている Type の値が 20 文字以上です。 データベースが壊れているおそれがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04481-E	Type or URL is not set.	リポジトリに登録されている Type または URL の値が空文字列("")です。 データベースが壊れているおそれがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04489-E	This version does not support the add option.	add オプションはこのバージョンではサポートしていません。 add オプションは使用できません。
KAPM04499-E	Detail of exception: aa...aa aa...aa : 例外の内容	例外の詳細です。
KAPM04510-E	Option is invalid. option= aa...aa aa...aa : オプション	オプションが不正です。 正しいオプションを指定してコマンドを実行してください。
KAPM04511-E	Option is invalid. option= aa...aa aa...aa : オプション	オプションが不正です。 正しいオプションを指定してコマンドを実行してください。
KAPM04512-E	Option is invalid. option= aa...aa aa...aa : オプション	オプションが不正です。 正しいオプションを指定してコマンドを実行してください。
KAPM04513-E	Option value is invalid. option-value=aa...aa aa...aa : オプションの値	オプションの値が不正です。 正しいオプションを指定してコマンドを実行してください。
KAPM04514-E	Following Option is not supported: aa...aa aa...aa : オプション	オプションが不正です。 正しいオプションを指定してコマンドを実行してください。
KAPM04515-E	Option is invalid. option= aa...aa aa...aa : オプション	オプションが不正です。 正しいオプションを指定してコマンドを実行してください。
KAPM04516-E	Option is invalid. option= aa...aa aa...aa : オプション	オプションが不正です。 正しいオプションを指定してコマンドを実行してください。
KAPM04517-E	Option is invalid.	オプションが不正です。 正しいオプションを指定してコマンドを実行してください。
KAPM04518-E	Option is invalid.	オプションが不正です。 正しいオプションを指定してコマンドを実行してください。
KAPM04519-E	Option is invalid.	オプションが不正です。 正しいオプションを指定してコマンドを実行してください。
KAPM04520-E	Option is invalid.	オプションが不正です。 正しいオプションを指定してコマンドを実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM04521-E	Option is invalid.	オプションが不正です。 正しいオプションを指定してコマンドを実行してください。
KAPM04522-E	Invalid Group or Role.	グループまたはユーザー権限が不正です。 Global グループに属していて、かつ Admin 権限を持つユーザーのユーザー名およびパスワードを指定してください。
KAPM04523-E	Username or password is invalid.	指定したユーザー名またはパスワードが不正です。 Device Manager に登録されているユーザー名およびパスワードを指定してください。
KAPM04524-E	Failed to connect to HiCommand Suite Single Sign On Service.	HiCommand Single Sign On Service の接続に失敗しました。 HiCommand Single Sign On Service の状態を確認してください。
KAPM04525-E	Failed to connect to HiCommand Device Manager.	Device Manager の接続に失敗しました。 Device Manager のサービスが起動されているかどうか確認してください。
KAPM04526-E	HSSOException occurred.	HSSOException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04527-E	FileNotFoundException occurred.	FileNotFoundException が発生しました。 Windows 版：<Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ>%sample %conf の hcmsrepClient.dtd と hcmsrepServer.dtd を、<Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ>%conf にコピーしてください。 Solaris 版または Linux 版：/opt/HiCommand/Base/sample/conf の hcmsrepClient.dtd と hcmsrepServer.dtd を、/opt/HiCommand/Base/conf にコピーしてください。
KAPM04528-E	IOException occurred.	IOException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04529-E	Option needs value. option= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : オプション	オプションの値が指定されていません。 値を指定してコマンドを実行してください。
KAPM04553-E	IOException occurred. <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : Exception のメッセージ	例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04554-E	Not support tag type detected.	XML に hcmsrep で処理できないタイプのタグが含まれています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04555-E	Value is too long.	オプションで指定した文字列が長過ぎます。 文字数の制限値を超えない文字列を入力してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM04556-E	Failed to connect to HiCommand Suite Common Web Service.	HiCommand Suite Common Web Service に接続できませんでした。 HiCommand Suite Common Web Service が開始しているか確認してください。
KAPM04557-E	A single sign-on server exception has occurred.	認証サーバとの通信に失敗しました。 HiCommandServer, および利用するデータベースが起動しているかどうか確認してください。 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04558-E	An invalid role was detected.	ユーザー権限が不正です。 Admin 権限または Peer 権限を持つユーザーのユーザー名およびパスワードを指定してください。
KAPM04560-I	hcmsrep add has succeeded. <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : プログラム種別	アプリケーション情報の登録が成功しました。
KAPM04561-I	hcmsrep delete has succeeded. <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : プログラム種別	アプリケーション情報の削除が成功しました。
KAPM04562-E	hcmsrep add has failed. <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : プログラム種別	アプリケーション情報の登録が失敗しました。 直前のメッセージに従って対処してください。
KAPM04563-E	hcmsrep delete has failed. <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : プログラム種別	アプリケーション情報の削除が失敗しました。 直前のメッセージに従って対処してください。
KAPM04601-E	Command format is invalid.	コマンドラインが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04602-E	Command format is invalid. invalid-param= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 不正パラメーター	コマンドラインが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04603-E	File is not found. file-name= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : ファイル名	指定されたファイルが見つかりません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04604-E	Directory is not found. directory-name= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : ディレクトリ名	ディレクトリが見つかりません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04605-E	Bundle PP Name is invalid. name= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 不正パラメーター	type オプションに指定された値が有効ではありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04606-E	Web Container server is invalid. name= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 不正パラメーター	server オプションに指定された値が有効ではありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04608-I	Setup completed successfully.	セットアップが成功しました。
KAPM04609-E	Failed to create file. file-name= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : ファイル名	ファイルの生成に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04613-I	Delete completed successfully.	アンセットアップが成功しました。
KAPM04614-E	Failed to setup server.	サーバのセットアップに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04615-E	Failed to delete server.	サーバの削除に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04616-E	Server is running. pid= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : プロセス ID	サーバが起動しています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04702-E	The option(s) specified is insufficient.	オプションの指定が不足しています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04703-E	The option value specified is invalid.	オプションと値の対応づけに誤りがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04705-E	The option " <i>aa...aa</i> " is not supported. <i>aa...aa</i> : オプション名	" <i>aa...aa</i> "オプションはサポートしていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04706-E	The option " <i>aa...aa</i> " appears 2 times or more. <i>aa...aa</i> : オプション名	" <i>aa...aa</i> "オプションが2回以上指定されています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04707-E	The combination of options is invalid.	オプションの組み合わせに誤りがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04710-E	An exception occurred.	例外が発生しました。詳細は後続のメッセージ KAPM49001-E を参照してください。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04711-E	The file " <i>aa...aa</i> " could not be read. <i>aa...aa</i> : ファイル名	<i>aa...aa</i> ファイルにアクセスできません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04713-E	The input XML contains a grammar mistake.	入力された XML に文法の誤りがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04714-E	Failed to connect to HBase Storage Mgmt Common Service.	HBase Storage Mgmt Common Service に接続できませんでした。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		HBase Storage Mgmt Common Service のサービスが起動しているか確認してください。
KAPM04715-E	Failed to connect to HBase Storage Mgmt Web Service.	HBase Storage Mgmt Web Service に接続できませんでした。 HBase Storage Mgmt Web Service が開始しているか確認してください。HBase Storage Mgmt Web Service が開始している場合は、hssso.conf のホストが正しく設定されているか確認してください。 Windows 版: < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ > ¥conf ¥hssso.conf Solaris 版または Linux 版: /opt/HiCommand/Base/conf/hssso.conf
KAPM04716-E	Failed to connect to the host specified in hssso.conf.	hssso.conf に設定されているホストへの接続に失敗しました。 hssso.conf のホストが正しく設定されているか確認してください。 Windows 版: < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ > ¥conf ¥hssso.conf Solaris 版または Linux 版: /opt/HiCommand/Base/conf/hssso.conf
KAPM04717-E	An invalid URL was detected. (aa...aa) aa...aa : URL	不正な URL を検出しました。 URL の指定を確認してください。
KAPM04718-E	The server returned an empty response.	サーバから取得したデータに処理結果が含まれていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04719-E	An unsupported element type was detected in the XML.	入力された XML に、サポートされていないタイプの DOM エレメントが含まれています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04722-W	aa...aa error(s) were detected in the response. aa...aa : エラーの個数	レスポンスに aa...aa 個のエラーがありました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04723-E	Invalid error information was detected.	不正なエラー情報を検出しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04724-E	Invalid server information was detected.	不正なサーバ情報を検出しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04800-E	Authentication information is insufficient.	受信した SOAP メッセージ中にユーザー認証情報が含まれていません。 ユーザー認証情報も送信する SOAP クライアントプログラムを使用してください。
KAPM04801-E	Authentication has failed.	指定されたユーザー認証情報（ユーザー名、パスワードなど）で認証できません。詳細は後続の

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		メッセージ KAPM49001-E を参照してください。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04802-E	A single sign-on server communication exception has occurred.	認証サーバとの通信に失敗しました。詳細は後続のメッセージ KAPM49001-E を参照してください。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04803-E	A single sign-on server exception has occurred.	認証サーバで例外が発生しました。詳細は後続のメッセージ KAPM49001-E を参照してください。 HiCommand V3.x シリーズを使用している場合は、InterServer/InterBase または Device Manager が開始しているか確認してください。 HiCommand V4.x シリーズ以降を使用している場合は、HiRDB または Device Manager が開始しているか確認してください。 それ以外の場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04805-E	An XML parser exception occurred.	XML パーサーで例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04806-E	The received XML element <i>aa...aa</i> contains an unexpected value <i>cc...cc</i> for attribute <i>bb...bb</i> . The expected value is <i>dd...dd</i> . TARGET= <i>ee...ee</i> <i>aa...aa</i> : 予期しない値を含む XML 要素タグ名 <i>bb...bb</i> : 予期しない値が設定された属性名 <i>cc...cc</i> : 予期しない属性値 <i>dd...dd</i> : サーバが期待する属性値 <i>ee...ee</i> : 処理対象の情報	受信した XML の要素 <i>aa...aa</i> の属性 <i>bb...bb</i> に予期しない値 <i>cc...cc</i> が指定されました。サーバが予期している値は <i>dd...dd</i> です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04807-E	The XML element <i>aa...aa</i> is not allowed as a child of element <i>bb...bb</i> . TARGET= <i>cc...cc</i> <i>aa...aa</i> : 予期しない要素のタグ名 <i>bb...bb</i> : 予期しない要素を含む要素のタグ名 <i>cc...cc</i> : 処理対象の情報	XML 形式が不正です。予期しない要素があります。XML の要素 <i>bb...bb</i> の子要素 <i>aa...aa</i> は予期しない要素です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04808-W	The received XML attribute <i>aa...aa</i> is not allowed as an attribute of <i>bb...bb</i> . TARGET= <i>cc...cc</i> <i>aa...aa</i> : 予期しない属性の属性名 <i>bb...bb</i> : 予期しない属性を持つ要素のタグ名 <i>cc...cc</i> : 処理対象の情報	XML 形式が不正です。予期しない属性があります。XML の要素 <i>bb...bb</i> の属性 <i>aa...aa</i> は予期しない属性です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM04809-E	Message catalog information is insufficient for the log message. TARGET= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 処理対象の情報	ログが採取できないため、処理を続行できません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04810-E	A CIM Repository exception occurred. TARGET= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 処理対象の情報	CIM リポジトリで例外が発生しました。詳細は後続のメッセージ KAPM49001-E を参照してください。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04812-E	Failed to connect to HiCommand Device Manager.	Device Manager に接続できませんでした。 Device Manager が起動しているか、init.conf の HDVM.host の値が正しく設定されているかを確認してください。
KAPM04813-E	An exception occurred. TARGET= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 処理対象の情報	予期しないサーバ異常が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04814-W	The CIM datatype <i>aa...aa</i> is invalid for <i>bb...bb</i> ; it will be handled as a string type. <i>aa...aa</i> : 指定された CIM データ型名 <i>bb...bb</i> : 指定データ型が指定された属性名	CIM 属性 <i>bb...bb</i> の型としてサポートしていない CIM データ型 <i>aa...aa</i> が指定されました。文字列型として処理します。 文字列型として扱われて困る場合は、効果を打ち消す処理をします。
KAPM04815-E	This operation <i>aa...aa</i> is unknown. TARGET= <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : 予期していないオペレーション名 <i>bb...bb</i> : 処理対象の情報	予期しないオペレーションです。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04816-E	INSTANCENAME cannot be used for the set operation. TARGET= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 処理対象の情報	set オペレーションは、受信した XML 中の INSTANCENAME 要素を処理できません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04817-E	The CIM operation <i>aa...aa</i> is missing required argument <i>bb...bb</i> . TARGET= <i>cc...cc</i> <i>aa...aa</i> : CIM オペレーション名 <i>bb...bb</i> : 必須パラメーター名 <i>cc...cc</i> : 処理対象の情報	CIM オペレーション <i>aa...aa</i> に必須のパラメーター <i>bb...bb</i> が指定されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04818-I	Starting CIM access... Method = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : リポジトリアクセス API の Java メソッド名	CIM リポジトリにアクセスを開始しました。
KAPM04819-I	Ending CIM access...	CIM リポジトリのアクセスが完了しました。
KAPM04820-I	Receiving a request..	リクエストを受信しています。
KAPM04821-I	Replying to the request....	リクエストに返信しています。
KAPM04826-I	The instance has been updated. TARGET= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 処理対象の情報	set オペレーションでインスタンスが更新されました。
KAPM04827-I	A new instance has been created. TARGET= <i>aa...aa</i>	set オペレーションでインスタンスを作成しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : 処理対象の情報	
KAPM04828-I	The class is empty. TARGET= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 処理対象の情報	enumerate オペレーションの結果が空です。
KAPM04829-I	The instance could not be found. TARGET= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 処理対象の情報	enumerate オペレーションで削除対象のインスタンスが見つかりませんでした。
KAPM04830-I	The instance was deleted. TARGET= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 処理対象の情報	enumerate オペレーションでインスタンスを削除しました。
KAPM04832-E	The input data <i>aa...aa</i> is not valid for data type <i>bb...bb</i> . TARGET= <i>cc...cc</i> <i>aa...aa</i> : 入力データ値 <i>bb...bb</i> : 入力データ型 <i>cc...cc</i> : 処理対象の情報	入力された値 <i>aa...aa</i> は、データ型 <i>bb...bb</i> として正しくありません。詳細は後続のメッセージ KAPM49001-E を参照してください。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04833-E	The received XML element <i>bb...bb</i> is missing a required attribute <i>aa...aa</i> . TARGET= <i>cc...cc</i> <i>aa...aa</i> : 必要な属性名 <i>bb...bb</i> : 属性を含むべき XML 要素タグ名 <i>cc...cc</i> : 処理対象の情報	受信した XML の要素 <i>bb...bb</i> が必要な属性 <i>aa...aa</i> を含んでいません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04834-E	The received XML element <i>bb...bb</i> is missing a required child element <i>aa...aa</i> . TARGET= <i>cc...cc</i> <i>aa...aa</i> : 必要な要素タグ名 <i>bb...bb</i> : 親要素タグ名 <i>cc...cc</i> : 処理対象の情報	受信した XML の要素 <i>bb...bb</i> が必要な要素 <i>aa...aa</i> を含んでいません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04835-W	The received XML element <i>bb...bb</i> has no child element <i>aa...aa</i> . TARGET= <i>cc...cc</i> <i>aa...aa</i> : 必要な要素タグ名 <i>bb...bb</i> : 親要素タグ名 <i>cc...cc</i> : 処理対象の情報	受信した XML の要素 <i>bb...bb</i> が要素 <i>aa...aa</i> を含んでいません。送信する XML の要素 <i>bb...bb</i> に要素 <i>aa...aa</i> を指定します。
KAPM04836-E	The received XML element <i>aa...aa</i> with attribute <i>bb...bb=cc...cc</i> is duplicated. TARGET= <i>dd...dd</i> <i>aa...aa</i> : 重複している XML 要素タグ名 <i>bb...bb</i> : 要素を識別する属性名 <i>cc...cc</i> : 要素を識別する属性値 <i>dd...dd</i> : 処理対象の情報	受信した XML で、属性 <i>bb...bb=cc...cc</i> を持つ要素 <i>aa...aa</i> が重複しています。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04837-E	The XML element <i>aa...aa</i> as child of element <i>bb...bb</i> is duplicated. TARGET= <i>cc...cc</i> <i>aa...aa</i> : 重複している XML 要素タグ名 <i>bb...bb</i> : 親要素タグ名 <i>cc...cc</i> : 処理対象の情報	XML 要素 <i>bb...bb</i> の子要素 <i>aa...aa</i> が重複しています。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04838-I	The class has been created. TARGET= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 処理対象の情報	クラスが生成されました。
KAPM04839-I	The class already exist. TARGET= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 処理対象の情報	クラスはすでに存在します。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM04840-I	The class could not be found. TARGET= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 処理対象の情報	クラスが見つかりませんでした。
KAPM04841-I	The class was deleted. TARGET= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 処理対象の情報	クラスは消去されました。
KAPM04842-E	The class <i>aa...aa</i> of the instance is invalid. TARGET= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 処理対象の情報	指定したインスタンスの属するクラスが存在しません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04901-E	The parameter is invalid.	指定されたパラメーターに誤りがあります。適切なパラメーターを指定してください。
KAPM04902-E	A fatal error occurred.	致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04905-E	An attempt to open the file failed. Path = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : ファイルの絶対パス	ファイルのオープンに失敗しました。 ファイルが表示されたパスに存在するか、または使用可能であることを確認してください。
KAPM04906-I	The alias for <i>aa...aa</i> was set. <i>aa...aa</i> : PP 名	<i>aa...aa</i> のエイリアスを設定しました。
KAPM04907-I	The alias for <i>aa...aa</i> was overwritten. <i>aa...aa</i> : PP 名	<i>aa...aa</i> のエイリアスを上書きしました。
KAPM04908-I	The alias for <i>aa...aa</i> was deleted. <i>aa...aa</i> : PP 名	<i>aa...aa</i> のエイリアスを削除しました。
KAPM04909-E	The alias for <i>aa...aa</i> does not exist. <i>aa...aa</i> : PP 名	<i>aa...aa</i> のエイリアスは存在しません。
KAPM04910-W	The alias for <i>aa...aa</i> does not exist. <i>aa...aa</i> : PP 名	<i>aa...aa</i> のエイリアスは存在しません。
KAPM04933-E	An option is invalid.	オプションが不正です。
KAPM04950-I	PrintWriter was created. path = " <i>aa...aa</i> ", file = " <i>bb...bb</i> " <i>aa...aa</i> : ファイル" <i>bb...bb</i> "のパス名 <i>bb...bb</i> : ファイル名	PrintWriter クラスが作成されました。
KAPM04951-I	BufferedReader was created. path = " <i>aa...aa</i> ", file = " <i>bb...bb</i> " <i>aa...aa</i> : ファイル" <i>bb...bb</i> "のパス名 <i>bb...bb</i> : ファイル名	BufferedReader クラスが作成されました。
KAPM04952-E	The file was not found. path = " <i>aa...aa</i> ", file = " <i>bb...bb</i> " <i>aa...aa</i> : ファイル" <i>bb...bb</i> "のパス名 <i>bb...bb</i> : ファイル名	ファイルが見つかりません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04953-I	PrintWriter has closed.	PrintWriter クラスをクローズします。
KAPM04954-W	PrintWriter cannot be closed. PrintWriter is null.	PrintWriter クラスをクローズできませんでした。PrintWriter クラスは null です。
KAPM04955-I	BufferedReader has closed.	BufferedReader クラスをクローズします。
KAPM04956-W	BufferedReader cannot be closed. BufferedReader is null.	BufferedReader クラスをクローズできませんでした。BufferedReader クラスは null です。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM04957-E	The specified application command is not registered. application name = "aa...aa" aa...aa : オプションで指定したアプリケーション名	指定されたアプリケーションのコマンドは登録されていません。
KAPM04958-E	The specified application command is already registered. application name = "aa...aa" aa...aa : アプリケーション名	指定されたアプリケーションのコマンドはすでに登録されています。
KAPM04959-I	aa...aa has been added to the file. aa...aa : アプリケーション名	aa...aa をファイルに追加しました。
KAPM04960-I	aa...aa has been removed from the file. aa...aa : アプリケーション名	aa...aa をファイルから削除しました。
KAPM04970-I	Processing ended normally.	正常に終了しました。
KAPM04971-E	The specified command is already registered.	指定のコマンドはすでに登録されています。
KAPM04972-E	The specified command is not registered.	指定のコマンドが登録されていません。
KAPM04973-E	An option is invalid.	引数に誤りがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04974-E	An unexpected error occurred.	予期しないエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04975-E	The type of OS is unknown.	OSの種類が不明です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04976-E	IllegalOptionException occurred. Description = "aa...aa" aa...aa : エラーの詳細	IllegalOptionException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04977-E	InconsistencyException occurred. Description = "aa...aa" aa...aa : エラーの詳細	InconsistencyException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05001-I	hcmdssrv was entered.	hcmdssrv コマンドが入力されました。
KAPM05002-E	Command format is invalid.	オプションが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05003-E	Option is invalid. option=aa...aa aa...aa : 不正パラメーター	オプションが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05004-E	Server name is invalid. server-name=aa...aa aa...aa : サーバ名	サーバ名が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM05005-E	The Win32API has failed. API name= <i>aa...aa</i> , error code= <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : WIN32API 名 <i>bb...bb</i> : GetLastError()の結果	WIN32API でエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05006-E	Failed to start service. service-name= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービス名	サービスの起動に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05007-I	Already started service. service-name= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービス名	すでにサービスは起動しています。
KAPM05008-E	Failed to stop service. service-name= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービス名	サービスの停止に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05009-I	Already stopped service. service-name= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービス名	すでにサービスは停止しています。
KAPM05010-E	Failed to query service. service-name= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービス名	サービスの状態の問い合わせに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05011-E	Failed to control service.	サービスの制御に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05012-E	Failed to access registry. maintenance-code= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 保守コード	レジストリーのアクセスに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05013-W	Failed to read init.conf. maintenance-code= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 保守コード	init.conf の読み込みに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05014-W	Failed to initialize trace. api-name= <i>aa...aa</i> , reason= <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : ログトレース API 名 <i>bb...bb</i> : 保守コード	ログの初期化に失敗しました。 hcmdssrv コマンドが同時に実行されていないか確認してください。頻繁に発生する場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05015-E	An internal function has failed. Function name= <i>aa...aa</i> , error code= <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : 内部関数名 <i>bb...bb</i> : 保守コード	内部関数が失敗しました。 あとに続くメッセージの対処に従ってください。
KAPM05016-I	Succeeded in starting of service. service-name= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービス名	サービスの起動要求を受け付けました。
KAPM05017-I	Succeeded in stopping of service. service-name= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービス名	サービスの停止要求を受け付けました。
KAPM05018-E	A system call has failed. API name= <i>aa...aa</i> , error code= <i>bb...bb</i>	システムコールが失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : システムコール名 <i>bb...bb</i> : 保守コード	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05019-W	Definition is invalid. name= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 定義値名	定義が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05020-E	Failed to open file. maintenance-code= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 保守コード	ファイルのオープンに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05021-E	Service does not exist.	サービスが存在しません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05022-W	Service does not exist.	サービスが存在しません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05023-E	Could not find executable file. file-name= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 実行形式ファイル	実行形式ファイルが見つかりません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05024-W	Failed to initialize trace. Reason= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 理由	トレースの初期化に失敗しました。 トレースなしで処理を続行します。
KAPM05025-I	The start type has been successfully changed. service-name = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービス名	スタートタイプの変更に成功しました。
KAPM05026-E	An attempt to change the start type has failed. service-name = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : サービス名	スタートタイプの変更に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05027-E	An attempt to start the DBMS service has failed.	DBMS サービスの開始に失敗しました。 詳細は hcmdsdbsrv のログを参照してください。
KAPM05028-E	An attempt to stop the DBMS service has failed.	DBMS サービスの停止に失敗しました。 詳細は hcmdsdbsrv のログを参照してください。
KAPM05029-E	An attempt to acquire the status of the DBMS service has failed.	DBMS サービスの状態の取得に失敗しました。 詳細は hcmdsdbsrv のログを参照してください。
KAPM05030-E	An attempt to query the status of a service has failed. (service name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : サービス名	サービスの状態の問い合わせに失敗しました。 前または、あとに続くメッセージの対処に従ってください。
KAPM05035-E	An attempt to execute the command <i>aa...aa</i> has failed. <i>aa...aa</i> : 実行ファイル名	コマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05036-I	The command <i>aa...aa</i> was executed successfully. (return code = <i>bb...bb</i>)	コマンドの実行が成功しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : 実行ファイル名 <i>bb...bb</i> : リターンコード	
KAPM05037-E	An attempt to query a service has failed.	サービスの問い合わせに失敗しました。前または、あとに続くメッセージの対処に従ってください。
KAPM05038-W	The error has occurred in <i>aa...aa</i> command. code= <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : コマンド <i>bb...bb</i> : エラーコード	<i>aa...aa</i> コマンドの実行時にエラーが発生しました。
KAPM05201-E	The memory is insufficient.(<i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 変数名	メモリーが不足しています。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05202-E	The number of options is insufficient.	引数の数が不足しています。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05203-E	There is no value following the option.	引数の中でオプションに続く値がありません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05204-E	Option is invalid.	引数の中のオプションに誤りがあります。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05205-E	There is only a value though there is no option.	引数の中でオプションがないのに値だけがあります。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05206-E	The error occurred in dispatcher.	ディスパッチャーでエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05207-E	The error occurred in the registration of the service controller.	サービスコントローラーの登録でエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05208-E	The error occurred in the HandlerRoutine.	プロセスのハンドラー関数のリスト追加でエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05209-I	The service_stop_thread is started.	サービス停止要求スレッドを開始しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05210-E	The error occurred in the service_stop_thread.	サービス停止要求スレッドでエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM05211-E	The error occurred in the Report Status.	サービスコントロールマネージャーへの進捗報告に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05212-E	The error occurred in create JavaVM.	JavaVM の生成でエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05213-E	Failed to set processing of JavaVM.	JavaVM の設定処理に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05214-I	aa...aa started. aa...aa : サービス名	サービスを開始しました。
KAPM05215-I	aa...aa stopped. aa...aa : サービス名	サービスを停止しました。
KAPM05216-E	The error occurred in the start of service.	サービスの開始に失敗しました。または、サービスが異常停止しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05217-E	Failed to get to the option definition file value.	オプション定義ファイル値の取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05218-E	Failed to change the current directory.	カレントディレクトリの変更に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05219-E	Failed to create JavaVM.	JavaVM の生成に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05220-E	Failed to connect to JavaVM.	JavaVM への接続に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05221-E	The class is not found.	クラスが見つかりません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05222-E	The method is not found.	メソッドが見つかりません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05223-E	The error occurred in the Getinstpath.(aa...aa) aa...aa : レジストリーキー値	レジストリーからキー値を取得する際にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM05224-E	The error occurred in the LoadLibrary.	DLL のロードに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05225-E	The error occurred in the GetProcAddress.	DLL の中の間数のアドレス取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05226-E	The error occurred in the AllocConsole.	新しいコンソールをプロセスに割り当てる際にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05227-E	The error occurred in the DeleteFile.	ファイルの削除でエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05228-E	The error occurred in the GenerateConsoleCtrlEvent.	コンソールプロセスグループに、指定した信号を送信する際にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05229-E	An attempt to execute the command to start the Web container server has failed.	Web コンテナサーバ起動コマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05230-E	An attempt to execute the command to stop the Web container server has failed.	Web コンテナサーバ停止コマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05231-E	An attempt to execute the thread-dump acquisition command has failed.	スレッドダンプ取得コマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05232-E	The service stopped abnormally. (service name = aa...aa) aa...aa : サービス名	サービスが異常停止しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05250-I	Registration of the information-search user has finished.	情報検索用ユーザーの登録に成功しました。
KAPM05251-I	Deletion of the information-search user has finished.	情報検索用ユーザーの削除に成功しました。
KAPM05252-E	An option is invalid.	コマンドに指定されたオプションが不正です。正しいオプションを指定してください。
KAPM05253-E	The specified option contains an invalid character.	オプションの引数に指定できない文字が含まれています。オプションの引数に使用できる文字を指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM05255-E	An internal error occurred.	内部エラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05256-E	A fatal error occurred.	致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05257-E	Log initialization has failed.	ログの初期化に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05258-I	The command has started.	コマンドが開始されました。
KAPM05259-I	The command has ended.	コマンドが終了しました。
KAPM05263-W	No registered information exists.	登録されている情報がありません。 set オプションでユーザー情報を登録したあと、コマンドを再実行してください。 再度同じメッセージが出力される場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05264-E	The file format is invalid.	ファイルの形式が誤っています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05265-E	An error occurred during file I/O processing.	ファイルの入出力処理でエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05266-W	A server has not been registered.	list オプションを指定したときに表示する情報がありませんでした。 set オプションでユーザー情報を登録したあと、コマンドを再実行してください。 再度同じメッセージが出力される場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05280-I	Registration of a secret has succeeded.	シークレットの登録が完了しました。
KAPM05281-I	Deletion of a secret has succeeded.	シークレットの削除に成功しました。
KAPM05282-E	An option is invalid.	オプションが誤っています。 正しいオプションを指定してください。
KAPM05285-E	An internal error occurred.	内部エラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05286-E	A fatal error occurred.	致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05288-I	The command has started.	hcmdsradiussecret コマンドが開始されました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM05289-I	The command has finished.	hcmdsradiussecret コマンドが終了しました。
KAPM05293-W	No registered information exists.	登録されている情報がありません。 set オプションでシークレットを登録したあと、コマンドを再実行してください。 再度同じメッセージが出力される場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM05294-E	The file format is invalid.	ファイルの形式が誤っています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05295-E	An error occurred during file I/O processing.	ファイルの入出力処理でエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05296-W	A server has not been registered.	list オプションを指定したときに表示する情報がありませんでした。 set オプションでシークレットを登録したあと、コマンドを再実行してください。 再度同じメッセージが出力される場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05301-E	The license has expired.	ライセンスの有効期限が切れています。 有効期限が切れていないライセンスキーを使用してください。
KAPM05302-E	The system environment is incorrect.	システム的环境が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05303-E	The entered license key is invalid.	ライセンスキーの内容が不正です。 ライセンスサーバの発行した、正規のライセンスを使用してください。
KAPM05304-I	Processing ended normally.	正常に終了しました。
KAPM05308-I	The acquiring of <i>aa...aa</i> logs started. <i>aa...aa</i> : アプリケーション名	<i>aa...aa</i> のログ収集を開始しました。
KAPM05309-I	Backup of <i>aa...aa</i> started. <i>aa...aa</i> : アプリケーション名	<i>aa...aa</i> のバックアップを開始しました。
KAPM05310-E	The acquiring of <i>aa...aa</i> logs abnormally ended. <i>aa...aa</i> : アプリケーション名	<i>aa...aa</i> のログ収集は、異常終了しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05311-I	The acquiring of <i>aa...aa</i> logs successfully ended. <i>aa...aa</i> : アプリケーション名	<i>aa...aa</i> のログ収集は、正常終了しました。
KAPM05312-E	Backup of <i>aa...aa</i> abnormally ended. <i>aa...aa</i> : アプリケーション名	<i>aa...aa</i> のバックアップは、異常終了しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05313-I	Backup of <i>aa...aa</i> successfully ended.	<i>aa...aa</i> のバックアップは、正常終了しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : アプリケーション名	
KAPM05314-E	The specified directory is not empty.	指定されたディレクトリは空ではありません。 空のディレクトリを指定してください。
KAPM05315-E	An option is invalid.	指定されたオプションが不正です。 コマンドの引数を確認してください。
KAPM05316-E	The specified directory name <i>aa...aa</i> is invalid. <i>aa...aa</i> : 不正なディレクトリ名	指定されたディレクトリ名 <i>aa...aa</i> が不正です。 指定されたディレクトリが正しいか確認してください。
KAPM05317-E	<i>aa...aa</i> is not registered. <i>bb...bb</i> is available. <i>aa...aa</i> : オプションに指定された PP 名 <i>bb...bb</i> : 登録済み PP 名	<i>aa...aa</i> は登録されていません。 <i>bb...bb</i> が有効です。 登録済みの PP 名を指定してください。
KAPM05318-I	The acquiring of logs successfully ended. <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : PP 名	<i>aa...aa</i> のログ取得に成功しました。
KAPM05319-E	The acquiring of logs abnormally ended. <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : PP 名	<i>aa...aa</i> のログ取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05320-I	Backup successfully ended. (<i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : PP 名	<i>aa...aa</i> のバックアップに成功しました。
KAPM05321-E	Backup abnormally ended. (<i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : PP 名	<i>aa...aa</i> のバックアップに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05322-E	<i>aa...aa</i> does not exist. <i>aa...aa</i> : ファイル名	<i>aa...aa</i> というファイルは存在しません。 ファイルが指定の位置にあることを確認してください。
KAPM05323-I	Information for restore: To restore the HiCommand shared repository, specify the "/enforce" option. Before restoring, you have to stop the services "InterServer" and "InterBase Server". Note that the HiCommand shared repository is overwritten with old backup data after the restore.	リストアのための情報： Hitachi Command Suite 共通リポジトリを復元するためには、"/enforce"オプションが必要です。 リストアの前に、"InterServer"サービス、および"InterBaseServer"サービスを停止する必要があります。 リストアすると、バックアップの古いデータで Hitachi Command Suite 共通リポジトリが上書きされるので注意してください。
KAPM05324-E	The privilege is invalid.	実行権限がありません。 実行権限のあるユーザーで実行してください。
KAPM05325-E	An attempt to execute hcmdsras failed.	hcmdsras コマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05326-E	An attempt to execute jar has failed.	jar コマンドの実行に失敗しました。 arc オプションのファイル名に、パス名を含んでいないか確認してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05328-I	The hcmdsbasebackup processing has succeeded.	hcmdsbasebackup コマンドの処理は成功しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM05329-E	The hemdsbasebackup processing has failed.	hcmdsbasebackup コマンドの処理は失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05330-E	An option is invalid.	指定されたオプションが不正です。 コマンドの引数を確認してください。
KAPM05331-E	The license has expired.	ライセンスの有効期限が切れています。 有効期限が切れていないライセンスキーを使用してください。
KAPM05332-E	The system environment is incorrect.	システムの環境が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05333-E	The entered license key is invalid.	ライセンスキーの内容が不正です。 ライセンスサーバの発行した、正規のライセンスを使用してください。
KAPM05334-I	Processing ended normally.	正常に終了しました。
KAPM05335-E	The license key file that was entered could not be found.	入力されたライセンスキーファイルが見つかりません。 ライセンスキーファイルのパスが正しいか確認してください。
KAPM05336-E	The license key file that was entered is invalid.	入力されたライセンスキーファイルが不正です。 ライセンスキーファイルが壊れている可能性があります。問い合わせ窓口に連絡し、ライセンスキーファイルを再取得してください。
KAPM05337-I	The license key that should be entered does not exist in the license key file.	入力すべきライセンスキーがライセンスキーファイル内に見つかりません。 指定するライセンスキーファイルが間違っていないか確認してください。
KAPM05390-I	The hcmdsras processing has succeeded.	hcmdsras コマンドの処理は成功しました。
KAPM05392-W	An attempt to get the System Log failed.	システムログの取得に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05393-W	An attempt to get the Application Log failed.	アプリケーションログの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05394-W	An attempt to get the Syslog Daemon configuration file failed.	syslog デーモンの設定ファイルの取得に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05402-E	The option(s) specified is insufficient.	オプションの指定が不足しています。 必要なオプションをすべて指定してください。
KAPM05403-E	The option value specified is invalid.	オプションと値の対応づけに誤りがあります。 オプションを指定し、その後ろに必要な値（ユーザー名、パスワードなど）を指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM05405-E	The option " <i>aa...aa</i> " is not supported. <i>aa...aa</i> : オプション名	" <i>aa...aa</i> "オプションはサポートしていません。 サポートされていないオプションは指定しないでください。
KAPM05406-E	The option " <i>aa...aa</i> " appears 2 times or more. <i>aa...aa</i> : オプション名	" <i>aa...aa</i> "オプションが2回以上指定されています。 オプションの指定を確認してください。
KAPM05407-E	The combination of options is invalid.	オプションの組み合わせに誤りがあります。 同時に指定できないオプションが複数指定されていないか確認してください。
KAPM05410-E	An exception occurred.	例外が発生しました。詳細は後続のメッセージ KAPM49001-Eを参照してください。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05411-E	The file " <i>aa...aa</i> " could not be read. <i>aa...aa</i> : ファイル名	<i>aa...aa</i> ファイルにアクセスできません。 次のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • ファイルが存在しているか • ファイルが使用中でないか • ファイルの作成ディレクトリは適切か
KAPM05413-E	The input XML contains a grammar mistake.	入力されたXMLに文法の誤りがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05414-E	A fatal structure error was detected in the input XML.	入力されたXMLに構造上の誤りがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05415-E	An error occurred during communication processing. (Detail: <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 通信エラーの内容	通信中にエラーが発生しました。詳細は後続のメッセージ KAPM49001-Eを参照してください。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05417-E	An invalid URL was detected. (<i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : URL	不正なURLを検出しました。 URLの指定を確認してください。
KAPM05418-E	The server returned an empty response.	サーバから取得したデータに処理結果が含まれていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05419-E	An unsupported element type was detected in the XML.	入力されたXMLに、サポートされていないタイプのDOMエレメントが含まれています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05422-W	<i>aa...aa</i> error(s) were detected in the response. <i>aa...aa</i> : エラーの個数	レスポンスに <i>aa...aa</i> 個のエラーがありました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05423-E	Invalid error information was detected.	不正なエラー情報を検出しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05424-E	Invalid server information was detected.	不正なサーバ情報を検出しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05425-E	The input file contains a grammar mistake.	入力ファイルに文法の誤りがあります。指定した定義ファイルの文法の誤りを訂正してください。
KAPM05426-E	An error occurred when inputting the file.	ファイルの入力時にエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05427-E	The specified value is invalid. value = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 値	指定された値が不正です。ユーザー設定アプリケーションファイルに指定した値が正しいか確認してください。
KAPM05432-E	Link registration processing has failed. Processing is interrupted.	リンク登録プロセスは失敗しました。処理は中断します。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05433-E	The acquisition as a result of registration processing has failed.	登録処理の結果の取得に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05434-E	I/O of XML has failed.	XMLの入出力は失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05435-E	An error occurred in the SAX parser.	SAXのパースャーでエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05436-E	An attempt to analyze the execution result has failed.	実行結果の分析が失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05437-E	The execution result of the XREP processing was null.	XREP処理の実行結果はnullでした。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05438-W	The " <i>aa...aa</i> " xrep processing result is <i>bb...bb</i> . <i>aa...aa</i> : hcmdsxrep コマンドの出力結果 <i>bb...bb</i> : コマンドの出力結果	「 <i>aa...aa</i> 」xrep処理の結果は <i>bb...bb</i> です。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05439-E	An attempt to register a link has failed.	リンクの登録に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05440-E	An attempt to delete a link has failed.	リンクの削除に失敗しました。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05441-W	An attempt to check the result has failed.	結果のチェックに失敗しました。ユーザー設定アプリケーションファイルに指定した値が正しいか確認してください。
KAPM05442-E	The registered information was not found.	登録された情報は見つかりません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05443-E	The table that registers a link does not exist.	リンクを登録するテーブルが存在しません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05444-E	An error occurred within the server.	サーバ内でエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05445-E	An unexpected error occurred within the server.	サーバ内でそのほかのエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05446-I	Processing ended normally.	処理は正常終了しました。
KAPM05501-I	Backing up the database to file <i>aa...aa</i> ... <i>aa...aa</i> : ファイル名	<i>aa...aa</i> ファイルへのデータベースのバックアップをしています。
KAPM05502-I	INTERBASE_PID= <i>aa...aa</i> . <i>aa...aa</i> : INTERBASE のプロセス ID	INTERBASE のプロセス ID です。
KAPM05503-W	The file <i>aa...aa</i> will be overwritten. Is this OK? <i>aa...aa</i> : ファイル名	<i>aa...aa</i> ファイルが上書きされます。よろしいですか？ 続行すると <i>aa...aa</i> ファイルが上書きされます。
KAPM05504-W	The HiCommand Server database will be overwritten by this procedure. Is this OK?	Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのデータベースは上書きされます。よろしいですか？ 続行すると Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのデータベースは上書きされます。
KAPM05505-E	The <i>aa...aa</i> file does not exist or is not readable.The HiCommand Server database was not altered. <i>aa...aa</i> : ファイル名	<i>aa...aa</i> ファイルは存在しないか読み取り可能ではありません。Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのデータベースは変更されませんでした。 <i>aa...aa</i> ファイルが存在することを確認してください。また、 <i>aa...aa</i> ファイルの権限を確認してください。
KAPM05506-E	The <i>aa...aa</i> file does not exist or is not readable.The HiCommand Server database was not altered. <i>aa...aa</i> : ファイル名	<i>aa...aa</i> ファイルは存在しません。Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのデータベースは変更されませんでした。 <i>aa...aa</i> ファイルが存在することを確認してください。
KAPM05507-I	Restoring the database from the <i>aa...aa</i> file... <i>aa...aa</i> : ファイル名	<i>aa...aa</i> ファイルからデータベースを回復しています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM05508-E	The path of the specified database file is invalid.	指定されたデータベースファイルのパスが不正です。 次に示すファイルの DATABASE.path の値を確認してください。 Windows 版: < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ > ¥conf ¥user.conf Solaris 版または Linux 版: /opt/HiCommand/Base/conf/user.conf
KAPM05509-E	The specified database file was not found.	指定されたデータベースファイルが見つかりません。 次に示すファイルの DATABASE.path の値を確認してください。 Windows 版: < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ > ¥conf ¥user.conf Solaris 版または Linux 版: /opt/HiCommand/Base/conf/user.conf
KAPM05510-E	An attempt to read to a file has failed. file name=aa...aa. aa...aa : ファイル名	ファイルの読み込みに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05511-E	An unexpected error occurred.	予期しないエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05512-I	Backup has succeeded.	バックアップに成功しました。
KAPM05513-E	An attempt to back up has failed.	バックアップに失敗しました。 コマンド実行後に画面に出力されたメッセージに従って対処してください。
KAPM05514-I	Restoration has succeeded.	リストアに成功しました。
KAPM05515-E	An attempt to restore has failed.	リストアに失敗しました。 コマンド実行後に画面に出力されたメッセージに従って対処してください。
KAPM05516-E	The setup of the specified database is invalid.	指定されたデータベースの設定は不正です。 次に示すファイルの DATABASE で始まるキーの設定を確認してください。 Windows 版: < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントインストールフォルダ > ¥conf ¥user.conf Solaris 版: /opt/HiCommand/Base/conf/user.conf
KAPM05530-I	Backup of the database has started.	データベースのバックアップを開始しました。
KAPM05531-I	Backup of the database has ended.	データベースのバックアップが終了しました。
KAPM05532-I	Restoration of the database has started.	データベースのリストアを開始しました。
KAPM05533-I	Restoration of the database has ended.	データベースのリストアが終了しました。
KAPM05534-I	The database will now be backed up to file aa...aa. aa...aa : バックアップファイル名	aa...aa ファイルにバックアップします。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM05535-I	The system area has been damaged. Do you want to recover the system? [y or n]	システム領域が破壊されています。このシステムを復旧するかどうか選択してください。復旧する場合は [y] を、復旧しない場合は [n] を入力してください。
KAPM05536-I	Please press the Enter key.	[Enter] キーを押してください。
KAPM05537-I	Stop the HiRDB service before restoring the database.	リストアする前に、HiRDB のサービスを停止してください。
KAPM05538-I	Re-creation of the system area has started.	システムエリアの再作成を開始しました。
KAPM05539-I	Re-creation of the system area has ended.	システムエリアの再作成が終了しました。
KAPM05540-I	Re-creation of the RD area has started.	RD エリアの再作成を開始しました。
KAPM05541-I	Re-creation of the RD area has ended.	RD エリアの再作成が終了しました。
KAPM05544-E	An attempt to back up the database has failed.	データベースのバックアップに失敗しました。ディレクトリの指定に誤りがないことを確認してください。誤りがない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05545-E	An attempt to restore the database has failed.	データベースのリストアに失敗しました。ディレクトリの指定に誤りがないことを確認してください。誤りがない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05546-W	The backed-up version is different from the version in the current environment.	バックアップ時と現在の環境のバージョンが異なります。
KAPM05547-I	Do you want to continue and restore the database?	データベースのリストアを続行しますか？
KAPM05548-I	Restoration of the database will continue.	データベースのリストアを続行します。
KAPM05550-E	The option(s) specified is invalid.	オプションが不正です。 正しいオプションを指定してください。
KAPM05551-E	An attempt to execute the <i>aa...aa</i> command has failed. <i>aa...aa</i> : コマンド名	<i>aa...aa</i> コマンドの実行に失敗しました。コマンドの指定に誤りがないことを確認してください。誤りがない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05552-E	HiRDB has not been installed.	HiRDB がインストールされていません。 HiRDB がインストールされていることを確認してください。
KAPM05553-E	The RD area of the specified program type could not be found.	指定されたプログラム種別の RD エリアが見つかりませんでした。 HiRDB がセットアップされていることを確認してください。
KAPM05554-E	The file <i>aa...aa</i> could not be deleted. <i>aa...aa</i> : ファイル名	<i>aa...aa</i> ファイルが削除できませんでした。
KAPM05555-E	An attempt to set the environment variable has failed.	環境変数の設定に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM05556-E	An attempt to create the backup file has failed.	バックアップファイルの作成に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05557-E	An I/O error occurred.	ファイルの入出力時にエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05558-E	An attempt to open the archive file has failed.	アーカイブファイルの展開に失敗しました。ファイルの指定に誤りがないことを確認してください。誤りがない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05559-E	The backup file format is invalid.	バックアップファイルが不正です。正しいバックアップファイルを指定してください。
KAPM05560-E	The database location of the specified program type has not been created.	指定したプログラム種別のデータベース領域が作成されていません。指定の製品がインストールされていることを確認してください。
KAPM05561-I	The database was backed up successfully.	データベースのバックアップに成功しました。
KAPM05562-E	An attempt to back up the database has failed.	データベースのバックアップに失敗しました。
KAPM05563-I	The database was completely restored.	データベースの全体リストアに成功しました。
KAPM05564-E	An attempt to completely restore the database has failed.	データベースの全体リストアに失敗しました。
KAPM05565-I	The database was partially restored.	データベースの部分リストアに成功しました。
KAPM05566-E	An attempt to partially restore the database has failed.	データベースの部分リストアに失敗しました。
KAPM05567-E	An exception occurred.	例外が発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05568-E	<i>aa...aa`bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : コマンド名 <i>bb...bb</i> : メッセージ	デバッグ用メッセージです。
KAPM05569-E	<i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : コマンド名	デバッグ用メッセージです。
KAPM05570-I	Processing ended normally.	処理が完了しました。
KAPM05573-E	The option(s) specified is invalid.	オプションが不正です。正しいオプションを指定してください。
KAPM05574-E	An attempt to execute the <i>aa...aa</i> command has failed. <i>aa...aa</i> : コマンド名	<i>aa...aa</i> コマンドの実行に失敗しました。コマンドの指定に誤りがないことを確認してください。誤りがない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05575-E	HiRDB has not been installed.	HiRDB がインストールされていません。HiRDB がインストールされていることを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM05576-E	The RD area of the specified program type could not be found.	指定されたプログラム種別の RD エリアが見つかりませんでした。 HiRDB がセットアップされていることを確認してください。
KAPM05577-E	An attempt to clear an HiRDB environment variable has failed.	HiRDB の環境変数のクリアに失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05578-E	The database location of the specified program type has not been created.	指定したプログラム種別のデータベース領域が作成されていません。指定の製品がインストールされていることを確認してください。
KAPM05579-E	An exception occurred.	例外が発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05580-I	Re-creation of the database has started.	データベースの再作成を開始しました。
KAPM05581-I	Re-creation of the database has ended.	データベースの再作成が終了しました。
KAPM05582-I	Unsetup of <i>aa...aa</i> has started. <i>aa...aa</i> : 製品名	<i>aa...aa</i> のアンセットアップを開始しました。
KAPM05583-I	Unsetup of <i>aa...aa</i> has ended. <i>aa...aa</i> : 製品名	<i>aa...aa</i> のアンセットアップが終了しました。
KAPM05584-I	Setup of <i>aa...aa</i> has started. <i>aa...aa</i> : 製品名	<i>aa...aa</i> のセットアップを開始しました。
KAPM05585-I	Setup of <i>aa...aa</i> has ended. <i>aa...aa</i> : 製品名	<i>aa...aa</i> のセットアップが終了しました。
KAPM05586-I	Execution of the <i>aa...aa</i> command has started. <i>aa...aa</i> : コマンド名	<i>aa...aa</i> の処理を開始しました。
KAPM05587-I	Execution of the <i>aa...aa</i> command ended normally. <i>aa...aa</i> : コマンド名	<i>aa...aa</i> の処理が終了しました。
KAPM05588-I	Backup of the parameter definition file has ended.	パラメーター定義ファイルのバックアップを完了しました。
KAPM05589-I	The backup file of the parameter definition file has been deleted.	パラメーター定義ファイルのバックアップファイルが削除されました。
KAPM05590-E	The option(s) specified is invalid.	オプションが不正です。 正しいオプションを指定してください。
KAPM05591-E	An attempt to execute the <i>aa...aa</i> command has failed. <i>aa...aa</i> : コマンド名	<i>aa...aa</i> コマンドの実行に失敗しました。コマンドの指定に誤りがないことを確認してください。誤りがない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05592-E	HiRDB has not been set up.	HiRDB がセットアップされていません。HiRDB がセットアップされていることを確認してください。
KAPM05593-E	The <i>aa...aa</i> file was not found. <i>aa...aa</i> : ファイル名	<i>aa...aa</i> ファイルが見つかりませんでした。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		HiRDB がセットアップされていることを確認してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05594-E	The <i>aa...aa</i> file could not be read. <i>aa...aa</i> : ファイル名	<i>aa...aa</i> ファイルが読み取れませんでした。 HiRDB がセットアップされていることを確認してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05595-E	The <i>aa...aa</i> folder could not be deleted. <i>aa...aa</i> : フォルダ名	<i>aa...aa</i> フォルダが削除できませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05596-E	An SQL exception occurred.	SQLException が発生しました。 HiRDB が起動していることを確認してください。起動している場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05597-E	An attempt to clear the HiRDB system environment variables has failed.	HiRDB のシステム環境変数のクリアに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05598-E	An exception occurred.	例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05599-E	<i>aa...aa:bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : コマンド名 <i>bb...bb</i> : メッセージ	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05601-I	The acquisition of HiRDB detail logs has started.	HiRDB の詳細ログ収集を開始しました。
KAPM05602-I	The acquisition of HiRDB detail logs was successful.	HiRDB の詳細ログ収集に成功しました。
KAPM05603-I	The acquisition of the HiRDB RDAREA has started.	HiRDB の RD エリア収集を開始しました。
KAPM05604-I	The acquisition of the HiRDB RDAREA was successful.	HiRDB の RD エリア収集に成功しました。
KAPM05605-I	The acquisition of the table data has started.	テーブルデータの収集を開始しました。
KAPM05606-I	The acquisition of the table data was successful.	テーブルデータの収集に成功しました。
KAPM05607-E	The command <i>aa...aa</i> is executing in another process. <i>aa...aa</i> : コマンド名	別プロセスでコマンドが実行中です。 別のプロセスのコマンドが終了したあとに、コマンドを再実行してください。
KAPM05608-E	The wait for the end of the command <i>aa...aa</i> has failed. <i>aa...aa</i> : コマンド名	別プロセスで実行中のコマンドの終了待ちに失敗しました。 コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05609-E	The command <i>aa...aa</i> timed out and ended. <i>aa...aa</i> : コマンド名	別プロセスで実行中のコマンドがタイムアウトしました。 コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05610-I	The specified product is a version for which registration data can be moved. (This was determined by comparing the versions of the specified product and the product to be installed.)	指定された製品とインストールされている製品を比較した結果、登録データを移動できるバージョンです。
KAPM05611-E	The specified product is a version for which registration data cannot be moved. (This was determined by comparing the versions of the specified product and the product to be installed.)	指定された製品とインストールされている製品を比較した結果、登録データを移動できないバージョンです。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05612-E	The version of the specified product could not be acquired. (product name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 製品名	バージョン取得機能の実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05613-E	The format of the version number file for the specified product is invalid.	指定された製品のバージョン番号ファイルの形式が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05614-E	The specified product is not installed. (product name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 製品名	バージョンチェック機能で指定した製品がインストールされていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05615-E	An internal error occurred: <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 詳細メッセージ	内部エラーの原因を特定するための詳細メッセージをログに表示します。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05616-E	The number of specified options is invalid.	バージョンチェック機能で指定したオプションの数が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05617-E	The contents of the version file are invalid.	バージョン番号ファイルの中身が数字だけではありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05618-I	The hcmdspcheck command has started.	バージョンチェック機能が開始されました。
KAPM05619-I	The hcmdspcheck command has ended.	バージョンチェック機能が終了しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM05620-I	The hcmdspvrs command was successful.	バージョン取得機能が成功しました。
KAPM05621-E	The hcmdspvrs command failed.	バージョン取得機能の実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05622-E	Initialization of the log failed.	ログの初期化に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05623-E	An attempt to assign memory to store the log file path has failed.	ログファイルパスを格納するメモリの確保に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05624-E	An attempt to acquire the installation path has failed.	インストールパスの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05625-E	The product names do not match.	バージョンチェック機能で指定された製品名が、登録されている製品名と一致していません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05626-E	The product name is not specified.	バージョンチェック機能で指定しなければならない製品名が指定されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05627-E	There is no version number file.	バージョン取得機能で指定した製品はサポート対象外です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05628-I	A file already exists at the specified output destination.	バージョンアップ許可ファイルがすでに存在します。
KAPM05629-E	A folder already exists at the specified output destination.	バージョンチェック機能で指定された出力先には、すでにフォルダがあります。 出力先のフォルダを削除したあと、再度コマンドを実行するか、空のディレクトリを指定してください。
KAPM05630-E	There is no registry key for HBase.	Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのレジストリーキーがありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05640-I	The user ID and password were changed successfully.	指定したユーザー ID、パスワードの更新に成功しました。
KAPM05641-I	There is no password file to reference.	ユーザー ID およびパスワードを書き出すパスワードファイルが見つかりません。
KAPM05642-W	Neither the user ID nor the password was changed.	指定したユーザー ID、パスワードが変更前と同じです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		変更前と異なるユーザー ID とパスワードを指定してください。
KAPM05643-E	The format of the password file is invalid.	パスワードファイルが改ざんされているおそれがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05644-E	An attempt to change the user ID and password has failed.	エラーが発生したので、指定したユーザー ID およびパスワードの更新に失敗しました。 直前のログを参照してください。
KAPM05645-E	An option is invalid.	オプションの指定を確認してください。 オプションを正しく指定してからコマンドを再実行してください。
KAPM05646-E	The specified argument contains an invalid character.	オプションに指定できない文字が含まれています。 正しい文字を入力してください。
KAPM05647-E	An attempt to acquire the HiCommand Suite Common Component installation path has failed.	Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのインストールパスの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05648-E	An attempt to initialize the log has failed.	ログの初期化に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05649-E	An internal error occurred.	内部エラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05650-E	A fatal error occurred.	致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05654-E	An attempt to output the password file has failed.	パスワードファイルを書き出す処理で障害が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05655-E	The character string specified by the option is too long.	オプションで指定した文字列が最大文字数を超過しています。 文字数の制限値を超えない文字列を入力してください。
KAPM05656-E	The character string specified by the option is too short.	オプションで指定した文字列が最少文字数を下回っています。 文字数の制限値を超えない文字列を入力してください。
KAPM05657-I	The hcmdschangeaccount command has started.	hcmdschangeaccount コマンドを開始しました。
KAPM05658-I	The hcmdschangeaccount command has ended.	hcmdschangeaccount コマンドが終了しました。
KAPM05659-E	The program product specified by the type option is invalid.	type オプションに指定した値が不正です。 正しい値を入力してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM05660-E	The user ID specified by the newid option is invalid.	newid オプションに指定した値が不正です。正しい値を入力してください。
KAPM05661-E	The password specified by the newpass option is invalid.	newpass オプションに指定した値が不正です。正しい値を入力してください。
KAPM05662-E	An attempt to read the password file has failed.	パスワードファイルを読み込む処理で障害が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05663-E	The specified user already exists.	指定されたユーザーはすでに存在します。ユーザー名を変更したのち再実行してください。
KAPM05672-I	The memory size was changed successfully.	メモリサイズの変更に成功しました。
KAPM05673-E	An attempt to change the memory size has failed.	メモリサイズの変更に失敗しました。前または、後に続くメッセージの対処に従ってください。
KAPM05674-E	A fatal error occurred during processing.	処理中に致命的なエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05675-E	The service is running.	サービスが起動中です。 サービスを停止してからコマンドを再度実行してください。
KAPM05676-E	In a Windows x32 environment, the memory size cannot be changed to Large.	Windows x32 の環境では Large オプションを指定できません。 正しいオプションを指定してコマンドを実行してください。
KAPM05677-E	The parameter is invalid.	パラメーターが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05678-I	The current memory size is aa...aa. aa...aa : メモリサイズ	現在のメモリサイズを表示します。
KAPM05679-E	The current memory size is unknown.	現在のメモリサイズが不明です。 hcmdschgheap コマンドを使用してメモリサイズを再設定してください。
KAPM05680-E	An option is invalid.	オプションが不正です。 正しいオプションを指定してコマンドを再実行してください。
KAPM05681-E	An entered argument is invalid.	不正な引数が入力されました。 適切な引数を指定してください。
KAPM05682-E	The specified options are insufficient.	必要なオプションが指定されていません。 正しいオプションを指定し、再実行してください。
KAPM05683-E	The value specified for an option is invalid. (option = aa...aa) aa...aa : オプション名	オプションに指定した値が不正です。 オプションに指定した値を確認してください。
KAPM05684-E	The specified value is invalid. (value = aa...aa) aa...aa : 値	指定した値が不正です。 適切な値を指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM05685-E	The hcnds.home value cannot be acquired.	"hcnds.home"の値が取得できませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05686-E	An attempt to load the file has failed. (file = aa...aa) aa...aa : ファイル名	ファイルの読み込みに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05687-I	Processing ended normally.	コマンドが正常終了しました。
KAPM05688-E	Execution of the hcndsweb command has failed.	hcndsweb コマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05689-E	Execution of the hcndsweb2 command has failed.	hcndsweb2 コマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05690-E	In Windows x86 version, you cannot specify Large.	Windows の x86 版では、Large を設定できません。 正しいオプションを指定してからコマンドを再実行してください。
KAPM05691-E	Command execution failed because services were running.	サービスが起動しているため、コマンドを実行できません。 すべての Suite 製品、Single Sign On Server、および Common Web Service を停止してからコマンドを再実行してください。
KAPM05692-E	The command cannot be executed because multiple containers are not registered.	コンテナが複数登録されていないため、コマンドを実行できません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05699-E	An exception occurred.	例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05802-E	The option is invalid.	オプションが不正です。 正しいオプションを指定してください。
KAPM05803-E	The specified arguments are insufficient.	指定するオプションが不足しています。 正しいオプションを指定してください。
KAPM05804-E	The specified value of option is invalid. (Option = aa...aa) aa...aa : オプション名	オプションに指定した値が不正です。 オプションに指定した値を確認してください。
KAPM05805-E	The specified directory cannot be created. (directory = aa...aa) aa...aa : ディレクトリ名	指定したディレクトリを作成できませんでした。 ディレクトリに書き込み権限があることを確認してください。
KAPM05806-E	The specified directory name already existed as a file. (file = aa...aa) aa...aa : ファイル名	指定したディレクトリがファイルとして存在します。 ほかのディレクトリ名を指定してください。
KAPM05807-E	The specified value is invalid. (value = aa...aa) aa...aa : 指定された値	指定した値が不正です。 正しい値を設定してください。
KAPM05808-E	The file aa...aa does not exist.	ファイル aa...aa がありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : ファイル名	ファイルの指定に誤りがないことを確認してください。誤りがない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05809-E	The directory <i>aa...aa</i> does not exist. <i>aa...aa</i> : ディレクトリ名	ディレクトリ <i>aa...aa</i> がありません。ファイルの指定に誤りがないことを確認してください。誤りがない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05810-E	The file <i>aa...aa</i> already exists. <i>aa...aa</i> : ファイル名	ファイル <i>aa...aa</i> がすでにあります。ファイルを消去するか、別のディレクトリに移動してください。
KAPM05811-E	Command <i>aa...aa</i> returns value <i>bb...bb</i> . The error message is <i>cc...cc</i> . <i>aa...aa</i> : コマンド名 <i>bb...bb</i> : 戻り値 <i>cc...cc</i> : エラーメッセージ	コマンド <i>aa...aa</i> が戻り値 <i>bb...bb</i> を返しました。エラーメッセージは <i>cc...cc</i> です。オプションに指定した値が正しいことを確認してください。正しい場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05812-I	Processing ended normally.	処理が正常終了しました。
KAPM05813-E	An IOException occurred. (details = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 例外の詳細	IOException が発生しました。詳細は <i>aa...aa</i> です。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05814-E	An exception occurred. (details = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 例外の詳細	例外が発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05815-E	A NullPointerException occurred. (details = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 例外の詳細	NullPointerException が発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05816-E	An error occurred while executing the <i>hcmdsauthmode</i> command.	<i>hcmdsauthmode</i> コマンドの実行中にエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05817-E	There is no RD area in the system.	システムに RD エリアがありません。 Hitachi Command Suite 製品がインストールされていることを確認してください。
KAPM05818-I	The <i>hcmdsauthmove</i> command has started.	<i>hcmdsauthmove</i> コマンドを開始しました。
KAPM05819-I	Processing to import data has started.	データのインポート処理を開始しました。
KAPM05820-I	Processing to import data has ended.	データのインポート処理が終了しました。
KAPM05821-I	Processing to export data has started.	データのエクスポート処理を開始しました。
KAPM05822-I	Processing to export data has ended.	データのエクスポート処理が終了しました。
KAPM05823-E	HiRDB has not started.	HiRDB が開始していません。 HiRDB を起動してください。
KAPM05824-E	The directory <i>aa...aa</i> already exists. <i>aa...aa</i> : ディレクトリ名	ディレクトリ <i>aa...aa</i> がすでにあります。別のディレクトリを指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM05825-E	An HSSOException occurred. (details = aa...aa) aa...aa : 例外の詳細	HSSOException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05826-E	A CIMException occurred. (details = aa...aa) aa...aa : 例外の詳細	CIMException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05827-E	The specified directory is not empty. (directory name = aa...aa) aa...aa : ディレクトリ名	指定したディレクトリは空ではありません。 空のディレクトリを指定してください。
KAPM05828-E	An attempt to execute the hcmdsauthmove command has failed.	hcmdsauthmove コマンドの実行に失敗しました。 直前のメッセージ KAPMxxxxx-E を参照してください。
KAPM05829-E	A fatal error occurred.	致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05830-E	An attempt to establish a connection has failed.	コネクション生成に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05831-E	An attempt to execute SQL has failed.	SQL 実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05832-I	The authentication data was backed up successfully.	認証データのバックアップに成功しました。
KAPM05833-E	An attempt to back up the authentication data has failed.	認証データのバックアップに失敗しました。
KAPM05834-I	The authentication data was restored successfully.	認証データのリストアに成功しました。
KAPM05835-E	An attempt to restore the authentication data has failed.	認証データのリストアに失敗しました。
KAPM05836-E	An attempt to acquire the physical table name has failed. (table name = aa...aa) aa...aa : テーブル名	論理テーブル名から物理テーブル名を求められませんでした。 DBMS が起動していることを確認してから再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05837-W	The column data exceeds 80 characters. (column data = aa...aa) aa...aa : カラムデータ	TNB_AccountUser テーブルのカラムデータが 80 文字を超えています。
KAPM05838-E	An attempt to execute the SQL has failed. (SQL = aa...aa, error code = bb...bb) aa...aa : 実行した SQL ステートメント bb...bb : エラーコード	SQL の実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05840-E	The option is invalid.	オプションは無効です。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		オプションの指定を見直して再実行してください。
KAPM05841-E	The option is invalid. Code=[aa...aa], Data=[bb...bb] aa...aa : 発生箇所を示すコード bb...bb : 発生したオプションや値	オプションは無効です。 オプションの指定を見直して再実行してください。
KAPM05842-I	hcmdsbanner [aa...aa]{[bb...bb]},..... [.....] aa...aa : コマンドライン引数 bb...bb : コマンドライン引数	コマンドに指定されたオプションを表示します。
KAPM05843-E	The message file does not exist.	file オプションに指定したメッセージファイルが存在しません。 正しいファイルを指定して、コマンドを実行してください。
KAPM05844-E	The path specified for the message file is not a file.	file オプションに指定したメッセージファイルのパスは、ファイルではありません。 正しいファイルを指定して、コマンドを実行してください。
KAPM05845-E	The message exceeded 1000 characters.	file オプションに指定したメッセージファイルのメッセージが 1,000 文字を超えました。 メッセージを 1,000 文字以下としてください。
KAPM05846-E	The path specified in the aa...aa option is not an absolute path. aa...aa : オプション	aa...aa オプションで指定したパスは絶対パスではありません。 絶対パスを指定してから再実行してください。
KAPM05850-E	An attempt to set the banner message display has failed.	バナーメッセージの設定に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05851-E	An attempt to set the banner message display has failed. File = [aa...aa], Code = [bb...bb] aa...aa : ファイルまたはディレクトリ bb...bb : 発生箇所を示すコード	バナーメッセージの設定に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05852-I	Setting of the banner message display has been completed.	バナーメッセージの設定を完了しました。
KAPM05860-W	The banner message display has already been cancelled.	バナーメッセージはすでに解除されています。
KAPM05861-E	An attempt to cancel the banner message display has failed.	バナーメッセージの解除に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05862-E	An attempt to cancel the banner message display has failed. File = [aa...aa], Code=[bb...bb] aa...aa : ファイルまたはディレクトリ bb...bb : 発生箇所を示すコード	バナーメッセージの解除に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05863-I	Cancellation of the banner message display has been completed.	バナーメッセージの解除が完了しました。
KAPM05876-E	A fatal error occurred during processing.	処理中に致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM05879-E	<i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : デバッグ用情報	デバッグ用情報です。
KAPM05880-E	The value of EXCurrentVersion is invalid.	EXCurrentVersion の値が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM05881-E	EXCurrentVersion does not exist.	取得したレジストリキー下にレジストリ値 EXCurrentVersion がありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM05882-E	The registry key that must be acquired does not exist.	取得されるべきレジストリキーはありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM05883-E	A fatal error occurred.	致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM05884-E	The version management file is invalid	バージョン管理ファイルが無効です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM05885-E	The version management file that must be acquired does not exist.	取得するべきバージョン管理ファイルがありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM05886-E	An attempt to acquire the version has failed.	バージョン取得に失敗しました。 製品のインストール状態を確認してください。 正しくインストールされている場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM05887-I	The hcmdsvrsutil utility was successful.	バージョン取得機能の処理が成功しました。
KAPM05890-I	The hcmdsbasesvrs command was successful.	バージョン表示機能が成功しました。
KAPM05891-E	The sub-key that shows the version does not exist.	バージョンを示すサブキーはありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM05892-I	The hcmdsbasesvrs command has started.	バージョン表示機能を開始しました。
KAPM05893-I	The hcmdsbasesvrs command has ended.	バージョン表示機能が終了しました。
KAPM05894-E	A fatal error occurred.	致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM05895-E	The registry key that must be acquired does not exist.	取得されるべきレジストリキーはありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05896-E	Initialization of the log failed.	ログの初期化に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05897-E	An attempt to acquire the installation path has failed.	インストールパスの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05898-E	An attempt to create the log file path has failed.	ログファイルパスの作成に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05899-E	There is no registry key for HBase.	Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのレジストリキーがありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05900-I	The hcmsdbtrans command has started.	hcmsdbtrans コマンドを開始しました。
KAPM05901-I	The hcmsdbtrans command ended normally.	hcmsdbtrans コマンドは正常終了しました。
KAPM05902-E	An option is invalid.	オプションの指定に誤りがあります。 オプションの指定を見直してからコマンドを再実行してください。
KAPM05903-E	An option is invalid. Code=[aa...aa], Data=[bb...bb] aa...aa : 発生箇所を示すコード bb...bb : 発生したオプションと値	オプションの指定に誤りがあります。 オプションの指定を見直してからコマンドを再実行してください。
KAPM05904-I	hcmsdbtrans [aa...aa]{[bb...bb]},..... [.....] aa...aa : コマンドライン引数 bb...bb : コマンドライン引数	コマンドに指定されたオプションを表示します。
KAPM05905-E	The path specified in the aa...aa option is not an absolute path. aa...aa : オプション	aa...aa オプションで指定したパスは絶対パスではありません。 絶対パスを指定してから再実行してください。
KAPM05909-E	An unexpected exception occurred.	予期しない例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05910-E	An attempt to acquire the version of aa...aa has failed. aa...aa : 製品名	インストールされている aa...aa のバージョンが取得できません。 製品が正しくインストールされているか確認し、必要に応じて対処してください。対処してもエラーが発生する場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05911-E	aa...aa is a version that cannot be registered. aa...aa : 製品名	登録データに格納されている aa...aa のデータは、インストールされているバージョンの aa...aa では利用できないため、登録できません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		移行先にインストールされている製品のバージョンを、移行元のバージョンと同じか、製品が移動を許可しているバージョンに変更してください。 該当する製品のデータをインポートする必要がない場合、type オプションを使用して、該当する製品以外をインポートしてください。
KAPM05912-I	<i>aa...aa</i> cannot be registered because it is not installed. <i>aa...aa</i> : 製品名	<i>aa...aa</i> はインストールされていないため、登録処理を省略します。 <i>aa...aa</i> のデータが必要な場合は、 <i>aa...aa</i> をインストールしてからコマンドを再実行してください。
KAPM05913-E	Processing to register <i>aa...aa</i> will stop because it is not installed. <i>aa...aa</i> : 製品名	type オプションに指定されている <i>aa...aa</i> がインストールされていないため、データの登録処理を中断します。 該当する製品のデータをインポートする必要がある場合、移行先に製品をインストールしてください。 該当する製品のデータをインポートする必要がない場合、type オプションを使用して、該当する製品以外をインポートしてください。
KAPM05914-E	Processing to register <i>aa...aa</i> will stop because it is not in the registration data. <i>aa...aa</i> : 製品名	type オプションに指定されている <i>aa...aa</i> が登録データに含まれていないため、データの登録処理を中断します。 アーカイブファイルまたは workpath オプションで指定したディレクトリに含まれる製品だけを、type オプションで指定してください。
KAPM05915-E	An attempt was made to register primary server data into the secondary server.	プライマリサーバのデータをセカンダリサーバに登録しようとしました。 インポートするデータを見直してください。
KAPM05916-E	An attempt was made to register secondary server data into the primary server.	セカンダリサーバのデータをプライマリサーバに登録しようとしました。 インポートするデータ、およびインポート先のサーバの設定を見直してください。
KAPM05917-E	An attempt to import the database has failed.	データベースのインポートに失敗しました。 コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05918-E	An attempt to export the database has failed.	データベースのエクスポートに失敗しました。 コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05919-E	The hcmsdbtrans command cannot be executed because the database is currently in use.	データベースが使用中のため、hcmsdbtrans コマンドを実行できません。 HiRDB と接続している Hitachi Command Suite 製品を停止してから、再実行してください。 再実行しても問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05920-E	The archive file specification is incorrect.	file オプションに指定したアーカイブファイル名に誤りがあります。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		コマンドオプションに指定したパスを見直してください。
KAPM05921-E	An attempt to extract the archive file has failed.	file オプションに指定したアーカイブファイルの解凍に失敗しました。 次の点を確認し、必要に応じて対処してください。 <ul style="list-style-type: none"> workpath オプションで指定したディレクトリのディスク容量が不足していないか hcmsdbtrans コマンドのアーカイブファイルか 対処してもエラーが発生する場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM05922-E	An attempt to create an archive file has failed.	アーカイブファイルの作成に失敗しました。 アーカイブファイルの格納先に、十分なディスク容量を確保してください。ディスク容量を確保してもエラーが発生する場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05923-E	An archive file cannot be created because the data exceeds 2 GB.	2GB を超えるため、アーカイブファイルを作成できません。 アーカイブファイルの代わりに、workpath オプションで指定したディレクトリに格納されているデータを移行先サーバに転送してください。
KAPM05924-E	The work directory specification is incorrect.	workpath オプションに指定した作業用ディレクトリ名に誤りがあります。 workpath オプションに指定したパスを見直してください。
KAPM05925-E	The work directory is not empty.	workpath オプションに指定した作業用ディレクトリが空ではありません。 作業用ディレクトリに空のディレクトリ、または未作成のディレクトリを指定してください。
KAPM05926-E	The format of the registration data in the work directory is incorrect.	hcmsdbtrans コマンドが必要とするファイルまたはディレクトリが、workpath オプションで指定した作業用ディレクトリに展開されていません。 <ul style="list-style-type: none"> file オプションを指定している場合 指定したアーカイブファイルが、hcmsdbtrans コマンドのアーカイブファイルかどうか確認してください。 file オプションを指定していない場合 workpath オプションで指定したディレクトリに、エクスポート時に workpath オプションで指定したディレクトリの内容がすべて格納されているかどうか確認してください。 対処してもエラーが発生する場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM05927-E	DBMS is not running.	DBMS が動作していないため、データの入出力ができません。 hcmsdbsrv コマンドで HiRDB を起動してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM05928-E	DBMS is not set up.	DBMS がセットアップされていないため、データの入出力ができません。 製品のインストール状態を確認してください。
KAPM05929-W	An attempt to delete the work directory has failed.	作業用ディレクトリに作成したファイルまたはディレクトリの削除に失敗しました。 作業ディレクトリを削除してください。
KAPM05930-I	<i>aa...aa</i> will now be exported. <i>aa...aa</i> : "The Application data"または "The Authentication data"	<i>aa...aa</i> のエクスポートを開始します。
KAPM05931-I	<i>aa...aa</i> has been exported. <i>aa...aa</i> : "The Application data"または "The Authentication data"	<i>aa...aa</i> のエクスポートが終了しました。
KAPM05932-I	<i>aa...aa</i> has been deleted from the authentication data. <i>aa...aa</i> : 製品名	認証データから <i>aa...aa</i> を削除しました。
KAPM05933-I	The archive file will now be created.	アーカイブの作成を開始します。
KAPM05934-I	The archive file has been created.	アーカイブの作成が終了しました。
KAPM05935-I	The archive file will now be extracted.	アーカイブの解凍を開始します。
KAPM05936-I	The archive file has been extracted.	アーカイブの解凍が終了しました。
KAPM05937-I	<i>aa...aa</i> will now be imported. <i>aa...aa</i> : "The Application data"または "The Authentication data"	<i>aa...aa</i> のインポートを開始します。
KAPM05938-I	<i>aa...aa</i> has been imported. <i>aa...aa</i> : "The Application data"または "The Authentication data"	<i>aa...aa</i> のインポートが終了しました。
KAPM05939-E	<i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : エラー時の詳細データ	直前のエラーメッセージの詳細情報を表示します。 直前のメッセージに従って対処してください。
KAPM05950-E	The specified product is not supported.	バージョン取得機能で指定した製品はサポート対象外です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05951-E	The sub-key that shows the version does not exist.	バージョンを示すサブキーはありません。 製品のインストール状態を確認してください。 正しくインストールされている場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05952-E	The specified product is not installed.	バージョン取得機能で指定した製品がインストールされていません。 オプションで指定した製品をインストールしてください。
KAPM05953-I	The processing of the hcmdsvrsutil library succeeded.	バージョン取得機能の処理が成功しました。
KAPM05954-E	The product name is not specified.	製品名が指定されていません。 製品名を指定して、再度コマンドを実行してください。
KAPM05955-E	The product names do not match.	製品名が一致しません。 正しい製品名を指定して、再度コマンドを実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM05956-E	The processing of the hcmdsvrsutil library failed.	バージョン取得機能の処理が失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05957-E	There is no registry key for the specified product.	バージョン取得機能で指定された製品のレジストリキーが存在しません。製品のインストール状態を確認してください。正しくインストールされている場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05958-E	An attempt to acquire the sub-key that shows the version of the specified product has failed.	バージョン取得機能で指定された製品のバージョンを示すサブキーが存在しません。製品のインストール状態を確認してください。正しくインストールされている場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05959-E	The file that stores the installation path is invalid.	インストールパスを格納しているファイルが不正です。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05970-I	The hcmdspvrs command was successful.	バージョン取得機能が成功しました。
KAPM05971-E	The specified product is not installed. (product name = aa...aa) aa...aa : 製品名	バージョン取得機能で指定した製品がインストールされていません。指定した製品をインストールしてください。
KAPM05972-E	An attempt to acquire version information for the specified product has failed.	バージョン取得機能で指定された製品のバージョンを取得できませんでした。製品のインストール状態を確認してください。正しくインストールされている場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05973-I	The hcmdspvrs command has started.	バージョン取得機能を開始しました。
KAPM05974-I	The hcmdspvrs command has ended.	バージョン取得機能が終了しました。
KAPM05975-E	A fatal error occurred.	致命的なエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05976-E	Log initialization failed.	ログの初期化に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05977-E	Initialization of the installation path has failed.	インストールパスの初期化に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05978-E	An attempt to assign memory to store the log file path has failed.	ログファイルパスを格納するメモリの確保に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05979-E	The number of specified options is invalid.	バージョン取得機能で指定したオプションの数が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05980-E	A file already exists at the specified output destination.	バージョン取得機能で指定された出力先にはすでにファイルが存在しています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05981-E	A folder already exists at the specified output destination.	バージョン取得機能で指定された出力先にはすでにフォルダが存在しています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05982-E	The file-creation function failed.	バージョン値を書き出すファイルを作成する関数が失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05983-E	The file-writing function failed.	バージョン値をファイルに書き出す関数が失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05984-I	The version was successfully acquired. (product name = <i>aa...aa</i> , version = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 製品名 <i>bb...bb</i> : バージョン	バージョン取得に成功しました。
KAPM05985-E	An attempt to acquire the version has failed. (product name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 製品名	バージョン取得に失敗しました。 製品のインストール状態を確認してください。正しくインストールされている場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05986-E	A fatal error occurred: <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 詳細メッセージ	致命的エラーの原因を表す詳細なメッセージを出力します。 指定された製品がサポートされているか確認してください。その製品がサポートされている場合は、指定された製品名が間違っている可能性がありますので、正しい製品名を入力して再度コマンドを実行してください。
KAPM05987-I	The processing of the hcmdsvrsutil library succeeded.	バージョン取得機能の処理が成功しました。
KAPM05988-E	The processing of the hcmdsvrsutil library failed. (RTN = <i>aa...aa</i> , message = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : バージョン取得機能内での戻り値	バージョン取得機能の処理が失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>bb...bb</i> : バージョン取得機能内でのエラーメッセージ	
KAPM05990-E	The version file does not exist. (command line = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : コマンドライン	バージョンファイルが存在しません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05991-E	The argument is invalid.	引数が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05999-E	Fatal error.	致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06001-I	Updating of the database has started.	データベースのアップデートを開始しました。
KAPM06002-I	The database was updated from 01-00 to 01-01.	データベースが 0100 版から 0101 版へアップデートされました。
KAPM06003-I	The database need not be updated to 01-01.	データベースは 0101 版へアップデートする必要はありません。
KAPM06004-I	The database updating from 01-01 to 03-00 has started.	0101 版から 0300 版へデータベースのアップデートを開始しました。
KAPM06005-I	The database was updated from 01-01 to 03-00.	データベースが 0101 版から 0300 版へアップデートされました。
KAPM06006-I	The database need not be updated to 03-00.	データベースは 0300 版へアップデートする必要はありません。
KAPM06007-I	The database is already updated.	データベースはすでにアップデートされています。
KAPM06008-E	Updating of the database abnormally ended.	データベースのアップデートが異常終了しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06009-I	Updating of the database has ended.	データベースのアップデートが終了しました。
KAPM06010-E	An attempt to backup of the database has failed.	データベースのバックアップに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06011-E	An attempt to restore of the database has failed.	データベースのリストアに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06012-I	The database does not need to be updated to <i>aa...aa</i> . <i>aa...aa</i> : バージョン	データベースをバージョン <i>aa...aa</i> へアップデートする必要はありません。
KAPM06013-I	The database has been updated from <i>aa...aa</i> to <i>bb...bb</i> . <i>aa...aa</i> : 旧バージョン <i>bb...bb</i> : 新バージョン	データベースがバージョン <i>aa...aa</i> からバージョン <i>bb...bb</i> へアップデートされました。
KAPM06015-E	An attempt to change the database meta definition has failed.	データベースメタ定義の変更失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		InterBase が起動していることを確認してください。起動している場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06016-E	The version of the database to be upgraded is unknown.	バージョンアップするデータベースのバージョンがわかりません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06017-E	The current database version could not be obtained.	現在のデータベースのバージョンを取得できませんでした。 InterBase が起動していることを確認してください。起動している場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06018-E	An attempt to acquire the connection has failed.	Connection の取得に失敗しました。 InterBase が起動していることを確認してください。起動している場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06019-E	An attempt to set up the auto-commit function has failed.	自動コミット機能の設定に失敗しました。 InterBase が起動していることを確認してください。起動している場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06020-E	An attempt to create the lock table has failed.	ロックテーブルの作成に失敗しました。 InterBase が起動していることを確認してください。起動している場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06021-E	An attempt to lock the table has failed.	テーブルロックに失敗しました。 InterBase が起動していることを確認してください。起動している場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06022-E	An attempt to execute SQL has failed.	SQL 実行に失敗しました。 InterBase が起動していることを確認してください。起動している場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06023-E	An attempt to update the version of the database version table has failed.	データベースのバージョンテーブルのバージョンの更新に失敗しました。 InterBase が起動していることを確認してください。起動している場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06024-E	An error occurred during an attempt to read a file.	ファイル読み込み中にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06025-E	An attempt to acquire the database version has failed.	データベースのバージョン取得に失敗しました。 InterBase が起動していることを確認してください。起動している場合は、原因究明と問題の解

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06026-E	An attempt to upgrade the database has failed.	データベースのバージョンアップに失敗しました。 InterBase が起動していることを確認してください。起動している場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06027-I	The database was successfully updated.	データベースのバージョンアップに成功しました。
KAPM06028-E	An attempt to set up the environment has failed. (system property name = aa...aa) aa...aa : システムプロパティ名	環境設定に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06029-E	Database is not running.	DBMS が起動していません。 OS を起動した直後は DBMS が起動途中のため、メッセージが出力されることがあります。 OS を起動した直後以外のタイミングでメッセージが出力された場合は、DBMS を起動してください。
KAPM06030-E	Disk capacity is insufficient.	ディスク容量が不足しています。 バックアップファイルからリポジトリをリストアして、データベースの容量を増やしてから、再度実行してください。
KAPM06031-E	An attempt to upgrade the database has failed.	データベースのバージョンアップに失敗しました。 バックアップファイルからリポジトリをリストアして、再度実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06032-E	An attempt to acquire the database version has failed.	データベースのバージョン取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06033-E	The current database version is incorrect.	現在のデータベースのバージョンが不明です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06034-E	Exclusion control of a TNB_DBVersion table has failed.	TNB_DBVersion テーブルの排他制御に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06035-E	The access class of a database could not be found.	データベースのアクセスクラスが見つかりません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06036-E	Access of a database has failed.	データベースのアクセスに失敗しました。 OS を起動した直後は DBMS が起動途中のため、メッセージが出力されることがあります。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		OS を起動した直後以外のタイミングでメッセージが出力された場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM06037-I	The database has been update from version <i>aa...aa</i> to <i>bb...bb</i> . <i>aa...aa</i> :バージョン <i>bb...bb</i> :バージョン	データベースがバージョン <i>aa...aa</i> からバージョン <i>bb...bb</i> へアップデートします。
KAPM06038-E	An attempt to acquire the user names of users who access the database has failed.	データベースにアクセスするユーザーの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06039-E	The version of the target database is unknown.	目標とするデータベースのバージョンが不明です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06040-E	An unexpected error occurred.	予期しないエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06041-E	An attempt to clear an HiRDB environment variable has failed.	HiRDB の環境変数を消去できませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06042-W	The SQL will be disregarded. (SQL = <i>aa...aa</i> , error code = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 実行した SQL ステートメント <i>bb...bb</i> : エラーコード	データベースのバージョンアップで、実行済みの SQL ステートメントを無視します。
KAPM06043-E	An attempt to perform a rollback has failed.	データベースのバージョンアップで、ロールバック実行に失敗しました。 DBMS が起動していることを確認してから再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06044-E	The version upgrade definition file is invalid.	バージョンアップ定義ファイルの内容が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06045-I	The SQL will now be executed. (SQL = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : SQL ステートメント	データベースのバージョンアップで、SQL ステートメントを実行します。
KAPM06046-I	Processing to upgrade the database version started. (version = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : データベースのバージョン	データベースのバージョンアップを開始しました。
KAPM06047-I	Processing to upgrade the database version ended. (version = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : データベースのバージョン	データベースのバージョンアップが終了しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM06048-E	An attempt to execute the SQL has failed. (SQL = <i>aa...aa</i> , error code = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 実行した SQL ステートメント <i>bb...bb</i> : エラーコード	データベースのバージョンアップで、SQL ステートメントの実行に失敗しました。 DBMS が起動していることを確認してから再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06049-E	The RD area of HBase is blocked.	Hitachi Command Suite 共通コンポーネントの RD エリアが閉塞しています。 HiRDB が閉塞した原因を取り除いてから再実行してください。
KAPM06050-E	An attempt to add a built-in user group failed.	ビルトインユーザーグループの追加に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06052-E	An attempt to change a resource group attribute has failed. (attribute = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 属性	リソースグループの属性の変更に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06100-I	The hcmdschgurl command started.	hcmdschgurl コマンドを開始しました。
KAPM06101-I	The hcmdschgurl command successfully ended.	hcmdschgurl コマンドは正常終了しました。
KAPM06102-E	The hcmdschgurl command abnormally ended.	hcmdschgurl コマンドは異常終了しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06103-I	An attempt to back up the database has succeeded.	データベースのバックアップに成功しました。
KAPM06104-E	An attempt to back up the database has failed.	データベースのバックアップに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06105-I	An attempt to restore the database has succeeded.	リストアに成功しました。
KAPM06106-E	An attempt to restore the database has failed.	リストアに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06111-I	The URL was changed from " <i>aa...aa</i> " to " <i>bb...bb</i> ". <i>aa...aa</i> : 旧 URL <i>bb...bb</i> : 新 URL	URL が " <i>aa...aa</i> " から " <i>bb...bb</i> " に変更されました。
KAPM06112-E	The specified URL before the change is invalid. URL = " <i>aa...aa</i> " <i>aa...aa</i> : URL	変更元 URL が不正です。 URL に誤りがないか確認してください。
KAPM06113-E	The specified URL after the change is invalid. URL = " <i>aa...aa</i> " <i>aa...aa</i> : URL	変更先 URL が不正です。 URL に誤りがないか確認してください。
KAPM06114-E	An attempt to connect to the database has failed.	データベースへの接続に失敗しました。 InterBase または InterClient のサービスが起動しているか確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM06115-E	An option is invalid.	オプションが不正です。 オプションを確認してください。
KAPM06116-E	CIMException occurred. Description = "aa...aa" aa...aa : 詳細	CIMException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06117-E	An unexpected error occurred. Description = "aa...aa" aa...aa : 詳細	予期しないエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06118-E	The BaseURL column does not exist in the class. class name = "aa...aa" aa...aa : クラス名	BaseURL カラムがクラスに存在しません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06119-W	The specified URL does not exist in the class. URL = "aa...aa" aa...aa : URL	指定された URL はクラスに存在しません。 URL に誤りがないか確認してください。
KAPM06120-I	The URL is not registered.	URL は登録されていません。
KAPM06121-E	IllegalDataException occurred. Description = "aa...aa" aa...aa : 詳細	IllegalDataException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06122-W	The specified URL before the change and after the change are same.	変更元と変更先の URL が同一です。 URL に誤りがないか確認してください。
KAPM06123-W	The program product specified by the type option is invalid.	type オプションに指定した値が不正です。 正しい値を入力してください。
KAPM06130-I	The hcmdsinitsetup command has started.	hcmdsinitsetup コマンドを開始しました。
KAPM06131-I	The hcmdsinitsetup command was successful.	hcmdsinitsetup コマンドが成功しました。
KAPM06132-E	The hcmdsinitsetup command has failed.	hcmdsinitsetup コマンドが失敗しました。
KAPM06138-E	A required database path is missing.	必要なデータベースのパスがありません。
KAPM06139-E	An error occurred during a parameter check.	パラメーターチェックでエラーが発生しました。
KAPM06140-E	Memory is insufficient.	メモリー不足が発生しました。 メモリーの容量について、動作環境を確認してください。必要であればメモリーを増設してください。
KAPM06141-E	The HiRDB environment already exists.	HiRDB の環境がすでに存在しています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06142-E	Free disk space is insufficient.	空き領域が不足しています。 ディスク容量について、動作環境を確認してください。必要であればディスク領域を空けてください。
KAPM06143-E	An error occurred in the system definition entry file.	システム定義入力ファイルでエラーが発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06144-E	The port is already being used.	すでにポートが使用されています。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06145-E	Other errors.	その他のエラーです。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06146-E	An attempt to create the file has failed.	ファイルの作成に失敗しました。
KAPM06147-E	An attempt to write to the file has failed.	ファイルの書き込みに失敗しました。
KAPM06149-E	An attempt to delete the file has failed.	ファイルの削除に失敗しました。
KAPM06153-E	An attempt to execute the command has failed.	コマンドの実行に失敗しました。
KAPM06154-E	An unexpected exception occurred.	予期しない例外が発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06159-E	An attempt to acquire a cluster configuration file has failed.	クラスタ設定ファイルの取得に失敗しました。クラスタ設定ファイルを確認してください。
KAPM06160-E	The value of hcmds.home cannot be acquired.	"hcmds.home"の値が取得できません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06161-E	The cluster configuration file was not found.	クラスタ設定ファイルが見つかりません。クラスタ設定ファイルを確認してください。
KAPM06162-E	An attempt to acquire the key name has failed.	キー名の取得に失敗しました。クラスタ設定ファイルを確認してください。
KAPM06163-E	An attempt to acquire a value has failed.	値の取得に失敗しました。クラスタ設定ファイルを確認してください。
KAPM06164-E	A CIMClassNotFoundException occurred.	CIMClassNotFoundExceptionが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06165-E	An attempt to delete the file has failed. (file = "aa...aa") aa...aa : ファイル名	ファイルの削除に失敗しました。次に続くメッセージを参照してください。
KAPM06166-E	An attempt to register the authentication data has failed.	認証データの登録に失敗しました。hcmdschgurl コマンドを実行して、KAPM06111-I に続いてこのメッセージが表示された場合は、分散環境でのローカルのリポジトリへの情報登録には成功していますが、リモートのマシンでの登録情報が未反映です。リモートのマシンで登録情報を反映するために、リモートのマシンの Single Sign On Server を起動または再起動してください。起動または再起動しても問題が解決しない場合は、ネットワークの接

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		続・設定を確認してください。それでも問題が解決しないときは、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM06169-E	An attempt to log in as an internal user has failed.	内部ユーザーでのログインに失敗しました。次に続くメッセージを参照してください。
KAPM06170-I	The hcmsdbstatus command has started.	hcmsdbstatus コマンドが開始されました。
KAPM06171-I	The hcmsdbstatus command has ended.	hcmsdbstatus コマンドが終了しました。
KAPM06172-I	The hcmsdbstatus command was successful.	hcmsdbstatus コマンドが成功しました。
KAPM06173-E	The hcmsdbstatus command has failed.	hcmsdbstatus コマンドが失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06176-I	The DBMS is running.	DBMS が起動しています。
KAPM06177-I	The DBMS is now starting or shutting down.	DBMS が起動処理中、または停止処理中です。
KAPM06178-I	The DBMS service has stopped.	DBMS が停止しています。
KAPM06179-E	The DBMS restart was interrupted.	DBMS が再起動中断状態です。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06180-E	The DBMS service has stopped or does not exist.	DBMS サービスが停止または存在しません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06181-E	The database has not been set up.	データベースがセットアップされていません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06182-E	An internal error occurred.	内部エラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06183-I	Command execution results: "aa...aa" aa...aa : 実行するコマンドの画面出力	コマンドの実行結果です。
KAPM06184-E	An attempt to execute the command has failed.	コマンドの実行に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06185-E	An exception occurred.	例外が発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06186-E	The value of hcmsd.home could not be acquired.	"hcmsd.home"の値が取得できませんでした。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM06187-E	An attempt to judge the DBMS status has failed.	DBMS の状態判定は失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06190-E	An attempt to acquire a parameter failed. (file name = <i>aa...aa</i> , key = <i>bb...bb</i> , value = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ファイルのパス <i>bb...bb</i> : 値を設定するためのキー値 <i>cc...cc</i> : キーに対応する値	ファイルからキーに対応する値のパラメーター取得に失敗しました。 hcmsdbsetup コマンドを実行した時に、パラメーターを取得するファイルが一時的にアクセスできない状態になっていたおそれがあります。 hcmsdbsetup コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06191-E	An attempt to set a parameter failed. (file name = <i>aa...aa</i> , key = <i>bb...bb</i> , value = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ファイルのパス <i>bb...bb</i> : 値を設定するためのキー値 <i>cc...cc</i> : キーに対応する値	キーに対応する値のパラメーター設定に失敗しました。 hcmsdbsetup コマンドを実行した時に、パラメーターを取得するファイルが一時的にアクセスできない状態になっていたおそれがあります。 hcmsdbsetup コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06192-I	The command was executed. (command name = <i>aa...aa</i> , return code = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : コマンド名 <i>bb...bb</i> : リターンコード	コマンドを実行しました。
KAPM06193-I	<i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> :デバッグ情報	デバック情報が出力されます。
KAPM06203-E	The list of table name is empty.	テーブル名のリストが空です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06206-E	An unexpected error occurred during InterBase processing.	InterBase の処理中に予期しないエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06207-E	The list of table names is empty.	テーブル一覧が空です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06209-I	A table <i>aa...aa</i> has been created. <i>aa...aa</i> : テーブル名	テーブル <i>aa...aa</i> が作成されました。
KAPM06214-E	InterBaseServer is not running.	InterBaseServer が起動していません。 InterBaseServer が起動しているか確認してください。
KAPM06215-E	InterServer is not running.	InterServer が起動していません。 InterServer が起動しているか確認してください。
KAPM06216-E	An argument contains a null value.	引数に null が含まれています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06217-E	The option is invalid.	オプションが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06218-E	The specified directory cannot be created. (directory = <i>aa...aa</i>). <i>aa...aa</i> : ディレクトリ名	指定されたディレクトリが作成できません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06219-E	The specified directory name already exists as a file. (file = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ファイル名	指定されたディレクトリ名がすでにファイルとして存在します。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06220-E	The specified file name already exists as a directory. (directory = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ディレクトリ名	指定されたファイル名がすでにディレクトリとして存在します。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06221-E	The specified database file (<i>aa...aa</i>) does not exist. <i>aa...aa</i> : データベースファイル名	指定されたデータベースファイルが存在しません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06222-E	The specified XML file (<i>aa...aa</i>) does not exist. <i>aa...aa</i> : XML ファイル名	指定された XML ファイルが存在しません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06223-E	The specified value is invalid. (value = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 値	指定された値が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06224-E	The specified arguments are insufficient.	指定された引数が不十分です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06226-E	The specified file (<i>aa...aa</i>) does not exist in the argument of the pdload command. <i>aa...aa</i> : 存在しない名称	pdload コマンドの引数に指定するファイル <i>aa...aa</i> が存在しません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06227-I	The processing on table <i>aa...aa</i> finished successfully. <i>aa...aa</i> : テーブル名	テーブル <i>aa...aa</i> への処理は正しく終了しました。
KAPM06228-E	The CSV file (<i>aa...aa</i>) contains an invalid line. <i>aa...aa</i> : ファイル名	CSV ファイル <i>aa...aa</i> に不正な行が含まれています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06229-E	An attempt to read the data from table <i>aa...aa</i> has failed.	テーブル <i>aa...aa</i> のデータ読み込みに失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : テーブル名	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06230-E	An unexpected return value (<i>aa...aa</i>) was returned from the pdload command. <i>aa...aa</i> : 予期しない戻り値	pdload コマンドから、予期しない戻り値が返りました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06231-E	An attempt to upgrade InterBase has failed.	InterBase のアップグレード処理に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06232-E	An SQL exception occurred.	SQLException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06234-E	A table name in XML is null or 0 bytes.	XML 中のテーブル名が null または 0 バイトです。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06235-E	An unexpected XML tag (<i>aa...aa</i>) has been detected. <i>aa...aa</i> : 予期しない XML タグ名	予期しない XML のタグ <i>aa...aa</i> を検出しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06239-E	An error occurred during SAX processing.	SAX 処理中にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06241-E	A fatal error occurred during SAX processing.	SAX 処理中に致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06242-E	An unexpected data length (<i>aa...aa</i>) was detected. <i>aa...aa</i> : 予期しない値	予期しないデータ長が検出されました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06243-E	A SAXException occurred. (details = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : SAXException の詳細情報	SAXException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06244-E	The length of the data to be moved to HiRDB exceeds the HiRDB limit. (data type of excessively long data, length) = (<i>aa...aa</i> , <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 長過ぎるデータのデータ型 <i>bb...bb</i> : 長過ぎるデータのデータ長	HiRDB に移行するデータの長さが HiRDB の制限値を超えています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06245-E	HiRDB has not started.	HiRDB が開始していません。 HiRDB を起動してください。
KAPM06246-I	The table <i>aa...aa</i> was successfully created.	テーブル <i>aa...aa</i> の作成に成功しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : テーブル名	
KAPM06247-E	The table <i>aa...aa</i> was not created. <i>aa...aa</i> : テーブル名	テーブル <i>aa...aa</i> は作成されませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06248-I	Processing ended normally.	処理は正常終了しました。
KAPM06249-E	An unexpected exception occurred.	予期しない例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06250-I	The data was registered successfully in table <i>aa...aa</i> . <i>aa...aa</i> : テーブル名	テーブル <i>aa...aa</i> へのデータ登録に成功しました。
KAPM06251-E	The data was not registered in table <i>aa...aa</i> . <i>aa...aa</i> : テーブル名	テーブル <i>aa...aa</i> にデータは登録されませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06252-E	Authentication has failed at <i>aa...aa</i> . <i>aa...aa</i> : データベース名	<i>aa...aa</i> で認証に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06253-E	Application <i>aa...aa</i> is not supported. <i>aa...aa</i> : アプリケーション名	アプリケーション <i>aa...aa</i> のデータベースの移行は、サポートされていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06255-I	Processing to initialize database conversion is being performed.	データベース変換のための初期化処理中です。
KAPM06256-E	The specified file could not be created. (file = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ファイル名	指定したファイルを作成できませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06257-I	Data is now being read from the old database. (progress = <i>aa...aa/bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 変換が完了したテーブル数 <i>bb...bb</i> : 変換されるテーブルの総数	古いデータベースからデータを読み出しています。
KAPM06258-I	The database is now being converted. (progress = <i>aa...aa/bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 変換されたテーブル数 <i>bb...bb</i> : 変換されるテーブルの総数	データベースを変換中です。
KAPM06259-E	The file <i>aa...aa</i> does not exist. <i>aa...aa</i> : ファイル名	ファイル <i>aa...aa</i> がありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06262-I	hcmdssslsetup コマンドを開始しました。	hcmdssslsetup コマンドの開始時に出力されるメッセージです。
KAPM06263-I	hcmdssslsetup コマンドが終了しました。	hcmdssslsetup コマンドの終了時に出力されるメッセージです。
KAPM06264-I	hcmdssslsetup コマンドが成功しました。	hcmdssslsetup コマンドの成功時に出力されるメッセージです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM06266-E	オプションが不正です。	コマンドに指定したオプションが、正しくないときに出力されるメッセージです。 正しいオプションを指定してください。
KAPM06267-E	ssl.cnf ファイルがありません。	ssl.cnf ファイルが格納先がないときに出力されるメッセージです。 file オプションを指定している場合、引数に指定したパスに ssl.cnf ファイルがあるかを確認してください。 file オプションを指定していない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06268-E	ssl.cnf ファイルが不正です。	ssl.cnf ファイルが不正であるときに出力されるメッセージです。 ssl.cnf ファイルの権限または、コマンドを実行したユーザーの権限を確認後、コマンドを再実行してください。 それでも問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06269-E	ssl コマンドの実行に失敗しました。	ssl コマンドの実行に失敗したときに出力されるメッセージです。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06270-I	秘密鍵を作成する処理を開始しました。	秘密鍵を作成する処理の開始時に出力されるメッセージです。
KAPM06271-I	秘密鍵を作成する処理が終了しました。	秘密鍵を作成する処理の終了時に出力されるメッセージです。
KAPM06272-E	秘密鍵を作成する処理に失敗しました。	秘密鍵を作成する処理の失敗時に出力されるメッセージです。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06273-I	自己署名の証明書を作成する処理を開始しました。	自己署名の証明書を作成する処理の開始時に出力されるメッセージです。
KAPM06274-I	自己署名の証明書を作成する処理が終了しました。	自己署名の証明書を作成する処理の終了時に出力されるメッセージです。
KAPM06275-E	自己署名の証明書を作成する処理に失敗しました。	自己署名の証明書を作成する処理の失敗時に出力されるメッセージです。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06276-I	DER 形式の自己署名の証明書を作成する処理を開始しました。	DER 形式の自己署名の証明書を作成する処理の開始時に、出力されるメッセージです。
KAPM06277-I	DER 形式の自己署名の証明書を作成する処理が終了しました。	DER 形式の自己署名の証明書を作成する処理の終了時に、出力されるメッセージです。
KAPM06278-E	DER 形式の自己署名の証明書を作成する処理に失敗しました。	DER 形式の自己署名の証明書を作成する処理の失敗時に、出力されるメッセージです。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM06280-E	内部エラーが発生しました。	内部エラーが発生した時に出力されるメッセージです。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06281-I	Processing to create a certificate content file started.	証明書の内容ファイルを作成する処理を開始したときに、出力されるメッセージです。
KAPM06282-I	Processing to create a certificate content file ended.	証明書の内容ファイルを作成する処理が終了したときに、出力されるメッセージです。
KAPM06283-E	Processing to create a certificate content file has failed.	証明書の内容ファイルを作成する処理が失敗したときに、出力されるメッセージです。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06284-E	The sslc command was not found.	sslc コマンドが見つからないときに出力されるメッセージです。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06285-E	File deletion has failed.	hcmdssslsetup コマンドで作成した秘密鍵、自己署名の証明書、DER 形式の自己署名の証明書および証明書の内容ファイルの削除に失敗したときに、出力されるメッセージです。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06286-E	The private key was not found.	ファイルを作成したあと、秘密鍵ファイルが格納先に見つからないときに出力されるメッセージです。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06287-E	The self-signed certificate was not found.	ファイルを作成したあと、自己署名の証明書ファイルが格納先に見つからないときに出力されるメッセージです。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06288-E	The DER format self-signed certificate was not found.	ファイルを作成したあと、DER 形式の自己署名の証明書ファイルが格納先に見つからないときに出力されるメッセージです。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06289-E	The certificate contents file was not found.	ファイルを作成したあと、証明書の内容ファイルが格納先に見つからないときに出力されるメッセージです。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06290-E	An exception occurred.	例外が発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06303-E	The option(s) specified is insufficient.	オプションの指定が不足しています。必要なオプションをすべて指定してください。
KAPM06304-E	The option value specified is invalid.	オプションと値の対応づけに誤りがあります。オプションを指定し、その後ろに必要な値（ユーザー名、パスワードなど）を指定してください。
KAPM06305-E	The option " <i>aa...aa</i> " is not supported. <i>aa...aa</i> : オプション名	" <i>aa...aa</i> "オプションはサポートしていません。サポートされていないオプションは指定しないでください。
KAPM06306-E	The option " <i>aa...aa</i> " appears 2 times or more. <i>aa...aa</i> : オプション名	" <i>aa...aa</i> "オプションが2回以上指定されています。オプションの指定を確認してください。
KAPM06307-E	The combination of options is invalid.	オプションの組み合わせに誤りがあります。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06308-E	An argument contains a null value.	引数に null が含まれています。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06309-E	An exception occurred.	例外が発生しました。詳細は後続のメッセージ KAPM49001-E を参照してください。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06310-E	The file " <i>aa...aa</i> " could not be read. <i>aa...aa</i> : ファイル名	<i>aa...aa</i> ファイルにアクセスできません。次のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルが存在しているか ・ ファイルが使用中でないか ・ ファイルの作成ディレクトリは適切か
KAPM06311-E	The input file contains a grammar mistake.	入力ファイルに文法の誤りがあります。指定した定義ファイルの文法の誤りを訂正してください。
KAPM06312-E	An error occurred when inputting the file.	ファイルの入力時にエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06313-E	The specified value is invalid. value = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 値	指定された値が不正です。ユーザー設定アプリケーションファイルに指定した値が正しいか確認してください。
KAPM06317-E	I/O of XML has failed.	XML の入出力は失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06318-E	An error occurred in the SAX parser.	SAX のパーサーでエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06319-I	Processing ended normally.	処理は正常終了しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM06321-E	The " <i>bb...bb</i> " file to be used by " <i>aa...aa</i> " does not exist. <i>aa...aa</i> : コマンド名やクラス名など <i>bb...bb</i> : 存在しないファイル名	<i>aa...aa</i> で使用するファイル <i>bb...bb</i> が存在しません。 ファイルが指定の位置にあることを確認してください。
KAPM06322-E	An SQL exception occurred.	SQLException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06323-I	Execution of the " <i>aa...aa</i> " command ended normally. <i>aa...aa</i> : コマンド名	<i>aa...aa</i> コマンドの実行は正常終了しました。
KAPM06324-E	An attempt to execute the " <i>aa...aa</i> " command has failed. <i>aa...aa</i> : コマンド名	<i>aa...aa</i> コマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06325-I	HiRDB was started.	HiRDB が起動されました。
KAPM06326-E	HiRDB was not started.	HiRDB が起動されませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06327-I	HiRDB was stopped.	HiRDB が停止されました。
KAPM06328-E	HiRDB was not stopped.	HiRDB が停止されませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06330-I	<i>aa...aa</i> processing started. <i>aa...aa</i> : メソッド名	<i>aa...aa</i> の処理を開始しました。
KAPM06331-I	<i>aa...aa</i> processing finished. <i>aa...aa</i> : メソッド名	<i>aa...aa</i> の処理が終了しました。
KAPM06332-E	The database of the specified product has not been set up.	指定された製品のデータベースはセットアップされていません。 hcmsddbsetup コマンドを使用して、指定した製品のデータベースをセットアップしてください。
KAPM06333-E	HiRDB cannot be stopped because a Suite product is connected to HiRDB.	HiRDB と接続している Suite 製品が存在するため、HiRDB を停止できません。 HiRDB と接続している Suite 製品を停止してから、再実行してください。
KAPM06334-E	InterBase is not running.	InterBase が起動していません。 InterBaseServer が起動しているか確認してください。詳細は hcmsdbconvert [n].log を参照してください。
KAPM06335-E	The DBMS has not started.	HiRDB が起動していません。 DBMS が起動しているか確認してください。詳細は hcmsdbconvert [n].log を参照してください。
KAPM06336-E	Authentication has failed at InterBase.	InterBase で認証に失敗しました。 正しいユーザー名またはパスワードを指定してください。詳細は hcmsdbconvert [n].log を参照してください。
KAPM06337-E	Authentication has failed in the DBMS.	DBMS で認証に失敗しました。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		正しいユーザー名またはパスワードを指定してください。詳細は <code>hcmsdbconvert [n].log</code> を参照してください。
KAPM06338-E	An unexpected exception occurred.	予期しない例外が発生しました。 <code>hcmsdbconvert [n].log</code> を参照してください。
KAPM06339-E	An unexpected exception occurred.	予期しない例外が発生しました。 <code>hcmsdbconvert [n].log</code> を参照してください。
KAPM06340-E	Memory is insufficient.	メモリー不足が発生しました。 <code>hcmsdbinitsetup [n].log</code> を参照してください。
KAPM06341-E	The DBMS environment already exists.	DBMS の環境がすでにあります。 <code>hcmsdbinitsetup [n].log</code> を参照してください。
KAPM06342-E	Free disk space is insufficient.	空き領域が不足しています。 ディスク容量について、動作環境を確認してください。必要あればディスク領域を空けてください。詳細は <code>hcmsdbinitsetup [n].log</code> を参照してください。
KAPM06343-E	An error occurred in the system definition entry file.	システム定義入力ファイルでエラーが発生しました。 <code>hcmsdbinitsetup [n].log</code> を参照してください。
KAPM06344-E	The port is already being used.	すでにポートが使用されています。 <code>hcmsdbinitsetup [n].log</code> を参照してください。
KAPM06345-E	An unexpected exception occurred.	予期しない例外が発生しました。 <code>hcmsdbinitsetup [n].log</code> を参照してください。
KAPM06346-E	The file " <i>aa...aa</i> " already exists. <i>aa...aa</i> : ファイル名	<i>aa...aa</i> ファイルはすでにあります。 対象のファイルが " <code>hcmsdbsetRDArea.ini</code> " の場合は、指定した DB の作成先にすでに DB が作成されている可能性があります。DB の作成先を変更して再セットアップしてください。それ以外の場合は、 <i>aa...aa</i> ファイルを削除したあと、再セットアップしてください。
KAPM06347-W	The specified file system area " <i>aa...aa</i> " already existed, so it was deleted. <i>aa...aa</i> : ファイルシステム領域	指定されたファイルシステム領域 <i>aa...aa</i> がすでにあるので、 <i>aa...aa</i> を削除しました。
KAPM06348-I	The database was created successfully.	データベースの作成に成功しました。
KAPM06349-E	An attempt to create the database has failed.	データベースの作成に失敗しました。
KAPM06350-I	The database was deleted successfully.	データベースの削除に成功しました。
KAPM06351-E	An attempt to delete the database has failed.	データベースの削除に失敗しました。
KAPM06352-E	Directory creation has failed. (directory = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ディレクトリ名	ディレクトリ作成に失敗しました。 DB 作成先を見直してください。必要あれば、DB 作成先を変更して再セットアップしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06353-I	DB のセットアップを再実行します。	DB のセットアップを再実行します。
KAPM06354-E	There are no parameter definition files in the specified directory. Specify a directory that contains a parameter definition file.	hcmsddbsetup コマンドの prmfile オプションで指定されたディレクトリ内にパラメータ定義ファイル(データベースをセットアップする際に使用するファイル)が見つかりません。 prmfile オプションの引数に、パラメータ定義ファイルが格納されているディレクトリを指定してから再度コマンドを実行してください。
KAPM06355-W	Database unsetup processing failed. (product name = aa...aa) aa...aa : 製品名	hcmsddbsetup コマンドの type オプションで指定した製品のアンセットアップ処理に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06356-W	A database has not been set up for the specified product. (product name = aa...aa) aa...aa : 製品名	hcmsddbsetup コマンドの type オプションで指定した製品のデータベースがセットアップされていません。
KAPM06357-I	データベースのアンセットアップに成功しました。製品名 = aa...aa aa...aa : 製品名	指定した製品名のデータベースをアンセットアップしました。
KAPM06358-I	The initial unsetup processing succeeded.	初期アンセットアップ処理が成功しました。
KAPM06359-W	The initial unsetup processing failed.	初期アンセットアップ処理が失敗しました。
KAPM06360-W	Deletion of the RD area failed. (RD area file = aa...aa) aa...aa : RD エリアのファイル名	RD エリアの削除に失敗しました。 DB 作成先に DB が残っている場合は削除してください。
KAPM06361-I	The method was executed. (method name = aa...aa, return code = bb...bb) aa...aa : メソッド名 bb...bb : リターンコード	メソッドを実行しました。
KAPM06362-E	Acquisition of the name of a set up product failed.	セットアップした製品名の取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06363-I	The service is stopped.	サービスが停止しています。
KAPM06364-I	The service is running.	サービスが起動しています。
KAPM06365-I	The service is starting.	サービスが起動処理中です。
KAPM06366-I	The service is stopping.	サービスが停止処理中です。
KAPM06367-I	The service is now being resumed.	サービスが再開中です。
KAPM06368-I	The service is now being paused.	サービスが一時停止処理中です。
KAPM06369-I	The service is paused.	サービスが一時停止中です。
KAPM06370-I	The service does not exist.	サービスがありません。
KAPM06371-W	The service is disabled.	サービスが無効です。
KAPM06372-W	Acquisition of the service status failed.	サービスの状態取得に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM06373-W	The service status is currently unknown.	現在のサービス状態が不明です。
KAPM06374-I	Execution of the "aa...aa" command ended successfully. (return code = bb...bb) aa...aa : コマンド名 bb...bb : コマンドの戻り値	コマンドの実行が正常に終了しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06375-E	Execution of the "aa...aa" command failed. (return code = bb...bb) aa...aa : コマンド名 bb...bb : コマンドの戻り値	コマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06396-E	"aa...aa":"bb...bb" aa...aa : コマンド名 bb...bb : メッセージ	デバッグ用メッセージです。
KAPM06398-E	"aa...aa" aa...aa : 例外用メッセージ	デバッグ用メッセージです。
KAPM06399-E	An unexpected exception occurred.	予期しない例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06403-E	An exception occurred.	例外が発生しました。詳細は後続のメッセージ KAPM49001-E を参照してください。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06404-E	The file "aa...aa" could not be read. aa...aa : ファイル名	aa...aa ファイルにアクセスできません。 次のことを確認してください。 ・ ファイルが存在しているか ・ ファイルが使用中でないか ・ ファイルの作成ディレクトリは適切か
KAPM06405-I	Processing ended normally.	処理は正常終了しました。
KAPM06407-E	The "bb...bb" file to be used by "aa...aa" does not exist. aa...aa : コマンド名やクラス名など bb...bb : 存在しないファイル名	aa...aa で使用するファイル bb...bb が存在しません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06408-I	Execution of the "aa...aa" command ended normally. aa...aa : コマンド名	aa...aa コマンドの実行は正常終了しました。
KAPM06409-E	An attempt to execute the "aa...aa" command has failed. aa...aa : コマンド名	aa...aa コマンドの実行に失敗しました。
KAPM06410-I	The setup status is "not set up".	セットアップの状態は「未設定」です。
KAPM06411-I	The setup status is "stand-alone".	セットアップの状態は「スタンドアロン」です。
KAPM06412-I	The setup status is "active system".	セットアップの状態は「クラスタ構成の主系ノード」です。
KAPM06413-I	The setup status is "standby system".	セットアップの状態は「クラスタ構成の待機系ノード」です。
KAPM06414-E	The option specification is incorrect.	オプションの指定に誤りがあります。 オプションの指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM06429-E	An unexpected exception occurred.	予期しない例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06433-E	An exception occurred.	例外が発生しました。詳細は後続のメッセージ KAPM49001-E を参照してください。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06434-I	Processing ended normally.	処理は正常終了しました。
KAPM06436-E	An attempt to execute the "aa...aa" command has failed. aa...aa : コマンド名	aa...aa コマンドの実行に失敗しました。
KAPM06437-E	The option(s) specified is insufficient.	オプションの指定が誤っています。 オプションの指定を見直してください。
KAPM06438-I	The HiRDB service has started.	HiRDB サービスを開始します。
KAPM06439-I	The HiRDB service has stopped.	HiRDB サービスを停止します。
KAPM06440-I	The HiRDB service has already started.	HiRDB サービスはすでに開始されています。
KAPM06441-I	The HiRDB service has already stopped.	HiRDB サービスはすでに停止されています。
KAPM06442-E	The HiRDB service has not been set up.	HiRDB サービスがセットアップされていません。 DBMS を使用する製品向け： 製品が正しくインストールされているか確認し、必要に応じて対処してください。対処してもエラーが発生する場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 DBMS を使用しない製品向け(JP1/PFM-MWO)： 製品の動作に影響ありません。
KAPM06443-E	An attempt to start the HiRDB service has failed.	HiRDB サービスの開始に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06444-E	An attempt to stop the HiRDB service has failed.	HiRDB サービスの停止に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06445-E	HiRDB cannot be stopped because a Suite product is connected to HiRDB.	HiRDB と接続している Suite 製品が存在するため、HiRDB を停止できません。 HiRDB と接続している Hitachi Command Suite 製品があるため、HiRDB を停止できません。 HiRDB と接続している Hitachi Command Suite 製品を停止してから、再実行してください。 再実行しても問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06459-E	An unexpected exception occurred.	予期しない例外が発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06470-I	The hcmsdbconnectcheck command will now start.	hcmsdbconnectcheck コマンドを開始しました。
KAPM06471-I	Now checking the HiRDB connection... (number of executions = aa...aa, specified number of executions = bb...bb) aa...aa : 実行回数 bb...bb : 指定回数	HiRDB の接続を確認しています。(実行回数 = aa...aa, 指定回数 = bb...bb)
KAPM06472-I	HiRDB can be connected to.	HiRDB へ接続できます。
KAPM06473-I	The hcmsdbconnectcheck command will now end.	hcmsdbconnectcheck コマンドを終了します。
KAPM06474-E	A connection with HiRDB could not be confirmed.	HiRDB との接続を確認できませんでした。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06475-E	The hcmsdbconnectcheck command could not be executed successfully.	hcmsdbconnectcheck コマンドを正常に実行できませんでした。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06476-E	An option is invalid.	コマンドのオプションが不正です。
KAPM06477-E	The value of hcms.home could not be acquired.	hcms.home の値を取得できません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06501-I	The method has started.	メソッドを開始しました。
KAPM06502-I	The method has finished.	メソッドが終了しました。
KAPM06503-E	The option is invalid.	オプションが不正です。 正しいオプションを指定してください。
KAPM06504-E	A specified option is insufficient.	指定するオプションが不足です。 正しいオプションを指定してください。
KAPM06505-E	The value specified in the option is invalid. (option = aa...aa) aa...aa : オプション名	オプションに指定した値が不正です。 オプションに指定した値を確認してください。
KAPM06506-E	The specified directory cannot be created. (directory = aa...aa) aa...aa : ディレクトリ名	指定されたディレクトリを作成できませんでした。 ディレクトリに書き込み権限があることを確認してください。
KAPM06507-E	The specified directory already exists as a file. (file = aa...aa) aa...aa : ファイル名	指定されたディレクトリがファイルとして存在します。 ほかのディレクトリ名を指定してください。
KAPM06508-E	The specified value is invalid. (value = aa...aa) aa...aa : 指定された値	指定された値が不正です。 正しい値を設定してください。
KAPM06509-E	The file aa...aa does not exist. aa...aa : ファイル名	ファイル aa...aa が存在しません。 ファイルの指定に誤りがないことを確認してください。誤りがない場合は、原因究明と問題の解

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM06510-E	The directory <i>aa...aa</i> does not exist. <i>aa...aa</i> : ディレクトリ名	ディレクトリ <i>aa...aa</i> が存在しません。ディレクトリの指定に誤りがないことを確認してください。誤りがない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM06511-E	The file <i>aa...aa</i> already exists. <i>aa...aa</i> : ファイル名	ファイル <i>aa...aa</i> がすでに存在します。ファイルを消去するか、またはファイルを別のディレクトリに移動してください。
KAPM06512-E	The directory <i>aa...aa</i> already exists. <i>aa...aa</i> : ディレクトリ名	ディレクトリ <i>aa...aa</i> がすでに存在します。別のディレクトリを指定してください。
KAPM06513-E	Command <i>aa...aa</i> returned the value <i>bb...bb</i> . The error message is <i>cc...cc</i> . <i>aa...aa</i> : コマンド名 <i>bb...bb</i> : 戻り値 <i>cc...cc</i> : エラーメッセージ	コマンド <i>aa...aa</i> が戻り値 <i>bb...bb</i> を返しました。エラーメッセージは <i>cc...cc</i> です。オプションに指定した値が正しいことを確認してください。正しい場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM06514-I	Processing ended normally.	処理が正常終了しました。
KAPM06515-E	An IOException occurred. (details = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 例外の詳細	IOException が発生しました。詳細は <i>aa...aa</i> です。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM06516-E	An exception occurred. (details = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 例外の詳細	例外が発生しました。詳細は <i>aa...aa</i> です。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM06517-E	A NullPointerException occurred. (details = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 例外の詳細	NullPointerException が発生しました。詳細は <i>aa...aa</i> です。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM06518-E	HiRDB has not been installed.	HiRDB がインストールされていません。HiRDB がインストールされていることを確認してください。HiRDB は、04-00 以降の HiCommand 製品をインストールすると自動的にインストールされます。
KAPM06519-E	An error occurred while executing the hcmsbdbmode command.	hcmsbdbmode コマンドの実行中にエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM06520-E	HiRDB has not started.	HiRDB が開始していません。HiRDB を起動してください。
KAPM06521-E	The RD area for <i>aa...aa</i> has not been set up. <i>aa...aa</i> : 製品名	<i>aa...aa</i> の RD エリアが設定されていません。type オプションに、インストール済みの製品名を設定してください。
KAPM06522-E	There is no RD area in the system.	システムに RD エリアがありません。Hitachi Command Suite 製品がインストールされていることを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM06523-I	The hcmsdbmove command has started.	hcmsdbmove コマンドを開始しました。
KAPM06524-I	Initialization for moving the database is being performed.	データベースを移動するための初期化処理中です。
KAPM06525-I	The data for <i>aa...aa</i> will now be moved. <i>aa...aa</i> : 製品名	<i>aa...aa</i> のデータの移動を開始します。
KAPM06526-I	Processing to import data has started.	データのインポート処理を開始しました。
KAPM06527-I	The table definitions of the database are being imported.	データベースのテーブル定義をインポートしています。
KAPM06528-I	The data is being imported.	データをインポートしています。
KAPM06529-I	The database procedures are being imported.	プロシージャをインポートしています。
KAPM06530-I	Processing to import data has ended.	データのインポート処理が終了しました。
KAPM06531-I	Processing to export data has started.	データのエクスポート処理を開始しました。
KAPM06532-I	The table definitions of the database are being exported.	データベースのテーブル定義をエクスポートしています。
KAPM06533-I	The data is being exported.	データをエクスポートしています。
KAPM06534-I	The database procedures are being exported.	プロシージャをエクスポートしています。
KAPM06535-I	Processing to export data has ended.	データのエクスポート処理が終了しました。
KAPM06536-I	The data is being imported. (progress = <i>aa...aa/bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 処理済のデータ数 <i>bb...bb</i> : 処理対象のデータ数	データをインポートしています。
KAPM06537-I	The data is being exported. (progress = <i>aa...aa/bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 処理済のデータ数 <i>bb...bb</i> : 処理対象のデータ数	データをエクスポートしています。
KAPM06540-I	The view is being imported.	ビューをインポートしています。
KAPM06541-I	The view is being exported.	ビューをエクスポートしています。
KAPM06542-E	The data to be imported to <i>aa...aa</i> is not in the directory in the datapath option. <i>aa...aa</i> : インポートするデータが見つからない製品名	hcmsdbmove コマンドで import オプションを指定した際、メッセージ中に表示された製品のインポートデータが、datapath オプションに指定したディレクトリにありません。 インポートするデータが datapath オプションで指定したディレクトリに存在することを確認してください。複数製品のインポートデータが異なるディレクトリに存在する場合は、type オプションを指定し、一つの製品ごとに順次データをインポートしてください。
KAPM06543-I	The database was exported successfully.	データベースのエクスポートに成功しました。
KAPM06544-E	An attempt to export the database has failed.	データベースのエクスポートに失敗しました。コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM06545-I	The database was imported successfully.	データベースのインポートに成功しました。
KAPM06546-E	An attempt to import the database has failed.	データベースのインポートに失敗しました。コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06548-E	An attempt to delete a table definition from the database failed.	データベースからテーブル定義の削除に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06549-E	An attempt to defragment the database failed.	データベースの再編成に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06570-E	An option is invalid.	指定されたオプションの形式が不正な場合に 표시됩니다。正しいオプションを指定し、再実行してください。
KAPM06571-E	The specified options are insufficient.	必要なオプションが指定されていない、または不要なオプションが指定されている場合に 표시됩니다。正しいオプションを指定し、再実行してください。
KAPM06572-E	The specified option value is invalid.	オプションの指定値が不正な場合に 표시됩니다。正しいオプションの値を指定し、再実行してください。
KAPM06573-E	The specified directory name already exists as a file name. (file name = aa...aa) aa...aa : ファイル名	コマンドオプションに指定したディレクトリ名が、すでにファイルとして存在する場合に 표시됩니다。正しいオプションの値を指定し、再実行してください。
KAPM06574-E	The directory name exceeds aa...aa characters. aa...aa : ディレクトリ名の文字数	オプションに指定したディレクトリ名の文字数が、最大値を超えている場合に 표시됩니다。正しいオプションの値を指定し、再実行してください。
KAPM06575-E	The same value cannot be specified for the databasepath and exportpath parameters.	databasepath と exportpath のパラメータに同じ文字列を指定した場合に表示します。異なるディレクトリ名を指定して、再実行してください。
KAPM06576-E	An attempt to acquire the key name has failed.	クラスタ設定ファイルに、必要なプロパティが設定されていない場合に 표시됩니다。クラスタ設定ファイルの内容を確認してください。
KAPM06577-E	An attempt to acquire a value has failed.	クラスタ設定ファイルに、値が正しく設定されていない場合に 표시됩니다。クラスタ設定ファイルに正しい値を設定してください。
KAPM06578-E	The cluster settings file was not found.	conf ディレクトリにクラスタ設定ファイルがない場合に 표시됩니다。cluster.conf ファイルが conf ディレクトリにあることを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM06579-E	The value of hcmds.home cannot be acquired.	システムプロパティに hcmds.home が設定されていない場合に表示します。 システムプロパティに hcmds.home が設定されていることを確認してください。
KAPM06580-E	An attempt to clear a DBMS environment variable has failed.	DBMS クライアント環境変数の削除に失敗した場合に表示します。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06581-E	The DBMS has not stopped.	コマンドの実行時に DBMS が停止していない場合に表示します。 コマンドを実行する前に、DBMS のサービスを停止してください。
KAPM06582-E	An attempt to load the file has failed. (file = aa...aa) aa...aa : ファイル名	ファイルの読み込みに失敗した場合に表示します。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06583-E	An attempt to write to the file has failed. (file = aa...aa) aa...aa : ファイル名	ファイルの書き込みに失敗した場合に表示します。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06584-I	Processing to export data was successful.	データのエクスポートに成功した場合に表示します。
KAPM06585-I	Re-creation of the database was successful.	データベースの再作成に成功した場合に表示します。
KAPM06586-I	Processing to import data was successful.	データのインポートに成功した場合に表示します。
KAPM06587-E	An attempt to export data has failed.	データのエクスポートに失敗した場合に表示します。 失敗の要因を取り除いてから、再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06588-E	An attempt to re-create the database has failed.	データベースの再作成に失敗した場合に表示します。 失敗の要因を取り除いてから、再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06589-E	An attempt to import data has failed.	データのインポートに失敗した場合に表示します。 失敗の要因を取り除いてから、再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM06590-I	Processing ended normally.	コマンド実行が正常終了した場合に表示します。
KAPM06591-E	The data to be imported was not found in the specified directory.	指定されたディレクトリ内にインポートするデータがない場合に表示します。 データをエクスポートしたディレクトリを指定して、コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06592-E	The data to be imported to <i>aa...aa</i> is not in the directory specified in the <code>exportpath</code> option. <i>aa...aa</i> : インポートするデータが見つからない製品名。	メッセージ中に表示された製品のインポートデータが、 <code>exportpath</code> オプションに指定したディレクトリにありません。 インポートするデータが <code>exportpath</code> オプションで指定したディレクトリに存在することを確認してください。
KAPM06600-I	Entered parameter: <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : ユーザーが入力したパラメーター	ユーザーが入力したパラメーターを表示します。
KAPM06601-I	User ID = <i>aa...aa</i> , application = <i>bb...bb</i> , permissions = <i>cc...cc</i> <i>aa...aa</i> : 対象ユーザーのユーザー ID <i>bb...bb</i> : 対象のアプリケーション <i>cc...cc</i> : 対象ユーザーに設定された権限	ユーザー <i>aa...aa</i> に設定されている Device Manager の権限を、アプリケーション <i>bb...bb</i> の権限 <i>cc...cc</i> に変換して設定しました。
KAPM06602-E	A specified parameter is invalid.	引数が不正です。 指定したパラメーターを確認してください。
KAPM06603-E	An attempt to read the file has failed. (file = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ファイルの絶対パス	ファイルの読み込みに失敗しました。 <i>aa...aa</i> で指定されるパスにファイルがあることを確認してください。
KAPM06604-E	The database has not started.	データベースが起動していません。 データベースが起動していることを確認してください。
KAPM06605-E	An attempt to communicate with the server or database has failed.	サーバまたはデータベースとの通信に失敗しました。 HBase Storage Mgmt Common Service もしくは HBase Storage Mgmt Web Service, またはデータベースが起動していることを確認してください。
KAPM06606-E	An error has occurred.	障害が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06609-I	The command ended normally.	コマンドが正常終了しました。
KAPM06610-E	An option specification is invalid.	オプションの指定が不正です。 メッセージに従い、正しいオプションを指定してコマンドを実行してください。
KAPM06611-E	An attempt to load the <code>hssso.conf</code> file has failed.	<code>hssso.conf</code> ファイルの読み込みに失敗しました。 <code>hssso.conf</code> のホストが正しく設定されているか確認してください。
KAPM06612-E	Authentication has failed.	認証に失敗しました。 ユーザー名とパスワードが正しいことを確認してください。 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06613-W	Authentication data was not found in the repository.	リポジトリに認証データが登録されていません。
KAPM06614-E	An attempt to communicate with SSO Server has failed.	SSO サーバとの通信に失敗しました。 次の対処をしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>分散環境：</p> <ul style="list-style-type: none"> プライマリサーバからコマンドを実行した場合、プライマリサーバの Single Sign On server が起動しているか確認してください。 セカンダリサーバからコマンドを実行した場合、プライマリサーバの Single Sign On server が起動しているか確認してください。起動していないときは、Single Sign On server を起動させてから、セカンダリ側の Single Sign On server を再起動してください。起動しているときは、セカンダリサーバの Single Sign On server が起動しているか確認してください。 <p>単一構成：</p> <ul style="list-style-type: none"> Single Sign On server が起動しているか確認してください。 <p>問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KAPM06640-E	A fatal error occurred during processing.	処理中に致命的なエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06641-E	An internal error occurred.	内部エラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06642-E	An error occurred during file input.	ファイルの入力中にエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06643-E	An attempt to acquire file information has failed.	ファイル情報の取得に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06644-E	An option is invalid. Code=[aa...aa], Data=[bb...bb] aa...aa : 発生箇所を示すコード bb...bb : 発生したオプションや値	オプションの指定に誤りがあります。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06645-I	hcmsdbpath [aa...aa]{, [bb...bb]},..... [.....] aa...aa : コマンドライン引数 bb...bb : コマンドライン引数	コマンドに指定されたオプションを表示します。
KAPM06654-E	The specified backup directory is invalid. Path=[aa...aa], Code=[bb...bb] aa...aa : バックアップディレクトリのパス bb...bb : 発生箇所を示すコード	backupsdir オプションに指定したバックアップディレクトリの指定に誤りがあります。backupsdir オプションには、hcmsbackups コマンドで出力先に指定したディレクトリを指定してください。
KAPM06659-E	aa...aa aa...aa : 例外オブジェクト名と発生した原因、または例外オブジェクトのバックトレース	KAPMxxxxx-E の詳細情報です。発生した例外オブジェクトとそのバックトレースを表します。直前のメッセージ KAPMxxxxx-E を参照してください。
KAPM06665-I	The DBMS has started.	DBMS が起動されました。
KAPM06666-I	The DBMS has stopped.	DBMS が停止されました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM06667-I	<i>aa...aa</i> processing has started. <i>aa...aa</i> : 処理名	処理を開始しました。
KAPM06668-I	<i>aa...aa</i> processing has finished. <i>aa...aa</i> : 処理名	処理が終了しました。
KAPM06669-E	An argument contains a null value.	引数に"null"が含まれています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06670-E	An exception occurred.	例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06671-E	The specified value is invalid. (value = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 値	指定した値が誤っています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06672-E	Execution of the command <i>aa...aa</i> has failed. <i>aa...aa</i> : コマンド名	コマンド実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06673-E	The DBMS did not start.	DBMS は起動されませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06674-E	The DBMS did not stop.	DBMS が停止されませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06675-I	The DBMS has not been set up	DBMS がセットアップされていません。
KAPM06676-I	The database of the specified product has not been set up.	指定した製品のデータベースはセットアップされていません。
KAPM06679-E	The value of hcmds.home cannot be acquired.	"hcmds.home"の値が取得できません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06683-E	" <i>aa...aa</i> ":" <i>bb...bb</i> " <i>aa...aa</i> : コマンド名 <i>bb...bb</i> : メッセージ	デバッグ用メッセージです。
KAPM06689-E	Processing has terminated abnormally. (processing name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 処理名	処理は異常終了しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06690-E	The file hcmdsdbsetRDArea.ini does not exist.	hcmdsdbsetRDArea.ini ファイルがありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06691-E	An error occurred during file I/O processing.	ファイルの入出力処理でエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM06692-W	Execution of the command <i>aa...aa</i> has failed. <i>aa...aa</i> : コマンド名	コマンド実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06700-I	The <i>hcmdsscmquery</i> command started.	<i>hcmdsscmquery</i> コマンドを開始しました。
KAPM06701-I	The <i>hcmdsscmquery</i> command ended successfully.	<i>hcmdsscmquery</i> コマンドが成功しました。
KAPM06702-E	The <i>hcmdsscmquery</i> command failed.	<i>hcmdsscmquery</i> コマンドが失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06703-I	The <i>aa...aa</i> function started. <i>aa...aa</i> : 関数名	関数を開始しました
KAPM06704-I	The <i>aa...aa</i> function ended. <i>aa...aa</i> : 関数名	関数が終了しました。
KAPM06705-E	Acquisition of the installation path failed.	インストールパスの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06706-E	One or more options are invalid.	オプションの指定に誤りがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06707-E	Allocation of memory to store the log file path failed.	ログファイルパスを格納するメモリ確保に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06708-E	Log initialization failed.	ログの初期化に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06709-E	An internal error occurred.	内部エラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06710-I	The service is stopped.	サービスが停止しています。
KAPM06711-I	The service is running.	サービスが起動しています。
KAPM06712-I	The service is starting.	サービスが起動処理中です。
KAPM06713-I	The service is stopping.	サービスが停止処理中です。
KAPM06714-I	The service is now being resumed.	サービスが再開中です。
KAPM06715-I	The service is now being paused.	サービスが一時停止処理中です。
KAPM06716-I	The service is paused.	サービスが一時停止中です。
KAPM06717-I	The service does not exist.	サービスがありません。
KAPM06718-I	The service is disabled.	サービスが無効です。
KAPM06719-E	The service status is currently unknown.	現在のサービス状態が不明です。
KAPM06720-E	A fatal error occurred.	致命的なエラーが発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06721-I	The hcmdsscmquery command ended.	hcmdsscmquery コマンドが終了しました。
KAPM06722-E	An error occurred in the Win32 API. (API name = aa...aa, error code = bb...bb) aa...aa : API 名 bb...bb : エラーコード	WIN32API でエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06723-I	The service name is aa...aa. aa...aa : サービス名	処理中のサービス名です。
KAPM06753-E	A property value in the installation information file is invalid. (aa...aa) aa...aa : プロパティ名	インストール情報ファイルのプロパティ値が不正です。 インストール情報ファイルの内容を確認してください。
KAPM06760-I	A method has started.	メソッドが開始しました。
KAPM06761-I	A method has finished.	メソッドが終了しました。
KAPM06762-I	The hcmdsssltool command has started.	hcmdsssltool コマンドが開始されました。
KAPM06763-I	The hcmdsssltool command has ended.	hcmdsssltool コマンドが終了しました。
KAPM06764-I	The hcmdsssltool command ended successfully.	hcmdsssltool コマンドが成功しました。
KAPM06765-E	An option is invalid.	オプションが不正です。 オプションを確認してください。
KAPM06766-E	Creation of a private key failed.	秘密鍵の作成に失敗しました。 ファイル出力先、指定する識別名を確認してから、コマンドを再実行してください。 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06767-E	Creation of a self-signed certificate failed.	自己署名証明書の作成に失敗しました。 ファイル出力先、指定する識別名を確認してから、コマンドを再実行してください。 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06768-E	Creation of a CSR failed.	CSR の作成に失敗しました。 ファイル出力先、指定する識別名を確認してから、コマンドを再実行してください。 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06769-E	Creation of a certificate content file failed.	証明書の内容ファイルの作成に失敗しました。 ファイル出力先、指定する識別名を確認してから、コマンドを再実行してください。 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06770-E	An internal error occurred.	内部エラーが発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06771-W	Failed to delete a key store.	キーストアの削除に失敗しました。
KAPM06772-E	No value has been specified for an option.	オプションの値が指定されていません。オプションを確認してください。
KAPM06773-E	A fatal error occurred.	致命的なエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06774-E	The hcnds.home value cannot be acquired.	hcnds.home の値が取得できません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06775-E	Analysis of binary data failed. (position = aa...aa ,part = bb...bb) aa...aa : 位置 bb...bb : 部分	バイナリデータの解析に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06776-E	The keytool command failed.	keytool コマンドが失敗しました。出力されている下記のメッセージの内容に応じて対処してください。 <ul style="list-style-type: none"> • KAPM06766-E • KAPM06767-E • KAPM06768-E • KAPM06769-E
KAPM06777-I	The keytool command has ended. (Return code = aa...aa) aa...aa : リターンコード	keytool コマンドが終了しました。
KAPM06780-I	Enter Server Name [default=aa...aa]: aa...aa : ホスト名	Server Name を入力してください。
KAPM06781-I	Enter Organizational Unit:	Organizational Unit を入力してください。
KAPM06782-I	Enter Organization Name [default=aa...aa]: aa...aa : ホスト名	Organization Name を入力してください。
KAPM06783-I	Enter your City or Locality:	your City or Locality を入力してください。
KAPM06784-I	Enter your State or Province:	your State or Province を入力してください。
KAPM06785-I	Enter your two-character country-code:	your two-character country-code を入力してください。
KAPM06786-I	Is aa...aa correct? (y/n) [default=n]: aa...aa : 識別名	識別名を確認します。
KAPM06787-E	Creation of a distinguished name failed.	識別名の作成が失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06790-E	An IllegalArgumentException occurred.	IllegalArgumentException が発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06791-E	An IOException occurred.	IOException が発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM06792-E	A HBaseDeleteFileException occurred.	HBaseDeleteFileException が発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM06793-E	An exception occurred.	exception が発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM06794-E	A KeyStoreException occurred.	KeyStoreException が発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM06795-E	A CertificateException occurred.	CertificateException が発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM06796-E	An UnrecoverableKeyException occurred.	UnrecoverableKeyException が発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM06797-E	A NoSuchAlgorithmException occurred.	NoSuchAlgorithmException が発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM06799-I	aa...aa aa...aa : デバック用情報	デバック用情報です。
KAPM06900-I	Processing to start the service has started.	サービスの起動を開始した場合に表示します。
KAPM06901-I	The service was started successfully.	サービスの起動に成功した場合に表示します。ただし、05-70 より前の HiCommand 製品のサービスの一部は、起動処理の対象外であるため、停止している可能性があります。必要に応じて手動で起動してください。
KAPM06902-I	Processing to stop the service has started.	サービスの停止を開始した場合に表示します。
KAPM06903-I	The service was stopped successfully.	サービスの停止に成功した場合に表示します。
KAPM06904-I	Processing to start the DBMS has started.	データベースの起動を開始した場合に表示します。
KAPM06905-I	The DBMS was started successfully.	データベースの起動に成功した場合に表示します。
KAPM06906-I	Processing to stop the DBMS has started.	データベースの停止を開始した場合に表示します。
KAPM06907-I	The DBMS was stopped successfully.	データベースの停止に成功した場合に表示します。
KAPM06908-E	An attempt to start the service has failed.	サービスの起動に失敗した場合に表示します。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM06909-E	An attempt to stop the service has failed.	サービスの停止に失敗した場合に表示します。 DBMS と接続している Suite 製品を停止してから、再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06910-E	An attempt to start the DBMS has failed.	データベースの起動に失敗した場合に表示します。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06911-E	An attempt to stop the DBMS has failed.	データベースの停止に失敗した場合に表示します。 DBMS と接続している Suite 製品を停止してから、再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06912-E	An attempt to start the service or the DBMS has failed.	サービスまたはデータベースの起動に失敗した場合に表示します。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06913-E	An attempt to stop the service or the DBMS has failed.	サービスまたはデータベースの停止に失敗した場合に表示します。 DBMS と接続している Suite 製品を停止してから、再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06914-E	The database has not been initialized.	データベースが初期化されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06915-E	An attempt to release the connection of the connection pool has failed.	コネクションプールのコネクションの解放に失敗した場合に表示します。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06920-W	Log initialization failed.	ログの初期化に失敗しました。 頻繁に発生する場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06921-E	A memory allocation error occurred.	メモリー確保エラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06922-E	The <i>aa...aa</i> command will stop because setting an environment variable failed. (details = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : コマンド名 <i>bb...bb</i> : 詳細	環境変数の設定に失敗したため、コマンドの実行を中断します。 コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM06923-E	The <i>aa...aa</i> command will stop because internal processing failed. (details = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : コマンド名 <i>bb...bb</i> : 詳細	内部処理に失敗したため、コマンドの実行を中断します。 コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06924-E	An error occurred in an internal function. (function = <i>aa...aa</i> , error code = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 関数 <i>bb...bb</i> : エラーコード	内部関数でエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06925-E	A system environment variable is invalid.	システム環境変数が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06926-E	The <i>aa...aa</i> command will stop because setting an environment variable failed. (details = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : コマンド名 <i>bb...bb</i> : 詳細	環境変数の設定に失敗したため、コマンドの実行を中断します。 コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06927-E	The <i>aa...aa</i> command will stop because internal processing failed. (details = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : コマンド名 <i>bb...bb</i> : 詳細	内部処理に失敗したため、コマンドの実行を中断します。 コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07000-W	現在の Javascript を最新版にアップデートしてください。	現在の JavaScript を最新版にアップデートしてください。
KAPM07001-E	指定したユーザは管理者画面への権限を保持していないためログインできません。	指定したユーザーは管理者画面への権限を保持していないためログインできません。 Hitachi Command Suite 共通コンポーネントの Administrator 権限を持っているユーザーでログインしてください。
KAPM07002-E	アプリケーションが HSSO Server に登録されていません。	アプリケーションが HSSO Server に登録されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07003-E	ユーザ ID、またはパスワードが正しくありません。	ユーザー ID、またはパスワードが正しくありません。 ログインできるユーザー ID またはパスワードを入力してください。
KAPM07004-E	実行するユーザはメソッドの実行権限を持っていません。	実行するユーザーはメソッドの実行権限を持っていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07005-E	指定したユーザは存在しません。	指定したユーザーは存在しません。 ユーザー情報を確認してください。
KAPM07006-E	指定したユーザは既に存在しています。	指定したユーザーはすでに存在しています。 指定したユーザー名以外の値を入力してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM07007-E	このユーザは既に削除されています。	このユーザーはすでに削除されています。 ユーザー情報を確認してください。
KAPM07008-E	処理中に障害が発生しました。	処理中に障害が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07009-E	処理中に通信障害が発生しました。	処理中に通信障害が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07010-E	引数に null が指定されています。	引数に null が指定されています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07011-E	処理中に致命的エラーが発生しました。	処理中に致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07012-E	指定したグループは存在しません。	指定したグループは存在しません。 グループ情報を確認してください。
KAPM07013-E	ユーザ情報の登録処理中に障害が発生したため、登録できませんでした。	ユーザー情報の登録処理中に障害が発生したため、登録できませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07014-E	ユーザ情報の更新処理中に障害が発生したため、更新されませんでした。	ユーザー情報の更新処理中に障害が発生したため、更新されませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07015-E	ユーザ情報の削除処理中に障害が発生したため、削除されませんでした。	ユーザー情報の削除処理中に障害が発生したため、削除されませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07016-E	パスワードの変更処理中に障害が発生したため、変更できませんでした。	パスワードの変更処理中に障害が発生したため、変更できませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07017-E	ユーザ情報の取得中に障害が発生しました。	ユーザー情報の取得中に障害が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07018-E	グループ情報の取得中に障害が発生しました。	グループ情報の取得中に障害が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07019-I	ユーザ情報の削除に成功しました。	ユーザー情報の削除に成功しました。
KAPM07020-I	ユーザ ID aa...aa を削除します。 実行するとこのユーザではログインできなくなりますがよろしいですか？	ユーザー ID aa...aa を削除します。 実行するとこのユーザーではログインできなくなりますがよろしいですか？

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : ユーザー ID	
KAPM07021-E	HiCommand アプリケーション情報の取得中に障害が発生しました。	Hitachi Command Suite アプリケーション情報の取得中に障害が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07022-E	HiCommand アプリケーション情報の更新処理中に障害が発生したため、更新されませんでした。	Hitachi Command Suite アプリケーション情報の更新処理中に障害が発生したため、更新されませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07023-I	HiCommand アプリケーション情報を更新します。	Hitachi Command Suite アプリケーション情報を更新します。
KAPM07024-E	ユーザアプリケーション情報の取得中に障害が発生しました。	ユーザアプリケーション情報の取得中に障害が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07025-E	ユーザアプリケーション情報の更新処理中に障害が発生したため、更新されませんでした。	ユーザアプリケーション情報の更新処理中に障害が発生したため、更新されませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07026-I	ユーザアプリケーション情報を更新します。	ユーザアプリケーション情報を更新します。
KAPM07027-W	指定したユーザアプリケーション名は既に存在します。アプリケーション名 = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : アプリケーション名	指定したユーザアプリケーション名はすでに存在します。 指定したアプリケーション名以外の値を入力してください。
KAPM07028-E	入力項目 : <i>aa...aa</i> この入力項目は必須です。値を入力してください。 <i>aa...aa</i> : 入力項目	この入力項目は必須です。値を入力してください。 値を入力してください。
KAPM07029-E	入力項目 : <i>aa...aa</i> この入力項目に使用不可能な文字が含まれています。 <i>aa...aa</i> : 入力項目	この入力項目に使用できない文字が含まれています。 使用できる文字を使用してください。
KAPM07030-E	入力項目 : <i>aa...aa</i> この入力項目の文字数が最大文字数を超過しています。 <i>aa...aa</i> : 入力項目	この入力項目の文字数が最大文字数を超過しています。 最大文字数以内の文字列を入力してください。
KAPM07031-E	パスワードと一致していません。	パスワードと一致していません。 パスワードとパスワードの確認の値を一致させてください。
KAPM07032-E	入力項目 : <i>aa...aa</i> この入力項目には 4 文字以上 255 文字以下の文字列を入力してください。 <i>aa...aa</i> : 入力項目	この入力項目には 4 文字以上 255 文字以下の文字列を入力してください。
KAPM07033-W	指定された URL はクラスで存在していません。URL = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : URL	指定された URL はクラスで存在していません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAPM07034-E	IllegalDataException が発生しました。 詳細 = aa...aa aa...aa : 詳細	IllegalDataException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07035-E	指定された URL は形式が不正です。 URL = "aa...aa" aa...aa : URL	指定された URL は形式が不正です。 入力した URL を確認し値を再入力してください。
KAPM07036-I	パスワードを変更します。よろしいですか？	パスワードを変更します。よろしいですか？
KAPM07037-I	パスワードを変更します。よろしいですか？ パスワード変更後は、再ログインが必要です。	パスワードを変更します。よろしいですか？ パスワード変更後は、再ログインが必要です。
KAPM07038-E	入力項目 : aa...aa この入力項目には同じ値は指定できません。 aa...aa : 入力項目	この入力項目には同じ値は指定できません。 入力項目にほかの値を入力してください。
KAPM07230-I	The user was registered successfully. (operator = aa...aa, user ID = bb...bb, function = cc...cc)	ユーザーが正常に登録されたことを示す監査ログです。
KAPM07231-I	The user was deleted successfully. (operator = aa...aa, user ID = bb...bb, function = cc...cc)	ユーザーが正常に削除されたことを示す監査ログです。
KAPM07232-I	The password was changed successfully. (operator = aa...aa, user ID = bb...bb, function = cc...cc)	パスワードが正常に変更されたことを示す監査ログです。
KAPM07233-I	The user information was modified successfully. (operator = aa...aa, user ID = bb...bb, function = cc...cc)	ユーザー情報が正常に更新されたことを示す監査ログです。
KAPM07235-I	The user was locked successfully. (operator = aa...aa, user ID = bb...bb, function = cc...cc) aa...aa : 操作者名 bb...bb : 処理したユーザー ID cc...cc : 機能名	ユーザーが正常にロックされたことを示す監査ログです。
KAPM07236-I	The user was unlocked successfully. (operator = aa...aa, user ID = bb...bb, function = cc...cc) aa...aa : 操作者名 bb...bb : 処理したユーザー ID cc...cc : 機能名	ユーザーが正常にアンロックされたことを示す監査ログです。
KAPM07237-E	The specified password does not satisfy the entry conditions. (operator = aa...aa, user ID = bb...bb, function = cc...cc) aa...aa : 操作者名 bb...bb : 処理したユーザー ID cc...cc : 機能名	入力条件に合わないパスワードが指定されていることを示す監査ログです。
KAPM07238-E	The specified e-mail is too long. (operator = aa...aa, user ID = bb...bb, function = cc...cc) aa...aa : 操作者名 bb...bb : 処理したユーザー ID	指定された E メールアドレスが長過ぎることを示す監査ログです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>cc...cc</i> : 機能名	
KAPM07239-E	The old password is incorrect. (operator = <i>aa...aa</i> , user ID = <i>bb...bb</i> , function = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : 操作者名 <i>bb...bb</i> : 処理したユーザー ID <i>cc...cc</i> : 機能名	パスワード変更時に指定した古いパスワードが正しくないことを示す監査ログです。
KAPM07240-E	An attempt to execute the <i>aa...aa</i> operation has failed. (operator = <i>bb...bb</i> , user ID = <i>cc...cc</i> , function = <i>dd...dd</i>) <i>aa...aa</i> : 操作名 <i>bb...bb</i> : 操作者名 <i>cc...cc</i> : 処理したユーザー ID <i>dd...dd</i> : 機能名	<i>aa...aa</i> 操作が失敗したことを示す監査ログです。
KAPM07241-I	A user was registered successfully. (user ID = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID	ユーザーが正常に登録されたことを示す監査ログです。
KAPM07242-E	Registration of a user has failed. (user ID = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID	ユーザーの登録に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM07243-I	The user information was updated successfully. (user ID = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID	ユーザー情報が正常に更新されたことを示す監査ログです。
KAPM07244-E	An attempt to update the user information has failed. (user ID = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID	ユーザー情報の更新に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM07245-I	A user was deleted successfully. (user ID = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID	ユーザーが正常に削除されたことを示す監査ログです。
KAPM07246-E	Deletion of a user has failed. (user ID = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID	ユーザーの削除に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM07247-I	The authorization group was added successfully. (operator = <i>aa...aa</i> , distinguished name = <i>bb...bb</i> , function = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : 操作者名 <i>bb...bb</i> : 識別名 <i>cc...cc</i> : 機能名	認可グループが正常に追加されたことを示す監査ログです。
KAPM07248-E	An attempt to execute the <i>aa...aa</i> operation has failed. (operator = <i>bb...bb</i> , distinguished name = <i>cc...cc</i> , function = <i>dd...dd</i>) <i>aa...aa</i> : 操作名 <i>bb...bb</i> : 操作者名 <i>cc...cc</i> : 識別名 <i>dd...dd</i> : 機能名	<i>aa...aa</i> 操作が失敗したことを示す監査ログです。
KAPM07249-I	The authorization group was deleted successfully. (operator = <i>aa...aa</i> , distinguished name = <i>bb...bb</i> , function = <i>cc...cc</i>)	認可グループが正常に削除されたことを示す監査ログです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : 操作者名 <i>bb...bb</i> : 識別名 <i>cc...cc</i> : 機能名	
KAPM07250-I	The permissions were changed successfully. (operator = <i>aa...aa</i> , distinguished name = <i>bb...bb</i> , permissions = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : 操作者名 <i>bb...bb</i> : 識別名 <i>cc...cc</i> : 変更後の権限	権限情報が正常に更新されたことを示す監査ログです。
KAPM07251-I	The authorization group was registered successfully. (distinguished name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 識別名	認可グループが正常に登録されたことを示す監査ログです。
KAPM07252-E	An attempt to register the authorization group has failed. (distinguished name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 識別名	認可グループの登録に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM07253-I	The authorization group was deleted successfully. (distinguished name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 識別名	認可グループが正常に削除されたことを示す監査ログです。
KAPM07254-E	An attempt to delete the authorization group has failed. (distinguished name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 識別名	認可グループの削除に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM07255-I	The authorization group's permissions were changed successfully. (distinguished name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 識別名	認可グループの権限が正常に更新されたことを示す監査ログです。
KAPM07256-E	An attempt to change the authorization group's permissions has failed. (distinguished name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 識別名	認可グループの権限更新に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM07257-I	The resource group was successfully registered. (resource group name = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : リソースグループ名 <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	リソースグループが正常に登録されたことを示す監査ログです。
KAPM07258-E	Registration of the resource group failed. (resource group name = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : リソースグループ名 <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	リソースグループの登録に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM07259-I	The resource group was successfully deleted. (resource group name = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>)	リソースグループが正常に削除されたことを示す監査ログです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : リソースグループ名 <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	
KAPM07260-E	Deletion of the resource group failed. (resource group name = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : リソースグループ名 <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	リソースグループの削除に失敗したことを示す 監査ログです。
KAPM07261-I	The resource group was successfully updated. (resource group name = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : リソースグループ名 <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	リソースグループが正常に更新されたことを示 す監査ログです。
KAPM07262-E	Updating of the resource group failed. (resource group name = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : リソースグループ名 <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	リソースグループの更新に失敗したことを示す 監査ログです。
KAPM07263-I	The user group was successfully registered. (resource group name = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザーグループ名 <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	ユーザーグループが登録に追加されたことを示 す監査ログです。
KAPM07264-E	Registration of the user group failed. (user group name = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザーグループ名 <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	ユーザーグループの登録に失敗したことを示す 監査ログです。
KAPM07265-I	The user group was successfully deleted. (user group name = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザーグループ名 <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	ユーザーグループが正常に削除されたことを示 す監査ログです。
KAPM07266-E	Deletion of the user group failed. (user group name = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザーグループ名 <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	ユーザーグループの削除に失敗したことを示す 監査ログです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM07267-I	The user group was successfully updated. (user group name = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザーグループ名 <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	ユーザーグループが正常に更新されたことを示す監査ログです。
KAPM07268-E	Updating of the user group failed. (user group name = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザーグループ名 <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	ユーザーグループの更新に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM07269-I	The role was successfully registered. (role name = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ロール名 <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	ロールが正常に登録されたことを示す監査ログです。
KAPM07270-E	Registration of the role failed. (role name = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ロール名 <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	ロールの登録に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM07271-I	The role was successfully deleted. (role name = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ロール名 <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	ロールが正常に削除されたことを示す監査ログです。
KAPM07272-E	Deletion of the role failed. (role name = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ロール名 <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	ロールの削除に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM07273-I	The role was successfully updated. (role name = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ロール名 <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	ロールが正常に更新されたことを示す監査ログです。
KAPM07274-E	Updating of the role failed. (role name = <i>aa...aa</i> , device type = <i>bb...bb</i> , device number = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ロール名 <i>bb...bb</i> : 装置種別 <i>cc...cc</i> : 装置製番	ロールの更新に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM07275-I	The user account was successfully assigned to the user group. (user group name = <i>aa...aa</i> , user ID = <i>bb...bb</i>)	ユーザーグループにユーザーアカウントを割り当てる処理が成功したことを示す監査ログです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : ユーザーグループ名 <i>bb...bb</i> : ユーザー ID	
KAPM07276-E	The user account failed to be assigned to the user group. (user group name = <i>aa...aa</i> , user ID = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザーグループ名 <i>bb...bb</i> : ユーザー ID	ユーザーグループにユーザーアカウントを割り当てる処理が失敗したことを示す監査ログです。
KAPM07277-I	The permission was successfully assigned to the role. (role name = <i>aa...aa</i> , permission name = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : ロール名 <i>bb...bb</i> : パーミッション名	ロールにパーミッションを割り当てる処理が成功したことを示す監査ログです。
KAPM07278-E	The permission failed to be assigned to the role. (role name = <i>aa...aa</i> , permission name = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : ロール名 <i>bb...bb</i> : パーミッション名	ロールにパーミッションを割り当てる処理が失敗したことを示す監査ログです。
KAPM07279-I	Assignment processing was successful for a user group and an external authentication group, a resource group, and a role. (user group name and external authentication group name = <i>aa...aa</i> , resource group name = <i>bb...bb</i> , role name = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザーグループ名および外部認証グループ名 <i>bb...bb</i> : リソースグループ名 <i>cc...cc</i> : ロール名	次の項目の割り当て処理に成功したことを示す監査ログです。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザーグループおよび外部認証グループ リソースグループ ロール
KAPM07280-E	Assignment processing failed for a user group and an external authentication group, a resource group, and a role. (user group name and external authentication group name = <i>aa...aa</i> , resource group name = <i>bb...bb</i> , role name = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザーグループ名および外部認証グループ名 <i>bb...bb</i> : リソースグループ名 <i>cc...cc</i> : ロール名	次の項目の割り当て処理に失敗したことを示す監査ログです。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザーグループおよび外部認証グループ リソースグループ ロール
KAPM07300-I	The hcndshpsimcert command has started.	hcndshpsimcert コマンドを開始しました。
KAPM07301-I	The hcndshpsimcert command has terminated.	hcndshpsimcert コマンドが終了しました。
KAPM07302-I	The hcndshpsimcert command was successful.	hcndshpsimcert コマンドが成功しました。
KAPM07303-E	The hcndshpsimcert command has failed.	hcndshpsimcert コマンドが失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07306-E	The value of hcnds.home cannot be acquired.	"hcnds.home"の値が取得できません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM07307-E	An option is invalid.	オプションが不正です。 オプション指定を見直してください。
KAPM07308-E	An exception occurred.	例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07309-E	An internal error occurred.	内部エラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07310-I	Importing of the certificate has started.	証明書のインポートを開始しました。
KAPM07311-I	Importing of the certificate has ended.	証明書のインポートが終了しました。
KAPM07312-E	The host name or the port number is invalid.	ホスト名が不正です。 指定したホスト名を見直してください。
KAPM07313-E	An attempt to communicate with the HPSIM server has failed.	HPSIM サーバとの通信に失敗しました。 HPSIM サーバが起動しているか確認してください。
KAPM07314-E	The format of the certificate acquired from the HPSIM server is invalid.	HPSIM サーバから取得した証明書の形式が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07315-E	An attempt to load the keystore file has failed.	キーストアファイルの読み込みに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07316-W	The certificate of the specified host is already registered.	指定されたホストの証明書はすでに登録されています。
KAPM07317-I	The following certificate was imported into the keystore.	次の証明書をキーストアにインポートしました。
KAPM07318-E	An attempt to output the keystore file has failed.	キーストアファイルの出力に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07319-E	An attempt to input the keystore file has failed.	キーストアファイルのインポートに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07320-I	Host name: "aa...aa" aa...aa : ホスト名	ホスト名です。
KAPM07321-I	Processing to display the certificate list has started.	証明書リストの表示処理を開始しました。
KAPM07322-I	Processing to display the certificate list has ended.	証明書リストの表示処理を終了しました。
KAPM07323-I	The certificate is not stored.	証明書は格納されていません。
KAPM07324-E	A problem occurred while displaying the certificate list.	証明書リストの表示中に障害が発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM07325-I	Deletion of the certificate has started.	証明書の削除を開始しました。
KAPM07326-I	The certificate has been deleted.	証明書リストの削除処理を終了しました。
KAPM07327-I	The certificate for the <i>aa...aa</i> host was deleted. <i>aa...aa</i> : ホスト名	指定されたホスト名の証明書を削除しました。
KAPM07328-W	The certificate for the <i>aa...aa</i> host is not registered. <i>aa...aa</i> : ホスト名	指定されたホスト名の証明書は登録されていません。
KAPM07329-E	An attempt to delete the certificate has failed.	証明書の削除が失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM07330-E	An attempt to renew the keystore has failed.	キーストアの更新に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM07342-E	An exception occurred.	例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM07343-E	An internal error occurred.	内部エラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM07344-I	GET processing for "/Proxy/Getkey" has started.	"/Proxy/GetKey"の GET 処理を開始しました。
KAPM07345-I	GET processing for "/Proxy/Getkey" has ended.	"/Proxy/GetKey"の GET 処理が終了しました。
KAPM07346-I	The request from " <i>aa...aa</i> " was accepted. <i>aa...aa</i> : ホスト名	<i>aa...aa</i> からリクエストを受け付けました。
KAPM07347-I	The one-time key was issued. (key = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ワンタイムキー	ワンタイムキーを発行しました。
KAPM07348-E	An attempt to issue the one-time key has failed.	ワンタイムキーの発行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM07349-E	An attempt to create the one-time key failed because the number of keys had exceeded the maximum.	ワンタイムキーの数が最大数を越えたため、キーの作成が失敗しました。 ワンタイムキーの発行が不正なアクセスによるものではないことを確認してください。
KAPM07350-W	The one-time key does not exist. (key = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ワンタイムキー	ワンタイムキーは存在しません。
KAPM07351-W	The expiration date of the one-time key has passed. (key = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ワンタイムキー	ワンタイムキーの有効期限が過ぎています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM07352-I	The one-time key was deleted normally. (key = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ワンタイムキー	ワンタイムキーを正常に削除しました。
KAPM07355-I	The one-time key that passed the expiration date was deleted. (key = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ワンタイムキー	有効期限を過ぎたワンタイムキーが削除されました。
KAPM07356-I	GET processing for "/Proxy/SSO" has started.	"/Proxy/SSO"の GET 処理を開始しました。
KAPM07357-I	GET processing for "/Proxy/SSO" has ended.	"/Proxy/SSO"の GET 処理が終了しました。
KAPM07358-E	An error occurred during a parameter check.	パラメーターチェックでエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM07359-I	Parameter output: " <i>aa...aa</i> " = " <i>bb...bb</i> " <i>aa...aa</i> : パラメーター名 <i>bb...bb</i> : 値	パラメーター出力 <i>aa...aa=bb...bb</i>
KAPM07360-E	An attempt to load the keystore has failed.	キーストアのロードに失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM07363-I	The host name is valid.	ホスト名は有効です。
KAPM07364-E	The host name is invalid.	ホスト名は無効です。 ラウンチ元の証明書がインポートされているか確認してください。
KAPM07367-I	The one-time key is valid.	ワンタイムキーは有効です。
KAPM07368-W	The one-time key is invalid.	ワンタイムキーは無効です。
KAPM07371-I	Verification of the request parameter was successful.	リクエストパラメーターの検証が成功しました。
KAPM07372-E	An attempt to verify the request parameter has failed.	リクエストパラメーターの検証が失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM07375-I	The URL is a normal value.	URL は正常な値です。
KAPM07376-E	The URL is an invalid value.	URL は不正な値です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM07377-E	An attempt to convert the <i>aa...aa</i> permission has failed. <i>aa...aa</i> : 権限名	権限 <i>aa...aa</i> の変換に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM07378-I	A redirection to " <i>aa...aa</i> " will be performed. <i>aa...aa</i> : リダイレクト先 URL	<i>aa...aa</i> にリダイレクトします。
KAPM07379-E	An attempt to load the keystore file has failed.	キーストアファイルの読み込みに失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM07380-I	The certificate of <i>aa...aa</i> has been imported. <i>aa...aa</i> : エイリアス名	<i>aa...aa</i> の証明書はインポートされています。
KAPM07381-E	The certificate of <i>aa...aa</i> has not been imported. <i>aa...aa</i> : エイリアス名	<i>aa...aa</i> の証明書はインポートされていません。証明書がインポートされているか確認してください。
KAPM07382-E	A server problem occurred.	サーバ障害が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07383-I	Data verification has started.	データの検証を開始しました。
KAPM07384-I	Data verification has ended.	データの検証が終了しました。
KAPM07385-E	An invalid character string was specified for the token.	トークンに不正な文字列が指定されました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07386-E	"SHA1with RSA" is not supported.	"SHA1withRSA"がサポートされていません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07387-E	The certificate format is invalid.	証明書の形式が不正です。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07388-E	The signature object has not been initialized.	署名オブジェクトが初期化されていません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07389-E	"US-ASCII" is not supported.	"US-ASCII"がサポートされていません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07390-I	Generation of the HSSO token has started.	HSSO トークンの生成を開始しました。
KAPM07391-I	Generation of the HSSO token has ended.	HSSO トークンの生成を終了しました。
KAPM07392-E	The permission conversion definition file was not found.	権限変更定義ファイルが見つかりません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07393-E	An attempt to load the permission conversion definition file has failed.	権限変更定義ファイルの読み込みに失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07400-E	The definition file was not found.	定義ファイルが見つかりません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM07401-I	Generation of the X509 certificate object has started.	X509 証明書オブジェクトの生成を開始しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM07402-I	Generation of the X509 certificate object has ended.	X509 証明書オブジェクトの生成を終了しました。
KAPM07403-E	The specified port number is invalid.	指定されたポート番号が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM07404-E	The host name is invalid.	ホスト名が不正です。 あとに続く処理メッセージに従ってください。
KAPM07405-E	An attempt to communicate with the HPSIM server has failed.	HPSIM サーバとの通信に失敗しました。 HPSIM サーバが起動しているか確認してください。
KAPM07406-E	The format of the certificate acquired from HPSIM is invalid.	HPSIM から取得した証明書のフォーマットが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM07407-E	An attempt to output the keystore file has failed.	キーストアファイルの出力に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM07410-I	Authentication succeeded.	認証に成功しました。
KAPM07411-W	Authentication failed.	認証が失敗しました。
KAPM07420-E	Null is specified for the argument. (<i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 引数	引数に null が指定されています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM07421-E	A specified value is invalid. (<i>aa...aa</i> , <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : パラメーター名 <i>bb...bb</i> : 値	指定値に誤りがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM07422-E	An exception occurred.	例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM07423-E	The domain name is invalid.	HPSIM から送信されるドメイン名に、使用できない文字があります。 HPSIM のドメイン名を見直してください。
KAPM07424-E	The user name is invalid.	HPSIM から送信されるユーザー名に、使用できない文字があります。 HPSIM のユーザー名を見直してください。
KAPM07430-E	認証が失敗しました。	認証が失敗しました。 失敗した原因を取り除いてください。原因は <code>HpsimSSO[n].log</code> を参照してください。
KAPM08001-E	A fatal error occurred during processing.	処理中に致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08002-E	Illegal parameters have been specified to create HSSO Context.	HSSO コンテキスト生成時のパラメーターに誤りがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM08003-E	A CIMException was generated during Console screen display processing.	コンソール画面の表示処理中に CIMException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08004-E	A CIMRepositoryException was generated during menu bar display processing.	メニューバーの表示処理中に CIMRepositoryException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08005-E	A CIMProviderException was generated during menu bar display processing.	メニューバーの表示処理中に CIMProviderException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08006-E	A NoSuchElementException was generated during menu bar display processing.	メニューバーの表示処理中に NoSuchElementException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08007-E	A CIMException was generated during menu bar display processing.	メニューバーの表示処理中に CIMException が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08008-E	An error occurred on the HSSO Server.	HSSO サーバでエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08009-I	The logout process has completed.	ログアウト処理が終了しました。
KAPM08010-E	An internal error occurred.	内部エラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08011-E	セッションが無効です。	セッションが無効です。 ログインし直してください。
KAPM08013-E	ブラウザがフレームに対応していません。	ブラウザがフレームに対応していません。 ご使用の Hitachi Command Suite 製品でサポートされているブラウザを使用してください。
KAPM08014-I	ロード中です。	ロード中です。
KAPM08015-E	The registered data in the common repository is invalid.(aa...aa) aa...aa : クラス名	リポジトリに登録されているデータが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08016-E	The registered data in the common repository is invalid.	リポジトリに登録されているデータが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08017-E	リポジトリに登録されているデータが不正です。	リポジトリに登録されているデータが不正です。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08018-E	トークンが無効です。	トークンが無効です。 ログインし直してください。
KAPM08019-E	SSO サーバでエラーが発生しました。	SSO サーバでエラーが発生しました。 ログインし直してください。
KAPM08020-E	SSO サーバとの通信に失敗しました。	SSO サーバとの通信に失敗しました。 ログインし直してください。
KAPM08021-E	DBMS が停止しています。	DBMS が停止しています。 DBMS が起動しているか確認してください。
KAPM08022-E	共通コンポーネントが使用する DB が閉塞しました。	共通コンポーネントが使用する DB が閉塞しました。 サーバ管理者にご連絡してください。
KAPM08100-E	Null is specified for the argument.	引数に null が指定されています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08101-E	The specified node was not found. key=(aa...aa) aa...aa : ノードのキー	指定されたノードが見つかりませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08102-E	The object tree has not been created.	オブジェクトツリーが生成されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08103-E	An attempt to create the object tree has failed.	オブジェクトツリーの生成に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08104-E	An attempt to add a child node to the object tree has failed. (aa...aa) aa...aa : ノードのキー	オブジェクトツリーへの子ノードの追加に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08105-E	The specified node has already been registered. key=(aa...aa) aa...aa : ノードのキー	指定されたノードは、すでに登録されています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08106-E	The tree information cannot be acquired. (aa...aa) aa...aa : ノードのキー	ツリー情報が取得できません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08107-E	The node information is invalid. (aa...aa, bb...bb) aa...aa : パラメーター名 bb...bb : 取得した値	ノード情報が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08108-E	An invalid argument was specified during node creation. (aa...aa, bb...bb) aa...aa : パラメーター名 bb...bb : 取得した値	ノード作成時に不正な引数が指定されました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM08109-E	The tree information is invalid. (<i>aa...aa, bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : ルートノードのキー(データベース内) <i>bb...bb</i> : ルートノードのキー(メモリー内)	ツリー情報が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08110-E	The node array cannot be acquired. (<i>aa...aa, bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : パラメーター名 <i>bb...bb</i> : 取得した値	ノード配列が取得できません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08111-E	The hierarchy number of the node array cannot be acquired. (<i>aa...aa, bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : パラメーター名 <i>bb...bb</i> : 取得した値	ノード配列の階層番号が取得できません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08112-E	The node array is invalid. (<i>aa...aa, bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : パラメーター名 <i>bb...bb</i> : 取得した値	ノード配列が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08113-E	The hierarchy number of the node array is invalid. (<i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ノードの階層番号	ノード配列の階層番号が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08114-W	An invalid argument was specified during node creation. (<i>aa...aa, bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : パラメーター名 <i>bb...bb</i> : 取得した値	ノード作成時に不正な引数が指定されました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08115-E	内部エラーが発生しました。	内部エラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08116-E	A value that exceeds the maximum value has been specified. (<i>aa...aa, bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : パラメーター名 <i>bb...bb</i> : 値	最大値を超えた値が指定されました。 設定内容を見直してください。
KAPM08150-E	The request is invalid. (<i>aa...aa, bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : キー <i>bb...bb</i> : 値	リクエストが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08152-E	The request is invalid. (<i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : キー	リクエストが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08154-E	An attempt to display the object tree has failed.	オブジェクトツリー表示に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08160-E	The data registered in the common repository is invalid. (<i>aa...aa, bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : キー <i>bb...bb</i> : 値	共通リポジトリに登録されたデータは無効です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM08200-E	The request parameter required for the display of the Application Bar area is invalid.	アプリケーションバーエリアの表示に必要なリクエストパラメーターが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08201-E	内部エラーが発生しました。 [ツリー更新] ボタンを押すと初期のオブジェクトツリーを表示します。表示できない場合は、ログインからやり直してください。	内部エラーが発生しました。 [ツリー更新] ボタンを押すと初期のオブジェクトツリーを表示します。表示できない場合は、ログインし直してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08202-E	The number of elements in the array does not match the other arrays.	配列の要素数がほかの配列の要素数と一致していません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08203-E	The request parameter required for the display of the Summary area is invalid.	サマリーエリアの表示に必要なリクエストパラメーターが不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08302-E	An error occurred while acquiring the resource bundle.	リソースバンドルの取得中にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08303-E	An error occurred while reading the resource file.	リソースファイルの入力中にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08304-E	An attempt to access the resource file has failed.	リソースファイルのアクセスに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08308-E	An internal error occurred.	内部エラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08309-E	The URL object cannot be created.	URL オブジェクトが作成できませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08311-E	An attempt to access the file has failed.	ファイルのアクセスに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08402-E	An unusable HTML tag is included.	ユーザーが入力したメッセージに使用できない HTML タグが含まれている場合に表示します。サポートされている HTML タグだけ使用して、入力してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM08403-E	The warning banner message exceeded 1000 characters.	ユーザーが入力した警告バナーメッセージが1,000文字を超えている場合に 표시됩니다。1,000文字以下の文字を入力してください。
KAPM08404-E	警告バナーの登録に失敗しました。	<p>セキュリティ GUI 画面から警告バナーメッセージ登録に失敗した場合に画面に表示します。次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 次に示すフォルダが存在することを確認してください。 Windows 版 : < <i>Hitachi Command Suite</i> 共通コンポーネントのインストールフォルダ > %Base%\conf\%sec%\resource Solaris 版 : /opt/HiCommand/Base/conf/sec/resource Linux 版 : < <i>Hitachi Command Suite</i> 共通コンポーネントのインストールディレクトリ > /Base/conf/sec/resource 次に示すフォルダが存在する場合は削除してください。 Windows 版 : < <i>Hitachi Command Suite</i> 共通コンポーネントのインストールフォルダ > %Base%\conf\%sec%\resource %bannerresource.properties Solaris 版 : /opt/HiCommand/Base/conf/sec/resource/ bannerresource.properties Linux 版 : < <i>Hitachi Command Suite</i> 共通コンポーネントのインストールディレクトリ > /Base/conf/sec/resource/ bannerresource.properties 次に示すファイルのアクセス権限を確認してください。 Windows 版 : < <i>Hitachi Command Suite</i> 共通コンポーネントのインストールフォルダ > %Base%\conf\%sec%\resource %bannerresource.properties Solaris 版 : /opt/HiCommand/Base/conf/sec/resource/ bannerresource.properties Linux 版 : < <i>Hitachi Command Suite</i> 共通コンポーネントのインストールディレクトリ > /Base/conf/sec/resource/ bannerresource.properties 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08405-E	警告バナーの削除に失敗しました。	<p>セキュリティ GUI 画面から警告バナーメッセージ削除に失敗した場合に画面に表示します。次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 次に示すファイルが存在することを確認してください。 Windows 版 : < <i>Hitachi Command Suite</i> 共通コンポーネントのインストールフォルダ > %Base%\conf\%sec%\resource %bannerresource.properties

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>Solaris 版 : /opt/HiCommand/Base/conf/sec/resource/bannerresource.properties</p> <p>Linux 版 : < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのインストールディレクトリ > /Base/conf/sec/resource/bannerresource.properties</p> <p>2. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KAPM08406-E	<p>The specified file name already exists as a directory name. (directory name = aa...aa)</p> <p>aa...aa : ディレクトリ名称</p>	<p>セキュリティ GUI 画面から警告バナーメッセージの登録に失敗した場合に、ログに出力されません。</p> <p>システムの環境が不正です。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KAPM08407-E	<p>The specified directory name already exists as a file name. (file name = aa...aa)</p> <p>aa...aa : ファイル名</p>	<p>セキュリティ GUI 画面から警告バナーメッセージの登録に失敗した場合に、ログに出力されません。</p> <p>システムの環境が不正です。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KAPM08408-E	<p>The directory does not exist. (directory name = aa...aa)</p> <p>aa...aa : ディレクトリ名</p>	<p>セキュリティ GUI 画面から警告バナーメッセージの登録に失敗した場合に、ログに出力されません。</p> <p>次に示すフォルダを作成して再度実行してください。</p> <p>Windows 版 : < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのインストールフォルダ > %Base%\conf\sec</p> <p>Solaris 版 : /opt/HiCommand/Base/conf/sec</p> <p>Linux 版 : < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのインストールディレクトリ > /Base/conf/sec</p>
KAPM08409-E	<p>An attempt to delete the warning banner message has failed.</p>	<p>セキュリティ GUI 画面から警告バナーメッセージの削除に失敗した場合に、ログに出力されません。</p> <p>次に示すファイルが存在することを確認してください。</p> <p>Windows 版 : < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのインストールフォルダ > %Base%\conf\sec\resource\%bannerresource.properties</p> <p>Solaris 版 : /opt/HiCommand/Base/conf/sec/resource/bannerresource.properties</p> <p>Linux 版 : < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのインストールディレクトリ > /Base/conf/sec/resource/bannerresource.properties</p>
KAPM08410-E	<p>The specified node is invalid. (node name = aa...aa)</p> <p>aa...aa : ノード名</p>	<p>セキュリティ GUI 画面のツリー表示で、無効なノードが指定された場合に表示します。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08411-E	hcmds.home is not set in the Java system properties.	Java のシステムプロパティに hcmds.home が設定されていません。 Java のシステムプロパティに hcmds.home が設定されていることを確認してください。
KAPM08412-E	The bannertaglist.conf file does not exist.	サポートしているタグ一覧を取得する処理で、bannertaglist.conf ファイルが存在しない場合に表示します。 次に示すファイルが存在することを確認してください。 Windows 版：< Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのインストールフォルダ >¥Base¥conf¥sec¥bannertaglist.conf Solaris 版： /opt/HiCommand/Base/conf/sec/bannertaglist.conf Linux 版： < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのインストールディレクトリ > /Base/conf/sec/bannertaglist.conf
KAPM08431-E	セキュリティ設定情報の登録に失敗しました。	セキュリティ GUI 画面からセキュリティ設定情報登録に失敗した場合に画面に表示します。 次の対処をしてください。 1. 以下のフォルダが存在することを確認してください。 Windows 版：< Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのインストールフォルダ >¥Base¥conf¥sec Solaris 版： /opt/HiCommand/Base/conf/sec Linux 版： < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのインストールディレクトリ > /Base/conf/sec 2. 以下のフォルダが存在する場合は削除してください。 Windows 版：< Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのインストールフォルダ >¥Base¥conf¥sec¥resource¥security.conf Solaris 版： /opt/HiCommand/Base/conf/sec/resource/security.conf Linux 版： < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのインストールディレクトリ > /Base/conf/sec/resource/security.conf 3. 次に示すファイルのアクセス権限を確認してください。 Windows 版：< Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのインストールフォルダ >¥Base¥conf¥sec¥resource¥security.conf Solaris 版： /opt/HiCommand/Base/conf/sec/resource/security.conf Linux 版： < Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのインストールディレクトリ >

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>リ>/Base/conf/sec/resource/security.conf</p> <p>4. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>
KAPM08910-E	An exception occurred.	例外が発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08911-E	A fatal error occurred during processing.	処理中に致命的なエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08912-E	Null is specified for the argument. (aa...aa) aa...aa : パラメーター	引数に null が指定されています。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08913-E	A value is invalid.(aa...aa, bb...bb) aa...aa : キー bb...bb : 値	指定値に誤りがあります。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08914-E	要求が不正です。	要求が不正です。 ログインし直してください。
KAPM08915-E	There is an invalid statement in the configuration file of HBase Storage Mgmt Web Service.	HBase Storage Mgmt Web Service の設定ファイルの定義に誤りがあるなど、設定や環境に不正があるおそれがあります。 httpsd.conf ファイルの次の内容を見直したあと、すべての Suite 製品、Single Sign On Server、および Common Web Service を再起動してください。 <ul style="list-style-type: none"> IPv4 の非 SSL ポートが指定された Listen の定義を、ほかの Listen の定義より前に現れるようにする。 Listen に指定された IPv4 の非 SSL ポートを、有効な値にする。
KAPM08916-I	Succeeded in starting of service.	サービスの起動要求を受け付けました。
KAPM08917-I	Succeeded in stopping of service.	サービスの停止要求を受け付けました。
KAPM08918-E	Failed to start service.	サービスの起動に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08919-E	Failed to stop service.	サービスの停止に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08920-E	The value of hcmds.home cannot be acquired.	"hcmds.home" の値が取得できません 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM08921-E	An attempt to acquire a value has failed.	値の取得に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08922-E	Communication with the HBase Storage Mgmt Web Service failed.	<p>HBase Storage Mgmt Web Service との接続確認に失敗しました。</p> <p>HBase Storage Mgmt Web Service を起動してください。</p> <p>起動してもすぐに停止してしまう場合、設定ファイルの定義誤りが考えられます。httpsd.conf ファイルの内容を見直してください。</p> <p>Windows の場合、システムの PATH 環境変数に誤りがあると、HBase Storage Mgmt Web Service が起動しないことがあります。PATH 環境変数を見直し、修正したあと OS を再起動してください。</p> <p>また、HBase Storage Mgmt Web Service の非 SSL ポートを閉じている場合は、次の設定を見直してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • httpsd.conf ファイルの ServerName ディレクティブに IP アドレスではなくホスト名を指定しているか。 • httpsd.conf ファイルの ServerName ディレクティブに指定したホスト名を、IP アドレス解決できるか。 • httpsd.conf ファイルの ServerName ディレクティブに指定したホスト名と SSLCertificateFile ディレクティブに設定した証明書の Common Name が一致しているか。 • Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのトラストストア (jssecacerts) に、HBase Storage Mgmt Web Service を信頼するための証明書を正しくインポートしているか。 <p>それでも解決しない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KAPM08980-E	An attempt to acquire RequestDispatcher has failed. aa...aa : jsp 名	<p>RequestDispatcher の取得に失敗しました。</p> <p>原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KAPM08999-E	aa...aa aa...aa : 例外オブジェクト名と発生した原因、または例外オブジェクトのバックトレース	<p>KAPMxxxxx-E の詳細情報です。発生した例外オブジェクトとそのバックトレースを表します。直前のメッセージ KAPMxxxxx-E を参照してください。</p>
KAPM09062-E	An internal error occurred.	<p>内部エラーが発生しました。</p> <p>原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KAPM09064-E	No registered information exists.	<p>登録されている情報はありません。</p> <p>set オプションでユーザー情報を登録したあと、コマンドを再実行してください。</p> <p>再度同じメッセージが出力される場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM09065-E	The file format is invalid.	ファイルの形式が誤っています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM09066-E	An error occurred during file I/O processing.	ファイルの入出力処理でエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM09067-E	A server has not been registered.	サーバが登録されていません。 set オプションでユーザー情報を登録したあと、コマンドを再実行してください。 再度同じメッセージが出力される場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM09068-E	An attempt to read a file has failed.	ファイルの読み込みに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM09069-E	An attempt to output a file has failed.	ファイルの出力に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM09070-E	An argument contains a null value.	引数に"null"が含まれています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM09090-E	hcnds.home is not specified in the Java system properties.	Java のシステムプロパティに hcnds.home が設定されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM09091-E	An error occurred during reading of a library. library path = aa...aa aa...aa : ライブラリーのパス	ライブラリーの読み取りでエラーが発生しました。ライブラリーのパス=aa...aa 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM09092-E	A timeout was generated during lock acquisition.	ロックの取得でタイムアウトが発生しました。再度実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM09093-E	The acquisition of the lock has failed. error code = aa...aa aa...aa : エラーコード	ロックの取得に失敗しました。エラーコード=aa...aa 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM09094-E	The release of the lock has failed. error code = aa...aa aa...aa : エラーコード	ロックの解除に失敗しました。エラーコード=aa...aa

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM09100-I	Enter a value for the option. (option name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : オプション名	コマンドのオプションの値が指定されていません。
KAPM09101-I	For confirmation, re-enter the value of the <i>aa...aa</i> option. <i>aa...aa</i> : オプション名	確認のため、指定したオプションの値を再入力する必要があります。
KAPM09102-E	hcmds.home is not set in the Java system properties.	Java のシステムプロパティに <code>hcmds.home</code> が設定されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM09103-E	An error occurred during the reading of the library. (library path = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ライブラリのパス	ライブラリの読み取りでエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM09104-E	The value entered the first time does not match the value entered the second time.	1 回目に入力した値と 2 回目に入力した値が異なります。 値を正しく入力してください。

7.2 KAPM10000～KAPM19999

Hitachi Command Suite 共通コンポーネントに関するメッセージ (KAPM10000～KAPM19999) を次の表に示します。

表 7-2 KAPM10000～KAPM19999 : Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM10009-E	The specified authorization group already exists. (distinguished name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 識別名	指定した外部認証グループはすでに登録されています。 外部認証グループの名称を見直してください。
KAPM10011-E	Communication with the external authentication server has failed. (domain name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ドメイン名	外部認証サーバとの通信に失敗しました。 検索用ユーザーの設定、 <code>exauth.properties</code> の設定および外部認証サーバの稼動状況を確認してください。
KAPM10012-E	The information search user is not registered. (domain name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ドメイン名	情報検索用ユーザーの認証に失敗しました。 情報検索用ユーザーを登録してください。
KAPM10013-E	An attempt to search for the specified distinguished name has failed. (distinguished name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 識別名	指定された Distinguished Name の検索に失敗しました。 外部認証サーバの稼動状況を確認してください。
KAPM10014-E	DNS communication with the external authentication server has failed. (domain name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ドメイン名	DNS との通信に失敗しました。 外部認可サーバの設定および外部認可サーバの IP アドレスを見直してください。
KAPM10015-E	The SRV record in the LDAP server is not registered. (distinguished name = <i>aa...aa</i> , domain name = <i>bb...bb</i>)	DNS に LDAP サーバの SRV レコードが登録されていません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : 識別名 <i>bb...bb</i> : ドメイン名	DNS 上で LDAP サーバの SRV レコードの設定を見直してください。
KAPM10016-E	A DNS error has occurred. (distinguished name = <i>aa...aa</i> , domain name = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 識別名 <i>bb...bb</i> : ドメイン名	DNS 上でエラーが発生しました。 DNS の設定を見直してください。
KAPM10017-W	The length of the specified distinguished name is invalid. (line number = <i>aa...aa</i> , distinguished name = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 行番号 <i>bb...bb</i> : 識別名	入力された DistinguishedName の長さが不正です。 入力した Distinguished Name の長さを見直してください。
KAPM10022-E	The SRV record of the Kerberos server is not registered in DNS. (distinguished name = <i>aa...aa</i> , domain name = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 識別名 <i>bb...bb</i> : ドメイン名	DNS に Kerberos サーバの SRV レコードが登録されていません。 DNS 上で Kerberos サーバの SRV レコードの設定を見直してください。
KAPM10029-E	The specified Distinguished Name cannot be found. (Distinguished Name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 識別名	指定された Distinguished Name が見つかりません。 指定したグループの Distinguished Name を見直してください。また、グループの Distinguished Name を正しく指定している場合は、情報検索用ユーザーの権限に対して下記の内容を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> 検索対象の属性への検索権限があるか。 グループの Distinguished Name に対して参照権限があるか。
KAPM10030-W	The specified Distinguished Name already exists. (Distinguished Name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 識別名	指定された Distinguished Name は、すでに登録されています。 指定した Distinguished Name を見直してください。
KAPM10031-E	The specified Distinguished Name already exists in another domain. (Distinguished Name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 識別名	指定された Distinguished Name は、すでに他のドメインに登録されています。 指定した Distinguished Name を見直してください。
KAPM10032-E	The operation cannot proceed because the external authentication group linkage function is disabled.	外部認証グループ連携機能が無効なため、この操作は続行できません。 外部認証グループ連携機能を有効にしてください。
KAPM10033-E	No groups that the user belongs to are registered. (user name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー名	ユーザーが所属するグループが登録されていません。 ユーザーが所属する外部認証サーバのグループを登録し、そのグループに適切な権限を付与してください。
KAPM10034-E	No groups that the user belongs to exist. (user name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー名	ユーザーが所属するグループが存在しません。 外部認証サーバの適切なグループにユーザーを所属させてください。
KAPM10035-E	The format of the specified Distinguished Name is invalid. (Distinguished Name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 識別名	指定された Distinguished Name の形式が不正です。 指定された Distinguished Name の形式を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM10036-E	No information regarding the specified group was found.	指定されたグループの情報が見つかりません。ツリーの表示をリフレッシュし、指定されたグループの情報がああるか確認してください。
KAPM10037-I	Nest group information for the group. (group name = aa...aa) aa...aa : グループ名	グループのネストグループ情報です。
KAPM10038-I	Nest group: aa...aa aa...aa : ネストグループ名	ネストグループ情報です。
KAPM10039-W	The group was not found. (group name = aa...aa) aa...aa : グループ名	グループが見つかりませんでした。
KAPM10040-E	The thread was interrupted.	スレッドに割り込みが発生しました。再度実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM10041-E	The installed version of JP1/Base is not supported.	インストールされている JP1/Base のバージョンはサポートされていません。10-00 以降の JP1/Base をインストールしてください。
KAPM10042-E	JP1/Base initialization failed.	JP1/Base の初期化に失敗しました。プライマリーサーバにインストールされた JP1/Base が、正しく稼働していることを確認してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM10043-E	An attempt to connect to JP1/Base failed.	JP1/Base との通信に失敗しました。プライマリーサーバにインストールされた JP1/Base が、正しく稼働していることを確認してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM10044-E	Authentication of the JP1 token failed. (JP1 token = aa...aa) aa...aa : JP1 トークン	JP1 トークンの認証に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM10045-E	An error occurred while linking to JP1/Base. (internal code = aa...aa) aa...aa : 内部コード	JP1/Base との連携でエラーが発生しました。再度実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM10046-E	An error occurred because the value is invalid. (value = aa...aa) aa...aa : 値	値が不正のため、エラーが発生しました。再度実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM10047-E	An error occurred because the virtual host does not exist. (virtual host = aa...aa) aa...aa : バーチャルホスト	バーチャルホストが存在しないため、エラーが発生しました。プライマリーサーバにインストールされた JP1/Base が、正しく稼働していることを確認してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM10048-E	An error occurred because the virtual host definition is invalid. (virtual host = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : バーチャルホスト	バーチャルホストの定義が不正のため、エラーが発生しました。 プライマリーサーバにインストールされた JP1/Base が、正しく稼働していることを確認してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM10049-W	The value is invalid. (value = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 値	値が不正です。
KAPM10050-E	Acquisition of the JP1/Base version failed.	JP1/Base のバージョンの取得に失敗しました。 プライマリーサーバにインストールされた JP1/Base が、正しく稼働していることを確認してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM10051-W	Valid suite product permissions were not allocated to the JP1 resource group. (JP1 resource group = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : JP1 資源グループ	JP1 資源グループに有効な Suite 製品の権限がありませんでした。
KAPM10052-E	Acquisition of the table failed. (table = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : テーブル	テーブルの取得に失敗しました。 DBMS, HBase Storage Mgmt Web Service, および HBase Storage Mgmt Common Service が起動していることを確認してください。起動している場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM10053-E	No authentication server is set up.	認証サーバが設定されていません。 プライマリーサーバにインストールされた JP1/Base が、正しく稼働していることを確認してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM10054-E	Permissions are not assigned to the user. (user name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー名	ユーザーに権限が付与されていません。 JP1/Base でユーザーに Suite 製品の権限を付与してください。
KAPM10055-E	Suite product permissions are not assigned to the user. (user name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー名	ユーザーに Suite 製品の権限が付与されていません。 JP1/Base でユーザーに Suite 製品の権限を付与してください。
KAPM10056-E	A buffer error occurred.	バッファエラーが発生しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM10057-W	The format of the value is invalid. (value = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 値	値の形式が不正です。
KAPM10058-W	The permissions do not correspond to the suite product permissions. (permissions = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 権限	Suite 製品の権限に対応していません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM10059-W	The permissions could not be converted to suite product permissions. (permissions = aa...aa) aa...aa : 権限	Suite 製品の権限に変換できませんでした。
KAPM10060-E	Loading of the library failed. (library = aa...aa) aa...aa : ライブラリー	ライブラリーのロードに失敗しました。 プライマリーサーバと同一ホスト上に 10:00 以降の JP1/Base がインストールされていることを確認してください。
KAPM10061-E	hcmds.home is not set in the Java system properties.	Java のシステムプロパティに hcmds.home が設定されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM10062-E	Acquisition of user permission information from JP1/Base failed.	JP1/Base からユーザーの権限情報の取得に失敗しました。 次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> JP1/Base でユーザーに権限が付与されていることを確認してください。 プライマリーサーバにインストールされた JP1/Base が、正しく稼働していることを確認してください。 問題が解決しない場合は保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAPM10063-E	Preprocessing failed.	前処理が失敗しました。 次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> プライマリーサーバと同一ホスト上に 10:00 以降の JP1/Base がインストールされていることを確認してください。 Java のシステムプロパティに hcmds.home が設定されていることを確認してください。
KAPM10064-E	JP1/Base initialization failed.	JP1/Base の初期化で失敗しました。 プライマリーサーバにインストールされた JP1/Base が、正しく稼働していることを確認してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM10065-E	Authentication of the JP1 token failed. (JP1 token = aa...aa) aa...aa : JP1 トークン	JP1 トークンの認証に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM10066-I	The external authentication server successfully authenticated the information. (user name = aa...aa, protocol = bb...bb) aa...aa : ユーザー名 bb...bb : プロトコル	外部認証サーバとの認証に成功しました。
KAPM10067-I	User permission information was successfully acquired from JP1/Base. (user name = aa...aa) aa...aa : ユーザー名	JP1/Base からユーザーの権限情報の取得に成功しました。
KAPM10100-E	Authentication was canceled because a search user has not been registered. (domain name = aa...aa, host =	検索用ユーザーが登録されていないため、認証を停止しました。 検索用ユーザーが登録されているか確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>bb...bb</i> , port = <i>cc...cc</i> , protocol = <i>dd...dd</i>) <i>aa...aa</i> : ドメイン名 <i>bb...bb</i> : ホスト <i>cc...cc</i> : ポート <i>dd...dd</i> : プロトコル	
KAPM10101-E	Authentication was canceled because a setting in the configuration file for the external authentication server (exauth.properties) is invalid.	外部認証サーバ連携用の exauth.properties ファイルの設定内容が不正なため、認証を停止しました。 外部認証サーバ連携用の exauth.properties ファイルの設定内容を見直してください。
KAPM10102-I	The group information was acquired from the LDAP server. (domain name = <i>aa...aa</i> , host = <i>bb...bb</i> , port = <i>cc...cc</i> , protocol = <i>dd...dd</i> , basedn = <i>ee...ee</i>) <i>aa...aa</i> : ドメイン名 <i>bb...bb</i> : ホスト <i>cc...cc</i> : ポート <i>dd...dd</i> : プロトコル <i>ee...ee</i> : ベース識別名	LDAP サーバからグループ情報の取得に成功しました。
KAPM10103-E	Acquisition of group information failed. (userId = <i>aa...aa</i> , domain name = <i>bb...bb</i> , host = <i>cc...cc</i> , port = <i>dd...dd</i> , protocol = <i>ee...ee</i> , basedn = <i>ff...ff</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー名 <i>bb...bb</i> : ドメイン名 <i>cc...cc</i> : ホスト <i>dd...dd</i> : ポート <i>ee...ee</i> : プロトコル <i>ff...ff</i> : ベース識別名	グループ情報の取得に失敗しました。 外部認証サーバ連携用の exauth.properties ファイルの設定内容を見直してください。
KAPM10104-E	Confirmation of the existence of a group failed because a setting in the configuration file for the external authentication server (exauth.properties) is invalid or a search user setting is invalid.	外部認証サーバ連携用の exauth.properties ファイルまたは検索用ユーザーの設定内容が不正なため、グループの有無の確認に失敗しました。 外部認証サーバ連携用の exauth.properties ファイルおよび検索用ユーザーの設定内容を見直してください。
KAPM10105-E	A search user has not been registered. (domain name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ドメイン名	検索用ユーザーが登録されていません。 検索用ユーザーが登録されているか確認してください。
KAPM10106-I	The existence of a group was successfully confirmed. (groupDN = <i>aa...aa</i> , domain name = <i>bb...bb</i> , host = <i>cc...cc</i> , port = <i>dd...dd</i> , protocol = <i>ee...ee</i>) <i>aa...aa</i> : グループ識別名 <i>bb...bb</i> : ドメイン名 <i>cc...cc</i> : ホスト <i>dd...dd</i> : ポート <i>ee...ee</i> : プロトコル	グループの有無の確認に成功しました。
KAPM10112-I	Authentication by a search user was successful. (host= <i>aa...aa</i> , port= <i>bb...bb</i> , protocol= <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ホスト <i>bb...bb</i> : ポート	検索用ユーザーによる認証に成功しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>cc...cc</i> : プロトコル	
KAPM10114-E	Authentication stopped because a setting in the configuration file for the external authentication server (exauth.properties) or a search user setting is invalid.	exauth.properties ファイルまたは検索用ユーザーの設定が不正なため、認証を中断します。 exauth.properties ファイルまたは検索用ユーザーの設定を見直してください。
KAPM10115-E	The Kerberos realm, KDC, or a search user definition is invalid. (realm name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : レalm名	Kerberos レalm, KDC または検索用ユーザーの定義が不正です。 exauth.properties ファイルのレalm, KDC の定義または検索用ユーザーの定義を見直してください。
KAPM10116-I	Communication with the directory server was successfully established. (host = <i>aa...aa</i> , port = <i>bb...bb</i> , protocol = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ホスト名 <i>bb...bb</i> : ポート番号 <i>cc...cc</i> : プロトコル	ディレクトリサーバとの通信に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10117-E	Communication with the directory server failed to be established. (host = <i>aa...aa</i> , port = <i>bb...bb</i> , protocol = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ホスト名 <i>bb...bb</i> : ポート番号 <i>cc...cc</i> : プロトコル	ディレクトリサーバとの通信に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM10118-I	Communication with the RADIUS server was successfully established. (host = <i>aa...aa</i> , port = <i>bb...bb</i> , protocol = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ホスト名 <i>bb...bb</i> : ポート番号 <i>cc...cc</i> : プロトコル	RADIUS サーバとの通信に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10119-E	Communication with the RADIUS server failed to be established. (host = <i>aa...aa</i> , port = <i>bb...bb</i> , protocol = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ホスト名 <i>bb...bb</i> : ポート番号 <i>cc...cc</i> : プロトコル	RADIUS サーバとの通信に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM10120-I	Communication with the Kerberos server was successfully established. (KDC = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : KDC	Kerberos サーバとの通信に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10121-E	Communication with the Kerberos server failed to be established. (KDC = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : KDC	Kerberos サーバとの通信に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM10122-I	Communication with the DNS server was successfully established.	DNS サーバとの通信に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10123-E	Communication with the DNS server failed to be established.	DNS サーバとの通信に失敗したことを示す監査ログです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM10124-I	A TLS session with a directory server was successfully negotiated. (host = <i>aa...aa</i> , port = <i>bb...bb</i> , protocol = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ホスト名 <i>bb...bb</i> : ポート番号 <i>cc...cc</i> : プロトコル	ディレクトリサーバとの TLS セッションのネゴシエーションに成功したことを示す監査ログです。
KAPM10125-E	A TLS session with a directory server failed to be negotiated. (host = <i>aa...aa</i> , port = <i>bb...bb</i> , protocol = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : ホスト名 <i>bb...bb</i> : ポート番号 <i>cc...cc</i> : プロトコル	ディレクトリサーバとの TLS セッションのネゴシエーションに失敗したことを示す監査ログです。
KAPM10126-I	An information-search user was successfully authenticated by the directory server. (distinguished name = <i>aa...aa</i> , host = <i>bb...bb</i> , port = <i>cc...cc</i> , protocol = <i>dd...dd</i>) <i>aa...aa</i> : 識別名 <i>bb...bb</i> : ホスト名 <i>cc...cc</i> : ポート番号 <i>dd...dd</i> : プロトコル	ディレクトリサーバで情報検索用ユーザーの認証に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10127-W	An information-search user failed to be authenticated by the directory server. (distinguished name = <i>aa...aa</i> , host = <i>bb...bb</i> , port = <i>cc...cc</i> , protocol = <i>dd...dd</i>) <i>aa...aa</i> : 識別名 <i>bb...bb</i> : ホスト名 <i>cc...cc</i> : ポート番号 <i>dd...dd</i> : プロトコル	ディレクトリサーバで情報検索用ユーザーの認証に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM10128-I	A user was successfully authenticated by the directory server. (user ID = <i>aa...aa</i> , host = <i>bb...bb</i> , port = <i>cc...cc</i> , protocol = <i>dd...dd</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID <i>bb...bb</i> : ホスト名 <i>cc...cc</i> : ポート番号 <i>dd...dd</i> : プロトコル	ディレクトリサーバでユーザーの認証に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10129-W	No users are registered on the directory server. (user ID = <i>aa...aa</i> , host = <i>bb...bb</i> , port = <i>cc...cc</i> , protocol = <i>dd...dd</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID <i>bb...bb</i> : ホスト名 <i>cc...cc</i> : ポート番号 <i>dd...dd</i> : プロトコル	ディレクトリサーバにユーザーが登録されていないことを示す監査ログです。
KAPM10130-W	A user failed to be authenticated by the directory server. (user ID = <i>aa...aa</i> , host = <i>bb...bb</i> , port = <i>cc...cc</i> , protocol = <i>dd...dd</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID <i>bb...bb</i> : ホスト名 <i>cc...cc</i> : ポート番号 <i>dd...dd</i> : プロトコル	ディレクトリサーバでユーザーの認証に失敗したことを示す監査ログです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM10131-I	A user was successfully authenticated by the RADIUS server. (user ID = <i>aa...aa</i> , host = <i>bb...bb</i> , port = <i>cc...cc</i> , protocol = <i>dd...dd</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID <i>bb...bb</i> : ホスト名 <i>cc...cc</i> : ポート番号 <i>dd...dd</i> : プロトコル	RADIUS サーバでユーザーの認証に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10132-W	A user failed to be authenticated by the RADIUS server. (user ID = <i>aa...aa</i> , host = <i>bb...bb</i> , port = <i>cc...cc</i> , protocol = <i>dd...dd</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID <i>bb...bb</i> : ホスト名 <i>cc...cc</i> : ポート番号 <i>dd...dd</i> : プロトコル	RADIUS サーバでユーザーの認証に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM10133-I	A user was successfully authenticated by the Kerberos server. (Kerberos principal = <i>aa...aa</i> , KDC = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : Kerberos プリンシパル名 <i>bb...bb</i> : KDC のリスト	Kerberos サーバでユーザーの認証に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10134-W	A user failed to be authenticated by the Kerberos server. (Kerberos principal = <i>aa...aa</i> , KDC = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : Kerberos プリンシパル名 <i>bb...bb</i> : KDC のリスト	Kerberos サーバでユーザーの認証に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM10135-I	User information was successfully acquired from the directory server. (user ID = <i>aa...aa</i> , domain name = <i>bb...bb</i> , host = <i>cc...cc</i> , port = <i>dd...dd</i> , protocol = <i>ee...ee</i> , base DN = <i>ff...ff</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID <i>bb...bb</i> : ドメイン名 <i>cc...cc</i> : ホスト名 <i>dd...dd</i> : ポート番号 <i>ee...ee</i> : プロトコル <i>ff...ff</i> : ベース識別名	ディレクトリサーバからユーザーの情報取得に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10136-E	Acquisition of user information from the directory server failed. (user ID = <i>aa...aa</i> , domain name = <i>bb...bb</i> , host = <i>cc...cc</i> , port = <i>dd...dd</i> , protocol = <i>ee...ee</i> , base DN = <i>ff...ff</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー ID <i>bb...bb</i> : ドメイン名 <i>cc...cc</i> : ホスト名 <i>dd...dd</i> : ポート番号 <i>ee...ee</i> : プロトコル <i>ff...ff</i> : ベース識別名	ディレクトリサーバからユーザーの情報取得に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM10137-I	An SRV record was successfully acquired from the DNS server. (record key = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : SRV レコードのキー	DNS サーバから SRV レコードの取得に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10138-E	An SRV record failed to be acquired from the DNS server. (record key = <i>aa...aa</i>)	DNS サーバから SRV レコードの取得に失敗したことを示す監査ログです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : SRV レコードのキー	
KAPM10139-I	JP1/Base was successfully connected to.	JP1/Base との通信に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10140-E	An attempt to connect to JP1/Base failed.	JP1/Base との通信に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM10141-I	User authentication in JP1/Base was successful. (<i>aa...aa</i> = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : キー <i>bb...bb</i> : 値	JP1/Base でユーザーの認証に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10142-W	JP1/Base user authentication failed. (<i>aa...aa</i> = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : キー <i>bb...bb</i> : 値	JP1/Base でユーザーの認証に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM10143-I	JP1/Base was successfully logged out from. (JP1 token = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : JP1 トークン	JP1/Base でログアウトが成功したことを示す監査ログです。
KAPM10144-I	User permission information was successfully acquired from JP1/Base. (user name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー名	JP1/Base からユーザーの権限情報の取得に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10145-E	Acquisition of user permission information from JP1/Base failed. (user name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ユーザー名	JP1/Base からユーザーの権限情報の取得に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM10146-I	JP1/Base was successfully initialized.	JP1/Base の初期化に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10147-E	JP1/Base initialization failed.	JP1/Base の初期化に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM10148-I	The JP1/Base version was successfully acquired.	JP1/Base のバージョンの取得に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10149-E	Acquisition of the JP1/Base version failed.	JP1/Base のバージョンの取得に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM14000-E	An exception occurred.	例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14003-I	Command execution started.	コマンドの実行を開始しました。
KAPM14004-I	The command was executed successfully.	コマンドの実行に成功しました。
KAPM14005-E	Command execution failed.	コマンドの実行に失敗しました。 直前のメッセージ KAPMxxxxx-E を参照してください。
KAPM14006-E	An option is invalid.	オプションが誤っています。 オプションの指定を見直してください。
KAPM14007-E	The command cannot be executed because the database is down.	データベースが停止しているため、コマンドを実行できません。 次のことを確認したあと、コマンドを再度実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> DBMS が起動していること。 DBMS がセットアップされていること。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM14008-E	Command execution failed. (command name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : コマンド名	コマンドの実行に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM14009-E	An attempt to read a file failed. (file name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ファイル名	ファイルの読み込みに失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM14010-E	Table information could not be acquired. (table name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : テーブル名	テーブルの情報が取得できませんでした。 再度実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM14011-W	A key is invalid. (key name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : キー名	キーが不正です。
KAPM14012-I	Association information will be deleted because the chain was broken. (hcndsID = <i>aa...aa</i> , association = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 製品 ID <i>bb...bb</i> : アソシエーション	チェーン切れのため、アソシエーション情報を削除します。
KAPM14013-I	Incorrect product information will be removed. (product name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 製品名	不正な製品の情報を削除します。
KAPM14014-E	The value of hcnds.home could not be acquired.	hcnds.home の値を取得できません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM14015-E	An attempt to delete the product information has failed. (product name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 製品名	製品情報の削除に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM14016-E	An attempt to delete the association information has failed. (association = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : アソシエーション	アソシエーション情報の削除に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM14017-E	The DBMS is blocked.	DBMS が閉塞しています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM14018-E	An attempt to get association information failed.	アソシエーション情報の取得に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM14019-E	An attempt to get the class name failed.	クラス名の取得に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14020-W	Processing is being re-executed.	処理を再実行しています。
KAPM14021-E	An authentication error occurred.	認証障害が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14022-E	An error occurred during DBMS access processing.	DBMS へのアクセス中に障害が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15002-I	The hcmdscheckauth command will now start.	hcmdscheckauth コマンドを開始します。
KAPM15003-I	The configuration check of <i>aa...aa</i> will now start. <i>aa...aa</i> : フェーズ番号	コンフィグチェックを開始します。
KAPM15004-I	The result of the configuration check of <i>aa...aa</i> was normal. <i>aa...aa</i> : フェーズ番号	コンフィグチェックは正常です。
KAPM15005-E	The result of the configuration check of <i>aa...aa</i> was abnormal. <i>aa...aa</i> : フェーズ番号	コンフィグチェックは異常です。 直前のメッセージ KAPMxxxxx-E を参照してください。
KAPM15006-I	The configuration of the server <i>aa...aa</i> will now be checked. <i>aa...aa</i> : サーバ名	サーバのコンフィグチェックをします。
KAPM15007-I	The result of the configuration check of the server <i>aa...aa</i> was normal. <i>aa...aa</i> : サーバ名	サーバのコンフィグチェックは正常です。
KAPM15008-E	The result of the configuration check of the server <i>aa...aa</i> was abnormal. <i>aa...aa</i> : サーバ名	サーバのコンフィグチェックは異常です。 直前のメッセージ KAPMxxxxx-E を参照してください。
KAPM15009-I	The configuration check of <i>aa...aa</i> has finished normally. <i>aa...aa</i> : フェーズ番号	コンフィグチェック は正常に終了しました。
KAPM15010-I	The connection to the server <i>aa...aa</i> will now be checked. (host = <i>bb...bb</i> , port = <i>cc...cc</i> , protocol = <i>dd...dd</i>) <i>aa...aa</i> : サーバ名 <i>bb...bb</i> : ホスト名 <i>cc...cc</i> : ポート番号 <i>dd...dd</i> : プロトコル	サーバへの接続チェックをします。
KAPM15011-I	The server <i>aa...aa</i> can be connected to normally. <i>aa...aa</i> : サーバ名	サーバへの接続チェックに成功しました。
KAPM15012-E	The result of checking the connection to the server <i>aa...aa</i> indicated an error. <i>aa...aa</i> : サーバ名	サーバへの接続チェックに失敗しました。 「KAPM15010-I」以降のエラーメッセージを参照してください。
KAPM15013-E	A connection error occurred.	接続エラーが発生しました。 外部認証サーバが正しく動作していることを確認したあと、次の対処をしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>LDAP の場合 :</p> <p>本メッセージのあとに、「KAPM15084-E」メッセージが表示される場合、「KAPM15084-E」メッセージは LDAP 接続の詳細エラーを示します。以下の対処の参考にしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているホスト名または IP アドレス、ポート、およびプロトコルが正しいか確認してください。 2. ネットワークが正しく接続されているか確認してください。 3. ファイアウォールの設定を確認してください。 4. LDAP ディレクトリサーバが LDAPv3 プロトコルに対応 (準拠) しているか確認してください。 5. StartTLS で通信するときは、SSL の設定内容を見直してください。StartTLS では、IP アドレスではなくホスト名を指定してください。 6. OCSP が有効な場合、証明書が有効であるか確認してください。 7. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。 <p>RADIUS の場合 :</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているホスト名または IP アドレス、ポート、およびプロトコルが正しいか確認してください。 2. 外部認証サーバに設定したクライアントのシークレットと、クライアントで設定したシークレットを確認して、再設定してください。 3. ネットワークが正しく接続されているか確認してください。 4. ファイアウォールの設定を確認してください。 5. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM15014-E	An authentication error occurred.	認証エラーが発生しました。指定したユーザーが外部認証サーバに登録されているか確認してください。
KAPM15015-I	The command <code>hcmdscheckauth</code> will now finish.	<code>hcmdscheckauth</code> コマンドを終了します。
KAPM15016-E	A file was not found. (file name = <code>aa...aa</code>) <code>aa...aa</code> : ファイル名	ファイルが見つかりません。指定のフォルダにファイルがあることを確認してください。
KAPM15017-E	A file could not be read. (file name = <code>aa...aa</code>) <code>aa...aa</code> : ファイル名	ファイルが読み込めません。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM15018-E	The settings of the external authentication server are invalid.	外部認証サーバの設定が有効になっていません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		設定ファイルを見直して、外部認証サーバの設定をしてください。
KAPM15019-E	The configuration file contains a syntax error. (line number = <i>aa...aa</i> , value = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 行番号 <i>bb...bb</i> : 値	設定ファイルに構文エラーがあります。 <i>aa...aa</i> 行目の <i>bb...bb</i> に構文エラーがあります。 設定ファイルを見直して再実行してください。
KAPM15020-E	The same property key already exists. (line number = <i>aa...aa</i> , key = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 行番号 <i>bb...bb</i> : キー	同じプロパティキーがすでにあります。 <i>aa...aa</i> 行目の <i>bb...bb</i> に重複するプロパティキーがあります。設定ファイルを見直して再実行してください。
KAPM15021-E	A required parameter has not been specified. (key = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : キー	必須パラメーターが指定されていません。 必須パラメーターを設定して、再実行してください。
KAPM15022-W	An optional parameter has been omitted. (value = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 値	任意パラメーターが省略されています。
KAPM15023-W	A property key cannot be identified. (line number = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 行番号	識別できないプロパティキーです。 外部認証サーバ連携コンフィグファイルの設定内容を、必要に応じて見直してください。
KAPM15024-E	A secret does not exist.	シークレットがありません。 シークレットを設定して、再実行してください。
KAPM15025-E	No connection could be made from the secondary server.	セカンダリサーバでは接続できません。 プライマリーサーバで接続をしてください。
KAPM15026-E	A fatal error occurred during processing.	処理中に致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15027-E	An option is invalid.	オプションが誤っています。 オプションの指定を見直してください。
KAPM15028-E	No value has been specified for an option.	オプションの値が指定されていません。 必要なオプションをすべて指定してください。
KAPM15029-E	The value of <code>hcnds.home</code> could not be acquired.	<code>hcnds.home</code> の値が取得できません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15030-I	Processing has finished normally.	処理は正常に終了しました。
KAPM15031-E	An exception occurred.	例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15032-E	The configuration file was not found. (file name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ファイル名	設定ファイルが見つかりません。 次のことを確認してください。 ・ ファイルが存在しているか ・ ファイルが使用中でないか
KAPM15033-E	An error occurred on the <i>aa...aa</i> server. <i>aa...aa</i> : サーバ名	サーバエラーが発生しました。 次の対処をしてください。 LDAP の場合： 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> hcmsldapuser コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 StartTLS で通信するときは、SSL の設定を確認してください。 OCSF が有効な場合、証明書が有効であるか確認してください。 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 <p>RADIUS の場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> exauth.properties に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 hcmsradiussecret コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15034-E	Authentication information cannot be acquired. (server name = aa...aa) aa...aa : サーバ名	認証情報を取得できません。 hcmsldapuser コマンドまたは hcmsradiussecret コマンドで、認証情報を再設定してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15035-I	Authentication information has been acquired.	認証情報を取得しました。
KAPM15036-E	Authentication information cannot be acquired.	認証情報を取得できません。 hcmsldapuser コマンドまたは hcmsradiussecret コマンドで、認証情報を再設定してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15037-E	Specify a value for at least one key. (key = aa...aa) aa...aa : キー	一つはキーの値を指定してください。 キーの値を指定してから再実行してください。
KAPM15039-I	A connection was successfully established. (server name = aa...aa) aa...aa : サーバ名	接続に成功しました。
KAPM15040-E	A connection attempt has failed. (server name = aa...aa) aa...aa : サーバ名	接続に失敗しました。 外部認証サーバが正しく動作していることを確認したあと、次の対処をしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>LDAP の場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているホスト名または IP アドレス、ポート、およびプロトコルが正しいか確認してください。 2. ネットワークが正しく接続されているか確認してください。 3. ファイアウォールの設定を確認してください。 4. LDAP ディレクトリサーバが LDAPv3 プロトコルに対応（準拠）しているか確認してください。 5. StartTLS で通信するときは、SSL の設定内容を見直してください。StartTLS では、IP アドレスではなくホスト名を指定してください。 6. OCSP が有効な場合、証明書が有効であるか確認してください。 7. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 <p>RADIUS の場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているホスト名または IP アドレス、ポート、およびプロトコルが正しいか確認してください。 2. 外部認証サーバに設定したクライアントのシークレットと、クライアントで設定したシークレットを確認して、再設定してください。 3. ネットワークが正しく接続されているか確認してください。 4. ファイアウォールの設定を確認してください。 5. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15041-E	Authentication has failed. (server name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : サーバ名	認証に失敗しました。 上記の <i>aa...aa</i> サーバのメッセージ KAPMxxxx-E を参照してください。
KAPM15042-E	A syntax error occurred. (server name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : サーバ名	シンタックスエラーです。 上記の <i>aa...aa</i> サーバのメッセージ KAPMxxxx-E を参照してください。
KAPM15043-E	A check cannot be performed because the external authentication server type is unknown.	認証先種別が不明のため、チェックできません。 <code>auth.server.type</code> の値を見直してから再実行してください。
KAPM15044-E	A check cannot be performed because the server identification name is unknown.	サーバ識別名が不明のため、チェックできません。 <code>auth.server.name</code> の値を見直してから再実行してください。
KAPM15045-E	A parameter has not been specified. (key = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : キー	パラメーターに値が設定されていません。 パラメーター <i>aa...aa</i> の値を設定してから再実行してください。
KAPM15046-E	An invalid value has been specified for a parameter. (key = <i>aa...aa</i>)	パラメーターに指定できない値が設定されています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : キー	パラメーター <i>aa...aa</i> の値を見直してから再実行してください。
KAPM15047-I	The authentication method will now be internal authentication.	認証方法を内部認証とします。
KAPM15049-E	The configuration file could not be accessed. (File name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ファイル名	設定ファイルにアクセスできません。 次のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> 設定ファイルがあるか 設定ファイルのアクセス権限があるか 設定ファイルが使用中でないか
KAPM15050-E	Authentication of the user account used for information searching has failed.	情報検索用のユーザーアカウントの認証に失敗しました。 次の対処をしてください。 本メッセージのあとに、「KAPM15084-E」メッセージが表示される場合、「KAPM15084-E」メッセージは LDAP 接続の詳細エラーを示します。 以下の対処の参考にしてください。 LDAP 階層構造モデルの場合： 情報検索用のユーザーアカウントの DN とパスワードを見直してから、 <code>hcmsldapuser</code> コマンドを再実行してください。 LDAP フラットモデルの場合： <code>hcmsldapuser</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていないことを確認してください。
KAPM15051-E	The DN of the user account used for information searching was not found.	情報検索用のユーザーアカウントの DN が見つかりませんでした。 次の対処をしてください。 本メッセージのあとに、「KAPM15084-E」メッセージが表示される場合、「KAPM15084-E」メッセージは LDAP 接続の詳細エラーを示します。 以下の対処の参考にしてください。 LDAP 階層構造モデルの場合： 情報検索用のユーザーアカウントの DN を見直してから、 <code>hcmsldapuser</code> コマンドを再実行してください。 LDAP フラットモデルの場合： <code>hcmsldapuser</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていないことを確認してください。
KAPM15052-E	Authentication of the specified user has failed.	指定したユーザーの認証に失敗しました。 次の対処をしてください。 LDAP の場合： 本メッセージのあとに、「KAPM15084-E」メッセージが表示される場合、「KAPM15084-E」メッセージは LDAP 接続の詳細エラーを示します。 以下の対処の参考にしてください。 <ol style="list-style-type: none"> 指定したユーザーを見直してください。 ユーザーには、DN 形式ではなくユーザー名だけ指定してください。 指定したユーザーのパスワードを見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>3. 指定したユーザーが外部認証サーバに登録されていて、かつ有効になっているか確認してください。</p> <p>4. <code>exauth.properties</code> に設定されている対応したサーバの <code>basedn</code> または <code>attr</code> を見直してください。</p> <p>5. LDAP 階層構造モデルの場合、次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <code>hcmsldapuser</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 ・ 情報検索用ユーザーに権限があるかどうか確認してください。 <p>6. 6.LDAP フラットモデルの場合、<code>hcmsldapuser</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていないことを確認してください。</p> <p>7. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p> <p>RADIUS の場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定したユーザーを見直してください。 2. 指定したユーザーのパスワードを見直してください。 3. 指定したユーザーが外部認証サーバに登録されていて、かつ有効になっているか確認してください。 4. PAP または CHAP の設定が、有効になっているか確認してください。 5. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15053-E	The specified user was not found.	<p>指定したユーザーが見つかりませんでした。次の対処をしてください。</p> <p>本メッセージのあとに、「KAPM15084-E」メッセージが表示される場合、「KAPM15084-E」メッセージは LDAP 接続の詳細エラーを示します。以下の対処の参考にしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定したユーザーを見直してください。ユーザーには、DN 形式ではなくユーザー名だけ指定してください。 2. 指定したユーザーが外部認証サーバに登録されていて、かつ有効になっているか確認してください。 3. <code>exauth.properties</code> に設定されている対応したサーバの <code>basedn</code> または、<code>attr</code> を見直してください。 4. LDAP 階層構造モデルの場合、次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ <code>hcmsldapuser</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報検索用ユーザーに権限があるかどうか確認してください。 <p>5. LDAP フラットモデルの場合、hcmdsldapuser コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていないことを確認してください。</p> <p>6. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KAPM15054-E	<p>The specified user was not found. (error code = aa...aa) aa...aa : エラーコード</p>	<p>指定したユーザーが見つかりませんでした。次の対処をしてください。</p> <p>本メッセージのあとに、「KAPM15084-E」メッセージが表示される場合、「KAPM15084-E」メッセージは LDAP 接続の詳細エラーを示します。以下の対処の参考にしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定したユーザーを見直してください。ユーザーには、DN 形式ではなくユーザー名だけ指定してください。 2. 指定したユーザーが外部認証サーバに登録されていて、かつ有効になっているか確認してください。 3. exauth.properties に設定されている対応したサーバの basedn または、attr を見直してください。 4. LDAP 階層構造モデルの場合、次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・hcmdsldapuser コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 ・情報検索用ユーザーに権限があるかどうか確認してください。 5. LDAP フラットモデルの場合、hcmdsldapuser コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていないことを確認してください。 6. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15056-E	<p>The specified user was not found.</p>	<p>指定したユーザーが見つかりませんでした。次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定したユーザーが外部認証サーバに登録されているか確認してください。 2. exauth.properties に設定されている対応したサーバの basedn または attr を見直してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>3. LDAP 階層構造モデルの場合、次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <code>hcmdsldapuser</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 ・ 情報検索用ユーザーに権限があるかどうか確認してください。
KAPM15057-E	A dn value is invalid.	<p>DN の値が不正です。 次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> に設定されている対応したサーバの <code>basedn</code> を見直してください。 2. <code>hcmdsldapuser</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されている場合、次の対処をしてください。 <code>hcmdsldapuser</code> コマンドの <code>DN</code> オプションに指定した値を見直してください。
KAPM15058-I	The message outputs LDAP connection information. (<i>aa...aa = bb...bb, aa...aa = bb...bb,</i>) <i>aa...aa</i> : キー <i>bb...bb</i> : 値	LDAP の接続情報を出力します。
KAPM15059-E	<i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : エラー時の詳細データ	直前のエラーメッセージの詳細情報を表示します。 直前のメッセージに従って対処してください。
KAPM15060-I	The file targeted for generation management was successfully saved.	コマンドで指定されたファイルの保存に成功しました。
KAPM15061-E	No file targeted for generation management exists.	コマンドで指定されたファイルがありません。 保存対象のファイルまでのパスを正しく指定してください。
KAPM15062-E	There is not enough free space to save the file.	ファイルの保存先に十分な空き領域がありません。 保存先のディスク容量を十分に確保してから、コマンドを再実行してください。 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM15063-E	The specified management target is a directory.	ファイルを指定するオプションの引数にディレクトリが指定されました。 保存対象のファイルを絶対パスで指定してください。
KAPM15064-E	The permissions for the file to be managed are invalid.	コマンドで指定したファイルに設定されている権限が誤っています。 指定したファイルの権限を確認してから、コマンドを再実行してください。 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15065-E	An attempt to store the managed file has failed.	コマンドで指定されたファイルの保存に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		指定したファイルの保存先、権限を確認後、再度コマンドを実行してください。 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15066-W	The specified number of generations exceeds the maximum (99).	世代数を指定するオプションの値が上限値を超えています。 世代数には2~99の数字を指定してください。
KAPM15067-E	Creation of the directory has failed.	ディレクトリの作成に失敗しました。 指定したファイルを保存するディレクトリの作成先を確認してから、コマンドを再実行してください。 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15068-E	An option is invalid.	コマンドのオプションが誤っています。 正しいオプションを指定してください。
KAPM15069-E	A fatal error occurred.	致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15070-I	The hcmsdfilerotate command has started.	hcmsdfilerotate コマンドを開始しました。
KAPM15071-I	The hcmsdfilerotate command has ended.	hcmsdfilerotate コマンドが終了しました。
KAPM15072-I	A file whose file number is 99 has been overwritten.	hcmsdfilerotate コマンドが1秒以内に99回以上実行されたときは、ファイル番号の上限である「99」番以降にコピーされたファイルのファイル番号を「99」として保存しました。
KAPM15073-W	The command log cannot be output.	コマンドのログを出力するために必要な環境変数が不正なので、コマンドのログを出力できません。 コマンドのログを出力するために設定した環境変数を見直してください。 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15074-E	The value specified for an option is invalid.	オプションに指定した値が不正であることを示すメッセージです。 オプションに指定した値を見直し、正しい値を入力してください。
KAPM15080-E	Authentication of the user account used for information searching has failed. (server name = aa...aa) aa...aa : サーバ名	情報検索用のユーザーアカウントの認証に失敗しました。 次の対処をしてください。 LDAP 階層構造モデルの場合： 情報検索用のユーザーアカウントの DN とパスワードを見直してから、hcmsldapuser コマンドを再実行してください。 LDAP フラットモデルの場合： hcmsldapuser コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていないことを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15081-E	The DN of the user account used for information searching was not found. (server name = aa...aa) aa...aa : サーバ名	情報検索用のユーザーアカウントの DN が見つかりませんでした。 次の対処をしてください。 LDAP 階層構造モデルの場合： 情報検索用のユーザーアカウントの DN を見直してから、hcmdsldapuser コマンドを再実行してください。 LDAP フラットモデルの場合： hcmdsldapuser コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていないことを確認してください。
KAPM15082-E	Authentication of the specified user has failed. (server name = aa...aa) aa...aa : サーバ名	指定したユーザーの認証に失敗しました。 次の対処をしてください。 LDAP の場合： 1. 指定したユーザーを見直してください。 ユーザーには、DN 形式ではなくユーザー名だけ指定してください。 2. 指定したユーザーのパスワードを見直してください。 3. 指定したユーザーが外部認証サーバに登録されていて、かつ有効になっているか確認してください。 4. exauth.properties に設定されている対応したサーバの basedn または attr を見直してください。 5. LDAP 階層構造モデルの場合、次の対処をしてください。 ・ hcmdsldapuser コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 ・ 情報検索用ユーザーに権限があるかどうか確認してください。 6. LDAP フラットモデルの場合、hcmdsldapuser コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていないことを確認してください。 7. 問題が解決しないときは、保守情報を取得し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 RADIUS の場合： 1. 指定したユーザーを見直してください。 2. 指定したユーザーのパスワードを見直してください。 3. 指定したユーザーが外部認証サーバに登録されていて、かつ有効になっているか確認してください。 4. PAP または CHAP の設定が、有効になっているか確認してください。 5. 問題が解決しないときは、保守情報を取得し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15083-E	The specified user was not found. (server name = aa...aa) aa...aa : サーバ名	指定したユーザーが見つかりませんでした。 次の対処をしてください。 1. 指定したユーザーを見直してください。 ユーザーには、DN 形式ではなくユーザー名 だけ指定してください。 2. 指定したユーザーが外部認証サーバに登録 されていて、かつ有効になっているか確認し てください。 3. exauth.properties に設定されている対 応したサーバの basedn または、attr を見 直してください。 4. LDAP 階層構造モデルの場合、次の対処をし てください。 ・ hcmsldapuser コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ 名の情報が登録されていることを確認して ください。 ・ 情報検索用ユーザーに権限があるかどうか 確認してください。 5. LDAP フラットモデルの場合、 hcmsldapuser コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ 名の情報が登録されていないことを確認し てください。 6. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の 解決のため、詳細な調査が必要です。障害情 報を収集し、障害対応窓口に連絡してくださ い。
KAPM15084-E	LDAP directory server error is detected. (information = aa...aa) aa...aa : 情報	LDAP ディレクトリサーバのエラーが検出され ました。
KAPM15085-E	An SSL setting is invalid.	SSL の設定が不正です。 SSL の設定を見直してください。
KAPM15086-E	The specified user was not found. (server name = aa...aa) aa...aa : サーバ名	指定したユーザーが見つかりませんでした。 次の対処をしてください。 1. 指定したユーザーが外部認証サーバに登録 されているか確認してください。 2. exauth.properties に設定されている対 応したサーバの basedn または attr を見 直してください。 3. LDAP 階層構造モデルの場合、次の対処をし てください。 ・ hcmsldapuser コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ 名の情報が登録されていることを確認して ください。 ・ 情報検索用ユーザーに権限があるかどうか 確認してください。
KAPM15087-E	A dn value is invalid. (server name = aa...aa) aa...aa : サーバ名	DN の値が不正です。 次の対処をしてください。 1. exauth.properties に設定されている対 応したサーバの basedn を見直してくださ い。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		2. hcmsldapuser コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されている場合、次の対処をしてください。 hcmsldapuser コマンドの DN オプションに指定した値を見直してください。
KAPM15088-I	The common-items check will now start.	共通項目のチェックを開始します。
KAPM15089-I	The results of the common-items check were normal.	共通項目のチェックの結果、成功しました。
KAPM15090-E	The results of the common-items check include abnormal values.	共通項目のチェックの結果、失敗しました。直前のメッセージ KAPMxxxxx-E を参照してください。
KAPM15091-I	The individual-realm check will now start.	レルムごとのチェックを開始します。
KAPM15092-I	The results of the realm identified name aa...aa check were normal. aa...aa : レルム識別名	レルム識別名 aa...aa をチェックした結果、成功しました。
KAPM15093-E	The results of the realm identified name aa...aa check include abnormal values. aa...aa : レルム識別名	レルム識別名 aa...aa をチェックした結果、失敗しました。直前のメッセージ KAPMxxxxx-E を参照してください。
KAPM15094-I	The results of the individual-realm check were normal.	レルムごとのチェックの結果、成功しました。
KAPM15095-E	The results of the individual-realm check include abnormal values.	レルムごとのチェックの結果、失敗しました。直前のメッセージ KAPMxxxxx-E を参照してください。
KAPM15096-E	The same value already exists. (line number = aa...aa, value = bb...bb) aa...aa : 行番号 bb...bb : 値	同じ値が指定されています。 aa...aa 行目の bb...bb に重複する値があります。設定ファイルを見直してから再実行してください。
KAPM15097-E	There is no auth.kerberos.<realm identification name>.realm that corresponds to auth.kerberos.default_realm.	auth.kerberos.default_realm に対応する auth.kerberos.<realm identification name>.realm がありません。 exauth.properties の auth.kerberos.default_realm に対応するレルム名を auth.kerberos.<realm identification name>.realm に指定してください。
KAPM15098-I	The server connection will now be checked. (user id = aa...aa, realm name = bb...bb) aa...aa : ユーザー ID bb...bb : レルム名	サーバへの接続をチェックします。
KAPM15102-I	The hcmsunlockaccount command has started.	hcmsunlockaccount コマンドを開始しました。
KAPM15103-I	The hcmsunlockaccount command has finished.	hcmsunlockaccount コマンドが終了しました。
KAPM15104-E	The hcmsunlockaccount command cannot be executed on the secondary	セカンダリサーバでは実行できません。プライマリサーバで実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	server. Execute this command on the primary server.	プライマリサーバで <code>hcmdsunlockaccount</code> コマンドを実行してください。
KAPM15105-E	The user account to be unlocked does not have the User Management permission.	ロック解除対象のユーザーに User Management 権限がありません。 User Management 権限を所持するユーザーを指定してください。
KAPM15108-I	The user account was unlocked successfully.	ユーザーのロック解除が成功しました。
KAPM15109-I	The user account "aa...aa" will now be unlocked. aa...aa : ユーザー名	アンロックされるユーザーを表示しています。
KAPM15110-E	The value of <code>hcmds.home</code> could not be acquired.	<code>hcmds.home</code> の値が取得できません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15111-E	A command option is invalid.	コマンドのオプションが不正です。 オプションを確認してください。
KAPM15112-E	No value has been specified for an option.	オプションの値が指定されていません。 オプションを確認してください。
KAPM15113-E	A fatal error occurred.	致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15114-E	Communication with the authentication server has failed.	認証サーバとの通信が失敗しました。 HBase Storage Mgmt Common Service または HBase Storage Mgmt Web Service が起動していることを確認してください。
KAPM15115-E	The user ID or password is incorrect.	ユーザー名またはパスワードが不正です。 ユーザー ID とパスワードが正しいことを確認してください。
KAPM15116-E	An <code>HSSOException</code> occurred.	<code>HSSOException</code> が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15117-E	An <code>IOException</code> occurred.	<code>IOException</code> が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15118-E	An <code>HcmdsIllegalArgumentException</code> occurred.	<code>HcmdsIllegalArgumentException</code> が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15119-E	An <code>HcmdsUserManagementException</code> occurred.	<code>HcmdsUserManagementException</code> が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15120-E	An exception occurred.	例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15170-E	Acquisition of the installation path has failed.	インストールパスの取得に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15171-E	The command <i>aa...aa</i> will stop because internal processing failed. (details = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : コマンド名 <i>bb...bb</i> : 詳細	内部処理に失敗したため、コマンドの実行を中断します。コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15172-W	Log initialization failed.	ログの初期化に失敗しました。頻繁に発生する場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15173-E	A memory allocation error occurred.	メモリー確保エラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15174-E	The command <i>aa...aa</i> will stop because setting of an environment variable failed. (details = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : コマンド名 <i>bb...bb</i> : 詳細	環境変数の設定に失敗したため、コマンドの実行を中断します。コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15175-E	An error occurred in an internal function. (function = <i>aa...aa</i> , error code = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 関数 <i>bb...bb</i> : エラーコード	内部関数でエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15200-I	A connection was successfully established. (KDC = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : KDC	接続に成功しました。
KAPM15201-E	An attempt to connect failed. (KDC = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : KDC	接続に失敗しました。外部認証サーバが正しく動作していることを確認したあと、次の対処をしてください。 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているレム名と KDC が正しいか確認してください。 2. ネットワークが正しく接続されているか確認してください。 3. ファイアウォールの設定を確認してください。 4. 外部認証サーバが Kerberos V5 プロトコルに対応 (準拠) しているか確認してください。 5. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15202-E	An attempt to connect to the DNS server failed.	DNS サーバとの接続に失敗しました。DNS サーバの設定内容を見直してください。
KAPM15203-E	On the DNS server, the SRV record corresponding to the realm name is not defined. (realm name = <i>aa...aa</i>)	DNS サーバにレム名に対応する SRV レコードが定義されていません。次の対処をしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : レルム名	<ul style="list-style-type: none"> レルム名が誤っていないか設定内容を確認してください。 DNS サーバにレルム名に対応した SRV レコードを定義してください。
KAPM15204-E	An unexpected error occurred on the DNS server.	DNS サーバで予期しないエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15205-E	The KDC resolution failed. (KDC = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : KDC	KDC の解決に失敗しました。 DNS サーバの設定内容を見直してください。
KAPM15206-E	An attempt to authenticate failed. (KDC = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : KDC	認証に失敗しました。 次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> 指定したユーザーが外部認証サーバに登録されているか確認してください。 指定したユーザーのパスワードを見直してください。 サーバ間の時間差が、<code>exauth.properties</code> で指定した値を超えていないか確認してください。 認証ユーザーのパスワードの期限が切れていないことを確認してください。 認証ユーザーのアカウントが無効ではないことを確認してください。
KAPM15207-E	The specified user was not found. (KDC = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : KDC	指定したユーザーが見つかりませんでした。 指定したユーザーが外部認証サーバに登録されているか確認してください。
KAPM15208-E	The specified password is invalid. (KDC = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : KDC	指定したパスワードが不正です。 指定したユーザーのパスワードを見直してください。
KAPM15209-E	The time difference between servers exceeds the specified value in <code>exauth.properties</code> . (KDC = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : KDC	サーバ間の時間差が、 <code>exauth.properties</code> で指定した値を超えています。 サーバ間でサーバの時刻を同期させてください。
KAPM15210-E	The authentication user password has expired. (KDC = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : KDC	認証ユーザーのパスワードの期限が切れています。 指定したユーザーのパスワードを変更してください。
KAPM15211-E	The authentication user account is invalid. (KDC = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : KDC	認証ユーザーのアカウントが無効です。 外部認証サーバに登録したユーザーを有効にしてください。
KAPM15212-I	Check the DNS server to confirm the connection status.	DNS サーバを参照して接続を確認します。
KAPM15213-I	Use the default realm to confirm the connection status.	デフォルトレルムで接続を確認します。
KAPM15214-E	The command cannot be executed on the secondary server.	セカンダリーサーバから実行することはできません。
KAPM15215-E	Creation of the file failed. (file name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ファイル名	ファイルの作成に失敗しました。 次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ファイルパスが適切か確認してください。 指定したパスに対してファイルの作成権限があるかどうか確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> 指定したファイル名と同じ名前のフォルダがないことを確認してください。
KAPM15216-E	A syntax error occurred.	シンタックスエラーが発生しました。直前のメッセージ KAPMxxxx-E を参照してください。
KAPM15217-W	The DBMS is not running.	DBMS が起動していません。DBMS が起動しているか確認してください。
KAPM15218-W	The DBMS is blocked.	DBMS が閉塞しています。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15219-W	An error occurred while the DBMS was being accessed.	DBMS へのアクセス中にエラーが発生しました。DBMS, HBase Storage Mgmt Web Service, および HBase Storage Mgmt Common Service が起動していることを確認してください。起動している場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15220-W	The user to be authenticated was not found in the DBMS. (user id = aa...aa) aa...aa : ユーザー ID	DBMS に認証ユーザーが見つかりませんでした。DBMS に aa...aa のユーザーが登録されていることを確認してください。
KAPM15221-W	An unexpected error occurred on the DBMS.	DBMS で予期しないエラーが発生しました。再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15222-E	Acquisition of the KDC from aa...aa failed. aa...aa : レルム名	aa...aa から KDC の取得に失敗しました。次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> レルム名が誤っていないか設定内容を確認してください。 レルム名に対応した KDC があることを確認してください。
KAPM15223-E	An unexpected error occurred. (KDC = aa...aa) aa...aa : KDC	予期しないエラーが発生しました。再実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15224-W	The specified user is not registered in the DBMS as a user of the Kerberos authentication method. (user id = aa...aa) aa...aa : ユーザー ID	指定したユーザーは、Kerberos 認証方式のユーザーとして DBMS に登録されていません。指定したユーザーの認証方式を Kerberos に変更するか、または新たに Kerberos 認証方式のユーザーを作成してください。
KAPM15225-W	The configuration file contains a syntax error. (line number = aa...aa, value = bb...bb) aa...aa : 行番号 bb...bb : 値	設定ファイルに構文エラーがあります。aa...aa 行目の bb...bb に構文エラーがあります。設定ファイルを見直して再実行してください。
KAPM15226-E	An information search user is not registered. (aa...aa = bb...bb) aa...aa : 属性名 bb...bb : 属性値	情報検索用ユーザーが登録されていません。bb...bb の情報検索用ユーザーを登録してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15227-I	Group linkage is enabled.	グループ連携が有効です。
KAPM15228-W	The external authentication group was not linked to because an authentication user was found on the DBMS.	DBMS に認証ユーザーが見つかったため、外部認証グループ連携は行いません。 外部認証グループ連携を行う場合は、Hitachi Command Suite 製品に登録されていないユーザーを指定してください。
KAPM15229-I	Group acquisition for the server will now be checked. (aa...aa = bb...bb, host = cc...cc, port = dd...dd, protocol = ee...ee) aa...aa : 属性名 bb...bb : 属性値 cc...cc : ホスト dd...dd : ポート ee...ee : プロトコル	サーバに対してグループ取得をチェックします。
KAPM15230-I	Group acquisition was successful.	グループ取得に成功しました。
KAPM15231-E	Group acquisition failed.	グループ取得に失敗しました。 次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> 指定したユーザーにグループが登録されていることを確認してください。 exauth.properties に設定されている対応したサーバの basedn を見直してください。
KAPM15232-E	The group was not registered.	グループが登録されていませんでした。 指定したユーザーにグループを登録してください。または、グループが登録されているユーザーを指定してください。
KAPM15233-E	On the DNS server, the SRV record corresponding to the domain name is not defined. (domain name = aa...aa) aa...aa : ドメイン名称	DNS サーバにドメイン名に対応する SRV レコードが定義されていません。 次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> DNS サーバにドメイン名に対応した SRV レコードを定義してください。 ドメイン名が誤っていないか設定内容を確認してください。
KAPM15234-I	The DNS server has been referenced. (aa...aa = bb...bb, domain name = cc...cc) aa...aa : 属性名 bb...bb : 属性値 cc...cc : ドメイン名称	DNS サーバを参照します。
KAPM15235-E	A server error occurred. (aa...aa = bb...bb) aa...aa : 属性名 bb...bb : 属性値	サーバエラーが発生しました。 次の対処をしてください。 <ol style="list-style-type: none"> exauth.properties に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 hcmdsldapuser コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 StartTLS で通信するときは、SSL の設定を確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>4. OSCP が有効な場合、証明書が有効であるか確認してください。</p> <p>5. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KAPM15236-E	A check cannot be performed because the group definition is invalid.	グループ定義が不正のためチェックできません。auth.group.mapping の値を見直してから再実行してください。
KAPM15237-I	Group acquisition was successful. (aa...aa = bb...bb) aa...aa : 属性名 bb...bb : 属性値	グループ取得に成功しました。
KAPM15238-E	Group acquisition failed. (aa...aa = bb...bb) aa...aa : 属性名 bb...bb : 属性値	グループ取得に失敗しました。 次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> 指定したユーザーにグループが登録されていることを確認してください。 exauth.properties に設定されている対応したサーバの basedn を見直してください。
KAPM15239-E	The group was not registered. (aa...aa = bb...bb) aa...aa : 属性名 bb...bb : 属性値	グループが登録されていませんでした。指定したユーザーにグループを登録してください。または、グループが登録されているユーザーを指定してください。
KAPM15240-E	On the DNS server,the SRV record corresponding to the domain name is not defined. (aa...aa = bb...bb) aa...aa : 属性名 bb...bb : 属性値	DNS サーバにドメイン名に対応する SRV レコードが定義されていません。 次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> DNS サーバにドメイン名に対応した SRV レコードを定義してください。 ドメイン名が誤っていないか設定内容を確認してください。
KAPM15241-E	An attempt to connect to the DNS server failed. (aa...aa = bb...bb) aa...aa : 属性名 bb...bb : 属性値	DNS サーバとの接続に失敗しました。 DNS サーバの設定内容を見直してください。
KAPM15242-E	An unexpected error occurred on the DNS server. (aa...aa = bb...bb) aa...aa : 属性名 bb...bb : 属性値	DNS サーバで予期しないエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15243-E	The common items cannot be checked because they are not set correctly.	共通項目が正しく設定されていないため、チェックできません。 共通項目の設定を見直して、再度実行してください。
KAPM15244-I	The connection for realm aa...aa was checked. aa...aa : レルム名	レルム aa...aa に関して接続を確認しました。
KAPM15245-I	A connection was successfully established. (aa...aa = bb...bb) aa...aa : 属性名 bb...bb : 属性値	接続に成功しました。
KAPM15246-E	A connection attempt has failed. (aa...aa = bb...bb)	接続に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p><i>aa...aa</i> : 属性名 <i>bb...bb</i> : 属性値</p>	<p>外部認証サーバが正しく動作していることを確認したあと、次の対処をしてください。</p> <p>LDAP の場合 :</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているホスト名または IP アドレス、ポート、およびプロトコルが正しいか確認してください。 2. ネットワークが正しく接続されているか確認してください。 3. ファイアウォールの設定を確認してください。 4. LDAP ディレクトリサーバが LDAPv3 プロトコルに対応 (準拠) しているか確認してください。 5. StartTLS で通信するときは、SSL の設定内容を見直してください。StartTLS では、IP アドレスではなくホスト名を指定してください。 6. OCSP が有効な場合、証明書が有効であるか確認してください。 7. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。 <p>RADIUS の場合 :</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> に設定されているホスト名または IP アドレス、ポート、およびプロトコルが正しいか確認してください。 2. 外部認証サーバに設定したクライアントのシークレットと、クライアントで設定したシークレットを確認して、再設定してください。 3. ネットワークが正しく接続されているか確認してください。 4. ファイアウォールの設定を確認してください。 5. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM15247-E	<p>Authentication of the user account used for information searching has failed. (<i>aa...aa</i> = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 属性名 <i>bb...bb</i> : 属性値</p>	<p>情報検索用のユーザーアカウントの認証に失敗しました。 次の対処をしてください。</p> <p>LDAP 階層構造モデルの場合 :</p> <p>情報検索用のユーザーアカウントの DN とパスワードを見直してから、<code>hcmsldapuser</code> コマンドを再実行してください。</p> <p>LDAP フラットモデルの場合 :</p> <p><code>hcmsldapuser</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていないことを確認してください。</p>
KAPM15248-E	<p>The DN of the user account used for information searching was not found. (<i>aa...aa</i> = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 属性名 <i>bb...bb</i> : 属性値</p>	<p>情報検索用のユーザーアカウントの DN が見つかりませんでした。 次の対処をしてください。</p> <p>LDAP 階層構造モデルの場合 :</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>情報検索用のユーザーアカウントの DN を見直してから、<code>hcmdsldapuser</code> コマンドを再実行してください。</p> <p>LDAP フラットモデルの場合： <code>hcmdsldapuser</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名が登録されていないことを確認してください。</p>
KAPM15249-E	<p>Authentication of the specified user has failed. (<i>aa...aa = bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 属性名 <i>bb...bb</i> : 属性値</p>	<p>指定したユーザーの認証に失敗しました。次の対処をしてください。</p> <p>LDAP の場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> 指定したユーザーを見直してください。 ユーザーには、DN 形式ではなくユーザー名だけ指定してください。 指定したユーザーのパスワードを見直してください。 指定したユーザーが外部認証サーバに登録されていて、かつ有効になっているか確認してください。 <code>exauth.properties</code> に設定されている対応したサーバの <code>basedn</code> または <code>attr</code> を見直してください。 LDAP 階層構造モデルの場合、次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <code>hcmdsldapuser</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 情報検索用ユーザーに権限があるかどうか確認してください。 LDAP フラットモデルの場合、<code>hcmdsldapuser</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていないことを確認してください。 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 <p>RADIUS の場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> 指定したユーザーを見直してください。 指定したユーザーのパスワードを見直してください。 指定したユーザーが外部認証サーバに登録されていて、かつ有効になっているか確認してください。 PAP または CHAP の設定が、有効になっているか確認してください。 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15250-E	<p>The specified user was not found. (<i>aa...aa = bb...bb</i>)</p>	<p>指定したユーザーが見つかりませんでした。次の対処をしてください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p><i>aa...aa</i> : 属性名 <i>bb...bb</i> : 属性値</p>	<ol style="list-style-type: none"> 指定したユーザーを見直してください。ユーザーには、DN 形式ではなくユーザー名だけ指定してください。 指定したユーザーが外部認証サーバに登録されていて、かつ有効になっているか確認してください。 <code>exauth.properties</code> に設定されている対応したサーバの <code>basedn</code> または、<code>attr</code> を見直してください。 LDAP 階層構造モデルの場合、次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <code>hcmsldapuser</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 情報検索用ユーザーに権限があるかどうか確認してください。 LDAP フラットモデルの場合、<code>hcmsldapuser</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていないことを確認してください。 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15251-E	<p>The specified user was not found. (<i>aa...aa</i> = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 属性名 <i>bb...bb</i> : 属性値</p>	<p>指定したユーザーが見つかりませんでした。次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 指定したユーザーが外部認証サーバに登録されているか確認してください。 <code>exauth.properties</code> に設定されている対応したサーバの <code>basedn</code> または <code>attr</code> を見直してください。 LDAP 階層構造モデルの場合、次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <code>hcmsldapuser</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 情報検索用ユーザーに権限があるかどうか確認してください。
KAPM15252-E	<p>A dn value is invalid. (<i>aa...aa</i> = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 属性名 <i>bb...bb</i> : 属性値</p>	<p>DN の値が不正です。次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <code>exauth.properties</code> に設定されている対応したサーバの <code>basedn</code> を見直してください。 <code>hcmsldapuser</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> の <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されている場合、次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <code>hcmsldapuser</code> コマンドの DN オプションに指定した値を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15253-E	The JP1/Base connection could not be verified because the authentication user was not found in the DBMS.	DBMS に認証ユーザーが見つかったため、JP1/Base への接続確認は行いません。 指定したユーザーを Suite 製品の DBMS から削除するか、Suite 製品の DB に登録されていないユーザーを指定してください。
KAPM15254-E	HiCommand Base does not support this version of JP1/Base.	JP1/Base は、未サポートのバージョンです。 JP1/Base10-00 以上を使用してください。
KAPM15255-E	Acquisition of the JP1/Base version failed.	JP1/Base のバージョンの取得に失敗しました。 プライマリーサーバにインストールされた JP1/Base が、正しく稼働していることを確認してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15256-E	An attempt to connect to JP1/Base failed.	JP1/Base への接続に失敗しました。 プライマリーサーバにインストールされた JP1/Base が、正しく稼働していることを確認してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15257-E	JP1/Base initialization failed.	JP1/Base の初期化に失敗しました。 プライマリーサーバにインストールされた JP1/Base が、正しく稼働していることを確認してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15258-I	The JP1/Base connection will now be checked.	JP1/Base への接続チェックをします。
KAPM15259-I	The JP1/Base connection was successfully checked.	JP1/Base への接続チェックが成功しました。
KAPM15260-E	JP1/Base user authentication failed.	JP1/Base でユーザーの認証に失敗しました。 正しいユーザー ID またはパスワードを指定してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15261-E	JP1/Base authentication failed because the user ID or password is incorrect.	ユーザー ID またはパスワードが異なるため、JP1/Base で認証に失敗しました。 正しいユーザー ID またはパスワードを指定してください。
KAPM15262-I	HiCommand Base will now check whether user permission information can be acquired from JP1/Base.	JP1/Base からユーザーの権限情報の取得確認を行います。
KAPM15263-I	User permission information was successfully acquired from JP1/Base.	JP1/Base からユーザーの権限情報の取得に成功しました。
KAPM15264-E	Permissions have not been assigned to the user in JP1/Base.	JP1/Base でユーザーに権限が付与されていません。 JP1/Base でユーザーに権限を付与してください。
KAPM15265-E	JP1/Base is not installed.	JP1/Base がインストールされていません。 プライマリーサーバと同一ホスト上に JP1/Base をインストールしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15266-E	Acquisition of user permission information from JP1/Base failed.	JP1/Base からユーザーの権限情報の取得に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KAPM15267-E	This JP1/Base version is not supported.	このバージョンの JP1/Base は未サポートです。JP1/Base10-00 以上を使用してください。
KAPM15268-I	The user permission information will now be acquired from JP1/Base and checked.	JP1/Base からユーザーの権限情報を取得して確認します。
KAPM15300-I	hcmdslicense3 コマンドを開始しました。	hcmdslicense3 コマンドを開始しました。
KAPM15301-I	hcmdslicense3 コマンドが成功しました。	hcmdslicense3 コマンドが成功しました。
KAPM15302-E	hcmdslicense3 コマンドが失敗しました。	hcmdslicense3 コマンドが失敗しました。
KAPM15303-I	aa...aa 関数を開始しました。 aa...aa : 関数名	関数が開始されました。
KAPM15304-I	aa...aa 関数が終了しました。 aa...aa : 関数名	関数が終了しました。
KAPM15305-E	インストールパスの取得に失敗しました。	インストールパスの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15306-E	オプションが不正です。	コマンドのオプションが不正です。 オプションを確認してください。
KAPM15307-E	ログファイルパス格納用のメモリ確保に失敗しました。	ログファイルパス格納用のメモリ確保に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15308-E	ログの初期化に失敗しました。	ログの初期化に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15309-I	ライセンスの表示が成功しました。	ライセンスの表示が成功しました。
KAPM15310-E	ライセンスの表示に失敗しました。	ライセンスの表示に失敗しました。
KAPM15311-E	エンコードに失敗しました。	エンコードに失敗しました。
KAPM15312-E	デコードに失敗しました。	デコードに失敗しました。
KAPM15313-I	ライセンス登録処理を開始しました。	ライセンス登録処理を開始しました。
KAPM15314-I	ライセンス削除処理を開始しました。	ライセンス削除処理を開始しました。
KAPM15315-I	ライセンス表示処理を開始しました。	ライセンス表示処理を開始しました。
KAPM15316-I	ライセンスリセット処理を開始しました。	ライセンスリセット処理を開始しました。
KAPM15317-E	入力した総容量ライセンスはサポートしていません。	入力した総容量ライセンスはサポートしていません。 有効なライセンスを入力してください。
KAPM15318-E	入力したサーバ容量ライセンスはサポートしていません。	入力したサーバ容量ライセンスはサポートしていません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		有効なライセンスを入力してください。
KAPM15319-I	ライセンスキーを処理しました。(識別子 = <i>aa...aa</i> , 番号 = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 識別子 <i>bb...bb</i> : 番号	処理されたライセンス情報。
KAPM15320-I	<i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : コマンドライン引数	コマンドに指定したオプションが表示されます。
KAPM15321-E	A memory allocation error occurred.	メモリー確保エラーが発生しました。再度実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15322-E	Exclusion processing failed. (function = <i>aa...aa</i> , detailed error code = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 関数名 <i>bb...bb</i> : 詳細なエラーコード	排他処理が失敗しました。再度実行してください。それでも問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15323-E	Exclusive control has failed.	排他制御に失敗しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15324-E	Information related to the exclusion control failure will be output. (function name = <i>aa...aa</i> , detailed error code = <i>bb...bb</i> , processing time = <i>cc...cc</i>) <i>aa...aa</i> : 関数名 <i>bb...bb</i> : 詳細なエラーコード <i>cc...cc</i> : 処理時間	排他制御の失敗に関する情報を出力します。直前のメッセージに従って対処してください。
KAPM15325-E	An attempt to release the lock failed.	排他の解除に失敗しました。再度実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15330-I	処理が正常に終了しました。(<i>aa...aa</i> : <i>bb...bb</i>) <i>cc...cc</i> <i>aa...aa</i> : リターンコード <i>bb...bb</i> : エラーコード <i>cc...cc</i> : ライセンス情報	処理が正常に終了しました。
KAPM15331-E	システム環境が不正です。	システム環境が不正です。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15332-E	ライセンスの有効期間が満了しています。	ライセンスの有効期間が満了しています。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを入力してください。
KAPM15333-E	入力したライセンスキーが不正です。(<i>aa...aa</i> : <i>bb...bb</i>) <i>cc...cc</i> <i>aa...aa</i> : リターンコード <i>bb...bb</i> : エラーコード <i>cc...cc</i> : ライセンス情報	入力したライセンスキーが不正です。有効なライセンスキーを入力してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15334-E	入力したライセンスキーファイルがありません。	入力したライセンスキーファイルがありません。 有効なライセンスキーファイルを入力してください。
KAPM15335-E	入力されたライセンスキーファイルが不正です。	入力されたライセンスキーファイルが不正です。 有効なライセンスキーファイルを入力してください。
KAPM15336-E	ライセンスキーファイルに、処理の対象となるライセンスキーがありません。	ライセンスキーファイルに、処理の対象となるライセンスキーがありません。 有効なライセンスキーファイルを入力してください。
KAPM15337-E	削除すべきライセンスが存在しません。	削除するライセンスがありません。 削除するライセンスを指定し直してください。
KAPM15338-E	入力した Subscription ライセンスの有効期限が切れています。	入力した Subscription ライセンスの有効期限が切れています。 有効な Subscription ライセンスを入力してください。
KAPM15400-I	A Daemon will now start.	常駐プロセスを起動します。
KAPM15401-I	A Daemon has stopped.	常駐プロセスを停止しました。
KAPM15402-E	A Daemon has terminated abnormally. Code=[aa...aa] aa...aa : 常駐プロセスの終了コード	常駐プロセスが異常終了しました。 Code=[aa...aa] 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15411-I	hcmdssvlog [aa...aa]{[bb...bb],..... [.....]} aa...aa : コマンドライン引数 bb...bb : コマンドライン引数	コマンドに指定されたオプションを表示します。
KAPM15417-E	An option is invalid. Code=[aa...aa], Data=[bb...bb] aa...aa : 発生箇所を示すコード bb...bb : 発生したオプションや値	オプションの指定に誤りがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15418-E	An unexpected exception occurred.	予期しない例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15422-E	The option is invalid.	オプションの指定に誤りがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15423-E	The specified value of option is invalid. (option = aa...aa) aa...aa : オプション名	オプションに指定した値に誤りがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15424-E	The directory aa...aa does not exist. aa...aa : ディレクトリ名	指定したディレクトリ aa...aa がありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15425-E	A file with the same name as the specified directory already exists. (file = aa...aa) aa...aa : ファイル名	ディレクトリに指定した文字列と同じ名前のファイルがあるため、この名前は指定できません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15426-E	The license information file does not exist in the specified directory. (license information file = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ライセンス情報ファイル名	指定したディレクトリには、ライセンス情報ファイルがありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15427-E	The license information file cannot be accessed. (license information file = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ライセンス情報ファイル名	ライセンス情報ファイルにアクセスできません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15428-E	The license information file might be corrupted. (license information file = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ライセンス情報ファイル名	ライセンス情報ファイルが壊れているおそれがあります。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15429-E	The license information file at the transfer destination cannot be accessed. (license information file = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ライセンス情報ファイル名	移行先のライセンス情報ファイルにアクセスできません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15430-E	An attempt to write to the license information file failed. (license information file = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ライセンス情報ファイル名	ライセンス情報ファイルの書き込みに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15431-E	Comparison of the license definition files at the transfer source and transfer destination failed.	移行元と移行先のライセンス情報ファイルが比較できなかったため、ライセンスの移行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15433-E	An attempt to give the license information file the hidden attribute failed.	ライセンス情報ファイルの属性を変更できなかったため、ライセンスの移行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15434-E	An attempt to transfer license information in the DKC_info format failed.	DKC_info 形式のライセンス情報の移行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15435-E	The numbers of license information items on the transfer source and the transfer destination do not match. (transfer source = <i>aa...aa</i> , transfer destination = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 移行元のライセンス情報の数 <i>bb...bb</i> : 移行先のライセンス情報の数	移行先のライセンス情報の数が、移行元のライセンス情報の数と一致しません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15436-E	The status lines of the license information files at the transfer source and transfer destination do not match. (line number = <i>aa...aa</i>)	移行先のライセンス情報の内容が、移行元のライセンス情報の内容と一致しません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : 移行元のライセンス情報ファイルの行番号	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15437-E	The PPID values of the transfer source and transfer destination do not match. (transfer source = <i>aa...aa</i> , transfer destination = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 移行元の PPID の値 <i>bb...bb</i> : 移行先の PPID の値	移行先の PPID の値が、移行元の PPID の値と一致しません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15438-E	The device numbers of the transfer source and transfer destination do not match. (transfer source = <i>aa...aa</i> , transfer destination = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 移行元の DKC 製番 <i>bb...bb</i> : 移行先の DKC 製番	移行先の DKC 製番が、移行元の DKC 製番と一致しません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15439-E	The license key types of the transfer source and the transfer destination do not match. (transfer source = <i>aa...aa</i> , transfer destination = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 移行元のライセンスキー種別 <i>bb...bb</i> : 移行先のライセンスキー種別	移行先のライセンスキー種別が、移行元のライセンスキー種別と一致しません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15440-E	The device types of the transfer source and the transfer destination do not match. (transfer source = <i>aa...aa</i> , transfer destination = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 移行元の装置種別 <i>bb...bb</i> : 移行先の装置種別	移行先の装置種別が、移行元の装置種別と一致しません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15442-E	The license capacities of the transfer source and the transfer destination do not match. (transfer source = <i>aa...aa</i> , transfer destination = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 移行元のライセンス容量 <i>bb...bb</i> : 移行先のライセンス容量	移行先のライセンス容量が、移行元のライセンス容量と一致しません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15443-E	The expiration dates of the transfer source and the transfer destination do not match. (transfer source = <i>aa...aa</i> , transfer destination = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 移行元の満了日付 <i>bb...bb</i> : 移行先の満了日付	移行先の満了日付が、移行元の満了日付と一致しません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15444-E	The serial numbers of the transfer source and the transfer destination do not match. (transfer source = <i>aa...aa</i> , transfer destination = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 移行元のシリアル番号 <i>bb...bb</i> : 移行先のシリアル番号	移行先のシリアル番号が、移行元のシリアル番号と一致しません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15445-E	The license information file at the transfer destination cannot be accessed. (type = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 製品名	移行先のライセンス情報ファイルにアクセスできません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15446-E	The license information file at the transfer destination might be corrupted. (type = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : 製品名	移行先のライセンス情報ファイルが壊れているおそれがあります。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15447-E	Execution of the hcmdssethiddenfile command failed.	hcmdssethiddenfile コマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15448-I	The hcmdslicenseconvert command ended normally.	hcmdslicenseconvert コマンドは正常終了しました。
KAPM15449-E	An unexpected exception occurred.	予期しない例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15450-I	hcmdslicenseconvert [aa...aa]{ [bb...bb],.....[.....]} aa...aa : コマンドライン引数 bb...bb : コマンドライン引数	コマンドに指定されたコマンドライン引数を表示します。
KAPM15451-E	An attempt to transfer a license failed because the fixed character string inserted into the license information file on the transfer destination was invalid.	移行先のライセンス情報ファイルに挿入された固定文字列の内容が誤っているため、ライセンスの移行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15452-I	License information before migration: aa...aa aa...aa : ライセンス情報	移行前のライセンス情報です。
KAPM15460-I	The hcmdschgjdk command started.	hcmdschgjdk コマンドを開始しました。
KAPM15461-I	The hcmdschgjdk command successfully ended.	hcmdschgjdk コマンドが成功しました。
KAPM15462-E	The hcmdschgjdk command failed.	hcmdschgjdk コマンドが失敗しました。
KAPM15463-I	The aa...aa function started. aa...aa : 関数名	関数が開始されました。
KAPM15464-I	The aa...aa function ended. aa...aa : 関数名	関数が終了しました。
KAPM15465-E	Acquisition of the installation path failed.	インストールパスの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15466-E	One or more options are invalid.	コマンドのオプションが不正です。 オプションを確認してください。
KAPM15467-E	Allocation of memory to store the log file path failed.	ログファイルパス格納用のメモリ確保に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15468-E	Log initialization failed.	ログの初期化に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15469-E	An internal error occurred.	内部エラーが発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15470-E	A fatal error occurred.	致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15471-I	The hcmdschgjdk command ended.	hcmdschgjdk コマンドが終了しました。
KAPM15472-I	The JDK being used was changed.	使用する JDK を変更しました。
KAPM15473-I	The JDK being used was not changed.	使用する JDK は変更されませんでした。
KAPM15474-E	The platform is not supported.	対応プラットフォームではありません。
KAPM15475-E	Creation of a symbolic link failed.	シンボリックリンクの作成に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15476-W	A JDK could not be detected from the installation information of this OS.	この OS のインストール情報から JDK を検出できませんでした。 OS が Solaris または Linux の場合、Oracle JDK のインストール先をデフォルトから変更していると、Oracle JDK のインストール先を取得できないため、JDK の選択画面に Oracle JDK は表示されません。 使用する JDK を変更する場合は、「Use the Java Development Kit bundled with the product」または「Set the installation path to a Java Development Kit」を選択してください。
KAPM15477-E	Detection of a JDK failed.	インストールされている JDK の検出に失敗しました。 JDK のインストール状態を確認してください。 それでも問題が解決しない場合は、JDK のインストールパスを直接指定してください。
KAPM15478-I	JDK version = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : JDK のバージョン	JDK のバージョンを示します。
KAPM15479-I	JDK currently being used: name = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : JDK の種別を表す文字列	現在使用している JDK を示します。
KAPM15480-I	Selected JDK: name = <i>aa...aa</i> , installation path = <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : JDK の種別を表す文字列 <i>bb...bb</i> : JDK のインストールパス	選択された JDK を示します。
KAPM15481-E	The file " <i>aa...aa</i> " does not exist. <i>aa...aa</i> : ファイル名	ファイルが存在しません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15482-E	Execution of the <i>aa...aa</i> command failed. <i>aa...aa</i> : コマンド名	コマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15483-I	Enter the number of the JDK to use.	使用する JDK の番号を入力してください。
KAPM15484-I	JDK currently being used: <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : JDK の種別を表す文字列	現在使用している JDK を示します。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15485-I	Enter the JDK installation path.	JDK がインストールされているパスを入力してください。
KAPM15486-I	To maintain the current settings, do not enter anything, and then press [Enter].	設定を変更しない場合は、何も入力しないで [Enter] キーを押してしてください。
KAPM15487-I	Bundled JDK	バンドル版の JDK を示す文字列です。
KAPM15488-I	Enter the JDK installation path.	JDK のインストールパスを入力する。
KAPM15489-E	The specified value is invalid.	入力した値は不正です。 入力する値を確認してください。
KAPM15490-E	The specified JDK could not be used.	指定した JDK は使用できませんでした。 JDK のインストール状態を確認してください。
KAPM15491-I	Detected JDK: name = <i>aa...aa</i> , installation path = <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : JDK の種別を表す文字列 <i>bb...bb</i> : JDK のインストールパス	検出された JDK を示します。
KAPM15492-E	The file system at the installation destination is not NTFS.	インストール先のファイルシステムが NTFS ではありません。
KAPM15493-E	An error occurred during execution of the <i>aa...aa</i> command. <i>aa...aa</i> : コマンド名	コマンドでエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15494-E	An attempt to copy from the file " <i>aa...aa</i> " to the file " <i>bb...bb</i> " failed. <i>aa...aa</i> : コピー元ファイル名 <i>bb...bb</i> : コピー先ファイル名	ファイルのコピーに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15495-E	An attempt to edit the file " <i>aa...aa</i> " failed. <i>aa...aa</i> : ファイル名	ファイルの編集に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15496-I	The command was executed. (command name = <i>aa...aa</i> , return code = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : コマンド名 <i>bb...bb</i> : リターンコード	コマンドを実行しました。
KAPM15497-E	A memory allocation error occurred.	メモリの確保に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15500-I	Execution of the " <i>aa...aa</i> " command has started. <i>aa...aa</i> : コマンド名	<i>aa...aa</i> コマンドの処理を開始しました。
KAPM15501-I	The command was executed. (command name = <i>aa...aa</i> , return code = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : コマンド名 <i>bb...bb</i> : リターンコード	コマンドを実行しました。
KAPM15502-E	The error has occurred in <i>aa...aa</i> command. code= <i>bb...bb</i> <i>aa...aa</i> : コマンド <i>bb...bb</i> : エラーコード	<i>aa...aa</i> コマンドの実行時にエラーが発生しました。 コマンドの指定に誤りがないことを確認してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15503-I	<i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : コマンドライン引数	コマンドに指定したオプションが表示されます。
KAPM15504-E	An error occurred in an internal function. (function = <i>aa...aa</i> , error code = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 関数 <i>bb...bb</i> : エラーコード	内部関数でエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15505-E	Log initialization failed.	ログの初期化に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15506-E	Acquisition of the installation path failed.	インストールパスの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15507-E	Allocation of memory to store the log file path failed.	ログファイルパス格納用のメモリ確保に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15510-I	The hcmsdbpdl command ended successfully.	hcmsdbpdl コマンドが終了しました。
KAPM15511-E	Execution of the hcmsdbpdl command failed.	hcmsdbpdl コマンドが失敗しました。 直前のメッセージ KAPMxxxxx-E を参照してください。
KAPM15512-E	An option is invalid.	オプションが不正です。 正しいオプションを指定してコマンドを再実行してください。
KAPM15513-E	The directory does not exist. (directory path = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ディレクトリのパス	ディレクトリがありません。 ディレクトリがあるか確認してください。
KAPM15514-E	Hitachi Command Suite Common Component has not been installed.	Hitachi Command Suite 共通コンポーネントがインストールされていません。 Hitachi Command Suite 共通コンポーネントがインストールされていることを確認してください。
KAPM15515-E	Execution of the pdls command failed.	pdls コマンドが失敗しました。 DBMS を起動してください。 DBMS がすでに起動している場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15516-I	The pdls command execution results: <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : 実行するコマンドの画面出力	pdls コマンドの実行結果です。
KAPM15517-I	The hcmsdbpdl command has started.	hcmsdbpdl コマンドを開始しました。
KAPM15518-I	A connection with HiRDB has been established.	HiRDB への接続がありました。
KAPM15519-I	A connection with HiRDB has not been established.	HiRDB への接続がありませんでした。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15520-E	An attempt to output a file has failed. (file path = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ファイルのパス	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15521-E	The path is not an absolute path. (file path = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ファイルのパス	原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15522-E	Acquisition of the HiCommand Base installation path failed.	Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのインストールディレクトリの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15523-E	An attempt to set the environment variable has failed.	環境変数の設定に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15524-W	An attempt to delete the file failed. (file path = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ファイルのパス	ファイルの削除に失敗しました。 次のことを確認したあと、手動で CSV ファイルを削除してください。 ・ファイルが使用中でないか ・アクセス権は正しいか
KAPM15525-E	An attempt to delete the file to which the HiRDB connection status is output failed. (file path = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ファイルのパス	HiRDB の接続状態を出力するファイルの削除に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15526-E	Analysis of the pdls results failed.	pdls 結果の解析に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15527-E	Memory allocation failed.	メモリの確保に失敗しました。 再度実行してください。それでも問題が解決しない場合は、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAPM15528-E	An error occurred in an internal function. (function = <i>aa...aa</i> , error code = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 関数 <i>bb...bb</i> : エラーコード	内部関数でエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15529-E	One or more arguments specified for the hcndsPutenv function are invalid.	hcndsPutenv 関数に指定した引数が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15530-W	An attempt to output the execution results of the pdls command to the log file failed.	pdls コマンドの実行結果をログファイルに出力することに失敗しました。
KAPM15550-E	Acquisition of the version of <i>aa...aa</i> failed. <i>aa...aa</i> : 製品名称	製品のバージョン情報取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15551-E	The system environment is invalid.	システム環境が不正です。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15552-E	Reading of the file failed. (file name = aa...aa) aa...aa : ファイルのパス	ファイルの読み込みに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15553-E	The product version of the backup is different from the product version of the current environment.	hcmdsdb コマンドのバックアップデータに含まれる製品のバージョンとリストア環境の製品バージョンが異なります。 リストア先の製品のバージョンを、バックアップ時の製品のバージョンと同じにしてから、コマンドを再実行してください。 それでも問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15554-W	Deletion of a file failed. (file name = aa...aa) aa...aa : ファイルのパス	このコマンドで使用する一時ファイルの削除に失敗しました。 ファイルがある場合は、次のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • ファイルが使用中でないか • アクセス権は正しいか そのあと、手動でファイルを削除してから、コマンドを再実行してください。 それでも問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15555-W	Deletion of a directory failed. (directory name = aa...aa) aa...aa : ディレクトリのパス	このコマンドで使用する一時ディレクトリの削除に失敗しました。 ディレクトリがある場合は、次のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • ディレクトリが使用中でないか • アクセス権は正しいか そのあと、手動でディレクトリを削除してから、コマンドを再実行してください。 それでも問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15556-W	Creation of a directory failed. (directory name = aa...aa) aa...aa : ディレクトリのパス	このコマンドで使用する一時ディレクトリの作成に失敗しました。 次のことを確認したあと、コマンドを再実行してください。それでも問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 <ul style="list-style-type: none"> • アクセス権は正しいか
KAPM15557-E	The configuration of the product when it was backed up is different from the configuration of the product in the current environment.	バックアップ時の製品の構成と現在の環境の製品の構成が異なります。 リストア先の製品の構成を、バックアップ時の製品の構成と同じにしてから、コマンドを再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		それでも問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15560-I	The host name was changed successfully. (before = <i>aa...aa</i> , after = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 変更前のホスト名 <i>bb...bb</i> : 変更後のホスト名	ホスト名の変更に成功しました。
KAPM15561-I	The set host name will now be displayed. (host name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ホスト名	設定されているホスト名を表示します。
KAPM15562-E	One or more arguments are invalid.	引数が不正です。 引数を確認してください。
KAPM15563-E	The specified host name is invalid.	指定したホスト名が不正です。 指定したホスト名を確認してください。
KAPM15564-E	The configuration file could not be accessed.	設定ファイルにアクセスできませんでした。 次のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • httpsd.conf ファイルが存在しているか • httpsd.conf ファイルが使用中でないか • httpsd.conf ファイルの作成ディレクトリは適切か
KAPM15565-E	The configuration file format is invalid.	設定ファイルの形式が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15566-E	An unexpected error occurred.	予期しないエラーが発生しました。 再度実行してください。それでも問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15567-E	An attempt to acquire the installation path has failed.	インストールパスの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15568-E	A memory allocation error occurred.	メモリー確保エラーが発生しました。 再度実行してください。それでも問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15569-E	An attempt to output a file has failed.	ファイルの出力に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15570-E	Log initialization failed.	ログの初期化に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15580-E	One or more arguments are invalid.	引数が不正です。 引数を確認してください。
KAPM15581-E	An unexpected error occurred.	予期しないエラーが発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		再度実行してください。それでも問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15582-E	An attempt to acquire the installation path has failed.	インストールパスの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15583-E	A memory allocation error occurred.	メモリー確保エラーが発生しました。 再度実行してください。それでも問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15584-E	Log initialization failed.	ログの初期化に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15585-E	The service will not be stopped because the status of the service could not be confirmed. (service name = aa...aa) aa...aa : サービス表示名	サービスの状態が確認できなかったため、このサービスの停止処理は実行しません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15586-E	The service will not be started because the status of the service could not be confirmed. (service name = aa...aa) aa...aa : サービス表示名	サービスの状態が確認できなかったため、このサービスの起動処理は実行しません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15587-E	Acquisition of the displayed service name failed. (service name = aa...aa) aa...aa : サービス名	サービス表示名の取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15588-E	The Win32API has failed. API name=aa...aa, error code=bb...bb aa...aa : WIN32API 名 bb...bb : GetLastError()の結果	WIN32API でエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15608-I	JDK currently being used: aa...aa [bb...bb] aa...aa : JDK の種別を表す文字列 bb...bb : JDK のインストールパス	現在使用している JDK を示します。
KAPM15609-W	An attempt to get the symbolic link information failed.	シンボリックリンク情報の取得に失敗しました。
KAPM15610-E	Execution of the readlink function failed. (error code = aa...aa) aa...aa : エラーコード	readlink 関数の実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15611-E	Addition of a parameter to the sysconf.cfg file failed.	sysconf.cfg ファイルへのパラメーター追加に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15612-E	The JDK version check failed. (version = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : バージョン	JDK のバージョンチェックに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15613-E	Information about supported JDK versions could not be acquired.	サポートしている JDK の情報を取得できませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15614-E	Execution of the <i>aa...aa</i> function failed. (error code = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 関数名 <i>bb...bb</i> : エラーコード	<i>aa...aa</i> 関数の実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15620-I	The method has started.	メソッドを開始しました。
KAPM15621-I	The method has finished.	メソッドが終了しました。
KAPM15622-I	The hcmsdbrepair command has started.	hcmsdbrepair コマンドを開始しました。
KAPM15623-I	The hcmsdbrepair command has finished.	hcmsdbrepair コマンドが終了しました。
KAPM15624-E	The hcmsdbrepair command cannot be executed in a standby system. Execute this command in an online system.	待機系では実行できません。実行系で実行してください。 実行系で実行してください。
KAPM15625-E	The value of hcms.home could not be acquired.	hcms.home の値を取得できません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15626-E	An option is invalid.	オプションが不正です。 正しいオプションを指定して、コマンドを再実行してください。
KAPM15627-E	No value has been specified for an option.	オプションの値が指定されていません。 正しいオプションを指定して、コマンドを再実行してください。
KAPM15628-E	The backup data is invalid.	指定したバックアップデータが不正のため続行できません。 ほかのバックアップデータを指定して、コマンドを再実行してください。
KAPM15629-E	A fatal error occurred.	致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15630-I	The parameter definition file has been backed up.	パラメーター定義ファイルのバックアップを完了しました。
KAPM15631-I	The backup file of the parameter definition file has been deleted.	パラメーター定義ファイルのバックアップファイルが削除されました。
KAPM15632-E	An attempt to execute the <i>aa...aa</i> command has failed. <i>aa...aa</i> : コマンド名	<i>aa...aa</i> コマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15633-E	An attempt to acquire the key name has failed.	キー名の取得に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15634-E	An attempt to acquire a value has failed.	値の取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15635-E	HiRDB has not been set up.	HiRDB がセットアップされていないため、続行できません。
KAPM15636-E	The backup data format contains an error. (target data = aa...aa) aa...aa : 対象データ	バックアップデータの形式に誤りがあります。 ほかのバックアップデータを指定して、コマンドを再実行してください。
KAPM15637-E	An attempt to extract the archive file has failed.	アーカイブファイルの展開に失敗しました。 ほかのバックアップデータを指定して、コマンドを再実行してください。
KAPM15638-E	Processing cannot be continued because the backed-up product data is insufficient.	バックアップした製品のデータが足りないため、処理を続行できません。 インストールされている製品のバックアップデータを含む、ほかのバックアップデータを指定して、コマンドを再実行してください。
KAPM15639-W	The installed product and backed-up product versions do not match.	インストールされている製品とバックアップした製品のバージョンが異なります。
KAPM15640-W	If you continue, the database might become corrupted. Do you want to continue? (y/n) [default=n]	処理を続行すると、データベースが壊れるおそれがあります。 データベースが壊れると問題がある場合は、操作を中断してください。データベースが壊れても問題ない場合だけ、処理を続行してください。
KAPM15641-W	Are you sure you want to continue? (y/n) [default=n]	処理を続行すると、データベースが壊れるおそれがあります。 データベースが壊れると問題がある場合は、操作を中断してください。データベースが壊れても問題ない場合だけ、処理を続行してください。
KAPM15642-E	An exception occurred.	例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15643-I	The unsetup operation has started.	アンセットアップを開始しました。
KAPM15644-I	The unsetup operation has ended.	アンセットアップが終了しました。
KAPM15645-I	Setup has started.	セットアップを開始しました。
KAPM15646-I	Setup has ended.	セットアップが終了しました。
KAPM15647-E	The aa...aa file was not found. aa...aa : ファイル名	ファイルが見つかりませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15648-E	The aa...aa file could not be read. aa...aa : ファイル名	ファイルの読み込みに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15649-E	The aa...aa directory could not be deleted. aa...aa : ディレクトリ名	ディレクトリの削除に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15650-E	You cannot continue because the parameter definition file is insufficient.	パラメーター定義ファイルが足りないため、続行できません。
KAPM15651-W	Processing of the hcmsdbrepair command was interrupted.	hcmsdbrepair コマンドの処理を中断しました。
KAPM15652-I	Version information is output. (product name = aa...aa, installed product version = bb...bb, backup data version = cc...cc) aa...aa : 製品名 bb...bb : インストール済み製品バージョン cc...cc : バックアップデータの製品バージョン	バージョン情報を出力します。
KAPM15653-E	The unsetup operation on the database has failed.	データベースのアンセットアップに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15655-E	Starting of the HiRDB service has failed.	HiRDB サービスの起動に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15656-I	Data import was successful.	データのインポートに成功しました。
KAPM15657-E	An attempt to re-create the database has failed.	データベースの再作成に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15658-E	An attempt to import data has failed.	データのインポートに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15659-E	The data to be imported was not found in the specified directory. (product name = aa...aa) aa...aa : 製品名	インポートするデータがありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15660-I	Processing ended normally.	処理は正常に終了しました。
KAPM15661-E	An attempt to clear a DBMS environment variable has failed.	DBMS クライアント環境変数の削除に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15662-E	An attempt to stop the service or the DBMS has failed.	サービスまたはデータベースの停止に失敗しました。 hcmsdbrepair コマンド実行前に、hcmsdssrv コマンドですべてのサービス停止を実行してください。停止しない場合は障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15663-E	An internal error occurred.	内部エラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15664-E	The " <i>bb...bb</i> " file to be used by " <i>aa...aa</i> " does not exist. <i>aa...aa</i> : 機能名 <i>bb...bb</i> : ファイル名	必要なファイルがありません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15665-E	An attempt to write to the file has failed. (file name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ファイル名	ファイルの書き込みに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15667-I	The value of parameter <i>aa...aa</i> is <i>bb...bb</i> . <i>aa...aa</i> : 変数名 <i>bb...bb</i> : 値	パラメーターの値を出力します。
KAPM15720-E	An exception occurred.	例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15723-I	The hcmsdbuser command will now start.	hcmsdbuser コマンドを開始しました。
KAPM15724-I	The command hcmsdbuser will now finish.	hcmsdbuser コマンドが終了しました。
KAPM15726-E	An option is invalid.	オプションが誤っています。 正しいオプションを指定してください。
KAPM15727-E	The command cannot be executed because the database is down.	データベースが停止しているため、コマンドを実行できません。 次のことを確認したあと、コマンドを再度実行してください。 ・ DBMS が起動していること。 ・ DBMS がセットアップされていること。
KAPM15728-E	hcms.home is not specified in the Java system properties.	Java のシステムプロパティに hcms.home が設定されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15729-E	An error occurred during reading of a library. library path = <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : ライブラリーのパス	ライブラリーの読み取りでエラーが発生しました。ライブラリーのパス= <i>aa...aa</i> 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15730-E	The system environment is invalid.	システム環境が不正です。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15731-E	An error occurred in an internal function. (function = <i>aa...aa</i> , error code = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 関数 <i>bb...bb</i> : エラーコード	内部関数でエラーが発生しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は、保守情報を取得し、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KAPM15732-E	A file was not found. (file name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ファイル名	ファイルが見つかりません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15733-E	An attempt to access the file has failed. (file name = <i>aa...aa</i>)	ファイルのアクセスに失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>aa...aa</i> : ファイル名	再度実行してください。問題が解決しない場合は、保守情報を取得し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAPM15748-E	The file format is invalid. (file name = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ファイル名	ファイルが改ざんされています。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15749-E	An attempt to output a file failed. (file path = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ファイルのパス	ファイルの出力に失敗しました。再度実行してください。問題が解決しない場合は、保守情報を取得し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAPM15750-I	The command was executed successfully.	コマンドの実行に成功しました。
KAPM15751-E	Command execution failed.	コマンドの実行に失敗しました。直前に KAPMxxxxx-E メッセージがあれば、参照してください。直前に KAPMxxxxx-E メッセージがなければ、保守情報を取得し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAPM15752-I	The database user authentication information will now be changed. (type = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : プログラム種別	DB ユーザーの認証情報を変更します。
KAPM15753-I	The database user authentication information will now be restored to default. (type = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : プログラム種別	DB ユーザーの認証情報をデフォルトにします。
KAPM15754-I	The database user authentication information will now be reset. (type = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : プログラム種別	DB ユーザーの認証情報をリセットします。
KAPM15755-E	An attempt to execute JNI failed.	JNI の実行に失敗しました。再度実行してください。問題が解決しない場合は、保守情報を取得し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAPM15756-E	An error occurred during file I/O processing.	ファイルの入出力処理でエラーが発生しました。再度実行してください。問題が解決しない場合は、保守情報を取得し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAPM15757-I	Registration processing was successful. (target = <i>aa...aa</i> , return code = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 処理対象の情報 <i>bb...bb</i> : リターンコード	登録処理が完了しました。
KAPM15758-I	Deletion processing was successful. (target = <i>aa...aa</i> , return code = <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : 処理対象の情報 <i>bb...bb</i> : リターンコード	削除処理が成功しました。
KAPM15759-E	An error occurred during access to the DBMS.	DBMS へのアクセス中に障害が発生しました。次の対処をしてください。 1. コマンドを再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>2. 共通コンポーネントの認証情報の変更で失敗した場合は、失敗したときに指定した newid の値を oldid と newid に指定し、newpass の値を oldpass と newpass に指定して再実行してください。</p> <p>3. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p>
KAPM15760-E	An error occurred during access to the DBMS. (error code = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : エラーコード	<p>DBMS へのアクセス中に障害が発生しました。次の対処をしてください。</p> <p>1. コマンドを再実行してください。</p> <p>2. 共通コンポーネントの認証情報の変更で失敗した場合は、失敗したときに指定した newid の値を oldid と newid に指定し、newpass の値を oldpass と newpass に指定して再実行してください。</p> <p>3. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p>
KAPM15765-E	The ID or password is invalid.	<p>ID またはパスワードが不正です。次の対処をしてください。</p> <p>1. 指定した ID またはパスワードが正しいか確認してください。</p> <p>2. 指定した ID またはパスワードが使用できる文字であるか確認してください。</p> <p>3. 指定した ID またはパスワードの長さが最大値を超えていないか確認してください。</p> <p>4. 共通コンポーネントの ID とパスワードを指定していない場合は、hcmdsdbuser コマンドで共通コンポーネントの設定を行ってください。</p> <p>5. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p>
KAPM15766-E	The ID or password is invalid. (error code = <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : エラーコード	<p>ID またはパスワードが不正です。次の対処をしてください。</p> <p>1. 指定した ID またはパスワードが正しいか確認してください。</p> <p>2. 指定した ID またはパスワードが使用できる文字であるか確認してください。</p> <p>3. 指定した ID またはパスワードの長さが最大値を超えていないか確認してください。</p> <p>4. 共通コンポーネントの ID とパスワードを指定していない場合は、hcmdsdbuser コマンドで共通コンポーネントの設定を行ってください。</p> <p>5. 問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決のため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p>
KAPM15767-I	Common Component is set to the default settings.	共通コンポーネントの設定は、デフォルトです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15768-I	Common Component is not set to the default settings.	共通コンポーネントの設定は、デフォルトではありません。
KAPM15769-E	The specified ID cannot be used, because it is reserved.	指定した ID は予約済みのため、使用できません。別の ID を指定して、再度実行ください。
KAPM15770-I	Confirm that the Common Component settings are the default settings.	共通コンポーネントの設定が、デフォルトになっているか確認しています。
KAPM15781-E	A fatal error occurred.	致命的なエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15782-E	The specified argument is invalid.	指定した引数に誤りがあります。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15783-I	The specified string contains one or more invalid characters.	指定した文字列に使用禁止文字が含まれています。
KAPM15784-I	The command ended normally.	コマンドは正常に終了しました。
KAPM15785-E	The specified string contains an invalid character.	指定した文字列には使用できない文字が含まれています。使用できる文字に変更したあと、コマンドを再実行してください。
KAPM15792-E	An option is invalid.	オプションが誤っています。正しいオプションを指定してください。
KAPM15793-E	An internal error occurred.	内部エラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15794-E	The file format is invalid.	ファイルの形式が誤っています。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KAPM15800-I	The size of the work area was successfully changed.	作業用領域サイズの変更に成功しました。
KAPM15801-I	The size of the system file area was successfully changed.	システムファイル用領域サイズの変更に成功しました。
KAPM15802-I	Are you sure you want to execute the hcmdsdbchgwork command? (Y/N)	コマンド実行を確認するメッセージ。
KAPM15804-I	The size of the work area is aa...aa. aa...aa : 設定されているサイズ	現在設定している作業用領域のサイズが出力されます。
KAPM15805-I	The size of the system file area is aa...aa. aa...aa : 設定されているサイズ	現在設定しているシステムファイル用領域のサイズが出力されます。
KAPM15808-I	The command will now be executed. (specified command = aa...aa) aa...aa : 実行するコマンドライン	コマンドを実行します。
KAPM15810-I	The size of the work area will now be changed.	作業用領域サイズの変更を開始します。
KAPM15811-I	The size of the system file area will now be changed.	システムファイル用領域サイズの変更を開始します。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15812-I	Change processing completed.	変更処理が完了しました。
KAPM15813-I	The service and database were stopped.	サービスおよびデータベースを停止しました。
KAPM15814-I	The HiRDB service was successfully stopped.	HiRDB サービスの正常停止に成功しました。
KAPM15815-I	<i>bb...bb</i> was set for the <i>aa...aa</i> key in the <i>hcmdsdbchgwork_setting</i> file. <i>aa...aa</i> : キー名 <i>bb...bb</i> : 設定する値	<i>hcmdsdbchgwork_setting</i> ファイルに値を書き込みました。
KAPM15816-I	The <i>hcmdsdbchgwork_setting</i> file was created.	<i>hcmdsdbchgwork_setting</i> ファイルを作成しました。
KAPM15820-E	HiRDB is not set up.	HiRDB がセットアップされていないため、続行できません。 HiRDB のセットアップ状態を確認してください。
KAPM15821-E	The HiRDB setup status is "Standby".	HiRDB のセットアップ状態は待機系です。 スタンドアロンまたは実行系で実行してください。
KAPM15822-E	Stopping of the service or database failed.	サービスまたはデータベースの停止に失敗しました。 しばらく待ってから、 <i>hcmdssrv</i> コマンドに <i>stop</i> オプションを指定し、実行して、サービスと HiRDB が正常停止していることを確認してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15823-E	An internal error occurred.	内部エラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15824-E	An unexpected exception occurred.	予期しない例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15825-E	Starting of the HiRDB service failed.	HiRDB サービスの起動に失敗しました。 しばらく待ってから、 <i>hcmdssrv</i> コマンドに <i>stop</i> オプションを指定し、実行して、サービスと HiRDB が正常停止していることを確認してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15826-E	Stopping of the HiRDB service failed.	HiRDB サービスの停止に失敗しました。 しばらく待ってから、 <i>hcmdssrv</i> コマンドに <i>stop</i> オプションを指定し、実行して、サービスと HiRDB が正常停止していることを確認してください。問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15827-E	Reading of the configuration file failed.	設定ファイルが読み込めませんでした。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15828-E	One or more command options are invalid.	コマンドのオプションが誤っています。 正しいオプションを指定してコマンドを再実行してください。
KAPM15829-E	A user operation interrupted the command execution.	ユーザー操作によって中断されました。 コマンドを実行する場合は、KAPM15802-I の応答入力で"Y"を指定してください。
KAPM15830-E	hcmdsdbchgwork command execution failed.	hcmdsdbchgwork コマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15831-E	Command execution failed. (return code = aa...aa) aa...aa : リターンコード	コマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15832-E	An invalid value is set in the aa...aa file. aa...aa : ファイル名	対象ファイルに正しくない値が設定されています。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15833-E	An exception occurred during command execution.	コマンドの実行中に例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15834-E	No command arguments are specified.	コマンドの引数が指定されていません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

7.3 KAPM40000~KAPM49999

Hitachi Command Suite 共通コンポーネントに関するメッセージ (KAPM40000~KAPM49999) を次の表に示します。

表 7-3 KAPM40000~KAPM49999 : Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM49001-E	aa...aa aa...aa : 例外オブジェクト名と発生した原因, または例外オブジェクトのバックトレース	KAPMxxxxx-E の詳細情報です。発生した例外オブジェクトとそのバックトレースを表します。直前のメッセージ KAPMxxxxx-E を参照してください。

KAQx で始まるメッセージ

この章では、ファイルサーバに関するメッセージについて説明します。

□ 8.1 KAQx メッセージの詳細

8.1 KAQx メッセージの詳細

KAQx で始まるメッセージについては、ファイルサーバのメッセージマニュアルを参照してください。

プレフィックスの **x** は英字一文字を表します。具体的には、KAQB や KAQG などとなります。KAQx で始まるプレフィックスの詳細については、「[表 1-1 プレフィックスとメッセージ ID の種類](#)」を参照してください。

KATS で始まるメッセージ

この章では、Tiered Storage Manager に関するメッセージについて説明します。

- [9.1 KATS10000～KATS19999](#)
- [9.2 KATS20000～KATS29999](#)
- [9.3 KATS30000～KATS39999](#)
- [9.4 KATS40000～KATS49999](#)
- [9.5 KATS50000～KATS59999](#)
- [9.6 KATS60000～KATS69999](#)
- [9.7 KATS90000～KATS99999](#)

9.1 KATS10000～KATS19999

Tiered Storage Manager CLI に関するメッセージ（KATS10000～KATS19999）を次の表に示します。

表 9-1 KATS10000～KATS19999 : Tiered Storage Manager CLI のメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS10001-E	コマンドの指定形式に誤りがあります。 不正な文字列:"<不正な文字列>"	要因 コマンドラインの指定に誤りがあります。メッセージに表示された文字列が不正です。文字列"<不正な文字列>"には、複数の文字列が表示される場合があります。 対処 メッセージに表示されたコマンド形式に従って、コマンドラインを正しく指定してください。
KATS10002-E	コマンドの指定形式の順序に誤りがあります。不正な文字列:"<不正な文字列>"	要因 コマンドラインに指定した項目の順序に誤りがあります。メッセージに表示された文字列の位置が不正です。 対処 項目の出力順序を正しく指定してください。詳細については、マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI</i> リファレンスガイド」を参照してください。
KATS10101-E	Tiered Storage Manager サーバのロケーションに不正な値を指定しました。 指定値:"<指定値>"	要因 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルで指定した、Tiered Storage Manager サーバのロケーションが不正です。 対処 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルに、Tiered Storage Manager サーバのロケーションを正しく指定してください。詳細については、マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI</i> リファレンスガイド」を参照してください。
KATS10102-E	Tiered Storage Manager サーバのロケーションを指定していません。	要因 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの指定に誤りがあります。Tiered Storage Manager サーバのロケーションを指定していません。 対処 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルに、Tiered Storage Manager サーバのロケーションを正しく指定してください。詳細については、マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI</i> リファレンスガイド」を参照してください。
KATS10103-E	Tiered Storage Manager サーバのロケーションに値を指定していません。	要因 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの指定に誤りがあります。Tiered Storage Manager サーバのロケーションに値を指定していません。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルに, Tiered Storage Manager サーバのロケーションを正しく指定してください。詳細については, マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド</i> 」を参照してください。
KATS10201-E	コマンド名を指定していません。	要因 コマンドを指定していません。 対処 コマンドを指定してください。
KATS10202-E	不正なコマンド名を指定しました。コマンド名:"<コマンド名>"	要因 コマンドラインの指定に誤りがあります。指定したコマンドはありません。 対処 コマンドを正しく指定してください。"help"ですべてのコマンド名を表示できます。コマンドの詳細および CLI ヘルプの詳細については, マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド</i> 」を参照してください。
KATS10301-E	必須オプションを指定していません。オプション名:"<オプション名>"	要因 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの指定に誤りがあります。必要なオプションを指定していません。 対処 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルに, 必要なオプションを指定してください。オプションの詳細および <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの詳細については, マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド</i> 」を参照してください。
KATS10302-E	"<オプション名>"オプションは"<オプション名>"オプションとは同時に指定できません。	要因 同時に指定できない複数のオプションを指定しています。 対処 オプションの指定方法を見直してください。オプションの詳細については, マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド</i> 」を参照してください。
KATS10303-E	"<オプション名>"オプションは"<オプション名>"オプションと組み合わせて指定してください。	要因 組み合わせて指定しなければならないオプションを指定していません。 対処 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルに, オプションを正しく指定してください。オプションの詳細および <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの詳細については, マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド</i> 」を参照してください。
KATS10304-E	同一のオプションを複数指定しました。オプション名:"<オプション名>"	要因 同じオプションを複数指定しています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 同じオプションは1回だけ指定してください。</p>
KATS10305-E	不正なオプションを指定しました。 オプション名:"<オプション名>"	<p>要因 コマンドラインの指定に誤りがあります。指定したオプションはありません。</p> <p>対処 オプションを正しく指定してください。オプションの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI</i> リファレンスガイド」を参照してください。</p>
KATS10306-E	"<オプション名>"オプションに不正な値を指定しました。 指定値:"<指定値>"	<p>要因 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの指定に誤りがあります。 "<指定値>"に表示された値が不正です。</p> <p>対処 オプションを正しく指定してください。オプションの詳細および <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI</i> リファレンスガイド」を参照してください。</p>
KATS10307-E	"<オプション名>"オプションに UTF-8 換算で"<指定できる最大長さ>"バイトを超える値を指定しました。 指定値:"<指定値>"	<p>要因 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの指定に誤りがあります。メッセージに表示されたオプションに指定した値の長さが不正です。</p> <p>対処 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルに、オプションを正しく指定してください。オプションの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI</i> リファレンスガイド」を参照してください。</p>
KATS10308-E	"<オプション名>"オプションに不正な文字を含む値を指定しました。 指定値:"<指定値>"	<p>要因 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの指定に誤りがあります。メッセージに表示されたオプションに不正な文字を含む値を指定しました。</p> <p>対処 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルに、オプションを正しく指定してください。オプションの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI</i> リファレンスガイド」を参照してください。</p>
KATS10309-E	"<オプション名>"オプションに値を指定していません。	<p>要因 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの指定に誤りがあります。 "<オプション名>"オプションに値を指定していません。</p> <p>対処 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルに"<オプション名>"オプションを指定してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS10310-E	指定したパスワードファイルは見つかりません。ファイルパス:"<ファイルパス>"	<p>要因 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの指定に誤りがあります。指定したパスワードファイルはありません。</p> <p>対処 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルに、正しいパスワードファイルを指定してください。コマンドラインにパスワードファイルを指定する場合は、絶対パスまたはコマンド実行ディレクトリからの相対パスで指定してください。<code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルにパスワードファイルを指定する場合は、絶対パスまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの格納ディレクトリからの相対パスで指定してください。<code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI</i> リファレンスガイド」を参照してください。</p>
KATS10311-E	指定したパスワードファイルにアクセスできません。ファイルパス:"<ファイルパス>"	<p>要因 指定したパスワードファイルの読み込み権限がありません。</p> <p>対処 ログイン中のユーザーに、指定したパスワードファイルの読み込み権限を与えてください。</p>
KATS10312-E	指定したパスワードファイルの1行目にはパスワード文字列がありません。ファイルパス:"<ファイルパス>"	<p>要因 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルに指定したパスワードファイルの1行目にパスワード文字列がないか、またはパスワード文字列に誤りがあります。</p> <p>対処 パスワードファイルの1行目に、パスワードファイルの文字列を正しく指定してください。<code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI</i> リファレンスガイド」を参照してください。</p>
KATS10313-E	output オプションに指定したファイルには出力できません。ファイルパス:"<ファイルパス>"	<p>要因 output オプションに指定したファイルの書き出し権限がありません。</p> <p>対処 ログイン中のユーザーに、output オプションに指定したファイルの書き出し権限を与えてください。</p>
KATS10314-E	output オプションに指定したファイルを作成できません。ファイルパス:"<ファイルパス>"	<p>要因 output オプションに指定したファイルパス内のディレクトリの書き出し権限がありません。</p> <p>対処 ログイン中のユーザーに、output オプションに指定したファイルパス内のディレクトリの書き出し権限を与えてください。</p>
KATS10401-E	必須パラメーターを指定していません。パラメーター名:"<パラメーター名>"	<p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルに、必要なパラメーターを指定していません。</p> <p>対処 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルに、必要なパラメーターを指定してください。パラメーターおよび <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI</i> リファレンスガイド」を参照してください。</p>
KATS10402-E	"<パラメーター名>"パラメーターは"<パラメーター名>"パラメーターとは同時に指定できません。	<p>要因 コマンドラインに、同時に指定できない複数のパラメーターを指定しています。</p> <p>対処 パラメーターの指定方法を見直してください。パラメーターの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI</i> リファレンスガイド」を参照してください。</p>
KATS10403-E	"<パラメーター名>"パラメーターは"<パラメーター名>"パラメーターと組み合わせて指定してください。	<p>要因 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルに、組み合わせて指定しなければならないパラメーターを指定していません。</p> <p>対処 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルに、パラメーターを正しく指定してください。パラメーターおよび <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI</i> リファレンスガイド」を参照してください。</p>
KATS10404-E	同一のパラメーターを複数指定しました。パラメーター名:"<パラメーター名>"	<p>要因 同じパラメーターを複数指定しています。</p> <p>対処 同じパラメーターは1回だけ指定してください。</p>
KATS10405-E	不正なパラメーターを指定しました。パラメーター名:"<パラメーター名>"	<p>要因 指定したパラメーターはありません。</p> <p>対処 パラメーターを正しく指定してください。パラメーターの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI</i> リファレンスガイド」を参照してください。</p>
KATS10406-E	"<パラメーター名>"パラメーターに不正な値を指定しました。指定値:"<指定値>"	<p>要因 "<パラメーター名>"パラメーターに指定した値が不正です。</p> <p>対処 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルに、パラメーターの値を正しく指定してください。パラメーターおよび <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI</i> リファレンスガイド」を参照してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS10407-E	"<パラメーター名>"パラメーターに UTF-8 換算で"<指定できる最大長>"バイトを超える値を指定しました。指定値:"<指定値>"	<p>要因 "<パラメーター名>"パラメーターに指定できる値の上限を超えて値を指定しました。</p> <p>対処 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルに、パラメーターに指定できる範囲内で値を指定してください。パラメーターおよび <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド</i>」を参照してください。</p>
KATS10408-E	"<パラメーター名>"パラメーターに不正な文字を含む値を指定しました。指定値:"<指定値>"	<p>要因 "<パラメーター名>"パラメーターに指定した値に、不正な文字が含まれています。</p> <p>対処 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルに、パラメーター値を正しく指定してください。パラメーターおよび <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド</i>」を参照してください。</p>
KATS10409-E	"<パラメーター名>"パラメーターに値を指定していません。	<p>要因 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの指定に誤りがあります。メッセージに表示されたパラメーターに値を指定していません。</p> <p>対処 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルに、メッセージに表示されたパラメーターを指定してください。</p>
KATS10410-E	指定したプランファイルは見つかりません。ファイルパス:"<ファイルパス>"	<p>要因 指定したプランファイルはありません。</p> <p>対処 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルに、正しいプランファイルを指定してください。コマンドラインにプランファイルを指定する場合は、絶対パスまたはコマンド実行ディレクトリからの相対パスで指定してください。 <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルにプランファイルを指定する場合は、絶対パスまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの格納ディレクトリからの相対パスで指定してください。 <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド</i>」を参照してください。</p>
KATS10411-E	指定したプランファイルにアクセスできません。ファイルパス:"<ファイルパス>"	<p>要因 指定したプランファイルの読み込み権限がありません。</p> <p>対処 ログイン中のユーザーに、指定したプランファイルの読み込み権限を与えてください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS10412-E	"<パラメーター名>"パラメーターは"<パラメーター名>"パラメーターか"<パラメーター名>"パラメーターと組み合わせて指定してください。	<p>要因 コマンドラインまたは htsmcli.properties プロパティファイルに、組み合わせて指定しなければならないパラメーターを指定していません。</p> <p>対処 コマンドラインまたは htsmcli.properties プロパティファイルに、パラメーターを正しく指定してください。パラメーターおよび htsmcli.properties プロパティファイルの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド</i>」を参照してください。</p>
KATS10413-E	"<パラメーター名>"パラメーターに指定できる範囲外の数値を指定しました。指定値:"<指定値>" 最小値:"<指定できる最小値>" 最大値:"<指定できる最大値>"	<p>要因 コマンドラインまたは htsmcli.properties プロパティファイルの指定に誤りがあります。パラメーターに指定できる範囲外の数値を指定しました。</p> <p>対処 コマンドラインまたは htsmcli.properties プロパティファイルに、パラメーターに指定できる範囲内で数値を指定してください。パラメーターおよび htsmcli.properties プロパティファイルの詳細については、メッセージの表示、またはマニュアル「<i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド</i>」を参照してください。</p>
KATS10414-E	"<パラメーター名>"パラメーターのスキームに不正な値を指定したか、もしくは値がありません。指定値:"<指定値>" スキーム:"<スキーム>"	<p>要因 コマンドラインまたは htsmcli.properties プロパティファイルの指定に誤りがあります。スキームに不正な値を指定したか、または値を指定していません。</p> <p>対処 コマンドラインまたは htsmcli.properties プロパティファイルに、パラメーターを正しく指定してください。パラメーターおよび htsmcli.properties プロパティファイルの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド</i>」を参照してください。</p>
KATS10415-E	"<パラメーター名>"パラメーターのスキーム固有部に UTF-8 換算で"<指定できる最小値>"バイトに満たない値、または"<指定できる最大値>"バイトを超える値を指定しました。指定値:"<指定値>" スキーム固有部:"<スキーム固有部>"	<p>要因 コマンドラインまたは htsmcli.properties プロパティファイルの指定に誤りがあります。メッセージに表示されたパラメーターのスキーム固有部に指定した値の長さが不正です。</p> <p>対処 コマンドラインまたは htsmcli.properties プロパティファイルに、パラメーターを正しく指定してください。パラメーターおよび htsmcli.properties プロパティファイルの詳細については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド</i>」を参照してください。</p>
KATS10416-E	"<パラメーター名>"パラメーターに指定した値、またはパラメーターに指定	<p>要因 コマンドラインまたは htsmcli.properties プロパティファイルの指定に誤りがあります。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	した内容の組み合わせが不正です。指定値:"<指定値>"	メッセージに表示されたパラメーターに指定した値が不正です。 対処 コマンドラインまたは htsmcli.properties プロパティファイルに、パラメーターを正しく指定してください。 CreateStorageTier コマンドの場合、resource パラメーターの指定値によって filtercondition に指定できる値が異なります。 ModifyStorageTier コマンドの場合、newresource パラメーターの指定値によって newfiltercondition に指定できる値が異なります。 パラメーターおよび htsmcli.properties プロパティファイルの詳細については、マニュアル「Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド」を参照してください。
KATS10417-E	"<パラメーター名>"パラメーターに該当するサブシステムがありません。指定値:"<指定値>"	要因 コマンドラインまたは htsmcli.properties プロパティファイルに指定したパラメーター値に該当するサブシステムがありません。 対処 Device Manager に登録されたサブシステムの情報に基づいた値を指定してください。
KATS10418-E	"<パラメーター名>"パラメーターに該当するサブシステムが複数あります。指定値:"<指定値>"	要因 コマンドラインまたは htsmcli.properties プロパティファイルに指定されたパラメーター値に該当するサブシステムが複数あるため、一意のサブシステムを特定できません。 対処 GetFreeSpaces コマンドに subsystemname パラメーターを指定した場合、Device Manager に登録されている取得対象サブシステムのサブシステム名を重複しない値に変更するか、コマンドのパラメーターに subsystemobjectid を指定してください。
KATS10421-E	"<パラメーター名>"パラメーターにコンマで区切って指定した要素数が、上限数"<コンマで区切って指定できる要素数の上限>"を超えています。	要因 コマンドラインまたは htsmcli.properties プロパティファイルの指定に誤りがあります。"<パラメーター名>"パラメーターにコンマで区切って指定した要素数が、上限数"<コンマで区切って指定できる要素数の上限>"を超えています。 対処 "<パラメーター名>"パラメーターにコンマで区切って指定する要素数を、上限数"<コンマで区切って指定できる要素数の上限>"以下にしてください。
KATS10422-E	"<パラメーター名>"に値を設定するには"<パラメーター名>"パラメーターに値を指定してください。	要因 コマンドラインまたは htsmcli.properties プロパティファイルの指定に誤りがあります。メッセージに表示されたパラメーターは、組み合わせて指定する必要があります。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルに、正しいパラメーターの値を指定してください。
KATS10423-E	"<パラメーター名>"の値を消去するには"<パラメーター名>"パラメーターに空の値を指定してください。	要因 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの指定に誤りがあります。メッセージに表示されたパラメーターは、組み合わせて指定する必要があります。 対処 コマンドラインまたは <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルに、正しいパラメーターの値を指定してください。
KATS10501-E	<code>htsmcli.properties</code> ファイルにアクセスできません。ファイルパス:"<ファイルパス>"	要因 <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの読み込み権限がありません。 対処 ログイン中のユーザーに、 <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの読み込み権限を与えてください。
KATS10502-E	<code>htsmcli.properties</code> に不正な文字を含む値を指定しました。プロパティ名:"<プロパティ名>"	要因 <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルの指定に誤りがあります。メッセージに表示されたプロパティに不正な文字を含む値を指定しました。 対処 <code>htsmcli.properties</code> プロパティファイルで指定するプロパティは、印字できる ASCII 文字で指定してください。
KATS10511-E	システムプロパティの" <code>htsm.cli.dir</code> "に" <code>htsmcli.jar</code> があるディレクトリ"が設定されていません。	要因 メッセージに表示されたプロパティをシステムプロパティに設定していません。 対処 システムプロパティに <code>java</code> コマンドの <code>-d</code> オプションを設定してください。
KATS10551-E	環境変数の"<環境変数>"に"<環境変数の説明>"が設定されていません。	要因 メッセージに表示された環境変数を設定していません。 対処 メッセージに表示された環境変数を設定してください。
KATS10552-E	環境変数の" <code>HTSM_CLI_HOME</code> "の設定値は" <code>htsmcli</code> コマンド利用者のホームディレクトリ"ではありません。設定値:"<設定値>"	要因 メッセージに表示された環境変数に無効な値を設定しました。 対処 メッセージに表示された環境変数に有効な値を設定してください。設定値は"<設定値>"です。
KATS10571-E	回答に不正な値を指定しました。指定値:"<指定値>"	要因 確認メッセージに無効な値を回答しました。 対処 確認メッセージに表示された有効な値を選択して、回答してください。
KATS10601-E	候補マイグレーションプランの作成に失敗しました。ターゲットボリュームが見つからないペアがあります。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>ソースボリュームと同じ SLPR で、移動先にできるボリュームを指定したストレージ階層から割り当てられない移動元ボリュームがあります。</p> <p>対処 別のストレージ階層を指定するか、またはストレージ階層の検索条件プロパティを変更してください。異なる LPAR 間でマイグレーションしてもよい場合は、コマンドの結果として出力されたマイグレーションプランの targetControllerDeviceNumber が空の項目に、ソースボリュームのターゲット候補ボリュームから適切な移動先ボリュームを選択して指定してください。ストレージ階層の検索条件プロパティについては、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド</i>」を参照してください。</p>
KATS10602-W	候補マイグレーションプランにマイグレートしないボリュームが含まれています。確認の上、マイグレーションタスクの作成を行ってください。	<p>要因 ソースボリュームと同じ SLPR で、移動先にできるボリュームを指定したストレージ階層から割り当てられない移動元ボリュームがあります。</p> <p>対処 プランファイルを確認してから、マイグレーションタスクを作成してください。</p>
KATS10603-E	マイグレーションタスクの作成に失敗しました。指定されたマイグレーションプランのすべてのボリュームペアがマイグレーション対象外ボリュームとなっています。	<p>要因 指定されたマイグレーションプランのすべてのボリュームペアが、マイグレーション対象外のボリュームになっています。</p> <p>対処 マイグレーション対象となるように、プランファイルで一つ以上のボリュームペア情報を修正し、マイグレーションタスクを作成してください。</p>
KATS10604-E	targetstorage-tiername パラメーターにプール検索条件を使用して作成したストレージ階層を指定した場合、filtercondition パラメーターを指定することはできません。	<p>要因 targetstorage-tiername パラメーターにプール検索条件を使用して作成したストレージ階層を指定した場合、filtercondition パラメーターを指定できません。</p> <p>対処 targetstorage-tiername パラメーターにプール検索条件を使用して作成したストレージ階層を指定した場合、filtercondition パラメーターは指定しないでマイグレーションプランを作成してください。</p>
KATS10621-E	リフレッシュ要求の受け付けが失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	<p>要因 メッセージに表示されたストレージドメインに対するリフレッシュの要求に失敗しました。</p> <p>対処 このメッセージと一緒に表示されているメッセージに従って対処してください。このメッセージが複数表示されている場合も同様に対処してください。</p>
KATS10622-W	ストレージドメインの情報が最新になっていません。ストレージドメインのリフレッシュを実行してください。	<p>要因 Device Manager の情報と Tiered Storage Manager の情報に不一致が発生しました。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	メッセージに表示されたストレージドメインのリフレッシュを実行してください。
KATS10623-W	ストレージドメインの情報および Device Manager のストレージサブシステムの情報が最新になっていません。ストレージドメインのリフレッシュを実行してください。ストレージドメインのリフレッシュで、Device Manager のリフレッシュも実行します。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 Device Manager やストレージサブシステムの情報と Tiered Storage Manager の情報に不一致が発生しました。 対処 メッセージに表示されたストレージドメインのリフレッシュを実行してください。
KATS10624-W	このマイグレーションプランには、対応する移動元ボリュームよりも容量が大きいボリュームが移動先に選択されているマイグレーションペアがあります。対象となる移動先ボリュームは移動元ボリュームと同じ容量に再作成されます。容量の超過分は再利用できるようになります。	要因 移動元ボリュームよりも容量が大きいボリュームが移動先に選択されているマイグレーションペアがあります。 対処 再作成が必要な移動先ボリュームは、マイグレーション実行時に移動元ボリュームと同一容量のボリュームに再作成します。 このため、プランファイルの内容を確認してください。 移動先ボリュームを再作成してもよい場合は、マイグレーションタスクを作成してください。 もし移動先ボリュームを再作成したくない場合は、次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> 再作成を必要とする移動先が選択されたペアの移動元ボリュームをマイグレーションしないときは、プランファイルの targetControllerDeviceNumber に NotMigrate を指定してから、マイグレーションタスクを作成してください。 ほかのペアの移動先ボリュームと入れ替えることができる場合は、プランファイルの targetControllerDeviceNumber の値を変更してから、マイグレーションタスクを作成してください。 マイグレーション先となる条件を満たす、同一容量の未使用ボリュームを移動先のストレージ階層に作成した後、再度マイグレーションプランを作成してください。
KATS10900-E	ファイルへの入出力処理に失敗、または割り込みが発生しました。ファイルパス:"<ファイルパス>", 情報"<情報>"	要因 ファイルへの入出力処理に失敗したか、または割り込みが発生しました。 対処 メッセージに表示されたエラー情報の内容を参照し、エラー原因を取り除いて再度実行してください。追加情報がある場合は、メッセージの情報:"<情報>"に表示されます。追加情報がないため"情報:null"と表示された場合は、出力中にファイル容量が不足したなど、入出力の途中でアクセスができなくなったおそれがあります。
KATS10999-E	予期しない例外が発生しました。情報:"<スタックトレースなどの解析情報>"	要因 予期しない例外が発生しました。 対処 Tiered Storage Manager CLI のトレースログ情報、Tiered Storage Manager サーバのログ情報、

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		および共通コンポーネントのログ情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS11001-E	このバージョンの CLI は、指定したプランファイルに記述されたプラン種別をサポートしていません。ファイルパス:"<ファイルパス>", プラン種別:"<指定したプラン種別>", CLI バージョン:"< CLI バージョン>", 行番号"<行番号>"	要因 メッセージに表示された行番号で、指定したプランファイルに記述したプラン種別は、インストールしたバージョンの Tiered Storage Manager CLI ではサポートされていません。 対処 インストールしたバージョンの Tiered Storage Manager CLI でサポートされているプランファイルを指定してください。プランファイルの書式については、マニュアル「Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド」を参照してください。
KATS11002-E	このバージョンの CLI は、指定したプランファイルに記述された書式バージョンをサポートしていません。ファイルパス:"<ファイルパス>", 書式バージョン:"<指定した書式バージョン>", CLI バージョン:"< CLI バージョン>", 行番号:"<行番号>"	要因 メッセージに表示された行番号で、指定したプランファイルに指定した書式バージョンは、インストールしたバージョンの Tiered Storage Manager CLI ではサポートされていません。 対処 インストールしたバージョンの Tiered Storage Manager CLI でサポートされているプランファイルを指定してください。プランファイルの書式については、マニュアル「Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド」を参照してください。
KATS11101-E	指定したプランファイルの書式が不正です。指定した項目の出現順序が不正です。項目名:"<プランの項目名>"	要因 プランファイルに指定した項目の順序に誤りがあります。 対処 項目の出現順序を正しく指定してください。プランファイルの書式については、マニュアル「Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド」を参照してください。
KATS11102-E	指定したプランファイルの書式が不正です。必須項目を指定していません。項目名:"<プランの項目名>"	要因 プランファイルに、必要な項目を指定していません。 対処 プランファイルに、必要な項目を指定してください。
KATS11103-E	指定したプランファイルの書式が不正です。"<プランの項目名>"項目は"<プランの項目名>"項目と組み合わせて指定してください。	要因 組み合わせて指定しなければならない項目を指定していません。 対処 プランファイルに項目を正しく指定してください。プランファイルの書式については、マニュアル「Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド」を参照してください。
KATS11104-E	指定したプランファイルの書式が不正です。同一のパラメーターを複数指定しました。項目名:"<プランの項目名>"	要因 同じパラメーターを複数指定しています。 対処 同じパラメーターは1回だけ指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS11105-E	指定したプランファイルの書式が不正です。不正な項目を指定しました。項目名:"<プランの項目名>"	要因 指定した項目はありません。 対処 プランファイルに項目を正しく指定してください。プランファイルの書式については、マニュアル「Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド」を参照してください。
KATS11106-E	指定したプランファイルの書式が不正です。"<プランの項目名>"項目に不正な値を指定しました。指定値:"<指定値>", 行番号:"<行番号>"	要因 メッセージに表示された行番号の、項目に指定した値に誤りがあります。 対処 項目を正しく指定してください。プランファイルの書式については、マニュアル「Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド」を参照してください。
KATS11107-E	指定したプランファイルの書式が不正です。"<プランの項目名>"項目にUTF-8 換算で"<指定できる最大長>"バイトを超える値を指定しました。指定値:"<指定値>", 行番号:"<行番号>"	要因 メッセージに表示された行番号の、プランファイルに指定した値の長さに誤りがあります。 対処 項目に指定できる範囲で値を指定してください。プランファイルの書式については、マニュアル「Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド」を参照してください。
KATS11108-E	指定したプランファイルの書式が不正です。"<プランの項目名>"項目に不正な文字を含む値を指定しました。指定値:"<指定値>", 行番号:"<行番号>"	要因 メッセージに表示された行番号の、使用できない文字を含む値を項目に指定しました。 対処 プランファイルに使用できる文字で項目値を指定してください。プランファイルの書式については、マニュアル「Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド」を参照してください。
KATS11109-E	指定したプランファイルの書式が不正です。"<プランの項目名>"項目に値を指定していません。行番号:"<行番号>"	要因 メッセージに表示された行の項目に値を指定していません。 対処 プランファイルにプランの項目を指定してください。
KATS11110-E	指定したプランファイルの書式が不正です。期待される語"<期待される語>"がありません。行番号:"<行番号>"	要因 メッセージに表示されたプランの項目名が、メッセージに表示された行番号の行にありません。 対処 項目を正しく指定してください。プランファイルの書式については、マニュアル「Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド」を参照してください。
KATS11111-E	指定したプランファイルの書式が不正です。"<プランの項目名>"項目に指定できる範囲外の数値を指定しました。指定値:"<指定値>" 接頭辞:"<指定できる接頭辞>" 最小値:"<指定できる最	要因 指定したプランファイルの書式が不正です。メッセージに表示された行番号では、指定値が最小値以上、最大値以下の間に収まっていません。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	小値>" 最大値:"<指定できる最大値>" 行番号:"<行番号>"	マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager CLI</i> リファレンスガイド」に記載されたプランの書式を参照して、項目を正しく指定してください。
KATS12001-E	htsmcli.properties は見つかりません。ファイルパス:"<ファイルパス>"	要因 環境変数"HTSM_CLI_HOME"の設定に誤りがあります。htsmcli.properties プロパティファイルがありません。 対処 htsmcli.properties プロパティファイルを読み込めるように、環境変数の"HTSM_CLI_HOME"を設定してください。
KATS12002-E	htsmcli.properties にアクセスできません。ファイルパス:"<ファイルパス>"	要因 htsmcli.properties プロパティファイルへの読み込み権限または書き込み権限がありません。 対処 htsmcli.properties プロパティファイルに、読み込み権限および書き込み権限があるかどうか確認してください。
KATS12003-E	指定したパスワードファイルは見つかりません。ファイルパス:"<ファイルパス>"	要因 コマンドライン、または htsmcli.properties プロパティファイルの指定に誤りがあります。メッセージに表示されたパスワードファイルがありません。 対処 コマンドライン、または htsmcli.properties プロパティファイルに、正しいパスワードファイルを指定してください。指定する場合は絶対パスで指定してください。
KATS12004-E	指定したパスワードファイルにアクセスできません。ファイルパス:"<ファイルパス>"	要因 メッセージに表示されたパスワードファイルへの読み込み権限または書き込み権限がありません。 対処 メッセージに表示されたパスワードファイルに、読み込み権限および書き込み権限があるかどうか確認してください。
KATS12005-E	ファイルへの入出力処理に失敗、または割り込みが発生しました。ファイルパス:"<ファイルパス>", 情報:"<エラー情報>"	要因 メッセージに表示されたファイルへの入出力処理に失敗、または割り込みが発生しました。 対処 メッセージの内容を参照し、エラー原因を取り除いて再度実行してください。追加情報がある場合はメッセージの「情報:」に表示されます。追加情報がないため「情報:null」と表示された場合は、出力中にファイル容量が不足した等、入出力の途中でアクセスができなくなったケースが考えられます。
KATS12006-E	必須オプションを指定していません。オプション名:"<オプション名>"	要因 コマンドラインの指定に誤りがあります。メッセージに表示された必須オプションを指定していません。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		メッセージに表示された必須オプションを、コマンドラインに指定してください。
KATS12007-E	"<オプション名>"オプションに値を指定していません。	要因 コマンドラインの指定に誤りがあります。メッセージに表示されたオプションに値を指定していません。 対処 メッセージに表示されたオプションを、コマンドラインに指定してください。
KATS12008-E	"<オプション名>"オプションは"<オプション名>"オプションとは同時に指定できません。	要因 コマンドラインの指定に誤りがあります。組み合わせで指定できないオプションを指定しました。 対処 メッセージに表示されたコマンド形式に従い、コマンドラインを正しく指定してください。
KATS12009-E	不正なオプションを指定しました。 オプション名:"<オプション名>"	要因 コマンドラインの指定に誤りがあります。指定したオプションは存在しません。 対処 メッセージに表示されたコマンド形式に従い、オプションを正しく指定してください。
KATS12010-E	"<オプション名>" オプションに指定されたユーザー名が、htsmcli.properties に指定されているユーザー名と異なります。	要因 "<オプション名>" オプションに指定されたユーザー名が、htsmcli.properties プロパティファイルに指定されているユーザー名と異なります。 対処 コマンドラインに、htsmcli.properties プロパティファイルに指定されているユーザー名を指定してください。
KATS12011-E	"Old password"に指定されたパスワードが、すでに htsmcli.properties に指定されているパスワードと異なります。	要因 "Old password"に指定されたパスワードが、htsmcli.properties プロパティファイルに指定されているパスワードと異なります。 対処 コマンドラインに正しいパスワードを指定してください。 プロパティファイルに指定されている正しいパスワードをどうしてもコマンドラインに指定できない場合には、プロパティファイルに指定しているパスワードを削除したあと、再度実行してください。
KATS12012-E	"New password"と"Re-enter new password"に指定されたパスワードが異なります。	要因 "New password"と"Re-enter new password"に指定されたパスワードが異なります。 対処 コマンドラインに正しいパスワードを指定してください。
KATS12013-E	パスワードのコード化処理に失敗しました。	要因 指定されたパスワードのコード化処理中に、内部エラーが発生しました。 対処 実行環境を見直したあと、再度実行してください。対処できない場合は、Tiered Storage

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Manager の CLI トレースログファイルを保管し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS12014-E	パスワードのデコード処理に失敗しました。	要因 コード化されたパスワードのデコード処理中に、内部エラーが発生しました。 対処 option.password2 に設定されているパスワードに対応する正しいユーザー名を指定してください。それでも問題が解決しない場合は、Tiered Storage Manager の CLI トレースログファイルを保管し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS12015-E	パスワードをコード化した環境と現在の環境が異なるため、パスワードをデコードできません。	要因 パスワードをコード化した環境とデコードする環境とが異なるため、パスワードをデコードできません。 対処 プロパティファイルに指定しているパスワードを削除したあと、再度実行してください。
KATS12016-E	実行環境がコード化アルゴリズムをサポートしていないため、コマンドを実行できません。	要因 コマンドの実行に必要なコード化アルゴリズムを、実行環境がサポートしていません。 対処 実行環境を見直したあと、再度実行してください。対処できない場合は、Tiered Storage Manager の CLI トレースログファイルを保管し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS12017-E	環境変数"HTSM_CLI_HOME"が設定されていません。	要因 環境変数"HTSM_CLI_HOME"が設定されていません。 対処 環境変数"HTSM_CLI_HOME"を設定してください。
KATS12018-E	不正なパスワードが指定されました。	要因 指定されたパスワードは使用できない文字を含むか、最大文字数を超えています。 対処 パスワードに指定できる文字および文字数を確認し、正しいパスワードを指定してください。
KATS12019-E	実行環境が不正なため、パスワードのコード化およびデコードができません。	要因 コマンドの実行に必要な環境の設定に誤りがあります。 対処 Tiered Storage Manager の CLI トレースログファイルを保管し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS12020-E	実行環境が不正なため、パスワードのコード化およびデコードができません。	要因 コマンドの実行に必要な環境の設定に誤りがあります。 対処 環境設定を見直したあと、再度実行してください。対処できない場合は、Tiered Storage Manager の CLI トレースログファイルを保管し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS19007-E	トレースログのバックアップファイルの最大値に不正な値を指定しました。指定値:"<指定値>"	<p>要因 htsmclienv.properties プロパティファイルの logger.fileCount の指定に誤りがあります。プロパティ名を指定して値を指定していない場合、またはプロパティの値に印字しない制御文字などを指定した場合は、指定値が "" と表示されます。</p> <p>対処 次に起動したとき、logger.fileCount に正しいログファイルバックアップ最大値を指定してください。logger.fileCount に指定できる値は、2 から 16 までの整数です。</p>
KATS19008-E	ログファイルサイズに不正な値を指定しました。指定値:"<指定値>"	<p>要因 htsmclienv.properties プロパティファイルの logger.maxFileSize の指定に誤りがあります。プロパティ名を指定して値を指定していない場合、またはプロパティの値に印字されない制御文字などを指定した場合は、指定値が "" と表示されます。</p> <p>対処 次に起動したとき、logger.maxFileSize に正しいログファイルサイズを指定してください。logger.maxFileSize に指定できる値は、32,768~2,147,483,647 までの整数です。</p>
KATS19009-E	ログ出力閾値に不正な値を指定しました。指定値:"<指定値>"	<p>要因 htsmclienv.properties プロパティファイルの logger.tracelogLevel の指定に誤りがあります。プロパティ名を指定して値を指定していない場合、またはプロパティの値に印字しない制御文字などを指定した場合は、指定値が "" と表示されます。</p> <p>対処 次に起動したとき、logger.tracelogLevel に正しいログ出力閾値を指定してください。logger.tracelogLevel に指定できる値は、0 から 30 までの整数です。</p>
KATS19010-E	ログ出力先ファイル名称に不正な形式の名称を指定しました。指定値:"<指定値>"	<p>要因 htsmclienv.properties プロパティファイルの logger.filePath の指定に誤りがあります。プロパティ名を指定して値を指定していない場合、またはプロパティの値に印字しない制御文字などを指定した場合は、指定値が "" と表示されます。</p> <p>対処 次に起動したとき、logger.filePath に正しいログ出力先ファイル名を指定してください。logger.filePath のデフォルト値は、< CLI インストールディレクトリ >/logs/HTSMCLITrace です。</p>
KATS19011-E	トレースログ開始時にログトレースライブラリーの不正が発生しました。" <エラー情報 > "	<p>要因 トレースログ開始処理でログトレースライブラリーのエラーが検知されました。</p> <p>対処 メッセージに表示されたエラー情報の内容を参照し、エラー原因を取り除いて再実行してください。対処できない場合は、Tiered Storage</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Manager の CLI トレースログファイルを取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS19012-E	トレースログ停止時にログトレースライブラリーの不正が発生しました。 "<エラー情報>"	要因 トレースログ終了処理でログトレースライブラリーのエラーが検知されました。 対処 メッセージに表示されたエラー情報の内容を参照し、エラー原因を取り除いて再実行してください。対処できない場合は、Tiered Storage Manager の CLI トレースログファイルを取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS19013-E	内部エラーが発生しました。情報:"<エラー情報>"	要因 トレースログの初期化または出力処理中に内部エラーが検知されました。 対処 Tiered Storage Manager の CLI トレースログファイルを取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS19014-E	ファイルへの入出力処理に失敗、または割り込みが発生しました。ファイルパス:"<ファイルパス>", 情報:"<エラー情報>"	要因 トレースログの初期化または出力処理中にファイルに対する入出力エラーが検知されました。 対処 メッセージに表示されたエラー情報の内容を参照し、エラー原因を取り除いて再実行してください。対処できない場合は、Tiered Storage Manager の CLI トレースログファイルを取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS19015-E	環境定義用プロパティファイルに不正な項目を指定しました。項目名:"<指定した不正なプロパティキー>"	要因 htsmclienv.properties プロパティファイルに不正なプロパティキーが指定されています。 対処 正しいプロパティキーに修正して再度起動してください。htsmclienv.properties プロパティファイルに指定できる値については、マニュアル「Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド」を参照してください。
KATS19016-E	環境定義用プロパティファイルが見つかりません。ファイルパス:"<ファイルパス>"	要因 htsmclienv.properties プロパティファイルが CLI インストールディレクトリにありません。 対処 CLI インストールディレクトリに htsmclienv.properties プロパティファイルを作成して、再起動してください。
KATS19017-E	トレースログ出力時にログトレースライブラリーの不正が発生しました。 "<エラー情報>"	要因 トレースログの出力処理中にエラーが検知されました。 対処 メッセージに表示されたエラー情報の内容を参照し、エラー原因を取り除いて再度実行してください。対処できない場合は、Tiered Storage Manager の CLI トレースログファイルを取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS19018-E	htsmclienv.properties に不正な文字を含む値を指定しました。プロパティ名:"<プロパティ名>"	<p>要因 htsmclienv.properties プロパティファイルの指定に誤りがあります。メッセージに表示されたプロパティに不正な文字を含む値を指定しました。</p> <p>対処 htsmclienv.properties プロパティファイルで指定するプロパティは、印字できる ASCII 文字で指定してください。</p>

9.2 KATS20000～KATS29999

Tiered Storage Manager GUI に関するメッセージ (KATS20000～KATS29999) を次の表に示します。

表 9-2 KATS20000～KATS29999 : Tiered Storage Manager GUI のメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS20003-E	"<サービス名称>"の起動コマンドの実行に失敗しました。	<p>要因 Tiered Storage Manager サーバの起動コマンド実行時にエラーが発生しました。</p> <p>対処 手動で Tiered Storage Manager サーバを起動してください。</p>
KATS20004-E	"<サービス名称>"の停止コマンドの実行に失敗しました。	<p>要因 Tiered Storage Manager サーバの停止コマンド実行時にエラーが発生しました。</p> <p>対処 手動で Tiered Storage Manager サーバを停止してください。</p>
KATS20005-E	セッションが無効です。ログインし直してください。	<p>要因 セッションが無効になりました。</p> <p>対処 再ログインしてください。</p>
KATS20007-E	画面の更新中に、操作をしました。	<p>要因 画面の更新中に、画面を更新する操作をしました。</p> <p>対処 画面が更新されるのを待ってください。</p>
KATS20008-E	不正なページ遷移が実行されました。	<p>要因 [Alt] キー+矢印キーなどの不正な手段でページを表示しようとしてしました。</p> <p>対処 ブラウザ上のリンクやボタンで画面を表示させてください。</p>
KATS20009-E	メモリーが不足しています。	<p>要因 メモリーが不足しています。</p> <p>対処 再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS20010-E	予期しない状態が発生しました。	<p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>Tiered Storage Manager に予期しない状態が発生しました。</p> <p>対処 Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS20031-E	マイグレーショングループ名が指定されていません。	<p>要因 マイグレーショングループ名を入力していません。</p> <p>対処 マイグレーショングループ名を入力してください。</p>
KATS20032-E	マイグレーショングループ名の入力が最大入力長を超えています。	<p>要因 マイグレーショングループ名に入力できる最大入力長を超えて入力しました。</p> <p>対処 最大入力長を超えない範囲でマイグレーショングループ名を入力してください。マイグレーショングループ名に入力できるのは、UTF-8 換算で 75 バイト以下です。なお、ASCII 文字 1 文字は UTF-8 換算で 1 バイトとなり、そのほかの文字の 1 文字は UTF-8 換算で 1~3 バイトとなります (例: 漢字, 半角カタカナは 3 バイト)。</p>
KATS20033-E	マイグレーショングループ名に使用できない文字が含まれています。	<p>要因 入力したマイグレーショングループ名に、入力できない文字が含まれています。</p> <p>対処 マイグレーショングループ名を入力し直してください。マイグレーショングループ名に入力できる文字は、次のとおりです。 A~Z, a~z, - (ハイフン), _ (アンダーバー), . (ピリオド), @, 半角空白文字, 非 ASCII 文字</p>
KATS20034-W	マイグレーショングループを削除してもよろしいですか(マイグレーショングループ削除はマイグレーショングループの定義だけが削除されます。マイグレーショングループ内のボリュームに格納されているデータが消去されることはありません)。	<p>要因 -</p> <p>対処 -</p>
KATS20035-E	マイグレーショングループ削除ウィンドウのチェックボックスを選択しないで [OK] ボタンを押しました。	<p>要因 マイグレーショングループ削除ウィンドウのチェックボックスを選択しないで [OK] ボタンをクリックしました。</p> <p>対処 マイグレーショングループ削除ウィンドウのチェックボックスを選択してから、[OK] ボタンをクリックしてください。</p>
KATS20036-E	[説明] の入力が最大入力長を超えています。	<p>要因 [説明] に入力できる最大入力長を超えて入力しました。</p> <p>対処 最大入力長を超えない範囲で説明を入力してください。[説明] に入力できるのは、UTF-8 換算で 500 バイト以下です。なお、ASCII 文字 1 文字は UTF-8 換算で 1 バイトとなり、そのほかの</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		文字の1文字はUTF-8換算で1~3バイトとなります(例:漢字,半角カタカナは3バイト)。
KATS20037-E	待機中または動作中状態のタスクが指定されたマイグレーショングループを使用しているため、タスクを作成できません。	要因 該当するマイグレーショングループに関連するタスクが終了していない場合は、そのマイグレーショングループをマイグレーションできません。 対処 タスクの終了を待ち、再度実行してください。
KATS20038-E	[マイグレーション可能]が[いいえ]であるマイグレーショングループをマイグレーションしようとした。	要因 [マイグレーション可能]に[いいえ]を選択しているため、マイグレーションできません。 対処 マイグレーショングループ変更・マイグレーショングループ名ウィンドウで、[マイグレーション可能]を[はい]に変更してからマイグレーションしてください。マイグレーショングループの属性情報変更については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」を参照してください。
KATS20039-E	待機中または動作中状態のタスクが指定されたマイグレーショングループを使用しているため、マイグレーショングループを削除できません。	要因 該当するマイグレーショングループに関連するタスクが終了していない場合は、そのマイグレーショングループを削除できません。 対処 タスクの終了を待ち、再度実行してください。
KATS20040-E	待機中または動作中状態のタスクが指定されたマイグレーショングループを使用しているため、マイグレーショングループを変更できません。	要因 該当するマイグレーショングループに関連するタスクが終了していない場合は、そのマイグレーショングループを変更できません。 対処 タスクの終了を待ち、再度実行してください。
KATS20041-E	内部エラーが発生しました。	要因 メモリー不足などのエラーが発生したおそれがあります。 対処 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照して、対処してください。
KATS20042-E	この画面を表示した後に30分以上が経過したため、この画面に関連する処理は取り消されました。	要因 画面を表示してから30分以上が経過したため、この画面に関連する処理は取り消されました。 対処 再度、必要な処理をしてください。
KATS20043-E	通信エラーが発生しました。	要因 通信エラーが発生しました。 対処 再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS20045-E	日付の指定が逆転しています。	要因 [To]に指定した日付は、[From]に指定した日付より古くなっています。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		[To] には [From] に指定した日付より新しい日付を指定してください。
KATS20046-E	マイグレーション情報設定中にマイグレーショングループまたはストレージ階層の情報を変更されました。再度、マイグレーションウィザードのステップ 1 から実行してください。	要因 マイグレーション情報設定中にマイグレーショングループまたはストレージ階層の情報を変更されました。 対処 マイグレーションウィザードのステップ 1 から再実行してください。
KATS20047-E	移動先のボリュームが指定されていないボリュームペアがあります。	要因 マイグレーション先のボリュームとして LPAR をまだいまだボリュームしか利用できないため、マイグレーション先のボリュームを指定していない状態になっています。 対処 ボリュームペアの変更ポップアップウィンドウで、移動先のボリュームを指定してください。
KATS20048-E	移動先のボリュームが選択されていません。	要因 マイグレーション先のボリュームとして LPAR をまだいまだボリュームしか利用できないため、マイグレーション先のボリュームを指定していない状態になっています。 対処 移動先のボリュームを指定してください。
KATS20049-E	通信パラメーター:"<パラメーター名>"が不正です。	要因 "<パラメーター名>"に指定した値が不正です。 対処 再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS20050-E	セッションがタイムアウトになりました。ナビゲーションフレームの更新リンクをクリックして画面全体を更新してから、再度実行してください。	要因 インフォメーションの表示処理がセッションタイムアウトになりました。 対処 操作を続行するためには、ウィンドウ全体を更新する必要があります。ナビゲーションフレームの更新リンクをクリックして画面全体を更新してから、再度実行してください。
KATS20051-E	LUSE ボリュームの中の移動先 LDEV が矛盾しています。移動先の LDEV がすべて内部ボリュームか外部ボリュームのどちらかであることを確認してください。また、外部ボリュームの場合、外部ボリューム属性 (IO 抑止モード、キャッシュモード、CLPR) が等しいことを確認してください。(LUSE="<ボリュームのデバイス番号>", LDEVs="<LUSE の移動先 LDEV のデバイス番号>", " (コンマ) で結合したもの")	要因 LUSE ボリューム中の移動先 LDEV の設定に誤りがあります。 対処 ボリュームペアの変更ポップアップウィンドウで、移動先のボリュームを再度指定してください。
KATS20052-E	日付の指定が不正です。	要因 不正な日付が指定されています。 対処 正しい日付を指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS20053-E	マイグレーショングループがないため、マイグレーションタスクを作成できません。	要因 マイグレーショングループがありません。 対処 マイグレーショングループを作成してから再実行してください。
KATS20054-E	ストレージ階層がないため、マイグレーションタスクを作成できません。	要因 ストレージ階層がありません。 対処 ストレージ階層を作成してから再実行してください。
KATS20059-E	タスクが終了していないため、ボリュームを追加できません。	要因 タスクが終了していないため、マイグレーショングループにボリュームを追加できません。 対処 タスクが終了してから、マイグレーショングループにボリュームを追加してください。マイグレーショングループへのボリュームの追加については、マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド</i> 」を参照してください。
KATS20060-E	共存回避対象マイグレーショングループにはマイグレーショングループを 11 個以上登録することはできません。	要因 共存回避対象マイグレーショングループを登録する際に、11 個以上のマイグレーショングループを登録しようとしました。 対処 共存回避対象マイグレーショングループの登録を 10 個までにしてください。
KATS20061-W	ストレージドメインの情報が最新になっていません。ストレージドメインのリフレッシュを実行してください。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 Device Manager の情報と Tiered Storage Manager の情報に不一致が発生しました。 対処 メッセージに表示されたストレージドメインのリフレッシュを実行してください。
KATS20062-W	ストレージドメインの情報および Device Manager のストレージサブシステムの情報が最新になっていません。ストレージドメインのリフレッシュを実行してください。ストレージドメインのリフレッシュで、Device Manager のリフレッシュも実行します。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 Device Manager やストレージサブシステムの情報と Tiered Storage Manager の情報に不一致が発生しました。 対処 メッセージに表示されたストレージドメインのリフレッシュを実行してください。ストレージドメインのリフレッシュを実行すると、Device Manager が管理しているリポジトリ内のストレージサブシステムの情報もリフレッシュされます。
KATS20063-E	ストレージドメインの情報が最新になっていません。ストレージドメインのリフレッシュを実行してください。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 Device Manager の情報と Tiered Storage Manager の情報に不一致が発生したため、処理を実行できません。 対処 メッセージに表示されたストレージドメインのリフレッシュを実行してください。
KATS20064-E	ストレージドメインの情報および Device Manager のストレージサブシステムの情報が最新になっていません。ストレージドメインのリフレッシュを	要因 Device Manager やストレージサブシステムの情報と Tiered Storage Manager の情報に不一致が発生したため、処理を実行できません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	実行してください。ストレージドメインのリフレッシュで、Device Managerのリフレッシュも実行します。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	対処 メッセージに表示されたストレージドメインのリフレッシュを実行してください。ストレージドメインのリフレッシュを実行すると、Device Managerが管理しているリポジトリ内のストレージサブシステムの情報もリフレッシュされます。
KATS20065-E	Device Managerが管理しているストレージサブシステムはありません。	要因 Device Managerが管理しているストレージサブシステムはありません。 対処 Device Managerにストレージサブシステムを追加してください。
KATS20069-E	タスクが終了していないため、ボリュームを削除できません。	要因 タスクが終了していないため、ボリュームを削除できません。 対処 タスクが終了してから、ボリュームを削除してください。ボリュームの削除については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」を参照してください。
KATS20070-E	検索条件をこれ以上追加できません。	要因 検索条件をこれ以上追加できません。 対処 検索条件を追加したい場合は、すでに指定している検索条件を削除してから追加してください。
KATS20071-E	ストレージドメイン:"<ストレージドメイン名>"はリフレッシュ中のため、検索範囲へ指定できません。	要因 指定したストレージドメインはリフレッシュ中のため、検索範囲に指定できません。 対処 実行中のリフレッシュが完了してから、再度検索範囲へ指定してください。
KATS20072-E	ストレージサブシステム:"<ストレージサブシステム名>"は構成が不完全のため、検索範囲に指定できません。	要因 指定したストレージサブシステムは構成が不完全のため、検索範囲に指定できません。 対処 Device Managerから該当するストレージサブシステムの状態を確認し、サブシステム情報を再構成してください。
KATS20073-E	ストレージサブシステム:"<ストレージサブシステム名>"はDevice Managerから削除されたか、ほかの原因で検索情報を取得できませんでした。	要因 該当するストレージサブシステムに関する検索のための情報を取得できませんでした。 対処 Device Managerから該当するサブシステムが削除されたおそれがあります。再度検索画面の起動から操作を行うか、Device Managerから該当するサブシステムがあるか確認してください。
KATS20074-E	ストレージサブシステム:"<ストレージサブシステム名>"はDevice Managerから削除されたか、ほかの原因で取得できませんでした。	要因 該当するストレージサブシステムを取得できませんでした。 対処 Device Managerから該当するサブシステムが削除されたおそれがあります。Device Managerに該当するサブシステムがあるか確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS20079-E	指定されたマイグレーショングループ名が空白文字で始まっています。	要因 マイグレーショングループ名の先頭に空白文字は使用できません。 対処 先頭に空白文字を含まないマイグレーショングループ名を入力してください。
KATS20080-E	指定されたマイグレーショングループ名が空白文字で終わっています。	要因 マイグレーショングループ名の末尾に空白文字は使用できません。 対処 末尾に空白文字を含まないマイグレーショングループ名を入力してください。
KATS20081-E	ボリュームを選択してください。	要因 ボリュームを選択していません。 対処 ボリュームを選択してください。
KATS20082-E	検索条件のデバイス番号に不正な文字が含まれています。	要因 検索条件のデバイス番号に使用できない文字が含まれています。 対処 検索条件のデバイス番号を正しく入力してください。デバイス番号に指定できるのは、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> 0x100 未満の 16 進数二つ、または三つを ":" (コロン) で区切った文字列です。 デバイス番号を"," (コンマ) で区切って複数指定できます。 デバイス番号を"- " (ハイフン) で区切って範囲指定できます。 複数指定と範囲指定の混在もできます。 ただし、 ":" (コロン) の前後に空白文字は指定できません。
KATS20083-E	検索条件に指定されたデバイス番号の指定数が多過ぎます。	要因 検索条件のデバイス番号に指定した個数が多過ぎます。 対処 検索条件のデバイス番号を正しく指定してください。デバイス番号に指定できる要素数は、100 以下です。
KATS20084-E	検索条件に指定された使用元が最大入力長を超えています。	要因 検索条件の使用元に指定した値が長過ぎます。 対処 検索条件の使用元を正しく指定してください。使用元に指定できるのは、UTF-8 換算で 256 バイト以下です。なお、ASCII 文字 1 文字は UTF-8 換算で 1 バイトとなり、そのほかの文字の 1 文字は UTF-8 換算で 1~3 バイトとなります (例: 漢字、半角カタカナは 3 バイト)。
KATS20085-E	検索条件に指定された使用元の指定が多過ぎます。	要因 検索条件の使用元に二つ以上の値を指定しています。使用元は複数指定できません。 対処 検索条件の使用元は一つだけ指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS20086-E	検索条件に指定されたアレイグループ名が最大入力長を超えています。	要因 検索条件のアレイグループ名に指定した値が長過ぎます。 対処 検索条件のアレイグループ名を正しく指定してください。アレイグループ名に指定できるのは、UTF-8 換算で 75 バイト以下です。なお、ASCII 文字 1 文字は UTF-8 換算で 1 バイトとなり、そのほかの文字の 1 文字は UTF-8 換算で 1~3 バイトとなります（例：漢字、半角かたかなは 3 バイト）。
KATS20087-E	検索条件に指定されたアレイグループ名が多過ぎます。	要因 検索条件のアレイグループ名に指定した個数が多過ぎます。 対処 検索条件のアレイグループ名を正しく指定してください。アレイグループ名に指定できる要素数は、100 以下です。
KATS20088-E	検索条件の容量に不正な文字が指定されています。	要因 検索条件の容量に指定した値に誤りがあります。 対処 検索条件の容量を正しく指定してください。容量に指定できる値は、半角数字です。
KATS20089-E	検索条件の容量に範囲外の値が指定されています。	要因 検索条件の容量に指定できない値を指定しています。 対処 検索条件の容量を正しく指定してください。容量に指定できる値は、 $0 \sim 263^1$ の整数です。
KATS20090-E	検索条件の使用元が指定されていません。	要因 検索条件の使用元に値を指定していません。 対処 検索条件の使用元を指定してください。
KATS20091-E	検索条件のアレイグループ名が指定されていません。	要因 検索条件のアレイグループ名に値を指定していません。 対処 検索条件のアレイグループ名を指定してください。
KATS20092-E	検索条件の容量が指定されていません。	要因 検索条件の容量に値を指定していません。 対処 検索条件の容量を指定してください。
KATS20093-E	検索条件のデバイス番号が指定されていません。	要因 検索条件のデバイス番号に値を指定していません。 対処 検索条件のデバイス番号を指定してください。
KATS20094-E	指定された使用元が空白文字で始まっています。	要因 使用元の先頭に空白文字は使用できません。 対処 先頭に空白文字を含まない使用元を入力してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS20095-E	指定された使用元が空白文字で終わっています。	要因 使用元の末尾に空白文字は使用できません。 対処 末尾に空白文字を含まない使用元を入力してください。
KATS20096-E	検索条件のアレイグループ名に不正な文字が指定されています。	要因 検索条件のアレイグループ名に指定した文字に誤りがあります。 対処 検索条件のアレイグループ名を正しく指定してください。
KATS20097-E	検索条件のデバイス番号の形式が正しく指定されていません。	要因 検索条件のデバイス番号の形式に誤りがあります。 対処 検索条件のデバイス番号を正しく指定してください。
KATS20098-E	検索条件が最大入力長を超えています。	要因 検索条件が最大入力長を超えています。 対処 最大入力長を超えない範囲で検索条件を入力してください。
KATS20099-E	検索条件の使用元に不正な文字が指定されています。	要因 検索条件の使用元に指定した文字に誤りがあります。 対処 検索条件の使用元を正しく指定してください。
KATS20100-E	ボリューム詳細情報が表示できません。	要因 マイグレーショングループに登録されているボリュームが、Device Manager で削除されているおそれがあります。 対処 ボリュームが Device Manager ですでに削除されている場合は、このボリュームをマイグレーショングループから削除してください。
KATS20101-E	指定されたアレイグループ名が空白文字で始まっています。	要因 アレイグループ名の先頭に空白文字は使用できません。 対処 先頭に空白文字を含まないアレイグループ名を入力してください。
KATS20102-E	指定されたアレイグループ名が空白文字で終わっています。	要因 アレイグループ名の末尾に空白文字は使用できません。 対処 末尾に空白文字を含まないアレイグループ名を入力してください。
KATS20103-E	検索条件:"<検索属性名>"に空欄が指定されています。	要因 検索条件に空欄を指定しています。 対処 空欄を指定している属性を検索条件から取り除いて、再度実行してください。
KATS20104-E	指定された論理 DKC 番号が空白文字で始まっています。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		論理 DKC 番号の先頭に空白文字は使用できません。 対処 先頭に空白文字を含まない論理 DKC 番号を入力してください。
KATS20105-E	指定された論理 DKC 番号が空白文字で終わっています。	要因 論理 DKC 番号の末尾に空白文字は使用できません。 対処 末尾に空白文字を含まない論理 DKC 番号を入力してください。
KATS20106-E	論理 DKC 番号に使用できない文字が含まれています。	要因 論理 DKC 番号に指定した文字に誤りがあります。 対処 論理 DKC 番号を適切に入力してください。
KATS20111-E	検索条件の SLPR が指定されていません。	要因 検索条件の SLPR を指定していません。 対処 検索条件の SLPR を指定してください。
KATS20112-E	検索条件の SLPR に不正な文字が指定されています。	要因 検索条件の SLPR に指定した文字に誤りがあります。 対処 検索条件の SLPR を正しく指定してください。
KATS20113-E	検索条件の SLPR に範囲外の値が指定されています。	要因 検索条件の SLPR に指定できない値を指定しています。 対処 検索条件の SLPR を正しく指定してください。
KATS20114-E	検索条件の CLPR が指定されていません。	要因 検索条件の CLPR を指定していません。 対処 検索条件に CLPR を指定してください。
KATS20115-E	検索条件の CLPR に不正な文字が指定されています。	要因 検索条件の CLPR に指定した文字に誤りがあります。 対処 検索条件の CLPR を正しく指定してください。
KATS20116-E	検索条件の CLPR に範囲外の値が指定されています。	要因 検索条件の CLPR に指定できない値を指定しています。 対処 検索条件の CLPR を正しく指定してください。
KATS20121-E	検索条件のサブシステムシリアル番号が指定されていません。	要因 検索条件のサブシステムシリアル番号を指定していません。 対処 検索条件のサブシステムシリアル番号を指定してください。
KATS20122-E	検索条件に指定されたサブシステムシリアル番号が最大入力長を超えています。	要因 検索条件のサブシステムシリアル番号に指定した値が長過ぎます。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		検索条件のサブシステムシリアル番号を正しく指定してください。
KATS20123-E	検索条件のサブシステムシリアル番号に不正な文字が指定されています。	要因 検索条件のサブシステムシリアル番号に指定した文字に誤りがあります。 対処 検索条件のサブシステムシリアル番号を正しく指定してください。
KATS20124-E	指定されたサブシステムシリアル番号が空白文字で始まっています。	要因 検索条件のサブシステムシリアル番号の先頭に空白文字は使用できません。 対処 先頭に空白文字を含まないサブシステムシリアル番号を入力してください。
KATS20125-E	指定されたサブシステムシリアル番号が空白文字で終わっています。	要因 検索条件のサブシステムシリアル番号の末尾に空白文字は使用できません。 対処 末尾に空白文字を含まないサブシステムシリアル番号を入力してください。
KATS20131-E	検索条件に指定されたコントローラーアレイグループ名が最大入力長を超えています。	要因 検索条件のコントローラーアレイグループ名に指定した値が長過ぎます。 対処 検索条件のコントローラーアレイグループ名を正しく入力してください。コントローラーアレイグループ名に指定できるのは、UTF-8 換算で 75 バイト以下です。なお、ASCII 文字 1 文字は UTF-8 換算で 1 バイトとなり、そのほかの文字の 1 文字は UTF-8 換算で 1~3 バイトとなります (例: 漢字, 半角かたかなは 3 バイト)。
KATS20132-E	検索条件に指定されたコントローラーアレイグループ名が多過ぎます。	要因 検索条件のコントローラーアレイグループ名に指定した個数が多過ぎます。 対処 検索条件のコントローラーアレイグループ名を正しく入力してください。コントローラーアレイグループ名に指定できる要素数は、100 以下です。
KATS20133-E	検索条件のコントローラーアレイグループ名が指定されていません。	要因 検索条件のコントローラーアレイグループ名を指定していません。 対処 検索条件のコントローラーアレイグループ名を入力してください。
KATS20134-E	検索条件のコントローラーアレイグループ名に不正な文字が指定されています。	要因 検索条件のコントローラーアレイグループ名に指定した文字に誤りがあります。 対処 検索条件のコントローラーアレイグループ名を正しく指定してください。
KATS20135-E	指定されたコントローラーアレイグループ名が空白文字で始まっています。	要因 検索条件のコントローラーアレイグループ名の先頭に空白文字は使用できません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 先頭に空白文字を含まないコントローラーアレイグループ名を入力してください。
KATS20136-E	指定されたコントローラーアレイグループ名が空白文字で終わっています。	要因 検索条件のコントローラーアレイグループ名の末尾に空白文字は使用できません。 対処 末尾に空白文字を含まないコントローラーアレイグループ名を入力してください。
KATS20141-E	検索条件のアレイグループ平均利用率の値が指定されていません。	要因 検索条件のアレイグループ利用率の値を指定していません。 対処 アレイグループ利用率を適切に入力してください。
KATS20142-E	検索条件のアレイグループ平均利用率に不正な文字が指定されています。	要因 検索条件のアレイグループ利用率に指定した文字に誤りがあります。 対処 アレイグループ利用率を適切に入力してください。
KATS20143-E	検索条件のアレイグループ平均利用率に範囲外の値が指定されています。	要因 検索条件のアレイグループ利用率に指定できない値を指定しています。 対処 アレイグループ利用率を適切に入力してください。
KATS20144-E	検索条件のアレイグループ最大利用率の値が指定されていません。	要因 検索条件のアレイグループ利用率の最大値を指定していません。 対処 アレイグループ利用率の最大値を適切に入力してください。
KATS20145-E	検索条件のアレイグループ最大利用率に不正な文字が指定されています。	要因 検索条件のアレイグループ利用率の最大値に指定した数値に誤りがあります。 対処 アレイグループ利用率の最大値を適切に入力してください。
KATS20146-E	検索条件のアレイグループ最大利用率に範囲外の値が指定されています。	要因 検索条件のアレイグループ利用率の最大値に指定した数値に誤りがあります。 対処 アレイグループ利用率の最大値を適切に入力してください。
KATS20150-E	検索条件の検索範囲項目が指定されていません。	要因 検索条件の検索範囲項目を指定していません。 対処 検索条件の検索範囲項目を指定してください。
KATS20151-E	検索対象がタスクの場合は、検索条件として同一の属性を複数回指定することはできません。	要因 検索条件がタスクの場合に、検索条件に同じ属性を複数回指定しました。 対処 属性は一度だけ指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS20152-E	検索条件の"状態"のチェックボックスが未チェックです。	要因 検索条件の [状態] のチェックボックスをチェックしていません。 対処 [状態] のチェックボックスをチェックするか、または [状態] を検索条件から削除してください。
KATS20153-E	検索条件"タスク種別"に"マイグレーション"の指定が必要です。	要因 検索条件の [タスク種別] に [マイグレーション] を指定していません。 対処 検索条件の [タスク種別] に [マイグレーション] を追加するか、または移動先ストレージ階層を検索条件から削除してください。
KATS20160-E	タスクが終了しているため、タスクを編集できません。	要因 終了状態のタスクは編集できません。タスクを編集できるのは、待機状態または実行中のタスクだけです。 対処 -
KATS20165-E	検索条件の"<検索属性名>"に範囲外の値が指定されています。	要因 検索条件の"<検索属性名>"に範囲外の値が指定されています。 対処 該当する属性の入力値を規定の範囲内に収まるよう変更してください。
KATS20166-E	検索条件に指定された"<検索属性名>"が最大入力長を超えています。	要因 検索条件に指定された"<検索属性名>"が最大入力長を超えています。 対処 該当する属性の入力値を規定の範囲内に収まるよう変更してください。
KATS20167-E	検索条件の"<検索属性名>"に不正な文字が指定されています。	要因 検索条件の"<検索属性名>"に不正な文字が指定されています。 対処 該当する属性の入力値を適切な値に変更してください。
KATS20168-E	指定された"<検索属性名>"が空白文字で始まっています。	要因 指定された"<検索属性名>"が空白文字で始まっています。 対処 該当する属性の先頭から空白文字を取り除き、再度入力してください。
KATS20169-E	指定された"<検索属性名>"が空白文字で終わっています。	要因 指定された"<検索属性名>"が空白文字で終わっています。 対処 該当する属性の末尾から空白文字を取り除き、再度入力してください。
KATS20170-E	検索条件に指定した"<検索属性名>"が入力できる最大の数を超えています。	要因 指定した"<検索属性名>"の数が最大入力個数を超えています。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		該当する属性の入力値を最大入力個数以内に してから、再度入力してください。入力できる検索 属性名の最大入力個数については、GUI ヘルプを 参照してください。
KATS20171-E	検索条件に指定した"<検索属性名 >"の入力規則に誤りがあります。	要因 指定した"<検索属性名>"の入力規則に誤りがあ ります。 対処 該当する属性の入力値を適切な値に変更してく ださい。検索属性名に指定できる値については、 GUI ヘルプを参照してください。
KATS20502-E	セッションがタイムアウトになりまし た。	要因 セッションがタイムアウトになりました。 対処 再ログインしてください。
KATS20503-E	Suite Product Single Sign On Service でエラーが発生しました。	要因 共通コンポーネントへのログイン中にエラーが 発生しました。共通コンポーネントが起動して いないか、または通信経路に異常が発生している おそれがあります。 外部認証サーバ連携機能を使用している場合は、 外部認証サーバとの通信に失敗しているおそれ があります。 対処 外部認証サーバ連携機能を使用している場合は、 次の対処をしてください。 外部認証サーバが LDAP の場合 1. exauth.properties に設定されているホ スト、ポートおよびプロトコルを使用して外 部認証サーバにアクセスできるかどうか、外 部認証サーバの設定またはネットワークの 状態を確認してください。 2. hcmsldapuser コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ 名の情報が登録されていることを確認して ください。 3. StartTLS で通信するときは、SSL の設定を 確認してください。 4. 問題が解決しないときは、Tiered Storage Manager および共通コンポーネントの保守 情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡して ください。 外部認証サーバが RADIUS の場合 1. exauth.properties に設定されているホ スト、ポートおよびプロトコルを使用して外 部認証サーバにアクセスできるかどうか、外 部認証サーバの設定またはネットワークの 状態を確認してください。 2. hcmsradiussecret コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ 名の情報が登録されていることを確認して ください。 3. 問題が解決しないときは、Tiered Storage Manager および共通コンポーネントの保守

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>外部認証サーバが Kerberos の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. exauth.properties に設定されているホストおよびポートを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. 問題が解決しないときは、Tiered Storage Manager および共通コンポーネントの保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。 <p>外部認証サーバ連携機能を使用していない場合は、共通コンポーネントの起動を確認してから、再度実行してください。再度実行してもエラーが発生する場合は、Tiered Storage Manager および共通コンポーネントの保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS20506-E	Java Script が有効ではありません。Java Script を有効にしてください。	<p>要因 ブラウザの Java Script が無効になっています。</p> <p>対処 Java Script を有効にしてください。</p>
KATS20507-E	Tiered Storage Manager が正しくインストールされていません。	<p>要因 Tiered Storage Manager が正しくインストールされていません。</p> <p>対処 -</p>
KATS20508-E	Tiered Storage Manager にログインする権限がありません。	<p>要因 グローバル権限のないユーザーでログインしています。</p> <p>対処 グローバル権限のあるユーザーでログインしてください。または、現在のユーザーにグローバル権限を与えてからログインしてください。</p>
KATS20509-E	Tiered Storage Manager サーバが使用する DB が閉塞しました。閉塞した部位は、"<アプリケーション名>"です。サーバ管理者に連絡してください。	<p>要因 Tiered Storage Manager で使用するデータベースが閉塞しています。</p> <p>対処 サーバ管理者に連絡してください。</p>
KATS20721-E	ストレージサブシステム: "<ストレージサブシステム名>" はリフレッシュ中のため、検索範囲に指定できません。	<p>要因 指定したストレージサブシステムはリフレッシュ中のため、検索範囲に指定できません。</p> <p>対処 実行しているリフレッシュ処理が完了してから、再度検索範囲に指定してください。SMI-S Enabled サブシステムの場合、ストレージサブシステムの追加または更新が完了したあとに、Device Manager が Tiered Storage Manager で使用する情報をリフレッシュします。しばらくしてから再度実行してください。</p>
KATS20722-W	ストレージサブシステムの情報が最新になっていません。ストレージサブシステムのリフレッシュを実行してくだ	<p>要因 指定したストレージサブシステムの情報が最新ではありません。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	さい。ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>"	メッセージに表示されたストレージサブシステムのリフレッシュを実行してください。
KATS20723-I	ライセンス警告は、既に解消されました。	要因 ライセンスエラーのストレージサブシステムが存在しません。 対処 -
KATS20724-W	認可されたライセンス容量を超えています。	要因 ライセンスエラーのストレージサブシステムがあります。 対処 -
KATS20725-W	client.properties プロパティファイルの設定値に誤りがあります。(設定項目:"<プロパティキー>", 設定値:"<プロパティ値>") "<プロパティキー>"はデフォルト値で起動します。	要因 client.properties プロパティファイルの設定値に誤りがあります。 対処 該当する設定値を修正して、HBase Storage Mgmt Common Service を再起動してください。
KATS20726-W	client.properties プロパティファイルがありません。設定項目"<プロパティキー>"はデフォルト値で起動します。	要因 client.properties プロパティファイルの読み込みに失敗しました。 対処 client.properties プロパティファイルがあることを確認してください。
KATS20727-W	client.properties プロパティファイルで設定されていない項目があります。設定項目"<プロパティキー>"はデフォルト値で起動します。	要因 メッセージの内容を参照してください。 対処 -
KATS20728-I	client.properties ファイルの設定項目"<プロパティキー>"に設定値"<プロパティ値>"が指定されました。	要因 メッセージの内容を参照してください。 対処 -
KATS20729-E	client.properties プロパティファイルの設定値に誤りがあります。(設定項目:"<プロパティキー>", 設定値:"<プロパティ値>")	要因 client.properties プロパティファイルの設定値に誤りがあります。 対処 該当する設定値を修正して、HBase Storage Mgmt Common Service を再起動してください。
KATS20730-E	client.properties プロパティファイルで設定されていない項目があります。(設定項目:"<プロパティキー>")	要因 client.properties プロパティファイルの設定値に誤りがあります。 対処 該当する設定値を修正して、HBase Storage Mgmt Common Service を再起動してください。
KATS20751-E	レポート画面を表示できる権限がないため、レポート画面を表示できません。	要因 ログインユーザーにレポートを表示する権限がありません。 対処 ログインユーザーの権限を確認し、再度操作を実行してください。
KATS20752-E	表示対象が存在しないため、レポート画面を表示できません。	要因 表示対象が存在しません。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		表示対象を選択するか、選択した対象の内容を確認してから、再度処理を実行してください。
KATS20753-E	URL が不正なため、レポート画面を表示できません。	要因 レポート画面を表示する URL に誤りがあります。 対処 再度処理を実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS20754-E	URL が不正なため、レポート画面を表示できません。	要因 レポート画面を表示する URL に誤りがあります。 対処 表示先の URL の形式が不正です。 client.properties プロパティファイルで指定している値を確認し、HBase Storage Mgmt Common Service を再起動してください。
KATS20755-E	client.properties プロパティファイルに設定している HP StorageWorks XP Performance Advisor レポート表示の設定が不完全なため、HP StorageWorks XP Performance Advisor レポート表示機能を無効にします。	要因 HP StorageWorks XP Performance Advisor レポート表示の設定が不完全です。 対処 client.properties プロパティファイルの HP StorageWorks XP Performance Advisor レポート表示に関する値を確認し、HBase Storage Mgmt Common Service を再起動してください。
KATS20756-I	HP StorageWorks XP Performance Advisor レポート表示機能を有効にします。	要因 メッセージの内容を参照してください。 対処 -

9.3 KATS30000～KATS39999

Tiered Storage Manager GUI に関するメッセージ（KATS30000～KATS39999）を次の表に示します。

表 9-3 KATS30000～KATS39999 : Tiered Storage Manager GUI のメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS30002-I	変更処理を実行してよろしいですか？	要因 - 対処 -
KATS30003-I	変更処理をキャンセルしますか？	要因 - 対処 -
KATS30004-I	マイグレーショングループの作成をキャンセルしてよろしいですか？	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS30006-I	マイグレーショングループの作成を実行してよろしいですか？	要因 - 対処 -
KATS30008-I	マイグレーションの設定をキャンセルし、ウィンドウを閉じてよろしいですか？	要因 - 対処 -
KATS30009-I	タスクをキャンセルしますか？	要因 - 対処 -
KATS30010-I	タスクを削除しますか？	要因 - 対処 -
KATS30011-W	検索条件に不正な情報が含まれています。	要因 入力した検索条件に、検索対象外の条件が含まれています。 対処 検索条件を見直して、再検索してください。
KATS30012-I	ボリューム追加をキャンセルしますか？	要因 - 対処 -
KATS30013-I	ボリューム削除をキャンセルしますか？	要因 - 対処 -
KATS30014-W	ストレージ階層が選択されていません。	要因 - 対処 -
KATS30015-I	タスクを実行しますか？	要因 - 対処 -
KATS30016-W	検索条件が指定されていません。	要因 検索条件を指定しないで、ボリューム検索しようとしてしました。 対処 検索条件を指定してから、ボリューム検索してください。
KATS30017-W	ボリュームが選択されていません。	要因 ボリュームを選択していません。 対処 ボリュームを選択して再実行してください。
KATS30020-W	検索条件を指定してください。	要因 検索条件を指定していません。 対処 検索条件を指定して再実行してください。
KATS30021-W	異なる SLPR に属するボリュームを選択してよろしいですか？	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 -
KATS30023-W	タスクが選択されていません。	要因 タスクを選択していません。 対処 タスクを選択して、再実行してください。
KATS30024-W	[ボリューム一覧表示] ボタンをクリックして、ボリューム一覧を確認してください。	要因 - 対処 [ボリューム一覧表示] ボタンをクリックしてください。
KATS30025-W	ほかの移動元ボリュームの移動先として設定されているボリュームを選択してよろしいですか？	要因 - 対処 [OK] ボタンをクリックした場合は、ほかの移動元ボリュームの移動先ボリュームを設定してください。

9.4 KATS40000～KATS49999

Tiered Storage Manager サーバに関するメッセージ (KATS40000～KATS49999) を次の表に示します。

表 9-4 KATS40000～KATS49999 : Tiered Storage Manager サーバのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS40601-I	HiCommand Tiered Storage Manager CLI setup ended successfully.	要因 Tiered Storage Manager CLI のセットアップが正常終了しました。 対処 -
KATS40602-E	An attempt to set up the HiCommand Tiered Storage Manager CLI has failed.	要因 Tiered Storage Manager CLI のセットアップ、または日立ネットワークオブジェクトプラザトレース共通ライブラリーのインストール、セットアップに失敗しました。 対処 再度 Tiered Storage Manager CLI をセットアップしてください。セットアップしても異常終了となる場合は、セットアップ時のトレース情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS40603-E	An attempt to allocate memory has failed.	要因 使用するメモリーの割り当てに失敗しました。 対処 起動中のほかのプログラムを終了するなど、メモリーリソースを確保して再実行してください。
KATS40604-E	An attempt to read the registry has failed.	要因 日立ネットワークオブジェクトプラザトレース共通ライブラリーのレジストリー情報が不正な状態になっています。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		再度 Tiered Storage Manager をセットアップまたはアンセットアップしてください。セットアップまたはアンセットアップしても異常終了となる場合は、CLI セットアップまたはアンセットアップ時のトレース情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS40605-I	HiCommand Tiered Storage Manager CLI unsetup ended successfully.	要因 Tiered Storage Manager CLI のアンセットアップが正常終了しました。 対処 -
KATS40606-E	An attempt to perform unsetup of the HiCommand Tiered Storage Manager CLI has failed.	要因 Tiered Storage Manager CLI のアンセットアップ、または日立ネットワークオブジェクトブラウザトレース共通ライブラリーのアンインストール、アンセットアップに失敗しました。 対処 再度 Tiered Storage Manager CLI をアンセットアップしてください。再度アンセットアップしても異常終了となる場合は、アンセットアップ時のトレース情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS40607-I	Before you can use the program, you must restart your computer.	要因 日立ネットワークオブジェクトブラウザトレース共通ライブラリーのインストールで遅延コピーが発生したため、プログラムを使用する前に再起動が必要です。 対処 セットアップ完了後、コンピュータを再起動してください。
KATS40610-E	The user group permissions are not system administrator permissions.	要因 管理者権限を持たないユーザーは、Tiered Storage Manager CLI のセットアップまたはアンセットアップを実行できません。 対処 管理者権限を持つユーザーで、再度 Tiered Storage Manager CLI をセットアップまたはアンセットアップを実行してください。
KATS40611-E	The user does not have root user permissions.	要因 root 権限を持たないユーザーは、Tiered Storage Manager CLI のセットアップまたはアンセットアップを実行できません。 対処 root 権限を持つユーザーで、再度 Tiered Storage Manager CLI をセットアップまたはアンセットアップを実行してください。
KATS40612-E	The extraction destination for the CLI setup file is invalid. Extract the file under the < <i>extraction-destination</i> >.	要因 CLI のセットアップファイルの展開先が間違っています。 対処 Windows の場合 システムドライブ直下に展開してください UNIX の場合 /opt 直下に展開してください。
KATS40613-E	This setup file is for < <i>OS-name</i> >.	要因

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		CLI のセットアップファイルが、セットアップするマシンの OS 用のセットアップファイルではありません。 対処 セットアップするマシンの OS に対応した CLI のセットアップファイルを使用してください。
KATS40901-I	A start request for the Tiered Storage Manager service was received.	要因 Tiered Storage Manager サービスの開始要求を受け付けました。 対処 -
KATS40902-I	The Tiered Storage Manager service started.	要因 Tiered Storage Manager サービスが開始しました。 対処 -
KATS40909-E	An attempt to start the Tiered Storage Manager service has failed.	要因 Tiered Storage Manager サービスの開始に失敗しました。 対処 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照して、対処してください。
KATS40910-I	A stop request for the Tiered Storage Manager service was received.	要因 Tiered Storage Manager サービスの停止要求を受け付けました。 対処 -
KATS40911-I	The Tiered Storage Manager service stopped.	要因 Tiered Storage Manager サービスが停止しました。 対処 -
KATS40912-W	The Tiered Storage Manager server is now starting. Processing to stop the service will be interrupted. Wait a while, and then try to stop the service again.	要因 Tiered Storage Manager サーバが開始処理中のためサービスを停止できません。 対処 Tiered Storage Manager サーバ開始処理が終了してから、サービスの停止を再実行してください。
KATS40913-W	Processing to stop the Tiered Storage Manager server is already being performed.	要因 Tiered Storage Manager サーバがすでに停止処理を実行しているため、停止要求を受付できません。 対処 Tiered Storage Manager サーバ停止処理が完了してから、サービスの停止を再実行してください。
KATS40919-E	An attempt to stop the Tiered Storage Manager service has failed.	要因 Tiered Storage Manager サービスの停止に失敗しました。 対処 再度停止しても失敗する場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS40920-E	An attempt to connect to the service control manager has failed. (error code: < <i>error-code</i> >)	要因 サービス制御マネージャーへの接続に失敗しました。 対処 再度、起動または停止しても失敗する場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS40921-E	An attempt to report the service status (status: < <i>status</i> >) to the service control manager has failed. (error code: < <i>error-code</i> >)	要因 サービス制御マネージャーへのサービスの状態報告に失敗しました。status: < <i>status</i> > に示される値には次のどれかが入ります。 ・ START_PROCESS : 開始処理中 ・ STOP_PROCESS : 停止処理中 ・ STOPPED : 停止 ・ RUN : 実行中 対処 OS を再起動しても起動、停止に失敗する場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS40922-E	An attempt to register the control handler into the service control manager has failed. (error code: < <i>error-code</i> >)	要因 サービス制御マネージャーへの制御ハンドラーの登録に失敗しました。 対処 再度、起動または停止しても失敗する場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS40923-E	An attempt to create a service stop event object has failed. (error code: < <i>error-code</i> >)	要因 サービス停止イベントオブジェクトの作成に失敗しました。 対処 再度、起動または停止しても失敗する場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS40930-E	An attempt to allocate memory has failed.	要因 使用するメモリの割り当てに失敗しました。 対処 起動中のほかのプログラムを終了するなど、メモリーリソースを確保して再実行してください。
KATS40931-E	An attempt to create a file has failed. (file name: < <i>file-name</i> >, error code: < <i>error-code</i> >)	要因 Tiered Storage Manager サービスで使用するファイルの作成に失敗しました。 対処 再度、起動または停止しても失敗する場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS40932-E	An attempt to write a file has failed. (file name: < <i>file-name</i> >, error code: < <i>error-code</i> >)	要因 Tiered Storage Manager サービスで使用するファイルへの書き込みが失敗しました。 対処 再度、起動または停止しても失敗する場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS40933-E	An attempt to set an environment variable has failed.	要因 Tiered Storage Manager サービスで使用する環境変数の設定に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 再度、起動または停止しても失敗する場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS40934-E	An attempt to acquire information about the server process of Tiered Storage Manager has failed. (error code: < <i>error-code</i> >)	要因 Tiered Storage Manager サーバプロセスの情報の取得に失敗しました。 対処 再度、起動または停止しても失敗する場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS40935-E	An attempt to load the DLL has failed. (DLL name: < <i>DLL-name</i> >)	要因 DLL のロードに失敗しました。 対処 Tiered Storage Manager サーバを再インストールしてください。再インストール後もまだエラーが発生する場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS40936-E	An attempt to acquire a function address in the DLL has failed. (function name: < <i>function-name</i> >)	要因 DLL 中の関数のアドレス取得に失敗しました。 対処 Tiered Storage Manager サーバを再インストールしてください。再インストール後もまだエラーが発生する場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS40940-E	The registry information for Tiered Storage Manager is invalid. (error code: < <i>error-code</i> >)	要因 Tiered Storage Manager のレジストリー情報が不正です。 対処 Tiered Storage Manager サーバを再インストールしてください。
KATS40941-E	The registry information for Common Component is invalid. (error code: < <i>error-code</i> >)	要因 共通コンポーネントのレジストリー情報が不正です。 対処 Tiered Storage Manager サーバを再インストールしてください。Tiered Storage Manager サーバを再インストールすると、共通コンポーネントも再インストールされます。
KATS40942-E	The registry information for the Hitachi Network Objectplaza Trace Library is invalid. (error code: < <i>error-code</i> >)	要因 日立ネットワークオブジェクトプラザトレース共通ライブラリーのレジストリー情報が不正です。 対処 Tiered Storage Manager サーバを再インストールしてください。Tiered Storage Manager サーバを再インストールすると、日立ネットワークオブジェクトプラザトレース共通ライブラリーも再インストールされます。
KATS40950-E	An attempt to start Java Virtual Machine has failed.	要因 JavaVM の起動に失敗しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		再度、起動または停止しても失敗する場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS40951-E	An attempt to load the class starting Tiered Storage Manager server has failed.	要因 Tiered Storage Manager サーバプログラムのライブラリーファイル (jar ファイル) が不正です。 対処 Tiered Storage Manager サーバを再インストールしてください。
KATS40952-E	An attempt to acquire the method identifier for the method starting Tiered Storage Manager server has failed.	要因 Tiered Storage Manager サーバプログラムのライブラリーファイル (jar ファイル) が不正です。 対処 Tiered Storage Manager サーバを再インストールしてください。
KATS40953-E	An attempt to execute the method starting Tiered Storage Manager server has failed.	要因 Tiered Storage Manager サーバの起動に失敗しました。 対処 コマンドログおよびメッセージログを参照して対処してください。対処してもまだエラーが発生する場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS40954-E	An attempt to acquire the method identifier for the method stopping Tiered Storage Manager server has failed.	要因 Tiered Storage Manager サーバプログラムのライブラリーファイル (jar ファイル) が不正です。 対処 Tiered Storage Manager サーバを再インストールしてください。
KATS40955-E	An attempt to load the exception class of the Tiered Storage Manager server has failed.	要因 Tiered Storage Manager サーバプログラムのライブラリーファイル (jar ファイル) が不正です。 対処 Tiered Storage Manager サーバを再インストールしてください。
KATS41000-I	Tiered Storage Manager を開始します。	要因 - 対処 -
KATS41001-I	Tiered Storage Manager を開始しました。	要因 - 対処 -
KATS41002-I	Tiered Storage Manager を停止します。	要因 - 対処 -
KATS41003-I	Tiered Storage Manager を停止しました。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS41004-W	Tiered Storage Manager はすでに終了中であるため、終了要求を受け付けられません。	要因 Tiered Storage Manager 停止コマンドが実行済みです。 対処 Tiered Storage Manager が終了するのを待ってください。
KATS41005-W	Tiered Storage Manager は開始中であるため、終了要求を受け付けられません。	要因 Tiered Storage Manager は開始中です。 対処 Tiered Storage Manager が開始してから、コマンドを再実行してください。
KATS41006-E	Tiered Storage Manager の開始に失敗しました。	要因 Tiered Storage Manager の開始に失敗しました。 対処 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照して、対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS41007-E	インストール時に指定した Tiered Storage Manager サーバのホスト名が不正のため、Tiered Storage Manager の開始に失敗しました。ホスト名:"<ホスト名>"	要因 インストール時に指定した Tiered Storage Manager サーバのホスト名、または IP アドレスの形式が不正であるおそれがあります。 対処 hcmdschgurl コマンドを実行して、Tiered Storage Manager サーバの URL 情報を設定し直してください。hcmdschgurl コマンドについては、マニュアル「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。 Tiered Storage Manager サーバの IP アドレスが IPv6 アドレスの場合、指定する URL の IP アドレス部分を"[と]"で囲んでください。 例： [2001:fece:ba23:cd1f:dcb1:1010:9234:4088]
KATS41009-E	リストア情報ファイルの参照に失敗しました。ファイル名:"<リストア情報ファイル名(絶対パス)>"	要因 共通コンポーネントの環境が不正です。 対処 Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS41010-E	ファイルの作成に失敗しました。ファイル名:"<ファイル名(絶対パス)>"	要因 Tiered Storage Manager で使用するファイルの作成に失敗しました。 対処 Tiered Storage Manager のインストール先にアクセス権があることを確認してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager, Device Manager, および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS41050-W	Tiered Storage Manager は全閉塞しました。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>Tiered Storage Manager サーバが全閉塞しました。</p> <p>対処 次の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Tiered Storage Manager を停止します。 2. メッセージログから Tiered Storage Manager が全閉塞した原因を調査し、対処します。 <p>メッセージログについては、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド</i>」を参照してください。</p>
KATS41051-W	Tiered Storage Manager は GUI 閉塞しました。	<p>要因 Tiered Storage Manager が GUI 閉塞しました。</p> <p>対処 次の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Tiered Storage Manager サーバを停止します。 2. メッセージログから Tiered Storage Manager が GUI 閉塞した原因を調査し、対処します。 <p>メッセージログについては、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド</i>」を参照してください。</p>
KATS41055-E	同時に処理できるリクエスト数が最大値に達しているため、リクエストを受け付けられません。	<p>要因 Tiered Storage Manager サーバで同時に処理できるリクエスト数が最大値に達しました。次のどれかの要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Tiered Storage Manager に対して、一斉に複数の操作をしました。 • Tiered Storage Manager の負荷が高くなるストレージメインのリフレッシュ中に、ほかの操作をしました。 • Tiered Storage Manager サーバが動作している管理サーバの、マシン環境の性能が低くなっています。 • ほかのアプリケーションの影響で、Tiered Storage Manager サーバが動作しているコンピュータの CPU 負荷、I/O 負荷が高くなっています。 • Tiered Storage Manager が保証している値（マイグレーショングループ内のボリューム数など）を超えた環境で動作させています。 <p>上記のような場合、Tiered Storage Manager を操作したときの応答時間が長くなります。アクセスが集中し、一時的に処理が滞留してしまうため、このエラーが発生します。</p> <p>対処 しばらく時間を置いてから再実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Tiered Storage Manager が保証している値を超えた環境で運用している場合、値を小さくしてください。Tiered Storage Manager が保証している値については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド</i>」を参照してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> • Tiered Storage Manager サーバを動作させるために必要な管理サーバのマシン環境については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド</i>」を参照してください。
KATS41056-W	Tiered Storage Manager は全閉塞状態であるため、リクエストを受け付けられません。	<p>要因 Tiered Storage Manager が全閉塞しています。</p> <p>対処 次の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Tiered Storage Manager サーバを停止します。 2. メッセージログから Tiered Storage Manager が全閉塞した原因を調査し、対処します。 3. リクエストを実行します。 <p>メッセージログについては、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド</i>」を参照してください。</p>
KATS41057-W	Tiered Storage Manager は GUI 閉塞状態であるため、リクエストを受け付けられません。	<p>要因 Tiered Storage Manager が GUI 閉塞しています。</p> <p>対処 次の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Tiered Storage Manager サーバを停止します。 2. メッセージログから Tiered Storage Manager が GUI 閉塞した原因を調査し、対処します。 3. リクエストを実行します。 <p>メッセージログについては、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド</i>」を参照してください。</p>
KATS41058-W	Tiered Storage Manager は終了中であるため、リクエストを受け付けられません。	<p>要因 Tiered Storage Manager は終了中です。</p> <p>対処 -</p>
KATS41059-W	Tiered Storage Manager は開始中であるため、リクエストを受け付けられません。	<p>要因 Tiered Storage Manager は開始中です。</p> <p>対処 Tiered Storage Manager が開始してから、リクエストを実行してください。</p>
KATS41100-W	Tiered Storage Manager は全閉塞状態であるため、タスク管理処理またはイベント検出処理を実行できません。	<p>要因 Tiered Storage Manager が全閉塞しています。</p> <p>対処 次の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Tiered Storage Manager を停止します。 2. メッセージログから Tiered Storage Manager が全閉塞した原因を調査し、対処します。 <p>メッセージログについては、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド</i>」を参照してください。</p>
KATS41150-E	プロパティファイルがありません。プロパティファイル名:"<存在しないプロパティファイル名>"	<p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>Tiered Storage Manager インストールディレクトリ下の conf ディレクトリに、プロパティファイルがありません。</p> <p>対処</p> <p>Tiered Storage Manager インストールディレクトリ下の conf ディレクトリに、メッセージに表示されているプロパティファイルがあることを確認してください。</p>
KATS41151-E	無効なプロパティキーです。プロパティファイルの読み込みを中止します。プロパティファイル名:<プロパティファイル名>", プロパティキー:"<無効なプロパティキー名>"	<p>要因</p> <p>プロパティファイルに無効なプロパティキーを指定しています。</p> <p>対処</p> <p>表示されているファイル内に指定できるプロパティキーの文字列を見直してください。プロパティファイルについての詳細は、マニュアル「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。</p>
KATS41152-E	プロパティの値が不正です。プロパティファイルの読み込みを中止します。プロパティファイル名:"<プロパティファイル名>", プロパティキー:"<プロパティキー名>"	<p>要因</p> <p>指定したプロパティの値が最大値を超えています。または、プロパティに指定できない文字が混入しています。</p> <p>対処</p> <p>表示されているファイル内のプロパティキーに指定できる値を見直してください。プロパティファイルに指定できる値については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。</p>
KATS41199-E	内部エラーが発生しました。内部コード:"<内部コード>"	<p>要因</p> <p>内部エラーが発生しました。</p> <p>対処</p> <p>メッセージに表示されている内部コードおよび Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS41200-E	システム環境が不正です。	<p>要因</p> <p>システム環境が不正です。</p> <p>対処</p> <p>Tiered Storage Manager の保守情報および Tiered Storage Manager インストールディレクトリ直下にある hcmdslicense2.log ファイルを取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS41201-W	入力されたライセンスキーが不正です。	<p>要因</p> <p>入力されたライセンスキーが不正です。</p> <p>対処</p> <p>必要なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを再入手してください。</p>
KATS41202-W	入力されたライセンスキーファイルが見つかりません。	<p>要因</p> <p>入力されたライセンスキーファイルが見つかりません。</p> <p>対処</p> <p>必要なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを再入手してください。</p>
KATS41203-W	入力されたライセンスキーファイルが不正です。	<p>要因</p> <p>入力されたライセンスキーファイルが不正です。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		必要なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを再入手してください。
KATS41204-W	入力されたライセンスキーがライセンスキーファイル内にありません。	要因 入力されたライセンスキーがライセンスキーファイル内にありません。 対処 必要なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを再入手してください。
KATS41205-W	ライセンスの有効期限が過ぎています。	要因 ライセンスの有効期限が過ぎています。 対処 必要なライセンスキーを入手してください。
KATS41206-W	ライセンスが登録されていません。	要因 ライセンスが登録されていません。 対処 必要なライセンスキーを入手してください。
KATS41207-E	ライセンス情報の更新に失敗しました。	要因 ライセンス情報の更新に失敗しました。 対処 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照して、対処してください。GUIでこのメッセージを出力している場合は、Tiered Storage Manager サーバのメッセージログファイルで、このメッセージの直前に出力しているメッセージを参照して、対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS41208-E	ライセンス情報の参照に失敗しました。	要因 ライセンス情報の参照に失敗しました。 対処 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照して、対処してください。GUIでこのメッセージを出力している場合は、Tiered Storage Manager サーバのメッセージログファイルで、このメッセージの直前に出力しているメッセージを参照して、対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS41209-I	ライセンス情報を更新しました。	要因 - 対処 -
KATS41210-W	ライセンスの許容範囲を超えました。	要因 - 対処 -
KATS41211-I	現在、ライセンスの許容範囲内です。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS41300-E	Device Manager が停止しているため,Tiered Storage Manager の起動を中断します。	要因 Device Manager が停止しています。 対処 Hitachi Command Suite 製品のサービスを再起動してください。再発する場合は Hitachi Command Suite Software のマニュアルを参照し、Device Manager が停止している原因を解消してください。
KATS41800-E	メモリー不足が発生しました。	要因 サーバの動作に必要な空きメモリーが不足しています。 対処 エラーが継続的に発生する場合は、サーバを再起動してください。それでも解決しない場合は、不要なプロセスを停止するか、またはサーバマシンのメモリーの拡張を検討してください。
KATS41801-E	内部エラーが発生しました。	要因 内部エラーが発生しました。 対処 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照して、対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS41940-I	Device Manager ユーザー情報を更新しました。	要因 - 対処 -
KATS41941-I	SMTP 認証ユーザー情報を更新しました。	要因 - 対処 -
KATS41942-E	入力したユーザー情報は Device Manager で登録されていないため、コマンドを実行できません。	要因 入力したユーザー情報は Device Manager で登録されていません。 対処 入力したユーザー情報を Device Manager へ登録してから、コマンドを再実行してください。
KATS41943-E	前提プログラムプロダクトとの通信に失敗したため、コマンドを実行できません。	要因 Device Manager サーバとの通信が失敗しました。 対処 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照して、対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS41944-E	入力したユーザー情報に Modify 権限がありません。	要因 入力したユーザー情報に Modify 権限がありません。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Modify 権限のあるユーザー情報でコマンドを再実行してください。
KATS41945-E	入力したユーザー情報に Admin 権限がありません。	要因 入力したユーザー情報に Admin 権限がありません。 対処 Admin 権限のあるユーザー情報でコマンドを再実行してください。
KATS41946-E	入力したユーザー情報は Tiered Storage Manager で登録されていないため、コマンドを実行できません。	要因 入力したユーザー情報は、Tiered Storage Manager で登録されていません。 対処 入力したユーザー情報を Tiered Storage Manager へ登録してから、コマンドを再実行してください。
KATS41947-E	入力した SMTP 認証ユーザー ID が不正です。	要因 SMTP 認証ユーザー ID の文字列が指定できる範囲を超えているか、または SMTP 認証ユーザー ID に使用できない文字を入力しました。 対処 1～64 文字の範囲内で、SMTP 認証ユーザー ID を正しく入力してください。SMTP 認証ユーザー ID に使用できるのは、次のとおりです。 A～Z, a～z, 0～9, - (ハイフン), _ (アンダーバー), . (ピリオド), , (コンマ), @, !, #, \$, %, &, ', (,), *, +, =, ?, ^,
KATS41948-E	入力した SMTP 認証パスワードが不正です。	要因 SMTP 認証パスワードの文字列が指定できる範囲を超えているか、または SMTP 認証パスワードに使用できない文字を入力しました。 対処 SMTP 認証パスワードを指定する場合は、1～64 文字の範囲内で、SMTP 認証パスワードを正しく入力してください。SMTP 認証パスワードに使用できるのは、次のとおりです。 A～Z, a～z, 0～9, - (ハイフン), _ (アンダーバー), . (ピリオド), , (コンマ), @, !, #, \$, %, &, ', (,), *, +, =, ?, ^, SMTP 認証パスワードを指定しなかった場合は、空文字が設定されます。
KATS41950-E	Tiered Storage Manager との通信に失敗したため、停止コマンドを実行できません。	要因 次のどれかの要因が考えられます。 ・ Tiered Storage Manager はすでに停止しています。 ・ 通信障害が発生しています。 ・ インストール時に指定した Tiered Storage Manager サーバのホスト名、または IP アドレスが不正のため、Tiered Storage Manager の停止に失敗しているおそれがあります。 対処 Tiered Storage Manager サーバが停止していない場合は、サーバ強制停止コマンドを実行して、サーバを強制停止してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		hcmdschgurl コマンドを実行して、Tiered Storage Manager サーバの URL 情報を確認し、誤っている場合は URL 情報を設定し直してください。hcmdschgurl コマンドについては、マニュアル「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。
KATS41970-E	Command execution has failed. (system call: < <i>system-call</i> >)	要因 コマンド内部で使用するシステムコールにエラーが発生しました。 一時的に多大な I/O が発生したり、大量にメモリーを使用したりしたため、システムコールの実行に必要なリソースが不足していたおそれがあります。 対処 不要なプロセスを終了させた後、再度コマンドを実行してください。 問題が解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS41980-E	Tiered Storage Manager is already running.	要因 Tiered Storage Manager はすでに稼働しています。 対処 -
KATS41981-E	Tiered Storage Manager is not running.	要因 Tiered Storage Manager は稼働していません。 対処 -
KATS41982-E	Tiered Storage Manager cannot stop.	要因 内部エラーが発生しました。 対処 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照して、対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS41983-I	Tiered Storage Manager is running.	要因 Tiered Storage Manager は起動しています。 対処 -
KATS41984-I	Tiered Storage Manager is stopped.	要因 Tiered Storage Manager は停止しています。 対処 -
KATS41995-E	The file was not found. (file name: < <i>file-name</i> >)	要因 htsmervice.pid ファイルがありません。 対処 Tiered Storage Manager がすでに停止しているか確認してください。停止していない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS41996-E	The process cannot be terminated. (pid: < <i>specified-process-ID</i> >)	要因 強制終了を実行する権限がありません。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		対処 Windows の Administrators グループのユーザー権限のあるユーザーでログインしてから再実行してください。
KATS41997-E	The process does not exist. (pid: <specified-process-ID >)	要因 強制停止する Tiered Storage Manager を認識できません。 対処 Tiered Storage Manager がすでに停止しているか確認してください。停止していない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS41998-E	An internal error occurred. (<internal-code (character-string)>, <internal-code (integer >))	要因 内部エラーが発生しました。 対処 メッセージに表示されている"<内部コード >"を、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS41999-E	usage: <proper ><command-usage >	要因 コマンドの使用方法に誤りがあります。 対処 出力している使用方法に従って、コマンドを再実行してください。
KATS48000-E	サーバとの通信に失敗しました。	要因 次のどれかの要因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> 起動が完了していないサーバにクライアントが接続しようとした。 CLI コマンドでポート番号の指定に誤りがあります。 CLI コマンドで SSL の指定に誤りがあります。 SSL 通信をするための証明書 (Certs ファイル) の指定パスが不正です。 SSL 通信をするための証明書 (Certs ファイル) の内容が不正です。 IPv6 での通信ができません。 対処 次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> サーバの起動が完了していることを確認してください。 サーバの server.properties プロパティファイルの server.rmi.port または server.rmi.security.port の値と異なるポート番号を指定している可能性があります。 セキュリティオプションとポート番号の組み合わせに誤りがあるおそれがあります。セキュリティオプションを指定した場合は、SSL 用のポート番号になります。サーバの server.properties プロパティファイルの server.rmi.secure および server.rmi.security.port の値を確認してください (例: セキュリティオプション指定時は, server.rmi.secure=2, server.rmi.security.port=SSL 用のポート番号)。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> • SSL 通信をするための証明書(Certs ファイル) が認識できていないおそれがあります。Certs ファイルを認識させる方法については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド</i>」を参照してください。 • SSL 通信をするための証明書(Certs ファイル) が不正であるおそれがあります。Certs ファイルは Tiered Storage Manager サーバからダウンロードしたものを使用してください。Certs ファイルのダウンロード方法については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド</i>」を参照してください。 • Tiered Storage Manager サーバをセットアップしたときに IPv6 アドレスを設定している場合、CLI を実行するマシンでも IPv6 アドレスが利用できる必要があります。CLI を実行するマシンとサーバをインストールしたマシンで IPv6 アドレスを使って通信できることを確認してください。また、HTSM_CLI_JRE_PATH 環境変数に設定されている JRE が、CLI を実行するために必要なプログラムの条件を満たすか確認してください。
KATS48001-E	サーバからの応答に予期しないデータ構造が含まれていました。	<p>要因 サーバからのデータをクライアントが認識できませんでした。</p> <p>対処 サーバの稼働状況を確認してください。サーバが稼働していない場合は、サーバを稼働させてから再度実行してください。サーバが稼働している場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS48002-E	指定した URL にサーバが見つかりません。	<p>要因 サーバが見つかりません。</p> <p>対処 サーバの稼働状況を確認してください。</p>
KATS48003-E	サーバの呼び出し実行中に障害が発生しました。	<p>要因 RMI 通信中に障害が発生しました。</p> <p>対処 Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS48004-E	サーバで障害が発生しました。	<p>要因 サーバで障害が発生しました。</p> <p>対処 サーバ側のメッセージを確認してください。</p>
KATS48400-E	不正なプロパティ名 "<不正なプロパティ名>" を検出しました。	<p>要因 検索条件に指定したプロパティ名が、受け付けるプロパティ名と合致しませんでした。</p> <p>対処 指定できるプロパティ名を確認してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS48401-E	プロパティ "<プロパティ名>" に対する不正な演算子 "<不正な演算子名>" を検出しました。	<p>要因 検索条件に指定したプロパティに、指定した演算子は適用できません。</p> <p>対処 指定したプロパティに適用できる演算子を確認してください。</p>
KATS48402-E	プロパティ "<プロパティ名>" に不正な値 "<不正な値>" を検出しました。	<p>要因 検索条件に指定したプロパティの値として受け付けられない値が指定されています。</p> <p>対処 指定したプロパティに指定できる値を確認してください。</p>
KATS48403-E	プロパティ "<プロパティ名>" の値の書式が不正です。期待される語 "<期待される語>" がありません。	<p>要因 検索条件に指定したプロパティの値に、書式上期待される語が見つかりません。</p> <p>対処 指定したプロパティの、値の記述形式を確認してください。</p>
KATS48404-E	書式が不正です。予期しない語 "<予期しない語>" を検出しました。	<p>要因 検索条件に予期しない語があります。</p> <p>対処 検索条件の書式を確認してください。</p>
KATS48405-E	書式が不正です。期待される語 "<期待される語>" がありません。	<p>要因 検索条件に書式上期待される語が見つかりません。</p> <p>対処 検索条件の書式を確認してください。</p>
KATS48406-E	プロパティ "<プロパティ名>" の値の書式が不正です。予期しない語 "<予期しない語>" を検出しました。	<p>要因 検索条件に指定したプロパティの値に、書式上予期しない語が見つかりました。</p> <p>対処 指定したプロパティの、値の記述形式を確認してください。</p>
KATS48407-E	プロパティ "<検索条件プロパティ名>" の値の書式が不正です。デバイス番号の 16 進数 "<デバイス番号として指定された語>" の桁数が不正です。	<p>要因 検索条件に指定したデバイス番号の前 0 を含めた桁数が正しくありません。次のどちらかの要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ":" (コロン) で区切った 16 進数の個数が、一つまたは四つ以上です。 • ":" (コロン) で区切った先頭の 16 進数が 3 桁以上あるか、二つ目または三つ目の 16 進数が 2 桁ではありません。 <p>対処 指定したプロパティのデバイス番号の記述形式を確認してください。次のどちらかの形式にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 二つの 0x100 未満の 16 進数を ":" (コロン) で区切った文字列。 先頭は 1~2 桁、二つ目は 2 桁で指定してください。 • 三つの 0x100 未満の 16 進数を ":" (コロン) で区切った文字列。 先頭は 1~2 桁、二つ目または三つ目は 2 桁で指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS48408-E	ストレージドメインの情報が指定されていません。	要因 ストレージ階層やマイグレーショングループを名称で指定するときは、ストレージドメインの情報を指定する必要があります。 対処 ストレージドメインの情報を指定してください。
KATS48409-E	ボリュームを特定する情報が指定されていません。	要因 必要な情報が指定されていません。ボリュームを特定するためには、コントローラー論理デバイス番号または論理ユニットのオブジェクトIDを指定する必要があります。 対処 コントローラー論理デバイス番号または論理ユニットのオブジェクトIDを指定してください。
KATS48410-E	検索条件の値のコンマで区切られた要素の数が多過ぎます。プロパティ:"<プロパティ名>", 指定した要素数:"<指定した要素数>", 許容できる最大の要素数:"<指定できる最大要素数>"	要因 値に指定できる要素の最大数を超えました。 対処 検索条件の値に指定できる要素数を正しく指定してください。検索条件の値に指定できる要素数は,"<指定できる最大要素数>"です。
KATS48411-E	検索条件の長さが不正です。入力された検索条件文字の整形後の長さ(UTF-8換算でのバイト数):"<UTF-8換算バイト数>", 指定できる文字の長さ(UTF-8換算でのバイト数):"<指定できる文字の最小の長さ>"から"<指定できる文字の最大の長さ>"	要因 整形後の検索条件の文字数が制限文字数を超えています。 対処 制限文字数内で検索条件を入力してください。なお、ASCII文字1文字はUTF-8で1バイトとなり、そのほかの文字の1文字はUTF-8で1~6バイトとなります(例:漢字は3バイト、半角カタカナは3バイト)。
KATS48412-E	検索条件に指定した値が不正です。カラム:"<不正を発見した桁数>"	要因 検索条件に指定した値が、桁数の位置で不正です。 対処 検索条件の内容を確認してください。
KATS48413-E	検索条件に指定したプロパティの組み合わせが不正です。	要因 ボリューム検索条件とプール検索条件が混在しています。 対処 検索条件の内容を確認してください。検索条件には、次のどちらかを指定してください。 ・ ボリューム検索条件 ・ プール検索条件
KATS48414-E	検索条件の値に入力した要素の数が多過ぎます。プロパティ:"<検索条件プロパティ名>", 指定した要素数:"<値に指定された要素数>", 許容できる最大の要素数:"<値に指定できる最大要素数>"	要因 検索条件の値に入力した要素の数が、入力できる最大の数を超えました。 対処 該当する検索条件の値には、要素を入力できる最大の数以内で入力してください。
KATS48415-E	指定した演算子は検索条件の値に複数の要素を入力できません。プロパティ:"<検索条件プロパティ名>", 演算子:"<検索条件演算子>"	要因 指定した演算子は、検索条件の値に複数の要素を入力できません。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		該当する検索条件の値には、要素を一つだけ入力してください。
KATS48451-E	ストレージドメインを特定できる情報が指定されていません。	要因 ストレージドメインを特定できる情報がありません。 対処 ストレージドメインを指定してください。
KATS48456-E	ストレージ階層名が指定されましたが、ストレージドメインが指定されていないので、特定できません。	要因 ストレージドメイン名を指定しないで、ストレージ階層名だけを指定しました。 対処 ストレージドメイン名を指定してください。
KATS48457-E	マイグレーショングループ名が指定されましたが、ストレージドメインが指定されていないので、特定できません。	要因 ストレージドメイン名を指定しないで、マイグレーショングループ名だけを指定しました。 対処 ストレージドメイン名を指定してください。
KATS48458-E	ストレージ階層の検索条件の定義が複雑過ぎます。すべての要素の And またはすべての要素の Or で記述してください。	要因 ストレージ階層の定義で And/Or が混在しているか、または Not が指定されています。 対処 すべての要素を「And」で記述するか、またはすべての要素を「Or」で記述してください。
KATS48459-E	検索条件に指定したプロパティ値が、指定できる値の範囲に含まれていません。"<検索条件に指定した値のうちサーバが受け付ける範囲に含まれていない値>"	要因 検索条件に指定したプロパティ値が、指定できる範囲に含まれていません。 対処 正しいプロパティ値を指定してください。
KATS48460-E	検索条件の要素数が不正です。入力された検索条件の要素数:<指定した条件要素数>", 指定できる要素数:<要素数最小値>"から"<要素数最大値>"	要因 検索条件に含まれる条件要素（プロパティ名、演算子、値の組）の数が不正です。 対処 制限要素数の範囲内で検索条件を入力してください。
KATS48461-E	プロパティ "<検索条件プロパティ名>" に対する演算子が指定されていません。	要因 検索条件に指定したプロパティに演算子が指定されていません。 対処 指定したプロパティに対して適用できる演算子を確認してください。
KATS48462-E	プロパティ名が指定されていません。	要因 検索条件にプロパティ名が指定されていません。 対処 指定できるプロパティ名を確認してください。
KATS48463-E	プロパティ "<検索条件プロパティ名>" に対する値が指定されていません。	要因 検索条件に指定したプロパティの値が指定されていません。 対処 指定したプロパティに指定できる値の範囲を確認してください。
KATS48464-E	検索条件に指定した要素の数が多過ぎます。指定した要素の数:<指定した要素の数>", 指定できる要素の数: 1 から 30	要因 検索条件に指定できる要素の最大数を超過しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		検索条件に指定した要素数を 1 から 30 までの値で指定してください。
KATS48465-E	検索条件の値にコンマが含まれています。プロパティ:"<プロパティ名>", 演算子:"<演算子名>"	要因 検索条件の値をコンマで区切って複数指定しています。<演算子名>に"startsWith"または"contains"を指定した場合、検索条件の値をコンマで区切って複数指定できません。 対処 検索条件の値は一つだけ指定してください。
KATS48481-E	コストに指定した値の形式が不正です。入力されたコストの値:"<指定したコストの値>"	要因 コストに指定した値の形式が不正です。 対処 コストに指定した値の形式を確認してください。
KATS48482-E	コストに指定した通貨コードの値が不正です。入力された通貨コードの値:"<指定した通貨コードの値>"	要因 コストに指定した通貨コードの値が不正です。 対処 コストに正しい値を指定してください。通貨コードの値に指定できるのは、2009年7月時点のISO4217で定義されている通貨コードを示すアルファベット3文字です。
KATS48483-E	コストに指定した金額の値が不正です。入力された金額の値:"<指定した金額の値>"	要因 コストに指定した金額の値に不正な文字が含まれているか、または範囲外の値を指定しています。 対処 コストに正しい値を指定してください。金額に指定できる数値は、0 から 9,223,372,036,854,775,807 までの整数です。
KATS48484-E	コストに指定した容量の単位の値が不正です。入力された容量の単位の値:"<指定した容量の単位の値>"	要因 コストに指定した容量の単位の値が不正です。 対処 コストに正しい値を指定してください。容量の単位の値に指定できるのは、"MB", "GB", または"TB"です。
KATS48485-E	コストに指定した期間の単位の値が不正です。入力された期間の単位の値:"<指定した期間の単位の値>"	要因 コストに指定した期間の単位の値が不正です。 対処 コストに正しい値を指定してください。期間の単位の値に指定できるのは、"Month"または"Year"です。
KATS48486-E	コストの課金対象の値が不正です。入力された課金対象の値:"<指定した課金対象の値>"	要因 コストの課金対象に指定した値が不正です。 対処 コストの課金対象に正しい値を指定してください。課金対象の値に指定できるのは、次のとおりです。 通常ボリュームの課金対象の場合 "Allocated"または"Utilized"です。 DP ボリュームの課金対象の場合 "Allocated", "Consumed"または"Utilized"です。
KATS48504-E	致命的な例外が発生しました。ユーザー名:"<ユーザー名>"	要因 致命的な例外が発生しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照して、対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS48505-E	例外が発生しました。ユーザー名:"<ユーザー名>"	要因 例外が発生しました。 対処 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照して、対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS48506-E	問題が発生しました。ユーザー名:"<ユーザー名>"	要因 問題が発生しました。 対処 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照して、対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS48507-E	GUI 閉塞が発生しました。ユーザー名:"<ユーザー名>"	要因 GUI 閉塞例外が発生しました。 対処 共通コンポーネントが起動していることを確認し、Tiered Storage Manager を再起動してください。
KATS48508-E	全閉塞が発生しました。ユーザー名:"<ユーザー名>"	要因 全閉塞例外が発生しました。 対処 Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS48509-E	メモリー不足が発生しました。ユーザー名:"<ユーザー名>"	要因 サーバの動作に必要な空きメモリーが不足しています。 対処 エラーが継続的に発生する場合は、サーバを再起動してください。それでもエラーが発生する場合は、サーバマシン上の不要なプロセスを停止するか、またはサーバマシンのメモリーの拡張を検討してください。
KATS48510-E	Tiered Storage Manager サーバプロセスでメモリー不足が発生しました。	要因 サーバの動作に必要な空きメモリーが不足しています。 タスク関連の操作中にエラーが発生した場合 タスク数、またはタスク内のボリューム数が上限値を超えているおそれがあります。 タスク関連以外の操作中にエラーが発生した場合 同時にログインしているほかのユーザーの影響があるおそれがあります。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		しばらく待ってから再度実行してください。エラーが継続的に発生する場合は、サーバを再起動してください。それでもエラーが発生する場合は、サーバマシン上の不要なプロセスを停止するか、またはサーバマシンのメモリの拡張を検討してください。 GetTasks コマンド、DeleteTasks コマンド実行時にエラーが発生した場合は、パラメーター指定で、処理対象のタスクを減らして再度実行してください。
KATS48998-E	接続した Tiered Storage Manager サーバがサポートしていない Tiered Storage Manager クライアントです。 対処方法: Tiered Storage Manager "<バージョン名>"の Client をインストールしてください。	要因 Tiered Storage Manager サーバのバージョンとは互換性がないバージョンの Tiered Storage Manager クライアントでサーバに接続しようとしています。 対処 Tiered Storage Manager サーバのバージョンに対応する Tiered Storage Manager クライアントをインストールしてください。
KATS48999-E	接続した Tiered Storage Manager サーバがサポートしていない Tiered Storage Manager クライアントです。 Server API Version:"<サーバのバージョン>", Client API Version:"<クライアントのバージョン>"。対処方法: Tiered Storage Manager "<サーバのバージョン>"の Client をインストールしてください。	要因 Tiered Storage Manager サーバのバージョンとは互換性がないバージョンの Tiered Storage Manager クライアントでサーバに接続しようとしています。 対処 Tiered Storage Manager サーバのバージョンに対応する Tiered Storage Manager クライアントをインストールしてください。

9.5 KATS50000～KATS59999

Tiered Storage Manager サーバに関するメッセージ (KATS50000～KATS59999) を次の表に示します。

表 9-5 KATS50000～KATS59999 : Tiered Storage Manager サーバのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS50001-E	操作対象のストレージドメインがありません。	要因 ほかのユーザーがストレージドメインを削除したおそれがあります。 対処 ストレージドメインがあるかどうか確認してください。または操作を再実行してください。
KATS50002-E	操作対象のマイグレーショングループがありません。	要因 ほかのユーザーがマイグレーショングループを削除したおそれがあります。 対処 マイグレーショングループがあるかどうか確認してください。または操作を再実行してください。
KATS50003-E	操作対象のストレージ階層がありません。	要因 ほかのユーザーがストレージ階層を削除したおそれがあります。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		ストレージ階層があるかどうか確認してください。または操作を再実行してください。
KATS50005-E	操作対象のタスクがありません。タスク ID:"<タスク ID >"	要因 指定したタスク ID に誤りがあります。または、ほかのユーザーがタスクを削除したおそれがあります。 対処 正しいタスク ID を指定して、操作を再実行してください。
KATS50006-E	操作対象のストレージサブシステムがありません。モデル名:"<モデル名 >", シリアル番号:"<シリアル番号 >", 論理 DKC 番号:"<論理 DKC 番号 >"	要因 指定したストレージサブシステムが Device Manager にありません。または、Device Manager でストレージサブシステムが削除されました。 論理 DKC を持つストレージサブシステムの場合、指定した論理 DKC がないおそれがあります。論理 DKC を持たないサブシステムの場合、<論理 DKC 番号>には空文字が出力されます。 対処 Device Manager でストレージサブシステムを確認してください。または正しい論理 DKC 番号を指定してください。 または、Device Manager にストレージサブシステムを登録してください。
KATS50007-E	操作対象のマイグレーショングループがありません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名 >", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名 >"	要因 指定したストレージドメイン名またはマイグレーショングループ名に誤りがあるか、またはほかのユーザーがマイグレーショングループを削除したおそれがあります。 対処 正しいストレージドメイン名およびマイグレーショングループ名を指定してください。または操作を再実行してください。
KATS50008-E	操作対象のストレージ階層がありません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名 >", ストレージ階層名:"<ストレージ階層名 >"	要因 指定したストレージドメイン名もしくはストレージ階層名に誤りがあるか、またはほかのユーザーがストレージ階層を削除したおそれがあります。 対処 正しいストレージドメイン名およびストレージ階層名を指定してください。または操作を再実行してください。
KATS50009-E	操作対象のストレージサブシステムがありません。ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名 >", 論理 DKC 番号:"<論理 DKC 番号 >"	要因 指定したストレージサブシステムが Device Manager にありません。または、Device Manager でストレージサブシステムが削除されました。 論理 DKC を持つストレージサブシステムの場合、指定した論理 DKC がないおそれがあります。論理 DKC を持たないサブシステムの場合、<論理 DKC 番号>には空文字が出力されます。 対処 Device Manager でストレージサブシステムを確認してください。または正しい論理 DKC 番号を指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		または、Device Manager にストレージサブシステムを登録してください。
KATS50010-E	操作対象のストレージドメインがありません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 指定したストレージドメイン名に誤りがあるか、またはほかのユーザーがストレージドメインを削除したおそれがあります。 対処 正しいストレージドメイン名を指定してください。または操作を再実行してください。
KATS50011-E	指定されたストレージドメインに対するアクセス権がありません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 指定したストレージドメインに対するアクセス権がないため、ストレージドメインを操作できません。 対処 指定したストレージドメインにアクセス権のあるユーザーでログインしてから、ストレージドメインを操作してください。
KATS50012-E	指定されたマイグレーショングループに対するアクセス権がありません。	要因 指定したマイグレーショングループに対するアクセス権がないため、マイグレーショングループを操作できません。 対処 指定したマイグレーショングループにアクセス権のあるユーザーでログインしてから、マイグレーショングループを操作してください。
KATS50013-E	指定されたストレージ階層に対するアクセス権がありません。	要因 指定したストレージ階層に対するアクセス権がないため、ストレージ階層を操作できません。 対処 指定したストレージ階層にアクセス権のあるユーザーでログインしてから、ストレージ階層を操作してください。
KATS50014-E	指定されたボリュームに対するアクセス権がありません。	要因 指定したボリュームに対するアクセス権がないため、ボリュームを操作できません。 対処 指定したボリュームにアクセス権のあるユーザーでログインしてから、ボリュームを操作してください。
KATS50015-E	指定されたタスクに対するアクセス権がありません。タスク ID:"<タスク ID >"	要因 指定したタスクに対するアクセス権がないため、タスクを操作できません。 対処 指定したタスクにアクセス権のあるユーザーでログインしてから、タスクを操作してください。
KATS50016-E	指定された操作を実行する権限がありません。実行ユーザーの権限:"<実行ユーザーの権限>", 実行できる権限:"<実行できる権限>"	要因 指定した操作に対するアクセス権がないため、操作を実行できません。 対処 指定した操作にアクセス権のあるユーザーでログインしてから、操作してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS50017-E	指定されたマイグレーショングループに対するアクセス権がありません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>"	要因 指定したマイグレーショングループに対するアクセス権がないため、ストレージドメインを操作できません。 対処 指定したマイグレーショングループにアクセス権のあるユーザーでログインしてから、ストレージドメインを操作してください。
KATS50018-E	指定されたストレージ階層に対するアクセス権がありません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージ階層名:"<ストレージ階層名>"	要因 指定したストレージ階層に対するアクセス権がないため、ストレージドメインを操作できません。 対処 指定したストレージ階層にアクセス権のあるユーザーでログインしてから、ストレージドメインを操作してください。
KATS50019-E	指定されたボリュームに対するアクセス権がありません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", コントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>"	要因 指定したボリュームに対するアクセス権がないため、ストレージドメインを操作できません。 対処 指定したボリュームにアクセス権のあるユーザーでログインしてから、ストレージドメインを操作してください。
KATS50020-E	指定されたストレージドメインに対するアクセス権がありません。	要因 指定されたストレージドメインに対するアクセス権がないため、ストレージドメインを操作できません。 対処 指定したストレージドメインにアクセス権のあるユーザーでログインしてから、ストレージドメインを操作してください。
KATS50021-E	指定されたストレージサブシステム名は Device Manager 上に複数あるため、ストレージサブシステムを一意に特定できません。ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>"	要因 Device Manager 上に、同じ名前のストレージサブシステムが複数あります。 対処 ストレージサブシステム名以外の条件でストレージサブシステムを指定してください。
KATS50022-E	指定されたストレージドメイン名はすでにあります。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 指定した名前のストレージドメインがすでにあります。一つのストレージサブシステム内には、同じストレージドメイン名を指定できません。 対処 正しいストレージドメイン名を指定してください。
KATS50023-E	指定されたストレージ階層名がすでにあります。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージ階層名:"<ストレージ階層名>"	要因 指定された名前のストレージ階層がすでにあります。一つのストレージドメイン内には、同じストレージ階層名を指定できません。 対処 正しいストレージドメイン名およびストレージ階層名を指定してください。
KATS50024-E	指定されたマイグレーショングループ名がすでにあります。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マ	要因 指定された名前のマイグレーショングループがすでにあります。一つのストレージドメイン内

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	イグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>"	には、同じマイグレーショングループ名を指定できません。 対処 正しいストレージドメイン名およびマイグレーショングループ名を指定してください。
KATS50025-E	指定されたボリュームがすでにマイグレーショングループにあります。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", すでに登録されているコントローラ理論デバイス番号:"<すでに登録されているコントローラ理論デバイス番号>"	要因 マイグレーショングループ内にすでにあるボリュームを、再度同じマイグレーショングループに追加しようとした。 対処 正しいストレージドメイン名、マイグレーショングループ名、およびコントローラ理論デバイス番号を指定して、ボリュームを操作してください。
KATS50026-E	指定されたモデル名とシリアル番号のストレージサブシステムはすでにストレージドメインとして登録されているため、ストレージドメインを作成できません。モデル名:"<モデル名>", シリアル番号:"<シリアル番号>", 論理DKC番号:"<論理DKC番号>"	要因 指定されたストレージサブシステムは、すでにストレージドメインのドメインコントローラとして登録されているため、ストレージドメインを作成できません。 対処 正しいモデル名とシリアル番号を指定して、ストレージドメインを作成してください。
KATS50027-E	変更後のストレージドメイン名はすでにあります。変更前ストレージドメイン名:"<変更前のストレージドメイン名>", 変更後ストレージドメイン名:"<変更後のストレージドメイン名>"	要因 変更後の名前前のストレージドメインがすでにあるため、このストレージドメイン名は使用できません。 対処 別のストレージドメイン名に変更してください。
KATS50028-E	指定された名前前のストレージサブシステムはすでにストレージドメインとして登録されているため、ストレージドメインを作成できません。ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", 論理DKC番号:"<論理DKC番号>"	要因 指定したストレージサブシステム名は、ストレージドメインのドメインコントローラとしてすでに登録されているため、このストレージサブシステム名は使用できません。 対処 別のストレージサブシステム名に変更してください。
KATS50029-E	指定されたボリュームがすでにほかのマイグレーショングループにあります。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", 指定したマイグレーショングループ名:"<指定したマイグレーショングループ名>", すでに登録されているマイグレーショングループ名:"<すでに登録されているマイグレーショングループ名>", すでに登録されているコントローラ理論デバイス番号:"<すでに登録されているコントローラ理論デバイス番号>"	要因 すでにほかのマイグレーショングループ内にあるボリュームを、指定したマイグレーショングループに追加しようとした。 対処 正しいストレージドメイン名、マイグレーショングループ名、およびコントローラ理論デバイス番号を指定してください。
KATS50030-E	操作対象のストレージサブシステムがありません。表示用モデル名:"<表示用モデル名>" [*] , シリアル番号:"<シリアル番号>", 論理DKC番号:"<論理DKC番号>"	注※ 表示用モデルが不明な場合は、"Unknown"と表示されます。 要因 指定したストレージサブシステムが Device Manager ではありません。または、Device

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>Manager でストレージサブシステムが削除されました。</p> <p>対処 Device Manager でストレージサブシステムを確認してください。 または、Device Manager にストレージサブシステムを登録してください。</p>
KATS50031-E	指定されたタスクは、指定された操作を実行できる状態ではありません。タスク ID:"<タスク ID >"	<p>要因 次のどれかの要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 未終了（待機中、動作中）状態のタスクを削除しようとしてしました。 ・ 待機状態でないマイグレーションタスクを実行またはキャンセルしようとしてしました。 ・ 終了（成功、失敗、キャンセル）状態のタスクのプロパティを変更しようとしてしました。 <p>対処 タスクの状態を確認したあと、必要に応じて操作してください。</p>
KATS50032-E	指定されたタスクはキャンセル処理中のため、実行できません。タスク ID:"<タスク ID >"	<p>要因 キャンセル中のタスクを実行しようとしてしました。</p> <p>対処 タスクのキャンセルが終了するまで数分程度待ってから、タスクの状態を確認して、必要に応じて操作を再実行してください。</p>
KATS50033-E	指定されたタスクはすでにキャンセル処理中です。タスク ID:"<タスク ID >"	<p>要因 キャンセル中のタスクをキャンセルしようとしてしました。</p> <p>対処 タスクのキャンセルが終了するまで数分程度待ってから、タスクの状態を確認して、キャンセルが終了したことを確認してください。</p>
KATS50034-E	指定された表示用モデル名とシリアル番号のストレージサブシステムはすでにストレージドメインとして登録されているため、ストレージドメインを作成できません。ドメインコントローラーとして指定したストレージサブシステムの表示用モデル名:"<表示用モデル名 >", ドメインコントローラーとして指定したストレージサブシステムのシリアル番号:"<シリアル番号 >", 論理 DKC 番号:"<論理 DKC 番号 >"	<p>要因 指定されたストレージサブシステムは、すでにストレージドメインのドメインコントローラーとして登録されています。</p> <p>対処 正しい表示用モデル名およびシリアル番号を指定して、操作を再実行してください。</p>
KATS50035-E	指定されたタスクはキャンセル処理中のため、中止できません。タスク ID:<タスク ID >	<p>要因 キャンセル処理中のタスクを中止しようとしてしました。</p> <p>対処 タスクのキャンセル処理が終了するまで数分程度待ってから、タスクの状態を確認して、必要に応じて再度操作を実行してください。</p>
KATS50036-E	検索条件にプール検索条件を指定したストレージ階層のため、コストを設定できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名 >", ストレージ階層名:"<ストレージ階層名 >"	<p>要因 検索条件にプール検索条件を指定したストレージ階層のため、コストを設定できません。</p> <p>対処 ストレージ階層の作成時に表示された場合</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		検索条件にボリューム検索条件を指定するか、またはコストを指定しないで、再度ストレージ階層の作成を実行してください。 ストレージ階層の変更時に表示された場合 変更後の検索条件にボリューム検索条件を指定するか、またはコストを指定しないで、再度ストレージ階層の変更を実行してください。
KATS50037-E	ストレージ階層にコストが設定されているため、検索条件をプール検索条件に変更できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージ階層名:"<ストレージ階層名>"	要因 ストレージ階層にコストが設定されているため、検索条件にプール検索条件を指定できません。 対処 変更後の検索条件にボリューム検索条件を指定するか、または変更後にコストが削除されるように指定して、再度ストレージ階層の変更を実行してください。
KATS50039-E	このストレージサブシステムは論理DKCを持たないストレージサブシステムのため、論理DKC番号は指定できません。ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", 表示用モデル名:"<表示用モデル名>", シリアル番号:"<シリアル番号>", 指定した論理DKC番号:"<論理DKC番号>"	要因 論理DKCを持たないストレージサブシステムに、論理DKC番号を指定しました。 対処 論理DKCを指定しないで、操作を再実行してください。
KATS50041-E	リフレッシュが異常終了しているため、この処理はできません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", リフレッシュ実行時のエラー情報:"<エラー情報>"	要因 あるストレージドメインのキャッシュに対して、リフレッシュが失敗していました。 対処 ストレージドメイン情報から異常終了した原因の詳細を取得して、リフレッシュを再実行してください。 このメッセージには、リフレッシュ実行失敗時に発生したメッセージテキストがそのままの形で含まれます。この部分の言語種別は、Tiered Storage Manager サーバが動作しているマシンのロケールによって決まります。したがって、GUI/CLI クライアントの言語種別とサーバ側のロケールを合わせておくことをお勧めします。特に、クライアント側で日本語/英語を使い分けたい場合は、サーバ側のロケールは英語にしてください。サーバ側のロケールが日本語の場合は、クライアント側の言語種別も日本語にしてください。
KATS50042-E	リフレッシュ中のため、この処理はできません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 ストレージドメインがリフレッシュ中です。 対処 リフレッシュが完了してから、処理してください。
KATS50043-E	リフレッシュが未実行のため、この処理はできません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 ストレージドメインのキャッシュがリフレッシュされていないため、処理を実行できません。 対処 リフレッシュを実行してください。
KATS50044-E	ストレージドメインの作成、削除、変更中のため、該当するストレージドメインに対する更新処理は同時実行できません	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ん。実行中ユーザー ID:"<実行中ユーザー ID >", 実行開始日時:"<実行開始日時>"	<p>どれかのストレージドメインの作成、削除、変更中にストレージドメインの更新操作をしようとしました。</p> <p>対処 ストレージドメインの作成、削除、変更が完了してから、操作を再実行してください。</p>
KATS50045-E	ストレージドメインの削除中です。または、ストレージドメインの削除に失敗したため、リフレッシュ失敗状態に変更しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	<p>要因 次のどちらかの要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ストレージドメインの削除に失敗しました。 • ほかのユーザーがこのストレージドメインを削除中です。 <p>対処 次の対処をしてください。 ストレージドメインの削除に失敗した場合 Tiered Storage Manager のメッセージログを参照して、ストレージドメインの削除に失敗した原因を取り除いたあと、再度ストレージドメインの削除を実行またはリフレッシュしてください。 ほかのユーザーがこのストレージドメインを削除中の場合 ストレージドメインの削除が完了してから、再度必要な処理をしてください。</p>
KATS50046-E	Device Manager のリフレッシュが異常終了しているため、この処理はできません。ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>"	<p>要因 あるストレージサブシステムに対し、Device Manager のリフレッシュが失敗していました。</p> <p>対処 Device Manager のリフレッシュを実行してください。 リフレッシュが完了してから、再度実行してください。</p>
KATS50047-E	Device Manager がリフレッシュ中のため、この処理はできません。ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>"	<p>要因 現在 Device Manager がストレージサブシステムをリフレッシュ中です。</p> <p>対処 Device Manager のリフレッシュが完了してから、再度実行してください。SMI-S Enabled サブシステムの場合、ストレージサブシステムの追加または更新が完了したあとに、Device Manager が Tiered Storage Manager で使用する情報をリフレッシュします。しばらくしてから再度実行してください。</p>
KATS50050-E	未終了状態のマイグレーションタスクが指定されたストレージ階層を移動先として参照しているため、ストレージ階層を削除できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージ階層名:"<ストレージ階層名>", 参照しているタスクの ID:"<タスク ID >"	<p>要因 削除しようとしているストレージ階層は、待機中または動作中のマイグレーションタスクの移動先となっているため、削除できません。</p> <p>対処 指定されたストレージ階層を参照しているマイグレーションタスクが完了してから、ストレージ階層を削除してください。またはマイグレーションタスクを削除してから、ストレージ階層を削除してください。</p>
KATS50051-E	未終了状態のマイグレーションタスクが指定されたストレージ階層を移動先として参照しているため、ストレージ階層	<p>要因 プロパティを変更しようとしているストレージ階層は、待機中または動作中のマイグレーション</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	層のプロパティを変更できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージ階層名:"<ストレージ階層名>", 参照しているタスクのID:"<タスクID>"	タスクが移動先として参照しているため、プロパティを変更できません。 対処 指定されたストレージ階層を参照しているマイグレーションタスクが完了してから、ストレージ階層のプロパティを変更してください。またはマイグレーションタスクを削除してから、ストレージ階層のプロパティを変更してください。
KATS50052-E	ストレージ階層の検索条件に、使用できないプロパティが指定されました。使用できないプロパティ:"<プロパティ名>"	要因 ストレージ階層の検索条件に、使用できないプロパティを指定しようとしました。 対処 使用できるプロパティを指定して操作を再実行してください。
KATS50053-E	未終了状態のタスクが、更新対象のストレージドメインを使用しているため、指定したストレージドメインを更新できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージドメインを使用しているタスクID:"<タスクID>"	要因 更新しようとしているストレージドメインは、待機中または動作中のタスクが使用しているため、更新できません。 対処 タスクが完了してから、ストレージドメインを更新してください。
KATS50054-E	指定されたマイグレーショングループが未終了状態のタスクによって使用されているため、マイグレーショングループを更新できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", マイグレーショングループを使用しているタスクID:"<タスクID>"	要因 未終了状態のタスクが使用しているマイグレーショングループを更新しようとしました。 "<タスクID>"には複数の文字列が入る場合があります。 対処 タスクの状態を確認した後、必要に応じて再度操作を実行してください。
KATS50055-E	作成処理中のタスクが更新対象のストレージドメインを使用しているため、指定したストレージドメインを更新できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 作成中のタスクが使用しているストレージドメインを更新しようとしました。 対処 タスクの作成が終了するまで数分程度待つてから、タスクの状態を確認して、必要に応じて操作を再実行してください。
KATS50056-E	作成処理中のタスクが更新対象のマイグレーショングループを参照しているため、指定したマイグレーショングループを更新できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>"	要因 作成処理中のタスクが使用しているマイグレーショングループを更新しようとしました。 対処 タスクの作成が終了するまで数分程度待つてから、タスクの状態を確認して、必要に応じて操作を再実行してください。
KATS50057-E	作成処理中のタスクが指定されたストレージ階層を移動先として参照しているため、ストレージ階層を更新できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージ階層名:"<ストレージ階層名>"	要因 更新しようとしているストレージ階層は、作成中のタスクが移動先として参照しているため、更新できません。 対処 タスクの作成が終了するまで数分程度待つてから、タスクの状態を確認して、必要に応じて操作を再実行してください。
KATS50058-E	未終了状態のタスクが、更新対象のマイグレーショングループを使用しているため、指定したマイグレーショングループ	要因 未終了状態のタスクが使用しているマイグレーショングループを更新しようとしました。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	ブを更新できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", マイグレーショングループを使用しているタスク ID:"<マイグレーショングループを使用しているタスク ID >"	"<マイグレーショングループ>を使用しているタスク ID >"には複数のタスク ID が入る場合があります。 対処 タスクが終了するまで数分程度待つてから、タスクの状態を確認して、必要に応じて操作を再実行してください。
KATS50061-E	ストレージドメイン名の先頭または末尾に空白文字が指定されました。不正なストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名 >"	要因 ストレージドメイン名の先頭および末尾に空白文字は使用できません。 対処 先頭および末尾に空白文字を含まないストレージドメイン名を入力してください。
KATS50062-E	入力されたストレージドメイン名の文字の長さが不正です。不正なストレージドメイン名:"<不正なストレージドメイン名 >", 入力された文字の長さ (UTF-8 換算でのバイト数):"< UTF-8 換算バイト数 >", 指定できる文字の長さ (UTF-8 換算でのバイト数):1 から"< UTF-8 換算でのバイト数 >"	要因 指定したストレージドメイン名の文字数が制限文字数を超過しているか、または未入力です。 対処 制限文字数内でストレージドメイン名を入力してください。ストレージドメイン名に入力できる文字は、1 文字以上、UTF-8 換算で 75 バイト以下です。なお、ASCII 文字 1 文字は UTF-8 換算で 1 バイトとなり、そのほかの文字の 1 文字は UTF-8 換算で 1~3 バイトとなります (例: 漢字, 半角カタカナは 3 バイト)。
KATS50063-E	ストレージドメイン名に使用禁止文字 ("<使用禁止文字 >")が含まれています。	要因 ストレージドメイン名に使用禁止文字が含まれています。 対処 ストレージドメイン名を正しく入力してください。ストレージドメイン名に入力できる文字は、次のとおりです。 A~Z, a~z, - (ハイフン), _ (アンダーバー), . (ピリオド), @, 半角空白文字, 非 ASCII 文字
KATS50064-E	ストレージ階層名の先頭または末尾に空白文字が指定されました。不正なストレージ階層名:"<ストレージ階層名 >"	要因 ストレージ階層名の先頭および末尾に空白文字は使用できません。 対処 先頭および末尾に空白文字を含まないストレージ階層名を入力してください。
KATS50065-E	入力されたストレージ階層名の文字の長さが不正です。不正なストレージ階層名:"<不正なストレージ階層名 >", 入力された文字の長さ (UTF-8 換算でのバイト数):"< UTF-8 換算バイト数 >", 指定できる文字の長さ (UTF-8 換算でのバイト数):1 から"指定できる< UTF-8 での換算バイト数 >"	要因 入力されたストレージ階層名の文字数が制限文字数を超過しているか、または未入力です。 対処 正しくストレージ階層名を入力してください。ストレージ階層名に指定できるのは、1 文字以上、UTF-8 換算で 75 バイト以下です。なお、ASCII 文字 1 文字は UTF-8 換算で 1 バイトとなり、そのほかの文字の 1 文字は UTF-8 換算で 1~3 バイトとなります (例: 漢字, 半角カタカナは 3 バイト)。
KATS50066-E	ストレージ階層名に使用禁止文字 ("<使用禁止文字 >")が含まれています。	要因 指定したストレージ階層名に使用禁止文字が含まれています。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		正しくストレージ階層名を入力してください。 ストレージ階層名に入力できる文字は、次のとおりです。 A～Z, a～z, - (ハイフン), _ (アンダーバー), . (ピリオド), @, 半角空白文字, 非 ASCII 文字
KATS50067-E	マイグレーショングループ名の先頭または末尾に空白文字が指定されました。不正なマイグレーショングループ名:"<不正なマイグレーショングループ名>"	要因 マイグレーショングループ名の先頭および末尾に空白文字は使用できません。 対処 先頭および末尾に空白文字を含まないマイグレーショングループ名を入力してください。
KATS50068-E	入力されたマイグレーショングループ名の文字の長さが不正です。不正なマイグレーショングループ名:"<不正なマイグレーショングループ名>", 入力された文字の長さ(UTF-8 換算でのバイト数):" < UTF-8 換算でのバイト数 >", 指定できる文字の長さ(UTF-8 換算でのバイト数):1 から" < UTF-8 換算でのバイト数 >"	要因 入力されたマイグレーショングループ名の文字数が制限文字数を超過しているか、または未入力です。 対処 正しくマイグレーショングループ名を入力してください。マイグレーショングループに指定できるのは、1 文字以上、UTF-8 換算で 75 バイト以下です。なお、ASCII 文字 1 文字は UTF-8 換算で 1 バイトとなり、そのほかの文字の 1 文字は UTF-8 換算で 1～3 バイトとなります (例: 漢字, 半角かたかなは 3 バイト)。
KATS50069-E	マイグレーショングループ名に使用禁止文字("<使用禁止文字>")が含まれています。	要因 マイグレーショングループ名に使用禁止文字が含まれています。 対処 正しくマイグレーショングループ名を入力してください。マイグレーショングループ名に入力できる文字は、次のとおりです。 A～Z, a～z, - (ハイフン), _ (アンダーバー), . (ピリオド), @, 半角空白文字, 非 ASCII 文字
KATS50071-E	指定したストレージサブシステムはドメインコントローラーとして指定できません。モデル名:"<モデル名>", シリアル番号:"<シリアル番号>", 理由:"<ドメインコントローラーとして指定できない理由>"	要因 指定したストレージサブシステムに誤りがあります。 対処 理由:"<ドメインコントローラーとして指定できない理由>"を参照して、対処してください。理由:"<ドメインコントローラーとして指定できない理由>"には、メッセージテキストが含まれません。 この部分の言語種別は、Tiered Storage Manager サーバが動作しているマシンのロケールによって決まります。したがって、GUI/CLI クライアントの言語種別とサーバ側のロケールを合わせておくことをお勧めします。特に、クライアント側で日本語/英語を使い分けたい場合は、サーバ側のロケールは英語にしてください。サーバ側のロケールが日本語の場合は、クライアント側の言語種別も日本語にしてください。
KATS50072-E	指定したストレージサブシステムはドメインコントローラーとして指定でき	要因 指定したストレージサブシステムに誤りがあります。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ません。ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", 理由:"<ドメインコントローラーとして指定できない理由>"	対処 理由:"<ドメインコントローラーとして指定できない理由>"を参照して、対処してください。理由:"<ドメインコントローラーとして指定できない理由>"には、メッセージテキストが含まれません。 この部分の言語種別は、Tiered Storage Manager サーバが動作しているマシンのロケールによって決まります。したがって、GUI/CLI クライアントの言語種別とサーバ側のロケールを合わせておくことをお勧めします。特に、クライアント側で日本語/英語を使い分けたい場合は、サーバ側のロケールは英語にしてください。サーバ側のロケールが日本語の場合は、クライアント側の言語種別も日本語にしてください。
KATS50073-E	入力された説明文の文字の長さが不正です。入力された文字の長さ(UTF-8 換算でのバイト数):"<UTF-8 換算でのバイト数>", 指定できる文字の長さ(UTF-8 換算でのバイト数):0 から"<UTF-8 換算でのバイト数>"	要因 入力した説明文の文字数が制限文字数を超過しているか、または未入力です。 対処 制限文字数を超えない範囲で説明文を入力してください。説明文に入力できるのは、UTF-8 換算で 255 バイト以下です。なお、ASCII 文字 1 文字は UTF-8 換算で 1 バイトとなり、そのほかの文字の 1 文字は UTF-8 換算で 1~3 バイトとなります (例: 漢字, 半角カタカナは 3 バイト)。
KATS50074-E	プロパティの値の先頭または末尾に不正な空白文字があります。プロパティ:"<プロパティ名>", 値:"<指定した値>"	要因 プロパティ名の先頭および末尾に空白文字は使用できません。 対処 先頭および末尾に空白文字を含まないプロパティ値を入力してください。
KATS50075-E	プロパティの値の長さが不正です。プロパティ:"<プロパティ>", 値:"<指定した値>"	要因 入力したプロパティ値の文字数が制限入力値を超過しているか、または未入力です。 対処 プロパティ値の値を短くしてください。または、少なくとも 1 文字以上のプロパティ値を入力してください。
KATS50076-E	プロパティの値に不正な文字を含んでいます。プロパティ:"<プロパティ>", 不正な文字:"<不正な文字>"	要因 プロパティ値に入力した文字に使用できない文字があります。 対処 プロパティ値から不正な文字を取り除いてください。
KATS50077-E	指定したストレージサブシステムはドメインコントローラーとして指定できません。表示用モデル名:"<表示用モデル名>", シリアル番号:"<シリアル番号>", 理由:"<ドメインコントローラーとして指定できない理由>"	要因 ドメインコントローラーとして指定できないストレージサブシステムを指定しています。 対処 "<ドメインコントローラーとして指定できない理由>"を参照して、対処してください。理由:"<ドメインコントローラーとして指定できない理由>"には、メッセージテキストが含まれます。 この部分の言語種別は、Tiered Storage Manager サーバが動作しているマシンのロケールによ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		て決まります。したがって、GUI/CLI クライアントの言語種別とサーバ側のロケールを合わせておくことをお勧めします。特に、クライアント側で日本語/英語を使い分けたい場合は、サーバ側のロケールは英語にしてください。サーバ側のロケールが日本語の場合は、クライアント側の言語種別も日本語にしてください。
KATS50080-E	操作対象のボリュームがありません。	要因 次のどれかの要因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> 指定したボリュームがありません。 ほかのユーザーがボリュームを削除しました。 ボリュームにアクセス権限がありません。 対処 正しいコントローラー論理デバイス番号を指定して、操作を再実行してください。
KATS50081-E	操作対象のボリュームがありません。 ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", コントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>"	要因 次のどれかの要因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> 指定したボリュームがありません。 ほかのユーザーがボリュームを削除しました。 ボリュームにアクセス権限がありません。 対処 正しいコントローラー論理デバイス番号を指定して、操作を再実行してください。
KATS50082-E	マイグレーション用に予約されているボリュームは、マイグレーショングループに追加できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", コントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>"	要因 マイグレーション用のボリュームとして予約されています。
KATS50083-E	操作対象のマイグレーショングループに操作対象のボリュームがありません。	要因 次のどれかの要因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> 指定したボリューム名に誤りがあります。 ほかのユーザーがボリュームを削除しました。 ボリュームにアクセス権限がありません。 対処 正しいコントローラー論理デバイス番号を指定して、操作を再実行してください。
KATS50084-E	操作対象のマイグレーショングループに操作対象のボリュームがありません。 ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", コントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>"	要因 次のどれかの要因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> 指定したボリューム名に誤りがあります。 ほかのユーザーがボリュームを削除しました。 ボリュームにアクセス権限がありません。 対処 正しいコントローラー論理デバイス番号を指定して、操作を再実行してください。
KATS50090-E	指定したストレージドメインは、ほかのユーザーがストレージドメインのプロパティを変更中のため、ストレージドメインのプロパティを変更できません。	要因 指定したストレージドメインは、ほかのユーザーがストレージドメインのプロパティを変更中です。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	対処 最新のストレージドメイン情報を確認してから、ストレージドメインのプロパティを変更してください。
KATS50091-E	指定したストレージ階層は、ほかのユーザーがストレージ階層のプロパティを変更中のため、ストレージ階層のプロパティを変更できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージ階層名:"<ストレージ階層名>"	要因 指定したストレージ階層は、ほかのユーザーがストレージ階層のプロパティを変更中です。 対処 最新のストレージ階層情報を確認してから、ストレージ階層のプロパティを変更してください。
KATS50092-E	指定したマイグレーショングループは、ほかのユーザーがマイグレーショングループのプロパティを変更中のため、マイグレーショングループのプロパティを変更できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>"	要因 指定したマイグレーショングループは、ほかのユーザーがマイグレーショングループのプロパティを変更中です。 対処 最新のマイグレーショングループ情報を確認してから、マイグレーショングループのプロパティを変更してください。
KATS50093-E	指定したタスクは、ほかのユーザーがタスクのプロパティを変更中のため、タスクのプロパティを変更できません。タスク ID:<タスク ID >	要因 指定したタスクは、ほかのユーザーがタスクのプロパティを変更中です。 対処 最新のタスク情報を確認してから、タスクのプロパティを変更してください。
KATS50094-E	移動先に指定されたプールがありません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", プール ID:"<プール ID >", ソースコントローラ論理デバイス番号:"<ソースコントローラ論理デバイス番号>"	要因 移動先に指定されたプールがありません。 対処 タスクの作成時に表示された場合 ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。 タスクの実行時に表示された場合 実行しようとしたタスクをキャンセルした後、ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。
KATS50095-E	移動先に指定されたプールの状態が正常でないため、マイグレーションを実行できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", プール ID:"<プール ID >", プールの状態:"<プール状態>"	要因 移動先に指定されたプールの状態が正常ではありません。 対処 タスクの作成時に表示された場合 ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。または、移動先に指定されたプールの状態を正常に戻した後に、Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行して、再度タスクを作成してください。 タスクの実行時に表示された場合 移動先に指定されたプールの状態を正常に戻した後に、Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行して、再度タスクを実行してください。
KATS50096-E	移動先に指定されたプールの空き容量が不足しているため、ボリュームを作成してのマイグレーションを実行できません。ストレージドメイン名:"<スト	要因 移動先に指定されたプールに、ソースボリュームと同じサイズのボリュームを作成するだけの空き容量がありません。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	レージドメイン名>", プール ID:"<プール ID >"	タスクの作成時に表示された場合 ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。または、移動先に指定されたプールの容量を確保した後に、Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行して、再度タスクを作成してください。 タスクの実行時に表示された場合 移動先に指定されたプールの容量を確保した後に、Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行して、再度タスクを実行してください。
KATS50097-E	移動先に指定されたプールにボリュームを作成した場合、プールのしきい値を超えるため、ボリュームを作成してのマイグレーションを実行できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", プール ID:"<プール ID >"	要因 移動先に指定されたプールに、ソースボリュームと同じサイズのボリュームを作成した場合、プールのしきい値を超えるため、ボリュームを作成できません。 対処 タスクの作成時に表示された場合 ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。または、移動先に指定されたプールの容量を確保した後に、Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行して、再度タスクを作成してください。 タスクの実行時に表示された場合 移動先に指定されたプールの容量を確保した後に、Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行して、再度タスクを実行してください。
KATS50099-E	操作対象のプールがありません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", プール ID:"<プール ID >"	要因 指定されたプールがないか、または別ユーザーがプールを削除しました。 対処 正しいプール ID を指定して、再度操作を実行してください。
KATS50100-I	ストレージドメインを作成しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", シリアル番号:"<シリアル番号>", 論理 DKC 番号:"<論理 DKC 番号>※"	注※ 論理 DKC を持たないサブシステムの場合、<論理 DKC 番号>には空文字が出力されます。 要因 - 対処 -
KATS50101-I	ストレージ階層を作成しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージ階層名:"<ストレージ階層名>"	要因 - 対処 -
KATS50102-I	マイグレーショングループを作成しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>"	要因 - 対処 -
KATS50103-I	マイグレーショングループにボリュームを追加しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", 追加ボリューム数:"<追加ボリューム数>"	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS50104-I	マイグレーションタスクを登録しました。タスク ID:"<タスク ID >", ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", ターゲットストレージ階層名:"<ターゲットストレージ階層名>"	要因 - 対処 -
KATS50105-I	タスクの実行を開始します。タスク ID:"<タスク ID >"	要因 - 対処 -
KATS50106-I	タスクの実行が完了しました。タスク ID:"<タスク ID >"	要因 - 対処 -
KATS50107-I	ボリュームをロックしました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", ロックしたボリュームのコントローラ論理デバイス番号:"<ロックしたボリュームのコントローラ論理デバイス番号>"	要因 - 対処 -
KATS50108-I	ボリュームのロックを解除しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", ロック解除したボリュームのコントローラ論理デバイス番号:"<ロック解除したボリュームのコントローラ論理デバイス番号>"	要因 - 対処 -
KATS50109-I	マイグレーションプランを作成しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>"	要因 - 対処 -
KATS50110-I	リフレッシュ要求を受け付けました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 - 対処 -
KATS50111-I	リフレッシュを開始しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 - 対処 -
KATS50112-I	リフレッシュが完了しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 - 対処 -
KATS50113-I	タスクの実行要求を受け付けました。タスク ID:"<タスク ID >"	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS50114-I	共通コンポーネントのリポジトリの再同期を開始しました。	要因 - 対処 -
KATS50115-I	共通コンポーネントのリポジトリの再同期が完了しました。	要因 - 対処 -
KATS50116-I	Device Manager のリフレッシュを開始しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", シリアル番号:"<シリアル番号>"	要因 - 対処 -
KATS50117-I	Device Manager のリフレッシュが完了しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", シリアル番号:"<シリアル番号>"	要因 - 対処 -
KATS50120-I	ストレージドメインのプロパティを変更しました。変更前のストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", 変更後のストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 - 対処 -
KATS50121-I	ストレージドメインのプロパティを変更しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 - 対処 -
KATS50122-I	ストレージ階層のプロパティを変更しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", 変更前のストレージ階層名:"<変更前のストレージ階層名>", 変更後のストレージ階層名:"<変更後のストレージ階層名>"	要因 - 対処 -
KATS50123-I	ストレージ階層のプロパティを変更しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージ階層名:"<ストレージ階層名>"	要因 - 対処 -
KATS50124-I	マイグレーショングループのプロパティを変更しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", 変更前のマイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", 変更後のマイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>"	要因 - 対処 -
KATS50125-I	マイグレーショングループのプロパティを変更しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>"	要因 - 対処 -
KATS50126-I	タスクのプロパティを変更しました。タスク ID:"<タスク ID >", ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS50127-I	ボリュームをマイグレーショングループから別のマイグレーショングループに移動しました。ストレージドメイン:"<ストレージドメイン名>",移動元マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>",移動先マイグレーショングループ名:"<移動先マイグレーショングループ名>",移動ボリューム数:"<移動ボリューム数>",タスクID:"<タスクID>"	要因 - 対処 -
KATS50128-I	シュレディングタスクを登録しました。タスクID:"<タスクID>",ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>",マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>"	要因 - 対処 -
KATS50129-I	ロッキングタスクを登録しました。タスクID:"<タスクID>",ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>",マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>"	要因 - 対処 -
KATS50130-I	アンロッキングタスクを登録しました。タスクID:"<タスクID>",ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>",マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>"	要因 - 対処 -
KATS50131-I	ボリューム作成タスクを登録しました。タスクID:"<タスクID>",ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>"	要因 - 対処 -
KATS50132-I	外部接続設定タスクを登録しました。タスクID:"<タスクID>",ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>",外部側のストレージサブシステム名:"<外部ストレージサブシステム名>"	要因 - 対処 -
KATS50140-I	ストレージドメインを削除しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>",ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>",シリアル:"<シリアル番号>",論理DKC番号:"<論理DKC番号>※"	注※ 論理DKCを持たないサブシステムの場合、<論理DKC番号>には空文字が出力されます。 要因 - 対処 -
KATS50141-I	ストレージ階層を削除しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>",ストレージ階層名:"<ストレージ階層名>"	要因 - 対処 -
KATS50142-I	マイグレーショングループを削除しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>",マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>"	要因 - 対処 -
KATS50143-I	マイグレーショングループからボリュームを削除しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 - 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	>",マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", 削除したボリューム数:"<削除したボリューム数>"	-
KATS50144-I	タスクを削除しました。タスク ID:"<タスク ID >"	要因 - 対処 -
KATS50145-I	タスクをキャンセルしました。タスク ID:"<タスク ID >"	要因 - 対処 -
KATS50146-I	タスクを中止しました。タスク ID:"<タスク ID >"	要因 - 対処 -
KATS50147-I	タスクの中止要求を受け付けました。タスク ID:"<タスク ID >"	要因 - 対処 -
KATS50148-I	タスクを強制的にキャンセルしました。タスク ID:"<タスク ID >"	要因 - 対処 -
KATS50149-I	タスクを強制的に中止しました。タスク ID:"<タスク ID >"	要因 - 対処 -
KATS50160-E	プロパティファイルがありません。プロパティファイル名:"<プロパティファイル名>"	要因 プロパティファイルがありません。 対処 Tiered Storage Manager インストールディレクトリ下の lib ディレクトリに、表示されたプロパティファイルがあるかどうか確認してください。
KATS50161-E	無効なプロパティキーです。プロパティファイルの読み込みを中止します。プロパティファイル名:"<プロパティファイル名>", プロパティキー:"<無効なプロパティキー>"	要因 無効なプロパティキーが指定されています。 対処 プロパティファイル内にプロパティキーを正しく指定してください。
KATS50162-E	プロパティの値が不正です。プロパティファイルの読み込みを中止します。プロパティファイル名:"<プロパティファイル名>", プロパティキー:"<不正なプロパティキー>"	要因 指定したプロパティの値が不正です。 対処 プロパティファイル内にプロパティキーを正しく指定してください。
KATS50163-E	指定しなければならないプロパティキーを指定していません。プロパティファイルの読み込みを中止します。プロパティファイル名:"<プロパティファイル名>", プロパティキー:"<プロパティキー>"	要因 指定しなければならないプロパティキーを指定していません。 対処 表示されたファイル内にプロパティキーを正しく指定してください。
KATS50164-E	Tiered Storage Manager でストレージドメインをリフレッシュ中に Device	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	Manager がリフレッシュされたため、ストレージドメインのリフレッシュに失敗しました。ストレージドメインを再度リフレッシュしてください。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	<p>Tiered Storage Manager でストレージドメインをリフレッシュ中に、Device Manager がリフレッシュされました。</p> <p>対処 ストレージドメインを再度リフレッシュしてください。</p>
KATS50200-E	ストレージドメインの作成に失敗しました。	<p>要因 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。 ストレージドメインの作成は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50201-E	ストレージ階層の作成に失敗しました。	<p>要因 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。 ストレージ階層の作成は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50202-E	マイグレーショングループの作成に失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>マイグレーショングループの作成は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50203-E	マイグレーショングループへのボリューム追加が失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>マイグレーショングループへのボリューム追加は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないと</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>きは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
KATS50204-E	<p>マイグレーションタスクの登録に失敗しました。</p>	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合</p> <p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>マイグレーションタスクの登録は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合</p> <p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
KATS50206-E	<p>タスクの実行に失敗しました。タスクID:"<タスクID>"</p>	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合</p> <p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>タスクは、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50207-E	ボリュームのロックに失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。 標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>ボリュームのロックは、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50208-E	ボリュームのロック解除に失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。 標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>ボリュームのロック解除は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50209-E	マイグレーションプランの作成に失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>マイグレーションプランの作成は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50210-E	リフレッシュ要求の受け付けが失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>リフレッシュ要求の受け付けは、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50212-E	リフレッシュの実行に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>リフレッシュは、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50213-E	タスクの実行要求に失敗しました。タスク ID:"<タスク ID >"	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>タスクの実行要求は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50214-E	<p>共通コンポーネントのリポジトリの再同期に失敗しました。</p>	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>共通コンポーネントのリポジトリの再同期は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50216-E	<p>Tiered Storage Manager 停止時に当該するストレージドメインはリフレッ</p>	<p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	シユ処理中だったため、リフレッシュ失敗状態に変更しました。	Tiered Storage Manager が停止した時点で、該当するストレージドメインがリフレッシュ処理中でした。 対処 再度、ストレージドメインをリフレッシュしてください。
KATS50217-W	Tiered Storage Manager 停止時に該当するストレージドメインはリフレッシュ処理中だったため、リフレッシュ失敗状態に変更しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 Tiered Storage Manager が停止した時点で該当するストレージドメインがリフレッシュ中でした。 対処 再度、ストレージドメインをリフレッシュしてください。
KATS50218-E	タスクの状態変更に失敗しました。	要因 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。 標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。 プロパティの取得は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。 対処 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS50219-E	タスクの登録に失敗しました。	要因 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。 標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。 プロパティの取得は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。 対処 メッセージログに表示されている場合

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
KATS50220-E	ストレージメインプロパティの変更 に失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合</p> <p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>プロパティの変更は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合</p> <p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
KATS50221-E	ストレージ階層プロパティの変更に失敗 しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合</p> <p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>プロパティの変更は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50222-E	マイグレーショングループプロパティの変更に失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>プロパティの変更は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50223-E	タスクプロパティの変更に失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>プロパティの変更は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50224-E	シュレディングタスクの登録に失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>シュレディングタスクの登録は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50225-E	ロッキングタスクの登録に失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>ロックタスクの登録は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50226-E	アンロックタスクの登録に失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>アンロックタスクの登録は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50227-E	ボリューム作成タスクの登録に失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。 なお、ボリューム作成タスクの登録は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
KATS50228-E	外部接続設定タスクの登録に失敗しました。	<p>要因 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。 標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。 なお、外部接続設定タスクの登録は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
KATS50240-E	ストレージドメインの削除に失敗しました。	<p>要因 メッセージログに表示されている場合</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>ストレージドメインの削除は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合</p> <p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
KATS50241-E	ストレージ階層の削除に失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合</p> <p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>ストレージ階層の削除は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合</p> <p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS50242-E	マイグレーショングループの削除に失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>マイグレーショングループの削除は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50243-E	マイグレーショングループからのボリューム削除に失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>マイグレーショングループからのボリューム削除は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS50244-E	タスクの削除に失敗しました。	<p>要因 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>タスクの削除は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50245-E	タスクのキャンセルに失敗しました。	<p>要因 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>タスクのキャンセルは、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処して</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>ください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
KATS50246-E	タスクの中止要求に失敗しました。	<p>要因 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。 タスクの中止は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。 標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。</p>
KATS50260-E	ストレージドメインのプロパティ取得に失敗しました。	<p>要因 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。 プロパティ取得は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。 標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50261-E	<p>ストレージ階層のプロパティ取得に失敗しました。</p>	<p>要因 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。 プロパティ取得は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50262-E	<p>マイグレーショングループのプロパティ取得に失敗しました。</p>	<p>要因 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。 プロパティ取得は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
KATS50263-E	ボリュームの情報表示に失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>ボリュームの情報表示は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
KATS50264-E	プールの情報表示に失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>ボリュームの情報表示は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>いは場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50265-E	<p>タスクのプロパティ取得に失敗しました。</p>	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合</p> <p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>プロパティ取得は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合</p> <p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50266-E	<p>キーストア情報の取得に失敗しました。</p>	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合</p> <p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>なお、ほかの操作の延長で内部的にプロパティが取得される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
KATS50267-E	ボリュームの情報チェックに失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合</p> <p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合</p> <p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
KATS50268-E	操作ボリュームの情報更新要求の受け付けが失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合</p> <p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50280-E	<p>ボリューム検索条件取得に失敗しました。</p>	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。 標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>ボリューム検索条件取得とは、Webクライアントのボリューム検索画面などに表示されるドロップダウンリストの値を取得するための内部処理のことです。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50281-E	<p>検索結果のボリューム数の取得に失敗しました。</p>	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。 標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>検索結果のボリューム数の取得は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50282-E	リフレッシュ状態の取得に失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>リフレッシュ状態の取得は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50283-E	ドメインコントローラーの取得に失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>ドメインコントローラーの取得は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50284-E	<p>ターゲットストレージ階層として指定できるストレージ階層の取得に失敗しました。または、指定されたマイグレーショングループがマイグレーションできる状態でないため、ターゲットストレージ階層として指定できるストレージ階層が取得できませんでした。</p>	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>ターゲットストレージ階層として指定できるストレージ階層の取得とは、Web クライアントのマイグレーションウィザードでマイグレーションできるストレージ階層の一覧を取得するための内部処理のことです。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KATS50285-E	検索結果のプール数の取得に失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>検索結果のボリューム数の取得は、ほかの操作の延長で内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50286-E	ストレージサブシステムの取得に失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>なお、ストレージサブシステムの取得は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS50287-E	空き容量の情報表示に失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>なお、アレイグループの情報表示は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50288-E	空き容量検索条件取得に失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>なお、空き容量検索条件取得とは、GUIの空き容量検索画面などに表示するドロップダウンリストの値を取得するための内部処理のことです。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KATS50289-E	検索結果の空き容量数の取得に失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>なお、検索結果の空き容量数の取得は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。</p>
KATS50290-E	外部ストレージの情報表示に失敗しました。	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>なお、外部ストレージの情報表示は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50291-E	<p>エミュレーションタイプの取得に失敗しました。</p>	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>なお、エミュレーションタイプの取得はほかの操作の延長で内部的に実行されるときがあります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50292-E	<p>バスグループの取得に失敗しました。</p>	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>なお、バスグループの取得は、ほかの操作の続きで内部的に実行される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>い場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
KATS50293-E	データベースの状態を確認できませんでした。	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合</p> <p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
KATS50299-E	バックグラウンドで実行しているタスク管理処理またはイベント検出処理でエラーが発生しました。この処理は一定時間後に自動的に再実行されます。	<p>要因</p> <p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。</p> <p>対処</p> <p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。対処に「再実行してください」という指示がある場合、再実行は不要です。</p>
KATS50301-E	指定されたマイグレーショングループはタスク作成不可状態に設定されています。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:<マイグレーショングループ名>	<p>要因</p> <p>指定されたマイグレーショングループはタスク作成不可状態に設定されています。</p> <p>対処</p> <p>マイグレーショングループの属性を変更して、タスク作成不可状態を解除してください。</p>
KATS50302-E	指定されたマイグレーショングループに対する未終了状態のタスクがすでにあります。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:<マイグレーション	<p>要因</p> <p>指定されたマイグレーショングループに対する待機中または動作中のマイグレーションタスクがあるため、このマイグレーショングループを指定できません。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	グループ名>, タスク ID:"<タスク ID >"	マイグレーションタスクが完了してから、マイグレーショングループを指定してください。
KATS50303-E	ドメインコントローラーとして設定されたストレージサブシステムにプログラムプロダクト名:"<プログラムプロダクト名>"がインストールされていません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>"	<p>要因 ドメインコントローラーとなるストレージサブシステムに必須プログラムプロダクトがインストールされていないか、またはライセンスキーが入力されていません。</p> <p>対処 ドメインコントローラーとなるストレージサブシステムに必須プログラムプロダクトをインストールするか、またはストレージナビゲーターからライセンスキーを入力してください。ライセンスキーは、Tiered Storage Manager を購入した際のライセンスキーです。その後、Device Manager と Tiered Storage Manager を順番にリフレッシュしてください。</p>
KATS50304-E	ボリューム情報が取得できないボリュームが含まれているため、タスクを登録できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", コントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>"	<p>要因 次のどちらかの要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> マイグレーショングループにボリュームを登録しているボリュームが、Device Manager などて削除されました。 Device Manager のリフレッシュ時に障害などの理由で、Device Manager がそのボリュームの情報を取得できませんでした。 <p>対処 ボリュームが不要な場合 マイグレーショングループからボリュームを削除してください。 ボリュームが必要な場合 次の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> Device Manager のリフレッシュ時に障害が発生していなかったかどうかを調査します。障害があれば障害を取り除いてください。 Device Manager をリフレッシュします。 Device Manager でそのボリューム情報があることを確認します。 Tiered Storage Manager をリフレッシュします。
KATS50305-E	すべてのソースボリュームがマイグレーション対象外ボリュームに指定されています。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>"	<p>要因 指定されたマイグレーショングループに登録されているすべてのボリュームがマイグレーション実行対象外に指定されています。</p> <p>対処 マイグレーションを実行するボリュームを設定してください。</p>
KATS50306-E	ストレージサブシステムの制限によって次のボリュームをマイグレーションできません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーションできない理由:"<マイグレーションできない理由>", コントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>"	<p>要因 ストレージサブシステムの制限によってマイグレーションできないボリュームがありました。マイグレーションできない理由:"<マイグレーションできない理由>"に示される値には、次のどれかが入ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> TrueCopy Synchronous Status : TrueCopy Synchronous の制限でマイグレーションできない場合

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> • TrueCopy Asynchronous Status : TrueCopy Asynchronous の制限でマイグレーションできない場合 • Continuous Access XP Synchronous Status : Continuous Access XP Synchronous の制限でマイグレーションできない場合 • Continuous Access XP Asynchronous Status : Continuous Access XP Asynchronous の制限でマイグレーションできない場合 • ShadowImage Configuration [Root] : ShadowImage [Root]の制限でマイグレーションできない場合 • ShadowImage Configuration [Node] : ShadowImage [Node]の制限でマイグレーションできない場合 • ShadowImage Configuration [Leaf] : ShadowImage [Leaf]の制限でマイグレーションできない場合 • Business Copy XP Configuration [Root] : Business Copy XP [Root]の制限でマイグレーションできない場合 • Business Copy XP Configuration [Node] : Business Copy XP [Node]の制限でマイグレーションできない場合 • Business Copy XP Configuration [Leaf] : Business Copy XP [Leaf]の制限でマイグレーションできない場合 • Command Device : Command Device であるためにマイグレーションできない場合 • Cache Residency Manager : Cache Residency Manager の制限でマイグレーションできない場合 • Cache LUN XP : Cache LUN XP の制限でマイグレーションできない場合 • Copy-On-Write Snapshot : Copy-On-Write Snapshot の制限でマイグレーションできない場合 • Snapshot XP : Snapshot XP の制限でマイグレーションできない場合 • Thin Image : Thin Image の制限によりマイグレーションできない場合 • Fast Snap : Fast Snap の制限によりマイグレーションできない場合 • Universal Replicator : Universal Replicator の制限でマイグレーションできない場合 • Continuous Access XP Journal : Continuous Access XP Journal の制限でマイグレーションできない場合 • External Locked : 外部ボリュームがロックされているためにマイグレーションできない場合 • Migration Reserved : マイグレーション用に予約されているボリュームであるために使用できない場合

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> • XRC : XRC の制限でマイグレーションできない場合 • Dynamic Provisioning : Dynamic Provisioning の制限でマイグレーションできない場合 • Thin Provisioning : Thin Provisioning の制限でマイグレーションできない場合 • FCoE Path : FCoE のパスが設定されているためにマイグレーションできない場合 • 3390-A : エミュレーションタイプが 3390-A のためにマイグレーションできない場合 • In-progress data migration that uses virtual IDs : 仮想 ID を用いたデータ移行中のボリュームであるためにマイグレーションできない場合 • Data migration that uses virtual IDs : 仮想 ID を用いたデータ移行に使用しているリソースグループに所属しているボリュームであるためにマイグレーションできない場合 <p>"<コントローラ論理デバイス番号>"には複数のコントローラ論理デバイス番号が入る場合があります。</p> <p>対処</p> <p>マイグレーションに関する制限事項に該当しないよう、ストレージサブシステムの設定を変更してください。その後、Tiered Storage Manager をリフレッシュしてください。</p> <p>または、マイグレーションに関する制限事項に該当する LU を構成するすべての LDEV に対する移動先ボリュームを移動元ボリューム自身に設定してください。</p>
KATS50307-E	<p>ストレージサブシステムの制限によって、次のボリュームをターゲットボリュームとして使用できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーションできない理由:"<マイグレーションできない理由>", コントローラ論理デバイス番号:"<コントローラ論理デバイス番号>"</p>	<p>要因</p> <p>ストレージサブシステムの制限によってターゲットボリュームとして使用できないボリュームがありました。マイグレーションできない理由:"<マイグレーションできない理由>"に示される値には、次のどれかが入ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • TrueCopy Synchronous (target) : TrueCopy Synchronous の制限でマイグレーションできない場合 • TrueCopy Asynchronous (target) : TrueCopy Asynchronous の制限でマイグレーションできない場合 • Continuous Access XP Synchronous (target) : Continuous Access XP Synchronous の制限でマイグレーションできない場合 • Continuous Access XP Asynchronous (target) : Continuous Access XP Asynchronous の制限でマイグレーションできない場合 • ShadowImage (target) : ShadowImage の制限でマイグレーションできない場合 • Business Copy XP (target) : Business Copy XP の制限でマイグレーションできない場合

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> • LUSE (target) : LUSE ボリュームであるためにマイグレーションできない場合 • Command Device : Command Device であるためにマイグレーションできない場合 • Cache Residency Manager : Cache Residency Manager の制限でマイグレーションできない場合 • Cache LUN XP : Cache LUN XP の制限でマイグレーションできない場合 • Path (target) : パスが設定されているためにマイグレーションできない場合 • Locked (target) : ボリュームがロックされているためにマイグレーションできない場合 • External Locked : 外部ボリュームがロックされているためにマイグレーションできない場合 • Migration Reserved : マイグレーション用に予約されているボリュームであるために使用できない場合 • Copy-On-Write Snapshot : Copy-On-Write Snapshot の制限でマイグレーションできない場合 • Snapshot XP : Snapshot XP の制限でマイグレーションできない場合 • Thin Image : Thin Image の制限によりマイグレーションできない場合 • Fast Snap : Fast Snap の制限によりマイグレーションできない場合 • Universal Replicator : Universal Replicator の制限でマイグレーションできない場合 • Continuous Access XP Journal : Continuous Access XP Journal の制限でマイグレーションできない場合 • NAS (target) : NAS のシステムボリュームであるためにマイグレーションできない場合 • Migration Group (target) : すでにマイグレーショングループに登録されている場合 • SYSPLEXID/DEVN (target) : SYSPLEXID または DEVN が設定されているためにマイグレーションできない場合 • VOLSER (target) : VOLSER が設定されているためにマイグレーションできない場合 • Dynamic Provisioning : Dynamic Provisioning の制限でマイグレーションできない場合 • Thin Provisioning : Thin Provisioning の制限でマイグレーションできない場合 • 3390-A : エミュレーションタイプが 3390-A のためにマイグレーションできない場合 • In-progress data migration that uses virtual IDs : 仮想 ID を用いたデータ移行中のボリュームであるためにマイグレーションできない場合 • Data migration that uses virtual IDs : 仮想 ID を用いたデータ移行に使用しているリ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>ソースグループに所属しているボリュームであるためにマイグレーションできない場合</p> <p>"<コントローラー論理デバイス番号>"には複数のコントローラー論理デバイス番号が入る場合があります。</p> <p>対処 次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> マイグレーションに関する制限事項に該当しないよう、ストレージサブシステムの設定を変更してください。その後、Tiered Storage Manager をリフレッシュしてください。マイグレーションに関する制限事項については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」を参照してください。 マイグレーションに関する制限事項に該当しないほかのボリュームを指定してください。
KATS50308-E	<p>ストレージサブシステムの制限によって、次のボリュームの組み合わせでマイグレーションできません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーションできない理由:"<マイグレーションできない理由>", ソースボリュームとターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号の組:"<ソースボリュームとターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号の組>"</p>	<p>要因 ストレージサブシステムの制限によってマイグレーションできないボリュームがありました。マイグレーションできない理由:"<マイグレーションできない理由>"に示される値には、次のどれかが入ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> CVS : マイグレーション元とマイグレーション先の CVS 種別が異なるためにマイグレーションできない場合 Emulation : マイグレーション元とマイグレーション先のエミュレーションタイプが異なるためにマイグレーションできない場合 Size : マイグレーション元とマイグレーション先のサイズが異なるためにマイグレーションできない場合 <p>対処 マイグレーションに関する制限事項に該当しないほかのボリュームを、ターゲットボリュームに指定してください。</p>
KATS50309-E	<p>マイグレーションプランに含まれていないソースボリュームがあります。マイグレーショングループに含まれているすべてのボリュームについてターゲットボリュームを指定する必要があります。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", ターゲットボリュームが指定されていないソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>"</p>	<p>要因 マイグレーションプランに含まれていないソースボリュームがあります。</p> <p>対処 マイグレーショングループに含まれるすべてのボリュームについて、ターゲットボリュームを指定してください。</p>
KATS50310-E	<p>マイグレーショングループに含まれないソースボリュームのマイグレーションが指定されています。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>",</p>	<p>要因 マイグレーショングループに含まれないボリュームのマイグレーションを指定しています。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", コントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>"	マイグレーショングループに含まれないボリュームをソースボリュームの指定から除いてください。
KATS50311-E	ターゲットボリュームは指定されたストレージ階層に含まれていません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージ階層名:"<ストレージ階層名>", コントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>"	要因 ターゲットボリュームは指定したストレージ階層に含まれていません。 対処 指定したストレージ階層内に含まれるボリュームをターゲットボリュームとして指定してください。
KATS50312-E	ターゲットボリュームはマイグレーショングループに含まれているため、マイグレーションできません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", コントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>"	要因 ターゲットボリュームはマイグレーショングループに含まれているため、マイグレーションできません。 対処 マイグレーション先として別のボリュームを指定してください。
KATS50313-E	ソースボリュームとして同一のボリュームが複数回指定されています。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", コントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>"	要因 ソースボリュームとして同じボリュームが複数回指定されています。 対処 同じボリュームは一回だけ指定してください。
KATS50314-E	ターゲットボリュームとして同一のボリュームが複数回指定されています。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", コントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>"	要因 ターゲットボリュームとして同じボリュームが複数回指定されています。 対処 同じターゲットボリュームは1回だけ指定してください。
KATS50315-E	ドメインコントローラーとなるストレージサブシステムにプログラムプロダクト名:<プログラムプロダクト名>がインストールされていないため、データ消去できません。ストレージドメイン名:<ストレージドメイン名>, ストレージサブシステム名:<ストレージサブシステム名>	要因 ドメインコントローラーとなるストレージサブシステムに必須プログラムプロダクトがインストールされていないか、またはライセンスキーが入力されていません。 対処 ドメインコントローラーとなるストレージサブシステムに必須プログラムプロダクトをインストールするか、またはストレージナビゲーターからライセンスキーを入力してください。その後、Device Manager と Tiered Storage Manager を順番にリフレッシュしてください。
KATS50316-E	次のマイグレーションの進捗情報をストレージサブシステムから取得できませんでした。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", タスクID:"<タスク ID >", ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	要因 Tiered Storage Manager サーバの障害などで、タスク情報の更新に失敗したおそれがあります。 対処 Tiered Storage Manager をリフレッシュして、最新のボリューム情報を確認してください。必要に応じて再度マイグレーションしてください。
KATS50317-E	ターゲットボリュームはほかのマイグレーションタスクで使用されているた	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	め、マイグレーションできません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", コントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>"	指定されたターゲットボリュームはすでにほかのマイグレーションタスクで使用されているため、ターゲットボリュームとして使用できません。 対処 ターゲットボリュームにほかのボリュームを指定してください。
KATS50318-E	異なる SLPR に属するボリュームのマイグレーションが指定されています。異なる SLPR に属するボリュームをマイグレーションする場合は、明示的に許可してマイグレーションタスクを作成してください。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ソースボリュームとターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号の組:"<ソースボリュームとターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号の組>"	要因 異なる SLPR に属するボリュームのマイグレーションが指定されています。 対処 次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none">Web クライアントを使用している場合は、マイグレーションウィザードで異なる SLPR に属するボリュームのマイグレーションを許可してください。CLI を使用している場合は、マイグレーションプランの <code>permitCrossSlprMigration</code> の項目を Yes に設定してください。
KATS50319-E	異なる CLPR に属するボリュームのマイグレーションが指定されています。異なる CLPR に属するボリュームをマイグレーションする場合は、明示的に許可してマイグレーションタスクを作成してください。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ソースボリュームとターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号の組:"<ソースボリュームとターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号の組>"	要因 異なる CLPR に属するボリュームのマイグレーションが指定されています。 対処 次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none">Web クライアントを使用している場合は、マイグレーションウィザードで異なる CLPR に属するボリュームのマイグレーションを許可してください。CLI を使用している場合は、マイグレーションプランの <code>permitCrossClprMigration</code> の項目を Yes に設定してください。
KATS50320-E	指定されたマイグレーショングループにはボリュームが含まれていません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>"	要因 指定したマイグレーショングループに、ボリュームが一つも含まれていません。 対処 マイグレーションしたいボリュームをマイグレーショングループへ追加してください。
KATS50321-E	マイグレーションの進捗状態取得に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>"	要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。 対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。原因が解決されたあと、定期的な進捗問い合わせによってタスクの情報は最新の状態に更新されます。
KATS50322-E	マイグレーションの開始処理に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>"	要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>テム名>", タスク ID:"<タスク ID >", ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"</p>	<p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。必要な場合は、再度マイグレーションタスクを作成してマイグレーションしてください。直前にメッセージが出力されていない場合も、再度マイグレーションタスクを作成してマイグレーションを行ってください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。マイグレーションタスクを実行した際にエラーが発生した場合は、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」のトラブルシューティングを参照してください。</p>
KATS50323-E	<p>マイグレーションの開始処理に失敗しました。ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"</p>	<p>要因 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照してください。</p> <p>対処 このメッセージの直前に出力されているメッセージに従って対処してください。必要な場合は、再度マイグレーションタスクを作成してマイグレーションしてください。直前にメッセージが出力されていない場合も、再度マイグレーションタスクを作成してマイグレーションを行ってください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。マイグレーションタスクを実行した際にエラーが発生した場合は、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」のトラブルシューティングを参照してください。</p>
KATS50324-E	<p>マイグレーションは正常に終了しましたが、タスクの終了処理に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスク ID:"<タスク ID >", ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"</p>	<p>要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。</p> <p>対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。その後、ストレージドメインをリフレッシュしてください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。あわせて、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」のトラブルシューティングも参照してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50325-E	<p>マイグレーションは正常に終了しましたが、タスクの終了処理に失敗しました。ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"</p>	<p>要因 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照してください。</p> <p>対処 このメッセージの直前に出力されているメッセージに従って対処してください。その後、ストレージドメインをリフレッシュしてください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。あわせて、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」のトラブルシューティングも参照してく</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ださい。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS50326-E	マイグレーション終了後、ターゲットボリュームの予約解除に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスク ID:"<タスク ID >", ターゲットボリュームのコントローラ論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラ論理デバイス番号>"	要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。 対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。その後、ストレージドメインをリフレッシュしてください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。あわせて、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」のトラブルシューティングも参照してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS50327-E	マイグレーション終了後、ターゲットボリュームの予約解除に失敗しました。ターゲットボリュームのコントローラ論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラ論理デバイス番号>"	要因 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照してください。 対処 このメッセージの直前に出力されているメッセージに従って対処してください。その後、ストレージドメインをリフレッシュしてください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。あわせて、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」のトラブルシューティングも参照してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS50328-E	データ消去の進捗状態取得に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>"	要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。 対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。原因が解決されたあと、定期的な進捗問い合わせによってタスクの情報は最新の状態に更新されます。
KATS50329-E	データ消去の開始処理に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスク ID:"<タスク ID >"	要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。 対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。必要な場合は、手動でデータ消去をしてください。直前にメッセージが出力されていない場合も、再度データ消去を行ってください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。マイグレーションタスクを実行した際にエラーが発生した場合は、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」のトラブルシューティングを参照してください。</p>
KATS50330-E	データ消去の開始処理に失敗しました。	<p>要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。</p> <p>対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。必要な場合は、手動でデータ消去をしてください。</p> <p>直前にメッセージが出力されていない場合も、再度データ消去を行ってください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。マイグレーションタスクを実行した際にエラーが発生した場合は、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」のトラブルシューティングを参照してください。</p>
KATS50331-E	<p>マイグレーションがストレージサブシステムによって中止されました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスクID:"<タスクID>", ソースボリュームのコントローラ論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラ論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラ論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラ論理デバイス番号>"</p>	<p>要因 マイグレーションがストレージサブシステムによって中止されました。</p> <p>対処 次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ストレージサブシステムに対するホストからのアクセス負荷が大きくなっていないか ・ ソースボリューム、ターゲットボリュームの構成を変更していないか <p>必要な場合は、再度マイグレーションタスクを作成してマイグレーションしてください。マイグレーションタスクを実行した際にエラーが発生した場合は、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」のトラブルシューティングを参照してください。</p>
KATS50332-E	<p>マイグレーションがストレージサブシステムによって中止されました。ソースボリュームのコントローラ論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラ論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラ論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラ論理デバイス番号>"</p>	<p>要因 ストレージサブシステムによって、マイグレーションが中止されました。</p> <p>対処 次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サブシステムに対するホストからのアクセス負荷が大きくなっていないか ・ ソースボリューム、ターゲットボリュームの構成を変更していないか <p>必要な場合は、再度マイグレーションタスクを作成してマイグレーションしてください。マイグレーションタスクを実行した際にエラーが発生した場合は、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」のトラブルシューティングを参照してください。</p>
KATS50333-E	データ消去がストレージサブシステムによって中止されました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	<p>要因 ボリュームが閉塞しているおそれがあります。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名 >", タスク ID:"<タスク ID >"	Storage Navigator を用いてボリュームの状態を確認してください。必要な場合はボリュームをフォーマットしてください。Storage Navigator の詳細については、マニュアル「 <i>Storage Navigator ユーザーズガイド</i> 」を参照してください。
KATS50334-E	データ消去がストレージサブシステムによって中止されました。	要因 ボリュームが閉塞しているおそれがあります。 対処 Storage Navigator を用いてボリュームの状態を確認してください。必要な場合はボリュームをフォーマットしてください。Storage Navigator の詳細については、マニュアル「 <i>Storage Navigator ユーザーズガイド</i> 」を参照してください。
KATS50335-E	ストレージサブシステムでの処理でエラーが発生しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名 >", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名 >", エラーコード 1="<エラーコード 1 >", エラーコード 2="<エラーコード 2 >", 内部情報="<内部情報 >"	要因 ストレージサブシステムでの処理でエラーが発生しました。 対処 「16.」を参照して、該当するエラーメッセージの説明欄と対処欄を参照してください※。該当する"<エラーコード 1 >", "<エラーコード 2 >"が見つからない場合は、マニュアル「 <i>Storage Navigator エラーコード</i> 」を参照してください。このマニュアルでは、"<エラーコード 1 >"は"部位コード", "<エラーコード 2 >"は"エラーコード"と示されています。 Device Manager の対処をしたあと、エラーの発生したストレージサブシステムに対して Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行して、最新状態を確認してください。 "<内部情報 >"には、Storage Navigator を直接使用した場合に発生するエラーの内容を示しています。この情報は原因と対処方法を調べる参考情報にはなりますが、"<内部情報 >"に書かれているとおりの対処方法は適用できない場合がありますので注意してください。 顧客問い合わせ窓口に連絡する場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報、およびストレージサブシステム側の障害情報を取得してください。ストレージサブシステム側の障害情報は、できるだけ障害が発生してから時間が経過しないうちに取得してください。 このメッセージには、サブシステム処理でのエラーで発生したメッセージテキストがそのままの形で含まれます。この部分の言語種別は、Tiered Storage Manager サーバが動作しているマシンのロケールによって決まります。したがって、GUI/CLI クライアントの言語種別とサーバ側のロケールを合わせておくことをお勧めします。特に、クライアント側で日本語/英語を使い分けたい場合は、サーバ側のロケールは英語にしてください。サーバ側のロケールが日本語の場合は、クライアント側の言語種別も日本語にしてください。 注※

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>例えば、「エラーコード 1="1",エラーコード 2="5132"」である場合の、説明「すでに同名のユーザー ID がログインしています。」、対処「他のユーザー ID でログインしてください。」が示す内容は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明：Device Manager が内部的にストレージサブシステムにログインする時に使用するユーザー ID と同名のユーザー ID が、ストレージサブシステムにログインしています。 対処：Device Manager が内部的にストレージサブシステムにログインする時に使用するユーザー ID を変更してください。Device Manager が内部的にストレージサブシステムにログインする時に使用するユーザー ID は、Device Manager でサブシステムを追加する時に指定するユーザー ID です。
KATS50336-E	<p>ストレージサブシステムでの処理でエラーが発生しました。エラーコード 1="<エラーコード 1 >", エラーコード 2="<エラーコード 2 >", 内部情報="<内部情報 >"</p>	<p>要因 ストレージサブシステムでの処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処 「16.」を参照して、該当するエラーメッセージの説明欄と対処欄を参照してください※。該当する"<エラーコード 1 >", "<エラーコード 2 >"が見つからない場合は、マニュアル「Storage Navigator エラーコード」を参照してください。このマニュアルでは,"<エラーコード 1 >"は"部 位コード", "<エラーコード 2 >"は"エラーコード"と示されています。</p> <p>Device Manager の対処をしたあと、エラーの発生したストレージサブシステムに対して Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行して、最新状態を確認してください。</p> <p>"<内部情報 >"には、Storage Navigator を直接使用した場合に発生するエラーの内容を示しています。この情報は原因と対処方法を調べる参考情報にはなりますが、"<内部情報 >"に書かれているとおりの対処方法は適用できない場合がありますので注意してください。</p> <p>顧客問い合わせ窓口に連絡する場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報、およびストレージサブシステム側の障害情報を取得してください。ストレージサブシステム側の障害情報は、できるだけ障害が発生してから時間が経過しないうちに取得してください。</p> <p>このメッセージには、サブシステム処理でのエラーで発生したメッセージテキストがそのままの形で含まれます。この部分の言語種別は、Tiered Storage Manager サーバが動作しているマシンのロケールによって決まります。したがって、GUI/CLI クライアントの言語種別とサーバ側のロケールを合わせておくことをお勧めします。特に、クライアント側で日本語/英語を使い分けたい場合は、サーバ側のロケールは英語にしてください。サーバ側のロケールが日本語の場合は、クライアント側の言語種別も日本語にしてください。</p> <p>注※</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>例えば、「エラーコード 1="1",エラーコード 2="5132"」である場合の、説明「すでに同名のユーザー ID がログインしています。」、対処「他のユーザー ID でログインしてください。」が示す内容は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明：Device Manager が内部的にストレージサブシステムにログインする時に使用するユーザー ID と同名のユーザー ID が、ストレージサブシステムにログインしています。 対処：Device Manager が内部的にストレージサブシステムにログインする時に使用するユーザー ID を変更してください。Device Manager が内部的にストレージサブシステムにログインする時に使用するユーザー ID は、Device Manager でサブシステムを追加する時に指定するユーザー ID です。
KATS50337-E	<p>ストレージサブシステムでの処理でエラーが発生しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", エラーコード 1="<エラーコード 1 >", エラーコード 2="<エラーコード 2 >"</p>	<p>要因 ストレージサブシステムでの処理でエラーが発生しました。なお、メッセージ本文中の"<エラーコード 1 >"を特定できない場合は、"-1"が設定されます。</p> <p>対処 「16.」を参照して、該当するエラーメッセージの説明欄と対処欄を参照してください※。該当する"<エラーコード 1 >", "<エラーコード 2 >"が見つからない場合は、マニュアル「Storage Navigator エラーコード」を参照してください。このマニュアルでは、"<エラーコード 1 >"は"部位コード", "<エラーコード 2 >"は"エラーコード"と示されています。</p> <p>Device Manager の対処をしたあと、エラーの発生したストレージサブシステムに対して Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行して、最新状態を確認してください。</p> <p>なお、顧客問い合わせ窓口に連絡する場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報、およびストレージサブシステム側の障害情報を取得してください。ストレージサブシステム側の障害情報は、できるだけ障害が発生してから時間が経過しないうちに取得してください。</p> <p>注※ 例えば、「エラーコード 1="1",エラーコード 2="5132"」である場合の、説明「すでに同名のユーザー ID がログインしています。」、対処「他のユーザー ID でログインしてください。」が示す内容は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明：Device Manager が内部的にストレージサブシステムにログインする時に使用するユーザー ID と同名のユーザー ID が、ストレージサブシステムにログインしています。 対処：Device Manager が内部的にストレージサブシステムにログインする時に使用するユーザー ID を変更してください。Device Manager が内部的にストレージサブシステムにログインする時に使用するユーザー ID

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		は、Device Manager でサブシステムを追加する時に指定するユーザー ID です。
KATS50338-E	ストレージサブシステムでの処理でエラーが発生しました。エラーコード 1="<エラーコード 1 >", エラーコード 2="<エラーコード 2 >"	<p>要因 ストレージサブシステムでの処理でエラーが発生しました。なお、メッセージ本文中の"<エラーコード 1 >"を特定できない場合は、"-1"が設定されます。</p> <p>対処 「16.」を参照して、該当するエラーメッセージの対処欄を参照してください※。該当する"<エラーコード 1 >","<エラーコード 2 >"が見つからない場合は、マニュアル「Storage Navigator エラーコード」を参照してください。このマニュアルでは、"<エラーコード 1 >"は"部位コード", "<エラーコード 2 >"は"エラーコード"と示されています。</p> <p>Device Manager の対処をしたあと、エラーの発生したストレージサブシステムに対して Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行して、最新状態を確認してください。</p> <p>なお、顧客問い合わせ窓口に連絡する場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報、およびストレージサブシステム側の障害情報を取得してください。ストレージサブシステム側の障害情報は、できるだけ障害が発生してから時間が経過しないうちに取得してください。</p> <p>注※ 例えば、「エラーコード 1="1",エラーコード 2="5132"」である場合の、説明「すでに同名のユーザー ID がログインしています。」、対処「他のユーザー ID でログインしてください。」が示す内容は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明：Device Manager が内部的にストレージサブシステムにログインする時に使用するユーザー ID と同名のユーザー ID が、ストレージサブシステムにログインしています。 対処：Device Manager が内部的にストレージサブシステムにログインする時に使用するユーザー ID を変更してください。Device Manager が内部的にストレージサブシステムにログインする時に使用するユーザー ID は、Device Manager でサブシステムを追加する時に指定するユーザー ID です。
KATS50339-E	ターゲットボリュームの予約処理中にストレージサブシステムでエラーが発生したため、失敗終了状態のマイグレーションタスクが作成されました。ボリュームが予約されたままになっているおそれがあるため、リフレッシュを実行してください。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名 >", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名 >", タスク ID:"<タスク ID >"	<p>要因 作成されたタスクのエラー情報を参照してください。</p> <p>対処 次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作成されたタスクのエラー情報に従って対処してください。 マイグレーション用のボリュームとして予約されたままになっているおそれがあるため、Tiered Storage Manager をリフレッシュしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS50340-E	一部のタスクのキャンセルに失敗しました。キャンセルに失敗したタスクID:"<タスク ID >"	<p>要因 キャンセルに失敗したタスクのエラー情報を参照してください。</p> <p>対処 次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> キャンセルに失敗したタスクの詳細情報を参照し、エラー情報に従って対処してください。 タスクの状態を確認して、待機中のままになっている場合は必要に応じて操作を再実行してください。 マイグレーション用のボリュームとして予約されたままになっているおそれがあるため、Tiered Storage Manager をリフレッシュしてください。
KATS50341-E	ターゲットボリュームの組み合わせが、LUSE ボリュームの条件を満たしていません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名 >", LUSE ボリュームのコントローラ論理デバイス番号、ソースボリュームとターゲットボリュームのコントローラ論理デバイス番号の組、および満たされていないマイグレーションの条件:["<LUSE コントローラ論理デバイス番号 >"("<マイグレーションソースコントローラ論理デバイス番号 >", "<マイグレーションターゲットコントローラ論理デバイス番号 >")][<条件 >"]	<p>要因 LUSE ボリュームをマイグレーションする時の条件に適合していません。</p> <p>対処 LUSE ボリュームのターゲットボリュームが次の条件を満たすようにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 内部ボリュームと外部ボリュームが混在しないこと 外部ボリュームの場合、外部ボリューム属性(エミュレーションタイプ、IO 抑止モード、キャッシュモードおよび CLPR) が等しいこと DP-VOL でないこと
KATS50342-E	マイグレーショングループにマイグレーションできるボリュームが含まれていません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名 >", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名 >"	<p>要因 指定したマイグレーショングループ内に、マイグレーションできるボリュームが一つもありません。</p> <p>対処 マイグレーションできるボリュームを、マイグレーショングループに追加してください。</p>
KATS50345-E	マイグレーションタスクの実行中にエラーが発生したため、データ消去を実行しませんでした。次のボリュームにはマイグレーション元のデータが残っていますので、ボリュームをシュレドディングしてください。コントローラ論理デバイス番号:"<コントローラ論理デバイス番号 >"	<p>要因 マイグレーションタスクの実行中にエラーが発生しました。 "<コントローラ論理デバイス番号 >"には複数の文字列が入る場合があります。</p> <p>対処 マイグレーションタスクの実行中に発生したエラーについては、同時に出力されているメッセージに従って対処してください。データ消去していないボリュームにはマイグレーション元のデータが残っていますので、必要に応じてボリュームのデータを消去してください。ボリュームのデータを消去する手段として、Tiered Storage Manager のシュレドディング機能があります。</p>
KATS50346-E	ボリューム作成に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名 >", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名 >", タスクID:"<タスク ID >", ソースボ	<p>要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。</p> <p>対処 -</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	リユームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットプールのプールID:"<ターゲットプールのプールID>"	
KATS50347-E	ボリューム作成処理に失敗しました。ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>", ターゲットプールのプールID:"<ターゲットプールのプールID>"	要因 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照してください。 対処 -
KATS50348-E	指定したボリュームの Tiered Storage Manager のリポジトリ情報と Device Manager のリポジトリ情報の間に不一致を検知しました。ストレージドメインをリフレッシュしたあとで、ボリュームの詳細情報を確認してください。タスクが意図したとおりに終了していなければ、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 指定したボリュームの Tiered Storage Manager のリポジトリ情報と Device Manager のリポジトリ情報の間に不一致が発生しました。 対処 ストレージドメインをリフレッシュした後、ボリュームの詳細情報を確認してください。タスクが意図したとおりに終了していなければ、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。
KATS50349-E	ターゲットボリューム作成処理後の予約処理中に失敗しました。ボリュームが予約されたままになっているおそれがあるため、リフレッシュを実行してください。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスクID:"<タスクID>", ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	要因 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照してください。 対処 -
KATS50350-E	ターゲットボリューム作成処理後の予約処理中に失敗しました。ボリュームが予約されたままになっているおそれがあるため、リフレッシュを実行してください。ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	要因 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照してください。 対処 -
KATS50351-I	解放漏れマイグレーションリソースの解放処理を開始します。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>"	要因 - 対処 -
KATS50352-I	解放漏れマイグレーションリソースの解放処理を完了しました。ストレージ	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>"	対処 -
KATS50353-E	解放漏れマイグレーションリソースの解放処理を完了しました。解放できないリソースがあるため、次回リフレッシュ時にもう一度解放処理をします。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>"	要因 ストレージサブシステム内で意図しないマイグレーションが実行中であったため、マイグレーションリソースを解放できませんでした。 対処 しばらく待ってから、再度 Tiered Storage Manager をリフレッシュしてください。
KATS50354-E	リポジトリがリストアされたため、未終了状態のタスクは失敗終了状態に変更されました。タスク ID:"<タスク ID>"	要因 リポジトリがリストアされました。古い情報を基にタスクを実行してしまう危険を避けるため、未終了状態のタスクは失敗終了状態へ変更されました。 対処 現在のボリュームの状態を確認し、タスクを実行する必要がある場合は再度タスクを作成して実行してください。
KATS50355-E	リポジトリがリストアされたため、失敗終了状態に変更されました。	要因 リポジトリがリストアされました。古い情報を基にタスクを実行してしまう危険を避けるため、未終了状態のタスクは失敗終了状態へ変更されました。 対処 現在のボリュームの状態を確認し、タスクを実行する必要がある場合は再度マイグレーションタスクを作成して実行してください。
KATS50356-E	解放漏れマイグレーションリソースの解放処理でエラーが発生しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>"	要因 ストレージサブシステムでエラーが発生したため、マイグレーションリソースを解放できませんでした。 対処 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS50357-E	ドメインコントローラーとなるストレージサブシステムにプログラムプロダクト名:"<プログラムプロダクト名>"がインストールされていないため、	要因 ドメインコントローラーとなるストレージサブシステムに必須プログラムプロダクトがインストールされていないか、またはライセンスキーが入力されていません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ロック/アンロックができません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>"	対処 ドメインコントローラーとなるストレージサブシステムに必須プログラムプロダクトをインストールするか、またはストレージナビゲーターから Tiered Storage Manager を購入した際のライセンスキーを入力してください。その後、Device Manager と Tiered Storage Manager を順番にリフレッシュしてください。
KATS50358-E	指定したボリュームの Tiered Storage Manager のリポジトリ情報と Device Manager のリポジトリ情報の間に不一致を検知しました。ストレージドメインをリフレッシュしたあとで、ボリュームの詳細情報を確認してください。タスクが意図したとおりに終了していなければ、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", コントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>"	要因 指定したボリュームの、Tiered Storage Manager のリポジトリ情報と Device Manager のリポジトリ情報が一致していません。 対処 ストレージドメインをリフレッシュしたあと、ボリュームの詳細情報を確認してください。タスクが意図したとおりに終了していなければ、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。
KATS50359-E	ターゲットボリュームはマイグレーショングループの共存回避ルールに違反しているため、マイグレーションできません。なお、共存回避マイグレーショングループがタスクとして登録されている場合は移動元および移動先のレイグループがルールの対象となります。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", コントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>", 共存回避マイグレーショングループ名:"<共存回避マイグレーショングループ名>"	要因 移動先ボリュームがマイグレーショングループの共存回避ルールに違反しています。 "<コントローラー論理デバイス番号>","<共存回避マイグレーショングループ名>"には複数の文字列が入る場合があります。 対処 マイグレーショングループの共存回避ルールに従った移動先ボリュームを指定してください。
KATS50360-E	タスクが強制的にキャンセルされました。	要因 - 対処 -
KATS50361-E	タスクが強制的に中止されました。	要因 - 対処 -
KATS50362-E	共存回避マイグレーショングループは"<共存回避対象マイグレーショングループを指定できる最大数+1>"個以上登録できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>"	要因 共存回避対象マイグレーショングループに指定されているマイグレーショングループ数が上限を超えています。 対処 共存回避対象マイグレーショングループを上限数以内で指定し直して、再度操作を実行してください。
KATS50363-E	共存回避対象マイグレーショングループに、同じマイグレーショングループを複数回指定することはできません。ス	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	トレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", 重複マイグレーショングループ名:"<重複マイグレーショングループ名>", 重複共存回避対象マイグレーショングループ名:"<重複共存回避対象マイグレーショングループ名>"	共存回避対象マイグレーショングループに、同じマイグレーショングループが複数回指定されています。 " <重複共存回避対象マイグレーショングループ名 >"には複数の文字列が入る場合があります。 対処 共存回避対象マイグレーショングループの指定を重複がないよう修正して、再度操作を実行してください。
KATS50364-E	共存回避対象マイグレーショングループに指定されたマイグレーショングループ名の先頭または末尾に空白文字が指定されました。不正なマイグレーショングループ名:"<不正なマイグレーショングループ名>"	要因 マイグレーショングループ名の先頭または末尾に空白文字があります。 対処 先頭と末尾に空白文字がないマイグレーショングループ名を入力してください。
KATS50365-E	共存回避対象マイグレーショングループに指定されたマイグレーショングループ名の文字の長さが不正です。不正なマイグレーショングループ名:"<不正なマイグレーショングループ名>", 入力された文字の長さ(UTF-8換算でのバイト数):" < UTF-8 換算バイト数 >", 指定できる文字の長さ(UTF-8換算でのバイト数):1 から" < UTF-8 換算できるバイト数 >"	要因 入力したマイグレーショングループ名の文字数が制限文字数を超過しているか、またはマイグレーショングループ名を入力していません。 対処 1文字以上、制限文字数内のマイグレーショングループ名を入力してください。なお、ASCII文字1文字はUTF-8で1バイトとなり、そのほかの文字の1文字はUTF-8で1~3バイトとなります(例:漢字は3バイト、半角カタカナは3バイト)。
KATS50366-E	共存回避対象マイグレーショングループに指定されたマイグレーショングループ名に使用禁止文字("<使用禁止文字>")が含まれています。	要因 マイグレーショングループ名に使用禁止文字が含まれています。 対処 マイグレーショングループから使用禁止文字を取り除いて入力してください。
KATS50367-E	共存回避対象マイグレーショングループに指定されたマイグレーショングループがありません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", 共存回避対象マイグレーション名:"<共存回避対象マイグレーショングループ名>"	要因 次のどれかの要因が考えられます。 ・ 指定されたマイグレーショングループがありません。 ・ ユーザーが指定したストレージドメイン名またはマイグレーショングループに誤りがあります。 ・ 別ユーザーがマイグレーショングループを削除しました。 " <共存回避対象マイグレーショングループ名 >"には複数の文字列が入る場合があります。 対処 正しいストレージドメイン名およびマイグレーショングループ名を指定して、再度操作を実行してください。または単に再度操作を実行してください。
KATS50368-E	マイグレーショングループを更新できません。共存回避対象マイグレーショングループに指定されたマイグレーショングループを使用する未終了のタスクがあります。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグ	要因 未終了状態のタスクが使用しているマイグレーショングループを更新しようとしてしました。 " <共存回避対象マイグレーショングループ名およびタスクID >"には複数の文字列が入る場合があります。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	レシジョングループ名:"<マイグレーショングループ名>", 共存回避対象マイグレーショングループ名およびタスク ID:"<共存回避対象マイグレーショングループ名およびタスク ID >"	タスクの状態を確認したあと、必要に応じて再度操作を実行してください。
KATS50369-E	マイグレーショングループを更新できません。共存回避対象マイグレーショングループに指定されたマイグレーショングループを移動先とする未終了のタスクがあります。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", 共存回避対象マイグレーショングループ名およびタスク ID:"<共存回避対象マイグレーショングループ名>および<タスク ID >"	要因 共存回避対象に指定されたマイグレーショングループが、未終了状態のタスクの移動先マイグレーショングループとして指定されています。 "<共存回避対象マイグレーショングループ名>"には複数の文字列が入る場合があります。 対処 共存回避対象に指定されたマイグレーショングループに対する、未終了状態のタスクを終了させてください。
KATS50370-E	共存回避対象マイグレーショングループにはすでに共存回避対象が"<共存回避対象マイグレーショングループに指定できる最大数>"個指定されています。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", 共存回避対象マイグレーショングループ名:"<共存回避対象マイグレーショングループ名>"	要因 共存回避対象マイグレーショングループに指定されているマイグレーショングループ数が上限を超えています。 "<共存回避対象マイグレーショングループ名>"には複数の文字列が入る場合があります。 対処 共存回避対象マイグレーショングループを上限数以内で指定し直して、再度操作を実行してください。
KATS50371-E	マイグレーショングループを更新できません。指定されたボリュームが属するマイグレーショングループを使用する未終了のタスクがあります。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", ボリュームが属するマイグレーショングループ名およびボリュームのコントローラ論理デバイス番号および関連するタスク ID:"<ボリュームが属するマイグレーショングループ名およびボリュームのコントローラ論理デバイス番号および関連するタスク ID >"	要因 未終了状態のタスクが使用しているマイグレーショングループを更新しようとしてしました。 "<ボリュームが属するマイグレーショングループ名およびボリュームのコントローラ論理デバイス番号および関連するタスク ID >"には複数の文字列が入る場合があります。 対処 タスクの状態を確認したあと、必要に応じて再度操作を実行してください。
KATS50372-E	マイグレーショングループを更新できません。指定されたボリュームが属するマイグレーショングループを移動先とする未終了のタスクがあります。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", ボリュームが属するマイグレーショングループ名およびボリュームのコントローラ論理デバイス番号および関連するタスク ID:"<ボリュームが属するマイグレーショングループ名およびボリュームのコントローラ論理デバイス番号および関連するタスク ID >"	要因 指定されたボリュームが属するマイグレーショングループが未終了状態のタスクの移動先マイグレーショングループとして指定されています。 "<ボリュームが属するマイグレーショングループ名およびボリュームのコントローラ論理デバイス番号および関連するタスク ID >"には複数の文字列が入る場合があります。 対処 指定されたボリュームが属するマイグレーショングループに対する、未終了状態のタスクを終了させてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS50373-E	マイグレーショングループの共存回避対象マイグレーショングループに、自分自身を指定することはできません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>"	要因 マイグレーショングループの共存回避対象マイグレーショングループに、共存回避対象マイグレーショングループ自身が指定されています。 対処 マイグレーショングループの共存回避対象マイグレーショングループを正しく指定してください。
KATS50374-E	ソースボリュームの TrueCopy または Universal Replicator のターゲットボリュームは内部ボリュームでないボリュームが指定されているため、マイグレーションできません。ソースボリュームの TrueCopy または Universal Replicator のターゲットボリュームは内部ボリュームを指定してください。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ソースボリュームとターゲットボリュームのコントローラ論理デバイス番号の組:"<マイグレーションソースコントローラ論理デバイス番号およびマイグレーションターゲットコントローラ論理デバイス番号>"	要因 移動元ボリュームの TrueCopy, または Universal Replicator の移動先ボリュームには、内部ボリュームでないボリュームが指定されています。 "<マイグレーションソースコントローラ論理デバイス番号およびマイグレーションターゲットコントローラ論理デバイス番号>"には複数のマイグレーションソースコントローラ論理デバイス番号およびマイグレーションターゲットコントローラ論理デバイス番号が入る場合があります。 対処 移動元ボリュームの TrueCopy, または Universal Replicator の移動先ボリュームには内部ボリュームを指定してください。
KATS50375-E	一部のタスクの強制キャンセルに失敗しました。キャンセルに失敗したタスク ID:"<タスク ID >"	要因 強制キャンセルに失敗したタスクのエラー情報を参照してください。 "<タスク ID >"には複数の文字列が入る場合があります。 対処 強制キャンセルに失敗したタスクの詳細情報を参照し、エラー情報に従って対処してください。また、タスクの状態を確認し、待機中のままになっている場合は必要に応じて再度操作を実行してください。
KATS50376-E	マイグレーショングループを更新できません。共存回避対象マイグレーショングループに指定されたマイグレーショングループを参照する作成処理中のタスクがあります。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", 作成処理中タスクが参照している共存回避対象マイグレーショングループ:"<共存回避対象マイグレーショングループ名>"	要因 作成処理中のタスクが使用しているマイグレーショングループを更新しようとした。 "<共存回避対象マイグレーショングループ名>"には複数の文字列が入る場合があります。 対処 タスクの作成処理が終了するまで数分程度待つてから、タスクの状態を確認し、必要に応じて再度操作を実行してください。
KATS50377-E	マイグレーショングループを更新できません。指定されたボリュームが属するマイグレーショングループを参照する作成処理中のタスクがあります。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", 作成処理中タスクが参照しているマイグレーショングループ:"<作成中	要因 作成処理中のタスクが使用しているマイグレーショングループを更新しようとした。 "<作成中タスクが参照しているマイグレーショングループ名>"には複数の文字列が入る場合があります。 対処 タスクの作成処理が終了するまで数分程度待つてから、タスクの状態を確認し、必要に応じて再度操作を実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	タスクが参照しているマイグレーショングループ名>"	
KATS50378-E	共存回避対象マイグレーショングループに、同じマイグレーショングループを複数回指定することはできません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>"	<p>要因 共存回避対象マイグレーショングループに、同じマイグレーショングループが複数回指定されています。</p> <p>対処 共存回避対象マイグレーショングループの指定を重複がないよう修正して、再度操作を実行してください。</p>
KATS50379-E	共存回避対象マイグレーショングループに指定されたマイグレーショングループがありません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>"	<p>要因 次のどれかの要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定されたマイグレーショングループがありません。 ユーザーが指定したストレージドメイン名またはマイグレーショングループ名に誤りがあります。 別ユーザーがマイグレーショングループを削除しました。 <p>対処 ストレージドメイン名およびマイグレーショングループ名を正しく指定して、再度操作を実行してください。または単に再度操作を実行してください。</p>
KATS50380-E	タスク実行中にストレージサブシステムの構成が変わったため、Tiered Storage Manager のリポジトリ情報とストレージサブシステムの情報の間に不一致を検知しました。Device Manager をリフレッシュした後、ストレージドメインをリフレッシュしてください。そのあとで、ボリュームの詳細情報を確認してください。タスクが意図したとおりに終了していなければ、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	<p>要因 タスク実行中にストレージサブシステムの構成が変わりました。</p> <p>対処 Device Manager をリフレッシュしたあと、ストレージドメインをリフレッシュしてください。その後、ボリュームの詳細情報を確認してください。タスクが意図したとおりに終了していなければ、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。</p>
KATS50381-E	ボリューム情報が取得できないボリュームは、マイグレーショングループに追加できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", コントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>"	<p>要因 次のどちらかの要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> マイグレーショングループにボリュームを登録しているボリュームが、Device Manager などで削除されました。 Device Manager のリフレッシュ時に障害などの理由で、Device Manager がそのボリュームの情報を取得できませんでした。 <p>対処 ボリュームが不要な場合 マイグレーショングループからボリュームを削除してください。 ボリュームが必要な場合 次の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> Device Manager のリフレッシュ時に障害が発生していなかったかどうかを調査します。障害があれば障害を取り除いてください。 Device Manager をリフレッシュします。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>3. Device Manager でそのボリューム情報があることを確認します。</p> <p>4. Tiered Storage Manager をリフレッシュします。</p>
KATS50382-E	<p>タスクの進捗更新中に、"<エラーが一回目に発生した時間>"から"<エラーが最後に発生した時間>"までの間に、エラーが"<n >"回発生しています。タスクの進捗更新は自動的に再実行されますが、長時間エラーがなくなる場合、エラーメッセージの内容に従ってエラーの要因を取り除いてください。(ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスク ID:"<タスク ID >", 発生しているエラーのメッセージ内容:"<エラーのメッセージ内容>")</p>	<p>要因 タスクの進捗更新中にエラーが発生しました。</p> <p>対処 このマニュアルの、該当するエラーメッセージの対処欄を参照してください。 このメッセージには、タスクの進捗更新中でのエラーで発生したメッセージテキストがそのままの形で含まれます。この部分の言語種別は、Tiered Storage Manager サーバが動作しているマシンのロケールによって決まります。したがって、GUI/CLI クライアントの言語種別とサーバ側のロケールを合わせておくことをお勧めします。特に、クライアント側で日本語/英語を使い分けたい場合は、サーバ側のロケールは英語にしてください。サーバ側のロケールが日本語の場合は、クライアント側の言語種別も日本語にしてください。</p>
KATS50383-W	<p>タスクの進捗更新中に、"<エラーが一回目に発生した時間>"から"<エラーが最後に発生した時間>"までの間に、エラーが"<n >"回発生していましたが、今は解決しています。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスク ID:"<タスク ID >", 発生していたエラーのメッセージ内容:"<エラーのメッセージ内容>")</p>	<p>要因 タスクの進捗更新中に、エラーが発生していましたが、今は解決しています。</p> <p>対処 対処は必要ありません。 このメッセージには、タスクの進捗更新中でのエラーで発生したメッセージテキストがそのままの形で含まれます。この部分の言語種別は、Tiered Storage Manager サーバが動作しているマシンのロケールによって決まります。したがって、GUI/CLI クライアントの言語種別とサーバ側のロケールを合わせておくことをお勧めします。特に、クライアント側で日本語/英語を使い分けたい場合は、サーバ側のロケールは英語にしてください。サーバ側のロケールが日本語の場合は、クライアント側の言語種別も日本語にしてください。</p>
KATS50384-E	<p>マイグレーションの即時停止処理に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスク ID:"<タスク ID >", ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"</p>	<p>要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。</p> <p>対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。必要な場合は、再度マイグレーションタスクを作成してマイグレーションを実行してください。直前にメッセージが出力されていない場合も、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。タスクを実行した際に発生した場合は、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」のトラブルシューティング事例も参照してください。</p>
KATS50385-E	<p>マイグレーションの即時停止処理に失敗しました。ソースボリュームのコン</p>	<p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	トローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照してください。 対処 このメッセージの直前に出力されているメッセージに従って対処してください。必要な場合は、再度マイグレーションタスクを作成してマイグレーションを実行してください。直前にメッセージが出力されていない場合も、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。タスクを実行した際に発生した場合は、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」のトラブルシューティング事例も参照してください。
KATS50386-E	ボリューム削除に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスク ID:"<タスク ID>", 論理デバイス番号:"<論理デバイス番号>"	要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。 対処 このメッセージの直前に出力されているメッセージに従って対処してください。必要な場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager でストレージサブシステムのリフレッシュを実行してから、再度タスクを作成してタスクを実行してください。この場合、ボリュームからプールの割り当てが解除されていることがあります。プールの割り当てが解除されているボリュームは、Device Manager のクライアントから削除を行ってください。
KATS50387-E	ボリューム削除に失敗しました。コントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>"	要因 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照してください。 対処 このメッセージの直前に出力されているメッセージに従って対処してください。必要な場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager でストレージサブシステムのリフレッシュを実行してから、再度タスクを作成してタスクを実行してください。この場合、ボリュームからプールの割り当てが解除されていることがあります。プールの割り当てが解除されているボリュームは、Device Manager のクライアントから削除を行ってください。
KATS50388-E	ドメインコントローラーとして設定されたストレージサブシステムにプログラムプロダクト名:"<プログラムプロダクト名>"がインストールされていないので、仮想ボリューム単体での削除を行うことができません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", コントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>"	要因 ドメインコントローラーとして設定されたストレージサブシステムにプログラムプロダクトがインストールされていないか、またはライセンスキーが投入されていません。 対処 ドメインコントローラーとして設定されたストレージサブシステムにプログラムプロダクトをインストールするか、またはストレージナビゲーターからライセンスキーを投入してください。その後、Device Manager と Tiered Storage Manager を順番にリフレッシュしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS50389-E	ストレージサブシステムの制限によって、プールにボリュームを作成してのマイグレーションはできません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーションできない理由:"<マイグレーションできない理由>", ソースボリュームのコントローラ論理デバイス番号とターゲットプールIDの組:"<ソースボリュームのコントローラ論理デバイス番号とターゲットプールIDの組>"	<p>要因 ストレージサブシステムの制限によってマイグレーションできないボリュームがありました。</p> <p>対処 マイグレーションできない理由が Emulation の場合 マイグレーションに関する制限事項に該当しない別のプールを、ターゲットプールに指定してください。 マイグレーションできない理由が LUSE の場合 マイグレーション先に当該ボリュームのプールを指定しないでください。</p>
KATS50390-E	異なる SLPR に属するプールのマイグレーションが指定されています。異なる SLPR に属するプールをマイグレーションする場合は、明示的に許可してマイグレーションタスクを作成してください。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ソースボリュームとターゲットプールIDの組:"<ソースボリュームとターゲットプールIDの組>"	<p>要因 異なる SLPR に属するボリュームのマイグレーションが指定されています。</p> <p>対処 異なる SLPR に属するボリュームのマイグレーションを許可する方法は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> GUI を使用している場合は、マイグレーションウィザードで異なる SLPR に属するボリュームのマイグレーションを許可してください。 CLI を使用している場合は、マイグレーションプランの <code>permitCrossSlprMigration</code> の項目を Yes に設定してください。
KATS50391-E	ストレージサブシステムの制限によって、同一プール間でのマイグレーションはできません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ソースボリュームのコントローラ論理デバイス番号とターゲットボリュームのコントローラ論理デバイス番号の組:"<ソースボリュームのコントローラ論理デバイス番号とターゲットボリュームのコントローラ論理デバイス番号の組>"	<p>要因 同一プール間でのボリュームのマイグレーションが指定されています。</p> <p>対処 ソースボリュームと異なるプールに関連づけられているボリュームを、ターゲットボリュームに指定してください。</p>
KATS50392-E	ストレージサブシステムの制限によって、同一プール間でのマイグレーションはできません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ソースボリュームのコントローラ論理デバイス番号とターゲットプールIDの組:"<ソースボリュームのコントローラ論理デバイス番号とターゲットプールIDの組>"	<p>要因 同一プール間でのボリュームのマイグレーションが指定されています。</p> <p>対処 ソースボリュームと異なるプールを、ターゲットプールに指定してください。</p>
KATS50393-E	再作成対象ボリュームの予約解除に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスクID:"<タスクID>", ソースボリュームのコントローラ論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラ論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラ論理デバイス番号:"<"	<p>要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。</p> <p>対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。その後、ストレージドメインをリフレッシュしてください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KATS50394-E	再作成対象ボリュームの予約解除に失敗しました。ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	要因 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照してください。 対処 このメッセージの直前に出力されているメッセージに従って対処してください。その後、ストレージドメインをリフレッシュしてください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KATS50395-E	ボリュームの削除に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスク ID:"<タスク ID >", ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。 対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。その後、ストレージドメインをリフレッシュしてください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KATS50396-E	ボリュームの削除に失敗しました。ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	要因 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照してください。 対処 このメッセージの直前に出力されているメッセージに従って対処してください。その後、ストレージドメインをリフレッシュしてください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KATS50397-E	ボリュームの作成に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスク ID:"<タスク ID >", ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。 対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。その後、ストレージドメインをリフレッシュしてください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KATS50398-E	ボリュームの作成に失敗しました。ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ター	要因 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照してください。 対処 このメッセージの直前に出力されているメッセージに従って対処してください。その後、ストレージドメインをリフレッシュしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS50399-E	ターゲットボリュームを作成した後のボリューム情報の設定に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスク ID:"<タスク ID >", ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", 情報の種別:"<情報の種別>", 値:<値>	要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。 対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。その後、ストレージドメインをリフレッシュしてください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS50400-E	ターゲットボリュームを作成した後のボリューム情報の設定に失敗しました。ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", 情報の種別:"<情報の種別>", 値:<値>	要因 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照してください。 対処 このメッセージの直前に出力されているメッセージに従って対処してください。その後、ストレージドメインをリフレッシュしてください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS50401-E	このストレージサブシステムは、ドメインコントローラーではありません。	要因 このストレージサブシステムは、ドメインコントローラーではありません。 対処 ドメインコントローラーとして指定できるストレージサブシステムを指定してください。ドメインコントローラーとして指定できるドメイン制御ストレージサブシステムについては、マニュアル「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。
KATS50402-E	このドメインコントローラーは、SLPR 管理者権限で SLPR 運用管理されています。	要因 このドメインコントローラーは、SLPR 管理者権限で SLPR 運用管理されています。 対処 ドメインコントローラーを全体管理者権限で運用管理してください。SLPR 管理者権限の詳細については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」を参照してください。
KATS50403-E	リポジトリーがアップデートされたため、未終了状態のタスクは失敗終了状態に変更されました。タスク ID:<"タスク ID1", "タスク ID2", ..."タスク IDn">	要因 リポジトリーがアップデートされました。本バージョンでサポートされていないタスクのタイプであるため、このタスクの未終了状態であるものは失敗終了状態へ変更されます。 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS50404-E	リポジトリがアップデートされたため、失敗終了状態に変更されました。	<p>要因 リポジトリがアップデートされました。本バージョンでサポートされていないタスクのタイプであるため、このタスクの未終了状態であるものは失敗終了状態へ変更されます。</p> <p>対処 -</p>
KATS50405-E	指定されたタスクのタイプは、本バージョンでは実行できません。タスクID:<"タスク ID1", "タスク ID2", ... "タスク IDn">	<p>要因 本バージョンでサポートしていないタスクのタイプを実行しようとした。</p> <p>対処 -</p>
KATS50411-E	ドメインコントローラーの属性が変更されたため、指定のストレージドメインをリフレッシュできません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>",理由:"<リフレッシュできない理由>"	<p>要因 ドメインコントローラーの属性が変更されたため、指定したストレージドメインをリフレッシュできません。</p> <p>対処 リフレッシュできない理由を参照して、原因を取り除いたあとに、リフレッシュを再実行してください。</p> <p>このメッセージには、ドメインコントローラーの属性変更で発生したメッセージテキストがそのままの形で含まれます。この部分の言語種別は、Tiered Storage Manager サーバが動作しているマシンのロケールによって決まります。したがって、GUI/CLI クライアントの言語種別とサーバ側のロケールを合わせておくことをお勧めします。特に、クライアント側で日本語/英語を使い分けたい場合は、サーバ側のロケールは英語にしてください。サーバ側のロケールが日本語の場合は、クライアント側の言語種別も日本語にしてください。</p>
KATS50421-E	指定したボリュームにストレージを割り当てられないボリュームがあります。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	<p>要因 ストレージを割り当てられない次のボリュームが含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メインフレームボリューム ・ DP プールボリューム ・ Copy-On-Write Snapshot のプールボリューム ・ Universal Replicator の Journal ボリューム ・ Migration リザーブ済みのボリューム ・ OnDemand ボリューム ・ SystemDisk に設定されているボリューム ・ 未完了状態のタスクで使用しているボリューム <p>対処 該当するボリュームの状態を確認してから、再度処理を実行してください。</p>
KATS50422-E	指定したボリュームにストレージの割り当てを解除できないボリュームがあります。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	<p>要因 ストレージの割り当てを解除できない次のボリュームが含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 未完了状態のタスクで使用しているボリューム <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		該当するボリュームの状態を確認してから、再度処理を実行してください。
KATS50431-E	操作対象となる空き容量がありません。ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", 空き容量:"<アレイグループ名/空き容量番号>"	要因 Device Manager で構成変更を実行中のため、指定された空き容量の情報を取得できなかった可能性があります。または、指定された空き容量があるアレイグループが削除された可能性があります。 対処 空き容量を検索して、空き容量の状態を確認してください。
KATS50432-E	操作対象となる空き容量が不足しているため、ボリュームを作成できません。ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", 空き容量:"<アレイグループ名/空き容量番号>"	要因 指定された空き容量に、ボリュームを作成するための十分な容量がありません。ほかのタスクでボリュームが作成された可能性があります。 対処 空き容量を検索して、空き容量の状態を確認してください。
KATS50441-E	操作対象のボリュームがありません。ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", ボリューム識別子:"<ボリューム ID >"	要因 Device Manager で構成変更を実行中のため、指定されたボリュームの情報を取得できなかった可能性があります。または、指定されたボリュームが削除された可能性があります。 対処 ボリュームを検索して、ボリュームの状態を確認してください。
KATS50442-E	指定されたボリュームはすでに外部接続されています。このため、該当するボリュームを外部接続できません。ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", ボリューム識別子:"<ボリューム ID >"	要因 指定されたボリュームはすでに外部接続されています。 対処 ボリュームを検索して、ボリュームの状態を確認してください。
KATS50443-E	操作対象のボリュームは、ほかのタスクの操作対象となっているため、外部接続できません。ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", ボリューム識別子:"<ボリューム ID >"	要因 指定したボリュームは、ほかのタスクの操作対象ボリュームになっています。 対処 ほかのタスクが完了してから、ボリュームを検索して、ボリュームの状態を確認してください。
KATS50444-E	操作対象となる空き容量がありません。	要因 Device Manager で構成変更を実行中のため、指定された空き容量の情報を取得できなかった可能性があります。または、指定された空き容量があるアレイグループが削除された可能性があります。 対処 空き容量を検索して、空き容量の状態を確認してください。
KATS50445-E	指定した空き容量にボリュームを作成できません。指定した空き容量はほかのタスクの操作対象になっています。ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", 空き容量:"<アレイグループ名>"	要因 指定した空き容量は、ほかのタスクが操作対象としている空き容量になっています。 対処 ほかのタスクの完了を待ってから、空き容量を検索して、空き容量の状態を確認してください。または、ボリュームの作成を再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS50446-E	指定した SMI-S Enabled サブシステムはサポートしていません。ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", 未サポート情報:"<未サポート情報>"	<p>要因 指定した SMI-S Enabled サブシステムはサポートしていません。</p> <p>対処 Tiered Storage Manager がサポートしている SMI-S Enabled サブシステムを指定してください。Tiered Storage Manager で外部接続の設定ができていたサブシステムの場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50447-W	外部接続設定処理は成功しましたが、外部接続を実施したボリュームが閉塞状態となっています。使用するにはボリュームの閉塞を解除する必要があります。タスク ID:"<タスク ID >", ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名 >", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名 >", ボリューム識別子:"<ボリューム ID >", 外部側のストレージサブシステム名:"<外部ストレージサブシステム名 >", 外部側のボリューム識別子:"<外部ボリューム識別子 >"	<p>要因 ボリュームが閉塞している主な原因は次の場合が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部ボリュームが SMI-S Enabled サブシステムの場合、外部接続設定時に選択した外部側のポートが、外部側のボリュームのカレントオーナーのポートと一致していない。 ボリュームがフォーマットされていない。 ボリュームでアクセス障害が発生している。 <p>対処 ボリュームの状態を確認し、状態に応じた対処をしてください。SMI-S Enabled サブシステムのボリュームに外部接続し、選択したポートがカレントオーナーのポートでないため閉塞となった場合は、管理ソフトの手順に従い、カレントオーナーを変更し、内部ボリューム側および外部ボリューム側の閉塞を解除した後、ボリュームを使用してください。</p>
KATS50471-E	移動先に指定されたプールの仮想化超過率が仮想化超過限界しきい値を超えているため、ボリュームを作成してのマイグレーションを実行できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名 >", プール ID:"<プール ID >"	<p>要因 移動先に指定されたプールの仮想化超過率が仮想化超過限界しきい値を超えているため、ボリュームを作成できません。</p> <p>対処 タスクの作成時に表示された場合 ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。または、移動先に指定されたプールの容量を確保した後に、Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行して、再度タスクを作成してください。 タスクの実行時に表示された場合 移動先に指定されたプールの容量を確保した後に、Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行して、再度タスクを実行してください。</p>
KATS50472-E	移動先に指定されたプールにボリュームを作成した場合、プールの仮想化超過率が仮想化超過限界しきい値を超えるため、ボリュームを作成してのマイグレーションを実行できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名 >", プール ID:"<プール ID >"	<p>要因 移動先に指定されたプールにソースボリュームと同じサイズのボリュームを作成すると、仮想化超過率が仮想化超過限界しきい値を超えるため、ボリュームを作成できません。</p> <p>対処 タスクの作成時に表示された場合 ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。または、移動先に指定されたプールの容量を確保した後に、Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行して、再度タスクを作成してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		タスクの実行時に表示された場合 移動先に指定されたプールの容量を確保した後 に、Tiered Storage Manager のリフレッシュを 実行して、再度タスクを実行してください。
KATS50473-E	移動先に指定されたプールは、ボリューム 作成数が上限に達しているため、ボ リュームを作成してのマイグレーション を実行できません。ストレージドメ イン名:"<ストレージドメイン名>", プール ID:"<プール ID >"	要因 移動先に指定されたプールは、ボリューム作成数 が上限に達しているため、ボリュームを作成でき ません。 対処 タスクの作成時に表示された場合 ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを 作成してください。 タスクの実行時に表示された場合 タスクをキャンセルし、ほかのプールを移動先に 指定して再度タスクを登録し実行してください。
KATS50474-E	移動先に指定されたプールにボリューム を作成した場合、プールのボリューム 数が上限を超えるため、ボリュームを作 成してのマイグレーションを実行でき ません。ストレージドメイン名:"<ス トレージドメイン名>", プール ID:"< プール ID >"	要因 移動先に指定されたプールにボリュームを作成 すると、プールに作成できるボリューム数が上限 を超えるため、ボリュームを作成できません。 対処 タスクの作成時に表示された場合 ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを 作成してください。 タスクの実行時に表示された場合 タスクをキャンセルし、ほかのプールを移動先に 指定して再度タスクを登録し実行してください。
KATS50475-E	指定されたストレージドメインは、仮想 ボリュームグループ数が上限に達して いるため、ボリュームを作成してのマイ グレーションを実行できません。ス トレージドメイン名:"<ストレージドメ イン名>"	要因 指定されたストレージドメインは、仮想ボリュ ームグループ数が上限に達しているため、ボリュ ームを作成できません。 対処 タスクの作成時に表示された場合 不要な仮想ボリュームグループがある場合、不要 な仮想ボリュームグループを削除した後に、 Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行 して、再度タスクを作成してください。 タスクの実行時に表示された場合 不要な仮想ボリュームグループがある場合、不要 な仮想ボリュームグループを削除した後に、 Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行 して、再度タスクを実行してください。
KATS50476-E	指定されたストレージドメインにボ リュームを作成した場合、仮想ボリュ ームグループ数が上限を超えるため、ボ リュームを作成してのマイグレーション を実行できません。ストレージドメ イン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 指定されたストレージドメインにボリュームを 作成すると、仮想ボリュームグループ数を超える ため、ボリュームを作成できません。 対処 タスクの作成時に表示された場合 不要な仮想ボリュームグループがある場合、不要 な仮想ボリュームグループを削除した後に、 Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行 して、再度タスクを作成してください。 タスクの実行時に表示された場合 不要な仮想ボリュームグループがある場合、不要 な仮想ボリュームグループを削除した後に、 Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行 して、再度タスクを実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS50477-E	ボリューム情報が取得できないボリュームが含まれているため、タスクを実行できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", コントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>"	<p>要因</p> <p>次のどちらかの要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> マイグレーショングループに登録されているボリュームが、Device Managerなどを削除された。 Device Managerのリフレッシュ時に障害などの理由によって、Device Managerがそのボリュームの情報を取得できなかった。 <p>対処</p> <p>ボリュームが不要な場合 タスクをキャンセルしてからマイグレーショングループからそのボリュームを削除し、再度タスクを登録し実行してください。</p> <p>ボリュームが必要な場合 次の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> Device Managerのリフレッシュ時に障害が発生していなかったかどうかを調査します。障害があれば障害を取り除いてください。 Device Managerをリフレッシュします。 Device Managerでそのボリューム情報があることを確認します。 Tiered Storage Managerをリフレッシュします。
KATS50478-E	指定されたストレージ階層にマイグレーションできるプールが含まれていません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージ階層名:"<ストレージ階層名>"	<p>要因</p> <p>指定されたストレージ階層に、マイグレーションできるプールが一つも含まれていません。</p> <p>対処</p> <p>マイグレーションできるプールを、ストレージ階層へ追加してください。</p>
KATS50479-E	移動先に指定されたプールの仮想化超過率が仮想化超過警告しきい値を超えているため、ボリュームを作成してのマイグレーションを実行できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", プールID:"<プールID>"	<p>要因</p> <p>移動先に指定されたプールの仮想化超過率が仮想化超過警告しきい値を超えているため、ボリュームを作成できません。</p> <p>対処</p> <p>タスクの作成時に表示された場合 ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。または、移動先に指定されたプールの容量を確保した後に、Tiered Storage Managerのリフレッシュを実行して、再度タスクを作成してください。</p> <p>タスクの実行時に表示された場合 移動先に指定されたプールの容量を確保した後に、Tiered Storage Managerのリフレッシュを実行して、再度タスクを実行してください。</p>
KATS50480-E	移動先に指定されたプールにボリュームを作成した場合、プールの仮想化超過率が仮想化超過警告しきい値を超えるため、ボリュームを作成してのマイグレーションを実行できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", プールID:"<プールID>"	<p>要因</p> <p>移動先に指定されたプールにソースボリュームと同じサイズのボリュームを作成すると、仮想化超過率が仮想化超過警告しきい値を超えるため、ボリュームを作成できません。</p> <p>対処</p> <p>タスクの作成時に表示された場合 ほかのプールを移動先に指定して、再度タスクを作成してください。または、移動先に指定されたプールの容量を確保した後に、Tiered Storage Managerのリフレッシュを実行して、再度タスクを作成してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		タスクの実行時に表示された場合 移動先に指定されたプールの容量を確保した後に、Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行して、再度タスクを実行してください。
KATS50481-E	指定されたマイグレーショングループとストレージ階層の組み合わせでは、マイグレーションプランを作成できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーションできない理由:"<マイグレーションできない理由>"	要因 指定されたマイグレーショングループに、プールへマイグレーションできるボリュームが一つも含まれていません。 対処 マイグレーションできない理由が Emulation の場合 移動元ボリュームと同じエミュレーションタイプのボリュームを含むストレージ階層を指定してください。または、マイグレーションできるボリュームをマイグレーショングループに追加してください。 マイグレーションできない理由が LUSE の場合 検索条件にボリューム検索条件を指定して作成した、ストレージ階層を指定してください。または、マイグレーションできるボリュームをマイグレーショングループに追加してください。 マイグレーションできない理由が SamePool の場合 移動元ボリュームが含まれるプールと異なるプールを含むストレージ階層を指定してください。または、検索条件にボリューム検索条件を指定して作成した、ストレージ階層を指定してください。
KATS50482-E	マイグレーション終了後、ゼロデータを破棄する要求に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスク ID:"<タスク ID >"	要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。 対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。その後、必要であれば Storage Navigator を用いて、ゼロデータの破棄を対象ボリュームに対して実施してください。
KATS50483-E	ゼロデータを破棄する処理の進捗状態の取得に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスク ID:"<タスク ID1>","タスク ID2";...タスク IDn">	要因 本メッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。 対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。原因が解決されたあと、定期的な進捗状態の問い合わせによって、タスクの情報は最新の状態に更新されます。
KATS50491-E	V7.0.0 以降では、自動的にストレージドメインの追加や削除を実行するので、本コマンドは実行できません。	要因 V7.0.0 以降では、自動的にストレージドメインの追加や削除を実行するので、本コマンドは実行できません。 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS50502-W	再作成対象ボリュームの再作成が完了する前にタスクが中止されたため、ボリュームが削除された可能性があります。対象ボリュームの状態を確認し、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	<p>要因 ボリュームの再作成が完了する前にタスクの中止や即時停止によって、タスクが中止されました。</p> <p>対処 このメッセージに出力されているボリュームの状態を確認してください。 ボリュームが削除されていて、そのボリュームを移動先として使用したい場合は、手動でボリュームを作成してください。 その後、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。</p>
KATS50503-E	再作成対象ボリュームの再作成が失敗しているため、ボリュームが削除された可能性があります。リフレッシュを実行してから対象ボリュームの状態を確認し、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスク ID:"<タスク ID>", ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	<p>要因 実際に失敗した処理については、このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。</p> <p>対処 失敗した処理に対する対策を実施した後に、ストレージドメインをリフレッシュしてください。 ストレージドメインをリフレッシュした後、このメッセージに出力されているボリュームの状態を確認してください。 ボリュームが削除されていて、そのボリュームを移動先として使用したい場合は、手動でボリュームを作成してください。 その後、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。</p>
KATS50504-E	再作成対象ボリュームの再作成が失敗しているため、ボリュームが削除された可能性があります。リフレッシュを実行してから対象ボリュームの状態を確認し、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	<p>要因 実際に失敗した処理については、このメッセージの直前に出力されている同一ボリュームに対するメッセージを参照してください。 このメッセージの直前に同一ボリュームに対するメッセージが出力されていない場合は、Tiered Storage Manager サーバのメッセージログを参照してください。</p> <p>対処 失敗した処理に対する対策を実施した後に、ストレージドメインをリフレッシュしてください。 ストレージドメインをリフレッシュした後、このメッセージに出力されているボリュームの状態を確認してください。 ボリュームが削除されていて、そのボリュームを移動先として使用したい場合は、手動でボリュームを作成してください。 その後、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。</p>
KATS50505-E	ストレージサブシステムのロックに失敗しました。ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>"	<p>要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。</p> <p>対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS50506-E	ストレージサブシステムのロックの延長に失敗しました。ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>"	<p>要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。</p> <p>対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50507-E	ストレージサブシステムのロックの解除に失敗しました。ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>"	<p>要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。</p> <p>対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50508-E	ストレージサブシステムのロックが解除されていたため、サブシステムのロックの延長を中断しました。ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>"	<p>要因 ストレージサブシステムのロックが解除されている可能性があるため、ストレージサブシステムのロックの延長を中断しました。</p> <p>対処 次回ストレージサブシステムのロック要求があったときに、ストレージサブシステムをロックするため、このメッセージへの対処は不要です。ただし、この現象によって失敗するタスクがあります。失敗したタスクについては、各タスクで出力されたメッセージに従って対処してください。</p>
KATS50509-E	ストレージサブシステムのロックが解除されていたため、ボリュームの再作成を中断しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスクID:"<タスクID>", ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	<p>要因 ストレージサブシステムのロックの延長が失敗し、ロックが解除されている可能性があるため、ボリュームの再作成を中断しました。</p> <p>対処 このメッセージに出力されているボリュームの状態を確認してください。移動先として使用したいボリュームが削除されている場合は、手でボリュームを作成してください。その後、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。</p>
KATS50510-E	ストレージサブシステムのロックが解除されていたため、ボリュームの再作成を中断しました。ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボ	<p>要因 ストレージサブシステムのロックの延長が失敗し、ロックが解除されている可能性があるため、ボリュームの再作成を中断しました。</p> <p>対処 このメッセージに出力されているボリュームの状態を確認してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	リユームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	移動先として使用したいボリュームが削除されている場合は、手動でボリュームを作成してください。 その後、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。
KATS50511-E	再作成対象ボリュームの再作成が完了する前に Tiered Storage Manager サーバが停止されたため、ボリュームが削除された可能性があります。対象ボリュームの状態を確認し、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスク ID:"<タスク ID >", ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	要因 ボリュームの再作成が完了する前に Tiered Storage Manager サーバが停止されました。 対処 このメッセージに出力されているボリュームの状態を確認してください。 移動先として使用したいボリュームが削除されている場合は、手動でボリュームを作成してください。 その後、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。
KATS50512-E	再作成対象ボリュームの再作成が完了する前に Tiered Storage Manager サーバが停止されたため、ボリュームが削除された可能性があります。対象ボリュームの状態を確認し、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	要因 ボリュームの再作成が完了する前に Tiered Storage Manager サーバが停止されました。 対処 このメッセージに出力されているボリュームの状態を確認してください。 移動先として使用したいボリュームが削除されている場合は、手動でボリュームを作成してください。 その後、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。
KATS50513-E	ストレージサブシステムのロックに失敗したため、ボリュームを再作成できませんでした。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスク ID:"<タスク ID >", ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	要因 ストレージサブシステムのロックに失敗したため、移動先ボリュームを再作成しないで、処理を失敗としました。 対処 このメッセージの直前に出力されている KATS50505-E メッセージの直前に出力されている同一スレッド ID のメッセージに従って対処してください。 移動先ボリュームがマイグレーション用のボリュームとして予約されたままになっています。対処をしたあとで、Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行してください。 その後、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。 直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS50514-E	ストレージサブシステムのロックに失敗したため、ボリュームを再作成できま	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	せんでした。ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	<p>ストレージサブシステムのロックに失敗したため、移動先ボリュームを再作成しないで、処理を失敗としました。</p> <p>対処 このメッセージの直前に出力されているメッセージに従って対処してください。 移動先ボリュームがマイグレーション用のボリュームとして予約されたままになっています。直前に出力されているメッセージの対処をしたあとで、Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行してください。 その後、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。 直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50515-W	ストレージサブシステムのロックに失敗したため、一定時間空けてからボリュームの再作成を再実行します。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスク ID:"<タスク ID >", ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", 再実行回数:"<再実行回数>"	<p>要因 ストレージサブシステムのロックに失敗したため、一定時間空けてからボリュームの再作成を再実行します。</p> <p>対処 -</p>
KATS50516-W	ストレージサブシステムのロックに失敗したため、一定時間空けてからボリュームの再作成を再実行します。ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", 再実行回数:"<再実行回数>"	<p>要因 ストレージサブシステムのロックに失敗したため、一定時間空けてからボリュームの再作成を再実行します。</p> <p>対処 -</p>
KATS50517-E	ストレージサブシステムのロックに失敗したため、ボリュームの再作成を再実行していましたが、再実行回数が上限を超えたため、再作成処理を失敗としました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスク ID:"<タスク ID >", ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ター	<p>要因 ストレージサブシステムのロックに失敗したため、再作成処理を再実行していましたが、再実行回数が上限を超えたため、処理を失敗としました。</p> <p>対処 移動先ボリュームがマイグレーション用のボリュームとして予約されたままになっているため、Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行してください。 しばらく時間を置いてから、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ダットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>",再実行回数:"<再実行回数>"	
KATS50518-E	ストレージサブシステムのロックに失敗したため、ボリュームの再作成を再実行していましたが、再実行回数が上限を超えたため、再作成処理を失敗としました。ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>",再実行回数:"<再実行回数>"	<p>要因 ストレージサブシステムのロックに失敗したため、再作成処理を再実行していましたが、再実行回数が上限を超えたため、処理を失敗としました。</p> <p>対処 移動先ボリュームがマイグレーション用のボリュームとして予約されたままになっているため、Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行してください。 しばらく時間を置いてから、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。</p>
KATS50519-E	操作対象のボリューム情報が Tiered Storage Manager のリポジトリにありません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスク ID:"<タスク ID>", ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	<p>要因 マイグレーションの操作対象となるボリュームの情報が Tiered Storage Manager のリポジトリにないため、処理を実行できません。</p> <p>対処 Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行した後、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。</p>
KATS50520-E	操作対象のボリューム情報が Tiered Storage Manager のリポジトリにありません。ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	<p>要因 マイグレーションの操作対象となるボリュームの情報が Tiered Storage Manager のリポジトリにないため、処理を実行できません。</p> <p>対処 Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行した後、必要に応じて再度タスクを作成し、実行してください。</p>
KATS50521-E	ボリュームを再作成する前の処理でエラーが発生しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスク ID:"<タスク ID>", ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	<p>要因 ボリュームを再作成するために実行する、ボリューム情報の整合性確認、または元のボリューム情報の取得でエラーが発生しました。実際に発生したエラーについては、このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。</p> <p>対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
KATS50522-E	ボリュームを再作成する前の処理でエラーが発生しました。ソースボリュー	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ムのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>"	<p>ボリュームを再作成するために実行する、ボリューム情報の整合性確認、または元のボリューム情報の取得でエラーが発生しました。実際に発生したエラーについては、このメッセージの直前に出力されている同一ボリュームに対するメッセージを参照してください。</p> <p>このメッセージの直前に同一ボリュームに対するメッセージが出力されていない場合は、Tiered Storage Manager サーバのメッセージログを参照してください。</p> <p>対処</p> <p>このメッセージの直前に出力されている同一ボリュームに対するメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50523-W	<p>再作成対象ボリュームの再作成が完了する前にタスクが中止されたため、ボリュームの情報が設定されていないおそれがあります。対象ボリュームの状態を確認し、必要に応じて情報を設定してください。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスク ID:"<タスク ID >", ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", 情報の種別:"<設定されていた情報の種別>", 値:"<設定されていた情報の値>"</p>	<p>要因</p> <p>ターゲットボリュームの再作成が完了する前にタスクの中止または即時停止によって、タスクが中止されました。</p> <p>このため、ターゲットボリュームに情報が設定されていないおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>ボリュームに対してラベルが設定されている場合</p> <p>Device Manager を使用して、このメッセージに出力されているターゲットボリュームにラベルが設定されているかを確認してください。ラベルが設定されていない場合は、Device Manager を使用して設定してください。</p> <p>実際の操作方法については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」を参照してください。</p> <p>ボリュームがリソースグループに登録されている場合</p> <p>Device Manager を使用して、このメッセージに出力されているリソースグループに、このメッセージに出力されているターゲットボリュームが登録されているかを確認してください。</p> <p>リソースグループにボリュームが登録されていない場合は、Device Manager を使用して登録してください。</p> <p>実際の操作方法については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」を参照してください。</p>
KATS50524-W	<p>再作成対象ボリュームの再作成が完了する前にタスクが中止されたため、ボリュームの情報が設定されていないおそれがあります。対象ボリュームの状態を確認し、必要に応じて情報を設定してください。ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ソースボリュームのコントローラー論理デ</p>	<p>要因</p> <p>ターゲットボリュームの再作成が完了する前にタスクの中止または即時停止によって、タスクが中止されました。</p> <p>このため、ターゲットボリュームに情報が設定されていないおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>ボリュームに対してラベルが設定されている場合</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>バイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", 情報の種別:<設定されていた情報の種別>", 値:<設定されていた情報の値>"</p>	<p>Device Manager を使用して、このメッセージに出力されているターゲットボリュームにラベルが設定されているかを確認してください。ラベルが設定されていない場合は、Device Manager を使用して設定してください。実際の操作方法については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」を参照してください。</p> <p>ボリュームがリソースグループに登録されている場合</p> <p>Device Manager を使用して、このメッセージに出力されているリソースグループに、このメッセージに出力されているターゲットボリュームが登録されているかを確認してください。リソースグループにボリュームが登録されていない場合は、Device Manager を使用して登録してください。実際の操作方法については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」を参照してください。</p>
KATS50525-E	<p>再作成対象ボリュームの再作成が失敗しているため、ボリュームの情報が設定されていないおそれがあります。リフレッシュを実行してから対象ボリュームの状態を確認し、必要に応じて情報を設定してください。ストレージドメイン名:<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:<ストレージサブシステム名>", タスク ID:<タスク ID>", ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:<ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", 情報の種別:<設定されていた情報の種別>", 値:<設定されていた情報の値>"</p>	<p>要因 再作成中にエラーが発生したため、ターゲットボリュームに情報が設定されていないおそれがあります。</p> <p>対処 ボリュームに対してラベルが設定されている場合</p> <p>Device Manager を使用して、このメッセージに出力されているターゲットボリュームにラベルが設定されているかを確認してください。ラベルが設定されていない場合は、Device Manager を使用して設定してください。実際の操作方法については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」を参照してください。</p> <p>ボリュームがリソースグループに登録されている場合</p> <p>Device Manager を使用して、このメッセージに出力されているリソースグループに、このメッセージに出力されているターゲットボリュームが登録されているかを確認してください。リソースグループにボリュームが登録されていない場合は、Device Manager を使用して登録してください。実際の操作方法については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」を参照してください。</p>
KATS50526-E	<p>再作成対象ボリュームの再作成が失敗しているため、ボリュームの情報が設定されていないおそれがあります。リフレッシュを実行してから対象ボリュームの状態を確認し、必要に応じて情報を設定してください。ソースボリュームのコントローラー論理デバイス番号:<ソースボリュームのコントロー</p>	<p>要因 再作成中にエラーが発生したため、ターゲットボリュームに情報が設定されていないおそれがあります。</p> <p>対処 ボリュームに対してラベルが設定されている場合</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ラー論理デバイス番号>", ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<ターゲットボリュームのコントローラー論理デバイス番号>", 情報の種別:"<設定されていた情報の種別>", 値:"<設定されていた情報の値>"	Device Manager を使用して、このメッセージに出力されているターゲットボリュームにラベルが設定されているかを確認してください。ラベルが設定されていない場合は、Device Manager を使用して設定してください。実際の操作方法については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」を参照してください。 ボリュームがリソースグループに登録されている場合 Device Manager を使用して、このメッセージに出力されているリソースグループに、このメッセージに出力されているターゲットボリュームが登録されているかを確認してください。リソースグループにボリュームが登録されていない場合は、Device Manager を使用して登録してください。実際の操作方法については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」を参照してください。
KATS50527-E	ボリュームの作成に失敗しました。タスク ID:"<タスク ID >", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名 >", 空き容量:"<アレイグループ名/空き容量番号 >"	要因 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。タスクの詳細情報に表示されている場合 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照してください。 対処 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 タスクの詳細情報に表示されている場合 このメッセージの直前に出力されているメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS50528-E	ボリュームの作成に失敗しました。タスク ID:"<タスク ID >", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名 >", 空き容量:"<アレイグループ名/空き容量番号 >", ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名 >"	要因 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。タスクの詳細情報に表示されている場合 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照してください。 対処 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してくだ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		さい。その後、Device Manager でストレージサブシステムのリフレッシュを行い、Tiered Storage Manager でストレージドメインをリフレッシュしてください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。タスクの詳細情報に表示されている場合 このメッセージの直前に出力されているメッセージに従って対処してください。その後、ストレージドメインをリフレッシュしてください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS50529-E	ボリュームの作成は成功しましたが、作成したボリューム情報の取得に失敗しました。タスク ID:"<タスク ID >", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名 >", 空き容量:"<アレイグループ名/空き容量番号 >"	要因 ボリュームの作成は成功しましたが、作成したボリュームの情報を取得できなかったため、作成したボリュームの情報がタスクの情報に設定されていないおそれがあります。 対処 メッセージに表示された空き容量があるアレイグループ内のボリュームを検索し、作成されたボリュームの情報を確認してください。
KATS50530-E	ボリュームの作成は成功しましたが、作成したボリューム情報の取得に失敗しました。タスク ID:"<タスク ID >", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名 >", 空き容量:"<アレイグループ名/空き容量番号 >", ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名 >"	要因 ボリュームの作成は成功しましたが、作成したボリュームの情報を取得できなかったため、作成したボリュームの情報がタスクの情報に設定されていないおそれがあります。また、作成したボリュームの情報がストレージドメインに設定されていないおそれがあります。 対処 ストレージドメインをリフレッシュしてください。その後、メッセージに表示された空き容量があるアレイグループ内のボリュームを検索し、作成されたボリュームの情報を確認してください。
KATS50531-E	パスの作成に失敗しました。タスク ID:"<タスク ID >", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名 >", ポート名:"<ポート名 >", パスを設定しようとしたボリューム:"<パスを設定しようとしたボリューム >"	要因 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。タスクの詳細情報に表示されている場合 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照してください。 対処 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。タスクの詳細情報に表示されている場合

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>このメッセージの直前に出力されているメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
KATS50532-E	<p>パスの作成に失敗しました。タスク ID:"<タスク ID >", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名 >", ポート名:"<ポート名 >", パスを設定しようとしたボリューム:"<パスを設定しようとしたボリューム >", ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名 >"</p>	<p>要因 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。タスクの詳細情報に表示されている場合 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照してください。</p> <p>対処 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。その後、Device Manager でストレージサブシステムのリフレッシュを行い、Tiered Storage Manager でストレージドメインをリフレッシュしてください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。タスクの詳細情報に表示されている場合 このメッセージの直前に出力されているメッセージに従って対処してください。その後、ストレージドメインをリフレッシュしてください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
KATS50533-E	<p>パスの作成は成功しましたが、パスの情報の取得に失敗しました。タスク ID:"<タスク ID >", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名 >", ポート名:"<ポート名 >", パスを設定しようとしたボリューム:"<パスを設定しようとしたボリューム >"</p>	<p>要因 パスの作成は成功しましたが、パスの情報を取得できなかったため、作成したパスの情報がタスクの情報に設定されていないおそれがあります。</p> <p>対処 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。その後、必要であれば再度タスクを作成して実行してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。タスクの詳細情報に表示されている場合 このメッセージの直前に出力されているメッセージに従って対処してください。その後、必要であれば再度タスクを作成して実行してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS50534-E	パスの作成は成功しましたが、パスの情報の取得に失敗しました。タスク ID:"<タスク ID >", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名 >", ポート名:"<ポート名 >", パスを設定しようとしたボリューム:"<パスを設定しようとしたボリューム >", ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名 >"	<p>要因</p> <p>パスの作成は成功しましたが、作成したパスの情報を取得できなかったため、作成したパスの情報がタスクの情報に設定されていないおそれがあります。また、作成したパスの情報がストレージドメインに設定されていないおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。その後、ストレージドメインをリフレッシュしてください。その後、必要であれば再度タスクを作成して実行してください。</p> <p>直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>タスクの詳細情報に表示されている場合 このメッセージの直前に出力されているメッセージに従って対処してください。その後、ストレージドメインをリフレッシュしてください。その後、必要であれば再度タスクを作成して実行してください。</p> <p>直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50535-E	外部接続の設定に失敗しました。タスク ID:"<タスク ID >", ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名 >", 外部側のストレージサブシステム名:"<外部ストレージサブシステム名 >", 外部側のボリューム:"<外部ボリューム >"	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。</p> <p>タスクのエラー情報に表示されている場合 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照してください。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。その後、Device Manager でストレージサブシステムのリフレッシュを行い、Tiered Storage Manager でストレージドメインをリフレッシュしてください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>タスクのエラー情報に表示されている場合</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		このメッセージの直前に出力されているメッセージに従って対処してください。その後、ストレージドメインをリフレッシュしてください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS50536-E	外部接続の設定は成功しましたが、設定結果の取得に失敗しました。タスク ID:"<タスク ID >", ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名 >", 外部側のストレージサブシステム名:"<外部ストレージサブシステム名 >", 外部側のボリューム:"<外部ボリューム >"	<p>要因 外部接続の設定は成功しましたが、設定結果を取得できなかったため、外部接続の設定結果がタスクの情報に設定されていないおそれがあります。また、外部接続の設定結果がストレージドメインに設定されていないおそれがあります。</p> <p>対処 ストレージドメインをリフレッシュしてください。その後、メッセージに表示された外部ボリュームと接続されているボリュームの情報を確認してください。</p>
KATS50537-E	ホストストレージドメインの作成に失敗しました。タスク ID:"<タスク ID >", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名 >", ポート名:"<ポート名 >"	<p>要因 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。 タスクの詳細情報に表示されている場合 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照してください。</p> <p>対処 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 タスクの詳細情報に表示されている場合 このメッセージの直前に出力されているメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS50538-E	ホストストレージドメインの作成に失敗しました。タスク ID:"<タスク ID >", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名 >", ポート名:"<ポート名 >", ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名 >"	<p>要因 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。 タスクの詳細情報に表示されている場合 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照してください。</p> <p>対処 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。その後、Device Manager でストレージサブシステムのリフレッシュを行い、Tiered</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Storage Manager でストレージドメインをリフレッシュしてください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。タスクの詳細情報に表示されている場合このメッセージの直前に出力されているメッセージに従って対処してください。その後、ストレージドメインをリフレッシュしてください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS50539-E	外部ストレージ接続のパスに指定したホストストレージドメイン"<ストレージドメイン名>"は使用できません。ホストストレージドメイン"<外部ポートの WWN が割り当てられているホストストレージドメイン名>"に外部ポートの WWN がすでに割り当てられています。内部ストレージサブシステムの外部ポートの WWN:"<内部ストレージサブシステムの外部ポートの WWN >", 外部ストレージサブシステムの接続ポートの WWN:"<外部ストレージサブシステムの接続ポートの WWN >"	要因 指定した外部ポートの WWN は、指定したホストストレージドメインとは別のホストストレージドメインに割り当てられています。既存のホストストレージドメインに割り当てられている WWN は、同じポートの別のホストストレージドメインに割り当てられません。 対処 ホストストレージドメインの指定を Auto にして、外部ストレージ接続を再実行してください。外部ポートの WWN がすでに割り当てられているホストストレージドメインが自動で選択されます。
KATS50540-E	外部ストレージ接続のパスに指定した LUN 番号"< LUN 番号 >"は使用できません。ホストストレージドメイン"<ストレージドメイン名>"ですでに使用されているか、使用できない LUN 番号を指定したか、または使用できる LUN 番号がありません。内部ストレージサブシステムの外部ポートの WWN:"<内部ストレージサブシステムの外部ポートの WWN >", 外部側サブシステムの接続ポートの WWN:"<外部ストレージサブシステムの接続ポートの WWN >"	要因 LUN 番号を指定して外部ストレージ接続を実行したときにこのメッセージが表示された場合、指定した LUN 番号はすでに使用されているか、または指定した LUN 番号は使用できない LUN 番号です。 LUN 番号の指定を Auto にして外部ストレージ接続を実行したときにこのメッセージが表示された場合、指定したホストストレージドメインには使用できる LUN 番号がありません。 対処 LUN 番号を指定して外部ストレージ接続を実行したときにこのメッセージが表示された場合は、LUN 番号を Auto に指定して再実行してください。使用できる LUN 番号が自動で選択されます。 LUN 番号の指定を Auto にして外部ストレージ接続を実行したときにこのメッセージが表示された場合、現在の設定では指定したパスを作成できません。ホストストレージドメインから不要なパスを削除、または別のポート経由のパスを作成してください。
KATS50541-W	プールとの関連づけ解除待ちのため、ボリュームを削除できませんでした。しばらくしてからボリュームを再度削除します。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージ	要因 プールとの関連づけ解除待ちのため、ボリュームを削除できませんでした。 対処 対処は不要です。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ステム名:"<ストレージシステム名>", タスク ID:"<タスク ID >", コント ローラー論理デバイス番号:"<コント ローラー論理デバイス番号>", 削除試 行回数:"<削除試行回数>"	
KATS50542-W	プールとの関連づけ解除待ちのため、ボ リュームを削除できませんでした。し ばらくしてからボリュームを再度削除 します。コントローラー論理デバイス 番号:"<コントローラー論理デバイス 番号>", 削除試行回数:"<削除試行回数 >"	要因 プールとの関連づけ解除待ちのため、ボリュ ームを削除できませんでした。 対処 対処は不要です。
KATS50543-I	プールとの関連づけ解除ができるよう になるまで、ボリュームを削除しま せん。しばらく待ってください。コント ローラー論理デバイス番号:"<コント ローラー論理デバイス番号 1", "コント ローラー論理デバイス番号 2", ... "コン トローラー論理デバイス番号 n">	要因 プールとの関連づけ解除ができるようになるま で、ボリュームの削除を待っています。 対処 対処は不要です。
KATS50550-E	外部ストレージサブシステムにある ポートの探索に失敗しました。スト レージサブシステム名:"<ストレージ サブシステム名>", 外部ポート:"<外部 ポート>"	要因 このメッセージの直前に出力されている同一の スレッド ID のメッセージを参照してください。 対処 このメッセージの直前に出力されている同一の スレッド ID のメッセージに従って対処してくだ さい。その後、ストレージドメインをリフレッ シュしてください。直前にメッセージが出力さ れていない場合は、再度実行してください。それ でも解決しない場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報を取得して、顧客 問い合わせ窓口ご連絡してください。
KATS50901-E	リフレッシュ処理中に予期せぬ例外が 発生しましたため、リフレッシュ処理が 正常に実行できませんでした。スト レージドメイン名:"<ストレージドメ イン名>", 内部情報:"<内部情報>"	要因 リフレッシュ処理中に予期しない例外が発生し ました。 対処 Tiered Storage Manager, Device Manager, 共 通コンポーネントのメッセージログなどを参照 して、原因を取り除いたあと、リフレッシュを再 実行してください。原因が取り除けない場合は、 Tiered Storage Manager, Device Manager, お よび共通コンポーネントの保守情報を取得して、 顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KATS50902-E	タスク処理中に予期せぬ例外が発生し ましたため、タスク処理が正常に実行で きませんでした。 内部情報:"<内部情 報>"	要因 タスク処理中に予期しない例外が発生しました。 対処 Tiered Storage Manager, Device Manager, 共 通コンポーネントのメッセージログなどを参照 して、原因を取り除いたあと、タスクの状態を確 認して必要な操作をしてください。原因が取り 除けない場合は、Tiered Storage Manager, Device Manager, および共通コンポーネントの 保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口にご 連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS50903-E	予期せぬ例外が発生しましたが、当該処理は正常に実行されました。内部情報:"<内部情報>"	要因 予期しない例外が発生しました。 対処 緊急に対処する必要はありません。 Tiered Storage Manager, Device Manager, 共通コンポーネントのメッセージログなどを参照して、原因を取り除いてください。原因が取り除けない場合は、Tiered Storage Manager, Device Manager, および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS50904-E	リフレッシュ処理中に予期せぬ例外が発生しましたため、リフレッシュ処理が正常に実行できませんでした。	要因 リフレッシュ処理中に予期しない例外が発生しました。 対処 Tiered Storage Manager, Device Manager, 共通コンポーネントのメッセージログなどを参照して、原因を取り除いたあと、リフレッシュを再実行してください。原因が取り除けない場合は、Tiered Storage Manager, Device Manager, および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS50905-E	アップグレードリフレッシュ情報ファイルの参照に失敗しました。ファイル名:"<アップグレードリフレッシュ情報ファイル名(絶対パス)>"	要因 共通コンポーネントの環境が不正です。 対処 Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS50906-E	ストレージドメインの情報が最新になっていません。ストレージドメインのリフレッシュを実行してください。その後、マイグレーション対象ボリューム情報が Device Manager の情報と Tiered Storage Manager の情報に不一致がないことを確認し、再度実行してください。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 Device Manager の情報と Tiered Storage Manager の情報に不一致が発生しました。 対処 メッセージに表示されたストレージドメインのリフレッシュを実行し、Device Manager の情報と Tiered Storage Manager の情報に不一致がないことを確認してください。その後、再度実行してください。
KATS50907-E	ストレージドメインの情報が最新になっていません。ストレージドメインのリフレッシュを実行してください。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 Device Manager の情報と Tiered Storage Manager の情報に不一致が発生しました。 対処 メッセージに表示されたストレージドメインのリフレッシュを実行し、Device Manager の情報と Tiered Storage Manager の情報に不一致がないことを確認してから、再度処理を実行してください。
KATS50908-E	ストレージドメインの情報および Device Manager のストレージサブシステムの情報が最新になっていません。ストレージドメインのリフレッシュを実行してください。ストレージドメインのリフレッシュで、Device Manager のリフレッシュも実行します。その後、マイグレーション対象ボリューム情報が Device Manager の情報と Tiered	要因 Device Manager やストレージサブシステムの情報と Tiered Storage Manager の情報に不一致が発生しました。 対処 メッセージに表示されたストレージドメインのリフレッシュを実行してください。ストレージドメインのリフレッシュを実行すると、Device Manager が管理しているリポジット

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	Storage Manager の情報に不一致がないことを確認し、再度実行してください。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	リー内のストレージサブシステムの情報もリフレッシュされます。 その後、Device Manager の情報と Tiered Storage Manager の情報に不一致がないことを確認してから、再度実行してください。
KATS50909-E	ストレージドメインの情報および Device Manager のストレージサブシステムの情報が最新になっていません。ストレージドメインのリフレッシュを実行してください。ストレージドメインのリフレッシュで、Device Manager のリフレッシュも実行します。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 Device Manager やストレージサブシステムの情報と Tiered Storage Manager の情報に不一致が発生しました。 対処 メッセージに表示されたストレージドメインのリフレッシュを実行してください。 ストレージドメインのリフレッシュを実行すると、Device Manager が管理しているリポジトリ内のストレージサブシステムの情報もリフレッシュされます。
KATS50910-E	ストレージドメインの情報が最新になっていないため、処理を中断しました。ストレージドメインのリフレッシュを実行してから、再実行してください。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 Device Manager の情報と Tiered Storage Manager の情報に不一致が発生しました。 対処 メッセージに表示されたストレージドメインのリフレッシュを実行してから再度実行してください。
KATS50911-E	ストレージドメインの情報および Device Manager のストレージサブシステム情報が最新になっていないため、処理を中断しました。ストレージドメインのリフレッシュを実行してから、再実行してください。ストレージドメインのリフレッシュで、Device Manager のリフレッシュも実行します。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 Device Manager やストレージサブシステムの情報と Tiered Storage Manager の情報に不一致が発生しました。 対処 メッセージに表示されたストレージドメインのリフレッシュを実行してから再度実行してください。 ストレージドメインのリフレッシュを実行すると、Device Manager が管理しているリポジトリ内のストレージサブシステムの情報もリフレッシュされます。
KATS50912-E	操作ボリュームの情報更新中に予期せぬ例外が発生したため、操作ボリュームの情報更新が正常に実行できませんでした。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", 内部情報:"<内部情報>"	要因 操作ボリュームの情報更新中に予期しない例外が発生しました。 対処 Tiered Storage Manager のメッセージログ、Device Manager のメッセージログ、および共通コンポーネントのメッセージログなどを参照し、原因を取り除ける場合は原因を取り除いたあとに、ストレージドメインのリフレッシュを実行してください。 原因を取り除けない場合は、Tiered Storage Manager、Device Manager、および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS50913-E	操作ボリュームの情報更新中に予期せぬ例外が発生したため、操作ボリュームの情報更新が正常に実行できませんでした。	要因 操作ボリュームの情報更新中に予期しない例外が発生しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>Tiered Storage Manager のメッセージログ、Device Manager のメッセージログ、および共通コンポーネントのメッセージログなどを参照し、原因を取り除ける場合は原因を取り除いたあとに、ストレージドメインのリフレッシュを実行してください。</p> <p>原因を取り除けない場合は、Tiered Storage Manager、Device Manager、および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。</p>
KATS51010-E	<p>移動先マイグレーショングループが移動元マイグレーショングループと同じです。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>"</p>	<p>要因 移動先マイグレーショングループに、移動元マイグレーショングループと同じマイグレーショングループを指定しました。</p> <p>対処 移動先マイグレーショングループに、移動元マイグレーショングループと異なるマイグレーショングループを指定してください。</p>
KATS51011-E	<p>マイグレーショングループが作成中のマイグレーションタスクに使用されています。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>"</p>	<p>要因 指定したマイグレーショングループが、作成中のマイグレーションタスクに使用されています。</p> <p>対処 作成中のマイグレーションタスクを終了させてください。</p>
KATS51101-E	<p>期間経過イベント発生予定日時に過去の日付を指定することはできません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>"</p>	<p>要因 期間経過イベント発生予定日時に、過去の日付を指定しました。</p> <p>対処 期間経過イベント発生予定日時には、将来の日付を指定してください。</p>
KATS51111-E	<p>メールのテンプレートファイルがありません。テンプレートファイル名:"<テンプレートファイル名>"</p>	<p>要因 メールのテンプレートファイルがありません。</p> <p>対処 Tiered Storage Manager インストールディレクトリ下の conf ディレクトリに、表示されたテンプレートファイルがあるかどうか確認してください。</p>
KATS51112-E	<p>メールのテンプレートファイルの読み込みでエラーが発生しました。テンプレートファイル名:<テンプレートファイル名>, 内部情報:"<内部情報>"</p>	<p>要因 メールのテンプレートファイルの読み込みでエラーが発生しました。</p> <p>対処 Tiered Storage Manager のメッセージログなどを参照して、原因を取り除いてください。原因が取り除けない場合は、Tiered Storage Manager、Device Manager、および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。</p>
KATS51113-E	<p>メールのテンプレートファイルのサイズが大きすぎます。テンプレートファイル名:"<テンプレートファイル名>", テンプレートファイルのバイト数:"<テンプレートのファイル数>", 使用できる最大のファイルサイズ:"<使用できる最大のファイルサイズ>"</p>	<p>要因 テンプレートファイルのサイズが大きすぎます。</p> <p>対処 テンプレートファイルの内容を見直して、サイズを小さくしてください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS51114-E	無効な行がメールのテンプレートファイルのヘッダー部分にあります。ヘッダー名とヘッダー内容は":"で区切られていなければなりません。テンプレートファイル名:"<テンプレートファイル名>", 行番号:"<行番号>"	要因 無効な行がメールのテンプレートファイルのヘッダー部分にあります。ヘッダー名とヘッダー内容は":" (コロン) で区切られていなければなりません。 対処 表示されたテンプレートファイルのエラーが発生した行に、区切り文字":" (コロン) が含まれているか確認してください。
KATS51115-E	テンプレートファイルにはヘッダー部分の終わりを示す空行がありません。テンプレートファイル名:"<テンプレートファイル名>"	要因 テンプレートファイルに、ヘッダー部分の終わりを示す空行がありません。 対処 ヘッダー部分の末尾に空行があるか確認してください。
KATS51116-E	テンプレートファイルの1行の長さが長過ぎます。テンプレートファイル名:"<テンプレートファイル名>", 行番号:"<行番号>", 検出された長さバイト数:"<検出された長さ>", 使用できる最大の長さ (バイト数) : "<使用できる最大の長さ (バイト数) >"	要因 テンプレートファイルの1行の長さが長過ぎます。 対処 表示されたテンプレートファイルの内容を見直して、1行の長さを短くしてください。
KATS51117-E	無効なヘッダーがあります。テンプレートファイルの読み込みを中止します。テンプレートファイル名:"<テンプレートファイル名>", ヘッダー名:"<ヘッダー名>"	要因 無効なヘッダーが指定されています。 対処 テンプレートファイル内に指定しているヘッダー名の文字列を見直してください。
KATS51118-E	指定しなければならないヘッダーを指定していません。テンプレートファイルの読み込みを中止します。テンプレートファイル名:"<テンプレートファイル名>", ヘッダー名:"<ヘッダー名>"	要因 指定しなければならないヘッダーを指定していません。 対処 テンプレートファイル内に指定しているヘッダーを見直してください。
KATS51119-E	同一のヘッダー名が複数回指定されています。テンプレートファイルの読み込みを中止します。テンプレートファイル名:"<テンプレートファイル名>", ヘッダー名:"<ヘッダー名>"	要因 無効なヘッダーを指定しています。 対処 テンプレートファイル内に指定しているヘッダーを見直してください。
KATS51121-E	メールサーバが設定されていません。server.eventNotification.mail.to プロパティを指定する場合は、メールサーバに関する設定をしてください。	要因 すべてのイベントの通知先メールアドレスを指定していますが、メール送信に必要なメールサーバの情報を指定していません。 対処 server.properties プロパティファイルで、メールサーバに関する情報を指定してください。
KATS51131-I	ボリュームのロック期限が満了しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", 期限が満了したボリューム数:"<期限が満了したボリューム数>"	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS51132-I	マイグレーショングループに対して設定された期間が経過しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>"	要因 - 対処 -
KATS51141-I	タスクの終了をメールで通知しました。タスク ID:"<タスク ID >", 通知先メールアドレス:"<通知先メールアドレス>"	要因 - 対処 -
KATS51142-I	ボリュームロックの期限満了をメールで通知しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", 期限が満了したボリューム数:"<期限が満了したボリューム数>", 通知先メールアドレス:"<通知先メールアドレス>"	要因 - 対処 -
KATS51143-I	マイグレーショングループの指定期間経過をメールで通知しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", 通知先メールアドレス:"<通知先メールアドレス>"	要因 - 対処 -
KATS51151-E	タスク終了のメール通知に失敗しました。タスク ID:"<タスク ID >", 通知先メールアドレス:"<通知先メールアドレス>"	要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。 対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS51152-E	ボリュームロック期限満了のメール通知に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", 期限が満了したボリューム数:"<期限が満了したボリューム数>", 通知先メールアドレス:"<通知先メールアドレス>"	要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。 対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS51153-E	マイグレーショングループの指定期間経過のメール通知に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", 通知先メールアドレス:"<通知先メールアドレス>"	要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。 対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS51202-E	ボリュームのロック処理に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスク ID:"<タスク ID >", ボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>"	<p>要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。</p> <p>対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。必要な場合は、再度ロッキングタスクを作成してボリュームをロックしてください。直前にメッセージが出力されていない場合も、再度ロックタスクを作成してロックを行ってください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。タスクを実行した際にエラーが発生した場合は、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」のトラブルシューティングを参照してください。</p>
KATS51203-E	ボリュームのロック処理に失敗しました。ボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>"	<p>要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。</p> <p>対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。必要な場合は、再度ロッキングタスクを作成してボリュームをロックしてください。直前にメッセージが出力されていない場合も、再度ロックタスクを作成してロックを行ってください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。タスクを実行した際にエラーが発生した場合は、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」のトラブルシューティング事例も参照してください。</p>
KATS51206-E	ボリュームのアンロック処理に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスク ID:"<タスク ID >", ボリュームのコントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>"	<p>要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。</p> <p>対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。必要な場合は、再度アンロッキングタスクを作成してボリュームをアンロックしてください。直前にメッセージが出力されていない場合も、再度アンロックタスクを作成してアンロックを行ってください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。タスクを実行した際にエラーが発生した場合は、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」のトラブルシューティングを参照してください。</p>
KATS51207-E	ボリュームのアンロック処理に失敗しました。ボリュームのコントローラー	<p>要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	論理デバイス番号:"<コントローラ 論理デバイス番号>"	対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。必要な場合は、再度アンロックタスクを作成してボリュームをアンロックしてください。直前にメッセージが出力されていない場合も、再度アンロックタスクを作成してアンロックを行ってください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。タスクを実行した際にエラーが発生した場合は、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」のトラブルシューティングを参照してください。
KATS51208-E	指定されたマイグレーショングループ内にはロックできるボリュームが一つもないため、このマイグレーショングループのロックタスクを作成できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", ロックできない理由:"<ロックできない理由>", コントローラ論理デバイス番号:"<コントローラ論理デバイス番号>"	要因 指定したマイグレーショングループに、ロックできるボリュームが一つも含まれていません。ロックできない理由:"<ロックできない理由>"に示される値には、次のどれかが入ります。 <ul style="list-style-type: none"> • TrueCopy Synchronous Configuration [Leaf] : TrueCopy Synchronous [Leaf]の制限でロックできない場合 • TrueCopy Asynchronous Configuration [Leaf] : TrueCopy Asynchronous [Leaf]の制限でロックできない場合 • Continuous Access XP Synchronous Configuration [Leaf] : Continuous Access XP Synchronous [Leaf]の制限でロックできない場合 • Continuous Access XP Asynchronous Configuration [Leaf] : Continuous Access XP Asynchronous [Leaf]の制限でロックできない場合 • ShadowImage Configuration [Node] : ShadowImage [Node]の制限でロックできない場合 • ShadowImage Configuration [Leaf] : ShadowImage [Leaf]の制限でロックできない場合 • Business Copy XP Configuration [Node] : Business Copy XP [Node]の制限でロックできない場合 • Business Copy XP Configuration [Leaf] : Business Copy XP [Leaf]の制限でロックできない場合 • Command Device : Command Device であるためにロックできない場合 • NAS : NAS のシステムボリュームであるためにロックできない場合 • Copy-On-Write Snapshot Configuration [POOL] : Copy-On-Write Snapshot [POOL]の制限でロックできない場合 • Copy-On-Write Snapshot Configuration [V-VOL] : Copy-On-Write Snapshot [V-VOL]の制限でロックできない場合

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> • Snapshot XP Configuration [POOL] : Snapshot XP [POOL]の制限でロックできない場合 • Snapshot XP Configuration [V-VOL] : Snapshot XP [V-VOL]の制限でロックできない場合 • Thin Image Configuration [POOL] : Thin Image [POOL]の制限によりロックできない場合 • Thin Image Configuration [V-VOL] : Thin Image [V-VOL]の制限によりロックできない場合 • Fast Snap Configuration [POOL] : Fast Snap [POOL]の制限によりロックできない場合 • Fast Snap Configuration [V-VOL] : Fast Snap [V-VOL]の制限によりロックできない場合 • Universal Replicator Configuration [S-VOL] : Universal Replicator [S-VOL]の制限でロックできない場合 • Universal Replicator Configuration [SP-VOL] : Universal Replicator [SP-VOL]の制限でロックできない場合 • Universal Replicator Configuration [JNL-VOL] : Universal Replicator [JNL-VOL]の制限でロックできない場合 • Continuous Access XP Journal Configuration [S-VOL] : Continuous Access XP [S-VOL]の制限でロックできない場合 • Continuous Access XP Journal Configuration [JNL-VOL] : Continuous Access XP [JNL-VOL]の制限でロックできない場合 • IOSuppressionMode and External Volume : I/O 抑止モードかつ外部ボリュームであるためにロックできない場合 • Migration Reserved : マイグレーション用に予約されているボリュームであるためにロックできない場合 • Retention Term : すでに設定されているロック期間よりも短いロック期間を指定した場合、またはすでに設定されているロック期間とガード属性同じロック期間とガード属性を指定した場合 • Mainframe Volume : メインフレームボリュームであるためにロックできない場合 • Dynamic Provisioning Configuration [POOL] : Dynamic Provisioning [POOL]の制限でロックできない場合 • In-progress data migration that uses virtual IDs : 仮想 ID を用いたデータ移行中のボリュームであるためにロックできない場合 • Data migration that uses virtual IDs : 仮想 ID を用いたデータ移行に使用しているリ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>ソースグループに所属しているボリュームであるためにロックできない場合</p> <p>"<コントローラー論理デバイス番号>"には複数のコントローラー論理デバイス番号が表示される場合があります。</p> <p>対処</p> <p>ロックできるボリュームを含むマイグレーショングループを指定してください。</p>
KATS51209-E	<p>指定されたマイグレーショングループ内にはアンロックできるボリュームが一つもないため、このマイグレーショングループのアンロックタスクを作成できません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", アンロックできない理由:"<アンロックできない理由>", コントローラー論理デバイス番号:<コントローラー論理デバイス番号></p>	<p>要因</p> <p>指定したマイグレーショングループに、アンロックできるボリュームが一つも含まれていません。アンロックできない理由:"<アンロックできない理由>"に示される値には、次のどちらかが入ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> Retention Term : ロック期間中であるためにアンロックできない場合 Not Read only or Protect : ガード属性が Read only または Protect ではないためにアンロックできない場合 <p>対処</p> <p>アンロックできるボリュームを含むマイグレーショングループを指定してください。</p>
KATS51210-E	<p>ボリュームロック保持期限の更新に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>"</p>	<p>要因</p> <p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。</p> <p>対処</p> <p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。その後、Tiered Storage Manager をリフレッシュしてください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS51301-E	<p>マイグレーショングループに含まれているすべてのボリュームがシュレディングできないボリュームです。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", シュレディングできない理由:"<シュレディングできない理由>", コントローラー論理デバイス番号:"<コントローラー論理デバイス番号>"</p>	<p>要因</p> <p>指定したマイグレーショングループに、シュレディングできるボリュームが一つもありません。シュレディングできない理由:"<シュレディングできない理由>"に示される値には、次のどれかが入ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> TrueCopy Synchronous : TrueCopy Synchronous の制限でシュレディングできない場合 TrueCopy Asynchronous : TrueCopy Asynchronous の制限でシュレディングできない場合 ShadowImage : ShadowImage の制限でシュレディングできない場合 Universal Replicator : Universal Replicator の制限でシュレディングできない場合 Copy-On-Write Snapshot : Copy-On-Write Snapshot の制限でシュレディングできない場合 Thin Image : Thin Image の制限によりシュレディングできない場合

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> • Fast Snap : Fast Snap の制限によりシュレディングできない場合 • Migration Reserved : マイグレーション用に予約されているボリュームであるためにロックできない場合 • Path : パスが設定されているためにシュレディングできない場合 • Locked : ボリュームがロックされているためにシュレディングできない場合 • Dynamic Provisioning [Pool]: Dynamic Provisioning のプールボリュームの制限でシュレディングできない場合 • Dynamic Provisioning [Unassigned]: プールが割り当てられていない Dynamic Provisioning ボリュームの制限でシュレディングできない場合 • Thin Provisioning [Pool]: Thin Provisioning のプールボリュームの制限でシュレディングできない場合 • Thin Provisioning [Unassigned]: プールが割り当てられていない Thin Provisioning ボリュームの制限でシュレディングできない場合 • In-progress data migration that uses virtual IDs : 仮想 ID を用いたデータ移行中のボリュームであるためにシュレディングできない場合 • Data migration that uses virtual IDs : 仮想 ID を用いたデータ移行に使用しているリソースグループに所属しているボリュームであるためにシュレディングできない場合 <p>"<コントローラ理論デバイス番号>"には複数のコントローラ理論デバイス番号が表示される場合があります。</p> <p>対処 シュレディングできるボリュームを含むマイグレーショングループを指定してください。</p>
KATS51303-E	<p>ボリュームシュレディングの開始処理に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスク ID:"<タスク ID >"</p>	<p>要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。</p> <p>対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。必要な場合は、再度シュレディングタスクを作成して実行してください。直前にメッセージが出力されていない場合も、再度シュレディングタスクを作成して実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。タスクを実行した際にエラーが発生した場合は、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」のトラブルシューティングを参照してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS51304-E	ボリュームシュレディングの開始処理に失敗しました。	<p>要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。</p> <p>対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。必要な場合は、再度シュレディングタスクを作成して実行してください。直前にメッセージが出力されていない場合も、再度シュレディングタスクを作成して実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。タスクを実行した際にエラーが発生した場合は、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」のトラブルシューティングを参照してください。</p>
KATS51305-E	ボリュームシュレディングの進捗状態取得に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>"	<p>要因 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。</p> <p>対処 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。原因が解決されたあと、定期的な進捗問い合わせによってタスクの情報は最新の状態に更新されます。</p>
KATS51306-E	ボリュームシュレディングがストレージサブシステムによって中止されました。	<p>要因 ボリュームシュレディングがストレージサブシステムによって中止されました。</p> <p>対処 再度シュレディングタスクを作成して実行してください。なお、このまま中止されたボリュームを使用する場合、ボリュームが閉塞しているおそれがあります。Storage Navigatorを用いてボリュームの状態を確認して、必要に応じてボリュームをフォーマットしてください。詳細は、マニュアル「Storage Navigator ユーザーズガイド」を参照してください。</p>
KATS51307-E	ボリュームシュレディングがストレージサブシステムによって中止されました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", ストレージサブシステム名:"<ストレージサブシステム名>", タスクID:"<タスクID>"	<p>要因 ボリュームシュレディングがストレージサブシステムによって中止されました。</p> <p>対処 再度シュレディングタスクを作成して実行してください。なお、このまま中止されたボリュームを使用する場合、ボリュームが閉塞しているおそれがあります。Storage Navigatorを用いてボリュームの状態を確認して、必要に応じてボリュームをフォーマットしてください。詳細は、マニュアル「Storage Navigator ユーザーズガイド」を参照してください。</p>
KATS51310-E	指定されたマイグレーショングループが未終了状態のタスクの移動先マイグ	<p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	レージョングループとして指定されています。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", マイグレーショングループ名:"<マイグレーショングループ名>", タスク ID:"<タスクID >"	指定したマイグレーショングループが未終了(待機中、動作中)状態のタスクの移動先マイグレーショングループとして指定されています。 対処 指定したマイグレーショングループに対する未終了(待機中、動作中)状態のタスクを終了させてください。
KATS51400-I	自動リフレッシュ機能によるストレージドメインのリフレッシュを開始します。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", 自動リフレッシュ種別:"<自動リフレッシュ種別>"	要因 自動リフレッシュ種別:"<自動リフレッシュ種別>"には次のどれかが入ります。 <ul style="list-style-type: none"> Server Start: Tiered Storage Manager サーバ起動時の自動リフレッシュ Schedule: 定刻自動リフレッシュ Subsystem Refreshed: Device Manager のサブシステムリフレッシュ検知による自動リフレッシュ Upgrade Refresh: バージョンアップ後の自動リフレッシュ 対処 -
KATS51401-I	自動リフレッシュ機能によるストレージドメインのリフレッシュを開始しようとしたが、すでにリフレッシュ中であつたため、自動リフレッシュ機能によるストレージドメインのリフレッシュを中止しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", 自動リフレッシュ種別:"<自動リフレッシュ種別>"	要因 ストレージドメインのリフレッシュ実行中に、自動リフレッシュ機能が動作しました。 自動リフレッシュ種別:"<自動リフレッシュ種別>"には次のどれかが入ります。 <ul style="list-style-type: none"> Server Start: Tiered Storage Manager サーバ起動時の自動リフレッシュ Schedule: 定刻自動リフレッシュ Subsystem Refreshed: Device Manager のサブシステムリフレッシュ検知による自動リフレッシュ Upgrade Refresh: バージョンアップ後の自動リフレッシュ 対処 -
KATS51402-E	自動リフレッシュ機能によるストレージドメインのリフレッシュが失敗しました。リフレッシュに失敗した原因を取り除き、ストレージドメインのリフレッシュを実行してください。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", 自動リフレッシュ種別:"<自動リフレッシュ種別>", 自動リフレッシュ開始日時:"<自動リフレッシュ開始日時 (Tiered Storage Manager サーバが稼働しているサーバマシンのローカルタイム) YYYY-MM-DD hh:mm:ss >"	要因 メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。 標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。 自動リフレッシュ種別:"<自動リフレッシュ種別>"には次のどれかが入ります。 <ul style="list-style-type: none"> Server Start: Tiered Storage Manager サーバ起動時の自動リフレッシュ Schedule: 定刻自動リフレッシュ Subsystem Refreshed: Device Manager のサブシステムリフレッシュ検知による自動リフレッシュ Upgrade Refresh: バージョンアップ後の自動リフレッシュ 対処 メッセージログに表示されている場合

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS51403-E	<p>自動リフレッシュ機能によるストレージドメインのリフレッシュは不完全状態になりました。不完全状態になった原因を取り除き、ストレージドメインのリフレッシュを実行してください。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>",自動リフレッシュ種別:"<自動リフレッシュ種別>",自動リフレッシュ開始日時:"<自動リフレッシュ開始日時 (Tiered Storage Manager サーバが稼働しているサーバマシンのローカルタイム) YYYY-MM-DD hh:mm:ss >"</p>	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合</p> <p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>自動リフレッシュ種別:"<自動リフレッシュ種別>"には次のどれかが入ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Server Start: Tiered Storage Manager サーバ起動時の自動リフレッシュ • Schedule: 定刻自動リフレッシュ • Subsystem Refreshed: Device Manager のサブシステムリフレッシュ検知による自動リフレッシュ • Upgrade Refresh: バージョンアップ後の自動リフレッシュ <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合</p> <p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Managerの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS51404-I	<p>自動リフレッシュ機能によるストレージドメインのリフレッシュ中に失敗し</p>	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>ました。このため、しばらく後にリフレッシュを再実行します。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", 自動リフレッシュ種別:"<自動リフレッシュ種別>"</p>	<p>このメッセージの直前に出力されている同一のスレッドIDのメッセージを参照してください。標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合</p> <p>このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージを参照してください。</p> <p>自動リフレッシュ種別:"<自動リフレッシュ種別>"には次のどれかが入ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Server Start: Tiered Storage Manager サーバ起動時の自動リフレッシュ • Schedule: 定刻自動リフレッシュ • Subsystem Refreshed: Device Manager のサブシステムリフレッシュ検知による自動リフレッシュ • Upgrade Refresh: バージョンアップ後の自動リフレッシュ <p>対処 -</p>
KATS51405-E	<p>Device Manager のバージョンが不正なため、Tiered Storage Manager サーバを起動できません。Device Manager のサブシステムリフレッシュ検知による自動リフレッシュ機能を利用するには、Device Manager の 5.1 以降が必要ですが、使用しているバージョンは"<V.R >"です。この機能を使用しないようにするには、Tiered Storage Manager の server.properties ファイルの server.repository.autoRefresh.pollingIntervalInMinute プロパティに 0 を指定し、Tiered Storage Manager を再度起動してください。</p>	<p>要因 Device Manager のバージョンが限定されている機能を使用しようとしてしました。</p> <p>対処 Device Manager のサブシステムリフレッシュ検知による自動リフレッシュ機能を使用する場合は、Device Manager をバージョンアップしてください。</p> <p>Device Manager のサブシステムリフレッシュ検知による自動リフレッシュ機能を使用しない場合は、Tiered Storage Manager の server.properties プロパティファイルの server.repository.autoRefresh.pollingIntervalInMinute プロパティに 0 を指定し、Tiered Storage Manager を再起動してください。</p>
KATS51406-I	<p>Tiered Storage Manager サーバのバージョンアップまたはリポジトリのリストアにより、ストレージドメインのリフレッシュが必要になったため、リフレッシュ状態がリフレッシュ未実行に変更されました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", リフレッシュ状態変更日時:"<リフレッシュ状態変更日時>", 変更前のリフレッシュ状態:"<変更前のリフレッシュ状態>"</p>	<p>要因 Tiered Storage Manager サーバのバージョンアップまたはリポジトリのリストアによって、旧リポジトリで作成されたドメインのリフレッシュが必要になりました。</p> <p>変更前のリフレッシュ状態:"<変更前のリフレッシュ状態>"には次のどれかが入ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NotInitialized: 未実行 • Processing: 実行中 • Success: 成功 • Failure: 失敗 • Incomplete: 不完全 <p>対処 Tiered Storage Manager サーバのアップグレードインストール時、バージョンアップ後にストレージドメインの自動リフレッシュ機能を使用した場合は、自動リフレッシュが完了するのをお待ちください。それ以外の場合は、手動でストレージドメインのリフレッシュを実行してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS51407-E	ストレージドメインのリフレッシュは実行されませんでした。リフレッシュ状態も変更されません。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>", エラー発生日時:"<エラー発生日時>", リフレッシュ状態:"<リフレッシュ状態>"	<p>要因</p> <p>ストレージサブシステムがダウンしているおそれがあります。または、ネットワークに障害があるおそれがあります。</p> <p>リフレッシュ状態:"<リフレッシュ状態>"には次のどれかが入ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NotInititalized: 未実行 • Processing: 実行中 • Success: 成功 • Failure: 失敗 • Incomplete: 不完全 <p>対処</p> <p>ストレージサブシステムが正常に動作していることを確認してください。ネットワークが正常に動作していることを確認してください。</p>
KATS51408-I	Tiered Storage Manager サーバのバージョンアップまたはリポジトリのリストアにより、ストレージドメインのリフレッシュが必要になりました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	<p>要因</p> <p>Tiered Storage Manager サーバのバージョンアップまたはリポジトリのリストアによって、旧リポジトリで作成されたドメインのリフレッシュが必要になりました。</p> <p>対処</p> <p>Tiered Storage Manager サーバのアップグレードインストール時、バージョンアップ後にストレージドメインの自動リフレッシュ機能を使用した場合は、自動リフレッシュが完了するのをお待ちください。それ以外の場合は、手動でストレージドメインのリフレッシュを実行してください。</p>
KATS51500-I	操作ボリュームの情報更新要求を受け付けました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>-</p>
KATS51501-I	操作ボリュームの情報更新を開始しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>-</p>
KATS51502-I	操作ボリュームの情報更新が完了しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>-</p>
KATS51503-E	操作ボリュームの情報更新の実行に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	<p>要因</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージを参照してください。 標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されている場合は、そのメッセージを参照してください。</p> <p>対処</p> <p>メッセージログに表示されている場合 このメッセージの直前に出力されている同一のスレッド ID のメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていないと</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		きは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。 標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合 このメッセージの前後にメッセージが出力されているときは、そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていないときは、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KATS51504-E	リフレッシュ中のため、この処理はできません。リフレッシュが完了してから、再度リフレッシュを実行してください。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 キャッシュをリフレッシュ中のストレージドメインがあります。 対処 リフレッシュが完了してから、再度リフレッシュを実行してください。
KATS51505-E	指定したボリュームの Tiered Storage Manager のリポジトリ情報と、Device Manager のリポジトリ情報の間に不一致を検知しました。ストレージドメインをリフレッシュしてください。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 指定したボリュームの Tiered Storage Manager のリポジトリ情報と Device Manager のリポジトリ情報の間に不一致が発生しました。 対処 ストレージドメインをリフレッシュしてください。
KATS51506-E	リフレッシュ状態の変更に失敗しました。ストレージドメイン名:"<ストレージドメイン名>"	要因 リフレッシュ状態の変更に失敗しました。 対処 ストレージドメインをリフレッシュしてください。

9.6 KATS60000～KATS69999

Tiered Storage Manager サーバに関するメッセージ (KATS60000～KATS69999) を次の表に示します。

表 9-6 KATS60000～KATS69999 : Tiered Storage Manager サーバのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS60000-E	共通コンポーネントのリポジトリ操作時に予期しない内部エラーが発生しました。	要因 共通コンポーネントの操作時に予期しない内部エラーが発生しました。 対処 Tiered Storage Manager および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
KATS60001-E	共通コンポーネントへのログイン時に、通信エラーが発生しました。	要因 共通コンポーネントが起動していないか、または通信経路のどこかに異常が発生しているおそれがあります。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		共通コンポーネントが起動していることを確認後、再実行してください。
KATS60002-E	共通コンポーネントへのログインに失敗しました。アプリケーション"<アプリケーション名>"はログインできません。	要因 共通コンポーネントにアプリケーションが登録されていません。 対処 Tiered Storage Manager および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS60003-E	共通コンポーネントへのログイン時に、認証に失敗しました。ユーザー ID:"<ユーザー ID >"	要因 Tiered Storage Manager の起動時に、内部エラーが発生しました。 対処 Tiered Storage Manager および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS60004-E	共通コンポーネントへのログイン時に、共通コンポーネントでエラーが発生しました。	要因 共通コンポーネントプロセスにクリティカルなエラーが発生しているおそれがあります。 対処 Tiered Storage Manager および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS60005-E	共通コンポーネントへのログイン時に、予期しないエラーが発生しました。	要因 共通コンポーネントから予想外のエラーが返されました。 対処 Tiered Storage Manager および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS60010-E	共通コンポーネントのリポジトリ操作時にエラーが発生しました。 CIMError:"<例外の詳細メッセージ >" 説明:"<説明 >"	要因 共通コンポーネントプロセスにクリティカルなエラーが発生しているおそれがあります。 対処 Tiered Storage Manager および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS60011-E	共通コンポーネントのリポジトリ更新時に例外が発生しました。情報:"<詳細情報 >"	要因 共通コンポーネントプロセスにクリティカルなエラーが発生しているおそれがあります。 対処 Tiered Storage Manager および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS60012-E	共通コンポーネントのリポジトリ更新時に内部エラーが発生しました。情報:"<詳細情報 >"	要因 共通コンポーネントプロセスにクリティカルなエラーが発生しているおそれがあります。 対処 Tiered Storage Manager および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS60013-E	共通コンポーネントのリポジトリへの接続時にエラーが発生しました。	要因 共通コンポーネントプロセスにクリティカルなエラーが発生しているおそれがあります。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処</p> <p>Tiered Storage Manager および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。</p>
KATS60020-E	起動状態判定で内部エラーが発生しました。情報:"<詳細情報>"	<p>要因</p> <p>起動状態の判定時に、共通コンポーネントプロセスにクリティカルなエラーが発生しているおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>Tiered Storage Manager および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。</p>
KATS60021-E	起動状態判定のバージョンチェックでエラーが発生しました。リポジトリのバージョン:"<バージョン番号>",プログラムのバージョン:"<プログラムのバージョン>"	<p>要因</p> <p>共通コンポーネントのリポジトリに不正な回復処理をしたおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>共通コンポーネントのリポジトリ運用方法を見直してください。問題がない場合は、Tiered Storage Manager および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。</p>
KATS60022-E	共通コンポーネントのリポジトリが不正な状態になっています。プログラムのバージョン:"<プログラムのバージョン>"	<p>要因</p> <p>共通コンポーネントのリポジトリに不正な回復処理をしたおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>メッセージに表示されたバージョンの Tiered Storage Manager をインストールして、リポジトリを回復してください。</p>
KATS60023-E	共通コンポーネントのリポジトリのバージョン情報が存在しません。	<p>要因</p> <p>共通コンポーネントのリポジトリに不正な回復処理をしたおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>Tiered Storage Manager をいったんアンインストールしてから、再インストールしてください。</p>
KATS60030-E	Tiered Storage Manager サーバの URL 情報が、共通コンポーネントのリポジトリに設定されていません。	<p>要因</p> <p>共通コンポーネントのリポジトリに不正な回復処理をしたおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>Tiered Storage Manager をいったんアンインストールしてから、再インストールしてください。</p>
KATS60031-E	共通コンポーネントのリポジトリに設定されている、Tiered Storage Manager サーバの URL 情報が不正です。設定されている値:"<共通コンポーネントのリポジトリに設定されている URL 情報の値>"	<p>要因</p> <p>共通コンポーネントのリポジトリに設定されている、Tiered Storage Manager サーバの URL 情報の値が不正です。</p> <p>インストール時に入力した、Tiered Storage Manager サーバの IP アドレスの形式が不正であるおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>hcmdschgur1 コマンドを実行して、Tiered Storage Manager サーバの URL 情報を設定し直してください。hcmdschgur1 コマンドについては、マニュアル「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>Tiered Storage Manager サーバの IP アドレスが IPv6 アドレスの場合、指定する URL の IP アドレス部分を "[" と "]" で囲んでください。</p> <p>(例 : [2001:fece:ba23:cd1f:dcb1:1010:9234:4088])</p>
KATS61001-E	データベース機能の初期化に失敗しました。	<p>要因 データベース定義情報の読み込みに失敗しました。</p> <p>対処 Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS61002-E	データベースへの接続に失敗しました。	<p>要因 データベースへの通信の失敗、同時接続数の超過などが発生したか、またはデータベースが起動していないおそれがあります。</p> <p>対処 ネットワーク状態を確認し、再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS61003-E	データベースのリソースが不足しています。	<p>要因 データベースでリソース不足が発生しました。</p> <p>対処 再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS61004-E	データベースへのアクセス処理がタイムアウトになりました。	<p>要因 データベースへのアクセス処理がタイムアウトになりました。 次のどれかの要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Tiered Storage Manager に対して、一斉に複数の操作をしました。 • Tiered Storage Manager の負荷が高くなるストレージドメインのリフレッシュ中に、ほかの操作をしました。 • Tiered Storage Manager サーバが動作している管理サーバの、マシン環境の性能が低くなっています。 • ほかのアプリケーションの影響で、Tiered Storage Manager サーバが動作しているコンピュータの CPU 負荷、I/O 負荷が高くなっています。 • Tiered Storage Manager が保証している値 (マイグレーショングループ内のボリューム数など) を超えた環境で動作させています。 <p>上記のような場合、Tiered Storage Manager を操作したときの応答時間が長くなります。アクセスが集中し、一時的に処理が滞留してしまうため、このエラーが発生します。</p> <p>対処 次の対処をして、再度実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ストレージドメインが複数あり、CLI ですべてのストレージドメインをリフレッシュしようとした場合、このメッセージが表示され

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>たときは、リフレッシュ処理が完了していることを確認してから、ストレージドメインを一つずつリフレッシュしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Tiered Storage Manager が保証している値を超えた環境で運用している場合、値を小さくしてください。Tiered Storage Manager が保証している値については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド</i>」を参照してください。 • Tiered Storage Manager サーバを動作させるために必要な管理サーバのマシン環境については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド</i>」を参照してください。 <p>エラーが繰り返し発生する場合には、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS61005-E	<p>アクセスが集中しているため、一時的に処理できません。時間をあけて再度実行してください。</p>	<p>要因</p> <p>次のどれかの要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Tiered Storage Manager に対して、一斉に複数の操作をしました。 • Tiered Storage Manager の負荷が高くなるストレージドメインのリフレッシュ中に、ほかの操作をしました。 • Tiered Storage Manager サーバが動作している管理サーバの、マシン環境の性能が低くなっています。 • ほかのアプリケーションの影響で、Tiered Storage Manager サーバが動作しているコンピュータの CPU 負荷、I/O 負荷が高くなっています。 • Tiered Storage Manager が保証している値（マイグレーショングループ内のボリューム数など）を超えた環境で動作させています。 <p>上記のような場合、Tiered Storage Manager を操作したときの応答時間が長くなります。アクセスが集中し、一時的に処理が滞留してしまうため、このエラーが発生します。</p> <p>対処</p> <p>次の対処をして、再度実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ストレージドメインが複数あり、CLI ですべてのストレージドメインをリフレッシュしようとした場合、このメッセージが表示されたときは、ストレージドメインを一つずつリフレッシュしてください。 • Tiered Storage Manager が保証している値を超えた環境で運用している場合、値を小さくしてください。Tiered Storage Manager が保証している値については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド</i>」を参照してください。 • Tiered Storage Manager サーバを動作させるために必要な管理サーバのマシン環境については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド</i>」を参照してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		エラーが繰り返し発生する場合には、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KATS61006-E	データベースエラーが発生しました。	<p>要因 データベースでエラーが発生しました。データベースで内部エラーが発生したか、またはデータベースの環境に問題があるおそれがあります。</p> <p>対処 Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。</p>
KATS61007-E	データベースを更新したときにデータベースの不整合を検出しました。	<p>要因 データベースの内容が最新の状態になっていないおそれがあります。</p> <p>対処 ストレージドメインに対する操作を実行中にエラーが発生した場合は、ストレージドメインをリフレッシュしたあとにストレージドメインの情報を確認してください。また、必要に応じてストレージドメインに対する操作を再実行してください。</p> <p>ストレージドメイン以外に対する操作を実行中にエラーが発生した場合は、ストレージドメイン以外に対する操作を再実行してください。</p> <p>エラーが繰り返し発生する場合には、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。</p>
KATS61008-E	指定した検索条件が長すぎるため、処理を実行できません。	<p>要因 指定した検索条件が長過ぎるため、データベースの制限によって、処理を実行できません。</p> <p>対処 指定する検索条件の長さを短くして、再度実行してください。</p>
KATS61011-E	データベーストランザクションのコミットに失敗しました。	<p>要因 データベースでコミット中にエラーが発生しました。</p> <p>対処 再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。</p>
KATS61012-E	データベーストランザクションのロールバックに失敗しました。	<p>要因 データベースでロールバック中にエラーが発生しました。</p> <p>対処 再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。</p>
KATS61015-E	データベースに障害が発生しました。	<p>要因 データベースで回復が必要な障害が発生しました。</p> <p>対処 データベースの回復が必要です。Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS61016-E	データベースの容量が不足しています。	要因 データベースの容量が不足しています。 対処 Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS61017-E	原因を特定できないデータベースエラーが発生しました。	要因 データベースに対して不正な回復処理をされたか、またはデータベースで原因の特定できないデータベースエラーが発生したおそれがあります。 対処 データベースの回復処理を見直してください。問題がない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS61018-E	インデックスの空きページ解放コマンドの実行に失敗しました。ただし、データベースには、アクセスできます。	要因 インデックスの空きページ解放コマンドの実行に失敗しました。 対処 エラーが繰り返し発生する場合には、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS61019-E	データベースのバージョンが不正です。	要因 データベースに対して不正な回復処理をされたおそれがあります。 対処 データベースの回復処理を見直してください。問題がない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS61020-I	Tiered Storage Manager サーバデータベースの更新を開始しました。情報:"<情報>"	要因 - 対処 -
KATS61021-I	Tiered Storage Manager サーバデータベースの更新が完了しました。	要因 - 対処 -
KATS61022-E	Tiered Storage Manager サーバデータベースの更新に失敗しました。情報:"<情報>"	要因 データベースのバージョンアップに失敗しました。 対処 このメッセージの直前に出力されているメッセージを参照して、対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS61023-E	Tiered Storage Manager サーバが使用する DB が閉塞しました。閉塞した部位は、共通コンポーネントです。サーバ管理者に連絡してください。	要因 共通コンポーネントのデータベースが閉塞しています。 対処 Tiered Storage Manager の保守情報、Device Manager の保守情報、および共通コンポーネ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		トの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS61024-E	Tiered Storage Manager サーバが使用する DB が閉塞しました。閉塞した部位は、Device Manager のデータベースです。サーバ管理者に連絡してください。	要因 Device Manager のデータベースが閉塞しています。 対処 Tiered Storage Manager の保守情報、Device Manager の保守情報、および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS61025-E	Tiered Storage Manager サーバが使用する DB が閉塞しました。閉塞した部位は、Tiered Storage Manager のデータベースです。サーバ管理者に連絡してください。	要因 Tiered Storage Manager のデータベースが閉塞しています。 対処 Tiered Storage Manager の保守情報、Device Manager の保守情報、および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS61026-E	データベースが閉塞しているか確認するコマンドの実行に失敗しました。リターンコード:"<エラーコード>" 内容:"<エラーの内容>"	要因 データベースの閉塞しているかどうかを確認するコマンドでエラーが発生しました。 対処 リターンコード 8 の場合 エラー内容を参照し、要因を取り除いたあと、ログイン画面を再読み込みしてください。 リターンコード 12 の場合 共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS61102-E	データベースの処理中にエラーが発生しました。	要因 データベースの処理中にエラーが発生しました。 対処 再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS61103-E	Device Manager で処理中にエラーが発生しました。内容:"<エラー情報>"	要因 マニュアル「Hitachi Command Suite Software メッセージガイド」の該当エラーメッセージの説明を参照してください。 対処 マニュアル「Hitachi Command Suite Software メッセージガイド」の該当エラーメッセージの対処欄を参照してください。 メッセージで対処できない場合は、再度実行してください。 エラーが繰り返し発生する場合には、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS61191-E	認証処理中に予期しないエラーが発生しました。	要因 共通コンポーネントへのログイン中に内部エラーが発生しました。 対処 Tiered Storage Manager の保守情報、Device Manager の保守情報、および共通コンポーネン

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		トの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS61192-E	データベースの処理中に予期しないエラーが発生しました。	要因 データベースの処理を実行中に内部エラーが発生しました。 対処 Tiered Storage Manager の保守情報、 Device Manager の保守情報、 および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS61193-E	Device Manager サーバで処理中に予期しないエラーが発生しました。	要因 Device Manager サーバで処理を実行中に内部エラーが発生しました。 対処 Tiered Storage Manager の保守情報、 Device Manager の保守情報、 および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS61852-I	Tiered Storage Manager サーバデータベースのデータの移行を開始しました。情報:"<詳細情報>"	要因 - 対処 -
KATS61853-I	Tiered Storage Manager サーバデータベースのデータの移行が完了しました。	要因 - 対処 -
KATS61854-E	Tiered Storage Manager サーバデータベースのデータの移行に失敗しました。情報:"<詳細情報>"	要因 データベースのデータの移行中にエラーが発生しました。 対処 このメッセージの直前に出力しているメッセージを参照し、対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、 Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS61855-E	データ移行の情報を出力するファイルの作成中にエラーが発生しました。ファイル名:"<ファイル名(Tiered Storage Manager のインストールディレクトリ下の logs ディレクトリからの相対パス)>"	要因 次のどちらかの要因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> • Tiered Storage Manager のインストールフォルダに対するアクセス権がない。 • Tiered Storage Manager のインストールディスクにの空き容量がない。 対処 Tiered Storage Manager のインストールフォルダにアクセス権があるユーザで実行してください。または、現在のユーザーにアクセス権限を与えてください。 Tiered Storage Manager のインストールディスクに十分な空き領域がない場合は、空き領域を確保してください。 それでも解決しない場合は、 Tiered Storage Manager, Device Manager, および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS61901-E	ストレージ階層の検索条件に未サポートの条件が含まれているため、ストレージ階層を移行できません。ストレージドメイン名:"<データが移行できなかったストレージ階層が属するストレージドメインの名称>", ストレージ階層名:<"データが移行できなかったストレージ階層の名称 1", "データが移行できなかったストレージ階層の名称 2", ..., "データが移行できなかったストレージ階層の名称 n">, ストレージ階層情報ファイル名:"<データが移行できなかったストレージ階層の情報を出力したファイルの名称(Tiered Storage Manager のインストールディレクトリ下の logs ディレクトリからの相対パス)>"	<p>要因 表示されたストレージ階層の検索条件に未サポートの条件が含まれています。</p> <p>対処 ストレージ階層情報ファイルの内容を確認し、移行できなかったストレージ階層が必要である場合は、未サポートの検索条件を取り除いた検索条件に変更して、ストレージ階層を作成してください。</p>
KATS61902-E	ストレージ階層に対応するストレージシステムが登録されていないため、ストレージ階層を移行できません。ストレージドメイン名:"<データが移行できなかったストレージ階層が属するストレージドメインの名称>", ストレージ階層名:<"データが移行できなかったストレージ階層の名称 1", "データが移行できなかったストレージ階層の名称 2", ..., "データが移行できなかったストレージ階層の名称 n">, ストレージ階層情報ファイル名:"<データが移行できなかったストレージ階層の情報を出力したファイルの名称(Tiered Storage Manager のインストールディレクトリ下の logs ディレクトリからの相対パス)>"	<p>要因 表示されたストレージ階層に対応するストレージシステムが登録されていません。</p> <p>対処 ストレージ階層情報ファイルの内容を確認し、移行できなかったストレージ階層が必要である場合は、ストレージシステムを登録したあとに、ストレージ階層を作成してください。</p>
KATS61903-E	ストレージ階層の移行に失敗しました。ストレージドメイン名:"<データが移行できなかったストレージ階層が属するストレージドメインの名称>", ストレージ階層名:<"データが移行できなかったストレージ階層の名称 1", "データが移行できなかったストレージ階層の名称 2", ..., "データが移行できなかったストレージ階層の名称 n">, ストレージ階層情報ファイル名:"<データが移行できなかったストレージ階層の情報を出力したファイルの名称(Tiered Storage Manager のインストールディレクトリ下の logs ディレクトリからの相対パス)>"	<p>要因 表示されたストレージ階層を移行中にエラーが発生したため、ストレージ階層の情報を移行できませんでした。</p> <p>対処 ストレージ階層情報ファイルの内容を確認し、移行できなかったストレージ階層が必要である場合は、ストレージ階層を作成してください。</p>
KATS62001-E	Device Manager Server の認証に失敗しました。	<p>要因 Device Manager が 5.9 以降の場合 Device Manager への認証が失敗しました。Device Manager が 5.9 未満の場合次のどちらかの要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> インストール時に指定したユーザー ID またはパスワードが誤っています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> インストール時に指定したユーザー ID のアカウントがロックされています。 対処 Device Manager が 5.9 以降の場合 エラーが繰り返し発生する場合には、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 Device Manager が 5.9 未満の場合 <ul style="list-style-type: none"> 正しいユーザー ID とパスワードを設定して、再ログインしてください。 共通ユーザー管理機能を使って、ユーザー ID のアカウントをロック解除した後、Tiered Storage Manager サーバを再起動してください。
KATS62002-E	Device Manager との接続に失敗しました。	要因 次のどれかの要因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> devicemanager.properties プロパティファイルの設定に誤りがあります。 Device Manager Server が停止しているか、Device Manager Server との通信経路のどこかに異常が発生しています。 プログラムの内部異常が発生しています。 対処 Device Manager Server が停止している場合は、Device Manager Server を起動し、そのあと Tiered Storage Manager を再起動してください。Device Manager Server が起動している場合は、Device Manager との通信経路を見直してください。 devicemanager.properties プロパティファイルの設定を見直してください。 それでも異常が解決しない場合は、Tiered Storage Manager および Device Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS62003-E	Device Manager Server XML API のバージョン"< Device Manager XML API のバージョン番号>"には対応していません。	要因 稼働中の Device Manager Server のバージョンは、サポート対象バージョンではありません。 対処 サポート対象バージョンの Device Manager Server に入れ替えてください。Device Manager のサポート対象バージョンは、5.0 以降です。
KATS62004-E	Device Manager との接続がタイムアウトになりました。	要因 次のどれかの要因が考えられます。 通信経路のどこかに異常が発生しているおそれがあります。 hdvm.timeout ファイルに設定されている値が適切ではありません。 トラフィックが集中して、処理に時間がかかっているおそれがあります。以下のような場合、Tiered Storage Manager サーバが動作している管理サーバの負荷が高くなり、処理時間がかかることがあります。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> • Tiered Storage Manager に対して、一斉に複数の操作をしました。 • Tiered Storage Manager の負荷が高くなるストレージドメインのリフレッシュ中に、ほかの操作をしました。 • Tiered Storage Manager サーバが動作している管理サーバの、マシン環境の性能が低くなっています。 • Device Manager サーバで負荷の高い作業を実施しているか、アクセスが集中していません。 • ほかのアプリケーションの影響で、Tiered Storage Manager サーバが動作しているコンピュータの CPU 負荷、I/O 負荷が高くなっています。 • Tiered Storage Manager が保証している値（マイグレーショングループ内のボリューム数など）を超えた環境で動作させています。 <p>対処 次の対処をしてください。 Device Manager Server との通信経路を見直してください。 hdvm.timeout ファイルの値をデフォルト値 0 から変更している場合は、デフォルト値に戻すか、または適切な値に修正してください。 トラフィックが集中して処理時間がかかった場合は、トラフィックの小さい時間に再実行してください。 Tiered Storage Manager サーバが動作している管理サーバの負荷が高い場合は、以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ストレージドメインが複数あり、CLI ですべてのストレージドメインをリフレッシュしようとした場合、このメッセージが表示されたときは、ストレージドメインを一つずつリフレッシュしてください。 • Tiered Storage Manager が保証している値を超えた環境で運用している場合、値を小さくしてください。Tiered Storage Manager が保証している値については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」を参照してください。 • Tiered Storage Manager サーバを動作させるために必要な管理サーバマシン環境については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。 <p>エラーが繰り返し発生する場合には、Tiered Storage Manager および Device Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
KATS62010-E	Device Manager でエラーを検出しました。コード：“<エラーコード>” 内容：“<エラーの内容>”	<p>要因 「4.」、 「5.」、 および「15.」を参照して該当するエラーメッセージの説明を参照してください。</p> <p>対処 Device Manager のメッセージで対処できない場合は、Tiered Storage Manager のリフレッシュ</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>を実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には、Tiered Storage Manager および Device Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>このメッセージには、Device Manager サーバから受け取ったメッセージテキストがそのままの形で含まれます。この部分の言語種別は、Device Manager サーバが動作しているマシンのロケールによって決まります。したがって、GUI/CLI クライアントの言語種別とサーバ側のロケールを合わせておくことをお勧めします。</p> <p>特に、クライアント側で日本語/英語を使い分けたい場合は、サーバ側のロケールは英語にしてください。サーバ側のロケールが日本語の場合は、クライアント側の言語種別も日本語にしてください。</p>
KATS62011-E	<p>ストレージサブシステムでエラーを検出しました。コード："<エラーコード>" 内容："<エラーの内容>"</p>	<p>要因 「16.」を参照して、該当するエラーメッセージの説明を参照してください。</p> <p>対処 「16.」を参照して、該当するエラーメッセージの対処欄を参照してください。構成変更していた場合は、エラーの発生したストレージサブシステムに対して Device Manager でリフレッシュを実行してから、Tiered Storage Manager でリフレッシュを実行してください。</p> <p>なお、顧客問い合わせ窓口に連絡する場合は、Tiered Storage Manager と Device Manager の保守情報、およびストレージサブシステム側の障害情報を取得してください。ストレージサブシステム側の障害情報は、できるだけ障害が発生してから時間が経過しないうちに取得してください。</p> <p>このメッセージには、Device Manager サーバから受け取ったメッセージテキストがそのままの形で含まれます。この部分の言語種別は、Device Manager サーバが動作しているマシンのロケールによって決まります。したがって、GUI/CLI クライアントの言語種別とサーバ側のロケールを合わせておくことをお勧めします。</p> <p>特に、クライアント側で日本語/英語を使い分けたい場合は、サーバ側のロケールは英語にしてください。サーバ側のロケールが日本語の場合は、クライアント側の言語種別も日本語にしてください。</p>
KATS62012-E	<p>指定されたストレージサブシステムが構成変更中であるため、そのストレージ情報を取得できませんでした。モデル："<ディスプレイアレイタイプ>"、シリアル番号："<シリアル番号>"</p>	<p>要因 指定されたストレージサブシステムが構成変更中のため、正しいストレージ情報を取得できませんでした。</p> <p>対処 該当するサブシステムの構成変更が終わるのを待って、再実行してください。</p>
KATS63000-I	<p>接続先が指定されていないため、Tuning Manager からの情報取得は行いません。</p>	<p>要因 プロパティに接続先を指定していないため、Tuning Manager から情報を取得されません。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>Tuning Manager から情報を取得する場合は、プロパティに接続先を指定してください。Tuning Manager から情報を取得しない場合は、対処は不要です。</p>
KATS63010-E	<p>Tuning Manager への接続に失敗しました。ホスト名:"<ホスト名>", ポート番号:"<ポート番号>"</p>	<p>要因</p> <p>次のどれかの要因が考えられます。</p> <p>プロパティに指定したサーバがネットワーク上にないおそれがあります。</p> <p>表示されたサーバの Tuning Manager および Tuning Service が起動していないおそれがあります。</p> <p>表示されたサーバは、Tuning Manager へのアクセスが集中していたため、処理要求がタイムアウトしたおそれがあります。</p> <p>トラフィックが集中して、処理に時間がかかっているおそれがあります。以下のような場合、Tiered Storage Manager サーバが動作している管理サーバの負荷が高くなり、処理時間がかかることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Tiered Storage Manager に対して、一斉に複数の操作をしました。 • Tiered Storage Manager の負荷が高くなるストレージドメインのリフレッシュ中に、ほかの操作をしました。 • Tiered Storage Manager サーバが動作している管理サーバの、マシン環境の性能が低くなっています。 • ほかのアプリケーションの影響で、Tiered Storage Manager サーバが動作しているコンピュータの CPU 負荷、I/O 負荷が高くなっています。 • Tiered Storage Manager が保証している値（マイグレーショングループ内のボリューム数など）を超えた環境で動作させています。 • 表示したサーバの Tuning Manager が前提バージョンでない可能性があります。 <p>対処</p> <p>次の対処をしてください。</p> <p>プロパティの指定値を確認してください。</p> <p>表示されたサーバの Tuning Manager および Tuning Service が起動しているかを確認してください。</p> <p>表示されたサーバの Tuning Manager へのアクセス状態を確認してから、再実行してください。</p> <p>Tiered Storage Manager サーバが動作している管理サーバの負荷が高い場合は、以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ストレージドメインが複数あり、CLI ですべてのストレージドメインをリフレッシュしようとした場合、このメッセージが表示されたときは、ストレージドメインを一つずつリフレッシュしてください。 • Tiered Storage Manager が保証している値を超えた環境で運用している場合、値を小さくしてください。Tiered Storage Manager が保証している値については、マニュアル

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Tiered Storage Manager サーバを動作させるために必要な管理サーバのマシン環境については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。 • Tuning Manager のバージョンを確認してください。必要であれば、前提とするバージョンに変更してください。
KATS63030-E	<p>Tuning Manager から情報を取得中に、Tuning Manager でエラーが発生しました。ホスト名:"<ホスト名>", ポート番号:"<ポート番号>", エージェント:"<エージェント>", 処理種別:"<処理種別>"</p>	<p>要因</p> <p>次のどれかの要因が考えられます。</p> <p>Tuning Manager のエージェントが起動していないおそれがあります。</p> <p>表示された Tuning Manager エージェントへのアクセスが集中していたため、処理要求がタイムアウトしたおそれがあります。</p> <p>Tuning Manager のエージェントのバージョンが古いおそれがあります。</p> <p>Tuning Manager から情報を取得するときに、Tuning Manager または Tuning Service でクリティカルなエラーが発生しているおそれがあります。</p> <p>トラフィックが集中して、処理に時間がかかっているおそれがあります。以下のような場合、Tiered Storage Manager サーバが動作している管理サーバの負荷が高くなり、処理時間がかかることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Tiered Storage Manager に対して、一斉に複数の操作をしました。 • Tiered Storage Manager の負荷が高くなるストレージドメインのリフレッシュ中に、ほかの操作をしました。 • Tiered Storage Manager サーバが動作している管理サーバの、マシン環境の性能が低くなっています。 • ほかのアプリケーションの影響で、Tiered Storage Manager サーバが動作しているコンピュータの CPU 負荷、I/O 負荷が高くなっています。 • Tiered Storage Manager が保証している値（マイグレーショングループ内のボリューム数など）を超えた環境で動作させています。 <p>対処</p> <p>次の対処をしてください。</p> <p>Tuning Manager のエージェントが起動しているかを確認してください。</p> <p>表示された Tuning Manager エージェントへのアクセス状態を確認してから、再実行してください。</p> <p>表示された Tuning Manager のエージェントのバージョンを確認してください。</p> <p>Tiered Storage Manager サーバが動作している管理サーバの負荷が高い場合は、以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ストレージドメインが複数あり、CLI ですべてのストレージドメインをリフレッシュし

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>ようとした場合、このメッセージが表示されたときは、ストレージドメインを一つずつリフレッシュしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Tiered Storage Manager が保証している値を超えた環境で運用している場合、値を小さくしてください。Tiered Storage Manager が保証している値については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド」を参照してください。 • Tiered Storage Manager サーバを動作させるために必要な管理サーバのマシン環境については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。 <p>エラーが繰り返し発生する場合には、Tiered Storage Manager、共通コンポーネント、および接続先の Tuning Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS63040-E	Tuning Manager から取得した情報の読み込みに失敗しました。情報:"<情報>"	<p>要因 Tuning Manager から取得した情報の読み込み中に入出力エラーが発生しました。</p> <p>対処 メッセージに表示された情報を参照して対処してください。その後、操作を再実行してください。</p>
KATS63090-E	Tuning Manager が本バージョンの Tiered Storage Manager に対応していないため、接続できません。ホスト名:"<ホスト名>", ポート番号:"<ポート番号>"	<p>要因 表示したサーバの TuningManager は、現在のバージョンの Tiered Storage Manager と接続できないバージョンです。</p> <p>対処 メッセージに表示された、接続先のサーバの Tuning Manager のバージョンを確認してください。必要であれば、Tiered Storage Manager を、接続先のサーバの Tuning Manager と接続できるバージョンに変更してください。なお、Tuning Manager の Linux 版は未サポートのため、接続できません。</p>
KATS63101-E	プロパティファイルがありません。プロパティファイル名:"<プロパティファイル名>"	<p>要因 プロパティファイルがありません。または、プロパティファイルへのアクセス権がありません。</p> <p>対処 Tiered Storage Manager インストールディレクトリ下の conf ディレクトリに、表示されたプロパティファイルがあることを確認してください。または、表示されたプロパティファイルへのアクセス権があることを確認してください。</p>
KATS63102-E	無効なプロパティキーです。プロパティファイルの読み込みを中止します。プロパティファイル名:"<プロパティファイル名>", プロパティキー:"<プロパティキー>"	<p>要因 指定されたプロパティキーは無効です。</p> <p>対処 プロパティキーを正しく指定してください。</p>
KATS63103-E	プロパティの値が不正です。プロパティファイルの読み込みを中止します。プロパティファイル名:"<プロパティ	<p>要因 指定されたプロパティの値が不正です。</p> <p>対処 プロパティキーの値を正しく指定してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ファイル名>",プロパティキー:"<プロパティキー>"	
KATS63104-E	必要なプロパティキーが指定されていません。プロパティファイル名:"<プロパティファイル名>", プロパティキー:"<プロパティキー>"	要因 必要なプロパティキーを指定していません。 対処 メッセージに表示されたプロパティキーを指定してください。または、表示されたプロパティキーに関連するプロパティキーに指定している値を見直してください。
KATS63105-E	Tuning Manager サーバの情報の指定が重複しています。プロパティファイル名:"<プロパティファイル名>"	要因 Tuning Manager サーバの情報（ホスト名またはIPアドレス）の指定が重複しています。 対処 表示されたプロパティファイルの内容を確認して、重複しているホスト名、またはIPアドレスを指定している Tuning Manager サーバの情報を修正してください。
KATS63110-E	ほかのストレージドメインのリフレッシュ処理によって更新中のため、Tiered Storage Manager で管理している、Tuning Manager のエージェントとストレージサブシステムの対応表にアクセスできません。	要因 Tiered Storage Manager のリポジトリで管理している Tuning Manager のエージェントとストレージサブシステムの対応表が、ほかのストレージドメインのリフレッシュ処理によって更新中のため、アクセスできません。 対処 ほかのストレージドメインがリフレッシュ中の場合は、しばらく時間を置いてから再実行してください。ほかのストレージドメインがリフレッシュ中でない場合は、サーバを再起動してから再実行してください。
KATS63201-E	HP-PA CLI を実行できる環境ではありません。HP-PA CLI が正しくインストールされているか、または正しく環境設定されているか確認してください。実行した HP-PA CLI:"<実行した HP-PA CLI >"	要因 HP-PA CLI を実行する環境が整っていないため、HP-PA CLI が実行できません。 対処 HP-PA CLI が正しくインストールされているか、CLI ディレクトリのパスが設定されているか、またはプロパティの値が正しいかなど、正しく環境設定されているか確認してください。
KATS63202-E	HP-PA CLI でエラーが発生しました。以下の HP-PA CLI の示す原因を取り除いてから再度、Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行してください。HP-PA CLI の示す原因:"<HP-PA CLI の示す原因>"	要因 HP-PA CLI でエラーが発生しました。 対処 HP-PA CLI の環境が正しいかを確認し、メッセージに表示している HP-PA CLI の示す原因を取り除いてから再度、Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行してください。
KATS63203-E	HP-PA CLI の応答の最大待ち時間を超えました。HP-PA サーバの状態を確認し、HP-PA サーバの負荷の少ない状態で再度 Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行してください。	要因 HP-PA CLI の応答の最大待ち時間を超えました。 対処 HP-PA サーバの状態を確認し、HP-PA サーバの負荷の少ない状態で再度 Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行してください。
KATS63204-E	HP-PA CLI の結果が不正です。	要因 HP-PA CLI の結果が不正です。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		HP-PA CLI の環境が正しいかを確認し、再度、Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行してください。また同様な結果となる場合は Tiered Storage Manager と共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS63205-E	HP-PA CLI のバージョンが適用バージョンではありません。CLI を適用のバージョンにバージョンアップした後、再度、Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行してください。	要因 HP-PA CLI のバージョンが適用バージョンではありません。 対処 HP-PA CLI を適用バージョンにバージョンアップ後、Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行してください。
KATS63206-W	HP-PA サーバと Tiered Storage Manager サーバの構成情報が一致していません。HP-PA サーバ及び HTSM の構成情報を最新にしてください。Tiered Storage Manager はリフレッシュすることで構成情報が最新となります。不一致項目:"<ストレージサブシステムまたはアレイグループ>", Tiered Storage Manager が情報を取得しようとしたサブシステムの DKC 番号:"<DKC 番号>", アレイグループ番号:"<アレイグループ番号>"	要因 メッセージに表示された Tiered Storage Manager サーバの構成情報であるサブシステムまたはサブシステムのアレイグループが、HP-PA サーバでは認識できません。 対処 HP-PA サーバおよび Tiered Storage Manager の構成情報を最新にしてください。Tiered Storage Manager はリフレッシュすることで構成情報が最新となります。
KATS63207-E	HP-PA CLI のプロセスが他の処理により、キャンセルされました。	要因 ほかの処理により、プロセスがキャンセルされました。 対処 状況を確認後、再度 Tiered Storage Manager のリフレッシュを実行してください。
KATS63910-E	Tuning Manager へのリクエストメッセージの作成で予期しないエラーが発生しました。	要因 Tiered Storage Manager で内部エラーが発生しているおそれがあります。 対処 Tiered Storage Manager および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS63920-E	Tuning Manager への接続で予期しないエラーが発生しました。	要因 Tiered Storage Manager で内部エラーが発生しているおそれがあります。 対処 Tiered Storage Manager および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS63930-E	Tuning Manager から取得した情報の読み込みで予期しないエラーが発生しました。ホスト名:"<ホスト名>", ポート番号:"<ポート番号>"	要因 Tuning Manager から取得した情報に不正な情報が含まれているおそれがあります。 対処 Tiered Storage Manager, 共通コンポーネント, および接続先の Tuning Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS63931-E	Tuning Manager からの情報の取得中に予期しないエラーが発生しました。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ホスト名:"<接続したサーバのホスト名>", ポート番号:"<接続したサーバのポート番号>"	<p>Tuning Manager から不正情報が返却された可能性があります。</p> <p>対処</p> <p>Tiered Storage Manager と共通コンポーネントの保守情報, および, 接続先の Tuning Manager の保守情報を取得して, 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS63940-E	HP-PA CLI の発行処理で予期しないエラーが発生しました。 (information:"<information >")	<p>要因</p> <p>Tiered Storage Manager で内部エラーが発生しているおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>Tiered Storage Manager と共通コンポーネントの保守情報を取得して, 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS68001-E	ログ出力時に種別 "<エラー種別コード>" のエラーが発生しました。 ログ種別:"<ログ種別>"	<p>要因</p> <p>ログファイルへの書き込みが失敗しました。種別"<エラー種別コード>"に入る内容とその意味は, 次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • I/O : ログファイルへの入出力処理に失敗しました。 • 1 : イベントログの出力に失敗しました。 • 2 : PP 固有トレースログの出力に失敗しました。 • 3 : 統合トレースログの出力に失敗しました。 • 4 : 内部パラメーターが null です。 • 5 : 内部パラメーターが不正です。 • 6 : 複数のログの出力に失敗しました。 <p>ログ種別"<ログ種別>"に入る文字とその意味は, 次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Server Message Log : Tiered Storage Manager サーバメッセージログ • Server Trace Log : Tiered Storage Manager サーバトレースログ • GUI Message Log : Tiered Storage Manager GUI メッセージログ • GUI Trace Log : Tiered Storage Manager GUI トレースログ <p>対処</p> <p>Tiered Storage Manager の保守情報を取得して, 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS68002-E	ログの初期化時に種別 "<エラー種別コード>" のエラーが発生しました。 ログ種別:"<ログ種別>"	<p>要因</p> <p>ログの初期化処理時に, ログファイルの生成またはログファイルへの書き込みが失敗しました。種別"エラー種別コード"に入る内容とその意味は, 次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • I/O : ファイルへの入出力処理に失敗しました。 • 1 : 内部パラメーターが null です。 • 2 : 内部パラメーターが不正です。 • 3 : バージョンファイルへのアクセスに失敗しました。 • 4 : そのほかの理由で初期設定が中断されました。 <p>ログ種別"<ログ種別>"に入る文字とその意味は, 次のとおりです。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> Server Message Log : Tiered Storage Manager サーバメッセージログ Server Trace Log : Tiered Storage Manager サーバトレースログ GUI Message Log : Tiered Storage Manager GUI メッセージログ GUI Trace Log : Tiered Storage Manager GUI トレースログ 対処 Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS68003-E	ログ出力先ディレクトリ"<ログ出力先ディレクトリ名>"の生成が許可されませんでした。	要因 ディレクトリを生成する権限がありません。または、ログ出力先ディスクに十分な空き領域がありません。 対処 ディレクトリ生成の権限があるユーザーで実行してください。または、現在のユーザーにディレクトリ生成の権限を与えてから起動してください。 ログ出力先ディスクに十分な空き領域がない場合は、空き領域を確保するか、ログ出力先の設定を十分な空き領域のあるディスクへ変更してから再度実行してください。
KATS68004-E	"<ログ種別>"のログ出力閾値変更時に、内部エラーが発生しました。内部エラーコード:"<内部エラーコード>"	要因 ログ出力閾値変更処理時に内部エラーが発生しました。 "<ログ種別>"に入る文字とその意味は、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> Server Message Log : Tiered Storage Manager サーバメッセージログ Server Trace Log : Tiered Storage Manager サーバトレースログ GUI Message Log : Tiered Storage Manager GUI メッセージログ GUI Trace Log : Tiered Storage Manager GUI トレースログ 対処 Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS68005-E	ログ出力閾値を変更する権限がありません。"Admin"権限が必要です。	要因 現在ログインしているユーザーは Tiered Storage Manager の Admin 権限がありません。 対処 Tiered Storage Manager の Admin 権限のあるユーザーで実行してください。
KATS68006-E	Event/syslog への出力時にエラーが発生しました。	要因 Event/syslog への書き込みに失敗しました。 対処 Event ログのアプリケーションログが満杯の場合は、アプリケーションログを拡張するか上書きができる状態にしてください。アプリケーションログが書き込める状態の場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS68007-E	ログ出力時にエラーが発生しました。 ログ種別:"<ログ種別>", メッセージID:"<出力に失敗したメッセージID>"	<p>要因 ログファイルへの書き込みに失敗しました。ログ種別"<ログ種別>"に入る文字とその意味は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> Server Message Log : Tiered Storage Manager サーバメッセージログ Server Trace Log : Tiered Storage Manager サーバトレースログ GUI Message Log : Tiered Storage Manager GUI メッセージログ GUI Trace Log : Tiered Storage Manager GUI トレースログ <p>対処 Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS68008-E	ログ出力閾値変更に失敗しました。	<p>要因 ログ出力閾値の変更時にエラーが発生しました。</p> <p>対処 このメッセージの直前に出力されている、同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前に同一のスレッドIDのメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS68009-E	ログ出力閾値取得に失敗しました。	<p>要因 ログ出力閾値の取得時にエラーが発生しました。</p> <p>対処 このメッセージの直前に出力されている、同一のスレッドIDのメッセージに従って対処してください。直前に同一のスレッドIDのメッセージが出力されていない場合は、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS68010-I	ログ出力閾値が変更されました。メッセージログ出力閾値:"<メッセージログ出力閾値>", トレースログ出力閾値:"<トレースログ出力閾値>"	<p>要因 -</p> <p>対処 -</p>
KATS68020-E	認証に失敗したか、または権限がないためログインできません。	<p>要因 次のどちらかの要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザーID またはパスワードに誤りがあります。 Tiered Storage Manager に対するログイン権限がありません。 <p>このエラーの直後に KATS68045-E が出力されている場合は、Device Manager サーバとの接続用に設定されているユーザーID に問題があります。KATS68045-E の要因・対処欄を参照してください。</p> <p>対処 Tiered Storage Manager へのログイン権限のある、正しいユーザーID とパスワードを入力してください。このエラーの直後に KATS68045-E</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		が出力されている場合は、KATS68045-E の要因・対処欄を参照してください。
KATS68021-E	ログインに失敗しました。再ログインしてください。	<p>要因 認証情報が有効ではありません。</p> <p>対処 再ログインしてください。</p>
KATS68022-E	認証処理中に内部エラーが発生しました。	<p>要因 Tiered Storage Manager または共通コンポーネント内で障害が発生しているおそれがあります。次のどれかの要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 共通コンポーネントに Tiered Storage Manager または Device Manager が登録されていません。 共通コンポーネントで障害が発生しています。 共通コンポーネントのリポジトリが停止しています。 <p>対処 Tiered Storage Manager および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS68023-E	Tiered Storage Manager にログインする権限がありません。	<p>要因 Tiered Storage Manager にログインする権限がありません。</p> <p>対処 次のどちらかの対策をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> Tiered Storage Manager に対するアクセス権限のあるユーザー ID でログインしてください。 共通ユーザー管理を使って、ログインするユーザー ID に Tiered Storage Manager の権限を与えてください。
KATS68024-E	認証処理中にエラーが発生しました。	<p>要因 共通コンポーネントへのログイン中にエラーが発生しました。共通コンポーネントが起動していないか、または通信経路に異常が発生しているおそれがあります。 外部認証サーバ連携機能を使用している場合は、外部認証サーバとの通信に失敗しているおそれがあります。</p> <p>対処 外部認証サーバ連携機能を使用している場合は、次の手順で対処してください。 外部認証サーバが LDAP の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> exauth.properties に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 hcmdsldapuser コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 StartTLS で通信するときは、SSL の設定を確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>4. 問題が解決しないときは、Tiered Storage Manager および共通コンポーネントの保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>外部認証サーバが RADIUS の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. exauth.properties に設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmsradiussecret コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. 問題が解決しないときは、Tiered Storage Manager および共通コンポーネントの保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。 <p>外部認証サーバ連携機能を使用していない場合は、共通コンポーネントの起動を確認してから、再度実行してください。再度実行してもエラーが発生する場合は、Tiered Storage Manager および共通コンポーネントの保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS68025-E	Device Manager サーバとの接続用に設定されているユーザー ID に、Device Manager に対する"Modify"権限が与えられていません。	<p>要因</p> <p>次のどれかの要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • インストール時またはユーザー情報変更コマンド (htsmmodhdvmuser) で設定した Device Manager サーバ接続用のユーザー ID に対して、Device Manager の Modify 権限が与えられていません。 • インストール時またはユーザー情報変更コマンド (htsmmodhdvmuser) で設定したユーザー ID に誤りがありました。 • インストール時またはユーザー情報変更コマンド (htsmmodhdvmuser) で設定したユーザー ID に、共通ユーザー管理でパーミッションを設定していないか、またはユーザー ID が変更されたおそれがあります。 <p>対処</p> <p>インストール時またはユーザー情報変更コマンド (htsmmodhdvmuser) で設定したユーザー ID が正しいかどうか見直してください。</p> <p>その後、ユーザー情報変更コマンドを使って、Device Manager の Modify 権限を持つ正しいユーザー ID とパスワードを設定し直すか、または共通ユーザー管理機能を使って、該当するユーザーに Device Manager の Modify 権限を与えてください。</p>
KATS68026-E	Device Manager サーバとの接続用に設定されているユーザー ID に、Device Manager の"All Resources"リソースグループが割り当てられていません。	<p>要因</p> <p>インストール時またはユーザー情報変更コマンド (htsmmodhdvmuser) で設定した"Device Manager サーバ接続用のユーザー ID"に対して、Device Manager の"All Resources"リソースグループが割り当てられていません。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>次のどちらかの要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> インストール時またはユーザー情報変更コマンド (htsmmodhdvuser) で設定したユーザー ID に誤りがあります。 該当するユーザーに対して、Device Manager の "All Resources" リソースグループが割り当てられていないか、またはリソースグループが変更されました。 <p>対処</p> <p>次の対処をしたあと、Tiered Storage Manager サーバを再起動してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> インストール時またはユーザー情報変更コマンド (htsmmodhdvuser) で設定したユーザー ID が正しいかどうか見直してください。ユーザー ID が正しくない場合は、ユーザー情報変更コマンドを使って、Device Manager の Modify 権限を持ち、かつ "All Resources" リソースグループに割り当てられている正しいユーザー ID とパスワードを設定してください。 該当するユーザーに対して Device Manager の Modify 権限が与えられていない場合は、共通ユーザー管理機能を使って、Device Manager の Modify 権限を与えてください。 該当するユーザーに対して Device Manager の "All Resources" リソースグループが割り当てられていない場合は、Device Manager のリソースグループ割り当て機能を使って、"All Resources" リソースグループを割り当ててください。
KATS68040-E	Device Manager のユーザー情報を取得できません。	<p>要因</p> <p>Device Manager が 5.9 以降の場合 Device Manager との接続に失敗しました。 Device Manager が 5.9 未満の場合 Tiered Storage Manager に Device Manager のユーザーが登録されていないおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS68042-E	共通コンポーネントの接続先の設定に失敗しました。	<p>要因</p> <p>server.base.ipaddress ファイルおよび server.base.port ファイルの設定値に誤りがあるおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>server.base.ipaddress ファイルおよび server.base.port ファイルの指定値を見直してください。指定値に問題がない場合は、Tiered Storage Manager および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KATS68043-E	共通コンポーネントのインストール先設定に失敗しました。	<p>要因</p> <p>Tiered Storage Manager の起動時に、内部エラーが発生しました。</p> <p>対処</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		Tiered Storage Manager および共通コンポーネントの保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KATS68044-E	プロパティ"<プロパティ名>"に設定されている値が不正です。	要因 プロパティの設定値に誤りがあります。 対処 プロパティに正しい値を指定してください。
KATS68045-E	Device Manager サーバとの接続用に設定されているユーザー ID またはパスワードが正しくありません。	要因 Device Manager が 5.9 以降の場合 Device Manager との接続に失敗しました。 Device Manager が 5.9 未満の場合 次のどれかの要因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> 共通ユーザー管理に登録されていないユーザー ID です。 共通ユーザー管理に登録されているパスワードと異なります。 ユーザー ID のアカウントがロック状態です。 Device Manager のログイン権限がないユーザー ID です。 インストール時またはユーザー情報変更コマンドで設定した値が誤っていたか、または共通ユーザー管理で該当するユーザーが削除されたか、もしくはパスワードや権限が変更されたおそれがあります。 対処 Device Manager が 5.9 以降の場合 Tiered Storage Manager の保守情報を取得して、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 Device Manager が 5.9 未満の場合 インストール時またはユーザー情報変更コマンド (htsmmodhdmuser) で設定したユーザー ID およびパスワードが、要因のどれかに当てはまらないか見直してください。見直し後、ユーザー情報変更コマンドを使って、正しいユーザー ID とパスワードを設定し直してください。または共通ユーザー管理を使って、ユーザーの設定を変更してください。
KATS68046-E	URL の先頭または末尾に空白文字が指定されました。不正な URL:"<不正な URL >"	要因 URL の先頭および末尾に空白文字は指定できません。 対処 先頭および末尾に空白文字を含まない URL を入力してください。
KATS68047-E	入力された URL のアドレスの文字の長さが不正です。不正な URL:"<不正な URL >", 入力された文字の長さ (UTF8-換算でのバイト数):"<入力された文字の長さ>", 指定可能な文字の長さ (UTF-8 換算でのバイト数):1 から"<指定可能な文字の長さ>"	要因 入力した URL のアドレス部分の文字数が制限文字数を超過しているか、または入力されていません。 対処 1 文字以上制限文字数以下でアドレスを入力してください。 なお、ASCII 文字 1 文字は UTF-8 換算で 1 バイトとなり、そのほかの文字の 1 文字は UTF-8 換算で 1~3 バイトとなります (例: 漢字, 半角カタカナは 3 バイト)。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS68048-E	URL に使用禁止文字("<使用禁止文字>")が含まれています。	要因 URL に使用禁止文字が含まれています。 対処 URL を正しく入力してください。
KATS68049-E	URL のプロトコルが不正です。	要因 URL のプロトコル部分の指定に誤りがあります。 対処 "mailto:"など、プロトコルを正しく指定してください。
KATS68050-W	メール送信機能で使用するプロパティが設定されていないか、または不正です。プロパティキー:"<プロパティキー>"	要因 イベント通知機能で使用するプロパティを設定していないか、またはプロパティに誤りがあります。 対処 イベント通知機能を使用する場合は、プロパティ:"<プロパティ>"に正しい値を設定して、Tiered Storage Manager サーバを再起動してください。
KATS68051-W	SMTP サーバに接続するための認証情報が設定されていません。	要因 SMTP サーバに接続するための認証情報を設定していません。 対処 イベント通知機能を使用する場合は、SMTP 認証ユーザー情報変更コマンド (htsmmodmailuser) を使用して、次の手順で SMTP 認証ユーザー情報 (ユーザー ID およびパスワード) を設定してください。 1. Tiered Storage Manager サーバを停止する。 2. SMTP 認証ユーザー情報変更コマンドを使用して、SMTP 認証ユーザー情報を設定する。 3. Tiered Storage Manager サーバを再起動する。
KATS68052-E	SMTP サーバ情報が設定されていないか、または不正なため、メールを送信できません。	要因 SMTP サーバ情報を設定していないか、または不正です。Tiered Storage Manager サーバ起動時に、KATS68050-W または KATS68051-W のエラーメッセージが出力されています。 対処 KATS68050-W または KATS68051-W の対処欄を参照して、対処してください。
KATS68053-E	メール送信で指定されたアドレスの形式が不正です。種別:"<種別>", アドレス:"<通知先メールアドレス>"	要因 メール送信用に指定した次のアドレスの形式が不正です。 • 送信先アドレス • server.mail.from プロパティに設定されているアドレス • server.mail.errorsTo プロパティに設定されているアドレス 対処 アドレスの形式を正しく指定してください。プロパティを変更した場合は、Tiered Storage Manager サーバを再起動してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KATS68054-E	認証に失敗したため、SMTP サーバに接続できませんでした。	要因 SMTP サーバの認証に失敗しました。 対処 次の対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> SMTP 認証情報設定コマンド (htsmmodmailuser) を使用して、次の手順で SMTP 認証できるユーザー ID およびパスワードを再設定してください。 <ol style="list-style-type: none"> Tiered Storage Manager サーバを停止する。 SMTP 認証情報設定コマンドを使用して、SMTP 認証できるユーザー ID およびパスワードを再設定する。 Tiered Storage Manager サーバを再起動する。 <ul style="list-style-type: none"> SMTP サーバ側の設定で、該当するユーザーを認証できるようにしてください。
KATS68055-E	宛先不正のため、メール送信に失敗しました。宛先:"<宛先>"	要因 メール送信先アドレスに誤りがあります。 対処 メールの送信先アドレスを正しく指定してください。
KATS68056-E	メール送信処理でエラーが発生しました。メール送信に関する設定を見直してください。	要因 メール送信時にエラーが発生しました。メール送信に関する設定に誤りがあります。 対処 メール送信に関する設定を正しく設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> メール送信用のプロパティの設定値 (SMTP サーバのホスト名、IP アドレスおよびポート番号) が正しいか。 指定した SMTP サーバが起動しているか。 SMTP サーバの環境設定が正しいか。 回線が正しく接続されているか。 SMTP サーバのディスク容量に空きがあるか。 メール送信用のプロパティを変更した場合は、Tiered Storage Manager を再起動してください。

9.7 KATS90000～KATS99999

Tiered Storage Manager サーバに関するメッセージ (KATS90000～KATS99999) を次の表に示します。

表 9-7 KATS90000～KATS99999 : Tiered Storage Manager サーバのメッセージ

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KATS90000-I	The operation requested by the client has completed.	監査ログが複数行にわたる場合、ログの先頭行であることを示します。 Tiered Storage Manager が管理する資源へのアクセスに成功し、Configuration Access 種別の監査事象が発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KATS90001-W	The operation requested by the client has failed.	監査ログが複数行にわたる場合、ログの先頭行であることを示します。 Tiered Storage Manager が管理する資源へのアクセスに失敗し、Configuration Access 種別の監査事象が発生しました。
KATS90010-W	The user does not have permission for the operation.	Tiered Storage Manager が管理する資源へのアクセスに失敗し、Access Control 種別の監査事象が発生しました。
KATS90020-I	(KATS90000-I メッセージの継続行が出力されます。)	監査ログが複数行にわたる場合、ログの継続行であることを示します。 Tiered Storage Manager が管理する資源へのアクセスに成功し、Configuration Access 種別の監査事象が発生しました。
KATS90021-W	(KATS90001-W メッセージの継続行が出力されます。)	監査ログが複数行にわたる場合、ログの継続行であることを示します。 Tiered Storage Manager が管理する資源へのアクセスに失敗し、Configuration Access 種別の監査事象が発生しました。
KATS90030-I	(KATS90000-I メッセージの最終行が出力されます。)	監査ログが複数行にわたる場合、ログの最終行であることを示します。 Tiered Storage Manager が管理する資源へのアクセスに成功し、Configuration Access 種別の監査事象が発生しました。
KATS90031-W	(KATS90001-W メッセージの最終行が出力されます。)	監査ログが複数行にわたる場合、ログの最終行であることを示します。 Tiered Storage Manager が管理する資源へのアクセスに失敗し、Configuration Access 種別の監査事象が発生しました。

KAVN で始まるメッセージ

この章では、Replication Manager に関するメッセージについて説明します。

- [10.1 KAVN00000~KAVN09999](#)
- [10.2 KAVN10000~KAVN19999](#)

10.1 KAVN00000～KAVN09999

Replication Manager に関するメッセージ（KAVN00000～KAVN09999）を次の表に示します。

表 10-1 KAVN00000～KAVN09999 : Replication Manager のメッセージ

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAVN00001-I	Replication Manager サーバを起動しました。	要因 Replication Manager サーバの起動に成功しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00002-I	Replication Manager サーバを停止しました。	要因 Replication Manager サーバの停止に成功しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00003-E	Replication Manager サーバ起動中にエラーが発生しました。Replication Manager サーバを起動できません。	要因 Replication Manager サーバの起動中にエラーが発生しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。その後、Replication Manager サーバを再起動してください。 それでも発生する場合、または詳細メッセージが出力されていない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN00004-E	Replication Manager サーバ停止中にエラーが発生しました。	要因 Replication Manager サーバの停止中にエラーが発生しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処して、エラーの要因を取り除いてください。 それでも発生する場合、または詳細メッセージが出力されていない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN00005-W	Replication Manager サーバ起動中にエラーが発生しました。 Replication Manager サーバの起動中にエラーが発生したため、一部機能の制限付きで Replication Manager を起動しました。	要因 Replication Manager サーバの起動中に一部の情報取得元で構成情報の定期更新、コピーペアの監視を開始できませんでした。Replication Manager サーバは起動しましたが、一部の機能に制限があります。 対処 Replication Manager のイベントログに出力されたエラーメッセージに従って対処して、エラーの要因を取り除いてください。 それでも発生する場合、またはエラーメッセージが Replication Manager のイベントログに出力されていない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN00006-I	メンテナンスモードへ移行しました。	要因 メンテナンスモードへ移行しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00007-I	メンテナンスモードを解除しました。	要因 メンテナンスモードを解除しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処の必要はありません。
KAVN00008-W	メンテナンスモードを解除中にエラーが発生しました。 メンテナンスモード解除中にエラーが発生したため、一部機能の制限付きでメンテナンスモードを解除しました。	要因 メンテナンスモード解除中に一部の情報取得元で構成情報の定期更新、コピーペアの監視を開始できませんでした。メンテナンスモードは解除しましたが、一部の機能に制限があります。 対処 Replication Manager のイベントログに出力されたエラーメッセージに従って対処して、エラーの要因を取り除いてください。 それでも発生する場合、またはエラーメッセージが Replication Manager のイベントログに出力されていない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN00009-E	情報取得元の定期更新の設定に失敗しました。(情報取得元: <情報取得元名>) エラーメッセージ中に表示された情報取得元に対して、定期更新機能を利用できません。	要因 情報取得元の定期更新を Replication Manager に設定する際にエラーが発生しました。 Replication Manager サーバは、一部の機能が制限された状態となっています。 対処 Replication Manager のイベントログに出力されたエラーメッセージに従って対処して、エラーの要因を取り除いてください。その後、Replication Manager を再起動してください。 それでも問題が解決されない場合は、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN00010-W	情報取得元の SNMP トラップ受信の設定に失敗しました。(情報取得元: <情報取得元名>) エラーメッセージ中に表示された情報取得元に対して、SNMP トラップ受信機能を利用できません。	要因 情報取得元の SNMP トラップ受信を Replication Manager に設定する際にエラーが発生しました。Replication Manager サーバは、一部の機能が制限された状態となっています。 対処 Replication Manager のイベントログに出力されたエラーメッセージに従って対処して、エラーの要因を取り除いてください。その後、Replication Manager を再起動してください。 それでも問題が解決されない場合は、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN00020-I	データベースを更新しました。	要因 データベースを更新しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00030-I	サイドファイル使用率(Open)履歴を削除しました。	要因 サイドファイル使用率(Open)履歴を削除しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00031-I	サイドファイル使用率(Mainframe)履歴を削除しました。	要因 サイドファイル使用率(Mainframe)履歴を削除しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00032-I	ジャーナル使用率(Open)履歴を削除しました。	要因 ジャーナル使用率(Open)履歴を削除しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処の必要はありません。
KAVN00033-I	ジャーナル使用率(Mainframe)履歴を削除しました。	要因 ジャーナル使用率(Mainframe)履歴を削除しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00034-W	サイドファイル使用率(Open)履歴の削除に失敗しました。	要因 サイドファイル使用率(Open)履歴の削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00035-W	サイドファイル使用率(Mainframe)履歴の削除に失敗しました。	要因 サイドファイル使用率(Mainframe)履歴の削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00036-W	ジャーナル使用率(Open)履歴の削除に失敗しました。	要因 ジャーナル使用率(Open)履歴の削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00037-W	ジャーナル使用率(Mainframe)履歴の削除に失敗しました。	要因 ジャーナル使用率(Mainframe)履歴の削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00050-I	ワークフローを削除しました。(ワークフロー名: <ワークフロー名>)	要因 ワークフローを削除しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00051-W	ワークフローの削除に失敗しました。(ワークフロー名: <ワークフロー名>)	要因 ワークフローの削除に失敗しました。 対処 Replication Manager のイベントログに出力されたエラーメッセージに従って対処して、エラーの要因を取り除いてください。その後、手動でワークフローを削除してください。
KAVN00052-I	タスク(ペア作成)を開始しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 ペア作成を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00053-I	タスク(ペア作成)が完了しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 ペア作成が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00054-W	タスク(ペア作成)がタイムアウトしました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 コマンドの実行は成功しましたが、完了確認処理でタイムアウトが発生しました。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		ペア作成が完了しているかどうかは Replication Manager が表示する構成情報を参照して確認してください。
KAVN00055-W	構成定義ファイルの変更に失敗しました。(ペア管理サーバ名: <ペア管理サーバ名>, インスタンス番号: <インスタンス番号>)	要因 構成定義ファイルの変更に失敗しました。 対処 Replication Manager のイベントログに出力されたエラーメッセージに従って対処して、エラーの要因を取り除いてください。その後、手動で構成定義ファイルを変更してください。
KAVN00056-W	構成定義ファイルの削除に失敗しました。(ペア管理サーバ名: <ペア管理サーバ名>, インスタンス番号: <インスタンス番号>)	要因 構成定義ファイルの削除に失敗しました。 対処 Replication Manager のイベントログに出力されたエラーメッセージに従って対処して、エラーの要因を取り除いてください。その後、手動で構成定義ファイルを削除してください。
KAVN00057-I	タスク(ペア操作)を開始しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 ペア操作を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00058-I	タスク(ペア操作)が完了しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 ペア操作が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00059-W	タスク(ペア操作)がタイムアウトしました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 コマンドの実行は成功しましたが、完了確認処理でタイムアウトが発生しました。 対処 対象のペア操作が完了しているかどうかは Replication Manager が表示する構成情報を参照して確認してください。
KAVN00060-E	タスクの実行に失敗しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 タスクの実行に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。 詳細メッセージが出力されていない場合は、タスク一覧でメッセージに表示されているタスク ID のタスクを選択して、出力されるメッセージに従って対処してください。
KAVN00061-I	タスク(ペア削除)を開始しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 ペア削除を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00062-I	タスク(ペア削除)が完了しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 ペア削除が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00063-I	ジャーナルごとのジャーナル使用率(Open)履歴を削除しました。	要因 ジャーナルごとのジャーナル使用率履歴を削除しました。 対処 対処の必要はありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN00064-I	プールごとのプール使用率(Open)履歴を削除しました。	要因 プールごとのプール使用率履歴を削除しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00065-W	ジャーナルごとのジャーナル使用率(Open)履歴の削除に失敗しました。	要因 ジャーナルごとのジャーナル使用率履歴の削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00066-W	プールごとのプール使用率(Open)履歴の削除に失敗しました。	要因 プールごとのプール使用率履歴の削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00067-I	タスク履歴を削除しました。	要因 タスク履歴を削除しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00068-W	タスク履歴の削除に失敗しました。	要因 タスク履歴の削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00069-I	プールごとのプール使用率の更新を開始しました。(ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 プールごとのプール使用率の更新を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00070-I	プールごとのプール使用率の更新が完了しました。(ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 プールごとのプール使用率の更新が終了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00071-E	プールごとのプール使用率の更新に失敗しました。(ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 プールごとのプール使用率の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00072-I	ジャーナルごとのジャーナル使用率の更新を開始しました。(ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 ジャーナルごとのジャーナル使用率の更新を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00073-I	ジャーナルごとのジャーナル使用率の更新が完了しました。(ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 ジャーナルごとのジャーナル使用率の更新が終了しました。 対処 対処の必要はありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN00074-E	ジャーナルごとのジャーナル使用率の更新に失敗しました。(ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 ジャーナルごとのジャーナル使用率の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00075-I	プール情報の更新を開始しました。(ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 プール情報の更新を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00076-I	プール情報の更新を完了しました。(ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 プール情報の更新を完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00077-E	プール情報の更新に失敗しました。(ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 プール情報の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00078-I	ジャーナルグループ情報の更新を開始しました。(ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 ジャーナルグループ情報の更新を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00079-I	ジャーナルグループ情報の更新を完了しました。(ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 ジャーナルグループ情報の更新を完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00080-E	ジャーナルグループ情報の更新に失敗しました。(ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 ジャーナルグループ情報の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00081-I	ライセンス情報の更新を開始しました。(ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 ライセンス情報の更新を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00082-I	ライセンス情報の更新を完了しました。(ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 ライセンス情報の更新を完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00083-E	ライセンス情報の更新に失敗しました。(ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 ライセンス情報の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00084-I	プール情報の更新を開始しました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 プール情報の更新を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00085-I	プール情報の更新を完了しました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 プール情報の更新を完了しました。 対処 対処の必要はありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN00086-E	プール情報の更新に失敗しました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 プール情報の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00087-I	ジャーナルグループ情報の更新を開始しました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 ジャーナルグループ情報の更新を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00088-I	ジャーナルグループ情報の更新を完了しました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 ジャーナルグループ情報の更新を完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00089-E	ジャーナルグループ情報の更新に失敗しました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 ジャーナルグループ情報の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00090-I	ライセンス情報の更新を開始しました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 ライセンス情報の更新を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00091-I	ライセンス情報の更新を完了しました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 ライセンス情報の更新を完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00092-E	ライセンス情報の更新に失敗しました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 ライセンス情報の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00093-I	リモートパス情報の更新を開始しました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 リモートパス情報の更新を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00094-I	リモートパス情報の更新を完了しました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 リモートパス情報の更新を完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00095-I	Device Manager のバージョンが未サポートのためリモートパス情報の更新をスキップしました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 Device Manager のバージョンが未サポートのためリモートパス情報の更新をスキップしました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00096-E	リモートパス情報の更新に失敗しました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 リモートパス情報の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00097-W	タスク(ペア削除)がタイムアウトしました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 コマンドの実行は成功しましたが、完了確認処理でタイムアウトが発生しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ペア削除が完了しているかどうかは Replication Manager が表示する構成情報を参照して確認してください。
KAVN00100-I	Replication Manager サーバの起動を開始しました。	要因 Replication Manager サーバの起動処理を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00101-I	Replication Manager サーバの停止を開始しました。	要因 Replication Manager サーバの停止処理を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00110-I	構成情報の取得を開始しました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 構成情報の取得を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00111-I	構成情報の取得が完了しました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 構成情報の取得が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00112-E	構成情報の取得に失敗しました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 構成情報の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00113-I	構成情報の更新を開始しました。	要因 構成情報の更新を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00114-I	構成情報の更新が完了しました。	要因 構成情報の更新が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00115-E	構成情報の更新に失敗しました。	要因 構成情報の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00116-E	構成情報の取得に失敗しました。(ペア管理サーバ名: <ペア管理サーバ名>)	要因 構成情報の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00117-E	構成情報の取得に失敗しました。(ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 構成情報の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00120-I	ペア状態の取得を開始しました。(対象: コピーグループの定義が存在しないペア, ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 ペア状態の取得を開始しました。 対処 対処の必要はありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN00121-I	ペア状態の取得が完了しました。(対象: コピーグループの定義が存在しないペア, ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 ペア状態の取得が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00122-E	ペア状態の取得に失敗しました。(対象: コピーグループの定義が存在しないペア, ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 ペア状態の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00123-I	ペア状態の取得を開始しました。(対象: ペア管理サーバ上に定義されたコピーグループ, ペア管理サーバ名: <ペア管理サーバ名>)	要因 ペア状態の取得を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00124-I	ペア状態の取得が完了しました。(対象: ペア管理サーバ上に定義されたコピーグループ, ペア管理サーバ名: <ペア管理サーバ名>)	要因 ペア状態の取得が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00125-E	ペア状態の取得に失敗しました。(対象: ペア管理サーバ上に定義されたコピーグループ, ペア管理サーバ名: <ペア管理サーバ名>)	要因 ペア状態の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00126-I	ペア状態の取得を開始しました。 (Business Continuity Manager: <Business Continuity Manager >)	要因 ペア状態の取得を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00127-I	ペア状態の取得が完了しました。 (Business Continuity Manager: <Business Continuity Manager >)	要因 ペア状態の取得が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00128-E	ペア状態の取得に失敗しました。 (Business Continuity Manager: <Business Continuity Manager >)	要因 ペア状態の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00129-E	ペア状態の取得に失敗しました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 ペア状態の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処して、エラーの要因を取り除いてください。その後、Replication Manager サーバを再起動してください。詳細メッセージが出力されていない場合は、Replication Manager サーバを再起動してください。 それでも発生する場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN00130-W	アラートアクションを実行できませんでした。(アラート名: <アラート名>, リソース: <リソース>)	要因 アラートアクションの実行に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN00131-W	E メールによるアラートの通知に失敗しました。(アラート名: <アラート名>, リソース名: <リソース>)	要因 Eメールの送信に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00132-W	SNMPトラップによるアラートの通知に失敗しました。(アラート名: <アラート名>, リソース名: <リソース>)	要因 SNMPトラップの送信に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00133-I	SNMPトラップを受信しました。 (Device Manager: <Device Manager>, 内容: <内容>)	要因 Device ManagerからSNMPトラップを受信しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00134-I	アラート履歴を削除しました。	要因 アラート履歴を削除しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00135-I	イベントログ履歴を削除しました。	要因 イベントログ履歴を削除しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00136-I	C/Tデルタ(Open)履歴を削除しました。	要因 C/Tデルタ(Open)履歴を削除しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00137-I	C/Tデルタ(Mainframe)履歴を削除しました。	要因 C/Tデルタ(Mainframe)履歴を削除しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00138-W	アラート履歴の削除に失敗しました。	要因 アラート履歴の削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00139-W	イベントログ履歴の削除に失敗しました。	要因 イベントログ履歴の削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00140-W	C/Tデルタ(Open)履歴の削除に失敗しました。	要因 C/Tデルタ(Open)履歴の削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00141-W	C/Tデルタ(Mainframe)履歴の削除に失敗しました。	要因 C/Tデルタ(Mainframe)履歴の削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN00142-I	ペア状態の変更操作を実行しました。 ({<コピーペア名> <コピーグループ名>}: {split resync restore})	要因 コピーペア状態の変更操作を実行しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00143-I	ペア状態の取得を開始しました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 ペア状態の取得を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00144-I	対象のペアがないため、ペア状態の取得をスキップしました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 対象のペアが存在しないため、ペア状態の取得をスキップしました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00145-I	対象のペアがないため、ペア状態の取得をスキップしました。(対象: ペア管理サーバ上に定義されたコピーグループ、ペア管理サーバ名: <ペア管理サーバ名>)	要因 対象のペアが存在しないため、ペア状態の取得をスキップしました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00146-I	対象のペアがないため、ペア状態の取得をスキップしました。(Business Continuity Manager: <Business Continuity Manager >)	要因 対象のペアが存在しないため、ペア状態の取得をスキップしました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00165-I	Collection of maintenance information from Replication Manager has started.	要因 hcmdsgetlogs コマンドでの保守情報の採取を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00166-I	Collection of maintenance information from Replication Manager has ended.	要因 hcmdsgetlogs コマンドでの保守情報の採取が正常終了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00167-E	An error occurred during collection of maintenance information from Replication Manager.	要因 hcmdsgetlogs コマンドでの保守情報の採取でエラーが発生しました。 対処 このメッセージより前に出力された、Replication Manager のエラーメッセージの対処方法に従ってください。
KAVN00168-I	Processing to back up the conf file from Replication Manager has started.	要因 hcmdsbackups コマンドでのバックアップを開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00169-I	Backup of the conf file from Replication Manager stopped.	要因 hcmdsbackups コマンドでのバックアップが正常終了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00170-E	An error occurred during backup of the conf file from Replication Manager.	要因 hcmdsbackups コマンドでのバックアップでエラーが発生しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		このメッセージより前に出力された、Replication Manager のエラーメッセージの対処方法に従ってください。
KAVN00171-E	The specified parameter value is invalid.	要因 hcmdsgetlogs コマンドまたは hcmdsbackups コマンドの引数の指定が誤っています。 対処 引数の内容を見直してください。
KAVN00172-E	The drive does not exist.	要因 hcmdsgetlogs コマンドまたは hcmdsbackups コマンドの引数に、存在しないドライブ文字が指定されました。 対処 存在するドライブを指定してください。
KAVN00173-E	The copy source directory <ディレクトリ名> does not exist.	要因 hcmdsgetlogs コマンドまたは hcmdsbackups コマンドの実行時に、コピー元のディレクトリが存在しません。 対処 インストール後にディレクトリを移動または削除していないか確認してください。
KAVN00174-E	A subdirectory or file exists in the specified directory.	要因 hcmdsgetlogs コマンドまたは hcmdsbackups コマンドの実行時に、引数に指定したディレクトリ中にサブディレクトリまたはファイルが存在します。 対処 コマンドの引数に指定したディレクトリ中に、サブディレクトリやファイルが存在していないか確認してください。存在する場合は、該当するサブディレクトリやファイルを削除するか、またはサブディレクトリやファイルの存在しない別のディレクトリをコマンドの引数に指定してください。
KAVN00175-I	The information collected into <ディレクトリ名> has finished.	要因 hcmdsgetlogs コマンドで指定したディレクトリへの情報の収集が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00176-E	<ディレクトリ名> cannot be accessed.	要因 hcmdsgetlogs コマンドまたは hcmdsbackups コマンドの実行時に、指定したファイルへのアクセスが失敗しました。 対処 ファイルのアクセス権限を見直してください。
KAVN00177-I	The backup to <ディレクトリ名> has finished.	要因 hcmdsbackups コマンドで指定したディレクトリへの情報のバックアップが完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00178-E	ユーザーグループ権限が管理者権限ではありません。	要因 ユーザーグループの権限が管理者権限ではありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 Administrators 権限を持つユーザーで実行してください。
KAVN00179-E	ユーザー権限が root 権限ではありません。	要因 ユーザー権限が root 権限ではありません。 対処 root でログインしてください。
KAVN00180-E	Specified parameters not appropriate for the command:<指定したパラメーター>	要因 以下の要因の可能性があります。 1. 指定したパラメーターの形式が不正です。 2. パラメーターの指定が不足しています。 対処 指定したパラメーターを見直してください。
KAVN00181-E	Unrecognized option "<指定したオプション名>"	要因 指定したオプションが不正です。 対処 指定したオプションを見直してください。
KAVN00182-E	The specified file "<指定したファイル名>" could not be output.	要因 以下の要因の可能性があります。 1. 指定したファイルのパスがありません。 2. 指定したファイルの書き込み権限がありません。 3. 出力先のパスのディスク容量が足りません。 対処 指定したファイルの状態を確認してください。
KAVN00183-E	Information could not be acquired from the database.	要因 Replication Manager のデータベースへのアクセスに失敗しました。 対処 Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのサービスが起動しているかどうかを確認してください。すでに起動している場合は、hcmdssrv コマンドを使用して Hitachi Command Suite 共通コンポーネントを一度終了させ、その後、同コンポーネントを起動してください。
KAVN00184-E	"<パラメーター 1 >" and "<パラメーター 2 >" cannot be specified together.	要因 同時に指定できないパラメーターを指定しました。 対処 指定したパラメーターを見直してください。
KAVN00185-E	Command has failed:<コマンド名>	要因 内部エラーが発生しました。Replication Manger Command Line Interface 内で使用するライブラリーが正しくないおそれがあります。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KAVN00186-E	An attempt to read the configuration information of Replication Manager failed.	要因 Replication Manager の設定情報の読み込みに失敗しました。 対処 Replication Manager を上書きインストールしてください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAVN00187-E	Multiple instances of the Replication Manager Command Line Interface cannot be executed at the same time.	<p>要因 同時実行出来ないコマンドが同時実行されました。</p> <p>対処 実行中の Replication Manager Command Line Interface が完了したあと再度実行してください。</p>
KAVN00188-E	No argument is specified for the specified option "<指定したオプション名>".	<p>要因 指定したオプションに引数の指定がありません。</p> <p>対処 指定したオプションに引数を指定してください。</p>
KAVN00189-E	The HRPD_CLI_BASE_PATH environment variable is missing, or has been assigned an invalid value.	<p>要因 環境変数 HRPD_CLI_BASE_PATH が正しく設定されていません。</p> <p>対処 環境変数 HRPD_CLI_BASE_PATH が適切に設定されているか確認してください。</p>
KAVN00190-E	The specified task ID does not exist.	<p>要因 taskID パラメーターに指定した ID がありません。</p> <p>対処 GetTasks コマンドを taskID パラメーターなしで実行して一覧を表示させるか、GUI のタスク一覧画面で正しいタスク ID を調べ、コマンドを再実行してください。</p>
KAVN00191-E	The specified task ID is not a CLI task.	<p>要因 taskID パラメーターに指定した ID は、CLI タスクではありません。</p> <p>対処 GetTasks コマンドを taskID パラメーターなしで実行して一覧を表示させるか、GUI のタスク一覧画面で正しいタスク ID を調べ、コマンドを再実行してください。</p>
KAVN00192-E	Communication with Replication Manager was not possible.	<p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> Replication Manager のサービスが停止または停止中である。 Replication Manager のサービス起動時に base.properties ファイルの base.rmi.enabled が false になっていた。 base.properties ファイルの base.rmi.port に指定されたポートがファイアーウォールで通信できないように設定されている。 Replication Manager がメンテナンスモードで動作している。 <p>対処 Replication Manager と通信ができるように設定を見直し、通信ができるようにしてからコマンドを再実行してください。</p>
KAVN00193-E	The environment is not set up to allow execution of the CLI command required to perform the CLI task.	<p>要因 base.properties ファイルの base.rmi.enabled が false になっています。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処</p> <p>base.properties ファイルの base.rmi.enabled を true に変更し、 Replication Manager のサービスを再起動して からコマンドを再実行してください。</p>
KAVN00194-I	The specified task will now start.	<p>要因</p> <p>ExecuteTask コマンドでタスクの実行を開始しました。</p> <p>対処</p> <p>対処の必要はありません。</p>
KAVN00195-E	The parameter specification is invalid.	<p>要因</p> <p>必須パラメーターを指定していません。</p> <p>対処</p> <p>コマンドの使用法を確認の上、正しいパラメーターを指定してからコマンドを再実行してください。</p>
KAVN00196-E	The option specification is invalid.	<p>要因</p> <p>必須オプションを指定していません。</p> <p>対処</p> <p>コマンドの使用法を確認の上、正しいオプションを指定してからコマンドを再実行してください。</p>
KAVN00197-W	No displayable tasks exist.	<p>要因</p> <p>表示可能なタスクが存在しません。</p> <p>対処</p> <p>対処の必要はありません。</p>
KAVN00198-E	An error occurred in the Replication Manager.	<p>要因</p> <p>Replication Manager でエラーが発生しました。</p> <p>対処</p> <p>同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。</p>
KAVN00199-E	The task is not in an executable state.	<p>要因</p> <p>指定したタスクは実行中またはキャンセル状態です。</p> <p>対処</p> <p>指定したタスクが実行中の場合、完了してから再実行してください。</p> <p>キャンセル状態の場合は、Replication Manager GUI のタスク編集画面で [CLI から実行] を選択して登録したあと、再実行してください。</p>
KAVN00209-E	処理続行不能なエラーが発生しました。 要因 = <要因>	<p>要因</p> <p>次に示す場合に、内部的な要因によってエラーが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エクスプローラでのメニュー選択時 ・ インフォメーションエリアでの画面遷移時 ・ 状態変更に伴うダイアログの画面遷移時 <p>対処</p> <p>要因として出力された情報を基に、OS、および Hitachi Command Suite 製品が提供するログファイルを参照し、Replication Manager の実行環境に関するエラーが出力されていないかを確認してください。エラーが出力されている場合、問題を解決して、Replication Manager での操作を再度実行してください。</p> <p>Replication Manager の実行環境に問題がない場合に、このメッセージが出力される場合は、保</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		守情報一括収集コマンドを使用してログ情報を採取し、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN00211-E	予期しないエラーが発生しました。	<p>要因 GUI で予期しないエラーが発生しました。</p> <p>対処 詳細メッセージに出力された要因を基に、OS、および Hitachi Command Suite 製品が提供するログファイルを参照し、Replication Manager の実行環境に関するエラーが出力されていないかを確認してください。エラーが出力されている場合、問題を解決して、Replication Manager で の操作を再度実行してください。 Replication Manager の実行環境に問題がない場合に、このメッセージが出力されるときは、保守情報一括収集コマンドを使用してログ情報を採取し、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAVN00212-E	<ノード名>に対するペア状態の変更は失敗しました。	<p>要因 Replication Manager で、ペア状態の変更に失敗しました。</p> <p>対処 対象となるコピーペアの状態を確認し、指定したペア状態へ変更できるかどうかを確認してください。</p>
KAVN00213-W	推奨されない値がコピーベースに指定されています。値が正しいことを確認してください。	<p>要因 コピーベースに推奨されていない値を設定して、ペア状態を変更しようとした。 推奨されていないコピーベースを指定してペア状態を変更した場合、データ複製によってホストの I/O 性能に影響が出るおそれがあります。</p> <p>対処 コピーベースの値を確認し、問題がないことを確かめてから処理を続行してください。設定した値に問題がある場合は、再度、値を設定してください。 なお、このメッセージが出力された場合は、特別な理由があるときを除いてデフォルト値（推奨値）を設定することをお勧めします。</p>
KAVN00216-E	すでに削除されているアラート設定を削除しようとした。アラート名=<アラート名>	<p>要因 アラート設定の削除時に、すでに削除されているアラート設定を削除しようとした。</p> <p>対処 メッセージ中に表示されているアラート名を確認し、対象がすでに削除されていないかを確認してください。</p>
KAVN00218-E	HBase Storage Mgmt Common Service でエラーが発生しました。	<p>要因 HBase Storage Mgmt Common Service に対する処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処 Replication Manager のユーザー ID、およびパスワードを再入力してください。また、サービスが正常に起動し、正しく動作していることを確認してください。</p>
KAVN00226-E	ユーザー ID またはパスワードが正しくありません。	<p>要因</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		Replication Manager のログインウィンドウで、 [ユーザー ID] または [パスワード] に入力された値が誤っています。 対処 有効な値を入力して、ログインしてください。
KAVN00227-E	操作対象となるコピーペア情報の取得に失敗しました。	要因 操作対象のコピーペア情報の取得に失敗しました。 対処 操作対象のコピーペアの情報に不整合が発生している、またはコピーペアに何らかの問題が発生しているおそれがあります。操作対象となるコピーペアに問題が発生していないことを確認してから、Replication Manager の Web Client を使用して、コピーペア状態を更新してください。
KAVN00230-E	{一時 非常}ライセンスの有効期限切れです。	要因 登録されている一時ライセンス、または非常ライセンスの有効期限が満了しました。 対処 ライセンス登録のためのダイアログを開き、正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを入力してください。
KAVN00231-E	予期しないエラーが発生したため、ライセンス情報の取得に失敗しました。	要因 予期しないエラーによって、Replication Manager がライセンス情報の取得に失敗しました。Replication Manager を実行している OS、またはストレージシステム的环境に異常が発生しているおそれがあります。 対処 OS、および Hitachi Command Suite 製品が提供するログファイルを参照し、Replication Manager の実行環境に関するエラーが出力されていないかを確認してください。エラーが出力されている場合、問題を解決して、Replication Manager での操作を再度実行してください。また、問題が解決しない場合、ライセンス情報取得のために必要なコンポーネントが消失しているおそれがあるので、Replication Manager を一度アンインストールしてから、再度インストールしてください。上記の操作を実行してもこのメッセージが出力される場合は、保守情報一括収集コマンドを使用してログ情報を採取して、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN00232-E	{一時 非常}ライセンスの有効期限切れです。正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを入力してください。	要因 登録されている一時ライセンス、または非常ライセンスの有効期限が満了しました。 対処 ライセンス登録のためのダイアログを開き、正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを入力してください。
KAVN00234-E	予期しないエラーが発生したため、ライセンス情報の登録に失敗しました。	要因 予期しないエラーによって、Replication Manager がライセンス情報の登録に失敗しまし

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>た。Replication Manager を実行している OS、またはストレージシステム管理の環境に異常が発生しているおそれがあります。</p> <p>対処 OS、および Hitachi Command Suite 製品が提供するログファイルを参照し、Replication Manager の実行環境に関するエラーが出力されていないかを確認してください。エラーが出力されている場合、問題を解決して、Replication Manager での操作を再度実行してください。問題が解決しない場合は、ライセンス情報取得のために必要なコンポーネントが消失しているおそれがあるので、Replication Manager を一度アンインストールしてから、再度インストールしてください。</p> <p>上記の操作を実行してもこのメッセージが出力される場合は、保守情報一括収集コマンドを使用してログ情報を採取して、問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
KAVN00235-E	システム環境が不正です。	<p>要因 ライセンスファイルに対する読み込みまたは書き込みに失敗しました。</p> <p>対処 OS、および Hitachi Command Suite 製品が提供するログファイルを参照し、Replication Manager の実行環境に関するエラーが出力されていないかを確認してください。エラーが出力されている場合、問題を解決してから、Replication Manager での操作を再度実行してください。</p> <p>Replication Manager の実行環境に問題がない場合に、このメッセージが出力される場合は、保守情報一括収集コマンドを使用してログ情報を採取して、問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
KAVN00238-E	ライセンスキーファイルが最大容量を超えました。	<p>要因 ライセンス追加で入力されたライセンスキーファイルが最大容量を超えました</p> <p>対処 正しいライセンスキーファイルを指定して、再度実行してください。</p>
KAVN00239-E	ライセンスキーが不正か、すでに登録されているライセンスキーを登録しようとしたおそれがあります。	<p>要因 ライセンスキーが不正か、すでに登録されているライセンスキーを登録しようとしたおそれがあります。</p> <p>対処 正しいライセンスキーを指定して、再度実行してください。</p>
KAVN00240-E	入力されたライセンスキーファイルが不正です。	<p>要因 ライセンス追加で入力されたライセンスキーファイルが不正です。</p> <p>対処 正しいライセンスキーファイルを指定して、再度実行してください。</p>
KAVN00242-E	Replication Manager のバージョン情報の取得に失敗しました。	<p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>Replication Manager のバージョン情報の取得に失敗しました。</p> <p>対処 OS, および Hitachi Command Suite 製品が提供するログファイルを参照し, Replication Manager の実行環境に関するエラーが出力されていないかを確認してください。エラーが出力されている場合, 問題を解決してから, Replication Manager での操作を再度実行してください。</p> <p>Replication Manager の実行環境に問題がない場合で, このメッセージが出力される時は, Replication Manager を一度アンインストールしてから, 再度インストールしてください。</p>
KAVN00243-E	Web Client 用設定ファイルからの情報取得に失敗しました。	<p>要因 Replication Manager が提供する Web Client 用設定ファイル client.properties からの情報取得に失敗しました。</p> <p>対処 client.properties が次の場所に格納されているか, また読み取りできる状態であるかを確認してください。</p> <p>Windows の場合 < Replication Manager のインストールフォルダ > \conf</p> <p>Solaris の場合 < Replication Manager のインストールディレクトリ > /conf</p> <p>問題が解決しない場合, Replication Manager を一度アンインストールしてから, 再度インストールしてください。</p>
KAVN00244-E	入力されたライセンスファイルを見つけられませんでした。	<p>要因 ライセンス登録時に使用する一時ファイルの生成に失敗しました。</p> <p>対処 OS, および Hitachi Command Suite 製品が提供するログファイルを参照し, Replication Manager の実行環境に関するエラーが出力されていないかを確認してください。エラーが出力されている場合, 問題を解決してから, Replication Manager による操作を再度実行してください。</p> <p>Replication Manager の実行環境に問題がない場合に, このメッセージが出力される時は, 保守情報一括収集コマンドを使用してログ情報を採取して, 問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAVN00246-E	{<コピーペア名> <コピーグループ名>}に対する操作を実行できません。操作対象の状態が正常かどうかを確認してください。	<p>要因 選択されたコピーペアまたはコピーグループに対して, 実行できるペア操作がありません。</p> <p>対処 コピーペアまたはコピーグループの状態を確認し, 問題があれば修復して, 操作を再度実行してください。</p>
KAVN00247-E	異なるコピー種別のペアを同時に操作することはできません。操作対象のペアを再度選択して実行してください。	<p>要因 異なるコピー種別のペアが選択されています。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		同じコピー種別のペアを再度選択して、実行してください。
KAVN00248-E	ライセンスキーが不正か、ほかの製品のライセンスキーを登録しようとしたおそれがあります。	要因 ライセンスキーが不正か、ほかの製品のライセンスキーを登録しようとしたおそれがあります。 対処 正しいライセンスキーを指定して、再度実行してください。
KAVN00249-E	ライセンスキーファイルが不正か、すでに登録されているライセンスキーファイルを登録しようとしたおそれがあります。	要因 ライセンスキーファイルが不正か、すでに登録されているライセンスキーファイルを登録しようとしたおそれがあります。 対処 正しいライセンスキーファイルを指定して、再度実行してください。
KAVN00250-E	有効なライセンスキーがライセンスキーファイル内にありません。ほかの製品のライセンスキーファイルを登録しようとしたおそれがあります。	要因 有効なライセンスキーがライセンスキーファイル内にありません。ほかの製品のライセンスキーファイルを登録しようとしたおそれがあります。 対処 正しいライセンスキーファイルを指定して、再度実行してください。
KAVN00261-E	ダウンロードするファイルがありません。	要因 ダウンロード対象となっているファイルが存在していないか、アクセスできない状態になっています。 対処 OS、および Hitachi Command Suite 製品が提供するログファイルを参照し、Replication Manager の実行環境に関するエラーが出力されていないかを確認してください。エラーが出力されている場合、問題を解決してから、Replication Manager での操作を再度実行してください。 Replication Manager の実行環境に問題がない場合に、このメッセージが出力されるときは、保守情報一括収集コマンドを使用してログ情報を採取して、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN00263-E	新しいジャーナルグループを作成するためのジャーナル ID がありません。	要因 新しいジャーナルグループを作成するためのジャーナル ID が存在しない状態になっています。 対処 不要なジャーナルグループを削除してください。
KAVN00270-E	選択されたリソースグループはすでに削除されています。画面を更新してください。	要因 リソースグループがほかのユーザーにより削除されました。 対処 画面を更新してください。
KAVN00271-E	外部認証サーバとの通信に失敗しました。	要因 外部認証サーバでユーザー認証したときに発生した通信エラーです。 対処 外部認証サーバが LDAP の場合：

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> ファイルに設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. <code>hcmsldapuser</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> ファイルの <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. StartTLS で通信するときは、SSL の設定を確認してください。 4. 問題が解決しないときは、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。 外部認証サーバが RADIUS の場合： <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>exauth.properties</code> ファイルに設定されているホスト、ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか、外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. <code>hcmsradiussecret</code> コマンドで <code>exauth.properties</code> ファイルの <code>auth.server.name</code> 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. 問題が解決しないときは、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN00272-E	Replication Manager のサーバが使用する DB が閉塞しました。閉塞した部位は、共通コンポーネントです。サーバ管理者に連絡してください。	要因 Replication Manager のサーバ用の DB が閉塞しました。 対処 保守情報一括収集コマンドを使用してログ情報を採取し、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN00273-E	Replication Manager のサーバが使用する DB が閉塞しました。閉塞した部位は、Replication Manager です。サーバ管理者に連絡してください。	要因 Replication Manager のサーバ用の DB が閉塞しました。 対処 保守情報一括収集コマンドを使用してログ情報を採取し、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN00274-E	Device Manager の追加は完了しましたが、コピーペア構成を取得する処理に失敗しました。	要因 Device Manager の追加は完了しましたが、コピーペア構成を取得する処理に失敗しました。 対処 Replication Manager のイベントログに出力されたエラーメッセージに従って対処して、エラーの要因を取り除いてください。
KAVN00275-E	Business Continuity Manager / Mainframe Agent の追加は完了しましたが、コピーペア構成を取得する処理に失敗しました。	要因 Business Continuity Manager / Mainframe Agent の追加は完了しましたが、コピーペア構成を取得する処理に失敗しました。 対処 Replication Manager のイベントログに出力されたエラーメッセージに従って対処して、エラーの要因を取り除いてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN00276-W	ストレージシステムの構成情報が最新になっていないおそれがあります。ストレージシステムの設定を行う前に「構成の更新」を実行してください。	要因 ストレージシステムの構成情報が最新になっていないおそれがあります。 対処 該当ストレージシステムを管理している Device Manager に対して「構成の更新」を実行してください。
KAVN00277-I	ストレージシステムの設定を行う前に「構成の更新」を実行する必要があります。	要因 該当ストレージシステムを管理する Device Manager のバージョンが 7.1.0 未満のため、構成情報の同期状態を検知できません。 対処 ストレージシステムの設定を行う前に、該当ストレージシステムを管理している Device Manager に対して「構成の更新」を実行してください。
KAVN00278-E	Device Manager サーバへの接続時にエラーが発生しました。	要因 該当ストレージシステムを管理する Device Manager サーバへの接続時にエラーが発生しました。 対処 Device Manager サーバのサービスの状態を確認してください。サービスが停止している場合は、サービスを起動したあとで、再度処理を実行してください。サービスが起動している場合は、ネットワークの状態を確認してください。
KAVN00279-I	構成情報取得時に発生していたエラーはすべて解消されました。	要因 構成情報取得時に発生していたエラーはすべて解消されました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN00280-E	構成情報取得時にエラーが発生しました。	要因 構成情報取得時にエラーが発生しました。 対処 同時に表示されているエラーの対処に従ってください。
KAVN00281-I	構成情報取得中です。最新の構成情報の取得が完了するまで数秒から数分お待ちください。	要因 構成情報取得中です。 対処 最新の構成情報の取得が完了するまで数秒から数分お待ちください。
KAVN00419-E	リソース情報の取得に失敗しました。	要因 リソース情報の取得に失敗しました。 対処 再度実行してください。それでも発生する場合は、同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00420-E	ペア操作情報の取得に失敗しました。	要因 ペア操作情報の取得に失敗しました。 対処 動作モードを確認し、ペア操作を再度実行してください。それでも発生する場合は、同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00425-E	データ保持期限の取得に失敗しました。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00426-E	データ保持期限の更新に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00427-E	サイドファイル使用率の取得に失敗しました。	要因 サイドファイル使用率の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00428-E	ジャーナル使用率の取得に失敗しました。	要因 ジャーナル使用率情報の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00429-E	リフレッシュ情報の取得に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00430-W	指定したペアはリフレッシュできません。ペア状態を取得する設定になっていることを確認してください。	要因 次の要因が考えられます。 1. 更新対象のコピーペアが存在しません。コピーペアが Replication Manager の管理対象になっていないおそれがあります。 Replication Manager の管理対象となっているコピーペアの一覧は、 Web Client のリソースを表示するビュー（ホストビュー、ストレージシステムビュー、またはコピーペア構成定義ビュー）で確認できます。 2. 更新対象のコピーペアの状態を取得できません。ペア状態を取得できないシステム構成となっているか、ペア状態の取得が抑止されています。 3. simplex 状態のコピーペアが選択されています。 simplex 状態のコピーペアはペア状態を更新できません。 対処 1.の場合、コピーペアの構成情報を更新してください。更新の手順については、マニュアル「 <i>Hitachi Replication Manager Software ユーザーズガイド</i> 」を参照してください。なお、すでにほかの管理者がコピーペアの構成情報を更新中の場合、再度更新する必要はありません。また、コピーペアを構成しているボリュームが認識されていないホストでホスト情報更新を実施した場合、本メッセージが出力されます。最新のコピーペア状態に更新するには、コピーペアを構成しているボリュームを認識しているホストでホスト情報更新を実施してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		2.の場合、対象のペア状態を取得できるように、Replication Manager のシステム構成、およびコピーペア構成定義の内容を見直してください。 また、Device Manager サーバのリフレッシュ機能を利用したペア状態の更新を抑止しているときは、設定を見直してください。 3.の場合、simplex 状態のコピーペアをペア状態の更新の対象から除いてください。 1., 2.または 3.の対処が完了したら、ペア状態の更新操作を再度実行してください。
KAVN00431-E	設定できる DMLU の最大数を超過しています。	要因 設定できる DMLU の最大数を超過しています。 対処 不要な DMLU を削除してください。
KAVN00432-E	設定されている DMLU すべてを削除することはできません。	要因 次のどれかの条件に該当する場合、設定されている DMLU すべてを削除することはできません。 <ul style="list-style-type: none"> ShadowImage, SnapShot, TrueCopy, TrueCopy Extended Distance のどれかのペアが存在する。 ローカルまたはリモートのストレージシステムから TrueCopy, TrueCopy Extended Distance のパスが定義されている。 SnapShot, TrueCopy Extended Distance のプールが定義されている。 対処 <ul style="list-style-type: none"> ShadowImage, SnapShot, TrueCopy, TrueCopy Extended Distance のどれかのペアが存在する場合、すべてのペアを削除してください。 ローカルまたはリモートのストレージシステムから TrueCopy, TrueCopy Extended Distance のパスが定義されている場合、パスを削除してください。 SnapShot, TrueCopy Extended Distance のプールが定義されている場合、プールを削除してください。
KAVN00433-E	コピーペア状態の変更ウィザードの起動に失敗しました。	要因 コピーペア状態の変更ウィザードの起動に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00435-E	イベントログの取得に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00436-E	エクスポート情報の取得に失敗しました。(＜エクスポート情報種別＞)	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00437-W	通常モードへの変更を実行中です。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		すでに通常モードへの変更を実行しているため、同じ要求をキャンセルしました。 対処 動作モードを確認してください。変更中の場合、動作モードを変更する必要はありません。
KAVN00438-W	メンテナンスモードへの変更を実行中です。	要因 すでにメンテナンスモードへの変更を実行しているため、同じ要求をキャンセルしました。 対処 動作モードを確認してください。変更中の場合、動作モードを変更する必要はありません。
KAVN00439-E	指定されたペア操作が不正です。	要因 指定したペア操作が誤っています。 対処 ペア操作の指定内容が誤っていないか確認してください。
KAVN00440-E	指定されたコピーベースが不正です。	要因 指定したコピーベースが誤っています。 対処 コピーベースの指定内容が誤っていないか確認してください。
KAVN00441-E	「はじめに」画面の表示設定情報の取得に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00442-E	「はじめに」画面の表示設定情報の登録に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00444-E	DMLU の追加に失敗しました。(ボリューム：ボリューム>)	要因 DMLU の追加に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00445-E	DMLU の削除に失敗しました。	要因 DMLU の削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00446-E	DMLU の削除に成功しましたが、後処理に失敗しました。	要因 DMLU の削除に成功しましたが、後処理に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、ストレージシステム情報の更新を実行してください。
KAVN00447-E	DMLU の容量拡張に失敗しました。(ボリューム：<ボリューム>, 拡張容量：<拡張容量> GB)	要因 DMLU の容量拡張に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN00448-E	DMLU に対する処理結果の取得に失敗しました。	要因 DMLU に対する処理結果の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00449-E	DMLU の容量拡張に失敗しました。 (ボリューム：<ボリューム>)	要因 DMLU の容量拡張に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00450-E	構成定義ファイルの編集に必要な情報の取得に失敗しました。(ペア管理サーバ名：<ペア管理サーバ名>)	要因 構成定義ファイルの編集に必要な情報の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00451-E	構成定義ファイルの編集に失敗しました。(ペア管理サーバ名：<ペア管理サーバ名>，インスタンス番号：<インスタンス番号>)	要因 構成定義ファイルの編集に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00452-E	同名のペアがあるため構成定義ファイルの編集を中止しました。(ペア管理サーバ名：<ペア管理サーバ名>，インスタンス番号：<インスタンス番号>，ペア名：<ペア名>)	要因 同名のペアが存在するため構成定義ファイルの編集を中止しました。 対処 ペアを作成する構成定義ファイルを変更するか、または構成定義ファイルから同名のペアを削除してください。その後、Replication Manager での操作を再度実行してください。
KAVN00453-E	ペア作成に失敗しました。	要因 ペア作成に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00454-E	HORCM インスタンスの起動に失敗しました。(ペア管理サーバ名：<ペア管理サーバ名>，インスタンス番号：<インスタンス番号>)	要因 HORCM インスタンスの起動に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00455-E	ペア作成に失敗しました。(ペア管理サーバ名：<ペア管理サーバ名>，インスタンス番号：<インスタンス番号>，コピーグループ名：<コピーグループ名>)	要因 ペア作成に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00456-E	ペア操作に失敗しました。(ペア管理サーバ名：<ペア管理サーバ名>，インスタンス番号：<インスタンス番号>，コピーグループ名：<コピーグループ名>)	要因 ペア操作に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00457-E	ペア削除に失敗しました。(ペア管理サーバ名：<ペア管理サーバ名>，インスタンス番号：<インスタンス番号>，	要因 ペア削除に失敗しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	コピーグループ名:<コピーグループ名>)	同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00458-E	ペア操作に失敗しました。	要因 ペア操作に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00459-E	指定された構成定義ファイルがありません。(ペア管理サーバ名:<ペア管理サーバ名>, インスタンス番号:<インスタンス番号>)	要因 次の要因が考えられます。 1. 指定された構成定義ファイルがありません。 2. Device Manager Agent がサポートしていない構成定義ファイルを編集しようとした。 対処 1.の場合, 指定した構成定義ファイルがあるかどうか確認したあとに、再度実行してください。 また、次の条件にすべて該当する場合は、同一時刻に作成したタスクの中で、編集アイコンが活性になっているタスクのメッセージに従って対処したあとに、タスクを再度実行してください。 【条件】 1. タスクの実行結果が「失敗」となり、エラーウィンドウに本メッセージが表示されている。 2. タスクの編集アイコンが非活性になっている。 2.の場合, 構成定義ファイルの内容が、Device Manager Agent がサポートしている内容であるかを見直してください。
KAVN00460-E	指定された構成定義ファイルに操作対象の情報がありません。(ペア管理サーバ名:<ペア管理サーバ名>, インスタンス番号:<インスタンス番号>)	要因 指定された構成定義ファイルに操作対象の情報が存在しません。 対処 指定された構成定義ファイルに操作対象のペアがあることを確認したあとに、再度実行してください。
KAVN00461-W	ペア作成の完了確認処理がタイムアウトしました。	要因 コマンドの実行は成功しましたが、完了確認処理でタイムアウトが発生しました。 対処 ペア作成が完了しているかどうかは Replication Manager が表示する構成情報を参照して確認してください。
KAVN00462-W	ペア操作の完了確認処理がタイムアウトしました。	要因 コマンドの実行は成功しましたが、完了確認処理でタイムアウトが発生しました。 対処 ペア操作が完了しているかどうかは Replication Manager が表示する構成情報を参照して確認してください。
KAVN00463-E	ペア削除に失敗しました。	要因 ペア削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN00464-E	タスクの生成に失敗しました。	要因 タスクの生成に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00465-E	プール、ジャーナル状態の定期更新の実行に失敗しました。	要因 プール、ジャーナル状態の定期更新の実行に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00466-E	プール情報の更新に失敗しました。	要因 プール情報の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00467-E	ジャーナルグループ情報の更新に失敗しました。	要因 ジャーナルグループ情報の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00468-E	ライセンス情報の更新に失敗しました。	要因 ライセンス情報の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00469-E	ペア作成に失敗しました。 ストレージシステム情報の更新を実行して、最新の構成情報を Replication Manager に反映してください。作成するコピーペアの状態が simplex になることがあります。必要に応じて、コピーペア状態の変更を実行してください。	要因 ペア作成に失敗しました。 対処 ストレージシステム情報の更新を実行して、最新の構成情報を Replication Manager に反映してください。作成するコピーペアの状態が simplex になることがあります。必要に応じて、コピーペア状態の変更を実行してください。
KAVN00470-E	ディスク構成の編集が失敗しました。 (情報取得元名：<情報取得元名>、プレフィックス名：<プレフィックス名>、ディスク構成：<ディスク構成>)	要因 ディスク構成の編集が失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、構成の更新を実行して、最新の構成情報を Replication Manager に反映してください。そのあと必要に応じて、再度実行してください。
KAVN00473-E	ペア操作に失敗しました。(ホスト名：<ホスト名>、プレフィックス名：<プレフィックス名>、コピーグループ名：<コピーグループ名>)	要因 ペア操作に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00474-E	ペア削除に失敗しました。(ホスト名：<ホスト名>、プレフィックス名：<プレフィックス名>、コピーグループ名：<コピーグループ名>)	要因 ペア削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00475-E	ペア定義の作成・編集に失敗しました。 (ホスト名：<ホスト名>、プレフィッ	要因 ペア定義の作成・編集に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	クス名：<プレフィックス名>、コピーグループ名：<コピーグループ名>	対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00476-E	ペア定義の削除に失敗しました。(ホスト名：<ホスト名>、プレフィックス名：<プレフィックス名>、コピーグループ名：<コピーグループ名>)	要因 ペア定義の削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00478-E	ディスク構成の編集が一部失敗しました。(情報取得元名：<情報取得元名>、プレフィックス名：<プレフィックス名>、ディスク構成：<ディスク構成>)	要因 ディスク構成の編集が一部失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、構成の更新を実行して、最新の構成情報を Replication Manager に反映してください。そのあと必要に応じて、再度実行してください。
KAVN00479-E	ペア定義の配布に失敗しました。(コピーグループ名：<コピーグループ名>)	要因 ペア定義の配布に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00480-E	ストレージシステム情報の取得に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00481-E	論理グループ情報の取得に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00482-E	Port 情報の取得に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00483-E	ホストグループ情報の取得に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00484-E	LUN 情報の取得に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00485-E	選択可能なジャーナルグループ ID がありません。	要因 選択可能なジャーナルグループ ID が存在しません。 対処 現在使用しているジャーナルグループ ID を確認したあとに、不要なジャーナルグループを削除してください。
KAVN00486-E	選択可能なプール ID がありません。	要因

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		選択可能なプール ID が存在しません。 対処 現在使用しているプール ID を確認したあとに、不要なプールを削除してください。
KAVN00487-E	タスクが生成されていません。	要因 タスクが生成されていません。 対処 ペアまたはコピーグループの作成・削除・編集、もしくはノードの追加・削除を実施したあとに、再度実行してください。
KAVN00488-E	画面の遷移に失敗しました。	要因 画面の遷移に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00490-E	オブジェクトの取得に失敗しました。	要因 指定したオブジェクトはすでに削除されているおそれがあります。 対処 画面を再表示し、対象のオブジェクトを確認してください。
KAVN00491-E	プールの追加に失敗しました。	要因 プールの追加に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00492-E	プールの編集に失敗しました。	要因 プールの編集に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00493-E	プールの削除に失敗しました。	要因 プールの削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00494-E	プールに対する処理結果の取得に失敗しました。	要因 プールに対する処理結果の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00495-E	プールボリュームが最大数を超えました。	要因 プールボリュームが最大数を超えました。 対処 不要なプールボリュームを削除してください。
KAVN00496-E	設定されたトポロジー操作が不正です。	要因 設定されたトポロジー操作が不正のため、次の画面に遷移できません。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00497-E	指定できるコピー種別の設定に失敗しました。	要因 指定できるコピー種別の設定に失敗しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00498-E	コピーグループ情報を取得できません。	要因 コピーグループ情報を取得できません。 対処 タスクに設定したコピーグループの情報が存在するかどうかを確認してください。
KAVN00499-E	指定できるコピー種別がありません。	要因 指定できるコピー種別が存在しません。 対処 作成するグループの構成を確認してください。
KAVN00503-E	構成情報の定期更新の実行に失敗しました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 構成情報の定期更新が実行できませんでした。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00504-E	ペア状態の定期更新の実行に失敗しました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 ペア状態の定期更新が実行できませんでした。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00505-E	ペア状態の定期更新の実行に失敗しました。(対象: ペア管理サーバ上に定義されたコピーグループ, ペア管理サーバ名: <ペア管理サーバ名>)	要因 ペア状態の定期更新が実行できませんでした。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00506-E	構成情報の更新に失敗しました。最新の構成情報が Replication Manager のウィンドウに反映されません。	要因 構成情報の更新処理でエラーが発生しました。 対処 Replication Manager のイベントログに出力されたエラーメッセージに従って対処して、エラーの要因を取り除いてください。
KAVN00507-E	指定したストレージシステムではリソース情報を表示できません。	要因 指定したストレージシステムはリソース表示をサポートしていないおそれがあります。 対処 ストレージシステム種別を確認してください。
KAVN00508-E	ペア定義の配布が一部失敗しました。(コピーグループ名: <コピーグループ名>)	要因 ペア定義の配布に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00509-E	情報取得元の追加は正常に完了しましたが、内部処理でエラーが発生しました。(情報取得元: <情報取得元名>) Replication Manager のウィンドウには最新の情報が反映されません。	要因 情報取得元を Replication Manager に登録する際にエラーが発生しました。 対処 Replication Manager を再起動して、構成情報を取得してください。
KAVN00510-E	情報取得元の削除は正常に完了しましたが、内部処理でエラーが発生しました。(情報取得元: <情報取得元名>) Replication Manager のウィンドウには最新の情報が反映されません。	要因 Replication Manager に登録されている情報取得元を削除する際にエラーが発生しました。 対処 Replication Manager を再起動して、構成情報を取得してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN00511-E	構成情報の取得に関する設定に失敗しました。(情報取得元：<情報取得元名>) 構成の定期更新の設定時にエラーが発生しました。	要因 情報取得元の構成情報取得を Replication Manager に設定する際にエラーが発生しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。 それでも問題が解決されない場合は、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN00512-E	ペア状態の取得に関する設定に失敗しました。(情報取得元：情報取得元名)> ペア状態の定期更新の設定時にエラーが発生しました。	要因 情報取得元単位のペア状態取得を Replication Manager に設定する際にエラーが発生しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。 それでも問題が解決されない場合は、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN00514-E	構成情報の取得に失敗しました。 要求された処理は失敗しました。	要因 構成情報の取得に失敗しました。 対処 Replication Manager のイベントログに出力されたエラーメッセージに従って対処して、エラーの要因を取り除いてください。
KAVN00515-W	一部のコピーペアでペア状態の取得に失敗しました。 情報の取得に成功した場合、最新の情報が表示され、最終更新時刻が更新されません。最終更新時刻を確認して、参照したい情報が更新されているか確認してください。情報が更新されていない場合は、イベントログを参照して失敗の原因を解決して、再度ペア状態の更新を実行してください。	要因 一部のコピーペアでペア状態の取得に失敗しました。 対処 情報の取得に成功した場合、最新の情報が表示され、最終更新時刻が更新されません。最終更新時刻を確認して、参照したい情報が更新されているか確認してください。情報が更新されていない場合は、同時に出力される詳細メッセージに従って失敗の原因を解決して、ペア状態の更新を再度実行してください。
KAVN00516-E	ペア状態の取得に失敗しました。 要求された処理は失敗しました。イベントログを参照して失敗の原因を解決して、再度ペア状態の更新を実行してください。	要因 ペア状態の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00517-W	対象のペアがないため、ペア状態の取得は実行できません。(情報取得元：<情報取得元名>)	要因 情報取得元に指定した Device Manager に、Replication Manager の管理対象となるコピーペアが存在しないため、定期更新でペア状態を取得できませんでした。 対処 情報取得元に指定した Device Manager から構成情報を取得していない場合は、構成情報の取得を実行してください。また、情報取得元に指定した Device Manager にペアが登録されていることを確認してください。
KAVN00518-E	ペア状態取得の設定に失敗しました。(対象：ペア管理サーバ上に定義されたコピーグループ、ペア管理サーバ名：<ペア管理サーバ名>)	要因 Replication Manager で、ペア管理サーバごとのペア状態の取得を設定した際に、エラーが発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ペア状態の定期更新の設定時にエラーが発生しました。	対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。 それでも問題が解決されない場合は、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN00519-E	定期更新の設定中にエラーが発生しました。	要因 定期更新の設定中にエラーが発生しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。 それでも問題が解決されない場合は、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN00520-W	対象のペアがないため、ペア状態の取得は実行できません。(ペア管理サーバ名: <ペア管理サーバ名>)	要因 該当のペア管理サーバの管理するペアが存在しないため、定期のペア状態取得が実行できませんでした。 対処 ペア管理サーバにペアを登録し、構成情報を取得してください。
KAVN00521-E	情報取得元の削除は正常に完了しましたが、構成情報の更新処理でエラーが発生しました。 最新の構成情報が Replication Manager のウィンドウに反映されません。	要因 情報取得元の削除は正常に完了しましたが、構成情報の更新処理でエラーが発生しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00522-E	情報取得元の設定の変更は正常に完了しましたが、内部処理でエラーが発生しました。(情報取得元: <情報取得元名>) Replication Manager のウィンドウには最新の情報が反映されません。	要因 情報取得元を Replication Manager に登録する際にエラーが発生しました。 対処 Replication Manager を再起動して、構成情報を取得してください。
KAVN00523-E	メンテナンスモードを解除中にエラーが発生しました。	要因 メンテナンスモード解除中にエラーが発生しました。 対処 同時に出力されているエラーメッセージに従って対処して、エラーの要因を取り除いてください。その後、Replication Manager を再起動してください。 それでも問題が解決されない場合は、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN00524-E	ペア名の変更に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00525-E	ペア定義の作成・編集が一部失敗しました。(ホスト名: <ホスト名>, プレフィックス名: <プレフィックス名>, コピーグループ名: <コピーグループ名>)	要因 ペア定義の作成・編集が一部失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00526-E	ペア定義の削除が一部失敗しました。(ホスト名: <ホスト名>, プレフィッ	要因 ペア定義の削除が一部失敗しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	クス名:<プレフィックス名>, コピーグループ名:<コピーグループ名>	同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00528-E	ペア操作が一部失敗しました。(ホスト名:<ホスト名>, プレフィックス名:<プレフィックス名>, コピーグループ名:<コピーグループ名>)	要因 ペア操作が一部失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00529-E	ペア削除が一部失敗しました。(ホスト名:<ホスト名>, プレフィックス名:<プレフィックス名>, コピーグループ名:<コピーグループ名>)	要因 ペア削除が一部失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00531-E	ペア操作を実行できません。	要因 ペア操作を指定できないペアが含まれているため、ペア操作を実行できません。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00535-E	ペア状態の変更操作に失敗しました。({<コピーペア名> <コピーグループ名>}: {split resync restore})	要因 コピーペア状態の変更操作に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。コピーペアの構成および状態によっては、実行できない操作があります。現在のコピーペアの状態、カスケードなどのペア構成、コピーグループを構成するコピーペアの状態などを確認し、ボリューム複製機能のマニュアルを参照して、実行しようとしている操作が可能であるかを確認してください。
KAVN00536-E	ペア状態の変更操作後のステータス更新に失敗しました。({<コピーペア名> <コピーグループ名>}: {split resync restore})	要因 コピーペア状態の変更操作後にペアステータスの更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、ペア状態の変更操作をしたコピーペアに対してステータスの更新を実行してください。
KAVN00537-E	リソースグループの取得に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00538-E	リソースグループの更新に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00539-E	リソースグループの削除に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00540-E	リソースグループの追加に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00541-E	すでに同じ名称 (<リソースグループ名>) でリソースグループが登録されています。	要因 すでに同じ名称のリソースグループが登録されている状態で、リソースグループを追加登録しました。 対処 リソースグループ名を重複しない名称に変更して、再度登録してください。
KAVN00542-E	指定されたリソースグループはありません。	要因 存在しないリソースグループに対して何らかの操作をしようとしてしました。 対処 直前に別の管理者が削除の操作を実行していないか確認してください。また、リソースグループ一覧を再表示し、登録されているリソースグループを確認してください。
KAVN00543-E	サイトの取得に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00544-E	サイトの更新に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00545-E	サイトの削除に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00546-E	サイトの追加に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00547-E	すでに同じ名称 (<サイト名>) でサイトが登録されています。	要因 すでに同じ名称のサイトが登録されている状態で、サイトを追加登録しました。 対処 サイト名を重複しない名称に変更して、再度登録してください。
KAVN00548-E	指定されたサイトはありません。	要因 存在しないサイトに対して何らかの操作をしようとしてしました。 対処 直前に別の管理者が削除の操作を実行していないか確認してください。また、サイト一覧を再表示し、登録されているサイトを確認してください。
KAVN00549-E	タスクの取得に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00550-E	タスクの更新に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00551-E	タスクの削除に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00552-E	タスクの追加に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00553-E	タスクの登録に失敗しました。	要因 タスクの登録に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00554-E	指定されたタスク ID (<タスク ID >) のタスクはありません。	要因 存在しないタスクに対して何らかの操作をしようとしてしました。 対処 直前に別の管理者が削除の操作を実行していないか確認してください。また、タスク一覧を再表示し、登録されているタスクを確認してください。
KAVN00555-E	ワークフローの編集に失敗しました。	要因 ワークフローの編集に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00556-E	ワークフローの削除に失敗しました。	要因 ワークフローの削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00557-E	ワークフローの取得に失敗しました。	要因 ワークフローの取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00558-E	ワークフローの登録に失敗しました。	要因 ワークフローの登録に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00559-E	ワークフロー (<ワークフロー名 >) の編集処理に必要なタスクの状態取得に失敗しました。	要因 ワークフローの編集処理に必要なタスクの状態取得に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00560-E	ワークフロー (<ワークフロー名>) の削除処理に必要なタスクの状態取得に失敗しました。	要因 ワークフローの削除処理に必要なタスクの状態取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00561-E	コピーペアの構成定義ウィザードの起動に失敗しました。	要因 コピーペアの構成定義ウィザードの起動に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00562-E	トポロジー情報の取得に失敗しました。	要因 トポロジー情報の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00563-E	グループの取得に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00564-E	ペアグループの作成に失敗しました。	要因 ペアグループの作成に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00565-E	グループの削除に失敗しました。	要因 グループの削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00566-E	コピーグループへの割り当てに失敗しました。	要因 コピーグループへの割り当てに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00567-E	コピーグループからの解除に失敗しました。	要因 コピーグループからの解除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00568-E	コピーグループの取得に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00569-E	コピーグループの作成に失敗しました。	要因 コピーグループの作成に失敗しました。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00570-E	コピーグループの削除に失敗しました。	要因 コピーグループの削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00571-E	ペアの取得に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00572-E	ペアの追加に失敗しました。	要因 ペアの追加に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00573-E	ペアの削除に失敗しました。	要因 ペアの削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00574-E	タスクの取得に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00575-E	タスクの作成に失敗しました。	要因 タスクの作成に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00576-E	コマンドデバイスの追加に失敗しました。(ボリューム：<ボリューム>)	要因 コマンドデバイスの追加に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00577-E	コマンドデバイスの削除に失敗しました。	要因 コマンドデバイスの削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。それでも発生する場合、Device Manager サーバでエラーが発生しているおそれがあります。Replication Manager、または必要に応じて Device Manager サーバのログを参照して問題を解決してください。
KAVN00578-E	コマンドデバイスの編集に失敗しました。	要因 コマンドデバイスの編集に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00579-E	コマンドデバイスに対する処理結果の取得に失敗しました。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>コマンドデバイスに対する処理結果の取得に失敗しました。</p> <p>対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。</p>
KAVN00580-E	ジャーナルグループの追加に失敗しました。	<p>要因 ジャーナルグループの追加に失敗しました。</p> <p>対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。それでも発生する場合は、Replication Manager のデータベースが最新でないおそれがあります。ストレージシステムのリフレッシュを行ってから、再度実行してください。</p>
KAVN00581-E	ジャーナルグループの削除に失敗しました。	<p>要因 ジャーナルグループの削除に失敗しました。</p> <p>対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。それでも発生する場合は、Replication Manager のデータベースが最新でないおそれがあります。ストレージシステムのリフレッシュを行ってから、再度実行してください。</p>
KAVN00582-E	ジャーナルグループの編集に失敗しました。	<p>要因 ジャーナルグループの編集に失敗しました。</p> <p>対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。それでも発生する場合は、Replication Manager のデータベースが最新でないおそれがあります。ストレージシステムのリフレッシュを行ってから、再度実行してください。</p>
KAVN00583-E	ジャーナルグループに対する処理結果の取得に失敗しました。	<p>要因 ジャーナルグループに対する処理結果の取得に失敗しました。</p> <p>対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。</p>
KAVN00584-E	ジャーナルボリュームが最大数を超過しました。	<p>要因 ジャーナルボリュームが最大数を超過しました。</p> <p>対処 不要なジャーナルボリュームを削除してください。</p>
KAVN00585-I	ジャーナルグループの削除に成功しました。	<p>要因 ジャーナルグループの削除に成功しました。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p>
KAVN00586-E	コマンドデバイスの編集に成功しましたが、後処理に失敗しました。	<p>要因 コマンドデバイスの編集に成功しましたが、後処理に失敗しました。</p> <p>対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、ストレージシステム情報の更新を実行してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN00587-E	コマンドデバイスの削除に成功しましたが、後処理に失敗しました。	要因 コマンドデバイスの削除に成功しましたが、後処理に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、ストレージシステム情報の更新を実行してください。
KAVN00588-E	すでに削除されたコマンドデバイスです。(ボリューム：<ボリューム>)	要因 すでに削除されたコマンドデバイスです。 対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。
KAVN00589-E	ジャーナルプールの処理に失敗しました。	要因 ジャーナルプールに関する処理に失敗しました。 対処 Device Manager サーバでエラーが発生しているおそれがあります。 Replication Manager, または必要に応じて Device Manager サーバのログを参照して問題を解決してください。
KAVN00590-E	予期しないエラーが発生しました。	要因 Replication Manager 内部のインターフェースで、予期しないエラーが発生しました。 対処 問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN00591-E	致命的なエラーが発生しました。	要因 Replication Manager 内部で、致命的なエラーが発生しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。そのあと、Replication Manager を再起動してください。 それでも発生する場合、または詳細メッセージが出力されていない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN00592-E	プールの追加に成功しましたが、後処理に失敗しました。	要因 プールの追加に成功しましたが、後処理に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、ストレージシステム情報の更新を実行してください。
KAVN00593-E	プールの編集に成功しましたが、後処理に失敗しました。	要因 プールの編集に成功しましたが、後処理に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、ストレージシステム情報の更新を実行してください。
KAVN00594-E	プールの削除に成功しましたが、後処理に失敗しました。	要因 プールの削除に成功しましたが、後処理に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、ストレージシステム情報の更新を実行してください。</p>
KAVN00595-E	ジャーナルグループの追加に成功しましたが、後処理に失敗しました。	<p>要因 ジャーナルグループの追加に成功しましたが、後処理に失敗しました。</p> <p>対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、ストレージシステム情報の更新を実行してください。</p>
KAVN00596-E	ジャーナルグループの編集に成功しましたが、後処理に失敗しました。	<p>要因 ジャーナルグループの編集に成功しましたが、後処理に失敗しました。</p> <p>対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、ストレージシステム情報の更新を実行してください。</p>
KAVN00597-E	ジャーナルグループの削除に成功しましたが、後処理に失敗しました。	<p>要因 ジャーナルグループの削除に成功しましたが、後処理に失敗しました。</p> <p>対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、ストレージシステム情報の更新を実行してください。</p>
KAVN00601-E	指定された操作を実行できません。	<p>要因 指定された操作を実行できません。</p> <p>対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。</p>
KAVN00602-E	タスクのキャンセルに失敗しました。	<p>要因 タスクのキャンセルに失敗しました。</p> <p>対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。</p>
KAVN00603-E	タスクの実行に失敗しました。	<p>要因 タスクの実行に失敗しました。</p> <p>対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。</p>
KAVN00604-E	タスクの更新に失敗しました。	<p>要因 タスクの更新に失敗しました。</p> <p>対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。</p>
KAVN00605-E	リモートパスの追加に失敗しました。	<p>要因 リモートパスの追加に失敗しました。</p> <p>対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。 ミッドレンジストレージの場合は、ストレージシステムにコマンドデバイスが存在するか確認してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		存在しない場合は、コマンドデバイスを作成してから再度実行してください。
KAVN00606-E	リモートパスの編集に失敗しました。	要因 リモートパスの編集に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。 ミッドレンジストレージの場合は、ストレージシステムにコマンドデバイスが存在するか確認してください。 存在しない場合は、コマンドデバイスを作成してから再度実行してください。
KAVN00607-E	リモートパスの削除に失敗しました。	要因 リモートパスの削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00608-E	リモートパスの追加に成功しましたが、後処理に失敗しました。	要因 リモートパスの追加に成功しましたが、後処理に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、ストレージシステム情報の更新を実行してください。
KAVN00609-E	リモートパスの編集に成功しましたが、後処理に失敗しました。	要因 リモートパスの編集に成功しましたが、後処理に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、ストレージシステム情報の更新を実行してください。
KAVN00610-E	リモートパスの削除に成功しましたが、後処理に失敗しました。	要因 リモートパスの削除に成功しましたが、後処理に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、ストレージシステム情報の更新を実行してください。
KAVN00611-E	リモートパスに対する処理は完了しましたが、結果の取得に失敗しました。	要因 リモートパスに対する処理結果の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00612-E	ポートに対する処理は完了しましたが、結果の取得に失敗しました。	要因 ポートに対する処理結果の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00613-E	Application Agent の追加に失敗しました。	要因 Application Agent の追加に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN00614-E	Application Agent の編集に失敗しました。	要因 Application Agent の編集に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00615-E	Application Agent の削除に失敗しました。	要因 Application Agent の削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00616-E	Application Agent 情報の更新に失敗しました。	要因 Application Agent 情報の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00618-E	Application Agent の設定に失敗しました。	要因 Application Agent の設定に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00619-E	Application Agent の設定には成功しましたが、データ保護状態の集約に失敗しました。	要因 データ保護状態の集約に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00621-E	Application Agent の情報の取得に失敗しました。	要因 データベースからの情報取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00622-E	Application Agent の設定には成功しましたが、アプリケーション構成情報の更新に失敗しました。	要因 アプリケーション構成情報の更新に失敗しました。 対処 [リソース] - [アプリケーション] を選択して表示される一覧画面から、ホスト情報更新を実行してください。
KAVN00623-W	Application Agent の追加には成功しましたが、アプリケーション構成情報の取得に失敗しました。	要因 アプリケーション構成情報の取得に失敗しました。 対処 Application Agent の設定を起動し、[登録時に Application Agent によって管理されているアプリケーション構成情報を取得する。] チェックボックスにチェックを入れ、実行してください。 [エクスプローラ] メニューの [リソース] - [アプリケーション] で表示されるアプリケーションサブウィンドウに、該当するデータベースサーバの情報が表示されている場合は、そのサーバを選択し、ホスト情報更新を実行してください。
KAVN00624-W	Application Agent の編集には成功しましたが、アプリケーション構成情報の取得に失敗しました。	要因 アプリケーション構成情報の取得に失敗しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Application Agent の設定を起動し、[登録時に Application Agent によって管理されているアプリケーション構成情報を取得する。] チェックボックスにチェックを入れ、実行してください。 [エクスペローラ] メニューの [リソース] - [アプリケーション] で表示されるアプリケーションサブウィンドウに、該当するデータベースサーバの情報が表示されている場合は、そのサーバを選択し、ホスト情報更新を実行してください。
KAVN00625-E	レプリカ作成ウィザードの起動に失敗しました。	要因 レプリカ作成ウィザードの起動に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00626-E	レプリカ作成ウィザードの、対象の選択画面表示に失敗しました。	要因 レプリカ作成ウィザードの、対象の選択画面表示に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00627-E	DMLU の追加に失敗しました。	要因 DMLU の追加に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00628-E	コマンドデバイスの追加に失敗しました。	要因 コマンドデバイスの追加に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00629-E	リモートパスの処理に失敗しました。	要因 リモートパスの処理に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00630-E	逆方向パスの処理に失敗しました。	要因 逆方向パスの処理に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00631-E	正方向パスの処理に失敗しました。	要因 正方向パスの処理に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00632-E	ポート属性の変更に失敗しました。	要因 ポート属性の変更に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00633-E	レプリカ設定変更における、対象の選択に失敗しました。	要因 レプリカ設定変更における、対象の選択に失敗しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00634-E	レプリカ作成における、オプション設定処理に失敗しました。	要因 レプリカ作成における、オプション設定処理に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00635-E	レプリカ設定変更における、オプション設定処理に失敗しました。	要因 レプリカ設定変更における、オプション設定処理に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00636-E	レプリカ作成における、スケジュール設定処理に失敗しました。	要因 レプリカ作成における、スケジュール設定処理に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00637-E	レプリカ設定変更における、スケジュール設定処理に失敗しました。	要因 レプリカ設定変更における、スケジュール設定処理に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00638-E	レプリカ作成に失敗しました。	要因 レプリカ作成に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00639-E	レプリカの設定変更に失敗しました。	要因 レプリカの設定変更に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00641-E	コピーグループ情報の取得に失敗しました。	要因 コピーグループ情報の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00642-E	ペアグループの作成に失敗しました。	要因 ペアグループの作成に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00643-E	DEVN 詳細情報の取得に失敗しました。	要因 DEVN 詳細情報の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00644-E	ペア構成定義ウィザードの起動に失敗しました。	要因 ペア構成定義ウィザードの起動に失敗しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00645-E	ワークフローの登録に失敗しました。	要因 ワークフローの登録に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00646-E	ペアグループのコピーグループへの割り当てが失敗しました。	要因 ペアグループのコピーグループへの割り当てが失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00647-E	コピーグループからのペアグループ解放に失敗しました。	要因 コピーグループからのペアグループ解放に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00648-E	選択されたトポロジー操作は不正です。	要因 不正なトポロジー操作を行いました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00649-E	レプリカのマウントに失敗しました。	要因 レプリカのマウントに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00650-E	レプリカのマウント操作に失敗しました。	要因 レプリカのマウントに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00651-E	リストアレプリカウィザードの起動に失敗しました。	要因 リストアレプリカウィザードの起動に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00652-E	レプリカ対象の選択処理に失敗しました。	要因 レプリカ対象の選択処理に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00653-E	レプリカオプションの設定処理に失敗しました。	要因 レプリカオプションの設定処理に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00654-E	ディスク構成定義ファイルの編集に失敗しました。	要因 ディスク構成定義ファイルの編集に失敗しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00655-E	Device Manager の編集は完了しましたが、コピーペア構成を取得する処理に失敗しました。	要因 Device Manager の編集は完了しましたが、コピーペア構成を取得する処理に失敗しました。 対処 Replication Manager のイベントログに出力されたエラーメッセージに従って対処して、エラーの要因を取り除いてください。
KAVN00656-E	Business Continuity Manager / Mainframe Agent の編集は完了しましたが、コピーペア構成を取得する処理に失敗しました。	要因 Business Continuity Manager / Mainframe Agent の編集は完了しましたが、コピーペア構成を取得する処理に失敗しました。 対処 Replication Manager のイベントログに出力されたエラーメッセージに従って対処して、エラーの要因を取り除いてください。
KAVN00657-E	レプリカのリストアに失敗しました。	要因 レプリカのリストアに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00658-E	レプリカのアンマウントに失敗しました。	要因 レプリカのアンマウントに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00659-E	レプリカのアンマウント操作に失敗しました。	要因 レプリカのアンマウント操作に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00661-E	V-VOL の作成に失敗しました。	要因 V-VOL の作成に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00662-E	V-VOL の作成に成功しましたが、後処理に失敗しました。	要因 V-VOL の作成に成功しましたが、後処理に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、ストレージシステム情報の更新を実行してください。
KAVN00663-E	V-VOL の削除に成功しましたが、後処理に失敗しました。	要因 V-VOL の削除に成功しましたが、後処理に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、ストレージシステム情報の更新を実行してください。
KAVN00664-E	V-VOL の処理に失敗しました。	要因 V-VOL の処理に失敗しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00665-E	追加できる主 LDEV の最大数を超過しています。	要因 追加できる主 LDEV の最大数を超過しています。 対処 不要な主 LDEV を削除してください。
KAVN00666-E	V-VOL グループの作成に失敗しました。	要因 V-VOL グループの作成に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00667-E	V-VOL の削除に失敗しました。	要因 V-VOL の削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00668-E	指定された V-VOL は削除できません。	要因 指定された V-VOL は削除できません。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00673-E	レプリカ作成ウィザードで、対象の選択処理に失敗しました。	要因 レプリカ作成ウィザードで、対象の選択処理に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00674-E	V-VOL の追加に失敗しました。	要因 V-VOL の追加に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00675-E	ユーザーロール情報の更新に失敗しました。	要因 ユーザーロール情報の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00676-E	ユーザー情報の取得に失敗しました。	要因 ユーザー情報の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00677-E	V-VOL に対する処理結果の取得に失敗しました。	要因 V-VOL に対する処理結果の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00682-E	タスクの削除に失敗しました。	要因 タスクの削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN00683-E	インスタンス情報の追加に失敗しました。	要因 インスタンス情報の追加に失敗しました。 対処 構成を見直し、再度実行してください。
KAVN00684-E	操作を継続できません。	要因 操作を継続できません。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00685-E	選択されたペアは操作できません。	要因 選択されたペアは操作できません。 対処 操作できるペア状態のコピーペアを選択してください。
KAVN00686-E	V-VOL の削除に失敗しました。	要因 V-VOL の削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00687-E	操作できるペアの最大数を超過しています。	要因 操作できるペアの最大数を超過しています。 対処 「条件」タブで、操作するペアを絞り込んでください。
KAVN00688-E	作成できる V-VOL グループの最大数を超過しています。	要因 作成できる V-VOL グループの最大数を超過しています。 対処 不要な V-VOL グループを削除してください。
KAVN00689-E	V-VOL の処理に失敗しました。	要因 V-VOL に関する処理に失敗しました。 対処 Device Manager サーバでエラーが発生しているおそれがあります。 Replication Manager, または必要に応じて Device Manager サーバのログを参照して問題を解決してください。
KAVN00690-E	タスク実行の起動に失敗しました。	要因 タスク実行の起動に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00691-E	前画面に戻る処理に失敗しました。	要因 前画面に戻る処理に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00692-E	コピーグループのサイト、またはホストの情報取得に失敗しました。	要因 コピーグループのサイトまたは、ホストの情報取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN00693-E	ワークフローの取得に失敗しました。	要因 ワークフローの取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00694-E	追加できる主 LDEV の最大数を超過しています。	要因 設定できる主 LDEV の最大数を超過しています。 対処 不要な主 LDEV を対象の LDEV 一覧から削除してください。
KAVN00695-E	V-VOL グループ内の V-VOL 数が最大数を超過するため、V-VOL を作成できません。	要因 V-VOL グループ内の V-VOL 数が最大数を超過するため、V-VOL を作成できません。 対処 指定する V-VOL 数を減らしてから、再実行してください。
KAVN00696-E	トラブルシューティング情報の取得に失敗しました。	要因 トラブルシューティング情報画面の起動時にデータベースのアクセスに失敗、または予期せぬエラーが発生しました。 対処 トラブルシューティング情報画面の起動元画面を更新したあと、再度操作してください。
KAVN00697-E	インフォメーションストア情報の更新に失敗しました。	要因 インフォメーションストア情報の Excluded 設定に失敗しました。 対処 インフォメーションストア一覧を表示し、情報があることを確認してください。情報がある場合は再度実行してください。
KAVN00701-E	アラート設定の取得に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00702-E	タスクの更新に失敗しました。	要因 タスクの更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00703-E	アラート設定の更新に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00704-E	アラート設定の削除に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00705-E	アラート設定の追加に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00707-E	アラート設定を登録できません。	要因 登録できるアラート設定数の上限を超えるため、登録できません。 対処 不要なアラート設定を削除したあとに再度実行してください。
KAVN00708-E	設定した値に誤りがあります。	要因 入力した値に誤りがあります。 対処 詳細メッセージに従って設定した値を見直したあと、再度実行してください。
KAVN00709-E	以下のクラスタノードの設定に失敗しました。	要因 設定に失敗したクラスタノードがあります。 対処 詳細メッセージに従って設定した値を見直したあと、再度実行してください。
KAVN00710-E	すでに同じアラート名(<アラート名>)でアラート設定が登録されています。	要因 重複するアラート名がすでに登録されています。 対処 アラート名を重複しない名称に変更して、再度登録してください。
KAVN00711-E	指定されたアラート設定(<アラート名>)はありません。	要因 すでに削除されたアラート設定です。 対処 直前に別の管理者が削除の操作を実行していないか確認してください。また、アラート設定一覧を再表示し、登録されているアラート設定を確認してください。
KAVN00712-E	テスト用のアラートの送信に失敗しました。	要因 テストアラート機能の実行に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00713-E	ホスト情報の更新に失敗しました。	要因 ホスト情報の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00714-E	システム環境が不正です。	要因 システム環境が不正です。 対処 有効なライセンスキーを使用してください。
KAVN00715-E	このライセンスキーは無効です。	要因 このライセンスキーは無効です。 対処 正しいライセンスキーを入力してください。
KAVN00716-E	有効なライセンスキーがライセンスキーファイル内に見つかりませんでした。	要因 有効なライセンスキーがライセンスキーファイル内に見つかりませんでした。 対処 有効なライセンスキーを含んだライセンスキーファイルを使用してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAVN00717-E	情報取得元の取得に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00718-E	情報取得元の更新に失敗しました。(名称: <名称>)	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00719-E	情報取得元の削除に失敗しました。(名称: <名称>)	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00720-E	情報取得元の追加に失敗しました。(名称: <名称>)	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00721-E	情報取得元の接続確認に失敗しました。	要因 入力した値では情報取得元に接続できません。情報取得元のバージョンまたはユーザー ID、パスワードが不正です。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、入力値を変更して再度実行してください。
KAVN00722-E	すでに同じ名称または同じホスト ID で情報取得元が登録されています。(名称: <名称> ホスト ID: <ホスト ID >)	要因 重複する名称またはホスト ID がすでに登録されています。 対処 名称またはホスト ID を重複しない名称に変更したあとに、再度実行してください。
KAVN00723-E	指定された名称(<名称>)の情報取得元はありません。	要因 Replication Manager に登録されていない情報取得元に対して、編集または削除を実行しました。 対処 別の管理者が同時に削除の操作をしたかどうかを確認してください。情報取得元一覧を再表示して設定一覧内容を確認して、足りない情報取得元があれば追加してください。
KAVN00724-E	すでに情報取得元の接続情報が更新されているおそれがあります。(名称: <名称>)	要因 すでに同じ名称の情報取得元に対して、編集を実行しました。 対処 別の管理者が同時に編集の操作をしたかどうかを確認してください。情報取得元一覧を再表示して設定一覧内容を確認して、設定内容に誤りがあれば編集してください。
KAVN00725-E	監視設定の取得に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00726-E	ペア管理サーバ情報はありません。	要因 情報取得元が削除されていました。 対処 別の管理者が同時に削除の操作をしたかどうかを確認してください。情報取得元一覧を再表示して設定一覧内容を確認して、足りない情報取得元があれば追加してください。
KAVN00727-E	監視設定の更新に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、監視設定の操作を再度実行してください。
KAVN00728-E	構成設定の取得に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00729-E	構成設定の更新に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、構成設定の操作を再度実行してください。
KAVN00730-E	構成の更新に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00731-E	リソースの取得に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00732-E	指定されたリソースはすでにアラート設定に登録されています。	要因 アラート設定に新しく追加するリソースが一つもありません。 対処 指定したリソースを確認してください。
KAVN00733-E	テンプレートの登録に失敗しました。 (テンプレート: <テンプレート>)	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、入力値を変更して再度実行してください。
KAVN00734-E	アラートの取得に失敗しました。	要因 データベースのアクセスに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN00735-E	アラート情報はありません。(日時: <アラートの発生日時>)	要因 アラート情報が存在しません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 再度アラート一覧を表示してください。対象としたアラート情報が存在しない場合、期限切れデータ削除の時間が過ぎました。対処の必要はありません。</p>
KAVN00736-E	マイコピーグループ編集に失敗しました。	<p>要因 データベースのアクセスに失敗しました。</p> <p>対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。</p>
KAVN00737-E	マイコピーグループ更新に失敗しました。	<p>要因 データベースのアクセスに失敗しました。</p> <p>対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。</p>
KAVN00738-W	情報更新するマイコピーグループはありません。	<p>要因 情報更新するマイコピーグループが現在の Replication Manager が管理する構成情報に存在しません。</p> <p>対処 マイコピーグループ編集ウィンドウを表示して登録内容を確認してください。必要であれば、マイコピーグループを登録し直したあとに再度マイコピーグループ更新を実行してください。</p>
KAVN00739-E	完了設定に失敗しました。	<p>要因 データベースのアクセスに失敗しました。</p> <p>対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。</p>
KAVN00740-E	アラート有効化に失敗しました。	<p>要因 データベースのアクセスに失敗しました。</p> <p>対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。</p>
KAVN00741-E	アラート無効化に失敗しました。	<p>要因 データベースのアクセスに失敗しました。</p> <p>対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。</p>
KAVN00742-E	アラート設定にリソースを登録できません。	<p>要因 登録するリソースのメトリックが異なるため、同じアラート設定に登録できません。</p> <p>対処 同じメトリックのリソースになるようにリソースを選択してからアラート設定を再度実行してください。</p>
KAVN00743-E	インスタンス情報の更新に失敗しました。	<p>要因 インスタンス情報の更新に失敗しました。</p> <p>対処 同時に出力される詳細メッセージに従って構成を見直したあとに、再度実行してください。</p>
KAVN00745-E	対象のペア数が最大値を超えました。	<p>要因 10000 件より多いペアが操作対象として選択されています。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 ペア数が 10000 件以内になるように選択するペアを見直してください。
KAVN00746-E	次の画面への遷移に失敗しました。	要因 次の画面への遷移に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN00790-E	データベース一覧の更新に失敗しました。	要因 データベース情報の Excluded 設定に失敗しました。 対処 データベース一覧を表示し、情報があることを確認してください。情報がある場合は再度実行してください。
KAVN00791-E	選択したリソースの削除に失敗しました。	要因 すべてのリソースが削除対象として選択されています。 対処 一部のリソースを選択してリソース削除を実行してください。
KAVN01800-I	RAID Manager のインスタンスは正常に停止しました。	要因 RAID Manager のインスタンス (HORCM インスタンス) が正常に停止しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN01801-I	RAID Manager のインスタンスは起動しています。	要因 RAID Manager のインスタンス (HORCM インスタンス) が起動しています。 対処 対処の必要はありません。
KAVN01802-I	RAID Manager のインスタンスが停止しています。	要因 RAID Manager のインスタンス (HORCM インスタンス) が停止しています。 対処 対処の必要はありません。
KAVN01803-I	RAID Manager のインスタンスが停止しています。	要因 RAID Manager のインスタンス (HORCM インスタンス) が停止しています。 対処 対処の必要はありません。
KAVN01804-E	RAID Manager のインスタンスのステータスの取得中にエラーが発生しました。	要因 RAID Manager のインスタンス (HORCM インスタンス) のステータスの取得に失敗しました。 対処 RAID Manager の状態を確認し、問題を取り除いたあと、再度操作を実行してください。
KAVN01805-E	サポートしているバージョンの RAID Manager が見つかりません。	要因 Replication Manager が前提としているバージョンの RAID Manager が見つかりません。 対処 Replication Manager が前提としているバージョンの RAID Manager をインストールしたあと、再度操作を実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN01806-E	RAID Manager が見つかりません。	要因 RAID Manager がインストールされていません。 対処 Replication Manager が前提としているバージョンの RAID Manager をインストールしたあと、再度操作を実行してください。
KAVN01807-E	-stop 以外の引数が指定されました。	要因 -stop 以外の引数がコマンドラインで指定されました。 対処 コマンドの引数を見直し、再度コマンドを実行してください。
KAVN01808-I	Collection of maintenance information from the Replication Manager agent will now start.	要因 Replication Manager エージェント機能の保守情報の収集を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN01809-I	Collection of maintenance information from the Replication Manager agent has ended.	要因 Replication Manager エージェントの保守情報の収集が終了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN01811-E	The specified directory cannot be accessed.	要因 Device Manager エージェントの TIC コマンドの引数に指定されたディレクトリにアクセスできません。 対処 引数に指定したディレクトリが存在するか、または、アクセス権限が与えられているかを確認して、再度実行してください。
KAVN01812-E	An error occurred during collection of maintenance information from the Replication Manager agent.	要因 Replication Manager エージェント機能の保守情報の収集中に、Device Manager エージェントの TIC コマンドでエラーが発生しました。 対処 Device Manager エージェントの TIC コマンドを再度実行してください。それでもエラーが発生する場合は、引数の値を変更して再度実行してください。それでも問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN01813-E	The specified parameter value is invalid.	要因 複数の引数が指定されています。または、引数の指定が不正です。 対処 引数を一つだけ指定して、Device Manager エージェントの TIC コマンドを再度実行してください。それでもエラーが発生する場合は、引数の値を変更して再度実行してください。それでも問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN02300-I	管理しているリソース数を計算しました。(オープン系システムのコピーペア数 : <リソース数>)	要因 Replication Manager で管理しているオープン系システムのコピーペア数を計算しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処の必要はありません。
KAVN02301-I	管理しているリソース数を計算しました。(リモート Device Manager が管理するオープン系システムの LDEV 数：<リソース数>)	要因 Replication Manager で管理しているリモート Device Manager が情報取得元となるオープン系システムの LDEV 数を計算しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02302-I	管理しているリソース数を計算しました。(メインフレーム系システムのコピーペア数：<リソース数>)	要因 Replication Manager で管理しているメインフレーム系システムのコピーペア数を計算しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02303-I	管理しているリソース数を計算しました。(メインフレーム系システムの LDEV 数：<リソース数>)	要因 Replication Manager で管理しているメインフレーム系システムの LDEV 数を計算しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02306-E	ディスク構成定義ファイルの編集が一部失敗しました。(情報取得元名：<情報取得元名>、プレフィックス名：<プレフィックス名>、ディスク構成：<ディスク構成>)	要因 ディスク構成定義ファイルの編集が一部失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02307-I	ディスク構成定義ファイルの編集を開始しました。(情報取得元名：<情報取得元名>、プレフィックス名：<プレフィックス名>、ディスク構成：<ディスク構成>)	要因 ディスク構成定義ファイルの編集を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02308-I	ディスク構成定義ファイルの編集が完了しました。(情報取得元名：<情報取得元名>、プレフィックス名：<プレフィックス名>、ディスク構成：<ディスク構成>)	要因 ディスク構成定義ファイルの編集が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02309-E	ディスク構成定義ファイルの編集に失敗しました。(情報取得元名：<情報取得元名>、プレフィックス名：<プレフィックス名>、ディスク構成：<ディスク構成>)	要因 ディスク構成定義ファイルの編集に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02312-E	ディスク構成定義ファイルの配布が一部失敗しました。(情報取得元名：<情報取得元名>、プレフィックス名：<プレフィックス名>、ディスク構成：<ディスク構成>)	要因 ディスク構成定義ファイルの配布が一部失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02313-I	ディスク構成定義ファイルの配布を開始しました。(情報取得元名：<情報取得元名>、プレフィックス名：<プレフィックス名>、ディスク構成：<ディスク構成>)	要因 ディスク構成定義ファイルの配布を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02314-I	ディスク構成定義ファイルの配布が完了しました。(情報取得元名：<情報取得元名>、プレフィックス名：<プレ	要因 ディスク構成定義ファイルの配布が完了しました。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	フィックス名>, ディスク構成:<ディスク構成>)	対処 対処の必要はありません。
KAVN02315-E	ディスク構成定義ファイルの配布に失敗しました。(情報取得元名:<情報取得元名>, プレフィックス名:<プレフィックス名>, ディスク構成:<ディスク構成>)	要因 ディスク構成定義ファイルの配布に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02316-I	タスク(配布)を開始しました。(タスク ID:<タスク ID >)	要因 配布を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02317-I	タスク(配布)が完了しました。(タスク ID:<タスク ID >)	要因 配布が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02318-I	タスク(主ホスト変更)を開始しました。(タスク ID:<タスク ID >)	要因 主ホストの変更を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02319-I	タスク(主ホスト変更)が完了しました。(タスク ID:<タスク ID >)	要因 主ホストの変更が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02320-I	タスク(定義ペア編集)を開始しました。(タスク ID:<タスク ID >)	要因 定義ペア作成・編集を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02321-I	タスク(定義ペア編集)が完了しました。(タスク ID:<タスク ID >)	要因 定義ペア作成・編集が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02322-I	Replication Manager が許可しないバージョンの Business Continuity Manager または Mainframe Agent があるため、メインフレーム系システムを操作することができません。(情報取得元:<情報取得元名>)	要因 Replication Manager が許可しないバージョンの Business Continuity Manager または Mainframe Agent が存在するため、メインフレーム系システムを操作することができません。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02323-W	Replication Manager が許可しない初期設定パラメーターを持つ Business Continuity Manager または Mainframe Agent があるため、メインフレーム系システムを操作することができません。(情報取得元:<情報取得元名>)	要因 次の要因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> 初期設定パラメーターにローカルサイトの DADID がプレフィックスごとに異なって設定されています。 初期設定パラメーターに設定されているローカルサイトの DADID が、Replication Manager に登録されているほかの Business Continuity Manager または Mainframe Agent の初期設定パラメーターでローカルサイトの DADID に設定されています。 初期設定パラメーターに同じプレフィックスが複数設定されています。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		初期設定パラメーターを見直したあと、再度実行してください。
KAVN02324-I	ホスト情報の更新を開始しました。(ホスト名:<ホスト名>,アプリケーション種別:<アプリケーション種別>)	要因 ホスト情報の更新を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02325-I	ホスト情報の更新が完了しました。(ホスト名:<ホスト名>,アプリケーション種別:<アプリケーション種別>)	要因 ホスト情報の更新が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02326-E	ホスト情報の更新に失敗しました。(ホスト名:<ホスト名>,アプリケーション種別:<アプリケーション種別>)	要因 ホスト情報の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02328-I	タスクの作成を開始しました。	要因 タスクの作成を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02329-I	タスクの作成が完了しました。(タスクID:<タスクID>)	要因 タスクの作成が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02330-E	タスクの作成に失敗しました。	要因 タスクの作成に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02331-I	タスクの編集を開始しました。(タスクID:<タスクID>)	要因 タスクの編集を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02332-I	タスクの編集が完了しました。(タスクID:<タスクID>)	要因 タスクの編集が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02333-E	タスクの編集に失敗しました。(タスクID:<タスクID>)	要因 タスクの編集に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02334-I	タスクの実行を開始しました。(タスクID:<タスクID>)	要因 タスクの実行を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02335-I	タスクの実行が完了しました。(タスクID:<タスクID>)	要因 タスクの実行が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02336-E	タスクの実行に失敗しました。(タスクID:<タスクID>)	要因 タスクの実行に失敗しました。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02337-I	タスクのキャンセルを開始しました。 (タスク ID : <タスク ID >)	要因 タスクのキャンセルを開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02338-I	タスクのキャンセルが完了しました。 (タスク ID : <タスク ID >)	要因 タスクのキャンセルが完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02339-E	タスクのキャンセルに失敗しました。 (タスク ID : <タスク ID >)	要因 タスクのキャンセルに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02340-I	タスクの削除を開始しました。(タスク ID : <タスク ID >)	要因 タスクの削除を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02341-I	タスクの削除が完了しました。(タスク ID : <タスク ID >)	要因 タスクの削除が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02342-E	タスクの削除に失敗しました。(タスク ID : <タスク ID >)	要因 タスクの削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02343-I	タスク状態の更新を開始しました。(タスク ID : <タスク ID >)	要因 タスク状態の更新を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02344-I	タスク状態の更新が完了しました。(タスク ID : <タスク ID >)	要因 タスク状態の更新が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02345-E	タスク状態の更新に失敗しました。(タスク ID : <タスク ID >)	要因 タスク状態の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02346-I	レプリカのマウントを開始しました。 (情報取得元名 : <情報取得元名>, ラベル : <ラベル>, マウントポイント : <マウントポイント>)	要因 レプリカのマウントを開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02347-I	レプリカのマウントが完了しました。 (情報取得元名 : <情報取得元名>, ラベル : <ラベル>, マウントポイント : <マウントポイント>)	要因 レプリカのマウントが完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02348-E	レプリカのマウントに失敗しました。 (情報取得元名 : <情報取得元名>, ラベル : <ラベル>, マウントポイント : <マウントポイント>)	要因 レプリカのマウントに失敗しました。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02349-I	レプリカのアンマウントを開始しました。(情報取得元名: <情報取得元名>, ラベル: <ラベル>)	要因 レプリカのアンマウントを開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02350-I	レプリカのアンマウントが完了しました。(情報取得元名: <情報取得元名>, ラベル: <ラベル>)	要因 レプリカのアンマウントが完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02351-E	レプリカのアンマウントに失敗しました。(情報取得元名: <情報取得元名>, ラベル: <ラベル>)	要因 レプリカのアンマウントに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02352-I	タスク(takeover)を開始しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 takeover 操作を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02353-I	タスク(takeover)が完了しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 takeover 操作が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02354-W	タスク(takeover)がタイムアウトしました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 コマンドの実行は成功しましたが、完了確認処理でタイムアウトが発生しました。 対処 対象の操作が完了しているかどうかは Replication Manager が表示する構成情報を参照して確認してください。
KAVN02355-I	タスク(swap)を開始しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 swap 操作を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02356-I	タスク(swap)が完了しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 swap 操作が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02357-W	タスク(swap)がタイムアウトしました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 コマンドの実行は成功しましたが、完了確認処理でタイムアウトが発生しました。 対処 対象の操作が完了しているかどうかは Replication Manager が表示する構成情報を参照して確認してください。
KAVN02358-I	タスク(takeover-recovery(resync))を開始しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 takeover-recovery(resync)操作を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02359-I	タスク(takeover-recovery(resync))が完了しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 takeover-recovery(resync)操作が完了しました。 対処 対処の必要はありません。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAVN02360-W	タスク(takeover-recovery(resync))がタイムアウトしました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 コマンドの実行は成功しましたが、完了確認処理でタイムアウトが発生しました。 対処 対象の操作が完了しているかどうかは Replication Manager が表示する構成情報を参照して確認してください。
KAVN02361-I	タスク(takeover-recovery(recreate))を開始しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 takeover-recovery(recreate)操作を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02362-I	タスク(takeover-recovery(recreate))が完了しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 takeover-recovery(recreate)操作が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02363-W	タスク(takeover-recovery(recreate))がタイムアウトしました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 コマンドの実行は成功しましたが、完了確認処理でタイムアウトが発生しました。 対処 対象の操作が完了しているかどうかは Replication Manager が表示する構成情報を参照して確認してください。
KAVN02364-I	タスク(force-split)を開始しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 takeover 操作を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02365-I	タスク(force-split)が完了しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 takeover 操作が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02366-W	タスク(force-split)がタイムアウトしました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 コマンドの実行は成功しましたが、完了確認処理でタイムアウトが発生しました。 対処 対象の操作が完了しているかどうかは Replication Manager が表示する構成情報を参照して確認してください。
KAVN02367-I	レプリカ情報の取得を開始しました。(データベースサーバ名: <データベースサーバ名>, バックアップサーバ名: <バックアップサーバ名>, オプション: <オプション>)	要因 レプリカ情報の取得を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02368-I	レプリカ情報の取得が完了しました。(データベースサーバ名: <データベースサーバ名>, バックアップサーバ名: <バックアップサーバ名>, オプション: <オプション>)	要因 レプリカ情報の取得が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02369-E	レプリカ情報の取得に失敗しました。(データベースサーバ名: <データベースサーバ名>, バックアップサーバ名: <バックアップサーバ名>, オプション: <オプション>)	要因 レプリカ情報の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN02370-I	レプリカの削除を開始しました。(情報取得元名: <情報取得元名>, ラベル: <ラベル>, 世代識別名: <世代識別名>)	要因 レプリカの削除を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02371-I	レプリカの削除が完了しました。(情報取得元名: <情報取得元名>, ラベル: <ラベル>, 世代識別名: <世代識別名>)	要因 レプリカの削除が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02372-E	レプリカの削除に失敗しました。(情報取得元名: <情報取得元名>, ラベル: <ラベル>, 世代識別名: <世代識別名>)	要因 レプリカの削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02373-W	有効なライセンスキーを登録していないためアラート通知を実行できませんでした。(アラート名:<アラート名>, リソース ID:<リソース ID >)	要因 Replication Manager からアラートが通知されようとしたが、有効なライセンスキーが登録されていないため、アラート通知を実行できません。 対処 アラートを通知する場合は、ライセンス登録のためのダイアログを開き、有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを入力してください。
KAVN02374-I	ペア状態の取得を開始しました。(対象: ストレージシステム上に定義されたコピーグループ, ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 ペア状態の取得を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02375-I	ペア状態の取得が完了しました。(対象: ストレージシステム上に定義されたコピーグループ, ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 ペア状態の取得が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02376-E	ペア状態の取得に失敗しました。(対象: ストレージシステム上に定義されたコピーグループ, ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 ペア状態の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02377-I	対象のペアがないため、ペア状態の取得をスキップしました。(対象: ストレージシステム上に定義されたコピーグループ, ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 対象のペアが存在しないため、ペア状態の取得をスキップしました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02378-I	ユーザー認証情報がサポートしていない形式のため、コピーグループ情報の取得をスキップしました。(対象: ストレージシステム上に定義されたコピーグループ, ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 ユーザー認証が実施できないため、コピーグループ情報の取得をスキップしました。 対処 対処の必要はありません。 ただし、ストレージシステム上に定義されたコピーグループを管理する場合は、Device Manager にストレージシステムを登録する際に登録した SVP のユーザー ID, パスワードを RAID Manager が使用できる形式に変更してください。
KAVN02379-E	ストレージシステム上で定義されたコピーグループ情報の取得に失敗しまし	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	た。(ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	ストレージシステム上で定義されたコピーグループ情報の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02380-I	タスク(ノード追加)を開始しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 ノード追加を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02381-I	タスク(ノード追加)が完了しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 ノード追加が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02382-I	タスク(ノード削除)を開始しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 ノード削除を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02383-I	タスク(ノード削除)が完了しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 ノード削除が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02384-I	構成情報の同期を開始しました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 構成情報の同期を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02385-I	構成情報の同期が完了しました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 構成情報の同期が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02386-E	構成情報の同期に失敗しました。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 構成情報の同期に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02387-I	ストレージシステム情報更新を開始しました。(情報取得元: <情報取得元名>, ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 ストレージシステム情報更新を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02388-I	ストレージシステム情報更新が完了しました。(情報取得元: <情報取得元名>, ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 ストレージシステム情報更新が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02389-E	ストレージシステム情報更新に失敗しました。(情報取得元: <情報取得元名>, ストレージシステム名: <ストレージシステム名>) 直後に実行されたペア状態の取得が完了しても、最新の情報が取得できていない可能性があります。	要因 ストレージシステム情報更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02390-I	タスク(modify(Freeze/Run option))を開始しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 Freeze/Run オプションの編集を開始しました。 対処 対処の必要はありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN02391-I	タスク(modify(Freeze/Run option))が完了しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 Freeze/Run オプションの編集が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02392-I	タスク(modify(edit group name))を開始しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 コピーグループ名の編集を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02393-I	タスク(modify(edit group name))が完了しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 コピーグループ名の編集が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02394-I	RMI レジストリサービスを起動しました。	要因 RMI レジストリサービスを起動しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02395-E	RMI レジストリサービスの起動に失敗しました。	要因 RMI レジストリサービスの起動に失敗しました。 対処 base.properties の base.rmi.port に指定されているポートがほかのアプリケーションで使用されていないことを確認し、Replication Manager のサービスを再起動してください。
KAVN02396-I	タスク (create volume) を開始しました。(タスク ID : <タスク ID >)	要因 ボリュームの作成を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02397-I	タスク (create volume) が完了しました。(タスク ID : <タスク ID >)	要因 ボリュームの作成が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02398-I	タスク (allocate volume) を開始しました。(タスク ID : <タスク ID >)	要因 ボリュームの割り当てを開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02399-I	タスク (allocate volume) が完了しました。(タスク ID : <タスク ID >)	要因 ボリュームの割り当てが完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02400-I	タスク (unallocate volume) を開始しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 ボリュームの割り当て解除を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02401-I	タスク (unallocate volume) が完了しました。(タスク ID : <タスク ID >)	要因 ボリュームの割り当て解除が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02402-I	タスク (delete volume) を開始しました。(タスク ID : <タスク ID >)	要因 ボリュームの削除を開始しました。 対処 対処の必要はありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN02403-I	タスク (delete volume) が完了しました。(タスク ID : <タスク ID >)	要因 ボリュームの削除が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02404-I	LUN が存在しないボリュームに対する割り当て解除操作をスキップしました。(タスク ID : <タスク ID >)	要因 LUN が存在しないボリュームに対する割り当て解除操作をスキップしました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02405-I	存在しないボリュームに対する削除操作をスキップしました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 存在しないボリュームに対する削除操作をスキップしました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02406-I	実行中タスクのキャンセルを完了しました。(タスク ID : <タスク ID >)	要因 実行中タスクのキャンセルを完了しました。 対処 ホストビュー, またはコピーペア構成定義ビューを参照して, コピー進捗率を確認してください。
KAVN02407-I	タスク (modify(path group ID)) を開始しました。(タスク ID : <タスク ID >)	要因 パスグループ ID の編集を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02408-I	タスク (modify(path group ID)) が完了しました。(タスク ID : <タスク ID >)	要因 パスグループ ID の編集が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02409-I	実行中タスクのキャンセルを開始しました。(タスク ID : <タスク ID >)	要因 実行中タスクのキャンセルを開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02500-E	主ホストの変更に失敗しました。(変更元ホスト名/プレフィックス名 : {<変更元ホスト名> <プレフィックス名>}, 変更先ホスト名/プレフィックス名 : {<変更先ホスト名> <プレフィックス名>}, コピーグループ名 : <コピーグループ名>)	要因 主ホストの変更に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに, 再度実行してください。
KAVN02501-W	ペア削除の完了確認処理がタイムアウトしました。	要因 コマンドの実行は成功しましたが, 完了確認処理でタイムアウトが発生しました。 対処 ペア削除が完了しているかどうかは Replication Manager が表示する構成情報を参照して確認してください。
KAVN02502-E	タスクの編集に失敗しました。	要因 タスクの編集に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに, 再度実行してください。
KAVN02503-E	主ホストの変更に失敗しました。(コピーグループ名 : <コピーグループ名>)	要因 主ホストの変更に失敗しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02504-E	情報取得元の削除に失敗しました。 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。	要因 情報取得元の削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02505-W	一部の情報取得元の削除に失敗しました。 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。	要因 一部の情報取得元の削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02506-E	ホスト情報の更新に失敗しました。 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。	要因 ホスト情報の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02507-W	一部の情報取得元でホスト情報の更新に失敗しました。 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。	要因 一部の情報取得元でホスト情報の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02508-E	タスクの作成に失敗しました。 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。	要因 タスクの作成に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02509-E	タスクの編集に失敗しました。(タスクID: <タスクID >) 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。	要因 タスクの編集に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02510-E	タスクの実行に失敗しました。(タスクID: <タスクID >) 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。	要因 タスクの実行に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02511-W	一部のタスクのキャンセルに失敗しました。 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。	要因 一部のタスクのキャンセルに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02512-E	タスクのキャンセルに失敗しました。 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。	要因 タスクのキャンセルに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02513-W	一部のタスクの削除に失敗しました。 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。	要因 一部のタスクの削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN02514-E	タスクの削除に失敗しました。 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。	要因 タスクの削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02515-E	タスク情報の更新に失敗しました。 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。	要因 タスク情報の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02516-W	一部のタスクでタスク情報の更新に失敗しました。 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。	要因 一部のタスクでタスク情報の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02517-E	タスク情報の定期更新の実行に失敗しました。 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。	要因 タスク情報の定期更新の実行に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02518-E	レプリカのマウントに失敗しました。 (情報取得元:<情報取得元>, ラベル:<ラベル>, マウントポイント:<マウントポイント>) 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。	要因 レプリカのマウントに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02519-E	レプリカのアンマウントに失敗しました。 (情報取得元:<情報取得元>, ラベル:<ラベル>) 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。	要因 レプリカのアンマウントに失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02520-E	ペア作成は成功しましたが、ホスト情報の更新に失敗しました。(ホスト名:<ホスト名>) 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。	要因 ペア作成は成功しましたが、ホスト情報の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02521-E	ペア削除は成功しましたが、ホスト情報の更新に失敗しました。(ホスト名:<ホスト名>) 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。	要因 ペア削除は成功しましたが、ホスト情報の更新に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02522-E	ペア操作 (アドバンスド) に失敗しました。 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。	要因 ペア操作 (アドバンスド) に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02523-E	ペア作成に失敗しました。 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。	要因 ペア作成に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、ストレージシステム情報の更新を実

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>行して、最新の構成情報を Replication Manager に反映してください。そのあと、次のどちらかの方法で副ボリュームを隠べいしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> Application Agent の設定で副ボリュームを隠べいする。必要に応じてコピーペア状態の変更を実行してコピーペアを作成する。 コピーペア構成定義ウィザードを使用して、対象の構成定義ファイルを削除してから再度タスクを実行する。
KAVN02524-E	ペア削除に失敗しました。同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。	<p>要因 ペア削除に失敗しました。</p> <p>対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、ストレージシステム情報の更新を実行して、最新の構成情報を Replication Manager に反映してください。そのあと、再度実行してください。</p>
KAVN02550-I	ライセンスキーまたはライセンスキーファイルを入力してください。	<p>要因 ライセンスキーまたはライセンスキーファイルが入力されていません。</p> <p>対処 ライセンスキーまたはライセンスキーファイルを入力してください。</p>
KAVN02551-W	セッションタイムアウトです。再ログインしてください。	<p>要因 セッションタイムアウトです。</p> <p>対処 再ログインしてください。</p>
KAVN02552-E	セッションが無効です。再ログインしてください。	<p>要因 セッションが無効です。</p> <p>対処 再ログインしてください。</p>
KAVN02553-W	ライセンスファイルが容量の上限を超えました。	<p>要因 ライセンスファイルが容量の上限を超えました。</p> <p>対処 正しいライセンスキーファイルを入力してください。</p>
KAVN02554-W	ライセンスキーが不正か、すでに登録されているライセンスキーを登録しようとした可能性があります。	<p>要因 ライセンスキーが不正か、すでに登録されているライセンスキーを登録しようとした可能性があります。</p> <p>対処 正しいライセンスキーを入力してください。</p>
KAVN02555-W	セッションタイムアウトが発生したため、本画面は無効になりました。操作を再実行し、画面の再表示を行ってください。	<p>要因 セッションタイムアウトです。</p> <p>対処 操作を再実行し、画面の再表示を行ってください。</p>
KAVN02556-I	選択されたジャーナルグループは、すでに削除されています。画面を更新してください。	<p>要因 選択されたジャーナルグループは、すでに削除されています。</p> <p>対処 画面を更新してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN02557-I	選択されたホストのいくつかは、すでに削除されています。画面を更新してください。	要因 選択されたホストのいくつかは、すでに削除されています。 対処 画面を更新してください。
KAVN02558-I	選択されたストレージシステムのいくつかは、すでに削除されています。画面を更新してください。	要因 選択されたストレージシステムのいくつかは、すでに削除されています。 対処 画面を更新してください。
KAVN02559-I	選択されたサイトのいくつかは、すでに削除されています。画面を更新してください。	要因 選択されたサイトのいくつかは、すでに削除されています。 対処 画面を更新してください。
KAVN02560-I	選択されたペア管理サーバのいくつかは、すでに削除されています。画面を更新してください。	要因 選択されたペア管理サーバのいくつかは、すでに削除されています。 対処 画面を更新してください。
KAVN02561-I	選択されたペア管理サーバのいくつかは、すでに追加されています。画面を更新してください。	要因 選択されたペア管理サーバのいくつかは、すでに追加されています。 対処 画面を更新してください。
KAVN02562-I	選択されたホストのいくつかは、すでに追加されています。画面を更新してください。	要因 選択されたホストのいくつかは、すでに追加されています。 対処 画面を更新してください。
KAVN02563-I	選択されたストレージシステムのいくつかは、すでに追加されています。画面を更新してください。	要因 選択されたストレージシステムのいくつかは、すでに追加されています。 対処 画面を更新してください。
KAVN02564-I	選択されたルールは、すでに削除されています。画面を更新してください。	要因 選択されたルールは、すでに削除されています。 対処 画面を更新してください。
KAVN02565-I	選択されたルールのいくつかは、すでに削除されています。画面を更新してください。	要因 選択されたルールのいくつかは、すでに削除されています。 対処 画面を更新してください。
KAVN02566-W	すでに最大値である<最大アラート数>個のアラート設定が登録されています。これ以上のアラート設定は登録できません。	要因 すでに登録されているアラート設定の個数が最大値に達しています。 対処 これ以上のアラート設定は登録できません。
KAVN02567-I	{非常時 一時的} ライセンスキーの有効期間は、<H数>日間です。<H>に満了します。	要因 期間がもうすぐ満了します。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		新しいライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAVN02568-W	{非常時 一時的} ライセンスキーの有効期間は、<日数>日間です。<日>に満了します。正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを入力してください。	要因 登録されたライセンスキーの有効期間がもうすぐ満了します。 対処 正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを入力してください。
KAVN02569-W	必要な権限がありません。	要因 必要な権限がありません。 対処 システム管理者に連絡してください。
KAVN02570-I	ライセンス情報が更新されました。	要因 ライセンス情報が更新されました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02571-E	レプリカ情報取得の開始に失敗しました。	要因 対象のホストのレプリカを管理するバックアップサーバが登録されていません。 対処 対象のホストにバックアップサーバを登録してから、再度実行してください。
KAVN02572-E	レプリカ削除の開始に失敗しました。	要因 Replication Manager と Application Agent のバージョンが一致していません。 対処 最新の Application Agent をインストールしてください。
KAVN02573-E	レプリカの削除に失敗しました。	要因 レプリカの削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02574-E	レプリカの取得に失敗しました。	要因 レプリカの取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02575-W	Replication Manager のライセンスキーを登録していないか、Replication Manager の権限がないため、画面を表示できません。	要因 Replication Manager のライセンスキーを登録していないか、Replication Manager の権限がないため、画面を表示できません。 対処 Replication Manager のライセンスキーを登録してください。ライセンスが有効である場合には、User Management 権限のあるユーザーに Replication Manager の権限を追加してもらってください。
KAVN02576-E	ノードの追加に失敗しました。	要因 ノードを追加できませんでした。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02577-E	ノードの削除に失敗しました。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ノードを削除できませんでした。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02579-E	ペア管理サーバの構成定義ファイルの取得に失敗しました。(ペア管理サーバ名：<ペア管理サーバ名>，ストレージシステム名：<ストレージシステム名>)	要因 ペア管理サーバの構成定義ファイルの取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあと，[ストレージシステム一覧]画面で対象のストレージシステムを選択し[ストレージシステム情報更新]を実行してください。
KAVN02580-E	ペア管理サーバのバージョン情報の取得に失敗しました。(ペア管理サーバ名：<ペア管理サーバ名>)	要因 ペア管理サーバのバージョン情報の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあと， Device Manager を使用して対象のホストを更新してください。
KAVN02581-E	ストレージシステムの構成情報の取得に失敗しました。(ストレージシステム名：<ストレージシステム名>)	要因 ストレージシステムの構成情報の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02582-E	ホストの構成情報の取得に失敗しました。(ホスト名：<ホスト名>)	要因 ホストの構成情報の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02583-E	ストレージシステムの構成情報の取得に失敗しました。(ストレージシステム名：<ストレージシステム名>)	要因 ストレージシステムの構成情報の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあと，[ストレージシステム一覧]画面で対象のストレージシステムを選択し[ストレージシステム情報更新]を実行してください。
KAVN02584-E	デバイスグループで定義されたコピーグループの構成情報の取得に失敗しました。(ペア管理サーバ名：<ペア管理サーバ名>，ストレージシステム名：<ストレージシステム名>)	要因 デバイスグループで定義されたコピーグループの構成情報の取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあと，[ストレージシステム一覧]画面で対象のストレージシステムを選択し[ストレージシステム情報更新]を実行してください。
KAVN02585-E	ホストの構成情報の取得で内部エラーが発生しました。(ホスト名：<ホスト名>)	要因 ホストの構成情報の取得で内部エラーが発生しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあと， Device Manager を使用して対象のホストを更新してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN02586-E	ストレージシステムの構成情報の取得で内部エラーが発生しました。(ストレージシステム名:<ストレージシステム名>)	要因 ストレージシステムの構成情報の取得で内部エラーが発生しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあと、[ストレージシステム一覧]画面で対象のストレージシステムを選択し[ストレージシステム情報更新]を実行してください。
KAVN02800-W	コピーペア状態の変更(アドバンスド)の最終確認処理がタイムアウトしました。	要因 コマンドの実行には成功しましたが、タイムアウトが発生しました。 対処 Replication Manager で表示される情報を参照し、コピーペア操作の完了を確認してください。
KAVN02801-E	takeover 操作に失敗しました。	要因 takeover 操作に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02802-E	swap 操作に失敗しました。	要因 swap 操作に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02803-E	force-split 操作に失敗しました。	要因 force-split 操作に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02804-E	takeover-recovery(resync)操作に失敗しました。	要因 takeover-recovery(resync)操作に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02805-E	takeover-recovery(recreate)操作に失敗しました。	要因 takeover-recovery(recreate)操作に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02815-W	一部のレプリカの情報取得に失敗しました。同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。	要因 一部のレプリカの情報取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02816-E	レプリカ情報取得に失敗しました。同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。	要因 レプリカ情報取得に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02817-E	一部のレプリカの削除に失敗しました。同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。	要因 一部のレプリカの削除に失敗しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02818-W	レプリカ削除に失敗しました。同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。	要因 レプリカの削除に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02822-E	takeover 操作[horctakeover -S]に失敗しました。	要因 takeover 操作[horctakeover -s]に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02823-W	takeover 操作[horctakeover -S]がタイムアウトしました。	要因 takeover 操作[horctakeover -s]の完了確認中にタイムアウトしました。 対処 対象の操作が完了しているかどうかは Replication Manager が表示する構成情報を参照して確認してください。
KAVN02824-E	swap 操作[pairsplit]に失敗しました。	要因 swap 操作[pairsplit]に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02825-E	swap 操作[pairresync -swaps]に失敗しました。	要因 swap 操作[pairresync -swaps]に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02826-W	swap 操作[pairsplit]がタイムアウトしました。	要因 swap 操作[pairsplit]の完了確認中にタイムアウトしました。 対処 対象の操作が完了しているかどうかは Replication Manager が表示する構成情報を参照して確認してください。
KAVN02827-W	swap 操作[pairresync -swaps]がタイムアウトしました。	要因 swap 操作[pairresync -swaps]の完了確認中にタイムアウトしました。 対処 対象の操作が完了しているかどうかは Replication Manager が表示する構成情報を参照して確認してください。
KAVN02828-E	force-split 操作[horctakeover -l]に失敗しました。	要因 force-split 操作[horctakeover -l]に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02829-W	force-split 操作[horctakeover -l]がタイムアウトしました。	要因 force-split 操作[horctakeover -l]の完了確認中にタイムアウトしました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 対象の操作が完了しているかどうかは Replication Manager が表示する構成情報を参照して確認してください。
KAVN02830-E	takeover-recovery(resync)操作 [pairresync -swaps]に失敗しました。	要因 takeover-recovery(resync)操作[pairresync -swaps]に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02831-W	takeover-recovery(resync)操作 [pairresync -swaps]がタイムアウトしました。	要因 takeover-recovery(resync)操作[pairresync -swaps]の完了確認中にタイムアウトしました。 対処 対象の操作が完了しているかどうかは Replication Manager が表示する構成情報を参照して確認してください。
KAVN02832-E	takeover-recovery(recreate)操作 [pairsplit -R + pairsplit -S]に失敗しました。	要因 takeover-recovery(recreate)操作[pairsplit -R + pairsplit -S]に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02833-E	takeover-recovery(recreate)操作 [paircreate]に失敗しました。	要因 takeover-recovery(recreate)操作[paircreate]に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02834-W	takeover-recovery(recreate)操作 [pairsplit -R + pairsplit -S]がタイムアウトしました。	要因 takeover-recovery(recreate)操作[pairsplit -R + pairsplit -S]の完了確認中にタイムアウトしました。 対処 対象の操作が完了しているかどうかは Replication Manager が表示する構成情報を参照して確認してください。
KAVN02835-W	takeover-recovery(recreate)操作 [paircreate]がタイムアウトしました。	要因 takeover-recovery(recreate)操作[paircreate]の完了確認中にタイムアウトしました。 対処 対象の操作が完了しているかどうかは Replication Manager が表示する構成情報を参照して確認してください。
KAVN02836-E	対象のコピーペアがないため構成定義 ファイルを編集できません。(ペア管理 サーバ: <ペア管理サーバ>, イン スタンス番号: <インスタンス番号>, コピーペア名: <コピーペア名>)	要因 対象のコピーペアがないため構成定義 ファイルを編集できません。 対処 指定した構成定義ファイルに操作対象のペア あることを確認したあとに、再度実行して ください。
KAVN02837-E	takeover 操作[horctakeover -S]に失敗 しました。(ペア管理サーバ: <ペア管	要因 takeover 操作[horctakeover -S]に失敗し ました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	理サーバ>, インスタンス番号: <インスタンス番号>, コピーグループ名: <コピーグループ名>)	対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02838-E	swap 操作[pairsplit]に失敗しました。(ペア管理サーバ: <ペア管理サーバ>, インスタンス番号: <インスタンス番号>, コピーグループ名: <コピーグループ名>)	要因 swap 操作[pairsplit]に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02839-E	swap 操作[pairresync -swaps]に失敗しました。(ペア管理サーバ: <ペア管理サーバ>, インスタンス番号: <インスタンス番号>, コピーグループ名: <コピーグループ名>)	要因 swap 操作[pairresync -swaps]に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02840-E	force-split 操作[horctakeover -l]に失敗しました。(ペア管理サーバ: <ペア管理サーバ>, インスタンス番号: <インスタンス番号>, コピーグループ名: <コピーグループ名>)	要因 force-split 操作[horctakeover -l]に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02841-E	takeover-recovery(resync)操作[pairresync -swaps]に失敗しました。(ペア管理サーバ: <ペア管理サーバ>, インスタンス番号: <インスタンス番号>, コピーグループ名: <コピーグループ名>)	要因 takeover-recovery(resync)操作[pairresync -swaps]に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02842-E	takeover-recovery(recreate)操作[pairsplit -R + pairsplit -S]に失敗しました。(ペア管理サーバ: <ペア管理サーバ>, インスタンス番号: <インスタンス番号>, コピーグループ名: <コピーグループ名>)	要因 takeover-recovery(recreate)操作[pairsplit -R + pairsplit -S]に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02843-E	takeover-recovery(recreate)操作[paircreate]に失敗しました。(ペア管理サーバ: <ペア管理サーバ>, インスタンス番号: <インスタンス番号>, コピーグループ名: <コピーグループ名>)	要因 takeover-recovery(recreate)操作[paircreate]に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02846-E	ペア状態の定期更新の実行に失敗しました。(対象: ストレージシステム上に定義されたコピーグループ, ストレージシステム名: <ストレージシステム名>)	要因 ペア状態の定期更新が実行できませんでした。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02847-E	ペア状態取得の設定に失敗しました。(対象: ストレージシステム上に定義されたコピーグループ, ストレージシステム名: <ストレージシステム名>) ペア状態の定期更新の設定時にエラーが発生しました。	要因 Replication Manager で、ストレージシステムごとのペア状態の取得を設定した際に、エラーが発生しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。 それでも問題が解決されない場合は、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN02848-E	ペア状態取得の設定に失敗しました。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ペア状態の定期更新の設定時にエラーが発生しました。	Replication Manager で、ペア管理サーバまたはストレージシステムごとのペア状態の取得を設定した際に、エラーが発生しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。 それでも問題が解決されない場合は、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN02849-E	グループの編集に失敗しました。	要因 グループの編集に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02850-E	指定された構成定義ファイルが変更されているため、構成定義ファイルの編集を中止しました。(ペア管理サーバ名：<ペア管理サーバ>、インスタンス番号：<インスタンス番号>、コピーグループ名：<コピーグループ名>)	要因 指定された構成定義ファイルが変更されているため、構成定義ファイルの編集を中止しました。 対処 構成定義ファイルの内容を見直してください。そのあと、必要に応じて再度実行してください。
KAVN02851-E	コピーグループ名の変更に失敗しました。(変更前コピーグループ名：<変更前コピーグループ名>)	要因 コピーグループ名の変更に失敗しました。同時に出力される詳細メッセージの要因を確認してください。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02852-E	コピーグループ名の変更に成功しましたが、ホスト情報の更新に失敗しました。(ホスト名：<ホスト名>、変更前コピーグループ名：<変更前コピーグループ名>)	要因 コピーグループ名の変更に成功しましたが、ホスト情報の更新に失敗しました。同時に出力される詳細メッセージの要因を確認してください。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02853-E	ボリュームの作成に失敗しました。(ストレージシステム名：<ストレージシステム名>)	要因 ボリュームの作成に失敗しました。同時に出力される詳細メッセージの要因を確認してください。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02854-E	ボリュームの割り当てに失敗しました。(ストレージシステム名：<ストレージシステム名>、ポート名：<ポート名>、ホストグループ名：<ホストグループ名>)	要因 ボリュームの割り当てに失敗しました。同時に出力される詳細メッセージの要因を確認してください。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02855-E	システムオプションの編集に失敗しました。	要因 システムオプションの編集に失敗しました。同時に出力される詳細メッセージの要因を確認してください。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。それでも発生する場合は、Replication Manager のデータ

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		ベースが最新でないおそれがあります。ストレージシステムのリフレッシュを行ってから、再度実行してください。
KAVN02856-E	副ボリュームの追加に失敗しました。	要因 副ボリュームの追加に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02857-E	ミラーオプションの編集に失敗しました。(ミラー ID: <ミラー ID >)	要因 ジャーナルグループの追加もしくはジャーナルグループの編集は成功しましたが、ミラーオプションの編集に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、ミラーオプションの編集を再度実行してください。それでも発生する場合は、Replication Manager のデータベースが最新でないおそれがあります。ストレージシステムのリフレッシュを行ってから、再度実行してください。
KAVN02858-E	Freeze/Run 設定の変更に失敗しました。	要因 Freeze/Run 設定の変更に失敗しました。同時に出力される詳細メッセージの要因を確認してください。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処したあとに、再度実行してください。
KAVN02859-E	ボリュームの割り当て解除に失敗しました。(ストレージシステム名: <ストレージシステム名 >)	要因 ボリュームの割り当て解除に失敗しました。同時に出力される詳細メッセージの要因を確認してください。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02860-E	ボリュームの削除に失敗しました。(ストレージシステム名: <ストレージシステム名 >)	要因 ボリュームの削除に失敗しました。同時に出力される詳細メッセージの要因を確認してください。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02861-W	タスクのキャンセル操作により、ペア作成タスクを停止しました。ストレージシステム上のペア作成は継続していません。	要因 タスクのキャンセル操作により、ペア作成タスクを停止しました。 対処 ホストビュー、またはコピーペア構成定義ビューを参照して、コピー進捗率を確認してください。
KAVN02862-E	パスグループ ID の編集に失敗しました。	要因 パスグループ ID の編集に失敗しました。同時に出力される詳細メッセージの要因を確認してください。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN02863-W	選択したタスクはすでにキャンセル中です。(タスク ID : <タスク ID >)	要因 選択したタスクはすでにキャンセル中です。 対処 対処の必要はありません。
KAVN02864-E	コピーペア名編集に失敗しました。	要因 コピーペア名編集操作を実行できませんでした。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN02865-E	スナップショットグループ設定編集に失敗しました。	要因 スナップショットグループ設定編集に失敗しました。 対処 同時に出力される詳細メッセージに従って対処してください。
KAVN03200-E	実行できるコマンドが見つかりません。	要因 実行できるコマンドが見つかりませんでした。 対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。
KAVN03201-E	コマンドの実行に失敗しました。	要因 コマンドの実行に失敗しました。 対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。
KAVN03202-E	ホストにアプリケーションがインストールされていません。	要因 ホストにアプリケーションがインストールされていません。 対処 ホストにアプリケーションが正しくインストールされていることを確認してください。
KAVN03203-E	コマンドのリクエストに失敗したか、またはコマンドの実行結果の解析に失敗しました。	要因 コマンドのリクエストに失敗したか、またはコマンドの実行結果の解析に失敗しました。 対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。
KAVN03204-E	コマンドの最大文字数を超えています。	要因 コマンドの最大文字数を超えています。 対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。
KAVN03205-E	"DEFAULT.dat", "mail.conf"または,"init.conf"ファイル"どれかのファイルのオープンに失敗しました。	要因 "DEFAULT.dat", "mail.conf"または,"init.conf"のどれかのファイルのオープンに失敗しました。 対処 "DEFAULT.dat", "mail.conf"または,"init.conf"がほかのプロセスによってロック

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		クされていないか、アクセス権限があるか確認してから再度実行してください。
KAVN03206-E	XML リクエストに必要な属性値がありません。	要因 XML リクエストに必要な属性値がありません。 対処 Replication Manager と Replication Manager Application Agent がインストールされているホストの間で正しく通信が行われていることを確認してから再度実行してください。
KAVN03207-I	Replication Manager Application Agent からの保守情報の収集を開始しました。	要因 Replication Manager Application Agent からの保守情報の収集を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN03213-I	Replication Manager Application Agent の保守情報の収集が完了しました。	要因 Replication Manager Application Agent の保守情報の収集が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN03216-E	Replication Manager Application Agent からの保守情報の収集に失敗しました。(理由:内部エラーが発生しました)	要因 Replication Manager Application Agent からの保守情報の収集に失敗しました。 対処 問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVN03217-E	agent.properties ファイルが存在しないか、情報が不正です。	要因 agent.properties ファイルが Replication Manager Application Agent ホストに存在しないか、情報が不正です。 対処 次の対処を行ってください。 1. <Hitachi Command Suite 共通エージェントコンポーネントサービスインストールパス>%mod%hrpmap%config に agent.properties ファイルがあるかどうかを確認してください。 2. agent.properties ファイルに agent.htm.location の値が正しく記載されているかを確認してください。
KAVN03218-E	パラメーターが指定されていません。	要因 パラメーターが指定されていません。 対処 正しいパラメーターを指定してください。
KAVN03219-E	パラメーターの指定が多すぎます。	要因 パラメーターの指定が多すぎます。 対処 正しいパラメーターを指定してください。
KAVN03220-E	ディレクトリを指定する為の最初のパラメーターが設定されていません。	要因 ディレクトリを指定する為の最初のパラメーターが設定されていません。 対処 最初のパラメーターとしてディレクトリを指定してください。
KAVN03221-E	パラメーターに不正な値が含まれています。値 = <ユーザー設定値>	要因 パラメーターに不正な値が含まれています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 次の対処を行ってください。 1. c:や d:で始まるパス名を指定してください。 2. 入力したパス名が 260 文字を超えていないか確認してください。
KAVN03222-E	不正なオプションが指定されました。	要因 不正なオプションが指定されました。 対処 正しいオプションを指定してください。
KAVN03223-E	コマンドを実行する為の権限がありません。	要因 コマンドを実行する為の権限がありません。 対処 管理者権限を持つユーザー ID でログインしてください。
KAVN03224-E	Replication Manager Application Agent からの保守情報の収集に失敗しました(理由:フォルダ/ファイルがアクセス中か、内部エラーが発生しました)。	要因 Replication Manager Application Agent からの保守情報の収集に失敗しました。(理由:フォルダ/ファイルがアクセス中か、内部エラーが発生しました) 対処 フォルダの場所を確認してください。または、ファイルが別のプロセスやユーザーによって使用中でないか確認してください。
KAVN03225-E	指定されたディレクトリにアクセスできません。[<ユーザー設定値>]	要因 ユーザーが指定したドライブまたはディレクトリにアクセスできません。 対処 正しいドライブまたはディレクトリを指定してください。

10.2 KAVN10000～KAVN19999

Replication Manager に関するメッセージ (KAVN10000～KAVN19999) を次の表に示します。

表 10-2 KAVN10000～KAVN19999 : Replication Manager のメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN10001-I	The task has started. (task ID = <タスク ID >, Target = <操作対象>, Task Type = <タスク種別>)	要因 ペア作成を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10002-I	The task has finished. (task ID = <タスク ID >, Target = <操作対象>, Task Type = <タスク種別>)	要因 ペア作成が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10003-W	The task has time out. (task ID = <タスク ID >, Target = <操作対象>, Task Type = <タスク種別>)	要因 ペア作成の完了確認処理でタイムアウトが発生しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10004-W	An attempt to modify the configuration definition file has	要因 構成定義ファイルの変更に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	failed. (pair management server = <ペア管理サーバ名>, instance number = <インスタンス番号>)	対処 対処の必要はありません。
KAVN10005-W	An attempt to delete the configuration definition file has failed. (pair management server = <ペア管理サーバ名>, instance number = <インスタンス番号>)	要因 構成定義ファイルの削除に失敗しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10006-I	The task has started. (task ID = <タスク ID >, Target = <操作対象>, Task Type = <タスク種別>)	要因 ペア操作を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10007-I	The task has finished. (task ID = <タスク ID >, Target = <操作対象>, Task Type = <タスク種別>)	要因 ペア操作が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10008-W	The task has time out. (task ID = <タスク ID >, Target = <操作対象>, Task Type = <タスク種別>)	要因 ペア操作の完了確認処理でタイムアウトが発生しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10009-E	An attempt to execute a task has failed. (task ID = <タスク ID >, Target = <操作対象>, Task Type = <タスク種別>)	要因 タスクの実行に失敗しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10010-I	The task has started. (task ID = <タスク ID >, Target = <操作対象>, Task Type = <タスク種別>)	要因 ペア削除を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10011-I	The task has finished. (task ID = <タスク ID >, Target = <操作対象>, Task Type = <タスク種別>)	要因 ペア削除が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10014-E	An attempt to edit a Disk Configuration Definition File has partially failed. (information source = <情報取得元名>, Prefix = <プレフィックス名>, DiskList = <ディスク構成>)	要因 ディスク構成定義ファイルの編集が一部失敗しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10015-I	Editing Disk Configuration Definition File has started. (information source = <情報取得元名>, Prefix = <プレフィックス名>, DiskList = <ディスク構成>)	要因 ディスク構成定義ファイルの編集を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10016-I	Editing Disk Configuration Definition File has finished. (information source = <情報取得元名>, Prefix = <プレフィックス名>, DiskList = <ディスク構成>)	要因 ディスク構成定義ファイルの編集が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10017-E	An attempt to edit Disk Configuration Definition File has failed. (information source = <情報取得元名>, Prefix = <プレフィックス名>, DiskList = <ディスク構成>)	要因 ディスク構成定義ファイルの編集に失敗しました。 対処 対処の必要はありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	得元名>, Prefix = <プレフィックス名>, DiskList = <ディスク構成>	対処の必要はありません。
KAVN10020-E	An attempt to distribute a Disk Configuration Definition File has partially failed. (information source = <情報取得元名>, Prefix = <プレフィックス名>, DiskList = <ディスク構成>)	要因 ディスク構成定義ファイルの配布が一部失敗しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10021-I	Distributing Disk Configuration Definition File has started. (information source = <情報取得元名>, Prefix = <プレフィックス名>, DiskList = <ディスク構成>)	要因 ディスク構成定義ファイルの配布を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10022-I	Distributing Disk Configuration Definition File has finished. (information source = <情報取得元名>, Prefix = <プレフィックス名>, DiskList = <ディスク構成>)	要因 ディスク構成定義ファイルの配布が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10023-E	An attempt to distribute Disk Configuration Definition File has failed. (information source = <情報取得元名>, Prefix = <プレフィックス名>, DiskList = <ディスク構成>)	要因 ディスク構成定義ファイルの配布に失敗しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10024-I	The task has started. (task ID = <タスクID>, Target = <操作対象>, Task Type = <タスク種別>)	要因 配布を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10025-I	The task has finished. (task ID = <タスクID>, Target = <操作対象>, Task Type = <タスク種別>)	要因 配布が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10026-I	The task has started. (task ID = <タスクID>, Target = <操作対象>, Task Type = <タスク種別>)	要因 主ホスト変更を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10027-I	The task has finished. (task ID = <タスクID>, Target = <操作対象>, Task Type = <タスク種別>)	要因 主ホスト変更が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10028-I	The task has started. (task ID = <タスクID>, Target = <操作対象>, Task Type = <タスク種別>)	要因 定義ペア作成・編集を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10029-I	The task has finished. (task ID = <タスクID>, Target = <操作対象>, Task Type = <タスク種別>)	要因 定義ペア作成・編集が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10030-W	The task has time out. (task ID = <タスクID>, Target = <操作対象>, Task Type = <タスク種別>)	要因 ペア削除の完了確認処理でタイムアウトが発生しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10031-I	Creation of a task has started.	要因

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		タスクの作成を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10032-I	A task was created successfully. (task ID = <タスク ID >)	要因 タスクの作成が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10033-E	An attempt to create a task has failed.	要因 タスクの作成に失敗しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10034-I	Editing of a task has started. (task ID = <タスク ID >)	要因 タスクの編集を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10035-I	A task was edited successfully. (task ID = <タスク ID >)	要因 タスクの編集が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10036-E	An attempt to edit a task has failed. (task ID = <タスク ID >)	要因 タスクの編集に失敗しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10037-I	Execution of a task has started. (task ID = <タスク ID >)	要因 タスクの実行を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10038-I	A task was executed successfully. (task ID = <タスク ID >)	要因 タスクの実行が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10039-E	An attempt to execute a task has failed. (task ID = <タスク ID >)	要因 タスクの実行に失敗しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10040-I	Cancellation of a task has started. (task ID = <タスク ID >)	要因 タスクのキャンセルを開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10041-I	A task was canceled successfully. (task ID = <タスク ID >)	要因 タスクのキャンセルが完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10042-E	An attempt to cancel a task has failed. (task ID = <タスク ID >)	要因 タスクのキャンセルに失敗しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10043-I	Deletion of a task has started. (task ID = <タスク ID >)	要因 タスクの削除を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10044-I	A task was deleted successfully. (task ID = <タスク ID >)	要因 タスクの削除が完了しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 対処の必要はありません。
KAVN10045-E	An attempt to delete a task has failed. (task ID = <タスク ID >)	要因 タスクの削除に失敗しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10046-I	Mounting of a replica has started. (information source name = <情報取得元名 >, label = <ラベル >, mount point = <マウントポイント >)	要因 レプリカのマウントを開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10047-I	A replica was mounted successfully. (information source name = <情報取得元名 >, label = <ラベル >, mount point = <マウントポイント >)	要因 レプリカのマウントが完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10048-E	An attempt to mount a replica has failed. (information source name = <情報取得元名 >, label = <ラベル >, mount point = <マウントポイント >)	要因 レプリカのマウントに失敗しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10049-I	Unmounting of a replica has started. (information source name = <情報取得元名 >, label = <ラベル >)	要因 レプリカのアンマウントを開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10050-I	A replica was unmounted successfully. (information source name = <情報取得元名 >, label = <ラベル >)	要因 レプリカのアンマウントが完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10051-E	An attempt to unmount a replica has failed. (information source name = <情報取得元名 >, label = <ラベル >)	要因 レプリカのアンマウントに失敗しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10052-I	タスクを開始しました。(タスク ID: <タスク ID >, 操作対象: <操作対象 >, タスク種別: <タスク種別 >)	要因 takeover 操作を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10053-I	タスクが完了しました。(タスク ID: <タスク ID >, 操作対象: <操作対象 >, タスク種別: <タスク種別 >)	要因 takeover 操作が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10054-W	タスクがタイムアウトしました。(タスク ID: <タスク ID >, 操作対象: <操作対象 >, タスク種別: <タスク種別 >)	要因 コマンドの実行は成功しましたが、完了確認処理でタイムアウトが発生しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10055-I	タスクを開始しました。(タスク ID: <タスク ID >, 操作対象: <操作対象 >, タスク種別: <タスク種別 >)	要因 swap 操作を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10056-I	タスクが完了しました。(タスク ID: <タスク ID >, 操作対象: <操作対象 >, タスク種別: <タスク種別 >)	要因 swap 操作が完了しました。 対処 対処の必要はありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN10057-W	タスクがタイムアウトしました。(タスク ID: <タスク ID >, 操作対象: <操作対象>, タスク種別: <タスク種別>)	要因 コマンドの実行は成功しましたが, 完了確認処理でタイムアウトが発生しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10058-I	タスクを開始しました。(タスク ID: <タスク ID >, 操作対象: <操作対象>, タスク種別: <タスク種別>)	要因 takeover-recovery(resync)操作を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10059-I	タスクが完了しました。(タスク ID: <タスク ID >, 操作対象: <操作対象>, タスク種別: <タスク種別>)	要因 takeover-recovery(resync)操作が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10060-W	タスクがタイムアウトしました。(タスク ID: <タスク ID >, 操作対象: <操作対象>, タスク種別: <タスク種別>)	要因 コマンドの実行は成功しましたが, 完了確認処理でタイムアウトが発生しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10061-I	タスクを開始しました。(タスク ID: <タスク ID >, 操作対象: <操作対象>, タスク種別: <タスク種別>)	要因 takeover-recovery(recreate)操作を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10062-I	タスクが完了しました。(タスク ID: <タスク ID >, 操作対象: <操作対象>, タスク種別: <タスク種別>)	要因 takeover-recovery(recreate)操作が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10063-W	タスクがタイムアウトしました。(タスク ID: <タスク ID >, 操作対象: <操作対象>, タスク種別: <タスク種別>)	要因 コマンドの実行は成功しましたが, 完了確認処理でタイムアウトが発生しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10064-I	タスクを開始しました。(タスク ID: <タスク ID >, 操作対象: <操作対象>, タスク種別: <タスク種別>)	要因 takeover 操作を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10065-I	タスクが完了しました。(タスク ID: <タスク ID >, 操作対象: <操作対象>, タスク種別: <タスク種別>)	要因 takeover 操作が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10066-W	タスクがタイムアウトしました。(タスク ID: <タスク ID >, 操作対象: <操作対象>, タスク種別: <タスク種別>)	要因 コマンドの実行は成功しましたが, 完了確認処理でタイムアウトが発生しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10067-I	レプリカ情報の取得を開始しました。(データベースサーバ名: <データベースサーバ名>, バックアップサーバ名: <バックアップサーバ名>, オプション: <オプション>)	要因 レプリカ情報の取得を開始しました。 対処 対処の必要はありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVN10068-I	レプリカ情報の取得が完了しました。 (データベースサーバ名：<データベースサーバ名>，バックアップサーバ名：<バックアップサーバ名>，オプション：<オプション>)	要因 レプリカ情報の取得が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10069-E	レプリカ情報の取得に失敗しました。 (データベースサーバ名：<データベースサーバ名>，バックアップサーバ名：<バックアップサーバ名>，オプション：<オプション>)	要因 レプリカ情報の取得に失敗しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10070-I	レプリカの削除を開始しました。(情報取得元名：<情報取得元名>，ラベル：<ラベル>，世代識別名：<世代識別名>)	要因 レプリカの削除を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10071-I	レプリカの削除が完了しました。(情報取得元名：<情報取得元名>，ラベル：<ラベル>，世代識別名：<世代識別名>)	要因 レプリカの削除が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10072-E	レプリカの削除に失敗しました。(情報取得元名：<情報取得元名>，ラベル：<ラベル>，世代識別名：<世代識別名>)	要因 レプリカの削除に失敗しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10073-I	副ボリュームの隠ぺいを開始しました。(コピーグループ名：<コピーグループ名>，タスク ID：<タスク ID >)	要因 副ボリュームの隠ぺいを開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10074-I	副ボリュームの隠ぺいが完了しました。(コピーグループ名：<コピーグループ名>，タスク ID：<タスク ID >)	要因 副ボリュームの隠ぺいが完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10075-E	副ボリュームの隠ぺいに失敗しました。(コピーグループ名：<コピーグループ名>，タスク ID：<タスク ID >)	要因 副ボリュームの隠ぺいに失敗しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10076-I	副ボリュームの隠ぺいの解除を開始しました。(コピーグループ名：<コピーグループ名>，タスク ID：<タスク ID >)	要因 副ボリュームの隠ぺいの解除を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10077-I	副ボリュームの隠ぺいの解除が完了しました。(コピーグループ名：<コピーグループ名>，タスク ID：<タスク ID >)	要因 副ボリュームの隠ぺいの解除が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10078-E	副ボリュームの隠ぺいの解除に失敗しました。(コピーグループ名：<コピーグループ名>，タスク ID：<タスク ID >)	要因 副ボリュームの隠ぺいの解除に失敗しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10079-I	副ボリュームの隠ぺいを開始しました。(情報取得元名：<情報取得元名>)	要因 副ボリュームの隠ぺいを開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10080-I	副ボリュームの隠ぺいが完了しました。(情報取得元名：<情報取得元名>)	要因 副ボリュームの隠ぺいが完了しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処の必要はありません。
KAVN10081-E	副ボリュームの隠ぺいに失敗しました。 (情報取得元名: <情報取得元名>)	要因 副ボリュームの隠ぺいに失敗しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10082-I	副ボリュームの隠ぺいの解除を開始しました。 (情報取得元名: <情報取得元名>)	要因 副ボリュームの隠ぺいの解除を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10083-I	副ボリュームの隠ぺいの解除が完了しました。 (情報取得元名: <情報取得元名>)	要因 副ボリュームの隠ぺいの解除が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10084-E	副ボリュームの隠ぺいの解除に失敗しました。 (情報取得元名: <情報取得元名>)	要因 副ボリュームの隠ぺいを解除できませんでした。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10085-I	タスクを開始しました。(タスク ID: <タスク ID>, 操作対象: <操作対象>, タスク種別: <タスク種別>)	要因 ノード追加を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10086-I	タスクが完了しました。(タスク ID: <タスク ID>, 操作対象: <操作対象>, タスク種別: <タスク種別>)	要因 ノード追加が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10087-I	タスクを開始しました。(タスク ID: <タスク ID>, 操作対象: <操作対象>, タスク種別: <タスク種別>)	要因 ノード削除を開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10088-I	タスクが完了しました。(タスク ID: <タスク ID>, 操作対象: <操作対象>, タスク種別: <タスク種別>)	要因 ノード削除が完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10089-I	タスクを開始しました。(タスク ID: <タスク ID>, 操作対象: <操作対象>, タスク種別: <タスク種別>)	要因 タスクを開始しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10090-I	タスクが完了しました。(タスク ID: <タスク ID>, 操作対象: <操作対象>, タスク種別: <タスク種別>)	要因 タスクが完了しました。 対処 対処の必要はありません。
KAVN10091-I	タスクのキャンセル操作により、ペア作成タスクを停止しました。ストレージシステム上のペア作成は継続しています。 (タスク ID: <タスク ID>, 操作対象: <操作対象>, タスク種別: <タスク種別>)	要因 タスクのキャンセル操作により、ペア作成タスクを停止しました。 対処 対処の必要はありません。

KAVX で始まるメッセージ

この章では、Replication Manager Application Agent に関するメッセージについて説明します。

KAVX で始まるメッセージは、Replication Manager を使用している環境によってメッセージが出力された要因、および対処が異なる場合があります。Replication Manager を GUI で使用している場合は、「説明」欄の「**(GUI の場合)**」を参照してください。Replication Manager を CLI で使用している場合は、「説明」欄の「**(CLI の場合)**」を参照してください。「[11.2 特定のメッセージの対処](#)」は、特定のメッセージが出力された場合の対処について説明しています。KAVX0006-E/DRM-10041, KAVX5105-W, および KAVX5137-E が出力されたときに参照してください。

□ [11.1 KAVX0000~KAVX9999](#)

□ [11.2 特定のメッセージの対処](#)

11.1 KAVX0000～KAVX9999

Replication Manager Application Agent に関するメッセージ（KAVX0000～KAVX9999）を次の表に示します。

表 11-1 KAVX0000～KAVX9999 : Replication Manager Application Agent のメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX0001-I	<コマンド名> コマンドを開始します。	要因 コマンドが開始されました。 対処 -
KAVX0002-I	<コマンド名> コマンドを終了します。	要因 コマンドが終了しました。 対処 -
KAVX0003-E	<コマンド名> コマンドの実行が失敗しました。	(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent の処理に失敗しました。 対処 同時に出力されているメッセージを確認し、対処を行ってください。 (CLI の場合) 要因 コマンドの実行が失敗しました。 対処 一緒に表示されたメッセージを基に対処してください。
KAVX0004-E	メモリーが不足しています。	(GUI の場合) 要因 メモリーが不足しています。 対処 Replication Manager Application Agent がインストールされているホストがシステム要件を満たしていることを確認してください。 (CLI の場合) 要因 メモリーが不足しています。 対処 メモリーを追加してください。または、仮想メモリーの設定を見直してください。
KAVX0005-E	処理続行不能なエラーが発生しました。 要因 = <詳細メッセージ> コード = <OS エラー要因コード>	(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent のコマンド実行中に処理続行不能なエラーが発生しました。 対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。 (CLI の場合) 要因 OS で処理が続行できない致命的なエラーが発生しています。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		システムログを参照し、OSに異常がないかを確認してください。また、詳細トレースログ情報を参照し、エラー要因の詳細を確認してください。エラーの要因については、メッセージの要因に表示される「OSエラー要因コード」を参照してください。
KAVX0006-E	処理続行不能なエラーが発生しました。 要因 = <詳細メッセージ>	<p>(GUIの場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent のコマンド実行中に処理続行不可能なエラーが発生しました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLIの場合)</p> <p>要因 処理が続行できない致命的なエラーが発生しています。</p> <p>対処 エラーの要因については、「2.1」を参照してください。</p>
KAVX0007-E	処理続行不能なエラーが発生しました。 コード = <OSエラー要因コード>	<p>(GUIの場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent のコマンド実行中に処理続行不可能なエラーが発生しました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLIの場合)</p> <p>要因 OSで処理が続行できない致命的なエラーが発生しています。</p> <p>対処 システムログを参照し、OSに異常がないかを確認してください。また、詳細トレースログ情報を参照し、エラー要因の詳細を確認してください。エラーの要因については、メッセージのコードに表示される「OSエラー要因コード」を参照してください。</p>
KAVX0008-E	処理続行不能なエラーが発生しました。 要因 = <詳細メッセージ> 要因 = <要因>	<p>(GUIの場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent のコマンド実行中に処理続行不可能なエラーが発生しました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLIの場合)</p> <p>要因</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>処理が続行できない致命的なエラーが発生しています。</p> <p>対処 エラーの要因については、「2.1」を参照してください。</p>
KAVX0009-E	f オプションで指定したファイル名が不正です。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent がインストーラーを使ってインストールされていません。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent がインストーラーを使って正しくインストールされていることを確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定したファイルが存在しない。 指定したファイルに読み込み権限がない。 ファイルが絶対パスで指定されていない。 <p>対処 一括定義ファイルのファイル名を確認して、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX0011-E	バックアップ ID の情報を取得できません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 以下のどれかの原因のため、レプリカの情報を取得できません。</p> <ol style="list-style-type: none"> レプリカの内容が無効 レプリカが壊れている レプリカが存在しない <p>対処 ホスト情報更新を行ったあと、再度レプリカを指定してください。正しいレプリカを指定している場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> バックアップカタログの内容が無効である。 バックアップカタログが壊れている。 バックアップカタログが存在しない。 <p>対処 drmdbimport コマンドでバックアップカタログを再度インポートしてください。 再度インポートしたあとでもこのエラーが発生する場合は、次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> データベースサーバで drmdbexport コマンドを使用してバックアップカタログをエクスポートし、再度バックアップサーバでバックアップカタログをインポートしてください。
KAVX0012-E	不正なオプションが指定されています。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 不正なオプションが指定されました。</p> <p>対処</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 存在しないオプションが指定された。 必須オプションが指定されていない。 <p>対処 コマンドの使用方法を確認し、正しいオプションを指定してコマンドを再度実行してください。 drmlclusinit コマンドで正しいクラスタソフトウェア名を指定しても、このメッセージが出力される場合は、Replication Manager Application Agent の内部ファイルが壊れているおそれがあります。 その場合は、Replication Manager Application Agent を再インストールしてください。</p>
KAVX0013-E	指定されたデバイスファイルが見つかりません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent が使用するファイルがありません。</p> <p>対処 問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 指定されたデバイスファイル名がディクショナリマップファイルまたはバックアップカタログ上にありません。</p> <p>対処 デバイスファイル名を確認して、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX0014-E	マウントポイントディレクトリが存在しません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 指定されたマウントポイントディレクトリが存在しません。</p> <p>対処 正しいマウントポイントが指定されていることを確認してから再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定されたマウントポイントが見つからない。 指定されたマウントポイントがストレージシステム以外（フロッピーディスク、リムーバブルディスク）である。 指定されたマウントポイントがネットワークボリュームである。 <p>対処 バックアップを実行するマウントポイントを確認して、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX0015-E	指定されたバックアップ ID に対するバックアップデータは存在しません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 レプリカの情報を取得できません。</p> <p>対処</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>ホスト情報更新を行ったあと、再度レプリカを指定してください。正しいレプリカを指定している場合は、問い合わせ窓口ご連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップカタログには、指定したバックアップ ID に対するバックアップデータが存在しません。</p> <p>対処 指定したバックアップ ID を確認して、誤りがある場合は正しいバックアップ ID を指定したあと、コマンドを再度実行してください。 drumount コマンドを実行したときに、正しいバックアップ ID を指定していてもこのメッセージが表示される場合は、RAID Manager で提供される umount コマンドを使って副ボリュームをアンマウントしてください。</p>
KAVX0016-E	<p>指定されたファイルまたはディレクトリが存在しません。 ファイル名またはディレクトリ名 = <ファイル名またはディレクトリ名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 以下の理由が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定されたファイル（ディレクトリ）が存在しない 2. 指定されたファイルまたはディレクトリが絶対パスではない <p>対処 指定したファイルが存在することを確認したあと、再度実行してください。 正しいファイルを指定している、またはファイルを指定していない場合は、問い合わせ窓口ご連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 指定されたファイルまたはディレクトリがない。 • 指定されたオブジェクト（マウントポイント、インスタンス、バックアップ ID）内に指定されたファイルまたはディレクトリがない。 • 指定されたファイルまたはディレクトリが絶対パスでない。 <p>対処 実行したコマンドに対応して、次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • drmdbimport コマンドまたは drmdbexport コマンドを実行した場合 指定したファイル名が正しいかどうかを確認して、コマンドを再度実行してください。 • drmfbackup コマンドを実行した場合 マウントポイントディレクトリ名オプション、またはマウントポイント一括定義ファイルで指定したマウントポイントディレクトリが正しいかどうかを確認して、コマンドを再度実行してください。 • drmsqlreverttool コマンドを実行した場合

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>drmsqlrecovertool ダイアログボックスの [Transaction log backup list] で指定したトランザクションログバックアップファイルが正しいかどうかを確認して、再度ファイルを指定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 上記以外のコマンドを実行した場合 -target オプションなどで指定したファイルまたはディレクトリが正しいかどうかを確認してください。ファイルまたはディレクトリが正しいときは、Replication Manager Application Agent インストールディレクトリを格納するファイルシステムに空きがあるかどうかを確認して、コマンドを再度実行してください。
KAVX0017-E	一括定義ファイルで指定されたファイルまたはディレクトリは存在しません。ファイル名またはディレクトリ名 = <ファイル名またはディレクトリ名>	<p>(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent が使用するファイルがありません。 対処 問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一括定義ファイルで指定したファイルまたはディレクトリがない。 一括定義ファイルで指定したオブジェクト (マウントポイント、インスタンス、またはバックアップ ID) に関連するファイルまたはディレクトリがない。 ファイルまたはディレクトリが絶対パスで指定されていない。 <p>対処 一括定義ファイルで指定したファイルまたはディレクトリを確認して、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX0018-E	指定されたコピーグループは存在しません。	<p>(GUI の場合) 要因 指定されたコピーグループが存在しません。 対処 構成の更新を行って最新のコピーグループ情報を取得し、再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 指定されたコピーグループが存在しません。 対処 次のコマンドでコピーグループ名を確認して、コマンドを再度実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfdisplay コマンドまたは drmfscat コマンド バックアップ対象が SQL Server データベースの場合 drmsqldisplay コマンドまたは drmsqlcat コマンド

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> バックアップ対象が Exchange データベースの場合 drmxgdisplay コマンドまたは drmxgcat コマンド
KAVX0019-I	ファイルのコピー中です。	要因 ファイルをコピーしています。 対処 -
KAVX0020-I	ファイルのリストア中です。	要因 ファイルをリストアしています。 対処 -
KAVX0021-E	コマンドを実行する権限がありません。	(GUI の場合) 要因 操作を実行する権限がありません。 対処 Replication Manager Application Agent が管理者権限で実行されていることを確認してから、再度操作を行ってください。 (CLI の場合) 要因 コマンドを実行するユーザーに Administrator の権限がありません。 対処 コマンドを実行しているユーザーに、Administrator の権限を追加してください。 コマンドを実行した対象が SQL Server の場合は、SQL Server へのログインユーザーに、System Administrators のサーバロールを付けてください。
KAVX0022-E	マウントポイントディレクトリの下に、指定されたファイルまたはディレクトリが存在しません。 ファイル名またはディレクトリ名 = <ファイル名またはディレクトリ名>	(GUI の場合) 要因 以下の要因が考えられます。 1. マウントポイントディレクトリ外のファイルを指定しています 2. 指定したファイルまたはディレクトリが絶対パスではありません 対処 指定されたディレクトリ名を確認し、誤りがある場合正しいディレクトリ名を指定してください。正しいディレクトリ名を指定している場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。 (CLI の場合) 要因 次の要因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> 指定したファイルまたはディレクトリはマウントポイントディレクトリの下にない。 ファイルまたはディレクトリが絶対パスで指定されていない。 対処 指定したファイル名またはディレクトリ名を確認し、正しいファイル名またはディレクトリ名を指定して、コマンドを再度実行してください。
KAVX0023-I	ディクショナリマップファイルが更新されました。	要因

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		drmfssdisplay コマンド, drmsqldisplay コマンド, または drmexgdisplay コマンドに -refresh オプションを指定して実行したときに, 正常に終了したことを示すメッセージです。 対処 -
KAVX0024-E	指定されたバックアップデータは存在しません。	(GUI の場合) 要因 レプリカを一度も実行しておらず, 表示する情報がないおそれがあります。 対処 レプリカを作成したあと, 再度実行してください。 (CLI の場合) 要因 次の要因が考えられます。 ・ 一度もバックアップを実行していないため, 表示する情報がない。 ・ drmfscat コマンド, drmsqlcat コマンド, drmexgcat コマンド, drmtapecat コマンド, または drmappcat コマンドのオプションで指定した条件に合うデータがない。 対処 バックアップを実行したか確認してください。バックアップを実行している場合は, 指定したコマンドのオプションを確認してください。誤りがある場合は正しいコマンドオプションを指定して, コマンドを再度実行してください。
KAVX0025-E	指定された条件に一致するバックアップデータが存在しません。	(GUI の場合) 要因 レプリカが存在しません。 対処 正しいレプリカが指定されていることを確認したあと, 再度実行してください。正しいレプリカを指定している場合は, 問い合わせ窓口ご連絡してください。 (CLI の場合) 要因 コマンドのオプションで指定した条件に合うバックアップデータが存在しません。 対処 指定したコマンドのオプションを確認して, 誤りがある場合は正しいコマンドオプションを指定して, コマンドを再度実行してください。
KAVX0026-W	ほかのコマンドが実行中です。実行中のコマンドが終了するのを待ちます。	要因 ほかのコマンドが実行されているときに, コマンドを実行しました。 対処 実行したコマンドはリトライされるので, 操作は必要ありません。
KAVX0027-E	すでにほかのコマンドが実行中のため, 実行されませんでした。	(GUI の場合) 要因 ほかの操作が実行中であったため, 操作が待ち状態になり, 最終的にタイムアウトしました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>実行中の処理の終了を待ち、再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ほかのコマンドが実行されているときに、コマンドを実行しました。規定の回数分、リトライしましたが、ほかのコマンドの終了待ちでタイムアウトが発生したため、コマンドが実行されませんでした。</p> <p>対処 実行中のコマンドが終了するのを待って、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX0028-E	パラメーター登録コマンドで設定されたパラメーターが不正です。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager サーバと Application Agent 間で情報が不一致です。</p> <p>対処 Application Agent の設定、ホスト情報更新を行ってください。問題が解決されない場合には、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> パラメーター登録コマンド (drmsqlinit コマンドまたは drmcclusinit コマンド) で設定したパラメーターが不正である。 パラメーター登録コマンドが一度も実行されていないため、パラメーターが登録されていない。 <p>対処 パラメーター登録コマンドを再度実行して、環境設定をしてください。</p>
KAVX0029-E	インストールパスの情報が取得できませんでした。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 製品のインストール時に自動設定したインストールパス情報が取得できませんでした。</p> <p>対処 製品を再インストールしてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent をインストールしたときに自動的に設定されるインストールパス情報が取得できませんでした。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent を再インストールしてください。</p>
KAVX0030-E	無効な値が入力されました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 無効な値が入力されました。</p> <p>対処 正しい値を入力してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 パラメーター登録コマンド (drmsqlinit コマンド) で入力したパラメーター値が不正です。</p> <p>対処</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		初期化パラメーターとして正しい値を入力してください。
KAVX0031-E	指定されたマウントポイントは使用中です。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 指定したマウントポイントに、すでにほかのボリュームがマウントされています。</p> <p>対処 マウント済みのファイルシステムをアンマウントしたあと、再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 指定したマウントポイントは、すでにほかのボリュームがマウントされています。</p> <p>対処 指定したマウントポイントにマウントされているファイルシステムをアンマウントしてから、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX0032-E	不正なマウントポイントディレクトリが指定されています。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 存在しないマウントポイント(ドライブ)を指定したか、マウント対象のディレクトリが空ではありませんでした。</p> <p>対処 マウントポイントに存在する空のディレクトリを指定してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 存在しないマウントポイントディレクトリを指定しています。</p> <p>対処 実際に存在するマウントポイントディレクトリを指定して、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX0033-E	バックアップ ID で指定されたバックアップデータのタイプが異なります。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager サーバと Replication Manager Application Agent 間でレプリカ情報が不一致です。</p> <p>対処 ホスト情報更新を行ってください。問題が解決されない場合には、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップ ID で指定されたバックアップデータの形式と、実行したコマンドが対象とするデータの形式が異なります。 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リストアに使用するコマンドが対象とするバックアップデータのデータ形式と、バックアップ ID で指定されたバックアップデータの形式が異なるため、データを回復できない。 ・ drmresync コマンドで、drmtapebackup コマンドによって作成されたバックアップ ID を指定したため、コピーグループを再同期できない。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処</p> <p>データを回復するときは、リストアに使用するコマンドがバックアップデータに対応していることを確認してから、コマンドを再度実行してください。</p> <p>コピーグループを再同期するときは、<code>drmtapebackup</code> コマンドによって作成されたバックアップ ID は指定しないでください。次のコマンドを実行し、指定できるバックアップ ID を確認してから、<code>drmresync</code> コマンドを再度実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> バックアップ対象がファイルシステムの場合 <code>drmfscat</code> コマンド バックアップ対象が SQL Server データベースの場合 <code>drmsqlcat</code> コマンド バックアップ対象が Exchange データベースの場合 <code>drmexgcat</code> コマンド
KAVX0034-E	指定されたインスタンス名は不正です。	<p>要因</p> <p>-v オプションを指定してパラメーター登録コマンド (<code>drmsqlinit</code> コマンド) を実行しましたが、指定したインスタンスの初期化情報が見つかりませんでした。</p> <p>次のどちらかの要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> SQL Server に存在しないインスタンス名を指定している。 指定したインスタンスの初期化情報がない。 <p>対処</p> <p>要因に応じて、それぞれ次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> SQL Server に存在するインスタンス名を指定して、コマンドを再度実行してください。 指定したインスタンスに対してパラメーター登録コマンドを実行してください。
KAVX0035-E	<アプリケーション名>情報の更新に失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p> <p>初期化情報の登録に失敗しました。</p> <p>対処</p> <p>インストールディレクトリのあるドライブ容量を拡張し、再度操作を実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p> <p>実行したコマンドは、アプリケーション名に示すアプリケーションの初期化情報の登録に失敗しました。</p> <p>対処</p> <p>インストールディレクトリのあるドライブの容量を拡張して、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX0036-E	指定されたバックアップ ID は不正です。 バックアップ ID = <バックアップ ID >	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p> <p>指定したレプリカが存在しません。</p> <p>対処</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>正しいレプリカを指定してタスクを再度作成し、実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 指定されたバックアップ ID に対応するバックアップ情報が存在しませんでした。</p> <p>対処 バックアップ ID を確認して、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX0037-E	<p>指定した文字列が最大文字数を超過しています。</p> <p>文字列 = <文字列></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 指定された文字列が最大文字列長を超過しています。</p> <p>対処 指定する文字列長を短くして再度操作を実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 コマンド実行時に指定された、次の項目の文字数が最大文字列長を超過しています。</p> <p>対処 文字列長を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • バックアップ対象がファイルシステムの場合 ファイル名、ディレクトリ名、バックアップコメント、マウントポイントディレクトリ名、デバイスファイル名、またはホスト名 • バックアップ対象が SQL Server データベースの場合 ファイル名、ディレクトリ名、バックアップコメント、インスタンス名、データベース名、デバイスファイル名、またはホスト名 • バックアップ対象が Exchange データベースの場合 ファイル名、ディレクトリ名、バックアップコメント、ストレージグループ名、デバイスファイル名、またはホスト名 • drmappcat コマンドの場合 バックアップコメントまたはホスト名 • drmresync コマンドの場合 コピーグループ一括定義ファイル名 • drmdbexport コマンドまたは drmdbimport コマンドの場合 エクスポート先ファイル名またはインポート元ファイル名 • drmmmediabackup コマンドの場合 バックアップファイル格納ディレクトリ • drmclusinit コマンドの場合 クラスタソフトウェア名
KAVX0038-E	<p>指定された一括定義ファイルの内容は無効です。</p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent に使用されるファイルの内容が不正です。</p> <p>対処 問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>要因 一括定義ファイルに、次の項目が 1 件も指定されていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ファイル名 • ディレクトリ名 • データベース名 • ストレージグループ名 • 表領域名 • コピーグループ名 <p>対処 一括定義ファイルに有効な情報を記入してください。</p>
KAVX0039-E	コアマップファイルが存在しません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Application Agent の設定が正しく行われていないか、ホスト情報の更新に失敗しているおそれがあります。</p> <p>対処 Application Agent の設定が正しいかを確認してください。正しくない場合は、正しく Application Agent の設定を行ってください。正しく設定されている場合には、ホスト情報更新を行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 該当するデータがディクショナリマップファイル上にありません。 次の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コアマップファイルが作成されていない。 2. ディクショナリマップファイルの作成処理が実行中である。 3. ディクショナリマップファイルの作成処理が失敗したため、コアマップファイルが削除されている。 4. RAID 装置上にないマウントポイントディレクトリを指定している。 <p>対処 要因に応じて、それぞれ次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 次のコマンドを使用し、ディクショナリマップファイルを作成し直してください。 <ul style="list-style-type: none"> • バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfdisplay -refresh • バックアップ対象が SQL Server データベースの場合 drmsqldisplay -refresh • バックアップ対象が Exchange データベースの場合 drmxgdisplay -refresh 2. ディクショナリマップの作成処理が完了するのを待って、コマンドを再度実行してください。 3. ディクショナリマップの作成処理が失敗したときに表示されたメッセージを基に対処して、ディクショナリマップを作成し直してください。ディクショナリマップの作成が

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>正常に終了してから、コマンドを再度実行してください。</p> <p>4. RAID 装置上にないマウントポイントディレクトリを指定している場合は、RAID 装置上にあるマウントポイントディレクトリを指定して、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX0040-I	<p>バックアップは以下の内容で取得されています。</p> <p>バックアップ ID = <バックアップ ID ></p>	<p>要因 正常にバックアップされたバックアップデータに、バックアップ ID が割り当てられたときに表示されるメッセージです。</p> <p>対処 -</p>
KAVX0041-W	<p>ディクショナリマップファイルやバックアップカタログ中の無効領域が増えています。</p>	<p>要因 バックアップコマンドやリストアコマンドの実行時に、ディクショナリマップファイルやバックアップカタログ中の総レコードに対する無効レコードの比率が 90%を超えました。</p> <p>対処 ディクショナリマップファイル制御ツールを使用してディクショナリマップファイルやバックアップカタログの無効なレコードを削除してください。次のように実行してください。 PROMPT> < <i>Replication Manager Application Agent</i> のインストール先 > ¥DRM¥bin¥util ¥drmdbcond -c</p>
KAVX0042-E	<p>クラスタに対する操作でエラーが発生しました。</p> <p>要因 = <詳細メッセージ></p>	<p>(GUI の場合) 要因 クラスタに対して処理を行った際にエラーを検知しました。 対処 導入しているクラスタのマニュアルを参照してクラスタの問題を解決してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 クラスタに対する操作でエラーが発生しました。 対処 エラーの要因については、「2.1」を参照してください。</p>
KAVX0043-E	<p>指定されたマウントポイントがクラスタの管理下にあるため、コールドバックアップできません。</p>	<p>要因 クラスタの管理下にあるマウントポイントに対して、コールドバックアップできません。 対処 オンラインバックアップしてください。</p>
KAVX0044-E	<p>指定されたマウントポイントがクラスタの管理下にあるため、再同期でリストアできません。</p>	<p>(GUI の場合) 要因 クラスタの管理下にあるマウントポイントに対して、再同期によるリストアを行いました。 対処 ファイルコピーによるリストアを行ってください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 クラスタの管理下にあるマウントポイントに対して、再同期でリストアすることはできません。 対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対象のマウントポイントをクラスタの管理下から外した状態でリストアを実行してください。
KAVX0047-E	この構成ではバックアップできません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 以下の条件が重複したことが考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. バックアップ対象のコピーグループにバックアップ対象/非対象のファイルが混在。 2. 正ボリュームまたは副ボリュームが分割している環境。 <p>対処 コピーグループの指定を確認し、バックアップオプションの見直しをしてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 次のどちらかの原因で、バックアップを実行できません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. バックアップ対象ボリュームの一部のオブジェクトだけがバックアップ対象に指定されている。 2. RAID Manager のコピーグループの定義に誤りがある。 <p>対処 要因に応じて、それぞれ次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. バックアップ対象ボリュームのすべてのオブジェクトを指定してください。 2. バックアップ対象のファイルシステムに含まれるコピーグループが正しく設定されているかを確認してから、バックアップコマンドのオプションを見直してください。
KAVX0048-E	この製品で扱えない文字コードが含まれています。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Unicode 固有の文字が含まれています。</p> <p>対処 Unicode 固有の文字を変更し、再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent では、Unicode に対応していません。コマンドの引数や定義ファイルなどに Unicode の文字が含まれている場合、コマンドは実行できません。</p> <p>対処 コマンドの引数や定義ファイルに Unicode が使われていないことを確認して、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX0049-E	指定されたバックアップ ID に対し、-raw オプションは指定できません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 指定されたバックアップを実行できません。</p> <p>対処 再度、実行してください。再度実行した後エラーが発生する場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		指定されたバックアップ ID に <code>-raw</code> オプションは指定できません。 対処 <code>-raw</code> オプションを指定しないでバックアップを再度実行してください。
KAVX0050-E	一括定義ファイルの読み込みに失敗しました。	(GUI の場合) 要因 一括定義ファイルの読み込みに失敗しました。 対処 一括定義ファイルが開けるかを確認してから再実行してください。 (CLI の場合) 要因 一括定義ファイルの読み込みに失敗しました。 対処 テキストエディタなどを使用し、指定された一括定義ファイルを開けるかを確認してください。
KAVX0051-E	リストア対象ではないオブジェクトが、リストア対象のコピーグループに含まれているため、再同期によるリストアに失敗しました。	(GUI の場合) 要因 ストレージグループ(Exchange Server)の指定が不足しているため、再同期によるリストアができません。 対処 ストレージグループの指定を見直し、再度リストア操作を実行してください。再度実行した後エラーが発生する場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。 (CLI の場合) 要因 この構成では、再同期によるリストア操作によってリストア対象以外のファイルシステムを壊すおそれがあるため、リストアできません。 KAVX5125-E が表示されている場合は、表示結果に指定されていないファイル名とそのディスクグループ名が表示されます。ディスクグループ名は論理ボリュームマネージャー導入環境の場合に表示されます。ベーシックディスク構成の場合は、ディスクグループ名に「-」が表示されます。 対処 drmfscat コマンドを使用し、リストア対象以外のファイルシステムがリストア対象のコピーグループに含まれていないかを確認してください。また、次のコマンドを使用し、リストア対象以外のオブジェクトがリストア対象のコピーグループに含まれていないかを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> バックアップ対象が SQL Server データベースの場合 drmsqlcat コマンド バックアップ対象が Exchange データベースの場合 drmexgcat コマンド
KAVX0052-E	クラスタリソースがオンライン状態ではないため、 <code>-mode cold</code> オプションは指定できません。	(GUI の場合) 要因 クラスタが ONLINE 状態でないため、コールドバックアップでバックアップは取得できません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 クラスタをオンラインにして再度、実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 クラスタが ONLINE 状態でないため、コールドバックアップでバックアップは取得できません。</p> <p>対処 バックアップ対象のクラスタリソースをオンライン状態に変更するか、または-mode online オプションを指定し、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX0053-E	クラスタリソースがオンラインまたはオフライン以外の状態のため、リストア操作を実行できません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 クラスタリソースがオンライン、オフラインどちらでもない状態になっています。</p> <p>対処 クラスタの状態を確認して、再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 クラスタリソースの状態が不正な状態となっています。</p> <p>対処 クラスタリソースの状態を確認し、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX0054-E	マウントに失敗しました。 マウントポイント=<マウントポイントディレクトリ名>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 マウントに失敗しました。</p> <p>対処 マウントポイントディレクトリが正しく存在するかどうかを確認してください。存在する場合、システムログを参照し、OS に異常がないかどうか確認してください。問題が解決されない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 -</p> <p>対処 マウントポイントディレクトリが正しく存在するかを確認してください。存在する場合、システムログを参照し、OS に異常がないかを確認してください。</p>
KAVX0055-E	アンマウントに失敗しました。 マウントポイント=<マウントポイントディレクトリ名>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 アンマウントに失敗しました。</p> <p>対処 アンマウント対象のドライブが使用されていないかどうかを確認してください。コマンドを実行するワークディレクトリがアンマウント対象ドライブの場合もアンマウントできません。上記に該当しない場合システムログを参照し、OS に異常がないかどうか確認してください。問題が解決されない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>アンマウント対象のドライブが、ほかのプロセスで使用されていないかを確認してください。コマンドを実行するカレントディレクトリがアンマウント対象ドライブの場合もアンマウントできません。</p> <p>マウントポイントディレクトリの指定が正しい場合は、システムログを参照し、OS に異常がないかを確認してください。</p>
KAVX0056-E	ディレクトリの作成に失敗しました。 ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p> <p>ディレクトリの作成に失敗しました。</p> <p>対処</p> <p>作成しようとしたディレクトリのパスを確認してください。パスが正しい場合、システムログを参照し、OS に異常がないかどうか確認してください。問題が解決されない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p> <p>表示されたディレクトリのパス名を確認し、ディレクトリが作成できるかを確認してください。</p> <p>対処</p> <p>ディレクトリが作成できる場合は、システムログを参照し、OS に異常がないかを確認してください。</p>
KAVX0057-E	ディレクトリの削除に失敗しました。 ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p> <p>ディレクトリの削除に失敗しました。</p> <p>対処</p> <p>削除しようとしたディレクトリのパスを確認してください。パスが正しい場合、システムログを参照し、OS に異常がないかどうか確認してください。問題が解決されない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p> <p>表示されたディレクトリのパス名を確認し、ディレクトリが存在するかを確認してください。</p> <p>対処</p> <p>ディレクトリが存在する場合は、システムログを参照し、OS に異常がないかを確認してください。</p>
KAVX0069-W	トレースログファイルに対する操作でエラーが発生しました。	<p>要因</p> <p>Replication Manager Application Agent が提供するトレースログファイルに対して処理を実行し、エラーを検知したときに出力されるメッセージです。</p> <p>対処</p> <p>システムログを参照し、OS に異常がないかを確認してください。異常が見られない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAVX0071-W	RAID Manager インスタンスを停止できませんでした。 要因 = <要因>	<p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>何らかの原因によって、RAID Manager のインスタンスが停止できなかったときに出力されるメッセージです。</p> <p>対処 「要因」に出力された内容を確認して、必要に応じて、RAID Manager のインスタンスを停止してください。 エラーの要因については、「2.1」を参照してください。</p>
KAVX0072-E	アプリケーションマップファイルが存在しません。	<p>(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent で使用しているファイルに不足があります。 対処 ホスト情報更新を実行してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 アプリケーションマップファイルが存在しません。 対処 次のコマンドを使用し、ディクショナリマップファイルを作成し直してください。 次のように実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfssdisplay -refresh バックアップ対象が SQL Server データベースの場合 drmsqldisplay -refresh バックアップ対象が Exchange データベースの場合 drmexgdisplay -refresh
KAVX0073-E	指定された条件に一致するデータが存在しません。	<p>(GUI の場合) 要因 指定された条件に合うデータが存在しません。 対処 指定する条件を見直して再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 drmfssdisplay コマンド、drmsqldisplay コマンド、または drmexgdisplay コマンドのオプションで指定した条件に合うデータがありません。 対処 指定したコマンドのオプションを確認してください。誤りがある場合は正しいコマンドオプションを指定して、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX0074-E	マウント情報の取得に失敗しました。	<p>(GUI の場合) 要因 マウントしたマウントポイントの情報が不正です。 対処 再度マウントを行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>要因 drmmount コマンドでマウントしたマウントポイントの情報が不正です。 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • drmmount コマンドでマウントしないで、drmmmediabackup コマンドまたは drmmumount コマンドを実行した。 • 正ボリュームに対して、drmmmediabackup コマンドまたは drmmumount コマンドを誤って実行した。 <p>対処 要因を確認して、drmmount コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX0075-E	指定されたバックアップコメントに不正な文字があります。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 バックアップ操作時にコメントを指定した際に、使用できない文字が含まれています。</p> <p>対処 使用不可文字を使用せずにバックアップ操作を再実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップコマンド (drmfbackup コマンド、drmsqlbackup コマンド、または drmmexgbbackup コマンド) でバックアップコメントを指定した際に、使用できない文字が含まれています。</p> <p>対処 使用できない文字をバックアップコメントに指定しないようにして、バックアップコマンドを再実行してください。 なお、バックアップコメントで使用できる文字については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI</i> リファレンスガイド」の drmfbackup コマンドの説明を参照してください。</p>
KAVX0076-I	Exchange データベースファイルのチェックサムを確認しました。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名 >	<p>要因 Exchange データベースファイルのチェックサムが正常である場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 -</p>
KAVX0077-E	ESEUTIL コマンドを実行するために必要なファイルがコピーされていません。	<p>要因 ESEUTIL ユーティリティを実行するために必要なファイルが、コマンドを実行したサーバにコピーされていない場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 Exchange Server のマニュアルを参照し、必要なファイルをコピーしてコマンドを再度実行してください。</p>
KAVX0078-E	ESEUTIL コマンドの実行に失敗しました。 要因 = <エラー要因 >	<p>要因 データベースの整合性チェックを実行したときに、エラーが発生しました。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		エラーの要因を取り除いて、コマンドを再度実行してください。
KAVX0079-E	Exchange データベースファイルのチェックサムが不正です。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名> インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名> ファイル名 = <ファイル名>	要因 Exchange データベースファイルのチェックサムに異常を検出した場合に出力されるメッセージです。 対処 Exchange Server のマニュアルを参照して必要な回復処置をしてください。
KAVX0080-E	ディクショナリマップファイル更新時にペア生成されていないコピーグループを指定したため、バックアップ・リシンクできません。 要因 = <コピーグループ名>	(GUI の場合) 要因 ホスト情報更新時にペアステータスが Simplex だったコピーグループをバックアップ・リシンクしました。 対処 対象となるコピーグループをペア生成して、ホスト情報更新をしてください。 (CLI の場合) 要因 対象となるコピーグループのペア状態が SMPL モードの時にディクショナリマップファイルを更新し、その後バックアップまたは再同期を実行した場合に出力されるメッセージです。 対処 対象となるコピーグループをペア生成して、ディクショナリマップファイルを更新してください。
KAVX0081-E	ディクショナリマップファイル更新後にペアステータスが SMPL モードに変更されています。 要因 = <コピーグループ名>	(GUI の場合) 要因 ペアステータスが Simplex のコピーグループをバックアップ・リシンクしました。 対処 ペアステータスを見直し、再度実行してください。再度実行した後エラーが発生する場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。 (CLI の場合) 要因 RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) に PAIR_CREATE=ENABLE パラメーターを指定しないで、ペア状態が SMPL モードのコピーグループをバックアップまたは再同期した場合に出力されるメッセージです。 対処 次のどれかの方法で対処してください。 <ul style="list-style-type: none"> RAID Manager の HORCM_CONF ファイルから対象のペア論理ボリュームの定義を削除する。 RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) に PAIR_CREATE=ENABLE パラメーターを指定する。 次の操作でコピーグループをロックして操作対象から外す。 drmcgctl -copy_group <コピーグループ名> -mode lock
KAVX0082-E	このバックアップカタログでリストアできません。	(GUI の場合) 要因 レプリカ履歴情報が不正です。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 再度、リストア操作を実行してください。再度実行した後エラーが発生する場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 drmsqlrestore コマンドで、-template オプションの指定が誤っています。</p> <p>対処 次の内容を確認して、drmsqlrestore コマンドを再実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> -template オプション指定ありの drmsqlbackup コマンドで作成したバックアップカタログをリストアする場合は、-template オプションを指定してください。 -template オプション指定なしの drmsqlbackup コマンドで作成したバックアップカタログをリストアする場合は、-template オプションを指定しないでください。
KAVX0085-I	バックアップ情報の作成中です。	<p>要因 バックアップコマンドの-template オプションで、実際のバックアップを行わずにバックアップカタログを作成中に出力されるメッセージです。作成されるバックアップカタログは、テンプレートカタログとしてバックアップカタログに登録されます。</p> <p>対処 -</p>
KAVX0086-I	バックアップ情報は以下の内容で取得されています。 バックアップ ID = <バックアップ ID >	<p>要因 テンプレートカタログが作成され、バックアップ ID が割り当てられた場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 -</p>
KAVX0087-E	指定されたバックアップ ID はすでにほかのコマンドが実行中のため、このコマンドを実行できません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 指定されたバックアップが同時には実行できません。</p> <p>対処 対象のバックアップ操作がほかの操作で実行されていないことを確認して再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 指定されたバックアップ ID が、同時には実行できない場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 対象のバックアップ ID が、ほかのコマンドで実行されていないことを確認して再度実行してください。</p>
KAVX0088-E	指定された世代識別名が不正です。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 バックアップ操作時に指定した Target Generation が不正です。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>Target Generation の指定を見直し、再度バックアップ操作を実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップコマンド (drmfbackup コマンド, drmsqlbackup コマンド, または drmexgbackup コマンド) で指定した世代識別名が不正です。</p> <p>対処 次のコマンドを実行して世代識別名を確認し再度実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfdisplay -cf バックアップ対象が SQL Server データベースの場合 drmsqldisplay -cf バックアップ対象が Exchange データベースの場合 drmexgdisplay -cf
KAVX0089-E	<p>タイムアウトが発生しました。</p> <p>リトライ時間 <リトライ回数パラメーター名> = <リトライ回数パラメーター値>(回) <リトライ待ち時間パラメーター名> = <リトライ待ち時間パラメーター値>(秒)</p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 時間内に対象が期待した状態になりませんでした。</p> <p>対処 このメッセージの次に出力されるエラーメッセージを確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 リトライ待ち時間パラメーター値で設定された時間間隔ごとに、リトライ回数パラメーター値で設定された回数だけ確認したが、期待した状態にならなかった場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 このメッセージの次に出力されるエラーメッセージを確認してください。リトライ時間が短い場合には、リトライ回数パラメーター値またはリトライ待ち時間パラメーター値を変更してリトライ時間を調整し、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX0091-E	<p>インストール環境が不正です。</p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 インストール環境が不正です。</p> <p>対処 製品を再インストールしてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 インストール環境が不正な場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 製品を再インストールしてください。</p>
KAVX0092-E	<p>製品情報の取得に失敗しました。</p> <p>ファイル名 = <ファイル名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 バージョンファイルの情報が不正です。</p> <p>対処 製品を再インストールしてください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バージョンファイルの情報が不正な場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 製品を再インストールしてください。</p>
KAVX0093-E	差分パッチ履歴情報の読み込みでエラーが発生しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 差分パッチ履歴情報を取得する処理を実行した際に、エラーを検知しました。</p> <p>対処 システムログを参照し、OS に異常がないかを確認してください。異常が見られない場合は資料を採取したあと、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 差分パッチ履歴情報を取得する処理を実行し、エラーを検知した場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 システムログを参照し、OS に異常がないか確認してください。異常が見られない場合は、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のトラブルシューティングの説明を参照して資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAVX0094-I	ベリファイ処理が成功しました。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	<p>要因 ベリファイ処理が正常に完了した場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 -</p>
KAVX0095-E	ベリファイ処理に必要なファイルがありませんでした。	<p>要因 バックアップサーバに、ベリファイ処理に必要な Exchange 管理ツールがインストールされていません。</p> <p>対処 Exchange 管理ツールをインストールしてください。</p>
KAVX0096-E	ベリファイ処理が失敗しました。 要因 = <エラー要因>	<p>要因 ベリファイ処理を実行したときに、エラーが発生しました。</p> <p>対処 システムログを参照し、OS に異常がないかどうか確認してください。異常がない場合は、保守情報を採取し、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAVX0097-E	ベリファイ処理がデータベースの異常を検出しました。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名> インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名> ファイル名 = <ファイル名>	<p>要因 ベリファイ処理でデータベースに異常を検出した場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 データベースが壊れているおそれがあります。前回の正常終了時のバックアップでリカバリすることを推奨します。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX0098-I	ベリファイ処理が成功しました。 インフォメーションストア名 = <イン フォメーションストア名>	要因 ベリファイ処理に成功しました。 対処 -
KAVX0099-E	ベリファイ処理がデータベースの異常 を検出しました。 インフォメーションストア名 = <イン フォメーションストア名> ファイル名 = <ファイル名>	要因 ベリファイ処理がデータベースの異常を検出し ました。 対処 データベースが壊れているおそれがあります。 前回の正常終了時のバックアップでリカバリす ることを推奨します。
KAVX0100-E	マウントポイントディレクトリ名とし て、ルートディレクトリは指定できませ ん。	要因 マウントポイントディレクトリ名に、ルートディ レクトリが指定されました。 対処 バックアップのマウントポイントは、ルートディ レクトリ以外のディレクトリを指定してくださ い。
KAVX0101-E	マウントポイントディレクトリにシス テムディレクトリのあるドライブは指 定できません。	要因 マウントポイントディレクトリに、システムディ レクトリのあるドライブが指定されました。 対処 バックアップのマウントポイントディレクトリ は、システムディレクトリのあるドライブ以外の ドライブを指定してください。
KAVX0102-E	マウントポイントディレクトリ内に バックアップ対象のファイルが存在し ません。	要因 指定したマウントポイントディレクトリにファ イルが存在しません。 対処 指定したマウントポイントにファイルが存在し ないため、バックアップが実行されませんで した。
KAVX0103-E	リストア先の空き容量が足りません。	要因 リストア先のボリュームの空き容量が不足して います。 対処 リストア先のボリュームの空き容量を見直して、 コマンドを再度実行してください。
KAVX0104-E	指定されたマウントポイントディレク トリー括定義ファイルが存在しません。	(GUI の場合) 要因 マウントポイントディレクトリー括指定ファ イルが、所定のディレクトリに存在しません。 対処 マウントポイントディレクトリー括指定ファ イルを所定のディレクトリに作成してください。 (CLI の場合) 要因 指定したマウントポイントディレクトリー括定 義ファイル名に誤りがあります。 対処 指定したマウントポイントディレクトリー括定 義ファイルが存在するかどうかを確認したあと、 コマンドを再度実行してください。
KAVX0105-E	指定されたマウントポイントディレク トリーは、RAID 装置上に存在しません。	(GUI の場合) 要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	マウントポイント=<マウントポイント>	<p>指定されたマウントポイントが RAID 装置上に存在していませんでした。</p> <p>対処</p> <p>RAID 装置上のディスクに接続されたマウントポイントディレクトリ名を指定していることを確認しマウントポイントディレクトリ名を確認の上、正しいマウントポイントディレクトリ名を指定し、コマンドを再実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定されたマウントポイントディレクトリが見当たらない。 指定されたマウントポイントディレクトリが RAID 装置以外のデバイスをマウントしている。 マウントポイントディレクトリが絶対パスで指定されていない。 指定されたファイルシステムがファイルシステムとして認識できない。 <p>対処</p> <p>指定したマウントポイントディレクトリを確認したあと、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX0106-E	マウントポイントの指定が誤っています。 マウントポイント=<マウントポイント>	<p>要因</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> マウントポイントディレクトリがディレクトリ以外である。 指定したマウントポイントディレクトリに、RAID 装置上のドライブがマウントされていない。 <p>対処</p> <p>指定したマウントポイントディレクトリを確認したあと、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX0200-W	The message catalog could not be obtained. Message ID = <メッセージ ID >	<p>要因</p> <p>メッセージカタログが存在しないか、メッセージカタログが破壊されています。</p> <p>対処</p> <p>製品を再インストールしてください。</p>
KAVX0210-I	ユーザースクリプトを実行します。 処理セクション=<セクション名>	<p>要因</p> <p>ユーザースクリプトのユーザー処理セクション内の処理を開始した場合に出力されるメッセージです。ただし、コマンドが一つも定義されていないときは、出力されません。</p> <p>対処</p> <p>-</p>
KAVX0211-I	ユーザースクリプトの実行が終了しました。	<p>要因</p> <p>ユーザースクリプトのユーザー処理セクション内の処理が正常終了した場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処</p> <p>-</p>
KAVX0212-I	ユーザースクリプト内のコマンドを実行します。 コマンドライン=<コマンドライン>	<p>要因</p> <p>ユーザースクリプトのコマンド定義セクション内で定義されたコマンドを実行した場合に出力されるメッセージです。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 -
KAVX0213-I	ユーザースクリプト内のコマンドが終了しました。 終了コード=<終了コード>	要因 ユーザースクリプトのコマンド定義セクション内で定義されたコマンドが終了した場合に出力されるメッセージです。 対処 -
KAVX0214-E	ユーザースクリプト内のコマンドが起動できません。	(GUI の場合) 要因 ユーザースクリプトのコマンド定義セクション内で定義されたコマンドの起動に失敗しました。 対処 ユーザースクリプトファイル内で実行可能な操作を指定した上でバックアップ操作を再実行してください。 (CLI の場合) 要因 ユーザースクリプトのコマンド定義セクション内で定義したコマンドの起動に失敗した場合に出力されるメッセージです。 対処 ユーザースクリプトファイルに実行可能なコマンドを指定した上で、バックアップコマンドを再実行してください。
KAVX0215-E	ユーザースクリプト内のコマンドの処理途中でエラーが発生しました。	(GUI の場合) 要因 ユーザースクリプトのコマンド起動後にエラーが発生しました。 対処 ユーザースクリプト内で指定した操作の実行状況を確認した上でバックアップ操作を再実行してください。 (CLI の場合) 要因 ユーザースクリプトのコマンド起動後にエラーとなった場合に出力されるメッセージです。 対処 ユーザースクリプト内で指定したコマンドの実行状況を確認した上で、バックアップコマンドを再実行してください。
KAVX0217-W	ユーザースクリプト内のコマンドがタイムアウトしました。	要因 ユーザースクリプト内の CMDLINE で指定されたコマンドが、規定のタイムアウト時間を超えても終了しなかった場合に出力されるメッセージです。 対処 ユーザースクリプト内で指定したコマンドの実行状況を確認し、コマンドのタイムアウト要因を取り除いた上で、バックアップコマンドを再実行してください。
KAVX0218-I	ユーザースクリプト内のコマンドの強制終了を開始します。	要因 ユーザースクリプト内で指定したコマンドの強制終了を開始する場合に出力されるメッセージです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 -
KAVX0219-I	ユーザースクリプト内のコマンドを強制終了しました。	要因 ユーザースクリプト内で指定したコマンドの強制終了に成功した場合に出力されるメッセージです。 対処 -
KAVX0220-W	ユーザースクリプト内のコマンドが強制終了できません。	要因 ユーザースクリプト内で指定したコマンドの強制終了に失敗した場合に出力されるメッセージです。 対処 ユーザースクリプト内で指定したコマンドの実行状況を確認し、コマンドを終了できない要因を取り除いた上で、バックアップコマンドを再実行してください。
KAVX0221-E	ユーザースクリプトの内容が不正です。 要因 = <要因>	(GUI の場合) 要因 ユーザースクリプトファイルの内容が不正です。 対処 ユーザースクリプトファイルの記述内容を、要因の内容に応じて修正した上でコマンドを再実行してください。 (CLI の場合) 要因 ユーザースクリプトファイルの内容が不正な場合に出力されるメッセージです。 対処 ユーザースクリプトファイルの記述内容を、要因の内容に応じて修正した上で、コマンドを再実行してください。
KAVX0222-E	-script オプションで指定したユーザースクリプトファイル名が不正です。	(GUI の場合) 要因 バックアップ操作に指定されたユーザースクリプトファイル名が不正です。 対処 バックアップ操作時に指定したファイルが存在するか、指定形式が正しいかを確認してください。確認のあと、正しいファイル名を指定し、バックアップ操作を再実行してください。 (CLI の場合) 要因 バックアップコマンドの引数で指定されたユーザースクリプトファイル名が不正の場合に出力されるメッセージです。 対処 バックアップコマンドの引数に指定したファイルが存在するか、指定形式が正しいかを確認してください。確認後、正しいファイル名を指定し、コマンドを再実行してください。
KAVX0223-E	ユーザースクリプトファイルの読み込みに失敗しました。	(GUI の場合) 要因 指定されたユーザースクリプトファイルの読み込みでエラーが発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 指定されたファイルに対する読み込み権限があるかどうか、ほかのアプリケーションで使用していないか等を確認し、スクリプトファイルが開ける状態にした上で、バックアップ操作を再実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 指定したユーザースクリプトファイルの読み込みでエラーが発生した場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 指定したユーザースクリプトファイルが開けるか、書き込み中でないかを確認し、バックアップコマンドを再実行してください。</p>
KAVX0224-I	ユーザースクリプトの項目 <項目名> の値が <項目の値> であるため処理を継続します。	<p>要因 ユーザースクリプトによって実行したコマンドで下記のどちらかの事象が発生した場合で、ユーザースクリプトの項目 END_CODE の設定値が IGNORE のときに出力されるメッセージです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コマンドが 0 以外の戻り値を返した。 ・ コマンドでタイムアウトが発生した。 <p>設定値が IGNORE であるため、処理を継続します。</p> <p>対処 -</p>
KAVX0225-E	ユーザースクリプトの項目 <項目名> の値が <項目の値> であるため処理を終了します。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 ユーザースクリプト内のコマンドを実行した結果、下記のどれかの事象が発生しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 操作に失敗した。 2. 操作に対してタイムアウトが発生した。 <p>対処 ユーザースクリプト内で指定した操作の実行状況を確認の上、バックアップ操作を再実行してください</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ユーザースクリプト内のコマンドを実行した結果、下記のどちらかの事象が発生したが、該当コマンドに対する END_CODE の設定値が TERMINATE_NZ (END_CODE が指定されないで、初期値として TERMINATE_NZ が適用されている場合を含む) であるため、処理を終了する場合に出力されるメッセージです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コマンドが 0 以外の戻り値を返した。 ・ コマンドでタイムアウトが発生した。 <p>対処 ユーザースクリプト内で指定したコマンドの実行状況を確認の上、バックアップコマンドを再実行してください。なお、上記の事象が発生した場合でも、処理を継続したい場合は、ユーザースクリプト内の該当コマンドに対する END_CODE の値を IGNORE に設定してください。</p>
KAVX0226-E	環境変数の設定に失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	設定内容 = <環境変数名> = <環境変数の値>	<p>ユーザースクリプト内で指定された環境変数の設定に失敗しました。</p> <p>対処 ユーザースクリプト内で指定した環境変数の内容を確認の上、設定可能な環境変数を指定した上で再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ユーザースクリプト内で指定したコマンドの実行前後に行われる環境変数の設定が失敗した場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 ユーザースクリプトに指定した環境変数の内容を確認し、設定できる環境変数を指定した上で、バックアップコマンドを再実行してください。</p>
KAVX0227-E	物理ボリュームの隠ぺいに失敗しました。 コピーグループ名 = <コピーグループ名>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 物理ボリュームの隠ぺいに失敗しました。</p> <p>対処 RAID Manager のログ情報から、物理ボリュームの隠ぺいに失敗した要因を特定してください。適宜 RAID Manager のマニュアルを参照して、特定した要因に応じた対処を実施してください。そのあと、再度操作を実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 物理ボリュームの隠ぺいが失敗した場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 RAID Manager のログ情報を参照して、RAID Manager のコマンドが失敗した要因を取り除いたあと、失敗したコピーグループ名を指定して、再度実行してください。RAID Manager のログ情報については、RAID Manager のマニュアルを参照してください。</p> <p>失敗した要因は、Replication Manager Application Agent を実行する構成または設定にある場合があります。マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」の次の説明を参照して、構成および設定を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Application Agent を使用する場合のシステム構成と注意事項 • Application Agent が適用できるボリューム構成 • RAID Manager の設定 • Application Agent の動作の設定 • RAID Manager と連携するための Application Agent の設定
KAVX0228-E	物理ボリュームの公開に失敗しました。 コピーグループ名 = <コピーグループ名>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 物理ボリュームの隠ぺい解除に失敗しました。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>RAID Manager のログ情報から、物理ボリュームの隠ぺい解除に失敗した要因を特定してください。適宜 RAID Manager のマニュアルを参照して、特定した要因に応じた対処を実施してください。そのあと、再度操作を実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 物理ボリュームの隠ぺい解除が失敗した場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 RAID Manager のログ情報を参照して、RAID Manager のコマンドが失敗した要因を取り除いたあと、失敗したコピーグループ名を指定して、再度実行してください。RAID Manager のログ情報については、RAID Manager のマニュアルを参照してください。</p> <p>失敗した要因は、Replication Manager Application Agent を実行する構成または設定にある場合があります。マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」の次の説明を参照して、構成および設定を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Application Agent を使用する場合のシステム構成と注意事項 • Application Agent が適用できるボリューム構成 • RAID Manager の設定 • Application Agent の動作の設定 • RAID Manager と連携するための Application Agent の設定
KAVX0229-E	指定されたコピーグループ名は不正です。 コピーグループ名 = <コピーグループ名>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 指定されたコピーグループが不正です。</p> <p>対処 正しいコピーグループを指定して再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 コマンドの引数に指定したコピーグループ名が不正です。</p> <p>対処 正しいコピーグループ名を指定して、再度実行してください。</p>
KAVX0230-E	RAID Manager インスタンスを起動できませんでした。 インスタンス番号 = <インスタンス番号>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 RAID Manager のデーモン起動処理に失敗しました。</p> <p>対処 RAID 管理ソフトウェアの設定を見直してください。見直したあと正しければ、RAID 管理ソフトウェアのログ情報を参照し、問題がないかどうかを確認してください。問題が判明しない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		RAID Manager インスタンスの起動に失敗した場合に出力されるメッセージです。 対処 RAID Manager の設定が正しいかどうか確認してください。設定が正しい場合は、RAID Manager のログ情報を参照し、問題がないかどうか確認してください。異常が見られない場合は問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVX0231-E	物理ボリュームの再認識に失敗しました。	(GUI の場合) 要因 物理ボリュームの再認識に失敗しました。 対処 システムログを参照し、物理ボリュームの再認識に失敗した要因を解決してから、再度操作を行ってください。問題が解決しない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。 (CLI の場合) 要因 物理ボリュームの再認識に失敗した場合に出力されるメッセージです。 対処 システムログを参照し、物理ボリュームの再認識に失敗した要因を解決してから、コマンドを再度実行してください。問題が解決しない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVX0232-I	<コピーグループ名>を隠べいしました。	要因 物理ボリュームの隠べいに成功した場合に出力されるメッセージです。 対処 -
KAVX0233-I	<コピーグループ名>を公開しました。	要因 物理ボリュームの隠べい解除に成功した場合に出力されるメッセージです。 対処 -
KAVX0234-I	物理ボリュームを再認識します。	要因 物理ボリュームの再認識を開始した場合に出力されるメッセージです。 対処 -
KAVX0235-I	物理ボリュームを再認識しました。	要因 物理ボリュームの再認識に成功した場合に出力されるメッセージです。 対処 -
KAVX0237-E	指定されたバックアップ ID に対応するコピーグループが存在しません。 コピーグループ名 = <コピーグループ名>	(GUI の場合) 要因 指定されたバックアップ ID のバックアップカタログに記憶されているコピーグループがありません。 対処 次の順序で Replication Manager Application Agent の動作環境を確認してください。 1. Replica History 画面を表示して対象となるコピーグループを確認してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>2. Replication Manager Application Agent が持つ定義ファイルに記載されたインスタンス番号が適切かどうか。</p> <p>3. RAID Manager の構成定義ファイル (horcmn.conf) でのコピーグループ定義が適切かどうか。</p> <p>(CLI の場合) 要因 指定したバックアップ ID のバックアップカタログに記録されているコピーグループが存在しない場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 次の順序で Replication Manager Application Agent の動作環境を確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. drmfscat, drmsqlcat, drmexgcat, または drmtapecat コマンドで、指定したバックアップ ID のバックアップカタログの内容を表示して、バックアップカタログに記録されたコピーグループを確認してください。 2. RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の HORCMINST パラメーターで指定したインスタンス番号が適切かどうかを確認してください。 3. RAID Manager の構成定義ファイル (horcm<n>.conf) でのコピーグループの定義が適切かどうかを確認してください。
KAVX0238-E	<p>ファイルへの書き込み処理が失敗しました。</p> <p>ファイル名 = <ファイルのフルパス></p>	<p>(GUI の場合) 要因 以下の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. システム環境変数 VSHTCRMENVF の設定されている場合、設定値が誤っている。 2. ファイルが書き込みできる状態ではない。 <p>対処 出力されたファイルパスに対して以下のことを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. システム環境変数 VSHTCRMENVF の設定されている場合、値がマニュアル通り正しく設定されているか。 2. ファイルが書き込み出来る状態か。 <p>(CLI の場合) 要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ システム環境変数 VSHTCRMENVF が設定されている場合に、設定値が誤っている。 ・ ファイルが書き込みできる状態ではない。 <p>対処 出力されたファイルパスに対して次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ システム環境変数 VSHTCRMENVF が設定されている場合、設定値がマニュアルどおり設定されているか確認してください。設定値については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」の、VSS を使用するための設定を参照してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> ファイルが書き込みできる状態か確認してください。
KAVX0239-E	drmdevctl コマンドの実行には、 DEVICE_DETACH=ENABLE の設定が必要です。	<p>(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent の環境が不正です。 対処 Application Agent の設定、ホスト情報更新を行ったあと、再度操作を実行してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の DEVICE_DETACH パラメータに ENABLE が指定されていない状態で、drmdevctl コマンドが実行された場合に表示されるメッセージです。 対処 RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の DEVICE_DETACH パラメータに ENABLE を指定してから、drmdevctl コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX0240-E	フォルダの作成に失敗しました。 フォルダパス = <フォルダパス>	<p>(GUI の場合) 要因 フォルダの作成に失敗しました。 次の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 作成しようとしたフォルダのパスがない。 作成しようとしたフォルダのアクセス権が書き込み不可になっている。 <p>対処 次の対処を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 作成しようとしたフォルダのパスがない場合はフォルダを作成してください。 作成しようとしたフォルダのアクセス権が書き込み不可になっている場合はフォルダに書き込みできるようにフォルダのアクセス権を変更してください。 <p>(CLI の場合) 要因 フォルダが作成できなかった場合に示されるメッセージです。 対処 次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作成しようとしたフォルダのパスが存在しない場合は、フォルダを作成してください。 作成しようとしたフォルダのアクセス権が書き込み不可になっている場合は、フォルダに書き込みができるようにアクセス権を変更してください。
KAVX0241-E	ファイルの削除に失敗しました。 ファイル名 = <ファイルのフルパス>	<p>(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent が使用するファイルの削除に失敗しました。 次の要因が考えられます。 ファイルのアクセス権が読み取り属性になっているおそれがあります。 対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>Replication Manager Application Agent が使用するファイルのアクセス権が読み取り属性になっている場合は読み取り属性を解除してからファイルを削除してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ファイルの削除に失敗した場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 表示されたファイルのアクセス権が読み取り専用になっていないか確認してください。ファイルのアクセス権が読み取り専用になっている場合は、読み取り専用属性を解除してからファイルを削除してください。</p>
KAVX0242-E	<p>ファイルを開くことができませんでした。</p> <p>ファイル名 = <ファイル名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent が使用するファイルを開けません。次の要因が考えられます。開こうとしたファイルのアクセス権が読み取り不可になっているおそれがあります。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent が使用するファイルのアクセス権が読み取り不可になっている場合はファイルが開けるようにアクセス権を変更してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ファイルを開くことができなかった場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 開こうとしたファイルのアクセス権が読み取り不可になっています。ファイルが開けるようにアクセス権を変更してください。</p>
KAVX0243-E	<p>プロセスが作成できませんでした。</p> <p>プロセス名 = <プロセス名></p> <p>コード = <OS エラー要因コード></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent の環境が不正です。</p> <p>対処 システムログを参照し、OS に異常がないかを確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 プロセスを実行できなかった場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 システムログを参照し、OS に異常がないかどうか確認してください。エラーの要因については、メッセージのコードに表示される「OS エラー要因コード」を参照してください。</p>
KAVX0244-W	<p>イベントログへのメッセージ出力に失敗しました。</p>	<p>要因 イベントログへメッセージを出力できませんでした。</p> <p>対処 アプリケーションイベントログがいっぱいでないか確認してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX0245-W	メール送信が失敗しました。	要因 メールを送信できませんでした。 対処 このメッセージの前出力されているメッセージを確認してください。
KAVX0246-W	SMTP サーバへの接続に失敗しました。 ホスト名 = <ホスト名> 要因 = <要因>	要因 SMTP サーバに接続できませんでした。 対処 メール送信定義ファイルの MAIL_SERVER パラメーターが正しいか確認してください。または、システムログを参照し、OS または SMTP サーバに異常がないか確認してください。エラーの要因については、「要因」に出力されるメッセージを参照してください。
KAVX0247-W	SMTP サーバへの送信に失敗しました。 要因 = <要因>	要因 SMTP サーバへの送信に失敗しました。 対処 システムログを参照し、OS または SMTP サーバに異常がないか確認してください。エラーの要因については、「要因」に出力されるメッセージを参照してください。
KAVX0248-W	SMTP サーバからの受信に失敗しました。 要因 = <要因>	要因 SMTP サーバからの受信に失敗しました。 対処 システムログを参照し、OS または SMTP サーバに異常がないか確認してください。エラーの要因については、「要因」に出力されるメッセージを参照してください。
KAVX0249-W	SMTP サーバからの受信メッセージが短すぎます。	要因 SMTP サーバからの受信メッセージが短すぎます。 対処 システムログを参照し、OS または SMTP サーバに異常がないか確認してください。
KAVX0250-W	SMTP サーバがエラー応答を返しました。 対象 = <対象> 内容 = <内容>	要因 SMTP サーバが、「対象」に出力された SMTP サーバへのリクエスト (SMTP プロトコル) に対して、「内容」に出力されたエラー応答 (SMTP プロトコル) を返しました。 対処 システムログを参照し、OS または SMTP サーバに異常がないか確認してください。
KAVX0251-W	パラメーターの設定値の長さが上限を超えています。 ファイル名 = <ファイル名> パラメーター = <パラメーター名>	要因 パラメーターの設定値の長さが上限を超えています。 対処 該当する設定ファイルで指定したパラメーター値の長さを確認してください。
KAVX0252-W	送信先メールアドレスが不正です。 メールアドレス = <メールアドレス>	要因 SMTP サーバから、出力されたメールアドレスの不正が通知されました。 対処 メール送信定義ファイルの TO パラメーターを確認してください。または、システムログを参照

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		し、OS または SMTP サーバに異常がないか確認してください。
KAVX0253-W	パラメーターが見つかりません。 ファイル名 = <ファイル名> パラメーター = <パラメーター名>	要因 パラメーターが見つかりません。 対処 該当する設定ファイルに、出力されたパラメーターが指定されているか確認してください。
KAVX0254-W	メール送信の準備が失敗しました。	要因 メール送信の準備が失敗しました。 対処 このメッセージの前に出力されているメッセージを確認してください。
KAVX0255-W	メール送信できません。	要因 メールを送信できません。 対処 このメッセージの前に出力されているメッセージを確認してください。
KAVX0256-I	Protection Manager サービスに接続します。 ホスト名 = <ホスト名>	要因 Protection Manager サービスに接続します。 対処 -
KAVX0257-I	Protection Manager サービスとの接続状態を切断します。 ホスト名 = <ホスト名>	要因 Protection Manager サービスとの接続状態を切断します。 対処 -
KAVX0258-E	Protection Manager サービスとの通信でエラーが発生しました。 ホスト名 = <ホスト名>	(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent サービスと通信中にエラーが発生しました。 対処 次のことを確認してください。 1. Replication Manager Application Agent サービスが起動しているか。 2. ネットワークに問題がないか。ネットワークに問題がある場合、詳細な通信エラー内容が詳細トレースログに記録されています。 3. ライブ・マイグレーションと Replication Manager Application Agent の機能の実行時間が重なっていないか。ライブ・マイグレーションが実行中かどうかは、使用している仮想化ソフトウェアが出力する情報を確認してください。 (CLI の場合) 要因 Protection Manager サービスとの通信時にエラーが発生しました。詳細な通信エラー内容が詳細トレースログに記録されています。 対処 次のことを確認してください。 ・ 接続先のホスト上で Protection Manager サービスが正常に起動しているか。 ・ ネットワーク設定に問題がないか。 ・ ライブ・マイグレーションと、Replication Manager Application Agent のコマンドの

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		実行時間が重なっていないか。ライブ・マイグレーションが実行中かどうかは、使用している仮想化ソフトウェアが出力する情報を確認してください。
KAVX0259-E	Protection Manager サービスに接続できませんでした。 ホスト名 = <ホスト名>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent サービスに接続できません。</p> <p>対処 次のことを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Replication Manager Application Agent サービスが起動していること。 2. ポート番号の設定が接続元ホストと接続先ホストで一致していること。 3. 接続元ホストと接続先ホストの Replication Manager Application Agent のバージョンが一致していること。 <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 Protection Manager サービスのポートに対する接続時にエラーが発生しました。接続先のホスト上の Protection Manager サービスに接続できませんでした。</p> <p>対処 次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Protection Manager サービスが起動しているか。 • ポート番号の設定が、接続元のホストと接続先のホストで一致しているか。 • Replication Manager Application Agent のバージョンが、接続元のホストと接続先のホストで一致しているか。
KAVX0260-E	バックアップサーバのファイルチェック処理に失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 通信エラーでバックアップサーバのファイルチェック処理に失敗しました。</p> <p>対処 このメッセージの前に出力されているメッセージを確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 通信エラーのため、バックアップサーバのファイルチェック処理に失敗しました。</p> <p>対処 このメッセージの前に出力されているメッセージを確認してください。</p>
KAVX0261-E	ユーザースクリプト実行コマンドのファイルが存在しません。 ホスト名 = <ホスト名> 処理セクション = <処理セクション> 実行ファイル名 = <実行ファイル名>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent のユーザースクリプトファイルがありません。</p> <p>対処 存在するファイルを指定してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 指定したファイルがないか、またはディレクトリを指定しました。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 存在するファイルを指定してください。</p>
KAVX0262-E	<p>ユーザースクリプト実行コマンドのファイルへのアクセス権限がありません。 ホスト名 = <ホスト名> 処理セクション = <処理セクション> 実行ファイル名 = <実行ファイル名></p>	<p>(GUI の場合) 要因 以下のどれかの状況が考えられます。 1. 権限が無い 2. デバイスの準備ができていない 3. キャラクタファイルである 対処 Replication Manager Application Agent のユーザースクリプトファイルに実行できる権限を付与してください。 (CLI の場合) 要因 次の要因が考えられます。 ・ 指定した実行ファイルに対する実行権限がない。 ・ デバイスの準備ができていない。 ・ 実行ファイルに指定された内容がキャラクターファイルである。 対処 実行できる権限をファイルに付与してください。</p>
KAVX0263-I	<p>ユーザースクリプト内のコマンドを実行します。 ホスト名 = <ホスト名> コマンドライン = <コマンドライン></p>	<p>要因 ユーザースクリプトを実行するときに出力されます。 対処 -</p>
KAVX0264-E	<p>バックアップサーバのユーザースクリプト処理に失敗しました。</p>	<p>(GUI の場合) 要因 バックアップサーバの Replication Manager Application Agent のユーザースクリプト処理に失敗しています。 対処 このメッセージの前に出力されているメッセージを確認してください。 (CLI の場合) 要因 バックアップサーバのユーザースクリプト処理に失敗しました。 対処 このメッセージの前に出力されているメッセージを確認してください。</p>
KAVX0265-I	<p>Protection Manager サービスが起動しました。</p>	<p>要因 Protection Manager サービスが起動されました。 対処 -</p>
KAVX0266-E	<p>Protection Manager サービスの起動に失敗しました。</p>	<p>(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent サービス起動に失敗しています。 対処 エラーの要因および対処方法については、直前に出力されたメッセージを参照してください。 (CLI の場合)</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>要因 Protection Manager サービスの起動時にエラーが発生しました。</p> <p>対処 エラーの要因および対処方法については、直前に出力されたメッセージを参照してください。</p>
KAVX0267-I	Protection Manager サービスが停止しました。	<p>要因 Protection Manager サービスが停止されました。</p> <p>対処 -</p>
KAVX0268-E	IP アドレスが取得できません。 ホスト名 = <ホスト名 >	<p>(GUI の場合) 要因 接続するホストの IP アドレスが取得できませんでした。</p> <p>対処 ホスト名が正しいかどうか、接続するホストが起動しているかどうか、ネットワーク設定に問題がないか確認してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 Protection Manager サービスへの接続時にエラーが発生しました。接続するホストの IP アドレスが取得できませんでした。</p> <p>対処 次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホスト名が正しいか。 ・ 接続するホストが起動しているか。 ・ ネットワーク設定に問題がないか。
KAVX0269-E	接続先の Protection Manager サービスが停止しました。 ホスト名 = <ホスト名 >	<p>(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent サービス通信時にサービスが停止しました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent サービスを開始したあとで、操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 Protection Manager サービスとの通信時にエラーが発生しました。コマンド実行中に、接続先のホストの Protection Manager サービスが停止しました。</p> <p>対処 Protection Manager サービスを開始してから、コマンドを再実行してください。</p>
KAVX0270-W	一時ファイルの操作が失敗しました。 操作 = <操作 > 要因 = <要因 >	<p>要因 一時ファイルの操作に失敗しました。</p> <p>対処 システムログを参照し、OS に異常がないか確認してください。</p>
KAVX0271-E	Protection Manager サービスのバージョンが不正です。 ホスト名 = <ホスト名 >	<p>(GUI の場合) 要因 接続先ホストの Replication Manager Application Agent のバージョンが不正です。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>Application Agent 設定一覧画面でコンポーネントバージョンが同一であるか確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 接続先のホストにインストールされている Protection Manager サービスのバージョンが不正です。</p> <p>対処 接続先のホストにインストールされている Replication Manager Application Agent のバージョンを確認してください。</p>
KAVX0272-E	<p>Protection Manager サービスでエラーが発生しました。</p> <p>ホスト名 = <ホスト名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 接続先ホスト上でエラーが発生しました。</p> <p>対処 エラーの要因および対処方法については、このメッセージ以降に出力されたメッセージを参照してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 接続先のホスト上でエラーが発生しました。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>
KAVX0273-W	<p>パラメーターの設定値が不正です。</p> <p>ファイル名 = <ファイル名></p> <p>パラメーター = <パラメーター名></p>	<p>要因 パラメーターに設定した値が不正です。</p> <p>対処 該当する設定ファイルで指定したパラメーター値を確認してください。</p>
KAVX0274-W	メモリーが不足しています。	<p>要因 Replication Manager Application Agent が提供するコマンドを実行するためのメモリーが不足しています。</p> <p>対処 製品に添付されている資料を確認し、必要なメモリーを追加してください。</p>
KAVX0275-I	メール送信を開始します。	<p>要因 メールが送信されるときに出力されます。</p> <p>対処 -</p>
KAVX0276-I	メール送信を終了します。	<p>要因 メールの送信が終了するとき出力されます。</p> <p>対処 -</p>
KAVX0277-E	<p>ユーザースクリプト実行コマンドのファイル名が不正です。</p> <p>ホスト名 = <ホスト名></p> <p>処理セクション = <処理セクション></p> <p>コマンドライン = <コマンドライン></p> <p>実行ファイル名 = <実行ファイル名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent のユーザースクリプトファイルに定義されたコマンドラインのファイル名チェックでエラーが発生しました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent のユーザースクリプトのファイルの CMDLINE で、空白を含むパス名またはファイル名が引用符 (") で</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>囲まれていることを確認してください。また、引用符 (") がネスト(入れ子)する指定を行っていないことを確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ユーザースクリプトファイルに定義されたコマンドラインのファイル名チェックでエラーが発生しました。</p> <p>対処 ユーザースクリプトファイルの CMDLINE の指定方法について、次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 空白を含むパス名またはファイル名が、引用符 (") で囲まれているか。 引用符 (") がネストしていないか (引用符を引用符で囲んでいないか)。
KAVX0278-E	ほかのコマンドから呼び出されたためコマンドを実行できません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 特定の操作中にほかの操作が実行されました。</p> <ol style="list-style-type: none"> ユーザースクリプトの PRE_PROC 処理かつローカルサーバ上のスクリプト実行 ユーザースクリプトの RESYNC_PROC 処理 ユーザースクリプトの SPLIT_PROC 処理 ユーザースクリプトの FINISH_PROC 処理 <p>対処 特定操作中にほかの操作を呼び出さないようにしてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent コマンドを呼び出せるのは、PRE_PROC 処理中のバックアップサーバ上で実行するスクリプト、および POST_PROC 処理だけです。 ユーザースクリプト中の次の処理で Replication Manager Application Agent コマンドが呼び出された場合はエラーになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> PRE_PROC 処理 (ローカルサーバ上でスクリプトを実行する場合) RESYNC_PROC 処理 SPLIT_PROC 処理 FINISH_PROC 処理 <p>対処 上記の処理中では、Replication Manager Application Agent コマンドを呼び出さないでください。</p>
KAVX0279-E	Protection Manager サービスの接続先にローカルホストが指定されています。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent サービスの接続先にローカルホストが指定されました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent サービスの接続先にローカルホストを指定しないでください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 Protection Manager サービスの接続先としてローカルホストが指定されました。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 Protection Manager サービスの接続先にローカルホストを指定しないでください。</p>
KAVX0280-E	<p>以下のプロトコルのポート番号はすでに使用されています。 プロトコル = <プロトコル名> ポート番号 = <ポート番号></p>	<p>(GUI の場合) 要因 プロトコルのポート番号がすでに使用されています。 対処 表示されたプロトコルのポート番号がほかのプロセスによって使用されていないことを確認してください。 (CLI の場合) 要因 - 対処 セットアップ手順に従い、プロトコルが使用していないポート番号を <システムディレクトリ> %system32%drivers%etc%services ファイルに登録してください。</p>
KAVX0281-E	<p>実行環境には管理者特権が必要です。</p>	<p>(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent が管理者権限を使用して実行されていません。 対処 管理者権限を使用して Replication Manager Application Agent を実行してください。 (CLI の場合) 要因 OS の管理者特権を使用して起動したコマンドから、Replication Manager Application Agent のコマンドを再実行してください。 対処 OS の管理者特権を使用してコマンドを起動する方法は、OS のマニュアルを参照してください。</p>
KAVX0282-E	<p>ベリファイ処理がログの異常を検出しました。 ベース名 = <ベース名></p>	<p>要因 ベリファイ処理でトランザクションログに異常を検出しました。 対処 -</p>
KAVX0300-I	<p>指定されたコピーグループをロックしました。</p>	<p>要因 指定したコピーグループがロックされました。 対処 -</p>
KAVX0301-I	<p>指定されたコピーグループのロックを解除しました。</p>	<p>要因 指定したコピーグループのロックが解除されました。 対処 -</p>
KAVX0302-I	<p>指定されたバックアップ ID に対応するコピーグループをロックしました。</p>	<p>要因 指定したバックアップ ID に対応するコピーグループがロックされました。 対処 -</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX0303-I	指定されたバックアップ ID に対応するコピーグループのロックを解除しました。	要因 指定したバックアップ ID に対応するコピーグループのロックが解除されました。 対処 -
KAVX0304-W	指定されたコピーグループはすでにロック（またはロック解除）されていません。	要因 次の要因が考えられます。 ・ ロックされているコピーグループに対して再度ロックしようとした。 ・ ロックが解除されているコピーグループに対して再度ロックを解除しようとした。 対処 対処の必要はありません。
KAVX0305-W	指定されたバックアップ ID に対応するコピーグループはすでにロック（またはロック解除）されています。	要因 次の要因が考えられます。 ・ ロックされているバックアップ ID に対応するコピーグループに対して再度ロックしようとした。 ・ ロックが解除されているバックアップ ID に対応するコピーグループに対して再度ロックを解除しようとした。 対処 対処の必要はありません。
KAVX0309-E	<コマンド名>コマンドの実行に失敗しました。 要因 = <詳細メッセージ>	要因 コマンドを実行したときにエラーが検出されました。 対処 Replication Manager Application Agent のトレースログファイルと OS のシステムログを参照し、ファイルシステムについて異常を示すメッセージが出力されていないかを確認してください。
KAVX0310-I	リソースグループ名を入力してください：	要因 drmclusinit コマンドを実行し、クラスタリソースグループ名を入力するときに出力されるメッセージです。 対処 -
KAVX0311-I	リソース名を入力してください：	要因 drmclusinit コマンドを実行し、クラスタリソース名を入力するときに出力されるメッセージです。 対処 -
KAVX0312-I	クラスタ情報を更新しました。	要因 drmclusinit コマンドを実行し、クラスタ情報が正常に更新されたときに出力されるメッセージです。 対処 -
KAVX0313-I	仮想サーバ名を入力してください：	要因 drmclusinit コマンドを実行し、クラスタ仮想サーバ名を入力するときに出力されるメッセージです。 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		-
KAVX0314-I	リソース種別を入力してください (S : サービス, D : ディスク) :	要因 drmclusinit コマンドを実行し、クラスタリソース種別を入力するときに出力されるメッセージです。 対処 -
KAVX0315-I	サービス名を入力してください :	要因 drmclusinit コマンドを実行し、クラスタサービスリソース名を入力するときに出力されるメッセージです。 対処 -
KAVX0316-I	ドライブ名を入力してください :	要因 drmclusinit コマンドを実行し、クラスタディスクリソース名を入力するときに出力されるメッセージです。 対処 -
KAVX0317-I	インスタンス名を入力してください :	要因 drmclusinit コマンドを実行し、クラスタ環境でバックアップおよびリストア対象となるインスタンス名またはストレージグループ名を入力するときに出力されるメッセージです。 対処 -
KAVX0318-E	クラスタ情報の更新に失敗しました。	要因 drmclusinit コマンドを実行し、正しくクラスタ管理情報を登録できなかったときに出力されるメッセージです。 対処 クラスタソフトウェアの設定と起動状態を確認してください。設定や起動状態が正しい場合は、システムログを参照し、OS に異常がないかを確認してください。
KAVX0319-E	指定されたクラスタリソースの確認に失敗しました。 クラスタリソース名 = <クラスタリソース名 >	要因 入力されたクラスタリソースを確認する時点でエラーが発生したときに出力されるメッセージです。 対処 クラスタソフトウェアの設定と起動状態を確認し、コマンドを再実行してください。
KAVX0320-E	クラスタプロセスが停止しているため、入力されたクラスタリソースの確認ができませんでした。 クラスタリソース名 = <クラスタリソース名 >	要因 入力されたクラスタリソースを確認する時点でクラスタが停止していたため、クラスタの状態を確認できなかったときに出力されるメッセージです。 対処 クラスタソフトウェアの設定と起動状態を確認してください。クラスタを起動したあと、drmclusinit コマンドを再度実行してください。
KAVX0321-W	指定されたクラスタリソースは存在しません。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	クラスタリソース名 = <クラスタリソース名>	<p>入力されたクラスタリソースが存在しないときに出力されるメッセージです。</p> <p>対処 クラスタソフトウェアの設定と入力したパラメーターが正しいかどうかを確認してください。設定が正しい場合は、システムログを参照し、OSに異常がないかを確認してください。</p>
KAVX0322-E	指定されたクラスタ製品に対する情報が登録されていません。	<p>要因 指定されたクラスタソフトウェアに対するパラメーターが設定されていないときに出力されるメッセージです。</p> <p>対処 クラスタソフトウェアの設定と起動状態を確認してください。クラスタを起動したあと、<code>drmclusinit</code> コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX0323-E	クラスタのオープンに失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 クラスタのオープンに失敗しました。</p> <p>対処 Windows イベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 MSCS のオープンに失敗した場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 Windows イベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のトラブルシューティングの説明を参照して、資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAVX0324-E	クラスタリソースをオンラインにできませんでした。 リソース名 = <クラスタリソース名> コード = <エラーコード>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 クラスタリソースのオンライン処理に失敗しました。</p> <p>対処 メッセージと一緒に表示される OS のエラーコードと Windows イベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 MSCS のクラスタリソースのオンライン処理に失敗した場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 メッセージと一緒に表示される OS のエラーコードと Windows イベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のトラブルシューティングの説明を参照して、資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX0325-E	クラスタリソースをオフラインにできませんでした。 リソース名 = <クラスタリソース名> コード = <エラーコード>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 クラスタリソースのオフライン処理に失敗しました。</p> <p>対処 メッセージと一緒に表示される OS のエラーコードと Windows イベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 MSCS のクラスタリソースのオフライン処理に失敗した場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 メッセージと一緒に表示される OS のエラーコードと Windows イベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のトラブルシューティングの説明を参照して、資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAVX0326-E	クラスタの情報取得に失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 クラスタの情報取得に失敗しました。</p> <p>対処 Windows イベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 MSCS の情報取得に失敗した場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 Windows イベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のトラブルシューティングの説明を参照して、資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAVX0327-E	正しいクラスタ製品名を入力してください。	<p>要因 drmcclusinit コマンドに指定したクラスタソフトウェア名に誤りがあります。</p> <p>対処 正しいクラスタソフトウェア名を指定して、コマンドを再実行してください。</p>
KAVX0328-W	正しい仮想サーバ名を入力してください。 仮想サーバ名 = <仮想サーバ名>	<p>要因 入力した仮想サーバ名が存在しません。</p> <p>対処 次のことを確認してから、正しいパラメーターを再入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> クラスタが正しく設定されているか。 入力した仮想サーバ名が正しいか。 入力した仮想サーバ名に対応する DRM_DB_PATH が、構成定義ファイル (init.conf) に定義されているか。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX0329-W	指定された仮想サーバは既に登録されています。 仮想サーバ名 = <仮想サーバ名>	要因 入力した仮想サーバ名はすでに登録されています。 対処 クラスタの設定を確認し、正しい仮想サーバ名を再入力してください。
KAVX0330-E	指定されたクラスタリソースグループの確認に失敗しました。 クラスタリソースグループ名 = <クラスタリソースグループ名>	要因 入力したクラスタリソースグループの確認時にエラーが発生しました。 対処 OS が Windows で、Veritas Cluster Server を使用したクラスタ構成の場合、指定したクラスタリソースグループに対する仮想サーバ名が割り当てられていない可能性があります。 クラスタソフトウェアの設定と起動状態を確認し、コマンドを再実行してください。
KAVX0331-E	クラスタプロセスが停止しているため、クラスタリソースグループの確認ができませんでした。 クラスタリソースグループ名 = <クラスタリソースグループ名>	要因 入力したクラスタリソースグループの確認時にクラスタが停止していたため、クラスタの状態を確認できませんでした。 対処 クラスタを起動してから登録してください。
KAVX0332-W	指定されたクラスタリソースグループは存在しません。 クラスタリソースグループ名 = <クラスタリソースグループ名>	要因 入力したクラスタリソースグループがクラスタの管理下にありません。 対処 クラスタの設定を確認し、正しいパラメーターを再入力してください。
KAVX0333-W	指定されたクラスタリソースグループは既に登録されています。 クラスタリソースグループ名 = <クラスタリソースグループ名>	要因 入力したクラスタリソースグループがすでに登録されています。 対処 クラスタの設定を確認し、正しいパラメーターを再入力してください。
KAVX0334-W	正しいリソース種別を入力してください。 リソース種別 = <リソース種別>	要因 入力したリソース種別に誤りがあります。 対処 クラスタの設定を確認し、正しいパラメーターを再入力してください。
KAVX0335-W	指定されたクラスタリソースがクラスタリソースグループに存在しません。 クラスタリソース名 = <クラスタリソース名>	要因 入力したクラスタリソースがクラスタリソースグループ内に存在しません。 対処 クラスタの設定を確認し、正しいパラメーターを再入力してください。
KAVX0336-W	クラスタリソースは指定できません。 クラスタリソース名 = <クラスタリソース名>	要因 クラスタリソースに誤ったリソースタイプが指定されました。 対処 クラスタの設定を確認し、正しいパラメーターを再入力してください。
KAVX0337-W	指定されたクラスタリソースは既に登録されています。	要因 入力したクラスタリソースはすでに登録されています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	クラスタリソース名 = <クラスタリソース名>	対処 クラスタの設定を確認し、正しいパラメーターを再入力してください。
KAVX0338-W	指定されたドライブ名はクラスタリソースに対応していません。 ドライブ名 = <ドライブ名>	要因 入力したクラスタリソースとドライブ名が対応していません。 対処 クラスタの設定を確認し、正しいパラメーターを再入力してください。
KAVX0339-W	指定されたクラスタリソースグループの仮想サーバ名は、指定された仮想サーバ名と一致しません。 クラスタリソースグループ名 = <クラスタリソースグループ名>	要因 入力したクラスタリソースグループと仮想サーバが対応していません。 対処 クラスタの設定を確認し、正しいパラメーターを再入力してください。
KAVX0340-E	指定された仮想サーバ名の確認に失敗しました。 仮想サーバ名 = <仮想サーバ名>	要因 入力した仮想サーバ名の確認時にエラーが発生しました。 対処 次のことを確認してください。 ・ クラスタソフトウェアが正しくインストールされているか。 ・ クラスタが起動しているか。
KAVX0400-I	マウントを開始します。 マウントポイント = <バックアップサーバのマウントポイントディレクトリ名>	要因 テープへのバックアップまたはテープからのリストアを実行するときに、バックアップサーバに副ボリュームをマウントする操作が開始されたことを示すメッセージです。 対処 -
KAVX0401-I	マウントを完了しました。 マウントポイント = <バックアップサーバのマウントポイントディレクトリ名>	要因 テープへのバックアップまたはテープからのリストアを実行するときに、バックアップサーバに副ボリュームをマウントする操作が正常に完了したことを示すメッセージです。 対処 -
KAVX0402-I	バックアップを開始します。 バックアップの進行状況について詳しく確認する場合、バックアップ管理製品が提供する監視方法を使用し、確認してください。 バックアップ元 = <バックアップ元ディレクトリ名>	要因 テープへのバックアップ時に、バックアップ管理製品のバックアップコマンドが開始されたことを示すメッセージです。 対処 -
KAVX0403-I	バックアップを完了しました。 バックアップ元 = <バックアップ元ディレクトリ名>	要因 テープへのバックアップ時に、バックアップ管理製品のバックアップコマンドが正常に完了したことを示すメッセージです。 対処 -
KAVX0404-I	リストアを開始します。 リストアの進行状況について詳しく確認する場合、バックアップ管理製品が提	要因 テープからのリストア時に、バックアップ管理製品のリストアコマンドが開始されたことを示すメッセージです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	供する監視方法を使用し、確認してください。 リストア元 = <リストア元ディレクトリ名> リストア先 = <リストア先マウントポイントディレクトリ名>	対処 -
KAVX0405-I	リストアを完了しました。 リストア元 = <リストア元ディレクトリ名> リストア先 = <リストア先マウントポイントディレクトリ名>	要因 テープからのリストア時に、バックアップ管理製品のリストアコマンドが正常に完了したことを示すメッセージです。 対処 -
KAVX0406-I	アンマウントを開始します。 マウントポイント = <バックアップサーバのマウントポイントディレクトリ名>	要因 テープへのバックアップまたはテープからのリストアを実行するときに、データベースサーバ上で副ボリュームのアンマウント操作が開始されたことを示すメッセージです。 対処 -
KAVX0407-I	アンマウントを完了しました。 マウントポイント = <バックアップサーバのマウントポイントディレクトリ名>	要因 テープへのバックアップまたはテープからのリストアを実行するときに、データベースサーバ上で副ボリュームのアンマウント操作が正常に完了したことを示すメッセージです。 対処 -
KAVX0408-E	バックアップコマンドの実行に失敗しました。 コマンド = < <i>NetBackup</i> または <i>Backup Exec</i> が実行したコマンド名 > エラー番号 = < <i>NetBackup</i> または <i>Backup Exec</i> のコマンドが返すエラー番号 >	要因 <i>NetBackup</i> または <i>Backup Exec</i> のコマンドを実行しましたが、エラーになりました。 対処 <i>NetBackup</i> または <i>Backup Exec</i> のマニュアルを参照して、エラー番号からエラー情報を確認して対処したあと、コマンドを再度実行してください。
KAVX0409-E	リストアコマンドの実行に失敗しました。 コマンド = < <i>NetBackup</i> または <i>Backup Exec</i> が実行したコマンド名 > エラー番号 = < <i>NetBackup</i> または <i>Backup Exec</i> のコマンドが返すエラー番号 >	要因 <i>NetBackup</i> または <i>Backup Exec</i> のコマンドを実行しましたが、エラーになりました。 対処 <i>NetBackup</i> または <i>Backup Exec</i> のマニュアルを参照して、エラー番号からエラー情報を確認して対処したあと、コマンドを再度実行してください。
KAVX0410-E	インストールパスの取得に失敗しました。 ソフト名 = <使用するバックアップ管理製品名 >	要因 使用するバックアップ管理製品 (<i>NetBackup</i> または <i>Backup Exec</i>) がインストールされていません。 対処 <i>NetBackup</i> または <i>Backup Exec</i> をインストールしてから再度実行してください。
KAVX0411-I	バックアップ管理製品名を入力してください：	要因 <i>drmtapeinit</i> コマンドの実行中に、 <i>Replication Manager Application Agent</i> と連携するバックアップ管理製品の種別の入力を促すメッセージです。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		インストールされているバックアップ管理製品が NetBackup の場合は、NBU と入力して [Enter] キーを押してください。Backup Exec の場合は、BEWS と入力して [Enter] キーを押してください。
KAVX0412-I	バックアップクラス定義名を入力してください：	要因 drmtapeinit コマンドを実行中に、種別として NBU を選択した場合に、NetBackup のバックアップクラス定義名の入力を促すメッセージです。 対処 -
KAVX0413-I	バックアップスケジュール名を入力してください：	要因 drmtapeinit コマンドの実行中に、種別として NBU、または BEWS を選択した場合に、NetBackup のバックアップクラス定義名に関連するバックアップスケジュール名の入力を促すメッセージです。 対処 -
KAVX0414-I	バックアップパラメーターが更新されました。	要因 drmtapeinit コマンドが正常に終了して、バックアップ管理製品と連携するためのパラメーターが正しく更新されました。 対処 -
KAVX0415-I	バックアップジョブスクリプトファイル名を入力してください：	要因 drmtapeinit コマンドの実行中に、種別として BEWS を選択した場合に、Backup Exec のバックアップジョブスクリプトファイル名の入力を促すメッセージです。 対処 バックアップ管理製品と連携するためのコマンド、drmtapebackup コマンド、drmtaperestore コマンド、drmmediabackup コマンド、および drmmmediarestore コマンドで使用する Backup Exec のバックアップジョブスクリプトファイル名を入力して、[Enter] キーを押してください。
KAVX0416-E	バックアップ管理製品との連携に必要な設定が行われていません。	要因 次の要因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> • drmtapeinit コマンドでバックアップ管理製品と連携するためのパラメーターを設定する前に、drmmediabackup コマンド、drmtapebackup コマンド、または drmtaperestore コマンドを実行した。 • ファイルサーバまたはデータベースサーバで、drmmediabackup コマンド、drmtapebackup コマンド、または drmtaperestore コマンドを誤って実行した。 対処 drmtapeinit コマンドを実行してから、コマンドを再度実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KAVX0417-I	バックアップカタログの保存日数を入力してください：	<p>要因 drmtapeinit コマンドの実行中に、テープバックアップ用のバックアップカタログを保存しておく期間の入力を促すメッセージです。</p> <p>対処 -</p>
KAVX0418-I	ファイル名で指定されたバックアップ情報をバックアップカタログに追加しました。 インポートされたバックアップ ID = <追加したバックアップ ID >	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 正常にバックアップ ID がインポートされました。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 drmdbimport コマンドで、正常にバックアップ ID がインポートされたことを示すメッセージです。</p> <p>対処 -</p>
KAVX0419-E	指定されたバックアップ ID に関連するバックアップ情報は、エクスポートできません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 バックアップデータをテープへバックアップする前に、レプリカ履歴をエクスポートしようとしてしました。</p> <p>対処 レプリカ作成で [テープバックアップのためにレプリカカタログファイルをバックアップサーバにエクスポートする] にチェックを入れる場合は、Post ジョブでテープバックアップを実行するように設定してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップデータをテープへバックアップする前に、バックアップ情報をエクスポートしようとしてしました。</p> <p>対処 バックアップデータをテープへバックアップしてから、バックアップ情報をエクスポートしてください。</p>
KAVX0420-E	不正なバックアップ ID が指定されました。 drmdbimport コマンドでインポートしたバックアップ情報のバックアップ ID を指定してください。	<p>要因 指定したバックアップ ID が誤っているため、テープへのバックアップを実行できません。</p> <p>対処 テープへバックアップする場合、drmdbimport コマンドでインポートしたバックアップ ID を指定してください。</p>
KAVX0421-E	不正なバックアップ ID が指定されました。 drmtapebackup コマンドを使用して取得したバックアップ ID を指定してください。	<p>要因 指定したバックアップ ID は、drmtapebackup コマンドを使用して取得されたものではありません。</p> <p>対処 drmtapebackup コマンドで、テープへバックアップしたときに取得したバックアップ ID を指定してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX0422-W	指定されたバックアップ管理製品名は無効です。	<p>要因 指定したバックアップ管理製品名に誤りがあります。</p> <p>対処 正しいバックアップ管理製品名を入力してください。</p>
KAVX0423-W	指定された日数は範囲を超えています (指定できる範囲 : 0-365)。	<p>要因 drmtapeinit コマンドの実行中に、バックアップ情報の保存期間に指定した日数に誤りがあります。</p> <p>対処 0 から 365 の範囲で指定してください。</p>
KAVX0424-I	指定されたバックアップ ID に対するバックアップ情報を削除しました。 バックアップ ID = <削除するバックアップ ID >	<p>要因 drmtapecat コマンドまたは drmappcat コマンドで、指定されたバックアップ ID に対応するバックアップ情報の削除が正常に完了したことを示すメッセージです。</p> <p>対処 -</p>
KAVX0425-E	指定したバックアップ ID は、マウントできません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 RAW デバイスをバックアップしたレプリカが指定されました。</p> <p>対処 指定したレプリカに対して、マウント操作は実行できません。マウント操作を実行せずに、操作を続行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 指定されたバックアップ ID のバックアップデータは、RAW ボリュームとして構成されています。RAW ボリューム上にはファイルシステムが作成されていないため、マウントする必要があります。</p> <p>対処 マウントを実行しないで、操作を続行してください。</p>
KAVX0426-E	必要なドライブ文字が不足しているため、このコマンドは実行できません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 使用できるドライブ文字の数が不足しています。</p> <p>対処 ボリューム数以上の、未使用なドライブ文字を確保して、再度コマンドを実行してください。または、マウントポイントディレクトリ上に副ボリュームをマウントしてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 現在マウントするために使用できるドライブ文字の数が足りないため、すべての副ボリュームをマウントできません。</p> <p>対処 不要なボリュームをアンマウントし、副ボリュームをマウントするために必要なドライブ文字を確保したあと、コマンドを再度実行してください。または、-mount_pt (マウントポイントディレクトリ名) オプションを指定して、マウントポ</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		イントディレクトリ上に副ボリュームをマウントしてください。
KAVX0427-E	バックアップに失敗しました マウントポイント = <マウントポイントディレクトリ名またはドライブ文字> 要因 = <要因コード>	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>テープバックアップ用構成定義ファイルのパラメーターの設定を確認してください。 NetBackup の場合、次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NBU_MASTER_SERVER パラメーターに指定したマスターサーバが起動中である。 • INCLUDE_EXEC に「YES」を指定する場合、または指定を省略する場合、バックアップサーバにメディアサーバがインストールされている。 • INCLUDE_EXEC に「YES」以外を指定する場合、ポリシー（クラス）にバックアップ対象パスがあらかじめ設定されている。 <p>要因コードに表示されるメッセージおよびバックアップ管理製品が提供するトレースログを参照し、バックアップ管理製品が発行するエラーコードが出力されていないかを確認してください。異常が見られない場合は問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAVX0428-E	指定されたバックアップオブジェクト種別は不正です。	<p>要因</p> <p>drmtapecat コマンドに -o オプションを指定して実行した場合で、指定したバックアップオブジェクト種別が不正なときに出力されるメッセージです。</p> <p>対処</p> <p>drmtapecat コマンドによって出力されるバックアップオブジェクト種別を確認し、drmtapecat コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX0429-E	リストアに失敗しました。 リストア元 = <マウントポイントディレクトリ名またはドライブ文字> リストア先 = <マウントポイントディレクトリ名またはドライブ文字> 要因 = <バックアップ管理製品出力要因コード>	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>テープバックアップ用構成定義ファイルのパラメーターの設定を確認してください。 NetBackup の場合、次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NBU_MASTER_SERVER パラメーターに指定したマスターサーバが起動中である。 • NBU_MASTER_SERVER パラメーターに指定したマスターサーバがバックアップ時に使用したマスターサーバである。 <p>要因コードに表示されるメッセージおよびバックアップ管理製品が提供するトレースログを参照し、バックアップ管理製品が発行するエラーコードが出力されていないかを確認してください。異常が見られない場合は問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAVX0430-E	不正なバックアップ ID が指定されました。 drmtapebackup コマンドまたは drmmmediabackup コマンドを使用して	<p>要因</p> <p>指定したバックアップ ID は、drmtapebackup コマンドまたは drmmmediabackup コマンドを使用して取得されたものではありません。</p> <p>対処</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	取得したバックアップ ID を指定してください。	drmtapebackup コマンドまたは drmmmediabackup コマンドで、ほかの媒体へのバックアップをしたときに取得したバックアップ ID を指定してください。
KAVX0431-E	バックアップ実行インタフェースファイルの作成に失敗しました。 要因 = <要因>	要因 次の要因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> コマンドを実行しているユーザーに、ファイルのアクセス権限がない。 ドライブ容量が十分でない。 対処 ドライブ容量が十分かどうかを確認して、システム管理者権限でコマンドを再度実行してください。
KAVX0432-E	リストア実行インタフェースファイルの作成に失敗しました。 要因 = <要因>	要因 次の要因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> コマンドを実行しているユーザーに、ファイルへのアクセス権限がない。 ドライブ容量が十分でない。 対処 ドライブ容量が十分かどうかを確認して、システム管理者権限でコマンドを再度実行してください。
KAVX0433-E	一時ファイルの生成に失敗しました。 要因 = <要因> ファイル名 = <一時ファイル名>	要因 Replication Manager Application Agent が内部で使用する一時ファイルが作成できませんでした。 対処 システム管理者権限でコマンドを再実行してください。また、ドライブ容量が十分かどうかを確認してください。
KAVX0434-E	マウントポイントファイルのオープンに失敗しました。 マウントポイントファイル名 = <ファイル名>	(GUI の場合) 要因 次の要因が考えられます。 <ol style="list-style-type: none"> Replication Manager Application Agent が使用しているファイルにアクセス権がない。 Replication Manager Application Agent が使用しているファイルと同名のディレクトリが存在している。 対処 Replication Manager Application Agent が使用しているファイルのアクセス権を変更、またはディレクトリを削除したあと、操作してください。 一時ファイルディレクトリのアクセス権が適切かどうかを確認してください。一時ファイルディレクトリは、次の位置にあります。 Windows の場合 < Replication Manager Application Agent のインストールディレクトリ > ¥tmp (CLI の場合) 要因 マウントポイントファイルがオープンできませんでした。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		一時ファイルディレクトリのアクセス権が適切かどうかを確認してください。 一時ファイルディレクトリは、次の場所にありません。 Windows の場合 < <i>Replication Manager Application Agent</i> のインストール先ディレクトリ > ¥DRM¥tmp
KAVX0435-E	マウントポイントファイルの読み込みに失敗しました。 マウントポイントファイル名 =<ファイル名>	(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent で使用されているファイルを読み込むことができませんでした。マウントポイントの読み込みに失敗しました。 対処 一度アンマウントしてから、必要に応じて再度マウントしなおし、その後再実行してください。 (CLI の場合) 要因 マウントポイントファイルが何らかの理由によって不整合となったり、破壊されたりしたため、マウントポイントファイルが無効となっています。 対処 マウントポイントファイルを削除後、コマンドを再実行してください。
KAVX0436-E	不正なバックアップ ID が指定されました。 drmmmediabackup コマンドまたは drmtapebackup コマンドを使用して取得したバックアップ ID を指定してください。	要因 drmmmediarestore コマンドを実行したとき、drmtapebackup または drmmmediabackup コマンドを使用して作成されたものではないバックアップ ID が指定されました。 対処 drmtapebackup または drmmmediabackup コマンドを使用してほかの媒体へのバックアップを行ったときに取得したバックアップ ID を指定してください。
KAVX0437-E	指定されたバックアップ ID は、-raw オプションを指定しなくてはなりません。	要因 -raw オプションを指定してマウントしたバックアップ ID を、-raw オプションを指定しないで drmmmediabackup コマンドでバックアップしようとしています。 対処 -raw オプションを指定してバックアップを再実行してください。
KAVX0438-E	指定されたバックアップ ID に対応するコピーグループのロック (またはロック解除) に失敗しました。	(GUI の場合) 要因 指定されたレプリカに対応するコピーグループのロック (またはロック解除) に失敗しました。 対処 問い合わせ窓口に連絡してください。 (CLI の場合) 要因 コマンド内部でバックアップ ID に対応するコピーグループのロックまたはロック解除に失敗しました。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i> 」のディクショナリマップファイル障害の対処の説明を参照して、ディクショナリマップファイルの回復手順を実行してください。
KAVX0439-E	-bkdir オプションで指定されたディレクトリが存在しません。 ディレクトリ名 = <バックアップファイルディレクトリ名>	要因 -bkdir オプションで指定したバックアップファイルのディレクトリ名が存在しない場合に出力されるメッセージです。 対処 存在しているバックアップファイルのディレクトリ名を指定してください。
KAVX0440-E	-bkdir で指定されたパスは無効なパスです。 ディレクトリ名 = <バックアップファイルディレクトリ名>	要因 -bkdir オプションで指定したバックアップファイルディレクトリ名が、絶対パス指定でない場合、またはルート（ドライブ文字）を指定した場合に出力されるメッセージです。 対処 ルート（ドライブ文字）以外の絶対パス指定で、バックアップファイルディレクトリ名を指定してください。
KAVX0441-W	このバックアップ ID に対して -bkdir オプションは指定できません。	要因 バックアップファイルディレクトリが存在しないバックアップ ID を指定した場合に出力されるメッセージです。 対処 バックアップファイルディレクトリが存在するバックアップ ID を指定してください。
KAVX0442-E	-bup_env オプションで指定されたファイルが存在しません。 ファイル名 = <構成定義ファイル名>	要因 次の要因の場合に出力されるメッセージです。 ・ 指定した構成定義ファイルが存在しない。 ・ 指定した構成定義ファイル名がディレクトリパス付きである。 対処 存在している構成定義ファイル名を指定してください。
KAVX0443-I	コピーグループマウント定義ファイルを更新しました。 ファイル名 = <コピーグループマウント定義ファイル>	要因 コピーグループマウント定義ファイルを更新するときに表示されるメッセージです。 対処 -
KAVX0444-E	コピーグループマウント定義ファイルのオープンに失敗しました。 ファイル名 = <コピーグループマウント定義ファイル>	(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent で使用されているファイルを開くことができませんでした。 対処 問い合わせ窓口に連絡してください。 (CLI の場合) 要因 コピーグループマウント定義ファイルがオープンできませんでした。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		コピーグループマウント定義ファイルのアクセス権を確認してください。 ファイルが壊れている場合は、ファイルをいったん削除してから drmmount コマンドの -conf オプションを使用して、コピーグループマウント定義ファイルを再度作成してください。
KAVX0445-E	コピーグループマウント定義ファイルの読み込みに失敗しました。 ファイル名 = <コピーグループマウント定義ファイル>	(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent で使用されているファイルを読み込むことができませんでした。 対処 問い合わせ窓口に連絡してください。 (CLI の場合) 要因 コピーグループマウント定義ファイルの読み込みができない状態、または不正に変更されたためにフォーマットが異なっている状態です。 対処 コピーグループマウント定義ファイルのアクセス権を確認してください。 ファイルが壊れている場合は、ファイルをいったん削除してから、drmmount コマンドの -conf オプションを使用して、コピーグループマウント定義ファイルを再度作成してください。
KAVX0446-E	コピーグループマウント定義ファイルの書き込みに失敗しました。 ファイル名 = <コピーグループマウント定義ファイル>	(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent で使用されているファイルの書き込みに失敗しました。 対処 問い合わせ窓口に連絡してください。 (CLI の場合) 要因 コピーグループマウント定義ファイルの書き込みに失敗した場合に表示されるメッセージです。コピーグループマウント定義ファイルに書き込みができない状態です。 対処 コピーグループマウント定義ファイルのアクセス権を確認してください。 ファイルが壊れている場合は、ファイルをいったん削除してから drmmount コマンドの -conf オプションを使用して、コピーグループマウント定義ファイルを再度作成してください。
KAVX0447-E	対象コピーグループから論理ボリューム構成を取得するのに失敗しました。 コピーグループ名 = <コピーグループ>	(GUI の場合) 要因 対象となったコピーグループの副ボリュームからの論理ボリューム情報の取得に失敗しました。 対処 対象がベーシックドライブに対するコピーグループの場合、副ボリュームに対して論理ボリュームの作成または、フォーマットが行われていない可能性があります。論理ボリュームの作成とフォーマットを行ってから再度バックアップを取得してください。 (CLI の場合)

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>要因 対象となったコピーグループの副ボリュームから論理ボリューム情報を取得できませんでした。</p> <p>対処 次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ベーシックディスクに対するコピーグループの場合 副ボリュームに対して論理ボリュームの作成、またはフォーマットが行われていない可能性があります。論理ボリュームの作成とフォーマットを行ってから、再度、バックアップを取得してください。 ダイナミックディスクに対するコピーグループの場合 drmmount コマンドにバックアップ ID および -conf オプションを指定して、コピーグループマウント定義ファイルを更新する必要があります。 ボリューム構成が正しいことが確認できない場合、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」に従って、正ボリュームのボリューム構成を副ボリュームに再反映したあと、バックアップ ID および -conf オプションを指定して、drmmount コマンドを実行してください。
KAVX0448-E	指定されたバックアップ情報のボリューム構成は、コピーグループマウント定義と異なります。	<p>(GUI の場合) 要因 指定されたレプリカ情報のボリューム構成は、Replication Manager Application Agent で使用されているファイルの定義と異なります。</p> <p>対処 問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 指定したバックアップカタログとコピーグループマウント定義ファイルの論理ボリューム構成が一致しない場合に表示されるメッセージです。次の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 変更した正ボリュームの論理ボリューム構成をコピーグループマウント定義ファイルに反映していない。 変更した正ボリュームの論理ボリューム構成をコピーグループマウント定義ファイルに反映したが、構成変更前のバックアップカタログを指定した。 <p>対処 要因に応じて、次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> drmmount コマンドに -conf オプションを指定してコピーグループマウント定義ファイルの内容を更新してください。 現在の構成に対するバックアップカタログのバックアップ ID を指定してください。
KAVX0449-E	コピーグループマウント定義ファイルの内容が不正です。 パラメーター名 = <パラメーター名>	<p>(GUI の場合) 要因</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	パラメーター値 = <パラメーター値>	Replication Manager Application Agent で使用されているファイルが不正です。 対処 問い合わせ窓口にご連絡してください。 (CLI の場合) 要因 コピーグループマウント定義ファイルに定義された項目の内容が正しくない場合に表示されるメッセージです。 対処 コピーグループマウント定義ファイルの項目を修正してください。 <ul style="list-style-type: none"> FS を変更する場合は、ドライブ文字から始まる絶対パスを指定してください。FS 以外を変更することはできません。 ボリューム構成の変更を反映する場合は、drmmount に -conf オプションを指定してコピーグループマウント定義を更新してください。
KAVX0450-I	<拡張コマンド> コマンドを開始します。	要因 拡張コマンドが開始されました。 対処 -
KAVX0451-I	<拡張コマンド> コマンドを終了します。	要因 拡張コマンドが終了しました。 対処 -
KAVX0452-E	<拡張コマンド> コマンドの実行が失敗しました。	要因 拡張コマンドの実行が失敗しました。 対処 拡張コマンドのトレースログファイル (drm_script.log または drm_script.log.old) に出力されたメッセージを基に次に示す対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> そのオペレーション ID に関する一連の拡張コマンドが正しい順序で実行されているか、各拡張コマンドの前提条件を確認してください。 KAVX0452-E のメッセージより前に出力されているエラーメッセージの内容を確認してください。
KAVX0453-E	処理続行不能なエラーが発生しました。 要因 = <要因>	要因 処理が続行できない致命的なエラーが発生しています。 対処 エラーの要因については、「2.1」を参照してください。
KAVX0454-E	指定されたオペレーション ID に対する定義情報の取得に失敗しました。 要因 = <要因> 定義ファイル名 = <定義ファイル名>	要因 指定されたオペレーション ID に対応する定義ファイル情報を取得できませんでした。 対処 表示された定義ファイルが定義ファイル格納ディレクトリに存在するかどうかを確認してください。ファイルが存在する場合は、チェック

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ツールを実行して内容の妥当性を検証してください。
KAVX0455-E	不正なオプションが指定されています。	<p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 存在しないオプションが指定された。 必須オプションが指定されていない。 同時に指定できないオプションが指定されている。 オプションの指定が順番どおりに指定されていない。 <p>対処 拡張コマンドの使用方法を確認してから、拡張コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX0456-E	バックアップ ID の取得に失敗しました。 要因 = <要因> バックアップ ID 記録ファイル名 = <バックアップ ID 記録ファイル名>	<p>要因 拡張コマンドの実行時に処理に必要なバックアップ ID がバックアップ ID 記録ファイルから取得できませんでした。</p> <p>対処 拡張コマンドが適切な順番で実行され、バックアップ ID 記録ファイルが作成されているか確認してください。 バックアップ ID 記録ファイルの格納場所については、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」の拡張コマンド用一時ディレクトリの説明を参照してください。</p>
KAVX0457-E	指定されたファイルの情報取得に失敗しました。 要因 = <要因> ファイル名 = <ファイル名>	<p>要因 指定されたファイルからの情報を取得できませんでした。</p> <p>対処 指定ファイルが存在するかを確認してください。ファイルがある場合は、その内容を確認してください。</p>
KAVX0458-W	トレースログに対する操作でエラーが発生しました。 要因 = <要因>	<p>要因 拡張コマンドのトレースログファイル (drm_script.log または drm_script.log.old) に対して処理をした際に、エラーを検知しました。</p> <p>対処 システムログを参照し、OS に異常がないかどうか確認してください。異常がない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAVX0459-E	<コマンド名> コマンドの実行に失敗しました。 要因 = <要因> コード = <コマンドの戻り値>	<p>要因 拡張コマンド内で起動したコマンドがエラー終了しました。</p> <p>対処 次の作業を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI リファレンスガイド</i>」の拡張コマンドの説明を参照して、発生した要因を取り除いてからコマンドを再度実行する。 異常終了したコマンドが Replication Manager Application Agent のコマンド

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		(drmxxx) の場合は、Replication Manager Application Agent のトレースログを参照して、発生要因を取り除いてからコマンドを再度実行する。
KAVX0460-E	<コマンド名>コマンドの実行に失敗しました。 コード = <コマンドの戻り値>	要因 拡張コマンド内で起動したコマンドがエラー終了しました。 対処 次の作業を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> マニュアル「Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI リファレンスガイド」の拡張コマンドの説明を参照して、発生要因を取り除いてからコマンドを再度実行する。 異常終了したコマンドが Replication Manager Application Agent コマンド (drmxxx) の場合は、Replication Manager Application Agent のトレースログを参照して、発生要因を取り除いてからコマンドを再度実行する。
KAVX0461-E	ファイル転送処理でエラーが発生しました。 要因 = <ファイル転送エラーの発生要因> 転送元サーバ = <ファイル転送元のホスト名> 転送先サーバ = <ファイル転送先のホスト名>	要因 FTP によるファイル転送処理に失敗しました。 対処 FTP サーバで、送信先ディレクトリに書き込み権限があるか確認してください。また、送信先ディレクトリに十分な空き容量があるか、また、ネットワークの状態が正常か確認してください。
KAVX0462-I	定義ファイルのチェックを開始します。 定義ファイル名 = <定義ファイル名>	要因 オプションで指定された定義ファイルのチェックが開始されました。 対処 -
KAVX0463-I	定義ファイルのチェックを終了します。 定義ファイル中に異常は見つかりませんでした。	要因 オプションで指定された定義ファイルのチェックが終了しました。 対処 -
KAVX0464-E	定義ファイルのチェックでエラーを検知しました。	要因 定義ファイルのチェックでエラーを検知しました。 対処 直前に表示された定義エラーのメッセージを基に対処してください。
KAVX0465-E	指定された定義ファイルの情報取得に失敗しました。 要因 = <要因> ファイル名 = <定義ファイル名>	要因 指定された定義ファイルの情報を取得できませんでした。 対処 指定ファイルがあるかを確認してください。ファイルがある場合は、その内容を確認してください。
KAVX0466-E	指定ファイル中で必須項目の設定がありません。 項目名 = <項目名>	要因 オプションで指定した定義ファイルの中で、必須項目が定義されていません。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		定義ファイルの内容を確認し、必須項目を定義した上で、チェックツールを再度実行してください。
KAVX0467-E	指定ファイル中で項目の値が設定されていません。 項目名 = <項目名>	要因 オプションで指定された定義ファイルの中で、必須項目の値が設定されていません。 対処 定義ファイルの内容を確認し、必須項目の値を設定した上で、チェックツールを再度実行してください。
KAVX0468-E	指定ファイル中で同一の項目が複数回設定されています。 項目名 = <項目名>	要因 拡張コマンドのオプションで指定した定義ファイルの中で、同じ項目が複数回指定されています。 対処 定義ファイルの内容を確認し、同じ項目が重複しないように設定した上で、チェックツールを再度実行してください。
KAVX0469-E	指定ファイル中で設定された項目の値が最大文字数を超過しています。 項目名 = <項目名> 指定された値 = <項目の値> 最大文字数 = <最大文字数>	要因 オプションで指定された定義ファイルの中で、設定されている値の文字数が、規定されている最大文字数を超過しています。 対処 定義ファイルの内容を確認し、値の文字数が規定範囲内になるように設定した上で、チェックツールを再度実行してください。
KAVX0470-E	データベースからの情報取得に失敗しました。 DB_SERVER_NAME = <データベースサーバ名> INSTANCE_NAME = <インスタンス名> 要因 = <要因>	要因 設定された内容で、データベースに接続できませんでした。 次のどれかの要因が考えられます。 1. オプションで指定された定義ファイルの中で、設定されている項目のデータベースサーバ名またはインスタンス名が不正である。 2. SQL Server が稼働していない。 3. データベースサーバに接続する権限がない。 対処 上記の要因に対して、それぞれ次の項目を確認および修正した上で、チェックツールを再度実行してください。 1. 定義ファイルの内容をチェックし、実在しないデータベースサーバ名およびインスタンス名が設定されている場合は、実在するサーバおよびインスタンス名に変更してください。 2. SQL Server の稼働状況を確認し、停止中の場合は、SQL Server を起動してください。 3. チェックツールを実行するユーザーのアクセス権を確認し、SQL Server の管理者権限 (sysadmin) を持つユーザーでチェックツールを実行してください。
KAVX0471-E	設定されたデータベース名が存在しません。 INSTANCE_NAME = <インスタンス名>	要因 オプションで指定された定義ファイルの中で、設定されているデータベース名が不正です。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	TARGET_NAME = <データベース名>	定義ファイルの中で設定されているデータベース名があるか確認し、チェックツールを再度実行してください。
KAVX0472-E	設定されたデータベース名が不正です。 INSTANCE_NAME = <インスタンス名> TARGET_NAME = <データベース名>	要因 拡張コマンドのオプションで指定された定義ファイルの中で設定されているデータベース名をドライブバックアップの対象とすることはできません。 対処 定義ファイルに設定されているデータベース名を確認して、チェックツールを再度実行してください。
KAVX0473-E	<パラメーター登録コマンド名>によって対象インスタンスに対して設定された情報の取得に失敗しました。 要因 = <要因> INSTANCE_NAME = <インスタンス名> Initialization command = <パラメーター登録コマンド名>	要因 パラメーター登録コマンド(drmsqlinit コマンドまたは drmorainit コマンド) によって、対象インスタンスに対して設定された情報を読み取れませんでした。 対処 「パラメーター登録コマンド -v 対象インスタンス名」を実行して、対象インスタンス情報を取得できるか確認します。取得できない場合は、「パラメーター登録コマンド 対象インスタンス名」を実行し、情報を再度設定してからコマンドを実行してください。
KAVX0474-E	指定ファイル中で設定されたディレクトリ名が不正です。 項目名 = <項目名> ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>	要因 オプションで指定された定義ファイルの中で、指定されているディレクトリ名が不正な場合に表示されるメッセージです。 対処 定義ファイルの内容を確認し、ディレクトリ名が正しいこと、およびディレクトリが存在することを確認してください。設定内容を修正したあと、チェックツールを再度実行してください。
KAVX0475-E	指定ファイル中で設定された項目の値が設定できる範囲にありません。 項目名 = <項目名> 指定値 = <指定値> 値の範囲 = <最小値>から<最大値>までの整数	要因 オプションで指定された定義ファイルの中で、項目の値として指定されている数値が規定範囲外になっています。 対処 定義ファイルの内容を確認し、規定範囲内の値を指定した上で、チェックツールを再度実行してください。
KAVX0476-E	指定ファイル中のメタファイルディレクトリ情報が<パラメーター登録コマンド名>で設定された情報と矛盾しています。 AP_FILE_DIR = <拡張コマンド用の定義ファイルに設定されたメタファイルディレクトリ名> VDI_METAFIELD_DIR = <パラメーター登録コマンドで設定されたメタファイルディレクトリ名> Initialization command = <パラメーター登録コマンド名>	要因 次の要因が考えられます。 ・ 定義ファイルで指定したファイル中のメタファイルディレクトリ情報が、パラメーター登録コマンド (drmsqlinit) で設定された情報と矛盾している。 ・ 実際のディレクトリ名と定義ファイルに設定されたディレクトリ名の大きさ/小文字が一致していない。 対処 実際のディレクトリ名と拡張コマンド用の定義ファイルに設定されたメタファイルディレクトリ名に矛盾がないか、大文字/小文字の違いがない

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		かを確認し、拡張コマンド用の定義ファイルに設定されたメタファイルディレクトリ情報を修正した上で、チェックツールを再度実行してください。
KAVX0477-I	<コマンド名>コマンドを開始します。	要因 拡張コマンド内でコマンドを起動するときに出力されるメッセージです。 このメッセージが出力されるのは、OS 搭載の標準コマンド (ftp.exe, fc.exe など)、および Replication Manager Application Agent の内部コマンド (drmidextract など) を起動した場合だけです。 対処 -
KAVX0478-I	<コマンド名>コマンドを終了します。	要因 拡張コマンド内で起動したコマンドが正常終了したときに出力されるメッセージです。 このメッセージが出力されるのは、OS 搭載の標準コマンド (ftp.exe, fc.exe など)、および Replication Manager Application Agent の内部コマンド (drmidextract など) を起動した場合だけです。 対処 -
KAVX0479-E	定義ファイル中で指定されている BACKUP_OBJECT の値が不正です。 BACKUP_OBJECT = <バックアップオブジェクト名 (定義ファイル中で指定されているもの) > 指定する値 = <バックアップオブジェクト名 >	要因 指定された定義ファイルの中で指定されている BACKUP_OBJECT の値が不正です。 対処 定義ファイルの中に指定されている BACKUP_OBJECT を確認し、修正した上で、チェックツールを再度実行してください。
KAVX0480-E	同一のターゲット名が複数回指定されています。 TARGET_NAME = <ファイル名またはディレクトリ名 >	要因 オプションで指定された定義ファイルの中で指定するファイル名またはディレクトリ名の指定 (TARGET_NAME) で、同じファイル名またはディレクトリ名が複数回定義されています。 対処 定義ファイルの内容を確認し、ファイル名またはディレクトリ名が重複しないように設定したあと、チェックツールを再度実行してください。
KAVX0481-E	定義ファイル中で指定されているホスト区分とコマンドオプションで指定されたホスト区分が異なります。 コマンドオプション = <ホスト区分 (引数で指定されたもの) > HOST_ROLE = <ホスト区分 (定義ファイルで指定されたもの) >	要因 定義ファイルで指定したホスト区分と、拡張コマンドの引数で指定したホスト区分が異なります。 対処 定義ファイルで指定するホスト区分、および拡張コマンドの引数で指定するホスト区分を見直して、二つのホスト区分を統一したあと、チェックツールを再度実行してください。
KAVX0482-E	処理続行不能なエラーが発生しました。 要因 = <要因 > ファイル名またはディレクトリ名 = <対象ファイル名またはディレクトリ名 >	要因 処理が続行できない致命的なエラーが発生しています。 対処 エラーの要因については、「2.1」を参照してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX0483-E	拡張コマンドが規定のフォルダに配置されていません。 ファイル名 = <メッセージカタログファイル名>	要因 次の要因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> 拡張コマンドのファイルが Replication Manager Application Agent のインストールディレクトリ下でない。 拡張コマンドの実行に必要なファイルが見つからない。 対処 拡張コマンドが Replication Manager Application Agent のインストールディレクトリ下にあるか確認してください。拡張コマンドが Replication Manager Application Agent のインストールディレクトリ下にある場合は、Replication Manager Application Agent を再インストールしてください。拡張コマンドが Replication Manager Application Agent のインストールディレクトリ下でない場合は、拡張コマンドを Replication Manager Application Agent のインストールディレクトリ下に移動して、拡張コマンドを再度実行してください。
KAVX0484-W	メッセージカタログファイルからの情報取得に失敗しました。 要因 = <要因> メッセージカタログファイル名 = <メッセージカタログファイル名>	要因 メッセージカタログファイルからメッセージ情報を取得できませんでした。メッセージカタログファイルが破壊されているおそれがあります。 対処 Replication Manager Application Agent を再インストールしてください。
KAVX0485-W	定義ファイルから必要な項目を取得できませんでした。 デフォルト値を使用しました。 定義ファイル名 = <定義ファイル名> 項目名 = <項目名> デフォルト値 = <値>	要因 ホスト環境設定ファイルで指定した MAX_LOG_LINES の値が不正だったため、MAX_LOG_LINES の値を 100,000 として処理を実行しました。 対処 ホスト環境設定ファイルで指定した MAX_LOG_LINES の値を修正し、再度チェックツールを実行してください。
KAVX0486-E	メタファイルに対する操作でエラーが発生しました。 要因 = <要因> ファイル名 = <メタファイル名>	要因 拡張コマンドで操作の対象となる SQL Server のメタファイルをコピーできませんでした。 対処 アスタリスク指定で出力されたメタファイルがあるかどうか確認し、次に示す方法で対処してください。 <ul style="list-style-type: none"> EX_DRM_SQLFILE_PACK コマンドを実行した場合 EX_DRM_SQL_BACKUP コマンドまたは EX_DRM_TAPE_RESTORE コマンドを実行し、メタファイルを作成してください。 EX_DRM_SQLFILE_EXTRACT コマンドを実行した場合 EX_DRM_FTP_PUT コマンド、EX_DRM_FTP_GET コマンド、または EX_DRM_SQLFILE_PACK コマンドを実行し、メタファイルを転送してください。
KAVX1000-I	SQL Server にログオンしました。	(GUI の場合) 要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		SQL Server にログオンしました。 対処 対処の必要はありません。 (CLI の場合) 要因 SQL Server へのログインに成功しました。 対処 -
KAVX1001-I	SQL Server からログオフしました。	(GUI の場合) 要因 SQL Server からログオフしました。 対処 対処の必要はありません。 (CLI の場合) 要因 SQL Server からのログオフに成功しました。 対処 -
KAVX1002-E	指定されたデータベースは、SQL Server に存在しません。 データベース名 = <データベース名>	(GUI の場合) 要因 指定された SQL データベースが、SQL Server に存在しません。 対処 SQL Server に存在する SQL データベースを指定してください。 (CLI の場合) 要因 指定したデータベースが、SQL Server に存在しません。 対処 SQL Server に存在するデータベースを指定してください。
KAVX1003-E	SQL Server に接続できません。	(GUI の場合) 要因 次の要因が考えられます。 1. 指定された SQL インスタンスが存在しない。 2. 指定された SQL インスタンスが起動していない。 3. リストア時に、シングルユーザーモードで SQL Server を起動したときに、ほかのユーザーが SQL Server へ接続した。 対処 要因に応じて、それぞれ次の対処をしてください。 1. 正しい SQL インスタンスを指定してください。 2. SQL Server の Enterprise Manager で SQL インスタンスが起動していることを確認してください。SQL インスタンスが起動していない場合は、SQL インスタンスを起動してから、再度実行してください。 3. システムデータベースをリストア時に、ほかのユーザーが SQL Server へ接続してしまった場合は、対象となる SQL インスタンスにほかのユーザーが接続しないようにしたあ

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>とに、リストアを再実行してください。</p> <p>Replication Manager Application Agent の実行ユーザーが、SQL Server へのログインを許可されていない場合は、SQL Server ログインへ追加し、System Administrators のサーバロールを付けてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 指定した SQL Server インスタンスが存在しない。 • 指定した SQL Server インスタンスが起動していない。 • リストア時に、シングルユーザーモードで SQL Server を起動したときに、ほかのユーザーが SQL Server へ接続した。 • クラスタソフトウェアが Veritas Cluster Server for Windows の場合、drmclusinit コマンドで登録した仮想サーバ名が誤っている。 <p>対処</p> <p>正しい SQL Server インスタンスを指定してください。インスタンスが正しい場合は、SQL Server の Enterprise Manager でインスタンスが起動していることを確認してください。また、インスタンスが起動していない場合は、インスタンスを起動してから、コマンドを再度実行してください。</p> <p>システムデータベースをリストア時に、ほかのユーザーが SQL Server へ接続してしまった場合は、対象となる SQL Server インスタンスに、ほかのユーザーが接続しないようにしたあとに、リストアを再実行してください。</p> <p>コマンドを実行した OS のログインユーザーが、SQL Server へのログインを許可されていない場合は、SQL Server ログインへ追加し、System Administrators のサーバロールを付けてください。</p> <p>クラスタソフトウェアが Veritas Cluster Server for Windows の場合は、drmclusinit コマンドで正しい仮想サーバ名を登録してください。</p>
KAVX1004-E	指定されたインスタンス名は不正です。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SQL Server に存在しない SQL インスタンス名を指定している。 2. 指定された SQL インスタンスの環境が設定されていないか、設定されている SQL インスタンスがない。 3. SQL Server が該当するマシンにインストールされていない。 <p>対処</p> <p>要因に応じて、それぞれ次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SQL Server に登録されている SQL インスタンス名を指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>2. Application Agent の設定の SQL オプションタブで SQL インスタンスの設定を行ってください。</p> <p>3. SQL Server を該当するマシンにインストールするか、もしくは Replication Manager Application Agent for SQL コンポーネントを削除してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SQL Server に存在しないインスタンス名を指定している。 • 指定したインスタンスの環境が設定されていない。 <p>対処 要因に応じて、それぞれ次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SQL Server に存在するインスタンス名を指定して、コマンドを再度実行してください。 • drmsqlinit コマンドで環境設定をしてから、コマンドを再度実行してください。
KAVX1013-E	未サポートの SQL Server バージョン上で起動しました。 SQL Server バージョン = <SQL Server バージョン>	<p>(GUI の場合) 要因 サポートしていない SQL Server バージョンで、操作を行いました。</p> <p>対処 SQL Server のバージョンを確認してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent でサポートしていない SQL Server バージョンで、コマンドを実行しました。</p> <p>対処 SQL Server のバージョンを確認してください。</p>
KAVX1014-E	処理対象のデータベースがありません。	<p>(GUI の場合) 要因 処理対象として指定した SQL データベースが存在しません。</p> <p>対処 ホスト情報更新を実行して、構成を最新にしたあと、SQL データベースの存在を確認してから再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 処理対象として指定したデータベースが存在しません。</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • drmsqlbackup コマンドまたは drmsqllogbackup コマンドを実行した場合 ユーザーデータベースが 1 件も存在しない。 • drmsqlrestore コマンドを実行した場合 -f オプションで指定したファイルにデータベースの定義が 1 件もない。 • drmsqlrecovertool コマンドを実行した場合

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>リカバリが必要なデータベースが1件も存在しない。</p> <p>対処 次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • drmsqlbackup コマンドまたは drmsqllogbackup コマンドを実行した場合 ユーザーデータベースの存在を確認して、コマンドを再度実行してください。 • drmsqlrestore コマンドを実行した場合 -f オプションで指定したファイルの内容を確認して、コマンドを再度実行してください。 • drmsqlrecovertool コマンドを実行した場合 リカバリは不要です。
KAVX1015-E	一時データベースである tempdb は、データベース名として指定できません。	<p>要因 -target オプション、-f オプション、または-transact_log_list オプションで、データベース名として、一時データベースである tempdb を指定した場合に表示されます。</p> <p>対処 tempdb を、データベース名として指定しないでください。</p>
KAVX1017-I	SQL Server の情報を取得しています。	<p>(GUI の場合) 要因 SQL Server の情報を取得しています。 対処 対処の必要はありません。</p> <p>(CLI の場合) 要因 SQL Server から情報を取得しています。 対処 -</p>
KAVX1018-E	SQL Server の停止処理に失敗しました。	<p>要因 最小設定で起動した SQL Server の停止処理に失敗した場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、SQL Server や OS の状態を確認してください。SQL Server や OS に異常がない場合は問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAVX1019-E	drmsqlinit コマンドでパラメーターが設定されていません。 パラメーター名 = <パラメーター名 >	<p>(GUI の場合) 要因 指定された SQL インスタンスの設定が行われていません。 対処 Application Agent の設定の SQL オプションタブで該当 SQL インスタンスを登録してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • トランザクションログバックアップファイル格納ディレクトリを設定しないで drmsqllogbackup コマンドを実行した。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> UNDO ファイル格納ディレクトリを設定しないで次のコマンドを実行した。 -undo オプションを指定した drmsqlrestore コマンド -undo オプションを指定した drmsqlrecover コマンド 対処 パラメーターを設定して、コマンドを再度実行してください。
KAVX1020-E	SQL Server 起動時の自動復旧中にエラーが発生しました。 要因 = <エラー要因>	(GUI の場合) 要因 SQL Server 起動時の自動復旧中にエラーが発生しました。 対処 エラーの要因を取り除いてから再度リストアレプリカを実行してください。 (CLI の場合) 要因 SQL Server 起動時の自動復旧中にエラーが発生しました。 対処 エラーの要因を取り除いて drmsqlrestore コマンドを再実行してください。
KAVX1100-I	VDI メタファイル格納ディレクトリ名を入力してください：	要因 VDI メタファイル格納ディレクトリ名について入力が待たれている状態です。 対処 -
KAVX1101-I	VDI 生成タイムアウト秒数を入力してください (0 - 3600)：	要因 VDI 生成タイムアウト秒数について入力待たれている状態です。 対処 0~3,600 秒の間で設定してください。
KAVX1102-I	UNDO ファイル格納ディレクトリ名を入力してください：	要因 UNDO ファイル格納ディレクトリ名について入力待たれている状態です。 対処 -
KAVX1103-I	SQL Server の情報を更新しました。	(GUI の場合) 要因 SQL Server の情報を更新しました。 対処 対処の必要はありません。 (CLI の場合) 要因 SQL Server と連携するためのパラメーターを登録しました。 対処 -
KAVX1104-W	指定された VDI メタファイル格納ディレクトリが見つかりません。 ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>	(GUI の場合) 要因 次の要因が考えられます。 1. 指定された VDI メタファイル所在に誤りがある。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>2. 指定された VDI メタファイル所在が絶対パスでない。</p> <p>対処 正しい VDI メタファイル所在を絶対パスで指定して再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • drmsqlinit コマンドで登録した VDI メタファイル格納ディレクトリの名称に誤りがある。 • 指定した VDI メタファイル格納ディレクトリが絶対パスでない。 <p>対処 正しい VDI 格納ディレクトリの名称を指定して、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX1105-W	指定した VDI 生成タイムアウト秒数は範囲外です。(指定できる範囲:0-3600) VDI 生成タイムアウト秒数 = < VDI 生成タイムアウト秒数 >	<p>要因 drmsqlinit コマンドで登録した VDI 生成タイムアウト秒数に誤りがあります。</p> <p>対処 正しい VDI 生成タイムアウト秒数を指定して、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX1106-W	指定された UNDO ファイル格納ディレクトリが見つかりません。 ディレクトリ名 = <ディレクトリ名 >	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定された UNDO ログファイル所在に誤りがある。 2. 指定された UNDO ログファイル所在が絶対パスでない。 <p>対処 正しい UNDO ログファイル所在を絶対パスで指定して再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • drmsqlinit コマンドで登録した UNDO ファイル格納ディレクトリ名に誤りがある。 • 指定した UNDO ファイル格納ディレクトリが絶対パスでない。 <p>対処 正しい UNDO ファイル格納ディレクトリ名を指定して、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX1107-I	バックアップログ格納ディレクトリ名を入力してください:	<p>要因 バックアップログ格納ディレクトリ名について入力が待たれている状態です。</p> <p>対処 -</p>
KAVX1108-W	指定されたディレクトリが見つかりません。 ディレクトリ名 = <ディレクトリ名 >	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定されたディレクトリは存在しない。 2. 指定されたディレクトリが絶対パスでない。 <p>対処 正しいディレクトリ名を絶対パスで指定して再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定したディレクトリは存在しない。 指定したディレクトリが絶対パスでない。 <p>対処 正しいディレクトリ名を指定してコマンドを再度実行してください。</p>
KAVX1110-E	指定されたインスタンスの SQL Server が存在しません。 サービス名 = <サービス名>	<p>要因 Application Agent の設定の SQL オプションタブで指定された SQL インスタンスの SQL Server サービスが存在しません。</p> <p>対処 システムに存在する SQL Server インスタンス名を確認し、Application Agent の設定の SQL オプションタブで正しい SQL インスタンス名を指定してください。</p>
KAVX1111-E	指定されたインスタンスの SQL Server が起動していません。 サービス名 = <サービス名>	<p>要因 Application Agent の設定の SQL オプションタブで指定された SQL インスタンスの SQL Server サービスが起動していません。</p> <p>対処 SQL Server サービスが正しく起動されているか確認してください。</p>
KAVX1112-E	指定されたインスタンスは現在の仮想サーバに存在しません。 インスタンスの仮想サーバ名 = <インスタンスの仮想サーバ名> 現在の仮想サーバ名 = <現在の仮想サーバ名>	<p>要因 Application Agent の設定の SQL オプションタブで指定された SQL インスタンスは、指定された仮想サーバ名の SQL インスタンスではありません。</p> <p>対処 Application Agent の設定の SQL オプションタブで、指定された仮想サーバに存在する SQL インスタンス名を指定してください。</p>
KAVX1113-I	指定された SQL Server インスタンスは現在有効です。 ホスト名 = <仮想サーバ名または、物理ホスト名> インスタンス名 = <SQL Server インスタンス名>	<p>要因 drmsqlinit コマンド実行時に指定されたインスタンスが現在のホストで有効なインスタンスです。</p> <p>対処 -</p>
KAVX1202-E	VDI メタファイル格納ディレクトリは、データファイル、トランザクションログファイルと同じコピーグループに指定できません。	<p>要因 データファイル、トランザクションログファイル、VDI メタファイル格納ディレクトリが同じコピーグループに属しています。 データファイル、トランザクションログファイルと同じコピーグループに VDI メタファイル格納ディレクトリは配置できません。</p> <p>対処 drmsqlinit コマンドで VDI メタファイル格納ディレクトリのパスを変更してください。 コピーグループを確認する場合は drmsqldisplay コマンドを使用してください。</p>
KAVX1203-E	指定されたデータベースはバックアップできません。 データベース名 = <データベース名> 要因 = <要因>	<p>要因 指定したデータベースは、バックアップできない状態です。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		データベースの状態を確かめて、バックアップできる状態にしてから、コマンドを再度実行してください。
KAVX1204-E	指定されたデータベースは、ディレクトリにマウントされたボリュームに格納されているため、バックアップできません。 データベース名 = <データベース名>	要因 指定したデータベースは、ディレクトリにマウントされたボリュームに格納されています。ディレクトリにマウントされたボリュームにファイルが格納されている場合はバックアップできません。ドライブ文字が割り当てられたボリュームにすべてのファイルが格納されている必要があります。 対処 マウントポイントディレクトリは未サポートです。
KAVX1205-E	指定されたデータベースは、RAID 装置に格納されていないファイルが存在するため、バックアップできません。 データベース名 = <データベース名>	要因 ストレージシステムに、指定したデータベースを構成するファイルがすべて格納されていません。 対処 ストレージシステムに格納されていないファイルが含まれるデータベースはバックアップできません。すべてのファイルをストレージシステムに格納する必要があります。
KAVX1207-I	データベースのバックアップ中です。	要因 バックアップを実行しています。 対処 -
KAVX1209-E	指定したデータベースの数が最大データベース数を超えています。	要因 この製品で、1回のコマンドで同時に指定できるデータベース数は最大 64 個です。 対処 64 個以内のデータベース数を指定して、コマンドを再度実行してください。
KAVX1210-E	メタファイル格納先情報の取得に失敗しました。	要因 対象インスタンスの SQL Server サービスがバックアップ実行中に停止した場合で、メタファイルとデータベースのプライマリデータファイルの格納先ディレクトリが同じときに発生するメッセージです。 対処 対象インスタンスの SQL Server サービスを起動し、再実行してください。
KAVX1211-E	バックアップ対象ではないデータベースのオブジェクトが、同じコピーグループに含まれています。 データベース名 = <データベース名> コピーグループ名 = <コピーグループ名>	要因 同じコピーグループ内に、バックアップ対象のデータベース以外のファイルが含まれているため、バックアップできません。 対処 同じコピーグループ内に存在するデータベースを、すべて指定してください。
KAVX1212-E	タイムアウトが発生しました。 VDI 生成タイムアウト秒数 = < VDI タイムアウト秒数>(秒)	要因 設定された時間内に VDI メタファイルが生成できなかった場合に表示されます。 対処 drmsqlinit コマンドの VDI 生成タイムアウト秒数を現在の設定値よりも長くして、コマンドを再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX1213-W	'sync with backup'オプションが設定されていません。 データベース名 = <データベース名>	要因 トランザクションレプリケーション環境で、ディストリビューションデータベースまたはパブリケーションデータベースに sync with backup オプションが設定されていません。 対処 sync with backup オプションの設定を確認してください。
KAVX1300-I	リストアを開始します。	要因 リストアが開始されました。 対処 -
KAVX1301-I	リストアを完了しました。	要因 リストアが正常に完了しました。 対処 -
KAVX1302-I	リカバリを開始します。	(GUI の場合) 要因 リカバリが開始されました。 対処 対処の必要はありません。 (CLI の場合) 要因 リカバリが開始されました。 対処 -
KAVX1303-I	リカバリを完了しました。	(GUI の場合) 要因 リカバリが正常に完了しました。 対処 対処の必要はありません。 (CLI の場合) 要因 リカバリが正常に完了しました。 対処 -
KAVX1304-E	-transact_log_list オプションで指定されたトランザクションログ一括定義ファイルが不正です。	要因 次の要因が考えられます。 ・ 指定したファイルが存在しない。 ・ 指定したファイルに対する読み込み権限がない。 ・ 指定したファイルの内容が不正である。 ・ 指定したファイルが絶対パスでない。 対処 次の内容を確認して、コマンドを再度実行してください。 ・ 正しいトランザクションログ一括定義ファイル名が指定されていることを確認してください。 ・ トランザクションログ一括定義ファイルの内容が正しく記載されているか確認してください。
KAVX1305-E	トランザクションログ一括定義ファイルで指定されたデータベースは SQL Server に存在しません。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	データベース名 = <データベース名>	トランザクションログ一括定義ファイルで指定したデータベースが SQL Server に存在しません。 対処 トランザクションログ一括定義ファイルに正しいデータベースが指定されていることを確認してから、コマンドを再度実行してください。
KAVX1306-E	トランザクションログ一括定義ファイルで指定されたトランザクションログファイルは存在しません。 ファイル名 = <トランザクションログファイル名> File name = <トランザクションログファイル名>	要因 次の要因が考えられます。 ・ トランザクションログ一括定義ファイルで指定したトランザクションログファイルがない。 ・ 指定したトランザクションログファイルが絶対パスでない。 対処 正しいトランザクションログファイルが指定されていることを確認してから、コマンドを再度実行してください。
KAVX1307-E	指定されたデータベースの情報が取得できません。 データベース = <データベース名>	要因 リストアコマンドで発生した場合 指定したバックアップ ID, またはインスタンスに関連するデータベースのバックアップ情報が存在しません。 ログバックアップコマンドで発生した場合 完全バックアップが実行されていないデータベース, 再同期コマンドの実行によってバックアップ情報が削除されたデータベース, または完全バックアップ後にデータベース名を変更したデータベースに対して, トランザクションログバックアップが実行されました。 対処 リストアコマンドで発生した場合 バックアップ情報が存在するデータベースを指定して, コマンドを再度実行してください。 ログバックアップコマンドで発生した場合 トランザクションログバックアップを実行する前に, 完全バックアップを実行してください。
KAVX1308-E	メタファイルが不正です。 メタファイル名 = <メタファイル名>	要因 次の要因が考えられます。 ・ メタファイルが存在しない。 ・ メタファイルに対する読み込み権限がない。 対処 メタファイルが存在し, 読み取り権限があることを確認して, コマンドを再度実行してください。 再度実行してもこのメッセージでコマンドがエラー終了した場合は, 一つ前にバックアップしたデータベースをリストアしてください。 リストア方法については, マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i> 」のトランザクションログの適用に関する注意事項の説明を参照してください。
KAVX1309-E	-transact_log_list オプションで指定されたデータベースはリカバリ対象ではありません。 データベース名 = <データベース名>	要因 -transact_log_list オプションで指定したデータベースは, 対象インスタンスに存在しますが, ターゲットとして指定されていません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 データベースをターゲットとして指定するか、-transact_log_list オプションから外してください。</p>
KAVX1310-I	<p>データベースはすでにリカバリされています。 処理をスキップします。 データベース名 = <データベース名></p>	<p>(GUI の場合) 要因 リカバリが不要な場合、またはすでにリカバリした SQL データベースに対してリカバリを行いました。 対処 対処の必要はありません。 (CLI の場合) 要因 リカバリが不要な場合、またはすでにリカバリしたデータベースに対して出力されるメッセージです。 対処 リカバリを再度実施したい場合は、リストアおよびリカバリを実行してください。</p>
KAVX1311-E	<p>データベースのリカバリに失敗しました。 データベース名 = <データベース名> コード = <エラーコード> 要因 = <エラー要因></p>	<p>(GUI の場合) 要因 SQL データベースのリカバリに失敗しました。 対処 エラーの要因を取り除いてから再度リストアレプリカを実行してください。 (CLI の場合) 要因 データベースのリカバリに失敗しました。 対処 エラーの要因を取り除いて、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX1312-E	<p>トランザクションログのリカバリに失敗しました。 データベース名 = <データベース名> バックアップファイル名 = <バックアップファイル名> コード = <エラーコード> 要因 = <エラー要因></p>	<p>要因 トランザクションログのリカバリに失敗しました。 対処 エラーの要因を取り除いて、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX1313-I	<p>クラスタリソースをオフラインにしています。</p>	<p>要因 クラスタ環境で、クラスタリソースをオフラインにしています。 対処 -</p>
KAVX1314-I	<p>クラスタリソースをオンラインにしています。</p>	<p>要因 クラスタ環境で、クラスタリソースをオンラインにしています。 対処 -</p>
KAVX1316-I	<p>リストアの前処理を実行中です。</p>	<p>要因 リストアの前処理を実行しています。 対処 -</p>
KAVX1318-I	<p>リストアの後処理を実行中です。</p>	<p>要因 リストアの後処理を実行しています。 対処 -</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		-
KAVX1322-I	SQL Server を起動します。	要因 データベースのリストアが完了したため、停止していた SQL Server を起動します。 対処 -
KAVX1323-I	SQL Server が起動されました。	要因 データベースのリストアのために停止していた SQL Server が起動されました。 対処 -
KAVX1324-I	SQL Server を最小設定で起動します。	要因 master データベースをリストアするために、SQL Server を最小設定で起動します。 対処 -
KAVX1326-I	SQL Server に依存するサービスを起動します。	要因 SQL Server を起動したあとに、停止していた SQL Server に依存するサービスを起動します。 対処 -
KAVX1327-I	SQL Server に依存するサービスが起動されました。	要因 SQL Server を起動するために、停止していた SQL Server に依存するサービスが起動されました。 対処 -
KAVX1328-I	SQL Server を停止します。	要因 データベースをリストアするために、SQL Server を停止します。 対処 -
KAVX1329-I	SQL Server が停止されました。	要因 データベースをリストアするために、SQL Server が停止されました。 対処 -
KAVX1330-I	SQL Server に依存するサービスを停止します。	要因 SQL Server を停止したあとに、SQL Server に依存するサービスを停止します。 対処 -
KAVX1331-I	SQL Server に依存するサービスが停止されました。	要因 SQL Server を停止したあとに、SQL Server に依存するサービスが停止されました。 対処 -
KAVX1333-E	ログの連鎖が切れています。	要因 次の要因が考えられます。 1. トランザクションログバックアップファイルの一覧を表示しようとした場合に、ログの連鎖が切れていた。 2. 数回実行されたトランザクションログのバックアップがあり、その中の一部のトラン

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>ザクションログをロールフォワードに使用した (SQL Server の LSN と Replication Manager Application Agent で管理している LSN に不整合が発生することが原因です)。</p> <p>対処 要因に応じ、それぞれ次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ログの連鎖が切れたトランザクションログバックアップファイルを使用しても、<code>drmsqlrecover</code> コマンドではロールフォワードできません。トランザクションログバックアップファイル一覧の中から連続したログファイルだけをロールフォワードに適用してください。 2. <code>drmsqllogbackup</code> コマンドの <code>-v</code> オプションを使用して情報を表示し、リカバリで使用したトランザクションログバックアップより下の行の情報を、<code>drmsqllogbackup</code> コマンドの <code>-d</code> オプションで削除してください。または、<code>drmsqlbackup</code> コマンドを再度実行してから、<code>drmsqllogbackup</code> コマンドでトランザクションログのバックアップ操作を実行してください。
KAVX1334-E	指定されたトランザクションログのバックアップ ID は不正です。 バックアップ ID = <ログバックアップ ID >	<p>要因 <code>drmsqllogbackup</code> コマンドの <code>-s</code> または <code>-e</code> オプションで指定したログバックアップ ID が誤っているときに出力されるメッセージです。指定できるログバックアップ ID の値は 0001～9999 です。</p> <p>対処 正しいログバックアップ ID を指定して、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX1335-E	トランザクションログのバックアップ情報を取得できませんでした。	<p>要因 トランザクションログバックアップファイルのバックアップ情報が読み込めなかったときに出力されるメッセージです。</p> <p>対処 指定したバックアップ ID に対応するトランザクションログバックアップファイルを確認してください。ファイルの状態が正しい場合、システムログを参照し、OS に異常がないかを確認してください。</p>
KAVX1336-E	トランザクションログのバックアップ ID が上限に達しています。	<p>要因 <code>drmsqllogbackup</code> コマンドを実行したときに生成されるログバックアップ ID が 9,999 を超えたときに出力されるメッセージです。指定したバックアップ ID を基点として、これ以上トランザクションログをバックアップできません。</p> <p>対処 新たな基点としてバックアップ ID を作成するために、<code>drmsqlbackup</code> コマンドを実行したあと、トランザクションログバックアップを実行してください。</p>
KAVX1337-E	トランザクションログのバックアップ情報の更新に失敗しました。	<p>要因</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		トランザクションログバックアップファイルのバックアップ情報を書き込めなかったときに出力されるメッセージです。 対処 指定したバックアップ ID に対応するトランザクションログバックアップファイルを確認してください。ファイルの状態が正しい場合、システムログを参照し、OS に異常がないかを確認してください。
KAVX1338-I	トランザクションログバックアップファイルを削除しました。	要因 コマンドによって、トランザクションログバックアップファイルを削除したときに出力されるメッセージです。 対処 -
KAVX1339-E	処理対象のトランザクションログバックアップファイルがありません。	要因 drmsqllogbackup コマンドのオプションによって指定した条件に合うトランザクションログバックアップファイルが存在しないときに出力されるメッセージです。 対処 指定したオプションを確認してください。オプションの指定に誤りがある場合は、オプションを変更してコマンドを再度実行してください。
KAVX1340-E	指定したバックアップ ID に関連するバックアップカタログには、システムデータベースだけがバックアップされているため、トランザクションログをバックアップできません。	要因 drmsqlbackup コマンドで、システムデータベースだけバックアップしたバックアップ ID に対して、トランザクションログのバックアップを取得しようとしたときに出力されるメッセージです。 対処 システムデータベースに対してはトランザクションログを取得できません。次のどちらかの方法で対処してください。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザーデータベースをバックアップしたバックアップ ID を指定して drmsqllogbackup コマンドを実行する。 drmsqlbackup コマンドでユーザーデータベースをバックアップしてから、drmsqllogbackup コマンドを実行する。
KAVX1341-E	対象となるデータベースのトランザクションログはバックアップできません。データベース名 = <データベース名> 要因 = <詳細メッセージ>	要因 指定されたデータベースがバックアップできない状態のときに出力されるメッセージです。 対処 詳細メッセージを確認し、データベースの状態を確認してください。
KAVX1342-W	対象となるデータベースは SQL Sever に存在しません。 処理をスキップします。 データベース名 = <データベース名>	要因 指定したデータベースが drmsqlbackup コマンドの実行時には存在し、drmsqllogbackup コマンドによってトランザクションログのバックアップの実行時には存在していないときに出力されるメッセージです。 対処 指定したデータベースが存在するかを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX1343-E	トランザクションログバックアップファイルは削除できませんでした。 トランザクションログバックアップファイル名 = <トランザクションログバックアップファイル名>	要因 drmsqllogbackup コマンドによってトランザクションログバックアップファイルを削除できなかったときに出力されるメッセージです。 対処 指定したバックアップ ID に対応するトランザクションログバックアップファイルを確認してください。ファイルの状態が正しい場合、システムログを参照し、OS に異常がないかを確認してください。
KAVX1344-E	トランザクションログのバックアップに失敗しました。 データベース名 = <データベース名> コード = <SQL Server 出力エラーコード> 要因 = <SQL Server 出力エラーメッセージ>	要因 drmsqllogbackup コマンドによってトランザクションログがバックアップできなかったときに出力されるメッセージです。 対処 SQL Server 出力エラーコードと SQL Server 出力エラーメッセージを確認し、適切な対処をしてください。
KAVX1346-E	対象となるデータベースはファイル名として使用できない文字を含んでいるため、トランザクションログのバックアップを実行できません。 処理をスキップします。 データベース名 = <データベース名>	要因 トランザクションログのバックアップ対象となるデータベース名に、次の文字が含まれていた場合に出力されるメッセージです。 ・ 「¥」, 「/」, 「:」, 「,」, 「;」, 「*」, 「?」, 「<」, 「>」, 「 」 対処 トランザクションログのバックアップが必要なデータベースには、これらの文字を使用しないでください。
KAVX1347-E	SQL Server の起動でタイムアウトが発生しました。	要因 SQL Server が、構成定義ファイルで定義されたタイムアウト値を超えても起動されなかった場合に出力されるメッセージです。 対処 システムログを参照し、SQL Server や OS に異常がないかを確認してください。異常が見られない場合は、init.conf の SVC_RETRY_TIME および SVC_RETRY_WAIT の値を変更してから、コマンドを再度実行してください。
KAVX1348-E	SQL Server の停止でタイムアウトが発生しました。	要因 SQL Server が、構成定義ファイルで定義されたタイムアウト値を超えても停止されなかった場合に出力されるメッセージです。 対処 システムログを参照し、SQL Server や OS に異常がないかを確認してください。異常が見られない場合は、init.conf の SVC_RETRY_TIME および SVC_RETRY_WAIT の値を変更してから、コマンドを再度実行してください。
KAVX1349-E	すでにメタファイルが存在します。 ファイル名 = <ファイル名>	要因 drmsqlbackup コマンドでバックアップを実行するとき、作成しようとするメタファイル名と同じファイル名がすでに存在する場合に出力されるメッセージです。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		存在しているメタファイルが不要な場合は、メタファイルを削除したあとに再度実行してください。 存在しているメタファイルが必要な場合は、drmsqlinit コマンドでメタファイルの格納場所を変更したあと、コマンドを再度実行してください。
KAVX1350-E	システムデータベースに対して、ログのバックアップを実行することはできません。	要因 drmsqllogbackup コマンドで、トランザクションログをバックアップするデータベースとして、システムデータベースを指定した場合に出力されるメッセージです。 対処 システムデータベースに対してトランザクションログをバックアップすることはできません。
KAVX1351-W	データベースがバックアップされていません。 処理をスキップします。 データベース名 = <データベース名>	要因 drmsqllogbackup コマンド実行時に、対象のデータベースが drmsqlbackup コマンドでバックアップされていない場合に出力されるメッセージです。 対処 対処の必要はありません。
KAVX1353-E	システムデータベースのリストアに -nochk_host オプションを指定できません。	要因 drmsqlrestore コマンドの -nochk_host オプションで、システムデータベースを指定した場合に出力されるメッセージです。 対処 システムデータベースをリストア対象から外してください。
KAVX1354-I	drmsqlrecover コマンドを実行中です。	要因 drmsqlreverttool コマンドで drmsqlrecover コマンドが実行中であることを示すメッセージです。 対処 -
KAVX1355-I	リカバリを完了していないデータベースがあります。終了してよろしいですか？	要因 drmsqlreverttool コマンドでデータベースのリカバリを実行中に、[Exit] ボタンをクリックした場合の確認メッセージです。 対処 -
KAVX1356-W	このファイルはすでにリストに存在します。	要因 drmsqlreverttool コマンドでリストへファイルを追加しようとしたファイルがすでにリスト内にあります。 対処 同じログファイルを二重に当てることはできないので追加しないでください。
KAVX1357-W	ネットワークファイルを追加することはできません。	要因 drmsqlreverttool コマンドでリストへファイルを追加しようとしたファイルはネットワーク上にあります。 対処 ファイルをローカルパスに置いてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX1358-E	drmsqlrecover コマンドが失敗しました。	<p>要因 drmsqlrecovertool コマンドが起動した drmsqlrecover コマンドでエラーが発生しました。</p> <p>対処 drm_output.log を参照し drmsqlrecover コマンドが失敗した要因を解決してください。</p>
KAVX1359-E	drmsqlrecover コマンドを起動できませんでした。	<p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • drmsqlrecovertool コマンドが drmsqlrecover コマンドの起動に失敗した。 • drmsqlrecovertool コマンドが drmsqlrecover コマンドを実行するときに必要な temp ファイルの作成に失敗した。 <p>対処 要因に応じて、それぞれ次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • drmsqlrecover コマンドがあるか確認してください。 • OS の起動に必要なリソースが不足の場合は、リソースを確保してください。 • アクセス権がない場合や書き込み禁止になっている場合は適切な設定をしてください。
KAVX1360-E	Transaction log backup list に項目を追加できませんでした。	<p>要因 drmsqlrecovertool コマンドのリストへの項目追加で失敗しました。リストの項目数の限界を超えたか、OS のリソース不足です。</p> <p>対処 項目を減らすか、リソースを確保して再度実行してください。</p>
KAVX1361-E	drmsqlrecovertool コマンドはすでに起動しています。	<p>要因 drmsqlrecovertool コマンドはすでに起動されています。</p> <p>対処 起動中の drmsqlrecovertool コマンドを終了させてから再度実行してください。</p>
KAVX1362-I	指定されたデータベースの復旧モデルは単純のため、トランザクションログのバックアップ対象外です。 データベース名 = <データベース名>	<p>要因 指定したデータベースの復旧モデルは単純なため、トランザクションバックアップは取得しませんでした。</p> <p>対処 -</p>
KAVX1363-I	サービスを開始します。 サービス名 = <サービス名>	<p>要因 サービスを開始するときに表示されるメッセージです。</p> <p>対処 -</p>
KAVX1364-I	サービスを停止します。 サービス名 = <サービス名>	<p>要因 サービスを停止するときに表示されるメッセージです。</p> <p>対処 -</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX1365-E	指定されたデータベースはリカバリできません。 データベース名 = <データベース名> 要因 = <エラー要因>	要因 指定されたデータベースがリカバリできない状態のときに出力されるメッセージです。 対処 詳細メッセージを確認し、データベースの状態を確認してください。
KAVX1366-E	他のユーザーが使用中のためデータタッチできません。 データベース名 = <データベース名>	要因 リストア対象のデータベースをほかのユーザーが使用しているためデータタッチできません。 対処 対象データベースへのアクセスを解除してから再度実行してください。
KAVX1367-E	指定されたデータベースはリストアできません。 データベース名 = <データベース名> 要因 = <要因>	要因 指定されたデータベースがリストアできない状態のときに出力されるメッセージです。 対処 詳細メッセージを確認し、データベースの状態を確認してください。
KAVX1368-E	指定されたバックアップ ID は、バックアップ時の SQL Server のバージョンがリストア先と異なるためリストアできません。 バックアップ ID = <指定されたバックアップ ID > バックアップ時の SQL Server のバージョン = <SQL Server のバージョン> リストア先の SQL Server のバージョン = <SQL Server のバージョン>	要因 バックアップ時の SQL Server のバージョンとリストア先の SQL Server のバージョンが異なるため、指定されたバックアップ ID ではリストアできません。なお、Protection Manager 04-30 以前のバージョンでバックアップされたデータベースの場合は、SQL Server のバージョンに Unknown と出力されます。 対処 バックアップ時の SQL Server のバージョンとリストア先の SQL Server のバージョンを同じにしてください。
KAVX1369-E	システムデータベースはバックアップ時と異なるインスタンスにリストアできません。	要因 システムデータベースを含むリストアでは -instance オプションを指定できません。 対処 リストアするデータベースにはユーザーデータベースだけを指定してください。
KAVX1370-E	データベース <データベース名> の状態取得に失敗しました。	要因 データベースの状態確認に失敗しました。 対処 SQL Server のマニュアルを参照してエラーの要因を取り除いてから、コマンドを再実行してください。
KAVX1371-I	データベースの静止化処理を開始します。	要因 データベースの静止化処理を開始するときに表示されるメッセージです。 対処 -
KAVX1372-I	データベースの静止化解除処理を終了します。	要因 データベースの静止化解除処理が終了したときに表示されるメッセージです。 対処 -
KAVX1401-E	データベースのバックアップ情報取得に失敗しました。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ログバックアップ起点情報カタログの読み込みに失敗したときに表示されるメッセージです。 対処 対処の必要はありません。
KAVX1500-E	指定されたストレージグループは、Exchange Server に存在しません。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	(GUI の場合) 要因 指定したストレージグループが、Exchange Server にありません。 対処 ホスト情報の更新を行って指定したストレージグループが存在することを確認してから再度操作を行ってください。 (CLI の場合) 要因 指定したストレージグループが、Exchange Server に存在しません。 対処 正しいストレージグループ名が入力されていることを確認してから、コマンドを再度実行してください。
KAVX1501-E	Exchange Server に対する処理でエラーが発生しました。 処理 = <処理内容> 要因 = <エラー要因>	(GUI の場合) 要因 Exchange Server の処理においてエラーが発生しました。 対処 Exchange Server のマニュアルを参照して、発生要因を取り除いてから再度操作を行ってください。 (CLI の場合) 要因 Exchange Server に対する処理でエラーが発生しました。 対処 Exchange Server のマニュアルを参照して、エラーが発生した要因を取り除いてから、コマンドを再度実行してください。
KAVX1502-E	Exchange Server に対する処理でエラーが発生しました。 処理 = <処理内容> コード = <エラーコード>	(GUI の場合) 要因 Exchange Server の処理においてエラーが発生しました。 対処 Exchange Server のマニュアルを参照して、発生要因を取り除いてから再度操作を行ってください。 (CLI の場合) 要因 Exchange Server に対する処理でエラーが発生しました。 対処 Exchange Server のマニュアルを参照して、エラーが発生した要因を取り除いてから、コマンドを再度実行してください。
KAVX1503-E	Exchange Server に対する処理でエラーが発生しました。 処理 = <処理内容> コード = <エラーコード>	(GUI の場合) 要因 Exchange Server の処理においてエラーが発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	要因 = <エラー要因>	<p>対処 Exchange Server のマニュアルを参照して、発生要因を取り除いてから再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 Exchange Server に対する処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処 Exchange Server のマニュアルを参照して、エラーの要因を取り除いてから、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX1508-E	ストレージグループが複数あります。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Exchange Server 2003 Standard Edition に、ストレージグループが複数存在しています。</p> <p>対処 使用しないストレージグループを削除してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 Exchange Server 2003 Standard Edition に、ストレージグループが複数存在しています。</p> <p>対処 使用しないストレージグループを削除してください。</p>
KAVX1509-E	Exchange Server が該当するマシンにインストールされていません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Exchange Server のインストール時に設定されるレジストリキーが見つかりません。または、Exchange Server が該当するマシンにインストールされていません。</p> <p>対処 Exchange Server を該当するマシンにインストールするか、もしくは Replication Manager Application Agent for Exchange コンポーネントを削除してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 Exchange Server のインストール時に設定されるレジストリキーが見つかりません。または、Exchange Server が該当するマシンにインストールされていません。</p> <p>対処 Exchange Server を該当するマシンにインストールしてください。</p>
KAVX1510-E	マウントに失敗しました。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名> インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 マウントに失敗しました。</p> <p>対処 IIS Admin Service, Microsoft Exchange System Attendant, Microsoft Exchange Information Store のどれかのサービスが停止していないか確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>バックアップまたはリストアしたあとに、データベースのマウントに失敗しました。</p> <p>対処 次のどれかのサービスが停止していないか確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IIS Admin Service • システムアテンダントサービス • インフォメーションストアサービス <p>または、ロールフォワードを行うためのトランザクションログが不足しています。この場合、不足しているトランザクションログ番号を示す Exchange Server のイベントログが出力されず、<code>drmxgbbackup</code> コマンドの <code>-transact_log_del</code> オプションでトランザクションログファイルを削除してください。ただし、トランザクションログファイルが削除されるため、それ以前に取得したバックアップによるロールフォワードは行えません。</p>
KAVX1511-E	<p>ディスマウントに失敗しました。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名> インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名></p>	<p>(GUI の場合) 要因 ディスマウントに失敗しました。</p> <p>対処 IIS Admin Service, Microsoft Exchange System Attendant, Microsoft Exchange Information Store のどれかのサービスが停止していないか確認してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 データベースのディスマウントに失敗しました。バックアップまたはリストアできませんでした。</p> <p>対処 次のどれかのサービスが停止していないか確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IIS Admin Service • システムアテンダントサービス • インフォメーションストアサービス
KAVX1512-E	<p>クラスタ構成の同一ノードを優先ノードとして設定している複数の Exchange 仮想サーバで、重複するストレージグループ名が使用されています。 ノード名 = <ノード名> ストレージグループ名 = <ストレージグループ名></p>	<p>(GUI の場合) 要因 クラスタ構成において、複数の Exchange 仮想サーバが一つのノードを優先ノードとして設定している場合、これらの Exchange 仮想サーバで重複するストレージグループ名が使用されています。</p> <p>対処 クラスタ構成上の複数の Exchange 仮想サーバが一つのノードを優先ノードとして設定している場合は、これらの Exchange 仮想サーバが重複するストレージグループ名を持たないようにしてください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 複数の Exchange 仮想サーバが同じノードを優先ノードとして設定しているクラスタ構成で、Exchange 仮想サーバ同士で重複するストレージグループ名が使用されています。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		複数の Exchange 仮想サーバが同じノードを優先ノードとして設定しているクラスタ構成では、Exchange 仮想サーバ同士のストレージグループ名が重複しないようにしてください。
KAVX1513-E	Exchange 仮想サーバのクラスタグループの状態が online ではありません。 クラスタグループ名 = <クラスタグループ名>	<p>(GUI の場合) 要因 Exchange 仮想サーバのクラスタグループの状態が online になっていません。 対処 Exchange 仮想サーバの状態を online にしたあと、再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 Exchange 仮想サーバのクラスタグループの状態が online になっていないため、コマンドが実行できません。 対処 Exchange 仮想サーバの状態を online にしたあと、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX1514-E	Exchange Server 情報の取得に失敗しました。	<p>(GUI の場合) 要因 Exchange Server 情報の取得に失敗しました。 対処 Exchange Server のインストールされているドメインの DNS サーバおよびドメインコントローラが正常に動作しているかを確認してください。異常が見られない場合は、Exchange Server のマニュアルを参照し、Exchange Server が正常に動作しているかを確認してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 Exchange Server の構成情報の取得時に、エラーが発生したときに出力されるメッセージです。 対処 Exchange Server のインストールされているドメインの DNS サーバおよびドメインコントローラが正常に動作しているかを確認してください。異常が見られない場合は、Exchange Server のマニュアルを参照し、Exchange Server が正常に動作しているかを確認してください。</p>
KAVX1515-E	ストレージグループに関連するクラスタリソースの情報が存在しません。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	<p>(GUI の場合) 要因 クラスタ構成において、該当するストレージグループのクラスタリソース情報が登録されていません。 対処 保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 クラスタ構成で、該当するストレージグループのクラスタリソース情報が登録されていないときに出力されるメッセージです。 対処 drclusinit コマンドを使用し、クラスタリソース情報を登録してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX1516-E	環境変数 DRM_HOSTNAME に仮想サーバ名が設定されていません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent の環境が不正です。</p> <p>対処 Application Agent の追加ダイアログで仮想サーバ(クラスタ構成)を選択し、追加する Application Agent の情報を入力した後、再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 クラスタ環境で環境変数 DRM_HOSTNAME が設定されていない場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 DRM_HOSTNAME の値に処理対象となる Exchange 仮想サーバ名を設定して、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX1517-E	環境変数 DRM_HOSTNAME で設定した仮想サーバ名は、有効な Exchange 仮想サーバ名ではありません。 仮想サーバ名 = <仮想サーバ名 >	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent の環境が不正です。</p> <p>対処 Application Agent 追加で設定内容が正しいことを確認した後、再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 クラスタ環境で、環境変数 DRM_HOSTNAME に設定されている仮想サーバ名が、有効な Exchange 仮想サーバ名ではないときに出力されるメッセージです。</p> <p>対処 環境変数 DRM_HOSTNAME に Exchange Server に存在する仮想サーバ名を設定して、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX1518-I	インフォメーションストアサービスを起動します。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Microsoft Exchange Information Store サービスを起動しています。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 インフォメーションストアサービスの起動を実行したことを通知するメッセージです。</p> <p>対処 -</p>
KAVX1519-I	インフォメーションストアサービスが起動されました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Microsoft Exchange Information Store サービスを起動しました。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 インフォメーションストアサービスの起動に成功したときに出力されるメッセージです。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		対処 -
KAVX1520-E	指定されたストレージグループは、回復用ストレージグループです。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	(GUI の場合) 要因 指定されたストレージグループが、回復用ストレージグループです。 対処 指定したストレージグループを確認してから再度操作を行ってください。 (CLI の場合) 要因 ストレージグループに回復用ストレージグループを指定しました。 対処 ストレージグループ名を確認し、コマンドを再度実行してください。
KAVX1521-E	インフォメーションストアのディスマウントができませんでした。 インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	(GUI の場合) 要因 インフォメーションストアのディスマウントに失敗しました。 対処 Microsoft Exchange Information Store サービスを再起動して、再度操作を行ってください。 Microsoft Exchange Information Store サービスが停止できない場合は、システムを再起動してください。 (CLI の場合) 要因 インフォメーションストアのディスマウントができなかった場合に表示されるメッセージです。 対処 インフォメーションストアサービスを再起動して、コマンドを再度実行してください。 インフォメーションストアサービスが停止できない場合は、システムを再起動してください。
KAVX1522-E	Active Directory 情報の取得に失敗しました。	(GUI の場合) 要因 Active Directory 情報の取得時にエラーが発生しました。 対処 Exchange Server がインストールされているドメインの DNS サーバおよびドメインコントローラが正常に動作しているかを確認してください。 (CLI の場合) 要因 Active Directory 情報の取得時に、エラーが発生した場合に表示されるメッセージです。 対処 Exchange Server がインストールされているドメインの DNS サーバおよびドメインコントローラが正常に動作しているかどうか確認してください。
KAVX1523-E	Exchange サーバ名が Active Directory 内に存在しません。 Exchange サーバ名 = <Exchangeサーバ名>	(GUI の場合) 要因 Exchange サーバ名が、Active Directory 内にありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 Exchange Server がインストールされているドメインの DNS サーバおよびドメインコントローラが正常に動作しているかを確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 Exchange サーバ名が、Active Directory 内に存在しない場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 Exchange Server がインストールされているドメインの DNS サーバおよびドメインコントローラが正常に動作しているかどうか確認してください。</p>
KAVX1524-E	Active Directory に接続できませんでした。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Active Directory に接続できませんでした。</p> <p>対処 ログインしているユーザー名およびパスワードを使用して、ドメインコントローラに接続できるか確認してください。また、ドメインコントローラ、DNS サービスおよびネットワークが正常に動作しているか確認してください。必要に応じてこのプログラムを実行しているサーバ、ドメインコントローラおよび DNS サービスのイベントログを採取し、OS の状態を確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 Active Directory に接続できなかった場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 ログオンしているユーザー名およびパスワードを使用して、ドメインコントローラに接続できるかどうか確認してください。また、ドメインコントローラ、DNS サービスおよびネットワークが正常に動作しているかどうか確認してください。必要に応じてこのプログラムを実行しているサーバ、ドメインコントローラおよび DNS サービスのイベントログを採取し、OS の状態を確認してください。</p>
KAVX1525-E	Exchange 仮想サーバのクラスタリソースの状態が online ではありません。 クラスタリソース名 = <クラスタリソース名 >	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Exchange 仮想サーバのクラスタリソースの状態が online になっていません。</p> <p>対処 Exchange 仮想サーバのクラスタリソースを online にしたあと、再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 Exchange 仮想サーバのクラスタリソースの状態が online になっていないため、コマンドが実行できません。</p> <p>対処 Exchange 仮想サーバのクラスタリソースを online にしたあと、コマンドを再度実行してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX1526-I	Exchange 環境設定ファイルを読み込みました。 Exchange 環境設定ファイル名 = <Exchange 環境設定ファイル名 >	(GUI の場合) 要因 Exchange Server の環境設定ファイルを読み込みました。 対処 対処の必要はありません。 (CLI の場合) 要因 Exchange 環境設定ファイルを読み込んだときに表示されます。 対処 -
KAVX1527-E	Exchange 環境設定ファイルが存在しません。 Exchange 環境設定ファイル名 = <Exchange 環境設定ファイル名 >	(GUI の場合) 要因 Exchange Server の環境設定ファイルが存在しませんでした。 対処 存在する Exchange Server の環境設定ファイルを指定してください。 (CLI の場合) 要因 指定された Exchange 環境設定ファイルが存在しません。 対処 Exchange 環境設定ファイルの登録先を確認し、存在する Exchange 環境設定ファイルを指定してください。 Exchange 環境設定ファイルの詳細については、マニュアル「Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド」を参照してください。
KAVX1528-E	Exchange 環境設定ファイルのオープンに失敗しました。 Exchange 環境設定ファイル名 = <Exchange 環境設定ファイル名 >	(GUI の場合) 要因 Exchange Server の環境設定ファイルをオープンできませんでした。 対処 ファイルへのアクセス権限があるか確認してください。 (CLI の場合) 要因 指定された Exchange 環境設定ファイルをオープンできません。 対処 Exchange 環境設定ファイルのアクセス権を確認し、必要なアクセス権を設定してください。 Exchange 環境設定ファイルの詳細については、マニュアル「Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド」を参照してください。
KAVX1529-E	Exchange 環境設定ファイルに必要なパラメーターが設定されていません。 パラメーター名 = <パラメーター名 >	(GUI の場合) 要因 Exchange Server の環境設定ファイルに必要なパラメーターが設定されていません。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Exchange Server の環境設定ファイルの内容を確認してください。 (CLI の場合) 要因 指定された Exchange 環境設定ファイルに、必要なパラメーターが設定されていません。 対処 Exchange 環境設定ファイルの内容を確認し、必要なパラメーターを設定してください。 Exchange 環境設定ファイルの詳細については、マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i> 」を参照してください。
KAVX1530-E	Exchange 環境設定ファイルに設定したパラメーターの値が不正です。 パラメーター名 = <パラメーター名> パラメーター値 = <パラメーター値>	(GUI の場合) 要因 Exchange Server の環境設定ファイルに設定したパラメーターの値が不正です。 対処 Exchange Server の環境設定ファイルの内容を確認してください。 (CLI の場合) 要因 指定された Exchange 環境設定ファイルに設定されたパラメーターの値が不正です。 対処 Exchange 環境設定ファイルの内容を確認し、パラメーターの値を正しく設定してください。 Exchange 環境設定ファイルの詳細については、マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i> 」を参照してください。
KAVX1531-E	指定されたインフォメーションストアは、Exchange Server に存在しません。正しいインフォメーションストア名を指定したあと、コマンドを再実行してください。 インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	(GUI の場合) 要因 指定したインフォメーションストアが、Exchange Server にありません。 対処 ホスト情報を更新して、指定したインフォメーションストアが Exchange Server にあることを確認してください。そのあと、再度操作を実行してください。 (CLI の場合) 要因 指定されたインフォメーションストアが、Exchange Server にありません。 対処 正しいインフォメーションストア名を指定したあと、コマンドを再実行してください。
KAVX1532-E	マウントに失敗しました。インフォメーションストアサービスが停止していないか確認してください。 インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	(GUI の場合) 要因 Microsoft Exchange Information Store のサービスが停止しているなどの原因で、インフォメーションストアのマウントに失敗しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>Microsoft Exchange Information Store のサービスが正しく起動されているか確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 インフォメーションストアのマウントに失敗しました。</p> <p>対処 インフォメーションストアサービスが停止していないか確認してください。</p>
KAVX1533-E	<p>ディスマウントに失敗しました。インフォメーションストアサービスが停止していないか確認してください。</p> <p>インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Microsoft Exchange Information Store のサービスが停止しているなどの原因で、インフォメーションストアのディスマウントに失敗しました。</p> <p>対処 Microsoft Exchange Information Store のサービスが正しく起動されているか確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 インフォメーションストアのディスマウントに失敗しました。</p> <p>対処 インフォメーションストアサービスが停止していないか確認してください。</p>
KAVX1534-E	<p>指定されたインフォメーションストアは、回復用データベースです。回復用データベース以外のインフォメーションストアを指定したあと、コマンドを再実行してください。</p> <p>インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 指定されたインフォメーションストアは、回復用データベースです。</p> <p>対処 指定したインフォメーションストアを確認したあと、再度操作を実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 指定されたインフォメーションストアは、回復用データベースです。</p> <p>対処 回復用データベース以外のインフォメーションストアを指定したあと、コマンドを再実行してください。</p>
KAVX1600-I	バックアップを開始します。	<p>要因 バックアップを開始しました。</p> <p>対処 -</p>
KAVX1601-I	バックアップを完了しました。	<p>要因 バックアップが正常に完了しました。</p> <p>対処 -</p>
KAVX1602-E	<p>インフォメーションストアが格納されているコピーグループに、トランザクションログファイルも格納されています。</p> <p>ストレージグループ名 = <ストレージグループ名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Exchange Server の構成でデータファイル (*.edb ファイルおよび*.stm ファイル) が格納されているコピーグループに、トランザクションログファイルが含まれています。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	コピーグループ名 = <コピーグループ名>	<p>対処 インフォメーションストアが格納されているコピーグループとログファイルが格納されているコピーグループを分けてください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 Exchange 構成でデータファイル (*.edb ファイルおよび*.stm ファイル) が格納されているコピーグループに、トランザクションログファイルが含まれています。</p> <p>対処 インフォメーションストアが格納されているコピーグループとログファイルが格納されているコピーグループを分けてください。</p>
KAVX1603-E	トランザクションログファイルの削除に失敗しました。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名> トランザクションログファイル名 = <ファイル名>	<p>(GUI の場合) 要因 トランザクションログファイルの削除に失敗しました。</p> <p>対処 削除対象のトランザクションログファイルが読み取り属性になっていないか、そのファイルにアクセス権があるかを確認し、手動で削除してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 トランザクションログファイルを削除しようとしたときに、エラーが発生しました。</p> <p>対処 削除対象のトランザクションログファイルのアクセス権が読み取り専用になっている場合は読み取り専用属性を解除してから手動で削除、または -transact_log_del オプションを指定して再度バックアップしてください。</p>
KAVX1604-E	トランザクションログファイルは削除されませんでした。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	<p>(GUI の場合) 要因 トランザクションログファイルの削除に失敗しました。</p> <p>対処 削除対象のトランザクションログファイルが読み取り属性になっていないか、そのファイルにアクセス権があるかを確認し、手動で削除してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 トランザクションログファイルの削除処理中にエラーが発生し、該当するストレージグループのトランザクションログファイルが削除できませんでした。</p> <p>対処 -transact_log_del オプションを指定して再度バックアップしてください。</p>
KAVX1605-E	Exchange のクラスタリソースが、バックアップ対象の物理ディスクリソースに依存しています。 仮想サーバ名 = <仮想サーバ名>	<p>(GUI の場合) 要因 Exchange Server のクラスタリソースが、レプリカ作成対象の物理ドライブに依存しています。</p> <p>対処</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>クラスタリソースの Microsoft Exchange System Attendant または、Microsoft Information Store が、レプリカ作成対象となっているドライブに依存しないように変更したあと、再度操作してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 drmxgbackup コマンドで -transact_log_del オプションが指定されたときに、クラスタリソースの Microsoft Exchange System Attendant または、Microsoft Information Store が、バックアップ対象となっているインフォメーションストアのオブジェクトが格納されている物理ディスクリソースに依存しています。</p> <p>対処 -c online オプションを併用して drmxgbackup コマンドを再実行してください。または、クラスタリソースの Microsoft Exchange System Attendant または、Microsoft Information Store が、バックアップ対象となっている物理ディスクリソースに依存しないように変更したあと、再実行してください。</p>
KAVX1606-E	<p>インフォメーションストアが格納されているコピーグループに、トランザクションログファイル/チェックポイントファイルが格納されています。ストレージグループ名 = <ストレージグループ名> コピーグループ名 = <コピーグループ名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 レプリカ作成対象となっているストレージグループのデータファイルに、トランザクションログファイルまたはチェックポイントファイルが格納されています。</p> <p>対処 トランザクションログファイルまたはチェックポイントファイルをデータベースファイルとは別のコピーグループに格納し、コマンドを再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップ対象となっているストレージグループのデータファイルに、トランザクションログファイルまたはチェックポイントファイルが格納されている場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 トランザクションログファイルまたはチェックポイントファイルをデータベースファイルとは別のコピーグループに格納し、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX1608-E	<p>マウントされていないインフォメーションストアが存在します。VSS を使用してバックアップを行うストレージグループでは、すべてのインフォメーションストアがマウントされている必要があります。</p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 マウントされていないインフォメーションストアが存在します。</p> <p>対処 レプリカ作成対象となるストレージグループ以下のすべてのインフォメーションストアをマウントしてから再度バックアップを実行して下さい。</p> <p>(CLI の場合)</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>要因 VSS バックアップ時に、Exchange Information Store サービスが起動していない、またはマウントされていないインフォメーションストアが存在したため、処理を中断する場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 バックアップ対象となるストレージグループ以下のすべてのインフォメーションストアをマウントしてからバックアップを行ってください。</p>
KAVX1609-E	Active Directory の情報と VSS の情報に違いがあるため、処理を中断します。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 VSS の情報と Active Directory の情報に差異があります。</p> <p>対処 レプリカ作成中には、Exchange Server の構成を変更したり、インフォメーションストアのマウントまたはアンマウントを行ったりしないでください。 もしマウント中のストレージグループ名またはインフォメーションストア名を変更した場合は、該当するストレージグループ以下のすべてのインフォメーションストアを一度ディスマウントしてから、再度マウントを行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 VSS から得られる情報と、Active Directory から得られる情報に違いがあるため、処理を中断する場合に出力されるメッセージです。 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> バックアップコマンド実行中に、Exchange Server の構成を変更した。 バックアップコマンド実行中に、インフォメーションストアのマウント・アンマウントを行った。 マウント中のストレージグループ名、またはインフォメーションストア名を変更した。 <p>対処 バックアップコマンド実行中には、上記操作を行わないでください。 また、マウント中のストレージグループ名またはインフォメーションストア名を変更した場合は、該当するストレージグループ以下のすべてのインフォメーションストアを一度ディスマウントしてから、再度マウントを行ってください。</p>
KAVX1610-I	バックアップサーバでデータベースの検証を行います。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名> ファイル容量 = <ファイル容量>[MB]	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 バックアップサーバでデータベースのバリファイ処理を開始します。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップ結果のデータベースの検証を開始します。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		-
KAVX1611-I	ベリファイ処理が成功しました。	要因 バックアップ結果のデータベースの検証が完了しました。 対処 -
KAVX1612-E	バックアップサーバに必要な ESEUTIL のファイルがありませんでした。	(GUI の場合) 要因 バックアップサーバに必要なファイルが見つかりませんでした。 対処 保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。 (CLI の場合) 要因 バックアップサーバに ESEUTIL コマンドがインストールされていません。 対処 マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i> 」の VSS を使用するための設定の説明を参照して ESEUTIL コマンドのインストールを行ってください。
KAVX1613-W	バックアップサーバでベリファイ処理がデータベースの異常を検出しました。VSS バックアップからリトライを行います。	(GUI の場合) 要因 バックアップサーバでベリファイ処理がデータベースの異常を検出しました。VSS バックアップからリトライを行います。 対処 対処の必要はありません。 (CLI の場合) 要因 バックアップ結果の Exchange データベースを検証した結果、異常が検出されました。VSS のバックアップ処理からリトライを行います。 対処 対処の必要はありません。
KAVX1614-E	バックアップサーバでベリファイ処理がデータベースの異常を検出しました。処理を中断します。	(GUI の場合) 要因 作成されたレプリカの Exchange データベースを検証した結果、異常が検出されました。 対処 データベースサーバにインストールされている Exchange Server のバージョンとバックアップサーバにインストールされている Exchange 管理ツールのバージョンがサービスパックを含み一致しているかどうか確認してください。正しい場合は、保守情報を採取し、問い合わせ窓口に連絡してください。 (CLI の場合) 要因 バックアップ結果の Exchange データベースを検証した結果、異常が検出されました。リトライ回数を超えたため、処理を中断します。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>データベースサーバにインストールされている Exchange Server のバージョン (サービスパックを含む) とバックアップサーバにインストールされている Exchange 管理ツールのバージョン (サービスパックを含む) が一致しているかどうか確認してください。</p> <p>また、Exchange Server 2003 を使用している場合、データベースサーバとバックアップサーバで ESEUTIL コマンドのバージョンが一致しているかどうか確認してください。バージョンが正しい場合は、保守情報を採取し、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAVX1615-W	<p>VSS バックアップ処理をリトライします。</p> <p>リトライ回数 = <リトライ回数></p> <p>現在のリトライ回数 = <現在のリトライ回数></p> <p>待機時間 = <待機時間></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 VSS レプリカ作成処理をリトライします。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 VSS バックアップ処理をリトライします。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p>
KAVX1617-E	<p>イベントログをチェックした結果、Exchange データベースが不正な状態になっています。</p> <p>イベントログの発生時刻 = <イベントログの発生日付・時刻></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 イベントログに Exchange データベースが不正であることを示すログが出力されています。</p> <p>対処 Microsoft の技術情報を参照して状態を修復してから、再度バックアップを行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 イベントログに、Exchange データベースが不正であることを示すログが出力されています。イベントログの発生日付・時刻は、YYYY/MM/DD hh:mm:ss 形式で出力されます。</p> <p>対処 Microsoft の技術情報を参照して状態を修復してから、再度バックアップを行ってください。</p>
KAVX1618-E	<p>バックアップサーバでベリファイ処理に必要なファイルがありませんでした。</p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 バックアップサーバで、ベリファイ処理に必要な Exchange 管理ツールがインストールされていません。</p> <p>対処 バックアップサーバに Exchange 管理ツールをインストールしてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップサーバに、ベリファイ処理に必要な Exchange 管理ツールがインストールされていません。</p> <p>対処 Exchange 管理ツールをインストールしてください。</p>
KAVX1619-E	<p>Microsoft Exchange Replication Service が開始していません。</p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	サービスの状態を確認してください。	<p>Microsoft Exchange Replication サービスが開始していません。</p> <p>対処 Microsoft Exchange Replication サービスを開始してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 要因は次のとおりです。 [Exchange Server 2007 の場合] CCR 環境または SCR 環境で VSS バックアップを取得する際に、Microsoft Exchange Replication Service が起動していない。 [Exchange Server 2010/2013 の場合] DAG 環境で VSS バックアップを取得する際に、Microsoft Exchange Replication Service が起動していない。</p> <p>対処 Microsoft Exchange Replication Service を起動してください。</p>
KAVX1620-E	Exchange Server のレプリケーション機能が正常に動作していません。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名 >	<p>(GUI の場合) 要因 CCR のレプリケーション機能が正常に動作していません。</p> <p>対処 Exchange Server のマニュアルに従って CCR のレプリケーション機能が正常に動作するようにしてください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 CCR のレプリケーション機能が正常に動作していません。</p> <p>対処 Exchange のマニュアルに従って、CCR のレプリケーション機能が正常に動作するように設定してください。</p>
KAVX1621-E	Exchange Server のレプリケーション機能が正常に動作していません。 ターゲット = <ターゲット名 > ストレージグループ名 = <ストレージグループ >	<p>(GUI の場合) 要因 SCR のレプリケーション機能が正常に動作していません。</p> <p>対処 Exchange Server のマニュアルに従って SCR のレプリケーション機能が正常に動作するようにしてください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 SCR のレプリケーション機能が正常に動作していません。</p> <p>対処 Exchange Server のマニュアルに従って、SCR のレプリケーション機能が正常に動作するようにしてください。</p>
KAVX1622-E	循環ログが設定されているストレージグループがバックアップ対象になっているため、バックアップを実行することができません。	<p>(GUI の場合) 要因 循環ログが設定されているストレージグループがレプリカ作成対象になっているため、レプリカ作成を実行することができません。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	<p>対処 レプリカ作成対象のストレージグループに循環ログを設定しないでください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 循環ログが設定されているストレージグループがバックアップ対象になっているため、バックアップを実行することができません。</p> <p>対処 バックアップ対象のストレージグループに循環ログを設定しないでください。</p>
KAVX1623-E	<p>データベースファイルが格納されているコピーグループに、トランザクションログファイルまたはチェックポイントファイルが格納されています。トランザクションログファイルまたはチェックポイントファイルまたはデータベースファイルとは別のコピーグループに格納したあと、コマンドを再度実行してください。</p> <p>インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名> コピーグループ名 = <コピーグループ名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 バックアップ対象となっているインフォメーションストアのデータベースファイルと同じコピーグループに、トランザクションログファイルまたはチェックポイントファイルが格納されています。</p> <p>対処 トランザクションログファイルまたはチェックポイントファイルをデータベースファイルとは別のコピーグループに格納したあと、再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップ対象のインフォメーションストアのデータファイルに、トランザクションログファイルまたはチェックポイントファイルが格納されています。</p> <p>対処 トランザクションログファイルまたはチェックポイントファイルをデータベースファイルとは別のコピーグループに格納したあと、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX1624-E	<p>マウントされていないインフォメーションストアがあります。</p> <p>VSS を使用してバックアップするインフォメーションストアは、マウントされている必要があります。</p> <p>インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 次のどちらかの要因で、インフォメーションストアのレプリカが作成できませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> Exchange Information Store サービスが起動していない。 レプリカの作成対象となるインフォメーションストアがマウントされていない。 <p>対処 Exchange Information Store サービスを起動するか、またはレプリカの作成対象となるインフォメーションストアをマウントしたあと、再度レプリカを作成してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 要因は次のどちらかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> VSS を使用してバックアップを実行する際に、Exchange Information Store サービスが起動していない。 VSS を使用してバックアップを実行する際に、マウントされていないインフォメーションストアがある。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処</p> <p>バックアップ対象のインフォメーションストアをマウントしたあと、再度バックアップを実行してください。</p>
KAVX1625-I	<p>バックアップサーバでデータベースを検証します。</p> <p>インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名></p> <p>ファイル容量 = <ファイル容量> [MB]</p>	<p>要因</p> <p>データベースを検証します。</p> <p>対処</p> <p>-</p>
KAVX1626-E	<p>Exchange Server のレプリケーション機能が正常に動作していません。DAG のレプリケーション機能が正常に動作するように設定してください。</p> <p>Exchange サーバ名 = <Exchange サーバ名></p> <p>インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p> <p>Exchange サーバ名にあるインフォメーションストアのレプリケーション機能が、正しく動作していません。</p> <p>対処</p> <p>Exchange Server のマニュアルに従って、DAG のレプリケーション機能が正しく動作するように設定してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p> <p>表示された Exchange サーバのインフォメーションストアのレプリケーション機能が正常に動作していません。</p> <p>対処</p> <p>Exchange Server のマニュアルに従って DAG のレプリケーション機能が正常に動作するように設定してください。</p>
KAVX1627-E	<p>循環ログが設定されているインフォメーションストアがバックアップ対象になっているため、バックアップを実行できません。バックアップ対象のインフォメーションストアに循環ログを設定しないでください。</p> <p>インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p> <p>バックアップ対象のインフォメーションストアに循環ログが設定されているため、バックアップを実行できません。</p> <p>対処</p> <p>レプリカ作成対象のインフォメーションストアには、循環ログを設定しないでください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p> <p>循環ログが設定されているインフォメーションストアがバックアップ対象になっているため、バックアップを実行できません。</p> <p>対処</p> <p>バックアップ対象のインフォメーションストアに循環ログを設定しないでください。</p>
KAVX1628-E	<p>実行されたコマンドの前提条件となるサービスが開始していません。サービスの状態を確認してください。</p> <p>サービス名 = <サービス名></p>	<p>要因</p> <p>実行されたコマンドの前提条件となるサービスが起動していません。</p> <p>対処</p> <p>メッセージに出力されているサービスを起動してください。</p>
KAVX1629-E	<p>Exchange Management Shell を使用するために必要なライブラリの COM 登録に失敗しました。</p>	<p>要因</p> <p>Exchange Server の前提 .NET Framework が正常にインストールされていないおそれがあります。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Exchange Server の前提.NET Framework が正常にインストールされていることを確認して、コマンドを再実行してください。
KAVX1700-I	リストアを開始します。	<p>(GUI の場合) 要因 リストアを開始しました。 対処 対処の必要はありません。</p> <p>(CLI の場合) 要因 リストアを開始しました。 対処 -</p>
KAVX1701-I	リストアを完了しました。	<p>(GUI の場合) 要因 リストアを完了しました。 対処 対処の必要はありません。</p> <p>(CLI の場合) 要因 リストアが正常に完了しました。 対処 -</p>
KAVX1702-E	循環ログを使用している場合は、リストアするときに-recovery オプションを指定しないでください。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	<p>(GUI の場合) 要因 VSS モードによるバックアップでは、循環ログは使用できません。循環ログを設定した状態でバックアップしたストレージグループは、リストアできません。 対処 循環ログを使用しないように設定してからバックアップを再度行ってください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 コールドおよびオンラインモードでバックアップしたストレージグループをリストアした場合 循環ログを使用している場合は、リストアするときに-recovery オプションを指定しないでください。循環ログを使用しているときは、ロールフォワードでリストアできません。 VSS モードでバックアップしたストレージグループをリストアした場合 VSS モードによるバックアップでは、循環ログは使用できません。 循環ログを設定した状態でバックアップしたストレージグループは、リストアできません。</p> <p>対処 コールドおよびオンラインモードでバックアップしたストレージグループをリストアした場合 -recovery オプションを指定しないで、コマンドを再度実行してください。 VSS モードでバックアップしたストレージグループをリストアした場合</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ストレージグループに対して、循環ログを使用しないように設定を変更してから、VSS バックアップを再実行してください。
KAVX1703-E	一連のトランザクションログファイルの整合性に不正があります。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 トランザクションログファイルの世代に不連続、署名の不一致があります。</p> <p>対処 保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> データファイル (*.edb ファイルおよび *.stm ファイル) の中で、最終整合ログの世代番号がいちばん小さいファイルの LogSignature と、その世代番号に相当するトランザクションログファイルの署名が一致していない。 必要なトランザクションログファイルがそろっていない。または、トランザクションログファイルの署名が一致していない。 <p>対処 問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAVX1705-I	一時ファイルを作成中です。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 一時ファイルを作成中です。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 リストア対象のストレージグループに存在する次のファイルの一時ファイルを作成しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> データファイル (*.edb ファイルおよび *.stm ファイル) トランザクションログファイル (*.log ファイル) <p>対処 -</p>
KAVX1706-E	リストア対象の一時ファイルの作成に失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 リストア対象の一時ファイル作成に失敗しました。</p> <p>対処 リストアレプリカウィザードで Point-in-Time を選択してリストアを行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 リストア対象のストレージグループに存在する次のファイルの一時ファイルの作成に失敗しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> データファイル (*.edb ファイルおよび *.stm ファイル) トランザクションログファイル (*.log ファイル) <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		-recovery オプションを指定しないで、コマンドを再度実行してください。
KAVX1707-W	一時ファイルの削除に失敗しました。 一時ファイル = <一時ファイル>	(GUI の場合) 要因 一時ファイルの削除に失敗しました。 対処 削除対象の一時ファイルが読み取り属性になっていないか、そのファイルにアクセス権があるかを確認し、手動で削除してください。 (CLI の場合) 要因 一時ファイルの削除に失敗しました。ファイルが読み取り専用属性になっています。 対処 ファイルの属性を確認して、読み取り専用属性を解除してから、一時ファイルを手動で削除してください。
KAVX1709-E	バックアップ対象ではないストレージグループのオブジェクトが、同じコピーグループに含まれています。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名> コピーグループ名 = <コピーグループ名>	(GUI の場合) 要因 同じコピーグループ内に、バックアップ対象のストレージグループ以外のファイルが含まれているため、バックアップできません。 対処 同一コピーグループ内に存在するストレージグループを、すべて指定してください。 (CLI の場合) 要因 同じコピーグループ内に、バックアップ対象のストレージグループ以外のファイルが含まれているため、バックアップできません。 対処 同じコピーグループ内に存在するストレージグループをすべて指定してください。
KAVX1711-E	指定されたストレージグループのバックアップ情報が取得できません。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	(GUI の場合) 要因 指定されたストレージグループのレプリカ情報が取得できません。 対処 ホスト情報の更新を行ってから再度操作を行ってください。 (CLI の場合) 要因 バックアップ ID およびストレージグループを指定して drmexgrestore コマンドを実行した場合に、指定したバックアップ ID のバックアップデータに、指定したストレージグループが存在しないときに出力されるメッセージです。 対処 正しいバックアップ ID、およびストレージグループを指定して、コマンドを再度実行してください。
KAVX1712-E	指定されたバックアップ ID に -recovery オプションを指定していません。	(GUI の場合) 要因 Roll-forward-Time の選択が必要なレプリカに対して、Point-in-Time を選択してリストアを実行しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 リストアレプリカウィザードで Roll-forward-Time を選択してリストアを行ってください。 (CLI の場合)</p> <p>要因 ロールフォワードが必要なバックアップデータに対して、-recovery オプションを指定しないでリストアしました。</p> <p>対処 -recovery オプションを指定して、drmxgrestore コマンドを実行してください。</p>
KAVX1713-E	指定されたストレージグループのトランザクションログファイルが存在しないため、リカバリを実行できません。ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 リカバリ指定されたストレージグループのトランザクションログがありません。</p> <p>対処 Exchange 構成を見直しレプリカ作成からやり直してください。 またはリストアレプリカウィザードで Point-in-Time を選択してリストアを行ってください。 (CLI の場合)</p> <p>要因 リカバリ時に指定されたストレージグループのトランザクションログファイルが存在しない場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 Exchange 構成を見直し、バックアップからやり直してください。または、-recovery オプションを指定しないでリストアしてください。</p>
KAVX1714-E	マウントされていないインフォメーションストアが存在します。VSS を使用してリストアを行うストレージグループでは、すべてのインフォメーションストアがマウントされている必要があります。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 VSS リストア時に、Microsoft Exchange Information Store サービスが起動していないか、マウントされていないインフォメーションストアが存在します。</p> <p>対処 リストア対象のすべてのインフォメーションストアがマウントされていることを確認してからリストアを行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 VSS リストア時に、Exchange Information Store サービスが起動していない、またはマウントされていないインフォメーションストアが存在したため、処理を中断する場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 リストア対象となるストレージグループ以下のすべてのインフォメーションストアをマウントしてからリストアを行ってください。 また、マウントできない場合は、マニュアル「Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド」の Exchange データベースをリストアするときの注意事項を参照して、インフォメーションストアをマウントしてください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX1715-E	リストア対象物理ディスクリソースは、Exchange System Attendant クラスタリソースとの依存関係から削除できませんでした。 物理ディスクリソース = <リストア対象物理ディスクリソース>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Exchange データベースのオフラインリストアを実行している途中で、リストア対象物理ディスクリソースが、Exchange System Attendant クラスタリソースとの依存関係から削除できませんでした。</p> <p>対処 クラスタードミニストレータを起動して、Exchange System Attendant クラスタリソースと依存関係を持つ物理ディスクリソースとして、リストアの対象となるすべての物理ディスクリソースを追加してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 Exchange データベースのリストアを実行している途中で、リストア対象物理ディスクリソースが、Exchange System Attendant クラスタリソースとの依存関係から削除できませんでした。</p> <p>対処 クラスタードミニストレータを起動して、Exchange System Attendant クラスタリソースと依存関係を持つ物理ディスクリソースとして、リストアの対象となるすべての物理ディスクリソースを追加してください。</p>
KAVX1716-E	リストア対象物理ディスクリソースは、Exchange System Attendant クラスタリソースとの依存関係に追加できませんでした。 物理ディスクリソース = <リストア対象物理ディスクリソース>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Exchange データベースのオフラインリストアを実行している途中で、リストア対象物理ディスクリソースを、Exchange System Attendant クラスタリソースとの依存関係に追加できませんでした。</p> <p>対処 クラスタードミニストレータを起動して、Exchange System Attendant クラスタリソースと依存関係を持つ物理ディスクリソースとして、リストアの対象となるすべての物理ディスクリソースを追加してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 Exchange データベースのリストアを実行している途中で、リストア対象物理ディスクリソースを、Exchange System Attendant クラスタリソースとの依存関係に追加できませんでした。</p> <p>対処 クラスタードミニストレータを起動して、Exchange System Attendant クラスタリソースと依存関係を持つ物理ディスクリソースとして、リストアの対象となるすべての物理ディスクリソースを追加してください。</p>
KAVX1717-W	リストア対象物理ディスクリソースの依存関係を削除したまま終了します。 Exchange System Attendant クラスタリソースとの依存関係を設定し直してください。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 エラーが発生したため、物理ディスクリソースの依存関係を削除したまま処理が終了しました。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>リストア対象の物理ディスクリソースと Exchange System Attendant リソースとの依存関係を再設定してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 エラーが発生したため、物理ディスクリソースの依存関係を削除したままコマンドを終了します。</p> <p>対処 リストア対象の物理ディスクリソースと Exchange System Attendant リソースとの依存関係を再設定してください。</p>
KAVX1718-W	<p>リストア対象物理ディスクリソースの設定を変更したまま終了します。設定を元に戻してください。</p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 エラーが発生したため、リストア対象物理ディスクリソースに対して以下のどちらかの設定をしたままコマンドが終了しました。 ディスクリソースを拡張メンテナンスモードに設定したメッセージが同時に出力されている場合： ディスクリソースの拡張メンテナンスモードを有効にしています。 同時にメッセージが出力されていない場合： ディスクリソースの Looks Alive ポーリング間隔と Is Alive ポーリング間隔の設定を変更しています。</p> <p>対処 ディスクリソースを拡張メンテナンスモードに設定したメッセージが同時に出力されている場合： ディスクリソースの拡張メンテナンスモードを解除したメッセージが出力されていないリストア対象物理ディスクリソースに対して拡張メンテナンスモードを無効にしてください。 同時にメッセージが出力されていない場合： リストア対象物理ディスクリソースの Looks Alive ポーリング間隔と Is Alive ポーリング間隔を元に戻してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 コマンドの実行中にエラーが発生したため、リストア対象物理ディスクリソースの設定が変更されたままコマンドが終了しました。</p> <p>対処 KAVX5135-I が出力されている場合と出力されていない場合で、次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • KAVX5135-I が出力されている場合 ディスクリソースの拡張メンテナンスモードが有効になったままです。KAVX5135-I に対応する KAVX5136-I が出力されていないリストア対象物理ディスクリソースに対して、拡張メンテナンスモードを無効にしてください。 • KAVX5135-I が出力されていない場合 ディスクリソースの Looks Alive ポーリング間隔と Is Alive ポーリング間隔の設定が変更されたままです。リストア対象物理ディスクリソースの Looks Alive ポー

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>リング間隔と Is Alive ポーリング間隔の設定を元に戻してください。詳細トレースログで次の行を検索して、この行に続くコマンドを実行すれば、設定値を元に戻すことができます。</p> <pre>"If it has failed this processing, please execute the following command for recovery the properties of the cluster resource"</pre>
KAVX1719-E	<p>ログファイルのリネームに失敗しました。 変更前ファイル名 = <変更前ファイル名> 変更後ファイル名 = <変更後ファイル名></p>	<p>(GUI の場合) 要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> リネーム前の名前をもつファイルが存在しない。 リネーム後の名前をもつファイルが既に存在する。 リネーム前ファイルに変更権限がない。 <p>対処 コマンドを実行する前に、リネーム前のファイルが存在すること、およびリネーム後のファイルが存在しないことを確認してください。また、ファイルに変更権限が与えられていることを確認してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 変更前の名前を持つファイルが存在しない。 変更後の名前を持つファイルがすでに存在する。 変更前のファイルに変更権限がない。 <p>対処 コマンドを実行する前に、変更前の名前のファイルが存在すること、および変更後の名前のファイルが存在しないことを確認してください。また、ファイルに変更権限が与えられていることを確認してください。</p>
KAVX1720-E	<p>指定されたバックアップ ID は VSS バックアップデータでないためインフォメーションストア単位でリストアすることはできません。</p>	<p>(GUI の場合) 要因 指定されたレプリカは VSS で取得したものではありません。</p> <p>対処 インフォメーションストア単位でリストアを行う場合は VSS でレプリカを作成してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 指定されたバックアップ ID のデータは VSS で取得したものではありません。</p> <p>対処 インフォメーションストア単位でリストアを行う場合は VSS バックアップデータのバックアップ ID を指定してください。</p>
KAVX1721-E	<p>指定されたインフォメーションストアのバックアップ情報が取得できませんでした。</p>	<p>(GUI の場合) 要因 指定されたインフォメーションストアのレプリカ情報を取得できませんでした。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	ストレージグループ名 = <ストレージグループ名> インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	対処 ホスト情報の更新を行ってから再度操作を行ってください。 (CLI の場合) 要因 指定されたバックアップ ID に指定されたインフォメーションストア名が存在しませんでした。 対処 正しいバックアップ ID およびインフォメーションストア名を指定して再度コマンドを実行してください。
KAVX1722-E	-recovery オプションが指定されていないためインフォメーションストア単位でリストアすることはできません。	(GUI の場合) 要因 Roll-forward-Time が選択されていないためインフォメーションストア単位でリストアができませんでした。 対処 リストアレプリカウィザードで Roll-forward-Time を選択してリストアを行ってください。 (CLI の場合) 要因 -recovery オプションが指定されていないためインフォメーションストア単位でリストアができませんでした。 対処 インフォメーションストア単位でリストアを行う場合は-recovery オプションを指定してください。
KAVX1723-E	同一ストレージグループ名でストレージグループ単位とインフォメーションストア単位を同時指定してリストアすることはできません。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	(GUI の場合) 要因 同一ストレージグループ名でストレージグループ単位とインフォメーションストア単位を同時に指定してリストアすることはできません。 対処 ストレージグループ単位、またはインフォメーションストア単位どちらかで指定して再度リストアを行ってください。 (CLI の場合) 要因 同一ストレージグループ名でストレージグループ単位とインフォメーションストア単位を同時に指定したリストアはできません。 対処 ストレージグループ単位、またはインフォメーションストア単位のどちらかを指定して再度コマンドを実行してください。
KAVX1724-E	複数のストレージグループのデータが同一コピーグループ上にある場合、インフォメーションストア単位でリストアすることはできません。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	(GUI の場合) 要因 複数のストレージグループのデータが同一ドライブ上に格納されている構成ではインフォメーションストア単位でリストアすることはできません。 対処 ストレージグループ単位でリストアを行ってください。 (CLI の場合)

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>要因 複数のストレージグループのデータが同一コピーグループ上に格納されている構成では、インフォメーションストア単位でリストアできません。</p> <p>対処 ストレージグループ単位でリストアしてください。</p>
KAVX1725-E	リストアに対応していない Exchange Server バージョンのバックアップ結果が指定されました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 リストアに対応していない Exchange Server バージョンのレプリカが指定されました。</p> <p>対処 保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 -</p> <p>対処 バックアップ結果の Exchange Server バージョンを確認してください。</p>
KAVX1726-E	リストア対象物理ディスクリソースは、Exchange Information Store クラスタリソースとの依存関係から削除できませんでした。 物理ディスクリソース = <リストア対象物理ディスクリソース>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Exchange データベースのオフラインリストアを実行している途中で、リストア対象物理ディスクリソースが、Microsoft Exchange Information Store クラスタリソースとの依存関係から削除できませんでした。</p> <p>対処 クラスターアドミニストレータを起動して、Microsoft Exchange Information Store クラスタリソースと依存関係を持つ物理ディスクリソースとして、リストアの対象となるすべての物理ディスクリソースを追加してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 Exchange データベースのオフラインリストアの実行中に、リストア対象物理ディスクリソースが Exchange Information Store クラスタリソースとの依存関係から削除できませんでした。</p> <p>対処 クラスターアドミニストレータを起動して、リストアの対象となるすべての物理ディスクリソースを Exchange Information Store クラスタリソースと依存関係を持つ物理ディスクリソースとして追加してください。</p>
KAVX1727-E	リストア対象物理ディスクリソースは、Exchange Information Store クラスタリソースとの依存関係に追加できませんでした。 物理ディスクリソース = <リストア対象物理ディスクリソース>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Exchange データベースのオフラインリストアを実行している途中で、リストア対象物理ディスクリソースを、Microsoft Exchange Information Store クラスタリソースとの依存関係に追加できませんでした。</p> <p>対処 クラスターアドミニストレータを起動して、Microsoft Exchange Information Store クラス</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>タリソースと依存関係を持つ物理ディスクリソースとして、リストアの対象となるすべての物理ディスクリソースを追加してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 Exchange データベースのオフラインリストアの実行中に、リストア対象物理ディスクリソースが Exchange Information Store クラスタリソースとの依存関係に追加できませんでした。</p> <p>対処 クラスターアドミニストレータを起動して、リストアの対象となるすべての物理ディスクリソースを Exchange Information Store クラスタリソースと依存関係を持つ物理ディスクリソースとして追加してください。</p>
KAVX1728-W	<p>リストア対象物理ディスクリソースの依存関係を削除したまま終了します。</p> <p>Exchange Information Store クラスタリソースとの依存関係を設定し直してください。</p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 エラーが発生したため、物理ディスクリソースの依存関係を削除したままリストアを終了します。</p> <p>対処 リストア対象の物理ディスクリソースと Microsoft Exchange Information Store リソースとの依存関係を再設定してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 コマンドの実行中にエラーが発生したため、物理ディスクリソースの依存関係を削除した状態でコマンドを終了します。</p> <p>対処 リストア対象の物理ディスクリソースと Exchange Information Store リソースとの依存関係を再設定してください。</p>
KAVX1729-E	<p>Exchange Information Store クラスタリソースは、リストア対象物理ディスクリソースに依存関係が設定されていません。</p> <p>物理ディスクリソース = <リストア対象物理ディスクリソース></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Microsoft Exchange Information Store クラスタリソースはリストア対象物理ディスクリソースと依存関係が設定されています。</p> <p>対処 クラスターアドミニストレータを起動して、Microsoft Exchange Information Store クラスタリソースの依存関係からリストアの対象となるすべての物理ディスクリソースを削除してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 Exchange Information Store クラスタリソースは、リストア対象物理ディスクリソースに依存関係が設定されています。</p> <p>対処 クラスターアドミニストレータを起動して、Exchange Information Store クラスタリソースの依存関係から、リストアの対象となるすべての物理ディスクリソースを削除してください。</p>
KAVX1730-E	CCR 環境の待機サーバでリストアすることはできません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>CCR 環境の待機サーバでリストアが実行されました。</p> <p>対処 CCR 環境の現用サーバでリストアを実行してください。本サーバでリストアを実行する場合は、Exchange 仮想サーバを本サーバに切り替えてからリストアを実行してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 リストアを実行しようとしているサーバが CCR 環境の待機サーバのため、リストアできません。</p> <p>対処 CCR 環境の現用サーバ (Exchange 仮想サーバ) でリストアを実行してください。待機サーバで取得したバックアップデータをリストアする場合は、待機サーバを現用サーバに切り替えてからリストアを実行してください。</p>
KAVX1731-E	Exchange Server のレプリケーション機能が中断していません。 ポイントインタイムリストアを行う場合、Exchange Server のレプリケーション機能を中断する必要があります。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	<p>(GUI の場合) 要因 CCR のレプリケーション機能が中断していません。</p> <p>対処 Exchange Server のマニュアルに従って CCR のレプリケーション機能を中断してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 CCR のレプリケーション機能が中断していません。</p> <p>対処 ポイントインタイムリストアを行う場合、Exchange Server のレプリケーション機能を中断する必要があります。 Exchange のマニュアルに従って、CCR のレプリケーション機能を中断してください。</p>
KAVX1732-I	Exchange Server のレプリケーション機能を中断しました。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	<p>(GUI の場合) 要因 Exchange Server のレプリケーション機能を中断しました。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p> <p>(CLI の場合) 要因 Exchange Server のレプリケーション機能を中断しました。 このメッセージが出力されたあとにエラーが発生した場合、かつエラーが発生したタイミングが KAVX1734-I メッセージ (対象とするストレージグループが同じ) が出力されるよりも前だった場合、レプリケーション機能は中断されたままとなります。</p> <p>対処 Exchange Server のマニュアルを参照して、レプリケーション機能を手動で再開してください。</p>
KAVX1733-E	Exchange Server のレプリケーション機能を中断できませんでした。	<p>(GUI の場合) 要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ストレージグループ名 = <ストレージグループ名 >	Exchange Server のレプリケーション機能を中断できませんでした。 対処 Exchange Server のマニュアルに従ってレプリケーション機能を中断してください。 (CLI の場合) 要因 Exchange Server のレプリケーション機能を中断できませんでした。 対処 Exchange Server のマニュアルを参照して、レプリケーション機能を中断してください。
KAVX1734-I	Exchange Server のレプリケーション機能を再開しました。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名 >	(GUI の場合) 要因 Exchange Server のレプリケーション機能を再開しました。 対処 対処の必要はありません。 (CLI の場合) 要因 Exchange Server のレプリケーション機能を再開しました。 対処 -
KAVX1735-E	Exchange Server のレプリケーション機能を再開できませんでした。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名 >	(GUI の場合) 要因 Exchange Server のレプリケーション機能を再開できませんでした。 対処 Exchange Server のマニュアルに従ってレプリケーション機能を再開してください。 (CLI の場合) 要因 Exchange Server のレプリケーション機能を再開できませんでした。 対処 Exchange Server のマニュアルを参照して、レプリケーション機能を再開してください。
KAVX1736-I	シード処理を開始します。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名 >	(GUI の場合) 要因 シード処理を開始します。 対処 対処の必要はありません。 (CLI の場合) 要因 シード処理を開始します。 対処 -
KAVX1737-I	シード処理が完了しました。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名 >	(GUI の場合) 要因 シード処理が完了しました。 対処 対処の必要はありません。 (CLI の場合) 要因 シード処理が完了しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 -
KAVX1738-E	シード処理中にファイルの削除に失敗しました。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	(GUI の場合) 要因 シード処理中に待機サーバでファイルの削除ができませんでした。 対処 待機サーバで、出力されたストレージグループのファイルのアクセス権限を確認してください。 Exchange Server のマニュアルに従って手動でシード処理を行ってください。 (CLI の場合) 要因 シード処理中に待機サーバでファイルの削除ができませんでした。 対処 待機サーバで、ストレージグループのデータベースファイルに設定されたアクセス権限を確認してください。 自動でシード処理ができなかったストレージグループについては、Exchange Server のマニュアルを参照して手動でシード処理を行ってください。
KAVX1739-E	シード処理中に再同期処理が失敗しました。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	(GUI の場合) 要因 シード処理中に待機サーバへのデータの再同期ができませんでした。 対処 Exchange Server のマニュアルに従って手動でシード処理を行ってください。 (CLI の場合) 要因 シード処理中に待機サーバへのデータの再同期ができませんでした。 対処 Exchange Server のマニュアルを参照して手動でシード処理を行ってください。
KAVX1740-W	Exchange Server のレプリケーション機能はすでに中断しています。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	(GUI の場合) 要因 Exchange Server のレプリケーション機能を中断しようとしたのですが、すでに中断していました。 対処 対処の必要はありません。 (CLI の場合) 要因 Exchange Server のレプリケーション機能を中断しようとしたのですが、すでに中断していました。 対処 対処の必要はありません。
KAVX1741-I	Exchange Server のレプリケーション機能を中断しました。 ターゲット = <ターゲット名> ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	(GUI の場合) 要因 表示されたターゲットの Exchange Server のレプリケーション機能を中断しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処の必要はありません。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 表示されたターゲットの Exchange Server のレプリケーション機能を中断しました。</p> <p>対処 このメッセージで出力されたあとに、このメッセージで出力されたストレージグループ名の KAVX1734-I メッセージが出力される前にエラーが発生した場合、手動でレプリケーション機能を再開してください。</p>
KAVX1742-E	<p>Exchange Server のレプリケーション機能を中断できませんでした。</p> <p>ターゲット = <ターゲット名> ストレージグループ名 = <ストレージグループ名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 表示されたターゲットの Exchange Server のレプリケーション機能を中断できませんでした。</p> <p>対処 Exchange Server のマニュアルに従ってレプリケーション機能を中断してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 表示されたターゲットの Exchange Server のレプリケーション機能を中断できませんでした。</p> <p>対処 Exchange Server のマニュアルに従ってレプリケーション機能を中断してください。</p>
KAVX1743-I	<p>Exchange Server のレプリケーション機能を再開しました。</p> <p>ターゲット = <ターゲット名> ストレージグループ名 = <ストレージグループ名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 表示されたターゲットの Exchange Server のレプリケーション機能を再開しました。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 表示されたターゲットの Exchange Server のレプリケーション機能を再開しました。</p> <p>対処 -</p>
KAVX1744-E	<p>Exchange Server のレプリケーション機能を再開できませんでした。</p> <p>ターゲット = <ターゲット名> ストレージグループ名 = <ストレージグループ名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 表示されたターゲットの Exchange Server のレプリケーション機能を再開できませんでした。</p> <p>対処 Exchange Server のマニュアルに従ってレプリケーション機能を再開してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 表示されたターゲットの Exchange Server のレプリケーション機能を再開できませんでした。</p> <p>対処 Exchange Server のマニュアルに従ってレプリケーション機能を再開してください。</p>
KAVX1745-I	<p>シード処理を開始します。</p> <p>ターゲット = <ターゲット名> ストレージグループ名 = <ストレージグループ名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 表示されたターゲットに対してシード処理を開始します。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処の必要はありません。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 表示されたターゲットに対してシード処理を開始します。</p> <p>対処 -</p>
KAVX1746-I	シード処理が完了しました。 ターゲット = <ターゲット名> ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 表示されたターゲットに対してシード処理が完了しました。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 表示されたターゲットに対してシード処理が完了しました。</p> <p>対処 -</p>
KAVX1747-E	シード処理中にファイルの削除に失敗しました。 ターゲット = <ターゲット名> ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 シード処理中にターゲットでファイルの削除ができませんでした。</p> <p>対処 ターゲットで、出力されたストレージグループのファイルのアクセス権限を確認してください。 Exchange Server のマニュアルに従って手動でシード処理を行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 シード処理中にターゲットでファイルの削除ができませんでした。</p> <p>対処 ターゲットで、出力されたストレージグループのファイルのアクセス権限を確認してください。</p>
KAVX1748-E	シード処理中に再同期処理が失敗しました。 ターゲット = <ターゲット名> ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 シード処理中にターゲットでデータの再同期ができませんでした。</p> <p>対処 Exchange Server のマニュアルに従って手動でシード処理を行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 シード処理中にターゲットでデータの再同期ができませんでした。</p> <p>対処 Exchange Server のマニュアルに従って手動でシード処理を行ってください。</p>
KAVX1749-W	Exchange Server のレプリケーション機能はすでに中断しています。 ターゲット = <ターゲット名> ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 ターゲットに対して、レプリケーション機能を中断しようとしたのですが、すでに中断していました。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ターゲットに対して、レプリケーション機能を中断しようとしたが、すでに中断されていました。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p>
KAVX1750-E	<p>ターゲットの Microsoft Exchange Replication Service が開始していません。 ターゲット = <ターゲット名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 ターゲットの Microsoft Exchange Replication サービスが開始していないため、SCR のシードを行うことができません。</p> <p>対処 表示されたターゲットの Microsoft Exchange Replication サービスの状態を正常な状態にして再度コマンドを実行してください。 ターゲットの復旧が困難な場合は、以下のどれかの対処をして再度コマンドを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> SCR のシード機能を使用しないでリストアを実行する。 表示されたターゲットに対して、SCR のレプリケーション設定を無効にする。 <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 表示されたターゲットの Microsoft Exchange Replication Service の状態を、正常な状態にして再度コマンドを実行してください。</p> <p>対処 ターゲットの復旧が困難な場合は、次のどちらかの対処をして再度コマンドを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> SCR のシード機能を使用しないでリストアを実行する。 表示されたターゲットに対して、SCR のレプリケーション設定を無効にする。
KAVX1751-W	<p>ターゲットの Microsoft Exchange Replication Service が開始していません。 このターゲットに対してレプリケーションの操作を行いません。 ターゲット = <ターゲット名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 ターゲットの Microsoft Exchange Replication サービスが開始していないため、以下のレプリケーション操作を行いません。</p> <ul style="list-style-type: none"> SCR のレプリケーションの中断 SCR のシード SCR のレプリケーションの再開 <p>対処 表示されたターゲットに対して、Microsoft Exchange Replication サービスの状態を確認してレプリケーションの状態を正常な状態にしてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ターゲットの Microsoft Exchange Replication Service が開始されていないため、次のレプリケーション操作を行いません。</p> <ul style="list-style-type: none"> SCR のレプリケーションの中断 SCR のシード SCR のレプリケーションの再開 <p>対処</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		表示されたターゲットに対して、Microsoft Exchange Replication Service の状態を確認してレプリケーションの状態を正常な状態にしてください。
KAVX1752-E	バックアップ対象のインフォメーションストア以外のファイルが、同じコピーグループに含まれています。同じコピーグループ内に存在するインフォメーションストアをすべて指定してください。 インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名> コピーグループ名 = <コピーグループ名>	(GUI の場合) 要因 コピーグループにレプリカ作成対象となるインフォメーションストア以外のファイルが含まれているため、レプリカが作成できません。 対処 同じコピーグループ内のインフォメーションストアだけを指定して、再度レプリカを作成してください。 (CLI の場合) 要因 バックアップ対象のインフォメーションストア以外のファイルが同じコピーグループに含まれているため、バックアップを実行できません。 対処 同じコピーグループ内に存在するインフォメーションストアをすべて指定してください。
KAVX1753-I	Exchange Server のレプリケーション機能を中断しました。レプリケーション機能が自動的に再開しない場合、手動でレプリケーション機能を再開してください。 Exchange サーバ名 = <Exchange サーバ名> インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	要因 表示された Exchange サーバのインフォメーションストアのレプリケーション機能を中断しました。 対処 メッセージに表示された Exchange Server のレプリケーション機能が自動的に再開しない場合、手動でレプリケーション機能を再開してください。
KAVX1754-E	Exchange Server のレプリケーション機能を中断できませんでした。 Exchange サーバ名 = <Exchange サーバ名> インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	(GUI の場合) 要因 Exchange サーバ名にあるインフォメーションストアのレプリケーション機能を中断できませんでした。 対処 Exchange Server のマニュアルに従って、レプリケーション機能を中断してください。 (CLI の場合) 要因 表示された Exchange サーバのインフォメーションストアのレプリケーション機能を中断できませんでした。 対処 Exchange Server のマニュアルに従ってレプリケーション機能を中断してください。
KAVX1755-I	Exchange Server のレプリケーション機能を再開しました。 Exchange サーバ名 = <Exchange サーバ名> インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	要因 表示された Exchange サーバのインフォメーションストアのレプリケーション機能を再開しました。 対処 -
KAVX1756-E	Exchange Server のレプリケーション機能を再開できませんでした。	(GUI の場合) 要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	Exchange サーバ名 = < Exchange サーバ名 > インフォメーションストア名 = <イン フォメーションストア名 >	Exchange サーバ名にあるインフォメーションス トアのレプリケーション機能を再開できませ んでした。 対処 Exchange Server のマニュアルに従ってレプリ ケーション機能を再開してください。 (CLI の場合) 要因 表示された Exchange サーバのインフォーメ ーションストアのレプリケーション機能を再開 できませんでした。 対処 Exchange Server のマニュアルに従ってレプリ ケーション機能を再開してください。
KAVX1757-I	シード処理を開始します。 Exchange サーバ名 = < Exchange サーバ名 > インフォメーションストア名 = <イン フォメーションストア名 >	要因 表示された Exchange サーバのインフォーメ ーションストアに対してシード処理を開始し ます。 対処 -
KAVX1758-I	シード処理が完了しました。 Exchange サーバ名 = < Exchange サーバ名 > インフォメーションストア名 = <イン フォメーションストア名 >	要因 表示された Exchange サーバのインフォーメ ーションストアに対してシード処理が完了し ました。 対処 -
KAVX1759-E	シード処理中に再同期処理が失敗しま した。手動でシード処理をしてくだ さい。 Exchange サーバ名 = < Exchange サーバ名 > インフォメーションストア名 = <イン フォメーションストア名 >	(GUI の場合) 要因 Exchange サーバ名にあるインフォメーション ストアのシード処理中に、データが再同期 できませんでした。 対処 Exchange Server のマニュアルに従って、手動 でシード処理を実行してください。 (CLI の場合) 要因 表示された Exchange サーバのインフォーメ ーションストアのシード処理中にデータの再 同期に失敗しました。 対処 Exchange Server のマニュアルに従って手動 でシード処理をしてください。
KAVX1760-W	Exchange Server のレプリケーション 機能はすでに中断しています。 Exchange サーバ名 = < Exchange サーバ名 > インフォメーションストア名 = <イン フォメーションストア名 >	(GUI の場合) 要因 Exchange サーバ名にあるインフォメーション ストアのレプリケーション機能を中断しよ うとしましたが、すでに中断していました。 対処 対処の必要はありません。 (CLI の場合) 要因 表示された Exchange サーバのインフォーメ ーションストアのレプリケーション機能を中 断しようとしたが、すでに中断していました。 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX1761-E	Exchange Server の Microsoft Exchange Replication Service が起動していません。Microsoft Exchange Replication Service を起動したあと、再度コマンドを実行してください。 Exchange サーバ名 = <Exchange サーバ名>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Exchange サーバ名の Microsoft Exchange Replication Service が開始していないため、DAG のシード処理を実行できませんでした。</p> <p>対処 Exchange サーバ名の Microsoft Exchange Replication Service の状態を Exchange Server のマニュアルに従って正常な状態にしたあと、再度コマンドを実行してください。 Exchange サーバの復旧が困難な場合は、次に示すどちらかの対処をしたあと、再度コマンドを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DAG のシード機能を使用しないでリストアを実行する。 • Exchange サーバ名に対して、DAG のレプリケーション設定を無効にする。 <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 表示された Exchange サーバの Microsoft Exchange Replication Service が起動していないため、DAG のシード処理ができません。</p> <p>対処 メッセージに表示された Exchange サーバの Microsoft Exchange Replication Service を起動したあと、再度コマンドを実行してください。 Exchange サーバの復旧が困難な場合は、以下のどちらかの対処をしたあと、再度コマンドを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DAG のシード機能を使用しないでリストアを実行する。 • 表示された Exchange サーバに対して、DAG のレプリケーション設定を無効にする。
KAVX1762-W	Exchange Server の Microsoft Exchange Replication Service が起動していません。 指定された Exchange Server に対してレプリケーションを実施できません。 Microsoft Exchange Replication Service を起動して、レプリケーションの状態を正常な状態にしたあと、手動でシード処理をしてください Exchange サーバ名 = <Exchange サーバ名>	<p>要因 指定された Exchange サーバの Microsoft Exchange Replication Service が起動していないため、次の処理を実行できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DAG のレプリケーションの中断 • DAG のシード • DAG のレプリケーションの再開 <p>対処 メッセージに表示された Exchange サーバの Microsoft Exchange Replication Service を起動してください。レプリケーションの状態を正常な状態にしたあと、Exchange Server のマニュアルに従って手動でシード処理をしてください。</p>
KAVX1763-E	指定されたインフォメーションストアのバックアップ情報を取得できません。 正しいバックアップ ID およびインフォメーションストアを指定してください。 インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 インフォメーションストアのレプリカ情報が取得できませんでした。</p> <p>対処 ホストの情報を更新して、指定したインフォメーションストアがあることを確認してください。 そのあと、再度操作を実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		指定されたバックアップ ID のバックアップカタログに、指定されたインフォメーションストアのバックアップ情報がありません。 対処 正しいバックアップ ID およびインフォメーションストアを指定してください。
KAVX1764-E	メールボックスデータベースコピーがパッシブです。リストアできません。 リストア対象のメールボックスデータベースコピーをアクティブに切り替えたあと、再度リストアコマンドを実行してください。 インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名 >	(GUI の場合) 要因 リストア対象のメールボックスデータベースコピーがパッシブの状態です。リストアが実行されました。 対処 リストア対象のメールボックスデータベースコピーの状態をアクティブに切り替えたあと、再度操作を実行してください。 (CLI の場合) 要因 メールボックスデータベースコピーがパッシブの状態です。リストアを実行しました。 対処 リストア対象のメールボックスデータベースコピーをアクティブに切り替えたあと、再度リストアコマンドを実行してください。
KAVX1800-W	インフォメーションストアは、始めからディスマウントされています。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名 > インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名 >	(GUI の場合) 要因 レプリカ作成またはリストアする際にデータベースがすでにディスマウントされていました。 対処 対処の必要はありません。 (CLI の場合) 要因 バックアップまたはリストアするときに、データベースがすでにディスマウントされていました。 対処 対処の必要はありません。
KAVX1801-W	インフォメーションストアをマウントしましたが、すでにマウントされています。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名 > インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名 >	(GUI の場合) 要因 レプリカ作成またはリストアする際にデータベースがすでにマウントされていました。 対処 対処の必要はありません。 (CLI の場合) 要因 バックアップまたはリストアするときに、データベースがすでにマウントされていました。 対処 対処の必要はありません。
KAVX1802-E	インフォメーションストアの整合性に不正があります。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名 > インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名 >	(GUI の場合) 要因 インフォメーションストアの整合性に不正があります。 対処 Exchange Server のマニュアルを参照して、インフォメーションストアが正常にマウントまたはディスマウントできるか確認してから、再度操作を行ってください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>(CLI の場合)</p> <p>要因 データファイル (*.edb ファイルおよび*.stm ファイル) の State が Inconsistent です。または、LastConsistent が一致しません。</p> <p>対処 Exchange Server のマニュアルを参照して、インフォメーションストアが正常にマウントまたはディスマウントできるか確認してから、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX1803-E	<p>トランザクションログファイルとチェックポイントファイルの整合性に不正があります。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 トランザクションログファイルとチェックポイントファイルの整合性に不正があります。</p> <p>対処 Exchange Server のマニュアルを参照して、インフォメーションストアが正常にマウントまたはディスマウントできるか確認してから、再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 チェックポイントファイル (システムパスにある *.chk ファイル) で指示されたトランザクションログファイルの世代番号が、最新のトランザクションログファイルではありません。</p> <p>対処 Exchange Server のマニュアルを参照して、インフォメーションストアが正常にマウントまたはディスマウントできるか確認してから、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX1804-E	<p>インフォメーションストアの署名に不正があります。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名> インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 インフォメーションストアの署名に不正があります。</p> <p>対処 インフォメーションストアのデータファイルが破損している可能性があります。問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 データファイル (*.edb ファイルおよび*.stm ファイル) の DBSignature が一致しません。インフォメーションストアのデータファイルが破損しているおそれがあります。</p> <p>対処 問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAVX1805-I	<p>インフォメーションストアをディスマウントしています。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 データベースをディスマウントしています。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップまたはリストアするために、データベースをディスマウントしています。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		-
KAVX1806-I	インフォメーションストアをマウントしています。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 データベースをマウントしています。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップまたはリストアが終了したので、データベースをマウントしています。</p> <p>対処 -</p>
KAVX1807-E	対象となるデータベースファイルが存在しません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 指定したストレージグループにインフォメーションストアが一つも含まれていません。</p> <p>対処 少なくとも一つのインフォメーションストアを含むストレージグループを指定して再度操作を行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> -target オプションを指定した場合、指定したストレージグループにインフォメーションストアが含まれていない。 -target オプションを指定しなかった場合、Exchange Server 上にストレージグループが存在しない。または、インフォメーションストアを含むストレージグループが存在しない。 <p>対処 要因に応じて、それぞれ次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> -target オプションを指定する場合は、インフォメーションストアが存在するストレージグループを指定して、コマンドを再度実行してください。 -target オプションを指定しない場合は、インフォメーションストアを含むストレージグループが少なくとも一つは存在することを確認して、コマンドを再度実行してください。
KAVX1808-I	インフォメーションストアをディスマウントしています。 インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	<p>要因 バックアップまたはリストアするために、データベースをディスマウントしています。</p> <p>対処 -</p>
KAVX1809-I	インフォメーションストアをマウントしています。 インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	<p>要因 バックアップまたはリストアするために、データベースをマウントしています。</p> <p>対処 -</p>
KAVX1810-W	インフォメーションストアは、すでにディスマウントされています。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	バックアップまたはリストアの対象に指定したデータベースはすでにディスマウントされています。 対処 対処の必要はありません。
KAVX1811-W	インフォメーションストアをマウントしましたが、すでにマウントされています。 インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	要因 バックアップまたはリストアの対象に指定したデータベースはすでにマウントされています。 対処 対処の必要はありません。
KAVX2500-E	指定ファイル中の AP_FILE_DIR と DB_DATA_FILE_DIR に同じディレクトリ名を設定することはできません。 ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>	要因 定義ファイルの中で、AP_FILE_DIR と DB_DATA_FILE_DIR に同じディレクトリ名を設定しています。 対処 定義ファイルの内容を確認し、AP_FILE_DIR と DB_DATA_FILE_DIR に異なるディレクトリ名を設定して、チェックツールを再度実行してください。
KAVX2501-E	指定ファイル中の AP_FILE_DIR と BK_DATA_FILE_DIR に同じディレクトリ名を設定することはできません。 ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>	要因 定義ファイルの中で、AP_FILE_DIR と BK_DATA_FILE_DIR に同じディレクトリ名が設定されています。 対処 定義ファイルの内容を確認し、AP_FILE_DIR と BK_DATA_FILE_DIR に異なるディレクトリ名を設定してチェックツールを再度実行してください。
KAVX2502-E	コマンドを実行する権限がありません。	要因 指定したコマンドを実行する権限がありません。 対処 権限を持っているユーザーでコマンドを再度実行してください。
KAVX2503-E	<コマンド名> コマンドの実行に失敗しました。 要因 = <要因>	要因 拡張コマンド内でコマンドの実行に失敗しました。 対処 メッセージに出力されたコマンドが実行できるかどうかを確認し、再度、拡張コマンドを実行してください。
KAVX2504-E	指定ファイル中のコピーグループ名が重複しています。 コピーグループ名 = <コピーグループ名>	要因 コピーグループ一括定義ファイル中の重複しているコピーグループを無視しました。 対処 コピーグループ一括定義ファイルのコピーグループファイル名が重複しないように修正し、チェックツールを再度実行してください。
KAVX2505-E	ファイル転送処理でエラーが発生しました。 要因 = <要因> FTP サーバ = <FTP サーバ名> ファイル名またはディレクトリ名 = <対象ファイル名またはディレクトリ名>	要因 FTP サーバでファイル転送に失敗しました。 次の要因が考えられます。 1. ファイルの送信でこのメッセージが表示された場合 ・ FTP サーバ上に対象ディレクトリがない。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> ・コマンドを実行したユーザーに、FTP サーバ上の対象ディレクトリの書き込み権限がない。 ・FTP サーバ上の対象ディレクトリに十分な容量がない。 <p>2. ファイルの受信でこのメッセージが表示された場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FTP サーバ上に対象ファイルがない。 ・コマンドを実行したユーザー、FTP サーバ上の対象ファイルの読み取り権限がない。 <p>対処 上記の要因を確認して問題がない場合、次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワークの状態が正常である。 ・ FTP サービスが起動している。
KAVX2506-E	<p>ファイル転送処理でエラーが発生しました。</p> <p>要因 = <要因> ファイル名またはディレクトリ名 = <対象ファイル名またはディレクトリ名></p>	<p>要因 FTP クライアントでファイル転送に失敗しました。</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <p>1. ファイル受信でこのメッセージが表示された場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローカルサーバ上に対象ディレクトリがない。 ・コマンドを実行したユーザーにローカルサーバ上の対象ディレクトリに書き込み権限がない。 ・ローカルサーバ上の対象ディレクトリに十分な容量がない。 <p>2. ファイル送信でこのメッセージが表示された場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローカルサーバ上に対象ファイルがない。 ・コマンドを実行したユーザーに、ローカルサーバ上の対象ファイルの読み取り権限がない。 <p>対処 上記の要因を確認して問題がない場合、次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワークの状態が正常である。 ・ FTP サービスが起動している。
KAVX2507-E	<p>指定されたファイルのパスが不正です。</p> <p>ファイル名 = <ファイル名></p>	<p>要因 定義ファイルのパスが正しく指定されていません。</p> <p>対処 定義ファイルが絶対パスで指定されていることを確認し、コマンドを再度実行してください。</p>
KAVX2508-E	<p>指定されたファイルが存在しません。</p> <p>ファイル名 = <ファイル名></p>	<p>要因 指定された定義ファイルがありません。</p> <p>対処 指定された定義ファイルがあるかどうかを確認してください。</p>
KAVX2509-E	<p>指定されたファイルで設定されたコピーグループ名は存在しません。</p> <p>設定値 = <コピーグループ名></p>	<p>要因 コピーグループ一括定義ファイル中のコピーグループ名が Replication Manager Application Agent のディクショナリマップ上にありません。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		drmcgctl コマンドで Replication Manager Application Agent のディクショナリマップ上に登録されているコピーグループの一覧を出力して、指定されたコピーグループが一覧にあるかどうかを確認してください。
KAVX2510-E	指定ファイル中で設定されたコピーグループ名が不正です。 コピーグループ名 = <コピーグループ名>	要因 コピーグループ一括定義ファイル中のコピーグループ名の記述形式が不正です。 対処 コピーグループ名を左詰めして記述して、コマンドを再度実行してください。
KAVX2511-E	定義ファイルで指定されたマウントポイントディレクトリ名またはマウントポイントディレクトリ一括定義ファイル名が存在しません。 INSTANCE_NAME = <マウントポイントディレクトリ名またはマウントポイント一括定義ファイル名>	要因 オペレーション定義ファイルで指定されたマウントポイント名またはマウントポイント一括定義ファイルがありません。 対処 指定したマウントポイント名またはマウントポイント一括定義ファイルがあるか、または参照できるか確認してください。
KAVX2512-E	定義ファイルで指定されたバックアップ対象ファイル名またはディレクトリ名が存在しません。 TARGET_NAME = <ファイル名またはディレクトリ名>	要因 オペレーション定義ファイルで指定されたバックアップ対象ファイルまたはディレクトリ名がありません。 対処 指定したバックアップ対象ファイルまたはディレクトリ名があるか、または参照できるか確認してください。
KAVX2513-E	定義ファイルで指定されたバックアップ対象ファイルまたはディレクトリが、定義ファイルで指定したマウントポイントディレクトリ上に存在していません。 INSTANCE_NAME = <マウントポイントディレクトリ名またはマウントポイント一括定義ファイル名> TARGET_NAME = <ファイル名またはディレクトリ名>	要因 オペレーション定義ファイルで指定されたバックアップ対象ファイルまたはディレクトリ名がオペレーション定義ファイルで指定したマウントポイントディレクトリ上にありません。 対処 バックアップ対象ファイルまたはディレクトリ名があるマウントポイントディレクトリを設定し、バックアップ対象ファイルまたはディレクトリが参照できるか確認してコマンドを再度実行してください。
KAVX2514-I	<コマンド名> コマンドの処理を別ウィンドウ上で続行します。コマンド用ウィンドウのメッセージを確認の上、入力待ち状態の場合は必要な項目を入力してください。	要因 拡張コマンド内で、画面上でのメッセージ監視または対話操作が必要となるコマンドを別ウィンドウで起動した場合にこのメッセージが表示されます。 対処 ウィンドウ上のメッセージ表示内容を確認し、入力待ち状態となっている場合は応答を入力してください。入力待ちが発生しないコマンドの場合は、処理終了後に別ウィンドウは自動的にクローズします。
KAVX2515-I	別ウィンドウ上での <コマンド名> コマンドの処理が終了しました。ウィンドウ上での拡張コマンドの処理を再開します。	要因 拡張コマンド内で起動し、別ウィンドウ上で実行中となっていたコマンドが終了したことを表示するメッセージです。 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX2516-E	定義ファイル中で<項目名>として指定されているディレクトリ構造が不正です。 項目名 = <項目名> ディレクトリ名 = <ディレクトリ名> オペレーションID = <オペレーションID>	要因 オペレーション定義ファイルに記述したディレクトリに、オペレーションIDの指定値と一致するサブディレクトリがありません。 対処 このメッセージで表示された項目がマニュアル「Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド」の拡張コマンド用一時ディレクトリの作成規則のとおりになっているか確認し、オペレーション定義ファイルの内容を確認してください。そのあと、チェックツールを再度実行してください。
KAVX2517-E	定義ファイル中で指定されているサーバ名が設定ファイルに未定義、または、値が一致していません。 DB_SERVER_NAME = <定義ファイルのDB_SERVER_NAMEの値> 設定ファイル名 = <設定ファイル名>	要因 オペレーション定義ファイルのDB_SERVER_NAMEの値が、Replication Manager Application Agentの構成定義ファイル(init.conf)のDRM_DB_PATHに定義されているサーバ名(DRM_HOSTNAMEの値)と一致していません。 対処 拡張コマンドの定義ファイルおよびinit.confファイルの内容を確認し、DB_SERVER_NAMEの設定値を変更してチェックツールを再度実行してください。 init.confファイルの値を変更する場合は、Replication Manager Application Agentの環境設定手順に従ってください。
KAVX2518-E	指定されたコピーグループ一括定義ファイルの内容は無効です。 ファイル名 = <ファイル名>	要因 コピーグループ一括定義ファイルにコピーグループが設定されていません。 対処 コピーグループ一括定義ファイルにコピーグループ名を登録して、チェックツールを再度実行してください。
KAVX2519-E	定義ファイルで指定されたマウントポイント一括定義ファイルに記述されているマウントポイントが存在しません。 マウントポイント一括定義ファイル名 = <ファイル名> マウントポイント名 = <マウントポイント名>	要因 マウントポイント一括定義ファイルに登録されたマウントポイントがありません。 対処 マウントポイント一括定義ファイルを確認し、再度コマンドを実行してください。
KAVX2520-E	定義ファイルで指定されたマウントポイント一括定義ファイルにマウントポイントが記述されていません。 マウントポイント一括定義ファイル名 = <ファイル名>	要因 マウントポイント一括定義ファイルにマウントポイントが登録されていません。 対処 マウントポイント一括定義ファイルにマウントポイントを登録して、再度コマンドを実行してください。
KAVX2521-E	設定ファイルからの情報取得に失敗しました。 要因 = <要因> 設定ファイル名 = <設定ファイル名>	要因 Replication Manager Application Agentの設定ファイルから必要な情報を取得できませんでした。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		メッセージに出力された設定ファイルがあるかどうかを確認してください。また、ファイルがある場合、ファイルの内容を確認してください。
KAVX2522-W	指定ファイル中で設定されたディレクトリ名は余分な「/」を含んでいます。これらの文字は無視されます。 項目名 = <項目名> ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>	要因 指定されたディレクトリに余分な「/」が含まれています。 対処 メッセージに出力されたディレクトリ名から余分な「/」を取り除いてから、チェックツールを再度実行してください。
KAVX2523-E	指定ファイル中で設定された値が数値でない文字を含んでいます。 項目名 = <項目名> 指定された値 = <項目の値>	要因 定義ファイルの中でメッセージに表示された項目の値に数値以外の文字が使われています。 対処 項目の値に数値だけを設定してチェックツールを再度実行してください。
KAVX2524-E	入力された情報の中からバックアップIDを見つけられませんでした。	要因 Replication Manager Application Agent によって生成されたバックアップ ID 情報が抽出できませんでした。 対処 システムログを参照し、OS に異常がないかどうか確認してください。
KAVX2525-E	指定ファイル中で記述された内容の構文が間違っています。 ファイル名 = <ファイル名>	要因 定義ファイルに登録されている内容に構文の誤りがあります。 対処 定義ファイルの内容を確認し、構文の誤りを修正してチェックツールを再度実行してください。
KAVX2526-E	定義ファイルで指定されたマウントポイント一括定義ファイルに記述されているマウントポイントが不正です。 マウントポイント一括定義ファイル名 = <マウントポイント一括定義ファイル名> マウントポイント名 = <マウントポイント名>	要因 マウントポイント一括定義ファイルに記述されているマウントポイントが不正です。 対処 表示されたマウントポイントが絶対パスで記述されているか、または存在しているかを確認し、適切な値を設定した上でチェックツールを再実行してください。
KAVX2527-E	定義ファイルで指定されたマウントポイント一括定義ファイルに記述されているマウントポイントが重複しています。 マウントポイント一括定義ファイル名 = <マウントポイント一括定義ファイル名> マウントポイント名 = <マウントポイント名>	要因 マウントポイント一括定義ファイルに記述されているマウントポイントが重複しています。 対処 マウントポイント一括定義ファイルに重複して指定されたマウントポイントの値を修正し、チェックツールを再実行してください。
KAVX2528-E	定義ファイルで指定されたマウントポイントディレクトリ名またはマウントポイントディレクトリ一括定義ファイル名が不正です。 INSTANCE_NAME = <マウントポイントディレクトリ名またはマウントポイントディレクトリ一括定義ファイル名>	要因 オペレーション定義ファイルで指定されたマウントポイントディレクトリ名またはマウントポイントディレクトリ一括定義ファイルが不正です。 対処 指定したマウントポイント名またはマウントポイントディレクトリ一括定義ファイルが正しく記述されているかどうかを確認した上で設定内

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		容を修正し、チェックツールを再度実行してください。
KAVX2529-E	定義ファイル中で項目名として指定されているディレクトリ構造が不正です。 項目名 = <項目名> ディレクトリ名 = <ディレクトリ名> DB_SERVER_NAME = <DB サーバ名> INSTANCE_NAME = <インスタンス名>	要因 オペレーション定義ファイル中に記述したフォルダに DB_SERVER_NAME、および INSTANCE_NAME として指定した文字列と一致したサブフォルダが存在しない場合に出力されるメッセージです。 対処 <FTP ルートフォルダ>¥<DB_SERVER_NAME に指定した値>¥<INSTANCE_NAME に指定した値>を指定する必要があります。 オペレーション定義ファイルの内容を確認し、表示された項目に適切な値を設定した上でチェックツールを再実行してください。
KAVX2530-E	ディクショナリマップファイルの格納ディレクトリ名を取得できませんでした。	要因 拡張コマンドの処理中に、drmfdisplay -v コマンドが実行されましたが、ディクショナリマップファイル格納ディレクトリ名を取得できませんでした。 対処 オペレーション定義ファイル中に記述されている DB_SERVER_NAME と SET_DRM_HOSTNAME の値を確認し、正しい情報に修正した上でチェックツールを再実行してください。
KAVX2531-E	ディレクトリの作成に失敗しました。 ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>	要因 ディレクトリの作成に失敗しました。 対処 作成しようとしたディレクトリのパスを確認してください。パスが正しい場合、システムログを参照し、OS に異常がないかどうか確認してください。異常がないときは、問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVX2532-I	ディレクトリの作成に成功しました。 ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>	要因 ディレクトリの作成に成功した場合に出力されるメッセージです。 対処 -
KAVX2533-E	定義ファイル中で指定されている FTP_SUB_DIR のディレクトリ名が不正です。 ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>	要因 オペレーション定義ファイル中の FTP_SUB_DIR 項目に無効な文字が含まれているか、絶対パスが指定されています。 対処 FTP_SUB_DIR の値を修正し、チェックツールを再実行してください。
KAVX2534-E	初期設定コマンドにより割り当てた VDI_METAFILE_DIR の値は拡張コマンドが使用する一時ディレクトリと同じです。 ディレクトリ名 = <ディレクトリ名> 初期設定コマンド = <初期設定コマンド名>	要因 VDI_METAFILE_DIR の値と拡張コマンドが自動生成した DB_DATA_FILE_DIR の値が等しい場合に出力されるメッセージです。 対処 VDI_METAFILE_DIR の値を修正し、チェックツールを再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX2535-I	退避元のファイルが存在しなかったため、ファイルの退避は行なわれませんでした。 退避元ファイル名 = <退避元ファイル名>	要因 退避元のファイルがなかったため、ファイルの退避は実行されませんでした。 対処 -
KAVX2536-I	展開元のファイルが存在しなかったため、ファイルの展開は行なわれませんでした。 展開元ファイル名 = <展開元ファイル名>	要因 展開元のファイルがなかったため、ファイルの展開は実行されませんでした。 対処 -
KAVX2544-E	指定された Exchange サーバが見つかりません。 Exchange サーバ名 = <Exchange サーバ名>	要因 - 対処 チェックツール EX_DRM_EXG_DEF_CHECK を実行してこのメッセージが表示された場合は、定義ファイルの項目 (DB_SERVER_NAME) で指定した Exchange サーバ名を確認してください。また、定義ファイルに指定した Exchange サーバが実際に存在することを確認してください。 拡張コマンド EX_DRM_EXG_BACKUP を実行してこのメッセージが表示された場合は、- hostname オプションで指定した Exchange サーバが実際に存在することを確認してください。
KAVX2545-E	定義ファイルで指定されたストレージグループが見つかりません。 Exchange サーバ名 = <Exchange サーバ名> TARGET_NAME = <ストレージグループ名>	要因 - 対処 定義ファイルの項目 (TARGET_NAME) で指定したストレージグループ名を確認してください。また、定義ファイルで指定したストレージグループが実際に存在することを確認してください。
KAVX2546-E	定義ファイルで指定された文字列は有効なストレージグループ名ではありません。 TARGET_NAME = <文字列>	要因 - 対処 定義ファイルの項目 (TARGET_NAME) で指定したストレージグループ名を確認してください。また、定義ファイルで指定したストレージグループが実際に存在することを確認してください。
KAVX2547-E	Exchange Server が該当するマシンにインストールされていません。	要因 Exchange Server が該当するマシンにインストールされていません。 対処 Exchange Server を該当するマシンにインストールしてください。
KAVX2548-E	定義ファイルに設定されている値が不正です。 項目名 = <項目名> 現在の値 = <現在の値> 設定する値 = <設定する値>	要因 定義ファイルの中で指定された項目の値が不正です。 対処 表示されるメッセージに従って定義ファイルを確認し、修正してからチェックツールを再度実行してください。
KAVX2800-E	定義ファイルで指定されたストレージグループは、回復用ストレージグループです。	要因 定義ファイルの TARGET_NAME に回復用ストレージグループが指定されています。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	Exchange サーバ名 = < Exchange サーバ名 > TARGET_NAME = < ストレージ グループ名 >	定義ファイルの TARGET_NAME に指定されているストレージグループ名から回復用ストレージグループ名を削除してください。
KAVX5000-E	VSS によるバックアップは、この OS では使用できません。	(GUI の場合) 要因 VSS 機能が使用出来ない OS で、VSS 機能を利用するレプリカ作成はできません。 対処 OS のバージョンをサポートするものに変更するか、VSS 以外の方法でバックアップを試みてください。 (CLI の場合) 要因 VSS 機能が使用できない OS で、VSS 機能を利用するコマンドを実行した場合に、出力されるメッセージです。 対処 使用したコマンドまたはオプションは、エラーが発生した OS では使用できません。
KAVX5001-E	VSS によるバックアップは、クラスタ構成では使用できません。	(GUI の場合) 要因 VSS によるレプリカ作成は、クラスタ構成では使用できません。 対処 構成を見直して再実行してください。 (CLI の場合) 要因 VSS 機能を利用するコマンドをクラスタ環境で実行した場合に、出力されるメッセージです。 対処 使用したコマンドまたはオプションは、クラスタ環境では使用できません。
KAVX5002-E	システム環境変数 VSHTCHOMRCF_MUN が設定されていないか、不正な値が設定されています。 VSS に関するセットアップが正常に行われているか確認してください。	(GUI の場合) 要因 VSS を使用するための設定が不正です。 対処 設定内容を確認し、Application Agent の設定ダイアログから再度設定を実行してください。 (CLI の場合) 要因 VSS バックアップで使用するバックアップ世代が不正な場合に出力されるメッセージです。 次の要因が考えられます。 ・ システム環境変数 VSHTCHOMRCF_MUN が設定されていない。 ・ システム環境変数 VSHTCHOMRCF_MUN の設定後に、再起動が行われていない。 ・ システム環境変数 VSHTCHOMRCF_MUN に設定された MU# に誤りがある。 対処 システム環境変数 VSHTCHOMRCF_MUN の設定、または RAID Manager の設定を確認してください。
KAVX5003-E	RM Shadow Copy Provider が使用できませんでした。	(GUI の場合) 要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>VSSに関するセットアップが正常に行われているか確認してください。</p>	<p>VSSのハードウェアプロバイダ(RM Shadow Copy Provider)が動作しなかった場合に出力されるメッセージです。</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • RM Shadow Copy Provider がインストールされていない。 • VSSを使用するためのシステム環境変数が正しく設定されていない、または設定後にシステムの再起動が行われていない。 <p>対処</p> <p>マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のVSSを使用するための設定の説明を参照して、VSSバックアップの環境設定が正しく行われているかを、確認してください。</p> <p>また、データベースサーバ上のアプリケーションイベントログに、エラー内容を示すイベントログ(ソースがRMVSSPRVのログ)が出力されている場合があります。このイベントログの内容についてはRAID Managerのマニュアルを参照してください。</p> <p>(CLIの場合)</p> <p>要因</p> <p>VSSのハードウェアプロバイダ(RM Shadow Copy Provider)が動作しなかった場合に出力されるメッセージです。</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • RM Shadow Copy Provider がインストールされていない。 • システム環境変数 VSHTCHORCMINST_LOCAL が正しく設定されていない、または設定後に再起動が行われていない。 <p>対処</p> <p>VSSバックアップの環境設定が正しく行われているかを、確認してください。また、データベースサーバ上のアプリケーションイベントログに、エラー内容を示すイベントログ(ソースがRMVSSPRVのログ)が出力されている場合があります。このイベントログの内容についてはRAID Managerのマニュアルを参照してください。</p>
KAVX5004-E	<p>Writerでタイムアウトが発生しました。</p> <p>Writer名 = <Writer名></p>	<p>(GUIの場合)</p> <p>要因</p> <p>タイムアウトが発生しました。</p> <p>対処</p> <p>問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLIの場合)</p> <p>要因</p> <p>Writerで静止化タイムアウトが発生したため、バックアップの取得に失敗した場合に出力されるメッセージです。</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ストレージグループに使用しているドライブ数が多く、ペア分割に時間が掛かる。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> システム負荷が非常に高いため、ペア分割に時間が掛かる。 対処 -
KAVX5005-E	VSS 定義ファイルが存在しません。	(GUI の場合) 要因 VSS 定義ファイルがありません。 対処 "< Replication Manager Application Agent のインストール先>%conf%\vsscom.conf"が存在するか確認してください。存在しない場合は、"< Replication Manager Application Agent のインストール先>%conf%\vsscom.conf.model"を"< Replication Manager Application Agent のインストール先>%conf%\vsscom.conf"にコピーして VSS 定義ファイルを作成してください。 (CLI の場合) 要因 VSS 定義ファイルが存在しません。 対処 -vf オプションを指定した場合 < Replication Manager Application Agent のインストール先>%DRM%conf%\vss%VSS 定義ファイル名ディレクトリが存在するかどうかを確認してください。存在しない場合は、< Replication Manager Application Agent のインストール先>%DRM%conf%\vsscom.conf.model を< Replication Manager Application Agent のインストール先>%DRM%conf%\vss%VSS 定義ファイル名ディレクトリにコピーして、VSS 定義ファイルを作成してください。 -vf オプションを指定しなかった場合 < Replication Manager Application Agent のインストール先>%DRM%conf%\vsscom.conf ファイルが存在するかどうかを確認してください。存在しない場合は、< Replication Manager Application Agent のインストール先>%DRM%conf%\vsscom.conf.model ファイルを< Replication Manager Application Agent のインストール先>%DRM%conf%\vsscom.conf にコピーして、VSS 定義ファイルを作成してください。
KAVX5006-E	VSS 定義ファイルのオープンに失敗しました。	(GUI の場合) 要因 VSS 定義ファイルが存在するがアクセスできません。 対処 "< Replication Manager Application Agent のインストール先>%conf%\vsscom.conf"のアクセス権限を確認してください。 (CLI の場合) 要因 VSS 定義ファイルのオープンに失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処</p> <p>-vf オプションを指定した場合 < <i>Replication Manager Application Agent</i> のインストール先>¥DRM¥conf ¥vss¥< <i>VSS</i> 定義ファイル名>のアクセス権限を確認してください。</p> <p>-vf オプションを指定しなかった場合 < <i>Replication Manager Application Agent</i> のインストール先>¥DRM¥conf ¥vsscom.conf のアクセス権限を確認してください。</p>
KAVX5007-E	VSS 定義ファイルに必要なパラメーターの設定が不正です。 パラメーター名 = <パラメーター名>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 VSS 定義ファイルに必要なパラメーター設定がされていません、または 1 行のパラメーター値が 256 バイト以上です。</p> <p>対処 VSS 定義ファイルに必要なパラメーターの設定を見直してください</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 VSS 定義ファイルに不正なパラメーターが設定されています。</p> <p>対処 VSS 定義ファイルのパラメーター設定内容を確認してください。</p>
KAVX5008-E	VSS 定義ファイルに必要なパラメーターの設定が不正です。 パラメーター名 = <パラメーター名> パラメーター値 = <パラメーター値>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 VSS 定義ファイルのパラメーター値が不正です。</p> <p>対処 正しいパラメーター値を設定してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 VSS 定義ファイルに不正なパラメーターが設定されています。</p> <p>対処 VSS 定義ファイルのパラメーター設定内容を確認してください。</p>
KAVX5012-E	システム環境変数 VSHTCHORCMINST_REMOTE が設定されていないか、不正な値が設定されています。 VSS に関するセットアップが正常に行われているか確認してください。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Replication Manager Application Agent の環境が不正です。</p> <p>対処 バックアップサーバ側の Application Agent の設定ダイアログを起動し、使用する副側インスタンスを設定しなおしてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 システム環境変数 VSHTCHORCMINST_REMOTE が正しく設定されていません。</p> <p>対処 システム環境変数 VSHTCHORCMINST_REMOTE が適切に設定されているか確認してください。</p>
KAVX5013-E	ポート番号はすでに使用されています。 ポート番号 = <ポート番号>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 ポート番号がすでに使用されています。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 セットアップ手順に従い、使用していないポート番号を services に登録してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ポート番号がすでに使用されています。</p> <p>対処 マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」の VSS を使用するための設定の説明を参照してポート番号を変更してください。</p>
KAVX5023-E	<p>バックアップサーバ上でエラーが発生しました。</p> <p>要因 = <詳細メッセージ></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 バックアップサーバ上でエラーが発生しました。</p> <p>対処 要因に対する対処をしてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップサーバ上で処理が続行できないエラーが発生しました。</p> <p>対処 エラーの要因および対処方法については、「2.1」を参照してください。</p>
KAVX5024-E	<p>Protection Manager サービスでメモリー不足が発生しました。</p> <p>ホスト名 = <ホスト名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 Application Agent サービスでメモリー不足が発生しました。</p> <p>対処 接続先のホストのメモリーを追加してください。または、仮想メモリーの設定を見直してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 接続先のホスト上でメモリー不足が発生しました。</p> <p>対処 メモリーを増設するか、仮想メモリーの設定を見直してください。</p>
KAVX5025-W	<p>バックアップメタデータファイルの削除に失敗しました。</p>	<p>要因 正ボリューム上のバックアップメタデータファイルの削除に失敗しました。</p> <p>対処 バックアップメタデータファイルが格納されているフォルダまたはファイルの権限を確認してください。</p>
KAVX5026-E	<p>バックアップサーバでバックアップメタデータファイルがすでに存在します。</p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 バックアップサーバでファイルがすでに存在します。</p> <p>対処 再度バックアップを実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 すでにバックアップメタデータが存在します。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		正ボリューム上のバックアップメタデータフォルダを削除して、再度バックアップを実行してください。
KAVX5027-E	バックアップサーバでバックアップメタデータファイルの読み込みができませんでした。	<p>(GUI の場合) 要因 バックアップサーバでファイルの読み込みができませんでした。 対処 問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 バックアップメタデータファイルの読み出しに失敗しました。 対処 副ボリューム上のバックアップメタデータが存在するか確認してください。</p>
KAVX5028-E	バックアップサーバでバックアップメタデータファイルの書き込みができませんでした。	<p>(GUI の場合) 要因 バックアップサーバでファイルの書き込みができませんでした。 対処 再度バックアップを実行してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 バックアップメタデータファイルの書き込みに失敗しました。 対処 正ボリュームが書き込み可能であるかどうか確認してください。</p>
KAVX5029-E	バックアップサーバで対象のドライブのマウントに失敗しました。	<p>(GUI の場合) 要因 バックアップサーバで対象のドライブのマウントに失敗しました。 対処 バックアップサーバにマウントポイントディレクトリが正しく指定されているか確認してください。 マウントポイントディレクトリの指定が正しい場合は、OS のシステムログを参照し、エラーが発生していないか確認してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 - 対処 副ボリュームがすでにマウントされていないかどうか確認してください。また、バックアップ時に、バックアップ対象のボリューム上のディレクトリに別のボリュームをマウントされていた場合、マウントに失敗する場合があります。</p>
KAVX5030-E	バックアップサーバで対象のドライブがすでにマウントされています。	<p>(GUI の場合) 要因 バックアップサーバで対象のドライブがすでにマウントされています。 対処 対象のドライブは、すでにほかのボリュームがマウントされています。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対象のドライブをアンマウントしてから、再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 リストア対象の副ボリュームがすでにマウントされています。</p> <p>対処 drmexgcat コマンドの-backup_id オプションでコピーグループを表示し、リストア対象のコピーグループを drmmount コマンドの-copy_group オプションでアンマウントしてください。回復しない場合はリストア対象のコピーグループを drmmount コマンドの-copy_group オプションでマウントし、再度 drmmount コマンドの-copy_group オプションでアンマウントしてください。</p>
KAVX5031-E	バックアップサーバで対象のドライブのアンマウントに失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 バックアップサーバで対象のドライブのアンマウントに失敗にしました。</p> <p>対処 バックアップサーバで以下のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アンマウント対象のドライブが、ほかのプロセスで使用されていないか。 • カレントディレクトリがアンマウント対象ドライブになっていないか。 <p>マウントポイントディレクトリの指定が正しい場合は、システムログを参照し、OS に異常がないかを確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップサーバで副ボリュームのマウントに失敗しました。</p> <p>対処 バックアップサーバで drmmount コマンドを使用してアンマウントしてから、再度実行してください。drmmount コマンドでアンマウントできない場合は、一度 drmmount コマンドでマウントしてからアンマウントを行ってください。</p>
KAVX5032-E	バックアップサーバでマウント情報の取得に失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 バックアップサーバでマウント情報の取得に失敗しました。</p> <p>対処 問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップサーバでマウント情報の取得に失敗しました。</p> <p>対処 バックアップサーバでリストア対象の副ボリュームを drmmount コマンドで一度マウントしてから、drmmount コマンドでアンマウントしてください。この操作で回復できない場合は、</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>バックアップサーバの Replication Manager Application Agent の環境に問題が発生していないかどうか確認してください。</p> <p>Replication Manager Application Agent の動作環境に問題がない場合は、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のトラブルシューティングの説明を参照して、資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAVX5033-E	<p>バックアップサーバで VSS スナップショットのインポートに失敗しました。VSS に関するセットアップが正常に行われているか確認してください。</p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p> <p>バックアップサーバで VSS スナップショットのインポートに失敗した場合に出力されるメッセージです。</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> バックアップサーバに RM Shadow Copy Provider がインストールされていない。 VSS を使用するためのシステム環境変数が正しく設定されていない、または設定後にシステムの再起動が行われていない。 バックアップサーバで設定してはいけないシステム環境変数 (HORCMINST, HORCC_MRCF, HORCMPERM) が設定されている。 ペアの作成時に -m noread オプションが指定されていない。 <p>対処</p> <p>マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」の VSS を使用するための設定の説明を参照して、VSS バックアップの環境設定が正しく行われているかを、確認してください。</p> <p>また、バックアップサーバ上のアプリケーションイベントログに、エラー内容を示すイベントログ (ソースが RMVSSPRV のログ) が出力されているときがあります。このイベントログの内容については RAID Manager のマニュアルを参照してください。</p> <p>また、コマンド実行時に使用できないツールが動作している場合があります。詳細は、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のコマンド実行時に使用できないツールを参照してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p> <p>バックアップサーバで VSS スナップショットのインポートに失敗した場合に出力されるメッセージです。</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> バックアップサーバに RM Shadow Copy Provider がインストールされていない。 システム環境変数 VSHTCHORCMINST_REMOTE が正しく設定さ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>れていない、または設定後に再起動が行われていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> バックアップサーバで設定してはいけないシステム環境変数 (HORCMINST, HORCC_MRCE, HORCMPERM) が設定されている。 ペアの作成時に -m noread オプションが指定されていない。 <p>対処 データベースサーバ上のアプリケーションイベントログに、エラー内容を示すイベントログ (ソースが RMVSSPRV のログ) が出力されているときがあります。このイベントログの内容については RAID Manager のマニュアルを参照してください。</p> <p>また、コマンド実行時に使用できないツールが動作している場合があります。詳細は、マニュアル「Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド」のコマンド実行時に使用できないツールを参照してください。</p>
KAVX5034-E	<p>VSS で使用するシステム環境変数 VSHTCRMENVF もしくは VSHTCHOMRCF_MUN が設定されていません。</p> <p>VSS に関するセットアップが正常に行われているか確認してください。</p>	<p>(GUI の場合) 要因 VSS を使用するための設定が不正です。</p> <p>対処 システム環境変数 VSHTCRMENVF に以下の情報を設定してください。</p> <p><Replication Manager Application Agent のインストール先>%conf %vssprv.conf</p> <p>(CLI の場合) 要因 システム環境変数 VSHTCRMENVF または VSHTCHOMRCF_MUN のどちらも設定されていない場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 VSS の世代管理機能、-rc オプションまたは -cascade オプションを使用する場合は、システム環境変数の VSHTCRMENVF を設定してください。使用しない場合は VSHTCHOMRCF_MUN を設定してください。設定方法については、マニュアル「Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド」の、VSS を使用するための設定を参照してください。</p>
KAVX5035-E	<p>-rc または -cascade オプションを使用する場合、システム環境変数 VSHTCRMENVF の設定が必要です。</p>	<p>(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent の環境が不正です。</p> <p>対処 Application Agent の設定を再度見直してください。また、環境変数である VSHTCRMENVF の設定を見直してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>-rc または -cascade オプションが指定されていて、かつシステム環境変数 VSHTCRMENVF が設定されていない場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」の VSS を使用するための設定を参照して、システム環境変数 VSHTCRMENVF を正しく設定してください。</p>
KAVX5036-E	VSS インポートサーバのバージョンが不正です。	<p>(GUI の場合) 要因 VSS インポートサーバのバージョンが古いです。 対処 バックアップサーバにインストールされている Replication Manager Application Agent のバージョンを確認してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 VSS インポートサーバのバージョンが古い場合に表示されるメッセージです。 対処 バックアップサーバにインストールされている Replication Manager Application Agent のバージョンを確認してください。</p>
KAVX5037-E	バックアップメタデータファイルに不整合があります。	<p>(GUI の場合) 要因 バックアップサーバが使用しているファイルが、何らかの理由により破壊されたりしたため、バックアップサーバが使用しているファイルに不整合があります。 対処 バックアップサーバが使用しているファイルが不整合であるため、バックアップデータをリストアできません。</p> <p>(CLI の場合) 要因 バックアップメタデータファイルが、何かの理由によって破壊されたりしたため、バックアップメタデータファイルに不整合があります。 対処 バックアップメタデータファイルが不整合であるため、バックアップデータをリストアできません。</p>
KAVX5038-E	バックアップサーバの OS では、VSS によるバックアップはできません。	<p>(GUI の場合) 要因 バックアップサーバの OS が、VSS によるレプリカ作成をサポートしていません。 対処 OS のバージョンをサポートされているものに変更してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 -</p> <p>対処 指定されたバックアップサーバの OS では VSS を使用できません。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX5039-E	バックアップサーバでシステム環境変数 VSHTCHORCMINST_REMOTE が設定されていないか、不正な値が設定されています。 VSS に関するセットアップが正常に行われているか確認してください。	(GUI の場合) 要因 VSS を使用するための設定が不正です。 対処 バックアップサーバ側の Application Agent の設定ダイアログを起動し、使用する副側インスタンスを設定しなおしてください。 (CLI の場合) 要因 バックアップサーバに、システム環境変数 VSHTCHORCMINST_REMOTE が設定されていません。 対処 バックアップサーバで、システム環境変数 VSHTCHORCMINST_REMOTE を設定してください。
KAVX5040-I	Writer でタイムアウトが発生しました。 VSS バックアップ処理をリトライします。 リトライ回数 = <リトライ回数> 現在のリトライ回数 = <現在のリトライ回数> 待機時間 = <待機時間>	要因 Writer で静止化タイムアウトが発生したため、VSS バックアップ処理をリトライします。 対処 -
KAVX5100-E	指定されたコピーパラメーター定義ファイルが存在しません。 ファイル名 = <ファイルパス>	(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent で使用されているファイルがありません。 対処 設定を見直したあと、再度実行してください。それでも発生する場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。 (CLI の場合) 要因 -pf オプションで指定したコピーパラメーター定義ファイルが存在しません。 対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
KAVX5101-I	コピーパラメーターの値として次の定義を有効値とします。 <パラメーター名>=<値> [<パラメーター取得元ファイル>]	要因 -pf オプションで指定したコピーパラメーター定義ファイルと RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) を読み込んだ場合に、有効となった定義が決定したときに出力されるメッセージです。 対処 -
KAVX5102-E	RAID 管理ソフトウェアと連携するための定義ファイル (DEFAULT.dat) に必須のパラメーターが定義されていません。 パラメーター名 = <パラメーター名>	(GUI の場合) 要因 RAID 管理ソフトウェアとの連携に必要なファイルの読み込みを行った結果、定義が必須のパラメーターが記述されていません。 対処 セットアップの設定内容が正しいことを確認したあと、再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>(CLI の場合)</p> <p>要因 RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) を読み込んだ結果、定義が必要なパラメーターが記述されていませんでした。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>
KAVX5103-E	バックアップ処理対象となったコピーグループのペア識別子が一致しません。コピーグループ名[MU#] = <コピーグループ名>[<MU 番号>], <コピーグループ名>[<MU 番号>]	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) ファイルに CONFIRM_GENERATION_IDENTICAL=ENABLE パラメーターを記述した状態でバックアップコマンドを実行し、コピーグループ自動選択の結果、ペア識別子が一致していません。なお、このエラーは、VSS を使用している場合でも発生する可能性があります。</p> <p>対処 次のどれかの方法で解決してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コピーグループをロックするなどして同じペア識別子が選択されるようにしてください。 2. RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) に CONFIRM_GENERATION_IDENTICAL=DISABLE パラメーターを定義し、再実行してください(ローカルコピーのであり、なおかつ VSS を使用していない場合のみ有効)。 <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の CONFIRM_GENERATION_IDENTICAL パラメーターに ENABLE を指定した状態でバックアップコマンドを実行し、コピーグループを自動選択したときに、ペア識別子 (MU#) が一致しませんでした。なお、このエラーは、VSS を使用している場合でも発生する可能性があります。</p> <p>対処 次のどちらかの方法で解決してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コピーグループをロックするなどして同じペア識別子が選択されるようにしてください。 • RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の CONFIRM_GENERATION_IDENTICAL パラメーターに DISABLE を指定し、再度実行してください (ローカルサイトでのバックアップの場合で、VSS を使用していないときだけ有効です)。
KAVX5104-W	バックアップ処理対象となったコピーグループのペア識別子が一致しません。リストア時に失敗する可能性があります。	<p>要因 RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の CONFIRM_GENERATION_IDENTICAL パラメーター</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	コピーグループ名[MU#] = <コピーグループ名>[<MU 番号>], <コピーグループ名>[<MU 番号>]	<p>ターに DISABLE を指定した状態、または CONFIRM_GENERATION_IDENTICAL パラメータを記述していない状態でバックアップコマンドを実行し、コピーグループを自動選択したときに、ペア識別子 (MU#) が一致しませんでした。</p> <p>対処 リストア時には同じ正ボリュームを持つすべてのコピーグループに対してペア分割処理を行ってください。</p>
KAVX5105-W	ボリュームのリストアは完了しましたが、正ボリュームと副ボリュームの逆転に失敗しました。	<p>要因 リモートコピーのコピーグループを対象にしたリストア処理で、正ボリュームと副ボリュームが反転した状態でコマンドが終了した場合に出力されるメッセージです。</p> <p>対処 正ボリュームと副ボリュームの反転によるペア再同期を利用して副ボリュームからリストアする手順については、「11.2.1」を参照してください。</p>
KAVX5106-E	処理対象のコピーグループの状態が不正です。	<p>(GUI の場合) 要因 処理対象のコピーグループの状態が不正です。 対処 処理対象のコピーグループ情報更新を行って最新のコピーグループの状態を取得してください。状況が改善しない場合はコピーグループの状態を変更する操作を行い、コピーグループの状態を正常にしてください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 処理対象のコピーグループの状態が不正の場合に出力されるメッセージです。 対処 状態が不正だったコピーグループの内容を確認してから、コピーグループを正常な状態に変更してください。</p>
KAVX5107-E	処理対象に関連したコピーグループの状態が不正です。	<p>(GUI の場合) 要因 処理対象に関連したコピーグループの状態が不正です。 対処 処理に関連するコピーグループ情報更新を行って最新のコピーグループの状態を取得してください。状況が改善しない場合はコピーグループの状態を変更する操作を行い、コピーグループの状態を正常にしてください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 処理対象外のコピーグループの状態が不正の場合に出力されるメッセージです。 対処 状態が不正だったコピーグループの内容を確認してから、コピーグループを正常な状態に変更してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX5108-I	コピーグループの再同期を実行します。 コピーグループ名 = <コピーグループ名>	要因 コピーグループを再同期する場合に出力されるメッセージです。 対処 -
KAVX5109-I	コピーグループのベア分割を実行します。 コピーグループ名 = <コピーグループ名>	要因 コピーグループをベア分割する場合に出力されるメッセージです。 対処 -
KAVX5110-I	マウントを実行します。 マウントポイント名 = <マウントポイント名>	要因 マウントを行った場合に表示されるメッセージです。 対処 -
KAVX5111-I	アンマウントを実行します。 マウントポイント名 = <マウントポイント名>	要因 アンマウントを行った場合に表示されるメッセージです。 対処 -
KAVX5112-I	クラスタリソースをオンラインにします。 クラスタリソース名 = <クラスタリソース名>	要因 クラスタリソースをオンラインにする場合に表示されるメッセージです。 対処 -
KAVX5113-I	クラスタリソースをオフラインにします。 クラスタリソース名 = <クラスタリソース名>	要因 クラスタリソースをオフラインにする場合に表示されるメッセージです。 対処 -
KAVX5114-I	ディスクグループをデポートします。 ディスクグループ名 = <ディスクグループ名>	要因 ディスクグループをデポートするときに表示されるメッセージです。 対処 -
KAVX5115-I	ディスクグループをインポートします。 ディスクグループ名 = <ディスクグループ名>	要因 ディスクグループをインポートするときに表示されるメッセージです。 対処 -
KAVX5116-E	副ボリュームの論理ボリューム構成が正しくありません。	(GUIの場合) 要因 副ボリュームから取得した実際の論理ボリューム構成がレプリカ履歴またはコピーグループマウント定義の論理ボリューム構成と一致していません。 1. 正ボリュームの論理ボリューム構成を変更したが、構成変更前のバックアップカタログを指定した。 2. ダイナミックディスクをコピーグループ指定でマウントしようとしたが、コピーグループマウント定義が作成されていない。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>1. 指定したレプリカ履歴が現在の正ボリュームの論理ボリューム構成をレプリカした際に作成されたものか確認してください。現在の正ボリュームの構成に対するレプリカ履歴を指定してください。正ボリュームの論理ボリューム構成を変更した場合は、副ボリュームをマウントするための設定を再度行ってください。</p> <p>2. ダイナミックディスク構成のコピーグループを指定した場合、コピーグループマウント定義ファイルが作成されているか確認してください。あらかじめコピーグループマウント定義ファイルの作成が必要です。副ボリュームをマウントするための設定を確認してください。</p> <p>3. 上記以外の場合、副ボリュームをマウントするための設定を再度行ってください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p> <p>副ボリュームから取得した実際の論理ボリューム構成がバックアップカタログまたはコピーグループマウント定義の論理ボリューム構成と一致しない場合に表示されるメッセージです。次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 正ボリュームの論理ボリューム構成を変更したが、構成変更前のバックアップカタログを指定した。 ダイナミックディスクをコピーグループ指定でマウントしようとしたが、コピーグループマウント定義が作成されていない。 <p>対処</p> <p>次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> バックアップ ID で指定したバックアップカタログが現在の正ボリュームの論理ボリューム構成をバックアップした際に作成されたものか確認してください。 現在の正ボリュームの構成に対するバックアップ情報のバックアップ ID を指定してください。 正ボリュームの論理ボリューム構成を変更した場合は、副ボリュームをマウントするための設定を再度行ってください。 ダイナミックディスク構成のコピーグループを指定した場合、コピーグループマウント定義ファイルが作成されているか確認してください。あらかじめコピーグループマウント定義ファイルの作成が必要です。副ボリュームをマウントするための設定を確認してください。 上記以外の場合、副ボリュームをマウントするための設定を再度行ってください。
KAVX5118-E	ペアステータスが <ペアステータス>であることを確認してください。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p> <p>コピーグループのペアステータスが期待していたものと異なります。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>このメッセージ以降に出力された KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 コピーグループのペア状態が期待していたものと異なる場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>
KAVX5119-E	<p>ペアステータス確認のリトライがタイムアウトしました。</p> <p>待機ペアステータス = <ペアステータス></p> <p><リトライ回数パラメーター名> = <リトライ回数パラメーター値>(回)</p> <p><リトライ待ち時間パラメーター名> = <リトライ待ち時間パラメーター値>(10 ミリ秒)</p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 ペアステータスの変移を、1 回のリトライでリトライ待ち時間パラメーターで設定された値の時間だけ待ち、リトライ回数パラメーターで設定された値の回数だけ確認を行ったが、期待したペアステータスを取得できません。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 ペア状態の確認を行いました。設定した時間内に期待したペア状態を取得できなかった場合に表示されるメッセージです。</p> <p>ペア状態は、リトライ待ち時間パラメーター値で設定された時間間隔ごとに、リトライ回数パラメーター値で設定された回数だけ確認されます。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>
KAVX5120-E	<p>コピーグループに対する処理でエラーが発生しました。</p> <p>コピーグループ名 = <コピーグループ名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 対象のコピーグループでエラーが発生しています。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 対象のコピーグループでエラーが発生した場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>
KAVX5121-E	<p>バックアップカタログと現在の構成を比較する処理でエラーが発生しました。</p> <p>要因 = <要因></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 リストア時のドライブ構成とレプリカ時のドライブ構成とで異なり、リストアできません。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>リストア時のドライブ構成とレプリカ時のドライブ構成が異なるため、リストアできません。レプリカを取得し直してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 リストア実行時のドライブ構成とバックアップ実行時のドライブ構成が異なっているため、リストアできない場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>
KAVX5122-E	<p>論理ボリュームに対する処理でエラーが発生しました。</p> <p>マウントポイント名 = <マウントポイント名></p> <p>ボリューム名 = <ボリューム名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 マウントポイントをマウント又はアンマウントできません。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 マウントポイントをマウントまたはアンマウントできなかった場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>
KAVX5123-E	<p>マウントポイント名の取得に失敗しました。</p> <p>ボリューム名 = <ボリューム名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 マウントポイントの取得に失敗し、アンマウントに失敗しました。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 マウントポイントの取得に失敗し、アンマウントに失敗した場合に表示されるメッセージです。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>
KAVX5124-E	<p>コピーグループを選択する処理でエラーが発生しました。</p> <p>物理ドライブ名 = <物理ドライブ名></p> <p>要因 = <要因></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 レプリカ作成時に選択したコピーグループの世代識別名の値または世代がありません。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>バックアップ実行時、コピーグループの世代識別名の選択を行う場合に、ユーザーの指定した世代または使用できる世代が存在しないときに表示されるメッセージです。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>
KAVX5125-E	<p>リストアに必要なファイルが指定されていません。 ファイル名 = <ファイル名> ディスクグループ名 = <ディスクグループ名></p>	<p>(GUIの場合) 要因 レプリカのリストア時にディスクグループ内のすべてのファイルが指定されていません。 対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0051-E または KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p> <p>(CLIの場合) 要因 リストア実行時、ディスクグループ内のすべてのファイルが指定されていない場合に表示されるメッセージです。 対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0051-E または KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>
KAVX5126-E	<p>論理ボリュームに対する処理でエラーが発生しました。 マウントポイント名 = <マウントポイント名> 要因 = <要因></p>	<p>(GUIの場合) 要因 対象の論理ボリュームに対する処理でエラーが発生しています。 対処 このメッセージ以降に出力された KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p> <p>(CLIの場合) 要因 対象の論理ボリュームに対する処理でエラーが発生した場合に表示されるメッセージです。 対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>
KAVX5127-E	<p>RAID Manager に関連する処理でエラーが発生しました。 インスタンス番号 = <インスタンス番号></p>	<p>(GUIの場合) 要因 インスタンスの起動・停止に関してエラーが発生しています。 対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p> <p>(CLIの場合) 要因 RAID Manager のインスタンスの起動・停止に関してエラーが発生した場合に表示されるメッセージです。 対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
KAVX5128-E	バックアップカタログと現在の構成を比較する処理でエラーが発生しました。 バックアップカタログ情報 ディスクグループ名 = <ディスクグループ名> 物理ドライブ名 = <物理ドライブ名> LDEV 番号 = <LDEV 番号> SERIAL 番号 = <SERIAL 番号> パーティションスタイル = <パーティションスタイル>	(GUI の場合) 要因 リストア時のドライブ構成とレプリカ時のドライブ構成が異なり、リストアできません。 対処 リストア時のドライブ構成とレプリカ時のドライブ構成が異なるため、リストアできません。レプリカを取得し直してください。 (CLI の場合) 要因 リストア実行時のドライブ構成とバックアップ実行時のドライブ構成が異なっているため、リストアできない場合に表示されるメッセージです。 対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
KAVX5129-E	バックアップカタログと現在の構成を比較する処理でエラーが発生しました。 バックアップカタログ情報 ディスクグループ名 = <ディスクグループ名>	(GUI の場合) 要因 ドライブ構成がレプリカ時のドライブ構成から変更されているため、リストアできません。 対処 レプリカを取得し直してください。 (CLI の場合) 要因 リストア実行時のドライブ構成とバックアップ実行時のドライブ構成が異なっているため、リストアできない場合に表示されるメッセージです。 対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
KAVX5130-E	論理ボリュームに対する処理でエラーが発生しました。 ディスクグループ名 = <ディスクグループ名> 物理ドライブ名 = <物理ドライブ名>	(GUI の場合) 要因 物理ドライブ上の論理ボリュームを特定できません。 対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。 (CLI の場合) 要因 物理ドライブ上の論理ボリュームを特定できない場合に表示されるメッセージです。 対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
KAVX5131-E	ディスクグループに対する処理でエラーが発生しました。 ディスクグループ名 = <ディスクグループ名>	(GUI の場合) 要因 エラーの発生したディスクグループ名を取得できませんでした。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。 (CLI の場合) 要因 エラーの発生したディスクグループ名を取得できた場合に表示されるメッセージです。 対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
KAVX5132-E	マウントポイントに対する処理でエラーが発生しました。 マウントポイント名 = <マウントポイント名>	(GUI の場合) 要因 エラーの発生したマウントポイント名を取得できました。 対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。 (CLI の場合) 要因 エラーの発生したマウントポイント名を取得できた場合に表示されるメッセージです。 対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
KAVX5133-E	物理ドライブに対する処理でエラーが発生しました。 物理ドライブ名 = <物理ドライブ名>	(GUI の場合) 要因 エラーの発生した物理ドライブ名を取得できました。 対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。 (CLI の場合) 要因 エラーの発生した物理ドライブ名を取得しました。 対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
KAVX5134-E	ディスクリソースに対する処理でエラーが発生しました。 ディスクリソース名 = <ディスクリソース名>	(GUI の場合) 要因 エラーの発生したディスクリソース名を取得できました。 対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。 (CLI の場合) 要因 エラーの発生したディスクリソース名を取得しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
KAVX5135-I	<ディスクリソース名>に拡張メンテナンスモードを設定しました。	要因 ディスクリソースを拡張メンテナンスモードに設定しました。 対処 -
KAVX5136-I	<ディスクリソース名>の拡張メンテナンスモードを解除しました。	要因 ディスクリソースの拡張メンテナンスモードを解除しました。 対処 -
KAVX5137-E	ディスク Signature が変更されたため物理ディスクリソースをオンラインにできません。 クラスタリソース名 = <クラスタリソース名> 物理ドライブ名 = <物理ドライブ名> ディスク Signature = <ディスク Signature(変更前)> -> <ディスク Signature(変更後)>	(GUIの場合) 要因 副ボリュームのディスク Signature が変更され、その副ボリュームが正ボリュームにリストアされています。ボリュームのディスク Signature が変更されたボリュームを含む物理ディスクリソースは、オフラインからオンラインに切り替えられません。 対処 問い合わせ窓口に連絡してください。 ディスク Signature の変更によって正ボリュームへのリストアコマンドが中断された場合の対処については、「11.2.2」を参照してください。 (CLIの場合) 要因 副ボリュームのディスク Signature が変更されているため、正ボリュームへのリストアコマンドが中断されました。 対処 ディスク Signature の変更によって正ボリュームへのリストアコマンドが中断された場合の対処については、「11.2.2」を参照してください。
KAVX5138-E	ディスク Signature の取得に失敗しました。 物理ドライブ名 = <物理ドライブ名>	(GUIの場合) 要因 ディスク Signature の取得に失敗した場合に表示されます。 対処 システムログを参照し、対象の物理ドライブに関して異常を表すメッセージが出力されていないかを確認し、要因を取り除いてください。 (CLIの場合) 要因 ディスク Signature の取得に失敗しました。 対処 システムログを参照し、対象の物理ドライブに関して異常を表すメッセージが出力されていないかを確認し、要因を取り除いてください。
KAVX5139-E	ディスク Signature の更新に失敗しました。 コピーグループ名 = <コピーグループ名> 物理ドライブ名 = <物理ドライブ名>	(GUIの場合) 要因 メッセージに表示された、コピーグループを格納している物理ドライブに対し、ディスク Signature の更新が失敗しました。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処</p> <p>OS のシステムログを参照し、対象の物理ドライブに関するエラーメッセージが出力されていたら、そのエラー対策を実施してください。物理ドライブデバイスの稼働状況が「UNKNOWN」の場合、物理ドライブデバイスが隠ぺいされています。バックアップ ID または、コピーグループを指定して隠ぺいを解除してください。物理ドライブデバイスを隠ぺいしていない場合は、RAID Manager およびストレージシステムの設定を見直し、コピーグループのボリュームがサーバの物理ドライブデバイスとして正しくマッピングされているかを確認してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因</p> <p>ディスク Signature の更新に失敗しました。</p> <p>対処</p> <p>-sigview オプションを指定して drmdvctl コマンドを実行し、物理ドライブデバイスが表示されるか確認してください。</p> <p>物理ドライブデバイスが表示される場合</p> <p>物理ドライブデバイスに対する書き込みアクセスがエラーとなりました。物理ドライブデバイスの状態を確認してください。クラスタソフトウェアによって物理ドライブがオフライン状態になっているとアクセスできません。</p> <p>コピーグループが PAIR 状態の場合など、ストレージシステムによって書き込みが禁止されているとアクセスできません。</p> <p>これらの要因以外の場合は、システムログを参照して、対象の物理ドライブに関して異常を表すメッセージが出力されていないかどうかを確認し、要因を取り除いてください。</p> <p>物理ドライブデバイスが UNKNOWN の場合</p> <p>物理ドライブデバイスが隠ぺいされています。バックアップ ID またはコピーグループを指定してデバイスの公開を行ってください。</p> <p>物理ドライブデバイスを隠ぺいしていない場合は、RAID Manager およびストレージシステムの設定を見直し、コピーグループのボリュームがサーバの物理ドライブデバイスとして正しくマッピングされているかどうかを確認してください。</p>
KAVX5140-I	ディスク Signature を更新しました。 物理ドライブ名 = <物理ドライブ名>	<p>要因</p> <p>ディスク Signature の更新に成功した通知が OS から送られました。</p> <p>対処</p> <p>-sigview オプションを指定して drmdvctl コマンドを実行し、ディスク Signature が正しく更新されたことを再確認してください。</p>
KAVX5141-E	このバックアップ情報ではディスク Signature を更新できません。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>レプリカ履歴にディスク Signature が記録されていないため、ディスク Signature を更新できません。</p> <p>対処 次の 2 点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> レプリカ情報 -sigview オプションを指定して drmdvctl コマンドを実行すると、バックアップ時のディスク Signature に「-----」以外が表示されること <p>Replication Manager Application Agent の以前のバージョンでレプリカを作成したときのレプリカ履歴では、「-----」が表示され、レプリカ情報を指定してディスク Signature を更新できません。</p> <p>コピーグループを指定してディスク Signature を更新してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 バックアップカタログにディスク Signature が記録されていないため、ディスク Signature を更新できません。</p> <p>対処 バックアップ ID とともに-sigview オプションを指定して drmdvctl コマンドを実行し、バックアップ時のディスク Signature に「-----」以外が表示されるか確認してください。</p> <p>以前のバージョンの Replication Manager Application Agent でバックアップした場合、バックアップカタログに「-----」が表示されることがあります。この場合は、バックアップ ID を指定したディスク Signature の更新はできません。</p> <p>コピーグループを指定してディスク Signature の更新を行ってください。</p>
KAVX5142-E	<p>指定されたディスク Signature 引数は正しくありません。 引数 = <引数></p>	<p>(GUI の場合) 要因 コマンド引数で指定されたディスク Signature が正しくありません。</p> <p>対処 ディスク Signature は、16 進数 8 桁以内で指定してください。</p> <p>ディスク Signature は、ドライブのパーティションスタイルによって指定する形式が異なります。 MBR ドライブの場合：16 進数 8 桁 GPT ドライブの場合：GUID 形式</p> <p>正しい形式のディスク Signature を指定して、コマンドを再実行してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 コマンド引数で指定されたディスク Signature が正しくありません。</p> <p>ディスク Signature は、ドライブのパーティションスタイルによって指定する形式が異なります。 MBR ディスクの場合：16 進数 8 けた GPT ディスクの場合：GUID 形式</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 正しい形式のディスク Signature を指定して、コマンドを再実行してください。</p>
KAVX5143-W	<p>ボリュームへの現在のハンドルを無効にしました。 マウントポイント名 = <マウントポイント名></p>	<p>要因 論理ボリュームのオープンハンドルをすべて無効化し、処理を続行しました。</p> <p>対処 対象のボリュームをほかのアプリケーションが使用しているかどうか確認してください。 対象のボリュームをほかのアプリケーションが使用している場合、コマンドを実行する前に対象のボリュームをアプリケーションからリリースすることをお勧めします。</p>
KAVX5144-E	<p>ボリュームへの現在のハンドルを無効にするのに失敗しました。 マウントポイント名 = <マウントポイント名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 論理ボリュームのオープンハンドル確認に失敗しました。または、論理ボリュームのすべてのオープンハンドルを無効化できませんでした。</p> <p>対処 対象のボリュームを使用しているアプリケーションが存在しないか確認し、存在していた場合はアプリケーションを終了させてください。 対象のボリュームを使用しているアプリケーションが存在しない場合は、システムログを参照し、対象のボリュームに関して以上を表すメッセージが出力されていないかを確認し、要因を取り除いてください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 このメッセージは、次のどちらかの場合に出力されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 論理ボリュームのオープンハンドル確認に失敗した場合 論理ボリュームのすべてのオープンハンドルを無効化できなかった場合 <p>対処 対象のボリュームをほかのアプリケーションが使用しているかどうか確認してください。 対象のボリュームをほかのアプリケーションが使用している場合、コマンドを実行する前に対象のボリュームをアプリケーションからリリースしてください。 対象のボリュームをほかのアプリケーションが使用していない場合、システムログを参照し、エラー要因を取り除くために対象のボリュームに関するエラーメッセージを確認してください。</p>
KAVX5145-E	<p>論理ボリュームに不良ビットが設定されています。 ボリューム名 = <論理ボリューム名></p>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 クラスタリソースのオフラインを実行したところ、論理ボリュームに不良ビットが設定されました。</p> <p>対処 以下の手順で、不良ビットを解消してから実行してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> リソースがオフラインである事を確認する。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>2. CHKDSK /F /X <論理ボリューム名> を実行する。</p> <p>3. リソースをオンラインにする。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 クラスタリソースがオフラインのとき、論理ボリュームに不良ビットが設定されています。論理ボリュームに不良ビットが設定されている場合、クラスタリソースのオンラインへの切り替え処理が失敗するため、処理が中断されます。</p> <p>対処 次の手順に従って不良ビットを解消し、コマンドを再実行してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラスタリソースがオフラインであることを確認してください。 2. CHKDSK コマンドを実行してください。 CHKDSK /F /X <論理ボリューム名> 3. クラスタリソースをオンラインにしてください。
KAVX5146-E	副ボリュームがマウントされています。 コピーグループ名 = <コピーグループ名> マウントポイント = <バックアップサーバのマウントポイントディレクトリ名>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 副ボリュームがマウントされています。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 副ボリュームがマウントされています。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>
KAVX5147-E	副ボリュームが隠ぺいされていません。 コピーグループ名 = <コピーグループ名> 物理ドライブ名 = <バックアップサーバの物理ドライブ名> SERIAL 番号 = <SERIAL 番号> LDEV 番号 = <LDEV 番号>	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 副ボリュームのドライブが、隠ぺいされていません。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 副ボリュームのドライブが隠ぺいされていません。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>
KAVX5148-E	クラスタ環境で複数世代の場合は、副ボリュームは隠ぺいされている必要があります。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 KAVX5147-E のエラーが表示されるときに、理由について表示します。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		このメッセージ以降に出力された、KAVX5147-E および KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。 (CLI の場合) 要因 KAVX5147-E のエラーが出力された理由を示します。 対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX5147-E および KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
KAVX5149-E	VSS で複数世代の場合は、副ボリュームは隠ぺいされている必要があります。	(GUI の場合) 要因 KAVX5147-E のエラーが出力された理由を示します。 対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX5147-E および KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。 (CLI の場合) 要因 KAVX5147-E のエラーが出力された理由を示します。 対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX5147-E および KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
KAVX5150-E	ダイナミックディスクで複数世代の場合は、副ボリュームは隠ぺいされている必要があります。	(GUI の場合) 要因 KAVX5147-E のエラーが表示されるときに、理由について表示します。 対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX5147-E および KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。 (CLI の場合) 要因 KAVX5147-E のエラーが出力された理由を示します。 対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX5147-E および KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
KAVX5151-E	副ボリューム側のペアステータスが正しくありません。 コピーグループ名 = <コピーグループ名> 副ボリュームの MU# = <副ボリュームの MU 番号> ペアステータス = <ペアステータス>	(GUI の場合) 要因 リモートサイトのコピーグループの状態が不正です。 対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX5147-E および KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。 (CLI の場合) 要因 リモートサイトのコピーグループの状態が不正です。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		このメッセージ以降に出力された、KAVX5147-EおよびKAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
KAVX5152-I	バックアップ処理でエラーが発生したため、ペア分割を試みます。 ペア分割に失敗しても処理を継続します。	要因 RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) に RECOVERY_MODE_ON_BACKUP_ABORTING=PAIRSPLIT パラメーターを記述した状態でバックアップコマンドを実行したときに、エラーが発生しました。 対処 -
KAVX5153-I	全てのコピーグループに対してペア分割を実行しました。	要因 RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) に RECOVERY_MODE_ON_BACKUP_ABORTING=PAIRSPLIT パラメーターを記述した状態でバックアップコマンドを実行したときに、エラーが発生しました。 対処 -
KAVX5154-I	コピーグループのペア分割に成功しました。	要因 KAVX5152-I が出力されたあとに実行されたペア分割処理に成功しました。 対処 -
KAVX5155-W	コピーグループのペア分割に失敗しました。	要因 KAVX5152-I が出力されたあとに実行されたペア分割処理に失敗しました。 対処 ペア分割に失敗したコピーグループのペア状態を確認し、PAIR の場合はペア分割を行ってください。
KAVX5156-I	バックアップカタログをエクスポートします。 ホスト名 = <ホスト名> バックアップ ID = <バックアップ ID>	要因 エクスポート処理を行うときに出力されます。 対処 -
KAVX5157-I	バックアップカタログをエクスポートしました。	要因 エクスポート処理に成功したときに出力されません。 対処 -
KAVX5158-I	バックアップカタログをインポートします。 ホスト名 = <ホスト名>	要因 バックアップサーバに接続して、カタログを転送およびインポートするときに出力されます。 対処 -
KAVX5159-I	バックアップカタログをインポートしました。 ディクショナリマップファイルパス = <ディクショナリマップファイルパス>	要因 バックアップサーバでのバックアップカタログのインポートに成功しました。 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	インポートされたバックアップ ID = <インポートされたバックアップ ID >	
KAVX5160-E	バックアップカタログのインポートに失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 バックアップサーバでのレプリカ履歴のインポートが失敗しました。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。レプリカは完了しているため、インポート処理を再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップサーバでのバックアップカタログのインポートに失敗しました。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。バックアップは完了しているため、drmdbexport コマンドおよび drmdbimport コマンドを実行してインポート処理を再度実行してください。</p>
KAVX5161-E	バックアップカタログのエクスポートに失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因 レプリカ履歴のエクスポート処理に失敗しました。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。レプリカは完了しているため、インポート処理を再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合)</p> <p>要因 バックアップカタログのエクスポート処理に失敗しました。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。バックアップは完了しているため、drmdbexport コマンドおよび drmdbimport コマンドを実行してインポート処理を再度実行してください。</p>
KAVX5162-I	副ボリュームのマウントを開始します。 ホスト名 = <ホスト名 > インポートされたバックアップ ID = <インポートされたバックアップ ID >	<p>要因 バックアップサーバに接続して、副ボリュームをマウントします。</p> <p>対処 -</p>
KAVX5163-I	副ボリュームをマウントしました。	<p>要因 バックアップサーバでのマウント処理に成功しました。</p> <p>対処 -</p>
KAVX5164-E	副ボリュームのマウントに失敗しました。	<p>(GUI の場合)</p> <p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>バックアップサーバでのマウント処理が失敗しました。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。レプリカは完了しているため、レプリカ履歴のマウント操作を再度実行してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 バックアップサーバでのマウント処理に失敗しました。 対処 このメッセージ以降に出力された、KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。バックアップは完了しているため、drmmount コマンドを実行してマウント処理を再度実行してください。</p>
KAVX5165-E	構成定義ファイル(init.conf)に DRM_DB_PATH が設定されていません。	<p>(GUI の場合) 要因 有効な共有データパスの記述がありません。 対処 共有データパスが指定されているか確認してください。</p> <p>(CLI の場合) 要因 構成定義ファイル (init.conf) に有効な DRM_DB_PATH の記述がありません。 対処 構成定義ファイル (init.conf) に DRM_DB_PATH が指定されているか確認してください。</p>
KAVX5166-W	ペアステータスの確認に失敗しました。ペア分割の実行結果の成功/失敗にかかわらず、ペアステータスの確認をしてください。	<p>要因 KAVX5152-I が出力されたあとに実行されたペア状態の確認に失敗しました。</p> <p>対処 ペア分割を試みたコピーグループのペア状態を確認し、PAIR の場合はペア分割を行ってください。</p>
KAVX5167-I	バックアップエラー発生時にペア状態を変更する設定が有効です。	<p>要因 次のすべての条件を満たすときに出力されるメッセージです。</p> <ul style="list-style-type: none"> RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) に、バックアップ処理中にエラーが発生した場合にペア状態を変更するように設定されている。 バックアップ処理中にエラーが発生した場合にペア分割を実行するための準備が完了した。 <p>対処 このメッセージが出力されたあとにエラーが発生した場合、ペア分割処理が実行されます。</p>
KAVX5168-E	カスケード構成のリモートコピーに対する処理でエラーが発生しました。	<p>要因 カスケード構成情報定義ファイルに定義されたリモートコピーのコピーグループに対する処理で、エラーが発生しました。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 このメッセージ以降に出力される KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>
KAVX5169-E	<p>ディスクグループに対する処理でエラーが発生しました。 ディスクグループ名 = <ディスクグループ名> 要因 = <要因></p>	<p>(GUI の場合) 要因 ディスクグループに関する処理でエラーが発生しました。 対処 メッセージの要因を見て、その対処法を実施してください。 (CLI の場合) 要因 ディスクグループに対する処理でエラーが発生しました。 対処 このメッセージの要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>
KAVX5170-E	<p>ディスク Signature の形式が物理ドライブのパーティションスタイルと異なっています。 ディスク Signature = <ディスク Signature> 物理ドライブ名 = <物理ドライブ名></p>	<p>(GUI の場合) 要因 設定しようとしたディスク Signature の形式とドライブのパーティションスタイルが異なっています。 対処 ドライブのパーティションスタイルの形式に合ったディスク Signature を指定してコマンドを再実行してください。 (CLI の場合) 要因 設定しようとしたディスク Signature の形式と、ドライブのパーティションスタイルが異なっています。 対処 ドライブのパーティションスタイルの形式に合ったディスク Signature を指定して、コマンドを再実行してください。</p>
KAVX5171-E	<p>物理ドライブのパーティションスタイルが変更されています。</p>	<p>(GUI の場合) 要因 レプリカ履歴に記憶しているドライブのパーティションスタイルと現在のドライブのパーティションスタイルが異なっています。 対処 レプリカ時のドライブのパーティションスタイルと現在のドライブのパーティションスタイルを一致させてから、再実行してください。 (CLI の場合) 要因 バックアップカタログに記憶しているドライブのパーティションスタイルと、現在のドライブのパーティションスタイルが異なっています。 対処 バックアップ時のドライブのパーティションスタイルと、現在のドライブのパーティションスタイルを一致させてから、コマンドを再実行してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX5200-E	ジョブスケジュールコマンドが異常終了しました。 要因 = <要因の説明>	要因 ジョブスケジュールコマンドが失敗したため、エラーが発生しました。 対処 このメッセージの要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
KAVX5201-E	バックアップコマンドが異常終了しました。 コマンド = <コマンド文字列>	要因 バックアップコマンドの実行に失敗したため、エラーが発生しました。 対処 バックアップジョブ結果画面の [Job Output] に表示されたメッセージ ID に応じて、適切な対処をしてください。
KAVX5202-I	ジョブスケジューラが開始しました。	要因 ジョブスケジューラが開始しました。 対処 -
KAVX5203-I	ジョブスケジューラが正常に終了しました。	要因 ジョブスケジューラが正常に終了しました。 対処 -
KAVX5204-E	コマンドラインの形式が不正です。 要因 = <要因の説明>	要因 メッセージに示す要因のため、ジョブスケジューラの呼び出しに失敗しました。 対処 表示される要因に応じて、適切な対処をしてください。
KAVX5205-I	<操作名>操作を開始しました。	要因 操作を開始しました。 対処 -
KAVX5206-I	<操作名>操作が正常終了しました。	要因 操作が正常終了しました。 対処 -
KAVX5207-E	<操作名>操作が異常終了しました。 要因 = <要因の説明>	要因 メッセージに示す原因のため、ジョブ実行中にエラーが発生しました。 対処 表示される要因に応じて、適切な対処をしてください。
KAVX5208-E	設定ファイルを開くのに失敗しました。 ファイル = <ファイル名> 要因 = <要因の説明>	要因 メッセージに示す原因のため、設定ファイルを開けませんでした。 対処 表示される要因に応じて、適切な処理をしてください。
KAVX5209-W	スケジュール設定ファイルの読み出しに失敗しました。デフォルト値がロードされます。 ファイル = <ファイル名> 要因 = <要因の説明>	要因 メッセージに示す原因のため、設定ファイルを読みませんでした。 対処 表示される要因に応じて、適切な処理をしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX5210-E	スケジュール設定ファイルの読み出しに失敗しました。 ファイル = <ファイル名> 要因 = <要因の説明>	要因 メッセージに示す原因のため、スケジュール設定ファイルを読めませんでした。 対処 表示される要因に応じて、適切な処理をしてください。
KAVX5211-E	{ schedule map file execution output log file }の作成に失敗しました。 ファイル = <ファイル名> ホスト名 = <ホスト名> 要因 = <要因の説明>	要因 メッセージに示す原因のため、スケジュールマップファイルまたは実行ログファイルの作成に失敗しました。 対処 表示される要因に応じて、適切な処理をしてください。
KAVX5212-E	{ schedule map file execution output log file }を開くのに失敗しました。 ファイル = <ファイル名> ホスト名 = <ホスト名> 要因 = <要因の説明>	要因 メッセージに示す原因のため、スケジュールマップファイルまたは実行ログファイルを開けませんでした。 対処 表示される要因に応じて、適切な処理をしてください。
KAVX5213-E	設定ファイルの読み出しに失敗しました。 ファイル = <ファイル名> 要因 = <要因の説明>	要因 メッセージに示す原因のため、設定ファイルを読めませんでした。 対処 表示される要因に応じて、適切な処理をしてください。
KAVX5214-E	{ schedule map file execution output log file }からのジョブ情報の読み出しに失敗しました。 ファイル = <ファイル名> ホスト名 = <ホスト名> 要因 = <要因の説明>	要因 メッセージに示す原因のため、スケジュールマップファイルまたは実行ログファイルを読めませんでした。 対処 表示される要因に応じて、適切な処理をしてください。
KAVX5215-E	{ schedule map file execution output log file }へのジョブ情報の書き込みに失敗しました。 ファイル = <ファイル名> ホスト名 = <ホスト名> 要因 = <要因の説明>	要因 メッセージに示す原因のため、スケジュールマップファイルまたは実行ログファイルへの書き込みに失敗しました。 対処 表示される要因に応じて、適切な処理をしてください。
KAVX5216-E	{ schedule map file execution output log file }からのジョブ情報の削除に失敗しました。 ファイル = <ファイル名> ホスト名 = <ホスト名> 要因 = <要因の説明>	要因 メッセージに示す原因のため、スケジュールマップファイルまたは実行ログファイルからの削除中にエラーが発生しました。 対処 表示される要因に応じて、適切な処理をしてください。
KAVX5217-W	スケジュール設定ファイルに設定されているキーの値が不正です。デフォルト値がロードされます。 キー = { MAX_JOB_REGISTRATION_COUNT MAX_JOB_RESULT_COUNT } 要因 = <要因の説明>	要因 スケジュール設定ファイルのキーに不正な値が指定されたので、デフォルト値がロードされます。 対処 表示される要因に応じて、適切な処理をしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX5218-E	ジョブの更新に失敗しました。 要因 = <要因の説明>	要因 メッセージに示す原因のため、ジョブの更新に失敗しました。 対処 表示される要因に応じて、適切な処理をしてください。
KAVX5219-E	部分更新により、ジョブの更新が失敗しました。 要因 = <要因の説明>	要因 スケジュール情報およびタスクスケジューラの部分的な更新のため、ジョブの更新に失敗しました。 対処 更新しようとしたジョブのスケジュール情報が不正なため、ジョブを削除してから再作成してください。
KAVX5220-E	部分削除により、ジョブの削除が失敗しました。 要因 = <要因の説明>	要因 スケジュール情報およびタスクスケジューラの部分的な削除のため、ジョブの削除に失敗しました。 対処 スケジュール情報が不正なため、ジョブを削除してから再作成してください。
KAVX5222-E	タスクスケジューラでのジョブの生成に失敗しました。 要因 = <要因の説明>	要因 メッセージに示す原因のため、タスクスケジューラでのジョブの生成に失敗しました。 対処 表示される要因に応じて、適切な処理をしてください。
KAVX5223-E	タスクスケジューラからのジョブ情報の取得に失敗しました。 要因 = <要因の説明>	要因 メッセージに示す原因のため、タスクスケジューラからのジョブ情報の取得に失敗しました。 対処 表示される要因に応じて、適切な処理をしてください。
KAVX5224-E	タスクスケジューラでのジョブ情報の更新に失敗しました。 要因 = <要因の説明>	要因 メッセージに示す原因のため、タスクスケジューラでのジョブ情報の更新に失敗しました。 対処 表示される要因に応じて、適切な処理をしてください。
KAVX5225-E	タスクスケジューラでのジョブ情報の一部の更新に失敗しました。 要因 = <要因の説明>	要因 タスクスケジューラでのジョブ情報の部分的な更新のため、ジョブの更新に失敗しました。 対処 更新しようとしたジョブのスケジュール情報が不正なため、ジョブを削除してから再作成してください。
KAVX5226-E	{ schedule map file execution output log file }の削除に失敗しました。 ファイル = <ファイル名> ホスト名 = <ホスト名> 要因 = <要因の説明>	要因 メッセージに示す原因のため、スケジュールマップファイルまたは実行ログファイルの削除に失敗しました。 対処 表示される要因に応じて、適切な処理をしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX5227-I	バックアップコマンドが正常に開始しました。 コマンド = <コマンド文字列>	要因 バックアップコマンドが正常に開始しました。 対処 -
KAVX5228-I	バックアップコマンドが正常に終了しました。 コマンド = <コマンド文字列>	要因 バックアップコマンドが正常に終了しました。 対処 -
KAVX5229-E	タスクスケジューラでのジョブの削除に失敗しました。 要因 = <要因の説明>	要因 メッセージに示す原因のため、タスクスケジューラでのジョブの削除に失敗しました。 対処 表示される要因に応じて、適切な処理をしてください。
KAVX5230-E	タスクスケジューラでのジョブの実行に失敗しました。 要因 = <要因の説明>	要因 メッセージに示す原因のため、タスクスケジューラでのジョブの実行に失敗しました。 対処 表示される要因に応じて、適切な処理をしてください。
KAVX5400-I	<ホスト名> でバックアップの前処理を実行します。	要因 カスケード構成のバックアップで、リモートサイトでの前処理が実行される前に表示されるメッセージです。 対処 -
KAVX5401-I	<ホスト名> でバックアップの前処理を実行しました。	要因 カスケード構成のバックアップで、リモートサイトでの前処理が実行されたあとに表示されるメッセージです。 対処 -
KAVX5402-E	<ホスト名> の処理でエラーが発生しました。	要因 カスケード構成のバックアップで、リモートサイトでの処理でエラーが発生しました。 対処 このあとに出力されるメッセージを確認し、リモートサイトでエラーの要因を取り除いてから、コマンドを再度実行してください。なお、リモートサイトのコピーグループがロックされた状態でエラー終了することがあります。その場合、drmcget1 コマンドを使用してコピーグループのロックを解除してから、コマンドを再度実行してください。
KAVX5403-I	<ホスト名> でコピーグループの再同期処理を実行します。	要因 カスケード構成のバックアップで、リモートサイトでの再同期処理が実行される前に表示されるメッセージです。 対処 -
KAVX5404-I	<ホスト名> でコピーグループの再同期処理を実行しました。	要因 カスケード構成のバックアップで、リモートサイトでの再同期処理が実行されたあとに表示されるメッセージです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 -
KAVX5405-I	<ホスト名> でバックアップの後処理を実行します。	要因 カスケード構成のバックアップで、リモートサイトでの後処理が実行される前に表示されるメッセージです。 対処 -
KAVX5406-I	<ホスト名> でバックアップの後処理を実行しました。	要因 カスケード構成のバックアップで、リモートサイトでの後処理が実行されたあとに表示されるメッセージです。 対処 -
KAVX5407-E	環境変数 DRM_HOSTNAME に仮想サーバ名が設定されていません。	(GUI の場合) 要因 Replication Manager Application Agent の環境が不正です。 対処 構成の更新を行った後、再度実行してください。それでも発生する場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。 (CLI の場合) 要因 カスケード構成のバックアップを実施しようとしたときに、環境変数 DRM_HOSTNAME の値が設定されていません。 対処 DRM_HOSTNAME の値に処理対象となる仮想サーバ名を設定してから、コマンドを再度実行してください。
KAVX5408-E	カスケード構成情報定義ファイルが存在しません。 ファイル名 = <ファイル名>	要因 カスケード構成のバックアップを実行するときに、カスケード構成情報定義ファイルが存在していません。 対処 次のことを確認してから、コマンドを再度実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> カスケード構成情報定義ファイルが存在しているか。 環境変数 DRM_HOSTNAME に指定した仮想サーバ名が正しいか。 カスケード構成情報定義ファイルに対してアクセス権があるか。 カスケード構成情報定義ファイルの詳細については、マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i> 」を参照してください。
KAVX5409-E	カスケード構成情報定義ファイルの内容は無効です。 ファイル名 = <ファイル名> セクション = <セクション> パラメーター名 = <パラメーター名> 詳細 = <詳細>	要因 カスケード構成のバックアップを実行するときに、カスケード構成情報定義ファイルの内容が不正です。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		カスケード構成情報定義ファイルを正しく修正してから、コマンドを再度実行してください。 カスケード構成情報定義ファイルの詳細については、マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i> 」を参照してください。
KAVX5410-E	カスケード構成情報定義ファイルに必要なパラメーターが定義されていません。 ファイル名 = <ファイル名> セクション = <セクション> パラメーター名 = <パラメーター名>	要因 カスケード構成情報定義ファイルに必要なパラメーターが定義されていません。 対処 カスケード構成情報定義ファイルを正しく修正してから、コマンドを再度実行してください。 カスケード構成情報定義ファイルの詳細については、マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i> 」を参照してください。
KAVX5411-E	リモートサイトの処理でタイムアウトが発生しました。 リモートサイト = <ホスト名> タイムアウトパラメーター名 = <タイムアウトパラメーター名>	要因 カスケード構成のバックアップの実行中に、リモートサイトでの処理でタイムアウトが発生しました。 対処 カスケード構成情報定義ファイルに指定しているタイムアウト時間を、予想される所要時間よりも長くしてから、コマンドを再度実行してください。 カスケード構成情報定義ファイルの詳細については、マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i> 」を参照してください。
KAVX5412-I	カスケード構成情報定義ファイルの次のセクションの値を使用します。 ローカルサイト = <サイト名> リモートサイト = <サイト名>	要因 カスケード構成のバックアップの実行中に、有効なセクションが確定した場合に表示されるメッセージです。 対処 -
KAVX5413-E	カスケード構成のバックアップは、リモートコピーを対象には実行できません。	要因 カスケード構成のバックアップを実行するときに、 <code>-rc</code> オプションでリモートコピーを指定しています。カスケード構成では、ローカルコピーを対象にした場合にだけバックアップを実行できます。 対処 次のどちらかの方法で、コマンドを再度実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> • <code>-rc</code> オプションを指定しない。 • <code>-rc</code> オプションにローカルコピーを表す世代識別名 (<code>local_X</code>) を指定する。
KAVX5415-E	カスケード構成情報定義ファイルにローカルサイトの情報が存在しませんでした。 ファイル名 = <ファイル名>	要因 カスケード構成のバックアップを実行するときに、カスケード構成情報定義ファイル内にローカルサイトのセクションが存在していません。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		カスケード構成情報定義ファイルを正しく修正してから、コマンドを再度実行してください。カスケード構成情報定義ファイルの詳細については、マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i> 」を参照してください。
KAVX5416-E	カスケード構成情報定義ファイルにリモートサイトの情報が存在しません。 ファイル名 = <ファイル名>	要因 カスケード構成のバックアップを実行するときに、カスケード構成情報定義ファイル内にリモートサイトのセクションが存在していません。 対処 カスケード構成情報定義ファイルを正しく修正してから、コマンドを再度実行してください。カスケード構成情報定義ファイルの詳細については、マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i> 」を参照してください。
KAVX5417-E	カスケード構成情報定義ファイルの読み込みでエラーが発生しました。 ファイル名 = <ファイル名>	要因 カスケード構成のバックアップを実行するときに、カスケード構成情報定義ファイルの読み込みでエラーが発生しました。 対処 カスケード構成情報定義ファイルに対してアクセス権があるかどうかを確認してから、コマンドを再度実行してください。

11.2 特定のメッセージの対処

特定のメッセージの対処について説明します。

11.2.1 KAVX5105-W の対処

ここでは、メッセージ KAVX5105-W が出力される原因と、その対処方法を説明します。

TrueCopy または Universal Replicator でバックアップしたデータをリストアする場合、Replication Manager Application Agent は、正ボリュームと副ボリュームの反転によるペア再同期を利用して副ボリュームからリストアします。

Replication Manager Application Agent は、次の手順で TrueCopy または Universal Replicator でバックアップしたデータをリストアします。

1. 最初の正ボリュームと副ボリュームの反転によってペア再同期を完了させます。
2. ファイルサーバまたはデータベースサーバに接続したボリュームに対してデータをリストアします。
3. 副ボリュームと正ボリュームを再度反転し元の状態に戻します。

しかし、リストア処理中にエラーが発生した場合、これらのペア操作手順が中断されることがあります。

KAVX5105-W のメッセージが出力された場合、最後の副ボリュームと正ボリュームの再反転に失敗し、ファイルサーバまたはデータベースサーバに接続されたボリュームが副ボリュームとなった

ままの状態でもリストア処理が終了しています。ファイルサーバやデータベースサーバに接続されたボリュームに対してのリストアが完了しているため、本来の正ボリュームが副ボリュームとなった状態で、ファイルサーバやデータベースサーバでボリュームを使用した運用を開始できてしまいます。

しかし、このままの状態でも運用を開始すると、このコピーグループに対してバックアップコマンドなど **Replication Manager Application Agent** のコマンドを実行できません。

まずは、**RAID Manager** のログ情報を参照して、最後の正ボリュームと副ボリュームの反転が失敗した原因を確認し、その原因を除去してください。そのあと、次の手順で、ボリュームの状態を回復してください。

正ボリュームと副ボリュームの反転に失敗した状態から回復するには：

1. 正ボリューム、副ボリュームの両方を管理する **RAID Manager** インスタンスが起動していることを確認します。
2. ファイルサーバまたはデータベースサーバに接続されたボリュームを管理する **RAID Manager** インスタンスおよび **TrueCopy** または **Universal Replicator** のペアボリュームを操作するための環境変数を設定します。

この例では、**RAID Manager** を管理するインスタンスを「HORCMINST=0」とします。また、**TrueCopy** または **Universal Replicator** のペアボリュームを操作するための環境変数は、「HORCC_MRCF=」と設定します。

```
PROMPT> set HORCMINST=0
PROMPT> set HORCC_MRCF=
```

3. リストア対象となったコピーグループを確認します。

この例では、バックアップ ID 「0000000001」がリストア対象となっています。

```
PROMPT > drmsqlcat default -backup_id 0000000001
INSTANCE: default
BACKUP-ID: 0000000001 BACKUP-MODE: ONLINE INSTANCE: default ORIGINAL-
ID: 0000000001
START-TIME: 2002/06/01 10:00:00 END-TIME: 2002/06/01 10:03:00
HOSTNAME: SQL1
T DB OBJECT FILE FS DG DEVICE COPY-GROUP
M DB1 METAFILE C:¥METADIR¥Metal C: - - -
D DB1 DATAFILE D:¥SQL¥data1 D: - Harddisk1 TC01,dev01
- - - - - - - TC01,dev01
PROMPT>
```

4. コピーグループのペア状態を確認します。

正ボリュームが「PSUS」状態、副ボリュームが「SSWS」状態であることを確認します。この例では、コピーグループを「TC01,dev01」とします。

```
PROMPT > pairdisplay -g TC01 -d dev01 -fc
```

5. コピーグループに対して副ボリュームと正ボリュームを反転するペア再同期を行い、「PAIR」状態になるまで待ちます。

```
PROMPT> pairresync -g TC01 -d dev01 -swaps
PROMPT> pairevtwait -g TC01 -d dev01 -s pair -t 300
```

6. コピーグループのペア状態を確認します。

正ボリュームおよび副ボリュームが「PAIR」状態であることを確認します。

```
PROMPT> pairdisplay -g TC01 -d dev01 -fc
```

7. コピーグループをペア分割し、「PSUS」状態になるまで待ちます。

```
PROMPT> pairsplit -g TC01 -d dev01 -rw
PROMPT> pairevtwait -g TC01 -d dev01 -s psus -t 300
PROMPT> pairdisplay -g TC01 -d dev01 -fc
```

8. コピーグループのペア状態を確認します。

正ボリュームが「PSUS」状態、副ボリュームが「SSUS」状態であることを確認します。

```
PROMPT>pairdisplay -g TC01 -d dev01 -fc
```


11.2.2 KAVX5137-E または KAVX0006-E/DRM-10041 の対処

ここでは、メッセージ KAVX5137-E または KAVX0006-E/DRM-10041 の発生要因、回復手順、および回避方法について説明します。

KAVX5137-E または KAVX0006-E/DRM-10041 に対処するには、バックアップサーバで副ボリュームのディスク **Signature** (ディスク署名) を適切な値に変更したあと、ファイルサーバまたはデータベースサーバで副ボリュームをリストアします。回復手順の詳細は、「(2) 回復手順 (バックアップサーバでの操作)」および「(3) 回復手順 (ファイルサーバまたはデータベースサーバでの操作)」を参照してください。

(1) 発生要因

KAVX5137-E または KAVX0006-E/DRM-10041 は、次の条件をすべて満たしたときに発生します。

- クラスタソフトウェアとして Microsoft Cluster Service または Microsoft Failover Cluster を使用している。
- 副ボリュームをバックアップサーバで使用する構成となっている。
- 複数世代のバックアップを複数の副ボリュームに格納している。
- バックアップサーバで複数の副ボリュームが認識される。
- 副ボリュームのディスク **Signature** が重複している。

同じ正ボリュームからバックアップした副ボリュームのディスク **Signature** が重複している場合、バックアップサーバ上の Windows によって、副ボリュームのディスク **Signature** が変更されます。Microsoft Cluster Service または Microsoft Failover Cluster を使用したクラスタ環境の場合、副ボリュームのディスク **Signature** が変更されると、リストアコマンドが失敗するため、KAVX5137-E または KAVX0006-E/DRM-10041 が発生します。

ただし、KAVX0006-E/DRM-10041 の場合、データベースサーバおよびバックアップサーバ上に、次のイベントログが出力されている場合だけ、上記の要因が該当します。

- データベースサーバ上のイベントログ
イベント ID : 1034
- バックアップサーバ上のイベントログ
イベント ID : 58

(2) 回復手順 (バックアップサーバでの操作)

バックアップサーバで副ボリュームのディスク **Signature** を適切な値に変更します。

Windows Server 2003 環境を使用している場合は、「ディスク **Signature** の変更」の手順だけを実施してください。

ディスク **Signature** を変更する前の事前準備

Windows Server 2008 以降の環境を使用している場合、次の手順で副ボリュームのディスク状態を事前に「オンライン」にしておく必要があります。

1. コマンドプロンプトから、RAID Manager の `inqraid $Phys -CLI` コマンドを実行して、ディスク **Signature** が変更された副ボリュームのディスク番号を確認します。

`inqraid $Phys -CLI` コマンドの実行例を次に示します。

```
D:\>inquery>inqraid $Phys -CLI
DEVICE_FILE      PORT      SERIAL    LDEV CTG   H/M/12  SSID R:Group
PRODUCT_ID
Harddisk1        CL1-D     77010114   0    -      -    0000 5:00-00
DF600F-CM
```

```

Harddisk2      CL1-D  77010114  803  -  s/S/ss  0000 5:00-00
DF600F
Harddisk3      CL1-D  77010114  804  -  s/S/ss  0000 5:00-00
DF600F
Harddisk4      CL1-D  77010114  805  -  s/S/ss  0000 5:00-00
DF600F

```

「DEVICE_FILE」列の数字がディスク番号です。

2. diskpart コマンドを起動します。
3. 現在のディスク状態を表示するために、「list disk」と入力します。
サーバに接続されたディスクの一覧が表示されます。「ディスク ####」列の数字がディスク番号です。ディスク番号が手順1で確認した副ボリュームのディスク番号と一致するディスクの「状態」列に「オフライン」と表示されていることを確認します。
4. ディスク状態が「オフライン」である対象の副ボリュームに次の操作を繰り返します。
 - 「select disk <ディスク番号>」と入力します。
「ディスク <ディスク番号> が選択されました。」と表示されます。
 - 「online disk」と入力します。
「DiskPart は選択されたディスクをオンラインにしました。」と表示されます。
 - 「attributes disk clear readonly」と入力します。
「ディスクの属性が正しく消去されました。」と表示されます。
 - 「attributes disk」と入力します。
「読み取り専用:いいえ」が表示されていることを確認します。
5. 現在のディスク状態を表示するために、「list disk」と入力します。
ディスク **Signature** が変更された副ボリュームのディスクの「状態」列に「オンライン」と表示されていることを確認します。
6. 「exit」と入力して、diskpart コマンドを終了します。

ディスク Signature の変更

バックアップサーバで、副ボリュームのディスク **Signature** を変更する手順を次に示します。

1. バックアップカタログに記録されているディスク **Signature** を確認します。
drumdevctl コマンドに-sigview オプションを指定してディスク **Signature** を確認します。
drumdevctl コマンドの実行例を次に示します。

```

BKServer > drumdevctl 0000000001 -sigview
COPY_GROUP  DEVICE      TYPE      CUR_DISKID  BKU_DISKID
VG01,dev01  Harddisk10  MBR      ABCDEF04   ABCDEF01
VG01,dev02  Harddisk11  MBR      ABCDEF05   ABCDEF02
VG01,dev03  Harddisk12  MBR      ABCDEF06   ABCDEF03

```

上記の例では、バックアップ取得後にディスク **Signature** が変更されたため、現時点のディスク **Signature** (CUR_DISKID) とバックアップ時のディスク **Signature** (BKU_DISKID) が異なります。
2. バックアップ時のディスク **Signature** (BKU_DISKID) について、クラスタが期待する値を持つバックアップカタログを、システム上にあるすべてのバックアップカタログの中から特定します。
クラスタが期待する値は、データベースサーバ上で出力されたイベントログ(イベント ID 1034)の **Description** を参照してください。
3. 副ボリュームのディスク **Signature** を変更します。
drumdevctl コマンドに-sigset オプションを指定して、現在のディスク **Signature** を手順3で確認したバックアップ時のディスク **Signature** に変更します。
drumdevctl コマンドの実行例を次に示します。

```
BKServer > drmdvctl 0000000001 -sigset
```

4. 副ボリュームのディスク **Signature** が正しく変更されたことを確認します。

drmdvctl コマンドに `-sigview` オプションを指定して実行します。

別のドライブに同じディスク **Signature** が存在する場合など、いったん変更したディスク **Signature** が **Windows** によって再変更されることがあるため、必ず確認してください。

drmdvctl コマンドの実行例を次に示します。

```
BKServer > drmdvctl 0000000001 -sigview
COPY_GROUP  DEVICE          TYPE  CUR_DISKID  BKU_DISKID
VG01,dev01  Harddisk10      MBR   ABCDEF01    ABCDEF01
VG01,dev02  Harddisk11      MBR   ABCDEF02    ABCDEF02
VG01,dev03  Harddisk12      MBR   ABCDEF03    ABCDEF03
```

ディスク **Signature** を変更したあとの操作

Windows Server 2008 以降の環境を使用している場合、次の手順で副ボリュームのディスク状態を「オフライン」に戻します。

1. **RAID Manager** の `inraid $Phys -CLI` コマンドを使用して、ディスク **Signature** を変更した副ボリュームのディスク番号を確認します。

inraid \$Phys -CLI コマンドの実行例を次に示します。

```
D:\>inraid $Phys -CLI
D:\>inraid $Phys -CLI
DEVICE_FILE  PORT      SERIAL  LDEV CTG  H/M/12  SSID R:Group
PRODUCT_ID
Harddisk1    CL1-D    77010114  0    -    -    0000 5:00-00
DF600F-CM
Harddisk2    CL1-D    77010114  803  -    s/S/ss 0000 5:00-00
DF600F
Harddisk3    CL1-D    77010114  804  -    s/S/ss 0000 5:00-00
DF600F
Harddisk4    CL1-D    77010114  805  -    s/S/ss 0000 5:00-00
DF600F
```

「DEVICE_FILE」列の数字がディスク番号です。

2. `diskpart` コマンドを起動します。
3. サーバに接続されたディスクの一覧が表示されます。「ディスク ###」列の数字がディスク番号です。ディスク番号が手順 1 で確認した副ボリュームのディスク番号と一致するディスクの「状態」列に「オンライン」と表示されていることを確認します。
4. ディスク状態が「オンライン」で対象の副ボリュームに次の操作を繰り返します。
 - 「select disk <ディスク番号>」と入力します。
「ディスク <ディスク番号> が選択されました。」と表示されます。
 - 「offline disk」と入力します。
「DiskPart は選択されたディスクをオフラインにしました。」と表示されます。
5. 現在のディスク状態を表示するために、「list disk」と入力します。
ディスク **Signature** を変更した副ボリュームのディスクの「状態」列に「オフライン」と表示されていることを確認します。
6. `diskpart` コマンドを終了するために、「exit」と入力します。

(3) 回復手順（ファイルサーバまたはデータベースサーバでの操作）

ファイルサーバまたはデータベースサーバでは、**RAID Manager** のコマンドを使用して、次の手順で副ボリュームをリストアします。

副ボリュームをリストアする手順を示します。

1. 副ボリュームをリストアできるように、クラスタリソースの状態を変更します。

クラスタリソースがオフライン状態でのリストアを実行した場合

クラスタリソースの物理ディスクリソースが「オフライン」状態または「失敗」状態であることを確認します。

クラスタリソースがオンライン状態でのリストアを実行した場合

クラスタリソースの物理ディスクリソースの状態を変更します。

Windows Server 2003 の場合

次の手順で、物理ディスクリソースの状態を「オンライン(Ext Maintenance, Internal State 'オフライン')」に変更します。

・ 次のコマンドを実行して、物理ディスクリソースの状態を「オンライン」から「オンライン(保守)」に変更します。

```
FSServer > CLUSTER RESOURCE "リソース名" /MAINTENANCEMODE:ON
```

・ 次のコマンドを実行して、物理ディスクリソースを「オンライン(保守)」から「オンライン(Ext Maintenance, Internal State 'オフライン')」に変更します。

```
FSServer > CLUSTER RESOURCE "リソース名" /EXTMAINTENANCEMODE:ON
```

Windows Server 2008 以降の場合※

次のコマンドを実行して、物理ディスクリソースの状態を「オンライン」から「オンライン(保守)」に変更します。

```
FSServer > CLUSTER RESOURCE "リソース名" /MAINTENANCEMODE:ON
```

CLUSTER コマンドがシステムエラー 997 を返した場合、数秒間待つと、処理は正常に終了します。

注※ Windows Server 2012 の場合、"FailoverCluster-CmdInterface"コンポーネントのインストールが必要です。

2. RAID Manager のコマンドを使用して、副ボリュームをリストアします。

pairdisplay コマンドを実行してペア状態を確認したあと、pairresync コマンドおよび pairsplit コマンドを実行します。pairresync コマンドは、ペア状態が「PSUS-SSUS」、pairsplit コマンドは、ペア状態が「PAIR-PAIR」になっていることを確認してから実行します。

pairresync コマンド、および pairsplit コマンドの実行例を次に示します。

```
FSServer > pairdisplay -g VG01
FSServer > pairresync -g VG01 -restore
FSServer > pairdisplay -g VG01
FSServer > pairsplit -g VG01
```

3. クラスタリソースをオンラインにします。

クラスタリソースがオフライン状態でのリストアを実行した場合

クラスタアドミニストレータを起動して、クラスタグループに含まれるすべてのクラスタリソースをオンラインにしてください。

クラスタリソースがオンライン状態でのリストアを実行した場合

クラスタリソースの物理ディスクリソースの状態を変更します。

Windows Server 2003 の場合

次の手順で、物理ディスクリソースの状態を「オンライン」に変更します。

・ 次のコマンドを実行して、物理ディスクリソースの状態を「オンライン(Ext Maintenance, Internal State 'オフライン')」から「オンライン(保守)」に変更します。

```
FSServer > CLUSTER RESOURCE "リソース名" /EXTMAINTENANCEMODE:OFF
```

・ 次のコマンドを実行して、物理ディスクリソースを「オンライン(保守)」から「オンライン」に変更します。

```
FSServer > CLUSTER RESOURCE "リソース名" /MAINTENANCEMODE:OFF
```

Windows Server 2008 以降の場合※

次のコマンドを実行して、物理ディスクリソースを「オンライン(保守)」から「オンライン」に変更します。

```
FSServer > CLUSTER RESOURCE "リソース名" /MAINTENANCEMODE:OFF
```

CLUSTER コマンドがシステムエラー 997 を返した場合、数秒間待つと、処理は正常に終了します。

注※ Windows Server 2012 の場合、"FailoverCluster-CmdInterface"コンポーネントのインストールが必要です。

4. DBMS をリストアコマンドが実行できる状態にします。

バックアップ対象が Exchange データベースの場合

システムマネージャを起動して、インフォメーションストアを再マウントします。

バックアップ対象が SQL Server データベースの場合

コマンドを実行するための SQL Server データベースの条件については、マニュアル「*Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド*」を参照してください。

5. リストアコマンドを再実行します。

Replication Manager Application Agent のリストアコマンドを再度実行してください。

(4) 回避方法

KAVX5137-E または KAVX0006-E/DRM-10041 を回避するために、次のどちらかの方法で運用してください。

- バックアップサーバからすべての副ボリュームを隠ぺいする
ディスク Signature の変更を抑止するには、Replication Manager Application Agent でバックアップおよびリストアを運用する前にシステム全体に対して drmdvct1 コマンドを実行して、すべての副ボリュームを隠ぺいしてください。ただし、バックアップサーバから副ボリュームを隠ぺいする前に、ディスク Signature が変更されていることがあるため、副ボリュームを隠ぺいしたあと、すべての副ボリュームをバックアップ先としてバックアップを取得してください。副ボリュームを隠ぺいすると、すべての副ボリュームが上書きされます。副ボリュームのバックアップデータが必要な場合は、テープなどにバックアップしてから操作してください。
バックアップサーバからすべての副ボリュームを隠ぺいする方法については、マニュアル「*Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド*」を参照してください。
- リストア前にディスク Signature を確認・変更する
リストア前にディスク Signature が変更されているか確認し、変更されている場合はディスク Signature を変更したあと、リストアを実行するようにしてください。ディスク Signature の確認・変更方法については、「(2) 回復手順 (バックアップサーバでの操作)」の「ディスク Signature の変更」を参照してください。

KDJE で始まるメッセージ

この章では、Hitachi Command Suite 共通コンポーネントに関するメッセージについて説明します。

□ 12.1 KDJE40000～KDJE49999

12.1 KDJE40000~KDJE49999

Hitachi Command Suite 共通コンポーネントに関するメッセージを次の表に示します。

表 12-1 KDJE40000~KDJE49999 : Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのメッセージ

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KDJE41000-E	Failed to connect to web container. errno= <i>aa...aa</i> , <i>bb...bb</i> , <i>cc...cc</i> <i>aa...aa</i> : システム固有のエラー番号 <i>bb...bb</i> : Web サーバとの通信に使用する Web コンテナの IP アドレス <i>cc...cc</i> : Web サーバとの通信に使用する Web コンテナのポート番号 出力先 : syslog/Eventlog	Web コンテナとの接続に失敗しました。 次に示すことを確認してください。 1. ワーカーのポート番号が正しいか。 2. ワーカーのホスト名, または IP アドレスが正しいか。 3. Web コンテナの実行待ちキューの最大値を超えていないか。 4. Web コンテナが起動しているか。 また, システム固有のエラー番号 (UNIX では <code>errno.h</code> の定義値, Windows では <code>WSAGetLastError()</code> の返値) によって原因を取り除いてください。
KDJE41001-E	Redirection to worker <i>aa...aa</i> failed. <i>aa...aa</i> : ワーカー名 出力先 : syslog/Eventlog	ワーカーとの通信で障害が発生しました。 <i>aa...aa</i> のワーカーとの通信で障害が発生しました。直前に出力されているメッセージ (KDJE41000-E など) によって対処してください。
KDJE41002-E	Could not redirect the request to worker. Because redirector could not access the definition file : <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : ファイル名 出力先 : syslog/Eventlog	定義ファイルにアクセスできないため, リダイレクターはリクエストをワーカーに転送できませんでした。 <i>aa...aa</i> の定義ファイルにアクセスできません。該当ファイルの有無, およびアクセス権を確認後, Web サーバを再起動してください。
KDJE41003-W	Invalid parameter value is specified in <i>aa...aa</i> file : (<i>bb...bb</i> = <i>cc...cc</i>). Default parameter value is used : <i>dd...dd</i> <i>aa...aa</i> : ファイル名 <i>bb...bb</i> : パラメーター名 <i>cc...cc</i> : 値 <i>dd...dd</i> : デフォルト値 出力先 : syslog/Eventlog	パラメーターに指定された値が不正です。デフォルト値を使用します。 <i>aa...aa</i> のファイルの <i>bb...bb</i> のパラメーターをデフォルト値から変更する場合は, <i>bb...bb</i> のパラメーターに適切な値を指定し, Web サーバを再起動してください。
KDJE41004-E	Could not redirect the request to a worker because request header was too long. 出力先 : syslog/Eventlog	HTTP リクエストのヘッダー情報のサイズが大きすぎるため, リダイレクターはリクエストをワーカーに転送できませんでした。 HTTP リクエストのヘッダー情報のサイズが不正に大きくなる要因を取り除き, 再度アクセスしてください。要因としては, HTTP の POST メソッドを使用する必要がある個所で GET メソッドを使用している場合が考えられます。
KDJE41005-E	Could not redirect the request to a worker because worker name which is specified in the mapping definition file was not defined to worker.list parameter in the workers definition file. (worker name= <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : ワーカー名 出力先 : syslog/Eventlog	マッピング定義ファイルに指定されたワーカーがワーカー定義ファイルの <code>worker.list</code> パラメーターに定義されていないため, リダイレクターはリクエストをワーカーに転送できませんでした。 マッピング定義ファイル (デフォルト名 : <code>uriworkermapping.properties</code>) に指定したワーカー名 (<i>aa...aa</i>) の定義を, ワーカー定義ファイル (デフォルト名 : <code>workers.properties</code>) の

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		worker.list パラメーターに定義し、Web サーバを再起動してください。
KDJE41006-E	Could not redirect the request to a worker because a required parameter was not specified in the workers definition file. (parameter= <i>aa...aa</i>) <i>aa...aa</i> : パラメーター名 出力先 : syslog/Eventlog	ワーカー定義ファイルに必須のパラメーターが指定されていないため、リダイレクターはリクエストをワーカーに転送できませんでした。ワーカー定義ファイル (デフォルト名 : workers.properties) に <i>aa...aa</i> パラメーターを指定し、Web サーバを再起動してください。
KDJE41007-E	Could not redirect the request to a worker because invalid value was specified in the workers definition file. (parameter= <i>aa...aa</i> ,value= <i>bb...bb</i>) <i>aa...aa</i> : パラメーター名 <i>bb...bb</i> : 値 出力先 : syslog/Eventlog	ワーカー定義ファイルに指定されたパラメーターの値が不正なため、リダイレクターはリクエストをワーカーに転送できませんでした。ワーカー定義ファイル (デフォルト名 : workers.properties) のパラメーター (<i>aa...aa</i>) に適切な値を指定し、Web サーバを再起動してください。
KDJE41008-W	Invalid parameter value is specified in the workers definition file (parameter= <i>aa...aa</i> ,value= <i>bb...bb</i>). Default parameter value is used : <i>cc...cc</i> <i>aa...aa</i> : パラメーター名 <i>bb...bb</i> : 値 <i>cc...cc</i> : デフォルト値 出力先 : syslog/Eventlog	ワーカー定義ファイルに指定されたパラメーターの値が不正です。デフォルト値を使用します。ワーカー定義ファイル (デフォルト名 : workers.properties) のパラメーター (<i>aa...aa</i>) をデフォルト値から変更する場合は、 <i>aa...aa</i> パラメーターに適切な値を指定し、Web サーバを再起動してください。
KDJE41009-E	Could not create worker because it is out of memory. 出力先 : syslog/Eventlog	メモリー不足のため、ワーカーを作成できませんでした。メモリーが不足しています。システムが利用できるメモリー使用量を確保し、Web サーバを再起動してください。要因としてワーカー定義ファイルのパラメーター (worker.<ワーカー名>.cachesize) に指定した値が大き過ぎる可能性があります。worker.<ワーカー名>.cachesize の値は、次に示す式に従ってメモリーを消費します。 メモリー消費量 = (worker.<ワーカー名>.cachesize の値) × 10 キロバイト
KDJE41010-E	Failed to connect to web client. errno= <i>aa...aa</i> <i>aa...aa</i> : システム固有のエラー番号 出力先 : syslog/Eventlog	リクエストを要求したクライアントとの接続に失敗しました。リクエストを要求したクライアントが通信途中に停止した可能性があります。また、システム固有のエラー番号 (UNIX では errno.h の定義値、Windows では GetLastError () の返値) によって原因を取り除いてください。
KDJE41012-E	The uri pattern that does not start with '/' was specified in the <i>aa...aa</i> file. This parameter is ignored(<i>bb...bb</i> to <i>cc...cc</i>). <i>aa...aa</i> : ファイル名 <i>bb...bb</i> : uri パターン <i>cc...cc</i> : ワーカー名 出力先 : syslog/Eventlog	定義ファイルに指定する、uri パターンの先頭が「/」ではありません。パラメーター定義の内容を無視します。指定した uri パターンとワーカー名を有効にする場合は、 <i>aa...aa</i> ファイルに指定しているワーカー名 <i>cc...cc</i> の uri パターン <i>bb...bb</i> の先頭に「/」を付けて、Web サーバを再起動してください。
KDJE41016-E	Could not redirect the request because it is out of memory.	メモリー不足のため、リダイレクターはリクエストを転送できませんでした。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	出力先：syslog/Eventlog	メモリーが不足しています。システムが利用できるメモリー使用量を確保し、Web サーバを再起動してください。

KFPx で始まるメッセージ

この章では、HiRDB に関するメッセージについて説明します。

□ 13.1 KFPx メッセージの詳細

13.1 KFPx メッセージの詳細

HiRDB に関するエラーメッセージを説明します。

表 13-1 HiRDB のエラーメッセージの説明と表の対応

表の内容	表番号	表タイトル	メッセージの説明と対処
出力される頻度の高いメッセージについて、プレフィックスごとに表を分けて説明していません。	表 13-2	HiRDB のメッセージ (KFPH)	各メッセージ ID の「説明と対処」に記載されている内容に従ってください。
	表 13-3	HiRDB のメッセージ (KFPO)	
	表 13-4	HiRDB のメッセージ (KFPR)	
	表 13-5	HiRDB のメッセージ (KFPS)	
出力される頻度の低いメッセージについて、メッセージの説明と対処ごとに表を分けて、説明しています。	表 13-6	HiRDB のメッセージ (対処不要)	このメッセージへの対処は不要です。
	表 13-7	HiRDB のメッセージ (保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡)	保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
	表 13-8	HiRDB のメッセージ (再実行)	エラーの原因となった操作を再実行してください。再実行後に同じエラーが出力される場合は、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
	表 13-9	HiRDB のメッセージ (データベース回復)	hcmsbackups コマンドで取得したバックアップを使用して、hcmsdb コマンドでデータベースを回復してください。
	表 13-10	HiRDB のメッセージ (再起動後に再実行)	Hitachi Command Suite 製品のサービスプログラムを停止し、システムを再起動したあと、操作を再実行してください。再実行後に同じメッセージが出力される場合は、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。

エラーメッセージはメッセージ ID とメッセージテキスト (エラーメッセージ本文) で構成されます。形式を以下に示します。

- 形式

KFPAmrrrrmm-z メッセージテキスト (「表 13-7 HiRDB のメッセージ (保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡)」を参照してください)

KFPCmrrrrmm-z メッセージテキスト (「表 13-6 HiRDB のメッセージ (対処不要)」, 「表 13-7 HiRDB のメッセージ (保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡)」を参照してください)

KFPDmrrrrmm-z メッセージテキスト (「表 13-6 HiRDB のメッセージ (対処不要)」 ~ 「表 13-8 HiRDB のメッセージ (再実行)」を参照してください)

KFPHmrrrrmm-z メッセージテキスト (「表 13-2 HiRDB のメッセージ (KFPH)」, 「表 13-6 HiRDB のメッセージ (対処不要)」 ~ 「表 13-9 HiRDB のメッセージ (データベース回復)」を参照してください)

KFPImrrrrmm-z メッセージテキスト (「表 13-8 HiRDB のメッセージ (再実行)」, 「表 13-9 HiRDB のメッセージ (データベース回復)」を参照してください)

KFPKmrrrrmm-z メッセージテキスト (「表 13-7 HiRDB のメッセージ (保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡)」を参照してください)

KFPLmrrrrmm-z メッセージテキスト (「表 13-6 HiRDB のメッセージ (対処不要)」 ~ 「表 13-10 HiRDB のメッセージ (再起動後に再実行)」を参照してください)

KFP0mmmm-z メッセージテキスト（「表 13-3 HiRDB のメッセージ (KFPO)」, 「表 13-7 HiRDB のメッセージ (保守情報を取得し, 問い合わせ窓口に連絡)」を参照してください)

KFPRmmmm-z メッセージテキスト（「表 13-4 HiRDB のメッセージ (KFPR)」, 「表 13-6 HiRDB のメッセージ (対処不要)」～「表 13-9 HiRDB のメッセージ (データベース回復)」を参照してください)

KFPSmmmm-z メッセージテキスト（「表 13-5 HiRDB のメッセージ (KFPS)」～「表 13-10 HiRDB のメッセージ (再起動後に再実行)」を参照してください)

KFPUmmmm-z メッセージテキスト（「表 13-6 HiRDB のメッセージ (対処不要)」～「表 13-8 HiRDB のメッセージ (再実行)」を参照してください)

KFPXmmmm-z メッセージテキスト（「表 13-6 HiRDB のメッセージ (対処不要)」～「表 13-9 HiRDB のメッセージ (データベース回復)」を参照してください)

mmmm はメッセージ番号, z はメッセージレベルです。次のレベルがあります。

- I : 情報
 - Q : 質問
 - W : 警告
 - E : エラー
- 出力先
エラーメッセージは syslog またはイベントログに出力されます。

表 13-2 HiRDB のメッセージ (KFPH)

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KFPH00135-E	aa...aa command failed, server = SDS01 aa...aa : コマンド名 出力先 : 固有ログトレース, および syslog またはイベントログ	サーバ SDS01 で, 運用コマンド aa...aa の処理ができませんでした。システムは, サーバ SDS01 の処理を無効にして処理を続行します。このメッセージが出力される直前に実行した操作を再実行してください。再実行後もこのメッセージが出力される場合は, 保守情報を取得し, 問い合わせ窓口に連絡してください。
KFPH20004-E	Server SDS01 termination failed, function=aa...aa, return code=bbbb aa...aa : エラーの発生した関数 bbbb : リターンコード 出力先 : syslog またはイベントログ	サーバ SDS01 の停止処理時, aa...aa でコード bbbb のエラーが発生しました。システムは, サーバ SDS01 の停止処理を終了します。サーバの停止処理より前に実行されていた処理が, 完了していません。実行中の処理が完了してから, サーバの停止処理を再実行してください。再実行後もこのメッセージが出力される場合は, 保守情報を取得し, 問い合わせ窓口に連絡してください。
KFPH23006-E	Failed to allocate semaphore, errno=aa...aa aa...aa : エラーの要因コード 4 : 1 セマフォ識別子当たりのセマフォ数がシステムの上限值を超えました。 8 : システム全体で使用しているセマフォ数またはセマフォ識別子数がシステムの上限值を超えました。 出力先 : syslog またはイベントログ	セマフォ資源の割り当てに失敗しました。システムは, 異常終了します。システムを再起動してください。再実行後もこのメッセージが出力される場合は, 保守情報を取得し, 問い合わせ窓口に連絡してください。

表 13-3 HiRDB のメッセージ (KFPO)

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KFPO00113-E	"shmget(manager)" failed. size=aa....aa, errno=bbb aa....aa : 取得しようとした共用メモリのサイズ (単位: バイト) bbb : shmget システムコールの errno 値 出力先: syslog または イベントログ	共用メモリを取得するために発行した shmget システムコールがエラーになりました。システムは、異常終了します。 Hitachi Command Suite 製品のサービスプログラムを停止し、システムを再起動した後、再実行してください。再実行後もこのメッセージが出力される場合は、システムコールの errno 値※に従って、対処をしてください。
KFPO00114-E	"shmget(aa....aa)" failed. size=bb....bb, errno=ccc aa....aa : サーバ識別子 bb....bb : 取得しようとした共用メモリのサイズ (単位: バイト) ccc : shmget システムコールの errno 値 出力先: syslog または イベントログ	サーバ aa....aa が使用する共用メモリの取得時、shmget システムコールでエラーが発生しました。システムは、処理を終了します。 Hitachi Command Suite 製品のサービスプログラムを停止し、システムを再起動した後、再実行してください。再実行後もこのメッセージが出力される場合は、システムコールの errno 値※に従って、対処をしてください。

注※

errno 値ごとの原因と対処について次の表に示します。

errno 値	原因		対処	
	Windows	Solaris および Linux	Windows	Solaris および Linux
12	リソースが不足しています。	取得しようとした共用メモリのサイズがマシン上のメモリ量を超えています。	Hitachi Command Suite 製品がセットアップされているシステムの性能が、前提条件を満たしているか確認してください。 システムが前提条件を満たしていない場合は、チューニングしてください。 システムが前提条件を満たしている場合は、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。	
22	HiRDB の稼働中に、HiRDB のインストールディレクトリ下の作業ファイルを削除した可能性があります。	取得しようとした共用メモリのサイズが、OS のカーネルパラメーターの shmmx の指定値を超えています。	hcmdssrv /stop コマンドで、Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのサービスを停止してください。 その後、hcmdssrv /start コマンドで、Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのサービスを再起動してください。	Solaris 版 : カーネルパラメーターの shmsys:shminfo_shmmax の指定値を大きくした後、該当するサーバを再起動してください。 Linux 版 : カーネルパラメーターの kernel.shmmax の指定値を大きくした後、該当するサーバを再起動してください。
28	インストールドライブの容量が不足しています。	共用メモリ識別子の数が OS の上限値を超えています。	インストールドライブに、共用メモリサイズ以上の空き容量を確保してください。	次の対処をしてください。 ・同一マシン上にある共用メモリセグメント数を減らしてください。 ・カーネルパラメーターの shmmni の指定値を大きくしてください。
上記以外	—	—	保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。	

表 13-4 HiRDB のメッセージ (KFPR)

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KFPR26032-E	Unable to remove temporary file, host= <i>aa....aa</i> , file= <i>bb....bb</i> <i>aa....aa</i> : 削除できないファイルがある ホスト名 <i>bb....bb</i> : 削除できないファイル名 出力先 : syslog または イベントログ	一時ファイルを削除できません。システムは処理を続行します。 処理が終了したあと、ファイル名 <i>bb....bb</i> のファイルを削除してください。このメッセージが何度も出力される場合、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
KFPR26243-E	Unable to remove temporary file, host= <i>aa....aa</i> , file= <i>bb....bb</i> <i>aa....aa</i> : 削除できないファイルがある ホスト名 <i>bb....bb</i> : 削除できないファイル名 出力先 : syslog または イベントログ	一時ファイルを削除できません。システムは、処理を続行します。 処理が終了したあと、ファイル名 <i>bb....bb</i> のファイルを削除してください。このメッセージが何度も出力される場合、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。

表 13-5 HiRDB のメッセージ (KFPS)

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KFPS00719-E	Message output error. message ID= <i>aaa</i> <i>aaa</i> : 出力しようとしたメッセージの メッセージ ID 出力先 : 固有ログトレース, および syslog または イベントログ	メッセージを出力するときにメモリ不足が発生しました。システムは、処理を続行します。 Hitachi Command Suite 製品のサービスプログラムを停止し、システムを再起動してください。 メッセージ ID <i>aaa</i> の「説明と対処」に記載されている内容に従ってください。

表 13-6 HiRDB のメッセージ (対処不要)

プレフィックス	メッセージ ID
KFPC	KFPC00101-I
KFPD	KFPD00029-W
KFPH	KFPH00035-W, KFPH00110-I, KFPH00115-I, KFPH00130-I, KFPH00134-I, KFPH00157-W, KFPH00210-I, KFPH00211-I, KFPH00212-I, KFPH00213-W, KFPH00372-I, KFPH20006-W, KFPH20007-W, KFPH20008-W, KFPH20009-W, KFPH20010-W, KFPH20015-I, KFPH22004-W, KFPH22012-W, KFPH22017-I, KFPH22019-I, KFPH22020-W, KFPH22021-W, KFPH22022-E, KFPH22023-W, KFPH22024-I, KFPH22030-W, KFPH22031-W, KFPH22034-W, KFPH23008-W, KFPH23013-W, KFPH23014-W, KFPH23017-W, KFPH23018-W, KFPH23024-I, KFPH23030-I, KFPH23201-W, KFPH23202-W, KFPH24004-I, KFPH26001-I, KFPH26010-I, KFPH29005-W, KFPH29006-W, KFPH29008-I
KFPL	KFPL00700-I, KFPL00701-I, KFPL00702-I, KFPL00703-I, KFPL00704-I, KFPL00705-I, KFPL00707-I, KFPL00708-I, KFPL00709-I, KFPL00710-I, KFPL00712-I, KFPL00713-I, KFPL00714-I, KFPL00715-I, KFPL00716-I, KFPL00717-I, KFPL00719-I, KFPL00720-I, KFPL00721-I, KFPL00722-I, KFPL00723-I, KFPL00724-I, KFPL00725-I, KFPL00726-I, KFPL00727-I, KFPL00728-I, KFPL00732-I, KFPL00733-I, KFPL00734-I, KFPL00735-I, KFPL00736-I, KFPL00738-I, KFPL00739-I, KFPL00750-I, KFPL00751-I, KFPL00800-I, KFPL00810-I, KFPL00900-I, KFPL22222-I, KFPL22223-I, KFPL25700-I, KFPL50000-I, KFPL50001-I
KFPR	KFPR00754-I, KFPR00756-I, KFPR00757-I, KFPR00758-I, KFPR00764-I, KFPR00765-I, KFPR00766-I, KFPR00767-I, KFPR00768-I, KFPR00786-I, KFPR16110-I, KFPR26022-I, KFPR26023-I, KFPR26028-I, KFPR26029-I, KFPR26052-I, KFPR26053-I, KFPR26057-I, KFPR26058-I, KFPR26060-I, KFPR26061-W, KFPR26062-W, KFPR26063-I, KFPR26109-I, KFPR26222-I, KFPR26233-I, KFPR26241-W, KFPR26257-I, KFPR26258-I, KFPR26262-W,

プレフィックス	メッセージ ID
	KFPR26264-I, KFPR26265-I, KFPR26270-W, KFPR26272-W, KFPR26275-I, KFPR26276-I
KFPS	KFPS00056-I, KFPS00354-W, KFPS00441-I, KFPS00444-I, KFPS00446-W, KFPS00447-I, KFPS00450-W, KFPS00451-I, KFPS00610-I, KFPS00611-I, KFPS00847-W, KFPS00860-W, KFPS00958-I, KFPS00971-I, KFPS00972-I, KFPS00973-I, KFPS00980-W, KFPS00983-I, KFPS00985-I, KFPS00986-W, KFPS00988-I, KFPS00990-I, KFPS00991-I, KFPS00993-I, KFPS01001-I, KFPS01008-I, KFPS01011-I, KFPS01012-I, KFPS01041-I, KFPS01043-I, KFPS01044-I, KFPS01051-I, KFPS01060-I, KFPS01061-I, KFPS01062-I, KFPS01063-I, KFPS01104-W, KFPS01108-W, KFPS01109-W, KFPS01114-W, KFPS01116-W, KFPS01128-W, KFPS01130-W, KFPS01151-I, KFPS01152-W, KFPS01153-I, KFPS01154-I, KFPS01155-W, KFPS01156-I, KFPS01157-W, KFPS01161-I, KFPS01162-W, KFPS01163-W, KFPS01175-W, KFPS01182-I, KFPS01206-W, KFPS01211-I, KFPS01212-I, KFPS01213-W, KFPS01215-I, KFPS01216-I, KFPS01217-I, KFPS01218-I, KFPS01221-I, KFPS01222-I, KFPS01224-I, KFPS01225-I, KFPS01227-W, KFPS01228-W, KFPS01229-I, KFPS01234-I, KFPS01250-I, KFPS01252-I, KFPS01253-I, KFPS01255-W, KFPS01258-W, KFPS01262-I, KFPS01263-I, KFPS01265-I, KFPS01266-I, KFPS01269-I, KFPS01271-I, KFPS01278-W, KFPS01279-W, KFPS01800-I, KFPS01803-I, KFPS01813-I, KFPS01814-I, KFPS01819-I, KFPS01826-I, KFPS01830-I, KFPS01831-I, KFPS01832-I, KFPS01833-I, KFPS01836-W, KFPS01837-I, KFPS01838-W, KFPS01840-I, KFPS01842-I, KFPS01843-I, KFPS01849-W, KFPS01872-I, KFPS01877-I, KFPS01878-I, KFPS01888-W, KFPS01890-I, KFPS01894-I, KFPS01900-I, KFPS02101-I, KFPS02104-W, KFPS02105-W, KFPS02112-W, KFPS02118-I, KFPS02119-I, KFPS02122-W, KFPS02123-W, KFPS02124-W, KFPS02125-W, KFPS02127-W, KFPS02176-I, KFPS02177-I, KFPS02179-I, KFPS02181-I, KFPS02183-I, KFPS02185-I, KFPS02186-W, KFPS02187-I, KFPS02188-I, KFPS02189-W, KFPS02194-I, KFPS02195-W, KFPS02196-W, KFPS02240-W, KFPS04320-W, KFPS04321-W, KFPS04322-W, KFPS04323-W, KFPS04370-W, KFPS04371-W, KFPS04372-I, KFPS04373-I, KFPS04605-W, KFPS04620-I, KFPS04624-I, KFPS04629-I, KFPS04643-I, KFPS04644-I, KFPS04650-I, KFPS04651-W, KFPS04654-W, KFPS04660-I, KFPS04661-I, KFPS04663-W, KFPS04664-I, KFPS05024-I, KFPS05025-I, KFPS05048-Q, KFPS05072-W, KFPS05078-I, KFPS05110-I, KFPS05753-W
KFPU	KFPU00210-W, KFPU00211-W, KFPU00212-W
KFPX	KFPX14045-W, KFPX14046-W, KFPX14047-W, KFPX14078-W, KFPX14245-W, KFPX14246-W, KFPX14247-W, KFPX14250-I, KFPX18507-W, KFPX24012-I, KFPX24013-I, KFPX24212-I, KFPX24213-I, KFPX24225-I, KFPX24226-I, KFPX24237-I, KFPX24239-I, KFPX24261-I, KFPX24402-E, KFPX24404-I, KFPX28400-I, KFPX28401-I, KFPX28402-I

表 13-7 HiRDB のメッセージ (保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡)

プレフィックス	メッセージ ID
KFPA	KFPA20005-E, KFPA20006-E
KFPC	KFPC00102-E, KFPC00103-I, KFPC00104-E
KFPD	KFPD00011-E, KFPD00013-E, KFPD00014-E, KFPD00024-W, KFPD00030-W
KFPH	KFPH00131-E, KFPH00133-E, KFPH00141-E, KFPH00142-E, KFPH00153-E, KFPH00154-E, KFPH00155-W, KFPH00156-E, KFPH20001-E, KFPH20011-E, KFPH20012-E, KFPH20013-E, KFPH20016-E, KFPH22005-E, KFPH22006-E, KFPH22007-E, KFPH22008-E, KFPH22009-E, KFPH22010-E, KFPH22011-E, KFPH22014-E, KFPH22015-E, KFPH22016-E, KFPH23001-E, KFPH23002-E, KFPH23009-E, KFPH23010-E, KFPH23011-W, KFPH23012-E, KFPH23015-E, KFPH23016-E, KFPH23021-E, KFPH23029-E, KFPH23031-E, KFPH23032-E, KFPH23033-E, KFPH23034-E, KFPH25101-E, KFPH26000-E, KFPH27000-E

プレフィックス	メッセージ ID
	KFPH27004-E, KFPH27009-E, KFPH27010-E, KFPH27011-E, KFPH27030-E, KFPH27032-E, KFPH28001-E
KFPK	KFPK00204-E
KFPL	KFPL10000-E, KFPL10001-E, KFPL10002-E, KFPL10003-E, KFPL10004-E, KFPL10005-E, KFPL10006-E, KFPL11111-E, KFPL15010-E, KFPL15030-E, KFPL15036-E, KFPL15046-E, KFPL15047-E, KFPL15052-E, KFPL15059-E, KFPL15060-E, KFPL15061-E, KFPL15062-E, KFPL15063-E, KFPL15064-E, KFPL15065-E, KFPL15066-E, KFPL15067-E, KFPL15068-E, KFPL15069-E, KFPL15070-E, KFPL15199-E, KFPL15224-E, KFPL15225-E, KFPL15226-E, KFPL15229-E, KFPL15231-E, KFPL15234-E, KFPL15246-E, KFPL15281-E, KFPL15282-E, KFPL15283-E, KFPL15288-E, KFPL15300-E, KFPL15301-E, KFPL15302-E, KFPL15305-E, KFPL15308-E, KFPL15310-E, KFPL15311-E, KFPL15312-E, KFPL15313-E, KFPL15314-E, KFPL15315-E, KFPL15316-E, KFPL15317-E, KFPL15318-E, KFPL15319-E, KFPL15321-E, KFPL15322-E, KFPL15323-E, KFPL15326-E, KFPL15331-E, KFPL15333-E, KFPL15334-E, KFPL15335-E, KFPL15336-E, KFPL15337-E, KFPL15338-E, KFPL15339-E, KFPL15340-E, KFPL15341-E, KFPL15342-E, KFPL15343-E, KFPL15344-W, KFPL15346-W, KFPL15347-E, KFPL15348-E, KFPL15349-E, KFPL16300-E, KFPL16310-E, KFPL16320-E, KFPL16321-E, KFPL16322-E, KFPL16323-E, KFPL16324-E, KFPL16325-W, KFPL16327-E, KFPL17000-E, KFPL17001-E, KFPL17010-E, KFPL20005-E, KFPL20090-E, KFPL20091-E, KFPL20100-E, KFPL22001-E, KFPL23100-E, KFPL23500-E, KFPL24100-E, KFPL24152-E, KFPL24500-E, KFPL24509-E, KFPL24510-E, KFPL25040-E, KFPL25200-E, KFPL25210-E, KFPL25212-E, KFPL25213-E, KFPL25222-W, KFPL25338-E, KFPL25339-E, KFPL25340-E, KFPL25342-E, KFPL25343-E, KFPL25344-E, KFPL25347-E, KFPL25352-E, KFPL25353-E, KFPL25354-E, KFPL25355-E, KFPL25356-E, KFPL25357-E, KFPL25358-E, KFPL25359-E, KFPL25710-E, KFPL25999-E, KFPL26339-E, KFPL26340-E, KFPL26342-E, KFPL27100-E, KFPL27500-E, KFPL28000-E, KFPL28002-E, KFPL28101-E, KFPL28102-E, KFPL28103-E, KFPL28104-E, KFPL51203-E
KFPO	KFPO00100-E, KFPO00109-E, KFPO00111-E, KFPO00112-E, KFPO00115-E
KFPR	KFPR16003-E, KFPR16014-E, KFPR16101-E, KFPR16102-E, KFPR16108-E, KFPR16126-E, KFPR16127-E, KFPR16128-E, KFPR16203-E, KFPR16214-E, KFPR16301-E, KFPR16302-E, KFPR16303-E, KFPR16308-E, KFPR16318-E, KFPR16328-E, KFPR16330-E, KFPR16333-E, KFPR16334-E, KFPR16338-E, KFPR16339-E, KFPR26003-E, KFPR26005-E, KFPR26006-E, KFPR26007-E, KFPR26008-E, KFPR26009-E, KFPR26010-E, KFPR26011-E, KFPR26012-E, KFPR26015-E, KFPR26016-E, KFPR26018-E, KFPR26020-E, KFPR26021-E, KFPR26024-E, KFPR26025-E, KFPR26026-E, KFPR26027-E, KFPR26030-E, KFPR26031-E, KFPR26033-E, KFPR26051-E, KFPR26054-E, KFPR26055-E, KFPR26056-E, KFPR26059-E, KFPR26110-E, KFPR26111-E, KFPR26203-E, KFPR26205-E, KFPR26206-E, KFPR26207-E, KFPR26208-E, KFPR26209-E, KFPR26210-E, KFPR26212-E, KFPR26215-E, KFPR26216-E, KFPR26218-E, KFPR26220-E, KFPR26221-E, KFPR26224-E, KFPR26225-E, KFPR26226-E, KFPR26227-E, KFPR26228-E, KFPR26229-E, KFPR26230-E, KFPR26232-E, KFPR26234-E, KFPR26235-E, KFPR26236-E, KFPR26237-E, KFPR26238-E, KFPR26239-E, KFPR26240-E, KFPR26242-E, KFPR26244-E, KFPR26254-E, KFPR26255-E, KFPR26273-E, KFPR26277-E, KFPR26280-E
KFPS	KFPS00345-W, KFPS00346-E, KFPS00347-E, KFPS00348-E, KFPS00349-E, KFPS00412-E, KFPS00440-W, KFPS00442-E, KFPS00448-E, KFPS00452-E, KFPS00612-E, KFPS00700-E, KFPS00701-E, KFPS00707-E, KFPS00709-E, KFPS00710-E, KFPS00712-E, KFPS00713-E, KFPS00714-E, KFPS00715-E, KFPS00717-E, KFPS00720-E, KFPS00722-E, KFPS00729-E, KFPS00803-E, KFPS00835-E, KFPS00840-E, KFPS00841-E, KFPS00850-E, KFPS00856-E

プレフィックス	メッセージID
	KFPS00857-E, KFPS00957-E, KFPS00961-E, KFPS00962-E, KFPS00992-E, KFPS01005-E, KFPS01006-E, KFPS01009-E, KFPS01010-E, KFPS01040-E, KFPS01042-E, KFPS01064-E, KFPS01070-E, KFPS01090-E, KFPS01121-E, KFPS01129-E, KFPS01150-E, KFPS01160-E, KFPS01220-E, KFPS01226-E, KFPS01275-E, KFPS01277-E, KFPS01301-E, KFPS01820-E, KFPS01823-E, KFPS01824-E, KFPS01835-E, KFPS01862-E, KFPS01864-E, KFPS01865-E, KFPS01866-E, KFPS01868-E, KFPS01874-E, KFPS01875-E, KFPS01891-E, KFPS01898-E, KFPS02102-E, KFPS02111-E, KFPS02126-E, KFPS02135-E, KFPS02137-E, KFPS02139-E, KFPS02141-E, KFPS02143-E, KFPS02144-E, KFPS02145-E, KFPS02147-E, KFPS02148-E, KFPS02149-E, KFPS02153-E, KFPS02154-E, KFPS02155-E, KFPS02156-E, KFPS02157-E, KFPS02158-E, KFPS02160-E, KFPS02173-E, KFPS02190-E, KFPS02256-E, KFPS03302-E, KFPS04621-E, KFPS04622-E, KFPS04623-E, KFPS04625-E, KFPS04670-E, KFPS05047-E, KFPS05076-E, KFPS05091-E, KFPS05100-E, KFPS05101-E, KFPS05102-E, KFPS05111-E, KFPS05236-E
KFPU	KFPU00215-E, KFPU00216-E, KFPU00217-E, KFPU00218-E, KFPU00219-E, KFPU00220-E, KFPU00222-E, KFPU00223-E, KFPU00240-E, KFPU00241-E, KFPU00242-E, KFPU00243-E, KFPU00244-E, KFPU00245-E, KFPU00246-E, KFPU00247-E, KFPU00248-E, KFPU00249-E, KFPU00250-E, KFPU00251-E
KFPX	KFPX14004-E, KFPX14017-E, KFPX14018-E, KFPX14019-E, KFPX14020-E, KFPX14023-E, KFPX14024-E, KFPX14025-E, KFPX14026-E, KFPX14027-E, KFPX14029-E, KFPX14030-E, KFPX14035-E, KFPX14051-E, KFPX14204-E, KFPX14217-E, KFPX14218-E, KFPX14220-E, KFPX14223-E, KFPX14224-E, KFPX14225-E, KFPX14226-E, KFPX14227-E, KFPX14229-E, KFPX14230-E, KFPX14235-E, KFPX14236-E, KFPX14238-E, KFPX14251-E, KFPX14253-E, KFPX14255-W, KFPX14259-E, KFPX14262-E, KFPX14268-W, KFPX14280-E, KFPX14302-W, KFPX18502-E, KFPX18506-E, KFPX18508-E, KFPX18550-E, KFPX18551-E, KFPX18555-E, KFPX18560-E, KFPX18562-E, KFPX18563-E, KFPX18566-E, KFPX24004-E, KFPX24005-E, KFPX24006-E, KFPX24007-E, KFPX24009-W, KFPX24011-W, KFPX24018-E, KFPX24019-E, KFPX24020-E, KFPX24022-E, KFPX24025-W, KFPX24026-E, KFPX24028-W, KFPX24029-W, KFPX24030-E, KFPX24202-E, KFPX24204-E, KFPX24205-E, KFPX24206-E, KFPX24207-E, KFPX24211-W, KFPX24218-E, KFPX24219-E, KFPX24220-E, KFPX24222-E, KFPX24223-E, KFPX24227-E, KFPX24228-E, KFPX24229-E, KFPX24230-E, KFPX24231-W, KFPX24232-E, KFPX24233-E, KFPX24234-E, KFPX24235-E, KFPX24236-E, KFPX24238-W, KFPX24240-W, KFPX24241-E, KFPX24242-W, KFPX24243-E, KFPX24244-I, KFPX24246-W, KFPX24262-E, KFPX24263-E, KFPX24264-E, KFPX24265-E, KFPX24266-E, KFPX24268-E, KFPX24269-E, KFPX24270-E, KFPX24271-E, KFPX24272-E, KFPX24273-E, KFPX24274-E, KFPX24275-E, KFPX24403-E, KFPX24407-E, KFPX24408-E, KFPX24409-E, KFPX24410-E, KFPX28405-E, KFPX28407-E, KFPX28502-E, KFPX28503-E, KFPX28504-W

表 13-8 HiRDB のメッセージ (再実行)

プレフィックス	メッセージID
KFPD	KFPD00012-E, KFPD00020-E, KFPD00021-E
KFPH	KFPH00132-E, KFPH00145-E, KFPH20003-E, KFPH21001-E, KFPH22002-E, KFPH22013-E, KFPH23003-E, KFPH23004-E, KFPH23005-E, KFPH23025-E, KFPH23026-E, KFPH25002-E, KFPH27005-E, KFPH29009-W
KFPI	KFPI21582-E
KFPL	KFPL15040-E, KFPL15048-E, KFPL15240-E, KFPL20001-E, KFPL20003-E, KFPL20200-E, KFPL22000-E, KFPL25341-E
KFPR	KFPR16005-E, KFPR16205-E, KFPR26001-E, KFPR26002-E, KFPR26017-E, KFPR26201-E, KFPR26202-E, KFPR26217-E

プレフィックス	メッセージ ID
KFPS	KFPS00430-E, KFPS00443-I, KFPS00460-E, KFPS00609-E, KFPS00703-E, KFPS00836-E, KFPS00854-W, KFPS00855-W, KFPS00888-W, KFPS00889-E, KFPS00900-I, KFPS00955-E, KFPS00965-E, KFPS01091-E, KFPS01099-E, KFPS01103-E, KFPS01113-E, KFPS01115-E, KFPS01125-E, KFPS01200-E, KFPS01201-E, KFPS01204-E, KFPS01205-E, KFPS01223-E, KFPS01274-E, KFPS01300-E, KFPS01303-E, KFPS01812-E, KFPS01844-E, KFPS01847-E, KFPS01861-E, KFPS01871-E, KFPS02182-E, KFPS02200-E, KFPS02210-E, KFPS02255-E, KFPS04652-E
KFPU	KFPU00221-E
KFPX	KFPX18410-E, KFPX24001-E, KFPX24015-E, KFPX24024-E, KFPX24201-E, KFPX24208-E, KFPX24215-E, KFPX24405-E

表 13-9 HiRDB のメッセージ (データベース回復)

プレフィックス	メッセージ ID
KFPH	KFPH00306-E, KFPH00307-E, KFPH00308-E, KFPH00309-E, KFPH20005-E, KFPH22001-E, KFPH22003-E, KFPH22018-W, KFPH22025-E, KFPH22026-E, KFPH23007-E, KFPH23023-I, KFPH23100-E, KFPH23101-E, KFPH25000-E, KFPH25001-E, KFPH27006-E, KFPH27007-E, KFPH27008-E
KFPI	KFPI21561-E, KFPI21562-E
KFPL	KFPL20020-E
KFPR	KFPR26072-E
KFPS	KFPS01180-E, KFPS01181-E, KFPS01183-E, KFPS01184-E, KFPS01185-E, KFPS01202-E, KFPS01203-E, KFPS01251-E, KFPS01256-E, KFPS01257-E, KFPS01260-E, KFPS01261-E, KFPS01264-E, KFPS01267-E, KFPS01268-E, KFPS01270-E, KFPS01272-E, KFPS01273-E, KFPS01302-E, KFPS02174-E, KFPS02220-E
KFPX	KFPX24017-E, KFPX24217-E

表 13-10 HiRDB のメッセージ (再起動後に再実行)

プレフィックス	メッセージ ID
KFPL	KFPL20000-E, KFPL23000-E, KFPL23001-E
KFPS	KFPS00403-E, KFPS00705-E, KFPS00830-E, KFPS01821-E, KFPS01845-E, KFPS01846-E, KFPS01851-E, KFPS01870-E, KFPS02110-E, KFPS02114-E, KFPS02115-E, KFPS02159-E, KFPS02254-E, KFPS04655-E

RPM で始まるメッセージ

この章では、Replication Manager に関するメッセージについて説明します。

- [14.1 RPM-00000～RPM-09999](#)
- [14.2 RPM-10000～RPM-19999](#)
- [14.3 RPM-20000～RPM-29999](#)

14.1 RPM-00000~RPM-09999

Replication Manager に関するメッセージ (RPM-00000~RPM-09999) を次の表に示します。

表 14-1 RPM-00000~RPM-09999 : Replication Manager のメッセージ

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
RPM-00001	選択されたボリュームはコマンドデバイスです。(ボリューム: <ボリューム>)	要因 コマンドデバイスが選択されています。 対処 対象のボリュームをペア操作対象から除外してください。
RPM-00002	選択されたボリュームはプールボリュームまたはジャーナルボリュームとして使用されています。(ボリューム: <ボリューム>)	要因 プールボリュームまたはジャーナルボリュームが選択されています。 対処 対象のボリュームをペア操作対象から除外してください。
RPM-00003	選択されたボリュームは未サポートのストレージのボリュームです。(ボリューム: <ボリューム>)	要因 ペア設定をサポートしていないストレージのボリュームが選択されています。 対処 対象のボリュームをペア操作対象から除外してください。
RPM-00004	選択されたボリュームはすでにペアになっています。(正ボリューム: <正ボリューム>, 副ボリューム: <副ボリューム>)	要因 ペアになっているボリュームが選択されています。 対処 対象のボリュームをペア操作対象から除外してください。
RPM-00005	選択されたボリュームはホスト I/O 抑止モードが有効になっています。(ボリューム: <ボリューム>)	要因 ホスト I/O 抑止モードが有効になっているボリュームが選択されています。 対処 対象のボリュームのホスト I/O 抑止モードを無効にするか、またはペア操作対象から除外してください。
RPM-00006	選択されたボリュームはほかのワークフローでリザーブされています。(ワークフロー: <ワークフロー名>, ボリューム: <ボリューム>)	要因 ほかのワークフローでリザーブされているボリュームが選択されています。 対処 リザーブされているボリュームをペア操作対象から除外してください。 リザーブされているボリュームでペア操作を行う場合には、ワークフローを削除してから再度実行してください。
RPM-00007	選択されたボリュームが属するストレージシステムのコマンドデバイスを認識しているペア管理サーバがありません。	要因 コマンドデバイスを認識しているペア管理サーバが存在しません。 対処 次のどれかの対処を実施してください。 ・ コマンドデバイスを認識しているペア管理サーバを用意し、Replication Manager に認識させてください。 ・ ペア管理サーバが認識しているコマンドデバイスのセキュリティモードを無効にするか、ペア

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ボリュームをペア管理サーバに割当ててください。
RPM-00008	選択されたボリュームが同一ストレージシステムに属していません。	要因 異なるストレージシステムに属するボリュームが選択されています。 対処 同じストレージシステムのボリュームを選択してください。
RPM-00009	選択されたボリュームのエミュレーションタイプが OPEN-V ではありません。(ボリューム: <ボリューム>)	要因 エミュレーションタイプが OPEN-V でないボリュームがペアの正ボリュームとして選択されています。 対処 対象のボリュームのエミュレーションタイプを OPEN-V に変更するか、またはペア操作対象から除外してください。
RPM-00010	選択されたボリュームのコントローラーにプールが設定されていません。(ボリューム: <ボリューム>)	要因 コントローラーにプールが設定されていないボリュームがペアの正ボリュームとして選択されています。 対処 対象のボリュームのコントローラーにプールを設定するか、またはペア操作対象から除外してください。
RPM-00011	選択されたボリュームは仮想ボリュームです。(ボリューム: <ボリューム>)	要因 仮想ボリュームがペアの正ボリュームとして選択されています。 対処 対象のボリュームをペア操作対象から除外してください。
RPM-00012	選択されたボリュームは S-VOL Disable 属性が設定されています。(ボリューム: <ボリューム>)	要因 S-Vol Disable 属性が設定されているボリュームが選択されています。 対処 対象のボリュームの S-Vol Disable 属性を解除するか、またはペア操作対象から除外してください。
RPM-00013	選択されたボリュームは仮想ボリュームです。(ボリューム: <ボリューム>)	要因 仮想ボリュームがペアの副ボリュームとして選択されています。 対処 対象のボリュームをペア操作対象から除外してください。
RPM-00014	選択されたボリュームは仮想ボリュームではありません。(ボリューム: <ボリューム>)	要因 仮想ボリュームでないボリュームが選択されています。 対処 対象のボリュームをペア操作対象から除外してください。
RPM-00015	選択されたボリュームのエミュレーションタイプが OPEN-V ではありません。(ボリューム: <ボリューム>)	要因 エミュレーションタイプが OPEN-V でないボリュームがペアの副ボリュームとして選択されています。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対象のボリュームのエミュレーションタイプを OPEN-V に変更するか、またはペア操作対象から除外してください。
RPM-00016	選択されたボリュームのコントローラーにプールが設定されていません。 (ボリューム: <ボリューム>)	要因 コントローラーにプールが設定されていないボリュームがペアの副ボリュームとして選択されています。 対処 対象のボリュームのコントローラーにプールを設定するか、またはペア操作対象から除外してください。
RPM-00017	選択されたボリュームはデフォルトポートコントローラーとカレントポートコントローラーが一致していません。 (ボリューム: <ボリューム>)	要因 デフォルトポートコントローラーとカレントポートコントローラーが一致していないボリュームが選択されています。 対処 対象のボリュームのデフォルトポートコントローラーとカレントポートコントローラーを一致させるか、ペア操作対象から除外してください。
RPM-00018	正ボリュームと副ボリュームでエミュレーションタイプが異なります。 (正ボリューム: <正ボリューム>, 副ボリューム: <副ボリューム>)	要因 エミュレーションタイプが異なるボリューム同士が選択されています。 対処 正ボリュームと副ボリュームでエミュレーションタイプを同じにしてください。
RPM-00019	正ボリュームと副ボリュームで容量またはブロックサイズが異なります。 (正ボリューム: <正ボリューム>, 副ボリューム: <副ボリューム>)	要因 正ボリュームと副ボリュームで容量またはブロックサイズが異なります。 対処 ボリュームの容量またはブロックサイズが同じボリュームを選択してください。
RPM-00020	正ボリュームと副ボリュームでデフォルトポートコントローラーが異なります。 (正ボリューム: <正ボリューム>, 副ボリューム: <副ボリューム>)	要因 デフォルトポートコントローラーが異なるボリューム同士が選択されています。 対処 ボリュームのデフォルトポートコントローラーが同じボリュームを選択してください。
RPM-00021	正ボリュームとして選択されたボリュームの中に、CLPR の異なるボリュームが含まれています。	要因 正ボリュームとして選択されたボリュームの中に、CLPR の異なるボリュームが含まれています。 対処 CLPR が同じボリュームを正ボリュームとして選択してください。
RPM-00022	副ボリュームとして選択されたボリュームの中に、CLPR の異なるボリュームが含まれています。	要因 副ボリュームとして選択されたボリュームの中に、CLPR の異なるボリュームが含まれています。 対処 CLPR が同じボリュームを副ボリュームとして選択してください。
RPM-00023	選択されたボリュームは同じコピーグループに属していません。	要因

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		異なるコピーグループのボリュームが選択されています。 対処 同じコピーグループのボリュームを選択してください。
RPM-00024	選択されたコピーグループにはペア設定をサポートしていないか、 Replication Manager が管理していないストレージのボリュームが含まれています。	要因 ペア設定をサポートしていないか、 Replication Manager が管理していないストレージのボリュームが含まれているコピーグループが選択されています。 対処 コピーグループに含まれるボリュームがペア設定をサポートしているか、 Replication Manager が管理しているストレージのボリュームであることを確認してから、再度実行してください。
RPM-00025	選択されたコピーグループは複数のコピー種別が混在しています。	要因 複数のコピー種別が混在しているコピーグループが選択されています。 対処 コピーグループに複数のコピー種別のペアが含まれていないことを確認してから、再度実行してください。
RPM-00026	選択されたコピーグループに含まれるボリュームが属するストレージシステムのコマンドデバイスを認識しているペア管理サーバがありません。	要因 コマンドデバイスを認識しているペア管理サーバが存在しません。 対処 コピーグループに含まれるボリュームが属するストレージシステムのコマンドデバイスを認識しているペア管理サーバが存在することを確認してから、再度実行してください。
RPM-00027	コピーグループ名に空白が含まれています。	要因 コピーグループ名に空白が含まれています。 対処 コピーグループ名から空白を削除してください。
RPM-00028	コピーグループ名の先頭に「#」「-」が使用されています。	要因 コピーグループ名の先頭に「#」、「-」が使用されています。 対処 コピーグループ名の先頭から「#」、「-」を削除してください。
RPM-00029	コピーグループ名の長さが 31 バイトを超えています。	要因 コピーグループ名が 31 バイトを超えています。 対処 コピーグループ名を 31 バイト以内にしてください。
RPM-00030	構成定義ファイルのインスタンス番号が 0～4094 の範囲を超えています。	要因 構成定義ファイルのインスタンス番号が 0～4094 の範囲を超えています。 対処 構成定義ファイルのインスタンス番号を 0～4094 の範囲内の値にしてください。
RPM-00031	構成定義ファイルの UDP ポート番号が 1～65535 の範囲を超えています。	要因 構成定義ファイルの UDP ポート番号が 1～65535 の範囲を超えています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 構成定義ファイルの UDP ポート番号を 1～65535 の範囲内の値にしてください。
RPM-00032	正側と副側で同じ構成定義ファイルが選択されています。	要因 正側と副側で同じ構成定義ファイルが選択されています。 対処 正側と副側で異なる構成定義ファイルを選択してください。
RPM-00033	構成定義ファイルが無効です。	要因 構成定義ファイルが無効です。 対処 構成定義ファイルが Device Manager エージェントでサポートしている形式かどうかを確認してください。構成定義ファイルを修正した場合には、対象のストレージシステム情報の更新を行ったあと、再度実行してください。
RPM-00034	構成定義ファイルに指定した UDP ポート番号はすでにほかの構成定義ファイルで使用されています。	要因 ほかの構成定義ファイルで使用されている UDP ポート番号が指定されています。 対処 UDP ポート番号を変更してください。
RPM-00035	指定されたプールにプールボリュームが登録されていません。	要因 プールボリュームが登録されていないプールが指定されています。 対処 プールボリュームが登録されているプールを選択するか、または指定したプールにプールボリュームを登録してください。
RPM-00036	指定されたジャーナルグループにジャーナルボリュームが登録されていません。	要因 ジャーナルボリュームが登録されていないジャーナルグループが指定されています。 対処 ジャーナルボリュームが登録されているジャーナルグループを選択するか、または指定したジャーナルグループにジャーナルボリュームを登録してください。
RPM-00037	指定されたジャーナルグループはメインフレーム系システムで使用されています。	要因 メインフレーム系システムで使用されているジャーナルグループが指定されています。 対処 メインフレーム系システムで使用されていないジャーナルグループを指定してください。
RPM-00038	指定されたジャーナルグループはほかのコピーグループで使用されています。	要因 ほかのコピーグループで使用されているジャーナルグループが指定されています。 対処 ほかのコピーグループで使用されていないジャーナルグループを指定してください。
RPM-00040	副ボリュームに S-VOL Disable 属性が設定されています。	要因 副ボリュームに S-VOL Disable 属性が設定されています。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		対象のボリュームの S-VOL Disable 属性を解除してください。
RPM-00041	正ボリュームに S-VOL Disable 属性が設定されています。	要因 正ボリュームに S-VOL Disable 属性が設定されています。 対処 対象のボリュームの S-VOL Disable 属性を解除してください。
RPM-00042	ペア設定チェックに必要な情報がありません。	要因 構成が変更されている、または情報が正しく設定されていないため、ペア設定チェックに必要な情報が取得できませんでした。 対処 構成情報を更新したあとに、再度実行してください。 アプリケーション以下の<データベースサーバ名>サブウィンドウからコピーペア構成定義ウィザードを起動した場合には、Agent 設定でインスタンス番号が正しく設定されていない恐れがあります。編集対象のコピーグループが属する構成定義ファイルのインスタンス番号を Agent 設定画面で設定してください。
RPM-00043	選択されたボリュームはコピーグループに属していません。	要因 コピーグループに属していないペアのボリュームが選択されているため、ペア設定できません。 対処 ボリュームがコピーグループに属しているか確認してから、再度実行してください。
RPM-00044	選択されたコピーグループは同一の正ボリュームを持つペアが存在していません。	要因 同一の正ボリュームを持つペアが存在しているコピーグループが選択されています。 対処 コピーグループに同一の正ボリュームを持つペアが存在しないことを確認してから、再度実行してください。
RPM-00045	選択されたコピーグループ構成は未サポートの構成です。	要因 ペア設定をサポートしていない構成に属しているコピーグループが選択されています。 対処 コピーグループがサポートされている構成であることを確認してから、再度実行してください。
RPM-00046	副ボリューム側ストレージシステムから正ボリューム側ストレージシステムへのリモートパスが設定されていません。	要因 副ボリューム側ストレージシステムから正ボリューム側ストレージシステムへのリモートパスが設定されていません。 対処 副ボリューム側ストレージシステムから正ボリューム側ストレージシステムへのリモートパスを設定してください。
RPM-00047	選択されたストレージシステムに DMLU が設定されていません。	要因 選択されたストレージシステムに DMLU が設定されていません。 対処 選択したストレージシステムに DMLU を設定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-00048	正ボリューム側ストレージシステムから副ボリューム側ストレージシステムへのリモートパスが設定されていません。	要因 正ボリューム側ストレージシステムから副ボリューム側ストレージシステムへのリモートパスが設定されていません。 対処 正ボリューム側ストレージシステムから副ボリューム側ストレージシステムへのリモートパスを設定してください。
RPM-00049	正ボリューム側ストレージシステムと副ボリューム側ストレージシステムの双方向に CU Free のリモートパスが設定されていません。	要因 正ボリューム側ストレージシステムと副ボリューム側ストレージシステムの双方向に CU Free のリモートパスが設定されていません。 対処 正ボリューム側ストレージシステムと副ボリューム側ストレージシステムの双方向に CU Free のリモートパスを設定してください。
RPM-00050	指定したコピーグループ名はすでに同じ構成定義ファイルで使用されています。(ペア管理サーバ名: <ペア管理サーバ名>, インスタンス番号: <インスタンス番号>, グループ名: <グループ名>)	要因 同じ構成定義ファイルで使用されているコピーグループ名が指定されています。 対処 タスクの作成に失敗した場合, 指定したコピーグループ名または構成定義ファイルを変更してください。 タスクの実行に失敗した場合, 指定したコピーグループ名または構成定義ファイルを変更して, タスクを再作成してください。
RPM-00051	指定したペア名はすでに同じ構成定義ファイルで使用されています。(ペア管理サーバ名: <ペア管理サーバ名>, インスタンス番号: <インスタンス番号>, ペア名: <ペア名>)	要因 同じ構成定義ファイルで使用されているペア名が指定されています。 対処 タスクの作成に失敗した場合, 指定したペア名または構成定義ファイルを変更してください。 タスクの実行に失敗した場合, 指定したペア名または構成定義ファイルを変更して, タスクを再作成してください。
RPM-00052	ログファイルの初期化に失敗しました。このログファイルにログは出力されません。(ログファイルパス: <ログファイルパス>)	要因 ディレクトリが存在しないか, 書き込み権限がありません。 対処 ディレクトリを見直してください。
RPM-00053	選択されたボリュームが同一プレフィックスに属していません。	要因 異なるプレフィックスに属するボリュームが選択されています。 対処 同じプレフィックスに属するボリュームを選択してください。
RPM-00054	選択されたボリュームが同じディスク構成定義ファイルに属していません。	要因 異なるディスク構成定義ファイルに属するボリュームが選択されています。 対処 同じディスク構成定義ファイルに属するボリュームを選択してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
RPM-00055	複数のストレージシステムのボリュームが正側または副側に使用されたコピーグループです。	要因 ペア設定をサポートしていない構成に属しているコピーグループが選択されています。 対処 コピーグループがサポートされている構成であることを確認してから、再度実行してください。
RPM-00056	選択されたグループがコンテナです。	要因 コンテナが選択されています。 対処 コピーグループを選択して再度実行してください。
RPM-00057	編集できないコピーグループが含まれています。	要因 編集できないコピーグループが含まれています。 対処 対象のコピーグループを操作対象から除外してください。
RPM-00059	ペア操作をサポートしていないストレージのペアまたはコピーグループが選択されています。	要因 ペア操作をサポートしていないストレージのペアまたはコピーグループが選択されています。 対処 選択したペアまたはコピーグループに含まれるペアがペア操作をサポートしているストレージのペアであることを確認してから、再度実行してください。
RPM-00060	指定したコピーグループの正側 DAD, または副側 DAD が BCM 初期設定パラメーターに登録されていません。該当の DAD を BCM 初期設定パラメーターに登録するか, BCM 初期設定パラメーターに登録されているホストから DAD を配布してから, 再度実行してください。	要因 指定したコピーグループの正側 DAD, または副側 DAD が BCM 初期設定パラメーターに登録されていません。 対処 該当の DAD を BCM 初期設定パラメーターに登録するか, BCM 初期設定パラメーターに登録されているホストから DAD を配布してから, 再度実行してください。
RPM-00061	指定したボリュームが属する DAD が BCM 初期設定パラメーターに登録されていません。該当の DAD を BCM 初期設定パラメーターに登録するか, BCM 初期設定パラメーターに登録されているホストから DAD を配布してから, 再度実行してください。	要因 指定したボリュームが属する DAD が BCM 初期設定パラメーターに登録されていません。 対処 該当の DAD を BCM 初期設定パラメーターに登録するか, BCM 初期設定パラメーターに登録されているホストから DAD を配布してから, 再度実行してください。
RPM-00062	対象のペア, またはコピーグループは Mainframe Agent で作成されているため Replication Manager では操作できません。	要因 対象のペア, またはコピーグループは Mainframe Agent で作成されています。 対処 対象のペア, またはコピーグループが BCM で作成されていることを確認してから再度実行してください。
RPM-00063	選択されたボリュームに構成定義ファイルが存在するボリュームとしないボリュームが混在しています。	要因 選択されたボリュームに構成定義ファイルが存在するボリュームとしないボリュームが混在しています。 対処 複数のボリュームを選択してコピーペア構成定義ウィザードを起動する場合には, 構成定義ファ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		イルが存在するボリュームだけを選択するか、またはそうでないボリュームだけを選択してください。
RPM-00064	マルチターゲット構成の世代数が<最大管理世代数>を超えています。	要因 Replication Manager が管理できる世代数の最大を超えています。 対処 マルチターゲット構成の世代数を減らして再度実行してください。
RPM-00400	指定されたユーザーのアクセス権限が不正です。	要因 Device Manager へのアクセス権限がありません。 対処 Device Manager で Modify 権限を持ち、リソースグループに "All Resources" が割り当てられているユーザーアカウントの指定が必要です。権限があっても、エラーが発生する場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-00412	コピーペア情報の取得に失敗しました。	要因 ストレージの設定がほかのクライアントによって削除されたため、コピーペア情報の取得に失敗しました。 対処 Replication Manager の Web Client を使用して、すべてのストレージシステム情報の更新を実行したあとに、再度実行してください。
RPM-00429	リソース情報が削除されているおそれがあります。	要因 リソース情報が削除されているおそれがあります。 対処 リソース情報があるか確認してください。リソース情報が存在する場合は、対象のストレージシステム情報の更新を実行して、構成を最新にしてください。
RPM-00430	EXCTG の設定が不正です。	要因 EXCTG の設定が不正です。 対処 操作対象がコピーグループの場合には、Business Continuity Manager で EXCTG のすべての設定を解除してください。また、操作対象がコンテナの場合には、Business Continuity Manager で EXCTG の設定に必要な情報を追加してください。そのあと、構成の更新を実行してください。
RPM-00431	Device Manager の設定情報の取得に失敗しました。	要因 Device Manager の設定情報の取得に失敗しました。 対処 Device Manager の設定情報を見直し、構成の更新を行ったあとに再度実行してください。それでも発生する場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-00432	Business Continuity Manager の設定情報の取得に失敗しました。	要因 Business Continuity Manager の設定情報の取得に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処</p> <p>Business Continuity Manager の設定情報を見直し、構成の更新を行ったあとに再度実行してください。それでも発生する場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。</p>
RPM-00433	Device Manager のリフレッシュ処理がタイムアウトしました。(タイムアウト時間: <タイムアウト時間>分)	<p>要因</p> <p>Device Manager でストレージシステム情報更新の処理時間が、Replication Manager のタイムアウト時間を超過しました。</p> <p>対処</p> <p>Replication Manager で管理しているストレージシステムのうち、Device Manager のストレージシステム情報更新処理に最も時間のかかるストレージシステムの処理時間を確認してください。そして、処理時間よりも大きい値を base.properties ファイルの base.refreshstorage.polling.timeout に設定してください。</p>
RPM-00434	処理停止中のため、要求された処理は実行できません。	<p>要因</p> <p>Replication Manager の停止処理中に処理を要求したか、または削除された情報取得元に対して処理を要求しました。</p> <p>対処</p> <p>Replication Manager が起動していて、かつ情報取得元が削除されていないことを確認して、再度実行してください。</p>
RPM-00435	リフレッシュ処理に必要な情報の取得に失敗しました。	<p>要因</p> <p>リフレッシュ処理に必要な情報の取得に失敗しました。</p> <p>対処</p> <p>再度、実行してください。それでも発生する場合は、対象のストレージシステム情報の更新を行ったあとに再度実行してください。</p>
RPM-00436	処理がキャンセルされました。	<p>要因</p> <p>次のどれかの操作によって処理がキャンセルされました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Replication Manager の停止 • メンテナンスモード・通常モードの切り替え • 情報取得元の削除 <p>対処</p> <p>対処の必要はありません。</p>
RPM-00440	リソースグループ名に誤りがあります。	<p>要因</p> <p>リソースグループ名に誤りがあります。</p> <p>対処</p> <p>設定した値を見直したあと、再度実行してください。</p>
RPM-00441	リソースグループの説明に誤りがあります。	<p>要因</p> <p>リソースグループの説明に誤りがあります。</p> <p>対処</p> <p>設定した値を見直したあと、再度実行してください。</p>
RPM-00442	サイト名に誤りがあります。	<p>要因</p> <p>サイト名に誤りがあります。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00443	サイトの説明に誤りがあります。	要因 サイトの説明に誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00444	ワークフロー(<ワークフロー名>)は削除できない状態です。	要因 ワークフローは削除できない状態です。 対処 ワークフローの状態を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00445	ワークフロー(<ワークフロー名>)は編集できない状態です。	要因 ワークフローは編集できない状態です。 対処 ワークフローの状態を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00446	ワークフロー(<ワークフロー名>)を削除するために必要なユーザー権限が不足しています。	要因 ワークフローを削除するために必要なユーザー権限が不足しています。 対処 ユーザー権限を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00447	ワークフロー(<ワークフロー名>)を編集するために必要なユーザー権限が不足しています。	要因 ワークフローを編集するために必要なユーザー権限が不足しています。 対処 ユーザー権限を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00448	ワークフローの登録件数が最大数を超えました。ワークフローを作成できません。ワークフローの最大件数は<ワークフロー件数>件です。	要因 これ以上ワークフローを作成できません。 対処 ワークフローの登録件数を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00449	これ以上タスクを作成できません。タスクの最大件数は<タスク件数>件です。	要因 これ以上タスクを作成できません。 対処 タスクの登録件数を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00450	Storage System:<ストレージシステム名>, Port/Host Group/LUN: {<Port名> <ホストグループ名> <LUN名>} はすでにワークフローで使用されています。	要因 LUN はすでにほかのワークフローで使用されています。 対処 該当する LUN が属しているワークフローを削除するか、または該当する LUN をペア操作対象から除外したあとに、必要に応じて再度実行してください。
RPM-00451	この操作に対する権限が不足しているか、リソースに対するアクセスがリソースグループで制限されています。	要因 この操作に対する権限が不足しているか、リソースに対するアクセスがリソースグループで制限されています。 対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。</p> <p>操作に対する権限が不足している場合、ほかのリソースを指定するか、操作対象に指定したリソースに Modify 以上の権限を割り当ててください。リソースに対するアクセスがリソースグループで制限されている場合、ほかのリソースを指定するか、操作対象に指定したリソースに対してアクセス権を割り当ててください。</p> <p>上記の設定が可能なユーザーは操作対象のリソースに対する Replication Manager の権限が Admin であるユーザーです。Replication Manager のライセンスが設定されていない場合、アクセス権の設定が可能なユーザーは Device Manager で操作対象のリソースに対するロールが Admin であるユーザーです。</p>
RPM-00452	すでに削除されたサイトです。	<p>要因 すでに削除されたサイトです。</p> <p>対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。</p>
RPM-00453	すでに別のサイトに属しているリソースがあります。	<p>要因 すでに別のサイトに属しているリソースがあります。</p> <p>対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。</p>
RPM-00454	すでに削除されたリソースグループです。	<p>要因 すでに削除されたリソースグループです。構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。</p> <p>対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。</p>
RPM-00455	すでに別のリソースグループに属しているリソースがあります。	<p>要因 すでに別のリソースグループに属しているリソースがあります。</p> <p>対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。</p>
RPM-00456	アクセス権が無いリソースが指定されました。	<p>要因 アクセス権が無いリソースに対して操作が行われました。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。</p> <p>操作に対する権限が不足している場合、ほかのリソースを指定するか、操作対象に指定したリソースに Modify 以上の権限を割り当ててください。リソースに対するアクセスがリソースグループで制限されている場合、ほかのリソースを指定するか、操作対象に指定したリソースに対してアクセス権を割り当ててください。上記の設定が可能なユーザーは操作対象のリソースに対する Replication Manager の権限が Admin であるユーザーです。Replication Manager のライセンスが設定されていない場合、アクセス権の設定が可能なユーザーは Device Manager で操作対象のリソースに対するロールが Admin であるユーザーです。</p>
RPM-00457	指定した LUN に属している同じコピーグループはありません。	<p>要因 指定した LUN に属している同じコピーグループは存在しません。</p> <p>対処 同じコピーグループに属している LUN を指定してください。</p>
RPM-00458	指定したペアグループ名はすでにトポロジー内に存在しています。	<p>要因 指定したペアグループ名はすでにトポロジー内に存在しています。</p> <p>対処 トポロジー内に存在していないペアグループ名を指定してください。</p>
RPM-00459	指定したコピー種別に誤りがあります。	<p>要因 指定したコピー種別に誤りがあります。</p> <p>対処 正しいコピー種別を指定したあと、再度実行してください。</p>
RPM-00460	ペアグループ名に誤りがあります。	<p>要因 ペアグループ名に誤りがあります。</p> <p>対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。</p>
RPM-00461	指定したグループは削除できる構成になっていません。	<p>要因 指定したグループは削除できる構成になっていません。</p> <p>対処 指定したグループの構成を確認してください。次のような構成の場合、次に示す手順に従ってペアグループを削除してください。</p> <p>単独ペアグループ構成の場合 削除したいペアグループの正側の LUN と同じ LUN を使用し、新しいペアグループを作成してから、ペアグループを削除してください。</p> <p>子グループを持っているグループ構成の場合</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		削除したいペアグループの子グループを削除してから、ペアグループを削除してください。
RPM-00462	指定したペアグループはすでにコピーグループに割り当てられています。	要因 指定したペアグループはすでにコピーグループに割り当てられています。 対処 対処の必要はありません。
RPM-00463	指定したペアグループはすでに解除されています。	要因 指定したペアグループはすでに解除されています。 対処 対処の必要はありません。
RPM-00464	コピーグループ名に誤りがあります。	要因 コピーグループ名に誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00465	同じ LUN はすでにコピーペア一覧に追加されています。	要因 同じ LUN はすでにコピーペア一覧に存在しています。 対処 コピーペア一覧に存在していない LUN を指定してください。
RPM-00466	指定した副側の LUN の数と正側の LUN の数は一致しません。	要因 指定した副側の LUN の数と正側の LUN の数は一致しません。 対処 指定した副側の LUN の数と正側の LUN の数を一致させてください。
RPM-00467	指定したコピーペアにはすでに副側の LUN が存在しています。	要因 指定したコピーペアにはすでに副側の LUN が存在しています。 対処 副側の LUN が存在しないコピーペアを指定したあと、再度実行してください。
RPM-00468	コピーペア名に誤りがあります。	要因 コピーペア名に誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00469	指定した LUN はコピーペア一覧にありません。	要因 指定した LUN はコピーペア一覧に存在しません。 対処 コピーペア一覧の状態を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00470	タスク種別の指定に失敗しました。	要因 タスク種別の指定に失敗しました。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00471	指定できるコマンドオプションの設定に失敗しました。	要因

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		指定できるコマンドオプションの設定に失敗しました。 対処 タスクの操作種別を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00472	指定したコマンドオプション(オプション名:<オプション名>)の値に誤りがあります。	要因 指定したコマンドオプションの値に誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00473	指定できないコマンドオプション(オプション名:<オプション名>)の値の取得に失敗しました。	要因 指定できないコマンドオプションの値の取得に失敗しました。 対処 指定できるコマンドオプションを見直したあと、再度実行してください。
RPM-00474	指定されたジャーナルグループ ID は登録されていません。	要因 指定されたジャーナルグループ ID は登録されていません。 対処 指定したジャーナルグループ ID を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00475	指定されたプール ID は登録されていません。	要因 指定されたプール ID は登録されていません。 対処 指定したプール ID を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00476	すでにシステムから削除されたリソースに対して操作を行いました。	要因 指定したリソースはすでにシステムから削除されています。 対処 画面を更新したあとに再度実行してください。 問題が解決しない場合は、構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。
RPM-00477	指定したタスクの実行要求時間に誤りがあります。	要因 指定したタスクの実行要求時間に誤りがあります。 対処 設定したタスクの実行要求時間を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00478	操作できるコピーペアがありません。	要因 操作できるコピーペアが存在しません。 対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。その後、該当するペアが表示されることを確認し、コピーペア状態の更新を実行してコピーペア状態が操作可能状態になっていることを確認してください。
RPM-00479	指定できるコピー種別がありません。	要因 指定できるコピー種別が存在しません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 作成するグループの構成を確認してください。
RPM-00480	3DC Delta Resync 用の非同期リモートコピーのペア作成は、同じ 3DC マルチターゲット構成に含まれるほかのリモートコピーの作成後に実行する必要があります。	要因 3DC Delta Resync 用の非同期リモートコピーのペア作成は、同じ 3DC マルチターゲット構成に含まれるほかのリモートコピーの作成後に実行する必要があります。 対処 3DC Delta Resync 用の非同期リモートコピーのペア作成は、同じ 3DC マルチターゲット構成に含まれるほかのリモートコピーの作成後に実行してください。
RPM-00481	指定された MCU は最大数の RCU と接続しています。	要因 指定された MCU は最大数の RCU と接続しています。 対処 一つの MCU と接続できる RCU が最大数に達しています。接続している RCU の数を見直してください。
RPM-00482	指定された RCU は最大数の MCU と接続しています。	要因 指定された RCU は最大数の MCU と接続しています。 対処 一つの RCU と接続できる MCU が最大数に達しています。接続している MCU の数を見直してください。
RPM-00483	指定した SSID またはパスグループ ID はすでに登録されています。	要因 指定した SSID またはパスグループ ID はすでに登録されています。 対処 SSID またはパスグループ ID はユニークな値に設定してください。
RPM-00484	選択されたパスに関連するペアがあります。	要因 選択されたパスに関連するペアが存在します。 対処 関連するペアを削除したあとに、再度実行してください。
RPM-00485	ローカルストレージシステムは最大数のリモートパスと接続しています。	要因 ローカルストレージシステムは最大数のリモートパスと接続しています。 対処 ローカルストレージシステムに接続しているリモートパスの数が設定できる最大数に達しています。リモートパスの数を見直してください。
RPM-00486	選択されたリモートストレージシステムは最大数のリモートパスと接続しています。	要因 選択されたリモートストレージシステムは最大数のリモートパスと接続しています。 対処 リモートストレージシステムに登録しているリモートパスの数が登録できる最大数に達しています。リモートパスの数を見直してください。
RPM-00487	Device Manager のバージョンが古い ため、機能を実行できません。	要因 Device Manager のバージョンが実行機能をサポートしていないバージョンです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処</p> <p>前提としている Device Manager のバージョンを見直してください。もし前のバージョンであれば実行機能をサポートしているバージョンにアップグレードしてください。</p>
RPM-00488	同じ MCU と RCU の組み合わせがすでにあります。	<p>要因</p> <p>同じ MCU と RCU の組み合わせがすでに存在します。</p> <p>対処</p> <p>同じ MCU と RCU の組み合わせがすでに存在します。MCU および RCU の設定を見直してください。</p>
RPM-00489	指定されたポートはすでに追加されています。	<p>要因</p> <p>指定されたポートはすでに追加されています。</p> <p>対処</p> <p>ポート情報を見直したあとに、再度実行してください。</p>
RPM-00490	指定されたポートはすでに削除されています。	<p>要因</p> <p>指定されたポートはすでに削除されています。</p> <p>対処</p> <p>ポート情報を見直したあとに、再度実行してください。</p>
RPM-00491	リモートパスの数を 9 本以上、設定しようとしています。	<p>要因</p> <p>リモートパスの数を 9 本以上、設定しようとしています。</p> <p>対処</p> <p>リモートパス数の設定最大数は 8 本までです。リモートパスの数を見直してください。</p>
RPM-00492	リモートパスの数を 0 本にしようとしています。	<p>要因</p> <p>リモートパスの数を 0 本にしようとしています。</p> <p>対処</p> <p>リモートパスの数を 0 本にできません。リモートパスの数を見直してください。</p>
RPM-00493	ローカル(Initiator)ポートに指定したポートの関連ポートは、ローカル(RCU Target)ポートには指定できません。	<p>要因</p> <p>ローカル(Initiator)ポートに指定したポートの関連ポートは、ローカル(RCU Target)ポートには指定できません。</p> <p>対処</p> <p>ポート情報を見直したあとに、再度実行してください。</p>
RPM-00494	リモート(RCU Target)ポートに指定したポートの関連ポートは、リモート(Initiator)ポートには指定できません。	<p>要因</p> <p>リモート(RCU Target)ポートに指定したポートの関連ポートは、リモート(Initiator)ポートには指定できません。</p> <p>対処</p> <p>ポート情報を見直したあとに、再度実行してください。</p>
RPM-00495	指定したローカルストレージシステムはすでに最大数のパスが接続されたリモートストレージシステムとして設定されています。	<p>要因</p> <p>ローカルストレージシステムはすでに最大数のパスが接続されたリモートストレージシステムとして設定されています。</p> <p>対処</p> <p>ローカル、およびリモートストレージシステムの設定を見直したあとに、再度実行してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-00496	指定したリモートストレージシステムはすでに最大数のパスが接続されたローカルストレージシステムとして設定されています。	<p>要因 リモートストレージシステムはすでに最大数のパスが接続されたローカルストレージシステムとして設定されています。</p> <p>対処 ローカル、およびリモートストレージシステムの設定を見直したあとに、再度実行してください。</p>
RPM-00497	指定したリモートストレージシステムはすでに最大数のパスが接続されたリモートストレージシステムとして設定されています。	<p>要因 リモートストレージシステムはすでに最大数のパスが接続されたローカルストレージシステムとして設定されています。</p> <p>対処 ローカル、およびリモートストレージシステムの設定を見直したあとに、再度実行してください。</p>
RPM-00498	指定したローカルストレージシステムはすでに最大数のパスが接続されたリモートストレージシステムとして設定されているため、ローカルストレージシステムとして設定できません。	<p>要因 ローカルストレージシステムはすでに最大数のパスが接続されたリモートストレージシステムとして設定されているため、ローカルストレージシステムとして設定できません。</p> <p>対処 ローカル、およびリモートストレージシステムの設定を見直したあとに、再度実行してください。</p>
RPM-00499	指定したリモートストレージシステムはすでにローカルストレージシステムとして設定されているため、リモートストレージシステムとして設定できません。	<p>要因 リモートストレージシステムはすでにローカルストレージシステムとして設定されているため、リモートストレージシステムとして設定できません。</p> <p>対処 ローカル、およびリモートストレージシステムの設定を見直したあとに、再度実行してください。</p>
RPM-00500	ペア設定に必要な情報の取得に失敗しました。	<p>要因 タスクを作成した後で構成が変更されたため、ペア設定に必要な情報の取得に失敗しました。</p> <p>対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。 そのあと、Replication Manager の構成情報に操作対象リソースが表示されることを確認してからタスクを再度実行してください。 タスクを作成した後に構成を変更している場合は、タスクを再作成して実行してください。</p>
RPM-00501	指定されたアラート設定の取得に失敗しました。(アラート名: <アラート名>)	<p>要因 指定されたアラート設定はすでに削除されているおそれがあります。</p> <p>対処 アラート設定を見直してください。</p>
RPM-00502	実行したタスクの構成の反映に必要な情報の取得に失敗しました。	<p>要因 タスクの実行中に構成が変更されたため、実行したタスクの構成の反映に失敗しました。</p> <p>対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。</p> <p>そのあと、Replication Manager の構成情報にタスクの実行結果が反映されていることを確認してください。</p> <p>実行結果が反映されている場合はタスクを再度実行する必要はありません。</p> <p>実行結果が反映されていない場合はタスクを再度実行してください。</p> <p>また、関連するタスクの実行が完了していない場合は、タスクを再作成して実行してください。</p>
RPM-00503	エージェントからのコピーペア状態の取得に失敗しました。ホスト名:<ホスト名>,インスタンス番号:<インスタンス番号>,コピーグループ名:<コピーグループ名>	<p>要因 構成が変更されているおそれがあります。</p> <p>対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。</p>
RPM-00504	コピーペア状態の取得に失敗しました。ペア名:<コピーペア名>,正側ホスト名:<正側ホスト名>,副側ホスト名:<副側ホスト名>	<p>要因 構成が変更されているおそれがあります。</p> <p>対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。その後、該当するペアが表示されることを確認し、コピーペア状態の更新を実行してコピーペア状態が完了状態になっていることを確認してください。</p>
RPM-00505	タスクの完了確認がキャンセルされました。	<p>要因 コマンドの実行は成功しましたが、サービスが停止されたことで、完了確認処理がキャンセルされました。</p> <p>対処 該当するコピーペアを確認し、コピーペア状態が完了状態になっていることを確認してください。</p>
RPM-00506	コピーペア状態が完了状態になりませんでした。ペア名:<コピーペア名>,正側コピーペア状態:<正側コピーペア状態>,副側コピーペア状態:<副側コピーペア状態>	<p>要因 コマンドの実行は成功しましたが、コピーペア状態が処理中または完了以外の状態になりました。またはコピーペア状態の取得に失敗しました。</p> <p>対処 該当するコピーペアのコピーペア状態をコピーペア一覧から確認してください。意図したコピーペア状態でない場合は、コピーペア状態の変更を行ってください。</p> <p>副ボリューム側の詳細コピーペア状態が split(SSWS)状態の場合は swap 操作を実行できません。</p> <p>その場合、takeover-recovery(resync)操作または takeover-recovery(recreate)操作を実行して split(SSWS)状態から回復してください。</p> <p>該当するコピーペアの詳細コピーペア状態が Pair(PFUL)状態の場合は、ジャーナルボリュームの使用量またはプールボリュームの使用量が</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>しきい値を超えた状態を示しています。コピーペア一覧から最新のコピーペア状態を確認し、以下のどれかの対処を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 詳細コピーペア状態が Pair(PAIR)状態の場合は、LDEVのリザーブを解除してください。リザーブは対応するワークフローとタスクを削除することで解除できます。 2. 詳細コピーペア状態が Pair(PAIR)状態でない場合は、ジャーナルボリュームの使用量またはプールボリュームの使用量がしきい値を超えた原因を分析して対処したあと、意図したコピーペア状態でない場合は、コピーペア状態の変更を行ってください。主な原因として以下のことが考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ ジャーナルボリュームの使用量またはプールボリュームの使用量が不足している ◦ タスク実行時にストレージシステムに過度の負荷が掛かっている ◦ ネットワークに過度の負荷が掛かっている <p>該当するコピーペアのコピーペア状態が unknown と表示されている場合は、コピーペア状態の取得に失敗しているおそれがあります。Device Manager エージェントおよび RAID Manager が正しく動作していることを確認してください。そのあと、コピーペア状態の更新を実行してください。</p>
RPM-00508	プール使用率を取得できるペア管理サーバがありません。	<p>要因 エンタープライズクラスストレージのプール使用率を取得できるペア管理サーバが存在しません。</p> <p>対処 該当するストレージシステムのコマンドデバイスを認識しているペア管理サーバを Replication Manager に認識させてください。</p>
RPM-00509	プール使用率を取得できるペア管理サーバがありません。	<p>要因 ミッドレンジストレージのプール使用率を取得できるペア管理サーバが存在しません。</p> <p>対処 該当するストレージシステムのプールを使用しているペアを管理しているペア管理サーバを Replication Manager に認識させてください。</p>
RPM-00510	ジャーナル使用率を取得できるペア管理サーバがありません。	<p>要因 ジャーナル使用率を取得できるペア管理サーバが存在しません。</p> <p>対処 該当するストレージシステムのコマンドデバイスを認識しているペア管理サーバを Replication Manager に認識させてください。</p>
RPM-00511	ボリュームスキャンが失敗しました。 (スキャン範囲：<スキャン範囲>、詳細：< Business Continuity Manager エラーコード Business Continuity Manager エラーメッセージ (Business	<p>要因 ボリュームスキャンが失敗しました。</p> <p>対処 詳細に表示されている Business Continuity Manager のエラーを取り除いたあと、再度実行してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>Continuity Manager</i> リターンコード)>)	
RPM-00512	ボリュームスキャンが一部失敗しました。(スキャン範囲:<スキャン範囲>, 詳細:< <i>Business Continuity Manager</i> エラーコード <i>Business Continuity Manager</i> エラーメッセージ (<i>Business Continuity Manager</i> リターンコード)>)	要因 ボリュームスキャンが一部失敗しました。 対処 詳細に表示されている <i>Business Continuity Manager</i> のエラーを取り除いたあと、再度実行してください。
RPM-00513	ディスク構成定義ファイル作成が失敗しました。(詳細:< <i>Business Continuity Manager</i> エラーコード <i>Business Continuity Manager</i> エラーメッセージ (<i>Business Continuity Manager</i> リターンコード)>)	要因 ディスク構成定義ファイル作成が失敗しました。 対処 詳細に表示されている <i>Business Continuity Manager</i> のエラーを取り除いたあと、再度実行してください。
RPM-00515	ディスク構成定義ファイルの配布が失敗しました。(配布先:{<情報取得元> <プレフィックス名>}, 詳細:< <i>Business Continuity Manager</i> エラーコード <i>Business Continuity Manager</i> エラーメッセージ (<i>Business Continuity Manager</i> リターンコード)>)	要因 ディスク構成定義ファイルの配布が失敗しました。 対処 詳細に表示されている <i>Business Continuity Manager</i> のエラーを取り除いたあと、再度実行してください。
RPM-00517	ディスク構成定義ファイル作成に必要な情報の取得に失敗しました。	要因 構成が変更されているおそれがあります。または、アロケートされているだけのディスク構成定義ファイルを配布しようとしているおそれがあります。 対処 構成の更新を行い、再度実行してください。同じエラーが発生する場合は構成を確認し、実行可能な操作であることを確認してから再度実行してください。
RPM-00518	ボリュームスキャン結果が0件でした。(スキャン範囲:<スキャン範囲>)	要因 ボリュームスキャン結果が0件でした。 対処 対象のスキャン範囲を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00519	ダミーデバイス番号が付与できませんでした。(スキャン範囲:<スキャン範囲>, ダミーデバイス番号の開始番号:<ダミーデバイス番号の開始番号>)	要因 ダミーデバイス番号が付与できませんでした。 対処 対象のスキャン範囲についてダミーデバイス番号の開始番号を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00520	<i>Device Manager</i> がストレージシステム情報を更新中のため、構成情報の取得に失敗しました。しばらく時間をおいてから再度実行してください。同じエラーが発生する場合は、 <i>Device Manager</i> のストレージシステム情報を更新後、再度実行してください。	要因 <i>Device Manager</i> がストレージシステム情報を更新中のため、構成情報の取得に失敗しました。 対処 しばらく時間をおいてから再度実行してください。同じエラーが発生する場合は、 <i>Device Manager</i> のストレージシステム情報を更新後、再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-00521	リモートスキャン範囲にコマンドデバイスが含まれていないため、ボリュームスキャンを実行できません。(コマンドデバイスの装置製番:<コマンドデバイスの装置製番>, コマンドデバイスのLDEV番号:<コマンドデバイスのLDEV番号>)	要因 リモートスキャン範囲にコマンドデバイスが含まれていないため、ボリュームスキャンを実行できません。 対処 対象のDKCのコマンドデバイスを含むようにリモートスキャン範囲を指定し、再度実行してください。
RPM-00523	対象のタスクがありません。	要因 対象のタスクが削除されているおそれがあります。 対処 画面を再表示してから再度実行してください。
RPM-00524	対象のタスクは実行中のため、実行できません。	要因 対象のタスクは実行中です。 対処 しばらく時間をおいてから再度実行してください。
RPM-00525	定義内容が同じタスクはすでに登録されています。(既存タスクID:<既存タスクID>)	要因 既存のタスクと定義内容が同じタスクを作成しようとしています。 対処 定義内容が同じタスクは一つしか作成できません。該当するタスクを編集するか、削除後に再度実行してください。
RPM-00526	タスクの最大件数を超えるため、スケジュール情報の更新に失敗しました。(最大件数:<タスクの最大件数>)	要因 タスクの最大件数を超えるタスクを作成できません。 対処 タスクの登録件数を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00527	データベースサーバからの情報は取得できましたが、バックアップサーバからマウントまたはアンマウントの操作に必要な情報を取得できませんでした。(バックアップサーバ名:<バックアップサーバ名>, 詳細:<Replication Manager Application Agent エラーコード Replication Manager Application Agent エラーメッセージ>)	要因 データベースサーバからの情報を取得できましたが、バックアップサーバからマウントまたはアンマウントの操作に必要な情報を取得できませんでした。 対処 マウントまたはアンマウントの操作が必要な場合は、詳細に表示されている Replication Manager Application Agent の問題を解決したあと、再度実行してください。
RPM-00528	データベースに情報取得元の情報がありません。選択した情報取得元の情報が削除されたおそれがあります。	要因 データベースに情報取得元の情報がありません。選択した情報取得元の情報が削除されたおそれがあります。 対処 画面を再表示したあと、再度実行してください。
RPM-00529	アプリケーション連携機能の処理に必要な情報の取得に失敗しました。	要因 アプリケーション連携機能の処理に必要な情報の取得に失敗しました。 対処 ホスト情報の更新を実行して、構成を最新にしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-00530	データベースのアクセスに失敗しました。	要因 データベースへのアクセスが失敗しました。 対処 処理を再度実行してください。
RPM-00531	コピーペア状態の取得に失敗しました。 グループ名:<コピーグループ名>,正側 側ホスト名:<正側ホスト名>,副側ホ スト名:<副側ホスト名>	要因 構成が変更されているおそれがあります。 対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてくだ さい。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行し てください。その後、該当するペアが表示される ことを確認し、コピーペア状態の更新を実行して コピーペア状態が完了状態になっていることを 確認してください。
RPM-00532	接続した Device Manager エージェント はコンシステンシーグループを使用した コピーペアの作成をサポートして いません。	要因 接続した Device Manager エージェントはコン システンシーグループを使用したコピーペアの 作成をサポートしていません。 対処 Device Manager エージェントを Replication Manager と同等のバージョンに更新してくだ さい。
RPM-00533	初期設定パラメーターにローカルサイ トの DADID が設定されていないプレ フィックスがあります。	要因 初期設定パラメーターにローカルサイトの DADID が設定されていないプレフィックスが 存在します。 対処 初期設定パラメーターを見直したあと、再度実行 してください。
RPM-00534	初期設定パラメーターに一つの DADID が複数のスキャン種別で設定 されています。	要因 初期設定パラメーターに一つの DADID が複数 のスキャン種別で設定されています。 対処 初期設定パラメーターを見直したあと、再度実行 してください。
RPM-00535	初期設定パラメーターに Non Gen'ed DADID がプレフィックスごとに異 なって設定されています。	要因 初期設定パラメーターに Non Gen'ed DADID がプレフィックスごとに異なって設定されてい ます。 対処 初期設定パラメーターを見直したあと、再度実行 してください。
RPM-00536	初期設定パラメーター内の DADID は、 ほかの Business Continuity Manager または Mainframe Agent の初期設定 パラメーターで使用されています。	要因 初期設定パラメーター内の DADID は、ほかの Business Continuity Manager または Mainframe Agent の初期設定パラメーターで使 用されています。 対処 初期設定パラメーターを見直したあと、再度実行 してください。
RPM-00537	Replication Manager に登録されてい る初期設定パラメーターと設定内容が 異なります。	要因 Replication Manager に登録されている初期設 定パラメーターと設定内容が異なります。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Replication Manager から Business Continuity Manager または Mainframe Agent を削除し再度登録するか、または、初期設定パラメーターを Replication Manager に登録されている設定内容に戻してください。
RPM-00538	Business Continuity Manager または Mainframe Agent のバージョンが不正です。(情報取得元: <情報取得元名>)	要因 Business Continuity Manager または Mainframe Agent のバージョンがダウングレードされているおそれがあります。 対処 該当する Business Continuity Manager または Mainframe Agent のバージョンがダウングレードされていないか確認してください。以前に運用していたバージョンよりダウングレードして Business Continuity Manager または Mainframe Agent を使用する場合、情報取得元から該当する Business Continuity Manager または Mainframe Agent を削除し、再度登録してください。
RPM-00539	Configuration ファイルが、Replication Manager, および Business Continuity Manager または Mainframe Agent でサポートされていないバージョンの Business Continuity Manager または Mainframe Agent で作成されているため、操作することができません。(Configuration ファイルのバージョン: < Configuration ファイルのバージョン>)	要因 Configuration ファイルが、Replication Manager, および Business Continuity Manager または Mainframe Agent でサポートされていないバージョンの Business Continuity Manager または Mainframe Agent で作成されています。 対処 Configuration ファイルをサポートするバージョンへ Replication Manager, および Business Continuity Manager または Mainframe Agent をアップグレードしてください。
RPM-00540	Replication Manager が許可しないバージョンの Business Continuity Manager または Mainframe Agent がある、もしくは Business Continuity Manager または Mainframe Agent の初期設定パラメーターの内容が不正なため、メインフレームシステムを操作することができません。	要因 Replication Manager が許可しないバージョンの Business Continuity Manager または Mainframe Agent が存在します。もしくは、Replication Manager に登録されている複数の Business Continuity Manager または Mainframe Agent で、初期設定パラメーターに同じローカル DADID が設定されています。 対処 システム全体の Business Continuity Manager または Mainframe Agent のバージョンと初期設定パラメーターを見直してください。
RPM-00541	前提のタスクが成功していないためタスクが実行できません。	要因 前提のタスクが成功していません。 対処 前提のタスクを成功させたあとに、再度実行してください。
RPM-00542	最新のディスク構成定義ファイルがホストに配布されていません。(ホスト名: <ホスト名>, プレフィックス名: <プレフィックス名>, DADID: < DADID >)	要因 最新のディスク構成定義ファイルが配布されていません。 対処 最新のディスク構成定義ファイルをホストに配布したあとに、タスクを再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-00543	コピーグループ情報の取得に失敗しました。(コピーグループ名: <コピーグループ名>)	要因 構成が変更されているおそれがあります。 対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。その後、該当するコピーグループが表示されることを確認してください。
RPM-00544	ボリューム情報の取得に失敗しました。(ボリューム名: <ボリューム名>)	要因 構成が変更されているおそれがあります。 対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。その後、該当するボリュームが表示されることを確認してください。
RPM-00545	指定されたコピーグループに対する操作は実行できません。(ホスト名: <ホスト名>, プレフィックス名: <プレフィックス名>, コピーグループ名: <コピーグループ名>)	要因 Replication Manager で操作できないコピーグループに対してペア操作をしました。 対処 対象コピーグループを操作できるソフトウェアを使用して、ペア操作を実行してください。
RPM-00546	配布先コピーグループ情報の取得に失敗しました。	要因 構成が変更されているおそれがあります。 対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。
RPM-00547	Business Continuity Manager または Mainframe Agent のバージョンが Configuration ファイルの操作をサポートしていないバージョンであるため、Configuration ファイルを操作することができません。	要因 Business Continuity Manager または Mainframe Agent のバージョンが Configuration ファイルの操作をサポートしていないバージョンであるため、Configuration ファイルを操作することができません。 対処 Configuration ファイルの操作をサポートするバージョンへ Business Continuity Manager または Mainframe Agent をアップグレードしてください。
RPM-00548	初期設定パラメーターにプレフィックスが設定されていません。	要因 初期設定パラメーターにプレフィックスが設定されていません。 対処 初期設定パラメーターを見直したあと、再度実行してください。
RPM-00549	指定したミラー ID の値が既存のコピーグループ定義と異なっています。(ミラー ID: <ミラー ID>, 既存ミラー ID: <既存ミラー ID>)	要因 指定したミラー ID の値が既存のコピーグループ定義と異なっています。 対処 ミラー ID はコピーグループ定義で同一の値を指定してください。ミラー ID を変更するため

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		には、コピーグループ定義のペアをすべて削除してください。
RPM-00550	コピーペア状態の取得に失敗しました。 (ホスト名: <ホスト名>, プレフィックス名: <プレフィックス名>, コピーグループ名: <コピーグループ名>)	要因 構成が変更されているおそれがあります。 対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。その後、該当するペアが表示されることを確認し、コピーペア状態の更新を実行してコピーペア状態が完了状態になっていることを確認してください。
RPM-00551	Business Continuity Manager または Mainframe Agent からのコピーペア状態の取得に失敗しました。(ホスト名: <ホスト名>, プレフィックス名: <プレフィックス名>, コピーグループ名: <コピーグループ名>)	要因 構成が変更されているおそれがあります。 対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。
RPM-00552	コピーペア状態が完了状態になりませんでした。(リソース ID: <リソース ID>, 正側コピーペア状態: <正側コピーペア状態>, 副側コピーペア状態: <副側コピーペア状態>)	要因 コマンドの実行は成功しましたが、コピーペア状態が処理中または完了以外の状態になりました。 対処 該当するコピーペアのコピーペア状態を確認してください。意図したコピーペア状態になっていない場合は、コピーペア状態の変更を行ってください。
RPM-00553	処理の一部でエラーが発生しました。 (ターゲット: <ターゲット>, 詳細: <Business Continuity Manager エラーコード Business Continuity Manager エラーメッセージ (Business Continuity Manager リターンコード)>)	要因 Business Continuity Manager コマンドの実行中にエラーが発生しました。 <ターゲット>には、次の内容が出力されます。 • 配布タスクの場合: <ホスト名/プレフィックス名> • 上記以外のタスクの場合: <リソース ID> 対処 Business Continuity Manager のメッセージに従って対処してください。Business Continuity Manager と Replication Manager の構成情報に差異がある場合は構成情報の更新を行ってください。
RPM-00554	配布元の Configuration ファイルが、Replication Manager, および Business Continuity Manager または Mainframe Agent でサポートされていないバージョンの Business Continuity Manager または Mainframe Agent で作成されているため、操作することができません。 (Configuration ファイルのバージョン: <Configuration ファイルのバージョン>)	要因 配布元の Configuration ファイルが、Replication Manager, および Business Continuity Manager または Mainframe Agent でサポートされていないバージョンの Business Continuity Manager または Mainframe Agent で作成されています。 対処 Configuration ファイルをサポートするバージョンへ配布元の Replication Manager, および Business Continuity Manager または Mainframe Agent をアップグレードしてください。
RPM-00555	配布先の Configuration ファイルが、Replication Manager, および Business Continuity Manager または Mainframe Agent でサポートされていないバージョンの Business	要因 配布先の Configuration ファイルが、Replication Manager, および Business Continuity Manager または Mainframe Agent でサポートされていないバージョンの Business

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	Continuity Manager または Mainframe Agent で作成されているため、操作することができません。 (Configuration ファイルのバージョン: < Configuration ファイルのバージョン >)	Continuity Manager または Mainframe Agent で作成されています。 対処 Configuration ファイルをサポートするバージョンへ配布先の Replication Manager, および Business Continuity Manager または Mainframe Agent をアップグレードしてください。
RPM-00556	SIMPLEX 状態でないコピーペアがあるため、ペア定義を削除することができません。	要因 SIMPLEX 状態でないコピーペアが存在するため、ペア定義を削除することができません。 対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。その後、次の対処を実行してください。 1. 該当するコピーペアの状態が SIMPLEX 状態でない場合、コピーペア状態を SIMPLEX に変更してください。その後、ペア削除タスクを実行してください。 2. 該当するコピーペアが構成情報に表示されない場合、すでにペア定義が削除されている可能性があります。Business Continuity Manager でペア定義の有無を確認し、ペア定義が削除されていた場合は Replication Manager でペア削除タスクを実行する必要はありません。
RPM-00557	ペア状態が swapping のため、ペア削除できません。(ホスト名: <ホスト名>, プレフィックス名: <プレフィックス名>, コピーグループ名: <コピーグループ名>)	要因 ペア削除できないペア状態です。 対処 ペア削除できるペア状態に変更して、再度実行してください。
RPM-00558	ディスク構成定義ファイルがホストに配布されていません。(配布元ホスト名/プレフィックス名: {<配布元ホスト名> <プレフィックス名>}, 配布先ホスト名/プレフィックス名: {<配布先ホスト名> <プレフィックス名>}, DADID: < DADID >)	要因 ディスク構成定義ファイルがコピーグループの配布元または配布先に配布されていません。 対処 配布元と配布先のコピーグループが表示されている場合は、配布先コピーグループを削除してください。その後、ディスク構成定義ファイルをホストに配布したあとに、タスクを再度実行してください。
RPM-00559	コピーグループが配布条件を満たしていません。	要因 コピーグループが配布条件を満たしていません。 対処 マニュアル「Hitachi Command Suite Replication Manager Software ユーザーズガイド」を参照してコピーグループが配布条件を満たすようにしてください。
RPM-00560	バックアップ状態の取得がタイムアウトしました。	要因 バックアップ状態が 24 時間経過しても取得できなかったため、バックアップ状態の取得がタイムアウトしました。 対処 Replication Manager Application Agent から正しく情報が取得できているか確認してください。情報が取得できている場合、タスク情報更新を実行して、タスクの状態を最新にしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-00561	スケジュール情報が Replication Manager Application Agent 上にありません。	要因 スケジュール情報が Replication Manager Application Agent 上にありません。 対処 ホスト情報の更新を実行して、構成を最新にしてください。
RPM-00562	実行日時にタスクを実行できませんでした。タスクの実行日時を再設定してください。	要因 タスクの実行日時に Replication Manager が停止していました。 対処 タスクの実行日時を再設定してください。
RPM-00563	Replication Manager Application Agent の設定情報の取得に失敗しました。	要因 Replication Manager Application Agent の設定情報の取得に失敗しました。 対処 Replication Manager Application Agent の設定を見直してください。
RPM-00564	Replication Manager Application Agent のホスト名の取得に失敗しました。	要因 Replication Manager Application Agent のホスト名の取得に失敗しました。 対処 Replication Manager Application Agent 情報の更新を実行し、Replication Manager Application Agent 情報を最新にしてください。
RPM-00565	コピーペア状態の取得に失敗しました。(ホスト名: <ホスト名>, プレフィックス名: <プレフィックス名>, コピーグループ名: <コピーグループ名>)	要因 構成が変更されているおそれがあります。 対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。その後、該当するペアがあることを確認したあとに、再度実行してください。
RPM-00566	コピーグループに含まれる既存のすべてのペアを削除、または修正することはできません。	要因 コピーグループに含まれる既存のすべてのペアを削除、または修正することはできません。削除と修正のペア数の合計が既存のペア数と一致する操作も同様に行けません。 対処 すべてのペアを削除する場合には、コピーグループの削除を行ってください。また、すべてのペアを修正する場合には、複数回に分けて操作するか、コピーグループの削除を行ったあとにペアを作成してください。
RPM-00567	構成情報の更新中のため、ペア状態の取得に失敗しました。	要因 構成情報の更新中のため、ペア状態の取得に失敗しました。 対処 構成情報の更新後に再度実行してください。
RPM-00568	Replication Manager, および Business Continuity Manager が、Configuration ファイルの配布をサポートしていないバージョンのため、操作することができません。(Configuration ファイルのバージョン: < Configuration ファイルのバージョン>)	要因 Replication Manager, および Business Continuity Manager が Configuration ファイルの配布をサポートしていないバージョンです。 対処 Configuration ファイルの配布をサポートするバージョンへ Business Continuity Manager をアップグレードしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-00577	指定可能なプールIDがありません。	要因 プールIDが存在しません。 対処 プールを作成してください。すでに存在する場合は、構成の更新を実行してください。
RPM-00578	指定可能なジャーナルグループIDまたはプールIDがありません。	要因 ジャーナルグループIDまたはプールIDが存在しません。 対処 ジャーナルグループ、またはプールを作成してください。すでに存在する場合は、構成の更新を実行してください。
RPM-00579	操作対象がほかのユーザーによって更新されたか、操作可能な状態ではありません。操作対象の状態を確認して、再度実行してください。	要因 操作対象がほかのユーザーによって更新されたか、操作可能な状態ではありません。 対処 操作対象の状態を確認して、再度実行してください。
RPM-00580	指定したレコードがデータベースにありません。	要因 指定したレコードがデータベースに存在しません。 対処 指定したオブジェクトに関連するデータがほかのユーザーによって削除されたおそれがあります。画面を再表示し、対象のオブジェクトが存在することを確認してください。同じ現象が何度も発生する場合は問い合わせ窓口にご連絡してください。
RPM-00581	予期しないエラーが発生しました。(＜詳細＞)	要因 Replication Manager 内部のインターフェースで、予期しないエラーが発生しました。 対処 問い合わせ窓口にご連絡してください。
RPM-00590	予期しないエラーが発生しました。	要因 Replication Manager 内部のインターフェースで、予期しないエラーが発生しました。 対処 問い合わせ窓口にご連絡してください。
RPM-00591	データベースが不整合な状態です。(テーブル名: <テーブル名>, キー: <キー>)	要因 Replication Manager 内部のインターフェースで、データベースの不整合による予期しないエラーが発生しました。 対処 問い合わせ窓口にご連絡してください。
RPM-00592	データベースの更新処理が失敗しました。	要因 データベースの更新処理が失敗しました。 対処 アップグレードインストールを実行した直後の場合は、バックアップしたデータベースをリストアし、Replication Manager を再起動してください。データのインポート直後の場合は、データを再度インポートして、Replication Manager を再起動してください。それでも問題が解決されな

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		い場合は、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-00593	指定したプール ID はすでに登録されています。	要因 指定したプール ID はすでに登録されています。 対処 プール一覧の状態を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00594	指定したジャーナルグループ ID はすでに登録されています。	要因 指定したジャーナルグループ ID はすでに登録されています。 対処 ジャーナルグループ一覧の状態を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00595	すでに削除された DMLU です。(ボリューム=<ボリューム>)	要因 すでに削除された DMLU です。 対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。
RPM-00596	指定されたリモートパスは登録されていません。	要因 指定されたリモートパスは登録されていません。 対処 すでに削除されたおそれがあります。ストレージシステム情報の更新を実行して、構成を最新にしてください。
RPM-00597	リモートパスの編集は完了しましたが、ポート属性を「Target」に変更できませんでした。	要因 変更対象のポートまたは変更対象のポートの関連ポートにリモートパスが残っているおそれがあります。 対処 ポートにリモートパスが設定されている場合は事前に削除してから、再度実行してください。
RPM-00600	選択されたリモートパスの情報の一部を取得できませんでした。ストレージシステム情報の更新を実行後、再度実行してください。	要因 データと実際の構成が違うため、一部の情報を取得できません。 対処 ストレージシステム情報の更新を実行後、再度実行してください。
RPM-00601	アラート名に誤りがあります。	要因 アラート名に誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00602	監視ペア状態に誤りがあります。	要因 監視ペア状態に誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00603	メールサーバに誤りがあります。	要因 メールサーバに誤りがあります。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00604	宛先に誤りがあります。	要因 宛先に誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00605	タイトルに誤りがあります。	要因 タイトルに誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00606	メッセージに誤りがあります。	要因 メール本文（メッセージ）に誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00607	選択されたストレージグループのいくつかに対して、レプリカがありません。	要因 選択されたリストア操作対象にレプリカに含まれていない対象があります。 対処 対象ストレージグループを含んだレプリカを作成してください。
RPM-00608	パスワードに誤りがあります。	要因 パスワードに誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00609	選択されたストレージグループが同じレプリカに属していません。	要因 選択されたストレージグループが同じレプリカに属していません。 対処 ストレージグループを一つずつ選択するか、レプリカ履歴一覧からレプリカを選択して、リストアしてください。
RPM-00610	データ種別に誤りがあります。	要因 データ種別に誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00611	データ保持期間に誤りがあります。	要因 データ保持期間に誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00612	期限切れデータ削除の時間に誤りがあります。	要因 開始時刻に誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00613	間隔に誤りがあります。	要因 間隔に誤りがあります。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00614	エージェントに対する更新間隔設定に誤りがあります。	要因 エージェントに対する更新間隔設定に誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00615	名称に誤りがあります。	要因 名称に誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00616	ホスト ID に誤りがあります。	要因 ホスト ID に誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00617	ポートに誤りがあります。	要因 ポートに誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00618	ユーザー ID に誤りがあります。	要因 ユーザー ID に誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00619	Device Manager に対する更新間隔の設定に誤りがあります。	要因 Device Manager に対する更新間隔の設定に誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00620	差出人に誤りがあります。	要因 差出人に誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00621	ホストに誤りがあります。	要因 ホストに誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00622	コミュニティに誤りがあります。	要因 コミュニティに誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00623	テンプレートに誤りがあります。	要因 テンプレートに誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-00624	開始時刻に誤りがあります。	要因 開始時刻に誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00625	日時に誤りがあります。	要因 日時に誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00626	期間指定に誤りがあります。	要因 期間指定に誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00627	直近に誤りがあります。	要因 直近に誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00628	しきい値に誤りがあります。	要因 しきい値に誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00629	メトリックに誤りがあります。	要因 メトリックに誤りがあります。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00630	情報取得元の登録数が最大数を超過しています。最大数=<登録可能な情報取得元の最大数>	要因 登録できる情報取得元の最大数を超過するため、これ以上情報取得元を登録できません。 対処 不要な情報取得元を削除したあとに再度実行してください。
RPM-00631	前提バージョンではありません。前提バージョン=<前提バージョン> 情報取得元バージョン情報=<情報取得元のバージョン情報>	要因 情報取得元に登録しようとした製品のバージョンが、Replication Manager の前提としているバージョンではありません。 対処 情報取得元に登録しようとした接続先の情報が正しいかを確認してください。また、情報取得元のバージョンを前提としているバージョンに更新してもよいかを確認し、インストール作業をしたあとに再度実行してください。
RPM-00632	アラート設定の登録数が最大数を超過してしまいます。最大数=<登録可能なアラート設定の最大数> 登録数=<現在のアラート設定の登録数>	要因 登録できるアラート設定の最大数を超過するため、これ以上アラート設定を登録できません。または、追加しようとするリソースをすべて登録するとアラート設定の最大数を超過してしまうため、これ以上アラート設定を登録できません。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		不要なアラート設定を削除したあとに再度実行してください。または、追加しようとするリソースを減らして再度実行してください。
RPM-00633	監視設定はありません。名称=<名称>	要因 存在しない情報を参照しようとしてしました。 対処 直前に別の管理者が情報取得元の削除操作を実行していないか確認してください。
RPM-00634	情報取得元情報はありません。	要因 存在しない情報を参照しようとしてしました。 対処 直前に別の管理者が情報取得元の削除操作を実行していないか確認してください。
RPM-00635	構成設定はありません。名称=<名称>	要因 存在しない情報を参照しようとしてしました。 対処 直前に別の管理者が情報取得元の削除操作を実行していないか確認してください。
RPM-00636	インストール情報の取得に失敗しました。	要因 Replication Manager のインストール情報の読み込みに失敗しました。 対処 インストール先に、Replication Manager のプロパティファイルが存在し、プロパティファイルが参照できるかを確認してください。プロパティファイルが存在しない場合、Replication Manager を一度アンインストールしてから、再度インストールしてください。
RPM-00637	インストール情報の解析に失敗しました。前提バージョン=<前提バージョン> 情報取得元バージョン情報=<情報取得元のバージョン情報>	要因 Replication Manager の前提バージョン情報、または情報取得元のバージョン情報の解析に失敗しました。 対処 情報取得元のバージョンが前提としているバージョンであるかを確認してください。問題がなければ、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-00638	マイコピーグループは構成情報にありません。マイコピーグループ=<マイコピーグループ>	要因 登録されたマイコピーグループが現在のReplication Manager の構成情報に存在しません。 対処 マイコピーグループの編集ダイアログで、マイコピーグループの登録内容を確認してください。不要なコピーグループが登録されていた場合、登録を解除してください。そのあとに[マイコピーグループ情報更新]ボタンをクリックして情報を更新してください。
RPM-00639	マイコピーグループの登録数が最大数を超えています。最大数=<登録可能なマイコピーグループの最大数> 指定数=<登録しようとするマイコピーグループ数>	要因 登録できるマイコピーグループの最大数を超えるため、指定したマイコピーグループを登録できません。 対処 登録しようとするマイコピーグループを減らして再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-00640	選択されたバックアップサーバは存在しません。	要因 指定されたバックアップサーバの Application Agent は Replication Manager に登録されていません。 対処 バックアップサーバの Application Agent を登録後、再度実行してください。
RPM-00641	指定されたローカルのレプリカ管理用バックアップサーバは存在しません。	要因 指定されたバックアップサーバの Application Agent は Replication Manager に登録されていません。 対処 バックアップサーバの Application Agent を登録後、再度実行してください。
RPM-00642	指定されたリモートのレプリカ管理用バックアップサーバは存在しません。	要因 指定されたバックアップサーバの Application Agent は Replication Manager に登録されていません。 対処 バックアップサーバの Application Agent を登録後、再度実行してください。
RPM-00643	3DC マルチターゲット構成において、リモートコピーのミラー ID は異なる値でなければなりません。	要因 3DC マルチターゲット構成において、リモートコピーのミラー ID は異なる値でなければなりません。 対処 3DC マルチターゲット構成において、リモートコピーのミラー ID として異なる値を設定してください。
RPM-00644	指定した正方向のスーパーバイザ DKC が不正です。グループ名 = <グループ名>	要因 指定した正方向のスーパーバイザ DKC が不正です。 対処 正しい super DKC を指定してください。
RPM-00645	指定した逆方向のスーパーバイザ DKC が不正です。グループ名 = <グループ名>	要因 指定した逆方向のスーパーバイザ DKC が不正です。 対処 正しい super DKC を指定してください。
RPM-00646	指定した EXCTG ID は、すでに別のコピーグループに使用されています。グループ名 = <グループ名>, ストレージシステム名 = <ストレージシステム名>, EXCTG ID = <EXCTG ID >	要因 指定された EXCTG ID はすでに別のコピーグループに使用されています。 対処 使用されていない EXCTG ID を指定してください。
RPM-00647	指定した調停コマンドデバイスは、すでに別のコピーグループに使用されています。グループ名 = <グループ名>, ストレージシステム名 = <ストレージシステム名>, 調停コマンドデバイス = <調停コマンドデバイス>	要因 指定した調停コマンドデバイスは、すでにほかのコピーグループに使用されています。 対処 使用されていない調停コマンドデバイスを指定してください。
RPM-00648	指定したペアグループ名はすでにトポロジーにあります。	要因 指定したペアグループ名はすでにトポロジーに存在します。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		対処 別のペアグループ名を指定してください。
RPM-00649	選択されたペアグループは、すでにコピーグループが割り当て済みです。	要因 選択されたペアグループは、すでにコピーグループが割り当て済みです。 対処 対処の必要はありません。
RPM-00650	選択されたペアグループは、まだコピーグループが割り当てられていません。	要因 選択されたペアグループは、まだコピーグループが割り当てられていません。 対処 対処の必要はありません。
RPM-00651	同じ DEVN がすでにコピーペア一覧に追加されています。	要因 同じ DEVN がすでにコピーペア一覧に追加されています。 対処 コピーペア一覧に存在していない DEVN を指定してください。
RPM-00652	指定した副側 DEVN の数は正側 DEVN の数と一致しません。	要因 指定した副側 DEVN の数は正側 DEVN の数と一致しません。 対処 指定した副側の DEVN の数と正側の DEVN の数を一致させてください。
RPM-00653	指定した DEVN はコピーペア一覧にありません。	要因 指定した DEVN はコピーペア一覧に存在しません。 対処 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00654	副側 DEVN はすでに指定したペアにあります。	要因 副側 DEVN はすでに指定したペアに存在します。 対処 コピーペア一覧に存在していない DEVN を指定してください。
RPM-00655	レプリカ設定において、既存のタスクから設定値に変更がありません。(タスク ID = <タスク ID >)	要因 入力情報に変更がないため、タスクを再作成しません。 対処 対処の必要はありません。
RPM-00656	指定したディスク構成定義ファイルには、データセットが割り当てられていません。	要因 データセットが指定したディスク構成定義ファイルに割り当てられていません。 対処 構成を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00657	指定したボリューム範囲はすでに同じディスク構成定義ファイルもしくは、同じ BCM のほかのディスク構成定義ファイルにスキャンされています。	要因 指定したボリュームレンジはすでに同じディスク構成定義ファイルもしくは、同じ BCM のほかのディスク構成定義ファイルにスキャンされています。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		指定したボリューム範囲にスキャン済みのボリュームが含まれる場合、そのボリューム範囲は指定できません。 設定した値を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00658	スキャン候補となるストレージシステムのローカルスキャン(Gen'ed)が実行されていないため、ローカルスキャン(Non-Gen'ed)または、リモートスキャンは実行できません。	要因 スキャン候補となるストレージシステムのローカルスキャン(Gen'ed)が実行されていないため、ローカルスキャン(Non-Gen'ed)または、リモートスキャンは実行できません。 対処 ローカルスキャン(Non-Gen'ed)またはリモートスキャンを実行するためには、スキャン対象となるストレージシステムに対してローカルスキャン(Gen'ed)が実行されている必要があります。構成を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00659	レプリカを管理するリモートのバックアップサーバが登録されていません。 (ホスト名 = <ホスト名 >)	要因 レプリカを管理するリモートのバックアップサーバが登録されていません。 対処 リモートのバックアップサーバが追加されていない場合には、Application Agent の追加ダイアログで追加してください。リモートのバックアップサーバが追加されている場合は、Application Agent の設定ダイアログでリモートのレプリカ管理サーバを設定してください。
RPM-00660	スキャン候補となるストレージシステムにルートリストが設定されていないため、ローカルスキャン(Non-Gen'ed)または、リモートスキャンは実行できません。	要因 スキャン候補となるストレージシステムにルートリストが設定されていないため、ローカルスキャン(Non-Gen'ed)または、リモートスキャンは実行できません。 対処 ローカルスキャン(Non-Gen'ed)またはリモートスキャンを実行するためには、スキャン対象となるストレージシステムに対してのルートリストが設定されている必要があります。構成を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00661	指定したボリューム範囲に、コピーペアを構成するボリューム、もしくは予約されているボリュームがあるため、ボリューム範囲を削除できません。	要因 指定したボリューム範囲に、コピーペアを構成するボリューム、もしくは予約されているボリュームがあるため、ボリューム範囲を削除できません。 対処 サブシステムビューまたはホストビューの LDEV 一覧 Paired タブを参照して、コピーペアを構成するボリュームが含まれていないことを確認してください。また、Unpaired タブに表示されるボリュームの中に、simplex 状態のコピーペアを構成するボリュームがないか確認してください。選択したボリューム範囲を削除したい場合は、それらのペアを削除してから再度実行してください。
RPM-00662	指定したホストはほかのユーザーによりすでに削除されています。	要因 指定したホストはほかのユーザーによりすでに削除されています。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		対処 ホスト一覧画面を再描画し、指定したホストがあるか確認してから、再度実行してください。
RPM-00663	操作できないペアが含まれています。	要因 操作できないペアが含まれています。 対処 選択したすべてのペアが操作できる状態になっていることを確認してください。
RPM-00664	LDEV <LDEV名> がほかのワークフローによって予約されています。	要因 選択された LDEV またはそのストレージシステムがすでにほかのワークフローによって予約されています。 対処 LDEV またはそのストレージシステムがほかのワークフローによって予約されていないことを確認してから再度実行してください。
RPM-00665	Device Manager サーバのサービスが停止しています。	要因 Device Manager サーバのサービスが停止しています。 対処 サービスを起動したあとで、再度処理を実行してください。
RPM-00666	選択された仮想ホストに共有データパスが設定されていません。(ホスト名 = <ホスト名>)	要因 選択された仮想ホストに共有データパスが設定されていません。 対処 共有データパスを Application Agent の設定ダイアログで設定したあと、再度レプリカ作成を実行してください。
RPM-00667	作成できる V-VOL グループの最大数を超過しています。	要因 作成できる V-VOL グループの最大数を超過しています。 対処 不要な V-VOL グループを削除してください。
RPM-00668	V-VOL グループに追加できる V-VOL の最大数を超過しています。	要因 V-VOL グループに追加できる V-VOL の最大数を超過しています。 対処 不要な V-VOL を削除してください。
RPM-00669	すでに削除された V-VOL です。	要因 すでに削除された V-VOL です。 対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。
RPM-00670	指定した V-VOL はパスが定義されているため削除できません。	要因 指定した V-VOL はパスが定義されているため削除できません。 対処 定義されているパスを削除して、再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-00671	レプリカを管理するバックアップサーバが登録されていません。(ホスト名 = <ホスト名>)	<p>要因 レプリカを管理するバックアップサーバが登録されていません。</p> <p>対処 バックアップサーバが追加されていない場合には、Application Agent の追加ダイアログで追加してください。バックアップサーバが追加されている場合は、Application Agent の設定ダイアログでローカルおよびリモートのレプリカ管理サーバを設定してください。</p>
RPM-00672	指定した V-VOL は副ボリュームとして使用されているため削除できません。	<p>要因 指定した V-VOL は副ボリュームとして使用されているため削除できません。</p> <p>対処 スナップショットペアを解除したあと、再度実行してください。</p>
RPM-00673	レプリカを管理するローカルのバックアップサーバが登録されていません。(ホスト名 = <ホスト名>)	<p>要因 レプリカを管理するローカルのバックアップサーバが登録されていません。</p> <p>対処 ローカルのバックアップサーバが追加されていない場合には、Application Agent の追加ダイアログで追加してください。ローカルのバックアップサーバが追加されている場合は、Application Agent の設定ダイアログでローカルのレプリカ管理サーバを設定してください。</p>
RPM-00674	選択した V-VOL グループはすでに削除されています。	<p>要因 選択した V-VOL グループはすでに削除されています。</p> <p>対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。</p>
RPM-00675	指定された Application Agent はすでに削除されています。	<p>要因 選択された Application Agent は、すでにほかのユーザーにより削除されています。</p> <p>対処 指定された Application Agent はすでに削除されています。リストアを実行したい場合には、Application Agent を追加してください。</p>
RPM-00676	選択されたインフォメーションストアにレプリカがありません。	<p>要因 選択されたインフォメーションストアに対するレプリカが存在しません。</p> <p>対処 レプリカを作成してください。</p>
RPM-00677	V-VOL の削除に対する処理結果の取得に失敗しました。	<p>要因 V-VOL の削除に対する処理結果の取得に失敗しました。</p> <p>対処 処理の結果は V-VOL 一覧画面を表示して確認してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
RPM-00678	副側のレプリカ情報が取得できませんでした。	要因 副側のレプリカ情報を取得できませんでした。 対処 副側のレプリカ情報を取得できるように構成を見直して再度実行してください。
RPM-00679	V-VOL の作成に対する処理結果の取得に失敗しました。	要因 V-VOL の作成に対する処理結果の取得に失敗しました。 対処 処理の結果は V-VOL 一覧画面を表示して確認してください。
RPM-00680	追加できる主 LDEV の最大数を超過しています。	要因 追加できる主 LDEV の最大数を超過しています。 対処 不要な主 LDEV を対象の LDEV 一覧から削除してください。
RPM-00681	指定した V-VOL グループはすでに存在しています。	要因 指定した V-VOL グループはすでに存在しています。 対処 V-VOL 一覧の状態を見直したあと、再度実行してください。
RPM-00682	データベースサーバ(<ホスト名>)に対応するバックアップサーバの情報が取得できません。	要因 指定したレプリカのタスクが削除されているおそれがあります。 対処 レプリカを再作成したあと、再度実行してください。
RPM-00683	選択されたタスクに対応するストレージグループの情報の取得に失敗しました。(タスク ID = <タスク ID >)	要因 ストレージグループが削除された可能性があります。 対処 選択されたタスクが持つストレージグループが存在するか確認してください。ストレージグループが存在する場合は、[リソース] - [アプリケーション]を選択して表示される画面でホストを選択し、ホスト情報更新を行ったあと再度操作してください。ストレージグループが存在しない場合は、タスクを新規作成してください。
RPM-00684	指定した V-VOL は属する V-VOL グループにパスが定義されている V-VOL を含んでいるため削除できません。	要因 指定した V-VOL は属する V-VOL グループにパスが定義されている V-VOL を含んでいるため削除できません。 対処 V-VOL グループからすべてのパスを削除したあと、再度実行してください。
RPM-00685	指定した V-VOL は属する V-VOL グループに副ボリュームとして使用されている V-VOL を含んでいるため削除できません。	要因 指定した V-VOL は属する V-VOL グループに副ボリュームとして使用されている V-VOL を含んでいるため削除できません。 対処 V-VOL グループからすべてのスナップショットペアを解除したあと、再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-00686	ストレージシステムが処理を完了できませんでした。	要因 ストレージシステムが処理を完了できませんでした。 対処 Device Manager サーバのログを参照して問題を解決してください。
RPM-00687	指定したペアまたはコピーグループの正側 DAD または、副側 DAD が BCM 初期設定パラメーターに登録されていません。	要因 指定したペアまたはコピーグループの正側 DAD または、副側 DAD が BCM 初期設定パラメーターに登録されていません。 対処 指定したペアまたはコピーグループの正側 DAD と副側 DAD が BCM 初期設定パラメーターに登録されていることを確認してから、再度実行してください。
RPM-00688	選択された DMLU は、すでに最大容量です。(最大容量 = <最大容量> GB)	要因 選択された DMLU は、すでに最大容量です。 対処 選択された DMLU は、すでに最大容量であるため、これ以上の拡張はできません。 対処の必要はありません。
RPM-00689	DMLU の状態が不正です。(状態 = <状態>) DMLU の状態が通常もしくは縮退以外の場合、DMLU 容量拡張を実行することはできません。	要因 DMLU の状態が不正です。 DMLU の状態が通常もしくは縮退以外の場合、DMLU 容量拡張を実行することはできません。 対処 DMLU の状態が正常もしくは縮退状態になっていることを確認したあとに、再度実行してください。
RPM-00690	容量取得元に使用できるパリティグループが存在しません。	要因 空き容量があるパリティグループが存在しません。 DMLU を拡張するには、容量取得元となるパリティグループが必要です。 対処 DMLU の拡張に使用する容量をパリティグループに確保したあとに、再度実行してください。
RPM-00691	DMLU 容量拡張に必要な情報の取得に失敗しました。	要因 DMLU 拡張に必要な情報の取得に失敗しました。 対処 構成の更新を行ったあとに再度実行してください。
RPM-00701	選択されたコピーペアはクォラムドライブのため操作を行えません。	要因 選択されたコピーペアはクォラムドライブのため操作を行えません。 対処 クォラムドライブ以外のペアを選択して再度実行してください。
RPM-00702	選択されたコピーペアは HAM コピーペアのため操作を行えません。	要因 選択されたコピーペアは HAM コピーペアのため操作を行えません。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		HAM コピーペア以外のペアを選択して再度実行してください。
RPM-00703	E メール送信情報の作成に失敗しました。要因=<例外の詳細メッセージ>	要因 メールパラメーターに誤りがあるおそれがあります。 対処 要因として出力された情報を基に、メールパラメーターの設定が正しいかどうかを確認し、誤りがあれば再度登録してください。
RPM-00704	メールサーバへの接続に失敗しました。要因=<例外の詳細メッセージ>	要因 メールサーバの設定に誤りがある、または指定したメールサーバが起動していないおそれがあります。 対処 要因として出力された情報を基に、メールサーバの設定が正しいかどうかを確認し、誤りがあれば再度登録してください。また、メールサーバの受付ポートが 25 となっていること、メールサーバが起動していることを確認してください。
RPM-00705	Eメールの送信に失敗しました。要因=<例外の詳細メッセージ>	要因 Eメールの送信に失敗しました。 対処 要因として出力された情報を基に、メールパラメーターの設定が正しいかどうかを確認し、誤りがあれば再度登録してください。
RPM-00706	SNMP トラップ送信情報の作成に失敗しました。	要因 SNMP トラップ通知に必要なパラメーターが正しく設定されていないおそれがあります。 対処 SNMP トラップ通知に必要なパラメーターの設定を確認してください。誤りがあれば再度登録してください。
RPM-00707	内部コマンドの実行に失敗しました。コマンドファイル名=<コマンドのファイル名>	要因 Replication Manager の内部で使用しているコマンドの実行に失敗しました。 対処 Replication Manager を実行しているコンピュータのメモリーの空き容量を確認してください。メモリーが不足している場合は、同時に実行している不要なプログラムの停止、メモリーの増設などの方法で、使用できるメモリー量を増やしてください。 それでもこのメッセージが表示される場合は、Replication Manager を一度アンインストールしてから、再度インストールしてください。
RPM-00708	SNMP トラップの送信に失敗しました。要因=<例外の詳細メッセージ>	要因 SNMP トラップ通知に必要なパラメーターが正しく設定されていないおそれがあります。 対処 要因として出力された情報を基に、SNMP トラップ通知に必要なパラメーターの設定を確認してください。誤りがあれば再度登録してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-00709	ホストへの接続時にエラーが発生しました。要因=<例外の詳細メッセージ>	要因 SNMP トラップ通知に必要なパラメーターが正しく設定されていないおそれがあります。 対処 要因として出力された情報を基に、SNMP トラップ通知に必要なホスト名の設定を確認してください。誤りがあれば再度登録してください。
RPM-00710	ホストの IP アドレスが不正です。要因=<例外の詳細メッセージ>	要因 SNMP トラップ通知に必要なパラメーターが正しく設定されていないおそれがあります。 対処 要因として出力された情報を基に、SNMP トラップ通知に必要な IP アドレスの設定を確認してください。誤りがあれば再度登録してください。
RPM-00711	予期しないエラーが発生しました。	要因 SNMP トラップ通知に必要なパラメーターが正しく設定されていないおそれがあります。 対処 SNMP トラップ通知に必要なパラメーターの設定を確認してください。誤りがあれば再度登録してください。
RPM-00713	この操作に必要なユーザー権限が不足しています。	要因 この操作に必要なユーザー権限が不足しています。 対処 Modify ユーザーの場合は、Admin ユーザーに適切なリソースグループを割り当ててもらってください。 Admin ユーザーの場合は、自分で適切なリソースグループを割り当ててください。
RPM-00714	指定された正側 CTGID/JNLGID はほかのコピーグループで使用されています。グループ名=<グループ名>	要因 指定された正側 CTGID/JNLGID はほかのコピーグループで使用されています。 対処 ほかのコピーグループに使用されていない CTGID/JNLGID を指定してください。
RPM-00715	指定された副側 CTGID/JNLGID はほかのコピーグループで使用されています。グループ名=<グループ名>	要因 指定された副側 CTGID/JNLGID はほかのコピーグループで使用されています。 対処 ほかのコピーグループに使用されていない CTGID/JNLGID を指定してください。
RPM-00716	該当 LDEV はすでに別のワークフローで使用されています。ストレージシステム名=<ストレージシステム名> LDEV =<LDEV 名>	要因 該当 LDEV はすでに別のワークフローで使用されています。 対処 別の LDEV を選択して、再度実行してください。
RPM-00717	指定された構成は変更されました。グループ名=<グループ名>	要因 指定された構成は変更されました。 対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		Manager のストレージシステムの更新を実行してください。
RPM-00718	指定された調停コマンドデバイスは不正です。グループ名 = <グループ名> ストレージシステム名 = <ストレージシステム名> 調停コマンドデバイス = <調停コマンドデバイス>	要因 指定された調停コマンドデバイスは不正です。 対処 使用できる調停コマンドデバイスを選択し、再度実行してください。
RPM-00719	この構成は未サポート構成です。同一のコピーグループ内で、同一の正ボリュームが二つ以上の副ボリュームとペアになっています。	要因 この構成は未サポート構成です。同一のコピーグループ内で、同一の正ボリュームが二つ以上の副ボリュームとペアになっています。 対処 オープン構成の場合は、RAID Manager を使用して、正ボリュームと副ボリュームが一対一になるようにコピーグループを修正してください。 メインフレーム構成の場合は、BCM を使用して、正ボリュームと副ボリュームが一対一になるようにコピーグループを修正してください。
RPM-00720	この構成は未サポート構成です。3DC 構成のコピーグループ間でペア数が一致していません。	要因 この構成は未サポート構成です。3DC 構成のコピーグループ間でペア数が一致していません。 対処 RAID Manager を使用して、3DC 構成のコピーグループ間のペア数を一致させてください。
RPM-00721	この構成は未サポート構成です。同一のコピーグループ内で、同一の副ボリュームが二つ以上の正ボリュームとペアになっています。	要因 この構成は未サポート構成です。同一のコピーグループ内で、同一の副ボリュームが二つ以上の正ボリュームとペアになっています。 対処 オープン構成の場合は、RAID Manager を使用して、正ボリュームと副ボリュームが一対一になるようにコピーグループを修正してください。 メインフレーム構成の場合は、BCM を使用して、正ボリュームと副ボリュームが一対一になるようにコピーグループを修正してください。
RPM-00722	この構成は未サポート構成です。コピーグループ内の正ボリュームに複数のストレージシステムのボリュームがあります。	要因 この構成は未サポート構成です。コピーグループ内の正ボリュームが複数のストレージシステムのボリュームとなっています。 対処 オープン構成の場合は、RAID Manager を使用して、コピーグループ内の正ボリュームに単一のストレージシステムが存在するように修正してください。 メインフレーム構成の場合は、BCM を使用して、コピーグループ内の正ボリュームに単一のストレージシステムが存在するように修正してください。
RPM-00723	この構成は未サポート構成です。コピーグループ内の副ボリュームに複数のストレージシステムのボリュームがあります。	要因 この構成は未サポート構成です。コピーグループ内の副ボリュームが複数のストレージシステムのボリュームとなっています。 対処 オープン構成の場合は、RAID Manager を使用して、コピーグループ内の正ボリュームに単一の

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ストレージシステムが存在するように修正してください。 メインフレーム構成の場合は、BCM を使用して、コピーグループ内の副ボリュームに単一のストレージシステムが存在するように修正してください。
RPM-00724	この構成は未サポート構成です。複数のコピー種別のペアが同一コピーグループに存在します。	要因 この構成は未サポート構成です。複数のコピー種別のペアが同一コピーグループに存在します。 対処 オープン構成の場合は、RAID Manager を使用して、コピーグループ内のペアが単一のコピー種別となるように修正してください。 メインフレーム構成の場合は、BCM を使用して、コピーグループ内のペアが単一のコピー種別となるように修正してください。
RPM-00730	同じ DEVN がすでにコピーペアリストに追加されています。	要因 同じ DEVN がすでにコピーペアリストに追加されています。 対処 まだ追加していない DEVN を選択してください。
RPM-00731	操作に有効なペアが選択されていません。	要因 操作に有効なペアが選択されていません。 対処 操作に有効なペアが選択されていることを確認し、再度実行してください。
RPM-00732	コピーグループ情報の取得に失敗しました。	要因 構成が変更されているおそれがあります。 対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。その後、該当するコピーグループが表示されることを確認してください。
RPM-00733	選択されたリソースは削除できません。リソース一覧のリソースすべてを削除することはできません。	要因 リソース一覧のすべてのリソースが削除対象に指定されています。 対処 リソース一覧が空にならないように削除対象に選択したリソースを見直してください。
RPM-00734	V-VOL の作成処理がタイムアウトしました。	要因 対象のストレージシステムがほかのユーザーによって使用されているか、内部で構成変更を行っている可能性があります。 対処 構成が最新でないおそれがあるので構成の更新を行ってください。その後、対象のストレージシステムが使用中でないことを確認してから再度実行してください。
RPM-00736	BC Manager が無いため、Device Manager を通じてメインフレーム情報を取得しました。操作には BC	要因 Device Manager を通じてメインフレーム情報を取得しました。そのため、指定された操作はできません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	Managerが必要であるため、指定された操作はできません。	対処 メインフレームに関する操作を行いたい場合には、BC Managerを導入してください。
RPM-00737	指定したペア操作は無効です。	要因 指定したペア操作は無効です。 対処 タスクを再作成したあと、再度実行してください。
RPM-00738	指定されたペア操作タスクは編集できません。	要因 指定されたペア操作タスクは編集できません。 対処 タスクを再作成したあと、再度実行してください。
RPM-00739	指定されたペア操作タスクは実行できません。	要因 指定されたペア操作タスクは実行できません。 対処 タスクを再作成したあと、再度実行してください。
RPM-00740	指定されたインスタンス情報はすでに追加されています。	要因 同じインスタンス情報がすでに設定されています。 対処 対処の必要はありません。
RPM-00741	同じ名称の情報取得元がすでに登録されています。(名称 = <Application Agent 名 >)	要因 同じ名称の情報取得元がすでに登録されています。 対処 ほかの名称を指定して再度実行してください。
RPM-00742	コンポーネント情報の取得に失敗しました。(Application Agent 名 = <Application Agent 名 >, ホスト ID = <ホスト ID >)	要因 コンポーネント情報の取得に失敗しました 対処 Application Agent 設定一覧画面から、Agent 情報更新を実行してください。
RPM-00743	指定された Application Agent 情報はありません。(Application Agent 名 = <Application Agent 名 >)	要因 指定された Application Agent 情報はすでに削除されています。 対処 Application Agent 設定一覧画面を更新してください。
RPM-00744	同じホスト ID の Application Agent がすでに登録されています。(ホスト ID = <ホスト ID >)	要因 同じホスト ID の Application Agent がすでに登録されています。 対処 対処の必要はありません。
RPM-00745	指定されたホストには Replication Manager Application Agent for Exchange/Replication Manager Application Agent for SQL コンポーネントがインストールされていません。(名称 = <Application Agent 名 >, ホスト ID = <ホスト ID >)	要因 指定されたホストには Replication Manager Application Agent for Exchange/Replication Manager Application Agent for SQL コンポーネントがインストールされていません。 対処 指定されたホストに適切なコンポーネントをインストールしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-00746	E メールオプションで指定した宛先の数 が最大数を超えています。(最大数 = <最大数>)	要因 E メールオプションで指定した宛先の数 が最大数を超えています。 対処 Eメールの宛先を10件以内にし、再度 実行してください。
RPM-00747	Application Agent のバージョンがサ ポート対象外です。	要因 Application Agent のバージョンがサ ポート対象外です。 対処 Application Agent のバージョンを見直 して再度実行してください。
RPM-00748	クラスタノードの情報取得に失敗しま した。(名称 = <名称>)	要因 クラスタノードの情報取得に失敗しま した。 対処 指定した値、もしくは構成を見直し て再度実行してください。
RPM-00749	追加できる Application Agent 情報 の最大数を超えています。(最大数 = <最 大数>)	要因 追加できる Application Agent 情報 の最大数を超えています。 対処 不要な情報取得元を削除したあとに 再度実行してください。
RPM-00750	指定された Application Agent は存在 しません。(HostID = <HostID >)	要因 指定された Application Agent は存在 しません。 対処 構成を見直して再度実行してくださ い。
RPM-00751	指定されたクラスタノードはありませ ん。(クラスタノード = <クラスタノ ード>)	要因 指定されたクラスタノードはありませ ん。 対処 構成を見直して再度実行してくださ い。
RPM-00752	指定されたクラスタノードはすでにあ ります。(クラスタノード = <クラスタ ノード>)	要因 指定されたクラスタノードはすでにあ ります。 対処 構成を見直して再度実行してくださ い。
RPM-00753	クラスタ構成でアクティブノードが指 定されていません。	要因 クラスタ構成でアクティブノードが指 定されていません。 対処 アクティブノード上の Application Agent を情報取得元に追加してください。
RPM-00754	<ファイル名>から取得した<キー> の値が制限を超えています。	要因 設定ファイルから取得した値の長さが 最大値を超えています。 対処 設定ファイル中の指定されたキーの値 を見直してから再度実行してください。
RPM-00755	アクセス権が無いホストに対して操作 を行いました。	要因 データベースサーバにアクセス権があ りません。 対処 操作を行いたい場合は、データベース サーバにアクセス権を付加してくださ い。アクセス権を付加する権限があ りない場合には、管理者にアクセス権 の付加を依頼してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
RPM-00756	ストレージグループを確認するための情報がありません。	要因 ストレージグループを確認するための情報がありません。 対処 [リソース] - [アプリケーション] を選択して表示される画面でホストを選択し、ホスト情報更新を実行して、構成を最新にしてください。それでも実行できない場合には、構成を見直してください。
RPM-00757	選択されたストレージグループにコピーペアがないか、同じコピー種別のコピーペアがありません。	要因 選択されたストレージグループにコピーペアがないか、同じコピー種別のコピーペアがありません。 対処 選択されたストレージグループに対して同じコピー種別のコピーペアを作成してください。その後、[リソース] - [アプリケーション] を選択して表示される画面でホストを選択し、ホスト情報更新を実行して、再度実行してください。
RPM-00758	タスク情報の取得に失敗しました。(タスク ID = <タスク ID >)	要因 タスク情報が削除されたおそれがあります。 対処 ウィザードを一度終了し、タスクの有無を確認してください。
RPM-00759	選択されたオプションが不正です。	要因 選択されたオプションが不正です。 対処 設定したオプション値を見直してください。
RPM-00760	選択されたスケジュールが不正です。	要因 選択されたスケジュールが不正です。 対処 選択したスケジュールを見直してください。
RPM-00761	開始時刻として登録できる最大数を超過しました。	要因 開始時刻として登録可能な最大数を超過しました。 対処 同一ホストに存在するレプリカ作成タスクの開始時刻の数を減らしたあと、再度実行してください。
RPM-00762	選択されたストレージグループに属する LDEV が、ワークフローにリザーブされています。(ストレージグループ = <ストレージグループ>)	要因 選択されたストレージグループに属する LDEV が、ワークフローにリザーブされています。 対処 ペア構成定義ウィザードのタスクが完了するのを待つか、リザーブを解除したあと、再度実行してください。リザーブは対応するワークフローとタスクを削除することで解除できます。
RPM-00763	世代識別名の取得に失敗しました。(ストレージグループ = <ストレージグループ>)	要因 世代識別名の取得に失敗しました。 対処 [リソース] - [アプリケーション] を選択して表示される画面でホストを選択し、ホスト情報更新を実行して、構成を最新にしてください。それ

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		でも実行できない場合には、構成を見直してください。
RPM-00764	同じレプリカの設定と開始時刻が既存のタスクに存在します。(タスク ID = <タスク ID >)	要因 同じレプリカ所在, 対象, オプション, スケジュール種別, 開始時刻が既存のタスクですすでに設定されています。 対処 追加したい開始時刻が存在する場合には、タスク一覧画面の編集アイコンから追加してください。
RPM-00765	同じレプリカの設定が既存のタスクに存在します。(タスク ID = <タスク ID >)	要因 同じレプリカ所在, 対象, オプション, スケジュール種別が既存のタスクですすでに設定されています。 対処 レプリカの設定が同じで開始時刻だけが異なるタスクを追加したい場合は、タスク一覧画面で既存のタスクを編集してください。
RPM-00766	選択されたレプリカボリュームはすでにアンマウントされています。	要因 選択されたボリュームはすでにアンマウントされています。 対処 対処の必要はありません。
RPM-00767	選択されたレプリカボリュームはすでにマウントされています。	要因 選択されたボリュームはすでにマウントされています。 対処 対処の必要はありません。
RPM-00768	選択された対象に対応する Application Agent が存在しません。	要因 選択された対象に対応する Application Agent が存在しません。 対処 [リソース] - [アプリケーション] を選択して表示される画面でホストを選択し、ホスト情報更新を実行して、構成を最新にしてください。 Application Agent が無い場合には、Application Agent を追加してください。
RPM-00769	選択されたストレージグループにレプリカがありません。	要因 選択されたストレージグループにレプリカがありません。 対処 レプリカを作成してください。
RPM-00770	選択されたレプリカのバックアップモードが VSS ではありません。	要因 選択されたレプリカのバックアップモードが VSS 以外の場合、操作ができません。 対処 リストアを行うために、VSS でレプリカを作成してください。
RPM-00771	選択されたレプリカの対象(ストレージグループ・インフォメーションストア)がありません。	要因 選択されたレプリカの対象 (ストレージグループ・インフォメーションストア) がありません。 対処 [リソース] - [アプリケーション] を選択して表示される画面でホストを選択し、ホスト情報更新を実行して、構成を最新にしてください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
RPM-00772	選択された対象の副ボリュームがマウントされています。	要因 選択された対象の副ボリュームがマウントされています。 対処 アンマウントしたあと、再度実行してください。
RPM-00773	選択された対象のバックアップサーバがありません。	要因 選択された対象のバックアップサーバがありません。 対処 レプリカを再作成してください。
RPM-00774	選択されたストレージグループに対するレプリカがありません。	要因 選択された対象に対するレプリカが作成されていません。 対処 リストア操作を行うには、レプリカを作成してください。
RPM-00775	選択されたストレージグループの世代識別名が一致していません。	要因 選択されたストレージグループの世代識別名が一致していません。 対処 選択されたストレージグループが保有するすべてのペアの MU 番号を一致させてください。
RPM-00776	選択されたストレージグループには、インフォメーションストアがありません。(ストレージグループ=<ストレージグループ>)	要因 選択されたストレージグループには、インフォメーションストアがありません。 対処 対象のストレージグループにインフォメーションストアを作成してください。そのあと、ホスト情報を更新し、再度実行してください。
RPM-00777	ストレージグループのペアにある副側の LDEV がワークフローでリザーブされています。(ストレージグループ=<ストレージグループ>)	要因 ストレージグループのペアに存在する副側の LDEV がワークフローでリザーブされています。 対処 ペア構成定義ウィザードのタスクが完了するのを待つか、リザーブを解除したあと、再度実行してください。リザーブは対応するワークフローとタスクを削除することで解除できます。
RPM-00778	選択されたタスクの状態は実行中です。(タスク ID = <タスク ID >)	要因 選択されたタスクは実行中です。 対処 タスクの実行が完了したあと、再度操作してください。
RPM-00779	選択されたストレージグループでペア操作が実行状態です。	要因 選択されたストレージグループに実行状態のペアが存在します。同時実行による不都合を防ぐために、即時実行のタスクを作成できません。 対処 ペア操作のタスクの実行が完了したあと、再度操作してください。
RPM-00780	選択された対象の LDEV がログファイルとデータファイルを含んでいます。	要因 データファイルとログファイルが同じ LDEV に存在するため、リストア操作を行うことができません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処</p> <p>リストア操作を行うためには、ログファイルとデータファイルが異なる LDEV に存在しなければなりません。ログファイルとデータファイルを異なる LDEV に割り当てた構成に対しレプリカを作成したあと、作成したレプリカをリストアできます。</p>
RPM-00781	選択された対象にはコピーペアが無いため、リストアできません。	<p>要因</p> <p>選択された対象にはコピーペアが無いため、リストアできません。</p> <p>対処</p> <p>リストアするために、コピーペアを作成したあと、レプリカを作成してください。</p>
RPM-00782	選択した対象に含まれる対象世代と、選択したタスクの対象世代が異なります。(タスク ID = <タスク ID >)	<p>要因</p> <p>選択した対象に含まれる対象世代と、選択したタスクの対象世代が異なります。</p> <p>対処</p> <p>対象世代を一致させたあと、再度実行してください。対象世代を一致させるためには、MU 番号を一致させる必要があります。</p>
RPM-00783	指定されたユーザーは、ほかのユーザーにより、すでに削除されています。	<p>要因</p> <p>指定されたユーザーは、ほかのユーザーにより、すでに削除されています。</p> <p>対処</p> <p>ユーザーロール画面を開きなおし、最新情報を参照してください。</p>
RPM-00784	選択されたストレージグループにストレージシステムのボリュームが割り当てられていません。	<p>要因</p> <p>選択されたストレージグループはどのストレージシステムのボリュームにも割り当てられていません。</p> <p>対処</p> <p>ストレージグループにストレージシステムのボリュームを割り当てたあと、[リソース] - [アプリケーション]を選択して表示される画面でホストを選択し、ホスト情報更新を行ってください。そのあと、再度実行してください。</p>
RPM-00785	選択されたストレージグループに割り当てられているボリュームは Device Manager で管理されていません。	<p>要因</p> <p>選択されたストレージグループに割り当てられたボリュームは、Device Manager で管理されていません。</p> <p>対処</p> <p>Replication Manager で管理したい場合は、Device Manager でストレージシステムを追加したあと、Replication Manager で構成の更新を行ってください。</p>
RPM-00786	選択されたストレージグループは不正なコピーグループの構成となっています。	<p>要因</p> <p>選択されたストレージグループは複数のコピーグループで構成されています。</p> <p>対処</p> <p>Replication Manager で管理したい場合、コピーグループはストレージグループのすべてのボリュームを管理する必要があります。コピーグループの管理範囲がストレージグループの一部のボリュームとなっている場合は、すべて</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		のボリュームを含むように構成を変更してください。
RPM-00787	指定されたタスクは、ほかのユーザーにより、すでに削除されています。	要因 選択されたタスクは、ほかのユーザーにより、すでに削除されています。 対処 指定されたタスクはすでに削除されています。画面を更新してください。
RPM-00788	対象コピーグループを使用しているタスクが"実行中"です。	要因 対象コピーグループを使用しているタスクが実行中です。 対処 コピーグループに対するタスクの実行が終了したあと、再度操作してください。
RPM-00789	3DC マルチターゲット構成において、リモートコピーのミラー ID に 0 が指定されています。	要因 3DC マルチターゲット構成において、リモートコピーのミラー ID に 0 が指定されています。 対処 3DC マルチターゲット構成において、リモートコピーのミラー ID には 0 以外を指定してください。
RPM-00790	指定されたユーザー” <ユーザー名> ”の権限が、ほかのユーザーにより変更されました。	要因 指定されたユーザーの権限が、ほかのユーザーにより変更されました。 対処 ユーザーロール画面を開きなおし、最新情報を参照してください。
RPM-00791	選択したストレージグループには、ローカルのコピーペアが存在しません。	要因 選択したストレージグループには、ローカルのコピーペアが存在しません。 対処 ローカルのコピーペアを作成したあと、[リソース] - [アプリケーション] を選択して表示される画面でホストを選択し、ホスト情報更新を実行して、構成を最新にしてください。そのあと、再度実行してください。
RPM-00792	マウントするために必要な副側ホストの情報が存在しません。	要因 マウントするために必要な副側ホストの情報が存在しません。 対処 以下の条件を満たしていることを確認してください。 1. レプリカ作成タスクがある。 2. レプリカ作成タスクが一度以上成功している。 3. レプリカ作成タスクが成功したあとに、[リソース] - [アプリケーション] を選択して表示される画面でホストを選択し、ホスト情報更新を行っている。
RPM-00793	選択されたストレージグループにリモートのコピーペアが存在しません。	要因 選択されたストレージグループにリモートのコピーペアが存在しません。 対処 リモートのコピーペアを作成したあと、[リソース] - [アプリケーション] を選択して表示され

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		る画面でホストを選択し、ホスト情報更新を実行して、構成を最新にしてください。そのあと、再度実行してください。
RPM-00794	アンマウントするために必要な副側ホストの情報が存在しません。	<p>要因 アンマウントするために必要な副側ホストの情報が存在しません。</p> <p>対処 以下の条件を満たしていることを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> レプリカ作成タスクがある。 レプリカ作成タスクが一度以上成功している。 レプリカ作成タスクが成功したあとに、[リソース] - [アプリケーション] を選択して表示される画面でホストを選択し、ホスト情報更新を行っている。
RPM-00795	選択されたタスクに対する操作は未サポートです。	<p>要因 選択されたタスクには Replication Manager で未サポートのオプションが設定されています。本タスクに対して、削除/キャンセル操作を除く操作を行うことはできません。</p> <p>対処 Replicatin Manager で未サポートのオプションが設定されているタスクに対し、削除/キャンセル操作を除く操作を行うことはできません。</p>
RPM-00796	データ保持期間が経過したため、メッセージは削除されました。	<p>要因 タスクに対して設定されたデータ保持期間が経過したため、該当タスクに対するメッセージを利用できません。</p> <p>対処 データ保持期間の経過により該当のタスクは削除されています。画面を更新し、最新の情報を表示してください。</p>
RPM-00797	選択されたコピーグループにはコピーペアが存在しません。(コピーグループ = <コピーグループ名>)	<p>要因 コピーペア状態の変更タスクにおいて、対象となるコピーグループ中のすべてのペアが削除されている場合、タスク実行ボタンを押したタスク実行画面を起動することはできません。</p> <p>対処 コピーペア定義が存在する場合は、コピーペアを作成してください。コピーペア定義がない場合には、タスク実行を起動できません。</p>
RPM-00798	選択したストレージグループに含まれるコピーグループの中に、すべての正ボリュームを使用していないコピーグループがあります。	<p>要因 選択したストレージグループに含まれるコピーグループの中に、すべての正ボリュームを使用していないコピーグループがあります。</p> <p>対処 コピーペア構成定義ウィザードをアプリケーションビュー以外から起動して、構成定義ファイルを編集してください。 構成定義ファイルを直接編集する場合は、構成定義ファイルを編集したあと、構成を更新してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
RPM-00799	操作対象のコピーグループに関連するタスクがスケジュール設定されており、実行予定があります。	<p>要因 現在の操作対象コピーグループに関連したタスクが実行可能状態である、またはスケジュール実行を保持しているため、操作を実行できません。</p> <p>対処 操作対象のコピーグループに関連したタスク(実行可能状態、またはスケジュール実行が設定されているタスク)をすべてキャンセルし、再度操作してください。</p>
RPM-00820	共通コンポーネントデータベースに接続できません。	<p>要因 Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのデータベースに接続できません。または共通コンポーネントのデータベースが稼働していません。</p> <p>対処 hcmdssrv コマンドを使用して Hitachi Command Suite 共通コンポーネントを一度終了させ、その後、同コンポーネントを起動してください。</p>
RPM-00821	共通コンポーネントデータベースからのデータの取得に失敗しました。	<p>要因 Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのデータベース内のデータの取得に失敗しました。</p> <p>対処 Replication Manager の Web Client を使用して、システム全体の情報更新を実行してください。</p>
RPM-00822	共通コンポーネントデータベースに対するデータの書き込みに失敗しました。	<p>要因 Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのデータベース内のデータの書き込みに失敗しました。</p> <p>対処 Replication Manager の Web Client を使用して、システム全体の情報更新を実行してください。</p> <p>再度このメッセージが表示される場合は、hcmdssrv コマンドを使用して Hitachi Command Suite 共通コンポーネントを一度終了させ、その後、同コンポーネントを起動してください。</p> <p>上記の対処を実施しても、このメッセージが表示される場合は、Hitachi Command Suite 製品を一度アンインストールしてから、再度インストールしてください。ただし、この操作を実行した場合、これまでに Hitachi Command Suite 製品で設定したデータは、すべて失われますのでご注意ください。</p>
RPM-00823	共通コンポーネントデータベース内のデータが不正です。	<p>要因 Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのデータベース内のデータが正しくありません。</p> <p>対処 Replication Manager の Web Client を使用して、システム全体の情報更新を実行してください。</p> <p>上記の対処を実施しても、このメッセージが表示される場合は、Hitachi Command Suite 製品を一度アンインストールしてから、再度インストー</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ルしてください。ただし、この操作を実行した場合、これまでに Hitachi Command Suite 製品で設定したデータは、すべて失われますのでご注意ください。
RPM-00824	共通コンポーネントデータベースの領域が満杯です。	要因 Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのデータベースの記憶領域が不足しています。 対処 マニュアル「 <i>Hitachi Replication Manager Software システム構成ガイド</i> 」を参照して、Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのデータベースの領域を確保してください。
RPM-00831	予期しないエラーが発生しました。	要因 内部処理のデータが正しくありません。 対処 なし
RPM-00853	定義情報の内容が不正です。	要因 インストール時に作成されたファイルの内容が誤っています。 対処 Hitachi Command Suite 製品を一度アンインストールしてから、再度インストールしてください。ただし、この操作を実行した場合、これまでに Hitachi Command Suite 製品で設定したデータは、すべて失われますのでご注意ください。
RPM-00854	内部コマンドの実行に失敗しました。 コマンドファイル名=<コマンドのファイル名>	要因 Replication Manager の内部で使用しているコマンドの実行に失敗しました。 対処 Replication Manager を実行しているコンピュータのメモリーの空き容量を確認してください。メモリーが不足している場合は、同時に実行している不要なプログラムの停止、メモリーの増設などの方法で、使用できるメモリー量を増やしてください。 上記の対処を実施しても、このメッセージが表示される場合は、Hitachi Command Suite 製品を一度アンインストールしてから、再度インストールしてください。ただし、この操作を実行した場合、これまでに Hitachi Command Suite 製品で設定したデータは、すべて失われますのでご注意ください。
RPM-00855	処理の実行に必要なファイルがありません。ファイル名=<ファイル名>	要因 Replication Manager の内部処理に必要なファイルが見つかりません。 対処 Hitachi Command Suite 製品を一度アンインストールしてから、再度インストールしてください。ただし、この操作を実行した場合、これまでに Hitachi Command Suite 製品で設定したデータは、すべて失われますのでご注意ください。
RPM-00856	共通コンポーネントデータベースへの通信時にエラーが発生しました。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>Replication Manager の内部処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処</p> <p>Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのサービスが起動しているかどうかを確認してください。すでに起動している場合は、hcmdssrv コマンドを使用して Hitachi Command Suite 共通コンポーネントを一度終了させ、その後、同コンポーネントを起動してください。</p> <p>上記の対処を実施しても、このメッセージが表示される場合は、Hitachi Command Suite 製品を一度アンインストールしてから、再度インストールしてください。ただし、この操作を実行した場合、これまでに Hitachi Command Suite 製品で設定したデータは、すべて失われますのでご注意ください。</p>
RPM-00857	共通コンポーネントデータベースに対するデータの削除に失敗しました。	<p>要因</p> <p>Hitachi Command Suite 共通コンポーネントデータベースに対するデータの削除に失敗しました。</p> <p>対処</p> <p>Replication Manager の Web Client を使用して、システム全体の情報更新を実行してください。</p> <p>再度このメッセージが表示される場合は、hcmdssrv コマンドを使用して Hitachi Command Suite 共通コンポーネントを一度終了させ、その後、同コンポーネントを起動してください。</p> <p>上記の対処を実施しても、このメッセージが表示される場合は、Hitachi Command Suite 製品を一度アンインストールしてから、再度インストールしてください。ただし、この操作を実行した場合、これまでに Hitachi Command Suite 製品で設定したデータは、すべて失われますのでご注意ください。</p>
RPM-00858	共通コンポーネントデータベースで、デッドロックが発生しました。	<p>要因</p> <p>Hitachi Command Suite 共通コンポーネントデータベース内でデッドロックが発生しました。</p> <p>対処</p> <p>Replication Manager の Web Client を使用して、システム全体の情報更新を実行してください。</p> <p>再度このメッセージが表示される場合は、hcmdssrv コマンドを使用して Hitachi Command Suite 共通コンポーネントを一度終了させ、その後、同コンポーネントを起動してください。</p> <p>上記の対処を実施しても、このメッセージが表示される場合は、Hitachi Command Suite 製品を一度アンインストールしてから、再度インストールしてください。ただし、この操作を実行した場合、これまでに Hitachi Command Suite 製品で設定したデータは、すべて失われますのでご注意ください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-00861	サービスが停止中のため、データベースへの処理をキャンセルしました。	<p>要因 Hitachi Command Suite 共通コンポーネントサービスが停止中のため、データベースへの処理をキャンセルします。</p> <p>対処 サービス停止処理を行ったため、データベースへの処理がキャンセルされました。サービス再起動後、処理中だった画面を確認し、操作が反映されていない場合は操作をやり直してください。</p>
RPM-00862	Replication Manager のサーバが使用するデータベースが閉塞しています。	<p>要因 Replication Manager のサーバが使用するデータベースが閉塞しています。</p> <p>対処 なし。</p>
RPM-00863	指定した識別子はすでに同じ名称で定義されています。	<p>要因 指定した識別子はすでに同じ名称で定義されています。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p>
RPM-01000	Device Manager サーバの機能呼び出す URL が不正です。(URL: <URL >)	<p>要因 Device Manager サーバの機能呼び出すための URL が誤っています。または、Device Manager サーバが起動していません。</p> <p>対処 接続する Device Manager サーバが起動していることを確認してください。 または、接続する Device Manager のポート番号の設定が正しいことを確認してください。値が不正な場合は、正しい値を設定してください。 上記2点を確認しても問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01001	Device Manager サーバの機能呼び出すためのユーザー認証に失敗しました。	<p>要因 Device Manager サーバへの認証に失敗しました。</p> <p>対処 Device Manager サーバへアクセスするためのユーザー ID とパスワードが適切か確認してください。 Replication Manager サーバと同じ管理サーバ内の Device Manager サーバに接続するためのホスト ID を変更した場合は、ホスト ID が localhost またはループバックアドレスであることを確認してください。 問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01002	Device Manager サーバの機能へのリクエストが不正です。	<p>要因 Device Manager サーバがリクエストを受け付けていません。</p> <p>対処 正しいバージョンの Device Manager サーバが正しくインストールされているかを確認してください。 問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-01003	Device Manager サーバからのレスポンスを解析できませんでした。	<p>要因 Device Manager サーバからのレスポンス情報が解析できませんでした。Device Manager サーバのレスポンスが未知のものであるおそれがあります。</p> <p>対処 正しいバージョンの Device Manager サーバが正しくインストールされているかを確認してください。 問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01004	Device Manager サーバの機能の呼び出しに失敗しました。(Device Manager エラーコード: < Device Manager エラーコード>, Device Manager エラーメッセージ: < Device Manager エラーメッセージ>)	<p>要因 Device Manager サーバ内での処理中にエラーが発生しました。</p> <p>対処 メッセージ中に示された Device Manager のエラーコードおよびエラーメッセージについて、このマニュアルを参照して調査してください。また、必要に応じて Device Manager サーバのログも参照して問題を解決してください。 また、Replication Manager に最新の構成情報が反映されていないことが原因でエラーが発生しているおそれがあります。ストレージシステム情報更新を実行して、構成を最新にしてください。</p>
RPM-01005	処理を進めるために必要な情報が不足しています。	<p>要因 処理を実行するために必要な情報が足りませんでした。</p> <p>対処 Replication Manager が正しくインストールされているかを確認してください。 問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01006	処理を進めるために必要な情報が誤っているため、処理を進められません。	<p>要因 処理を実行するための情報に誤りがあります。</p> <p>対処 Replication Manager が正しくインストールされているかを確認してください。問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01007	Device Manager サーバの機能の呼び出しに失敗しました。(Device Manager エラーコード: < Device Manager エラーコード>, Device Manager エラーメッセージ: < Device Manager エラーメッセージ>)	<p>要因 Device Manager サーバ内での処理中に、警告が発生しました。</p> <p>対処 メッセージ中に示された Device Manager のエラーコードおよびエラーメッセージについて、このマニュアルを参照して調査してください。また、必要に応じて Device Manager サーバのログも参照して問題を解決してください。</p>
RPM-01008	Device Manager サーバの機能の呼び出しがタイムアウトしました。	<p>要因 Device Manager サーバの機能の呼び出しがタイムアウトしました。</p> <p>対処 大規模構成では、処理に時間が掛かる場合があります。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		その場合は、serverstorageif.propertiesのssif.socketTimeoutの値を大きくして、再度実行してください。
RPM-01009	Device Manager サーバへの接続がタイムアウトしました。	<p>要因 Device Manager サーバへの接続がタイムアウトしました。</p> <p>対処 Device Manager サーバの負荷によって、接続処理に時間が掛かる場合があります。Device Manager サーバの負荷が高くなっていないかを確認して、再度処理を実行してください。それでも問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01010	予期しないエラーが発生しました。	<p>要因 内部エラーが発生しました。Replication Manager 内で使用するライブラリーが正しくないおそれがあります。</p> <p>対処 正しいバージョンの Device Manager サーバが正しくインストールされているかを確認してください。また、Replication Manager が正しくインストールされているかを確認してください。問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01011	ユーザー ID とパスワードのエンコード中にエラーが発生しました。	<p>要因 指定した文字コードはサポートされていません。Replication Manager 内で使用するライブラリーが正しくないおそれがあります。</p> <p>対処 Replication Manager が正しくインストールされているかを確認してください。問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01012	不正なレスポンスです。	<p>要因 Device Manager サーバからのレスポンス情報が正しくありません。</p> <p>対処 正しいバージョンの Device Manager サーバが正しくインストールされているかを確認してください。または、接続する Device Manager のポート番号の設定が正しいことを確認してください。値が不正な場合は、正しい値を設定してください。問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01013	Device Manager サーバへの接続時にエラーが発生しました。	<p>要因 Device Manager サーバへの接続時にエラーが発生しました。</p> <p>対処 次の対処を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Device Manager サーバのサービスの状態を確認してください。サービスが停止している場合は、サービスを起動したあとで、再度処理を実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>2. 接続する Device Manager サーバの設定が正しいことを確認してください。設定内容は、[管理者メニュー] - [情報取得元] - [Device Manager] を選択して表示される画面で確認できます。値が不正な場合は、正しい値を設定してください。</p> <p>3. 上記の対処を行っても問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01014	Device Manager サーバとの通信中にエラーが発生しました。	<p>要因 Device Manager サーバからのデータ通信中にエラーが発生しました。</p> <p>対処 Device Manager サーバのサービスの状態を確認してください。サービスが停止している場合は、サービスを起動したあとで、再度処理を実行してください。サービスが起動している場合は、ネットワークや、Device Manager サーバの負荷が高くなっていないかを確認して再度処理を実行してください。</p> <p>Hitachi Virtual Storage Platform で現象が発生する場合、以下の注意事項に該当するおそれがあります。</p> <p>[V-VOL の作成ウィザード]で一度に作成できる V-VOL の最大数は 900 です。ただし、Device Manager サーバの server.properties ファイルにある server.http.entity.maxLength プロパティ (Device Manager サーバが受信できるデータ長の最大値) に 141,500 を設定すると、[V-VOL の作成ウィザード]で一度に作成できる V-VOL の最大数を 1,024 にできます。上記のプロパティの設定方法については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。</p> <p>問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01015	Device Manager サーバとの通信中にエラーが発生しました。	<p>要因 管理サーバ間の通信に関するセキュリティの設定に問題があるおそれがあります。</p> <p>対処 次の対処を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「Hitachi Command Suite Replication Manager Software システム構成ガイド」を参照し、管理サーバ間の通信に関するセキュリティを確認してください。 2. 「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照し、通信に関するセキュリティ設定を確認してください。 3. 上記の対処を行っても問題が解決されない場合、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-01400	Business Continuity Manager または Mainframe Agent の機能呼び出す URL が不正です。(URL: < URL >)	<p>要因 Business Continuity Manager または Mainframe Agent の機能呼び出すための URL が誤っています。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Business Continuity Manager または Mainframe Agent に接続する際の、IP アドレス、ポート番号が正しいかを確認してください。それでも解決しない場合は、Business Continuity Manager または Mainframe Agent が正しくセットアップされているかを確認してください。上記 2 点を確認しても問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口ご連絡してください。
RPM-01401	Business Continuity Manager または Mainframe Agent の機能呼び出しのためのユーザー認証に失敗しました。	要因 Business Continuity Manager または Mainframe Agent への認証に失敗しました。 対処 Business Continuity Manager または Mainframe Agent へアクセスするためのユーザー ID とパスワードが適切か確認してください。問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口ご連絡してください。
RPM-01402	Business Continuity Manager または Mainframe Agent の機能へのリクエストが不正です。	要因 Business Continuity Manager または Mainframe Agent がリクエストを受け付けていません。 対処 正しいバージョンの Business Continuity Manager または Mainframe Agent が正しくインストールされているかを確認してください。問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口ご連絡してください。
RPM-01403	Business Continuity Manager または Mainframe Agent からのレスポンスを解析できませんでした。	要因 Business Continuity Manager または Mainframe Agent から返信された情報が解析できませんでした。Business Continuity Manager または Mainframe Agent の返信が未知のものであるおそれがあります。 対処 正しいバージョンの Business Continuity Manager または Mainframe Agent が正しくインストールされているかを確認してください。問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口ご連絡してください。
RPM-01404	Business Continuity Manager または Mainframe Agent の機能呼び出しに失敗しました。(エラーコード: <エラーコード>, エラーメッセージ: <エラーメッセージ>)	要因 Business Continuity Manager または Mainframe Agent 内での処理中にエラーが発生しました。 対処 メッセージ中に示されたエラーコードおよびエラーメッセージについて、マニュアル「 <i>Hitachi Business Continuity Manager</i> メッセージ」または「 <i>Hitachi Command Suite Software Mainframe Agent</i> ユーザーズガイド」を参照して調査してください。また、必要に応じて Business Continuity Manager または Mainframe Agent のログも参照して問題を解決してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-01405	処理を進めるために必要な情報が不足しています。	<p>要因 処理を実行するために必要な情報が足りませんでした。</p> <p>対処 Replication Manager が正しくインストールされているかを確認してください。 問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01406	処理を進めるために必要な情報が不正なため、処理を進められませんでした。	<p>要因 処理を実行するための情報に誤りがあります。</p> <p>対処 Replication Manager が正しくインストールされているかを確認してください。 問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01407	Business Continuity Manager または Mainframe Agent の機能の呼び出しに失敗しました。(エラーコード: <エラーコード>, エラーメッセージ: <エラーメッセージ>)	<p>要因 Business Continuity Manager または Mainframe Agent 内での処理中に、警告が発生しました。</p> <p>対処 メッセージ中に示されたエラーコードおよびエラーメッセージについて、マニュアル「Hitachi Business Continuity Manager メッセージ」または「Hitachi Command Suite Software Mainframe Agent ユーザーズガイド」を参照して調査してください。また、必要に応じて Business Continuity Manager または Mainframe Agent のログも参照して問題を解決してください。</p>
RPM-01408	Business Continuity Manager または Mainframe Agent の機能の呼び出しがタイムアウトしました。	<p>要因 Business Continuity Manager または Mainframe Agent の機能の呼び出しがタイムアウトしました。</p> <p>対処 大規模構成では、情報の取得に時間が掛かる場合があります。 ネットワークや、Business Continuity Manager または Mainframe Agent の負荷が高くなっていないかを確認して再度処理を実行してください。 それでも問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01409	Business Continuity Manager または Mainframe Agent への接続がタイムアウトしました。	<p>要因 Business Continuity Manager または Mainframe Agent への接続がタイムアウトしました。</p> <p>対処 次の対処を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> Business Continuity Manager または Mainframe Agent が正しく起動しているかどうかを確認してください。 Business Continuity Manager または Mainframe Agent の負荷によって、接続処理に時間が掛かる場合があります。 Business Continuity Manager または Mainframe Agent の負荷が高くなっていな

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>いかを確認して、再度処理を実行してください。</p> <p>3. 接続する Business Continuity Manager または Mainframe Agent の設定が正しいことを確認してください。設定内容は、[管理者メニュー]—[情報取得元]—[BC Manager / Mainframe Agent]を選択して表示される画面で確認できます。値が不正な場合は、正しい値を設定してください。</p> <p>4. 上記の対処を行っても問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01410	予期しないエラーが発生しました。	<p>要因 内部エラーが発生しました。Replication Manager 内で利用するライブラリーが正しくないおそれがあります。</p> <p>対処 正しいバージョンの Business Continuity Manager または Mainframe Agent が正しくインストールされているかを確認してください。また、Replication Manager が正しくインストールされているかを確認してください。問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01411	ユーザー ID とパスワードのエンコード中にエラーが発生しました。	<p>要因 文字コードがサポートされていません。Replication Manager 内で利用するライブラリーが正しくないおそれがあります。</p> <p>対処 Replication Manager が正しくインストールされているかを確認してください。問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01412	レスポンスが不正です。	<p>要因 Business Continuity Manager または Mainframe Agent からのレスポンス情報が正しくありません。</p> <p>対処 正しいバージョンの Business Continuity Manager または Mainframe Agent が正しくインストールされているかを確認してください。問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01413	Business Continuity Manager または Mainframe Agent へ接続中にエラーが発生しました。	<p>要因 Business Continuity Manager または Mainframe Agent への接続時にエラーが発生しました。</p> <p>対処 次の対処を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 正しいバージョンの Business Continuity Manager または Mainframe Agent が正しくインストールされているかを確認してください。 Business Continuity Manager または Mainframe Agent が正しく起動しているかどうかを確認してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>3. 接続する Business Continuity Manager または Mainframe Agent の設定が正しいことを確認してください。設定内容は、[管理者メニュー] - [情報取得元] - [BC Manager / Mainframe Agent] を選択して表示される画面で確認できます。値が不正な場合は、正しい値を設定してください。</p> <p>4. 上記の対処を行っても問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01414	Business Continuity Manager または Mainframe Agent と通信中にエラーが発生しました。	<p>要因 Business Continuity Manager または Mainframe Agent からのデータ通信中にエラーが発生しました。</p> <p>対処 正しいバージョンの Business Continuity Manager または Mainframe Agent が正しくインストールされているかを確認してください。ネットワークや、Business Continuity Manager または Mainframe Agent の負荷が高くなっていないかを確認して再度処理を実行してください。問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01415	Business Continuity Manager または Mainframe Agent が要求を受け付けられませんでした。	<p>要因 Business Continuity Manager または Mainframe Agent が高負荷状態にあり、Replication Manager からの要求を処理できませんでした。</p> <p>対処 再度操作を実行してください。問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01416	指定した機能は接続した Business Continuity Manager または Mainframe Agent ではサポートしていません。	<p>要因 Business Continuity Manager または Mainframe Agent のバージョンが古いおそれがあります。</p> <p>対処 正しいバージョンの Business Continuity Manager または Mainframe Agent が正しくインストールされているかを確認してください。問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01417	Business Continuity Manager または Mainframe Agent と通信中にエラーが発生しました。	<p>要因 管理サーバ間の通信に関するセキュリティの設定に問題があるおそれがあります。</p> <p>対処 次の対処を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「Hitachi Command Suite Replication Manager Software システム構成ガイド」を参照し、管理サーバ間の通信に関するセキュリティの設定を確認してください。 2. 接続先の製品の通信に関するセキュリティの設定を確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		3. 上記の対処を行っても問題が解決されない場合、保守情報を取得し、問い合わせ窓口にご連絡してください。
RPM-01600	引数が不正です。	要因 Device Manager エージェントの内部処理で不正な引数が渡されました。 対処 問い合わせ窓口にご連絡してください。
RPM-01601	Device Manager エージェントのサービス制御プロセスへの接続に失敗しました。	要因 Device Manager エージェントのサービス制御プロセスへの接続に失敗しました。 対処 次の対処を行ってください。 1. Device Manager エージェントが正しくインストールされていることを確認してください。 2. Device Manager エージェントのサービスが起動していることを確認してください。 3. Device Manager エージェントの server.properties ファイルの server.agent.port の値を変更した場合は、構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。 4. 上記の対処を行っても問題が解決されない場合、保守情報を取得し、問い合わせ窓口にご連絡してください。
RPM-01602	Device Manager エージェントのサービス実行プロセスへの接続に失敗しました。	要因 Device Manager エージェントのサービス実行プロセスへの接続に失敗しました。 対処 次の対処を行ってください。 1. Device Manager エージェントが正しくインストールされていることを確認してください。 2. Device Manager エージェントのサービスが起動していることを確認してください。 3. 上記の対処を行っても問題が解決されない場合、保守情報を取得し、問い合わせ窓口にご連絡してください。
RPM-01603	Device Manager エージェントのサービス制御プロセスへの接続が拒否されました。	要因 次の要因が考えられます。 1. Device Manager エージェントのサービス制御プロセスへの接続が拒否されました。 2. リクエストデータが大き過ぎるため、Device Manager エージェントが処理できるデータ量を超えました。 対処 1.の場合、Device Manager エージェントが正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合、保守情報を取得し、問い合わせ窓口にご連絡してください。 2.の場合、Device Manager エージェントのプロパティ server.http.entity.maxLength の値を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-01604	Device Manager エージェントのサービス実行プロセスへの接続が拒否されました。	<p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Device Manager エージェントのサービス実行プロセスへの接続が拒否されました。 2. リクエストデータが大き過ぎるため、Device Manager エージェントが処理できるデータ量を超えました。 <p>対処 1.の場合、Device Manager エージェントが正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。 2.の場合、Device Manager エージェントのプロパティ <code>server.http.entity.maxLength</code> の値を見直してください。</p>
RPM-01605	Device Manager エージェントのサービス制御プロセスへの接続が拒否されました。	<p>要因 Device Manager エージェントのサービス制御プロセスへの接続が拒否されました。</p> <p>対処 操作を再度実行してください。問題が解決されない場合、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01606	Device Manager エージェントのサービス制御プロセスから不正なレスポンスを受け取りました。	<p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Device Manager エージェントのサービス制御プロセスから不正なレスポンスを受け取りました。 2. リクエストデータが大き過ぎるため、Device Manager エージェントが処理できるデータ量を超えました。 3. Device Manager エージェントでメモリーエラーが発生しました。 <p>対処 1.の場合、Device Manager エージェントが正しくインストールされていることを確認してください。 2.の場合、Device Manager エージェントのプロパティ <code>server.http.entity.maxLength</code> の値を見直してください。 3.の場合、Device Manager エージェントのプロパティ <code>server.agent.maxMemorySize</code> の値を変更してください。 上記の対処を行っても問題が解決されない場合、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01607	Device Manager エージェントのサービス実行プロセスから不正なレスポンスを受け取りました。	<p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Device Manager エージェントのサービス実行プロセスから不正なレスポンスを受け取りました。 2. リクエストデータが大き過ぎるため、Device Manager エージェントが処理できるデータ量を超えました。 <p>対処 1.の場合、Device Manager エージェントが正しくインストールされていることを確認してくだ</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		さい。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。 2.の場合、Device Manager エージェントのプロパティ <code>server.http.entity.maxLength</code> の値を見直してください。
RPM-01608	認識できないリクエストを受け取りました。	要因 Device Manager エージェントが認識できないリクエストを受け取りました。 対処 Device Manager エージェントが正しくインストールされていることを確認してください。また、Replication Manager サーバのバージョンと、Device Manager エージェントのバージョンが前提条件を満たしているか確認してください。問題が解決されない場合、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-01609	Device Manager エージェントへの接続がタイムアウトしました。	要因 Device Manager エージェントへの接続がタイムアウトしました。 対処 Device Manager エージェントがインストールされているホストに負荷が掛かっているか確認してください。Device Manager エージェントが扱うペア数が多い場合は、処理に時間が掛かる場合があります。その場合は、 <code>agentif.properties</code> ファイルの <code>agentif.responseTimeout</code> の値を大きくして、再度実行してください。
RPM-01610	RAID Manager / P9000 RAID Manager が見つかりません。	要因 RAID Manager が見つかりません。 対処 RAID Manager がインストールされていない場合は、インストールしてください。RAID Manager がインストールされている場合は、 <code>server.properties</code> ファイルの <code>server.agent.rm.location</code> 、または、 <code>server.agent.rmxp.location</code> の値を設定して、再度実行してください。
RPM-01611	RAID Manager / P9000 RAID Manager のバージョンが古いです。	要因 RAID Manager のバージョンが古いです。 対処 新しいバージョンの RAID Manager をインストールしてください。
RPM-01612	Device Manager エージェントへの接続がタイムアウトしました。	要因 Device Manager エージェントへの接続がタイムアウトしました。 対処 Device Manager エージェントがインストールされているホストに負荷が掛かっているか確認してください。ホストの負荷が大きい場合は、 <code>agentif.properties</code> ファイルの <code>agentif.connectTimeout</code> の値を大きくして、再度実行してください。
RPM-01613	予期しないエラーが発生しました。	要因 予期しないエラーが発生しました。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処</p> <p>正しいバージョンの Device Manager エージェントが正しくインストールされているかを確認してください。問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01614	Device Manager エージェントのサービス実行プロセスとの通信でエラーが発生しました。	<p>要因</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Device Manager エージェントのサービス実行プロセスとの通信に失敗しました。 2. リクエストデータが大きすぎるため、Device Manager エージェントが処理できるデータ量を超えました。 <p>対処</p> <p>1.の場合、Device Manager エージェントが正しく起動しているかを確認してください。ネットワークや、Device Manager エージェントがインストールされているホストに負荷が掛かっているか確認して再度処理を実行してください。問題が解決されない場合、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>2.の場合、Device Manager エージェントのプロパティ <code>server.http.entity.maxLength</code> の値を見直してください。</p>
RPM-01615	Device Manager エージェントのサービス制御プロセスとの通信でエラーが発生しました。	<p>要因</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Device Manager エージェントのサービス制御プロセスとの通信に失敗しました。 2. リクエストデータが大きすぎるため、Device Manager エージェントが処理できるデータ量を超えました。 <p>対処</p> <p>1.の場合、Device Manager エージェントが正しく起動しているかを確認してください。ネットワークや、Device Manager エージェントがインストールされているホストに負荷が掛かっているか確認して再度処理を実行してください。問題が解決されない場合、保守情報を取得し、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>2.の場合、Device Manager エージェントのプロパティ <code>server.http.entity.maxLength</code> の値を見直してください。</p>
RPM-01618	予期しない解析エラーが発生しました。	<p>要因</p> <p>内部処理で予期しないエラーが発生しました。</p> <p>対処</p> <p>正しいバージョンの Device Manager エージェントが正しくインストールされているかを確認してください。問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01619	環境が不正です。	<p>要因</p> <p>環境設定が不正です。</p> <p>対処</p> <p>Device Manager エージェントの設定ファイルを確認してください。</p>
RPM-01620	Java のランタイムエラーが発生しました。	<p>要因</p> <p>Java のランタイムエラーが発生しました。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 問い合わせ窓口にご連絡してください。
RPM-01621	内部の Read/Write エラーが発生しました。	要因 ファイルの読み書きでエラーが発生しました。 対処 構成情報を更新したあとに、再度実行してください。それでも発生する場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。
RPM-01622	RAID Manager / P9000 RAID Manager のコマンドを実行中にタイムアウトが発生しました。	要因 RAID Manager のコマンドを実行中にタイムアウトしました。 対処 操作を再度実行してください。それでも発生する場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。
RPM-01623	RAID Manager / P9000 RAID Manager のコマンドが実行されませんでした。	要因 RAID Manager のコマンドが実行されませんでした。 対処 操作を再度実行してください。それでも発生する場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。
RPM-01624	Device Manager エージェントが時間内にレスポンスを返さないため、プロセスがタイムアウトしました。	要因 Replication Manager サーバと Device Manager エージェントの間の同期実行で、タイムアウトが発生しました。 対処 Device Manager エージェントの agent.properties ファイルの agent.rm.TimeOut の値を変更してください。
RPM-01625	RAID Manager / P9000 RAID Manager のインスタンスの終了に失敗しました。	要因 RAID Manager のインスタンス (HORCM インスタンス) の終了に失敗しました。 対処 RAID Manager の horcmshutdown コマンド (インスタンスを終了するコマンド) のリターンコードを確認してください。
RPM-01626	RAID Manager / P9000 RAID Manager の環境が不正です。	要因 RAID Manager の環境が不正です。 対処 正しいバージョンの RAID Manager が正しくインストールされているかを確認してください。問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。
RPM-01627	構成情報が最新ではありません。	要因 構成が変更されているため、情報が取得できませんでした。 対処 構成情報を更新したあとに、再度実行してください。
RPM-01628	監視用 HORCM インスタンスとして指定されたものがすでに使用されています。	要因 監視用構成定義ファイルに使用するインスタンス番号に問題があるおそれがあります。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>該当ホストの agent.properties ファイルの agent.rm.horcmInstance の値を変更してください。</p> <p>agent.rm.horcmInstance については「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。</p>
RPM-01629	Device Manager エージェントの呼び出しに失敗しました。(エージェントのエラーコード: < Device Manager Agent エラーコード >)	<p>要因 Device Manager エージェントのサービス実行プロセスでエラーが発生しました。</p> <p>対処 Device Manager エージェントが正しく起動しているかどうかを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01630	ホストの稼働負荷が高い状態にあるため、Replication Manager サーバからのリクエストを処理できませんでした。	<p>要因 ホストの負荷が高いため、Replication Manager サーバからのリクエストを処理できませんでした。</p> <p>対処 複数の Replication Manager サーバで該当ホストを監視対象としている場合は、次のどれかの対処を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 台の Replication Manager サーバだけでホストを監視するように設定を変更する。 1 台の Replication Manager サーバを残して、ほかの Replication Manager サーバはメンテナンスモードに設定する。
RPM-01631	複数の Replication Manager サーバからリクエストを受け取ったため、リクエストを処理できませんでした。	<p>要因 複数の Replication Manager サーバからリクエストを受け取ったため、リクエストを処理できませんでした。</p> <p>対処 次のどれかの対処を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 台の Replication Manager サーバだけでホストを監視するように設定を変更してください。 1 台の Replication Manager サーバを残して、ほかの Replication Manager サーバはメンテナンスモードに設定してください。
RPM-01632	ストレージシステムへのユーザー認証が実行されていません。	<p>要因 ユーザー認証を実施していないため操作を実行できませんでした。Replication Manager が管理している構成が次のどれかになっており、ユーザー認証が必須です。</p> <ol style="list-style-type: none"> ペア管理サーバで SVP を仮想コマンドデバイスとして使用している構成 ペア管理サーバ上のコマンドデバイスに対して、ユーザー認証属性が有効になっているコマンドデバイスを使用している構成 <p>対処 構成に応じて次の対処をしてください。 ペア管理サーバで SVP を仮想コマンドデバイスとして使用している構成の場合 次の手順を実施して、ユーザー認証の設定を有効にしてください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>1. 使用している RAID Manager のバージョンが、サポート対象のバージョンであることを確認する。</p> <p>2. ストレージシステムへのユーザー認証をする。</p> <p>ペア管理サーバ上のコマンドデバイスに対して、ユーザー認証属性が有効になっているコマンドデバイスを使用している構成の場合 ユーザー認証の設定を有効または無効にします。ユーザー認証の設定を有効にする場合、「SVP を仮想コマンドデバイスとして使用する構成の場合」の手順を実施してください。ユーザー認証を無効にする場合、コマンドデバイスのユーザー認証の属性を無効にしてください。</p>
RPM-01633	ストレージシステムのコマンドデバイスのユーザー認証が行われていないため、操作に失敗しました。(ペア管理サーバ名: <ペア管理サーバ名>)	<p>要因 コマンドデバイスのユーザー認証が行われていません。</p> <p>対処 コマンドデバイスのユーザー認証を行った上で再度操作を実行してください。</p>
RPM-01634	Device Manager エージェントで内部エラーが発生しました。	<p>要因 Device Manager エージェントで一時的に使用するインスタンス番号またはサービス番号が使用されているおそれがあります。</p> <p>対処 RAID Manager のインスタンス番号およびサービス番号の使用状況を見直してください。このシステムでは、server.properties ファイル内の次のプロパティで指定した範囲の番号を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • インスタンス番号:server.agent.rm.temporaryInstance • サービス番号:server.agent.rm.temporaryPort <p>Windows Server 2008 以降の場合、OS がサービス番号を使用しているおそれがあるため、このシステムで使用するサービス番号を変更してください。詳細については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。</p>
RPM-01635	Device Manager エージェントでコマンド実行中にエラーが発生しました。	<p>要因 RAID Manager コマンドが異常終了しました。コピーペア操作の条件を満たしていないおそれがあります。</p> <p>対処 RAID Manager のマニュアルを参照して、実施したコピーペア操作の条件を満たしていることを確認してください。 問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01636	Device Manager エージェントでコマンドが実行できない状態になっています。	<p>要因 RAID Manager コマンドが実行できない状態になっています。</p> <p>対処 RAID Manager のコマンドが正常に動作することを確認してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-01637	Device Manager エージェントで内部エラーが発生しました。	<p>要因 Device Manager エージェントで一時的に使用する構成定義ファイルの作成中に入出力エラーが発生しました。</p> <p>対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-01638	ストレージシステムのコマンドデバイスのユーザー認証の設定が無効であるため、操作に失敗しました。(ペア管理サーバ名: <ペア管理サーバ名 >)	<p>要因 コマンドデバイスのユーザー認証の設定が無効です。</p> <p>対処 ペア管理サーバに接続されている全コマンドデバイスのユーザー認証の設定を有効にし、認証をした上で操作を再度実行してください。</p>
RPM-01639	選択されたスナップショットグループ名または、同一トポロジーに含まれるスナップショットグループ名に未サポートの文字が含まれています。	<p>要因 選択されたスナップショットグループ名または、同一トポロジーに含まれるスナップショットグループ名に未サポートの文字が含まれています。</p> <p>対処 未サポートの文字を含まないように構成を見直したあと、再度実行してください。</p>
RPM-03300	引数が不正です。	<p>要因 内部処理で不正な引数が渡されました。</p> <p>対処 保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-03301	Device Manager エージェントのサービス制御プロセスへの接続に失敗しました。	<p>要因 Device Manager エージェントのサービス制御プロセスへの接続に失敗しました。</p> <p>対処 次の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Device Manager エージェントが正しくインストールされていることを確認してください。 2. Device Manager エージェントのサービスが起動していることを確認してください。 3. Device Manager エージェントの server.properties ファイルの server.agent.port の値を変更した場合は、構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。 4. 上記の対処をしても問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03302	Device Manager エージェントのサービス実行プロセスへの接続に失敗しました。	<p>要因 Device Manager エージェントのサービス実行プロセスへの接続に失敗しました。</p> <p>対処 次の手順で対処してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ol style="list-style-type: none"> 1. Device Manager エージェントが正しくインストールされていることを確認してください。 2. Device Manager エージェントのサービスが起動していることを確認してください。 3. 上記の対処をしても問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03303	Device Manager エージェントのサービス制御プロセスへの接続が拒否されました。	<p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Device Manager エージェントのサービス制御プロセスへの接続が拒否されました。 2. リクエストデータが大き過ぎるため、Device Manager エージェントが処理できるデータ量を超えました。 <p>対処 1.の場合、Device Manager エージェントが正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。 2.の場合、Device Manager エージェントのプロパティ <code>server.http.entity.maxLength</code> の値を見直してください。</p>
RPM-03304	Device Manager エージェントのサービス実行プロセスへの接続が拒否されました。	<p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Device Manager エージェントのサービス実行プロセスへの接続が拒否されました。 2. リクエストデータが大き過ぎるため、Device Manager エージェントが処理できるデータ量を超えました。 <p>対処 1.の場合、Device Manager エージェントが正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。 2.の場合、Device Manager エージェントのプロパティ <code>server.http.entity.maxLength</code> の値を見直してください。</p>
RPM-03305	Device Manager エージェントのサービス制御プロセスへの接続が拒否されました。	<p>要因 Device Manager エージェントのサービス制御プロセスへの接続が拒否されました。</p> <p>対処 操作を再度実行してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-03306	Device Manager エージェントのサービス制御プロセスから不正なレスポンスを受け取りました。	<p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Device Manager エージェントのサービス制御プロセスから不正なレスポンスを受け取りました。 2. リクエストデータが大き過ぎるため、Device Manager エージェントが処理できるデータ量を超えました。 <p>対処 1.の場合、Device Manager エージェントが正しくインストールされていることを確認してくだ</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		さい。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。 2.の場合、Device Manager エージェントのプロパティ <code>server.http.entity.maxLength</code> の値を見直してください。
RPM-03307	Device Manager エージェントのサービス実行プロセスから不正なレスポンスを受け取りました。	要因 次の要因が考えられます。 1. Device Manager エージェントのサービス実行プロセスから不正なレスポンスを受け取りました。 2. リクエストデータが大き過ぎるため、Device Manager エージェントが処理できるデータ量を超えました。 対処 1.の場合、Device Manager エージェントが正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。 2.の場合、Device Manager エージェントのプロパティ <code>server.http.entity.maxLength</code> の値を見直してください。
RPM-03308	Device Manager エージェントへの接続がタイムアウトしました。	要因 Device Manager エージェントへの接続がタイムアウトしました。 対処 Device Manager エージェントがインストールされているホストに負荷が掛かっているかどうかを確認してください。ホストの負荷が大きい場合は、 <code>agentif.properties</code> ファイルの <code>hdvmagtif.connectTimeout</code> の値を大きくして、再度実行してください。
RPM-03309	Device Manager エージェントへの接続がタイムアウトしました。	要因 Device Manager エージェントへの接続がタイムアウトしました。 対処 Device Manager エージェントがインストールされているホストに負荷が掛かっているかどうかを確認してください。Device Manager エージェントが扱うペア数が多い場合は、処理に時間が掛かる場合があります。その場合は、 <code>agentif.properties</code> ファイルの <code>hdvmagtif.responseTimeout</code> の値を大きくして、再度実行してください。
RPM-03310	予期しないエラーが発生しました。	要因 予期しないエラーが発生しました。 対処 正しいバージョンの Device Manager エージェントが正しくインストールされているかどうかを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03311	Device Manager エージェントのサービス実行プロセスとの通信でエラーが発生しました。	要因 次の要因が考えられます。 1. Device Manager エージェントのサービス実行プロセスとの通信に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>2. リクエストデータが大きすぎるため、Device Manager エージェントが処理できるデータ量を超えました。</p> <p>対処</p> <p>1.の場合、Device Manager エージェントが正しく起動しているかどうかを確認してください。ネットワークや、Device Manager エージェントがインストールされているホストに負荷が掛かっているか確認して再度処理を実行してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>2.の場合、Device Manager エージェントのプロパティ <code>server.http.entity.maxLength</code> の値を見直してください。</p>
RPM-03312	Device Manager エージェントのサービス制御プロセスとの通信でエラーが発生しました。	<p>要因</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Device Manager エージェントのサービス制御プロセスとの通信に失敗しました。 2. リクエストデータが大きすぎるため、Device Manager エージェントが処理できるデータ量を超えました。 <p>対処</p> <p>1.の場合、Device Manager エージェントが正しく起動しているかどうかを確認してください。ネットワークや、Device Manager エージェントがインストールされているホストに負荷が掛かっているか確認して再度処理を実行してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>2.の場合、Device Manager エージェントのプロパティ <code>server.http.entity.maxLength</code> の値を見直してください。</p>
RPM-03313	予期しない解析エラーが発生しました。	<p>要因</p> <p>内部処理で予期しない解析エラーが発生しました。</p> <p>対処</p> <p>正しいバージョンの Device Manager エージェントが正しくインストールされているかどうかを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-03314	Device Manager エージェントに対して要求した処理がタイムアウトしました。	<p>要因</p> <p>次のどちらかの要因で、Device Manager エージェントに要求した処理がタイムアウトしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Device Manager エージェントのホストに負荷が掛かっている。 • Device Manager エージェントが扱うペア数が多い。 <p>対処</p> <p>Device Manager エージェントがインストールされているホストに負荷が掛かっているかどうかを確認してください。Device Manager エージェントが扱うペア数が多い場合は、処理に時間が掛かる場合があります。その場合は、<code>agentif.properties</code> ファイルの</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		hdvmagtif.MaxPollingCount, hdvmagtif.PollingInterval の値を大きく して、再度実行してください。
RPM-03315	Device Manager エージェントのサー ビス実行プロセスでエラーが発生しま した。	要因 Device Manager エージェントのサービ ス実行プロセスでエラーが発生しま した。 対処 Device Manager エージェントが正しく起 動しているかどうかを確認してくださ い。問題が解決されない場合は、保 守情報を取得して、問い合わせ窓 口に連絡してください。
RPM-03316	Device Manager エージェントのサー ビス制御プロセスでエラーが発生しま した。	要因 Device Manager エージェントのサービ ス制御プロセスでエラーが発生しま した。 対処 Device Manager エージェントが正しく起 動しているかどうかを確認してくださ い。問題が解決されない場合は、保 守情報を取得して、問い合わせ窓 口に連絡してください。
RPM-03317	接続した Device Manager エージェ ントは Replication Manager が前提と しているバージョンではありません。	要因 次のどちらかの要因で、Device Man ager エージェントのバージョンチェ ックでエラーが発生しました。 • Device Manager エージェントがイン ストールされていない。 • 接続した Device Manager エージェ ントが、Replication Manager が前 提としているバージョンではない。 対処 次の手順で対処してください。 1. Replication Manager が前提とし ているバージョンの Device Man ager エージェントが正しくイン ストールされていることを 確認してください。 2. Device Manager エージェントのサー ビスが起動していることを 確認してください。
RPM-03318	Device Manager エージェントに対 して要求した処理がタイムアウトしま した。	要因 Device Manager エージェントに対 して要求した処理がタイムアウト しました。 対処 Device Manager エージェントがイン ストールされているホストに負 荷が掛かっているかどうかを 確認してください。問題が解 決されない場合は、保守情 報を取得して、問い合わせ 窓口に連絡してください。
RPM-03319	Device Manager エージェントとの接 続を切断しました。	要因 Replication Manager の停止処 理に伴い、Device Manager エージェントとの接続が切 断されました。 対処 Replication Manager を再 起動してから再度実行 してください。
RPM-03320	Device Manager エージェントの機 能の呼び出しに失敗しました。(エ ージェントのエラーメッセージ: < Device	要因 Device Manager エージェントのサー ビス実行プロセスでエラーが 発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<i>ManagerAgent</i> エラーメッセージ>, コマンドのエラーメッセージ: <コマ ンドエラーメッセージ>)	対処 次の手順で対処してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. Device Manager エージェントが正しくインストールされていることを確認してください。 2. Device Manager エージェントのサービスが起動していることを確認してください。 3. 正側のペア管理サーバと副側のペア管理サーバ間で、互いにホスト名から IP アドレスを特定できるか確認してください。 4. Device Manager エージェントのプロパティファイルを見直してください。 5. 構成定義ファイルの内容と、環境構成を見直してください。 6. Device Manager サーバでストレージシステムのリフレッシュを実行した後、Replication Manager サーバで構成の更新を実行して、操作を再度実行してください。 7. Device Manager エージェントを再起動して、操作を再度実行してください。 8. 上記の対処をしても問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03321	Device Manager エージェントの機能の呼び出しに失敗しました。(エージェントのエラーメッセージ: < <i>Device ManagerAgent</i> エラーメッセージ>, コマンドのエラーメッセージ: <コマンドエラーメッセージ>)	要因 Device Manager エージェントのサービス制御プロセスでエラーが発生しました。 対処 Device Manager エージェントが正しく起動しているかどうかを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03322	Device Manager エージェントのサービス実行プロセスでエラーが発生しました。	要因 Device Manager エージェントのサービス実行プロセスでエラーが発生しました。 対処 次の手順で対処してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. Device Manager エージェントが正しくインストールされていることを確認してください。 2. Device Manager エージェントのサービスが起動していることを確認してください。 3. 正側のペア管理サーバと副側のペア管理サーバ間で、互いにホスト名から IP アドレスを特定できるか確認してください。 4. Device Manager エージェントのプロパティファイルを見直してください。 5. 構成定義ファイルの内容と、環境構成を見直してください。 6. Device Manager サーバでストレージシステムのリフレッシュを実行した後、Replication Manager サーバで構成の更新を実行して、操作を再度実行してください。 7. Device Manager エージェントを再起動して、操作を再度実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>8. メインフレームのコピーペアに対して操作している場合、Device Manager エージェントのプロパティファイル (server.agent.rm.centralizePairConfiguration)を見直し、一括管理構成に変更してください。</p> <p>9. 上記の対処をしても問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-03323	Device Manager エージェントのサービス制御プロセスでエラーが発生しました。	<p>要因 Device Manager エージェントのサービス制御プロセスでエラーが発生しました。</p> <p>対処 Device Manager エージェントが正しく起動しているかどうかを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-03324	指定されたインスタンス番号の構成定義ファイルは Device Manager エージェントの管理対象外に設定されています。	<p>要因 指定されたインスタンス番号の構成定義ファイルは Device Manager エージェントの管理対象外に設定されています。</p> <p>対処 指定されたインスタンス番号の構成定義ファイルに対する操作は出来ません。操作する場合は、該当ホストの server.properties ファイルの server.agent.rm.exclusion.instance から当該インスタンス番号を削除してください。server.agent.rm.exclusion.instance については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。</p>
RPM-03325	Device Manager エージェントで操作対象のインスタンスの停止に失敗しました。	<p>要因 RAID Manager インスタンスの停止処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処 次の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 構成定義ファイルの内容と、環境構成を見直してください。 2. 上記の対処をしても問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03326	Device Manager エージェントで操作対象のインスタンスの起動に失敗しました。	<p>要因 RAID Manager インスタンスの起動中にエラーが発生しました。</p> <p>対処 構成定義ファイルの内容と、環境構成を見直してください。 仮想コマンドデバイスサーバを使用している場合は、仮想コマンドデバイスサーバの環境構成を見直してください。</p>
RPM-03327	Device Manager エージェントでコマンド実行中にエラーが発生しました。	<p>要因 Device Manager エージェントに要求した次のどれかの処理でエラーが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ボリューム情報の取得

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> • ペア情報の取得 • ペアの作成 • ペアの分割 • ペアの削除 対処 次の手順で対処してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 正側のペア管理サーバと副側のペア管理サーバ間で、互いにホスト名から IP アドレスを特定できるか確認してください。 2. 構成定義ファイルの内容と、環境構成を見直してください。 3. 正側と副側それぞれの LUSE を構成している LDEV のサイズ、および構成順序が一致しているかどうか確認してください。 4. 割り当て済みのコンシステンシーグループの数がストレージシステムで管理可能なコンシステンシーグループの最大数に達していないか確認してください。 5. ストレージシステムの制限事項に該当していないかどうか確認してください。 6. 構成定義ファイルにバスグループ ID を指定している場合、指定したバスグループ ID がストレージシステムの構成情報に存在するか確認してください。 7. Universal Replicator ペアの追加を行う場合、追加するペアのバスグループ ID と、すでに存在するペアのバスグループ ID が一致しているかどうか確認してください。 8. コピーペアを作成する場合、指定した MU 番号またはコンシステンシーグループ ID がすでに使用されていないかどうか確認してください。 9. 上記の対処をしても問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03328	Device Manager エージェントでコマンド実行中にエラーが発生しました。	要因 Device Manager エージェントに要求した次のどれかの処理でエラーが発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> • ボリューム情報の取得 • ペア情報の取得 • ペアの分割 • ペアの削除 対処 次の手順で対処してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 正側のペア管理サーバと副側のペア管理サーバ間で、互いにホスト名から IP アドレスを特定できるか確認してください。 2. 上記の対処をしても問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03329	Device Manager エージェントでコマンド実行中にエラーが発生しました。	要因 Device Manager エージェントに要求した次のどれかの処理でエラーが発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> • ボリューム情報の取得 • ペア情報の取得 • ペアの分割

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> • ペアの削除 • ペアの再同期 対処 次の手順で対処してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 正側のペア管理サーバと副側のペア管理サーバ間で、互いにホスト名から IP アドレスを特定できるか確認してください。 2. 詳細コピーペア状態がコピーペア操作を実行できる状態であることを確認してください。 3. 上記の対処をしても問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03330	Device Manager エージェントで予期しないエラーが発生しました。	要因 構成定義ファイルの削除処理中に予期しないエラーが発生しました。 対処 保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03331	Device Manager エージェントで予期しないエラーが発生しました。	要因 Device Manager エージェントに要求した処理で、次のどれかのエラーが発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> • 構成定義ファイルの情報取得中に予期しないエラーが発生しました。 • Device Manager エージェントで一時的に使用する構成定義ファイルの作成中に予期しないエラーが発生しました。 対処 保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03332	Device Manager エージェントで構成定義ファイルの情報取得中にエラーが発生しました。	要因 Device Manager エージェントで、ボリューム情報またはペア情報の取得中にエラーが発生しました。 対処 次の手順で対処してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. RAID Manager または P9000 RAID Manager が正しくインストールされているか確認してください。 2. OS のシステムディレクトリに存在する HORCM 構成定義ファイル内で、ペアの定義に誤りがないか確認してください。 3. OS のシステムディレクトリに存在する HORCM 構成定義ファイル内で、ペアの定義に対応したコマンドデバイスをホストが認識しているか確認してください。 4. 以下のディレクトリに raidscan または pairdisplay コマンドを実行したときの RAID Manager または P9000 RAID Manager のログが出力されます。 < Device Manager エージェントインストールディレクトリ > /agent/config/horcm/logXX (XX はインスタンス番号に対応した数字)

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		直前に起動している HORCM インスタンス番号を確認し、ログ情報からエラー原因を取り除いてください。 5. 上記の対処をしても問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03333	Device Manager エージェントで予期しないエラーが発生しました。	要因 構成定義ファイルの編集中に予期しないエラーが発生しました。 対処 保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03334	Device Manager エージェントで予期しないエラーが発生しました。	要因 操作実行中に予期しないエラーが発生しました。 対処 保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03335	指定されたインスタンス番号の構成定義ファイルが存在しません。	要因 ペアの追加が要求されましたが、指定されたインスタンス番号の構成定義ファイルが存在しません。 対処 Device Manager サーバでストレージシステムのリフレッシュを実行した後、Replication Manager サーバで構成の更新を実行して、操作を再度実行してください。
RPM-03336	指定されたインスタンス番号の構成定義ファイルがすでに存在します。	要因 インスタンスの新規作成が要求されましたが、指定されたインスタンス番号の構成定義ファイルがすでに存在します。 対処 Device Manager サーバでストレージシステムのリフレッシュを実行したあと、Replication Manager サーバで構成の更新を実行して、操作を再度実行してください。
RPM-03337	Device Manager エージェントで一時的に使用するインスタンスの起動に失敗しました。	要因 以下のことが発生している可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> • Device Manager エージェントで一時的に使用するインスタンス番号またはサービス番号が使用されている。 • ペア管理サーバが認識しているコマンドデバイスが使用不可状態になっている。 対処 以下のことを実施し、要因を取り除いてください。 1. RAID Manager または P9000 RAID Manager のインスタンス番号およびサービス番号の使用状況を見直してください。本システムでは、server.properties ファイル内の以下のプロパティで指定した範囲の番号を使用します。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ インスタンス番号:server.agent.rm.temporaryInstance ◦ サービス番号:server.agent.rm.temporaryPort

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>OS が Windows Server 2008 以降の場合、OS がサービス番号を使用している可能性があるため、本システムで使用するサービス番号を変更してください。</p> <p>2. ペア管理サーバが認識しているコマンドデバイスが使用可能な状態であることを確認してください。</p>
RPM-03338	Device Manager エージェントで一時的に使用するインスタンスの起動でタイムアウトが発生しました。	<p>要因 Device Manager エージェントで一時的に使用するインスタンスの起動でタイムアウトが発生しました。</p> <p>対処 該当ホストの server.properties ファイルの server.agent.rm.moduleTimeOut の値を変更してください。 server.agent.rm.moduleTimeOut については、マニュアル「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。</p>
RPM-03339	ペア管理サーバでコマンドデバイスが認識されていないため、Device Manager エージェントでエラーが発生しました。	<p>要因 ペア管理サーバにコマンドデバイスが一つも認識されていません。</p> <p>対処 次の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Device Manager サーバでストレージシステムのリフレッシュを実行したあと、Replication Manager サーバで構成の更新を実行してください。 2. ペア管理サーバでコマンドデバイスが認識されていることを確認してください。
RPM-03340	Device Manager エージェントで一時的に使用するインスタンスの起動に失敗しました。	<p>要因 Device Manager エージェントで一時的に使用するインスタンスの起動で予期しないエラーが発生しました。</p> <p>対処 次の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 使用している RAID Manager または P9000 RAID Manager のバージョンが、サポート対象のバージョンであることを確認してください。 2. RAID Manager または P9000 RAID Manager が正しくインストールされているか確認してください。 3. 上記の対処をしても問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03341	指定された LU がペア管理サーバで認識されていません。	<p>要因 指定された LU がペア管理サーバで認識されていません。</p> <p>対処 次の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [ストレージシステム一覧]画面で対象のストレージシステムを選択し[ストレージシステム情報更新]を実行してください。 2. ペア管理サーバで LU が認識されているか確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		3. 一括管理構成であるか確認してください。 一括管理構成については「Hitachi Device Manager and Provisioning Manager Software システム構成ガイド」および「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。
RPM-03342	Device Manager エージェントで構成定義ファイルの編集集中にエラーが発生しました。	要因 ボリューム情報の取得処理の結果から、正しい値が取得できませんでした。 対処 次の手順で対処してください。 1. 使用している RAID Manager または P9000 RAID Manager のバージョンが、サポート対象のバージョンであることを確認してください。 2. RAID Manager または P9000 RAID Manager が正しくインストールされているか確認してください。 3. 上記の対処をしても問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03343	3DC Delta Resync 用の非同期リモートコピーのペア作成はサポートしていません。	要因 3DC Delta Resync 用の非同期リモートコピーのペアを作成しようとしてしました。 対処 Device Manager エージェントが正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03344	作成したペアに対するコマンドデバイスがペア管理サーバに存在しません。	要因 ペア操作に必要なコマンドデバイスが見つかりません。 対処 次の手順で対処してください。 1. Device Manager サーバでストレージシステムのリフレッシュを実行したあと、Replication Manager サーバで構成の更新を実行してください。 2. ペア管理サーバがコマンドデバイスを認識していることを確認してください。
RPM-03345	指定された LU の状態が不正であるため、指定されたコピーグループを作成できません。	要因 ペアの状態が SMPL でないか、ペアの状態が取得できません。 対処 次の手順で対処してください。 1. ペア操作対象の LU の状態を見直してください。 2. 構成定義ファイルの内容と、環境構成を見直してください。
RPM-03346	Device Manager エージェントで予期しないエラーが発生しました。	要因 ペア作成後のペア状態が PAIR になっていません。 対処 保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
RPM-03347	指定された LU の状態が不正であるため、指定されたコピーグループを削除できません。	<p>要因 ペアの状態が SMPL でないか、ペアの状態が取得できません。</p> <p>対処 次の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ペア操作対象の LU の状態を見直してください。 2. 構成定義ファイルの内容と、環境構成を見直してください。
RPM-03348	指定された LU の状態が不正であるため、指定されたコピーグループの状態を変更できません。	<p>要因 ペアの状態が SMPL でないか、ペアの状態が取得できません。</p> <p>対処 次の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ペア操作対象の LU の状態を見直してください。 2. 構成定義ファイルの内容と、環境構成を見直してください。
RPM-03349	Device Manager エージェントでコマンド実行中にタイムアウトが発生しました。	<p>要因 RAID Manager コマンドの実行時にタイムアウトが発生しました。</p> <p>対処 該当ホストの server.properties ファイルの server.agent.rm.moduleTimeOut の値を見直しタイムアウトまでの時間を変更してください。 server.agent.rm.moduleTimeOut については「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。</p>
RPM-03350	Device Manager エージェントで予期しないエラーが発生しました。	<p>要因 ペアの再同期処理で状態変更後のペアの状態が PAIR になっていません。</p> <p>対処 保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-03351	テイクオーバーまたはテイクバック操作の対象としたボリュームの指定が不正です。	<p>要因 テイクオーバー、テイクバックのできないボリュームが操作対象ボリュームとして指定されています。</p> <p>対処 コピーペア操作対象のボリュームの状態を見直してください。</p>
RPM-03352	操作対象のコピーペアの状態が不正です。	<p>要因 コピーペアの操作を実行できる状態ではありません。</p> <p>対処 操作対象のコピーペアの状態を見直してください。</p>
RPM-03353	テイクオーバーまたはテイクバック操作の対象としたコピーペアのフェンスレベルが不正です。	<p>要因 コピーペアがテイクオーバーまたはテイクバックを実行できるフェンスレベルではありません。</p> <p>対処 ペア操作対象の LU の状態を見直してください。</p>
RPM-03354	処理がタイムアウトしました。	<p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>Device Manager エージェントに要求した次のどれかの処理で、タイムアウトが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テイクオーバー ・ テイクバック ・ ペアの再同期 ・ 同期待ちタスク <p>対処 処理で指定するタイムアウト値に大きな値を指定してください。</p>
RPM-03355	テイクオーバーまたはテイクバック処理中にエラーが発生しました。	<p>要因 Device Manager エージェントに要求した次のどれかの処理で、エラーが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テイクオーバー ・ テイクバック ・ ペアの再同期 ・ ペアの作成 ・ ペアの分割 ・ ペアの削除 <p>対処 次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ takeover 操作[horctakeover -s]でエラーが発生した場合、コピーペアのボリュームの状態を取得して、副ボリューム側の状態を確認してください。 副ボリュームの状態がコピーペア操作後の状態に変更されていた場合、副ボリュームにアクセスできることを確認してください。 副ボリュームにアクセスできる場合、実行が失敗したタスクを削除してください。副ボリュームの状態が変更されていない、または副ボリュームにアクセスできない場合は保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。 ・ takeover 操作[horctakeover -s]以外のコピーペア操作でエラーが発生した場合、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03356	指定されたコピーグループが構成定義ファイルに存在しません。	<p>要因 指定されたコピーグループが構成定義ファイルに存在しません。</p> <p>対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。そのあと、再度実行してください。</p>
RPM-03357	Device Manager エージェントの機能の呼び出しに失敗しました。ストレージシステムのライセンス容量が不足している、または有効なライセンスが登録されていないおそれがあります。(SSBコード: <SSB >)	<p>要因 Device Manager エージェントの機能の呼び出しに失敗しました。ストレージシステムのライセンス容量が不足している、または有効なライセンスが登録されていないおそれがあります。</p> <p>対処 ストレージシステムビューでコピーライセンスタブを表示して、ストレージシステムのライセンス情報を確認してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		最新のストレージシステムのライセンス情報を取得するには、構成の更新を行ってください。
RPM-03358	Device Manager エージェントが必須としている項目が構成定義ファイルに存在しません。	<p>要因 Device Manager エージェントが必須としている項目が構成定義ファイルに存在しません。必須としている項目は、次の項目です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • HORCM_MON <p>対処 構成定義ファイルの内容を見直してください。</p>
RPM-03359	Device Manager エージェントがサポートしていない項目が構成定義ファイルに存在します。	<p>要因 Device Manager エージェントがサポートしていない項目が構成定義ファイルに存在します。サポートしていない項目は、次の項目です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • HORCM_LDEVG <p>対処 構成定義ファイルの内容を見直してください。</p>
RPM-03360	Device Manager エージェントが必須としている項目が構成定義ファイルに存在しません。	<p>要因 Device Manager エージェントが必須としている項目が構成定義ファイルに存在しません。必須としている項目は、次の項目です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • HORCM_DEV • HORCM_LDEV <p>対処 構成定義ファイルの内容を見直してください。</p>
RPM-03361	Device Manager エージェントが必須としている項目が構成定義ファイルに存在しません。	<p>要因 Device Manager エージェントが必須としている項目が構成定義ファイルに存在しません。必須としている項目は、次の項目です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • HORCM_INST • HORCM_INSTP <p>対処 構成定義ファイルの内容を見直してください。</p>
RPM-03362	Device Manager エージェントがサポートしていない項目が構成定義ファイルに存在します。	<p>要因 Device Manager エージェントがサポートしていない項目が構成定義ファイルに存在します。サポートしていない項目は、次の項目です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • HORCM_CMD に仮想コマンドデバイスを定義している。 <p>対処 構成定義ファイルの内容と、環境構成を見直してください。</p>
RPM-03363	ペアボリュームにアクセスすることができるコマンドデバイスがペア管理サーバに存在しません。	<p>要因 操作対象のペアボリュームと同一の SLPR に属するコマンドデバイスがペア管理サーバに接続されていません。または、アクセス不可のコマンドデバイスが選択されました。</p> <p>対処 操作対象のペアボリュームと同一の SLPR に属するコマンドデバイスがペア管理サーバに接続されているかを確認してください。または SLPR#0 のコマンドデバイスを割り当ててください。</p>
RPM-03364	ユーザー認証が設定されたコマンドデバイスがストレージシステムに存在します。	<p>要因 ストレージシステムのユーザー認証に失敗しました。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処</p> <p>ユーザー認証の設定を解除してください。</p> <p>または、ユーザー認証が設定されたコマンドデバイスのパスをホストから解除してください。</p> <p>または、ユーザー認証が設定されたコマンドデバイスが存在するストレージシステムに対してログインを行ってください。</p>
RPM-03365	ユーザー認証が設定されたコマンドデバイスが構成定義ファイルに定義されています。	<p>要因</p> <p>ストレージシステムのユーザー認証に失敗しました。</p> <p>対処</p> <p>ユーザー認証の設定を解除してください。</p> <p>または、ユーザー認証が設定されたコマンドデバイスのパスをホストから解除してください。</p> <p>または、ユーザー認証が設定されたコマンドデバイスが存在するストレージシステムに対してログインを行ってください。</p>
RPM-03366	Device Manager エージェントで一時的に使用するインスタンスの起動に失敗しました。	<p>要因</p> <p>Device Manager エージェントで一時的に使用するインスタンスの起動で予期しないエラーが発生しました。</p> <p>対処</p> <p>管理サーバと対象ストレージの SVP との間で通信が可能か確認してください。</p>
RPM-03367	ストレージシステムのユーザー認証に失敗しました。	<p>要因</p> <p>ストレージシステムのユーザー認証に失敗しました。または、使用している RAID Manager のバージョンが前提条件を満たさないおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>Device Manager にストレージシステムを登録する際に設定した SVP のユーザー名・パスワードが有効であるか確認してください。</p> <p>SVP のユーザー名・パスワードが無効な場合は、有効な値に変更してください。</p> <p>または、使用している RAID Manager のバージョンがサポート対象のバージョンであることを確認してください。</p>
RPM-03368	Device Manager エージェントでコマンド実行中にエラーが発生しました。	<p>要因</p> <p>Device Manager エージェントに要求したペア情報の取得の処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処</p> <p>再度実行してください。</p>
RPM-03369	Device Manager エージェントでコマンド実行中にエラーが発生しました。	<p>要因</p> <p>Device Manager エージェントに要求したペア情報の取得の処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処</p> <p>操作対象のコピーグループが Replication Manager のサポート条件を満たしているかを確認してください。</p>
RPM-03370	プールまたはジャーナル情報の取得中に予期しないエラーが発生しました。	<p>要因</p> <p>プールまたはジャーナル情報の取得中に予期しないエラーが発生しました。</p> <p>対処</p> <p>再度実行してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
RPM-03371	Device Manager エージェントでコマンド実行中にエラーが発生しました。	<p>要因 Device Manager エージェントに要求した次のどれかの処理でエラーが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペア情報の取得 ・ ペアの再同期 ・ ペアの分割 <p>対処 操作対象のコピーグループが Replication Manager のサポート条件を満たしているかを確認してください。</p>
RPM-03372	指定された構成定義ファイルにコピーグループの追加はできません。	<p>要因 構成定義ファイルに記載したコマンドデバイスが IPCMD 形式の場合、コピーグループの追加はサポートしていません。</p> <p>対処 なし。</p>
RPM-03373	指定したコピーペアは、すでに構成定義ファイルに定義されています。	<p>要因 指定したコピーペアは、すでに構成定義ファイルに定義されています。Replication Manager の管理情報が最新でないおそれがあります。</p> <p>対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。</p>
RPM-03374	指定したコピーペアは、構成定義ファイルに定義されていません。	<p>要因 指定したコピーペアは、構成定義ファイルに定義されていません。Replication Manager の管理情報が最新でないおそれがあります。</p> <p>対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。</p>
RPM-03375	指定したインスタンスの構成定義ファイルが存在しません。	<p>要因 指定したインスタンスの構成定義ファイルがペア管理サーバにありません。Replication Manager の管理情報が最新でないおそれがあります。</p> <p>対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。</p>
RPM-03376	構成定義ファイルの最後のノードは削除できません。	<p>要因 指定したノードは、構成定義ファイルの HORCM_INST および HORCM_INSTP に記載された同一グループの最後のノードであるため、削除できません。Replication Manager の管理情報が最新でないおそれがあります。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。
RPM-03377	Device Manager エージェントへの接続に失敗しました。	<p>要因 Device Manager エージェントへの接続に失敗しました。</p> <p>対処 次の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Device Manager エージェントが正しくインストールされていることを確認してください。 2. Device Manager エージェントのサービスが起動していることを確認してください。 3. Device Manager エージェントの server.properties ファイルの server.agent.port の値を変更した場合は、構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。 4. 上記の対処をしても問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03378	Device Manager エージェントとの通信でエラーが発生しました。	<p>要因 Device Manager エージェントとの通信に失敗しました。</p> <p>対処 Device Manager エージェントが正しく起動しているかどうかを確認してください。ネットワークや、Device Manager エージェントがインストールされているホストに負荷が掛かっているか確認して再度処理を実行してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-03379	Device Manager エージェントに対して要求した処理がタイムアウトしました。	<p>要因 次のどちらかの要因で、Device Manager エージェントに要求した処理がタイムアウトしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Device Manager エージェントのホストに負荷が掛かっている。 • Device Manager エージェントが扱うペア数が多い。 <p>対処 Device Manager エージェントがインストールされているホストに負荷が掛かっているかどうかを確認してください。Device Manager エージェントが扱うペア数が多い場合は、処理に時間が掛かる場合があります。その場合は、host.properties ファイルの host.agent.access.timeoutForRpm の値を大きくして、再度実行してください。</p>
RPM-03380	削除対象のコピーペアの状態が PSUS/SSUS になっていないため、コピーペアを削除できません。	<p>要因 削除対象のコピーペアの状態が PSUS/SSUS になっていないため、コピーペアを削除できません。</p> <p>対処</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		Freeze/Run が設定されているコピーグループでは、削除対象のコピーペアの状態が PSUS/SSUS 以外の場合、一部のコピーペアを指定した削除操作が実行できません。 削除対象のコピーペアの状態を PSUS/SSUS に変更してから再度実行してください。
RPM-03381	指定されたコピーグループはすでに構成定義ファイルに存在しているため、更新できません。	要因 指定されたコピーグループはすでに構成定義ファイルに存在しているため、更新できません。構成が変更されているおそれがあります。 対処 構成定義ファイルの内容を見直し、構成の更新を実行して構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。そのあと、必要に応じて再度実行してください。
RPM-03382	コピーペアの同期待ち中に予期せぬエラーが発生しました。	要因 pairsyncwait コマンド実行中にエラーが発生しました。 対処 構成定義ファイルに記載している IP アドレスが通信可能な状態であるか確認してください。
RPM-03383	Device Manager エージェントでコマンド実行中にエラーが発生しました。	要因 RAID Manager コマンドが異常終了しました。コピーペア操作の条件を満たしていないおそれがあります。 対処 RAID Manager のマニュアルを参照して、実施したコピーペア操作の条件を満たしていることを確認してください。 問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03384	Device Manager エージェントでコマンドが実行できない状態になっています。	要因 RAID Manager コマンドが実行できない状態になっています。 対処 RAID Manager のコマンドが正常に動作することを確認してください。 問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03385	操作対象のストレージシステムのコマンドデバイスがペア管理サーバに接続されていないため、操作に失敗しました。	要因 コマンドデバイスがペア管理サーバに接続されていません。 対処 コマンドデバイスをペア管理サーバに接続してください。接続したコマンドデバイスのユーザー認証を有効にし、ユーザー認証をした上で操作を再度実行してください。
RPM-03386	操作対象のストレージシステムのコマンドデバイスのユーザー認証が行われていないため、操作に失敗しました。	要因 コマンドデバイスのユーザー認証が行われていません。 対処 コマンドデバイスのユーザー認証を行った上で操作を再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-03387	操作対象のストレージシステムのコマンドデバイスのユーザー認証の設定が無効であるため、操作に失敗しました。	<p>要因 コマンドデバイスのユーザー認証の設定が無効です。</p> <p>対処 ペア管理サーバに接続されている全コマンドデバイスのユーザー認証を有効に設定し、認証をした上で操作を再度実行してください。</p>
RPM-03388	作成しようとしたコピーペアの副ボリュームがすでにほかのコピーペアの副ボリュームとして使用されているため、コピーペアを作成できません。	<p>要因 作成しようとしたコピーペアの副ボリュームがすでにコピーペアの副ボリュームとして使用されています。</p> <p>対処 すでにコピーペアの副ボリュームとして使用されていないボリュームを指定してください。</p>
RPM-03389	指定したプールIDが、指定した正ボリュームのコピーペアがすでに使用しているプールIDと異なるため、コピーペアを作成できません。	<p>要因 指定したプールIDが、指定した正ボリュームのコピーペアがすでに使用しているプールIDと異なります。</p> <p>対処 指定した正ボリュームのコピーペアが、すでに使用しているプールIDを指定してください。</p>
RPM-03390	コンシステンシーグループに、指定した正ボリュームのコピーペアがすでに存在するため、コピーペアを作成できません。	<p>要因 コンシステンシーグループに、指定した正ボリュームのコピーペアがすでに存在します。</p> <p>対処 構成が変更されているおそれがあります。構成の更新を実行して、構成情報を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムを更新してください。</p>
RPM-03391	指定したコピーグループのグループ種別 (スナップショットグループ、またはコンシステンシーグループ) が、存在するコピーグループ種別と異なるため、コピーペアを作成できません。	<p>要因 指定したグループのグループ種別 (スナップショットグループ、またはコンシステンシーグループ) が、存在するグループ種別と異なります。</p> <p>対処 存在するグループ種別 (スナップショットグループ、またはコンシステンシーグループ) を指定してください。</p>
RPM-03392	作成後のコピーペアが予期しない状態となったため、処理を中止します。	<p>要因 RAID Manager コマンドでコピーペアを作成したあとに、コピーペアの状態が PAIR になっていません。</p> <p>対処 コピーペアの状態を確認してください。不正な状態になっている場合は、RAID Manager のマニュアルに従い復旧してください。</p>
RPM-03393	指定したスナップショットグループ、正ボリュームおよび MU 番号のどれかがストレージシステムに存在しません。	<p>要因 指定したスナップショットグループ、正ボリュームおよび MU 番号のどれかがストレージシステムに存在しません。</p> <p>対処 Device Manager サーバは最新のストレージシステムの情報を保持していないおそれがありま</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		す。ストレージシステムの情報を更新してから再度実行してください。
RPM-03394	状態変更後のコピーペアの状態が予期しない状態となったため、処理を中止します。	<p>要因 RAID Manager コマンドでコピーペアを再同期したあとに、コピーペアの状態が PAIR になっていません。</p> <p>対処 コピーペアの状態を確認してください。不正な状態になっている場合は、RAID Manager のマニュアルに従い復旧してください。</p>
RPM-03395	選択されたスナップショットグループ名または、同一トポロジに含まれるスナップショットグループ名に未サポートの文字が含まれています。	<p>要因 選択されたスナップショットグループ名または、同一トポロジに含まれるスナップショットグループ名に未サポートの文字が含まれています。</p> <p>対処 未サポートの文字を含まないように構成を見直したあと、再度実行してください。</p>
RPM-03700	パラメーターが不正です。	<p>要因 内部で不正なパラメーターが指定されました。</p> <p>対処 保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-03701	Replication Manager Application Agent のサービス制御プロセスへの接続に失敗しました。	<p>要因 Replication Manager Application Agent のサービス制御プロセスへの接続に失敗しました。</p> <p>対処 次の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。 2. Replication Manager Application Agent のサービスが起動していることを確認してください。 3. Replication Manager Application Agent の設定を変更した場合は、構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。 4. 接続する Replication Manager Application Agent の設定が正しいことを確認してください。設定内容は、[管理者メニュー] - [情報取得元] - [Application Agent] を選択して表示される画面で確認できます。値が不正な場合は、正しい値を設定してください。 5. 上記の対処をしても問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03702	Replication Manager Application Agent のサービス実行プロセスへの接続に失敗しました。	<p>要因 Replication Manager Application Agent のサービス実行プロセスへの接続に失敗しました。</p> <p>対処 次の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>2. Replication Manager Application Agent のサービスが起動していることを確認してください。</p> <p>3. クラスタ環境かつ、Device Manager エージェントと同時に運用している場合は Device Manager エージェントが持つ <code>server.properties</code> の <code>server.http.socket.bindAddress</code> の値を確認してください。もし値が指定されていなければ指定しないようにしてください。プロパティ値の詳細については「Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。</p> <p>4. 上記の対処をしても問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-03703	Replication Manager Application Agent のサービス制御プロセスへの接続が拒否されました。	<p>要因 Replication Manager Application Agent のサービス制御プロセスへの接続が拒否されました。</p> <p>対処 次の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。 2. 接続する Replication Manager Application Agent の設定が正しいことを確認してください。設定内容は、[管理者メニュー] - [情報取得元] - [Application Agent] を選択して表示される画面で確認できます。値が不正な場合は、正しい値を設定してください。 3. 上記の対処をしても問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03704	Replication Manager Application Agent のサービス実行プロセスへの接続が拒否されました。	<p>要因 Replication Manager Application Agent のサービス実行プロセスへの接続が拒否されました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-03706	Replication Manager Application Agent のサービス制御プロセスから不正なレスポンスを受け取りました。	<p>要因 Replication Manager Application Agent のサービス制御プロセスから不正なレスポンスを受け取りました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-03707	Replication Manager Application Agent のサービス実行プロセスから不正なレスポンスを受け取りました。	<p>要因 Replication Manager Application Agent のサービス実行プロセスから不正なレスポンスを受け取りました。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口にご連絡してください。
RPM-03708	Replication Manager Application Agent への接続がタイムアウトしました。	<p>要因 Replication Manager Application Agent への接続がタイムアウトしました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent がインストールされているホストに負荷が掛かっているかどうかを確認してください。</p>
RPM-03710	予期せぬエラーが発生しました。	<p>要因 予期せぬエラーが発生しました。</p> <p>対処 正しいバージョンの Replication Manager Application Agent が正しくインストールされているかどうかを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口にご連絡してください。</p>
RPM-03711	Replication Manager Application Agent のサービス実行プロセスとの通信でエラーが発生しました。	<p>要因 Replication Manager Application Agent のサービス実行プロセスとの通信でエラーが発生しました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent が正しく起動しているかどうかを確認してください。ネットワークや、Replication Manager Application Agent がインストールされているホストに負荷が掛かっているか確認して再度処理を実行してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口にご連絡してください。</p>
RPM-03712	Replication Manager Application Agent のサービス制御プロセスとの通信でエラーが発生しました。	<p>要因 Replication Manager Application Agent のサービス制御プロセスとの通信でエラーが発生しました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent が正しく起動しているかどうかを確認してください。ネットワークや、Replication Manager Application Agent がインストールされているホストに負荷が掛かっているか確認して再度処理を実行してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口にご連絡してください。</p>
RPM-03713	Replication Manager Application Agent のサービス実行プロセスとの通信でエラーが発生しました。	<p>要因 Replication Manager Application Agent のサービス実行プロセスとの通信でエラーが発生しました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent が正しく起動しているかどうかを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口にご連絡してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-03714	Replication Manager Application Agent のサービス制御プロセスとの通信でエラーが発生しました。	<p>要因 Replication Manager Application Agent のサービス制御プロセスとの通信でエラーが発生しました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent が正しく起動しているかどうかを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
RPM-03715	接続している Replication Manager Application Agent は Replication Manager ではサポートしていません。	<p>要因 接続している Replication Manager Application Agent は Replication Manager ではサポートしていません。</p> <p>対処 Replication Manager が前提としているバージョンの Replication Manager Application Agent をインストールして、再度実行してください。</p>
RPM-03716	Replication Manager Application Agent への接続が切断されました。	<p>要因 Replication Manager Application Agent への接続が切断されました。</p> <p>対処 Replication Manager を再起動してから再度実行してください。</p>
RPM-03717	Replication Manager Application Agent の機能の呼び出しに失敗しました。(< Replication Manager Agent のエラーメッセージ >)	<p>要因 Replication Manager Application Agent の機能の呼び出しに失敗しました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent が正しく起動しているかどうかを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
RPM-03718	Replication Manager Application Agent に要求した処理がタイムアウトしました。	<p>要因 Replication Manager Application Agent に要求した処理がタイムアウトしました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent が正しく起動しているかどうかを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
RPM-03719	Replication Manager Application Agent の機能の呼び出しに失敗しました。	<p>要因 Replication Manager Application Agent の機能の呼び出しに失敗しました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent が正しく起動しているかどうかを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
RPM-03900	タイムアウトが発生しました。	<p>要因 タイムアウトが発生しました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent がインストールされているホストに負荷が掛かっているか確認して再度処理を実行してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
RPM-03901	定義ファイルの処理中にエラーが発生しました。(DEFAULT.dat)	要因 定義ファイルの処理中にエラーが発生しました。 対処 定義ファイルがほかのプロセスによってロックされていないか、定義ファイルにアクセス権があるか確認してから再度実行してください。
RPM-03902	ファイルのオープンに失敗しました。	要因 ファイルのオープンに失敗しました。 対処 Replication Manager Application Agent がインストールされているディレクトリに存在するファイルがほかのプロセスによってロックされていないか、それらにアクセス権があるか確認してから再度実行してください。
RPM-03903	ファイルのアクセスに失敗しました。	要因 ファイルのアクセスに失敗しました。 対処 Replication Manager Application Agent がインストールされているディレクトリに存在するファイルがほかのプロセスによってロックされていないか、それらにアクセス権があるか確認してから再度実行してください。
RPM-03904	ファイルの読み込みに失敗しました。	要因 ファイルの読み込みに失敗しました。 対処 Replication Manager Application Agent がインストールされているディレクトリに存在するファイルがほかのプロセスによってロックされていないか、それらにアクセス権があるか確認してから再度実行してください。
RPM-03905	ファイルの書き込みに失敗しました。	要因 ファイルの書き込みに失敗しました。 対処 Replication Manager Application Agent がインストールされているディレクトリに存在するファイルがほかのプロセスによってロックされていないか、それらにアクセス権があるか確認してから再度実行してください。
RPM-03906	サービスの起動に失敗しました。	要因 サービスの起動に失敗しました。 対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03907	サービスの停止に失敗しました。	要因 サービスの停止に失敗しました。 対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03908	環境変数の設定に失敗しました。	要因 環境変数の設定に失敗しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Replication Manager Application Agent が正しい権限で実行されていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03909	コマンドに指定した引数が必要とする数を超えています。	要因 コマンドに指定した引数が必要とする数を超えています。 対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03910	指定したコマンドのオプションが不正です。	要因 指定したコマンドのオプションが不正です。 対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03911	同じコマンドのオプションが 2 回以上指定されました。	要因 同じコマンドのオプションが 2 回以上指定されました。 対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03912	必要なコマンドのオプションが指定されていません。	要因 必要なコマンドのオプションが指定されていません。 対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03913	コマンドのフォーマットが不正です。	要因 コマンドのフォーマットが不正です。 対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03914	コマンドの文字列作成に失敗しました。	要因 コマンドの文字列作成に失敗しました。 対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03915	コマンドの文字列が最大の値を超えています。	要因 コマンドの文字列が最大の値を超えています。 対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してくだ

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		さい。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03916	コマンド実行結果の取得に失敗しました。	要因 コマンド実行結果の取得に失敗しました。 対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03917	メモリーが不足しています。	要因 メモリーが不足しています。 対処 Replication Manager Application Agent がインストールされているホストがシステム要件を満たしていることを確認してください。また、そのホストに過度の負荷が掛かっていないことを確認してください。
RPM-03918	ドライブの空容量が不足しています。	要因 ドライブの空容量が不足しています。 対処 Replication Manager Application Agent がインストールされているホストがシステム要件を満たしていることを確認してください。
RPM-03919	マウントポイントディレクトリ名が長すぎます。	要因 マウントポイントディレクトリ名が長すぎます。 対処 マウントポイントディレクトリ名の長さを見直して、再度実行してください。
RPM-03920	予期せぬ解析エラーが発生しました。	要因 予期せぬ解析エラーが発生しました。 対処 Replication Manager と Replication Manager Application Agent がインストールされているホストの間で正しく通信が行われていることを確認してから再度実行してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03921	予期せぬ解析エラーが発生しました。	要因 予期せぬ解析エラーが発生しました。 対処 Replication Manager と Replication Manager Application Agent がインストールされているホストの間で正しく通信が行われていることを確認してから再度実行してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03922	予期せぬエラーが発生しました。	要因 予期せぬエラーが発生しました。 対処 保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03923	Replication Manager Application Agent が使用しているファイルがありません。	要因 操作を完了するために必要なファイルがありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03924	要求されたパラメーターが無効です。	要因 要求されたパラメーターが無効です。 対処 保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03925	Replication Manager Application Agent がタスク登録に使用しているファイルがありません。	要因 Replication Manager Application Agent がタスク登録に使用しているファイルがありません。 対処 即時実行のタスクがあるか確認してください。もしある場合は保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03926	Replication Manager Application Agent がタスク登録に使用しているファイルにタスク情報がありません。	要因 Replication Manager Application Agent がタスク登録に使用しているファイルにタスク情報がありません。 対処 ホスト情報更新を実行してください。もしこのエラーが再度発生する場合は保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03927	Replication Manager Application Agent がタスク登録に使用しているファイルに書き込めません。	要因 Replication Manager Application Agent がタスク登録に使用しているファイルに書き込めません。ボリュームに十分な容量がありません。 対処 ボリュームに十分な容量があることを確認してください。使用可能な容量が少ない場合は容量を増やしてください。もしこのエラーが再度発生する場合は保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03928	Replication Manager Application Agent が使用しているファイルがありません。	要因 操作を完了するために必要なファイルがありません。 対処 保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03929	トラブルシューティング情報を削除できません。	要因 トラブルシューティング情報を削除できません。 対処 ほかの操作が実行中の場合があります。しばらく待ってから再度操作を実行してください。もしこのエラーが再度発生する場合は保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03930	トラブルシューティング情報がありません。	要因 トラブルシューティング情報がありません。 対処 ほかの操作が実行中の場合があります。しばらく待ってから再度操作を実行してください。もしこのエラーが再度発生する場合は保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-03931	トラブルシューティング情報が書き込めません。	<p>要因 トラブルシューティング情報を書き込めません。</p> <p>対処 ほかの操作が実行中の場合があります。しばらく待ってから再度操作を実行してください。もしこのエラーが再度発生する場合は保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-03932	トラブルシューティング情報を読み込めません。	<p>要因 トラブルシューティング情報を読み込めません。</p> <p>対処 ほかの操作が実行中の場合があります。しばらく待ってから再度操作を実行してください。もしこのエラーが再度発生する場合は保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-03933	Replication Manager Application Agent がタスク登録に使用しているファイルを読み込めません。	<p>要因 Replication Manager Application Agent がタスク登録に使用しているファイルを読み込めません。</p> <p>対処 次の対処を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ほかの操作が実行中の場合があります。しばらく待ってから再度操作を実行してください。 Replication Mananager Application Agent がインストールされているフォルダに正しいアクセス権が設定されていることを確認してから再度操作を行ってください。 もしこのエラーが再度発生する場合は保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03934	Replication Manager Application Agent が使用しているファイルを読み込めません。	<p>要因 Replication Manager Application Agent が使用しているファイルを読み込めません。</p> <p>対処 次の対処を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ほかの操作が実行中の場合があります。しばらく待ってから再度操作を実行してください。 Replication Mananager Application Agent がインストールされているフォルダに正しいアクセス権が設定されていることを確認してから再度操作を行ってください。 もしこのエラーが再度発生する場合は保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03935	Replication Manager Application Agent が使用しているファイルを更新できません。	<p>要因 Replication Manager Application Agent が使用しているファイルを更新できません。</p> <p>対処 次の対処を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ほかの操作が実行中の場合があります。しばらく待ってから再度操作を実行してください。 Replication Mananager Application Agent がインストールされているフォルダ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		に正しいアクセス権が設定されていることを確認してから再度操作を行ってください。 3. もしこのエラーが再度発生する場合は保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03936	トラブルシューティング情報を読み込めません。	要因 トラブルシューティング情報を読み込めません。 対処 ほかの操作が実行中の場合があります。しばらく待ってから再度操作を実行してください。もしこのエラーが再度発生する場合は保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03937	操作の結果を解析中にエラーが発生しました。	要因 操作の結果を解析中にエラーが発生しました。 対処 保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03938	Replication Manager Application Agent が使用しているファイルを閉じられません。	要因 Replication Manager Application Agent が使用しているファイルを閉じられません。 対処 ほかの操作が実行中の場合があります。しばらく待ってから再度操作を実行してください。もしこのエラーが再度発生する場合は保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03939	Replication Manager Application Agent 環境が不正です。	要因 処理を続行するのに必要なデータが不足しています。 対処 保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03940	処理中にプロセスが実行されなかったためエラーが発生しました。	要因 プロセスを実行できませんでした。 対処 Replication Manager Application Agent が正しく起動しているか確認してから再度操作を行ってください。もしこのエラーが再度発生する場合は保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03941	処理中にタイムアウトが発生しました。	要因 タイムアウトが発生しました。 対処 Replication Manager Application Agent が正しく起動しているか確認してから再度操作を行ってください。もしこのエラーが再度発生する場合は保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03942	Replication Manager Application Agent が使用しているファイルが書き込めません。	要因 Replication Manager Application Agent が使用しているファイルが書き込めません。 対処 ほかの操作が実行中の場合があります。しばらく待ってから再度操作を実行してください。もしこのエラーが再度発生する場合は保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
RPM-03943	Replication Manager Application Agent が使用しているファイルを削除できません。	<p>要因 Replication Manager Application Agent が使用しているファイルを削除できません。</p> <p>対処 ほかの操作が実行中の場合があります。しばらく待ってから再度操作を実行してください。もしこのエラーが再度発生する場合は保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-03944	Replication Manager Application Agent が使用しているファイルを閉じられません。	<p>要因 Replication Manager Application Agent が使用しているファイルを閉じられません。</p> <p>対処 ほかの操作が実行中の場合があります。しばらく待ってから再度操作を実行してください。もしこのエラーが再度発生する場合は保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-03945	指定された共有データパスが無効です。	<p>要因 指定された共有データパスが不正です。</p> <p>対処 適切な共有データパスを指定してください。</p>
RPM-03946	Replication Manager Application Agent が使用しているファイルを開けません。	<p>要因 Replication Manager Application Agent が使用しているファイルを開けません。</p> <p>対処 ほかの操作が実行中の場合があります。しばらく待ってから再度操作を実行してください。もしこのエラーが再度発生する場合は保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-03947	Replication Manager Application Agent がタスク登録に使用しているファイルを開けません。	<p>要因 Replication Manager Application Agent がタスク登録に使用しているファイルを開けません。</p> <p>対処 ほかの操作が実行中の場合があります。しばらく待ってから再度操作を実行してください。もしこのエラーが再度発生する場合は保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-03948	Replication Manager Application Agent がタスク登録に使用しているファイルを閉じられません。	<p>要因 Replication Manager Application Agent がタスク登録に使用しているファイルを閉じられません。</p> <p>対処 ほかの操作が実行中の場合があります。しばらく待ってから再度操作を実行してください。もしこのエラーが再度発生する場合は保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-03949	pairsplit 操作の実行に失敗しました。	<p>要因 pairsplit 操作の実行に失敗しました。</p> <p>対処 RAID Manager が正しくインストールされているか確認してください。正しくインストールされている場合は RAID Manager のログを参照して正しく pairsplit コマンドが動作するように設定を変更してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-03950	Replication Manager Application Agent の機能からの情報取得に失敗しました。	<p>要因 Replication Manager Application Agent の機能からの情報取得に失敗しました。</p> <p>対処 次の対処を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Replication Manager Application Agent が正しく起動しているか確認してから再度操作を行ってください。 2. RAID Manager のユーザー認証機能が有効になっている場合はユーザー認証に成功していることを確認してください。 <p>もしこのエラーが再度発生する場合は保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-03951	タスク実行中にサービスが停止したため、タスク実行に失敗しました。	<p>要因 タスク実行中にサービスが停止したため、タスク実行に失敗しました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent のサービスが正しく起動しているか確認してから再度操作を行ってください。もしこのエラーが再度発生する場合は保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-03952	レプリカカタログ所在 <レプリカカタログ所在> に無効なカタログファイルが見つかりました。	<p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定したレプリカカタログ所在に*.drm 以外の拡張子のファイル(またはディレクトリ)が含まれています。 2. 変更前のレプリカカタログ所在に*.drm 以外の拡張子のファイル(またはディレクトリ)が含まれています。 <p>対処 要因に応じて、それぞれ次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定したレプリカカタログ所在にあるレプリカカタログファイル以外のファイル(またはディレクトリ)を移動するか、別の場所を指定してください。 2. 変更前のレプリカカタログ所在にあるレプリカカタログファイル以外のファイル(またはディレクトリ)を移動してください。
RPM-03953	指定された VDI メタファイル所在< VDI メタファイル所在>は無効です。	<p>要因 VDI メタファイル所在に< Application Agent Install Path >/conf/MSSQL を指定することはできません。</p> <p>対処 VDI メタファイル所在に別の場所を指定してください。</p>
RPM-03954	指定された UNDO ログファイル所在< UNDO ログファイル所在>は無効です。	<p>要因 UNDO ログファイル所在に< Application Agent Install Path >/conf/MSSQL を指定することはできません。</p> <p>対処 UNDO ログファイル所在に別の場所を指定してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-03955	Replication Manager Application Agent が指定されたディレクトリ<ディレクトリ名>の作成に失敗しました。	要因 ディレクトリの作成時に予期しないエラーが発生しました。 対処 Application Agent のサービスが対象のディレクトリを操作可能な権限で実行していることを確認してから再度実行してください。
RPM-03956	Replication Manager Application Agent がディレクトリ<移動元ディレクトリ名>からディレクトリ<移動先ディレクトリ名>へのカタログファイルの移動に失敗しました。	要因 カタログファイルを移動する際に予期しないエラーが発生しました。 対処 Application Agent のサービスが対象のディレクトリを操作可能な権限で実行していることを確認してから再度実行してください。
RPM-03957	バックアップサーバにレプリカカタログ所在が指定されていません。バックアップサーバに Application Agent の設定を実行して、レプリカカタログ所在を指定してください。	要因 パラメーター"EXPORT_CATALOG_PATH"の値がバックアップサーバのバッチファイル"SET_EXPORT_CATALOG_PATH.bat"にありません。 対処 バックアップサーバに Application Agent の設定を実行して、レプリカカタログ所在を指定してください。
RPM-03958	レプリカカタログ所在の情報がバックアップサーバにありません。	要因 バッチファイル"SET_EXPORT_CATALOG_PATH.bat"がバックアップサーバにありません。 対処 Replication Manager Application Agent をアンインストールしてから再度インストールしてください。その後再度操作を行ってください。同じエラーが再度発生する場合は、資料を採取した後、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-03959	レプリカカタログ所在<レプリカカタログ所在名>がバックアップサーバにありません。	要因 指定されたレプリカカタログ所在がバックアップサーバにありません。 対処 レプリカカタログ所在がバックアップサーバにあるかどうかを確認してください。レプリカカタログ所在がない場合には、バックアップサーバに Application Agent の設定を実行してください。
RPM-03960	Replication Manager Application Agent が {< VDI メタファイル> < UNDO ログファイル> <レプリカカタログ>} 所在 {< VDI メタファイル所在> < UNDO ログファイル所在> <レプリカカタログ所在>} の作成に失敗しました。	要因 指定された VDI メタファイル/UNDO ログファイル/レプリカカタログ所在は無効です。Application Agent では、指定された所在には VDI メタファイル/UNDO ログファイル/レプリカカタログ所在ディレクトリを作成できません。 対処 適切な所在を指定してください。指定した所在に、特殊文字または OS で許可されていないフォルダが含まれていないことを確認してください。
RPM-03961	レプリカカタログファイルがバックアップサーバにありません。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		レプリカカタログファイル(<アプリケーション種別>_<データベースサーバ名>.drm)がバックアップサーバのレプリカカタログ所在にありません。 対処 テープデバイスから復元,またはサーバからエクスポートしたレプリカカタログファイルが Agent 設定で指定したレプリカカタログ所在にあることを確認してください。
RPM-04500	SQL インスタンスの確認に必要な情報が存在しません。	要因 選択された SQL インスタンスに関する情報が不足しています。 対処 リソースのアプリケーション画面から SQL インスタンスのホストを選択し,ホスト情報更新を行ってください。
RPM-04501	データベースの確認に必要な情報が存在しません。	要因 選択されたデータベースに関する情報が不足しています。 対処 リソースのアプリケーション画面から SQL インスタンスのホストを選択し,ホスト情報更新を行ってください。
RPM-04502	選択された SQL インスタンスのすべてのデータベースにローカルペアまたはリモートペアがありません。	要因 選択された SQL インスタンスのすべてのデータベースにローカルペアまたはリモートペアがありません。 対処 選択した SQL インスタンスに含まれるデータベースにペアを作成してください。そのあと,リソースのアプリケーション画面から SQL インスタンスのホストを選択し,ホスト情報更新を行ってください。
RPM-04503	選択されたデータベースにローカルペアまたはリモートペアがありません。	要因 選択されたデータベースにローカルペアまたはリモートペアがありません。 対処 選択したデータベースにペアを作成してください。そのあと,リソースのアプリケーション画面から SQL インスタンスのホストを選択し,ホスト情報更新を行ってください。
RPM-04504	選択された SQL インスタンスに含まれるすべてのデータベースの正ボリューム側の LDEV が,ワークフローにリザーブされています。(SQL インスタンス = <SQL インスタンス名>)	要因 選択された SQL インスタンスに含まれるすべてのデータベースの正ボリューム側の LDEV が,ワークフローにリザーブされています。 対処 コピーペア構成定義ウィザードのタスクが完了するのを待つか,リザーブを解除したあと,再度実行してください。リザーブは対応するワークフローとタスクを削除することで解除できます。
RPM-04505	選択されたデータベースの正ボリューム側の LDEV が,ワークフローにリザーブされています。	要因 選択されたデータベースの正ボリューム側の LDEV が,ワークフローにリザーブされています。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		コピーペア構成定義ウィザードのタスクが完了するのを待つか、リザーブを解除したあと、再度実行してください。リザーブは対応するワークフローとタスクを削除することで解除できます。
RPM-04506	選択されたデータベースの対象世代が異なります。	要因 選択されたデータベースの対象世代が異なります。 対処 対象世代を一致させるにはペアの MU 番号を一致させる必要があります。ペアの MU 番号をそろえてから再度実行してください。
RPM-04507	選択された SQL インスタンスにデータベースがありません。(SQL インスタンス = <SQL インスタンス名>)	要因 選択された SQL インスタンスにデータベースがありません。 対処 選択した SQL インスタンスにデータベースを作成してください。そのあと、リソースのアプリケーション画面から SQL インスタンスのホストを選択し、ホスト情報更新を行ってください。
RPM-04508	選択された SQL インスタンスに含まれるすべてのデータベースの副ボリューム側の LDEV が、ワークフローにリザーブされています。(SQL インスタンス = <SQL インスタンス名>)	要因 選択された SQL インスタンスに含まれるすべてのデータベースの副ボリューム側の LDEV が、ワークフローにリザーブされています。 対処 コピーペア構成定義ウィザードのタスクが完了するのを待つか、リザーブを解除したあと、再度実行してください。リザーブは対応するワークフローとタスクを削除することで解除できます。
RPM-04509	選択されたデータベースの副ボリューム側の LDEV が、ワークフローにリザーブされています。	要因 選択されたデータベースの副ボリューム側の LDEV が、ワークフローにリザーブされています。 対処 コピーペア構成定義ウィザードのタスクが完了するのを待つか、リザーブを解除したあと、再度実行してください。リザーブは対応するワークフローとタスクを削除することで解除できます。
RPM-04510	選択されたデータベースに対してペア操作が実行中です。	要因 選択されたデータベースに対してペア操作が実行中です。 対処 ペア操作タスクが完了してから再度実行してください。
RPM-04511	選択されたデータベースにローカルペアがありません。	要因 選択されたデータベースにローカルペアがありません。 対処 選択したデータベースにローカルペアを作成してください。そのあと、リソースのアプリケーション画面から SQL インスタンスのホストを選択し、ホスト情報更新を行ってください。
RPM-04512	選択されたデータベースにリモートペアがありません。	要因 選択されたデータベースにリモートペアがありません。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		選択したデータベースにリモートペアを作成してください。そのあと、リソースのアプリケーション画面から SQL インスタンスのホストを選択し、ホスト情報更新を行ってください。
RPM-04513	正側ペア管理サーバと副側ペア管理サーバが同一の Device Manager に属しています。正側ペア管理サーバと副側ペア管理サーバが異なる Device Manager に属するようにしてください。	要因 正側ペア管理サーバと副側ペア管理サーバが同一の Device Manager に属しています。 対処 正側ペア管理サーバと副側ペア管理サーバが異なる Device Manager に属するようにしたあと、再度実行してください。
RPM-04514	選択された SQL インスタンスにレプリカがありません。	要因 選択された SQL インスタンスにレプリカがありません。 対処 レプリカを作成したあとに、再度実行してください。
RPM-04515	選択された対象バックアップサーバに副ボリュームがマウントされていません。	要因 選択された対象バックアップサーバに副ボリュームがマウントされていません。 対処 バックアップサーバに副ボリュームをマウントしたあとに、再度実行してください。
RPM-04516	65 個以上のデータベースを同時にバックアップすることはできません。	要因 65 個以上のデータベースがレプリカ操作の対象に選択されています。 対処 一度に選択するデータベースは 64 個以下にして再度実行してください。65 個以上のデータベースのレプリカを作成したい場合は一回のレプリカ作成で対象となるデータベースが 64 個以下になるように分割して実行してください。
RPM-04517	SQL インスタンスのペアに存在する副ボリューム側の LDEV がワークフローでリザーブされています。(SQL インスタンス = <SQL インスタンス名>)	要因 SQL インスタンスのペアに存在する副ボリューム側の LDEV がワークフローでリザーブされています。 対処 副ボリューム側の LDEV のリザーブを解除したあと、再度実行してください。リザーブは対応するペアのワークフローとタスクを削除することで解除できます。
RPM-04518	選択された SQL インスタンスのすべてのデータベースにボリュームが割り当てられていません。	要因 選択された SQL インスタンスのすべてのデータベースにボリュームが割り当てられていません。 対処 データベースにボリュームを割り当ててください。そのあと、リソースのアプリケーション画面から SQL インスタンスのホストを選択し、ホスト情報更新を行ってください。
RPM-04519	選択されたデータベースにボリュームが割り当てられていません。	要因 選択されたデータベースにボリュームが割り当てられていません。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		データベースにボリュームを割り当ててください。そのあと、リソースのアプリケーション画面から SQL インスタンスのホストを選択し、ホスト情報更新を行ってください。
RPM-04520	バックアップサーバに、Replication Manager Application Agent for SQL コンポーネントがインストールされていません。(バックアップサーバ名 = <バックアップサーバ名>)	要因 バックアップサーバに、Replication Manager Application Agent for SQL コンポーネントがインストールされていません。 対処 Replication Manager Application Agent for SQL コンポーネントをインストールしたあとに、再度実行してください。
RPM-04521	選択された SQL インスタンスの LDEV にシステムデータベースとディストリビューションデータベースの両方が含まれています。	要因 選択されたレプリカはシステムデータベースとディストリビューションデータベースが同じ LDEV にあるため、操作を実行できません。 対処 この操作を実行するためには、システムデータベースとディストリビューションデータベースを別の LDEV に配置する必要があります。システムデータベースとディストリビューションデータベースを別の LDEV に配置した構成の SQL インスタンスを作成したあとに、再度実行してください。
RPM-04522	選択されたサーバには、対象 SQL インスタンスがありません。	要因 リストアの対象サーバとなるデータベースサーバまたはバックアップサーバに、対象インスタンスとなる同一の SQL インスタンスも異なる SQL インスタンスもありません。 対処 リストアを実行するためには、リストア対象となるデータベースサーバまたはバックアップサーバに、同一の SQL インスタンスまたは異なる SQL インスタンスがある必要があります。リストア対象となるデータベースサーバまたはバックアップサーバに、同一の SQL インスタンスまたは異なる SQL インスタンスがある構成としたあとに、再度実行してください。
RPM-04523	対象の SQL インスタンスに属するコピーペアの副ボリューム側 LDEV がリザーブされています。(SQL インスタンス = <SQL インスタンス名>)	要因 対象の SQL インスタンスに属するコピーペアの副ボリューム側 LDEV がリザーブされています。 対処 コピーペア構成定義ウィザードのタスクが完了するのを待つか、リザーブを解除したあと、再度実行してください。リザーブは対応するワークフローとタスクを削除することで解除できます。
RPM-04524	選択されたタスクの SQL インスタンス情報を取得する処理に失敗しました。(タスク ID = <タスク ID >)	要因 選択したタスクに含まれる SQL インスタンスがありません。 対処 ホスト情報更新を実行したあと、再度実行してください。
RPM-04525	選択された SQL インスタンスにはボリュームが割り当てられていません。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>選択した SQL インスタンスにストレージシステムのボリュームが割り当てられていません。</p> <p>対処 SQL インスタンスのデータベースに対してストレージシステムのボリュームを割り当て、ホスト情報更新を実行したあと、再度実行してください。</p>
RPM-04526	<p>選択された SQL インスタンスに割り当てられたボリュームは Device Manager で管理されていません。</p>	<p>要因 選択された SQL インスタンスに割り当てられたボリュームは、Device Manager で管理されていません。</p> <p>対処 Device Manager でストレージシステムを追加したあと、Replication Manager で構成の更新を行ってください。</p>
RPM-04527	<p>選択された SQL インスタンスを構成するボリューム/コピーグループがサポートしていない構成です。</p>	<p>要因 選択された SQL インスタンスは複数のコピーグループで構成されています。</p> <p>対処 Replication Manager で管理したい場合、コピーグループは SQL インスタンスのすべてのボリュームを管理する必要があります。コピーグループの管理範囲が SQL インスタンスの一部のボリュームとなっている場合は、すべてのボリュームを含むように構成を変更してください。</p>
RPM-04528	<p>選択した SQL インスタンスに含まれるコピーグループの中に、すべての正ボリュームを使用していないコピーグループがあります。</p>	<p>要因 選択した SQL インスタンスに含まれるコピーグループの中に、すべての正ボリュームを使用していないコピーグループがあります。</p> <p>対処 コピーペア構成定義ウィザードをアプリケーションビュー以外から起動して、構成定義ファイルを編集してください。 構成定義ファイルを直接編集する場合は、構成定義ファイルを編集したあと、構成を更新してください。</p>
RPM-04529	<p>指定された SQL インスタンスはすでに削除されています。</p>	<p>要因 指定された SQL インスタンスはすでに削除されています。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p>
RPM-04530	<p>選択された対象の名称に、レプリカ操作ではサポートされていないダブルクォーテーションが含まれています。</p>	<p>要因 選択された対象の名称に、レプリカ操作ではサポートされていないダブルクォーテーションが含まれています。</p> <p>対処 ダブルクォーテーションを含まない名称に変更してください。</p>
RPM-04532	<p>Replication Manager Application Agent のバージョンがデータベースサーバとバックアップサーバで一致していません。</p>	<p>要因 Replication Manager Application Agent のバージョンがデータベースサーバとバックアップサーバで一致していません。</p> <p>対処</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		データベースサーバとバックアップサーバで同じバージョンの Replication Manager Application Agent を使用してください。
RPM-04533	SQL Server との連携機能は Replication Manager Application Agent 6.3 ではサポートされていません。	要因 SQL Server との連携機能は Replication Manager Application Agent 6.3 ではサポートされていません。 対処 SQL Server のレプリカを管理するには Replication Manager Application Agent 6.4 以降を利用してください。
RPM-04534	選択されたタスクのデータベース情報取得に失敗しました。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 選択されたタスクに含まれるデータベースの情報がありません。 対処 ホスト情報更新を行ったあとに、再度実行してください。
RPM-04535	指定されたホストには Replication Manager Application Agent for Exchange コンポーネントがインストールされていません。(名称 = <Application Agent 名>, ホスト ID = <ホスト ID >)	要因 指定されたホストに Replication Manager Application Agent for Exchange コンポーネントがインストールされていません。 対処 Exchange Server を管理する場合は、指定されたホストに Replication Manager Application Agent for Exchange コンポーネントをインストールしてください。
RPM-04536	指定されたホストには Replication Manager Application Agent for SQL コンポーネントがインストールされていません。(名称 = <Application Agent 名>, ホスト ID = <ホスト ID >)	要因 指定されたホストには Replication Manager Application Agent for SQL コンポーネントがインストールされていません。 対処 SQL Server を管理する場合は、指定されたホストに Replication Manager Application Agent for SQL コンポーネントをインストールしてください。
RPM-04537	選択されたデータベースサーバにバックアップサーバが指定されていません。またはバックアップサーバがありません。	要因 選択されたデータベースサーバにバックアップサーバが指定されていません。またはバックアップサーバがありません。 対処 バックアップサーバを指定して再度実行してください。バックアップサーバがない構成ではこの機能を利用することができません。
RPM-04538	選択したレプリカの情報がありません。	要因 選択したレプリカの情報がありません。 対処 レプリカ履歴画面から利用可能なレプリカを選択したあとに、再度リストアレプリカを実行してください。
RPM-04539	選択された対象のコピーグループ名は、同一ホスト上に複数あるため、コピーグループが特定できません。	要因 選択された対象のコピーグループ名は、同一ホスト上に複数あるため、コピーグループが特定できません。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ペア構成定義ウィザードを [リソース] - [コピーペア構成定義] のコピーグループから起動してください。 [リソース] - [アプリケーション] から起動したい場合には、同一ホスト上に同じ名前のコピーグループを複数作らないでください。
RPM-04540	このデータベースサーバに関連付けられたバックアップサーバにレプリカカタログ所在が設定されていません。	要因 このデータベースサーバに関連付けられたバックアップサーバにレプリカカタログ所在が設定されていません。 対処 このデータベースサーバに関連付けられたバックアップサーバにレプリカカタログ所在を設定してください。
RPM-04541	対象となるデータベースサーバに同一の SQL インスタンスがありません。 (インスタンス名 = <インスタンス名 >)	要因 対象となるデータベースサーバに同一の SQL インスタンスがないため、システムデータベースあるいはディストリビューションデータベースをリストアできません。 対処 システムデータベースあるいはディストリビューションデータベースをリストアするためには、対象となるデータベースサーバに同一の SQL インスタンスがある必要があります。対象となるデータベースサーバに同一の SQL インスタンスがある構成としたあとに、再度実行してください。
RPM-04542	指定したレプリカにはユーザーデータベースが含まれていません。レプリカを作成したサーバとは別のサーバへリストアするにはユーザーデータベースが必要です。	要因 ユーザーデータベースが含まれていないレプリカを選択しています。 対処 レプリカを作成したサーバとは別のサーバへリストアするにはユーザーデータベースが必要です。ユーザーデータベースが含まれているレプリカを選択し、再度実行してください。
RPM-04543	インフォメーションストアを確認するための情報がありません。	要因 選択したインフォメーションストアに関する情報が不足しています。 対処 [エクスプローラ] メニューの [リソース] - [アプリケーション] を選択して表示される画面でホストを選択し、ホスト情報更新を実行してください。
RPM-04544	選択されたインフォメーションストアにストレージシステムのボリュームが割り当てられていません。	要因 選択されたインフォメーションストアにストレージシステムのボリュームが割り当てられていません。 対処 データベースにストレージシステムのボリュームを割り当ててください。そのあと、リソースのアプリケーション画面からホストを選択し、ホスト情報更新を行ってください。
RPM-04545	選択したインフォメーションストアに属する LDEV をワークフローがリザーブしています。(インフォメーションス	要因 正ボリューム側の LDEV が、ワークフローにリザーブされているインフォメーションストアを選択しています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	トア名 = <インフォメーションストア名>)	対処 ペア構成定義ウィザードのタスクが完了するのを待つか、リザーブを解除したあと、再度実行してください。対応するワークフローとタスクを削除するとリザーブを解除できます。
RPM-04546	選択したインフォメーションストアのペアにある副ボリューム側の LDEV をワークフローがリザーブしています。 (インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>)	要因 ペアにある副ボリューム側の LDEV に、ワークフローにリザーブされているインフォメーションストアを選択しています。 対処 ペア構成定義ウィザードのタスクが完了するのを待つか、リザーブを解除したあと、再度実行してください。対応するワークフローとタスクを削除するとリザーブを解除できます。
RPM-04547	選択したインフォメーションストアにコピーペアがないか、同じコピー種別のコピーペアがありません。	要因 コピーペアがないか、同じコピー種別のコピーペアがないインフォメーションストアを選択しています。 対処 次の操作を実施してください。 1. 選択したストレージグループに対して同じコピー種別のコピーペアを作成する。 2. [エクスプローラ] メニューの [リソース] - [アプリケーション] を選択して表示される画面からホストの情報を更新する。 3. 再度実行する。
RPM-04548	選択したインフォメーションストアでペア操作が実行状態です。	要因 ペア操作が実行中のインフォメーションストアを選択しています。 対処 ペア操作タスクが完了してから再度実行してください。
RPM-04550	選択したレプリカのインフォメーションストアがありません。	要因 インフォメーションストアがないレプリカを選択しています。 対処 [エクスプローラ] メニューの [リソース] - [アプリケーション] を選択して表示される画面でホストを選択し、ホスト情報更新を実行して、構成を最新にしてください。
RPM-04551	選択したインフォメーションストアの幾つかは、レプリカが保持されていません。	要因 レプリカを保持していないインフォメーションストアを選択しています。 対処 対象のインフォメーションストアを含んだレプリカを作成し、再度実行してください。
RPM-04552	選択したインフォメーションストアが同じレプリカに属していません。	要因 異なるレプリカに属するインフォメーションストアを選択しています。 対処 インフォメーションストアを一つずつ選択するか、レプリカ履歴一覧からレプリカを選択して、リストアしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-04553	選択したインフォメーションストアにストレージシステムのボリュームが割り当てられていません。	<p>要因 ストレージシステムのボリュームが割り当てられていないインフォメーションストアを選択しています。</p> <p>対処 次の操作を実施してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インフォメーションストアにストレージシステムのボリュームを割り当てる。 2. [エクスペローラ] メニューの [リソース] - [アプリケーション] を選択して表示される画面からホストの情報を更新する。
RPM-04554	選択したインフォメーションストアに割り当ててあるボリュームは Device Manager で管理されていません。	<p>要因 Device Manager で管理されていないボリュームを割り当てたインフォメーションストアを選択しています。</p> <p>対処 選択したインフォメーションストアに割り当ててあるボリュームを Replication Manager で管理する場合は、以下の操作を実行してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Device Manager でインフォメーションストアのボリュームを格納するストレージシステムを追加する。 2. Replication Manager で構成の更新を実行する。
RPM-04555	選択したインフォメーションストアは複数のコピーグループで構成されています。	<p>要因 複数のコピーグループで構成されているインフォメーションストアを選択しています。</p> <p>対処 Replication Manager で管理する場合、インフォメーションストアのすべてのボリュームは同一のコピーグループで管理されている必要があります。インフォメーションストアのボリュームが複数のコピーグループで管理されている場合は、該当するボリュームすべてが同一のコピーグループで管理されるように構成を変更してください。</p>
RPM-04556	選択したインフォメーションストアを含むコピーグループの中に、すべての正ボリュームを使用していないコピーグループがあります。	<p>要因 選択したインフォメーションストアに含まれるコピーグループの中に、すべての正ボリュームを使用していないコピーグループがあります。</p> <p>対処 アプリケーションビュー以外からコピーペア構成定義ウィザードを起動して、構成定義ファイルを編集してください。 構成定義ファイルを直接編集する場合は、編集後に構成の更新を行ってください。</p>
RPM-04557	選択したインフォメーションストアにストレージシステムのボリュームが割り当てられていません。	<p>要因 ボリュームが割り当てられていないインフォメーションストアを選択しています。</p> <p>対処 次の操作を実施してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インフォメーションストアにボリュームを割り当てる。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		2. [エクスプローラ] メニューの [リソース] - [アプリケーション] を選択して表示される画面からホストの情報を更新する。
RPM-04558	選択したペア管理サーバは Replication Manager の管理対象外です。(ペア管理サーバ名 = <ペア管理サーバ名>)	<p>要因 Replication Manager の管理対象外のペア管理サーバを選択しています。</p> <p>対処 ペア構成定義ウィザードを起動し、グループ作成画面でほかのペア管理サーバを選択してください。または、選択したペア管理サーバを Replication Manager の管理対象にしてください。</p>
RPM-04559	選択したタスクには異なるコピー種別が混在しています。	<p>要因 異なるコピー種別が混在しているタスクを選択しています。</p> <p>対処 タスクを複数選択してタスク編集を実行する場合は、次の条件を満たしていることを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> すべて同じコピー種別であること。 すべて同じ操作の種別であること。 ストレージシステムはすべてエンタープライズクラスストレージのみか、ミッドレンジストレージのみであること。
RPM-04560	選択したタスクにはエンタープライズクラスストレージとミッドレンジストレージが混在しています。	<p>要因 エンタープライズクラスストレージとミッドレンジストレージが混在しているタスクを選択しています。</p> <p>対処 タスクを複数選択してタスク編集を実行する場合は、ストレージシステムはすべてエンタープライズクラスストレージのみか、ミッドレンジストレージのみであることを確認してください。</p>
RPM-04561	選択したタスクには異なる操作の種別が混在しています。	<p>要因 異なる操作の種別が混在しているタスクを選択しています。</p> <p>対処 タスクを複数選択してタスク編集を実行する場合は、次の条件を満たしていることを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> すべて同じ操作種別であること。 ストレージシステムはすべてエンタープライズクラスストレージのみか、ミッドレンジストレージのみであること。
RPM-04564	選択したインフォメーションストアの世代識別子が一致していません。	<p>要因 選択したインフォメーションストアの世代識別子が一致していません。</p> <p>対処 選択したインフォメーションストアが保有するすべてのペアの世代識別子を一致させてください。</p>
RPM-04565	選択したインフォメーションストアには、ローカルのコピーペアがありません。	<p>要因 選択したインフォメーションストアには、ローカルのコピーペアがありません。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		次の操作を実施してください。 1. インフォメーションストアに対してローカルのコピーペアを作成する。 2. [エクスプローラ] メニューの [リソース] - [アプリケーション] を選択して表示される画面からホストの情報を更新する。 3. 再度実行する。
RPM-04566	選択したインフォメーションストアには、リモートのコピーペアがありません。	要因 選択したインフォメーションストアに、リモートのコピーペアがありません。 対処 次の操作をしてください。 1. 選択したインフォメーションストアに対してリモートのコピーペアを作成する。 2. [エクスプローラ] メニューの [リソース] - [アプリケーション] を選択して表示される画面から、ホストの情報を更新する。 3. 再度実行する。
RPM-04568	コピーペア構成定義ファイルが Device Manger エージェントで管理されていません。	要因 コピーペア構成定義ファイルが Device Manager エージェントで管理外に設定されています。 対処 コピーペア構成定義ファイルを Device Manager エージェントで管理する場合、コピーペア構成定義ファイルに対応するインスタンス番号を管理できるように Device Manager エージェントの設定ファイルを変更してください。そのあと、構成の更新を実行してください。
RPM-04569	選択したタスクのインフォメーションストア情報を取得できませんでした。(タスク ID : <タスク ID >)	要因 選択されたタスクにインフォメーションストアの情報が含まれていません。 対処 ホストの情報を更新したあと、再度実行してください。
RPM-04571	BC Manager のバージョンが古いため、機能の実行に失敗しました。	要因 BC Manager のバージョンがサポートされていません。 対処 バージョンが 6.3 と同等またはそれ以上の BC Manager を再度インストールしてください。
RPM-04573	バックアップサーバに関連した設定は変更されます。	要因 バックアップサーバ情報は変更されます。 対処 既存のタスクを削除して、再度操作してください。
RPM-04574	隠ぺい/隠ぺい解除の操作に関連した Application Agent が削除されています。コピーペア構成定義ウィザードを起動して新しいタスクを作成するか、隠ぺい/隠ぺい解除のオプションを指定せずにタスクを実行してください。	要因 バックアップサーバまたは対応するデータベースサーバが削除されています。 対処 既存のタスクを削除して、再度操作するか、隠ぺいまたは隠ぺい解除の操作を指定せずにタスクを実行してください。
RPM-04575	作成できる V-VOL の最大数を超過しています。	要因 作成できる V-VOL の最大数を超過しています。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 不要な V-VOL を削除して、再度実行してください。</p>
RPM-04576	この構成は未サポート構成です。子グループの正ボリュームが親グループの副ボリュームとして共有されていません。	<p>要因 この構成は未サポート構成です。子グループの正ボリュームが親グループの副ボリュームとして共有されていません。</p> <p>対処 RAID Manager を使用して、子グループの正ボリュームを親グループの副ボリュームとして共有させてください、</p>
RPM-04577	一つのコピーグループに対して、コピーグループの作成/編集/削除操作とノードの追加/削除操作を同じウィザードで同時に行うことはできません。	<p>要因 一つのコピーグループに対して、コピーペアの作成/変更/削除操作とノードの追加/削除操作を同じウィザードで同時に行うことはできません。</p> <p>対処 一つの操作を完了させてから次の操作を行ってください。一つのコピーグループに対して、コピーペアの操作とノードの操作を同じウィザードで行うことはできません。前のタスクを完了させてから、新しくウィザードを起動して次の操作を行ってください。</p>
RPM-04578	ノードの追加と削除を同じウィザードで同時に行うことはできません。	<p>要因 ノードの追加と削除を同じウィザードで行うことはできません。</p> <p>対処 一つの操作を完了させてから次の操作を行ってください。一つのコピーグループに対して、ノードの追加と削除を同じウィザードで同時に行うことはできません。前のタスクが完了してから、新しくウィザードを起動して次の操作を行ってください。</p>
RPM-04579	設定されているノードが一つです。コピーグループからすべてのノードを削除することはできません。	<p>要因 コピーグループのノードは常に一つ以上が使用可能である必要があります。</p> <p>対処 すでに存在するコピーグループからすべてのノードを削除することはできません。削除したい場合は、コピーグループの削除を実行してください。今あるノードを削除して新しいノードを追加したい場合は、新しいノードを追加してから古いノードを削除してください。ノードを追加するタスクを完了させた後、新しくウィザードを起動してノードを削除する必要があります。</p>
RPM-04580	選択したコピーグループに、コピー種別が指定されていません。	<p>要因 選択したコピーグループに、コピー種別が指定されていません。</p> <p>対処 [2. コピーペアの関連付け] 画面でコピー種別を選択したあと、[3. グループ管理] 画面でノードの追加/削除、またはグループ編集を実行してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-04581	トポロジーに含まれる一つ以上のコピーグループがストレージ上で定義されたコピーグループです。	要因 選択されたトポロジーにストレージ上で定義されたコピーグループが一つ以上含まれています。 対処 選択されたトポロジーのコピーグループを操作するために、ストレージ上で定義されたコピーグループを削除してください。
RPM-04582	指定したストレージシステムは存在しません。	要因 指定したストレージシステムは存在しません。 対処 次の手順で対処してください。 1. 指定したストレージシステムが Device Manager のリソースとして登録されていることを確認してください。 2. Device Manager で対象のストレージシステムのリフレッシュを実行したあと、 Replication Manager で構成の更新を実行してください。
RPM-04583	指定したストレージシステムは未サポートです。	要因 指定したストレージシステムは未サポートです。 対処 対処の必要はありません。
RPM-04584	指定したリモートストレージシステムでは、MCU/RCU を指定したリモートパスをサポートしていません。(リモートストレージシステム名:<ストレージシステム名>)	要因 指定したリモートストレージシステムでは、MCU/RCU を指定したリモートパスをサポートしていません。 対処 MCU/RCU の指定を解除して、再度実行してください。
RPM-04588	Replication Manager と Device Manager でストレージシステムの情報が不一致です。対象のストレージシステム情報の更新を実行してください。	要因 Replication Manager と Device Manager でストレージシステムの情報が不一致です。 対処 操作対象のストレージシステム情報の更新を実行してください。
RPM-04589	情報の取得に失敗しました。	要因 操作対象の情報が存在しません。 対処 ツリー更新ボタンを押して最新の画面を表示し、再度同じ操作を試みてください。
RPM-04600	指定された CTGID は同一ストレージシステム内のほかのコピーグループで使用されています。	要因 指定された CTGID は同一ストレージシステム内のほかのコピーグループで使用されています。 対処 同一ストレージシステム内のほかのコピーグループで使用されていない CTGID を指定してください。
RPM-04601	接続した Device Manager エージェントは CTGID を指定したコピーグループ作成をサポートしていません。	要因 接続した Device Manager エージェントは CTGID 指定をサポートしていません。 対処 Device Manager エージェントをバージョン 7.0.1 以降にアップグレードして、再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-04602	指定された MU 番号は当該ボリュームを含んだほかのコピーグループで使用されています。(MU 番号: <MU 番号>)	要因 指定された MU 番号は当該ボリュームを含んだほかのコピーグループで使用されています。 対処 当該ボリュームを含んだほかのコピーグループで使用されていない MU 番号を指定してください。
RPM-04800	HORCM インスタンスの起動に必要な情報の取得に失敗しました。(ペア管理サーバ名: <ペア管理サーバ名>)	要因 HORCM インスタンスの起動に必要な情報の取得に失敗しました。 対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のホストの更新を実行してください。
RPM-04801	マウント処理は成功しましたが、Replication Manager サーバでの実行結果の反映に失敗しました。	要因 データベースへのアクセスが失敗しました。 対処 ホスト情報の更新を実行して、構成を最新にしてください。
RPM-04802	アンマウント処理は成功しましたが、Replication Manager サーバでの実行結果の反映に失敗しました。	要因 データベースへのアクセスが失敗しました。 対処 ホスト情報の更新を実行して、構成を最新にしてください。
RPM-04803	Replication Manager Application Agent へのスケジュール情報の更新は成功しましたが、Replication Manager サーバでのタスク情報の更新に失敗しました。	要因 データベースへのアクセスが失敗しました。 対処 ホスト情報の更新を実行して、構成を最新にしてください。そのあと、タスク操作を再度行ってください。
RPM-04804	タスクの実行は成功しましたが、Replication Manager サーバでの実行結果の反映に失敗しました。	要因 データベースへのアクセスが失敗しました。 対処 ホスト情報の更新を実行して、構成を最新にしてください。そのあと、タスク操作を再度行ってください。
RPM-04807	Device Manager エージェントから取得した情報が不正です。	要因 コピーペア操作 (アドバンスド) に失敗しました。 対処 コピーペア操作 (アドバンスド) を再実行してください。
RPM-04808	バックアップサーバに取得するカタログ情報がありません。	要因 バックアップサーバに取得するカタログ情報がありません。 対処 取得するカタログ情報が対象のバックアップサーバに存在することを確認してから再度実行してください。
RPM-04809	対象ホストで実行中のリストアレプリカのタスクがあります。現在のタスクの実行が完了したあとに、再度実行して	要因 対象ホストで実行中のリストアレプリカのタスクがあります。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ください。(実行中タスク：<実行中タスク ID >)	リストレプリカのタスクは同一ホストで同時に実行することができません。現在のタスクの実行が完了したあとに、再度実行してください。
RPM-04810	接続した Device Manager エージェントは Replication Manager が前提としているバージョンではありません。	要因 Device Manager エージェントのバージョンがサポートされていません。 対処 バージョンが 6.4 と同等またはそれ以上の Device Manager エージェントを再度インストールしてください。
RPM-04811	指定したペア操作 (アドバンスド) は実行されませんでした。	要因 コピーペア操作のコマンドは実行されませんでした。 対処 詳細コピーペア状態を確認して、必要であれば再度実行してください。
RPM-04812	指定したストレージシステムは takeover 操作をサポートしていません。	要因 指定されたストレージシステムは、takeover 操作をサポートしていません。 対処 対処の必要はありません。
RPM-04813	指定したストレージシステムは force-split 操作をサポートしていません。	要因 指定されたストレージシステムは、force-split 操作をサポートしていません。 対処 対処の必要はありません。
RPM-04814	選択したレプリカはバックアップサーバでマウントされているため、削除できません。アンマウントしてから削除してください。	要因 選択したレプリカはバックアップサーバでマウントされています。 対処 選択したレプリカをアンマウントしてから再度実行してください。
RPM-04815	この Application Agent のバージョンでは隠ぺい/隠ぺい解除の操作はサポートしていません。	要因 この Application Agent のバージョンでは隠ぺい/隠ぺい解除の操作はサポートしていません。 対処 Application Agent をバージョン 7.0 以上にアップデートしてください。
RPM-04817	コピーペア状態の取得に失敗しました。ペア名:<コピーペア名>,正側ストレージシステム名:<正側ストレージシステム名>,副側ストレージシステム名:<副側ストレージシステム名>	要因 構成が変更されているおそれがあります。 対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。その後、該当するペアが表示されることを確認し、コピーペア状態の更新を実行してコピーペア状態が完了状態になっていることを確認してください。
RPM-04818	コピーペア状態の取得に失敗しました。グループ名:<コピーグループ名>,正側ストレージシステム名:<正側ストレージシステム名>,副側ストレージシステム名:<副側ストレージシステム名>	要因 構成が変更されているおそれがあります。 対処 構成の更新を実行して、構成を最新にしてください。操作対象リソースがローカル Device

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	システム名:<副側ストレージシステム名>	Manager が管理するリソースの場合、Device Manager のストレージシステムの更新を実行してください。その後、該当するペアが表示されることを確認し、コピーペア状態の更新を実行してコピーペア状態が完了状態になっていることを確認してください。
RPM-04819	選択したリソース(<リソース名>)に対して、操作に必要な権限(<必要な権限>)がありません。	要因 ほかのリソースを指定してください。または、操作対象に指定したリソースにメッセージに表示されている操作に必要な権限を割り当ててください。アクセス権の設定が可能なユーザーは Device Manager でアクセス権限が Admin であるユーザーです。 対処 操作対象に指定したリソースを操作するために必要な権限がないため、操作ができません。
RPM-04820	前提のタスクが成功していないためタスクが実行できません。(前提タスク ID : <前提タスク ID >)	要因 前提のタスクが成功していません。 対処 前提のタスクを成功させたあとに、再度実行してください。前提のタスクが実行できない場合は、ワークフローを削除したあとコピーペア構成定義ウィザードで構成定義ファイルを編集してください。
RPM-04821	タスク実行に失敗しました。	要因 タスクの実行結果が取得できませんでした。次の要因が考えられます。 1. Replication Manager Application Agent がインストールされているホストでタスク実行中に OS が再起動された。 2. Replication Manager Application Agent がインストールされているホストでタスク実行中にタスクが強制終了された。 対処 ホスト情報の更新を行ってから再度操作を行ってください。 再度このエラーが発生する場合は、Replication Manager Application Agent がインストールされているホストのシステムログを参照し、OS に異常がないかを確認してください。
RPM-04822	タスクのスケジュールに失敗しました。	要因 タスクのスケジュールに失敗しました。 対処 Replication Manager Application Agent がインストールされているホストのシステムログを参照し、OS に異常がないかを確認してから、再度操作を行ってください。
RPM-04823	Device Manager のデータベースの更新に失敗しました。(更新対象のストレージシステム:<ストレージシステム名>)	要因 Device Manager のデータベースの更新に失敗しました。 対処 Device Manager を使用して対象のストレージシステムの情報を更新してください。
RPM-04824	Device Manager でストレージシステムの情報の更新に失敗しました。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Device Manager でストレージシステム情報の更新に失敗しました。 対処 Device Manager を使用して対象のストレージシステムの情報を更新してください。
RPM-04825	Device Manager でホスト情報の更新に失敗しました。	要因 Device Manager でホスト情報の更新に失敗しました。 対処 Device Manager を使用して対象のホスト情報を更新してください。
RPM-04826	選択されたコピー種別では LUSE ボリュームを指定できません。(コピーグループ名:<コピーグループ名>)	要因 選択されたコピー種別では LUSE ボリュームを指定できません。 対処 LUSE でないボリュームを選択してください。
RPM-04827	この構成は未サポート構成です。ペア管理サーバを冗長化した構成のコピーグループに対し、Freeze/Run が設定されています。	要因 この構成は未サポート構成です。ペア管理サーバを冗長化した構成のコピーグループに対し、Freeze/Run が設定されています。 対処 冗長化構成が不要である場合は、コピーペア構成定義ウィザードからノード削除を実行してください。Freeze/Run 設定が不要である場合は、構成定義ファイルの HORCM_CTQM に設定されている内容を見直してください。
RPM-04828	選択された複数のコピーペア、または選択されたコピーペアと連結しているコピーペアが、同一のジャーナルグループを使用していません。	要因 選択された複数のコピーペア、または選択されたコピーペアと連結しているコピーペアが、同一のジャーナルグループを使用していません。 対処 同一トポロジー内で Freeze/Run が設定されているコピーグループを特定し、それぞれのコピーペアが使用しているジャーナルグループを確認してください。Freeze/Run が設定されているコピーグループが同一トポロジー内に存在する場合、同一ジャーナルグループを使用しているコピーペア、またはそれと連結しているコピーペアを選択してコピーペア構成定義ウィザードを起動してください。
RPM-04829	選択されたコピーグループまたは、同一トポロジーに含まれるコピーグループにオープン系コピーペアとメインフレーム系コピーペアが混在しています。オープン系のコピーペアとメインフレーム系のコピーペアの両方に対し、一括してコピーペア構成定義ウィザードを起動することはできません。	要因 選択されたコピーグループまたは、同一トポロジーに含まれるコピーグループにオープン系コピーペアとメインフレーム系コピーペアが混在しています。オープン系のコピーペアとメインフレーム系のコピーペアの両方に対し、一括してコピーペア構成定義ウィザードを起動することはできません。 対処 オープン系のコピーペアに対する操作をしたい場合はオープン系のコピーペア、メインフレーム系のコピーペアに対する操作をしたい場合はメインフレーム系のコピーペアのみを選択してコピーペア構成定義ウィザードを起動してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-04830	選択されたコピーグループまたは、同一トポロジーに含まれるコピーグループに Freeze/Run が設定されているため、コピーグループ全体を指定したコピーペア構成定義ウィザードの起動はできません。	<p>要因 選択されたコピーグループまたは、同一トポロジーに含まれるコピーグループに Freeze/Run が設定されているため、コピーグループ全体を指定したコピーペア構成定義ウィザードの起動はできません。</p> <p>対処 Freeze/Run が設定されているコピーグループのうち、操作対象のコピーペアと同じジャーナルグループに関連づいているコピーペア、またはそれと連結しているコピーペアを選択してコピーペア構成定義ウィザードを起動してください。</p>
RPM-04831	3DC Delta Resync を構成する複数のコピーグループで、 Freeze/Run が設定されているコピーグループと、 Freeze/Run が設定されていないコピーグループが混在しています。	<p>要因 3DC Delta Resync を構成する複数のコピーグループで、 Freeze/Run が設定されているコピーグループと、 Freeze/Run が設定されていないコピーグループが混在しています。</p> <p>対処 3DC Delta Resync を構成する複数のコピーグループで、 Freeze/Run が設定されているコピーグループと、 Freeze/Run が設定されていないコピーグループを混在させないでください。</p>
RPM-04832	コピーグループに対する Freeze/Run の設定が、正側の構成定義ファイルまたは、副側の構成定義ファイルのどちらかのみに記載されています。 Freeze/Run の設定は正側と副側の両方の構成定義ファイルに対し行う必要があります。	<p>要因 コピーグループに対する Freeze/Run の設定が、正側の構成定義ファイルまたは、副側の構成定義ファイルのどちらかのみに記載されています。 Freeze/Run の設定は正側と副側の両方の構成定義ファイルに対し行う必要があります。</p> <p>対処 構成定義ファイルの記載を見直してください。</p>
RPM-04833	Freeze/Run が設定されているコピーグループに対して、ノードの追加を行うことはできません。	<p>要因 Freeze/Run が設定されているコピーグループに対して、ノードの追加を行うことはできません。</p> <p>対処 ノードの追加対象となるコピーグループを見直してください。</p>
RPM-04834	Storage System:<ストレージシステム名>, Volume:<LDEV名>はすでにワークフローで使用されています。	<p>要因 LDEV はすでにほかのワークフローで使用されています。</p> <p>対処 該当する LDEV が属しているワークフローを削除するか、または該当する LDEV をペア操作対象から除外したあとに、必要に応じて再度実行してください。</p>
RPM-04835	Freeze/Run が設定されているコピーグループに関するタスクと Freeze/Run が設定されていないコピーグループに関するタスクを同時に編集することはできません。	<p>要因 Freeze/Run が設定されているコピーグループに関するタスクと Freeze/Run が設定されていないコピーグループに関するタスクを同時に編集することはできません。</p> <p>対処 タスクをひとつずつ編集するか、 Freeze/Run が設定されているコピーグループに関するタスクのみ、または Freeze/Run が設定されていないコピーグループに関するタスクのいずれかを選択して編集を行ってください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-04836	選択された複数のボリュームは、Business Continuity Manager 経由で管理しているコピーペアのボリュームと、RAID Manager / P9000 RAID Manager 経由で管理しているコピーペアのボリュームが混在しています。	<p>要因 選択された複数のボリュームは、Business Continuity Manager 経由で管理しているコピーペアのボリュームと、RAID Manager 経由で管理しているコピーペアのボリュームが混在しています。</p> <p>対処 Business Continuity Manager 経由で管理しているコピーペアのボリュームのみか、または RAID Manager 経由で管理しているコピーペアのボリュームのみを選択して、再度実行してください。</p>
RPM-04837	オープン系コピーグループに関するタスクとメインフレーム系コピーグループに関するタスクを同時に編集することはできません。	<p>要因 オープン系コピーグループに関するタスクとメインフレーム系コピーグループに関するタスクを同時に編集することはできません。</p> <p>対処 オープン系コピーグループまたはメインフレーム系コピーグループのどれかに関係するタスクのみ編集してください。</p>
RPM-04838	一つのコピーグループに対して、グループの編集とそのほかの操作を同じウィザードで同時に行うことはできません。	<p>要因 一つのコピーグループに対して、グループの編集とそのほかの操作を同じウィザードで同時に行うことはできません。</p> <p>対処 対象のコピーグループに対する現在の操作を実施したあと、グループの編集を行ってください。</p>
RPM-04839	オープン系のコピーペアか、メインフレーム系のコピーペアか判断できないコピーペアがコピーグループ内に存在するため、コピーペア構成定義ウィザードやコピーペア状態変更ウィザードを実行できません。	<p>要因 オープン系のコピーペアか、メインフレーム系のコピーペアか判断できないコピーペアがコピーグループ内に存在するため、コピーペア構成定義ウィザードやコピーペア状態変更ウィザードを実行できません。</p> <p>対処 コピーグループに含まれるコピーペアについて、コピーペアを構成しているボリュームが Replication Manager で認識できているかどうか確認してください。</p>
RPM-04840	指定したコピーグループは存在しません。ツリー更新ボタンを押して最新の画面を表示してください。	<p>要因 指定したコピーグループは存在しません。</p> <p>対処 ツリー更新ボタンを押して最新の画面を表示し、再度同じ操作を試みてください。</p>
RPM-04841	指定したペア管理サーバは存在しません。ツリー更新ボタンを押して最新の画面を表示してください。	<p>要因 指定したペア管理サーバは存在しません。</p> <p>対処 ツリー更新ボタンを押して最新の画面を表示し、再度同じ操作を試みてください。</p>
RPM-04842	指定した構成定義ファイルは存在しません。ツリー更新ボタンを押して最新の画面を表示してください。	<p>要因 指定した構成定義ファイルは存在しません。</p> <p>対処 ツリー更新ボタンを押して最新の画面を表示し、再度同じ操作を試みてください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
RPM-04843	指定したプレフィックスは存在しません。ツリー更新ボタンを押して最新の画面を表示してください。	要因 指定したプレフィックスは存在しません。 対処 ツリー更新ボタンを押して最新の画面を表示し、再度同じ操作を試みてください。
RPM-04844	コピーグループ名変更タスクが実行中のため、指定したコピーグループに対するペア操作を中止しました。現在のタスクの実行が完了したあとに、再度実行してください。(実行中タスク ID: <実行中タスク ID >)	要因 コピーグループ名変更タスクが実行中のため、指定したコピーグループに対するペア操作を中止しました。 対処 現在のタスクの実行が完了したあとに、再度実行してください。
RPM-04845	指定したコピーグループに対するペア操作タスクが実行中のため、コピーグループ名変更を中止しました。現在のタスクの実行が完了したあとに、再度実行してください。(実行中タスク ID: <実行中タスク ID >)	要因 指定したコピーグループに対するペア操作タスクが実行中のため、コピーグループ名変更を中止しました。 対処 現在のタスクの実行が完了したあとに、再度実行してください。
RPM-04846	Device Manager エージェントのバージョンが古い場合、機能の実行に失敗しました。(ホスト名:<ホスト名>、Device Manager エージェントのバージョン:<Device Manager エージェントのバージョン>)	要因 Device Manager エージェントのバージョンが古い場合、指定した操作を行うことができません。 対処 Device Manager エージェントを Replication Manager と同等のバージョンに更新してください。
RPM-04847	Replication Manager のサービスが停止処理中です。	要因 Replication Manager のサービスが停止処理中です。 対処 Replication Manager のサービスが起動していることを確認し、再度実行してください。
RPM-04848	Replication Manager がメンテナンスモードになっています。	要因 Replication Manager がメンテナンスモードになっています。 対処 通常モードに変更した後で、再度実行してください。
RPM-04849	指定されたタスクは Replication Manager のデータベースに存在しません。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 指定されたタスクは Replication Manager のデータベースに存在しません。 対処 タスク一覧画面からタスクが参照できることを確認してください。
RPM-04850	指定されたタスクは CLI タスクではありません。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 指定されたタスクは CLI タスクではありません。 対処 タスク一覧画面からタスクが CLI タスクであることを確認してください。
RPM-04851	指定されたタスクは実行可能な状態ではありません。(タスク ID: <タスク ID >)	要因 指定されたタスクは実行可能な状態ではありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 タスク一覧画面からタスクの状態が「Ready」, 「Success」, 「Warning」, 「Failure」のどれかとなっていることを確認してください。</p>
RPM-04853	ユーザー ID またはパスワードが正しくありません。	<p>要因 ユーザー ID またはパスワードに指定した値が誤っています。</p> <p>対処 有効なユーザー ID , パスワードを指定してください。 (不正な文字種を使用されているケースを含む)</p>
RPM-04854	指定したユーザーのアクセス権限が不正です。	<p>要因 指定したユーザーにタスクの実行権限がありません。</p> <p>対処 Replicatoin Manager で Modify 権限を持ち, リソースグループに"All Resources"が割り当てられているユーザーアカウントの指定が必要です。</p>
RPM-04855	指定したプールが存在しないか, プールの使用目的が不正です。(プール ID : <プール ID >)	<p>要因 タスクを作成した後でストレージシステムの構成が変更されています。</p> <p>対処 ストレージシステムの構成を見直したあとに, 再度実行してください。指定するプールを変更する場合は, ワークフローを削除したあと, コピーペア構成定義ウィザードで新しいタスクを作成してください。</p>
RPM-04856	指定した LDEV がすでに作成されています。(LDEV : <LDEV >)	<p>要因 タスクを作成した後でストレージシステムの構成が変更されています。</p> <p>対処 ストレージシステムの構成を見直したあとに, 再度実行してください。指定する LDEV を変更する場合は, ワークフローを削除したあと, コピーペア構成定義ウィザードで新しいタスクを作成してください。</p>
RPM-04857	指定したホストが存在しません。(ホスト名 : <ホスト名 >)	<p>要因 タスクを作成した後でホストの構成が変更されています。</p> <p>対処 ホストの構成を見直したあとに, 再度実行してください。指定するホストを変更する場合は, Device Manager を使用してワークフローが作成した LDEV を削除してください。その後, ワークフローを削除してから, コピーペア構成定義ウィザードで新しいタスクを作成してください。</p>
RPM-04858	指定したポートが存在しないか, ポートの属性が不正です。	<p>要因 タスクを作成した後でストレージシステムの構成が変更されています。</p> <p>対処 ストレージシステムの構成を見直したあとに, 再度実行してください。指定するポートを変更する場合は, Device Manager を使用してワークフローが作成した LDEV を削除してください。そ</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		の後、ワークフローを削除してから、コピーペア構成定義ウィザードで新しいタスクを作成してください。
RPM-04859	指定した LDEV が存在しません。 (LDEV : <LDEV >)	要因 タスクを作成した後でストレージシステムの構成が変更されています。 対処 ストレージシステムの構成を見直したあとに、再度実行してください。タスクが成功しない場合は、Device Manager を使用してワークフローが作成した LDEV を削除してください。その後、ワークフローを削除してから、コピーペア構成定義ウィザードで新しいタスクを作成してください。
RPM-04860	指定したホストのすべての WWN または iSCSI イニシエーターはすでにほかのホストグループで使用されています。 (ホスト名 : <ホスト名 >)	要因 タスクを作成した後でストレージシステムの構成が変更されています。 対処 ストレージシステムの構成を見直したあとに、再度実行してください。指定するホストグループを変更する場合は、Device Manager を使用してワークフローが作成した LDEV を削除してください。その後、ワークフローを削除してから、コピーペア構成定義ウィザードで新しいタスクを作成してください。
RPM-04861	すでに最大値である<最大ホストグループ数>個のホストグループが登録されているため、指定したホストグループを登録できません。	要因 すでに登録されているホストグループの個数が最大値に達しています。 対処 ストレージシステムの構成を見直したあとに、再度実行してください。指定するホストグループを変更する場合は、Device Manager を使用してワークフローが作成した LDEV を削除してください。その後、ワークフローを削除してから、コピーペア構成定義ウィザードで新しいタスクを作成してください。
RPM-04862	指定した LDEV はすでにホストグループに登録されています。(LDEV : <LDEV >)	要因 タスクを作成した後でストレージシステムの構成が変更されています。 対処 ストレージシステムの構成を見直したあとに、再度実行してください。タスクが成功しない場合は、Device Manager を使用してワークフローが作成した LDEV を削除してください。その後、ワークフローを削除してから、コピーペア構成定義ウィザードで新しいタスクを作成してください。
RPM-04863	指定した LUN はすでにホストグループで使用されています。(LUN : <LUN >)	要因 タスクを作成した後でストレージシステムの構成が変更されています。 対処 ストレージシステムの構成を見直したあとに、再度実行してください。タスクが成功しない場合は、Device Manager を使用してワークフローが

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		作成した LDEV を削除してください。その後、ワークフローを削除してから、コピーペア構成定義ウィザードで新しいタスクを作成してください。
RPM-04864	既存のホストグループにホスト (WWN または iSCSI イニシエーター) が設定されていません。(ホスト名: <ホスト名>)	要因 タスクを作成した後でストレージシステムの構成が変更されています。 対処 ストレージシステムの構成を見直したあとに、再度実行してください。タスクが成功しない場合は、Device Manager を使用してワークフローが作成した LDEV を削除してください。その後、ワークフローを削除してから、コピーペア構成定義ウィザードで新しいタスクを作成してください。
RPM-04865	選択されたボリュームの作成が完了していないため、操作を行えません。	要因 作成が完了していないボリュームを選択しているため、操作を行えません。 対処 ボリュームの作成が完了した後で、再度実行してください。
RPM-04866	指定された LDEV ID は、すでに副側ストレージシステムで使用されています。 LDEV ID = <LDEV ID >	要因 指定された LDEV ID はすでに使用されています。 対処 異なる LDEV ID を指定して、再度実行してください。
RPM-04867	指定されたホストグループに登録可能な LUN 数の上限を超えています。 ポート = <ポート>, ホストグループ = <ホストグループ>	要因 指定されたホストグループに登録可能な LUN 数の上限を超えています。 対処 異なるホストグループを指定して、再度実行してください。
RPM-04868	指定されたポートに作成できるホストグループ数の上限を超えています。 ポート = <ポート>	要因 指定されたポートに作成できるホストグループ数の上限を超えています。 対処 異なるポートを指定して、再度実行してください。
RPM-04869	作成できる LDEV ID の上限を超えています。	要因 作成できる LDEV ID の上限を超えています。 対処 異なる CU, LDEV 開始番号を指定して、再度実行してください。
RPM-04870	指定したポートは、副側ストレージシステムにおいて、ボリューム割り当てに利用可能ではありません。ポート = <ポート>	要因 指定したポートは、副側ストレージシステムにおいて、ボリューム割り当てに利用可能ではありません。 対処 異なるポートを指定して、再度実行してください。
RPM-04871	指定したホストグループがすでに存在しますが、選択した割り当て対象では利	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	用できません。ポート = <ポート> , ホストグループ = <ホストグループ>	指定したホストグループがすでに存在しますが、 選択した割り当て対象とは異なるホストで使用 されています。 対処 異なるホストグループを指定して、再度実行して ください。
RPM-04872	指定した割り当て対象は、すでに異なる ホストグループで使用されています。 ポート = <ポート> , ホストグループ = <ホストグループ>	要因 指定した割り当て対象は、すでに異なるホストグ ループで使用されています。 対処 異なるホストグループを指定して、再度実行して ください。
RPM-04873	指定したポートは、副側ストレージシ ステムに存在しません。ポート = <ポー ト>	要因 指定したポートは、副側ストレージシステムに存 在しません。 対処 異なるポートを指定して、再度実行してくださ い。
RPM-04874	指定した LUN は、すでにホストグルー プで使用されています。ストレージシ ステム = <ストレージシステム> , Port/Host Group/LUN = <Port/Host Group/LUN >	要因 指定した LUN は、すでにホストグループで使用 されています。 対処 異なるホストグループを指定して、再度実行して ください。
RPM-04875	指定したプールは、副側ストレージシ ステムに存在しません。ストレージシ ステム = <ストレージシステム> , プー ル ID = <プール ID >	要因 指定したプール ID は、副側ストレージシステム に存在しません。 対処 異なるプール ID を指定して、再度実行してくだ さい。
RPM-04876	指定した割り当て対象は存在しません。 割り当て対象 = <割り当て対象>	要因 指定した割り当て対象は存在しません。 対処 異なる割り当て対象を選択して、再度実行してく ださい。
RPM-04877	ジャーナルグループの設定は変更され ていません。	要因 ジャーナルグループの設定は変更されていませ ん。 対処 ジャーナルグループの設定を変更して、再度実行 してください。
RPM-04878	ペアボリュームとして使用されている ボリュームを含んでいるため、LUN が 削除できません。	要因 ペアボリュームとして使用されているボリューム を含んでいるため、LUN が削除できません。 対処 次の手順で対処してください。 1. 指定したボリュームを使用しているペアを 削除してください。 2. [ストレージシステム一覧]画面で対象のスト レージシステムを選択し[ストレージシステ ム情報更新]を実行してください。 3. タスクを再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-04879	Device Manager のバージョンが古い ため、機能の実行に失敗しました。(情 報取得元名：<情報取得元名>、Device Manager のバージョン：<Device Manager バージョン>)	要因 Device Manager のバージョンが古い ため、指定した操作を行うことが できません。 対処 Device Manager を Replication Manager と同等のバージョンに 更新してください。
RPM-04880	タイムアウトが発生したため、タ スクのキャンセルを確認できませ んでした。しばらく待ってからタ スク一覧画面を確認し、対象タ スクが終了していることを確認 してください。	要因 以下の要因により、タスクの完 了に時間が掛かる場合があります。 1. 構成の更新を実行中である 場合。 2. キャンセル対象タスクに関 連したタスクが実行中である 場合。 3. 大規模構成である場合。 対処 しばらく待ってからタスク一覧 画面を確認し、対象タスクが 終了していることを確認して ください。
RPM-04881	指定したコピーグループに対す るペア操作タスクが実行中のた め、パスグループ ID の編集を 中止しました。実行中のタスク が完了したあとに、再度実行 してください。(実行中タスク ID： <実行中タスク ID >)	要因 指定したコピーグループに対す るペア操作タスクが実行中のた め、パスグループ ID の編集を 中止しました。 対処 実行中のタスクが完了したあ とに、再度実行してください。
RPM-04882	副ボリュームのボリューム属性 が GUARD となっているため、 [副ボリュームを削除する]操作 を行えません。	要因 副ボリュームのボリューム属性 が GUARD となっているため、 [副ボリュームを削除する]操作 を行えません。 対処 対象のボリュームの GUARD 属 性を解除してください。
RPM-04883	タスクが終了したため、タスク をキャンセルすることができませ んでした。	要因 タスクが終了したため、タスク をキャンセルすることができませ んでした。 対処 タスク一覧画面を確認し、対 象タスクの状態を確認して ください。
RPM-04884	正ボリューム側ストレージシ ステムと副ボリューム側ストレ ージシステムの間、使用可能な パスグループ ID を持つ CU Free の双方向リモートパスが存在 しません。	要因 正ボリューム側ストレージシ ステムと副ボリューム側ストレ ージシステムの間、使用可能 なパスグループ ID を持つ CU Free の双方向リモートパスが 存在しません。 対処 正ボリューム側ストレージシ ステムと副ボリューム側ストレ ージシステムの双方向に、同 一のパスグループ ID を持つ CU Free のリモートパスを 設定してください。
RPM-04885	正ボリューム側ストレージシ ステムと副ボリューム側ストレ ージシステムの間、設定され たパスグループ ID を使用する CU Free のリモートパスが存 在しません。(正ボリューム側 ストレージシステム:<正ボ リューム側ストレージシ ステム>、副ボリューム側 ストレ	要因 コピーグループに設定され たパスグループ ID に対応す るリモートパスは、すでに削 除されています。 対処 設定されたパスグループ ID に対応する CU Free のリ モートパスを設定するか、 コピーグ

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	ジシステム:<副ボリューム側ストレージシステム>	ループのバスグループ ID 設定を変更してください。
RPM-04886	選択したタスクはすでにキャンセル中です。キャンセル処理の完了をお待ちください。	要因 選択したタスクはすでにキャンセル中です。キャンセル処理の完了をお待ちください。 対処 対処の必要はありません。
RPM-04887	グループ編集操作はスナップショットグループに対して行うことができません。	要因 スナップショットグループに対する[グループ編集]操作はサポートしていません。 対処 対処の必要はありません。
RPM-04888	ノード追加操作はスナップショットグループに対して行うことができません。	要因 スナップショットグループに対する[ノード追加]操作はサポートしていません。 対処 対処の必要はありません。
RPM-04889	ノード削除操作はスナップショットグループに対して行うことができません。	要因 スナップショットグループに対する[ノード編集]操作はサポートしていません。 対処 対処の必要はありません。
RPM-04890	コピーペア名編集操作はスナップショットグループに対して行うことができません。	要因 スナップショットグループに対する[コピーペア名編集]操作はサポートしていません。 対処 対処の必要はありません。
RPM-04891	指定したスナップショットグループ名は、すでにストレージシステム内で使用されています。(ストレージシステム:<ストレージシステム>, スナップショットグループ名:<スナップショットグループ名>)	要因 指定されたスナップショットグループ名は、ストレージシステム内ですでに使用されています。 対処 異なるスナップショットグループ名を指定して、再度実行してください。
RPM-04892	選択したタスクには、スナップショットグループとコピーグループが混在しています。	要因 スナップショットグループとコピーグループのタスクを同時に編集することはできません。 対処 スナップショットグループとコピーグループのタスクは別々に編集してください。
RPM-04893	指定したストレージシステムに[スナップショットグループ用ペア管理サーバ]が設定されていません。(ストレージシステム:<ストレージシステム>)	要因 指定されたストレージシステムに対して、[スナップショットグループ用ペア管理サーバ]が設定されていません。 対処 [ストレージシステム]ビューの<ストレージシステム名>サブウィンドウで[スナップショットグループ用ペア管理サーバ]を設定したあと、再度実行してください。
RPM-04894	アラート作成操作はスナップショットグループに対して行うことができません。	要因 スナップショットグループに対する[アラート設定作成]操作はサポートしていません。 対処 対処の必要はありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-04895	指定したストレージシステムのコマンドデバイスを認識しているペア管理サーバがありません。	要因 指定されたストレージシステムのコマンドデバイスを認識しているペア管理サーバがありません。 対処 指定されたストレージシステムのコマンドデバイスを認識しているペア管理サーバを用意し、Replication Manager に認識させてください。
RPM-04896	選択したスナップショットグループには、同じ正ボリュームを持つコピーペアが複数含まれています。	要因 同じ正ボリュームを持つコピーペアが複数含まれたスナップショットグループが選択されました。 対処 同じ正ボリュームを持つコピーペアがスナップショットグループ内に複数含まれないように構成を見直したあと、再度実行してください。
RPM-04897	選択したストレージグループのトポロジー構成には、スナップショットグループが含まれています。	要因 スナップショットグループが含まれたストレージグループのトポロジー構成は非サポートです。 対処 対処の必要はありません。
RPM-04898	選択したインフォメーションストアのトポロジー構成には、スナップショットグループが含まれています。	要因 スナップショットグループが含まれたインフォメーションストアのトポロジー構成は非サポートです。 対処 対処の必要はありません。
RPM-04899	選択した SQL インスタンスのトポロジー構成には、スナップショットグループが含まれています。	要因 スナップショットグループが含まれた SQL インスタンスのトポロジー構成は非サポートです。 対処 対処の必要はありません。
RPM-04900	スナップショットグループ用ペア管理サーバが設定されていないか、設定したスナップショットグループ用ペア管理サーバが削除されています。	要因 指定したストレージシステムに対して、[スナップショットグループ用ペア管理サーバ]が設定されていません。または、設定したスナップショットグループ用ペア管理サーバが削除されています。 対処 [ストレージシステム]ビューの<ストレージシステム名>サブウィンドウで[スナップショットグループ用ペア管理サーバ]を設定したあと、再度実行してください。
RPM-04901	選択したストレージは BCM のみで管理されているため、[スナップショットグループ設定編集]を実行することができません。	要因 BCM のみで管理しているストレージに対して、[スナップショットグループ設定編集]を実行することはできません。 対処 対処の必要はありません。
RPM-04902	スナップショットグループ名の長さが 32 バイトを超えています。	要因 スナップショットグループ名が 32 バイトを超えています。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		33 バイト未満のスナップショットグループ名を使用してください。
RPM-04903	選択されたスナップショットグループ名または、同一トポロジに含まれるスナップショットグループ名に未サポートの文字が含まれています。	要因 選択されたスナップショットグループ名または、同一トポロジに含まれるスナップショットグループ名に未サポートの文字が含まれています。 対処 未サポートの文字を含まないように構成を見直したあと、再度実行してください。
RPM-05000	Replication Manager への接続に失敗しました。	要因 Replication Manager への接続に失敗しました。 対処 以下の項目を見直してください。 <ul style="list-style-type: none"> • Hitachi Command Suite 共通コンポーネントサービスが起動している。 • base.properties ファイルの base.rmi.enabled が true になっている。 • base.properties ファイルの base.rmi.port の値と rpmlib.properties の rpmlib.rpm.port の値が一致している。
RPM-05001	Replication Manager の処理の呼出しに失敗しました。	要因 Replication Manager の処理の呼出しに失敗しました。 対処 Hitachi Command Suite 共通コンポーネントサービスを再起動して、再度実行してください。
RPM-05002	Replication Manager の処理の呼出し中に予期しない通信エラーが発生しました。	要因 Replication Manager の処理の呼出し中に予期しない通信エラーが発生しました。 対処 再度実行してください。
RPM-05003	Replication Manager の処理の呼出し中に予期しないエラーが発生しました。	要因 Replication Manager の処理の呼出し中に予期しないエラーが発生しました。 対処 再度実行してください。
RPM-05004	パラメーターが不正です。(パラメーター: <パラメーター>, 値: <値>)	要因 パラメーターが不正です。 対処 再度実行してください。
RPM-05005	プロパティファイルの読み込みに失敗しました。	要因 プロパティファイルの読み込みに失敗しました。 対処 Hitachi Command Suite 製品の上書きインストールを実行してください。

14.2 RPM-10000～RPM-19999

Replication Manager Application Agent に関するメッセージ (RPM-10000～RPM-19999) を次の表に示します。

表 14-2 RPM-10000~RPM-19999 : Replication Manager Application Agent のメッセージ

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
RPM-10003	Replication Manager Application Agent の処理が失敗しました。	要因 Replication Manager Application Agent の処理に失敗しました。 対処 同時に出力されているメッセージを確認し、対処を行ってください。
RPM-10004	メモリーが不足しています。	要因 メモリーが不足しています。 対処 Replication Manager Application Agent がインストールされているホストがシステム要件を満たしていることを確認してください。
RPM-10005	処理続行不能なエラーが発生しました。 要因 = <要因> コード = <コード>	要因 Replication Manager Application Agent のコマンド実行中に処理続行不能なエラーが発生しました。 対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-10006	処理続行不能なエラーが発生しました。 要因 = <要因>	要因 Replication Manager Application Agent のコマンド実行中に処理続行不能なエラーが発生しました。 対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-10007	処理続行不能なエラーが発生しました。 コード = <コード>	要因 Replication Manager Application Agent のコマンド実行中に処理続行不能なエラーが発生しました。 対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-10008	処理続行不能なエラーが発生しました。 要因 = <要因> 要因 = <要因>	要因 Replication Manager Application Agent のコマンド実行中に処理続行不能なエラーが発生しました。 対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-10009	Replication Manager サーバと Replication Manager Application Agent 間の情報が不一致です。	要因 Replication Manager Application Agent がインストーラーを使ってインストールされていません。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		Replication Manager Application Agent がインストーラーを使って正しくインストールされていることを確認してください。
RPM-10011	レプリカの情報を取得できません。	<p>要因 以下のどれかの原因のため、レプリカの情報を取得できません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レプリカの内容が無効 2. レプリカが壊れている 3. レプリカが存在しない <p>対処 ホスト情報更新を行ったあと、再度レプリカを指定してください。正しいレプリカを指定している場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-10012	不正なオプションが指定されています。	<p>要因 不正なオプションが指定されました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていることを確認してください。</p>
RPM-10013	Replication Manager Application Agent が使用するファイルがありません。	<p>要因 Replication Manager Application Agent が使用するファイルがありません。</p> <p>対処 問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-10014	マウントポイントディレクトリが存在しません。	<p>要因 指定されたマウントポイントディレクトリが存在しません。</p> <p>対処 正しいマウントポイントが指定されていることを確認してから再度操作を行ってください。</p>
RPM-10015	レプリカの情報を取得できません。	<p>要因 レプリカの情報を取得できません。</p> <p>対処 ホスト情報更新を行ったあと、再度レプリカを指定してください。正しいレプリカを指定している場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-10016	Replication Manager Application Agent が使用するファイルがありません。	<p>要因 以下の理由が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定されたファイル（ディレクトリ）が存在しない 2. 指定されたファイルまたはディレクトリが絶対パスではない <p>対処 指定したファイルが存在することを確認したあと、再度実行してください。 正しいファイルを指定している、またはファイルを指定していない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-10017	Replication Manager Application Agent が使用するファイルがありません。	<p>要因 Replication Manager Application Agent が使用するファイルがありません。</p> <p>対処 問い合わせ窓口に連絡してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-10018	指定されたコピーグループは存在しません。	要因 指定されたコピーグループが存在しません。 対処 構成の更新を行って最新のコピーグループ情報を取得し、再度操作を行ってください。
RPM-10021	コマンドを実行する権限がありません。	要因 操作を実行する権限がありません。 対処 Replication Manager Application Agent が管理者権限で実行されていることを確認してから、再度操作を行ってください。
RPM-10022	マウントポイントの環境が不正です。	要因 以下の要因が考えられます。 1. マウントポイントディレクトリ外のファイルを指定しています 2. 指定したファイルまたはディレクトリが絶対パスではありません 対処 指定されたディレクトリ名を確認し、誤りがある場合正しいディレクトリ名を指定してください。正しいディレクトリ名を指定している場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-10024	指定されたレプリカの情報がありません。	要因 レプリカを一度も実行しておらず、表示する情報がないおそれがあります。 対処 レプリカを作成したあと、再度実行してください。
RPM-10025	指定されたレプリカの情報がありません。	要因 レプリカが存在しません。 対処 正しいレプリカが指定されていることを確認したあと、再度実行してください。正しいレプリカを指定している場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-10027	すでにほかの操作が実行中のため、対象の操作は実行されませんでした。	要因 ほかの操作が実行中であったため、操作が待ち状態になり、最終的にタイムアウトしました。 対処 実行中の処理の終了を待ち、再度実行してください。
RPM-10028	Replication Manager サーバと Replication Manager Application Agent 間で情報が不一致です。	要因 Replication Manager サーバと Application Agent 間で情報が不一致です。 対処 Application Agent の設定、ホスト情報更新を行ってください。問題が解決されない場合には、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-10029	インストールパスの情報が取得できませんでした。	要因 製品のインストール時に自動設定したインストールパス情報が取得できませんでした。 対処 製品を再インストールしてください。
RPM-10030	無効な値が入力されました。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		無効な値が入力されました。 対処 正しい値を入力してください。
RPM-10031	指定されたマウントポイントは使用中です。	要因 指定したマウントポイントに、すでにほかのボリュームがマウントされています。 対処 マウント済みのファイルシステムをアンマウントしたあと、再度操作を行ってください。
RPM-10032	不正なマウントポイントディレクトリが指定されています。	要因 存在しないマウントポイント(ドライブ)を指定したか、マウント対象のディレクトリが空ではありませんでした。 対処 マウントポイントに存在する空のディレクトリを指定してください。
RPM-10033	Replication Manager サーバと Replication Manager Application Agent 間でレプリカ情報が不一致です。	要因 Replication Manager サーバと Replication Manager Application Agent 間でレプリカ情報が不一致です。 対処 ホスト情報更新を行ってください。問題が解決されない場合には、問い合わせ窓口ご連絡してください。
RPM-10035	情報の更新に失敗しました。	要因 初期化情報の登録に失敗しました。 対処 インストールディレクトリのあるドライブ容量を拡張し、再度操作を実行してください。
RPM-10036	指定されたレプリカ情報が不正です。	要因 指定したレプリカが存在しません。 対処 正しいレプリカを指定してタスクを再度作成し、実行してください。
RPM-10037	指定した文字列が最大文字数を超過しています。 文字列 = <文字列>	要因 指定された文字列が最大文字列長を超過しています。 対処 指定する文字列長を短くして再度操作を実行してください。
RPM-10038	Replication Manager Application Agent に使用されるファイルの内容が不正です。	要因 Replication Manager Application Agent に使用されるファイルの内容が不正です。 対処 問い合わせ窓口にご連絡してください。
RPM-10039	Replication Manager Application Agent に使用されるファイルが存在しません。	要因 Application Agent の設定が正しく行われていないか、ホスト情報の更新に失敗しているおそれがあります。 対処 Application Agent の設定が正しいかを確認してください。正しくない場合は、正しく Application Agent の設定を行ってください。正

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		しく設定されている場合には、ホスト情報更新を行ってください。
RPM-10042	クラスタに対する操作でエラーが発生しました。 要因 = <要因>	要因 クラスタに対して処理を行った際にエラーを検知しました。 対処 導入しているクラスタのマニュアルを参照してクラスタの問題を解決してください。
RPM-10044	指定されたマウントポイントはクラスタで管理されているため、そのマウントポイントのディレクトリに対するリストア再同期は実行できません。	要因 クラスタの管理下にあるマウントポイントに対して、再同期によるリストアを行いました。 対処 ファイルコピーによるリストアを行ってください。
RPM-10047	この構成では操作を実行できません。	要因 以下の条件が重複したことが考えられます。 1. バックアップ対象のコピーグループにバックアップ対象/非対象のファイルが混在。 2. 正ボリュームまたは副ボリュームが分割している環境。 対処 コピーグループの指定を確認し、バックアップオプションの見直しをしてください。
RPM-10048	この製品で扱えない文字コードが含まれています。	要因 Unicode 固有の文字が含まれています。 対処 Unicode 固有の文字を変更し、再度操作を行ってください。
RPM-10049	指定されたレプリカに対して無効な設定です。	要因 指定されたバックアップを実行できません。 対処 再度、実行してください。再度実行した後エラーが発生する場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-10050	Replication Manager Application Agent で使用されているファイルが読み込めませんでした。	要因 一括定義ファイルの読み込みに失敗しました。 対処 一括定義ファイルが開けるかを確認してから再実行してください。
RPM-10051	再同期によるリストアに失敗しました。リストア対象ではないオブジェクトが、リストア対象のコピーグループに含まれています。	要因 ストレージグループ(Exchange Server)の指定が不足しているため、再同期によるリストアができません。 対処 ストレージグループの指定を見直し、再度リストア操作を実行してください。再度実行した後エラーが発生する場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-10052	クラスタリソースがオンラインでないためコールドレプリカの作成は実行できません。	要因 クラスタが ONLINE 状態でないため、コールドバックアップでバックアップは取得できません。 対処 クラスタをオンラインにして再度、実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-10053	クラスタリソースがオンライン、オフラインどちらでもない状態のため、リストア操作を実行できません。	要因 クラスタリソースがオンライン、オフラインどちらでもない状態になっています。 対処 クラスタの状態を確認して、再度操作を行ってください。
RPM-10054	マウントに失敗しました。 マウントポイント = <マウントポイント>	要因 マウントに失敗しました。 対処 マウントポイントディレクトリが正しく存在するかどうかを確認してください。存在する場合、システムログを参照し、OSに異常がないかどうか確認してください。問題が解決されない場合、問い合わせ窓口ご連絡してください。
RPM-10055	アンマウントに失敗しました。 マウントポイント = <マウントポイント>	要因 アンマウントに失敗しました。 対処 アンマウント対象のドライブが使用されていないかどうかを確認してください。コマンドを実行するワークディレクトリがアンマウント対象ドライブの場合もアンマウントできません。上記に該当しない場合システムログを参照し、OSに異常がないかどうか確認してください。問題が解決されない場合、問い合わせ窓口ご連絡してください。
RPM-10056	ディレクトリの作成に失敗しました。 ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>	要因 ディレクトリの作成に失敗しました。 対処 作成しようとしたディレクトリのパスを確認してください。パスが正しい場合、システムログを参照し、OSに異常がないかどうか確認してください。問題が解決されない場合、問い合わせ窓口ご連絡してください。
RPM-10057	ディレクトリの削除に失敗しました。 ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>	要因 ディレクトリの削除に失敗しました。 対処 削除しようとしたディレクトリのパスを確認してください。パスが正しい場合、システムログを参照し、OSに異常がないかどうか確認してください。問題が解決されない場合、問い合わせ窓口ご連絡してください。
RPM-10072	Replication Manager Application Agent で使用されているファイルが見つかりませんでした。	要因 Replication Manager Application Agent で使用しているファイルに不足があります。 対処 ホスト情報更新を実行してください。
RPM-10073	指定された条件に一致するデータが存在しません。	要因 指定された条件に合うデータが存在しません。 対処 指定する条件を見直して再度操作を行ってください。
RPM-10074	マウント情報の取得に失敗しました。	要因 マウントしたマウントポイントの情報が不正です。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		再度マウントを行ってください。
RPM-10075	指定されたレプリカラベルに無効な文字が含まれています。	要因 バックアップ操作時にコメントを指定した際に、使用できない文字が含まれています。 対処 使用不可文字を使用せずにバックアップ操作を再実行してください。
RPM-10080	レプリカ作成/再同期を実行できません。コピーグループに作成されていないペアが含まれています。	要因 ホスト情報更新時にペアステータスが Simplex だったコピーグループをバックアップ・リシンクしました。 対処 対象となるコピーグループをペア生成して、ホスト情報更新をしてください。
RPM-10081	ペアステータスが Simplex に変更されました。	要因 ペアステータスが Simplex のコピーグループをバックアップ・リシンクしました。 対処 ペアステータスを見直し、再度実行してください。再度実行した後エラーが発生する場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-10082	このレプリカ履歴情報はリストアに使用することができません。	要因 レプリカ履歴情報が不正です。 対処 再度、リストア操作を実行してください。再度実行した後エラーが発生する場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-10087	指定されたレプリカ情報がほかの操作によって使用されているためこの操作は実行できません。	要因 指定されたバックアップが同時には実行できません。 対処 対象のバックアップ操作がほかの操作で実行されていないことを確認して再度実行してください。
RPM-10088	指定された世代識別名が無効です。	要因 バックアップ操作時に指定した Target Generation が不正です。 対処 Target Generation の指定を見直し、再度バックアップ操作を実行してください。
RPM-10089	タイムアウトが発生しました。 リトライ回数パラメーター名 = リトライ回数パラメーター値(回) リトライ待ち時間パラメーター名 = リトライ待ち時間パラメーター値(秒)	要因 時間内に対象が期待した状態になりませんでした。 対処 このメッセージの次に出力されるエラーメッセージを確認してください。
RPM-10091	インストール環境が不正です。	要因 インストール環境が不正です。 対処 製品を再インストールしてください。
RPM-10092	製品情報の取得に失敗しました。	要因 バージョンファイルの情報が不正です。 対処 製品を再インストールしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-10093	差分パッチ履歴情報の読み込みでエラーが発生しました。	要因 差分パッチ履歴情報を取得する処理を実行した際に、エラーを検知しました。 対処 システムログを参照し、OSに異常がないかを確認してください。異常が見られない場合は資料を採取したあと、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-10104	マウントポイントの環境が不正です。	要因 マウントポイントディレクトリー括指定ファイルが、所定のディレクトリに存在しません。 対処 マウントポイントディレクトリー括指定ファイルを所定のディレクトリに作成してください。
RPM-10105	指定されたマウントポイントディレクトリは、RAID 装置上に存在しません。マウントポイント=<マウントポイント>	要因 指定されたマウントポイントが RAID 装置上に存在しませんでした。 対処 RAID 装置上のディスクに接続されたマウントポイントディレクトリ名を指定していることを確認しマウントポイントディレクトリ名を確認の上、正しいマウントポイントディレクトリ名を指定し、コマンドを再実行してください。
RPM-10214	Replication Manager Application Agent のユーザースクリプトが開始できません。	要因 ユーザースクリプトのコマンド定義セクション内で定義されたコマンドの起動に失敗しました。 対処 ユーザースクリプトファイル内で実行可能な操作を指定した上でバックアップ操作を再実行してください。
RPM-10215	Replication Manager Application Agent のユーザースクリプト実行時にエラーが発生しました。	要因 ユーザースクリプトのコマンド起動後にエラーが発生しました。 対処 ユーザースクリプト内で指定した操作の実行状況を確認した上でバックアップ操作を再実行してください。
RPM-10221	Replication Manager Application Agent のユーザースクリプトの内容が無効です。	要因 ユーザースクリプトファイルの内容が不正です。 対処 ユーザースクリプトファイルの記述内容を、要因の内容に応じて修正した上でコマンドを再実行してください。
RPM-10222	指定した Replication Manager Application Agent のユーザースクリプトファイル名が無効です。	要因 バックアップ操作に指定されたユーザースクリプトファイル名が不正です。 対処 バックアップ操作時に指定したファイルが存在するか、指定形式が正しいかを確認してください。確認のあと、正しいファイル名を指定し、バックアップ操作を再実行してください。
RPM-10223	Replication Manager Application Agent のユーザースクリプトの読み込みに失敗しました。	要因 指定されたユーザースクリプトファイルの読み込みでエラーが発生しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		指定されたファイルに対する読み込み権限があるかどうか、ほかのアプリケーションで使用していないか等を確認し、スクリプトファイルが開ける状態にした上で、バックアップ操作を再実行してください。
RPM-10225	Replication Manager Application Agent のユーザースクリプトの値が無効なため処理を終了します。	要因 ユーザースクリプト内のコマンドを実行した結果、下記のどれかの事象が発生しました。 1. 操作に失敗した。 2. 操作に対してタイムアウトが発生した。 対処 ユーザースクリプト内で指定した操作の実行状況を確認の上、バックアップ操作を再実行してください
RPM-10226	環境変数の設定に失敗しました。	要因 ユーザースクリプト内で指定された環境変数の設定に失敗しました。 対処 ユーザースクリプト内で指定した環境変数の内容を確認の上、設定可能な環境変数を指定した上で再度操作を行ってください。
RPM-10227	物理ボリュームの隠ぺいに失敗しました。 コピーグループ名 = <コピーグループ名>	要因 物理ボリュームの隠ぺいに失敗しました。 対処 RAID Manager のログ情報から、物理ボリュームの隠ぺいに失敗した要因を特定してください。適宜 RAID Manager のマニュアルを参照して、特定した要因に応じた対処を実施してください。そのあと、再度操作を実行してください。
RPM-10228	物理ボリュームの隠ぺい解除に失敗しました。 コピーグループ名 = <コピーグループ名>	要因 物理ボリュームの隠ぺい解除に失敗しました。 対処 RAID Manager のログ情報から、物理ボリュームの隠ぺい解除に失敗した要因を特定してください。適宜 RAID Manager のマニュアルを参照して、特定した要因に応じた対処を実施してください。そのあと、再度操作を実行してください。
RPM-10229	指定されたコピーグループ名は不正です。 コピーグループ名 = <コピーグループ名>	要因 指定されたコピーグループが不正です。 対処 正しいコピーグループを指定して再度操作を行ってください。
RPM-10230	RAID Manager / P9000 RAID Manager インスタンスを起動できませんでした。 インスタンス番号 = <インスタンス番号>	要因 RAID Manager のデーモン起動処理に失敗しました。 対処 RAID 管理ソフトウェアの設定を見直してください。見直したあと正しければ、RAID 管理ソフトウェアのログ情報を参照し、問題がないかどうかを確認してください。問題が判明しない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-10231	物理ボリュームの再認識に失敗しました。	要因 物理ボリュームの再認識に失敗しました。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		システムログを参照し、物理ボリュームの再認識に失敗した要因を解決してから、再度操作を行ってください。問題が解決しない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-10237	指定されたレプリカに対応したコピーグループが存在しません。	<p>要因 指定されたバックアップ ID のバックアップカタログに記憶されているコピーグループがありません。</p> <p>対処 次の順序で Replication Manager Application Agent の動作環境を確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Replica History 画面を表示して対象となるコピーグループを確認してください。 2. Replication Manager Application Agent が持つ定義ファイルに記載されたインスタンス番号が適切かどうか。 3. RAID Manager の構成定義ファイル (horcmn.conf) でのコピーグループ定義が適切かどうか。
RPM-10238	Replication Manager Application Agent が使用しているファイルへの書き込みに失敗しました。	<p>要因 以下の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. システム環境変数 VSHTCRMENV の設定されている場合、設定値が誤っている。 2. ファイルが書き込みできる状態ではない。 <p>対処 出力されたファイルパスに対して以下のことを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. システム環境変数 VSHTCRMENV の設定されている場合、値がマニュアル通り正しく設定されているか。 2. ファイルが書き込み出来る状態か。
RPM-10239	Replication Manager Application Agent の環境が不正です。	<p>要因 Replication Manager Application Agent の環境が不正です。</p> <p>対処 Application Agent の設定、ホスト情報更新を行ったあと、再度操作を実行してください。</p>
RPM-10240	フォルダの作成に失敗しました。	<p>要因 フォルダの作成に失敗しました。 次の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 作成しようとしたフォルダのパスがない。 2. 作成しようとしたフォルダのアクセス権が書き込み不可になっている。 <p>対処 次の対処を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 作成しようとしたフォルダのパスがない場合はフォルダを作成してください。 2. 作成しようとしたフォルダのアクセス権が書き込み不可になっている場合はフォルダに書き込みできるようにフォルダのアクセス権を変更してください。
RPM-10241	Replication Manager Application Agent が使用するファイルを削除できません。	<p>要因 Replication Manager Application Agent が使用するファイルの削除に失敗しました。 次の要因が考えられます。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>ファイルのアクセス権が読み取り属性になっているおそれがあります。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent が使用するファイルのアクセス権が読み取り属性になっている場合は読み取り属性を解除してからファイルを削除してください。</p>
RPM-10242	Replication Manager Application Agent が使用するファイルを開くことができません。	<p>要因 Replication Manager Application Agent が使用するファイルを開けません。 次の要因が考えられます。 開こうとしたファイルのアクセス権が読み取り不可になっているおそれがあります。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent が使用するファイルのアクセス権が読み取り不可になっている場合はファイルが開けるようにアクセス権を変更してください。</p>
RPM-10243	Replication Manager Application Agent の環境が不正です。	<p>要因 Replication Manager Application Agent の環境が不正です。</p> <p>対処 システムログを参照し、OS に異常がないかを確認してください。</p>
RPM-10258	Replication Manager Application Agent サービスと通信中にエラーが発生しました。	<p>要因 Replication Manager Application Agent サービスと通信中にエラーが発生しました。</p> <p>対処 次のことを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Replication Manager Application Agent サービスが起動しているか。 2. ネットワークに問題がないか。ネットワークに問題がある場合、詳細な通信エラー内容が詳細トレースログに記録されています。 3. ライブ・マイグレーションと Replication Manager Application Agent の機能の実行時間が重なっていないか。ライブ・マイグレーションが実行中かどうかは、使用している仮想化ソフトウェアが出力する情報を確認してください。
RPM-10259	Replication Manager Application Agent サービスに接続できませんでした。	<p>要因 Replication Manager Application Agent サービスに接続できません。</p> <p>対処 次のことを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Replication Manager Application Agent サービスが起動していること。 2. ポート番号の設定が接続元ホストと接続先ホストで一致していること。 3. 接続元ホストと接続先ホストの Replication Manager Application Agent のバージョンが一致していること。
RPM-10260	バックアップサーバのファイルチェック処理に失敗しました。	<p>要因 通信エラーでバックアップサーバのファイルチェック処理に失敗しました。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 このメッセージの前に出力されているメッセージを確認してください。</p>
RPM-10261	Replication Manager Application Agent のユーザースクリプトファイルがありません。	<p>要因 Replication Manager Application Agent のユーザースクリプトファイルがありません。</p> <p>対処 存在するファイルを指定してください。</p>
RPM-10262	Replication Manager Application Agent のユーザースクリプトファイルへのアクセス権限がありません。	<p>要因 以下のどれかの状況が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 権限が無い 2. デバイスの準備ができていない 3. キャラクタファイルである <p>対処 Replication Manager Application Agent のユーザースクリプトファイルに実行できる権限を付与してください。</p>
RPM-10264	バックアップサーバの Replication Manager Application Agent のユーザースクリプト処理に失敗しました。	<p>要因 バックアップサーバの Replication Manager Application Agent のユーザースクリプト処理に失敗しています。</p> <p>対処 このメッセージの前に出力されているメッセージを確認してください。</p>
RPM-10266	Replication Manager Application Agent サービスの起動に失敗しました。	<p>要因 Replication Manager Application Agent サービス起動に失敗しています。</p> <p>対処 エラーの要因および対処方法については、直前に出力されたメッセージを参照してください。</p>
RPM-10268	IP アドレスが取得できません。 ホスト名 = <ホスト名 >	<p>要因 接続するホストの IP アドレスが取得できませんでした。</p> <p>対処 ホスト名が正しいかどうか、接続するホストが起動しているかどうか、ネットワーク設定に問題がないか確認してください。</p>
RPM-10269	接続先の Replication Manager Application Agent サービスが停止しました。	<p>要因 Replication Manager Application Agent サービス通信時にサービスが停止しました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent サービスを開始したあとで、操作を行ってください。</p>
RPM-10271	Replication Manager Application Agent のバージョンが不正です。	<p>要因 接続先ホストの Replication Manager Application Agent のバージョンが不正です。</p> <p>対処 Application Agent 設定一覧画面でコンポーネントバージョンが同一であるか確認してください。</p>
RPM-10272	Replication Manager Application Agent サービスでエラーが発生しました。	<p>要因 接続先ホスト上でエラーが発生しました。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		エラーの要因および対処方法については、このメッセージ以降に出力されたメッセージを参照してください。
RPM-10277	Replication Manager Application Agent のユーザースクリプトのファイル名が不正です。	<p>要因 Replication Manager Application Agent のユーザースクリプトファイルに定義されたコマンドラインのファイル名チェックでエラーが発生しました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent のユーザースクリプトのファイルの CMDLINE で、空白を含むパス名またはファイル名が引用符 (") で囲まれていることを確認してください。また、引用符 (") がネスト(入れ子)する指定を行っていないことを確認してください。</p>
RPM-10278	複数の操作を同時に実行することはできません。	<p>要因 特定の操作中にほかの操作が実行されました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザースクリプトの PRE_PROC 処理かつローカルサーバ上のスクリプト実行 2. ユーザースクリプトの RESYNC_PROC 処理 3. ユーザースクリプトの SPLIT_PROC 処理 4. ユーザースクリプトの FINISH_PROC 処理 <p>対処 特定操作中にほかの操作を呼び出さないようにしてください。</p>
RPM-10279	Replication Manager Application Agent サービスの接続先にローカルホストが指定されています。	<p>要因 Replication Manager Application Agent サービスの接続先にローカルホストが指定されました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent サービスの接続先にローカルホストを指定しないでください。</p>
RPM-10280	以下のプロトコルのポート番号はすでに使用されています。 プロトコル = <プロトコル名> ポート番号 = <ポート番号>	<p>要因 プロトコルのポート番号がすでに使用されています。</p> <p>対処 表示されたプロトコルのポート番号がほかのプロセスによって使用されていないことを確認してください。</p>
RPM-10281	実行環境には管理者特権が必要です。	<p>要因 Replication Manager Application Agent が管理者権限を使用して実行されていません。</p> <p>対処 管理者権限を使用して Replication Manager Application Agent を実行してください。</p>
RPM-10282	ベリファイ処理がログの異常を検出しました。 ベース名 = <ベース名>	<p>要因 ベリファイ処理でトランザクションログに異常を検出しました。</p> <p>対処 -</p>
RPM-10323	クラスタのオープンに失敗しました。	<p>要因 クラスタのオープンに失敗しました。</p> <p>対処 Windows イベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
RPM-10324	クラスタリソースをオンラインにできませんでした。 リソース名 = <クラスタリソース名> コード = <エラーコード>	要因 クラスタリソースのオンライン処理に失敗しました。 対処 メッセージと一緒に表示される OS のエラーコードと Windows イベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。
RPM-10325	クラスタリソースをオフラインにできませんでした。 リソース名 = <クラスタリソース名> コード = <エラーコード>	要因 クラスタリソースのオフライン処理に失敗しました。 対処 メッセージと一緒に表示される OS のエラーコードと Windows イベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。
RPM-10326	クラスタの情報取得に失敗しました。	要因 クラスタの情報取得に失敗しました。 対処 Windows イベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。
RPM-10418	ファイル名で指定されたバックアップ情報をバックアップカタログに追加しました。 インポートされたバックアップ ID = <インポートされたバックアップ ID >	要因 正常にバックアップ ID がインポートされました。 対処 対処の必要はありません。
RPM-10419	指定されたレプリカ履歴はエクスポートできません。	要因 バックアップデータをテープへバックアップする前に、レプリカ履歴をエクスポートしようとしてしました。 対処 レプリカ作成で [テープバックアップのためにレプリカカタログファイルをバックアップサーバにエクスポートする] にチェックを入れる場合は、Post ジョブでテープバックアップを実行するように設定してください。
RPM-10425	指定されたレプリカ情報をマウントできません。	要因 RAW デバイスをバックアップしたレプリカが指定されました。 対処 指定したレプリカに対して、マウント操作は実行できません。マウント操作を実行せずに、操作を続行してください。
RPM-10426	ドライブ文字の数が不足しているため、この操作を実行できません。	要因 使用できるドライブ文字の数が不足しています。 対処 ボリューム数以上の、未使用なドライブ文字を確保して、再度コマンドを実行してください。 または、マウントポイントディレクトリ上に副ボリュームをマウントしてください。
RPM-10434	Replication Manager Application Agent が使用しているファイルを開くことができません。	要因 次の要因が考えられます。 1. Replication Manager Application Agent が使用しているファイルにアクセス権がない。 2. Replication Manager Application Agent が使用しているファイルと同名のディレクトリが存在している。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処</p> <p>Replication Manager Application Agent が使用しているファイルのアクセス権を変更、またはディレクトリを削除したあと、操作してください。</p> <p>一時ファイルディレクトリのアクセス権が適切かどうかを確認してください。一時ファイルディレクトリは、次の位置にあります。</p> <p>Windows の場合</p> <p style="padding-left: 2em;">< Replication Manager Application Agent のインストールディレクトリ > ¥tmp</p>
RPM-10435	Replication Manager Application Agent で使用されているファイルを読み込むことができませんでした。	<p>要因</p> <p>Replication Manager Application Agent で使用されているファイルを読み込むことができませんでした。マウントポイントの読み込みに失敗しました。</p> <p>対処</p> <p>一度アンマウントしてから、必要に応じて再度マウントしなおし、その後再実行してください。</p>
RPM-10438	指定されたレプリカに対応するコピーグループのロック（またはロック解除）に失敗しました。	<p>要因</p> <p>指定されたレプリカに対応するコピーグループのロック（またはロック解除）に失敗しました。</p> <p>対処</p> <p>問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-10444	Replication Manager Application Agent で使用されているファイルを開くことができませんでした。	<p>要因</p> <p>Replication Manager Application Agent で使用されているファイルを開くことができませんでした。</p> <p>対処</p> <p>問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-10445	Replication Manager Application Agent で使用されているファイルを読み込むことができませんでした。	<p>要因</p> <p>Replication Manager Application Agent で使用されているファイルを読み込むことができませんでした。</p> <p>対処</p> <p>問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-10446	Replication Manager Application Agent で使用されているファイルの書き込みに失敗しました。	<p>要因</p> <p>Replication Manager Application Agent で使用されているファイルの書き込みに失敗しました。</p> <p>対処</p> <p>問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-10447	対象コピーグループから論理ボリューム構成を取得するのに失敗しました。コピーグループ名 = <コピーグループ名 >	<p>要因</p> <p>対象となったコピーグループの副ボリュームからの論理ボリューム情報の取得に失敗しました。</p> <p>対処</p> <p>対象がベーシックドライブに対するコピーグループの場合、副ボリュームに対して論理ボリュームの作成または、フォーマットが行われていない可能性があります。論理ボリュームの作成とフォーマットを行ってから再度バックアップを取得してください。</p>
RPM-10448	指定されたレプリカ情報のボリューム構成は、コピーグループマウント定義と異なります。	<p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		指定されたレプリカ情報のボリューム構成は、Replication Manager Application Agent で使用されているファイルの定義と異なります。 対処 問い合わせ窓口にご連絡してください。
RPM-10449	Replication Manager Application Agent で使用されているファイルが不正です。	要因 Replication Manager Application Agent で使用されているファイルが不正です。 対処 問い合わせ窓口にご連絡してください。
RPM-11000	SQL Server にログオンしました。	要因 SQL Server にログオンしました。 対処 対処の必要はありません。
RPM-11001	SQL Server からログオフしました。	要因 SQL Server からログオフしました。 対処 対処の必要はありません。
RPM-11002	指定されたデータベースは、SQL Server に存在しません。 データベース名 = <データベース名>	要因 指定された SQL データベースが、SQL Server に存在しません。 対処 SQL Server に存在する SQL データベースを指定してください。
RPM-11003	SQL Server に接続できません。	要因 次の要因が考えられます。 1. 指定された SQL インスタンスが存在しない。 2. 指定された SQL インスタンスが起動していない。 3. リストア時に、シングルユーザーモードで SQL Server を起動したときに、ほかのユーザーが SQL Server へ接続した。 対処 要因に応じて、それぞれ次の対処をしてください。 1. 正しい SQL インスタンスを指定してください。 2. SQL Server の Enterprise Manager で SQL インスタンスが起動していることを確認してください。SQL インスタンスが起動していない場合は、SQL インスタンスを起動してから、再度実行してください。 3. システムデータベースをリストア時に、ほかのユーザーが SQL Server へ接続してしまった場合は、対象となる SQL インスタンスにほかのユーザーが接続しないようにしたあとに、リストアを再実行してください。 Replication Manager Application Agent の実行ユーザーが、SQL Server へのログインを許可されていない場合は、SQL Server ログインへ追加し、System Administrators のサーバロールを付けてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-11004	指定された SQL インスタンス名が不正か、もしくは SQL インスタンスの設定が行われていません。	<p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SQL Server に存在しない SQL インスタンス名を指定している。 2. 指定された SQL インスタンスの環境が設定されていないか、設定されている SQL インスタンスがない。 3. SQL Server が該当するマシンにインストールされていない。 <p>対処 要因に応じて、それぞれ次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SQL Server に登録されている SQL インスタンス名を指定してください。 2. Application Agent の設定の SQL オプションタブで SQL インスタンスの設定を行ってください。 3. SQL Server を該当するマシンにインストールするか、もしくは Replication Manager Application Agent for SQL コンポーネントを削除してください。
RPM-11013	未サポートの SQL Server バージョン上で起動しました。 SQL Server バージョン = <SQL Server バージョン>	<p>要因 サポートしていない SQL Server バージョンで、操作を行いました。</p> <p>対処 SQL Server のバージョンを確認してください。</p>
RPM-11014	処理対象のデータベースがありません。	<p>要因 処理対象として指定した SQL データベースが存在しません。</p> <p>対処 ホスト情報更新を実行して、構成を最新にしたあと、SQL データベースの存在を確認してから再度実行してください。</p>
RPM-11017	SQL Server の情報を取得しています。	<p>要因 SQL Server の情報を取得しています。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p>
RPM-11019	SQL インスタンスの設定情報が登録されていません。	<p>要因 指定された SQL インスタンスの設定が行われていません。</p> <p>対処 Application Agent の設定の SQL オプションタブで該当 SQL インスタンスを登録してください。</p>
RPM-11020	SQL Server 起動時の自動復旧中にエラーが発生しました。 要因 = <要因>	<p>要因 SQL Server 起動時の自動復旧中にエラーが発生しました。</p> <p>対処 エラーの要因を取り除いてから再度リストアレプリカを実行してください。</p>
RPM-11103	SQL Server の情報を更新しました。	<p>要因 SQL Server の情報を更新しました。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-11104	指定された VDI メタファイル所在が見つかりません。 VDI メタファイル所在 = <VDI メタファイル所在>	要因 次の要因が考えられます。 1. 指定された VDI メタファイル所在に誤りがある。 2. 指定された VDI メタファイル所在が絶対パスでない。 対処 正しい VDI メタファイル所在を絶対パスで指定して再度実行してください。
RPM-11106	指定された UNDO ログファイル所在が見つかりません。 UNDO ログファイル所在 = <UNDO ログファイル所在>	要因 次の要因が考えられます。 1. 指定された UNDO ログファイル所在に誤りがある。 2. 指定された UNDO ログファイル所在が絶対パスでない。 対処 正しい UNDO ログファイル所在を絶対パスで指定して再度実行してください。
RPM-11108	指定されたディレクトリが見つかりません。 ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>	要因 次の要因が考えられます。 1. 指定されたディレクトリは存在しない。 2. 指定されたディレクトリが絶対パスでない。 対処 正しいディレクトリ名を絶対パスで指定して再度実行してください。
RPM-11110	指定された SQL インスタンスの SQL Server が存在しません。 サービス名 = <サービス名>	要因 Application Agent の設定の SQL オプションタブで指定された SQL インスタンスの SQL Server サービスが存在しません。 対処 システムに存在する SQL Server インスタンス名を確認し、Application Agent の設定の SQL オプションタブで正しい SQL インスタンス名を指定してください。
RPM-11111	指定された SQL インスタンスの SQL Server が起動していません。 サービス名 = <サービス名>	要因 Application Agent の設定の SQL オプションタブで指定された SQL インスタンスの SQL Server サービスが起動していません。 対処 SQL Server サービスが正しく起動されているか確認してください。
RPM-11112	指定された SQL インスタンスは現在の仮想サーバに存在しません。 SQL インスタンスの仮想サーバ名 = <SQL インスタンスの仮想サーバ名> 現在の仮想サーバ名 = <現在の仮想サーバ名>	要因 Application Agent の設定の SQL オプションタブで指定された SQL インスタンスは、指定された仮想サーバ名の SQL インスタンスではありません。 対処 Application Agent の設定の SQL オプションタブで、指定された仮想サーバに存在する SQL インスタンス名を指定してください。
RPM-11113	指定された SQL Server インスタンスは現在有効です。 ホスト名 = <仮想サーバ名または、物理ホスト名>	要因 drmsqlinit コマンド実行時に指定されたインスタンスが現在のホストで有効なインスタンスです。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	インスタンス名 = <SQL Server インスタンス名>	-
RPM-11302	リカバリを開始します。	要因 リカバリが開始されました。 対処 対処の必要はありません。
RPM-11303	リカバリを完了しました。	要因 リカバリが正常に完了しました。 対処 対処の必要はありません。
RPM-11310	データベースはすでにリカバリされています。 処理をスキップします。 データベース名 = <データベース名>	要因 リカバリが不要な場合、またはすでにリカバリした SQL データベースに対してリカバリを行いました。 対処 対処の必要はありません。
RPM-11311	データベースのリカバリに失敗しました。 データベース名 = <データベース名> コード = <コード> 要因 = <要因>	要因 SQL データベースのリカバリに失敗しました。 対処 エラーの要因を取り除いてから再度リストアプレジカを実行してください。
RPM-11500	指定されたストレージグループは、Exchange Server に存在しません。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	要因 指定したストレージグループが、Exchange Server にありません。 対処 ホスト情報の更新を行って指定したストレージグループが存在することを確認してから再度操作を行ってください。
RPM-11501	Exchange Server に対する処理でエラーが発生しました。 処理 = <処理内容> 要因 = <エラー要因>	要因 Exchange Server の処理においてエラーが発生しました。 対処 Exchange Server のマニュアルを参照して、発生要因を取り除いてから再度操作を行ってください。
RPM-11502	Exchange Server に対する処理でエラーが発生しました。 処理 = <処理内容> コード = <エラーコード>	要因 Exchange Server の処理においてエラーが発生しました。 対処 Exchange Server のマニュアルを参照して、発生要因を取り除いてから再度操作を行ってください。
RPM-11503	Exchange Server に対する処理でエラーが発生しました。 処理 = <処理内容> コード = <エラーコード> 要因 = <エラー要因>	要因 Exchange Server の処理においてエラーが発生しました。 対処 Exchange Server のマニュアルを参照して、発生要因を取り除いてから再度操作を行ってください。
RPM-11508	ストレージグループが複数あります。	要因 Exchange Server 2003 Standard Edition に、ストレージグループが複数存在しています。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		使用しないストレージグループを削除してください。
RPM-11509	Exchange Server が該当するマシンにインストールされていません。	要因 Exchange Server のインストール時に設定されるレジストリキーが見つかりません。または、Exchange Server が該当するマシンにインストールされていません。 対処 Exchange Server を該当するマシンにインストールするか、もしくは Replication Manager Application Agent for Exchange コンポーネントを削除してください。
RPM-11510	マウントに失敗しました。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名> インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	要因 マウントに失敗しました。 対処 IIS Admin Service, Microsoft Exchange System Attendant, Microsoft Exchange Information Store のどれかのサービスが停止していないか確認してください。
RPM-11511	ディスマウントに失敗しました。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名> インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	要因 ディスマウントに失敗しました。 対処 IIS Admin Service, Microsoft Exchange System Attendant, Microsoft Exchange Information Store のどれかのサービスが停止していないか確認してください。
RPM-11512	クラスタ構成の同一ノードを優先ノードとして設定している複数の Exchange 仮想サーバで、重複するストレージグループ名が使用されています。 ノード名 = <ノード名> ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	要因 クラスタ構成において、複数の Exchange 仮想サーバが一つのノードを優先ノードとして設定している場合、これらの Exchange 仮想サーバで重複するストレージグループ名が使用されています。 対処 クラスタ構成上の複数の Exchange 仮想サーバが一つのノードを優先ノードとして設定している場合は、これらの Exchange 仮想サーバが重複するストレージグループ名を持たないようにしてください。
RPM-11513	Exchange 仮想サーバのクラスタグループの状態が online ではありません。 クラスタグループ名 = <クラスタグループ名>	要因 Exchange 仮想サーバのクラスタグループの状態が online になっていません。 対処 Exchange 仮想サーバの状態を online にしたあと、再度操作を行ってください。
RPM-11514	Exchange Server 情報の取得に失敗しました。	要因 Exchange Server 情報の取得に失敗しました。 対処 Exchange Server がインストールされているドメインの DNS サーバおよびドメインコントローラが正常に動作しているかを確認してください。異常が見られない場合は、Exchange Server のマニュアルを参照し、Exchange Server が正常に動作しているかを確認してください。
RPM-11515	ストレージグループに関連するクラスタリソースの情報が存在しません。	要因

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	クラスタ構成において、該当するストレージグループのクラスタリソース情報が登録されていません。 対処 保守情報を取得して、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-11516	Replication Manager Application Agent の環境が不正です。	要因 Replication Manager Application Agent の環境が不正です。 対処 Application Agent の追加ダイアログで仮想サーバ(クラスタ構成)を選択し、追加する Application Agent の情報を入力した後、再度実行してください。
RPM-11517	Replication Manager Application Agent の環境が不正です。	要因 Replication Manager Application Agent の環境が不正です。 対処 Application Agent 追加で設定内容が正しいことを確認した後、再度実行してください。
RPM-11520	指定されたストレージグループは、回復用ストレージグループです。 ストレージグループ名 = <ストレージグループ名>	要因 指定されたストレージグループが、回復用ストレージグループです。 対処 指定したストレージグループを確認してから再度操作を行ってください。
RPM-11521	インフォメーションストアのディスマウントができませんでした。 インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	要因 インフォメーションストアのディスマウントに失敗しました。 対処 Microsoft Exchange Information Store サービスを再起動して、再度操作を行ってください。 Microsoft Exchange Information Store サービスが停止できない場合は、システムを再起動してください。
RPM-11522	Active Directory 情報の取得に失敗しました。	要因 Active Directory 情報の取得時にエラーが発生しました。 対処 Exchange Server がインストールされているドメインの DNS サーバおよびドメインコントローラが正常に動作しているかを確認してください。
RPM-11523	Exchange サーバ名が Active Directory 内に存在しません。 Exchange サーバ名 = <Exchangeサーバ名>	要因 Exchange サーバ名が、Active Directory 内にありません。 対処 Exchange Server がインストールされているドメインの DNS サーバおよびドメインコントローラが正常に動作しているかを確認してください。
RPM-11524	Active Directory に接続できませんでした。	要因 Active Directory に接続できませんでした。 対処 ログインしているユーザー名およびパスワードを使用して、ドメインコントローラに接続できるか確認してください。また、ドメインコントローラ

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		ラ、DNS サービスおよびネットワークが正常に動作しているか確認してください。必要に応じてこのプログラムを実行しているサーバ、ドメインコントローラおよび DNS サービスのイベントログを採取し、OS の状態を確認してください。
RPM-11525	Exchange 仮想サーバのクラスタリソースの状態が online ではありません。 クラスタリソース名 = <クラスタリソース名>	要因 Exchange 仮想サーバのクラスタリソースの状態が online になっていません。 対処 Exchange 仮想サーバのクラスタリソースを online にしたあと、再度操作を行ってください。
RPM-11527	Exchange 環境設定ファイルが存在しません。 Exchange 環境設定ファイル名 = <Exchange 環境設定ファイル名>	要因 Exchange Server の環境設定ファイルが存在しませんでした。 対処 存在する Exchange Server の環境設定ファイルを指定してください。
RPM-11528	Exchange 環境設定ファイルのオープンに失敗しました。 Exchange 環境設定ファイル名 = <Exchange 環境設定ファイル名>	要因 Exchange Server の環境設定ファイルをオープンできませんでした。 対処 ファイルへのアクセス権限があるか確認してください。
RPM-11529	Exchange 環境設定ファイルに必要なパラメーターが設定されていません。 パラメーター名 = <パラメーター名>	要因 Exchange Server の環境設定ファイルに必要なパラメーターが設定されていません。 対処 Exchange Server の環境設定ファイルの内容を確認してください。
RPM-11530	Exchange 環境設定ファイルに設定したパラメーターの値が不正です。 パラメーター名 = <パラメーター名> パラメーター値 = <パラメーター値>	要因 Exchange Server の環境設定ファイルに設定したパラメーターの値が不正です。 対処 Exchange Server の環境設定ファイルの内容を確認してください。
RPM-11531	指定したインフォメーションストアが、Exchange Server にありません。ホスト情報を更新して、指定したインフォメーションストアが Exchange Server にあることを確認してください。そのあと、再度操作を実行してください。 インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	要因 指定したインフォメーションストアが、Exchange Server にありません。 対処 ホスト情報を更新して、指定したインフォメーションストアが Exchange Server にあることを確認してください。そのあと、再度操作を実行してください。
RPM-11532	インフォメーションストアのマウントに失敗しました。インフォメーションストアサービスの実行状態を確認してください インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	要因 Microsoft Exchange Information Store のサービスが停止しているなどの原因で、インフォメーションストアのマウントに失敗しました。 対処 Microsoft Exchange Information Store のサービスが正しく起動されているか確認してください。
RPM-11533	インフォメーションストアのディスマウントに失敗しました。インフォメー	要因

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	シヨンスストアサービスの実行状態を確認してください。 インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	Microsoft Exchange Information Store のサービスが停止しているなどの原因で、インフォメーションストアのディスマウントに失敗しました。 対処 Microsoft Exchange Information Store のサービスが正しく起動されているか確認してください。
RPM-11534	指定したインフォメーションストアは、回復用データベースです。指定したインフォメーションストアを確認したあと、再度操作を実行してください。 インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	要因 指定されたインフォメーションストアは、回復用データベースです。 対処 指定したインフォメーションストアを確認したあと、再度操作を実行してください。
RPM-11623	トランザクションログファイルまたはチェックポイントファイルが、データベースファイルと同じコピーグループに格納されています。トランザクションログファイルまたはチェックポイントファイルデータベースファイルとは別のコピーグループに格納したあと、再度操作を実行してください。 インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名> コピーグループ名 = <コピーグループ名>	要因 バックアップ対象となっているインフォメーションストアのデータベースファイルと同じコピーグループに、トランザクションログファイルまたはチェックポイントファイルが格納されています。 対処 トランザクションログファイルまたはチェックポイントファイルデータベースファイルとは別のコピーグループに格納したあと、再度操作を行ってください。
RPM-11624	マウントされていないインフォメーションストアがあるため、レプリカが作成できませんでした。 レプリカの作成対象となるインフォメーションストアをマウントしたあと、再度レプリカを作成してください。 インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	要因 次のどちらかの要因で、インフォメーションストアのレプリカが作成できませんでした。 • Exchange Information Store サービスが起動していない。 • レプリカの作成対象となるインフォメーションストアがマウントされていない。 対処 Exchange Information Store サービスを起動するか、またはレプリカの作成対象となるインフォメーションストアをマウントしたあと、再度レプリカを作成してください。
RPM-11626	Exchange Server のレプリケーション機能が正常に動作していません。DAG のレプリケーション機能が正しく動作するように設定してください。 Exchange サーバ名 = <Exchange サーバ名> インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	要因 Exchange サーバ名にあるインフォメーションストアのレプリケーション機能が、正しく動作していません。 対処 Exchange Server のマニュアルに従って、DAG のレプリケーション機能が正しく動作するように設定してください。
RPM-11627	バックアップ対象のインフォメーションストアに循環ログが設定されているため、バックアップを実行できません。循環ログの設定を解除してください。 インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	要因 バックアップ対象のインフォメーションストアに循環ログが設定されているため、バックアップを実行できません。 対処 レプリカ作成対象のインフォメーションストアには、循環ログを設定しないでください。
RPM-11628	実行されたコマンドの前提条件となるサービスが開始していません。サービスの状態を確認してください。	要因 実行されたコマンドの前提条件となるサービスが起動していません。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	サービス名 = <サービス名>	対処 メッセージに出力されているサービスを起動してください。
RPM-11629	Exchange Management Shell を使用するために必要なライブラリの COM 登録に失敗しました。	要因 Exchange Server の前提 .NET Framework が正常にインストールされていないおそれがあります。 対処 Exchange Server の前提 .NET Framework が正常にインストールされていることを確認して、コマンドを再実行してください。
RPM-11752	コピーグループにバックアップ対象となるインフォメーションストア以外のファイルが含まれているため、レプリカが作成できません。同じコピーグループ内のインフォメーションストアだけを指定して、再度レプリカを作成してください。 インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名> コピーグループ名 = <コピーグループ名>	要因 コピーグループにレプリカ作成対象となるインフォメーションストア以外のファイルが含まれているため、レプリカが作成できません。 対処 同じコピーグループ内のインフォメーションストアだけを指定して、再度レプリカを作成してください。
RPM-11754	Exchange Server のレプリケーション機能を中断できませんでした。 Exchange サーバ名 = <Exchange サーバ名> インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	要因 Exchange サーバ名にあるインフォメーションストアのレプリケーション機能を中断できませんでした。 対処 Exchange Server のマニュアルに従って、レプリケーション機能を中断してください。
RPM-11756	Exchange Server のレプリケーション機能を再開できませんでした。 Exchange サーバ名 = <Exchange サーバ名> インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	要因 Exchange サーバ名にあるインフォメーションストアのレプリケーション機能を再開できませんでした。 対処 Exchange Server のマニュアルに従ってレプリケーション機能を再開してください。
RPM-11759	シード処理中に再同期処理が失敗しました。手動でシード処理を実行してください。 Exchange サーバ名 = <Exchange サーバ名> インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	要因 Exchange サーバ名にあるインフォメーションストアのシード処理中に、データが再同期できませんでした。 対処 Exchange Server のマニュアルに従って、手動でシード処理を実行してください。
RPM-11760	Exchange Server のレプリケーション機能はすでに中断しています。 Exchange サーバ名 = <Exchange サーバ名> インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名>	要因 Exchange サーバ名にあるインフォメーションストアのレプリケーション機能を中断しようとしたが、すでに中断していました。 対処 対処の必要はありません。
RPM-11761	Exchange Server の Microsoft Exchange Replication Service が起動していません。Microsoft Exchange Replication Service を起動したあと、再度操作を実行してください。	要因 Exchange サーバ名の Microsoft Exchange Replication Service が開始していないため、DAG のシード処理を実行できませんでした。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
	Exchange サーバ名 = < Exchange サーバ名 >	Exchange サーバ名の Microsoft Exchange Replication Service の状態を Exchange Server のマニュアルに従って正常な状態にしたあと、再度コマンドを実行してください。 Exchange サーバの復旧が困難な場合は、次に示すどちらかの対処をしたあと、再度コマンドを実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> DAG のシード機能を使用しないでリストアを実行する。 Exchange サーバ名に対して、DAG のレプリケーション設定を無効にする。
RPM-11763	指定されたインフォメーションストアのバックアップ情報を取得できません。ホストの情報を更新して、指定したインフォメーションストアがあることを確認してください。そのあと、再度操作を実行してください。 インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名 >	要因 インフォメーションストアのレプリカ情報が取得できませんでした。 対処 ホストの情報を更新して、指定したインフォメーションストアがあることを確認してください。そのあと、再度操作を実行してください。
RPM-11764	メールボックスデータベースコピーの状態がパッシブのため、リストアできません。リストア対象のメールボックスデータベースコピーの状態をアクティブに切り替えたあと、再度操作を実行してください。 インフォメーションストア名 = <インフォメーションストア名 >	要因 リストア対象のメールボックスデータベースコピーがパッシブの状態ではリストアが実行されませんでした。 対処 リストア対象のメールボックスデータベースコピーの状態をアクティブに切り替えたあと、再度操作を実行してください。
RPM-11807	対象となるデータベースファイルが存在しません。	要因 指定したストレージグループにインフォメーションストアが一つも含まれていません。 対処 少なくとも一つのインフォメーションストアを含むストレージグループを指定して再度操作を行ってください。
RPM-15000	VSS によるレプリカは、この OS では使用できません。	要因 VSS 機能が使用出来ない OS で、VSS 機能を利用するレプリカ作成はできません。 対処 OS のバージョンをサポートするものに変更するか、VSS 以外の方法でバックアップを試みてください。
RPM-15001	VSS によるレプリカは、クラスタ構成では使用できません。	要因 VSS によるレプリカ作成は、クラスタ構成では使用できません。 対処 構成を見直して再実行してください。
RPM-15002	VSS の環境が不正です。	要因 VSS を使用するための設定が不正です。 対処 設定内容を確認し、Application Agent の設定ダイアログから再度設定を実行してください。
RPM-15003	{RM Shadow Copy Provider RMXP Shadow Copy Provider} が使用できませんでした。	要因 VSS のハードウェアプロバイダ(RM Shadow Copy Provider)が動作しなかった場合に出力されるメッセージです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	VSSに関するセットアップが正常に行われているか確認してください。	<p>次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • RM Shadow Copy Provider がインストールされていない。 • VSS を使用するためのシステム環境変数が正しく設定されていない、または設定後にシステムの再起動が行われていない。 <p>対処 マニュアル「Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド」のVSSを使用するための設定の説明を参照して、VSS バックアップの環境設定が正しく行われているかを、確認してください。 また、データベースサーバ上のアプリケーションイベントログに、エラー内容を示すイベントログ（ソースがRMVSSPRVのログ）が出力されている場合があります。このイベントログの内容についてはRAID Managerのマニュアルを参照してください。</p>
RPM-15004	タイムアウトが発生しました。	<p>要因 タイムアウトが発生しました。</p> <p>対処 問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-15005	VSS 定義ファイルが存在しません。	<p>要因 VSS 定義ファイルがありません。</p> <p>対処 "< Replication Manager Application Agent のインストール先>%conf%\vsscom.conf"が存在するか確認してください。存在しない場合は、"< Replication Manager Application Agent のインストール先>%conf%\vsscom.conf.model"を"< Replication Manager Application Agent のインストール先>%conf%\vsscom.conf"にコピーしてVSS 定義ファイルを作成してください。</p>
RPM-15006	VSS 定義ファイルの読み込みに失敗しました。	<p>要因 VSS 定義ファイルが存在するがアクセスできません。</p> <p>対処 "< Replication Manager Application Agent のインストール先>%conf%\vsscom.conf"のアクセス権限を確認してください。</p>
RPM-15007	VSS 定義ファイルに必要なパラメーターの設定が不正です。 パラメーター名 = <パラメーター名 >	<p>要因 VSS 定義ファイルに必要なパラメーター設定がされていません、または1行のパラメーター値が256バイト以上です。</p> <p>対処 VSS 定義ファイルに必要なパラメーターの設定を見直してください</p>
RPM-15008	VSS 定義ファイルのパラメーター値が不正です。 パラメーター名 = <パラメーター名 > パラメーター値 = <パラメーター値 >	<p>要因 VSS 定義ファイルのパラメーター値が不正です。</p> <p>対処 正しいパラメーター値を設定してください。</p>
RPM-15012	Replication Manager Application Agent の環境が不正です。	<p>要因</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		Replication Manager Application Agent の環境が不正です。 対処 バックアップサーバ側の Application Agent の設定ダイアログを起動し、使用する副側インスタンスを設定しなおしてください。
RPM-15013	ポート番号はすでに使用されています。 ポート番号 = <ポート番号>	要因 ポート番号がすでに使用されています。 対処 セットアップ手順に従い、使用していないポート番号を services に登録してください。
RPM-15023	バックアップサーバ上でエラーが発生しました。 要因 = <要因>	要因 バックアップサーバ上でエラーが発生しました。 対処 要因に対する対処をしてください。
RPM-15024	Application Agent サービスでメモリー不足が発生しました。	要因 Application Agent サービスでメモリー不足が発生しました。 対処 接続先のホストのメモリーを追加してください。または、仮想メモリーの設定を見直してください。
RPM-15026	バックアップサーバでファイルがすでに存在します。	要因 バックアップサーバでファイルがすでに存在します。 対処 再度バックアップを実行してください。
RPM-15027	バックアップサーバでファイルの読み込みができませんでした。	要因 バックアップサーバでファイルの読み込みができませんでした。 対処 問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-15028	バックアップサーバでファイルの書き込みができませんでした。	要因 バックアップサーバでファイルの書き込みができませんでした。 対処 再度バックアップを実行してください。
RPM-15029	バックアップサーバで対象のドライブのマウントに失敗しました。	要因 バックアップサーバで対象のドライブのマウントに失敗しました。 対処 バックアップサーバにマウントポイントディレクトリが正しく指定されているか確認してください。 マウントポイントディレクトリの指定が正しい場合は、OS のシステムログを参照し、エラーが発生していないか確認してください。
RPM-15030	バックアップサーバで対象のドライブがすでにマウントされています。	要因 バックアップサーバで対象のドライブがすでにマウントされています。 対処 対象のドライブは、すでにほかのボリュームがマウントされています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対象のドライブをアンマウントしてから、再度実行してください。
RPM-15031	バックアップサーバで対象のディスクのアンマウントに失敗にしました。	<p>要因 バックアップサーバで対象のドライブのアンマウントに失敗にしました。</p> <p>対処 バックアップサーバで以下のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> アンマウント対象のドライブが、ほかのプロセスで使用されていないか。 カレントディレクトリがアンマウント対象ドライブになっていないか。 <p>マウントポイントディレクトリの指定が正しい場合は、システムログを参照し、OS に異常がないかを確認してください。</p>
RPM-15032	バックアップサーバでマウント情報の取得に失敗しました。	<p>要因 バックアップサーバでマウント情報の取得に失敗しました。</p> <p>対処 問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-15033	バックアップサーバで VSS スナップショットのインポートに失敗しました。VSS に関するセットアップが正常に行われているか確認してください。	<p>要因 バックアップサーバで VSS スナップショットのインポートに失敗した場合に出力されるメッセージです。 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> バックアップサーバに RM Shadow Copy Provider がインストールされていない。 VSS を使用するためのシステム環境変数が正しく設定されていない、または設定後にシステムの再起動が行われていない。 バックアップサーバで設定してはいけないシステム環境変数 (HORCMINST, HORCC_MRCF, HORCMPERM) が設定されている。 ペアの作成時に -m noread オプションが指定されていない。 <p>対処 マニュアル「Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド」の VSS を使用するための設定の説明を参照して、VSS バックアップの環境設定が正しく行われているかを、確認してください。 また、バックアップサーバ上のアプリケーションイベントログに、エラー内容を示すイベントログ (ソースが RMVSSPRV のログ) が出力されているときがあります。このイベントログの内容については RAID Manager のマニュアルを参照してください。 また、コマンド実行時に使用できないツールが動作している場合があります。詳細は、マニュアル「Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド」のコマンド実行時に使用できないツールを参照してください。</p>
RPM-15034	VSS の環境が設定されていません。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		VSS を使用するための設定が不正です。 対処 システム環境変数 VSHTCRMENVF に以下の情報を設定してください。 <Replication Manager Application Agent のインストール先>%conf %vssprv.conf
RPM-15035	Replication Manager Application Agent の環境が不正です。	要因 Replication Manager Application Agent の環境が不正です。 対処 Application Agent の設定を再度見直してください。また、環境変数である VSHTCRMENVF の設定を見直してください。
RPM-15036	VSS インポートサーバのバージョンが不正です。	要因 VSS インポートサーバのバージョンが古いです。 対処 バックアップサーバにインストールされている Replication Manager Application Agent のバージョンを確認してください。
RPM-15037	バックアップサーバが使用しているファイルに不整合があります。	要因 バックアップサーバが使用しているファイルが、何らかの理由により破壊されたりしたため、バックアップサーバが使用しているファイルに不整合があります。 対処 バックアップサーバが使用しているファイルが不整合であるため、バックアップデータをリストアできません。
RPM-15038	バックアップサーバの OS では、VSS によるレプリカはできません。	要因 バックアップサーバの OS が、VSS によるレプリカ作成をサポートしていません。 対処 OS のバージョンをサポートされているものに変更してください。
RPM-15039	VSS の環境が不正です。	要因 VSS を使用するための設定が不正です。 対処 バックアップサーバ側の Application Agent の設定ダイアログを起動し、使用する副側インスタンスを設定しなおしてください。
RPM-15100	Replication Manager Application Agent で使用されているファイルがありません。	要因 Replication Manager Application Agent で使用されているファイルがありません。 対処 設定を見直したあと、再度実行してください。それでも発生する場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-15102	RAID 管理ソフトウェアとの連携に必要な設定がされていません。	要因 RAID 管理ソフトウェアとの連携に必要なファイルの読み込みを行った結果、定義が必須のパラメーターが記述されていません。 対処 セットアップの設定内容が正しいことを確認したあと、再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-15103	バックアップ処理対象となったコピーグループのペア識別子が一致しません。コピーグループ名[MU#] = <コピーグループ名>[<MU番号>], <コピーグループ名>[<MU番号>]	<p>要因 RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) ファイルに CONFIRM_GENERATION_IDENTICAL=ENABLE パラメーターを記述した状態でバックアップコマンドを実行し、コピーグループ自動選択の結果、ペア識別子が一致していません。なお、このエラーは、VSS を使用している場合でも発生する可能性があります。</p> <p>対処 次のどれかの方法で解決してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コピーグループをロックするなどして同じペア識別子が選択されるようにしてください。 2. RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) に CONFIRM_GENERATION_IDENTICAL=DISABLE パラメーターを定義し、再実行してください(ローカルコピーのであり、なおかつ VSS を使用していない場合のみ有効)。
RPM-15106	処理対象のコピーグループの状態が不正です。	<p>要因 処理対象のコピーグループの状態が不正です。</p> <p>対処 処理対象のコピーグループ情報更新を行って最新のコピーグループの状態を取得してください。状況が改善しない場合はコピーグループの状態を変更する操作を行い、コピーグループの状態を正常にしてください。</p>
RPM-15107	処理対象に関連したコピーグループの状態が不正です。	<p>要因 処理対象に関連したコピーグループの状態が不正です。</p> <p>対処 処理に関連するコピーグループ情報更新を行って最新のコピーグループの状態を取得してください。状況が改善しない場合はコピーグループの状態を変更する操作を行い、コピーグループの状態を正常にしてください。</p>
RPM-15116	副ボリュームの論理ボリューム構成が正しくありません。	<p>要因 副ボリュームから取得した実際の論理ボリューム構成がレプリカ履歴またはコピーグループマウント定義の論理ボリューム構成と一致していません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正ボリュームの論理ボリューム構成を変更したが、構成変更前のバックアップカタログを指定した。 2. ダイナミックディスクをコピーグループ指定でマウントしようとしたが、コピーグループマウント定義が作成されていない。 <p>対処</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定したレプリカ履歴が現在の正ボリュームの論理ボリューム構成をレプリカした際に作成されたものか確認してください。現在の正ボリュームの構成に対するレプリカ履歴を指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>正ボリュームの論理ボリューム構成を変更した場合は、副ボリュームをマウントするための設定を再度行ってください。</p> <p>2. ダイナミックディスク構成のコピーグループを指定した場合、コピーグループマウント定義ファイルが作成されているか確認してください。あらかじめコピーグループマウント定義ファイルの作成が必要です。副ボリュームをマウントするための設定を確認してください。</p> <p>3. 上記以外の場合、副ボリュームをマウントするための設定を再度行ってください。</p>
RPM-15118	ペアステータスが<ペアステータス>であることを確認してください。	<p>要因 コピーグループのペアステータスが期待していたものと異なります。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された RPM-10006 の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>
RPM-15119	ペアステータス確認のリトライがタイムアウトしました。 待機ペアステータス = <ペアステータス> <リトライ回数パラメーター名> = <リトライ回数パラメーター値>(回) <リトライ待ち時間パラメーター名> = <リトライ待ち時間パラメーター値>(10 ミリ秒)	<p>要因 ペアステータスの変移を、1 回のリトライでリトライ待ち時間パラメーターで設定された値の時間だけ待ち、リトライ回数パラメーターで設定された値の回数だけ確認を行ったが、期待したペアステータスを取得できません。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された RPM-10006 の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>
RPM-15120	コピーグループに対する処理でエラーが発生しました。 コピーグループ名 = <コピーグループ名>	<p>要因 対象のコピーグループでエラーが発生しています。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された RPM-10006 の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>
RPM-15121	レプリカ履歴と現在の構成を比較する処理でエラーが発生しました。	<p>要因 リストア時のドライブ構成とレプリカ時のドライブ構成とで異なり、リストアできません。</p> <p>対処 リストア時のドライブ構成とレプリカ時のドライブ構成が異なるため、リストアできません。レプリカを取得し直してください。</p>
RPM-15122	論理ボリュームに対する処理でエラーが発生しました。 マウントポイント名 = <マウントポイント名> ボリューム名 = <ボリューム名>	<p>要因 マウントポイントをマウント又はアンマウントできません。</p> <p>対処 このメッセージ以降に出力された RPM-10006 の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。</p>
RPM-15123	マウントポイント名の取得に失敗しました。 ボリューム名 = <ボリューム名>	<p>要因 マウントポイントの取得に失敗し、アンマウントに失敗しました。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		このメッセージ以降に出力された RPM-10006 の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
RPM-15124	コピーグループを選択する処理でエラーが発生しました。 物理ドライブ名 = <物理ドライブ名> 要因 = <要因>	要因 レプリカ作成時に選択したコピーグループの世代識別名の値または世代がありません。 対処 このメッセージ以降に出力された RPM-10006 の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
RPM-15125	リストアに必要なファイルが指定されていません。 ファイル名 = <ファイル名> ディスクグループ名 = <ディスクグループ名>	要因 レプリカのリストア時にディスクグループ内のすべてのファイルが指定されていません。 対処 このメッセージ以降に出力された RPM-10006 または、RPM-10051 の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
RPM-15126	論理ボリュームに対する処理でエラーが発生しました。 マウントポイント名 = <マウントポイント名> 要因 = <要因>	要因 対象の論理ボリュームに対する処理でエラーが発生しています。 対処 このメッセージ以降に出力された RPM-10006 の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
RPM-15127	RAID Manager / P9000 RAID Manager に関連する処理でエラーが発生しました。 インスタンス番号 = <インスタンス番号>	要因 インスタンスの起動・停止に関してエラーが発生しています。 対処 このメッセージ以降に出力された RPM-10006 の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
RPM-15128	レプリカ履歴と現在の構成を比較する処理でエラーが発生しました。	要因 リストア時のドライブ構成とレプリカ時のドライブ構成が異なり、リストアできません。 対処 リストア時のドライブ構成とレプリカ時のドライブ構成が異なるため、リストアできません。レプリカを取得し直してください。
RPM-15129	レプリカ履歴と現在の構成を比較する処理でエラーが発生しました。	要因 ドライブ構成がレプリカ時のドライブ構成から変更されているため、リストアできません。 対処 レプリカを取得し直してください。
RPM-15130	論理ボリュームに対する処理でエラーが発生しました。 ディスクグループ名 = <ディスクグループ名> 物理ドライブ名 = <物理ドライブ名>	要因 物理ドライブ上の論理ボリュームを特定できません。 対処 このメッセージ以降に出力された RPM-10006 の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
RPM-15131	ディスクグループに対する処理でエラーが発生しました。 ディスクグループ名 = <ディスクグループ名>	要因 エラーの発生したディスクグループ名を取得できませんでした。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		このメッセージ以降に出力された RPM-10006 の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
RPM-15132	マウントポイントに対する処理でエラーが発生しました。 マウントポイント名 = <マウントポイント名>	要因 エラーの発生したマウントポイント名を取得できませんでした。 対処 このメッセージ以降に出力された RPM-10006 の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
RPM-15133	物理ドライブに対する処理でエラーが発生しました。 物理ドライブ名 = <物理ドライブ名>	要因 エラーの発生した物理ドライブ名を取得できませんでした。 対処 このメッセージ以降に出力された RPM-10006 の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
RPM-15134	ディスクリソースに対する処理でエラーが発生しました。 ディスクリソース名 = <ディスクリソース名>	要因 エラーの発生したディスクリソース名を取得できませんでした。 対処 このメッセージ以降に出力された RPM-10006 の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
RPM-15137	ディスク Signature が変更されたため物理ディスクリソースをオンラインにできません。 クラスタリソース名 = <クラスタリソース名> 物理ドライブ名 = <物理ドライブ名> ディスク Signature = <ディスク Signature(変更前)> -> <ディスク Signature(変更後)>	要因 副ボリュームのディスク Signature が変更され、その副ボリュームが正ボリュームにリストアされています。ボリュームのディスク Signature が変更されたボリュームを含む物理ディスクリソースは、オフラインからオンラインに切り替えられません。 対処 問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-15138	ディスク Signature の取得に失敗しました。 物理ドライブ名 = <物理ドライブ名>	要因 ディスク Signature の取得に失敗した場合に表示されます。 対処 システムログを参照し、対象の物理ドライブに関して異常を表すメッセージが出力されていないかを確認し、要因を取り除いてください。
RPM-15139	ディスク Signature の更新に失敗しました。 コピーグループ名 = <コピーグループ名> 物理ドライブ名 = <物理ドライブ名>	要因 メッセージに表示された、コピーグループを格納している物理ドライブに対し、ディスク Signature の更新が失敗しました。 対処 OS のシステムログを参照し、対象の物理ドライブに関するエラーメッセージが出力されていたら、そのエラー対策を実施してください。物理ドライブデバイスの稼働状況が「UNKNOWN」の場合、物理ドライブデバイスが隠ぺいされています。バックアップ ID または、コピーグループを指定して隠ぺいを解除してください。物理ドライブデバイスを隠ぺいしていない場合は、RAID Manager およびストレージシステムの設定を見直し、コピーグループのボリュームがサーバの物

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		理ドライブデバイスとして正しくマッピングされているかを確認してください。
RPM-15141	このバックアップ情報ではディスク Signature を更新できません。	<p>要因 レプリカ履歴にディスク Signature が記録されていないため、ディスク Signature を更新できません。</p> <p>対処 次の 2 点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> レプリカ情報 -sigview オプションを指定して drmddevctl コマンドを実行すると、バックアップ時のディスク Signature に「-----」以外の値が表示されること <p>Replication Manager Application Agent の以前のバージョンでレプリカを作成したときのレプリカ履歴では、「-----」が表示され、レプリカ情報を指定してディスク Signature を更新できません。 コピーグループを指定してディスク Signature を更新してください。</p>
RPM-15142	指定されたディスク Signature 引数は正しくありません。 引数 = <引数>	<p>要因 コマンド引数で指定されたディスク Signature が正しくありません。</p> <p>対処 ディスク Signature は、16 進数 8 桁以内で指定してください。 ディスク Signature は、ドライブのパーティションスタイルによって指定する形式が異なります。 MBR ドライブの場合：16 進数 8 桁 GPT ドライブの場合：GUID 形式 正しい形式のディスク Signature を指定して、コマンドを再実行してください。</p>
RPM-15144	ボリュームへの現在のハンドルを無効にするのに失敗しました。 マウントポイント名 = <マウントポイント名>	<p>要因 論理ボリュームのオープンハンドル確認に失敗しました。または、論理ボリュームのすべてのオープンハンドルを無効化できませんでした。</p> <p>対処 対象のボリュームを使用しているアプリケーションが存在しないか確認し、存在していた場合はアプリケーションを終了させてください。 対象のボリュームを使用しているアプリケーションが存在しない場合は、システムログを参照し、対象のボリュームに関して以上を表すメッセージが出力されていないかを確認し、要因を取り除いてください。</p>
RPM-15145	論理ボリュームに不良ビットが設定されています。 論理ボリューム名 = <論理ボリューム名>	<p>要因 クラスタリソースのオフラインを実行したところ、論理ボリュームに不良ビットが設定されました。</p> <p>対処 以下の手順で、不良ビットを解消してから実行してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> リソースがオフラインである事を確認する。 CHKDSK /F /X <論理ボリューム名> を実行する。 リソースをオンラインにする。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-15146	副ボリュームがマウントされています。 コピーグループ名 = <コピーグループ名> マウントポイント = <バックアップサーバでのマウントポイントディレクトリ>	要因 副ボリュームがマウントされています。 対処 このメッセージ以降に出力された RPM-10006 の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
RPM-15147	副ボリュームが隠ぺいされていません。 コピーグループ名 = <コピーグループ名> 物理ドライブ名 = <バックアップサーバの物理ドライブ名> SERIAL 番号 = <SERIAL 番号> LDEV 番号 = <LDEV 番号>	要因 副ボリュームのドライブが、隠ぺいされていません。 対処 このメッセージ以降に出力された RPM-10006 の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
RPM-15148	クラスタ環境で複数世代の場合は、副ボリュームは隠ぺいされている必要があります。	要因 KAVX5147-E のエラーが表示されるときに、理由について表示します。 対処 このメッセージ以降に出力された RPM-15147 および RPM-10006 の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
RPM-15149	VSS のレプリカで複数世代の場合は、副ボリュームは隠ぺいされている必要があります。	要因 RPM-15147 のエラーが出力された理由を示します。 対処 このメッセージ以降に出力された RPM-15147 および RPM-10006 の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
RPM-15150	ダイナミックディスクで複数世代の場合は、副ボリュームは隠ぺいされている必要があります。	要因 KAVX5147-E のエラーが表示されるときに、理由について表示します。 対処 このメッセージ以降に出力された RPM-15147 および RPM-10006 の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
RPM-15151	副ボリューム側のペアステータスが正しくありません。 コピーグループ名 = <コピーグループ名> 副ボリュームの MU# = <副ボリュームの MU 番号> ペアステータス = <ペアステータス>	要因 リモートサイトのコピーグループの状態が不正です。 対処 このメッセージ以降に出力された RPM-15147 および RPM-10006 の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
RPM-15160	レプリカ履歴のインポートに失敗しました。	要因 バックアップサーバでのレプリカ履歴のインポートが失敗しました。 対処 このメッセージ以降に出力された RPM-10006 の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。レプリカは完了しているため、インポート処理を再度実行してください。
RPM-15161	レプリカ履歴のエクスポートに失敗しました。	要因 レプリカ履歴のエクスポート処理に失敗しました。 対処 このメッセージ以降に出力された RPM-10006 の要因となった詳細メッセージを確認し、対処し

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		てください。レプリカは完了しているため、インポート処理を再度実行してください。
RPM-15164	副ボリュームのマウントに失敗しました。	要因 バックアップサーバでのマウント処理が失敗しました。 対処 このメッセージ以降に出力された RPM-10006 の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。レプリカは完了しているため、レプリカ履歴のマウント操作を再度実行してください。
RPM-15165	共有データパスが設定されていません。	要因 有効な共有データパスの記述がありません。 対処 共有データパスが指定されているか確認してください。
RPM-15169	ディスクグループに対する処理でエラーが発生しました。 ディスクグループ名 = <ディスクグループ名> 要因 = <要因>	要因 ディスクグループに関する処理でエラーが発生しました。 対処 メッセージの要因を見て、その対処法を実施してください。
RPM-15170	ディスク Signature の形式が物理ドライブのパーティションスタイルと異なっています。 ディスク Signature = <ディスク Signature > 物理ドライブ名 = <物理ドライブ名>	要因 設定しようとしたディスク Signature の形式とドライブのパーティションスタイルが異なっています。 対処 ドライブのパーティションスタイルの形式に合ったディスク Signature を指定してコマンドを再実行してください。
RPM-15171	物理ドライブのパーティションスタイルが変更されています。	要因 レプリカ履歴に記憶しているドライブのパーティションスタイルと現在のドライブのパーティションスタイルが異なっています。 対処 レプリカ時のドライブのパーティションスタイルと現在のドライブのパーティションスタイルを一致させてから、再実行してください。
RPM-15407	Replication Manager Application Agent の環境が不正です。	要因 Replication Manager Application Agent の環境が不正です。 対処 構成の更新を行った後、再度実行してください。それでも発生する場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

14.3 RPM-20000～RPM-29999

Replication Manager Application Agent に関するメッセージ (RPM-20000～RPM-29999) を次の表に示します。

表 14-3 RPM-20000~RPM-29999 : Replication Manager Application Agent のメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-20000	排他処理に失敗しました。	<p>要因 処理の実行時に別の処理が実行中だったため排他処理を行いましたが発生しました。</p> <p>対処 しばらく待ってから再度操作を実行してください。</p>
RPM-20001	指定されたファイルは使用中です。	<p>要因 リストア対象が使用中のため処理を続行できませんでした。</p> <p>対処 しばらく待ってから再度操作を実行してください。</p>
RPM-20002	内部エラーが発生しました。	<p>要因 ディクショナリマップファイルやレプリカカタログの情報が不整合になったり、壊れたりしたため、未知の内部エラーが発生しました。または、OS システムコール実行中に未知の内部エラーが発生しました。</p> <p>対処 次の順序で Application Agent の動作環境を確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Application Agent の設定で指定した RAID Manager インスタンスの通信相手となる RAID Manager インスタンスが起動済みかどうか。 2. Application Agent の設定で指定したインスタンス番号が適切かどうか。 3. RAID Manager の構成定義ファイル (horcmn.conf) が適切かどうか。 <p>Application Agent の動作環境に問題がない場合は、製品マニュアルのトラブルシューティングの項目に記載された内容を確認し、資料を採取した後、問い合わせ窓口に連絡してください。回復するためには製品のアンインストール後、再度インストールを行う必要があります。</p>
RPM-20003	レプリカ情報の取得に失敗しました。	<p>要因 Replication Manager Application Agent のデータが破損しているためレプリカ情報を取得できませんでした。</p> <p>対処 製品マニュアルのトラブルシューティングの項目に記載された内容を確認し、資料を採取した後、問い合わせ窓口に連絡してください。回復するためには製品のアンインストール後、再度インストールを行う必要があります。</p>
RPM-20004	指定されたレプリカの詳細情報がありません。	<p>要因 指定されたレプリカの詳細情報がありません。</p> <p>対処 ホスト情報の更新を行ってから再度操作を行ってください。</p>
RPM-20008	コピーグループのペアステータスが不正です。	<p>要因 コピーグループのペア状態が不正なため、コマンドが実行できません。</p> <p>次の要因が考えられます。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>1. Replication Manager 以外のプログラムからペアボリュームの状態が変更された。</p> <p>2. ユーザーが不正なオペレーションを実行した。</p> <p>3. ストレージサブシステムに障害が発生した。</p> <p>対処 要因に応じて以下の対処を行ってください。</p> <p>1. Replication Manager 以外のプログラムからペアボリュームの状態が変更された場合、RAID Manager の pairsplit コマンドを使用してコピーグループのペア状態を PSUS に変更してから、コマンドを再度実行してください。</p> <p>2. ユーザーが不正なオペレーションを実行した場合は、テープからバックアップデータをリストアするか、正ボリュームからバックアップを取り直すかして、副ボリュームのデータを正しいものに行ってください。</p> <p>3. ストレージサブシステムに障害が発生した場合は、システムログを参照し、対象のボリュームに関して異常を表すメッセージが出力されていないかどうか確認して、障害を取り除いてください。</p>
RPM-20009	コピーグループの再同期に失敗しました。	<p>要因 バックアップやリストア処理の実行時に、コピーグループの再同期処理に失敗しました。</p> <p>対処 Replication Manager のマニュアルを参照して Replication Manager Application Agent が正しく構成されていることを確認してください。</p>
RPM-20010	RAID 構成情報を取得できませんでした。	<p>要因 RAID Manager のコマンドが RAID 構成情報を取得できませんでした。</p> <p>対処 RAID Manager のコマンドが失敗した要因を RAID Manager のマニュアルに従って取り除いてください。そのあとに再度操作を行ってください。</p>
RPM-20011	タイムアウトが発生しました。	<p>要因 コピーグループの再同期処理でタイムアウトが発生しました。</p> <p>対処 ストレージ装置に過度の負荷が掛かっていないことを確認してから再度操作を行ってください。</p>
RPM-20013	インストールパス情報の取得に失敗しました。	<p>要因 Windows システムにおいて、正しく製品がインストールされていないため、製品のインストールパス情報の取得に失敗しました。</p> <p>対処 一旦製品をアンインストールした後、製品を再度インストールしてください。再度インストールしても同じ異常が発生する場合、問い合わせ窓口にご連絡してください。</p>
RPM-20014	指定されたコピーグループは存在しません。	<p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>リストア処理の実行時に、バックアップ情報として登録されたコピーグループが現在の構成に存在していませんでした。</p> <p>対処 コピーグループが正しく定義されているか確認してください。コピーグループが現在の構成に存在しなかった場合は、RAID Manager 構成定義ファイルを確認し、RAID Manager の構成定義が正しく設定されているかを確認してください。</p>
RPM-20015	RAID 情報の取得に失敗しました。	<p>要因 Replication Manager Application Agent が使用している設定ファイルの更新時に RAID 構成情報を取得できませんでした。または、バックアップサーバでその設定ファイルを更新しようとした。</p> <p>対処 バックアップサーバで設定ファイルを更新する必要はありません。 データベースサーバで出力された場合には、次のことを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. RAID Manager のログ情報を参照して、RAID Manager のコマンドが失敗していないか確認してください。RAID Manager のコマンドが失敗している場合は、RAID Manager のマニュアルに従って、RAID Manager の構成定義ファイル (horcmn.conf) の修正などを実施し、要因を取り除いてください。そのあとで操作を再度実行してください。 2. マニュアルを参照して Replication Manager Application Agent が正しく構成されていることを確認してください。
RPM-20018	指定されたパスが無効です。	<p>要因 Replication Manager Server と Replication Manager Application Agent の間で一部の情報に不一致が発生しています。</p> <p>対処 ホスト情報の更新を行ってから再度操作を行ってください。</p>
RPM-20020	コピーグループのペア生成に失敗しました。	<p>要因 バックアップやリストア処理の実行時に、コピーグループのペア生成に失敗しました。</p> <p>対処 RAID Manager のログ情報を参照して、RAID Manager のコマンドが失敗した要因を RAID Manager のマニュアルに従って取り除いてください。そのあとに操作を再度実行してください。再度このエラーが発生する場合は、Replication Manager のマニュアルを参照して Replication Manager Application Agent が正しく構成されていることを確認してください。</p>
RPM-20021	コピーグループの再同期に失敗しました。	<p>要因 バックアップやリストア処理の実行時に、コピーグループの再同期に失敗しました。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		RAID Manager のログ情報を参照して、RAID Manager のコマンドが失敗した要因を RAID Manager のマニュアルに従って取り除いてください。そのあとに操作を再度実行してください。再度このエラーが発生する場合は、Replication Manager のマニュアルを参照して Replication Manager Application Agent が正しく構成されていることを確認してください。
RPM-20022	コピーグループのペア分割に失敗しました。	要因 バックアップやリストア処理の実行時に、コピーグループのペア分割に失敗しました。 対処 RAID Manager のログ情報を参照して、RAID Manager のコマンドが失敗した要因を RAID Manager のマニュアルに従って取り除いてください。そのあとに操作を再度実行してください。再度このエラーが発生する場合は、Replication Manager のマニュアルを参照して Replication Manager Application Agent が正しく構成されていることを確認してください。
RPM-20026	コピーグループのステータスを取得できませんでした。	要因 バックアップやリストア処理の実行時に、コピーグループのペア状態が確認できませんでした。 対処 バックアップ対象のインスタンスが停止している場合は、インスタンスを起動してください。Replication Manager のマニュアルを参照して Replication Manager Application Agent が正しく構成されていることを確認してください。
RPM-20027	一つの物理ドライブ上に複数の論理ドライブが存在します。	要因 バックアップ対象のマウントポイントディレクトリに対応する論理ドライブが所属する物理ドライブに、別の論理ドライブが含まれているため、バックアップを実行できません。 対処 論理ボリュームマネージャーを使用して、ボリュームの構成を変更してください。
RPM-20028	指定されたファイルまたはディレクトリは RAID 装置上に存在しません。	要因 バックアップ対象として指定したファイルまたはディレクトリのパス名が、RAID 装置上のディスクにありませんでした。 対処 RAID 装置上のパス名を指定して、コマンドを再度実行してください。
RPM-20031	同じコピーグループに複数のマウントポイントが存在します。	要因 バックアップ対象のマウントポイントディレクトリに対応する論理ドライブが所属する物理ドライブに、別の論理ドライブが含まれているため、バックアップを実行できません。 対処 論理ボリュームマネージャーを使用して、ボリュームの構成をバックアップできる構成に変更してください。
RPM-20032	指定されたファイルまたはディレクトリはバックアップされていません。	要因

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>指定したファイルまたはディレクトリはバックアップされていません。</p> <p>対処 バックアップしたファイルまたはディレクトリを確認し、正しいパス名を指定したあと、リストア操作を再度実行してください。</p>
RPM-20033	指定されたファイルまたはディレクトリのパス名が無効です。	<p>要因 指定したファイルまたはディレクトリのパス名が不正でした。</p> <p>対処 バックアップを実行したファイルまたはディレクトリを確認し、正しいパス名を指定して、リストア操作を再度実行してください。</p>
RPM-20035	一つの論理ディスクグループ中に正ボリュームと副ボリュームが混在しています。	<p>要因 一つの論理ディスクグループ中に、コピーグループの正ボリュームと副ボリュームが混在しています。このボリューム構成では、バックアップやリストアを実行できません。</p> <p>対処 正ボリュームと副ボリュームを別のディスクグループに分けてから、操作を再度実行してください。</p>
RPM-20036	指定されたバックアップ対象オブジェクトは、バックアップ先の副ボリュームを特定できません。	<p>要因 バックアップ実行時にコピーグループを特定できませんでした。</p> <p>対処 RAID Manager を使用して、コピーグループを正しく定義してから、操作を再度実行してください。</p>
RPM-20037	指定したマウントポイントディレクトリ名が 255 文字を超えています。	<p>要因 指定したマウントポイントディレクトリ名が 255 文字を超えています。</p> <p>対処 マウントポイントディレクトリ名には、255 文字以下の文字列を指定してください。</p>
RPM-20038	指定したディスクグループ名が 28 文字を超えています。	<p>要因 指定したディスクグループ名が 28 文字を超えています。</p> <p>対処 ディスクグループ名には、28 文字以下の文字列を指定してください。</p>
RPM-20039	操作対象の副ボリュームがすでにマウントされています。	<p>要因 Replication Manager Server と Replication Manager Application Agent の間で一部の情報に不一致が発生しています。</p> <p>対処 ホスト情報の更新を行ってから再度操作を行ってください。</p>
RPM-20040	クラスタリソースをオフラインにできませんでした。	<p>要因 クラスタ環境で、クラスタリソースをオフライン状態にできませんでした。</p> <p>対処 クラスタ製品に問題が発生していないかどうか確認してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-20041	クラスタリソースをオンラインにできませんでした。	<p>要因 クラスタ環境で、クラスタリソースをオンライン状態にできませんでした。</p> <p>対処 クラスタ製品に問題が発生していないかどうか確認してください。</p>
RPM-20042	正ボリュームの chkdsk コマンドの実行でエラーが発生しました。	<p>要因 クラスタ環境で、正ボリュームの chkdsk コマンドの実行でエラーが発生しました。</p> <p>対処 システムログを参照し、問題が発生していないかどうか確認してください。</p>
RPM-20043	クラスタ情報の取得に失敗しました。	<p>要因 指定したマウントポイントがクラスタサーバに存在するかどうかの調査に失敗しました。</p> <p>対処 クラスタ製品に問題が発生していないかどうか確認してください。</p>
RPM-20045	一つの論理ディスクグループ中にクラスタ管理下のボリュームと管理外のボリュームが混在しています。	<p>要因 一つの論理ディスクグループ中に、クラスタサーバ管理下のボリュームと管理外のボリュームが混在しています。この構成では、再同期でリストアできません。</p> <p>対処 同一の論理ディスクグループに存在するボリュームについては、クラスタサーバで管理するかどうかを統一したあとで、操作を実行してください。</p>
RPM-20047	再同期によるリストアに失敗しました。	<p>要因 リストア対象のファイルが不足しています。</p> <p>対処 すべてのファイルがリストア対象になるようにリストア対象を追加してください。</p>
RPM-20049	ファイルシステムの同期に失敗しました。	<p>要因 以下の要因が考えられます。 RPM-20302 が同時に表示されている場合、マウントポイント名を基にボリューム名を取得する処理に失敗しました。 RPM-20303 が同時に表示されている場合、ファイルシステムの間バッファのフラッシュに失敗しました。 RPM-20304 が同時に表示されている場合、フラッシュを行う論理ボリュームのオープンに失敗しました。</p> <p>対処 システムログを参照し、対象のファイルシステムに関する異常なメッセージが出力されていないかどうか確認してください。問題が解決されない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-20050	指定されたマウントポイントは、すでにマウントされています。	<p>要因 クラスタ環境下で、手動でマウントが行われているディレクトリに対して、リシンクまたはリストアを行っています。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		リストア対象マウントポイントをアンマウントしてください。
RPM-20052	RAID Manager / P9000 RAID Manager の起動に失敗しました。	<p>要因 RAID Manager の起動処理に失敗しました。</p> <p>対処 RAID 管理ソフトウェアの設定を見直してください。見直した後正しければ、RAID 管理ソフトウェアのログ情報を参照し、問題がないかどうかを確認してください。問題が判明しない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-20053	RAID Manager / P9000 RAID Manager の停止に失敗しました。	<p>要因 RAID Manager の停止処理に失敗しました。</p> <p>対処 RAID 管理ソフトウェアの設定を見直してください。見直した後正しければ、RAID 管理ソフトウェアのログ情報を参照し、問題がないかどうかを確認してください。問題が判明しない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-20054	正ボリュームと副ボリュームのパス構成が不正です。	<p>要因 マルチパス構成において正ボリュームに対する副ボリュームの物理パスが多く設定されています。</p> <p>対処 副ボリュームの物理パス設定は正ボリュームの物理パスと同じかそれ以下の数で設定してください。</p>
RPM-20055	ボリュームグループ情報の復元に失敗しました。	<p>要因 ボリュームグループ情報の復元に失敗しました。</p> <p>対処 バックアップサーバ上でボリュームグループ情報を登録しなおしてください。</p>
RPM-20058	コピーグループの重複を検出しました。	<p>要因 異なるインスタンスで RAID Manager の構成定義ファイルに同じコピーグループが記述されています。</p> <p>対処 RAIDManager のコピーグループ名が重複していないかどうか確認してください。重複がある場合は、コピーグループ名が重複しないように RAID Manager の設定を変更した後に再起動してください。</p>
RPM-20059	Replication Manager Application Agent が使用する RAID Manager / P9000 RAID Manager 関連のファイルに対する処理でエラーが発生しました。	<p>要因 Windows システムにおいて、正しく製品がインストールされておらず、Replication Manager Application Agent が使用する RAID Manager 関連のファイルがない、またはファイルの記述内容が誤っています。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent が使用する RAID Manager 関連のファイルがあるかどうかを確認してください。ファイルがない場合は Replication Manager Application Agent をアンインストールしたあと、再度インストールしてください。ファイルがある場合は記述内容を</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		確認し、再実行してください。問題が解決されない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-20061	対象のコピーグループが異なる RAID Manager / P9000 RAID Manager インスタンスで管理されています。	<p>要因 対象のコピーグループが異なるインスタンスで管理されています。</p> <p>対処 対象のコピーグループは、一つの RAID Manager インスタンスで管理されている必要があります。</p> <p>RAID Manager の設定が正しいか確認し、正しいインスタンスに設定したあと、コマンドを再度実行してください。</p>
RPM-20062	対象のマウントポイント配下に複数の論理ドライブが存在します。	<p>要因 対象のマウントポイント配下のディレクトリに別の論理ドライブに対応しているマウントポイントが含まれています。</p> <p>対処 処理対象のマウントポイント配下のディレクトリに別の論理ドライブに対応しているマウントポイントが含まれているため、処理を続行できません。ボリュームの構成を確認してください。</p>
RPM-20063	副ボリュームが正ボリュームと同じホストで管理されています。	<p>要因 コピーグループの正ボリュームと副ボリュームの両方が、コマンド実行ホストのボリュームとして管理されています。</p> <p>対処 コピーグループの正ボリュームと副ボリュームの両方が、コマンド実行ホストのボリュームとして管理されているため、処理を続行できません。</p>
RPM-20064	一つのボリュームに複数のマウントポイントが存在します。	<p>要因 対象のマウントポイントがマウントされた物理ドライブがほかのマウントポイントにマウントされています。</p> <p>対処 処理対象のマウントポイントにマウントされたボリュームにほかのマウントポイントが存在するため、処理を続行できません。ボリュームの構成を確認してください。</p>
RPM-20065	レプリカの情報として登録された処理対象ボリュームの LDEV 番号または SERIAL 番号が現在の構成と一致しません。	<p>要因 バックアップ情報として登録された処理対象ボリュームの LDEV 番号または SERIAL 番号が現在の構成と不整合です。</p> <p>対処 バックアップ情報として登録された処理対象ボリュームの LDEV 番号または SERIAL 番号が現在の構成と不整合であるため、処理を続行できません。バックアップ時のボリューム構成に変更がないことを確認してください。バックアップ時のボリューム構成を確認後、RAID Manager コマンドなどを使用し、現在のボリューム構成を確認します。</p>
RPM-20066	処理対象であるマウントポイントの文字列が最大長を超えています。	<p>要因 処理対象であるマウントポイントディレクトリの文字列が最大長を超えています。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		処理対象であるマウントポイントディレクトリ名の文字列が最大長を超えているため、処理続行することができません。マウントポイントディレクトリ名の文字列長を確認してください。
RPM-20067	処理対象の論理ボリューム名が長すぎます。	要因 処理対象の論理ボリューム名が長すぎます。 対処 処理対象である論理ボリューム名の文字列が最大長を超えているため、処理続行することができません。論理ボリューム名の文字列長を確認してください。
RPM-20069	コピーグループ情報の取得に失敗しました。	要因 RAID 管理ソフトウェアのコマンドにより、コピーグループ情報の取得に失敗しました。 対処 RAID 管理ソフトウェアの設定を見直してください。見直したあと、正しければ RAID 管理ソフトウェアのログ情報を参照し、問題がないかどうかを確認してください。問題が判明しない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-20070	ペア生成されていないコピーグループが指定されました。	要因 Replication Manager Application Agent が使用するファイルの更新時にペア状態が Simplex だったコピーグループをバックアップ・リシンクしました。 対処 対象となるコピーグループをペア生成したあと、ホスト情報更新を実行してください。
RPM-20071	ペアステータスが SIMPLEX 状態に変更されています。	要因 Replication Manager Application Agent が使用するファイルに適切なパラメーターを指定せずに、ペア状態が Simplex のコピーグループをバックアップ、またはリストアしました。 対処 RAID Manager の構成定義ファイルと Replication Manager Application Agent が使用するファイルから対象のペア論理ボリュームの定義を削除するか、または、構成定義ファイルと Replication Manager Application Agent が使用するファイルに PAIR_CREATE=ENABLE のパラメーターを指定してください。
RPM-20073	指定されたコピーグループのボリューム複製機能はサポート対象外です。	要因 サポート対象外であるコピー種別のペアボリューム(コピーグループ)をコマンドの入力として指定しています。 対処 コピーグループは、サポート外のボリューム複製機能を利用しています。コピー種別が Hi-Copy / Cross-system copy のペアボリュームをコマンドの処理対象にはすることはできません。コピーグループのコピー種別を確認してください。
RPM-20074	処理対象のボリュームにデータ保護が設定されています。	要因 対象のボリュームにデータ保護が設定された状態で、コマンドを実行しています。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		RAID 管理ソフトウェアでボリュームのアクセス属性を確認し、アクセス制限を解除した後に再度コマンドを実行してください。
RPM-20075	処理対象となるコピーグループが見つかりません。	<p>要因 処理対象となるコピーグループが、現在の構成に存在していません。</p> <p>対処</p> <ul style="list-style-type: none"> • VSS を使用している場合、システム環境変数 VSHTCHORCMINST_REMOTE に設定されているインスタンス番号を確認してください。 • 処理対象のコピーグループが RAID Manager の構成定義ファイル (horcmn.conf) に定義されているか確認してください。 • RAID Manager 用連携定義ファイル (DEFAULT.dat) の HORCMINST パラメーターに処理対象のコピーグループを記述した RAID Manager の構成定義ファイル (horcmn.conf) のインスタンス番号が定義されているか確認してください。
RPM-20076	RAID 管理ソフトウェア操作の実行中にエラーが発生しました。	<p>要因 RAID Manager のコマンドの実行時に、エラーが発生しています。</p> <p>対処 RAID 管理ソフトウェアの設定を見直してください。設定が正しい場合は、RAID 管理ソフトウェアのログ情報を参照し、問題がないかどうかを確認してください。</p>
RPM-20077	RAID 管理ソフトウェアが起動されていません。	<p>要因 処理対象である RAID Manager のインスタンスが停止しています。</p> <p>対処 RAID 管理ソフトウェアの設定を見直してください。設定が正しい場合は、RAID 管理ソフトウェアのログ情報を参照し、問題がないか確認してください。</p>
RPM-20080	正ボリュームとして処理しようとしたボリュームが副ボリュームになっています。	<p>要因 Replication Manager Application Agent が使用するファイルの更新後に処理対象のコピーグループのローカルボリュームが副ボリュームに変更されています。</p> <p>対処 ローカルボリュームを正ボリュームに変更してください。</p>
RPM-20082	指定された世代識別名が不正です。	<p>要因 指定された対象世代名(世代識別名)を持つコピーグループがありません。</p> <p>対処 対象世代名(世代識別名)を確認して再実行してください。</p>
RPM-20083	RAID 管理ソフトウェアとの連携に必要な準備でエラーが発生しました。	<p>要因 Replication Manager Application Agent が使用するファイルの読み込み処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		次のどちらかの対処を行ってください。 1. このメッセージが RPM-15100 と同時に出 力された場合、Replication Manager Application Agent が使用するファイルが不 足していないか確認してください。 2. このメッセージが RPM-15102 と同時に出 力された場合、Replication Manager Application Agent が使用するファイルのう ち関連するファイルの記述内容を確認し、出 力されたパラメーターを記述してから、再度 コマンドを実行してください。
RPM-20084	コピーグループの選択でエラーが発生 しました。	要因 バックアップ時のコピーグループ選択でエラー が発生しました。 対処 直前に出力されたメッセージの対処方法を参考 にしてエラーの発生要因を解決し、コマンドを再 度実行してください。
RPM-20085	Replication Manager Application Agent で使用されているファイルの処 理で内部エラーが発生しました。	要因 Replication Manager Application Agent が使用 するファイルの読み込みに失敗、またはそのフ ァイルが不正に破壊、改ざんされています。 対処 Replication Manager Application Agent を再イ ンストールしてください。回復しない場合は、製 品マニュアルのトラブルシュートの項目に記載 された内容を確認し、資料を採取した後、問い合 わせ窓口に連絡してください。
RPM-20086	連携するソフトウェア情報を取得する ためのレジストリ読み込みに失敗しま した。	要因 連携するソフトウェア情報を取得するためのレ ジストリの読み込みに失敗しました。 対処 連携するソフトウェア製品が正しくインストー ルされているか確認してください。 レジストリに異常が見られる場合は OS を再イ ンストールしてください。
RPM-20087	連携するソフトウェアのインストール パスが複数検知されました。	要因 連携するソフトウェアで、バージョンの違うイン ストールパスが二つ以上見つかりました。 対処 連携するソフトウェアで、異なるバージョンの製 品がインストールされている可能性があります。 現在インストールされている製品を確認し、複数 のバージョンがある場合は使用していないバー ジョンをアンインストールしてください。レジ ストリに異常が見られる場合は、OS を再インス トールしてください。
RPM-20088	ディスクグループのデポートに失敗し ました。	要因 論理ボリュームマネージャーにより作成された ディスクグループのデポート操作に失敗しまし た。 対処 論理ボリュームマネージャーを使用して、ディス クグループの状態を確認してください。ディス

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		クグループの状態が正常であることを確認できない場合は、ディスクグループを再作成してください。ディスクグループの不具合を解消したあと、論理ボリュームマネージャーを使用してディスクグループをインポートし、論理ボリュームを再マウントしてください。 バックアップおよびリストア時に表示され、クラスタ製品に VERITAS Cluster Server for Windows を使用している場合は、登録したクラスタ情報に誤りがないか確認してください。
RPM-20089	ディスクグループのインポートに失敗しました。	要因 論理ボリュームマネージャーにより作成されたディスクグループのインポート操作に失敗しました。 対処 論理ボリュームマネージャーを使用してディスクグループの状態を確認してください。ディスクグループが正常なことを確認できない場合は、ディスクグループを再作成してください。ディスクグループの不具合を解消したあと、論理ボリュームマネージャーを使用してディスクグループをインポートし、論理ボリュームを再マウントしてください。
RPM-20090	物理ドライブからの論理ボリュームに関する情報の取得に失敗しました。	要因 論理ボリューム情報の取得に失敗しました。 対処 論理ボリュームマネージャーを使用して、物理ドライブに正しく論理ボリュームが定義されているかを確認してください。論理ボリュームが正常なことを確認できない場合は、論理ボリュームをいったん削除し再作成したあと、マウントしてください。
RPM-20091	物理ドライブの再走査に失敗しました。	要因 物理ドライブ情報の再走査処理に失敗しました。 対処 Veritas Volume Manager または、 Logical Device Manager が正常に動作しているか確認してください。正常に動作していることが確認できない場合は、Veritas Volume Manager または、 Windows OS を再インストールしてください。
RPM-20097	diskpart 操作に失敗しました。	要因 diskpart コマンドが失敗しました。 対処 システムログの内容を確認し、diskpart が失敗した原因を取り除いた後、再度実行してください。
RPM-20098	現在の構成に、指定されたコピーグループが一つも存在しません。	要因 リストア時に、レプリカ作成時のコピーグループが存在しません。 対処 このメッセージ以降に出力された詳細メッセージを確認し、対処してください。
RPM-20099	選択可能な世代を特定できません。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		コピーグループがロックされている為、利用可能なコピーグループが存在しません。 対処 このメッセージ以降に出力された詳細メッセージを確認し、対処してください。
RPM-20100	OS が同時にオープンできるファイルの上限値を超えています。	要因 システムでオープンできる最大ファイル数の制限を超えました。 対処 OS カーネルパラメーターを再定義し、システムがオープンできるファイル数を大きくしてください。
RPM-20101	Replication Manager Application Agent で使用されているファイルが壊れています。	要因 Replication Manager Application Agent で使用されているファイルが壊れています。 対処 ホスト情報更新を行ったあと、再実行してください。
RPM-20102	該当レコードはロックされています。	要因 データベースを更新しようとした時、更新対象のレコードがロックされていて、更新できませんでした。 対処 しばらく待ってから再度実行してください。再度実行した後エラーが発生する場合は、問い合わせ窓口ご連絡してください。
RPM-20103	該当ファイルはロックされています。	要因 ディクショナリマップファイルを更新しようとした時、更新対象のファイルがロックされており、更新できませんでした。 対処 しばらく待ってから再度実行してください。再度実行した後エラーが発生する場合は、問い合わせ窓口ご連絡してください。
RPM-20104	該当レコードがありません。	要因 参照対象のレコードが存在しないため、参照できませんでした。 対処 Application Agent の設定で正しい値を指定しているかどうかを確認してください。 情報が正しい場合、ホスト情報更新を行ってください。再度実行した後エラーが発生する場合は、問い合わせ窓口ご連絡してください。
RPM-20105	メモリー不足が発生しました。	要因 操作を実行する時にメモリー不足が発生しました。 対処 メモリーを増設した後、コマンドを再実行してください。
RPM-20106	内部エラーが発生しました。	要因 内部処理を実行中にシステムコールを利用した時、未知の内部エラーが発生しました。 対処 製品マニュアルのトラブルシュートの項目に記載された内容を確認し、資料を採取した後、問い

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>合わせ窓口に連絡してください。回復するためには製品のアンインストール後、再度インストールが必要になります。</p>
RPM-20107	Replication Manager Application Agent で使用されているファイルはすでにあります。	<p>要因 Replication Manager Application Agent で使用されているファイルはすでにあります。</p> <p>対処 ホスト情報更新を行ってください。再度実行した後エラーが発生する場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-20108	Replication Manager Application Agent で使用されているファイルがありません。	<p>要因 Replication Manager Application Agent で使用されているファイルがありません。</p> <p>対処 Application Agent の設定で正しい値を指定しているかどうかを確認して、設定を完了してください。 Application Agent の追加の際にこのエラーが発生した際は、この後、Application Agent の設定を行ってください。 再度実行した後エラーが発生する場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-20109	ドライブ容量が足りません。	<p>要因 操作を実行する際にドライブ容量が不足しています。</p> <p>対処 ドライブ容量を確保したあと、再度操作を行ってください。</p>
RPM-20110	アクセス権がありません。	<p>要因 一般ユーザーなど、操作を実行するための権限がないユーザーで操作が行われました。</p> <p>対処 権限を見直したあと、再度操作を行ってください。</p>
RPM-20111	指定したコピーグループはすでにロックされています。	<p>要因 コピーグループをロックしようとした時に、指定したコピーグループはすでにロックされていました。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p>
RPM-20112	指定したコピーグループはロックされていません。	<p>要因 コピーグループをアンロックしようとした時に、指定したコピーグループはロックされていませんでした。</p> <p>対処 対処の必要はありません。</p>
RPM-20113	利用可能なコピーグループが存在しません。	<p>要因 バックアップを実行した時に、すべてのコピーグループがロックされており、利用できるコピーグループが存在しませんでした。</p> <p>対処 コピーグループのロックを解除した後、再度バックアップコマンドを実行してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-20114	一時ファイルの操作で、システムエラーが発生しました。	<p>要因 コマンドによって実行された一時ファイルの操作において、システムエラーが発生しました。</p> <p>対処 メモリーやドライブ容量が十分かどうかを確認してください。十分な場合、システムログを参照し、OSに異常がないかどうか確認してください。異常が見受けられない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-20115	指定したレプリカデータはすでにロックされています。	<p>要因 ロック中のコピーグループに対して、レプリカ作成またはレプリカ情報取得を実行しようとした。</p> <p>対処 レプリカ作成またはレプリカ情報取得を実行する前に、レプリカ対象のコピーグループをアンロックしてください。</p>
RPM-20116	Replication Manager Application Agent で使用されているファイルに不正がありました。修復する権限がありません。	<p>要因 Replication Manager Application Agent で使用しているファイルが何らかの理由により破壊された後、修復しようとしたが、一般ユーザー権限により操作が実行されたため修復するための権限がありません。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent サービスの実行ユーザーにシステム管理者権限を与え、再度操作を実行してください。</p>
RPM-20118	Replication Manager Application Agent で使用されているファイルのバージョンが異なっています。	<p>要因 Replication Manager Application Agent をバージョンアップした際に Replication Manager Application Agent で使用されているファイルのバージョンが異なります。</p> <p>対処 Application Agent の設定を行ってください。</p>
RPM-20119	Replication Manager Application Agent で使用されているファイルの仮想サーバ名が不正です。	<p>要因 仮想サーバ名が不正です。</p> <p>対処 構成を確認し、必要があれば Application Agent の編集ダイアログから仮想サーバ名を変更してください。解決できない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-20120	Replication Manager Application Agent で使用されている仮想サーバ名が長過ぎます。	<p>要因 仮想サーバ名が長過ぎます。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent は 63 文字までの仮想サーバ名をサポートしています。使用している仮想サーバ名を 63 文字以下にしてください。</p>
RPM-20121	Replication Manager Application Agent で使用される、指定されたファイルのディレクトリ名が不正です。	<p>要因 Replication Manager Application Agent が使用するファイルのディレクトリ名が不正です。</p> <p>対処 問い合わせ窓口に連絡してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-20122	指定したコピーグループはリモートコピーであり処理対象外です。	要因 指定したコピーグループはリモートコピーであり処理対象外です。 対処 問い合わせ窓口にご連絡してください。
RPM-20123	ファイルは最新版なので、データ変換をする必要はありません。	要因 ディクショナリマップファイルは最新版なので、データ変換をする必要はありません。 対処 問い合わせ窓口にご連絡してください。
RPM-20124	Replication Manager Application Agent で使用されるファイルに矛盾を検出しました。	要因 ディクショナリマップファイルの内部が不正であるため、ディクショナリマップファイルに対する操作に失敗しました。 対処 問い合わせ窓口にご連絡してください。
RPM-20125	Replication Manager Application Agent で使用されるファイルに対する処理で、予期しないエラーが発生しました。	要因 Replication Manager Application Agent で使用されるファイルに対する処理で、予期しないエラーが発生しました。 対処 問い合わせ窓口にご連絡してください。
RPM-20126	Replication Manager Application Agent で使用されるファイルに対する処理で、システムエラーが発生しました。	要因 Replication Manager Application Agent で使用されるファイルに対する処理で、システムエラーが発生しました。 対処 出力された OS のエラーコードをもとに、システムエラーの原因を取り除いた後、再度実行してください。 システムエラーの内容、発生原因および対処法については、各 OS のマニュアルを参照してください。 解決できない場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。
RPM-20300	選択可能なコピーグループが定義されていません。	要因 選択したストレージグループに属するボリュームにコピーグループが定義されていません。または、サポート対象外のコピー種別のコピーグループだけが定義されています。 対処 コピーグループを定義して再度実行してください。
RPM-20301	レプリカ先の世代数が異なります。	要因 レプリカの世代数が異なります。 対処 このメッセージ以降に出力された KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
RPM-20302	ボリューム名の取得に失敗しました。	要因 ボリューム名の取得に失敗しました。 対処 KAVX0272-E が出力されていない場合このメッセージ以降に出力された KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		い。KAVX0272-E が出力されている場合バックアップサーバのイベントログに異常を示すメッセージが出力されていないか確認し、要因を取り除いて再度コマンドを実行してください。
RPM-20303	ファイルシステムの間中バッファのフラッシュに失敗しました。	要因 ファイルシステムの間中バッファのフラッシュに失敗しました。 対処 このメッセージ以降に出力された KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
RPM-20304	ファイルのオープンに失敗しました。	要因 ファイルのオープンに失敗した場合に表示されます。 対処 このメッセージ以降に出力された KAVX0006-E の要因となった詳細メッセージを確認し、対処してください。
RPM-20305	マウントポイントが異なります。	要因 マウントポイントが異なります。情報が最新でない可能性があります。 対処 ホスト情報更新を行ってください。解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-20306	物理ドライブ数が異なります。	要因 レプリカカタログの情報と現在の構成で、リストア対象の物理ドライブ数が異なります。情報が最新でないおそれがあります。 対処 ホストの情報を更新してください。解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-20307	ボリューム数が異なります。	要因 ボリューム数が異なります。情報が最新でない可能性があります。 対処 ホスト情報更新を行ってください。解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-20308	拡張メンテナンスモードに関する操作でエラーが発生しました。	要因 拡張メンテナンスモードに関する操作でエラーが発生しました。 対処 次のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • MSCS の拡張メンテナンスモードを使用するためのパッチがインストールされていること。 • 対象のディスクリソースがオンライン状態であること。 • ホストノードが対象ディスクリソースを所有していること。 問題がない場合は、同時に出力されたテーブル名、処理およびエラーコードを確認し、資料を採取したあと、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-20309	対象ディスクリソースがオンラインではありません。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対象ディスクリソースがオンラインではありません。 対処 操作対象のディスクリソースが、オンライン状態であることを確認してください。 ディスクリソースがオンライン状態ではない場合は、ディスクリソースをオンライン状態に変更した後、再度実行してください。 対象のリソースがオンライン状態であるにもかかわらずエラーが発生する場合は、同時に出力されたテーブル名、処理およびエラーコードを確認し、資料を採取したあと、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-20310	対象ディスクリソースの状態遷移待ちで、タイムアウトが発生しました。	要因 対象ディスクリソースの状態遷移待ちで、タイムアウトが発生しました。 対処 問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-20311	このバージョンの Windows では、オンライン状態におけるクラスタリソースの部分リストアはサポートされていません。	要因 サーバの OS が、サポート外のバージョンです。 対処 オンライン状態におけるクラスタリソースの部分リストアを行うには、Windows Server 2003 または Windows Server 2008 が必要です。
RPM-20312	OS のバージョン情報の取得に失敗しました。	要因 OS のバージョン情報を取得できませんでした。 対処 しばらく待つてから、ホスト情報更新を実行し、再度操作を行ってください。 それでも発生する場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-20313	「Signature とボリュームレイアウト情報」を物理ドライブに再設定するのに失敗しました。	要因 「Signature とボリュームレイアウト情報」を物理ドライブに再設定する処理に失敗しました。 対処 物理ドライブが Replication Manager Application Agent がサポートするドライブであることを確認してください。 Replication Manager Application Agent がサポートするドライブでない場合は、システムログを参照し、物理ドライブに関して異常を表すメッセージが出力されていないかを確認し、要因を取り除いてください。
RPM-20314	物理ドライブから「Signature とボリュームレイアウト情報」の取得に失敗しました。	要因 物理ドライブから「Signature とボリュームレイアウト情報」を取得できませんでした。 対処 物理ドライブが Replication Manager Application Agent がサポートするドライブであることを確認してください。 Replication Manager Application Agent がサポートするドライブでない場合は、システムログを参照し、対象のボリュームに関して異常を表すメッセージが出力されていないかを確認し、要因を取り除いてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-20315	副ボリュームの状態が不正です。	<p>要因 副ボリュームの状態を確認した結果、次のどれかの異常を検知しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> RPM-15146 が同時に表示された場合 対象の副ボリュームがバックアップサーバでマウントされています。 RPM-15147 が同時に表示された場合 副ボリュームが隠ぺいされていません。 RPM-15151 が同時に表示された場合 ペアステータスが不正です。表示されたペアの副ボリュームが、別のペアの正ボリュームになっています。 <p>対処 それぞれ、同時に表示されたメッセージによって対象方法が変わります。</p> <ol style="list-style-type: none"> RPM-15146 が同時に表示された場合 当該ボリュームを、バックアップサーバでアンマウントし、操作を再実行してください。 RPM-15147 が同時に表示された場合 当該ボリュームがバックアップサーバでマウントされている場合には、アンマウントを行ってください。 その後、Application Agent の設定のレプリカオプションでボリューム隠ぺいを実行してください。 これによりバックアップサーバのボリュームが隠ぺいされます。その後、操作を再実行してください。 RPM-15151 が同時に表示された場合 表示された MU 番号から、副ボリュームのペアを特定しペア分割を実行してください。
RPM-20316	論理ボリュームから物理ドライブに関する情報を取得することができませんでした。	<p>要因 論理ボリュームが配置されている物理ドライブの情報を OS の API を使用して取得できませんでした。</p> <p>対処 システムログを参照し、対象の物理ドライブに関して異常を表すメッセージが出力されていないかどうか確認し、要因を取り除いてください。</p>
RPM-20317	Replication Manager Application Agent サービス上でエラーが発生しました。	<p>要因 バックアップサーバでの処理中に Replication Manager Application Agent サービスのエラーが発生しました。</p> <p>対処 同時に出力されたエラーメッセージの対処方法に従って問題を解決した後、再度実行してください。</p>
RPM-20318	Replication Manager Application Agent サービスへの接続に失敗しました。	<p>要因 Replication Manager Application Agent サービスの通信処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処 同時に出力されたエラーメッセージの対処方法に従って問題を解決した後、再度実行してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
RPM-20319	Replication Manager Application Agent で環境の設定に失敗しました。	<p>要因 Replication Manager Application Agent で環境変数の設定を行う処理に失敗しました。</p> <p>対処 メモリーやドライブ容量が十分かどうか確認してください。十分な場合、システムログを参照し、OS に異常がないかどうか確認してください。異常がない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-20320	バックアップサーバのマウント操作がエラー終了しました。	<p>要因 バックアップサーバのマウント操作がエラー終了しました。</p> <p>対処 マウントのパス名を正しく指定しているかどうか確認してください。正しいパス名を指定している場合、バックアップサーバ上で、システムログを参照し、異常がないかどうか確認してください。異常がない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-20321	バックアップサーバのバックアップ ID がロックされているため、操作を実行できませんでした。	<p>要因 バックアップサーバのレプリカがすでにロックされていたため、レプリカ履歴の自動インポートに失敗しました。</p> <p>対処 次のことを確認し、確認結果に応じて対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> バックアップサーバで、ほかの操作が実行されていないか。 ほかの操作が実行中である場合は、しばらく待ってから再度操作を実行してください。 バックアップサーバのレプリカがロックされていないか。 ロックされているレプリカがある場合は、ロックを解除してから再度操作を実行してください。
RPM-20328	コピーグループから物理ドライブに関する情報を取得することができませんでした。	<p>要因 コピーグループから物理ドライブ名を取得する処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処 RAID Manager の設定を見直してください。設定が正しい場合は、RAID Manager のログ情報を参照し、問題がないか確認してください。</p>
RPM-20329	物理ドライブをオフラインにできませんでした。	<p>要因 物理ドライブをオフラインにする処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処 システムログを参照し、対象の物理ドライブに関して異常を表すメッセージが出力されていないかどうか確認し、要因を取り除いてください。</p>
RPM-20330	物理ドライブをオンラインにできませんでした。	<p>要因 物理ドライブをオンラインにする処理でエラーが発生しました。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		システムログを参照し、対象の物理ドライブに関して異常を表すメッセージが出力されていないかどうか確認し、要因を取り除いてください。
RPM-20337	バックアップ時とリストア先のディスクのパーティションスタイルが異なっています。	要因 バックアップ時とリストア先のディスクのパーティションスタイルが異なっています。 対処 バックアップ時とドライブのパーティションスタイルを一致させてから、リストアを実行してください。
RPM-20405	ファイル名が長過ぎます。	要因 バックアップ対象として指定したパス名が、半角1024文字を超えています。 対処 1024文字より長いパス名は指定できないので、1024文字以内の正しいファイル名を指定してください。
RPM-20406	プロセスがオープンできるファイルの最大数に達しています。	要因 一つのプロセスでオープンできる最大ファイル数の制限を超えています。 対処 カーネルパラメーターを再定義し、プロセスがオープンできるファイル数を大きくしてください。
RPM-20407	システム全体でオープンできるファイルの合計数の制限に達しています。	要因 システムでオープンできる最大ファイル数の制限を超えています。 対処 カーネルパラメーターを再定義し、システムがオープンできるファイル数を大きくしてください。
RPM-20408	ファイルのアクセスに失敗しました。	要因 バックアップやリストア処理を実行する時に、誤ったファイルやディレクトリ名を指定し、対象パス名にアクセスできませんでした。 対処 正しくバックアップ、または、リストア対象のパス名を指定しているかどうか確認してください。正しいパス名を指定している場合、Replication Manager Application Agent のトレースログファイルやシステムログを参照し、異常がないかどうか確認してください。問題が解決されない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-20409	プロセスの生成に失敗しました。	要因 Replication Manger Application Agent の機能を実行する時に、内部プロセスを生成する処理に失敗したとき 対処 メモリーやドライブ容量が十分かどうか確認してください。十分な場合、システムログを参照し、OS に異常がないかどうか確認してください。問題が解決されない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-20418	必須項目<項目名>が指定されていません。	要因

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		エージェントユーザースクリプト内で必須項目が指定されていません。 対処 エージェントユーザースクリプトファイル内の必須項目を指定してください。
RPM-20419	行番号<行番号>: コマンド定義セクション内の必須項目<項目名>の指定がされていません。	要因 エージェントユーザースクリプト内のコマンド定義セクション内で必須項目が指定されていません。 対処 エージェントユーザースクリプトファイル内の必須項目を指定してください。
RPM-20420	行番号<行番号>: 項目<項目名>の値が指定されていません。	要因 エージェントユーザースクリプト内で項目の値が指定されていません。 対処 エージェントユーザースクリプトファイルの該当行の値を設定してください。
RPM-20421	行番号<行番号>: 指定された値は項目<項目名>に対して使用できません。	要因 エージェントユーザースクリプト内の項目値として使用できないキーワードが使われています。 対処 マニュアルで使用可能な値を確認の上、エージェントユーザースクリプトファイルの該当行の値を修正してください。
RPM-20422	行番号<行番号>: 項目<項目名>に指定された値の文字数が、最大値を超えています。最大文字数は<最大文字数>文字です。	要因 エージェントユーザースクリプトファイル内の項目値が長すぎます。 対処 エージェントユーザースクリプトファイルの内容を編集して、該当行の値の字数を最大値以下にしてください。
RPM-20423	行番号<行番号>: 指定された値は、整数でないか指定可能範囲外です(範囲は<最小値>~<最大値>)。	要因 エージェントユーザースクリプトファイル内の項目値が規定範囲外です。 対処 エージェントユーザースクリプトファイルの内容を編集して、該当行の値を表示された範囲内の整数にしてください。
RPM-20424	行番号<行番号>: 指定された項目<項目名>は同一ファイル内で二つ以上指定できません。	要因 エージェントユーザースクリプトファイル内で、重複指定できない項目が重複して指定されています。 対処 エージェントユーザースクリプトファイルの内容を編集して、該当行の項目が重複しないようにしてください。
RPM-20425	行番号<行番号>: 項目"<項目名>"は同一コマンド定義セクション内で二つ以上指定できません。	要因 エージェントユーザースクリプト内で、重複指定できない項目が重複して指定されています。 対処 エージェントユーザースクリプトの内容を編集して、該当行の項目が重複しないようにしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-20426	行番号<行番号>: 項目名またはセクション名が不正です。	要因 エージェントユーザースクリプト内で指定されている項目名またはセクション名が不正です。 対処 マニュアルで指定可能な項目名を確認の上、エージェントユーザースクリプトの該当行を修正してください。
RPM-20427	行番号<行番号>: 項目” <項目名>”はユーザー処理セクションの外で指定できません。	要因 エージェントユーザースクリプト内で、ユーザー処理セクションの前に指定できない項目がユーザー処理セクションの前で指定されています。 対処 該当行をユーザー処理セクション内に移すようエージェントユーザースクリプトの内容を修正してください。
RPM-20428	行番号<行番号>: 項目”<項目名>”はコマンド定義セクションの外で指定できません。	要因 エージェントユーザースクリプト内で、コマンド定義セクションの外で指定できない項目がコマンド定義セクション外で指定されています。 対処 該当行をコマンド定義セクション内に移すようエージェントユーザースクリプトの内容を修正してください。
RPM-20429	行番号<行番号>: 項目”<項目名>”はユーザー処理セクションの中で指定できません。	要因 エージェントユーザースクリプト内で、ユーザー処理セクション内で指定できない項目がユーザー処理セクション内で指定されています。 対処 該当行をユーザー処理セクション外に移すようエージェントユーザースクリプトの内容を修正してください。
RPM-20430	行番号<行番号>: 一行のサイズ制限を超えています。最大値は<最大バイト数>バイトです。	要因 エージェントユーザースクリプト内で、一行の最大バイト数を超えている行が存在します。 対処 該当行を最大バイト数以内に抑えるようエージェントユーザースクリプトの内容を修正してください。
RPM-20431	Replication Manager Application Agent のユーザースクリプトのサイズが大きすぎます。	要因 エージェントユーザースクリプトが大きすぎて処理できません。 対処 エージェントユーザースクリプトの内容を削減してください。
RPM-20432	行番号<行番号>, カラム<カラム番号>: 不正な文字が含まれています。	要因 エージェントユーザースクリプト内に不正な文字コード (0x20 未満でかつ改行コードでもタブコードでもない文字) が含まれています。 対処 エージェントユーザースクリプトの内容を編集し、不正な文字を取り除いてください。
RPM-20433	Replication Manager Application Agent のユーザースクリプト処理で内部エラーが発生しました。	要因 エージェントユーザースクリプトの処理に関する内部エラーが発生しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-20434	VSS でエラーが発生しました。	<p>要因 VSS でエラーが発生しました。</p> <p>対処 Volume Shadow Copy サービスのスタートアップの種類が無効になっていないか確認してください。 スタートアップの種類が無効になっている場合は、スタートアップの種類を手動に戻して再度実行してください。 スタートアップの種類が手動になっている場合は、資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-20435	Virtual Disk Service でエラーが発生しました。	<p>要因 Virtual Disk Service でエラーが発生しました。</p> <p>対処 Virtual Disk Service サービスのスタートアップの種類が無効になっていないかどうか確認してください。 Virtual Disk Service サービスのスタートアップの種類が無効になっている場合は、スタートアップの種類を手動に戻して、コマンドを再度実行してください。 また、Virtual Disk Service サービスを再起動してコマンドを再度実行してください。 再度実行したあとでエラーが発生する場合は、マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド</i>」のトラブルシューティングの説明を参照して、資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-20436	行番号<行番号>: 値の形式が不正です。	<p>要因 値の形式が不正です。以下の原因が考えられます。 設定項目 ENV の値の指定形式が不正（半角イコールが含まれていない、または環境変数名が指定されていない）。</p> <p>対処 該当行の値が正しい形式になるよう修正してください。</p>
RPM-21010	内部エラーが発生しました。	<p>要因 内部エラーが発生しました。</p> <p>対処 SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認してください。 OS や SQL Server に異常が見られない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-21011	SQL ステートメントの実行中にエラーを検知しました。	<p>要因 SQL ステートメントの実行中に、SQL Server からメッセージが返されました。</p> <p>対処 SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		OS や SQL Server に異常が見られない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-21012	SQL Server へのログオン処理中にエラーを検知しました。	<p>要因 SQL Server へのログオン処理中に、予期しないエラーが発生しました。</p> <p>対処 SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認してください。 OS や SQL Server に異常が見られない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-21014	SQL Server からのログオフ処理中にエラーを検知しました。	<p>要因 SQL Server からのログオフ処理中に、予期しないエラーが発生しました。</p> <p>対処 SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認してください。 OS や SQL Server に異常が見られない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-21016	メタファイルのオープンに失敗しました。	<p>要因 VDI メタファイルを開くことができませんでした。</p> <p>対処 VDI メタファイルへのアクセス権限があるか確認してください。</p>
RPM-21017	タイムアウトが発生しました。	<p>要因 タイムアウトが発生しました。</p> <p>対処 SQL Server の状態を確認してから、再度実行してください。同じメッセージが繰り返し表示される場合は、Application Agent の設定で VDI メタファイルの生成タイムアウト時間の設定を見直してください。</p>
RPM-21018	SQL ステートメントを実行する権限がありません。	<p>要因 Replication Manager Application Agent の実行ユーザーに、SQL ステートメントを実行する権限がありません。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent の実行ユーザーに SQL ステートメントを実行する権限を与えてください。</p>
RPM-21019	SQL Server の起動に失敗しました。	<p>要因 SQL Server の起動に失敗しました。</p> <p>対処 Windows イベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は、マニュアル「Hitachi Command Suite Replication Manager Software システム構成ガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-21020	仮想デバイスの操作に失敗しました。	<p>要因 仮想デバイスの操作に失敗しました。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Windows イベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は、マニュアル「 <i>Hitachi Command Suite Replication Manager Software</i> システム構成ガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して資料を採取したあとで、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-21021	SQL Server からの情報収集処理に失敗しました。	要因 SQL Server の情報収集に失敗しました。 対処 SQL ステートメントの実行中に、SQL Server からメッセージが返されました。SQL Server のマニュアルを参照してエラーの要因を取り除いてください。必要に応じて、SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認してください。OS や SQL Server に異常が見られない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-21022	SQL Server のオブジェクトの割り当てと構造的整合性のチェック処理に失敗しました。	要因 SQL Server のオブジェクトの割り当てと構造的整合性のチェックに失敗しました。 対処 SQL ステートメントの実行中に、SQL Server からメッセージが返されました。SQL Server のマニュアルを参照してエラーの要因を取り除いてください。必要に応じて、SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認してください。OS や SQL Server に異常が見られない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-21103	指定されたデータベースは未確認状態です。	要因 SQL データベースはリカバリできない状態です。 対処 対象の SQL データベースの状態を確認してから、再度実行してください。
RPM-21113	DATABASEPROPERTY 関数で不正なリターンコードを検出しました。	要因 SQL データベースの状態取得時に不正な値を検出しました。 対処 SQL Server エラーログと Windows イベントログを採取して、OS や SQL Server の状態を確認してください。OS や SQL Server に異常が見られない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-21500	Exchange Server の情報を取得できませんでした。	要因 取得した Exchange Server の設定情報が不正です。 対処 Exchange Server の起動に必要なサービスが停止していないか、Exchange Server の設定を再確認してください。
RPM-21501	リストアコマンド実行前の状態	要因 リストア処理に失敗したため操作実行前の状態に戻りました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 エラーの要因を取り除いて再度操作を行ってください。</p>
RPM-21502	データベースに不整合がありマウントできない状態	<p>要因 リストア処理に失敗したためデータベースに不整合があります。</p> <p>対処 エラーの要因を取り除いて再度操作を行ってください。</p>
RPM-21503	操作の実行に失敗しました。	<p>要因 データベースの整合性チェックの実行時にエラーが発生しました。</p> <p>対処 エラーの要因を取り除いて再度操作を行ってください。</p>
RPM-21504	内部エラーが発生しました。	<p>要因 内部処理を実行中に未知の内部エラーが発生しました。</p> <p>対処 本メッセージと一緒にコードと詳細メッセージが表示されたら、Exchange Server のマニュアルを参照して発生要因を取り除いてください。必要ならば Windows イベントログを採取して、OS や Exchange Server の状態を確認します。問題が解決しない場合は、製品マニュアルのトラブルシューティングの項目に記載された内容を確認し、資料を採取した後、問い合わせ窓口ご連絡してください。</p>
RPM-21505	インフォメーションストアサービスに対するエラーが発生しました。	<p>要因</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インフォメーションストアサービスが正常に動作していません。 2. インフォメーションストアサービスの状態遷移中にタイムアウトが発生しました。 3. コマンド実行時に外部からインフォメーションストアサービスに対する操作が行われ、予期しない状態へ変更されました。 4. クラスタ環境下でインフォメーションストアアクラスターソースがオンラインにも関わらず、インフォメーションストアサービスが開始していません。 <p>対処 Exchange Server のマニュアルを参照して、Microsoft Exchange Information Store サービスが正常に動作しているかを確認してください。</p>
RPM-21506	インフォメーションストアサービスの起動に失敗しました。	<p>要因 インフォメーションストアサービスの起動に失敗しました。</p> <p>対処 Exchange Server のマニュアルを参照して、インフォメーションストアサービスが正常に動作しているかを確認してください。</p>
RPM-21507	インフォメーションストアサービスが予期せぬ状態になりました。	<p>要因 インフォメーションストアに関連した操作を実行中にインフォメーションストアに対して操作が行われ、状態が変更されました。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>または、クラスタ環境下でクラスタリソースがオンラインであるにも関わらず Microsoft Exchange Information Store サービスが開始していません。</p> <p>対処 インフォメーションストアに関連した操作を実行中にインフォメーションストアに対する操作を行わないでください。 クラスタ環境の場合は、インフォメーションストアクラスタリソースがオンラインの時、Microsoft Exchange Information Store サービスが開始していることを確認してください。</p>
RPM-21508	タイムアウトが発生しました。	<p>要因 タイムアウトが発生しました。</p> <p>対処 同時に表示されるほかのメッセージを確認してください。</p>
RPM-21509	操作がエラーを返しました。	<p>要因 データベースの整合性チェックの実行中にエラーが発生しました。</p> <p>対処 エラーの要因を取り除いて再度操作を行ってください。</p>
RPM-24013	ベリファイ処理がログの異常を検出しました。	<p>要因 ベリファイ処理でトランザクションログに異常を検出しました。</p> <p>対処 バックアップサーバのイベントログ、または、データベースサーバで ESEUTIL コマンドを /m1 オプションで実行した結果、検出されたトランザクションログの異常内容を確認し、トランザクションログの異常を解消してバックアップコマンドを再実行してください。 なお ESEUTIL コマンドの /m1 オプションに指定するベース名はバックアップサーバの標準ログ (drm_output.log) に出力された KAVX0282-E メッセージで確認することができます。 ESEUTIL コマンドの使用方法及び対象方法については、Exchange Server のマニュアルを参照してください。</p>
RPM-24100	タスク登録のための情報が不正です。	<p>要因 以下の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Replication Manager Server から渡されたタスク登録情報が不正です。 2. Application Agent の設定が行われていないか、設定が不正です。 <p>対処 要因に応じて、それぞれ次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Replication Manager Server と Replication Manager Application Agent との間で正しく通信が行われていることを確認してから、再度操作を行ってください。 2. Application Agent の設定を行ってください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
RPM-24101	スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイルがありません。	<p>要因 スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイルがありません。</p> <p>対処 このエラーが発生した Replication Manager Application Agent がインストールされているホストの Windows タスクスケジューラーからタスク名に ptm と付いているタスクをすべて削除してください。その後、Replication Manager Server でホスト情報の更新を行い、そのホストの Replica 作成タスクがすべて削除されたのを確認してから再度タスクを作成してください。</p>
RPM-24102	スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイルが長期間ロックされています。	<p>要因 スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイルが長期間ロックされています。</p> <p>対処 しばらく待ってから再度操作を行ってください。同じエラーが再度発生する場合は、OS の再起動を行い Replication Manager Application Agent のインストールされているフォルダのファイルがロックされていないことを確認してから再度操作を行ってください。</p>
RPM-24103	Replication Manager Application Agent の実行ユーザーが Administrator 権限を持っていません。	<p>要因 Replication Manager Application Agent が Administrator 権限で実行されていません。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent が Administrator 権限で実行されていることを確認してから再度操作を行ってください。</p>
RPM-24104	スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイルを開くことができません。	<p>要因 スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイルを開くことができません。</p> <p>対処 しばらく待ってから再度操作を行ってください。同じエラーが再度発生する場合は、Replication Manager Application Agent がインストールされているフォルダに正しいアクセス権限が設定されていることを確認してから再度操作を行ってください。</p>
RPM-24105	スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイルに書き込むことができません。	<p>要因 スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイルに書き込むことができません。</p> <p>対処 しばらく待ってから再度操作を行ってください。同じエラーが再度発生する場合は、Replication Manager Application Agent がインストールされているフォルダに正しいアクセス権限が設定されていることを確認してから再度操作を行ってください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-24106	スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイルを読み込むことができません。	<p>要因 スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイルを読み込むことができません。</p> <p>対処 しばらく待ってから再度操作を行ってください。同じエラーが再度発生する場合は、Replication Manager Application Agent がインストールされているフォルダに正しいアクセス権限が設定されていることを確認してから再度操作を行ってください。</p>
RPM-24107	スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイル中の最大値を超えてタスクを登録できません。	<p>要因 一つの Replication Manager Application Agent に登録できるタスクの数が最大値を超えてタスクを登録することはできません。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent に登録しているタスクを見直して、Replication Manager Application Agent に登録されるタスクの数を減らしてください。その後再度操作を行ってください。</p>
RPM-24108	スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイル中にタスク情報がありません。	<p>要因 スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイル中にタスク情報がありません。</p> <p>対処 このエラーが発生した Replication Manager Application Agent がインストールされているホストの Windows タスクスケジューラーからタスク名に ptm と付いているタスクをすべて削除してください。その後、Replication Manager Server でホスト情報の更新を行い、再度タスクを作成してください。</p>
RPM-24109	スケジュールされたタスク登録に必要な Replication Manager Application Agent が使用するファイルパスが仮想サーバに対して見つかりません。	<p>要因 スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用するファイルのパスが仮想サーバに見つかりません。</p> <p>対処 Application Agent の設定画面で共有データパスに正しくパスが設定されていることを確認してから再度操作を行ってください。</p>
RPM-24110	スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイルの一部が削除されました。	<p>要因 スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイルの一部が削除されています。</p> <p>対処 このエラーが発生した Replication Manager Application Agent がインストールされているホストの Windows タスクスケジューラーからタスク名に ptm と付いているタスクをすべて削除します。その後 Replication Manager Application Agent をアンインストールしてから再度インストールしてください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-24111	スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイルが不正です。	<p>要因 スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイルが不正です。</p> <p>対処 このエラーが発生した Replication Manager Application Agent がインストールされているホストの Windows タスクスケジューラーからタスク名に ptm と付いているタスクをすべて削除します。その後 Replication Manager Application Agent をアンインストールしてから再度インストールしてください。</p>
RPM-24112	スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイルがありません。	<p>要因 スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイルがありません。</p> <p>対処 このエラーが発生した Replication Manager Application Agent がインストールされているホストの Windows タスクスケジューラーからタスク名に ptm と付いているタスクをすべて削除してください。その後、Replication Manager Server でホスト情報の更新を行い、そのホストの Replica 作成タスクがすべて削除されたのを確認してから再度タスクを作成してください。</p>
RPM-24113	スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイルが不正です。	<p>要因 スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイルが不正です。</p> <p>対処 このエラーが発生した Replication Manager Application Agent がインストールされているホストの Windows タスクスケジューラーからタスク名に ptm と付いているタスクをすべて削除します。その後 Replication Manager Application Agent をアンインストールしてから再度インストールしてください。</p>
RPM-24114	読み込み/書き込み許可が拒否されました。	<p>要因 スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイルへの読み込み/書き込みの権限がありません。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent がインストールされているフォルダに正しいアクセス権限が設定されていることを確認してから再度操作を行ってください。</p>
RPM-24115	スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイルがありません。	<p>要因 スケジュールタスク登録のために Replication Manager Application Agent で使用されているファイルがありません。</p> <p>対処 このエラーが発生した Replication Manager Application Agent がインストールされているホストの Windows タスクスケジューラーからタスク名に ptm と付いているタスクをすべて削除し</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		てください。その後、Replication Manager Server でホスト情報の更新を行い、そのホストの Replica 作成タスクがすべて削除されたのを確認してから再度タスクを作成してください。
RPM-24116	スケジュール時刻が Replication Manager Application Agent の時刻と異なります。	要因 スケジュール時刻に不正な時間が指定されました。 対処 スケジュール時刻に正しい未来の時間を指定してください。
RPM-24117	新しいタスク ID を生成できません。	要因 新しいタスク ID の生成に失敗しました。 対処 しばらく待ってから再度操作を行ってください。同じエラーが再度発生する場合は、資料を採取した後、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-24118	Delete ALL 操作が一部の削除で終了しました。	要因 タスクの削除が一部失敗しました。 対処 削除対象のタスクが実行中でないことを確認してから、再度操作を行ってください。
RPM-24119	トラブルシューティング情報がありません。	要因 トラブルシューティング情報が存在しません。 対処 しばらく待ってから再度操作を行ってください。同じエラーが再度発生する場合は、資料を採取した後、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-24120	トラブルシューティング情報が壊れています。	要因 トラブルシューティング情報が壊れています。 対処 しばらく待ってから再度操作を行ってください。同じエラーが再度発生する場合は、資料を採取した後、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-24121	トラブルシューティング情報のディレクトリがありません。	要因 トラブルシューティング情報のディレクトリがありません。 対処 Replication Manager Application Agent をアンインストールしてから再度インストールしてください。その後再度操作を行ってください。同じエラーが再度発生する場合は、資料を採取した後、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-24122	いくつかのトラブルシューティング情報が使用中のため、完全に削除できません。	要因 いくつかのトラブルシューティング情報が使用中のため、完全に削除できません。 対処 Replication Manager Application Agent のサービスを再起動してから再度操作を行ってください。同じエラーが再度発生する場合は、Replication Manager Application Agent がインストールされているホストを再起動してください。
RPM-24123	トラブルシューティング情報を読み込むことができません。	要因

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>トラブルシューティング情報を読み込むことができません。</p> <p>対処 しばらく待ってから再度操作を行ってください。同じエラーが再度発生する場合は、資料を採取した後、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-24124	Replication Manager Application Agent で使用されているファイルを閉じることができません。	<p>要因 Replication Manager Application Agent で使用されているファイルを閉じることができません。</p> <p>対処 しばらく待ってから再度操作を行ってください。同じエラーが再度発生する場合は、Replication Manager Application Agent がインストールされているホストを再起動してください。</p>
RPM-24125	トラブルシューティング情報を削除することができません。	<p>要因 トラブルシューティング情報を削除することができません。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent のサービスを再起動してから再度操作を行ってください。同じエラーが再度発生する場合は、Replication Manager Application Agent がインストールされているホストを再起動してください。</p>
RPM-24126	仮想サーバのトラブルシューティング情報のファイルパスがありません。	<p>要因 仮想サーバのトラブルシューティング情報のファイルパスがありません。</p> <p>対処 Application Agent の設定画面で共有データベースに正しくパスが設定されていることを確認してから再度操作を行ってください。</p>
RPM-24127	指定されたタスク ID のトラブルシューティング情報がありません。	<p>要因 指定されたタスク ID のトラブルシューティング情報がありません。</p> <p>対処 ホスト情報の更新を実行してから再度操作を行ってください。</p>
RPM-24128	トラブルシューティング情報が空です。	<p>要因 トラブルシューティング情報が空です。</p> <p>対処 しばらく待ってから再度操作を行ってください。同じエラーが再度発生する場合は、資料を採取した後、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-24129	指定されたタスクはすでにありません。	<p>要因 作成しようとしているタスクはすでに存在しません。</p> <p>対処 ホスト情報の更新を実行し、同じ内容のタスクが存在しないことを確認してから再度操作を行ってください。</p>
RPM-24130	レジストリのアクセスに失敗しました。	<p>要因 レジストリのアクセスに失敗しました。</p> <p>対処</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		Replication Manager Application Agent が Administrator 権限で実行されていることを確認してから再度操作を行ってください。
RPM-24131	Replication Manager Application Agent でタスクの登録に失敗しました。	要因 Replication Manager Application Agent でタスクの登録に失敗しました。 対処 Windows タスクスケジューラが実行されていることを確認してから再度実行してください。
RPM-24132	Replication Manager Application Agent でタスクの登録に失敗しました。	要因 Replication Manager Application Agent でタスクの登録に失敗しました。 対処 Replication Manager Application Agent が Administrator 権限で実行されていることを確認してください。その後 Windows タスクスケジューラを再起動してから再度操作を行ってください。
RPM-24133	COM の初期化に失敗しました。	要因 OS の環境に問題があります。 対処 OS のマニュアルを参照し COM が正しく初期化されるように環境を設定してください。
RPM-24134	Replication Manager Application Agent でタスク更新に失敗しました。	要因 Replication Manager Application Agent でタスク更新に失敗しました。 対処 Replication Manager Application Agent が Administrator 権限で実行されていることを確認してください。その後 Windows タスクスケジューラを再起動してから再度操作を行ってください。
RPM-24135	Replication Manager Application Agent でタスク更新に失敗しました。	要因 Replication Manager Application Agent でタスク更新に失敗しました。 対処 Replication Manager Application Agent が Administrator 権限で実行されていることを確認してください。その後 Windows タスクスケジューラを再起動してから再度操作を行ってください。
RPM-24136	指定されたタスクが存在しません。	要因 指定されたタスクが存在しません。 対処 ホスト情報の更新を実行し、操作対象のタスクが存在することを確認してから再度操作を行ってください。
RPM-24137	Replication Manager Application Agent でタスクの取得に失敗しました。	要因 Replication Manager Application Agent が登録されたタスクの取得に失敗しました。 対処 Windows タスクスケジューラが実行されていることを確認してから再度実行してください。
RPM-24138	タスク情報の取得に失敗しました。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Replication Manager Application Agent がタスク情報の取得に失敗しました。 対処 Windows タスクスケジューラが実行されていることを確認してから再度実行してください。
RPM-24139	Replication Manager Application Agent でタスクの更新に失敗しました。	要因 Replication Manager Application Agent でタスクの更新に失敗しました。 対処 Windows タスクスケジューラが実行されていることを確認してから再度実行してください。
RPM-24140	データの整合性チェック中にエラーが発生しました。	要因 データの整合性チェック中にエラーが発生しました。 対処 しばらく待ってから再度操作を行ってください。同じエラーが再度発生する場合は、資料を採取した後、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-24141	更新中のデータが不整合です。	要因 更新中のデータが不整合です。 対処 しばらく待ってから再度操作を行ってください。同じエラーが再度発生する場合は、資料を採取した後、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-24142	Replication Manager Application Agent で登録可能な最大タスク数を超過しました。	要因 Replication Manager Application Agent で登録可能な最大タスク数を超過しました。 対処 Replication Manager Application Agent に登録しているタスクを見直して、Replication Manager Application Agent に登録されるタスクの数を減らしてください。その後再度操作を行ってください。
RPM-24143	タスクが実行中であるため、タスクの更新に失敗しました。	要因 タスクが実行中であるため、タスクの更新に失敗しました。 対処 ホスト情報更新を行ったあと、更新対象のタスクが実行中でないことを確認してから、再度操作を行ってください。
RPM-24144	タスクが実行中であるため、タスクの削除に失敗しました。	要因 タスクが実行中であるため、タスクの削除に失敗しました。 対処 ホスト情報更新を行ったあと、削除対象のタスクが実行中でないことを確認してから、再度操作を行ってください。
RPM-24145	One time only task であるため、タスクの更新に失敗しました。	要因 One time only タスクは再実行することはできません。 対処 新規にタスクを作成してください。
RPM-24146	Replication Manager Application Agent でのタスク削除に失敗しました。	要因

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		Replication Manager Application Agent でのタスク削除に失敗しました。 対処 しばらく待ってから再度操作を行ってください。同じエラーが再度発生する場合は、Replication Manager Application Agent がインストールされているフォルダに正しいアクセス権限が設定されていることを確認してから再度操作を行ってください。
RPM-24147	Replication Manager Application Agent でのタスクの更新に失敗しました。	要因 Replication Manager Application Agent でのタスクの更新に失敗しました。 対処 しばらく待ってから再度操作を行ってください。同じエラーが再度発生する場合は、Replication Manager Application Agent がインストールされているフォルダに正しいアクセス権限が設定されていることを確認してから再度操作を行ってください。
RPM-24148	Replication Manager Application Agent で使用しているファイルのディレクトリが存在しません。	要因 Replication Manager Application Agent で使用しているファイルのディレクトリが存在しません。 対処 Replication Manager Application Agent をアンインストールしてから再度インストールしてください。その後再度操作を行ってください。同じエラーが再度発生する場合は、資料を採取した後、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-24149	タスクを実行できません。	要因 Replication Manager Application Agent が正しくインストールされていません。 対処 Replication Manager Application Agent をアンインストールしてから再度インストールしてください。その後再度操作を行ってください。同じエラーが再度発生する場合は、資料を採取した後、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-24150	Replication Manager Application Agent のタスク登録に失敗したため、タスクの即時実行に失敗しました。	要因 Replication Manager Application Agent のタスク登録に失敗したため、タスクの即時実行に失敗しました。 対処 Windows タスクスケジューラが実行されていることを確認してから再度実行してください。
RPM-24151	レプリカ作成の処理に失敗しました。	要因 レプリカ作成の処理に失敗しました。 対処 しばらく待ってから再度操作を行ってください。同じエラーが再度発生する場合は、資料を採取した後、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-24152	パイプの作成に失敗しました。	要因 OS の環境に問題があります。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		OS のヘルプおよびマニュアルを参照しパイプが正しく機能するように環境を設定してください。
RPM-24153	パイプからの読み込みに失敗しました。	要因 OS の環境に問題があります。 対処 OS のヘルプおよびマニュアルを参照しパイプが正しく機能するように環境を設定してください。
RPM-24154	パイプのクローズに失敗しました。	要因 OS の環境に問題があります。 対処 OS のヘルプおよびマニュアルを参照しパイプが正しく機能するように環境を設定してください。
RPM-24155	Replication Manager Application Agent の環境設定に失敗しました。	要因 Replication Manager Application Agent の環境設定に失敗しました。 対処 Replication Manager Application Agent が Administrator 権限で実行されていることを確認してください。同じエラーが再度発生する場合は、Replication Manager Application Agent がインストールされているホストを再起動してください。
RPM-24156	すでにタスク実行中のためタスクを実行できません。	要因 すでにタスク実行中のためタスクを実行できません。 対処 タスクが実行中でない事を確認してから再度操作を行ってください。
RPM-24157	状態が'成功'なので、One time only task は実行できません。	要因 成功した One time only タスクは再実行できません。 対処 新規にタスクを作成してください。
RPM-24158	仮想サーバの状態取得中に問題が発生しました。	要因 仮想サーバの状態取得中に問題が発生しました。 対処 仮想サーバが正しく機能していることを確認してから再度操作を行ってください。
RPM-24159	回復プロセス中に失敗しました。	要因 回復プロセス中に失敗しました。 対処 Replication Manager Application Agent をアンインストールしてから再度インストールしてください。これにより問題が解決しない場合は資料を採取した後、問い合わせ窓口に連絡してください。
RPM-24160	回復プロセス中に失敗しました。	要因 回復プロセス中に失敗しました。 対処 Replication Manager Application Agent をアンインストールしてから再度インストールしてください。これにより問題が解決しない場合は資料を採取した後、問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
RPM-24161	回復プロセス中に失敗しました。	<p>要因 回復プロセス中に失敗しました。</p> <p>対処 Replication Manager Application Agent をアンインストールしてから再度インストールしてください。これにより問題が解決しない場合は資料を採取した後、問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
RPM-24162	ディスクの空き容量が不足しています。	<p>要因 ドライブの空き容量が不足しています。</p> <p>対処 不要なファイルを削除するなどして、Replication Manager Application Agent がインストールされているドライブの空き容量を増やしてください。</p>
RPM-24163	内部エラー(OS エラー)	<p>要因 OS の環境に問題があります。</p> <p>対処 OS のイベントログを参照して問題を解決してください。</p>
RPM-24164	Replication Manager Application Agent に使用されているファイルが空です。	<p>要因 Replication Manager Application Agent に使用されているファイルが空です。</p> <p>対処 タスクを作成してから再度操作を行ってください。</p>

Device Manager が出力するアラート

Device Manager は、Device Manager サーバ上のイベントログおよび syslog ファイルにアラートを出力します。この章では、Device Manager が出力するアラートについて説明します。

- [15.1 KAID00001～KAID01999](#)
- [15.2 KAID10001～KAID11028](#)

15.1 KAID00001～KAID01999

ストレージシステムが出力するトラップ情報を次に示します。

- アラート ID KAID00001～KAID00893

SANRISE9900V が出力するトラップ情報です。詳細は、「表 15-1 KAID00001～KAID00893 : ストレージシステムが出力するトラップ情報 (SANRISE9900V)」を参照してください。
- アラート ID KAID00901～KAID00978

Hitachi USP が出力するトラップ情報です。詳細は、「表 15-2 KAID00901～KAID00978 : ストレージシステムが出力するトラップ情報 (Hitachi USP)」を参照してください。
- アラート ID KAID01001～KAID01178

Universal Storage Platform V/VM が出力するトラップ情報です。詳細は、「表 15-3 KAID01001～KAID01178 : ストレージシステムが出力するトラップ情報 (Universal Storage Platform V/VM)」を参照してください。
- アラート ID KAID01300～KAID01632

Virtual Storage Platform が出力するトラップ情報です。詳細は、「表 15-4 KAID01300～KAID01632 : ストレージシステムが出力するトラップ情報 (Virtual Storage Platform)」を参照してください。
- アラート ID KAID01800～KAID01999

HUS VM が出力するトラップ情報です。詳細は、「表 15-5 KAID01800～KAID01999: ストレージシステムが出力するトラップ情報 (HUS VM)」を参照してください。

表 15-1 KAID00001～KAID00893 : ストレージシステムが出力するトラップ情報 (SANRISE9900V)

アラート ID	障害の概要	[DESCRIPTION] フィールド表示情報 (表示情報の全体または一部)
KAID00001	LCP 障害	LCM ハードウェア障害
KAID00002	LCP 障害	ADP 永久障害
KAID00003	FCP 障害	AL_PA 値衝突
KAID00004	CHA プロセッサ障害	CHK1A しきい値オーバー
KAID00005	CHA プロセッサ障害	CHK1B しきい値オーバー
KAID00006	CHA プロセッサ障害	CHK3 しきい値オーバー
KAID00007	CHA プロセッサ障害	プロセッサ閉塞
KAID00008	CHA プロセッサ障害	FM しきい値オーバー
KAID00009	CHA プロセッサ障害	FM 障害
KAID00010	CHA プロセッサ障害	IFM SUM 値不正
KAID00011	CHA プロセッサ障害	LDEV 閉塞(プロセッサ閉塞のため)
KAID00012	CHA プロセッサ障害	P/S OFF 不可
KAID00013	CHA プロセッサ障害	P/S OFF 不可(デバイスリザーブ)
KAID00014	CHA プロセッサ障害	未実装パッケージ検出
KAID00015	CHA プロセッサ障害	V-R または製番不一致
KAID00016	CHA プロセッサ障害	RAID5 BOOSTER IS INCONSISTENT
KAID00017	CHA プロセッサ障害	リプレース失敗
KAID00018	CHA プロセッサ障害	マイクロコードバージョンアップ
KAID00019	CHA プロセッサ障害	マイクロコードバージョンアップ変更不可
KAID00020	CHA プロセッサ障害	パッケージタイプ変更
KAID00021	CHA プロセッサ障害	パッケージタイプ変更不可

アラート ID	障害の概要	[DESCRIPTION] フィールド表示情報 (表示情報の全体または一部)
KAID00022	CHA プロセッサ障害	パッケージタイプ変更不可
KAID00023	CHA プロセッサ障害	パッケージタイプ変更
KAID00024	CHA プロセッサ障害	SM DISABLE3 線不一致
KAID00025	CHA プロセッサ障害	SMA スレーブエラー
KAID00026	CHA プロセッサ障害	MPA スレーブエラー
KAID00027	CHA プロセッサ障害	不当 DC 電圧 CTL
KAID00028	CHA プロセッサ障害	不当 CE MODE
KAID00029	CHA プロセッサ障害	CHT パッケージ交換不可 (4GL<->4GS)
KAID00030	DKA プロセッサ障害	CHK1A しきい値オーバー
KAID00031	DKA プロセッサ障害	CHK1B しきい値オーバー
KAID00032	DKA プロセッサ障害	CHK3 しきい値オーバー
KAID00033	DKA プロセッサ障害	プロセッサ閉塞
KAID00034	DKA プロセッサ障害	FM しきい値オーバー
KAID00035	DKA プロセッサ障害	FM 障害
KAID00036	DKA プロセッサ障害	FM SUM 値不正
KAID00037	DKA プロセッサ障害	LDEV 閉塞(プロセッサ閉塞のため)
KAID00038	DKA プロセッサ障害	P/S OFF 不可
KAID00039	DKA プロセッサ障害	P/S OFF 不可(デバイスリザーブ)
KAID00040	DKA プロセッサ障害	未実装パッケージ検出
KAID00041	DKA プロセッサ障害	V-R または製番不一致
KAID00042	DKA プロセッサ障害	RAID5 BOOSTER IS INCONSISTENT
KAID00043	DKA プロセッサ障害	リプレース失敗
KAID00044	DKA プロセッサ障害	マイクロコードバージョンアップ
KAID00045	DKA プロセッサ障害	マイクロコードバージョンアップ変更不可
KAID00046	DKA プロセッサ障害	PACKAGE TYPE CHANGED
KAID00047	DKA プロセッサ障害	SM DISABLE3 線不一致
KAID00048	DKA プロセッサ障害	SMA スレーブエラー
KAID00049	DKA プロセッサ障害	MPA スレーブエラー
KAID00050	DKA プロセッサ障害	不当 DC 電圧 CTL
KAID00051	DKA プロセッサ障害	不当 CE MODE
KAID00052	DKA プロセッサ障害	FSW LED BUS テスト
KAID00053	DKA プロセッサ障害	Tachyon 障害
KAID00054	SHSN 障害	論理バス閉塞(CHA 側)
KAID00055	SHSN 障害	論理バス閉塞(DKA 側)
KAID00056	CHSN 障害	論理バス閉塞(CHA-DMA0 側 CARB0)
KAID00057	CHSN 障害	論理バス閉塞(CHA-DMA0 側 CARB1)
KAID00058	CHSN 障害	論理バス閉塞(DKA-DRR 側 CARB0)
KAID00059	CHSN 障害	論理バス閉塞(DKA-DRR 側 CARB1)
KAID00060	CHSN 障害	論理バス閉塞(DKA-FCA0 側 CARB0)
KAID00061	CHSN 障害	論理バス閉塞(DKA-FCA0 側 CARB1)
KAID00062	CHSN 障害	論理バス閉塞(DKA-FCA1 側 CARB0)
KAID00063	CHSN 障害	論理バス閉塞(DKA-FCA1 側 CARB1)

アラート ID	障害の概要	[DESCRIPTION] フィールド表示情報 (表示情報の全体または一部)
KAID00064	CHA CHK2	RCHA 一時障害
KAID00065	CHA CHK2	RCHA 閉塞
KAID00066	DKA CHK2	PIN スロット
KAID00067	DKA CHK2	DRR 一時障害
KAID00068	DKA CHK2	FCA 一時障害
KAID00069	DKA CHK2	DRR 閉塞
KAID00070	DKA CHK2	FCA 閉塞
KAID00071	DKA CHK2	FIBRE ポート閉塞(PATH INLINE 失敗による)
KAID00072	DKA CHK2	LDEV 閉塞(FCA 閉塞による)
KAID00073	キャッシュ障害	コレクタブルエラー
KAID00074	キャッシュ障害	キャッシュ一時障害
KAID00075	キャッシュ障害	モジュールグループ閉塞
KAID00076	キャッシュ障害	パッケージ閉塞
KAID00077	キャッシュ障害	面閉塞
KAID00078	キャッシュデータ障害	PIN スロット
KAID00079	キャッシュ障害	両面障害
KAID00080	キャッシュ障害	COEXISTENCE OF CACHE SIMM SIZES
KAID00081	キャッシュ障害	面揮発
KAID00082	キャッシュ障害	パッケージ揮発
KAID00083	キャッシュ障害	モジュールグループ揮発
KAID00084	キャッシュ障害	不当 DC 電圧 CTL
KAID00085	キャッシュ障害	不当 CE MODE
KAID00086	キャッシュ障害	コレクタブルエラー(2bit エラー)
KAID00087	キャッシュ障害	On-Demand 領域内故障モジュールグループ検出
KAID00088	共有メモリー障害	コレクタブルエラー
KAID00089	共有メモリー障害	アンコレクタブルエラー
KAID00090	共有メモリー障害	面閉塞
KAID00091	共有メモリー障害	実装容量不一致
KAID00092	共有メモリー障害	リプレース失敗
KAID00093	共有メモリー障害	両面不正
KAID00094	共有メモリー障害	CONFIGURATION INFORMATION COMPARE ERROR
KAID00095	共有メモリー障害	SHARED MEMORY IS VOLATILED
KAID00096	共有メモリー障害	構成不一致
KAID00097	共有メモリー障害	DKCMAIN マイクロ消失
KAID00098	共有メモリー障害	CHK3 しきい値オーバー
KAID00099	共有メモリー障害	On-Demand 領域内故障モジュール検出
KAID00100	共有メモリー障害	面一時閉塞
KAID00101	共有メモリー障害	瞬停不揮発立ち上げ
KAID00102	共有メモリー障害	構成チェック
KAID00103	共有メモリー障害	二重化情報消失
KAID00104	共有メモリー障害	片面揮発

アラート ID	障害の概要	[DESCRIPTION] フィールド表示情報 (表示情報の全体または一部)
KAID00105	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブポート一時障害(パス 0 側)
KAID00106	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブポート一時障害(パス 1 側)
KAID00107	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブ一時障害
KAID00108	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブメディア障害
KAID00109	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブポート閉塞(パス 0 側)
KAID00110	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブポート閉塞(パス 1 側)
KAID00111	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブ閉塞(ドライブ系)
KAID00112	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブ閉塞(ダイナミックスペアリング正常終了による)
KAID00113	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブ閉塞(メディア系)
KAID00114	ドライブ障害(通常 R/W)	LDEV 閉塞(パス 0 側)(ドライブポート閉塞による)
KAID00115	ドライブ障害(通常 R/W)	LDEV 閉塞(パス 1 側)(ドライブポート閉塞による)
KAID00116	ドライブ障害(通常 R/W)	LDEV 閉塞(ドライブ閉塞による)
KAID00117	ドライブ障害(通常 R/W)	コレクションコピー開始
KAID00118	ドライブ障害(通常 R/W)	コレクションコピー正常終了
KAID00119	ドライブ障害(通常 R/W)	コレクションコピー異常終了
KAID00120	ドライブ障害(通常 R/W)	コレクションコピー中断
KAID00121	ドライブ障害(通常 R/W)	コレクションコピーワーニング終了
KAID00122	ドライブ障害(通常 R/W)	ダイナミックスペアリング開始(ドライブコピー)
KAID00123	ドライブ障害(通常 R/W)	ダイナミックスペアリング正常終了(ドライブコピー)
KAID00124	ドライブ障害(通常 R/W)	ダイナミックスペアリング異常終了(ドライブコピー)
KAID00125	ドライブ障害(通常 R/W)	ダイナミックスペアリング中断(ドライブコピー)
KAID00126	ドライブ障害(通常 R/W)	ダイナミックスペアリングワーニング終了(ドライブコピー)
KAID00127	ドライブ障害(通常 R/W)	マイクロ交換でシリアル番号不正
KAID00128	ドライブ障害(通常 R/W)	PIN スロット
KAID00129	ドライブ障害(通常 R/W)	LDEV リードオンリー
KAID00130	ペアボリューム障害	リモートコピー開始
KAID00131	ペアボリューム障害	リモートコピー開始
KAID00132	ペアボリューム障害	リモートコピー開始
KAID00133	ペアボリューム障害	リモートコピー完了
KAID00134	ペアボリューム障害	リモートコピー完了
KAID00135	ペアボリューム障害	リモートコピー完了
KAID00136	ペアボリューム障害	ペア削除完了
KAID00137	ペアボリューム障害	ペア削除開始
KAID00138	ペアボリューム障害	ペア削除
KAID00139	ペアボリューム障害	ペア状態変化
KAID00140	ペアボリューム障害	ペア状態変化
KAID00141	ペアボリューム障害	ペア状態変化
KAID00142	ペアボリューム障害	ペア削除完了

アラート ID	障害の概要	[DESCRIPTION] フィールド表示情報 (表示情報の全体または一部)
KAID00143	ペアボリューム障害	ペア削除完了
KAID00144	ペアボリューム障害	ペア削除完了
KAID00145	ペアボリューム障害	サスペンド完了
KAID00146	ペアボリューム障害	サスペンド完了
KAID00147	ペアボリューム障害	サスペンド完了
KAID00148	ペアボリューム障害	HRC ペア状態変化(MCU コマンド)
KAID00149	ペアボリューム障害	HRC ペア状態変化(MCU コマンド)
KAID00150	ペアボリューム障害	HRC ペア状態変化(MCU コマンド)
KAID00151	ペアボリューム障害	HRC ペアサスペンド(ホストコマンド)
KAID00152	ペアボリューム障害	HRC ペア状態変化(MCU コマンド)
KAID00153	ペアボリューム障害	HRC ペアサスペンド(ホストコマンド)
KAID00154	ペアボリューム障害	HRC ペア状態変化(ホストコマンド)
KAID00155	ペアボリューム障害	HRC ペア状態変化(ホストコマンド)
KAID00156	ペアボリューム障害	HRC ペア状態変化(ホストコマンド)
KAID00157	ペアボリューム障害	HRC ペア状態変化(ホストコマンド)
KAID00158	ペアボリューム障害	HRC ペア状態変化(ホストコマンド)
KAID00159	ペアボリューム障害	HRC ペア状態変化(ホストコマンド)
KAID00160	ペアボリューム障害	ペアサスペンド完了(ホストコマンド)
KAID00161	ペアボリューム障害	ペアサスペンド完了(ホストコマンド)
KAID00162	ペアボリューム障害	ペア削除完了(ホストコマンド)
KAID00163	ペアボリューム障害	ペア削除完了(ホストコマンド)
KAID00164	ペアボリューム障害	移行コピー開始
KAID00165	ペアボリューム障害	移行コピー完了
KAID00166	ペアボリューム障害	ペア削除完了(HODM)
KAID00167	ペアボリューム障害	ERASE 開始(HODM)
KAID00168	ペアボリューム障害	ERASE 完了(HODM)
KAID00169	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(RIO パス閉塞)
KAID00170	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(RIO パス閉塞)
KAID00171	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(RIO パス閉塞)
KAID00172	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(M-VOL エラー)
KAID00173	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(M-VOL エラー)
KAID00174	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(M-VOL エラー)
KAID00175	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(R-VOL エラー)
KAID00176	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(R-VOL エラー)
KAID00177	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(R-VOL エラー)
KAID00178	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(DFW/DRV CACHE OFF)
KAID00179	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(DFW/DRV CACHE OFF)
KAID00180	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(DFW/DRV CACHE OFF)
KAID00181	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(サスペンドレポート)
KAID00182	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(サスペンドレポート)
KAID00183	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(サスペンドレポート)
KAID00184	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(SIMPLEX REPORT)

アラート ID	障害の概要	[DESCRIPTION] フィールド表示情報 (表示情報の全体または一部)
KAID00185	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(SIMPLEX REPORT)
KAID00186	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(SIMPLEX REPORT)
KAID00187	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(バス閉塞)
KAID00188	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(バス閉塞)
KAID00189	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(バス閉塞)
KAID00190	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(ERROR)
KAID00191	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(ERROR)
KAID00192	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(ERROR)
KAID00193	ペアボリューム障害	ERASE 異常(HODM)
KAID00194	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(MCU P/S OFF)
KAID00195	ペアボリューム障害	ペアサスペンド(MCU P/S OFF)
KAID00196	ペアボリューム障害	SIM レポート(SERVICE)
KAID00197	ペアボリューム障害	SIM レポート(SERVICE)
KAID00198	ペアボリューム障害	SIM レポート(SERVICE)
KAID00199	ペアボリューム障害	SIM レポート(MODERATE)
KAID00200	ペアボリューム障害	SIM レポート(MODERATE)
KAID00201	ペアボリューム障害	SIM レポート(MODERATE)
KAID00202	ペアボリューム障害	SIM レポート(ACUTE/SERIOUS)
KAID00203	ペアボリューム障害	SIM レポート(ACUTE/SERIOUS)
KAID00204	ペアボリューム障害	SIM レポート(ACUTE/SERIOUS)
KAID00205	ペアボリューム障害	ペア状態不正
KAID00206	ペアボリューム障害	ペア状態不正
KAID00207	ペアボリューム障害	ペア状態不正
KAID00208	HMRCF/HOMRCF 障害	コピー開始
KAID00209	HMRCF/HOMRCF 障害	コピー完了
KAID00210	HMRCF/HOMRCF 障害	分割開始
KAID00211	HMRCF/HOMRCF 障害	分割完了
KAID00212	HMRCF/HOMRCF 障害	ペア作成開始
KAID00213	HMRCF/HOMRCF 障害	ペア作成完了
KAID00214	HMRCF/HOMRCF 障害	バックアップサーバ障害 (BACKUP FAILED)
KAID00215	HMRCF/HOMRCF 障害	バックアップサーバ障害 (LACK OF TAPE MEDIA)
KAID00216	HMRCF/HOMRCF 障害	バックアップサーバ障害 (LACK OF TAPE DEVICE)
KAID00217	HMRCF/HOMRCF 障害	バックアップサーバ障害 (MULTIPLE PROCESS ERROR)
KAID00218	HMRCF/HOMRCF 障害	ペア完了
KAID00219	HMRCF/HOMRCF 障害	ペアサスペンド
KAID00220	HMRCF/HOMRCF 障害	ペアサスペンド
KAID00221	HMRCF/HOMRCF 障害	コピーワーニング終了
KAID00222	HMRCF/HOMRCF 障害	コピー異常終了(S-VOL 閉塞)
KAID00223	HMRCF/HOMRCF 障害	コピー異常終了(T-VOL 閉塞)

アラート ID	障害の概要	[DESCRIPTION] フィールド表示情報 (表示情報の全体または一部)
KAID00224	HMRCF/HOMRCF 障害	コピー異常終了
KAID00225	HMRCF/HOMRCF 障害	RESERVE VOL DECREASE TO 1 (LDEV FAILED)
KAID00226	HMRCF/HOMRCF 障害	RESERVE VOL DECREASE TO 0 (LDEV FAILED)
KAID00227	HMRCF/HOMRCF 障害	ALL SP-PEND SUSPEND BY SM VOLATILE
KAID00228	HMRCF/HOMRCF 障害	IMPOSSIBLE TO CONTINUE HMRCF/ HOMRCF COPY
KAID00229	HMRCF/HOMRCF 障害	INITIALIZE OF EXTENDED TABLE START
KAID00230	HMRCF/HOMRCF 障害	INITIALIZE OF EXTENDED TABLE COMPLETE
KAID00231	HMRCF/HOMRCF 障害	INITIALIZE OF EXTENDED TABLE ABEND
KAID00232	HIHSM	ボリューム移動失敗(CU#=0)
KAID00233	HIHSM	ボリューム移動失敗(CU#=1)
KAID00234	HIHSM	ボリューム移動失敗(CU#=2)
KAID00235	HIHSM	ボリューム移動失敗(CU#=3)
KAID00236	HIHSM	ボリューム移動失敗
KAID00237	HXRC 障害	SIDE FILE 40% OVER
KAID00238	ドライブ障害(ORM)	ドライブポート一時障害(パス 0 側)
KAID00239	ドライブ障害(ORM)	ドライブポート一時障害(パス 1 側)
KAID00240	ドライブ障害(ORM)	ドライブ一時障害
KAID00241	ドライブ障害(ORM)	ドライブメディア障害
KAID00242	電源障害	HDU 電源断検出
KAID00243	電源障害	HDU 電源回復
KAID00244	電源障害	電源障害モード設定
KAID00245	電源障害	電源障害モード解除
KAID00246	電源障害	電源障害モード設定時緊急デステージ成功
KAID00247	電源障害	電源障害モード設定時緊急デステージ失敗
KAID00248	電源障害	AC 障害検出
KAID00249	電源障害	AC 回復障害
KAID00250	電源障害	UPS バッテリ障害
KAID00251	電源障害	UPS 電源緊急デステージ開始
KAID00252	電源障害	UPS 電源緊急デステージ終了
KAID00253	SVP I/F 障害(CHA 側)	SVP へのイーサネット障害
KAID00254	SVP I/F 障害(CHA 側)	SVP への SIM 転送失敗
KAID00255	SVP I/F 障害(DKA 側)	SVP へのイーサネット障害
KAID00256	SVP I/F 障害(DKA 側)	SVP への SIM 転送失敗
KAID00257	CSW 障害	INJUSTICE DC VOLTAGE CONTROL
KAID00258	CSW 障害	INJUSTICE CE MODE
KAID00259	環境障害	筐体前面温度異常(60℃)
KAID00260	環境障害	筐体後面温度異常(60℃)
KAID00261	環境障害	筐体前面温度異常(45℃)
KAID00262	環境障害	筐体後面温度異常(45℃)

アラート ID	障害の概要	[DESCRIPTION] フィールド表示情報 (表示情報の全体または一部)
KAID00263	環境障害	5V 電圧アラーム
KAID00264	環境障害	3V 電圧アラーム
KAID00266	環境障害	3V 電圧ワーニング(Shared Memory)
KAID00267	環境障害	3V 電圧ワーニング(Cache Memory)
KAID00268	環境障害	5/3V PS ワーニング
KAID00269	環境障害	5/3V PS ワーニング
KAID00270	環境障害	3V PS ワーニング
KAID00271	環境障害	3V PS ワーニング
KAID00272	環境障害	3V PS ワーニング
KAID00273	環境障害	3V PS ワーニング
KAID00274	環境障害	SUB PS ワーニング
KAID00276	環境障害	HDD MPS1 ワーニング
KAID00277	環境障害	バッテリーワーニング
KAID00278	環境障害	バッテリーワーニング
KAID00279	環境障害	バッテリーワーニング
KAID00280	環境障害	バッテリーワーニング
KAID00281	環境障害	バッテリーワーニング
KAID00283	環境障害	バッテリーワーニング (DIAG)
KAID00284	環境障害	バッテリーワーニング (DIAG)
KAID00285	環境障害	バッテリーワーニング (DIAG)
KAID00286	環境障害	バッテリーワーニング (DIAG)
KAID00287	環境障害	AC ワーニング
KAID00289	環境障害	ファン異常 FLGFAN12B
KAID00290	環境障害	ファン異常 FLGFAN21B
KAID00291	環境障害	ファン異常 FLGFAN12A
KAID00292	環境障害	ファン異常 FLGFAN21A
KAID00293	環境障害	ファン異常 FLGFAN11B
KAID00294	環境障害	ファン異常 FLGFAN22B
KAID00295	環境障害	ファン異常 FLGFAN11A
KAID00296	環境障害	ファン異常 FLGFAN22A
KAID00297	環境障害	ファン異常 RLGfan11B
KAID00298	環境障害	ファン異常 RLGfan22B
KAID00299	環境障害	ファン異常 RLGfan11A
KAID00300	環境障害	ファン異常 RLGfan22A
KAID00301	環境障害	ファン異常 RLGfan12B
KAID00302	環境障害	ファン異常 RLGfan21B
KAID00303	環境障害	ファン異常 RLGfan12A
KAID00304	環境障害	ファン異常 RLGfan21A
KAID00305	環境障害	ファン異常 RPSFAN11B
KAID00306	環境障害	ファン異常 RPSFAN22B
KAID00307	環境障害	ファン異常 RPSFAN11A
KAID00308	環境障害	ファン異常 RPSFAN22A

アラート ID	障害の概要	[DESCRIPTION] フィールド表示情報 (表示情報の全体または一部)
KAID00309	環境障害	ファン異常 RPSFAN12B
KAID00310	環境障害	ファン異常 RPSFAN21B
KAID00311	環境障害	ファン異常 RPSFAN12A
KAID00312	環境障害	ファン異常 RPSFAN21A
KAID00313	環境障害	JP 設定異常 (DKC アラーム抑止 JP)
KAID00314	環境障害	JP 設定異常 (HDU0-3 アラーム抑止 JP)
KAID00315	環境障害	JP 設定異常 (HDU4-7 アラーム抑止 JP)
KAID00316	環境障害	JP 設定異常 (SVP PS OFF/ON 抑止 JP)
KAID00317	環境モニター障害	環境モニタアクセス障害
KAID00318	環境モニター障害	環境モニタアクセス障害 DKCMN1
KAID00319	環境モニター障害	環境モニタアクセス障害 DKCMN2
KAID00320	環境モニター障害	環境モニタビジー
KAID00321	環境モニター障害	DIAGNOSTIC モード設定失敗
KAID00322	環境モニター障害	DKCMN タイプ不正
KAID00323	環境モニター障害	アラーム不一致障害
KAID00324	環境モニター障害	アラーム不一致障害 DKCMN1
KAID00325	環境モニター障害	アラーム不一致障害 DKCMN2
KAID00326	環境モニター障害	P/S 不一致障害
KAID00327	環境モニター障害	P/S 不一致障害 DKCMN1
KAID00328	環境モニター障害	P/S 不一致障害 DKCMN2
KAID00329	SVP 障害	論理矛盾
KAID00330	SVP 障害	ヒープ障害
KAID00331	SVP 障害	ファイル障害
KAID00332	SVP 障害	LAN 障害
KAID00333	SVP 障害	S-SVP 障害
KAID00334	SVP 障害	WINDOWS 障害
KAID00335	SVP 障害	CUDG3 検出障害
KAID00336	SVP 障害	LCDG3 検出障害
KAID00337	SVP 障害	BOOT 検出障害(CHA)
KAID00338	SVP 障害	BOOT 検出障害(DKA)
KAID00339	SVP 障害	ルータ障害
KAID00340	SVP 障害	FD 挿入
KAID00341	定期点検障害	バッテリー寿命
KAID00342	リモートマイクロ 交換終了通知	正常終了
KAID00343	リモートマイクロ 交換終了通知	異常終了(SVP)
KAID00344	リモートマイクロ 交換終了通知	異常終了(MP)
KAID00345	リモートマイクロ 交換終了通知	バージョンエラー
KAID00346	リモートマイクロ 交換終了通知	サムチェックエラー

アラート ID	障害の概要	[DESCRIPTION] フィールド表示情報 (表示情報の全体または一部)
KAID00347	リモートマイクロ 交換終了通知	LCP バッチエラー
KAID00348	リモートマイクロ 交換終了通知	警告(構成不一致)
KAID00349	リモートマイクロ 交換終了通知	警告(S-SVP ビジー)
KAID00350	リモートマイクロ 交換終了通知	警告(LCP ビジー Y)
KAID00351	DKC 内部障害	SSB(24 BYTE FORM)レポート
KAID00352	DKC 内部障害	SSB(32 BYTE FORM)レポート
KAID00353	ホスト インターフェース障害	BUSOUT PARITY ERROR
KAID00354	ホスト インターフェース障害	DATA OVERRUN
KAID00355	ホスト インターフェース障害	OFFLINE SEQUENCE
KAID00356	ホスト インターフェース障害	INCIDENT
KAID00357	SVP 障害	フラッシュメモリ障害
KAID00358	ライセンスキー	有効期限切れ
KAID00359	SIM 抑止	DUMMY
KAID00360	Dump 取得	WCHK1 Dump(CHA)
KAID00361	Dump 取得	ABEND Dump(CHA)
KAID00362	Dump 取得	WCHK1 Dump(DKA)
KAID00363	Dump 取得	ABEND Dump(DKA)
KAID00364	バックアップサーバ	バックアップサーバ異常が SVP によって検知された
KAID00365	バックアップサーバ	ATL 異常
KAID00366	バックアップサーバ	MT 異常
KAID00367	バックアップサーバ	OS 異常
KAID00368	バックアップサーバ	ネットワークエラー
KAID00369	バックアップサーバ	アプリケーションエラー
KAID00370	ドライブ障害	プレステージング開始
KAID00371	ドライブ障害	プレステージング正常終了
KAID00372	ドライブ障害	プレステージング異常終了
KAID00701	LCP 障害	ADP 一時障害
KAID00702	LCP 障害	ADP 閉塞
KAID00703	LCP 障害	RIO バス閉塞
KAID00704	LCP 障害	RIO バス自動回復
KAID00710	HTP 障害	HTP ハードエラー
KAID00711	HTP 障害	HTP バス閉塞
KAID00712	HTP 障害	HTP 閉塞
KAID00730	HMRCF/HOMRCF 障害	SM 揮発によって ShadowImage 異常終了
KAID00731	HMRCF/HOMRCF 障害	ShadowImage 異常終了

アラート ID	障害の概要	[DESCRIPTION] フィールド表示情報 (表示情報の全体または一部)
KAID00751	環境障害	SVP PS 異常 Cluster-1
KAID00752	環境障害	SVP PS 異常 Cluster-2
KAID00801	SVP 障害検出	AC 障害
KAID00802	SVP 障害検出	AC 回復障害
KAID00803	SVP 障害検出	UPS バッテリ障害
KAID00804	SVP 障害検出	電源緊急デステージ開始
KAID00805	SVP 障害検出	電源緊急デステージ完了
KAID00820	CHA NAS OS プロセッサ障害	NAS OS 用プロセッサ障害
KAID00821	CHA NAS OS プロセッサ障害	NAS OS 用プロセッサ環境異常
KAID00822	CHA NAS OS プロセッサ障害	NAS OS 障害
KAID00823	CHA NAS OS プロセッサ障害	NAS OS 用バス障害
KAID00824	CHA NAS OS プロセッサ障害	Network ポート障害
KAID00850	ペアボリューム障害	P-VOL サスペンド (continue)
KAID00851	ペアボリューム障害	P-VOL サスペンド (complete)
KAID00852	ペアボリューム障害	サスペンド (complete) 状態 P-VOL が更新 IO 受領
KAID00880	共有メモリ障害	HPAV マイクロ消失
KAID00890	環境障害	12V 電圧アラーム
KAID00891	環境障害	HDD MPS0 ワーニング
KAID00892	環境障害	バッテリーワーニング (DIAG)
KAID00893	環境障害	ファン異常

表 15-2 KAID00901~KAID00978 : ストレージシステムが出力するトラップ情報 (Hitachi USP)

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID00901	LCP 障害	ADP 一時障害
KAID00902	LCP 障害	ADP 閉塞
KAID00903	HTP 障害	HTP ハードエラー
KAID00904	HTP 障害	HTP パス一時障害
KAID00905	HTP 障害	HTP パス閉塞
KAID00906	HTP 障害	HTP 閉塞
KAID00907	CHA プロセッサ障害	CHA パトロールチェックエラー
KAID00908	CHA プロセッサ障害	CHA メモリコレクタブルエラー
KAID00909	CHA NAS OS プロセッサ障害	NAS OS 用プロセッサ障害
KAID00910	CHA NAS OS プロセッサ障害	NAS OS 用プロセッサ環境異常
KAID00911	CHA NAS OS プロセッサ障害	NAS OS 障害: failover またはリソースエラー発生 (障害発生元情報なし)
KAID00912	CHA NAS OS プロセッサ障害	NAS OS 障害
KAID00913	CHA NAS OS プロセッサ障害	NAS OS 用バス障害
KAID00914	CHA NAS OS プロセッサ障害	Network ポート障害
KAID00915	DKA プロセッサ障害	DKA パトロールチェックエラー
KAID00916	DKA プロセッサ障害	DKA メモリコレクタブルエラー
KAID00917	CHSN 障害	論理バス閉塞(CHA-DMA1 側 CARB0)
KAID00918	CHSN 障害	論理バス閉塞(CHA-DMA1 側 CARB1)

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID00919	CHSN 障害	論理バス閉塞(CHA-PMA 側 CARB0)
KAID00920	CHSN 障害	論理バス閉塞(CHA-PMA 側 CARB1)
KAID00921	共有メモリ障害	SMA パトロールチェックエラー
KAID00922	共有メモリ障害	二重化情報消失
KAID00923	共有メモリ障害	片面揮発
KAID00924	共有メモリ障害	HPAV マイクロ消失
KAID00925	共有メモリ障害	不当 DC 電圧 CTL
KAID00926	共有メモリ障害	不当 CE MODE
KAID00927	ドライブ障害(通常 R/W)	DKU 種別不一致によるドライブ閉塞
KAID00928	ドライブマイクロ交換 (OEM ドライブ)	OEM ドライブマイクロ交換 開始
KAID00929	ドライブマイクロ交換 (OEM ドライブ)	OEM ドライブマイクロ交換 正常終了
KAID00930	ドライブマイクロ交換 (OEM ドライブ)	OEM ドライブマイクロ交換 異常終了
KAID00931	ドライブマイクロ交換 (OEM ドライブ)	OEM ドライブマイクロ交換 中断
KAID00932	CSW 障害	CARB パトロールチェックエラー
KAID00933	CSW 障害	CARB メモリコレクタブルエラー
KAID00934	SVP I/F 障害 (CHA 側)	SVP へのイーサネット障害
KAID00935	SVP I/F 障害 (CHA 側)	SVP への SIM 転送失敗
KAID00936	SVP I/F 障害 (DKA 側)	SVP へのイーサネット障害
KAID00937	SVP I/F 障害 (DKA 側)	SVP への SIM 転送失敗
KAID00938	サーバ障害	DB バリデーションエラー
KAID00939	LCP/FCP 障害(リモートコントロールポート)	リモートコピー論理バス閉塞 (障害状態のため)
KAID00940	LCP/FCP 障害(リモートコントロールポート)	リモートコピー論理バス回復
KAID00941	ペアボリューム障害	M-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド (continue)に変化
KAID00942	ペアボリューム障害	M-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド (complete)に変化
KAID00943	ペアボリューム障害	M-VOL にてサスペンド(complete)のボリュームが更新 I/O 受領しサスペンド(complete 中に更新 I/O 受領)
KAID00944	LCP 障害	Link 系データ転送エラー 1
KAID00945	LCP 障害	Link 系データ転送エラー 2
KAID00946	キャッシュ障害	モジュールグループ閉塞処理完了
KAID00947	キャッシュ障害	パッケージ閉塞処理完了
KAID00948	共有メモリ障害	一時閉塞後、回復完了
KAID00949	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブ閉塞(ドライブ系)(RAID6 1 台閉塞)
KAID00950	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブ閉塞(メディア系)(RAID6 1 台閉塞)
KAID00951	LCP/FCP 障害(リモートコントロールポート)	エクステンダからの回線障害検出通知の受領
KAID00952	ペアボリューム障害	HRC によるペア形成完了(NO コピーサスペンド)

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID00953	ペアボリューム障害	HRC によるペア形成完了(NO コピーサスペンド)
KAID00954	HMRCF/HOMRCF 障害	ShadowImage-FlashCopy (R) オプション異常終了
KAID00955	HMRCF/HOMRCF 障害	ShadowImage-FlashCopy (R) version 2 オプション異常終了
KAID00956	HMRCF/HOMRCF 障害	SM 揮発による ShadowImage-FlashCopy (R) version 2 オプション異常終了
KAID00957	HMRCF/HOMRCF 障害	SM 揮発による強制ペアサスペンド
KAID00958	Hi-Copy 障害	コピー異常終了
KAID00959	Copy-on-Write Snapshot 障害	SM 揮発による強制ペアサスペンド
KAID00960	Copy-on-Write Snapshot 障害	Copy-on-Write Snapshot オプション異常終了
KAID00961	プール障害	Pool 使用率しきい値超過
KAID00962	プール障害	Pool 閉塞
KAID00963	外部サブシステム接続バスレスポンスタイムアウトしきい値オーバー	外部サブシステム接続バスレスポンスタイムアウトしきい値オーバー
KAID00964	環境障害	ACDC アラーム
KAID00965	環境障害	PS ボックスワーニング DKU-XXX
KAID00966	環境障害	HDD-PL 56V 電圧低下 56V 電圧低下 1
KAID00967	環境障害	HDD-PL 56V 電圧低下 56V 電圧低下 2
KAID00968	環境障害	バッテリー Warning
KAID00969	環境障害	AC Warning(単相 50A) AC-BOX1
KAID00970	環境障害	AC Warning(単相 50A) AC-BOX2
KAID00971	環境障害	AC Warning(単相 30A) AC-BOX1
KAID00972	環境障害	AC Warning(単相 30A) AC-BOX2
KAID00973	環境障害	FAN 異常
KAID00974	環境障害	FAN 異常 FAN ヒューズ
KAID00975	ウイルス検出	クリーニング実行
KAID00976	ウイルス検出	隔離済み
KAID00977	ウイルス検出	隔離失敗
KAID00978	外部サブシステム接続バス閉塞	外部サブシステム接続バス閉塞

表 15-3 KAID01001~KAID01178 : ストレージシステムが出力するトラップ情報 (Universal Storage Platform V/VM)

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01001	LCP/FCP/HTP 障害	ADP 永久障害
KAID01002	LCP/FCP/HTP 障害	ADP 閉塞
KAID01003	LCP/FCP/HTP 障害	Link 系データ転送エラー 1
KAID01004	LCP/FCP/HTP 障害	Link 系データ転送エラー 2
KAID01005	LCP/FCP/HTP 障害	LCP/FCP/HTP ハードエラー
KAID01006	LCP/FCP/HTP 障害	LCP/FCP/HTP バス閉塞
KAID01007	LCP/FCP/HTP 障害	LCP/FCP/HTP 閉塞
KAID01008	CHA プロセッサ障害	プロセッサ閉塞
KAID01009	CHA プロセッサ障害	FM 障害

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01010	DKA プロセッサ障害	プロセッサ閉塞
KAID01011	DKA プロセッサ障害	FM 障害
KAID01012	CHA CHK2	RCHA 閉塞
KAID01013	DKA CHK2	DRR 閉塞
KAID01014	DKA CHK2	FCA 閉塞
KAID01015	キャッシュ障害	モジュールグループ閉塞処理完了
KAID01016	キャッシュ障害	パッケージ閉塞処理完了
KAID01017	キャッシュ障害	キャッシュ一時障害
KAID01018	キャッシュ障害	モジュールグループ閉塞
KAID01019	キャッシュ障害	パッケージ閉塞
KAID01020	キャッシュ障害	面閉塞
KAID01021	共有メモリ障害	HPAV マイクロ消失
KAID01022	共有メモリ障害	一時閉塞後、回復完了
KAID01023	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブ閉塞(ドライブ系)(冗長度あり)
KAID01024	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブ閉塞(ドライブ系)(冗長度なし)
KAID01025	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブ閉塞(メディア系)(冗長度あり)
KAID01026	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブ閉塞(メディア系)(冗長度なし)
KAID01027	ドライブ障害(通常 R/W)	コレクションコピーワーニング終了(LDEV 閉塞または障害)
KAID01028	ドライブ障害(通常 R/W)	ダイナミックスペアリングワーニング終了(LDEV 閉塞または障害)(ドライブコピー)
KAID01029	SVP I/F 障害 (CHA 側)	SVP へのイーサネット障害
KAID01030	SVP I/F 障害 (CHA 側)	SVP への SIM 転送失敗
KAID01031	SVP I/F 障害 (DKA 側)	SVP へのイーサネット障害
KAID01032	SVP I/F 障害 (DKA 側)	SVP への SIM 転送失敗
KAID01033	電源障害	HDU 電源断検出
KAID01034	LCP/FCP 障害(リモートコントロールポート)	リモートコピー論理パス閉塞(障害状態のため)
KAID01035	LCP/FCP 障害(リモートコントロールポート)	リモートコピー論理パス回復
KAID01036	LCP/FCP 障害(リモートコントロールポート)	エクステンダからの回線障害検出通知の受領
KAID01037	ペアボリューム障害	ペアボリューム障害 HRC/HORC による使用中のボリュームのイニシャルコピーまたは差分コピーの開始
KAID01038	ペアボリューム障害	HRC/HORC による使用中のボリュームのイニシャルコピーの完了
KAID01039	ペアボリューム障害	使用中のボリュームの HRC/HORC が削除された(SVP/リモートコンソールまたはホスト指示による)
KAID01040	ペアボリューム障害	HRC によるペア形成完了(NO コピーサスペンド)
KAID01041	ペアボリューム障害	R-VOL 状態変化
KAID01042	ペアボリューム障害	HODM による使用中ボリュームの移行コピーまたは差分コピーの開始

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01043	ペアボリューム障害	HODM による使用中ボリュームの移行コピーの完了
KAID01044	ペアボリューム障害	HODM による使用中ボリュームの削除(SVP またはリモートコンソールによる)
KAID01045	ペアボリューム障害	HRC/HODM/HORC にて使用中ボリュームがサスペンド(リモートコピー接続の回復不能障害)
KAID01046	ペアボリューム障害	HRC/HODM/HORC にて使用中ボリュームがサスペンド(M-VOL またはリモートコピー接続での回復不能障害)
KAID01047	ペアボリューム障害	HRC/HODM/HORC にて使用中ボリュームがサスペンド(R-VOL での回復不能障害)
KAID01048	ペアボリューム障害	HRC にて使用中ボリュームがサスペンド(R-VOL への DFW が禁止された)
KAID01049	ペアボリューム障害	HRC/HORC にて使用中ボリュームがサスペンド(RCU による内部エラー状態の検出)
KAID01050	ペアボリューム障害	HRC/HORC にて使用中ボリュームがサスペンド(R-VOL へのペア削除操作が発生)
KAID01051	ペアボリューム障害	使用中のボリュームの Erase 動作が完了しなかった(エラー状態)
KAID01052	ペアボリューム障害	MCU が RCU の Moderate レベルの SIM を検出
KAID01053	ペアボリューム障害	MCU が RCU の Acute または Serious レベルの SIM を検出
KAID01054	ペアボリューム障害	M-VOL の状態と R-VOL の状態が不一致
KAID01055	ペアボリューム障害	HRC にて使用中のボリュームがイニシャルコピーまたは差分コピーを開始
KAID01056	ペアボリューム障害	HRC にて使用中のボリュームがイニシャルコピーを完了
KAID01057	ペアボリューム障害	HRC にて使用中のボリュームがペア削除要求を受領(SVP/リモートコンソールまたはホスト指示による)
KAID01058	ペアボリューム障害	HRC にて使用中のボリュームがサスペンド要求を受領(SVP/リモートコンソールまたはホスト指示による)
KAID01059	ペアボリューム障害	HRC にて使用中のボリュームが削除処理を完了
KAID01060	ペアボリューム障害	HRC にて使用中のボリュームがサスペンド処理を完了
KAID01061	ペアボリューム障害	HRC によるペア形成完了(NO コピーサスペンド)
KAID01062	ペアボリューム障害	MCU から R-VOL への状態変更指示
KAID01063	ペアボリューム障害	M-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド(リモートコピー接続の回復不能障害)
KAID01064	ペアボリューム障害	M-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド(M-VOL またはリモートコピー接続での回復不能障害)
KAID01065	ペアボリューム障害	M-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド(R-VOL での回復不能障害)
KAID01066	ペアボリューム障害	M-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド(R-VOL への DFW が禁止された)

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01067	ペアボリューム障害	M-VOLにて使用中のボリュームがサスペンド(R-VOLへのサスペンド操作が発生)
KAID01068	ペアボリューム障害	M-VOLにて使用中のボリュームがサスペンド(R-VOLへのペア削除操作が発生)
KAID01069	ペアボリューム障害	R-VOLにて使用中のボリュームがサスペンド(リモートコピー接続の回復不能障害)
KAID01070	ペアボリューム障害	R-VOLにて使用中のボリュームがサスペンド(R-VOLでの回復不能障害)
KAID01071	ペアボリューム障害	MCUがRCUのServiceレベルのSIMを検出
KAID01072	ペアボリューム障害	MCUがRCUのModerateレベルのSIMを検出
KAID01073	ペアボリューム障害	MCUがRCUのAcuteまたはSeriousレベルのSIMを検出
KAID01074	ペアボリューム障害	M-VOLの状態とR-VOLの状態が不一致
KAID01075	ペアボリューム障害	M-VOLにて使用中のボリュームがサスペンド(continue)に変化
KAID01076	ペアボリューム障害	M-VOLにて使用中のボリュームがサスペンド(complete)に変化
KAID01077	ペアボリューム障害	M-VOLにてサスペンド(complete)のボリュームが更新I/O受領しサスペンド(complete中に更新I/O受領)
KAID01078	HMRCF障害 or HOMRCF障害	コピー異常終了
KAID01079	HMRCF障害 or HOMRCF障害	ShadowImage-FlashCopy (R)オプション異常終了
KAID01080	HMRCF障害 or HOMRCF障害	SM揮発によるShadowImage-FlashCopy (R)オプション異常終了
KAID01081	HMRCF障害 or HOMRCF障害	ShadowImage-FlashCopy (R) version2 オプション異常終了
KAID01082	HMRCF障害 or HOMRCF障害	SM揮発によるShadowImage-FlashCopy (R) version2 オプション異常終了
KAID01083	HMRCF障害 or HOMRCF障害	SM揮発による強制ペアサスペンド
KAID01084	HXRC/HRCA障害	サイドファイルスリープ待ちしきい値オーバー
KAID01085	Hi-Copy障害	コピー異常終了
KAID01086	Copy-on-Write Snapshot障害	SM揮発による強制ペアサスペンド
KAID01087	Copy-on-Write Snapshot障害	Copy-on-Write Snapshot オプション異常終了
KAID01088	プール障害	Pool 使用率しきい値超過
KAID01089	プール障害	Pool 閉塞
KAID01090	外部サブシステム接続パス閉塞	外部サブシステム接続パス閉塞
KAID01091	外部サブシステム接続パスレスポンスタイムアウト閾値オーバー	外部サブシステム接続パスレスポンスタイムアウトしきい値オーバー
KAID01092	外部サブシステム接続デバイス閉塞	外部サブシステム接続デバイス閉塞
KAID01093	ペアボリューム障害	URにて使用するボリュームが定義された
KAID01094	ペアボリューム障害	URにて使用中のボリュームがコピーを開始
KAID01095	ペアボリューム障害	URにて使用中のボリュームがコピーを完了
KAID01096	ペアボリューム障害	URにて使用中のボリュームがサスペンド要求を受領

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01097	ペアボリューム障害	UR にて使用中のボリュームがサスペンド処理を完了
KAID01098	ペアボリューム障害	UR にて使用中のボリュームが削除要求を受領
KAID01099	ペアボリューム障害	UR にて使用中のボリュームが削除処理を完了
KAID01100	ペアボリューム障害	UR にて使用するボリュームが定義された(即 PSUS)
KAID01101	ペアボリューム障害	MCU 側から SVOL への状態変更を受領
KAID01102	ペアボリューム障害	P-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド(パス回復不能)
KAID01103	ペアボリューム障害	P-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド(MCU 側障害検出)
KAID01104	ペアボリューム障害	P-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド(SVOL サスペンド検出)
KAID01105	ペアボリューム障害	P-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド(SVOL ペア削除検出)
KAID01106	ペアボリューム障害	S-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド(パス回復不能)
KAID01107	ペアボリューム障害	S-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド(RCU 側障害検出)
KAID01108	環境障害	筐体前面温度異常アラーム 左側(TH11 検出)
KAID01109	環境障害	筐体前面温度異常アラーム 右側(TH12 検出)
KAID01110	環境障害	筐体背面温度異常アラーム 左側(TH21 検出)
KAID01111	環境障害	筐体背面温度異常アラーム 右側(TH22 検出)
KAID01112	環境障害	筐体前面温度異常ワーニング 左側(TH11 検出)
KAID01113	環境障害	筐体前面温度異常ワーニング 右側(TH12 検出)
KAID01114	環境障害	筐体背面温度異常ワーニング 左側(TH21 検出)
KAID01115	環境障害	筐体背面温度異常ワーニング 右側(TH22 検出)
KAID01116	環境障害	Logic 電源電圧 クラスタ 1
KAID01117	環境障害	Logic 電源電圧 クラスタ 2
KAID01118	環境障害	Memory 電源電圧 クラスタ 1
KAID01119	環境障害	Memory 電源電圧 クラスタ 2
KAID01120	環境障害	ACDC アラーム
KAID01121	環境障害	PS ボックスワーニング PS11
KAID01122	環境障害	PS ボックスワーニング PS21
KAID01123	環境障害	PS ボックスワーニング PS12
KAID01124	環境障害	PS ボックスワーニング PS22
KAID01125	環境障害	PS ボックスワーニング PS13
KAID01126	環境障害	PS ボックスワーニング PS23
KAID01127	環境障害	PS ボックスワーニング PS14
KAID01128	環境障害	PS ボックスワーニング PS24
KAID01129	環境障害	PS ボックスワーニング PS15
KAID01130	環境障害	PS ボックスワーニング PS25
KAID01131	環境障害	PS ボックスワーニング PS16
KAID01132	環境障害	PS ボックスワーニング PS26
KAID01133	環境障害	PS ボックスワーニング BAT-REG(MN1)

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01134	環境障害	PS ボックスワーニング BAT-REG(MN2)
KAID01135	環境障害	PS ボックスワーニング PS Warning
KAID01136	環境障害	HDD-PL 電圧低下 56V 電圧低下
KAID01137	環境障害	HDD-PL 電圧低下 37V 電圧低下
KAID01138	環境障害	バッテリー Warning BATTERY-11
KAID01139	環境障害	バッテリー Warning BATTERY-21
KAID01140	環境障害	バッテリー Warning BATTERY-12
KAID01141	環境障害	バッテリー Warning BATTERY-22
KAID01142	環境障害	バッテリー Warning BATTERY-13
KAID01143	環境障害	バッテリー Warning BATTERY-23
KAID01144	環境障害	バッテリー Warning BATTERY-14
KAID01145	環境障害	バッテリー Warning BATTERY-24
KAID01146	環境障害	バッテリー Warning BATTERY-15
KAID01147	環境障害	バッテリー Warning BATTERY-25
KAID01148	環境障害	バッテリー Warning DKUBATTERY
KAID01149	環境障害	AC Warning(3相) AC-BOX1
KAID01150	環境障害	AC Warning(3相) AC-BOX2
KAID01151	環境障害	AC Warning(単相) AC-BOX1
KAID01152	環境障害	AC Warning(単相) AC-BOX2
KAID01153	環境障害	FAN 異常 FFAN1
KAID01154	環境障害	FAN 異常 RFAN1
KAID01155	環境障害	FAN 異常 FFAN2
KAID01156	環境障害	FAN 異常 RFAN2
KAID01157	環境障害	FAN 異常 FFAN3
KAID01158	環境障害	FAN 異常 RFAN3
KAID01159	環境障害	FAN 異常 FFAN4
KAID01160	環境障害	FAN 異常 RFAN4
KAID01161	環境障害	FAN 異常 FAN Warning
KAID01162	環境障害	FAN 異常 FAN ヒューズ断
KAID01163	環境障害	JP 設定異常 PS ON JP
KAID01164	環境障害	JP 設定異常 SVP PS ON/OFF 抑止 JP(Basic SVP 用)
KAID01165	環境障害	JP 設定異常 SVP PS ON/OFF 抑止 JP(Optional SVP 用)
KAID01166	環境障害	SVP 2 重化設定不良
KAID01167	SVP 障害	ASSIST 用ルータ障害
KAID01168	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ
KAID01169	ウイルス検出	クリーニング実行
KAID01170	ウイルス検出	隔離済み
KAID01171	ウイルス検出	隔離失敗
KAID01172	ペアボリューム障害	P-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド(S-VOL 障害サスペンド検出)
KAID01173	プール障害	DP プール使用率しきい値 1 超過

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01174	プール障害	DP プール使用率しきい値 2 超過
KAID01175	プール障害	DP プール満杯
KAID01176	プール障害	DP プール障害検出
KAID01177	プール障害	DP VOL 使用率しきい値超過
KAID01178	プール障害	DP プール使用率しきい値超過状態継続

表 15-4 KAID01300~KAID01632 : ストレージシステムが出力するトラップ情報 (Virtual Storage Platform)

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01300	ポート障害	チャンネルポート閉塞
KAID01301	ポート障害	RIO パス閉塞
KAID01302	ポート障害	RIO パス自動回復
KAID01303	ポート障害	RCU 論理パス閉塞
KAID01304	ポート障害	Link 系データ転送エラー 1
KAID01305	ポート障害	Link 系データ転送エラー 2
KAID01306	ポート障害	HTP ハードエラー
KAID01307	ポート障害	HTP パス閉塞
KAID01308	ポート障害	HTP 閉塞
KAID01309	ポート障害	外部サブシステム接続パス閉塞
KAID01310	ポート障害	外部サブシステム接続パスレスポンスタイムアウト閾値オーバ
KAID01311	プロセッサ系障害	プロセッサ閉塞
KAID01312	プロセッサ系障害	FM 障害
KAID01313	CHA/DKA 障害	SAS CTL 閉塞
KAID01314	CHA/DKA 障害	SAS PORT 閉塞
KAID01315	CHA/DKA 障害	DRR 閉塞
KAID01316	CHA/DKA 障害	DMA 閉塞
KAID01317	CHA/DKA 障害	同期 DMA 閉塞
KAID01318	CHA/DKA 障害	LR 閉塞
KAID01319	CHA/DKA 障害	全 DMA 閉塞
KAID01320	CHA/DKA 障害	論理 DMA 閉塞
KAID01321	CHA/DKA 障害	論理同期 DMA 閉塞
KAID01322	CHA/DKA 障害	MFDMA 閉塞
KAID01323	CHA/DKA 障害	全 MFDMA 閉塞
KAID01324	キャッシュ障害	モジュールグループ閉塞処理完了
KAID01325	キャッシュ障害	パッケージ閉塞処理完了
KAID01326	キャッシュ障害	キャッシュ一時障害
KAID01327	キャッシュ障害	モジュールグループ閉塞
KAID01328	キャッシュ障害	パッケージ閉塞
KAID01329	キャッシュ障害	面閉塞
KAID01330	SM 障害	SM 面閉塞
KAID01331	SM 障害	SM 瞬停揮発立ち上げ
KAID01332	SM 障害	一時閉塞後、回復完了

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01333	SM 障害	面一時閉塞
KAID01334	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブポート閉塞(パス 0 側)
KAID01335	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブポート閉塞(パス 1 側)
KAID01336	ドライブ障害(通常 R/W)	LDEV 閉塞(パス 0 側)(ドライブポート閉塞による)
KAID01337	ドライブ障害(通常 R/W)	LDEV 閉塞(パス 1 側)(ドライブポート閉塞による)
KAID01338	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブ閉塞(ドライブ系)(冗長度あり)
KAID01339	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブ閉塞(ドライブ系)(冗長度なし)
KAID01340	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブ閉塞(ダイナミックスペアリング正常終了による)
KAID01341	ドライブ障害(通常 R/W)	LDEV 閉塞(ドライブ閉塞による)
KAID01342	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブ閉塞(メディア系)(冗長度あり)
KAID01343	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブ閉塞(メディア系)(冗長度なし)
KAID01344	ドライブ障害(通常 R/W)	コレクションコピー開始
KAID01345	ドライブ障害(通常 R/W)	コレクションコピー正常終了
KAID01346	ドライブ障害(通常 R/W)	コレクションコピー ワーニング終了(LDEV 閉塞または障害)
KAID01347	ドライブ障害(通常 R/W)	ダイナミックスペアリング開始(ドライブコピー)
KAID01348	ドライブ障害(通常 R/W)	ダイナミックスペアリング正常終了(ドライブコピー)
KAID01349	ドライブ障害(通常 R/W)	ダイナミックスペアリング異常終了(ドライブコピー)
KAID01350	ドライブ障害(通常 R/W)	ダイナミックスペアリングワーニング終了(LDEV 閉塞または障害)(ドライブコピー)
KAID01351	外部デバイス障害	外部サブシステム接続デバイス閉塞
KAID01352	SVP I/F 障害	SVP へのイーサネット障害
KAID01353	SVP I/F 障害	SVP への SIM 転送失敗
KAID01354	システムディスク	監査ログ消失
KAID01355	システムディスク	監査ログアクセス不可
KAID01356	電源障害	HDU 電源断検出
KAID01357	ペアボリューム障害	HRC/HORC による使用中のボリュームのインシタルコピーまたは差分コピーの開始
KAID01358	ペアボリューム障害	HRC/HORC による使用中のボリュームのインシタルコピーの完了
KAID01359	ペアボリューム障害	使用中のボリュームの HRC/HORC が削除された(SVP/リモートコンソールまたはホスト指示による)
KAID01360	ペアボリューム障害	HRC によるペア形成完了(NO コピーサスペンド)
KAID01361	ペアボリューム障害	R-VOL 状態変化
KAID01362	ペアボリューム障害	差分コピーの開始
KAID01363	ペアボリューム障害	HRC/HORC にて使用中ボリュームがサスペンド(リモートコピー接続の回復不能障害)

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01364	ペアボリューム障害	HRC/HORCにて使用中ボリュームがサスペンド(M-VOLまたはリモートコピー接続での回復不能障害)
KAID01365	ペアボリューム障害	HRC/HORCにて使用中ボリュームがサスペンド(R-VOLでの回復不能障害)
KAID01366	ペアボリューム障害	HRCにて使用中ボリュームがサスペンド(R-VOLへのDFWが禁止された)
KAID01367	ペアボリューム障害	HRC/HORCにて使用中ボリュームがサスペンド(RCUによる内部エラー状態の検出)
KAID01368	ペアボリューム障害	HRC/HORCにて使用中ボリュームがサスペンド(R-VOLへのペア削除操作が発生)
KAID01369	ペアボリューム障害	使用中のボリュームのErase動作が完了しなかった(エラー状態)
KAID01370	ペアボリューム障害	MCUがRCUのModerateレベルのSIMを検出
KAID01371	ペアボリューム障害	MCUがRCUのAcuteまたはSeriousレベルのSIMを検出
KAID01372	ペアボリューム障害	M-VOLの状態とR-VOLの状態が不一致
KAID01373	ペアボリューム障害	HRCにて使用中のボリュームがイニシャルコピーまたは差分コピーを開始
KAID01374	ペアボリューム障害	HRCにて使用中のボリュームがイニシャルコピーを完了
KAID01375	ペアボリューム障害	HRCにて使用中のボリュームがペア削除要求を受領(SVP/リモートコンソールまたはホスト指示による)
KAID01376	ペアボリューム障害	HRCにて使用中のボリュームがサスペンド要求を受領(SVP/リモートコンソールまたはホスト指示による)
KAID01377	ペアボリューム障害	HRCにて使用中のボリュームが削除処理を完了
KAID01378	ペアボリューム障害	HRCにて使用中のボリュームがサスペンド処理を完了
KAID01379	ペアボリューム障害	HRCによるペア形成完了(NOコピーサスペンド)
KAID01380	ペアボリューム障害	MCUからR-VOLへの状態変更指示
KAID01381	ペアボリューム障害	M-VOLにて使用中のボリュームがサスペンド(リモートコピー接続の回復不能障害)
KAID01382	ペアボリューム障害	M-VOLにて使用中のボリュームがサスペンド(M-VOLまたはリモートコピー接続での回復不能障害)
KAID01383	ペアボリューム障害	M-VOLにて使用中のボリュームがサスペンド(R-VOLでの回復不能障害)
KAID01384	ペアボリューム障害	M-VOLにて使用中のボリュームがサスペンド(R-VOLへのDFWが禁止された)
KAID01385	ペアボリューム障害	M-VOLにて使用中のボリュームがサスペンド(R-VOLへのサスペンド操作が発生)
KAID01386	ペアボリューム障害	M-VOLにて使用中のボリュームがサスペンド(R-VOLへのペア削除操作が発生)
KAID01387	ペアボリューム障害	R-VOLにて使用中のボリュームがサスペンド(リモートコピー接続の回復不能障害)

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01388	ペアボリューム障害	R-VOLにて使用中のボリュームがサスペンド (R-VOLでの回復不能障害)
KAID01389	ペアボリューム障害	MCUがRCUのServiceレベルのSIMを検出
KAID01390	ペアボリューム障害	MCUがRCUのModerateレベルのSIMを検出
KAID01391	ペアボリューム障害	MCUがRCUのAcuteまたはSeriousレベルのSIMを検出
KAID01392	ペアボリューム障害	M-VOLの状態とR-VOLの状態が不一致
KAID01393	ペアボリューム障害	M-VOLにて使用中のボリュームがサスペンド (continue)に変化
KAID01394	ペアボリューム障害	M-VOLにて使用中のボリュームがサスペンド (complete)に変化
KAID01395	ペアボリューム障害	M-VOLにてサスペンド(complete)のボリュームが更新I/O受領しサスペンド(complete中に更新I/O受領)
KAID01396	HMRCF障害/HOMRCF障害/ FlashCopy(R) Version2障害	HMRCF/HOMRCFコピー異常終了
KAID01397	HMRCF障害/HOMRCF障害/ FlashCopy(R) Version2障害	FlashCopy (R) Version2 オプション異常終了
KAID01398	HMRCF障害/HOMRCF障害/ FlashCopy(R) Version2障害	SM揮発によるFlashCopy(R) Version2 オプション異常終了
KAID01399	HMRCF障害/HOMRCF障害/ FlashCopy(R) Version2障害	SM揮発による強制ペアサスペンド(HMRCF/HOMRCF)
KAID01400	HXRC/HRCA障害	サイドファイルスリープ待ちしきい値オーバー
KAID01401	Copy-on-Write Snapshot 障害	SM揮発による強制ペアサスペンド
KAID01402	Copy-on-Write Snapshot 障害	Copy-on-Write Snapshot オプション異常終了
KAID01403	Copy-on-Write Snapshot プール障害	Pool 使用率閾値超過
KAID01404	Copy-on-Write Snapshot プール障害	Pool 閉塞
KAID01405	DynamicProvisioning プール障害	DP プール使用率 Warning しきい値超過
KAID01406	DynamicProvisioning プール障害	DP プール使用率 System しきい値超過
KAID01407	DynamicProvisioning プール障害	DP プール満杯
KAID01408	DynamicProvisioning プール障害	DP プール障害検出
KAID01409	DynamicProvisioning プール障害	SM 空きなし
KAID01410	DynamicProvisioning プール障害	DP プール使用率閾値超過状態継続
KAID01411	DynamicProvisioning プール障害	DP VOL 使用率閾値超過
KAID01412	ペアボリューム障害	URにて使用するボリュームが定義された
KAID01413	ペアボリューム障害	URにて使用中のボリュームがコピーを開始
KAID01414	ペアボリューム障害	URにて使用中のボリュームがコピーを完了
KAID01415	ペアボリューム障害	URにて使用中のボリュームがサスペンド要求を受領
KAID01416	ペアボリューム障害	URにて使用中のボリュームがサスペンド処理を完了
KAID01417	ペアボリューム障害	URにて使用中のボリュームが削除要求を受領
KAID01418	ペアボリューム障害	URにて使用中のボリュームが削除処理を完了
KAID01419	ペアボリューム障害	URにて使用するボリュームが定義された(即PSUS)

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01420	ペアボリューム障害	UR にて使用するデルタボリュームが定義された
KAID01421	ペアボリューム障害	UR にて使用していた P-VOL がデルタボリュームとして再定義
KAID01422	ペアボリューム障害	MCU 側から SVOL への状態変更を受領
KAID01423	ペアボリューム障害	P-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド(パス回復不能)
KAID01424	ペアボリューム障害	P-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド (MCU 側障害検出)
KAID01425	ペアボリューム障害	P-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド (SVOL 障害サスペンド検出)
KAID01426	ペアボリューム障害	P-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド (SVOL サスペンド検出)
KAID01427	ペアボリューム障害	P-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド (SVOL ペア削除検出)
KAID01428	ペアボリューム障害	S-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド(パス回復不能)
KAID01429	ペアボリューム障害	S-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド (RCU 側障害検出)
KAID01430	ペアボリューム障害	P-VOL にて使用中のデルタボリュームがサスペンド
KAID01431	ペアボリューム障害	他系列の障害による伝播サスペンド
KAID01432	環境障害	外部温度異常アラーム DKCBOX-0 クラスタ 1
KAID01433	環境障害	外部温度異常アラーム DKCBOX-0 クラスタ 2
KAID01434	環境障害	外部温度異常アラーム DKCBOX-1 クラスタ 1
KAID01435	環境障害	外部温度異常アラーム DKCBOX-1 クラスタ 2
KAID01436	環境障害	外部温度異常ワーニング(+) DKCBOX-0 クラスタ 1
KAID01437	環境障害	外部温度異常ワーニング(+) DKCBOX-0 クラスタ 2
KAID01438	環境障害	外部温度異常ワーニング(+) DKCBOX-1 クラスタ 1
KAID01439	環境障害	外部温度異常ワーニング(+) DKCBOX-1 クラスタ 2
KAID01440	環境障害	外部温度異常ワーニング(-) DKCBOX-0 クラスタ 1
KAID01441	環境障害	外部温度異常ワーニング(-) DKCBOX-0 クラスタ 2
KAID01442	環境障害	外部温度異常ワーニング(-) DKCBOX-1 クラスタ 1
KAID01443	環境障害	外部温度異常ワーニング(-) DKCBOX-1 クラスタ 2
KAID01444	環境障害	内部温度異常アラーム DKCBOX-0 クラスタ 1
KAID01445	環境障害	内部温度異常アラーム DKCBOX-0 クラスタ 2
KAID01446	環境障害	内部温度異常アラーム DKCBOX-1 クラスタ 1
KAID01447	環境障害	内部温度異常アラーム DKCBOX-1 クラスタ 2

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01448	環境障害	内部温度異常ワーニング(+) DKCBOX-0 クラスタ 1
KAID01449	環境障害	内部温度異常ワーニング(+) DKCBOX-0 クラスタ 2
KAID01450	環境障害	内部温度異常ワーニング(+) DKCBOX-1 クラスタ 1
KAID01451	環境障害	内部温度異常ワーニング(+) DKCBOX-1 クラスタ 2
KAID01452	環境障害	内部温度異常ワーニング(-) DKCBOX-0 クラスタ 1
KAID01453	環境障害	内部温度異常ワーニング(-) DKCBOX-0 クラスタ 2
KAID01454	環境障害	内部温度異常ワーニング(-) DKCBOX-1 クラスタ 1
KAID01455	環境障害	内部温度異常ワーニング(-) DKCBOX-1 クラスタ 2
KAID01456	環境障害	Logic 電源電圧アラーム DKCBOX-0 クラスタ 1
KAID01457	環境障害	Logic 電源電圧アラーム DKCBOX-0 クラスタ 2
KAID01458	環境障害	Logic 電源電圧アラーム DKCBOX-1 クラスタ 1
KAID01459	環境障害	Logic 電源電圧アラーム DKCBOX-1 クラスタ 2
KAID01460	環境障害	Sub 電源電圧アラーム DKCBOX-0 クラスタ 1
KAID01461	環境障害	Sub 電源電圧アラーム DKCBOX-0 クラスタ 2
KAID01462	環境障害	Sub 電源電圧アラーム DKCBOX-1 クラスタ 1
KAID01463	環境障害	Sub 電源電圧アラーム DKCBOX-1 クラスタ 2
KAID01464	環境障害	DKCPS ワーニング DKCBOX-0 DKCPS-0
KAID01465	環境障害	DKCPS ワーニング DKCBOX-1 DKCPS-0
KAID01466	環境障害	DKCPS ワーニング DKCBOX-0 DKCPS-1
KAID01467	環境障害	DKCPS ワーニング DKCBOX-1 DKCPS-1
KAID01468	環境障害	DKCPS ワーニング DKCBOX-0 DKCPS-2
KAID01469	環境障害	DKCPS ワーニング DKCBOX-1 DKCPS-2
KAID01470	環境障害	DKCPS ワーニング DKCBOX-0 DKCPS-3
KAID01471	環境障害	DKCPS ワーニング DKCBOX-1 DKCPS-3
KAID01472	環境障害	DKUPS ワーニング DKUPS
KAID01473	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-0 DKCFAN-10
KAID01474	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-0 DKCFAN-20
KAID01475	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-1 DKCFAN-10
KAID01476	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-1 DKCFAN-20
KAID01477	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-0 DKCFAN-11
KAID01478	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-0 DKCFAN-21
KAID01479	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-1 DKCFAN-11
KAID01480	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-1 DKCFAN-21
KAID01481	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-0 DKCFAN-12
KAID01482	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-0 DKCFAN-22
KAID01483	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-1 DKCFAN-12
KAID01484	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-1 DKCFAN-22

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01485	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-0 DKCFAN-13
KAID01486	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-0 DKCFAN-23
KAID01487	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-1 DKCFAN-13
KAID01488	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-1 DKCFAN-23
KAID01489	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-0 DKCFAN-14
KAID01490	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-0 DKCFAN-24
KAID01491	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-1 DKCFAN-14
KAID01492	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-1 DKCFAN-24
KAID01493	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-0 DKCFAN-15
KAID01494	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-0 DKCFAN-25
KAID01495	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-1 DKCFAN-15
KAID01496	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-1 DKCFAN-25
KAID01497	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-0 DKCFAN-16
KAID01498	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-0 DKCFAN-26
KAID01499	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-1 DKCFAN-16
KAID01500	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCBOX-1 DKCFAN-26
KAID01501	環境障害	JP 設定異常 OFF/ON 抑止 JP(Basic SVP 用)
KAID01502	環境障害	JP 設定異常 OFF/ON 抑止 JP(Optional SVP 用)
KAID01503	環境障害	FAN ワーニング HDDFAN
KAID01504	環境障害	FAN FUZE 断 HDDFAN
KAID01505	環境障害	SVP 2 重化設定不良
KAID01506	SVP 障害	S-SVP 障害
KAID01507	SVP 障害	ASSIST 用ルータ障害
KAID01508	監査ログ	監査ログ FTP 転送失敗
KAID01509	ウイルス検出	クリーニング実行
KAID01510	ウイルス検出	隔離済み
KAID01511	ウイルス検出	隔離失敗
KAID01515	ドライブ障害(通常 R/W)	コレクションコピー異常終了
KAID01516	ペアボリューム障害	R-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド (リモートコピー接続の回復不能障害)
KAID01517	Copy-on-Write Snapshot プール障害	SM 空きなし
KAID01518	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ TrueCopy for Mainframe
KAID01519	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Compatible XRC
KAID01520	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ TrueCopy
KAID01521	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ ShadowImage for Mainframe
KAID01522	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Compatible FlashCopy (R) Version2
KAID01523	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ ShadowImage
KAID01524	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Universal Replicator for Mainframe
KAID01525	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Universal Replicator
KAID01526	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Universal Volume Manager
KAID01527	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Virtual LVI

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01528	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Open Volume Management
KAID01529	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Volume Security
KAID01530	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Volume Security Port Option
KAID01531	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Volume Retention Manager
KAID01532	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Data Retention Utility
KAID01533	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ LUN Manager
KAID01534	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Cache Residency Manager for Mainframe
KAID01535	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Cache Residency Manager
KAID01536	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Performance Monitor
KAID01537	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Volume Migration
KAID01538	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Server Priority Manager
KAID01539	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Compatible PAV
KAID01540	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Database Validator
KAID01541	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Storage Navigator
KAID01542	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ SNMP Agent
KAID01543	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ JAVA API
KAID01544	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Configuration File Loader
KAID01545	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Virtual Partition Manager
KAID01546	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Volume Shredder
KAID01547	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Volume Migration V2
KAID01548	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Copy-on-Write Snapshot
KAID01549	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Dynamic Provisioning
KAID01550	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Disaster Recovery Extended
KAID01551	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Compatible Hyper PAV
KAID01552	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Mainframe Fibre Data Migration
KAID01553	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Encryption License Key
KAID01554	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Hitachi Compatible High Performance Connectivity for FICON (R)
KAID01555	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ Hitachi Dynamic Tiering
KAID01556	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー TrueCopy for Mainframe
KAID01557	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Compatible XRC
KAID01558	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー TrueCopy
KAID01559	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー ShadowImage for Mainframe
KAID01560	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Compatible FlashCopy (R) Version2
KAID01561	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー ShadowImage
KAID01562	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Universal Replicator for Mainframe
KAID01563	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Universal Replicator
KAID01564	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Universal Volume Manager
KAID01565	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Virtual LVI
KAID01566	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Open Volume Management

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01567	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Volume Security
KAID01568	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Volume Security Port Option
KAID01569	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Volume Retention Manager
KAID01570	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Data Retention Utility
KAID01571	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー LUN Manager
KAID01572	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Cache Residency Manager for Mainframe
KAID01573	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Cache Residency Manager
KAID01574	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Performance Monitor
KAID01575	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Volume Migration
KAID01576	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Server Priority Manager
KAID01577	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Compatible PAV
KAID01578	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Database Validator
KAID01579	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Storage Navigator
KAID01580	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー SNMP Agent
KAID01581	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー JAVA API
KAID01582	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Configuration File Loader
KAID01583	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Virtual Partition Manager
KAID01584	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Volume Shredder
KAID01585	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Volume Migration V2
KAID01586	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Copy-on-Write Snapshot
KAID01587	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Dynamic Provisioning
KAID01588	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Disaster Recovery Extended
KAID01589	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Compatible Hyper PAV
KAID01590	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Mainframe Fibre Data Migration
KAID01591	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Encryption License Key
KAID01592	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Hitachi Compatible High Performance Connectivity for FICON (R)
KAID01593	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバー Hitachi Dynamic Tiering
KAID01594	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 TrueCopy for Mainframe
KAID01595	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Compatible XRC
KAID01596	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 TrueCopy
KAID01597	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 ShadowImage for Mainframe
KAID01598	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Compatible FlashCopy (R) Version2
KAID01599	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 ShadowImage

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01600	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Universal Replicator for Mainframe
KAID01601	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Universal Replicator
KAID01602	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Universal Volume Manager
KAID01603	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Virtual LVI
KAID01604	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Open Volume Management
KAID01605	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Volume Security
KAID01606	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Volume Security Port Option
KAID01607	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Volume Retention Manager
KAID01608	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Data Retention Utility
KAID01609	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 LUN Manager
KAID01610	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Cache Residency Manager for Mainframe
KAID01611	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Cache Residency Manager
KAID01612	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Performance Monitor
KAID01613	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Volume Migration
KAID01614	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Server Priority Manager
KAID01615	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Compatible PAV
KAID01616	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Database Validator
KAID01617	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Storage Navigator
KAID01618	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 SNMP Agent

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01619	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 JAVA API
KAID01620	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Configuration File Loader
KAID01621	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Virtual Partition Manager
KAID01622	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Volume Shredder
KAID01623	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Volume Migration V2
KAID01624	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Copy-on-Write Snapshot
KAID01625	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Dynamic Provisioning
KAID01626	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Disaster Recovery Extended
KAID01627	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Compatible Hyper PAV
KAID01628	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Mainframe Fibre Data Migration
KAID01629	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Encryption License Key
KAID01630	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Hitachi Compatible High Performance Connectivity for FICON (R)
KAID01631	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Hitachi Dynamic Tiering
KAID01632	DynamicProvisioning プール障害	DP プール使用率 Depletion しきい値超過

表 15-5 KAID01800~KAID01999 : ストレージシステムが出力するトラップ情報 (HUS VM)

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01800	SVP I/F 障害	SVP へのイーサネット障害
KAID01801	SVP I/F 障害	SVP への SIM 転送失敗
KAID01802	システムディスク	監査ログ消失。
KAID01803	システムディスク	システムディスクアクセス不可。
KAID01804	ポート障害	チャンネルポート閉塞
KAID01805	ポート障害	CHB 閉塞
KAID01806	ポート障害	DKB 閉塞

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01807	ポート障害	リモートコピー論理パス閉塞(障害状態のため)
KAID01808	ポート障害	リモートコピー論理パス回復
KAID01809	ポート障害	AL_PA 値衝突
KAID01810	ポート障害	Link 系データ転送エラー 1
KAID01811	ポート障害	Link 系データ転送エラー 2
KAID01812	ポート障害	光信号出力失敗
KAID01813	ポート障害	LED 状態変更失敗
KAID01814	ポート障害	IP アドレス衝突検出
KAID01815	ポート障害	外部ストレージシステム接続パス閉塞
KAID01816	ポート障害	外部ストレージシステム接続パスレスポンスタイムアウト閾値オーバ
KAID01817	プロセッサ系障害	プロセッサ閉塞
KAID01818	プロセッサ系障害	FM 障害
KAID01819	プロセッサ系障害	DKC 閉塞。
KAID01820	プロセッサ系障害	LDEV 閉塞 (マイクロコード要因)
KAID01821	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブ閉塞(メディア系)(冗長度あり)
KAID01822	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブ閉塞(メディア系)(冗長度なし)
KAID01823	ドライブ障害(通常 R/W)	コレクションコピー開始
KAID01824	ドライブ障害(通常 R/W)	コレクションコピー正常終了
KAID01825	ドライブ障害(通常 R/W)	コレクションコピー異常終了
KAID01826	ドライブ障害(通常 R/W)	コレクションコピーワーニング終了(LDEV 閉塞または障害)
KAID01827	ドライブ障害(通常 R/W)	ダイナミックスペアリング開始(ドライブコピー)
KAID01828	ドライブ障害(通常 R/W)	ダイナミックスペアリング正常終了(ドライブコピー)
KAID01829	ドライブ障害(通常 R/W)	ダイナミックスペアリング異常終了(ドライブコピー)
KAID01830	ドライブ障害(通常 R/W)	ダイナミックスペアリングワーニング終了(LDEV 閉塞または障害)(ドライブコピー)
KAID01831	ShadowImage 障害	ShadowImage コピー異常終了
KAID01832	ShadowImage 障害	SM 揮発による強制ベアサスペンド(ShadowImage)。
KAID01833	Volume Migration 障害	階層制御 VOL 移動異常終了
KAID01834	DCR ステータス	プレスレージング異常終了
KAID01835	DynamicProvisioning プール障害	DP プール警告閾値超過
KAID01836	DynamicProvisioning プール障害	DP プール満杯
KAID01837	DynamicProvisioning プール障害	SM 揮発時の複数 Pool 閉塞。
KAID01838	DynamicProvisioning プール障害	DP プール障害検出
KAID01839	DynamicProvisioning プール障害	SM 空きなし。
KAID01840	DynamicProvisioning プール障害	DP プール使用率閾値超過状態継続。
KAID01841	DynamicProvisioning プール障害	DP プール枯渇閾値超過
KAID01842	DynamicProvisioning プール障害	DP プール VOL 閉塞
KAID01843	SVP 障害	ASSIST 用ルータ障害。
KAID01844	SVP 障害	監査ログ FTP 転送失敗。

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01845	Dump Tool	Dump Tool 異常終了。
KAID01846	ウイルス検出	クリーニング実行。
KAID01847	ウイルス検出	隔離済み。
KAID01848	ウイルス検出	隔離失敗。
KAID01849	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ P.P.名称 TrueCopy。
KAID01850	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ P.P.名称 ShadowImage。
KAID01851	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ P.P.名称 Universal Replicator。
KAID01852	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ P.P.名称 Universal Volume Manager。
KAID01853	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ P.P.名称 Open Volume Management。
KAID01854	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ P.P.名称 Data Retention Utility。
KAID01855	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ P.P.名称 LUN Manager。
KAID01856	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ P.P.名称 Cache Residency Manager。
KAID01857	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ P.P.名称 Performance Monitor。
KAID01858	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ P.P.名称 Volume Migration。
KAID01859	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ P.P.名称 Server Priority Manager。
KAID01860	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ P.P.名称 Storage Navigator。
KAID01861	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ P.P.名称 SNMP Agent。
KAID01862	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ P.P.名称 JAVA API。
KAID01863	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ P.P.名称 Configuration File Loader。
KAID01864	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ P.P.名称 Virtual Partition Manager。
KAID01865	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ P.P.名称 Volume Shredder。
KAID01866	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ P.P.名称 Volume Migration V2。
KAID01867	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ P.P.名称 Dynamic Provisioning。
KAID01868	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ P.P.名称 Disaster Recovery Extended。
KAID01869	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ P.P.名称 Dynamic Tiering。
KAID01870	SVP 障害ライセンスキー	有効期限切れ P.P.名称 Resource Partition Manager。
KAID01871	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバ P.P.名称 TrueCopy。
KAID01872	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバ P.P.名称 ShadowImage。
KAID01873	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバ P.P.名称 Universal Replicator。
KAID01874	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバ P.P.名称 Universal Volume Manager。
KAID01875	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバ P.P.名称 Open Volume Management。
KAID01876	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバ P.P.名称 Data Retention Utility。
KAID01877	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバ P.P.名称 LUN Manager。
KAID01878	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバ P.P.名称 Cache Residency Manager。

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01879	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバ P.P.名称 Performance Monitor。
KAID01880	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバ P.P.名称 Volume Migration。
KAID01881	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバ P.P.名称 Server Priority Manager。
KAID01882	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバ P.P.名称 Storage Navigator。
KAID01883	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバ P.P.名称 SNMP Agent。
KAID01884	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバ P.P.名称 JAVA API。
KAID01885	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバ P.P.名称 Configuration File Loader。
KAID01886	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバ P.P.名称 Virtual Partition Manager。
KAID01887	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバ P.P.名称 Volume Shredder。
KAID01888	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバ P.P.名称 Volume Migration V2。
KAID01889	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバ P.P.名称 Dynamic Provisioning。
KAID01890	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバ P.P.名称 Disaster Recovery Extended。
KAID01891	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバ P.P.名称 Dynamic Tiering。
KAID01892	SVP 障害ライセンスキー	許可容量オーバ P.P.名称 Resource Partition Manager。
KAID01893	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 P.P.名称 TrueCopy。
KAID01894	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 P.P.名称 ShadowImage。
KAID01895	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 P.P.名称 Universal Replicator。
KAID01896	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 P.P.名称 Universal Volume Manager。
KAID01897	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 P.P.名称 Open Volume Management。
KAID01898	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 P.P.名称 Data Retention Utility。
KAID01899	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 P.P.名称 LUN Manager。
KAID01900	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 P.P.名称 Cache Residency Manager。
KAID01901	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 P.P.名称 Performance Monitor。

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01902	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 P.P.名称 Volume Migration。
KAID01903	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 P.P.名称 Server Priority Manager。
KAID01904	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 P.P.名称 Storage Navigator。
KAID01905	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 P.P.名称 SNMP Agent。
KAID01906	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 P.P.名称 JAVA API。
KAID01907	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 P.P.名称 Configuration File Loader。
KAID01908	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 P.P.名称 Virtual Partition Manager。
KAID01909	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 P.P.名称 Volume Shredder。
KAID01910	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 P.P.名称 Volume Migration V2。
KAID01911	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 P.P.名称 Dynamic Provisioning。
KAID01912	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 P.P.名称 Disaster Recovery Extended。
KAID01913	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 P.P.名称 Dynamic Tiering。
KAID01914	SVP 障害ライセンスキー	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 P.P.名称 Resource Partition Manager。
KAID01915	時刻合わせ	時刻合わせ失敗。
KAID01916	電源障害	HDU 電源断検出
KAID01917	環境障害	外部温度異常アラーム。
KAID01918	環境障害	外部温度異常ワーニング(+)
KAID01919	環境障害	外部温度異常ワーニング(-)
KAID01920	環境障害	DKCPS ワーニング DKCPS1。
KAID01921	環境障害	DKCPS ワーニング DKCPS2。
KAID01922	環境障害	DBPS 障害
KAID01923	環境障害	DBPS AC 入力障害
KAID01924	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCFAN12。

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01925	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCFAN22。
KAID01926	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCFAN10。
KAID01927	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCFAN20。
KAID01928	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCFAN13。
KAID01929	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCFAN23。
KAID01930	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCFAN11。
KAID01931	環境障害	DKCFAN ワーニング DKCFAN21。
KAID01932	環境障害	SVP RAS Switch#1 設定異常(SVP PS ON/OFF INH スイッチ)。
KAID01933	環境障害	バッテリー充電 EMPTY MAIN1。
KAID01934	環境障害	バッテリー充電 EMPTY MAIN2。
KAID01935	環境障害	CM バックアップ実装ワーニング MAIN1 CFM。
KAID01936	環境障害	CM バックアップ実装ワーニング MAIN2 CFM。
KAID01937	CHB/DKB 障害または MAIN Blade 障害	SAS CTL 閉塞
KAID01938	CHB/DKB 障害または MAIN Blade 障害	SAS PORT 閉塞
KAID01939	CHB/DKB 障害または MAIN Blade 障害	論理 DMA 閉塞
KAID01940	CHB/DKB 障害または MAIN Blade 障害	DRR 閉塞
KAID01941	CHB/DKB 障害または MAIN Blade 障害	DMA 閉塞
KAID01942	CHB/DKB 障害または MAIN Blade 障害	MAIN Blade 閉塞 MAIN PCB ロケーション MAIN1。
KAID01943	CHB/DKB 障害または MAIN Blade 障害	MAIN Blade 閉塞 MAIN PCB ロケーション MAIN2。
KAID01944	CHB/DKB 障害または MAIN Blade 障害	全 DMA 閉塞 MAIN PCB ロケーション MAIN1。
KAID01945	CHB/DKB 障害または MAIN Blade 障害	全 DMA 閉塞 MAIN PCB ロケーション MAIN2。
KAID01946	ペアボリューム障害	TC による使用中のボリュームのイニシャルコピーまたは差分コピーの開始
KAID01947	ペアボリューム障害	TC による使用中のボリュームのイニシャルコピーの完了
KAID01948	ペアボリューム障害	使用中のボリュームの TC が削除された(SVP/リモートコンソールまたはホスト指示による)
KAID01949	ペアボリューム障害	ペア形成完了(NO コピーサスペンド)
KAID01950	ペアボリューム障害	R-VOL 状態変化
KAID01951	ペアボリューム障害	差分コピーの開始
KAID01952	ペアボリューム障害	TC にて使用中ボリュームがサスペンド(リモートコピー接続の回復不能障害)
KAID01953	ペアボリューム障害	TC にて使用中ボリュームがサスペンド(M-VOL またはリモートコピー接続での回復不能障害)
KAID01954	ペアボリューム障害	TC にて使用中ボリュームがサスペンド(R-VOL での回復不能障害)

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01955	ペアボリューム障害	TC にて使用中ボリュームがサスペンド(RCU による内部エラー状態の検出)
KAID01956	ペアボリューム障害	TC にて使用中ボリュームがサスペンド(R-VOL へのペア削除操作が発生)
KAID01957	ペアボリューム障害	R-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド (リモートコピー接続の回復不能障害)
KAID01958	ペアボリューム障害	使用中のボリュームの Erase 動作が完了しなかった(エラー状態)
KAID01959	ペアボリューム障害	M-VOL の状態と R-VOL の状態が不一致
KAID01960	ペアボリューム障害	UR にて使用するボリュームが定義された
KAID01961	ペアボリューム障害	UR にて使用中のボリュームがコピーを開始
KAID01962	ペアボリューム障害	UR にて使用中のボリュームがコピーを完了
KAID01963	ペアボリューム障害	UR にて使用中のボリュームがサスペンド要求を受領
KAID01964	ペアボリューム障害	UR にて使用中のボリュームがサスペンド処理を完了
KAID01965	ペアボリューム障害	UR にて使用中のボリュームが削除要求を受領
KAID01966	ペアボリューム障害	UR にて使用中のボリュームが削除処理を完了
KAID01967	ペアボリューム障害	UR にて使用するボリュームが定義された(即 PSUS)
KAID01968	ペアボリューム障害	UR にて使用するデルタボリュームが定義された
KAID01969	ペアボリューム障害	UR にて使用していた P-VOL がデルタボリュームとして再定義
KAID01970	ペアボリューム障害	MCU 側から S-VOL への状態変更を受領
KAID01971	ペアボリューム障害	P-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド(パス回復不能)
KAID01972	ペアボリューム障害	P-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド (MCU 側障害検出)
KAID01973	ペアボリューム障害	P-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド(S-VOL 障害サスペンド検出)
KAID01974	ペアボリューム障害	P-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド(S-VOL サスペンド検出)
KAID01975	ペアボリューム障害	P-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド(S-VOL ペア削除検出)
KAID01976	ペアボリューム障害	S-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド(パス回復不能)
KAID01977	ペアボリューム障害	S-VOL にて使用中のボリュームがサスペンド (RCU 側障害検出)
KAID01978	ペアボリューム障害	P-VOL にて使用中のデルタボリュームがサスペンド
KAID01979	ペアボリューム障害	他系列の障害による伝播サスペンド
KAID01980	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブポート閉塞(パス 0 側)
KAID01981	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブポート閉塞(パス 1 側)
KAID01982	ドライブ障害(通常 R/W)	LDEV 閉塞(パス 0 側)(ドライブポート閉塞による)

アラート ID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID01983	ドライブ障害(通常 R/W)	LDEV 閉塞(パス 1 側)(ドライブポート閉塞による)
KAID01984	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブ閉塞(ドライブ系)(冗長度あり)
KAID01985	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブ閉塞(ドライブ系)(冗長度なし)
KAID01986	ドライブ障害(通常 R/W)	ドライブ閉塞(ダイナミックスペアリング正常終了による)
KAID01987	ドライブ障害(通常 R/W)	LDEV 閉塞(ドライブ閉塞による)
KAID01988	外部デバイス障害	外部ストレージシステム接続デバイス閉塞。
KAID01989	環境異常	筐体接続異常
KAID01990	キャッシュ障害	モジュールグループ閉塞処理完了
KAID01991	キャッシュ障害	パッケージ閉塞処理完了
KAID01992	SM 障害	SM 面閉塞
KAID01993	SM 障害	SM 瞬停揮発立ち上げ。
KAID01994	SM 障害	一時閉塞後、回復完了
KAID01995	SM 障害	面一時閉塞
KAID01996	キャッシュ障害	キャッシュ一時障害
KAID01997	キャッシュ障害	モジュールグループ閉塞
KAID01998	キャッシュ障害	パッケージ閉塞
KAID01999	キャッシュ障害	面閉塞

15.2 KAID10001~KAID11028

ストレージシステムの部位を示すアラートを次に示します。

- アラート ID KAID10001~KAID10312
Virtual Storage Platform, Universal Storage Platform V/VM, Hitachi USP, SANRISE9900V, および HUS VM のアラートです。詳細は、「表 15-6 KAID10001~KAID10312: ストレージシステムの部位を示すアラート (Virtual Storage Platform・Universal Storage Platform V/VM・Hitachi USP・SANRISE9900V・HUS VM)」を参照してください。
- アラート ID KAID11001~KAID11028
HUS100, Hitachi AMS2000/AMS/WMS/SMS および SANRISE9500V のアラートです。詳細は、「表 15-7 KAID11001~KAID11028: ストレージシステムの部位を示すアラート (HUS100・Hitachi AMS2000/AMS/WMS/SMS・SANRISE9500V)」を参照してください。

表 15-6 KAID10001~KAID10312 : ストレージシステムの部位を示すアラート (Virtual Storage Platform・Universal Storage Platform V/VM・Hitachi USP・SANRISE9900V・HUS VM)

アラート ID	アラート発生部位 [COMPONENT] フィールド表示情報	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID10001	DKC Processor	[DESCRIPTION] フィールドに表示される情報は、アラートのレベルにより決定されます。 [DESCRIPTION] フィールドに表示される情報は、次のとおりです。 ・ほかのアラートのレベルから Normal に変化した場合 「Acute Serious Moderate Service」は正常に復旧しました。
KAID10002	DKC Cache Switch	
KAID10003	DKC Cache	
KAID10004	DKC Shared Memory	
KAID10005	DKC Power Supply	
KAID10006	DKC Battery	
KAID10007	DKC Fan	

アラート ID	アラート発生部位 [COMPONENT] フィールド表示情報	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID10008	DKC Environment	<ul style="list-style-type: none"> アラートのレベルが Acute, Serious, Moderate および Service の場合 [COMPONENT] で「Acute Serious Moderate Service」エラーが検出されました。
KAID10009	DKU Power Supply ^{※1}	
KAID10010	DKU Fan ^{※1}	
KAID10011	DKU Environment ^{※1}	
KAID10012	DKU Drive ^{※1}	
KAID10309	DB Power Supply ^{※2}	
KAID10310	DB Fan ^{※2}	
KAID10311	DB Environment ^{※2}	
KAID10312	DB Drive ^{※2}	

注※1

Virtual Storage Platform, Universal Storage Platform V/VM, Hitachi USP, SANRISE9900V だけが出力します。

注※2

HUS VM だけが出力します。

表 15-7 KAID11001~KAID11028 : ストレージシステムの部位を示すアラート (HUS100・Hitachi AMS2000/AMS/WMS/SMS・SANRISE9500V)

アラート ID	アラート発生部位 [COMPONENT] フィールド表示情報	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID11001	Cache	<p>[DESCRIPTION] フィールドに表示される情報は、アラートのレベルにより決定されます。</p> <p>[DESCRIPTION] フィールドに表示される情報は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ほかのアラートのレベルから Normal に変化した場合 「Acute Serious Moderate Service」 は正常に復旧しました。 アラートのレベルが Acute, Serious, Moderate および Service の場合 [COMPONENT] で「Acute Serious Moderate Service」エラーが検出されました。
KAID11002	Power Supply	
KAID11003	Fan	
KAID11004	AC	
KAID11005	Battery	
KAID11006	Backup Battery	
KAID11007	Controller	
KAID11008	Enclosure	
KAID11009	Loop	
KAID11010	Disk Drive	
KAID11011	CTU Power Supply ^{※1}	
KAID11012	CTU Fan ^{※1}	
KAID11013	CTU Enclosure ^{※1}	
KAID11014	Connector ^{※2}	
KAID11015	NNC ^{※3}	
KAID11016	NNC Dimm ^{※3}	
KAID11017	NNC Power Supply ^{※3}	
KAID11018	NNC Fan ^{※3}	
KAID11019	NNC Connector ^{※3}	
KAID11020	NNC Type ^{※3}	
KAID11021	NNC Base ^{※3}	
KAID11022	NNC ExCard ^{※3}	

アラート ID	アラート発生部位 [COMPONENT] フィールド表示情報	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID11023	NNC ExSlot HCT※3	
KAID11024	Additional Battery	
KAID11025	I/F Board	
KAID11026	Connection	
KAID11027	CTL Fan※4	
KAID11028	IOM※4	

注※1

SANRISE9500V だけが出力します。

注※2

HUS100 および Hitachi AMS2000/AMS/WMS/SMS だけが出力します。

注※3

Hitachi AMS/WMS だけが出力します。

注※4

HUS150 だけが出力します。

ストレージシステムのメッセージ

この章では、ストレージシステムが出力するメッセージについて説明します。

- 16.1 HUS100, Hitachi AMS2000/AMS/WMS/SMS および SANRISE9500V のメッセージ
- 16.2 Hitachi USP のメッセージ
- 16.3 SANRISE9900V のメッセージ
- 16.4 Universal Storage Platform V/VM のメッセージ
- 16.5 Virtual Storage Platform のメッセージ

16.1 HUS100, Hitachi AMS2000/AMS/WMS/SMS および SANRISE9500V のメッセージ

Device Manager が出力するメッセージの中には、メッセージの一部としてストレージシステムが出力するメッセージを含むものがあります。ここでは、Device Manager のメッセージに含まれる HUS100, Hitachi AMS2000/AMS/WMS/SMS および SANRISE9500V のエラーメッセージについて説明します。

DMEG から始まるメッセージ ID については、Storage Navigator Modular 2 のメッセージマニュアルを参照してください。

Device Manager が表示する HUS100, Hitachi AMS2000/AMS/WMS/SMS および SANRISE9500V のメッセージを次の表に示します。

参考：アスタリスク (*) はエラーコードの出力が可変であることを示しています。エラーコードに、この節で示す数値以外の数値が出力された場合は、「*」で示すメッセージの説明を参照してください。

表 16-1 HUS100, Hitachi AMS2000/AMS/WMS/SMS および SANRISE9500V のメッセージ

エラーコード	説明
*	サブシステムでエラーが発生しました。この問題を解決できないときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
1	DMEA001000: 装置情報ファイルの OPEN に失敗しました。実行環境を確認してください。
2	DMEA001001: 装置情報ファイルの内容が不正です。実行環境を確認してください。
3	DMEA001002: 指定した装置名はすでに登録されています。別の装置名を指定してください。
4	DMEA001003: 指定の装置は登録されていません。
5	DMEA001004: 装置登録の内容が実際の装置状態と違います。登録内容を修正してから再実行してください。
6	DMEA001005: 装置の登録数が最大値に達したので登録できません。不要な装置情報を削除してから再実行してください。
7	DMEA001021: 装置グループ数が最大値に達したので登録できません。既存のグループを指定するか不要なグループを削除してから再実行してください。
8	DMEA001026: 指定した内容が実際の装置構成と異なります。装置構成を確認してください。
10	DMEA000010: アレイ装置との通信でエラーが生じました。アレイ装置の状態や接続環境を確認してから再実行してください。
11	DMEA000011: アレイ装置との通信でエラーが生じました。アレイ装置の状態や接続環境を確認してから再実行してください。
12	DMEA000012: アレイ装置とのセキュア通信でエラーが生じました。証明書の内容およびアレイ装置の状態や接続環境を確認してから再実行してください。
18	DMEA001071: LU が予約されているので処理できません。
101	DMEA001019: 現在の装置のファームウェアのレビジョンでは機能をサポートしていないため、実行できません。
102	DMEA001006: パラメータが不正です。
103	DMEA001007: コントローラ指定に誤りがあります。
104	DMEA001008: ファイルを開けませんでした。ファイル名を確認してから再実行してください。
105	DMEA001009: ファイルの内容が正しくありません。ファイルの内容を確認してから再実行してください。

エラーコード	説明
106	DMEA00100A: サーバとの接続に失敗しました。登録内容および LAN 環境を確認してから再実行してください。
107	DMEA00100B: パスワードが設定されていません。
108	DMEA00100C: パスワードが壊れています。パスワードファイルをいったん削除してから再実行してください。
109	DMEA001017: ファイル I/O 中にエラーが発生しました。書き込み権限があるか、または空き容量があるか確認してください。
10a	DMEA001022: ハードウェア障害が発生しました。アレイ装置を確認してください。
10b	DMEA001023: 現在の装置では機能をサポートしていないので、実行できません。
10c	DMEA001024: 環境変数 STONAVM_HOME が未定義です。STONAVM_HOME を設定してください。
10d	DMEA001025: LU の担当コントローラが登録されていません。LU の担当コントローラを登録してから再実行してください。
10e	DMEA001027: 現在使用している JRE のバージョンはサポートしていません。JRE のバージョンを確認してください。
10f	DMEA001029: 環境変数 STONAVM_HOME が不正です。STONAVM_HOME の設定を確認してください。
110	DMEA00104E: 機能が無効なので処理に失敗しました。
111	DMEA00104D: パスワードの文字列長が不正です。12 文字以内で入力してください。
112	DMEA00104F: コントローラ障害ダンプ情報の取得が失敗しました。10 分経過してから再度取得してください。
113	DMEA001070: プログラムが正しくインストールされていません。
115	DMEA001073: ログを出力するディレクトリの作成に失敗しました。実行環境を確認してください。
116	DMEA001078: 指定されたキーが見つかりません。ファイルの内容を確認してから再実行してください。
117	DMEA001079: 指定された装置に対しては実行できません。
118	DMEA001080: マッピングモードが OFF なので、LU マッピングの設定ができません。
119	DMEA001081: ドライブ情報の取得に失敗しました。
11a	DMEA001092: オプション指定に誤りがあります。
11b	DMEA001093: 指定した機能は実装されていないか、無効化されている、または、施錠されているので使用できません。
11c	DMEA001132: ファイルの作成に失敗しました。実行環境を確認してください。
11d	DMEA001133: 性能統計情報の取得に失敗しているので、ファイル出力できません。
11e	DMEA00102A: 現在使用している JRE のバージョンはサポートしていません。JRE のバージョンを確認してください。
11f	DMEA00102B: 指定した LU のカレントコントローラが異なるので、実行できません。LU のカレントコントローラを正しく指定してから実行してください。
130	DMEA00112B: 指定されたポートは未実装なので利用できません。ポートの状態を確認してから再実行してください。
201	DMEA000201: 全削除をするためのユーザ ID、パスワードが違います。
301	DMEA00100D: 指定された LU は未定義です。定義済みの LU を指定してください。
302	DMEA00100E: フォーマットに失敗しました。アレイ装置を確認してください。
303	DMEA001130: 指定された RAID グループは定義済みです。未定義の RAID グループを指定してください。
304	DMEA001131: 指定された RAID グループは未定義です。定義済みの RAID グループを指定してください。

エラーコード	説明
305	DMEA00115E: 指定した RAID グループには空き領域がないので、処理できません。
306	DMEA001160: 指定した領域には LU を定義できません。
307	DMEA001161: 指定した RAID グループの先頭領域は LU がすでに定義されているので、処理できません。
308	DMEA001162: 指定した領域は空き領域ではないので、処理できません。
400	DMEA001030: System Startup Attribute のパラメータ, または, 項目名が不正です。
401	DMEA001031: Spare Disk のパラメータ, または, 項目名が不正です。
402	DMEA001032: Host Connection Mode のパラメータ, または, 項目名が不正です。
403	DMEA001033: Serial Number のパラメータ, または, 項目名が不正です。
404	DMEA001034: Drive Capacity のパラメータ, または, 項目名が不正です。
405	DMEA001035: Option 1 のパラメータ, または, 項目名が不正です。
406	DMEA001036: Option 2 のパラメータ, または, 項目名が不正です。
407	DMEA001037: Data Striping Size のパラメータ, または, 項目名が不正です。
408	DMEA001038: Buzzer のパラメータ, または, 項目名が不正です。
409	DMEA001039: LU Size Report to the Host のパラメータ, または, 項目名が不正です。
40a	DMEA00103A: SCSI Reset/LIP Mode for all Ports のパラメータ, または, 項目名が不正です。
40b	DMEA00103B: Operation if the Processor failures Occurs のパラメータ, または, 項目名が不正です。
40c	DMEA00103C: INQUIRY Information のパラメータ, または, 項目名が不正です。
40d	DMEA00103D: Cache Mode のパラメータ, または, 項目名が不正です。
40e	DMEA00103E: Target ID のパラメータ, または, 項目名が不正です。
40f	DMEA00103F: Port Type のパラメータ, または, 項目名が不正です。
410	DMEA001040: ROM Pseudo-response command processing のパラメータ, または, 項目名が不正です。
411	DMEA001041: Save Data Pointer response のパラメータ, または, 項目名が不正です。
412	DMEA001042: Controller Identifier のパラメータ, または, 項目名が不正です。
413	DMEA001043: RS232C Error Information Outflow Mode のパラメータ, または, 項目名が不正です。
414	DMEA001044: Write & Verify Execution Mode のパラメータ, または, 項目名が不正です。
415	DMEA001045: LAN CONST のパラメータ, または, 項目名が不正です。
416	DMEA001046: SYNC CONTROL のパラメータ, または, 項目名が不正です。
417	DMEA001047: ファイルヘッダがありません。
418	DMEA001048: 現在のアレイ装置のドライブ構成では, 指定されたファイルのドライブ構成情報をカバーできません。
419	DMEA001049: RAID 構成データが不正です。
41a	DMEA00104A: LU 構成データが不正です。
41b	DMEA00104B: ドライブ構成データが不正です。
41c	DMEA00104C: FD Back UP のパラメータ, または, 項目名が不正です。
41d	DMEA001050: Web Title のパラメータ, または, 項目名が不正です。
41e	DMEA001051: Delay Planned Shutdown のパラメータ, または, 項目名が不正です。
420	DMEA001083: PortOption のパラメータ, または, 項目名が不正です。
421	DMEA001084: HostGroupInformation のパラメータ, または, 項目名が不正です。

エラーコード	説明
422	DMEA001085: HostGroupOption のパラメータ, または, 項目名が不正です。
423	DMEA001086: LuMapping のパラメータ, または, 項目名が不正です。
424	DMEA001087: FibreSecurityInformation のパラメータ, または, 項目名が不正です。
425	DMEA001088: CommonInformation のパラメータ, または, 項目名が不正です。
426	DMEA001089: MappingMode の設定に失敗しました。設定ファイルの内容を確認してから再実行してください。
427	DMEA001090: CTL ヘッダが不正です。
428	DMEA001091: Port ヘッダが不正です。
429	DMEA001082: Additional Battery Unit モードのパラメータ, または, 項目名が不正です。
440	DMEA00119F: ファイルバージョンがありません。
441	DMEA0011A0: 開始セパレーターがありません。
442	DMEA0011A1: User Name が不正です。
443	DMEA0011A2: Secret が不正です。
444	DMEA0011A3: エイリアスが不正です。
445	DMEA0011A4: Target 番号が不正です。
446	DMEA0011A5: 終了セパレーターがありません。
447	DMEA0011A6: ポートセパレーターがありません。
448	DMEA0011AC: ファイルバージョンが不正です。
449	DMEA0011AD: User Name が最大数を超過しています。
44a	DMEA0011AE: Target が未定義です。
501	DMEA001094: 指定したホストグループはすでに定義されています。未定義のホストグループを指定してください。
502	DMEA001095: 指定されたホストグループは未定義です。定義済みのホストグループを指定してください。
503	DMEA001096: 指定したポートのホストグループセキュリティが無効に設定されています。ホストグループセキュリティを有効に設定してから再実行してください。
504	DMEA001097: ホストグループ 0 に対して指定した処理は実行できません。ホストグループ 0 以外を指定してください。
505	DMEA001098: ホストグループ名称, または WWN 名称が不正です。名称を確認してから再実行してください。
506	DMEA001099: ホストグループ番号が不正です。ホストグループ番号を確認してから再実行してください。
507	DMEA001100: ノード名称が不正です。ノード名称を確認してから再実行してください。
508	DMEA001101: ポート名称が不正です。ポート名称を確認してから再実行してください。
509	DMEA001102: LUNManagementInformation のパラメータ, または, 項目名が不正です。
50a	DMEA001103: ポート内に同一のホストグループ名称があります。設定ファイルの内容を確認してから再実行してください。
50b	DMEA001104: ポート内に同一の WWN 名称があります。設定ファイルの内容を確認してから再実行してください。
50c	DMEA001105: ポート内に同一のポート名称があります。設定ファイルの内容を確認してから再実行してください。
50d	DMEA001106: ポート内に同一のホストグループ番号があります。設定ファイルの内容を確認してから再実行してください。

エラーコード	説明
50e	DMEA001107: 設定ファイルにホストグループ番号 0 のホストグループ情報がありません。ポートごとにホストグループ番号 0 の情報を確認してから再実行してください。
510	DMEA001109: インストールされているファームウェアレビジョンでは、Read Frame Min 128 Byte Mode の設定ができません。Read Frame Min 128 Byte Mode の設定が可能なファームウェアに、アップデートしてください。
511	DMEA00110D: Options のパラメータ、または項目名が不正です。
512	DMEA00110E: 指定した RAID レベルは未サポートなので、処理できません。
513	DMEA00110F: システム LU の構成データが正しくありません。
514	DMEA001110: ユーザ LU の構成データが正しくありません。
515	DMEA001195: ポートのパラメータまたは項目名が不正です。
516	DMEA001197: iSCSI Port Information のパラメータまたは項目名が不正です。
517	DMEA001196: KeepAliveTimer 値が不正です。KeepAliveTimer 値を確認してから再実行してください。
518	DMEA001198: iSNS Information のパラメータまたは項目名が不正です。
519	DMEA001199: ポート番号が不正です。ポート番号を確認してから再実行してください。
51a	DMEA00119B: Target Information のパラメータまたは項目名が不正です。
51b	DMEA00119A: Target 番号が不正です。Target 番号を確認してから再実行してください。
51c	DMEA00119C: ポート内に同一の Target 番号があります。設定ファイルの内容を確認してから再実行してください。
51d	DMEA00119D: Target Security のパラメータまたは項目名が不正です。
51e	DMEA00119E: Initiator のパラメータまたは項目名が不正です。
51f	DMEA0011A7: 設定ファイルに Target 番号 0 の Target 情報がありません。ポートごとに Target 番号 0 の情報を確認してから再実行してください。
520	DMEA001108: Web タイトルが不正です。Web タイトルを確認してから再実行してください。
521	DMEA00110A: 現在の装置のファームウェアのレビジョンでは機能をサポートしていないため、実行できません。
522	DMEA00110B: データプール情報変更に必要なパラメータがありません。
523	DMEA00110C: ドライブ種別が異なるので、指定された RAID グループおよび LU は作成できません。
530	DMEA00112A: 入力装置のハード構成と入力ファイル中のハード構成が異なります。装置の状態を確認して再実行してください。
532	DMEA0011A8: ポート内に同一のエイリアスがあります。設定ファイルの内容を確認してから再実行してください。
533	DMEA0011A9: ポート内に同一の iSCSI Name があります。設定ファイルの内容を確認してから再実行してください。
534	DMEA0011AA: ポート内に同一の Initiator Name があります。設定ファイルの内容を確認してから再実行してください。
535	DMEA0011AB: MTU 値が不正です。MTU 値を確認してから再実行してください。
536	DMEA0011AF: Target Option のパラメータまたは項目名が不正です。
540	DMEA00112C: インストールされているファームウェアレビジョンでは、HostSystemConfiguration の設定ができません。HostSystemConfiguration の設定が可能なファームウェアに、アップデートしてください。
541	DMEA00112D: HostSystemConfiguration のパラメータ、または、項目名が不正です。
542	DMEA00112E: 属性が Read/Write 以外なので、処理できません。属性を Read/Write にしてから再実行してください。

エラーコード	説明
543	DMEA00112F: 指定した LU には有効期限を設定できません。LU の状態を確認してください。
544	DMEA001134: 有効期限を現在より短くすることはできません。現在の値以上の値を指定してから再実行してください。
551	DMEA001146: 指定した管理ファイルを格納するディレクトリのパス名が 250 文字を超えているか、またはメモリ確保ができませんでした。パス名を 250 文字以下にするか、または起動中のほかのプログラムを終了してから再実行してください。
552	DMEA001147: 管理ファイルを格納するディレクトリの作成に失敗しました。ディレクトリに書き込み権限があるか、または空き容量があるか確認してください。
554	DMEA001148: 指定した管理ファイルの出力パス名が 250 文字を超えています。パス名を 250 文字以下で指定してから再実行してください。
555	DMEA001149: 管理ファイルの書き込みに失敗しました。ディレクトリに書き込み権限があるか、または空き容量があるか確認してください。
556	DMEA00114A: 管理ファイルのオープンに失敗しました。ファイル名を確認してから再実行してください。
557	DMEA00114B: 管理ファイルの内容が不正です。ファイルの内容を確認してから再実行してください。
558	DMEA00114C: ファイルのパス名が 250 文字を超えています。パス名を 250 文字以下にしてから再実行してください。
559	DMEA00114D: ファイルの書き込みに失敗しました。ディレクトリに書き込み権限があるか、または空き容量があるか確認してください。
55a	DMEA00114E: ファイルのオープンに失敗しました。ファイル名を確認してから再実行してください。
55c	DMEA001150: CSV ファイルの出力時間に誤りがあります。
55d	DMEA001151: CSV ファイルのパス名が 250 文字を超えています。パス名を 250 文字以下にしてから再実行してください。
55e	DMEA001152: CSV ファイルの書き込みに失敗しました。ディレクトリに書き込み権限があるか、または空き容量があるか確認してください。
55f	DMEA001153: CSV ファイルのオープンに失敗しました。ファイル名を確認してから再実行してください。
560	DMEA001154: 指定した CSV ファイルを格納するディレクトリのパス名が 250 文字を超えている、またはメモリ確保ができませんでした。パス名を 250 文字以下にするか、起動中のほかのプログラムを終了してから再実行してください。
561	DMEA001155: 管理ファイルのパス名が 250 文字を超えています。パス名を 250 文字以下にしてから再実行してください。
562	DMEA001156: 削除するファイルのパス名が 250 文字を超えています。パス名を 250 文字以下にしてから再実行してください。
563	DMEA001157: モニタリングデータのバージョンが新しいので、読み込めません。プログラムのバージョンを確認してから再実行してください。
564	DMEA001158: CSV ファイルの出力番号に誤りがあります。
565	DMEA00115A: 管理ファイルのオープンに失敗しました。ファイル名を確認してから再実行してください。
567	DMEA00115B: 管理ファイルの内容が不正です。ファイルの内容を確認してから再実行してください。
570	DMEA00115C: 接続に失敗しました。接続先を確認してから再実行してください。
571	DMEA00115D: アレイ装置以外からの応答を受け取りました。接続先を確認してから再実行してください。
572	DMEA001163: アレイ装置から受け取った値が正しくありません。

エラーコード	説明
580	DMEA001164: IP アドレスの指定が正しくありません。正しい IP アドレスを指定してください。
581	DMEA001165: サブネットマスクの指定が正しくありません。正しいサブネットマスクを指定してください。
582	DMEA001166: デフォルトゲートウェイアドレスの指定が正しくありません。正しいデフォルトゲートウェイアドレスを指定してください。
583	DMEA0011B5: User LAN Parameter ヘッダが不正です。
584	DMEA0011B6: CTL Parameter ヘッダが不正です。
585	DMEA0011B7: User LAN Parameter のパラメーター, または項目名が不正です。
586	DMEA0011B8: Maintenance LAN Parameter ヘッダが不正です。
587	DMEA0011B9: Maintenance LAN Parameter のパラメーター, または項目名が不正です。
588	DMEA0011BA: NNC が実装されているので, 処理できません。ポート種別を確認してから再実行してください。
589	DMEA0011BB: DHCP の設定値が装置と不一致です。DHCP の設定値を確認してから再実行してください。
58a	DMEA0011BC: DHCP が有効なので, 指定された操作が実行できません。DHCP を無効にしてから再実行してください。
58b	DMEA0011BD: アレイ装置の LAN ポートが使用されているため, 指定された操作が実行できません。ナビゲーターのインストールディレクトリに出力されている [netstat.X.Y.inf](X:Serial Number, Y:Date) ファイルを参照し, アレイ装置の LAN ポートを使用しているアプリケーションを終了してから再実行してください。
590	DMEA0011B1: 指定されたログファイルの出力パス名が 255 文字を超えています。パス名を 255 文字以下にしてから再実行してください。
591	DMEA0011B2: ログファイルの出力パス名が 255 文字を超えています。パス名を 255 文字以下にしてから再実行してください。
593	DMEA0011B3: ファイルの書き込みに失敗しました。ディレクトリに書き込み権限があるか, または空き容量があるか確認してください。
594	DMEA0011B4: 内部保存ログが空です。
600	DMEA001159: マッピングガードされている LU があるので処理できません。
a01	DMEA00100F: E メール送信設定ファイルに誤りがあります。
a02	DMEA001010: E メール情報が設定されていません。
a03	DMEA001011: E メール送信パラメータが不適切です。
a04	DMEA001012: メールサーバとの接続で障害を検出しました。メールサーバを確認してから再実行してください。
a05	DMEA001016: 指定の外部プログラム呼び出しに失敗しました。設定内容, 実行環境を確認してください。
a06	DMEA001052: 付加情報ファイルの OPEN に失敗しました。実行環境を確認してください。
a07	DMEA001053: 付加情報ファイルの内容が不正です。実行環境を確認してください。
a08	DMEA001054: メール付加情報の文字列長が不正です。
a09	DMEA001055: メール付加情報の登録数が最大値に達したので, 登録できません。不要なメール付加情報を削除してから再実行してください。
a0a	DMEA001056: E メール情報が設定できません。インストールディレクトリに書き込み権限があるか, または空き容量があるか確認してください。
b01	DMEA001013: プログラム内部エラーが発生しました。少し時間を空けてから再実行してください。解決しない場合, 保守員へ連絡してください。

エラーコード	説明
b02	DMEA001014: サポートしていない接続形式です。
1002	DMEA00000B: アレイ装置へのデータ転送に失敗しました。アレイ装置の状態や接続環境を確認してから再実行してください。
1003	DMEA00000C: SCSI コマンドの発行に失敗しました。アレイ装置の状態や接続環境を確認してから再実行してください。
1004	DMEA001015: ファームウェアのレビジョンが不正です。アレイ装置を確認してください。
1005	DMEA001018: 指定されたパス内のファイルが正しくありません。正しいファイルのパスを指定してください。
1006	DMEA001020: ファームウェアの交換が終了しませんでした。アレイ装置に異常がないか確認してください。
1007	DMEA001028: アレイ装置の再起動に失敗しました。
1008	DMEA001072: 指定されたパス名が 250 文字を超えています。
1009	DMEA001074: 指定されたパス名の書式が誤っています。
100a	DMEA001075: 指定されたパスがない、または、指定されたパスの中に有効なファイルがありません。
100b	DMEA001076: 指定されたパスにファームウェアが存在しません。指定したパスが正しいか、または指定したパスにファームウェアが格納されているか確認してください。
100c	DMEA001077: ファームウェアファイルディレクトリの作成に失敗しました。実行環境を確認して下さい。
100d	DMEA00107A: 指定したコントローラのファームウェア交換が実行できません。先に、もう一方のコントローラのファームウェア交換を行ってください。
100e	DMEA00107B: ファームウェアを読み込むことができませんでした。インストールディレクトリに書き込み権限があるか、または空き容量があるか確認してください。
100f	DMEA00107C: ファームウェアは読み込まれていません。
1010	DMEA001135: シングルコントローラ構成では ENC ファームウェアのダウンロード、交換はできません。デュアルコントローラ構成で実行してください。
1011	DMEA001136: ENC ファームウェアを格納するディレクトリの作成に失敗しました。インストールディレクトリに書き込み権限があるか確認してください。
1012	DMEA001137: ENC ファームウェアを読み込むことができませんでした。インストールディレクトリに書き込み権限があるか、または空き容量があるか確認してください。
1013	DMEA001138: ENC ファームウェアは読み込まれていません。
1014	DMEA001139: 指定された装置に対応した ENC ファームウェアは読み込まれていません。
1015	DMEA001140: 指定されたパスに ENC ファームウェアが存在しません。指定したパスが正しいか、または指定したパスに ENC ファームウェアが格納されているか確認してください。
1016	DMEA001141: ENC ファームウェアの読み込みに失敗しました。ファイルの内容を確認してから再実行してください。
1017	DMEA001142: ENC ファームウェアの内容が不正です。ファイルの内容を確認してから再実行してください。
1018	DMEA001143: グループ名称に不正な文字が使用されています。
1019	DMEA001144: アレイ装置名称に不正な文字が使用されています。
101a	DMEA001145: アレイ装置名称、またはグループ名称の文字列長が不正です。
101b	DMEA001170: シリアル番号の文字列の長さが正しくありません。
1020	DMEA001167: 動作環境設定ファイルの容量が 4,096 バイトを超えているので、設定できません。ファイルの内容を確認してください。

エラーコード	説明
1021	DMEA001168: アレイ装置名称設定ファイルの容量が 255 バイトを超えているので、設定できません。ファイルの内容を確認してください。
1030	DMEA001169: テンポラリキーまたはエマージェンシーキーの有効期限が切れているため処理できません。
1040	DMEA001171: ライセンスキーファイルの内容が正しくありません。ファイルの内容を確認してから再実行してください。
1041	DMEA001172: ライセンスキーファイルの定義行が正しくありません。ファイルの内容を確認してから再実行してください。
1042	DMEA001173: ライセンスキーが 50 個を超えるので、処理できません。ファイルの内容を確認してから再実行してください。
1043	DMEA001175: ファームウェアの交換が終了しませんでした。アレイ装置に異常がないか確認してください。
1044	DMEA001176: NNC を実装していないので、処理できません。NNC の状態を確認してから再実行してください。
1045	DMEA001177: 指定した NNC が未実装または接続不可なので、処理できません。NNC の状態を確認してから再実行してください。
1046	DMEA00117F: ファイバチャネルポートが実装されていないので、処理できません。アレイ装置の状態を確認してから再実行してください。
1047	DMEA001180: NTP サーバ 1 と NTP サーバ 2 に同じアドレスを指定しているので、処理できません。異なるアドレスを指定してから再実行してください。
1056	DMEA00117E: NNC BIOS ファームウェアを読み込むことができませんでした。インストールディレクトリに書き込み権限があるか、または空き容量があるか確認してください。
1057	DMEA00117D: 指定したパスに NNC BIOS ファームウェアがありません。指定したパスが正しいか、および指定したパスに NNC BIOS ファームウェアが格納されているかを確認してください。
1058	DMEA00117C: NNC BIOS ファームウェアを格納するディレクトリの作成に失敗しました。インストール先のディレクトリに書き込み権限があるかを確認してください。
1059	DMEA00117B: NNC BIOS ファームウェアは読み込まれていません。
105a	DMEA00117A: NNC BIOS ファームウェアの内容が正しくありません。ファイルの内容を確認してから再実行してください。
105b	DMEA001181: 指定した NNC のコントローラが登録されていないので、実行できません。NNC のコントローラを登録してから再実行してください。
105c	DMEA001182: 指定した NNC のコントローラとの接続に失敗したので、実行できません。アレイ装置の状態や接続環境を確認してから再実行してください。
1060	DMEA001178: 指定した外部プログラムがありません。外部プログラムが格納されているかを確認してください。
1061	DMEA001179: 指定した外部プログラムの呼び出しに失敗しました。設定内容、実行環境を確認してください。
1065	DMEA001183: 未実装または無効のポートがあるので、処理できません。アレイ装置を確認してください。
1070	DMEA001184: 保守ポートに接続されていないので、処理できません。ポートの接続を確認してから再実行してください。
1071	DMEA001185: 管理ポートに接続されていないので、処理できません。ポートの接続を確認してから再実行してください。
1072	DMEA0011B0: ファイバチャネルポートおよび iSCSI ポートが未実装なので、処理できません。ポートの種別、アレイ装置の状態を確認してから再実行してください。
1075	DMEA001186: iSCSI ポートが未実装なので、処理できません。アレイ装置の状態を確認してから再実行してください。

エラーコード	説明
1076	DMEA001187: 指定した Target はすでに定義済みです。未定義の Target を指定してください。
1077	DMEA001188: 指定した Target は未定義です。定義済みの Target を指定してください。
1078	DMEA001189: Target0 に対して指定した処理は実行できません。Target0 以外を指定してください。
1079	DMEA001190: エイリアスが不正です。エイリアスを確認してから再実行してください。
1080	DMEA001191: Initiator 名称が不正です。Initiator 名称を確認してから再実行してください。
1081	DMEA001192: iSCSI Name が不正です。iSCSI Name を確認してから再実行してください。
1082	DMEA001193: User Name が不正です。User Name を確認してから再実行してください。
1083	DMEA001194: Secret が不正です。Secret を確認してから再実行してください。
1084	DMEA0011BE: オーナー ID が異なるので、処理できません。ペアを生成したアプリケーションで、ペアを解除してください。
2000	DMEA002000: アレイ装置との通信でエラーが発生しました。再起動が行われていない場合があります。再度、再起動してください。
2001	DMEA002001: パスワードが不正です。パスワードを確認してから再実行してください。
2002	DMEA002002: アカウントが無効です。アカウント状態を確認してから再実行してください。
2003	DMEA002003: 指定ポートのマッピング数が、最大マッピング数を超えます。不要なマッピング情報を削除してから実行してください。
2004	DMEA002004: 指定されたグループは存在しません。正しいグループを指定してください。
2005	DMEA002005: 指定されたペアは未定義です。定義済みのペアを指定してください。
2006	DMEA002006: 指定されたペアは指定されたグループに定義されていません。ペア定義を確認して再実行してください。
2007	DMEA002007: 指定されたペアは未定義、または P-VOL が自装置側にありません。指定するペアを確認してください。ペアが定義されている場合は相手装置側から再実行してください。
2008	DMEA002008: グループ名に使用禁止文字が使用されています。グループ名を確認してください。
2009	DMEA002009: ペア名に使用禁止文字が使用されています。ペア名を確認してください。
200a	DMEA00200A: 分割時の付加文字列に使用禁止文字が使用されています。分割時の付加文字列を確認してください。
200b	DMEA00200B: 指定されたグループはペアが存在しません。正しいグループを指定してください。
200c	DMEA00200C: 指定した処理が完了しませんでした。アレイ装置の状態や接続環境を確認してから再実行してください。
200d	DMEA00200D: 指定されたペアは未定義、または S-VOL が自装置側にありません。指定するペアを確認してください。ペアが定義されている場合は相手装置側から再実行してください。
200e	DMEA00200E: ファームウェアの交換が終了しませんでした。アレイ装置の状態やネットワークの接続環境を確認してから、更新のみを再実行してください。再実行は、正常に終了するまで3回は行ってください。再実行しても更新が正常に終了しない場合は、アレイ装置の電源をオフにしてからオンにしてください。
200f	DMEA00200F: 操作可能なペア属性ではありません。ペア定義を確認して再実行してください。

エラーコード	説明
2010	DMEA002010: 操作可能なペア属性ではありません。ペア定義を確認して再実行してください。
2011	DMEA002011: 証明書のファイルサイズが不正です。証明書のファイルサイズを確認して再実行してください。
2012	DMEA002012: 指定したバッテリー数は範囲外です。バッテリー数を確認してください。
2013	DMEA002013: アレイ装置との通信でエラーが発生しました。構成情報の初期化が行われていない場合があります。再度、構成情報を初期化してください。
2014	DMEA002014: 構成情報の初期化に失敗しました。
2015	DMEA002015: アレイ装置は構成情報を初期化できない状態になっています。
2016	DMEA002016: コントローラ 0 との接続に失敗したため実行できません。アレイ装置の状態や接続環境を確認してから再実行してください。
2017	DMEA002017: コントローラ 1 との接続に失敗したため実行できません。アレイ装置の状態や接続環境を確認してから再実行してください。
2018	DMEA002018: 装置登録の構成と実際の装置構成が違います。実際の装置構成に登録内容を修正してから再実行してください。
2019	DMEA002019: 不正な IP アドレスが指定されました。またはホスト名の名前解決ができませんでした。接続先を確認して再実行してください。
201a	DMEA00201A: コントローラ 0 とコントローラ 1 に指定した IP アドレス、またはホスト名のプロトコルバージョンが一致しません。接続先を確認して再実行してください。
201b	DMEA00201B: コピーを実施しないで分割することはできません。ペアを作成してコピーが完了してから分割してください。
201c	DMEA00201C: 不正な IP アドレスが指定されました。正しい IP アドレスを指定してください。
201d	DMEA00201D: 不正なデフォルトゲートウェイアドレスが指定されました。正しいデフォルトゲートウェイアドレスを指定してください。
201e	DMEA00201E: 生成直後の自動分割指示は、グループに所属するペアに対して指定できません。指定内容を確認して、再実行してください。
201f	DMEA00201F: 相手装置の装置 ID は複数変更できません。指定内容を確認して、再実行してください。
2020	DMEA002020: 指定されたリモートパス名称は未定義です。定義済みのリモートパス名称を指定してください。
2021	DMEA002021: リモートパス名称に使用禁止文字が使用されています。リモートパス名称を確認してください。
2022	DMEA002022: 指定されたシリアル番号または装置 ID は存在しません。正しいシリアル番号または装置 ID を指定してください。
2023	DMEA002023: 変更対象の相手装置の装置 ID がありません。指定内容を確認して、再実行してください。
2024	DMEA002024: DC 電源装置でないため処理できません。アレイ装置の状態を確認して再実行してください。
2025	DMEA002025: 装置の登録数が最大値を超えているため、処理できません。不要な装置情報を削除してから再実行してください。
2026	DMEA002026: 指定したパラメータはサポートしていないため、処理できません。指定内容を確認して、再実行してください。
2027	DMEA002027: CSV ファイルのファイル名が 50 文字を超えています。ファイル名を 50 文字以下にして、再実行してください。
2028	DMEA002028: 指定した RAID グループは既に定義されている、または DP プールに使用されています。未定義の RAID グループを指定してください。

エラーコード	説明
2029	DMEA002029: ビルトインアカウントは障害監視用アカウントとしては設定できません。別のユーザ ID を指定してください。
202a	DMEA00202A: 不正な共有鍵が指定されました。共有鍵を確認して再実行してください。
202b	DMEA00202B: DM-LU をマッピングすることはできません。設定ファイルの内容を確認して再実行してください。
202c	DMEA00202C: 出力先のディレクトリが存在しません。ディレクトリを確認して再実行してください。
202d	DMEA00202D: アレイ装置との通信でエラーが発生しました。計画停止が行われていない場合があります。再度、実行してください。
202e	DMEA00202E: 不正な文字が指定されました。指定可能な文字を確認して再実行してください。
202f	DMEA00202F: SATA Write & Compare Option セバレータが不正です。ファイルの内容を確認してから再実行してください。
2030	DMEA002030: SATA Write & Compare のパラメータ, または, 項目名が不正です。ファイルの内容を確認してから再実行してください。
2031	DMEA002031: DP プールヘッドが不正です。ファイルの内容を確認してから再実行してください。
2032	DMEA002032: DP プール構成データが不正です。ファイルの内容を確認してから再実行してください。
2033	DMEA002033: DP RAID グループヘッドが不正です。ファイルの内容を確認してから再実行してください。
2034	DMEA002034: DP RAID グループ構成データが不正です。ファイルの内容を確認してから再実行してください。
2035	DMEA002035: DP RAID グループ構成データが不正です。ファイルの内容を確認してから再実行してください。
2036	DMEA002036: セキュア通信の準備ができませんでした。しばらく待ってから再実行してください。
2037	DMEA002037: セッション情報を取得できませんでした。指定した内容を確認して再実行してください。
2038	DMEA002038: イベントログの出力ができませんでした。指定した内容を確認して再実行してください。
2039	DMEA002039: DP プール構成データに本装置では指定できないパラメータがあります。ファイルの内容を確認してから再実行してください。
203a	DMEA00203A: マスター認証鍵のバックアップファイルのパス名が 250 文字を超えています。パス名を 250 文字以下にして、再実行してください。
203b	DMEA00203B: 更新通番がありません。指定した内容を確認して再実行してください。
203c	DMEA00203C: ファイルの書き込みに失敗しました。ディレクトリに書き込み権限があるか、または空き容量があるか確認してください。
203d	DMEA00203D: ファイルのオープンに失敗しました。ファイル名を確認してから再実行してください。
203e	DMEA00203E: マスター認証鍵のバックアップファイルと同じ名前のディレクトリが存在するため、ファイルの書き込みができません。ディレクトリ名を変更してから再実行してください。
203f	DMEA00203F: ENC ファームウェアが多すぎるため、読み込めません。ファイルの内容を確認してから再実行してください。
2040	DMEA002040: 指定した DM-LU は容量追加できません。LU の属性, 容量, 状態を確認してください。

エラーコード	説明
2041	DMEA002041: Battery Charging Write Command のパラメータ, または, 項目名が不正です。
2042	DMEA002042: ドライブ種別またはドライブ容量が未サポートのため, 処理できません。ドライブ種別またはドライブ容量を確認して再実行してください。
2043	DMEA002043: パス 0 とパス 1 に指定した IP アドレスの protocol バージョンが一致しません。IP アドレスを確認して再実行してください。
2044	DMEA002044: LUN Manager が施錠, または無効化されているため処理できません。LUN Manager を有効にして再実行してください。
2045	DMEA002045: LUN Manager が有効のため処理できません。LUN Manager を施錠, または無効にして再実行してください。
2046	DMEA002046: DP プール階層ヘッダが不正です。ファイルの内容を確認してから再実行してください。
2047	DMEA002047: DP プール階層構成データが不正です。ファイルの内容を確認してから再実行してください。
2048	DMEA002048: Dynamic Tiering が施錠, または無効化されているため処理できません。Dynamic Tiering を有効にして再実行してください。
2049	DMEA002049: ファイルの書き込みに失敗しました。ディレクトリに書き込み権限があるか, または空き容量があるか確認してください。
204a	DMEA00204A: ファイルのオープンに失敗しました。再実行してください。
204b	DMEA00204B: バックアップデータ通し番号がありません。再実行してください。
204c	DMEA00204C: 暗号化鍵バックアップファイルと同じ名前のディレクトリが存在するため, ファイルの書き込みができません。ディレクトリ名を変更してから再実行してください。
204d	DMEA00204D: 暗号化鍵バックアップファイルの読み込みに失敗しました。再実行してください。
204e	DMEA00204E: 暗号化鍵バックアップファイルのパス名が 250 文字を超えています。パス名を 250 文字以下にして, 再実行してください。
204f	DMEA00204F: 暗号化鍵バックアップファイルのファイル名が 50 文字を超えています。ファイル名を 50 文字以下にして, 再実行してください。
2050	DMEA002050: ファイルの読み込みに失敗しました。再実行してください。
fffe	DMEA00000E: プログラム内部エラーが発生しました。少し時間を空けてから再実行してください。解決しない場合, 保守員へ連絡してください。
ffff	DMEA00000D: メモリ確保ができませんでした。ほかに起動中のプログラムを終了してから再実行してください。
10000	DMEA000001: アレイ装置から Busy が報告されました。少し時間を空けてから再実行してください。
20000	DMEA000002: アレイ装置から Queue Full が報告されました。しばらくしてから再実行してください。
30000	DMEA000003: LU0 が別ホストからリザーブされています。リザーブが解除された後, 再実行してください。
40000	DMEA000004: アレイ装置から受け取ったデータに誤りを検出しました。アレイ装置の状態や接続環境を確認してから再実行してください。
50000	DMEA000005: アレイ装置との通信でエラーが生じました。アレイ装置の状態や接続環境を確認してから再実行してください。
60000	DMEA000006: アレイ装置との接続に失敗しました。アレイ装置の状態や接続環境を確認してから再実行してください。
70000	DMEA000007: アレイ装置から不正な応答を受け取りました。アレイ装置の状態や接続環境を確認してから再実行してください。

エラーコード	説明
70001	DMEA000009: アレイ装置からの応答がありません。アレイ装置の状態や接続環境を確認してから再実行してください。
80000	DMEA000008: アレイ装置から意味不明のエラーが報告されました。少し時間を空けてから再実行してください。
90000	DMEA00000A: アレイ装置から CHECK CONDITION が報告されましたが詳細を取得できませんでした。少し時間を空けてから再実行してください。
900001	DMEA900001: ファイルヘッダがありません。
900002	DMEA900002: ファイルの内容が不正です。ファイルの内容を確認してから再実行してください。
900003	DMEA900003: ファイルの読み込みに失敗しました。ファイルの内容を確認してから再実行してください。
900004	DMEA900004: テープグループ構成データが不正です。ファイルの内容を確認してから再実行してください。
900005	DMEA900005: テープグループ番号が不正です。
900006	DMEA900006: テープグループは既に定義済みです。
900007	DMEA900007: 同一のテープグループ番号が存在します。
900008	DMEA900008: テープグループ数と世代数が不一致です。
900009	DMEA900009: テープ種別が不正です。
90000a	DMEA90000A: 指定したテープ種別は未サポートです。
90000b	DMEA90000B: テープ数が不正です。
90000c	DMEA90000C: 冗長構成の指定が不正です。
90000d	DMEA90000D: ノード名称, またはポート名称が不正です。
90000e	DMEA90000E: 指定したライブラリが存在しません。
90000f	DMEA90000F: 副ライブラリの指定が不正です。
900010	DMEA900010: 有効な情報がありません。
900011	DMEA900011: 現在の装置では機能をサポートしていないため、実行できません。
900012	DMEA900012: パスが長すぎます。
900013	DMEA900013: 指定したディレクトリは存在しません。
900014	DMEA900014: キー情報がありません。
900015	DMEA900015: このファイルは構成情報バックアップファイルではありません。
900016	DMEA900016: ファイルバージョンが一致しません。
900017	DMEA900017: テープグループ一覧情報が存在しません。
900018	DMEA900018: テープグループ一覧情報が不正です。
900019	DMEA900019: 文字列のフォーマットが不正です。
900020	DMEA900020: テープグループ番号が重複しています。
900021	DMEA900021: テープグループ詳細情報が不正です。
900022	DMEA900022: テープ情報が存在しません。
900023	DMEA900023: テープ情報が不正です。
900024	DMEA900024: テープグループ情報が一致しません。
900025	DMEA900025: 値が大きすぎます。
900026	DMEA900026: 指定したファイルは存在しません。
900027	DMEA900027: ファイルが指定されていません。ファイルを指定して再実行してください。
900028	DMEA900028: LU 情報が存在しません。

エラーコード	説明
900029	DMEA900029: LU 情報が不正です。
900030	DMEA900030: 値が小さすぎます。
900031	DMEA900031: 構成情報バックアップ情報が不正です。
900032	DMEA900032: 追記バックアップ要求が正常に受領されませんでした。しばらく待ってから再実行してください。
900033	DMEA900033: データセット番号が重複しています。
900034	DMEA900034: データセット詳細情報が不正です。
1000000	DMES000000: 再実行してください。
1010200	DMES010200: 再実行してください。
1010600	DMES010600: 再実行してください。
1010802	DMES010802: 再実行してください。
1010900	DMES010900: 再実行してください。
1011300	DMES011300: 再実行してください。
1011401	DMES011401: 再実行してください。
1011501	DMES011501: 再実行してください。
1011502	DMES011502: 再実行してください。
1011700	DMES011700: 再実行してください。
1011701	DMES011701: 再実行してください。
1011702	DMES011702: 再実行してください。
1011703	DMES011703: 再実行してください。
1011800	DMES011800: 再実行してください。
1011801	DMES011801: 再実行してください。
1011802	DMES011802: 再実行してください。
1011902	DMES011902: 再実行してください。
1011903	DMES011903: 再実行してください。
1013200	DMES013200: 再実行してください。
1013201	DMES013201: 再実行してください。
1015b00	DMES015B00: 再実行してください。
1015b02	DMES015B02: 再実行してください。
1015b03	DMES015B03: 再実行してください。
1018a03	DMES018A03: 再実行してください。
1018a04	DMES018A04: 再実行してください。
1018b01	DMES018B01: 再実行してください。
1019621	DMES019621: 設定を有効にするためには再起動が必要です。
1019625	DMES019625: Account Authentication を有効にしました。
1019626	DMES019626: Account Authentication を無効にしました。
1019627	DMES019627: Account Authentication を解錠しました。
1019628	DMES019628: Account Authentication を施錠しました。
10196f2	DMES0196F2: 構成情報バックアップ, またはリストアの開始要求をしました。
10196f7	DMES0196F7: 追記バックアップを要求しました。
101ea05	DMES01EA05: ファームウェアのダウンロードが完了しました。一部のシステムドライブへの書き込みができませんでしたが、アレイ装置は継続して使用可能です。

エラーコード	説明
1020400	DMES020400: LU がフォーマット中または未フォーマットなので、処理できません。LU の状態を確認してから再実行してください。
1020401	DMES020401: 再実行してください。
1020402	DMES020402: 再実行してください。
1020404	DMES020404: フォーマット中なので実行できません。フォーマットが完了してから再実行してください。
1020484	DMES020484: アレイ装置が計画停止処理中なので実行できません。アレイ装置が Ready 状態で実行してください。
1020500	DMES020500: 再実行してください。
1023e00	DMES023E00: 再実行してください。
1029500	DMES029500: アレイ装置が停止処理中です。しばらくたって、アレイ装置を再起動してから実行してください。
1029501	DMES029501: アレイ装置は擬似計画停止状態です。アレイ装置を再起動してから実行してください。
102959a	DMES02959A: 再実行してください。
102959b	DMES02959B: 再実行してください。
10296f3	DMES0296F3: ライブラリが接続中か未接続のため、処理できません。ライブラリを確認してから再実行してください。
10296f4	DMES0296F4: ライブラリ接続用のパスが閉塞しているため、処理できません。パスの状態を確認してから再実行してください。
1029704	DMES029704: 省電力状態の RAID グループがあるので処理できません。RAID グループをスピニングアップしてから再実行してください。
1030c02	DMES030C02: 再実行してください。
1031000	DMES031000: 再実行してください。
1031102	DMES031102: 再実行してください。
1031104	DMES031104: 再実行してください。
1031200	DMES031200: 再実行してください。
1031300	DMES031300: 再実行してください。
1031401	DMES031401: 再実行してください。
1031501	DMES031501: 再実行してください。
1031502	DMES031502: 再実行してください。
1031902	DMES031902: 再実行してください。
1031903	DMES031903: 再実行してください。
1031c01	DMES031C01: 再実行してください。
1031c02	DMES031C02: 再実行してください。
1031d00	DMES031D00: 再実行してください。
1033100	DMES033100: 再実行してください。
1033101	DMES033101: フォーマットが異常終了しました。少し時間を空けてから再実行してください。
1033180	DMES033180: 指定された LU は未フォーマットです。フォーマット済みの LU を指定してから再実行してください。
1033181	DMES033181: 再実行してください。
1033201	DMES033201: 再実行してください。
1038e01	DMES038E01: 再実行してください。
1039300	DMES039300: 再実行してください。

エラーコード	説明
103f000	DMES03F000: 再実行してください。
103f100	DMES03F100: 再実行してください。
1040100	DMES040100: 再実行してください。
1040200	DMES040200: 再実行してください。
1040300	DMES040300: 再実行してください。
1040600	DMES040600: 再実行してください。
1040700	DMES040700: 再実行してください。
1040800	DMES040800: 再実行してください。
1040801	DMES040801: 再実行してください。
1040802	DMES040802: 再実行してください。
1040900	DMES040900: 再実行してください。
1041b00	DMES041B00: 再実行してください。
1043200	DMES043200: 再実行してください。
1044400	DMES044400: 再実行してください。
10444a0	DMES0444A0: 再実行してください。
1044c00	DMES044C00: 再実行してください。
1048a01	DMES048A01: 再実行してください。
1048a02	DMES048A02: 再実行してください。
1049000	DMES049000: 再実行してください。
1049001	DMES049001: 再実行してください。
1049100	DMES049100: 再実行してください。
1049101	DMES049101: 再実行してください。
1049502	DMES049502: 指定した処理が実行できませんでした。アレイ装置に異常がないか確認してください。
1049504	DMES049504: アレイ切替に失敗しました。アレイ装置の状態を確認してから再実行してください。
1049599	DMES049599: 再実行してください。
1049900	DMES049900: 再実行してください。
1049903	DMES049903: PIN データの解消が完了しませんでした。少し時間をあけてから再実行してください。
104a000	DMES04A000: 再実行してください。
104e400	DMES04E400: 再実行してください。
104ea01	DMES04EA01: 再実行してください。
104ea02	DMES04EA02: 再実行してください。
104ea10	DMES04EA10: ダウングレードチェックでエラーを検出しました。別のファームウェアで実行してください。
104ea11	DMES04EA11: 指定したファームウェアのバージョンが古いため、RKL タイプ装置にインストールできません。
104eb00	DMES04EB00: バックアップ FD が挿入されていないので、情報を設定できませんでした。
104eb01	DMES04EB01: アレイ装置の FDD が使用中、または FDD に障害があるので、バックアップ情報を FD に書き込めませんでした。
104eb02	DMES04EB02: バックアップ FD へ書き込みエラーが発生しました。
104eb03	DMES04EB03: 他系コントローラの閉塞により、オン中に SCSI-ID が設定できませんでした。

エラーコード	説明
104f200	DMES03F200: 再実行してください。
104f300	DMES03F300: 再実行してください。
104f400	DMES04F400: 再実行してください。
104f610	DMES04F610: 再実行してください。
104f611	DMES04F611: 再実行してください。
104f620	DMES04F620: 再実行してください。
104f621	DMES04F621: 再実行してください。
104f630	DMES04F630: 再実行してください。
104f631	DMES04F631: 再実行してください。
104f640	DMES04F640: 再実行してください。
104f641	DMES04F641: 再実行してください。
104f650	DMES04F650: 再実行してください。
104f651	DMES04F651: 再実行してください。
104f660	DMES04F660: 再実行してください。
104f661	DMES04F661: 再実行してください。
104f670	DMES04F670: 再実行してください。
104f671	DMES04F671: 再実行してください。
104f800	DMES04F800: 再実行してください。
104f801	DMES04F801: 再実行してください。
104f802	DMES04F802: 再実行してください。
104f803	DMES04F803: 再実行してください。
104f804	DMES04F804: 再実行してください。
104f805	DMES04F805: 再実行してください。
104f807	DMES04F807: 再実行してください。
104f808	DMES04F808: 再実行してください。
104f809	DMES04F809: 再実行してください。
104f8f0	DMES04F8F0: 再実行してください。
104f900	DMES04F900: 再実行してください。
104f901	DMES04F901: 再実行してください。
104f902	DMES04F902: 再実行してください。
104f903	DMES04F903: 再実行してください。
104f904	DMES04F904: 再実行してください。
104f905	DMES04F905: 再実行してください。
104f906	DMES04F906: 再実行してください。
104f907	DMES04F907: 再実行してください。
104f908	DMES04F908: 再実行してください。
104f909	DMES04F909: 再実行してください。
104f9f0	DMES04F9F0: 再実行してください。
1050000	DMES050000: 再実行してください。
1051a00	DMES051A00: 再実行してください。
1052000	DMES052000: 再実行してください。
1052100	DMES052100: 再実行してください。
1052400	DMES052400: 再実行してください。

エラーコード	説明
1052500	DMES052500: LU が定義されていないか、またはホストから認識されていないので実行できません。
1052580	DMES052580: LU の割り当てに失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
1052581	DMES052581: RAID グループが未定義です。定義済みの RAID グループを指定してください。
1052583	DMES052583: LU キャッシュ常駐の設定条件に違反するので、設定できません。
1052584	DMES052584: RAID1+0 フルマッピングを定義した際の RAID グループ内の最終 LBA の値と現在値が違います。
1052590	DMES052590: LU へのオーナー権がないコントローラで LU 切り替え対象のコマンドを受けました (TRESPASS モードの場合)。
10525a0	DMES0525A0: 再実行してください。
1052600	DMES052600: 処理が失敗しました。指定が正しいか確認してください。
1052601	DMES052601: 処理が失敗しました。指定が正しいか確認してください。
1052602	DMES052602: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
1052604	DMES052604: Persistent Reserve コマンドのタイプが異なるので、Persistent Reservation を解放できません。
1055504	DMES055504: 一つの LU に対し 32 個以上の Reservation Key を登録することはできません。
1058c01	DMES058C01: 再実行してください。
1059401	DMES059401: 再実行してください。
1059503	DMES059503: アレイ切替に失敗しました。アレイ装置の状態を確認してから再実行してください。
1059505	DMES059505: コントローラが閉塞しているため処理できません。コントローラ状態を回復してから再実行してください。
1059510	DMES059510: ファームウェア交換中のため処理できません。
1059511	DMES059511: SVP 交換中なので処理が実行できません。
1059520	DMES059520: アレイ装置が処理不可能な状態になっているので、指定した機能が実行できません。アレイ装置に異常がないか、装置構成が変更されていないか確認してください。
1059521	DMES059521: PIN オーバ状態なので、デュアルアクティブからホットスタンバイへの変更、およびホットスタンバイからデュアルアクティブへの変更はできません。PIN データの復旧を行ってから再実行してください。
1059530	DMES059530: 指定したユーザ ID が登録されていません。
1059531	DMES059531: ほかのユーザがログイン中なので実行できません。
1059532	DMES059532: 指定したユーザ ID はすでに登録されています。
1059533	DMES059533:すでに 20 ユーザが登録されているので、登録できません。
1059534	DMES059534: 指定したパスワードが一致しません。
1059535	DMES059535: ほかのユーザがログイン中です。
1059536	DMES059536: 指定した機能は実装されていないか、無効化されている、または、施錠されているので使用できません。
1059537	DMES059537: ログインしていないので実行できません。
1059540	DMES059540: 指定した RAID グループの範囲内にスペアディスクが定義されています。スペアディスクを含まない範囲を指定してください。
1059541	DMES059541: RAID グループ内のドライブ容量不正または RAID グループ容量が大き過ぎます。
1059542	DMES059542: 指定したドライブはスペアドライブとして使用できません。

エラーコード	説明
1059543	DMES059543: スペアドライブの定義数が最大数に達しているので設定できません。
1059544	DMES059544: 指定したドライブはすでにスペアドライブとして定義されているか、RAID グループ内のドライブです。
1059545	DMES059545: 指定したドライブ容量が RAID グループ内のドライブ容量より小さいので設定できません。
1059546	DMES059546: 指定したドライブはスペアドライブとして定義されていません。
1059547	DMES059547: 指定したスペアドライブは使用中なので解除できません。
1059548	DMES059548: 指定した機能はすでに解錠されています。
1059549	DMES059549: 指定した機能はすでに施錠されています。
105954a	DMES05954A: 指定された有償化キーコードが不正です。
105954b	DMES05954B: 未実装または閉塞のドライブがあるので RAID グループの定義はできません。
105954c	DMES05954C: 指定されたドライブは未実装、または閉塞状態なので、スペア定義はできません。
105954d	DMES05954D: Target モードが M-TID, M-LUN (マッピングモード) でないので設定できません。Target モードを M-TID, M-LUN にしてください。
105954e	DMES05954E: Target 情報の変更または削除が行われているので設定できません。追加だけをしてください。
1059550	DMES059550: Write 禁止なので処理できません。
1059551	DMES059551: 隠ぺいモードが ON なので処理できません。
1059552	DMES059552: カップリング中の LU, またはコマンドデバイスが存在するので処理できません。
1059554	DMES059554: コマンドデバイスが未登録なので処理できません。
1059555	DMES059555: ストライプサイズが 64KB でないので処理できません。
1059557	DMES059557: P-VOL と S-VOL の LU 容量が不一致です。LU の容量を確認してください。
1059558	DMES059558: 指定した LU は統合 LU である、または統合 LU が存在するので処理できません。
1059559	DMES059559: 指定した LU は常駐 LU または予約常駐 LU なので、処理できません。常駐 LU または予約常駐 LU を解除してから再実行してください。
105955a	DMES05955A: 担当コントローラが異なる LU は統合できません。担当コントローラが同一の LU を指定してください。
105955b	DMES05955B: LU の担当コントローラの変更予約状態では統合できません。予約を解除してから再実行してください。
105955c	DMES05955C: RAID0 の LU は統合できません。RAID0 以外の LU を指定してください。
105955d	DMES05955D: ロジカルユニットの最大サイズを超えるため統合できません。
105955e	DMES05955E: 指定した LU は統合 LU でないので分離できません。統合 LU を指定してください。
1059560	DMES059560: Target モードが M-TID, M-LUN (マッピングモード) でないので設定できません。Target モードを M-TID, M-LUN にしてください。
1059561	DMES059561: Target モードが M-TID, M-LUN (マッピングモード) で、Target 情報が設定されているので情報の設定ができません。
1059562	DMES059562: 指定したサブ LU は統合 LU なので統合できません。サブ LU には統合されていない LU を指定してください。
1059563	DMES059563: 指定した LU はサブ LU なので、統合または分離ができません。メイン LU を指定してください。

エラーコード	説明
1059564	DMES059564: LU0 をサブ LU として統合することはできません。サブ LU には LU0 以外を指定してください。
1059565	DMES059565: LU の状態が正常または縮退でないので統合できません。統合する場合は正常または縮退状態の LU を指定してください。
1059566	DMES059566: 指定した LU 番号が装置の最大 LU 数を超えているため処理できません。装置の最大 LU 数以内の値を指定してください。
1059568	DMES059568: 指定した RAID グループに LU0 が含まれており、ほかの RAID グループにも LU があります。LU0 以外の LU を残して LU0 が含まれる RAID グループを削除することはできません。
1059569	DMES059569: 指定した LU は最終設定 LU ではないので削除できません。
105956a	DMES05956A: LU0 が未設定の状態ではほかの LU は設定できません。LU0 を設定してからほかの LU を設定してください。
105956b	DMES05956B: サポート容量を超えています。不要なペアを解除してください。
1059571	DMES059571: パス設定に失敗しました。アレイ装置の設定を確認してから再度実行してください。
1059572	DMES059572: パス削除に失敗しました。アレイ装置の設定を確認してから再度実行してください。
1059573	DMES059573: 指定されたオプションと同時に解錠できないオプションがすでに解錠されています。
1059574	DMES059574: リモートレプリケーション実行中のため、指定された処理が実行できません。
1059575	DMES059575: パス設定済みなので、指定されたオプションを施錠、または、無効にできません。
1059577	DMES059577: ペア形成中なので、指定された処理が実行できません。
105957a	DMES05957A: ペア状態が障害サスペンド状態なので、指定された処理が実行できません。ペア状態を正常にしてから再実行してください。
105957b	DMES05957B: ペア中なので、処理が実行できません。ペア解除してから再実行してください。
105957c	DMES05957C: ほかのアレイ装置がペアを形成しているので、指定された処理が実行できません。
105957d	DMES05957D: 流入制限オーバーなので、指定された処理が実行できません。
105957e	DMES05957E: ShadowImage のペア状態が不正なので、指定された処理が実行できません。
105957f	DMES05957F: 指定されたオプションはファイバ専用なので、解錠できません。
1059580	DMES059580: RAID Manager からの処理を受領中なので、指定された処理が実行できません。しばらくしてから再実行してください。
1059590	DMES059590: アレイ装置が 128LU 対応システムなので、指定された処理が実行できません。
1059591	DMES059591: ShadowImage ペア数がすでに最大サポート数に達しているので、指定された処理が実行できません。
1059596	DMES059596: 再実行してください。
1059600	DMES059600: 指定された処理が実行できません。少し時間を空けてから再実行してください。
1059601	DMES059601: 指定されたホストグループ番号が不正です。
1059602	DMES059602: 有償オプション対象外なので、指定された処理が実行できません。
1059603	DMES059603: LU の最大容量を超えるので、指定された処理が実行できません。
1059606	DMES059606: 指定された LU は無効化されています。無効化されていない LU を指定してから再実行してください。

エラーコード	説明
1059607	DMES059607: DMES059607: ペア中の LU, または SnapShot ロジカルユニットが存在するため処理できません。
105960a	DMES05960A: データプールに追加済みの LU が存在するので処理できません。
1059612	DMES059612: 指定した LU はクイックフォーマット実行中なので, 処理できません。クイックフォーマットが完了してから再実行してください。
1059615	DMES059615: 指定した LU は COW Snapshot ペアなので, 処理できません。ペアを解除してから再実行してください。
1059617	DMES059617: 指定した RAID レベルは未サポートなので, 処理できません。サポートしている RAID レベルを指定してから再実行してください。
105961a	DMES05961A: パリティ回復が完了していないので, 処理できません。パリティ回復が完了してから再実行してください。
105961d	DMES05961D: 異なるドライブ種別が指定されたので, RAID グループを作成できません。ドライブ種別を確認してから再実行してください。
105961e	DMES05961E: PORT 内で, 一つの内部 LUN を複数のホスト LUN にはマッピングできません。指定した内容を確認してから再実行してください。
105961f	DMES05961F: Hi-Copy のペアを形成中の LU があるので, 処理できません。ペアを解除してから再実行してください。
10596f5	DMES0596F5: ライブラリで実行中の処理があるためマイクロプログラムの交換が開始できませんでした。処理が終了するのを待って再実行してください。
10596f6	DMES0596F6: ライブラリで実行中の処理があるため, 処理できません。処理が終了するのを待って再実行してください。
10596f7	DMES0596F7: LTO4 のテープドライブが存在するため, ダウングレードできません。LTO4 のテープドライブを外してから再実行するか, 別のマイクロプログラムで実行してください。
10596f8	DMES0596F8: 統合 LU が解錠されているため, ダウングレードできません。施錠してから再実行するか, 別のマイクロプログラムで実行してください。
10596f9	DMES0596F9: ShadowImage が解錠されているため, ダウングレードできません。施錠してから再実行するか, 別のマイクロプログラムで実行してください。
10596fa	DMES0596FA: LTO4 のテープ, またはテープグループが存在するため, ダウングレードできません。LTO4 のテープを取り出し, テープグループを削除し, インベントリを実施してから再実行するか, 別のマイクロプログラムで実行してください。
10596fb	DMES0596FB: Cartridge Cell License が解錠されているため, ダウングレードできません。施錠してから再実行するか, 別のマイクロプログラムで実行してください。
10596fc	DMES0596FC: 未サポートのライブラリが接続されているため, ダウングレードできません。未サポートのライブラリを削除してから再実行するか, 別のマイクロプログラムで実行してください。
105ea03	DMES05EA03: ファームウェアのダウンロード処理が失敗しました。指定したファームウェアと, アレイ装置の組合せが適切か, 確認してください。
105ea04	DMES05EA04: オン中ファームウェア交換が失敗しました。アレイ装置を確認してください。
105ea10	DMES05EA10: ダウングレードチェックでエラーを検出しました。別のファームウェアで実行してください。
105ea12	DMES05EA12: 128LU 版ファームウェアから, 64LU 版ファームウェアへの変更はできません。
105ea14	DMES05EA14: 高速シーケンシャルライトモードが有効の時はダウングレードできません。高速シーケンシャルライトモードを無効にしてから再実行してください。
105ea15	DMES05EA15: ランダム簡易バッファサイズ 0%指定が有効の時はダウングレードできません。ランダム簡易バッファサイズ 0%指定を無効にしてから再実行してください。

エラーコード	説明
105ea16	DMES05EA16: 現在のスペアドライブの構成ではダウングレードできません。スペアドライブをすべて解除してから再実行してください。
105ea17	DMES05EA17: ユニットが混在しているため、ダウングレードできません。AT ユニットをはずしてから再実行してください。
105ea18	DMES05EA18: ShadowImage I/O 切り替えモードが有効の時はダウングレードできません。ShadowImage I/O 切り替えモードを無効にしてから再実行してください。
105ea19	DMES05EA19: COW Snapshot と LU キャッシュ常駐が解錠されている、または施錠後に再起動されていないので、ダウングレードできません。どちらかを施錠した状態で、アレイ装置を再起動してから実行してください。
105ea1a	DMES05EA1A: 読み込み済みのファームウェアは、このアレイ装置に対応していないためダウンロードできません。別のファームウェアを使用してください。
105ea1b	DMES05EA1B: RAID6 の RAID グループが存在するため、ダウングレードできません。RAID6 の RAID グループを削除してから再実行するか、別のファームウェアで実行してください。
105ea1c	DMES05EA1C: 未サポートのユニットが接続されているため、ダウングレードできません。未サポートのユニットを外してから再実行するか、別のファームウェアで実行してください。
105ea1d	DMES05EA1D: 未サポートのキャッシュが接続されているため、ダウングレードできません。未サポートのキャッシュを外してから再実行するか、別のファームウェアで実行してください。
105ea1e	DMES05EA1E: 指定したコントローラに接続されている NNC がシャットダウンされていないので、実行できません。NNC をシャットダウンしてから再実行してください。
105ea1f	DMES05EA1F: NNC がシャットダウンされていないので、実行できません。NNC をシャットダウンしてから再実行してください。
105ea20	DMES05EA20: アレイ装置は再起動ができません。
105ea30	DMES05EA30: ループに障害があるため ENC ファームウェアのダウンロード、または交換できません。全てのループを正常にしてから再実行してください。
105ea31	DMES05EA31: ENC ファームウェア交換中のため実行できません。ENC ファームウェアの交換が完了してから再実行してください。
105ea32	DMES05EA32: ENC ファームウェアのダウンロード処理が失敗しました。指定した ENC ファームウェアと、アレイ装置の組合せが適切か、確認してください。
105ea33	DMES05EA33: このレビジョンの ENC ファームウェアはダウンロードできません。別の ENC ファームウェアを使用してください。
105ea34	DMES05EA34: ENC ファームウェアの整合性エラーが発生しました。別の ENC ファームウェアを使用してください。
105ea35	DMES05EA35: ENC ファームウェアはダウンロードされていません。ダウンロード後再実行してください。
105ea36	DMES05EA36: オン中 ENC ファームウェア交換が失敗しました。アレイ装置を確認してください。
105ea40	DMES05EA40: 自動ダウンロードが有効になっているので、実行できません。自動ダウンロードを無効にしてから再実行してください。
105ea41	DMES05EA41: ENC ファームウェア交換中のため実行できません。ENC ファームウェアの交換が完了してから再実行してください。
105ea42	DMES05EA42: 障害処理中のため、処理できません。しばらく待ってから再実行してください。
105ea43	DMES05EA43: コントローラが閉塞しているため、処理できません。コントローラ状態を回復してから再実行してください。
105ea44	DMES05EA44: ENC が閉塞しているため、処理できません。ENC 状態を回復してから再実行してください。

エラーコード	説明
105ea45	DMES05EA45: シングルコントローラ構成なので、処理できません。システム構成を確認してください。
105ea46	DMES05EA46: このレビジョンの ENC ファームウェアは交換できません。別の ENC ファームウェアを使用してください。
105ea49	DMES05EA49: CPU の負荷が高いため、ファームウェア交換できません。しばらくしてから再実行してください。
105eb04	DMES05EB04: アレイ装置の FDD が使用中なので、FDD の診断ができませんでした。
1062900	DMES062900: 再実行してください。
1062a00	DMES062A00: 再実行してください。
1062a03	DMES062A03: Persistent Reserve コマンドの Clear サービスアクションによって、当該 LU の Reservation Key, Persistent Reservation をすべてクリアしました。
1062a04	DMES062A04: Persistent Reserve コマンドの Register または Register & Ignore Key サービスアクションにより、Reservation Key が削除され、Persistent Reservation が解放されました。
1062a05	DMES062A05: Persistent Reserve コマンドの Preempt または Preempt & Abort サービスアクションにより、Reservation Key が削除されました。
1062f00	DMES062F00: 再実行してください。
1063f01	DMES063F01: ファームウェアがダウンロードされました。
1068200	DMES068200: 再実行してください。
1068201	DMES068201: 再実行してください。
1068202	DMES068202: 再実行してください。
1068210	DMES068210: 再実行してください。
1068211	DMES068211: 再実行してください。
1068212	DMES068212: 再実行してください。
1068213	DMES068213: 再実行してください。
1068214	DMES068214: 再実行してください。
1068215	DMES068215: 再実行してください。
1068216	DMES068216: 再実行してください。
1068217	DMES068217: 再実行してください。
1068218	DMES068218: 再実行してください。
1068219	DMES068219: 再実行してください。
106821a	DMES06821A: 再実行してください。
1068300	DMES068300: 再実行してください。
1068400	DMES068400: 再実行してください。
1079578	DMES079578: データコピー中なので、指定された処理が実行できません。
1079595	DMES079595: 再実行してください。
1079597	DMES079597: 再実行してください。
1079598	DMES079598: 再実行してください。
10b3d00	DMES0B3D00: 再実行してください。
10b4300	DMES0B4300: 再実行してください。
10b4500	DMES0B4500: 再実行してください。
10b4700	DMES0B4700: 再実行してください。
10b4800	DMES0B4800: 再実行してください。
10b4900	DMES0B4900: 再実行してください。

エラーコード	説明
10b4a00	DMES0B4A00: 再実行してください。
10b4b00	DMES0B4B00: 再実行してください。
10b4e00	DMES0B4E00: 再実行してください。
10b9531	DMES0B9531: ほかのユーザがログイン中なので、実行できません。
10bc000	DMES0BC000: 再実行してください。
10bc001	DMES0BC001: 再実行してください。
10bc002	DMES0BC002: 再実行してください。
10bc100	DMES0BC100: 再実行してください。
10bc200	DMES0BC200: 再実行してください。
10bda00	DMES0BDA00: ドライブが復旧処理中なので、処理できません。少し時間を空けてから再実行してください。
10bfd00	DMES0BFD00: LU 切り替えなので処理できません。オーナー権のあるコントローラに接続してから実行してください。
10bfd01	DMES0BFD01: LU 切り替えなので処理を中断しました。少し時間を空けてから再実行してください。
3010001	DMED010001: ポート内に同一のホストグループ名称があります。ホストグループ名称を確認してから再実行してください。
3010002	DMED010002: ポート内に同一の WWN 名称があります。WWN 名称を確認してから再実行してください。
3010003	DMED010003: WWN は定義されていないホストグループに割り当てられません。定義されているホストグループを指定してから再実行してください。
3010004	DMED010004: ホストグループセキュリティが有効のポートがあるので処理が実行できません。すべてのポートのホストグループセキュリティを無効に設定してから再実行してください。
3010005	DMED010005: Target セキュリティが有効のポートがあるので、処理できません。すべてのポートの Target セキュリティを無効にしてから再実行してください。
3010006	DMED010006: 指定した名称はホストグループ 0 のデフォルト名称なので処理できません。名称を確認してから再実行してください。
3020001	DMED020001: ダーティ掃き出し契機が有効範囲外です。有効な範囲内の値を指定してから再実行してください。
3020002	DMED020002: ダーティ掃き出し停止契機が有効範囲外です。有効な範囲内の値を指定してから再実行してください。
3020003	DMED020003: ダーティ掃き出し契機の値がダーティ掃き出し停止契機の値以下です。値を確認してから再実行してください。
3020004	DMED020004: 先読み起動契機が有効範囲外です。有効な範囲内の値を指定してから再実行してください。
3020005	DMED020005: LU 番号が有効範囲外です。有効な範囲内の LU 番号を指定してから再実行してください。
3020006	DMED020006: 予約ランダム簡易バッファサイズが有効範囲外です。有効な範囲内の値を指定してから再実行してください。
3020007	DMED020007: ランダム簡易バッファサイズ 0%指定の指定方法に誤りがあります。指定方法を見直してください。
3020008	DMED020008: 先読み判断数が有効範囲外です。有効な範囲内の値を指定してから再実行してください。
3020009	DMED020009: 先読み量が有効範囲外です。有効な範囲内の値を指定してから再実行してください。
302000a	DMED02000A: 次回先読み契機の指定方法に誤りがあります。指定方法を見直してください。

エラーコード	説明
302000b	DMED02000B: システムパラメータのマルチストリームモードが無効なので設定できません。マルチストリームモードを有効にしてから再実行してください。
3020010	DMED020010: シーケンシャル判定数が有効ではありません。有効な範囲内の値を指定してから再実行してください。
3020011	DMED020011: 基本先読み量が有効ではありません。有効な範囲内の値を指定してから再実行してください。
3020012	DMED020012: 固定先読み量が有効ではありません。有効な範囲内の値を指定してから再実行してください。
3020013	DMED020013: ダーティ掃き出し契機の値がダーティ掃き出し停止契機の値以下です。値を確認してから再実行してください。
3020014	DMED020014: ロードバランシングの値が範囲外です。有効な値を設定してください。
3020015	DMED020015: ロードバランシングの監視時間が範囲外です。有効な値を設定してください。
3030001	DMED030001: 指定された LU はすでに無効化されています。LU の状態を確認してから再実行してください。
3030002	DMED030002: LU 数が装置の最大 LU 数に達しています。不要な LU を削除してから再実行してください。
3030003	DMED030003: 指定された LU は無効化されていません。無効化された LU を指定してから再実行してください。
3030004	DMED030004: 指定された LU 容量は指示 LU の容量を上回っています。LU の容量を確認してから再実行してください。
3030006	DMED030006: 指定された LU は無効化されていません。無効化された LU を指定してから再実行してください。
3030007	DMED030007: 指定された LU は未フォーマットです。フォーマット済みの LU を指定してから再実行してください。
3030008	DMED030008: LU 数が装置の最大 LU 数に達しています。不要な LU を削除してから再実行してください。
3030009	DMED030009: 指定した LU は常駐 LU または予約常駐 LU なので、処理できません。常駐 LU または予約常駐 LU を解除してから再実行してください。
303000a	DMED03000A: 指定された LU 容量は LU の最小容量以下です。LU の最小容量より大きな容量を指定してから再実行してください。
303000b	DMED03000B: アクセスレベルが設定されているので、処理できません。属性を Read/Write にして、S-VOL のモードを有効にしてから再実行してください。
3040001	DMED040001: 指定された LU に統合 LU のサブ LU が含まれています。LU 状態を確認してから再実行してください。
3040003	DMED040003: 指定された LU に縮退または閉塞状態の LU が含まれています。LU 状態を確認してから再実行してください。
3040004	DMED040004: 指定された LU 内のドライブに未実装のドライブが含まれています。ドライブの状態を確認してから再実行してください。
3040005	DMED040005: 指定された LU に無効化された LU が含まれています。LU の状態を確認してから再実行してください。
3040006	DMED040006: パスワードプロテクションのログイン中です。パスワードプロテクションの機能を無効にしてから再実行してください。
3040007	DMED040007: 一括フォーマット登録された LU がありません。
3040008	DMED040008: システムパラメータのドライブ閉塞モードが ON の場合、フォーマット済みの LU を、一括フォーマット登録することはできません。フォーマットする場合は、システムパラメータのドライブ閉塞モードを OFF にしてください。
3040009	DMED040009: アクセスレベルが設定されているので、処理できません。属性を Read/Write にして、S-VOL のモードを有効にしてから再実行してください。

エラーコード	説明
3050001	DMED050001: 指定した LU に PIN が存在するか、PIN オーバ状態なので処理できません。PIN データを復旧してから再実行してください。
3050002	DMED050002: キャッシュセグメントが不足しているため、処理できません。しばらくしてから再実行してください。
3050003	DMED050003: 指定した LU はホストから連続的に Write コマンドを受領しているか、装置が高負荷で動作しているため、処理できません。しばらくしてから再実行してください。
3050004	DMED050004: 指定した LU は常駐 LU または予約常駐 LU なので、処理できません。常駐 LU または予約常駐 LU を解除してから再実行してください。
3050005	DMED050005: LU の切り替えに適切なパーティションがないため、処理できません。パーティションの設定を確認してから再実行してください。
3050006	DMED050006: 指定した LU は、キャッシュパーティションの変更が予約されているため、処理できません。キャッシュパーティションを変更してから再実行してください。
3050007	DMED050007: LU の切り替えをしているため、処理できません。しばらくしてから再実行してください。
3050008	DMED050008: LU の切り替えをしているため、処理できません。しばらくしてから再実行してください。
3050009	DMED050009: LU 切り替えでタイムアウトが発生しました。少し時間をあけてから再実行してください。
305000a	DMED05000A: コントローラが閉塞したため、処理できません。コントローラの状態を回復してから再実行してください。
305000b	DMED05000B: LU が使用するパーティションのコントローラが異なる、またはパーティションが異なるため設定できません。同じコントローラのパーティション、または同じパーティションを使用する LU を指定してください。LU のパーティションが 0 または 1 に設定されている場合は、ペアパーティションを auto に設定してください。
305000c	DMED05000C: プログラム内部エラーが発生しました。少し時間をあけてから再実行してください。解決しない場合、保守員へ連絡してください。
305000d	DMED05000D: コントローラ回復中の LU 切り替えでタイムアウトが発生しました。少し時間をあけてから再実行してください。
305000e	DMED05000E: リモートレプリケーション実行中のため指定された処理が実行できません。リモートレプリケーションが完了してから再実行してください。
305000f	DMED05000F: 指定したロジカルユニットは ShadowImage ペアを構成しており、指定したロジカルユニットが構成するペア、またはそのペアと P-VOL を共有する別の ShadowImage ペアに、状態が Synchronizing、または Reverse Synchronizing のものが含まれるため、オーナー権の変更はできません。指定したロジカルユニットが構成しているペア、またはそのペアと P-VOL を共有するすべてのペアの状態が Split、Paired または Failure に遷移してから再実行してください。
3050010	DMED050010: 指定したロジカルユニットはボリュームマイグレーションペアを構成しており、そのペアの状態が Synchronizing であるため、LU 切り替えはできません。ペア状態が Synchronizing 以外のときに、再度実行してください。
3050011	DMED050011: 指定したロジカルユニットはオートマイグレーション実行中であるため、LU 切り替えはできません。オートマイグレーションが完了してから、再度実行してください。
3050012	DMED050012: 指定したロジカルユニットは ShadowImage ペアを構成しており、指定したロジカルユニットが構成するペア、またはそのペアと P-VOL を共有する別の ShadowImage ペアに、状態が Synchronizing、Reverse Synchronizing、Split Pending、または Paired Internally Synchronizing のものが含まれるため、オーナー権の変更はできません。指定したロジカルユニットが構成しているペア、またはそのペアと P-VOL を共有するすべてのペアの状態が Split、Paired または Failure に遷移してから再実行してください。

エラーコード	説明
3070001	DMED070001: コントローラ間でホストインタフェースボード実装数、またはインタフェースボードの種別が異なるので、ID 引き継ぎに設定できません。インタフェースボードの状態を確認してから再実行してください。
3070002	DMED070002: 不正な IP アドレスが指定されました。正しい IP アドレスを指定してください。
3070004	DMED070004: ホストからの Write コマンドが処理中なので、高速シーケンシャルライトモードを無効にできません。少し時間をあけてから再実行するか、再起動を伴ったシステムパラメータ設定を行ってください。
3070005	DMED070005: マルチストリームモードと高速シーケンシャルライトモードを同時に有効にすることはできません。
3070006	DMED070006: S-VOL Switch 状態の ShadowImage ペアが存在する場合は、ShadowImage I/O 切り替えモードを無効にできません。ペア状態を正常にしてから再実行してください。
3070007	DMED070007: Cache Partition Manager が有効なので、シングルまたはデュアルコントローラ構成に変更できません。Cache Partition Manager を施錠、または無効にしてから再実行してください。
3070008	DMED070008: 指定したポート番号は範囲外です。ポート番号を確認してください。
3070009	DMED070009: 他系コントローラのポート番号は設定できません。設定するコントローラを確認してください。
3070010	DMED070010: 指定されたセキュアポート番号は範囲外です。セキュアポート番号を確認してください。
3070011	DMED070011: 他系コントローラのセキュアポート番号は設定できません。設定するコントローラを確認してください。
3070012	DMED070012: 通常ポート番号とセキュアポート番号が重複しています。異なるポート番号を設定してください。
3070013	DMED070013: 通常ポート有効/無効の変更は通常ポートから設定できません。セキュアポートから再実行してください。
3070014	DMED070014: ポート番号の変更と通常ポート有効/無効の変更は同時に設定できません。指定内容を確認して、再実行してください。
3070015	DMED070015: 他系コントローラの通常ポート有効/無効の変更は設定できません。設定するコントローラを確認してください。
3070016	DMED070016: 指定したポート番号は予約されています。予約されていないポート番号を設定してください。
3070100	DMED070100: シングルコントローラ構成をサポートしていないオプションが解錠されているため、処理できません。施錠してから再実行してください。
3080001	DMED080001: データプールが使用できません。アレイ装置を再起動してください。
3080002	DMED080002: リストア実行中の LU が存在するので、処理できません。少し時間を空けてから再実行してください。
3080003	DMED080003: データプールに追加する LU が指定されていないので、処理できません。
3080004	DMED080004: 同じ LU 番号を複数指定しているので、処理できません。LU 番号を確認してから再実行してください。
3080005	DMED080005: 指定した LU 番号が有効範囲外です。有効な範囲内の LU 番号を指定してから再実行してください。
3080006	DMED080006: 指定した LU の状態が正常または縮退でないので、処理できません。正常または縮退状態の LU を指定してから再実行してください。
3080007	DMED080007: 指定した LU の RAID レベルまたは HDU コンビネーションが未サポートなので、処理できません。サポートしている RAID レベルおよび HDU コンビネーションを確認してから再実行してください。

エラーコード	説明
3080008	DMED080008: 指定したデータプールにはすでに最大 LU 数が追加されているので、処理できません。データプール内の LU を削除してから再実行してください。
3080009	DMED080009: 指定した LU は統合 LU なので、処理できません。統合 LU を分離してから再実行してください。
308000a	DMED08000A: 指定した LU は ShadowImage ペアなので、処理できません。ペアを解除してから再実行してください。
308000b	DMED08000B: 指定した LU はリモートレプリケーションペアのため、処理できません。ペアを解除してから再実行してください。
308000c	DMED08000C: 指定した LU はコマンドデバイスなので、処理できません。コマンドデバイスを解除してから再実行してください。
308000d	DMED08000D: 指定した LU は無効化されているので、処理できません。LU を復元してから再実行してください。
308000e	DMED08000E: 指定した LU は SnapShot ペア、または SnapShot ロジカルユニットのため、処理できません。ペアを解除、または別の LU を指定して再実行してください。
308000f	DMED08000F: 指定した LU は SnapShot ロジカルユニットに設定済みのため、処理できません。別の LU を指定して再実行してください。
3080010	DMED080010: 指定した LU はすでにデータプールに追加済みなので、処理できません。別の LU を指定してから再実行してください。
3080012	DMED080012: 指定した LU の担当コントローラとデータプールの担当コントローラが異なるので、処理できません。LU の担当コントローラを確認してから再実行してください。
3080013	DMED080013: 指定した LU はホストから連続的に Write コマンドを受領しているので、処理できません。少し時間を空けてから再実行してください。
3080014	DMED080014: ほかの LU がデフォルト担当コントローラ変更中なので、処理できません。少し時間を空けてから再実行してください。
3080015	DMED080015: 指定した LU は PIN オーバ状態なので、処理できません。PIN データの復旧を行ってから再実行してください。
3080016	DMED080016: 指定した LU の容量ではキャッシュブロックが確保できないので、処理できません。別の LU を指定してから再実行してください。
3080017	DMED080017: 指定したデータプールに LU が追加されていないので、処理できません。
3080018	DMED080018: 指定したデータプールに COW Snapshot のペアがあるので、処理できません。ペアを解除してから再実行してください。
3080019	DMED080019: 削除するデータプールが指定されていないので、処理できません。
308001a	DMED08001A: データプール使用率のしきい値が指定されていないので、処理できません。
308001b	DMED08001B: 指定したしきい値が有効範囲外です。有効な範囲内の値を指定してから再実行してください。
308001c	DMED08001C: 指定した LU の容量が 2GB 以下なので、処理できません。2GB より大きい容量の LU を指定してから再実行してください。
308001d	DMED08001D: 指定した LU の S-VOL モードが無効なので、処理できません。S-VOL モードを有効にしてから再実行してください。
308001e	DMED08001E: 指定した LU はクイックフォーマット実行中なので、処理できません。クイックフォーマットが完了してから再実行してください。
308001f	DMED08001F: 64 個を超える LU が指定されました。64 個以内の LU を指定してください。
3080020	DMED080020: 指定した LU とデータプールのドライブ種別が異なるので、処理できません。ドライブ種別を確認してから再実行してください。
3080021	DMED080021: 指定した LU は常駐 LU または予約常駐 LU なので、処理できません。常駐 LU または予約常駐 LU を解除してから再実行してください。

エラーコード	説明
3080022	DMED080022: 指定した LU は常駐 LU または予約常駐 LU なので、処理できません。常駐 LU または予約常駐 LU を解除してから再実行してください。
3080023	DMED080023: データプールに Unit0 と Unit1 以降の LU は混在できません。
3080024	DMED080024: DM-LU が設定されていないので、実行できません。DM-LU を設定してから再実行してください。
3080025	DMED080025: 指定した LU はキャッシュパーティションの変更が予約されているので、処理できません。別の LU を指定してから再実行してください。
3080026	DMED080026: すでにシステムで取り扱い可能な最大数のロジカルユニットが追加されています。データプールからロジカルユニットを削除して再実行してください。
3080027	DMED080027: データプールのロジカルユニットがシステムで取り扱い可能な最大数をオーバーします。データプールからロジカルユニットを削除して再実行してください。
3080028	DMED080028: DP プール内と RAID グループ内のロジカルユニットを同一データプールに混在することはできません。ロジカルユニットを確認してから再実行してください。
3080029	DMED080029: 指定したロジカルユニットの所属する DP プールの状態が閉塞であるため、処理できません。回復してから再実行してください。
308002a	DMED08002A: 指定した DP プールの使用容量の状態が容量枯渇のため、処理できません。DP プールの容量を拡張してから再実行してください。
308002b	DMED08002B: DP プールを削除中のため、処理できません。処理が完了してから再実行してください。
308002c	DMED08002C: DP プールを作成中のため、処理できません。処理が完了してから再実行してください。
308002d	DMED08002D: DP プールの容量を拡張中のため、処理できません。処理が完了してから再実行してください。
308002e	DMED08002E: DP プールを回復中のため、処理できません。処理が完了してから再実行してください。
3090001	DMED090001: 指定した P-VOL の LU 番号が有効範囲外です。有効な範囲内の LU 番号を指定してから再実行してください。
3090003	DMED090003: 指定した SnapShot ロジカルユニットの LU 番号が有効範囲外です。有効な範囲内の LU 番号を指定して再実行してください。
3090004	DMED090004: 作成または削除する SnapShot ロジカルユニットの LU 番号が指定されていないため、処理できません。
3090005	DMED090005: SnapShot ロジカルユニットに同じ LU 番号を複数指定しているため、処理できません。LU 番号を確認して再実行してください。
3090006	DMED090006: 指定した LU の状態が正常または縮退でないため、処理できません。正常または縮退状態の LU を指定してから再実行してください。
3090007	DMED090007: 指定した P-VOL の担当コントローラ側のデータプールに LU が存在しないので、処理できません。データプールに LU を追加してから再実行してください。
3090008	DMED090008: 指定した P-VOL の RAID レベルまたは HDU コンビネーションが未サポートなので、処理できません。サポートしている RAID レベルおよび HDU コンビネーションを確認してから再実行してください。
3090009	DMED090009: 指定した P-VOL に対して SnapShot ロジカルユニットが既に最大数作成済みのため、処理できません。不要な SnapShot ロジカルユニットを削除してから再実行してください。
309000a	DMED09000A: 指定した LU は定義済みです。未定義の LU を指定してください。
309000b	DMED09000B: 指定した P-VOL は統合 LU なので、処理できません。統合 LU を分離してから再実行してください。
309000c	DMED09000C: 指定した P-VOL は ShadowImage ペアなので、処理できません。ペアを解除してから再実行してください。

エラーコード	説明
309000d	DMED09000D: 指定した P-VOL はリモートレプリケーションペアのため、処理できません。ペアを解除してから再実行してください。
309000e	DMED09000E: 指定した P-VOL は COW Snapshot のペアになっているので、処理できません。ペアを解除してから再実行してください。
309000f	DMED09000F: 指定した P-VOL はコマンドデバイスなので、処理できません。コマンドデバイスを解除してから再実行してください。
3090010	DMED090010: 指定した P-VOL は無効化されているので、処理できません。LU を復元してから再実行してください。
3090011	DMED090011: 指定した P-VOL はデータプールに追加済みなので、処理できません。別の LU 番号を指定してから再実行してください。
3090012	DMED090012: 指定した P-VOL はキャッシュ容量が確保できないので、処理できません。キャッシュ容量を確認してから再実行してください。
3090013	DMED090013: 指定した P-VOL の HDU コンビネーションが、データプールに追加済みの LU と異なるので、処理できません。HDU コンビネーションを確認してから再実行してください。
3090014	DMED090014: 指定した P-VOL はホストから連続的に Write コマンドを受領しているため、処理できません。少し時間を空けてから再実行してください。
3090015	DMED090015: ほかの LU がデフォルト担当コントローラ変更中なので、処理できません。少し時間を空けてから再実行してください。
3090016	DMED090016: 指定した P-VOL は PIN オーバ状態なので、処理できません。PIN データの復旧を行ってから再実行してください。
3090017	DMED090017: 指定した P-VOL は未定義なので、処理できません。定義済みの LU を指定してから再実行してください。
3090018	DMED090018: 指定した SnapShot ロジカルユニットはペア形成中のため、処理できません。ペアを解除してから再実行してください。
3090019	DMED090019: P-VOL 削除処理中なので、処理できません。少し時間を空けてから再実行してください。
309001a	DMED09001A: 指定した P-VOL と SnapShot ロジカルユニットがペアでないため、処理できません。ペア状態を確認して再実行してください。
309001b	DMED09001B: COW Snapshot のペアの数がすでに最大になっているので、処理できません。不要な COW Snapshot ペアを削除してから再実行してください。
309001c	DMED09001C: 指定した統合 LU は、サブ LU が 17 個以上なので、処理できません。別の LU を指定してから再実行してください。
309001d	DMED09001D: 指定した統合 LU は容量が 1GB 未満のサブ LU を含んでいるので、処理できません。別の LU を指定してから再実行してください。
309001e	DMED09001E: COW Snapshot の管理領域が不足しているため、処理できません。不要な COW Snapshot ペアを削除してから再実行してください。
309001f	DMED09001F: 指定した LU と V-VOL のドライブ種別が異なるため、処理できません。ドライブ種別を確認してから再実行してください。
3090020	DMED090020: 指定した LU は常駐 LU または予約常駐 LU なので、処理できません。常駐 LU または予約常駐 LU を解除してから再実行してください。
3090021	DMED090021: 指定した LU は常駐 LU または予約常駐 LU なので、処理できません。常駐 LU または予約常駐 LU を解除してから再実行してください。
3090022	DMED090022: 指定した SnapShot ロジカルユニットはリモートレプリケーションペアのため、処理できません。ペアを解除してから再実行してください。
3090023	DMED090023: 指定した SnapShot ロジカルユニットは Hi-Copy ペアのため、処理できません。ペアを解除してから再実行してください。

エラーコード	説明
3090024	DMED090024: 指定した SnapShot ロジカルユニットの P-VOL はキャッシュパーティションの変更予約済みのため、処理できません。キャッシュパーティションの変更が完了してから再実行してください。
3090025	DMED090025: 指定した V-VOL サイズは、ロジカルユニットの最大サイズを超えています。V-VOL のサイズを確認してください。
3090026	DMED090026: 指定した LU は V-VOL ではありません。V-VOL を指定してから再実行してください。
30a0001	DMED0A0001: 指定した LU は無効化されているので、処理できません。LU を復元してから再実行してください。
30a0002	DMED0A0002: 指定した LU は統合 LU のサブ LU なので、処理できません。統合 LU を分離してから再実行してください。
30a0003	DMED0A0003: 指定した LU は ShadowImage の S-VOL なので、処理できません。別の LU を指定してから再実行してください。
30a0004	DMED0A0004: 指定した LU はリモートレプリケーションの S-VOL のため、処理できません。別の LU を指定して再実行してください。
30a0005	DMED0A0005: 指定した LU は SnapShot ロジカルユニットのため、処理できません。別の LU を指定して再実行してください。
30a0006	DMED0A0006: 有効期限内なので、Read/Write に変更できません。有効期限がきれてから再実行してください。
30a0007	DMED0A0007: 指定した LU は ShadowImage の処理中なので、処理できません。しばらくしてから再実行してください。
30a0008	DMED0A0008: 指定した LU は COW Snapshot の処理中なので、処理できません。しばらくしてから再実行してください。
30a0009	DMED0A0009: 有効期限を現在より短くすることはできません。現在の値以上の値を指定して、再実行してください。
30a000a	DMED0A000A: エクスピレーションロックが有効なので、Read/Write に変更できません。エクスピレーションロックを無効にしてから再実行してください。
30a000b	DMED0A000B: ShadowImage のペア状態が Simplex(SMPL)または Split(PSUS)でないため、処理できません。ペア状態を変更してから再実行してください。
30a000c	DMED0A000C: リモートレプリケーションのペア状態が Simplex(SMPL)または Split(PSUS)でないため、処理できません。ペア状態を変更してから再実行してください。
30a000d	DMED0A000D: SnapShot のペア状態が Split(PSUS)でないため、処理できません。ペア状態を変更してから再実行してください。
30a000e	DMED0A000E: リモートレプリケーションのペア状態が Simplex(SMPL)または Split(PSUS)でないため、処理できません。ペア状態を変更してから再実行してください。
30b0001	DMED0B0001: アクセスレベルが設定されているため処理できません。属性を Read/Write で、かつ S-VOL モードを有効にしてください。モードが設定されている場合は、RAID Manager で解除してから再実行してください。
30c0001	DMED0C0001: アクセスレベルが設定されているため統合できません。属性を Read/Write で、かつ S-VOL モードを有効にしてください。モードが設定されている場合は、RAID Manager で解除してから再実行してください。
30c0002	DMED0C0002: アクセスレベルが設定されているため分離できません。属性を Read/Write で、かつ S-VOL モードを有効にしてください。モードが設定されている場合は、RAID Manager で解除してから再実行してください。
30c0003	DMED0C0003: ドライブ種別が異なるので、LU は統合できません。ドライブ種別を確認してから再実行してください。
30c0004	DMED0C0004: Unit0 と Unit1 以降の LU は統合できません。
30c0005	DMED0C0005: 統合 LU がすでに 128 個定義されているので、処理できません。

エラーコード	説明
30c0006	DMED0C0006: キャッシュパーティションが異なるので、統合できません。LU のキャッシュパーティションの属性を確認してください。
30c0007	DMED0C0007: 指定した LU は、キャッシュパーティションの変更予約済みなので処理できません。キャッシュパーティションを変更してから再実行するか、別の LU を指定してください。
30c0008	DMED0C0008: メインロジカルユニットとサブロジカルユニットの合計が 128 を超えます。128 以内で指定してください。
30d0001	DMED0D0001: ReadOnly または Protect 属性が設定されているため、処理できません。属性を Read/Write にしてから再実行してください。
30d0002	DMED0D0002: テンポラリーキーは施錠または有効期限が切れてから 180 日たないと使用できません。
30d0003	DMED0D0003: 指定した機能はすでに解錠されています。
30e0001	DMED0E0001: アクセスレベルが設定されているため処理できません。属性を Read/Write で、かつ S-VOL モードを有効にしてください。モードが設定されている場合は、RAID Manager で解除してから再実行してください。
30e0002	DMED0E0002: 複数の RAID グループに所属している統合 LU が含まれているため、処理できません。統合 LU を分離してから再実行してください。
30e0003	DMED0E0003: 指定した LU はサブ LU です。メイン LU を指定してから再実行してください。
30e0004	DMED0E0004: 指定した RAID グループには、既に最大数の LU が定義済みです。RAID グループを確認してから再実行してください。
30e0005	DMED0E0005: 指定された LU は DM-LU に設定済みなので、処理できません。別の LU を指定してから再実行してください。
30e0006	DMED0E0006: 指定した LU は COW Snapshot の V-VOL に設定されているため、処理できません。P-VOL を指定してから再実行してください。
30e0007	DMED0E0007: 空き領域に設定するロジカルユニット番号はすでに使用されています。未使用のロジカルユニット番号を指定してください。
30e0008	DMED0E0008: ロジカルユニットが作成できません。不要なロジカルユニットを削除するか、空き領域の選択を自動に指定してから、再実行してください。
30e0009	DMED0E0009: RAID0 のロジカルユニットは複数の空き領域で作成できません。指定する領域を確認してから再実行してください。
30e000a	DMED0E000A: 空き領域が存在しません。不要なロジカルユニットを削除してから再実行してください。
30e000b	DMED0E000B: 指定した領域の容量が足りない、または空き領域の位置を示すロジカルユニットが不正です。領域を確認してから再実行してください。
30e000c	DMED0E000C: 指定した領域の容量が足りません。容量を確認してから再実行してください。
30e000d	DMED0E000D: ロジカルユニットの作成可能数を超えています。指定する容量、領域番号を確認する、または不要なロジカルユニットを削除してから再実行してください。
30e000e	DMED0E000E: RAID グループ内の作成可能ロジカルユニット数を超えています。指定する容量、領域番号を確認する、または不要なロジカルユニットを削除してから再実行してください。
30e000f	DMED0E000F: 指定した領域番号が有効範囲外です。有効な範囲内の領域番号を指定して再実行してください。
30e0010	DMED0E0010: 指定した領域が存在しません。領域番号を確認してから再実行してください。
30e0011	DMED0E0011: 空き領域の位置を示すロジカルユニット番号が有効範囲外です。有効な範囲内のロジカルユニット番号を指定して再実行してください。

エラーコード	説明
30e0012	DMED0E0012: 空き領域の位置を示すロジカルユニット番号が有効範囲外です。有効な範囲内のロジカルユニット番号を指定して再実行してください。
30e0013	DMED0E0013: 空き領域の位置を示すロジカルユニットが未定義です。定義済みのロジカルユニットを指定して再実行してください。
30e0014	DMED0E0014: 空き領域の位置を示すロジカルユニットが未定義です。定義済みのロジカルユニットを指定して再実行してください。
30e0015	DMED0E0015: 空き領域の位置を示すロジカルユニットが、指定した RAID グループに存在しません。RAID グループのロジカルユニットを確認してから再実行してください。
30e0016	DMED0E0016: 空き領域の位置を示すロジカルユニットが、指定した RAID グループに存在しません。RAID グループのロジカルユニットを確認してから再実行してください。
30e0017	DMED0E0017: 空き領域の位置を示すロジカルユニットが不正です。指定したロジカルユニットを確認してから再実行してください。
30e0018	DMED0E0018: 指定した領域が重複しています。領域を確認してから再実行してください。
30e0019	DMED0E0019: 使用しない空き領域を指定しています。領域を確認してから再実行してください。
30e001a	DMED0E001A: 統合可能最大数を超過しています。指定する容量、領域番号を確認してから再実行してください。
30e001b	DMED0E001B: 統合可能最大数を超過しています。指定する容量、領域番号を確認してから再実行してください。
30e001c	DMED0E001C: RAID グループが不正です。RAID グループを確認してから再実行してください。
30e001d	DMED0E001D: 指定したロジカルユニットの RAID レベルが RAID0 のため、処理できません。別のロジカルユニットを指定して再実行してください。
30e001e	DMED0E001E: ロジカルユニットの最大容量を超過しています。容量を確認して再実行してください。
30e001f	DMED0E001F: 指定した容量が不正です。容量を確認して再実行してください。
30e0020	DMED0E0020: 統合可能最大数を超過しています。指定する容量、領域番号を確認してから再実行してください。
30e0021	DMED0E0021: 指定した領域の容量が足りません。容量を確認してから再実行してください。
30e0022	DMED0E0022: 指定した領域の容量が足りません。容量を確認してから再実行してください。
30e0023	DMED0E0023: クイックフォーマットの最大容量を超過しています。指定するフォーマット量を減らすか、実行中のフォーマットが終わるのを待ってから、再実行してください。
30e0024	DMED0E0024: 指定したロジカルユニットは未定義です。定義済みのロジカルユニットを指定して再実行してください。
30e0025	DMED0E0025: 指定した領域の容量が足りません。容量を確認してから再実行してください。
30e0026	DMED0E0026: 指定した容量がロジカルユニットの容量を超過しています。容量を確認してから再実行してください。
30e0027	DMED0E0027: 指定したロジカルユニットの状態が正常でないため、処理できません。状態を回復してから再実行してください。
30e0028	DMED0E0028: 指定したロジカルユニット内のドライブに未実装、または閉塞のドライブが含まれているため、処理できません。ドライブの状態を確認して再実行してください。
30e0029	DMED0E0029: 指定した DP プールは仮想化超過しきい値の限界しきい値以上のため、処理できません。DP プールの容量を拡張してから再実行してください。

エラーコード	説明
30e002a	DMED0E002A: 指定したロジカルユニットが所属する DP プールが仮想化超過しきい値の限界しきい値以上のため、処理できません。DP プールの容量を拡張してから再実行してください。
30e002b	DMED0E002B: 指定したロジカルユニットはマッピングされているため、処理できません。マッピングを解除してから再実行してください。
30e002c	DMED0E002C: 指定した容量では装置で定義できる最大容量を超えているため、処理できません。装置の最大容量範囲内で容量を指定してから再実行してください。
30e002d	DMED0E002D: DM-LU の状態が正常または縮退でないため、処理できません。DM-LU の状態を回復してから再実行してください。
30e002e	DMED0E002E: DM-LU がキャッシュパーティションの変更予約済みのため処理できません。キャッシュパーティションを変更してから再実行してください。
30e002f	DMED0E002F: DM-LU の容量が足りません。容量を確認してから再実行してください。
30e0030	DMED0E0030: DM-LU が所属する RAID グループ内のドライブに未実装、または閉塞のドライブが含まれているため、処理できません。ドライブの状態を正常にしてから再実行してください。
30e0031	DMED0E0031: DM-LU が所属する DP プールの仮想化超過しきい値の限界しきい値を超えるため、処理できません。DP プールの容量を拡張してから再実行してください。
30e0032	DMED0E0032: DM-LU が所属する DP プールの容量が不足しているため、処理できません。DP プールの容量を拡張してから再実行してください。
30f0001	DMED0F0001: アクセスレベルが設定されているため処理できません。属性を Read/Write で、かつ S-VOL モードを有効にしてください。モードが設定されている場合は、RAID Manager で解除してから再実行してください。
30f0002	DMED0F0002: 指定した RAID グループの範囲内に、Unit0 と Unit1 以降のドライブが含まれているので処理できません。
30f0003	DMED0F0003: 指定した RAID グループの範囲内に、本装置では未サポートのドライブが含まれているので処理できません。
30f0004	DMED0F0004: 指定した機能は実装されていない、無効化されている、または施錠されているので、使用できません。
30f0005	DMED0F0005: 指定したドライブ数が正しくないため、処理できません。実装しているドライブを確認してから再実行してください。
30f0007	DMED0F0007: RAID グループ定義が最大値に達したため、実行できません。不要な RAID グループを削除してから再実行してください。
3100001	DMED100001: アクセスレベルが設定されているため処理できません。属性を Read/Write で、かつ S-VOL モードを有効にしてください。モードが設定されている場合は、RAID Manager で解除してから再実行してください。
3100002	DMED100002: 指定した LU に RAID レベルが未サポートの LU が含まれているので、処理できません。サポートしている RAID レベルを確認してから再実行してください。
3100003	DMED100003: 指定した LU に統合 LU が含まれているので、処理できません。統合 LU を分離してから再実行するか、オンラインまたはオフラインフォーマットを実行してください。
3100004	DMED100004: 指定した LU に拡張 LU で未フォーマット状態の LU が含まれているので、処理できません。オンラインまたはオフラインフォーマットを実行してください。
3100005	DMED100005: クイックフォーマットの最大容量を超えています。指定するフォーマット量を減らすか、実行中のフォーマットが終わるのを待ってから、再実行してください。
3100006	DMED100006: 指定した LU 内のドライブに未実装、または閉塞のドライブが含まれているので、処理できません。ドライブの状態を確認してから再実行してください。
3100007	DMED100007: システムパラメータのドライブ閉塞モードが ON の場合、フォーマット済みの LU を、クイックフォーマットすることはできません。フォーマットする場合は、システムパラメータのドライブ閉塞モードを OFF にしてください。

エラーコード	説明
3100008	DMED100008: 指定した LU は未フォーマットかつ S-VOL モード以外のアクセスレベルが設定されているため処理できません。属性を Read/Write にしてから再実行してください。
3100009	DMED100009: 指定したロジカルユニットの所属する RAID グループがフォーマットできない状態であるため、処理できません。状態を回復してから再実行してください。
310000a	DMED10000A: 指定したロジカルユニットの所属する RAID グループがフォーマットできない状態であるため、処理できません。状態を回復してから再実行してください。
3110001	DMED110001: マッピングガードされている LU があるので、マッピングモードの変更はできません。
3110002	DMED110002: マッピングガードされている LU があるので、マッピング変更できません。
3110003	DMED110003: 指定されたロジカルユニットは未定義です。定義済みのロジカルユニットを指定してください。
3120001	DMED120001: 指定したドライブはこの装置では未サポートなので、スペアドライブに定義できません。
3130001	DMED130001: 指定した相手装置とのバスが未設定なので、処理できません。
3130002	DMED130002: 指定したポートは iSCSI ポートなので、処理できません。ポート種別を確認してから再実行してください。
3130003	DMED130003: パス 0 とパス 1 の相手ポートが同じコントローラーに設定されているので、処理できません。それぞれのバスを別のコントローラーに設定してから再実行してください。
3130004	DMED130004: タイムアウト値が範囲外です。タイムアウト値を確認してから再実行してください。
3130005	DMED130005: 回線帯域が範囲外です。回線帯域を確認して再実行してください。
3130006	DMED130006: バスが正常なため処理できません。バスの状態を確認してください。
3130007	DMED130007: 指定したバスが存在しないため処理できません。バスの設定を確認して再実行してください。
3130008	DMED130008: バスが回復中のため処理できません。バスの状態を確認して再実行してください。
3130009	DMED130009: バスが回復中のため処理できません。バスの状態を確認して再実行してください。
313000a	DMED13000A: 指定されたポート番号は範囲外です。ポート番号を確認してください。
313000b	DMED13000B: IPv6 アドレスを設定できない状態のため、処理できません。IP アドレスを確認して再実行してください。
3130010	DMED130010: コントローラーが閉塞しているため処理できません。コントローラー状態を回復してから再実行してください。
3130011	DMED130011: 指定したバスが存在しないため処理できません。バスの設定を確認して再実行してください。
3130012	DMED130012: 指定したバスが存在しないため処理できません。バスの設定を確認して再実行してください。
3130013	DMED130013: コントローラーが閉塞しているため処理できません。コントローラー状態を回復してから再実行してください。
3130014	DMED130014: ポートが未実装のため処理できません。ポートの種別、アレイ装置の状態を確認して再実行してください。
3130015	DMED130015: 指定したバスが設定済みのため処理できません。バスの状態を確認して再実行してください。
3130016	DMED130016: ホストがログアウト中のため処理できません。少し時間をあけてから再実行してください。

エラーコード	説明
3130017	DMED130017: 自装置と同じ装置 ID が指定されました。相手装置の装置 ID を指定して再実行してください。
3130018	DMED130018: ファイバチャネルポートが実装されていないため処理できません。ポート種別を確認してから再実行してください。
3130019	DMED130019: Synchronizing, または Paired のリモートレプリケーションペアが存在するため処理できません。ペア状態を確認してから再実行してください。
313001a	DMED13001A: iSCSI ポートが実装されていないため処理できません。ポート種別を確認してから再実行してください。
313001b	DMED13001B: Distributed モードが Hub のため、処理できません。Distributed モードを Edge にしてから再実行してください。
313001c	DMED13001C: リモートパスまたはリモートポート CHAP 情報 (Target 情報) が定義されているため、処理できません。Distributed モードを Hub にしてから再実行してください。
313001d	DMED13001D: 指定した装置 ID は既に設定されています。別の装置 ID を指定してください。
313001e	DMED13001E: リモートポート CHAP 情報 (Target 情報) の定義数が最大値に達したため作成できません。不要なリモートポート CHAP 情報 (Target 情報) を削除してから再実行してください。
313001f	DMED13001F: リモートパス定義数が最大値に達したため設定できません。不要なリモートパスを削除してから再実行してください。
3130020	DMED130020: 指定したリモートパス名称は既に登録されています。別のリモートパス名称を指定して再実行してください。
3130021	DMED130021: Distributed モードが Hub のため、指定した装置 ID の相手装置は設定できません。Distributed モードを Edge にするか、装置 ID に Distributed モードが Edge に設定された相手装置を指定し、再実行してください。
3130022	DMED130022: 指定された装置 ID は存在しません。正しい装置 ID を指定してください。
3130023	DMED130023: Distributed モードが未サポートのため、処理できません。装置を確認してから再実行してください。
3130024	DMED130024: 複数のリモートパスが定義されているため、処理できません。リモートパスを削除してから再実行してください。
3130025	DMED130025: 複数のリモートポート CHAP 情報 (Target 情報) が定義されているため、処理できません。リモートポート CHAP 情報 (Target 情報) を削除してから再実行してください。
3130026	DMED130026: 複数のアレイ装置にリモートレプリケーションペアが存在するため、処理できません。リモートレプリケーションペアを解除してから再実行してください。
3130027	DMED130027: Distributed モードが未サポートの装置とのリモートパスが定義されているため、処理できません。リモートパスを削除してから再実行してください。
3130028	DMED130028: Distributed モードが未サポートの装置とのリモートポート CHAP 情報 (Target 情報) が定義されているため、処理できません。リモートポート CHAP 情報 (Target 情報) を削除してから再実行してください。
3130029	DMED130029: Distributed モードが未サポートの装置とのリモートレプリケーションペアが存在するため、処理できません。リモートレプリケーションペアを解除してから再実行してください。
313002a	DMED13002A: リモートパスが定義されているため、処理できません。リモートパスを削除してから再実行してください。
313002b	DMED13002B: リモートポート CHAP 情報 (Target 情報) が定義されているため、処理できません。リモートポート CHAP 情報 (Target 情報) を削除してから再実行してください。

エラーコード	説明
313002c	DMED13002C: Distributed モードが Hub のため、処理できません。Distributed モードを Edge にしてから再実行してください。
313002d	DMED13002D: 不正なシリアル番号が指定されました。正しいシリアル番号を指定してください。
313002e	DMED13002E: 指定した装置では iSCSI インタフェースでのリモートレプリケーション接続は未サポートのため、処理できません。Fibre インタフェースで実行するか、装置を確認してから再実行してください。
313002f	DMED13002F: パスが定義されているポートが未実装、または未サポートのため、処理できません。ポートの状態を確認してください。
3130030	DMED130030: 装置 ID で指定されたアレイ装置はリモートレプリケーションを未サポートのため、処理できません。装置 ID を確認してから再実行してください。
3130031	DMED130031: 装置 ID で指定されたアレイ装置はリモートレプリケーションを未サポートのため、処理できません。装置 ID を確認してから再実行してください。
3130032	DMED130032: 指定した装置では Fibre インタフェースでのリモートレプリケーション接続は未サポートのため、処理できません。iSCSI インタフェースで実行するか、装置を確認してから再実行してください。
3140001	DMED140001: テンポラリキーまたはエマージェンシーキーの有効期限が切れているため処理できません。
3140002	DMED140002: DM-LU が設定済みなので、処理できません。DM-LU を解除してから再実行してください。
3140003	DMED140003: 指定した動作モードが有効範囲外、または複数の動作を同時指定しています。動作モードを確認して再実行してください。
3140004	DMED140004: DC 電源装置でないため処理できません。アレイ装置の状態を確認して再実行してください。
3140005	DMED140005: 指定した装置に対して本機能は実行できません。アレイ装置、またはナビゲーターのバージョンを確認してください。
3140006	DMED140006: キャッシュメモリ容量が不足しているため、処理できません。キャッシュメモリの容量を増設してから、再実行してください。
3140007	DMED140007: 指定した値が有効範囲外です。有効な範囲内の値を指定して再実行してください。
3140008	DMED140008: ロジカルユニットが処理中のため、処理できません。しばらくしてから再実行してください。
3140009	DMED140009: 指定したドライブが未実装のため、処理できません。ドライブの状態を確認して再実行してください。
314000a	DMED14000A: 指定したロジカルユニットは DM-LU に設定済みのため、処理できません。DM-LU の容量追加で実行してください。
314000b	DMED14000B: アレイ装置が処理中のため、指定された操作が実行できません。しばらくしてから再実行してください。
3140010	DMED140010: 指定したドライブが未実装のため、処理できません。ドライブの状態を確認して再実行してください。
3140011	DMED140011: 指定したきょう体が未実装のため、処理できません。きょう体番号を確認してから再実行してください。
3150001	DMED150001: キャッシュパーティションが初期状態ではないので、処理できません。キャッシュパーティションを初期状態に戻してから再実行してください。
3150004	DMED150004: キャッシュパーティションのサイズが最低容量に満たないので、処理できません。キャッシュパーティションのサイズを確認してから再実行してください。
3150005	DMED150005: PIN オーバー状態なので、処理できません。PIN データの復旧をしてから再実行してください。

エラーコード	説明
3150006	DMED150006: 0 または 1 のキャッシュパーティションは、セグメントサイズの変更ができません。
3150007	DMED150007: ShadowImage で使用中なので、処理できません。ペアを解除してから再実行してください。
3150009	DMED150009: COW Snapshot で使用中なので、処理できません。ペアを解除してから再実行してください。
315000b	DMED15000B: 書き込みが終わっていないセグメントがあるので、処理できません。回復してから再実行してください。
315000c	DMED15000C: 常駐 LU, または予約常駐 LU があるので、処理できません。常駐 LU, または予約常駐 LU を解除してから再実行してください。
315000d	DMED15000D: セグメントサイズが正しくありません。セグメントサイズを確認してから再実行してください。
315000e	DMED15000E: LU の切り替えをしているので、処理できません。しばらくしてから再実行してください。
315000f	DMED15000F: キャッシュパーティション番号が正しくありません。指定した内容を確認してから再実行してください。
3150010	DMED150010: すでに設定されているキャッシュパーティションのコントローラは変更できません。キャッシュパーティションを削除して、設定し直してください。
3150011	DMED150011: キャッシュパーティションのサイズの合計がキャッシュ容量を超えるので、処理できません。キャッシュパーティションのサイズを確認してから再実行してください。
3150012	DMED150012: LU が設定されているキャッシュパーティションや、0 または 1 のキャッシュパーティションは削除できません。指定するキャッシュパーティションを確認してください。
3150013	DMED150013: 指定したキャッシュパーティションは定義されていないので、処理できません。定義されているキャッシュパーティションを指定してから再実行してください。
3150014	DMED150014: ストライプサイズが 64KB 以外の LU があるので、処理できません。該当する LU を削除してから再実行してください。
3150015	DMED150015: 指定した LU はリモートレプリケーションペアのため、処理できません。ペアを解除してから再実行してください。
3150016	DMED150016: 4KB または 8KB のセグメントサイズを使用したパーティションの総容量がシステムの限界値を超えています。キャッシュパーティションサイズまたはセグメントサイズを確認して再実行してください。
3160002	DMED160002: 指定した LU は統合 LU のサブ LU なので、処理できません。統合 LU を分離してから再実行してください。
3160011	DMED160011: 指定したキャッシュパーティションに LU を割り当てられません。別のキャッシュパーティションを指定してから再実行してください。
3160012	DMED160012: Cache Partition Manager が施錠, または無効化されているので、処理できません。
3160013	DMED160013: 指定したロジカルユニットは SnapShot ロジカルユニットのため処理できません。別のロジカルユニット番号を指定して再実行してください。
3160014	DMED160014: 指定したキャッシュパーティションは未設定なので、処理できません。キャッシュパーティションを確認してから再実行してください。
3160015	DMED160015: Cache Partition Manager が施錠または無効化されているので、処理できません。Cache Partition Manager を有効にしてから再実行してください。
3160016	DMED160016: 指定したキャッシュパーティションは未設定なので、処理できません。キャッシュパーティションを確認してから再実行してください。

エラーコード	説明
3160017	DMED160017: 指定したキャッシュパーティションが異なるコントローラに設定されているので、処理できません。キャッシュパーティションを確認してから再実行してください。
3160018	DMED160018: ストライプサイズとセグメントサイズの組み合わせが適切でないので、処理できません。ストライプサイズまたはキャッシュパーティションを確認してから再実行してください。
3160019	DMED160019: 指定したキャッシュパーティションはサイズが不足するので処理できません。キャッシュパーティションを確認してから再実行してください。
316001e	DMED16001E: ペアキャッシュパーティションとキャッシュパーティションが同じコントローラに設定されているので、処理できません。キャッシュパーティションを確認してから再実行してください。
316001f	DMED16001F: セグメントサイズが異なるので、処理できません。キャッシュパーティションのセグメントサイズを確認してから再実行してください。
3160020	DMED160020: 指定したキャッシュパーティションはサイズが不足するので処理できません。キャッシュパーティションを確認してから再実行してください。
3160021	DMED160021: LU の切り替え中なので、処理できません。しばらくしてから再実行してください。
3160022	DMED160022: PIN データがあるので、処理できません。PIN データを復旧してから再実行してください。
3160023	DMED160023: 指定したロジカルユニットが DM-LU でないため、処理できません。DM-LU を指定して再実行してください。
3160024	DMED160024: DM-LU の最大容量を超えるため、処理できません。容量を確認して再実行してください。
3160025	DMED160025: 指定した容量が 1GB 単位でないため、処理できません。1GB 単位で容量を指定して再実行してください。
3160026	DMED160026: RAID0 の RAID グループを指定したため、処理できません。RAID0 以外の RAID グループを指定して再実行してください。
3160027	DMED160027: 指定した RAID グループと DM-LU が所属する RAID グループの HDU コンビネーションが異なるため、処理できません。RAID グループを確認して再実行してください。
3160028	DMED160028: 指定した RAID グループと DM-LU が所属する RAID グループのドライブ種別が異なるため、処理できません。RAID グループを確認して再実行してください。
3160029	DMED160029: RAID グループに追加容量分の連続した空き領域がないため、処理できません。空き領域を確認して再実行してください。
3170001	DMED170001: 指定した LU の容量が 5GB 未満なので、処理できません。5GB 以上の容量の LU を指定してから再実行してください。
3170002	DMED170002: 指定した LU が RAID レベル 0 なので、処理できません。別の LU を指定してから再実行してください。
3170003	DMED170003: 指定した LU の状態が正常または縮退ではないので、処理できません。正常または縮退の状態の LU を指定してから再実行してください。
3170004	DMED170004: 指定した LU は統合 LU なので、処理できません。統合 LU を分離してから再実行してください。
3170005	DMED170005: 指定した LU は常駐 LU または予約常駐 LU なので、処理できません。常駐 LU または予約常駐 LU を解除してから再実行してください。
3170006	DMED170006: 指定した LU はコマンドデバイスなので、処理できません。コマンドデバイスを解除してから再実行してください。
3170007	DMED170007: 指定した LU の容量が 10GB 未満なので、処理できません。10GB 以上の容量の LU を指定してから再実行してください。

エラーコード	説明
3170008	DMED170008: DP プールの容量が不足しているため、処理できません。一時的に不足している場合は、しばらくしてから再実行してください。解決しない場合、DP プールの容量を拡張してください。
3170009	DMED170009: 指定したロジカルユニットはマッピングされているため、DM-LU に設定できません。マッピングを解除してから再実行してください。
317000a	DMED17000A: 指定したロジカルユニットの状態が正常、縮退または未フォーマットでないため、処理できません。ロジカルユニットの状態を回復してから再実行してください。
317000b	DMED17000B: 指定したロジカルユニットのストライプサイズが 64KB または 256KB でないため、処理できません。ストライプサイズを確認して再実行してください。
317000c	DMED17000C: 指定したロジカルユニットのストライプサイズが 256KB で所属する RAID グループの RAID レベルが RAID6 のとき、HDU コンビネーションのデータドライブ数が 17 以上のため、処理できません。別のロジカルユニットを指定して再実行してください。
317000d	DMED17000D: 指定した容量が有効範囲外のため、処理できません。容量を確認して再実行してください。
317000e	DMED17000E: 指定したロジカルユニットの容量が 1GB 単位でないため、処理できません。ロジカルユニットの容量を確認して再実行してください。
317000f	DMED17000F: 指定したロジカルユニットに容量が 1GB 未満のサブロジカルユニットが含まれるため、処理できません。別のロジカルユニットを指定して再実行してください。
3180001	DMED180001: 指定した LU は、キャッシュパーティションが 0 または 1 でないので、常駐 LU に設定できません。LU のキャッシュパーティションを 0 または 1 に変更してから再実行するか、キャッシュパーティション 0 または 1 の LU を指定してください。
3190001	DMED190001: 不正な IP アドレスが指定されました。正しい IP アドレスを指定してください。
3190002	DMED190002: 管理ポートと同じ IP アドレスは設定できません。正しい IP アドレスを指定してください。
3190003	DMED190003: NNC またはアレイ装置が処理中なので、指定された操作が実行できません。しばらくしてから再実行してください。
3190004	DMED190004: 保守ポートと同じ IP アドレスは設定できません。正しい IP アドレスを指定してください。
3190005	DMED190005: コントローラが閉塞したので、処理できません。コントローラの状態を回復してから再実行してください。
3190006	DMED190006: NNC またはアレイ装置が処理中なので、指定された操作が実行できません。しばらくしてから再実行してください。
3190007	DMED190007: アレイ装置が処理中なので、指定された操作が実行できません。しばらくしてから再実行してください。
3190008	DMED190008: NNC 管理ポートと同じ IP アドレスは設定できません。正しい IP アドレスを指定してください。
3190009	DMED190009: NNC が接続された状態で、保守ポートと同じネットワークアドレスが指定されたので、保守ポートを自動変更できません。ネットワークアドレスを確認してから再実行してください。
319000b	DMED19000B: 保守ポートに不正なホストアドレスが指定されました。正しい IP アドレスを指定してください。
319000c	DMED19000C: 管理ポートに設定されているサブネットマスクが不正なので、処理できません。管理ポートのサブネットマスクに正しい値を設定してから再実行してください。
319000d	DMED19000D: 管理ポートに設定されているデフォルトゲートウェイが不正なので、処理できません。管理ポートのデフォルトゲートウェイに正しい値を設定してから再実行してください。

エラーコード	説明
319000e	DMED19000E: DHCP と保守ポートの自動変更は、同時に指定できません。指定内容を確認してから再実行してください。
319000f	DMED19000F: 管理ポートに不正なホストアドレスが指定されました。正しい IP アドレスを指定してください。
3190010	DMED190010: 管理ポートとデフォルトゲートウェイのセグメントが異なるので処理できません。正しい IP アドレスを指定してください。
3190011	DMED190011: 保守ポートの自動変更が有効なので、指定された操作が実行できません。保守ポートの自動変更を無効にしてから再実行してください。
3190012	DMED190012: アレイ装置が処理中なので、指定された操作が実行できません。しばらくしてから再実行してください。
3190013	DMED190013: 不正な IP アドレスが指定されました。正しい IP アドレスを指定してください。
31a0001	DMED1A0001: NNC が接続されていないので、処理できません。NNC を接続してから再実行してください。
31a0002	DMED1A0002: 指定した LU は定義されていません。定義済みの LU を指定してください。
31a0003	DMED1A0003: 指定した LU はシステム LU に必要なサイズに満たないので、処理できません。LU のサイズを確認してから再実行してください。
31a0004	DMED1A0004: 指定した LU は割り当て済みなので処理できません。割り当てられていない LU を指定してから再実行してください。
31a0005	DMED1A0005: 指定した LU は ShadowImage の S-VOL なので、処理できません。別の LU を指定してから再実行してください。
31a0006	DMED1A0006: 指定したロジカルユニットはリモートレプリケーションの S-VOL のため、処理できません。別のロジカルユニットを指定して再実行してください。
31a0007	DMED1A0007: 指定したロジカルユニットは SnapShot ロジカルユニットに設定済みのため、処理できません。別のロジカルユニットを指定して再実行してください。
31a0008	DMED1A0008: 指定した LU はデータプールに追加されているので、処理できません。別の LU を指定してから再実行してください。
31a0009	DMED1A0009: 指定した LU は統合 LU のサブ LU なので、処理できません。別の LU を指定してから再実行してください。
31a000a	DMED1A000A: 指定した LU はマッピングガードされているので、処理できません。別の LU を指定してから再実行してください。
31a000b	DMED1A000B: 指定した LU はコマンドデバイスなので、処理できません。別の LU を指定してから再実行してください。
31a000c	DMED1A000C: 指定した LU はコマンドデバイスに設定されていません。コマンドデバイスに設定されている LU を指定してください。
31a000d	DMED1A000D: NAS OS が動作中なので、処理できません。NAS OS の状態を確認してから再実行してください。
31a000e	DMED1A000E: 指定した LU は DM-LU に設定されているので、処理できません。別の LU を指定してから再実行してください。
31a000f	DMED1A000F: アクセスレベルが設定されているため処理できません。属性を Read/Write で、かつ S-VOL モードを有効にしてください。モードが設定されている場合は、RAID Manager で解除してから再実行してください。
31a0010	DMED1A0010: NAS で全ポートを使用しているため、処理できません。ポートの種別を確認してください。
31a0020	DMED1A0020: システム LU があるので、処理できません。
31a0021	DMED1A0021: ユーザ LU があるので、処理できません。
31a0022	DMED1A0022: 指定した LU はシステム LU なので、処理できません。システム LU を解除してから再実行してください。

エラーコード	説明
31a0023	DMED1A0023: 指定した LU はユーザ LU なので、処理できません。別の LU を指定してから再実行してください。
31a0024	DMED1A0024: NAS OS が動作中なので、処理できません。NAS OS の状態を確認してから再実行してください。
31a0025	DMED1A0025: NAS OS が動作中なので、処理できません。NAS OS の状態を確認してから再実行してください。
31a0026	DMED1A0026: 指定したポートは NAS で使用中です。別のポートを指定してください。
31a0027	DMED1A0027: ストライプサイズが異なるので、統合できません。LU のストライプサイズを確認してから再実行してください。
31a0028	DMED1A0028: 指定した LU は SnapShot の P-VOL または V-VOL なので、処理できません。別の LU を指定してから再実行してください。
31a0029	DMED1A0029: アクセスレベルが設定されているため処理できません。属性を Read/Write にしてください。モードが設定されている場合は、RAID Manager で解除してから再実行してください。
31a002a	DMED1A002A: 指定された LU は、二つ以上の S-VOL を持つ ShadowImage ペアなので処理できません。S-VOL を削除してペアを 1:1 の関係にするか、ペアを解除してから再実行してください。
31a0030	DMED1A0030: コマンドデバイス(セカンダリ)は、NNCtype1 に設定できません。
31a0031	DMED1A0031: ダンプ編集結果格納用ワークは、NNCtype2 に設定できません。
31a0032	DMED1A0032: コマンドデバイスを設定していないので、コマンドデバイス(セカンダリ)を設定できません。コマンドデバイスを設定してから再実行してください。
31a0033	DMED1A0033: コマンドデバイス(セカンダリ)が設定されているので、コマンドデバイスのマッピングを解除できません。コマンドデバイス(セカンダリ)を解除してください。
31a0034	DMED1A0034: 実装されている NNC が不明か、異なる NNC が混在しているので、処理できません。
31a0070	DMED1A0070: NNC が NNCtype2 なので、バックアップできません。
31a0071	DMED1A0071: NAS OS がインストールされていないのでバックアップできません。NAS OS をインストールしてから再実行してください。
31a0072	DMED1A0072: コントローラが閉塞しているので、バックアップ、リストアまたはクリアできません。コントローラ状態を回復してから再実行してください。
31a0073	DMED1A0073: NNC を停止していないので、バックアップできません。NNC を停止してから再実行してください。
31a0074	DMED1A0074: NNC が NNCtype1 なので、クリアできません。
31a0075	DMED1A0075: システム LU をバックアップしていないのでリストアできません。
31a0076	DMED1A0076: NNC 状態が停止または閉塞でないのでリストアできません。
31a0077	DMED1A0077: システム LU がバックアップされていないのでクリアできません。
31b0001	DMED1B0001: 指定した IP アドレスは不正です。正しい IP アドレスを指定してください。
31b0002	DMED1B0002: 指定した IP アドレスへ変更できません。正しい IP アドレスを指定してください。
31b0003	DMED1B0003: アレイ装置が処理中なので、指定した操作が実行できません。しばらくしてから再実行してください。
31b0004	DMED1B0004: コントローラが閉塞したので、処理できません。コントローラの状態を回復してから再実行してください。
31b0005	DMED1B0005: DHCP が有効なので、指定した操作が実行できません。DHCP を無効にしてから再実行してください。
31b0006	DMED1B0006: 保守ポートを設定中なので処理できません。しばらくしてから再実行してください。

エラーコード	説明
31b0008	DMED1B0008: DHCP が有効なので、指定された操作が実行できません。DHCP を無効にしてから再実行してください。
31b0009	DMED1B0009: NNC が実装されているので、処理できません。ポート種別を確認してから再実行してください。
31b000a	DMED1B000A: 保守ポートと管理ポートに同一のアドレスを指定しているので、処理できません。異なるアドレスを指定してから再実行してください。
31c0001	DMED1C0001: iSCSI ポートが実装されていないので、処理できません。ポート種別を確認してから再実行してください。
31c0002	DMED1C0002: 認証 Method の指定がないので、処理できません。認証 Method を指定してから再実行してください。
31c0003	DMED1C0003: エイリアスの形式が不正なので、処理できません。エイリアスを確認してから再実行してください。
31c0004	DMED1C0004: ポート内に同じエイリアスがあるので、処理できません。エイリアスを確認してから再実行してください。
31c0005	DMED1C0005: iSCSI Name の形式が不正なので、処理できません。iSCSI Name を確認してから再実行してください。
31c0006	DMED1C0006: ポート内に同じ iSCSI Name があるので、処理できません。iSCSI Name を確認してから再実行してください。
31c0007	DMED1C0007: 指定した Target は未定義なので、処理できません。Target を確認してから再実行してください。
31c0008	DMED1C0008: 名称の形式が不正なので、処理できません。名称を確認してから再実行してください。
31c0009	DMED1C0009: ポート内に同じ名称があるので、処理できません。名称を確認してから再実行してください。
31c000a	DMED1C000A: iSCSI Name の形式が不正なので、処理できません。iSCSI Name を確認してから再実行してください。
31c000b	DMED1C000B: ポート内に同じ iSCSI Name があるので、処理できません。iSCSI Name を確認してから再実行してください。
31c000c	DMED1C000C: テンポラリーキーまたはエマージェンシーキーの有効期限が切れているため処理できません。
31c000d	DMED1C000D: 使用禁止文字を指定したので、処理できません。User Name を確認してから再実行してください。
31c000e	DMED1C000E: 使用禁止文字を指定したので、処理できません。Secret を確認してから再実行してください。
31c000f	DMED1C000F: User Name の文字数が範囲外なので、処理できません。User Name を確認してから再実行してください。
31c0010	DMED1C0010: Secret の文字数が範囲外なので、処理できません。Secret を 12 文字以上 32 文字以下にしてから再実行してください。
31c0011	DMED1C0011: 不正な IP アドレスを指定したので、処理できません。正しい IP アドレスを指定してください。
31c0012	DMED1C0012: 不正なポート番号を指定したので、処理できません。正しいポート番号を指定してください。
31c0013	DMED1C0013: Keep Alive Timer が範囲外なので、処理できません。Keep Alive Timer を 30 以上 64800 以下にしてから再実行してください。
31c0014	DMED1C0014: ポート番号が不正なので、処理できません。正しいポート番号を指定してください。
31c0015	DMED1C0015: アレイ装置が処理中なので、指定した操作が実行できません。アレイ装置が処理が完了してから再実行してください。

エラーコード	説明
31c0017	DMED1C0017: iSCSI Name の文字数が範囲外なので、処理できません。iSCSI Name を確認してから再実行してください。
31c0018	DMED1C0018: 使用禁止文字が指定したので、処理できません。iSCSI Name を確認してから再実行してください。
31c0019	DMED1C0019: iSCSI Name の文字数が範囲外なので、処理できません。iSCSI Name を確認してから再実行してください。
31c001a	DMED1C001A: 使用禁止文字が指定されたため処理できません。iSCSI Name を確認してから再実行してください。
31c001b	DMED1C001B: コントローラが閉塞しているので、処理できません。コントローラの状態を回復してから再実行してください。
31c001c	DMED1C001C: 不正な IP アドレスを指定したので、処理できません。正しい IP アドレスを指定してください。
31c001d	DMED1C001D: Ping 実行中なので、処理できません。Ping が完了してから再実行してください。
31c001e	DMED1C001E: 不正な CHAP アルゴリズムを指定したので、処理できません。正しい CHAP アルゴリズムを指定してから再実行してください。
31c001f	DMED1C001F: Secret の文字数が範囲外なので、処理できません。Secret を 12 文字以上 32 文字以下にしてから再実行してください。
31c0020	DMED1C0020: 使用禁止文字を指定したので、処理できません。Secret を確認してから再実行してください。
31c0021	DMED1C0021: 使用禁止文字を指定したので、処理できません。User Name を確認してから再実行してください。
31c0022	DMED1C0022: ポート内に同じ User Name があるので、処理できません。User Name を確認してから再実行してください。
31c0023	DMED1C0023: LUN Manager が施錠または無効化されているので処理できません。LUN Manager を有効にしてから再実行してください。
31c0024	DMED1C0024: Target セキュリティが無効なので、処理できません。Target セキュリティを有効にしてから再実行してください。
31c0025	DMED1C0025: エイリアスの文字数が範囲外なので、処理できません。エイリアスを確認してから再実行してください。
31c0026	DMED1C0026: 使用禁止文字を指定したので、処理できません。エイリアスを確認してから再実行してください。
31c0027	DMED1C0027: 名称の文字数が範囲外なので、処理できません。名称を確認してから再実行してください。
31c0028	DMED1C0028: 使用禁止文字を指定したので、処理できません。名称を確認してから再実行してください。
31c0029	DMED1C0029: ポート内に同じ User Name があるので、処理できません。User Name を確認してから再実行してください。
31c002a	DMED1C002A: 指定した Target は未定義なので、処理できません。Target を確認してから再実行してください。
31c002b	DMED1C002B: Target セキュリティが無効なので、処理できません。Target セキュリティを有効にしてから再実行してください。
31c003a	DMED1C003A: Target セキュリティが無効なので、処理できません。Target セキュリティを有効にしてから再実行してください。
31c003b	DMED1C003B: 指定したエイリアスは Target0 のデフォルト名称なので、処理できません。エイリアスを確認してから再実行してください。
31c003c	DMED1C003C: 指定した iSCSI Name は Target0 のデフォルト名称なので、処理できません。iSCSI Name を確認してから再実行してください。

エラーコード	説明
31c003d	DMED1C003D: ポート内に同じエイリアスがあるので、処理できません。エイリアスを確認してから再実行してください。
31c003e	DMED1C003E: ポート内に同じ iSCSI Name があるので、処理できません。iSCSI Name を確認してから再実行してください。
31c003f	DMED1C003F: ポート内に同じ User Name があるので、処理できません。User Name を確認してから再実行してください。
31c0040	DMED1C0040: 指定されたホストグループ、または Target は範囲外です。ホストグループ、または Target を確認してから再実行してください。
31c0041	DMED1C0041: iSCSI ポートが接続されていないので情報を取得できません。ポートの実装状態を確認してください。
31c0042	DMED1C0042: 指定した MTU は不正です。正しい MTU を指定してください。
31c0043	DMED1C0043: 実装されているインタフェースボードに指定した MTU の値は設定できません。MTU を確認して再実行してください。
31c0044	DMED1C0044: IPv6 でリモートパスを設定しているため処理できません。リモートパスを削除してから再実行してください。
31c0045	DMED1C0045: IPv6 で iSNS 情報を設定しているため処理できません。iSNS サーバを使用しない設定にしてから再実行してください。
31c0046	DMED1C0046: 指定したポートは IPv6 状態が無効のため処理できません。IPv6 状態を有効にしてから再実行してください。
31c0047	DMED1C0047: 指定したポートは IPv6 状態が無効のため処理できません。IPv6 状態を有効にしてから再実行してください。
31c0048	DMED1C0048: 同一ポート内でリンクローカル IP アドレス、グローバル IP アドレス、デフォルトゲートウェイのいずれかが重複しています。異なるアドレスを指定してください。
31c0049	DMED1C0049: 設定できないリンクローカル IP アドレスが指定されました。指定内容を確認して、再実行してください。
31c0050	DMED1C0050: 実装されているインタフェースボードに Digest の設定はできません。インタフェースボード種別を確認して再実行してください。
31d0001	DMED1D0001: SNMP 変更中なので、処理できません。しばらくしてから再実行してください。
31e0001	DMED1E0001: サイクル時間が範囲外なので、処理できません。サイクル時間を 30 以上 3600 以下にしてから再実行してください。
31e0002	DMED1E0002: 指定したサイクル時間が最小値未満なので設定できません。サイクル時間を確認してから再実行してください。
31e0003	DMED1E0003: キューイング禁止時間が範囲外です。キューイング禁止時間を確認して再実行してください。
31e0004	DMED1E0004: 指定した機能は本装置では未サポートのため、処理できません。装置を確認してから再実行してください。
31e0010	DMED1E0010: リモートレプリケーションペアが存在するため、処理できません。ペアを解除してから再実行してください。
31e0011	DMED1E0011: リモートレプリケーションペア削除中のため、処理できません。しばらくしてから再実行してください。
31e0012	DMED1E0012: 指定されたロジカルユニットはリモートレプリケーションペアに設定済みのため、処理できません。別のロジカルユニットを指定して再実行してください。
31e0013	DMED1E0013: COW Snapshot のキャッシュブロックを解放中なので、処理できません。しばらくしてから再実行してください。
31e0014	DMED1E0014: リモートレプリケーション解錠後、アレイ装置を再起動していないため、処理できません。アレイ装置を再起動してから実行してください。

エラーコード	説明
31e0015	DMED1E0015: リモートレプリケーションおよび SnapShot 解錠後、アレイ装置を再起動していないため、処理できません。アレイ装置を再起動してから実行してください。
31e0016	DMED1E0016: リモートレプリケーションまたは SnapShot 施錠後、アレイ装置を再起動していないため、処理できません。アレイ装置を再起動してから実行してください。
31e0017	DMED1E0017: リモートレプリケーションペア状態が不正なため、処理できません。ペア状態を確認してから再実行してください。
31e0018	DMED1E0018: リモートレプリケーションまたは SnapShot を解錠または有効にしました。
31f0001	DMED1F0001: スペアドライブ動作モードを固定に設定する指示と、全きょう体のコピーバックレス許可を有効に設定する指示は、同時に指定できません。指定内容を確認して、再実行してください。
31f0002	DMED1F0002: スペアドライブ動作モードが固定に設定されているため、処理できません。指定内容を確認して、再実行してください。
31f0010	DMED1F0010: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
31f0011	DMED1F0011: 不正な IP アドレスが指定されました。IP アドレスを確認してから再実行してください。
31f0012	DMED1F0012: Syslog サーバ 1 とサーバ 2 に同じ IP アドレスが指定されたので、処理できません。IP アドレスを確認してから再実行してください。
31f0013	DMED1F0013: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
31f0014	DMED1F0014: 監査ログを内部に保存する機能が無効です。内部監査ログ機能を有効にしてから再実行してください。
31f0015	DMED1F0015: 内部保存ログがエクスポート中なので、処理できません。少し時間を空けてから再実行してください。
31f0017	DMED1F0017: ログのエクスポートに失敗したので、処理できません。しばらくしてから再実行してください。
31f0018	DMED1F0018: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
31f0019	DMED1F0019: 内部保存ログを使用中なので、処理できません。内部保存ログの状態を確認してから再実行してください。
31f001a	DMED1F001A: Syslog サーバ 1 とサーバ 2 に同じ IP アドレスが指定されたため、処理できません。IP アドレスを確認して再実行してください。
31f001b	DMED1F001B: Syslog サーバに IPv6 アドレスが設定されているため処理できません。ナビゲーターのバージョンを確認してください。
31f0020	DMED1F0020: ユーザー ID の文字数が最小値に達していません。ユーザー ID を確認してください。
31f0021	DMED1F0021: ユーザー ID に使用禁止文字が使用されています。ユーザー ID を確認してください。
31f0022	DMED1F0022: セッションタイムアウトが発生しました。再度ログインしてください。
31f0023	DMED1F0023: 操作権限がありません。アカウント管理者に連絡して、操作権限を確認してください。
31f0024	DMED1F0024: 指定したユーザー ID はすでに登録されています。別のユーザー ID を指定してください。
31f0025	DMED1F0025: 指定したユーザー ID は登録されていません。ユーザー ID を確認してください。
31f0026	DMED1F0026: ロールが割り当てられていません。ロールを割り当ててください。
31f0027	DMED1F0027: ログイン中のユーザに対する操作はできません。
31f0028	DMED1F0028: ビルトインアカウントに対する操作はできません。
31f0029	DMED1F0029: 更新権限がありません。アカウント管理者に連絡して、権限を確認してください。

エラーコード	説明
31f002a	DMED1F002A: 同時にログインできるユーザーの最大数に達しています。しばらくしてからログインしてください。
31f002b	DMED1F002B: パスワードが一致しません。パスワードを再入力してください。
31f002c	DMED1F002C: アカウントが無効なので、ログインできません。アカウント管理者に連絡して、アカウントの状態を確認してください。
31f002d	DMED1F002D: パスワードが一致しません。パスワードを確認してください。
31f002e	DMED1F002E: アカウントの登録数が最大値に達しています。不要なアカウントを削除してから登録してください。
31f002f	DMED1F002F: パスワードが最小文字数より短い長さです。パスワードの長さを確認してください。
31f0030	DMED1F0030: Password Protection と、Account Authentication は併用できません。
31f0031	DMED1F0031: NNC が実装されているため、Account Authentication を解錠または有効にできません。Fibre または iSCSI 構成にしてから再実行してください。
31f0032	DMED1F0032: セッションタイムアウト値が規定外です。セッションタイムアウトの値を確認してください。
31f0033	DMED1F0033: TrueCopy Modular Distributed が解錠されているため処理できません。施錠してから再実行してください。
31f0034	DMED1F0034: 指定した機能は解錠条件を満たしていないため、解錠できません。TrueCopy 機能を解錠または有効にしてから再実行してください。
31f0035	DMED1F0035: パーマネントキー以外が指定されたため、処理できません。パーマネントキーを指定してから再実行してください。
31f0036	DMED1F0036: リモートパスが Fibre インタフェースで定義されているため、処理できません。リモートパスを削除してから再実行してください。
31f0037	DMED1F0037: 指定した機能は解錠条件を満たしていないため、解錠できません。TrueCopy Extended Distance 機能を解錠または有効にしてから再実行してください。
31f0038	DMED1F0038: 指定した機能は解錠条件を満たしていないため、解錠できません。リモートレプリケーションを解錠または有効にしてから再実行してください。
31f0040	DMED1F0040: テンポラリキーまたはエマージェンシーキーの有効期限が切れているため処理できません。
31f0041	DMED1F0041: 指定した RAID グループに ShadowImage ペアが含まれているので処理できません。
31f0042	DMED1F0042: 指定した RAID グループにリモートレプリケーションペアが含まれているため、処理できません。
31f0043	DMED1F0043: 指定した RAID グループに、リモートレプリケーションペアが含まれているため、処理できません。
31f0044	DMED1F0044: 指定した RAID グループに COW Snapshot ペアまたは V-VOL が含まれているので処理できません。
31f0045	DMED1F0045: 指定した RAID グループにボリュームマイグレーションペアが含まれているので処理できません。
31f0048	DMED1F0048: 指定した RAID グループにフォーマット実行中の LU が含まれているので処理できません。フォーマットが完了してから再実行してください。
31f0049	DMED1F0049: 指定した RAID グループにパリティ回復が完了していない LU が含まれているので、処理できません。パリティ回復が完了してから再実行してください。
31f004a	DMED1F004A: 指定した RAID グループにデータプールが含まれているので処理できません。データプールを削除してから再実行してください。
31f004b	DMED1F004B: 指定した RAID グループに DM-LU が含まれているので処理できません。DM-LU を解除してから再実行してください。

エラーコード	説明
31f004c	DMED1F004C: 指定した RAID グループにコマンドデバイスが含まれているので処理できません。コマンドデバイスを解除してから再実行してください。
31f004d	DMED1F004D: 指定した RAID グループにシステム LU が含まれているので処理できません。システム LU を解除してから再実行してください。
31f004e	DMED1F004E: 指定した RAID グループに切り替え中の LU が含まれているので処理できません。LU の切り替えが完了してから再実行してください。
31f0051	DMED1F0051: 指定した RAID グループにシステムドライブが含まれているので処理できません。
31f0052	DMED1F0052: 指定した RAID グループにライトが完了していない LU が含まれているので、処理できません。回復してから再実行してください。
31f0053	DMED1F0053: コマンド監視中の RAID グループが存在するため、処理できません。対象の RAID グループをスピニングアップしてから再実行してください。
31f0054	DMED1F0054: 省電力状態の RAID グループがあるので処理できません。対象の RAID グループをスピニングアップしてから再実行してください。
31f0055	DMED1F0055: 省電力状態の RAID グループがあるので処理できません。対象の RAID グループをスピニングアップしてから再実行してください。
31f0056	DMED1F0056: 省電力状態の RAID グループがあるので処理できません。少し時間を空けてから再実行してください。
31f0057	DMED1F0057: 指定した RAID グループは未定義です。定義済みの RAID グループを指定してください。
31f0058	DMED1F0058: RAID グループは復旧処理中なので処理できません。対象の RAID グループをスピニングアップしてから再実行してください。
31f0059	DMED1F0059: RAID グループはヘルスチェック中なので処理できません。対象の RAID グループをスピニングアップしてから再実行してください。
31f005a	DMED1F005A: 指定した RAID グループにユーザー LU が含まれているので処理できません。ユーザー LU を解除してから再実行してください。
31f005b	DMED1F005B: 指定した RAID グループに SES ドライブが含まれているので処理できません。
31f005c	DMED1F005C: 省電力の状態が遷移中のため、処理できません。状態の遷移が完了してから再実行してください。
31f005d	DMED1F005D: 指定した RAID グループが SSD で構成されているため、処理できません。RAID グループを確認してから再実行してください。
31f005e	DMED1F005E: システムドライブを使用している RAID グループが省電力状態のため、処理できません。対象の RAID グループをスピニングアップしてから再実行してください。
31f005f	DMED1F005F: 指定した RAID グループが FMD で構成されているため、処理できません。RAID グループを確認してから再実行してください。
31f006a	DMED1F006A: 指定した RAID グループを構成している全ドライブが Dense84 きょう体に実装されていないため、処理できません。RAID グループを確認して再実行してください。
31f006b	DMED1F006B: Power Saving Plus が解錠されていないため、処理できません。解錠してから実行してください。
31f006c	DMED1F006C: Power Saving Plus の機能を使用中のため、処理できません。スピニングアップしてから再実行してください。
31f006d	DMED1F006D: スピンダウンの I/O 監視時間がドライブ電源 OFF の I/O 監視時間以上のため、処理できません。値を確認して再実行してください。
31f006e	DMED1F006E: 指定した RAID グループに統合 LU が存在するため、処理できません。統合 LU を分離してから再実行してください。
31f006f	DMED1F006F: 指示している省電力動作と異なる省電力動作を指示したため、処理できません。スピニングアップしてから再実行してください。

エラーコード	説明
31f0070	DMED1F0070: I/O 連動有効/無効が混在しているため、処理できません。I/O 連動を確認してから再実行してください。
31f0071	DMED1F0071: 指定した RAID グループはドライブ電源 OFF をサポートしていないきょう体のドライブで構成されているため、処理できません。RAID グループを確認してから再実行してください。
31f0072	DMED1F0072: Tray Power Saving が解錠されているため、処理できません。施錠してから再実行してください。
31f0073	DMED1F0073: きょう体電源 OFF が有効なきょう体が存在するため、処理できません。きょう体電源 OFF を無効にしてから再実行してください。
31f0074	DMED1F0074: Power Saving Plus が解錠されていないため、処理できません。解錠してから再実行してください。
31f0075	DMED1F0075: Dense84 きょう体以外が接続されているため、処理できません。きょう体を確認してから再実行してください。
31f0076	DMED1F0076: 接続きょう体数が 5 台以上のため、処理できません。きょう体数を確認してから再実行してください。
31f0077	DMED1F0077: Tray Power Saving が有効、かつ指定したドライブが Unit No.1~3 のきょう体に所属する、かつドライブの所属するきょう体のきょう体電源 OFF が有効であるため、処理できません。きょう体電源 OFF を無効にしてから再実行してください。
31f0078	DMED1F0078: 実装可能なきょう体数を超えるため、きょう体接続はできません。システム構成を確認してください。
31f0079	DMED1F0079: 指定したきょう体のドライブは DP RAID グループを構成しているため、処理できません。きょう体を確認して再実行してください。
31f007a	DMED1F007A: 指定したきょう体に RAID グループに所属していない実装ドライブが存在するため、処理できません。ドライブを外してから再実行してください。
31f007b	DMED1F007B: 指定したきょう体のドライブがスペアドライブとして定義されているため、処理できません。スペアドライブを解除後、ドライブを外してから再実行してください。
31f007c	DMED1F007C: 指定したきょう体の電源が OFF 状態であるため、処理できません。きょう体電源 OFF を無効にしてから再実行してください。
31f007d	DMED1F007D: 指定したきょう体は電源 OFF 処理を実行中のため、処理できません。きょう体電源 OFF を無効にしてから再実行してください。
31f007e	DMED1F007E: 指定した RAID グループを構成しているドライブが実装されているきょう体のきょう体電源 OFF が有効のため、処理できません。きょう体電源 OFF を無効にしてから再実行してください。
31f007f	DMED1F007F: アレイ装置の PS の状態が正常でないため、処理できません。状態を確認して再実行してください。
31f0080	DMED1F0080: 外部認証サーバ 1 が未定義のため処理できません。外部認証サーバ 1 の状態を確認して再実行してください。
31f0081	DMED1F0081: 外部認証サーバ 2 が未定義で、かつ外部認証サーバ 1 の IP アドレスが無効のため処理できません。外部認証サーバ 1 を確認して再実行してください。
31f0082	DMED1F0082: 外部認証サーバ 1 が未定義で、かつユーザ認証が RADIUS のユーザが存在するため、処理できません。ユーザ認証を Internal に変更してから再実行してください。
31f0083	DMED1F0083: 不正な IP アドレスが指定されました。正しい IP アドレスを指定してください。
31f0084	DMED1F0084: 外部認証サーバ 1 が未定義のため、ユーザ認証に RADIUS を指定できません。外部認証サーバ 1 を RADIUS で定義して再実行してください。
31f0085	DMED1F0085: 外部認証サーバ 1 との認証テストに失敗しました。外部認証サーバ 1 の設定や接続環境を確認してから再実行してください。

エラーコード	説明
31f0086	DMED1F0086: パスワードの文字数が範囲外のため処理できません。パスワードを確認して再実行してください。
31f0087	DMED1F0087: 外部認証サーバ 1 との認証テストに失敗しました。ユーザ ID とパスワードを確認して再実行してください。
31f0088	DMED1F0088: 外部認証サーバ 2 との認証テストに失敗しました。外部認証サーバ 2 の設定や接続環境を確認してから再実行してください。
31f0089	DMED1F0089: ユーザ認証が RADIUS のためパスワード変更できません。RADIUS サーバのパスワードを変更してください。
31f008a	DMED1F008A: 外部認証サーバとのユーザ認証がタイムアウトとなったためログインできません。外部認証サーバの設定や接続環境を確認してから再実行してください。
31f008b	DMED1F008B: 外部認証サーバとのユーザ認証がタイムアウトとなったためログインできない、または認証テストに失敗しました。外部認証サーバの設定や接続環境を確認してから再実行してください。
31f008c	DMED1F008C: 外部認証サーバとのユーザ認証に失敗したためログインできません。ユーザ ID とパスワードを確認して再実行してください。
31f008d	DMED1F008D: 外部認証サーバ 2 との認証テストに失敗しました。ユーザ ID とパスワードを確認して再実行してください。
31f008e	DMED1F008E: ユーザ ID の文字数が範囲外のため処理できません。ユーザ ID を確認して再実行してください。
31f008f	DMED1F008F: パスワードが設定されていないため、処理できません。パスワードを指定して再実行してください。
31f00a0	DMED1F00A0: ビルトインアカウントでないため、処理できません。ビルトインアカウントでログインしてから再実行してください。
31f0101	DMED1F0101: 接続テスト実行中のため、処理できません。接続テストが完了してから再実行して下さい。
31f0102	DMED1F0102: ヘルスチェック実行中のため、処理できません。ヘルスチェックが完了してから再実行して下さい。
31f0103	DMED1F0103: きょう体省電力状態がきょう体電源 OFF のため、処理できません。きょう体が電源 ON 状態になってから再実行してください。
31f0104	DMED1F0104: 指定した RAID グループを構成しているドライブが実装されているきょう体のきょう体電源 OFF が有効、かつ拡張ドライブにシステムドライブを指定しているため、処理できません。指定したドライブを確認してから再実行してください。
3200001	DMED200001: キャッシュ容量が 1GB 以下なので、処理できません。キャッシュを増設してから再実行してください。
3200002	DMED200002: このオプションは、シングルコントローラ構成ではサポートしていません。デュアルコントローラ構成で使用してください。
3200003	DMED200003: Cache Partition Manager が有効なので、SnapShot を解錠できません。Cache Partition Manager を施錠または無効にしてから再実行してください。
3200004	DMED200004: COW Snapshot の解錠後、アレイ装置を再起動していないので、Cache Partition Manager を解錠できません。アレイ装置を再起動してから実行してください。
3200005	DMED200005: キャッシュ容量が 512MB 以下なので、解錠または有効にできません。キャッシュを増設してから再実行してください。
3200006	DMED200006: キャッシュ容量が 2GB 以下のため、解錠または有効にできません。キャッシュを増設してから、再実行してください。
3200011	DMED200011: 指定した LU はリザーブ LU ではありません。リザーブ LU を指定してから再実行してください。
3200012	DMED200012: 指定したロジカルユニットはリザーブ LU です。リザーブ LU を解除するか、他のロジカルユニットを指定してから再実行してください。

エラーコード	説明
3200013	DMED200013: 指定した P-VOL と S-VOL の容量が異なります。同じ容量のロジカルユニットを指定してから再実行してください。
3200014	DMED200014: 指定した P-VOL と S-VOL の担当コントローラが異なります。同じ担当コントローラのロジカルユニットを指定してから再実行してください。
3200015	DMED200015: 指定した P-VOL と S-VOL は同じロジカルユニットです。異なるロジカルユニットを指定してから再実行してください。
3200016	DMED200016: これ以上ペアが生成できません。不要なボリュームマイグレーションペアを解除するか、中止してください。または、不要な ShadowImage のペアを解除してから実行してください。
3200017	DMED200017: 指定した P-VOL と S-VOL は同じ RAID グループです。異なる RAID グループの LU を指定してください。
3200018	DMED200018: 指定したペアが待機中またはコピー中ではないので、中止できません。
3200019	DMED200019: 指定したペアが完了またはエラーではないので、解除できません。
320001a	DMED20001A: 指定した P-VOL と S-VOL はペアではありません。ペアの P-VOL と S-VOL を指定してから再実行してください。
320001b	DMED20001B: リザーブ LU の数が最大値に達しています。不要なリザーブ LU を削除してから設定してください。
320001c	DMED20001C: 指定した LU は、ボリュームマイグレーションペアの S-VOL です。ほかの LU を指定してから再実行してください。
320001d	DMED20001D: 指定した LU はリザーブ LU ではありません。リザーブ LU を指定してから再実行してください。
320001e	DMED20001E: ボリュームマイグレーションペアの P-VOL または S-VOL が含まれているため、処理できません。ペアを解除してください。
320001f	DMED20001F: リザーブ LU が含まれているので、処理できません。リザーブ LU を削除してください。
3200020	DMED200020: ボリュームマイグレーションペアの P-VOL もしくは S-VOL, またはリザーブ LU が含まれているので、処理できません。ボリュームマイグレーションペアまたはリザーブ LU を解除してください。
3200021	DMED200021: オーナー ID が異なるので、処理できません。ペアを生成したアプリケーションで、中止してください。
3200022	DMED200022: オーナー ID が異なるので、処理できません。ペアを生成したアプリケーションで、ペアを解除してください。
3200023	DMED200023: 未サポートのオーナー ID が指定されました。
3200024	DMED200024: リザーブ LU が存在しています。リザーブ LU を削除してください。
3200025	DMED200025: ボリュームマイグレーションペアが存在しています。ペアを中止するか解除してください。
3200026	DMED200026: 指定した LU は、キャッシュパーティションの変更予約済みなので、処理できません。アレイ装置を再起動してください。
3200027	DMED200027: 管理領域が不足しているので、処理できません。不要なペアを削除してから再実行してください。
3200028	DMED200028: 指定した LU はボリュームマイグレーションペアではありません。ほかの LU を指定してから再実行してください。
3200029	DMED200029: 指定した LU はボリュームマイグレーションのコピー中です。コピーが完了してから再実行してください。
320002a	DMED20002A: 指定したペアが待機中またはコピー中でないため、コピー速度の変更はできません。
320002b	DMED20002B: 未サポートのオーナー ID が指定されました。

エラーコード	説明
320002c	DMED20002C: ボリュームマイグレーションペアの P-VOL, または S-VOL ではない LU が指定されました。ボリュームマイグレーションペアの P-VOL, または S-VOL を指定して再実行してください。
320002d	DMED20002D: 指定した P-VOL と S-VOL が同じ DP プールに所属しています。異なる DP プールに所属するロジカルユニットを指定して再実行してください。
320002e	DMED20002E: 指定した S-VOL が所属する DP プールの容量が不足しています。DP プールの容量を拡張してから再実行してください。
320002f	DMED20002F: DM-LU の容量が不足しているため、処理できません。DM-LU の容量を拡張してから再実行してください。
3200030	DMED200030: iSCSI 接続しているホスト数が有償オプション解錠または有効にできる数を超過しています。接続ホスト数を確認してから再実行してください。
3200031	DMED200031: 指定した S-VOL が処理中のため、処理できません。少し時間をあけてから再実行してください。
3200032	DMED200032: DM-LU が使用できない状態であるため、処理できません。状態を回復してから再実行してください。
3200033	DMED200033: DM-LU が所属する DP プールが閉塞しているため、処理できません。回復してから再実行してください。
3200034	DMED200034: DM-LU の容量が不足しているため、処理できません。DP プールの容量を拡張してから再実行してください。
3210001	DMED210001: 同一ホストグループで、マッピング情報が重複しています。マッピング情報を確認してください。
3210010	DMED210010: 現在処理中です。しばらくしてから再実行してください。
3210011	DMED210011: メール送信が有効なため処理できません。メール送信を無効にしてから再実行してください。
3220001	DMED220001: 指定したバッテリー数は範囲外です。バッテリー数を確認してください。
3220002	DMED220002: バッテリー数を増やすことはできません。現在設定されているバッテリー数より、小さい値を指定してください。
3220003	DMED220003: シングルコントローラ構成では、きょう体接続はできません。システム構成を確認してください。
3220004	DMED220004: 実装可能なきょう体数を超えるため、きょう体接続はできません。システム構成を確認してください。
3220005	DMED220005: コントローラまたは ENC が閉塞しているため、きょう体接続はできません。閉塞状態を回復してから再実行してください。
3220006	DMED220006: ENC ファームウェア交換中のため、きょう体接続はできません。ENC ファームウェアの交換が完了してから再実行してください。
3220007	DMED220007: 障害処理中のため、きょう体接続はできません。しばらく待ってから再実行してください。
3220008	DMED220008: 現在、きょう体接続中です。きょう体接続が完了してから再実行してください。
3220009	DMED220009: 指定したバッテリー数への減設はできません。正しいバッテリー数を指定してください。
3230001	DMED230001: マイグレーションガードが設定されているため処理できません。マイグレーションガードを解除して再実行してください。
3230002	DMED230002: マイグレーション状態がコピー開始チェック中のため処理できません。マイグレーション状態を確認して再実行してください。
3230003	DMED230003: マイグレーション状態がコピー作成準備中のため処理できません。マイグレーション状態を確認して再実行してください。
3230004	DMED230004: マイグレーション状態がコピー作成中のため処理できません。マイグレーション状態を確認して再実行してください。

エラーコード	説明
3230005	DMED230005: マイグレーション状態が移行失敗のため処理できません。マイグレーション状態を確認して再実行してください。
3230006	DMED230006: アレイ装置がオートマイグレーション中のため処理できません。マイグレーション状態を確認して再実行してください。
3230007	DMED230007: アレイ装置がオートマイグレーション中のため処理できません。マイグレーション状態を確認して再実行してください。
3230008	DMED230008: アレイ装置がオートマイグレーション中のため処理できません。マイグレーション状態を確認して再実行してください。
3230009	DMED230009: アレイ装置がオートマイグレーション中のため処理できません。マイグレーション状態を確認して再実行してください。
3230010	DMED230010: マイグレーション状態がコピー作成完了のため処理できません。マイグレーション状態を確認して再実行してください。
3230011	DMED230011: マイグレーション状態がアレイ切替中のため処理できません。マイグレーション状態を確認して再実行してください。
3230012	DMED230012: マイグレーション状態が移行完了のため処理できません。マイグレーション状態を確認して再実行してください。
3230013	DMED230013: マイグレーション状態がアレイ切替失敗のため処理できません。マイグレーション状態を確認して再実行してください。
3230014	DMED230014: マイグレーション状態が消去中のため処理できません。マイグレーション状態を確認して再実行してください。
3230015	DMED230015: マイグレーション状態が完了のため処理できません。マイグレーション状態を確認して再実行してください。
3230016	DMED230016: マイグレーション状態が失敗のため処理できません。マイグレーション状態を確認して再実行してください。
3230017	DMED230017: マイグレーション状態が移行開始前のため処理できません。マイグレーション状態を確認して再実行してください。
3230018	DMED230018: マイグレーション状態がコピー開始失敗のため処理できません。マイグレーション状態を確認して再実行してください。
3230019	DMED230019: ENC ファームウェア交換中のため実行できません。ENC ファームウェアの交換が完了してから再実行してください。
3230020	DMED230020: マイグレーション状態が消去準備中のため処理できません。マイグレーション状態を確認して再実行してください。
3230021	DMED230021: ペア状態が Split Pending の ShadowImage ペアが存在するため処理できません。ペア状態が Split Pending 以外のときに、再実行してください。
3231000	DMED231000: アレイ装置がマイグレーション中のため処理できません。マイグレーション状態を確認して再実行してください。
3231001	DMED231001: アレイ装置がオートマイグレーション中かきょう体増設されているため処理できません。オートマイグレーション中の場合はマイグレーション状態を確認して再実行してください。
3231002	DMED231002: 不正な装置 ID が指定されました。正しい装置 ID を指定してください。
3231003	DMED231003: フォーマット中のため処理できません。フォーマットが完了してから再実行してください。
3231004	DMED231004: 指定されたインタフェースボード種別が実装されていないため処理できません。インタフェースボード種別を確認して再実行してください。
3231005	DMED231005: PIN オーバ状態のため処理できません。PIN データの復旧を行ってから再実行してください。
3231006	DMED231006: ライト未完が存在するため処理できません。回復を行ってから再実行してください。

エラーコード	説明
3231007	DMED231007: DM-LU が未設定のため処理できません。DM-LU を設定してから再実行してください。
3231008	DMED231008: アレイ装置がオートマイグレーション中か、移行に失敗しているため処理できません。マイグレーション状態を確認して再実行してください。
3240001	DMED240001: 証明書および秘密鍵のチェックができませんでした。アレイ装置を再起動してから再実行してください。
3240002	DMED240002: 証明書の内容が不正です。証明書の内容を確認して再実行してください。
3240003	DMED240003: 秘密鍵が不正です。証明書の内容を確認して再実行してください。
3241001	DMED241001: 指定した RAID グループは拡張中のため処理できません。RAID グループ拡張が完了してから再実行してください。また、RAID グループ拡張が完了していても動作しない場合があります。完了していた場合は、2分以上待ってから再実行してください。
3241002	DMED241002: 拡張未実施の RAID グループに対して中止指示をすることはできません。指定した RAID グループを確認してから再実行してください。
3241003	DMED241003: 拡張中、または拡張未実施でない待機中の RAID グループに対して中止指示をすることはできません。指定した RAID グループの状態を確認して再実行してください。
3241004	DMED241004: 拡張未実施で待機中の RAID グループに対して強制中止指示をすることはできません。RAID グループ拡張を中止する場合は中止指示を実行してください。
3241005	DMED241005: RAID0 の RAID グループは拡張できません。RAID レベルを確認して再実行してください。
3241006	DMED241006: 指定した RAID グループのパリティグループ数が 1 でないため処理できません。RAID グループを確認して再実行してください。
3241007	DMED241007: 未実装、または閉塞のドライブが含まれているため、処理できません。ドライブの状態を確認して再実行してください。
3241008	DMED241008: 指定したドライブは既にスベアドライブとして定義されている、または RAID グループ内のドライブです。ドライブの状態を確認して再実行してください。
3241009	DMED241009: 指定ドライブ数が不正のため処理できません。RAID1, RAID1+0 の場合は偶数で指定してください。
324100a	DMED24100A: 指定ドライブ数が不正のため処理できません。RAID レベルの最大構成範囲内でドライブ数を指定してください。
324100b	DMED24100B: 指定したドライブと RAID グループのドライブ種別が異なるため処理できません。ドライブ種別を確認して再実行してください。
324100c	DMED24100C: 指定したドライブ容量が RAID グループの最小容量のドライブより小さいため処理できません。ドライブ容量を確認して再実行してください。
324100d	DMED24100D: ShadowImage またはリモートレプリケーションのペア状態が Simplex, Split でない、または SnapShot のペア状態が Simplex, Paired でないため処理できません。コピーが完了してから再実行してください。
324100e	DMED24100E: SnapShot のペア状態が Paired でない、またはリモートレプリケーションのペア状態が Split でないため処理できません。コピーが完了してから再実行してください。
324100f	DMED24100F: 指定した RAID グループ内にクイックフォーマット実行中の LU が存在するため、処理できません。クイックフォーマットが完了してから再実行してください。
3241010	DMED241010: 指定した RAID グループ内にパリティ回復中の LU が存在するため、処理できません。パリティ回復が完了してから再実行してください。
3241011	DMED241011: 指定した RAID グループにライト未完の LU が含まれているため、処理できません。回復を行ってから再実行してください。
3241012	DMED241012: 指定した RAID グループにボリュームマイグレーションペアが含まれているため、処理できません。ペアを解除してから再実行してください。

エラーコード	説明
3241013	DMED241013: 指定した RAID グループにボリュームマイグレーションのリザーブ LU が含まれているため、処理できません。リザーブ LU を解除してから再実行してください。
3241014	DMED241014: 指定した RAID グループ内に常駐 LU, または予約常駐 LU が存在するため、処理できません。常駐 LU, または予約常駐 LU を解除してから再実行してください。
3241015	DMED241015: 指定した RAID グループは省電力状態のため処理できません。対象の RAID グループをスピンアップしてから再実行してください。
3241016	DMED241016: 指定した RAID グループ内に LU 切り替え中の LU が存在します。少し時間をあけてから再実行してください。
3241017	DMED241017: 指定した RAID グループ内に 120TB を超える LU, または統合 LU が存在するため処理できません。LU 容量を縮小して再実行してください。
3241018	DMED241018: 指定した RAID グループ内に拡張中の LU が含まれているため、処理できません。ロジカルユニットの状態を確認して再実行してください。
3241019	DMED241019: Cache Partition Manager が有効で、SnapShot またはリモートレプリケーションを有効にした際、アレイ装置を再起動していないため、処理できません。または、キャッシュパーティションの変更予約済みのため、処理できません。アレイ装置を再起動してください。
324101a	DMED24101A: ペア状態が Split Pending の ShadowImage ペアが存在するため処理できません。Split に遷移してから再実行してください。
324101b	DMED24101B: 指定した RAID グループに縮退状態のロジカルユニットが含まれているため、処理できません。正常状態にしてから再実行してください。
3241050	DMED241050: RAID グループ拡張のため処理できません。RAID グループ拡張が完了してから再実行してください。
3241051	DMED241051: RAID グループ拡張中で LU 切り替えが発生するため、処理できません。RAID グループ拡張が完了してから再実行してください。
3250001	DMED250001: 不正な IP アドレスが指定されました。正しい IP アドレスを指定してください。
3250002	DMED250002: 不正なデフォルトゲートウェイアドレスが指定されました。正しいデフォルトゲートウェイアドレスを指定してください。
3250003	DMED250003: 管理ポートとデフォルトゲートウェイのセグメントが異なるため処理できません。正しい IP アドレスを指定してください。
3250004	DMED250004: 管理ポートに管理ポートリンクローカルと同一のアドレスを指定しているため、処理できません。異なるアドレスを指定してから再実行してください。
3250005	DMED250005: 管理ポートに保守ポートリンクローカルと同一のアドレスを指定しているため、処理できません。異なるアドレスを指定してから再実行してください。
3250006	DMED250006: 管理ポートに保守ポートと同一のアドレスを指定しているため、処理できません。異なるアドレスを指定してから再実行してください。
3250007	DMED250007: 保守ポートに管理ポートと同一のアドレスを指定しているため、処理できません。異なるアドレスを指定してから再実行してください。
3250008	DMED250008: 保守ポートに管理ポートリンクローカルと同一のアドレスを指定しているため、処理できません。異なるアドレスを指定してから再実行してください。
3250009	DMED250009: 保守ポートに保守ポートリンクローカルと同一のアドレスを指定しているため、処理できません。異なるアドレスを指定してから再実行してください。
325000a	DMED25000A: アレイ装置が処理中のため、指定された操作が実行できません。しばらくしてから再実行してください。
325000b	DMED25000B: アレイ装置が処理中のため、指定された操作が実行できません。しばらくしてから再実行してください。

エラーコード	説明
325000c	DMED25000C: 不正な IP アドレスが指定されました。正しい IP アドレスを指定してください。
325000d	DMED25000D: 不正な IP アドレスが指定されました。正しい IP アドレスを指定してください。
325000e	DMED25000E: アレイ装置の IP アドレスと指定したメールサーバの IP アドレスのプロトコルバージョン (IPv4/IPv6) が異なります。アレイ装置のプロトコルバージョンを確認して、再実行してください。
325000f	DMED25000F: アレイ装置の IP アドレスと設定されているメールサーバの IP アドレスのプロトコルバージョン (IPv4/IPv6) が異なります。アレイ装置のプロトコルバージョンを確認して、再実行してください。
3260001	DMED260001: 指定したドライブは既にスベアドライブとして定義されている、または RAID グループ内のドライブ、または DP プール内のドライブです。ドライブの状態を確認して再実行してください。
3260002	DMED260002: DP プールが存在するため、処理できません。DP プールを削除してから再実行してください。
3260003	DMED260003: 指定したロジカルユニットは DP プール内のロジカルユニットのため、処理できません。別のロジカルユニットを指定して再実行してください。
3260004	DMED260004: リモートレプリケーション、SnapShot または Dynamic Provisioning を施錠または解錠後、アレイ装置を再起動していないため、処理できません。アレイ装置を再起動してから実行してください。
3260005	DMED260005: ロジカルユニット定義数が最大値に達したため作成できません。不要なロジカルユニットを削除してから再実行してください。
3260006	DMED260006: 指定した RAID グループは DP プール内の RAID グループのため、処理できません。RAID グループを確認して再実行してください。
3260007	DMED260007: 指定したロジカルユニットに所属する DP プールの状態が正常でないため、処理できません。状態を回復してから再実行してください。
3260008	DMED260008: 指定した DP プールは定義済みです。未定義の DP プールを指定してください。
3260009	DMED260009: 指定した RAID レベルは未サポートのため、処理できません。サポートしている RAID レベルを指定して再実行してください。
326000a	DMED26000A: 指定した RAID グループは既に定義されている、または DP プールに使用されています。未定義の RAID グループを指定してください。
326000b	DMED26000B: 指定した DP プールの状態が正常または縮退でないため、処理できません。状態を回復してから再実行してください。
326000c	DMED26000C: 未サポートのドライブが実装されているため、処理できません。ドライブを交換してから再実行してください。
326000d	DMED26000D: 指定した容量のドライブは未サポートのため、処理できません。サポートするドライブに交換してから、再実行してください。
326000e	DMED26000E: 指定された DP プールは削除できません。別の DP プールを指定してください。
326000f	DMED26000F: RAID グループ定義数が最大値に達したため作成できません。不要な RAID グループを削除してから再実行してください。
3260010	DMED260010: Dynamic Provisioning を解錠後、アレイ装置を再起動していないため、処理できません。アレイ装置を再起動してから実行してください。
3260011	DMED260011: RAID レベルとドライブ数の組み合わせが適切でないため、処理できません。RAID レベルまたはドライブ数を確認してから再実行してください。
3260012	DMED260012: 指定した DP プールは未定義です。定義済みの DP プール番号を指定してから再実行してください。

エラーコード	説明
3260013	DMED260013: 指定した DP プールの状態が正常でないため、処理できません。状態を回復してから再実行してください。
3260014	DMED260014: 指定可能なドライブ数を超えています。ドライブ数を確認してください。
3260015	DMED260015: 指定した DP プールにロジカルユニットが存在するため、処理できません。DP プール内のロジカルユニットを削除してから再実行してください。
3260016	DMED260016: ドライブが復旧処理中のため、処理できません。ドライブの復旧が完了してから再実行してください。
3260017	DMED260017: ドライブファームウェア交換中のため処理できません。ドライブファームウェアの交換が完了してから再実行してください。
3260018	DMED260018: DP プール使用容量警告の初期警告値が枯渇警告値以上です。値を確認して再実行してください。
3260019	DMED260019: 仮想化超過しきい値の警告しきい値が限界しきい値以上です。値を確認して再実行してください。
326001a	DMED26001A: ドライブ種別とドライブ容量の組み合わせが適切でないため、処理できません。ドライブ種別またはドライブ容量を確認して再実行してください。
326001b	DMED26001B: 使用可能なドライブがありません。ドライブ数を確認して再実行してください。
326001c	DMED26001C: 指定したロジカルユニットは DP プール内のロジカルユニットでないため、処理できません。DP プール内のロジカルユニットを指定してから再実行してください。
326001d	DMED26001D: キャッシュメモリ容量が 2GB 以下のため、処理できません。キャッシュメモリの容量を 4GB 以上に増設してから、再実行してください。
326001e	DMED26001E: キャッシュメモリ容量が 2GB 以下のため、処理できません。キャッシュメモリの容量を 4GB 以上に増設してから、再実行してください。
326001f	DMED26001F: 指定した DP プールの使用容量の状態が枯渇警告または容量枯渇のため、処理できません。DP プールの使用容量を確認してから再実行してください。
3260020	DMED260020: 指定したドライブ番号が重複しているため、処理できません。ドライブ番号を確認してから再実行してください。
3260021	DMED260021: RAID レベルとドライブ数の組み合わせが適切でないため、処理できません。ドライブ数を確認してから再実行してください。
3260022	DMED260022: 異なるドライブ種別が指定されたため、処理できません。ドライブ種別を確認してから再実行してください。
3260023	DMED260023: パリティ回復状態が正常またはスキップでないロジカルユニットが存在するため、処理できません。正常にしてから再実行してください。
3260024	DMED260024: 指定したドライブと DP プールのドライブ種別が異なるため、処理できません。ドライブ種別を確認して再実行してください。
3260025	DMED260025: ストライプサイズとセグメントサイズの組み合わせが適切でないため、処理できません。ストライプサイズまたはキャッシュパーティションを確認して再実行してください。
3260026	DMED260026: ドライブ数とコンビネーションの組み合わせが適切でないため、処理できません。ドライブ数とコンビネーションを確認してから再実行してください。
3260027	DMED260027: DP プールの最大容量を超えるため、処理できません。不要な DP プールを削除してから再実行してください。
3260028	DMED260028: アクセスレベルが設定されているため処理できません。属性を Read/Write で、かつ S-VOL モードを有効にしてください。モードが設定されている場合は、RAID Manager で解除してから再実行してください。
3260029	DMED260029: 指定した DP プール内のロジカルユニットまたは指定したロジカルユニットが所属する DP プール内のロジカルユニットの最適化状態が通常または異常終了

エラーコード	説明
	でないため、処理できません。DP 最適化が完了してから再実行するか、DP 最適化を中止してから再実行してください。
326002a	DMED26002A: DP プール内のロジカルユニットの最適化状態が通常でないロジカルユニットが存在するため、処理できません。DP 最適化が完了してから再実行してください。最適化の状態が異常終了の場合は、最適化を中止してから再実行してください。
326002b	DMED26002B: DP 最適化を行うための容量が不足しているため、処理できません。DP 最適化が実行できる容量を DP プールに追加してから、DP 最適化を行ってください。
326002c	DMED26002C: 指定した DP プール内のロジカルユニットまたは指定したロジカルユニットが所属する DP プール内のロジカルユニットにライト未完のロジカルユニットが存在するため処理できません。回復を行ってから再実行してください。
326002d	DMED26002D: 指定した DP プール内のロジカルユニットまたは指定したロジカルユニットが所属する DP プール内のロジカルユニットの最適化状態が既に通常または中止であるため、中止を実行する必要はありません。
326002e	DMED26002E: DP プール内のロジカルユニットの最適化状態が通常でないロジカルユニットが存在するため、処理できません。DP プール内のロジカルユニットの最適化状態を確認してから再実行してください。
326002f	DMED26002F: 指定した DP プール内のロジカルユニットにライト未完のロジカルユニットが存在するため処理できません。回復を行ってから再実行してください。
3260030	DMED260030: 指定した DP プール内のロジカルユニットまたは指定したロジカルユニットが所属する DP プール内のロジカルユニットの状態が正常または縮退でないため、処理できません。ロジカルユニットの回復を行ってから再実行してください。
3260031	DMED260031: 指定した DP プールにペア状態が Simplex 以外の ShadowImage ペアが存在するため、処理できません。ペアを解除してから再実行してください。
3260032	DMED260032: 指定した DP プール内のロジカルユニットまたは指定したロジカルユニットが所属する DP プール内のロジカルユニットが PIN オーバ状態のため、処理できません。回復を行ってから再実行してください。
3260033	DMED260033: 指定したロジカルユニットの所属する DP プールの状態が閉塞であるため、処理できません。回復してから再実行してください。
3260034	DMED260034: 指定した DP プール内のロジカルユニットの状態が正常または縮退でないため、処理できません。ロジカルユニットの回復を行ってから再実行してください。
3260035	DMED260035: 指定した DP プール内のロジカルユニットが PIN オーバ状態のため、処理できません。回復を行ってから再実行してください。
3260036	DMED260036: DP の管理情報を更新中のため、処理できません。しばらくしてから再実行してください。
3260037	DMED260037: 指定した P-VOL が所属する DP プールの容量が不足しています。DP プールの容量を拡張してから再実行してください。
3260038	DMED260038: DP 容量モードの変更後、アレイ装置を再起動していないため、処理できません。アレイ装置を再起動してから実行してください。
3260039	DMED260039: DP プールの最大容量を超えるため、処理できません。アレイ装置を再起動してから実行してください。
326003a	DMED26003A: リモートレプリケーション、SnapShot または Dynamic Provisioning を施錠または解錠後、または DP 容量モード変更後、アレイ装置を再起動していないため、処理できません。アレイ装置を再起動してから実行してください。
326003b	DMED26003B: 指定した DP プールにペア状態が Simplex 以外のリモートレプリケーションペアが存在するため、処理できません。ペアを解除してから再実行してください。
326003c	DMED26003C: 指定した DP プールにペア状態が Simplex 以外のリモートレプリケーションペアが存在するため、処理できません。ペアを解除してから再実行してください。
326003d	DMED26003D: 指定した DP プールにペア状態が Simplex 以外の SnapShot ペアが存在するため、処理できません。ペアを解除してから再実行してください。

エラーコード	説明
326003e	DMED26003E: 指定した DP プールにデータプールが存在するため、処理できません。データプールを削除してから再実行してください。
326003f	DMED26003F: レプリケーションしきい値の枯渇警告値がレプリケーションデータ解放値以上のため、処理できません。値を確認して再実行してください。
3260040	DMED260040: レプリケーションデータ DP プールとして使用している SnapShot ペアが存在するため、処理できません。ペアを解除してから再実行してください。
3260041	DMED260041: 管理領域 DP プールとして使用している SnapShot ペアが存在するため、処理できません。ペアを解除してから再実行してください。
3260042	DMED260042: 指定した DP プールのレプリケーションデータを解放中のため、処理できません。しばらくしてから再実行してください。
3260043	DMED260043: 指定した DP プールの管理領域を解放中のため、処理できません。しばらくしてから再実行してください。
3260044	DMED260044: レプリケーションデータを解放中のため、処理できません。しばらくしてから再実行してください。
3260045	DMED260045: 管理領域を解放中のため、処理できません。しばらくしてから再実行してください。
3260046	DMED260046: レプリケーションデータ DP プールとして使用しているリモートレプリケーションペアが存在するため、処理できません。ペアを解除してから再実行してください。
3260047	DMED260047: 管理領域 DP プールとして使用しているリモートレプリケーションペアが存在するため、処理できません。ペアを解除してから再実行してください。
3260048	DMED260048: レプリケーションデータ解放しきい値とレプリケーション枯渇警告しきい値の差が5%以下のため、処理できません。値を確認して再実行してください。
3260049	DMED260049: Dynamic Tiering が解錠されているため処理できません。施錠してから再実行してください。
326004a	DMED26004A: 指定した機能は解錠条件を満たしていないため、解錠できません。Dynamic Provisioning 機能を解錠または有効にしてから再実行してください。
326004b	DMED26004B: 階層モードが有効の DP プールが存在するため、処理できません。階層モードを無効にするか、DP プールを削除してから再実行してください。
326004c	DMED26004C: DP RAID グループ定義数が指定されていないため、処理できません。定義数を指定して再実行してください。
326004d	DMED26004D: RAID グループ定義数が最大値に達したため作成できません。不要な RAID グループまたは DP プールを削除してから再実行してください。
326004e	DMED26004E: 指定した DP RAID グループ番号が重複しているため、処理できません。DP RAID グループ番号を確認してから再実行してください。
326004f	DMED26004F: 指定したドライブ番号が重複しているため、処理できません。ドライブ番号を確認してから再実行してください。
3260050	DMED260050: モニタ I/O 種別が指定されていないため、処理できません。モニタ I/O 種別を指定してから再実行してください。
3260051	DMED260051: 指定したロジカルユニットが所属する DP プールの階層モードが無効のため、処理できません。ロジカルユニットを確認してから再実行してください。
3260052	DMED260052: 指定した DP プールは階層モードが無効のため、処理できません。階層モードを有効にしてから再実行してください。
3260053	DMED260053: 指定した DP プールのドライブ種別、RAID レベルまたは HDU コンビネーションが混在しているため、処理できません。DP プールを削除してから、再度作成してください。
3260054	DMED260054: 指定した DP プールに複数の階層が存在するため、処理できません。DP プールを削除してから、再度作成してください。

エラーコード	説明
3260055	DMED260055: 指定した DP プールにチャンクサイズが 1GB でない DP RAID グループが含まれているため、処理できません。DP プールを削除してから、再度作成してください。
3260056	DMED260056: 指定した DP プールのモニター採取状態がモニターデータ削除中のため、処理できません。処理が完了してから再実行してください。
3260057	DMED260057: ドライブ種別、RAID レベルまたは HDU コンビネーションが混在するため、処理できません。指定内容を確認して、再実行してください。
3260058	DMED260058: 階層の最大数を超えるため、処理できません。指定したドライブ種別を確認して再実行してください。
3260059	DMED260059: RAID レベルが混在するため、処理できません。指定内容を確認して、再実行してください。
326005a	DMED26005A: HDU コンビネーションが混在するため、処理できません。指定内容を確認して、再実行してください。
326005b	DMED26005B: モニター採取状態が採取中または停止中(データ有効)でないため、処理できません。モニター採取状態を確認してから再実行してください。
326005c	DMED26005C: 自動実行モードが無効のため、処理できません。自動実行モードを有効にしてから再実行してください。
326005d	DMED26005D: 自動実行モードが有効のため、処理できません。自動実行モードを無効にしてから再実行してください。
326005e	DMED26005E: モニター採取状態がモニターデータ削除中のため、処理できません。処理が完了してから再実行してください。
326005f	DMED26005F: モニター採取状態が障害回復中のため、処理できません。処理が完了してから再実行してください。
3260060	DMED260060: モニター採取状態が採取中のため、処理できません。処理が完了してから再実行してください。
3260061	DMED260061: ワイドストライピングモードまたは全容量割当モードを有効にする場合は、DP プール内の全ロジカルユニット実行を同時に指定できません。指定内容を確認して、再実行してください。
3260062	DMED260062: Dynamic Tiering の管理情報を更新中のため、処理できません。しばらくしてから再実行してください。
3260063	DMED260063: 指定した DP プールが SSD で構成されているため、処理できません。DP プールを削除してから、再度作成してください。
3260064	DMED260064: 指定したロジカルユニットが所属する DP プールの SSD 以外のドライブ容量が不足しているため、処理できません。一時的に不足している場合は、しばらくしてから再実行してください。解決しない場合、DP プールの容量を拡張してください。
3260065	DMED260065: 指定したロジカルユニットが所属する DP プールの SSD 以外のドライブ容量が不足しているため、処理できません。DP プールの容量を拡張してから再実行してください。
3260066	DMED260066: 指定した DP プールに階層が 1 つしか存在しないため、処理できません。複数の階層にしてから再実行してください。
3260067	DMED260067: モニター採取状態が停止中(データ無効)であるため、処理できません。DP プールモニターを開始してから再実行してください。
3260068	DMED260068: モニター採取状態がリセット中であるため、処理できません。リセット完了後、DP プールモニターを開始してから再実行してください。
3260069	DMED260069: 指定したロジカルユニットは自動 DP 最適化が有効なため、処理できません。自動 DP 最適化を無効にしてから再実行してください。
326006a	DMED26006A: DP 容量モードのカレント値と設定値が異なるため、処理できません。メモリ再構築を実行するか、アレイ装置を再起動してから再実行してください。

エラーコード	説明
326006b	DMED26006B: DP プールの最大容量を超えるため、処理できません。メモリ再構築を実行するか、アレイ装置を再起動してから再実行してください。
326006c	DMED26006C: DP 容量モードの変更後、アレイ装置を再起動していないまたは、メモリ再構築を実行していないため処理できません。アレイ装置を再起動するか、メモリ再構築を実行してから再実行してください。
326006d	DMED26006D: DP プールの最大容量を超えるため、処理できません。不要な DP プールを削除または縮小するか、DP 容量モードを最大容量に変更してから再実行してください。
326006e	DMED26006E: 指定したロジカルユニットが所属する DP プールのチャンクサイズが 1GB の階層の容量が不足しているため、処理できません。一時的に不足している場合は、しばらくしてから再実行してください。解決しない場合、DP プールの容量を拡張してください。
326006f	DMED26006F: 指定したロジカルユニットが所属する DP プールのチャンクサイズが 1GB の階層の容量が不足しているため、処理できません。DP プールの容量を拡張してから再実行してください。
3260070	DMED260070: 指定した DP RAID グループは指定した DP プールに存在しないため、処理できません。DP RAID グループを確認して再実行してください。
3260071	DMED260071: DP プール内の DP RAID グループをすべて削除することはできません。DP プールを削除してください。
3260072	DMED260072: DP プール縮小は中止できない状態です。DP プール縮小が完了するまで待ってください。
3260073	DMED260073: DP プールの容量を縮小中のため、処理できません。処理が完了してから再実行してください。
3260074	DMED260074: 指定した DP プールのレプリケーション使用率が 0 以外の場合、SnapShot ペアまたはリモートレプリケーションペアが存在するため、処理できません。ペアを解除してから再実行してください。
3260075	DMED260075: DP プールの容量を縮小中のため、処理できません。処理が完了してから再実行してください。
3260076	DMED260076: 指定した DP プールに SSD が含まれているため、処理できません。DP プールを削除してから、再度作成する、または SSD で構成されている DP RAID グループを削除してください。
3260077	DMED260077: DP プール縮小を開始していないため中止できません。DP プールの状態を確認して再実行してください。
3260078	DMED260078: 縮小中の DP プールが存在するため、処理できません。DP プールの縮小が完了してから再実行してください。
3260079	DMED260079: DP プールの容量を縮小中のため、処理できません。処理が完了してから再実行してください。
326007a	DMED26007A: 指定した DP プールに SSD または FMD が含まれているため、処理できません。DP プールを削除してから、再度作成する、または、SSD または FMD で構成されている DP RAID グループを削除してください。
3260080	DMED260080: レプリケーションデータ解放しきい値を超えるため、処理できません。DP プールの容量を拡張するか、レプリケーションデータを使用しているペアを解除してください。またはしきい値を変更してから再実行してください。
3270000	DMED270000: 設定を有効にするには有償オプションのメモリ再構築が必要です。
3270001	DMED270001: メモリ再構築中のため処理できません。メモリ再構築が完了してから再実行してください。
3270002	DMED270002: メモリ再構築が失敗したため処理できません。障害要因を取り除いて、メモリ再構築を再実行するかまたは、アレイ装置を再起動してください。

エラーコード	説明
3270003	DMED270003: データプールを使用するオプションを解錠または有効後、アレイ装置を再起動していないまたは、メモリ再構築を実行していないため処理できません。アレイ装置を再起動するか、メモリ再構築を実行してから再実行してください。
3270004	DMED270004: データプールを使用するオプションまたは Dynamic Provisioning を解錠、施錠、有効または、無効後、アレイ装置を再起動していないまたは、メモリ再構築を実行していないため処理できません。アレイ装置を再起動するか、メモリ再構築を実行してから再実行してください。
3270005	DMED270005: Dynamic Provisioning を解錠または有効後、アレイ装置を再起動していないまたは、メモリ再構築を実行していないため処理できません。アレイ装置を再起動するか、メモリ再構築を実行してから再実行してください。
3270006	DMED270006: データプールを使用するためのメモリ再構築が失敗したため処理できません。障害要因を取り除いて、メモリ再構築を再実行するかまたは、アレイ装置を再起動してください。
3270007	DMED270007: Dynamic Provisioning を使用するためのメモリ再構築が失敗したため処理できません。障害要因を取り除いて、メモリ再構築を再実行するかまたは、アレイ装置を再起動してください。
3270008	DMED270008: メモリ再構築が完了しているため、メモリ再構築を実行する必要はありません。
3270009	DMED270009: すでにメモリ再構築中です。実行する場合は、メモリ再構築が完了してから、再実行してください。
327000a	DMED27000A: ShadowImage のペア状態が Synchronizing, Split Pending, または Paired Internally Synchronizing のペアまたは、ボリュームマイグレーションのコピー中のため処理できません。コピーが完了してから再実行してください。
327000b	DMED27000B: SnapShot のペア状態が Synchronizing のため、処理できません。コピーが完了してから再度実行してください。
327000c	DMED27000C: メモリ再構築を開始していないため中断できません。
327000d	DMED27000D: メモリ再構築は中断できない状態です。メモリ再構築が完了するまで待ってください。
327000e	DMED27000E: フォーマット中の DP プールが存在するため処理できません。フォーマットが完了してから再実行してください。
327000f	DMED27000F: 常駐 LU の容量が大きいためメモリ再構築ができません。常駐 LU を解除するか、または常駐 LU の容量を小さくしてから、アレイ装置を再起動してください。なお、現状の設定でアレイ装置を再起動すると常駐 LU は解除されて立ち上がります。
3270010	DMED270010: DP プールの容量が不足している、または DP プール使用容量警告の枯渇警告値を超えているため、処理できません。DP プールの容量を拡張するか、DP プール使用容量警告の枯渇警告値を変更してから再実行してください。
3270011	DMED270011: 指定したロジカルユニットは全容量割当モードが有効なため、処理できません。全容量割当モードを無効にしてから再実行してください。
3270012	DMED270012: 指定したロジカルユニットは全容量割当モードの処理中であるため、処理できません。処理が完了してから再実行してください。
3270013	DMED270013: 指定した DP プールに全容量割当モードの処理中のロジカルユニットが存在するため、処理できません。処理が完了してから再実行してください。
3270014	DMED270014: ワイドストライピングモードと全容量割当モードを同時に有効にすることはできません。ワイドストライピングモードまたは全容量割当モードを無効にしてから再実行してください。
3270015	DMED270015: 指定した P-VOL と S-VOL の全容量割当モードが異なります。同じ全容量割当モードのロジカルユニットを指定してから再実行してください。
3270016	DMED270016: 指定したロジカルユニットとデータプールの全容量割当モードが異なるため、処理できません。全容量割当モードを確認して、再実行してください。

エラーコード	説明
3270017	DMED270017: 指定した DP プールは容量が不足しているため、処理できません。全容量割当モードを無効にするか、DP プールのフォーマットが完了してから再実行してください。
3270018	DMED270018: 指定したロジカルユニットが所属する DP プールは容量が不足しているため、全容量割当モードを有効にできません。指定したロジカルユニットが所属する DP プールのフォーマットが完了してから再実行してください。
3270019	DMED270019: 指定したロジカルユニットが所属する DP プールが仮想化超過しきい値の限界しきい値以上になるため、処理できません。DP プールの容量を拡張してから再実行してください。
327001a	DMED27001A: Dynamic Provisioning を解錠、施錠、有効または、無効後、アレイ装置を再起動していないまたは、メモリ再構築を実行していないため処理できません。アレイ装置を再起動するか、メモリ再構築を実行してから再実行してください。
327001b	DMED27001B: Dynamic Tiering を解錠、施錠、有効または、無効後、アレイ装置を再起動していないまたは、メモリ再構築を実行していないため処理できません。アレイ装置を再起動するか、メモリ再構築を実行してから再実行してください。
327001c	DMED27001C: Dynamic Tiering を解錠または有効後、アレイ装置を再起動していないまたは、メモリ再構築を実行していないため処理できません。アレイ装置を再起動するか、メモリ再構築を実行してから再実行してください。
327001d	DMED27001D: Dynamic Tiering を使用するためのメモリ再構築が失敗したため処理できません。障害要因を取り除いて、メモリ再構築を再実行するかまたは、アレイ装置を再起動してください。
327001e	DMED27001E: Dynamic Tiering を解錠または有効後、アレイ装置を再起動していないため、処理できません。アレイ装置を再起動してから実行してください。
3280000	DMED280000: マスター認証鍵のバックアップ情報を生成しました。
3280001	DMED280001: 認証鍵が更新中のため、処理できません。更新が完了してから再実行してください。
3280004	DMED280004: SAS(SED)ドライブが実装されています。SAS(SED)ドライブを外してから再実行してください。
3280005	DMED280005: 鍵情報の整合性エラーが発生しました。指定した内容を確認して再実行してください。
3280006	DMED280006: マスター認証鍵のバックアップが失敗しました。しばらくしてから再実行してください。
3280007	DMED280007: 閉塞の SAS(SED)ドライブが存在するため、処理できません。回復してから再実行してください。
3280009	DMED280009: ドライブ種別が SAS(SED)の RAID グループがあるため、処理できません。RAID グループを削除してから再実行してください。
328000a	DMED28000A: ドライブ種別が SAS(SED)の DP プールがあるため、処理できません。DP プールを削除してから再実行してください。
328000b	DMED28000B: ドライブ種別が SAS(SED)のスペアドライブがあるため、処理できません。スペアドライブを解除してから再実行してください。
328000c	DMED28000C: 指定したパスワードまたはリストア情報が不正です。指定した内容を確認して再実行してください。
328000d	DMED28000D: 指定したリストア情報が不正です。指定した内容を確認して再実行してください。
328000e	DMED28000E: マスター認証鍵のバックアップが失敗しました。しばらくしてから再実行してください。
328000f	DMED28000F: SED 認証中のドライブが存在します。認証が完了してから再実行してください。
3280010	DMED280010: RAID グループ内のドライブに未実装、または閉塞の SAS(SED)ドライブが含まれているため、処理できません。回復してから再実行してください。

エラーコード	説明
3280011	DMED280011: DP プール内のドライブに未実装, または閉塞の SAS(SED)ドライブが含まれているため, 処理できません。回復してから再実行してください。
3280012	DMED280012: スベアドライブに未実装, または閉塞の SAS(SED)ドライブが含まれているため, 処理できません。回復してから再実行してください。
3280013	DMED280013: 指定したファイルのシリアル番号が装置と異なるため, 処理できません。ファイル名を確認してから再実行してください。
3280014	DMED280014: 指定したファイルのリストア情報が装置の情報よりも古いため, 処理できません。ファイル名を確認してから再実行してください。
3280015	DMED280015: ダミーファイルが指定されたため, 処理できません。ファイル名を確認してから再実行してください。
3280016	DMED280016: SED 認証が未実施のため, 処理できません。マスター認証鍵をリストアしてから再実行してください。
3280050	DMED280050: 指定したドライブに暗号化が有効なドライブが存在するため, 処理できません。鍵の割り当てを解除するか, 暗号化が無効なドライブを指定してから再実行してください。
3280051	DMED280051: 指定したドライブに暗号化鍵削除中のドライブが含まれているため, 処理できません。暗号化が無効なドライブを指定するか, しばらくしてから再実行してください。
3280052	DMED280052: 暗号化鍵作成中, または削除中のため, 処理できません。しばらくしてから再実行してください。
3280053	DMED280053: 暗号化の状態が異なるため, 統合できません。暗号化の状態を確認して再実行してください。
3280054	DMED280054: I/O モジュール(ドライブ)が Data At Rest Encryption に対応していないため, 処理できません。I/O モジュール(ドライブ)を交換してから, 再実行してください。
3280055	DMED280055: 暗号化鍵のバックアップ情報を生成しました。
3280056	DMED280056: 指定したドライブと RAID グループの暗号化の状態が異なるため, 処理できません。ドライブの暗号化の状態を確認して再実行してください。
3280057	DMED280057: パスワードの文字数が範囲外のため, 処理できません。パスワードを確認して再実行してください。
3280058	DMED280058: 暗号化が有効なドライブが存在するため, 処理できません。ドライブの鍵の割り当てを解除してから再実行してください。
3280059	DMED280059: 暗号化鍵の最大数を超えるため, 処理できません。暗号化鍵数を確認して再実行してください。
328005a	DMED28005A: 指定したドライブに暗号化が有効なドライブが存在するため, 処理できません。暗号化の状態を確認して再実行してください。
328005b	DMED28005B: 指定したドライブは, 暗号化が有効な RAID グループ, または DP プール内の閉塞しているドライブではありません。指定したドライブを確認して再実行してください。
328005c	DMED28005C: 暗号化鍵が不足しているため, 処理できません。暗号化鍵を作成して再実行してください。
328005d	DMED28005D: 障害処理中のため, 処理できません。しばらくしてから再実行してください。
328005e	DMED28005E: 指定したドライブに鍵未割り当てのドライブが存在するため, 処理できません。暗号化の状態を確認して再実行してください。
328005f	DMED28005F: 暗号鍵が使用可能状態でないため, 処理できません。暗号化環境を設定してから再実行してください。
3280060	DMED280060: 鍵作成場所が設定されているため, 処理できません。鍵作成場所の設定を解除してから再実行してください。

エラーコード	説明
3280061	DMED280061: 指定した RAID グループと DM-LU が所属する RAID グループの暗号化の状態が異なるため、処理できません。RAID グループを確認して再実行してください。
3280062	DMED280062: 指定した情報では、現在の環境から変更されません。指定した情報を確認して再実行してください。
3280063	DMED280063: パスワードに使用禁止文字が指定されたため、処理できません。パスワードを確認して再実行してください。
3280064	DMED280064: 暗号化鍵のバックアップが失敗しました。バックアップを再実行してください。
3280065	DMED280065: 暗号化鍵のバックアップが失敗しました。バックアップを再実行してください。
3280066	DMED280066: 暗号化鍵が変更されたため、処理できません。バックアップを再実行してください。
3280067	DMED280067: 暗号化鍵バックアップファイルのサイズが不一致のため、処理できません。ファイルを確認してから再実行してください。
3280068	DMED280068: 指定した暗号化鍵バックアップファイルは装置の情報よりも古いため、処理できません。ファイルを確認してから再実行してください。
3280069	DMED280069: 指定した暗号化鍵バックアップファイルは異なる装置のファイルのため、処理できません。ファイルを確認してから再実行してください。
328006a	DMED28006A: 指定した暗号化鍵バックアップファイルまたはパスワードが不正のため、処理できません。ファイルまたはパスワードを確認して再実行してください。
328006b	DMED28006B: 暗号化鍵作成場所が設定されていない、かつ暗号化鍵バックアップ先/リストア元がファイルまたは鍵管理サーバのため、処理できません。暗号化鍵作成場所と暗号化鍵バックアップ先/リストア元を確認して再実行してください。
328006c	DMED28006C: 暗号化鍵バックアップ先/リストア元にファイルが設定されているため、処理できません。暗号化鍵バックアップ先/リストア元を確認して再実行してください。
328006d	DMED28006D: IP アドレスまたはホスト名が指定されていないため、処理できません。IP アドレスまたはホスト名を指定して再実行してください。
328006e	DMED28006E: 指定した鍵管理サーバ内バックアップ鍵が不正のため、処理できません。鍵管理サーバ内バックアップ鍵を確認して再実行してください。
328006f	DMED28006F: 指定した鍵管理サーバ内バックアップ鍵のサイズが不一致のため、処理できません。鍵管理サーバ内バックアップ鍵を確認してから再実行してください。
3280070	DMED280070: 指定した鍵管理サーバ内バックアップ鍵は装置の情報よりも古いため、処理できません。鍵管理サーバ内バックアップ鍵を確認してから再実行してください。
3280071	DMED280071: 指定した鍵管理サーバ内バックアップ鍵は異なる装置のバックアップ鍵のため、処理できません。鍵管理サーバ内バックアップ鍵を確認してから再実行してください。
3280072	DMED280072: 暗号化環境が有効化中、または無効化中のため、処理できません。暗号化環境が有効、または無効になったのを確認してから再実行してください。
3290000	DMED290000: マイグレーション状態がチェック実行中、またはアレイ切替中のため処理できません。しばらくしてから再実行してください。
3290001	DMED290001: マイグレーション状態がアレイ切替可でないため処理できません。アレイ切替可否チェックを行ってから再実行してください。
3290002	DMED290002: マイグレーションモードがマイグレーションのため、処理できません。マイグレーションが完了してから再実行してください。
3290003	DMED290003: リモートパスが未定義のため処理できません。リモートパスを設定してから再実行してください。
3290004	DMED290004: 未サポート装置に対してリモートパスが設定されているため処理できません。装置を確認してから再実行してください。

エラーコード	説明
3300001	DMED300001: パス情報およびペア情報が存在しないので、シリアル番号または装置 ID を変更できません。
3300002	DMED300002: パス情報およびペア情報が存在しないので、シリアル番号または装置 ID を変更できません。
3300005	DMED300005: シリアル番号または装置 ID が不正です。0~9 の範囲で指定してください。
3300006	DMED300006: 不正なシリアル番号または装置 ID が指定されました。正しいシリアル番号または装置 ID を指定してください。
3300007	DMED300007: 不正なシリアル番号または装置 ID が指定されました。正しいシリアル番号または装置 ID を指定してください。
3300008	DMED300008: シリアル番号または装置 ID の下位 6 桁に「0」が指定されました。正しいシリアル番号または装置 ID を指定してください。
3300009	DMED300009: 自装置と同じシリアル番号または装置 ID が指定されました。相手装置のシリアル番号または装置 ID を指定してください。
330000a	DMED30000A: 自装置と同じ装置 ID が指定されました。相手装置の装置 ID を指定してください。
330000b	DMED30000B: ファイバチャネルポートが実装されていないので、処理できません。ポート種別を確認してから再実行してください。
330000c	DMED30000C: シリアル番号または装置 ID の上位 1 桁に現在の値と異なる値が指定されました。正しいシリアル番号または装置 ID を指定してください。
330000d	DMED30000D: 指定した装置 ID がリモートレプリケーションペア、リモートパス、リモートポート CHAP 情報 (Target 情報) に設定されていないため処理できません。装置 ID を確認してから再実行してください。
330000e	DMED30000E: 変更前後の装置 ID が同じです。正しい装置 ID を指定してください。
33b0011	DMED3B0011: ダウングレードしたバージョンで未サポートのインタフェースボードが実装されているためダウングレードできません。本インタフェースボードに対応するファームウェアで実行してください。
33b0012	DMED3B0012: 64KB 以上のセグメントサイズが設定されているので、マイクロコードをダウングレードできません。キャッシュパーティションを確認してから再実行してください。
33b0013	DMED3B0013: 64KB 以外のストライプサイズが設定されているので、マイクロコードをダウングレードできません。LU のストライプサイズを確認してから再実行してください。
33b0014	DMED3B0014: リモートレプリケーションが解錠されているためダウングレードできません。リモートレプリケーションを施錠してから再実行してください。
33b0015	DMED3B0015: データプールを使用するオプションを解錠または有効後、アレイ装置を再起動していないので、ダウングレードできません。アレイ装置を再起動してから実行してください。
33b0016	DMED3B0016: Target または CHAP User が初期化されていないのでダウングレードできません。Target および CHAP User を初期化してから再実行してください。
33b0018	DMED3B0018: ShadowImage の S-VOL に MU No. が 0 以外のペアが存在するのでダウングレードできません。MU No. が 0 以外のペアを解除してから再実行してください。
33b0019	DMED3B0019: SnapShot ロジカルユニットに MU No. が 14 以上のペアが存在するためダウングレードできません。MU No. が 14 以上のペアを解除してから再実行してください。
33b001a	DMED3B001A: 15 個以上の SnapShot ロジカルユニットを持つ P-VOL が存在するためダウングレードできません。SnapShot ロジカルユニットを削除して、14 個以下にしてから再実行してください。
33b001b	DMED3B001B: リモートレプリケーションのペアにユーザ LU が使用されているため、ダウングレードできません。ペアを解除してから再実行してください。

エラーコード	説明
33b001c	DMED3B001C: ボリュームマイグレーションした LU が存在するため、ダウングレードできません。再度ボリュームマイグレーションしてください。
33b001d	DMED3B001D: Volume Migration が解錠されているのでダウングレードできません。施錠してから実行してください。
33b001e	DMED3B001E: リモートレプリケーションが解錠されています。施錠してから実行してください。
33b001f	DMED3B001F: Account Authentication が解錠されているのでダウングレードできません。施錠してから実行してください。
33b0020	DMED3B0020: Power Saving が解錠されています。施錠してから実行してください。
33b0021	DMED3B0021: NNctype2 が実装されているため、ダウングレードできません。構成を確認してください。
33b0022	DMED3B0022: 現在接続されている相手装置に対してリモートパスが設定されているため処理できません。リモートパスを削除してから再実行してください。
33b0023	DMED3B0023: 8Gbps ファイバインタフェースボードが実装されているためダウングレードできません。本インタフェースボードに対応するファームウェアで実行してください。
33b0024	DMED3B0024: 現在接続されている相手装置に対してリモートパスが設定されているため処理できません。リモートパスを削除してから再実行してください。
33b0025	DMED3B0025: 現在接続されている相手装置に対してリモートパスが設定されているため処理できません。リモートパスを削除してから再実行してください。
33b0100	DMED3B0100: ファームウェア交換中のため処理できません。しばらくしてから再実行してください。
33b0101	DMED3B0101: ファームウェア交換中のため処理できません。しばらくしてから再実行してください。
33b0102	DMED3B0102: システムドライブのドライブ種別が不明なため、ダウンロードできません。SAS または SATA のドライブに交換してから再実行してください。
33b0103	DMED3B0103: コントローラ 1 からファームウェア交換することはできません。ファームウェア交換は、コントローラ 0 から実施してください。もしくは、ファームウェア交換中に装置が再起動された可能性があります。コントローラ間でファームウェアレビジョンが異なる場合は、再度ファームウェア交換を実行してください。
33b0104	DMED3B0104: もう一方のコントローラのファームウェア交換が完了せず、ホストからのアクセスを受け付けるようになっていないため、ファームウェア交換を実行できません。再度、もう一方のコントローラのファームウェア交換を実行し、完了してからこのコントローラのファームウェア交換を実行してください。
33b0106	DMED3B0106: ShadowImage I/O 切り替えモードが有効、かつ P-VOL を共有する I/O 切り替え対象ペアにペア状態が Paired のペアが存在するためダウングレードできません。ShadowImage I/O 切り替えモードを無効にするか、ペア状態を Paired 以外にしてから再実行してください。
33b0107	DMED3B0107: ダウングレードしたバージョンで未サポートのインタフェースボードが実装されているためダウングレードできません。本インタフェースボードに対応するファームウェアで実行してください。
33b0108	DMED3B0108: ストアデータ削除中のため、ファームウェア交換できません。処理が完了してから再実行してください。
33b0109	DMED3B0109: Side Card が閉塞しているため、処理できません。Side Card の回復を行ってから再実行してください。
33b010a	DMED3B010A: ダウングレードしたバージョンで未サポートのインタフェースボードが実装されているためダウングレードできません。本インタフェースボードに対応するファームウェアで実行してください。
33b010b	DMED3B010B: シングルコントローラ構成のため、ダウングレードできません。デュアルコントローラ構成にしてから再実行してください。

エラーコード	説明
33b010c	DMED3B010C: Dense84 きょう体の PS の状態が正常でないため、処理できません。状態を回復してから再実行してください。
33b010d	DMED3B010D: Dense84 きょう体のファンの状態が正常でないため、処理できません。状態を回復してから再実行してください。
33b010e	DMED3B010E: ダウングレードしたバージョンで未サポートのキャッシュメモリが実装されているためダウングレードできません。本キャッシュメモリに対応するファームウェアで実行してください。
33b010f	DMED3B010F: I/O 連動有効で省電力状態の RAID グループが存在するため、処理できません。スピンアップしてから再実行してください。
33b0110	DMED3B0110: DP 最適化実行中のロジカルユニットが存在するため、ダウングレードできません。DP 最適化が完了してから再実行してください。
33b0111	DMED3B0111: 状態がチェック未実施以外のため、ダウングレードできません。アレイ装置を再起動してから実行してください。
33b0201	DMED3B0201: Data Retention Utility が解錠されています。施錠してから実行してください。
33b0301	DMED3B0301: ENC ファームウェアのダウンロード処理が失敗しました。閉塞しているコントローラを交換してから、再実行してください。
33c1101	DMED3C1101: リモートレプリケーションが解錠されているためダウングレードできません。リモートレプリケーションを施錠してから再実行してください。
33c1164	DMED3C1164: ダウングレードしたバージョンで未サポートのコントローラが実装されているためダウングレードできません。本コントローラに対応するファームウェアで実行してください。
33c1211	DMED3C1211: RAID グループ拡張中または、統合 LU を含む RAID グループ拡張を実行したためダウングレードできません。RAID グループ拡張が完了してから再実行してください。
33c1212	DMED3C1212: ペア状態が Split Pending または Paired Internally Synchronizing の ShadowImage ペアが存在するためダウングレードできません。ペア状態が Split、または Paired に遷移してから再実行してください。
33c1214	DMED3C1214: Dense きょう体が接続されているためダウングレードできません。Dense きょう体を外してから再実行するか、別のファームウェアで実行してください。
33c1215	DMED3C1215: ShadowImage ペアの S-VOL がフォーマット中のため、ダウングレードできません。フォーマットが完了してから再実行してください。
33c1216	DMED3C1216: リモートレプリケーションが解錠されているためダウングレードできません。リモートレプリケーションを施錠してから再実行してください。
33c1217	DMED3C1217: Distributed モードが Hub のためダウングレードできません。Distributed モードを Edge にしてから再実行してください。
33c1218	DMED3C1218: Dynamic Provisioning が解錠されているためダウングレードできません。Dynamic Provisioning を施錠してから再実行してください。
33c1219	DMED3C1219: ユーザ認証が RADIUS のユーザが存在するため、ダウングレードできません。ユーザ認証が RADIUS のユーザを削除してから再実行してください。
33c121a	DMED3C121A: アカウント登録数がダウングレードしたバージョンの最大サポート数を超えているため、ダウングレードできません。アカウント登録数を確認してから再実行してください。
33c121b	DMED3C121B: DP プール内のロジカルユニットを使用したコマンドデバイスが存在するため、ダウングレードできません。DP プール内のロジカルユニットを使用したコマンドデバイスを解除してから再実行してください。
33c121c	DMED3C121C: DP プール内のロジカルユニットを使用した DM-LU が存在するため、ダウングレードできません。DP プール内のロジカルユニットを使用した DM-LU を解除してから再実行してください。

エラーコード	説明
33c121e	DMED3C121E: Tape Replication が解錠されているためダウングレードできません。Tape Replication を施錠してから再実行してください。
33c121f	DMED3C121F: アレイ装置に実装されているドライブ数がダウングレードしたバージョンの最大サポート数を超えているため、ダウングレードできません。ドライブを外してから再実行するか、別のファームウェアで実行してください。
33c1220	DMED3C1220: DP プール内のロジカルユニットを使用したボリュームマイグレーションペアが存在するためダウングレードできません。ペアを解除してから再実行してください。
33c1221	DMED3C1221: DP 最適化実行中のためダウングレードできません。DP 最適化が完了してから再実行してください。最適化の状態が異常終了の場合は、最適化を中止してから再実行してください。
33c1222	DMED3C1222: SSD が実装されているためダウングレードできません。SSD を外してから再実行するか、別のファームウェアで実行してください。
33c1223	DMED3C1223: Dense きょう体接続数がダウングレードしたバージョンの最大サポート数を超えているため、ダウングレードできません。Dense きょう体を外してから再実行するか、別のファームウェアで実行してください。
33c1224	DMED3C1224: DP の管理情報を更新中のため、ダウングレードできません。しばらくしてから再実行してください。
33c1225	DMED3C1225: アドバンスドセキュリティモードが有効のため、ダウングレードできません。アドバンスドセキュリティモードを無効にしてから再実行してください。
33c1227	DMED3C1227: Dense きょう体に SAS ドライブが実装されているため、ダウングレードできません。SAS ドライブを外してから再実行するか、別のファームウェアで実行してください。
33c1228	DMED3C1228: リモートパスで H/W レビジョン 0200 の装置と接続されているため、ダウングレードできません。リモートパスを削除してから再実行してください。
33c1229	DMED3C1229: DP プール内のロジカルユニットがデータプールに存在するため、ダウングレードができません。データプールを削除してから再実行してください。
33c122a	DMED3C122A: DP プール内のロジカルユニットが SnapShot ペアであるため、ダウングレードできません。ペアを解除してから再実行してください。
33c122b	DMED3C122B: DP プール内のロジカルユニットがリモートレプリケーションペアであるため、ダウングレードできません。ペアを解除してから再実行してください。
33c122c	DMED3C122C: SAS7K ドライブが実装されているため、ダウングレードできません。SAS7K ドライブを外してから再実行するか、別のファームウェアで実行してください。
33c122d	DMED3C122D: 本装置をサポートしていないファームウェアのため、ダウングレードできません。本装置をサポートしたファームウェアで再実行してください。
33c122e	DMED3C122E: メモリ再構築中または、メモリ再構築が失敗したためダウングレードできません。メモリ再構築が完了するか、メモリ再構築失敗の場合は、障害要因を取り除いてから再実行してください。
33c122f	DMED3C122F: DP 容量モードが最大容量に設定されているためダウングレードできません。DP 容量モードを通常容量に変更してから再実行してください。
33c1230	DMED3C1230: P-VOL を共有する ShadowImage ペアにおいて、2 つ以上のペアの状態が Paired, Synchronizing, Paired Internally Synchronizing, または Split Pending であるためダウングレードできません。コピーを続けるペアを 1 つだけ選び、残りのペアを分割してから再実行してください。
33c1231	DMED3C1231: P-VOL を共有する ShadowImage ペアにおいて、ペア状態が Failure(S-VOL Switch)のペアが存在するためダウングレードできません。Failure(S-VOL Switch)と同じ P-VOL を共有する ShadowImage ペアを全て解除してから再実行してください。
33c1232	DMED3C1232: 省電力の I/O 監視時間が指定されている RAID グループが存在するためダウングレードできません。省電力状態が通常(コマンド監視)の場合、I/O 監視時間を 0

エラーコード	説明
	にしてスピンドアウンを実行してから再実行してください。省電力する必要がない場合、スピンドアウンを実行してから再実行してください。
33c1233	DMED3C1233: ストライプサイズが 64KB の DP プールが存在しているためダウングレードできません。ストライプサイズが 64KB の DP プールを削除してから再実行してください。
33c1234	DMED3C1234: 本装置をサポートしていないファームウェアのため、ダウングレードできません。本装置をサポートしたファームウェアで再実行してください。
33c1235	DMED3C1235: 全容量割当モードが有効に設定されているロジカルユニットが存在するため、ダウングレードできません。全容量割当モードを無効にしてから再実行してください。
33c1236	DMED3C1236: SAS(SER)ドライブが実装されているためダウングレードできません。SAS(SER)ドライブを外してから再実行するか、別のファームウェアで実行してください。
33c1237	DMED3C1237: Standard(SFF)きょう体が接続されているためダウングレードできません。Standard(SFF)きょう体を外してから再実行するか、別のファームウェアで実行してください。
33c1238	DMED3C1238: DP プールが処理中のため、ダウングレードできません。しばらくしてから再実行してください。
33c1239	DMED3C1239: ShadowImage の P-VOL と SnapShot の P-VOL が同一のロジカルユニット、または ShadowImage の S-VOL と SnapShot の P-VOL が同一ロジカルユニットのため、ダウングレードできません。ShadowImage ペア、または SnapShot ペアを解除してから再実行してください。
33c123b	DMED3C123B: Data At Rest Encryption が解錠されているためダウングレードできません。Data At Rest Encryption を施錠してから再実行してください。
33c123c	DMED3C123C: MU No.が 8 以上の ShadowImage ペアまたは、MU No.が 32 以上の SnapShot ペアが存在するためダウングレードできません。ペアを解除してから再実行してください。
33c123d	DMED3C123D: 2TB を超える SATA ドライブが実装されているため、ダウングレードできません。2TB を超える SATA ドライブを含む RAID グループまたは、DP プールを全て削除後、2TB を超える SATA ドライブを外してから再実行するか、別のファームウェアで実行してください。
33c123e	DMED3C123E: 2TB を超える SATA ドライブが実装されているため、ダウングレードできません。2TB を超える SATA ドライブを含む RAID グループまたは、DP プールを全て削除後、2TB を超える SATA ドライブを外してから再実行するか、別のファームウェアで実行してください。
33c123f	DMED3C123F: 現在接続されている相手装置に対してリモートパスが設定されているためダウングレードできません。リモートパスを削除してから再実行してください。
33c1240	DMED3C1240: 現在接続されている相手装置に対してリモートパスが設定されているためダウングレードできません。リモートパスを削除してから再実行してください。
33c12fe	DMED3C12FE: 追記バックアップしたテープグループが存在するためダウングレードできません。該当するテープグループを削除またはデータ破棄してから再実行してください。
33c12ff	DMED3C12FF: 差分バックアップ対象または差分バックアップしたテープグループが存在するためダウングレードできません。該当するテープグループを削除してから再実行してください。
33d0001	DMED3D0001: ドライブファームウェア交換中のため処理できません。ドライブファームウェアの交換が完了してから再実行してください。
33e0001	DMED3E0001: リモートレプリケーションが解錠されているためダウングレードできません。リモートレプリケーションを施錠してから再実行してください。
33e0002	DMED3E0002: リモートレプリケーションが解錠されているためダウングレードできません。リモートレプリケーションを施錠してから再実行してください。

エラーコード	説明
33e0003	DMED3E0003: 更新権限共存モードが有効のため、ダウングレードできません。更新権限共存モードを無効にしてから再実行してください。
33e0004	DMED3E0004: リモートレプリケーションで使用中のグループ数がダウングレードしたバージョンの最大数を超過しているため、ダウングレードできません。使用グループ数を減らしてから再実行してください。
33e0005	DMED3E0005: TrueCopy Modular Distributed 機能での iSCSI 接続は、ダウングレードしたバージョンで未サポートのため、ダウングレードできません。リモートパスとリモートポート CHAP 情報 (Target 情報) を削除してから再実行してください。
33e0006	DMED3E0006: Dynamic Tiering が解錠されているためダウングレードできません。Dynamic Tiering を施錠してから再実行してください。
33e0007	DMED3E0007: Dynamic Tiering が施錠されていないまたは、施錠後、アレイ装置を再起動していないまたは、メモリ再構築を実行していないため、ダウングレードできません。Dynamic Tiering を施錠後、アレイ装置を再起動するか、メモリ再構築を実行してから再実行してください。メモリ再構築中または、メモリ再構築失敗の場合は、メモリ再構築が完了するか、障害要因を取り除いてから再実行してください。
33e0008	DMED3E0008: メモリ再構築中または、メモリ再構築が失敗したためダウングレードできません。メモリ再構築が完了するか、メモリ再構築失敗の場合は、障害要因を取り除いてから再実行してください。
33e0009	DMED3E0009: Dense84 きょう体接続数がダウングレードしたバージョンの最大サポート数を超過しているため、ダウングレードできません。Dense84 きょう体を外してから再実行するか、別のファームウェアで実行してください。
33e000a	DMED3E000A: リモートレプリケーションが解錠されているためダウングレードできません。リモートレプリケーションを施錠してから再実行してください。
33e000b	DMED3E000B: SnapShot ペアとリモートレプリケーションペアのカスケードが 2 つ以上存在するためダウングレードできません。カスケードを 1 以下にしてから再実行してください。
33e000c	DMED3E000C: 仮想化超過時 VOL 操作強制実行が有効な DP プールが存在するためダウングレードできません。仮想化超過時 VOL 操作強制実行が有効な DP プールを無効に変更、または削除してから再実行してください。
33e000d	DMED3E000D: Dense84 きょう体が接続されているためダウングレードできません。Dense84 きょう体を外してから再実行してください。
33e000e	DMED3E000E: ダウングレードしたバージョンで未サポートのスロット位置にドライブが実装されているためダウングレードできません。未サポートのスロット位置のドライブを外してから再実行してください。
33e000f	DMED3E000F: ダウングレードしたバージョンで未サポートの位置にきょう体が接続されているためダウングレードできません。きょう体を外してから再実行してください。
33e0010	DMED3E0010: Power Saving Plus が解錠されているためダウングレードできません。Power Saving Plus を施錠してから再実行してください。
33e0011	DMED3E0011: 自動 DP 最適化が有効に設定されている DP プールが存在するため、ダウングレードできません。自動 DP 最適化を無効にしてから再実行してください。
33e0012	DMED3E0012: コマンドキュー拡張モードが有効のため、ダウングレードできません。コマンドキュー拡張モードを無効にして再実行してください。
33e0013	DMED3E0013: 400GB を超える SSD が実装されているため、ダウングレードできません。400GB を超える SSD を含む RAID グループまたは、DP プールを全て削除後、400GB を超える SSD を外してから再実行するか、別のファームウェアで実行してください。
33e0014	DMED3E0014: Persistent Reservation Type-7h/8h によりリザーブされたロジカルユニットが存在するため、ダウングレードできません。クラスタソフトを停止してロジカルユニットのリザーブを解除してから実行してください。
33e0015	DMED3E0015: 再配置抑止が有効なロジカルユニットが存在するためダウングレードできません。再配置抑止を無効にしてから再実行してください。

エラーコード	説明
33e0016	DMED3E0016: Power Saving Plus が解錠されているためダウングレードできません。Power Saving Plus を施錠してから再実行してください。
33e0017	DMED3E0017: バケットフィルタリングが有効のためダウングレードできません。バケットフィルタリングを無効にして再実行してください。
33e0018	DMED3E0018: 縮小中の DP プールが存在するためダウングレードできません。DP プール縮小を中止するか、DP プール縮小が完了してから再実行してください。
33e0019	DMED3E0019: 階層モードが無効でドライブ種別、RAID レベルまたは HDU コンビネーションが混在している DP プールが存在する、または階層モードが有効で階層内の RAID レベルまたは HDU コンビネーションが混在している DP プールが存在するためダウングレードできません。階層モードが無効の場合は、DP プールを削除するか、異なるドライブ種別、RAID レベルまたは HDU コンビネーションの DP RAID グループを DP プール縮小する、階層モードが有効の場合は、DP プールを削除するか、階層内で異なる RAID レベルまたは HDU コンビネーションの DP RAID グループを DP プール縮小してから再実行してください。
33e001a	DMED3E001A: DC 電源が実装されているためダウングレードできません。DC 電源に対応するファームウェアで実行してください。
33e001b	DMED3E001B: Dense84 きょう体と Dense84 きょう体以外が接続されているため、ダウングレードできません。きょう体の種類を統一してから再実行してください。
33e001c	DMED3E001C: Array Migration が解錠されているためダウングレードできません。Array Migration を施錠してから再実行してください。
33e001d	DMED3E001D: I/O モジュール(ドライブ(暗号))が実装されているためダウングレードできません。I/O モジュール(ドライブ)に交換してから再実行するか、別のファームウェアで実行してください。
33e001e	DMED3E001E: 3TB を超える SAS7K ドライブが実装されているため、ダウングレードできません。3TB を超える SAS7K ドライブを含む RAID グループまたは、DP プールを全て削除後、3TB を超える SAS7K ドライブを外してから再実行するか、別のファームウェアで実行してください。
33e001f	DMED3E001F: メモリ再構築中または、メモリ再構築が失敗したためダウングレードできません。メモリ再構築が完了するか、メモリ再構築失敗の場合は、障害要因を取り除いてから再実行してください。
33e0020	DMED3E0020: DP 容量モードが最大容量に設定されている、または通常容量に変更後、アレイ装置を再起動していないまたは、メモリ再構築を実行していないためダウングレードできません。DP 容量モードを通常容量に変更してから再実行してください。
33e0021	DMED3E0021: Tray Power Saving が解錠されているためダウングレードできません。Tray Power Saving を施錠してから再実行してください。
33e0022	DMED3E0022: StandardF きょう体が接続されているためダウングレードできません。StandardF きょう体を外してから再実行してください。
33e0023	DMED3E0023: 1.2TB を超える SAS ドライブが実装されているため、ダウングレードできません。1.2TB を超える SAS ドライブを外してから再実行してください。
33e0024	DMED3E0024: DM-LU が所属する DP プールの容量を縮小中のため、ダウングレードできません。処理が完了してから再実行してください。
33e0025	DMED3E0025: Data At Rest Encryption が解錠されているためダウングレードできません。Data At Rest Encryption を施錠してから再実行してください。
3400001	DMED400001: 指定した LU に未フォーマット状態の LU が含まれているので、処理できません。LU の状態を確認してから再実行してください。
3400002	DMED400002: 指定した LU に COW Snapshot の V-VOL が含まれているので、処理できません。LU の状態を確認してから再実行してください。
3400003	DMED400003: 指定した LU にクイックフォーマット実行中の LU が含まれているので、処理できません。LU の状態を確認してから再実行してください。

エラーコード	説明
3400004	DMED400004: 指定した LU に統合 LU のサブ LU が含まれているので、処理できません。LU の状態を確認してから再実行してください。
3400005	DMED400005: 指定した LU に無効化された LU が含まれているので、処理できません。LU の状態を確認してから再実行してください。
3400006	DMED400006: 指定した LU は縮退中なので、処理できません。LU の状態を確認してから再実行してください。
3400007	DMED400007: ShadowImage, リモートレプリケーション, または, SnapShot の処理中のため、処理できません。少し時間をあけてから再実行してください。
3400008	DMED400008: 開始指示またはスキップ指示と中止指示が同時に指定されています。指示内容を確認してから再実行してください。
3400009	DMED400009: 指定した LU に未定義の LU が含まれているので、処理できません。LU の状態を確認してから再実行してください。
3400011	DMED400011: パリティ回復が完了していないので、処理できません。パリティ回復が完了してから再実行してください。
3400012	DMED400012: パリティ回復が未実施, または中断されたので、処理できません。パリティ回復が完了してから再実行してください。
3400013	DMED400013: パリティ回復が完了していないので、処理できません。パリティ回復が完了してから再実行してください。
3400014	DMED400014: パリティ回復が完了していないので、処理できません。パリティ回復が完了してから再実行してください。
3400015	DMED400015: パリティ回復が未実施, または中断されたので、処理できません。パリティ回復が完了してから再実行してください。
3400021	DMED400021: パリティ回復未実施の LU に対して中止を指示することはできません。指定した LU のパリティ回復状態を確認してから再実行してください。
3400022	DMED400022: パリティ回復が中断された LU に対して開始を指示することはできません。指定した LU のパリティ回復状態を確認してから再実行してください。
3400023	DMED400023: パリティ回復が中断された LU に対して中止を指示することはできません。指定した LU のパリティ回復状態を確認してから再実行してください。
3400024	DMED400024: パリティ回復実行中の LU に対して開始を指示することはできません。指定した LU のパリティ回復状態を確認してから再実行してください。
3400025	DMED400025: パリティ回復実行中の LU に対してスキップを指示することはできません。指定した LU のパリティ回復状態を確認してから再実行してください。
3400026	DMED400026: パリティ回復待機中の LU に対して開始を指示することはできません。指定した LU のパリティ回復状態を確認してから再実行してください。
3400027	DMED400027: パリティ回復待機中の LU に対してスキップを指示することはできません。指定した LU のパリティ回復状態を確認してから再実行してください。
3400028	DMED400028: パリティ回復をスキップした LU に対して中止を指示することはできません。指定した LU のパリティ回復状態を確認してから再実行してください。
3400029	DMED400029: パリティ回復完了の LU に対して中止を指示することはできません。指定した LU のパリティ回復状態を確認してから再実行してください。
340002a	DMED40002A: 指定した LU はクイックフォーマット実行中です。指定した LU のパリティ回復状態を確認して再実行してください。
3410000	DMED410000: スロット番号が有効範囲外です。有効な範囲内のスロット番号を指定して再実行してください。
3410001	DMED410001: 指定したコントローラと処理を実行するコントローラが同じため、処理できません。コントローラを確認して再実行してください。
3410002	DMED410002: 指定した I/F モジュールが正常でないため、処理できません。I/F モジュールを確認して再実行してください。

エラーコード	説明
3410003	DMED410003: 指示した処理は実行できません。ナビゲーターのバージョンを確認してください。
3410004	DMED410004: コントローラ 0 とコントローラ 1 の両方が未実装のスロットが存在しないため、処理できません。スロットの状態を確認して再実行してください。
3410005	DMED410005: コントローラ 0 とコントローラ 1 の両方の I/F モジュールが正常でないため、処理できません。I/F モジュールの状態を回復してから再実行してください。
3410006	DMED410006: 減設中のため、処理できません。減設が完了してから再実行してください。
3410007	DMED410007: 増設中のため、処理できません。I/F モジュールまたはインタフェースボードの状態を確認して再実行してください。
3410008	DMED410008: 増設準備を開始していないため、処理できません。増設準備を開始してから再実行してください。
3410009	DMED410009: I/F モジュールまたはインタフェースボードが実装されていないため、処理できません。I/F モジュールまたはインタフェースボードの状態を確認して再実行してください。
3410010	DMED410010: リモートバスが設定されているため、処理できません。リモートバスを削除してから再実行してください。
3410011	DMED410011: コントローラ 0 とコントローラ 1 のどちらか、または両方が未実装のため、処理できません。スロットの状態を確認して再実行してください。
3410012	DMED410012: Fibre Channel Option が施錠されているため、処理できません。解錠してから再実行してください。
3410013	DMED410013: 増設中のため、処理できません。処理が完了してから再実行してください。
3410014	DMED410014: コントローラ 0 とコントローラ 1 のどちらか、または両方が未実装のため、処理できません。スロットの状態を確認して再実行してください。
3420000	DMED420000: ポート 80 ブロックが有効であるため、パケットフィルタリングを無効にできません。ポート 80 ブロックを無効にしてから再実行してください。
3500001	DMED500001: コマンドデバイスが未登録です。コマンドデバイスを登録してから再実行してください。
3600001	DMED600001: 指定した LU は常駐 LU または予約常駐 LU なので、処理できません。常駐 LU または予約常駐 LU を解除してから再実行してください。
3700001	DMED700001: 指定された LU は定義されていません。定義されている LU を指定してください。
3700002	DMED700002: ペア状態が Simplex(SMPL)のため、指定された処理が実行できません。LU の状態を確認して再実行してください。
3800002	DMED800002: パラメータエラーが発生しました。設定内容が正しいかを確認してください。
3800004	DMED800004: 指定した NNC 番号は、NAS ポートではありません。ポートの種別を確認してください。
3800005	DMED800005: BIOS が転送中なので、処理できません。転送が完了してから再実行してください。
3800006	DMED800006: NAS OS が READY、ブート中、またはシャットダウン中でないので、処理できません。NAS OS の状態を確認してから再実行してください。
3800007	DMED800007: BIOS がファームアップ中なので、処理できません。ファームアップが完了してから再実行してください。
3800008	DMED800008: NAS OS のインストールが完了していないので、処理できません。インストールが完了してから再実行してください。
3800009	DMED800009: 相手 NNC が ACTIVE でないので、処理できません。NNC の状態を確認してから再実行してください。

エラーコード	説明
3800011	DMED800011: NAS OS が起動中なので、処理できません。NAS OS を停止してから再実行してください。
3800013	DMED800013: NAS OS がシャットダウン中なので、処理できません。シャットダウンが完了してから再実行してください。
3800014	DMED800014: NAS Dump を採取中なので、処理できません。採取が完了してから再実行してください。
3800015	DMED800015: システム LU が設定されていないので、処理できません。システム LU を設定してから再実行してください。
3800016	DMED800016: インストール中にタイムアウトが発生しました。NNC のブレーカーを再度入れてから再実行してください。
3800017	DMED800017: インストール中にタイムアウトが発生しました。NNC のブレーカーを再度入れてから再実行してください。
3800019	DMED800019: NAS OS が停止中ではないので、処理できません。NAS OS を停止してから再実行してください。
380001a	DMED80001A: BIOS がファームアップ中なので、処理できません。ファームアップが完了してから再実行してください。
380001b	DMED80001B: NAS OS が閉塞しているので、処理できません。状態を回復してから再実行してください。
3800020	DMED800020: IP アドレスの指定が正しくありません。正しい IP アドレスを指定してください。
3800021	DMED800021: 範囲外の番号が指定されました。正しい番号を指定してください。
3800022	DMED800022: 範囲外の MTU が指定されました。正しい MTU を指定してください。
3800023	DMED800023: ネゴシエーションの指定が正しくありません。正しいネゴシエーションを指定してください。
3800024	DMED800024: NAS OS が READY の状態ではないので、設定できません。NAS OS の状態を確認してから再実行してください。
3800025	DMED800025: NNC 管理ポートの設定中なので、処理できません。NAS OS の状態を確認してから再実行してください。
3800026	DMED800026: アレイ装置の管理ポートと同じ IP アドレスは設定できません。正しい IP アドレスを指定してください。
3800027	DMED800027: 指定したタイムゾーンには夏時間が適用されません。タイムゾーンを確認してください。
3800029	DMED800029: NNC の MTU 値が異なるので、設定できません。同じ MTU 値を設定してください。
3800030	DMED800030: 相手 NNC のカレント IP アドレスと同じ IP アドレスは設定できません。別の IP アドレスを指定してから再実行してください。
3800099	DMED800099: インストール中にエラーが発生しました。NAS Setup を再起動してから再実行してください。
3900000	DMED900000: 閉塞または未接続のライブラリがあります。ライブラリを確認してください。
3900001	DMED900001: 閉塞または未実装のテープドライブがあります。テープドライブを確認してください。
3900002	DMED900002: ライブラリがビジー状態のため、テープを移動できません。しばらくしてから再実行してください。
3900003	DMED900003: バーコードが不正です。正しいバーコードを指定してください。
3900004	DMED900004: 閉塞または未実装のスロットがあります。スロットを確認してください。
3900005	DMED900005: 未設定のテープグループ番号です。設定済みのテープグループ番号を指定してください。

エラーコード	説明
3900006	DMED900006: データセットがありません。データセットを確認してください。
3900008	DMED900008: ライブラリが閉塞しています。ライブラリの状態を確認してください。
3900009	DMED900009: スロットまたは I/E ポートにテープがありません。スロットまたは I/E ポートを確認してください。
390000a	DMED90000A: 未接続のライブラリがあります。ライブラリを確認してください。
390000c	DMED90000C: スロット番号が不正です。指定した内容を確認して再実行してください。
390000d	DMED90000D: スロットにテープがありません。スロットを確認してください。
390000e	DMED90000E: 閉塞または未実装のロボティクスがあります。ロボティクスを確認してください。
3900012	DMED900012: 指定したテープは使用できません。テープの状態を確認して、テープを指定しなおしてください。
3900013	DMED900013: 差分ビットマップが不足しているため処理できません。不要なテープグループを削除するか、キャッシュを増設してください。
3900014	DMED900014: 差分ビットマップが不足しているため処理できません。不要なテープグループを削除するか、キャッシュを増設してください。
3900015	DMED900015: 差分ビットマップが不足しているため処理できません。不要なテープグループを削除するか、キャッシュを増設してください。
3901000	DMED901000: 指定したテープグループ番号は使用中です。テープグループ番号を確認してください。
3901001	DMED901001: 別のテープグループで使用中のテープがあります。分類を確認して、テープを指定しなおしてください。
3901002	DMED901002: スペアテープがあります。分類を確認して、テープを指定しなおしてください。
3901003	DMED901003: クリーニングテープがあります。分類を確認して、テープを指定しなおしてください。
3901004	DMED901004: 異なる種別のテープがあります。テープ種別を確認して、テープを指定しなおしてください。
3901005	DMED901005: 未サポートのテープ種別です。テープ種別を確認して、指定しなおしてください。
3901006	DMED901006: テープ数が不足しています。指定したテープ種別のテープ数を確認して、テープを指定しなおしてください。
3901007	DMED901007: 指定したテープ種別を使用できるテープドライブが 1 台のため、ミラー構成のテープグループを設定できません。テープドライブを増設するか、ミラーなしを指定してください。
3901008	DMED901008: 指定したテープは使用できません。テープの状態を確認して、テープを指定しなおしてください。
3901009	DMED901009: テープグループ詳細情報が不正です。
390100b	DMED90100B: 指定したテープ種別を使用できるテープドライブがありません。テープドライブを増設するか、テープ種別を指定しなおしてください。
390100c	DMED90100C: 未サポートの暗号化方式です。暗号化方式を確認して、指定しなおしてください。
390100e	DMED90100E: 指定したテープ種別は、暗号化をサポートしていません。
390100f	DMED90100F: 未サポートのテープ種別です。テープ種別を確認して、指定しなおしてください。
3901010	DMED901010: 未サポートの FM 間隔のため、処理できません。
3901100	DMED901100: コピー中またはリストア中の LU があります。コピーまたはリストアが完了してから再実行してください。

エラーコード	説明
3901101	DMED901101: バックアップグループ内に、コピーまたはリストア中のテープグループがあります。バックアップグループのテープグループの状態を確認してください。
3901102	DMED901102: バックアップグループ内に、データ破棄ができないテープグループがあります。バックアップグループのテープグループの状態を確認してください。
3902000	DMED902000: テープグループで使用中のテープがあります。分類を確認して、テープを指定しなおしてください。
3902001	DMED902001: スペアテープに設定済みのテープがあります。分類を確認して、テープを指定しなおしてください。
3902002	DMED902002: これ以上、スペアテープを設定できません。不要なスペアテープを解除してください。
3902003	DMED902003: スクラッチグループに追加済みのテープがあります。分類を確認して、テープを指定しなおしてください。
3902100	DMED902100: スペアテープに設定されていないテープがあります。分類を確認して、テープを指定しなおしてください。
3902101	DMED902101: スペアテープは回復中です。回復が完了してから再実行してください。
3902102	DMED902102: 正常、論理閉塞、閉塞以外のスペアテープがあります。スペアテープの状態を確認してください。
3902103	DMED902103: 正常以外のテープはスクラッチグループに追加できません。テープの状態を確認して、テープを指定しなおしてください。
3902104	DMED902104: 未定義以外のテープはスクラッチグループに追加できません。分類を確認して、テープを指定しなおしてください。
3902105	DMED902105: スクラッチグループに追加されていないテープがあります。分類を確認して、テープを指定しなおしてください。
3903000	DMED903000: 異なる移動方向が指定されています。同じ移動方向を指定してください。
3903001	DMED903001: 移動元に、未実装のスロットまたは I/E ポートが指定されています。スロットまたは I/E ポートを確認してください。
3903002	DMED903002: 移動先に、未実装のスロットまたは I/E ポートが指定されています。スロットまたは I/E ポートを確認してください。
3903003	DMED903003: テープの移動中です。テープ移動が完了してから再実行してください。
3903004	DMED903004: ライブラリがビジー状態のため、テープを移動できません。しばらくしてから再実行してください。
3903005	DMED903005: 一度にテープ移動できる本数を超えています。
3903006	DMED903006: チェックアウトしていないテープがあります。テープをチェックアウトしてください。
3903007	DMED903007: I/E ポートに空きがありません。I/E ポートを確認してください。
3903008	DMED903008: 差分ビットマップが不足しているため処理できません。不要なテープを取り出すか、テープグループを削除してください。
3904000	DMED904000: インベントリ中のテープがあるため、チェックアウトできません。インベントリが完了してから再実行してください。
3904001	DMED904001: 取り出し中のテープがあるため、チェックアウトできません。テープの状態を確認してください。
3904002	DMED904002: コピー中またはリストア中のテープがあります。コピーまたはリストアが完了してから再実行してください。
3904003	DMED904003: 差分ビットマップが不足しているため処理できません。不要なテープを取り出すか、テープグループを削除してください。
3905000	DMED905000: クリーニングテープがありません。クリーニングテープを投入してください。

エラーコード	説明
3906000	DMED906000: 指定したライブラリは追加済みです。追加するライブラリを確認してください。
3906001	DMED906001: これ以上、ライブラリを追加できません。不要なライブラリを削除してください。
3906002	DMED906002: ロボティクス数が取り扱い可能な範囲を超えます。不要なライブラリを削除してください。
3906003	DMED906003: テープドライブ数が取り扱い可能な範囲を超えます。不要なライブラリを削除してください。
3906004	DMED906004: スロット数が取り扱い可能な範囲を超えます。不要なライブラリを削除してください。
3906005	DMED906005: ライブラリの I/E ポート数が取り扱い可能な範囲を超えています。ライブラリを確認してください。
3906006	DMED906006: 指定したライブラリがありません。追加可能なライブラリを確認してください。
3906007	DMED906007: ライブラリのロボティクス数が取り扱い可能な範囲を超えています。ライブラリを確認してください。
3906008	DMED906008: ライブラリのテープドライブ数が取り扱い可能な範囲を超えています。ライブラリを確認してください。
3906009	DMED906009: ライブラリのスロット数が取り扱い可能な範囲を超えています。ライブラリを確認してください。
390600a	DMED90600A: 指定したライブラリ番号は使用中です。ライブラリ番号を確認してください。
390600b	DMED90600B: ライブラリのロボティクス数が取り扱い可能な範囲を超えています。ライブラリを確認してください。
390600c	DMED90600C: ライブラリのテープドライブ数が取り扱い可能な範囲を超えています。ライブラリを確認してください。
390600d	DMED90600D: ライブラリのスロット数が取り扱い可能な範囲を超えています。ライブラリを確認してください。
390600e	DMED90600E: Cartridge Cell License が不足しているため、ライブラリを追加できません。Cartridge Cell License を解錠してから再実行してください。
3906100	DMED906100: 接続待機中または接続中のライブラリがあります。ライブラリの状態を確認してください。
3906101	DMED906101: インベントリ中です。インベントリが完了してから再実行してください。
3906102	DMED906102: テープの移動中です。テープ移動が完了してから再実行してください。
3906103	DMED906103: クリーニング中です。クリーニングが完了してから再実行してください。
3906104	DMED906104: コピー中です。コピーが完了してから再実行してください。
3906105	DMED906105: リストア中です。リストアが完了してから再実行してください。
3907000	DMED907000: ライブラリ接続ポートが指定されました。ポートの指定を確認してください。
3908000	DMED908000: テープへコピーされている LU があります。LU のコピー状態を確認してください。
3908001	DMED908001: テープへコピーされている LU があります。LU のコピー状態を確認してください。
3908002	DMED908002: Tape Replication が解錠されているため、処理できません。Tape Replication を施錠してから再実行してください。
3908003	DMED908003: リストア中のため、処理できません。リストアが完了してから再実行してください。または、リストアを中断してから再実行してください。

エラーコード	説明
3909000	DMED909000: テープドライブは使用中です。テープドライブの状態を確認してください。
3909100	DMED909100: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
3909101	DMED909101: テープグループがあるため、構成情報をリストアできません。テープグループを削除してください。
3909102	DMED909102: テープがあるため、構成情報をリストアできません。テープを取り出してください。
3909103	DMED909103: 他のユーザが構成情報バックアップまたはリストアを実行したため、処理を継続できません。しばらくしてから再実行してください。
3909104	DMED909104: 構成情報ファイルのバージョンが不正です。正しいファイルを指定してください。
3909105	DMED909105: 構成情報ファイルのバージョンが不正です。正しいファイルを指定してください。
3909106	DMED909106: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
3909107	DMED909107: テープグループ詳細情報が不正です。
3909108	DMED909108: テープグループ詳細情報が不正です。
3909109	DMED909109: テープグループ詳細情報が不正です。
390910a	DMED90910A: テープグループ詳細情報が不正です。
390910b	DMED90910B: テープグループ詳細情報が不正です。
390910c	DMED90910C: テープグループ詳細情報が不正です。
390910d	DMED90910D: テープグループ詳細情報が不正です。
390910e	DMED90910E: テープグループ詳細情報が不正です。
390910f	DMED90910F: テープグループ詳細情報が不正です。
3909110	DMED909110: テープグループ詳細情報が不正です。
3909111	DMED909111: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
3909112	DMED909112: アレイ装置に障害が発生したため処理できません。アレイ装置の状態を確認して再実行してください。
3909113	DMED909113: マイクロプログラムと Storage Navigator Modular のバージョンが一致しないため、構成情報をバックアップできません。バージョンを合わせてください。
3909114	DMED909114: テープグループ詳細情報が不正です。
3909115	DMED909115: 他のユーザが構成情報を変更したため、処理を継続できません。しばらくしてから再実行してください。
3909120	DMED909120: テープ情報が不正です。
3909121	DMED909121: テープ情報が不正です。
3909122	DMED909122: テープ情報が不正です。
3909123	DMED909123: テープ情報が不正です。
3909124	DMED909124: テープ情報が不正です。
3909125	DMED909125: テープ情報が不正です。
3909126	DMED909126: テープ情報が不正です。
3909127	DMED909127: テープ情報が不正です。
3909128	DMED909128: テープ情報が不正です。
3909129	DMED909129: テープ情報が不正です。
390912a	DMED90912A: テープ情報が不正です。
390912b	DMED90912B: テープ情報が不正です。
390912c	DMED90912C: テープ情報が不正です。

エラーコード	説明
390912d	DMED90912D: テープ情報が不正です。
390912e	DMED90912E: テープグループ詳細情報が不正です。正しいファイルを指定してください。
390912f	DMED90912F: テープ情報が不正です。正しいファイルを指定してください。
3909132	DMED909132: テープグループがあるため、構成情報をリストアできません。テープグループを削除してください。
3909133	DMED909133: テープがあるため、構成情報をリストアできません。テープを取り出してください。
3909134	DMED909134: テープグループ詳細情報が不正です。
3909135	DMED909135: テープグループ詳細情報が不正です。
3909136	DMED909136: テープグループ詳細情報が不正です。
3909137	DMED909137: テープグループ詳細情報が不正です。
3909138	DMED909138: テープグループ詳細情報が不正です。
3909139	DMED909139: テープグループ詳細情報が不正です。
3909140	DMED909140: テープグループ詳細情報が不正です。
3909141	DMED909141: テープグループ詳細情報が不正です。
3909142	DMED909142: テープグループ詳細情報が不正です。
3909143	DMED909143: テープグループ詳細情報が不正です。
3909144	DMED909144: テープ情報が不正です。
3909145	DMED909145: テープ情報が不正です。
3909146	DMED909146: テープ情報が不正です。
39091ff	DMED9091FF: テープレプリケーション機能内でプログラム内部エラーが発生しました。保守員に連絡してください。
3909201	DMED909201: データセット詳細情報が不正です。
3909202	DMED909202: データセット詳細情報が不正です。
3909203	DMED909203: データセット詳細情報が不正です。
3909204	DMED909204: データセット詳細情報が不正です。
3909205	DMED909205: データセット詳細情報が不正です。
3909206	DMED909206: データセット詳細情報が不正です。
3909207	DMED909207: データセット詳細情報が不正です。
3909208	DMED909208: データセット詳細情報が不正です。
3909209	DMED909209: データセット詳細情報が不正です。
390920a	DMED90920A: データセット詳細情報が不正です。
390920b	DMED90920B: データセット詳細情報が不正です。
390920c	DMED90920C: データセット詳細情報が不正です。
390920d	DMED90920D: データセット詳細情報が不正です。
390920e	DMED90920E: データセット詳細情報が不正です。
390920f	DMED90920F: データセット詳細情報が不正です。
3909210	DMED909210: データセット詳細情報が不正です。
3909211	DMED909211: データセット詳細情報が不正です。
3909212	DMED909212: データセット詳細情報が不正です。
3909213	DMED909213: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
3909214	DMED909214: データセット詳細情報が不正です。

エラーコード	説明
3909221	DMED909221: 構成情報ファイルのバージョンが不正です。正しいファイルを指定してください。
3909222	DMED909222: データセット番号が重複しています。
3909223	DMED909223: 他のユーザが構成情報を変更したため、処理を継続できません。しばらくしてから再実行してください。
3909224	DMED909224: 他のユーザが構成情報を変更したため、処理を継続できません。しばらくしてから再実行してください。
3909225	DMED909225: キャッシュ容量が確保できないため、処理できません。キャッシュメモリを増設するか、不要なテーブルグループを削除してください。
3909226	DMED909226: キャッシュ容量が確保できないため、処理できません。キャッシュメモリを増設するか、不要なテーブルグループを削除してください。
390a000	DMED90A000: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
390a001	DMED90A001: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
390a002	DMED90A002: テープ数の指定が不正です。正しい数値を指定してください。
390b001	DMED90B001: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
390b002	DMED90B002: 未設定のテーブルグループ番号です。設定済みのテーブルグループ番号を指定してください。
390b003	DMED90B003: 指定したテーブルグループはバックアップができない状態です。テーブルグループの状態を確認してください。
390b004	DMED90B004: 指定したテーブルグループはリストアができない状態です。テーブルグループの状態を確認してください。
390b005	DMED90B005: 指定したロジカルユニットは、他の要求により予約されています。ロジカルユニットを確認してください。
390b006	DMED90B006: 指定したテーブルグループは使用できません。再度テーブルグループを設定してください。
390b007	DMED90B007: このテーブルグループはミラー構成ではありません。ミラー構成のテーブルグループを設定してから再実行してください。
390b00a	DMED90B00A: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
390b00b	DMED90B00B: 未定義のロジカルユニットがあります。ロジカルユニットを確認してください。
390b00c	DMED90B00C: DP プール内のロジカルユニットがあります。ロジカルユニットを確認してください。
390b00d	DMED90B00D: 指定されたロジカルユニットは DM-LU に設定済みのため、処理できません。別のロジカルユニットを指定して再実行してください。
390b00e	DMED90B00E: 指定されたロジカルユニットはシステム LU のため、処理できません。別のロジカルユニットを指定して再実行してください。
390b00f	DMED90B00F: 指定したロジカルユニットはコマンドデバイスのため、処理できません。別のロジカルユニットを指定して再実行してください。
390b010	DMED90B010: 指定された LU は未フォーマットです。フォーマット済みの LU を指定して再実行してください。
390b011	DMED90B011: 正常または縮退以外のロジカルユニットがあります。ロジカルユニットの状態を確認してください。
390b012	DMED90B012: 指定したロジカルユニットは統合 LU のサブロジカルユニットのため、処理できません。別のロジカルユニットを指定して再実行してください。
390b013	DMED90B013: リストア先のロジカルユニットの容量がリストア元より小さいため、処理できません。同じ容量のロジカルユニットを指定してから再実行してください。
390b015	DMED90B015: ロジカルユニット番号が重複しています。異なるロジカルユニット番号を指定してください。

エラーコード	説明
390b016	DMED90B016: 指定したロジカルユニットがテープグループにありません。テープグループ内のロジカルユニットを確認してください。
390b017	DMED90B017: リストア先のロジカルユニットの容量がリストア元より大きいため、処理できません。容量差異リストアを許可にしてから再実行してください。
390b018	DMED90B018: 指定したロジカルユニットのペア状態では、処理できません。ロジカルユニットのペア状態を確認してください。
390b019	DMED90B019: ロジカルユニットのペア属性が P-VOL のため、処理できません。ロジカルユニットを確認してください。
390b01a	DMED90B01A: ロジカルユニットのペア状態が Simplex(SMPL) のため、処理できません。ロジカルユニットのペア状態を確認してください。
390b01b	DMED90B01B: マイグレーションを実行中のロジカルユニットがあります。ロジカルユニットを確認してください。
390b01c	DMED90B01C: アクセスレベルが設定されているロジカルユニットがあります。ロジカルユニットを確認してください。
390b01d	DMED90B01D: 指定ロジカルユニットの所属 RAID グループが省電力状態です。RAID グループをスピニングアップしてから再実行してください。
390b01e	DMED90B01E: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
390b020	DMED90B020: セグメントサイズが小さいロジカルユニットがあります。8KB より大きいセグメントサイズのロジカルユニットを指定して再実行してください。
390b021	DMED90B021: サイズが大きいロジカルユニットがあります。16TB より小さいロジカルユニットを指定して再実行してください。
390b022	DMED90B022: リザーブ LU があります。リザーブ LU を解除するか、他のロジカルユニットを指定してから再実行してください。
390b023	DMED90B023: 指定されたロジカルユニットが所属する RAID グループは拡張中のため、処理できません。RAID グループ拡張が完了してから再実行してください。
390b024	DMED90B024: 指定されたロジカルユニットは DP プール内のロジカルユニットのため、処理できません。別のロジカルユニットを指定して再実行してください。
390b028	DMED90B028: コピーまたはリストア中です。コピーまたはリストアが完了してから再実行してください。
390b029	DMED90B029: コピーまたはリストア中です。コピーまたはリストアが完了してから再実行してください。
390b02a	DMED90B02A: このテープグループはバックアップ未実施です。バックアップ済みのテープグループを指定してから再実行してください。
390b032	DMED90B032: ライブラリがビジー状態のため、バックアップ/リストアできません。しばらくしてから再実行してください。
390b047	DMED90B047: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
390b048	DMED90B048: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
390b049	DMED90B049: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
390b04d	DMED90B04D: このテープグループは暗号化されていません。テープグループを確認してください。
390b04e	DMED90B04E: このテープグループは暗号化指定されているため、バックアップ/リストアできません。
390b04f	DMED90B04F: このテープグループは暗号化指定されているため、バックアップ/リストアできません。
390b050	DMED90B050: マイクロプログラムのレビジョンが新しいため、バックアップ/リストアできません。ナビゲーターをアップデートしてください。
390b051	DMED90B051: 指定したテープグループはバックアップ/リストアを中断できない状態です。テープグループの状態を確認してください。

エラーコード	説明
390b052	DMED90B052: 指定したテープグループはデータ破棄できない状態です。テープグループの状態を確認してください。
390b053	DMED90B053: 指定したテープグループはエラー解除できない状態です。テープグループの状態を確認してください。
390b054	DMED90B054: バックアップができない状態のロジカルユニットがあります。ロジカルユニットの状態を確認してください。
390b055	DMED90B055: リストアができない状態のロジカルユニットがあります。ロジカルユニットの状態を確認してください。
390b056	DMED90B056: 指定した内容が正しいか確認してください。
390b05b	DMED90B05B: アレイ装置内でエラーが発生しました。
390b05c	DMED90B05C: キャッシュ容量が確保できないため、処理できません。キャッシュメモリを増設するか、不要なテープグループを削除してください。
390b05d	DMED90B05D: このテープグループは暗号化指定されているため、バックアップ/リストアできません。
390b05e	DMED90B05E: ライブラリがビジー状態のため、処理できません。しばらくしてから再実行してください。
390b064	DMED90B064: インポート中です。インポートが完了してから再実行してください。
390b065	DMED90B065: 指定した機能は未サポートです。アレイ装置を確認してください。
390b066	DMED90B066: 構成情報リストア中です。構成情報リストアが完了してから再実行してください。
390b06e	DMED90B06E: テープレプリケーション機能内でプログラム内部エラーが発生しました。保守員に連絡してください。
390b0c8	DMED90B0C8: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
390b0c9	DMED90B0C9: 差分バックアップ対象でないロジカルユニットがあります。ロジカルユニットを確認してください。
390b0cb	DMED90B0CB: 指定したテープグループは追記バックアップしないに設定済みのため、処理できません。別のテープグループを指定して再実行してください。
390b0cc	DMED90B0CC: この差分バックアップで使用されていないロジカルユニットがあります。ロジカルユニットを確認してください。
390b0cd	DMED90B0CD: テープグループ内に、コピー中のデータセットがあります。コピーが完了してから再実行してください。
390b0ce	DMED90B0CE: これ以上、ロジカルユニットを追記バックアップすることができません。不要なデータセットをデータ破棄するか、他のテープグループを指定してから再実行してください。
390b0d0	DMED90B0D0: これ以上、追記バックアップすることができません。不要なテープグループまたはデータセットをデータ破棄してください。
390b0d2	DMED90B0D2: キャッシュ容量が確保できないため、処理できません。キャッシュメモリを増設するか、不要なテープグループを削除してください。
390b0d3	DMED90B0D3: 指定したロジカルユニットのペア状態では、処理できません。ロジカルユニットのペア状態を確認してください。
390b0d4	DMED90B0D4: 指定したロジカルユニットのペア状態では、処理できません。ロジカルユニットのペア状態を確認してください。
390b0d5	DMED90B0D5: 指定したロジカルユニットのペア状態では、処理できません。ロジカルユニットのペア状態を確認してください。
390b0d6	DMED90B0D6: 指定したロジカルユニットのペア状態では、処理できません。ロジカルユニットのペア状態を確認してください。
390b0d7	DMED90B0D7: 指定したロジカルユニットのペア状態では、処理できません。ロジカルユニットのペア状態を確認してください。

エラーコード	説明
390b0d8	DMED90B0D8: 指定したロジカルユニットのペア状態では、処理できません。ロジカルユニットのペア状態を確認してください。
390b0d9	DMED90B0D9: これ以上、指定した LU に対して差分バックアップを実行できません。バックアップグループを確認してください。
390b0da	DMED90B0DA: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
390b0db	DMED90B0DB: この差分バックアップで使用されていないロジカルユニットがあります。ロジカルユニットを確認してください。
390b0dd	DMED90B0DD: 指定したテープグループはバックアップができない状態です。テープの状態を確認してください。
390b0de	DMED90B0DE: これ以上、指定したテープグループに対して追記バックアップすることができません。不要なデータセットをデータ破棄するか、他のテープグループを指定してから再実行してください。
390b0df	DMED90B0DF: これ以上、テープを追加することができません。不要なデータセットをデータ破棄するか、他のテープグループを指定してから再実行してください。
390b0e0	DMED90B0E0: 指定したテープグループは追記バックアップ済みです。データセットを指定して再実行してください。
390b0e1	DMED90B0E1: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
390b0e2	DMED90B0E2: データセットがありません。データセットを確認してください。
390b0e3	DMED90B0E3: フルバックアップのテープグループまたはデータセットがありません。テープグループまたはデータセットを確認してください。
390b0e4	DMED90B0E4: 指定したデータセットはリストアができない状態です。データセットの状態を確認してください。
390b0e5	DMED90B0E5: フルバックアップのテープグループまたはデータセットはリストアができない状態です。テープグループまたはデータセットの状態を確認してください。
390b0e6	DMED90B0E6: テープグループ内に、リストア中のデータセットがあります。リストアが完了してから再実行してください。
390b0e7	DMED90B0E7: フルバックアップのテープグループまたはデータセットがリストア中です。リストアが完了してから再実行してください。
390b0e8	DMED90B0E8: コピー中のテープグループがあります。コピーが完了してから再実行してください。
390b0e9	DMED90B0E9: リストア中のテープグループがあります。リストアが完了してから再実行してください。
390b0ea	DMED90B0EA: コピー中のテープグループがあります。コピーが完了してから再実行してください。
390b0eb	DMED90B0EB: リストア中のテープグループがあります。リストアが完了してから再実行してください。
390b0ec	DMED90B0EC: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
390b0ed	DMED90B0ED: キャッシュ容量が確保できないため、処理できません。他のリストアが完了してから再実行してください。
390b0ee	DMED90B0EE: リストア先のロジカルユニットが ShadowImage ペアではないため、処理できません。リストア先ロジカルユニットのペア状態を確認してください。
390b0ef	DMED90B0EF: 指定したテープグループは他のアプリケーションで使用中です。別のテープグループを指定して再実行してください。
390b0f0	DMED90B0F0: 指定したデータセットはバックアップ/リストアを中断できない状態です。データセットの状態を確認してください。
390b0f1	DMED90B0F1: バックアップグループ内に、リストア中のテープグループがあります。バックアップグループのテープグループの状態を確認してください。

エラーコード	説明
390b0f2	DMED90B0F2: 指定したデータセットはエラー解除できない状態です。データセットの状態を確認してください。
390b0f3	DMED90B0F3: 指定したデータセットはデータ破棄できない状態です。データセットの状態を確認してください。
390b0f4	DMED90B0F4: バックアップグループ内に、コピー中のテープグループがあります。バックアップグループのテープグループの状態を確認してください。
390b0f5	DMED90B0F5: バックアップグループ内に、データ破棄ができないテープグループがあります。バックアップグループのテープグループの状態を確認してください。
390b0f6	DMED90B0F6: アクセスレベルが設定されているロジカルユニットがあります。ロジカルユニットを確認してください。
390b0fb	DMED90B0FB: 指定したテープグループはバックアップができない状態です。データセットの状態を確認してください。
390b0fc	DMED90B0FC: 指定したテープグループは他のアプリケーションで使用中です。別のテープグループを指定して再実行してください。
390b0fd	DMED90B0FD: 指定したテープグループは他のアプリケーションで使用中です。別のテープグループを指定して再実行してください。
390b0fe	DMED90B0FE: 指定したテープグループは他のアプリケーションで使用中です。別のテープグループを指定して再実行してください。
390b101	DMED90B101: コピー中のテープグループがあります。コピーが完了してから再実行してください。
390b102	DMED90B102: リストア中のテープグループがあります。リストアが完了してから再実行してください。
390b103	DMED90B103: メモリ再構築中のため処理できません。メモリ再構築が完了してから再実行してください。
390c000	DMED90C000: ライブラリ接続ポートが設定されていません。パス状態を確認してください。
390c001	DMED90C001: ライブラリパスは回復中です。回復が完了してから再実行してください。
390d000	DMED90D000: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
390d001	DMED90D001: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
390d002	DMED90D002: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
390d003	DMED90D003: ログアウト中のため、処理できません。しばらくしてから再実行してください。
390d004	DMED90D004: ポート情報更新中のため、処理できません。しばらくしてから再実行してください。
390d100	DMED90D100: 未実装のポートがあります。アレイ装置の状態を確認してください。
390d101	DMED90D101: ポートが閉塞しています。ポートの状態を確認してください。
390d102	DMED90D102: 指定したポートはファイバチャネルポートではありません。ポートの種類を確認してください。
390d103	DMED90D103: ライブラリ接続ポートに設定済みのポートがあります。ポートを確認して指定しなおしてください。
390d104	DMED90D104: リモートパスに設定済みのポートがあります。ポートを確認して指定しなおしてください。
390d105	DMED90D105: セキュリティオプションを設定したポートがあります。ポートのセキュリティオプションを確認してください。
390d106	DMED90D106: ロジカルユニットをマッピングしたポートがあります。マッピング情報を確認してください。

エラーコード	説明
390d108	DMED90D108: コントローラが閉塞しています。アレイ装置の状態を確認してください。
390d10a	DMED90D10A: トポロジーが Point To Point 以外のポートは、ライブラリ接続ポートに設定できません。ポートの設定を確認してください。
390d10b	DMED90D10B: 転送速度が AUTO 以外のポートは、ライブラリ接続ポートに設定できません。ポートの設定を確認してください。
390d200	DMED90D200: 指定したポートは、ライブラリ接続ポートではありません。ポートの状態を確認してください。
390d201	DMED90D201: ライブラリポートをすべて解除することはできません。
3910000	DMED910000: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
3910001	DMED910001: インベントリ中です。インベントリが完了してから再実行してください。
3910002	DMED910002: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
3910003	DMED910003: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
3910004	DMED910004: 指定したテープグループがありません。インベントリ状態を確認してください。
3910005	DMED910005: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
391000f	DMED91000F: コピーまたはリストア中です。コピーまたはリストアが完了してから再実行してください。
3910012	DMED910012: テープの移動中です。テープ移動が完了してから再実行してください。
3910013	DMED910013: インポート中です。インポートが完了してから再実行してください。
3910014	DMED910014: インベントリ中です。インベントリが完了してから再実行してください。
3910015	DMED910015: ライブラリの追加中です。ライブラリの追加が完了してから再実行してください。
3910017	DMED910017: マイクロプログラムの交換中です。交換が完了してから再実行してください。
3910021	DMED910021: インポート中です。インポートが完了してから再実行してください。
3910022	DMED910022: 処理が失敗しました。指定した内容が正しいか確認してください。
3910023	DMED910023: テープ数が取り扱い可能な範囲を超えます。不要なテープを取り出してください。
3910024	DMED910024: 取り出し中のテープがあるため、インポートできません。テープを投入してください。
3910025	DMED910025: これ以上、テープグループを設定できません。不要なテープグループを削除してください。
3910026	DMED910026: 指定したテープグループ番号は使用中です。テープグループ番号を確認してください。
3910027	DMED910027: 指定したテープグループはインポート済みです。テープグループを確認してください。
3910028	DMED910028: 正常以外のテープはインポートできません。テープの状態を確認してください。
3910029	DMED910029: 未定義以外のテープはインポートできません。テープの分類を確認してください。
3910030	DMED910030: 指定したテープグループがありません。インベントリ状態を確認してください。
3910031	DMED910031: 指定したテープグループがありません。インベントリ状態を確認してください。
3910032	DMED910032: 指定したテープグループがありません。インベントリ状態を確認してください。

エラーコード	説明
3910040	DMED910040: インベントリ実施済みのテープがあります。不要なテープを取り出してください。
3910050	DMED910050: インベントリ中ではないため、中断できません。インベントリ状態を確認してください。
3910051	DMED910051: インベントリ状態が不正なため、処理できません。インベントリ状態を確認してください。
3910060	DMED910060: 指定したテープグループがありません。インベントリ状態を確認してください。
3910070	DMED910070: インポート中のため、指定されたオプションを施錠、または、無効にすることができません。
3910071	DMED910071: 指定したテープグループがありません。インベントリ状態を確認してください。
3910072	DMED910072: 指定したテープグループはインポート不可能です。テープグループを確認してください。
3911000	DMED911000: ファイバチャネルポートが実装されていないため、指定されたオプションを解錠、または、有効にすることができません。
3911001	DMED91100 1: DM-LU が未設定のため、指定されたオプションを解錠、または、有効にすることができません。
3911002	DMED911002: Tape Replication に関連するオプションがパーマネントキーで解錠されているため、Tape Replication をエマージェンシーキーで解錠することができません。
3911003	DMED911003: Tape Replication に関連するオプションが解錠されているため、Tape Replication を施錠することができません。
3911004	DMED911004: テープグループがあるため、指定されたオプションを施錠することができません。テープグループを削除してください。
3911005	DMED911005: ライブラリポートが設定されているため、指定されたオプションを施錠することができません。ライブラリポートを解除してください。
3911006	DMED911006: Tape Replication が施錠、または無効化されているため処理できません。Tape Replication を有効にしてから再実行してください。
3911007	DMED911007: Tape Replication がパーマネントキーで解錠されていないため、Tape Replication に関連するオプションをパーマネントキーで解錠することができません。
3911008	DMED911008: 差分ビットマップが不足しているため、指定されたオプションを解錠することができません。不要なペアを削除してください。
3911009	DMED911009: 差分ビットマップが使用されているため、指定されたオプションを施錠することができません。全てのテープグループを削除し、全てのライブラリポートを解除してください。
391100a	DMED91100A: ライブラリが追加されているため、指定されたオプションを施錠することができません。ライブラリを削除してください。
391100b	DMED91100B: Tape Replication に関連するオプションが有効なため、Tape Replication を無効にすることができません。
391100c	DMED91100C: 差分ビットマップが不足しているため処理できません。不要なペアを削除するか、キャッシュを増設してください。
3911010	DMED911010: 指定されたオプションと同時に解錠できないオプションが既に解錠されています。
3911020	DMED911020: コピー中のため、指定されたオプションを施錠、または、無効にすることができません。
3911021	DMED911021: リストア中のため、指定されたオプションを施錠、または、無効にすることができません。
3911030	DMED911030: 指定されたオプションと同時に解錠できないオプションが既に解錠されています。

エラーコード	説明
3911031	DMED911031: 指定されたオプションを解錠, または, 有効にすることができません。Cartridge Cell License は, 昇順に解錠, または有効化してください。
3911032	DMED911032: 前のオプションがテンポラリキーまたはエマージェンシーキーで解錠されているため, 指定されたオプションを解錠することができません。テンポラリキーまたはエマージェンシーキーで解錠してください。
3911040	DMED911040: 指定されたオプションを施錠, または, 無効にすることができません。Cartridge Cell License は, 降順に施錠, または無効化してください。
3c00001	DMEDC00001: グループ番号が範囲外です。グループ番号を確認してください。
3c00002	DMEDC00002: LU 番号が範囲外です。LU を確認してください。
3c00003	DMEDC00003: 指定したグループは使用されていません。グループ番号を確認してください。
3c00004	DMEDC00004: 指定した LU はペアではありません。LU 番号を確認してください。
3c00005	DMEDC00005: 指定した LU は V-VOL です。別の LU を指定してから再実行してください。
3c00006	DMEDC00006: 指定した LU は V-VOL ではありません。V-VOL を指定してから再実行してください。
3c00007	DMEDC00007: 既に最大数のペアが定義されています。設定内容を確認してください。
3c00008	DMEDC00008: 同じペア名称が存在するため処理できません。ペア名称を確認して再実行してください。
3c00009	DMEDC00009: 同じペア名称が存在するため処理できません。ペア名称を確認して再実行してください。
3c0000a	DMEDC0000A: 同じペア名称が存在するため処理できません。ペア名称を確認して再実行してください。
3c0000b	DMEDC0000B: 同じペア名称が存在するため処理できません。ペア名称を確認して再実行してください。
3c0000c	DMEDC0000C: 同じグループ名称が存在するため処理できません。グループ名称を確認して再実行してください。
3c0000d	DMEDC0000D: 同じグループ名称が存在するため処理できません。グループ名称を確認して再実行してください。
3c0000e	DMEDC0000E: 指定したロジカルユニットはボリュームマイグレーションペアです。別のロジカルユニットを指定して再実行してください。
3c0000f	DMEDC0000F: 指定した名称の SnapShot ペアが存在しないため, 処理できません。SnapShot ペアを指定して再実行してください。
3c00010	DMEDC00010: 指定したペアに LU 番号が割り当て済のため, 処理できません。S-VOL の LU 番号を解除してから再実行してください。
3c00011	DMEDC00011: 指定したペアの S-VOL の LU 番号は割り当てられていないため, 処理できません。LU 番号を確認して再実行してください。
3c00012	DMEDC00012: S-VOL がマッピングされているため, 処理できません。マッピングを解除してから再実行してください。
3c00013	DMEDC00013: ペア名称が指定されていないため, 処理できません。ペア名称を指定してから再実行してください。
3c00014	DMEDC00014: 指定したコピー速度が有効範囲外です。有効な範囲内の値を指定して再実行してください。
3c00015	DMEDC00015: 指定したペアの P-VOL は, キャッシュパーティションの変更予約済みのため処理できません。アレイ装置を再起動してください。
3c00016	DMEDC00016: プール番号が指定されていないため, 処理できません。プール番号を指定してから再実行してください。

エラーコード	説明
5010001	DMER010001: 対象 LU が LU 単位切替え中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5010002	DMER010002: ディレクトリが他系で閉塞し、LU 単位切替えチェックができません。しばらく待ってから、再実行してください。
5010003	DMER010003: LU 単位切替え要求がありました。しばらく待ってから、再実行してください。
5010004	DMER010004: ペア対象の担当 CTL が閉塞しました。再実行してください。
5010005	DMER010005: ペア対象の担当 CTL が閉塞しました。再実行してください。
5010006	DMER010006: ペア対象の担当 CTL が閉塞しました。再実行してください。
5010007	DMER010007: ペア対象の担当 CTL が閉塞しました。再実行してください。
5010009	DMER010009: ペア対象の担当 CTL が閉塞しました。しばらく待ってから、再実行してください。
501000a	DMER01000A: ペア対象の担当 CTL が閉塞しました。しばらく待ってから、再実行してください。
501000b	DMER01000B: ペア対象の担当 CTL が閉塞しました。しばらく待ってから、再実行してください。
5010019	DMER010019: ペア操作系コマンドがタイムアウトです。しばらく待ってから、再実行してください。
5010065	DMER010065: 指定 P-VOL は LU 単位切替えが必要だが LU 単位切替え実行（中）です。しばらく待ってから、再実行してください。
5010066	DMER010066: 指定 P-VOL は LU 単位切替えが必要だが切替え元のコントローラが閉塞しています。しばらく待ってから、再実行してください。
5010067	DMER010067: 指定 P-VOL は LU 単位切替えが必要だが LU 単位切替え実行（開始）です。しばらく待ってから、再実行してください。
5011001	DMER011001: 対象 LU が LU 単位切替え中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5011002	DMER011002: ディレクトリが他系で閉塞し、LU 単位切替えチェックができません。しばらく待ってから、再実行してください。
5011003	DMER011003: LU 単位切替え要求がありました。しばらく待ってから、再実行してください。
5012001	DMER012001: 対象 LU が LU 単位切替え中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5012002	DMER012002: ディレクトリが他系で閉塞し、LU 単位切替えチェックができません。しばらく待ってから、再実行してください。
5012003	DMER012003: LU 単位切替え要求がありました。しばらく待ってから、再実行してください。
5020000	DMER020000: P-VOL ペア状態が Simplex 以外です。LU のペア状態を確認してください。
5020001	DMER020001: P-VOL 状態が正常・縮退以外です。LU の状態を確認してください。
5020002	DMER020002: P-VOL が常駐 LU です。LU の状態を確認してください。
5020003	DMER020003: P-VOL が常駐 LU に予約されています。LU の状態を確認してください。
5020004	DMER020004: P-VOL がコマンドデバイスです。LU の状態を確認してください。
5020005	DMER020005: 正シーケンス#が自装置の装置 ID と違います。装置 ID を確認してください。
5020006	DMER020006: パスが 2 本とも正常ではありません。パスの状態を確認してください。
5020007	DMER020007: P-VOL が統合 LU の SubLU に定義済みです。LU の状態を確認してください。

エラーコード	説明
5020009	DMER020009: すでに、ペアが最大数存在します。不要なペアを解除してください。
502000d	DMER02000D: P-VOL が Split, Failure 以外です。LU のペア状態を確認してください。
502000e	DMER02000E: P-VOL 状態が正常・縮退以外です。LU のペア属性を確認してください。
502000f	DMER02000F: ペア対象 LUN が違います。指定した LUN を確認してください。
5020010	DMER020010: 正シーケンス#が自装置の装置 ID と違います。装置 ID を確認してください。
5020011	DMER020011: パスが 2 本とも正常ではありません。パスの状態を確認してください。また、S-VOL の状態を確認してください。Takeover に移行している場合は、S-VOL のデータを利用可能です。
5020012	DMER020012: 指定 P-VOL が Synchronizing, Paired 以外です。LU のペア状態を確認してください。
5020014	DMER020014: 設定時と現在の装置 ID が異なります。装置 ID を確認してください。
5020016	DMER020016: ペア対象 LUN が違います。指定した LUN を確認してください。
5020017	DMER020017: 正シーケンス#が自装置の装置 ID と違います。装置 ID を確認してください。
5020018	DMER020018: P-VOL に対して S-VOL ペア解除指示、または S-VOL に対してペア解除指示を受領しました。LU のペア状態を確認してください。
5020020	DMER020020: ASYNC モードが ON です。ASYNC は未サポート。
5020021	DMER020021: フェンスレベルが STATUS です。指定したフェンスレベルを確認してください。
5020023	DMER020023: P-VOL は ShadowImage の Failure かつ R/W 不可です。LU のペア状態を確認してください。
5020024	DMER020024: P-VOL は ShadowImage のリストア実行中です。LU のペア状態を確認してください。
5020025	DMER020025: スワップを P-VOL で受領しました。LU のペア属性を確認してください。
5020026	DMER020026: ペアが Takeover 状態ではありません。ペア状態を確認してください。
5020027	DMER020027: S-VOL で再同期を受領しました。LU のペア属性を確認してください。
5020028	DMER020028: ShadowImage の P-VOL であり Failure かつ R/W 不可です。当該 P-VOL を Simplex にし、再度ペアを生成してください。
5020029	DMER020029: ShadowImage の P-VOL でありリバースコピー実行中です。LU のペア状態を確認してください。
502002a	DMER02002A: P-VOL でテイクオーバを受領しました。LU のペア状態を確認してください。
502002b	DMER02002B: Simplex または Synchronizing 中です。LU のペア状態を確認してください。
502002c	DMER02002C: 副シーケンス#が装置 ID と違います。装置 ID を確認してください。
502002d	DMER02002D: S-VOL でテイクオーバを受領しました。LU のペア状態を確認してください。
502002e	DMER02002E: P-VOL ペア状態が Simplex または Synchronizing 中です。LU のペア状態を確認してください。
502002f	DMER02002F: 正シーケンス#が装置 ID と違います。装置 ID を確認してください。
5020030	DMER020030: S-VOL でペアサスペンドを受領しました。LU のペア状態を確認してください。
5020031	DMER020031: サポート容量を超えています。不要なペアを解除してください。
5020032	DMER020032: P-VOL が RAID 0 です。指定した LU の RAID レベルを確認してください。

エラーコード	説明
5020033	DMER020033: 指定 LU は ShadowImage の S-VOL かつペア状態が Split 以外です。LU のペア状態を確認してください。
5020035	DMER020035: ShadowImage の S-VOL かつペア状態が Split 以外です。LU のペア状態を確認してください。
5020036	DMER020036: SnapShot の P-VOL かつリストア中です。LU のペア状態を確認してください。
5020037	DMER020037: SnapShot の P-VOL であり Failure かつ R/W 不可です。当該 P-VOL の全 V-VOL を Simplex にし、再度ペアを生成してください。
5020038	DMER020038: SnapShot の P-VOL かつ SnapShot のペア相手がすでにリモートレプリケーションペア済みです。LU のペア状態を確認してください。
5020039	DMER020039: SnapShot の V-VOL かつ SnapShot の Split 以外です。LU のペア状態を確認してください。
502003a	DMER02003A: SnapShot の V-VOL であり同 P-VOL がリストア中、またはリストア中に Failure に遷移しました。LU のペア状態を確認してください。
502003b	DMER02003B: 指定した LU が SnapShot ペアであり、すでにリモートレプリケーションとカスケードしています。LU のペア状態を確認してください。
502003c	DMER02003C: 指定した LU が SnapShot ペアであり、すでにリモートレプリケーションとカスケードしています。LU のペア状態を確認してください。
502003d	DMER02003D: SnapShot の P-VOL でありリストア中です。LU のペア状態を確認してください。
502003e	DMER02003E: SnapShot の P-VOL であり Failure かつ R/W 不可です。当該 P-VOL の全 V-VOL を Simplex にし、再度ペアを生成してください。
502003f	DMER02003F: SnapShot の V-VOL かつ SnapShot の Split 以外です。LU のペア状態を確認してください。
5020040	DMER020040: SnapShot の P-VOL であり、リストア中または Failure で R/W 不可です。LU のペア状態を確認してください。
5020042	DMER020042: MainLU と SubLU の RAID レベルが異なります。指定した LU の RAID レベルが一致しているか確認してください。
5020043	DMER020043: MainLU と SubLU のデータディスク数が異なります。指定した LU のデータディスク数が一致しているか確認してください。
5020045	DMER020045: 指定した LU が SnapShot の V-VOL であり、その SnapShot ペアの P-VOL が統合 LU かつ MainLU と SubLU の RAID レベルが異なります。指定した LU に対応する SnapShot の P-VOL の RAID レベルが一致しているか確認してください。
5020046	DMER020046: 指定した LU が SnapShot の V-VOL であり、その SnapShot ペアの P-VOL が統合 LU かつ MainLU と SubLU のデータディスク数が異なります。指定した LU に対応する SnapShot の P-VOL のデータディスク数が一致しているか確認してください。
5020047	DMER020047: リモートレプリケーションの P-VOL にデータが壊れている部分があります。SnapShot ペアを SnapShot 指示 (Paired→Split) し直した後に再度ペアを生成してください。
5020048	DMER020048: リモートレプリケーションの P-VOL にデータが壊れている部分があります。指定 LU のバックアップを取得しフォーマットしてください。その後、バックアップデータをリストアしてください。
502004b	DMER02004B: 指定した P-VOL は ShadowImage の Failure (S-VOL Switch) 状態です。保守員に依頼して、P-VOL を構成しているドライブを交換してください。交換後 P-VOL をフォーマットし、再同期してください。
502004d	DMER02004D: DM-LU が設定されていません。DM-LU を設定してから再実行してください。
502004e	DMER02004E: DM-LU を P-VOL に指定できません。LU の状態を確認してください。

エラーコード	説明
502004f	DMER02004F: ライセンスの有効期限が切れました。ライセンスを購入してください。
5020052	DMER020052: リモートレプリケーションでリモート SnapShot スプリット要求を受領しました。リモートレプリケーションでは未サポートです。
5020053	DMER020053: 指定 P-VOL はリザーブ LU です。LU の状態を確認してください。
5020054	DMER020054: 指定 P-VOL はマイグレーションを実行中です。LU のペア状態を確認してください。
5020055	DMER020055: 指定 P-VOL の所属 RAID グループを構成しているディスクドライブがスピンドウンしています。RAID グループの状態を確認してください。
5020056	DMER020056: 指定 P-VOL の所属 RAID グループを構成しているディスクドライブがスピンドウンしています。RAID グループの状態を確認してください。
5020057	DMER020057: 指定した機能は、リモート側アレイ装置で未サポートです。リモート側アレイ装置を確認してください。
5020058	DMER020058: グループ指定のペア生成時、グループ ID が範囲外です。グループ ID を確認してください。
5020059	DMER020059: 指定 S-VOL はペア生成可能な状態ではありません。指定 S-VOL のペア状態をローカル側アレイ装置およびリモート側アレイ装置で確認してください。
502005a	DMER02005A: 再同期時グループ単位でコマンドを受領しました。指定した内容を確認してください。
502005b	DMER02005B: グループ指定時、指定した S-VOL はグループ指定で生成されたペアではありません。LU の状態を確認してください。
502005c	DMER02005C: グループ指定時、同一グループ内に P-VOL があります。グループ ID を確認してください。
502005d	DMER02005D: グループ指定時、同一グループ内にペア状態が Paired/Split/Failure のペアが 1 つもありません。グループ ID 内の LU のペア状態を確認してください。
502005e	DMER02005E: グループ指定時、指定した P-VOL はグループ指定で生成されたペアではありません。LU の状態を確認してください。
502005f	DMER02005F: グループ指定時、同一グループ内に S-VOL があります。グループ ID を確認してください。
5020060	DMER020060: グループ指定時、同一グループ内にペア状態が Paired/Split/Failure のペアが 1 つもありません。グループ ID 内の LU のペア状態を確認してください。
5020061	DMER020061: グループ指定時、指定した P-VOL はグループ指定で生成されたペアではありません。LU の状態を確認してください。
5020062	DMER020062: グループ指定時、同一グループ内に S-VOL があります。グループ ID を確認してください。
5020063	DMER020063: グループ指定時、同一グループ内にペア状態が Synchronizing/Paired のペアが 1 つもありません。グループ ID 内の LU のペア状態を確認してください。
5020064	DMER020064: 未サポートの範囲に対してペア解除を実行しました。指定した内容を確認してください。
5020065	DMER020065: グループ指定時、指定した P-VOL はグループ指定で生成されたペアではありません。LU の状態を確認してください。
5020066	DMER020066: グループ指定時、同一グループ内に S-VOL があります。グループ ID を確認してください。
5020067	DMER020067: グループ指定時、指定した S-VOL はグループ指定で生成されたペアではありません。LU の状態を確認してください。
5020068	DMER020068: グループ指定時、同一グループ内に P-VOL があります。グループ ID を確認してください。
5020069	DMER020069: 指定したリモート側アレイ装置と接続されているリモートパスは存在しません。指定したリモートアレイ ID の装置とリモートパスを生成し、再実行してください。

エラーコード	説明
502006a	DMER02006A: オートマイグレーション中のためコマンドを実行できません。マイグレーション状態を確認してください。
502006b	DMER02006B: オートマイグレーション中のためコマンドを実行できません。マイグレーション状態を確認してください。
502006c	DMER02006C: オートマイグレーション中のためコマンドを実行できません。マイグレーション状態を確認してください。
502006d	DMER02006D: 指定フェンスレベルと異なるフェンスレベルのペアが同一グループ内にあります。生成するペアのフェンスレベルを確認してください。
502006e	DMER02006E: 指定グループ内に P-VOL と S-VOL が反対のペアが含まれます。ペア生成を実行する装置を確認してください。
502006f	DMER02006F: 指定 LU は ShadowImage ペアの P-VOL または S-VOL であり、ペア状態が Split Pending または Paired Internally Synchronizing です。ShadowImage ペアの状態を確認してください。
5020070	DMER020070: マイグレーション状態が移行開始前以外です。マイグレーション状態を確認してください。
5020071	DMER020071: マイグレーションモードがマイグレーションを示しています。マイグレーションモードを確認してください。
5020072	DMER020072: 指定 LU が所属する RAID グループの状態が Normal 以外を示しています。状態が Normal になってから再度実行してください。
5020073	DMER020073: 指定グループ内のペアが使用しているプールに、所属する RAID グループの状態が Normal 以外の LU が含まれています。指定グループ内のペアが使用しているプールを構成している LU について、所属する RAID グループの状態が Normal になってから再度実行してください。
5020074	DMER020074: 指定した CTG 番号は他のリモート側アレイ装置とのリモートレプリケーションペアによりすでに使用済みです。指定した CTG 番号以外の番号を指定し、再実行してください。
5020075	DMER020075: ローカル側に指定した Edge アレイ装置はすでに他のアレイ装置とリモートレプリケーションペアを生成済みです。ローカル側アレイ装置のペア状態を確認してください。
5020076	DMER020076: 最大接続きょう体数を超えているため、指定したリモート側アレイ装置へのペア生成はできません。他のリモート側アレイ装置 1 台とのリモートレプリケーションペアをすべて削除した後に、再実行してください。
5020077	DMER020077: DP プールに作成した LU を P-VOL に指定しました。DP プールに作成した LU 以外の LU を指定してください。
5020078	DMER020078: P-VOL に指定した LU がありません。指定した LUN を確認してください。
5020079	DMER020079: 指定した P-VOL は DP プールに作成した LU を含む ShadowImage のペアを構成しています。指定した P-VOL が構成する ShadowImage ペアを確認してください。
502007a	DMER02007A: 指定した P-VOL は DP プールに作成した LU を含む ShadowImage のペアを構成しています。指定した P-VOL が構成する ShadowImage ペアを確認してください。
502007b	DMER02007B: 指定した P-VOL は ShadowImage の S-VOL であり、ShadowImage の P-VOL は DP プールに作成した LU と他のペアを構成しています。指定した P-VOL が構成する ShadowImage ペアと P-VOL を共有する全ての ShadowImage の S-VOL を確認してください。
502007c	DMER02007C: Dynamic Provisioning の管理情報を更新中です。しばらく待ってから、再度実行して下さい。
502007d	DMER02007D: 指定した P-VOL が所属する DP プールの容量が不足しているため実行できません。DP プールの容量を確認してください。

エラーコード	説明
502007e	DMER02007E: 指定した S-VOL が所属する DP プールの容量が不足しているため実行できません。DP プールの容量を確認してください。
502007f	DMER02007F: メモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度ペア操作を実行してください。
5020080	DMER020080: メモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度ペア操作を実行してください。
5020081	DMER020081: 指定した S-VOL のペア状態が Simplex, Synchronizing, または Paired です。LU のペア状態を確認してください。
5020082	DMER020082: 指定グループ内に Takeover 状態のペアがありません。ペア状態を確認してください。
5020083	DMER020083: DM-LU の容量が枯渇しているため処理が実行できません。DM-LU の容量を追加してください。
5020084	DMER020084: 指定した LU は内部処理実施中です。しばらく待ってから再実行してください。
5020085	DMER020085: DM-LU の状態が不正です。DM-LU の状態を確認してください。
5020086	DMER020086: DM-LU が所属する DP プールが閉塞しているため、処理が実行できません。DP プールの回復を実施してください。
5020087	DMER020087: DM-LU に PIN があります。PIN を回復させた後に再実施してください。
5020088	DMER020088: DM-LU が所属している DP プールの容量が不足しているため実行できません。DP プール容量の拡張を実施してください。
5020089	DMER020089: DM-LU にライト未完があるため処理が実行できません。指定したペアを削除してください。
502008a	DMER02008A: DM-LU にライト未完があるため処理が実行できません。ペア単位でペア操作を実施し直してください。
502008b	DMER02008B: DM-LU にライト未完があるため処理が実行できません。指定したペアの P-VOL とカスケードしている ShadowImage ペアを削除してください。
502008c	DMER02008C: 指定した P-VOL がリモートレプリケーションペアの P-VOL です。ペア状態を確認してください。
502008d	DMER02008D: 指定した LU が SnapShot ペアであり、すでにリモートレプリケーションペアとカスケードしています。LU のペア状態を確認してください。
502008e	DMER02008E: 指定したボリュームが属する SnapShot ペアは、V-VOL からカスケードできる最大数のレプリケーションペアが既に作成されています。ペア構成を確認してください。
502008f	DMER02008F: マイグレーションの状態がチェック実行中、またはアレイ切替中を示しています。マイグレーションの状態を確認してください。
502303d	DMER02303D: 対象 LU のペア状態が不整合です。LU のペア状態および相手の LUN を確認してください。
502403d	DMER02403D: 対象 LU のペア状態が不整合です。LU のペア状態および相手の LUN を確認してください。
5030000	DMER030000: PIN があるため単位切替えできません。PIN 回復後に再実行してください。
5030001	DMER030001: LU 切替が一時的にできません。しばらく待ってから、再実行してください。
5030002	DMER030002: LU 切替処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5030003	DMER030003: 切替え先のパーティションがありません。しばらく待ってから、再実行してください。
5030004	DMER030004: ディレクトリ構成を変更中です。装置を再起動してください。

エラーコード	説明
5030005	DMER030005: LU 単位切替えでタイムアウトが発生しました。しばらく待ってから、再実行してください。
5030006	DMER030006: P-VOL のペア状態が Simplex 以外または V-VOL が存在しません。LU のペア状態を確認してください。
5030007	DMER030007: ペア状態が Simplex 以外です。LU のペア状態を確認してください。
5030008	DMER030008: 指定された P-VOL が V-VOL です。LU のペア状態を確認してください。
5030009	DMER030009: 指定された V-VOL が P-VOL です。LU のペア状態を確認してください。
503000b	DMER03000B: グループ ID が範囲外です。指定したグループ ID を確認してください。
503000d	DMER03000D: 同一 P-VOL 内で同一 MU#を指定しています。指定 MU#を確認してください。
503000e	DMER03000E: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5030010	DMER030010: ペア状態が Split 以外です。ペア状態を確認してください。
5030011	DMER030011: 対象 LUN が不一致です。対象 LU を確認してください。
5030012	DMER030012: 強制サスペンドを受領しました。コマンドを確認してください。
5030014	DMER030014: P-VOL が正常・縮退以外です。LU の状態を確認してください。
5030015	DMER030015: 使用しているデータプール LU が正常・縮退以外です。プール LU の状態を確認してください。
5030017	DMER030017: P-VOL のペア属性が V-VOL です。LU 状態を確認してください。
5030018	DMER030018: V-VOL のペア属性が P-VOL です。LU 状態を確認してください。
503001a	DMER03001A: 同一 P-VOL 内で同一 MU#を指定しています。指定 MU#を確認してください。
503001b	DMER03001B: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
503001d	DMER03001D: 対象 LUN が不一致です。指定した LU を確認してください。
503001e	DMER03001E: 指定 V-VOL はグループ指定されていません (グループ ID サスペンド)。LU のペア属性を確認してください。
503001f	DMER03001F: 一括サスペンド対象 V-VOL が Paired 以外です (グループ ID サスペンド)。LU のペア状態を確認してください。
5030020	DMER030020: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5030021	DMER030021: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5030022	DMER030022: V-VOL のペア状態が不正です。LU のペア状態を確認してください。
5030023	DMER030023: 対象 LUN が不一致です。指定した LU を確認してください。
5030028	DMER030028: 指定 MU#と指定 V-VOL の MU#が異なります。指定した MU#を確認してください。
5030029	DMER030029: 指定 MU#と指定 V-VOL の MU#が異なります。指定した MU#を確認してください。
503002a	DMER03002A: 指定 MU#と指定 V-VOL の MU#が異なります。指定した MU#を確認してください。
503002b	DMER03002B: 処理が異常終了したため、Failure に遷移しました。当該ペアを一旦 Simplex にし、再度ペアを生成してください。
503002c	DMER03002C: 指示 P-VOL が PIN オーバ (リストア時のみ) です。PIN 回復後に再実行してください。
503002e	DMER03002E: 8 バイト形式の制御情報を受領しました。ナビゲーターの環境を確認してください。
503002f	DMER03002F: リストア中の LU が 64 個以上あります。リストア終了後に再実行してください。

エラーコード	説明
5030030	DMER030030: P-VOL がリストア中です。リストア終了後に再実行してください。
5030031	DMER030031: V-VOL にデータが壊れている部分があります。S-VOL からテープ装置等にバックアップを取得し、そのデータを P-VOL にリストアしてください。
5030032	DMER030032: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5030033	DMER030033: 処理が異常終了したため、Failure に遷移し P-VOL が R/W 不可になりました。当該 P-VOL の全 V-VOL を Simplex にし、再度ペアを生成してください。
5030034	DMER030034: 処理が異常終了したため、Failure に遷移し P-VOL が R/W 不可になりました。当該 P-VOL の全 V-VOL を Simplex にし、再度ペアを生成してください。
5030035	DMER030035: MU# が 0~2 以外です。指定した MU# を確認してください。
5030036	DMER030036: MU# が 0~2 以外です。指定した MU# を確認してください。
5030037	DMER030037: MU# が 0 以外です。指定した MU# を確認してください。
5030038	DMER030038: V-VOL がリモートレプリケーションの Simplex 以外です。リモートレプリケーションのペア状態を確認してください。
5030039	DMER030039: SnapShot の P-VOL はリモートレプリケーションの P-VOL であり、Split かつ WRITE 禁止状態です。ペア状態およびペア属性を確認してください。
503003a	DMER03003A: SnapShot の P-VOL はリモートレプリケーションの S-VOL であり、Split かつ WRITE 禁止状態です。ペア状態およびペア属性を確認してください。
503003b	DMER03003B: SnapShot の P-VOL がリモートレプリケーションの Simplex, Split 以外です。リモートレプリケーションのペア状態を確認してください。
503003c	DMER03003C: SnapShot の他 V-VOL にリモートレプリケーションの Split または Failure 以外の LU があります。リモートレプリケーションのペア状態を確認してください。
503003d	DMER03003D: V-VOL がリモートレプリケーションの Split または Failure 以外です。リモートレプリケーションのペア状態を確認してください。
503003e	DMER03003E: V-VOL がリモートレプリケーションの Simplex 以外です。リモートレプリケーションのペア状態を確認してください。
5030044	DMER030044: DM-LU が設定されていません。DM-LU を設定してから再実行してください。
5030045	DMER030045: DM-LU を P-VOL に指定しました。LU の状態を確認してください。
5030046	DMER030046: DM-LU を V-VOL に指定しました。LU の状態を確認してください。
5030047	DMER030047: DM-LU が設定されていません。DM-LU を設定してから再実行してください。
5030048	DMER030048: DM-LU を P-VOL に指定しました。LU の状態を確認してください。
5030049	DMER030049: DM-LU を V-VOL に指定しました。LU の状態を確認してください。
503004a	DMER03004A: ライセンスの有効期限が切れました。ライセンスを購入してください。
503004b	DMER03004B: ライセンスの有効期限が切れました。ライセンスを購入してください。
5030052	DMER030052: 指定 P-VOL はリモートレプリケーションの P-VOL でリモートレプリケーションのペア状態が Split 以外 (リストア時)。LU の状態を確認してください。
5030053	DMER030053: 指定 P-VOL はリモートレプリケーションの S-VOL でリモートレプリケーションのペア状態が Split かつ S-VOL ライト禁止状態 (リストア時)。LU の状態を確認してください。
5030054	DMER030054: 指定 P-VOL はリモートレプリケーションの S-VOL で、S-VOL を直前の更新サイクルで確定した状態に戻す処理を行っています。しばらく待ってから再実行してください。
5030056	DMER030056: 指定 P-VOL はリモートレプリケーションの S-VOL でリモートレプリケーションのペア状態が Split かつ S-VOL R/W 不可状態 (リストア時)。LU の状態を確認してください。

エラーコード	説明
5030057	DMER030057: 指定 P-VOL はリモートレプリケーションの S-VOL でリモートレプリケーションのペア状態が Simplex または Split 以外 (リストア時)。LU の状態を確認してください。
5030058	DMER030058: この SnapShot の P-VOL はリモートレプリケーションペアの S-VOL になっています。このリモートレプリケーションペアの状態が Synchronizing または Paired のため実行できません。LU の状態を確認してください。
5030059	DMER030059: 指定 P-VOL はリモートレプリケーションの S-VOL でリモートレプリケーションのペア状態が Split で S-VOL R/W 不可状態。LU の状態を確認してください。
503005a	DMER03005A: 指定 P-VOL はリモートレプリケーションの S-VOL でリモートレプリケーションのペア状態が Synchronizing または Paired。LU の状態を確認してください。
503005b	DMER03005B: 指定 P-VOL はリモートレプリケーションの S-VOL でリモートレプリケーションのペア状態が Split で S-VOL R/W 不可状態。LU の状態を確認してください。
503005c	DMER03005C: 指定 P-VOL はリモートレプリケーションの S-VOL でリモートレプリケーションのペア状態が Pool Full (リストア時)。LU の状態を確認してください。
503005d	DMER03005D: 指定 P-VOL はリザーブ LU です。LU の状態を確認してください。
503005e	DMER03005E: 指定 P-VOL はリザーブ LU です。LU の状態を確認してください。
503005f	DMER03005F: 指定 P-VOL は LU 単位切替えが必要だが、PIN があります。サポートサービス利用ガイドに記載された連絡先にお問い合わせください。
5030060	DMER030060: P-VOL に指定した LU の LU 切替ができません。LU の状態を確認してください。
5030061	DMER030061: LU 切替処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5030062	DMER030062: 切替え先パーティションがありません。しばらく待ってから、再実行してください。
5030063	DMER030063: 指定 P-VOL は LU 単位切替えが必要だが、ディレクトリ構成を変更中です。LU の状態を確認してください。
5030064	DMER030064: 指定 P-VOL は LU 単位切替えが必要だが、LU 単位切替えでタイムアウトしました。LU の状態を確認してください。
5030065	DMER030065: 指定 P-VOL の所属 RAID グループを構成しているディスクドライブがスピンドウンしています (リストア時)。RAID グループの状態を確認してください。
5030066	DMER030066: 指定 POOL ID は範囲外です。POOL ID を確認してください。
5030067	DMER030067: 指定 POOL ID にプール LU がありません。POOL ID を確認してください。
5030068	DMER030068: 指定した P-VOL は既に 1 個以上の V-VOL とペア生成済みで、指定 POOL ID が割当て済みの POOL ID と異なります。POOL ID を確認してください。
5030069	DMER030069: 指定 P-VOL の所属 RAID レベルが RAID 0 です。LU の RAID レベルを確認してください。
503006a	DMER03006A: 指定 P-VOL はすでに V-VOL が最大数ペア生成済みです。P-VOL とペアになっている V-VOL 数を確認してください。
503006b	DMER03006B: 指定 P-VOL は統合 LU の SubLU です。LU の状態を確認してください。
503006c	DMER03006C: 指定 P-VOL は Volume Migration ペアです。LU の状態を確認してください。
503006d	DMER03006D: 指定 P-VOL は ShadowImage ペアです。LU の状態を確認してください。
503006e	DMER03006E: 指定 P-VOL はコマンドデバイスに設定済みです。LU の状態を確認してください。

エラーコード	説明
503006f	DMER03006F: SnapShot ペアのサポート容量を超えています。SnapShot ペアの全 P-VOL, リモートレプリケーションペアの全 P-VOL および全 S-VOL, データプールの容量を確認し、搭載しているキャッシュでサポートされる容量以下にしてください。
5030070	DMER030070: 処理中です。しばらく待ってから再実行してください。
5030071	DMER030071: リモートレプリケーション+SnapShot で最大数のペアを生成済みです。不要なペアを削除してください。
5030072	DMER030072: 指定 P-VOL が MainLU でその統合 LU 内に容量が 1 GB より小さい LU が含まれています。LU の状態を確認してください。
5030073	DMER030073: 指定 P-VOL はカレント常駐 LU に設定済みです。LU の状態を確認してください。
5030074	DMER030074: 指定 P-VOL は予約常駐 LU に設定済みです。LU の状態を確認してください。
5030075	DMER030075: 指定 P-VOL は他 Dir へのキャッシュパーティション変更予約済みです。LU の状態を確認してください。
5030076	DMER030076: 差分ビットマップが不足しています。不要なペアを削除してください。
5030077	DMER030077: 指定 P-VOL がリモートレプリケーションペア時、指定プール ID とリモートレプリケーションペアで使用済みのプール ID が不一致です。POOL ID を確認してください。
5030078	DMER030078: P-VOL と V-VOL の LU 容量が異なります。LU の容量を確認してください。
5030079	DMER030079: V-VOL はリモートレプリケーションの S-VOL です。
503007a	DMER03007A: SnapShot の他 V-VOL にリモートレプリケーションの S-VOL があります。リモートレプリケーションのペア状態を確認してください。
503007b	DMER03007B: 未サポートのコマンドオプションを受領しました。指定した内容を確認してください。
503007c	DMER03007C: 指定 POOL ID は範囲外です。POOL ID を確認してください。
503007d	DMER03007D: 指定 POOL ID にプール LU がありません。POOL ID を確認してください。
503007e	DMER03007E: 1 個以上ペアが組まれている P-VOL に対して割り当て済みのプール ID と異なるプール ID でペア生成を指示しました。POOL ID を確認してください。
503007f	DMER03007F: 指定 P-VOL の所属 RAID レベルが RAID 0 です。LU の RAID レベルを確認してください。
5030080	DMER030080: 指定 P-VOL はすでに V-VOL が最大数ペア生成済みです。P-VOL とペアになっている V-VOL 数を確認してください。
5030081	DMER030081: 指定 P-VOL は統合 LU の SubLU です。LU の状態を確認してください。
5030082	DMER030082: 指定 P-VOL は Volume Migration ペアです。LU の状態を確認してください。
5030083	DMER030083: 指定 P-VOL は ShadowImage ペアです。LU の状態を確認してください。
5030084	DMER030084: 指定 P-VOL はコマンドデバイスに設定済みです。LU の状態を確認してください。
5030085	DMER030085: SnapShot ペアのサポート容量を超えています。SnapShot ペアの全 P-VOL, リモートレプリケーションペアの全 P-VOL および全 S-VOL, データプールの容量を確認し、搭載しているキャッシュでサポートされる容量以下にしてください。
5030086	DMER030086: 処理中です。しばらく待ってから再実行してください。
5030087	DMER030087: リモートレプリケーション+SnapShot で最大数のペアを生成済みです。不要なペアを削除してください。

エラーコード	説明
5030088	DMER030088: 指定 P-VOL が MainLU でその統合 LU 内に容量が 1 GB より小さい LU が含まれています。LU の状態を確認してください。
5030089	DMER030089: 指定 P-VOL はカレント常駐 LU に設定済みです。LU の状態を確認してください。
503008a	DMER03008A: 指定 P-VOL は予約常駐 LU に設定済みです。LU の状態を確認してください。
503008b	DMER03008B: 指定 P-VOL は他 Dir へのキャッシュパーティション変更予約済みです。LU の状態を確認してください。
503008c	DMER03008C: 差分ビットマップが不足しています。不要なペアを削除してください。
503008d	DMER03008D: 指定 P-VOL がリモートレプリケーションペア時、指定プール ID とリモートレプリケーションで使用済みのプール ID が不一致です。POOL ID を確認してください。
503008e	DMER03008E: P-VOL と V-VOL の LU 容量が異なります。LU の容量を確認してください。
503008f	DMER03008F: グループ指定のペア生成時、指定したグループ ID はすでに ShadowImage で使用中です。グループ ID を確認してください。
5030090	DMER030090: 対象 LU の所属パーティションまたはペアパーティションが妥当ではありません。パーティション番号を確認してください。
5030091	DMER030091: プログラム内部エラーが発生しました。しばらく待ってから、再実行してください。解決しない場合、保守員へ連絡してください。
5030092	DMER030092: P-VOL が正常・縮退以外です。LU の状態を確認してください。
5030093	DMER030093: 使用しているデータプール LU が正常・縮退以外です。LU の状態を確認してください。
5030094	DMER030094: マイグレーション状態が未実行以外です。マイグレーション状態を確認してください。
5030095	DMER030095: マイグレーション状態が未実行以外です。マイグレーション状態を確認してください。
5030096	DMER030096: マイグレーション状態が未実行以外です。マイグレーション状態を確認してください。
5030097	DMER030097: マイグレーション状態が未実行以外です。マイグレーション状態を確認してください。
5030098	DMER030098: マイグレーション状態が未実行以外です。マイグレーション状態を確認してください。
5030099	DMER030099: すでに、ペアが最大数存在します。不要なペアを削除してください。
503009a	DMER03009A: すでに、ペアが最大数存在します。不要なペアを削除してください。
503009b	DMER03009B: コントローラー回復中に LU 切替え処理のタイムアウトが発生しました。コントローラー回復後に、再実行してください。
503009c	DMER03009C: LU 切替の対象となる LU が所属する RAID グループの状態が Normal 以外を示しています。状態が Normal になってから再度実行してください。
503009d	DMER03009D: DP プールに作成した LU を P-VOL に指定しました。DP プールに作成した LU 以外の LU を指定してください。
503009e	DMER03009E: 指定グループ内に、所属する RAID グループの状態が Normal 以外の P-VOL が含まれています。指定グループ内の P-VOL が所属する RAID グループの状態が Normal になってから再度実行してください。
503009f	DMER03009F: 指定グループ内のペアが使用しているプールに、所属する RAID グループの状態が Normal 以外の LU が含まれています。指定グループ内のペアが使用しているプールを構成している LU について、所属する RAID グループの状態が Normal になってから再度実行してください。

エラーコード	説明
50300a0	DMER0300A0: 指定 LU が所属する RAID グループの状態が Normal 以外を示しています。状態が Normal になってから再度実行してください。
50300a1	DMER0300A1: ペア操作時に指定したプール, または指定したペアが使用しているプールに, 所属する RAID グループの状態が Normal 以外の LU が含まれています。プールを構成している LU について, 所属する RAID グループの状態が Normal になってから再度実行してください。
50300a2	DMER0300A2: DP プールに作成した LU を P-VOL に指定しました。DP プールに作成した LU 以外の LU を指定してください。
50300a3	DMER0300A3: P-VOL に指定した LU がありません。指定した LUN を確認してください。
50300a4	DMER0300A4: P-VOL に指定した LU がありません。指定した LUN を確認してください。
50300a5	DMER0300A5: DP 最適化における状態が Normal 以外を示す LU がペアおよびカスケードされたペアに含まれています。ペアに含まれる LU の最適化状態を確認してください。
50300a6	DMER0300A6: 指定した P-VOL が所属する DP プールの容量が不足しているため実行できません。DP プールの容量を確認してください。
50300a7	DMER0300A7: データプールに指定した LU が所属する DP プールの容量が不足しているため実行できません。DP プールの容量を確認してください。
50300a8	DMER0300A8: Dynamic Provisioning の管理情報を更新中です。しばらく待ってから, 再度実行して下さい。
50300a9	DMER0300A9: 同一グループ内に, P-VOL が所属する DP プールの容量が不足しているペアが存在するため実行できません。DP プールの容量を確認してください。
50300aa	DMER0300AA: 同一グループ内に, データプールに指定した LU が所属する DP プールの容量が不足しているペアが存在するため実行できません。DP プールの容量を確認してください。
50300ab	DMER0300AB: 指定した Snapshot の V-VOL はリモートレプリケーションの P-VOL のため削除できません。リモートレプリケーションペアを削除してから再実行してください。
50300ac	DMER0300AC: 指定した Snapshot の V-VOL はアクセスレベルが設定されているため処理できません。属性を Read/Write 可能で, かつ S-VOL Disable を無効にしてください。モードが設定されている場合は, RAID Manager で解除してから再実行してください。
50300ad	DMER0300AD: メモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後, 再度ペア操作を実行してください。
50300ae	DMER0300AE: メモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後, 再度ペア操作を実行してください。
50300af	DMER0300AF: P-VOL とデータプールの全容量割当モードの設定値が異なります。P-VOL およびデータプールの全容量割当モードを両方とも同じ設定値にしてください。
50300b0	DMER0300B0: P-VOL とデータプールの全容量割当モードの設定値が異なります。P-VOL およびデータプールの全容量割当モードを両方とも同じ設定値にしてください。
50300b1	DMER0300B1: 指定した Snapshot ペアとカスケードしている ShadowImage のペア状態が不正です。ShadowImage ペア状態を確認してください。
50300b2	DMER0300B2: 指定した Snapshot ペアとカスケードしている ShadowImage ペア状態が R/W 不可状態の Failure です。ペア状態を確認してください。
50300b3	DMER0300B3: 指定した P-VOL の所属する担当コントローラが指定したデータプールの担当コントローラと異なります。別のデータプールを指定するか, 担当コントローラを確認してください。
50300b4	DMER0300B4: 指定グループ内に ShadowImage ペアがカスケードされています。ShadowImage ペア状態を確認してください。

エラーコード	説明
50300b5	DMER0300B5: 指定した MU#が不正です。MU#を確認してください。
50300b6	DMER0300B6: 指定したグループの Point-in-Time 属性が無効です。指定したグループ番号を確認してください。
50300b7	DMER0300B7: 指定したグループには既に最大数のペアが存在します。指定したグループ内のペア数を確認してください。
50300b8	DMER0300B8: グループに属さないペア数が既に最大数に達しています。グループに属さないペアの数を確認してください。
50300b9	DMER0300B9: 指定したグループの Point-in-Time 属性が無効です。指定したグループ番号を確認してください。
50300ba	DMER0300BA: 使用するレプリケーションデータ DP プールまたは管理領域 DP プールの状態が正常または縮退以外です。またはそれらの DP プールのレプリケーションデータ解放閾値を超えています。またはそれらの DP プールが枯渇しています。DP プールの状態を確認してください。
50300bb	DMER0300BB: SnapShot ペアの削除中です。しばらく待ってから、再実行してください。
50300bc	DMER0300BC: 指定された P-VOL は既に最大数のペアを生成済みです。指定された P-VOL のペア数を確認してください。
50300bd	DMER0300BD: P-VOL が強制パリティ回復未実施です。強制パリティ回復実施後に再実行してください。
50300be	DMER0300BE: 指定されたレプリケーションデータ DP プール番号または管理領域 DP プール番号はサポート範囲外です。DP プール番号を確認してください。
50300bf	DMER0300BF: 使用するレプリケーションデータ DP プールまたは管理領域 DP プールが存在しません。DP プールの状態を確認してください。
50300c0	DMER0300C0: 指定されたレプリケーションデータ DP プールまたは管理領域 DP プールは、指定された P-VOL が現在使用している DP プールと異なります。DP プール番号を確認してください。
50300c1	DMER0300C1: リストア処理がバックグラウンドで実行中です。しばらく待ってから、再度実行して下さい。
50300c2	DMER0300C2: 指定グループ内に Synchronizing または Paired 状態にあるリモートレプリケーションペアの S-VOL とカスケードしている SnapShot ペアの P-VOL が存在します。リモートレプリケーションペアのペア状態を確認してください。
50300c3	DMER0300C3: 指定グループ内に Split 状態でかつ S-VOL Read/Write 不可状態にあるリモートレプリケーションペアの S-VOL とカスケードしている SnapShot ペアの P-VOL が存在します。リモートレプリケーションペアのペア状態を確認してください。
50300c4	DMER0300C4: 指定されたレプリケーションデータ DP プール、または管理領域 DP プールは階層モードが有効かつ未サポートドライブ(SSD または FMD)のみで構成された DP プールのためペア生成できません。DP プールに Tier を追加するか他の DP プールを指定して再実行してください。
50300c5	DMER0300C5: 指定されたグループは SnapShot ペア分割を予約済みかつカスケードしているリモートレプリケーションペアがサイクルコピー中です。ペア分割完了後に再度実行してください。
50300c6	DMER0300C6: 指定されたグループに所属する P-VOL とカスケードしているリモートレプリケーションのペア状態が不正です。ペア状態を確認してください。
50300c7	DMER0300C7: 指定されたグループに所属する P-VOL とカスケードしているリモートレプリケーションの構成が不正です。リモートレプリケーションのペア構成を確認してください。
50300c8	DMER0300C8: 指定されたグループに所属するペアに P-VOL を共有している他のペアが存在します。グループ内のペア構成を確認してください。

エラーコード	説明
50300c9	DMER0300C9: 指定されたグループに所属する P-VOL とカスケードしているリモートレプリケーションの相手装置がサポート範囲外です。相手装置のモデルを確認してください。
50300ca	DMER0300CA: 指定グループと P-VOL を共有する他のグループに SnapShot ペア分割を予約済みのグループが存在します。他のグループのペア分割完了後に再実行してください。
50300ef	DMER0300EF: 対象 LU の所属パーティションまたはペアパーティションが妥当ではありません。パーティション番号を確認してください。
50300f0	DMER0300F0: プログラム内部エラーが発生しました。しばらく待ってから、再実行してください。解決しない場合、保守員へ連絡してください。
50300fa	DMER0300FA: コントローラー回復中に LU 切替え処理のタイムアウトが発生しました。コントローラー回復後に、再実行してください。
50300fb	DMER0300FB: LU 切替の対象となる LU が所属する RAID グループの状態が Normal 以外を示しています。状態が Normal になってから再度実行してください。
5031000	DMER031000: PIN があるため単位切替えできません。PIN 回復後に再実行してください。
5031001	DMER031001: LU 切替が一時的にできません。しばらく待ってから、再実行してください。
5031002	DMER031002: LU 切替処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5031003	DMER031003: 切替え先のパーティションがありません。しばらく待ってから、再実行してください。
5031004	DMER031004: ディレクトリ構成を変更中です。装置を再起動してください。
5031005	DMER031005: LU 単位切替えでタイムアウトが発生しました。しばらく待ってから、再実行してください。
5031090	DMER031090: 対象 LU の所属パーティションまたはペアパーティションが妥当ではありません。パーティション番号を確認してください。
5031091	DMER031091: プログラム内部エラーが発生しました。しばらく待ってから、再実行してください。解決しない場合、保守員へ連絡してください。
503109b	DMER03109B: コントローラー回復中に LU 切替え処理のタイムアウトが発生しました。コントローラー回復後に、再実行してください。
503109c	DMER03109C: LU 切替の対象となる LU が所属する RAID グループの状態が Normal 以外を示しています。状態が Normal になってから再度実行してください。
5032000	DMER032000: PIN があるため単位切替えできません。PIN 回復後に再実行してください。
5032001	DMER032001: LU 切替が一時的にできません。しばらく待ってから、再実行してください。
5032002	DMER032002: LU 切替処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5032003	DMER032003: 切替え先のパーティションがありません。しばらく待ってから、再実行してください。
5032004	DMER032004: ディレクトリ構成を変更中です。装置を再起動してください。
5032005	DMER032005: LU 単位切替えでタイムアウトが発生しました。しばらく待ってから、再実行してください。
5032090	DMER032090: 対象 LU の所属パーティションまたはペアパーティションが妥当ではありません。パーティション番号を確認してください。
5032091	DMER032091: プログラム内部エラーが発生しました。しばらく待ってから、再実行してください。解決しない場合、保守員へ連絡してください。
503209b	DMER03209B: コントローラー回復中に LU 切替え処理のタイムアウトが発生しました。コントローラー回復後に、再実行してください。

エラーコード	説明
5050001	DMER050001: P-VOL または S-VOL が Format 実行中です。Format 終了後に再実行してください。
5050002	DMER050002: P-VOL または S-VOL が Format 実行中です。Format 終了後に再実行してください。
5050003	DMER050003: P-VOL または S-VOL が Format 実行中です。Format 終了後に再実行してください。
5050004	DMER050004: P-VOL または S-VOL が Format 実行中です。Format 終了後に再実行してください。
5050005	DMER050005: P-VOL または S-VOL が Format 実行中です。Format 終了後に再実行してください。
5060001	DMER060001: S-VOL が S-VOL Disable です。アクセス属性を解除してください。
5060002	DMER060002: P-VOL が S-VOL Disable (リストア時) です。アクセス属性を解除してください。
5060003	DMER060003: P-VOL に S-VOL Disable が設定されています (リストア時のみ)。アクセス属性を解除してください。
5060004	DMER060004: S-VOL に S-VOL Disable が設定されています。アクセス属性を解除してください。
5060005	DMER060005: ShadowImage の再同期指示で S-VOL Disable の S-VOL を指定しました。アクセス属性を解除してください。
5060006	DMER060006: S-VOL に S-VOL Disable が設定されています (リストア時のみ)。アクセス属性を解除してください。
5070001	DMER070001: P-VOL または S-VOL が強制パリティ回復未実施です。強制パリティ回復実施後に再実行してください。
5070002	DMER070002: P-VOL が強制パリティ回復実行中です (リストア時)。強制パリティ回復終了後に再実行してください。
5070003	DMER070003: S-VOL が強制パリティ回復実行中です。強制パリティ回復実施後に再実行してください。
5070011	DMER070011: P-VOL が強制パリティ回復未実施です。強制パリティ回復実施後に再実行してください。
5070012	DMER070012: P-VOL が強制パリティ回復実行中です。強制パリティ回復終了後に再実行してください。
5070021	DMER070021: P-VOL またはデータプール LU が強制パリティ回復未実施です。強制パリティ回復実施後に再実行してください。
5070022	DMER070022: P-VOL が強制パリティ回復実行中です (リストア時)。強制パリティ回復終了後に再実行してください。
5070023	DMER070023: データプール LU が強制パリティ回復実行中です。強制パリティ回復終了後に再実行してください。
5080001	DMER080001: P-VOL の LUN にサポート LU 数以上指定しました。指定したペア LU#を確認してください。
5080002	DMER080002: S-VOL の LUN にサポート LU 数以上指定しました。指定したペア LU#を確認してください。
5080003	DMER080003: P-VOL が正常または縮退以外です。LU の状態を確認してください。
5080004	DMER080004: S-VOL が正常または縮退以外です。LU の状態を確認してください。
5080005	DMER080005: 正シーケンス#が自装置の装置 ID と違います。装置 ID を確認してください。
5080006	DMER080006: 副シーケンス#が自装置の装置 ID と違います。装置 ID を確認してください。
5080007	DMER080007: 正ポート#が未サポートです。指定したポート#を確認してください。

エラーコード	説明
5080008	DMER080008: 副ポート#が未サポートです。指定したポート#を確認してください。
5080009	DMER080009: P-VOL が ShadowImage の Simplex 以外です。LU のペア状態を確認してください。
508000a	DMER08000A: S-VOL が ShadowImage の Simplex 以外です。LU のペア状態を確認してください。
508000b	DMER08000B: P-VOL が統合 LU の SubLU です。LU の状態を確認してください。
508000c	DMER08000C: S-VOL が統合 LU の SubLU です。LU の状態を確認してください。
508000e	DMER08000E: P-VOL が常駐 LU です。LU のペア状態を確認してください。
508000f	DMER08000F: S-VOL が常駐 LU です。LU のペア状態を確認してください。
5080010	DMER080010: P-VOL が常駐 LU に予約されています。LU のペア状態を確認してください。
5080011	DMER080011: S-VOL が常駐 LU に予約されています。LU のペア状態を確認してください。
5080012	DMER080012: P-VOL がコマンドデバイスです。LU のペア状態を確認してください。
5080013	DMER080013: S-VOL がコマンドデバイスです。LU のペア状態を確認してください。
5080014	DMER080014: P-VOL, S-VOL の LUN が同一です。指定した LU を確認してください。
5080016	DMER080016: 指定ペアの状態が Split/Split Pending/Failure 以外です。ペア状態を確認してください。
5080017	DMER080017: P-VOL のペア対象 LUN が S-VOL ではありません。指定した LU を確認してください。
5080018	DMER080018: P-VOL の LUN が 512 (1,023) 以上です。指定したペア LU#を確認してください。
5080019	DMER080019: S-VOL の LUN が 512 (1,023) 以上です。指定したペア LU#を確認してください。
508001a	DMER08001A: 正シーケンス#が自装置の装置 ID と違います。装置 ID を確認してください。
508001b	DMER08001B: 副シーケンス#が自装置の装置 ID と違います。装置 ID を確認してください。
508001c	DMER08001C: 正ポート#が未サポートです。指定したポート#を確認してください。
508001d	DMER08001D: 副ポート#が未サポートです。指定したポート#を確認してください。
508001f	DMER08001F: S-VOL の ShadowImage ペア状態が Simplex または Failure です。LU のペア状態を確認してください。
5080020	DMER080020: P-VOL のペア対象 LUN が S-VOL ではありません。指定した LU を確認してください。
5080021	DMER080021: P-VOL 状態が正常・縮退以外です。LU の状態を確認してください。
5080022	DMER080022: S-VOL 状態が正常・縮退以外です。LU の状態を確認してください。
5080023	DMER080023: P-VOL が統合 LU の SubLU です。LU の状態を確認してください。
5080024	DMER080024: S-VOL が統合 LU の SubLU です。LU の状態を確認してください。
5080026	DMER080026: P-VOL はカレント常駐 LU に設定済みです。LU の状態を確認してください。
5080027	DMER080027: S-VOL はカレント常駐 LU に設定済みです。LU の状態を確認してください。
5080028	DMER080028: P-VOL は常駐 LU に予約されています。LU の状態を確認してください。
5080029	DMER080029: S-VOL は常駐 LU に予約されています。LU の状態を確認してください。
508002a	DMER08002A: P-VOL はコマンドデバイスに登録済みです。LU の状態を確認してください。

エラーコード	説明
508002b	DMER08002B: S-VOL はコマンドデバイスに登録済みです。LU の状態を確認してください。
508002c	DMER08002C: S-VOL と P-VOL の LUN が同じです。指定した LU を確認してください。
508002d	DMER08002D: ペア対象ではありません。指定した LUN を確認してください。
508002e	DMER08002E: ペア対象ではありません。指定した LUN を確認してください。
508002f	DMER08002F: 正副のペア状態が Simplex, Paired, Paired Internally Synchronizing または Synchronizing 以外です。LU のペア状態を確認してください。
5080030	DMER080030: P-VOL の LUN が範囲外です。指定した LUN を確認してください。
5080031	DMER080031: S-VOL の LUN が範囲外です。指定した LUN を確認してください。
5080032	DMER080032: 正に指定した LU のペア属性が P-VOL ではありません。指定した LUN を確認してください。
5080033	DMER080033: ペア対象ではありません。指定した LUN を確認してください。
5080034	DMER080034: 正シーケンス#と装置 ID が不一致です。指定した正シーケンス#を確認してください。
5080035	DMER080035: 副シーケンス#と装置 ID が不一致です。指定した副シーケンス#を確認してください。
5080036	DMER080036: 正ポート#が範囲外です。指定した正ポート#を確認してください。
5080037	DMER080037: 副ポート#が範囲外です。指定した副ポート#を確認してください。
5080038	DMER080038: Failure (S-VOL Switch) のペアにリストアを受領しました。保守員に依頼して、P-VOL を構成しているドライブを交換してください。交換後 P-VOL をフォーマットし、再同期してください。
5080039	DMER080039: 指定ペアは Failure (S-VOL Switch) 状態です。保守員に依頼して、P-VOL を構成しているドライブを交換してください。交換後 P-VOL をフォーマットし、再同期してください。
508003a	DMER08003A: Failure (S-VOL Switch) からの再同期中です。再同期の終了を待ってください。
508003b	DMER08003B: Failure (S-VOL Switch) からの再同期中です。再同期の終了を待ってください。
508003c	DMER08003C: グループ ID が範囲外です。指定したグループ ID を確認してください。
508003d	DMER08003D: 同一グループ ID のペアが 32 個を超えました。指定したグループ ID を確認してください。
508003e	DMER08003E: 指定 P-VOL/S-VOL はグループ指定されていません (グループ ID サスペンド)。LU のペア属性を確認してください。
508003f	DMER08003F: 指定グループ内に、状態が Paired/ Paired Internally Synchronizing 以外のペアが含まれています。指定グループ内のペアの状態を確認してください。
5080046	DMER080046: DM-LU が設定されていません。DM-LU を設定してから再実行してください。
5080047	DMER080047: DM-LU を P-VOL に指定しました。LU の状態を確認してください。
5080048	DMER080048: DM-LU を S-VOL に指定しました。LU の状態を確認してください。
508004b	DMER08004B: DM-LU が設定されていません。DM-LU を設定してから再実行してください。
508004c	DMER08004C: DM-LU を P-VOL に指定しました。LU の状態を確認してください。
508004d	DMER08004D: DM-LU を S-VOL に指定しました。LU の状態を確認してください。
508004e	DMER08004E: ライセンスの有効期限が切れました。ライセンスを購入してください。
508004f	DMER08004F: ライセンスの有効期限が切れました。ライセンスを購入してください。

エラーコード	説明
5080050	DMER080050: キャッシュパーティションの変更が予約されている LU を P-VOL に指定しました。LU の状態を確認してください。
5080051	DMER080051: キャッシュパーティションの変更が予約されている LU を S-VOL に指定しました。LU の状態を確認してください。
5080052	DMER080052: キャッシュパーティションの変更が予約されている LU を P-VOL に指定しました。LU の状態を確認してください。
5080053	DMER080053: キャッシュパーティションの変更が予約されている LU を S-VOL に指定しました。LU の状態を確認してください。
508005e	DMER08005E: 指定 P-VOL はリモートレプリケーションペアです。LU の状態を確認してください。
508005f	DMER08005F: 指定 S-VOL はリモートレプリケーションペアです。LU の状態を確認してください。
5080060	DMER080060: 指定 P-VOL はリモートレプリケーションペアです。LU の状態を確認してください。
5080061	DMER080061: 指定 S-VOL はリモートレプリケーションペアです。LU の状態を確認してください。
5080064	DMER080064: 指定 MU#は指定 P-VOL 内で使用済みです。MU#を確認してください。
5080065	DMER080065: 指定 P-VOL 配下に Paired/Synchronizing/Reverse Synchronizing のボリュームが 1 つ以上あります。ペア状態を確認してください。
5080066	DMER080066: 指定 P-VOL 配下に Failure(S-VOL Switch)のボリュームが 1 つ以上あります。ペア状態を確認してください。
5080067	DMER080067: 指定 P-VOL 配下に R/W 不可状態の Failure ペア (リストア中の障害による Failure 遷移) が 1 つ以上あります。ペア状態を確認してください。
5080068	DMER080068: グループ指定のペア生成時、指定 P-VOL 内でグループ ID が重複しています。指定グループ ID を確認してください。
5080069	DMER080069: 指定 P-VOL のペア属性が P-VOL でない、または指定 S-VOL のペア属性が S-VOL ではありません。ペア属性を確認してください。
508006a	DMER08006A: 指定 MU#と指定 S-VOL の MU#が不一致です。MU#を確認してください。
508006b	DMER08006B: 指定 P-VOL 配下に Paired/Synchronizing/Reverse Synchronizing のペアが 1 つ以上あります。ペア状態を確認してください。
508006c	DMER08006C: 指定 P-VOL 配下に R/W 不可状態の Failure ペア (リストア中の障害による Failure 遷移) が 1 つ以上あります。ペア状態を確認してください。
508006d	DMER08006D: 指定 P-VOL のペア属性が P-VOL でない、または指定 S-VOL のペア属性が S-VOL ではありません。ペア属性を確認してください。
508006e	DMER08006E: 指定 MU#と指定 S-VOL の MU#が不一致です。MU#を確認してください。
508006f	DMER08006F: 指定 MU#と指定 S-VOL の MU#が不一致です。MU#を確認してください。
5080070	DMER080070: 指定 MU#は指定 P-VOL 内で使用済みです。MU#を確認してください。
5080071	DMER080071: 指定 P-VOL 配下に Paired/Synchronizing/Reverse Synchronizing のボリュームが 1 つ以上あります。ペア状態を確認してください。
5080072	DMER080072: 指定 P-VOL 配下に Failure(S-VOL Switch)のボリュームが 1 つ以上あります。ペア状態を確認してください。
5080073	DMER080073: 指定 P-VOL 配下に R/W 不可状態の Failure ペア (リストア中の障害による Failure 遷移) が 1 つ以上あります。ペア状態を確認してください。
5080074	DMER080074: 指定 MU#と指定 S-VOL の MU#が不一致です。MU#を確認してください。

エラーコード	説明
5080075	DMER080075: プログラム内部エラーが発生しました。しばらく待ってから、再実行してください。解決しない場合、保守員へ連絡してください。
5080077	DMER080077: 指定 P-VOL はリザーブ LU です。LU の状態を確認してください。
5080078	DMER080078: 指定 S-VOL はリザーブ LU です。LU の状態を確認してください。
5080079	DMER080079: 指定 S-VOL はマイグレーションを実行中の Split/Failure です。LU のペア状態を確認してください。
5080080	DMER080080: S-VOL はマイグレーションを実行中の Synchronizing/Split です。LU のペア状態を確認してください。
5080081	DMER080081: 指定 P-VOL はリザーブ LU です。LU のペア状態を確認してください。
5080082	DMER080082: 指定 S-VOL はリザーブ LU です。LU のペア状態を確認してください。
5080083	DMER080083: 指定 S-VOL はマイグレーションを実行中の Synchronizing です。LU のペア状態を確認してください。
5080084	DMER080084: 指定ボリュームはマイグレーションを実行中です。LU のペア状態を確認してください。
5080085	DMER080085: 指定 P-VOL はマイグレーションを実行中です。LU のペア状態を確認してください。
5080086	DMER080086: 指定 P-VOL の所属 RAID グループを構成しているディスクドライブがスピンドアウンしています。RAID グループの状態を確認してください。
5080087	DMER080087: 指定 S-VOL の所属 RAID グループを構成しているディスクドライブがスピンドアウンしています。RAID グループの状態を確認してください。
5080088	DMER080088: 指定 P-VOL の所属 RAID グループを構成しているディスクドライブがスピンドアウンしています。RAID グループの状態を確認してください。
5080089	DMER080089: 指定 S-VOL の所属 RAID グループを構成しているディスクドライブがスピンドアウンしています。RAID グループの状態を確認してください。
508008a	DMER08008A: 指定 P-VOL の所属 RAID グループを構成しているディスクドライブがスピンドアウンしています。RAID グループの状態を確認してください。
508008b	DMER08008B: 指定 S-VOL の所属 RAID グループを構成しているディスクドライブがスピンドアウンしています。RAID グループの状態を確認してください。
508008c	DMER08008C: グループ指定のペア生成時、指定したグループ ID はすでに Snapshot で使用済みです。指定グループ ID を確認してください。
508008d	DMER08008D: S-VOL がリモートレプリケーションの Split または Failure 以外です。リモートレプリケーションのペア状態を確認してください。
508008e	DMER08008E: S-VOL は他リモートレプリケーションペアの S-VOL です。リモートレプリケーションのペア状態を確認してください。
508008f	DMER08008F: 未サポートのコマンドオプションを受領しました。指定した内容を確認してください。
5080090	DMER080090: 指定 P-VOL はすでに ShadowImage の S-VOL に設定済みです。LU の状態を確認してください。
5080091	DMER080091: 指定 P-VOL はすでに ShadowImage の S-VOL に設定済みです。LU の状態を確認してください。
5080092	DMER080092: マイグレーション状態が未実行以外です。マイグレーション状態を確認してください。
5080093	DMER080093: マイグレーション状態が未実行以外です。マイグレーション状態を確認してください。
5080094	DMER080094: マイグレーション状態が未実行以外です。マイグレーション状態を確認してください。
5080095	DMER080095: マイグレーション状態が未実行以外です。マイグレーション状態を確認してください。

エラーコード	説明
5080096	DMER080096: マイグレーション状態が未実行以外です。マイグレーション状態を確認してください。
5080097	DMER080097: マイグレーション状態が未実行以外です。マイグレーション状態を確認してください。
5080098	DMER080098: コマンドデバイスがマッピングされているホストグループの INQUIRY シリアル番号変換モードが ON のとき、受領したリモート側アレイ装置の装置製番が通常の体系です。リモート側アレイ装置の装置種別を確認してください。
5080099	DMER080099: コマンドデバイスがマッピングされているホストグループの INQUIRY シリアル番号変換モードが ON のとき、受領したリモート側アレイ装置の装置製番が通常の体系です。リモート側アレイ装置の装置種別を確認してください。
508009a	DMER08009A: マイグレーション状態が未実行以外です。マイグレーション状態を確認してください。
508009b	DMER08009B: 指定 P-VOL 配下に Split Pending/Paired Internally Synchronizing のボリュームが 1 つ以上あります。ペア状態を確認してください。
508009c	DMER08009C: 指定ペアの S-VOL がリモートレプリケーションペアに含まれます。リモートレプリケーションペアの状態を確認してください。
508009d	DMER08009D: 指定 P-VOL 配下に Split Pending/Paired Internally Synchronizing のボリュームが 1 つ以上あります。ペア状態を確認してください。
508009e	DMER08009E: 指定ペアの状態が Split Pending です。ペア状態が Split になってから、再度リストアを実行してください。
508009f	DMER08009F: Failure (S-VOL Switch) のペアにクイックモードでの再同期を受領しました。保守員に依頼して、P-VOL を構成しているドライブを交換してください。交換後 P-VOL をフォーマットし、再同期してください。
50800a0	DMER0800A0: 指定 P-VOL 配下に R/W 不可状態の Failure ペアが 1 つ以上あります。ペア状態を確認してください。
50800a1	DMER0800A1: サポート容量を超えています。不要なペアを解除してください。
50800a2	DMER0800A2: 指定ペアの S-VOL がリモートレプリケーションペアに含まれます。リモートレプリケーションペアの状態を確認してください。
50800a3	DMER0800A3: P-VOL または S-VOL が強制パリティ回復未実施です。強制パリティ回復実施後に再実行してください。
50800a4	DMER0800A4: S-VOL が強制パリティ回復実行中です。強制パリティ回復実施後に再実行してください。
50800a5	DMER0800A5: 指定 P-VOL の所属 RAID グループを構成しているディスクドライブがスピンドウンしています。RAID グループの状態を確認してください。
50800a6	DMER0800A6: 指定 S-VOL の所属 RAID グループを構成しているディスクドライブがスピンドウンしています。RAID グループの状態を確認してください。
50800a7	DMER0800A7: 指定グループ内に、状態が Paired/Paired Internally Synchronizing/Synchronizing 以外のペアが含まれています。指定グループ内のペアの状態を確認してください。
50800a8	DMER0800A8: 指定グループ内に、P-VOL を共有する他のペアの状態が R/W 不可の Failure となっているペアが含まれています。指定グループ内のペアの状態を確認してください。
50800a9	DMER0800A9: サポート容量を超えています。不要なペアを解除してください。
50800aa	DMER0800AA: 指定グループ内に、S-VOL がリモートレプリケーションとカスケードしているペアが含まれています。リモートレプリケーションのペア状態を確認してください。
50800ab	DMER0800AB: 指定グループ内に、P-VOL または S-VOL が強制パリティ回復未実施のペアが含まれています。強制パリティ回復実施後に再実行してください。

エラーコード	説明
50800ac	DMER0800AC: 指定グループ内に、S-VOL が強制パリティ回復実行中のペアが含まれています。強制パリティ回復実施後に再実行してください。
50800ad	DMER0800AD: 指定グループ内に、P-VOL の所属 RAID グループを構成しているディスクドライブがスピンドアウンしているペアがあります。RAID グループの状態を確認してください。
50800ae	DMER0800AE: 指定グループ内に、S-VOL の所属 RAID グループを構成しているディスクドライブがスピンドアウンしているペアがあります。RAID グループの状態を確認してください。
50800af	DMER0800AF: 指定 P-VOL 配下に Split Pending/Paired Internally Synchronizing のボリュームが 1 つ以上あります。ペア状態を確認してください。
50800b0	DMER0800B0: 指定ペアの P-VOL または S-VOL はリモートレプリケーションペアに含まれます。リモートレプリケーションのペア状態を確認してください。
50800b1	DMER0800B1: 指定ペアの状態が Split Pending です。ペア状態を確認してください。
50800b2	DMER0800B2: 指定 LU が所属する RAID グループの状態が Normal 以外を示しています。状態が Normal になってから再度実行してください。
50800b3	DMER0800B3: 指定グループ内に、所属する RAID グループの状態が Normal 以外の LU が含まれています。指定グループ内の LU が所属する RAID グループの状態が Normal になってから再度実行してください。
50800b4	DMER0800B4: 指定ペアの状態が Split/Failure 以外です。ペア状態を確認してください。
50800b5	DMER0800B5: P-VOL に指定した LU がありません。指定した LUN を確認してください。
50800b6	DMER0800B6: P-VOL に指定した LU がありません。指定した LUN を確認してください。
50800b7	DMER0800B7: S-VOL に指定した LU がありません。指定した LUN を確認してください。
50800b8	DMER0800B8: S-VOL に指定した LU がありません。指定した LUN を確認してください。
50800b9	DMER0800B9: DP プールの容量が不足しています。DP プールの容量を確認してください。
50800ba	DMER0800BA: DP プールの容量が不足しています。DP プールの容量を確認してください。
50800bb	DMER0800BB: DP プールの容量が不足しています。DP プールの容量を確認してください。
50800bc	DMER0800BC: DP プールの容量が不足しています。DP プールの容量を確認してください。
50800bd	DMER0800BD: 指定した P-VOL はリモートレプリケーションのペアを構成しており、かつ S-VOL に DP プールに作成した LU を指定しました。S-VOL に DP プールに作成した LU 以外の LU を指定してください。
50800be	DMER0800BE: 指定した P-VOL はリモートレプリケーションのペアを構成しており、かつ S-VOL に DP プールに作成した LU を指定しました。S-VOL に DP プールに作成した LU 以外の LU を指定してください。
50800bf	DMER0800BF: 指定 S-VOL は DP プールに作成した LU であり、かつ指定 P-VOL とすでにペアになっている S-VOL がリモートレプリケーションペアを構成しています。リモートレプリケーションペアを削除してから、再実行してください。
50800c0	DMER0800C0: 指定 S-VOL は DP プールに作成した LU であり、かつ指定 P-VOL とすでにペアになっている S-VOL がリモートレプリケーションペアを構成しています。リモートレプリケーションペアを削除してから、再実行してください。
50800c1	DMER0800C1: DP 最適化における指定 P-VOL の状態が Normal 以外です。指定 P-VOL の状態を確認してください。

エラーコード	説明
50800c2	DMER0800C2: DP 最適化における指定 S-VOL の状態が Normal 以外です。指定 S-VOL の状態を確認してください。
50800c3	DMER0800C3: DP 最適化における指定 P-VOL の状態が Normal 以外です。指定 P-VOL の状態を確認してください。
50800c4	DMER0800C4: DP 最適化における指定 S-VOL の状態が Normal 以外です。指定 S-VOL の状態を確認してください。
50800c5	DMER0800C5: DP の管理情報を更新中です。しばらく待ってから、再実行してください。
50800c6	DMER0800C6: DP の管理情報を更新中です。しばらく待ってから、再実行してください。
50800c7	DMER0800C7: DP の管理情報を更新中です。しばらく待ってから、再実行してください。
50800c8	DMER0800C8: DP の管理情報を更新中です。しばらく待ってから、再実行してください。
50800c9	DMER0800C9: 所属する DP プールの容量が不足しているため、指定 P-VOL が読み取れません。指定 P-VOL が所属する DP プールの容量を確認してください。
50800ca	DMER0800CA: 所属する DP プールの容量が不足しているため、指定 P-VOL が読み取れません。指定 P-VOL が所属する DP プールの容量を確認してください。
50800cb	DMER0800CB: 所属する DP プールの容量が不足しているため、指定 S-VOL が読み取れません。指定 S-VOL が所属する DP プールの容量を確認してください。
50800cc	DMER0800CC: 所属する DP プールの容量が不足しているため、指定 P-VOL が読み取れません。指定 P-VOL が所属する DP プールの容量を確認してください。
50800cd	DMER0800CD: メモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度ペア操作を実行してください。
50800ce	DMER0800CE: メモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度ペア操作を実行してください。
50800cf	DMER0800CF: 指定 P-VOL 配下に Reverse Synchronizing のボリュームが 1 つ以上あります。ペア状態を確認してください。
50800d0	DMER0800D0: 指定 P-VOL 配下に Paired/Synchronizing/ Paired Internally Synchronizing/ Split Pending のペアは同時に 3 つ以上存在できません。ペア状態を確認してください。
50800d1	DMER0800D1: 指定 P-VOL 配下に Reverse Synchronizing のボリュームが 1 つ以上あります。ペア状態を確認してください。
50800d2	DMER0800D2: 指定 P-VOL 配下に Paired/Synchronizing/ Paired Internally Synchronizing/ Split Pending のペアは同時に 3 つ以上存在できません。ペア状態を確認してください。
50800d3	DMER0800D3: 指定 P-VOL 配下に Split Pending は同時に 2 つ以上存在できません。ペア状態を確認してください。
50800d4	DMER0800D4: 指定 P-VOL 配下に Split Pending ペアは同時に 2 つ以上存在できません。ペア状態を確認してください。
50800d5	DMER0800D5: 指定 P-VOL 配下に Split Pending ペアは同時に 2 つ以上存在できません。ペア状態を確認してください。
50800d6	DMER0800D6: 指定 P-VOL 配下に Split Pending ペアは同時に 2 つ以上存在できません。ペア状態を確認してください。
50800d7	DMER0800D7: P-VOL と S-VOL の全容量割当モードの設定値が異なります。P-VOL および S-VOL の全容量割当モードを両方とも同じ設定値にしてください。
50800d8	DMER0800D8: P-VOL と S-VOL の全容量割当モードの設定値が異なります。P-VOL および S-VOL の全容量割当モードを両方とも同じ設定値にしてください。

エラーコード	説明
50800d9	DMER0800D9: 指定した ShadowImage ペアとカスケードしている SnapShot のペア状態が不正です。SnapShot ペア状態を確認してください。
50800da	DMER0800DA: 指定した ShadowImage ペアとカスケードしている SnapShot ペア状態が R/W 不可状態の Failure です。ペア状態を確認してください。
50800db	DMER0800DB: 指定した LU が V-VOL です。LU を確認してください。
50800dc	DMER0800DC: 指定した S-VOL が SnapShot ペアの P-VOL です。ペア状態を確認してください。
50800dd	DMER0800DD: 指定した P-VOL 配下に最大数の S-VOL が存在します。P-VOL とペアになっている S-VOL 数を確認してください。
50800de	DMER0800DE: 指定した ShadowImage ペアと P-VOL を共有している SnapShot ペアの S-VOL がリモートレプリケーションペアとカスケードしており、そのリモートレプリケーションのペア状態が不正です。リモートレプリケーションのペア状態を確認してください。
50800df	DMER0800DF: DM-LU の容量が枯渇しているため処理が実行できません。DM-LU の容量を追加してください。
50800e0	DMER0800E0: 指定した LU は内部処理実施中です。しばらく待ってから再実行してください。
50800e1	DMER0800E1: DM-LU の状態が不正です。DM-LU の状態を確認してください。
50800e2	DMER0800E2: DM-LU が所属する DP プールが閉塞しているため、処理が実行できません。DP プールの回復を実施してください。
50800e3	DMER0800E3: DM-LU に PIN があります。PIN を回復させた後に再実施してください。
50800e4	DMER0800E4: DM-LU が所属している DP プールの容量が不足しているため実行できません。DP プール容量の拡張を実施してください。
50800e5	DMER0800E5: DM-LU にライト未完があるため処理が実行できません。指定したペアを削除してください。
50800e6	DMER0800E6: DM-LU にライト未完があるため処理が実行できません。ペア単位でペア操作を実施し直してください。
50800e7	DMER0800E7: DM-LU にライト未完があるため処理が実行できません。指定したペアの S-VOL とカスケードしているリモートレプリケーションペアを削除してください。
5090001	DMER090001: 指定 P-VOL は正常または縮退以外です。LU の状態を確認してください。
5090002	DMER090002: 指定 P-VOL はカレント常駐 LU に設定済みです。LU の属性を確認してください。
5090003	DMER090003: 指定 P-VOL は予約常駐 LU に設定済みです。LU の属性を確認してください。
5090004	DMER090004: 指定 P-VOL はコマンドデバイスに定義済みです。LU の属性を確認してください。
5090005	DMER090005: 受領シーケンス#が装置 ID と違います。装置 ID を確認してください。
5090006	DMER090006: パスが 2 本とも正常ではありません。パスの状態を確認してください。
5090007	DMER090007: 指定 P-VOL は統合 LU の SubLU です。LU の属性を確認してください。
5090009	DMER090009: 指定 P-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Simplex 以外です。LU のペア状態を確認してください。
509000a	DMER09000A: 指定 P-VOL は ShadowImage ペアです。LU の属性を確認してください。
509000b	DMER09000B: 指定 P-VOL は SnapShot の V-VOL です。LU の属性を確認してください。

エラーコード	説明
509000c	DMER09000C: グループ ID が範囲外です。グループ ID を確認してください。
509000d	DMER09000D: 指定 P-VOL のペア状態が Split, Failure 以外です。LU のペア状態を確認してください。
509000e	DMER09000E: 指定 P-VOL の LU 状態が正常または縮退以外です。LU の状態を確認してください。
509000f	DMER09000F: 指定 S-VOL はペア対象 LUN ではありません。S-VOL の LUN を確認してください。
5090010	DMER090010: 受領シーケンス#が装置 ID と違います。装置 ID を確認してください。
5090011	DMER090011: パスが 2 本とも正常ではありません。パスの状態を確認してください。
5090012	DMER090012: ペア単位指定時、指定 P-VOL のペア状態が Synchronizing, Paired 以外です。LU のペア状態を確認してください。
5090013	DMER090013: リモートレプリケーションペアのサポート容量を超えています。SnapShot ペアの全 P-VOL, リモートレプリケーションペアの全 P-VOL および全 S-VOL, データプールの容量を確認し、搭載しているキャッシュでサポートされる容量以下にしてください。
5090014	DMER090014: 受領シーケンス#が装置 ID と違います。装置 ID を確認してください。
5090015	DMER090015: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5090016	DMER090016: ペア単位指定時、指定 S-VOL がペア対象 LUN ではありません。指定 S-VOL の LUN を確認してください。
5090017	DMER090017: 受領シーケンス#が装置 ID と違います。装置 ID を確認してください。
5090018	DMER090018: P-VOL に対して S-VOL ペア解除指示または S-VOL に対してペア解除指示を受領しました。LU のペア属性を確認してください。
5090019	DMER090019: SnapShot の分割、削除の内部処理の実行中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5090020	DMER090020: プール LU が未定義です。プール LU を定義してから実行してください。
5090021	DMER090021: 指定フェンスレベルが STATUS です。指定フェンスレベルを確認してください。
5090022	DMER090022: リモートレプリケーションペアのサポート容量を超えています。SnapShot ペアの全 P-VOL, リモートレプリケーションペアの全 P-VOL および全 S-VOL, データプールの容量を確認し、搭載しているキャッシュでサポートされる容量以下にしてください。
5090023	DMER090023: 指定 P-VOL のペア内部状態が「ペアの削除処理中状態」です。LU のペア状態を確認してください。
5090025	DMER090025: P-VOL 強制閉塞を受領しました。P-VOL 強制閉塞は未サポートです。
5090026	DMER090026: Side File 解放種別が通常の split 以外です。指定した内容を確認してください。
5090027	DMER090027: S-VOL で受領しました。LU のペア属性を確認してください。
5090029	DMER090029: S-VOL で受領しました。LU のペア属性を確認してください。
509002a	DMER09002A: P-VOL で受領しました。LU のペア属性を確認してください。
509002b	DMER09002B: ペア単位指定時、指定 S-VOL のペア状態が Simplex または Synchronizing です。LU のペア状態を確認してください。
509002c	DMER09002C: 受領シーケンス#が装置 ID と違います。装置 ID を確認してください。
509002d	DMER09002D: 指定 MU#が範囲 (0~13) 外です。指定 MU#を確認してください。
5090030	DMER090030: S-VOL で受領しました。LU のペア属性を確認してください。
5090032	DMER090032: 指定 P-VOL の所属 RG が RAID 0 です。LU の RAID レベルを確認してください。

エラーコード	説明
5090036	DMER090036: 指定 P-VOL は SnapShot の P-VOL でリストア実行中です。SnapShot のペア状態を確認してください。
5090037	DMER090037: 指定 P-VOL は SnapShot の P-VOL でリストア実行中に Failure に遷移しました。SnapShot のペア状態を確認してください。
5090038	DMER090038: 世代ビットに空きがありません。しばらく待ってから、再実行してください。
5090039	DMER090039: 対象グループ内に「リモート SnapShot スプリット処理中」のペアが 1 つ以上あります。対象グループ内の各 LU のペア状態を確認してください。処理が完了するまで待つ必要があります。
509003a	DMER09003A: 対象グループ内に「ペアの分割処理中状態」のペアが 1 つ以上あります。対象グループ内の各 LU のペア状態を確認してください。処理が完了するまで待つ必要があります。
509003c	DMER09003C: 対象グループ内に「ペアの削除処理中状態」のペアが 1 つ以上あります。対象グループ内の各 LU のペア状態を確認してください。処理が完了するまで待つ必要があります。
509003d	DMER09003D: 指定 P-VOL は SnapShot の P-VOL でリストア実行中です。SnapShot のペア状態を確認してください。
509003e	DMER09003E: 指定 P-VOL は SnapShot の P-VOL でリストア実行中に Failure に遷移しました。SnapShot のペア状態を確認してください。
509003f	DMER09003F: 対象グループ内に Paired のペアが 1 つもありません。対象グループ内の各 LU のペア状態を確認してください。
5090042	DMER090042: ペア単位指定時、指定 S-VOL のペア状態が Split (R/W 不可) です。ペア状態を確認してください。
5090044	DMER090044: グループ単位指定時、グループ内に Split (R/W 不可) のペアが 1 つ以上あります。対象グループ内の各 LU のペア状態を確認してください。
5090045	DMER090045: グループ単位指定時、グループ内に Paired, Split, または Failure のペアがありません。対象グループ内の各 LU のペア状態を確認してください。
5090046	DMER090046: ペア単位指定時、指定 P-VOL のペア内部状態が「ペアの分割処理中状態」です。LU のペア状態を確認してください。処理が完了するまで待つ必要があります。
5090047	DMER090047: 指定 P-VOL に未完 DDCB があります。LU の状態を確認してください。
5090048	DMER090048: 指定 P-VOL にライト未完があります。サポートサービス利用ガイドに記載された連絡先にお問い合わせください。
5090049	DMER090049: ペア単位指定時、指定 P-VOL のペア内部状態が「ペアの削除処理中状態」です。LU のペア状態を確認してください。処理が完了するまで待つ必要があります。
509004b	DMER09004B: ペア単位指定時、指定 P-VOL のペア内部状態が「リモート SnapShot スプリット処理中」です。LU のペア状態を確認してください。処理が完了するまで待つ必要があります。
509004c	DMER09004C: グループ単位指定時、グループ内に「ペアの分割処理中状態」のペアが 1 つ以上あります。対象グループ内の各 LU のペア状態を確認してください。
509004d	DMER09004D: DM-LU が定義されていません。DM-LU を定義してください。
509004e	DMER09004E: 指定 P-VOL は DM-LU に設定済みです。LU の属性を確認してください。
509004f	DMER09004F: ライセンスの有効期限が切れました。ライセンスを購入してください。
5090050	DMER090050: グループ単位指定時、対象グループ内に「ペアの削除処理中状態」のペアが 1 つ以上あります。対象グループ内の各 LU のペア状態を確認してください。

エラーコード	説明
5090052	DMER090052: グループ単位指定時、対象グループ内に「リモート SnapShot スプリット処理中」のペアが1つ以上あります。対象グループ内の各 LU のペア状態を確認してください。
5090053	DMER090053: グループ単位指定時、対象グループ内に Synchronizing または Paired のペアが1つありません。対象グループ内の各 LU のペア状態を確認してください。
5090054	DMER090054: 未サポートの範囲に対してペア解除を実行しました。指定した内容を確認してください。
5090055	DMER090055: ペア単位指定時、指定 P-VOL のペア内部状態が「ペアの分割処理中状態」です。LU のペア状態を確認してください。処理が完了するまで待つ必要があります。
5090057	DMER090057: ペア単位指定時、指定 P-VOL のペア内部状態が「リモート SnapShot スプリット処理中」です。LU のペア状態を確認してください。処理が完了するまで待つ必要があります。
5090059	DMER090059: S-VOL を直前の更新サイクルで確定した状態に戻す処理を行っています。しばらく待ってから再実行してください。
509005a	DMER09005A: グループ単位指定時、グループ内に「ペアの分割処理中状態」のペアが1つ以上あります。対象グループ内の各 LU のペア状態を確認してください。
509005c	DMER09005C: グループ単位指定時、グループ内に「リモート SnapShot スプリット処理中」のペアが1つ以上あります。対象グループ内の各 LU のペア状態を確認してください。
509005e	DMER09005E: グループ単位指定時、グループ内に直前の更新サイクルで確定した状態に戻す処理を行っている S-VOL が存在します。対象グループ内の各 LU のペア状態を確認してください。
5090068	DMER090068: 指定グループ内に逆方向の S-VOL ペアが含まれます。グループ ID を確認してください。
5090069	DMER090069: 所属パーティションを別のディレクトリに変更中です。しばらく待ってから、再実行してください。
509006b	DMER09006B: 対象グループ内に Paired のペアが1つありません。対象グループ内の各 LU のペア状態を確認してください。
509006c	DMER09006C: リモートレプリケーションオプションを解錠後、装置を再起動していません。装置を再起動してください。
509006d	DMER09006D: 指定 P-VOL は 1 GB 未満の LU を含んだ統合 LU です。LU の属性を確認してください。
509006e	DMER09006E: 指定 P-VOL はプール LU です。LU の属性を確認してください。
509006f	DMER09006F: プール LU の LU 状態が正常または縮退以外です。プール LU の状態を確認してください。
5090070	DMER090070: プール LU はパリティ回復中です。プール LU の状態を確認してください。
5090071	DMER090071: リモートレプリケーション+SnapShot で最大ペア数を生成済みです。不要なペアを解除してください。
5090072	DMER090072: リモート SnapShot スプリット要求を受領しました。ファームウェアのバージョンを確認してください。
5090073	DMER090073: 指定 S-VOL はペア生成可能な状態ではありません。指定 S-VOL のペア状態をローカル側アレイ装置およびリモート側アレイ装置で確認してください。
5090074	DMER090074: サスペンドコマンドをペア単位指示で受領しました。ペア単位指示は未サポートです。
5090075	DMER090075: 指定 P-VOL は Format 実行中の LU を含む統合 LU です。LU の属性を確認してください。
5090076	DMER090076: 指定 P-VOL は Format 実行中です。LU の属性を確認してください。

エラーコード	説明
5090077	DMER090077: 指定 P-VOL は強制パリティ回復実行状態の未実施または未実施 2 です。LU の属性を確認してください。
5090078	DMER090078: 指定 P-VOL は強制パリティ回復未実施です。強制パリティ回復実施後再実行してください。
509007b	DMER09007B: 対象グループ内に Split または Failure の「ペアの削除処理中状態」のペアが 1 つ以上あります。LU のペア状態を確認してください。処理が完了するまで待つ必要があります。
509007c	DMER09007C: SnapShot のスプリット、削除の内部処理の実行中です。しばらく待つてから、再実行してください。
509007d	DMER09007D: プール LU の LU 状態が正常または縮退以外です。プール LU の状態を確認してください。
509007e	DMER09007E: プール LU は強制パリティ回復中です。しばらく待つてから、再実行してください。
509007f	DMER09007F: 対象グループ内に強制パリティ回復実行状態が未実施または未実施 2 の P-VOL が 1 つ以上あります。対象グループ内の各 LU の状態を確認してください。
5090080	DMER090080: 対象グループ内に正常または縮退以外の P-VOL が 1 つ以上あります。対象グループ内の各 LU の状態を確認してください。
5090081	DMER090081: 対象グループ内にリストア中の SnapShot の P-VOL とカスケードしているリモートレプリケーションの P-VOL が 1 つ以上あります。対象グループ内の各 LU の状態を確認してください。
5090082	DMER090082: 対象グループ内にリストア中に Failure に遷移した SnapShot の P-VOL とカスケードしているリモートレプリケーションの P-VOL が 1 つ以上あります。対象グループ内の各 LU の状態を確認してください。
5090083	DMER090083: 対象グループ内に Split または Failure のペアが 1 つもありません。対象グループ内の各 LU のペア状態を確認してください。
5090084	DMER090084: 新規のグループでのペア生成時、設定されているサイクル時間が「30×グループ数」秒未満です。設定されているサイクル時間を確認してください。
5090085	DMER090085: ペア単位指定時、対象ペアの S-VOL が再同期受領後処理を完了していません。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
5090086	DMER090086: グループ単位指定時、対象グループ内に再同期受領後処理を完了していない S-VOL が 1 つ以上あります。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
5090087	DMER090087: 指定したグループ内に「ペアの分割処理中状態」または「ペアの終了処理中状態」のペアが 1 つ以上あります。しばらく待つてから、再実行してください。
5090088	DMER090088: 指定 P-VOL はリザーブ LU です。LU の状態を確認してください。
5090089	DMER090089: 指定 P-VOL はマイグレーションを実行中です。LU のペア状態を確認してください。
509008a	DMER09008A: 指定 P-VOL の所属 RAID グループを構成しているディスクドライブがスピンドアウンしています。RAID グループの状態を確認してください。
509008b	DMER09008B: 指定 P-VOL の所属 RAID グループを構成しているディスクドライブがスピンドアウンしています。RAID グループの状態を確認してください。
509008c	DMER09008C: 当該グループに所属の RAID グループを構成しているディスクドライブがスピンドアウン中のリモートレプリケーションの P-VOL が 1 つ以上あります。RAID グループの状態を確認してください。
509008d	DMER09008D: 正プール ID が範囲外です。POOL ID を確認してください。
509008e	DMER09008E: 副プール ID が範囲外です。POOL ID を確認してください。
509008f	DMER09008F: 指定プール ID が使用中のプール ID と異なります。POOL ID を確認してください。

エラーコード	説明
5090090	DMER090090: 相手装置が AMS500 または 1000 のリモートレプリケーションのペアに対して、スワップコマンドが発行されました。この構成では、スワップは実行できません。
5090091	DMER090091: スワップ指示を P-VOL に受領しました。LU のペア属性を確認してください。
5090092	DMER090092: スワップ指示をペア単位指定で受領しました。指示内容を確認して再実行してください。
5090093	DMER090093: 当該グループ内に Takeover でない LU があります。当該グループ内の各 LU のペア状態を確認してください。
5090094	DMER090094: 当該グループ内に直前の更新サイクルで確定した状態に戻す処理を行っている S-VOL が存在します。当該グループ内の各 LU のペア状態を確認してください。
5090095	DMER090095: 当該グループ内に状態が Takeover かつローカル側アレイ装置でのみ削除されているペアがあります。当該グループ内の状態が Takeover のペアのうち、ローカル側アレイ装置で削除されたペアをリモート側アレイ装置でも削除してから、再度実行してください。
5090096	DMER090096: SnapShot のスプリット、削除の内部処理の実行中です。しばらく待つてから、再実行してください。
5090097	DMER090097: プール LU が正常または縮退以外です。LU の状態を確認してください。
5090098	DMER090098: プール LU が強制パリティ回復中です。LU の状態を確認してください。
5090099	DMER090099: 当該グループ内に強制パリティ回復実行状態が未実施または未実施 2 の S-VOL が 1 つ以上あります。当該グループ内の各 LU の状態を確認してください。
509009a	DMER09009A: 当該グループ内に正常または縮退以外の S-VOL が 1 つ以上あります。当該グループ内の各 LU の状態を確認してください。
509009b	DMER09009B: 当該グループ内にリストア中の SnapShot P-VOL とカスケードしているリモートレプリケーション S-VOL が 1 つ以上あります。当該グループ内の各 LU の状態を確認してください。
509009c	DMER09009C: 当該グループ内にリストア中に Failure に遷移した SnapShot P-VOL とカスケードしているリモートレプリケーション S-VOL が 1 つ以上あります。当該グループ内の各 LU の状態を確認してください。
509009d	DMER09009D: 当該グループ内に所属 RAID グループが Power Saving 実行中のリモートレプリケーション S-VOL が 1 つ以上あります。当該グループ内の各 LU の状態を確認してください。
509009e	DMER09009E: プログラム内部エラーが発生しました。しばらく待つてから、再実行してください。解決しない場合、保守員へ連絡してください。
509009f	DMER09009F: 指定した副シーケンス番号がリモート側の装置製造番号と不一致です。コマンドデバイスのドライブ番号を確認してください。
50900a0	DMER0900A0: オートマイグレーション中のため実行できません。マイグレーション状態を確認してください。
50900a1	DMER0900A1: オートマイグレーション中のため実行できません。マイグレーション状態を確認してください。
50900a2	DMER0900A2: オートマイグレーション中のため実行できません。マイグレーション状態を確認してください。
50900a3	DMER0900A3: 指定 LU が所属する RAID グループの状態が Normal 以外を示しています。状態が Normal になってから再度実行してください。
50900a4	DMER0900A4: ペア操作時に指定したプール、または指定したペアが使用しているプールに、所属する RAID グループの状態が Normal 以外の LU が含まれています。プールを構成している LU について、所属する RAID グループの状態が Normal になってから再度実行してください。

エラーコード	説明
50900a5	DMER0900A5: 指定したペアの属するグループに、所属する RAID グループの状態が Normal 以外の LU が含まれています。指定したペアと同一グループ内の LU について、所属する RAID グループの状態が Normal になってから再度実行してください。
50900a6	DMER0900A6: 指定したペアと同一グループに属するペアが使用しているプールに、所属する RAID グループの状態が Normal 以外の LU が含まれています。プールを構成している LU について、所属する RAID グループの状態が Normal になってから再度実行してください。
50900a7	DMER0900A7: DP プールに作成した LU を P-VOL に指定しました。DP プールに作成した LU 以外の LU を指定してください。
50900a8	DMER0900A8: P-VOL に指定した LU がありません。指定した LUN を確認してください。
50900a9	DMER0900A9: Dynamic Provisioning の管理情報を更新中です。しばらく待ってから、再度実行して下さい。
50900aa	DMER0900AA: 指定した P-VOL が所属する DP プールの容量が不足しているため実行できません。DP プールの容量を確認してください。
50900ab	DMER0900AB: 同一グループ内に、P-VOL が所属する DP プールの容量が不足しているペアが存在するため実行できません。DP プールの容量を確認してください。
50900ac	DMER0900AC: 同一グループ内に、S-VOL が所属する DP プールの容量が不足しているペアが存在するため実行できません。DP プールの容量を確認してください。
50900ad	DMER0900AD: メモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度ペア操作を実行してください。
50900ae	DMER0900AE: メモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度ペア操作を実行してください。
50900af	DMER0900AF: 対象となる LU とデータプールの全容量割当モードの設定値が異なります。対象となる LU およびデータプールの全容量割当モードを両方とも同じ設定値にしてください。
50900b0	DMER0900B0: 指定されたローカル側アレイ装置のレプリケーションデータ DP プール番号または管理領域 DP プール番号はサポート範囲外です。DP プール番号を確認してください。
50900b1	DMER0900B1: 指定されたリモート側アレイ装置のレプリケーションデータ DP プール番号または管理領域 DP プール番号はサポート範囲外です。DP プール番号を確認してください。
50900b2	DMER0900B2: 既にリモートレプリケーションが使用可能な最大数のグループが存在します。リモートレプリケーションが使用しているグループ数を確認してください。
50900b3	DMER0900B3: 使用するレプリケーションデータ DP プールまたは管理領域 DP プールが存在しません。DP プールの状態を確認してください。
50900b4	DMER0900B4: 使用するレプリケーションデータ DP プールまたは管理領域 DP プールの状態が正常または縮退以外です。またはそれらの DP プールのレプリケーションデータ解放閾値を越えています。またはそれらの DP プールが枯渇しています。DP プールの状態を確認してください。
50900b5	DMER0900B5: 指定されたレプリケーションデータ DP プールまたは管理領域 DP プールは、指定された P-VOL が現在使用している DP プールと異なります。DP プール番号を確認してください。
50900b6	DMER0900B6: リモートレプリケーションペアの削除中です。しばらく待ってから、再実行してください。
50900b7	DMER0900B7: 既に最大数のリモートレプリケーションペアが存在します。ペア数を確認してください。
50900b8	DMER0900B8: 指定された S-VOL のペア状態が不正です。ペア状態を確認してください。

エラーコード	説明
50900b9	DMER0900B9: 指定されたグループ内に指定された操作を実行可能なペア状態のペアが存在しません。ペア状態を確認してください。
50900ba	DMER0900BA: 指定されたグループ内に Busy 状態のペアが存在します。しばらく待ってから、再実行してください。
50900bb	DMER0900BB: ローカル側アレイ装置はすでに他のアレイ装置とリモートレプリケーションペアを生成済みです。LU のペア状態を確認してください。
50900bc	DMER0900BC: 最大接続しよう体数を超過しているため、指定したリモート側アレイ装置へのペア生成はできません。他のリモート側アレイ装置 1 台とのリモートレプリケーションペアをすべて削除した後に、再実行してください。
50900bd	DMER0900BD: 指定したグループは他のリモート側アレイ装置とのリモートレプリケーションペアによりすでに使用済みです。指定したグループ番号以外を指定し、再実行してください。
50900be	DMER0900BE: 指定したリモート側アレイ装置と接続されているリモートパスは存在しません。指定したリモートアレイ ID の装置とリモートパスを生成し、再実行してください。
50900bf	DMER0900BF: 指定されたレプリケーションデータ DP プール、または管理領域 DP プールは階層モードが有効かつ未サポートドライブ(SSD または FMD)のみで構成された DP プールのためペア生成できません。DP プールに Tier を追加するか他の DP プールを指定して再実行してください。
50a0001	DMER0A0001: Volume Migration オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。
50a0002	DMER0A0002: Volume Migration テンポラリーキーの期限が切れました。ライセンスを購入してください。
50a0003	DMER0A0003: 指定 P-VOL の状態が正常/縮退以外です。LU の状態を確認してください。
50a0004	DMER0A0004: 指定 S-VOL の状態が正常/縮退以外です。LU の状態を確認してください。
50a0005	DMER0A0005: 指定 P-VOL のパリティ回復状態が未実施または未実施 2 です。パリティ回復をスキップするかパリティ回復を実施して回復完了を待ってください。操作後再実行してください。
50a0006	DMER0A0006: 指定 S-VOL のパリティ回復状態が実行中、待機中、未実施、または未実施 2 です。パリティ回復をスキップするかパリティ回復を実施して回復完了を待ってください。操作後再実行してください。
50a0007	DMER0A0007: 指定 P-VOL は Volume Migration でペアを生成済みです。LU のペア状態を確認してください。
50a0008	DMER0A0008: 指定 S-VOL は Volume Migration でペアを生成済みです。LU のペア状態を確認してください。
50a0009	DMER0A0009: 指定 P-VOL は ShadowImage でペアを生成済みです。LU のペア状態を確認してください。
50a000a	DMER0A000A: 指定 S-VOL は ShadowImage でペアを生成済みです。LU のペア状態を確認してください。
50a000b	DMER0A000B: 指定 P-VOL はコマンドデバイスです。LU のペア状態を確認してください。
50a000c	DMER0A000C: 指定 S-VOL はコマンドデバイスです。LU のペア状態を確認してください。
50a000d	DMER0A000D: 指定 P-VOL はリモートレプリケーションでペアを生成済みです。LU のペア状態を確認してください。
50a000e	DMER0A000E: 指定 S-VOL はリモートレプリケーションでペアを生成済みです。LU のペア状態を確認してください。

エラーコード	説明
50a000f	DMER0A000F: 指定 P-VOL はリモートレプリケーションでペアを生成済みです。LU のペア状態を確認してください。
50a0010	DMER0A0010: 指定 S-VOL はリモートレプリケーションでペアを生成済みです。LU のペア状態を確認してください。
50a0011	DMER0A0011: 指定 P-VOL は常駐 LU または予約常駐 LU です。LU の状態を確認してください。
50a0012	DMER0A0012: 指定 S-VOL は常駐 LU または予約常駐 LU です。LU の状態を確認してください。
50a0013	DMER0A0013: 指定 P-VOL は SnapShot でペアを生成済みです。LU のペア状態を確認してください。
50a0014	DMER0A0014: 指定 S-VOL は SnapShot でペアを生成済みです。LU のペア状態を確認してください。
50a0015	DMER0A0015: 指定 P-VOL はプール用 LU です。LU の状態を確認してください。
50a0016	DMER0A0016: 指定 S-VOL はプール用 LU です。LU の状態を確認してください。
50a0017	DMER0A0017: 指定 P-VOL は Format 中です。Format が完了してから再実行してください。
50a0018	DMER0A0018: 指定 S-VOL は Format 中です。Format が完了してから再実行してください。
50a0019	DMER0A0019: 指定 P-VOL は DM-LU です。LU の状態を確認してください。
50a001a	DMER0A001A: 指定 S-VOL は DM-LU です。LU の状態を確認してください。
50a001b	DMER0A001B: DM-LU が未定義です。DM-LU を定義してから再実行してください。
50a001c	DMER0A001C: 指定 P-VOL に Write 未完があります。LU の状態を確認してください。
50a001d	DMER0A001D: 差分 BIT マップに割り当てできません。不要なペアを解除してください。
50a001e	DMER0A001E: 指定 P-VOL は統合 LU の SubLU です。LU の状態を確認してください。
50a001f	DMER0A001F: 指定 S-VOL は統合 LU の SubLU です。LU の状態を確認してください。
50a0020	DMER0A0020: 指定 P-VOL と指定 S-VOL のサイズが不一致です。同一サイズの LU を指定してください。
50a0021	DMER0A0021: 指定 P-VOL と指定 S-VOL の担当 DIR が不一致です。同一 DIR 所属の LU を指定してください。
50a0022	DMER0A0022: 指定 P-VOL と指定 S-VOL の LUN が同一です。LUN を確認してください。
50a0023	DMER0A0023: すでに、最大ペア数を生成済みです (ShadowImage のペア数を含む)。不要なペアを解除してください。
50a0024	DMER0A0024: 指定 P-VOL はキャッシュパーティションの変更予約済みです。予約状態を解除してから再実行してください。
50a0025	DMER0A0025: 指定 S-VOL はキャッシュパーティションの変更予約済みです。予約状態を解除してから再実行してください。
50a0026	DMER0A0026: 指定 P-VOL と指定 S-VOL の所属 RAID グループが同一です。異なる RAID グループを指定してください。
50a0027	DMER0A0027: 指定 P-VOL はリザーブ LU です。LU の状態を確認してください。
50a0028	DMER0A0028: 指定 S-VOL はリザーブ LU です。LU の状態を確認してください。
50a0029	DMER0A0029: 指定 S-VOL のアクセスレベルが通常以外です。LU のアクセスレベルを確認してください。
50a002c	DMER0A002C: 指定 MU#が 8 以上です。指定 MU#を確認してください。

エラーコード	説明
50a002d	DMER0A002D: 指定正ポート#が範囲外です。指定正ポート#を確認してください。
50a002e	DMER0A002E: 指定副ポート#が範囲外です。指定副ポート#を確認してください。
50a002f	DMER0A002F: 指定正シーケンス#が自装の装置 ID と不一致です。指定正シーケンス#を確認してください。
50a0030	DMER0A0030: 指定副シーケンス#が自装の装置 ID と不一致です。指定副シーケンス#を確認してください。
50a0031	DMER0A0031: 当該ペアはナビゲーターなどからのマイグレーション開始指示によるペアです。指定ペアのオーナー ID を確認してください。
50a0032	DMER0A0032: 指定 P-VOL の所属 RAID グループを構成しているディスクドライブがスピンドウンしています。RAID グループの状態を確認してください。
50a0033	DMER0A0033: 指定 S-VOL の所属 RAID グループを構成しているディスクドライブがスピンドウンしています。RAID グループの状態を確認してください。
50a0034	DMER0A0034: マイグレーション状態がデータコピー中、データコピー失敗、またはデータコピー完了です。マイグレーション状態を確認してください。
50a0035	DMER0A0035: マイグレーション状態がアクセスパス切り替え中またはアクセスパス切り替え失敗です。マイグレーション状態を確認してください。
50a0036	DMER0A0036: 指定 LU が所属する RAID グループの状態が Normal 以外を示しています。状態が Normal になってから再度実行してください。
5810001	DMER810001: リモート側アレイ装置へのパスが 2 つとも閉塞しました。パスの状態を確認してください。
5810002	DMER810002: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5810003	DMER810003: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5810004	DMER810004: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
581000a	DMER81000A: リモート側アレイ装置がコマンド受領中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581000f	DMER81000F: リモート側アレイ装置のパスが閉塞しました。パスの状態を確認してください。
581002c	DMER81002C: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581002d	DMER81002D: リモート側アレイ装置の S-VOL がフォーマット中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581002e	DMER81002E: リモート側アレイ装置が擬似計画停止中です。擬似計画停止後に再実行してください。
581002f	DMER81002F: リモート側アレイ装置が擬似計画停止後です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5810030	DMER810030: S-VOL が未定義またはリザーブ LU, DMLU に指定されています。LU の状態を確認してください。
5810031	DMER810031: 指定された S-VOL は異なるアレイ装置と既にペアが作成されています。ペア情報を確認してください。
5810033	DMER810033: リモート側アレイ装置がオン中ファームウェア交換中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5810034	DMER810034: コマンドエラーが発生しました。しばらく待ってから、再度実行してください。
5810035	DMER810035: リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。またはリモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
5810036	DMER810036: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。S-VOL に指定した LU が所属する RAID グループの状態が Normal 以外のときは、Normal になってから再度実行してください。

エラーコード	説明
5810037	DMER810037: リモート側アレイ装置が処理中です。しばらく待ってから、LU のペア状態およびアレイ ID、または接続しよう体数およびグループ番号を確認し、再度実行してください。または、リモート側アレイ装置の対象 S-VOL または対象 S-VOL にカスケードした ShadowImage の S-VOL が DP プール容量枯渇または当該コピーにより DP プール容量枯渇となるため、指定 S-VOL へのコピー処理が実行できません。DP プール容量枯渇を解決してから、再度実行してください。または対象 LU の状態が正常または縮退以外です。対象 LU の状態を正常か縮退にしてください。または全容量割当モードは未サポート機能です。アレイ装置のファームウェアバージョンを確認してください。
5810038	DMER810038: リモート側アレイ装置へのパスが 2 つとも閉塞しました。パスの状態を確認してください。
5810039	DMER810039: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
581003a	DMER81003A: リモート側アレイ装置が処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
581003e	DMER81003E: S-VOL コマンド受領中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5810042	DMER810042: サポート容量を超えています。リモート側アレイ装置の不要なペアを削除してください。
5810058	DMER810058: リモート側アレイ装置の ShadowImage の P-VOL が Failure (S-VOL Switch) 状態です。保守員に連絡してください。
5810060	DMER810060: ローカル側サブシステムのパスが異常です。パスの状態を確認してください。
5810061	DMER810061: ローカル側サブシステムのパスが異常です。パスの状態を確認してください。
5810062	DMER810062: ローカル側サブシステムのパスが異常です。パスの状態を確認してください。
5810063	DMER810063: ローカル側サブシステムのパスが異常です。パスの状態を確認してください。
58100d4	DMER8100D4: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU が既に P-VOL になっています。リモート側アレイ装置の LU の状態を確認してください。
58100d9	DMER8100D9: リモート側アレイ装置の状態がリモートレプリケーションのペア操作不可の条件になっています。装置 ID、ローカルレプリケーションペア状態、リモートレプリケーションペア状態、対象 LU の所属する RAID グループの状態を確認ください。RAID グループの状態が Normal 以外のときは Normal になってから再度実行してください。
58100e0	DMER8100E0: リモート側アレイ装置がオートマイグレーション中です。マイグレーションを完了させた後に、再実行してください。
58100e5	DMER8100E5: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU が所属する RAID グループの状態が Normal 以外です。状態が Normal になってから再度実行してください。
58100e8	DMER8100E8: リモート側アレイ装置が他のアレイ装置からのペア操作を実行中です。他のアレイ装置からのペア操作が完了してから、再度実行してください。
58100ef	DMER8100EF: リモート側アレイ装置の対象 S-VOL または対象 S-VOL にカスケードした ShadowImage の S-VOL が DP プール容量枯渇または当該コピーにより DP プール容量枯渇となるため、指定 S-VOL へのコピー処理が実行できません。DP プール容量枯渇を解決してから、再度実行してください。
58100f3	DMER8100F3: リモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
5810103	DMER810103: DM-LU の容量が枯渇しているため処理が実行できません。DM-LU の容量を追加してください。
5810106	DMER810106: 指定した LU は内部処理実施中です。しばらく待ってから再実行してください。

エラーコード	説明
5810109	DMER810109: DM-LU が閉塞しているため処理が実行できません。DM-LU の状態を回復してください。
581010c	DMER81010C: DM-LU が所属する DP プールが閉塞しているため、処理が実行できません。DP プールの回復を実施してください。
581010f	DMER81010F: DM-LU に PIN があります。PIN を回復させた後に再実施してください。
5810112	DMER810112: DM-LU が所属している DP プールの容量が不足しているため実行できません。DP プール容量の拡張を実施してください。
5810115	DMER810115: DM-LU にライト未完があるため処理が実行できません。指定したペアとカスケードしている ShadowImage ペアを削除してください。
5811001	DMER811001: リモート側アレイ装置へのパスが 2 つとも閉塞しました。パスの状態を確認してください。
5811002	DMER811002: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5811003	DMER811003: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5811004	DMER811004: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581100a	DMER81100A: リモート側アレイ装置がコマンド受領中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581100f	DMER81100F: リモート側アレイ装置のパスが閉塞しました。パスの状態を確認してください。
581102c	DMER81102C: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581102d	DMER81102D: リモート側アレイ装置の S-VOL がフォーマット中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581102e	DMER81102E: リモート側アレイ装置が擬似計画停止中です。擬似計画停止後に再実行してください。
581102f	DMER81102F: リモート側アレイ装置が擬似計画停止後です。しばらく待ってから、再実行してください。
5811030	DMER811030: S-VOL が未定義またはリザーブ LU, DMLU に指定されています。LU の状態を確認してください。
5811031	DMER811031: 指定された S-VOL は異なるアレイ装置と既にペアが作成されています。ペア情報を確認してください。
5811033	DMER811033: リモート側アレイ装置がオン中ファームウェア交換中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5811034	DMER811034: コマンドエラーが発生しました。しばらく待ってから、再実行してください。
5811035	DMER811035: リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。またはリモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
5811036	DMER811036: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。S-VOL に指定した LU が所属する RAID グループの状態が Normal 以外のときは、Normal になってから再度実行してください。
5811037	DMER811037: リモート側アレイ装置が処理中です。LU のペア状態およびアレイ ID、または接続きょう体数および CTG 番号を確認し、再実行してください。または対象 LU の状態が正常または縮退以外です。対象 LU の状態を正常か縮退にしてください。または全容量割当モードは未サポート機能です。アレイ装置のファームウェアバージョンを確認してください。
5811038	DMER811038: リモート側アレイ装置のパスが 2 つとも閉塞しました。パスの状態を確認してください。
5811039	DMER811039: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。

エラーコード	説明
581103a	DMER81103A: リモート側アレイ装置が処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581103e	DMER81103E: S-VOL コマンド受領中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5811042	DMER811042: サポート容量を超えています。リモート側アレイ装置の不要なペアを削除してください。
5811058	DMER811058: リモート側アレイ装置の ShadowImage の P-VOL が Failure (S-VOL Switch) 状態です。保守員に連絡してください。
58110d4	DMER8110D4: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU が既に P-VOL になっています。リモート側アレイ装置の LU の状態を確認してください。
58110e0	DMER8110E0: リモート側アレイ装置がオートマイグレーション中です。マイグレーションを完了させた後に、再実行してください。
58110e5	DMER8110E5: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU が所属する RAID グループの状態が Normal 以外です。状態が Normal になってから再度実行してください。
58110e8	DMER8110E8: リモート側アレイ装置が他のアレイ装置からのペア操作を実行中です。他のアレイ装置からのペア操作が完了してから、再度実行してください。
58110f3	DMER8110F3: リモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
5811103	DMER811103: DM-LU の容量が枯渇しているため処理が実行できません。DM-LU の容量を追加してください。
5811106	DMER811106: 指定した LU は内部処理実施中です。しばらく待ってから再実行してください。
5811109	DMER811109: DM-LU が閉塞しているため処理が実行できません。DM-LU の状態を回復してください。
581110c	DMER81110C: DM-LU が所属する DP プールが閉塞しているため、処理が実行できません。DP プールの回復を実施してください。
581110f	DMER81110F: DM-LU に PIN があります。PIN を回復させた後に再実施してください。
5811112	DMER811112: DM-LU が所属している DP プールの容量が不足しているため実行できません。DP プール容量の拡張を実施してください。
5811115	DMER811115: DM-LU にライト未完があるため処理が実行できません。指定したペアとカスケードしている ShadowImage ペアを削除してください。
5812001	DMER812001: リモート側アレイ装置へのパスが 2 つとも閉塞しました。パスの状態を確認してください。
5812002	DMER812002: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5812003	DMER812003: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5812004	DMER812004: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581200a	DMER81200A: リモート側アレイ装置がコマンド受領中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581200f	DMER81200F: リモート側アレイ装置のパスが閉塞しました。パスの状態を確認してください。
581202c	DMER81202C: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581202d	DMER81202D: リモート側アレイ装置の S-VOL がフォーマット中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581202e	DMER81202E: リモート側アレイ装置が擬似計画停止中です。擬似計画停止後に再実行してください。
581202f	DMER81202F: リモート側アレイ装置が擬似計画停止後です。しばらく待ってから、再実行してください。

エラーコード	説明
5812030	DMER812030: S-VOL が未定義またはリザーブ LU, DMLU に指定されています。LU の状態を確認してください。
5812031	DMER812031: リモート側アレイ装置の対象 LU は異なるアレイ装置と既にペアが作成されています。ペア情報を確認してください。
5812033	DMER812033: リモート側アレイ装置がオン中ファームウェア交換中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5812034	DMER812034: コマンドエラーが発生しました。しばらく待ってから、再実行してください。
5812035	DMER812035: リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。またはリモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
5812036	DMER812036: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。S-VOL が所属する RAID グループの状態が Normal 以外のときは、Normal になってから再度実行してください。
5812037	DMER812037: リモート側アレイ装置が処理中です。しばらく待ってから、LU のペア状態およびアレイ ID, または接続きょう体数およびグループ番号を確認し、再実行してください。またはリモート側アレイ装置の対象 S-VOL または対象 S-VOL にカスケードした ShadowImage の S-VOL が DP プール容量枯渇または当該コピーにより DP プール容量枯渇となるため、指定 S-VOL へのコピー処理が実行できません。DP プール容量枯渇を解決してから、再度実行してください。
5812038	DMER812038: リモート側アレイ装置へのパスが 2 つとも閉塞しました。パスの状態を確認してください。
5812039	DMER812039: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581203a	DMER81203A: リモート側アレイ装置が処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581203e	DMER81203E: S-VOL コマンド受領中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
58120d4	DMER8120D4: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU が既に P-VOL になっています。リモート側アレイ装置の LU の状態を確認してください。
58120e0	DMER8120E0: リモート側アレイ装置がオートマイグレーション中です。マイグレーションを完了させた後に、再実行してください。
58120e5	DMER8120E5: リモート側アレイ装置の S-VOL が所属する RAID グループの状態が Normal 以外です。状態が Normal になってから再度実行してください。
58120e8	DMER8120E8: リモート側アレイ装置が他のアレイ装置からのペア操作を実行中です。他のアレイ装置からのペア操作が完了してから、再度実行してください。
58120ef	DMER8120EF: リモート側アレイ装置の対象 S-VOL または対象 S-VOL にカスケードした ShadowImage の S-VOL が DP プール容量枯渇または当該コピーにより DP プール容量枯渇となるため、指定 S-VOL へのコピー処理が実行できません。DP プール容量枯渇を解決してから、再度実行してください。
58120f3	DMER8120F3: リモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
5812109	DMER812109: DM-LU が閉塞しているため処理が実行できません。DM-LU の状態を回復してください。
581210c	DMER81210C: DM-LU が所属する DP プールが閉塞しているため、処理が実行できません。DP プールの回復を実施してください。
581210f	DMER81210F: DM-LU に PIN があります。PIN を回復させた後に再実施してください。
5812112	DMER812112: DM-LU が所属している DP プールの容量が不足しているため実行できません。DP プール容量の拡張を実施してください。

エラーコード	説明
5812115	DMER812115: DM-LU にライト未完があるため処理が実行できません。指定したペアとカスケードしている ShadowImage ペアを削除してください。
5813001	DMER813001: リモート側アレイ装置へのパスが2つとも閉塞しました。パスの状態を確認してください。
5813002	DMER813002: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5813003	DMER813003: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5813004	DMER813004: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581300a	DMER81300A: リモート側アレイ装置がコマンド受領中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581300f	DMER81300F: リモート側アレイ装置のパスが閉塞しました。パスの状態を確認してください。
581301e	DMER81301E: リモート側アレイ装置の状態がリモートレプリケーションのペア操作不可の条件になっています。LU のペア状態, 所属する RAID グループの状態, 使用メモリ再構築状態, DM-LU の状態, DM-LU が所属する DP プールの状態を確認してください。RAID グループの状態が Normal 以外のときは Normal になってから再度実行してください。メモリ再構築中の場合, メモリ再構築が完了後, 再度実行してください。DM-LU の状態が閉塞している場合, DM-LU を回復してください。DM-LU の所属する DP プールの状態が Normal 以外のときは Normal になってから再度実行してください。DM-LU に PIN がある場合, PIN を回復させた後に再度実行してください。
581302c	DMER81302C: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581302d	DMER81302D: リモート側アレイ装置の S-VOL がフォーマット中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581302e	DMER81302E: リモート側アレイ装置が擬似計画停止中です。擬似計画停止後に再実行してください。
581302f	DMER81302F: リモート側アレイ装置が擬似計画停止後です。しばらく待ってから、再実行してください。
5813030	DMER813030: S-VOL が未定義またはリザーブ LU, DMLU に指定されています。LU の状態を確認してください。
5813031	DMER813031: リモート側アレイ装置の対象 LU は異なるアレイ装置と既にペアが作成されています。ペア情報を確認してください。
5813033	DMER813033: リモート側アレイ装置がオン中ファームウェア交換中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5813034	DMER813034: コマンドエラーが発生しました。しばらく待ってから、再実行してください。
5813035	DMER813035: リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。またはリモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
5813036	DMER813036: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。S-VOL が所属する RAID グループの状態が Normal 以外のときは, Normal になってから再度実行してください。
5813037	DMER813037: リモート側アレイ装置が処理中です。LU のペア状態およびアレイ ID, または接続きょう体数および CTG 番号を確認し, 再実行してください。
5813038	DMER813038: リモート側アレイ装置へのパスが2つとも閉塞しました。パスの状態を確認してください。
5813039	DMER813039: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581303a	DMER81303A: リモート側アレイ装置が処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581303e	DMER81303E: S-VOL コマンド受領中です。しばらく待ってから、再度実行してください。

エラーコード	説明
58130d4	DMER8130D4: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU が既に P-VOL になっています。リモート側アレイ装置の LU の状態を確認してください。
58130d9	DMER8130D9: リモート側アレイ装置の状態がリモートレプリケーションのペア操作不可の条件になっています。装置 ID、ローカルレプリケーションペア状態、リモートレプリケーションペア状態、対象 LU の所属する RAID グループの状態、使用メモリ再構築状態、DM-LU の状態、DM-LU が所属する DP プールの状態を確認してください。RAID グループの状態が Normal 以外の場合は Normal になってから再度実行してください。メモリ再構築中の場合、メモリ再構築が完了後、再度実行してください。DM-LU の状態が閉塞している場合、DM-LU を回復してください。DM-LU の所属する DP プールの状態が Normal 以外の場合は Normal になってから再度実行してください。DM-LU に PIN がある場合、PIN を回復させた後に再度実行してください。
58130de	DMER8130DE: リモート側アレイ装置がオートマイグレーション中です。マイグレーションを完了させた後に、再実行してください。
58130e0	DMER8130E0: リモート側アレイ装置がオートマイグレーション中です。マイグレーションを完了させた後に、再実行してください。
58130e2	DMER8130E2: リモート側アレイ装置がデータ移行中です。データ移行が完了した後に、再度実行してください。
58130e3	DMER8130E3: リモート側アレイ装置の S-VOL が所属する RAID グループの状態が Normal 以外です。状態が Normal になってから再度実行してください。
58130e5	DMER8130E5: リモート側アレイ装置の S-VOL が所属する RAID グループの状態が Normal 以外です。状態が Normal になってから再度実行してください。
58130e8	DMER8130E8: リモート側アレイ装置が他のアレイ装置からのペア操作を実行中です。他のアレイ装置からのペア操作が完了してから、再度実行してください。
58130f2	DMER8130F2: リモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
58130f3	DMER8130F3: リモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
5813107	DMER813107: DM-LU が閉塞しているため処理が実行できません。DM-LU の状態を回復してください。
5813109	DMER813109: DM-LU が閉塞しているため処理が実行できません。DM-LU の状態を回復してください。
581310a	DMER81310A: DM-LU が所属する DP プールが閉塞しているため、処理が実行できません。DP プールの回復を実施してください。
581310c	DMER81310C: DM-LU が所属する DP プールが閉塞しているため、処理が実行できません。DP プールの回復を実施してください。
581310d	DMER81310D: DM-LU に PIN があります。PIN を回復させた後に再実施してください。
581310f	DMER81310F: DM-LU に PIN があります。PIN を回復させた後に再実施してください。
5813110	DMER813110: DM-LU が所属している DP プールの容量が不足しているため実行できません。DP プール容量の拡張を実施してください。
5813112	DMER813112: DM-LU が所属している DP プールの容量が不足しているため実行できません。DP プール容量の拡張を実施してください。
5814001	DMER814001: リモート側アレイ装置へのバスが 2 つとも閉塞しました。バスの状態を確認してください。
5814002	DMER814002: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5814003	DMER814003: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5814004	DMER814004: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。

エラーコード	説明
581400a	DMER81400A: リモート側アレイ装置がコマンド受領中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
581400f	DMER81400F: ローカル側アレイ装置のパスが閉塞しました。パスの状態を確認してください。
581401e	DMER81401E: リモート側アレイ装置の状態がリモートレプリケーションのペア操作不可の条件になっています。LU のペア状態、RAID グループの状態、使用メモリ再構築状態、DM-LU の状態、DM-LU が所属する DP プールの状態を確認してください。RAID グループの状態が Normal 以外のときは Normal になってから再度実行してください。メモリ再構築中の場合、メモリ再構築が完了後、再度実行してください。DM-LU の状態が閉塞している場合、DM-LU を回復してください。DM-LU の所属する DP プールの状態が Normal 以外のときは Normal になってから再度実行してください。DM-LU に PIN がある場合、PIN を回復させた後に再度実行してください。
581402c	DMER81402C: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581402d	DMER81402D: リモート側アレイ装置の S-VOL がフォーマット中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
581402e	DMER81402E: リモート側アレイ装置が擬似計画停止中です。擬似計画停止後に再実行してください。
581402f	DMER81402F: リモート側アレイ装置が擬似計画停止後です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5814030	DMER814030: S-VOL が未定義またはリザーブ LU、DMLU に指定されています。LU の状態を確認してください。
5814031	DMER814031: リモート側アレイ装置の対象 LU は異なるアレイ装置と既にペアが作成されています。ペア情報を確認してください。
5814033	DMER814033: リモート側アレイ装置がオン中ファームウェア交換中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5814034	DMER814034: コマンドエラーが発生しました。しばらく待ってから、再実行してください。
5814035	DMER814035: リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。またはリモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
5814036	DMER814036: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。S-VOL が所属する RAID グループの状態が Normal 以外のときは、Normal になってから再度実行してください。
5814037	DMER814037: リモート側アレイ装置が処理中です。LU のペア状態およびアレイ ID、または接続きょう体数および CTG 番号を確認し、再実行してください。
5814038	DMER814038: リモート側アレイ装置へのパスが 2 つとも閉塞しました。パスの状態を確認してください。
5814039	DMER814039: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581403a	DMER81403A: リモート側アレイ装置が処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581403e	DMER81403E: S-VOL コマンド受領中です。しばらく待ってから、再実行してください。
58140d4	DMER8140D4: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU が既に P-VOL になっています。リモート側アレイ装置の LU の状態を確認してください。
58140d9	DMER8140D9: リモート側アレイ装置の状態がリモートレプリケーションのペア操作不可の条件になっています。装置 ID、ローカルレプリケーションペア状態、リモートレプリケーションペア状態、対象 LU の所属する RAID グループの状態、使用メモリ再構築状態、DM-LU の状態、DM-LU が所属する DP プールの状態を確認してください。RAID グループの状態が Normal 以外のときは Normal になってから再度実行してください。メモリ再構築中の場合、メモリ再構築が完了後、再度実行してください。DM-LU の状態が閉塞している場合、DM-LU を回復してください。DM-LU の所属する DP プールの状

エラーコード	説明
	態が Normal 以外の場合は Normal になってから再度実行してください。DM-LU に PIN がある場合、PIN を回復させた後に再度実行してください。
58140de	DMER8140DE: リモート側アレイ装置がオートマイグレーション中です。マイグレーションを完了させた後に、再実行してください。
58140e0	DMER8140E0: リモート側アレイ装置がオートマイグレーション中です。マイグレーションを完了させた後に、再実行してください。
58140e2	DMER8140E2: リモート側アレイ装置がデータ移行中です。データ移行が完了した後に、再度実行してください。
58140e3	DMER8140E3: リモート側アレイ装置の S-VOL が所属する RAID グループの状態が Normal 以外です。状態が Normal になってから再度実行してください。
58140e5	DMER8140E5: リモート側アレイ装置の S-VOL が所属する RAID グループの状態が Normal 以外です。状態が Normal になってから再度実行してください。
58140e8	DMER8140E8: リモート側アレイ装置が他のアレイ装置からのペア操作を実行中です。他のアレイ装置からのペア操作が完了してから、再度実行してください。
58140f2	DMER8140F2: リモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
58140f3	DMER8140F3: リモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
5814107	DMER814107: DM-LU が閉塞しているため処理が実行できません。DM-LU の状態を回復してください。
5814109	DMER814109: DM-LU が閉塞しているため処理が実行できません。DM-LU の状態を回復してください。
581410a	DMER81410A: DM-LU が所属する DP プールが閉塞しているため、処理が実行できません。DP プールの回復を実施してください。
581410c	DMER81410C: DM-LU が所属する DP プールが閉塞しているため、処理が実行できません。DP プールの回復を実施してください。
581410d	DMER81410D: DM-LU に PIN があります。PIN を回復させた後に再実施してください。
581410f	DMER81410F: DM-LU に PIN があります。PIN を回復させた後に再実施してください。
5814110	DMER814110: DM-LU が所属している DP プールの容量が不足しているため実行できません。DP プール容量の拡張を実施してください。
5814112	DMER814112: DM-LU が所属している DP プールの容量が不足しているため実行できません。DP プール容量の拡張を実施してください。
5815001	DMER815001: リモート側アレイ装置へのパスが 2 つとも閉塞しました。パスの状態を確認してください。
5815002	DMER815002: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5815003	DMER815003: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5815004	DMER815004: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
581500a	DMER81500A: リモート側アレイ装置がコマンド受領中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
581500f	DMER81500F: リモート側アレイ装置のパスが閉塞しました。パスの状態を確認してください。
581502c	DMER81502C: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
581502d	DMER81502D: リモート側アレイ装置の S-VOL がフォーマット中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
581502e	DMER81502E: リモート側アレイ装置が擬似計画停止中です。擬似計画停止後に再実行してください。

エラーコード	説明
581502f	DMER81502F: リモート側アレイ装置が擬似計画停止後です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5815030	DMER815030: S-VOL が未定義またはリザーブ LU, DMLU に指定されています。LU の状態を確認してください。
5815031	DMER815031: リモート側アレイ装置の対象 LU は異なるアレイ装置と既にペアが作成されています。ペア情報を確認してください。
5815033	DMER815033: リモート側アレイ装置がオン中ファームウェア交換中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5815034	DMER815034: コマンドエラーが発生しました。しばらく待ってから、再度実行してください。
5815035	DMER815035: リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。またはリモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
5815036	DMER815036: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。S-VOL が所属する RAID グループの状態が Normal 以外の場合は、Normal になってから再度実行してください。
5815037	DMER815037: リモート側アレイ装置が処理中です。しばらく待ってから、LU のペア状態およびアレイ ID, または接続さょう体数およびグループ番号を確認し、再実行してください。またはリモート側アレイ装置の対象 S-VOL または対象 S-VOL にカスケードした ShadowImage の S-VOL が DP プール容量枯渇または当該コピーにより DP プール容量枯渇となるため、指定 S-VOL へのコピー処理が実行できません。DP プール容量枯渇を解決してから、再度実行してください。
5815038	DMER815038: リモート側アレイ装置へのパスが 2 つとも閉塞しました。パスの状態を確認してください。
5815039	DMER815039: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581503a	DMER81503A: リモート側アレイ装置が処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581503e	DMER81503E: S-VOL コマンド受領中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
58150d4	DMER8150D4: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU が既に P-VOL になっています。リモート側アレイ装置の LU の状態を確認してください。
58150e0	DMER8150E0: リモート側アレイ装置がオートマイグレーション中です。マイグレーションを完了させた後に、再実行してください。
58150e5	DMER8150E5: リモート側アレイ装置の S-VOL が所属する RAID グループの状態が Normal 以外です。状態が Normal になってから再度実行してください。
58150e8	DMER8150E8: リモート側アレイ装置が他のアレイ装置からのペア操作を実行中です。他のアレイ装置からのペア操作が完了してから、再度実行してください。
58150ef	DMER8150EF: リモート側アレイ装置の対象 S-VOL または対象 S-VOL にカスケードした ShadowImage の S-VOL が DP プール容量枯渇または当該コピーにより DP プール容量枯渇となるため、指定 S-VOL へのコピー処理が実行できません。DP プール容量枯渇を解決してから、再度実行してください。
58150f3	DMER8150F3: リモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
5815109	DMER815109: DM-LU が閉塞しているため処理が実行できません。DM-LU の状態を回復してください。
581510c	DMER81510C: DM-LU が所属する DP プールが閉塞しているため、処理が実行できません。DP プールの回復を実施してください。
581510f	DMER81510F: DM-LU に PIN があります。PIN を回復させた後に再実施してください。

エラーコード	説明
5815112	DMER815112: DM-LU が所属している DP プールの容量が不足しているため実行できません。DP プール容量の拡張を実施してください。
5815115	DMER815115: DM-LU にライト未完があるため処理が実行できません。指定したペアとカスケードしている ShadowImage ペアを削除してください。
5816022	DMER816022: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5816023	DMER816023: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5816024	DMER816024: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5816025	DMER816025: リモート側アレイ装置の S-VOL がフォーマット中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5816026	DMER816026: リモート側アレイ装置が擬似計画停止中です。擬似計画停止後に再実行してください。
5816027	DMER816027: リモート側アレイ装置が擬似計画停止後です。しばらく待ってから、再実行してください。
5816028	DMER816028: リモート側アレイ装置にてペア操作のコマンドを実行中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5816029	DMER816029: コマンドエラーが発生しました。しばらく待ってから、再実行してください。
581602a	DMER81602A: リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。
581602b	DMER81602B: リモート側アレイ装置へのパスが 2 つとも閉塞しました。パスの状態を確認してください。
581602c	DMER81602C: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581602d	DMER81602D: リモート側アレイ装置の S-VOL がフォーマット中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
581602e	DMER81602E: リモート側アレイ装置が擬似計画停止中です。擬似計画停止後に再実行してください。
581602f	DMER81602F: リモート側アレイ装置が擬似計画停止後です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5816030	DMER816030: S-VOL が未定義またはリザーブ LU, DMLU に指定されています。LU の状態を確認してください。
5816031	DMER816031: 指定された S-VOL は異なるアレイ装置と既にペアが作成されています。ペア情報を確認してください。
5816032	DMER816032: リモート側アレイ装置にてペア操作のコマンドを実行中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5816033	DMER816033: リモート側サブシステムがオン中ファームウェア交換中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5816035	DMER816035: リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。またはリモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
5816038	DMER816038: リモート側アレイ装置へのパスが 2 つとも閉塞しました。パスの状態を確認してください。
5816041	DMER816041: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5816042	DMER816042: リモート側アレイ装置において、リモートレプリケーションペアのサポート容量を超えています。SnapShot ペアの全 P-VOL, リモートレプリケーションペアの全 P-VOL および全 S-VOL, データプールの容量を確認し、搭載しているキャッシュでサポートされる容量以下にしてください。
5816086	DMER816086: リモート側アレイ装置の S-VOL がコマンドデバイスに指定されています。リモート側アレイ装置のコマンドデバイス以外を S-VOL に指定してください。

エラーコード	説明
5816087	DMER816087: リモート側アレイ装置の S-VOL が Format 実行中です。Format が完了してから、再度ペアを生成してください。またはリモート側アレイ装置の対象 S-VOL に指定された LU は Dynamic Provisioning の管理情報を更新中です。しばらく待ってから、再度実行して下さい。
5816088	DMER816088: リモート側アレイ装置の S-VOL が DM-LU に指定されています。リモート側アレイ装置の DM-LU 以外を S-VOL に指定してください。
5816089	DMER816089: リモート側アレイ装置の S-VOL が S-VOL Disable です。リモート側アレイ装置の LU 状態を確認し、S-VOL Disable を解除して実行してください。
581608a	DMER81608A: リモート側アレイ装置がサポート容量を超えているため S-VOL がリモートレプリケーションの差分ビットを割り当てられません。リモート側アレイ装置の状態を確認してください。またはリモート側アレイ装置の対象 S-VOL または対象 S-VOL にカスケードした ShadowImage の S-VOL が DP プール容量枯渇または当該コピーにより DP プール容量枯渇となるため、指定 S-VOL へのコピー処理が実行できません。DP プール容量枯渇を解決してから、再度実行してください。
581608b	DMER81608B: リモート側アレイ装置において、リモートレプリケーションペアのサポート容量を超えています。SnapShot ペアの全 P-VOL、リモートレプリケーションペアの全 P-VOL および全 S-VOL、データプールの容量を確認し、搭載しているキャッシュでサポートされる容量以下にしてください。
581608c	DMER81608C: 処理中です。しばらく待ってから再実行してください。
581608d	DMER81608D: リモート側アレイ装置の S-VOL が SnapShot ペアとのカスケード条件を満たしていません。リモート側アレイ装置の LU 状態を確認してください。
581608e	DMER81608E: リモート側アレイ装置の S-VOL が ShadowImage ペア生成済みです。リモートレプリケーションと ShadowImage はカスケードできません。リモート側アレイ装置の LU 状態を確認してください。
5816091	DMER816091: リモート側アレイ装置の装置 ID が異なるか、最大接続きょう体数の上限を超えています。リモート側アレイ装置の装置 ID、接続きょう体数、またはグループ番号を確認してください。
5816094	DMER816094: リモート側アレイ装置の S-VOL の RAID レベルが RAID 0 です。リモート側アレイ装置の RAID レベルを RAID 0 以外にしてください。
5816095	DMER816095: リモート側アレイ装置の S-VOL が強制パリティ回復中です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから、再実行してください。
5816096	DMER816096: リモート側アレイ装置の S-VOL が SnapShot の V-VOL です。リモートレプリケーションと SnapShot の V-VOL はカスケードできません。リモート側アレイ装置の LU 状態を確認してください。
5816097	DMER816097: リモート側アレイ装置の S-VOL に対して不当なコマンドを受領しました。リモート側アレイ装置の状態を確認してください。
581609a	DMER81609A: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU の状態が正常または縮退以外、または所属する RAID グループの状態が Normal 以外、または DP プールに作成した LU です。リモート側アレイ装置の LU 状態を確認してください。S-VOL に指定した LU が所属する RAID グループの状態が Normal 以外のときは、Normal になってから再度実行してください。S-VOL に DP プールに作成した LU 以外の LU を指定してください。
581609b	DMER81609B: リモート側アレイ装置の S-VOL が 17 個以上の LU で統合されています。リモート側アレイ装置の統合 LU 数を 16 個以下にしてください。
581609c	DMER81609C: リモート側アレイ装置の S-VOL の LU 容量が P-VOL 容量と一致しません。リモート側アレイ装置の LU 容量を P-VOL の LU 容量と一致させてください。または P-VOL と S-VOL の全容量割当モードの設定値が異なります。P-VOL および S-VOL の全容量割当モードを両方も同じ設定値にしてください。または全容量割当モードは未サポート機能です。アレイ装置のファームウェアバージョンを確認してください。
581609d	DMER81609D: リモート側アレイ装置の S-VOL が常駐 LU に設定されています。リモート側アレイ装置の常駐 LU 以外を指定してください。

エラーコード	説明
581609e	DMER81609E: リモート側アレイ装置の S-VOL が統合された LU に、1 GB 未満の LU が含まれています。リモート側アレイ装置の統合 LU 状態を確認してください。
581609f	DMER81609F: SnapShot のスプリット、削除の内部処理の実行中です。しばらく待ってから、再実行してください。
58160a0	DMER8160A0: リモート側アレイ装置にプール LU がありません。リモート側アレイ装置にプール LU を作成してください。
58160a1	DMER8160A1: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU がプール LU です。プール LU は S-VOL に設定できません。リモート側アレイ装置のプール LU の状態を確認してください。
58160a2	DMER8160A2: リモート側アレイ装置のプール LU の LU 状態が正常または縮退以外です。リモート側アレイ装置のプール LU の状態を確認してください。
58160a3	DMER8160A3: リモート側アレイ装置のプール LU が強制パリティ回復中です。リモート側アレイ装置のプール LU の状態を確認し、しばらく待ってから、再実行してください。または対象となる LU とデータプールの全容量割当モードの設定値が異なります。対象となる LU およびデータプールの全容量割当モードを両方とも同じ設定値にしてください。
58160a4	DMER8160A4: リモート側アレイ装置の S-VOL がリモートレプリケーション +SnapShot で最大ペア数オーバーです。リモート側アレイ装置の状態を確認してください。また、リモート側アレイ装置の不要なペアを削除してください。
58160a5	DMER8160A5: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Failure です。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
58160a6	DMER8160A6: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Threshold Over です。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
58160a7	DMER8160A7: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Split (Read/Write 不可) です。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
58160a8	DMER8160A8: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Takeover、または S-VOL を直前の更新サイクルで確定した状態に戻す処理を行っています。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
58160a9	DMER8160A9: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Simplex です。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
58160aa	DMER8160AA: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Split です。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
58160ab	DMER8160AB: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Simplex ではありません。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
58160b4	DMER8160B4: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラに存在しない、かつ特殊処理継続不可です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
58160b5	DMER8160B5: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラに存在しない、かつ LU 単位切替え実行 (開始) です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
58160b6	DMER8160B6: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラに存在しない、かつ LU 単位切替え実行 (中) です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。

エラーコード	説明
58160b7	DMER8160B7: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラに存在しない、かつ LU 単位切替え元のコントローラが閉塞しています。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
58160b8	DMER8160B8: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替え不可、かつシーケンシャルバッファ使用中です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
58160b9	DMER8160B9: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替えが一時的にできません。しばらく待ってから実行してください。
58160ba	DMER8160BA: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替え不可、かつ PIN があります。サポートサービス利用ガイドに記載された連絡先にお問い合わせください。
58160bb	DMER8160BB: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替えが一時的にできません。しばらく待ってから実行してください。
58160bc	DMER8160BC: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替えが一時的にできません。しばらく待ってから実行してください。
58160bd	DMER8160BD: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替えできずタイムアウトが発生しました。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
58160be	DMER8160BE: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替え不可、かつグループ# が不正です。リモート側アレイ装置の状態を確認してください。
58160c0	DMER8160C0: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラに存在しない、かつドライブスピニング中です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
58160c1	DMER8160C1: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラに存在しない、かつシステムコピー中です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
58160c2	DMER8160C2: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラに存在しない、かつ引継ぎ情報をライト中です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
58160c5	DMER8160C5: リモート側アレイ装置のサイクル時間が最小間隔未満です。リモート側アレイ装置に設定されているサイクル時間を確認してください。
58160d2	DMER8160D2: リモート側アレイ装置の S-VOL プール番号が SnapShot で使用中のものとは異なっています。指定した、リモート側アレイ装置のプール番号を確認してください。
58160dd	DMER8160DD: プログラム内部エラーが発生しました。しばらく待ってから、再実行してください。解決しない場合、保守員へ連絡してください。
58160e0	DMER8160E0: リモート側アレイ装置がオートマイグレーション中です。マイグレーションを完了させた後に、再実行してください。
58160e5	DMER8160E5: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU が所属する RAID グループの状態が Normal 以外です。状態が Normal になってから再度実行してください。
58160e8	DMER8160E8: リモート側アレイ装置が他のアレイ装置からのペア操作を実行中です。他のアレイ装置からのペア操作が完了してから、再度実行してください。
58160ea	DMER8160EA: DP プールに作成した LU を S-VOL に指定しました。DP プールに作成した LU 以外の LU を指定してください。
58160ed	DMER8160ED: リモート側アレイ装置の対象 S-VOL に指定された LU は Dynamic Provisioning の管理情報を更新中です。しばらく待ってから、再度実行して下さい。
58160ef	DMER8160EF: リモート側アレイ装置の対象 S-VOL または対象 S-VOL にカスケードした ShadowImage の S-VOL が DP プール容量枯渇または当該コピーにより DP プール容量枯渇となるため、指定 S-VOL へのコピー処理が実行できません。DP プール容量枯渇を解決してから、再度実行してください。

エラーコード	説明
58160f3	DMER8160F3: リモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。または指定されたグループはサイクルコピー中かつカスケードしている SnapShot のグループがペア分割予約済みです。SnapShot のペア分割完了後に再実行してください。
58160f6	DMER8160F6: P-VOL と S-VOL の全容量割当モードの設定値が異なります。P-VOL および S-VOL の全容量割当モードを両方とも同じ設定値にしてください。または全容量割当モードは未サポート機能です。アレイ装置のファームウェアバージョンを確認してください。
58160f8	DMER8160F8: 対象となる LU とデータプールの全容量割当モードの設定値が異なります。対象となる LU およびデータプールの全容量割当モードを両方とも同じ設定値にしてください。
5816123	DMER816123: リモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プールが存在しません。リモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プールの状態を確認してください。
5816126	DMER816126: リモート側アレイ装置で使用する管理領域 DP プールが存在しません。リモート側アレイ装置で使用する管理領域 DP プールの状態を確認してください。
5816129	DMER816129: リモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プールの状態が正常または縮退以外です。リモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プールの状態を確認してください。
581612c	DMER81612C: リモート側アレイ装置で使用する管理領域 DP プールの状態が正常または縮退以外です。リモート側アレイ装置で使用する管理領域 DP プールの状態を確認してください。
581612f	DMER81612F: 指定されたリモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プールは、指定された S-VOL が現在使用している DP プールと異なります。リモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プール番号を確認してください。
5816133	DMER816133: 指定されたリモート側アレイ装置で使用する管理領域 DP プールは、指定された S-VOL が現在使用している DP プールと異なります。リモート側アレイ装置で使用する管理領域 DP プール番号を確認してください。
5816136	DMER816136: リモート側アレイ装置のレプリケーションデータ DP プールでリモートレプリケーションペアの削除処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5816139	DMER816139: リモート側アレイ装置の管理領域 DP プールでリモートレプリケーションペアの削除処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581613c	DMER81613C: リモート側アレイ装置で既にリモートレプリケーションが使用可能な最大数のグループが存在します。リモートレプリケーションが使用しているグループ数を確認してください。
581613f	DMER81613F: ローカル側アレイ装置のサイクル時間が最小間隔未満です。ローカル側アレイ装置に設定されているサイクル時間を確認してください。
5816143	DMER816143: 指定されたリモート側アレイ装置のレプリケーションデータ DP プール、または管理領域 DP プールは階層モードが有効かつ未サポートドライブ(SSD または FMD)のみで構成された DP プールです。DP プールに Tier を追加するか他の DP プールを指定して再実行してください。
5816146	DMER816146: 指定されたグループはサイクルコピー中かつカスケードしている SnapShot のグループがペア分割予約済みです。SnapShot ペア分割完了後に再実行してください。
5817022	DMER817022: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5817023	DMER817023: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5817024	DMER817024: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5817025	DMER817025: リモート側アレイ装置の S-VOL がフォーマット中です。しばらく待ってから、再実行してください。

エラーコード	説明
5817026	DMER817026: リモート側アレイ装置が擬似計画停止中です。擬似計画停止後に再実行してください。
5817027	DMER817027: リモート側アレイ装置が擬似計画停止後です。しばらく待ってから、再実行してください。
5817028	DMER817028: リモート側アレイ装置にてペア操作のコマンドを実行中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5817029	DMER817029: コマンドエラーが発生しました。しばらく待ってから、再実行してください。
581702a	DMER81702A: リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。
581702b	DMER81702B: リモート側アレイ装置へのパスが2つとも閉塞しました。パスの状態を確認してください。
581702c	DMER81702C: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581702d	DMER81702D: リモート側アレイ装置の S-VOL がフォーマット中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
581702e	DMER81702E: リモート側アレイ装置が擬似計画停止中です。擬似計画停止後に再実行してください。
581702f	DMER81702F: リモート側アレイ装置が擬似計画停止後です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5817030	DMER817030: S-VOL が未定義またはリザーブ LU, DMLU に指定されています。LU の状態を確認してください。
5817031	DMER817031: 指定された S-VOL は異なるアレイ装置と既にペアが作成されています。ペア情報を確認してください。
5817032	DMER817032: リモート側アレイ装置にてペア操作のコマンドを実行中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5817033	DMER817033: リモート側サブシステムがオン中ファームウェア交換中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5817035	DMER817035: リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。またはリモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
5817038	DMER817038: リモート側アレイ装置へのパスが2つとも閉塞しました。パスの状態を確認してください。
5817041	DMER817041: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5817042	DMER817042: リモート側アレイ装置において、リモートレプリケーションペアのサポート容量を超えています。SnapShot ペアの全 P-VOL, リモートレプリケーションペアの全 P-VOL および全 S-VOL, データプールの容量を確認し、搭載しているキャッシュでサポートされる容量以下にしてください。
5817086	DMER817086: リモート側アレイ装置の S-VOL がコマンドデバイスに指定されています。リモート側アレイ装置のコマンドデバイス以外を S-VOL に指定してください。
5817087	DMER817087: リモート側アレイ装置の S-VOL が Format 実行中です。Format が完了してから、再度ペアを生成してください。またはリモート側アレイ装置の対象 S-VOL に指定された LU は Dynamic Provisioning の管理情報を更新中です。しばらく待ってから、再度実行して下さい。
5817088	DMER817088: リモート側アレイ装置の S-VOL が DM-LU に指定されています。リモート側アレイ装置の DM-LU 以外を S-VOL に指定してください。
5817089	DMER817089: リモート側アレイ装置の S-VOL が S-VOL Disable です。リモート側アレイ装置の LU 状態を確認し、S-VOL Disable を解除して実行してください。

エラーコード	説明
581708a	DMER81708A: リモート側アレイド装置の S-VOL がリモートレプリケーションの差分ビットを割り当てられません。リモート側アレイド装置の状態を確認してください。また、リモート側アレイド装置の不要なペアを削除してください。
581708b	DMER81708B: リモート側アレイド装置において、リモートレプリケーションペアのサポート容量を超えています。SnapShot ペアの全 P-VOL、リモートレプリケーションペアの全 P-VOL および全 S-VOL、データプールの容量を確認し、搭載しているキャッシュでサポートされる容量以下にしてください。
581708c	DMER81708C: 処理中です。しばらく待ってから再実行してください。
581708d	DMER81708D: リモート側アレイド装置の S-VOL が SnapShot ペアとのカスケード条件を満たしていません。リモート側アレイド装置の LU 状態を確認してください。
581708e	DMER81708E: リモート側アレイド装置の S-VOL が ShadowImage ペア生成済みです。リモートレプリケーションと ShadowImage はカスケードできません。リモート側アレイド装置の LU 状態を確認してください。
5817091	DMER817091: リモート側アレイド装置の装置 ID が異なるか、最大接続きょう体数の上限を超えています。リモート側アレイド装置の装置 ID、接続きょう体数、またはグループ番号を確認してください。
5817094	DMER817094: リモート側アレイド装置の S-VOL の RAID レベルが RAID 0 です。リモート側アレイド装置の RAID レベルを RAID 0 以外にしてください。
5817095	DMER817095: リモート側アレイド装置の S-VOL が強制パリティ回復中です。リモート側アレイド装置の状態を確認して、しばらく待ってから、再実行してください。
5817096	DMER817096: リモート側アレイド装置の S-VOL が SnapShot の V-VOL です。リモートレプリケーションと SnapShot の V-VOL はカスケードできません。リモート側アレイド装置の LU 状態を確認してください。
5817097	DMER817097: リモート側アレイド装置の S-VOL に対して不当なコマンドを受領しました。リモート側アレイド装置の状態を確認してください。
5817098	DMER817098: リモート側アレイド装置の S-VOL がキャッシュパーティションを変更中です。リモート側アレイド装置の状態を確認して、しばらく待ってから、再実行してください。
581709a	DMER81709A: リモート側アレイド装置の S-VOL に指定した LU の状態が正常または縮退以外、または所属する RAID グループの状態が Normal 以外、または DP プールに作成した LU です。リモート側アレイド装置の LU 状態を確認してください。S-VOL に指定した LU が所属する RAID グループの状態が Normal 以外のときは、Normal になってから再度実行してください。S-VOL に DP プールに作成した LU 以外の LU を指定してください。
581709b	DMER81709B: リモート側アレイド装置の S-VOL が 17 個以上の LU で統合されています。リモート側アレイド装置の統合 LU 数を 16 個以下にしてください。
581709c	DMER81709C: リモート側アレイド装置の S-VOL の LU 容量が P-VOL 容量と一致しません。リモート側アレイド装置の LU 容量を P-VOL の LU 容量と一致させてください。または P-VOL と S-VOL の全容量割当モードの設定値が異なります。P-VOL および S-VOL の全容量割当モードを両方とも同じ設定値にしてください。または全容量割当モードは未サポート機能です。アレイド装置のファームウェアバージョンを確認してください。
581709d	DMER81709D: リモート側アレイド装置の S-VOL が常駐 LU に設定されています。リモート側アレイド装置の常駐 LU 以外を指定してください。
581709e	DMER81709E: リモート側アレイド装置の S-VOL が統合された LU に、1 GB 未満の LU が含まれています。リモート側アレイド装置の統合 LU 状態を確認してください。
581709f	DMER81709F: SnapShot のスプリット、削除の内部処理の実行中です。しばらく待ってから、再実行してください。
58170a0	DMER8170A0: リモート側アレイド装置にプール LU がありません。リモート側アレイド装置にプール LU を作成してください。

エラーコード	説明
58170a1	DMER8170A1: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU がプール LU です。プール LU は S-VOL に設定できません。リモート側アレイ装置のプール LU の状態を確認してください。
58170a2	DMER8170A2: リモート側アレイ装置のプール LU の LU 状態が正常または縮退以外です。リモート側アレイ装置のプール LU の状態を確認してください。
58170a3	DMER8170A3: リモート側アレイ装置のプール LU が強制パリティ回復中です。リモート側アレイ装置のプール LU の状態を確認し、しばらく待ってから、再実行してください。または対象となる LU とデータプールの全容量割当モードの設定値が異なります。対象となる LU およびデータプールの全容量割当モードを両方とも同じ設定値にしてください。
58170a4	DMER8170A4: リモート側アレイ装置の S-VOL がリモートレプリケーション +SnapShot で最大ペア数オーバです。リモート側アレイ装置の状態を確認してください。また、リモート側アレイ装置の不要なペアを削除してください。
58170a5	DMER8170A5: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Failure です。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
58170a6	DMER8170A6: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Threshold Over です。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
58170a7	DMER8170A7: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Split (Read/Write 不可) です。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
58170a8	DMER8170A8: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Takeover, または S-VOL を直前の更新サイクルで確定した状態に戻す処理を行っています。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
58170a9	DMER8170A9: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Simplex です。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
58170aa	DMER8170AA: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Split です。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
58170ab	DMER8170AB: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Simplex ではありません。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
58170b4	DMER8170B4: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラに存在しない、かつ特殊処理継続不可です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
58170b5	DMER8170B5: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラに存在しない、かつ LU 単位切替え実行 (開始) です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
58170b6	DMER8170B6: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラに存在しない、かつ LU 単位切替え実行 (中) です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
58170b7	DMER8170B7: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラに存在しない、かつ LU 単位切替え元のコントローラが閉塞しています。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
58170b8	DMER8170B8: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替え不可、かつシーケンシャルバッファ使用中です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。

エラーコード	説明
58170b9	DMER8170B9: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替えが一時的にできません。しばらく待ってから実行してください。
58170ba	DMER8170BA: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替え不可、かつ PIN があります。サポートサービス利用ガイドに記載された連絡先にお問い合わせください。
58170bb	DMER8170BB: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替えが一時的にできません。しばらく待ってから実行してください。
58170bc	DMER8170BC: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替えが一時的にできません。しばらく待ってから実行してください。
58170bd	DMER8170BD: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替えできずタイムアウトが発生しました。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
58170be	DMER8170BE: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替え不可、かつグループ# が不正です。リモート側アレイ装置の状態を確認してください。
58170c0	DMER8170C0: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラに存在しない、かつドライブスピニング中です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
58170c1	DMER8170C1: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラに存在しない、かつシステムコピート中です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
58170c2	DMER8170C2: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラに存在しない、かつ引継ぎ情報をライト中です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
58170c5	DMER8170C5: リモート側アレイ装置のサイクル時間が最小間隔未満です。リモート側アレイ装置に設定されているサイクル時間を確認してください。
58170d2	DMER8170D2: リモート側アレイ装置の S-VOL プール番号が SnapShot で使用中のものとは異なります。指定した、リモート側アレイ装置のプール番号を確認してください。
58170dd	DMER8170DD: プログラム内部エラーが発生しました。しばらく待ってから、再実行してください。解決しない場合、保守員へ連絡してください。
58170e0	DMER8170E0: リモート側アレイ装置がオートマイグレーション中です。マイグレーションを完了させた後に、再実行してください。
58170e5	DMER8170E5: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU が所属する RAID グループの状態が Normal 以外です。状態が Normal になってから再度実行してください。
58170e8	DMER8170E8: リモート側アレイ装置が他のアレイ装置からのペア操作を実行中です。他のアレイ装置からのペア操作が完了してから、再度実行してください。
58170ea	DMER8170EA: DP プールに作成した LU を S-VOL に指定しました。DP プールに作成した LU 以外の LU を指定してください。
58170ed	DMER8170ED: リモート側アレイ装置の対象 S-VOL に指定された LU は Dynamic Provisioning の管理情報を更新中です。しばらく待ってから、再度実行して下さい。
58170f3	DMER8170F3: リモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。または指定されたグループはサイクルコピー中かつカスケードしている SnapShot のグループがペア分割予約済みです。SnapShot ペア分割完了後に再実行してください。
58170f6	DMER8170F6: P-VOL と S-VOL の全容量割当モードの設定値が異なります。P-VOL および S-VOL の全容量割当モードを両方とも同じ設定値にしてください。または全容量割当モードは未サポート機能です。アレイ装置のファームウェアバージョンを確認してください。
58170f8	DMER8170F8: 対象となる LU とデータプールの全容量割当モードの設定値が異なります。対象となる LU およびデータプールの全容量割当モードを両方とも同じ設定値にしてください。

エラーコード	説明
5817123	DMER817123: リモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プールが存在しません。リモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プールの状態を確認してください。
5817126	DMER817126: リモート側アレイ装置で使用する管理領域 DP プールが存在しません。リモート側アレイ装置で使用する管理領域 DP プールの状態を確認してください。
5817129	DMER817129: リモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プールの状態が正常または縮退以外です。リモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プールの状態を確認してください。
581712c	DMER81712C: リモート側アレイ装置で使用する管理領域 DP プールの状態が正常または縮退以外です。リモート側アレイ装置で使用する管理領域 DP プールの状態を確認してください。
581712f	DMER81712F: 指定されたリモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プールは、指定された S-VOL が現在使用している DP プールと異なります。リモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プール番号を確認してください。
5817133	DMER817133: 指定されたリモート側アレイ装置で使用する管理領域 DP プールは、指定された S-VOL が現在使用している DP プールと異なります。リモート側アレイ装置で使用する管理領域 DP プール番号を確認してください。
5817136	DMER817136: リモート側アレイ装置のレプリケーションデータ DP プールでリモートレプリケーションペアの削除処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5817139	DMER817139: リモート側アレイ装置の管理領域 DP プールでリモートレプリケーションペアの削除処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581713c	DMER81713C: リモート側アレイ装置で既にリモートレプリケーションが使用可能な最大数のグループが存在します。リモートレプリケーションが使用しているグループ数を確認してください。
581713f	DMER81713F: ローカル側アレイ装置のサイクル時間が最小間隔未満です。ローカル側アレイ装置に設定されているサイクル時間を確認してください。
5817143	DMER817143: 指定されたリモート側アレイ装置のレプリケーションデータ DP プール、または管理領域 DP プールは階層モードが有効かつ未サポートドライブ(SSD または FMD)のみで構成された DP プールです。DP プールに Tier を追加するその他の DP プールを指定して再実行してください。
5817146	DMER817146: 指定されたグループはサイクルコピー中かつカスケードしている SnapShot のグループがペア分割予約済みです。SnapShot ペア分割完了後に再実行してください。
5819022	DMER819022: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5819023	DMER819023: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5819024	DMER819024: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5819025	DMER819025: リモート側アレイ装置の S-VOL がフォーマット中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5819026	DMER819026: リモート側アレイ装置が擬似計画停止中です。擬似計画停止後に再実行してください。
5819027	DMER819027: リモート側アレイ装置が擬似計画停止後です。しばらく待ってから、再実行してください。
5819028	DMER819028: リモート側アレイ装置にてペア操作のコマンドを実行中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5819029	DMER819029: コマンドエラーが発生しました。しばらく待ってから、再実行してください。
581902a	DMER81902A: リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。
581902b	DMER81902B: リモート側アレイ装置へのパスが 2 つとも閉塞しました。パスの状態を確認してください。

エラーコード	説明
58190de	DMER8190DE: リモート側アレイ装置がオートマイグレーション中です。マイグレーションを完了させた後に、再実行してください。
581a022	DMER81A022: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
581a023	DMER81A023: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
581a024	DMER81A024: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
581a025	DMER81A025: リモート側アレイ装置の S-VOL がフォーマット中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
581a026	DMER81A026: リモート側アレイ装置が擬似計画停止中です。擬似計画停止完了後に再実行してください。
581a027	DMER81A027: リモート側アレイ装置が擬似計画停止後です。しばらく待ってから、再度実行してください。
581a028	DMER81A028: リモート側アレイ装置にてペア操作のコマンドを実行中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
581a029	DMER81A029: コマンドエラーが発生しました。しばらく待ってから、再度実行してください。
581a02a	DMER81A02A: リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。
581a02b	DMER81A02B: リモート側アレイ装置へのパスが 2 つとも閉塞しました。パスの状態を確認してください。
581a02c	DMER81A02C: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
581a02d	DMER81A02D: リモート側アレイ装置の S-VOL がフォーマット中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
581a02e	DMER81A02E: リモート側アレイ装置が擬似計画停止中です。擬似計画停止後に再実行してください。
581a02f	DMER81A02F: リモート側アレイ装置が擬似計画停止中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
581a030	DMER81A030: S-VOL が未定義です。LU の属性を確認してください。
581a032	DMER81A032: リモート側アレイ装置にてペア操作のコマンドを実行中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
581a033	DMER81A033: リモート側アレイ装置がオン中ファームウェア交換中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
581a035	DMER81A035: リモート側サブシステムのリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。
581a038	DMER81A038: リモート側アレイ装置へのパスが 2 つとも閉塞しました。パスの状態を確認してください。
581a041	DMER81A041: 処理中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
581a089	DMER81A089: リモート側アレイ装置の S-VOL が S-VOL Disable です。リモート側アレイ装置の LU 状態を確認し、S-VOL Disable を解除して実行してください。
581a08b	DMER81A08B: リモート側アレイ装置の S-VOL が SnapShot キャッシュブロックの空きがありません。リモート側アレイ装置のプール LU の状態を確認して、不要なペアを削除してください。
581a08c	DMER81A08C: リモート側アレイ装置の S-VOL が SnapShot キャッシュブロック削除中です。リモート側アレイ装置のプール LU の状態を確認して、しばらく待ってから、再実行してください。
581a08d	DMER81A08D: リモート側アレイ装置の S-VOL が SnapShot ペアとのカスケード条件を満たしていません。リモート側アレイ装置の LU 状態を確認してからユーザーズガイドに記載された条件を満たしてから再実行してください。
581a090	DMER81A090: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。

エラーコード	説明
581a091	DMER81A091: リモート側アレイ装置の装置 ID と指定された装置 ID が異なります。リモート側アレイ装置の装置 ID を確認してください。
581a095	DMER81A095: リモート側アレイ装置の S-VOL が強制パリティ回復中です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから、再実行してください。
581a097	DMER81A097: リモート側アレイ装置の S-VOL に対して不当なコマンドを受領しました。リモート側アレイ装置の状態を確認してください。
581a099	DMER81A099: 指定 LU の対象となる P-VOL が存在しないため操作を実行できません。リモート側アレイ装置で該当 LU を Simplex にし、リモートレプリケーションペアを生成してください。
581a09a	DMER81A09A: リモート側アレイ装置の S-VOL の LU 状態が正常または縮退以外、または所属する RAID グループの状態が Normal 以外です。リモート側アレイ装置の LU 状態を確認してください。S-VOL が所属する RAID グループの状態が Normal 以外のときは、Normal になってから再度実行してください。
581a09f	DMER81A09F: SnapShot のスプリット、削除の内部処理の実行中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581a0a0	DMER81A0A0: リモート側アレイ装置にプール LU がありません。リモート側アレイ装置にプール LU を作成してください。
581a0a1	DMER81A0A1: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU がプール LU です。プール LU は S-VOL に設定できません。リモート側アレイ装置のプール LU の状態を確認してください。
581a0a2	DMER81A0A2: リモート側アレイ装置のプール LU の LU 状態が正常または縮退以外です。リモート側アレイ装置のプール LU の状態を確認してください。
581a0a3	DMER81A0A3: リモート側アレイ装置のプール LU が強制パリティ回復中です。リモート側アレイ装置のプール LU の状態を確認し、しばらく待ってから、再実行してください。
581a0a4	DMER81A0A4: リモート側アレイ装置の S-VOL がリモートレプリケーション+SnapShot で最大ペア数オーバーです。リモート側アレイ装置の状態を確認してください。また、リモート側アレイ装置の不要なペアを削除してください。
581a0a5	DMER81A0A5: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Failure です。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
581a0a6	DMER81A0A6: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Threshold Over です。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
581a0a7	DMER81A0A7: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Split (Read/Write 不可) です。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
581a0a8	DMER81A0A8: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Takeover (Busy を含む) です。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
581a0a9	DMER81A0A9: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Simplex です。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
581a0aa	DMER81A0AA: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Split です。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
581a0ab	DMER81A0AB: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Simplex ではありません。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。

エラーコード	説明
581a0b4	DMER81A0B4: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラに存在しない、かつ特殊処理継続不可です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
581a0b5	DMER81A0B5: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラに存在しない、かつ LU 単位切替え実行（開始）です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
581a0b6	DMER81A0B6: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラに存在しない、かつ LU 単位切替え実行（中）です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
581a0b7	DMER81A0B7: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラに存在しない、かつ LU 単位切替え元のコントローラが閉塞しています。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
581a0b8	DMER81A0B8: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替え不可、かつシーケンシャルバッファ使用中です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
581a0b9	DMER81A0B9: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替えが一時的にできません。しばらく待ってから実行してください。
581a0ba	DMER81A0BA: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替え不可、かつ PIN があります。サポートサービス利用ガイドに記載された連絡先にお問い合わせください。
581a0bb	DMER81A0BB: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替えが一時的にできません。しばらく待ってから実行してください。
581a0bc	DMER81A0BC: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替えが一時的にできません。しばらく待ってから実行してください。
581a0bd	DMER81A0BD: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替えできずタイムアウトが発生しました。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
581a0be	DMER81A0BE: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替え不可、かつグループ# が不正です。リモート側アレイ装置の状態を確認してください。
581a0c1	DMER81A0C1: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラに存在しない、かつシステムコピー中です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
581a0c2	DMER81A0C2: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラに存在しない、かつ引継ぎ情報をライト中です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
581a0d2	DMER81A0D2: リモート側アレイ装置の S-VOL プール番号が SnapShot で使用中のものとは異なります。指定した、リモート側アレイ装置のプール番号を確認してください。
581a0d3	DMER81A0D3: リモート側アレイ装置のライセンスの有効期限が切れました。ライセンスを購入してください。
581a0dd	DMER81A0DD: プログラム内部エラーが発生しました。しばらく待ってから、再実行してください。解決しない場合、保守員へ連絡してください。
581a0e0	DMER81A0E0: リモート側アレイ装置がオートマイグレーション中です。マイグレーションを完了させた後に、再実行してください。
581a0e5	DMER81A0E5: リモート側アレイ装置の S-VOL が所属する RAID グループの状態が Normal 以外です。状態が Normal になってから再度実行してください。
581a0e8	DMER81A0E8: リモート側アレイ装置が他のアレイ装置からのペア操作を実行中です。他のアレイ装置からのペア操作が完了してから、再度実行してください。
581a0f3	DMER81A0F3: リモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。

エラーコード	説明
581a123	DMER81A123: リモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プールが存在しません。リモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プールの状態を確認してください。
581a126	DMER81A126: リモート側アレイ装置で使用する管理領域 DP プールが存在しません。リモート側アレイ装置で使用する管理領域 DP プールの状態を確認してください。
581a129	DMER81A129: リモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プールの状態が正常または縮退以外です。リモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プールの状態を確認してください。
581a12c	DMER81A12C: リモート側アレイ装置で使用する管理領域 DP プールの状態が正常または縮退以外です。リモート側アレイ装置で使用する管理領域 DP プールの状態を確認してください。
581a12f	DMER81A12F: 指定されたリモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プールは、指定された S-VOL が現在使用している DP プールと異なります。リモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プール番号を確認してください。
581a133	DMER81A133: 指定されたリモート側アレイ装置で使用する管理領域 DP プールは、指定された S-VOL が現在使用している DP プールと異なります。リモート側アレイ装置で使用する管理領域 DP プール番号を確認してください。
581a136	DMER81A136: リモート側アレイ装置のレプリケーションデータ DP プールでリモートレプリケーションペアの削除処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581a139	DMER81A139: リモート側アレイ装置の管理領域 DP プールでリモートレプリケーションペアの削除処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
581a143	DMER81A143: 指定されたリモート側アレイ装置のレプリケーションデータ DP プール、または管理領域 DP プールは階層モードが有効かつ未サポートドライブ(SSD または FMD)のみで構成された DP プールです。DP プールに Tier を追加するか他の DP プールを指定して再実行してください。
5820005	DMER820005: リモート側アレイ装置の LU がフォーマット中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5820006	DMER820006: リモート側アレイ装置が擬似計画停止中です。擬似計画停止後に再実行してください。
5820007	DMER820007: リモート側アレイ装置が擬似計画停止後です。しばらく待ってから、再実行してください。
5820008	DMER820008: S-VOL が未定義またはリザーブ LU, DMLU に指定されています。LU の状態を確認してください。
5820009	DMER820009: 指定された S-VOL は異なるアレイ装置と既にペアが作成されています。ペア情報を確認してください。
582000b	DMER82000B: リモート側アレイ装置がオン中ファームウェア交換中です。しばらく待ってから、再実行してください。
582000c	DMER82000C: コマンドエラーが発生しました。しばらく待ってから、再度実行してください。
582000d	DMER82000D: リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。
582000e	DMER82000E: S-VOL が状態変更不可です。しばらく待ってから、再実行してください。
5820011	DMER820011: 対象 LU がリモートレプリケーションペア設定済みかつローカル側アレイ装置とリモート側アレイ装置のアレイ ID が異なります。または最大接続きょう体数の上限を超えています。LU のペア状態およびアレイ ID, または接続きょう体数を確認してください。
5820012	DMER820012: リモートレプリケーションペア数が最大サポート数を超えています。リモートレプリケーションペア数を確認してください。

エラーコード	説明
5820015	DMER820015: 対象の P-VOL または S-VOL の状態が正常または縮退以外、または指定した S-VOL が DP プールに作成した LU であるか、DP プールに作成した LU を含む ShadowImage のペアを構成しています。P-VOL または S-VOL の状態を正常か縮退にし、指定した S-VOL と S-VOL が構成する ShadowImage ペアを確認してください。
5820017	DMER820017: S-VOL が RAID 0 です。S-VOL の RAID レベルを RAID 0 以外にしてください。
5820019	DMER820019: P-VOL と S-VOL の容量が異なります。P-VOL と S-VOL の容量を同一にしてください。
582001a	DMER82001A: S-VOL が常駐 LU または予約常駐 LU が指定済みです。LU の状態を確認してください。
582001c	DMER82001C: 対象 LU がコマンドデバイスです。コマンドデバイス以外の LU を指定してください。
582001d	DMER82001D: 対象 LU がデフォルト担当コントローラの変更予約されています。デフォルト担当 CTL 変更予約をはずす、またはデフォルト担当 CTL 変更を予約していない LU を指定してください。
582001e	DMER82001E: リモート側アレイ装置の状態がリモートレプリケーションのペア操作不可の条件になっています。LU のペア状態、所属する RAID グループの状態、DM-LU の状態、DM-LU の容量、DM-LU が所属する DP プールの状態を確認してください。RAID グループの状態が Normal 以外のときは Normal になってから再度実行してください。DM-LU の状態が閉塞している場合、DM-LU を回復してください。DM-LU の所属する DP プールの状態が Normal 以外のときは Normal になってから再度実行してください。DM-LU に PIN がある場合、PIN を回復させた後に再度実行してください。DM-LU にライト未完がある場合、指定したペアとカスケードしている ShadowImage ペアを削除してください。
5820021	DMER820021: 対象 LU がすでに ShadowImage カスケードされています。LU のペア状態かつペア属性が P-VOL であることを確認してください。
5820032	DMER820032: リモート側アレイ装置がコマンド受領中です。しばらく待ってから、再実行してください。
582003d	DMER82003D: 対象 LU のペア状態が不整合です。LU のペア状態および相手の LUN を確認してください。
582003f	DMER82003F: 対象に ShadowImage ペアが生成済みです。LU のペア状態を確認してください。
5820040	DMER820040: 指定ペアの S-VOL が Read/Write 不可または ShadowImage ペアに含まれており、ペア状態が Reverse Synchronizing です。S-VOL の状態および ShadowImage ペアの状態を確認してください。
5820041	DMER820041: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5820045	DMER820045: リモート側アレイ装置の対象 LU のストライプサイズが 64KB 以外です。リモート側アレイ装置の LU のストライプサイズを 64KB にしてください。
5820046	DMER820046: リモート側アレイ装置の対象 LU が SnapShot のリストア中または SnapShot ペアが R/W 不可です。リモート側アレイ装置の LU の SnapShot ペアを一旦 Simplex にしてから、ペア操作してください。
5820048	DMER820048: 指定した LU が ShadowImage の S-VOL です。リモート側アレイ装置の LU の ShadowImage を解除してください。
5820049	DMER820049: リモート側アレイ装置の対象 LU が Format 中です。Format が完了してから、再度ペアを生成してください。またはリモート側アレイ装置の対象 S-VOL に指定された LU は Dynamic Provisioning の管理情報を更新中です。しばらく待ってから、再度実行して下さい。
582004a	DMER82004A: S-VOL は S-VOL Disable です。リモート側アレイ装置の LU の S-VOL Disable 指定を解除してください。

エラーコード	説明
5820050	DMER820050: リモート側アレイ装置の対象 LU が強制パリティ回復未実施または実行中です。リモート側アレイ装置の LU の強制パリティ回復の状態を回復完了、またはスキップの状態にしてください。
5820053	DMER820053: リモート側アレイ装置の統合されている LU の数が 17 個以上です。リモート側アレイ装置の統合されている LU の数を 16 個以下にしてください。
5820054	DMER820054: リモート側アレイ装置の SnapShot の P-VOL でペアの V-VOL がリモートレプリケーションのペア生成済みです。リモート側アレイ装置の LU の SnapShot の V-VOL のリモートレプリケーションペアを解除してください。
5820055	DMER820055: リモート側アレイ装置の対象 LU が SnapShot の V-VOL です (ペア生成時)。リモート側アレイ装置の LU に SnapShot の V-VOL 以外を設定してください。
5820058	DMER820058: リモート側アレイ装置の ShadowImage の P-VOL が Failure (S-VOL Switch) 状態です。保守員に連絡してください。
5820059	DMER820059: リモート側アレイ装置のライセンスの有効期限が切れしました。ライセンスを購入してください。またはリモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
582005a	DMER82005A: リモート側アレイ装置の DM-LU が設定されていません、または DM-LU を S-VOL に指定しました。DM-LU を設定してから再実行してください、または LU の状態を確認してください。
582005b	DMER82005B: 指定 S-VOL は POOL 用 LU です。LU の状態を確認してください。
582005c	DMER82005C: 指定 S-VOL は NAS 用 LU です。LU の状態を確認してください。
58200c6	DMER8200C6: 指定 S-VOL はマイグレーションを実行中です。ペアを解除した後に、再実行してください。
58200c7	DMER8200C7: 指定 S-VOL はリザーブ LU です。S-VOL にはリザーブ LU 以外を指定して、再実行してください。
58200cf	DMER8200CF: リモート側アレイ装置の対象 LU が所属している RAID グループを構成しているディスクドライブがスピンドアウンしています。RAID グループを構成しているディスクドライブをスピンドアアップした後に再実行してください。
58200d4	DMER8200D4: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU が既に P-VOL になっています。リモート側アレイ装置の LU の状態を確認してください。
58200d9	DMER8200D9: リモート側アレイ装置の状態がリモートレプリケーションのペア生成または再同期不可の条件になっています。装置 ID、ローカルレプリケーションペア状態、リモートレプリケーションペア状態を確認ください。詳細はユーザーズガイドを参照ください。
58200de	DMER8200DE: リモート側アレイ装置がオートマイグレーション中です。マイグレーションを完了させた後に、再実行してください。
58200e2	DMER8200E2: リモート側アレイ装置がデータ移行中です。データ移行が完了した後に、再度実行してください。
58200e3	DMER8200E3: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU が所属する RAID グループの状態が Normal 以外です。状態が Normal になってから再度実行してください。
58200e9	DMER8200E9: 指定した S-VOL が DP プールに作成した LU であるか、DP プールに作成した LU を含む ShadowImage のペアを構成しています。指定した S-VOL と S-VOL が構成する ShadowImage ペアを確認してください。
58200f1	DMER8200F1: リモート側アレイ装置の対象 S-VOL に指定された LU は Dynamic Provisioning の管理情報を更新中です。しばらく待ってから、再度実行して下さい。
58200f2	DMER8200F2: リモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
58200f5	DMER8200F5: P-VOL と S-VOL の全容量割当モードの設定値が異なります。P-VOL および S-VOL の全容量割当モードを両方とも同じ設定値にしてください。または全容量割当モードは未サポート機能です。アレイ装置のファームウェアバージョンを確認してください。

エラーコード	説明
5820101	DMER820101: DM-LU の容量が枯渇しているため処理が実行できません。DM-LU の容量を追加してください。
5820104	DMER820104: 指定した LU は内部処理実施中です。しばらく待ってから再実行してください。
5820107	DMER820107: DM-LU が閉塞しているため処理が実行できません。DM-LU の状態を回復してください。
582010a	DMER82010A: DM-LU が所属する DP プールが閉塞しているため、処理が実行できません。DP プールの回復を実施してください。
582010d	DMER82010D: DM-LU に PIN があります。PIN を回復させた後に再実施してください。
5820110	DMER820110: DM-LU が所属している DP プールの容量が不足しているため実行できません。DP プール容量の拡張を実施してください。
5820113	DMER820113: DM-LU にライト未完があるため処理が実行できません。指定したペアとカスケードしている ShadowImage ペアを削除してください。
5821005	DMER821005: リモート側アレイ装置の LU がフォーマット中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5821006	DMER821006: リモート側アレイ装置が擬似計画停止中です。擬似計画停止後に再実行してください。
5821007	DMER821007: リモート側アレイ装置が擬似計画停止後です。しばらく待ってから、再実行してください。
5821008	DMER821008: S-VOL が未定義またはリザーブ LU, DMLU に指定されています。LU の状態を確認してください。
5821009	DMER821009: 指定された S-VOL は異なるアレイ装置と既にペアが作成されています。ペア情報を確認してください。
582100b	DMER82100B: リモート側アレイ装置がオン中ファームウェア交換中です。しばらく待ってから、再実行してください。
582100c	DMER82100C: コマンドエラーが発生しました。しばらく待ってから、再実行してください。
582100d	DMER82100D: リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。
582100e	DMER82100E: S-VOL が状態変更不可です。しばらく待ってから、再実行してください。
5821011	DMER821011: 対象 LU がリモートレプリケーションペア設定済み、かつローカル側アレイ装置とリモート側アレイ装置のアレイ ID が異なります。または最大接続きょう体数の上限を超えています。LU のペア状態およびアレイ ID、または接続きょう体数を確認してください。
5821012	DMER821012: リモートレプリケーションのペア数が最大サポート数を超えています。リモートレプリケーションのペア数を確認してください。
5821015	DMER821015: 対象 P-VOL または S-VOL の状態が正常または縮退以外、または指定した S-VOL が DP プールに作成した LU であるか、DP プールに作成した LU を含む ShadowImage のペアを構成しています。P-VOL または S-VOL の状態を正常か縮退にし、指定した S-VOL と S-VOL が構成する ShadowImage ペアを確認してください。
5821017	DMER821017: S-VOL が RAID 0 です。S-VOL の RAID レベルを RAID 0 以外にしてください。
5821019	DMER821019: P-VOL と S-VOL の容量が異なります。P-VOL と S-VOL の容量を同一にしてください。
582101a	DMER82101A: S-VOL が常駐 LU または予約常駐 LU が指定済みです。LU の状態を確認してください。
582101c	DMER82101C: 対象 LU がコマンドデバイスです。コマンドデバイス以外の LU を指定してください。

エラーコード	説明
582101d	DMER82101D: 対象 LU がデフォルト担当コントローラの変更予約されています。デフォルト担当コントローラ変更予約を外すまたはデフォルト担当コントローラ変更を予約していない LU を指定してください。
582101e	DMER82101E: リモート側アレイ装置の状態がリモートレプリケーションのペア操作不可、または指定した LU が内部処理実施中です。しばらく待ってから再実行するか、LU のペア状態、所属する RAID グループの状態、DM-LU の状態、DM-LU の容量、DM-LU が所属する DP プールの状態を確認してください。RAID グループの状態が Normal 以外のときは Normal になってから再度実行してください。DM-LU の状態が閉塞している場合、DM-LU を回復してください。DM-LU の所属する DP プールの状態が Normal 以外のときは Normal になってから再度実行してください。DM-LU に PIN がある場合、PIN を回復させた後に再度実行してください。DM-LU にライト未完がある場合、指定したペアとカスケードしている ShadowImage ペアを削除してください。
5821021	DMER821021: 対象 LU がすでに ShadowImage カスケードされています。LU のペア状態かつペア属性が P-VOL であることを確認してください。
5821032	DMER821032: リモート側アレイ装置がコマンド受領中です。しばらく待ってから、再実行してください。
582103f	DMER82103F: 対象に ShadowImage ペアが生成済みです。LU のペア状態を確認してください。
5821040	DMER821040: リモート側アレイ装置の対象 LU が ShadowImage のリストア中または Read/Write 不可です。LU のペア状態を確認してください。
5821041	DMER821041: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5821045	DMER821045: リモート側アレイ装置の対象 LU のストライプサイズが 64KB 以外です。リモート側アレイ装置の LU のストライプサイズを 64KB にしてください。
5821046	DMER821046: リモート側アレイ装置の対象 LU が SnapShot のリストア中または SnapShot ペアが Read/Write 不可です。リモート側アレイ装置の LU の SnapShot ペアを一旦 Simplex にしてから、ペア操作してください。
5821048	DMER821048: 指定した LU が ShadowImage の S-VOL です。リモート側アレイ装置の LU の ShadowImage を解除してください。
5821049	DMER821049: リモート側アレイ装置の対象 LU が Quick Format 中です。Quick Format が完了してから、再度ペアを生成してください。またはリモート側アレイ装置の対象 S-VOL に指定された LU は Dynamic Provisioning の管理情報を更新中です。しばらく待ってから、再度実行して下さい。
582104a	DMER82104A: S-VOL は S-VOL Disable です。リモート側アレイ装置の LU の S-VOL Disable 指定を解除してください。
5821050	DMER821050: リモート側アレイ装置の対象 LU が強制パリティ回復未実施または実行中です。リモート側アレイ装置の LU の強制パリティ回復の状態を回復完了、またはスキップの状態にしてください。
5821053	DMER821053: リモート側アレイ装置の統合されている LU の数が 17 個以上です。リモート側アレイ装置の統合されている LU の数を 16 個以下にしてください。
5821054	DMER821054: リモート側アレイ装置の SnapShot の P-VOL でペアの V-VOL がリモートレプリケーションのペア生成済みです。リモート側アレイ装置の LU の SnapShot の V-VOL のリモートレプリケーションペアを解除してください。
5821055	DMER821055: リモート側アレイ装置の対象 LU が SnapShot の V-VOL です (ペア生成時)。リモート側アレイ装置の LU に SnapShot の V-VOL 以外を設定してください。
5821058	DMER821058: リモート側アレイ装置の ShadowImage の P-VOL が Failure (S-VOL Switch) 状態です。保守員に連絡してください。
5821059	DMER821059: リモート側アレイ装置のライセンスの有効期限が切れました。ライセンスを購入してください。またはリモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。

エラーコード	説明
582105a	DMER82105A: リモート側アレイ装置の DM-LU が設定されていません, または DM-LU を S-VOL に指定しました。DM-LU を設定してから再実行してください, または LU の状態を確認してください。
582105b	DMER82105B: 指定 S-VOL は POOL 用 LU です。LU の状態を確認してください。
582105c	DMER82105C: 指定 S-VOL は NAS 用 LU です。LU の状態を確認してください。
58210c6	DMER8210C6: 指定 S-VOL はマイグレーションを実行中です。ペアを解除した後に, 再実行してください。
58210c7	DMER8210C7: 指定 S-VOL はリザーブ LU です。S-VOL にはリザーブ LU 以外を指定して, 再実行してください。
58210cf	DMER8210CF: リモート側アレイ装置の対象 LU が所属している RAID グループを構成しているディスクドライブがスピンドアウンしています。RAID グループを構成しているディスクドライブをスピニアップした後に再実行してください。
58210d4	DMER8210D4: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU が既に P-VOL になっています。リモート側アレイ装置の LU の状態を確認してください。
58210de	DMER8210DE: リモート側アレイ装置がオートマイグレーション中です。マイグレーションを完了させた後に, 再実行してください。
58210e2	DMER8210E2: リモート側アレイ装置がデータ移行中です。データ移行が完了した後に, 再度実行してください。
58210e3	DMER8210E3: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU が所属する RAID グループの状態が Normal 以外です。状態が Normal になってから再度実行してください。
58210e9	DMER8210E9: 指定した S-VOL が DP プールに作成した LU であるか, DP プールに作成した LU を含む ShadowImage のペアを構成しています。指定した S-VOL と S-VOL が構成する ShadowImage ペアを確認してください。
58210f1	DMER8210F1: リモート側アレイ装置の対象 S-VOL に指定された LU は Dynamic Provisioning の管理情報を更新中です。しばらく待ってから, 再度実行して下さい。
58210f2	DMER8210F2: リモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後, 再度実行してください。
58210f5	DMER8210F5: P-VOL と S-VOL の全容量割当モードの設定値が異なります。P-VOL および S-VOL の全容量割当モードを両方とも同じ設定値にしてください。または全容量割当モードは未サポート機能です。アレイ装置のファームウェアバージョンを確認してください。
5821101	DMER821101: DM-LU の容量が枯渇しているため処理が実行できません。DM-LU の容量を追加してください。
5821104	DMER821104: 指定した LU は内部処理実施中です。しばらく待ってから再実行してください。
5821107	DMER821107: DM-LU が閉塞しているため処理が実行できません。DM-LU の状態を回復してください。
582110a	DMER82110A: DM-LU が所属する DP プールが閉塞しているため, 処理が実行できません。DP プールの回復を実施してください。
582110d	DMER82110D: DM-LU に PIN があります。PIN を回復させた後に再実施してください。
5821110	DMER821110: DM-LU が所属している DP プールの容量が不足しているため実行できません。DP プール容量の拡張を実施してください。
5821113	DMER821113: DM-LU にライト未完があるため処理が実行できません。指定したペアとカスケードしている ShadowImage ペアを削除してください。
5822005	DMER822005: リモート側アレイ装置の LU がフォーマット中です。しばらく待ってから, 再実行してください。
5822006	DMER822006: リモート側アレイ装置が擬似計画停止中です。擬似計画停止後に再実行してください。

エラーコード	説明
5822007	DMER822007: リモート側アレイ装置が擬似計画停止後です。しばらく待ってから、再実行してください。
5822008	DMER822008: S-VOL が未定義またはリザーブ LU, DMLU に指定されています。LU の状態を確認してください。
5822009	DMER822009: リモート側アレイ装置の対象 LU は異なるアレイ装置と既にペアが作成されています。ペア情報を確認してください。
582200b	DMER82200B: リモート側アレイ装置がオン中ファームウェア交換中です。しばらく待ってから、再実行してください。
582200c	DMER82200C: コマンドエラーが発生しました。しばらく待ってから、再実行してください。
582200d	DMER82200D: リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。
582200e	DMER82200E: S-VOL が状態変更不可です。しばらく待ってから、再実行してください。
5822011	DMER822011: 対象 LU がリモートレプリケーションペア設定済み、かつローカル側アレイ装置とリモート側アレイ装置の装置 ID が異なります。LU のペア状態および装置 ID を確認してください。
5822014	DMER822014: 設定時と現在の装置 ID が異なります。装置 ID を確認してください。
5822015	DMER822015: 対象 LU の状態が正常または縮退以外です。LU の状態を正常か縮退にしてください。
582201e	DMER82201E: リモート側アレイ装置の状態がリモートレプリケーションのペア操作不可の条件になっています。LU のペア状態、所属する RAID グループの状態、DM-LU の状態、DM-LU が所属する DP プールの状態を確認してください。RAID グループの状態が Normal 以外のときは Normal になってから再度実行してください。DM-LU の状態が閉塞している場合、DM-LU を回復してください。DM-LU の所属する DP プールが Normal 以外のときは Normal になってから再度実行してください。DM-LU に PIN がある場合、PIN を回復させた後に再度実行してください。DM-LU にライト未完がある場合、指定したペアとカスケードしている ShadowImage ペアを削除してください。
5822020	DMER822020: リモート側アレイ装置の対象 LU が ShadowImage のリストア中または R/W 不可です。LU のペア状態を確認してください。
5822032	DMER822032: リモート側アレイ装置がコマンド受領中です。しばらく待ってから、再実行してください。
582203d	DMER82203D: 対象 LU のペア状態が不整合です。LU のペア状態および相手の LUN を確認してください。
5822041	DMER822041: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5822046	DMER822046: リモート側アレイ装置の対象 LU が SnapShot のリストア中または SnapShot ペアが Read/Write 不可です。リモート側アレイ装置の LU の SnapShot ペアを一旦 Simplex にしてから、ペア操作してください。
582204a	DMER82204A: S-VOL は S-VOL Disable です。リモート側アレイ装置の LU の S-VOL Disable 指定を解除してください。
5822050	DMER822050: リモート側アレイ装置の対象 LU が強制パリティ回復未実施または実行中です。リモート側アレイ装置の LU の強制パリティ回復の状態を回復完了、またはスキップの状態にしてください。
5822059	DMER822059: リモート側アレイ装置のライセンスの有効期限が切れました。ライセンスを購入してください。またはリモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
58220cf	DMER8220CF: リモート側アレイ装置の対象 LU が所属している RAID グループを構成しているディスクドライブがスピンドアウンしています。RAID グループを構成しているディスクドライブをスピンドアアップした後に再実行してください。
58220d4	DMER8220D4: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU が既に P-VOL になっています。リモート側アレイ装置の LU の状態を確認してください。

エラーコード	説明
58220d7	DMER8220D7: 指定 S-VOL は SnapShot ペアが Split 以外です。リモート側アレイ装置の LU の SnapShot ペアを一旦 Split または Simplex にしてからペア操作してください。
58220d8	DMER8220D8: 指定 S-VOL は ShadowImage ペアが Split 以外です。リモート側アレイ装置の LU の ShadowImage ペアを一旦 Split または Simplex にしてからペア操作してください。
58220de	DMER8220DE: リモート側アレイ装置がオートマイグレーション中です。マイグレーションを完了させた後に、再実行してください。
58220e2	DMER8220E2: リモート側アレイ装置がデータ移行中です。データ移行が完了した後に、再度実行してください。
58220e3	DMER8220E3: リモート側アレイ装置の S-VOL が所属する RAID グループの状態が Normal 以外です。状態が Normal になってから再度実行してください。
58220f2	DMER8220F2: リモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
5822107	DMER822107: DM-LU が閉塞しているため処理が実行できません。DM-LU の状態を回復してください。
582210a	DMER82210A: DM-LU が所属する DP プールが閉塞しているため、処理が実行できません。DP プールの回復を実施してください。
582210d	DMER82210D: DM-LU に PIN があります。PIN を回復させた後に再実施してください。
5822110	DMER822110: DM-LU が所属している DP プールの容量が不足しているため実行できません。DP プール容量の拡張を実施してください。
5822113	DMER822113: DM-LU にライト未完があるため処理が実行できません。指定したペアとカスケードしている ShadowImage ペアを削除してください。
5823005	DMER823005: リモート側アレイ装置の LU がフォーマット中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5823006	DMER823006: リモート側アレイ装置が擬似計画停止中です。擬似計画停止後に再実行してください。
5823007	DMER823007: リモート側アレイ装置が擬似計画停止後です。しばらく待ってから、再実行してください。
5823008	DMER823008: S-VOL が未定義またはリザーブ LU, DMLU に指定されています。LU の状態を確認してください。
5823009	DMER823009: リモート側アレイ装置の対象 LU は異なるアレイ装置と既にペアが作成されています。ペア情報を確認してください。
582300b	DMER82300B: リモート側アレイ装置がオン中ファームウェア交換中です。しばらく待ってから、再実行してください。
582300c	DMER82300C: コマンドエラーが発生しました。しばらく待ってから、再度実行してください。
582300d	DMER82300D: リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。
582300e	DMER82300E: S-VOL が状態変更不可です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5823011	DMER823011: 対象 LU がリモートレプリケーションペア設定済み、かつローカル側アレイ装置とリモート側アレイ装置の装置 ID が異なります。LU のペア状態および装置 ID を確認してください。
582301e	DMER82301E: 対象 LU がリモートレプリケーションのペアに設定済みです。LU のペア状態を確認してください。
5823032	DMER823032: リモート側アレイ装置がコマンド受領中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5823041	DMER823041: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。

エラーコード	説明
5823046	DMER823046: リモート側アレイ装置の対象 LU が SnapShot のリストア中または SnapShot ペアが Read/Write 不可です。リモート側アレイ装置の LU の SnapShot ペアを一旦 Simplex にしてから、ペア操作してください。
58230d4	DMER8230D4: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU が既に P-VOL になっています。リモート側アレイ装置の LU の状態を確認してください。
58230d7	DMER8230D7: 指定 S-VOL は SnapShot ペアが Split 以外です。リモート側アレイ装置の LU の SnapShot ペアを一旦 Split または Simplex にしてからペア操作してください。
58230d8	DMER8230D8: 指定 S-VOL は ShadowImage ペアが Split 以外です。リモート側アレイ装置の LU の ShadowImage ペアを一旦 Split または Simplex にしてからペア操作してください。
58230d9	DMER8230D9: リモート側アレイ装置の状態がリモートレプリケーションのペア生成または再同期不可の条件になっています。装置 ID、ローカルレプリケーションペア状態、リモートレプリケーションペア状態を確認ください。詳細はユーザーズガイドを参照ください。
5824005	DMER824005: リモート側アレイ装置の LU がフォーマット中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5824006	DMER824006: リモート側アレイ装置が擬似計画停止中です。擬似計画停止後に再実行してください。
5824007	DMER824007: リモート側アレイ装置が擬似計画停止後です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5824008	DMER824008: S-VOL が未定義またはリザーブ LU、DMLU に指定されています。LU の状態を確認してください。
5824009	DMER824009: リモート側アレイ装置の対象 LU は異なるアレイ装置と既にペアが作成されています。ペア情報を確認してください。
582400b	DMER82400B: リモート側アレイ装置がオン中ファームウェア交換中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
582400c	DMER82400C: コマンドエラーが発生しました。しばらく待ってから、再度実行してください。
582400d	DMER82400D: リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。
582400e	DMER82400E: S-VOL が状態変更不可です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5824011	DMER824011: 対象 LU がリモートレプリケーションペア設定済み、かつローカル側アレイ装置とリモート側アレイ装置の装置 ID が異なります。LU のペア状態および装置 ID を確認してください。
582401e	DMER82401E: 対象 LU がリモートレプリケーションペア設定済みです。LU のペア状態を確認してください。
5824032	DMER824032: リモート側アレイ装置がコマンド受領中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5824041	DMER824041: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5824046	DMER824046: リモート側アレイ装置の対象 LU が SnapShot のリストア中または SnapShot ペアが Read/Write 不可です。リモート側アレイ装置の LU の SnapShot ペアを一旦 Simplex にしてから、ペア操作してください。
58240d4	DMER8240D4: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU が既に P-VOL になっています。リモート側アレイ装置の LU の状態を確認してください。
58240d7	DMER8240D7: 指定 S-VOL は SnapShot ペアが Split 以外です。リモート側アレイ装置の LU の SnapShot ペアを一旦 Split または Simplex にしてからペア操作してください。
58240d8	DMER8240D8: 指定 S-VOL は ShadowImage ペアが Split 以外です。リモート側アレイ装置の LU の ShadowImage ペアを一旦 Split または Simplex にしてからペア操作してください。

エラーコード	説明
58240d9	DMER8240D9: リモート側アレイド装置の状態がリモートレプリケーションのペア生成不可の条件になっています。装置 ID, リモートレプリケーションペア状態, SnapShot, ShadowImage の状態を確認してください。詳細はユーザーズガイドを参照ください。
5825005	DMER825005: リモート側アレイド装置の LU がフォーマット中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5825006	DMER825006: リモート側アレイド装置が擬似計画停止中です。擬似計画停止後に再実行してください。
5825007	DMER825007: リモート側アレイド装置が擬似計画停止後です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5825008	DMER825008: S-VOL が未定義またはリザーブ LU, DMLU に指定されています。LU の状態を確認してください。
5825009	DMER825009: リモート側アレイド装置の対象 LU は異なるアレイド装置と既にペアが作成されています。ペア情報を確認してください。
582500b	DMER82500B: リモート側アレイド装置がオン中ファームウェア交換中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
582500c	DMER82500C: コマンドエラーが発生しました。しばらく待ってから、再度実行してください。
582500d	DMER82500D: リモート側アレイド装置のリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。
582500e	DMER82500E: S-VOL が状態変更不可です。しばらく待ってから、再度実行してください。
5825011	DMER825011: 対象 LU がリモートレプリケーションペア設定済み、かつローカル側アレイド装置とリモート側アレイド装置の装置 ID が異なります。LU のペア状態および装置 ID を確認してください。
5825014	DMER825014: 設定時と現在の装置 ID が異なります。装置 ID を確認してください。
5825015	DMER825015: 対象 LU の状態が正常または縮退以外です。LU の状態を正常か縮退にしてください。
582501e	DMER82501E: リモート側アレイド装置の状態がリモートレプリケーションのペア操作不可の条件になっています。LU のペア状態, 所属する RAID グループの状態, DM-LU の状態, DM-LU が所属する DP ブールの状態を確認してください。RAID グループの状態が Normal 以外のときは Normal になってから再度実行してください。DM-LU の状態が閉塞している場合, DM-LU を回復してください。DM-LU の所属する DP ブールの状態が Normal 以外のときは Normal になってから再度実行してください。DM-LU に PIN がある場合, PIN を回復させた後に再度実行してください。DM-LU にライト未完がある場合, 指定したペアとカスケードしている ShadowImage ペアを削除してください。
5825020	DMER825020: リモート側アレイド装置の対象 LU が ShadowImage のリストア中または R/W 不可です。LU のペア状態を確認してください。
5825032	DMER825032: リモート側アレイド装置がコマンド受領中です。しばらく待ってから、再度実行してください。
582503d	DMER82503D: 対象 LU のペア状態が不整合です。LU のペア状態および相手の LUN を確認してください。
5825041	DMER825041: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
5825046	DMER825046: リモート側アレイド装置の対象 LU が SnapShot のリストア中または SnapShot ペアが Read/Write 不可です。リモート側アレイド装置の LU の SnapShot ペアを一旦 Simplex にしてから、ペア操作してください。
5825047	DMER825047: 指定した LU が ShadowImage の S-VOL です。リモート側アレイド装置の LU の ShadowImage の S-VOL 以外を設定してください。
582504b	DMER82504B: P-VOL は S-VOL Disable です。リモート側アレイド装置の LU の S-VOL Disable 指定を解除してください(SWAP 指定時)。

エラーコード	説明
5825050	DMER825050: リモート側アレイ装置の対象 LU が強制パリティ回復未実施または実行中です。リモート側アレイ装置の LU の強制パリティ回復の状態を回復完了、またはスキップの状態にしてください。
5825056	DMER825056: リモート側アレイ装置の対象 LU が SnapShot の V-VOL です (スワップ時)。リモート側アレイ装置の LU に SnapShot の V-VOL 以外を設定してください。
5825059	DMER825059: リモート側アレイ装置のライセンスの有効期限が切れました。ライセンスを購入してください。またはリモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
58250cf	DMER8250CF: リモート側アレイ装置の対象 LU が所属している RAID グループを構成しているディスクドライブがスピンドアウンしています。RAID グループを構成しているディスクドライブをスピンドアアップした後に再実行してください。
58250d4	DMER8250D4: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU が既に P-VOL になっています。リモート側アレイ装置の LU の状態を確認してください。
58250d7	DMER8250D7: 指定 S-VOL は SnapShot ペアが Split 以外です。対象 LU の SnapShot ペアを一旦 Split または Simplex にしてからペア操作してください。
58250d8	DMER8250D8: 指定 S-VOL は ShadowImage ペアが Split 以外です。対象 LU の ShadowImage ペアを一旦 Split または Simplex にしてからペア操作してください。
58250de	DMER8250DE: リモート側アレイ装置がオートマイグレーション中です。マイグレーションを完了させた後に、再実行してください。
58250e2	DMER8250E2: リモート側アレイ装置がデータ移行中です。データ移行が完了した後に、再度実行してください。
58250e3	DMER8250E3: リモート側アレイ装置の S-VOL が所属する RAID グループの状態が Normal 以外です。状態が Normal になってから再度実行してください。
58250f2	DMER8250F2: リモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
5825107	DMER825107: DM-LU が閉塞しているため処理が実行できません。DM-LU の状態を回復してください。
582510a	DMER82510A: DM-LU が所属する DP プールが閉塞しているため、処理が実行できません。DP プールの回復を実施してください。
582510d	DMER82510D: DM-LU に PIN があります。PIN を回復させた後に再実施してください。
5825110	DMER825110: DM-LU が所属している DP プールの容量が不足しているため実行できません。DP プール容量の拡張を実施してください。
5825113	DMER825113: DM-LU にライト未完があるため処理が実行できません。指定したペアとカスケードしている ShadowImage ペアを削除してください。
5826011	DMER826011: 対象 LU が他のアレイ装置との間でリモートレプリケーションペアを生成しています。または最大接続きょう体数の上限を超えています。LU のペア状態およびアレイ ID、または接続きょう体数を確認してください。
5826012	DMER826012: リモートレプリケーションペア数が最大サポート数を超えています。リモートレプリケーションペア数を確認してください。
5826015	DMER826015: 対象 LU の状態が正常または縮退以外、または指定した S-VOL が DP プールに作成した LU です。LU の状態を正常か縮退にし、S-VOL に DP プールに作成した LU 以外の LU を指定してください。
5826017	DMER826017: S-VOL が RAID 0 です。S-VOL の RAID レベルを RAID 0 以外にしてください。
5826019	DMER826019: P-VOL と S-VOL の容量が異なります。P-VOL と S-VOL の容量を同一にしてください。
582601a	DMER82601A: S-VOL が常駐 LU または予約常駐 LU が指定済みです。LU の状態を確認してください。

エラーコード	説明
582601c	DMER82601C: 対象 LU がコマンドデバイスです。コマンドデバイス以外の LU を指定してください。
582601e	DMER82601E: 対象 LU がリモートレプリケーションペア設定済み、または所属している RAID グループの状態が Normal 以外です。LU のペア状態、所属する RAID グループの状態を確認してください。RAID グループの状態が Normal 以外のときは Normal になってから再度実行してください。
5826026	DMER826026: リモート側アレイ装置が擬似計画停止中です。擬似計画停止後に再実行してください。
5826027	DMER826027: リモート側アレイ装置が擬似計画停止後です。しばらく待ってから、再実行してください。
582602a	DMER82602A: リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。
5826040	DMER826040: リモート側アレイ装置の S-VOL が ShadowImage ペア生成済みです。リモートレプリケーションと ShadowImage はカスケードできません。リモート側アレイ装置の LU 状態を確認してください。
5826045	DMER826045: リモート側アレイ装置の対象 LU のストライプサイズが 64KB 以外です。リモート側アレイ装置の LU のストライプサイズを 64KB にしてください。
5826046	DMER826046: リモート側アレイ装置の対象 LU が SnapShot のリストア中または SnapShot ペアが Read/Write 不可です。リモート側アレイ装置の LU の SnapShot ペアを一旦 Simplex にしてから、ペア操作してください。
5826049	DMER826049: リモート側アレイ装置の対象 LU が Format 中です。Format が完了してから、再度ペアを生成してください。またはリモート側アレイ装置の対象 S-VOL に指定された LU は Dynamic Provisioning の管理情報を更新中です。しばらく待ってから、再度実行して下さい。
582604a	DMER82604A: S-VOL は S-VOL Disable です。リモート側アレイ装置の LU の S-VOL Disable 指定を解除してください。
5826050	DMER826050: リモート側アレイ装置の対象 LU が強制パリティ回復未実施または実行中です。リモート側アレイ装置の LU の強制パリティ回復の状態を回復完了、またはスキップの状態にしてください。
5826053	DMER826053: リモート側アレイ装置の統合されている LU の数が 17 個以上です。リモート側アレイ装置の統合されている LU の数を 16 個以下にしてください。
5826055	DMER826055: リモート側アレイ装置の対象 LU が SnapShot の V-VOL です (ペア生成時)。リモート側アレイ装置の LU に SnapShot の V-VOL 以外を設定してください。
5826059	DMER826059: リモート側アレイ装置のライセンスの有効期限が切れました。ライセンスを購入してください。またはリモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
582605a	DMER82605A: リモート側アレイ装置の DM-LU が設定されていません、または DM-LU を S-VOL に指定しました。DM-LU を設定してから再実行してください、または LU の状態を確認してください。
582605b	DMER82605B: 指定 S-VOL は POOL 用 LU です。LU の状態を確認してください。
58260b3	DMER8260B3: 指定した S-VOL は 1 GB 未満の SubLU を含んだ統合 LU です。指定した統合 LU の個々の LU の容量に 1 GB 未満の LU がないか確認してください。
58260c4	DMER8260C4: 新規のグループでペア生成時、ローカル側またはリモート側アレイ装置で設定されているサイクル時間が最小間隔未満です。ローカル側アレイ装置とリモート側アレイ装置に設定されているサイクル時間を確認してください。
58260c6	DMER8260C6: 指定 S-VOL はマイグレーションを実行中です。ペアを削除した後に、再実行してください。
58260c7	DMER8260C7: 指定 S-VOL はリザーブ LU です。S-VOL にはリザーブ LU 以外を指定して、再実行してください。

エラーコード	説明
58260ca	DMER8260CA: 指定 S-VOL はマイグレーションを実行中です。ペアを削除した後に、再実行してください。
58260cb	DMER8260CB: 指定 S-VOL はリザーブ LU です。S-VOL にはリザーブ LU 以外を指定して、再実行してください。
58260cf	DMER8260CF: リモート側アレイ装置において、対象 LU が所属している RAID グループを構成するディスクドライブがスピンドアウンしています。該当するディスクドライブをスピニアップした後に再実行してください。
58260d1	DMER8260D1: リモート側アレイ装置において、対象 LU が所属している RAID グループを構成するディスクドライブがスピンドアウンしています。該当するディスクドライブをスピニアップした後に再実行してください。
58260d2	DMER8260D2: リモート側アレイ装置で指定したデータプール番号が使用中のデータプール番号と異なります。データプール番号を確認してください。または、リモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プール、または管理領域 DP プールが存在しません。または、リモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プール、または管理領域 DP プールの状態が正常または縮退以外です。または、指定されたリモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プール、または管理領域 DP プールは、指定された S-VOL が現在使用している DP プールと異なります。または、リモート側アレイ装置のレプリケーションデータ DP プール、または管理領域 DP プールでリモートレプリケーションペアの削除処理中です。または指定されたリモート側アレイ装置のレプリケーションデータ DP プール、または管理領域 DP プールは階層モードが有効かつ未サポートドライブ(SSD または FMD)のみで構成された DP プールです。DP プールに Tier を追加するか他の DP プールを指定して再実行してください。
58260db	DMER8260DB: 対象 LU の所属パーティションまたはペアパーティションが妥当ではありません。パーティション番号を確認してください。
58260dd	DMER8260DD: プログラム内部エラーが発生しました。しばらく待ってから、再実行してください。解決しない場合、保守員へ連絡してください。
58260de	DMER8260DE: リモート側アレイ装置がオートマイグレーション中です。マイグレーションを完了させた後に、再実行してください。
58260e1	DMER8260E1: リモート側アレイ装置のコントローラー回復中に LU 切替え処理のタイムアウトが発生しました。コントローラー回復後に、再実行してください。
58260e3	DMER8260E3: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU が所属する RAID グループの状態が Normal 以外です。状態が Normal になってから再度実行してください。
58260e9	DMER8260E9: DP プールに作成した LU を S-VOL に指定しました。DP プールに作成した LU 以外の LU を指定してください。
58260f1	DMER8260F1: リモート側アレイ装置の対象 S-VOL に指定された LU は Dynamic Provisioning の管理情報を更新中です。しばらく待ってから、再度実行して下さい。
58260f2	DMER8260F2: リモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
58260f5	DMER8260F5: P-VOL と S-VOL の全容量割当モードの設定値が異なります。P-VOL および S-VOL の全容量割当モードを両方とも同じ設定値にしてください。または全容量割当モードは未サポート機能です。アレイ装置のファームウェアバージョンを確認してください。
582613a	DMER82613A: リモート側アレイ装置で既にリモートレプリケーションが使用可能な最大数のグループが存在します。リモートレプリケーションが使用しているグループ数を確認してください。
5827011	DMER827011: 対象 LU が他のアレイ装置との間でリモートレプリケーションペアを生成しています。または最大接続きょう体数の上限を超えています。LU のペア状態およびアレイ ID、または接続きょう体数を確認してください。
5827012	DMER827012: リモートレプリケーションペア数が最大サポート数を超えています。リモートレプリケーションペア数を確認してください。

エラーコード	説明
5827015	DMER827015: 対象 LU の状態が正常または縮退以外、または指定した S-VOL が DP プールに作成した LU です。LU の状態を正常か縮退にし、S-VOL に DP プールに作成した LU 以外の LU を指定してください。
5827017	DMER827017: S-VOL が RAID 0 です。S-VOL の RAID レベルを RAID 0 以外にしてください。
5827019	DMER827019: P-VOL と S-VOL の容量が異なります。P-VOL と S-VOL の容量を同一にしてください。
582701a	DMER82701A: S-VOL が常駐 LU または予約常駐 LU が指定済みです。LU の状態を確認してください。
582701c	DMER82701C: 対象 LU がコマンドデバイスです。コマンドデバイス以外の LU を指定してください。
582701e	DMER82701E: 対象 LU がリモートレプリケーションペア設定済み、または所属している RAID グループの状態が Normal 以外です。LU のペア状態、所属する RAID グループの状態を確認してください。RAID グループの状態が Normal 以外のときは Normal になってから再度実行してください。
5827026	DMER827026: リモート側アレイ装置が擬似計画停止中です。擬似計画停止後に再実行してください。
5827027	DMER827027: リモート側アレイ装置が擬似計画停止後です。しばらく待ってから、再実行してください。
582702a	DMER82702A: リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。
5827040	DMER827040: リモート側アレイ装置の S-VOL が ShadowImage ペア生成済みです。リモートレプリケーションと ShadowImage はカスケードできません。リモート側アレイ装置の LU 状態を確認してください。
5827045	DMER827045: リモート側アレイ装置の対象 LU のストライプサイズが 64KB 以外です。リモート側アレイ装置の LU のストライプサイズを 64KB にしてください。
5827046	DMER827046: リモート側アレイ装置の対象 LU が SnapShot のリストア中または SnapShot ペアが Read/Write 不可です。リモート側アレイ装置の LU の SnapShot ペアを一旦 Simplex にしてから、ペア操作してください。
5827049	DMER827049: リモート側アレイ装置の対象 LU が Format 中です。Format が完了してから、再度ペアを生成してください。またはリモート側アレイ装置の対象 S-VOL に指定された LU は Dynamic Provisioning の管理情報を更新中です。しばらく待ってから、再度実行して下さい。
582704a	DMER82704A: S-VOL は S-VOL Disable です。リモート側アレイ装置の LU の S-VOL Disable 指定を解除してください。
5827050	DMER827050: リモート側アレイ装置の対象 LU が強制パリティ回復未実施または実行中です。リモート側アレイ装置の LU の強制パリティ回復の状態を回復完了、またはスキップの状態にしてください。
5827053	DMER827053: リモート側アレイ装置の統合されている LU の数が 17 個以上です。リモート側アレイ装置の統合されている LU の数を 16 個以下にしてください。
5827055	DMER827055: リモート側アレイ装置の対象 LU が SnapShot の V-VOL です (ペア生成時)。リモート側アレイ装置の LU に SnapShot の V-VOL 以外を設定してください。
5827059	DMER827059: リモート側アレイ装置のライセンスの有効期限が切れました。ライセンスを購入してください。またはリモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
582705a	DMER82705A: リモート側アレイ装置の DM-LU が設定されていません、または DM-LU を S-VOL に指定しました。DM-LU を設定してから再実行してください、または LU の状態を確認してください。
582705b	DMER82705B: 指定 S-VOL は POOL 用 LU です。LU の状態を確認してください。

エラーコード	説明
58270b3	DMER8270B3: 指定した S-VOL は 1 GB 未満の SubLU を含んだ統合 LU です。指定した統合 LU の個々の LU の容量に 1 GB 未満の LU がないか確認してください。
58270c4	DMER8270C4: 新規のグループでペア生成時、ローカル側またはリモート側アレイ装置で設定されているサイクル時間が最小間隔未満です。ローカル側アレイ装置とリモート側アレイ装置に設定されているサイクル時間を確認してください。
58270c6	DMER8270C6: 指定 S-VOL はマイグレーションを実行中です。ペアを削除した後に、再実行してください。
58270c7	DMER8270C7: 指定 S-VOL はリザーブ LU です。S-VOL にはリザーブ LU 以外を指定して、再実行してください。
58270ca	DMER8270CA: 指定 S-VOL はマイグレーションを実行中です。ペアを削除した後に、再実行してください。
58270cb	DMER8270CB: 指定 S-VOL はリザーブ LU です。S-VOL にはリザーブ LU 以外を指定して、再実行してください。
58270cf	DMER8270CF: リモート側アレイ装置において、対象 LU が所属している RAID グループを構成するディスクドライブがスピンドアウンしています。該当するディスクドライブをスピンドアアップした後に再実行してください。
58270d1	DMER8270D1: リモート側アレイ装置において、対象 LU が所属している RAID グループを構成するディスクドライブがスピンドアウンしています。該当するディスクドライブをスピンドアアップした後に再実行してください。
58270d2	DMER8270D2: リモート側アレイ装置で指定したデータプール番号が使用中のデータプール番号と異なります。データプール番号を確認してください。または、リモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プール、または管理領域 DP プールが存在しません。または、リモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プール、または管理領域 DP プールの状態が正常または縮退以外です。または、指定されたリモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プール、または管理領域 DP プールは、指定された S-VOL が現在使用している DP プールと異なります。または、リモート側アレイ装置のレプリケーションデータ DP プール、または管理領域 DP プールでリモートレプリケーションペアの削除処理中です。または指定されたリモート側アレイ装置のレプリケーションデータ DP プール、または管理領域 DP プールは階層モードが有効かつ未サポートドライブ(SSD または FMD)のみで構成された DP プールです。DP プールに Tier を追加するか他の DP プールを指定して再実行してください。
58270db	DMER8270DB: 対象 LU の所属パーティションまたはペアパーティションが妥当ではありません。パーティション番号を確認してください。
58270dd	DMER8270DD: プログラム内部エラーが発生しました。しばらく待ってから、再実行してください。解決しない場合、保守員へ連絡してください。
58270de	DMER8270DE: リモート側アレイ装置がオートマイグレーション中です。マイグレーションを完了させた後に、再実行してください。
58270e1	DMER8270E1: リモート側アレイ装置のコントローラー回復中に LU 切替え処理のタイムアウトが発生しました。コントローラー回復後に、再実行してください。
58270e3	DMER8270E3: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU が所属する RAID グループの状態が Normal 以外です。状態が Normal になってから再度実行してください。
58270e9	DMER8270E9: DP プールに作成した LU を S-VOL に指定しました。DP プールに作成した LU 以外の LU を指定してください。
58270f1	DMER8270F1: リモート側アレイ装置の対象 S-VOL に指定された LU は Dynamic Provisioning の管理情報を更新中です。しばらく待ってから、再度実行して下さい。
58270f2	DMER8270F2: リモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
58270f5	DMER8270F5: P-VOL と S-VOL の全容量割当モードの設定値が異なります。P-VOL および S-VOL の全容量割当モードを両方とも同じ設定値にしてください。または全容量割当モードは未サポート機能です。アレイ装置のファームウェアバージョンを確認してください。

エラーコード	説明
582713a	DMER82713A: リモート側アレイ装置で既にリモートレプリケーションが使用可能な最大数のグループが存在します。リモートレプリケーションが使用しているグループ数を確認してください。
582901e	DMER82901E: 指定したグループ番号の S-VOL 内にリモートレプリケーションペア状態が Paired 以外のペアがあります。LU のペア状態を確認してください。
5829026	DMER829026: リモート側アレイ装置が擬似計画停止中です。擬似計画停止後に再実行してください。
5829027	DMER829027: リモート側アレイ装置が擬似計画停止後です。しばらく待ってから、再実行してください。
582902a	DMER82902A: リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。
582903d	DMER82903D: 指定したグループ内のペア状態が不正です。LU のペア状態および相手の LUN を確認してください。
582905e	DMER82905E: 指定したグループ番号の S-VOL 内に SnapShot の P-VOL で指定した MU 番号のペアがあり、そのペア状態が Paired または Split となっていない SnapShot ペアがあります。SnapShot のペア状態を確認してください。またはリモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
582905f	DMER82905F: 対象グループ内に Paired のペアが 1 つもありません。LU のペア状態を確認してください。
58290de	DMER8290DE: リモート側アレイ装置がオートマイグレーション中です。マイグレーションを完了させた後に、再実行してください。
5829145	DMER829145: 指定されたグループはサイクルコピー中かつカスケードしている SnapShot のグループがペア分割予約済みです。SnapShot ペア分割完了後に再実行してください。
582a011	DMER82A011: 対象 LU が他のアレイ装置との間でリモートレプリケーションペアを生成しています。または最大接続きょう体数の上限を超えています。LU のペア状態およびアレイ ID、または接続きょう体数を確認してください。
582a015	DMER82A015: 対象 LU の状態が正常または縮退以外です。LU の状態を正常か縮退にしてください。
582a01e	DMER82A01E: 対象 LU がリモートレプリケーションペア設定済み、または所属している RAID グループの状態が Normal 以外です。LU のペア状態、所属する RAID グループの状態を確認してください。RAID グループの状態が Normal 以外のときは Normal になってから再度実行してください。
582a026	DMER82A026: リモート側アレイ装置が擬似計画停止中です。擬似計画停止完了後に再実行してください。
582a027	DMER82A027: リモート側アレイ装置が擬似計画停止後です。しばらく待ってから、再度実行してください。
582a02a	DMER82A02A: リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。
582a02b	DMER82A02B: ローカル側アレイ装置へのパスが 2 つとも閉塞しました。パスの状態を確認してください。
582a030	DMER82A030: S-VOL 用 LU が未定義です。LU の属性を確認してください。
582a031	DMER82A031: リモート側アレイ装置の対象 LU は異なるアレイ装置と既にペアが作成されています。ペア情報を確認してください。
582a035	DMER82A035: リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションの有償オプションが無効です。有償オプションを解錠・有効にしてください。またはリモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
582a038	DMER82A038: ローカル側アレイ装置へのリモートパスが 2 つとも閉塞しました。パスの状態を確認してください。

エラーコード	説明
582a046	DMER82A046: リモート側アレイ装置の対象 LU が、SnapShot のリストア中または SnapShot ペアが Read/Write 不可です。リモート側アレイ装置の LU の SnapShot ペアを一旦 Simplex にしてから、ペア操作してください。
582a04a	DMER82A04A: S-VOL は S-VOL Disable です。リモート側アレイ装置の LU の S-VOL Disable 指定を解除してください。
582a050	DMER82A050: リモート側アレイ装置の対象 LU が強制パリティ回復未実施または実行中です。リモート側アレイ装置の LU の強制パリティ回復の状態を回復完了、またはスキップの状態にしてください。
582a059	DMER82A059: リモート側アレイ装置のライセンスの有効期限が切れました。ライセンスを購入してください。またはリモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。
582a05d	DMER82A05D: 処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
582a089	DMER82A089: リモート側アレイ装置の S-VOL が S-VOL Disable です。リモート側アレイ装置の LU 状態を確認し、S-VOL Disable を解除して実行してください。
582a08b	DMER82A08B: リモート側アレイ装置の S-VOL が SnapShot キャッシュブロックの空きがありません。リモート側アレイ装置のプール LU の状態を確認して、不要なペアを削除してください。
582a08c	DMER82A08C: リモート側アレイ装置の S-VOL が SnapShot キャッシュブロック削除中です。リモート側アレイ装置のプール LU の状態を確認して、しばらく待ってから、再実行してください。
582a08d	DMER82A08D: リモート側アレイ装置の S-VOL が SnapShot ペアとのカスケード条件を満たしていません。リモート側アレイ装置の LU 状態を確認してください。
582a090	DMER82A090: リモート側アレイ装置の S-VOL が SnapShot ペアとのカスケード条件を満たしていません。リモート側アレイ装置の LU 状態を確認してください。
582a091	DMER82A091: リモート側アレイ装置の装置 ID が異なるか、最大接続きょう体数の上限を超えています。リモート側アレイ装置の装置 ID、接続きょう体数、またはグループ番号を確認してください。
582a095	DMER82A095: リモート側アレイ装置の S-VOL が強制パリティ回復中です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから、再実行してください。
582a097	DMER82A097: リモート側アレイ装置の S-VOL に対して不当なコマンドを受領しました。リモート側アレイ装置の状態を確認してください。
582a09a	DMER82A09A: リモート側アレイ装置の S-VOL の LU 状態が正常または縮退以外です。リモート側アレイ装置の LU 状態を確認してください。
582a09f	DMER82A09F: SnapShot の分割、削除の処理中です。しばらく待ってから、再実行してください。
582a0a0	DMER82A0A0: リモート側アレイ装置にデータプールがありません。リモート側アレイ装置にデータプールを作成してください。
582a0a1	DMER82A0A1: リモート側アレイ装置の S-VOL に指定した LU は既にデータプールに割り当てられているため、S-VOL に設定できません。リモート側アレイ装置の LU の状態を確認してください。
582a0a2	DMER82A0A2: リモート側アレイ装置のデータプールに割り当てられた LU 状態が正常または縮退以外です。リモート側アレイ装置の LU 状態を確認してください。
582a0a3	DMER82A0A3: リモート側アレイ装置のデータプールに割り当てられた LU が強制パリティ回復中です。リモート側アレイ装置の LU の状態を確認し、しばらく待ってから、再実行してください。
582a0a4	DMER82A0A4: リモート側アレイ装置の S-VOL がリモートレプリケーションと SnapShot で最大ペア数オーバーです。リモート側アレイ装置の状態を確認してください。また、リモート側アレイ装置の不要なペアを削除してください。

エラーコード	説明
582a0a5	DMER82A0A5: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Failure です。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
582a0a6	DMER82A0A6: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Pool Full です。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
582a0a7	DMER82A0A7: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Split (Read/Write 不可) です。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
582a0a8	DMER82A0A8: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Takeover, または S-VOL を直前の更新サイクルで確定した状態に戻す処理を行っています。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
582a0a9	DMER82A0A9: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Simplex です。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
582a0aa	DMER82A0AA: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Split です。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
582a0ab	DMER82A0AB: リモート側アレイ装置の S-VOL のリモートレプリケーションペア状態が Simplex ではありません。リモート側アレイ装置のリモートレプリケーションペア状態を確認してください。
582a0b4	DMER82A0B4: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラーに存在しない、かつ特殊処理継続不可です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
582a0b5	DMER82A0B5: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラーに存在しない、かつ LU 単位切替え実行 (開始) です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
582a0b6	DMER82A0B6: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラーに存在しない、かつ LU 単位切替え実行 (中) です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
582a0b7	DMER82A0B7: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラーに存在しない、かつ LU 単位切替え元のコントローラーが閉塞しています。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
582a0b8	DMER82A0B8: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替え不可、かつシーケンシャルバッファ使用中です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
582a0b9	DMER82A0B9: リモート側アレイ装置の S-VOL の LU 単位切替えが一時的にできません。しばらく待ってから実行してください。
582a0ba	DMER82A0BA: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替え不可、かつ PIN があります。サポートサービス利用ガイドに記載された連絡先にお問い合わせください。
582a0bb	DMER82A0BB: リモート側アレイ装置の S-VOL の LU 単位切替えが一時的にできません。しばらく待ってから実行してください。
582a0bc	DMER82A0BC: リモート側アレイ装置の S-VOL の LU 単位切替えが一時的にできません。しばらく待ってから実行してください。
582a0bd	DMER82A0BD: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替えできずタイムアウトが発生しました。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
582a0be	DMER82A0BE: リモート側アレイ装置の S-VOL が LU 単位切替え不可、かつグループ番号が不正です。リモート側アレイ装置の状態を確認してください。

エラーコード	説明
582a0c0	DMER82A0C0: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラーに存在しない、かつドライブスピニング中です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
582a0c1	DMER82A0C1: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラーに存在しない、かつシステムコピー中です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
582a0c2	DMER82A0C2: リモート側アレイ装置の S-VOL がデフォルト担当コントローラーに存在しない、かつ引継ぎ情報をライト中です。リモート側アレイ装置の状態を確認して、しばらく待ってから実行してください。
582a0d1	DMER82A0D1: リモート側アレイ装置において、対象 LU が所属している RAID グループを構成するディスクドライブがスピンドアウンしています。該当するディスクドライブをスピニングアップした後に再実行してください。
582a0d2	DMER82A0D2: リモート側アレイ装置で指定したデータプール番号が使用中のデータプール番号と異なります。データプール番号を確認してください。または、リモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プール、または管理領域 DP プールが存在しません。または、リモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プール、または管理領域 DP プールの状態が正常または縮退以外です。または、指定されたリモート側アレイ装置で使用するレプリケーションデータ DP プール、または管理領域 DP プールは、指定された S-VOL が現在使用している DP プールと異なります。または、リモート側アレイ装置のレプリケーションデータ DP プール、または管理領域 DP プールでリモートレプリケーションペアの削除処理中です。または指定されたリモート側アレイ装置のレプリケーションデータ DP プール、または管理領域 DP プールは階層モードが有効かつ未サポートドライブ(SSD または FMD)のみで構成された DP プールです。DP プールに Tier を追加するか他の DP プールを指定して再実行してください。
582a0d3	DMER82A0D3: テンポラリキーの期限が切れました。ライセンスを購入してください。
582a0db	DMER82A0DB: 対象 LU の所属パーティションまたはベアパーティションが妥当ではありません。パーティション番号を確認してください。
582a0dd	DMER82A0DD: プログラム内部エラーが発生しました。しばらく待ってから、再実行してください。解決しない場合、保守員へ連絡してください。
582a0de	DMER82A0DE: リモート側アレイ装置がオートマイグレーション中です。マイグレーションを完了させた後に、再実行してください。
582a0e1	DMER82A0E1: リモート側アレイ装置のコントローラー回復中に LU 切替え処理のタイムアウトが発生しました。コントローラー回復後に、再実行してください。
582a0e3	DMER82A0E3: リモート側アレイ装置の S-VOL が所属する RAID グループの状態が Normal 以外です。状態が Normal になってから再度実行してください。
582a0f2	DMER82A0F2: リモート側アレイ装置がメモリ再構築中です。メモリ再構築が完了後、再度実行してください。

16.2 Hitachi USP のメッセージ

Device Manager が出力するメッセージの中には、メッセージの一部としてストレージシステムが出力するメッセージを含むものがあります。ここでは、Device Manager のメッセージに含まれる Hitachi USP のエラーメッセージについて説明します。

Device Manager のメッセージに Hitachi USP のメッセージが含まれる場合、Device Manager のメッセージには、Hitachi USP のメッセージのエラーコードが 2 種類表示されます。Device Manager が表示する Hitachi USP のメッセージを次の表に示します。

参考：以下に示すメッセージの一覧では、エラーコード 1 とエラーコード 2 をコンマで区切って示します。アスタリスク (*) はエラーコードの出力が可変であることを示しています。エラーコード

に、この節で示す数値以外の数値が出力された場合は、「*、*」で示すメッセージの説明を参照してください。

表 16-2 Hitachi USP のメッセージ

エラーコード	説明	対処
,	サブシステムでエラーが発生しました。この問題を解決できないときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	繰り返し起こる場合は顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
1,1001	タイムアウトが発生しました。SVP が再起動後に、再実行してください。	SVP が自動的に再起動します。再起動後に再実行して、同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,1002	指定したボリュームは、リモートコピー、ShadowImage、Cross-system Copy、Volume Migration、または COW Snapshot のボリュームとして使用されているので、コマンドデバイスまたは LUSE ボリュームの構成要素として設定できません。別のボリュームを選んでください。	対処の必要はありません。
1005,1002	指定したボリュームは、リモートコピー、ShadowImage、Cross-system Copy、Volume Migration、または COW Snapshot のボリュームとして使用されているので、コマンドデバイスまたは LUSE ボリュームの構成要素として設定できません。別のボリュームを選んでください。	対処の必要はありません。
3,1003	一つのグループから同一ボリュームへのパスを複数設定しようとしています。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
1005,1003	一つのグループから同一ボリュームへのパスを複数設定しようとしています。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
3,1004	一つのポート/グループ/LUN の組に対して、複数のボリュームを設定しようとしています。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
1005,1004	一つのポート/グループ/LUN の組に対して、複数のボリュームを設定しようとしています。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
3,1005	実装されていないボリューム、拡張 LU の先頭以外のボリューム、Volume Migration の Reserve ボリューム、または Just in Time のボリュームにパスを定義しようとしています。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
1005,1005	実装されていないボリューム、拡張 LU の先頭以外のボリューム、Volume Migration の Reserve ボリューム、または Just in Time のボリュームにパスを定義しようとしています。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
3,1007	リモートコピー、ShadowImage、Cross-system Copy、Volume Migration、または COW Snapshot で使用しているボリュームへの最後のパスは削除できません。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
1005,1007	リモートコピー, ShadowImage, Cross-system Copy, Volume Migration, または COW Snapshot で使用しているボリュームへの最後のパスは削除できません。	対処の必要はありません。
3,1009	拡張 LU として連結するボリュームのエミュレーションタイプがオープンボリュームではありません。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
1005,1009	拡張 LU として連結するボリュームのエミュレーションタイプがオープンボリュームではありません。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
3,1010	すでに拡張されている LU を含んで拡張 LU を設定しようとしています。	設定内容を見直してください。
3,1011	拡張 LU として連結されるボリュームが異なる CU 番号にまたがっています。	設定内容を見直してください。
1005,1011	拡張 LU として連結されるボリュームが異なる CU 番号にまたがっています。	設定内容を見直してください。
3,1012	拡張 LU として連結されるボリュームには LU パスが設定されています。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
1005,1012	拡張 LU として連結されるボリュームには LU パスが設定されています。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
3,1013	拡張 LU として連結されるボリュームのエミュレーションタイプが同じではありません。	拡張 LU を設定する場合、同一エミュレーション、同一容量のボリューム、同一のボリューム属性 (Normal Volume と Customized Volume の混在指定はできません) で設定してください。
1005,1013	拡張 LU として連結されるボリュームのエミュレーションタイプが同じではありません。	拡張 LU を設定する場合、同一エミュレーション、同一容量のボリューム、同一のボリューム属性 (Normal Volume と Customized Volume の混在指定はできません) で設定してください。
3,1015	解除される拡張 LU に LU パスが設定されています。	いったん対象ボリュームのパスを解除してから拡張 LU を解除してください。
1005,1015	解除される拡張 LU に LU パスが設定されています。	いったん対象ボリュームのパスを解除してから拡張 LU を解除してください。
3,1018	構成変更の要素として指定されたポートがありません。	指定されたポートがありません。未実装ポートまたはメインフレーム用のポートが指定された可能性があります。指定したポートを見直してください。
1005,1018	構成変更の要素として指定されたポートがありません。	指定されたポートがありません。未実装ポートまたはメインフレーム用のポートが指定された可能性があります。指定したポートを見直してください。
3,1020	LUN が不正です (規定外の値が指定されました)。	設定内容を見直してください。
1005,1020	LUN が不正です (規定外の値が指定されました)。	設定内容を見直してください。
3,1021	指定されたボリュームがありません。	指定されたボリューム(CU 番号:LDEV 番号)がありません。未実装ボリュームまたは Mainframe 用のボリュームが指定された可能性があります。指定したボリュームを見直してください。

エラーコード	説明	対処
1005,1021	指定されたボリュームがありません。	指定されたボリューム(CU 番号:LDEV 番号)がありません。未実装ボリュームまたは Mainframe 用のボリュームが指定された可能性があります。指定したボリュームを見直してください。
3,1022	ホストモードが不正です。	設定内容を見直してください。
1005,1022	ホストモードが不正です。	設定内容を見直してください。
3,1023	ファイバーアドレスが正しくありません。指定を見直してください。	対処の必要はありません。
1005,1023	ファイバーアドレスが正しくありません。指定を見直してください。	対処の必要はありません。
3,1024	ファイバトポロジ情報が不正です(規定外の値が指定されました)。	設定内容を見直してください。
1005,1024	ファイバトポロジ情報が不正です(規定外の値が指定されました)。	設定内容を見直してください。
3,1025	指定された LU パスがありません。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
1005,1025	指定された LU パスがありません。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
3,1027	コマンドデバイス設定の指定値が不正です(規定外の値が指定されました)。	設定内容を見直してください。
3,1028	拡張 LU として連結できるボリュームの数を超過しています(最大 36)。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
1005,1028	拡張 LU として連結できるボリュームの数を超過しています(最大 36)。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
3,1029	拡張 LU として連結するボリュームの容量が同じではありません。または、Customized Volume と通常ボリューム(Normal Volume)を混在して連結しようとしています。	拡張 LU を設定する場合、同一エミュレーション、同一容量のボリューム、同一のボリューム属性(Normal Volume と Customized Volume の混在指定はできません)で設定してください。
3,1031	Cache Residency に指定された領域はボリュームのサイズを超過しています。	設定内容を見直してください。
3,1032	指定されたエクステント領域が、指定可能な領域サイズを超過しています。	エクステント領域を小さく指定して、再設定してください。
3,1033	Cache Residency のボリューム全体指示でメインフレーム系のボリュームが指定されました。	設定内容を見直してください。
3,1034	Cache Residency の領域指定とボリュームの種別が一致していません(メインフレーム系ボリュームに対して LBA 番号を指定。または、オープン系ボリュームにシリンダ番号とヘッダ番号を指定)。	設定内容を見直してください。
3,1035	SSID の定義がありません。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	VLL 操作 (Install CV, Volume Initialize) 時、必要な Subsystem ID の設定がされていません。
3,1036	Customized Volume 設定時、指定したサイズが範囲外です(設定値が最小値より小さい、または最大値より大きい)。	CV の大きさが設定可能範囲を超過しています(最小値より小さい、または最大値より大きい)。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

エラーコード	説明	対処
3,1037	CV を作成するための容量が論理パーティグループ内に残っていません。	ドライブタイプおよび RAID タイプによって論理パーティグループ内に納められる LDEV 数が異なることを考慮に入れて設定してください。詳しくは顧客問い合わせ窓口まで問い合わせてください。
3,1038	CV のエミュレーションタイプに混在できないものが指定されました。または、サポート対象外のエミュレーションタイプが設定されました。	エミュレーションタイプによって定義が異なります。詳しくは顧客問い合わせ窓口まで問い合わせてください。
3,1039	LU パスが設定されているボリューム、LU 拡張されているボリューム、または LDEV セキュリティが設定されているボリュームに対して VLL 操作が指定されています。	設定対象ボリュームを見直してください。
3,1040	VLL 操作 (Volume Initialize) 時、Deleted Normal Volume 情報が単独で指定されました。内部論理エラーが発生しています。	詳しくは顧客問い合わせ窓口まで問い合わせてください。
3,1041	VLL 操作で指定した CU 番号と LDEV 番号はほかのボリュームの番号と重複しています。	対処の必要はありません。
3,1042	サブシステム側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	Cache Residency のプレステージングが指定されていますが、Cache Residency の設定がされていません。または、Cache Residency の設定はされていますが、プレステージングの設定がされていません。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,1043	VLL 操作で実装されていない論理パーティグループに対して操作が指示されました。	設定内容を見直してください。
3,1044	VLL 操作 (Volume Initialize) 時、Normal Volume に復帰させるボリュームの数と Volume Initialize で要求されたボリュームの数が異なります。	設定内容を見直してください。
3,1045	指定されたサブシステム ID はすでに使用されています。他のサブシステム ID を指定してください。	設定内容を見直してください。
3,1048	指定されたボリュームがありません、または Cache Residency が指定されていないボリュームに対して削除要求がありました。	設定内容を見直してください。
3,1049	VLL 操作 (Volume Initialize) 時、対象の論理パーティグループ内に CV が設定されていません。	設定内容を見直してください。
3,1050	拡張 LU として連結するボリュームの中に階層制御機能 (Volume Migration) の Reserve ボリューム、または Just in Time ボリュームが含まれています。	設定内容を見直してください。
1005,1050	拡張 LU として連結するボリュームの中に階層制御機能 (Volume Migration) の Reserve ボリューム、または Just in Time ボリュームが含まれています。	設定内容を見直してください。

エラーコード	説明	対処
3,1051	VLL 操作で、エミュレーションタイプの指定に誤りがあります。	設定内容を見直してください。
*,1059	Fibre ポート以外のポートに対して LUN Manager 機能の設定をしていません。	設定内容を見直してください。
3,1059	Fibre ポート以外のポートに対して LUN Manager 機能の設定をしていません。	設定内容を見直してください。
*,1061	LUN Manager 機能が無効なポートに対して LUN Manager 操作をしようとしています。	Security Switch ON 状態にしてください。
3,1061	LUN Manager 機能が無効なポートに対して LUN Manager 操作をしようとしています。	Security Switch ON 状態にしてください。
3,1062	VLL 操作 (Install CV) で、エミュレーションタイプまたはエミュレーションタイプのサイズ指定に誤りがあります。指定したボリュームのサイズがエミュレーションタイプに合ったサイズではありません。	Mainframe 系ボリュームに対してはユーザ指定シリンダ数を指定してください。Open 系ボリュームに対してはユーザ指定容量を指定してください。
3,1063	指定された WWN はすでに使用されています。他の WWN を指定してください。	設定内容を見直してください。
3,1064	すでに登録されているものと同じ WWN を登録しようとしています。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
1005,1064	すでに登録されているものと同じ WWN を登録しようとしています。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
5305,1064	指定された WWN はすでに使用されています。他の WWN を指定してください。	設定内容を見直してください。
3,1065	すでに登録されているものと同じ WWN ニックネームまたはホストグループニックネームを登録しようとしています (WWN ニックネームとホストグループニックネームは相互に重複できません)。	設定内容を見直してください。
1005,1065	すでに登録されているものと同じ WWN ニックネームまたはホストグループニックネームを登録しようとしています (WWN ニックネームとホストグループニックネームは相互に重複できません)。	設定内容を見直してください。
3,1066	登録されていない WWN 番号が指定されました (削除時または変更時)。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
1005,1066	登録されていない WWN 番号が指定されました (削除時または変更時)。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
3,1067	すでに登録されているものと同じホストグループ番号を登録しようとしています。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
1005,1067	すでに登録されているものと同じホストグループ番号を登録しようとしています。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。

エラーコード	説明	対処
3,1068	登録されていないホストグループが指定されました (削除時または変更時)。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。指定内容を訂正してください。
1005,1068	登録されていないホストグループが指定されました (削除時または変更時)。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。指定内容を訂正してください。
3,1074	VLL 操作 (Install CV) 時に指定された CU には設定できません。	指定内容を訂正してください。
3,1075	VLL 操作 (Volume Initialize, Install CV, Volume to Space) を 1 回の構成情報設定要求に混在して指定しています。	VLL 操作 をする場合、どれか一つの設定をしてください。
5205,1076	指定されたボリュームは、ShadowImage または FlashCopy Mirror のボリュームとしてすでに使用されています。	指定したボリュームの状態を確認してください。
5205,1077	指定されたボリュームは、ShadowImage または FlashCopy Mirror のボリュームとしてすでに使用されています。	指定したボリュームの状態を確認してください。
5205,1078	指定されたボリュームは LUSE ボリュームです。Reserve ボリュームに変更できません。	指定したボリュームの状態を確認してください。
5205,1079	Reserve ボリュームとして設定されたボリュームは Cache Residency が設定されている。	指定したボリュームから Cache Residency の設定を解除してください。
5205,1080	指定されたボリュームは使用できません。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1081	指定されたボリュームはコマンドデバイスです。	コマンドデバイスを解除するか、他のボリュームを選択してください。
5205,1082	指定されたボリュームは実装されていません。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1083	指定されたボリュームは、すでに Reserve ボリュームとして設定されています。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1084	割り当てできる Reserve ボリュームがありません。	Reserve ボリュームを設定してから再実行してください。
5205,1085	指定されたボリュームは、階層制御機能 (Volume Migration) ですでに使用されています。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1086	指定されたボリュームの RAID レベルはサポートされていません。	マイクロコードのバージョンを確認して顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1087	Reserve ボリュームとして指定された HDEV は NAS システムのシステムボリュームです。	選択したボリュームの状態を確認してください。
5205,1088	移動先として指定されたボリュームは NAS システムのシステムボリュームです。	選択したボリュームの状態を確認してください。
5205,1094	指定されたボリュームは、Reserve ボリュームではありません。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1095	Reserved ボリュームの最大割り当て数を超えています。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

エラーコード	説明	対処
5205,1096	指定されたボリュームは、ホストまたは、リモートコピーにて使用されていません。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
3,1101	実装されていないボリュームに対して VLL 操作が指定されました。	指定内容を訂正してください。
3,1102	ボリュームイニシャライズ操作はパリティグループの最後の LDEV を含めません。	パリティグループ内には少なくとも一つの LDEV が必要なため、これ以上の減設はできません。指定内容を訂正してください。
3,1103	VLL 操作で実装されていないパリティグループに対して操作が指定されました。	指定内容を訂正してください。
3,1104	VLL 操作無しで Subsystem ID を設定しようとしています。	Subsystem ID は VLL 操作と合わせて変更要求してください。
3,1105	アレイグループに作成できる LDEV 数が上限値を超えました。	LDEV を作成するには、不要な LDEV を削除するか、別のアレイグループを指定してください。
3,1108	Volume Migration 用の Reserve ボリューム/Just in Time ボリュームに対してコマンドデバイスの設定要求をしています。または、OPEN 系ボリューム(実装されていないボリュームを含む)以外のボリュームに対してコマンドデバイス設定要求をしています。	コマンドデバイス設定対象ボリュームを見直してください。
1005,1108	Volume Migration 用の Reserve ボリューム/Just in Time ボリュームに対してコマンドデバイスの設定要求をしています。または、OPEN 系ボリューム(実装されていないボリュームを含む)以外のボリュームに対してコマンドデバイス設定要求をしています。	コマンドデバイス設定対象ボリュームを見直してください。
5205,1109	階層制御機能 (Volume Migration) では、選択されたボリューム、またはその組み合わせはサポートされていません。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
3,1110	HOST GROUP および WWN で使用するニックネームに指定できない文字が指定されました。'#', '/', ':', '!', '@', '*', '?', '!', '<', '>', ' ' および先頭と末尾の空白は使用できません。	対処の必要はありません。
1005,1110	HOST GROUP および WWN で使用するニックネームに指定できない文字が指定されました。'#', '/', ':', '!', '@', '*', '?', '!', '<', '>', ' ' および先頭と末尾の空白は使用できません。	対処の必要はありません。
*,1111	LUN Manager の構成変更要求時、ニックネームが指定されていません。	Host Group のニックネームは必ず指定してください。
3,1113	VLL 操作で作成しようとしていたボリュームは Compatible PAV 機能として使用中のボリュームです。	指定ボリューム ID を変えるか、Compatible PAV の設定を解除してください。
3,1116	WWN 登録時、値を指定していません。または WWN の値に 0 が設定されています。	WWN 値を必ず設定してから構成変更要求を実行してください。

エラーコード	説明	対処
1005,1116	WWN 登録時、値を指定していません。または WWN の値に 0 が設定されています。	WWN 値を必ず設定してから構成変更要求を実行してください。
5205,1117	指定されたボリュームは、コンカレントコピーのボリュームとしてすでに使用されています。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
5205,1118	指定されたボリュームは、コンカレントコピーのボリュームとしてすでに使用されています。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
5205,1119	指定されたボリュームは、コンカレントコピーのボリュームとしてすでに使用されています。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
5205,1120	指定されたボリュームは、HXRC のボリュームとしてすでに使用されています。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
5205,1121	指定されたボリュームは、HXRC のボリュームとしてすでに使用されています。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
5205,1122	指定されたボリュームは、HXRC のボリュームとしてすでに使用されています。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
3,1123	コマンドデバイスセキュリティの設定要求がされましたが、対象ボリュームはコマンドデバイスの設定がされていません。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。コマンドデバイスセキュリティ設定をする場合は、コマンドデバイスを設定しておくか同時に設定するようにしてください。
1005,1123	コマンドデバイスセキュリティの設定要求がされましたが、対象ボリュームはコマンドデバイスの設定がされていません。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。コマンドデバイスセキュリティ設定をする場合は、コマンドデバイスを設定しておくか同時に設定するようにしてください。
3,1124	コマンドデバイス・コマンドデバイスセキュリティの設定方法に誤りがあります。同じボリュームに対して、次のような設定はできません。 1. コマンドデバイスの設定とコマンドデバイスセキュリティの解除 2. コマンドデバイスの解除とコマンドデバイスセキュリティの設定	指定内容を訂正してください。
3,1125	WWN 登録時、WWN を登録するホストグループがありません。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。指定内容を訂正してください。
1005,1125	WWN 登録時、WWN を登録するホストグループがありません。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。指定内容を訂正してください。
3,1126	コマンドデバイスボリュームは Volume Management (LUSE) の構成要素にできません。別のボリュームを選択してください。	指定内容を訂正してください。
1005,1126	コマンドデバイスボリュームは Volume Management (LUSE) の構成要素にできません。別のボリュームを選択してください。	指定内容を訂正してください。

エラーコード	説明	対処
3,1127	CHA の高速モードが指定されましたが、未実装 CHA に対して指定されています。	チャンネルパッケージを見直してください。
1005,1127	CHA の高速モードが指定されましたが、未実装 CHA に対して指定されています。	チャンネルパッケージを見直してください。
3,1128	チャンネル速度の変更が要求されましたが、指定された CHA では Fiber PCB はサポートされていません。	チャンネルパッケージを見直してください。
1005,1128	チャンネル速度の変更が要求されましたが、指定された CHA では Fiber PCB はサポートされていません。	チャンネルパッケージを見直してください。
3,1129	LUN-Security 操作で WWN 登録時、登録できる WWN 数 (MAX.255) を超えました。	設定内容を見直してください。
*,1130	Host Group ニックネームおよび WWN ニックネーム登録時、指定できない文字が指定されました (xx-G00 : xx はポート名称 (1A, 1B など))。	サブシステムでデフォルトのニックネームは LUN セキュリティ操作で使用できません。ほかの名前を使用してください。
3,1131	ホストグループ設定時(追加, 変更, 削除), ポート内に設定できる最大値を超えました (0~127 の範囲)。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
1005,1131	ホストグループ設定時(追加, 変更, 削除), ポート内に設定できる最大値を超えました (0~127 の範囲)。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
3,1132	WWN 設定時(追加, 変更), ポート内に設定できる最大値を超えました (0~254 の範囲)。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
1005,1132	WWN 設定時(追加, 変更), ポート内に設定できる最大値を超えました (0~254 の範囲)。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
3,1133	ホストモード設定時, ポート内に設定できるホストグループ ID の最大値を超えました。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
1005,1133	ホストモード設定時, ポート内に設定できるホストグループ ID の最大値を超えました。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
3,1134	パス設定時(追加, 削除), ポート内に設定できる最大値を超えました (Security Switch OFF 時 : 256 個/Security Switch ON 時 : 512 個)。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
1005,1134	パス設定時(追加, 削除), ポート内に設定できる最大値を超えました (Security Switch OFF 時 : 256 個/Security Switch ON 時 : 512 個)。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
3,1135	ポート情報 (Fibre Address, Fibre Topology, Channel Speed) 設定時, 同じポートに変更指示が複数設定されました。	同じポートに変更指示が複数設定されました。設定内容を見直してください。
1005,1135	ポート情報 (Fibre Address, Fibre Topology, Channel Speed) 設定時,	同じポートに変更指示が複数設定されました。設定内容を見直してください。

エラーコード	説明	対処
	同じポートに変更指示が複数設定されました。	
3,1136	CHA の高速モード指定時、同じポートに変更指示が複数設定されました。	設定内容を見直してください。
1005,1136	CHA の高速モード指定時、同じポートに変更指示が複数設定されました。	設定内容を見直してください。
3,1137	LUSE 設定時、DKC で設定できる最大数 (MAX.4096) を超えた指示がされました。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
1005,1137	LUSE 設定時、DKC で設定できる最大数 (MAX.4096) を超えた指示がされました。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
3,1138	LUNM 機能の設定時に、同一内容が指定されました。指定を見直してください。	対処の必要はありません。
1005,1138	LUNM 機能の設定時に、同一内容が指定されました。指定を見直してください。	対処の必要はありません。
3,1140	ポートグループの設定がされているため変更できません。ポートグループの設定を解除してください。	ポートグループの設定を解除してください。
1005,1140	ポートグループの設定がされているため変更できません。ポートグループの設定を解除してください。	ポートグループの設定を解除してください。
3,1141	現在処理中です。しばらくしてから再実行してください。	しばらくして再ログインして、同じ操作を数回繰り返して、同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,1145	NAS のポートに対して、ファイバーアドレス、トポロジー、チャンネル速度、セキュリティスイッチ、およびポート属性 (イニシエーターまたはターゲット) の設定が変更されました。指定を見直してください。	対処の必要はありません。
1005,1145	NAS のポートに対して、ファイバーアドレス、トポロジー、チャンネル速度、セキュリティスイッチ、およびポート属性 (イニシエーターまたはターゲット) の設定が変更されました。指定を見直してください。	対処の必要はありません。
3,1146	システム LU が未確定状態のため、NAS システムのユーザグループにパスを追加できません。	対処の必要はありません。
1005,1146	システム LU が未確定状態のため、NAS システムのユーザグループにパスを追加できません。	対処の必要はありません。
3,1147	NAS のシステム LU 用に定義された LDEV に対してパス追加を実行しようとしました。指定を見直してください。	対処の必要はありません。
1005,1147	NAS のシステム LU 用に定義された LDEV に対してパス追加を実行しようとしました。指定を見直してください。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
3,1148	NAS システムのユーザ LU として中間ボリュームを指定しました。	対処の必要はありません。
1005,1148	NAS システムのユーザ LU として中間ボリュームを指定しました。	対処の必要はありません。
3,1149	NAS のシステム LU グループにパスの追加または削除をしようとした。指定を見直してください。	対処の必要はありません。
1005,1149	NAS のシステム LU グループにパスの追加または削除をしようとした。指定を見直してください。	対処の必要はありません。
3,1150	NAS のシステム LU 用に定義された LDEV に CMDDEV を指定しました。指定を見直してください。	対処の必要はありません。
1005,1150	NAS のシステム LU 用に定義された LDEV に CMDDEV を指定しました。指定を見直してください。	対処の必要はありません。
3,1151	NAS 用のパッケージ (CHA) を指定して speed モードを変更しようとした。指定を見直してください。	対処の必要はありません。
1005,1151	NAS 用のパッケージ (CHA) を指定して speed モードを変更しようとした。指定を見直してください。	対処の必要はありません。
3,1170	ボリュームが Read/Write 属性ではないため、コマンドデバイスの設定はできません。	指定内容を訂正してから再実行してください。
1005,1170	ボリュームが Read/Write 属性ではないため、コマンドデバイスの設定はできません。	指定内容を訂正してから再実行してください。
3,1171	ボリュームが Read/Write 属性ではないため、LU は連結または解除できません。	指定内容を訂正してから再実行してください。
1005,1171	ボリュームが Read/Write 属性ではないため、LU は連結または解除できません。	指定内容を訂正してから再実行してください。
3,1172	ボリュームが Read/Write 属性ではないため、LU は連結または解除できません。	指定内容を訂正してから再実行してください。
1005,1172	ボリュームが Read/Write 属性ではないため、LU は連結または解除できません。	指定内容を訂正してから再実行してください。
3,1173	ポート内に設定できるホストの最大数を超えました。	設定内容を訂正してから再実行してください。
3,1174	指定ホスト ID はすでに登録されています。	設定内容を訂正してから再実行してください。
1005,1174	指定ホスト ID はすでに登録されています。	設定内容を訂正してから再実行してください。
3,1175	iSCSI ポートに対して Fibre ポートの設定はできません。	設定内容を見直してください。
3,1176	iSCSI のパッケージに対して高速モードは設定できません。	設定内容を見直してください。

エラーコード	説明	対処
3,1177	指定したホストはすでに登録されています。	設定内容を見直してください。
1005,1177	指定したホストはすでに登録されています。	設定内容を見直してください。
3,1178	不正なホスト名が指定されました。	設定内容を見直してください。
1005,1178	不正なホスト名が指定されました。	設定内容を見直してください。
3,1179	未登録のホストを指定しました。	設定内容を見直してください。
3,1180	システム LU の指定とシステム LU 以外の LU の指定を 1 PDU で実行しました。指定を見直してください。	対処の必要はありません。
1005,1180	システム LU の指定とシステム LU 以外の LU の指定を 1 PDU で実行しました。指定を見直してください。	対処の必要はありません。
3,1181	指定されたパスは、リモートコピーのペアがあるボリュームのため追加できません。	設定内容を見直してください。
1005,1181	指定されたパスは、リモートコピーのペアがあるボリュームのため追加できません。	設定内容を見直してください。
3,1182	60TB 以上の LUSE を設定しようとしてしました。指定を見直してください。	対処の必要はありません。
1005,1182	60TB 以上の LUSE を設定しようとしてしました。指定を見直してください。	対処の必要はありません。
3,1183	PCB モードとポート情報が不整合です。	対処の必要はありません。
4,1183	PCB モードとポート情報が不整合です。	対処の必要はありません。
1005,1183	PCB モードとポート情報が不整合です。	対処の必要はありません。
1005,1184	PCB モードとポート情報が不整合です。	対処の必要はありません。
3,1185	LUSE を含む連結操作で、間に挿入しようとしてしました。(LDEV 番号が LUSE として組み立てられている LDEV 番号の間に挿入する形で指定されました)。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
1005,1185	LUSE を含む連結操作で、間に挿入しようとしてしました。(LDEV 番号が LUSE として組み立てられている LDEV 番号の間に挿入する形で指定されました)。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
3,1186	LUSE を含む連結操作で、パスの指定が先頭以外に指定されました。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
1005,1186	LUSE を含む連結操作で、パスの指定が先頭以外に指定されました。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
3,1187	LU 拡張をしようとしてしましたが、対象 LU に定義しているパスを有するグループのホストモードが On 中 LUSE であるため設定できません。	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。
1005,1187	LU 拡張をしようとしてしましたが、対象 LU に定義しているパスを有するグ	すでに構成情報が変更されている可能性があります。設定内容を見直してください。

エラーコード	説明	対処
	ループのホストモードが On 中 LUSE であるため設定できません。	
3,1188	NAS OS がシステム LU を使用中なので、LU を削除できません。指定を見直してください。	対処の必要はありません。
1005,1188	NAS OS がシステム LU を使用中なので、LU を削除できません。指定を見直してください。	対処の必要はありません。
3,1189	NAS システムパッケージによって使用中のため、指定されたユーザ LUN を削除できません。ユーザ LUN を削除するには、NAS システムパッケージより指定されたユーザ LUN で設定された LU 上に構築されているファイルシステムに対して「ファイルシステムの削除」の操作をしてください。	削除対象のユーザ LUN で設定された LU 上に構築されているファイルシステムに対して、「ファイルシステムの削除」の操作をしてから再実行してください。
1005,1189	NAS システムパッケージによって使用中のため、指定されたユーザ LUN を削除できません。ユーザ LUN を削除するには、NAS システムパッケージより指定されたユーザ LUN で設定された LU 上に構築されているファイルシステムに対して「ファイルシステムの削除」の操作をしてください。	削除対象のユーザ LUN で設定された LU 上に構築されているファイルシステムに対して、「ファイルシステムの削除」の操作をしてから再実行してください。
3,1190	NAS システムポートまたは iSCSI ポートからボリュームにパスを定義するとき、ボリュームは Read/Write 属性で、さらに S-VOL として利用できる必要があります。	設定を見直してください。
1005,1190	NAS システムポートまたは iSCSI ポートからボリュームにパスを定義するとき、ボリュームは Read/Write 属性で、さらに S-VOL として利用できる必要があります。	設定を見直してください。
3,1192	iSCSI ポートからパスが設定されているボリュームにコマンドデバイスの設定はできません。または、コマンドデバイスに iSCSI ポートからのパス設定はできません。	設定を見直してください。
3,1193	TrueCopy, ShadowImage, または Cross-system Copy のペアボリュームにパスの追加はできません。	設定を見直してください。
3,1194	External ポートのためポート情報の変更はできません。	設定を見直してください。
1005,1194	External ポートのためポート情報の変更はできません。	設定を見直してください。
3,1195	Cross-system Copy 用 LU にコマンドデバイスの設定はできません。	設定内容を見直してください。
1005,1195	Cross-system Copy 用 LU にコマンドデバイスの設定はできません。	設定内容を見直してください。
3,1196	LU と Cross-system Copy 用 LU を連結させた LUSE を作成することはできません。	設定内容を見直してください。

エラーコード	説明	対処
1005,1196	LU と Cross-system Copy 用 LU を連結させた LUSE を作成することはできません。	設定内容を見直してください。
3,1197	External ポートを含むパッケージに対して高速モードは設定できません。	設定内容を見直してください。
1005,1197	External ポートを含むパッケージに対して高速モードは設定できません。	設定内容を見直してください。
3,1198	Cross-system Copy 用 LU にパス設定しているため高速モードは設定できません。	設定内容を見直してください。
1005,1198	Cross-system Copy 用 LU にパス設定しているため高速モードは設定できません。	設定内容を見直してください。
3,1199	オープンボリュームでないボリュームに iSCSI ポートからのパス設定はできません。	設定内容を見直してください。
1005,1199	指定したボリュームは OPEN システム用のボリュームではないので、パスを設定できません。	対処の必要はありません。
3,1201	高速モード/混在モードの選択が無効です。指定したポートは高速モード/混在モードに変更できません。	設定を見直してください。
1005,1201	高速モード/混在モードの選択が無効です。指定したポートは高速モード/混在モードに変更できません。	設定を見直してください。
3,1203	高速モード/混在モードが指定されましたが、指定したポートの Fibre Address 内に高速モード/混在モードを設定できないアドレスが含まれています。	設定を見直してください。
1005,1203	高速モード/混在モードが指定されましたが、指定したポートの Fibre Address 内に高速モード/混在モードを設定できないアドレスが含まれています。	設定を見直してください。
3,1204	高速モード/混在モードが指定されましたが、指定したポートのトポロジーに高速モード/混在モードを設定できないトポロジーが含まれています。	設定を見直してください。
1005,1204	高速モード/混在モードが指定されましたが、指定したポートのトポロジーに高速モード/混在モードを設定できないトポロジーが含まれています。	設定を見直してください。
5205,1207	ボリュームタイプが一致していません。	同じ操作を再実行してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1208	階層制御機能 (Volume Migration) では、選択されたボリューム、またはその組み合わせはサポートされていません。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1209	階層制御機能 (Volume Migration) では、選択されたボリューム、またはその組み合わせはサポートされていません。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

エラーコード	説明	対処
5205,1210	一度に設定できるボリューム数の上限値を超えています。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1211	ボリュームペアの数が最大値を超えています。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1212	指定されたボリュームは実装されていません。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1213	指定されたボリュームは使用できません。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1214	指定されたボリュームはフォーマット中です。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1215	指定されたボリュームは、コマンドデバイスです。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1216	指定されたボリュームは実装されていません。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1217	指定されたボリュームは使用できません。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1218	指定されたボリュームはフォーマット中です。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1219	指定されたボリュームは、コマンドデバイスです。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1220	指定されたボリュームは、Reserve ボリュームではありません。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1221	指定されたボリュームは、階層制御機能 (Volume Migration) ですすでに使用されています。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1222	ShadowImage, ShadowImage z/ OS(R), および FlashCopy(R) Mirror のペアボリューム数が最大値に達しました。	対処の必要はありません。
5205,1223	指定されたボリュームは、階層制御機能 (Volume Migration) ですすでに使用されています。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1224	指定されたボリュームは、階層制御機能 (Volume Migration) ですすでに使用されています。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1225	指定された移動元ボリュームと移動先ボリュームは、同じボリュームである。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1226	指定されたボリュームは、リモートコピーによって使用されています。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1227	指定されたボリュームは、リモートコピーによって使用されています。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1228	指定されたボリュームの RAID レベルはサポートされていません。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1229	指定されたボリュームは、ShadowImage または FlashCopy Mirror のボリュームとしてすでに使用されています。	選択したボリュームの状態を確認してください。
5205,1230	指定されたボリュームは、ShadowImage または FlashCopy	選択したボリュームの状態を確認してください。

エラーコード	説明	対処
	Mirror のボリュームとしてすでに使用されています。	
5205,1231	指定されたボリュームは、データマイグレーションによって使用されています。	データマイグレーションの設定を解除してください。
5205,1232	指定されたボリュームは、ShadowImage または FlashCopy Mirror のボリュームとしてすでに使用されています。	選択したボリュームの状態を確認してください。
5205,1233	指定されたボリュームは、ShadowImage または FlashCopy Mirror のボリュームとしてすでに使用されています。	選択したボリュームの状態を確認してください。
5205,1234	指定されたボリュームは、リモートコピーによって使用されています。	対処の必要はありません。
5205,1235	指定されたボリュームは、リモートコピーによって使用されています。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
5205,1236	指定されたボリュームの RAID レベルはサポートされていません。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
5205,1237	指定されたボリュームは、ShadowImage または FlashCopy Mirror のボリュームとしてすでに使用されています。	選択したボリュームの状態を確認してください。
5205,1238	指定されたボリュームは、ShadowImage または FlashCopy Mirror のボリュームとしてすでに使用されています。	選択したボリュームの状態を確認してください。
5205,1239	指定されたボリュームは、データマイグレーションによって使用されています。	データマイグレーションの設定を解除してください。
5205,1240	指定されたボリュームは、ShadowImage または FlashCopy Mirror のボリュームとしてすでに使用されています。	選択したボリュームの状態を確認してください。
5205,1241	移動元として設定されたボリュームは Cache Residency が設定されている。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
5205,1242	移動元として設定されたボリュームは Cache Residency が設定されている。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
5205,1243	指定されたボリュームは移動元ボリュームではありません。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
5205,1246	同時に実行できるプラン数が最大を超えています。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
5205,1247	指定されたボリュームはすでに移動元ボリュームです。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
5205,1248	移動元または移動先として指定されたボリュームは、Cross-system Copy 用ボリュームです。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
5205,1249	Reserve ボリュームとして指定されたボリュームは、Cross-system Copy 用ボリュームです。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
5205,1250	移動元として指定されたボリュームは、iSCSI 用のボリュームです。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。

エラーコード	説明	対処
5205,1251	移動先として指定されたボリュームは、iSCSI 用のボリュームです。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1252	Reserve ボリュームとして指定されたボリュームは、iSCSI 用のボリュームです。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1253	移動元として指定されたボリュームは、Cross-system Copy 用ボリュームです。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1254	移動先として指定されたボリュームは、Cross-system Copy 用ボリュームです。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,1255	Reserve ボリュームとして指定されたボリュームは、Cross-system Copy 用ボリュームです。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5305,1258	このポートは実装されていません。	再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,1350	イニシエータまたは External ポートに対してパスを追加できません。	パスを追加するには属性を Target または RCU Target に変更してください。
1005,1350	イニシエータまたは External ポートに対してパスを追加できません。	パスを追加するには属性を Target または RCU Target に変更してください。
3,1351	指定したポートは、高速モードまたは混在モードに設定できないポート属性です。	対処の必要はありません。
1005,1351	指定したポートは、高速モードまたは混在モードに設定できないポート属性です。	対処の必要はありません。
3,1352	論理的パスがファイバ MCU ポートに残っています。この操作は論理的パスに致命的な損傷を引き起こすかもしれません。この操作を停止してください。この操作を続行したいときは、最初に MCU ポートから論理的パスを削除してください。	設定しようとしたポートはファイバ TrueCopy 用のポートのため、論理パスを削除し、それから設定してください。
1005,1352	論理的パスがファイバ MCU ポートに残っています。この操作は論理的パスに致命的な損傷を引き起こすかもしれません。この操作を停止してください。この操作を続行したいときは、最初に MCU ポートから論理的パスを削除してください。	設定しようとしたポートはファイバ TrueCopy 用のポートのため、論理パスを削除し、それから設定してください。
3,1353	S-VOL がファイバ RCU ポートに残っています。この操作は S-VOL に致命的な損傷を引き起こすかもしれません。この操作を停止してください。この操作を続行したいときは、最初に RCU ポートから S-VOL を削除してください。	設定しようとしたポートはファイバ TrueCopy 用のポートのため、RCU Target に設定してある S-VOL 論理パスを削除し、それから設定してください。
1005,1353	S-VOL がファイバ RCU ポートに残っています。この操作は S-VOL に致命的な損傷を引き起こすかもしれません。この操作を停止してください。この操作を続行したいときは、最初に RCU ポートから S-VOL を削除してください。	設定しようとしたポートはファイバ TrueCopy 用のポートのため、RCU Target に設定してある S-VOL 論理パスを削除し、それから設定してください。

エラーコード	説明	対処
3,1354	イニシエータまたは External ポートに対し、WWN の追加はできません。	WWN を追加するには属性を Target または RCU Target に変更してください。
1005,1354	イニシエータまたは External ポートに対し、WWN の追加はできません。	WWN を追加するには属性を Target または RCU Target に変更してください。
3,1355	イニシエータまたは External ポートに接続されたホストグループのホストモードは変更できません。	ホストモードを変更するには属性を Target または RCU Target に変更してください。
1005,1355	イニシエータまたは External ポートに接続されたホストグループのホストモードは変更できません。	ホストモードを変更するには属性を Target または RCU Target に変更してください。
3,1356	イニシエータまたは External ポートにホストグループを追加できません。	ホストグループを追加するには属性を Target または RCU Target に変更してください。
1005,1356	イニシエータまたは External ポートにホストグループを追加できません。	ホストグループを追加するには属性を Target または RCU Target に変更してください。
3,1357	RCU ターゲットポートに論理パスが残っているため変更できません。	設定しようとしたポートはファイバ True Copy 用のポートです。論理パスを削除してから設定してください。
1005,1357	RCU ターゲットポートに論理パスが残っているため変更できません。	設定しようとしたポートはファイバ True Copy 用のポートです。論理パスを削除してから設定してください。
3,1358	IO Suppression モードが Enable のため、このボリュームには Cache Residency の設定ができません。	このボリュームの IO Suppression モードを Disable に変更してから再実行してください。
3,1359	Cache モードが Disable のため、このボリュームには Cache Residency の設定ができません。	このボリュームの Cache モードを Enable に変更してから再実行してください。
3,1360	Cross-system Copy 用ボリュームに対してシステム LU を定義できません。	対処の必要はありません。
1005,1360	Cross-system Copy 用ボリュームに対してシステム LU を定義できません。	対処の必要はありません。
3,1361	ユーザ LU の設定数が最大値を超えました。	対処の必要はありません。
1005,1361	ユーザ LU の設定数が最大値を超えました。	対処の必要はありません。
3,1362	Cross-system Copy 用ボリュームの属性 (IO 抑止モード, キャッシュモード) が混在しているので、LUSE ボリュームを設定できません。	対処の必要はありません。
1005,1362	Cross-system Copy 用ボリュームの属性 (IO 抑止モード, キャッシュモード) が混在しているので、LUSE ボリュームを設定できません。	対処の必要はありません。
3,1363	ジャーナルボリュームにパスは追加できません。	対処の必要はありません。
1005,1363	ジャーナルボリュームにパスは追加できません。	対処の必要はありません。
3,1364	設定対象のポートの種類が正しくありません。	対処の必要はありません。
1005,1364	設定対象のポートの種類が正しくありません。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
3,1365	異なるドライブタイプ (Normal と SATA) の外部ボリュームが混在しているので、LUSE ボリュームを構成できません。	対処の必要はありません。
1005,1365	異なるドライブタイプ (Normal と SATA) の外部ボリュームが混在しているので、LUSE ボリュームを構成できません。	対処の必要はありません。
3,1367	ホストグループのホストモードが「4C」に指定されています。このホストグループには、Universal Volume Mgr のボリュームとして使用できないボリュームが接続されています。	対処の必要はありません。
1005,1367	ホストグループのホストモードが「4C」に指定されています。このホストグループには、Universal Volume Mgr のボリュームとして使用できないボリュームが接続されています。	対処の必要はありません。
3,1368	ホストモード「4C」は Universal Volume Mgr のボリュームだけに指定できます。	対処の必要はありません。
1005,1368	ホストモード「4C」は Universal Volume Mgr のボリュームだけに指定できます。	対処の必要はありません。
3,1600	LUN Manager 機能を使用するための P.P がインストールされていません。または P.P の期限切れのため使用できなくなりました。	対象の P.P をインストールしてください。(なお、P.P のライセンスには 3 種類の体系があり、期限切れ後に別の体系のライセンスをインストールしようとするとうインストールができない場合があります)。
1005,1600	LUN Manager 機能を使用するための P.P がインストールされていません。または P.P の期限切れのため使用できなくなりました。	対象の P.P をインストールしてください。(なお、P.P のライセンスには 3 種類の体系があり、期限切れ後に別の体系のライセンスをインストールしようとするとうインストールができない場合があります)。
3,1601	Open Volume Management 機能を使用するための P.P がインストールされていません。または P.P の期限切れのため使用できなくなりました。	対象の P.P をインストールしてください。(なお、P.P のライセンスには 3 種類の体系があり、期限切れ後に別の体系のライセンスをインストールしようとするとうインストールができない場合があります)。
1005,1601	Open Volume Management 機能を使用するための P.P がインストールされていません。または P.P の期限切れのため使用できなくなりました。	対象の P.P をインストールしてください。(なお、P.P のライセンスには 3 種類の体系があり、期限切れ後に別の体系のライセンスをインストールしようとするとうインストールができない場合があります)。
3,1602	VLL 機能を使用するための P.P がインストールされていません。または P.P の期限切れのため使用できなくなりました。	対象の P.P をインストールしてください。(なお、P.P のライセンスには 3 種類の体系があり、期限切れ後に別の体系のライセンスをインストールしようとするとうインストールができない場合があります)。
3,1603	Cache Residency 機能を使用するための P.P がインストールされていません。または P.P の期限切れのため使用できなくなりました。	対象の P.P をインストールしてください。(なお、P.P のライセンスには 3 種類の体系があり、期限切れ後に別の体系のライセンスをインストールしようとするとうインストールができない場合があります)。

エラーコード	説明	対処
		トールしようとするインストールができない場合があります)。
3,1604	この機能は利用できません。Cache Residency z/OS(R)が必要です。	対処の必要はありません。
5205,1606	Volume Migration のプログラムプロダクトがインストールされていません。	対象のプログラムプロダクトをインストールしてください。
5205,1607	指定されたボリュームには Volume Security の設定があります。	対処の必要はありません。
5205,1608	指定されたボリュームには Volume Security の設定があります。	対処の必要はありません。
5205,1609	指定されたボリュームには Volume Retention Manager の設定があります。	対処の必要はありません。
5205,1610	指定されたボリュームには Volume Retention Manager の設定があります。	対処の必要はありません。
5205,1611	指定されたボリュームの Data Retention に、Read Only, Protect, または S-VOL Disable が設定されています。	対処の必要はありません。
5205,1612	指定されたボリュームの Data Retention に、Read Only, Protect, または S-VOL Disable が設定されています。	対処の必要はありません。
3,1900	SVP による保守作業中です。保守作業終了後に再操作してください。	しばらくしてから再実行してください。
3,1901	Cross-system Copy 用 LU に対して Cache Residency の設定はできません。	設定内容を見直してください。
3,1904	指定したボリュームはデータプールボリュームとして使用されているので、LUSE ボリュームやコマンドデバイスとしての割り当て、およびパスの設定はできません。	対処の必要はありません。
105,1904	指定したボリュームはデータプールボリュームとして使用されているので、LUSE ボリュームやコマンドデバイスとしての割り当て、およびパスの設定はできません。	対処の必要はありません。
605,1904	指定したボリュームはデータプールボリュームとして使用されているので、LUSE ボリュームやコマンドデバイスとしての割り当て、およびパスの設定はできません。	対処の必要はありません。
1005,1904	指定したボリュームはデータプールボリュームとして使用されているので、LUSE ボリュームやコマンドデバイスとしての割り当て、およびパスの設定はできません。	対処の必要はありません。
3,1905	LUSE ボリュームを構成するために指定したボリュームには、V-VOL と V-VOL ではないボリュームが混在しています。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
105,1905	LUSE ボリュームを構成するために指定したボリュームには、V-VOL と V-VOL ではないボリュームが混在しています。	対処の必要はありません。
605,1905	LUSE ボリュームを構成するために指定したボリュームには、V-VOL と V-VOL ではないボリュームが混在しています。	対処の必要はありません。
1005,1905	LUSE ボリュームを構成するために指定したボリュームには、V-VOL と V-VOL ではないボリュームが混在しています。	対処の必要はありません。
3,1906	指定したボリュームは V-VOL として使用されているので、コマンドデバイスに設定できません。	対処の必要はありません。
105,1906	指定したボリュームは V-VOL として使用されているので、コマンドデバイスに設定できません。	対処の必要はありません。
605,1906	指定したボリュームは V-VOL として使用されているので、コマンドデバイスに設定できません。	対処の必要はありません。
1005,1906	指定したボリュームは V-VOL として使用されているので、コマンドデバイスに設定できません。	対処の必要はありません。
3,1910	指定したボリュームには COW Snapshot のペアが含まれています。	対処の必要はありません。
105,1910	指定したボリュームには COW Snapshot のペアが含まれています。	対処の必要はありません。
3,1911	指定したボリュームにはデータプールボリュームが含まれています。	対処の必要はありません。
105,1911	指定したボリュームにはデータプールボリュームが含まれています。	対処の必要はありません。
3,1912	指定したボリュームはリモートコマンドデバイスなので、コマンドデバイスの設定もしくは解除、またはコマンドデバイスセキュリティの設定もしくは解除はできません。	対処の必要はありません。
1005,1912	指定したボリュームはリモートコマンドデバイスなので、コマンドデバイスの設定もしくは解除、またはコマンドデバイスセキュリティの設定もしくは解除はできません。	対処の必要はありません。
3,1913	指定した LDEV はリモートコマンドデバイスなので、設定できません。	対処の必要はありません。
3,1914	ディスクサブシステム内に設定できる V-VOL の最大数を超過しました。	対処の必要はありません。
3,1915	LDEV 番号が正しくありません。CHA に設定されていない CU グループの LDEV 番号は指定できません。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
3,1916	同じパリティグループ内のボリュームは、CU グループが同一でなければ設定できません。	対処の必要はありません。
3,1917	CLPR 内のボリュームは、CU グループが同一でなければ設定できません。	対処の必要はありません。
1005,1918	操作対象の External ポートに外部ボリュームがマッピングされています。操作対象の External ポートにマッピングされている外部ボリュームを削除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
3,1919	増設された LDEV のフォーマット処理を実施しませんでした。LDEV が閉塞したままとなっています。このままでは、ホストから参照できません。必ず LDEV のフォーマット処理を実施してください。	対処の必要はありません。
1005,1920	NAS クラスタと LDEV 間でのパス定義が正しくありません。 <ul style="list-style-type: none"> 異なる NAS クラスタで同じ LDEV が指定されている。 同じ NAS クラスタの CHN ペアで、異なる LUN に同じ LDEV が指定されている。 	対処の必要はありません。
1005,1921	指定したボリュームは LUSE ボリュームではありません。	対処の必要はありません。
1005,1922	正常でない LDEV が LUSE ボリュームの構成要素に含まれています。	対処の必要はありません。
*,2002	DKC (SVP) 間の通信上の接続に失敗しました。	LAN の設定を見直してください。見直し後、同じ操作をしても現象が変わらない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,2003	DKC (SVP) からの構成情報読み出しに失敗しました。	SVP から DKC の状態が正常になっているかを確認してください。確認後、同じ操作をしても現象が変わらない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,2003	SVP メンテナンス中か、SVP 内部処理中です。しばらく時間を置いてから再実行してください。	保守作業中でないことを確認した上で、しばらく時間を置いてから再実行してください。
3,2004	アプリケーション実行に必要なファイルのロードに失敗しました(メモリが不足しているか、必要なファイルがありません)。	メモリが不足していると考えられますので、SVP をリポートして再び実行してください。それでも現象が変わらない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,2005	アプリケーション実行に必要なメモリが確保できませんでした。	メモリが不足していると考えられますので、SVP をリポートして再び実行してください。それでも現象が変わらない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,2009	SVP または DKC のマイクロコードが当該要求を実行できません(当該要求を実行できるバージョンではありません)。何回試しても回復しないときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	SVP と DKC のマイクロコードのバージョンを見直してください。問題を解決できないときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,2010	LDEV がホストで使用されているか、サブシステム側でエラーが発生しました	対象パスまたはボリュームにホストからの I/O が発生していないか確認してください。

エラーコード	説明	対処
	た。回復処理に1分ほど必要な場合がありますので、少しお待ちください。	
1005,2010	LDEV がホストで使用されているか、サブシステム側でエラーが発生しました。回復処理に1分ほど必要な場合がありますので、少しお待ちください。	対象パスまたはボリュームにホストからの I/O が発生していないか確認してください。
*,2011	閉塞している箇所がある可能性があります。顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	DKC の状態（閉塞していないか）を確認してください。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
2,2011	サブシステム側のシステム構成が正しくありません。顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
3,2011	閉塞しているボリュームがあるか、保守が必要な状態（閉塞、共用メモリ不一致など）のモジュールがあります。ボリュームの状態を確認してください。閉塞しているボリュームがないときは、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
3005,2011	サブシステムは保守が必要な状態（閉塞、共用メモリ不一致など）にあります。顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
3205,2011	ディスクサブシステムは保守が必要な状態（閉塞、共用メモリ不一致など）にあります。顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
5205,2011	指定されたボリュームは、リモートコピーによって使用されています。	リモートコピーのペアを解除してください。
3,2012	ポート閉塞エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
3,2013	ダウンロードエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
3,2014	ポート回復エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
*,2015	DKC 通信中にエラーが発生しました。しばらくしてから再実行してください。	通信エラーが発生しました。LAN の設定を見直してください。見直し後、同じ操作をしても現象が変わらない場合は、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
2,2015	サブシステム側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
3005,2015	サブシステムとの通信中にエラーが発生しました。しばらくしてから再操作してください。	対処の必要はありません。
3205,2015	ディスクサブシステムとの通信中にエラーが発生しました。しばらくしてから再実行してください。	対処の必要はありません。
2,2016	サブシステムがリフレッシュ中、またはユーザの設定登録中です。しばらくしてから再実行してください。	しばらくしてから再実行してください。
3,2016	SNMP ユーザまたは保守員が Modify モードでアクセスしています。しばらくしてから再実行してください。	しばらくしてから再実行してください。

エラーコード	説明	対処
3,2017	ネットワークエラーが検出されました。排他ロックが解除されました。	排他ロック開始要求を再実行してください。
3,2022	SVP, DKC が VLL 処理中のため、時間を置いて再度構成情報設定要求を発行してください。	時間を置いて再度構成情報設定要求を発行してください。
5205,2024	ハードウェア障害を検出しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,2025	ハードウェア障害を検出しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,2026	ハードウェア障害を検出しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,2027	ハードウェア障害を検出しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,2028	ハードウェア障害を検出しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,2029	データ転送障害を検出しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,2030	データ転送障害を検出しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,2032	通信中です。しばらくしてから再実行してください。	しばらくしてから再実行してください。
1005,2032	通信中です。しばらくしてから再実行してください。	しばらくしてから再実行してください。
3,2033	初期立ち上げ中、または内部リフレッシュ中です。	時間を置いてから、再度構成変更要求を発行してください。
3,2080	プレステージング処理が失敗しました。	時間を置いてからリフレッシュし、再度同じ構成変更をしてください。または、DKC の状態（閉塞していないか）を確認してください。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,2081	VLL 増減設中にエラーが発生しました。再実行してください。	再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,2082	ホストがマウントされているか、デバイスがリザーブされているために処理ができません。	ホストがマウントされているか、デバイスがリザーブされています。ホストをアンマウント、またはデバイスのリザーブを解除してください。AIX ホストの場合は、ホストをアンマウントして、varyoffvg コマンドを実行してください。
1005,2082	ホストがマウントされているか、デバイスがリザーブされているために処理ができません。	ホストがマウントされているか、デバイスがリザーブされています。ホストをアンマウント、またはデバイスのリザーブを解除してください。AIX ホストの場合は、ホストをアンマウントして、varyoffvg コマンドを実行してください。
3,2083	DKC 側の構成変更処理でエラーが発生しました。	DKC の状態を確認し、現在の構成設定状態を確認してください。必要であれば、設定操作を再実行してください。
3,2084	構成変更の結果が不明です。	DKC の状態を確認し、現在の構成設定状態を確認してください。必要であれば、設定操作を再実行してください。
3,2085	VLL 操作の事前チェックでエラーになっています。リモートコピー、ShadowImage, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy ペアのコピー中です。しばらくしてから再実行してください。	しばらくしてから再実行してください。
105,2085	VLL 操作の事前チェックでエラーになっています。リモートコピー、ShadowImage, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy ペアのコピー	しばらくしてから再実行してください。

エラーコード	説明	対処
	中です。しばらくしてから再実行してください。	
605,2085	Cross-system Copy ペアのコピー中です。しばらくしてから再実行してください。	しばらくしてから再実行してください。
3005,2085	VLL 操作の事前チェックでエラーになっています。リモートコピー、ShadowImage、FlashCopy Mirror、または Cross-system Copy ペアのコピー中です。しばらくしてから再実行してください。	しばらくしてから再実行してください。
3205,2085	リモートコピー、ShadowImage、ShadowImage z/OS(R)、Volume Migration、FlashCopy(R) Mirror、COW Snapshot、または Cross-system Copy ペアのコピー中です。しばらくしてから再実行してください。	対処の必要はありません。
3,2086	リモートコピー、ShadowImage、ShadowImage z/OS(R)、Volume Migration、FlashCopy(R) Mirror、COW Snapshot、または Cross-system Copy の構成が定義されています。構成定義を解除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
105,2086	リモートコピー、ShadowImage、ShadowImage z/OS(R)、Volume Migration、FlashCopy(R) Mirror、COW Snapshot、または Cross-system Copy の構成が定義されています。構成定義を解除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
605,2086	Cross-system Copy の構成が定義されています。Cross-system Copy の構成定義を解除してから再実行してください。	Cross-system Copy の構成定義を解除してから再実行してください。
3005,2086	リモートコピー、ShadowImage、ShadowImage z/OS(R)、Volume Migration、FlashCopy(R) Mirror、COW Snapshot、または Cross-system Copy の構成が定義されています。構成定義を解除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
3205,2086	リモートコピー、ShadowImage、ShadowImage z/OS(R)、Volume Migration、FlashCopy(R) Mirror、COW Snapshot、または Cross-system Copy のペアが定義されています。ペアを解除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
*,2087	VLL 操作の事前チェックでエラーになっています。DKC サブシステムはメインフレームホストから Vary Online にされています。メインフレームホストから DKC サブシステムを Vary Offline にしてください。	接続されているメインフレームホストから DKC サブシステムを Vary Offline にしてください。

エラーコード	説明	対処
605,2087	接続されているメインフレームホストからオンラインにされています。メインフレームホストに対してオフラインにしてください。	対処の必要はありません。
3005,2087	接続されているメインフレームホストからオンラインにされています。メインフレームホストに対してオフラインにしてください。	対処の必要はありません。
3205,2087	メインフレームホストから Vary Online にされています。接続されているメインフレームホストを Vary Offline にしてください。	対処の必要はありません。
*,2088	VLL 操作の事前チェックでエラーになっています。TrueCopy Mainframe がサスペンド中です。交替パスを追加してください。	交替パスを追加してください。
3005,2088	TrueCopy Mainframe がサスペンド中です。交替パスを追加してください。	対処の必要はありません。
3205,2088	リモートコピーペアがサスペンド中です。交替パスを追加してください。	対処の必要はありません。
*,2089	VLL 操作の事前チェックでエラーになっています。対象の CHA はリモートコピーの MCU と RCU 間の最後のパスを含んでいる可能性があります。先に MCU から交替パスがあることを確認してください。	先に MCU から交替パスがあることを確認してください。
3005,2089	対象の CHA はリモートコピーの MCU と RCU 間の最後のパスを含んでいるおそれがあります。先に MCU から交替パスがあることを確認してください。	対処の必要はありません。
3205,2089	対象の CHA はリモートコピーの MCU と RCU 間の最後のパスを含んでいるおそれがあります。先に MCU から交替パスがあることを確認してください。	対処の必要はありません。
3,2090	VLL 操作の事前チェックでエラーになっています。ShadowImage, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy の設定があります。ShadowImage, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy の設定を解除するか、I/O を停止させてから再実行してください。	ShadowImage, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy の設定を解除するか、I/O を停止させてから再実行してください。
105,2090	VLL 操作の事前チェックでエラーになっています。ShadowImage, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy の設定があります。ShadowImage, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy の設定を解除するか、I/O を停止させてから再実行してください。	ShadowImage, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy の設定を解除するか、I/O を停止させてから再実行してください。
605,2090	Cross-system Copy の設定があります。Cross-system Copy の設定を解除する	Cross-system Copy の設定を解除するか、I/O を停止させてから再実行してください。

エラーコード	説明	対処
	か、I/O を停止させてから再実行してください。	
3005,2090	ShadowImage, ShadowImage Mainframe, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy の設定があります。該当する設定を解除するか、I/O を停止してから再操作してください。	対処の必要はありません。
*,2091	VLL 操作の事前チェックでエラーになっています。ShadowImage - Mainframe/ FlashCopy Option のバックアップサーバが動作しています。バックアップサーバを停止させてから再実行してください。	バックアップサーバを停止させてから再実行してください。
3,2091	ShadowImage, ShadowImage z/ OS(R), または FlashCopy(R) Mirror のバックアップサーバが動作しています。バックアップサーバを停止してから再実行してください。	対処の必要はありません。
605,2091	ShadowImage, ShadowImage z/ OS(R), または FlashCopy(R) Mirror のバックアップサーバが動作しています。バックアップサーバを停止してから再実行してください。	対処の必要はありません。
3005,2091	ShadowImage, ShadowImage z/ OS(R), または FlashCopy(R) Mirror のバックアップサーバが動作しています。バックアップサーバを停止してから再実行してください。	対処の必要はありません。
3205,2091	ShadowImage, ShadowImage z/ OS(R), または FlashCopy(R) Mirror のバックアップサーバが動作しています。バックアップサーバを停止してから再実行してください。	対処の必要はありません。
3,2092	VLL 操作の事前チェックでエラーになっています。ShadowImage, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy のペアが含まれています。ShadowImage, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy のペアを分割してください。	ShadowImage, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy のペアを分割してください。
105,2092	VLL 操作の事前チェックでエラーになっています。ShadowImage, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy のペアが含まれています。ShadowImage, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy のペアを分割してください。	ShadowImage, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy のペアを分割してください。
605,2092	Cross-system Copy のペアが含まれています。Cross-system Copy のペアを分割してください。	Cross-system Copy のペアを分割してください。
3005,2092	ShadowImage, ShadowImage Mainframe, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy のペアが含まれ	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
	ています。該当するペアを分割してください。	
3,2093	VLL 操作の事前チェックでエラーになっています。ShadowImage, ShadowImage - Mainframe, FlashCopy Option, または Cross-system Copy のペアが含まれています。ShadowImage, ShadowImage - Mainframe, FlashCopy Option, または Cross-system Copy のペアを再同期してください。	ShadowImage, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy のペアを再同期してください。
105,2093	VLL 操作の事前チェックでエラーになっています。ShadowImage, ShadowImage - Mainframe, FlashCopy Option, または Cross-system Copy のペアが含まれています。ShadowImage, ShadowImage - Mainframe, FlashCopy Option, または Cross-system Copy のペアを再同期してください。	ShadowImage, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy のペアを再同期してください。
605,2093	Cross-system Copy のペアが含まれています。Cross-system Copy のペアを再同期してください。	Cross-system Copy のペアを再同期してください。
3005,2093	ShadowImage, ShadowImage Mainframe, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy のペアが含まれています。該当するペアを再同期してください。	対処の必要はありません。
3,2094	VLL 操作の事前チェックでエラーになっています。ShadowImage, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy のペアが含まれています。ShadowImage, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy のボリュームを Simplex に変更してください。	ShadowImage, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy のボリュームを Simplex に変更してください。
105,2094	VLL 操作の事前チェックでエラーになっています。ShadowImage, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy のペアが含まれています。ShadowImage, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy のボリュームを Simplex に変更してください。	ShadowImage, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy のボリュームを Simplex に変更してください。
605,2094	Cross-system Copy のペアが含まれています。Cross-system Copy のボリュームを Simplex に変更してください。	Cross-system Copy のボリュームを Simplex に変更してください。
3005,2094	ShadowImage, ShadowImage Mainframe, FlashCopy Mirror, または Cross-system Copy のペアが含まれています。該当するボリュームを Simplex に変更してください。	対処の必要はありません。
*,2095	VLL 操作の事前チェックでエラーになっています。保守処理 (LDEV フォーマット, コレクションコピー, ド	しばらくしてから再実行してください。

エラーコード	説明	対処
	ライブコピー, チャンネル状態変更, キャッシュ状態変更, または OEM ドライブマイクロ交換) 中のため処理できません。	
3,2095	メンテナンス処理 (LDEV フォーマット, コレクションコピー, ドライブコピー, チャンネル状態変更, キャッシュ状態変更, OEM ドライブマイクロプログラム交換, LDEV シュレディングまたは Extent シュレディング) が実行中なので処理できません。	対処の必要はありません。
105,2095	メンテナンス処理 (LDEV フォーマット, コレクションコピー, ドライブコピー, チャンネル状態変更, キャッシュ状態変更, OEM ドライブマイクロプログラム交換, LDEV シュレディングまたは Extent シュレディング) が実行中なので処理できません。	対処の必要はありません。
3005,2095	メンテナンス処理 (LDEV フォーマット, コレクションコピー, ドライブコピー, チャンネル状態変更, キャッシュ状態変更, OEM ドライブマイクロプログラム交換, LDEV シュレディングまたは Extent シュレディング) が実行中なので処理できません。	対処の必要はありません。
3205,2095	別の保守処理または障害処理を実行中です。	対処の必要はありません。
3,2096	VLL 操作の事前チェックでエラーになっています。指定された操作は、現在のマイクロコードバージョンではサポートされていません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,2097	WWN で指定されたホストは I/O 動作中です。	ホストからの I/O を停止してから再実行してください。
1005,2097	WWN で指定されたホストは I/O 動作中です。	ホストからの I/O を停止してから再実行してください。
3,2098	SVP と DKCMAIN のマイクロコードバージョンが合っていないため、操作を実行できません。	何回繰り返しても発生するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
1005,2098	SVP と DKCMAIN のマイクロコードバージョンが合っていないため、操作を実行できません。	何回繰り返しても発生するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,2099	動作できない MP があるため、操作を実行できません。	しばらく待ってから再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
1005,2099	動作できない MP があるため、操作を実行できません。	しばらく待ってから再実行してください。それでも同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,2100	ディスクサブシステムとの通信中にエラーが発生しました。構成が不一致になっているおそれがあるので、[全更新] ボタンをクリックして構成の再読み込みをしてください。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
1005,2100	ディスクサブシステムとの通信中にエラーが発生しました。構成が不一致になっているおそれがあるので、[全更新] ボタンをクリックして構成の再読み込みをしてください。	対処の必要はありません。
3,2106	保守員が Modify モードでアクセスしています。	しばらくしてからやりなおしてください。
*,2145	通信エラーが発生しました。	再実行して同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,2170	Extended Copy Manager が動作中ですが、I/O が停止していない可能性があります。ホストの I/O を停止してください。	ホストの I/O を停止してください。
1005,2170	Extended Copy Manager が動作中ですが、I/O が停止していない可能性があります。ホストの I/O を停止してください。	ホストの I/O を停止してください。
*,2200	保守対象ボリュームでコンカレントコピーまたは Extended Remote Copy を実行中です。ホストからコンカレントコピージョブを終了、または Extended Remote Copy ペアを削除してください。	保守対象ボリュームでコンカレントコピージョブまたは Extended Remote Copy を実行中の場合、コンカレントコピージョブを終了、または Extended Remote Copy ペアを削除してください。コンカレントコピージョブまたは Extended Remote Copy が実行中でないときは、保守対象のすべてのボリュームに LISTSESS , LISTDVCS コマンドを発行し、セッション ID# を確認後に TERMSESS コマンドでセッションを終了してください。
3005,2200	保守対象ボリュームでコンカレントコピーまたは XRC Replication を実行中です。ホストからコンカレントコピージョブを終了、または XRC Replication ペアを削除してください。	対処の必要はありません。
3205,2200	保守対象ボリュームでコンカレントコピーまたは XRC Replication を実行中です。ホストからコンカレントコピージョブを終了するか、 XRC Replication ペアを削除してください。	対処の必要はありません。
*,2201	Data Retention の設定があるため処理できません。	指定内容を訂正してから再実行してください。
3005,2201	Data Retention の設定があるため処理できません。	対処の必要はありません。
3005,2202	指定したボリュームは Volume Retention z/OS(R) のアクセス属性が設定されているので、処理できません。	対処の必要はありません。
3005,2203	Volume Security の設定があるため処理できません。	対処の必要はありません。
3,2204	保守対象のデバイスはジャーナルボリュームを含んでいます。保守対象となるジャーナルボリュームに属するすべてのペアを削除、またはサスペンドしてください。	対処の必要はありません。
3005,2204	保守対象のデバイスはジャーナルボリュームを含んでいます。保守対象と	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
	なるジャーナルボリュームに属するすべてのペアを削除,またはサスペンドしてください。	
3,2205	保守対象のデバイスはジャーナルボリュームを含んでいます。保守対象となるジャーナルボリュームに属するすべてのペアを削除してください。	対処の必要はありません。
105,2205	保守対象のデバイスはジャーナルボリュームを含んでいます。保守対象となるジャーナルボリュームに属するすべてのペアを削除してください。	対処の必要はありません。
605,2205	保守対象の外部ボリュームの中にジャーナルボリュームが含まれています。保守対象のジャーナルボリュームを使用しているすべてのペアと,保守対象のジャーナルボリュームを削除してください。	対処の必要はありません。
3005,2205	保守対象のデバイスはジャーナルボリュームを含んでいます。保守対象となるジャーナルボリュームに属するすべてのペアを削除してください。	対処の必要はありません。
3,2500	NAS システムポートまたは iSCSI ポートから Read/Write 属性でないボリュームへのパス設定はできません。	指定内容を訂正してから再実行してください。
1005,2500	NAS システムポートまたは iSCSI ポートから Read/Write 属性でないボリュームへのパス設定はできません。	指定内容を訂正してから再実行してください。
3,2501	ボリュームが Read/Write 属性でないため,コマンドデバイスの設定はできません。	指定内容を訂正してから再実行してください。
1005,2501	ボリュームが Read/Write 属性でないため,コマンドデバイスの設定はできません。	指定内容を訂正してから再実行してください。
3,2502	ボリュームが Read/Write 属性でないため,LU は連結または解除できません。	指定内容を訂正してから再実行してください。
1005,2502	ボリュームが Read/Write 属性でないため,LU は連結または解除できません。	指定内容を訂正してから再実行してください。
3,2503	ボリュームが Read/Write 属性でないため,LU は連結または解除できません。	指定内容を訂正してから再実行してください。
1005,2503	ボリュームが Read/Write 属性でないため,LU は連結または解除できません。	指定内容を訂正してから再実行してください。
3,2504	RAID Manager 用のリザーブボリュームがあるので,設定できません。	対処の必要はありません。
1005,2504	RAID Manager 用のリザーブボリュームがあるので,設定できません。	対処の必要はありません。
105,2511	指定された LDEV に対してシュレッディングまたは LDEV フォーマット操	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
	作が実施されていないため、Restore 操作は失敗しました。	
105,2512	指定された LDEV にアクセスできないため、Restore 操作は失敗しました。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
3,2515	リモートコピー、Universal Replicator、または Universal Replicator z/OS(R) のペアが定義されています。または、BC Manager で定義されたコマンドデバイスが含まれています。ペアの定義を解除するか、BC Manager で定義されたコマンドデバイスを削除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
105,2515	リモートコピー、Universal Replicator、または Universal Replicator z/OS(R) のペアが定義されています。または、BC Manager で定義されたコマンドデバイスが含まれています。ペアの定義を解除するか、BC Manager で定義されたコマンドデバイスを削除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
605,2515	リモートコピー、Universal Replicator、または Universal Replicator z/OS(R) のペアが定義されています。または、BC Manager で定義されたコマンドデバイスが含まれています。ペアの定義を解除するか、BC Manager で定義されたコマンドデバイスを削除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
3,2516	リモートコピー、Universal Replicator、または Universal Replicator z/OS(R) のペアが定義されています。ペアの定義を解除するか、ペアをサスペンドしてから再実行してください。	対処の必要はありません。
105,2516	リモートコピー、Universal Replicator、または Universal Replicator z/OS(R) のペアが定義されています。ペアの定義を解除するか、ペアをサスペンドしてから再実行してください。	対処の必要はありません。
605,2516	リモートコピー、Universal Replicator、または Universal Replicator z/OS(R) のペアが定義されています。ペアの定義を解除するか、ペアをサスペンドしてから再実行してください。	対処の必要はありません。
3,2517	ShadowImage、ShadowImage z/OS(R)、FlashCopy(R) Mirror、または Cross-system Copy のペアが定義されています。ペアの定義を解除してから再実行してください。高速スプリット中のときは、ペアをサスペンドしてからペアの定義を解除してください。	対処の必要はありません。
105,2517	ShadowImage、ShadowImage z/OS(R)、FlashCopy(R) Mirror、または Cross-system Copy のペアが定義され	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
	ています。ペアの定義を解除してから再実行してください。高速スプリット中のときは、ペアをサスペンドしてからペアの定義を解除してください。	
605,2517	ShadowImage, ShadowImage z/OS(R), FlashCopy(R) Mirror, Cross-system Copy, または COW Snapshot のペアが定義されています。ペアの定義を解除してから再実行してください。高速スプリット中のときは、ペアをサスペンドしてから解除してください。	対処の必要はありません。
3,2518	ShadowImage, ShadowImage z/OS(R), FlashCopy(R) Mirror, または Cross-system Copy のペアが定義されています。ペアの定義を解除してから再実行してください。リザーブボリュームが定義されているときは、リザーブボリュームの定義を解除してください。高速スプリット中のときは、ペアをサスペンドしてからペアの定義を解除してください。	対処の必要はありません。
105,2518	ShadowImage, ShadowImage z/OS(R), FlashCopy(R) Mirror, または Cross-system Copy のペアが定義されています。ペアの定義を解除してから再実行してください。リザーブボリュームが定義されているときは、リザーブボリュームの定義を解除してください。高速スプリット中のときは、ペアをサスペンドしてからペアの定義を解除してください。	対処の必要はありません。
605,2518	ShadowImage, ShadowImage z/OS(R), FlashCopy(R) Mirror, または Cross-system Copy のペアが定義されています。ペアの定義を解除してから再実行してください。リザーブボリュームが定義されているときは、リザーブボリュームの定義を解除してください。高速スプリット中のときは、ペアをサスペンドしてからペアの定義を解除してください。	対処の必要はありません。
3,2519	ShadowImage または ShadowImage z/OS(R) のリザーブボリュームが定義されています。リザーブボリュームの定義を解除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
105,2519	ShadowImage または ShadowImage z/OS(R) のリザーブボリュームが定義されています。リザーブボリュームの定義を解除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
605,2519	ShadowImage または ShadowImage z/OS(R) のリザーブボリュームが定義されています。リザーブボリュームの定義を解除してから再実行してください。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
3,2520	Volume Migration のペアが定義されています。ペアの定義を解除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
105,2520	Volume Migration のペアが定義されています。ペアの定義を解除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
605,2520	Volume Migration のペアが定義されています。ペアの定義を解除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
3,2521	Volume Migration のペアが定義されています。ペアの定義を解除してください。リザーブボリュームが定義されているときは、リザーブボリュームの定義を解除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
105,2521	Volume Migration のペアが定義されています。ペアの定義を解除してください。リザーブボリュームが定義されているときは、リザーブボリュームの定義を解除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
605,2521	Volume Migration のペアが定義されています。ペアの定義を解除してください。リザーブボリュームが定義されているときは、リザーブボリュームの定義を解除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
3,2522	Volume Migration のリザーブボリュームとして定義されています。リザーブボリュームの定義を解除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
105,2522	Volume Migration のリザーブボリュームとして定義されています。リザーブボリュームの定義を解除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
605,2522	Volume Migration のリザーブボリュームとして定義されています。リザーブボリュームの定義を解除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
1,3000	サブシステム側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	このエラーはモディファイモードが解除されたとき、ヘルスチェック関数ログで内部的に残りますが、この場合は問題ありません。ほかの場合は顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,3000	アプリケーション内で必要とする外部関数ポイントの取得に失敗しました。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	SVP をリポート後、再び同じ操作をしてください。現象が変わらなければ、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
1,3001	Set オペレーション数が最大値 (20,000) を超えました。	Set オペレーションの数を少なくしてから再実行してください。
3,3001	アプリケーション内で必要とする、レス情報取得のための外部関数ポイントの取得に失敗しました。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	SVP をリポート後、再び同じ操作をしてください。現象が変わらなければ、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

エラーコード	説明	対処
*,3002	アプリケーション間インタフェース不正を検出しました。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	SVP をリポート後、再び同じ操作をしてください。現象が変わらなければ、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
1,3002	サブシステム側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	セットされた文字数を減らしてください。
3205,3003	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
3,3004	構成情報の管理処理で失敗しています。	MIB 管理情報のディレクトリがありません。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,3005	構成情報の管理処理で失敗しています。	MIB 管理情報の書き出しに失敗しました。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,3006	アプリケーションが必要とするファイルへのアクセスエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,3007	アプリケーション内のインタフェース論理エラーを検出した。または、登録されていないエラーが発生しました。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
6,4000	サブシステム側のシステム構成が正しくありません。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
6,4002	認証ファイルにデータが一つも登録されていないためログオンできません。	認証データを登録する必要があります。保守員を呼んでください。
1,4003	ユーザ ID が不正なため、ログインできません。	正しいユーザ名を入力して、再度ログオンしてください。
1,4004	パスワードが不正です。	正しいパスワードを入力して、再度ログオンしてください。
1,4005	すでに同じユーザ名でログインされています。	しばらく待った後、再実行してください。
1,4011	RMI オブジェクトがない、または、強制ログオフされました。再度ログオンしてください。	再度ログオンしてください。再発するときは、RMI time-out period の値を増やしてください。
1,4012	接続数が最大 (32) を超えました。	しばらくしてから再ログオンしてください。
1,4013	サブシステム側のシステム構成が正しくありません。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	コンフィグファイルへのアクセスに失敗しました。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
1,4020	ネットワーク障害などの検出によって、排他ロックが強制解除されました。	ロックが解除されました。必要であれば再実行して再度ロックをしてください。
5305,5000	WWN の入力文字が正しくありません。0~9, A~F, -, スペースを指定してください。	指定内容を訂正してから再実行してください。
3205,5013	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
5305,5018	入力されたしきい値は正しくありません。正しい値を入力してください。	正しい値を入力してください。
2,5040	要求した数は処理できる最大数を超過しています。要求した数を減らしてから再実行してください。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
6505,5040	指定した数が多過ぎます。	指定した数を減らして再操作してください。
9505,5041	ポートグループに設定できる最大値としては、エクスターナルは 128、ホストグループは 256 です。	ポートグループに設定したイニシエータとホストグループの数をチェックしてください。
405,5047	インストールまたはアンインストール実行時にエラーが発生しました。	何回実行しても同じエラーが発生するときは保守員に連絡してください。
405,5070	プログラムプロダクトコードが一致していません。	プログラムプロダクトコードを見直して、再設定してください。
405,5071	Temporary キーの試用履歴が残っているためインストールできません。	正式なライセンスを購入してください。
405,5072	プログラムプロダクトのライセンス容量が正しくありません。	条件にあったライセンスを購入してください。
6007,5074	TrueCopy または TrueCopy Mainframe がインストールされていません。	TrueCopy または TrueCopy Mainframe をインストールしてください。
405,5075	キーコードは無効です。	キーコードが正しいかを確認してください。
405,5076	製造番号が正しくありません。正しい番号にしてください。	DKC 製番を確認してください。
405,5079	このプログラムプロダクトは他の DKC タイプを必要とします。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
405,5080	このプログラムプロダクトを変更することはできません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
405,5087	他のプログラムプロダクトでエラーが発生したため、このプログラムプロダクトは処理されません。	ALL Normal 以外を指定してください。
507,5099	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
5305,5101	指定された WWN は登録されていません。	指定内容を確認してから再実行してください。
*,5102	指定された PPC グループは登録されていません。	指定内容を確認してから再実行してください。
5305,5104	指定された PPC グループはすでに登録されています。	指定内容を確認してから再実行してください。
5305,5105	指定されたポートはモニタリング対象 WWN を実装していません。	指定内容を確認してから再実行してください。
5305,5106	対象の WWN は指定されたポートにモニタリング対象としてすでに登録されています。	指定内容を確認してから再実行してください。
5305,5107	設定されたニックネームはすでにあります。	指定内容を確認してから再実行してください。
5305,5108	設定されたニックネームはすでにあります。	指定内容を確認してから再実行してください。
5305,5109	指定されたポートはモニタリング対象の WWN の上限を超えています。	指定内容を確認してから再実行してください。
5305,5110	モニタリング対象として登録できる WWN の上限値を超えています。	指定内容を確認してから再実行してください。
5305,5111	PPC グループに登録できる WWN の上限値を超えています。	指定内容を確認してから再実行してください。

エラーコード	説明	対処
5305,5112	指定された WWN は、PPC グループに属しています。	指定内容を確認してから再実行してください。
5305,5113	指定された WWN は、PPC グループに属しています。	指定内容を確認してから再実行してください。
5305,5114	選択された WWN は異なる動作モードで設定されています。	指定内容を確認してから再実行してください。
5307,5128	登録できる PPC グループ数の上限を超えています。	指定内容を確認してから再実行してください。
2,5130	シーケンスエラーが発生しました。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	ネットワーク障害などの理由によってサブシステム側より接続を解除されています。再ログインしてください。このエラーはビューモードで Exit ボタンがクリックされたとき、アンロック関連ログで内部的に発生し残りますが、この場合は問題ありません。ほかの場合は顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
1,5132	すでに同名のユーザ ID がログインしています。	他のユーザ ID でログインしてください。または、前回の終了方法が正しくなかった可能性があります。RMI Time-out 時間 (デフォルト 1 分) 後、再度ログインしてください。
5,5200	この機能は利用できません。SNMP API が必要です。	プログラムプロダクトをインストールしてください。
5,5201	この機能は利用できません。Compatible PAV が必要です。	プログラムプロダクトをインストールしてください。解除するときは Emergency キーをインストール後、解除してください。
5,5202	この機能は利用できません。Performance Management Base Monitor が必要です。	プログラムプロダクトをインストールしてください。
5,5203	この機能は利用できません。Performance Management Volume Migration が必要です。	プログラムプロダクトをインストールしてください。
5,5204	この機能は利用できません。Performance Management Prioritized Port Control が必要です。	プログラムプロダクトをインストールしてください。
1,5400	サブシステムが動作中のためモニタリングデータを取得できません。	しばらくしてから再実行してください。または、別のユーザが Performance Monitor 画面を開いているか、エクスポートツールを実行している場合があります。このときは、どちらかのユーザが、画面を他のプログラムプロダクトに変更するか、ログオフするか、またはエクスポートツールの実行終了を待ってください。
405,5501	試行日は指定の延長日を超えました。	プログラムプロダクトのインストール状態を確認してください。
405,5502	認可容量は不十分です。プログラムプロダクトはインストールされません。	認可容量を増やしてください。
5205,5504	指定されたボリュームはデータマイグレーションによって使用されています。	データマイグレーションの設定を解除してください。
5205,5505	指定されたボリュームはリモートコピーによって使用されています。	リモートコピーのペアを解除してください。
5205,5506	移動元として指定されたボリュームは、リモートコピーの正ボリュームでサス	リモートコピーのペアを解除してください。

エラーコード	説明	対処
	ペンド状態以外のペアとして使用されています。	
5205,5507	指定された移動先ボリュームは、階層制御 (Volume Migration) の移動先ボリュームではありません。	再実行してください。実行結果が同じときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
1,5508	管理者がシステム環境ファイルを変更中です。しばらくしてからログオンしてください。	しばらくしてからログオンしてください。
1,5509	ロック権限がありません。ロックモードに切り替えて操作してください。	設定するときは、再度モディファイモードにしてください。
2,5510	サブシステムは内部処理中または他のユーザが構成変更中か保守作業中です。時間をおいてから再実行してください。	時間をおいて再度実行してください。
8005,5510	サブシステムは内部処理中または他のユーザが構成変更中か保守作業中です。時間をおいてから再実行してください。	時間をおいて再度実行してください。
*,5511	プログラムプロダクトがインストールされていません。プログラムプロダクトをインストールしてから再実行してください。	本機能に必要な P.P をインストールしてから再実行してください。
405,5524	このライセンスキーは、使用できる環境が整っていないため、インストールできません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
405,5525	Data Retention の S-Vol Disable 設定が残っています。	S-Vol Disable 設定を解除してください。
1,5550	ユーザー ID はすでに登録されています。設定内容を見直して再操作してください。	対処の必要はありません。
1,5551	ユーザー ID にヌル (NULL) またはスペース (空白) 文字が使用されています。設定内容を見直して再操作してください。	対処の必要はありません。
1,5552	ユーザー ID に使用されている文字または文字数が正しくありません。設定内容を見直して再操作してください。	対処の必要はありません。
1,5554	ストレージ装置の管理ユーザー (ビルトインアカウント) は追加および削除できません。設定内容を見直してから再操作してください。	対処の必要はありません。
9105,5600	セキュリティグループの設定が正しくありません。	セキュリティグループの設定を正しくしてから再実行してください。
9105,5601	ホストグループの設定が正しくありません。	ホストグループの設定を正しくしてから再実行してください。
9105,5602	文字列の長さが正しくありません。	入力した名称の文字数を正しくしてから再実行してください。
9105,5603	ホストタイプに DKC エミュレーションが指定されました。	他のホストを指定してから再実行してください。
9105,5604	指定されたベンダー情報は正しくありません。	指定したベンダー情報を正しくしてから再実行してください。
9105,5605	登録できるホスト数を超過しています。	必要ないホストを削除してから再実行してください。

エラーコード	説明	対処
9105,5606	対象の LDEV は実装されていません。	実装されていない LDEV を削除してから再実行してください。
9105,5607	LDEV グループの設定が正しくありません。	LDEV グループの設定を正しくしてから再実行してください。
9105,5608	プールグループは LU パスが定義されているボリューム、または実装されていないボリュームを含めません。	指定したボリュームの属性を確認してから再実行してください。
*,5624	指定されたボリュームは NAS システムのシステムボリュームとして使用されているため設定できません。	設定内容を訂正してから再実行してください。
*,5625	グループ内で定義できるペア数を超過しているため、ほかのペアを生成できません。	ペア数を減らしてから再実行してください。
*,5626	指定されたボリュームは Data Retention によって書き込み保護に設定されているため使用できません。	Data Retention の設定を変更してください。
7005,5655	指定したボリュームは LBA 数が異なるためペア設定できません。	LBA の一致する他のボリュームを選択してください。
9607,5804	パターンファイルのフォーマットが正しくありません。	対処の必要はありません。
9605,5809	LU 連結されたボリュームに対して、連結個数分の要求が設定されなかった。	論理デバイスを確認してから再実行してください。
9105,5819	指定されたポートはこの機能ではサポートされていません。	この機能でサポートされているポートを指定してください。
9105,5820	ホストグループにポート設定されたホストがある場合、ホストグループに含まれるホストは他のホストグループに登録できません。	指定したホストとポートを確認してください。
*,5821	この操作は拒否されました。指定されたボリュームは Data Retention の S-Vol 指定不可属性として設定されています。	S-VOL を指定できるように Data Retention の設定を変更してください。
3205,5827	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
3205,5828	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
3005,5872	拡張 LU の先頭ボリュームが指定されていません。	対処の必要はありません。
3005,5874	シュレディング機能を利用するのに必要なプログラムプロダクトがインストールされていません。	対処の必要はありません。
3005,5875	指定されたボリュームがフォーマット中またはシュレディング中です。	対処の必要はありません。
4,6001	タイムアウトが発生しました。SVP を再起動します。再起動後、再実行してください。	SVP が自動的に再起動します。起動後に再実行して、同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
507,6012	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
1205,6012	サブシステム側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	設定に必要なメモリを確保できません。再実行して同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
3205,6012	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
1,6022	ファイルオープンエラーが発生しました。	対処の必要はありません。
405,6022	SVP が処理中です。しばらくしてから再実行してください。	繰り返し同じ操作をして、同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
3205,6022	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
5205,6022	ファイルアクセスに失敗しました。しばらくしてから再実行してください。	何回繰り返しても発生するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
5305,6022	ファイルオープンエラーが発生しました。	再実行して同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
6007,6022	SVP が処理中です。しばらくしてから再実行してください。	繰り返し同じ操作をして、同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
6505,6022	ファイルオープンエラーが発生しました。	対処の必要はありません。
3205,6023	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
5305,6023	ファイルアクセスエラーが発生しました。	再実行して同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
6005,6023	SVP が処理中です。しばらくしてから再実行してください。	繰り返し同じ操作をして、同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
6007,6023	SVP が処理中です。しばらくしてから再実行してください。	繰り返し同じ操作をして、同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
6805,6023	SVP が処理中です。しばらくしてから再操作してください。	対処の必要はありません。
7005,6023	SVP が処理中です。しばらくしてから再実行してください。	繰り返し同じ操作をして、同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
9105,6023	ファイル操作に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
6007,6024	エラーが発生しました。この問題を解決できないときは、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	再実行して同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
4,6037	DKC の状態が正しくありません。顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
9605,6038	設定パラメータが正しくありません。	再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
3005,6050	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
7,6091	ファイルの圧縮中にエラーが発生しました。	対処の必要はありません。
7,6092	ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
7,6093	Download 対象のファイルがありません。	対処の必要はありません。
*,6501	モニタリングデータがありません。	対処の必要はありません。
*,6502	現在処理中です。しばらくしてから再実行してください。	しばらくしてから再実行してください。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
2,6502	現在処理中です。しばらくしてから再実行してください。	しばらくして再ログオンして、同じ操作を数回繰り返し、同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
505,6502	タイムアウトエラーが発生しました。しばらくしてから再実行してください。処理を実行できないなら、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	時間をおいてから再実行してください。
9005,6502	キーコードは無効です。	時間をおいてから再実行してください。
*,6503	対象ボリュームは SMPL へ移行中です。	しばらくしてから再実行してください。
505,6506	通信ビジーです。あとで再実行してください。	コントローラの状態を確認してから再実行してください。
505,6507	プログラムプロダクトの最大許容量が不十分となりました。	Just in Time 機能を使用することで、プログラムプロダクトの許容量が足りなくなるものがあります。許容量の足りないプログラムプロダクトをインストールした後、実行してください。
*,6510	制御装置は動作中です。しばらくしてから再実行してください。	しばらくしてから再実行してください。
4105,6510	ディスクサブシステムは動作中です。しばらくしてから再実行してください。	しばらくしてから再実行してください。
5205,6511	ペア状態を確認してください。	ペア状態を確認してください。
5205,6512	ペア状態を確認してください。	ペア状態を確認してください。
*,6513	プロセス実行中に他の設定要求が発行されました。	しばらくしてから再実行してください。
1205,6515	指定されたホストは I/O 動作中です。	ホストの I/O 動作を停止してください。
9505,6515	Extended Copy Manager が動作中ですが、ホストの I/O が停止していない可能性があります。ホストの I/O を停止してください。	ホストの I/O を停止してください。
405,6517	Serverless Backup が動作中ですが、ホストの I/O が停止していないおそれがあります。ホストの I/O を停止してください。	ホストの I/O を停止してください。
*,6531	SVP が処理中です。しばらく時間を置いてから再度実行してください。	繰り返し同じ操作をして、同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,6532	サブシステムは現在、最新のデータを取得中です。しばらくしてから再実行してください。	しばらくしてから再実行してください。繰り返し操作しても同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
105,6533	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
3205,6533	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
105,6534	サブシステムに登録できる外部ボリューム数が最大値に達しました。	対処の必要はありません。
605,6534	サブシステムに登録できる外部ボリューム数が最大値に達しました。	対処の必要はありません。
105,6535	対象のボリュームに論理パスが残っているので変更できません。	対処の必要はありません。
605,6535	対象のボリュームに論理パスが残っているので変更できません。	対処の必要はありません。
3205,6535	対象のボリュームに論理パスが残っているので変更できません。	対処の必要はありません。
105,6536	対象のボリュームが LUSE 構成になっているので変更できません。	対処の必要はありません。
605,6536	対象のボリュームが LUSE 構成になっているので変更できません。	対処の必要はありません。
3205,6536	対象のボリュームが LUSE 構成になっているので変更できません。	対処の必要はありません。
1,6540	ユーザーの登録数が最大値に達したので、これ以上登録できません。ユーザーの登録数を減らして再操作してください。	対処の必要はありません。
1,7003	監査ログの管理ファイルの内容が正しくありません。	対処の必要はありません。
3005,7060	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
507,7070	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
405,7101	サブシステム側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	条件に合ったライセンスを購入してください。
9607,7118	パラメータエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
9607,7119	パラメータエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
9607,7120	パラメータエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
405,7202	サブシステム側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	容量に見合ったライセンスを購入してください。
505,7202	閉塞しているボリュームがあるか、保守が必要な状態（閉塞、共用メモリ不一致など）のモジュールがあります。ボリュームの状態を確認してください。閉塞しているボリュームがないときは、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
405,7203	サブシステム側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	条件に合ったライセンスを購入してください。
405,7205	サブシステム側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	インストール対象のプログラムプロダクト名称を確認してください。
*,7310	登録されていないエラーコードです。	再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
1205,7310	登録されていないエラーコードです。	対処の必要はありません。
3005,7310	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
9105,7310	登録されていません。	設定した内容を確認してから再実行してください。
5205,7400	所定のディレクトリにファイルがない可能性があります。	何度か同じ操作を実施してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7401	所定のディレクトリにファイルがない可能性があります。	何度か同じ操作を実施してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7402	所定のディレクトリにファイルがない可能性があります。	何度か同じ操作を実施してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7403	所定のディレクトリにファイルがない可能性があります。	何度か同じ操作を実施してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7404	所定のディレクトリにファイルがない可能性があります。	何度か同じ操作を実施してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7405	所定のディレクトリにファイルがない可能性があります。	何度か同じ操作を実施してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7406	所定のディレクトリにファイルがない可能性があります。	何度か同じ操作を実施してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7407	この機能のための正しいマイグレーションプランを作成できません。	何度か同じ操作を実行してください、同じエラーが発生するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7408	プラン作成に十分な Volume Migration データがありません。	何度か同じ操作を実施してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7409	プランファイルの書き込みに失敗しました。	何度か同じ操作を実施してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7410	プランファイルの書き込みに失敗しました。	何度か同じ操作を実施してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7411	プランファイルの書き込みに失敗しました。	何度か同じ操作を実施してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

エラーコード	説明	対処
5205,7412	ファイルの内容が正しくありません。	何度か同じ操作を実施してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7413	ファイルの内容が正しくありません。	何度か同じ操作を実施してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7414	ファイルの内容が正しくありません。	何度か同じ操作を実施してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7415	ファイルの内容が正しくありません。	何度か同じ操作を実施してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7416	ファイルの内容が正しくありません。	何度か同じ操作を実施してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7417	ファイルの内容が正しくありません。	何度か同じ操作を実施してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7418	構成情報の内容が正しくありません。	何度か同じ操作を実施してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7419	Reserve ボリュームの内容が正しくありません。	何度か同じ操作を実施してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7420	プラン作成に十分な Volume Migration データがありません。	何度か同じ操作を実施してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7421	妥当なプラン作成ができません。次の内容を確認してください。 1. Reserve ボリュームの配置 2. ディスク利用率の上限値	何度か同じ操作を実施してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7422	メモリ確保に失敗しました。	何度か同じ操作を実施してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7423	内部エラーが発生しました。	何度か同じ操作を実施してください。同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7424	すべてのプランの削除に失敗しました。	何度か同じ操作を実行してください、同じエラーが発生するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
5205,7426	プランの削除に失敗しました。	何度か同じ操作を実行してください、同じエラーが発生するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
9505,7430	指定されたポートは Extended Copy Manager で設定できません。	Extended Copy Manager がサポートされているポートを指定してください。
9505,7431	高速 PCB に対して必要なエクスターナルポートの指定がされていません。 高速 PCB に対してエクスターナルポートを指定する時は、同時に設定してください。	高速 PCB に対してエクスターナルポートを設定するときは、高速 PCB と同時に設定してください。
9505,7432	高速 PCB に設定されていますが、エクスターナルポートの設定で、それぞれの	高速 PCB のすべてのエクスターナルポートに同じパラメーターを設定してください。

エラーコード	説明	対処
	ポートのパラメータが一致していません。	
4105,7441	キャッシュ容量を超える値が指定されました。	指定値を訂正してから再実行してください。
*,8000	タイムアウトエラーが発生しました。	DKC の状態を確認して異常がなければ、しばらくして同じ操作を繰り返してください。現象が変わらない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
2,8000	DKC との通信中にエラーが発生しました。しばらくしてから再実行してください。	対処の必要はありません。
605,8000	DKC との通信中にエラーが発生しました。しばらくしてから再実行してください。	同じ操作を繰り返し、同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3205,8000	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
*,8001	DKC との通信中にタイムアウトエラーが発生しました。	DKC の状態を確認して異常がなければ、しばらくして同じ操作を繰り返してください。現象が変わらない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
2,8001	通信タイムアウトエラーが発生しました。	対処の必要はありません。
505,8001	DKC の状態が正しくありません。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	何度か同じ操作を実施してください。同じエラーが発生する場合は顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3005,8001	ディスクサブシステムで通信タイムアウトエラーが発生しました。しばらくしてから再実行してください。	対処の必要はありません。
3205,8001	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
5205,8001	DKC との通信中にエラーが発生しました。しばらくしてから再実行してください。	何度か同じ操作を実施してください。同じエラーが発生する場合は顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
6805,8001	DKC 側で通信タイムアウトエラーが発生しました。しばらくしてから再実行してください。	対処の必要はありません。
9005,8001	DKC との通信中にエラーが発生しました。しばらくしてから再実行してください。	同じ操作を繰り返し、同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
9505,8001	DKC との通信中にエラーが発生しました。しばらくしてから再実行してください。	同じ操作を繰り返し、同じ結果のときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
9605,8001	DKC との通信中にエラーが発生しました。しばらくしてから再実行してください。	しばらくしてから再実行してください。
*,8002	DKC 側で通信タイムアウトエラーが発生しました。しばらくしてから再実行してください。	しばらくしてから再実行してください。

エラーコード	説明	対処
1205,8002	DKC 側で通信タイムアウトエラーが発生しました。しばらくしてから再実行してください。	繰り返し発生するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3205,8002	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
4105,8002	通信がビジー状態です。しばらくしてから再実行してください。	しばらくしてから再実行してください。
5305,8002	DKC の状態が正しくありません。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	何度か同じ操作を実施してください。同じエラーが発生する場合は顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
6805,8002	通信がビジー状態です。しばらくしてから再実行してください。	対処の必要はありません。
9105,8002	通信がビジー状態です。しばらくしてから再実行してください。	しばらくしてから再実行してください。
405,8003	DKC の状態が正しくありません。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
4,8010	DKC の状態が正しくありません。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	何度か同じ操作を実施してください。同じエラーが発生する場合は顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
*,8100	タイムアウトエラーが発生しました。	DKC の状態を確認して異常がなければ、しばらくして同じ操作を繰り返してください。現象が変わらない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
2,8100	ディスクサブシステムとの通信中にエラーが発生しました。しばらくしてから再実行してください。	対処の必要はありません。
505,8100	ディスクサブシステムとの通信中にエラーが発生しました。	しばらくしてから再操作してください。
3005,8100	ディスクサブシステムとの通信中にエラーが発生しました。しばらくしてから再実行してください。	対処の必要はありません。
5205,8100	この機能はサポートされていません。	何回試しても発生するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
9005,8100	サブシステムに接続中にエラーが発生しました。しばらくしてから再実行してください。	SSB LOG を確認してください。確認後、顧客問い合わせ窓口に、出力されているエラーコードと、メッセージを連絡してください。
*,8102	この機能はサポートされていません。	繰り返し発生するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
605,8102	この機能はサポートされていません。	対処の必要はありません。
3005,8102	この機能はサポートされていません。	対処の必要はありません。
4105,8102	SVP と DKC のバージョンが一致しません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
9105,8102	SVP と DKC のバージョンが一致しません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
9005,8103	DKC の状態が正しくありません。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	DKC-MAIN のマイクロコードのバージョンを確認し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
6005,8104	ペア状態の変更操作がまだ完了していません。MCU/RCU の装置構成とその	MCU または RCU の装置構成と接続回線の状態が動作条件を満たしていないことが考えられます。MCU または RCU の装置構成と接続回線の

エラーコード	説明	対処
	接続回線の状態を確認し、リモートコピーペアの状態が変更されることを確認してください。	状態を確認し、リモートコピーペアの状態が変更されることを確認してください。
6805,8110	構成変更に失敗しました。	対処の必要はありません。
9105,8110	構成変更に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
9605,8120	指定された論理デバイスは実装されていません。	オープンボリュームを指定してください。
9605,8122	論理デバイスは動作中です。	しばらくしてから再実行してください。
9605,8123	この機能はサポートされていません。	DKCMAIN と SVP のマイクロコードバージョン番号が一致していない可能性があります。それぞれのバージョン番号を確認してください。
9605,8124	論理デバイスはメインフレームボリュームです。	オープンボリュームを指定してください。
9605,8125	RAID Manager から論理ボリュームの属性が変更されています。	LDEV 情報を確認してから再実行してください。
9605,8126	論理デバイスはコマンドデバイスとして設定されています。	論理デバイスを確認し、再実行してください。
9605,8127	論理デバイスは NAS システムのシステムボリュームです。	論理デバイスを確認し、再実行してください。
9605,8128	パラメータエラーが発生しました。	再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
9605,8129	論理デバイスは Just in Time ボリュームです。	論理デバイスを確認し、再実行してください。
9605,8130	論理デバイスは Cross-system Copy 用のボリュームです。	論理デバイスを確認し、再実行してください。
9605,8131	論理デバイスは NAS システムのユーザーボリュームです。	論理デバイスを確認し、再実行してください。
9605,8132	登録されていないエラーコードです。	再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
9605,8133	論理デバイスは iSCSI ボリュームです。	論理デバイスを確認してから再実行してください。
9605,8134	論理デバイスの属性を Read/Write に変更できません。変更したいときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	論理デバイスの属性を Read/Write に変更できません。変更したいときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
9605,8135	論理デバイスは TrueCopy または ShadowImage の副ボリュームです。	論理デバイスを確認し、再実行してください。
9605,8136	課金容量を超えたためコマンドは拒否されました。	現在のライセンス容量では足りません。ライセンス容量を増やすには新たにライセンスキーを購入してください。
605,8140	この論理ボリュームは、FlashCopy(R) Mirror Version 2 のボリュームとして使用されているので、選択できません。	対処の必要はありません。
9605,8141	この論理ボリュームは、Volume Migration 用のリザーブボリュームとして使用されているため、選択できません。	対処の必要はありません。
9205,8142	この論理ボリュームは、Universal Replicator Mainframe のボリュームとして使用されているため、選択できません。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
9605,8142	この論理ボリュームは、Universal Replicator のボリュームとして使用されているため、選択できません。	対処の必要はありません。
405,8202	このプログラムプロダクトには上位バージョンのマイクロプログラムが必要です。顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
405,8203	このプログラムプロダクトには上位バージョンのハードウェアが必要です。顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
405,8204	このプログラムプロダクトには、別の構成が必要です。顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
405,8205	DKC の状態が正しくありません。顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
405,8206	このプログラムプロダクトは使用中で、アンインストールできません。	このプログラムプロダクトの機能の使用をやめてください。
405,8301	DKC の状態が正しくありません。顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	何度か同じ操作を実施してください。同じエラーが発生する場合は顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
505,8310	DKC の状態が正しくありません。顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	何度か同じ操作を実施してください。同じエラーが発生する場合は顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
6805,8310	DKC の状態が正しくありません。顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
*,8401	DKC の状態が正しくありません。顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	何度か同じ操作を実施してください。同じエラーが発生する場合は顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
505,8401	ディスクサブシステムは保守が必要な状態（閉塞、共用メモリ不一致など）にあります。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
*,8500	プログラムプロダクトがインストールされていません。	プログラムプロダクトを再インストールしてください。
*,8501	状態遷移中のためコマンドが拒否されました。	しばらくしてから再実行してください。
*,8502	同じ筐体内にリモートコピーペアがあるため Reserve ボリュームに設定できません。	リモートコピーのペアを削除してください。
*,8503	同じ筐体内にリモートコピーペアがあるため新規ペア形成ができません。	リモートコピーのペアを削除してください。
*,8504	コマンドが拒否されました。	次の状態のためコマンドが実行できません。 1. 指定されたペアまたはボリュームに対して、要求されたコマンドは実行できません。 2. Normal ボリュームと CV のペアは、QuickRestore を実行できません。ペアまたはボリュームの状態がコマンドに対して適切かどうか確認してください。
*,8505	要求されたコマンドが正しくありません。	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。

エラーコード	説明	対処
605,8505	要求されたコマンドが正しくありません。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。
*,8506	コマンドが拒否されました。指定された S-VOL はホストで使用中、または TrueCopy ボリュームです。	指定した S-VOL を他のボリュームに変更するか、ホストまたはリモートコピーでの使用を中止し、再実行してください。
*,8507	PSUS 状態のペアに Pairsplit を指示しています。	ペアはすでに PSUS 状態であるため、Pairsplit 操作はできません。
605,8507	PSUS 状態のペアに Pairsplit を指示しています。	対処の必要はありません。
*,8508	PSUS 状態のペアに Paircreate を指示しています。	PSUS 状態のペアに対して、Paircreate 操作はできません。
*,8509	Quiesce 指定の Split 指示が副起動デバイスに発行されました。	内容を確認してから再実行してください。
*,8511	パスグループが設定されているため、Reserve ボリュームの設定ができません。	S-VOL をホストから切断するか、リモートコピーパスを削除してください。
*,8512	パスグループが設定されているため、Resync または Suspend 設定ができません。	S-VOL をホストから切断するか、リモートコピーパスを削除してください。
*,8513	コマンドが拒否されました。指定された P-VOL はホストまたはリモートコピーによって使用されています。	指定した P-VOL を他のボリュームに変更するか、ホスト/リモートコピーでの使用を中止し、再実行してください。
*,8514	割り当てできる Reserve ボリュームがありません。	Reserve ボリュームを削除してください。
*,8515	Reserve ボリュームのシリンダ数が上限値を超えました。	内容を確認してから再実行してください。
*,8516	P-VOL のシリンダ数が上限値を超えました。	内容を確認してから再実行してください。
605,8517	S-VOL のシリンダ数が上限値を超えました。	内容を確認してから再実行してください。
7005,8517	S-VOL のシリンダ数が上限値を超えました。	内容を確認してから再実行してください。
*,8518	トラックフォーマットが異なるためペア生成できません。	エミュレーションタイプを確認してください。
*,8519	シリンダ数が異なるためペア設定できません。	ボリューム容量を確認してください。
*,8520	ボリューム種別が異なるため設定できません。	エミュレーションタイプが同じものを指定してから再実行してください。
*,8521	コピージョブ多重度をオーバーしました。	内容を確認してから再実行してください。
*,8522	P-VOL のエミュレーションタイプはサポートされていません。	ShadowImage でサポートされているエミュレーションタイプを指定してください。
*,8523	S-VOL のエミュレーションタイプはサポートされていません。	ShadowImage でサポートされているエミュレーションタイプを指定してください。
*,8524	エミュレーションタイプがサポートされていません。	ShadowImage でサポートされているエミュレーションタイプを指定してください。
*,8525	内部論理エラーです。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。

エラーコード	説明	対処
*,8526	内部論理エラーです。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。
*,8527	内部論理エラーです。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。
*,8528	内部論理エラーです。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。
*,8529	内部論理エラーです。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。
*,8530	内部論理エラーです。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。
*,8531	内部論理エラーです。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。
*,8532	P-VOL と S-VOL はホストまたはリモートコピーによって使用されています。	操作対象のボリュームを確認してください。またはリモートコピーでの使用を止めてください。
605,8532	P-VOL と S-VOL はホストまたはリモートコピーによって使用されています。	対処の必要はありません。
*,8533	指定された Reserve ボリュームのエミュレーションタイプはサポートされていません。	サポートされているエミュレーションタイプのボリュームを指定してください。
605,8534	内部論理矛盾が発生しました。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。
3205,8534	内部論理エラーが発生しました。	対処の必要はありません。
*,8535	プロセッサ障害を検出しました。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。
*,8536	キャッシュ障害を検出しました。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。
*,8537	キャッシュ容量が一致していません。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。
*,8538	SM (共有メモリ) 障害を検出しました。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。
*,8539	SM (共有メモリ) 容量が 4,096 ペアに対応していません。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。
*,8540	SM (共有メモリ) は 4,096 ペアに対応していますが、初期設定されていません。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。
*,8542	SM (共有メモリ) の初期設定が失敗しました。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。
*,8543	共有メモリ容量が一致していません。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。
*,8544	16MB の共有メモリがあります。	設定内容を見直してから再実行してください。
*,8545	電源障害を検出しました。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。
*,8546	コマンドが拒否されました。PS OFF 中です。	電源が ON 状態で再実行してください。
*,8547	データ転送障害を検出しました (CHA)。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。

エラーコード	説明	対処
*,8548	データ転送障害を検出しました (DKA)。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせしてください。
*,8549	P-VOL は実装されていません。	実装されていないボリュームへの操作はできません。
*,8550	P-VOL は使用できません。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。
*,8551	P-VOL はフォーマット中です。	フォーマットが終了するまで待ってから、操作を再実行してください。
*,8552	P-VOL はコマンドデバイスです。	操作対象のボリュームを確認してください。
*,8553	S-VOL は実装されていません。	実装されていないボリュームへの操作はできません。
*,8554	S-VOL は使用できません。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせしてください。
*,8555	S-VOL はフォーマット中です。	フォーマットが終了するまで待ち、操作を再実行してください。
*,8556	S-VOL はコマンドデバイスです。	操作対象のボリュームを確認してください。
*,8557	対象ボリュームは実装されていません。	実装されていないボリュームへの操作はできません。
*,8558	対象ボリュームは使用できません。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせしてください。
*,8559	対象ボリュームはフォーマット中です。	フォーマットが終了するまで待ち、操作を再実行してください。
*,8560	対象ボリュームはコマンドデバイスです。	操作対象のボリュームを確認してください。
*,8561	コマンドコード正しくありません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8562	コマンドコードの発信元が正しくありません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8563	Volume 種別が正しくありません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8564	Volume 種別が正しくありません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8565	コマンドコードの発信元が正しくありません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8566	Reserve ボリューム属性が正しくありません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8567	有効リスト数が正しくありません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8568	エミュレーションタイプが正しくありません。	サポートされているエミュレーションタイプのボリュームを指定してください。
*,8569	多重度をオーバーしました。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせしてください。
*,8570	選択した Volume はありません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8571	Volume はすでに Reserve 属性として定義されています。	一致する条件を確認してください。
*,8572	Volume はすでに P-VOL として定義されています。	一致する条件を確認してください。
*,8573	Volume は階層制御機能の移動元ボリュームとして定義されています。	一致する条件を確認してください。
*,8574	Volume は階層制御機能の移動先ボリュームとして定義されています。	一致する条件を確認してください。

エラーコード	説明	対処
*,8575	選択したボリュームは Reserve ボリュームではありません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8576	設定できる Reserve ボリュームがありません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8577	Reserve ボリュームとして定義できる最大数を超過しています。	Reserve ボリューム設定操作をやめるか、Reserve ボリュームを削除してください。
*,8578	この P-VOL はすでに Backup 属性の Volume とペアを組んでいるため、対象ボリュームとペアを組めません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8579	Reserve ボリュームが定義されていません。	リザーブを定義してから再実行してください。
*,8580	指定された Volume はバックアップサーバ専用です。	そのボリュームは使用できません。他のボリュームを指定してから再実行してください。
*,8581	指定された Volume はバックアップサーバ専用ではありません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8582	対象ボリュームはエミュレーションタイプの変更中です。	しばらく時間をおいてから再実行してください。
*,8583	指定ボリュームの RAID レベルはサポートされていません。	サポートされている RAID レベルのボリュームを指定してください。
*,8584	Reserve ボリュームが定義されていません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8585	Reserve ボリュームの最大数を超過しています。	Reserve ボリューム設定操作をやめるか、Reserve ボリュームを削除してください。
*,8586	同じ Subsystem に設定できるグループ数が正しくありません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8587	同じグループに設定できるペア数が正しくありません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8588	指定されたグループ番号は設定されていません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8589	指定されたグループ名称は正しくありません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8590	グループ名称と番号が一致しません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8591	指定されたペアは他のグループに設定済みです。	内容を確認してから再実行してください。
*,8592	課金容量を超えたためコマンドが拒否されました。	インストールされているライセンスキーの容量を確認してください。
*,8593	P-VOL は階層制御機能の移動元ボリュームです。	一致する条件を確認してください。
*,8594	P-VOL は階層制御機能の移動先ボリュームです。	一致する条件を確認してください。
*,8595	指定 P-VOL はありません。	リフレッシュを実行してから再実行してください。
*,8596	指定ボリュームは Reserve ボリュームです。	内容を確認してから再実行してください。
*,8597	指定 P-VOL は最大数 Pair が組まれています。	その P-VOL にはペアはそれ以上組めません。すでにあるペアを削除してください。
*,8598	指定ボリュームは P-VOL ではありません。	内容を確認してから再実行してください。

エラーコード	説明	対処
*,8599	指定ボリュームはすでに P-VOL です。	他の P-VOL を指定してから再実行してください。または指定ボリュームのペアを削除してから再実行してください。
*,8600	指定ボリュームの RAID レベルはサポートされていません。	RAID レベルを確認し、サポートされている RAID レベルのボリュームを指定し、再実行してください。
*,8601	対象 P-VOL はバックアップサーバボリュームをペアにできません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8602	対象ボリュームはすでに Reserve 属性として設定されています。	他のボリュームを指定してから再実行してください。または指定ボリュームの Reserve 属性を解除してから再実行してください。
*,8603	対象ボリュームは HODM の正ボリュームとして設定されています。	Data Migration ペアを削除してください。
7005,8603	対象ボリュームは Data Migration の副ボリュームとして設定されています。	Data Migration ペアを削除してください。
*,8604	対象ボリュームは HODM の副ボリュームとして設定されています。	Data Migration ペアを削除してください。
*,8605	SMPL 状態のデバイスに Resync 指示を出しています。	ペア状態を確認してください。
*,8606	リモートコピー協調パターンを形成している S-VOL で新しいペアが作成されました。	ペアを作成するボリューム番号を直すか、リモートコピーペアを削除してください。
605,8606	リモートコピー協調パターンを形成している S-VOL で新しいペアが作成されました。	対処の必要はありません。
*,8608	指定 S-VOL はありません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8609	指定ボリュームは Reserve ボリュームとして設定されていません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8610	S-VOL は階層制御機能の移動元ボリュームです。	一致する条件を確認してください。
605,8610	S-VOL は Volume Migration の移動先ボリュームです。	対処の必要はありません。
*,8611	指定ボリュームは S-VOL です。	内容を確認してから再実行してください。
*,8612	指定ボリュームは S-VOL ではありません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8613	指定 S-VOL の RAID レベルはサポートされていません。	サポートされている RAID レベルのボリューム番号を指定してください。
*,8614	対象 S-VOL はリモートコピーの P-VOL として使用されています。	リモートコピーペアを削除してください。
*,8615	対象 S-VOL はリモートコピーの S-VOL として使用されています。	リモートコピーペアを削除してください。
*,8616	対象 S-VOL は HODM の正ボリュームとして使用されています。	Data Migration ペアを削除してください。
*,8617	対象 S-VOL は HODM の副ボリュームとして使用されています。	Data Migration ペアを削除してください。
*,8618	対象 S-VOL は P-VOL として定義されています。	ボリューム番号を確認してください。
*,8619	対象 S-VOL は階層制御機能の移動先ボリュームとして定義されています。	一致する条件を確認してください。

エラーコード	説明	対処
*,8620	Reserve 指定された Volume は HODM の正ボリュームとして定義されています。	Data Migration ペアを削除してください。
*,8621	Reserve 指定された Volume は HODM の副ボリュームとして定義されています。	Data Migration ペアを削除してください。
*,8622	Reserve 指定された Volume はリモートコピーの M-VOL として定義されています。	リモートコピーペアを削除してください。
*,8623	Reserve 指定されたボリュームはリモートコピーの R-VOL として定義されています。	リモートコピーペアを削除してください。
*,8624	選択ボリュームはペアではありません。	指定したボリューム番号を確認してください。
*,8625	P-VOL (S-VOL) と S-VOL (T-VOL) が同じ番号です。	指定したボリューム番号を確認してください。
*,8626	高速 Split 中のため SMPL 指示が拒否されました。	高速 Split 処理が終了してから再実行してください。
*,8627	高速 Split 中のため ReverseResync 指示が拒否されました。	高速 Split 処理が終了してから再実行してください。
*,8628	L2 Pair が SP-Pend 状態のため L1 ペアの Resync 指示ができません。	L2 ペアを PSUS にしてから L1 ペアの Resync 指示を実行してください。
*,8629	状態モード指定が正しくありません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8630	状態モード種別が正しくありません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8631	指定した CU 番号が正しくありません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8632	コマンド発行契機が正しくありません。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。
*,8633	異状態が正しくありません。	再度同じ操作を実施し、それでも同じ結果の場合は顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください。
*,8634	Reserve として指定されたボリュームは階層制御機能の Reserve として定義されています。	Reserve ボリュームを指定するためにボリューム番号を変更してください。
*,8635	指定された P-VOL は階層制御機能の Reserve として定義されています。	Reserve ボリュームを指定するためにボリューム番号を変更してください。
*,8636	指定された S-VOL は階層制御機能の Reserve として定義されています。	Reserve ボリュームを指定するためにボリューム番号を変更してください。
*,8637	指定された P-VOL は階層制御機能の移動先ボリュームとして使用されています。	Reserve ボリュームを指定するためにボリューム番号を変更してください。
*,8638	対象 P-VOL は Cache Residency の設定があるためコマンドが拒否されました。	指定した操作は実行できません。実行するためには Cache Residency 設定を解除してください。
*,8639	対象 S-VOL は Cache Residency 設定があるためコマンドが拒否されました。	指定した操作は実行できません。実行するためには Cache Residency 設定を解除してください。
*,8640	P-VOL を共用するペアに Reverse Copy 状態のペアがあるためコマンドが拒否されました。	指定した操作は実行できません。実行するためには Reserve Copy を削除してください。
*,8641	L1 ペアに Reverse Copy 状態のペアがあります。	指定した操作は実行できません。実行するためには Reserve Copy を削除してください。

エラーコード	説明	対処
*,8642	L2 ペアに Reverse Copy 状態のペアがあります。	指定した操作は実行できません。実行するためには Reserve Copy を削除してください。
*,8643	Split 状態でないペアに Reverse Copy 要求を出しているため要求が拒否されました。	指定した操作は実行できません。実行するためには Reserve Copy を削除してください。
*,8644	ペアが Split または Suspend 状態ではないため要求が拒否されました。	ペア状態を確認してください。
*,8645	P-VOL をリモートコピーペアの副ボリュームが共用しているため Reverse Copy 要求が拒否されました。	指定した操作は実行できません。実行するためにはリモートコピーペアを削除してください。
*,8646	P-VOL を Suspend 状態でないリモートコピーペアが共有しているため Reverse Copy 要求が拒否されました。	リモートコピーペアを削除してください。
*,8647	S-VOL をリモートコピーペアが共用しているため Reverse Copy 要求が拒否されました。	リモートコピーペアを削除してください。
*,8648	Paircreate 指示で起動デバイスと P-VOL が一致していません。	操作対象ボリューム番号を確認してください。
*,8649	Pairsplit-S 指示で起動デバイスが S-VOL のためフラグと一致していません。	操作対象ボリューム番号を確認してください。
*,8650	Paircreate 指示, Resync 指示または Pairsplit-S 指示で起動デバイスと P-VOL が一致していません。	操作対象ボリューム番号を確認してください。
*,8651	SSID が正しくありません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8652	起動デバイスが P-VOL または S-VOL ではありません。	操作対象ボリューム番号を確認してください。
*,8653	SplitPair-S 指示で起動デバイスが P-VOL のためフラグと一致していません。	操作対象ボリューム番号を確認してください。
*,8654	Paircreate 指示, Resync 指示または Pairsplit-S 指示で起動デバイスと T-VOL が一致していません。	操作対象ボリューム番号を確認してください。
*,8655	Paircreate 指示または Resync 指示で副 SSID が正しくありません。	内容を確認してから再実行してください。
*,8656	DeletePair 指示または Split 指示で副 SSID が正しくありません。	設定内容を見直してください。
*,8657	Swap&Freeze が指定されたがモード正しくありません。	オプション指定した内容を確認してください。
*,8659	iSCSI 用 PCB が実装されていません。	iSCSI 用 PCB を実装してください。
6805,8659	必要な PCB を実装してください。	対処の必要はありません。
605,8670	P-VOL と S-VOL で LUSE ボリュームを構成する LDEV 数が合っていない。	設定内容を確認して、再度構成変更してください。
605,8671	LBA の数が異なるボリュームのためペアの設定ができません。	ボリュームを確認して、再設定してください。
605,8672	Cross-system Copy で指定された LDEV の組み合わせが正しくありません。	ボリュームを確認して、再設定してください。

エラーコード	説明	対処
605,8673	Cross-system Copy で指定された LDEV のエミュレーションタイプが OPEN-V ではありません。	ボリュームを確認して、再設定してください。
605,8674	指定したボリュームは LUSE ボリュームではありません。	対処の必要はありません。
605,8675	Cross-system Copy の LDEV は I/O 実行中です。	I/O を停止して、再度構成変更してください。
605,8676	指定されたボリュームはすでに Cross-system Copy 対象のボリュームです。	設定内容を確認して、再度構成変更してください。
605,8677	指定されたボリュームはすでに Cross-system Copy で使用中の LDEV です。	設定内容を確認して、再度構成変更してください。
605,8678	移動元に定義されたボリュームは iSCSI のボリュームです。	設定内容を確認して、再度構成変更してください。
605,8679	移動先に定義されたボリュームは iSCSI のボリュームです。	設定内容を確認して、再度構成変更してください。
605,8680	指定されたボリュームはすでに iSCSI の LDEV です。	設定内容を確認して、再度構成変更してください。
605,8681	移動元に定義されたボリュームは、Cross-system Copy で使用中のボリュームです。	設定内容を確認して、再度構成変更してください。
605,8682	移動先に定義されたボリュームは、Cross-system Copy で使用中のボリュームです。	設定内容を確認して、再度構成変更してください。
605,8683	指定された CTG はメインフレームの CTG として使用中です。	設定内容を確認して、再度構成変更してください。
605,8684	CTG の設定処理用のマイクロコードは At-TimeSplit 機能がサポートされていません。	At-TimeSplit 機能をサポートしているマイクロコードをインストールしてください。
605,8687	指定された CTG 番号は 0x00~0x7F の範囲外です。	設定内容を確認して、再度構成変更してください。
605,8689	Cross-system Copy で指定されたボリュームはリモートコピーの P-VOL です。	設定内容を確認して、再度構成変更してください。
605,8690	Cross-system Copy で指定されたボリュームはリモートコピーの P-VOL です。	設定内容を確認して、再度構成変更してください。
605,8691	Cross-system Copy で指定されたボリュームは ShadowImage の P-VOL です。	設定内容を確認して、再度構成変更してください。
605,8692	Cross-system Copy で指定されたボリュームは ShadowImage の S-VOL です。	設定内容を確認して、再度構成変更してください。
605,8694	指定されたボリュームはすでに Cross-system Copy 対象のボリュームです。	設定内容を確認して、再度構成変更してください。
605,8695	指定された MU 番号が 2 以下ではありません。	設定内容を確認して、再度構成変更してください。
7105,8696	指定された S-VOL は ShadowImage, FlashCopy Version2 の T-VOL として使用されているため、コマンドは拒否されました。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
7105,8697	指定された T-VOL は ShadowImage, FlashCopy Version2 のボリュームとして使用されているため、コマンドは拒否されました。	対処の必要はありません。
7105,8698	指定されたボリュームは ShadowImage, FlashCopy Version2 で使用されているため、コマンドは拒否されました。	対処の必要はありません。
7105,8699	指定された S-VOL は ShadowImage, FlashCopy Version2 のリレーションと共用されているため、Reverse Copy または QuickRestore コマンドは拒否されました。	対処の必要はありません。
6005,8700	再実行してください。	再実行してください。
6005,8701	MCU と RCU 間の論理パスが有効ではありません。	RCU のステータス画面でパスの状態を確認し、再度パスに対してエディットパスしてください。
6005,8703	指定パス数が RCU オプションの最少パス本数を下回っています。	パス本数をチェックしてください。
6005,8704	MCU-RCU 間の通信異常によって指定パス数が RCU オプションの最少本数に満たないか、またはシリアルパスを用いたリモートコピーが R-VOL のデバイスエミュレーションをサポートしていません。	RCU ステータス画面でパス状態を確認し、パスを回復してください。メインテナンスマニュアルのオープンプラットフォームセクションを参照し、R-VOL のデバイスエミュレーションがサポートされているか確認してください。
6005,8705	MCU と RCU 間の通信エラーによってパス解除ができません。	MCU 側のステータス画面で CHA の状態を確認してください。もし CHA が閉塞しているときは交換し、再実行してください。
6005,8706	リモートコピー操作で入力したパラメータが正しくありません。	正しいデータを入力してください。
6005,8707	Data Migration オペレーションの設定が正しくありません。	設定内容を見直してください。
6005,8709	リモートコピー操作が拒否されました。	CHA を交換後、再実行してください。
6005,8710	指定されたボリュームのペア状態が正しくありません。	設定内容を見直してください。もし、許可状態のときは、再実行してください。
6005,8711	入力パラメータが正しくありません。	RCU のポート番号、ID、LUN を確認してください。
6005,8712	FREEZE 状態のため、オペレーションが拒否されました。	1. パス系操作のときは、FREEZE 状態の回復後、再実行してください。 2. ペア系操作のときは、RCU ステータスを参照し、SCP Time で設定されている時間が経過後、再実行してください。
6005,8713	ポートグループはすでに指定されたポートに設定されています。	グループ設定を削除した後に、ポートタイプを交換してください。
6005,8714	内部障害が発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
6005,8715	パス本数が正しくありません。	指定しているパスの本数を確認してから再実行してください。問題が解決しないときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
6005,8716	指定されたポートは RCP ではありません。	LCP/RCP の構成を確認して正しいポートを指定するか、ポートを RCP に変更してください。
6005,8717	接続先アドレスが正しくありません。	論理アドレスを確認して、正しいアドレスを設定してください。

エラーコード	説明	対処
6005,8718	指定された論理パスはすでにあります。	すべての論理パスアドレスを確認し、別のアドレスか RCP ポートを指定してください。
6005,8719	RCU の製番, SSID, リンクアドレスまたは装置識別 ID が正しくありません。	この RCU と登録済みの RCU の装置製造番号, SSID, リンクアドレス, および装置識別 ID を確認後, 正しい値を設定してください。もし値が正しければ, RCU のケーブル接続を確認してから再実行してください。それでも問題が解決しないときは, 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
6005,8720	RCU がすでに四つ (最大) 登録されています。	入力した値を再度チェックして実行してください。
6005,8721	パス生成が不完全でした。	MCU と RCU 間のパス接続を確認してから再実行してください。
6005,8722	パス生成が失敗しました。	MCU と RCU 間のパス接続を確認してから再実行してください。
6005,8723	指定されたパスはリモートコピーペアの最後のパスであるためパス編集操作は拒否されました。	別のパスを生成するか, RCU 側のすべてのペアを削除してから, 再度実施してください。
6005,8724	指定パス数が RCU オプションの最少パス本数を下回っています。パス本数をチェックしてください。	パス本数をチェックしてください。
6005,8725	現在のマイクロコードバージョンでは指定された操作はサポートされていません。	マイクロコードのバージョンをチェックしてください。対象のバージョンがリモートコピーサポート版のときは, LCP のマイクロコード交換を再度実施してください。
6005,8726	マルチプラットフォーム機能はすでに MCU にインストールされています。	TrueCopy Mainframe や DataMigration は, マルチプラットフォーム機能と排他関係にあります。TrueCopy Mainframe&DataMigration 機能を実行する前に, MCU の CHS PCB を減設してください。
6005,8727	最小パス数が正常パス数より多いです。	最小パス数の回復処理を実行してください。この問題を解決できないときは, 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
6005,8728	最小パス数が正常パス数より多いです。	最小パス数の回復処理を実行してください。この問題を解決できないときは, 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
6005,8729	内部障害が発生しました。	SSB ログを見て, TSC の支援を受けてください。
6005,8730	指定された論理アドレスは正しくありません。	正しい論理アドレスの回復処理を実行してください。この問題を解決できないときは, 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
6005,8731	一致しない論理アドレスがあります。	一度, Delete RCU を実行してから Add RCU をしてください。この場合, 同じ論理アドレスを特定してください。
6005,8732	四つの SSID がすでに登録されています。	RCU の SSID の値を確認してください。もし正しくない SSID が登録されているなら, それらを削除してから再実行してください。
6005,8733	MCU に Fibre-Remote Copy 機能がインストールされていません。	Fibre-Remote Copy のパスまたはペアを作成するときは, MCU と RCU に事前に Fibre-Remote Copy 機能がインストールされていなければなりません。MCU に Fibre-Remote Copy 機能をインストールしてください。

エラーコード	説明	対処
6005,8734	RCU に Fibre-Remote Copy 機能がインストールされていません。	Fibre-Remote Copy のパスまたはペアを作成するときは、MCU と RCU に事前に Fibre-Remote Copy 機能がインストールされていなければなりません。RCU に Fibre-Remote Copy 機能をインストールしてください。
6005,8735	RCU の製番、SSID、リンクアドレスまたは装置識別 ID が正しくありません。	この RCU と登録済みの RCU の装置製造番号、SSID、およびリンクアドレスを確認後、正しい値を設定してください。もし値が正しければ、RCU へのケーブル接続を確認してから再実行してください。それでも問題が解決しないときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
6005,8736	指定された RCU または SSID にリモートコピーのボリュームペアがあります。	指定した RCU または SSID のすべてのペアを削除してから再実行してください。
6005,8737	内部障害が発生しました。	SSB ログを見て、顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8738	MCU のコントローラエミュレーションタイプでは、リモートコピーをサポートしていません。	コントローラエミュレーションタイプを確認してください。
6005,8739	ホストに接続されている MCU の NVS は動作可能状態ではありません。	NVS 状態を確認して、再設定してください。設定できないときは、顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8740	ホストに接続されている RCU の NVS は動作可能状態ではありません。	NVS 状態を確認して、再設定してください。設定できないときは、顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8741	MCU-RCU 間の論理パスが確立していません。	MCU-RCU 間のパス状態を確認してください。
6005,8747	このマイクロバージョンでは当該操作はサポートされていません。	マイクロコードのバージョンをチェックしてください。当該バージョンがリモートコピーサポート版のときは、LCP のマイクロコード交換を再度実施してください。
6005,8748	指定のボリュームはオンラインである可能性があります。当該ボリュームがオンラインかチェックしてください。もしオンラインのときはオフラインにしてから再実行してください。また、当該ボリュームが VM システムに接続されているときは、VM システムからもオフラインにしてください。	当該ボリュームがオンラインかチェックしてください。もしオンラインのときはオフラインにしてから再実行してください。また、当該ボリュームが VM システムに接続されているときは、VM システムからもオフラインにしてください。
6005,8750	MCU のコントローラエミュレーションタイプでは、DataMigration をサポートしていません。	コントローラのエミュレーションタイプを確認してください。
6005,8751	ペア登録操作が失敗しました。 1. RCU の DKC エミュレーションがリモートコピーをサポートしていません。 2. RCU が A/H-6593 のとき、非同期コピーの CT グループ番号は 0~F までしか使えません。	RCU の DKC エミュレーションタイプまたは C/T グループ番号を確認してください。
6005,8752	RCU のコントローラエミュレーションタイプでは、DataMigration をサポートしていません。	コントローラのエミュレーションタイプを確認してください。

エラーコード	説明	対処
6005,8753	内部障害が発生しました。	SSB ログを見て、顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8754	MCU の製番あるいは SSID が正しくありません。	MCU の製番、SSID を確認してから再実行してください。
6005,8755	RCU の製造番号、SSID、または CU 番号が正しくありません。	1. RCU の製造番号、SSID、または CU 番号を確認してください。正しいパラメーターで再実行してください。 2. RCU の接続 LCP ポートを確認してください。正しい LCP ポートで再実行してください。
6005,8756	MCU のディスクアレイキャッシュが有効ではありません。	ホストと接続している MCU のサブシステムキャッシュ状態を確認してください。もし、オフのときは再設定してください。それでも設定できないときは、顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8757	MCU のキャッシュ片面が閉塞しました。	MCU キャッシュの状態を確認して回復させてください。その後、再実行してください。
6005,8758	MCU で予期しない障害が発生しました。	顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8759	RCU のキャッシュ状態が有効ではありません。	HOST と接続している RCU のサブシステムキャッシュ状態を確認してください。もし、オフのときは再設定してください。それでも設定できないときは、顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8768	RCU はまだ他のリモートコピー状態にあります。	この RCU が他のリモートコピーとして使用中か確認してください。使用中のときは、RCU の削除を実施し、再実行してください。
6005,8769	RCU はまだ他のリモートコピー状態にあります。	この RCU が他のリモートコピーとして使用中か確認してください。使用中のときは、RCU の削除を実施し、再実行してください。
6005,8770	MCU のキャッシュが自動復旧中です。数分待ってから再実行してください。	キャッシュが回復するのを待ってから再実行してください。
6005,8774	マルチプラットフォーム機能はすでに MCU にインストールされています。	TrueCopy Mainframe や Data Migration は、マルチプラットフォーム機能と排他関係にあります。TrueCopy Mainframe や Data Migration 機能を実行する前に、MCU の CHS PCB を減設してください。
6005,8775	マルチプラットフォーム機能はすでに RCU にインストールされています。	TrueCopy Mainframe や Data Migration は、マルチプラットフォーム機能と排他関係にあります。TrueCopy Mainframe&Data Migration 機能を実行する前に、RCU の CHS PCB を減設してください。
6005,8777	MCU のコントローラ種別は RCU との組み合わせをサポートしていません。	MCU と RCU のコントローラ種別を確認してください。
6005,8778	RCU のキャッシュ片面が閉塞されています。	RCU のキャッシュ状態を確認して復旧してください。
6005,8779	RCU のコントローラエミュレーションタイプでは、TrueCopy をサポートしていません。	当該 RCU のコントローラエミュレーションタイプを確認してください。
6005,8782	Data Migration 機能は指定された DKC にはインストールされていません。	対象の P.P をインストールしてください。(なお、P.P のライセンスには 3 種類の体系があり、期限切れ後に別の体系のライセンスをインス

エラーコード	説明	対処
		トールしようとするインストールができない場合があります)。
6005,8783	指定された DKC には TrueCopy Mainframe E 機能がインストールされていません。TrueCopy Mainframe E 機能をインストールしてください。	TrueCopy Mainframe Semi-Sync 機能をインストール後、再実行してください。
6005,8784	指定された DKC には TrueCopy Mainframe E 機能がインストールされていません。TrueCopy Mainframe E 機能をインストールしてください。	TrueCopy Mainframe Semi-Sync 機能をインストール後、再実行してください。
6005,8787	RCU は拡張 VOL のリモートコピーをサポートしていません。	選択した RCU の制御タイプとマイクロコードのバージョンを確認してください。
6005,8788	指定した副側の拡張ボリュームが未定義か、または S-VOL のデバイスエミュレーションはシリアルパスを使ったリモートコピーがサポートされていません。	RCU のポート、ID、LUN を確認してください。メンテナンスマニュアルのオープンプラットフォームセクションで、S-VOL のデバイスエミュレーションがサポートされているか確認してください。
6005,8789	正側拡張 LU と副側拡張 LU の拡張 VOL 構成の組み合わせが正しくありません。選択した拡張 VOL の組み合わせを確認してください。	選択した拡張 VOL の組み合わせを確認してください。
6005,8790	指定された RCU 拡張ボリューム (ポート/ID/LUN) は使用できません。	RCU の拡張 LU 状態とマイクロコードバージョンを参照してください。
6005,8792	RCU に Volume Retention z/OS 機能がインストールされていないため、ペア登録ができません。Volume Retention z/OS をインストールしてから再実行してください。	MCU と RCU に Volume Retention z/OS をインストールした後、操作を再実行してください。
6005,8793	MCU (RCU) に TrueCopy 機能がインストールされていないため、Add Pair はできません。	TrueCopy 機能インストールしたあと、再実行してください。
6005,8794	MCU (RCU) に TrueCopy 機能がインストールされていないため、Add Pair はできません。	TrueCopy 機能インストールしたあと、再実行してください。
6005,8802	指定 CT グループに登録されていないため Add Pair 操作に失敗しました。	C/T グループ登録操作を実行後、再実行してください。
6005,8803	ペア登録操作が失敗した。タイマ種別が None の場合、すでに RCU が四つ登録済みです。タイマ種別が Local または System の場合、すでに RCU が一つ登録済みです。	新しく Consistency グループを登録してください。
6005,8804	ペアリジューム操作が失敗しました。 1. 対象のペアは非同期ペアにもかかわらずコピーモードに非同期以外が指定されました。 2. 対象のペアは非同期ペアでないにもかかわらずコピーモードに非同期が指定されました。	関係するペアの設定内容を確認後、再実行してください。
6005,8805	RESUME PAIR 操作に失敗しました。RCU 側の指定 CT グループが登録されていません。	MCU と RCU の Consistency グループを確認してください。もし M-VOL が存在したらそれを削除してペア登録操作を再実行してください。

エラーコード	説明	対処
6005,8806	ペア登録またはリジューム操作が失敗した。RCU 内にすでに CT グループがあります。CT グループオプション (タイマ種別/タイムアウト時間) は CT グループ内のすべての非同期ペアを削除またはサスペンドしないかぎり変更できない。	RCU の Consistency グループオプションを確認し、MCU と同じオプションを設定してください。
6005,8807	ペア登録操作が失敗した。タイマ種別が System の場合、すでに MCU が四つ登録済みです。タイマ種別が Local または None の場合、すでに MCU が一つ登録済みです。	新しく Consistency グループを登録してください。
6005,8808	ペア登録/リジューム操作が失敗しました。MCU 内の当該ボリューム、または当該ボリュームと同じグループに属する他のボリュームが、SIMPLEX または SUSPEND 状態に移行中です。	しばらく待った後、設定内容を見直してください。対象のペアがペア登録/リジューム操作できる状態のときは再実行してください。
6005,8809	ペア登録/リジューム操作が失敗した。RCU 内の当該ボリュームまたは当該ボリュームと同じグループに属する他のボリュームが、SIMPLEX または SUSPEND 状態に移行中。	しばらく待った後、設定内容を見直してください。もし、指定ボリュームが操作を受け付けできる状態のときは、操作を再実行してください。
6005,8811	ペア登録操作が失敗しました。RCU 側で複数 CT グループの登録がサポートされていません。	RCU の C/T グループを確認してください。
6005,8815	RCU に TrueCopy Async プログラムプロダクト機能がインストールされていないため Async のペア形成ができません。	RCU に TrueCopy Async プログラムプロダクト機能をインストールしてください。
6005,8817	NCFREEZE コマンドによるサスペンド指定が有効のため Add Pair できません。	関係する Consistency グループの NCFREEZE コマンドでサスペンド指定をキャンセルしてください。
6005,8818	NCFREEZE コマンドによるサスペンド指定が有効のため Resume できません。	関係する Consistency グループの NCFREEZE コマンドでサスペンド指定をキャンセルしてください。
6005,8825	ペア登録の操作が失敗しました。Fibre パスを使ったペアと Serial パスを使ったペアとは、同じ CT グループ内では混在させることはできません。	MCU と RCU の設定内容を見直してください。
6005,8826	内部障害が発生しました。	SSB ログを見て、顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8827	ペア登録/リジューム操作が失敗しました。	数分後に再実施してください。
6005,8828	このマイクロコードのバージョンでは、Fibre パスを使ったペアと Serial パスを使ったペアとの DKC 内での混在はサポートしていません。	Paircreate 操作で指定したパスの種別を、RCU Status 画面で確認してください。
6005,8832	数分後に再度オペレーションを実行してください。	数分後に再実行してください。
6005,8833	数分後に再度オペレーションを実行してください。	数分後に再実行してください。

エラーコード	説明	対処
6005,8834	認可された容量を超過してペアを登録しようとしたため、ペア登録操作が失敗しました。	ライセンスキーを参照し、ボリュームの認可容量を確認してください。より多くのペアを作成する必要があるときは、さらに大きい容量を使用できるライセンスキーを購入してください。
6005,8835	RCU 側で認可された容量を超過してペアを登録しようとしたため、ペア登録操作が失敗しました。	RCU 側のライセンスキーを参照し、ボリュームの認可容量を確認してください。より多くのペアを作成する必要があるときは、さらに大きい容量を使用できるライセンスキーを購入してください。
6005,8836	コピー待ちのペアはありません。	ペアの登録内容を確認し、再度実施してください。
6005,8837	内部障害が発生しました。	SSB ログを見て、顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8838	指定されたボリュームはリモートコピーのペアではありません。	指定したボリュームを確認してください。
6005,8839	RCU の製番、SSID、リンクアドレスまたは装置識別 ID が正しくありません。	この RCU と登録済みの RCU の装置製造番号、SSID、リンクアドレス、および装置識別 ID を確認後、正しい値を設定してください。もし値が正しければ、RCU へのケーブル接続を確認してから再実行してください。それでも問題が解決しないときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
6005,8843	指定ボリュームまたは同じグループ内にある他のボリュームのペア状態が、当該操作を許される状態ではありません。 (グループオプション操作の場合) 1. 指定ボリュームが SIMPLEX である。 2. グループ内に DUPLEX または PENDING-DUPLEX のボリュームがない。 (ペアオプション操作の場合) 1. 指定ボリュームが SIMPLEX である。	設定内容を見直してください。もし指定ボリュームまたは同じグループ内の他ボリュームのペア状態が、この操作を許される状態であれば再実行してください。
6005,8844	指定ボリュームまたは指定ボリュームと同じグループ内の他のボリュームが状態遷移中である。 (グループ/ペアオプション操作の場合) 1. 指定ボリュームが DELETING である。 2. 指定ボリュームが SUSPENDING である。	しばらく待った後、このボリュームが要求受領できる状態のときは再実行してください。
6005,8845	NCFREEZE コマンドによるサスペンド指定が有効のため Suspend できません。	関係する Consistency グループの NCFREEZE コマンドでサスペンド指定をキャンセルしてください。
6005,8846	内部障害が発生しました。	SSB ログを見て、顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8847	内部障害が発生しました。	SSB ログを見て、顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8848	ペアサスペンド操作が失敗しました。	数分後に再度実施してください。
6005,8849	指定されたボリュームはリモートコピーのペアではありません (Duplex (PAIR), Pending (COPY), または	指定のボリュームをチェックしてください。

エラーコード	説明	対処
	Suspend (PSUS) のどの状態でもありません。	
6005,8850	RCU の製番, SSID, リンクアドレスまたは装置識別 ID が正しくありません。	この RCU と登録済みの RCU の装置製造番号, SSID, リンクアドレス, および装置識別 ID を確認後, 正しい値を設定してください。もし値が正しければ, RCU へのケーブル接続を確認してから再実行してください。それでも問題が解決しないときは, 顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
6005,8853	Data Migration ボリュームペアを終了できません。マイグレーションコピーが実行中か, ボリュームがオンラインの可能性あります。	マイグレーションコピーが実施中か, ボリュームがオンライン状態かを確認してください。
6005,8855	指定ボリュームまたは指定ボリュームと同じグループ内の他のボリュームが状態遷移中である。 (グループペアオプション操作の場合) 1 指定ボリュームが DELETING である。 2 指定ボリュームが SUSPENDING である。	しばらく待った後, このボリュームが要求受領できる状態のときは再実行してください。
6005,8856	削除範囲に C/T を指定されたペア削除操作が失敗した。CT グループの状態は SEQCHK である。	削除範囲に VOLUME または GROUP を指定したペア削除操作を再実行してください。
6005,8857	ボリュームが SEQCHK 状態であるか, ボリュームの Consistency Time がグループのそれと一致していない。	ペア削除に失敗したボリュームの設定内容を見直してください。もし必要ならば, 削除範囲に VOLUME または GROUP を指定してペア削除操作を再実行してください。
6005,8858	ペア削除操作が失敗した。ボリュームが SEQCHK 状態であるか, またはボリュームの Consistency Time がグループのそれと一致しない。	削除範囲に VOLUME または GROUP を指定してペア削除操作を再実行してください。
6005,8860	内部障害が発生しました。	SSB ログを見て, 顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8861	内部障害が発生しました。	SSB ログを見て, 顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8862	ペア終了操作が失敗しました。	数分後に再度実施してください。
6005,8863	登録されていないエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8864	内部障害が発生しました。	SSB ログを見て, 顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8865	内部障害が発生しました。	SSB ログを見て, 顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8866	内部障害が発生しました。	SSB ログを見て, 顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8867	内部障害が発生しました。	SSB ログを見て, 顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8868	指定 CT グループ#が MCU で使用中であるために, グループ登録操作が失敗した。	MCU の C/T グループを確認してください。
6005,8869	当該 CT グループは登録されていません。	MCU の C/T グループを確認してください。

エラーコード	説明	対処
6005,8870	指定 CT グループに非同期ペアがあるため、グループオプション変更操作が失敗しました。	設定内容を見直してください。
6005,8872	グループ登録操作が失敗した。このマイクロバージョンでは MCU 内に複数の CT グループを登録することはできません。	MCU の C/T グループを確認してください。
6005,8873	MCU に TrueCopy Async 機能がインストールされていないため CT グループの登録ができません。	MCU に TrueCopy Async プログラムプロダクトをインストールし、再実行してください。
6005,8874	正しくないタイマ種別オプションです。	タイマ種別に“Local” または“None” を指定してください。
6005,8875	指定された CT グループ内に非同期コピーペアが含まれているためタイマ種別変更操作が失敗しました。	設定内容を見直してください。
6005,8876	指定されたポート種別に対応した PCB がありません。	実装されているパッケージのタイプを確認し、正しいパラメーターで再度実施してください。
6005,8877	内部障害が発生しました。	SSB ログを見て、顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8878	当該 CT グループは登録されていません。	MCU の C/T グループを確認してください。
6005,8879	少なくとも一つの非同期ペアがあるため、CT グループ削除要求が拒絶されました。	設定内容を更新して確認してください。
6005,8880	グループ削除操作が失敗した。このグループ内のペアが SIMPLEX に移行中です。	しばらく待った後、再実行してください。
6005,8881	内部障害が発生しました。	SSB ログを見て、顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8882	TrueCopy CT グループで登録済みのため、ASYNC オプション (Current Pending Update Data Rate) は変更できません。	TrueCopy で登録した C/T グループをすべて削除してください。
6005,8883	内部障害が発生しました。	SSB ログを見て、顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8884	内部障害が発生しました。	SSB ログを見て、顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8885	内部障害が発生しました。	SSB ログを見て、顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8886	内部障害が発生しました。	SSB ログを見て、顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8887	内部障害が発生しました。	SSB ログを見て、顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8888	内部障害が発生しました。	SSB ログを見て、顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8889	指定されたポートは実装されていません。	設定内容を確認し、再実行してください。もし、同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口へ連絡してください。
6005,8890	指定ポートはまだ初期化中です。	指定のポートが初期化終了後、再度実施してください。

エラーコード	説明	対処
6005,8891	MCU 側のポートに論理パスが残っています。	関連するポートの論理パスを削除後、再度実施してください。
6005,8893	内部障害が発生しました。	SSB ログを見て、顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8894	当該 MCU ポートにジョブが残っています。	ホストからジョブを停止した後、再度実施してください。
6005,8895	当該 RCU ポートにジョブが残っています。	ホストからジョブを停止させた後、再度実施してください。
6005,8896	パラメータエラーが発生しました。	設定内容を確認し、再実行してください。もし、同じ結果のときは、顧客問い合わせ窓口へ連絡してください。
6005,8897	当該ポートに LU が残っています。	関連するポートに定義されている LU を削除後、操作を再度実施してください。
6005,8898	ポート上にペンディングデータがあります。	再実行してください。
6005,8899	内部障害が発生しました。	SSB ログを見て、顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8900	ポート変更でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口エラーコードを連絡してください。
6005,8901	ポート変更でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口エラーコードを連絡してください。
6005,8902	ポート変更でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口エラーコードを連絡してください。
6005,8904	MCU の差分管理領域がいっぱいです。	MCU に拡張 SM#2 が実装されていない場合は、リモートコピー拡張 SM 実装指示(Shared Memory Size Configuration)で SM 実装を行い、ペアを組み直してください。MCU に拡張 SM#2 が実装されている場合は、システムで構築可能なペア数を超えているため、これ以上ペアを組むことはできません。
6005,8905	MCU に拡張 SM (共有メモリ) が実装されていません。	MCU にリモートコピー拡張 SM 実装指示 (Install Remote Copy Function) で SM (共有メモリ) 実装をしてください。
6005,8906	RCU の差分管理領域がいっぱいです。	RCU に拡張 SM#2 が実装されていない場合は、リモートコピー拡張 SM 実装指示(Shared Memory Size Configuration)で SM 実装を行い、ペアを組み直してください。RCU に拡張 SM#2 が実装されている場合は、システムで構築可能なペア数を超えているため、これ以上ペアを組むことはできません。
6005,8907	RCU に拡張 SM (共有メモリ) が実装されていません。	RCU にリモートコピー拡張 SM 実装指示 (Install Remote Copy Function) で SM (共有メモリ) 実装をしてください。
6005,8908	パラメータが正しくありません。	入力した値をチェックしてから再実行してください。
6005,8910	ポート切り替え中にエラーが発生しました。	当該 CHA を交換してください。
6005,8911	ポート上に論理パスがあります。	パスを削除してから再実行してください。
6005,8912	ポート上に論理パスがあります。	パスを削除してから再実行してください。
6005,8913	ポート種別が正しくありません。	ポートの状態を確認し、再実行してください。

エラーコード	説明	対処
6005,8914	マルチプラットフォーム機能はすでにサブシステムにインストールされています。	サブシステムの構成を確認してください。
6005,8915	ホストからポート種別変更を実行中のため、SVP (RMC) からの同操作が拒絶された。	ポート状態を確認して、ポート種別変更の操作を再実行してください。
6005,8917	1CTG あたりのペア数が超過しています。	新規に CT グループを登録して ASYNC ペアの登録をしてください。
5305,8919	DKC の状態が正しくありません。顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	何回試しても発生するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
*,8920	L1 ペアが PSUS でないため、L2 への操作はできません。	L1 ペアが PSUS の状態になるまで待って、L2 ペアに操作を実行してください。
6005,8922	指定された MCU は Serial path Link のリモートコピー機能がサポートされていません。	MCU が Serial path Link のリモートコピーをサポートしているかどうか確認してください。Serial path Link のリモートコピーをサポートしているマイクロコードをインストールするか、Fibre-path link のリモートコピーを実行してください。
6005,8923	指定された RCU は Serial path Link のリモートコピー機能がサポートされていません。	MCU が Serial path Link のリモートコピーをサポートしているかどうか確認してください。Serial path Link のリモートコピーをサポートしているマイクロコードをインストールするか、Fibre-path link のリモートコピーを実行してください。
6005,8924	RCU 側のポートに論理パスが残っています。	指定されたポートの論理パスを削除し、再実行してください。
6005,8929	無効なポート種別です。ポート種別を確認し、再実行してください。	指定されたポートのポート種別を確認し、再実行してください。
6005,8930	RCU 側のポートに論理パスが残っています。	指定されたポートの論理パスを削除し、再実行してください。
6005,8931	RCU 側のポートに論理パスが残っています。	指定されたポートの論理パスを削除し、再実行してください。
6005,8932	指定した CU 番号は構成定義されていないため、MCU と RCU 間のパスが確立できません。	指定した CU 番号が構成情報に定義されているか確認してください。
6005,8933	指定された P-VOL は NAS システムのシステムボリュームであるため、ペア登録操作に失敗しました。	指定した P-VOL の構成を確認してください。
6005,8934	指定された S-VOL は NAS システムのシステムボリュームであるため、ペア登録操作に失敗しました。	指定した S-VOL の構成を確認してください。
6005,8935	指定された P-VOL は NAS システムのボリュームであるため、ペア登録操作に失敗しました。	指定した P-VOL の構成を確認してください。
6005,8936	ペア登録操作が失敗しました。指定された RCU のバージョンでは NAS システムのボリュームを使ったリモートコピーがサポートされていません。	RCU のマイクロコードバージョンを確認してください。
6005,8937	同じ MCU 内にシリアルパスを使ったペアがあるため、ファイバパスを使ったペア登録操作が失敗しました。	対象 MCU 内のシリアルパスを使ったペアをすべて削除後、再実行してください。

エラーコード	説明	対処
6005,8938	同じ MCU 内にファイバパスを使ったペアがあるため、シリアルパスを使ったペア登録操作が失敗しました。	対象 MCU 内のシリアルパスを使ったペアをすべて削除後、再実行してください。
6005,8939	指定された P-VOL は使用できません。	Raid Manager で対象 P-VOL の LUN を確認してください。P-VOL には 256 未満の値を持つ LUN を指定してください。
605,8941	コマンドが拒否されました。選択された CT グループはすでに使用されています。	対処の必要はありません。
6005,8943	RCU 内の指定ボリュームまたは同じグループ内の別ボリュームが、Simplex または Suspend 状態に移行中です。数分後に再実行してください。	数分後に RCU 内の指定ボリュームまたは同じグループ内の別ボリュームの状態を確認してください。確認して操作できる状態なら再実行してください。
6005,8945	RCU の SSID, CU 番号, S-VOL の Port-Group-LUN を確認してください。正しいパラメータで再実行してください。	RCU の SSID, CU 番号, S-VOL の Port-Group-LUN を確認してください。正しいパラメータで再実行してください。
6005,8947	対象ポートに Cross-system Copy 用 LU が実装されています。	Cross-system Copy 用 LU の実装を解除した後、再実行してください。
6005,8948	指定したポートに I/O があります。	I/O を停止した後、再実行してください。
6005,8949	内部障害が発生しました。	SSB ログを参照して、顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
6005,8950	内部障害が発生しました。	SSB ログを参照して、顧客問い合わせ窓口の支援を受けてください。
3205,8951	DKC 側でエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
3205,8952	DKC 側でエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
3205,8953	DKC 側でエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
3205,8954	DKC 側でエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
3205,8955	DKC 側でエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
3205,8956	DKC 側でエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
3205,8957	DKC 側でエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
3205,8958	DKC 側でエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
3205,8959	DKC 側でエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
3205,8960	DKC 側でエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
3205,8961	DKC 側でエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
3205,8962	DKC 側でエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
3205,8963	DKC 側でエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
3205,8964	DKC 側でエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
3205,8965	DKC 側でエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
3205,8966	DKC 側でエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
3205,8967	DKC 側でエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
3205,8968	DKC 側でエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
3205,8969	DKC 側でエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
3205,8970	DKC 側でエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
605,8971	ディスクサブシステムとの通信中にエラーが発生しました。構成が不一致になっているおそれがあるので、[全更新] ボタンをクリックして構成の再読み込みをしてください。	対処の必要はありません。
6005,8972	指定された P-VOL は Cross-system Copy で使用中のため、ペアを形成できません。	指定した P-VOL の状態を確認してください。
6005,8973	指定された S-VOL は Cross-system Copy で使用中のため、ペアを形成できません。	指定した S-VOL の状態を確認してください。
6005,8974	指定された P-VOL は iSCSI ポートからパスを定義されているため、ペアを形成できません。	指定した P-VOL の状態を確認してください。
6005,8975	指定された S-VOL は iSCSI ポートからパスを定義されているため、ペアを形成できません。	指定した S-VOL の状態を確認してください。

エラーコード	説明	対処
6005,8976	P-VOL は Cross-system Copy 用ボリュームのため、ペアを形成できません。	指定した P-VOL の状態を確認してください。
6005,8977	S-VOL は Cross-system Copy 用ボリュームのため、ペアを形成できません。	指定した S-VOL の状態を確認してください。
3205,8978	DKC 側でエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
105,8979	外部ボリュームに対する操作は、外部ボリュームがディスクコネクタされているか、または外部ボリュームへの正常なパスがないため失敗しました。	対処の必要はありません。
605,8979	外部ボリュームに対する操作が、外部ボリュームへの正常なパスがないため失敗しました。	外部 LU に接続しているパスを回復してください。次に、LDEV 回復指示を発行してください。
6005,8980	RCU 側の Volume Retention z/OS の認可容量を超過したため、ペア操作が失敗しました。	RCU 側の Volume Retention z/OS の認可容量を確認してください。この操作を実行する場合は、より大きな容量を使用できるライセンスキーを購入してください。
605,8981	Cross-system Copy のコピー処理が動作中です。	Cross-system Copy のコピー処理が動作中です。
2,9000	他のユーザがモディファイモードでアクセスしています。しばらくしてから再実行してください。	時間をおいてから再実行してください。
8505,55008	現在のマイクロコードでは、プログラムプロダクト (SLPR Key, Serverless Backup, Volume Security, Universal Replicator, ShadowImage, および TrueCopy) で使用する資源の分割機能がサポートされていません。マイクロコードのバージョンとサポート内容を確認し、設定内容を修正してください。	対処の必要はありません。
6805,55009	キャッシュ資源番号 (CLPR 番号) の誤りを検出しました。	対処の必要はありません。
6805,55010	ストレージ資源番号 (SLPR 番号) の誤りを検出しました。	対処の必要はありません。
8505,55016	ログイン制限値が、SLPR ごとに設定されているログイン制限数の最大値を超えています。	対処の必要はありません。
8505,55017	SLPR ごとに登録されているログイン制限数の合計が、ディスクサブシステムで設定されているログイン制限数の最大値を超えています。	SLPR 情報を確認し、正しい情報を再設定してください。
8505,55019	SSID に誤りがあります。	SLPR 情報を確認し、正しい情報を再設定してください。
8505,55021	指定した CU 番号が正しくありません。	SLPR 情報を確認し、正しい情報を再設定してください。
8505,55025	パーティグループの設定に誤りがあります。	SLPR と CLPR 情報を確認し、正しい情報を再設定してください。

エラーコード	説明	対処
8505,55026	指定したポート名称 (ポート番号) が正しくありません。	SLPR 情報を確認し、正しい情報を再設定してください。
8505,55029	キャッシュ容量の合計に誤りがあります。	SLPR と CLPR 情報を確認し、正しい情報を再設定してください。
8505,55030	CU が属している SLPR と LDEV が属している SLPR が一致していません。	SLPR と CLPR 情報を確認し、正しい情報を再設定してください。
8505,55031	LUN は複数の SLPR にわたって設定できません。	SLPR と CLPR 情報を確認し、正しい情報を再設定してください。
8505,55032	LUSE ボリュームは複数の SLPR にわたって設定できません。	SLPR と CLPR 情報を確認し、正しい情報を再設定してください。
8505,55033	ポートが別の SLPR にすでに登録されています。	SLPR と CLPR 情報を確認し、正しい情報を再設定してください。
1,55044	設定するときは保守員に連絡してください。	設定内容を確認してから再実行してください。
5205,55059	移動元として指定したボリュームは TrueCopy または TrueCopy z/OS(R) のボリュームです。また、移動先として指定したボリュームは外部ボリュームです。このため、移動ボリュームとして設定できません。	対処の必要はありません。
5205,55060	指定したボリューム移動プランは、Data Retention で使用する VMA が設定されたボリュームと、VMA が設定されていないボリュームの組み合わせなので、実行できません。	対処の必要はありません。
2,55206	設定した構成情報と、現状の構成情報が一致していません。設定内容を見直してから再実行してください。	対処の必要はありません。
1005,55206	設定した構成情報と、現状の構成情報が一致していません。設定内容を見直してから再実行してください。	対処の必要はありません。
6805,55209	有効な CLPR 数の上限を超えています。	対処の必要はありません。
6805,55210	Block オプションの設定が正しくありません。	対処の必要はありません。
6805,55211	Donot Block (Volume Level) オプションの設定が正しくありません。	対処の必要はありません。
6805,55212	Block オプションと Donot Block (Volume Level) オプションは同時に指定できません。	対処の必要はありません。
6805,55213	Level 1 Threshold の設定値が正しくありません。	対処の必要はありません。
6805,55214	Level 2 Threshold の設定値が正しくありません。	対処の必要はありません。
6805,55215	Level 1 SIM の設定が正しくありません。	対処の必要はありません。
6805,55216	Level 2 Suspend の設定が正しくありません。	対処の必要はありません。
6805,55217	有効な SLPR 数の上限を超えています。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
6805,55218	Level 1 Sleep の設定値が正しくありません。	対処の必要はありません。
6805,55219	Sleep Time の設定値が正しくありません。	対処の必要はありません。
6805,55220	SLPR 番号が重複しています。	対処の必要はありません。
6805,55221	CLPR 番号が重複しています。	対処の必要はありません。
5205,55223	ユーザが使用しているディスクサブシステムのオーナー ID と、移動先として指定されたボリュームのオーナー ID が一致していません。	対処の必要はありません。
5205,55224	ユーザが使用しているディスクサブシステムのオーナー ID と、指定されたリザーブボリュームのオーナー ID が一致していません。	対処の必要はありません。
5205,55225	指定されたブランチは解除指示を実行できません。	対処の必要はありません。
5205,55226	指定されたブランチは移動中止指示を実行できません。	対処の必要はありません。
5205,55227	リザーブボリュームとして指定されたボリュームは、すでに異なるオーナー ID で Volume Migration のリザーブボリュームとして設定されています。	対処の必要はありません。
8505,55228	この機能は利用できません。SLPR または CLPR を作成するには Virtual Partition Manager が必要です。	対処の必要はありません。
6005,55230	SLPR0 以外の SLPR に割り当てられているポートの属性は、Target または LCP 以外に変更できません。	対処の必要はありません。
1,55231	別の SLPR で適用処理（構成変更処理）を実行中です。複数の SLPR で同時に適用処理（構成変更処理）を実行することはできません。	対処の必要はありません。
8005,55243	CLPR の Cache Residency 容量の合計とサブシステム内の Cache Residency 容量が一致していません。	対処の必要はありません。
8005,55244	CLPR に設定された Cache Residency 容量が設定できる容量の上限を超えています。	対処の必要はありません。
8005,55245	CLPR に設定された Cache Residency 領域数が、設定できる Cache Residency 領域数の上限を超えています。	対処の必要はありません。
8005,55246	CLPR に設定された Cache Residency 領域数の合計が、サブシステム内の Cache Residency 領域数の上限と一致していません。	対処の必要はありません。
8005,55247	CLPR に設定された Cache Residency 容量が、512MB の倍数になっていません。	対処の必要はありません。
8005,55248	同じ CHN 内の NAS ポートのうち、異なる SLPR 番号が設定されている NAS ポートがあります。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
8005,55249	NAS のシステムグループ内の LUN0000 または LUN0001 に、ポートに設定されている SLPR 番号と異なる SLPR 番号が設定されています。	対処の必要はありません。
8005,55250	NAS のシステムグループ内の LUN0005 から LUN000A が、SLPRO 以外に設定されています。	対処の必要はありません。
8005,55251	メインフレームボリュームが、SLPRO 以外に設定されています。	対処の必要はありません。
5205,55252	移動元として指定されたボリュームは内部ボリュームです。また、移動先として指定されたボリュームは Cross-system Copy のペアを構成している外部ボリュームです。このため、移動ボリュームとして設定できません。	対処の必要はありません。
5205,55253	移動元として指定されたボリュームは Cross-system Copy のペアを構成していない外部ボリュームです。また、移動先として指定されたボリュームは Cross-system Copy のペアを構成している外部ボリュームです。このため、移動ボリュームとして設定できません。	対処の必要はありません。
5205,55254	移動元として指定されたボリュームは Cross-system Copy のペアを構成している外部ボリュームです。また、移動先として指定されたボリュームは内部ボリュームです。このため、移動ボリュームとして設定できません。	対処の必要はありません。
5205,55255	移動元として指定されたボリュームは Cross-system Copy のペアを構成している外部ボリュームです。また、移動先として指定されたボリュームは Cross-system Copy のペアを構成していない外部ボリュームです。このため、移動ボリュームとして設定できません。	対処の必要はありません。
5205,55256	移動元として指定されたボリュームも、移動先として指定されたボリュームも、Cross-system Copy のペアを構成している外部ボリュームなので、移動ボリュームとして設定できません。	対処の必要はありません。
5205,55257	指定したボリュームは Universal Replicator または Universal Replicator z/OS(R)によってデータボリュームとして使用されています。	対処の必要はありません。
5205,55258	指定したボリュームは Universal Replicator または Universal Replicator z/OS(R)によってデータボリュームとして使用されています。	対処の必要はありません。
5205,55259	指定したボリュームは Universal Replicator または Universal Replicator z/OS(R)によってデータボリュームとして使用されています。	対処の必要はありません。
1,55260	ログイン中のユーザは削除できません。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
405,55263	指定されたプログラムプロダクトは、SLPR にライセンスが割り当てられているため、アンインストールできません。	対処の必要はありません。
7005,55264	Data Retention によって VMA が設定されたボリュームと、VMA が設定されていないボリュームを組み合わせてペアを作成しようとしたので、コマンドは拒否されました。	対処の必要はありません。
8005,55265	Cache Residency を設定したボリュームを含むパリティグループは、異なる CLPR に移動できません。ボリュームの Cache Residency の設定を解除してから、パリティグループを移動してください。	対処の必要はありません。
605,55284	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
605,55285	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
605,55286	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
605,55287	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
605,55288	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
605,55289	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
605,55290	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
605,55291	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
605,55292	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
605,55293	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
605,55294	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
605,55295	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
605,55296	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
605,55297	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
605,55298	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
605,55299	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
605,55300	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
7005,55301	Data Retention のライセンス容量が不足しているため、ペアを作成できません。	対処の必要はありません。
605,55309	指定した外部ボリュームは互換性のないエミュレーションタイプが定義されています。	対処の必要はありません。
605,55310	スプレッドシートの宣言文が重複しています。	対処の必要はありません。
605,55311	スプレッドシート内に記述されているバージョン番号が正しくありません。	対処の必要はありません。
605,55312	スプレッドシートに記述されている機能名が正しくありません (External になっていません)。	対処の必要はありません。
605,55313	スプレッドシートに記述されている処理モードが正しくありません (New になっていません)。	対処の必要はありません。
605,55314	スプレッドシート内に処理を実行するための機能タグ (AddLU-PATH, AddLU-LDEV, または SetSSID) がありません。	対処の必要はありません。
605,55315	スプレッドシート内で処理を実行するための機能タグ (AddLU-PATH, AddLU-LDEV, または SetSSID) が重複しています。	対処の必要はありません。
605,55316	スプレッドシート内に処理を実行するための機能タグ (AddLU-PATH または AddLU-LDEV) がありません。	対処の必要はありません。
605,55317	データの長さが正しくありません。	対処の必要はありません。
605,55318	スプレッドシート内に記述されたデータの件数が制限数を超過しています。	対処の必要はありません。
605,55319	データの件数が正しくありません (定義文がありません)。	対処の必要はありません。
605,55340	記述が必要な項目に記述がありません。	対処の必要はありません。
605,55341	桁数が正しくありません。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
605,55342	スプレッドシート内で指定されたパスの設定数が正しくありません。	対処の必要はありません。
605,55343	スプレッドシート内で指定された値が正しくありません。	対処の必要はありません。
605,55344	スプレッドシート内の記述が重複しています。	対処の必要はありません。
605,55345	AddLU-PATH と AddLU-LDEV で共通に設定する内容がありません。	対処の必要はありません。
605,55346	AddLU-PATH に指定されたパスの設定が重複しています。	対処の必要はありません。
605,55347	AddLU-LDEV に指定された LDEV の情報が重複しています。	対処の必要はありません。
605,55348	機能タグの書式が正しくありません。	対処の必要はありません。
605,55349	AddLU-LDEV タグで指定された LDEV 数と LDEV ID の数が一致しません。	対処の必要はありません。
605,55370	エミュレーションタイプ名が正しくありません。	対処の必要はありません。
605,55371	サポートされていないエミュレーションタイプが指定されています。	対処の必要はありません。
605,55372	IO 抑止モードとキャッシュモードの組み合わせが正しくありません。	対処の必要はありません。
605,55373	SLPR 番号が正しく取得できません。	対処の必要はありません。
605,55374	SSID 番号が正しく取得できません。	対処の必要はありません。
605,55375	指定した外部ボリュームグループ番号はスプレッドシート内で重複しています。	対処の必要はありません。
605,55376	指定した外部ボリュームグループ番号はすでに使用されています。	対処の必要はありません。
605,55377	設定されていない CLPR 番号が指定されています。	対処の必要はありません。
605,55378	指定された SSID 値はすでに使用されています。	対処の必要はありません。
605,55379	指定されたボリュームの容量は設定範囲を超えています。	対処の必要はありません。
605,55380	指定されたボリュームの位置はすでに設定されています。	対処の必要はありません。
605,55381	指定されたボリュームの位置は設定できません。	対処の必要はありません。
605,55382	指定されたボリュームの位置は設定できません。	対処の必要はありません。
605,55383	指定されたデバイスはすでに定義されています。	対処の必要はありません。
605,55384	指定された LDEV の容量が外部ボリュームの容量と一致しません。	対処の必要はありません。
605,55385	SSID 値が設定されていません。	対処の必要はありません。
605,55386	1 ポートの登録パス数が最大値に達しました。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
605,55387	サブシステムで使用できない CU 番号が指定されました。	対処の必要はありません。
605,55388	プログラムプロダクトがインストールされていません。	対処の必要はありません。
605,55389	指定された外部パスがありませんでした。	対処の必要はありません。
605,55390	SSID の指定方法に誤りがあります。	対処の必要はありません。
605,55391	サポートされていないデバイスが指定されました。	対処の必要はありません。
605,55392	指定された SSID 値はすでに使用されています。	対処の必要はありません。
605,55393	パスの設定内容に誤りがあります。	対処の必要はありません。
605,55430	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
5205,55431	指定したボリュームは、FlashCopy(R) Mirror Version 2 によって使用されています。	対処の必要はありません。
5205,55432	指定したボリュームは、FlashCopy(R) Mirror Version 2 によって使用されています。	対処の必要はありません。
5205,55433	指定したボリュームは、FlashCopy(R) Mirror Version 2 によって使用されています。	対処の必要はありません。
3005,55505	同じプール内のデータプールボリュームが異なる CLPR への移動を指定されたので、指定された操作は実行できません。	対処の必要はありません。
3005,55506	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
3005,55507	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
3005,55508	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
3005,55509	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
3005,55510	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
3005,55511	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
3005,55512	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
3005,55513	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
3005,55514	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
3005,55516	指定した機能は COW Snapshot のプログラムプロダクトがインストールされていないので、利用できません。	対処の必要はありません。
3005,55517	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
3005,55519	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
5205,55521	指定したボリュームは、COW Snapshot のボリュームとしてすでに使用されています。	対処の必要はありません。
5205,55522	指定したボリュームは、V-VOL としてすでに使用されています。	対処の必要はありません。
5205,55523	指定したボリュームは、データプールボリュームとしてすでに使用されています。	対処の必要はありません。
5205,55524	指定したボリュームは、COW Snapshot のボリュームとしてすでに使用されています。	対処の必要はありません。
5205,55525	指定したボリュームは、V-VOL としてすでに使用されています。	対処の必要はありません。
5205,55526	指定したボリュームは、データプールボリュームとしてすでに使用されています。	対処の必要はありません。
5205,55527	指定したボリュームは、COW Snapshot のボリュームとしてすでに使用されています。	対処の必要はありません。
5205,55528	指定したボリュームは、V-VOL としてすでに使用されています。	対処の必要はありません。
5205,55529	指定したボリュームは、データプールボリュームとしてすでに使用されています。	対処の必要はありません。
9105,55548	指定した LDEV はジャーナルボリュームなので、設定できません。	対処の必要はありません。
5205,55549	指定したボリュームは、Universal Replicator または Universal Replicator z/OS(R)によってジャーナルボリュームとして使用されています。	対処の必要はありません。
5205,55550	指定したボリュームは、Universal Replicator または Universal Replicator z/OS(R)によってジャーナルボリュームとして使用されています。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
5205,55551	指定したボリュームは、Universal Replicator または Universal Replicator z/OS(R)によってジャーナルボリュームとして使用されています。	対処の必要はありません。
5205,55552	指定したブランチは内部ボリュームと外部ボリュームにわたっています。さらに、Universal Replicator または Universal Replicator z/OS(R)によってボリュームが使用されています。	対処の必要はありません。
1005,55553	指定したポートはファイバーポートではありません。	対処の必要はありません。
1005,55554	指定した WWN は登録されていません。	対処の必要はありません。
1005,55555	WWN の値が設定されていないか、WWN の値に 0 (ゼロ) が設定されています。	対処の必要はありません。
1005,55556	指定したポートは iSCSI ポートではありません。	対処の必要はありません。
1005,55557	指定した iSCSI 名称は登録されていません。	対処の必要はありません。
1005,55558	iSCSI 名称の値が設定されていないか、iSCSI 名称の値に 0 (ゼロ) が設定されています。	対処の必要はありません。
1005,55559	指定したパッケージは iSCSI 用なので、設定できません。	対処の必要はありません。
1005,55560	指定したポートは iSCSI のポートなので、ファイバーアドレス、トポロジー、チャンネル速度およびポート属性(イニシエーターまたはターゲット)の変更はできません。	対処の必要はありません。
1005,55562	指定した LU は NAS のシステム LU として使用できないか、すでに使用中です。	対処の必要はありません。
1005,55563	指定した LDEV は NAS のシステム LU として定義できません。	対処の必要はありません。
1005,55565	指定したシステム LU は NAS のユーザー LU があるので、削除できません。	対処の必要はありません。
1005,55567	指定したボリュームは V-VOL なので、NAS のパスを設定できません。	対処の必要はありません。
1005,55568	指定したターゲット名称または iSCSI 名称のニックネームはすでに登録されています。	対処の必要はありません。
1005,55569	指定したグループ ID はすでに登録されています。	対処の必要はありません。
1005,55570	ターゲット名称、ターゲットエイリアス、iSCSI 名称、および iSCSI 名称のニックネームで指定できない文字または文字数が指定されました。	対処の必要はありません。
1005,55571	ポート内に設定できるターゲットの最大値を超えているので、ターゲットの設定ができません。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
1005,55572	ポート内に設定できる iSCSI 名称の最大値を超えているので、iSCSI 名称の設定ができません。	対処の必要はありません。
1005,55573	iSCSI 名称のニックネームには、デフォルトのニックネームを指定できません。	対処の必要はありません。
1005,55574	指定したポートはイニシエーターまたは External 属性なので、設定を変更できません。	対処の必要はありません。
8505,55577	CU 番号を SLPR に割り当てる場合は、CU グループを同一にしてください。	対処の必要はありません。
8505,55578	ポートを SLPR に割り当てる場合は、CU グループを同一にしてください。	対処の必要はありません。
8505,55579	SSID を SLPR に割り当てる場合は、CU グループを同一にしてください。	対処の必要はありません。
8505,55580	CLPR を SLPR に割り当てる場合は、CU グループを同一にしてください。	対処の必要はありません。
8505,55581	バリティグループを SLPR に割り当てる場合は、CU グループを同一にしてください。	対処の必要はありません。
9605,55584	設定した LDEV は選択されている CU グループに属していない LDEV です。	対処の必要はありません。
5205,55586	指定したボリュームはエクステントのシュレディング中なので、移動できません。	対処の必要はありません。
1,55589	選択されている CU グループは正しくありません。	対処の必要はありません。
1005,55591	指定した iSCSI のターゲット名称は、Target#00 用として予約されているので、登録できません。	対処の必要はありません。
5205,55598	指定したボリュームは、Universal Replicator または Universal Replicator z/OS(R)のデルタリシンのボリュームとして使用されています。	対処の必要はありません。
5205,55599	指定したボリュームは、Universal Replicator または Universal Replicator z/OS(R)のデルタリシンのボリュームとして使用されています。	対処の必要はありません。
5205,55600	指定したボリュームは、Universal Replicator または Universal Replicator z/OS(R)のデルタリシンのボリュームとして使用されています。	対処の必要はありません。
1205,56298	SVP が通信中です。処理が完了してから再実行してください。	対処の必要はありません。
1205,56299	iSCSI に接続されているホストと I/O 動作中です。	対処の必要はありません。
1205,56300	SVP が通信中です。処理が完了してから再実行してください。	対処の必要はありません。
3005,56301	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
3005,56302	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
3005,56303	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
105,56507	構成変更によりライセンス容量が不足するプログラムプロダクトがあります。License Key 画面で、ライセンス容量の追加を実施してください。10 日以内に不足したライセンス容量を追加しないと、プログラムプロダクトが使用できなくなります。	対処の必要はありません。
605,56507	構成変更によりライセンス容量が不足するプログラムプロダクトがあります。License Key 画面で、ライセンス容量の追加を実施してください。10 日以内に不足したライセンス容量を追加しないと、プログラムプロダクトが使用できなくなります。	対処の必要はありません。
3205,56513	増設できないエミュレーションタイプが指定されました。指定したエミュレーションタイプを設定したいときは、キャッシュセグメントサイズを変更する必要があるため、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
3205,56514	指定したボリュームの容量は、操作できる最小容量より小さいので、LU の追加ができません。	対処の必要はありません。
605,56515	対象のボリュームには、[Disconnect Subsystem] または [Disconnect Volume] 操作が必要です。	対処の必要はありません。
3205,56516	リモートコピーの設定があります。リモートコピーの設定を解除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
605,56517	ShadowImage, ShadowImage z/ OS(R), FlashCopy(R) Mirror, または COW Snapshot の設定があります。設定を解除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
3205,56517	ShadowImage, ShadowImage z/ OS(R), FlashCopy(R) Mirror, または COW Snapshot の設定があります。設定を解除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
605,56519	ShadowImage, ShadowImage z/ OS(R), または FlashCopy(R) Mirror のリザーブ設定があります。リザーブ設定を解除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
3205,56519	ShadowImage, ShadowImage z/ OS(R), FlashCopy(R) Mirror, または COW Snapshot のリザーブ設定があります。リザーブ設定を解除してから再実行してください。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
3205,56520	Volume Migration のリザーブボリュームの設定があります。リザーブボリュームの設定を解除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
105,56521	LU 追加操作により、ライセンス容量が不足するプログラムプロダクトがあります。	対処の必要はありません。
605,56521	LU 追加操作により、ライセンス容量が不足するプログラムプロダクトがあります。	対処の必要はありません。
1,56524	分割ストレージ管理者は、この機能を使用できません。	対処の必要はありません。
2,56524	分割ストレージ管理者は、この機能を使用できません。	対処の必要はありません。
305,56524	分割ストレージ管理者は、この機能を使用できません。	対処の必要はありません。
405,56524	分割ストレージ管理者は、この機能を使用できません。	対処の必要はありません。
505,56524	分割ストレージ管理者は、この機能を使用できません。	対処の必要はありません。
605,56524	分割ストレージ管理者は、この機能を使用できません。	対処の必要はありません。
3005,56524	分割ストレージ管理者は、この機能を使用できません。	対処の必要はありません。
5205,56524	分割ストレージ管理者は、この機能を使用できません。	対処の必要はありません。
6005,56524	分割ストレージ管理者は、この機能を使用できません。	対処の必要はありません。
6505,56524	分割ストレージ管理者は、この機能を使用できません。	対処の必要はありません。
6805,56524	分割ストレージ管理者は、この機能を使用できません。	対処の必要はありません。
7005,56524	分割ストレージ管理者は、この機能を使用できません。	対処の必要はありません。
7105,56524	分割ストレージ管理者は、この機能を使用できません。	対処の必要はありません。
8005,56524	分割ストレージ管理者は、この機能を使用できません。	対処の必要はありません。
8305,56524	分割ストレージ管理者は、この機能を使用できません。	対処の必要はありません。
8505,56524	分割ストレージ管理者は、この機能を使用できません。	対処の必要はありません。
9005,56524	分割ストレージ管理者は、この機能を使用できません。	対処の必要はありません。
2,56525	複数の SLPR にわたった設定があるため、分割ストレージ管理者からストレージ管理者に使用権限が移行しています。	操作を続けたい場合はストレージ管理者に連絡してください。他の操作を行いたい場合は機能ボタンを押下して下さい。
305,56525	複数の SLPR にわたった設定があるため、分割ストレージ管理者からストレージ管理者に使用権限が移行しています。	操作を続けたい場合はストレージ管理者に連絡してください。他の操作を行いたい場合は機能ボタンを押下して下さい。

エラーコード	説明	対処
3005,56525	複数の SLPR にわたった設定があるため、分割ストレージ管理者からストレージ管理者に使用権限が移行しています。	操作を続けたい場合はストレージ管理者に連絡してください。他の操作を行いたい場合は機能ボタンを押下して下さい。
4105,56525	複数の SLPR にわたった設定があるため、分割ストレージ管理者からストレージ管理者に使用権限が移行しています。	操作を続けたい場合はストレージ管理者に連絡してください。他の操作を行いたい場合は機能ボタンを押下して下さい。
5105,56525	複数の SLPR にわたった設定があるため、分割ストレージ管理者からストレージ管理者に使用権限が移行しています。	操作を続けたい場合はストレージ管理者に連絡してください。他の操作を行いたい場合は機能ボタンを押下して下さい。
5205,56525	複数の SLPR にわたった設定があるため、分割ストレージ管理者からストレージ管理者に使用権限が移行しています。	操作を続けたい場合はストレージ管理者に連絡してください。他の操作を行いたい場合は機能ボタンを押下して下さい。
5305,56525	複数の SLPR にわたった設定があるため、分割ストレージ管理者からストレージ管理者に使用権限が移行しています。	操作を続けたい場合はストレージ管理者に連絡してください。他の操作を行いたい場合は機能ボタンを押下して下さい。
8005,56525	複数の SLPR にわたった設定があるため、分割ストレージ管理者からストレージ管理者に使用権限が移行しています。	操作を続けたい場合はストレージ管理者に連絡してください。他の操作を行いたい場合は機能ボタンを押下して下さい。
9605,56525	複数の SLPR にわたった設定があるため、分割ストレージ管理者からストレージ管理者に使用権限が移行しています。	操作を続けたい場合はストレージ管理者に連絡してください。他の操作を行いたい場合は機能ボタンを押下して下さい。
*,56526	別の SLPR の資源にアクセスできません。	対処の必要はありません。
8505,56527	ログインしているユーザがいるため、そのユーザが所有している SLPR 情報は修正できません。	対処の必要はありません。
9605,56528	ストレージ管理者が操作中なので、操作できません。	対処の必要はありません。
1,56529	使用できる SLPR が存在しません。	ストレージ管理者に SLPR の設定を依頼してください。
6505,56535	現在処理中です。	しばらくしてから再実行してください。
605,56536	構成を変更したためライセンスの許可容量を超過しました。	License Key Partition Definition 画面で、ライセンスの許可容量を修正してください。
8505,56536	構成を変更したためライセンスの許可容量を超過しました。	License Key Partition Definition 画面で、ライセンスの許可容量を修正してください。
2,56543	別の CU グループの資源にアクセスできません。	対処の必要はありません。
1005,56543	別の CU グループの資源にアクセスできません。	対処の必要はありません。
5105,56543	別の CU グループの資源にアクセスできません。	対処の必要はありません。
1,56545	監査ログが処理中なので、操作に失敗しました。処理が完了してから再実行してください。	対処の必要はありません。
7,56546	別のユーザーがダウンロード、または FTP サーバに転送中です。しばらくしてから再操作してください。	対処の必要はありません。
1,56548	SVP により FTP サーバに転送中です。しばらくしてから再操作してください。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
1,56549	別のユーザーがダウンロード、または FTP サーバに転送中です。しばらくしてから再操作してください。	対処の必要はありません。
1,56550	FTP サーバへの転送が無効に設定されています。設定内容を見直してください。	対処の必要はありません。
1,56551	FTP サーバとの接続に失敗しました。IP アドレス、または SVP と FTP サーバ間の接続を確認してください。	対処の必要はありません。
1,56552	FTP サーバへのファイル転送は失敗しました。ユーザ ID とパスワードを確認してください。	対処の必要はありません。
1,56553	FTP サーバへのファイル転送に失敗しました。出力フォルダと FTP サーバの状態を確認してください。	対処の必要はありません。
1,56554	FTP サーバへのファイル転送は失敗しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
1,56555	監査ログに関する SIM は、すべてコンプリート操作が実施されています。	対処の必要はありません。
1,56556	転送されていない監査ログの件数がしきい値を超えているため、SIM のコンプリート操作は失敗しました。	対処の必要はありません。
1,56557	SVP がビジー状態であるため、SIM のコンプリート操作が完了していない可能性があります。	対処の必要はありません。
505,57004	サブシステム内部の CLPR 情報に矛盾があります。CLPR 情報を修正してください。	対処の必要はありません。
8005,57004	サブシステム内部の CLPR 情報に矛盾を検出しました。CLPR 情報を修正してください。	対処の必要はありません。
4105,57010	PCR 定義がある CLPR と NAS ポートの SLPR が異なります。	対処の必要はありません。
1205,57099	指定した要求内容には、予期しないパラメータが設定されています。	対処の必要はありません。
1205,57100	指定した要求には、内部の論理エラーがあります。	対処の必要はありません。
3005,57101	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
3005,57102	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
1,57106	監査ログの管理ファイルに正しくない値が含まれています。指定を見直してから再実行してください。	対処の必要はありません。
605,58246	この機能はサポートされていません。	対処の必要はありません。
605,58247	指定した正ボリュームには VMA が設定されています。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
605,58248	指定した副ボリュームには VMA が設定されています。	対処の必要はありません。
605,58249	指定されたボリュームは NAS のユーザボリュームとして使用中です。	対処の必要はありません。
605,58299	指定された P-VOL には Universal Replicator の設定があるため、コマンドは拒否されました。	対処の必要はありません。
7005,58299	指定した正ボリュームは Universal Replicator のデータボリュームなので、操作に失敗しました。Universal Replicator と併用するときの条件を確認してください。	対処の必要はありません。
7105,58299	指定された S-VOL には Universal Replicator Mainframe の設定があるため、コマンドは拒否されました。	対処の必要はありません。
605,58300	指定された S-VOL には Universal Replicator の設定があるため、コマンドは拒否されました。	対処の必要はありません。
7005,58300	指定した副ボリュームは Universal Replicator のデータボリュームなので、操作に失敗しました。	対処の必要はありません。
7105,58300	指定された T-VOL には Universal Replicator Mainframe の設定があるため、コマンドは拒否されました。	対処の必要はありません。
605,58301	指定されたボリュームには Universal Replicator の設定があるため、コマンドは拒否されました。	対処の必要はありません。
7005,58301	指定したボリュームは Universal Replicator のデータボリュームなので、リザーブ設定に失敗しました。	対処の必要はありません。
7105,58301	指定されたボリュームには Universal Replicator Mainframe の設定があるため、コマンドは拒否されました。	対処の必要はありません。
8505,58310	ディスクサブシステムの共用メモリーが一部閉塞しているか、または保守作業中の可能性があります。ディスクサブシステムの状態を確認してください。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
8505,58311	ディスクサブシステムのキャッシュメモリーが一部閉塞しているか、または保守作業中の可能性があります。ディスクサブシステムの状態を確認してください。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
8505,58312	対象の CLPR の書き込み待ち率が高いため、構成を変更できません。	書き込み待ち率が下がってから再操作してください。
8505,58313	対象の CLPR の Cache Residency 容量または領域数が少ないため、構成を変更できません。	Cache Residency 容量および領域数を確認してください。

エラーコード	説明	対処
8505,58314	対象の CLPR の Partial Cache Residence 容量が少ないため、構成を変更できません。	Partial Cache Residence 容量を確認してください。
8505,58315	ディスクサブシステムで保守ジョブ(コレクションコピー, ドライブコピー, LDEV フォーマット, LDEV シュレディング, または Extent シュレディング)が動作しています。保守ジョブが終了してから、再操作してください。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
8505,58316	現在、ディスクサブシステムは CLPR のパリティグループを移動処理中です。しばらくしてから再操作してください。	しばらくしてから再実行してください。
8505,58317	現在、ディスクサブシステムは CLPR の容量変更処理中です。しばらくしてから再操作してください。	しばらくしてから再実行してください。
8505,58318	CLPR 処理の進行状態を取得中に DKC 側でエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
6005,58319	指定した正ボリュームは Universal Replicator または Universal Replicator z/OS(R)で使用されているので、ペアを形成できません。	対処の必要はありません。
6005,58320	指定した副ボリュームは Universal Replicator または Universal Replicator z/OS(R)で使用されているので、ペアを形成できません。	対処の必要はありません。
6005,58321	指定された正 VOL は複数の CLPR にわたって設定された LUSE ボリュームのためペアを形成できません。	対処の必要はありません。
6005,58322	指定された副 VOL は複数の CLPR にわたって設定された LUSE ボリュームのためペアを形成できません。	対処の必要はありません。
8505,58323	指定されたパリティグループには、TrueCopy Async または TrueCopy Async Mainframe の CT グループの一部のペアボリュームが含まれているため、パリティグループが属する CLPR を変更できません。	CT グループ内のすべてのペアボリュームが含まれるようにパリティグループを指定してください。
605,58330	Disconnect subsystem または Disconnect volume 実行後は、Disconnect paths と Check paths を実行できません。	対処の必要はありません。
605,58331	Disconnect paths または Check paths で要求されたパスがありませんでした。	対処の必要はありません。
605,58332	外部ボリュームは閉塞状態です。	対処の必要はありません。
8505,58339	指定したパリティグループには、ジャーナルグループ内の Universal Replicator ボリュームや Universal Replicator z/OS(R)ボリューム、またはジャーナルボリュームの一部が含まれているので、パリティグループが属する CLPR を変更できません。ジャーナル	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
	グループに関連するすべてのボリュームが含まれるようにパリティグループを指定してください。	
7005,58351	指定されたペアは内部ボリュームと外部ボリュームで構成され、さらに Universal Replicator と共用されているため、Quick Restore コマンドは拒否されました。	対処の必要はありません。
7105,58351	指定されたペアは内部ボリュームと外部ボリュームで構成され、さらに Universal Replicator Mainframe と共用されているため、Quick Restore コマンドは拒否されました。	対処の必要はありません。
7005,58356	指定したボリュームは、Universal Replicator と TrueCopy で共用されているので、コマンドは拒否されました。	対処の必要はありません。
6005,58357	Data Retention によって VMA が設定されたボリュームと、VMA が設定されていないボリュームを組み合わせているので、ペアを作成できません。	対処の必要はありません。
6005,58358	指定した正ボリュームは、Data Retention で使用する VMA の設定処理が完了していないので、ペアを作成できません。	対処の必要はありません。
6005,58359	指定した副ボリュームは、Data Retention で使用する VMA の設定処理が完了していないので、ペアを作成できません。	対処の必要はありません。
1205,58387	設定内容を実行中に通信エラーが発生しました。	対処の必要はありません。
1205,58388	iSCSI 用の PCB が実装されていません。	対処の必要はありません。
1205,58389	指定した機能はサポートされていません。	対処の必要はありません。
1205,58390	ディスクサブシステムはマイクロプログラムの交換中です。マイクロプログラムの交換が完了してから再実行してください。	対処の必要はありません。
1205,58391	指定したポートは閉塞しています。	対処の必要はありません。
1205,58392	対象のポートは接続状態が異常です。	対処の必要はありません。
1205,58393	iSNS サーバとの通信中に通信エラーが発生しました。	対処の必要はありません。
1205,58394	iSNS サーバでの登録処理でエラーが発生しました。	対処の必要はありません。
1205,58395	iSNS サーバでの削除処理でエラーが発生しました。	対処の必要はありません。
1205,58396	iSNS サーバに削除する対象がありません。	対処の必要はありません。
605,58397	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
605,58398	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。	対処の必要はありません。
605,58399	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。	対処の必要はありません。
605,58400	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口ご連絡してください。	対処の必要はありません。
9605,58404	LDEV シュレディング, エクステン トシュレディング, または LDEV フォーマットを実行しているので, 指定 した操作は処理できません。処理が完 了してから再実行してください。	対処の必要はありません。
605,58406	Universal Replicator または Universal Replicator z/OS(R)で使用中 のボリュームに対して, Delete LU 操作 が実行されました。	対処の必要はありません。
605,58407	Universal Replicator のジャーナルボ リュームに対して, Delete LU 操作は実 行できません。	対処の必要はありません。
605,58408	指定した外部ボリュームの状態が Cache Cleanup 中なので, Disconnect subsystem または Disconnect volume を実行できません。	対処の必要はありません。
605,58409	Disconnect subsystem または Disconnect volume を実行中のとき, キャッシュモードは変更できません。	対処の必要はありません。
605,58410	指定したボリュームにはバインドモー ドが設定されているので, キャッシュ モードは変更できません。	対処の必要はありません。
605,58411	LUSE ボリュームを構成するボリューム の中でキャッシュモードが異なって います。LUSE ボリュームを構成する すべてのボリュームは, 同じキャッシュ モードにしてください。	対処の必要はありません。
9605,58412	データプールボリュームの属性は変更 できません。	対処の必要はありません。
9605,58413	V-VOL の属性は変更できません。	対処の必要はありません。
9605,58414	COW Snapshot の正ボリュームまたは 副ボリュームの属性は変更できません。	対処の必要はありません。
9605,58415	データプールボリュームの VMA は変 更できません。	対処の必要はありません。
9605,58416	V-VOL の VMA は変更できません。	対処の必要はありません。
9605,58417	COW Snapshot の正ボリュームまたは 副ボリュームの VMA は変更できませ ん。	対処の必要はありません。
9605,58418	指定したボリュームはペアボリューム またはコピー中の Universal Replicator ボリュームなので, アクセス 属性を変更できません。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
9605,58419	VMA が設定されているリモートコピーの正ボリュームまたは副ボリュームのアクセス属性は変更できません。	対処の必要はありません。
9605,58420	指定した論理ボリュームは LUSE ボリュームなので、VMA を設定できません。	対処の必要はありません。
9605,58421	Cross-system Copy で使用しているボリュームなので、VMA を設定できません。	対処の必要はありません。
9605,58422	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
9605,58423	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	対処の必要はありません。
9605,58424	指定した論理ボリュームは閉塞しています。	対処の必要はありません。
9605,58425	論理ボリュームは、Universal Replicator のジャーナルボリュームとして使用されているので、VMA を設定できません。	対処の必要はありません。
9605,58426	この LDEV にはすでにエクステン트가作成されています。	対処の必要はありません。
9605,58427	この論理ボリュームには VMA が設定されていません。	対処の必要はありません。
9605,58428	この LDEV にはエクステン트가設定されていません。	対処の必要はありません。
9605,58429	この論理ボリュームには保護期間が設定されています。	対処の必要はありません。
9605,58430	指定した論理ボリュームは iSCSI 用の論理ボリュームとして使用されているので、VMA を設定できません。	対処の必要はありません。
9605,58431	論理ボリュームは、Cross-system Copy で使用されているので、VMA を設定できません。	対処の必要はありません。
9605,58432	論理ボリュームは、Volume Migration で使用されているので、VMA を設定できません。	対処の必要はありません。
9605,58433	このエクステン트에アクセス属性が設定されています。	対処の必要はありません。
9605,58434	論理ボリュームは動作中です。	対処の必要はありません。
9605,58435	論理ボリュームは動作中です。	対処の必要はありません。
9605,58436	この論理ボリュームのアクセス属性はすでに変更されています。	対処の必要はありません。
9605,58437	この論理ボリュームには、VMA が設定されています。	対処の必要はありません。
9605,58438	論理ボリュームはコマンドデバイスとして設定されています。	対処の必要はありません。
9605,58439	論理ボリュームは NAS のシステムボリュームです。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
9605,58440	論理ボリュームは NAS のユーザーボリュームです。	対処の必要はありません。
9605,58441	論理ボリュームは iSCSI ボリュームです。	対処の必要はありません。
9605,58442	論理ボリュームのエミュレーションタイプが OPEN-V ではありません。	対処の必要はありません。
9605,58443	論理ボリュームはメインフレームボリュームです。	対処の必要はありません。
9605,58444	論理ボリュームはリモートコピー、ShadowImage または Universal Replicator で使用されているので、VMA を設定できません。	対処の必要はありません。
9605,58445	論理ボリュームは ShadowImage で使用されているので、VMA を設定できません。	対処の必要はありません。
9605,58446	Universal Replicator の副ボリュームに対して VMA 設定がされました。	対処の必要はありません。
9605,58447	パスが設定されている論理ボリュームに対して VMA を設定しようとしたので、コマンドは拒否されました。	対処の必要はありません。
9605,58448	指定した論理ボリュームは閉塞しているか、LDEV フォーマットまたは LDEV シュレディングの動作中です。	対処の必要はありません。
9605,58449	この論理ボリュームはマッピングされている外部ボリュームと容量が異なります。	対処の必要はありません。
9605,58450	SVP 側の処理中にエラーが発生しました。再発するときは顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。	対処の必要はありません。
6005,58452	RCU 側の Data Retention のライセンス容量が不足しているか、または RCU に Data Retention がインストールされていないため、操作が失敗しました。	対処の必要はありません。
605,58453	Data Retention の課金容量を超えたので、コマンドは拒否されました。	対処の必要はありません。
6005,58454	MCU 側の Data Retention のライセンス容量が不足しているか、または MCU に Data Retention がインストールされていないため、操作が失敗しました。	対処の必要はありません。
3005,58460	論理ボリュームは実装されていないので、登録できません。	対処の必要はありません。
6005,58460	指定した正ボリュームは、Universal Replicator または Universal Replicator z/OS(R)の正ボリュームとして使用されています。正ボリュームを共用する場合は、ゼロ (0) 以外のミラー ID で Universal Replicator または Universal Replicator z/OS(R)のペアを作成し直してから再実行してください。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
3005,58461	論理ボリュームは閉塞しているので、指定した操作はできません。	対処の必要はありません。
3005,58462	論理ボリュームはデータプールボリュームとして定義されているので、登録できません。	対処の必要はありません。
3005,58463	指定した論理ボリュームは、すでに登録されているプールの論理ボリュームと CLPR 番号が一致していないので登録できません。	対処の必要はありません。
3005,58464	指定した論理ボリュームは V-VOL なので、登録できません。	対処の必要はありません。
3005,58465	コマンドデバイスとして設定されているボリュームは、データプールボリュームの構成ボリュームとして設定できません。	対処の必要はありません。
3005,58466	指定した論理ボリュームには SCSI パスが設定されているので、登録できません。	対処の必要はありません。
3005,58467	課金容量を超えているので、指定したボリュームをデータプールボリュームに設定できません。	対処の必要はありません。
3005,58468	論理ボリュームのエミュレーションタイプが正しくありません。	対処の必要はありません。
3005,58469	指定した論理ボリュームは別のプログラムプロダクトで使用されています。	対処の必要はありません。
3005,58470	プール使用率が 100%なので、指定された操作はできません。	対処の必要はありません。
3005,58471	V-VOL 管理領域の共用メモリ (SM) 容量が不足しています。	対処の必要はありません。
3005,58472	<p>プールの操作に失敗しました。次の状態のとき、プールは登録できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮想 VOL 管理領域が初期化されていない 仮想 VOL 管理領域が実装されていない 仮想 VOL 管理領域に空きがない プールが閉塞している 共用メモリ (SM) 異常 <p>次の状態のとき、プールは削除できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮想 VOL 管理領域が初期化されていない 仮想 VOL 管理領域が実装されていない COW Snapshot のペアが残っている 正 VOL が残っている プールが閉塞している <p>次の状態のとき、プールのしきい値は変更できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> しきい値の設定がプールの使用量未満である 	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
3005,58473	プールの設定時にエラーが発生しました。プールに設定されている論理ボリュームのエラーメッセージを確認してください。	対処の必要はありません。
3005,58474	共用メモリ (SM) のメモリ容量が不足しています。または、SVP で処理中にエラーが発生しました。	対処の必要はありません。
3005,58475	ファイバーポート用または iSCSI ポート用の PCB が実装されていません。	対処の必要はありません。
605,58476	指定した正ボリュームは COW Snapshot の正ボリュームなので、操作を実行できません。	対処の必要はありません。
7005,58476	指定した正ボリュームは COW Snapshot の正ボリュームなので、操作を実行できません。	対処の必要はありません。
605,58477	指定した正ボリュームは V-VOL なので、操作を実行できません。	対処の必要はありません。
7005,58477	指定した正ボリュームは V-VOL なので、操作を実行できません。	対処の必要はありません。
605,58478	指定した正ボリュームはデータプールボリュームなので、操作を実行できません。	対処の必要はありません。
7005,58478	指定した正ボリュームはデータプールボリュームなので、操作を実行できません。	対処の必要はありません。
605,58479	指定した副ボリュームは COW Snapshot の正ボリュームなので、操作を実行できません。	対処の必要はありません。
7005,58479	指定した副ボリュームは COW Snapshot の正ボリュームなので、操作を実行できません。	対処の必要はありません。
605,58480	指定した副ボリュームは V-VOL なので、操作を実行できません。	対処の必要はありません。
7005,58480	指定した副ボリュームは V-VOL なので、操作を実行できません。	対処の必要はありません。
605,58481	指定した副ボリュームはデータプールボリュームなので、操作を実行できません。	対処の必要はありません。
7005,58481	指定した副ボリュームはデータプールボリュームなので、操作を実行できません。	対処の必要はありません。
605,58482	指定したリザーブボリュームは COW Snapshot の正ボリュームなので、操作を実行できません。	対処の必要はありません。
7005,58482	指定したリザーブボリュームは COW Snapshot の正ボリュームなので、操作を実行できません。	対処の必要はありません。
605,58483	指定したリザーブボリュームは V-VOL なので、操作を実行できません。	対処の必要はありません。
7005,58483	指定したリザーブボリュームは V-VOL なので、操作を実行できません。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
605,58484	指定したリザーブボリュームはデータプールボリュームなので、操作を実行できません。	対処の必要はありません。
7005,58484	指定したリザーブボリュームはデータプールボリュームなので、操作を実行できません。	対処の必要はありません。
3005,58491	ディスクサブシステムで通信タイムアウトエラーが発生しました。しばらくしてから再実行してください。	対処の必要はありません。
7005,58492	Pairsplit-S 操作が失敗しました。構成を確認してください。	対処の必要はありません。
7005,58493	この操作に必要な PCB が実装されていません。装置構成を確認してください。	対処の必要はありません。
6005,58494	指定した正ボリュームは COW Snapshot で使用されているので、ペアを形成できません。	対処の必要はありません。
6005,58495	指定した副ボリュームは COW Snapshot で使用されているので、ペアを形成できません。	対処の必要はありません。
6005,58496	指定した正ボリュームは V-VOL なので、ペアを形成できません。	対処の必要はありません。
6005,58497	指定した副ボリュームは V-VOL なので、ペアを形成できません。	対処の必要はありません。
6005,58498	指定した正ボリュームはデータプールボリュームとして使用されているので、ペアを形成できません。	対処の必要はありません。
6005,58499	指定した副ボリュームはデータプールボリュームとして使用されているので、ペアを形成できません。	対処の必要はありません。
6005,58509	MCU と RCU 間の通信でタイムアウトエラーが発生しました。しばらくしてから再設定してください。	対処の必要はありません。
6005,58515	移行データのコピー量チェックで不一致を検出しました。Data Migration 操作手順書のコピー量チェックの章を参照してください。	対処の必要はありません。
6005,58516	移行データのコピー量チェックで不一致を検出しました。Data Migration 操作手順書のコピー量チェックの章を参照してください。	対処の必要はありません。
7005,58520	ディスクサブシステム内でバージョンの異なるマイクロプログラムが混在しているので、操作に失敗しました。	対処の必要はありません。
7005,58533	指定した正ボリュームはジャーナルボリュームなので、操作に失敗しました。	対処の必要はありません。
7005,58534	指定した副ボリュームはジャーナルボリュームなので、操作に失敗しました。	対処の必要はありません。
7005,58535	指定したボリュームはジャーナルボリュームなので、リザーブ設定に失敗しました。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
7005,58536	指定した副ボリュームは Universal Replicator のデータボリュームなので、操作に失敗しました。Universal Replicator と併用するときの条件を確認してください。	対処の必要はありません。
6005,58568	指定した正ボリュームは Data Retention によってシュレディング中なので、ペアを形成できません。シュレディングが終了してから再実行してください。	対処の必要はありません。
6005,58569	指定した副ボリュームは Data Retention によってシュレディング中なので、ペアを形成できません。シュレディングが終了してから再実行してください。	対処の必要はありません。
3005,58570	V-VOL 管理領域を使用中です。COW Snapshot のペアを削除してから再実行してください。	対処の必要はありません。
3005,58571	データプールボリュームが実装されていないので、指定した操作はできません。	対処の必要はありません。
3005,58572	ディスクサブシステムとの通信中にエラーが発生しました。しばらくしてから再実行してください。プール操作時にエラーが発生した場合は、V-VOL の管理領域を初期化し、[全更新] ボタンをクリックして構成の再読み込みをしてから再実行してください。	対処の必要はありません。
*,58573	この機能はサポートされていません。	対処の必要はありません。
3005,58574	ディスクサブシステムとの通信中にエラーが発生しました。しばらくしてから再実行してください。	対処の必要はありません。
3005,58575	ディスクサブシステムとの通信中にエラーが発生しました。しばらくしてから再実行してください。	対処の必要はありません。
3005,58576	ディスクサブシステムで通信タイムアウトエラーが発生しました。しばらくしてから再実行してください。	対処の必要はありません。
6005,58577	副ボリュームの消去操作はできません。ペア削除操作をしてください。	対処の必要はありません。
2,58578	ディスクサブシステム内でエラーが発生しました。構成が不一致になっているおそれがあるので、[全更新] ボタンをクリックして構成の再読み込みをしてください。	対処の必要はありません。
7005,58579	指定したボリュームは Data Retention によってシュレディング中なので、操作に失敗しました。シュレディングが終了してから再実行してください。	対処の必要はありません。
1205,58581	ターゲットポートが作成されていないので、iSNS サーバの登録または削除ができませんでした。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
7005,58582	指定した副ボリュームは COW Snapshot で使用されているので、操作に失敗しました。	対処の必要はありません。
7005,58583	ボリュームが共用されている COW Snapshot のペアがあるので、操作に失敗しました。	対処の必要はありません。
7005,58584	ボリュームが共用されている COW Snapshot のペアが COPY (RS-R) 状態なので、操作に失敗しました。	対処の必要はありません。
605,58585	指定したボリュームの CU グループはサポートされていないので、操作に失敗しました。	対処の必要はありません。
7005,58585	指定したボリュームの CU グループはサポートされていないので、操作に失敗しました。	対処の必要はありません。
6005,58586	指定した副 VOL は、ホストにより副 VOL として使用できない設定になっているため、操作が失敗しました。	対処の必要はありません。
605,58622	プールボリュームを含む外部ボリュームに対して、LU を削除できません。プールボリュームの設定を解除してから再操作してください。	対処の必要はありません。
105,58623	保守対象のプールボリュームを使用している COW Snapshot ペアは PSUS 状態または Restore 中なので、指定した操作は実行できません。保守対象のプールボリュームを使用している COW Snapshot ペアをリシンク、またはペアの定義を解除してから再操作してください。	対処の必要はありません。
605,58623	保守対象のプールボリュームを使用している COW Snapshot ペアは PSUS 状態または Restore 中なので、指定した操作は実行できません。保守対象のプールボリュームを使用している COW Snapshot ペアをリシンク、またはペアの定義を解除してから再操作してください。	対処の必要はありません。
105,58626	COW Snapshot のペアが定義されています。ペアの定義を解除してから再操作してください。	対処の必要はありません。
605,58626	COW Snapshot のペアが定義されています。ペアの定義を解除してから再操作してください。	対処の必要はありません。
605,58630	指定した P-VOL は Universal Replicator のデルタリシンクで使用されているため、操作は失敗しました。	対処の必要はありません。
7005,58630	指定した P-VOL は Universal Replicator のデルタリシンクで使用されているため、操作は失敗しました。	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
605,58631	指定した S-VOL は Universal Replicator のデルタリンクで使用されているため、操作は失敗しました。	対処の必要はありません。
7005,58631	指定した P-VOL は Universal Replicator のデルタリンクで使用されているため、操作は失敗しました。	対処の必要はありません。
7005,58632	指定したボリュームは Universal Replicator のデルタリンクで使用されているため、リザーブ設定は失敗しました。	対処の必要はありません。
6005,58640	ペアが形成操作が失敗しました。RCU が 4x4x4 カスケード機能をサポートしていないため、タイムスタンプを転送する設定ではペアを形成できません。	対処の必要はありません。
6505,58641	指定したボリュームは Cache Residency または Cache Residency z/OS(R)により 設定されているため、ジャーナルボリュームとして使用できません。	対処の必要はありません。
105,58710	指定したボリュームの中には、Universal Replicator z/OS(R)の拡張コンシステンシーグループに登録されているリモートコマンドデバイスが含まれています。リモートコマンドデバイスを削除するために、拡張コンシステンシーグループに登録されているジャーナルグループをすべて削除してください。	対処の必要はありません。
605,58710	指定したボリュームの中には、Universal Replicator z/OS(R)の拡張コンシステンシーグループに登録されているリモートコマンドデバイスが含まれています。リモートコマンドデバイスを削除するために、拡張コンシステンシーグループに登録されているジャーナルグループをすべて削除してください。	対処の必要はありません。
7005,58711	指定した MU 番号はすでに使用されているため、操作は失敗しました。別の MU 番号を指定してください。	対処の必要はありません。
6005,58712	RCU 側の TrueCopy または TrueCopy z/OS(R)のライセンス容量が不足しています。関連するプログラムプロダクトも合わせて、ライセンス容量を確認してください。関連プログラムプロダクトを次に示します。- TrueCopy または TrueCopy z/OS(R) - TrueCopy Async または TrueCopy Async z/OS(R)。	対処の必要はありません。
6005,58713	RCU 側の TrueCopy Async または TrueCopy Async z/OS(R)のライセンス容量が不足しています。関連するプログラムプロダクトも合わせて、ライセンス容量を確認してください。関連プログラムプロダクトを次に示します。-	対処の必要はありません。

エラーコード	説明	対処
	TrueCopy または TrueCopy z/OS(R) - TrueCopy Async または TrueCopy Async z/OS(R)。	
6005,58714	MCU 側の TrueCopy または TrueCopy z/OS(R) のライセンス容量が不足しています。関連するプログラムプロダクトも合わせて、ライセンス容量を確認してください。関連プログラムプロダクトを次に示します。- TrueCopy または TrueCopy z/OS(R) - TrueCopy Async または TrueCopy Async z/OS(R)。	対処の必要はありません。
6005,58715	MCU 側の TrueCopy Async または TrueCopy Async z/OS(R) のライセンス容量が不足しています。関連するプログラムプロダクトも合わせて、ライセンス容量を確認してください。関連プログラムプロダクトを次に示します。- TrueCopy または TrueCopy z/OS(R) - TrueCopy Async または TrueCopy Async z/OS(R)。	対処の必要はありません。
605,58905	Universal Volume Mgr 用の拡張共用メモリ (SM) が実装されていません。	対処の必要はありません。

16.3 SANRISE9900V のメッセージ

Device Manager が出力するメッセージの中には、メッセージの一部としてストレージシステムが出力するメッセージを含むものがあります。ここでは、Device Manager のメッセージに含まれる SANRISE9900V のエラーメッセージについて説明します。

Device Manager のメッセージに SANRISE9900V のメッセージが含まれる場合、Device Manager のメッセージには、SANRISE9900V のメッセージのエラーコードが 2 種類とメッセージテキストが共に表示されます。Device Manager が表示する SANRISE9900V のメッセージを次の表に示します。

参考：以下に示すメッセージの一覧では、エラーコード 1 とエラーコード 2 をコンマで区切って示します。アスタリスク (*) はエラーコードの出力が可変であることを示しています。エラーコードに、この節で示す数値以外の数値が出力された場合は、「*, *」で示すメッセージの説明を参照してください。

表 16-3 SANRISE9900V のメッセージ

エラーコード	説明	対処
,	サブシステムでエラーが発生しました。この問題を解決できないときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	繰り返し起こる場合は顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,1002	HORC または HOMRCF で使用する Volume の設定に対してコマンドデバイス設定がされました。	設定内容を見直してください。
3,1003	一つのグループから同一ボリュームへのパスを複数設定しようとしています。	設定内容を見直してください。

エラーコード	説明	対処
3,1004	一つのポート/グループ ID/LUN の組に対して、複数のボリュームを設定しようとしています。	設定内容を見直してください。
3,1005	バスの構成変更時、下記の事項では設定できません。(1) 未実装ボリュームへの設定。(2) 拡張 LU の先頭以外のボリューム。(3) HIHSM の Reserve ボリューム。(4) On-Demand 設定されたボリューム。	設定内容を見直してください。
3,1007	HORC ボリュームまたは HOMRCF ボリュームへの最後のパスを削除しようとしてしました。	LU パスの設定内容を訂正し、再び構成情報設定要求を発行してください。
3,1009	拡張 LU として連結するボリュームのエミュレーションタイプが Open ボリュームではありません。	設定内容を見直してください。
3,1010	すでに拡張された LU を含む拡張 LU を設定しようとしています。	設定内容を見直してください。
3,1011	拡張 LU として連結させようとしているボリュームが CU にわたっています。	設定内容を見直してください。
3,1012	拡張 LU として連結するボリュームに LU パスが設定されています。	設定内容を見直してください。
3,1013	拡張 LU として連結するボリュームのエミュレーションタイプが同じではありません。	拡張 LU 設定させる場合、同一エミュレーション、同一容量のボリューム、同一のボリューム属性 (Normal Volume または Customized Volume : 混在指定はできません) で設定してください。
3,1015	解除する拡張 LU に LU パスが設定されています。	いったん対象ボリュームのパスを解除してから拡張 LU を解除してください。
3,1018	構成変更の要素として指定されたポートがありません。	未実装ポートもしくは Mainframe 用のポートが指定されたおそれがあります。指定したポートを見直してください。
3,1020	LUN が不正です。	設定内容を見直してください。
3,1021	指定されたボリュームがありません。	未実装ボリュームまたは Mainframe 用のボリュームが指定されたおそれがあります。指定したポートを見直してください。
3,1022	ホストモードが不正です。	設定内容を見直してください。
1010,1023	Fibre アドレスが不正です。	設定内容を見直してください。
3,1024	Fibre トポロジ情報が不正です。	設定内容を見直してください。
3,1025	指定された LU パスがありません。	設定内容を見直してください。
3,1027	コマンドデバイス設定の指定値が不正です。	設定内容を見直してください。
3,1028	拡張 LU として連結できるボリューム数を超過しています (MAX.36)。	設定内容を見直してください。
3,1029	拡張 LU として連結するボリュームの容量が同じではありません。または、Customized Volume と Normal Volume を混在して連結しようとしています。	拡張 LU を設定する場合、同一エミュレーション、同一容量のボリューム、同一のボリューム属性 (Normal Volume または Customized Volume : 混在指定はできません) で設定してください。

エラーコード	説明	対処
3,1035	CVS 操作 (Install CV/Volume Initialize) 時, 必要な Subsystem ID の設定がされていません。	ボリューム追加による必要な Subsystem ID を設定して再び構成変更要求を実行してください (64 または 256 の Boundary 設定がありますので考慮に入れてください)。詳しくは顧客問い合わせ窓口まで問い合わせてください。
3,1036	Customized Volume 設定時, 指定したサイズが範囲外です (設定値が最小値より小さい, または最大値より大きい)。	対象の Volume のエミュレーションタイプによって異なるので考慮に入れてください。
3,1037	CV を作成するための容量が論理パーティグループ内に残っていません。	ドライブタイプおよび RAID タイプによって Parity Group 内に納められる LDEV 数が異なるため考慮に入れて設定してください。詳しくは顧客問い合わせ窓口まで問い合わせてください。
3,1038	CV のエミュレーションタイプに混在できないものが指定されました。または, サポート対象外のエミュレーションタイプが設定されました。	エミュレーションタイプによって定義が異なるので詳しくは顧客問い合わせ窓口まで問い合わせてください。
3,1039	CVS 操作時, 下記の事項では設定できません。(1) LU パスが設定されているボリュームへの設定。(2) LU 拡張されているボリューム。(3) LDEV Security が設定されているボリューム。	対象ボリュームを見直してください。
3,1040	内部論理エラーが発生しています。	詳しくは顧客問い合わせ窓口まで問い合わせてください。
3,1041	CVS 操作で指定の CU 番号, LDEV 番号がほかのボリュームのものと重複しています。	設定内容を見直してください。
3,1043	CVS 操作で実装されていない論理パーティグループに対して操作を指示しました。	設定内容を見直してください。
3,1044	CVS 操作 (Volume Initialize) 時, Normal Volume に復帰しなければならないボリュームの数と Volume Initialize で要求されたボリュームの数が異なります。	設定内容を見直してください。
3,1045	指定された Subsystem ID が既存の Subsystem ID と重複しています。	設定内容を見直してください。
3,1049	CVS 操作 (Volume Initialize) 時, 当該論理パーティグループ内に CV が設定されていません。	設定内容を見直してください。
3,1050	拡張 LU 構成変更時, 下記の事項では設定できません。(1) HIHSM (階層制御機能) のリザーブボリューム。(2) On-Demand ボリューム。	設定内容を見直してください。
3,1051	CVS 操作で, エミュレーションタイプ指定に誤りがあります。	設定内容を見直してください。
3,1059	Fibre ポート以外のポートに対して LUN Management 機能 (LUN Security) の設定を受け付けました。	設定内容を見直してください。
3,1061	LUN Security 機能が無効なポートに対して LUN Security 操作をしようとしています。	Security Switch ON 状態にしてください。

エラーコード	説明	対処
3,1062	CVS 操作時、指定するエミュレーションタイプとエミュレーションタイプに合ったサイズ指定に誤りがあります。	Mainframe 系ボリュームに対してはユーザ指定シリンダ数を指定してください。Open 系ボリュームに対してはユーザ指定容量を指定してください。
3,1063	すでに登録されているものと同じ WWN 番号を登録しようとしてしました。	設定内容を見直してください。
1110,1064	すでに登録されているものと同じ WWN を登録しようとしてしました。	設定内容を見直してください。
3,1065	すでに登録されているものと同じ WWN ニックネームまたは Host Group ニックネームを登録しようとしてしました。	設定内容を見直してください。
1110,1065	すでに登録されているものと同じ WWN ニックネームまたは Host Group ニックネームを登録しようとしてしました。	設定内容を見直してください。
3,1066	登録されていない WWN 番号が指定されています。(削除時または変更時)	設定内容を見直してください。
3,1067	すでに登録されているものと同じホストグループ番号を登録しようとしています。	設定内容を見直してください。
3,1068	登録されていないホストグループが指定されました。	指定内容を訂正してください。
3,1074	CVS 操作 (Install CV) 時に指定された CU は設定できません。	指定内容を訂正してください。
3,1075	CVS 操作 (Volume Initialize, Install CV, Volume to Space) を一回の構成情報設定要求に混在して指定しています。	CVS 操作をする場合は、どれか一つの設定をしてください。
3,1101	未実装ボリュームに対して、CVS 操作が要求されました。	指定内容を訂正してください。
3,1102	パリティグループ内には最低一つの LDEV が必要であるため、これ以上の減設はできません。	指定内容を訂正してください。
3,1103	CVS 操作で実装されていないパリティグループに対して操作指示を出しています。	指定内容を訂正してください。
3,1104	CVS 操作なしで SubSystem ID を設定しようとしてしました。	Subsystem ID は CVS 操作と合わせて変更要求してください。
3,1108	コマンドデバイスの構成変更時、下記の事項では設定できません。(1) HIHSM 用の Reserve ボリューム。(2) On-Demand ボリューム。(3) OPEN 系ボリューム (未実装ボリュームを含む) 以外のボリューム。	コマンドデバイス設定対象ボリュームを見直してください。
1110,1110	Host Group および WWN で使用するニックネームに指定できない文字が指定されました。	¥/:,;*?"<> および先頭・末尾のブランクは使用できません。
3,1111	LUN-Security の構成変更要求時、ニックネームが指定されていません。	Host Group のニックネームは必ず指定してください。

エラーコード	説明	対処
3,1113	CVS 操作で作成しようとしていたボリュームは HPAV 機能として使用中のボリュームです。	指定ボリューム ID を変えるか、HPAV の設定を解除してください。
3,1116	WWN 登録時、値を指定していません。または WWN の値に 0 が設定されています。	WWN 値を必ず設定してから構成変更要求を実行してください。
3,1123	コマンドデバイスセキュリティを設定する要求が発行されましたが、当該ボリュームのコマンドデバイスが設定されていません。	コマンドデバイスセキュリティ設定をする場合は、コマンドデバイスを設定しておくか同時に設定するようにしてください。
3,1124	コマンドデバイス・コマンドデバイスセキュリティの設定方法に誤りがあります。同一ボリュームに対して、以下のような設定はできません。(1) コマンドデバイス設定+コマンドデバイスセキュリティ解除。(2) コマンドデバイス解除+コマンドデバイスセキュリティ設定。	指定内容を訂正してください。
3,1125	WWN 登録時、WWN を登録するホストグループがありません。	指定内容を訂正してください。
3,1126	拡張 LU を構成しようとしているボリュームの中にコマンドデバイスが設定されているボリュームがあります。	指定内容を訂正してください。
3,1127	CHA 高速モードが指定されましたが、未実装 CHA に対して指定されています。	チャンネルパッケージを見直してください。
3,1128	チャンネルスピードの変更が要求されましたが、指定された CHA ではサポートしていません。	チャンネルパッケージを見直してください。
3,1129	LUN-Security 操作で WWN 登録時、登録できる WWN 数 (MAX.255) を超えました。	設定内容を見直してください。
3,1130	Host Group ニックネームおよび WWN ニックネーム登録時、指定できない文字が指定されました (xx-G00 : xx はポート名称 (1A, 1B など))。	システムでデフォルトのニックネームは LUN セキュリティ操作で使用できません。ほかの名前を使用してください。
3,1131	ホストグループ設定時 (追加/変更/削除)、Port 内に設定できる最大値を超えました (0~127 の範囲)。	設定内容を見直してください。
3,1132	WWN 設定時 (追加/変更)、Port 内に設定できる最大値を超えました (0~254 の範囲)。	設定内容を見直してください。
3,1133	ホストモード設定時、ポート内に設定できるホストグループ ID の最大値を超えました。	設定内容を見直してください。
3,1134	パス設定時 (追加/削除)、Port 内に設定できる最大値を超えました (Security Switch OFF 時 : 256 個/Security Switch ON 時 : 512 個)。	設定内容を見直してください。
3,1135	Port 情報 (Fibre Address/Fibre Topology/Channel Speed) 設定時、同一 Port に変更指示が複数設定されました。	設定内容を見直してください。

エラーコード	説明	対処
3,1136	CHA 高速モード指定時, 同一 Port に変更指示が複数設定されました。	設定内容を見直してください。
3,1137	LUSE 設定時, DKC で設定できる最大数 (MAX.4096) を超えた指示がされました。	設定内容を見直してください。
3,1140	Port Group の設定がされているため, 変更できません。	Port Group の設定を解除してください。
3,1142	指定された LDEV は LDEV Security の設定があるため変更できません。	指定 LDEV の LDEV Security 設定を解除した後に, 再び指定してください。
3,1143	通常は発生しないエラーです。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	通常は発生しないエラーです。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,1144	CVS 操作の指定をした LDEV は, 拡張 LU 設定されています。	指定した LDEV の拡張 LU 設定を解除した後に, 再び指定してください。
3,1145	E-NAS のポートに対して Fibre Address, Topology, ChannelSpeed, セキュリティスイッチ, Initiator/Target の変更処理を実行しようとした。	設定内容を見直してください。
3,1146	E-NAS の User グループにパスを追加しようとしたが System LU 未確定状態のため追加できません。	SVP で, System LU を設定してください。
3,1147	E-NAS の System LU 用に定義された LDEV に対してパス追加を実行しようとした。	設定内容を見直してください。
3,1148	中間ボリュームを E-NAS の UserLU として指定した。	設定内容を見直してください。
3,1149	E-NAS の System LU グループにパスの設定 (追加/削除) をしようとした。	設定内容を見直してください。
3,1150	E-NAS の System LU 用に定義された LDEV に対してコマンドデバイスを指定しました。	設定内容を見直してください。
3,1151	E-NAS 用のパッケージ (CHA) を指定して speed モードを変更しようとした。	設定内容を見直してください。
3,1154	OPEN-V 指定時, 容量が異なる LDEV を LUSE 含みで指定しました。	通常は, 発生しません。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,1156	OPEN-V 指定時, CU が異なる LDEV を LUSE 含みで指定しました。	設定内容を見直してください。
3,1159	OPEN-V 指定時, LUSE 含みで指定した容量が 2[TB]を超えています。	設定内容を見直してください。
3,1169	新旧の混在設定で同一 LogicalPG を指定しました。	通常は, 発生しません。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,1175	iSCSI ポートに対して Fibre ポートの設定はできません。	設定内容を見直してください。
3,1176	iSCSI のパッケージに対して高速モードは設定できません。	設定内容を見直してください。
3,1180	System-LU の指定とそのほかの LU の指定を 1PDU で実行しました。	設定内容を見直してください。

エラーコード	説明	対処
3,1181	指定されたパスの追加指示は HORC のペアがあるボリュームのため実行できません。	設定内容を見直してください。
3,1182	LUSE の設定で 2TB 以上を設定しようとした。	設定内容を見直してください。
3,1183	高速モード PCB のポートに対し、Point to Point を設定しようとした。	設定を見直してください。
3,1184	高速モード時、重複する FibreAddress に設定しようとした。	設定を見直してください。
3,1192	iSCSI ポートにパスを設定しているボリュームにコマンドデバイスの設定はできません。	設定を見直してください。
3,1201	CHA 高速モードが指定されましたが、指定されたパスの中に高速モードを設定できないものが含まれています (CHA SPEED がそろっていません)。	設定を見直してください。
3,1203	CHA 高速モードが指定されましたが、指定されたポートの Fiber Address 内に高速モードを設定できないものが含まれています (Fibre Address がそろっていません)。	設定を見直してください。
3,1204	CHA 高速モードが指定されましたが、指定されたポート内のトポロジ内に高速モードを設定できないものが含まれています (FC-AL 指定でそろっていません)。	設定を見直してください。
3,1350	パス設定しようとしたポートは Fibre HORC 用のポートであるため、使用できません。	パス設定できるようにするためには、該当するポートの属性を変更してください。属性 (TarGet または RCU TarGet 属性に変更してください)。
3,1351	CHA 高速モードを設定しようとしたポートの中に属性が異なるものが含まれています。	CHA 高速モードを設定する場合は、ポート属性を統一して設定してください。
3,1352	設定しようとしたポートには Fibre HORC 用の論理パスが設定されているため、変更できません。	論理パスを解除して、再び構成変更要求を実行してください。
3,1353	設定しようとしたポートには S-VOL 論理パスが設定してあるため、設定できません。	RCU TarGet ポートに設定してある S-VOL 論理パスを消去して設定する必要があります。再び構成変更要求を実行してください。
3,1354	設定しようとしたポートが Initiator 属性であるため、変更できません。	ポート属性を変更してください (TarGet または RCU TarGet 属性に変更してください)。
3,1355	設定しようとしたポートが Initiator 属性であるため、変更できません。	ポート属性を変更してください (TarGet または RCU TarGet 属性に変更してください)。
3,1356	設定しようとしたポートが Initiator 属性であるため、変更できません。	ポート属性を変更してください (TarGet または RCU TarGet 属性に変更してください)。
3,1357	設定しようとした Port は、Fibre True Copy 用の Port のため、設定できません。	論理パスを削除してから設定し直してください。
3,1600	LUN Management の機能を使用するための P.P が INSTALL されていません。	対象の P.P を INSTALL してください。(なお、P.P には 3 種類の体系があるため、期限切れ後に P.P INSTALL 操作をする場合には INSTALL 操作ができない場合があります)。

エラーコード	説明	対処
	ん。または P.P の期限切れのため使用できなくなりました。	
3,1601	Open Volume Management の機能を使用するための P.P が INSTALL されていません。または P.P の期限切れのため使用できなくなりました。	対象の P.P を INSTALL してください。(なお、PP には 3 種類の体系があるため、期限切れ後に P.P INSTALL 操作をする場合には INSTALL 操作ができない場合があります)。
3,1602	Volume Management の機能を使用するための P.P が INSTALL されていません。または P.P の期限切れのため使用できなくなりました。	対象の P.P を INSTALL してください。(なお、PP には 3 種類の体系があるため、期限切れ後に P.P INSTALL 操作をする場合には INSTALL 操作ができない場合があります)。
3,1603	Open Cache Management の機能を使用するための P.P が INSTALL されていません。または P.P の期限切れのため使用できなくなりました。	対象の P.P を INSTALL してください。(なお、PP には 3 種類の体系があるため、期限切れ後に P.P INSTALL 操作をする場合には INSTALL 操作ができない場合があります)。
4105,1603	Open Cache Management の機能を使用するための P.P が INSTALL されていません。または P.P の期限切れのため使用できなくなりました。	対象の P.P を INSTALL してください。(なお、PP には 3 種類の体系があるため、期限切れ後に P.P INSTALL 操作をする場合には INSTALL 操作ができない場合があります)。
3,1604	Cache Management の機能を使用するための P.P が INSTALL されていません。または P.P の期限切れのため使用できなくなりました。	対象の P.P を INSTALL してください。(なお、PP には 3 種類の体系があるため、期限切れ後に P.P INSTALL 操作をする場合には INSTALL 操作ができない場合があります)。
3,2002	DKC (SVP) 間の通信上の接続に失敗しました。	LAN の設定を見直してください。見直し後、同じ操作をしても現象が変わらない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,2003	構成情報の取得に失敗しています。	SVP から DKC の状態が正常になっているかを確認してください。確認後、同じ操作をしても現象が変わらない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,2004	アプリケーションが必要とするファイルがロードできません。	メモリーが不足していると考えられますので、SVP をリブートして再び実行してください。それでも現象が変わらない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,2005	アプリケーションが必要とするメモリーが確保できません。	メモリーが不足していると考えられますので、SVP をリブートして再び実行してください。それでも現象が変わらない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,2009	SVP と DKC のマイクロコードのバージョンが不一致です。	SVP と DKC のマイクロコードのバージョンを見直してください。
3,2010	対象バス/ボリュームに対するホスト側からの I/O が発生しているおそれがあります。	対象バス/ボリュームに対するホスト側からの I/O が発生していないかを確認してください。
3,2011	DKC の状態 (閉塞していないか) を確認してください。	見直し後、同じ操作をしても現象が変わらない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,2012	ポート閉塞エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
2,2013	異なる PP の構成変更要求が同時にきています。	設定内容を見直してから再実行してください。
3,2013	ダウンロードエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,2014	ポート回復エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

エラーコード	説明	対処
3,2015	SVP-DKC 間で通信エラーが発生しています。	LAN の設定を見直してください。見直し後、同じ操作をしても現象が変わらない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
2,2016	他ユーザが構成変更をしているか、または構成変更中です。	しばらくしてからやり直してください。
3,2016	SNMP ユーザまたは保守員が Modify モードでアクセスしています。	しばらくしてからやり直してください。
3,2017	ロックが解除されました。	再び、ロックを取り直してから構成変更をしてください。
3,2022	DKC で CVS 処理中です。	時間を空けてから、再び構成変更要求を発行してください。
3,2033	初期起動中または内部リフレッシュ中です。	時間を空けてから、再び構成変更要求を発行してください。
3,2081	CVS 増減設処理中に、障害が発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,2082	ホストがマウントしている状態にあるか、クラスタ構成を設定しているおそれがあります。	ホストがマウントしている状態にあるか、クラスタ構成を設定しているおそれがありますので、これらの状態を解除してください。
3,2083	DKC 側の構成変更処理でエラーが発生しました。	DKC の状態を確認し、現在の構成設定状態を確認してください。必要であれば、設定操作を再実行してください。
3,2084	構成変更の結果が不明です。	DKC の状態を確認し、現在の構成設定状態を確認する。必要であれば、設定操作を再実行してください。
3,2085	CVS 操作の事前チェックでエラーになっています。(HORC/HOMRCF の COPY 中)	しばらくしてから再実行してください。
3,2086	CVS 操作の事前チェックでエラーになっています (HORC/HOMRCF の構成定義がされています)。	HORC/HOMRCF の構成定義を解除してから再実行してください。
3,2087	CVS 操作の事前チェックでエラーになっています。(Mainframe ホストから Vary Online されている)	つながっている Mainframe ホストを Vary OffLine してください。
3,2088	CVS 操作の事前チェックでエラーになっています (HRC がサスペンド中です)。	交替パスを追加してください。
3,2089	CVS 操作の事前チェックでエラーになっています (当該 CHA は HORC の MCU と RCU 間の最後のパスを含んでいるおそれがあります)。	先に MCU から交代パスがあることを確認してください。
3,2090	CVS 操作の事前チェックでエラーになっています (HOMRCF の設定があります)。	HOMRCF の設定を解除させるか、I/O を停止させてから再実行してください。
3,2091	CVS 操作の事前チェックでエラーになっています (HOMRCF のバックアップサーバが動作中です)。	バックアップサーバを停止させてから再実行してください。
3,2092	CVS 操作の事前チェックでエラーになっています (HOMRCF のペアが含まれています)。	HOMRCF のペアを分割してください。

エラーコード	説明	対処
3,2093	CVS 操作の事前チェックでエラーになっています (HOMRCF のペアが含まれています)。	HOMRCF のペアを再同期してください。
3,2094	CVS 操作の事前チェックでエラーになっています (HOMRCF のペアが含まれています)。	HOMRCF のボリュームを Simplex に変更してください。
3,2095	CVS 操作の事前チェックでエラーになっています (保守系の処理が実施中です)。	しばらくしてから再実行してください。
3,2096	CVS 操作の事前チェックでエラーになっています (メイン側で機能未サポートです。当該機能をサポートしていません)。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,2097	当該 WWN は I/O あり WWN, 未登録 WWN, またはグループに指定している WWN に対して要求しました。	指定 WWN を見直して、登録済みかどうかを確認する、ホストグループから解除する、またはホストからの I/O を停止した後に、再実行してください。
3,2170	Extended Copy Manager 動作中の I/O が停止していないおそれがあります。	Extended Copy Manager 動作中の I/O を停止してください。
3,2201	Open LDEV Guard の設定がある為処理できません。	指定内容を訂正してから再実行してください。
3,3000	アプリケーション内で必要とする外部関数ポインタの取得に失敗しました。	SVP をリポート後、再び同じ操作をしてください。現象が変わらなければ、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,3001	アプリケーション内で必要とする外部関数ポインタの取得に失敗しました。	SVP をリポート後、再び同じ操作をしてください。現象が変わらなければ、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,3002	アプリケーション間のインタフェースが不一致状態になっています。	SVP をリポート後、再び同じ操作をしてください。現象が変わらなければ、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,3003	予期しないエラーが発生しました。	SVP をリポート後、再び同じ操作をしてください。現象が変わらなければ、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,3004	構成情報の管理処理で失敗しています。	SVP をリポート後、再び同じ操作をしてください。現象が変わらなければ、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,3005	構成情報の管理処理で失敗しています。	SVP をリポート後、再び同じ操作をしてください。現象が変わらなければ、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,3006	アプリケーション内で必要とするファイルへのアクセスエラーが発生しました。	SVP をリポート後、再び同じ操作をしてください。現象が変わらなければ、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
3,3007	アプリケーション内のインタフェース論理エラーを検出しました。または、登録されていないエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
1,4002	認証ファイルにデータが一つも登録されていないためログインできません。	認証データを登録する必要があります。保守員を呼んでください。
1,4003	ユーザ ID が不正なため、ログインできません。	正しいユーザ ID を入力して、ログインを再実行してください。
1,4004	パスワードが不正です。	正しいパスワードを入力して、ログインを再実行してください。

エラーコード	説明	対処
*,4005	すでに同じユーザ名でログインされています。	しばらく待った後、再実行してください。
*,4011	RMI オブジェクトがない、または、強制ログオフされました。	再びログインしてください。
*,4012	RMI の最大同時接続数を超過しています。	接続できるユーザ数の最大に達しています。しばらく待った後、再実行してください。
*,4020	ロックが強制解除されました。	ロックが解除されました。必要であれば再びロックをしてください。
405,5047	INSTALL/DEINSTALL 実行時にエラーが発生しました。	何回実行しても発生する場合は保守員を呼んでください。
405,5070	P.P コードが一致しません。	P.P コードを見直して、再び設定してください。
*,5132	すでに同名のユーザがログインしています。	別のユーザでログインしてください。
*,5510	このストレージ装置は構成情報変更中または保守作業中です。時間を空けてから再実行してください。	時間を空けてから再実行してください。
*,5511	本機能に必要な P.P が INSTALL されていません。	本機能に必要な P.P を INSTALL してから再実行してください。
*,5626	指定されたボリュームは LDEV Guard 対象に設定されているため使用できません。	LDEV Guard の設定を変更してください。
7010,5653	この操作は拒否されました。指定したボリュームは iSCSI ポートに対してパスがあります。	iSCSI ポートからのパスがないボリュームを選択してください。
8105,5789	中間ボリュームはコマンドデバイスとして指定できません。	LDEV の指定を見直してください。
4,6001	タイムアウトが発生しました。SVP を再起動します。再起動後、再実行してください。	何回実行しても発生する場合は保守員を呼んでください。
2,6502	ストレージ装置は処理中です。	しばらく待った後、再実行してください。
1010,6509	指定されたホストモードは不正です。	ホストモードの指定を見直してください。
6005,8940	指定した R-VOL が LDEV Guard によって Read Only 属性になっているため、操作が失敗しました。	指定した R-VOL が LDEV Guard で Read Only 属性になっているか確認してください。
6005,8944	指定した S-VOL は、Open LDEV Guard によって変更された S-VOL の属性によって使用できません。	指定した S-VOL の状態を確認してください。
6005,8974	P-VOL は iSCSI ポートからパスを定義されているためペア形成できません。	指定した P-VOL の状態を確認してください。
6005,8975	S-VOL は iSCSI ポートからパスを定義されているためペア形成できません。	指定した S-VOL の状態を確認してください。
2,9000	ほかのユーザがモディファイモードでアクセスしています。	しばらく待った後、再実行してください。

16.4 Universal Storage Platform V/VM のメッセージ

Device Manager が出力するメッセージの中には、メッセージの一部としてストレージシステムが出力するメッセージを含むものがあります。ここでは、Device Manager のメッセージに含まれる Universal Storage Platform V/VM のエラーメッセージについて説明します。

Device Manager のメッセージに Universal Storage Platform V/VM のメッセージが含まれる場合、Device Manager のメッセージには、Universal Storage Platform V/VM のメッセージのエラーコードが 2 種類表示されます。Device Manager が表示する Universal Storage Platform V/VM のメッセージを次の表に示します。次の表に記載していない Universal Storage Platform V/VM のエラーメッセージについては、Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。

メッセージ中の「%s」は文字列の変数、「%d」は数値の変数を示します。

「HSSC」は、日立ソリューションサポートセンター（顧客問い合わせ窓口）を示します。

エラーコード 1 が 60xx（xx は 2 桁の数字）のメッセージは、TrueCopy for Mainframe または TrueCopy を使用時に表示されるメッセージを示します。このマニュアルでは TrueCopy for Mainframe を使用時に表示されるメッセージ文を示しています。TrueCopy をご使用時は、M-VOL が P-VOL、R-VOL が S-VOL として表示されます。

参考：以下に示すメッセージの一覧では、エラーコード 1 とエラーコード 2 をコンマで区切って示します。アスタリスク (*) はエラーコードの出力が可変であることを示しています。エラーコードに、この節で示す数値以外の数値が出力された場合は、「*、*」で示すメッセージの説明を参照してください。

参考：確認メッセージの場合、対処を記載していないことがあります。

表 16-4 Universal Storage Platform V/VM のメッセージ

エラーコード	説明	対処
,	サブシステムでエラーが発生しました。この問題を解決できないときは、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	繰り返し起こる場合は顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
2,5510	ディスクサブシステムが内部処理中、または他のユーザが構成変更中です。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
2,56525	複数の SLPR に渡った設定があるため、分割ストレージ管理者からストレージ管理者に使用権限が移行しています。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
2,58578	ディスクサブシステム内でエラーが発生しました。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
3,2003	ボリュームの移動や QuickRestore などが実行中です。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
3,2033	SVP 側が準備中です。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
3,2100	ディスクサブシステムとの通信中にエラーが発生しました。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
5,66101	SVP の初期化で起動に失敗した機能があるため、この機能は使用できません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
305,56525	複数の SLPR に渡った設定があるため、分割ストレージ管理者からストレージ管理者に使用権限が移行しています。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
405,5047	プログラムプロダクトのインストールまたはアンインストール実行中にエラーが発生しました。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。

エラーコード	説明	対処
405,5503	パーマネントキーがインストールされているオプションにエマージェンシキーをインストールしようとした。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,8971	ディスクサブシステムとの通信中にエラーが発生しました。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66501	1 つの外部ボリューム内に定義できる LDEV 数が最大値を超えました。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66502	指定された ExG はすでに使用されています。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66503	LDKC, CU, LDEV が使用できる範囲内で設定されていません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66504	指定された LDKC:CU:LDEV はすでに使用されています。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66505	32LDEV 番号ごとに区切られた範囲内で他のエミュレーショングループに割り当てられています。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66506	指定された SSID はすでに使用されています。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66507	対象の外部ボリュームは閉塞状態、または容量が使用できる範囲内で設定されていません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66508	指定された LDEV の容量が正しくありません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66509	外部ボリュームに定義した LDEV 容量の合計が外部ボリュームサイズを超えています。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66512	指定した CLPR は実装されていません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66514	当該 SLPR で使用できない LDKC:CU が指定されています。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66515	当該 SLPR で使用できない SSID が指定されています。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66517	対象の外部ボリュームはすでにマッピング済みか、マッピングの設定が行われています。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66518	PathGroup に定義されたサブシステム間パス構成と当該外部ボリュームのサブシステム間パス構成が一致しません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66675	パラメータの構文が正しくありません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66693	データ引き継ぎボリュームとして正しいパラメータが設定されていません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66694	RemoteCommandDevice として正しいパラメータが設定されていません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66695	指定された Port は External ポートではありません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66698	外部ボリュームに対して設定できる交替パスの定義数が最大数を超えています。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。

エラーコード	説明	対処
605,66702	PathGroup の値が使用できる範囲内で設定されていません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66705	指定可能な Port 番号ではありません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66710	LUN の値が使用できる範囲内で設定されていません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66713	ExG の値が使用できる範囲内で設定されていません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66715	Attribute が正しくありません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66718	CLPR の値が使用できる範囲内で設定されていません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66720	指定可能なエミュレーションタイプではありません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66722	CacheMode の設定が正しくありません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66724	InflowControl の設定が正しくありません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66736	LDKC の値が使用できる範囲内で設定されていません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66739	CU の値が使用できる範囲内で設定されていません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66742	LDEV の値が使用できる範囲内で設定されていません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66744	LDEV 容量の値が使用できる範囲内で設定されていません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66747	SSID の値が使用できる範囲内で設定されていません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66797	下位階層のパラメータにエラーがあります。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66798	指定した WWN が見つかりませんでした。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
605,66799	指定した外部ボリュームが見つかりませんでした。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
1005,1128	チャンネルスピードの変更が要求されましたが、指定された CHA ではサポートしていません。	チャンネルパッケージを見直してください。
1005,2100	ディスクサブシステムとの通信中にエラーが発生しました。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
1005,56525	複数の SLPR に渡った設定があるため、分割ストレージ管理者からストレージ管理者に使用権限が移行しています。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
1305,66572	宣言文の構文が正しくありません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
1305,66573	行数、または一行分の文字数が最大数を超過しています。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
1305,66574	スプレッドシートの要素として解釈できない行があります。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。

エラーコード	説明	対処
1305,66575	スプレッドシートを実行する装置の装置製番と一致していません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
1305,66576	プログラムプロダクト固有の操作タグが1つも設定されていません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
1305,66577	宣言文のバージョン番号,またはプログラムプロダクトが正しくありません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
1305,66578	スプレッドシート実行中にエラーがありました。各パラメータの実行結果を確認してください。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
1305,66675	パラメータの構文が正しくありません。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
3005,8971	ディスクサブシステムとの通信中にエラーが発生しました。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
3005,56525	複数の SLPR に渡った設定があるため,分割ストレージ管理者からストレージ管理者に使用権限が移行しています。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
3005,58572	ディスクサブシステムとの通信中にエラーが発生しました。しばらくしてから再操作してください。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
4105,56525	複数の SLPR に渡った設定があるため,分割ストレージ管理者からストレージ管理者に使用権限が移行しています。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
5105,56525	複数の SLPR に渡った設定があるため,分割ストレージ管理者からストレージ管理者に使用権限が移行しています。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
5205,56525	複数の SLPR に渡った設定があるため,分割ストレージ管理者からストレージ管理者に使用権限が移行しています。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
5305,56525	複数の SLPR に渡った設定があるため,分割ストレージ管理者からストレージ管理者に使用権限が移行しています。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
8005,5510	ディスクサブシステムが内部処理中,または他のユーザが構成変更中です。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
8005,56525	複数の SLPR に渡った設定があるため,分割ストレージ管理者からストレージ管理者に使用権限が移行しています。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
8105,2033	SVP 側が準備中です。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
8105,6999	構成情報が変更されている可能性があります。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。
9605,56525	複数の SLPR に渡った設定があるため,分割ストレージ管理者からストレージ管理者に使用権限が移行しています。	Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。

16.5 Virtual Storage Platform のメッセージ

Device Manager が出力するメッセージの中には、メッセージの一部としてストレージシステムが出力するメッセージを含むものがあります。

Device Manager のメッセージに Virtual Storage Platform のメッセージが含まれる場合、Device Manager のメッセージには、Virtual Storage Platform のメッセージのエラーコードが 2 種類表示されます。Virtual Storage Platform のエラーメッセージについては、Storage Navigator のメッセージマニュアルを参照してください。

このマニュアルの参考情報

このマニュアルを読むに当たっての参考情報を示します。

- [A.1 関連マニュアル](#)
- [A.2 このマニュアルでの表記](#)
- [A.3 このマニュアルで使用している略語](#)
- [A.4 KB（キロバイト）などの単位表記について](#)

A.1 関連マニュアル

このマニュアルの関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

- *Hitachi Command Suite Software ユーザーズガイド* (3020-3-W02)
- *Hitachi Command Suite Software CLI リファレンスガイド* (3020-3-W03)
- *Hitachi Command Suite Tiered Storage Manager Software CLI リファレンスガイド* (3020-3-W04)
- *Hitachi Command Suite Software インストールガイド* (3020-3-W07)
- *Hitachi Command Suite Software システム構成ガイド* (3020-3-W08)
- *Hitachi Command Suite Software Mainframe Agent ユーザーズガイド* (3020-3-W09)
- *Hitachi Command Suite Software Plug-in for Virtualization Server Provisioning ユーザーズガイド* (3020-3-W25)
- *Hitachi Command Suite Tuning Manager Software 運用管理ガイド* (3020-3-W41)
- *Hitachi Command Suite Tuning Manager Software インストールガイド* (3020-3-W42)
- *Hitachi Command Suite Tuning Manager - Agent for RAID* (3020-3-W44)
- *Hitachi Command Suite Tuning Manager - Storage Mapping Agent* (3020-3-W45)
- *Hitachi Command Suite Tuning Manager - Agent for SAN Switch* (3020-3-W46)
- *Hitachi Command Suite Tuning Manager - Agent for Network Attached Storage* (3020-3-W47)
- *Hitachi Command Suite Replication Manager Software ユーザーズガイド* (3020-3-W81)
- *Hitachi Command Suite Replication Manager Software システム構成ガイド* (3020-3-W82)
- *Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド* (3020-3-W83)
- *Hitachi Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI リファレンスガイド* (3020-3-W84)
- *Hitachi Business Continuity Manager* メッセージ
- Virtual Storage Platform の各種マニュアル
- Universal Storage Platform V/VM の各種マニュアル
- Hitachi USP の各種マニュアル
- SANRISE9900V の各種マニュアル
- Hitachi Unified Storage の各種マニュアル
- Hitachi AMS2000/AMS/WMS/SMS の各種マニュアル
- SANRISE9500V の各種マニュアル

A.2 このマニュアルでの表記

このマニュアルでは、製品名を次のように表記しています。

表記	製品名
Backup Exec	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 <ul style="list-style-type: none">• JP1/VERITAS Backup Exec• Symantec™ Backup Exec™
BC Manager	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。

表記	製品名
Business Continuity Manager	<ul style="list-style-type: none"> Hitachi Business Continuity Manager Basic Hitachi Business Continuity Manager Extended CT Group Hitachi Business Continuity Manager UR 4x4 Extended CTG
Copy-on-Write Snapshot	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Copy-on-Write-Snapshot Copy-on-write-Snapshot Snapshot XP XP Snapshot
COW Snapshot	Hitachi Copy-on-Write Snapshot
DAMP	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ディスクアレイ管理プログラム 2 Disk Array Management Program 2
Device Manager Web Client	Device Manager GUI
Dynamic Link Manager	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Hitachi Dynamic Link Manager Hitachi Dynamic Link Manager EX
Dynamic Provisioning	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Hitachi Dynamic Provisioning Software Dynamic Provisioning Thin Provisioning
HDI	Hitachi Data Ingestor
HDP	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Hitachi Dynamic Provisioning Thin Provisioning
HDT	Hitachi Dynamic Tiering Software
Hitachi AMS	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Hitachi Adaptable Modular Storage シリーズ BladeSymphony 専用エントリークラスディスクアレイ装置 BR150
Hitachi AMS/WMS	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Hitachi Adaptable Modular Storage シリーズ Hitachi Tape Modular Storage シリーズ Hitachi Workgroup Modular Storage シリーズ BladeSymphony 専用エントリークラスディスクアレイ装置 BR150 BladeSymphony 専用エントリークラスディスクアレイ装置 BR50
Hitachi AMS2000/AMS/WMS/SMS	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Hitachi Adaptable Modular Storage 2000 シリーズ Hitachi Adaptable Modular Storage シリーズ Hitachi Tape Modular Storage シリーズ Hitachi Workgroup Modular Storage シリーズ BladeSymphony 専用エントリークラスディスクアレイ装置 BR150 エントリークラスディスクアレイ装置 BR1600 シリーズ BladeSymphony 専用エントリークラスディスクアレイ装置 BR50 Hitachi Simple Modular Storage シリーズ
Hitachi SMS	Hitachi Simple Modular Storage シリーズ
Hitachi USP	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Hitachi Universal Storage Platform Hitachi Network Storage Controller Hitachi Universal Storage Platform H12000 Hitachi Universal Storage Platform H10000
HP-PA	HP StorageWorks XP Performance Advisor Software
HUS100	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Hitachi Unified Storage 150

表記	製品名
	<ul style="list-style-type: none"> Hitachi Unified Storage 130 Hitachi Unified Storage 110 エントリークラスディスクアレイ装置 BR1650 シリーズ
HUS150	Hitachi Unified Storage 150
HUS VM	Hitachi Unified Storage VM
HVFP	Hitachi Virtual File Platform
JDK	Java Development Kit
JP1/IM - View	<p>次の製品を区別する必要がないときの表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> JP1/Integrated Manager - View JP1/Integrated Manager - Console View JP1/Integrated Management - View
JVM	Java Virtual Machine
Linux	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Red Hat Enterprise Linux® SUSE Linux® Enterprise Server
LUNM	LUN Manager
Mainframe Agent	Hitachi Device Manager Mainframe Agent
NAS Manager	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Hitachi Network Attached Storage/Management NAS Blade Manager
NetBackup	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> JP1/VERITAS NetBackup Veritas NetBackup
Protection Manager	Hitachi Protection Manager
QuickShadow	Hitachi QuickShadow
RAID Manager	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> RAID Manager Hitachi RAID Manager P9000 RAID Manager
Replication Manager Web Client	Replication Manager GUI
SANRISE9500V	SANRISE9500V シリーズ
SANRISE9900V	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> SANRISE9900V シリーズ SANRISE H1024 SANRISE H128
ShadowImage	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Business Copy XP Hitachi ShadowImage HOMRCF(Hitachi Open Multiple RAID Coupling Feature) ShadowImage ShadowImage in-system replication ShadowImage-Mainframe Hitachi ShadowImage for Mainframe XP Business Copy
Storage Navigator	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Storage Navigator Remote Console - Storage Navigator
Storage Navigator Modular 2	Hitachi Storage Navigator Modular 2
TrueCopy	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。

表記	製品名
	<ul style="list-style-type: none"> • TrueCopy Async • TrueCopy Sync • TrueCopy Extended Distance
TrueCopy Async	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Hitachi Open Remote Copy Asynchronous • Hitachi TrueCopy Asynchronous • TrueCopy Asynchronous • Hitachi TrueCopy-Mainframe Asynchronous • Hitachi TrueCopy Asynchronous for Mainframe • Continuous Access XP Extension • Continuous Access XP Asynchronous • XP Continuous Access Asynchronous • TrueCopy Async for MF
TrueCopy Sync	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • HORC(Hitachi Open Remote Copy) • Hitachi TrueCopy • TrueCopy • Hitachi TrueCopy Basic • TrueCopy remote replication • Hitachi TrueCopy-Mainframe • Hitachi TrueCopy for Mainframe • Continuous Access Synchronous • Continuous Access XP • Continuous Access XP Synchronous • XP Continuous Access Synchronous • TrueCopy for MF
Tuning Manager	Hitachi Tuning Manager
Universal Replicator	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Universal Replicator • Hitachi Universal Replicator for Mainframe • Continuous Access XP Journal • XP Continuous Access Journal • Universal Replicator for MF
Universal Storage Platform V/VM	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Hitachi Universal Storage Platform V • Hitachi Universal Storage Platform VM • Hitachi Universal Storage Platform H24000 • Hitachi Universal Storage Platform H20000
UNIX	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Solaris • AIX • Linux® • HP-UX
Virtual Storage Platform	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Hitachi Virtual Storage Platform • Hitachi Virtual Storage Platform VP9500
VMware	VMware®
VMware ESX	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • VMware vSphere® ESX • VMware vSphere® ESXi™
VMware vCenter Server	VMware vCenter™ Server
VxVM	<p>次の製品を区別する必要がない場合の表記です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Veritas Volume Manager

表記	製品名
	<ul style="list-style-type: none"> Veritas Volume Manager for Windows
エンタープライズクラスストレージ	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 <ul style="list-style-type: none"> Virtual Storage Platform Universal Storage Platform V/VM Hitachi USP SANRISE9900V
ミッドレンジストレージ	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 <ul style="list-style-type: none"> HUS100 Hitachi AMS2000 Hitachi SMS Hitachi AMS/WMS SANRISE9500V

A.3 このマニュアルで使用している略語

このマニュアルで使用する主な英略語を次に示します。

英略語	英字での表記
AL	Arbitrated Loop
API	Application Programming Interface
ASCII	American Standard Code for Information Interchange
BCM	Business Continuity Manager
BIOS	Basic Input/Output System
C/T	Consistency
CCR	Cluster Continuous Replication
CHA	Channel Adapter
CHAP	Challenge Handshake Authentication Protocol
CIFS	Common Internet File System
CIM	Common Information Model
CLI	Command Line Interface
CLPR	Cache Logical Partition
CPU	Central Processing Unit
CSR	Certificate Signing Request
CSV	Comma-Separated Values
CT	Consistency
CTG	Consistency Group
CTL	Controller
CU	Control Unit
CV	Custom Volume
CVS	Custom Volume Size
DAD	Device Address Domain
DAMP	Disk Array Management Program
DASD	Direct Access Storage Device
DB	DataBase
DBMS	DataBase Management System

英略語	英字での表記
DC	Direct Current
DCR	Dynamic Cache Residency
DEVN	DEVICE Number
DFW	DASD Fast Write
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol
DKA	DisK Adapter
DKC	DisK Controller
DKU	DisK Unit
DLL	Dynamic-Link Library
DM-LU	Differential-Management LU
DN	Distinguished Name
DNS	Domain Name System
DOM	Document Object Model
DP	Dynamic Provisioning
DTD	Document Type Definition
ENC	ENClosure
EXCTG	EXtended ConsisTency Group
FC	Fibre Channel
FCoE	Fibre Channel Over Ethernet
FD	Floppy Disk
FDD	Floppy Disk Drive
FTP	File Transfer Protocol
GPT	GUID Partition Table
GUI	Graphical User Interface
GUID	Globally Unique Identifier
H/W	HardWare
HAM	High Availability Manager
HBA	Host Bus Adapter
HDC	Host Data Collector
HDEV	Host DEVICE
HDU	Hard Disk Unit
HIHSM	Hitachi Internal Hierarchical Storage Management
HODM	Hitachi Online Data Migration
HOMRCF	Hitachi Open Multiple Raid Coupling Feature
HORC	Hitachi Open Remote Copy
HORCA	Hitachi Open Remote Copy Asynchronous
HORCE	Hitachi Open Remote Copy Extended
HORCM	Hitachi Open Remote Copy Manager
HPAV	Hitachi Parallel Access Volume
HRC	Hitachi Remote Copy
HSD	Host Storage Domain
HSSO	HiCommand Single Sign-On
HTML	HyperText Markup Language

英略語	英字での表記
HTTP	HyperText Transfer Protocol
HXRC	Hitachi eXtended Remote Copy
I/O	Input/Output
ID	IDentifier
IIS	Internet Information Services
IO	Input/Output
IOPS	Input/Output Per Second
IP	Internet Protocol
IPv4	Internet Protocol Version 4
IPv6	Internet Protocol Version 6
iSCSI	Internet Small Computer System Interface
JDBC	Java DataBase Connectivity
JNI	Java Native Interface
JRE	Java Runtime Environment
JSP	JavaServer Pages
KDC	Key Distribution Center
LAN	Local Area Network
LBA	Logical Block Addressing
LDAP	Lightweight Directory Access Protocol
LDEV	Logical DEvice
LDKC	Logical DisK Controller
LPAR	Logical PARTition
LSN	Log Sequence Number
LTO	Linear Tape-Open
LU	Logical Unit
LUN	Logical Unit Number
LUSE	Logical Unit Size Expansion
LVI	Logical Volume Image
M-VOL	Main VOLume (TrueCopy - S/390)
MBR	Master Boot Record
MCU	Main Control Unit
MIB	Management Information Base
MIH	Missing Interrupt Handler
MIME	Multipurpose Internet Mail Extensions
MP	MicroProcessor
MRCF	Multi-RAID Coupling Feature
MSCS	Microsoft Cluster Service
MSFC	Microsoft Failover Cluster
MTU	Maximum Transmission Unit
NAS	Network Attached Storage
NNC	Network Node Controller
NTFS	New Technology File System
NTP	Network Time Protocol

英略語	英字での表記
NVS	Non-Volatile Storage
OCSF	Online Certificate Status Protocol
OS	Operating System
P-VOL	Primary VOLume (TrueCopy, ShadowImage)
PA	Port Address
PAP	Password Authentication Protocol
PCB	Printed Circuit Board
PDEV	Physical DEvice
PDU	Protocol Data Unit
PP	Program Product
PPRC	Peer-to-Peer Remote Copy
R/W	Read/Write
R-VOL	Remote VOLume (TrueCopy - S/390)
RADIUS	Remote Authentication Dial In User Service
RAID	Redundant Array of Independent Disks
RCP	Remote Control Port
RCU	Remote Control Unit
RD	Relational Database
RG	RAID Group
RIO	Remote I/O
RMC	ReMote Console
RMI	Remote Method Invocation
ROM	Read Only Memory
S-VOL	Secondary VOLume (TrueCopy), Source VOLume (ShadowImage - S/390)
SAN	Storage Area Network
SAS	Serial Attached SCSI
SATA	Serial ATA
SAX	Simple API for XML
SCP	State Change Pending
SCR	Standby Continuous Replication
SCSI	Small Computer System Interface
SIM	Service Information Message
SLP	Service Location Protocol
SLPR	Storage Logical PaRtition
SM	Shared Memory
SMI-S	Storage Management Initiative - Specification
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol
SMU	System Management Unit
SNMP	Simple Network Management Protocol
SOAP	Simple Object Access Protocol
SSB	SenSe Byte
SSD	Solid-State Drive
SSH	Secure Shell

英略語	英字での表記
SSID	Storage Subsystem ID
SSL	Secure Sockets Layer
SSO	Single Sign-On
SVGA	Super Video Graphics Array
SVP	SerVice Processor
T-VOL	Target VOLume (ShadowImage - S/390)
TCP	Transmission Control Protocol
TID	Target ID
TLS	Transport Layer Security
UDP	User Datagram Protocol
URL	Uniform Resource Locator
V-VOL	Virtual VOLume
VDEV	Virtual DEvice
VDI	Virtual Device Interface
VDS	Virtual Disk Service
VI SDK	VMWare Infrastructure Software Developer Kit
VLL	Virtual LV/LUN
VMA	Volume Management Area
VOLSER	VOLume SERial number
VSS	Volume Shadow copy Service
VxFS	Veritas File System
WBEM	Web-Based Enterprise Management
WWN	World Wide Name
XML	eXtensible Markup Language
XRC	eXtended Remote Copy

A.4 KB (キロバイト) などの単位表記について

1KB (キロバイト), 1MB (メガバイト), 1GB (ギガバイト), 1TB (テラバイト) はそれぞれ 1,024 バイト, 1,024² バイト, 1,024³ バイト, 1,024⁴ バイトです。